
もう一度あいたい君へ

鬪豚

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

もう一度あいたい君へ

【Nコード】

N1254I

【作者名】

鬪豚

【あらすじ】

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語の登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。

著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください。

第1話 17年まえの記憶の整理 ver 2.0 (前書き)

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。もし海外からごらんの方も、注意して読んでください。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください。

第1話 17年まえの記憶の整理 ver 2.0

(この物語はフィクションであり、登場する人物、団体等、実在のものとは関係ありません)

僕は昔虫歯にならない体質だった。ある日突然虫歯ができるようになる。虫歯菌について調べてみると、もともと虫歯のできない体質の人間は外から菌が入ってこない限り絶対虫歯にならないという。彼女とキスをしてから虫歯ができるようになったのだ。あれから17年、僕はこのいまましい虫歯すら今はいとおしく感じられる。

彼女と出会ったのは高校1年の4月、入学したての頃だ。初めて見たときは衝撃をうけた。電気が走った。小柄な女の子が楽器を持ちながら所在無げにたたずんでいる。現実の人とは思えないかわいさだった。

その日は新入生がはじめて部活選びをする日だった。僕は中学でバスケットにはいるが長続きしなかった、スポーツは苦手だった。だから高校では絶対文化部と決めていた。音楽なら自信があった。幼稚園から小6までいやいやながらピアノをやっていたからだ。ピアノは操作が複雑だ、楽しくない。でも管楽器なら、という打算もあった。吹奏楽部は演奏で新入生を出迎えた。希望者はこちらへと誘導され、あれよあれよという間に先輩たちの都合で僕はトロンボーンになった。スライドと呼ばれるU字型の管で音階を操作する大型トランペットと違っていただければ、ほぼイメージできると思う。「ほかにも1年がいるから」といわれ、僕はのこのことついていき、電気が走るにいたった訳だ。

最初の1年間はろくろく口も聞けなかった。僕は天性の口下手だ、必要最小限の会話しかできなかった。それでも毎日放課後が楽しみだった。彼女は中学でも吹奏楽部だったようで、すでに即戦力。先輩たちに混ざって演奏。こっちは来る日も来る日も練習と雑用、であるにもかかわらずだ。

1年がたち先輩も卒業し、いよいよ出番が回ってきた。その頃には彼女とも普通に話していたハズなんだが、どんなことを話したかどうかはつきり思い出せない。思い出せるのは、彼女のはにかんだ笑顔とクルクルとしか形容できない愛くるしい笑い声。そして反面急に別人のように無口になる姿だけだ。

少年の頃は恋愛感情というチャンネルが閉じているらしく、なかなか自分でも理解できない。だがその頃にはようやく僕が彼女のことを想っていると解釈できるようになっていた。画期的進歩だった。この画期的進歩を放置してはもつたいたいと思った僕は、無謀にも彼女を映画にさそった。意外にもOKしてくれたのだが。恋愛感情1年生の僕には、まだ彼女の真の気持ち的理解できていなかった。

映画当日僕は人生がひっくり返るような大告白をされて気が動転し、2〜3日理性が働かなくなるのだが、17年たった今にして思えばそんなものまだかわいい方で、彼女の抱える闇はもつと深かった。

なぜ彼女がOKしてくれたのか、今はわかる。そしてこの先起こる出来事の真の意味が。

映画当日、確か「k・9友情のなんとか」とかいう警察犬の出る洋画を見たような気がする。あまりの衝撃に記憶が飛んでいるのでご了承いただきたい。映画が終わり、マックで食事をした。

ここ泡津はアーケード街があり当時としては周辺都市の住民を呼び込むのに十分な魅力があり、映画館も近くにあった。ほかにも娯楽はあるのだろうが、当時も今も娯楽と言えば映画しか知らない僕は、後はどうしたらいいのかわからずとりあえずアーケードをくぐりマツクに入ったわけだ。彼女は食事をせず、オレンジジュースだけを頼んだ。ここだけは17年たった今でもわからない、聞くところ「食べてるとこ見られるのがはずかしい」との事だ。後々気づく事の大きさからついつい勘ぐってしまうが、多分あまり深い意味はないのだと思う。

当時、「高校教師」というドラマがあった。山崎ハコの曲がテーマ曲だか主題歌になっていて、高校生と教師の許されない愛をかいだドラマだ。ぼくはこのドラマが大っ嫌いだった。それはまさに映画当日の彼女の告白のせいだ。

彼女と先生が付き合ってるというのだ。しかも先生は妻子もち。なぜ僕に言う？意味がわからない。混乱し、動揺し、記憶が一部不明になる。その後2人でどうしたか？どうやって帰ったか？完全に記憶にない。

なぜ彼女がそんなこと言ったのか？17年たち真実に気づいた今なら解かる。

おそらく彼女は自分を取り巻くしがらみから開放されたかったに違いない。外の世界で自分を受け入れてくれる人がうれしかったのだ。先生や僕、外の世界の人間とのつながりがうれしかったに違いない。しがらみ、まさにそれは、この日このときすでに僕に迫りつつあったのだ。同じマツクの店内に…

その後の奇妙な学園生活は思い出すだけでも腹が立つ。告白したくせに事を荒立てないでくれという彼女。じゃ言うなよせつかくのデート台無しにしてと心で思いつつ押し黙る僕。なにも気づかない

その先生。腹が立つけどなにもできないこの悲しさ。せつかく1年もかけて告白してこの結果だ。なにか得体のしれないインスピレーションが僕を後押しした。普段人づきあい苦手な僕が彼女を口説き続けたのだ！不思議なことに彼女はさほどの拒絶を見せなかった。

いや、実はこのときマツクで始まった得たいの知れない何かが、水面下でもっと大きなことを起こしていたのだが、まったく気づかずに、この時は口説き続けた。

その後、得体の知れないそれは彼女と先生を引き剥がすことに成功したらしい。先生は不自然な転動をした。当時いろいろ噂が飛び交ったらしい。がどれも真実ではない。

最初、得体の知れないそれは僕をターゲットにしていたらしい。友達の少ない僕に対し、クラスの女子2人組みがやたら仲良くなるうとするのだ。だがコミュニケーションスキルゼロの僕はまったくかみ合わない2人が理解できず、テキストな対応をしてお茶を濁していた。そのうち2人はこっちをまったく相手にしなくなる。当時は、やっと興味を失ってくれたか。少し残念。などと悠長な事を言っていたが、彼女ら女子2人組みは僕と彼女が付き合っていると勘違いし、引き裂くべく放たれた刺客だったのだ！

その時は気がつかなかったが記憶がある、彼女がその女子2人組みを見たときの不安と嫌悪の入り混じった表情。印象的だったのではつきり覚えている。

得体の知れないそれには別班がいたようで、彼女を尾行し、真に付き合っているのは先生であるのを突き止め、何らかの方法で転勤させたと推察する。彼らにはそれだけの力があるのだ。

ちなみに彼らは仕事は完璧にする主義らしい、ある日自転車で下校中の僕の目の前に彼女が現れた。その日はめったに使わないルートを使ったので待ち伏せは不可能。しかも彼女は自転車もなくただ立っていた。どうやってここへ来たのか。

彼女は僕に手紙をくれた。今にして思えば書かされた別れの手紙だ。だが、初めて貰う女の子からの手紙に喜んだ僕はその状況の不自然さなどどうでもよくなり、内容もどうでもよかった。別れの手紙なのに、それに対して返事を書いた。意外なことに返事を貰えた。

1年目は見ているだけ、2年目は玉砕。しかし3年目先生もいなくなり状況がかわりはじめる。

何度か手紙を書いた。電話もした。しかし快い返事はもらえなかった。しかし明確な拒絶もないまま3年生になっていた。

あれはいつのことだったか。その日は吹奏楽の練習は後輩たちのみで僕らは早く帰る予定だった。3年は早い時期で受験勉強に入るため引退が近いためだ。

人気のない廊下の隅で僕らは2人きりで話した。彼女は煮え切らない態度で付き合えない事をつたえる。けど明確な拒絶でないため納得がいかなかった。彼女は珍しく髪を高い位置でポニーテールにしていた。めちゃくちゃかわいい。普段は低い位置でしか束ねていない。その日はこのために特別にこの髪型にしてきたというのだ。喜ばしいのか悲しませたいのか当時の僕のコミュニケーションスキルでは理解不能だったが、彼女の並々ならぬ決意だけは伝わってきた。

おそらくここで別れたら、もう2度と会えない

直感がそう告げていた。2度と会えない。当時の僕には死刑宣告にも等しい。死ぬなら、死ぬ前に伝えたいことがあった。それまで遠慮して言えなかった彼女の悪口。そして恥ずかしくて絶対に言えないような本音。脳の奥でしか出さないような小さな小さな心の叫びまで全部ぶちまけた。もう2度と会えないんだから、これでいい

んだ。嫌われてもかまわない。まくし立てながら、終いには泣いていた。最後には母親にだって絶対言えないような恥ずかしい言葉を吐いていた

「僕は、甘えて、すがって、支えになっってくれる人が欲しかったんだ！」最後はたしかこう叫んだと思う。しかも泣きながら。誰かも見ていたとしたら、どう思っただろうか？しかしそんなことこの時の僕には関係ない。

終わった

そう思った、泣きながら。おそらく今泣いたがためにつぶった目を開けると、そこには軽蔑のまなぎしの彼女がいるに違いないと確信していた。でも悔いはない。初めてのまともな恋、やり遂げた！と不思議な充実感があつた。そんな悲しいんだかそうでないんだか解からない感情のまま目を開けると、そこには、初めて見たとき上にかわいらしい表情をした彼女がいた。

「そこまで本音を言ってくれた人ははじめて…」

顔を赤くしてたえずむ彼女を見て、一瞬で状況が変わったことに気づく。彼女は何もしゃべれないでいた。

ようやく涙をぬぐうゆとりができた僕は袖で目を拭きながら

「もう2度とこんなこと言わない」とか言ったように記憶している自分の事なんかどうだっていい、忘れてかまわない・

「顔を見られるのがはずかしい」

そう言っつてうつむく彼女。その時どうして思いついたのか僕は彼女の1センチすぐ前に移動した。驚く彼女に対して

「これだけ近づけば顔下にしなくてもみえないよ」

僕が身長160センチ、彼女が150センチ。10センチ差でそうなる。

彼女がようやく和らいだ。案外気が合いそうな気がしてきた。

世界が変わりはじめた

17年たつて思う。彼女は彼女なりに僕を氣遣つてくれていたのだ。こつちにくるな、関わるなと。だけど、こつちから猛ダツシユで飛び込んでその壁を破つてしまった。おそらく、得体の知れないそれも、2人そろつて付き合っているのを隠せば気づかなかつたかもしれない。けど、彼女はそれを打ち明けなかつた。打ち明けていてくれれば…と思うが、通常打ち明けた場合、気が狂つてると思われるかギャグを言つてると勘違いされるかになる。当時の僕も残念ながら絶対信じなかつたと思う。17年後の今だから解かるのだ。

その日は天国のような日だった。彼女はぼくを知らない世界へ連れて行つてくれた。当時の僕からすれば彼女ははるかに大人だった人には語りたくない大切な思い出は誰しもがあると思う。初めてのキスは天国よりもはるか高いところに僕を連れて行つた。

僕も彼女も吹奏楽部としてほぼ毎日練習のため学校で顔をあわせた。“彼ら”の仲間はずれの中にもいる。なぜそう思うかということ、例の女子2人組みに向けたあの不快感を表した視線を時々彼女が“彼ら”に向けていたからだ。そういう視線の時はたいがい彼女はよそよそしく、他人のようにふるまった。僕はあいかわらず氣まぐれだな…でもかわいい。などと鈍感さの極致を窮めていた。

僕ら2人の行動は完全に隠密行動だった。事情を知らない僕は正直不満だった。そんなに僕と付き合ってるのを隠したいのか？とも正直思った。だが時間が経つにつれ、それも徐々に緩和されつつあった。

彼女ももう大丈夫と安心したのだと思う。だがそれは油断だった。

あの春の日。この日初めて彼女は“それ”の存在に気づき、怒りを見せた。もう来ないと思つていたものがまだ来ていたからだ。

いや、もっと前に気づいたのかもしれないが、少なくとも彼女の明確な憤りを見たのはその日が初めてだった。

その日、僕らは自転車を牽きながら歩いて2人で下校していた。暖かな日差し、風になびく草、2人並んで下校する。まるでドラマの1シーンのようだと感じた。でもドラマではない、現実であり、現にとなりに彼女がいる。永遠に続くんじゃないかと思えるその光景、だが当時の僕はまだしっくり来ていなかった。彼女は何か隠している。そう感じた。自分はこんなに心をさらしているのに…、まいずれ話してくれるだろうと、わずかな心のしこりを抱えていた。17年後の僕からすればなんともつたいないことか、彼女は心底お前を信頼してるんだぞと言いたいのだが、当時の僕には届かない。そんな感じで美しい風景とは裏腹に心で引つかかっている僕と違い彼女は楽しそうだった。いや現に本当に楽しかったんだと思う。しがらみのない世界で自由だからだ。

そこにそれは突然現れた。

黒系の色の車が徐行してこっちに来る。中には20歳前後と思われる男が4人。こっちをみて「ヒューヒュー」と茶化す。かわいい彼女連れてからかわれるのはそんなに嫌な気分がしない、僕が照れていると車は行ってしまった。

車が行くのを確認すると、彼女はものすごい不安と憤りのまじった表情で

「今のしりあい？」

と半ばケンカごしで聞いてきた。怒りすら感じる。照れ笑いの最中だった僕はマヌケにもその表情のまま否定。

それまで楽しそうだった彼女が急に地獄に来たような感じになってしまった。気づけよ！当時の僕。だがおそらく現在の僕でなければ彼女がああ4人の男からどれほどのプレッシャーを受けていたのかを説明できないだろう。

その日以来、彼女は尾行に気を配るようになった。いや当時はわからなかった。今思い返してみるとそう思う。当時ぼくは呑気な子供で、彼女がどんな世界に身を置いているのか想像外だった。そういえば大人びていた、当時の僕は単純に彼女をそう思い、尊敬すらしていた。彼女から何かを学びたいとすら思った。なんて根性のある子なんだろうとも思った。だが、それらはすべて錯覚だ。現実の彼女は根性なしだ。根性があれば、変人扱いも承知の上で僕に信じるまで告白し続けたはずだし、大人びて見えたのは、そうならざる得ない環境のせいで、現実にはまだまだ子供で、信頼する人を欲していたのだ。気づけなかった…

今、思えば彼女はシグナルをいくつも出していた。それらをつむぎ合わせると1つの真実にたどり着くのだが、当時の17歳の少年僕には不可能だった。

その頃になると2人は小さな“神社”の社の前で、毎週木曜日に会うようになっていた。特に暗くなる時間帯に。まるで周囲の目を気にしていたように…、というか事実彼女は気にして、僕はまったく気づけなかった。

ほの暗い神社の境内、その奥にある倉庫ぐらいの小さな社。その社の小さな階段が2人の指定席だった。まずそこに人がいるとは誰も思わない完璧な隠れ家だった。彼女は1人になりたいときよく“神社”を訪れるという。ここもそうした過程で見つけた場所らしい。2人でじゃれ合いながら過ごしているとあつという間に時間が経つ。まるで2人の周囲だけ別時間が流れているように…。

あの日以来、ここへは別行動で合流するようになっていた。決して2人で一緒には来ない。待たされるのはたいてい僕のほうだ。

僕は待つ間いつも不安になる。もしかして来ないんじゃないか？ そう思うからだ。学校で会うとき、時々どうしようもないくらい彼女は他人行儀になる。コミュニケーションスキルゼロの僕は、彼女

が僕と付き合っているのを恥かしいと感じていると思った。申し訳なく感じた。こんな僕でごめんとも思った。だから、来てくれた時は本当にうれしかった。来てくれるんだから大丈夫。そのうち普通の恋人同士のようになれる、そう思っていた。

僕は完璧に彼女に振り回されていた。心のどこかでもてあそばれているように感じることもあったが、この頃はまだその思いも無視できるレベルのものだった。大丈夫、いつか彼女は秘密を打ち明けてくれる。ともかく待とう。そう思っていた。

だが事実は違う。彼女は必死に僕との大切な時間を 得体の知れないそれから守ろうとしていたのだ。もてあそばだなんてとんでもない誤解だった。おそらく彼女は必死に尾行を撒いていたに違いない。時間をかけて。

彼女はポケベルを持っていた、当時高校生としては珍しい。

「それどうしたの？」と訊くと。

「お兄ちゃんからもらった」と彼女。

「兄弟いるんだ」と訊くと、彼女は否定する。

「通信費とかどうしてるの？」と訊くと、そのお兄ちゃんが払っていると言う。ここに重大なヒントの一部があったのだが、ちらつく男の影と先生とのことを連想し、気が気でなかった。

ポケベルは彼女にとってとても重要なものらしく 2人だけの隠れ家である神社にいても、呼び出されたら絶対行かねばならなかった。たとえ僕がいても。悲しかった。

そんな彼女が、隠すことから戦うことに転じたのは夏祭りの日からだと思う。記憶の限りにおいて。

泡津の夏祭りの日、祭りなんだから祭りに誘えばいいのに僕は映画に誘った。映画しか娯楽を知らないからだ。で見終わったらついでに祭りによるう、そう考えていた。彼女の方は祭りがメインと考えていたのか浴衣で来てくれた。女の子の浴衣姿をこんなに間近で見るのは初めてだった。しかもこの浴衣は僕のために着てきてくれたのだ。人生でこれほどの幸せがあるだろうか？

待ち合わせは相変わらず別行動で現地集合だった。泡津駅北口の近くにある小さな神社を指定した。指定した時点では喜んでいた彼女だが、いざ当日行ってみると非常に不機嫌そうにしている彼女が神社にいた。浴衣姿で。こんな目立つかつこでこんなところで1人待たせたんで怒ってるのかなと感じた。

「あそこの2人…」と彼女。
見ると神社内にあるブランコに大人の男女が腰掛けている。ああこんなところで1人たたずんでいたんじゃないやそりや不機嫌にもなるなと思った。多分ごめんと謝罪したと記憶している。けど彼女はそうじゃないのよという。訴えていたのだ別のことを。察してほしかったにちがいない。たよれる男であるところを見せてほしかったのだろう。しかし彼女もそれが不可能であることを心得ていた。とにかく夏祭りだ。楽しまなければ。

映画ははつきり覚えている「紅の豚」。最初は渋っていた彼女も最終的には気に入ってくれた。

「最後のキスのシーンあるでしょ 震えがきちゃった」と言う。
ヒロインを守るためボコボコになった豚が、感謝のキスをもらうシーンだ。確信を持って言う。豚と僕を重ね合わせて彼女は言っている。ただ当時のぼくは容姿が豚だからか？と思ひ落ち込んだ。

だが今のぼくはこう思う。ぼくに戦ってほしかったのだ、映画の豚のように…。

映画館を出ると外はすっかり暗くなっていて、人でごった返して

いた。祭りといっても正確には花火大会で、アーケード街は花火目当ての客でもものすごいことになっていた。僕は彼女と花火を見たかったが、いい場所は人で埋め尽くされ入り込む余地がない。

「ロマンチストね」と彼女が落胆した声で言う。彼女の置かれた現実から見れば、ぼくは花火を見たがる夢見がちな映画好き。しかたのない発言なのだが、当時のぼくはむっとした。

散々人を振り回すうえに馬鹿にするなんて、と思ったが飲み込んだ。そんなちよつと気持ちがすれ違っているとき、事件がおきた。

アーケードを出ようとしたあたりで、急に彼女が僕をほつたらかしにしてどこかへ隠れた。

「知り合いがいたの」

高揚した顔で彼女が微笑む。尾行をうまくやり過ごせた勝利の笑顔なのだが、当時のぼくはそんなことわからず、僕と一緒にいるところを見られたくないのか？とイライラが増していた。

結局花火は人とビルにさいぎられ見れなかった。彼女は花火より僕との会話する時間の方を好んだ。じゃあどこか適当な場所をと思つたが、彼女は泡津から離れる事を選択。ここでは尾行に発見される確立が高いと考えたのだろう。僕はせっかく来たのに…と思いつつしぶしぶ同意。電車に乗った。

泡津から僕の住む皆島まで通常、西海道線を使う。だが彼女は御殿線を選択した。僕らの通う高校の近くの駅につながっている。

僕は乗ったことがなかった。今にして思えば、彼女は彼女なりに尾行の裏をかいたつもりだったのだろう。しかしそれは甘かった。

彼らは身内のなかに異端者が発生すると特別な方法で制裁を加える。よく似た実験を昔TVのバラエティー番組でやってたのを思い出す。タレントが全面ガラス張りの部屋で24時間過ごす企画で、人の集まる夏のビーチにそのガラス張りの部屋は設置されていた。

中に入ったタレントは最初周囲の人に愛嬌を振りかざしていたが、2時間が経つと人の視線に耐え切れなくなりギブアップ。24時間持たなかった。たった2時間で人間は無数の視線にさらされると精神が狂ってしまうらしい。

電車にのつた。僕は一番いいアロハシャツ。彼女はかわいい浴衣。周りのみんながこつちをみる。きっと彼女がものすごくかわいいからに違いないと思った僕はその事を彼女にささやく。当然いつものようにはにかなだ声で恥ずかしがると思いきや、まったく予想外の答えが返ってきた。

消え入りそうな声で

「そんなわけないでしょ…。わからないの？」

わからないのでその通りこたえた。この時の彼女の落胆でもない、恐怖でもない、まるで罠にかかった獲物のような表情は今でも忘れない。

駅に着いた。歩いてぶらぶらする、話しながら。周囲は真つ暗で駅と言つてもろくろく街灯もない。最初緊張していた彼女もだんだん和らいでいく。あたりに誰もいないからだ。

コンビニにより、アイスや飲み物を買ったような記憶がある。それを持ち、またぶらぶら歩く、話しながら。彼女は楽しそうだ。買った物は腹に消え、手持ちぶたさになった僕は彼女にキスをした。

その時、突然車のヘッドライトが僕らを一瞬照らし、どこかへ行ってしまった。

「見られた…」

彼女のつぶやき、当時は人に見られたのが恥ずかしかったのかな？と思

「いいじゃん、別に」と僕。

「よくないわよ！」彼女はさげんだ。おそらくこのあと、「事の重

大きがわかってないわね」といいたかったに違いないが言わなかった。

彼女の中で何かがはじけた。戦う決意をしたに違いない。当時の僕は何かある、どうしたんだろう？キスしたこと怒ったのかな？僕がこんなところでキスしたせいで、人に見られて恥ずかしい思いをして落ち込んだのかな？それにしても気迫を感じるのはなぜだ？と思った。

だが事実は違う。彼女が必死に最後まで守り通してきた大切なものが破壊の危機に瀕している。ばれた以上、戦うしかないと決意したのだ。当然この場合大切なものは僕のことだ。今ならわかる。だが17年前の僕は彼女に愛されていることを信じ切れなかった。

とりあえずどこかに隠れねばと思った彼女は近くに絶好の神社があることを思い出した。

「こつち」と歩き出す。

ぼくは、また気まぐれか？訳わからんと思いついていった。完全に2人の気持ちはこの時すれ違っていたのだが、当時の僕には理解の範疇を越えていた。実に苦々しい…。そしてこの後に起こる破局の始まりを。17年たった僕は理解できるが。当時の子供なぼくは自分の不満のことばかり考えていて予感すら感じなかった。そしてこの後、ぼくは人生最大の過ちを犯す。まさにそれは17年の現在につながる道の始まりであり、たどり着いたゴールなのだが…。

神社は初めてきたところで長い階段があり、照明はなかった。彼女は前に来ていたらしく。自分の欲する隠れ場所として理想的だと確信した。階段中腹まできて2人座れば、暗すぎてあたりからは見えない。絶好の隠れ家だ。彼女は打って変わって上機嫌になり僕を階段に誘った。彼女は必死にぼくを守ろうとしていたのに、僕はそれを理解できず、振り回されているという被害妄想からストレスが増すだけだった。人間には表現力が必要だ、これは現在の僕がたど

り着いた結論だ。

ぼくはこの日からずっと、彼女の気持ちを理解できる人間になりたい。ただそれだけを目指して17年生きてきた。コミュニケーション・スキルを身に着け、論理的思考法を養い、断片から文脈を読み解く方法を獲得した。みな彼女のあの時の気持ちを理解したいがためだ！　だがこれだけそろえてもだめだった。永久に到達できないはずだったその目標は意外な形で現実のものとなる。

17年たち、まったくの偶然から僕は彼らのターゲットにされた。邪魔者は排除する。ということらしい。

神社の階段で僕たちはくっついて座った。彼女はあたりを警戒している。すると、ぼくらより下の段、4〜5メートル下に母親と息子らしい2人連れが座った。息子の方は僕と同じ位の年で、妙にそわそわしている。一瞬でおかしなやつが来たと思った。

せつかくの二人きり邪魔されたくないと思ったぼくは彼女に場所を変えようと言った。だが彼女はガンとして譲らない、出て行くのは向こうの方よという。彼らの存在を知らない僕はその意思の強さに感動し、その後の人生で人とぶつかった時いつもこの時のことを思い出し、彼女のように絶対に退かない強い意思を持つと心に刻み続けた。このおかげで今ではたいいのプレッシャーは跳ね返せるようになり、彼らと17年ぶりに遭遇したときも役立ったわけだが。そもそもが僕の誤解であり、彼女は強い意思の持ち主ではなく、ただ僕を守るために歯を食いしばってがんばっていただけだと気づいた現在は、どう彼女に謝罪すればいいのか、いやぼくはこの後もっと大きなミスをする。このミスがかわいく思えるようなかいやつを。

どこまで隠れても逃げ切れないと悟った彼女は立ち上がり、堂々と振舞うことを決意した。階段を下り、堂々と2人で道を歩こうと

いうわけだ。彼女が今、世界で一番大切に思い守り通そうと決めた男がまつたくの不甲斐なさを発揮するのはこのしばらく後のことだ。しばらくすると彼女のポケベルが鳴った。

また行くのか…。と思い落胆していると、意外な事に彼女はポケベルの電源を切った。あんなに大切というか、何よりも優先していた呼び出しを無視したのだ。それどころかポケベルの振動機能を使って僕にじゃれ始めた。いままであんなに大切にして、触らしてさえくれなかったポケベル。

そして彼女はついに告白した。言っではいけない秘密の一部をだがそれは恐ろしく遠まわしな表現で当時の僕の分析力では限界があった。

前に付き合っていた、お兄ちゃんの話。お兄ちゃんといつても兄妹でも幼馴染みでもない。関係の部分はごまかして彼女は話を進める。言わなくてもわかってほしい。それが彼女の願いだ。あの映画の豚のように戦ってほしいと願ったに違いない。

けど僕は散々振り回されストレスもかなりたまつたとこに前の彼氏の話かよと落胆し、聞き流してしまった！もし細かく聞いていたら、違っていたかもしれない。今の僕のスキルの何分の一でもいから発揮できていたら、状況は変わっていたかもしれない。何より、気持ちがすれ違ったまま別れなかったかもしれない。

しかし当時の僕は自分に自信がなく、その前の彼氏と彼女のよりが戻ることばかり心配し、その辺を話しの論点にしてしまった。今の僕なら、相手が強調したい論点かどこなのか探りながら話をする事ができる。今できても、当時できなければ仕方がないのだが…。

彼女が指摘したいそれは“彼ら”のことだ。構成員同士を守りあい、子孫繁栄も仲間内のみで相手を決める。外の間人と付き合うの

は異端であり、制裁の対象になる…。

と、このように言えばいいのだが、彼女も子供だった。17歳にしては大人だと思うが、やはり子供だ。今の僕から見れば。秘密を守るよう教えられて育った彼女はせいっぱいがんばって説明した。この僕に賭けたのだ。彼女の並々ならぬ期待は伝わってくるが、いかんせん話の筋が見えず当惑するばかりの僕。せつかくのデートだ彼女がこんなに一生懸命話しているんだから、意味がわからずとも笑顔で返さねばと思い、笑顔でうなずき続けた。

これこそが僕の人生最大の過ちだった。

そのせいで彼女は話を通じたと感じ、満面の笑みをみせる。僕も笑い返す。2人の気持ちが完全にかみ合っていないのに、もしわからないという顔をしていれば、彼女は僕が理解するまで説明しただろう。コミュニケーション能力の欠如。許しがたい、犯罪的なまでの欠陥。人生最大の汚点であり、ぬぐえない過去。

2人は完全な誤解状態のままその日を終え、帰宅した。彼女は充実感で一杯の顔だった。その笑顔の意味さえ当時のぼくにはわからなかった。彼女はぼくのような何の役にも立たない人らしい物体にはもつたいたないくらい、本当にすばらしい、たとえようのない、最高の人なのに、ぼくはその輝きがまぶしすぎて、その本当価値、すばらしさに気づけないアホまるだしだった。

この後の出来事は、できれば書きたくない。思い出すのも表現するのも死にたくなる。

僕がまったくわかってないと彼女が悟ったのがいつだったのかわからないが、しかし、あの最高の笑顔が時間とともになくなっていたのは確かだ。彼女はまた、ポケベルに従うようになる。彼女の落

胆はどれほどのものか想像するだけで死にたくなる。季節は秋になつていた。彼女がもう会いたくないと言つたのはこの頃だと思つう。

もう会いたくないという前、彼女は最後の賭けにでた。

彼女が前付き合つていた先輩。先生の後に付き合つた人、だが。ある日突然、彼女は先輩の正体をあかす。それがどれほど“彼ら”にとつてタブーなのか当時の僕は知らなかつた。相当勇気を振り絞つて言つたに違いない。なのにはぼくは彼女の命がけの告白にピンとこづ。あるう事かその先輩にそうなんですかと訊いてしまった。それがどれほど彼女の立場を危うくするか気づきませず。

この事実気づいたのは17年たつたごく最近だ。つい数週間まえまで、ぼくは彼女を気まぐれなひとだつた、どーしたら彼女を理解できるだろう。もつといろいろ学ばなくちゃなど思つていた。

数週間まえの自分に殺意さえ覚える。殺してやりたい。彼女がどれだけ必死だつたのか理解した日の夜、ぼくは声を出して泣いた。たつた一人のこの部屋で。

彼女とはここで終わるはずだつた。しかし鈍感の極みをさらに磨き続けたぼくは、彼女に攻勢をかけつづけた。真実を知つた今の僕には絶対そんなことできない。きっと彼女はこの頃にはぼくの天然記念物的アホさにあきれていたことだろう。

今考えればヒントはいくつもあつた。初めて映画に誘つた日、彼女はこういつた。

「私の本当の姿を知つたら、きっと嫌いになつちゃうよ」と。

部活中、雑談の中で、唐突に電車で痴漢にあつた話をする。

「大丈夫なの？」と訊くと。

「大丈夫」と嫌悪感なく、いじらしいといった感じの、気づいてよといった感じの微妙な笑顔でぼくを見る。きっとこのヒントに反応できるか見ていたんだと思つう。みごとわからなかつたんだが。

この時期、ぼくはクラスで完全に孤立していて親しい友達は何もなかった。思い返してみれば高校3年間ずっとそうで、思い出せるクラスメートの名前は一人もない。最初の1年は僕自身の責任だったから気がつかなかった。が、2年目以降は“彼ら”が介在していたと考えるとどうだろう。

対象の孤立化を図るのは彼らの常套手段だ。

小・中学校ではともにそれなりにいた友達がゼロなのは異常だ。だが僕は高校ともなるとちがうな、もつと成長しなくちゃと思って気がつかなかった。普段無視するクラスメイトが時々はずす仮面の下の顔に気がつかなかった。時々、短時間だけ普通の人として扱ってくれるのに、教室内の人が増えると、また元にもどるということがしばしばあったのを覚えている。

この頃ぼくはどういう訳か朝食を食べられないほど、胃が痛かった。例の集団で視線を浴びせかける攻撃を学校で受けていたのが体に出たんだと思う。意識は気がつかずとも体が反応していたのだろう。日曜日には普通に朝食が食べられるので母親が訝しがっていたのを覚えている。

彼女との密会が再開してから、こんな会話をしたのを覚えている。「僕、学校の同級生の顔ぜんぜん覚えられないんだよ」

事実、今でも人の顔はすぐ忘れる。だから今ではそのひとの癖で覚えるようにしている。

「それでか…」彼女は納得した。

もし僕がまともな神経の持ち主だったらこの頃精神がおかしくなっていたに違いない。天性の鈍感さゆえにこの程度ですんだのだ。

心配していた彼女は僕を再び受け入れてくれた。彼女を落胆させたいあの鈍感さが、あるうことが僕を守っていたのだ。

なぜ、再び彼女は会ってくれるようになったのか？“彼ら”の尾行も承知の上で、彼女は責任を感じていたのだ。自分と関わったせいで僕がこうなったと。

第2ラウンドの始まりはこうだ。

この時期友達がない事は話した。だがなぜか僕に近づき時どき話しかけてくる他クラスの男子がいた。親しげだが妙によそよそしい。今思い返すとこの親しげだが妙によそよそしい男子は2年から3年生の間何人もいた。ま、気は会いそうないけど邪険に扱うのもどうか、コミュニケーション・スキルを身につけるためには人と話をしなくてはと思いそれなりに近寄ってくるたび話に応じた。

「友達なの？」

彼らと話していた僕に久しぶりに彼女の方から話しかけてきた。ものすごい心配そうな顔で。いたりや愛情も感じた。それまで他人のようにされていた僕はうれしかったが、さもこれが当然といわんがごとく、以前の調子で彼女の言葉に応じた。

「違う、知り合い」

彼女の顔に恐怖が浮かぶ。

記憶があいまいなのではっきりしないがこのしばらく後、部活中彼女が突然両膝をついてしゃがみこみ、泣きながら・

「ごめんね、わたしのせいでごめんね」

と言ったことを覚えている。この時期の記憶は混乱していて、どう対処したのか思いだせない。彼らのプレッシャー攻撃のせいで大切な記憶が混乱しているとは死んでも思いたくない。

再び彼女からまた以前のように会おうと喋ってくれた。

天にも昇る心地だった。やったようやく想いが通じた！あきらめ

ないでよかったと心底思った。その裏で繰り広げられていることや、彼女の気持ちの変化には何ひとつ気がつかずに…

だが、今回はそんな僕の欠点すら受け入れてくれたように思う。この欠点のおかげで助かっているようなものだ。彼女は安心した。本気で僕を気遣ってくれていた。彼女は知らなかっただろう、この17年後にぼくがそのことに気づくとは。

密会の場所は相変わらず神社だった。以前と同じように。しかし季節は秋。春の時よりも日は長く、周囲は暗くなかった。遠くからでも監視できる。それでも彼女はこの場所を指定した。

再び、あの2人だけの時間が帰ってきた。僕と彼女の周りだけまるで別空間のようになる永遠の空間。人生最高の時。

覚悟していたものがついに来た。おそらく最初に気づいたのは僕だ。じいさんが1人とぼとぼとこっちに来る。神社の敷地を不自然に横切り、消えた。こちらを見ながら。彼女は気づいてない。事の重大さに気づいていない僕は、気づいていなかった彼女にそのことを言ったと思う、記憶が混乱している。彼女は覚悟していたのが来たことを悟ったに違いない。

「どうしてその時いつてくれなかったの？」
彼女は不安な声でそう言った。

密会は以前と同じ毎週木曜だった。次の週神社に行くと、ぼくらの指定席に幼児を連れた母親が2人いた。そのうちどこかへ行くだろうと思いきやいつまでも居座る。彼女は一旦ここを立ち去ることを提案。実際立ち去ってしばらくしてもどると。誰もいなくなっていた。ここまできても僕は気づかない。不自然さすら感じてない。彼女のこの人はこれでいいのよという目線が痛かったように思う。17年たった今、彼女のあの目線の意味がようやくわかるようにな

った。

彼女は言った

「曜日を変えましょう」

唐突な提案に驚いたが特に拒否する理由はなかった。

17年たった今、彼女のいじらしさがいとおしく、どうしようもない感動と動揺を僕に促す。彼女はこの時点でもうやめにしてもよかったのだ。相手は絶対勝てない相手だ。無理に抵抗しても無駄だ。自分のせいで僕がこうなったと思うならもう充分つくしてくれている。これ以上自分の立場を危うくするほどの価値のない男であることは知っているはずだ。それでも彼女は抵抗する道を選んだ。この僕のために…。

曜日は確か金曜日に変更したように記憶している。実際その日行ってみると、まったく人気がなかった。完全な無人。今思うと、て事は木曜日には無意識のレベルで僕も人の気配を感じていたんだろうか？そう感じさせるほどの完全な無人状態だった。

彼女は歓喜した、久しぶりに見るあの満面の笑み。なんだかわかっていない僕もその笑顔が見れてうれしかった。あの瞬間を永遠のものにしたいと今は思う。あれが“彼ら”を出し抜いた最後になった。

このあともしばらく、毎週金曜日僕らは会った。

もともと印象的に覚えているのは、2人で抱き合ったとき、ぼくが彼女の腰に手をかけたとき、

「だめ、むこうから見られちゃう」

といって、2人の位置を入れ替えることを要求した時だ。入れ替われば、監視者からは僕の背中しか見えないという訳だ。彼女はもう覚悟していた。

この頃季節は冬だった。ようやく日が暮れるのが早くなり、彼女を安心させた。これだけやたらと暗がりをおむんだからそろそろ気づけよと思うのだが、当時の僕には不可能だった。

人の記憶とは不確かなもので、時間が経過するほど現在に近づくんだからより鮮明に覚えていてもいいはずなのに、この頃の記憶は特にぼけている。

ぼくはこの頃彼女との関係をどう持つていけばいいのかわからなくなっていた。ぼくの望みは普通の恋人同士のようになることだ。こんな暗がりでもココソコソすることではなかった。どうすればそうなるのか……。クラスや学校で続く孤立化作戦もあいまってぼくの思考は判断を誤り続ける。あろうことか彼女にイライラを再び感じ始めていたのだ。ある意味“彼ら”の勝利だ、くやしいが。ぼくは子供すぎて、彼女の保護なしではこの2人の関係が維持できないことに気がついていなかった。

そしてわずかながらイライラを彼女にぶつけるようになっていたのだ。それでも彼女はぼくをいつくしんでくれた。ありえないことだと思う。ぼくのどこにそんな魅力があるというのか今でもサツパリわからない。“彼ら”さえいなければ僕らは最高のパートナーになれたかもしれない。

知らないところで彼女は何らかの非難をされたい。今度は場所の変更を提案してきた。違う神社で会おうというのだ。もし現在の僕なら、そのワンパターンな手はもう通じないから、違う提案をしたらどう。人海戦術はかれらのオハコだ。おそらく周辺のすべての神社に見張りをつけていたに違いない。まさに罠にかかりに行くようなものだ。そして僕らは見事にはまった。

その日僕は彼女と会話を中心にして挑もうと思っていた。僕は彼女のことをなにも知らない。お父さんのこともお母さんのことも、妹がいるらしいことは何度かの電話で知っていたが、ほかに兄弟がいるのかとか。

どんな風に育ったのか。何に今一番興味があるのか、将来どうしたいとか。どんな食べ物が好きで、今までの旅行でどこが一番楽しかったのかとか、僕は彼女がどこに住んでいるのかさえ知らなかった。何も知らなかった。いつも僕が一方的にしゃべるだけだった。

言えるはずがない。彼女の人生はすべて“彼ら”と関わっている。説明できるはずがない。何度きいてもはぐらかされるからイライラしていた。

けど今日こそは聞き出してやると決意していたのだ。僕なりのわずかな成長だが、事態の切迫さと、局面が重大なとこまで来ていて、まさに追い詰められているとこだと夢にも思っていなかった。

それは2人ですごした、いやすごしたと思っ込んでいた最後の密会となった。今は考えるだけでおぞましい。すべて見られていたのだ。最後の思い出は汚されてしまった。

次の週、もう会うことはなかった。電話でもう会わない旨伝えてきたのだ。僕たちは捕食者について捕まり、餌食とされてしまった。

このあと、廊下ですれ違いそうになっても彼女の方から逃げる。僕の周辺には“彼ら”が常にいた。僕が毎日話している連中は“彼ら”だったのだ。その連中と何も気づいていない僕が歩いている様子を彼女はどんな風に見ていたのだろうか？僕と再び会うと僕にこれ以上の何かがおこるといわれていたのだろうか？事実今考えるところとくるものがある。大学受験の際、推薦受験資格がとれたのは担任の先生がたった1人でがんばってくれたからだときかされた。

先生も事態の奇妙さから違和感を感じていた。成績が振るわなかったのは僕自身の責任だが、それにしても評価が低すぎた。近所で僕と同じ名前の犬を飼うおばさんがいて、わざとらしく我が家の前でブラッシングをしているのを家族から聞いた。わが一家は僕同様天性の鈍感人間がそろっているので変な人だねくらいにしか話題にならなかった。

部活ももうない。3年生は受験に専念する。クラスも離され、会う機会はほとんどない。以前は廊下で、はるか遠くに彼女をみつけて、じつとにらんだりすると、こつちを振り向いたりした。目が合い、楽しかったなんて事もあった。それももうない。視線をむけても彼女は逃げる。けど完全に視界から消えるわけでなく、背を向けて僕の見える範囲で立ち止まり、じつとしていて、けっして振り向かない。彼女なりの抵抗だったのかもしてない。あれが抵抗の限界だったと思うとなんといいらしいことか！あの状況でさえ僕にシグナルを送っていたのだ！

にもかかわらず、まったくもって気がつかなかった。とても僕と同一人物が過去行った所業とは思いたくないが、否定すると自分がおかしくなってしまうので受け入れるしかない。

ある日彼女は髪を切った。ショートカットにしたのだ。正直似合っていない。その日以降本当に彼女は僕の周辺から感じられなくなった。

それでも本当にまれに顔を見る。チラとこちらを一瞬みると感じるのはぼくの勘違いかもしれないが、侮蔑の感情もあきれた感情も彼女からは感じなかった。だから僕はまだ脈はあると思って手紙を出し続けた。

今は思う　おそらく彼女は僕が何事もなく無事にいるのを一瞬みて確認して安心していったんだと思う。彼女はこの時点でさえぼくを気使ってくれていた。

殺人的なほど鈍感な僕はまったくわからず手紙を出し続ける。けどその鈍感さがぼくの無事を保障している。手紙を見るたび、彼女が安心したのではと今は信じたい。

古い神社、今もあるだろうか：

そう思いごく最近地図をたよりに行ってみた。それはまだあった、周辺の様子もずいぶんかわり、とても隠れ家と呼ぶにはほど遠いものになっていたが、2人で座った社の階段は当時のままだった。社の内部も記憶にある通りだった。

僕には3つの宝物がある

1つ目が先に述べた2人の思い出の社がある“ 神社”

2つ目が夏祭りの後、僕の態度に心が影響された旨を綴った彼女の手紙。

3つ目が僕のへやで撮った2人だけの秘密の録画。

写真はなくしてしまった。あと「紅の豚」の半券もまだ持ってる。

“彼ら”は新興宗教のように「専用の服を作ったり、特異なオブジェを掲げたり」しない。

あやしい団体の構成員は「専用の服や特異なオブジェ」を通じてメンバーが一体感を持つと言うが、“彼ら”の場合はそれが“ない”かわりに「例のあの行動」があるのだと思う。

「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだ。その一体感が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく…

そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できるくらい一生懸命になれる道理がない。普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。

どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっている事実には気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。

その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

自分の中の悪魔と戦って欲しい…

逃げていては、いつまでも、“他人のいいように”されてしまいません。

もう1人ではないことを忘れないでほしい。

負けないで！

過去は糧かてにするものです。君にもそう信じて欲しい。だめかな？でも、いつか君がそれを信じられる日がくるまで、頑張ろうと思う。君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。いつか、想いが届く事を信じて。

世界は広大で広く、想像を絶するダイナミックな時間からみあって作られている。

「視野が狭くて何が悪い」とか言う人が増え続けていくと、それが世界の不和の原因になってゆく。

過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。

淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違はなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。僕は脱出をとにかく君に勧めます。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言葉ことばのように……どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しはいい）

君に伝えます、その中にいる限り、永久に答えは出せないとと思う。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちがいなく“カルト集団”です。

とにかく、脱出が先決です。何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？

それらは脱出してから考えればいい。その答えは組織内においては永久に出ない。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。

僕は2人一緒にいる時の、君の謎の言動の真実を理解したい衝動をずっと持っていた。

あの笑顔の意味を知りたくて努力した。

生まれつきの鈍感さはいいかわらずだけど、努力して得たものは、確かに君の心に繋がったと感じた。

心のなかの“それ”を大事にして、追求するのは、人として正しい行為だと僕は感じる。

もし、君も同じような感覚を抱いてくれるなら嬉しいです。

いつか、どう思うのか聞かせてください。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

君の名前の最初の1文字は「真実を見て（知り）理解する者」と言う意味がある。

名づけた方の意思に反しようが、真実を見極めてもいいと思う。

なぜなら、その名前の字をこの世に送り出した人々は、名づけた人よりも遙か昔にいた人々で、過去存在した多くの人々の想いがその名の意味を支えている。君の名の1文字は歴史を重ねて作りあげています。そして、その1字の意味の通り生きていいのだと思う。

君は価値ある人物です。僕に大切なものをくれた。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君が「サンクコスト埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。

奇跡を信じて。負けないで！

（この物語はフィクションであり、登場する人物、団体等、実在のものとは関係ありません）

第1話 17年まえの記憶の整理 ver 2.0 (後書き)

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。もし海外からごらんの方も、注意して読んでください。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください。

メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつな갑니다。この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けないでください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第2話 現在と将来の僕+できれば君(k+f+1?) ver 2.0

(この物語はフィクションであり、登場する人物、団体等、実在のものとは関係ありません)

僕は“彼ら”を糾弾する気はさらさらない。もともと1人が好きだし。正直これ以上関わりあいたくないというのが本音だ。実は結構いろいろ書いたもの、書く予定の文章も削除した。人間は触れたくないタブーが誰しもある。かく言う僕にだってある。だから自分の意思で争う意思のないことを表明したい。僕自身が願うことは、僕自身の将来の保障と、もう一度彼女を会うことにすぎず、戦う事は物好きな変人にまかしたい。

非難するつもりはないが、1つだけ、どうしても引つかるものがある。“彼ら”の中の一部、おそらく10代後半〜30代前半の男子による年下の女の子に対する扱いだ。子孫繁栄を身内だと考える以上そのようなバイアスが働くのはしかたがないが。ずっとひっかかっていた。

彼女は決してそうした行為がものすごく好きというわけではなかった。

同級生の“彼ら”も彼女を口説いていたがうまくいってなかったようだ。その時の彼らの態度を見ていればわかる。明らかに僕にたいして苦々しい敵意をもっていた。

しかし、“彼ら”と思われる上級生のリアクションはなにかちがう。お邪魔虫め!くらいな目で苦々しさは感じない。

彼女は唐突に、「きょうはいいよ」と言う。そして、僕が彼女に無理強いしない事を明らかに喜んでいて。

今思うと何かあるとしか思えない。

“彼ら”のうちお兄ちゃんやんは年下の女の子に対して何らかの優先権を持っているのではないのか?それなら、彼女の積極性がある程

度理解できる。自分で相手を選ぶ自由を手にしたかったんじゃないだろうか？そう考えると辻褃があうのだ。

初めてのデートの日、彼女は体のラインの強調されたジーパンをはいていた。けど、鈍感の極みの僕はそれをとくにじろじろ見ない。「他の人とちがってじろじろみないのね」と微笑んでくれた。

「ふつうはみるのかな」と訊くと、
くしゃつと笑顔を作って

「そうよ」

と微笑んでくれた。

お兄ちゃんの話をする時の彼女の感情はものすごく微妙な感覚で単純にはあらわせない。わたしは認めるけどおかしいでしょとは言わないが感情としては、そんな感情であったように感じる。彼女はその制度を受け入れている。疑問をもちながら。おそらくその制度以外の部分は“彼ら”の世界を受け入れて自分のものになっているのだ。それならわかる。なんだかいろいろなことが。

そいつらからしてみれば僕は彼らの所有物を横から掠め取る害虫というわけだ。害虫は駆除する必要がある。彼女が恐怖した理由もなんだかわかる。

ある日のこと、吹奏楽部の練習でその日実験的に机を組んで仮設ひな壇をつくり、コンクールのステージ風にして練習したときがあった。オーケストラなどで、奥に行くほど壇が高くなっているやつを机でマネたのだ。

僕と彼女はトロロンボーンだ、位置はかなり後方、乗ると結構高いし不安定、一瞬バランスをくずす。たいしたことはないのだがたいそう心配する彼女。ほかの人がいる手前、あまり親しげにはいけなかったはずなのに、

「昨日、あなたが高いところから落ちる夢をみたの」

オカルトなんて信じないぼくは正夢を信じる彼女をからかった。しかし、ものすごく彼女は萎縮している。きっと僕がここで落ちることを心配しているのではなく、誰かに何かされることを連想して萎縮していたんだと思う。普通でないくらい心配してくれた。当時の僕は意味がわからずとにかく照れた。

2人きりの、あの社での無限とも思える時間のなか、僕は君になんどもかわいいと言った、すると君はぼくがつぶやいた回数と同じ数だけ「かわいくないよ」と照れた。

あれは遠慮がちな性格ゆえと思っていたけど、違う意味があつたのだろうか？自分がかわいいと思われることをあまり快く思っていなかったふしがある。もっとかわいく見える髪形を自分で知っているにもかかわらずしていなかった。外見の良さのためにいやなめにもあつていたのだろうか？そうでないことをいります。当時君がそんな目にあつていたなどとは思いたくない。ぼくの間違いであつてほしい…。確認したい、それは永遠に不可能なのだろうか？

最近“彼ら”のターゲットにされていらい、10年来の友人を失った。孤立化は彼らのオハコだ。もしかして、彼も“彼ら”だったのだろうか？思い当たるふしがない。すると「20世紀少年」同様“絶交”を言い渡された人物はなにが何でもそうせざるえないのだろうか？そいつも不自然に若い彼女を持っていた。短期間でわかれたとか言っていたが、どういう経緯で出会って、どういう子なのかついで説明されなかった。僕の考えすぎであることを祈りたい。

もしこの考えが正しいとしたら、今の彼女は僕をのぞんでないかもしれない。もうその制度に悩ませれてないとしたら、僕を求める理由がないからだ。

満足しているのだろうか？それが彼女の幸せというなら無理強いはしたくない。けど1度あって、この17年にけりをつけたい。もし今しあわせなら、僕はこの思い出を胸に、新しい人生を歩むだろう、もし、“彼ら”なる存在が全て僕の妄想で、君が今現在本当にしあわせなら、17年前の同級生と喫茶店で20〜30分雑談して思い出話をすることもできるはずだ。なににできない、大きな壁がある。その事実が僕の妄想説を否定させる。僕はオカルトは信じない。理解できない事実の前にはかならず何か欠けた情報がある。

今回の件で止まっていた僕の時間は動き出した。しかしそれは1年間分で16年は止まったまま、ショートカットにしたあの日以降の彼女の気持ちをしりたい。彼女は巻き返しを図ったように思う。その後彼女は何度か僕と会おうと努力していた。

卒業式の日、僕は“彼ら”の誘導により彼女とひきさかれた。ぼくは卒業式後、3年間をともした部活の仲間と最後の別れをしていたつもりだが、実際はちがったようだ。仕組みられたシナリオだった。彼ら全員が“彼ら”とは思いたくないが、卒業後、用のなくなった僕に連絡をくれる友達は一人もいなかった。卒業式の後、僕を彼女から隔離に成功した彼らは消えていった。

実はこの後彼女に会っている。初めてショートカットの彼女をまじかで見たのはこの時が初めてだった。正直似合っていない。“彼ら”の計画に気づいた彼女は猛反撃に転じ、最後1人とぼとぼしている僕の前にあられた。いったいどうやって僕の居場所を突き止めたのだろう。“彼ら”は時間表のようなものをみながらターゲットの現在位置と推定予測移動先を計っている、当時はともかく現在はケータイで指揮を執っている“何か”に常に最新の情報を送っているようだ、ちがうかもしれないが…。

「今年の卒業式はなんだか去年と違う感じになっちゃったでしょ？」

彼らによって僕が誘導された事を彼女はにおわす。全然気づかない僕。もうこの時彼女とどう接したらいいのかわからなくなっていた僕は混乱した。以前のように心をうまく開けない。

今のぼくなら、このままこの場で彼女をかつさらう。アガサクリステイーよりも完璧なトリックを使って尾行をまき、どこか離島にでも逃げ込む。田舎なら2人でどうにでもなると思うし、“彼ら”得意の人海戦術もここでは用をなさない。仮にそれでも攻めてきたら、また別の島へにげればいい。海外でもかまわない。海外にも“彼ら”の仲間はあるときくがそんなこと知ったことではない。彼女と2人でいればそんなもの水滴を拭くがごとくくけちらしてやる。2人でいれば…だが。僕は今1人だ、1人は無力だ。ささえ合えればできないことはないように感じる。

最初、尾行をうまくまいた彼女は満面の笑みをうかべていたが、それは短時間でおわった。僕がようやく以前のようになんか心を開きかけたその時先ほど別れた僕が当時友達だと思っていた人もどきが戻ってきた。実はこの後の記憶がどうもはつきり思い出せない。充実した会話はできていなかったせいだ。僕は完全に心を閉ざしていた。

最終的にはあと数回顔をあわせる。会うとは書かない。部活のOBとして何回か顔をあわせる。

飲み会の席で、周囲に監視の目があるにもかかわらずやさしいまなざしを向けてくれる彼女。けど、このころの僕はどうかして、もう彼女はぼくのことなんかどうだっていいんだと思っっているに違いないと思いきりこんでいた。

その時でもいいから、彼女をかつさらってしまえば後はどうにでもなるのに、やる気ゼロだった。

あれは、いつの事だったか、1年の浪人生活を終え、再び吹奏楽OBで飲み会をやる機会が巡ってきた。今、思えば僕が友達と思っていたそいつは僕の出席を歓迎はしてなく、警戒していた。

すでに計画は出来上がっていた、用意周到に男子班、女子班に分かれ、自然な形で2次会を別々の場所で開き、僕らを引き裂く。

彼女の“意表をつかれた!”という表情と“なんでいつちゃうの?”という表情。あの日あの時のあの表情の意味が今理解できようとは夢にもおもわなかった。

分かれる、いや、引き裂かれる前、飲み会のせきで彼女は途中から大胆にも僕の隣に移動し、陣取った。今思えばこのまま最後まで僕のそばを2人きりになるまで離れないつもりだったのかもしれない。

今ようやくあの時の周囲の異様な空気の意味を理解できる。彼女はまた戦っていたのだ。

どういう事だろう? だったら手紙の1つもくれていたら。当時の僕でさえちがう反応ができたはずだ。

理解できない不自然な現象の時は、なにか必ず欠けた情報が存在する。

記憶が前後しているかもしれないが、印象的な記憶が残っている。

もう彼女の気持ち的理解できなくなった僕は、完全無視をした。

空気のように。飲み会で最後店をでて店前でたむろす時。とにかく僕は彼女の目の前を空気のように横切った。この時の僕の気持ちは、

“これだろ?これがお望みなんだろ?”

瞬間彼女がおお泣きした。近くにいた女子が動揺し彼女をいさめ

る。僕は動揺したが声をかけられなかった。心を閉ざしていたのは軽率だったと思う。動き出した時間はこの時点で再びまた停止した。記憶が混乱している。

彼女は横浜の音楽の専門学校に行くとい聞いた、ブライダルなるとかとかいう、結婚式でピアノを弾く仕事につきたいと言っていた。時系列がはつきり思い出せないが、記憶している以上どっかで聞いたはずだ。いま思うとこの学校自体“彼ら”のものと考えるのは考えすぎだろうか？

大学合格後、一度新横浜に行くから待ってと手紙に書き、返事も待たずに実行したことがある。卒業後の彼女の行動が気になりはじめていた頃だ。確かめたかった。彼女と僕のことを

駅に着く、まつ、来ない。いや、じつは気づいていた。ずいぶん遠くのベンチに男女2人組みが座っているのを。女の方は小柄で、彼女が座るとあんな感じになる。以前のぼくらを遠くから見ている錯覚に陥る。

あれは彼女だったのだろうか？

じつは“彼ら”の心理戦のなかに、人の認知力を惑わす手法がある。周囲の赤の他人と思っている人が全員白いヘッドフォンをしていたり、似た風体の別人を似た服装で何度も見るとか、一度気になりだすものすごいストレスになる。

人は空白の情報を常に埋めたがる性質がある。一見意味のないそれらも毎日続くと、意味があるように感じ、妄想が膨らんでいくのだ。

根拠に乏しい断片をいくらつむぎ合わせても答えがでず精神を蝕んでいく。この場合、このバイアスをかけようとする人間の意図を読みとれば意外と答えがでる。

あの光景はまさにそうした心理戦の一部だったのかも知れない。だとしたら“彼ら”の心理戦を突破して、彼女にたどり着く方法はあるのだろうか？

同じようなことは高校時代にもあった。後ろから見るとまるで僕と瓜二つの男子がいた、やはり同様に笑顔だがよそよそしい読めない仮面でいやらしい笑顔をする。

授業中へをなんどもし、非常にくさい。やつとは一度受験会場でも会ってる。僕の席の2つ後ろで話しかけてきた。ものすごい偶然のはずなのに驚きを見せない、さも当然という態度。その態度は最近よくみる男たちに共通して見られるものと同じだ。マニュアルでもあるのだろうか。

浪人時代、おそらく僕は完璧に彼らに監視されていた。時々同級生に会い、声をかけてくる。もちもんそいつらからどこかへ誘われた事も一度もなければ、電話がかかってきたこともない連中だ。中にはバイクに乗っていたやつもいた。みな妙に親しげでよそよそしい。

たまに、部活の仲間にあうと、妙ににやにやして、僕が近況を話してもまるで全てを知っているような態度だ。この時、ぼくはこいつのことを友達だと思っていた。いや、3年前からそう思っていた。この事実に気がついたのもほんの数日まえだ。いま考えれば、僕らの行動をずっとこいつがさぐっていたのだ。

「お前本当にわからないの？」

浪人中ぼくは半年間ファミレスでバイトをした。その日遅刻しうで自転車をとばしているとバイクとぶつかった。幸い怪我はない。そのとき、バイクのうしろから1台の自転車にのったやつが現れた。その後会う機会があった時、こういわれた。ずっと監視していたのだろう。しかし彼女に対し心を閉ざし傷心の僕は友達との会話がうれしかった。こんな下劣なやつとの会話なのに。

もう一つ気になる記憶がある。大学入学が決まり、引越し作業中。父方の実家で爺さんが亡くなった。お通夜にとあわただしく一家で遠出の準備をしていると、向かいのおじさんが様子をうかがう。普段そんなことしないくせに。普通訊くなら何かあったんですかと聞きそうなものをどこに行くのかせわしく聞いてくる。

僕がこの状態であつたなら、彼女はどうであつたのだろうか？おそらくもつと嚴重な監視下だったに違いない。たった一人で。ぼくと関わったばかりに……。考えすぎだろうか？もう一度会えるとき訊こうと思う。あればだが……

この後に及んでも僕は彼女のことを好きだ。初めてあつた、あの高校の廊下での出会いのときから、一寸の狂いもなく同じ想いをしている。伝えたいことが山のようにある。あの日あの時の不甲斐なさをわびたいし、わかってあげられなかった事も直接わびたい。今日今日僕がここに居るのは君がいたからであり。そうでなければとつくに自殺していた。真実に気づいた今、君に断りなくもうこの命粗末にできない。君があればどこも懸命守ろうとしたものを僕の生存で勝手に処分することはできない。

人間はギリギリまで追い詰められたとき、最後にしがみつくのは思い出だ。ぼくの人生はがらんだアルミ缶のようなもので、うすっぺらい映画や本の知識しかない。その中で風に飛ばされそうなるアルミ缶を一つの重い石ががっしりと中に入り込み、風に飛ばされ

るのを防いでいる。その石のおかげで、突風が吹こうが、大雨が来ようが、吹き飛ばされない。

君との思い出が僕にとつての唯一の思い出であり、最後につなぎとめてくれる希望なのだ。うすっぺらいがらんだこの空間は、あの日あのとときの2人きりの世界、別時間とも思える永遠の時間で今もぼくの支えとなつたいる。

このあたりにきて、ようやくなんで君が僕ごときを好きでいてくたかかわかってきた。

誰が何を考えてるのかわからないような世界で生まれ育つた君からみれば。ま逆の位置にいる僕。

あれはまだ1度目の破局が起こる前、夏祭りの前だつたと思う。この日彼女もよもや近々発見されるとは夢にも思つてないところで、神社ではないところで会おうといつてくれた。彼女も僕同様一人が好きらしく、彼女は神社以外にも秘密の場所をいくつか持っていた。

午後昼をすぎたくらいの時間、後ろは何らかの造成予定地で長い草に満ち、前は真新しい舗装道路。その境にある白いブロックの境界に2人で座つた。

今思うと彼女は特段暗がりが好きなのではなく。このような場所も好むのだなとおもう。白いブロックの境界上に2人ならんで腰掛け、じゃれあつてしていると、彼女の持つているカバンが気になった。「なにはいつてんの?」

と聞くと。答えを渋る。今思うと、それはそれは見られてはまずいものがきつと入っているに違いないと思うが、当時の僕は思わない。話の流れ上拒否できなくなった彼女はカバンを開け、慎重に慎重に中を吟味してから取り出した。8割ほど。今思うとポケベルを見

られたくなかったのかもしれない。間違いなく目立つから。

ノートや手帳といった類のものが出てきて、何でそんなもの必要なんだと訝しく思ったが聞かなかった。なんと言ってもまさか自分が本気で好かれてるなどとは思ってなかったわけだから。おいそれときらわれそうなことは訊けなかった。

手帳のなかに写真が2枚はいつていた。中学時代の彼女の写真とごく最近のもの。両方とも1人で写っているもので、誰に撮影してもらったかについて訊くとはぐらかす。

「1枚ちょうだい」
という。猛烈な拒絶をみせる。キスしたってそんな抵抗みせないくせに…。おそらくそれはポケベルなみに大切なものなのだろう。

だが、この後彼女はこの写真のうち、1枚をくれる。

それはあの彼女の大告白ののち、僕がじつは何もわかってないと気づく前の出来事だ。その写真をくれるという行為は、彼女にとってあのポケベルの呼び出しを無視するのと等しい行為だったのかも…

ぼくは卑しい人間だ。彼女がそれほどの思いでくれたプレゼントをなくしてしまった。そういえばずいぶん立派なデザイン額に入れてプレゼントしてくれていた。そこに込められた彼女の想い、そしてそれをなんのためらいもなく踏みにじった僕。

大学生の時の最後の電話で彼女は言った。

「まだもってたの？」

僕としては当然なのだが、彼女のあまりにあっさりした反応に落胆し、扱いが雑になり、最終的にはなくしてしまふ。

けどそれは、彼女にとって踏みにじられた想いのモニュメントであり、踏みにじった張の本人のぼくが、その自覚もなく大切にしていたことへのなんともいえない感情の表れだったんだと思う。きつと電話口の向こうではこの人はこれでいいのよという目をしていて信じたい。

それとも、僕のこの今の現状はやはり天罰なのだろうか？

神社で最後に“彼ら”を出し抜いた日。彼女は満面の笑みで僕と座った。かとおもったら、ぼくをのこしてどこかへ立ち去ってしまった。気がつくとも神社の社を歩いて一周してきたのだ。

「ふふふ、だれもいないでしょ？」

最大限のヒントを出しているのだがぼくはただただこのかわいい笑顔がすきで好きでたまらないだけだった。怒って当然のはずだが、そのまま怒りひとつみせず僕の愚鈍さを受け入れてくれた。

その後しばらく彼女はまだこの時の思いを失っていないかったはずだ。卒業後の何度かの彼女の巻き返しはドラマのようであり、感動的なはずなのに、ぼくの記憶はそれを忘れよう忘れようと17年間勤めてきた。あれほど必死だった彼女の行動。いま、薄らぐ記憶の中からどうにか掘りだす必要がある。

なぜそれほど大切な記憶を消す努力をしてきたかというところ…。

たかがバレンタインチョコレートを貰えなかったという程度の理由なのだ。3月の時点で燃え尽きていた。心を閉ざしてしまった。彼女はいつの時点までこの思いを維持できたのだろうか？会ってもう一度確かめたい。

大学に入り、喜んだ僕は早速彼女に手紙を書いた。この頃になる

と僕の精神状態もだいぶ改善され、夜中かなしばりにあったり、不眠で悩むこともなくなった。六王子で開放感にひたっていた。知らせる相手をして彼女の顔が浮かんだ。卒業後の一連の彼女の行動が再び僕の心に火をつけようとしていた。

ある日電話が鳴った。彼女から連絡がきた。手紙に記載した連絡先に直接かけてきてくれたのだ。以前かいたように基本的に2人の会話は僕ペースで僕が一方的に話す。僕は高校時代と同じのりではなした。

彼女に何があり、裏でどのような壮絶なドラマが展開されていたかまったく知らなかった。

彼女は最初宝物をあけるような声をしていた。だがそれは最終的にもものすごく重いトーンになり、最後は気をとりなおして普通の声になったように記憶がある。ぼくが高校の時とまったく同じのりなのをきいて落胆し

「あいかわらずね」と言った

今思うと、期待をこめて電話してきたはず。いくら何も知らないといっても、1年ぶりの会話、何か他にやりようがあったと思うが、僕は雑学系の話をして彼女の気を引こうとしていた。もうその時期ではないというのに。コミュニケーションスキルはこの後に及んでも機能しなかった。でも僕なりに心に火がついたことをアピールした。

彼女の気持ちがさめていったのはこの時なのだろうか？ようやく僕の気持ちが復活したとき、彼女の心の火が消えてしまったのだろうか？

ぼくがもつとちがうこと、まさに、あの最後の密会の時、聞こうと思っていた事を聞けばよかった。あれが最後の会話になるうとは

…。
ひょっとしたら、彼女は僕の出方しだいでは秘密を告白する気でいたのかもしれない。こんなセリフを言わずだなんて僕は本当にどうかしてた。

今は会って、この時どう思っていたのか確かめたい。必死にかけてきた電話だったのだろうか？まだ、想いつづけていてくれたのだろうか？

君は最後にこういった

「こんな、話をするとはおもわなかった」

彼女は時おり仮面をつける。

“彼ら”は仮面をつける技能をもつ。特に筋金入りはすごい。この事実気がついたのはごく最近なのだが、振り返ってみればそれはぼくが小学5年生の時から始まっていた。

小学5年生の“彼ら”からしてみれば僕は格好の練習相手なのだ。自分のつたない技術でも心を容易に操れる僕はうってつけだ。

以前小5のとき、教室で三保松原人体博物館という建物の話を何人かの同級生のまえで披露したときのこと、たった一人だけ、どうしても僕の話信じないやつがいた。入り口が人の口を模していて、出口が肛門なんだといてもせせら笑う。理詰めがすきな僕はそいつのいう疑問点を1つ1つつぶし、完全に全部つぶした。それでも信じない。

「どっして？」

と訊くと、また最初に言ったすでに言った疑問点もちだす。それはさっきいったらとつぶす。せせら笑うしか手段のなくなったそいつは僕の知らない高度な技能で威圧する。しかし周囲にいたほか

の同級生はあきらかに僕の味方で、双方引き分けに終わる。

相手のもつとも不快に思う表情、しゃべり方、しぐさをわざとすることで、相手の心理を萎縮させたうえ、自分の本心もかくせる。それがこの特殊技能の正体だ。

同じ「もしもし」という発言ももつともカンにさわる言い方を発明し、全員で共有する。

ターゲットは毎日その不快な「もしもし」を聞かされ萎縮する。というか、それしか聞いたことない人間は彼ら同様のカンにさわる「もしもし」しか使えなくなり、周囲から一生そのような人物として扱われる。

ぼくは格好の練習相手だったにちがいない。日々感じるストレスから逃げるにはどうすればいいのか？関心をもたなければいのだ。僕の“超”がつくほどの鈍感力も、もともとの素養も加えてこうして磨かれたと考えるのはいきすぎだろうか？

彼女が仮面をはずさない理由、それは監視の存在をうかがわせる。と、いうことは、ぼくが愛くるしいと感じた初対面のときの彼女、1〜2年の時の彼女のあの笑顔も大半は仮面だったのかもしれない。そう考えると悲しいが、もう一つ重大な事実に気づく。

つまり僕と会っていた時の、あの密会の最中の愛くるしい笑顔は彼女本来のものであり、“彼ら”ですら間じかにめつたに見れないもので、ぼくはそれをずっとずっと見ることができた、今でも脳裏に焼きついている。

僕は知っているのだ。本当に心をひらいたときの人間の表情というものを。彼女に教わった。彼女からもらったあの美しい表情が僕の人格の骨格の重要な構成要素になっている事を彼女に今、つたえたい。

だがもう2度と会えない。

単純に彼女がかわいいだけなら、おそらくここまで好きにはならなかった。

当ても今も僕は待ち続けている、彼女からの手紙を。今もというのはおこがましいかもしれないが、あるうすばやけた記憶のせいだ。

それは僕が17年間忘れよう忘れようとしていた高校卒業後の記憶のなかにある、確信がもてない記憶の断片。事実か自分でもはっきりない記憶のなかにある心に引つかかるもの。

彼女は僕に手紙を書いたといったような気がする。記憶違いだろうか？そしてぼくは「そんなのもらってない」と答えた記憶がある。なぜそう思うかというと、実際会えたわけだから、手紙の到着の有無などどうでもいいと感じた記憶が残っている、もしかしたら彼女はその他にも手紙を出していたのかもしれない。“彼ら”なら伝票の残らない普通郵便を途中でわざと紛失させるくらいできるかもしれない。彼女は必要以上に自分を抑える遠慮がちな部分を持つ。だから伝票の残る手紙、書留や内容証明郵便などは考え付かなかったのかもしれない。けど、彼女は背中をおされるとどこまでもいけるところまで突き進む性格をしている。ある日突然そうした手段があることに気がついて僕に手紙をくれる日が来るかもしれない…。

普通に考えれば非常識極まりない考えなのだが、彼女の場合はちよつと違う。変わっている。なくはないと思えてしまう。

僕の知る限り、普段彼女は遠慮がちで、おとなしくて、自己主張などめつたにしないで、謙虚ではにかみ屋なのだが。いざ背中を押されると、行けるとこまでトコトンどこまでも突き進む。何者も省みずリスクを恐れない。そしてふと我にかえり、自分の無鉄砲さに震える。けど、後悔はしない、自分の判断でした事だから決して悔いない。そんな性格をしていた。似ている、2人は似たもの同士だ

と思う。トコトン突き進む程度の差こそあれ、僕と彼女はその辺似ている。そして他人からは非常識だと思われる。手紙などいまさら来るはずはないのだが、あえてそれを否定したくないのはこの彼女の性格ゆえなのだ。

最近、彼女との思い出の映画「紅の豚」を見返した。忘れていた記憶がよみがえる。彼女は言った。

「女の子の髪型、私と同じでしょ？」

彼女はヒロインと自分をだぶらせて見ていた。そして豚と僕を重ね合わせて見ていた。

今思い出す、身もだえのする事実。彼女は確かに言った。記憶している、当時の僕はまったく気がつかなかった彼女の発言の真意。それに気づいた今の僕の動揺。なぜ動揺するかというと…、

彼女はあるシーンが一番好きだといった。それはヒロインが豚を守るため、大勢の男たちに対してたった1人で立ち向かい、大演説をし、最終的に男たちを追い返してしまうシーンだ。追い返した後、ヒロインは豚と2人きりになり急に震えだす。恐怖がおくれてやってきたというシーン。彼女はまるで自分のことを描写しているように感じたにちがいない。リアルタイムで彼女は僕を守るために奮戦していてくれたのだ、当時。

風のうわさに現在の彼女は失踪したと聞いた。うわさは確認することができず、やるせない思いがつのるばかりだ。僕の妄想は希望的観測として、彼女が僕のために1人で戦っている姿を思い浮かばせる。

だが、もしうわさどおりなら事実はずっと、早々に力技で連れ戻され、考えを改めさせる。現在の僕がついこないだまで受けていた彼らの猛襲を考えると、彼女はどれほどの目の遭っているのだろうと考えると身のよじれる思いがする。こちらに越してきてから猛襲

が控えめになった。彼女は東京にいるのだろうか…。

僕はもう待つより手段がない。

17年前、ある分岐点があった。

高校生の彼女のメガネ姿なんか1度もかけた姿見たことなかった。なのに当時、彼女はメガネを持っていた。いつだったか忘れたが彼女の胸のポケットに黒ぶちのダサイメガネが入っていたのに気がついた。2人並んで座っていて、ぼくが彼女に触れたときたまたまいつも持っていないそれに気がついたのだ。

「目わるいの？」と訊くと、悪くないと答える。

じゃあなぜかけてるの？と訊くと

「これかけて髪型かえて自転車のると私だってわからないでしょ？」という。

もちろん尾行対策なのだが、今考えるとどれほどの効果があったのか疑わしい。

「かけて見せて」というと猛烈にいやがる。理由をたずねると「似合わないから…」という。

尾行のことなど露ほどにも思わない僕はなぜ似合わないめがねをかけるのか面白がって詰問した。困った彼女は実際それをかけて見せた。ホントに似合ってたなかった。このままでは話がさらに彼女の都合の悪い方向に進みそうだと思った彼女は機転をきかせて

「あなたがかけてみて」とそのメガネを僕に渡した。

かけて彼女に見せると

「ふふ、似合ってたない」と微笑んだ。その笑顔がかわいくて、それ以上追求しなかった。

いま思えばあれは重大な分岐点だったと思う。あのまま彼女を追及し続けていたら、なにか変わっていたかもしれない。ぼくが自発

的に彼女の闇を追及したのは当時この時だけだったと思う。僕も遠慮がちで、控えめで、自己主張などあまりしない人間だった。

もう今の僕に彼女を追及する手段はない、ごく最近彼女の実家に連絡をいれた際も、あるうことか彼女の二セモノが電話にできた。僕もバカじゃない、性格の違いや声の違いくらいわかる。それに妙に親しげでよそよそしい。いくつか質問をした、本人にしかわからないようなことを 全質問のなかに1つだけウソの事実をいれた、見事ひっかつた、本人じゃない。当時彼女を監視していた“彼ら”の1人なのだろうか？妙に詳しかった。

これ以上の自発的行動はできない僕は、もう待つしか手段がない。一縷の望みに期待をたくして……。手紙を待とうと思う。書留か内容証明郵便、郵パック、宅配便、伝票の残る形での手紙の出し方はいくらでもある。表の世界のルールを破れない以上“彼ら”とて届けざる得ないと思う、ちゃんと着いたか伝票さえあれば追求できる。

住所は昔と変わってない、電話もそうだ。僕の場合、古い彼女の住所から現在の実家を見つけ出すまで1日かかった、電話帳とお父さんの名前、あとはPCがあれば十分だ。本気で探せばできるはずだ。

こんなことを書くとは僕はこれから電話が鳴るたび考えてしまうだろう、一歩が踏み出していいものか？、そう感じるのかもしれない、連絡をとってしまえばもうひきかえせない。おそらく君の方がぼくの何千倍もそう感じるに違いない、17年前も君もなかなか踏み出せず、2人で社で会うようになっても決断しきれないでいた。僕は君に無理強いはいしない、知っているとおもうけど。君は時間をかけて納得してから、自分のペースでふみだす。けどその決断した時の君の顔はいきいきしていて本当にきれいだった。

一般的に考えてこれらは荒唐無稽に思われる。

けど僕は17年まえにもらった彼女からの手紙がそれを覆す。それは夏祭りの大告白ののち、僕の態度の対する彼女の思いを綴った内容の手紙だ。僕はこの手紙だけどうしても処分できなかった。何度読んでも意味がわからないのだが、彼女の言い表せない思いがひしひしと伝わってくるからだ。彼女は遠慮がちな表現を使いながら、僕を怒らせないよう気遣いながら僕を非難した。しかし肝心なことが抜け落ちている。感覚だけで書かれたそれは胸をうち、涙をさそうのだが意味がわからない…。

17年たち、事実気づいたいま、手紙のなぞは解凍され、すべてが理解できるようになった。そして、この手紙の物理的存在がこれら僕の考えが必ずしも妄想でないことを保障してくれている。ほんとにごめん理解してあげられなくて。君の価値に気づけなかった。

今でも外にでると彼らに遭遇する。随分観察した結果、ある事実が気がついた。

なぜ、彼女が最初のデートでマツクに入ったとき、オレンジジュースしかたのまなかったのかの理由がわかったのだ。

彼らのテクニクスの肝は常に対象とする人間のパーソナルスペースを侵害し続けることで、連続的緊張をしいて精神不安や体調不良を誘発することにある。常にしかめっ面、必要以上の接近、わざと自らの食事姿を見せたり、感じのわるいタバコの吸い方、感じの悪い腕の上げ方、感じの悪い接客。1つ1つはたいしたことないが何十人何百人が連続して行うとかなり効果がある。まだあるが削除する、これではまるでケンカを売ってるように見えてしまう。ぼくの目的はそこではない、僕が目指すべきは17年前のなくしものだ。

17年前、ポケベルで呼び出された彼女はこうしたことをさせられていたのだろうか？そういえば「女の子がタバコなんて感じるわいでしょ？」とか雑談のなかで言っていた。初めてのデートで食事をしなかったのは、精一杯の好意の現れだったのかもしれない。

東京にいたとき、この彼らの猛襲に遭遇し、最初その正体に気がつかなかったぼくは、精神的に追い詰められ、最後の2日間は本当にぎりぎりの所まで追い詰められた。必死でネットを探り、彼らの名を知った、書いてある情報を見た瞬間、17年前のあの謎の思い出が次々と蘇ってきて、すべてを悟った。もし、あの記憶がなかったらその後僕は電車の中でナイフを振りかざしていたかもしれない。彼女に再び救われたことになる。17年前僕を守ってくれたように…。彼女がぼくにとって特別な存在であるのがわかりただけだろうか？

1度リストにのつた人間はおそらく一生ターゲットにされ続けるのだろう…。TVでみる有名人の謎の変死もギクリと感じる時がある。あるラジオパーソナリティーなど、彼らと遭遇しているとは思えない話を毎回している。

僕はいずれ“彼ら”に刈られるだろう…。どこまでがんばれるか。

君は僕がこんな事を言ったらどう思うだろう、

推察するに君はかなり高い地位の旦那に嫁いだものと思われる。でなければ“彼ら”の熱気とヘリまで飛んでくる理由は説明できない、飛行機もくるレシプロエンジンの音がじわりじわりと来る。それに信頼する人まで彼ら側にまわってしまった…。

こんなこと書いてごめん…

君の力で僕をリストからはずしてもらおう事はできないだろうか？

“彼ら”と遭遇するたびに君の事を思い出す。これで忘れろというのは無理な相談だ。

君が望むなら手持ちの宝物を処分もするし、一生口をつぐみもする。他の人間にいわれても絶対しないが、君に言われたらそれは絶

対だ。なぜなら、ぼくの立ち位置は君の望むべき世界が実現するのを祈るというものだからだ。君がそれを望むなら受け入れる。

もし奇跡がおきて再会できても、ぼくは“彼ら”によって誘拐犯にでもされてしまうだろう…。でも会う方法がなくはない、君は昔神戸屋キッチンで働いてるとか言っていたよね、そんな風に君のいる場所に僕が尋ねていく方法は誘拐ではなく偶然の再会になる。…書いていて気がついた、この話はたしか僕が大学時代電話で聞いた話だ。僕は君のはなすコスチュームの話に気をとられて店の場所を聞くのを忘れていた、あの時それを聴いていたら運命はかわつていたのだろうか…。まさか、あの時君はそのつもりであの話をしたのだろうか？だとしたら僕は何度死んでも償いきれないミスをしたことになる、会って確かめたい。

もし君が想像以上に僕を思っていてくれて離婚を考えたとしても、実家の協力が得られなければ弁護士費用も工面できないはずだ。僕には地位も財産もないし、そもそも僕が関われば不貞罪が成立してしまう。いや、不貞罪自体は民事の問題なので、刑事罰の対象にはならない。賠償請求がくるだけで、払う意思さえしめせば牢屋おくりにはならない。

別居が長期間に及べばそれも容易ときくけど、身内に対しては容赦ない彼らがそれを許すとは到底思えない。本で読んだ、考えを改めさせたくて奥さんを寺に軟禁して毎日修行させた話を…。

仮にもし今別居中だったとしたら、相手方に離婚を前提とした別居であることを通知しないと法的に認められないことがある。私文書よりも公文書のほうがよいい。行政書士が弁護士にかかわってもらつか、あるいは裁判所命令と同等の効力をもつ公正証書で通知するのもありだと思う、あまり一般的でないけどやれないとはどこにも書いてない。こんなこと書くと「わかんない」とか言いそう。でも聴いてくれる。当時は我慢してぼくのむずかしい話に付き合っ

てくれたと手紙にかいてあったね。けどこれは話のレベルがちがう。もし僕の認識していない問題点があればそれも明記して同様に相手に送っておいたほうがいい。争点が明確になる。私文書の場合だったら、関係先にも同様に送ることもできる。問題が大きくなったほうが交渉上有利な場合はそれもあると思う。もし実行する場合、君の事だからちゃんと自分で確認をとるはずだと思っけど、行動は慎重に。もし自分で調べてるなら他人の体験談はへたな商業主義的なサイトや本より参考になることが多いとおもっ、テキストにまとめたものより感情の入った体験記の方が生きた情報が入ると思うのは5年以上本屋で働いた僕の経験則だ。

もし子供がいるなら相続放棄の取り決めをすべきだ、錘は軽いほうがいい。しがらみはないほうがいい。金より大切なものがわかるなら…

敵の敵は味方という、わかるだろうか？彼ら最大の目の上のたんこぶ。かつてたもとを分かち合っていたもうひとつの“彼ら”。

もしくは、外国に起源をもつ似て非なる“それ”しかし慎重に完璧に準備しないと、通常とはちがう手段。人とちがう発想のできる君なら思いつくはずだ。君の決断を僕はどこまでも支持する。どこにいても。どのくらいかかって。

もし失敗しても、何度でも新しい方法でやればいい、裁判上有利になる。ただし前と同じ方法は警戒される、17年前の神社を変更したときのように…、新しい方法は常に思いつきがいい、“応用”では先読みされてしまう。

先に述べたとおりその行動は裁判上有利な材料になる。成功しなくても、その何度も行動しているという事実そのものが破綻している要件とみなせるからだ、裁判は正義の場ではない、事務的に要件を満たしている事のほうが重要でそこに心の介在する場はない。

君は以前、17年前言った。

「最近の歌、どれも同じに聴こえる。」僕はそれに同意した。
「そうでしょ」と君も同意してくれた。

当時、小室哲也がはやっていた時期であの手音楽ばかりだった。今でもJ-POPなどは聴かないのだろうか？今僕の気持ちを現す曲が1曲ある。1字1句ぴたりと当てはまるので自分でもこの偶然にびっくりしている。それは、山崎まさよし「One more time One more chance」という曲だ、「秒速5センチメートル」というアニメ映画ではじめてこの曲の存在をした。そのころはまだ真実に気づいていなくて、自分がなぜこの曲にひかれるのか理解できなかった。ぼくは正直ラブソングなど大嫌いだ、どの曲をきいてもピンとこない。それは自分の恋愛体験に近い曲に出会わなかったせいだと思う。はじめて聞き入ってしまう曲にであった。きみはこの曲をきいてどう思うか正直想像できない。君に聴かせたくて書いたわけではなく、ただもし耳にする機会があったら僕のことを思い出してほしいと思うからだ。

それとも、僕の希望に反して今の暮らしに満足していて、僕のことなどどーでもいいと思っているのかもしれない、それならそれでいい、あとは“彼ら”に刈られるのを待つだけだ。

もし、少しでもなにか思う事があったら、助けてほしい。心をもらった上、人生までほしいと言うようで、自分でもずうずうしいと思う。けど、君の知る僕は君の想いもしらずぬけぬけところという事を言う人間だったと思う。もし、この人はこれでいいのよと思ってくれていたら。ぜひご尽力を。自分でも愚鈍で軽薄なお願いだと思っ、これも君を忘れるためには必要なことだと思っ。

今も外で大型トラックのアイドリングが聞こえる、極低周波で不快感をさそうつもりだと思っ。わざと低いギアを使ってでかい走行音を出しているようだ。ビデオにとって告発したらどうなうのだから

う……。これ以外対抗する手段はいくつかあるがここには書かない。
今日、2人の思い出の神社に行ったら工事で通行止めになっていた。
ネットに書いて数日でこの調子だ。君の実家を訪ねたこともつい最近
あったのだが、その時も通行止めが3箇所もあった。“彼ら”は
あまくない、同情や情けの通じる相手ではない。

昔、小学生の時。学校の近くの文具店のおばさんの悪いうわさが
ひろがった。しかし、そのおばさん自体は悪い人ではなく、当時
不思議に思った。ちなみに現在その店はない。

今、ぼくも小学生の間でなにかしらうわさされてるらしい、うわ
さが“彼ら”以外の一般の人にも広がればやっかいな事になる。そ
の手の冤罪にはめられてしまいかねない。

火事にも気をつけなければならない、形に残らない形で警告をう
けている。

東京にいた時は正直“彼ら”と刺し違える気でいた。君のためな
らそれもできると思った。しかし運命は途中で狂い、僕自身のあま
い見通しによる判断ミスから、現状のようになってしまった。僕に
新しい人生を歩む資格があるのだろうか？もし君が読んでいてくれ
るのなら、教えてほしい。

こんな事を書いていたらまた1つ思い出した。

あれは君がもう部活をやめるつもりだと言っていた時の事、それを
聞いた僕は「やめたいやつは辞めればいい」と宣言した。人づてに
それを聴いた君は部活に残ることにした、そんなこともあった。し
ばらくして君は僕がそんなこと言ってたと聞いたと言った、僕はと

ぼけた。現にとなりに君がいるのだから言う必要がなかった。うれしいはずなのに、さも当然という態度でいた。君はそれ以上この話題を進めなかった。絶妙なコンビネーションだったと思う。いい意味でも悪い意味でも僕らは息があっていた。

今のぼくはどこへ進めばいいのかまよっている、君はぼくの一部となってしまう…、否定は自殺を意味する。君にことわりなくそんなことはできない。人は話せばつうじあえる、僕はこれを信念にしている、通じないのは、ボクに表現力が足りないからだ。高嶺の花と想っていた君に気持ちを通じた事実が僕にこの信念を持たせた。君を否定することは信念の否定だ。この先おそらく気持ちの通じ合える人には出会えないかもしれない、君と関わったばかりに会う人会う人“彼ら”がほとんどだ。でも後悔はない、君の本当の価値に気づいた今、この現状は僕の誇りでもある。

17年前の出来事で痛感している。すべてがわかった今、僕がいかに君の足を引っ張っていたかよくわかる。もし、これを読んでくれるなら、何か僕の思いもつかない方法で意思表示。絶対に他人にはわからず、僕らだけでわかるもの。そうだな…、君がやりそうな事、してくれそうな事はなんだろう…。直接会ったり、連絡してくれるのはリスクが高すぎる。それ以外の方法で、“彼ら”との戦いは君の方がベテランだ、いや、それは僕のわがままかもしれない。多分君はこう思うだろう…。

なんてずうずうしい…。

たぶん当たってると思うけど、はずしたらごめん。いま僕が聞きたいのは「愛してる」って言うていい？という質問だ。いつもそうだった、ぼくは必ず君になにかする時かならず質問した、「していい？」って。YESにしるNOにしる君はいつも微笑んで

答えてくれた、たまにそうでない時もあつたけど。今、僕に必要なのは君の答えだ。奇跡を信じて、一縷の望みに期待を託して…こんな記憶を思い出した、学校の中庭の大きな木、あの木の葉っぱがきれいな紅葉をしていて、

「あの葉っぱほしい、それもずっと上のほうにあるいい色のやつ」とか君は言った。

んなむちな、はしごでも届かないと思つたぼくは翌日、山へ似たような葉っぱを探しにいった、途中めがねをおとし、それはトラックにふまれ破壊された。まるでギャグまんがのような話。めがねをしてない僕に質問した君にこわれた経緯を話した。絶対馬鹿にされると思つたのに君ははにかんで照れた。僕は君の望むものをあげることができないのかもしれない。けど君のあの笑顔が見ればなんだって努力できる。そういえば同じとき君はもうひとつあるものがほしいと言つた。覚えてるかな？

「トトロのおおきなぬいぐるみがほしい」

あの人くらいあるうん万円するやつ。当時は無理だけど今なら何とかなる。けどわかつてる、きみの望みが決して物質的な物でない事を、自分の心を先回りして察してくれる、そんな人物を求めていることを僕はしっている。たしかに当時君はそう言つた。確かめたい、今の僕にその能力があるのか。僕は今、再出発の準備中だ。年金やら保険やら滞っていたものを整理している、年金は35歳からでも間に合うのを知つてた？もともと君との思い出に決着がつこうとつきまいとこの年齢がデットラインだと思つていたから、ちょうどよかった。実家に帰るきっかけができて。むしろ帰る前にあのなぞの思い出の正体に気づけてラッキーだった。あの思い出の正体を知りたくて東京でがんばっていたわけだし…。

心の整理やその他心以外の面の整理もいくらか時間がかかりそうだが、生活の建て直しができたころ、偶然にも君から連絡がはいる。そんなドラマみたいな出来事を妄想するのが好きだ。現在の君はどこでどうしているのだろう、しあわせをつかむ努力をしていること

をお願いします。重大な決断をしても、ぼくは君の望む世界が実現することをいつもいつもねがっています。不器用ながらも。たとえば今の人生がおおしく狂うことになっても。必要とされるならば、というか、現状君以外に僕を必要としてくれるひとが思いつかない。悲しいことだけど。もう一度あいたい君へ、話し合いたい。君の家族や将来や、僕が負うべき責任と、決意がついた時点での君の想いと17年たちようやく真実に気づいた僕の想いとその他もろもろお互いが背負い込んでしまっているもの事について。
たとえ海外にいたとしても…。

「不毛地帯」という小説がある。シベリアで何年もつらい捕虜生活をした元日本兵がようやく念願の帰国を果たすも、こんどは国内で巨大勢力と戦うことを余儀なくされ、永遠に安息がやってこないという話だ。“彼ら”の言いたいことはおそらくこれなのだろう、僕の人生この先不毛地帯だと。

まるで“彼ら”はある小説シリーズに登場するコンサルティング集団のようだ。手法の描写がよくにびっくりする。その小説を読んでなかったらこうもスムーズに彼らの手法を観察できなかった。その小説では人類をより良き進化に導くため心理戦を用いて社会全体をコントロールする集団として書かれている。主人公は自らの才能でその集団と戦うが僕には無理な相談だ。いつまでもちこたえられるか…、ただ、僕以外にも彼らの存在に気づき、作品にしている人たちがたくさんいる事にきづく。なにが言いたいかと言うと、この先まともな人生はまっぴら言いたくないだろうが、生き残れないわけではないということだ。

2つの可能性がある。

君が現状維持を選択した場合、僕は一生24時間いびられ続ける。不毛地帯。

君が僕を選んだら、やはり僕は一生24時間いびられ続けるが、2人（あるいはそれ以上）でいられる。やはり不毛地帯。僕はどちらにころんでも不毛地帯だからいいけど、君には重大な選択になる。覚悟の上でこちらに来るか、現状の維持をのぞむか。たぶん君ならこう思うだろう。「あなたはどうしたいの？」って、そりゃもちろん一緒にいたい。2人ならのりこえられる。たのしい人生になれる。1人ではつらい。

彼らの実はいいところがあつて…などと考えるのはあまいのだろう。たすけてほしい。このさきのまともでない人生、まちうける困難。支えがほしい。

僕は17年前のなぞが解ける前までは君のことを完全に誤解していた。君は人につくす子だ。自分で自覚している以上に、誰につきすかは君の心の選択でできる。君は以前言った。

「私、八方美人つていわれるの」

当時は意味がわからなかったが今はわかる、あの人に敵意むき出しの目線を投げかけることが君にはできないのだ。ぼくはそんな君が好きだ。やさしい心を否定する必要がどこにあるのか説明してほしいくらいだ。そんな君が支えになってくれれば、なんでものりこえられそうに感じる。

最近、なくしたと思っていたあるものを見つけた。あの日、君がくれた写真入りのデザイン額。写真はなくしてしまつたが、額の方は見つけた。台座はなくしたままだがガラス部分の方を発見した。また思い出の品がふえた。いい兆候であることをいのります。

それとも、やはりさよならと言わなければいけないのか。せめてその場合でも、どういう経緯でこうなつたのかおしえてほしい。僕の価値はこの程度なのかもしれない、答えの出ない情報戦にふりまわされて、ささいなミスをしてしまう…。僕はいつも詰めがあまい。君がこの人はこれでいいのよという顔をしているのをいのりたい。ぼくがどうしたいのか？それをはっきり言ってほしいんでしょ？

拉致被害家族のような気持ちです。いますぐ飛んでいきたい、君の声が聞きたい。妊婦なのか母親なのかさえわからない君を想い続けたい…このつらさ、わかってもらえないかもしれない。以前はTVでみた拉致被害家族の気持ちなどわからなかった。

君は今、彼らの保護下ではない。確信している。拉致被害者の家族も確信のもてない夢だけが最愛の人の安否を確認する手段になっている。まさかこんな思いをする日がくるとは。事は大きくなっている。君の家族だけの問題でなくなっている。そうでしょ？なにもかもが憶測でせつなくて、つらくて、どうしようもない気持ちになる。ただひとつわかる事実は、君ががんばり続ける限り、僕は生き延び続けられる。

どうシミュレーションしてもこの事実だけはかわらない。君に救われたのは3度目、いやそれ以上だ。君がどれほど僕の特別な人かわかってほしい。君の価値はこの世で何者にも換えることができないすばらしくて、まぶしくて、せつない、ぼくの1部です。わがままを言ってほしい。たとえ砕け散ることになっても悔いはない。僕も君同様、背中を押されたらトコトンどこまでも行く人間だ。ブレーキがむずかしい。2人いれば、お互いにブレーキを掛け合えるし、行き過ぎても受け止められる。そんな人は君しか思いつかない。

…これを書いてしばらくして、僕はすこし判断力を失う。

ま、仕方の無い事だと思う。この小説を書き始めた時点では記憶の整理と過去への決着が目的だった。第1話を読むと気づくかもしれない。今は幸せにしているであろう君へ送るささやかなメッセージのつもりだったからだ。ところが君が失踪したと知った。最初に僕が思った事は、

何されたんだ？どういうことだ？

という事だった、そりゃあ判断力もにぶる。

周囲を観察し、今日は外で子つれをみた、今日はおじいさんをとやってるうちに暗示はボディーブローのようにじわりじわりと効いてくる。油断しきっていた、人間の品格破壊こそこの暗示攻撃の究極の目的ではないだろうか？君がまだあのかわいらしい笑顔をもっていることを祈ります。

東京にいたときは、彼らの正体に気づいた僕に対し必死に警察であるとか公安であるとか吹き込んできていた。それが通じないとわかると今度は榊原というキーワードをさかんに吹き込んでくる。例の神戸の事件のやつだ。やり方も巧妙でレジで働いているとお客さんの忘れ物らしきメモが落ちている、拾って読むと2文字榊原、この時点では気がつかないけど、今度は道行くひとの会話のなかに榊原、僕が通りかかった瞬間その2文字がピークになるよう会話のボリュウムをコントロールしている。じつに巧妙。似たテクニクは地元に来てから小学生がよくつかっている。子供は大事にしようよ…、お母さん方、お子さんはこんな事教わっているんですよ。それが通じないと知ると並行してガンになるよという暗示。電磁波にやられてるーとか僕に騒いで欲しかったんでしょね。そういえば統合失調症って暗示も頻繁にかけてた。ある日身なりのちゃんとした、どこも不振なところがないおじいさんが穿き捨てるように言った。

「かんにさわるやつだ」

切れさせたいんだね、自分たちの女に手を出すやつはこうやって処分するというわけらしい。

“彼らという「現象」”に彼らも自分を「見失って」いる。

そして「見失ったもの」を継承しようとするから、歪みが発生する…。

身についてもいない“徳”を伝授するという歪み。

身についていない人から“徳”を学ぶという苦しみ。

身についていない人から学んだものを、さらに後輩に伝授していったらどうなるのか？

世代が下るにつれ、何がどうなるのか…

そういう「現象」君のまわりにもあるのだろうか？

“彼ら”の世界も閉鎖的だ、新しい風が入らない構造をしている。

“彼ら”は新興宗教のように「専用の服を作ったり、特異なオブリエを掲げたり」しない。

“彼ら”の場合はそれが“ない”かわりに「例のあの行動」があるのだと思う。

「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだと感じた。その一体感が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく…

そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できるくらい一生懸命になれる道理がない。

普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。

誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。

どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっている事実には気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。

その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

「外」からの「風」が入らないので、内部の空気はよどみ続けたままだから、そうなるのだと思う。

その事実が、彼らをカルトであると印象づける。

これは正常な感覚です。

“彼ら”の「カルトな行動」は、多くの人には、「（そうとう）っらい」ものはず。

何しろ意味無く人をおとしめているのだ、倫理観があればそうと

うなプレッシャーになる。

心身クタクタのはずだ。でも心身クタクタになる甲斐あって）“彼ら”の「カルトな行動」が「つらい」が故、日常の些細な事も幸せに感じられるようになる。それが彼らの「行動の意味（価値）」の真髓なのだろうか？人間「つらい事」をたくさんさせられると、些細な事も「幸せ」に感じると思う。

そうした「たくさん辛い事（＝カルトな行動）」をするほど、より些細な日常に幸せを感じられるのだろう。

そうして感覚が麻痺していき「殺人」も「肯定」できるくらいになるのかもしれない。

そのうち「それ」がないと幸せを感じられなくなり、生きていけなくなるのかもしれない。

そして最悪な事に、愛する子供にまでそうした下劣な行為を勧められる異常な心理状態になるのだ。

君もそうした「つらい事」たくさんさせられて、日常の幸せを「より」幸せに感じさせるよう洗脳されたのだろうか…

君はどう思う？上記のようなものは、ワザと不治の病にかかる事で、命の大切さを学ぶのに似ている。

正常な感覚であれば、おかしいと思うはずだ。

それにそれらは命に対する冒涇であり、本当にその病で苦しんでいる人らへの侮辱になる。

そんな簡単な事すら理解できなくなるほど、心が歪まされている…。

「つらい事」をたくさんすると幸せが大事に感じるのは事実。でも、

「つらい事」とは、本来は「試練」のほず。

犯罪＝試練ではない。暗示にかかると、気がつかなくなるのだと思う。

君に伝えます。

君のその名前の最初の1文字は「真実を見て（知り）理解する者」と言う意味がある。

名づけた方の意思に反しようが、真実を見極めてもいいと思う。なぜなら、その名前の字をこの世に送り出した人々は、名づけた人よりも遙か昔にいた人々で、過去存在した多くの人々の想いがその名の意味を支えている。君の名の1文字は歴史を重ねて作りあがっています。そして、その1字の意味の通り生きていいのだと思う。

いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！と言ってやってください。

味方もいるはずですが、東京でも経験が、そう僕に確信させる。

変な人は男に多かった、女性はまともな人結構いた。話していてそう感じた。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

(この物語はフィクションです、実在の人物・団体等とは一切関係
ありません。)

メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつな갑니다。この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けないでください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第3話 大切な君へ、原点回帰 ver 2.0 (前書き)

メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつな갑니다。この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けないでください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第3話 大切な君へ、原点帰帰 ver 2.0

(この物語はフィクションです登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。)

もう、なにが事実だかわからない、すげーな暗示の力って。

(実はこの間、“彼ら”の攻撃がつづいていた。)
原点帰帰。

17年前のあの記憶は君らがタイムマシンでももってないかぎり書き換えることができない確かな現実。たしかにあの日彼女は言ったし、あのように行動した。彼女の行動とセリフに関してはまったくもって脚色はない。そのままである。だれか違う解釈があればおしえてほしい。たしかな現実。裏打ちする手紙もたしかにある。夏の日の思い出、だれか、彼女と会う機会があつたら伝えてください。あのときの君の気持ちをわかってあげられなくて、やっと本当の価値に気づけたと。言ってあげてください。そして、この言葉が次に出てくる写真のような役割をしてくれたら、幸いです。

今、君の写真を持ち歩いている。もらった写真はなくしてしまつたが、ビデオからプリントしたものだ。これを手に持つてにぎっていると、一人でない気がしてくる。

もって歩かなかつたころは、日々思い出が削られていき、君という存在が希薄になり、終いには幻想のように感じてしまった。しかし僕には物理的証拠があり、これら思い出の品物が君の実在を思い起こさせる。これを持つている限り、正気を失わなくてすむと思う。ありがとう君のおかげだ。君も見えない形で今も暗示の脅威にさらされているのだろうか？さきほどの言葉がもし役にたつなら涙しませぬ。

今日ビルの2階から階段で1階に下りると目の前にエレベーターがあり、おばあさんが2階へ上がるうとしていた、僕に気づかず白いマスクをまさにつける瞬間だった。思わず「ご苦労様」とつぶやいてしまった。聴こえてないくらいの声で。いつもだったら聴こえるくらいの声で独り言を言っていた。君の写真のおかげだ。人間迷ったら原点復帰だね、何が大切か知ってるのと理解してないのではえらい違う。

こんな事を書いていたらまた1つ思い出した。

あれは1度目の破局の後、再び会うようになったある日。僕は君をきつく抱きしめた。あまりに力いっぱい抱きしめたので君は「いたい」と言った。

「こうすると君の存在が感じられる」と僕は言った。

君は訝いぶかしがった。そして抗議した。わかってもらえなくて悲しかったけど、君は抗議しながらも怒ってなかった、笑顔で僕を受け入れてくれた。うれしかった。

あの時は、やはり今のように周囲から受けるプレッシャーにやられて、君に救いを求めてあんな行動に出たんだと思う、理解してなくても無意識のレベルで心が悲鳴をあげていたのだ。僕は君にすがりついたかった。というかこの時物理的に実際すがりついていて、でも本当は君のほうすがりついたかたにちがいない。この時のぼくが君に提供できたのはあの2人だけの無限とも思える安息の間だけだった。人の心は弱い、東京にいた時17年のなぞがと僕には声をあげて泣いた、いい年して本気で泣いた。数日はそんな夜を過こごしある日もう泣かないと決めた。なのにまた涙がでてくる、もう泣かないと決めたのに。17年前の君の気持ちがようやくわかったからだ。時間とともにあふれてくるそれは自分で自覚している以上に溜溜まっていたらしく、17年の時の重みだった。泣けば君が戻ってくる訳ではない、そう言い聞かせた。そして現在の僕はこれを書きながらこう思った、ここにはこれ以上泣き言を書くのはやめよ

う、相手を励ましてこそその意味が、読んでもらいう意味が、意義がある。そもそも、僕が見たかったのは君が嬉しがつてる顔で、困った顔ではないからだ。困った顔もそれはそれでかわいいけど。

17年前の記憶の整理が出来た時点で君から人にとって必要な“心”をもらいました。まだ自分の中で完全に咀嚼そしゃくできてない。何度も何度も反芻はんすうしています。とても貴重で大切なものです、大きすぎて、圧倒されています。

君らはどんなつらい思いを抱えたらこうなってしまうんだろう？それがわかれば、なにかが変わる気がするんだが…、一人一人に聞いて回りたい。健康の不安や心の問題いろいろあるんだと思う。僕の立場で言うことではないかもしれないけど。つらいのは一人じゃないんです。皆なにかしらしよっている。何も無いように見える人にも必ずある。僕がいい例でしょ？

まだしがらみのうすい立ち位置にいる人、そうでない人、ともに何が未来につながるのか、口に出すのはまずいだろうけど、考えをめぐらすだけなら、誰からも何もいわれないし、それは必要な事だと思います。生涯消えない心のやけどをすでに負ってしまった人、まだ負う前の人、まさにこれから負おうという人、考える時間を失っては心の、魂の光を失ってしまいます。失ったと思っっている人もこれを読んで何か感じる心があれば、それが心の光です、失ったと思っただけです。

誰しも子供の頃言われたんじゃないでしょうか？大きくなれば判ると。判ると、失うのは、根本的に違います。“予断”にとらわれると時として自分を失います。

彼女の近くにいる人、彼女が辛い目にあっていないかサポート

してあげてください。おそらく、自分の身を守るので手一杯なんだと思います。あなた自身もそうかもしれませんが、できる範囲でおねがいします。彼女がほしいのは理解者なんです。お願いします。うそでもいいからやさしくしてあげてください。特に女性の方お願いします。過去に遭遇したあなたたちの中で、基本的に女性に悪い人はほとんどいなかった。少数例外もあつたけど皆純真でした。すれてないとも言うべきでしょうか。それは希望につながります。心を分けてあげてください、できる限り、出来る範囲で、お願いします。

ドフトエフスキーの「白痴」。ご存知でしょうか、お読みになつた方なら僕が言いたいとお判りになると思います。ムイシキンになってしまいました。彼女をナスターシャにする訳にはいきません。ムイシキンとロゴージンは最終的に和解します。十字架を交換します。そうあるべきです。そうお思いの方、少なくともはずです。

原点回帰。

初めて会つたとき、まさに電気が走る思いだつた訳だけど君はあの時気が付かなかつた。後々になって君は訊いた。

「いつから好きだつたの？」

何時ぐらいの事だろう、親密になつてからだ。多分君が僕を受け入れてくれてそう時間がたつてないくらいの頃、神社で君は僕に言った。嬉しかった、だって想像してほしい。憧れの女の子が自分を受け入れてくれた上にそんな事聞いてくるという事がどれほどすごい事か、まるで物語の世界のような…、でも現実だつた。この時僕は一体どんな顔をしていたんだろう、出来る限り普通のふりをしていたけれど。僕は当然という態度で、

「初めて会つたときだよ」と言った。

君は驚いていた。

「だってそんなそぶりぜんぜんなかった」と、言った。

そりゃそうだと思う。なぜなら気が付かれない様にしていたからだ。僕は訊いた、何時の時点で僕の気持ちに気づいたのか教えてと君は答えなかった。けどその時はどーでもよかった、現に隣に君が居たからだ。いや、思い出してきた。映画に初めて誘った時気がついたと言ったような記憶がある。言葉をにこした。理由はわかるけど、あまりハッキリ覚えてないという事は先生の事が頭をよぎったからだと思う。君の不可解な行動をどうしても先生の事と結び付けようとしていた。それがなければもっと早く気づけたような気がする。

君は気づいたかな？

僕は17年間片思いだと思っていた。それが間違いだと気づいた。とたんに僕は当時の僕に戻ってしまった。当時の僕を現在の僕がなんとかコントロールしている状態。結構大変です。でも、いい事もある。あれが片思いでないとハッキリしたんだし。自分の価値に自信が持てました、少し。当時の君の気持ちを手取るように分る様になった幸福と衝撃。伝えたくて伝えたくて仕方ありません。だから書きます。

当時から君はいつも一人が多かったと思う。真実に気づく前の僕はこう考えていた。あまりの美少女っぷりに女子の中でも浮いてしまったんじゃないかと。

1年の時、放課後。まだ先輩たちが居た頃、まぶしすぎて遠すぎて声をかけられなかった頃。練習中、暇な時間ができた君は何気なくテキストな曲を吹いた。その曲は僕が中学生のとき何十時間もつぶしたドラクエのダンジョンのBGMだった。

「なんでそんな曲知ってるの？」

気が付けば普通に訊いていた。理由さえあれば別段しゃべれない

訳ではない、ただきつかけを意図的に作ったり読み取ったりするの
が苦手だった。だから口下手なのだ。今では十分直したつもりだが、
それでも直りきってない。とにかくその時は自然な形できつかけが
できた。

「前やった事あるの」と言ったと思う。

同じように口下手なのがすぐに分かった。あれがはじめての会話
じゃなかっただろうか？

この頃僕はまだマウスピースが上手く吹けなかった、小中学校で
習うリコーダーは中にリードという振動する板が入っていてそれに
息を吹きかける事で空気を振動させ音をだす仕組みだが、トロンボ
ーンをはじめトランペット、ホルン、チューバなどはリードを使わ
ず唇そのものを振動させて音を出す。マウスピースを使って練習す
るのだが上手くいかない。彼女はこの時の僕の様子を覚えていて、
1時間近く同じ姿勢ですわってずっと練習している僕を変というか、
変わってるというか、いいのかなあのままほつといてみたいと思っ
たと後々証言する。覚えていてくれたんだ…、と妙に感動した。

いつも君は遠い存在だった、けど気が付けば目で追っていた。1
度訊いた事がある、この時期僕の事をどう思っていたのか、君は答
えなかった。今の僕にはおおよその想像がたつ、君は人が傷つかな
いように常に気を配っていた。

その後も何かにつけ会話する機会があり、その頻度は時間ととも
に増えていったと思う。けど、笑い合えるくらいになるには1年か
かった様に思う。しゃべるのに必死で、何をしゃべったか思い出せ
ない、他愛ない事を話していたんだと思う、君はあの独特の笑顔と
笑い声で応じてくれた、それが嬉しくて、次も同じ様に笑ってくれ
るかハラハラしていた。なぜなら君は急に無口になるからだ。なん
とかあの笑い声が聞きたくて僕なりにがんばった。楽器の事や部活
の事、学校の事、時々僕が自分の事を話し君がにこやかに聞いてく

れている…、そんなイメージでこの時期の事記憶している。

だから、初めて映画に誘った時まさかOKしてくれるとは思ってなかった。すごくうれしかった。

初めての映画は2本立てだった、けど2本目に入ろうというとき君は言った。

「もう出よう」

もったいない、と正直に思った。けど 君は映画よりも会話の時間を大切にする子だった。当時の僕にそんな発想はなく、本気で君を尊敬した。お金よりも大切なものがあると気づかせてくれた最初の出来事だった。確かに、あと映画1本ぶんのお金を損してでもする価値がああ後の会話にはあった。

映画館を出て食事をした。多分12時前後だったと思う。マックに入り、それぞれ別々に注文した。正直僕は奢り^{おご}りたかった、オレンジジュースくらいなら何てこと無い。席についてから僕はその事を告げた。すると君は

「いいの」とはにかんだ。

マックの2階、中央に仕切りがあり、階段の反対側の仕切りよりの席、中央より若干窓側の席に向かい合わせて座った。

「僕一人で食べるなんて何だか…」と僕は言った。

「いいの、食べて」と君は言った、ものすごいかわいい。

君はオレンジジュースのストローに口を付けながらこちらを見た。そんな君を前に食べるのはなんだか気恥ずかしかった、食べる僕を見る君。

「ホントに食べなくていいの？」と半分くらい食べた辺りで聞いた。俯^{うつむ}いて、君は言った。

「食べてる所見られるの恥ずかしい…」

ものすごいかわいかった。だからなんだかまあいいかと思った。女の子だからそんなものかなと思った。

当時高校生でお金がなかった、けどある事に気づく。12月の誕生石はトルコ石だ、宝石の中では一番安い。手が出せる代物だった。その事をさりげなく君に言うと絶対くれるなという態度。いらない、うけとらない、嫌われたかと思っただけどそうでない事はしばらくしてわかった。

こんな会話をしたのを思い出した。覚えてないと思う。

2年生のある日、練習中。僕はなかなか心を開かない君をお城のようだと例えた。中世ヨーロッパの城をイメージして言った。

「やっとなが開いたと思っただけで閉められちゃうんだよね」といった。

君は僕の例えが最初上手く飲み込めず困惑した。

「中世のお城で、分厚い木で出来た扉で、ロープで上げ下げして開けたり閉めたりするやつ、映画とかで見た事ない？」と僕は言ったと思う。

「やっとなが開いたーと思って門に近づくと急にドシンと門が落ちてきて閉まっちゃうの」

と僕は言った。言うと同時に僕は両手を上から下に動かして門が閉まる動作を演じてみせた。

君はニコニコしながらダメ開けないとか言った。ぼくがやはりニコニコしながら何で？どうして？と言った。君はニコニコしていた。「やっとなが最近門が開くようになったね」と僕。

「だって前はそんな風に笑ってくれなかったでしょ？」と僕は言った。そして、

「やっとなが開いてなかに入れる」と、つけたした。

心が開いた仲良くなれるという事の比喻表現だった、そして門が上に上がった動作をジェスチャーでやってみせた、すると君は僕の動作を真似して両手で上から下へ門が降りる動作をしてみせて

「だめ、入らせない」とか言ったように記憶している。セリフの方

はうる覚えだが、君が僕の動作を真似たのは確かに記憶として残っている。君は門を閉める動作をして見せた。僕と逆の動き。

僕は再び両手で門が開く動作をして「何でしめるの？」とやると君は「だめ」といつて両手で閉める動作をする。そんなやり取りを3回ほどやりあった記憶がある。傍はたから見たら仲良くじゃれ合っている様にしか見えない。楽しかった。このあたりの時期から笑い会える仲になれたと思う。

2年の時間とき聞いた話だと思う、君は時々学校を休んで1人になれる場所で時間をつぶすという事を聞いた記憶がある。当時の僕は子供で、学校を病気でもないのに休んだり、遅く来たりするという行為がものすごく大人びて感じた。今にして思えば、もし当時から“彼ら”の攻撃を受けていたならその様な行動をとる訳も完全に理解できる。確かに1人になりたい訳だ、いやもともとそういう性格だったのかもしれない。どこと無く自分と似ていると感じたものだ。すると、あの神社での2人きりの時間はそうした1人だけの時間の延長線上だったのだろうか…。確かに君はそうした延長線上の行動を好む性格をしていた気がする。当時の僕には君はミステリアスな存在だった。いや、今もそうか…。

今も君の現状を推測する毎日です、何を考え、どう過ごしているか考えてしまいます。当時とたいして変わって無い。

2人であの永遠とも思える時間を過ごす以外で一番印象的な時は、君が僕の無理強いしない態度を喜んでる様子が感じられたときだ。そういう時君は「フフフ…」と笑ってどうしてそうなのといった態度で話しかけてくる。こそばゆいようで歯がゆい様で、それでいて初めての感覚だった。僕の受け答えを見て君は更に上機嫌になり、次第にあの見たくてたまらない満面の笑みを見せるようになってゆく。それにあわせてこちらにも笑い返す。2人して俯く。あんな体験他ではなかった。

なぜ無理強いせずそんなので満足できるのか君は知りたがった時、そんな理由言うまでも無いと思っていたが、一応答えた。

「相手が君だからだよ」と。

「私だからいいの?!」と、テンションの上がる君。学校では見せない笑顔。

「だって、君は僕の憧れの人で、ずっと好きだったんだから…」まだ続くが書かない。要は憧れの子にここまで近づけただけでもうものすごく満足している事を伝えた。そして君はこう聞いた。

「いつから好きだったの?」

そしてずつと出会ってから好きだった事を告げる。君はまさに青天の霹靂へきれきといった顔でしばらく固まる。そして、なんとか僕のセリフを飲み込んで理解して、信じられないでしょうという顔でこう言ったと記憶している。

「夢がかなったね」

そしてあの満面の笑みを見せてくれた。言うまでもない、肯定するという事は君が僕の想いを受け入れてくれた事を意味する。今はこの言葉の重みがものすごくずっしりくるのだが、当時はまだわかってなかった。

僕はある日言った。例え僕が要求したとしてもそう簡単に答えてはだめだよと。君は複雑な顔をしたけど「うん」といつてくれたし、その後その通りにしてくれた。僕が言ったからなのか、それとももと君がそうしたかったのかは今判らない、もし会う機会があったらぜひ確認したい。覚えてないかもしれないけど当時のこと。

どっちにせよそうして欲しかった、ちょっと男として残念な面もあったけど。個人としては言う通りになってくれてうれしかった、君を大事にしたかった。けど、何度かわがままも聞いてくれた。あれは、どうしてだろう、ますます好きになった。こんなに心が通じ合ってたのだから、強引に迫れば君は秘密を打ち明けただろう、け

ど、あまりの現実離れた事実。どう推測しても当時の僕は信じなかったはず、どうしたら当時僕が信じる事が出来ただろうとつい考えてしまう…、この答え出せたら…。

巻き毛がかわいかった。前髪にウェーブがかかっているみたいで、束ねた後ろ髪も同じようにはねていてかわいかった。髪を触ったとき、整髪剤でかためていて、僕のためにやったと訊いてうれしかった。この世に自分のために何かしてくれる人がいるなんて信じられなかった。きれいな黒髪だった。君は知らないでしょう、僕が髪が好きという事を。

神社で君と2人で階段に座っている時、僕はよく君の肩に手を回した。すると束ねた後ろ髪が僕の腕に挟まれて頭が上手く動かせなくなる。だから君は途中でよく後ろ髪を直した。

途中から手で直さなくなったと記憶している、今思うと僕が手を回す瞬間髪の毛が挟まらないようにしていたんじゃないかと推察する。僕が手を回すタイミングを読んで髪をのけていたのだろうか？

1度だけ来た僕の部屋で帰るとき、髪型が乱れるのを気にしていたよね、女の子だなーやっぱり、とんだか、ほほえましく思ったけど。君の微妙な緊張感、覚えている。とてもおしゃれに気を使うときの感覚でなかった。なにかにおびえている感じだった。あの違和感の意味、今ならわかる。

「人に気づかれたら変だと思われるでしょ？」

確かにそう言ったのを覚えている。なのにぼくは、ほほえましく君をみていた。気がつかないぼくを君は攻めなかった。別れをおしむ僕と対照的に、君はまるでこれから一戦交える戦士のような緊張感を持っていた。僕が、

「途中まで送るよ」

と言っても断固固辞した。監視を振り切る決意でいたんだね。くや

しい、一緒に戦えなかったことが。奇跡はもう起きないのだろうか。あの時までもどって自分のけつを叩いてやりたい。お前がすっかりしなくてどーすんだ！と鼓舞してやりたい。

黄色と白のボーダー柄の半そでシャツ制服の紺のスカート、格好まで覚えている。というかわかる。

神社で会っていた時は髪を直すのやってなかった気がする、という事はどこか駅のトイレとかで直していたのだろうか…。

彼女もピアノを弾く、僕が1オクターブ届かない話をする、私は大丈夫という。どちらが手が大きいか比べるため手をかさね会わせた。僕と同じ大きさだったのが意外だった。技量の差なんだなと思った。彼女の手は若干ぼくより体温が低いらしく、ほのかにつめたく、でもあたたく。ドキドキした。そういえば彼女のピアノ1度も聞いたこと無かった、せっかく音楽室にでかいグランドピアノがあるんだから1度くらい聞かせてもらえばいい思い出になったのにとと思う。

彼女の手に初めて触れたのは、神社で会うようになった最初の日だ、最初神社ではなく、近くの造成地であった。忘れもしない、あの僕にとっての一世一代の大告白の日のことだ。はじめて本音をさげ出した日だ。君は僕の思いに答えてくれた…

「前は草が背丈よりもあってまわりから見えなかったの」などと彼女は隠れられないのを残念がった。

おそらく他愛ないことを話したんだと思う、学校の事や部活の事、それからついさっきの告白についての事。たぶん2人して赤くなっていたんじゃないかと思う、そのうち小指が揺れあうのを感じた、正確には小指の付け根くらいのところ。空き地と道の境界上のブロックに腰掛け、両手は腰の横、2人同じポーズ。小指が触れ合う。向こうも気づいてるはずなのに何食わぬ顔。どうしようと思っただとところ軽い事件がおこる。

空き地にヘビが現れた、でっかいアオダイショウ。アオダオショウなんて小学生の時1度見たきりだった、彼女は初めて見たらしく立ち上がって驚く。

ヘビは去り、またもどのように2人すわる。

「もう居ない？」彼女は何度も後ろを振り向き確認した。

僕はヘビが去った辺りに小石を何度か投げてもう居ないことを説明した。

再び小指が触れ合う、ぎこちなくなんて事は無くごく自然にごく当然のように2人も元に戻った。なんだかうれしかった。

このすぐ後、彼女は言った。

「この近くにもっといい場所があるの」

そして彼女はあの神社に僕を誘った。

神社の前に行った空き地、実はつい最近行ってみた。もうとっくに家でも建つてると思っていたけど、いまだに空き地のままだった、当時の様子を色濃く残していた、目頭が熱くなった。

現在の神社は整備されているが、当時のそこは本当に寂れていた。忘れ去られたような場所。彼女は満面の笑みで言った。

「ね、外から見えないでしょ？」

その言葉に促されて、僕は大胆な行動に出た。さつきまで小指が触れるだけでドキドキしていたのに、彼女の肩に手を回したのだ。肩に手をかけたまま2人で数歩歩き。社の階段に一緒に座った。

「こうしてみたかったんだ」と、僕は言った。

彼女は嫌がらなかった。季節は春だが、時刻は夕刻で、辺りは若干寒くなっていた。しばらくして彼女は言った。

「あったかい」

僕は何て言葉を返していいのかわからず、趣のない発言をした。

「体温男だからね、いつも体温高いんだよ」

バカまるだしのこの発言にも彼女は笑って微笑んだ。そして、しばらく間を置いて再び言った。

「あったかい……」

誰しも他人には語りたくない大切な思い出はある。この後、ぼくは今までで一番幸せな時間をすごす事になる。この世には真に心を開ける人が本当にいるんだと知ることになる。彼女の価値のほんの一部だけけど知ることができた。なにかが引つかかっていた。無意識の僕が意識できない彼女の秘密を感じ取っていたけど、無意識ゆえ意識できない。彼女の本当の価値に気づくのに17年かかる事になる。重い、本当に重い現実。今君はどうしていますか？僕はやっとなんか気づきました。この想い、伝えたいです。

僕はこの時から最後まで君の肩に手をかけるのが好きだった、君は違って手をつなぐのが好きだった。今思えば手をつないだ方がいい思い出が増えたような気がする。君の方が正しかった。

その日初めてキスをした。

「キスしていい？」と訊いた時「ううん」と言った、何度訊いてもそう言った、なのにうれしそういつまでも俯いていた。気づかない僕に君は言った「キスしちゃダメ？って言って」と、そのとうり言ったら君は言った「ううん」。

だけど僕はためらった、勇気がないとかそういうのじゃない。このままキスしたら先生と同じじゃないか？そう思った。本当に彼女は望んでいるのだろうか？君の口を引き寄せ途中でやめる、そんな事を2〜3回やった。実際どのくらい悩んだのか自分でもわからない、相当長い時間ためらった様に覚えている。永遠とも感じる長い時間、本当の所どのくらい長い僕がためらっていたのか分らない、実際何分だったのかそれを知っているのはこの世で君だけです。意を決して実行する。一生の思い出。終わると、君は僕をみつめて間髪いれず僕のはほにキスしてくれた。少し間をおいて僕もやり返した。それだけでもう大丈夫だった。受け入れられているという事が実感できた。

肩がこる、というのはよく聞くが足がこるといのはあまり聞かない。この日僕は猛烈な緊張のせいか両足がこった。ずっと長時間

神社の社の階段にすわり続けていたせいだと思う、彼女も同じ時間座っていた。その話を後日彼女にすると、

「あたしもそう」と、言った。

なんだか似ていると思った。あの日あの時あの時間僕らはいろいろな意味でたくさん共有したんだと思う。その後も会うたびに同じようになつたが、回を重ねる度に緊張は緩和して足がこるような事はなくなつていった。そして君の肩に置いた僕の手が震えることもなくなつていった。時間とともに君は心を開いていってくれた。だが毎日会うようになる前に1つ超えなきゃいけない壁があつた。

神社での出来事があつた後の事、「放課後会わない？」僕は言った。

あれは部活がもうすぐ終わる、終わるといふのは引退して受験勉強に入るから無くなつてしまふ…、そんな時期の事。まず先に付き合わない？と訊いたと思う、聞いて当然と思つた、君は困つていた。演奏練習の前、お互い演奏位置にある椅子に座りながら話した。僕の右に君、僕は顔だけ横に向けながら周囲に聞こえない声で話していた。

僕は首を傾げる動作をしながらお願いしていた。無意識にそんな動きをしていたんだけど、どうもその動きが面白かつたらしく、君は僕の動きを真似しだした。2人して同じ動作をしあう。笑いながら断る君。

そこで1ランク要望を下げてみた。何より会えなくなるという事態を避けねばと思つた。付き合うのではなく週に1回会う。君はOKしてくれた、うれしかった。それが週1回会う始まりだと思つた、君は言つた。

「いいよ」

「本当に？」驚く僕、まさに天の岩戸から天照大神が出てきてくれた様な気持ち。

「この前行った神社で待つてて」君はかわいく言つた。

僕はすぐに君の言葉を飲み込めなかった、信じられなかったからだ。少し間を置いて。

「わかった」

とか言った様に思う。そして練習が始まった。僕らは何食わぬ顔でいつもの通りに練習をした。その後もいつもの通りにして、練習が終わり別れ際軽く確認した。周囲には判らない感じで、君は答えた。間違いないと思った。この辺記憶があやふやで、複数の日の記憶が一緒になってしまっている。多分僕が先に神社に着いていて、後から君が来たように思う。本当に来てくれて夢のようだった。

覚えてるかな？ある日ぼくは2人きりでの別れ際ふざけておしぼいをした、プレーボーイ気取りで君をくどいた。芝居がおわり、「これはおしばいだからできるんだよ、普段はこんな事言えない」とぼくは言った。すると君は意外にも下を向きものすごく赤くなる。そして「じゃ私もお芝居」とはしやぎ、ものすごく、幸せなことをしてくれた。ものすごく予想外だった。当時はまさか自分が好かれてると思っでなくて、気まぐれにしたのか？いや、気まぐれでこんな事するか？とものすごく混乱した。うれしいのに、上手くそれを君に伝えられなかった。あの時間あの瞬間は2人だけのものだ。どんなにじやまされようと消すことはできない。

君はあくまで付き合っている訳ではないと念を押した。神社で毎週会うようになってからもそうだった。そんな君がこんな事言ったのを覚えている。

「付き合ってる訳じゃないけど、嫉妬しちゃうのね…」

学園祭の時、他校に進学した中学時代の知り合いの女子が来ていて二言三言しゃべった。そいつとは最悪の仲だったので、別段ああ久しぶり来てるんだぐらいの会話で、無視するのมどうかと思いつくしゃべった程度の事なのだが、たまたまその現場を見ていたらしく、僕が見知らぬ他校の女の子としゃべっているという事に対して、君は

こう言ったのだった。混乱した、君の気持ちがうれしかったけど筋が通ってない。今の僕はこう考える。君は僕が気づくの賭けていた、今はその前段階だから。そういう事だったのだろうか……。ともかくこの時の僕は君の好意に素直に反応できなかった、残念に思う。僕に嫉妬？生まれて初めて言われた事だった。今思い返すとなんだからものすごくうれしい、当時この想い伝えたかった。

照れるともものすごい愛らしかった。ささいな事で君は照れた。初めてのデートで先に来ていた僕は券売機で電車の切符を2人分買っておいた、1枚渡すと、ものすごく照れて喜んだ。帰りの時は

「今度は私が2枚買おうね」

と笑顔満面で言ってくれた。このちよつと前に、

「本当の私を知ったら嫌いになっちゃうよ」と言った。

後々になり、この時のことを回想し君は言った。

「ずっと話していてくれたでしょ、あんなのはじめて。普通沈黙の時間があるはずなのにまったく無かったもの」とうれしそうに僕にはなした。だから調子にのって、僕は最後までこのペースで話かけ続けた。

君から話しかけてくる時は、大概、僕が今までの人とどう違うのかということが主だった話題だった。ほかの男は君をすぐ女とみられるらしい、そういうのはなんだか嫌だった。人は尊重されるべき個人であり、その人のもつパーソナリティーを阻害するのは失礼な事だと思った。これは、当時からそう思う。だから、彼女を女として見ると同時に個人としても尊重したかった。だって僕自身他人からそうしてほしいと思うからだ。彼女の個性はどこかなんだか、似ているとおもった。いとおしかった。

まれに違う話をしてもどこか言葉をにこす。

神社での会話の中、学校の授業でボランティアで小さな子の面倒をみたのが楽しかった、幼稚園でピアノひく仕事もいいなみたいな話を君がしていた記憶がある。あれは：今思うと学校の授業じゃないね。こんな感じでどこかごまかしながら話をしてることが多かった。けど、君のかわいさに見とれてきにもしなかった。

そして今現在、僕もごまかしながら話すようになってる。気づかれないギリギリのラインで話をして相手がどうリアクションするか見るように気づいたらなっていた。こんな感覚だったんだね当時。もし相手が悟ったら：どう自分が行動するだろうか？君はまさに今現在その立場にいるわけで：、たぶん相手が気づいてくれた時はものすごくうれしいにちがいない。君が僕が気づいたと知ったときの行動：真実ならものすごくうれしいです。暗示からさめたのだろうか？確かめたい。ある人が僕が東京から去る最後の日に言った、「相手が17年もお前の事思ってるわけないだろ」と。

この人には僕が見張られてる話はしたし、小説の第1話も見てもらった。この現状を信じて欲しかったし味方になって欲しかった。けど、君が逃げた事やその他もろもろは話していない。この人は僕が知る限り、一番社会的ステータスが高く人脈も影響力もすごい、頼るべくして頼った人だ。けど、君が17年：という事は話してない。なのに知ってる。調べた結果知ったのだろう。盛んに僕に君を忘れる、その手紙も捨てると言う。確信した。本当に君は失踪して17年も忘れずにいてくれたんだと。知るはずのない人が知っている事実が、図らずも事実の裏をとる形になった。

今の僕には言葉しか送れないけど、君の行動を支持します。なにがどうなるうと。いつか“君”などではなく、いつものように呼べる日がくればと願います。

覚えているだろうか？本来の約束では週に1回木曜日に会う約束だったけど、その日はそんな気分で終われなかった。特別な日だった、何もかも。

「明日も会わない？」

と僕はいつの間にか言っていた。このまま1週間も待つなんて何か変だとその時は思ったし、そう訊くのがごく当然だと思った。

「いいよ」

と君は言った、ごく当然といった感じで驚きもせずに。2人とも同じように物足りなさを感じていた。

家へ帰らなければいけないのだけれど、ここでかの気分を終了させるのは何か万物の法則に違反している様な気分なさせられていた。同じように物足りなさを感じていてくれる事に静かな感動を覚えた。笑顔の君がそこに居た。確か2日か3日連続して会って、ようやくじゃあ今度の木曜日にまた会おうという気分になれた、そう記憶している。最後の日君は私服だった記憶がある、白いブラウスカシャツにスカート姿だったと思う。だから、あれは休日の記憶だと思う。

原点回帰…

ものすごくかわいいのに写真写りがわるいのが残念だった。光の加減で、頬の部分が変に見えることがある。けど、光の加減がばっちりきまつたときの写真はめちゃくちゃかわいかった。あのかわいさは、実際にあわないとなかなか感じられない種類のものなんだと思う。もらった写真よりも、吹奏楽部の演奏会パンフレットにのせたトロンボーンで写した写真のほうがかわいかった。

こうしてかわいいかわいい書く彼女の实像を捻じ曲げてしまいたい。決して子供っぽいわけではなく、そうでない面も見せてくれた。そしてそれは僕にしかこの時期見せないようになっていた。

あれは、いつだか仮説ひな壇から落ちそうになって心配してくれ

た頃、あの前後の記憶だと思う。僕はひげをそらずに来てしまった。無精ひげで中学時代女子からひどい言われようをされた事があったので、まずいと思った。しかし君は意外な反応をしめす。好意的だった。印象的だった。

違う日やはり放課後の練習中に、

「楽器を吹くと鎖骨が出るの」

とかわいく言った。僕の反応をうかがう。たぶん他の男と違ったりアクションをするのが面白かったんだとおもう。そんな事がたびたびあった。たまに僕が他の男とたいして変わらないリアクションをした時の君の残念そうな顔を覚えている。当時はわからなかった、ごめん…。そんな時ですら、君は優しかった。

神社で2人きりの時、

「お化粧練習してるの」と言った。

化粧つけない君が化粧を練習しているという話はドキドキした。ホントに化粧をろくにしてなくて素でかわいかったから、する必要のないのと思った。君は同意しなかった。その言葉にドキドキした。そして、そんな話題は女子は知らないが男子には僕にしかしなかった。なんだから、2人だけの関係がうれしかった。

怒ってもかわいかった。1度目の破局のとき確か、

「写真返して！」って叫んだよね。

覚えてる、今思えばなんて残酷な仕打ちをしたんだと後悔しているけど、当時はまったくわかってなくて、本当にごめん正直に書くけど、気まぐれな人だと当時のんきな僕は本気で思っていた。そして、本気で怒った君もかわいいと本気で思っていたんだ。17年たってまさか間違いに気づくとはね。

たぶん同じ時期だと思う、怒った君は言った。

「あつたかかったの！」

うれしくて、悲しい一言だった。あの時の事をそんなに大事に思っていてくれたのかという思いと、理由は分からないが失望させて

しまった消失感でわからなくなってしまった。あの時は。

迷ったときの僕はいつも原点回帰で、当時もそうした。手紙を書き続けたのもそのせいだ。そして今もそうたいして違わない事をしている。

そういえば、これは怒りを君が爆発させるちょっと前、期待をこめて君は僕に言った。

「手紙、何度も読み返してるのよ」と。

うれしかった。僕ごときの手紙をそんな風に扱ってくれることがうれしかった。けどあれは、どうしてあんなことしたの？という君なりのアピールだったのかもしれない。今思い返すとなんとなく、そう思う。私はこんなに気にしてるんだからあなたも気にしてという事だったのかな？この解釈あってる？もし合ってるなら、今こそ僕は君に負債の全てを払わなければいけない。

君はあれほど怒ったときですら、敵意というものを出さなかった。自分でも気がつかないくらいやさしい心の持ち主なんだと思う。そんな君があれば何時だったか、先生に怒って物をいくつも投げつけてケンカした話をした。いつか僕も同じ目にあうのだろうと覚悟したが、ついぞそんな事はなかった。物理的に何か投げつけられるという事はなかった。僕はまだ、君の本当の怒りというのを見ていないのだろう。知らない、君の顔、見てみたかった。

まだ電車すきですか？とても意外だった。電車マニアというわけではなく、ただ単にあのでっかい箱が動くのを見るのが楽しいといった感じだったと思う。君らしいと思う。感覚派なもの。

「先生の家へ行くとき電車ののり」
その過程で電車がすきになったと君は言った。とても、とても複雑な気持ちになった。

後々気づく事のでかさには比べればささいな事なただけ……。

つい最近、滅多に乗らない御殿場線に乗った、途中夏祭りの日、

2人で降りた駅を通りかかる。滅多に電車に乗らないので実に17年ぶりに来た。降りはず、車窓から外をみた。当時は夜だったから気がつかなかったけど、本当に駅とは呼べないレベル、停留所、と呼ぶにふさわしい。

「あのロータリー…」思わずつぶやいた。

車窓から記憶に合致するロータリーが見えた。当時2人で暗がりの中歩いたあのロータリー、周囲に街灯はなく、君は尾行者がいないことに安心して一気に機嫌をとりもどした。

すると、あの道の先にコンビニがあり、2人でキスした場所があり、あの長い階段のある神社があるわけか…と思った。そして、いつか2人でもう一度そこに立ち寄る想像をした。

がんばれば、あきらめなければ、もう一度あの場所に2人でたてるだろうか？

少し思い出した…

あの日、あのあと駅の北口まであるいて自転車をとりに行つたきがある。そこで分かれたんだっけ？あの日の人生最大の過ちは記憶まで混乱させてる。あんなにすごい記憶なのに、どうやって帰つたか思い出せない。君は浴衣姿で尾行の車を気にしながら一人で帰つたはず。17年たつて心配するのどうかと思うけど、バカな話だけど、「大丈夫だった？」と声をかけたくありません。

そつえば思い出した、後日部活の練習で再会した時、君はその後またあの車が来ないか不安だった、来なかったからよかったと言つた気がする。そしてそれに対し僕はそんな事ある訳ないでしょと、そして仮に同じ車だとして何の不都合があるの？と言つた気がする。2人して楽器を持ちながらこんな話をした。

まだあった、当時から持つてるもの、あのアロハシャツ。夏祭りの日、浴衣の君と一緒に歩いた時の服。色はあせたけどまだ持ってます。同じ日、映画に行ったとき、来てくれるか自信がなかったの で前売り券は1枚しか用意しなかった、だから事前に君に渡した前売り券とは別に劇場で当日券を買い足した。入場後「あなたが持つ

てて」と前売り券の半券をくれた。あれまだ持ってます。

部活中君は突然僕の星座が何か訊いた。夏にある誕生日前の出来事だと記憶している。珍しく女の子同士で何か話している君の姿を見た。僕はいつもだったらこの時間練習に備えて楽器を準備していて、そんな事してないのと思った。そして1人僕の前にツカツカとやって来て笑顔で訊く

「星座は何型？」と。

「かに座だよ」という。

笑顔だけで僕の返答に答えてそそくさとまた先ほど話していた女子達の所へ戻る君、あれは何だったのかと少し経ってから訊くと。

「うっん、何でも無いの」と控えめな笑顔で誤魔化す。

それは僕が知る必要の無い事なのかなと思いきやそれ以上訊かなかった、こういう時いくら訊いても君は答えない。そうした頑固さも魅力の一つだった。

最近、当時君が住んでいた団地をやつと知った、廃墟だった…手紙の住所をたどった結果だった。シヨックだった。1日後、近くの曲がり角をまがると現在の住所であると知った。

最初古い住所を尋ねた時の道行く“彼ら”の緊張感がドンドン高くなってゆくのを感じた。確信した、居ると。道行く子供が友達との会話の中で甲高く叫ぶ。

「やめようよ！やめようよ！」と、偶然だろうか？偶然と思ったほうがいいのだろう…

まさにその子がいる次の角を曲がると正しい住所だったのだが、それを知らないぼくは曲がらず直進して通りすぎた。

翌日ようやく正しい住所がわかり、行ってみると前日あった緊張感も昨日やめようよと叫んだ子供もいなかった。苦労してたどり着いたけど、人気がなかった。近所の人に伝言を頼んだ、その人の動

揺れている様子が印象的だった。すれ違ったのだろうか？最初から居なかつたのか？君は答えを知っているわけで、なんて思っているのか念じてください。受け取れるかも（ギャグです、もちろん）。当時の君の家がハッキリした事で当時2人で歩きながら話したコースが君の帰宅路そのものだど気がついた。当時歩いた道、2人で自転車を牽きながら。君は歩きながら話すがすきだった。きつと本来は2人でいるんなとこ歩きたかつたんじゃないだろうか？

あの時、君と一緒に牽いた自転車、実はまだ乗ってます。相当ボロボロだけど捨てられない、ブリジストンのロードマンロードスター。当時は珍しいフルカーボンボディー、まだ乗ってます。

自転車で思い出した、あれは4月頃、まだ神社で会い始めた頃の事。

神社で自転車を止める場所を2人で探している時、周囲は真つ暗で、ようやく止める場所をみつけると、僕らは自動車のヘッドライトに照らされた。

白い小型車に乗ったおばさんがこつちを見て照れていた。僕らがついて通れないらしく2人で自転車を牽いて移動した。かわいい彼女をつれてそんな風に見られるのは悪いきがしない、僕がほのぼのとした気分になつた。君はどうだろう？見ると怪訝な顔をしていた。

そして、2度とその場所に自転車を止めないように言った。僕は交通の邪魔だからそうだよなと思つた。あの出来事があつた後も特に何事もなかつた。あれは君の稀有であり、思い過ぎだったのかもしれない。

まだ使っている物繋がり腕時計がある。アルバ二十面相、あれもまだつけてます。1度君に珍しい機能が付いてると腕時計を見せたことがある、覚えてる？アナログ時計のガラスにデジタル表示が浮かび上がつて、200年分のカレンダーやストップウォッチやら付いてると説明した。春ぐらいの事だと思つ。音楽室とは別に吹奏楽部がいつも使つてい教室、あそこでパートで練習していた時、合間にした雑談の中でしゃべつたと記憶している。君は上機嫌だつ

た、君は笑顔で聞いていてくれた、この時に限らずあまり興味の無い話でも「ウンウン」って聞いてくれたね。

「あげようか」とアホな冗談を言った。

「いらない」君は笑顔で返した。

僕に合わせてくれるなんて、僕は当時その幸せの価値がわかってなかった。僕も、もっと君の話をちゃんと聴いていれば、ホント、そうしていれば。いや、今ならきつとちゃんと聞く。君の声を聞くことが今は目標です。

原点回帰、細かくまだまだあります…

TVはあまり見ないと行ってた。

あれはもし大学に受かったら1人暮らしになるけどそのときはビデオとTVはちゃんとしたのがいいの、テレビデオでいいのか迷っていると話した時のことだ、多分神社ではなく、歩きながら、2人で自転車を牽きながらしゃべっていた時だと思う。君はTVなんて無くてかまわない、特に見ないといった。

僕と逆だなと思った。1人である時僕は本を読んだり映画やTVをよく見る。君はもし当時と同じ行動を好むならやはり自分だけの場所を捜し歩いて時間をつぶすのだろうか？最近自転車であちこち移動するのですが、この会話をした道を発見した。思わず「そうそこだ！」と呟つぶやいてしまった。

メトロノームを眺めているのが好きと言っていたよね。他の女の子に眺めている所見られて変に思われてしまったなんて照れながら僕に話した、ちょっととした自虐ネタなだけで僕もそういう話時々するから、なんだか安心した。1人座って窓の外を見ている君の姿を思い出します。

いつも横顔を見ながら演奏できて幸せだった。君はいつも余裕た

つぷりに演奏した、僕はいつも能力限界な感じだった。楽譜初見では僕はまったく演奏できない、大きなハンデだった。普通は出来るみたいだけど。楽譜にトロンボーンのスライドポジションを一音一音書き込んで音を覚えてなんとか演奏できた。いつも楽譜を間近において凝視しないと演奏できない。放課後、2人きりで練習そつちのけで話ができうれしかった。話す時間を確保するため必死に練習した。あれは何時だったか、周囲はもう真つ暗だった。2階か3階の教室でトロンボーンのスライド用の水スプレーをふざけて僕にかけたね、あの時無愛想にしたけど。ホントはうれしかった。けど、周りに人が何人かいて、いつもみたいにじやれる事ができなかった。普段と逆の構図、時々君は人目も気にせず急接近する。特に理由があったのかなかったのか…、でも、あのなんとも言えない感覚は楽しいとかいうのを通りこした感覚だった。あの見たくて見たくてたまらない満面の笑みを予想外の所で見れたのだ。なんとも形容しがたい感覚で、電気がはしかった。

放課後、それ以外にも2人きりでよく話した。人目もあるから、神社の時と違いちよつと距離を置く。ちよつど机1つ分くらい距離をおいて話をしていた。どーでもいい事を話したんだと思う、話した内容を思い出せない。けど楽しかったのを覚えている。君は椅子にちよこんと座り片手にトロンボーンを縦に立てて持ちながら、こつちを見つめていてくれた。僕は時には座り時には立ちながらいろいろな話をしたんだと思う。おそらく、現在の僕と同じように雑学や時事ネタなどが話題の中心だったのではないかと推察する。次の話題なんかもそんな時に君に話したような気がする…。

「ちびまる子ちゃん」のまる子の声をやってる人が、「ナウシカ」と「ラピュタ」にも出ている。エンドクレジットで目立つから気づいた人も多いと思う。ちよつと調べれば今なら分かるが、ネットのない当時は難しかった、だからどこに出演してるかというマメ知識はけつこつ使えた。けど、アニメに興味のない人にやるとうけるどころか逆効果。君は興味を持ってくれていた、ちよつと嬉しかった。

楽しかった。

和音について話す君を尊敬した。うら覚えでごめんアルペジオでいいんだっけ？ピアノが正確なアルペジオをできないと初めてきいた。僕は親戚がいらさないからとくれた機械を部室にもちこんだ。習字セットくらいの大きさで、鍵盤とメトロノームの他、使い方のわからないボタンやスライドさせるつまみが沢山ついていて、メトロノームに使えるかと思いついた。訊かずに勝手に使った。メトロノームを理解し、などのスイッチを操作し楽しみだした。

「きれいな和音が作れるの」とか言った様に記憶している。

音はそれぞれ固有の振動数があつて3音同時にだす和音はどうしても音の周波数が干渉してきれいな音にならない。3音をそれぞれ簿妙に調節して干渉しない和音を作り出す。それはそんな機能をもった機械だった。と、記憶してるけどこれであつてるかいまいち自信がない。君は喜んでよく操作していた。尊敬した。あの機械確か君に最終的にはあげたような気がする、あれはたぶんいろいろその後にも役に立っただんじやないだろうか？

ある課題曲の一部分、トランペット1st、2nd+トロンボーン1st、2ndの4人で音をあわせる部分があつた。4人中僕だけができなかった。昼休み猛特訓をしてできるようになつたら、君はほめてくれた。うれしかった。あのパート今でも吹けます。

「唇が厚くなっちゃう」

トロンボーンはマウスピースで演奏する、君は気にしていた。僕は何て言ったらわからず。

「そう？」

としか言えなかった。

君は恥ずかしそうに、探るような目で僕を見た。あいかわらずかわいかった。

マウスピース…5千円近くする代物でと当時の僕感覚ではそんな高価な物の交換という概念が思いつかなかつたけど、あれ、最後

にお互い交換してればいい記念になったと思う。たぶん当時の僕が当時の君にその話をしたら君は応じてくれたような気がする。楽器がなければ使い道のない物なんだし、何で思いつかなかったんだろう。

そして、今考えると不思議だ、なぜ君はもつと上級者風を吹かさなかったのだろう、楽器は君の方がうまいのに、普通上級者は下級者にアドバイスをしたがるものだ。ぼくならそうする、君はしなかった。いつも控えめで、遠慮がちで、謙虚だった。だから、パートで練習してもその練習が上手くいったのかどうか僕の実力ではよくわからなかった。君がなにも言わないから、まあ大丈夫なんだろうと思っていた。そんな控えめな性格がかわいかった。練習中の印象的な記憶は、あのチューナーを渡すときだ。

楽器はあたたまると微妙に音がズレる。時々チューニングしないと。先輩が居なくなつた段階で、チューナーは僕が持っていた。時々君にわたす。ドキドキした。

時には僕がチューナーわかざして君が音を合わせるなんて光景もあった。

「持ってた」

と君が言った。かわいかった。チューナーを君にかざす僕、僕を持つチューナーに楽器をかざして音を合わせる君、ささやかな共同作業。写真にしたら絵になる光景だと思う。当時は今ほどカメラが日常のアイテムになってなかったから、君との思い出をカメラに残そうとか思わなかった。けど、記憶の中にある心に残った光景は、まだまだ消えません。

はじめてもらった手紙、ワイシャツの形に織ってあってびっくりした。返事を渡すとき、僕は君の手紙の織り方を分析してそっくり同じに織った。軽く引いてた君を覚えてる、こりやまずいと思い、次の手紙はちゃんとしたレターセットを使った。好みに合ったらしくびっくりしてたけど喜んでくれた、少なくとも前回のよりは。君

は飾り気がないようで実は細かいところにセンスを発揮していた。手紙はシャープペン書きなのに、署名はかわいくローマ字で変則デザイン字体にしていた。ちぐはぐな丁寧さがなんだか愛らしく感じた。最初僕は彼女の家へ手紙を出すとき、当然ながら差出人として自分の名前と住所を書いた。君は後日、意外な反応をした。書いてほしくなかったというのだ。普通は書いてない方が不信がられて嫌がられると思っていたけど女の子に手紙を出す時はそんなもんなのか？と思った。大学時代におかしいと指摘されるまで長年の間ずっとそう思っていた。こんな事書いているとこんな想像をする。ある日現在の君から手紙が来たとしても、きつと便箋こそかわいものの差出人欄は未記名の便箋で来るに違いない…、なんて事勝手に思ってます。

雑学を話すなかで、中指をたてるしぐさの本来の言われを説明したとき「そのしぐさ1度あたしにやったでしょ」と赤くなった、それを見てこっちが恥ずかしくなった。当時ぼくはそのしぐさを本来の意味とは違いもっと砕けた日常表現“怒るよ”ぐらいの感覚で使っていた。でも異性に使うと仲が良くとも意味合いが変わってくる事に気づかなかった、子供ならではの勘違い。今思うと、ものすごいことしたなと思う。

本来の意味を知った君はそういう意味で私につかつたの？と僕にいった、いや違うよと否定する僕、いや、むしろ否定しなかった方が面白かったかもしれない。あの時の君のドギマギしたりアクションはずっと見ていたい種類のものだった。そうだよと言っていれどもっとずっと長い時間かわいい君を見る事ができたはずだ。

僕は足の裏が弱点だ、くすぐられると呼吸が出来なくなるほど笑い続ける。君も同じかなと思いやった事がある、なのに君は大丈夫だった。いくらくすぐってもなんともない、信じられなかった。「なんともないの？くすぐったくない？」

と訊くと。なんでそんな事驚いてるのという不思議そうな顔をされた。

ある日言った。

「暗がりが好きじゃなわけじゃないよ、夜光虫じゃないんだし」

膝枕、1度だけした事がある。覚えてるかな…、君が夏服を着ていた時。普通とは逆に僕が君の頭を膝に乗せた。逆もすればよかったと後悔してる。夏服もかわいかった。白いリボンのないセーラー服。

普段君は必要以上に自分の感情を制御していた。もともとそういう性格で無理をしていた訳でなく、そうするのが普通という感覚だっつてと思う。僕も似たところがあるから共感した。君も僕に同じ事を感じたんじゃないだろうか？そう思う出来事がいくつかあった。

「夢がなくなったね」

といわれた日、ぼくはあえて自分を抑制した。

「僕には他にも夢がある、漫画家になることだ完全になかったわけじゃない」

いまいちうまく伝わらなかったみたいで、君は不満顔になった。

「君も大切だけど、それとは別の所にもう一つ夢があるんだ」

素直に喜べばいいものをあえてもう一つハードルの高い障害を持ち出す事で嬉しい気持ちを抑圧しようとする僕。そんな僕の感情の抑制に気づいたのか気がつかないのか君は笑った。自分が僕の憧れの対象に違いなく、夢がなくなった事実を素直に飲み込めない僕を判ってくれたのだろうか？

僕は必要以上に自分の感情を制御していた。

別の日、密会の後などでよく聞かされた

「あの時実は…」と君は言い、嬉しかったけど本当はこうして欲しかったと笑う。だったらその時言えればいいのに言わない性格だった。

君も同じように必要以上に自分の感情を制御していた。似ていたと思う、そこが心地よかった。

一時期ホントに偶然登校時間一緒になった、君は嫌がった。今は理由がよくわかる。学校までの坂道、一緒に登っていると、

「先に行つて」

と、懇願した。僕はムツとした、そんなに一緒にいると子見られたくないのかと思った。なのに放課後はうって変わって一緒にいられた。混乱した。今はわかる、ごめんにごぶくて。

一緒に坂を何度が上った、見た来ないこわもての男が君に挨拶する。知り合い？と訊くと君は気まずそうにそうだと答えた。そのうち君は時間をずらすようになる。そして僕は、君を待ち伏せする男だという噂がたてられた…。知らない事とはいえ迷惑かけてごめん、でも朝一緒に登校できて嬉しかった。

神社で2人座っているとき、何気なく僕は君の耳の裏辺りに息を吹きかけた。君は耳の裏が弱点だった、というか普通みなそうらしいけど。君は怒って僕にやり返した。けどいくら僕の耳に息を吹きかけても僕はなんとも無かった。

「なんともないの？」と驚いていた。

そう、じつはなんともないのだ。昔からそうだった。

「もうやらないですよ」と君は言った。

面白かったから、あと1回だけやって、その後はもう2度とやらなかった。困った顔を見たかったのだ。いつも振り回されると本気で思っていたから…

時々極稀に僕は君を名前の1字+「ちゃん」で呼んだ。覚えてないかも…。普段は恥ずかしくて絶対そんな呼び方はできない。

君は時々僕の反応をうかがっていた、気にされてるよううて照れたしうれしかった。

詳しくはかかないが、ある日の放課後、前日の件で

「誰かに見られたらどうしようと思ったのよ」と君は言った。

「いるわけないじゃん、誰がいるっていうのさ」と僕はいった。

当時のぼくは誰かに見張られてるなんて思いもしなかった。

ウエハースをくれた事があった。神社で待たせてしまったからと。集会所から持ってきたのかな、と今は思う。普通に胸ポケットに入れて持ってきたよね、まるでその辺にあるテーブルの上にあったお菓子をちよつとくすねてきましたみたいな感じだった。当時の僕ですら不自然に思った。ごめんもしかしたらあれも君なりのヒントだったのかな…ウエハースを食べる僕を君は見つめていた。じつとこちらを見ている、なんだか嬉しいんだか恥ずかしいんだか味わった事ない感情に襲われたけど、決して悪い気分じゃなかった。

「いじわる」と時々君は言った、口癖だった。いわれるとなんだかもうどうにでもされてもかまわない気分になった。感情の均衡が崩れた瞬間、君は言う。そういえば同じ均衡が崩れた時こんな風にも言った。

「私としては…が恥ずかしかったの」

いつまでも気がつかない僕に君は言う、僕はそんな君を愛でる。そんな日々が続いたと思う。

ある日部活中に何かの理由で指を切った。困っていたら君はバンソーコーをくれた。女の子らしいやつ、付けていると皆こつちを見る。なんだかうれしかった。

パーカッションの楽器で筒状の木で出来た楽器、名前は忘れた。ちくわのような形状で両端に穴があり中でつながってる、大きさは150円で売ってるペットボトルくらい。穴の一方をハンマーで叩きなかの空気を急速に圧縮させ「カン！」というでかい音をたてる。ある日後輩の一人が僕に向けてこれを使った。偶然なのか意図的なのか、ともかく筒から発射された圧縮された空気は僕の耳の穴を直撃、幸い鼓膜は無事だったけど立っていられないほどの衝撃でしばらく座り込む。ちょうど君とあと一人と3人で音楽室を出ようとしていた所だった。君は気がつくと思わず駆け寄ってくれていた。耳は痛かったけど君が駆け寄ってくれた事は今でも覚えているし嬉しかったけど、それどころじゃなくて、君に駆け寄ってくれてありがとうと伝えられてなかった事がくやしいです。

君は緑色のママチャリに乗っていた。当時、ついつい君の姿を探してこの緑のママチャリをよく探した。似た自転車ばかりだけど君は小柄だからいけばすぐわかった。

3年の時、教室に呼びに来てくれたことがあった。吹奏楽部員が集まるから来るようにと、君は大胆にも他クラスの教室にツカツカと入ってきて僕に話しかけた。クラス中の注目を浴びる、僕ら2人だけがそ知らぬ顔でポーカークーフェイス。

「わかった、じゃあ行くよ」と答え、少し遅れて君の後を追う。クラスの男子が僕に訊く。

「あれ誰？」

彼らも“彼ら”だったのだろうか？だとしたら君は相当勇気を持って教室に入ってきた事になる、カッコイイと今の僕は思う。そんな事もあった。

高校の文集、なくしてしまっただけで印象的な記憶が残っている。

2年の時同じクラスで3年への進級を控えて文集をクラス単位で作

った。ページを捲ると1人1文載せるページ、不自然に僕と君の名前が並んでた。ちよつとうれしかった。2年の時は同じクラスメートだった。神社での密会は3年になってからだけど、同じ部活の仲間として仲良くしている様子は周囲から特異に見えたのかもしれない。誰か意図的にそうしたのは明白で、君は怪訝そうにした。今の僕はこう思う。あれはプレッシャーを与えたくてやったんで無く、好意的にだれかやったんだと思う。東京で体験がそう僕に思わせる。小説の第1話を載せた後に起こった猛攻撃の中、次第に空気が軽くなるのを感じた。敵意むき出しなのは年配者ばかりで、それ以外はそうでもない。浴衣をきた女の子2人組みがはしゃぎながら目の前を通り過ぎる。祭りもないのに。1度や2度ではない。偶然かもしれないけど。上の人にはプレッシャーを与えるつもりと説明して、その実そうでもないつもりで行動していたのかもしれない。というか、そう感じた。あの文集で2人並んで載ってたのも、必ずしも悪意でないと思う。皆、出来る範囲で、精一杯の親切心を出しているんだと僕は思う。悪の組織なんてこの世に無いんです。ちよつとバランスが崩れているだけで。僕はそう思う。最近ゾウが人を襲うそうです、なんでも密猟者に目の前で親を殺された子ゾウが70年代たくさんいて、その時の記憶から人間を憎んでいるそうです。ゾウは記憶力が特徴の動物で何世代も記憶を受け継いでいく動物なんだそうです。けど、本来は温和な性格で、人間にもいい人がいる事を学ぶと襲わなくなるそうです。何が言いたいかというと、最初から敵意だけ持っているとなんでも脅威に見えるんじゃないかと、そう言いたかったんです。きっと中にはいい人もいる、悪の組織なんてないんです。

文集の件で思い出した記憶がある。文集が配られた時、前の授業がおそらく体育で男女別々だった。男子だけ先に教室にいてその時点で文集が配られたと記憶している。僕が2人の名前が並んでいるのを見てほのぼのしていると男子が一人ぼくの前にものすごい形相

でやってきて睨み付けて来た。尋常でない顔をしているがすぐにピンときた。彼が君の事すきな事を薄々僕は知っていた、手を出すなとでも言いたかったに違いない。そして彼とは小学校時代からの因縁もあった。すつといじめられていた、そんな相手だけどひるまなかつた。不思議とそれは無理なくひるまなかつた。相手は言葉を失い何も言えずに立ち去った。勝ったとか負けたとかではない、君の事彼よりも僕の方が何十倍も知ってるわけで、理解している自信があった。ひるむ理由がなかった。

神社で暗がりの中、ゆっくり近づいてきて開口一番「いないかと思つた」と君は言った。「いない訳ないでしょ」と僕は言った。近づいてくる君、徐々に表情が読み取れるようになる。いつものあの笑顔だった。控えめで、はにかんでいて。それを確認してほつとした、いつまたもう会うのやめようと言われるのかとヒヤヒヤしていたからだ。

いつものように来て、君は僕の隣に座る。変な空気になるなんて事は1度もなかった。ごく自然にごく当選に打ち解けあつた。以前と違い、キスしていい？と訊くと君はうんと答えてくれるようになっていた。鼻と鼻がくつつくほど顔を近づける、君ははずかしいと言つた。口癖だった。ものすごくかわいかつた。あの笑顔はよそでは見せない当時僕だけのものだった。

今思うと待つあいだ僕は一人暗がりです社社の階段にすわりどう時間をつぶしていたのか思ひだせない。思い出せないということとは、たぶん辛くなかつたし、ワクワクしていたからだろう。2人だけの秘密を共有できる楽しみなんて今思い返しても身震いするほど楽しくなる。君は1度もすつぽかした事はなかつた。

あの無限とも思える時間のなか、ほんの10分か20分のもつもりが1時間経つていたなんて事もあつた。ものすごい集中力というか、共感していたんだなと思う。ただ寄り添つて座っているだけでも楽しかつた。あの時のあの笑顔は本当に特別な笑顔だった。誰にも渡

したくなかった。

「ありがとう」といわれると幸せだった。ある日君は制服の上に青いパーカーを羽織っていた、君が校舎1階の廊下、僕はそのすぐ外、窓越しに会って話した時ばかりは「似合ってるね、かわいい」と言った、そして君は暗がりでも照れながらそう言った。夕刻で暗かったから顔が赤かったかまではわからなかった。

あれは、部活の練習が遅くなり校舎の施設せしやうを部員皆でやっていたときの事じゃないだろうか、人気がなく真まつ暗なところで偶然あったからなんだかうれしかった。

2年の時、後輩に女子2人が入ってきた。1人が自分と同じ名前という事で君は動揺していた。理屈にあわない不合理なことを皆で一斉にぶつけるのが彼らの技術の真骨頂だ、君は不安がった、自分と同じ名前で漢字まで同じ後輩に。この2人はすぐ辞めてしまい、不安は消え、僕らは2人の時間を取り戻せた。そういえばこの2人、不自然な退部理由を挙げていた、よそで音楽を続けると。取り繕った話に見えるけど気にしない事にしよう。

3年の時、部活を引退した後の事、後輩の男子が自分が使っていた楽器を使っていることに君は動揺した。あいつも“彼ら”だったのだろうか？

手描きのクリスマスカードを送った事がある、サンタとトナカイを描いたと思う。たしか手渡して渡したはず。渡した瞬間、神社でクリスマスカードっていうのもマズイかなと変な懸念をしたのを覚えてる。君は宝物を貰う様に受け取ってくれた。僕としてはたいして材料費がかかった訳でもないし、描こうと思えば1時間で描ける絵だから、そんなにまじまじ恭しくされるとこっちは恐縮するなと思った。君が夏にくれた写真の入った額の方が遥かに高額なプレゼントだった。

たからだ。金がない分気持ちを込めるしかなかった。そんなに喜んでくれるとは思わなかった。

クリスマスを祝った事がないって言うてたよね、信じられなかった。

あのキーホルダーまだ持つてるのかな？ほしいといってくれた時うれしかった。「宇宙家族カールビンソン」の名物キャラクターのキーホルダーで金色で結構でかいし、目立つ。デザインが気に入って買ったけど使い道がないなと思っていたとき思いついた。自分の使ってる楽器ケースにつければ判別に役立つと。君はそれを見て「私それ知ってる、かわいい」などと言ったような記憶がある。こんな漫画の存在を君が知ってるなんて意外だった。今でももってるのかな？そうであつたら感涙する。キーホルダーで思い出した。あの名物キャラクターは目に特徴があつたの覚えてる？学園祭の時の事、僕らは吹奏楽部に一員としてステージに上がつていた。演奏中演出として上から紙吹雪や風船が降っていく。僕は前日風船を準備するときちよつとしたいはずら書きをしておいた。縦に丸い風船にある特徴的な目を書くときーホルダーのキャラクターそっくりになる。白い風船を選んで描いた、より似せるために。

当日この風船は偶然にも君のところへ降つて来た。おそらく上で降らしている後輩が僕めがけてやったつもりが隣の君の所に行つてしまったんだらう、君はそれを拾つてこう言う。

「見てこれ」と。

「それ僕が描いたんだよ」と僕。

君はすこし驚いてそれから

「もらつていい？」と訊いた。

もともと僕の物でないし、使い終わつたら用の無い風船。

「いいんじゃない」といった。

君は恭しくその風船を手に取りみつめた。そんなものどこがいいんだと思つたけど、一方でそんなものでも喜ぶ君がものすごく愛ら

しかつた。けど残念なことに風船は割れてしまった。

おそらく油性インクで目を描いたから表面のゴムが溶けて弱くなっていたんだと思う。ステージ上で割れてしまい、君はもちろんまわりもびっくりした。また描こうかとか言った気がする、君はいいと断った気がする。

僕が持っていたトロンボーン教本もほしって言ってもっていったんだっけ？あのいたずら書きしてあるやつ。なんであんな物欲しがるのか不思議だった。楽器の腕前は明らかに君の方が上だからだ。今更教本なんてと思った。今思うと、最後の思い出の品を集めていたのだろうか？君は事あるたびにこれが最期、これが最期と繰り返し返していた。自分の運命を知っていたんだだろうか。

君は時々押し黙った、いまは僕が押し黙っている。家族にも全てを説明できない。こんな気持ちだったんだね。

あれは、初めてのデートの後、君が僕を受け入れてくれる前の出来事、手紙や電話で必死にアピールしていた時期の事。ぼくは夕刻君の家へ電話した、今考えるとよく出来たもんだと思う。付き合ってるわけでもないのに……、けど君は毎回ちゃんと出てくれた。印象的な記憶は、ある日電話するとやはり、ちゃんと出てくれた。夕食の後片付けを手伝って洗い物をしていたと言った、食器洗剤が手の残ったまま受話器をもつてると照れながらうれしそうにした君がかわいかった。僕はタイミンクの悪い時かけたと思い、
「あ、じゃあ悪いから切るよ」と言った。すると君は
「ううん、いいの」と言った。

電話の向こうでいつものものはにかなだ笑顔をしているのが分かる声だった。

時はすぎ神社で会うようになったときにも、電話で覚えている事

がある。あの時は君からかけてきてくれた。社で別れて自宅についてすぐ君から電話がきたのがうれしかった。あれは季節が夏になるうとしているあたりの出来事だったと思う。当時はケータイが普及してなかったけど、幸い家の固定電話には子機がついていた、当時電話機を新しくしたばかりだったからだ。だから、自分のへやで周りを気にすることなく電話にできた。「君のことかんがえてた」と言ったら「私も」と言ってくれたときは感動した。その日は社で特別親密にした日だった。途中で君はポケベルに呼び出されて行ってしまった、だから悲しかったけど一気に幸せな気持ちになれた。

「くん」と言われるのが幸せだった。

さらに付け加えると「くんのいじわる」と言われると幸せを通り越して言い表せない感覚におちいる。気づいてないでしょ？意外な事できみはこの言葉を言う、まるで不意に宝箱を見つけたような気分になる。けど何回もやると間違いなく本気で怒るからせいぜいあと1回くらいにしとこうなんて思った。

体力測定で僕より背筋力があるのに驚いた。僕が軽くひいていたのを見て困っていたね。かわいかった。

学校でやった長距走、男子10キロ女子5キロだったと思う。何日も前から体育の授業を使って本番前の練習をした。君は本番当日はなにか理由をつけて走らなかつたと記憶している。でも練習には参加していた。練習中、1人歩いている君をみつけて挨拶した。君は困っていた、公の場であまりそうしてほしくなさそうだった。その日だったか、後で会いさつき声をかけた件について君から話題をふった。うれしかったけど困ったと言った態度だったのを覚えていいる。てつきりあんな事やめてと言われると思っていたからよく覚えていいる。

いつだったか、部活で窓を乗り越えなきゃいけない事があった。そうしないと教室に戻れない。4人で2階の窓の外にある70センチくらいある縁にたつて音を合わせる練習をした時だ。1人戻り、2人目が君だった、詳しく書かない。覚えてるかな？あの時ぼくはドキドキした。そしてその時の事を2人で話した時2人して真っ赤になった。

これは今の僕が今の君に言う事なんだけど、連絡ください、というのには難しいのかもしれない。なら何ランクか下げて、僕の事を想って下さいと書くのはダメだろうか？もし、まだ僕が東京に残っていたならいろいろ方法もあったらうけど……。君が沈黙するのはなにか難しい理由があるんでしょうね、心の整理の問題なのか、それ意外の……。それでも、想ってくださいっているのは、いいよね？

君はよく着替えた。私服を持ち歩いていて、なぜ着替えるのかいつも不思議だった。あれは尾行対策だったのだろうか……、

私服、今思うと結構普通というか、派手でないというか、地味とまでは行かないまでも、普通だった。けどもともとかかわいから妙に似合っていた。部屋着でも通用する服でも着る人が違くと違うもんだなと今の僕は回想する。当時の僕はといえばただ圧倒されていた。小学校の時女子がよくやっていた服を着たまま着替えるやつを君はやっていた。そんなに離れてない距離で、信用されると感じた。制服のスカートに上だけ私服の時もあれば、今はなんていうのか知らないけど当時はキュロットスカートと呼んだ、あのスカートっぽいズボン、あれを好んで穿^はいてた。

こんな事書いていたらまた思い出した。神社でだったか、君はぼくの反応を伺うようにして話した。

「夜、外を歩いていたら車に乗った人に声かけられたのよ」と。ナンパされたとは言わないがそんなニュアンスを匂わす。そ

して続けてこう言っ。

「その時Tシャツに短パンですごくいい格好してたの」

と、なぜそんな格好で外に出ていたのかも聞いたはずだ、僕に関わる事だったと記憶している。電話をするため公衆電話をかけに外にでたと言った気がする。なぜなら、何で家でかけなかったの？と訊いて、家族に聞かれたくなかったと答えられたのを覚えているからだ。そして、笑顔で僕を見る君。

「大丈夫だった？」僕はきいた。

「大丈夫」と君は答えた。いつものはにかんだ笑顔で若干俯きながら。

似たような事はいくつかあった。静岡県で国体が開かれた時、幸か不幸か僕らは高校2年生で、開会式に駆り出された。静岡中の高校から吹奏楽部が駆り出され競技場のスタンド1/5が埋め尽くされた感じ、授業を休んでの強制参加な上、特段なんの得点もない。実にやる気のない演奏だった。

君は僕と離れた場所に座る事になった。学校ごとではなくパートごとに席が割り振られたからだ。普通なら、君が1st僕が2ndなのに今回は逆だった。譲ってくれたように記憶している。1stと2ndはかなり離れた位置になり、練習の合間の雑談すら出来なかった。なにか理由をつけて合に行こうと思いつき、チューナーを手に会いに行った。そろそろ楽器が暖まってチューニングし直す頃だと思った。君をみつけて駆け寄る。君は隣に座る他校の3年男子に軽くナンパされていた。

数時間後、学校に戻ってから君はあの時言い寄られていた事を僕に話す。いじらしい笑顔で。

「来てくれたでしょ、あの時もすぐ卒業だねとかいわれていたの」と君は言ったように記憶している。

「君の事3年とまちがえたんだ」と僕

「そうみたい」と君。

他にも僕が来るまでいろいろ言われていて来てくれてよかったと言ったように記憶している、少し違うかもしれないけどだいたいこんな感じの会話だった。そしてどきまぎする僕の様子を見て君は楽しんでた。意味は理解してなかったけど君の好意的なまなざしだけは理解できたからなんだかうれしかった。大丈夫だったと訊く僕に、やはりいつもののはにかんだ笑顔で大丈夫と君が言ったような記憶がある。

あれは何時の出来事だったか、やはりあのときも神社での長い楽しい時間をすごし、別れを惜しんで少し歩いていたときの事、辺りは真つ暗。君は私服に着替えていて僕は学生服だった。しばらく話しながら歩き少し大きな通りに入る。そこで自転車に乗った後輩が1人通りすぎた。君はものすごい形相で、

「ね、明日あつたら口止めしてよ、絶対よ！」と言った。あんなに必死に懇願する君は見た事なかった。

君は絶対どこに住んでるのか言わなかった。自宅周辺を僕にうつつかれたら発見されてしまうからだ、2人の事が。君の住んでいた場所を知った今、なんだか不思議なデジャビュに陥っている。君の住んでたあの団地、1度だけ目の前まで来た気がする。気のせいだろうか、それも君と2人で、当時君はあの団地に住んでは言わなかった。ここで別れましようとか言つて別れた。団地の前で。

あの団地と現在の僕が見つけた当時の君が住んでいた団地が同じものか思い出せない。なぜ、覚えているかというと、ここで別れるという事はこの辺に家があるんだ、と漠然と思ったからだ。彼女はそううち話してくれる、その時を待とう、そう思ったと記憶している。ああ、また思いだした。僕が君を自分の家に招いたのも今度は君の家を教えてねという暗黙のアピールだったなと思い出した。

僕の家で君は言った。

「家の人帰ってこないの？」

「大丈夫じゃない？」と僕は言った。

「帰ってきたらどーすんおよー」と君は言った。学校では絶対見せないかわい姿。

君は髪を直して帰っていった。

翌日僕はあの後15分もせず家の人間が帰ってきたことを話した。

「あぶなかったじゃない、帰ってきてたらどーすんのよ」と怒った、笑顔で。

「どーしようか」と僕は言った。

「どーしよーかじゃないでしょ！」と君はさらにテンションを上げて怒った、笑顔で。

照れと怒りと興奮となんだかわからない感情が2人を支配した。けど、そんなに嫌な感覚ではなかった。同じ感情を共有できて幸せだった。

秋ぐらいの事だと思う、この時期僕は弱音をよく話したと思う。

受験を控えた上君との関係をどうすればいいのかも判らず随分ネガティブになっていた。大概うんうんと聞いてくれるけど、時々怒っていた君を思い出す。こんな事思い出した。

僕は英語が苦手だと話した、けど私立受験の選択科目どうしても英語ははずせない、最大の障害だった。だいたい単語が苦手だった、文法は暗記できるが単語が苦手だから長文読解が苦手なのだ。そんな事言った気がする。すると君はこんな話をした、知り合いの話。その人は単語を覚えるのに辞書を使う、覚えたページは捨ててしまふ、そうすれば忘れなくなる。そんな話だった。

「それ無茶だよ」とか言っただきがする。

君は笑って僕を見た。愛であるような目でみてくれた。不思議だった、そんな事もできないのと言われると思ったけど君は言わなかった。今思うと、君は僕が想像していたものとは違うものを僕に求めてい

たんだなと思う、そしてそれは今もかわらないのではないだろうか…。

1度だけ僕は全速力で追いかけた事がある。君は行ってしまった、あの緑色の自転車に乗って。ポケベルに呼び出されて、せつかくの2人だけの時間を中断して行ってしまった君を気づかれぬように、自転車の性能は僕の方がスポーツ車だから速い、撒かれる事はないと思った。だからかなり間を置いてから追いかけた、君は駅の北口に向かっていた。ばれないように追いかけるのは意外に難しい。北口周辺で見失ってしまった。いや、たぶんこれ以上追跡して君の人格を侵害するような事がしなくなかった、いや、真実を知る勇気がなかったんだと思う。誰か男と会っていると思っ込んでいた…。そして現在、追いかけなかつた事を恥じています。

最近長い夜を過ごす、君はどうだろう。

「欲求不満になっちゃうよ」

あれは最後の密会、2人きりと思っていたあの日。君はそう言って僕を止めた。言葉としては意味がわからない。あれからある程度経験をつんだ今、あの言葉を解釈するところという事なのだろうか、君はこの日より数日前、この言葉を使って非難された。だから、その時の記憶から、僕をいさめる言葉としてこれを使った？そう思う理由はふだんの君が使わない言葉だったからだ。君の言葉使いはよく覚えている、ごく最近君の自宅に電話した後かけてきた二セモノも君とは違う言葉を使った。君なら「わかんない」というべきところを「忘れた」と言うのだ。

新入生が見学に来たとき僕は猛烈な違和感に遭遇した。どうしても演奏に集中できない、理由は後ろにいる新入生の目線のせいだっ

た。後ろにいて見えないんだからありえないと当時は思った、気のせいだと。君のその事を言うのと急に黙って何も答えなくなる。そんなこともあった。人間は“気配”を感じる能力があり、科学的にも証明されている。当時は知らなかった。人間の神経がどうやって電気信号を出しているのか僕は放送大学の番組を見て知った。“脱分極”^{きよく}という現象を利用して有機物で出来ている神経の中に電気信号を送る。人間はこうして形成された電気信号によって発せられた簿弱な電波を発信していると考えればいいらしい。個人個人微妙に周波数が違うから、異なる発信源同士が近づけば五官の認知外にいてもその存在が感じられるという事らしい。1部僕の推測も入っているから、人に話すときは調べて裏をとって欲しいけどだいたいこんな感じらしい。

そういえば学校の廊下で、ものすごい遠くにいる君をじっと見ていたら君が気がついて振り向くなんて事もあった。楽しかった。

さすがにこの距離では無理だろうけど、電波をおくります。

「紅の豚」を見返していて、ある記憶にぶつかった。確信の持てない記憶。ホテルの女オーナーは賭けをしていると劇中で語る、昼間豚が自分を訪ねてくるようなら、今度こそ彼を愛そうと決めている。結局豚は夜にしか来ないのだけど、あのシーンについて君がこう言ったような記憶がある。

「私も賭けをしているの」

記憶ちがいかな…

「何を？」と聞いても答えられなかった記憶が残っている、追求しようと思っても人ごみのなか歩きながらの会話で、ごまかされたように覚えている。もし、記憶の通りだとしたらこの賭け君は勝った事になる。気づくか気づかないか賭けていたとしたらだけ。

多少記憶の時系列や詳細があやふやな部分も出てきました、記憶のなかで僕の間違いを修正できるのはこの世に君だけです。ここは

違う、ここも違う、でもここは合ってる、こんな事覚えてるんだと
そう思っているのだろうか？

僕はある日学校で熱を出して早退したことがあった、テスト期間
中で、部活もないから君は知らないと思う。保健室の先生が気を利
かしてくれてタクシーを呼んでくれた。タクシーに乗ってしばらく
すると、

「あれ友達？」と運転手の人がぼくに訊く。

振り返ると見た事もない男子たちが集団で騒いでいる、まるで裏を
かかれたなんてこったといった様子。どう反応したらいいのかわか
らず笑うしかできなかった。僕も監視対象だったのだろう、当時か
ら。

いつまで監視されていたのだろうか？君が結婚するまでなんての
は考えすぎなんだろうか…。

2年ほど前、帰省した時。8歳の甥おいとあちこち出歩いたら周囲の
人皆からじろじろ見られたのを覚えている。ま、気のせいって事に
しとこうと思う。

この気のせいって事にしておくというので思い出した、問題解決
に固執せず頭を切り替えようという意味で17年前の僕も似た様な
事を言っていた。

それは何かで意見の食い違いがあった時の事、学校でささいな食
い違いがあり、当時の僕としてはささいと感じたが、君は重要視し
た。今は判る、何より理解されない事を君は嫌がるという事を。当
時はわからなかった。神社で合い、先ほど件について話し合おうと
する君、それはとりあえず置いといて貴重な時間を大切に使用した
僕。僕は両手で荷物を右から左に移す動作をして

「とりあえずそれはこっちに置いといて」とやった。

君はそうじゃないの！とか言つて、僕の動作を真似て左から右に
者を戻す動作をした。いいじゃないとぼくは君と逆の動作をする。
また君がやりかえす、そんなやりとりを何度かやった。今のぼくな

ら、君の言葉をちゃんと聞く。

ここまで来て思い出した。第1話でショートカットにした君を間近かで見たのは卒業式でと書いたが、そうでない。あの思い出の神社で会っている。あの最後の神社を変えての密会ののち、君は僕を呼び出した。いつもと違い、僕との間にかばんを置き近寄らせないようにする。僕は家族に怪しまれないようにマラソンに行くといって家を出たので、ちよつと人前で見せられない様な変な格好をしていた。相手が君だからいいかと思った。

「そんな格好で来るとはおもわなかった」と君は言った。普段そんな事いわないのに…

誰か周囲に監視の目があったのだろうか、いやあったんだと思う。呼び出されて訊かされたのは別れ話だった。しかし相変わらず話下手で要領を得ない。中地半端に終わったのを覚えている。印象的に覚えているのは、君がうつむくと横髪が垂れ下がり顔を隠してしまう事だ。

「顔見られなくなかったからこの髪型にしてちよつどよかった。」とか言つたと記憶している。何がちよつどよかったのか意味がわからなかった。最後まで君ははにかんだ笑顔で、まったく別れ話の雰囲気ではなかった。それからもう会わなくなっていた、僕は待つことにした。バレンタインデーまで。そこまで待つて、何もなければもうあきらめよう…そう思った。今にして思えば浅はかだったと思う。僕がすっかりやる気ゼロになった頃、君はふたたび現れた。

今度は同じミスはしない。

彼らの暗示攻撃を当時の君もつけていたのがわかる。読者諸君は覚えているだろうか？第1話で彼女がときおり別人のように無口になると書いたことを。

書いていた当時は気がつかなかったが、なるほど今はわかる。なぜ、あんなに不安定だったのかが。あるときいた言葉がこだまする。

「どうせ私のこと、毎日遊び歩いてるとか聞いているでしょ!？」
下を向き、こちらを見ずにはきすてた。そしてこちらの戸惑いの空気を察して、君はわれに戻った。

当時、そんなうわさは聞いていない。けど周りではいろいろ彼女のうわさはあつたらしい。当時彼女は日々現在のぼくのような目にあつていたのでだろうか。今も外では大型車がうめきをあげている。3回ふかすのがポイントなのだろうか？車に限らず生活騒音の類は3回が基本のようだ。ある意味、普通の人と区別する目安に使える。当時の彼女も帰宅するとこんな目にあつていたのでだろうか。おちつかない。

彼女は社交的ではあつたが、ものすごくというより控えめだった。友達に囲まれている光景は見たこと無かった。そんな彼女が学校の生徒の顔を全て覚えているとしゃべった事がある。

「だいたいわかるよ」と言っていた。

あれは僕が人の顔ぜんぜん覚えられないんだと話した日のことだ。友達の少なそうな彼女のその発言を当時意外に感じたが今はわかる。毎日見張られていれば確かにそういう感覚におちいる。彼女がなぜ当時僕に告白しなかったのかが今はわかる。こんなつらい目に僕を合わせたくなかったにちがいない。もう十分巻き込んでしまった、これ以上巻き込むわけにはいかないと思つたのだから、僕の事をホントに気遣つていてくれたんだと。今、理解した。勇気が無いなんて書いてごめん、まだわかつてなかった。

もし17年前と同じように戦つていて、心の支えが必要な時に備

えてこれを書いていきます。想定外の事態が起きても、世の中には絶対裏切らない味方が最低1人いることを忘れないでいてくれれば、何かと色々大丈夫だと思う。いや、1人なんてことはなくもつといえる筈。

当時の君はおちつきたいから、先生や僕ですら、もとめたのだからうか？これは推測。

当時何者が彼女を不安定にしていたのか…、これは疑問。

彼女は1年の時から不安定だった。残酷な、そんな思いがする。違うと思いたいと書きたいが、現実には同じように不安定になっている。彼らの暗示攻撃はすさまじい。彼女はこれに3年以上耐えていたわけだ。見習わなくては。さん、ぼくは17年たちようやく君の思いとおなじものが共有できたと思う。今の君は僕がどこでどうしてるか知っていて、17年かけてようやく君の思いに報いる事ができ、それを伝える事ができた。それだけでも十分奇跡だと思う。

いいあらわせない感覚のなか、あの永遠の時間だけは不安の無い安らかで、安心できる唯一の場所だったのが今はよくわかる。あの時間を共有できたことを誇らしく思う。僕を選んでくれてありがとう。心からそう思う。ぼくもようやく君と同じ不毛地帯にやってきた。日本の民法は驚くほど女性に不利にできている。いったん結婚すると男性の同意が無ければ裁判をしたって離婚できない。けど、前かいたとおり、あきらめなければ、むずかしいけど、まったく不可能じゃない。極端なはなし、公の場で相手を怒らせて殴られれば、即、不可能が可能になる。暗示も効く、言うまでもないけど。彼らおなじみの暗示よりもむしろまったく意味のない腕上げとかを意味無くいつもやるとか…心を鬼にできない君にはこんなばかげた行動より、無言の訴えの方が効果あるかも。君の無言の訴えは迫力あるもの。でもやるなら回数勝負だと思う、知ってのとおり何回も連続

したほうがこういうのは効果が上がる。少しでも態度を軟化させると、それまでの苦勞がダメになつてしまう。

僕が君にされて一番きつかったのは無視されることだ。先生との事で僕がいろいろ言つていた時の君はかわいいけど怖かった。一点を物凄い迫力で凝視して完全無視、彼らのテクニクにも似たものがあるがあれとは根本的に違う。あんな感情の起伏の薄つぺらい一点凝視でなく、君のは気にせずにはいられない様な気分させられる凄みがある。特に、君を本当に好きな人間には絶大な効果があると思う。一点凝視以外でも君の無視は他の人と違って独特の印象を与える。普通の人は鼻から無視する。けど君の場合ある程度聞いてくれた上で無視する。通じたと思つたら実は違つたというのが一番きつかった。一回くらいなら耐えられるが、何回も受け入れられそうでそでないというのは、精神力を消耗させる。そして、あの独特の無視は君にしかできない特技でもあると思う。ショートカットにした時の君がそうだった。ただし、もう一度言うけど少しでも態度を軟化させると、それまでの苦勞がダメになつてしまう…。やさしさを発揮できる場所を別に確保した方が長期戦には有利だ、自分のペース、自分の世界を大切に工夫や努力が心の健康を維持する。

ある芥川賞をとつた作家が言っています、人にはあらがい難い運命がある、けど決然とした意思があれば、“なりゆき”の中を決然と生きる事が出来ると。川の流れを変える事は出来なくても、決然とした意思を持つて波を漕いでいけばどこの岸に付けるか自分の意思で決める事ができると。彼は寺の跡取りとしての運命に抗いながら作家を目指すも上手くいかず、跡を継ぎます、立派な住職となるのですが僧侶でしか書けない目線で小説をあきらめず、芥川賞をとりました。

“此れあるとき彼あり”仏教用語だそうです、解釈は人それぞれらしいのですが、自分の感じた解釈でいいと思います。西洋哲学じゃないんですから、なにかの参考になれば…。

表現されない自分はいないも同じだ、人間は衣・食・住の3つだけそろつても生きてゆけない、これに+表現力が加わってはじめて人は生きていけるといえる。衣・食・住+表現力、60年代にはない考えだけでも、無いとは言いい切れない。あの時代“皆が幸せになる”という表現力を皆が共有していた事は否定できない。テレビも洗濯機も冷蔵庫も衣・食・住には直接関係ない、これらは“+表現力”に属する事柄だ。表現されない自分は死んでも同じだ、だからネットにはブログやプロフがあふれてる。皆自分を表現したくて仕方ないのだ。ライフスタイルを磨くのだって表現の1形態だと思ふ。

今の僕が君に出来ることはこんな事くらいしかない、“表現されない自分はいないも同じ、どんな方法でもいいから表現する努力を怠つてはいけない”。こんな言葉を送るくらいしかできない。

彼らからすればそれは反則に見えるのかもしれない。けど君が間違つてないと思う人もたくさんいるはずだ。行動で示せば、間違つてないんだから、通じると信じれば、できると信じれば。

僕が地元に戻ってきたのも、そもそも君を追いかけてだ。ある方法で君が逃げたのを知った。どこまで把握されているのか…、会って確認したかった、どこまでが事実で、どこまでが間違いか。東京に残っていたら、もっと情報が入ってきたらどうか…

読者諸君のなかには、加担側、されてる側、そんなこと聞いたことも無いという人、それぞれいると思う。考えてほしい。今も外でエンジンの不自然なうなりが聴こえる。活動費が出ていることは知っている。彼女もそれでサンドイッチをおごってくれたことがある。その活動費は貴重な寄付からなっている。よく考えてほしい、貯金して将来に備えた基金を作るべきだ。もう時代は変わった、はつき

りいう、階級闘争の時代は終わった。戦う相手を失ったアメリカ軍が力を誇示しつづけてより混乱を招いている。劣化ウラン弾はもともと永遠に続く戦車砲の射程距離競争に終止符を打つためのものだった。ソ連なき今必要ない。劣化ウラン弾は使用者の身もほろぼす。幹部は選挙で選ぶべきだ。映画「ミシシッピバーニング」だっただろうかタイトルは違うかもしれないがこんなシーンがあった。：黒人をラストで襲う白人は実社会であまり評価を受けていない若者たちだった。

60年以上まえ、戦後間もないころ、だれからも手をさしのべてもらえない弱者同士が身を守るため団結した。そのうち彼らはどこからか持ち込まれた高度な心理戦技術をつかって無慈悲な社会から身を守るようになる。おそらくその出所は旧軍部あたりの人心掌握テクニクだろう。そのくらの凶器を使わないと身が守れないほど、戦後すぐの日本はひどかった。劣化ウラン弾とおなじだ。この話をきいて、もしちかくにそうだよと誇らしく組織を誇るひとがいたとしたら、考えなおしたほうがいい。それはいつか身を滅ぼす武器だから。

交通量がふえたので市が警察に交通量調査を依頼するというのはいないのだろうか？なにしろ交通事故が心配なので、とくに子供たちがきけんだ。そう思いませんか？

彼女のことを知っていて、同情してくれる人はせめて祈ってください。彼女の自由を。公に態度に現せないのはわかります。自分の身の安全も大事です。でも心の片隅で祈るぐらいの自由はまだあるはずです。お願いします。一人でも多くのひとが、彼女を気遣ってくれば、彼女も安らげます。この国に自由と安らぎを 未来の全ての子供たちのために。もはや、弱者が武器をおろす時代です。ま

わりを見てください、だれが攻めて来るんですか？時代は変わりました、だれかがおかしいと言わなければ。

「王さまははだかだ」なんです。誰かがいわないと。はずかしい思いをさせたままで、臣下としていいわけがありません。

今は変わる風が流れてる、変化の時期です、このままいったらどうにもならないのは皆わかっているはずです。国にお金はありません、プライマリーバランスという言葉をご存知でしょうか？この数値が0になると、ようやく借金の返済にめどが立つという数値です。以前は2011年に0にする計画でした。つまり2011年からようやく借金が減り始めるというわけです。ところが麻生政権の13兆円の補正予算のせいで、プライマリーバランスが0になるのは計算上2025年になってしまいました。あくまで計算上で、計画が狂えばもつとずれ込むわけで、国家破綻までまっしぐらなわけです。年配の方は覚えてますよね、大本営発表だけ信じていてもだめなことを

このままでは、だれかから奪わなければあなたたちの幸福も将来にわたって維持できません、全てを奪い尽くしたはてにどうなるんですか？奪う相手がいなくなったその先は身内同士の食い合いです。そんな将来を子供たちに残すんですか？誰かが言わないと。慈悲と寛容を 共存と繁栄を

これを読んで、あざけるひとはこの世にいないと信じます。礼儀がないと言われるならば、後でいくらでも礼をつくします。時間がないんです。

彼らは時として身内も攻撃対象にします。仮の話、もし道行く人たちから大量のプレッシャーを受けたら、対抗方法が無くは無いです。彼らについて書かれた文庫、特にその名がタイトルにでっかく書いてあるやつを持ちながら歩くと、かなり効果があります。もし、

これを読んで困っている人はやってみてください。軽い気持ちで参加している人にほど効果があります。それで気づいたんです。皆、それほど悪い人でない。文庫を見てもさらに睨み返す筋金入りが少数派というのが実感できるはずです。東京でこれをやり、こんな事がありました、“ものはずみ”というタイトルの本を謝り顔で持つてくる人がいたりしたのです。やはり、いい人はかなりの数いると推察します。ついと言うと、僕が小説をネットにのせてから、“財産分与”についての本がよく売れ出し、“マミイ”や“めばえ”が大量に売れ出すという事態がありました。第2話を出した時点で、“冤罪”とか“もつと知りたい天皇家の秘密”という本が売れ出しました。他にも書かないけどいろいろありました。

そちらはどうですか？何があっても心さえ挫くじかれなければ大丈夫です。不安で不安定になっても戻るべき原点に立ち帰れば大丈夫です比較的、君なら出来るはずです。暗示の力はものすごい、自分だけでなく、自分以外の人も影響をうけます。がんばって。少なくともどんな事になろうと、最低でもこの世に1人永遠に味方である人間がいる事を忘れないください。何かあるうとも。

美さんにこの小説をささげます。彼らと裁判をした人の記録をみました、尋常でないのがわかります。奇跡を信じて。あきらめないで。

君の居場所をさがす努力だけは、してみるつもりです。奇跡が起こるかもしれない。ちなみにこの場合の“さがす”は掛詞かけことばになっています。山崎まさよしのあの曲の歌詞に掛けているのと、実際にさがすというのと。2つの意味です。後半は難しいけど、目標は高く設定した方がやる気も出るし。今になって思いました、3ヶ月ちよつと前は真実に気づいてなかった。たった3ヶ月ちよつと前です、不思議な気分です、東京で最初に僕を標的に選んだ人物に少し感謝

しなくちゃいけませんね。

ここに書かれているのは僕だけの思い出じゃない、君の思い出でもある。だから君に断り無く書くべきでない部分もあって、でもこのくらいやらないと味方が出来なと思うたし、お互い結構いい歳だから耐えられる描写だと思う。だから、僕を信じてもう少し書かせてほしい。肝心な本当に2人だけの大切な思い出は書いてないしそれに、伝えきれない思いがまだまだあります。もし、会って話していたら相当な長話になっていたと思う。ここの書いてあるのはもちろんフィクションです。フィクションとして書きます。これはお芝居です…、愛しています。お芝居でなければ恥ずかしくて言えない。

言葉が届く事を信じています。もし、届いていなくてもいつか目にする事を信じます。

YouTubeで「イーゴリ公」から「ダツタン人の踊りと合唱」という動画をみつけました、当時の記憶が蘇よみがえります。

YouTubeで吹奏楽のための交響詩「ぐるりよぎ」？・祈りというのも見つけました。いろんな意味で思い出の曲です。2曲とも聞くと隣にいた君の姿を思い出します。いつも楽譜ごしに君の存在が感じられた。

アルメニアンダンス？も見つけました、この3曲がどうしても強烈な記憶として残っています。3曲と君と音楽室と高校生活。

デイズニーマドレーも見つけました、曲を聴いてて思い出しました。頭のミツキーマウスのテーマを省略したバージョンで演奏した事を、覚えてます？

これは、君も含め複数の人に言える事なのですが、正体がバレるのを実は何よりも恐れていますね？相当強力な暗示でもうけているのでしょうか？地獄に落ちるとか、頭が7つに割れるとか…。それは暗示です。でももし彼女がこれを読んでいてこの仮の話がそれほど

間違っていない場合、僕は君にこう言う。君と一緒になら地獄に落ちてもかまわない、2人でなら怖くないと思う。

北朝鮮の拉致被害者も最初日本に永住する気など無くむしる横田さん夫妻を招くのに一生懸命でした、君がどの程度影響から脱して、またどの程度影響下にあるのかわかりませんが、がんばれば、大丈夫です。

これは可能性の話です。実は統計でみると日本では毎日のように詐欺事件が起きています、報道されてないだけで。だから、偶然詐欺報道をしているのではなく、詐欺報道をしたいから普段報道しない詐欺事件を扱っているにすぎず、それは記者クラブ制度を利用すれば可能なのです。記者クラブの人は記事欲しさにある程度言いなりになるそうです、こわがる必要はありません、タネも仕掛けもあるトリックにすぎず。超自然的な力など働いてないのです。ま、これ自体可能性の問題で、気にするなという事です。僕の早合点で気にしてなんかなかったりして…

実はもう一つ早合点かもしれない事がある、主にラジオオなんだけどやたら「ふるさとに帰る」とか「家へ帰る」というフレーズを使う。暗示だろうか？君への。アメリカの民謡で「カントリーロード」というのがある、邦題は「故郷への道」なのだが、ラジオのアナウサーは「故郷へ帰りたい」とわざわざ普通と違う邦題を使った、ま、偶然って事にしとくのがベスト。そういう空気を作るためにいろいろ手段をことうじるみたいだけど、ま、偶然ってことにしとくのがいいと思う。君は何も悪くない。それとも僕の稀有かな…、君の身を案じています。

関係ないけどGREENの解散報道、本人たちは否定してるのにドンドン大事おおいになってる。あれは父親たちが解散報道をリーク

して解散する雰囲気を作つて息子たちにやめさせようとしてんだね、あれ。父親たちが歯科医でそれなりの地位にいるならやりかねない。こうやって決まっても無い事を先に新聞記事にして信じる人を増やすと、本人たちがしつかりしてないと世間の空気に負けてしまう。卑怯なゴシップの典型だと思う。メディア・リテラシー（英：media literacy）とは、情報メディアを主体的に読み解いて必要な情報を引き出し、その真偽を見抜き、活用する能力のこと。とウイキペディアにある、これを身に着けないと。フジテレビでの鹿内社長退任劇でも、本人はやめる気ゼロなのに現社長派の情報工作で先に辞任報道がされてしまう。この報道のせいで彼の味方が次々とやる気を失い、結果としてやめざる得なくなる。これを回避する方法は情報をあまくみない事、常に自分の考えをあやふやにせずしつかり持って自分の意見を発し続ける事。そして利用されない事。むずかしいけど意識してるのと無自覚なのとは雲泥の差がある、と思う。

補足ですけど、GREENの曲結構いい曲ばかりです、解散して欲しくありません。

最近思い出した事をここに優先的に書こうと思います。

こんな事思い出した、2人で自転車を牽きながら並んで歩きながら下校してる。記憶ちがいがかな、神社で会わない日も時々こうして一緒に時間を過ごした気がする。それも学校の駐輪場からずっと歩いたから結構な距離、よく歩けたなと思うけどそれだけ長く一緒に居られた。随分長い距離なのにあつという間に時間がすぎた。もうこんな所まで来たのかなんて事随分あつた。君はいつも笑顔だった。あの笑顔を見てるといつも時間が経つのもわからなくなる。

下校時刻だから当然他の生徒もその道を通る、そのたびに君は気まずそうな顔をする、そんな事もあつた。印象としてはまだ学校の

空気を引きずりながら歩いてきたイメージで、僕は受験勉強やテストの事とか話したような気がする。ハッキリ思い出せない。けど、一緒に並んで歩ける榮譽に預かれてうれしかった。道行く男子が通過するたび振り返る、皆悔しそうに見えた、中には違う目的の連中も居たかもしれない…。ある一団が僕らを追い越すときこういった「どうせアツシーだろ」

今は懐かしいバブル言葉、17年前はかろうじて通じた。女を車で送り迎えするだけでそれ以上の関係になれないの男をアツシーと呼んだ。けど自転車だし、そこに彼女を乗せてる訳でもないし、第一彼女も自転車を牽いでて、2人並んで歩いてるのだからアツシーというのはいがかりだった。的外れないやみがマヌケに見えた、変な気分だった、どうして彼女は僕なんかと一緒にいるのだろう？そんな気分になった。明確な答えは出せないけど現実に君は隣に居た、こそばゆく、表現しがたい幸せ。君が隣に居るといふ現実の凄さに気づくたび圧倒されて幸せに満ちた。またあの幸せは帰ってくるのだろうか？そんな事について考えてしまいます…。

赤毛のアンの続編で6作目「アンの夢の家」の仲でこんなシーンがある。生まれてこの方不幸続きだったアンがグリーンゲイブルズに来てから幸せを取り戻すのは有名な話だけど、その後アンのパートナーであるギルバートは自分の目の前にこんな美人がいるのが時々夢だと思ってしまう、そんなギルバートを見てアンはどうしたの？と聞く。これを読んだ時身震いした記憶がある。100年近く前の小説に自分と同じ思いの描写があるなんて…。なんだか、すごく、君との思い出がものすごい重く感じた。揺るがなく僕の人格の1部になっている事を誇りに思います、凄いものを貰っておいて気がつかなかった自分が恥ずかしいです。

僕が昔楽譜を入れていたファイル、背表紙のシヨパンの絵を入れていたの覚えているだろうか？たまたま見つけたチラシの絵が気に入って入れていただけなただけ。1度だけターミネーター2のチ

ラシに入れ替えた時、君は“あつ、いつもと違う”って顔をした。それを見て僕は“あ、気づいたんだ”と思いき言った。

「そう、変えてみたんだ」彼女の顔色だけで言いたい事を察してこう言った。

表情を読まれた事に動揺して恥ずかしいって顔をする君。

「これ何か知ってる？」気まずさを解消するため会話を強引に進めた。

「映画の…」と君。

僕は当時会話の基礎が出来てない、君の映画という発言に反応して君のしゃべりかけていた言葉を待たずにたまたみかけた、当時自覚してなかった僕の欠点。

「ターミネーター2のやつ、たまたまあったんで変えてみたんだこの映画知ってる？」

君は知っていると答えたきがある。まだ表情を読まれた事引きずっているのかおとなしいしゃべり方で。ようやく動揺から立ち直った君はこう訊いた。

「何でかえたの？」とか訊かれた記憶がある、たぶん。

「気分転換に変えたんだ」とか答えた気がする。

そして、音楽室のいつもの1st2ndの位置に座り練習を始めたような感じに記憶している。

当時は別にシヨパンが好きとかではなかったけど、最近シヨパンの幻想即興曲にはまっています。YouTubeでいるんな人の演奏が訊けるから、自分好みの演奏はどれか聴き比べられて楽しいです。シプリアン・カツァリスって人の演奏が一番僕の好みの幻想即興曲です。

そうそう、結局あの後すぐに元のシヨパンの背表紙に戻したの覚えてます？シユワルツネツガーではやはりどうもしっくりこなくて戻した記憶があります。17年経ちあの時君が何を動揺していたのかやっとなるようになりました。

校舎で偶然会った時、君がパーカーを着ていて僕がかわいいと言った時の事。君はありがとうと言った後1人でいてくれてびっくりした、ちょうど会いたいと思っていたの。とか言った。

「そう？いやさっきまで他の人と一緒に居ただけではぐれちゃって探していたとこなんだ」

と言いつつ。1人でいた所見られて恥ずかしかった、トロいやつみみたいに思われなくなかった。君は僕のそんな気持ちに気づいたのか気づかないのかあえて嬉しいことを僕に伝えた。短いやり取りだったけど、印象的です。

クリスマスカード、初めてもらうクリスマスプレゼントって言うていたような気がする。僕は当時自分の子供時代は不幸だと思っていた、ろくろくクリスマスにプレゼントが貰ってなかったから。だから貰った事ないという君が不思議だった。なぜもつと不満に感じないのか疑問に思った。君は家族の不満は一言も言った事なかった。でも家族を大事に思ってるのかと思いつつ話を振ると言葉を濁した。君がもらった不満は周囲の自分に対する接し方や理解されない悔しさだけだったように感じた。逆に気持ちを通じあつたときの喜びはものすごいものだった。天と地ほど差があつたように感じた。そんな物よりも気持ちに固執する君があのかキーホルダー、金色が目立つ「宇宙家族カールビンソン」の、あれに固執したのが印象的だった。先に述べた通り部活引退に際し君にあげた。その日の午後だったか後日だったか君があのかキーホルダーを手に持ったまま廊下で立っている姿を見た。あの部室へと続く渡り通路の入り口辺りで、間違ひかな…記憶があやふやで、君はよくあそこに立っていたから、ともかくキーホルダーを持って立っている君に出会った…。あ、書きながら思い出してきた。部室から渡り通路を歩いて教室に戻る途中その姿を見たんだ。待っていてくれたのだろうか？今の僕ならそれが判るが当時はまさか僕ごときの為に学校随一の美少女の君がわざわざ待つだなんて思わなかった。ホントごめん鈍くて、（君の「ホン

トにそうよ」というつぶやきが聞こえてきそうです。(

「そんなにそれ気に入ったの？」

と僕は訊いた。周囲には他の部員もいる、だからなのか君はおとなしく控えめなモードのままコクンとうなずいたように覚えている、記憶があいまいで、会話は無かったと記憶している。その場は別れ、後々2人きりになった時君からこの件の話題を振った。神社で、

「私あの時あそこにいたでしょ？」セリフは正確で無いにしろこんな感じの事を言った。

いまいち分らない僕は君の補足説明を聞いて

「ああ、あの時！そうそうどうしてあんな所いたの？」と僕。

君は自分がキーホルダーを手に持っていた事を強調した。言われて初めて思い出す僕。

「そうそう、持ってた持ってた！どーして？そんなに気に入ったの？」にぶい僕、まだ気がつかない。

君はうなずき、前から欲しかったのと告白した。

「だったらもつと早く言えばいいのに」と僕、まだ分かってない。

僕はそのキャラクターの話をはじめた、けど君は乗ってこない。キャラクターがすきなのではない。君は話題を元に戻した、貰えてうれしかったありがとうと。もしかしたらキーホルダーに詰まった思い出が欲しかったのだろうか？部活中楽器ケースに付いてた訳だから君と会う時はいつも目にしてた物だから、目立つし、金色で印象的だもの。

あの時、渡り通路で待っていてくれたのはお礼を言うためだったんだね。こんな単純な事に17年もかかって僕は気づいた。なんだから、ホント。どうしようか。今なら当時の君の気持ちができる、この嬉しさどう伝えよう。人生の不思議さを感じます。でもがんばってきて良かった、やっとここまで来れたと感じます。いくつか記憶のあいまいさはあるけど大体あつてるとおもうけど、感想を聞かせてください、いつか未来に。

…にぶい、という点で思い出した。あれは何時だったか卒業した先輩たちとボーリングに行った日のこと、皆で車に分乗して遠くのボーリング場に行った。帰るとき僕は行きで乗った車に乗り損ねてしまい困った、トロかった。あわてて近くにいた先輩の車に飛び乗った。君が乗ってた、僕の後ろに。けど声をかけるべきでないと思いき無視した、そう望むだろうと勝手に思った。後日君は言った。

「私うしろに乗ってたのよ」

「気づいてた」と僕、

「気づいてたの？」表情を緩めず君は言った。

「話かけた方がよかった？」と訊いたような気がする。

「ううん」

複雑な顔で僕の行動を肯定する君、僕の行動は正しいけど何かしらサインが欲しかった、完全無視はさみしい、そんなところだろうか。「気づいてないと思ったの」

もうこの時期僕のにぶさを十二分に分っていた君はそう思っていた事を言った。何故だろう？誤解が解けたのに悲しそうな顔をした。心が通じ合えなかった時君はそんな顔をした。今は強引にでも1言2言話せば良かったと思う、君の気持ちに確信がもてない当時、遠慮してしまった、バカだった。

通じ合わなかったんじゃない事を宣言します。僕はこの時期割り切っていた、他人の前では普通にしていようと。僕のポリシーは君の望む世界がかなう事を願うという事。君が望むならと割り切っていた。ちよつとさじ加減がかみ合っただんだと思う。現在のさじ加減が心配です。

僕は17年前ある言葉を君に言った、その言葉に君は幻滅しそれが分かれる原因になったとずっと思っていた。僕はこう言った。

「僕は自分を変える気なんてさらさらない」

君は誤解した、あれは信念をぐらつかせない事が大切なんだという意味で言ったんだ、でも君は人の意見を聞く気が無いと解釈して

しまった。気持ちがすれ違っていた、あの時の君のありえないという表情覚えてる。

君は「えーっ！」と言った、そしてそれは無いみたいな事僕に言った。

現在のぼくなら君が何をどう誤解したか理解して隔たりを正す事ができる、けど当時の僕には無理だった。

あれはもう神社で会わなくなる1ヶ月くらい前の事だと思う。ほんの数ヶ月前まで君が僕を嫌った理由はこれだと思っていた。けど、あの時の君は僕を軽蔑も侮辱もしなかった。理解できなかった。だから、自分を変える努力をした、君を理解したかった。あの時の君が理解できなければ一歩も前へ進めなくなってしまうのだ。あっきっかけで当時の君の気持ちが手に取るように理解できるようになった、現状で会うにはかなりハードルが高い。高いけど、言葉をかわす権利あるよね？君にも僕にも。これだけの過去があって、まったくの他人はおかしい。そう思う。情報さえあれば最善の選択肢を考えることもできそうだけど、今のぼくにはこれが精一杯。がんばれ、応援しています。思い出の中だけの人物ではありません、僕はここにいます。

そうそう、書き忘れた。クリスマスカード、大学入ってから2通送ったの覚えてる？大学の生協でオルゴール付きカードを買って手描きのイラストで飾り送った。郵便事故とかなければ、届いてるはず。郵便が届かないというのも“彼ら”の十八番だ。僕はあの後も送り続けた、君にちゃんと届いて気持ちを和ませている様子を想像するのが好きです。

東京を去る前、本屋にいたとき突然「ぼっちゃん」が売れ出した。ぼっちゃんは先輩の山嵐と組んである女性を助ける。女性のだんなは不倫してて彼女をないがしろにする、だんなの非行をぼっちゃん

と山嵐が暴いて女性を救う。そんな話だったと思う。そして同時に弁護士という副題のついた雑誌が売れ出す。威圧的に表紙をみせて立ち去る人もいた。解釈はいろいろたつ、とりあえず事実だけを書き出しました。実際に東京で起きたことです。

いつだったか…、僕は君の頬ほほにキスをした、左ほほだ、君は驚いた。

「どうして音がするの!？」驚いた様子。

最初何を驚いているのかさっぱり判らなかつた。僕のわかつてない様子をみて君は言った。

「今までほつぺたにキスして音が鳴ったことなかつたもの、どうやったの?」

今まで…という単語に動揺した僕、その様子を察してしまったと思う君。しかしほんの数秒でぼくが動揺をおさえたので君は少し安心した。ほんの数秒の出来事。僕は同様を消し去るようにしゃべり始めた。

「ほほで鳴らしてるわけじゃなくて、単に口で音を立ててるだけだよ」と僕は言った。

君はそんなんで上手く鳴るのかしらという顔をして僕の頬ほほにキスをした、音は鳴らない。こうやるんだよともう一度僕は君にキスをした。すると君はこう言った。

「ほつぺたに音をたててキスするのって、前から憧れててやってみたかつたの」

そんな事言いながら恥ずかしがる姿は宝物以上に僕には見えた。結局最後まで君は音をたててキスが出来なかつた。キスする時は大抵僕からんだけどたまに君からしてくれる事もあった。幸せな瞬間だった。

別の日僕はキスの時少し意地悪な事を思いついた、いつまでもやめずにずーっとキスし続けたら君はどう反応するだろうと急に思い立ち実行した。いつもの様に普通にキスをした。場所は神社で、季

節は秋だった。ずっとずっとキスをし続けた、いつもより長く。いつもならこの辺でやめる辺りで一瞬君が動くのを感じた、けど止めない僕に合わせてくれた。それでも止めずにずっとし続けた、時々目を開ける、目をつぶっている君が見える。何度か目を開けると時々君も目を開けていた。こちらの様子を確認していた。それでもかまわずし続けた。絶対に怒られると思った、怒った君を見てみたかった。いじわるって言われたかった。なのに君は怒らなかつた、恥ずかしがりながら喜んだ。すごいすてきな笑顔。うれしくてうれしくて仕方が無い、だから、僕は「もう一度キスしていい？」と聞いた。僕は君に何かするとき必ずこうして確認した、君はうなずいて「うん」と言った。幸せな瞬間だった、僕はもう一度君にキスをした、さつきよりも短かつたけど濃いキスができた。君ははにかんで照れて楽しそうに僕に語りだした。初めて聞く君の告白。もどろしようにかと思つた。もっと同じ事をたくさんすればよかつた…。

また別の日、覚えているかな…

僕は君の顔にキスをした、1箇所や2箇所なんて少ない箇所ではない。その時はどうしてもしたかつた。頬にしておでこにてそれからも続いた。その時暗かつたから表情がわかりづらつたけど、幸せと照れの入り混じるどうにかしたくなるような顔をしていたのが解つた。不思議と怒られるとは思わなかつた。君は僕のかままに付き合つて我慢していてくれていたのだろうと思つた。嬉しかつた、僕ごときのためにそこまでしてくれる君が愛おしかつた。後でなにか言われてもとぼけて意地悪してやろうとすら思つていた。結局その日君は何も言わなかつた、だから気にしていないんだな、よかつた。と思つた。

なのに後日、僕がもう忘れていている頃君はこの時の事語りだした。はじめ言われてピンと来なかつたけど数秒して思い出した。暗がりの思い出。

「あんなのはじめて」

怒られると思つた、今頃持ち出すという事は相当怒っているのか

「?またもう会うの止めようと言い出すのか?とビックリと来た。けど君の話は意外な方向へ進む。」

「うれしかったの」

違うセリフかもしれないけど僕の行動を肯定するどころかそれ以上だったのを覚えている。ヒヤヒヤしていた分ホツとしたのが心地よかった。そうかそんな風に思っていてくれたのかと改めて君が好きになった。けどそう言われるともうやりづらい、今度はこっちが照れる番だった。結局あのキスは1度しかしなかったけど、それは恥ずかしかったからだ。なんだか解らないけど恥ずかしかった。その事をまだ君に話してなかった。

あえて言う必要もないけどフレンチキスとそうでないものではちがう。初めてのキスこそ後者だったけどそれ以外のキスは前者だった。ある日突然思い立つ。いつも僕がキスの主導権をとるけどたまには逆もいいかなと。キスしたまではいつもの通りだったけど途中からじっとして何も動かないでいた。覚えてる?君のほうから動くのをまった。君はどうしたらいいのかすぐにわかり恐る恐るついさつきまでの僕を真似た、恥ずかしがってるのが手に取るように解る。お互いおとなしくて受身の人間同士、その辺の感覚は何か通じるものがある。

「途中からとめたでしょ」終わつたあと高揚した顔で君は微笑んだ。「どうしてほしいかわかった?」と僕は答えた。

「うん」と高揚した顔でうなずく、突然の事でびっくりしたけど大丈夫、今落ち着くとこだからという顔をする。言葉^{ゆえ}を交わさずに意図が通じ合えた事が幸せだった。それは驚いたが故中途半端に終わったキスだった、もっと君が続けたかったのかそれとも恥ずかしかったからこの辺にしとくべきだったのか判断に迷った、僕は後者を取った、君を大切にしたかった。臆病だったかもしれない、せめて自分だけで決めずに君に続けたいかどうか君に聞けばよかったと思う。今の僕ならたぶん訊く、「どうするもう一度やってみる?」っ

て。

原点回帰…

夏祭りの日、君は浴衣僕はアロハを着ていた日、キスを見られた後、君が戦う決意をした後、あの長い階段のある神社で2人が僕らの座っている時、“彼ら”と思しき息子と母親が僕らの位置より数段下に座ってプレッシャーをかけた時。僕が「どこか行こう」と言ったら、君は断固拒否して「どくのは向こうよ」と言っていたあの日のあの姿。僕はその後の人生で人とぶつかった時いつもこの時の君の姿を思い出し一歩も引かない強い意思を持つと心に刻み続けた。

今は君が何かしらの困難に直面していると想像すると、なんだか自分の悩みのレベルが小さく思えて、君ががんばれるなら、僕も頑張らねばと感じます。明らかに君のほうが大変なはず。そんな君がいるのだから、へこたれてはいられないと日々感じます。

仮の話です

小さい頃から我慢する事を教えられてきた、でも今はもう昔とは違う。ちがうかな…、そうであって欲しい。

これも仮の話です…

これは推察です、これこそ本当に仮定にもとづいた話なんです、判をついた離婚届けを繰り返し送り続ける、あるいは渡し続けるって結構なプレッシャーになると思う。本人以外の人に郵送して本人に渡すようお願いするのも社会常識の範囲内だと思う、つまり、人と違う発想のできる君なら工夫次第で色々できるという事。行動の選択枝はまだまだ探せばたくさんあるという事だと思ふ。毎朝食卓に離婚届が判を突いてのつていたら、いくら周りから日ごろ絶対離婚すると言われる人でも耐え切れないう事もあるはず。

他にも、もし結婚指輪要らなければ処分して処分を証明するような文章をお店の人に作ってもらって相手に送るというのもかなりのプレッシャーのはず。

男の人ってのは思っている以上に“物”に固執する。自分のパートナーに指輪ってというのは自分のものである事象徴みたく思うところあるから、女の人はピンとこないかもしれないけど、指輪に限らず自尊心を満足させる様なものをいくら送られてもらっているなら、全部返すか、生活費の足しにするといい。かなりきついはず。ま、仮の話なんですけど。公式にはこれらは僕の妄想です。

個性を重視しない組織型の人に対しては個人的なプレッシャーよりも組織人として恥ずかしいと感じる事の方が何倍もきついはず。生活の継続が困難な事をアピールするのが主張の論点。そしてそれを回りにも浸透させるには予想以上の精神力が必要はず。強い意思さえあればできる。少しでも弱気を見せたらいけない。けど力まず平常心で、自分のペースで、相手を振り回せばいい。心理戦では自分の得意の土俵で戦ったほうが有利だし、精神的負担が少ない。君の場合相手を振り回すのが上手い。本意じゃないかもしれないけど得意な事は得意な事として手段の1つにするのが有利だ。と思う。

こんな事思い出した…、薬害エイズの責任を認めない厚生省の建物の周りを人が手をつないでぐるりと取り囲んだ。“人間の鎖”と称して物理的に厚生省の建物を取り囲む、そして皆でいつせいにさげぶ「あやまつてよ！」と、繰り返し何度も。当時1部メディアでしか報道してないから知らない人も意外に多い。そしてその後国は薬害エイズ問題の責任を認め患者救済に乗り出す。後々中に居た職員は述懐する。「あの人間の鎖はきいたな…」国が自らの責任を認めるなんて今でも滅多にないけど、こういう単純だけど発想の転換がある行動が不可能を可能にするのかもしれない。

ついでにもし公式の場で発言するような事に備えて…

アメリカのドラマ「ザ・ホワイトハウス」の1シーン、女性報道官が公聴会出席に備えて顧問弁護士と話をするシーンが参考になる。顧問弁護士は言う「貴方はしゃべりすぎる」。報道官は「そんな事無いわよ」と返す。「では今何時か知っていますか？」と弁護士、それに対し時計を見て時刻を答える報道官。弁護士は言う「時刻を聞いているんじゃない、知ってるかどうか訊いているんです」。報道官は言い直した「知ってる」と。「そう、それでいい」と弁護士。しゃべりすぎると手の内を明かす事になり不利になることもあるらしい。

そういえば特に意識しなかったけど本当に僕がして欲しくない事はここには書いてない。饅頭怖いよろしくして欲しい事書けば面白かったかな…。

何かの参考になれば。

これも仮の話です

近いうち東京に行くと思います、護国寺、東京、芝公園あたりをウロウロと。何かの参考に…。

もう一つ仮の話です

君の方はどうですか？味方もいるはずですよ。僕以外にも。あきらめないで、こちらもがんばります。君が耐えられるなら、僕も耐えられる。君は何も悪くない。

暗示の力はすごいです。松岡圭祐「千里眼 ミドリの猿」を読むと暗示がどう人間に作用するのがよくわかります。小説自体はミステリーアクションなんだけど作者は臨床心理士で専門家だから、暗示に関する知識はデタラメじゃないから参考になります。今日、久々に車の運転をしました。運転した後だと車の騒音さほど気になりません、ついさっきまで自分も騒音を出す立場だったせいでしょうか、こういうの逆暗示とでも言うのでしょうか。（暗示に関しては12話を参照してください）

これも仮の話です。

もし仮に再会する事があったとしたらシナリオはこうです。今までの事はすべて無かった事にして、僕と君は17年ぶり（あるいはそれ以上の年月ぶり）に偶然再会する。もちろん僕は気がついた事など一言も口にしない、君も同様に秘密など何も無いという感じで、単純に偶然にばったり再会する。この小説の存在などなかった事にして再会する。一言もお互い口にしない、それがベストな再会のシナリオだと思う。ま、仮の話なんですけど…。

これも仮の話です。

普通になつたと感じます、お礼を言わなければと思いますが、やはり何人が筋金入りの人がいて、きつと彼女も当時こういう毎日だったのかななんて思います。もう大丈夫と思い、時折人目も気にせず優しくしてくれたのかな？なんて思います。…って事はまだぶり返しがあるのか…と感じます。相変わらずヘリや飛行機来ますし、ま勿論単なる偶然です。何度も繰り返しになるけど、君ががんばれるなら僕も頑張れる。神社に時々いつています、あの神社に。

あと一つ仮の話を…

富士宮まで行くと、いないのか数が少ないのか、感じませんあまり。地域性あるみたいで。静岡県東部地域は工場の多い生産業の町だからでしょうか？昔一悶着あったからなのでしょう？

人は大概1人で歩くとき人間は自分の世界に没入するものですが多かれ少なかれ、相手を観察してどの程度自分の世界に没入してるかをみると普通の人とそうでない人の区別が出来ます。リアクションや挙動が違ふんです決定的に、それはさておき離島で静かに暮らして案外現実味のある話かもしれませぬ。これを彼女が読んでいてくれるのを祈るばかりです。

行動部隊を作っただれだれが指揮をとるなんて記述が本にあります

した。方針が変わったのか？指揮する方が変わったのか分りませんがキーとなる何かが変わったのでしょうか？駆け引きの材料を僕は持ち合わせていません、心かあらお願いするしかできません。どうか、彼女を助けてあげてください。人がどうあるべきか気にかけてください。そう、あるべきです。

これは空想であり、願望です…。

僕は時折あの神社へ行って当時はしなかった願い事をしています。偶然ここで再会できたらと…。かなり、可能性は低いけど。もしそうになったらすごい感動的、そうだと思わない？

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。

否定するためにどんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だと思う。

けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。

その代わりにこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」と。

それでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。

単に自分たちの贅沢が（快樂が）侵害されている事に怒っているだけという事実が気づかず反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せって言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではない」

…という事実があります。どう感じますか？

“彼ら”は見た目や格好に関しては一般人と見分けがつかないように努力している。

どこぞの信仰宗教のように、専用の服を作ったり、特異なオブリ

エを掲げたりしない。

逆に言えばそれが故、見た目や生活様式の異なる人を攻撃する心理が生まれるのかもしれない。

たぶん、「彼ら」のあの「行動」は、そうした「専用の服」や「特異なオブジェ」がないがゆえ、

“その”代わりになるべき要素として“必要不可欠”なものになっているのではないだろうか？

あやしい団体の構成員は「専用の服」や「特異なオブジェ」を通じてメンバーが一体感を持つと言っ…

“彼ら”の場合は「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つ…と考えると、

無理なくイメージできるのだが、本当のところはどうなのだろうか？君はどう感じますか？

結果としてその「一体感」が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく…

誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。

普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。

どこの誰が考えたのか知らないけど、非常に洗練されています。

どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっている事実には気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。

その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

洗練された非倫理テクニクのわりに、シロウト集団が実行部隊…

カルトのイメージと重なります。

これは一般的な感覚です。

初めて経験する複雑な心境が待っていると思う。

いろいろな思いが交錯すると思う。

それでも、立ち向かって欲しい。
前を向き続ける事が肝心です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

(くわしくは21話を参照してください)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に墮ちちゃっ
たとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いない。ある。
遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

信心ではなく、「信念」を君に送ります…。

僕の信念は君から貰った物です。

それは、この世に気持ちを通じ合うという事は確かに存在する
という事実。

そして、それが故、話せばいつか必ず人と人は通じ合えるという
想いです。

18年前、君からもらったこの大切な想いが、今、僕の信念にな
っている。

君の中で、信心よりも「信念」が大事に思える日がくるだろうか…
そんなイメージ君に送りたい。

(この物語はフィクションです登場キャラクターは実在の人物・団
体等とは一切関係ありません。)

第3話 大切な君へ、原点回帰 ver 2.0 (後書き)

メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けないでください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第4話 日々出会う彼らについて（前書き）

メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつな갑니다。この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けないでください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第4話 日々出会う彼らについて

(この物語はフィクションです実在の人物・団体等とは一切関係ありません。)

もう、そろそろ彼らのテクニックもひと通り体験したかと思ったけど、まだあったんですね。驚きです。日々観察するたびにデータが増えていく感じです。1つ1つ書き出していこうかどうしようか迷っているところです。寝た子が逃げるじゃないか！と言われそうですが。都市伝説ですから笑ってやってください。皆おびえてるんですよね？一人やめてしまうと、今度は自分にふりかかるって。

最近いつも会うおじさん、ご苦労さまです。いつもバイクで大変ですね、今朝、僕のもっている写真にはじめて反応しましたね、無表情のスタンスがくずれた瞬間がみれて、ああ、人間なんだなと感じました。

近所でよく見る車にのるメガネの女性もたまにそういう表情が見れるといいのに。

どうも2種類の方がいるとお見受けします

正体がばれるのはいやだ、ばれないならやる。というタイプの方々。

正体がばれてもかまわない。というタフな方達。

車の中で頭かいたり腕やあご上げたりしてるのはたぶん前者のタイプの人ではないでしょうか。

タフな方達も2種類います。

心から楽しんでいるタイプの方。信念は感じません、決意も哲学も夢も無いのでしょうか。ふと思いました。変化のない毎日、刺激がほしいのかもしれない。

なにかものすごい決意を感じるタイプの方。このタイプのかたは畏敬の念を感じます。なにかシンパシーを感じる。

けど、このものすごい決意を感じるタイプもまたお2方に別れます。

たとえ間違っただろうと、全体を守るために決意している方と自分は間違っていないと心底思っている人です、自分の心で物を見れない人ですね。

前者の方はすきです。後者の方は、東京で知る限り3人ほど会いました。努力が必要ですお互い。これをきいて頭にくる後者の方は、きつと生い立ちや組織とは関係なくそういう性格なのでしょう。生まれ持った性格で苦勞している点では僕と同類ですね。

これは僕の言いがかりになってしまっているのでしょうか？いつも車でかけると遭遇するバイクの団体さん。暴走族とまではいかないまでもツーリングにも見えない。あれもあなたたちなのでしょう？もしそうだとしたら、ずいぶん教えも柔軟になったのかな？とおもいます。白いマスクにごついバイクは湘南爆走族を連想させます。カッコイイと思うかダサイと思うかはあなた次第です。たぶんこうした行動を知らない人達もたくさんいるのではとお見受けします。今回、僕が書いた事で初めて活動の全体像を知った人も何人かはいるのでと期待します。

あのタバコを下唇の中央に乗せてだらしなくくわえるしぐさ、はしたないからやめた方がいいですよ。誰が見てるかわからないんだし。せめて斜めにくわえませんか？子供が真似したら大変です。

インフルエンザ本当に流行っているんですね、ちよつと誤解して
いました、マスク。すみません。侮れませんよね、あれ。お互い気
をつけましょう、うがいが一番です。ウイルスが10000を超える
と発病らしいです。それ以下なら、保菌していても大丈夫だそうです。
でも人にはうつしてしまうのでやはり慎重にしないと駄目みた
いです。

何かを配達しているスーパーカブの人、ちらと見ただけですけど
女性ですか？いつもブレーキをキーッと鳴らすのはテクニクなん
でしょうか？スロットルを普通より多く開いて加速させれば制動装
置はいつも能力限界ですものね、けどバイクの管理者が普通の人な
ら怒りますよ、整備費用かかるから。もちろん言ったりしません、
今のところ。

エンジンの駆動音が不自然に大きいときライトバンが多いです。
おばさんが不安そうに運転してるのが印象的でした。ライトバンに
限りなにかわざと整備不良をさせているのでしょうか？きがかりで
す。あとドアをバンって閉めるのも、車に悪いですよ。中古車なの
かな？ハイブリッド車だったらやめたほうがいい、普通より気密性
が高いからどんな故障がおこるかわかりません。第一子供がまねし
ます。

道の中央での立ち話、十字路などはやはり、どちらにまがるかみ
ているのでしょうか？あんな明るそうなおばさんが…これは誤爆か
な？それとも一般人を巻き込んでいるのかな？ぼくも昔勘違いされ
て誤爆されたことがある。

鼻をすするのはやはり仲間のサインなんですか？昔「お前鼻すするな」と何人かに言い寄られた経験があります。

一点をみつめて怖い雰囲気タバコをすうやつ、あれ、その日間に合わなかったのか缶コーヒーでやってる人みました。見間違えですかね、もし間違いでないとしたら実にオリジナリティーあふれる発想でぜひお友達になりたい感じですよ。そういえば僕と似た女性に苦労しそうな外観の人でした。その点からも親しみを感じます。

普通の人間はもつと不規則な動きをするのに皆ロボットのようには動きません。特にあの足音を等間隔で鳴らすやつ、見事ですけど時々「あ、この人リズムはずしてる」という人います。音痴なのでしょうか？一度メトロノームを使って皆で練習すべきです。あと、それなりに不規則にやらないと、証拠映像にされる可能性があります。自信の無い方は練習を

あのつま先を外に向けて歩くあれ、本物の身障者を馬鹿にしています。それと、やるなら完璧にやりましょう。中途半端な人が時々いて、突っ込みたくなります。痛いんでしょうけどやるなら真剣に馬鹿にされた方々に申し訳がたちません。

時々1人で来て回りの仲間の少なさに動揺している人見かけます。キョロキョロするので面白いです。

きつとへりなんかも飛行計画を立てる人以外あんがいに普通の人なんでしょうね。

推定800万人、1/15。でもなかには寝ている人もいるわけで、おそらく所要所を効果的に押さえて実像を実際より大きく見せているんでしょう。そういえばヨーロッパではものすごいネガテ

イブイメージらしいですね。アメリカとちがって。

自衛隊の8*8輪の高機動兵員輸送車？って呼ぶんでしたっけ、あれ初めて路上で見ました。実物はやはり、カッコイイですね。あんなごついものがソ連のRPG-7で簡単に吹っ飛ばらしてですね。戦争ってすごい。

今、ぼくが住んでる部屋の真下の道路は住宅地入り口から進入して、中を一週して、また出口へでるコースのちょうど折り返し地点になってる。どうも、ここを頻繁に往復しているみたいです。今日見つけちゃいました。ナンバーは74-0...でもやめます。のつていたおばさんのあのおびえるような顔。なんだか僕がよく知るあの子と同じとまではいかないにしろ、通じるものがあるような感じがして。撮影されるリスクを犯してまで来るんだから、それなりの恐怖があるのかもしれない。

警察関係は頑強さを感じます。ま、そう見せてるだけなんでしょうけど。警察が間に合わないときはガードマンってなかなか洒落てて面白いです。

あと、不自然に頑強なおばさんに時々あいます。大概その方はいつも1人です、何か理由があるのだとしたら...、いえ、偶然って事にしておきましょう。

僕の向かいの家でタバコ吸ってる　さん、もうめんどくさいから話しかけませんか？例の最初仲良くしといて途中から理由なくそっけなくなっってこちらに罪悪感をおこさせるあれ、やってください。こちらの内情調べなきゃいけないんでしょ？ま、今みたいな楽なやつの方が心の負担が少なくてすむのでしょうかね。お互い暇そうで、仲間がいる、という気分です。

駐輪場で変なやつに会いました、オドオドしていて、自転車取り

に来たかと思いきやオドオドしているだけでウロウロして何もせずに立ち去る、建物の中に入っても僕のそばに居るだけ、似た経験は東京でもしました。拳動のおかしい人を使って非日常感を与える方法なのでしょうか？だとしたらやらされてる人、自分がそういう使われ方していると認識あるのでしょうか、かわいそうです。東京で動員人数に限界がくると明らかに身障者それも心の、そんな方ばかりが周囲に登場するようになり、なんだか可愛そうになりました、おそらく自分が何をしているのかすらわかってないのでしょう。同様に人手が足りなくなると中国の方使いますね？東京での話でこちらではまだ見かけてないですけど。だまされてる、というか、もてあそばれてる気がします。周囲の人注意できないんですか？そんな人間の尊厳を踏みにするような行為させて…。僕が駐車場であった彼もせいせいやれば度胸がつく、自分を変えられるとも言われているのでしょうか？かわいそうに、あまりに可愛そうなので、プレッシャーかけ返すのやめました。あわれで…。

静かかなと思っていたら出くわしました、ハローワーク近くで女の人。20代後半から30代くらいの女の人。白いイヤホン白いマスク。けど白い手袋がないのが残念。そしてあのにらむ目。いい恋愛体験が無いのかなと思うのは言いがかりかもしれませぬ、すみません。

同じ場所少し前で車の中でマスクでこつちを凝視してたお兄さん！ぐうぜんかなーまさか、あんな強そうでかつこいい人がそんな引きこもりもどきの行為なんてしませんよ。いや、勿論これは僕の妄想です、そのような行為をするまともな成人男女がこの21世紀文明国日本に居住しているはずがありません。

わざわざ書かなくても当然判つてると思うのですが、もしそうでないならお互い不幸なので一応書きます。防犯パトロールご苦労様です。もちろん皆さんまじめに治安維持のために働かれています。

ンティアと信じています。特定の人物にプレッシャーをかけるなんて幼稚園児じみたことをいい年のおじいさんやおばさんがやるなんてありえませんか。ごくろつさまです。

時々頭や花に手をやる人にやり返します。挨拶のつもりです、わからない範囲でのコミュニケーションを許容される方はよろしくお願いします。

そういえば思い出したことが、東京にいた時、近所の郵便局に歩いて10箱近く荷物を持ち込んだ時、当然10往復する訳なんですけど、往復するたびに人数が減って行って、家の近くで電話かけながら出発地点の連絡をしていると思しきおじさんも6往復目で根負けしていなくなるという事がありました。10往復目には、もう2度以上は見たと思しき人がいたりして、あ、この辺が限界点なんだなと思いました。普通の平日に戻っていたのです。なんと表現したらいいんでしょう。第一世代の人たちがいなくなった先の危うさを感じるのです。石原莞爾は対ロシアを想定して中国東北地方に威圧行動を画策しました、彼の次の世代が中国侵略に乗り出したとき、後輩たちは石原莞爾に「私たちは貴方の真似をしているだけです」と言ったそうです。石原莞爾自信は反対だったそうです。後輩たちは前任者の考えを正しく理解せず突っ走って日本全土を巻き込む悲劇を引き起こしました。

確たる理念や信念のない状態であやふやなまま継承してゆくと誰も責任をとれない状況が発生します。

1部の人たちの暴走が戦争の悲劇を生んだのはだれも否定できない事実です。自分は関係ないではないんです。心が蝕まれるまえに、手を尽くせるうちに、信念が失われるまえに、世界が乾ききるまえに。すみません、論点が絞り込めなくて、でも感じていただければ

と思うんです。危うい、と。危険なものを扱っている自覚がないまま進行して手に負えなくなった時、第一世代の人たちがいなくなったら果たしてどうなるのか…。

そう、やっとなんか言いたいのか判りました。

アメリカのアポロ計画はご存知ですよ？これに対抗してソ連も月ロケットを造っていたのは有名な話ですが、なぜソ連が遅れをとったかはあまり知られていません。

実はソ連の方が計画は先を行っていました。しかしロケットは大爆発し、その事実は冷戦終結まで隠されました、ここがポイントなのですが、このソ連のロケット。完璧な物でした。しかし、たった一本のネジが燃料吸入口に吸い込まれた結果ロケットは大爆発。10キロ四方に吹き飛びました。

たった一本のネジのせいで、完璧なシステムが吹っ飛んだ訳です。おそらく、たった1人のうっかりミスなんでしょう。こういう事です。僕が言いたいのは。現在ですらすらすでに、マニュアル外の出来事に対応できなくなってる事実に気づいているはずですよ。

大手ゼネコンや芸能プロダクションが時間をかけて闇の部分と距離をとる努力をしているのもこうしたレガシーシステムを切り離したいからです。レガシーシステムはリスクをはらんでいます。リスクはヘッジすべきです。レガシーシステムの代表格は日本の霞ヶ関と現在されています。1度決めた公共事業は中止する法律が整備されてないため永久に税金を投入し続ける旧態然としたレガシーシステムです。現実に合っていない、貴方たちのシステムも1度決めた決定を覆す制度がないと見ました。まさに旧態然としたレガシーシステムです。無意味に無作法にエネルギーと資材と労力と人生と希望を食いつぶす実情に合わないものになっています。

やるな とは言いません、自分の身も大事です。イエスの12使徒の一人ペテロですらイエスの処刑の日怖くて逃げたそうです。ローマ人にはそんなやつ知らないと言ったそうです。けど自由の

範囲で、自分にもできる自由な範囲で、だって自由はあるでしょ？
きつと。完全でないにしろ。今は21世紀、ローマ時代じゃないん
です。そうでしょ？お互いがんばりましょう。

少しずつでも変えようと思えば思うだけでも思わないのとはずい
ぶん変わってきます。自分を信じていきましょう。

最近僕を見てあまりの普通ぶりに違和感を感じるかたもいるでし
ょう。普通でいることが一番いいんですから。決してむやみに頭や
鼻をこすることではありません。過去たくさんの人が暗示にかかり
オカルトめいた自己解釈に陥ったんでしょね。第3話に続きドフ
トエフスキーの作品から「悪霊」、登場するスタヴロービン。彼は
少女が自殺するのを分かっていながら15分間彼女が死ぬまで待っ
ていたそうです。ある人の解釈では神が彼女を救うか見ていたのだ
そうです。そんなスタヴロービンを称して悪霊という事らしいです。
誰しも心のなかにスタヴロービンがいる。スタヴロービンは世界が
死で満ちる事を願っている。革命戦士を気取っているけどスタヴロ
ービンの願いは世界が死で満ちる事なんだそうです。どう思います
？共感するか、反感をもつか。

年上の方で参加者が観察？している方を時々見かけるのは僕の勘
違いですよね？自由意志にしましょう。中にはかなりがんばってる
方も本当にいます。その方をねぎらってあげてください。

まだ、だいぶ道のりはあるのでしよう…、未来をください。

彼女の事、あたたかく見守ってください。お願いします。ご助力
ください。1人でも多くの人が見守ってください。あなたの正義を信じます。人知を超えた法律が人々の奇跡を促す事こそ世紀の奇跡です。彼女を知る人なら彼女に非がない事を本人に伝えてあげてください。

仲間への思いやりって、譲れない理念というか、誇りですよ？
どこ行っちゃったんですか。僕の家の中は、貴方たちの仲間が結

構な数住んでいます。車の騒音に関していえば同士討ちもかまわな
いという態度で、どこが思いやりなんだろう？と、疑問です。知ら
されてないのか？知っていてもかまわないのか？おそらく前者なの
でしょう。東京にいたときも似た現象に遭遇しました。わざと厄介
なお客を演じるけど、僕のいた店はお仲間だらけだったんです。僕
を困らせるつもりが仲間同士で同士討ちってことが頻繁にありまし
た。おそらく、知らないんでしょうね。指揮を執ってる人の配慮の
なさというか、無能ぶりを感じます。やはり、幹部は有能な人間を
選挙で選びましょう。僕の立場でいうのも何ですが、同士討ちばか
りしてるといずれ組織がほろびますよ。

今日隣町で、2階から乗り出して意味不明な事叫んでいる人がい
ました、かすかにストーカーという単語が聞き取れます。顔を黒い
布で隠して叫んでいました。あの人も被害者なのでしょうか？

別件で俺はインフルエンザじゃないと言って無関係の人を金属バ
ットでおそった人もいたそうです。

小学生に馬鹿にされたきがすると言って、川へ突き落とされた人も
いたそうです。こんなに頻繁にやって、不振がられたらどうするん
ですか？と、これは証拠がないから憶測になりますけど…。いくら
警察や検察に味方がいても頻繁にやりすぎるといわずれ…。

僕ですら人生で2度経験している。他にもたぶんたくさんいるは
ずです。こうした予測できない説明不能の要因をアノマリーと呼び
ます。経済用語だそうです。アノマリーの蓄積はいずれアノマリー
現象として返ってきます。コントロールできるうちに何とかしない
と…、それとももうコントロールできないのでしょうか？ならば未
来は絶望です。コントロールする努力をしないと。

戦時中海軍の暗号が解かれたのもやたら暗号を使いすぎて例題を
アメリカに大量に与えてしまったからです。どこか予想も出来ない
ところから一気に崩れてもしりませんよ。考えましようどうすればい

いのか。

人間には“差別意識”があります、それは薄っぺらいそれではなく人格の一部と化した根の深い厄介なものです。人格の一部であるゆえ自覚できず、また自覚すると自分の人格否定、人生否定になるので年齢を重ねた人ほど自分の気がつかない差別感を肯定できなくなります。そして、人間はどうしても自己表現する欲求から逃げられません、自覚できない差別感はじつはコントロールが難しくどうしても発露はつろしてしまいます。どんな人格者も自覚できないと逃げられない宿命です。

僕はこう考えます。

これは、表の世界で発露はつろできない差別感をここで発散させているのだと。特に指揮を執ってる人間の充実感はこの上ない物でしょう。世界の支配者になったと錯覚できます。この場合の指揮者は最高トップではなく各地にいる地域を管理している人たちの事です。おそらくトップはこんなこまごまとした事どーでもいいと思っているのでしょう。

皆さんはこの地域の管理をしている人たちの満足感を満たすために行動していることになりす。

考えましょう、本来差別感とはどう向き合うべきか。これが出来なければ、あなた方が見下す対象と同類かそれ以下という事になります。

トランス・オブ・ウォーという言葉があります。集団には比率として3割ほど暗示にかかりやすい人が必ずいるそうです。この3割が戦争状態の時にトランス状態になって正常な判断が出来なくなると、残りの7割の人も次第にトランス状態に入り正常な判断が出来なくなります。この正常でないというのは別に狂ったとう事ではなく前頭葉の機能が低下して暗示を受け入れやすくなる状態のことです。つまり、集団の3割に達する暗示にかかりやすい人に暗示をかけると残りの7割の人もその空気に逆らえなくなってしまうという

のです。戦後の証言でよく年配者が「当時はそういう空気だった」で片付けてしまいがちなこうした集団心理はこのトランス・オブ・ウォーの理論で説明できるのです。そしてこの理論を知っているかいないかで変わってきます。知らないとかんたんに、簡単に、ほんとうに簡単に暗示にかかります。本当にかかります。そんな事ないという人、考えてください、どうして目玉は2つあるのに物が2重に見えないのか？脳の中で2つの映像を合成しているからです。つまり今貴方が見ている外界の景色は本物ではありません。写真と肉眼で印象が変わるのはそのためです。人間の脳は確かなようであり、いやふやで操りやすいのです。実際には大きさが変わるはずがない月が地平線近くでは大きく見えるのも脳がそう解釈しているからなのです。脳が感じる空気を意図的に操作されたら予備知識のない人間は簡単に暗示にかかります。

強烈な閃光せんこうを浴びると前頭葉かんきが喚起され一気に冷静な判断力が戻るそうです。閃光弾というフラッシュを放つ武器は敵兵のトランス・オブ・ウォー状態を解除して“まとも”な精神状態に戻してしまう武器だそうです。決して目くらしただけが目的ではありません、“まとも”に戻った兵士はもう戦えないらしいです。

僕はだいたい心の鍛錬になっています。知りうる立場の人は問い合わせて見てください。東京でいかに僕が切れない人間であったかを。なのに、ちよつとやりかえすともものすごい怒る人たまに見ます。もう少し、我慢しませんか？ちよつとなさけない。そちらが僕の差別意識を感じて、僕も貴方の差別意識を感じて、そして無意味な空気で終わる。ダメです。ね。それではもう少し修行しないと。

漢字も使わない、口語体で書く。判つてると思いますが、これは演出です。演出とえんしゅつでは意味は同じでも語意と語感が違ってきます。この面からこの文章を非難する人は前提が間違っています。

アメリカ開拓時代、西部劇の時代、カウボーイやワイアットアープ、トウームストーンで有名な時代、なぜ西部があんな無法地帯だったのか？当時東部の都市部、政治の中心地帯は共和党中心で、アメリカ西部は民主党中心だったらしいです。とくにカウボーイを中心に民主党で、駅馬車強盗や殺人事件がおきても民主党員なら事件化せず、また、つかまつたとしても検事も民主党で無罪になることが多かったそうです。ワイアットアープは東部出身者の連邦保安官で、周囲敵だらけのなか戦っていたそうです。どちらを応援します？西部の無法地帯を助長する西部のゴロツキと多少性格に問題があっても逆境の中孤軍奮戦する保安官と。歴史が証明しています、トウームストーンはアメリカの田舎町に過ぎないけれど、いまだにワイアットアープをしのんで多くの人が来るそうです。

そういえばアメリカ映画には似たテーマの映画がいくつもあり、中にはヒット作になった物もありますね、「イージーライダー」では主人公達の風貌アウトロー過ぎて気に食わない、というだけで善良な市民が普通に悪魔になり、最後には通りすがりの車の男が笑顔でショットガンを撃ち主人公は殺されて終わりです。「ランボー」もただベトナム帰還兵というだけで追い払われるランボーが「飯が食いたいんだ」といって強引に町に入った事から町の人の差別意識を刺激し殺し合いに発展する怖い話です。30年経ちようやく日本もアメリカ並みになったという事でしょうか…。あ、もちろん僕の妄想です、気にしないでください。そんな事この平和国家日本で起こるはずがありません。日本人は規範正しい秩序を重んじる礼儀正しい国民性です、そんな事おこるいわれがありません。

東京で1度、パトカーの警官と話したことがあります。先輩後輩の2人組みのようです。後輩はなにも知らない様子で、ぼくがあまりの態度の悪さを抗議します。名前を聞かせてくださいというと、あ

わてて先輩をフォローしていました、そのリアクションは普通の人で、あ、こんなもんなんだなと思いました。

何の問題のない警察官が突然ピストル自殺する事件って毎年おこってますけど、関係ないですよ？現場に無理させたりなんてないですよ。これを書いてから警察官の不祥事の報道が立て続いているのも“それはその警官の個人的問題であって関係ない”とアピールしているように感じるのは単なる偶然ですよ、統計で見れば年間である程度の警官が不祥事を起こしているのは明白で、この時期意図して集中して報道すればTVだけ見ている人に間違った印象を誘導できるのはメディア戦略の基本中の基本ですけど、もちろん関係ないですよ。そしてなんだかさらに続いて今度はこの文を受けたように報道が止まったのは誰か読んでるんでしょうか？彼女は元気ですか？教えてください。

東海大学でしたっけ？世界的権威の先生の論文をデータ偽造というって解雇した事件。世界中の学者がおかしいうって言ってますね。外国の先生が日本はどうなっているんだ？といういろいろ問い合わせると口をそろえたように関わらないほうがいいと言われたそうです。肝心な論文の元になったデータは学生が管理していてバックアップも含めてなくなつたそうですね、学問以外の力が働いてる…という言葉が印象的です。関係ないですよ、もちろん。

西日本で傷害事件をおこして関東に逃亡した容疑者、理由もわからぬ犯行に世間が騒いでいたのをニュースで見えて覚えています、犯人は逃亡先で所持金の8割近くを使って“服”を買っていたそうです。まさか尾行対策じゃないですよ？変装用？そいつが異常なだけで皆さん関係ない事を僕は知っています。

猛スピードで脇を通り過ぎようとして女の人轢いてしまい逮捕された40代男性なんてのもありましたね。もし火災のやつもそうだとしたら捕まる可能性を考えられない人なんでしょうね？車の人は実名報道されてたから不起訴になってもダメージは半端じゃないはず…。もちろん僕の妄想であります。

若い人たちが勝手やっつてるけど組織離れも進んでいるからおいそれといさめられない…、そんな事が進んでいるからろくな人材が若年層に残らない…、組織の中核をなしている女性の間年齢層と高年齢層の人たちはあまりその辺の事情に疎く組織のルールだから参加するけど真実を知らされていない…、それをいいことに若年層（30代含む）が勝手をしている…、そして事情を知ってる人間は知らない人たちも巻き込んで火消しばかりして若年層をしかれない、その更に下の世代の離反はさらに加速するから離反者には恐怖を…、そんな事ありませんよね？

周囲から敵意を感じなくなったとき現れるのが、明らかに“変”な人です・組織内でも浮いていて言いなりになる人がけしかけられていると考えるのはいき過ぎでしょうか？でも東京の人たちよりまだ皆さん正常です。向こうではこういう時、心に病気に苦しんでいる人を大量に投入してきます。非人道的です。車椅子の人も1人や2人ではなく何人も見ますし、骨折して松葉杖の人も何人いや、何十人って時もありました。あわせて非人道的です。参加している人たちは相手にプレッシャーをかける“材料”として自分たちの外見の異様さが利用されると正しく理解してないと感じます。人の尊厳を踏みにじる非人道的行為です。…あ、いあえ、これはフィクションです。物語の中の設定ですのでご安心ください。現実社会にこんな酷い事ありませんから。

こんな事思い出しました、僕は小6の修学旅行の時身障者の方の一人に会いました。初めてだったので思わず近くの友達に「見るよあれ」とやってしまいました。するとその西日本出身の彼は「やめろ」と僕をいさめました。とてもはずかしくなり、もう2度とすまいと思つたのに、中2の時、身障者ではないみただけで適応に問題を抱えた彼をからかってしまいました。悔やんでいます。だからもうそんな事はやめようと決めました。だから東京で類似した経験をしてても可能な範囲紳士に対応しようと決めていましたし、実行し

たつもりです。もし見張っていた人がいるなら確認が取れるはずですよ。だから、正直、そういう扱いをさせる人は許せません。

車で外出した際前方にいたおばさん、あの後ろをチラチラみるプレッシャーの賭け方はロボットのような動きですぐ判ります。挨拶したあと僕の後姿を何度も振り返ってみてましたね、やはりロボットのような動きでもしろいです。バックミラー越しに見ていました実は。オカルト信じてるのかな？やっぱり…睨むだけで超常現象が起きて相手を懲らしめると信じているのでしょうか…。信仰は尊敬すべきもので敬意を払いますが、僕貴方に何かしました？何もしてないのに敬意を払わない人に僕挨拶したんですよ！？もうちょっと考えてください、お願いします。他にも心の琴線きんせんに触れた方もご考慮お願いします。

つい今しがたも窓を開けたら停車してエンジン空ぶかししている白いワゴンが、しかもナンバーまではつちり見える。挙動不審者として通報する事だつて可能なのに、だってナンバーあれば陸運局から持ち主しらべられるでしょ？けど貸しにしときます。

やるんならもう少しプロ意識をもたないと、僕があやういと感じた部分はこういうところなんです。暗示のテクニクに関してはあれほど洗練されてるのに、それを実行する人間が理解してない。スキームは完璧なのに人材があやうい。

上記とは別日に違う白い軽トラわざわざこの先行き止まりのところでエンジン音吹かして侵入し反転、元の道にもどる、小型車だから、僕に音を長く聞かせる以外まったくする必要のない動き。ナンバーは11-7。本気で通報しようかしらとか思っています。仮に道を間違えたといつても何度も間違えませんよねバカじゃないん

だから。

さらに今度は大型スクーターのお兄さん、この人は何度かみてると思う。毎回ご苦労さまです、それとも似たひとかな。今度会ったらちゃんと挨拶してくださいね。けど僕の部屋の下まで来てキヨロキヨロ左右を見てから道に迷ったふりをして元きた道を引きかえす。後ろ向きだからナンバーも見えない。ま、見ず知らずの人間というわけじゃないという事にして貸しにしときます。

変な挙動の車来ますね白い古めの乗用車で、ネオヒストリックカーの好きな車マニアと言ったところでしょうか？何もせずにくるりと回るだけでは不信だからちゃんと手をぬかず通過しましょう。僕の言うあやうさがここにも出ている。暗示の意味すら理解できずにやっているとしか思えない。やればやるほど効果が上がると思ってる可能性がありますが、効果を上げる方法は書きません知ってるはずだし。

セブンイレブンの角に立つのはあそこがベストポイントなんでしょう？威圧には見えない、当時彼女はボケベルで呼び出されていた、今はケータイなのでしょうけど。通報者（発見者）がいて、駆り出される人（参加者）がいて、全体をまとめる指揮者がいるという感じなのでしょうか？あの角は待ち伏せベストポイントなんでしょう？、そういえば行く先々で遭遇するマスクをして座っていて、らむおばさんもやはり、いやいや、あんな善良な一般市民の姿をしたおばさんがあろうことかそんな後世に残せないような非道で下劣で根性のない行動をするはずがない、あんなすました顔で関係ありませんと装うなんてドラマの悪役でもいまだきやらないようなアホなシユチエーションをやるはずがありません。善良で罪なき一般市民がそんな口にはできないような邪念に取り付かれていて自分をコン

トロールできなくなってるなんてありえないですもの。当然、ありえませんが。

今時タクシー業界も大変ですよ、ちょっと前に朝6時近くにわざわざ家の近所まで片手運転の妙技を披露していたドライバーの人は一生懸命ですてきです、皆さんもこの赤白のタクシーのドライバーを見習いましょう。そうすればなにか見えざる超常の力が働いてあなたの未来が急に開けてきます。高い壺つぼを購入するよりもきつとご利益が…ある訳ないし、働いてる最中にそんな何の根拠もない子供っぽい空想じみた考えに付き合ってるほど暇な大人いませんよね、まじめに働いてない社会貢献のない人間じゃあるまいし…すみませぬ失業者のやつかみです。出会うタクシーの運転手の8割が片手運転で手で顔を触ったり頭をかいたり…、いやいや、きつと寝不足と働きすぎなんですよ、ご苦労様です。

そうそう、路上のまちぶせってやはり想定ルート上にカンを頼りに何人かで手分けしてじつとしていたりするんですか？つてことはハズレの人もいるんですかね？いないですよ、人生の貴重な時間をそんなことに浪費するなんて人生の時間の無駄使い。あ、参加費が出るんですけど？だとしたら、先に書いたタクシーの人も含めてお金欲しさに…、結局お金…いやいや、お金に目がくらんで自らの魂を売り払うなんて信仰心の風上にも置けない行為、酒を飲み女も抱く高野山の僧兵と変わらない。かつてお寺は無縁所と称して外界と別世界だったそうです。中世の話ですけど。ここは21世紀ですよ？民主国家ですよ？法治国家ですよ？選挙制度だってあるし、ちゃんと人権思想や福祉思想もある。中世にはない近代的な価値観にあふれている。これら全て否定して「実社会は中世と変わらない！」と叫ぶの人がいたらそれはリアリストではなく単なる無政府主義者です。もしそんな人がいたらソマリアへの移住を薦めてあげてください、思う存分無政府状態を心行くまで体験できますか

ら。

でも、今思っただんです。一生懸命意気込んでやって来て来るかこないかイライラし、ようやく来たと思っただらすぐ終わってしまう…、行き場のない思いとかする人いるのでしょうか？その思い、ちょっと共感します。お互い頑張りましょう。

以前、青と白のボーダーシャツが流行っていた時期に僕も真似てみました、するとどういふことが流行はすぐ変化して緑と白のボーダーシャツへ変わり、追いつくまもなく緑のシャツに変わりました。今は白いマスクが流行っているようなので遅まきながら僕もしてみようと思います。他意はありません。文庫と同じで周知してない人へのアピールで攻撃の意図はありません。

郵便局のおじさん毎日ご苦労様です、たまにすれ違ふときこちらを意識してくれてうれしいです。こんどあのブレーキのかけ方教えてくださいいな。

年代、性別ごとにグループ化しているのは承知していますが、それは別系統の派閥があるのでしょうか？A派がいてB派がいてそれぞれ微妙にちがう行動規範を内包してる…、組織ですもの当然ありますよね、やっぱり。特に60年近い歴史があればなおのこと。

中国では外国メディアが中国国内犯罪の被害者を取材すると、直後そのメディアではなく取材される犯罪被害者の中国人の携帯が鳴るそうです。その中国の方が出ると当局から「取材をうけるな」と言われ、そして数分後警察官が3人やってきて取材を妨害するそうです。携帯の番号がわかってるってことは普段から見張られてるんでしょうね。被害者を警察が見張るなんてあべこべですよ？勿論これは余談であり、文章としては完全な蛇足で、比喩も揶揄もなく

本文とまったく関係ない時事ネタを書いたまでです。

蛇足です

大隈重信が生涯“ひげ”をはやさなかつたのは、ひげで他人を威嚇するのが嫌いだったからだそうです。そういえばどの写真みてもひげが無いような気がします。

もう一つ蛇足です

犬養毅は野党党首時代、意に反して立場上軍部を支持する羽目になりました。野党である以上与党を攻撃せねばならず。苦渋の行動でした。男です。

僕の家近くの坂、あそこどうやら近所の子供の遊び場のようです、よくバイクや車がものすごいエンジン音で通りますが近くの小さな公園に小さな子供がよくいるのでちゃんと注意してあげてくださいね。ぶつかったら洒落じゃすみませんから。

なんか今日も北海道の事件とは別の旧交際相手の事件報道、立て続けてやるところがわざとらしい。知らない人もいると思いますが、新橋近辺の人たちは僕がどんな危険に遭遇しそれをかわしたか知ってますよね？ここではとてもとて書けない様な、関係者の人はまさか書くなよと思うような体験をしているわけで、それに比べたらTVでの脅しなどたいした事ないです。正直。

どうせ見張るなら声くらいかけて欲しいと思う今日この頃です。「最近良く見かけますね、あ、人違いですか？よく似た人見かけるものですから、今度もしお会いした時はよろしくお願いします」と東京で声をかけた人は2度と見なかったように思う。

やはり以前と周囲の威嚇の仕方が違うようです。人が違うのか？やり方がちがうのか？何かが変化したと感じます。みんな基本的にいい人と信じたいです。だって中にはいるでしょ？いい人。

ふと思いました、iアプリって自由にケータイソフト作れるんですよ？じゃあターゲットをみつけたらメニュー画面からワンプッシュで居場所を通報できるソフトも作れるわけですね？あ、いやいや、そんな事なくてもハッキングできるほどのハッカーがたくさんいるならプロ仕様のちゃんとしたソフトだって用意できる。時々すぐ携帯開いて何か操作してすぐ閉じる人見かけます。中にはものすごく不自然に自動販売機の後ろにケータイ持って隠れる人もいます。思っただけです。妄想です。

よく囚人が看守の歩く音でどの看守が来たかわかるようになるのは毎日足音を聞いているからだといわれています。ぼくも似た状態で毎日する車やバイクの音でいつもの人が違う人かなんとかなくわかるようになってきています。どうも今日からいつもの人たちが来てない。そして少数の違う人がきているのかもしれない、中には違和感のある音もあるようなないような…、ま、いちいち細かい事にしているのもバカバカしいので止めます。

別の派閥の人がやっているのか、あるいはローテーションを組んで持ち回りでやっているのか。ちゃんと人類のためになる目標を唱えているのでしょうか？心配です。

雨の日はヘリは来ない。ヘリに限らずレーダーの付いてない航空機は雨天飛べない、一部特殊なヘリには付いてるみたいだけど、それらはほぼ軍用だし、まず来ない。まあロングボウアパッチが飛んできたならそれはそれで面白いけど（このヘリが雨天飛べるか不明だけど、ローターの上にかいレーダー付けてる）。土日もヘリは来ません、休みなんですね。でもこれを書いたら数こそ少ないけど来るようになりまた、偶然です。これをよんで頭にきてやるだなん

てケツの穴の小さい発想を社会的責任のある信頼すべき人物がするはずがありません。絶対にそんな人物はいません、だから偶然です、土日に關しては。

軽くドライブしました、街中でプレッシャーは感じません。30代前後と年配の方のほんの1部だけ以前と同じで、それ以外は普通です。普通のおじいさんが子供のけんかみたいに眼を飛ばすのはやはりシヨックです。大型バイクのつた黒ヘルメットにサングラスの30代に見える少し太めのバイクのおじさんっぽいお兄さんがそういう子供っぽい事するのは、何だか色々な意味で納得するのですが、お年寄りやはりシヨックです、お年寄りを尊敬するよう育ちましたから。でもやはり、皆さん基本的には優しくていい人たちなんだとおもいます。時間かければ違和感なく溶け込めるでしょうか？誤解から始まつてる気がします。色々。

だいぶ静かになりましたが、やはりにらむ人いますね。ばれてるかも…と恐る恐るやる人、やらない人、自分だけはばれてないと思つている今日自転車に乗つていたお兄さんみたいな人いろいろいますね。皆で助け合ひましょう、どうすれば妥当なラインが築けるか。これはここを遠く離れた彼女の周辺の人たちにもお願いします、どの辺りが妥当なラインとして築けるか考えましょう。お願いします。

一応攻撃の主力がどこかポイントは解りました、初期の暗示さえかわせば車のエンジン音で不快感はおきませんね。

しばらく文庫を持ち歩こうと思います。攻撃の意図はありません。これを読んでない人にも気づいてる事実際にアピールしないと通じないと思いました。誤解したままではお互い不幸です。

それから、重ね重ね書きますが僕が鼻を触ったり頭をかいたりは挨拶です。よろしく願ひします。皆で地獄に落ちないようにがんばりましょう、真の“功德”とは、自分を改革する事です。その充

実感こそが真の功德を得るといふ事です。服従が改革ではありませ
ん。

もちもんこの物語はフィクションです。心から誰かに服従する事
で自分が生まれ変わったと思ひ込む哀れな人などいるはずがありま
せん。現実には。いるはずない、そうでしょ？皆でバレない範囲で
いいから考えましょう。あと考えてる事人に言つては絶対だめです、
大変な事になりますから。

ルールを守るのつて大事ですよ？でもこの場合のルールつて主
観が入つていて僕から見たルール違反とそちらから見たルール違反
はかなり違つて見えるし、どちらにも利がある。まさかご自分たち
のルール違反に無自覚な方はいないと思ひますが…。倫理面でも、
法律面でも、僕は自分が正しいと思ひます。よく「ルールをまもれ」
と言われますが、それはお互い様ですのでこの論点で攻めるのは間
違いです。

人を好きになるつてことについて愛する人と話し合ひませんか？
そう思つてあります。

“彼ら”的行動とは、「熱気」にあてられて思はず興奮する集団
恍惚状態ほんごうじょうたいが作り出すものだと思つて。

これが、お祭りとかスポーツならまだいいが、
犯罪行為しゅつたいていに集団恍惚ほんごうじょうたいするのは、間違つてい

…。でも、恍惚状態ほんごうじょうたいにあると、理性的判断が出来なくなり、皆、別
人に変つてしまい、犯罪も肯定する人間にさせられてしまう。

こつという状態を一般に「トランス状態」と呼び、暗示を「ものす
ごく」受け入れやすい状態、と理解しないといけません。

一度暗示に「かかる」と、なかなかとれない。

君のまわりを見回してほしい、事実、普段はいたつて「普通」な

のに、「彼ら」の悪意に関しては「正常な思考」が出来ない人、多いと思う。

それは、暗示にかかっているからだと思う。

“彼ら”の「例のあの行動」は、多くの人には「(そうとう)つらい」ものはず。

何しろ意味無く人をおとしめているのだ、倫理観があればそうとうなプレッシャーになる。

心身クタクタのはずだ。でも心身クタクタになる甲斐あって) “彼ら”の「例のあの行動」が「つらい」が故、日常の些細な事も幸せに感じられるようになる。それが彼らの「行動の意味(価値)」の真髓なのだろうか? 人間「つらい事」をたくさんさせられると、些細な事も「幸せ」に感じると思う。

そうした「たくさん辛い事(=彼らの行動)」をするほど、より些細な日常に幸せを感じられるのだろう。

そうして感覚が麻痺していき「殺人」も「肯定」できるくらいになるのかもしれない。

そのうち「それ」がないと幸せを感じられなくなり、生きていけなくなるのかもしれない。

そして最悪な事に、愛する子供にまでそうした下劣な行為を勧められる異常な心理状態になるのだ。

君もそうした「つらい事」たくさんさせられて、日常の幸せを「より」幸せに感じさせるよう洗脳されたのだろうか…

君はどう思う? 上記のようなものは、ワザと不治の病にかかる事で、命の大切さを学ぶのに似ている。

正常な感覚であれば、おかしいと思うはずだ。

それにそれらは命に対する冒瀆であり、本当にその病で苦しんで

いる人らへの侮辱になる。

「目」は見開いて、前をみなければいけないのだと、強く君に届けます。

「つらい事」をたくさんすると幸せが大事に感じるのは事実。でも、

「つらい事」とは、本来は「試練」のはず。

犯罪「試練ではない。暗示にかかると、気がつかなくなるのだと思う。

“彼ら”の世界も閉鎖的だ、新しい風が入らない構造をしている。

“彼ら”は新興宗教のように「専用の服を作ったり、特異なオブリエを掲げたり」しない。

“彼ら”の場合はそれが“ない”かわりに「例のあの行動」があるのだと思う。

「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだ。その一体感が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく…

そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できくらしい一生懸命になれる道理がない。

普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。

誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。

どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっている事実には気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。

その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

「外」からの「風」が入らないので、内部の空気はよどみ続けた

ままだから、そうなるのだと思う。

“彼らという「現象」”に彼らも自分を「見失って」いる。そして「見失ったもの」を継承しようとするから、歪みが発生する…。

身についてもいない“徳”を伝授するという歪み。

身についていない人から“徳”を学ぶという苦しみ。

身についていない人から学んだものを、さらに後輩に伝授していったらどうなるのか？

世代が下るにつれ、何がどうなるのか…

そういう「現象」君のまわりにもあるのだろうか？

“彼ら”はこの世に「慎み深い人間」はいないと主張する。

そんな思想は仏教ではない。

俗人が聖者の微妙なニュアンスを正しく理解できないが故おこった教えの歪みだ。

…でなければ、誰かが意図的にゆがめた事になる。

もちろんこれは推測を書いているに過ぎない。

その世界がそこまで「本当に」酷かったら、そうとう病んでいる事になる。

「病んだ人間を救う」のが本来の仏教であり、「病んだ人間を大量生産する」事はカルトの思考です。

そこは、どう屁理屈をこねても、覆せない、当たり前前の真実だと、「普通」の感覚の人間なら思うところですよ。

…Fさん、戦ってほしい。

君を責めたりはしない、そういう環境に問題があるだけだ。

過去は糧かてにするものです。君にもそう信じて欲しい。だめかな？

でも、いつか君がそれを信じられる日がくるまで、頑張り続ろうと思う。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。いつか、想いが届く事を信じて。惑わされず、自分の想いを貫いて欲しい。君

が君であるために。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです。

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

物事は単純ではない、なにかしらバイアスがあり、それらが絡み合い“何か”を引き起こしている。

単純な真理1つで救われるほど、単純ではない。

まして、意味も解らず教えを妄信すれば、世界が救われるなど、ありえない事です。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

それが証拠に、彼らは彼ら自身の行いで、ドンドン日本を荒廃させている。

「いいわけ」と「ごまかし」の果てにある「悪意の集約」が何を引き起こすのか？

冷静に考えれば、わかることです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援して
ます。

君は自分で思っている以上に強い人です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てく
ださい。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思いますがどうなのでしょう。
う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃっ
たとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けしないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく、勇気を君に。

（この物語はフィクションです実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

第4話 日々出会う彼らについて（後書き）

メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつな갑니다。この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けないでください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第5話 未来 ver2.0 (前書き)

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けないでください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに關してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。アクセスが
できなくなる前にぜひ感想をおよせください

第5話 未来 ver2.0

(この物語はフィクションです実在の人物・団体等とは一切関係ありません。)

〔未来?〕

ここには全てが上手く丸く収まった日、その終了宣言を書きます。彼女の幸せを皆で祈ってください。

〔未来?〕

Fさん、君の35年は無駄じゃない、それを証明する方法が1つある。

日蓮の“現存する正筆御書”、これを読んで、いかに自分の行動が正しかったか確認してみればいい、納得がいくはずだから。

もし上記を読むことを否定する人がいたら、仏教を否定する事になる。

(もしいたら、まさに“哲学なき日本人”の生きた見本です。いないと思うけど。)

仏教を否定して、日々の活動を肯定はできないでしょ。

35年もやってるなら、読んで理解できるはず。理解できない時点で、おかしいと感じられたら…

君の創意と工

夫に期待します。

21話を読んでください。

「未来？」

… Fさん。

君は過去、たくさん人を睨む行為とか、いろいろ、たくさんさせられたと思う。

もうやらなくていいんです。

もし、話す事で少しでも楽になるなら、いくらでも聞きます。

僕は秘密を守ります。今日も昨日もこれから先も同じ22時の電話をとる準備しました。

鳴らなくてもかまわない。これは、僕が自分に課したものだ。

…君の心に報いるために、ごめん、あの時気がつげなくて、あの時の君の想いは本物だった。

この22時ごろ電話の前で待機するのを日課にしようと思う。

電話番号は高校時代と同じものです。

もし解らなくても、電話帳で調べればのっています。

高校時代の電話録なんかもあると便利です。

たぶん父親名義の番号で載ってるはずだから、もしかける気になったときは、工夫して見てください。

父親の名前は漢字1文字です。

まあ、どうせ同姓の苗字の番号は市内にそうそうないから、全部にかければどこかで正解に当たるはずです。

今は君の都合が悪いだけだ、そう思うことにした。都合がついた時、君は何かしら行動をおこす…。

なぜなら、僕が真実に気がついたという事実を君は重く受け止めるはずだからだ。

仮に再会を果たした時、僕のものぞまない答えを聞くことになろうとも、覚悟はしています。

とにかく、止まった時計は動かしたい。会って、君の当時と今の気持ちを確認したい、それが僕のささやかな夢です。奇跡に賭けます。

(この物語はフィクションです実在の人物・団体等とは一切関係ありません。)

第5話 未来 ver2.0 (後書き)

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けないでください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに關してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。アクセスが
できなくなる前にぜひ感想をおよせください

第6話 未来へとつなぐ手紙（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語の登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第6話 未来へとつなぐ手紙

(この物語はフィクションです登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。)

第5話「未来」は制作保留のまま第6話に入ろうと思います。

君はTVなどあまり見ないと言ったが昨日「奇跡体験アンビリバーボー」を見ていて話したくなった。

関西で正しい内部告発をしたのに壮絶な業界排除に遭い倒産の憂目を見たにもかかわらず、自らの信念と社会の良心を信じて世間に訴え続けて奇跡の復活をとげた社長の話。正確にはまだ復活といえる状況ではなくかなり厳しい状況らしいけど、社長の「一度死んだ身だから何も怖くない」は何だか来る物があります。

最初は冷遇した世間の冷たさ、けど頑張り続けると変わる世間の風、冷たさの温度がプラスへ変わってくる。そうだよな世間ってこうでなくちゃと思いました。

幻冬舎という出版社の社長はある大物作家が何か文章を発表したら必ず読んで感想を書き送ったそうです。相手にされない事はは百も承知で、毎回毎回ちゃんとした感想を書くのは大変だったと思います。返事が来ずとも毎回手を抜かずやったそうです。

数ヶ月たち、本人ではなく代筆で短い礼状が来たそうです。さらに続けたそうです。そして、その大物作家の新作を発表する権利を得たそうです。

人と違う事をやる人間は何か違うもんだなーと思いました。

あきらめなければ何かが変わるのかも知れませんが、それは君かもしれないし、僕かもしれない。他の誰かかもしれない。唯一自分の経験則を付け加えるなら、自分が壊れない範囲で頑張らないとペー

スが乱れて継続が難しくなるから、ペースを守って、ペースを作
て、毎日継続するのが大切なのではと考えます。

僕が何が言いたいのか…察していただければ幸いです。あきらめ
なければ何とかなったり意外とするもんなんです、きつと。常識も
大切ですけど、常識的になる「あきらめる、では心の光を失ってし
まいます。そう思います。

手紙、久しぶりに読み返しました。ピンクのレターセットで大き
なにんじんと3人のウサギの親子が描かれている。シャープペンで
綴られた君の直筆が愛らしい、封筒と手紙が4枚。保存状態は17
年物にしてはすこぶるいい。まるで1〜2年前もらったみたい、な
ぜこんなに状態がいいかというところ3ヶ月前まで完全に見たくないの
で衣装ケースの奥に封印してあって、ほぼ17年ぶりに封印を解い
た状態だからなのだ。かつての僕にとっては捨てられない古傷で、
今は大切な思い出の品です。さすがに封筒は若干傷んでいるけど中
身はほぼ当時のまま。

手紙のなかで手術を受けると書いてあった、けど僕の知る限り君
に手術痕はない、その時は目立たないところにあるのか気がつかない
だけだろうと思っていた。違う意味だったのだろうか…、当時は内
視鏡手術はあまり一般的じゃなかったと記憶している。

「手紙に手術の事書いてあったでしょ」

と少し経ってから君は言った、あえてそこを強調する。僕が君の
意図を理解してない様子をみて黙りこくってしまったのが印象的な
記憶だ。

研修とかなのだろうか？そういえばこの手紙はあの夏祭りの日、
車に見られたあの日以降にもらったものだ。本で読んだ、異端者を
寺で修行のような事をさせて考えを矯正するという件くだりを、手術とい
っても妙に日数が短期だし、君が体を悪くしてるなんて1度も聞い
た事なかったし、第一入院したら手紙が出せなくなるって書いてあ

ったけど、そんな事ないと思うし、それに、いくら何の手術だったか聞いてもはぐらかすし。君が話をはぐらかすという事やはりそういう事なのだろうかとついつい考えてしまいます。僕の妄想であって欲しい…。今現在まさかそんな目に遭ってない事を祈ります。どんな形であれ君の事を支持します。

東京をはなれる最後の日、頼りにしていた人に君の存在を証明しようとして手紙の封筒を見せた。この人は僕の知るがぎり社会的ステータスがもつとも高く、人脈も影響力も凄い。“彼ら”に通じる人脈があってもおかしくないくらいの人だ。封筒を見て一言。

「お前、そんなのもらったの!？」と驚く

あまりの真新ましさに最近もらったものと勘違いされたみたい。そのくらいいい保存状態、ちなみにその人のそのリアクションから僕はこう思った、手紙をもらう可能性を考慮に入れても不自然じゃない状況なんだなと、不自然なら「何それ？」というリアクションのはずだし、何も知らないならやはり同様のリアクションだとその時思った。

ちなみに、この人は東京にいた時ぼくが残した書類を実家に郵送しといたと話したが僕は実家でそれを受け取っていない。この人との電話がやばい内容になると急にプツンと切れる事も3度あった、切れる時のプラグを抜くような音が印象的です。君が仮に手紙をくれていたとしても現在の僕も当時の僕も受け取れていないのかもしれないと考えるのは何も根拠なく言ってる訳ではない。けど、工夫次第では不可能でないはず。

それから、君が当時くれたこの封筒たぶん自分で組み立てるタイプの封筒でしょ？底の部分のりが甘かったみたいではがれてる、けどそれはそれでうれしい。君がこれを組み立てたであろう姿を想像するという楽しみができた、今のぼくにはそんな些細な事も大切な君との思い出になってる。

26日お祭りに行つて…と書かれている、僕は忘れていたけどあ

れは26日だったのかと考えてしまいます。僕の記憶と若干かみ合わない、ウィキペディアによれば「紅の豚」は7月18日が映画公開日とある、8月ではない。公開日数日後に行ったと記憶しているからあれは1992年7月26日の出来事だったんだね、書かれている以上事実であり正確な記録、間違いは無い。思い出してきた、本当は最初1人で公開日に行くつもりだった、だから前売り券も1枚しか買わなかった、けどカレンダーが何か見て思いついた、数日後に夏祭りがある、これにかこつけて君を誘ってみようと。ダメ元で聞いてみたらokしてくれた。神社以外で会う密会。映画自体は2度目のデート、すごくウキウキしたのを覚えている。当日か前日か電話で約束を再確認したように覚えている、あの電話はどちらがかけたものだった？当日僕は自室のカーペットをこみに出すため裁断するという作業を午前中していた、約束は午後だ。楽しみにしながらカーペットを切っていたのを覚えている。当時殴り書きでもいから日記を書いておけばと後悔しています。一応書く試みはしていた、けど君への心の整理が上手く処理できず何度も挫折したのを覚えている、今なら何考えてたのはわかるんだけど当時は解らなくて混乱して文章にできなかった。僕に文才が無いのも理由だったけど。文章はこう続く、僕のこと試していたのかもしれないと、覚えている？君が書いたものだけと…。

あれが26日だとしたらその数日前がぼくの誕生日だ、その日神社で僕らは会っているはず。誕生日なのになかなか帰ってこない僕を家族が心配したのを言いつくろった記憶がある。誕生日の日、僕はあの写真と額を買った、そうだ思い出してきた。神社で君はプレゼントの入った箱を取り出し僕にくれた。

「中に写真がはいっているから」と君は言った。

「ほしいって言ってたでしょ？」と付け加えた。

春、1年のとき撮ったものだと言われた。どこかの垣根（学校だったかな？）の前で制服姿で微笑む写真。横長で腰から上だけ移ってる、カメラを横にすれば全身入るし左右の無駄な空間がなくて済むのだけど、そうはしていない。それでも憧れの彼女の写真、夢のアイテムだった。でも本当は以前見たもう一枚の写真の方がかわいかったから本当はそっちが欲しかった。今はじめて言います。当時は恥ずかしくて言えなかった。その場でプレゼントを開ければいいのに僕は開けずに持ち帰った。君が包んでくれたものを野外で乱暴に扱うのは何かの冒瀆のように感じた。それにせつかく本物の君がとなりにいるのだ、写真は後で眺めればいい、そう思った。

そうだ、本物の君で思い出した。この少しまえくらいかな、神社ではなく造成地に2人並んで座っていたとき君はこんな事を言った。「今は本物がいるから？」

僕が以前と違い女の子のグラビアなど最近見ない話をしたとき、くすぐったくなるような目をして僕にささやいた。笑顔で。そのあまりの凶星ぶりにぐうの音も出なくなってしまう僕、そう、まったくその通りだった。固まっていた僕をみて楽しげな君。幸せな光景だった。固まった状態からなんとか声を絞り出して答えた。僕のドギマギしたりアクションに楽しくなる君、笑顔で返してくれた、あのなんと形容したらわからない独特のかわいい笑みと笑い声で。その後しばらくして僕はその手のグラビアの載ってる本を大量に処分した。本当に要らないと感じたからだ。その事を君に話した時、驚いていたと記憶している。どうも記憶がハッキリしない、「男の人は……」とか言っただけに言ったのは覚えていて、詳しく思い出せない。そのうち思い出したら書きます。少し思い出してきた、君は僕の「捨てた」という単語に反応して、そうして堂々と捨てられるのは男の人だからできるのよねみたいな事言った。そして僕が持っているのそういうの？と訊くと、僕以前につきあった男から何冊かもらったという話をした。そんな話をしたような気がする。複雑な気持ちになった、けどそんな事堂々と語り合える関係になれたのが

幸せだった。

話は戻って写真の件、今思えばその場で開けて中身について君と色々話したかった、そうすべきだった、思い出してきた。君も当時そう思ったのか僕が家に帰った後電話してきてくれたんじゃないかな。ただろうか？そこでプレゼントについて2人で語ったような気がする、記憶違いかな…、僕は箱を開けてびっくりした。予想以上に豪華な額だった事に恐縮しまくっていたと思う、てっきり500円くらいの物と思っていたからだ、やはり、プレゼントはその場で開けないとだめだね。その電話で（もしかしたら違う場面で）今度行く夏祭りについても語り合ったと思う。君は浴衣を着て行くねとここの言っただんじやなかっただろうか？どうも記憶があいまいで、話した事だけは間違いないけど電話かどうか確信がもてない、会う事があつたら確認したいと思う。とにかく君とそんな話をした、この当時僕は何もかも順調すぎて怖いくらいだと思っていた。まったく状況を理解していない僕は写真を額に入れて飾り見入っていた、完全に油断しきっていた。

ちなみにだけど、君が着てきた浴衣の色は白だったと記憶してるけど、もしかしたら青かったような気がする。どっちだっけ？白かったような気がするけど…。ま、どっちも似合うけどね、というか何来ても似合うけど。あ、でも髪は下ろさない方がかわいい。と、個人的には思います。

手紙はこう続く…

「付き合おうと思える男の人にはいろいろ条件があるの。理想のタイプというのはないけれど、細かいことで…」

この状況ではこうしてほしい、あの状況ではこうしてほしいと、この先手紙は僕にとって意味の通じないヒントがいくつか続いている

て、17年前の僕を混乱させた。どうしてそうして欲しいのかが書いてない。けど今はその内容が理解できる。

“彼ら”の存在を前提にすればなるほどそうかとすべての文章が意味が通じるものになる。こういうときこうしてほしいと言ったら僕がどういう態度をとるか試していたと書いてあるね、今はわかる。どうしてほしかったのか。こういう事だったのだろうか？

気づいて、理解して、それでいて事を荒げることなく君の事を想い、その時の関係を維持する。ばれなければチャンスはある。ばれないように2人が協力するには僕が気づく事がまずクリアしなければならぬ最低条件だった。そういう事だったのだろうか？

手紙の内容1部抜粋させてください、安心してほしい前文書く気はないから。ただ、どうしても伝えたいというか、返答しなければいけない想いがどうしてもある。もし、再会したらこの手紙を持参して当時できなかった返事をするつもりでいた、17年の時間に取りをつけるためにも。もし仮に夢がかない再会できたらこの手紙持って行きます。これを見た時の君の顔をどうしても見たい。君の文章はこう続く。

「他人に見られたくないって気持ちを　くんがどうとらえるか期待してたけど、私の気持ちわかってなかったみたいね。逆に私のそういう行動が気に入らなかつたんでしょ、はつきり言って頭にきたよ。」

かわいい字でつづられた中にこうある、当時はまったく意味が理解できなかった。なぜ他人に見られたくないのか？僕がブサイクだからか？変な噂立てられたくないのか？それとも遊ばれているのか？何が気に食わないのかさっぱりわからなかつた。なぜそれほどリスクをしょってまで僕に会うのかも理解できなかった。だけどこの時君は見えない“それ”と戦い2人だけの秘密を守ろうとしていた。僕は自分が守られてるだなんてまったく思わなかつた。対等な

関係で、心が通じ合っていると思っていた。いや、事実通じていたとは思うのだが、想像を超える前提条件に僕は気づきさえもしなかった。君はそれと必死に戦ったいたというのに。君が悪いのではなく気づけなかった僕が悪い。どうしようもない罪悪感というか、責任を果たせなかった無念というか、そういつたもろもろのものが押し寄せてくる。僕はどうしたらいい？本当に僕は君に償いきれないほどの貸しを作ってしまった。何かしたい、そう思う。

ともかく当時君は僕の誤解と無理解をそこまで理解した上で僕に賭けていてくれた、その想いの重さ、その凄さに当時気づけなくて、いや、踏みにじったに等しい行為をしてしまったわけで。そこまで思ってくれた嬉しさと悲しさで、ごめん、きづけなくて。今きがついた。やっと理解したあの時の状況。

「私がどれほどうさをきにしてるか知ってる？」

意味が判らなかつた。噂ってなんだ？噂って言うのは真実でないネガティブな評判という意味で、僕との関係をそう思っているのか？それにしては親しくしてくれるのは何故だ？そういう性格と割り切れない何か君にはあった。自虐的？いや何かかみ合わない。臆病？いや違う。他に好きな人がいるのか？そんな事ずーっと考えているとますます解らなくなる、そして会うといつも優しい君がいた。頭の中でシミュレートした結果と現実の君の違いに明らかに混乱した。君が見せてくれる好意は今まで見た事がない本物の好意だった。だったらなぜそんな事をいう…。

人は自分の枠組みの中でしか相手を推し量れないという、広い視野を持つには経験や勉強が必要だ。実際経験し、それを理解できるスキルをもってようやくあの時の状況が理解できるようになった。人生は面白いとしか表現できない。

僕は君のおかげで人の好意というものが理解できるようになった

と思う。

数ヶ月前、真実に気づきようやく理解したとき、本物の好意をはじめて理解できた。本気で泣いた、生まれて初めてだった。僕は感情が希薄で芝居がかった所がある、こういう時はこういう感情でいなければと自分に言い聞かせるような所がある。なのにこの時はなにも考えず涙があふれてきた。これだけで僕がどれだけ救われたか君はわかるだろうか？今まで悪意を持つ人の心は容易に読む事ができた、そういう人ばかり周りにいたから経験が豊富なのだ。訓練期間が長い分容易に読める。けど。好意に対してはそうではない、このとげを君が抜いてくれたことになる。そして僕はその事に17年かかって気づいた、ぼくはどうやって君に報いたらいいのだろうか？

ともかくこの謎を解くには何かパズルのピースが欠けていた。

この時に限らず君は僕に欠けていたパズルのピースのヒントをいくつも出していた。そうしたときいつもあのさぐる様な目で見る。気づくかしら？と思うてくれていたんだろうか？当たらずしもそれに近い感覚があったように記憶している。自分の悪い評判についてもいろいろ話してくれた、こんな事言われてるのよ！見たいな感じで、僕は聞いた事なかった、当時から1人だったせいがあるいは僕が君が好きなのが周知の事実だったせいか聞こえてこなかった。そんな事言われているの？と僕は驚いた。そして、君の忍耐強さに畏敬の念を感じた

「よく学校これたね。いやにならなかった？」

思わずこう言ってしまった。あれは部活でパート練習中、2人きりの時なんとなくそんな話題になり、君が話した事だと思う。トロンボーンの金色の反射と楽譜たてと楽譜、誰もいない2人きりの教室というイメージで記憶している。外は青空が白くなっていて曇り空の夕刻だったように覚えている。君が声を荒げるのは珍しかった。学校内でテンションの上だった君はめったに見ない、その分本当に

嫌だったんだなというのが伝わる。

君の忍耐強さに対するほめ言葉のつもりだが、今思うとほめ言葉になってない。当時の君はやはり誤解し、僕の追加の説明を聞いてようやく納得してくれた。けど、なにか不満を感じているのがわかった、そしてその時は僕は言葉使いのせいかと思った。けどあれは今思うと違う事を君は期待していたのじゃないだろうか？あの時のあの不満顔、当時は解らなかつたけど今思うと「そうじゃないのよ」と言わんがばかりのようだった。あれはヒントだったのだろうか？気づかない僕に不満を感じつつ君はまた立ち直って無理していつものように振舞った。あの話の後パート練習が終わり、音楽室で部員全員の合同練習に向かった。なんとなく何かがすれ違っているのを感じた、こういう事だったのだろうか？確かめたいです。当時の僕はと言えば、こんな事話せるほど仲良くなつたと若干浮かれていた。アホだった。自分だけは味方でい続けると言っただけならいいのにはできなかった。

そういえばこんな事もあった、やはり同じようにパート練習で誰もいない教室で2人きりで入ると、下級生の部員がこちらを見てはしゃぎ去ってゆく、いつも別にこうしているのになぜ今日に限つてと思った。悪意は感じない、冷やかされて悪い気はしない。でも君は沈んでいた。こないで欲しい見ないで欲しいと、それはわかったけど、なぜそう感じるのかが解らなかつた。試しに話しかける、若干気持ちが悪んでいるけど君はいつものように振舞った、けなげに確かに周りを気にしてた。噂を気にしてた、でも逃げなかつた。いやなら僕を教室に残してどこかへ逃げてしまえばよかったのになかった。あ、思い出した、たまにいなくなつて、どこ行つたんだろうとか思つてるとしばらくして戻つて来るって事あつたね！あれはそういう事だったのか…。今思い出した、戻つてきた君はいつもほつとした顔だったような気がするの僕のは僕の記憶違いだろうか？

「つきあってもない男の人と2人きりで出かけるなんて非常識なんだよ。私、そんなことがばれたら他の女の子に軽蔑されちゃうもの」

君の文章はこう続く。ここの文が一番僕を迷わせた。この手紙を17年も封印した由縁たる部分だ。意味が解らなかった、会う度優しい君がなぜこんな事言うのか解らなかった。なぜなら、ぼくは「つきあってもない…」の部分で君の言いたい論点だと当時思ったからだ。だったら来なきゃいいのにと思った。けど君は来てくれたし楽しそうだった。混乱した。当時の僕の能力では解釈できなかった。言っている事と行動がかみ合わない場合、通常主張したい論点が違う所にある場合が多い。この場合、もしかしたら君が一番強調したかったのはこの文章においてなら後半の「そんなことがばれたら…」の部分だったのではないだろうか？

君はなにより“ばれる”事を恐れていた、そのような環境下にいたので、そう解釈するところという解釈が成り立つ。そうした環境下であれば僕との関係は“非常識”であり、公式には“つきあってもない男の人”と表現せざる得ない。“他の女の子”は同じ環境下の子と解釈できる。「ばれたら大変なことになるのよ、他の女の子の手前どれだけ貴方の為に私が苦労してるかわかってる？」と、こう言いたかったのだろうか？この解釈なら君の行動とまったく矛盾しなくなる。

17年経ち、ようやく僕はこういう事がわかる人間になりました。こんな事思い出した、神社で2人きりの時。君はイヤホンをすると片側の耳が痛くなってしまっていていらなくなる。と、その言葉に対しちゃんと会話で返せばいいのに僕は君の言葉尻をとって「そうそう僕もそう…」と自分も同じであることをアピールした。今思うとこの対応は完全に間違っている。

君はあの時あまえていた、私の思い受け止めてよ見たいな感じだから、それを受け止めてあげればよかったのに、僕は受け止めず

横に流してしまい、あるう事があまえ返すという行動をとってしまった。自分もそうなんだよ、この感じ受け止めてよてな感じに、あまえようとしたらあまえ返された君はしらけてしまった。たびたびそんな事あったと思う。

人の想いは受け流すくせに自分の想いは遠慮なくぶつける、そんな欠点というか、属性を僕はもっている。当時は気づけなかった僕のむかつかれる理由であり、欠点だ。なのに君は優しくった、本当に君は凄い人だと思います。

僕はこの欠点を自覚した、だから、以前よりはコントロールできていると思う。けど、この欠点完全否定はしない、この欠点悪意者には有効だから、悪意を受け流す分にはこの能力欠点ではなく長所になる。だから、否定せずコントロール下に置くよう心がけることにしている。

以前より少しは大人になれたと思うけどどう思う？何が言いたいかというと僕が君を理解しようとして17年頑張つて身につけたスキルとはこうしたもの、考え方の事なのです。基本的に僕の性格は変わっていないけどプラスこうした経験から学んだ事が加わり、以前より随分ましになっていると思っっています。それを言いたかった。

余談になるけど僕らの高校が廃校になるという知らせを受けたとき、僕は想像以上に動揺した。意味が解らなかった。なぜそれほど愛校精神があるわけでもないのにこんなに動揺するのか自分でもわからなかった。あれはきつと高校がなくなれば君とのつながりが1つなくなってしまう事に対する恐怖だったんだと思う。僕はおそらくこの先もずっと同窓会に呼ばれることはないでしょう。特に君と同じクラスだった高2の同窓会は。真実にきづいた今、なぜ自分が動揺したのか理由がわかって安心しました。理由が解れば心をコントロールできる。

事故の遺族が事故原因究明を訴える気持ちが今はよく解ります。理由がわかれば心が落ちつくもの。

これも余談になるけど当時、高校生の僕は本当に変な人物に見えたと思う、今以上に。こんな事思い出した。ある日僕はこんな事言った。「僕は人を利用して」と、事実ではない。

非常に誤解を招く言い様、発言の正確な意図は「僕は他の人に何一つしてあげられないけど、他の人から、いろいろ良くしてもらっている幸運な男だ」という趣旨での発言だ。真意を捻じ曲げてでもセンサーシヨナルな言葉を発して注目されたかったのかもしれない。某政治家の「友達の友達はアルカイダ」と似ている。

自分の幸運を誇っているつもりなわけだけど、真意がわかる人はしらけるし、言葉どおり受け取る人は僕がふざけて言っているところらえる。完全に意思疎通がすれ違っている状態。こんな事を平気で言う所があった。

これは部屋にいた時の発言だ、この時数名の男子部員とそして君がいた。次の練習の準備をしていたと記憶している。この発言で周りは戸惑った、ギャグなのか？マジで言っているのか？という空気の中君だけ反応する。君は僕がギャグを言っているとらえてこう言った「じゃあ私も利用されてるの？」肯定的なものものすごくテンションが高いリアクション。一瞬周囲が驚く。君のそんな姿他の男子はめつたに見えないからだ。僕は見慣れているので冷静に「そうだよ」とギャグで返した。発言の意図はともかくセンサーシヨナルに発言した以上オチはギャグで落とさないわけにはいかない、そのくらの分別は当時も持っていた。この時の僕と君のやり取りは、周囲から見ればコントの様に見えたかもしれない、仲良く映る。

君は周囲の空気に気づき、普段見せない姿を人前でさらした自分にあせて固まってしまった。ここはさらにギャグで落とさないと空気が悪くなる、そのくらの判断も当時の僕には出来た、だから間髪いれずに「気がつかなかった？」とたたみ掛けた。周囲の空気は解け、なんだギャグかみたい空気になる。

ただ僕と君が予想以上に仲がいいことが知られてしまった、後に

なつて君はこの時の件を持ち出した、いかに自分が困つたかと言いたかつたのだと思う、だけど上手くそれを表現できない、僕も君が何を言いたいかなんとなく感じるものの、真実に気づいてない事も手伝つてうまく君に返せなかつた。君も口下手だったけど僕も鈍感だった、けど不思議と君は軽蔑も不振も示さず、あたたかで優しくつた。

君の文はこう続く

「それがわかつてなかつたの？それに思うように私に話しかけられなかつたことを、私がよそよそしい態度とるせいだつて言つてたじやん。はつきり言つてそれを聞いたとき心の中でずうずうしいのもいいかげんにしてよつて思った。もうがまんできないくらい怒つてたんだよ。そのくらいわかつてほしかつたな。」

これは手紙の2枚目の最後にあたる部分、前半のピークと言える箇所。この手紙は1度目の破局の時、もう会つこのやめようと言われる寸前にもらつたものだ、だから君はこの時点では2人の関係をもつ終わりにしようとしていた。もう一度復活するとは考えてなかつたのだらうか？何にせよ君はここまで怒つていたにもかかわらずもう一度僕と会つようになる。更なる危険を冒してまで、僕はその凄さというか勇氣というか、そう、想い…、人に対する想いの純粹さに圧倒される。それもただ圧倒されるだけではない、その想いの対象が自分であるという信じがたい事実を今でも受け入れがたい思い、信じられない思いがする。けど、君は来てくれたしその思いは本物だった。ぼくはそんな君の貴重で純粹な思いの何分の一しか受け止めてあげられなかつた事を悔いています。今なら…そんな想いでいっぱいです。

手紙のこの箇所は僕への不満を表明した中でももつともピークに来るところ、君が当時僕にもつとも伝えたかつた部分だと想つ。他の文章は削れてもここだけは残さざる得ない、そんな箇所だ。おそらくだけど「そのくらいわかつてほしかつたな。」の部分こそ君が

僕に伝えたかった部分なんだと思う。君は理解されない事を何より嫌がっていた。君は僕が秘密に気がついていない事を承知で付き合ってくれた、けど、怒っているという気持ちすら汲めない僕を諭してくれた。鈍感さにあきれていた、あきれていたけど、軽蔑も嫌悪もしなかった。それでも、最低限このくらいは解って欲しい、そうでなければ君が期待した“秘密に気づく”という行為にはとうていたどりつけない…。ある意味当たっていた。何しろ17年かかったんだもの。

この手紙、実は第一話を書いた時点ではまだ封印したままで読んでない、内容も忘れていた。だから、読み返してあまりにも第1話と内容が符号するのに驚いた。僕の記憶は確かなもので、妄想でも自分の都合で書き換えた記憶でもない事が証明された気分になった。鳥肌がたち身震いし、読みながら“ごめんやつとわかった”と何度もつぶやいた。多少の美化があるかも知れないけど、君は僕のあこがれの人なんだからそれは許容範囲だと思う、けど、手紙を読むと確かに君はこう考えていたし、そういう思いだったと確信する。泣けてきた、あれは本物の好意だったのかと、こんなこと書くと君はあきれてこう思うかもしれない、「今頃きづいたの？おそいわよ」笑顔で。

想い…、人に対する想いの純粹さ、僕も持っているだろうか？それを知るのは君だけではないかと思えます、だから会って確かめたいです。さらなる危険を冒してまで僕に会いに来てくれた君のためにも、これを書き続けたいんです、危険は承知ですが、君がおかしかりスクに比べればこんなもの…。

こんな事思い出した、僕は時々不可能とも思える事に無謀にも挑戦する。勇気があるわけではない、無謀なだけだ。君への告白が最たる例だった、けど、ぼくのそういう部分に君は共感してくれたように感じた。こんな事思い出したからだ。

手紙は何度も書いた、覚えているだろうか…ある手紙の中で、君

が居てくれれば自分は何でも出来るといふ趣旨の事を書いた、今よりもダメな当時の僕、けど想いは真剣だった。君は言った「じゃあ今度のテストで1番とれる？」幸せそうな笑いととも君は訊いた。今思うと僕の動揺を引き出すためのジョークだったのだろうか？ともかく僕はそれを真剣に受けとってしまっただけで済んだ、そんな僕のリアクションをみて笑う君、意図したとおりの反応に喜んでいて。真剣に無謀な事をいう僕を愛してくれていた…そんな気がする。君もある意味無謀な賭けを当時していたわけで、それそんな感じの想いだっただけかなんて勝手に勝手に推察してしまいます。けど、想いは真剣なわけで、真剣に取り組めばきつと何かしら得られると思う。現に僕は時間こそかかったもののここにたどり着いた君に解放と自由が約束されるまで真剣さを失うわけにはいかない。

君の手紙の件に戻ります。先に述べたとおり手紙は4枚綴り、2枚目の最後でピークを迎える。ここで謎めいた暗号は消え3枚目から解りやすい文面になる。君は何もわかってない事は仕方がないにしろもうちょっと最低これぐらいは何とかしてと僕を諭す。文面がわかりやすい分グサツと来るが前半の謎と重なってより混乱を招く。僕は当時漠然とこう思った、とりあえずこの理解できる部分だけでもなんとかすれば彼女の謎に近づけるのではないかと。君の文はこう続いていた。

「私、付き合う人には私自身の心を見抜いて欲しいし、わがままも聞いて欲しい。それに私が泣いたときは慰めてくれて、悪いと思つたら素直に謝ってくれる、そういう人であってほしいんです。これって最低条件でしょ」

…わかりやすい。そして君らしい。当時この言葉理解できる分圧倒され僕の心を支配した。何かを訴えかけてる、前半の謎の中にその動機があり、君はこう思っている。見抜いて欲しい何かとは前半

の僕が読解不能の部分なのだろうと感じた。だから、ここから取り組んだ、自分の理解できる範疇からはじめたんだ。すごいゆっくりとした歩みだったけど。心を見抜くに関しては当時の君の心はやつと理解できる様になったと思う。現在の君に関しては会ってみないとわからないけど、たぶん：大丈夫な気がする。確かめる機会をください、可能ならば。わがままの聞き方は解ったと思う、心がわかれば大丈夫。僕は以前君が泣いたとき何も出来なかった、あんなに目の前で泣いていたのに：、その点は本当に悔いています、償わしてください。そして最後、僕は謝れる人間にちゃんとなりました、当時は謝るといふ概念が未成熟だったと思う、その点では胸を張って大人になったと宣言します。僕がそう簡単にキレないという話を聞き及んでいるだろうか？この能力は君の言葉に従った結果身についたものです。君と出会ってなかったらとくにキレてたかもしれない。だから何度も書くけど君は僕の恩人でもあるんです。まさに17年の人生の指標でした、君が僕の人生から否定できない存在である由縁です。

君がここにいない事実を僕はどうとらえたらいいのでしょうか、なんともとらえどころのない感覚が起こります。進む時間の非常さと暖かでやさしい君の記憶が同時並行的に存在する。この2つを入り混ぜてしまつたら僕は自分を見失う、だから強い意思を持ってこの2つを分けなさいといけない。もし君が帰ってきたら、この2つの垣根を取り払う、けど今は出来ない。忘れる事もできない、真実に気づいてほしい時間がたつけど慣れるまでにはいたらない。けどふしぎとつらくはない、虚無とは無縁だ。せつなさ^{すがたみ}とあたたかさ^{すがたみ}があつて、時折思い返すと圧倒される。時折り姿見^{すがたみ}で自分の姿をみる、やはり変な姿形^{すがたかたち}だ。なのに君は僕の外見に対して何も不平を言わなかつた、いやみ1つ言わなかつた、やせたら？の一言もなかつた。

こんな言思い出した、僕の誤解について。時折君はそんな簡単に私を口説き落とせないわよ…といった態度に見える時があつた。心

が接近したかと思うとするりとかわす。だから、こつちを試しているんだろうと思った。どうしたら彼女の希望どうりの接し方になるのかいつも霧の中を手探り状態だった。

君は僕が正解にたどり着くまで君なりに誘導してくれていたんだと今の僕は思う、けど当時の僕は自分が何かしらの彼女の意図する方向に誘導されることは感じつつもそれがなんなのか感づく事はなかった。そんな僕からみると君の姿はそんな簡単に私を口説き落とせないわよ…と言っている様に映った。なにせめちゃくちゃかわいい女の子だそれくらい言いかねないと考えていた。それが君の導く姿だとは気づきもしないで…。そしてそんな僕の態度がどれほど君を傷付けたか想像するだけでなんともいえない感覚に陥る、君が怒っていた姿、憤っていた姿、そんなになりながらも最終的に優しかった君の姿は忘れないし心に焼き付いている。高校時代もう会いと決めたと伝える君の電話、まるで連絡事項を伝えるがごとく感じだった(まるで言わされてるみたいだった、事務的で客観的で)。あの時は彼女にとって自分はその程度の存在だったのかと打ちのめされた、でもその後学校で時折見る君はいつもの君だった、さげすんでる様子すらない。あれが君のやさしさだった、僕を傷つけまいと頑張ってくれていた姿だったと気づくまでこんなにかかった。僕は君をあんなに傷つけたのに君はやさしかった。あの時の電話の時の君をあんなふうにししか思えなかった自分を思うと泣きたくなります。連絡事項を伝える様な感覚でなければ言えなかったんだね? やつとわかった。

僕の気づいてない姿を見て思うところがある人間は君以外にもいた…と思う、こんな事思い出した、考えすぎだろうか…部活のメンバーとカラオケに行った、君は別室で女子といた気がする。男子メンバーで一室占拠し僕も何曲か歌った。流行り歌は知らない、完全に浮く事は知っていたけど松任谷由実の「卒業写真」を歌った、理由も解らずこの曲が好きだった、今思うと無意識のレベルで真実に

反応していたんじゃないかと感じてしまう歌の好み。もし何もかも知ってる人間が僕の「卒業写真」を歌う姿をみたらどう思うだろう…、事実歌い終わってあいつにこう言われた「お前が歌うとなあ…」と苦虫を噛み潰すような顔。ヘタとか似合わないとかそういうリアクションではなかった、何か見たくないタブーを見せられたような顔、彼はどつちだったんだろうか…？メンバー中2人はそうに違いないと確信を持つてるがそういう態度に示したのはその2人以外の彼だった。最近YouTubeで「卒業写真」を聞いてふと思い出した。

こんな事思った、以前にも書いた。木曜日神社で待っていると君は言った。

「いないかと思っただ」

書いた時点では“本当に僕が約束どおりいるか不安だった”と解釈していたけど、もしかしてあれは、僕が何者かに何かされてしまうことを心配しての発言だったのだろうか？そういうえば心配そうに感じたのは僕の記憶がいだろうか？あの時の顔と僕が机から落ちそうになって心配してくれたときの顔が同じもののように感じたのを覚えている、仮にそうだとしたら、僕は今も生きています。

あの東京での信じられないような何千人単位の攻撃…、電車の車両や路線や時間をいくら変えてもいるあの恐怖、朝起きると10年近く住んで一度も無かった低空でのヘリの来襲、同じく10年近くいて一度も無かったのに急に窓の外の電車が速度を上げうるさくなり、必ず僕の部屋の付近で警笛を鳴らす、今まで一度も無かったのに。

マスコミ、相撲取り、トラック、騒音、自衛官、警察、街角の看板が僕が通るときだけチカチカフラッシュのように点滅するということもあった、これは他と違い3年気づかなかつたけど、他の人がそれを知らないと聞いて気がついた。ここには書けない様な事も含めてなりふりかまわず攻撃するあの猛攻をもすり抜け、今ここにいます。君が心配していた以上の危険もあつただけですり抜けた。

普通の感覚だったら、世間の人そんな事するはずない、おかしいのは自分だとなるはず。僕もそう思った時期がある。けど、そう思うためには君との思い出をなかつた事にしないとできない、それはできない、というかありえなかつた。君は実在の人物だし、君から貰った思い出や記憶は僕の人格の重要な構成要素だ、切り離すなんてありえない。否定できない以上自分がおかしいという考えは間違っていると思う事ができた。もう一度会いたいです。

ここまで足を突っ込んだ以上後戻りはできない、推理を働かせればこれら事実から信じられないような結論も導き出せる。君はどうおもう？僕は君が帰ってきてくれたら後の事は正直どーだっていい、世の中には知らなくていいこともたくさんあるならそれでいいと思う。けど、君との再会だけは封じてはいけない真実の一つだと思う。実現しなきゃいけない現実だと思う。近くに部屋でも借りて一緒にいられたら最高です。それ以上の幸せがこの世にあるだろうか？

こんな事も思い出した…僕の勘違いだろうか？以前入部してすぐ辞めた女子下級生の話を書いた、一度だって笑わなかつたあの2人なのに部を去るときトロンボーンは僕と君とあともう一人分のハンドタオルを2枚ずつお別れにとくれた。律儀だなとその時は思った。君も2年のとき部を去る3年のあの先輩にトロンボーンパート3人からとして送ったプレゼントとは別に個人的に贈り物をしていた。そちらの世界の女の子の間では別れ際に何か贈るといふのは何か絶対にしなればいけないものだったのだろうか…。

なら、別れ際何度も渡す機会があつたのに君はなにも僕にしなかつた。何ももらっていない僕はがっかりしたけど、本当はがっかりする必要のなかつた事だったのかもしれないと急に思った、勘違いかな。何を僕が言いたいか君は気づいているだろうか？

「贈り物を渡す最後の別れ」をしたくなかつたから2度目の破局の後何も渡さなかつたのか…。その代わりキーホルダーや教則本など僕の持ち物を欲しがっていたのを思い出す。訊きたい、あの時

どういう気持ちだったのか。

正直「僕の誤解について…」からここまでの記述は僕の感想であり、本当のところどうなのか自信がない部分もいくつか存在する、間違いを指摘できるのはこの世で君だけ。会ったらどう思っていたのか聞きたいから答えを用意しといて的感覚で書かれています。けど次は違う。本当は誰にも話したくなかった大切な記憶。

ここまで来たらもう書いていいでしょう、プレイボーイの真似をして君を口説いたあの時、普段の僕なら絶対言わないセリフで君を口説いた。君は真っ赤になった、そして僕のままをして「私もお芝居」と言って素敵な事をしてくれた。覚えているかな、あれは春まだ神社で会い始めてそれほど時間がたつてない頃だと思う。

君と僕は60センチくらい間をおいて向かい合っていた、辺りは真っ暗、明かりもなく2人きり。

「私もお芝居」

と、一呼吸置いて君は僕に駆け寄った。そして、

「大好き！」

と叫んで僕の口に駆け寄ってキスをした。あまりの出来事に呆然としてしまう僕、君から「好き」なんて言葉言われるとはまったく思ってたなかった。君は唇をはなしにつこり微笑んだ。

「私もお芝居だからできるの」そう君は言った。

「ごめん…今だから正直言う、嬉しかったけど実はこう思った。芝居でしか言えないって事は本気じゃないのか？って思った。

芝居じゃなければっていうのは…芝居なら言える。なぜならそこは現実のしがらみから解放された世界だからだ。しがらみのない世界でなら本音を言えた。そうだったんだね。

「こんなに…なんだろう、言葉が上手く出ない。なんだろう、人から好きって本気で言われたのはあれが初めてだったのにそれに気がつかず、ホントぼくは、君はすてきな人です、表現する言葉が出て

こない。

できすぎてて信じない人がたくさんいる訳がわかる。何故話したくなかったか？誰も信じてくれないから。けど、どこかで書きたかった。だから、今伝えます。

僕は意外と口が立つ、口達者な部分がある。実益が無いのが残念だけど。そして君は手紙のなかでこう指摘する…

「くんって自分の考えが正しいと思ったら変えない所があるでしょ。」

確かにその通りです、君が当時いくらヒントを出していても全て自分の中で勝手な解釈をして納得して君の訴え、目に見えない静かな訴えに気づきもしなかった。それに、これはあの夏祭りの日の後に貰った手紙だ、これはあの時の君の話してはいけないおにいちゃんの話聞き流した時の事言ってたんだね。罪深い、自分の業の深さを痛感せざる得ません、今からならまだ引き返せるギリギリのところだと思っんです、本当の本当にギリギリのライン。今なら引き返せる、リセットとまでは行かなくても正しい形に戻せる、譲れないものがあると本当に心から自分が思える時はわがままを通していい時です。随分我慢したはず、そのくらいわがまま誰がとがめることできるんです？愛はそれくらい重い想いなんです。スイマセンなんかキザな事書いてしまっって、でも伝えない訳にはいかないものですから。

強い口調できみに「来い！」と。「あとの面倒はみるから」と会ったら言いたい。たぶんこれが聞きたい言葉なのはと、もし外れていたらごめん。仮定にもとづいてここまで書くのに戸惑いはあるけど、現状推測をもとに書くしかなく、過去の君ならともかく現在は…、話をしたい、話した上で意思を表明するのが本来の筋だけど、でももっこのまで来たら勘違い野郎とか思われてもかまわない、もう2度と会えないなら全てを伝えないと。だから、恥ずかしいのを承知で書きます。笑われてもかまわない。

「後の事は面倒みるから、信頼してこっちに来て欲しい。」

君の手紙はこう続く…

「時には考えをかえることも大事だと思うし、わがままをきいてあげること必要だよ。(中略)話をするのが下手だって言ってたよね、私もそうなんだよ。(中略)でもだんだんわかってきたと思うけど、私難しい話されるときかなくなっただでしょ。これにもいろいろ意味はあつただけけど…」

この局面でこれを読むと読む人によっては曲解する。

この手紙はあの夏祭りの日の僕の態度に憤慨して書かれている、だから、これはあの日の僕の態度にたいする憤激なのだと解釈するのがもつとも正当だと思う。おそらくここにはこう言いたかったんじゃないだろうか。

頭で考えるのではなく心で感じて、そうすれば私の心の訴えが解るはずだから、

彼女の心の訴えに対して心でなく頭で考えて返してしまっていた、そんな僕の態度がつかつた、そんな意味だと思う。実際の手紙も「…」が文章の最後につく、この先に語りたかった心内を今なら話してくれるだろうか。

会いたい…、ものすごく会いたいです。自分がこんなに素直に人を想う日がくるなんて信じられません。何故会えないのかを考えるともたない、ただ純粹に会いたいと思いつけるほうが健康的なんでしょう、たぶん。君のあの笑顔がただただ好きで好きでたまらなかつたあの日のように、君の存在にただ圧倒されていた、そんな今日この頃です。

こんな事を思い出した。あれは2回目の破局のあと、もう会わなくなった後の事、何度か電話をかけた。今と違いケータイのない時代、こっそり隠れて話を電話でするなんて不可能だったはず。

あの時チャゲ&飛鳥のフィルムコンサートというのが公会堂でやると聞いてさそった。断られたけど、なんだか、聞き分け訳の無い子供をがさとすような口調だった。嫌悪も侮蔑もなく、けど断られた。そんな事思い出す、あそこでかなり諦める方に傾いた、けど、その後君は再び僕の前に現れた。簡単に諦めるのは軽率だと17年前の記憶が教えてくれる。

君の手紙はこの後僕が君の心を理解できない様子を語る。一歩的に責めるのではなく、諭すように。恨みぶしはない、1度僕を受け入れてくれていた後だ、たぶん、僕の長所と短所と天秤にかけて推し量っている。いいところもあるのに、こんなところがダメなのよという感じで、人が聞いたらなに都合よく解釈してんだと思われちゃうが、君は文章の中にこんな文を混ぜ込んである

「口下手だって言ってたでしょ、私もそうなんだよ」

「長々とぐち書いちゃってごめんなさい」

「この文よんでもあまり気を落とさないでね」

涙が出るほどうれしいけど、君はまちがっている。

この僕という人間は気を落とす以上の感情をぶつけられてはじめてその意味を悟るタイプの人間だ。ある意味その辺は君も同じだと思う。本物の感情をぶつけなければ相手には伝わらないんだ。と僕は思う。

けど、君は口にするタイプではなく行動で示してくれた。それに気づきそうできづけなかった僕。

21話を読んでください

君が頑張れるなら、僕も頑張れる。

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされるのは間違っている。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、文句は言わせないわよ！」と、言って良いと思う。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください（周りにもすすめてください）。誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

（この物語はフィクションです登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

第6話 未来へとつなぐ手紙（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語の登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第7話 最近思うこと＋仮説（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語の登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第7話 最近思うこと + 仮説

(この物語はフィクションです登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。)

第6話は制作継続のまま第7話に入ります、少し内容を整理しないと第3話のようにごちゃごちゃになっちゃいます。あれはもういじらない事にしました、あれ以上いじると元の良さがなくなってしまうから。充分言いたい事は伝わったでしょうか？そうである事を祈ります。

ここは日々思った事を書くので、重いこと軽い話題混合で書きます。

こんなこと思いました

小説「千里眼」シリーズのなかに、飛行機のエンジン音がある一定の周波数帯をだすと大量の鳥がエサの出す羽音と間違えて集まってくる…そんなプロットがあります。読んだ時はよくこんなこと思いつくな、どこから着想しているんだろうなどと思ったものです。

毎日ヘリの音をきく現在ではなんとなく着想がどこから来たのかわかるようになりました。

最近思った事…

「友よ明日泣け」という言葉が気に入った。本来の意味はある大学のラグビー部の理不尽な特訓に対して合宿所の押入れの天井にかかれた部員の言葉で、いつ誰がかいたかわからないが強烈なメッセージを発している。というのをTVで見た。押入れというのがいい、学生しか気づかない、理不尽を感じた時この言葉はしみると思う。僕らの場合“友”の部分が本来の意味ではなく僕らを指す“友”に

なるけど。理不尽を乗り越えた先に希望を感じる言い言葉だと思つ。男くさい？かもしれない、君の趣味に合わないのは百も承知で伝えたかった。この言葉強力なメッセージをはらんでいる、何かをのりこえなきゃと思つときに特にね。

あの自転車…

君と一緒に歩いた時牽いてたあの自転車、最近調子が悪くついに走行中チェーンがギアから脱落。チェーンロックで簡単に直せるけど高速走行中になつたらしゃれにならない、そろそろ限界か？と思いきやよく観察すると変速機にもすごい泥が詰まつてる、掃除すれば大丈夫そう。やはり、観察は大切と思つ今日この頃です。

と思つたんですが、プロに見てもらつたら、後輪ハブがもうダメとの事、寿命らしい。修理するなら新品が買えそう、困つたものです。とりあえず現状のまままで年を越します。まだ一応乗れる。

こんな事思い出した

昔、君とようやく打ち解けはじめたあたりの頃、こんな事君は言つた。

「山の奥の人が誰もいない所でトロポーンを吹くとすごく気持ちがいいの」

たぶん、こんな趣旨の言葉だった。

「どこなの場所は？」と訊いたと思う。真似したいと思つた。

君は解らないといった、解らないはないだろう大体どうやって行つたのと訊いた。

「つれてってもらつたの」と君は言つた。

僕は勝手にお父さんに？と訊いた、君は口ごもつて明言を避けた。僕が勝手にそう思うなら思わしておいた方が都合がいいといった態度。

「お父さん子なの？」と訊いた。

君はさつきまで楽しそうだったのに急にこの話題今すぐ終わらしたい態度になった、当時の僕ですらわかるそのそぶりを見て、僕は話すのをやめた。そんな事もあった。

こんな事思いました

仲間同士でも知らない人間はいる…、内部いて常識的なこうした事も外部から見るとわからないもので、なぜこんな事書くかという時々拳動に違和感を感じる人を見かけます、そんな時自然に警戒心が起こる、でもなぜか懐かしい感覚…何故だろう？と思っいて気がついた。これは17年前の彼女のリアクションに通じている、彼女も17年前周囲の人の拳動に違和感を彼女なりに感じた場合警戒心を全開にした。僕はなぜそんな態度をとるのか理解できず彼女を見守るしかできなかつた…。そして今あの時の彼女を同じ警戒心が自然と沸くようになった。さんようやくあの時のきみの警戒心納得しました。こういうことだったんだね、今僕は当時の君と同じ感情を共有しています、相手の拳動がこんなふう君の心に影響を与えていたんだね。やっと追いつきました。あの時の君の気持ちに、少しだけだけ。似た文章は以前書いたけどあの時とは少し状況が違う、今は攻撃の竜巻が去って時々突風が吹く感じ、前者の時と後者の時では同じ警戒心でもまったく感覚が違う。僕は彼女が楽しい顔から一気に警戒モードに入るのを何度か見ている。当時気まぐれな性格と理解していたものが誤解であったことを改めて痛感するにいたりその事を書きたかつた訳だ。

ここからは僕の妄想であり仮説です。それとは別に解る事は、君が相手がそうなのかどうかわからないケースがあるって事は、仲間内でも知らない人はたくさんいる、実際の間関係はご近所レベルにとどまっているという事だね。小集団同士は互いに交流が少ないからちぐはぐな行動や同士撃ちや単独行動の原因になってる。そん

な感じなんだろうか…、ま仮説です。

仮説中もつとも仮説な部類に入る仮説

この仮説は仮となる設定が多すぎて考慮の価値があるか疑わしいのですが、書く価値があると思われませう。もし彼女が僕を選び離婚が成立し2人一緒になれたとします（この段階でかなりハードルの高い設定です）。その場合当然僕は勧誘の対象となる可能性が充分高くなる。その場合、彼女次第ですが拒否する選択肢の順位は最下位です。書く価値のある仮説と考えました。

最近こうも思います…

初めの頃この小説を皆。僕の創作と思っていたのではないかと。なら、創作小説で仲間を困らす悪いやつという事でやる気も出るわけです。当時は気がつかなかったけどなるほどそれで皆敵意全開だったのか…と思う。これは予想だけど君という個人の情報が少なすぎて君に感情移入できない人が多かったんだと思う、僕が書いて君が行動してというのが2つあれば伝わるのだと思う。なぜこんな事書くかという、これこそ“表現されてこそ人は生きている”の真骨頂だから。

（君の行動があるかないかわからないけど、どちらのケースでも成立する文章である事を明記します。）

就職活動、上手くいくように応援してください販売には自信がありません、5年以上鍛えたし。それ以外にも副業もあるし、だめな場合の他の可能性も一応まだあるし。けど、油断大敵、気を引き締めないとね、自分のペースを作り、それを守って、かといって油断せずに。油断していると17年前のようになってしまふ。今日就職活動、もらえるはずの面接の電話がかかってこなかった、ま、偶然です。どの辺りまで普通に生活できるのか確かめる意味もあるので

しばらくはマイペースに就職活動つづけるつもりです。

最近こう思いました

最近夏が長くて一気に冬になります。そういえば今年はきれいな紅葉を1度も肉眼で見なかったと記憶しています。きれいな紅葉…、たぶん今年の僕は今までと違いもしそれを見たら立ち止まってしばらく眺めて君の事を思うでしょう、君の「あの葉っぱ欲しい」と言った言葉を思い出すからだ。もし君もどこかで紅葉を見た記憶があつたら、それを思い返して僕がこんな事を書いてたと思ってくれるだろうか？そうであるならものすごくうれしいです。ホント最近急に寒くなりました。

蛇足的文章を追加します。

僕は昔君に話しただろうか？話したけど相手にされなかったような気がする。僕は高校生当時金縛りに悩んでいた。金縛りは医学的には脳の運動野が寝ている状態で意識の一部が活性化したが故起る現象、ストレスが原因とされる。つい最近その原因をつきとめた。この僕の部屋にあるベット、この部屋来た事あるから見た事あると思うけど、こいつが原因だった。今寝ると猛烈に寝苦しい、よく高校時代これで眠れたと思う。クッションが柔らかすぎて背骨が常に不安定、寝苦しくてストレスになる。東京では床に布団引いて寝たから違いがハッキリ解る。こいつがストレスになり金縛りを引き起こしていたんだ！と思った。自分の高校時代の鈍感さと我慢強さに敬意すら感じる。ホントよく3年以上もここで寝れたものだと思う。何が言いたいかというと金縛り＝オカルトなる物はやはり存在せず、必ず何らかの理由や原因があるのだなと思った訳です。僕はオカルトなんて信じない、と何度も書きましたがやはりそれは正しいようです。今は床に布団で寝てますがベットはそのままです、低反発クッションでも買えば直るだろうか？などと考えています。な

ぜ捨てないのか？それは何でもカンでも早計に捨てるその後で後悔すると経験から学んだからです。君との思い出の品は他にも色々あったはずなのになくしてしまった、あれは、今思うと相当痛い…、だから、何でもすぐ処分はよくないと考えるようになりました。

仮の話です

僕はいつか君と会えるでしょうか？その時…、あ、いやいや、あまり期待しすぎるといけない。ペースを守ってペースを作って、継続しないと。君のほうでも何か変化があったらうれしいです。

こんな事思いました

「私、はじめをつけなきやいけないの」

昔、君はこんな事いった。気持ちのけじめでもあり、人とのつながり、僕との事もそうだった。はじめをつけなきやと結論を出さなのまま時間が過ぎていったような気がする。あの中途半端な最後で君は納得しているのだろうか？

あの時とは前提条件がちがう。僕は気づいた、いつか君はけじめをつけに来る、どんな結論であろうと、どんな方法であろうと。君のけじめが僕に伝わったときが書くのが終わるときなのではないか、そう、思うようになった。最近。

追加：

まじめな話のあと軽口叩くと嫌われるのは知ってるけど、これは違う種類のもの。半分冗談半分正気。もし、全てが終わって再会するとしたら、吹奏楽部OB会で当時のメンバーで飲み会をやるのがシナリオ的に一番無理が無い。道端ではったりもいけどこちらのほうがスムーズで禍根を残さない。人前でそんな事と思うかもしれないけど、この先の事考えるとこれが一番ベスト。

当時のメンバーで協力したいと思う人もいると思う内心では。誰かの許可があるのだろうけど…、僕は外から応援しています。これくらいしか出来ない。

こんな事思った…

君は秘密を明かすタブーをおかさなかった、一線をギリギリの所で踏みとどまっていた。今回もそうなのだろうか？僕が君の居場所や現在の考えに到達するまで待つ気なのだろうか？ありえるがゆえこわい。いかにも君が考えそうと納得してしまう。

君の実家へはもう行くことも手紙を出す事も出来ないと思う。なぜなら1度君のお父さんに取り次いでもらっている、その時電話で話した人は君だと名乗った、（あれは妹だったのだろうか…昔電話したとき聞いて姉妹なのに声が似てないと思った事を覚えている、ちよつとあんな感じの声だった）

それがあるのでこれ以上君の実家へ何かすると事の次第では警察を呼ばれかねない、旧友が久しぶりに訪ねるでは限界がある。

あともう一つ大切な追加

以前こんなニュースをTVで見ました。ある再婚夫婦のドキュメンタリー、奥さんにはつれ子がいる。旦那さんは自分の子供ができたら絶対そつちばかりかわいがるに違いないといって、結婚当初から子作り放棄を宣言して、実行して、親子3人仲良くしているというドキュメンタリー。いい話です、仮に僕にそんな運命がめぐってきたらそれになりたいです。

避妊方法を発明発展させて来た人達がいるからこそライフスタイルの多様化が図れます。先人たちの努力は偉大です。わかっています。

仮説です…

元交際相手のおこす事件報道をよく見ます。先に記述したように記者クラブ制度を利用すれば意図した事件を優先的に報道して世相をある程度の範囲誘導できる事は話しました。復縁をせまる男イコール悪い人というイメージを誘導しようとしているのでしょうか？逆に言えばそのような誘導をせざる得ない状況というのが察っせま

す。

他にも気になる報道がいくつかあって…、大型ニュースとにつかわしくないニュースが時々トップに放送されたりするとついかんぐりたくなります。以前も“いつか僕は彼らに刈られるでしょう”と書いたら、鎌かまを持って人を襲う男の事件が不自然にトップで放送されてました。これは僕の妄想ですが“刈られる”というキーワードで全国の放送局からくるニュースを検索、無ければ仕方ないけども該当するニュースが偶然にも存在したら、中でもより凶悪な部類の物を選びトップに入れる。“刈られる”では本当に該当件数は少ないだろうけど、“火事”とか“保険金詐欺”とか“交際のもつれ”なら年中事件があるから選びたい放題のはず…。本当に放送しなきゃいけないニュースの邪魔にならない範囲で入れてしまう、でももしそのニュースにそれなりに話題性があれば拡大して引っ張ってゆく。そんな感じでしょうか？

時々幼い子の不幸のニュースが不自然に取り上げられます…、君への圧力ででしょうか？心配です。稀有ならそれに越した事ないけど、君がどんな状態であろうと、どんな思いでいようと僕は君を支持します。それくらいしか僕が君に報いる方法はない。もちろん君が望めばそれ以上の償いをさせてほしい。至らない僕ですが粉骨砕身努力させていただきます。だってそれしか僕が君に出来る事はないもの。蛇足ですが当然知ってると思うけど書かせてください。離婚した場合子供の親権は幼ければ100%母親がとれる。ま、仮の話です。あらゆる可能性に備えて…、あえて僕が書くこの意味解

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。
君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

(この物語はフィクションです登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。)

第7話 最近思うこと＋仮説（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語の登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第8話 勤労感謝の日から（未来へと続く話その1）（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押しせば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語の登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第8話 勤労感謝の日から（未来へと続く話その1）

（この物語はフィクションです登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

「勤労感謝の日…、」

戦前は新嘗祭と呼ばれたらしいですね。農作物の収穫を祝う日が元になっている説があります。この日、静かでした。あの神社での密会を木曜日から金曜日に変更した日、あの日あまりの人気の無さに君は歓喜した。喜び勇んで社の周りを2回もぐるりと回って「誰もいないでしょ？」と微笑んだあの日、まさに今日はあんな感じに静かな日でした。2〜3日前は静かながらも何か感じたけどそれならない感じです。祭日だからかな…、明日は普通の平日。皆さんに心が通じたと思いたいです。

「そして次の日、」

かなりかなり静かです、今まで出1番か2番目くらい静かです。でもいるにはいる、油断できない。

「さらに次の日、」

静かです、それまで1日何十回と聞いていたエンジン音が常識的な回数と音量に変化したまま、僕の気づく範囲では今日3日目です。君の方にも何か変化があったのでしょうか？でも静寂よりも君の笑顔を見たい今日この頃です。そんな思いも手伝って今日久しぶりにあの神社へ行ってきました、自転車で。以前なら歩行者や車のドライバーから感じる敵意がぐっと減ったと感じる、けど無くなったと断言できない…ま、冷静に考えてみれば住んでる人は同じ人達なんだから、それでこれだけ変化したのは凄い事です。

「木曜日。」

嵐は去ったのでしょうか？いえ…観察は続けるのが常識的判断と心得ます。

「金曜日。」

今のところ静かですが昨晚ものすごい爆音を深夜ききました、じらすように距離をかえずく近くから遠くまで、特徴的だったので同一者の方とお見受けします。昼をすぎ若干戻りつつある印象を受けます、このところ聞こえなかった郵便バイクの耳障りなブレーキ音が復活し、対向車線のドライバーは目に付く威嚇をする人を再び見るようになりました。やはり、元に戻る傾向のようです。日増しにどうなるのか、憎しみからトランス・オブ・ウォー（集団トランス状態）を再び誘発する可能性を感じます。誇りを傷つけられた：とお思いの方がたくさんいるように推察します。誇りとはなんでしょう？ 誇りがあるなら自分をコントロールできるはずですが。ウサ晴らしの正当化が否定され「行為の正当化ができなくなる」「恥ずかしい自らの行い」という図式が出来上がり、恥ずかしいと感じる。この場合次の2者の考え方に分かれるでしょう、「自らの業を受け入れるタイプの方」と「逆恨みして自己正当化するタイプ」業を受け入れるタイプの無いた人は安易な選択肢に飛びつきがちになるというバイアスが働き、そのまま放置して3割以上の人がこの安易な選択肢に飛びつけば残りの7割もその空気に逆らえなくなり、集団トランス状態の完成を見ることがになります。空気がながされない為には自らの業「カルマ」と向き合う姿勢が大切なのです。

「土曜日です。」

朝、今のところ静かです。大型バイクでいつも2人乗りしているお二人：仲いいですね。この辺で買い物って事は意外と近所さんなんでしょうか？ 今度あったら今度こそ…あ、いや、やめましょう。挨拶とかすると意味がなくなる、何も無いしこれからも、そういう設定ですよ？

あといつも聞きなじみのあるエンジン音の主やつとみつけましたよ、今日じっくり車と乗車者を観察させていただきました。タイヤ以外にもいじってあるんですかあの車、やっぱり車検の時だけノー

マルに：あ、すみません知ったかぶりです。やはりお互いしらばっくれましょう、それが一番です。

仮の話ですがもしあっているようならほかに打ち込める事を見つけてください、死に際に自分の思い出を誇れる人生を送ってください、あの世には財産も欲望も持ち込めませんし、行くときは1人で大抵。

それでも続ける人はそのような方法でしか自己表現できないのですね、表現されない人間はいないに等しい。やるのをやめたら自己の存在が否定されてしまう：、でも時間をかければ普通に戻れますよ、そんな事なくても世間とのつながりが切れる事ありませんから。それが心配な人もいるのかな：。

教習所で習いました、いつまでも低速ギアで走行すると人の迷惑になると、ちゃんとギアチェンジしないと。ATも最近は手動でギアチェンジできることも習いました。おかげでペーパードライバーから脱せました。蛇足です。

まだ：いますね。完全にお付き合いを絶つのは不可能という事でしょうか：。お相手はご遠慮いただきたいのですが。

〔日曜日、〕

深夜零時すぎ、来ますねまだ。近づかないけど遠くにとどろく自動車の爆音：。充分四方100m以上確実に不快にさせる低周波の振動。僕が以前書いた“コントロールできない：”人たち？でしょうか。若い人が勝手なことをやり、尻拭いをする男性中高年層、そしてそうした事情を知らない組織の主力となる女性中高年層、そんな年配者を見て育つ子供たち：。そんな図式なんでしょうか？以前も同じ事書きましたが、やはり、いるようですね。“コントロールできない：”人たちが。外れていても当たらずしも遠からずなんではないでしょうか？放置すると長期的には：、皆まで言わなくても頭のいい人は理解されると感じますので明言を避けます。

日が昇り、青空の下、昼は普通と感じます。たぶん：。

TVでボクシングの世界戦、亀田VS内藤の試合見ました。君は見ないし興味ないかもしてないけど少し語らして。

内藤さんの試合前のインタビュが印象的です。亀田は見た目以上に裏で努力している、こっちもそう思い込んで練習しないと…、こんな趣旨の事言っていました。肝きもに命じないと。君の方ははどうですか？どんな変化がありますか？油断大敵、そのつもりで行きましよう。ボクシングは詳しくないけど、亀田選手の方が内藤選手の動きをよく読んでいたように感じた、本当に見えないところにいる対策していたのかもしれない、油断大敵。

〔月曜日、8日目〕

今のところ静かです、けど土曜日に3度も見た赤ちゃんを抱いた若いお母さんが印象的です。日常にない違和感というのは日数が経ってなお記憶に残っているものほど本物の違和感だったりします。

いつもの威圧は感じなかった、偶然という事で一時置いておきます。

まだたった8日です、17年に比べれば微々たる日々です。君のほうは今どうしてるでしょう、同じように必要外のプレッシャーを受けていない事を祈ります。やはり“監視”の輪は外れてないのでしょうか、君の方はどうですか？君が頑張れるなら僕も頑張れる。

20時35分ごろ、いつもたまに感じる不快感、耳の奥できこえる「ヴヴヴ…」という重低音、可聴領域ギリギリでかろうじて聞こえる。機械の作動音とずっと思っていた、室外機とかの。今日みつけた、ここ2階部屋の斜め下に白い乗用車、ナンバーは青く浮き上がるタイプで暗くても読める、一般の人？中に1人居る。停車させたまま、誰か同乗者を待っているのか？誰も来ない、変を承知でじっと見る、変はお互い様だ、遠慮する理由が無い。室内灯がつき、消えて、45分ごろ立ち去る。誰も新たに乗り込む人が無い状態でソロソロと音を立てないように発進、こっちが見てることは明らかに気づいているのに静寂の姿勢を崩さない、そのまま静かに立ち去

った。どうやらいままでの「ヴヴヴ…」はずっと彼らしい。無意識にストレスを感じていたけど機械のせいと納得していた。

もし“彼ら”だとしたらかなりの高テクニク、いままで気づかなかった。ここで「ブンブン」エンジンかけてた素人とはレベルが違う。やはり安心できない、君のほうは大丈夫ですか？このテクニクは気がつかないレベルでじわりじわり相手をいたぶるウルトラハイレクニクなんです。気づかないと自己防衛もできないうちに体調不良におちいる事になる。体調大丈夫ですか？やはり手ごわいです。

彼が攻撃の主力で、他がその補助と思えば、普通に走っている車とうなりすら補助になる。あの音を聞くと不快になると暗示されているので、似た音を短時間聞いただけで同様の効果になる。じつに洗練されている！一般車両の走行音までも組み込んだみごとな暗示攻撃！へたに頭のいい人は気がつかないし、証明は欧米ならともかく日本で暗示を法的に法廷で証明する事は不可能に近い！いままでのシロウトとは本当にレベルが違う！見えない脅威はまだ続くようですね、よりレベルの高い形で。

22時48分頃、住宅街に似あわない破裂音のようなエンジン音あの彼の大型バイクでしょうか…。普通の感覚では都会でもなければエンジン音を楽しむタイプの機械は就寝時間帯使わないのが大人のたしなみです。ピアノを夜弾かないのと同じです、子供でもその辺心得てます。そういえばいました東京でも、ものすごい路地であるはずの僕の部屋の前の道にオープン2シーターのスポーツ車が来ていやらしくいやらしくぎゅるんぎゅるんと30分近くやる、ピーキーなチューニングかと感じるいやらしい音、朝の早い時間から、ありえないなりふりかまわないぶり…

22時58分頃、ピキキキキという自転車のブレーキ音。この時間に？自転車？東京ならおまわりさんに職質される行為、田舎だからないと思うけど。つまり夜中の自転車は職務質問の対象になるくらい普通あまりない。

何か元に戻ろうとしているんですね…、それとも個人的独自行動なんですか。自らの業をこれ以上深めても得るものは何も無いのに。4〜5人ほどの小規模のトランス・オブ・ウォーが単発で散発しているのでしょうか？水は高きから低きに流れるもの、人もまた同じ…、元ネタわかる人はわかると思いますが、この言葉自身は十二分に重い真実を突いています。低きに流れないでくださいね。

〔火曜日、9日目〕

昨日の件で、一気に時計の針が3ヶ月少し前に戻った感覚です、8月後半、尾行は感じていたけどせいぜい10人くらいと感じていたあの日、電車に乗っているとなじみの監視者が僕の座る前に立った、満席だから立つのはいいとしても、いつも必ず誰か立ちこちらを見下ろして凝視する、毎度の事だ。だから席を譲ってやった。巨漢の中年男に年下の男が席を譲るのは何も不自然じゃない、男はあの親しげだが妙によそよそしいにやつきで断るが強く勧める以上場所を移動するか席に座るかしかない、彼は責任者クラスと前からふんでいた、現場を去れないはずだ。案の定譲った席にすわる、入れ替わりざま今度は僕が彼の前に立つ。しばらく見下ろしてやめた。これだけで充分プレッシャーなのは知っている。隣に座るおばさんがものすごい不安と心配のまなざしをこっちに向ける。あの日からだった、急に人数が増えたのは。撒いてやった、そしたら次の日から尋常でない数に膨れ上がった、それこそ千人単位でいた。おかしかなりそうだった。必死にネットを探し、該当する情報をあさった。そしてある程度わかった時点でトイレに立った、その時そういえば彼女も該当する名を口にしていて、あの先輩がそうだと言っていたいやまてよ、何でそんな事知っているんだ？彼らは絶対正体を明かさなさい！何であの子はそれを知っていたんだ！もしかして…もし彼女もそうだったとしたら！！この瞬間、全ての記憶が正しい形に一瞬で組みあがった。

今朝は一応静かです、けどヘリの飛行音がしました。前はもつと

長く聞こえたし音量も大きく回数も多かったけど今回は常識的なへの音。けど、やはり、油断大敵ですね。君のほうは大丈夫ですか？体調とか不安です。君が頑張れるなら、僕も頑張れる。前言撤回、まだいたへり。

11時00分組織だった行動を感じません、愚連隊レベルに落ちたという事でしょうか？異を唱えるいい人が大多数いる良識的世界を信じさせてください。これに意を唱える人間は良識を否定する人間です。

僕の器は小さいけれど小さいなりに頑張ってきたし、これからもそのつもりです。器を大きくすることは出来なくても時間をかけて割れないよう磨いていくつもりです。その歩みは遅いでしょうが、後退しなければ必ず意義があると信じています。だから、この辺で許してもらえませんか？お願いします。該当する方の中には、僕の想定する方、想定外の方、いろいろ居られるでしょうけど、お願いします。彼女も返してください、勿論本人の意思が重要ですが、これだけの過去がある人間同士、話したい事があるのは普通の事で、それを願うのは当たり前のことと思います。えらそうな書き方ではありません、けど、言わねばならない時は失礼でも言わねばと思いません。

まさかの3度目は予想外と信じていいですね。

21時50分すぎ…静かです、落ち着いてしばらく様子を見るのが一番なんです、空気はスイッチ一つで突然変わらないものですね。

〔水曜日、10日目〕

朝、静かです。

昼、静かでした。

夕刻、静かです、今の所。泣けてきます、人の良心ってやっぱり信じていいんですね。

何かを訴えようとしている人がいるように感じるのは僕の主観がそう思わせているだけだと、今の所考えます。僕は彼女に会えるのでしょうか？日々精進が続きます。

19時36分ローギアの車がグウオオオオオオオオオオオと坂を上ってきて、何も用が無いのに1周して住宅街をさる。どこの家にも車庫いれしないし、誰も下ろさない。「ばれなきやいいだろ」と言っているように感じる、ああいつの見ると彼女の方はどう思われてどう扱かわれているのか心配になってきます、ばれなければ、と不当な事がされないよう彼女のまわりにいる人で気遣いが出来る立場の人がもしいたら配慮してあげる事はお願いできないでしょうか。稀有であることを祈ります。

21時以降、まだいますね。というか若干増える傾向と感じます。いるようですね愚連隊が、こう書かれて自らかっこいいと感じた当事者の方はヤンキーと感覚が同じです、若いつてすばらしいですね、いつまでもいつまでもずっととずっと若々しくいてくださいね、実年齢なんて一生気にしちゃダメですよ、僕とそういう意味では同種の方々なんでしょう。

〔木曜日、11日目〕

わずかなそれも徐々になくなる傾向のようです静かです。そうですね平和を信じていいんですよね。

「さん」に語りかけます、

元気にしてますか？厄年、気にしてたの思い出します。クリスマスをした事無い、厄年を話題にする、これだけでも充分なヒントだったのに気づけませんでした。バカだなとホントおもいます。今、何かの最中なのか、それとも違う何かがあるのか、理解できない状況の時は必ず何かかけたピースがある。君がその（僕にとっては）欠けたピースと真正面から向かい合っている姿を想像します。こんなこと思い出した、あの先生がいなくなるとき、君は校長先生に直

談判するため電話をかけたんだよね、あの行動力、今でも持っていると思えます。あの話を聞いた時は素直に君を尊敬しました。無理な事とかしてないですよ？とか思いました。気遣いたいです君の事を…

こんな事も思い出した、僕らが3年で部活を引退するにあたり送迎会が開かれた。大きな教室に机を並べてお菓子など並べて、僕はいつものように君がそつけない態度をとるつもりだとばかり思っていた、なのに君はあんなに大勢の前でまるで神社の時のような態度でぼくに語りかけた。ものすごい笑顔、周りが驚いている、けど、それに僕も会わした。その状態こそ本来僕が望んだ君との姿だったからだ。大きな教室の一角、窓際の席に2人座る、周囲はそれぞれ歓迎してるけど、こちらの邪魔をしないようにこちらを気にしている。そんなのお構いなしに君は僕の耳元に2人だけしか話してはいけない秘密の思ひ出を語る。聞いた僕も真つ赤になるし、話した君も真つ赤になる、お互いに笑いあった。人前であんなに2人でデレデレしたのは最初で最後じゃないだろうか？

あれは…もう大丈夫と君が危険がないと判断した結果だったんだと思う、先生との事は責められても仕方ないけど同級生との恋なら大丈夫らしい、そう判断したのかもしれない。その後、あの黒い車に出くわす事になるんだけど…。

何がいいたいのか？もし、これを読んでいる中に現在の僕の状況にご尽力いただいた方がいたら誤解されてしまいそうで怖いのですが、信用している事だけは先に表明します。ただ、人の口に戸はたてられないように、誰がどこで何を考えているか注意すべきだところで書きたかつたんです。何しろ実際に直接17年前に僕と彼女を引き裂いた人達がこの地元にはいるわけですから、その心中を察すると怖いものがあります。もしかするとその中には彼女の身近な方も含まれる。そんなこと考えると心配もしたいし、注意も呼びかけたくありません。心が折れないよう支えたいと考えるわけです。今も時々感じるプレッシャーもその辺に根があるのではと、可能性の問

題ですが…。ただ1度静かな状態を体験しているので、現在の状況（特に日が暮れてから）が普通でないのは感じます。勘違いでしようか…

彼女に伝えます、頑張つて。

22時8分、今夜もローギアでヴオオオオオオオオオオオという音で用もないのに僕の部屋の下の道まで来て住宅街を1周して脱出する不審車両がきました。白い乗用車、ナンバーを見損ねたけど青く光っていた、車種もあの車と同型、

あの車とは？耳の奥できこえる「ヴヴヴ…」という重低音をはなつたあの車と同型。青く文字が光るナンバープレートといい、同一人物の可能性が極めて高い。本気で不審車両として通報していいですか？まだ諦めてないなんて…プロですね本当に、日没以降の自然さもやはり勘違いじゃないようですね。

僕は知っています、東京で会いました、本気で言葉の通じない若い大人たちを。一旦取り下げましたけど下記の文章を再度記載します。本当にこんな大人だらけなんですか？少数なのは来る騒音の数でわかります、いわゆる筋金入り、

こんな事思いました

あの余裕たつぷりの態度をとる人は少数ですが17年前から良く見るタイプです。親しげだけど妙によそよそしい。

裏事分野（非倫理的団体行動）のトップエリートなんでしょうか？いますよね、心が未成熟でどんなことしても良心が痛まないタイプの人。心が未成熟な分純真で邪念なく悪い事ができる…こういう人が幹部になったら大変ですね？でもこういう人ほど活躍して実績とか積み重ねて…、実際、裏事（非倫理的団体行動）の世界で指揮する人間はこういうタイプでないと勤まらないということでしょうか。

あ、これは言いがかりではありません、僕は該当する人材を3年以上観察し続けました、何がこの人をこんなに子供でいさせられ続けていられるのだろうか？僕より年上なのにと不思議ですと観察していたんです。人格障害なんだろうか？今思うとあの表情もあの当てこすりも、何でもやりっぱなしのまま放置するのも性格ではなく相手へストレスを与えるテクニクだったなと痛感します。

その後同じ手法を何百人単位（けてして過剰表現ではない）から受けたので確信した訳です。ああ、あの人は彼らだと。純真すぎて心が未発達…ある意味僕らと同類な訳で、似て非なる存在。彼女には残念ながら良心が育ってしまっていた、そこが不幸なんです。話を戻すところとして育った幹部が何万という単位で存在するわけですね。やはり、幹部は選挙でよりいい人材を選んだほうがいい、ダメ人間のサロンと化した組織は無目的に存在を主張し続ける政府の公益法人や外郭団体と何もかわりません、あそこも存在理由がすでに人生のリタイヤ組みのサロンと化す事になっていて看板はどーでもいという団体が山のようにある。幹部がまともならサロンと化す前に自浄作用が働くはずですよ。

不憫ふびんに思います。どこの組織にも必ず少数いるいわゆる「困こまったちゃん」ですね。ドイツの潜水艦映画でただ1人ヒトラーの「わが闘争」を読んでいるエリート仕官がいて皆から不憫な目で見られるという描写があります。当時の世相から読むこと自体は特殊な事ではないにしろ彼は潜水艦の発令所で勤務中読んでるわけで、周りから今そんな事してる場合かという目で見られ、その男はそんな事も気にせず「わが闘争」に没頭する…そんなシーンだったように思います。

僕の面接の返事がすっぱかされてるのは関係ないと祈ります。もしそうなら地獄行き級の悪徳ですね。

明日もお相手しないといけないのでしょうか？

〔金曜日、12日目〕

たった12日です。

ついさつき、朝だということにやはり来ました。気にならないレベルなんです、いるということが残念です。でも9割がた静かです。1割ですし。

相手の人格を否定する楽しみ…至高の喜びなんでしょうねこの1割の人にとって、彼女がそんな目にあってなかった事を祈るばかりです。

さん、ぼくは頑張ります、君があんなに頑張ってくれたのにこの程度でへこたれてられません。

油断していたら急に警戒心が芽生える…そんな事思っていたらこんな事思い出した。

あれはもう3年の2学期後半かな、君と僕は校舎の3階に2人きりでした。そこは3階の渡り通路へ校舎から出る出入口のところ、放課後は人気が少なく、最初の僕の告白もまさにここだった。その日は特に人気がなかった、だから君は僕を渡り通路へ誘った。

青空を見上げながら渡り通路で2人で語りたかったらしい、いつにない大胆な行動、人気が無い故君は油断していたんだと思う。2人して渡り通路へ出る、2階部分が渡り廊下になっていてここはその屋上部分、手すりがあるだけで天井はない。語り合うにはいい感じの天気、もし実現していたらいい思い出になったと思う。けど、無理だった。

君は通路へ出て中庭を見下ろした、すると吹奏楽部の男子メンバ―がバレーボールをしている、とたん君は隠れた、あわてて校舎へ引き返す。

「誰もいないと思ったのに…」しゃがみこんで君は言った。

「見られちゃった」こうも言った

僕はその意味するところが理解できず困惑するばかり、君は言った

「少し時間がたつたら神社で待つてて」正確な記憶でないがこんな趣旨のことを君は言った。

君はどこかへ消えた。

少し立つてからか、と思い僕は中にはへ行きバレーボールに加わった。神社へ行くまでの時間つぶし。

「お前さつき　さんとあそこにいたろ」

と責めるような目つきで1人すこんできた、印象的だった。こいつがのちのち自転車で尾行中ばったり会うことになる彼だった。当時から監視役だったのが今ならわかる、時折彼女も名指して君の存在に注意を促していたけど、まったく気にせず友達してた自分が恥ずかしい…。

今これを読んでいるだろうか？もし読んでいたら、僕に返しきれないほどの借りがあるはず、それ全部チャラにしてもいいから、彼女と連絡取る段取りをつけてくれないだろうか？そうでなきゃ一生僕に借りを作ったまま、ムナクソの悪い青春の思い出を引きずる事になる。それはいやでしょ？高橋留美子作品が好きな趣味趣向から考えれば、受け入れがたいくらいいやなはずだけど、それも出来ない状況なんだろうか…

ま、ともかく。男子メンバーの中にそれほど彼女が恐怖するやつがいるとは思えない、

そんな事思い出した。で、気がついた。暗示により警戒心が敏感になると必要以上に警戒心が大きくなる。現在の僕がまさにそうだ！って事は当時の君も何かしらのプレッシャーを毎日受けていて現在の僕と同様の状況だったという事だと思う。今の僕と同じ思いだったのか…

そんな事思いました。

現在の君は大丈夫だろうか？必要以上の警戒心にまいつてないといいけど、もしそうだったら、もう1人同じ思いをしている人間がいると思ってください、多分気が楽になるはず。仮の話です。

仮の話です、

今しがたも、もしかしてそうかも？と思う車が唸っていました、詳しく描写すると呼んでしまうのでやめます。書くと来る？やはり暗示にかかりやすい3割に入るタイプの人達なんでしょうか？

でもこう考える事にしました。彼らが頑張っているのは僕に君を諦めさせるためであり、そうしなければいけないのは、そうしないといけない理由があるから。と考える事にしました。

この仮説、当たっていると信じます。どの程度の確度か：例え確度が低くとも、君は僕の17年の人生の道しるべでした、そしてそれは今後どんな運命がまつていようと今でも道しるべです。これが僕の運命なのでしょう。

おそらく、君が一番幸せにできる男は僕だと思う。なんとなくそう感じる、君を幸せにする男はたくさんいると思う、けど、もし、きみが誰かをしあわせにして、その充実感を実りあるものとして求めるなら、僕のほか適役はいないと思う、他の人が聞いたら何言つてんだと思う発言だけど、君ならたぶんうなずいていると思う。あんなに上手くかみ合う相手を僕は知らない。

〔土曜日、13日目〕

詳細は控えます。今日は天気が悪いようです。君の沈黙がなぜか懐かしい。

こんな事思い出した。

あれは2年の時、初めて映画に誘い、先生の事聞いて僕と君との関係がギクシャクしていた時の事だ。君は怒っていた、僕が怒っているのをあからさまにわかる態度でいたことに。僕も怒っていたし、君も怒っていた、お互い引かない。この事を書くときやぶへびになり

かねないと一瞬思ったけど、後々君が言った

「先生と会ってもなんともしないよ」

のセリフを信じて書きます。ともかく僕のその態度に君は怒っていた。

放課後、金管楽器だけで音楽室で練習中、休憩明けで席に着くと2人きりになった。他のメンバーはいない。君はじつと前をみずえて動かない、負けじとこちらも沈黙を貫く。広い音楽室のすみで2人きりの長い長い沈黙、本当の本当に長い沈黙。お互い何について怒っているのかは自明の理。君は一步も引かない性格だった、こうと決めたら徹底して突っ走る、そんなところも愛らしかった。あの時の沈黙が2人で相對した時のもっとも長い沈黙だった、たぶん覚えていと思う。お互い消耗戦だった、お互い超がつくほど辛抱強い。

のちのち僕は君に言った。あれは僕が気持ちを全てぶちまけた日、泣き終わって仲良くなって落ち着いてから言った、ケンカで人に泣かされた事はあるけど稀な事だった。まして女の子には1度もなかった。

「ケンカしても　さんにだけは勝てない」

すると君は驚いた。

「そんな事無いわよ」

なに言ってるの？ありえないといった態度。小声で続ける君。

「　　くんのほうがすごいわ」

と、お互いこんな頑固な人間に遭遇したのは初めてだったんだと思っ、なんとなくそう思った。

そんな事思い出しました。

こんな事思いついた

昔、神社で会うようになった頃、学校の廊下ですつと向こうに君がいて意識したわけでもないのに自然と目で追いかけた、目で追っ

と君はくるりとこちらを向く、こちらに気づく。そんな事たびたびあった。僕は単なる偶然と思っていた。

大学に入り、しばらくするとTVのCMで彼氏の方が列に並んでいる彼女に少し離れたところからじつと見て声を出さずに呼びかけると「ん？」と彼女がこつちを向くというやつがあった。スキーに行った時誰かがあのCMきらいと言っていたのでよく覚えていて。その時自分も同じような経験があるとそこで話したけどあまり信じてもらえなかった。

偶然と信じていたけどCMになるくらいのあるあるネタみたいだ。後々人間は五感以外でも気配を知覚できることを知るわけだけど。じゃあやはり、あの廊下での出来事は偶然じゃなかったんだなと思う、似た事は以前書いた。でも実は当時君の心を掴みかねていた僕は時折きみに気づかず通りすぎるのがあった。覚えていてるだろうか？後になつて君は、

「あれ、今日は気づかないんだってあの時思ったの」と言っていた記憶がある。意識散漫になっていると大切な人の気配にも気づかないという事らしい。

君が常に相手を意識して、僕が常に君を意識して初めて出来るのだと思う。どちらか一方の集中力が散つても上手くいかない気がする。…だからかな？ショートカットにした後の君の気配を感じる事ができなかつたのは、たまに気づく時もちらと君がこちらを見た時ばかりだった。

今、もし、どこかですれ違つたら僕は君に気づけるだろうか？

そんな事思いました。

今、22時を回っている…、君は何をしているだろうか。

〔日曜日、14日目〕

月末は君の誕生日です、同い年になりますね。

初めて聞いたとき多分僕は何かお祝いしようと言ったと思う、記憶があいまいで…、そして断られたような覚えがある。君の事情を

考慮すればそれは当たり前前の事なんだけど当時はわからなかった。その様子は理性では断るけど、感情ではそうでもないという感じだった。いつもそうだった。

だから勝手ながらカードを用意した。レンタルビデオ屋の近くにあった本屋で買ったカード。実際の日よりも前に渡したような気がする。宝物をもらうようにうやうやしいのが印象的だった。

勝手に用意したのでもしかしたら突き返されるかもと思ったけど、その分ものすごく嬉しかった。

この後あの最後の日がやってくる。

会う神社を変えたあの日、少し記憶が混乱しているから若干日付の記憶が君と違うかもしれない…、なにぶん君と違って最近気づいたものでその辺ご容赦のほどを 今必死に当時の記憶をサルベージしている最中なものだから。

君の誕生日が近づいたびあの時のこと思い出す機会が増えたので書きました。

あの時僕はものすごくくだらないことを言った、そんな事ばかり記憶に残っている。

「ジパングボーイ」だったかな…そんなタイトルの漫画。主人公が南米までいってモンゴロイドの原点に触れようとする話なんだけど、その漫画のヒロインも君と同じ奇跡的な日付が誕生日。だから僕は

「そんな誕生日ドラマか漫画でしか見たことないよ、凄いな」

と、言った。君は困っていた。まるで本当はほめられちゃいけないみたいな態度で。僕はかまわずたたみ掛ける。

「もしかしてその日にするために出生届けずらしてだしたのかな？」
うちの身内にもその様にすれば縁日を誕生日に出来た人間がいる。その日が来るたびそんな話題がでていた。

君はますます困っていた、そうだといいのにねみたいなりアクションでもない。まるで、そんなことあるはずないでしょと言わんがばかりの態度。絶対乗ってくると思っただけにその反応は覚えてい

る。

12月の誕生石はトルコ石…、おそらくこのときも僕はこの話をしたと思う、受け取れないと君が言った理由が今はなんとなくわかる。カードはいつも手描きだった、今は用意していません、けど必要になったらいつでも用意できる。最短でも1時間で仕上げてみる。必要となる日が来ればと願うばかりです。

クリスマスが近いですね、僕は何を期待したらいいのかわかりません。会いたいです、可能ならば…

〔月曜日、15日目〕

今日はいい天気です、様子も昨日と同じです。

今、君は僕の現状をどこまで把握しているのだろうか？そんな事考えていて、こんな事思い出した。

「どこまで知ってるの？」

君は困り顔だけど、甘え声でぼくに聞いた。困ってはいたけど怒ってはなかった、いつぞやの目も合わさず怒り全開の時とはまったく違う、けどそこで交わされた会話の趣旨はほぼ同じ事柄だった、あの先生の事だ。この会話の時点で、君は僕を許してくれてはいたが受け入れてくれてはいなかった。时期的には2年の秋か冬の事だとおもう。

僕は先生と君との事を意図的に口をすべらせた、別段口止めはされてないと自分に言い聞かせた、嫌われようとそれが正しい選択と思った。君は当初怒っていたが、許してくれた。

そして言ったのだ、他の皆は一体どこまで知っているのかと。

それがわかったところで考えが変わる訳でもない、知っても知らずとも心は同じなのだ。君もそれがわかっていたのかそれであるから僕は言葉をにこした。君もそれがわかっていたのかそれ以上追求しなかった。もう、もし知ってるならおしえてよ、けち、と口にこそしないが態度で言われている様な感じでその場の会話は終わった。ある程度の対立時期を過ぎて安定時期に入っていたのだら

うか？

今、ま逆で、今度は僕が君に聞きたいわけだ。当然答えは期待していない。けど、聞きたい。君は僕の現状をどこまで知ってるの？それがわかったところで考えが変わる訳でもない、知っても知らずとも心は同じなのだけだ。

〔火曜日、16日目〕

今日もいい天気のようにです。日々君の面影を追う日々が続きます。昔、こんな事があった。

朝普通に自転車で通学していると、真正面に工場が見える直線の道で1人の女の子が前方に見えた。時期は2年の春くらいのこと、まだ2人がギクシャクしていた頃だ。

その子は緑色の自転車に乗り、髪は低い位置でポニーテールにしていた。遠すぎて巻き毛かどうかまでは判別できない。確信できないが小柄にみえた、この頃は1度映画に誘う事は成功したが結局ふられたという思いがあったので、積極的に追いつこうとか思わなかった。ただ、この道の終わりを左に曲がれば横断歩道があり、信号がある、そこで一緒になるかもしれない。そうなったらまた沈黙の対立が再開するのだろうか？そんな事考えていた。

そしたら君は右に曲がった、学校とは反対方向。この時間その方向へ行くのは明らかに目的地が学校でない。あれ？見間違いか？他校の人？などと自分を納得させた。

それからほぼ1年経ち、僕らは親密になった。そしてこの時の事を話す。

「あれは君だったのかな？」

ダメもとで訊く、それはちょうど下校時に2人で自転車を牽きながら一緒に歩いていた時の事。まだ尾行なんてものがないと思いついでいた時期の事だと思う。ちょうど僕らは該当する工場の近くを歩いていて、曲がり角に来たとき思い出して僕が言ったのだ。

「ちょうどこのあたりで昔君にそっくりな人みたんだよ」

と言つて僕は詳細を説明した、すると。

「それ私」と君は言った。

意外にも君は覚えていた。確かにそれは自分だと答えた。何かがつながった！”と思った。

「どうしてそんな所走っていたの？どこへ向かっていたの？」

と訊いた。すると君は2人で神社に行くよりも前に最初に行った造成地のことを言った。

「あそこに行つてたの」と君。

確かに、あの道を右に曲がると該当する場所にすぐ着く。

「なんで？学校は？」と僕は訊いた。

時々1人になりたくて遅刻したり休んだりしてそうした場所に行つていと君は話した。

「見られてるだなんて思わなかった」と君は言ったような気がする、困惑8：照れ2といった感じ。

「なんだじゃあ声かけてればよかった」と僕は言った。

僕は嬉しかった、自分の目は確かで、憧れの人を見間違えたりなんてしていなかったんだと妙にうれしくなった。当時から君の事を想い、探していたわけだ。そして実際にあんなに遠くにいたのに君だと認識できた自分がうれしくなった。

今も同じ事がはたして僕にできるだろうか？

同じように今も君の姿を無意識のうちに探してしまいます。

君についての断片同士がこうしてくっついて真実に結びつく瞬間“つながった！”と思うのだけど。17年の謎が一瞬でつながった時の感動はこのときの比ではなかった。泣くほどの感動だった、この感動を君と分かち合えたらどんなに幸せになれるだろうと心底思う今日この頃です。

君の心が折れるなんて事絶対ないと信じます、君が頑張れるならぼくも頑張れる。

〔水曜日、17日目〕

おはようございます、朝です。

今日は遠出をするので短く…

彼女に語りかけます、僕は自分がめったに夢を見ないという話をしただろうか？おそろくどこかでしていると思う。なぜなら親しくなった人には必ずこの話をしているから。他意はないなんとなくいつもそうする、だから君にもおそろくしている。

昨日君が夢の中にでてきた、めったに見ない夢でだ。この17年で何度か君の夢をみていたが、どれも会話の成立しないものだから。第3者的立場で君の姿を眺めるような夢ばかりだった。なのに昨日はちゃんと会話が成立する夢を見た。夢は心理の裏返しだ、なにか心のかせがはずれたみたいだ。より親密に想うことができる、と、専門家でもないのに勝手に思いました。ま、妄想ですし、でもなんだか嬉しかった。

君の夢をより具体的に見れてうれしかったと、君に伝えたかった。内容は他人には言えません、もし会うことがあったならその時はなします。そのときまでのお楽しみという事にしましょう、再会する前提での約束、かなうといいです。

帰ってきました遠出から、無事。

99.99%普通にすごせました、感動的…でも表にだしません。少しありました、けど、なんでしょう。君はこれを読んでいるだろうか？僕の君へのアプローチはまだまだ手探り状態です。手探りの一端として年賀状を用意してみようかなと思っています。実家におくり、転送してもらえばつくはず、転送手続きもたしか無料でできたはず。その時は表のルールにのっとり、この小説は無かった設定で送ります。なにか2人だけのキーワードがあるとハッキリ君とわかるのだけど…僕は思い出をたくさん書いた、君も何か短い文章で年賀状に書いても差しさわりが無く、かつ他の誰も知らない思い出

を添える事が出来るだろうか？難しかったら普通の物でかまわない、それすら難しいという事はないと思いたいけど…

とにかくこれは手探りの一環であり、賭けです。不確定要素として何があっても不思議じゃないし。仮に君の元に届かなくても、とりあえず出してみようと思います。

加筆します。

そうだ、僕は君の肉筆の手紙を持っている。筆跡はどうだろうか？筆跡ってそう簡単にかわらないから…仮にペン習字とかやっていたとしても、意識せず書く字は同じ筆跡と信じたい。でも僕に見分ける能力があるかは疑問、けど、メインではなく補助の断片としてなら筆跡は考慮すべき特徴。

〔木曜日、18日目〕

僕は礼節知らずと思われているのかもしれませんが、しかし、ここは、彼女が帰ってくるまではそのようであるのがやはり肝心な事で、安易に態度を軟化させたとあってはそれこそ信頼を損ねるのだらうと思いました。だから、何かしらのご不満をもしお持ちの方々がいる場合は、僕が無頓着に礼を欠いているのではなく、ただ、彼女との再会のため頑張っているものだとお察しいただければ幸いな事と、僕は今考えています。ともすれば誤解されやすい行動ですが、真意が誠実に根付いたものである事をお伝えできていればと切に願うばかりばかりです。

今日は曇り空です、君は今どんな空を見上げているだろうか？同じ空なのだろうか？

昨日年賀状を出すなんて考えていたらこんな事思い出した。

あれは2年の時、僕は君に手紙を出した、初めての手紙ではなく、3通目のやつ。3通目を出すあたりではかなり君とのギクシャク感がおさまっていたような気がする、どうだっただろう…、君の記憶

の方ではどうなってる？

1 通目は手渡しだったと思う、同じワイシャツ折りのやつ、

2 通目3 通目は郵送でレターセットを使ったやつ

1 通目の手紙は君から初めてもらった手紙の返事だった。あの頃もしかして君は仲間内で相当非難されていたのかもしれない、すごく不機嫌だったように見えた。あの対立もその辺も影響していたのかもしれない、断言できないけど答えは君だけが知っている。

3 通目の手紙を出した後、君にこう言われた。

「今度のやつには名前書かなかったでしょ」

2 通目の時自分の名前を書いた、君は困ったと言った、家族皆にばれちゃったと。

「みんな　くんの顔知ってただよ」と君。

「どうして!？」と僕。

「定期演奏会のパンフレットの写真で…」と言った様な気がする。吹奏楽部は1年に1度一般向けにホールを借りて定期演奏会をする。パンフレットはそこで来場者に無料で配られる、パンフレット制作費のためスポンサー回りをしたのが高校生として新鮮に感じた。そこに各楽器パートごとの紹介ページがあり、メンバーの写真もある、それを見たというわけだ。

意外だった、自分の家族ならそんな事はしない。必要以上にプライベートに踏み込まない、けど、普通はそうなのかなと僕はまた一人で勝手に自己解決してしまった。このあとぼくが、

「えー、そんな事家族でするんだ」

と言ったら、君が言いにくそうに

「うん…」

と言って口ごもってしまったのを、覚えているくせにその時は気にしなかった。

だから3 通目は名前を書かずに投函した、到着し君は受け取り、

翌日学校で君は言った、こんどのやつには名前かかなかったでしょ、と。ぼくはこの時あえてばれるのを承知でやったんだと思う、君の希望をかなえつつ自己主張もした。そんな感じのことだった。

「今度の名前かいてないのねとか言われちゃった」と君は言っただと思う。

「だってこないだは書いて欲しくないって言ってたでしょ？」と僕。「だって同じ便箋じゃない、わかるわよ」と君は言った、けど、非難2非難でない思い8、といった感じ。

この頃だと思う、人前であまり見せないテンションの上がった君の姿と時折見ることが出来るようになったのは、だから、たぶん無意識のレベルで仲良くなれている？と感じたのかもしれない。もつと怒られると予想していた、怒った所を何でそんな事気にするんだもつと堂々とすればいいと切り替えて意見を通すつもりでいた、けど、君は意外にもそれほど怒っていなかった。だから、

「じゃ今度からはちゃんと名前書くね」と僕は言った。

この後の君の返事が思い出せない、どうだったっけ？けどこの後も手紙は何度も出したし電話までしている、拒絶された記憶はないだから、このときの君の返事もたぶん、それほどネガティブなものではなかったんだと思う、そうでなければ続けなかったと思う。君の記憶ではどうなってますか？聞けたらうれしいななどと思う今の僕です。

いや、思い出してきた。たしか君は僕が名前を書くと言ったのに対して、

「うっん、書かないで」

といったと思う。それに対し僕は、

「名前を書かないでってことは手紙を出す事自体はいいの？」

と質問したんじゃないかなかったらうか？

「うん」

と申し訳なさそうな声で返事を聞いた気がする。

どうも記憶がいまいで……でも以下の行動は事実だから、この行動に繋がるような出来事がこの時展開されたはず。君は明確な拒絶をしなかったし、毎回読んでくれた、例えそれがむちゃくちゃ意味の通じないものであると。

以来君に限らず女の子になにか公私を問わず郵便物を出すときは無記名で投函し、大学4年の時おかしいと指摘されるまでそうだった。

大学4年の時点で君は人生の指標だった、だから、なんだろう、一旦決めた就職先をやめたときも、君の事を思った。その時ある人に言われた、

「よくあの時辞めますって言ったな、すごい勇気だな」と。

研修中、その会社の重役に直接辞意を伝えた時のことだ。

確かに、ものすごい勇気がいたに違いないが、君に告白した時のあの勇気に比べれば半分ほどの勇気でできた。僕はなにかこうした勇気が必要なとき必ずあの時の勇気と今回必要な勇気を天秤にかける。君に告白した時の勇気よりも少ない勇気で足りる事柄なら大丈夫、いける、と考えるようにこの頃なっていた。かなり変わった考えなのは承知しているが、このおかげで随分危機を乗り越えられた事もあった。君がいなかったら現在の僕は存在しません。

〔金曜日、19日目〕

今日は雨です。

会えそうで会えない君……、こんな事思い出した。

あれは高校を卒業した翌年の吹奏楽部定期演奏会……だと思っ、もしかしたらその次の年のやつと記憶が一緒になっている可能性がある。2つの記憶が組み合わさって1つになってる可能性がある、でも君は自分の記憶と照らし合わせて修正が出来るはずだから書きま

OBとしてホールにいると聞きなじみの声が聞こえた。ホールのアナウスの声。君だった。今思うと不自然、普通在校生がやる。誰かに聞いた、在校生からたのまれたらしいと。あれは…やはり作戦だったのだろうか？そうすれば君はアナウス席に釘付けになり僕と会う機会はないし、僕のほうもすでにやる気を失っていた上、いつも誰か必ず1人張り付いていた。昼飯の時なぜか僕は1人になった、君もどこかで食事をしているなら見張る必要がないという事だろうか？それとも単なる偶然か？

1度だけ通路ですれ違う、久しぶりの再会。君にも1人張り付いていた。僕も1人張り付かれていた、この僕のとなりにいたのは、以前書いた僕が歌う「卒業写真」をきいて苦虫を噛む様な顔をした彼だ。

すれ違いざま君はこちらを見る、声に出さないが「あ」という顔、侮蔑も拒否も感じない。僕は声をかけようと思った、嫌われてるとはいえ久しぶりの再会、あれだけ親しくした仲、無視してす通りではおかしい。そう思った。

あの時妙な緊張感が走ったのはやはり勘違いでなかったのだろうか？僕の隣の彼があわてて話しかける。君の隣の女の子が警戒心全開のオーラを放ち君を連れて行ってしまふ、タイミングをのがして何もできなかつた。もし、少しでもやる気が残っていたらもつと強引に声をかけていた、追いかけていた。けど、もう嫌われているんだと思ひ込んでいたからできなかつた。あの時のこと覚えているだろうか？他はともかくこの廊下でのすれ違いは間違いない記憶。あの時君はどう思っていたのだろうか…、もし僕の思っている通りだったら物凄く幸せな気分になれる、そんな気がする。

この後のOBだけの飲み会、2つ記憶がある、君を泣かしてしまった時の記憶と君が大胆にも僕の隣に陣取った時のもの。先に述べたとおり2年分の記憶が混ざってしまっている、だからこのすれ違いの後経験したのがどちらだったかわからない、本気で区別がつかない。君ならわかるかもしれない、僕よりも当時真相に近く、苦

劣したはずだから。

ただ、あの君が大胆にも僕の隣に陣取った時は嬉しかった、あ、思い出してきた。あの時僕はタツパを持ってきて余った料理をつめて周囲のひんしゆくをかつた。君だけはそんな事なかったけど。あれは大学生の時の記憶で、僕は一浪してるからたぶん2年目の記憶だ！ってことはあの帰り際君を泣かしてしまったのは1年目の浪人中の記憶になる。

僕の隣に陣取った君はあの神社で会うときのような満面の笑みを浮かべていた。あの時の続きのようだった、僕はビールをすこし自分の上着にこぼした。君はそれを拭いてくれた、かいがいしく感じたのが印象的な記憶、君が僕に触れた最後の記憶だと思う。

最後の“後”には別バージョンがあるけど、そちらのやつは絶対使わない、2度とないという意味になるからだ。再び必ず会うと信じます。信じるのが大切です。

そろそろまた就職活動の活動をしようと考えています。

どうでしょう、まだもらえるはずの返事をすっぱかされた状態、ほとぼりがどのくらい冷めてるか確認する意味でも就職活動しないじ。

どのくらいさめているんでしょうか？みなさんよろしくお願いします。

〔土曜日、20日目〕

20日経ちました、静かです。でも顰蹙を覚悟で言います。僕に警戒心を抱く自由を許してください。

君は今どうしていますか？一番怖いのはこのまま会えないことです。

何か僕の想像もしていない理由でそうなるのではないかという不安です。仮にもしそうだとしても、17年前の君はそれなりにピン

トをくれた。今回はどうだろう…、考えをまとめてみた。

？、今回の“奇跡”とは？“僕”への攻撃がやむ事で“君の帰還”は含まれない…。

(自由が許されたのは僕のみというケース)

？、今回の“奇跡”とは？“君の帰還”も“僕への攻撃がやむ事”もセットでなされている。

(2人共に自由が許された想定するケース)

その場合以下のケースが想定される

ケース1：自由は許されたが僕の所へは来る意思が君にないケース。

ケース2：君は迷っているケース。

ケース3：迷わず僕の所に来たいが、いろいろ(離婚その他)手続があつててこづつているケース。

もし、これらが根本的に間違つた想定だったら大笑いされてる事だろうけど、それはそれでかまわない。？は最悪、最高の望みは？のケース3。

上記想定が正しいと仮定して今、一番知りたいのは現状が？なのか？なのか、そして？だった場合ケース1〜3のどれなのか、そしてもし？のケース3だった場合僕は何ヶ月待てばいいのか？ということですか。

僕はあせっているのかもしれない、

こんな事思い出した、どこかのホール。定期演奏会か、あるいはコンテストか、僕はステージ横のバックヤードに数人といた、ステージは幕が下ろされ、開演前で客はいない、準備中。

詳細は思い出せない、映像だけ覚えている。君は制服姿でトロンボーンを持ちホルンの先輩と2人でいた、ありえない取り合わせ、君ははにかみながら立ち、その先輩は踊っている。踊る？何かの打

ち合わせか？そんな出し物あったか？僕の聞いてない計画があるのか？と見ていた。君が普段警戒のまなざしをむける部員は何人かいたが、その人はノーマークだったと感じた。いいしれない警戒心。あせった。

「あれ何してたの？」

後になって僕は訊いた。

「あれは…」

と口ごもる君、察するに言い寄られていたと解釈した。何かあったにせよその後その人と君が一緒にいるのは見たことなかったのでほっとした。当時はまた強敵出現かと物凄い警戒した。君の置かれていた状況を考えたらもつとすっかりしろよと当時の僕に言いたい所だけど、それは無理。

ともかく、この後も君は僕を選択してくれた、それがどれほど嬉しかった事か…読んでくれているのだろうか…これが君に伝わればうれしいです。

〔日曜日、21日目〕

今朝は寒いです。

寒いで思い出した、あれは何時だっただろう…

音楽室、外は暗かった。曇りだったのかな？楽器の演奏は好きだ、今でも機会さえあればやりたいくらい、市民楽団にでも応募しようかなどと時々思うくらい今でも好き。そして何より毎日君に会えた幸せな日々。

思い出したのは音楽室にあった暖房器、あまりの寒さにメンバーが持ち込んだもの、蒸気を出していた電気式のやつ。考えてみたらあれは今くらいかもつと前かその位の季節の事だと思う。当時はこの時分もつと寒かった…。

その日なぜか疲れた僕は暖かい音楽室で休憩中仮眠を取ろうと思いい椅子を8つも使ってベットを作り寝た。寝心地は良くないが一瞬で寝た、ほんの数分しか寝てないと思ったら30分たった、起こし

てくれたのは君だった。傍らに立ち笑顔で僕を覗き込む。言い知れない充実感は何だったのだろうか…。ただ起こされただけなのに。

「もう30分たったの？」と僕、

「うん」笑顔の君、すこし遠慮気味の笑顔、けど幸せそう。後ろで他の連中が不信がっていた。

満面の笑みとは違うあのかいがいしさをを感じる控えめだけどまぶしい笑顔も好きです。

あと、手紙についてこんな事思い出した、似た事は前述していますが…

昔雑誌のイラストコーナーを読んでいると質問コーナーがあり、読者がこんな質問をしていた。

近所の郵便ポストに絵の具を入れるいたずらがあり、中の手紙がダメになったという話をその読者の方は聞いて心配になった、自分の描いたイラストのはがきは無事ついてますか？と、編集部の返答は、同じ住所からイラストは着てないし、捨てられたのでは…との返答。

僕は彼女が僕に手紙を出したと言った時、それが届いていない事を伝えた。驚く彼女、彼女を安心させてくたくたく僕はこの話をしきつと事故があったんだよ的な事を言ったと思う。この記憶あいまいだけどセットで覚えてるから確度の高い記憶。

郵便局またはその他のみなさん、きつと関係ないですよ、何事もなく無事手紙やはがきが見つく事は当たり前前の事ですよね。郵政問題が出た時より一層の向上を誓った我らが頼れる郵便事業最大手に僕は絶大なる信頼をよせています。よろしくお願いします。

加筆します

僕は君と街ですれ違って気づくだろうか？

もしかしてもうすれ違っていて気がつかなかったのではなんて考えることがあります。

でも、たぶん、君なら、僕が気がつかない時は笑顔で声をかけてくれる人だと信じています。君は度胸は人一倍だった。あんな小さな体のどこにそんな力があつたのか…、君が頑張れるなら、僕はこの現状頑張ります、何をがんばるか？

？、君を想い続ける事

？、生活の建て直し

？は、再会したとき2人で話せたら幸せです。

〔月曜日、22日目〕

曇りです、なんだか雨でも降りそう…。前も書いたけど君と会う時は雨が一度も降らなかつた。迷信めいた事言いたくないけど君は晴れ女だったのかな？それとも2人がそろつとそうなのか…、一度相々傘をやつてみたかつた、そんな事考えます。そちらはどうですか？お天気ですか？

こんな事思ひ出した、君の知らない話。卒業後一浪中街を歩いていると後輩2人にばつたり会つた。男女カップルだ、2人とも吹奏楽部。男のほうは物凄い警戒心全開で、女の子の方は懐かしい人見た！というポジティブな反応、違和感ある光景として覚えている。

少し時間がさかのぼつて定期演奏会の時、僕の似顔絵を誰かが黒板に描いたらしい噂をきいた。詳細は不明だが後輩の女の子が描いたと最初聞いた、後でもう一度さっきの話なんだつたのと君が警戒していたあいつに聞いた。するととたん何でもない口を濁す。

当時、僕と君を引き裂いたのは“男が中心”なんだと推理した。考えたくない考えが時々頭をよぎる。いまさら心配しても仕方が無いけど、経験に似合わず超ウブな所があつた、最初は芝居かと思つたけどあれは本気だつた。

僕がその事を思っていることだけでも君に伝わればと…。

詳細は書きませんが、たくさんある2人だけの秘密。いろいろあるし今でも頭に浮かぶ、いつも君がリードするくせに急にまごついて救いを求めるリアクションが印象的。秘密の思い出にします、これ

からもずっと。

こちらに来て最初の日、僕はまず君の家を訪ねた、住所が古いものになっていると知らなかったがため、君に会えなかった。あの日、東京とこちらの“攻撃スタイル”の違いにすぐ気がついた、(削除)、けど、そういう体質が組織にあるとを示唆しているように思うのは気のせいだろうか…。

君は僕を受け入れてしばらく、(削除)よくまあ自分でもそんな事したなと思わくないけど、あの時はそれが当然だと思った。君の望むべき世界の実現を願うというのが僕の願いだ、それは今も変わらない、だから案外今でも言われたらやはり、直すのかもしれない、その時次第と思うけど、たぶんそうするんじゃないかと感じる。

〔火曜日、23日目〕

今日も曇りです、昼にははれるのでしょうか？天気予報は見なかった。

昨日自転車を処分しました、君と一緒に牽いて歩いたあの自転車、もう限界だったし、第一あれとつとけば君が戻ってくるわけじゃない。思い出は頭の中にたくさんあります。君はデート中これ思い出になるでしょといった趣旨の事をよく言っていた、だから僕よりも当時から思い出を大切にしていたのがわかる。冷静に考えると僕ごときとの事を大切な思い出にカウントしてくれていたことが物凄くうれしい。たぶん僕よりも当時の事鮮明に覚えているんだと思う。僕の記憶はどのくらい合っているだろうか…、君に確認したい願望がかなう日が来ればと思う今日この頃です。

君はある日僕を困らせようとしてこんな事言った。

「私、最近やせたのよ」

フフフと笑いながら君は言った、何かこめた発言、意味が解らな

かった。

君の事特に太いとか思った事はなかった、スレンダーではないけど、文化部なんだしややふくよか程度でむしろその方がかわいかった。もつと背が高ければむしろやせて見えるんじゃないかと思う程度だった。だから僕は、

「体重きにしてるの？」

(削除)

君は言った、僕の反応をうかがう君、こっちを期待をこめてじつと覗き込む。

(削除)

満面の笑みを僕に見せる。ただかわいだけじゃない、説明できない愛くるしさ。普段の君はこんな事人に話さないし、話題にもしない、誰にも見せない素顔をさらすその姿は自分にはもつたいたいなにとてもとても大切にしなければいけないものだとの時感じた。人から信頼されてる？そうでなければこんな話しない…、信頼される心地よさ。しかも相手は君だ、入学当初高嶺の花で絶対届かないと思ったあこがれの君。その感動がどれほどのものか当時の君はどのくらいわかっていただろう…。当時の僕の表現力では限界があり伝え切れなかった。君はそんな僕に満面の笑みを浮かべて問いかけて笑いかけてくれた、幸せな記憶。この続きを、今の君と続ける日がくれば幸せです。

明日書こうと思っていたことを少しフライングで…

僕は君と勉強の話をしたこと無かった、だから僕は君の学力について知らない。

君は将来の経済的な事について言及した事が1度も無かった。

僕が手紙に「自分は見合い結婚でもすると思ってた」と書いたけど君にスルーされたのを覚えている。

なにが言いたいのか？

君と未来に対する話をした事が1度も無い。

「山手線ゲーム」君も苦手なんじゃないだろうか？僕は苦手です。いつも人と違う発想をするから上手く出来ないし、いつも次の人が大変になり、次第にゲーム自体がしらけてしまう。他人と違う発想をしてしまつ、君ももし苦手だつたら同じだと思つ。

「頭きた！」

と、もう一人のトロンボーンメンバーにぶちまけた、部活中、全体練習の前。

「人が下手にでなければいい気になりやがって！」

と叫んだ、実際振り回されてストレス限界だった。

「辞めたいやつはやめればいい！」

周囲に聞こえるよう叫んだ。実はこの数分後君は来た。来ないとおもっていたからばつが悪い思いだった、来てくれた、もしかしたら考えがかわつたのだろうか？そう思いやさしくした。君は拒絶50%、逆の感情50%の複雑な顔をしていた。やはり、辞める気だつたんだろう。

でも君は辞めなかった、部活にのこり、さらに神社での密会も再会させてくれた。僕を選んでくれた。

もし、仮に、本当に君の将来の運命が高校の時点である程度決まっていた、そこに僕が入り込む余地がまったく無いと知っていたとするなら…、そりゃあ将来の話なんて出来ないはずで、それならあのかの将来を語れない君の気持ちもわかる。どこまであつているだろう…仮に合っていたら、残酷な運命、そしてそんな中僕を愛してくれた君の想い。何にも変えがたい大切にしなければいけない想い、粗末には扱えない、小さな小さなでも決して消えない光、どんな正しい正論で攻撃されようともびくともせず輝き続ける大切なもの、そんなものが世の中1つくらいあつてもいいと思う。君と僕にある、そんな思い出。当時君は思いでつくりを大切な作業のように言つて僕を諭した、やはり、君が正しかった。消せない火は今も

大切に燃えています。

〔水曜日、24日目〕

昨日、前半部は少し踏み込んだ描写をした、どうしても君の愛くるしさを書きたかったからだ。あの完全無欠の愛おしさは何が何でも守らなきゃいけないと感じさせるものだ、あの時は君の気持ちがつかめずこの重い想いを伝えられなかった。何だかどうしようもなく、それを表現したかった。ここまで書けばもう2人に関係があったことはバレてるわけで、でも一線を越えてかくような悪趣味はしません、僕の趣味じゃないし君もいやだと思っし。

同時に未来について語りたいと思って後半部書いた、君と未来を語れる日が来るのを切望する毎日です。

今日も天気が悪いです、めっちゃくちやとまではいかないが冬らしく寒い。東京で買った羽毛布団みたいなコートがいい感じに役立つ今日この頃です。君は今どこだろう…、東京？北海道？静岡？それとも別の場所？神奈川？元気でいてくれればなによりです。

以前TVをつけているとやたら「別れ惜しむ」というフレーズを聞いた、それはやはり人の脳に浸透するらしく昼の番組でタレントがギャグに使い観客が笑うくらい浸透していた。同時期「いい景色をみたり、いい空気を吸ったり…」というフレーズもやたら聞いた、でも今は聞かない。

聞かないということを好意的にとらえなくなる衝動にかられる、けど、冷静に考えればこのまま何も無い可能性も充分ある。だから、試金石の意味でも年賀状を出します。どうなるかわからないけど、もしこれをを彼女のご家族の方が知る機会があるようでしたら、お願いします、年賀状出しますので彼女の現住所へ転送していただけないでしょうか。年賀状は極力地味なものにしようと思っっています。いかにも、古い友人がなんとなく思いついたのでダメもとで出しましたという感じで、その方が常識的に見て不自然でないからです、けどそこに込められた思いを汲んでくださいませんか、よ

ろしく願います。

まだ何も終わってないし、何も始まっていません…。僕は頑張ります、君が頑張れるなら僕も頑張れる。

〔木曜日、25日目〕

今朝も寒いです。そちらはどうですか？天気はいいみたいです。君が寒がりかどうかは知る機会がなかった、ささやかな願いだけでも一緒にスケートかスキーに行きたかったなどと思う今日この頃です。寒いで思い出した。

君は寒いからと言っておなかに紙の束を入れているといった事が1度あった。

定期演奏会用パンフレットの写真撮影の時、多分最後のやつ、僕らが仲が物凄く良かった頃の話。全体写真とは別にパートごとに撮影しなければならず順番待ちをしていた、トロンボーン3人で中庭で撮影した。3人で体をカメラに対して横にして顔だけカメラに向けて楽器を軽く担ぐように持つポーズで撮った。後々に出来上がった写真を見て君は言った。

「この撮影の時お腹の所に紙の束入れていたの」たぶんこんな感じの事を言った。

「何でそんな事したの？」気にならないレベルだが言われて見ると少しそう見える。

「太く見えちゃうじゃない」とか僕は言ったように感じる。

「寒かったから…」君はそう言った。

何だか説明できないかわいさを感じるのは僕だけだろうか？そして、そんな会話ができる間柄でいられることが幸せだった。

覚えているだろうか、この写真撮影の順番待ちをしていたとき、僕はどこかへ消えた君を探した。君は3階にいた、階段を上りきったあたり、1人で。その日は部活の前の通常の授業で体育があり、

長距離走の練習があり、そこで2人はあっていた。僕が走っていると見覚えのある小柄な女の子が体育着姿でトボトボ歩いている後姿が見えた。女子のが距離が短い関係で男子が追い抜く事になる。

僕は追い抜きざま振り返り君の名を呼んだ、両手を挙げていたような気がする。君は「ん？」というリアクションそのまま僕は走りぬけたのであとの事はわからない。

階段で会った時僕は「授業中会ったね」と言ったと思う。

くわしい光景が思い出せない、君は恥ずかしがっていた。聞くと体育着姿を見られて恥ずかしかったと言うのだ。最初ピンと来なかった。

「何で？」

と聞いた。すると素足で短パンなのがはずかしいという、でも皆そうだし、いちいち恥ずかしがっていられないはず…。

そこで以前音楽室の窓の外へ金管楽器4人で演奏のため出て、戻る際窓を乗り越えるとき足が見えたことを話した。1度前に見てる、少しからかう意味でそんな事言った。

「見えてたの!？」猛烈に驚く君。

「短パンとスカートじゃぜんぜんちがうわよ!」と猛烈に赤くなる。気がつくとも平気なはずの僕もいつの間にか君に同調して赤くなっていた。2人して赤面して沈黙して同じように固まる。2人の気持ちは気がつけば同調していた、不思議な感覚。トロンボーンの残りの1人が順番が来たと呼びに来るまでそうしていた。呼ばれた瞬間催眠術から解けたようにわれに戻る。けど、まだ気持ち繋がっている、そんな不思議な感覚。覚えているだろうか?あの時君はどう感じていたのだろうか、覚えていたら聞かして欲しい、そう思った。

ついさつき道に迷った。新しい自転車の乗りごこちを試しに自宅から裾野、そして僕らの高校の在ったあたりへ、帰り道で迷う。なんだかわわっていて高校からの帰宅路がわからなくなる。迷ってい

るうちにある場所に出た。知ってる場所、かつての君の住んでいたところだ。以前一緒にここまで来たように思うとどこかで書いたと思うが今日改めてもう一度見るとやはり来ている。同じ場所だ。君は僕をここに連れてきている、わずかばかりの記憶をほりおこすと話に夢中になつてここまで来てしまったと。

「こんなとこまで来ちゃった」

と、恥ずかしそうに困っていたのを思い出す。何を夢中に話していたんだっけ？いつも本当に思いつきでベラベラしゃべっていたから思い出せない。僕は1人が好きなわりに人と話のが大好きだ、ただ人との温度差を埋めるのが苦手なだけで。

ともかく君の昔の住所まで来た、このまま自宅方面に向かうのはわけない。途中の曲がり角をまがると少し前苦労してつきとめた現在の君の実家がある。まさかこの先をまがると…、いないよなと思いながらその曲がり角を通り過ぎた。あの時、ようやくつきとめたのに会えなかったあの日、僕は徒歩で帰り、憔悴していた。途中の耳石神社で寝込んでしまう、神社には当時どこへ行っても必ずいたお決まりのベビーカーに母子、そして小学生の女の子。くさりそうだったけど耐えた、東京ではもつと凄い目に遭つてる…この程度で負けるものかと思った。あの時、17年前の君の勇気に報いるためにはこんな所でへこたれてはいられないし、負けたら申し訳ないと感じた。

〔金曜日、26日目〕

今朝も寒いですが、昨日今日と地震が続いています、群発地震だそうですね。地震というキーワードでは君との思い出が出てこない…、残念です。

つい昔のくせで、変な事書いて君の機嫌を損ねてしまったらどうしようなどと考えてしまう。不可能に挑戦しているわけだし、大丈夫と信じて書きます。

昨日書いた君の住んでいた団地の話、寝ている最中にだんだんと鮮明に思い出す。

何かしら夢中で話ながら自転車を牽いて歩いていると、君が急に立ち止まって…

「こんな所まで来ちゃった」

といった。そして、

「ここで分かれましょう」

と言った気がする。唐突だった。

「家この辺なの？」

と訊くと、ばつが悪そうな君。そりゃそうだ、目と鼻の先。

「ううん」

と否定する君。まあ、いつものことか…急にいつもこんな感じになる、と思いを承した。

団地の前は結構な人ばかりで、遊ぶ子供と随伴する親と暇をもてあます高齢者やその他いろいろな人がたくさんいた。

「早く帰って、皆見てるでしょ」

正確な記憶でない、けど、君が周囲を気にして僕を気遣っていたのは覚えている。その時見られて何の不都合が？と思ったのを覚えている。

「帰り道わかる？」

いつも言わないセリフ。

「気をつけて帰ってね」

何をだ？今日にがぎってやけに気遣ってくれる…、今日何か特別な事でもしたっけ？とその時思ったのを思い出した。君は団地に着いてからずっと困り顔で最大限気遣うやさしい顔をしていた、いつもののはにかみとはちがうイメージは僕の主観のせいだろうか…。

自転車にまたがり帰った、たしかにジロジロ見られた。振り返るとあつという間に君の姿は消えていた。あの時どう思っていたのだろう。イメージとしてはしまった、やっちゃった、というイメージで覚えている。合っているのだろうか？実際に確かめたいです。

〔土曜日、27日目〕

今朝も寒いですが昨日ほどではありません、地震も感じるレベルのものもなくいたって平穏な感じですが。でも何があるかわからないので気を引き締めます。

会えそうで会えない不安、昨日一晩考えた。もし、これが夢であるなら、とりあえずさめるまでこの夢を満喫すればいいのではないかと、さめた時、ああ楽しかったと元に戻ればいいのではと。夢でない時はそれはそれでいい事なわけだし。

仮に再会するなら、神社で会いたい。と同時にどこか2人きりになれる空間を確保して時間を埋めたい、話さなきゃいけない事や確認しなきゃいけない事、決めなければいけないことや、とにかくたくさんある。1日では終わらないかもしれない。全てその先のことには未知数の条件が多すぎておいそれと計画1つたてられない。それに、なにより時間をうめないで、17年…。僕は最近真実に気づいた、けど、君は違う、君のほうがこの17年は長く重いもののはずだ…。

といった事考えながら寝てしまいました。実際の所はわからない、待つのみです。

道ですれ違ったときが怖い、事実ばくは17年前ショートカットにした君に気づけなかった。だから見過ごす可能性があるのだ。現実実はそうストリーのようなにはいかない、あらためて今回随分思い知った。でもそれでも奇跡を信じています。あの笑顔が見たいから頑張れるわけですから。

〔日曜日、28日目〕

今日はいい天気です、昨日レンタルDVD屋で最悪な気分になったけど、借りたDVDは予想以上によかったので何だか楽しかったです。プラスマイナスゼロといった感じでしょうか？君はあまり、映画とかドラマは見なかったね、現実が見えてる分ドラマがしらけ

て見える…、僕もそんな感覚になるときが時々あります。でも面白いものをみるとやはり、気分がいい。

こんな事思い出した…

あれは、2度目の破局の後。最悪の引き裂かれ方をした後の事。何も知らない僕はまたただの気まぐれと思い込もうとしていたあの頃、君の心中をわかってあげられなかったあの頃、僕は君を再び映画にさそったと思う。手紙をだし、返事も待たずに駅で待つとのみ書いて実行した。

当日駅の南口で待った、来ない。当然だけど。1〜2時間待ったんじゃないだろうか…

記憶がはつきりしない、この後、僕は君と会話している。場所が思い出せない、電話だったのか、学校でだったのか、ともかく会話の内容だけ覚えている。

「ずっと居たでしょ？」

と、最初言ったような気がする。同音異句で似た事を言ったのかもしれない、ともかく君はいった。嬉しそうに、はずかしそうに。

僕は見てたなら会ってくれてもいいのと言ったと思う。当然だ。「見ていた人がいたの」

知り合い？その時はそれで納得した、あれも当時の君のけなげな僕に対するヒントだったのだろうか…当時もそうして監視されていた。つまり、今僕の周辺には悪意善意の有無は別にして僕を監視するのはこれで2度目という人も実際にいるわけだ。どう思っているのだろうか？良心の呵責はまったく無いのだろうか？そんな事かんがえると、そうかなるほどとある現象に対する答えにつながる。ここには書かない、かくとこれが源になるから。こういうこと書くとやはり、君は「わかんない」と言うのだろうか？

周囲を観察した感想をいうと、やはり、君が何か働きかけをしてくれたんだろうか？推測の域をでません、感想です。

最近「別れさせ屋」事件の裁判のニュースをよく見る、君は自由

になれたのだろうか？それともこれ自体がワナなのだろうか？

今までは書きたくなかった可能性…、

君は再会は望んでいても僕との再会はできないというやつ。君の意思の有無とは関係なく…。この場合、もし会いたいと君が望むなら、訴えつつければいい。行動におこせばいい。意思の強さをみせつけてやればいい、君はそれができる人だと思う。なぜなら僕は君からそれを学んだんだから。

「再会」というキーワードが頻繁に見たり聞いたりできればいいのになんて最近おもいます。

〔月曜日、29日目〕

おはようございます。朝です。朝君はいつも他人のように振舞った。会つてもこちらに目を合わせず、一点を見つめる。けど、どこかへ逃げたりしないし、へんな顔もしない。無表情に徹する。

けど、時間が経ち、部活の頃には表情も和らぎ、パート練習の頃にはいつもの愛くるしい君に戻っていた。そんな繰り返しだった。

あれはいつだろう、2年のとき、お互い同じクラスのとき、全ての授業がおわり、放課後。ほうきを持っている、僕は。たぶん君も持っていた。やる気の無い放課後の掃除当番。僕はほうきを重心点に両手でよりかかり君に直面していた、君はほうきをもって立っていた、僕のほうを向いて。この頃はまだあの大告白の前、君が僕を受け入れる前、でも映画に行った後だから僕の気持ちは知っている頃。まだ先生はいた、けど、2人の対立は沈静化して小康状態に入り、なんだか仲良くなり始めた頃…。君が笑顔をよく見せてくれるようになった頃。僕がまだ君のかかえる闇深さに気づかなかった頃、君が僕を遠避けていた理由がわからなかった頃。

掃除の時間、僕は笑いながらなにか語った。君はじつとこちらを見てにこやかに聞いていてくれる。この後の部活について何かしゃべっていたのだと思う。教室ですこすわずかな会話時間。普通の学

園生活を送ってみたかった。太陽の下堂々と君と歩いていろんな所に行ってみたかった。何者かから隠れるように会うのはこのずっと先だけど、それはもう始まっていた。君は笑ってくれた、あの環境下で。僕も見習って今現在の監視下でも可能な限り笑おうとおもいます。君のあの努力と勇氣に報いるためにも。

今第1話を読み返すと当時でなければ書けないくだりがある、数週間前の自分に殺意を感じるなんて、当時の僕にしか書けない、あの時は気がついて間もない頃だった。書けば書くほど記憶のつじつまがびっくりするように合う、まるで、予定された文章のようにすらすと完璧につじつまが合う。書きながらわが目を疑った、なんだこりゃ、いくらなんでも出来すぎだろう…、でもどこも記憶の通りで、単純に記憶を整理しただけでああなった。運命に畏怖を感じる。

こんな風に今しか記述できない事があると思う、書いてみて、後になってこの時こんな事書いてたなーと思いたいので書いてみます。17年って重いよね、ホントに…、ほぼ人生の半分。お互い同じ年だから同じはず。僕は泣くのだろうか？仮に会うとして…、それとも先に泣かれてしまふのだろうか。お互い泣くのか？それとも笑うのか？最初どちらが話しかけるのだろうか、動けないかもしれない。案外また手が震えるかもしてない。会ったら僕はどうなるのだろうか。一言もしゃべれないのだろうか？それとも、これは、今しか書けない想いの記録。

〔火曜日、30日目〕

30日たちました。もう心の修行ですね、これは。語るのは、君を助きたいからだし。2つの思いがあります。自由ならもう語る必要がない、そうでないなら、今でも語り続けないといけない。今君は何をしていますか？これを見えていますか？どう思っているのだろう、何を思っているのだろう、いそがしいのだろうか？そうでない

のだろうか？どこにいるのだろうか？どんな様子なのだろうか？今、君は自由ですか？そうであることを祈ります。たとえこれが夢でも、この夢を君に伝える事に意味はある。具体的な夢を提示するのは目標のビジョンがイメージできるから、悪い事ではない、そう思う。たとえ、現実がどちらであろうと。

〔水曜日、31日目〕

31日たちました。一旦おとなしく…というか、静観…、いやちがうな、波風をたてず何事もなかったようにしてみようかと思いません。そういえば君も以前僕にそんな事お願いしていた時期があるのを思い出す。僕としては精一杯普通に行っているつもりだったのに君はそうは思わなかった事が。そんな事思い出します。

(この物語はフィクションです登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。)

第8話 勤労感謝の日から（未来へと続く話その1）（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語の登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第9話 クリスマスの前日から（未来へと続く話その2）

（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語の登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第9話 クリスマスの前日から（未来へと続く話その2）

（この物語はフィクションです登場キャラクタークターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

「クリスマスの前日…、1日目」

淡々と粛々と可能性を1つ1つつぶしていく…。そんなスタイルがいま必要なのだと感じます。とりあえず、2日ほど普通に過ごそうと思います。

13時15分まだ奇跡と遭遇なし。見過ごした可能性？わかりません。

奇跡に会うまでこの小説は続くと思います。

今日はおそらくもう外に出ません。

もしかしたら…ま、ネガティブな事は思いますが、もし逆だったら失礼なので…

奇跡を待ちます。

「クリスマスの日…、2日目」

淡々と粛々と可能性を1つ1つつぶしていく…。そんなスタイルがいま必要なのでしょうか。何も確信が出来ない状況なので、君の現状はなにも変わってないとして語ります。今でも想っています。いまこそ心の鍛錬を見せる時でしょう、その辺の根性と違う所を見せるときなのでしょう。君が頑張れるなら僕も頑張れる…。

奇跡はありませんでした…。なかなかの心の修行をさしてくれる状況です。

その夜の事です、これを書いてから外が騒々しくなりました、（エンジン音が勤労感謝の日の前と同じように…）今だ！チャンスだ

！って事なんでしょうか…、「欧米か！」ならぬ「子供か！」と突っ込みたくなります、1部の人だけと知っています、とぼつちりをうけて不愉快という人もおられるでしょう、けど、もし、目のつく範囲で正せることがあれば、そくだよなと心の中でつぶやいていただければさいわいです。

そして…

上記を書いてすぐ…

静かになりました…。

〔土曜日…、3日目〕

おはようございます。君は今どういう状態なんだろう…、どのような状態の君でも手紙を見る上では事実に関がったばかりを無視はできないようにおもうけど。

君にいろいろアドバイスをした、そろそろあのアドバイスを自分の就職活動にも適用してみようかと思いはじめています。やはり正攻法では厳しい、それがわかっただけでも成果はあると思うんです。

アドバイスは少しは役に立ったのだろうか？そうであればうれしいです。

年賀状は投函済みです、意図的に地味なやつにしました。

事実だけを記載します、皆さんどう思いますか？

ついさつき外からクラクションの音、何の気なく窓を開けるとタクシーが1台ハザードをつけて停車中、周囲に車なし、何故鳴らしたんだらう？と思うと同時に、窓を開けてこちらが姿をさらすとすぐクラクションを2回鳴らす。周囲に車なし、まったく鳴らす理由がない。この程度の事でビビる訳もなくこの後この白地にオレンジのタクシーがどうするのか観察。むろん向こうから見えるように。根競べで負けたことはない。

中から人影？暗くてわからない、隣の家から何かを運び入れる。表示は“空”のまま、お客はいない。その後も動きなし。ずっと停

まってる。こちらもじつと見る。ついに根負けしたのかタクシー灯を消して立ち去る、あいかわらず表示は“空”のまま、お客はいない。いつも聞こえるクラクションはこの白地にオレンジのタクシーだろうか？業務用車両は会社に苦情いえるからナンバー確認する必要ないのです。

どう思いますか？単なる偶然なんでしょうか…

もう1つわかる事実があります、クリスマス会えなかった僕が弱っている…、そう判断した人達がこちらに複数来ていてうるさい…、つまりこの人達はもう僕がウソでなく本当のことを小説に書いていて、彼女と僕のことを事実だと認識していると判断できます。うそつきと思われていた頃から比べると随分の進歩です。さて、この話が真実と知って心がどう感じるのか？なにも感じない人は周囲からどう思われるのでしょうか…、

そんな周囲の騒音をききながらそんな感想を抱きました。

〔日曜日…、4日目〕

昨日の続きです、僕がうそつきから本当の事を書いていると思われると変化した理由は推測でもたった1つしか思いつきません、彼女が呼応した態度を示したという事でしょう、あるいはそれに類する事態があったと予想されます。でなければうそつきから真実を言ってるには変化しないと思うからです。彼女のためを思う方々へ、その態度への表明はなにかまずい事なのでしよう、けど、良心まで押し殺すのは人としての本分ではありません、心の中で彼女の心を支えてくださるだけでも随分ちがいます。僕は悩みが多い分人の痛みに重みを置くようになってしまいました、これがいい事なのか悪い事なのかわかりませんが、でも少しでもそうだよなと思う人は彼女の為に祈っていただけないでしょうか？よろしく願います。

〔月曜日…、5日目〕

この日の内容は後半の「主張1」として転記します。

〔火曜日：、6日目〕

明日まで6時間以上あるけど先に書きます。

本にこんな記述があった、子供に仏教にちなんだ名前をつける。僕は1度君に僕の名の由来を話したと思う、その時物凄く嫌がった。多分自分の名前の由来を聞いて欲しくなかったのだろうか？記憶があいまいでよく思い出せない…、記憶はあるんだけどこれ書くとき君の本名を書かないといけなくなるので止めます。願わくは君がこのときの事覚えていてくれる事です、仮に覚えてなくても君と僕がこのことを思い出そうとする作業を時を同じに行えば2人の共同作業のように感じられます。ひさしぶりな感覚。

で、調べてみた。やはりある。2文字のうち後半の1字は女の子特有の字、そして前半の1字には以下の意味がある。仏教以外にも儒教的意味合いと西洋哲学的意味合いと合わせて3つもある。

つまり、君は自分の名前の意味を3つの中から選ぶ権利を持つてる。

仏教では知慧ある人（事物の真相を照らし、惑いを断つて、悟りを完成させるはたらきのこと。物事を正しく捉え、真理を見極める人）らしい。

儒教では物事の善悪を判断する能力、また、その能力を得るための勉強、のような意味らしい。

西洋哲学では狭義では哲学、広義では学問全体を指すそうです。

どこにも人に尽くすとか、ルールを守るとか、誰かに従うとか書いてない。君は自分の名前の意味どおり生きていいんだと思う。ほんと、いい名前です。すてきです。

組織の多くの人達が昔PKO法案に反対したとき、活動のポイコットや会合への出席拒否など何故できなかったのだろう、その程度

の自己主張も出来ないほど民主的でないのだろうか？ 仏の法がなにより大事と思うなら貫けばいい。それが人間の真の自立であり、革命なんだから。

〔水曜日：、7日目〕

水曜日まで30分ほどフライングで。

今日ニュースでこんなを見た。C型肝炎患者の救済法を作りたくて民主党から立候補して受かった新人女性議員、しかし小沢幹事長は議員立法を原則禁止にしたため、その女性議員は法案の提出が出来なかった、悩んだ彼女は誰も思いつかない行動に出る、普通新人議員は党の幹事長にたてついたりしない。なのに彼女は周囲の目も気にせず小沢幹事長に直接直談判して法案を提出さして欲しいと訴えた。そして、それは通った！小沢幹事長は法案提出を許して、こないだついにC型肝炎患者救済の法律が成立した。新人議員には異例の大仕事だった。

このニュースを見て僕は君の姿をダブらせた。校長先生にすら電話で直談判する君、正しいと思ったたら行ける所まで突き進む君の姿とダブって見えた。

今もそうであってほしいと願います。君から多くのものを学んだ僕から見れば、君の勇氣は本物です。そして今もそうだと信じます。17年前の君に遅まきながらこれを伝えます。17年前の君を經由して現在の君がこの言葉を受け取ってくれるならなによりです。

〔木曜日：、8日目〕

今年も終わってしまいます、17年17年と何度もいいました、どこか期日をきめない。いつまでも17年と書くわけにもいきません。正確な日付がわかっているのはあの日、あの夏祭りの日。君がかわいい浴衣を着てきてくれたあの日、紅の豚と一緒に見たあの日、私も賭けをしているのと君が言った日、君が僕に戦う豚であることを望んだあの日、映画のラストのキスシーンに君が振るえがくるほど感動していたあの日、あの日を基点にしようと思います、便宜

上の基点、2人の思い出の日。唯一正確な日付が解る記念日。1992年7月26日。来年のこの日が来た時点で18年と記述を変更しようと思うけどどうか？君の同意が欲しい。そんな事思いました。僕は戦う豚になれているだろうか？

人は誰かを非難するとき自分が一番言われていやなことを言つて相手を非難する。

たとえば人格攻撃をしてくる人は人格攻撃が一番されたくない人だし、仕事の段取りと責める人はそうしたことを人から言われるの一番不安を感じているからだ。君の周囲に君を非難する人がいたとするならば、こう考えればいい、

この人はこういう事他人から言われるのが一番きつい人なんだ、つてね。相手の内面が理解できるし、相手の弱点も知ることができ。そして何より“恐怖”理解できないもの”だ、理解できればこわくない。相手の内面が理解できればどんな恐ろしい相手でも怖くない、理解できないから怖いし、思考停止になるのだ。もし、誰かから責められたら、どんな責め方をするかじっくり観察すれば相手の内面が見れて面白い。

それから、「意味解らない」はそちらの世界のテクニクだと思う、相手に自分を無能と思わせるための方便だ、こうした方便を多様する人でも、それが方便であると指摘した瞬間素顔がでる瞬間がある。

人間は無意識の反応やしぐさまで隠せない。
観察を繰り返せば絶対に糸口がある。

もし、一向に上手くいかずストレスがたまつたらこう考えればいい

なんで私の貴重な時間をこんなやつのもろくもろく消費しなくてはいけないんだ！私の貴重な時間、もっと大切に使わないと。

こう自分に念じると大変だけど、邪念を吹っ切れる糸口をつかめる。煩惱のコントロールにつながる。東京で見つけた経験則です。

金目立てと非難する人はそういわれるのが一番嫌な人、お金に固執する人。

詐欺師呼ばわりする人は、そういわれるのが一番良心が痛む人、普段からそうした行為にてを染めてる人。

情がないという人は、自分自身情がない人。そういわれるのが一番きついと感じる人。

人を常人以上から見下す態度の人は、人から見下されるのがなによりも嫌な人、そんな経験ばかりしてきた人生の人。

こう考えるとあいての内面が理解できる。理解できると恐怖をコントロールできる。コントロールできる恐怖は克服できる。克服された恐怖はもはや恐怖ではない。

で一番厄介なタイプは自分の言葉で語らないタイプの人、人を非難するとき何かを持ち出して「ここにこう書いてあるだろ、何で守れないんだ」というタイプの人。自分の中身をさらさないのだから。何を考えてるのか理解できない。必死に理解しようとしても一向にわからない。この場合どうすればいいのか？簡単です。中身のない人と思ってしまうばいい。中身のない箱のあるはずもない中身をあれこれ詮索するのはエネルギーの無駄で、中身のない言葉にいちいち付き合っているのは身が持たない。ないのだから無いと割り切ってその人を見てみればいい。そうすると不思議な事にそれまで理解できなかった人がなんとなく理解できてくる。

非難するとき自分の言葉で語らず何かの言葉やルールでせめてくる人にとって世の中の価値はそれで全てと言うことになる。中身が

ないのは実は本人が一番認めたくない事実のほう。そういう葛藤を持った人ほど自分の言葉を使わない。こういうタイプに論戦はむずかしい。でもこの手のタイプは感情のコントロールが苦手な人が多い。相手は折れるものと心から思いこんでいるタイプが多い。融和させるのは不可能に近い、こちらが折れない限り、

でも破綻させるのは不可能じゃない、絶対に折れない所を提示して相手をもうめんどくさい、終わらしたい、と感情を爆発させるところまで追い込めばできる。並大抵の事じゃないけど。そう思う。でもこの手のタイプの人は自分の上位者に言われるとコロツと態度を変える事が多い。

それでも融和を求めるときは言葉ではなく態度や行動で言いたい事を表現すればいいのではないかと思う。このタイプの人は語る言葉を持ってないだけで本当に中身がらんどくなわけでないのだから。行動でも通じないタイプは、間接的意見、これは消極的方法だけど、第三者と話している中に、当人に聞こえるように言いたい事を織り交ぜる。そういえば偶然だけどそちらの世界にも似たテクニクがあるのを思い出す。

この手のタイプは感情的に崩れたらそこがウィークポイントになる。すぐに立ち直るのは仲間がたくさんいるから？1人では何も決められないのと責めるのも手かも。自尊心が高い人ほど効くはず。

あと、どうしても思考停止してしまうような状況の時は、自分の原点がどこにあるのかをもう一度考える事、体が動かない時はあまり考えず一番単純な作業に没頭するのがいいと思う。没頭するうち気持ち切り替わるときもあるし、変わらなくても、作業が進む。何に没頭するかわ1度継続しようと決めたことがいい。中断すると意味がないものほど結果としていい。

でも本当に話の通じない人は、本来はあしらって、話の通じる人をとにかく味方にするのが本来的にはただしい。けど、“彼ら”は

孤立戦略が何よりも得意。難しい限りだけど、君の場合は切り札がある。相手の、あるいは周囲の君への愛情を盾に使えばいい。特に正月の祝賀気分では効果絶大だと思う。僕にはもてない君の切り札、どう使うかは君次第だと思う。

〔金曜日…、9日目〕

あけましておめでとうございます。

年賀状、破り捨てられるか？君に届くか？いろいろな意味で試金石です。

こんな事思い出した。あれは1度目の破局がすぎ、2度目の破局の前、神社の密会がばれ始めた頃。

君はつい数日前までいつもの通りの君だったのに、突然電話してきてもう会うのやめようと言い出した。言わされたのか？ともかく唐突だった。僕はあまりの唐突さに理解できなかった。いろいろ言った、君は意見を変えなかった、最後にその時こう言った。覚えてるだろうか？

「君をもつと口説かせて…」

すると君は消えそうな声で口説かせて…、といい急に意見をひるがえし、また会ってくれた。何が決め手になったのか今でもよくわからない、必死に言ったのが通じたのか、言葉が心を開かせたのか、でも何にせよ想いが通じて嬉しかった。また、あの笑顔が見れる、それだけで満足だった。

17年前の僕は17年前のこの時の君に伝えたいことがある。ものすごい逆風の中僕と会うことを選んでくれた君に、当時気づけなかった事に、そして今やっと気づいた事を、一言では表せないこの感覚を君に伝えたい、17年前に君がこれを聞いたらなんというだろう、あの時の君に伝えたいです。そして今の君はあの時の君を通じて今の僕の気持ちを知るのだから、今もそんなに変わってないと感じるのはなんだか、ものすごく自然に感じるのはどうなのだろうか…。そんな事考えます。

〔土曜日…、10日目〕

君は僕の年賀状を受け取っただろうか、極力地味にしました。筆ペンだけでトラを描き簡単な文がそえてある。実は1度トラを主人公にした漫画を描いているのでトラは描きなれているのです。かなりの枚数書いたので。破かれてしまっただろうか？行方不明だろうか？それともちゃんと手元まで届いただろうか…。

朝の連続テレビ小説「ウエルかめ」、男女の関係をひっくり返すと何だか似てるなーと思っってしまった。主人公波美は11年ぶりに再会した山田かつのしんに恋をしているのに気づく。しかし相手はまったく気がつかない。色々あったすえようやく飯の付き合い（この飯の関係がよく似てる気がする）をはじめ2人。しかしトラブル発生（2人の周囲の人達の微妙な反感）で2人の距離は急に遠のく。気がつけば波美はかつのしんの事を何1つ知らない事に気づく、家がどこなのか？家族がどんな人達なのか？どんな問題を抱えているのか？一切知らない事に気づく。

ドラマではこの1月の放送でその問題が解決するらしいけど、ぼくらはその時点で会えなくなっって17年経ってしまった。ドラマのように、解決できたらいいのにと思う今日この頃です。17年前の君にそんな事話したらどう思うのだろう、君から17年前の君に聞いておいて欲しい、あった時その答えを聞くから。

しかも、かつのしんの実家は仏門のお寺で、後継者問題で親ともめてる…。

（〔木曜日…、8日目〕のやつ少し加筆しました。）

〔日曜日…、11日目〕

17年前の君ならどう思うだろう…、今日ボーリングをしていた隣のレーンに君と同じ名前のおばさんがあの得点表の名前を打つ所に書いていた。僕は偶然と思う、けど17年前の君はどう判断するだろう、そんな事思いました。今の君に問います、やはり17年

前の君ならどう思うだろうか、最近は監視なんて無いと僕は思うのだが、やたら改造した車を見るし、不自然に顔を背ける人や、やはり拳動の不振な人（主におじさん、今日は。）皆、苦虫を噛み潰したような顔をしていて。何かあるのだろうか？僕は無いと思う、けど、17年前の君ならどう思うのだろうか？、そんな事思った。今もいるであろう君の心の中あの時の君に問いかけて欲しい。そう思った。

（「金曜日：、9日目」のやつ少し加筆しました。）

「月曜日：、12日目」

昨日子供の夢をかなえるという番組をみて君の事を連想した。君とよく似た名前の女の子のクラスメートに高級食材をご馳走したいという6歳の男の子の夢。6歳のその2人は小学校が別々になるので分かれる前の最後のイベント？見ていると子供なのに随分いい雰囲気、最後の男の子のプロポーズ、将来2人でケーキやさんをやろう、結婚しよのメッセージに泣く女の子。照れながら泣いてる。男の子がキスしてと言ったら、人前で恥ずかしいのか明日ねと答える女の子。名前が似てる分ついイメージが重なった。何だかほえましい。

昨日昼に大社へ行った。明らかに感じる開放感。あんなに人がいるのに。正月の大社だ、周辺の人が相当集まっている。いつもの違和感もところどころ感じるけどすぐかき消される。やはり市全体の人口の総数に対する比率は半数を上回ってはいないのだろうかと感じた。常に周辺にいるから実態より数が多く感じる、エリマキトカゲのエリと同じように。いや、やはり勘違いだろうか、君はどう思う？特に君の中に居る17年前の君に問いかけます。その答えは君の心の中にだけあります。いつか聞ける日がくると信じています。年賀状届いただろうか？新春1番の願いくらい通じて欲しいと思ったりました。

僕は君の意思を尊重します。それでも、可能性というか提案とい

うか、君なら怒らないとたぶん思うので意を決して書きます。もし望むなら、改宗してしまうというのも1つの手で、ご本尊も手放してしまえばなどと思ったりします。信仰に対しては尊重すべきと思うので今まで書かなかったけれども、ここまできたら僕がこれを書いてもさほど違和感はないと思うし、君なら偏見なく聞いてくれると思っていた。だからこれを17年前の君に伝えます。現在の君は17年前の君から僕がこう言っていたと聞くことでしょう。あとは君の意思を尊重します。君の願いがかなうよう願うというのが僕のポジションですから。

もし相手がそれはわがままだからいしか言えなくなったらそれは向こうが思考停止している状態なので、思考停止している方としてない方では言い合いでどちらが有利か解ると思う。

言葉以外にも行動で訴えればいい。こういうのを非言語コミュニケーションといいます。

〔火曜日…、13日目〕

少しフライングで、明日までまだ1時間少しあります。

君の名前は予想以上にいい意味を持っていた。で、物は試しで自分の名前も調べてみた。2文字のうち前半1字はまあ男によく付く飾り文字と違っていいみたい、後半の1字に意味がある。

後半の1字は、車を補強するそえぎ。また、車台のそえ板。そばにひたとくつついて力をそえる。たすけ。そばによりそってたすける人。補佐役。という意味があるそうだ。

思った以上に現在の状況に沿そっている気がする。17年前の君も今の君もこの名前の意味を僕と同じように感じるだろうか？何度も何度も書いた、君の望む世界が実現するのを願うというのが僕のスタンダード。意外と名前の意味とあっていてなんとも言えない感覚におちいる。君も僕と同じ感覚を感じてくれたらどんなに嬉しいだろう…、17年前の君なら間違いない感じ入ってくれたと思う、君の心の中の彼女にきいてほしい、そしてそれをうけとめてほしい。

そう思った。

もし相手が偉い人ならこう考える事も出来る、偉い分上からの干渉は少ないし立場上恥ずかしい立場にいられない。(ちなみに今現在はこの人の手に余る状況なのではないだろうか？以前、人のものを盗るなど言われかねないけど彼女の幸せを考えてください、といった趣旨の事書いたら即リアクションがあった。今はない。)

これは提案、心を鬼にする必要がある時の提案。嫌な女になつてしまえばいい。

あるタレントは女の人と別れたいと思ったとき排泄物を女の人に投げつけたそうだ。さすがにそこまでするほど嫌なの？と、感覚的に冷めてしまったらしい。で別れたという事らしい。月に定期的に1回以上離婚届けを渡すとか、週1とかで大切な記念品を玄関に放置しておくとか、心からのアピールの仕方は色々。

女がらみのトラブルを男の勲章みたいに捉える人だったらその様子を記録にとると争ったときの調停員の心象が変わると思う。(記録に取るときはカセットテープがいい、デジタル音源は加工ができるので法的効力が薄い。)

24時間気を張るのは大変、だから1日2時間×2くらい頑張れば継続できると思う。どういう事か？

1日を前半、後半に分けて、前半2時間、後半2時間、頑張ればいい。この2時間の前後の数時間はこの2時間のための予備時間とすればいい。心身の整理や、生活の雑用その他に使って、この2時間をどう有効に使うかを考えると24時間気を張るよりも遥かに楽だし、集中できるし、コントロールがきく。2時間はあくまで僕の感覚時間で、きみの感覚でアレンジしてもいいと思う。多少のんきに見えるかもしれないけど向こうから見たらかえってその方が怖いかもしれない、状況次第だけ。

今更ながらだけど、もちあげて喜ばしといてから欺くという常套手段に惑わされないように、期待してから欺かれると普通の倍落ち込むと判っていてこの手を使ってくる。けど最初からわかっていたら被害も最小限で済む。味方が最低でも1人いる事を忘れないでください。

坂本冬美「また君に恋してる」っていい曲ですね。

〔水曜日…、14日目〕

今回もすこしフライングで…

TBSラジオで22時から放送している番組「アクセス」、たまに聞くとへーっと思う話題が出ていてためになる。ここで一般の人がでてきて意見を毎回戦わせるのがこの番組の特徴。おじいさんから若い人まで多様な人が意見をだす。半笑いの人、テンションあがっている人、色々いてリアルな意見が出る。これを聞いていてこう思った。そちらの世界の人達は普段からちゃんとこんな風に真剣に意見を戦わせることがあるのだろうか？って。君はどう思う？一度機会があつたらこのラジオ聞いてみてほしいと感じた、君の趣味で無いことはわかっているけど、聞けば僕の言わんとしていることがわかる。

何でこんな事かいたか？ラジオを聴いていてこんな事思い出したからだ。

君と引き裂かれて、浪人中、現在と同じ監視下の時。夜中コンビ二に行つた帰り、自転車に乗る同世代の集団にこう叫ばれた、「よお！青少年！」。ま、無視した。相手は力チンときたらしいけど。監視していたのだろうか？あんな感覚なのだろうか？真剣に議論なんかしないのだろうか？そう思った。

君の周りがこんな軽い連中ばかりでなく、話せばちゃんと意思疎

通のできる人たちでいることをねがうばかりです。でも例えそうでも、そうでなくても遠慮は無用です。

なぜか？

同じ今日放送の「アクセス」の中で、無差別殺人をした彼が控訴を取りやめたニュースがやっていた。一つ間違えば僕も彼と同じ立場になっていたかとも思うとゾツとする。君のおかげで現在の僕があります。17年前の君に聞いて欲しい、何を感じるのか。君の心の中に居る彼女に。

何がどうあっても、僕は君を支えます。あの日感じたあの想いを君に伝えます。「そこまで本音を言ってくれた人ははじめて」と聞いたときから僕の想いは同じです、今も。

〔木曜日：、15日目〕

1時間ほどフライングで

君がまんが「宇宙家族カールビンソン」を知っていたのは驚きだった。17年前の事だ。そちらの世界には意外にもオタクが多いというのも東京での経験で知っている。誰かの影響だったのだろうか？そういえば当時間も聞いたと思う、誰の影響？と。君は言葉をにこした、君が言葉をにこすということはやはり、そういう事だったのだろうか…、

最近ろくに漫画を読んでないことに気づき、漫画家志望としては失格だなと思つてよく読みこむことにしています。すると、不覚にも感動してしまった。たかが漫画で？35にもなつて？以前からこの漫画は感動する、感動すると随分きいていた。木村拓也がTVで褒めていた時も信じなかつたし、「いいとも」で観客アンケートを使ったゲームコーナーの中この漫画が泣けるとランキングされた時も信じなかつたけど、人気があることだけは知っていた。参考になればと読んで見たんだけど…

君の現状でこんな事書くと違和感を感じてしまつかもしれない、

けど、心の余裕を失うと長期戦に勝てないと思う、でも笑ったり感動できるうちはまだまだ長期戦にも大丈夫、そんな心の確認のできる作品だと思う。

試しに自分で「もう死にたい」と言ってみるといい、そう言えるうちはまだ本物の限界でない、本当に死にたいときはそんな事言っていない余裕はなくなる。ちなみに僕はそこまで追い込まれた事ありません。君との記憶のおかげで正気を取り戻せました。

話は戻ってこの漫画女の子にも人気がある、宇宙家族カールビンソンを抵抗なく読めるなら多分気に入るのではないかとおもう。

「ONE PIECE」^{ワンピース}って意外に感動する。特に44巻あたりはいい。いきなり44巻では連続話なのでつらいので少し巻数をさかのぼったあたりでよむのがいい。

覚えているだろうか？あの僕の大告白の日、君に泣かされた日、君がポニーテールを高い位置できめてかわいかったあの日、校舎3階の誰もいない2人きりのあの空間、君がはじめて会った時以上にかわいらしい笑顔を見せてくれたあの日。第1話には書かなかったけど、こう僕が言ったのを

「僕は人と人がこんなふうになりあえる漫画がかきたいんだよ。」

想いが通じたとき僕はこんな趣旨の事言った。単に泣いてるのをごまかしたくて関係ない話題を持ち出したただけだけど、でもそこで言った事は事実で、少年漫画では無理だと思っていたけど、このONE PIECE^{ワンピース}44巻はまさにそれが出来ている。泣くかどうかはともかくぐつと来る。君が和めばと思っ書きました。

君が心の余裕を楽しみつつ鬼になれる姿を夢見ます。目的を果たしましょう！

〔金曜日…、16日目〕

2時間半のフライングで

恋する目…、あれがそうだったのかと今現在の僕は思う。当時の君の説明できない優しい笑顔にうれしくも戸惑っていた。今おもう。あれが恋する君の顔…。どうすればいいのかわからなかった僕は君に救いをもとめた、けど、君はなぜかなにも知らないふりをしてとぼけた。なに意地悪するんだ、あいかわらず気まぐれだなとあの時思った、けど、あれは恋する君のとする恋のしぐさであり、とぼけても意地悪もしていなかったのだなと、そう感じる。ごめん、鈍くて…、こんなにたつてから気づく。ね、あれだけ色々書いたのにまだ、伝えたいことがでて来る。ここには書けない様なこともたくさんある、どうにかならないものかと…、同じ思いでいてくれたらと想像します。

こんな事思った。NHK連続テレビ小説「ウェルかめ」に出演してる石黒賢、まるで石黒賢でないみたいに見える。かつこわるい、いい感じのため中年を好演している。で、思った。人間が人を認識するのは顔だけではないんだなと、その人の立ち振る舞いやしゃべり方や態度で同じ顔でも別人のように見える…。

17年前の君はあの日以来物凄く輝いて見えたのは気のせいではないのかなと思っただ。あの日は？もちろん、僕が君に大告白したあの日だ。あの時は信じられないほどかわいかった。恋する君、僕はその顔をまじかで見ることが出来た訳で…、幸せを通り越してなんだかもすごい事だったんだなと、振り返ります。

自分の意見を通すときはそれなりの顔が必要なのでしょう、当たり前なんだけど、なかなか難しい。そんな事おもいました。僕はあの時どんな顔をしていたんでしょう？あの大告白のあの泣かされた時。聞いてみたかった…、君の中にいる彼女はまだ覚えていてくれるだろうか？あの時僕がどんな顔をしていたのか？ぜひ彼女に

訊いて欲しい、君の中に居る17年前の君に、そう思った。

〔土曜日…、17日目〕

君も一緒に考えて欲しい。

木曜に書いた事では、なにも反応がなかった。金曜の記述分では反応があった。今日夜の6時から8時の時間帯車がうるさかったから、帰宅時間帯？昼間働いてる人たちが騒いでいた感じ。主にお父さん方だろうか？何に反応したんだろう…、組織の行動が人命をおとす行為に繋がってる可能性を示したときは絶対来ると思ったけどこなかった。どう思う？そして、君に法的な簡単なアドバイスをしたら来た？それとも別の記述だろうか？自虐的な人達は責めれば責めるほどやる気をだす？この状況自虐的な感覚をもたない人間は正常でないと思う、だって人殺しの片棒を担がされて平気って人間はいないでしょ？絶対無理してる。それが証拠に来る車みな音が遠慮がち。絶対自虐的になってると思う。何が効いたのだろう。君ならどう思う？男尊女卑について怒ったのだろうか？女性蔑視の風潮があり子供を生む道具くらいにしか思っていないとある本に書いてあった。本当だったのだろうか？それとも、軟禁について説明した事だろうか？君はそういう状態なのだろうか？でもこの人達は単純に私怨で動いている、崇高な理念などなく子供っぽい感情で動いていると以前書いた、その考えが正しいとすればそんな事もないはず…、でもなら木曜日の記述に反応していいはず。それとも木曜日の記述は芯を突いていて言い返す気力もなかったのだろうか…。君ならどう思う？

〔日曜日…、18日目〕

1時間半のフライング…

君も一緒に考えて欲しい。

君と万が一にも再会しないように見て監視されている？そう思うときがある。思うだけで根拠はない。17年前君と引き剥がされたあ

とと同様今もそうなのだろうか？そんな事思った。

17年前、仮に監視下で再会しても“再会”そのものは止められなかったと思う、なぜなら高校時代神社で密会していても“密会”そのものを邪魔はできなかった、せいぜい神社にベビーカーの母親2人を配置するか、神社の屋根を修理する職人を配置するくらいで、直接暴力沙汰にはならなかった。君が僕とわかれて1人になった時点で君を攻めたのだろう…。

今さしたる攻撃もない状態で監視する理由は

？、理由はないサークル活動のようなもので、趣味クラブ同様の意味でしかやっていない。“探偵ごっこクラブ”になっている。

？、秘密を知った人間の監視？マフィアかヤクザみたいでいやですけど。“ヤクザ”ごっこ？

？、17年前同様、再会しないか見てる？“のぞきクラブ？”

？、あとは救いようのないのしか思いつかないので書きたくもない

こんな事思い出した、あのときの事だ、神社の社の中、2人でいたとき、外はビュービューと結構な風で引き戸がバタバタと音を立っていた、その中にドスンという音が混ざる、ひときわでかい音、思わず反射的に引き戸の方を見た。あいかわらずガタガタなっていて、人の気配などわからない。僕の様子を見て君は僕を見た、そしてあまい声でささやいた。

「どうしたの？」と。

呼ばれて八つとして君を見た、目が合う。やさしい目で僕を見る君の顔がま近にみえる。

「いま音がしたんだ」と、僕は言った。

「…しないよ」君は言っただけでほえんだ。無敵の笑顔。

普段のきみならもつと警戒したのだろう、けれどこのとき2人の世界に入っていた。警戒心を解いた君は世界一かわいかった。だから、それに見とれて気にするのをやめてしまった。恋する君の顔、何者もかなわない無敵の笑顔だった。しあわせだった。もう一度何

とかならないものかと、考えてしまいます。せめて記憶を、思い出を君と共有できている事がしあわせです。あのときの音、気のせいと思うことにします。これからも、これまでも。

今も監視されてます、おそらく。目的は知りませんが。君ががんばれるなら、僕もがんばれます。これを君が読んでいてくれることを願うばかりです。

〔月曜日…、19日目〕

こんな事思い出した、たぶん、トロンボーン経験者にしかわからない、けど、なんだか君にだけ通じればいいかななんて最近思う。

記憶違いかな、ベルと呼んだような気がする、音が最終的になる部分、スライドポジションの3と4にするとき初心者はこのベルを指で抑えれば簡単に3のポジションにできる、ベルのまま横が3で、4はすこし手前にすればいい、そう教わった、僕は結局最後までベルを指でおさえるくせをなおさなかった。カッコわるいのだろうが正確な音を出すほうが重要だと思ったからだ。

以前にも書いた、その日の調子や、気温、楽器の状態や温度で音が変わる、でもトロンボーンはスライドの位置を自由に操作できるのでそのつどアクティブに対応できる、ポジション3もいつもベルのままという訳ではなく、毎回微妙に前後する。その微妙な差を音感だけをたよりに調整するのが好きだった。自然と音感が鍛えられる、実は僕は音痴なのだ、だけど、楽器をやっていたおかげでそこそこ修正されている。

時々チューナーで音を直す。音感が絶好調のときはカンでチューニングしたのもでも一発で正しい音になる。チューナーにかざすとほとんど狂ってない。まったく狂ってないという事は僕の音感の正しさが機械的に証明された訳で楽しくなる。楽しくなったので、近くにいた君に「ねえ見てよこれ」とチューナーの数値を見せる。

「何の調整もなく一発で決まったんだすごいでしょ？」と僕。

ほめてくれたよう記憶している、もしかしたら君はそれがたいし

たことではないと思っただけかもしれない、なにしろ楽器の腕前は君のほうが上だ、けど、ほめてくれた。楽しかった。笑顔の君がまぶしかったし、かわいかった。君に「くん」と呼ばれるたび幸せを感じた。

「いつも楽譜みてるでしょ？」

ある日君は言ったと思う、僕の演奏スタイルはくせが強い、普通と少し違う。毎回楽譜を見ないと演奏できない、普通は違う、ある程度おぼえたらいらなくなる。

どう見ていたのだろうか？隣で。隣を見るといつも楽譜に釘付けの僕がいてちつとも君の方を見なかったと思う。君がこれを言ったのも僕らが親密になってからだと思う。僕のようにすを隣で見ているのかといまさらながら恥ずかしくなる。相当無防備な姿だったはず。なんだか恥ずかしい…。

僕はといえば、毎日君が横にいてくれてとにかくうれしかった、憧れの女の子のすぐそばにいる、まさか、好かれているとは思っていない当時の自分。好意はもたれているのはわかる、けど、先へ進めなかったので悩んでいた。悩む方角が違っていたわけだ。

こんな事思い出した。

北朝鮮拉致被害者のうち、まだ帰ってきていない人たちを、第三国で偶然見つかった事にすればかの国の責任問題を回避した上、皆帰国できる。人道的にもすぐれた案だ。でもたぶん日本国内の世論が黙るはずもないと言うことでなくなったと、ニュースで見た。

君の過去を帳消しにした状態で、君自身も何も語らなければ、再会してもそちらの世界のルール上問題ないように感じた。何かしないかは監視してればいいわけだし、君と2人でいられるなら監視なんてなんともないどころか大歓迎くらいです。イメージです。そんなイメージもありますという話です。

〔火曜日…、20日目〕

1時間はやく書きます。

これは僕の体質の問題だろうけど、ふいに、思い出した。「どうしてこんなきつく締めるの？」

と訊かれた事がある。ベルトだ。

「きつく締めるのがすきなんだ」

と答えたような気がする。そしてそれは今でも変わらない。

頭がボーっとするときにはベルトをこれでもかときつく締める。すると、理由はよくわからない、頭への血流が増すのだろうか？頭が冴えてくる。けど、あまり長時間やると心臓のあたりが苦しくなるのであまり長時間はできない。でも一度冴えてくれれば頭のスイッチが切り替わるのでしばらくは大丈夫。当時からそうだった。だから、ベルトをきつく締めていた。覚えているだろうか？

ベルトひとつでも思い出が出てくる。なんだか感慨にひたります。17年前の君が今の君を支えているなら、心は、記憶は、いつまでも君のものです。くじけていないと信じます。

彼らは3年あきらめず電車の中で僕をにらみつづけた、気がつかない僕に歯がゆい思いをただらうけどあきらめなかった、3年目ついに警察まで巻き込んだ攻撃に転じた、さすがに気づく。おぼさんがレジで僕に言った「刑事がいるのよこの辺」、ふだん話しかけない人が笑顔で僕に言う。いろいろあった。詳しくは書かない。どうやってかわしたか？僕はいつも同じ帰宅コースをとり、いつも同じ監視カメラの下を通る。紙に「この通路の監視カメラ調べましたか？」と書き、いるであろう本物の警察の尾行に見えるように通路に置いた。以降、警察らしき影は消えた。かわりに。警察とは明らかに違う素人くさい尾行がものすごい増えた。最初マスコミと聞いた、その事件はTVでも報道され、事件現場は僕の職場の近くだし、TV局もちかくにある。しだいにこの素人くさい集団は数を増やしていき最終的に何千人に膨れ上がるのだが…、じゃ最初のは警察じゃなかったのでは？でもこんな事実がある。所轄の警察にネットで

書き込みをした、店が風評被害で悩んでいますなんとかしてくださいと（この風評被害そのものが彼らの演出だったののち知る、町単位での攻撃、恐ろしい。）すると背広の社員章をつける部分に桜の大門の小さな章をつけた普段見かけないお客さんがたくさんきて万単位の買い物をしていってくれる。罪滅ぼしのようだ。確信した、警察の疑いは晴れたと、冤罪ではめようとする試みはかわすことに成功した。

このしばらくあとだ「いまましい」と何もしてないのにおじいさんに言われたのは。

なぜ、これを書いたか？少しでも君の気が和めばと思いました。通じるといいなと感じます。

警察に追われる恐怖はかなりのものでした、一時は覚悟した。本をたくさん読んでいたおかげとでたすかった。この時点ではまだ“彼ら”に気づいていない僕。つまり、君の事にも気づいていない。たった1人であるの恐怖と戦った。今は心に君と君との思い出があります物凄い心強いです。

（一応明記します、この物語はフィクションです。）

〔水曜日…、21日目〕

30分フライングで、

記憶がどのくらい間違っているのか？君の記憶と比べてほしい。

あれは、1度目の破局のあと、なぜ君が急に他人のようになったのかわからなかったある日の事。教室に君がいるのを見た、なにか話しかける理由を思いついた僕は君に話しかけた、君は反応しない、横をむいたままじっと一点を見つめる。いやなら逃げればいいのに逃げない、拒絶するなら、なにか言えばいいのに言わない、ただ、けわしい顔でじっとしている…、逃げるわけでもなく、拒絶するわけでもなく、ただじっと険しい顔をしている君にキレた。

「返事くらいしろよな！」

と言いつち教室を後にした。去り際ちらと見るとまだ固まったままの君がいた。

ここからが記憶があいまいな部分。

この後、ふてくされた僕が帰ろうと駐輪場にむかっていると、後ろから聞きなじみの足音、どーゆうつもりだろうと早足でいそぐ。それでももついで来る君。何か決定的な別れの言葉でも言われるのかと思ったり、また別の可能性を考えたりしていると、気配が消える。ああ、いなくなっただ、なんだっただろう、勘違いかなと思っっていると、君の足が見えた。ちょうど自転車のチェーンロックをはずして見上げたときだ。目の前に君がいた。警戒心を解いた君が。笑顔で、愛情あふれる君がいた。はにかむように、ほほえましさを感じる無敵の笑顔、今思えば恋する君がいた。何かを決意した君はもう一度関係をもどすことを宣言した。ものすごくうれしかったことをここに伝えます。

記憶があいまいなのは、この2つの出来事、同じ日だったか、違う日だったか、ハッキリしない。17年も経つてると時系列が正確に思い出せない。そして、このあと、どうしたんだっけ。自転車をひいて2人で歩きながら話して神社へ行ったんだっけ…。あの駐輪場で君を見た瞬間の映像はものすごい鮮明に覚えている、その少し前の目も合わせてくれない君も映像としてハッキリ覚えている。この2つの記憶はセットで記憶されてるみたい。でも同じ日かどうかまでは思い出せない。君のなかにいる17年前の君は覚えているだろうか？この時どんな気持ちだったのだろうか、聞いてみたいと現在の僕も17年前の僕もそう思っています。君と君のなかの17年前の君はどう考えているのだろうか…、そんなことを考えてしまいます。

年賀状…、結局こなかった。けど、最悪の事態だけは回避できた

と確信する。

君の心がすべて塗り替えられている可能性は完全否定できる。

なぜなら、“彼ら”は仕事は完璧にやる主義だ。僕の心をくじくようなものを君に書かせて送るといふ可能性もある。十分予想範囲内、けど、なかった。君はまだ戦っている、陥落していない、そう思った。もし、これを書いてからきた場合、書かされた可能性100%になるのだろうか…

（「火曜日」、20日目」の分、加筆しました。）

「木曜日」、22日目」

7時間のフライングで…

恐怖と戦う、実際大変だった。詳しくは書かない、あるきっかけで警察の尾行に気づく。ものすごい緊張感と殺気がおそう。あまりの恐怖に店頭で警察に尾行されると言ってしまう。誰かにとにかく言いたかった。ものすごい恐怖。店頭で言ったにもかかわらず、お客さんの反応は特になかった、ああよかったと思うっていたが2日後、人がいなくなる。実はこれも彼らの演出とのちのち知る。そしてわずかながら来る客もみなお金を出すとき手が震えている。実はこれも演出だったとのちのち知る。町中から白い目でみられる攻撃、“彼ら”はうわさも得意とする、おそらく本当に関係ない人も巻き込んでやっていたのだろう、町単位の攻撃、おそろしい。まだ、この時点では君とのつながりに気づいてなかった、よく気が狂わなかったと思う。本を読んでいたおかげだ。信念を持つこと、心眼を持つこと、夢を持つこと。

警察の疑いがはれたと確信してからも町中からの白い目は続く。

最初は防犯パトロールという民間の防犯組織かと思った（事実この組織は“彼ら”の手中にあるらしい）けど、尾行をまくたびに増え、最終的には千人単位に膨れ上がる、あまりの恐怖にどうにかなりそうだった、でも、こう思った。僕はオカルトは信じない、理解できない事実の前には必ずなにか欠けた情報があるはずだ、他所で書い

たコンテクストの概念がここで役立つた。理解できない事実の前に「コンテクスト」は何か欠けた断片がある。という概念だ、そしてそれは事実だった。ネットの情報を元に“彼ら”の名にたどり着き、トイレにたった瞬間君とのつながりに気づく、一気に記憶が再構成され、真実の記憶にきづき涙したわけだ、恐怖なんてどっか飛んでいつてしまった。「こんな僕ごときのために彼女はあんなにがんばってくれていた！」そう気づいた瞬間、恐ろしさなど、どっか飛んでいつてしまった。冷静になり、反撃の方法を考えた。

本でよんだ「ルールのルールをやぶれない」(国家の罫/佐藤勝)「、このゲーム、法律というルールをやぶった者の負けになる」。

本でよんだ「世の中はバイアスに支配される」(ソロスは警告する)「バイアスにはバイアスで対抗するしかない。

外に出ると何千人が常ににらむ、1人、1人、に詰め寄っていてはだめだ、この何千人に同時にバイアスをかける方法はないものだろうか？しかも法律に触れることなく…。

“彼ら”の名を冠した文庫を手を持ち歩いたらどうなるのだろうか？と思い、ものはためしでやってみた。そしたら効果がでる。皆が面白いように目をそらす。1人も睨まない。街中だけではない、電車の中でも皆目をそらす。こう思った「みな軽い気持ちでやっているんだ！」

そしてこうも思った、目をそらすということは間違いない…。中には筋金入りもいたが少数派だった。こうして今日までつづく戦いの反撃が始まったわけだ。君はどの時点で気づいたのだろうか？僕が真実に気づいたことに。

この時期のことはいわずれ詳しくまとめて書こうと思っています。もし、今戦っているなら、あきらめないで、君は強い人です。大丈夫です。

(初めて読む読者のために一応明記します、この物語はフィクションです。)

あと最近思ったこと。

東京にいたあきらかに“彼ら”とわかる若い彼はどういうわけか「映画」 新海誠監督作 - 『秒速5センチメートル』 - に敵意を抱いていた、そして某大手DVDレンタルチェーンでは東京でもこちらでもこの作品が置いてない、新海誠監督作は計3本あってほかの2本は置いてあるのにこれだけ置いてない、傑作といわれているのに、そしてこの作品を見ると、当時の事を思い出します。(すみません、こちらの店舗にはありません、ないのは向こうの店舗だけのようなので。単なる偶然であれば安心します)

(この物語はフィクションです登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。)

第9話 クリスマスの前日から（未来へと続く話その2）

（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押しせば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語の登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第10話 12月に入り… + 最近感じた事（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第10話 12月に入り… + 最近感じた事

(この物語はフィクションです登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。)

最近思いました、皆さんとの温度差を埋めるまで結局のところ平穏な日々は来ないと。試行錯誤の過程で行き違いが起きるかもしれませんが、座してなんとかを待つではいつまで経っても温度差が埋まらないのも事実で。適切な距離感を模索します。

12月に入り…

おんぶ紐を使わずにただ赤ちゃんを抱いて路上を歩くのは異様に見えます、やはりあれが初期暗示なんでしょうか？普通危険だから短距離移動でしかあんな抱き方はしないはず、不自然な異様さが強調され、それが初期暗示になる、そうすれば、普通の母子をみても反応してしまう…そんな仕掛けでしょうか？11月末から12月に入り頻繁にそうした不自然な抱き方をするお母さんを見る機会がふえました。以前もこれにやられた、2度目だから注意します。

こんな妄想をしました、もし彼女と子供がいて3人家族になるなら、さぞかしやりがいのある人生だろうかと、僕は自分から困難に立ち向かうのは苦手ですが、やってくる困難に立ち向かうのは意外に好きなんです。限界を超えた瞬間って楽しいですよ、東京ではかなり限界に挑戦しました、仕事ですけど。1人で2人分の仕事をしたのだからあります。人間やってみれば案外なんとかなるものです。

話は路上での光景に戻ります。

0.5対5.5対4、といった感じでしょうか？

町の空気に対する12月初旬の感想です。完全な独断であり、裏づけするデータはありません。僕の今住む行動半径内の感想です。

0.5をA、5.5をB、4をCとするなら…

Aは、あいかわらずな感じの人達。

Bは（腫れ物に触るように）どうしようという空気を出す人達、

初めてのことに戸惑う空気。

Cは、良かったねと態度にこそしないがそういう空気をだす人達。

時間とともに慣れてゆけば戸惑いは落ち着くものと考えます。Cの空気も時間とともに薄れると思うし、それが本来あるべき姿。あ、でもあと2〜3ヶ月はそんな空気できてほしい感じがします。希望してどうにかなるものではありませんが一応。

Aの人は、警戒しますがそのうち他のターゲットに忙しくなれば見なくなるのでは…。希望としてはそんな事無くなればいいのにも思いますが、世の中難しいですから。仮にそうならなかった場合でも、毎日お付き合いをご遠慮する旨をなんとかご理解いただけよう努力するまでです。

前述のお母さんたちはBに入れました。

なぜならAの人のような悪意を感じないからです。どちらかという、一人だけ自由恋愛なんて許せない！と言われているように感じるからです。これは僕の主観です。

なぜこんな偏った主観を持つのか？

それは東京での出来事、この人は大丈夫か？と思うくらい人格的に問題のある人物を僕は3年観察しました。こんな人格でどうやって結婚すんだろうと思っていたらものすごい美人のお嫁さんをもたらした。そして、その様子は新婚なはずなのにイチャイチャ感ゼロでまるで親戚のお兄ちゃんといとこのように見えた。だから最初はそうだと思っていた。そしてこの人に嫌われたのがそもその東京で

の第2ラウンドの始まりだったと今はわかるからです。

それはさておき、この主観。仮に間違っていたとしても、プレッシャーはかける人間より受ける人間の意見のほうが目的遂行上重要なわけで、ですからこの場合僕の主観の方が優先されます。本来の意図を僕が汲めてないとしたらプレッシャーのかけ方に問題があるのですから。

これを書いてからA急増です。

やはり暗示にかかりやすいですね、事実。

ここからわかる事実は第8話の出来事とAグループは連動していないという事実。

Aグループは第7話（現在の第10話）の内容に反応してますね、第8話を加筆した時点では無反応だった。行動原理の一端が少しわかります。それは、

彼女とその結婚相手を守る意図は無い、単純に私怨で動いている。
高尚な行動理由などない

ということ。

他にも可能性がいくつか見えてきます。

？、Aグループの人達と彼女の周辺の方々との間に連携はない。

Aグループは独断で動いている。

そしてそこから見えてくるものは…

？、彼女の周辺にいる方々は、僕に対しての直接行動を控える基本姿勢をとられている。

（この事に関しては改めて感謝の意を表明します。）

（わからないことは彼女に対してどんな姿勢を示されているか？
という事です。彼女の望むものが実現される事を願うばかりです。）

更にわかることは、「これを書いてからA急……」と加筆してわずかな時間で再び静寂が戻っている

？、現在もネットは24時間監視体制である。

？、ネットの監視者は彼女の周辺の人達を経由してではなく、直接（あるいはものすごく短い経路で）Aグループと連絡がとれる。

？、Aグループは許される範囲内で今後も僕の生活が破綻するよう画策する可能性が高い、理由は私怨だから。彼女の存在は関係ない。

？、Aグループにも行動するためには“正義”が必要という事、正義が証明されない活動は仲間が許さない。（これは、組織内に自浄作用がある程度存在することを示唆させます。）

？、Aグループは感情的。今も近づくのがいやだから遠くでうなっていたりします。理性が働くなら、スッパリやめるかかまわず来るかで、中途半端なことはしないはず。状況判断が適當。

以上を踏まえて以下の仮説がなり立ちます。

？、Aグループは、B、Cグループに対して「秘密の指令」という架空の指令の存在を示唆し自らの行動を正当化させていた。

この仮説には東京での経験が反映されています。東京でのAグループは僕が国民年金を滞納している事実を誇張して他のグループに僕が社会の害悪者であるかのごとく吹聴していた形跡がいくつも見られました。同様のことが展開されている事が予想されます。

ちなみに国民年金は僕の年齢から開始しても問題ないことはすでに調べてあったので計画的に払ってなかった事実をここに添付します。免除の手続きをしなかったのは確かに落ち度ですが、害悪に相当するほどの罪ではありません。

話は戻ってこの仮説なら、現在の僕の行動半径内にいるBグループの人の煮え切らないリアクションが説明できます。

僕の悪評を吹聴する勢力とその逆とまではいかなくても特に吹聴しないそれとの相対する2つの情報源があるため僕をどう取り扱えばいいのか判らなくなつて様子見をしていると解釈できるからです。大量の情報を流して理性を混乱させるのは情報戦の基本です。彼女もそんな目に遭つてない事を本当の本当に祈ります。

そして感想。

?、以上を踏まえると、僕が東京で体験したあのありえないほどの猛攻撃は、実は関東周辺にいるありつたけのAグループを終結させた結果なのでしょうか? いや、いくらなんでもそれは妄想ですね、あくまで感想ですから。

?、そしてこのAグループの動きを特に止めようとしなかった上位者の存在が想定されます。彼女の周辺にはまだまだ不安要素がたくさん存在しそうな気配を感じざる得ません、稀有であることをいいます。

「偶然?」

灯油移動販売の方は毎日きてるし、最近はず2回に変更されたよ。うで何か通じたのかなと思つたりしますが、最近いまままで聞いた事の無いタイプのアナウスをする車がよく来ます、そして家の近くで突然スイッチを入れる。驚かしたい? でも他の暗示とセットでない。と効果が無い事はご存知と思うのですが、もしこれを書いてから聞いたこと無いアナウスする車が増えたらこの話確度100%になりますね。

「僕が何を懸念しているか?」

今後の就職活動と、仮に就職が決まつたあとの事を懸念しています。

風向きが変わり始めました、働きたいです。
考えすぎ？

つい最近も3〜4日も無視したあげく突然の電話で今すぐ面接こい、時間すら指定されないし、場所の説明すら適当。伝達事項をわざとそうして圧力をかけるテクニクがあるのも知っています。それでもわずか15分で履歴書や職務経歴書が準備できるのは日ごろの準備のおかげ。適当な場所案内も、本社にかけて再確認。ようやく面接にこぎつける。けど、返事を翌週の月曜と言っておきながらまだ回答なし、無視が続く。本当に適当で無能なりサイクルシヨップならこちらから願い下げだし、嫌がらせなら、ああまたかと思う。心の無いマニュアル人間かと。履歴書が欲しかった？なら、芝居は完璧に最後までやらないと。

どうおもいますか？

本当に適当で無能なのか。

そうでないとしたら何かしらの意図があるのか？

第3の可能性が思いつかないのですが…。

「今更ですが…」

僕は先天性仮性斜視です。こう書くと物凄い病気のように感じますがなんてことはなく目が寄ってるだけです。テリー伊藤は学生時代目を怪我してより目になりました、彼の場合は後天性真性斜視。真性というのはずっと寄ったまま戻らない。僕の場合は仮性なので時々正しい位置に戻る。

ですので、慣れてない（見たこと無い）人は面食らう事も多く、たったそれだけの事で近寄らないなんて人もいますし、外国の方は目を本当に見て会話するのでよく後ろに誰かいるのかと思うらしく振り返る動作を気づくまでします。いつまでも気がつかない外国の方の場合仕方ないので寄ってる方の目を手で隠して会話しないところをみてくれなかったりします。

なにが言いたいのか？

よく。人に見られているとは感じます。

今更ですが…

目が寄っかけていても、生まれつきですから、驚かないでくださいね。

もし、彼女と再会できたら、その時は手術して直してもいいかなーなどと思ったりします。なぜ手術しないのか？今までの苦労を安楽死させるようで嫌だからです。けど、彼女と再会できたらなんだかそんな事くだわる理由がなくなる気がするんです。あまり、理路整然としてませんが、そう感じます。

「偶然？」

歩いていると前のおばさんが頭をかく、偶然かなーと思っ
ていると、ちよつと経ちもう一度同じ動作、また偶然かなーと思っ
ていると今度は思いつきり後ろをふりかえってみて見てまだいる
って顔。

別の日、車で徐行中道で工事現場に遭遇、工事のおじさんが
こちらに正面を向いて両手を腰のポーズ。ずっとそうしてる、偶
然かなーと思っ
てずっと見ると、きつと偶然に違いない、通り過ぎるとポ
ーズをとくおじさんが見れた、こちらに気づいてない。むなし
そうな横顔が遠ざかる…。

別の日、自転車走っていると対向するバイクのおばさん、こ
っちを見ている。だからこっちも見返す。まさか鼻に手なんか
やんな
いよなーと見ていると本当に鼻に手をやる。一応礼儀？かな
と同じ事やり返した。

3件とも同年代の人達。

子供たちからも学生さん達からも、お母さんたちからも、お兄
さんたちからも、お年寄りからさえもう圧力を感じない。この3
日
で3件のみ（気づく範囲でだけ）、何か意味がありそう、人数が少
ないのも意味がありそう。そう感じたわけです。彼女の状況に
関わりが？などと考えるのはいけない、自分の都合のいい解釈になっ
て

しまう恐れがある。

けど、東京で知った、彼女の名前と生年月日だけで仲間内ならすぐに彼女が何者かわかり、現状までどうやらある程度わかるらしい事を、彼女が何かすればそのリアクションとして皆さんの行動に反映されるのは自明の理で、それは東京で体験済み。つつい考えてしまっけども、単に、周囲の空気に同調できない流行おくれの人という可能性もあるわけで、実際2度目の東京脱出時、新幹線のホームでやる気満々できた小太りの青年がいつまでたっても仲間がこないで時間と共にそわそわそわし始め、泣きそうな顔で新幹線にも乗らずにどこかへ消えるという事もありました。流行のずれている人はいつもどの分野でもいるという事でしょうか…。

何が言いたいのか？つまり意味ありそうな気がするので、観察を続けますということですよ。

3度目のマイナーアタック

すれ違いざまどこかに手を振り仲間がいるようなアピール…、3度目。にやけたしたり顔のお兄さん、そういうえば3回ともこんな感じの人。目立ちますね。

もし仮にそうなら間違いない筋金入り…。プレッシャー返しでも何も感じない純真無垢なまま…になったタイプですね。誰か助けてあげないと。

「最近気づいた事」

まずお店にターゲットと思しき人物がきたら、通報がはいり、周囲に周知される。

尖兵として1人接近して顔を確認、該当の人物であった場合やはり周囲に周知する。

あとは指示をまち、対象に対しどうするのか待機。

初めて行くお店では大抵こんな感じですよ。今日もそうでした。マニュアルですね、たぶん。このあとジロジロ見られなかった、おそらく攻撃の指示が飛んでこなかったものと推測します。戸惑いの空気が気のせいでしょうか？

でも、あるDVDのパッケージを見ていたらそのDVDの宣伝が店内BGMとして流れてきた。ネットで見ましたこういう心理攻撃、それに僕も初めてではない、何度かある。一旦別の店へ行き再びもどると、僕の現在の心境をからかう音楽が流れてくる。2度目？偶然？もし、もう一度この店に来て似た体験をしたら故意と確定していいと思う。

上記から推測して下記の推理が成り立つ

現在も監視は続いている。

(とくに、中高生男子はビビッていて特徴的。男子大学生は何の工夫もなく携帯をだす、本気ではばれてないと思っっているふしがある。)
上記した人物確認の方法も監視マニュアルの1つ。

これらから何がわかるか

?、監視行動と攻撃行動は別物とされている。
?、僕に対して解除されたのは“攻撃行動”のみで“監視行動”は解除されていない。
?、BGMを使って攻撃するルートは通常の指示系統とは別に存在し、そのルートにおいては僕への攻撃解除の指示がいつていない
(これが意図したものか単なるミスかは不明)

今日は初めて行った店でこのような目に遭遇

?、ということ、今後も新しく行く場所では必ずこうした行動にあう。

と、いうことでしょうか？

せめて週末久しぶりに来た超大手DVDレンタルチェーン店、くつろがせてください。慣れてますので、いつもの感じでやるとばれてしまいます。たぶんですけどばれるのってタブーなんだと思うんですけど違うんですか？物凄くばれないようにやるか、もしくはやめてください。やめるのが無理ならやる気出さないでください。こういう事大好きって思われたくない人が大半と信じています。

？、出来る事なら“監視行動”もやめていただくのは不可能ですか？（不可能なら、せめてあのBGMやめてください。これを書いて逆にひどくなったら人格を疑う人がBGMの選曲者なんでしょう）

仮に不手際でなかったとしたら…

？、やはり悪意を持つこれら活動を管理する上位者の存在が想定されません。

もし、不手際なら…

？、ミスも不手際もあるどこにでもあるなんて事無い普通の組織と何も変わりありませんね。たぶん。

そして地域間に温度差を感じます、普段の生活圏内はだいぶすこしやすくなりました（完璧とはほど遠いですが）しかし、普段行かない所ではそんな事なく、緊張感を感じます。周囲の敵意？を。理由を考えてみました。

その地域を仕切る責任者がいて、その管轄ブロックごとに温度差がある？という推測は当たっているのでしょうか？多くの人が善良な市民で幹部に問題があるのは承知しています。

このブロック長を仕切る人物の内部管理能力が劣るのか？

あるいは言っても聞かない面従腹背なブロック長がたくさんいるのか？

あるいは地域をあげて指令にサボタージュしてるのか？とどれか

でしょうか？

ちなみにへりを動かすのはこのクラスの責任者なんでしょうか？
単なる勘です。

時々高度が低すぎるのが来ます。

なぜ、こんな事書くか？

やはり今後の生活のためです。普通の生活を望むのは当然のこと
で、1人では無論。もっと増えるならなおの事（増えるかどうかは
不確定ですが、可能性の問題です）。

多分、皆さんはもう半ば習慣化していて、自然にやってしまうの
でしょう。慣れてない若年者だけが緊張している。そろそろなれた
けど経験の浅い大学生あたりが油断丸出しでいる、そんな光景が印
象的です。学生はこちらを見たら即ケータイを出します。あれ、な
んとかした方が今後のためにもなりますよ。たぶん。これを書いた
後意図的に見せ付けるしぐさをする高校か大学生風の人を複数見た
気がします、気がするということにします。まさか、経験が少ない
様を自ら証明するなんて事…

普通に生活” “僕” に関してのみ普段の習慣を改めてください。

という意味です。

例外を許容できないのは組織が“官僚化”している可能性があり
ます。戦前の愛国婦人会と似た要素を感じます。あの白い割烹着に
竹やりを持って非国民探しをする、あの最悪のイメージと似てない
事を信じます。

こんな事書いた本ありました、組織に2面性がある、硬直化した
官僚的体質と人間味あふれる温情的体質と2つあると。ぼくは、暖
かい方に賭けています、そのすばらしさに。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

「最近感じたこと」

〔12月最終週月曜日〕

少年部なのか青年部なのか、あれは、やはり、通りすがりに会話にまぎれて言いたい事を言うというやつですかね。がっかりさせちゃったんでしょうか？そりゃ世の中そう簡単にはいきませんよ。世の中には損得だけじゃ図れないものがあるという事です。「バカじゃないの？」とは損得のみのあれですね、あれが何か明日の祈りの中考えてみてください。

〔水曜日・木曜日〕

同じコースだと同じポイントで似た感じの人に遭遇します、おそらく個人のクセで毎回同じようなタイミングになるのでしょうか、それとも待ち伏せポイントがあるのでしょうか？

あと本で読みました、上位組織が下部組織をつきあげると。未来になう部署へは突き上げられない以上青年部が一番そうした突き上げがきついのでしょうか？さらに下位には苛立ちをぶつけられませんか…。苛立ちが時々見受けられるのはその人個人の気質でしょうか？

郵便ポストの回収時間やバス停の時刻表を見るのは婦人中心の部署の特徴なんでしょうか？そういえば神社の由来の説明看板をメモしていた東京の人もこちらのひとと婦人でした。部署ごとにオリジナルの手法があるのででしょうか？

無意味にクラクションをならすのもそうだし、無意味に車から叫ぶのも変ですね。叫ぶ方に関しては慣れてない人は本当に変だし夕イミング狂ってるから自重した方がいいですよ。そのくらいなら天への祈りも咎めたりしないでしょ。

あとやはりローテーションを組んでいるのでしょうか？よく見る人がしばらく消えて、何日かするとまた現れるというのがあります。

ターゲット周辺に配置されている監視役を持ち回りでやっていて、1周すると元の人、そんな感じでしょうか？それともバイトと同じでシフト表があつて、管理者が穴が開かないよう毎日管理しているという事なんでしょうか？もし高額がもらえるなら、いやいやながらも確かにやる人はいるでしょうね、良心をすり減らし現金化しているわけだ。僕は知っています、これに耐えられない人と耐えられるとんでもない人がこの世にいることを。工作上そういう仕事に就いたことがあります。信じられませんでした。職をいろいろ変えるつて本当に結構勉強になります、いろんな世界が見れて。

〔土曜日〕

映画「ダイハード」内に主人公たちの警告を無視してマニュアルどおりのテロ対策を講じて言うことを理解しない石頭な指揮官が出てくる。やはり、どこの世界にもこういうキャラクターはいるのだなと思いました。あ、もちろんこれは映画の話で実際の話ではありません。アメリカの話で日本ではありません。現実の日本国内の日本人で自らに誇りを持っている人はこおらかな事やるような民族ではありませんから。

でもこういうくだらない人間が出てきたほうが映画って面白いんですよね。哲学です。

〔月曜日〕

アメリカにいるアーミッシュの人達は今、存亡の危機にあるそうです。彼らの総数は多くなく、何万人もいるあなた方とは比較にならないけれども、こんな話があります。アーミッシュは今遺伝病に悩んでいます。世界でも稀な^{まれ}遺伝病の発生率が8割近くある。理由は親族間婚姻。似通った遺伝子同士で交配を繰り返した結果遺伝子プールが限界に達して遺伝病を引き起こしているそうです。外から新しい遺伝子を入れないとアーミッシュは滅びるし、それはもう次の世代までつなげないレベルまで来ている。それでも、アーミッシュ以外とは結婚したくないというアーミッシュの人達。いくら文化生活を拒むといつても度が過ぎる。自ら滅ぶと解つていても改めら

れない。自分たちはそれで満足だろうけど。遺伝病を背負って生まれてくる子供たちへの負担は物凄い。2世3世4世は自分たちで新しい物を取り入れる権利をもつてると思うのですがどう思いますか？遺伝子のみならず風はいろんな形で吹いている。多様性を否定する事は生物としての本質を否定しています。アーミツシユの悲劇が例として顕著です。

多様性の否定は優生学です。アーリア人至上主義をとえ歴史をも捻じ曲げたナチスの優生学も多様性の否定がありました。2世3世4世は前任者たちのいいところは引継ぎ悪い所は改める権利を持っています。なぜ上の世代はそれを否定するのか？単純な話で自分たちのこれまでの人生を否定されるようでいやなだけです。それだけなんです。この世代が大安や仏滅をものごいこだわるのはご存知のとおりですが、昨日TVを見た方ならわかるでしょうがあれは明治の初めカレンダーが売れなくて困った会社が江戸時代だれも気にしなかった六曜占いが人気がないがため規制外だったのを利用して乗ってたにすぎず。商業主義の色彩濃いつ随分テキトーな代物なんです。信じているのは迷信に過ぎず、この迷信を打破したくて明治政府は曆こよみに占いを載せるのを禁止したそうです。人々を文明開化させるために。それでも人々は迷信を求め、規制外だった超マイナー占いがカレンダーに乗り。現在に至っているに過ぎません。ある程度は迷信も必要なんでしょう。けど、おかしいものはおかしいと言えてこそ、文化は前進するのです。

ロンドンで初めて傘を雨の中さした人が周囲から大笑いされたのは有名な話です。根拠のほどはともかく、当時ロンドンで傘は雨以外の目的で使用され雨の日に傘をさすのは愚か者とされたそうです。でも。誰かがその常識というか、ばかばかしい考えを否定した事で一気に傘を雨の日にさすというのが普通になりました。何でもかんでも伝統に縛られてはいけません。力士の優勝カップも西洋式だし、そもそも横綱とは名誉称号で本来の最上位ランクは大関。明治くらいまでそうだったそうです。今大事にしている伝統もよく調

べてみたら随分根拠がテキトーなものも多く、絶対不可侵なわけがないのです。2世3世4世はよく考えなければいけません。特に自分か一生懸命なときにほど。

（この物語はフィクションです登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

第10話 12月に入り… + 最近感じた事（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第11話 やつと解った「尾行の仕掛け」 (前書き)

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。もし海外からごらんの方も、注意して読んでください。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください。

第11話 やつと解った「尾行の仕掛け」

（この物語はフィクションです登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

遅まきながらやつとわかりました。尾行のシステム。物凄い複雑なもの想像していたんですが実は単純でシンプルですね。

A地点でみつけたらA地点に集合と発する。A周辺の全ての人はそこに集まる、集まる過程でターゲットと遭遇した人は現在位置を発する、集合地点を変更、この繰り返しでどこまでも追跡できる。

単純な仕掛け。集合するだけならそれほど罪悪感も起きませんものね、先回りなんてしてないし、こちらの進路の予測なんて高度な事してないんですね。あの突然ドアや窓を開けるのもこの情報を元に感でタイミングとれば僕でもできますね、実に単純な仕掛けです。

近所あのドアを突然開けた人、今、後悔してませんか？自ら名乗ったようなものだからね。当時視界をカメラで撮っていたらどうだっただろうと思います。

思うだけです、実行はしません、信じるか信じないかは知りませんが。

17年前ポケベルで召集された彼女もやはり集合地点を指定されて、あわてていたのでしょうか？

時がたつにつれ、少しずつ遅刻気味になっていった彼女の姿を思い出します。

最初に遭遇する人って皆あわててるのでわかりました。

最初の段階で見失うわけにいかないですね。

だから最初に遭遇する人は自転車は全速力だし、トラックもスピ

ードでてるし、バイクもあわてている。それとも予期しない集合指令に慌てているという解釈の方が正解でしょうか？
(地図で見ると最初に遭遇するのは自宅からだいたい400〜500mいった地点ですね、毎回。自転車の場合同じ速度で移動すると仮定するなら、最低でも1000m圏内の人には集合指令がいくという事でしょうか？この距離はケースバイケースで東京にいた時は都市部なのでもっと輪が小さいのでしょうか)

車で移動の場合は電車同様そのルートを集合地点に設定すればできますね。で相手がそのルートの中間地点か出口付近かを発すれば集合地点に向かっていている人のだれかは相手と遭遇する。タネがわかればかばかしいですね。ごくろうさまです。S 活動頑張ってください。

そういえばお隣のIさん、僕が帰ってきた初日、あの深くサンバイザーを被つてのっそり歩くやつやってましたね、あの時点では集合指令のみで相手がお隣さんとは知らなかったのでしょうか？

車の中で家族全員で「なんだありゃ」「Iさんだよ」って笑つたの気づきました？まさか盗聴とかしてないですよ、Iさんに限らず周辺の家で、それとももう仕掛けてある？東京でありました、盗聴器のスイッチが入るとTVの画像が一瞬途切れるというのが。のぞき大好き集団なんでしょうか…

病気が治るってあれも。この方法で皆で凝視してストレスのかかる暗示をかけて体調不良を誘発して、その相手が何かを拝み出したら暗示をかけるのをやめると、健康を取り戻すから一発でその人は信じちゃいますね、祈りが通じたなんて。こういう使い方も可能ですね。2月は仲間を増やそう週間だそうで、この時期になればみなそちらが忙しくてこちらに来れないなんて事あるのでしょうか？

ちなみに長生きという意味では我が家の周辺に言えれば完全に祈っても無駄ですね。宗教に関心のないうちの家族以外、周辺の

世帯主だった方々は皆鬼籍に入ってしまった。

うちの周辺はみなそうです。お祈りを欠かさない方々ばかりだったでしょうが、1度も祈らない我が家より先にみなそうになってしまいました、事実です。

死刑になる人もいますけど。どう思っているんでしょうか…、わかる人はわかりますよね。

何のことだか。そういえばこんな事ありました、東京でのあのありえない猛攻撃の中電車に乗っていると、どれだけ車両をかえても周囲の人が睨み続ける…

僕が立つ前に座っている人はものすごいあぶら汗、恐怖の顔をしている。

今考えるとあの状況下ターゲットは普通反撃として物理的行動にできるものなのでしょう、マニュアルに従えば当然僕もその様な行動にでるわけで、僕の目の前に座っている人は刺されるとでも思っていたのでしょうか。

どれだけ車両をかえても前に座る人がそんな感じでした。そういえば減りましたね、電車内での暴力事件。報道されてないだけでしょいか？これを書いてから報道されるようになったかチェックしようと思います。TVを通じたチャンネルが増えるとうれしいです。

でも刺されると思って恐怖と戦うあの姿。あれも修行だと上から言われているのでしょうか？

だとしたらそれは100%間違った教えです。その点に関しては議論の余地なしです。

アルカイダの自爆テロとかわりありません。命に対する冒瀆であり、人間を道具とみなす侮蔑意識のあらわれです。国家存亡の危機がかかった特攻と同一視しては本当に散っていった人達に対する冒瀆です。だってそうでしょ？単なる嫌からせに命をかけるバカと同一視されたら怒りますよ、一緒にするなど。

そういえば以前、関西の方でこんな事件ありましたね、地下鉄のホームでベンチに座っていた女の人がコンパクトをだして汗を取っていた時のこと、近くを歩くおばあさんが「こんなことで化粧なんかすんじゃないわよ」と言ったそうです。不満に思った女の人はおばあさんに駆け寄った、「化粧じゃありません」と、瞬間、おばあさんの肩にぶつかりおばあさんはホームに転落、打ち所悪く亡くなってしまったという事件。関係ない？そう、僕も忘れていました、実際駅のホームでおにぎりを食べていると「こんなところでメシをくうな！」とおじいさんに言われるまでは…。10年間で初めて言われた、それもあの猛攻撃の最中の事でした。僕の生活パターンが単調な分、偶然では片付かない出来事ですな。

警察も上部組織にいくほど汚染されているのがわかります。所轄の警察に書き込みしたときは無反応だったものが、警察庁に書き込んだら、書き込みを逆手に取った攻撃を電車内で展開してきました。この国はそこまで救いようがないのでしょうか？

警察を巻き込んだ攻撃はまだほかにもあります。保留します。

以前交番のおまわりさんの不自然なピストル自殺との関わりを指摘したことがあります。

指摘した翌日からそれまで毎日見ていたパトカーもおまわりさんも見なくなりました。

勤労感謝の日よりもずっと前の出来事です。(削除)。

あと1つ気づいた事が…、道ですれ違いざま、僕の視界から消えたあたりで頭に手をやる人たくさんみました。でも引っかかっていました、なぜ視界から消えるあたりで？今日気がつきました、人間気まずいおもいをしたとき、気まずい相手が見えなくなったとき、ああいう動作自然にしますね、今日気がつきました。ワザとでない…、失礼しました。

集合地点に向かっているだけで会うつもりはなく会ってしまつて…
ちなみに今日会つて得意満面に鼻をこすつていたおじさん、僕が
言つていたのは上記の若者のことで正直あなたはどうでもいいので
す。

なんとか仲良くなる方法はないものでしょうか？将来の試金石の
ためにも。頭の切れる指導者の方なら何を言っているのかわかりま
すよね。

自宅から400〜600メートル圏内を都合がつく人が巡回する
仕掛けなのでしょうか？で、みつけたら呼び込む。そして集合する。
移動したらまた知らせる、集まつた人は車もバイクも自転車も徒歩
もある一定の範囲内に一定時間いるようにする。

ついこの間も自転車に乗りながらある団体名が表紙の文庫を持っ
ていたら、正面からきたおばさんがバランスを崩してぶつかりそう
になる、普通ならかわして脇を通り抜けられるはずなのに…、笑顔
でした。悪意を感じない。単に集合してるだけという意識なのでし
ょうか？

東京でこんな事もありました、あえて様もないのに朝5時に出か
けました。久しぶりに感じる開放感、人がいない。

あの猛攻撃の最中の出来事です。けど、すぐきた、あちこちから
のそのそと不満顔の若者。いつもこの時間人気のない路地がとたん
人口密度がふえる。で試しに駅に行つたらどうなるのだろう？と思
い実行しました。

すると僕が改札をくぐつたあたりで自転車にのり駆けつける若者
たち、妙に明るい。

雰囲気が違うから別働隊でしょうか？で、ホームには行かずに反
対出口から外へ出る。

すると反対出口で物凄い数の人とすれ違つ、皆尋常でない顔。電
車まだ着てないのにこの数？朝の5時に？ありえない。集合指令は

絶対なわけですね。何かやって報われた人いるのでしょうか？人殺しの片棒を担がされてなんともないのでしょいか？懺悔の気持ちは？僕には通じなかった事実を皆さんどう思っているのでしょうか…。

懺悔で思い出しました。ある外国のドラマ。

主人公は小学生の女の子でユダヤ人、言いつけを守れなかったことを後悔して悩んでいると親友から「私なら週末に懺悔して全てリセットしちゃう」といわれる。

けど主人公は「それはキリスト教徒でなければできないわ」と残念がる。で、親友はこう提案する。「だったら懺悔の気持ちを手紙にかけて大学生のときみせればいい」。

彼女はそれはいいとようやく気持ちの整理が付く…

話をもどって、見失った場合はどうするか？過去のターゲットの行動から立ち寄りそうな所で監視者を待機させる。すごいふて腐れた顔でやっと来た、と顔に出ている人何度かみえています、セブンイレブンの角とかで。

車で見失った場合、走行ルートから別のルートへ変更するポイントに監視者を配置すればいいですね。腰に両手で睨む工事のおじさんや公園で1人座ってこちらを睨みながら目で追うおばさんもこれで説明がつきます。

以前電車で撒いたときも、やはり立ち寄り先に待機しているひとがいて半ギレでこちらに歩いてくるといふことありました。ワザと道端のブロックを足でガチャンとならして…、いやあ全部過去の記憶が説明できる。当たらずしも遠からずなのではないでしょうか？お店に入った場合ケースにもよるけどしばらくすると来るパターンと最初偶然いて不自然に近寄って顔を確認するパターンがありますね。最近では近寄る人が緊張していて、お互い判っているから変な空気になることがあります。

あと飲食店の場合、時間で交代しているように思うのですが、それまでいた監視者が11時にいなくなり、入れ替わりで新しい人がくる。別のときもそうで1時なったら入れ替わる…

東京でよくみかけたデブの人はあれ威圧のつもりで使ってるんでしょうか？でも見てると格闘経験ゼロかやる気なしなのがよくわかります。だって間合いの取り方がおかしい、あんな間合いじゃ怖くないですよ、ケンカした事ないのでしょいか？

あと、最近はずぐ携帯を出す無防備な人は減りましたが似たタイミングで店外にでる人がいると感じるのは気のせいでしょうか？それから、この状況ですら思いつきり睨むおじさん、おばさん、おじいさん、は地域の何らかの責任者クラスでしょうか？責任者なら、なるほど、わかります、その行動心理。数が少ないのも説明できる。それとも単に人の輪に入れず孤独に活動しているのでしょうか…、

前者の場合、随分人生捧げてるからそう簡単に諦められないし、そこ以外で世間から認められなかったなんて事もあるのでしよう。後者の場合、他の人と行動が同期してないということは人の輪に入れないのを物語ってます。それ以外の場合…、あとはその人の個性の問題でしょうね。

参加人数を増やしたり減らしたりする事で加減をしているんですね。一時期は僕に対して総動員令がでていたのでしょいか？

と言うことは…

総動員令の稼働時間には限界がある？

参加者が疑問を持つ前に終了しないといけない制約がある？

組織全体の性格がうかがえる現象ですね。

集合する訳ですから会う人の半数以上がそうだと思っても差支え

がないのでしょうか？

こんなこと思い出しました。某アウトレットモールの比較的高級紳士服店内にいたときの事、入り口付近に目の泳いでいて殺気みなきる男が友達もなく1人でいました。服装からしてこの店で買い物をするようには到底見えない。スーパードで買った安物で全てそろえている感じの“近所の釣堀に釣り”にでも来た様な格好。ちくはぐ。普段着でもこういう所くるなら少しはまともなもの着てくるのに、店内に入ってくる。

特攻隊がいるのでしょうか？集合指令が出ているとき、ターゲットに急接近する専用の特攻隊が。今現在はおじいさんが多い気がします、内部の事情がすこし察せると思いたいところです。

ヤンキー系の改造車もそうした特攻隊なのでしょうか？これ書いてから来たら当たりですね。

あと、頭のネジが外れてそんな感じの人も異常接近する事ありませんね。プライドの高さ全開なただけどびくついてる感じ、イメージとしては“全盛期のホリエモン”を10倍憎たらしくした顔。

東京で会いました、そういう“顔芸”を持つている人。見ただけでむかつく顔をできる人というのがいて、それを武器に攻撃してくる。1人や2人ではない。でもあんなの少数のはずだから、やはりあの東京でも猛襲は東京中のその道のエリートが集結していたのでしょうか？経費だけでもいくらかかったんだらう？皆さんの貴重な寄付はこうして消えてゆくわけですね。あ、でもお金の散在は経済のパイを大きくするから景気のためならいいことですね。（ここで“そつだよ俺たちの行為は景気向上に役立ってくるんだ”とかいう人がいたらその人はもう正常な感覚でないことになります。）

教習所でいた彼は元気なんでしょうか？おどおどしてどうしようかと思いました。まだ正常な感覚が残っているのでしょうかね。顔を見るとまだあどけなく、憎たらしい顔を一生懸命してプレッシャーをかけているつもりなんでしょうけど、近寄ってきては怖がっ

て遠のく。まだ子供だなーと思いました。これからドンドン正常な感覚が失われるなんて事ない事を祈ります。

つい数日前も細い裏路地を自転車で通っていると路地の出口から入ろうとする自転車の人見つけました、道を譲る準備をしているとこちらの姿を確認するとあわてて逃げてしまいました。事実です。

第9話から以下を転記します…

（無差別殺人をした彼が控訴を取りやめたニュースがやっていた。一つ間違えば僕も彼と同じ立場になっていたかもと思うとゾツとする。君のおかげで現在の僕があります。17年前の君に聞いて欲しい、何を感じるのか。君の心の中に居る彼女に。

何がどうあっても、僕は君を支えます。あの日感じたあの想いを君に伝えます。「そこまで本音を言ってくれた人ははじめて」と聞いたときから僕の想いは同じです、今も。）

なぜ転記したか？

集合してるだけなら罪悪感はないのかもしれませんが、けど、その貴方の行為は人の死に関わる事件と関わってるということを心に刻んでください。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

（記述後にあつた事？）

〔飛び出しアタック〕

中にはこれが人の命に関わる行為とわかってない人もいるようです。

無実の人間を死にいたしめるのは鬼畜のやることです。

…平気な人なのでしょうか？

坂の下の角、ついさつき飛び出しアタックをかけてきたおじさん。姿はよく見えます、前々からそうだろうと思っていました、事実今日も

そうでしたね。すごい無防備、隠そうともしない。人付き合い苦手なにおいがしますけどどうですか？空気読めない人って同じ顔をす

熱心な信じ方をしてる方なんでしょうか？人のしないような熱心な行為をすることで救われると思ってるのでしょうか？僕ごときのために？じつにはかばかしい事です。

そういう軽率な態度をとるからばれてはいけない組織の秘密が1つまた1つと露見するのです。おじさんに限った話ではないですが、貴方のそれは単なる自己満足です。あなたは満足かもしれないけど全体から見ればあなたが足を引っ張っています。他の人は一生懸命普通にしてるのになんか台無しにしている。みなが本当にふつうにしていれば10年後には風化しているかもしれないのに、わざわざ貴方が火種をあおってる。

結構なお年ですよ、17年前も在住（ここ）ですか？当時の僕と彼女を知っているのでしょうか？当時30代くらいですか？まさに愚連隊の主力としてバリバリやっていた頃でしょうか？

彼女がこの家に来たのも見ていたのでしょうか？彼女はここから帰るときわずかながら怯えていました。やはり、現在のように見張ったり通報したり、当時もしていたのでしょうか？ぜひぜひ聞きたいです。

でもこう書いても良心1つ痛まないのでしょうか、人としてどうなのでしょう。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔腕組みアタック〕

腕組みは心理の世界では防御を意味していて、弱い人間、隠し事や弱み、立場の弱い人間が、外敵から身を守るための威嚇姿勢なんだそうです。考え事をするときは無防備ですからこの姿勢に自然となるのもうなずけます。

腕組みをしたまま歩く、路上でします？

腕組み、商品を選ぶとき店内にするなら納得です。

路上で考え事？さえない様ですね。僕はやってしまいますが、冴えないなんて今更言われてもその通りとしか思わないけど、皆さん同類なんでしょうか？

腕組みをしての威嚇、男性特有のもので、比較的罪悪感なくできるのでしょうか。一番楽な攻撃姿勢なんでしょう。それが人の命と繋がっている事忘れないくださいね、彼が処刑されたら、僕と貴方たちはある種共犯になる。でも彼はまだ生きてる。どう思います？みなさん。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

「まね？」

前々から思っていたんですが…、

鼻をつまむのは僕は鼻が悪いのでいつもムズムズするからです。

頭をかくのは、時々寝グセがあつてなをしているからです。

ともに僕のクセですね。

まねしてるとしたら…　なんか、ちよつと気分いいです。いや、ありえないですよ、東京にいたとき店内にいる客が皆これをやる時から気づいていました、そんな事でまいると思ってるのだろうか？白いヘッドフォンが通じなくなつた時点でもう効果がないことに本気で気づいてないのだろうか？

だから気になつてたんですが、どつちだろつどつちだろつと…。あまりにありえないくらいマヌケなその行動に悩みました。なにか高度な目的が？でももう止めました、中身のない行為に意味なんてないし。

たぶん尾行同様単純でシンプルでたいして意味ないのでしよう。

もう僕の真似つて事で解決にしようと思いません。ファンクラブみたいですよ。

発信し続けなければいけません。彼女のためにも。

「参加率は選挙ににてる？」

選挙の時は比較的自由なときとそうでないときと、その時々でまちまちと聞いています。集団尾行に關しても同じものが当てはまるのでしょうか？100%カンですけど。

鉄の動員率があつたらとくに日本は支配されてると思うのです。精神世界と現実世界の垣根は結構皆シビアに持っているという事でしょうか？

最近第一世代の方と思われる人達に頻繁に出会います。それも今まで見たことない顔の方が多いです。似た経験があります。東京で初めて「妻、失踪」というオビの本がばか売れしだした数日後、今まで見た事内おばあさんやおばさんがたくさんやって来て、ものめずらしそうにこちらを見るといふ経験が。あの時と似た感覚です。どんなやつか見に来ているのでしょうか？

「世代間の確執？」

東京での出来事、僕を執拗に落としいれようとしていたのは30代後半？のある人でした。ご両親の方はそんなことなかった、かばつてくれるときすらありました。

40代〜30代の方がこの戦いのメインなのかと、つい思っています。息子に何のかんのいつて譲歩する年老いたご両親はどこも同じという印象を東京でもうけました。

もし、これが本当のことなら、ぜひ、決着は当事者間にまかせてもらえないものでしょうか？もう、次の世代に譲るおつもりなら。

シンクタンクに徹してそれ以上は介入しないのが望むべき姿と推察いたします。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔世代間の確執？その2〕

たぶん、問題が起これば上の世代が何とかしてくれる…、そう思っている人たちが暴走するのだと思います。責任は自分にならない、上の世代が最終的になんとかする。そう思っているのでしょうか。若い人の問題は若い人だけに任せるべきだと思います、本気で将来を心配するなら。

アディーギル号の環境保護団体シーシェパードも環境保護団体全体という後ろ盾があるから過激になれる。けれど、その環境保護という世論は先人たちが一生懸命築き上げたもので、先人たちは何の後ろ盾もなくこれを築き上げた。

そちらの世界も同じだと思います、第一世代の方々は何の後ろ盾もない状態ではじめて今日に来た、後ろ盾がない分、責任に關してはすべて負う覚悟が一番強い。過激な行動にでもその責任をかぶる覚悟がある。だから、自然とブレーキがかかる。過激にも限度があるとわかる。けれど、限度のわからないシーシェパードのような組織は、後ろ盾がある分加減が利かない。シーシェパードをなんとかするには後ろ盾が見放すしかない。けれど、環境保護を訴えている以上むずかしい。

後輩たちは振り上げたこぶしをどこにおろせばいいのか？と悩むわけです。こぶしの下ろし方をまさに先人たちに聞きたいわけです。先人たちは誰にも聞けなかった。だから、自重という言葉の重みが理解できた、後輩たちは先人がいたため自重を学ぶ環境になかった、先人たちからどうこぶしを下ろせばいいのか聞きたいのでは？と感じます。どこの世界にもある問題に見えます。

先人たちの知恵をお借りしたい部分です。

- - -
- - -
- - -

〔世代間の確執？その3〕

プリンシパル「エージェント問題という言葉を最近知りました、この上記状態はこの問題との共通点が多いように感じます。プリンシパル「エージェント関係におけるモラル・ハザードが起こっていると表現できます。こちらの表現の方が、僕の個人的な表現形態よりも一般的な表現形態により近いと感じます。

- - -
- - -
- - -

「ちょっと正論言わしてください」

世の中あわよくば、バツくれようという無責任な人達がいりません。礼儀を知らない人達です。

- - -
- - -
- - -

「ふり」

“ふり”をしている人と“本当にそうしている人”は拳動が違うと言つのを知っていましたか？例えば店内でも本当に商品を選んでいる人とそうでない人は動きがちがいます。

自販機の前でもそうですね、集中力が全然違う。

昔、こんな話を聞きました。ある人が北朝鮮に旅行に行ったそうです。その時ガイドに小学校を案内されたそうです。今はクラブ活動の時間と言うことで、機械工作部を見せてもらったそうです。その人は、1人の少年がどんな作業をしているのか凝視して観察したそうです。するとその少年は同じボルトをはめてはつけるという作業をずっと繰り返していたそうです。

その程度の欺瞞で相手を丸め込めると思ってるあたりが文化水準

なんでしょうか…

いえ、同じだなんて言いません、こんな間抜けな事、優秀な日本民族たるものやるわけがありませんから、ただ、もう少し、まじめにやらないと、こんな言いがかりを言われても仕方がないような将来も視野に入りますよと、こう言いたいわけです。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

「こんなもの見つめました」

たまたま動画サイトYouTubeでこんなものを見つけました、イラク帰還兵の証言する映像解説つきの不法行為で、映像中の女性キャスターが言うとおり確かに今まで見たことないし、知らないものです。本当かウソかをここで論じるよりも、この小説内においてこれを語る意義について冷静に感じる感覚を我が物としている頭脳にこそ尊敬すべき人格の証明と推察します。冬の兵士 - Win
ter Soldier (1) : イラク帰還兵 戦争の実態を語る
http://www.youtube.com/watchv
vv7zg7Q06hc&feature=PlayL
ist&p=EA4476DB36FCE5A3&
index=5

- - - - -
- - - - -
- - - - -

「話は変わって…」

やっと今日資格（意図的な誤字）の車と話せました、前にも一度注意されたとの事、とても感じのよいご夫婦で2度ととめないこと快諾されました、ナンバーもひかえさせていただいて本当にいい感じの人達でした。

- - -
- - -
- - -

(まとめ)

人を監視するのが好みののぞき大好き集団、そう思われても仕方がない状況ですね。こんな事思い出します。これは伏せていたんですが、この段階ならもう書いてもいいでしょう、たぶん彼女も許してくれると思う。第1話で、夏祭りの日、彼女のポケベルが鳴った。あの時僕はまた行ってしまうのか…と悲しくなった。けれど彼女はポケベルのスイッチを止めた。そしてポケベルの振動機能をつかっ

て僕にじゃれ始めた、あれは見せ付けるためだと思う、見ているであろう監視者に、普通でない関係の男女でなければできない事を彼女はした、ポケベルを使って。(いやらしい人は物凄い事想像するでしょうが、そんな凄い事ではありません、ただ、これは小説で、その様な表現はできないから書かないだけで、ホントたいした事ではないのです、でも仲の良さ、親密さは完璧にアピールできる。)

普段そんな事しないので物凄く驚いたのを覚えている。そしてそれをする事で監視者にどうよ私たちこんな仲なのよとアピールしたのだと思う。見せつけてる最中またポケベルが鳴った、今度は彼女は電源を切ってしまった。

「もうならないから安心して」彼女はこう言った。

あの時彼女は決意した、戦う決意を。僕はそれに報いなければいけないのです。

(この物語はフィクションです登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。)

第11話 やつと解った「尾行の仕掛け」 (後書き)

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。もし海外からごらんの方も、注意して読んでください。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください。

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けないでください。とくに年配の方。この物語の登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第12話 こんなニュースを見た日から（未来へと続く話3：「暗示の解説」）

（この物語はフィクションです。登場キャラクタークターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

〔金曜日…、1日目〕

12時間半フライングで

ニユースで見た、某宗教団体職員の夫婦で熱心な信者の2人、手がざしで病気が治ると信じて赤ちゃんを死なせてしまった…、信じるのも常識の範囲内だという感じだ。なぜ、手がざしと通院を同時並行で行おうという折衷案というか、現実的判断が思いつかなかつたのだろう。

あの何千人ものにらむ人たちはやはりなにか信じていたのだろうか、この夫婦のように常識も通じないような何か根拠の乏しいものを 宗教は否定しない、けれど、精神世界と現実世界をごちゃごちゃにするのは単なるオカルトにすぎない、そう思った。

東京で真実に気づいてから、文庫の反撃が効果があったあの日から、周囲の様子がかわる。理解を示してくれる人もいた。詳しくは書かない、と、同時に文庫の反撃も通じない筋金入りの数が日を追って増えてゆく。最初少なかったのに2週間くらいで全体の半分という印象。思わぬ反撃を受けたのが相当シヨックだったのか、どうやら精鋭部隊の一部を投入してきたようだった。1部？なぜそう思うのか？なぜならその後もっと強烈な猛襲を体験するからだ、この時点ではまだ増えたといってもすべてじゃなかったんだと思う、まだ全体の半分という印象、最終的にはすべて筋金入りに見える地獄絵図を経験する、特に女の人のが怖かった、操り人形のように…、それでもこの時の1つ間違えれば犯罪者にされてしまう恐怖（今も変わりはないけど…）はものすごい緊張だった、絶対負けたくな

った、君との思い出の意味を知ったとき、負けるといふのはあの思い出を踏みにじると同等と感じた、大切にしたいからこそ冷静でいられた、そう思う。

一時はかなり効果のあった文庫も次第に通じなくなっていく…、皆なれてしまったのだろうか？そう思った。けど、それは間違った認識で、実は僕の周囲の筋金入りが増えた結果だった。（実際こつちに来てからも通じないと思っていた文庫がまだ通じるのに驚いた、その辺の横の情報交換はないらしいと思った）けど、怖くなかった、今度は心の中に君がいた、以前より周囲は恐ろしい様相になっていたけど、以前より心強かった。

最初に異常に気づいたのは職場で本の配達に出かけたときだ、申し訳ないけど、君の昔のしぐさと比較させてもらった、でもおかげで助かった。あの一点を見つめて凝視するしぐさ、あれを道であうおじさんというおじさんが皆やる、そして全員がタバコを水平にくわえ、水平に口からはなす、暗がりや死角で待ち構えるように（いや実際待ち構えている）やる。1人なら、怖いなこの人という程度ですむ、けど、連続してこう続くとかなりの恐怖、で気づいた。僕は17年前高校時代同じような攻撃をうけている…、具体的には思いつかないけど、この空気、まるで高校時代に戻ったようだ。当時いつも泣きそうになった、理由がわからない。けど、今感じるこの威圧的空気、たしかに、何も知らなければ泣きたくなる…、これか…、そう思い改めて観察する。

するとタバコだけではない、ささいなズボンの裾いじり（スカートもあり）から歯をむき出す行為、金属音を連続で…、金属音？あれ、このこの話どこかで読んだ…、「千里眼シリーズ」だ！と思った。人の無意識にいろいろな誘因をしかけて意図する心理状況に追いやり心を誘導する方法。劇中にでてくるメフィストコンサルティングの手法と物凄く通じるものがある。こうして脳の前頭葉（理性であり主人格をつかさどる）の機能が麻痺させられれば容易に暗示にかかるようになる。催眠のテクニクだ！そう思った。

(金属音のくだり…、小説を読んだ方なら気づく違和感ですが、事実それで気がついたのでこう書きました)

この千里眼シリーズについては以前も書いた、人がどうやったら催眠状態になるかについて書かれている本。へたな専門書よりも脳のメカニズムにくわしくなれる小説のクセに実生活に役立つ本だ。まさかこの本が実際にこんな形で役に立つとは思わなかった。せいぜい自己暗示の訓練に使える、いい本を読んだなくらいに思っていたけど、まさか身を守るのに役立つとは思ひもなかった。催眠は科学です、オカルトではありません。脳の複雑なメカニズムのなせる業であり、高度な進化をとげた哺乳類、それも前頭葉の機能に重きをおく種にだけ催眠は有効なんです、いずれ催眠のメカニズムについては詳しく書こうとおもいます。

今の君の現状からすれば絵空事に聞こえるかも知れないこれら話題だけど、簡単に言えば思考停止するな、という事なんです。思考停止すると簡単にあやつられてしまいます。彼らはその道のプロです、油断していると知らぬ間に暗示にかかる、注意しないと、自分が立ち返ることができる原点さえあれば、仮に暗示にかかっても戻ってこられる、そう思います。

ここまで書いてこんな事思った、もし、「催眠」「暗示」に対する科学的知識のない人、特に年配者で迷信深い人は君に対して「悪霊がついてる」とかアホな事いうかもしれない、断言します、迷信です。

〔土曜日…、2日目〕

君は覚えているだろうか？ぼくはめったなことでは学校を休まない、体はそれなりに気を使っている、病気にはめったにかからない、そしてそれは17年経った今も同じ。東京で働いていたときもめったに病欠しまい人間として認知されていた。

高校時代一度3年の3学期もう進学か浪人が皆決まっっていて、登

校してももろくに授業のない時期、急に行っても意味ないな、そういうえば休んでる人も多い、皆もう遊びに学校に行ってるだけだなと思ひ休んだ事がある、もう部活もないし、この時期君も近寄ってこなかった…、

「休んでたからどうしたんだろうと思ったのよ」

確かにそう君に言われた、どこでだろう…、この時期は神社での密会をやめただけで、言葉自体はかわしていたと思う、偶然廊下で会ったときとか、けど、周囲の目のせい？かな君は長いせずすぐ立ち去ったように記憶してる、記憶ちがいかな？拒絶された記憶はない、遠のけられた…、そんなイメージで記憶している。心配してくれて嬉しかったけど混乱した、何がいけなかったのだろう？どうして嫌われたのだろう？そう考えていた、ホント今思うとバカだなあと思う。

目の前の君は恋する目をしていた、それは、覚えている、あの目の意味を17年考えていたわけだから。

この時期、もう会わなくなった時期、ときどき視線を感じる、視線を感じるほうを向くとショートカットの君が一瞬見える、そんな事もあった。おそらく、機会があることに僕の姿を追っていたのだろうと、そう思います、こんな僕ごときのために…、何がそんなに気に入ったのかも一度あって聞きたいとやっぱり思う。

じつは昨日の夜、どうやら風邪をひいてしまったらしい…

風邪なんてひさしぶりです。

〔日曜日…、3日目〕

体を壊したことで思い出した、めったに病気をしない僕が倒れた事がある、東京での話。あとあと知るのだけどBTウイルスとかいうのにやられて、命の危険もあったそうだ。そういうえば感染してる時地面がゆれていて、地面が揺れている！面白い！など今考えるところとする事を思っていた。

病院にいくと診察の後隔離されてしまう…、めったにない症例だ

つたみたい。リンパ腺がものすごいはれていた、どうも後で聞くとウイルスが脳にいかないように免疫機能が全力抵抗をしていた結果らしい、そう僕は理解した。くわしくは専門家でもないしわからないけど、この時同時に心臓と肝臓もやられた。免疫機能が脳を守るので手一杯でそつちまで手がまわらなかつたらしい。3週間くらいで退院できたんだけど、気がつけば冬から春になって、気がつくにつめの成長が止まっていた。初めて本気で死ぬと感じた。もう一度君に会いたいなと思ったことは事実です。人間死を意識すると人生観が変わるとかいうけど、些細な点は変わったかもしないけど、あいかわらずな僕です。いまだ君が好きです。

ものすごいつらいめにあったあと、手をさしのべられると心が陥落するときがある。

もし、この時宗教にさそわれたらおそらくついていっていた。後にして思うと何でそんな気になったのだろうと思っただけど、退院直後はマジでそんな気分だった。心が無防備な時ほどやばい、そう思った。

僕が何が言いたいのが正確に伝わることを願います。

〔月曜日…、4日目〕

集団で圧力をかける方法で先に書いたタバコ以上に目に付いた（というか“耳”についた）のが“音”だ。

最初に気づいたのが“足音がどれも同じ”という事、一定のリズムでカッーンカッーンカッーンと同じ歩速、同じ音。駅でも電車の中でも町でも。同じ音で歩くが故歩行姿勢まで皆同じように似てくる。

なぜこれが催眠の技術と結びつくのか説明しよう。

まず、人間の脳のが同じ音だと気づく。すると脳はこう考える、

「本当に同じ音か？」と、この際そう判断するのは脳の司令塔である前頭野になる。前頭野が指令を発す、「本当に同じ音かチェックしろ」と。すると脳の視覚野や聴覚野、感覚野などの感覚をつかさどる部分がそれに従い情報を収集する。現実確かにそうだという情報ばかりが司令塔に届く、司令塔である前頭野はその情報から「間違いなく同じ音だ」と判断する。

そして前頭野はよせばいいのに「理由はなんだ？」と考えはじめ、過去の記憶との照合を始める。記憶は単純な記録ではなく感情も伴って記憶されている、異常事態に対して恐怖のシグナルが発せられ脳の感情野から強烈なシグナルとして司令塔である前頭野に警告される「これは異常事態だ」と。

人間の防衛本能といつか身を守る本能というのはこういう気配の異常に敏感らしい、生命の危機と誤認するくらいの強烈な警告シグナルが感情野から発せられる。司令塔である前頭野はこの情報を押さえ込むための答えを出さなければいけない。

僕はここで答えを出せた…

けど、もし答えをだせなかったらどうなるのか？司令塔である前頭野はいつまでも答えが出せない状態が続くと機能が麻痺して正常に働かなくなる、感情野の警告を抑えられなくなる、司令塔が麻痺した状態の脳を持つ人間がどうなるか？実は意外な状態になる。

何でも言うことを聞く人間になってしまうのだ。まさに催眠状態。

実際の催眠術ではリラックスさせることで前頭野の機能を低下させる。司令塔である前頭野の機能が低下しているので外部の人間の声が司令塔がわりになってしまい、各脳の部分がその指令に従ってしまう。催眠には段階があり、まずは感覚野が最初の支配下に入り、次に運動野、記憶野、最後に視覚野となる。司令塔となる前頭野が抵抗するのでそう簡単には脳は支配下に落ちない、普通は感覚野が

限界。テレビですつぱいレモンをあまく感じさせる催眠を見た人も多いと思う、あれは第一段階である“感覚野”が支配された状態。次に握った手が離れなくなるという催眠も有名で、これは第二段階“運動野”が支配された状態。第3段階までいくと記憶もコントロールできるので子供もようにさせる事もできる。ここまで催眠にかかる人はまれ。そして最後の視覚野まで支配されると男が女に見えたりまでする、しかもその人が知り合いでもそう見させられる。けど、ここまでが催眠の限界らしく命の危険におよぶ段階まではかけられないらしい。

さて前述のはリラックスさせる方法で前頭野を動かなくさせる方法、他にもう一つ興奮状態にさせることで前頭葉を麻痺させる方法がある。前者を副交感神経を利用した催眠なら、後者は交感神経を利用した催眠となる。

リラックスの場合は副交感神経を過剰に刺激すれば脳に影響を与えられ機能低下をうながせるが、同じことが興奮状態の時にも起こる、過剰に刺激された交感神経は脳に影響を与え前頭野の機能を麻痺させる。いわゆる「ランナーズハイ」とか「クライマーズハイ」とはこの様な状態の事だ。スポーツ経験者なら1度は誰もが経験していると思う。

運動中は痛くもないしつらくもないけど運動を終えた後猛烈な痛みと疲労を感じる…、誰もが知っている事だけど、これは脳が催眠状態に入って感覚野が正常に機能してないから起こる現象なのだ。先に述べました、感覚野は最初に催眠に入ると。もし運動中「ハイ」な状態で誰かに何か言われたら？普段はやらない事でも断るのもめんどくさいのでやってしまうという人もいます（例えば普段は口も聞かないくらい仲の悪いやつとハイタッチしてしまうとか…）。催眠のなせる業です。催眠は日常生活のいたるところにあるわけです。

風呂に一緒にはいると仲の悪いもの同士でも打ち解けあうというのも催眠のなせる業です、風呂はリラックスを促すので副交感神経を刺激しやはり催眠を誘発します。催眠は日常生活に溶け込んでいるので上手に付き合うのがいいわけです、それができないと身を滅ぼす。

パチンコも催眠です、あれは光と音で興奮を促し交感神経を刺激します、感覚が麻痺し金銭感覚を失う危険もあるわけです。

飲酒も実は催眠に似ています、けれどあれは神経を刺激して脳を麻痺させるのではなく、アルコールによって脳の司令塔である前頭野を麻痺させるのです。酔った事のある方なら覚えがあるはずですが、酔いはまず感覚野から始まり運動野、記憶野、最後に視覚野の順でおかしくなっていくきます。舌が回らなくなり、千鳥足になり、昨夜の記憶を失い、幻覚を見るといった順です。

さて最初に書いた足音のところ、ここでも催眠はかかります。理解できない状況で脳の前頭野は正確な判断ができなくなります、そこに交感神経から大量の刺激が飛んでくる「命の危機だ身を守れ！」と、正常でなくなった司令塔である前頭野が「ええい、もうめんどくさい！その通りにしてやる！」と判断したらどうなります？周囲の人間に対して身を守るため暴力を行使してしまう…、そんな可能性もあるわけです。

おそらく皆さんのほとんどが知らずにやっているのだと思います、その行為そのものは殺人教唆と同義といっても言いすぎではありません。

（前頭野は正確には前頭葉です。わかり易くするためあえて言葉をそろえました。）

催眠から抜け出す方法はたった1つ、前頭葉を麻痺させない事です、常に麻痺していないか自問自答する必要があります、しかし、脳は機械ではないのでいつもベストに動くとは限りません、時には休ませてあげないと…、適度な疲労回復も必要なわけです。趣味や娯楽などと適切につきあう必要があるわけです。つねに自分で自分の脳を管理している意識が肝心なんだと思います。

君に伝えます、僕の言いたいことが正確に伝わればと思います、おそらくこれらの方法でこれからも何度も何度も心に揺さぶりをかけてくるでしょう、けれど、強い心を持っていれば大丈夫です。君は本当に強い人です、だから大丈夫です。

久しぶりにヘリの編隊の低空飛行を見ました、夜の6時を回っているのに、あのローターが二機ついている大型輸送ヘリ、確認したのは大型4機編隊と中型かな？1機と中型？3〜4機と大型1機。共振というのでしょうか？ものすごい音。まるで空港近くの民家の気分。

警告なんでしょうか…、ではあたってるとはでしょうか？それとも偶然？、ま、偶然なんでしょう。

この近辺の人はどう感じるのでしょうか？
仮にそうだとしてもでも、自衛隊のヘリの運行を担当している部署にたった1人でもいいから“彼ら”の一人がいれば出来るトリックで。自衛隊そのものが関与していると感じさせるのは催眠のテクニクが対象に有効に効いたときのみ出来るのです。そして大概みな真剣にはやっていない…。

冷静に考えてみてください、これから先も気づく人間は出てくるでしょう…、1人、2人、もっと多いかもしれない、パラダイムシフトはある日突然起こるものです。

(この物語はフィクションです。)

〔火曜日…、5日目〕

「足音」と同じくらい頻繁に目にしたのが、携帯電話をかける姿勢が威圧的という事。どう普通と違うのか観察してみた。ＴＶドラマの携帯をかけるシーンで確認した、ふつうはひじをあまりあげない、ところがこの当時ぼくの周辺にはやたらと携帯で話す人がいてみな同じ威圧的姿勢で携帯電話をもつ。どう普通とちがうか？ひじを水平にする（いや実際は水平よりも高くひじを上げる）。これだけで威圧的姿勢になる、簡単に表現するなら「感じの悪い携帯のかけ方」になる。

たぶんこういう事だろう、ひじが高い位置にあるには「こぶしを振り上げた姿勢」や「武器を振り上げた姿勢」に似ている…、似ているから“威嚇”と同等の効果が発揮できる、1人くらいならたいした事ない、けど皆同じ威圧的姿勢、皆同じ威嚇ではさすがに怖くなってくる。しかも刑法上の法律に引つかからない…。

僕は最近携帯をもっていない、だからＴＶドラマなどで確認した。やはり、普通はこんな姿勢で電話をかけない。

よく観察すると、この“ひじ”を水平に保つやり方は携帯にかぎらず、腕をあげる動作全般にわたって展開されてる。よく見れば敵意丸出しの人もいる…おそらくだけど、この時期「ウソの小説で仲間を苦しめるわるいやつ」と思われていたのではないだろうか？

いつも僕が自転車を止める場所のまん前に車を止めてめしを食うタクシーのドライバーがいた。攻撃が始まってから来るようになって。ひどい食べ方、ドアを開け、半身外に乗り出し、歯をむき出しにして、ちよつど口の中でくちやくちやくやってる様子が僕に見えるように食べる。

攻撃が始める前はここで寝てるだけじゃなかったか？それもたまに…、なのにこのところ毎日見るし毎日見苦しい食べ方している…、よく見ると箸を持つ手のひじが水平になっていて、携帯の人たちと同じようになっていて、なんだか間違いないなと思った。この人も彼らだ、と。

この時期もう白いヘッドフォン程度ではきかないと皆わかったらしく、ありとあらゆる手で僕に圧力をかけてくる、そして日に日にエスカレートしてゆく。普通の人間ならこのあたりで前頭葉が麻痺して思考停止になったのだろうか？けど、僕には君がいた、君があんなに頑張ったのに、僕が頑張らない訳にはいかない。

17年前君は僕の身を案じてくれた、君があんなに一生懸命守ってくれたものを僕の一存で勝手にどうのこうの出来ないと感じた、そう思うと冷静でいられた、君がいなかったら現在の僕は存在しなかったでしょう。

先に書いたタクシーの人の食事のシーン、あれに気がついた時初めてデートで君がオレンジジュースしか頼まなかった事を思い出した。人に食事姿を見せるのが恥ずかしいと言っていたけど、こんな意味もあつたのかななどと思い当たったわけです。別のところでも書いたけど、あの時の君は本当にかわいかったです。

〔水曜日…、6日目〕

1時間半のフライングで

こんな話を思い出しました

タイタニック号にはたった1人、日本人が乗っていたという話。彼は外務省の外交官で仕事の関係でたまたまタイタニック号に乗り合わせ、運良く助かった生存者の1人。ところが事件後、別の生存者がこんなことを証言する…

「日本人が自分だけ助かろうと女子供をおしのけてボートに飛び乗

りやがった！」

このニュースは人種偏見も手伝って尾ひれもつき日本中や世界中に広がる、そして当の本人も否定しない。ごく最近までこの汚名は続いた。

ジエームズキャメロン監督の映画「タイタニック」がヒットしたおかげで当時の資料を再検討する番組が欧米を中心にブームになる。その際、この日本人外交官が避難の際、人々のために尽くしていたという記録が出てくる。実は彼はほかの人の避難に尽力し、最後ボートが船体から離れるときに「あと一人乗れるぞ！」と言われて飛び乗ったというのが真相らしい。

ではなぜそんなうわさが立ったのか？実はタイタニック号には別のアジア人芸人一向が乗っていて、そちらのアジア人の振る舞いを、同じアジア人だから日本人に違いないということになってしまったらしい。昔の日本人は沈黙の美德というものを持っていたから反論しなかったみたい。

やはり、こういう時はちゃんと反論しないといけないんだと思う。

この後この外交官は家族含めて誤解されたまま生涯を終える。

泣きねいりは、この場合、美德ではないと思う。

何を言いたいのが正確に君に伝わればうれしいと思います。

君は今一人で戦っているのだろうか？どうなんだろう…心配しています。頑張ってください。

〔木曜日…、7日目〕

3時間ほどはやく…

暗示あんじについてまだ説明しなかった…

暗示と催眠はセットで解釈するものです。

以前書いた事をまとめると“催眠”とは神経を刺激して脳の司令塔である「前頭葉」の機能を麻痺させる事により脳の感覚野、運動

野、記憶野、視覚野に錯覚をおこさせる技術なのです。

司令塔である前頭葉が機能しないがため、外部の人間の“声”が司令塔の代わりに命令を出すことが出来ます、そして催眠のかかる深さに応じて感覚野、運動野、記憶野、視覚野の順に外部の人間の声に従ってしまいます。この際の“外部の人間の声”暗示”なのです。

暗示はやっかいです。一度かかるとなかなか解けない。なぜなら人間の脳は常に新しい状況に対応しようと脳の神経回路を常に書き換えています。そして使う頻度の高い回路は強化され、ほかの回路よりも優先して機能するようになります。時間とともに慣れるとはこういう脳のメカニズムがあるからです。

トラウマもこの例に入ります、いつまでも失敗をくよくよしているとその失敗の記憶が強化されて他の神経回路よりも優先して機能してしまうのです。

暗示の恐ろしいところは、暗示もまたトラウマ同様繰り返すことにより神経回路が強化されてしまうのです。例えば家ではグータラな男が職場につくと別人のようになる…、これは“職場”しつかりしなければ”という暗示がかかっている状況です。この様ない意味での暗示もあるので、一概に否定できないのが暗示なのですが、恐ろしいのはこれが悪用された時です。

催眠の仕組みに無防備でいるといとも簡単に暗示にかかってしまいます。

悪意で暗示をあいてにかけようという人間も実際たくさんいます。霊感商法、催眠商法、キャッチセールスが後を絶たないのもそのためです。催眠自体は非常にシステムチックでマニュアル化しやすく、手段さえわかれば素人にも出来るし、催眠が何かまったく理解して

いない人たちでも出来る…。

中には捕まりたくないから、何も知らない第三者にやらせて自分は安全圏にいるという悪質な業者もいます。何も知らずにやらされていた人達も被害者です。

暗示から抜け出す方法は？

やはり、脳の司令塔である前頭葉を常に麻痺させないよう心がける事です。自分で自分の脳を管理している意識が必要なんだと思います。「自分自身の主人たれ」、誰の言葉か忘れましたがそんな事を言った偉人がいたような気がします、おそらく昔の人も体感的に催眠と暗示について経験から判っていたんだと思います。

君に伝えます、なぜ自分がそうしたいのか？なぜ、そう感じるのか？迷ったときはまずは自分の胸に聞いてみるのが何より一番大切です。胸に聞いても答えが出せない…、もしそう感じると思ったら多分体質的に一度にたくさんのことを連想してしまう心の持ち主の可能性がある。でも大丈夫、心の整理法というものもあるから。混乱したときどうやって自分の考えを整理すればいいのか？また後日書こうと思います。

君が頑張れるなら僕も頑張れます。

【金曜日…、8日目】

9時間半のフライングで…

先に述べておきます、もし心に重大な疾患を抱えている方がいたら迷わず専門家に相談すべきです。臨床心理士と精神科医は別物です、先に臨床心理士を訪ねる事をおすすめします。臨床心理士＜精神科医という感じで接する患者の重さがかわるみたいです。

けど、そこまで重症でない、まだ自力でどうにかできる、けど、なんか具合のいいヒントがほしい…、そんな人にヒントの1つを話題として提供するくらいなら僕にも出来るような気がします、気がするだけ？少なくともこれらは僕の経験則が反映した考えです。記

述の目的は彼女を励ます事であり、サポートすることであり、気持ちを伝えることであり、それら目的が最低限果たせるならこれら記述は目的を達しているといえます。君はどう思っているのだろうか？僕は少しは成長しただろうか？君の気持ちが理解できる人間になりたかった、答えを聞ける日を夢見ます。

自分の気持ちを整理する方法、難しいです。ある人物について考えましょう、その人物について思いつく限りの情報を紙に列挙してゆく…（この時点で挫折する事もあります、けど、あきらめずにやってみるのです）この人は太っている、この人は何々だ、この人はこうこうだと1人の人間がもつ“属性”を列挙してゆく…、一見無意味に思える行為だけど回数を重ねてゆくうちに項目に共通点が見出されてゆく。もし、この共通点を絞り込むことが出来れば、その人が普段何を主張しているのか？何を自分に伝えたいと思っているのかが見えてくる。一見親切そうに見えても、発言や行動の共通点を考えてみると自分の例えば喫煙に迷惑してるんだこの人…、などと、普段言葉では伝わらない部分が見えてくる。

同じ事を自分の心に対してもやってみればいい、自分の思うことを列挙していき、毎回その共通点がなにか考えてみる…、すると自分では思ってもいない結論にたどり着く何てこともよくある。「ああ、自分はこんな事考えていたんだ」などと納得したりする。

最近人気の漫画「宇宙兄弟」でこんなシーンがある。主人公は宇宙飛行士を目指している、ある日自分が事故死した場合の処理に関する書類へのサインを迫られる。危険な仕事だから当然なんだけど、主人公はビビる、初めて自分が死ぬ可能性について考えた、けど、「死ぬのはいやだ、だけど宇宙に行く前に死ぬのはもつといやだ」と考えて彼はサインをする決意にいたる…

わかるだろうか？つまり「死ぬ」という項目と「宇宙に行きたい」

という項目、そして「死に関する責任の書類へのサイン」という3つの項目がある。主人公はそれぞれの項目にはそれぞれの思いがあり、悩むわけだが、この3つの項目を同時に考えた場合その共通点は何か？と考える訳だ。

死ぬのは怖い、宇宙にいけないのも怖い、同じ怖いならどちらの方が怖い？と考える…

「死ぬのはいやだ、だけど宇宙に行く前に死ぬのはもつといやだ」という結論に達してサインするという最終決断にいたる。

自分の心にある葛藤を一通り紙に列挙してみると頭のなかに押し込めているときよりも違う解釈が出来ることがある。もし、列挙できないうちなら時間をかけて少しずつ思いついたときに書き足してゆくといい、時間とともに項目が増えていき心が見えてくる。もしどうしても出来なければTVを見ながらその時思ったことをメモすればいい、例えばこの主人公気に食わないとか、こういうシーン好きだとか、この特集にはこんな事思うとかメモしてゆけば、自分という人間が普段どんな物の感じ方考え方をする人間なのかがメモを通じて客観的に見えて来ます。

これら手段は“論点を絞り込む”と一般には呼びますが、論文などを書くときに通常使われる技術です。

絞り込んだ“論点”から、2つのものが導き出せます。その論点にいたった“理由”とその論点から導き出される“結果”です。“論点・理由・結果”と三つあることからこれら手法を三段論法と呼び、情報の整理に活用されます。

え、？わからない？そう思うと思います。僕も最初ピンときませんでした。けど、本を読んでいるうち、時々感じる話がかみ合わない理由は何だろうという日常の疑問、これが論点がずれているからだ！と気づきました。そして実際に話して論点がずれているとき「この人とここまで話しかみ合わないのはきつと言葉で表現している事以外の事を主張したいんだ」と考えるようになるほどそういうことかと思う事が多々ありました。

えらそうな事書きましたが、実際僕もぜんぜん出来てなくて3日経ってから、「ああ、そういう事だったのか！失礼なこととしてしまった！」と気づくこともあります。訓練で向上できると信じたいところですが、でも、気がつかないよりは遅れてでも気がつく方が何倍もいいですから。

〔土曜日…、9日目〕

10時間半のフライングで、

こんな事思い出した、あの東京での日々エスカレートする悪意の時期、四面楚歌という言葉を地でゆくある日ふと無意識にこんな事思いついた、久しぶりに映画「シンドラのリスト」が見たい…。

実にシユールな考えだった、実際に周囲から24時間白い目で見られている中、現実の歴史で60年以上前ドイツで迫害されたユダヤ人の映画を見る…実にシユールだった。そのシユールなシチュエーションに身震いした。最悪の状況下でも楽しむ方法があるということなんとも表現しがたい感覚。

そのときの感覚はここでは表現できないなんとも言い難い感覚だった。同じ映画なのに身近にリアルに見えたのは否定しないけど、そんな安っぽい感想では言い難い感覚だった。わかるだろうか？少しでもこの思い伝わりとうれしいなと思う感じです。でも君はそもそも映画あまり見ない人だったね、ま、有名な作品なのでもしかしたらどこかで見える機会があるかもしれないので、もし、そんな機会があつたら僕がこんな事言っていたと思いついてもらえると嬉しいです。ただ、この時期君があんなに頑張ってくれたからこそ頑張れたというのもあるわけです、だからこそこんなシユールな事思いついた。心の余裕は大切です。君との思い出があつたからこそある心の余裕でした。

君が頑張れるなら、僕も頑張れます。そう思います。

君は今どんな状況下にいるのか心配しています、君は強い人です。

だから大丈夫です。

時々、こう感じます

山崎まさよし「One more time , One more chance」を聞きたい気分の方は17年前のあの日の2人に心が傾いてる…

坂本冬美「また君に恋してる」を聞きたい気分の方は、現在の君に想いをはせている…

そんな感じの日々です。

17年前、卒業後君は再び僕の前に現れた、いまは待ちます、17年前は早々にあきらめたというミスをした。もう2度と同じ間違いはしたくない…、何度も書いたけどそう思います。

〔日曜日…、10日目〕

14時間半のフライングで…、

こんな事思った、君に問いかけます。

周囲で自分と同じ物を持った人と出くわす、そんな経験した事ないだろうか？

自分が言ったことが周囲で起こるといふ経験した事ないだろうか？

僕があります。

最初に感じたのは、本屋で働いていた頃マクドナルドで文庫をなくし結局同じ本を買う羽目になった後、お客さんで同じようになくしたので同じ本買ったんだよとわざわざ言いながら買うおじさんに会った時、まあ、偶然かなと思った。

次に感じたのは「人間集中するには体温上げるようにすると楽に集中できる」といった類のことを店のある人物にしゃべった後、その関係の本がやたら売れまくる…、というか例外なくその本を買い求める人はわざわざレジにいる僕にその本の場所をたずねてから買う。通常そういう本はどこかで紹介された場合が多く、どこで知っ

たのか訊くと皆よろこんで教えてくれるものだがその本に関してだけは皆言葉を濁す。

なんかピンときたけど、まあ偶然という事にしておこうと思った。

ネットで見た。ターゲットとわざわざ同じ服をきて“彼ら”がつきまとうという話、しばらくは気がつかなかったがある日気がついた、

僕はワークシャツの類をよく着る、ワツペンのついてるシャツ。最近ではエックのシャツにワツペンがついてるものが流行だけど、そうでなくどちらかというとモータースポーツ系のイメージの物、古着屋で買い求めたものが多く同じものは滅多に見ない、だから苦労したみたい、同じシャツがないから…、ある日店頭で明らかに似合っていないダサイワツペンのついたシャツを着たお客さんを見る。そのデザインのやつならうんざりするほど古着屋でたくさん見だし、ダサイので絶対買わないと思ったし、実際に着ている人をその時初めて見た。「いるんだこれ着る人」と思ったのが最初。

それから何人が似合わない同系のシャツの人を見た。なかにはちやんとしたやつ着た人もいたけど、前述した通り今の流行とは明らかに違うので違和感を感じた。もともとこの服と同系の服の人に滅多に会わないからついつい観察してしまう。なかには年配のおじさんも無理して着ている場合もあった。

理解できない状況が大量にぶつけられると、脳の前頭葉が麻痺してしまう…、やはりこれも催眠の技術の一環なんだと思う。ごく最近も最近買ったばかりの自転車と同系の自転車が気がつけば駐輪場で横に止めてあるというのがあった。ま、偶然という事にしておこうと思う。

催眠の恐ろしさは気がつかないとんでもない事につながる。

ネットで見た、“彼ら”にターゲットにされたと思しき女性、催

眠の存在は知らない。彼女曰くある日突然外の自動車の騒音が大きくなり、そして元に戻った、とある。

おそらく外の騒音が不快になるよう暗示をかけられた結果だと思う。僕の家の外にもアイドリングしたまま無意味に停車している車があった事を以前書いた、不快な耳鳴りのような音である「ジジジ」という聞こえるか聞こえないかギリギリの音を定期的に聞かせる。これが暗示になり、同系の音を聞けばそのときの不快感もよみがえる……？そんな所だと思う。あたらずしも遠からずだと思う。

この女の人も同じ類の暗示をうけたのだろうか？不幸なことにその女性は催眠と気づかず電磁波で攻撃を……などと言いついていた。こうして理性が破壊されてゆく。このあたりが暗示のおそろしい所です。ほかに調べるとこの類のこと言う人がたくさんいる、一人一人に説きたいくらいだけど、僕の目的はあくまで君と再会することであり、寄り道している余裕はないという事なのだ。ま、僕ですら気づくのからいづればかの人も気づくでしょう、僕はともかく君だけを見るのに専念しようと思います。

何が言いたかったのか？それは、君の周囲でこんな事が過去でも現在でも未来でも起きたとしてもあせらず冷静に対処していれば大丈夫ですと君に伝えたかったわけです。

君の周りにも何か変化はあっただろうか？いい方向に変化があれば何よりなのですが。

〔月曜日……、11日目〕

かなり日付が前倒ししています、まあ月曜日相当分の記述と考えるてください。あとあと読み返すとき1日たくさん記述してあるよりある程度区切られていた方が読みやすいはずですよ。なにぶんこれは小説ですので。

こんな事思った、君は高校の卒業アルバムまだ持っているだろう

か？吹奏楽部の集合写真、2人前後に並んでいる、これを見ただけでなんかいろいろ思い出す。手持ちの写真と一緒にみるとさらに記憶がよみがえる。写真の君はやはり動いてない分かわいくない、でも動きが加わった君の姿を写真を見ているとだんだんよみがえってくる。君は人を見るとときじつと見つめてはにかんでいる、見つめられると抵抗しがたい感覚に陥るのをよく思い出す。

こんなにかわいい子が自分ごときののためにあそこまで心を開いていてくれたなんて…、

別のところでも書いた、外見がかわいいだけではこんなに好きにはならない、何か通じる感覚があったからこそ17年もずっと気にしていたし答えを求めていた…、けど、こうして改めて写真を見て当時の記憶、それも映像として記憶している君のしぐさなどを思い出すと本当に圧倒される。

覚えてないかな…、あの事。普段僕が「かわいい」と言っても「かわいくないよ」としか言わない君が、ある特別な行動をしてくれたとき初めて「ねえ（私）かわいい？」と僕に訊ねた。あの時のことだ、もし覚えていてくれたら感動なんてもんじゃない感じがする…、もし忘れていたとしても、自分ならどんな時こんなセリフ言うかしらと17年前の君に聞いてみるといいと思う、動作から記憶がよみがえる可能性もある。眠りにつこうとしたとき急に思い出すなんて事もたまにあるし。

あの時はたしかにかわいかった。外見のかわいさに加えてそこまですごく可愛くなった事もうれしかったし、本当に心を開いたあこがれの女の子にただただ圧倒されていた。ホントかわいかったです。

〔火曜日…、12日目〕

また少し前倒しで…

最近気づいた、僕は何度も書いた、オカルトは信じない。別にどつかのドラマをまねした訳ではなく、まえまえからそう思っていた

訳だけど、最近知った、ドラマ「ガリレオ」の主人公も同じこと言ってる…、マネと思われたらやだなーと知った瞬間思った。ま、いまさらもう遅いけど、それでも君にこれが伝わればいいやと感じた。高校時代、UFOの話をしてびっくりしていたのを覚えている。

当時からSFが好きだったからその延長線上に“話題”として好きだっただけで信じてはいない。マジエステック12の話とかそういう胡散臭いのがSF的で好きだったのだ。ちょうどTVでその手の番組がやっていて面白いなともう一人の男子トロンボーンメンバ―に話していたら近くにいた君が「(UFO)信じてるの!？」と言って話しかけてきてくれた。覚えているだろうか？

あれもオカルトを信じていたわけではなく、話のネタがもつケレン味が好きだった訳です。どこまで通じたのだろうか…？君は楽しそうに僕を見た、軽蔑はしていない、なんか面白いところ見つけた！という感じで僕を見た。なんだかこそばゆく照れたけど、嬉しかった。あれはトロンボーン3人で楽器と楽譜を持って中庭にいた時の事だ、なにかの理由で中庭を移動していた時の事、映像としてそんなシーンとともに記憶されている。

何がそんなに面白かったのだろう？時々君は僕が特に意識せず言った事ややったことに目を輝かせてくれた。あのときのあの感じは何だか言葉では語れない物があります、あの感じもう一度どうにかならないものかと17年前の僕が言っています。今の僕はそうだよなど同意します。ごめん抽象的な書き方で…、通じるだろうか？現在の君と君の中にいる17年前の彼女はどう思っているのだろうか？ぜひ訊きたいです。

〔水曜日…、13日目〕

また前倒しで書きます、

こんな事思った

映画「ティファニーで朝食を」を知っているだろうか？オードリー・ヘップバーン主演の有名な映画。主人公のアパートだったかな

?に住んでいる風変わりな美女の話。唯一の楽しみは宝石店の前でウインドウショッピングしながら軽食で朝飯を食うこと。決して買物はない。華やかにみえてどこか陰のある女性に主人公の男は惹かれる。

当時のアメリカ、50年くらい前かな…。保守的なアメリカ人にはある因習があった、そしてそれはイギリスなどでは嫌われる習慣だった。この習慣は広く白人キリスト教社会に蔓延していて、明らかに法律違反なのだが黙認されていた。オードリー・ヘップバーン演じる所の彼女はその習慣の犠牲者で逃げていたのだ。

その習慣とはかなり若い時点で男性（年配者も含む）と結婚するという習慣だ。

実はチャップリンもそうだし、当時の有名ロックスターもまたいとこと結婚してイギリスでひんしゆくを買っている。当時公にできないアメリカ人の因習だった。主人公の女性も10代前半で結婚させられ、たまりかねて都会に逃げてきたというストーリーになっている。だから、男性に対しては物凄い警戒する。

この映画の安っぽい所は、このあと彼女の旦那が連れ戻すため田舎からできて主人公の男性と対決するのだが、実にいい人で悪人ではないのだ。おそらく、当時本当にこの因習は一般に浸透していてへたに悪人に設定したら観客が見てくれないという配慮があったんだと思う。そしてそれが故この映画は単純ではなく奥の深い作品になっている…。

主人公の女性は猫を飼っているが名前はつけない、単に「猫」と呼ぶ。それは管理されたくない自分への投影だったのかもしれない。ラストシーン、土砂降りのなか彼女は猫を放つ、あなたは自由なんだから、どこへでもいけるのだから！という意味で放つ。なぜそんなことをしたのか？主人公の男性にプロポーズされたからだ。管理されたくない主人公の女性は自らの分身である「猫」を放つことで自由を主張する。けれど、しばらくしてわれに返る、こんな土砂降りの中放つなんてどうかしていた！自分は愛されることを怖がっ

ていただけだと気づく、主人公の男性の思いを受け取りキスをする、そして猫も無事みつき2人と1匹はハッピーエンドになる。そんな終わり方をする、名作です。

君の事を考えていたら急にこの映画の事を思い出した。ずいぶん昔にも似た事を思う人がいたんだなと思わず思ったわけです。どう思う？君は。

ちなみに随分前に見たので間違いもあるかもしれないけど、だいたい合つてるとおもいます。僕が見たときは白黒をカラーに加工したバージョンだったけど、最近のDVD屋には白黒版しか置いてないような気がする、おそらくカラー版の方が版權が高く安く仕入れられないためかなと勝手に憶測しています。

こんな話でも興味をもててくれたらどうか、やはり顔を見ながら話たいと思う今日この頃です。

ごめん訂正です。この映画は最初からカラー作品でした。どうも「ローマの休日」とごっちゃになっていたみたいです。どうもひかつかつていたので調べたら間違っていました。カラーです。

ちなみに「ローマの休日」が白黒で、こちらには着色カラー版があります。そちらと間違えました。

そういえば日本が女性は16歳で結婚できるというのも世界では異例な制度らしい。

この制度、ドラマ「あぐり」などでもみられたが、もともと上流階級の人たちが自らの家系を守るために早めに結婚させたいという思惑があり、女性のみ早く結婚年齢に達する制度にしたらしい。男女で結婚年齢に差があるなんてどう考えてもおかしいのにまだこの制度のままなのも、日本の法律がいまだに男尊女卑の影響下にある由縁だと思う。ピルの認可の時だって、バイアグラは速攻で認可したくせにピルは何十年もかけた。配偶者特別控除にしても男が女

を無料で養う制度になっているのにどのくらいの人気づいているだろうか？母子家庭の支援制度にしても父子家庭は対象外になっている。

別にいいじゃないか、そういう人もいるでしょう。それを民度みんどと呼びます。

民度という概念は残念ながら確かに存在します。日本人はとかく中国や他のアジア諸国の民度の低さを主張します。中国で有人口ケツト打ち上げに成功したときがいい例で、誰一人素直に祝福しない、どちらかというところ「低い技術しかないのに無理しちゃって」という論評が多かった。中国人は民度が低いという考えが日本全体に蔓延しているように感じます。

でもそういう日本人が自分たちの民度の低さには無頓着だったりするわけです。

法律や制度が今だ旧態然として改善するいくすらない。裁判員制度はどうか？あれは改革だろという人もいるでしょう、けどあれはおそらく法曹界の人たちが自らの国際的地位向上のために国際スタンダードにしたかっただけだと思います。裁判制度を改めたければ20日間も拘留できる制度を改めるべきです。アメリカでは48時間しか拘留できません。冤罪率の低さは見習うべきです。

「かしこい豚と頭の悪いソクラテス、どちらがいい？」みたいな逸話がありますが、まさに民度みんどとはこの例えに終始していると思います。

〔木曜日…、14日目〕

正確には火曜日の出来事、もう普通と思っているといたりする。具体的には書かないけど、今日はそんな日でした。つまり、ここに書くこともつつぬけなわけで、しかたない事だけど、2人つきりて話したい事もいろいろあります。

覚えているだろうか？

あれはいつのことだろう…、なんでそんな話になったのか思い出

せないけど、ある日僕はこう言った。

「仮に将来漫画家になれないとしても、漫画だけはじいさんになっても趣味として書き続けられると思うよ。」

君は楽しげに聞いていてくれた。教室での記憶、多分部活中、パート練習の時の話。練習中の雑談。

実際今も諦めてなかったりします、これをなくすと自分の足場がなくなるようで…。人間大切なものはあるものです。どう折り合いをつけるかが目下の課題です。

仮に君と一緒にいられたら漫画なんてなくても大丈夫だと思う、帰ったら君がいる、そう思うだけで仕事のしがいがある。けど、今はそれもない。

東京から脱出するあの日、君に会えるかと思ったあの日。もう10年は漫画なんてかくまいと思ったあの日が懐かしいです。でもあきらめません、待ちます君を。君が頑張り続けるがぎり。

〔金曜日、15日目〕

そもそも東京で最初に異常事態に気がついたのは店頭でおばさんに「刑事がいるのよ」と言われたのち尾行に気づいてからだ。先に記述した方法でプロっぽい集団の尾行はかわすことに成功したと感じた。けど、その代わりシロウトくさい尾行が目立つようになる。最初は気にならなかつたが警察を巻き込んだ攻撃をかわしたのがよほど気に障ったのか2009年3月から9月にかけて日に日にエスカレートしていったわけだ。

けどそれ以前2009年3月以前も東京で3年近く狙われてたと思う、なぜそう思うのか？気がついて振り返ると確かに奇妙な出来事が3年間あった。

いつも電車内では仮眠していた、少しでも漫画を描く余力を保ちたいからだ。けど、その日は読んでいた小説があと少しでラストシ

ーンを迎えるところだったので気になつて帰りの電車内で読んでいた。気がつくと目の前の女の人がずーっとこちらを見ている、横の女の人もそう。けど、この時は別の理由だと思った、なぜなら僕は斜視だ。特に読書中は利き目を使うので利き目でないほうは外側に傾く、おそらく目の前の人はその様子が気になつて見ているのだらうと思つた、横の人は利き目でないほうの目で見つめられているとでも思つたんだらうと思つた、さすがに斜視を何十年もやっているといちいち人の視線を気にしていられない。世の中には人の生まれつきの異質さに恥ずかしげもなく不思議がるやつはいるものだと自分を納得させて本を読んだ、尾行に気づくずっと前の事、3年以内の事。この3年にはほかに色々あった。

電車内で仮眠していると近くですつと話している男の音がする。印象としては100%よいしよ人間が全力で誰かをよいしよしている…、イメージとしては饒舌な「エスパー伊藤」みたいなイメージの声、そんなしゃべり声が寝ている間ずっと聞こえた。かなり近くでしゃべっていたらしく結構な音量。目的の駅に着き目を開けるとどうやらこの人はずっと寝ている僕に話しかけていたらしい、奇人変人の類か、と思い無視した。この手の奇人変人はもう何度か電車内で遭遇している…、どう思う？そうそう会うタイプの人間じゃないと思うけど。

電車内で仮眠していると定期的にこんな声が聞こえた、

「こんなやつ何で…しなきゃいけないんですか！」

複数の人間がいるのが気配でわかる、「…」の部分は毎回聞き取れない、そして毎回若い声で同じセリフを3ヶ月から5ヶ月に一度僕が仮眠している近くでおこなう。

「いつも寝てるじゃないですか」というセリフもあった。

我ながら自分でも本当に鈍感だなと今は思う、これで気がつかないのかその一端がわかる感じですよ。それでもあんなにやさしくして

くれた君はやっぱすごい人です。

満員電車内、朝、運良く座れた日、いつものように目的地まで仮眠していると足に傘が当たる。目の前に立っている乗客のものだ、普通でなくらい物凄い力でグイグイ押ししてくる。

「今日はそんなに込んでいるのか」

などと思いながらうつらうつらしていると、その傘を押し付けている男と隣の乗客がもめだす、聞いているとこの傘の男、不自然にグイグイ押し付けていたのでとなりの女性に何度も体を押し付ける結果になり、女性が文句を言ったのだ。

この傘男のバカなところは、この後ターゲットを隣の女性に変えたらしく傘を女性に押し付け始めた。女の人が切れると、そのバカは「わざとやってんだよ」とはき捨てる。第3者の僕が証言すればこいつを突き出せる状況、どこまで気づいたのか分からないけど僕が目を開けると黙ってしまった。

別の時間、別の電車で僕はこの「傘攻撃」をもう一度うた事がある。それも今度はがらがらの電車で、あきらかないやがらせ、サラリーマンの間でこれはやってんのか？と思った。根競べで負けたことはない、案の定向こうが負けて、引っ込んだ。今度は傘が滑って僕の隣に座っている人に体ごとぶつかっただからだ。この程度のプレッシャーでつぶれるようではマンガなんて描いてはられない。いつの間にか心の耐久値が上がっていた。

何度も書いたけど、電車で移動中基本仮眠している。ある日座ることが出来なかったのでつり革につかまった状態で立ったまま仮眠をとる。意外と慣れると立ったまま仮眠って出来るものだ。駅に着くたび座れそうな席をさがす。すると席は空いたのだが開いた席の前に女の人が立っていた、ゆずるべき状況だ。なのにその人は離れた場所にいる僕に席を譲る、ゆずるなら候補はほかにもいる状況。

ただ寝たいのでそこは遠慮せずお礼を言って座ったけど、まるで僕がいつも寝ているのを知っているような顔だったのが印象的だった。この人はどうだったのだろうか。

これは異常事態に気づいた後の事なんだけど印象的だったので書きます。

帰宅時いつもとちがう電車に乗った。見つめられるのにウンザリだったからだ。席は埋まっかけていてつり革につかまった。さあて立っただけで、と眠っていると、視界の範疇にいたドアの近くにたつていたいかにも管理職って感じのおじさんの顔つきが変わる、そして携帯を取り出す、印象としてはまるで不良中学生から万引きを指示されて怯えながら実行しているおじさんという感じのびくびく動作で携帯を操作し、しまう。

すると次の停車駅からまた“彼ら”が増え始める。また睨み続けるあれがはじまったわけだ。こうして何人の犠牲者がでたんだろう…。まるでホンダ車に搭載されている「インターナビ」のようだ。ホンダは全ての車のナビがホンダのサーバーとつながっていて全てのホンダ車は車の持ち主の意思とは関係なく渋滞情報をサーバーに発信していて、独自の渋滞情報監視システムを構築している、そして他社のカーナビより優位な立場を持っている。あれに似ている。いいシステムだと思うけど、まさか人間インターナビがこの世にあるとは普通は思わない。機械でやるのは日本っぽいけど、人間でやるなんてまるで共産圏の発想。(ウエザーニューズと比較はしないでほしいところです、あれは強制ではなく、みな本心から楽しんで参加しています。)

異常事態に気づく前の3年間の変わった出来事に関してはまだまだありますが、後述します。

ともかく、君につたえます。油断してはダメです。あのしつこさは普通でない、けれどここは法治国家です。彼らも表のルールを破

れない、そこがポイントです。

〔土曜日…、16日目〕

正確には今日は木曜日、2日日付が先行しています。土曜日相当の記述を便宜上しているのだな―と思っていただければ幸いです。

TVをみていたら秋葉原の事件の初公判が今日だと知った。どうも他人事と思えない、秋葉原はよく行ったし…。彼が被害者に出したという手紙、筋も通っていてまともだった、それ故恐ろしさを感じる。

君は僕が何を言いたいのか解るだろうか…、通じていればと感じます。

東京での出来事、君を探している事をさりげなく一番親しかった人物に告げる、9割がたその人もそうだと感じた、どの程度味方してくれるか知る意味も込めてその人に君の名を告げる…、効果はすぐ出る。それまで敵意全開だった周囲の空気が一変する。こうも筒抜けなのかと愕然とした。

年下店長がいた、初対面ではいい人だったのに誰かに何かを指示されたのか15分くらいでやなやつに一変して嫌がらせをするようになった彼だ。やるにしても三下丸出しの態度に哀れを感じた。(さんした)
三下＝時代劇で使われる下っ端の手下の意味、もともとは賭博用語で3以下しかサイコロで出せない勝ち目なしの目立たないやつという意味)

彼は別れ際わざと嫌な分かれ方をする、最初はこいつの個性かと思っただけと違うと感じたのはまさにその日だった、君の名を告げ周囲の空気が変わった日、彼の態度も1日だけ変わった。別れ際も普通の人だったし、彼以外のお客さんも含めて変わった。

そのまま態度がかわった人もいれば、すぐ元に戻るひともいて、いろいろだった。三下の彼は1日で元に戻った…、でもこんな強固なやつを崩すほどの威力が君の名にはある、そう思った。何

か確信するには十分な要素の1つだと思った。

何が言いたいのか？

何もしなければ、何も気がつかなければ、何もできないし、何も変わらない。もし戦っているなら頑張つてほしい、僕は生き延びてここにいます。君のおかげです。君がいなければ現在の僕はいない。(ティファニーで朝食を、について記述した日の分、少し加筆しました。)

〔日曜日…、17日目〕

2日ほど先行して書きます。

君と一緒にいた頃よく読んでいた小説は、イギリスの作家ジェフリー・アーチャーの作品だ。「ケインとアベル」とか「ロスノフスキ家の娘」とか好きで読んでいた。よく制服のポケットに入れていたのを覚えているだろうか？あまり君と本について話はしなかった。今でも本は読む、といっても並以下の読書量で、世の中で“読書家”といわれる人種は信じられないほど本を読んでいる…。

何で本の話をも？と思っただろうか。こんな事思ったからだ。

「ハゲタカ」という小説がある。呉服屋の放蕩息子がミュージシャン目指してアメリカにわたるもののアルバイトで始めたファンドの下っ端仕事が妙に板につき、金融業界で出世して帰国、乗っ取り屋として企業を買収してゆく話。

この中でこんな話がある、ある日本企業が乗っ取りの渦中の中自殺者が続出しているという記事が出る、けれど、実はその企業は大型企業なので毎年20人前後の自殺者がでていて間違つた記事だつた。

乗っ取りとは関係ない自殺者数をさも乗っ取りが原因で自殺者がでてしていると“誤認”するような記事を出して空気の流れを変えようという試みだ。

似た話は現実の世界でもよくある、大学教授が「むかつく」という言葉がどのくらい若者に浸透しているか調査したときの結果で、実は若者の半数がこの言葉を使わないと答えた、その教授は主張する、今の若者は思ったほど言葉が乱れていないと…。

でも冷静に考えると半数が言う側の人と考えると、残り半数は「むかつく」と言われる側になり、その言葉を使いたくないののではないかとという推測も成り立つ。調査結果の意味が変わってくる、もし使うか？ではなく頻繁に会話に登場するか？と訊いたらどうなるか？この場合なら「むかつく」という言葉の浸透率は相当高くなる…。言われている人は言わないだけで言葉自体は知っているわけだ。

何が言いたいのか？

簡単に信じると簡単に流されてしまう…、必ず何か説明されたり、諭されたりした時は裏をとる努力が必要だと思う、完璧には無理だと思う、けど、心に常にこの考えを置いてあるのとないのとは明らかに違いが出ると思う。特に数字に関しては裏をとりやすい。

話は少し戻って高校3年の時、僕の周りにも君の周りにも“彼ら”が張り付いていて何もできなかったあの日々の事、僕に張り付いていた1人が突然「小説貸して」と言ってきた。

けれど貸しても感想の類を言わない、時間かけて読んでるのかなと思いついていたら結局借りたことすら忘れている始末、「もういいよあげるよ」と言った、俗にいう借りパク状態。

こちらの人格でも本借りて調べていたのだろうか？当時はまあいいかと思っただけど、今になって悔しくなってきた。少しね。

当時は遠慮して出来なかったけど、こんな事なら強引にでも君に本を貸せばよかった、そうすればもつと話の幅がひろがったなと、そう、思います。こんな事いうと17年前の君は困惑しただろう…、

今の君もやはり困惑するのだろうか？そんなことを思いました。

あと書き忘れました、君があまりTV好きでないのは知っている…、けれど「東のエデン」というのが面白いです。すすめてもたぶん見ないと思うけど、このタイトルは知って損のないものです。

もしビデオ屋で見かけたら、たまされたと思ってみてください、たぶん君好みだと思います。

よくまあ毎回いろいろかけるよなと自分でも思う…、たぶん17年前もこの調子でしゃべっていたんだらうね、君はいつも聞いていてくれた…。

〔月曜日…、18日目〕

やはり2日ほど先行して…

久しぶりに「紅の豚」を見て思った、やっぱりあのときの浴衣は「白」色だったような気がする、最初の待ち合わせの神社で、輝くように白い浴衣を着た君の姿が映像として焼きついている、でも青かったかもしれない…、そう思うのは日が暮れて暗くなったから白がそう見えたのかもしれない、なにぶん昔の記憶なので…、君はあの時の浴衣の色覚えているだろうか…、あ、でもやっぱり青ではない気がしてきた、なぜなら、あの日は青いアロハを着ていた、同じ色ならそう記憶しているはずだけど、そんな記憶はない、やっぱり白だったと思う。

映画館に入る前は手でも握ろうかなんて思っていたけど、映画が始まってから違う考えが浮かんだ、思っていた以上に女の子向けでない…、へたに何かして機嫌を損ねたら大変だ…、実はとなりでそんな事思っていたんです。当日に買ったパンフレットは今でも持っている、けど、買った当日映画館で広げた記憶がない、おそらく入ってすぐ始まったんだと思う。冒頭の日テレマスコット「なんだろっ君（みどりの豚）」の字幕シーンは見た記憶がある、だから、入

つてすぐ映画は始まったんだと思う。

上映中時折君の様子を見た、表情まではわからないが決してつまらなそうにしている様子はない、もし、つまらなそうにしていたら途中ででるつもりでいた。だから、映画が終わって意外にも君が満足していると判った時は内心ほっとした。

「最後キスするところあるでしょ？震えがきちゃった」

満面の笑みで語る君を見てうれしくなった。

実はこの後4年くらいこの映画まともに見ることが出来なかった、見るたびに君の事思い出すからだ。ようやく大学生活も後半にきて見返せるようになった。思い出を封印できたわけだ、手紙をそうしたように…、けど、封印しただけで消したわけではなかったように、こうしてまだ見るたび思い出が出てくる。

あ、あとこんな事思い出した、当時はパンフレット以外にも劇場でいろいろ映画関連のグッズを買う習慣が僕にはあった、入場時は時間がなくて商品を見る時間がなかったので、帰り際見ようかと思っていたら、君が妙にせかして外へ出ようと誘ったと記憶している、その時僕は、「早くお祭りに行きたいのかな？」と思い君の行動に同意した。けれど、あれはやはり人目を気にしていたのだろうか…、そんな事おもってしまいます。

17年前の君はこの時実際はどう思っていたのだろうか？君の中にいる彼女が何て言っているのか17年前の僕が訊きたいと言っている伝えてくれと、僕に訴えかけます。

〔火曜日…、19日目〕

やはり2日ほど先行して…

こんな事思った、そちらの世界の女の子の間では人と別れる際プレゼントは必ずしなければいけないと教えられているのだろうか？

と以前書いた。あの下級生2人も何も打ち解けもしないのに退部の際丁寧にもハンドタオルをパートの人数分用意していた…

君がこんな事言ったような気がする。

「プレゼントは前に渡してあるものね」

いつだったか思い出せないけど、2度目の破局の前後くらいだと思う。なんか言っていたような気がした。記憶違いだろうか？正しい答えを知っているのは君の中にいる17年前の君のみです。

もし仮にそうなら…、あの写真たてが妙に豪華なものだったのも腑に落ちる。

別れ際にプレゼント…、もしそう教えられているとしたら君は相当暗示にかかっているように思う。プレゼントを渡すという事そのものは悪くない、けど、暗示にかかっているという事実は可能性として感じる、それも相当強力に。今はどうなのだろう…、年を重ね経験をつみ成長した君の姿を想像します。

君は“物”に興味を示さなかった、あくまで“気持ち”を何より優先していた、今もそんなに変わりはないのでは？と感じる。

もうある程度は人から教わらなくてもいい年齢はずだし、教わるときにはいいも悪いも含めて低姿勢で教わらないといけないというのが社会のマナーだったりするけど、大切なものまで踏みじられる権利は誰にもないように感じる。

もし、まだ戦っているのなら最高にうれしいです、やさしい人だから心配しています。頑張ってください。

あと、これは別件。ニュースでアメリカの作家サリンジャーが亡くなったとやっていました、彼の「ライ麦畑で捕まえて」は名作らしいです。らしいですというのはなぜか？実はまだ読んでいません。

でも興味深い内容らしいので機会がきたら読みたいと感じている作品です。なぜすぐ読まないのか？それは本というのは読みたくなくなったときに読むのが一番頭にはいると僕は思うからです。無理やり読んでも面白くないと感じるからです。この小説内で仮に僕が何か薦めたとしても、読みたくなったり気に気になつたら読むことをお勧めします。娯楽とは本来そういうものですから。

ちなみに先に「東のエデン」というのを薦めましたがこれもテーマがサリンジャーの影響を受けているらしいです。

以前にも書きました、心の余裕を持ちつつ鬼となる…。そんな思いが誤解なく通じていることを祈ります。

「水曜日…、20日目」

やはり2日ほど先行して…

映画を見た日の事、書き忘れた事があった。思い出した、上映終了後、君ははやく外へ出ることを求めた、僕はそれに同意し出口に向かった。けれど通路は人だらけでどこが出口かわからない。

映画終了時は大概込み合うものだけど、あの日は人気作というものもあって立ち見もいたと思う。すごい混雑。階段をさがしたがどこかわからない。するよ近くの「壁」が開いた、中はガラガラ、どうやらエレベーターらしい、君を誘い乗り込む…。

ここからだ印象的なのは、さっきまで仲良くしていたのにエレベーター内ではまるで他人のように君は振舞った、やはりこんな映画誘って機嫌を損ねたのだろうか…、失敗したなーと思っていると、エレベーターを降り、2人一緒になるとまたもとの君に戻った。

「私も賭けをしてるの…」

そう君が言ったのはたぶんこの辺りでだと思う。いつもの僕なら「何を？」と問い詰めるとこだが人ごみにかき消されて出来なかった、そんなイメージで記憶しています。

君の現在の状況がわからないので、こういう事もあるよと話題を

提供する意味を込めて書きます。

ある家庭では節税対策としてシロウトにはわかりづらい複雑な資産譲渡や不動産登記をしていると聞きます。そして時にそれは脱税と解釈されかねない法律ギリギリの行為も含んでいるとの事です。

可能性の問題です。君は立場上その家の登記簿は無論の事資産状況を調べることも出来るかもしれない、理解できなくても資料だけでも集めておけば何かの役に立つ日が来るかもしれない。

あくまで可能性の問題です。

弁護士選びの時もこういうありえないようなややこしい相談（提示した資料に法的な問題点、例えば脱税のような…を探してみてください、とか）に対しても真摯に対応してくれるところが良いように感じます。この辺りは経験則がないので…

もし仮に本当にまじいことがあるなら資料を集めているという行為だけで相手はプレッシャーのはずだし、逆に何も無い場合でもやっつて何か損をするわけでもない。

不動産の登記簿は自治体に問い合わせれば詳しく教えてくれます、どこでどうすればコピーをとれるか。そして不自然な登記がされていないかプロにみてもらい、普通でない登記がされていれば何かある可能性が高いです。

なぜこんな事書くのか？裁判所で争うなら材料は少しでも有利なほうがいい、と思うからです。

〔木曜日…、21日目〕

3日ほど先行して…、実際は月曜日22時です。

ニュースで報道している、貴乃花親方が理事選で当選したそうですね。時代が変わろうとしているのを感じます。角界も彼らが多いとわざわざ聞いていたけど、僕が君の名をさりげなく提示して探していることをアピールしてから後、自衛官が制服（たぶん礼服？）で店に来たり、雑誌の関係者がきてわざわざ名刺出して領収書もらったり、そして相撲取りが2〜3人来たり（まげの感じから新弟子ク

ラスかな…)そして筋金入りが急増した。

話は変わって、このままいくと相撲はスポーツでなく伝統芸能になつてしまいかねない、改革が必要だということで当選が決まつたのでしょうか？何かが変わる風が吹いていればいいなと思います。

明日は雪かもしれない、そんな予報がされています。君は今どこにいるのだろう…、雪でこんな事思い出した。いつどこで、なぜそんな話題になつたのかわからないけど、僕は君にこんな事話した。中学生の時、雪の中自転車に乗っていて長い下り坂を下つていたらブレーキが雪で効かなくなり大変な目にあつたと話した。猛スピードでブレーキも効かず坂を下る。

たぶん雪が降りそうな日に明日降つたら登校が大変だねみたいなさからそんな話題になつたんだと思う。登校は自転車だった、それで中学時代の雪と自転車の思い出が出てきたんだと思う。君は真剣に訊き返した。

「それでどうしたの？」真剣なまなざしで訊く君。

僕はやむ得ず足でブレーキをかけたと答えた。なんとかブレーキのきく速度まで足で速度を落とし、なんとかコントロールを取り戻せた。もしコントロールを取り戻せなかつたら軽く事故つていたと思う、軽く？いや結構な事故になつていたはずだ。

君もそう思つたらしく

「大丈夫だったの？」真剣に心配してくれる君。

「たぶん大丈夫だったんだと思うよ、現にこうして生きてるし」

あまり洒落てないギャグで返した。こういう時の洒落たセンスは本当にない。今でもない、へたに気の効いた事言おうとするとこんな具合にいまいち意味のわからないことを言う結果になる。それでも君は僕を嫌いにならなかつた…、当時は不思議に感じた、今もそうだけど。でも心配されるのはなんだか嬉しかった、そんな記憶として記憶されています。

雪が降ったら、どこかで君も雪を見ているのだろうか…、そんな事思っわけです。なぜ降ってからこれをかかないのか？降ってからが叙情的な気もするけど、もし降らなかつたらこんな事書けなくなるので、降りそうだなと思「今」、書きます。今の君はどう思うだろう、相変わらずねと思うのだろうか？君の中にいる17年前の君はどう思うのだろうか、雪の思い出がもっと欲しかったと17年前の僕が言っています。

今でも時々います、君のまわりはどうだろう…、心配です。君が頑張れるなら僕も頑張れます。

〔金曜日…、22日目〕

3日ほど先行して…、

昔、深夜ラジオで、誰だったか有名なイケメンで歌手もするし、役者もするし、ものすごい好青年キャラなのにラジオではその高潔なイメージにそぐわない下ネタやダメキャラな感じのトークでそのギャップが聞いて面白かった人の番組、その人の名前が出てこない、徳永英明ではないけど、似たイメージの人、そんなかんじの人…、あ、書いてて思い出した、福山雅治だ。

福山雅治の深夜ラジオを聞いていた時のこと、多分中学か高校の時。電話でリスナーからの相談を受け付けるコーナーがあった、半分冗談半分本気みたいなコーナー。そのコーナーの中に印象深い相談があった。

相談者は男性で大学生、声からして気弱そう。相談内容としては、友人（削除）、断つたにもかかわらず毎日大勢の人が玄関前に押しかけてきている音を出すものをもって音を出し、出てくるまで続ける。困っている、という相談。福山さんも戸惑って断ればいいじゃんと言えりけど、電話の彼は「断っても来るんです」という始

末、警察呼べば？とアドバイスされても電話の彼は口ごもる。どうやらもう実行済みな口ぶり、明言はしない。

福山さんはそのへんはつきりさせたくて確認しようとするのだけど、電話の彼はこれ以上話したくなかったらしく、「わかりました警察呼びます」といい、消え入りそうな声でかるうじてお礼を言つて電話を切った。アドバイスになったのかなあ、そんな事あるのかなあと釈然としない福山さん

これを聞いたとき、もし本当のことなら近いうちニュースでやるだろうと思い、気にしていたけどそんな事件はいつまでたっても報道されなかった。

これと似た事件のことを（削除）思ってしまう。

東京での猛襲の中、いつも見かける筋金入りが4人いた。ある日大胆にも4人そろって店に来て4人でレジに本をもってくる。こちらだって接客はプロと自認している、笑顔で「ありがとうございますました」と言うくらいどうということはない。そしたらその（削除）はうすらわるい笑顔で「ありがとうございますだつてよ……」と仲間内笑いをする。普通感覚ならこの状況で普通に接客できるんだから尊敬されて当然な状況なんだが、（削除）まるで“こいつなにもわかってねーよ”という態度。お前らの方がよほど（削除）思うが笑顔で対応。多分店頭に立つとお客様主義になるよう自己暗示が僕にはかかっているんだと思う。暗示は使いようです。

これだけいろいろやって謝罪1つしない…、現在の静かな状況はこれが当たり前の状況なのであって、貸しはまだまだあると思うのですが。勇気に感謝するのと、結果に感謝するのは別物と考えます。

君がどこにいようと、どんな状況だろうと応援しています。何かあろうと世界中でただ1人味方でい続ける人間がいることを忘れな

いでください。

（そしてちょっとキツめの事書くと少しまた騒音がうるさくなります。僕が何を主張したいかわかるでしょうか…）

そして今久しぶりに「うたばん」をみていて思い出した、東京で長年友達してきてくれた彼、彼が帰郷を止めなければ7年以上前に帰っていたと書いたあいつはどーゆーわけか石橋貴明が大嫌いだっただ。女をとつかえひつかえうんぬんかんぬんと非難する。女性遍歴を売りにするタレントは他にもいるし、第一こいつは小林よしのりに好感を持っていた…、何かピンきてネットで調べる。正直ネットのこの手のうわさは好きではないので普段見ない、無関係な第三者が日常のはけ口になっているだけでちっとも生産性がないからだ（…いや、役に立つこともある、少し言い過ぎました）。で調べる…、（削除）やはり、（削除）。君はこれを読んでいるだろうか？君はどう思うのだろうか？今現在の僕が今現在の君に聞きたいです。17年前の僕らには知らせたくない、そんな引き裂かれてからもずっと長い期間監視されてる可能性なんて、ないと思いたいので当時の僕らには知らせたくありません。この言い回し、これを聞いて君がああかわらねえと思うてくれたなら記述の演出の成功といえます。うまくいったらどうか？ぜひ結果を聞きたいと“今”の僕が言っています。

〔土曜日…、23日目〕

3日ほど先行して…、

ニュースで貴乃花親方に投票したある一門の親方が裏切ったというところでクビにされるそうです。ひどい話です。選挙した意味がない、自ら選挙が茶番であるのが当然だと宣伝しているようなもの。

「義理、人情」がない、といわれてクビだそうだけれども、なんだか間違っている。逆に言えば「義理、人情」さえあれば何をしても

許されると解釈されかねない。僕と君を17年前引き裂いた要素の一つにもこれが関わっているように感じた。

相撲の世界ではこの「義理、人情」のせいで、信じられないような低賃金労働が強いられている人たちがいる。人情を履き違えている。「東のエデン」風に言うなら「あがり」を決め込んだおっさんたち」の勝手な思惑にいいようにされているとしか感じられない。

これは推測。おそらくだけど、君と同じような“目”に遭っている女の子はもつとたくさん、千人単位かもしくはそれ以上いるのかもしれない……。君が頑張ることは何かが変わるきっかけになるのかもしれない。何をやるにしろ“最初”の人間は大変な目に遭うそうです。

アメリカ初の黒人メジャーリーガーは試合に出るたび毎回罵声をあび物を投げられ続けたそうです、でも彼の努力のおかげで今日の黒人プレイヤーが存在します。

初めて入学を許された黒人女子大生は大学中の白人学生が入学反対のデモをして彼女の通学を妨害しようとしてました、この時の州知事は立派な人で、「彼女には通学する権利が憲法によって保障されている」とか確か言って州の軍隊まで動員して彼女の通学をバックアップしました。彼女の勇気とその州知事の知性があったおかげで今のアメリカ黒人学生の地位があるといっても過言ではありません。「あがり」を決め込んだおっさんたち」の勝手な思惑にいいようにされてはいけません。言うべき事は言うべきです。最初から諦めてはだめです。

沖縄の米軍基地移設問題も最近アメリカの態度が軟化してきました、ごねてみるのも時にはいい事のいい見本そのものです。最初アメリカ側も“日本”は強気で出れば絶対折れるという感じでした、国内にもこのままではアメリカの機嫌を損ねて大変だという論調が目立ちました、いつもならこの辺で政府も折れるのですが、さすが“宇宙人”と言われる鳩山総理、のんきに鈍感やってたら向こうが折れてきた。何十年も日本人は「アメリカ政府が折れるなんて事は

ありえない」と思っていただけに関係者にはきつと晴天の霹靂へきれきでしょう。世間ではこういうの“鈍感力”というそうですが、僕は“宇宙人力”と呼びたいくらいです。(…まさかこれを書いた後この言葉がTVに出ることはないと思いたいところですよ)

こういう“宇宙人力”？まあネーミングの程はさておいて、こういう感覚、僕もあるし、君もあるように感じる。同じではない、微妙にちがう…、けど、他の人となんか違う感覚というのを2人とも持っているように思う。これはたぶん武器になるはずですよ。他人と違う発想こそ君の武器になるはずですよ。

今も戦っているのだろうか…、頑張つて。

〔日曜日…、24日目〕

4日ほど先行して…、

君が映画を見ない事は知っているし、これはおすすめ映画ではない、けれど、こんな事思った。

「パーフェクトワールド」という映画がある。ケビン・コスナー監督作品で比較的地味な作品だ。舞台はちょっと昔のアメリカ、主人公は脱獄犯。逃げる過程で車を盗もうと入った家の住人に発見されてしまい、その家のちいさな男の子を人質にして車を奪い逃走する。

この映画はこの逃走犯の男と人質の男の子の2人旅を描くロードムービーの体を成ていしてゆく…。ちなみに2人を追う刑事を監督のケビン・コスナーがやっている。

この映画の面白い点はこの男の子にある。地味で希薄な少年、聞けばいままで1度も「コーラ」を飲んだことがない、犯人の男は思わずコーラをおごつてやる。「アメリカ人なのにコーラも飲んだことないなんて…」と思った犯人はこの子がどんな家庭に育ったのか話を聞くことにする。

少年の家庭は当時アメリカによくいた保守的な家庭で俗世間の悪癖は害になるからと拒む家庭だった、男の子はハロウィンの祭り

お菓子ももらったことなければ、アメリカでは一般的な移動遊園地にも行った事がない、それを聞いた犯人の男は少年にいろいろ買つてやる、お化けの衣装を買ってハロウィン気分も味合わせてやる。彼はいい人？いや違う、彼は理由さえあれば簡単に殺人のできるゴロツキだった。なのになぜ少年にやさしかったのか？理由がある。

この男も実はこの少年と似たような家庭環境で育った経緯があったのだ、その世間ずれした家庭に反発しグレて身をやつし殺人犯になつてしまった。それはそれでこうなつたのは自分の責任だ、だが、いまだにこんな目にあっている子供がいるなんて捨て置けない…

彼を追うケビン・コスナー演じる刑事はいぶかしがる、追跡していると犯人の立ち寄り先で調べるとどうも少年と仲良くしているらしい…、ありえない！あの凶悪犯が！と思う、なにを隠そう彼を逮捕したのはこの刑事なのだ。それだけに男の事はよく知っていた、少年と会い、何かが変わったと刑事は感じる。

ラストシーン、草原を走る犯人の男と少年、周りは警官に包囲され逃げ道はない、狙撃隊もいる。警官隊は少年がいるので手が出せない。犯人はすっかり仲良くなつた少年を解放する気でいた、けど、解放する前に1つだけやっておくことがあつた、少年のために彼にしか出来ない事があつた、男は警官隊に少年の母親を呼ぶよう命じる、急遽ヘリが用意され母親が到着。犯人は警官隊の中にいる少年の母に叫んで言う「約束しろ！」と叫ぶ、少年にアメリカ人の少年が当たり前にする当たり前前の生活を保障しろと。コーラもハロウィンも許してやれと。どこまで通じたのか解らないが母親はうなずく。それを見て男は少年に母親の所へ帰るよう促す、男と少年は最後の別れをする。

少年が解放された瞬間男は狙撃され絶命する。空気は事件解決！一安心という空気になる、でもたつた1人だけ違う、ケビン・コスナー演じる刑事だ。彼は奇跡を感じていた、あの凶悪犯が改心したなんて…。そして彼の死んだ今、彼の改心に気づくのはこの刑事だけだった。男は凶悪の限りを尽くしたが最後にたつた1人の理解者

を得て亡くなった事になる…。そんな終わり方。地味だけど印象深い。

一方代わって「赤毛のアン」の中にもこんなシーンがある。アンはいつも古めかしいデザインの服を着ていた、妹のマリラがそう決めた事だと家長のマシューは思う、マリラはいつも正しいがなんとかしてやりたいと感じたマシューはアンに新しい今風の服を作ってやる事に決めた。1800年代のカナダの田舎では服は手製と決まっていた、そこでマシューは隣人のリンド夫人に服の製作を依頼する。リンド婦人は言う。

「マリラはアンに地味な服さえ着せていればおしとやかでいい子になると思っているようだけど、下手をするとひがみっばい子になるだけですからね」

と言いまシューの依頼を快諾する。その後アンがマシューに感謝することになるのは書くまでもない。

ちなみにアンの住むアボンリーの村はみなキリスト教のなかでも“超”がつくほどの保守派である“長老派”だったりします。

なにか通じるものがあると思う。この2つの話。昔にも時代こそ違い似たことを感じた人はいたわけです。しきたりや伝統は確かに大事ですが、度が過ぎたりすると意味がないと今も昔も考えられているわけです。これらエピソードは「ティファニーで朝食を」にも何か通じるテーマがあると感じます。自由とはこういうテーマなのではないでしょうか？この場合の自由とは、墮落した無秩序ではなく、かけがえのない人にとって必要で大切な自由のことをさします。

今回はずいぶん君好みでない記述にもしかしたらなってしまうたかもしれない…大丈夫だろうか？

今の君の状況しだいでは、随分のんきな事書いてるなと感じるかもしれない、けど、大切な自由とはなにかというイメージを伝えた

かった。うまく伝わっただろうか？上手くいった事を願います。17年前のきみならにこやかにきいていてくれただろうか？今の君はどう思いますか？そんな話をしたいと今の僕と君のよく知る17年前の僕が言っています。

〔月曜日…、25日目〕

4日ほど先行して…、

先日の相撲界のごたごた、終わったようでおわってないように感じました。クビにはならなかったものの今後も様々な形でいびられるでしょう。相撲にかかわりたいのに、かかるとひどい目にあう…。確かに“親方”にまでなつたのだからそう簡単にやめられな…その大変さはおそらく本人にしかわからない。顔を立てなければいけない人も1人や2人ではすまないだろうし、親兄弟親戚縁者もふくめて影響が出る。

君も特殊な立場にいたりするのだろうか？100%推測ですが…。君は17年前僕を巻き込まないように気遣ってくれた、今はどうなのだろう。心配しています。特に君の性格、“我”を出すタイプではない君、だからなおさら心配するわけです。

ごく最近こんな事があった、試しに1日だけ体験入社した。暇な時間ができ、室内で雑談。でも僕は体験入社のイレギュラーな存在だ、ではしゃげなかった。そこはマニアックな知識が求められる職場で僕以外の人たちは当然そうした会話になる、その話は聞く分には楽しいが会話に参加できない、話が専門的だからだ。おとなしくじっとして話を1時間近く聞いていた…。こういうとき自分を前面に出せる人を心底うらやましく思う。と、同時にこんな事おもった。あれ、この感じ似ている。

君は当時、普段おとなしく控えめなで、学校で人と話すとき、じっと動かず、かといって退屈しているわけでもなく、じっと見据えて人の話を聞いていた。かわいかった。

そして神社で2人きりになると、すこし緊張を解き、学校では見せない素顔の一部を見せてくれた、ますます好きになっていった。そのときの僕はまさに17年前の君と同じ状況だった、じつと話を聞いている、つまらないわけではないが、どう会話に参加したらいいかわからない。話しかけられるまでじつと待つ…、同じだ。やっぱ似てるなこういうところと思った。そんな君の性格、そんなに変わってないように感じる、だから、心配です。

今の僕はどうしたらいいのでしょうか…。17年前の僕が今の僕にこういいます。

「とにかく当時の彼女が望んだ事をすればいいんだと思う、なぜなら当時の彼女も今の彼女の1部なんだから」とこういいます。

なんにしても今の僕は君を待ちます、そして応援します。君は困難な立場にいるのかもしれない、けれど、奇跡が起ることを信じています。世界中の誰もが信じなくても僕だけは例外です。何が起ころうとどんなことがあるかと味方でい続ける人間がいることを忘れないでください。

〔火曜日…、26日目〕

4日ほど先行して…、

今日ニュースで皇太子妃雅子さまのニュースをやっていた、適応障害…、なんだかいろいろ思います。日本の法律では皇室に入った時点で戸籍を失う、戸籍を失うから当然パスポートも免許書もクレジットカードも無効になるし、それにとまって銀行口座もレンタルビデオの会員カードですら作れなくなる。そりゃ心のバランスも崩れそうなもので、なぜ、もう少し皇室に人権をという議論にならないかが不思議だ。戸籍ぐらい皇族だってもっていいと思う、イギリスのウイリアム王子みたいにクレジットカードや免許書もってたっていいと思う。伝統と文化といっても何を根拠に皇族がそうしなければいけないのか根拠に乏しい。現行の皇室典範にしても26

00年の歴史の中でみればごく最近できたものだ。(ちなみにこの2600年は初代天皇から数えてのだいたい年数)

何がしたいのか？君は努力すれば離婚できる。けど、皇族は離婚すらできない。そう法律ができてないからだ。バリバリの上昇志向を持つていた外務官僚キャリアの雅子さまからしてみれば牢獄に感じるかもしれない。

初めてTVで見たときのキャリアウーマン姿は正直今と全然違う、口ケンカを仮にしたとしても5秒で瞬殺されるんじゃないかと感じるほどのキャリアウーマンに見えた。けど、今のあの姿を見ていると口喧嘩など吹っかけたら倒れてしまふんじゃないかと感じるほど弱弱しく見える。あれを幸せそうとかいう人がいたとしたら間違いなく心眼が歪んでいる。

以前外国人記者が皇太子妃雅子さまの悲劇的な現状を本にして出版した。その日本語版が出ると言うときさまさまな圧力がかかり出版停止になった。え？日本だぞここ、戦前じゃあるまいしと当時思った、そう思う人が多かったのか後日、別の出版社だけど、ちゃんとその本は日本版が出版されました。

出版に関わった人が最後まで諦めなかったからできたんだと思います。

おそらく彼女は皇后になっても体調をくずしたままだと思う。そもそも無理があった縁談だった、結婚当時のニュースを覚えています、彼女は皇室で外交の仕事ができると諭されて承諾したと聞きました。それが証拠に彼女は外遊をいつも希望する。周囲の年配者は「わがままを言ってる、けしからん」と真顔で言っている？実際東京で働いているときお客さんがそんな事真顔で言っているのを見たことがある。本気で言ってるんだと軽くカルチャーショックだった。人権思想が欠落している…。感覚として人権と言うものへのセンスがない…。シヨックだった。君のまわりもこんな人多いのだろうか？心配です。そんな悲劇に君を置きたくない。

皇太子妃雅子さまには出来ないことが君には出来ます。諦めなければ。そんな事思いました。いま、どうしているだろう…、応援しています。

（この物語はフィクションです。ただし、もし読者の方に現実に弁護士を探している方がいた場合、どんな人を探せばいいのかやむと思います。こんなサイトを見つけました「あの人検索スパイシー」というサイトです（<http://spysse.jp/>）これで弁護士で検索するとかなり出てきます、知名度の高い上位のひとり下位の人のほうが現実的選択肢です、本人がだめでもいい人を紹介してもらえれば最高だしその事務所にたよるというのも手です。広告だけをたよりに探すよりはいくぶん良いのではと思いました。役に立たないかも知れないけど、何事もやってみないとわからないので）

〔水曜日…、27日目〕

4日ほど先行して…、

伝統と文化について考えていたらこんな話を思い出した、昔見たTVでの事。

1980年代くらいにアフリカを探検したイギリス人の話、彼が何者かは忘れたけど、個人的にアフリカの奥地まで旅行にいけるのだから金に余裕のあるバックパッカーの豪華版みたいな事をしている人なんだと思う。彼がある部族を訪ねたときのこと、不可思議な現象に遭遇する。村の人は遠くから来た客人をもてなすと言い楽器をもちだして音楽を演奏しだした、すると、どういわけか彼に聞きなじみの曲だった。彼は村の人に聞く。

「どうして私の故郷がわかったんですか？これは私の地元にしかない民謡ですよ」

村の人はいう。

「（似ているだけで違う曲です）これは古くからわが部族に伝わる伝統の音楽です」

偶然の一致だろうか？

また別の旅行者が体験した不可思議な現象もある。

その人も前述の人同様豪華なバックパッカーのような事をしていたイギリス人で、あるアフリカの別の部族を訪ねたとき奇妙な体験をする。

夜、部族の長に村の歴史や伝説について聞かせてもらっていると村長はこんな事を言い出す。

「あそこに見える星についての伝説がある」と、

聞くとその星は1つに見えるけど本当は2つの星が物凄い重なって見えているだけだと、離れがたい星の伝説がなんとかと話し出す。旅行者は天文学にも通じていて、村長のいう星が実際本当に2つの星が重なって1つに見えるものだという事実を知っていた。ただし、その事実が発見されたのは高度な観測が出来るようになったごく最近で、それに基づいた伝説があるなんて信じがたい事実だった。

彼らはうそつきだったのか？イギリスから来た旅行者をからかったのか？正解はNOで、ここに伝統と文化の落とし穴がある。

相撲の伝統文化といっても、現代のような近代相撲が確立したのはごく最近のこと。それが証拠に相撲の“決まり手”の中には現代の相撲取りには実行不可能なものも存在する。舞の海がこの実行不可能な技の1つ八艘飛びをやって世間を驚かせたのは有名な話。八艘飛び以外にもありえない技がたくさん存在する、昔と今の相撲のスタイルがいかに違うかと言うことを物語っている。

にもかかわらず、ともすれば太古の昔から現代の様なスタイルで相撲があったと何の疑問もなく人は思いがちだ、見識ある年配者ですら平気でそう思っていたりして時々驚く。

アフリカで先に述べたイギリス人旅行者をだました村の人たちも

だますつもりなどなく、本当に何の疑問もなく正しいと思っていたんだと思う。

先の音楽の話は、実は昔この地域を訪ねた探険者がいてその人が披露したイギリスの音楽が何らかの形で村に残り、村人もその出所がなにかわからなくなってしまういやふやになっているうちに自分たちの音楽になってしまったものらしい。

先の星の話も同様でその様な経緯が推測されるとその番組では紹介されていた。

実際日本人も天ぷらは日本発のものだと思い込んでいたりする、それも伝統があり、太古の昔からあるぐらいに思いがちだ。何も知らなければ歴史ドラマの中で平安貴族が天ぷらを食べているシーンがあつたとしても何の違和感も感じないはずだ。

ポルトガルに大漁祈願の祭りが年1回かな？行われる伝統行事がある。名を「テンポラ祭」という、冗談のように聞こえるが本当の話。そこでは祭りのときのみ出される伝統の魚料理がある、魚を油で揚げたもので白っぽいころもが付いている…。

お気づきの方もおられるでしょうがこれが天ぷらの原型です。南蛮貿易が行われていた時代ポルトガルから入ってきた文化なのです。長い年月がたち、現在の形に成った。

何が言いたいのか？伝統と文化は確かに重要です、けど、そこには誤解や偏見やまちがった知識も混在しています。絶対の価値基準ではないのです。地動説をとえたガリレオは破門されその破門が解かれたのはたしかごく最近だったと思います、忘れていたんでしようか？間違った知識に基づいて破門しっぱなしだった事に。それでも思い出して破門を解くのだから理性的です。そんな事思いました。

彼女の身近にいる人たちにお願いです、伝統や文化も大切ですがそれ以外の大切なものもご配慮願えないでしょうか？

これは若い人、それも男子でゲームをやる人なら割と有名な話。ちなみに僕はほとんどゲームをやりません、僕の行動を監視していた（している）人たちに確認してみてください。僕はほとんどゲームをやらない…、そんなゲーマーとはほど遠い僕ですら知っている話。

セガでゲーム開発をしている部署で毎回毎回かならず売れないと解りきった企画書が提出される、何度言っても同音異句同じタイプの企画書が上がってくる…。クリエイターたちにどうにかしてその企画が売れない事を教えたいと考えた上層部は失敗させる事で売れないという事実をわからせようと1度だけのつもりでその企画にGOサインを出す。最初から失敗する事が予定されていた事業がスタートした訳です。

ところがこの企画、企画力その他常識を覆すものがあり大当たり、セガを代表するゲームの1つになりました。いろんな偶然が重なり、いえ、偶然だけでなく努力もあつたのですが…。

この時の上層部はどちらに転んでも、失敗したとしても成功したとしても、自らの決断に悔いなくつたし、どちらに転んでも周囲の尊敬の念を得る事が出来る。すばらしい選択です。最終的にどちらに転んでも社のプラスになるのですから。このような決断こそ智将の英知と賞賛すべき決断と思います。現代における“清濁併せ呑む豪胆さ”とはこんな決断のことなのではないでしょうか…。

君はいまどうしているだろう…、あの笑顔が今も健在であることと信じたに限りです。君の中にいる17年前の君も元気だろうか？いろいろかんがえてしまいます。そんな事思いました。

僕は子供の頃絶対お前謝らないよなと言われたことがあります。おとなしくせに負けん気だけはある、いい方にも悪いほうにも転ぶ僕の属性の1つ、今では多少コントロールができるようになり、仕事上のやり取りなら謝罪すべきときは躊躇なく謝罪できるようになった。けど、その属性そのものが消えたわけではない、コントロールできるようになっただけだ。

君も負けん気だけは人一倍だった、どんなことがあっても謝らない…、以前2人で対立したときもどちらも一向に引かない強力な頑固さを互いに見せ合ったこともあった。正直同タイプのあの頑固さには君以外いまだにお目にかからない。

君が謝ったのはたった1度、強烈な記憶として残っている。学校で突然しゃがみこみ泣きながら「ごめんね、私のせいでごめんね」と泣き崩れた時だ。第1話にも書いた、あの時の事確かめたいと今でも思っています。

あの時1度だけだった…、君は絶対に謝らない。あの強さ、今でも健在と信じます。僕もいまだに頑固な部分はある、だから、たぶん、君もそうではないだろうか、そう思う。

〔木曜日…、28日目〕

4日ほど先行して…、

そう、君の性格について考えていたらこんな事思った。君は基本話しかけられるのを待つタイプだ、とくにどう出たらいいのかわからないような状況では。受動的。だから対立したときも自分から手に攻撃をしかけない、攻撃してくる相手をカウンターでかえすタイプの強情さをもつ。

そうだと何だか確信する、過去の記憶を照らし合わせると確かにそうだ。

君が受動的から能動的にシフトするときはやむにやまれなくなつた時だけのように感じる。

あるいは周囲の環境が能動的になりやすい環境になった時…。

僕も似たところがある、そうしかできない性格。努力して直そうとしても属性として変化はしない。

欠点と考えるのは早計だ、使い方次第では強力な武器にもなる。

周囲を観察して、状況を整理して、問題点の現状の世界観が把握できたら環境が整う…。

何が言いたいかというと、状況が上手くイメージできないから受動的になってしまう。状況がイメージできるようになるには時間がかかる。そしていつまでたってもイメージできない状況では永遠に受動的になってしまう。自分の意思とは関係なしに。

僕も偉そうな事を言える身分ではない、成功してないからだ。けど“彼ら”の攻撃をかわすのに役にたった方法がある。この方法は少なくとも“彼ら”がらみの対策には今のところ有効なんだと思う。

“再帰性理論”…、ジョージソロスの唱える独自の理論。最初は経済の理論家と思って本読んでいた、なにしろジョージソロスとは世界的な投機トレーダーだ。もう使い切れないくらい稼いだんで引退している人。実力は誰もが認めるところだけど、経済学の世界ではなぜか異端児の扱い。本を読んでなんとなく理由が察せた、彼の唱える“再帰性理論”は経済学のものではない、社会科学というかまったく系統が異なる“人間社会とはどういう動力でうごいているか？”というかまったく異なった理論。理論と呼ぶことすらできない、あまりにも“感覚的”で、世界中の学者が“再帰性理論”を学問と認めない理由がよくわかる。

僕も完全に理解しているわけではない、感覚的にこういうことだなと思うだけだ、それでも“彼ら”からの猛攻撃をしのぐのにはこの理論、催眠の知識にも劣らぬほど必要不可欠なものだった。

いづれこれについても書こうと思う。論点を絞り込む三段論法については以前説明した、けど、三段論法の欠点は何かしら方向付けがないと上手く論点が絞り込めないところだ。“再帰性理論”はこの方向付けに役に立つものだと考えます。いづれ書きます。

〔金曜日…、29日目〕

4日ほど先行して…、

ついさつきTVで“3歳児神話はなぜ日本にだけこれほど浸透したのか？”という番組を見ていた。3歳児神話とは現在日本でのみ信じられている迷信のような考えで、戦後浸透したものらしい。現在出生率の低さは誰のせいでもない60年代70年代日本を引っ張ってきた男性社会が原因で、若い人、とくに女性が産まないからだというのはまちがっている、というものだった。

事の始まりは、ある人が戦後すぐ国連にだした報告書らしい、当時戦災孤児が世界中にいて国連の重要課題だった。報告書にはこうある。

「子供は0歳～3歳までの間は母親または永続的に母親に代わる存在とすごさねばならない。」

そうしなければ子供はちゃんと育たないという事らしい。けど、報告書の真の意味は違うようだ。

日本では先にも述べたように男尊女卑が浸透している、当時の男性社会はこの報告書を利用して母親を家庭に封じ込めることを望んだ、国もバックアップし保育所を作らなかつた。1970年代の事です、保育所がなければ家庭にいなければならない…、現在も続く保育所不足はこの頃から根がつかつていたわけです。

え？意味が解らない？そういう人もいるでしょう、その場合戦後から現在までの諸外国とのデータの比較にその意味が見出せます。

先の報告書は国連を通じて世界中の育児に影響を与え、乳児期の育児がいかに情操教育に重要かをとききました。けど、各国の仕事に就く人の数をしらべると明らかな違いがあります。日本だけ育児世代の女性の離職率が高いのです。同じ報告書の影響を受けているのだから各国ともに育児世代の女性の離職率が高くなるはずなのに、そうはならず、日本のみそうなるのです。以前書きました、理解できない現象の前には必ず何か欠けた情報が存在する…。

乳児期の育児に母性の必要性は各国同じです、対応が違うわけです。

子供には母性が必要だ！だから母親に専念させる！彼女らに育児以外のことをさせるな！それが子供のためだ！これが日本の考え。

子供には母性が必要だ！しかし昔と違い現代社会では女性にも人権がある、彼女たちの人権を犠牲にするのもおかしい、これは社会全体で負担しなければいけない。彼女たちの自由のためにも男性も協力せねば！これがヨーロッパを中心とした外国の考え。

日本の出生率の低さは女性にのしかかる負担のでかさだと男性陣が自覚しない限り永久に出生率は低いままだ。自らのわがままのために身を滅ぼすわけで、たいした“文化と伝統”なわけです。60年前の戦争で何を学んだんでしょう？あれほどの犠牲を払って手にした人権思想を何だと思っっているんでしょう。

育児ノイローゼや母子の社会との孤立もこの“3歳児神話”があるからです。そして不幸なことに、悩んでいる母親は自分が至らないからだと悩みます。

現代社会は人権があつて初めて成立するようできてます。人権社会のなかでは常に自己成長が求められる、それを閉ざされたものは奴隷になったように感じてしまうのです。これは年配者、特に年金受給者の方にもわかる概念だと思います。以前TVでこんなシーンをみました、街頭インタビューで「(年金がこの額では)文化的生

活もできないものねえ、ただ生きてりゃ充分ってわけにもいかないでしょ？」おばあさんが笑顔で答えていました。

報告書の文面をよく見ると

「母親または永続的に母親に代わる存在とすごさねばならない…」とある。母親とは限定していない。

ここを、さも限定しているかのごとく吹聴したのが戦後の日本政府の対応で、男尊女卑を正当化するにはうってつけだったのでしよう、さもこうすることが世界の流れだと思わせたかったのでしょうか。世界はそうは流れていなかったわけです。それは当時の男性社会が望んだ事だったのでしよう。人権に対する概念が希薄なんだと思います。希薄であるという自覚すらない世代。

先に述べた“再帰性理論”でこれらがなぜおこるか説明ができません。いずれ詳しく説明します。

君がいまどういう状態なのか本当に気にかけています。たぶん、周りからもっと子育てに専念しろとか言われているのではないのでしょうか？周りの人は育児に協力してくれませんか？君に可能な限りの負担を強いたりしていませんか？もしそうなら何とかしてあげたいけど、今の僕には…。君の行動の延長線上に僕の行動の延長線が少しでも重なっているなら泣けてきます、そうであって欲しいです。

思考停止してはいけません。がんばって。

今日久しぶりに何人かに睨まれた。同系の自転車に乗った同じタイプの体型の人に2人も会った、両手に腰で仁王立ちの人もいたし、レジで別れ際わざと目をあわさない東京でおなじみの手を久しぶりに見た。1つか2つならともかくたくさんあるから、もしかしたら君が頑張っているからまたこんな事してんのかなと妄想します。彼

らは将来も変わらずこんな感じなんでしょう、君がいてくれれば死ぬまで戦える。そう思った。君の周りは大丈夫ですか？ひどい目に遭っていませんか？17年前は助けられなかった、今もそうだけど、けど、あの時と違い今は僕もこのステージに上がっている。もう観客じゃない、その辺君に伝わってればと、切に願います。あの時は僕は観客だった、君はステージの上の人だった、気持ちは通じていた、けど、立ち位置が違った。今は違う、同じステージ上、ただ同じステージの上だけど、離れている。もし、僕をただの観客だという人がいるなら、それは間違っている。少なくとも“立ち位置”と言う意味では距離は縮まった。俗に言う関係者など振り切つてしまえばいい、決断の時期が来たら君はそうするのではないだろうか？君は決断するまで時間をかけて決断する。条件が整うまで待つ、だから、僕も待とうと思う。そう思った。

「交渉の基本ルール」

“交渉”ってたぶん君は苦手だと思う、交渉には実は“基本ルール”が存在する。もしかしたら書くまでもない事なのかもしれないけど、一応書きます。

まず、これはないよなーというくらい“高い要求”をあいてにします。そして、向こうが飲めないと言って来たら徐々に要求を下げていくのです。

なぜなら、おそらく向こうもありえないくらい“高い要求”をしてくるはずだからです。向こうは君がその条件を飲めないことを知っている。判っていて無茶を言うのです。だからお互い様です、君も向こうが飲めないような高い要求をすれば、互角になれる。

裁判でも、検事は最初少し高めの刑期を求刑するそうです、交渉にそなえて。

官僚も財政削減の時、本当に切られたくない予算を守るために、まずは切られてもかまわない予算を必死に守ります。そこで削減交渉をしている限り本当に守りたい予算は無事なわけです。

駆け引きにはこういう“切りしろ”と呼ばれる部分を用意しておくべきなのです。何かと使える。

今ニュースになっているビール会社の統合決裂にしても、本当の理由はサントリーの創業家を新会社から排除したいという理由だけど、それではあまりにも露骨なので、子会社の扱いをめくり交渉が難航したとくして露骨さを隠そうとしていた。この場合の“切りしろ”は子会社になり、本当の理由を守る材料に使われた。

“交渉”事には“切りしろ”の判断が重要です。相手の要求のどこが“切りしろ”で、どこが“本当に守りたい部分”なのか見極めるのが重要です。相手の“切りしろ”が判れば、こちらもどの程度の切りしろを用意すればいいのかが判断できます。

可能ならば、最後相手の顔が立つようにするのが理想的です。逆に言えば君の顔が立つ形で言いくるめられる可能性もあるわけです。交渉の達人はそのくらいやってのけます。

怖がらず、恐れずに、冷静に論点を分析して、状況を理解して、決して判子やサインはしてはダメだ、逆に言えばしなければどうにでも後で出来る、もって帰りじっくり考えることもできる。その場で即断してはダメだ、相手のペースになる。たとえわざわざ持ち帰らなくてもいい物でもワザとじらすためにそうすべきだ、こちらのペースを守る。

もし、別れたいという部分をもっとも守りたい要求事項なら、この要求をはるかにしのぐ要求をすればいい。ただし、最初から切るつもりではダメだ、本当に守りたい要求以上に“切りしろ”を死守しなければ効果はない、それが「交渉」の基本ルールだ。

切りしろは最終的には徐々に削られていくだろう…、でもそれが本当に守りたい部分にまで到達しては意味がない、そういう意味でも切りしろは2重3重4重5重いやもつと20重30重、ともかく

重く大きい方が本体の守るべき要求を守れる。
もし少しでも役に立つなら幸いです。

〔土曜日…、30日目〕

4日ほど先行して…、

今日本屋で並んでいると手に持った本を「え、ありえない」という顔で凝視された、バイクの雑誌を持っていたのだ。こいつがこんな雑誌読むなんてありえないという顔だった、なんだそりゃ、お前俺の何を知ってるんだ？と思う、やはり、彼もそうなのだろうか…。

たぶん、僕の実像がかなりゆがんで報告されているんだと思う、東京でもあった、僕は実際は完全自活していて親の支援など一切受けていなかったのに、僕を追い出そうと3年も執着していたボンボンの彼は僕が親の支援で生活しているやつと吹聴していた。それ以外にも仕事はちゃんとやっているのにやっていると吹聴する。人間とは恐ろしいもので上役に毎日そう吹聴されると、目の前でちゃんと仕事してるのに、してないと思ひ込んでしまう。この場合、徹底的にいい合いをして誤解をとくにいたるといふ事が何度もあった。意外なキーワードで誤解が解ける。僕が何度も今月末まんの持ち込みに行きますから出勤遅れますねと何度も言ったのに、実際に1週間前に本当に行くことが理解されるとたん、誤解がとけた。どうやら上役に「口で言ってるだけのうそつき」とでも言われていたのだと思う。思ひ込みが解け、以前の様に接してくれるようになった。

ネガティブキャンペーンは彼らの十八番だ。

繰り返し繰り返しという事で、事実でないことまで事実になってしまふ…、「暗示」のテクニクにも通じる（というか「暗示そのもの」ですが）これらは今も行われているのだろうか？君の身が心配です、毎日毎日繰り返しそんな目に遭っていないか心配します。

そういえば高校卒業してからも随分ネガティブキャンペーンは受

けたけど、一体どこまでがそうだったのだろうか…。実際確かに性格に問題がなくなかった（今では大分直したが）ので、確証は難しいけど、悪いうわさはいつも付いて回っていた。おそらく今もなのだろう…。少なくともバイクの雑誌を読むような人間にはイメージされていないのだと思う。

そういえばこんな事があった。高校時代、部活で遠征、理由は忘れたけど私服で駅の北口に集合という事があった。その時こう言われた。

「どんな服で来るかって皆で話していたんだよ、割とまともな服装でたんでびつくりした」

こういう決め付けられたイメージにうんざりする、似た思いは君もすること多いのではないだろうか？そんな事思った。

「（私、他人に）こんな風に言われてるのよ」と聞かされた事が昨日の様に感じます。君は当時から戦っていた。

人は今まで何度も経験した事ならどんなにたらくても大丈夫だったりする。当時の君も笑顔だった。

“彼ら”の男性陣の中には女性を見下す文化があると以前本で読んだ。と、同時に組織は女性陣でもついているとも書いてあった、大方事実のように感じる。人は今まで経験した事のない事象に弱い。そのあたりに打開のヒントがあればいいのだけれども。

裏切り者にならずに事を打開する道を探っているのかもしれない、僕は、君の望む世界が実現する世界を望みます、その前提の上で、言うならば、その打開策には限界がある。向こうもそうたかをくくっている。その相手の高をくくっているところをギャフンと言わせてこそ交渉は上手くいくと思う、君のペースになる。切りしるのバリエーションも増える。ただし、この切りしる。本気で提示しないと効果がなかつたりする。

どこまで通じただろう…、

切りしろはありえないようなものも組み込んで始めて効果が出ます、それだけは事実です。

脱退も切りしろにできます。その事実だけはつたえたかった。

…と、言うか。冷静に事実だけで推測すれば、別れる「脱退となる事はもう向こうも想定済みで、そこが最大の向こうの切りしろにならない譲れない部分かもしれない。だから、これを議題にあげるのはなによりも相当効くと思う。

こんなことがあった。

学校で君は不可思議な行動をとった

「どうしてああいう事（「行動」）したかわかる？」君はいった。

神社で2人きりになって、学校での君の振る舞いを僕がまったく理解してないことに対して君は言った。笑顔で、親しみのこもった呆れ顔で。

「まあいいじゃん、それはこっちに置いていて」

と、僕は問題を棚上げしたかった。せつかくの2人きりの時間、1秒も無駄にしたくなかった。まさか君がそんな重いものをしよってなんてまったく気がつかずに軽い気持ちで言った。

「置いていてじゃないでしょ」

学校では見せないテンションのあがった君、緊張感が解け、素顔の一部だった。おとなしさがなりを潜める…。素顔の君、誰にもめったに見せないかわいい笑顔。

「まあいいじゃん、とりあえず置いていて、後で考えよう」

事実そう思った、神社は貴重な時間だった、話し合いなら学校でもできる、ここでは喧嘩の類はしたくなかった。

そんなやり取りを何度か繰り返し、最終的に君は無口になってしまった。

怒ったの？とか訊いたような気がする、君は葛藤していたように記憶している、ここで話をつけるか、諦めるか、多分当時の僕は難物だったと思う、なかなか人の意見をきかない、17年かけて直し

た僕の欠点の1つ。

最終的にキスさしてくれた、いつもの2人だけの時間になった。もっと怒ってもよかったのに君はやさしかった。その優しさは大好きです。けど、それが仇にならないかと、心配しています。

あの2人だけの時間をもう1度、何とかならないものかと、そう感じます。時間の感覚さえなくなってしまうあの永久に続くんじゃないかと思える時間、2人座っているだけであつという間に時間が過ぎた。取り戻せるものなら、奇跡を望みます。現代の僕と17年前の僕がそう望みます、君からも君の中にいる17年前の彼女に聞いてみてください、どう思っているのか、そしていつかその答えを聞かせてください、そう思った。

〔日曜日…、31日目〕

4日ほど先行して…、

第1話に書いた、覚えているだろうか？あの夏祭りの日の事。暗がりですすした、すると車がくる。もう一度キスをした、また来る。

「今の、同じ車？」

必死の形相で僕に尋ねる君。君の中で何かが弾ける…。そして気がつかない僕。

この後、あの長い階段に誘われたのは書くまでもない、あの長い階段がどこの神社のものなのかまだわからない、今度探してみようと思う。

2人で階段の中ごろくらいに座る、暗がりですす見えないので君は安堵した。

何も知らない僕は完全に油断しきっていた。階段から見下ろした先に自販機が見えた、僕は飲み物を買いにいったん席（階段）を離れた。戻ってくるときすわり際無意識にどっこいしょと言ってしまう、誰かの口癖が移ったものだ。君はええー、そんなこと言っの？と言った。言われて恥ずかしくなる、今思えば確かに野暮な言葉…、

あれ以来あの言葉口にしなくなった。無意識に口から出そうになるたびに君の事が頭に浮かびセリフを止める。言いそうになるたびにあの日あの時の君の顔と声が戻ってきます。

この少し後だ、僕らが座る階段より下方の段に、拳動不審の息子くらいの男（僕らと同年代？）をつれたおばさんがきて、僕らがいるにも関わらず座った。拳動不審のやつのはうは最初本気で何も知らないらしく僕らに気がついてから「びっくりした、人がいる」と声を出す、その様子はエスパイ伊藤とオードリーの春日を足して割ったような言い回しで不信にみえた。一発で変なやつが来たと思っ

た。

この2人は一向にどかない。

「場所を変えよう」

と、君に提案すると。

「どくのはむこうよ」

と、君は言った。普段おとなしい君が見せた意外な反応に見えた。何も知らない僕は君が戦っているなどとはまったく思わなかった。ただ、その毅然とした態度に素直に感動して見習おうと思った。まさか17年後あれが、僕を守るための君の戦いの姿と知るとは予想もしてなかった、バカなことに本当に感心して感動していた。

以来、人と対立したときは必ずこの時の君の姿が自然と頭に浮かぶようになった。彼女に見習おう、そう思った。

本格的にその考えが正しいと思えるようになったのは本屋の前の職場での経験だった。普段は普通の人のために、仕事になると人格が極端に変わる人（でもそれは仕事を優先してのことでプロして正しい）に初めて遭遇した。あまりのすごさに面食らった、仕事に対する意識が変わる、遠慮してはだめだ、聞くべきことはきき、確認すべきことは確認せねば仕事にならない、フォローしてくれるだろうなどという甘い考えは意味がない、なあなあにしては仕事にならない、自分で考えて自分の責任で何とかしなければいけないと骨身にしみた。どなられるのも初めての経験だった、今に思うとバカ

らしいが当時は怒鳴られただけで萎縮していた。怒鳴られるのが怖くて必要事項の確認もできなかった。でも今は大丈夫。どんなに怒鳴られてもなんか平気になった。ヤクザにどなられても大丈夫、免疫がついてしまった。

なぜ大丈夫になったのか？

偶然にも次の職場でも同様に、仕事に関しては鬼の性格が変わる人がいて、日常的に怒鳴る人だった。前の職場で少し免疫が出来始めていたのに加えて、もう同じ失敗をしたくないと思った僕はどんなに怒鳴られても、確認するべきことがあればどんなに相手が不機嫌でも確認したし、段取りの確認や、イメージの共通認識など、仕事上必要なことならビビらず聞き返すようにした。自然と信頼関係が出来ていった。

怒鳴る相手に話をするときは、いつもあの時の君の顔が浮かんだ。彼女はあの時一步も引かず「どくのは向こうよ」といつていた、あの毅然とした態度を見習おう、少しでも近づくように心に刻みつけた。

普段の僕は17年前同様おとなし目の人間だが、相手がどなった瞬間スイッチが入る。微動だにしない僕を見て虚を付かれたような顔になる人よくみます。こんな事言われた事がある。

「君は恐怖つてもんが理解できてないんだろっ」

努力して克服したとはどうしても信じられないらしい。ちょっと脅せばどうにかなると思っっている人は本気で多い。馬鹿馬鹿しい、本当にそう思う。

これに加えてまんが持ち込みも大分、心の鍛錬になった。悔しさをばねに前進する楽しさも学べた。

君の周りにも怒鳴れば何とかなると思っている人。多いのでしょ
うか？心配です。

“再帰性理論”、書こうと思っっているのですがいい切り口が見つ

からなくて困っています。

ただ、1部説明するなら、僕は君との思い出のおかげで克服できたものがいろいろある。“再帰性理論”的に言うなら、君が僕にバIASをかけたと表現していいのではないだろうか？異議を唱える人もいるかもしれない、けど、物事を上手く説明するためには多少の誤差も許容の範疇と心得ます。

例えば“物理”。中学校か小学校でこう習いませんでしたか？

水素分子とは1個の水素原子の周りを2個の電子がまわっている……、今でもそう信じている人多いと思います。間違いです。それが証拠にどんなに電子顕微鏡で拡大してもその様子を撮影することができません。電子顕微鏡は電子の反射を利用しているから電子そのものの撮影も出来るはずなのに出来ません。なぜか？じつは“電子”のような素粒子は物質でありエネルギーであり波であり、通常の物質とは異なる物です。でも“質量”つまり重さはあるのです。そして先の水素分子の話に戻りますが、正確には電子2個分の重さをもつエネルギーがとりまいていてというニュアンスの方が正しいようです。すでに80年代くらいには分かっていたはずなんです。子供に教えるにはやはり、従来通りの電子がまわっていると説明した方が分かりやすいでしょう。

高校の物理ではちゃんと正しく説明されていたと記憶しています。えーそうか？と思う人は教科書を見返してみてください、テストに出ない箇所なのでスルーされている可能性があります。

この先説明するであろう事もこれまで書いた事も多少のまちがいを含んでいるかもしれませんが、特に専門家から見れば（まあ専門家になかなわなのは仕方ないことなんです）。けど、とっかかりとして、近いイメージが得られるなら得られる利益のほうが大きいわけです。なぜなら、イメージできない不幸にくらべてはるかに良いからです。今は昔と違って話の裏を取りやすい環境がととのって

います。だから下手なことは書けないと覚悟はちゃんとしています。

この記述の目的は彼女に伝えること、励ますこと、イメージを伝えることであり、彼女の幸せを願うことです。うまく伝わればいいのですが、そう切に願います。

今日久しぶりに神社に行った、すると郵便バイクが止まっただけに配達員が腰掛けて携帯で遊んでいる。郵便局の人間が不法駐車のうち職務中サボっている姿をはじめて見た。社に近づくと「どうも」と声をかけられた。彼らなのだろうか？彼らだとしたら間抜けすぎる…、このゲーム、ルールのルールを破ったほうが負けなのだ。不法駐車で通報もできるし、日本郵政に名指しでクレームも言える。彼らだとしたら間抜けすぎる。

ただのやんちゃな兄ちゃんの可能性もある、確かめるために帰り際「ごくろうさまです」と声をかけた。無言だった、予想外だったのだろうか？ただのやんちゃな兄ちゃんなら返答があってもよさそうなものだ。（前述の怒鳴られるとスイッチが入る同様、このような状況になると急に心のスイッチが切り替わる、そういうええ君も似たところあつた気がする。）

もし、仮にそうなら脅しているつもりだろうか？あの東京での猛攻撃を経験したあとでは児童（こども）にも等しい行為、彼らがあんな間抜けなことするはずがない、たぶん、ただのバカだったんだと思う。

（これ以上の特定できるような描写は一応控えて起きます、一つ貸しです、もともと僕の目的は彼女と会うことであり、必要以上に何かをどうすることではないわけです貸しの深い意味を（そんたく）忖度する意味ってありますよね、一般論として…。ま、読んでいないのでしようが…）

あとこれは僕の仮説。新しいプレッシャーのスタイルなのだろうか？最近やたらと携帯をかけながら歩く人と出くわす。そのしぐさ

は過去のどの攻撃スタイルにも符合しない、しかし、半端なくよく見る。

符合しない符合しないと考えることで前頭葉の機能を低下させる新しい暗示だろうか？もしかして定期的にスタイルを変えるのだろうか？以前ボーダーシャツが緑のシャツに変化したのと同じように。

君が頑張っているから彼らもこんな事するのだと妄想するのがすきです。

あ、あと「キイキイおじいちゃん」がどうもこのところたくさん出沒します。この言い回しは昔「笑っていいとも」でゲストが使っていたので全国の名称だと思います、自転車のブレーキをキイキイならすおじいちゃんの名称で若者は「あんな騒音も気にならないほどボケたのか」といった意味で使います。でもタモリさんはその呼び名を知らなかった、会場のお客さんは知っていた。だから、あの程度上の年代の人はこの名称知らないのだと思います。若者がミラーの原型である「みーちゃんはーちゃん」を知らないのと同じように。

(節操なく流行物に飛びつく若者を昔は「みーちゃんはーちゃん」と呼びました、それが時代とともに変化して「ミラー」という俗語になりました。たった60年でも言葉って進化するものです。)

外の騒音も少しうるさくなりました、でも君が本当に頑張っているのなら何の問題もありません。君が頑張る続けるなら、僕も頑張る続けることが出来る。応援しています。

「男の背中が大きく見える話です」

こんな例え話。

昔、野茂投手が近鉄で干されていたのは有名な話。

野茂さんがメジャーリーグで活躍しても当時干していた人は間違いを認めない。

それはそれでいいと思う。野球人としての信念があるなら誤る必要は無い。

けど、アメリカに渡った野茂さんを干していた当時の調子で非難したら人として間違っていると思う。

そう思ったのでしょうか、沈黙されていたように記憶します。

男の背中が大きく見える話です。

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。かつして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語の登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第13話 交渉の基本ルール+その他(前書き)

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第13話 交渉の基本ルール＋その他

(この物語はフィクションです実在の人物・団体等とは一切関係ありません。)

そういえばこんな話を思い出した…

アメリカの報道で、ある田舎町の出来事。ある神父が問題行動を起こし服役することになる、その事件は子供をもつ親を震撼させる内容だった。

神父は刑期を終え、出所後どうなったか？前職に復帰した。親たちは猛抗議、やめさせると訴えるが教会側は「何が問題かわからない、なに騒いでるんだ？」と口にはしないもののそういった態度。実際いつも住民は教会には抗議以上のことが出来ずみな悔しがる…、ひと昔前のアメリカの田舎では確かにそうだった。

けど、時代は21世紀。教会側が想像だに出来なかった事態が発生し、急遽住民の意見が通る結果になった。長い交渉などなく、即決でその復職した神父は職を解かれた。何がおこったのか？一昔まえのアメリカの田舎町では考えられない行動を多くの住民がとつたのだ。教会への寄付を集団でやめたのだ。

子供に手を出す神父をかばう教会に誰が寄付などするものか！

と住民皆が同意した結果の行動だった、前代未聞の出来事に教会側はようやく事態の重要性を認識、身内を無条件にかばう悪癖はこうして是正されましたとさという報道でした、たしかCBSドキュメントだったと思う。ピーターバラカンと相方の女性が「当たり前ですよね」と言っていたのが印象的。

「交渉の基本ルール」

“交渉”ってたぶん君は苦手だと思う、交渉には実は“基本ルール”が存在する。もしかしたら書くまでもない事なのかもしれないけど、一応書きます。

まず、これはないよなーというくらい“高い要求”をあいてにします。そして、向こうが飲めないと言って来たら徐々に要求を下げていくのです。

なぜなら、おそらく向こうもありえないくらい“高い要求”をしてくるはずだからです。向こうは君がその条件を飲めないことを知っている。判っていて無茶を言うのです。だからお互い様です、君も向こうが飲めないような高い要求をすれば、互角になれる。

裁判でも、検事は最初少し高めの刑期を求刑するそうです、交渉にそなえて。

官僚も財政削減の時、本当に切られたくない予算を守るために、まずは切られてもかまわない予算を必死に守ります。そこで削減交渉をしている限り本当に守りたい予算は無事なわけです。

駆け引きにはこういう“切りしろ”と呼ばれる部分を用意しておくべきなのです。何かと使える。

今ニュースになっているビール会社の統合決裂にしても、本当の理由はサントリーの創業家を新会社から排除したいという理由だけど、それではあまりにも露骨なので、子会社の扱いをめぐり交渉が難航したとかして露骨さを隠そうとしていた。この場合の“切りしろ”は子会社になり、本当の理由を守る材料に使われた。

“交渉”事には“切りしろ”の判断が重要です。相手の要求のどこが“切りしろ”で、どこが“本当に守りたい部分”なのか見極めるのが重要です。相手の“切りしろ”が判れば、こちらもどの程度の切りしろを用意すればいいのかが判断できます。

可能ならば、最後相手の顔が立つようにするのが理想的です。逆に言えば君の顔が立つ形で言いくるめられる可能性もあるわけです。

交渉の達人はそのくらいやってのけます。

怖がらず、恐れずに、冷静に論点を分析して、状況を理解して、決して判子やサインはしてはだめだ、逆に言えばしなければどうにでも後で出来る、もって帰りじっくり考えることもできる。その場で即断してはだめだ、相手のペースになる。たとえわざわざ持ち帰らなくてもいい物でもワザとじらすためにそうすべきだ、こちらのペースを守る。

もし、別れたいという部分をもっとも守りたい要求事項なら、この要求をはるかにしのぐ要求をすればいい。ただし、最初から切るつもりではだめだ、本当に守りたい要求以上に“切りしろ”を死守しなければ効果はない、それが「交渉」の基本ルールだ。

切りしろは最終的には徐々に削られていくだろう…、でもそれが本当に守りたい部分にまで到達しては意味がない、そういう意味でも切りしろは2重3重4重5重いやもつと20重30重、ともかく重く大きい方が本体の守るべき要求を守る。

もし少しでも役に立つなら幸いです。

(この物語はフィクションです。ただし、もし読者の方に現実には弁護士を探している方がいた場合、どんな人を探せばいいのかなやむと思います。こんなサイトみつけました「あの人検索スパイシー」というサイトです(<http://spysee.jp/>)これで弁護士で検索するとかなり出てきます、知名度の高い上位のひとり下位の人のほうが現実的選択肢です、本人がだめでもいい人を紹介してもらえれば最高だしその事務所にたよるというのも手です。広告だけをたよりに探すよりはいくぶん良いのではと思いました。役に立たないかも知れないけど、何事もやってみないとわからないので)

「ここで問題となるのが…」

何とか弁護士について具体的な記述は出来ないものかと思ひ昔読んだ本を物色していると1冊あつた、あまり役に立たないかもしれないけど、役に立たないと早々に決めてしまふのもどうかと思うので一応描きます。

その本は弁護士同士の壮絶な法を駆使した戦いが書かれたノンフィクションで「のつとり弁護士」。著者であり主人公の弁護士が個人の資産を資産の持ち主たちを上手く丸め込んで我が物のように扱う悪徳弁護士との法律家としてのプライドをかけた戦いを書いた本役に立つかなと今回思つたのは最初の部分、依頼者が登場するところ。会社を顧問弁護士に乗っ取られた依頼者は最初中小企業が加盟する団体に相談した。そしてその団体の顧問弁護士をしていた主人公がたまたま彼の依頼を引き受ける事になった。

つまり、何が言いたいかという。弁護士というのは通常どこかの団体の顧問弁護士になつていて、その団体からの紹介で仕事をすると、普通の依頼人の2本柱で商売している。そして、これは僕の偏見かもしれないけど、顧問先を多く持っている弁護士のほうが有能だ。

理想としては君の悩みを受け入れてくれる公的なり私的なりの団体をみつけて、そこに弁護士を紹介して貰う方が理想的。ここで問題となるのが“彼ら”がどう出るか…、その弁護士も、相談する団体も彼らだったら…、ここはもう開き直るしかないでしょう。彼らとて表のルールは破れない、正式な仕事ならやらざる得ない、でも完全なお任せだと何をされるかわからないので注意しないと。正式な依頼にも関わらずちゃんとしなければ弁護士会などに苦情を言つてまともな人を紹介してもらふ手もある。諦めなければ何とかなると信じれば、何とかなると思う。

もしかしたら書くまでもない事なのかもしれないけど、何の確証もなく一方的にそう結論づけるのもどうかと思うので一応書きます。書いて損はないし、仮に書くまでもない事だつたとしても、君を応

援している姿勢を“君”に示せるなら、間抜けに見えてもかまわない…。

別居中、別居する旨内容証明などで相手に送り付けないと法的に別居とみなされないと言うのは以前書いた。この時内容証明郵便にすると相手が確実に受け取ったときのみその旨を証明する郵便物が帰ってくる。つまり、内容証明郵便とはうけとった時点で中身を読む責任が相手側に生じて「そんなの知らない」とバツくれる事を封じる手段です。

それから同意のもと別居していれば基本、生活費は相手に請求できます。ここはかなりシビアな駆け引きです。相手方は払いたくない場合、君に問題があり自分には何も無い事を証明しないといけない、もし君がなにか相手の問題点を指摘できる有力な何かをもつてなら十分対抗できる、なくても、それなりになにかあるように感じる、だって何もなければ逃げないと感じる。

ともかく基本、離婚するまでは夫は妻が別居していようと扶養（面倒を見る）義務が法律で定められている。仮に別居したとするなら君は生活費を請求する権利をもっている。あとは戦い次第になる。もう知っていることもかもしれないけど一応書きました。

「もちろん君がこんな目にあつてないと思いたいです」

もし仮に軟禁か監禁されていたと仮定して、仮に君が刑事事件として訴えた場合、覚書のようなものをかわして、同意のものと軟禁／監禁でしたと主張して刑事的責任を回避する方法もある。だから、不用意に書類にサインやはんこをしてはだめだ。

仮にもうしてしまったとしてもひっくり返せなくはない。日本は“意思主義”といって書類よりもその契約を交わしたときの本人の意思が大事だとする法の概念をとっている。だから、覚書かわした時点でよく理解せず同意したことを裁判所で証明できれば無効にできる。ちなみに法の世界では無効と取り消しは違う意味を持つ。

無効は最初からなかった事に出来るというもので、取り消しはキャンセルという意味です。日記などあったらいい。覚書を交わした時点での心理状況を説明する材料になる、または覚書と矛盾する行動や計画、契約書があってもいい。軟禁に同意しながら美容院の予約は入れないはずだし、旅行の計画もたてない。服の新調も不自然、友達との外出の約束も不自然、ともかく覚書と矛盾する事実を客観的に証明できればひっくり返せる、なくても主張し続ければ打開できるかもしれない。

もちろん君がこんな目にあってないと思いたいです。でも仮に少しでも役に立つなら幸いです

「これが伝わればいいのですが」

今、報道特集を見ていて思った。老人ホームに入ってちょっと公的機関に文句を言ったばかりに携帯電話を取り上げられたおじいさんの話。他の入所者から離されて孤立させ、毎朝出される食事は冷めている…、外出も手紙の投函もできない。ここまでくるともう監禁です。でも同意書を交わしているので法的な責任をかわせるらしい、とんでもない話だ。

ここで、ポイントになるのが“同意書”の存在だ。

後見人2人の同意がないと施設から退所できないというのだ。

たった1枚の書類のために自由を奪われる…、そしてこれは法的に合法です。

何がいいたいのか？これから先何かにサインなり捺印する際は本当に注意すべきです。わけもわからずするとんでもない結果になる。注意を促したいわけです。ルールギリギリの行為に関してはプ口のはず、想像もつかない手段を講じてくる可能性もあるわけですから。

先に書いたおじいさんはその後逃げ出そうとして転落死にいたっています。君は携帯なりPCなりとりあげられる状況とかあるのだから？今なのか過去なのか未来なのかわからないけど、心配しています。

「君へ」

通じるかな…

イメージします、最高の笑顔の君を。どんな逆境でも意思をつらぬく強い君を。イメージです。

そんな君ががんばっているのだから、僕もがんばらねばとイメージします。

もし、僕のこのイメージが、こういう事考えてます。というのが伝われば、なにか通じ合える、そんな思いがします。伝わっている事を祈ります。

ここは日本です、法治国家です。あきらめないで、かならず、あきらめなければなんとかなる。

彼らにも弱点はある、身内が事件を起こすのがなによりもいやなのだ。弱点は利用できる。騒動をおこしてドサクサ紛れに自らの窮状を訴える方法もある。

「それから…」

こんな事実があります。

弁護士に手付金で30万+、残りは裁判終了後、慰謝料から70万+で支払ったという女の人の話をネットで見ました。金額はケースバイケースなんでしょうが、相談しだいで色々方法があるようです。

（この小説はフィクションです、但し上記案件に興味がある方は次のアドレスに詳しく出ています。）
<http://bbs.onayamifree.com/threadreadres/117930>

「加筆します」

1月にあるという婦人部 会。欠席してしまえばいい。だめなら参加して誰かが恥をかくような事してしまっていないのではないだろうか？それもだめなら、とにかく何かしらのアピールを考えてみるのも手だと思う。いろいろ工夫次第でやれることはたくさんある。論点は参加しない事ではない、思いをアピールする事。単純なものほど効果があるし、予想外のものほど決まる確立が高いと思う。

それから別件、これは君の考えがわからないので、サポートという意味でこういうのもあるという事実だけ書きます。かつてあるTVグループを3代にわたって支配した一族がいました。メディアや新聞も支配し、所有してないのに所有するように振舞った。なんでもできる王族のように振舞った。ある日一族の息子が離婚し、子供の親権をめぐって裁判になる。一族は何億もかけた物凄い弁護士を用意し裁判に臨んだ。あるとあらゆる人脈をつかって有利になるよう工作した。それでもたった1人のなんの後ろ盾もない一市民出身の女性に負けた。親権は彼女のものになった。なぜか？

日本は男女公平がまだ未熟で、法律のあちこちに男尊女卑の形跡がある。離婚で圧倒的に女性が不利でまるで奴隷のような権利しか持っていないのもいい例。けど、男子厨房に入らずと同じ様に子供の面倒は女が見るものという差別意識のおかげで、親権争いは圧倒的に女性が有利になっている。何億かけた弁護士でもひっくり返せない。以前も同じ事少し書いた、あれから時間がたっているのでもしかしたら君の方がもっと詳しくなっているかもね。

君の正確な考えがわからないので具体的にいえないけど、この誰にもなんともできない強力な権利は使い方次第でものすごい味方をしてくれると思う。けん制にも、実際の行使にも、いろいろできると思う。

あとこれも別件、どんな頑強な人にも必ず崩れる言葉というのがあり、頑強なひとほどまさかこの言葉で自信喪失するとは…、という意外な言葉でくずれたりします。予想外ですいつも。これはわざわざかながらの僕の経験則です。頑強な人は当たり前の責め言葉には意外に強く頑強ですが予想外の言葉で崩れます。だから、くりかえしくりかえし話をしないとこの“なぞの言葉”には到達できなかったりします。睨むのも効果的だけど、同時並行に言葉も重要だと思います。根性と忍耐と平常心です。そして常に平穩を約束する自分の原点をもちコントロールする事です。

なぜ意外な言葉で崩れるかは説明できません、言葉には語意（コンテキスト＝文脈）があります。たとえば「マツク」という言葉は人によりMacをさす事もあればマクドナルドをさす場合もある。これはその人にとってのマツクのコンテキストの違いと表記できる現象です。言葉のコンテキストは人によりまちまちで、その人の心がおれる語意をもつコンテキストも人により違うからです。え？わからない？僕もコンテキストが何か正確に理解するまで3年かかりました。

赤ちゃんポストというのありましたね、ドイツ発祥でしたっけ？日本の病院が導入して問題になったやつ。あれも、日本とドイツのポストという言葉のコンテキストが違うからあんなに問題になったんです。西洋世界ではポストとは遠く離れた家族と家族をつなぐもので暖かな意味合いがあり、日本では明治の文明開化時に導入されたシステムであり無機質な意味合いをもちます。ドイツでは赤ちゃんポストは暖かな響きをもっているも日本では無機質でシステムチックに感じて反感を持つ…、とこんな感じだと思います。専門的なポストの解釈は置いといてここではコンテキストとは何かがわかれば充分と思います。同じ言葉でも育ちや文化的背景がかわると感じ方がまったく違う…。

人により育ち方やその一家の文化的背景の微妙な違いから言葉の感じ方が変わってくる。意外な言葉でその人が崩れると感じるのもそうした文化的背景の違いが理由と解釈しました、それほど間違っていないと思います。だから、いくら頑強な人でもなにか落ちる言葉があつて、それは意外な言葉だつたりします、自分ではさほど重要と思わないことをホロつと言つた瞬間崩れるとか…、言葉は重要です。(でも僕は口論は自信あるけど、君は苦手なはず、重要つて事だけ頭にいれてあとはいつもの君の通りでいいのではと思います。)

これは仮説中の仮説。もし、失踪を何度かしていて、軟禁でもされようものなら、その時は刑事事件にできる。警官はなだめると思ふけど。「私訴えます」といえば、認めざる得ない可能性もある。(もし警察が無視したら検察に訴えればいい刑事事件なら金はかからない、駄目なら法務局、弁護士、行政書士、)ちなみに、軟禁と監禁は違う。軟禁は緩やかな拘束で精神的自由が奪われた状態、監禁は自由を完全に奪われた状態。どちらも訴える事は可能で、警官は受理する職務上の義務がある。事件にするかしないかは検事が決める。刑事事件にならなくても民事で訴えられる。これは個人の権利なので、家族の問題とか関係ない。妻だからといって軟禁する権利は夫にも家族にもない。(そして訴えた事実そのものは記録にのこるので離婚時その記録は使える。以前書いたように、裁判所は書類命なので、材料となる書類は多いほどいい。)

失踪して捜索願を出されると指名手配のようになってやっかいだけど、みずから警察に出向き現住所を知らせて捜索願を取り下げる手もなくはない、当然家族は呼ばれるかもしれないけど、そこで一緒に帰る義務は未成年でもないかぎりない。(なぜなら居住先を通知したから)で、しばらくその住所にいた後また消えるなんてのも出来る。ま、“彼ら”お得意の尾行からは逃れられないのは自明の理なんだけど、ここは法的な問題として捜索願は厄介だけど、自力で解除できるよという話。

(読者の皆様に注意：これは小説です。フィクションです。ただしもし本当に類似の問題を抱えている方がいらっしゃいましたら、
<http://blogs.yahoo.co.jp/chihirorolsfamily/folder/661525.html>
に相談できる公的機関のリストがのっています。リンクされてないので名前をコピーして検索すれば41箇所もっているのだからそれなりの場所への連絡手段が見つかると思います。)

- - -
- - -
- - -

〔決意〕

組織に2面性がある、硬直化した官僚的体質と人間味あふれる温情的体質と2つあると。ぼくは、暖かい方に賭けています、そのすばらしさに。

ぼくは社会的弱者であり、偉そうな事言える立場の人間ではありません、それでも今生きていられるのは家族の支えがあればこそです。失礼を承知で言います。彼女の想い、こういう問題は礼節だけでは解決しないと誰もが感ずるところです。そしてその事を否定できる人は愛情が何かわからない人だけです。彼女の束縛からの解放と自由を願って止みません、新しい家族の支えを求めてはいけないのでしょうか？この先感動するような出来事を期待してはいけないのでしょうか？夢も希望も信じることは“罪”なのでしょうか？尊敬も真の尊敬を求めてはいけないのでしょうか？愛を信じることは邪悪なのでしょうか？人の心の輝きを信じてはいけないのでしょうか？そんなに僕は罪深いのでしょうか？真実の心を求める事はそんなに咎められる事柄なのでしょうか？

懐の深さを感じることはこの世に与えられた奇跡に入らないのでしょうか？惨めな社会的弱者は排除されるだけで奇跡を信じてはいけないのでしょうか？賭けさせてください、その暖かさに。

彼女は僕に対して「あつたかい」と言ってくれました、あれは多分温度以外の意味も含まれていたと今は感じます。同じ思いを僕も彼女に感じます、暖かさは偉大で大切なものです。賭けるべき価値のあるものと信じます。

君に何か変化があれば幸いです。君が頑張れるなら、僕も頑張れる。

これは懸念であり、仮説です。外れる事もあります。おそらく次にどうするか…、硬直化した官僚的体質の人々は人の心の良心を利用してきます。一見いい事と言っている様でも服従を強いてるだけです。どなたかこう言っていましたね、組織にいい人材がいないと…、服従に屈してはいけません。本で学びました、革命は一人一人の真の自立であり、屈服や服従ではないと、おそらく妻は夫をどう支えるか？という圧力をバイアスとしてかけてくるのでは？と思います…。もし、そんな空気を感じたら、思考停止せず、自分の考えを決して止めたりせず自分の気持ちを大切に作る強い気持ちを大切にしてください

だまされている…、そう言う人もいるでしょう、そういう人は普段からそういう発想で生活してるのだと思います、支配するためだます事が日常の人達からすれば、自らのだましに従わない人間は別のだましにかかっていると発想するからです。人はなにかしらにだまされながら生きてると無意識に思っているのではないのでしょうか？本当の革命とはそんなものじゃないと思うのは僕が若輩者だからでしょうか？

いまさらながらだけど、東京で第1話を書いたすぐ後“彼女は死んだ”とオビに書かれた文庫をもってくる人が2人くらいいた（いや確信できない人数をいれるとたくさんいた）。けど、君は死んで

ないと思う、それは確信する、なぜならもし死んでたらこんな騒ぎにならないはずだからだ。どんなあやふやな状況下でも、虚構に惑わされないよう頑張るつもりです。今は、君を待ちます。真剣に、しなやかに、折れ破損しないように。けど、君は大切な人だから、並大抵の精神力以上のものがこの場合いるんだけど。今これを読んでいてくれる事を祈ります。

あの美しい笑みを再び見れる日を信じて…。

- - - - -

〔主張〕

東京を去る日、ある人に逃げろといわれた日、帰れば君に会えると思った日、あの恐ろしい新幹線にのる前の日、最小限の荷物で飛び出そうと思い、長年親しんだ漫画を描く道具をしまった時君に会えるならもう描く理由がない、次にこの道具を使うのは10年後だろうかななどと本気で思った日、残念ながら今もう使ってる訳です…、残念極まりない現状です。

大学1年の時の最後の電話、久しぶりの電話が物凄く嬉しかったあの日、アメリカスカップが面白いとかくだらない話をしてしまったあの日、神戸屋キッチンで働いてると聞いた日、そのコスチュームの話聞いて照れた日、背が低いのにカウンター立てる？とからかったら、台に乗ってるの…と照れていた君がかわいかったあの日。もし、あの日何とかしていれば、僕は夢など追わず君との普通の生活をしていたに違いないと17年何度も空想した。君を守るためなら人生を捧げていただろうと何度も空想した。

東京で第1話を発表してまもなく、レジにマミイとかめばえといった幼児雑誌を何人も持ち込む事態が起きたことはすでに話した、皆必死の形相でかいるパニツクに見えた、訴えたいことはわかった。雑誌から年齢層がわかる。もっと多いならファミリー雑誌とかのはず、1人と思う。かなり幼い。

僕と君は同じ年齢のはず、最近まで君は1人だったのだろうか？
そんな事考えてしまいます。

某TV単独で報道していた最近の報道に男の結婚詐欺師の映像があった、見ると不快な編集のやつ。僕がこの局を注視しているのはこの小説を知ってる人は皆承知で、単独報道なのもそういうことかと思ってしまう。仮に僕の思った意図どおりなら、僕の行動を脅威と思う人がいて、でもそれは全体の意思ではなくて、そしてなにより脅威とおもわれるのは君の心がそうだからである証明のように思えて…

君はなぜか最後まで僕に嫌われるのだけは嫌がっていた…、物凄くものすごく印象的に覚えています。嫌ってしまえば楽なのに、そうはならなかった。僕もそうです。

硬直化した官僚的体質の人々は人の心の良心を利用してきます。成績主義に幹部は汚染されていると聞きました、言いがかりだと思ふ人もいるでしょうが僕の立場でそうだよなというのは関係ない人物が言うより実感があり重みが違うと思います。あの歯止めのない攻撃もその一環だったのでしょうか？組織が求心力を失ったとき敵を攻撃する事で求心力を維持する…、本当なら本来の目的でそうすべきなのに、一昔前は攻撃すべき対象に困らなかった、造反者や、敵対組織、目障りな集団がたくさんあった。でもそれらもなくなり、個人を攻撃するようになる、けど、それらすら最近はやりにくいはず、攻撃対象をさがす成果主義の硬直化した官僚主義…、そんなものの犠牲に17年前なつたわけですね。

(この物語はフィクションです実在の人物・団体等とは一切関係ありません。当然登場人物は全て架空の人物です。)

第13話 交渉の基本ルール+その他(後書き)

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第14話 バイアス説明への挑戦（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第14話 バイアス説明への挑戦

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

〔バイアス説明への挑戦〕

総合格闘技：、TVで見た特集によると始まったのはアメリカの地方ケーブルテレビ。路上でのストリートファイトを多少ルールをつけてTV放映、バカ受けしてドル箱番組になる…。

けど、テキトーなルールのため人がはもろん死者までたと記憶している、当然中止が検討された。けど、もうその頃この番組なしに成り立たなくなっていたTV局側は必死に安全性をアピール、ルールも毎回改正され、迫力と安全性のバランスのとれた絶妙なルールへと発展してゆく。

現在の総合格闘技はそうした過去の努力のおかげで（当時は）シロウトだったボブサップが参加しても死なない程度の安全性は確保された。一概に危険だからといって中止や規制や禁止してはいけないい好例になっている。

現在資本原理主義と呼ばれる手法も禁止するよう世論が動いている…、けど世の中の人の多くが「資本原理主義」という名が俗称であることを知らない、そしてこの俗称は僕の理解する限り、ジョージソロスがつけたものだ。本来は「新自由主義」とか呼ぶべきものだったと記憶している。

ソロスは一見すると新自由主義を否定しているように聞こえる、けれど実はもつとルールを整備すべきだと主張しているにすぎない。日本では何も知られてないことをいい事にソロスの批判する資本原理主義という言葉を自分たちの既得権益を守るために捻じ曲げて使っていると思う。

ルールさえ整備されれば金融工学は危険なものではない、総合格闘技がそうであるように。

バイアスについて説明するいい方法があった。

昨日から車の音が大きくないけど、なんだかいつもと違う感じである…という観察結果についてかいた。このときこの中の「大きくない」という言葉に反応したらしく今はみな大きな音出している。僕が観察結果に対して参加したことにより、観察結果が変化したことになる。と同時に彼らから見れば、観察した結果どうやらこの方法がいやらしいと判断した方法で攻撃した事により観察対象である僕に変化をあたえてしまい、本来の観察結果とは違う結果を出してしまった、音が大きくなったのはより好ましい結果が得られるように修正した結果だと思う、最初のほうが効果高いのに。これが、人は常に間違えるの意味です。観察結果に参加した時点で答えが変化します。これが再帰性理論です。…んーまだ上手く説明できてない。またリトライしてみます。

こんな説明はどうだろう？

「サラダ記念日」の作者、「めぞん一刻」の作者、あとキティーちゃんの絵を書いている人、村上春樹、これらの人の共通点は何か？
答えは滅多にメディアに姿を出さない。めんどくさい訳ではない、サリンジャーのような世捨て人な訳ではない。ただ、自分が出てくると作品のイメージが崩れると言って控えていたりする。プロです。もし仮に自分が前面に出ると、いい作品ですら正統に見られなくなってしまうと考えているわけです。自分が出ることにより、どんなバイアスがかかるか心配しているのでしょうか。

それって「評判」じゃない、なにバイアスなんてカッコつけてと
言われるかもしれない…。

評判とちがいバイアスは人がどう間違えるのかの方向付けを見る
ものです。いい作品なのに作者の顔を見た瞬間どう間違った評価を

下すのか？その方向をみるのがバイアスを予想することだと思えます。…これも、疑問点が残る説明ですね、また挑戦してみます。

本来、再帰性理論は株価を予測する目的をもっています。

株は2つの価値を持っています、その株の本当の価値と実際の価値です。需要と供給の関係から物の値段は必ず適正価格になるはずなのに、実際には大概本当の価値よりずれた価格で取引されます。なぜ、正しい価格で取引されないのか？「なぜ人は間違えるのか？、間違える理由としてなんらかのバイアスが生じて価値が歪められたと考えます。歪みの原因の多くは心理的要因です、あれが良さそうだ、これはだめそうだといった心理的要因により価値が歪められます。逆に言えばこの歪みを（バイアスを）理解すればこの先の“歪み”の変化の仕方がある程度わかる「株価が予測できる、といった感じではないでしょうか？」

普通の経済学では、物の値段は必ず最終的には適正価格になる、今、適正でないのは適正になる中途過程に過ぎないとなっています。これは現在の経済学の揺るぎない前提らしいです。

再帰性理論をと考えたジョージソロスは僕の解釈が正しいなら、物が適正価格に向かうというのは否定しないが、現在の経済学が想定している期間よりももっと時間がかかるとしています。中世ヨーロッパの大不況で歪んだ物の価値はは500年かかってようやく最適適正価格になった、そんなに長く生きられる人間はいるはず無いので、物の値段が最終的に適正価格に落ち着くことを前提に未来の値段を予測するのは間違っている、と。それよりも心理的要因（いかに誤解するか）をみて予測したほうがいいという立場…？
間違いがあるかもしれませんがこれが現在の僕の理解です。
そしてこのいかに誤解するか？という概念は物の値段だけでなく様々なものに応用できそうに思うわけです。

僕が電車の中で文庫をかざしたのも、この歪み（バイアス）をど

う手を加えたら好ましい歪み（バイアス）になるだろうと考えた結果です。

うまく伝わっただろうか？周囲が君を正しく理解しないのはこの歪みのせいです、心理的要因により歪んだ価値で見られている…。逆に言えばこの“歪み”が判れば、その“歪み”にどう手をだせばどう歪むか予測できるわけです。誤解された環境に身を沈めてしまった時にはかなり有効な手段だと思います。

“歪み”を理解するためには、自分の揺るぎない心が大切になります。この揺るぎない心と、周囲のギャップを思えば歪みの正体に迫れる、迫る際には先に説明した論点を絞り込む三段論法でギャップが生じた理由を整理すると心の負担が軽くなる。うまくいけばいいアイデアが出てこの歪みを歪み返す方法も思いつくかもしれないでも、思いついたアイデアが上手くいかなくてもよくよする必要はありません、行動したことにより歪み（バイアス）が生じて、少し前まで正しかった答えが歪んでしまったからです。でもこの行動することにより少し前まで正しかった答えが歪んでしまうというのは誰しもに平等にふりかかるルール（制約）なので問題ありません。上手くいけばもうけものくらいの気持ちでバイアスをかけるのが正しいバイアスのかけ方だと思う。

何が言いたいかというと、自分が絶対正しい場合、この方法なら勝つかはともかく負けはしないと思う。君はなにも間違っていないと思う、君の立場なら、この手段有効に使えと思う、歪まれた自分への評価がどうこの先変化するか予測できたらかなりいいと思う。仮に予測なんか出来なくてもこの事考えていれば、脳が催眠にかかるときの機能低下に陥らず理性を一定水準に保っていられる。いやむしろ予測よりそちらの方が重要かもしれない。脳が催眠にかかるほどの機能低下に陥らず理性を一定水準に保っていられる。そんな効果があります。

君がこんな話好きでないのは知っている、けど、何が役に立つか

わからないので…。

僕もまだ理解が完全でない、ニュアンスだけでもと思い書きました。もつといい説明が思いつくかもしれない、またそのうち上手く簡潔に説明できるようリトライしてみます。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

こんな事も思った、クラス替えなどで新しい環境に放り込まれた時、目の前に2人の見知らぬクラスメイトが楽しそうに話していたとする。話を聞いていれば2人の関係がわかる。けど、そこで自分が話しに加わると、それまで観察して得た2人に関する情報がほとんど役に立たなくなる事に気づく。参加したことにより3人の会話となり、リズムも話題もまったく変わってしまったのだ。それまでと同じ話題はもう展開されないうし、それまで展開されていた2人の空気は自分が加わったことで変わってしまう。つまり、参加したことでついさっきまで正しかった答えが間違ったものになってしまう。物の値段も、それまで観察していたものに自分の行動が加わると変化するので。たとえばそれが“定価”であろうとも、店側の在庫が変化するわけで、在庫と仕入れ値から見た利益率が変化する。参加したことにより状況が変化するのだ。こうして歪みは人が行動するたびに波紋のように伝わり変化します。これが、人は常に間違える理由になるわけです…、うーん、もう少しすっきり説明できればいいのだけれども…、また挑戦します。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

(別話より転載)

ちょっとばかり外がうるさくなってきました、君が頑張っている

からと信じたいところです。もし、これを書いてさらに音がうるさくなるようなら、僕の記述が事態を呼び起こした結果になります。

これを“再帰性理論”風に表現するなら、僕が状況に参加したことでバイアスが生じたと表現できます。バイアスとは観察結果に観察者が参加したことにより観察結果に変化を生じさせるものをさしています。経済学の世界ではインセンティブ（誘因）がもつとも近い類似語ですが、再帰性理論が、正当な社会／経済学から無視されている現状ではこのインセンティブとバイアスの関係を論じるのは無意味です。

正当な経済学では世の中の動きは全て説明できるとされています。再帰性理論では、観察者が状況に参加した時点で変化が生じるので永久に正しい答えに到達できないとされます。この点の違いを踏まえないと解釈を間違える恐れがあります。

え？わからない？

多分僕がまだ完全に咀嚼し切れてないからでしょう。コンテクストを理解するだけでも3年かかった、でも時間もないので可能な限りチャレンジしてみようと思います。うまい切り口が見つかって上手く説明できる日が来るかもしれない。

これを書くのとたんサブカルチャーっぽくなるので避けていたんですが、やはり、再帰性理論を説明する上でどうしても避けられない…。再帰性理論にもっとも近く、そして分かりやすい著作物はDVD「攻殻機動隊STAND ALONE COMPLEX」に出てくる“個別の複合”ではないかと思えます。大学生くらいの人にはかなり知名度がある作品なのではないかと推察します。それぞれがつながりをもたない独立した個が複合的におりなす社会現象、その着地点は複合したどの個にもわからないまま状況が進行してゆく。作中でそうした現象をSTAND ALONE COMPLEXと呼んでいます。コンセプトが近い作品に「踊る大捜査線the move 2 レインボーブリッジを封鎖せよ」の犯人像、リーダーをもたない次世代型犯罪集団というのが登場しますが、内容的

には借りてきただけのような描写で薄いものでした。内容の濃さでは「攻殻機動隊 STAND ALONE COMPLEX」にはか
ないません。

昔、田原総一郎 さんが日本のことを「頭のないクジラ」と呼びました、誰が司令塔だかわからないが巨大な力を手にしている日本という意味です。僕の解釈では田原総一郎 さんは本当に頭がないのか知りたくて仕事をしていると、どこかで読んだか聞いた気がします。STAND ALONE COMPLEXはまさにこの「頭のないクジラ」状態の現象をさしています。そしてそこでありなされる力学は再帰性理論的な要素がふんだんに盛り込まれているように感じます。

ゲーム理論とは違います。最大の違いは、ゲーム理論は現象の全てを説明しようとはしますが、再帰性理論は最初から説明を放棄しています。なぜなら「人はかならず間違える」というのがこの理論の結論の重要な要素だからです。

相変わらずわかんないこと言ってる…、と思っているのだろうか？17年前の君はそんなわけのわからない事しゃべってる余裕があるなら気づいてよといった感じだった。いま現在の僕は気づいている、今君はどう思っているのだろうか…、そうじゃなくて、こういう事聞きたいのとか思っているのだろうか？意思疎通できればいろいろな意味でいろいろ不便が解決するのですが…、そう思いました。

(この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。)

第14話 バイアス説明への挑戦（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第15話 おわらない話の理由（未来へと続く話その4） （前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第15話 おわらない話の理由（未来へと続く話その4）

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

〔月曜日…、01日目〕

4日ほど先行して…、

実際は建国記念日だったりします。Wikipediaによれば神話から建国記念日を作っているのは日本と韓国のみだそうです、あそこなんだ意外だとか思ったりします。個人的にはGHQの占領から解放された1952年4月28日のサンフランシスコ講和条約の日のほうがふさわしいと感じます。けしからんと言われるかもしれませんが、思う自由くらいあるわけで、それが戦後の文化だと思います。

神話ときいてこんな話を思い出した。

昔、TVのバラエティー系ドキュメンタリーでこんな物があった。イギリスの田舎にあるホテル、昔は領主のお屋敷で、今も続くドク口の伝説がある。昔理不尽な理由で殺された使用人がいて、その遺骸をホテルの経営者が発見。はやらないホテルだったので変わった展示物としてその遺骸のドク口を展示したらしい、すると、ドク口を見た従業員が死亡してしまう…。恐ろしくなった経営者はドク口を箱にいれ誰にも見つからない場所に隠した…。という伝説。

イギリスのある民俗学者がこの伝説について調べていると地図を発見、ドク口の場合が描かれているという。科学者でもある彼は当然オカルトなど信じない。「見たら死ぬドク口」探しが始まる。日本のTVクルーは話を聞きつけ同行取材、地元のイギリス人から哀れまれる「死ぬなよ」と。

少し離れた人の入らない森の中を地図は指す、現場へむかうその映像はまるで映画「ヴレアウィッチプロジェクト」の様。様々な目印をへて目的の場所へ、地面を掘ると本当に木箱が出てくる。箱を開けようとするときカメラを向けると、あるう事か民俗学者の教授の手が止まる。何と怖がっているのだ。見たら死ぬという暗示は有能と思われる科学者の思考をも狂わせる…、非常に印象的なシーン。箱の中身はドクロではなかった、代わりにこれを埋めたホテルの経営者のメッセージが入っている。これ以上関わるなど、そしてご親切なことに新たな地図が入っていてドクロはここにあると、かなり離れた小島が指定されていた。本気で死との葛藤をした教授とスタッフはもうここまでできたら行ってやると言わんがばかり小島を指す。

山を出て漁師町へ、ボートを借り小島をめざす。無人島だった。大小の小さな無人島が点在する地域らしい。日本にも瀬戸内海とかにそんな感じの地域があるがあんな感じだろうか。

島に上陸後地図に指定された洞窟を発見、本当に木箱があり、本当にドクロがあった。一応撮影され放送時は見たくない人は何分も見ないでくださいとTVではあまりない警告が演出された。

おもしろいのは実はここからで、ドクロを見ても死なないことが判った一行はそれを持ち帰りボートへ向かう…、しかしボートがない。悪天候で波に持ってかれたのだ。最悪なことに連絡手段がない、すぐ近くの小島と油断して遭難用の準備を一切してなかったのだ。食料など当然ない、油断した空気が一気に緊張へ転換する、のろいとはこういう事だったのか！見たら死ぬとはこういう意味だったのかと一同が思う。下手をしたら確かにそうなる。

ここで先ほどの教授が恐れを振り切るように言う。

「ここはイギリスだぞ！文明国だぞ！きつとボートを貸したおやじが帰ってこないのを心配して警察に通報してくれるに違いない。のろいで人が死ぬなんてありえない！」

1度はあんなにビビっていた教授が一堂の中で唯一まともな意見を

言う。そりゃそうだ。冷静に考えてみればその通りで、事実何時間かして警察の船が助けに来てくれた。のろいなんかで人は死なないのだ。

結局そのドクロの伝説は前経営者の客寄せ用の演出とわかる、ドクロとともに告白文が添えられていたのだ。そういえば妙に演出がかった。冷静になればそう見える。

けど、そこで教授たちが体験した葛藤はピンピン伝わってきた。このバラエティーにしとくのはもったいない出来だった。この番組覚えている人も多いのではないかと思う。

何がいいたいのか？神話や伝説は確かに面白いし、人の心にうつつたえかけるものがある。けれど冷静な判断力をも奪いかねない力も同時に持っている。

君に伝えます、冷静な判断力は大切です。いつも自分は冷静な判断力を失ってないか考えていれば、危機が来ても大丈夫なのではないかと、そう伝えられたのです。上手く伝わっただろうか…。伝えることを切に願います。

ちょっとばかり外がうるさくなってきました、君が頑張っているからと信じたいところです。もし、これを書いてさらに音がうるさくなるようなら、僕の記述が事態を呼び起こした結果になります。

これを“再帰性理論”風に表現するなら、僕が状況に参加したことでバイアスが生じたと表現できます。バイアスとは観察結果に観察者が参加したことにより観察結果に変化を生じさせるものをさしています。経済学の世界ではインセンティブ（誘因）がもつとも近い類似語ですが、再帰性理論が、正当な社会／経済学から無視されている現状ではこのインセンティブとバイアスの関係を論じるのは無意味です。

正当な経済学では世の中の動きは全て説明できるとされています。再帰性理論では、観察者が状況に参加した時点で変化が生じるので永久に正しい答えに到達できないとされます。この点の違いを踏まえないと解釈を間違える恐れがあります。

え？わからない？

多分僕がまだ完全に咀嚼し切れてないからでしょう。コンテクストを理解するだけでも3年かかった、でも時間もないので可能な限りチャレンジしてみようと思います。うまい切り口が見つかって上手く説明できる日が来るかもしれない。

これを書くのとたんサブカルチャーっぽくなるので避けていたんですが、やはり、再帰性理論を説明する上でどうしても避けられない…。再帰性理論にもっとも近く、そして分かりやすい著作物はDVD「攻殻機動隊STAND ALONE COMPLEX」に出てくる“個別の複合”ではないかと思えます。大学生くらいの人にはかなり知名度がある作品なのではないかと推察します。それぞれがつながりをもたない独立した個が複合的におりなす社会現象、その着地点は複合したどの個にもわからないまま状況が進行してゆく。作中でそうした現象をSTAND ALONE COMPLEXと呼んでいます。コンセプトが近い作品に「踊る大捜査線the move 2 レインボーブリッジを封鎖せよ」の犯人像、リーダーをもたない次世代型犯罪集団というのが登場しますが、内容的には借りてきただけのような描写で薄いものでした。内容の濃さでは「攻殻機動隊STAND ALONE COMPLEX」にはかないません。

昔、田原総一郎さんが日本のことを「頭のないクジラ」と呼びました、誰が司令塔だかわからないが巨大な力を手にしている日本という意味です。僕の解釈では田原総一郎さんは本当に頭がないのか知りたくて仕事をしていると、どこかで読んだか聞いた気がします。STAND ALONE COMPLEXはまさにこの「頭のないクジラ」状態の現象をさしています。そしてそこでありなさ

れる力学は再帰性理論的な要素がふんだんに盛り込まれているように感じます。

ゲーム理論とは違います。最大の違いは、ゲーム理論は現象の全てを説明しようとはしますが、再帰性理論は最初から説明を放棄しています。なぜなら「人はかならず間違える」というのがこの理論の結論の重要な要素だからです。

相変わらずわかんないこと言ってる…、と思っているのだろうか？17年前の君はそんなわけのわからない事しゃべってる余裕があるなら気づいてよといった感じだった。いま現在の僕は気づいている、今君はどう思っているのだろうか…、そうじゃなくて、こういう事聞きたいのとか思っているのだろうか？意思疎通できればいろいろな意味でいろいろ不便が解決するのですが…、そう思いました。

〔火曜日…、02日目〕

4日ほど先行して…、

一度ここにテトリスのくだりを書いて消したこと覚えているだろうか？あれ、なぜ消したのか？なんかやな事思い出してしまうてからだ。あの時君はボーリング場で1人テトリスをしているところに来てくれて話しかけてくれた。いつものやさしい君だった。なのに僕はテトリスに集中したくて半場無視した。話しながらゲームするのは難しい、まして一番好きな人とは。どうせすぐゲームオーバーになる、そしたら君の声に集中しよう…、そう思った。投入したいくらかのお金を惜しんで君との貴重な会話を無視した事になる…。なんか、そんな事思ったら消したくて消したくてたまらなくなった。そんな理由です。

ゲームについて考えていると彼の記憶と直結する、東京で10年以上友達していてくれた彼だ。東京に留まるようだったあいつ。今も元気だろうか？話していたことが本当なら6ヶ月前離職中だった

はず。就職どうしただろう、希望どうりクリエイター職につけただろうか？彼がゲーム好きだった。僕の知ってるゲーム知識の大半は彼から聞いたものだ。

バイオハザード2のラストは陰謀めぐらす表向きは正当な企業の悪を暴いてやる！といった最後だった。ありきたりなラストに彼は感動していた。彼は表向きは正当だが裏では悪の巨大組織を倒すという話が大好きだった。

彼も家族の話はほとんどしない、近親者の生まれつき背負い込んだ試練について聞いたくらいだ。

彼は映画「マトリックス」について印象的なことを僕に言った。主人公ネオが初めて預言者に会いに行くシーン。モーフィアスに誘われてある建物に入る。アパートだ、エレベーターの前に行くとき黒人の老人がベンチに何をしてもなく座っていてネオとモーフィアスを睨む。彼はここがいい！と言う。けど、何がどういいのか聞くと説明を避ける、いつも何事も理路整然と自分の論理を展開するくせに、説明はなかった。でも彼らの猛襲を受けた後では、無意味に睨む老人というシチュエーションに確かに僕も感じ入るものがある。気のせいだろうか？

彼はフランスのアクション映画「ドーベルマン」でも不可解に感じることを言った。神父がマジックミラーごしに仲間の男女のみだらなところを覗いて楽しむシーンがあり、彼はここがいい！というそうか？悪趣味なだけだと思うがと当時は思った。今は、ま、思い過ぎだと思う。

どうやって知り合ったか説明の出来ない人間関係を持っていた、思い違いだと思うことにする。あの長い時間が全部欺瞞とは思いたくないし。

もしかしたら…、あまり想像したくない事だけど、君もいつも一人なのにもいつも回りに誰かいた、先に書いたテトリスの時もはなれたところで他の部活のメンバーがいて凝視されたのを覚えている。

帰り際君が名指しで注意を促した事のあるあいつが僕にいった。

「さつき　さんといたろ」
非難するように…

あまり想像したくないけど、僕が高校卒業後もそうだと仮定するなら君はどうだったんだろう？と。そんな事ゲームとともに思い出した、それで、先の記述消したわけです。

あの時話しかけてきてくれて本当に嬉しかった。またそんな日があればと、そう願います。

昨日、おととい、の2日間ほどではないけど、特徴的なエンジンのふかし方をする人がやはり時折外に来るようだ。最近TVで荒れた真実の公立中学のドキュメントがやってて、問題行動を起こす生徒が授業中廊下へでて授業妨害に等しい行為をし手を焼いていると言っのを見た。学校にも慣れ受験もない中2が荒れると言っ。ほうっておくと1年も荒れだすので、何とかしないとイケない…、防犯ベルは鳴らすし、トイレにトイレットロールを詰めた上タバコで放火、奇声をあげて走り回る、そして現行犯で捕まえないとしらばっくれる？あれ、にてるなーと思った。そういえば不良とイメージの重なる職種の方がもつとも積極的にやっつてると感じるのは気のせいと思っます。たぶん。

でも今日の午後4時半ごろ来た白い日産マーチ（2代目　K11型（1992年 - 2002年モデル））は、なんか普通の中古車に見えたけど凄い重低音で1週ただけで通りに戻っつていった。いるにはいる、奇声を上げて走り回る中2みたいな行動に支配された人が、今も、現在も。けど、変化している、暗示として効果を挙げるレベルには遠く及ばない数しか来ない。けど、油断は禁物。

君の周りはどうですか？なにかいい方向に向かっつていれば良いなところからそう思っます。変化がいいほうに変化してれば嬉しいです。頑張っつて。

君に伝えます。

6ヶ月近く前かな、彼らの攻撃が始まった頃、家に男が訪ねてきて「年金について」聞いてきた、支払いはどうなってますかと。そして今日、またほぼ同じ内容を尋ねる電話が来る…、相手の身元を確認するのも面倒なので「市役所ともう支払う段取りを相談してあります」と答えると「お手元に支払い用紙ございますか？」という、あるのであると答えて終わった。

君はどう思う？僕は6ヶ月前のデジャビュで片付けようと思う、たとえ外の騒音が随分増したなと感じたとしても、こういうバイアスがかかるとこういう結果になるのだろう…、君の行動がつながっていたらいいなと妄想します。僕のマイナスポイントを改めて調べなおすバイアスがかかっているとしたら原因は君くらいしか思いつかない。君が頑張れるなら僕も頑張れます。どんな状況になろうとも世界中で必ず1人絶対裏切らない人間がいることを忘れないください。

〔水曜日…、03日目〕

4日ほど先行して…、電話で思い出した、高校時代も確かにへんな電話があった。それも帰宅した後だ、まるで、本当に君と僕が会ってないか確認していたのだろうか？話では同級生っぽい声だったと、「さとう」と名乗ったそうだが出るともう切れていた。同名の同級生に後日確認したがかけてないといった。当時からそうだったのだろうか？

電話で思い出す、君から電話が来たとき、子機の保留機能の解除の仕方がわからず苦労した。子機をもってきた家族とああでもないこうでもないと言い合う、するとどうやら最初から保留されてないらしい、電話に耳を傾けまさかと思って問いかける…。

「さん？」

少しの沈黙の後君は言った。

「全部聞こえてるよ」

面白がっている様子が伝わる。かわいい声だった。

ばつが悪い僕は平静を装う、けど、君にからかわれる感じは悪くない気分だった。くすぐったくなるような声で君は話し続ける。なんか他愛ないことを2人で話したんじゃないだろうか…、印象的なやりとりだ覚えているんじゃないだろうか？そんなこと思った。

〔木曜日…、04日目〕

4日ほど先行して…、

状況が変化しているのだろうか？冷静に考えないといけない。彼らが作戦をかえた？それも僕の記述を参考にしている可能性がある、詳しく書かないがそう思う。けど、数がすくない。手ごたえと判断したい希望をいただきます。あの無尽蔵とも思える援軍、次々にやってくる新手、そして一貫したあの感じがない。

僕ごときの書いたことをここまで真剣に分析して行動していると感じるのは初めてだ。

なのに、あの無尽蔵と感ずる戦力は感じない…

イメージとしては、最後に残った精鋭小隊が、ようやくこの時点にきて敵と真剣に向かい合うようになった。さしずめ、かつて護送船団方式で守られあぶく銭で肥え太った航空会社が、ようやくここに来て真剣になったかのようなイメージ。そこまでさせる要因は何だ？

ついさつきも面白い車を見た。23時30分、白い80年代風の角ばった大型乗用車、ホイール内全てに緑の電飾、側面には青い電飾、ナンバープレートと電飾のかな？クールにきめてる。けど、爆音はひびかせない、ぐるっと1週してまた通りへ戻ってゆくおなじみの軌跡をとる。

こんな事思った、活動に関しては活動費を必要以上にもらえる…、東京でも中3の女の子が絶対小遣い続かないほど漫画を買って行

つたのを記憶している、あの子も実はそうだと後々気づくことになる。ハニートラップのつもりだったらしい…、あんな子に何させてんだこの組織はと本気で思った。一体なんて言われて店に来ていたんだろう？この子が高校生になると、今度は別の中学生の子が同じような行動をする、でもこちらはすげーいやいややってる感全開で、自分が何やらされてるか理解しているらしい。なんだか最悪と思っただ。確かに手を出せば、社会的に抹殺される…、その辺の普通のオタクなら簡単に引つかかっていたと思う。女性を道具とみなす姿勢があると後々本で読むがなにか通じるものを感じる、あ、誤解ないように明記しますが、いくらモーシヨンかけられてもなにもしませんでしたから、手出すわけないでしょ？こっちは大人なんだし。どんなにこやかに来られてもお客さん以上になるわけない訳です、当たり前です。

昔、太平洋戦争の時、ルーズベルト大統領は実は開戦の口実がほしくてハワイを日本におそわせたかったという説がありますが、その際、まるで、襲われるための“おとり”のように偵察隊をハワイ周辺に展開させたなんて話、小林よしのりが言っていました。そんな話を連想させます。きっとおとりはほとんど何も知らないのでしょう。いざとなったら守ってもらえろと言われていたのでしょうか？最悪です。もし、ルーズベルトが本当に日本軍に襲わせる目的で自軍の部隊をおとりをしていたとしたら、たぶん、おとりを助けるなんて事しないでしょうね。

ちなみに、このルーズベルト陰謀説のポイントは戦艦アリゾナの撃沈にあります。戦艦があ程度の攻撃で沈むのはおかしく、どこかに潜水艦がいたに違いないとずっと言われ続けました。もしくはどう当たり所が悪かったらたつたあれだけの被弾で沈むのかという議論が長年されています。歴史のミステリーです。

話をもどって世の中にはその当たり前も出来ない人がいるのが実

情で、先の車にしてもそうだと思う。でも車好きにはまたとない機会かもしれない、「電飾であいつ脅すから」という理由で好きなだけ改造できる。一応1週すれば活動したことになるのでまたお金もらえるし、好きなだけ改造できる？経費を湯水のように使えるのでしょうか？

ま、東京のあれにくらべたらたいした事ないのは言うまでもないですが。

君の行動の延長戦が僕の行動の延長線上と重なっているならば、きっと2人も喜んでいるでしょう、え？誰かつて？そりやもちろん、君と僕の中にいる17年前のあの2人です。

〔金曜日：、05日目〕

4日ほど先行して…、

何が役に立つか分からないので一応書きます、どこまで通用するかも分からないけど、役に立たないと決め付けるのもいけないので…

口論の類でもし、自分よりはるかに理論派で頭も切れる人と対峙した時、早々に「負け」だと思うのは早計だ。

仮に口論の果て負けたとしよう、その時点では双方ヒートアップしているはずだ。すでに勝敗が決していてもなかなか口論は終われない、相手は勝利を確信するために（あるいは満足感を得るために、こつした満足感をカタストロフィーというそうです。）駄目押しとばかりに「攻め」つつけることがある。実はここに勝機が眠っている可能性がある。

相手は勝ったと油断して（わずかながらどうしても人はそうなる）饒舌じやうじやになる。しゃべっていて気持ちいいらしく余計なことまでしゃべる、その時、もし揚げ足を取れるようなミスをしてくれたら儲けものだ、先ほどの敗北を挽回できる、最悪イーブンにもっていける。そして頭の回転が早い人ほどの油断がみてとれる。だから、例えば「負け」たと思ってもパニックにならず冷静に話を聞いて分析して

いると相手の落ち度に気づくこともある。

逆に言うところらが勝ったと確信した後が一番やばい、油断して揚げ足をとられる可能性がある。パニックになったら一気に逆転されかねない、パニックにならないよう心がけることも重要だ。話し合いの間に休憩を入れると言うのが一般に行われるが、あれは頭を冷やしたいと思ったほうが「休憩にしましょう」とか提案しがちだ。話し合いにおいて最後まで冷静に油断せず、パニックにならないのが大切だ。

こんな事書いていたらこんな映画思い出した。「ミリオンダラーベイビー」。主人公は30近いウエイトレスの女性、ふとしたきっかけからボクシングを始める。今まで一度も人生で輝いたことがない、だからやりたいというのが動機。トレーナーも渋るが情熱に押される、次第に強くなっていき頭角をあらわす。トレーナーの男が言う「リングに上がったらもう助けてやれない、自分の身は自分で守るしかない」当たり前だがきつい言葉、主人公の女性がかみ締める。

ボクサーとして大成しつつある彼女、ある日反則で名高い相手と対戦することになる。トレーナーは言う「リングに上がったらもう助けてやれない、自分の身は自分で守れ」

試合は彼女の優勢で進む、勝ちを確信する主人公、だがその時事故が起る。

反則王の相手が、ゴングが鳴り休憩に入った後、主人公の女性を殴った。ふいをつかれ転倒する主人公、運悪くトレーナーが差し出そうとしていたイスの角に脳を直撃してしまい半身不随になってしまう、一生ベットの上的生活になる。

「ごめんなさい、自分の身は自分で守れって言われていたのに…」
この後の展開については賛否の分かれるところだと思う、書きたくはない、悲しい終わり方をする。彼女が人生でたった1度にしろ

輝いた事を賞賛する映画であると同時に、そのラストは間違っている。どんなことになるうとも人生は諦めたものの負けなのだと主人公のラストを否定するようなオチが最後までまっている。考え深い映画です。

何が言いたいのか？油断禁物です、分かっているても、油断は気づかずやってくる。僕も人に偉そうな事言える身分ではありませんが、伝えなければいけない事だと思いました。これが伝わっていることを切に願います。頑張ってください。

そういえばこんな事思い出した、東京にいたとき、部屋の上から電気ドリルを使っている音、床で直に使っているらしく天上からすごい音、鈍感なことにそれが攻撃だとは長い間気がつかなかった。

ある日突然配水管の工事といわれ取り替えられた、しきりに工事の人が心配そうに排水溝のふたについて念を押す。あとで、ラジオで知った。u字型の配水管がただの一直線にパイプになってると下水のおいさがすぐくなる、まさかと思ってみるとu字パイプからそうでないものになっていた。長い間気がつかなかったのは鼻が悪いせいだ、なるほど洗濯物につく匂いの原因はこれかと思う。誰の仕事かは知ってるし、そういえば、いややめておこう、それなりに世話になった。けど、理由なく正確が180度ころころ変わるのは今なら納得する。

今も近所で何やら工作機械の音？そういえばここに帰ってきた最初の頃、同じ方向からキューーンという電ノコの音がずっとしていた、ま、偶然でしょう。ここにきたとき、いのしし除けなのかな？時々なるドンドンという花火のような音が聞いたことないくらい近くから鳴っていたけど、あれも偶然でしょう。山道を歩いていると見上げる崖の上から立小便の音、かかりはしないがこちらをめぐがけてやっていると思うのは気のせいでしょう、世の中そんな人間の（削除）で（削除）で（削除）で（削除）な人間はいないと思います。（あなたが想像する該当する言葉を削除のところに当てはめてくだ

さい)

いや、書いたそばから冷静でないこと書いた気がする…

午前中出かけたけど、何も違和感を感じなかった、今この部屋にいるときだけ感じる違和感、いつもと違うというかこの条件に当てはまるものは限定される…。

今、近所でうるさい車は遠くから遠征で来ている可能性がある。遠くといってもナンバープレートの地域名が同じ範囲で、遠くから来ている。近所なら、もうちょっと何かあってもよさそうだ。間隔も全然以前と違う…、もちろん相変わらずな人もいるのだろうけど、勤労感謝の日以前の状況との違いの説明の一端にはなる。あの時は多分近所組みと遠征組みがいたんだと思う、そういえば以前よく見たバイク2人乗りカッブルを見なくなった。何か違うバイアスが生じた結果だと思う、皆がこんなに情報提供をしてくれるのだから冷静に考えないと…。

以前書いたと思う、人は相手を非難するとき自分が一番言われたくない事を言っつて相手を非難する。だから、非難された時はその言葉ををじっくり聞いて「ああ、この人はこんな風なこといわれるのが一番傷つく人なのね」と思えばいいとかいたと思う。相手の行動から内面を読み取ったほうが何倍も得なのだ。

皆の行動から何かが起こっているのは感じる。どの程度今の僕の推測が当たっているのか今度あったとき話そうと思う、確認したいので、どの程度あっているのか。そう思った。

正直毎回何書くか悩むけどこのところ楽です、ネタが黙っていてもやってくる。

〔土曜日…、06日〕

4日ほど先行して…、

僕はもともと虫歯にならない体質だった、けど、今は違う。以前にも書いた。正直これを治療したらまた1つ君とのつながりを失うようで嫌なのでよほどのことがない限り歯医者へはいかない。辛い痛くもなんともないし、生活に支障はない。今のところ。何の問題もないです。

歯で思い出した、楽器を吹くとき親知らずが出てくると痛くて演奏しづらい…。先に親知らずが出てきたのは僕のほうだった、たぶんもうパートが3人で固定されていた時期だと思う。音楽室でそのことを君に話したと思う、あまりリアクションのない様子だったと記憶している。関心がないわけではないのは知っている、どう返したらいいのか分からず笑顔の君。

けど、そのうち、僕の親知らずが落ち着いた頃今度は君のほうがりそうになった。くわしいやり取りは思い出せない、たぶん、こんな感じだったと思う。

まず君が僕に以前話していた親知らずのことを言う、僕が、ああ言ってた、けど、もう直ったよとか言ったらと記憶している。すると君が、

「今度は私になったの」

とはにかみながら言う、かわいかった。

「痛いでしょ？」

と、僕は言ったと思う、ようやくあの時の痛みの理解者が出来て楽しくなった。君はうなずいて同意した。

この後の記憶がハッキリしない…。君は「こんなに痛いとは思わなかった」とか言ったんじゃないかな？あのかわいい様子は映像として覚えているけどセリフまではハッキリしない。

「演奏できる？」と僕は訊いた気がする…。もし、覚えていたらこの続きどうだったか教えてもらえれば…。そんな事妄想します。

17年前の僕が僕に言います、頼むから歯の治療はやめてくれと、現在の僕はこう言って彼をなだめます。彼女からもらった虫歯はなにも悪さをしない、だから、心配する必要はない。科学的根拠のな

い発言ですが、事実まったく痛くないのです。これまでも、今も。

〔日曜日…、07日目〕

4日ほど先行して…、実際には水曜日だったりします。

よくあるテクニクに会話を装ってネガティブな言葉を僕にぶつけるというものがある、気がつかないものもあつたのかもしれないけど最も印象的に覚えているものは秋葉原で僕の後ろでデブ2人組みが話していた時の事だ。駅の近く、横断歩道の近くの歩道を歩いていると、聞き取れない会話をしている2人組みの男がいる、突然会話の音のボリュームが上がって言葉が耳に入る、内容としては結婚できるわけないだろ、というものだった。偶然？確認する方法はたつた1つ、2人は真後ろを歩いている。僕は突然止まった、当然ぶつかる、こういうとき普通はある何すんだ的リアクションがあると思うがゼロだった、ちゃんと「すみません」と言ったのにリアクションゼロ、まるで空気のように無視された。いくら秋葉原といつてもこのリアクションは不自然だった。

この手の経験はかなり多数ある、けど印象的なものに絞ることにする。

勤労感謝の日以後、東京に行った日、やはり池袋で「死んじやえばいいのに」という言葉がふいに飛び込んでくる、サラリーマンが2人で話していてその会話の一部が飛び込んできたものだ。ちょうど、あの猛襲がやんで。何ヶ月かぶりに感じた脅威のない東京での出来事だった。皆なりを潜めていた、あのサラリーマンの言葉はなりを潜める彼らの本音だったのだろうか？それ以外はほとんど脅威を感じなかった、あれなら東京に戻ってもよかったかもしれない…。

そして今日「だめなものはだめよ」という会話の声飛び込んできた。ああ、またか、いや偶然という事にしようとそのときは思った。たとえその2人が小さな子を抱いていて、イメージとしては母と婿のような2人だと感じたことを考慮に入れても。

希望的観測は判断をゆるがす。

ここ数日ヘリがよく飛んでいる、けど、前みたく家の真上を通過したりはしない。けど回数が頻繁。みると民間ヘリっぽい。あのヘリを管理する担当部署に1人でも彼らが混ざっていれば不可能ではないよな…、自衛隊と違い民間では航路に制限でもあるのかなー、だから、真上に来れないから回数でカバーしてるのかなーと妄想したりします。

今の僕はともかく出来る限りのことをするのみです。やれる事は全部やらないと君に申し訳がない。正直こんな方法でしか報いる手段がないのが現状です。とにかく、自分のペースを守って、ペースを作って、君の事を想い続けようと思います。

借りの話です、爆笑問題の田中さんは離婚に1ヶ月かかったと言っていた様な気がします、僕の記憶でも最短で1ヶ月なんてどっかで読んだ気がします…、ま、借りの話です。

君が頑張れるなら、僕も頑張り続けることが出来ます。応援しています。

〔月曜日…、08日目〕

4日ほど先行して…、

心配なのは君の優しさだ…、ふとそう思った。この手の戦いに慣れてないとどんな不測の事態が起こるかわからない。話し合いは“生の感情”のぶつかり合いになる。君は慣れていまい。いつでも「待つ」スタンスを君は好むから、“生の感情”に弱いはずだ。

誰かに“生の感情”をぶつけられた時はどうするのか？方法はある。

まず、「生の感情」をぶつけられたことで「怒り」や「不安」を感じたときは？自分に言っただけで聞かせるのだ、おちつけ…、おちつけ…、と。こういうとき何かにすがりつきたくなる、けど、崩れたら最後一気に入らなみかけられて負けてしまう。この時ものすごく不安なのはわかる、僕はこういう時こう考えてた「お前は　　さんに告白したろ、あの時の恐怖を思い出せ、今はあのときよりつらいか？辛くない筈だ、彼女に告白したときのあのプレッシャーに比べたら、なんてことはない」

またはこう考えた。

「漫画を編集部に持っていったときの恐怖に比べて今感じるこれはどうだ？プロの編集者に自分の全人生を否定される恐怖に比べたらこんなものたいたしたものじゃない、相手を見るだだをこねてるだけじゃないか？プロ意識を持って」

と、こう自問自答することで乗り越えた。今ではちよつとやそつとでは動じない。

君に心の支えがあるなら、あるいは自分の根つことなるような心があるなら、譲れない何かがあるなら、つらいけど乗り越えられる。僕に出来て君の出来ない理由はない。この世で僕が口げんかで負かすことの出来なかつた唯一の人が君なんだから、君は強い人です、自分で思っている以上に。

あと、こんな事思った。

僕の収入関係を調べられているのだろうか？年金の件といい、相手はこんなやつよくらうに言われているのだろうか？潤沢とはいかなくても、君とあと1人くらいなら多分何とかなるんじゃないかと思っ。

かないだニュースで見た。高校までの子供の教育費全て公立だと500万、私立なら1000万…、車3台から5台分くらいなら、

何とかなるように思う。僕を監視している人なら知っていると、物質的な贅沢らしい贅沢しないので、切り詰めれば何とかなると思う。なにも考えてないわけではない、それだけでも君に伝えます。

〔火曜日…、09日目〕

4日ほど先行して…、

もし仮に、あくまで可能性の1つとして、相手にしてさえくれない場合。(というかこれが一番容易に想像できる、東京での彼の姿を思い返すと“取り付く島(暇)もない”感じ)なんかありそうで嫌な感じがする…。

3年かけて崩せなかった彼の顔を一瞬崩せたことが何度かある、けど、僕はバイトで向こうは経営サイドの人間、遠慮もあった。関わりたくなかったし、1度真正面からぶつかったことがなくはないが、あそこまで話の筋がかみ合わない人間に初めて遭遇して面くらった。TVドラマで人格のおかしい悪役って登場するけど、あそこまでひどいのはTVですら見ない、というか企画会議の段階で無しになるくらいありえなかった。まるでむくれた小学生のよう。こちらを人間と認識してないからこそ出来る芸当だと思う。

あんなの切り崩せない…、いや、当時は何も真実に気づいてなかったから、今なら何とかかなると思う。

おそらくこちらを本当に“人間だと思ってない”からあんな態度がとれるのだ。

以前こんな話を読んだことがある、第2次大戦中、東南アジアにあった捕虜収容所、日本兵がたくさん捕まっている。大人しい捕虜は雑用として所長室の掃除を担当する、すると所長の奥さんがその日本兵がいる前で着替えだす。本気で人間と認識してなくて奴隷以下、猿くらいにしか思っていないらしい、猿の前なら確かに裸になっても恥ずかしくない。その日本兵は当然、誘惑されることもなく掃

除が終わるまで仕事をした。

だから、もし仮に、仮にだけど、僕が経験したように人間と見られないような態度をとられたら、こちらが“人間”であることを自覚させた段階で勝てると思う。たぶん崩れる。

たぶん打たれ弱い、確信する。たぶん1人では（彼らの行動は）なにもできない。正面きって文句も言えないから裏から手をまわして町から追い出そうとするわけだし。修羅場の1つも経験してないように感じる。だから、たぶん、一番単純な方法に弱いはずだ。

例えば、今現在の僕が東京での彼をやりこめるとしたら、菓子折りでももって謝りに行く、上下関係のない今なら言いたい放題いえるから真正面に向かい合いさえすれば負ける気がしない。で、至極まっとうな要求をする「前職の雇い主からの推薦状を書いてください」と、書くはずはない、それでいい。もう一度会う口実さえ出来れば内容はなんでもいいのだ。向こうは会いたくない筈。何度での出向く、その内別の人間に対応を任せることになると思う、その人には悪いけどその人を通じて何度も要求する。

それでも書かないと思う、で、ここぞとばかりに「労働基準監督局」相談する？

…経験則にもとづいてないから、いけると確信がないな。

けど、思いつく限りの事をやってみれば答えにたどり着けるかもしれない。そちらの状況がわからないから具体的な事はいえない。思いつくことをやり続けるしかない。

東京で何千人から睨まれた日、最初は気のせいと思うことにした、でもためだった、間違はなく皆がこちらを見る。次に相手の目を見ないことにした、するとにや付いて後ろから僕の顔を覗き込んでく

るおじさんがいる。110番もしたが相手にされなかった。防犯パトロールの責任者に電話したこともあった、どれもこれもだめで死にそうだった。でも、世の中には理解できない状況には何か必ず欠けた情報があるに違いないと思い必死にネットで答えを探した。あとは以前書いたとおり、彼らの存在を知り、君のセリフを思い出し、一瞬で過去の記憶が正しい形になった。泣いた。

答えは多分単純なものがいいのだと思う、おそらく相手は打たれ弱い、一番打たれ弱いのが誰かと考えれば攻略できるかもしれない…、いや、そんな姑息な事考えなくていいと思う。相手は打たれ弱い、確信する。プレッシャー合戦だと思えばいい、君のプレッシャーはそう簡単に打ち破れる類のものではない。

思いつく限りのことをやるしかない、向こうの心が折れるまで。団結している人間ほど1人折れると一気に折れる、そう思う。もし、にげたなら、こっちに来ればいい…、(でも搜索願出されると僕が誘拐犯にされてしまう…、1度出された搜索願の解除の仕方は以前書いた、その際友人宅に泊まります、とすれば誘拐罪は成立しない? いや、法は運用者の解釈しだい、危ない橋には違いない。やつぱ来ないほうがいいかもしれない)

ま、あせらず待ち続けます。

いろいろホントはやることもたくさんあるし、こちらも頑張ります。無理せず、限界に達しすぎるとこっちが崩れてしまう…、余裕をもって、ペースをつくって、ペースを守って。

確実にいえるのは、別居はできる。生活費も請求できる。母親なら子供を連れ出しても何も文句を言われなし、生活費とは別に養育費も請求できる。

夫婦間の財産として、婦人のみが使用する物に関しては持ち出そ

うが処分しようが自由のはず。

化粧品、アクセサリ、服、ペット、子供の身の回りのもの、自分だけの車、あとドレッサーのような家具もいけるはず。

払ってもらえない生活費や養育費の足しに家具を処分しても大丈夫だと思う、かりに訴えられたとしても夫婦間の財産は共有だから損害賠償という概念が成立しないはず（あ、でも実行する前に専門家の確認をとってね。）

以前書いた毎回離婚届を渡すというのもいけると思う。

ごんごん（本来は漢字で3文字最後の字は“尊”）、一家に1つはあると聞く。別居先に持ってきてきちゃえば？持っていく理由は“ない”という事実で目を覚ますかもしれない。わからないけど。

僕も以前、よく漫画のアシスタントなぜやらないの？と言われた。まだ準備が出来てないと感じた。だからやらなかった。事実足手まといにしかならなかったかもしれない。得意なことと苦手なことの差が激しすぎたし、自分の書きたいものを追及しなかった。たぶん人に説明してもうまく理解してもらえないと思う。アシスタントに応募しても無駄だ何て思ったりした。いい作品を1つ書いた方がはるかに近道だところ考えてた。けど、今にして思うと、可能性があるなら可能性を試したほうがよかったのかもしれない…。そんな事も思う。わからない、どれが正解だったか。でも、おもしろい作品を描こうと勉強したことは意外な形で今役に立っている…。君を理解したい思いもあつて勉強したことが今意外に使えるものだなと思えるようになってきている。

何が言いたいのかというと、何が幸いするかわからない。自分がつぶれない範囲で挑戦するのは悪くないと思う。相当つらいかもしれない、けど、君なら出来ると思う。君は強い人です、いつまでも味方である人間がいることを君の中にある17年前の彼女に問いかけてください。もし、まだ答えが返ってくるようなら、まだいけません、大丈夫です。

子供を盾にするのは…君に愛情がかけてないならいけるのかも
れない。

（ 読者の方々へ、この物語はフィクションです。このような悲劇
は架空の話でなければありません。）

〔水曜日…、10日目〕

5日ほど先行して…、

これは仮説、仮の話。

いままで書いた方法とはちがうもの…、ま、仮説ですので。

いままでどうり、むこうののぞむままの生活をする。

生活をしているのだ、君を必要とする場面もいくつか登場するだ
ろう

例えば風呂をわかす？入れ終わり、何人が入った段階で要求項目
をいう、無視されたらまだ入っていない人がいてもお湯をぬいてし
まう？

これは仮定の話です、相手が話し合いにすら無視を決め込む場合、
この場合まず、話し合うという状況を作り出す必要がある。

よく、インターネットの無料サイトで、無料のサービスは回線も
おそく、回数も制限があり、有料会員になればもつと快適にサービ
スを受けられるというのがある。韓国のパンドラTVなんかが代表
例だと思う。こういう無料サービスで儲けるスタイルを「フリーミ
ア（フリー＋プレミア）」というらしい。

快適なはずなサービスのわずかなイライラを解消するサービスで
儲けるビジネスモデル、利用者全体の15%が有料会員になれば利
益が得る？などと聞いた気がする。ないはずの需要を掘り起こすビ
ジネスモデルだ。

“ ないはずの需要を掘り起こすビジネスモデル ” ？

聞く気のないはずの人の“聞く気”を掘り起こすのに応用できないだろうか？

現実のリアルワールドで行われているビジネスモデル、単なる思い付きよりは参考になると思う。

わずかながらのイライラを生活の中で演出する…、

そのわずかなイライラを解消するため何かアクションをすることを思う。つらいかな…君の性格では。こんな事言われそうだ。

「そんな事ができる性格ならとづくにやってたわ」とかね。

僕だっと思ってつくことの全てが実行できるならこんな現状になつてない、けど、項目を列挙し続けてゆけばかならず実行可能な案に遭遇する。いけると思う案に遭遇する。今の僕に出来るのはとにかくたくさんの“案”を提案するだけだ、大半は実行できないものかもしれない、けど、たくさん書けばなかにはいけるアイデアも出るかもしれない。そう思う。今のところ君から何も言われていないから続けます。

なにかまた思いついたら書きます。あきらめたら負けです。

そうそう、前述した悪質なものは無理でも、「いつも置いてある場所にあるものを別の場所に動かす」だけでもイライラつてするものです。そんなささいなものでもいいのかもしれない。特にその家中で全てを仕切っている人ほど、家の中のわずかな変化にイライラしたりする。

…？あれ、このテクニク彼らのものに似てるな…。東京でいた彼もワザと自転車の鍵を戻さなかったり、いすを元に戻さなかったり、別の彼は生産後カードの機械の設定をワザと毎回精算モードのまま放置するとかやってたっけ。当時は本気で「うわ、ダメ人間だ、おもしろーい」くらいに思っていたけど、今にして思うとそういう

事だったのかもしれない…。だとしたら、この方法“実効性”の意味では実証済みかもしれない。僕は「ダメな人間」って見るの大好きといか好感をもってるから効かなかったけど、普通はもつとイライラするのでしょうか、たぶん。

〔木曜日…、11日目〕

5日ほど先行して…、

そうそう肝心なこと書き忘れた…。戦う上でもっとも大切なこと。人間なにか不満があるとその原因を誰かのせいにする。

これは人間の“脳”が理性を維持しようとする防衛機能で誰の脳にもおこることらしい。

むかし、アメリカで禁酒法が行われてお酒が禁止されていた時代。あるイタリア料理の料理人が料理にお酒を使ったといって逮捕された。

彼は逮捕され、刑務所に行き、出所後、レストランに復職するのだが、精神的にどうしても立ち直れない。単に運が悪かっただけでは納得できず、自分を責め続け仕事も手に付かない…。

当時ちょうど草創期だった心理学の医者がかれの治療をするが、どれも上手くいかなかった。そこである医者が大胆な方法を取る。

「警察の最高トップの所為にしなさい」とあきらかな濡れ衣を進めたのだ。

本来禁酒法はアメリカのキリスト教保守が禁欲的生活の具現化を目指して作ったもので、当時の政権は支持母体の関係で作らざる得なかったと聞く。大衆の無知とエゴが原因なのだが、そんな抽象的なものではこの料理人の心は休まらなかった。そこで医師は彼によりイメージしやすい3人の顔写真を提示した。

「あなたを貶めたのはこの3人です。」と。

その3人は警察のトップ3人の顔写真だった、彼はなにかに取り

付かれたように写真の3人を恨みだす。ちょうど彼を逮捕したのも警察だし、そのトップ3人とならばうらみも転嫁しやすかったのでしょう。

おどろくのはここからで、この3人を恨みだしたとたん仕事に付くようになる。

つまり、この3人を恨むことで混乱していた理性が統率を取り戻したのだ。

あとは、この料理人の理性が完全に元に戻った時点で、それが濡れ衣であり、問題は政治にあることを時間をかけて納得させれば、彼の理性は完全に元に戻る。

つまり、人が混乱した理性を統率させるために「誰かをうらむ」というのは物凄く効き目があるのだ。

もし、収集が付かないほどの怒りや混乱に襲われたら誰かの所為にする、けど、それは便宜上そうしているだけで混乱がおさまったら恨みを解除する…、そうすれば自分をコントロールできる。東京で実際やっていった方法です。なかなか使えません。

逆に自分に物凄い敵意をぶつけてくる人にあつたら「あ、この人は自分を恨むことで理性を維持しているんだ」と思えば納得できる、納得できればこちらが混乱することも防げる。整合性のない怒りを感じたらそう思えばいい。普通に接し続ければ向こうも冷静さを取り戻す。

彼らの猛攻撃の渦中では僕はこう考えた、目の前でやってる人はやらされているのだ、どこかにバイアス（ゆがみ）を生じさせているやつがいる…、便宜上そいつを恨むことで理性を維持できる。幹部の皆さんごめんなさい、今後とも当面悪役でお願いします。

こういう便宜上誰かを恨んで理性を保つのを「適応規制」と呼ぶそうです。千里眼シリーズの角川版新シリーズの最初の頃に出ていると思う。何かの参考になれば…。

黒塗りのタクシー、不自然なルートで住宅地を徘徊、ナンバーは緑のプレートに3-3…、いますねまだまだ。こちらが顔を出すと急に大人しくなる、さっきまでうるさかったのに、できれば反対側に抜ける道いけばいいのに元のとこ戻るように見えるから徘徊になるんです。こんな住宅地で客が拾えらなくても思っているのでしょうか？そういう営業方針なのか会社に問い合わせもできませんね。

年賀状の件、他にも送った人が何人かいる、実家に送ったのにそれぞれみな本人の所に届き返事がもらえた。返事をもらえなかったのは君だけになる。やはり、何かあるんだと思う。理解できない状況の前には必ずかけた情報が存在する。

〔金曜日…、12日目〕

6日ほど先行して…、

藤田まことさんが亡くなったそうで…、残念です。これで「剣客商売」も終わってしまうのでしょうか…。友人が友を惜しむ映像など見ると複雑な気持ちになります。自分の場合はたぶん誰もいまい…。そう思う。せめて君くらいはそんな事になったら葬式に来てほしいなと、そんなこと思った。

一度は死を覚悟した。君のためなら散るのも悪くないと本気で思った。いや、…君と会うまでは弱音をはかない、これは弱音ではなく覚悟の問題だ。君の存在は命をかけても惜しくない、本気でそう感じる日が現実にあった。まるでドラマみたい。

君はうそみたくかわいかった、君と一緒に歩いているとまるでドラマの中の1シーンのように感じた。デジャビュだった、17年

たち似た思いがした。

これを書いていた今も住宅街には似つかわないうバイクの轟き、ちよつどの部屋のちかくで空ぶかしをドロンドロンと長くやりさつてゆく。君のためなら永遠に戦おうと思う。あまり長くいびつて寝た子をこれ以上起こしたらどうしようとか考える頭脳が無い連中がまだまだいるようです。どうせ責任をとるのは自分でない、それより目先の報告書何とかしなきゃと思つているのでしよう。官僚主義、こんなもののために僕らは17年前あんな目にあつたのでしようか？ごめん気づくのが遅くなつて。やつと気がついた。

まだ時間はたつぷりある、いろんな手もつてる。そう思う。君が頑張り続ける限りぼくも頑張り続ける。会つたら旅行へ行こう。日のある場所ですらどうと手をつないで歩こう。たつたこれだけのことですらできなかつた、会つのはいつも暗がりばかりだつた、もうそこそそする必要はない。他人の犠牲の下の幸せが是とされる連中に文句をいう資格は無い。

君が頑張るのなら、僕ももう少し君に見られても恥ずかしくない生き方をしなければ。君が本当に頑張つていゝなら、僕も本当に頑張らなきやと…

17年前の君は今も僕の中にいます、そのことを許してくださいか？僕はいつだつてそうした、君に必ずきいた。今は答えが聞けない、いつか聞ける日を信じます。持久戦なら負けません、向こうが僕を認めるまで、そうしない限り帰つてこないと思つたりする。認められれば、これ以上波風起こす気がないし、君が帰つて来やすいと思う。だいが先かもしれない…、持久戦なら負けません。

ラジオで今聞いたのだが、姨捨山あはせをベースに作られた1958年の映画「ながやま榎山節考せいかう」の中には時々耳にする昔の日本の因習が描かれていゝという。昔の日本の田舎では数少ない女性を多くの男性で

共有したという因習…、そういうえば「夜這い」って言葉がいぶん昔から日本語として存在しますね、こういう因習でもなければ頻繁には使用用途がないと思うのは気のせいですが。この21世紀日本にいくら「伝統と文化」といえどもこんな因習ないですよ、普通に考えると。そう、ありえませんが、絶滅した概念です。本当よかつた現代に生まれて。皆さんそう思いますよね、これを読んでいるであろう人すべて例外なく。君はどう思うのか…、まぢます、聞けるかもしれないその日を。

〔土曜日…、13日目〕

7日ほど先行して…、

今、松田聖子と神田正輝の結婚秘話を聞いている、ラジオで、なんだか悲しくなる。

18歳の時、松田聖子は最愛の人にあつたそうだが、そう証言するのは当時2人の中を裏で支えていた人。今爆笑問題のラジオに出て昭和秘話として話してる。

2人は25になったら一緒になるつもりがマスコミにもれる…

松田聖子の両親は大反対、相手は引退を望んでおり、会社も辞めて彼女を支える家族の手前、わがままを言えない松田聖子。傷心の彼女を支えたのが神田正輝だった。彼は彼女の引退などもとめなかつた、家族も神田正輝支持した、石原プロまでバックアップにはいる。

彼女の望みは家族が最愛の人を認めてくれること、けど、あれよあれよと時間が流れ諦めてしまう。本当は結婚したいのに家族のためにあきらめたわけだ。どうも話を聞くと付き合った期間も短期間でそれでいて相当好きあつていたらしい…。のちのち神田正輝と別れたのも何だか納得する。

将来、松田聖子と郷ひろみが結婚するんじゃないかと言われ続けているのもなんだかうなずける。けど、そうならないのはおそらく松田聖子が両親を大事にしているからだろう、それ以外有力な障害

用件が思いつかない。けど、周囲がそういう雰囲気になったらそうなるのかもしれない。

僕がこれをここに書く意味があるのかどうか憶測を出さないけど、長い目で見れば、最初の選択に戻るのが結局いい様に見える、けど、当事者には当事者にしかわからない事情があるのかもしれない。けど、この話から連想するのは、結局よく言われるあの言葉だ。「幸せは待ってるだけじゃやってこない」。周囲が許してくれるまで、薦めてくれるまで待っていたら、結局……。うん、「幸せは待ってるだけじゃやってこない」、誰が最初に言ったか知らないけど、なるほどそうかもしれないと思った。

「わかってるわよそんな事」とか言われそうだ。そんな時、当時の僕は戸惑っていつも笑顔で君に問いかけた「怒ったの?」って、ホント鈍感だった。君はしばらくうつむき、感情を整理してから、また僕を受け入れてくれた。(感情を爆発させた事もあったけど、まればだった) そんなやり取り、昨日のように思い出します。君の中にいる17年前の彼女が当時どう感じていたのか聞きたいと、僕の中にいる17年前の鈍感な彼が言っています。

今日は正しくは日曜日です、先ほど夜空をみたら富士山の左方向に月が見えました。上が欠けたやつです、君もどこかで同じ月をみていたらいいななどと思いました。

翌朝10時5分、緑の幌で荷台を覆った大型トラック、明らかな建築関係の車、やはり、ぐるっと1週してもとの道路へもどってゆく、まったく目的の不明な軌道。運転の練習でもないかぎりそんな動きはしない、そして物凄いブレーキ音。いる、まだ。人材なるとかなのか、それとも似たような原理主義者部隊がいるのか、そんな感じの朝です、いつもの光景。

なんかこれは、一応書いておくべき事かもしれない…

何気なく第2話を読み返した、もし会ったら、アガサクリステイ
ーよりも完璧なトリックを使って離島へでも逃げ込む、とあるが。
あれは東京脱出前の記述だ。あの時は本気で確かにそう思っていた。
けど、いまは考えを変えて、もっと安全で確実に合法的な手段で会
いたいと思っている、そうでなければまた日のあたらなところ
でこそそする羽目になる、もうごめんだあんなの。

24時間監視されるのも慣れてみるとそう悪くない、気が引き締
まる思いだ。慣れてしまえばどうという事もない、盗聴？されてい
た可能性は物凄い高い、第一PC監視してなきゃこんなマイナーサ
イトの片隅に書かれた小説が短期で広がるはずもなく。だいはず
かしいものもみられたとおもつがなんだか吹っ切れた。いくらでも
のぞけばいい（こういう事かくと本気になる人格破綻者が実際いた
りするが、なんだかそれすらもう慣れた）。

たぶん再会してもそうなのかもしれない…。それでも、堂々とし
ていたい、なにも悪いことしてないんだし。

今は会ったらすぐ君を搔っ攫ったりはしない。

今は堂々と再会したいと思っっています。

君が頑張れるなら、僕も頑張れる。

〔日曜日…、14日目〕

6日ほど先行して…、

今、世間はトヨタのリコール問題で騒いでいる…

家の近所でちょっと正常っぽくない音を出している車をビデオ撮
りしてメーカーにこれが正常な作動音なのか確認してもらおう…、い
や、海外のサイトにのせる…、いや、平行して両方…、さて、8ミ
リはある。アナログからのキャプチャーもある、機材はあるのでじ
つはその気になればいつでも出来る、あ、でもリコール問題が沸騰
している今がベストなんだろうか…、そんな張ったりです。でも機
材は本当に今手の届く範囲に全部あったりします。手持ちの機材か

ら夢見る…

ま、そうは言っても観察対象がゼロも困るのですが。昨日よりうるさいですね。

あ、ちがうな、これは、あれと同じだ。3回鳴らすやつ。

布団をはたくのも3回、剪定せんていばさみもチヨキンチヨキンチヨキンと3回、ボールをつくのも3回と同じというか同系のテクニクだ。ブツ、ブツ、ブオーンとみなやつてる…それかー、ああ、やっとわかった。まだまだ気づくことありますね、おくが不快（奥が深い）暗示のテクニク…。

そういえば生活騒音も3回を近所の皆さんが止めたおかげで布団をたたく音もまったく気になりませんね…、そうか、音のだししかたか、今もブオー、ブツ、ブオー、で3回だ。なるほど、お見事です。ほめてあげます。あと出し抜けにグオーとやるのと無意味にクラクションを鳴らすのも音のタイミングとしては似てますね。この条件で観察すれば一般の人とそうでない人の区別がつくのでしょうか？今度チャレンジしてみます。

昔、高校時代カチカチカチペンで音を出していたら教師に怒られたことがある、人間は規則的な無意味な音を不快に感じるという性質を利用してあるわけだ。最初にこの規則的な音に気づいたのは東京で線路の整備でハンマーを振るう音が3回だったこと、近くの意地悪なおばあさんの剪定バサミの3回の音、電車内で音を立てながら電卓を打つ人（そもそもなぜ電卓で電卓？）それからPDAと思われる端末を3回リズムでうつ女の人、そしてこれが間違いないと確信したのはこちらに来てから隣家から聞こえる剪定バサミの音が3回なのと布団をたたく音と、ボールを突く音。そういえば（削除）おばさんも3回で…いや、あれは偶然です。（削除）ではありません。

ああ！さらに分かった！あの無意味に繰り返すトラックやタクシ―など、進入して1回、バックで車を横にして1回、反対方向に抜けて1回で計3回エンジンを鳴らせる！！どーしてどいつもこいつ

も“切り返し”なんて無意味なことやるのか不思議だったけどそゆー事かー！ああ、全部つじつまが合う、なんだか納得、納得した。なるほど、なんか長いこと思っていた疑問の1つが解けた瞬間って楽しいですね。これは間違いない、これで普通の人と区別が出来る。理解しました。

いや、まだ思い当たることがある、どうして1週してもとの通りに戻るなんて無意味な軌道で走るのか、この軌道で走行するためには坂を駆け上がるのに1回、1つ目の角を曲がるのに1回、2つ目の角を曲がるのに1回で計3回エンジンを吹かせる！それが証拠に本当はもう1つ角があるのにそこではエンジン音が普通だ！あと郵便バイクが不自然な動きをするのも（最近はしてないけど）3回エンジン音とブレーキ音を鳴らすためにタイミングをとった結果だ。一定のリズムで刻まないと規則的なリズムが刻めないから1件当たり時間に時間をかけられないからだ、だから同じ道を行ったり来たり、ついさつきも3回刻む車、なるほど、まだまだあきらめてないわけですね。持久戦です。

今、面白いことに気づいた。今トラックが結構でかい音で通過したけど惰性で走行したおかげでエンジンは2回しかふかさなかつた。音量はけっこうあるのにちっとも不快に感じない、暗示だ、間違いない。本当におくが深いですね。でもこのテクニクの弱点は、タネに気づくと一気に効果が薄れるところなのです、以前500円玉にタバコを貫通させる手品がありました、500円玉を加工していた業者が通貨偽造で捕まり加工された500円玉が公開されたことにより、この手品一気に面白くもなんともなくなりました、いくらマジシャンが巧みに演出しても面白がるのはタネを知らない幼い子ぐらいになったわけです。そんな感じです。

そして、これを書いてから車が来ない…、

就職難しそうです、だから、そのことに関してはそちらにもいく

ばくか責任があるのでそれをネタに僕を非難するのは人として、いや男として腐った根性の男のやることなのです。(本当は“人として最悪です”と書こうと思いましたが変更しました、想定される相手に応じて言葉をかえる…、これがコンテキストを考慮するということです。)

すみません、終わりにしようと思ったけどまだ思い当たることがある。

あの頭や鼻に手をやってごしごしやるのも3回だったりしません？耳に手をやる時も3回、小学生とかおじいさんがおでこから後頭部、そしておでこへ手をやる動作も3動作、スカートやズボンのすそをバタバタやるのも3回だったような気がする。カッソーンカッソーンカッソーンと規則的足音をならすのも3回だったような気がする。これに加えて破裂音1回というのも暗示になってます？ガチャーンという金属音、ボタンとでかい音で車のドアをしめる(連続でドアが閉まる音を聞いたことがない)、これと連動してクラクション1回とエンジンを遠くで1発でかくふかす…。規則的な無意味な音3回と、でかい破裂音1回、この2つが音でプレッシャーをかける基本というわけですね！、うわー誰かに教えたい…、でもせっかく手にしたカード、切りしろととして大切にさしていただきます。これ知りたい人全国にたくさんいますね。

あと遠くでかなりのエンジン音響かしているあれもずーっとエンジン鳴らしてるわけじゃなく、定期的にアクセル緩めてる、遠いのでハッキリしないけど3回+ くらいに聞こえる、反響とかも混ざってることを考慮するとあれもそうですね。いや、ひっかかっているものが取れました。と、いう事はまだまだ暗示のテクニクはあるという事ですね。

ちよっと指摘するとすぐやめてしまう人たちは理由も知らされずに「ともかく3回！」とか指導されていたのでしよう、でなければ

ちよつと反撃した程度で止める理由がわからない。おそらく、彼女もこの事は知らない？そう仮定します。

君に伝えます、僕は今、久しぶりにホントにリラックスしています。自覚できないプレッシャーに随分長くさらされていたのでしよう、おそらくこの小説に車のエンジン音がどうか書いていた頃から今日までずっと。久しぶりの安堵感です。

君に伝えます、仮定として残酷な話だけど、君は僕よりも長期間この手のストレスにさらされていた可能性がある。相当心も萎縮している可能性も高い、そうであつて欲しくないけど、可能性があるのなら伝えないといけない。僕もつい3時間ほど前まで自分がこんなに暗示にかかっていたと気がつかなかった。もしかしたら君も自覚できない暗示にかかっている可能性がある。だから、今度は、僕が君に暗示をかけます。彼らは規則的な無意味なアクションを3回と破裂音1回を定期的に連続して君に聞かせ続けてきました、これまでも今もずっと長い期間…、でももう終わりです、僕はそれを見破ったおかげでもう平気です、もし、また彼らが君にこの手を使う気配を感じたら、もうばれた手品をやつてるかわいそうな人と思つてください、もし、この程度ではまだ気が落ち着かない、そう感じたら、こう思つてください、この世にたった1人だけの味方がどうかいつかしてくれる、それまでの期間我慢すればいい、インドレスじゃない、期限付きなら、モチベーションが違つてしょ？

こんな逆暗示が取り越し苦労であつたらと心のそこから思っています。もし、間違つていたとしても君を心配している事がちゃんと伝わりさえするなら僕は嬉しいです。

いまも聞こえない程度1回入れて計3回で通過した車がいた、けど、分かれるとなんだか全然違う。相手の顔が見えるというか、意思がわかるというか…、そういうのが見えてくると不思議と怖くなくなる、人間理解できないから怖くなるのであつて、理解さえ出来て

しまえばそうたいした事ないという事だと思つ、例えて言うなら暗がりでは怖いお化け屋敷のお化けも、明るい照明の下ではたいした事ないので同じだ。

なんかこんな事思ひ出した。

別のところでも書いたけど、ある後輩が使つた「カン！」と物凄い音が出る楽器を僕に向けてつかつて耳の鼓膜を直撃されたことがある。鼓膜に圧力のかかつた空気が直撃し、しゃがみこむ僕、想像以上に心配する君。そして君はその楽器を使った後輩をあの目でみた、部内にいる彼らを見るときの目だ。覚えてる。あの行為も、破裂音1発を聞かせる行為だったのか…、うわ、優しくして損したぶん殴つときゃよかつたのに、わかればいいんだ気をつけるよとか言つちやつた、もつたいない…、今度会つたら殴るはずいけど絶対なんかおごらせる。会えばだけど。

2人で神社から出て少し歩いているとこの後輩が自転車で目の前を通過した。

君は物凄いでどうようして、明日絶対捕まえて口止めしてよといつになく真剣に食い下がつた。あんな君の姿は滅多に…、いや滅多どころかあのときぐらいな気がする。慌てふためく君なんてあの時くらいだ。

高校時代もストレスにさらされ意味なくなみだ目になった、仲良くしていた友人からもクラスがかわると空気のように無視された。音に関しては規則的な音3回は記憶にないけど、破裂音1回に関しては随分該当する記憶がある。廊下では針のむしろだった記憶も確かにある。かなり人生影響されてるわけだ。それは君も同じか…。そう思うと気が楽になる。そんな事思つた。

これで僕にかかるものが消えればいいのだけど。障害が消えれば、連絡はとれるのだろうか。敵になる気はないと理解されただろうか。立場ある人が徳を示せばそれは強力なバイアスとなつてよどんだ空

気がいれかわるんだけど、そんな奇跡は神のみぞ知る希望かもしれない。僕は祈るのみです、君との再会を。

じつはこんな事も思った、うちの近所に来る灯油の移動販売の車のかける音楽、あれも特徴的なタン、タン、タンというパートをくり返す…、ここに来る廃品回収の車も3拍刻む調子のアナウズだ（一応もと吹奏楽部なので…）、「左へまがります」とコールしながらウインカーを出すトラックも毎回例外なく3回だ！そして肝心なところだが、この仕掛けはタネを知っている人間には通じない…、つまりご近所のそれ相応の方々には効き目が無いわけだ。完璧…。あとは犬のけしかけ方とか判れば完璧ですね。

東京でよく見たケータイを勢いよくバチンと閉めるあれも破裂音1回の暗示な訳だったんですね。

電車の警笛をよく聞かされたのもこれが…

そして規則的な音3回という暗示はただのへりの飛行音も類似の3拍子（バババの繰り返しに聞こえる〃いや聞こえるように暗示されてる…）からあれすら不快に感じる…。ホントよく出来てますね。

くやしいですか？

でも人生のほとんどをもう破壊したじゃないですか？

まだたりないんですか？

こたえをおまちします。

せめてかのじよに会うくらいゆめはかなえたいです。

〔月曜日…、15日目〕

6日ほど先行して…、
彼女に語りかけます。

もし、(削除)

あ、あと別件。彼らはこんな攻め方もする、してもない約束をしたと言いつ張り「お前がいいだしたんだぞなぜ来なかった」とこちらが悪いように装う手口。

それから、他の人にはわかりやすく話すのに、こちらと話す時だけワザとわかりにくく説明するというのがある。知らないし「他の人は皆この人の話理解してるみたいだから理解できない自分が悪いんだ」と思い込んでしまう、自信喪失暗示の一形態です。僕は長年自分をバカだと思つてて論点整理の方法をマスターしてから急に理解力が上がった。そしてこの暗示攻撃を受けたときも論点整理の思考術があつたおかげで相手がいかに論点をはぐらかして説明しているのが理解できた。ひよっとして長年知らないうちにこの暗示を受けていて自分がバカだと思ひ込まされていた可能性がある。ま、ともかく、こんな攻撃もあります。知つてるのと、知らないのとは、大分違う。

それから、ネズミに気をつけて。確信はないけど。17年前に一度、そして東京で5度以上室内に入られてる、まさかと思うけどやりかねない。ねずみ用の対策グッズ用意しとくのもいいかも。

つらいかもしれない、声をかけられたらと本当に思います。すべて間違つていてくれたらと思わなくはないけど、可能性がある以上続けたいといけない。君に報いるためにも。君の中にいる17年前の君が望み続ける限り戦おうと思います。そう思った。

最近1度体験入社した会社で、帰り際ものすごくあーでもないこーでもない商品にいろいろお客さんが来ました、あれを見て「まさか…」と思いましたが、そんな事ないですよ。

ついさつき警察官の訪問、チラシを配っているそうだし、このタ
イミングで？生まれて初めてこの家に警官が訪ねてきたのが今日？
もう一度冤罪ではめる気だろうか…、だとすると事件に巻き込まれ
る誰かがいるわけで、最悪です。そちら風の言い方だと…やめとき
ます。まだやってもないことで糾弾するのは本物のバカがやること
ですし。では、すでに起こったことから…そこから救済というのは
どうでしょうか。理想的です。

僕は信じています、組織にはもう一つの顔があると。慈悲深く、
優しく、平和と協調をなによりも大切にし助け合いの精神を大切
にする。そんなもう一つの顔を、今まで見てきた攻撃分と同等と
までいかなくてもほんの少しでも見ることに（体験すること）ができ
たら…、とにかくそれはそこに存在するわけだから、こちらとあと
彼女に向けられたら…、それで全て丸く収まるように思うのは気の
せいでしょうか。これが正しく伝わることを祈ります。

〔火曜日…、16日目〕

7日ほど先行して…、本当は前日の日付と同じ日です。

いままで漠然と体験してきた違和感がすべて一本の糸でつながつ
たわけで、もし、またあの感覚、説明の付かない違和感に遭遇した
ら、そこには何らかの“暗示”が隠されていて、観察を繰り返せば
仕掛けにたどりつけるのだなと思います。あの違和感はなんども体
験したので体が覚えてしまいました。あの感覚は気のせいではなく
ちゃんと意味があつたんですね。体得しました、たぶん。

そして今も、まるで自分は違うんだと主張するかのような音で2
回エンジンを鳴らして通りすぎていった、その他生活騒音も今日に
限ってしない。ばれたら恥ずかしいと思うなら最初からやらなきや
いいのと思うと同時に、ああ、羞恥心はまだあるわけでもよかつた
理解できる人たちだとも思ったりします。

この感覚は時間とともに萎えてゆくのは確実で、とりあえず冴え

てるうちに外に出てみた。

驚くのはまず交通量。いつも渋滞のルートがそうでもない、普通道行く人の中でこの“感覚”が訴える違和感はやはり年配者からしかうけない。白い手袋、白いマスクってだけでなく、そうでない格好をしている人からも、気のせいでしょうか？それに出会う頻度も今日は高い。けど、明らかにガンを飛ばす人は1人だけだった。

幼い子をつれた年配者も高い頻度であう、なんの暗示だろう、やはり、これもいつか答えが出るのだろうか？子供が怖くなる暗示？そんな事件ありましたね、でも危険にさらしてまでそんな暗示かけるだろうか？以前書きました、中学生の女の子をおとりにした話、同系の暗示だとしたら一体どんな気持ちでのお年よりは子供をつれて歩いているのでしょうか？そういえば、例外なく「当たりくじだけは引きたくない」って顔しているのは思い込みでしょうか？例え今勘が冴えていたとしても……。当たっていたときの事を想像したくありません、

何かで読みました。集会のときなどは子供たちの都合より自分たちのスケジュールを優先する男性グループ。これは単純に経験談なのですが、高校時代国体で演奏するブラスバンドに参加したことがあります。県内から物凄い数の吹奏楽部員が動員されました。その時県から衣装とタオルを支給されたのですがかなりの粗悪品。けど教職員はけっこういい品質のものが支給されました。似た現象はそのちらの世界にもあるのでしょうか？口では「子供第一」といつておきながら実際は「自分たちの都合優先」なんてことが。もし、この県に割合として多く存在するならその性格が国体ときの教職員たちのふるまいにも出ている可能性も考えられますが憶測をえません。

ただ「未来をないがしろにしている」という話はネットで見ました。

この憶測がああ小さな子供をつれて歩く年配者の「当たり前くじだけは引きたくない」って顔と連動してないことを祈ります。

こんな事も思い出しました、東京で、あの中学生の子がレジで買い物をしていつもの笑顔で去ってゆくとき、近くで立ち読みするおばさんが心配のまなざしでその子を目で追っている光景、何度か見えています、普通この場合僕のほうを怪訝な顔で見るのが正当な反応のはず、知り合いなのかな…なんだろう？と思ったことを印象的な記憶として覚えています。

〔水曜日…、17日目〕

8日ほど先行して…、本当は前日の日付と同じ日です。

(削除)

ともかく状況がわからない、だからこれを載せません。何かの役に立てば幸いです。

〔水曜日…、17日目〕

7日ほど先行して…、

前日かいた記述を読み返してこんなこと思った。

僕は東京で君の事に気づいてすぐ、君の氏名や生年月日を示したメモを渡して、もし君がそうなら彼女のこと調べられないか？と聞いた。この事は何度か書いている。

想像する…

おそらくそのメモの内容は即座に“本部”に問い合わせられた、驚くことにぴたりと該当する人物がヒットした。君の居住地地域の地元幹部に指令がいく「この女性に確認せよ、本当にこの男と昔付き合ったことがあるのか？」と。地元幹部はすぐさま 員を君の家に派遣する。

君は訪問者から僕の名を聞き驚く、その顔は17年たった今でも想像できる…、さぞ驚いたでしょう。さらに訪問者はこう続けた、僕が17年前の秘密に“今”ようやく気づいたという事実を。おそらく訪問者はそれがさほど重要な情報と思わなかったでしょう。君は聞いて絶句したと思う、なんだかどんなりアクションしたか手に取るように想像できる、書くとき減りそうだが、貴重なイメージだ、君と2人だけで共有したい、会えたら語ろう。

訪問は玄関先だったのだろうか？それとも居間だったのだろうか？この辺から不確定要素がふえイメージが捕らえられなくなる、分岐が多すぎてトレースできない。本当にこの後君は失踪したのだろうか？状況証拠の全てがそう告げているのだが。そうなら、どんな想いだったのか…、すると君は僕の行動の詳細は判らない訳だ、噂話レベルでしか知ることができない？この小説は読んでいるのだろうか？携帯電話からも読めるそうだし、今時携帯くらいはもってそうだし、大丈夫かな…、まだ不確定要素があるのかもかもしれない、今回の答えだけでは欠けたピースが全て埋まるようには感じない、全身からそう警告が出ている。僕がそんな事思っていると君に伝わることを祈ります。これを読んで君の中にいる17年前のあの僕のよく知る彼女が君に何を言うのか、ものすごく物凄く知りたいです。

〔木曜日…、18日目〕

8日ほど先行して…、

おそらく今行動しているのは地元幹部に（心理的）距離の近い人たち、もしくは本部と（心理的）距離の近い人たちなんですよね。そういった近所で印象的な記憶が、ここから一番近い橋での事、頻繁にいる交通指導員？いつもしかめっ面なのに、高校生くらいの制服の男子が近づくと物凄い笑顔で「おお、どうしてた」みたいな事を言う姿を見た、高校生は迷惑そうにお茶を濁して返答、そんな

光景。連想します、このおじさんが 員で家庭訪問の係りだとしたら、なんかこの光景の状態を個人情報を除く全てをあますことなく説明できるけどそうなのだろうか…。

あのすわりこむ年配者も頻繁に見ますね、年配者は地元幹部とパイプが深いのでしょうか？あの年代の方の悩みに交際費が大変というのを聞いたことがある、それほど頻繁に交際費が必要ならつながらりも深そうですね、今も低周波のようアクセルコントロールした車がつうかしました。この行為に一番距離の近い世代という解釈もできますね、すくなくとも他の世代よりは距離が近いわけですし、子供をしかるときとか自分が恥ずかしくなることはないのでしょうか…、羞恥心のない人格ってどうもリアリティーなくってイメージ出来ないのですが。

〔金曜日…、19日目〕

9日ほど先行して…、前にも1度書きましたがこれは小説ですのて便宜上日付で区切ります、その方がのちのち読みやすいので。

最初ここへ戻ってきたとき子供の遊び声がものすごかった、その中には例の3回つくボールの音もまじっていた、頭ごなしにはしかりたくない、僕自身むかし怒鳴られたことがあり大人の理不尽を感じたものだ。バイアスを利用して静かにしてもらうことに成功しようだ、詳しくは書かない。今でも思い出したように時々来るが気にはならない。

来るときは大概高校生か中学生くらいの男の子が率いるような感じになっているようだ、もし、彼もそうならと考えると目頭が熱くなる、あのぐらいの年代で 的活動…、どうしても17年前の記憶と重なりあの記憶がよみがえり当時の気分ひたれる。悪い気分かと思いきやそうでもない、君の思い出が出てくるからだ、たまになら来ても文句はないなと思ったりする。

君は当時言った、

「私変な人と付き合わないか周りから見られてるの」

今にしてみれば確信的な一言なのだが、当時のぼくは、そりゃ前つきあってたのが（削除）じゃしょうがないよなどと勝手に納得してしまっていた、あれは、君からのヒントだったのだろうか…。
はにかんで笑顔で僕の表情を確認するように覗き込みながら君は言っていた、物凄くかわいかった。

あれは音楽室と廊下をつなぐ短い通路というか、そういう空間あったと思うけど、あそこで交わされた会話だ。ちょうど神社で会い始めた前後くらいじゃなかるうか？

当時僕はこう思ったものだ、（削除）と付き合うのは確かに問題アリだけど、僕となら何の問題もないだろ？よかったよかった。と。じつは問題大有りだったわけだ。悲しいかな当時の僕に教えてやりたい。

ネットに面白いものがあつた、本部から派遣されたある人がこの近辺のある地区に派遣された話で、内部の人が書いているブログだから物凄いいリアル、その地区の幹部が（削除）むちゃくちゃやって、よほど本部と強力なコネでも持つてるみたい。その本部から来た人は（この方は僕の存在に気づいてませんね、メールの返事をもらえました）孤軍奮闘されてるようです（継続記述予定あり）

当時たぶん君は家に訪ねて来る 員に、部外者（僕）との交際を糾弾され恐怖していたのが絵として浮かぶ。そんな中僕と会うことがどれほど大変だったか、その1/何万かもしれないけど触れた感じがします。ごめん気づけなくて、やさしくできなかつた甘えるばかりで。待ちます連絡を。

〔土曜日…、20日目〕

9日ほど先行して…、

この波紋が君の周辺まで届いているならうれしい。

これは雑談です。

物にはデッドラインがある、この線はいつもの線とは違う、飛び込んだら今までと違うルールが存在する。そんなデッドライン。

話題は変わります。（急に自作の童話を作りたくなりました）

Aさんは10発殴った。Aさんは以外に感じてもう止めようと感じた。

Bさんは3発殴っていた。あと7発ぶんの貸しがある、でもAさんが止めようと言うなら続けるより止めたほうがはるかに建設的だと感じた。けど7発ぶんの貸しは殴るのは違う形で何とかして欲しいと思った。Bさんには独特のこだわりがあり、それを7発の代わりに欲しいと言った。

Aさんはたくさんいろいろすることができるので、けっこう手間はかかったけど、それを7発のかわりにBさんにあげて手打ちにした。

これで恨みつこなしで無かったことにしよう。もともと接点の無いので、平和は簡単にやってきた

Aさんはすこし警戒していました、ああは言ってもBのやつまた殴りかかる気じゃあるまいなど、そこでしばらくBさんの様子を見かかいました、Bさんは7発の代わりに手にしたそれをたいそう大事にして幸せそうに暮らしていました、Aさんはその後もしばしばBさんの様子を見ましたがその様子に変化はなく、少し安心しました。おわり。

（あんまし、面白くないですね。やっぱり僕は漫画描いてないとダメな様です。）

こんな事思い出した。

あれは最初のデートの時の事だ、北口で待ち合わせて、先に着いた僕は切符を2枚買った、1枚を君に渡すために、君は来た。本当に着てくれたので信じられなかった、最初君はこう言ったと思う。

「けっこうまともな格好してきたのね（笑顔）」

バカにしていたわけでないのはわかる、学校での野暮ったいイメージしか知らないわけだし、身だしなみは今にいたっても得意とは言いがたい。

「なにそれ」

と、僕はすねたんじゃないだろうか？なぜなら現在の僕ならそうするからだ。

「うっん（ちゃんとした格好なんで驚いた）」

といったリアクションだったよーな気がする、間違っていたら今度会った時教えて欲しい。

この後あらかじめ買ってあった切符を1枚君に渡したんだと思う。

なにが言いたいのかと言うと、野暮かもしれないけど、期待以上だった事って意外とあると、こう言いたかった訳です。

僕は君が望む世界が実現する事を何よりも願います、君が頑張るつづけるなら、僕も頑張る続ける。応援しています、何かあると君の中にある17年前の君とは随分色々話した、今度は現在の君と話したい気分です、君は僕の中にある17年前の僕をどう思っているのだろう…、最低でもそれだけは知りたいと思っています。

原点回帰…

最近またあの“空き地”に行つて見た、ここはまだ気づかれてないようだ。2人で並んでよく座ったあそこだ。未だに家も建たず空き地のままだ。あのへビが出て君が驚いたところ。

あのへビが出た日の出来事は多分君からのお礼なんだと長年ずっと思ってきた。君は言葉や物ではなく意思を行動で相手に伝える人

だ。そこがなんともかわいらしくて好きだった。

僕が人にやきもちを焼くなんて経験をしたのも君が初めてだった、何も知らなかったあの頃という前提で一番印象的に覚えているやきもちも、君が口に氷を含んでいたときだ。

理由は忘れた、水泳で口の中がどうにかなっていて、それを顧問に相談したら職員用の冷蔵庫から氷をだしてくれたのだと説明された。強烈に覚えている嫉妬の記憶。君ははにかんで照れていた。当時はいまいち判らなかつた君のこのリアクション、見るたびに判らなかつた。今は少しわかる。

人から心配されたり構われたり、特にそれが打算抜きの善意だったときの幸福感……。それがうれしいという時、君はああいう顔をすめるのではないかと……。そんな事、今思います。合っているのか確かめたいです。奇跡を信じます。

〔日曜日…、21日目〕

10日ほど先行して…、

今回の件でそちらの世界の行動力学を少し理解した。なるほどそういう事かと、そしてこう思った。迷惑かけたかもしれない……。けど、それは避けて通れない道だと思う。

「コンバトラーV」昔の合体ロボットアニメ。異星人の開発業者から地球を守る話…

もし「コンバトラーV」の劇中で、主人公の乗る1号機が戦闘を中止しても、中止した瞬間分離状態になってしまった2〜5号機はおのの判断で敵を攻撃し続ける。敵の怪獣はせっかく大人しくなったのにまた地球の破壊をします。

1号機の主人公は「せっかく殺さずに済んだのにしかたがない」と地球を守るため再びドッキングの指令を出す。

1号機〜5号機は合体しコンバトラーVとなって怪獣に止めを刺す…。

そして1号機の主人公は思う「地球を守るためには仕方が無かったんだ、許してくれ」と。

怪獣はどうすればよかったのだろうか？だまって2〜5号機の攻撃に耐えていればよかったのだろうか？

分離中の各マシンの攻撃力はたいした事無い、耐えられなくは無

い。
けど、ドッキングした後の「コンバトラーV」の破壊力は強力だ。

1号機の放つ帰還指令を2〜5号機は無視して怪獣を攻撃している訳だがいつまでも指令機である1号機を無視も出来ない。というか2〜5号機は1号機の考えを変えさせたくて怪獣を攻撃している訳だ。あばれてさえくれれば1号機はドッキング指令を出すに違いない、こいつが大人しくしてるとか関係ない、気に食わないから攻撃したい、けどとどめをさすには火力が足りない、ドッキングしないと、ああ、はやく暴れてくれないかなこの怪獣…。本来禁止された攻撃をするという行為は麻薬となって2〜5号機のパイロットを支配する。

この場合怪獣はドッキング指令を1号機が出す気が無い事を確信できないと不幸だ。相手全部が敵に見える。ま、それはいい、重要な問題ではない。では何が重要？

要点は…

分離中の各マシンの攻撃力はたいした事無い、耐えられなくは無

い。
怪獣は意外に強い、相手の武器弾薬がつきるまでテキトーにあし

らってればよかったのだ。無理してコンバトラーVとの死闘をする必要はない。そこに怪獣が気づけるか気づけないかがその後の運命の分かれ道だ。

この怪獣は意外に強い、けど、他にもやりたい事がたくさんある。だから、テキトーにあしらえる敵のほうがいいのだ、わずらわしいと言って無理して攻撃すると1号機が戻ってきてコンバトラーVになっちゃおう。

え？何の話かって？タイトルくらい知ってるでしょ？僕と君は同年。幼稚園くらいの頃よく見ていたTVアニメ「コンバトラーV」について話ってみました。何とも関係ありません。

こちらはマニアックな合体アニメの話。

「勇者王ガオガイガー」の氷龍と炎龍は合体前は間逆の性格をしているがいざシンメトリカルドッキングをしたら超竜人という別人格のロボットになる。ロボットのくせに人格があるのだ、この辺が昔のアニメと違う。

合体中2体のロボットの意識が消えるわけではない、お互いの人格をどう思っているのだろう…、そういう説明は劇中になかった。ただ、地球を守るといふあつい心は共通していて、だからドッキング前と後でも見えていて違和感を感じないいい演出がされていた。

え？もちろんアニメの話、めずらしくこういう話もいいかなあと
思ってる…。

僕は東京で最高潮の攻撃を知っているし、相手が組織立っているかそうでないかも見て判るようになった。今は組織立ってない。テキトーにあしらってみようと思う、いままで100%かまい過ぎていたかもしれない。行動力学がすこし見えてきた、本当にどこまでも自分の都合優先なんだね。きみをこんな世界にいさせたくない。なぜ僕ごときに好意をもってくれたのか見えてきた。何よりも君の

意思を尊重する僕、大人しくてかわいい君、どこまでの自分の都合優先の男たち…、

たぶん、どこまでも相手が折れることはない。あるとしたら捨てゼリフをのこして罵倒しながら（去る）君をせせら笑う事だけだろう。だから、その日を信じてこれを通過儀礼と思うしかない、正義や理屈じゃないものだ。僕はこの通過儀礼を君のために耐えてみようと思う、それならなにも問題が無いから。

たぶんこの通過儀礼をおそれる心が強力なバイアスとなって波を放っている。

たしかに1人では怖いかもしれない

けど2人なら違う。

たぶんだけど、17年前君が僕に望んだ事とはこういう事だったのではないだろうか？

今こそ豚は戦うわけだ、あの日気づけなかった想いを君にちゃんと返すためにも。

デットラインを超えたら今までと違うルールが待っている。けど、そこに足を踏み込まないと会えない。どちらが躊躇してもあえない、踏み出すなら一緒にいいな、そんな妄想が好きです。

君がラインの向こう側からやってくるのを待ちます。僕も新しいルールが本物か毎日確認してみます。本物なら、僕もラインをこえた事になると思う。お互いの行き着く先が交差している事を確信します、ここから。君が勇気をばくにくれた、君はどうですか？聞きたいです。

以前「天空の城ラピュタ」を初めて見たときフラップターの音がハエの飛ぶ音と同じで物凄く不快に感じた、けどビデオでなんども

見ているうちに慣れてしまい不快感は無くなってしまった。あれと同じだと思う。同じ経験は君もしてないだろうか？…あ、この話一度したね、きみは「そうそう」とかいつて同意していた。覚えてないかも、僕も今まで忘れてた、めずらしく嫌そうな顔で「そうそう（あの音いやよね）」とやっていたのを映像として思い出した。嫌そうな顔めつたに見なかつたから印象的だ。いつもかわいかった。美化しすぎ？構わないと思う、だって君はあこがれの人なんだから、それは今でもかわりません。

〔月曜日…、22日目〕

10日ほど先行して…、ほんとうは金曜日です、今日は雨です、そちらはどうですか？

地球を守るためなら何をしてもかまわない…、そういう事だともう。怪獣からしてみればどこまでも自己中だシゴチユしどこまでも自分の都合優先に見える。いくら怪獣が「人間が地球を破壊してるんだぞ」「人間がこのまま破壊を繰り返したら人間そのものの存続も危うくなるんだぞ」といつても、地球防衛隊が人類を取り締まる事はありえない。

え？何のはなしかつて？ウルトラマンの話です、たまにはこーゆー話もありでしょ？

たまにはこーゆー話もシリーズという事でこれはどうだろう。

「釣りバカ日誌」

映画で有名だが原作はビックコミックオリジナルに現在も連載中の長期掲載まんがだ。こちらの漫画の話をしたい。

主人公の「浜ちゃん」はどこまでも釣り好きだ、けしてプロ級というわけでは無いけど。あまりに釣りが好き過ぎて会社では会社の都合より自分の趣味の都合を優先する愛らしい男とみられ、一定の尊敬を得ている。彼をにがにがしく思うのは上司の「佐々木部長」

(役職はよく変わるので便宜上“部長”でくくらいだ。

浜ちゃんは釣りの事に関しては怖いもの知らずだ。上司の佐々木部長は軽くあしらうし、社長の「鈴さん」ですらこき使う。けど、どこまでも釣りが好きな「浜ちゃん」をなぜか憎めない、というように一緒に釣りをしたいと思わせてしまう。「浜ちゃん」と一緒に釣りをすると普段の人生では気がつかないような物を体験できるからだ。だから「浜ちゃん」は皆から愛される。

漫画は3頭身キャラで描かれほのぼのムード満点なのが、長期連載まんがならではの“別”の楽しみ方が実はある。ポイントは「浜ちゃん」が勤めているのは鈴木建設という中堅ゼネコンという事だ。

ストーリーの流れ上どうしても仕事の話が登場する、そして何十年と続くシリーズであるが故、時としてゼネコンの暗い部分をさらっと描写している所が多々ある。例えば「浜ちゃん」は万年ヒラとはいえキャリアを積んだ営業マン、それなりの営業テクニックを知っている。時として“談合”じゃんそれという事も笑いながら平気でする。

この「浜ちゃん」が釣りをやめることはありえないし、反省するなんて事もありえない。どこまでも突き進む。

けど「浜ちゃん」はふつーの男でもあり、自分の都合が悪くなれば簡単にころつとやめたりもする。ここがポイント。「浜ちゃん」はどこまでも自分の都合で動くしそれが周りの幸せを呼び込むと平気で思っているし事実そういう実績もある。

誰かが可哀想だからとか、誰かに諭されたからとかそんな理由では釣りはやめない。

たとえ愛妻みちこさんが止め様が息子の鯉太郎が泣こうが見合わ

せることはあっても最終的に釣りに行く。せいぜい天候が悪くなつて自分の身が危険な時ぐらいしか釣り行きを辞めない。あくまで、釣り行きを中止するのは自分の都合なのだ。ポイントは釣り行きを中止する時はあくまで自分の都合。

天候の悪化に限らず“身”（保身）できない危険が生じそうになったら、「生じそう」というだけで辞める事へ傾くと思う。そういう時の変わり身のはやさは物凄い。

脅したくらいでは「浜ちゃん」は釣りをやめない。「浜ちゃん」にも弱点はありそれは他人には意外なものだったりする可能性が高い。だから、「浜ちゃん」にとって都合が悪い事柄にぶつかると根気よく言葉をぶつけるしかない、ある日ふと意外な言葉で「浜ちゃん」は釣り行きを辞める。え、こんな言葉で！というような意外な言葉で。たとえば「最近腹出てきたわね」とか、健康を気にした「浜ちゃん」は自己保身の論理が働き“自分の都合により「釣り行き」を辞める”訳だ。

ポイントは、自己保身の論理が働き“自分の都合により「釣り行き」を辞める”です。

もう一度言います、君に正確に伝わればいいのだけれど、ポイントは「浜ちゃん」がもし釣り行きを辞める事があるとしたら、自己保身の論理が働き“自分の都合により「釣り行き」を辞める”時だけです。

相当悪態をつくと思いますが自分の保身のためなら大好きな釣りも仕方ありません。

もちろん「釣りバカ日誌」の簡単な紹介です。どうですか？

そう言えば“自己保身”と言えば「ナニワ金融道」という漫画に印象的なエピソードがある。

「ナニワ金融道」とは関西を舞台にサラ金（劇中では“街金”関西での名称）に入社した主人公、灰原の淡々としながらも物凄いエグイ借金取立て業を描いたマンガで、この分野の草分け的存在。かつて週刊モーニングに掲載されていた経緯でこの手の派生型作品がモーニング系の雑誌で今も複数連載されている。

ドラマで有名になった「カバチタレ」もこの派生型作品の1つだ。

印象的なシーンとは、ふとしたきっかけからマルチ商法の男と知り合った灰原が、彼の可能性に賭けてみようと思ったところから始まる。将来独立時には金をささえるスポンサーが要る、もしこの男に金を貸して資産もちになったら将来のプラスになる。そう考えた。エグイです。

いろいろあってかなりの信頼関係まで構築する、このマルチの男もなかなかやる男で（倫理面はともかく）商才は確かにある。

けど、灰原が想像しない事態が展開する。

マルチに参加していた会員に警察官が混じっていてその線から警察がかぎつけたのだ。

灰原の勤める金融会社の社長と捜査担当の警察の担当者は同級生でつながりがあった、横の連絡がはいる。ここからがポイント。

社長と捜査担当の警察の担当者の暗黙のルールにより、灰原の貸し出した金を回収するまでの間、警察は見逃す事がきまる。灰原は男の友情をあつさり無かった事にして自分の都合を優先した。

ポイントはより上位組織である警察と社長のつながりだ。

ここには譲れない関係がある、何よりも優先される微妙なものが。この微妙なものは触れる事すらタブーなのだ。わかるだろうか？ “触れるだけでも” タブーなんです。もう一度言います、“触れるだけでも” です。

そして“触られる”事は灰原や社長やその警察担当者にとって、何よりも“自分にとって都合が悪い”のです。内容に触れるまでもなくその話題に触れる事それ自体がタブーであり最も“自分にとって都合の悪い事”なんです。ポイントは内容は関係ないです。部外者から見たら内容を伴ってないならその話題に触れるくらい「ふーん（あんまし関係ないな）」と思いがちですが、内部にいる灰原や社長やその警察担当者にとっては話題にする事にすらタブーなのです。

ま、そんな理由で灰原はあっさり仲間を切り捨てます。自分の都合で。（ここが重要です）

わかりづらいな…

もし、灰原と手を切りたい愛人がいたとする（劇中にはいない、そういうキャラじゃないから）。

その愛人が灰原と別れたたくても灰原がゆるしてくれないとする。自分の都合でしか別れたくない灰原。

そんな時愛人が灰原のもっとも触れて欲しくない話題を友人知人に話し出す。

灰原はそんな事されたら社長にも警察関係者にも迷惑がおよぶ、とおもつ。

自分の都合に従わないだけでなく、保身に関わると知った瞬間おそらく態度を豹変させる。

おとなしく引くとは思えない…

灰原は愛人を殴るだろうか？ 殴らないで欲しいがそうになったら別

れる口実にできる。

（もしこの2人が結婚していたなら家庭内暴力という立派な理由で短期で別れられる）

そうでなくてもこれ以上関係者に迷惑かけられない（かけたら保身できない）と考えた灰原は愛人の要求を吞まざる得なくなる。

保身⇨関係者に迷惑かけられない

の図式が出来上がる。

関係は無いがもし「釣りバカ日誌」の「浜ちゃん」なら簡単に態度を変える。デリケートな人間関係を引つ掻き回されると多くの人が迷惑する、しかも自分のために：「浜ちゃん」は大好きな釣りを諦めてでも何とかするかもしれない。なぜなら多くの人に迷惑をかけたら大好きな釣りも出来なくなるからだ。騒ぎは起こる前におさえたいという究極の自己保身の論理が働く。それは自分の都合により釣りをやめる説明としては充分だ。

話はどうって灰原の愛人は騒ぎは起こす必要はない、いつでも起こせる状態が望ましい。特に内部文章の流出なんて一番効果的だと思う。実際にやらなくても、やりそうだと充分効果があると思う。

文章の中身は重要ではない、むしろどうでもいい内容の方がいいかもしれないし、その方が手に入りやすい、案外手元にあったりして。議事録のコピーだけでも大騒ぎのはずだ。議事録でなくても固有名詞ののってるもの、のってなくても個人を特定できそうなもの、または上位組織と下位組織（この場合は警察と金融会社）のやりとり、が判るものなど効果がありそうだ。あまりでかいネタだとこっちが（この場合愛人が）ビビるだろうから軽めの内容のほうが機動力があると思うけど。上位組織から下部組織へ出されたなげない連絡事項だけでも流出したら、下部組織の灰原や社長は上部組織の警察に2度と微妙なお願いが出来なくなるからです、関係が切れないにしろ社長にはこれは痛いし、そんな目に社長を遭わせてし

まった灰原は…

まあ「ナニワ金融道」なんて興味ないかもしれないけど、こんな話もありますといった話題です。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

たぶんだけど、ここに少しでも成果があると彼らが感じるような記述をかくと向こうのスイッチが入るようだ。逆に少しでもばれそうに感じることを書くと波が引く。

例えば、いつも家から死角の場所に無意味にアイドリング駐車している車が向かいの家の窓の反射で見える。低周波でもだす試みだろうか？上手くいくときとそうでないときがあるようだ。

どうもそちらの力学はそう動いているようだ。どこまでも自分勝手です。手でそれでいて臆病。

つまり…ここに書くべきことは、そういうことか。と思った。

以前見たアメリカの報道番組、先に説明するけどアメリカには「殺人罪」に時効が無い。

ある高校生が昔のKKKの起こしたと思われる迷宮事件を夏休みの宿題として遊び半分取材を始める。

すると当時疑われた被告（無罪確定）の共犯の可能性が浮上。当時のことを聞いてまわった取材をまとめてみると犯行時刻アリのまったくない2人の男が浮上、しかも調べると動機まである。そしてさらに驚く事だが、KKKなんて白人至上主義集団クークラックスクリン（あの白い三角頭巾をかぶった集団）などつくに歴史の教科書上の物と思っていたのに、そのアリの無い2人は存命中、生きてます。さて、

先に書きました、アメリカでは殺人罪に時効はありません。

当時は常識だった行動が今や犯罪者になるわけで、しかもアリバイを証言する人間は1人もいない。警察も無視できない状況です。面白いですね、1高校生がかかるーい気持ちで始めた夏休みの課題が本物の殺人事件の捜査に結びつくなんで、日本でもこんな事ある日突然起きたら面白いのと思います。特にある日突然真実に気づいた人間が言ったりするとリアルに感じられると思うのです。

と、こういう話題が好まれる訳でしょうか…。

それで、いつも相手を観察しているわけだ、ここに弱気な事を書くのと攻めに来るし、逆の事を書くときと引く。特に指揮されてない時などどちらにその意識が無くても観察者である僕から見ると顕著に違いを見る事ができる。見せてあげたいです、はっきり違いが出るから。

常に攻め時がいつかタイミングを計っている。自分の都合優先もここまでくると究極ですね、だれか1人張り付いて友達ごっこをやるのも攻め時を計っているわけかー、と。

符合する記憶があります。東京での猛襲のなか突然飲み会に誘われる、こちらの腹を探るといづか攻め時が見極めるといづかタイミングや様子を見たいのでしょうかね。

.....

Fさんへ、表記変えてきました、こっちの方が当時呼んでいた呼び名に近い。感情移入できる。君は僕の事Kくんと呼んでくれた。懐かしいです。

昔から原因不明の疲れにおそわれ苦勞しました、そういう時好んで聞いていた曲をいま聞き返してみるとびっくりすることに疲労が

とれる。曲は短いテンポと破裂音を単調に繰り返すだけの単純なものだけど確かに疲労がとれる。この曲が現在の低周波を受けた脳を正常にしてくれると言う事実が長年のそれを示していると感じるのは気のせいだろうか？やはり無意識のレベルで気づいていたのだろうか？長年無意識にしる彼らの攻撃を凌げてきた理由の一端のような気がします。

Fさん、覚えてますか？昔僕が金縛りにあうと言っていた事を。以前もここに書いたけど書いてない事実があります。金縛りにかかるときは音楽を聴きながら寝るとなぜかさつきまでかかってたのにかからなくなるといふ事実がある。低周波で脳が活性化すれば確かに外因性の金縛りは科学的に作り出せる…。

当時から戦いは続いていたようです。ある意味勝ち続けたわけで、今も勝利したからこそ真実にたどり着けた。17年勝ち続けたなら君と一緒になくても不安は無い、同じ事を続けて勝ち続ければいいんだから。Fさん、会うまではこの呼び名で。君の許可なく勝手に名前なんて呼べないし。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

Fさん…、ごめんさいごに1つ言い忘れてた。やっぱりドジだね。彼らの中の全ての人がそうでない事を書くの忘れていた。実際それなりにやさしく接してくれた人もたくさんいた。1人や2人でない。みなそういう態度を“強要”されてるだけだというのを忘れかけてた。

その代表例が君だ。押し付けられる強要の許される範囲ギリギリで、時には一線を踏み越えて僕と接してくれた、その事をここに書き忘れた。

そうでなくっちゃ世の中、そう、人は話せば通じ合える。君に教わった事だ。否定する事は君を否定する事になる…、君の事を思っていたらその事思い出した。みな強要されてる、君のように。優し

くていい人もたくさんいる。僕がその事をわすれたらこちらに来る意味もなくなってしまう。

たとえ、どこまでも自分本位な人でも、人である以上同じはずだ、あきれるはあきれる。けど、海外はもつと凄いと聞く異人種異文化の自分本位のぶつかりあいだ。日本みたくやさしい国家でエゴ出してるのなんて海外のエゴに比べればやさしいもんだ…。

僕はいままで僕です、君というすばらしい文化を手にした。君から教わった、本当に気持ちの通じ合えるという事実はこの世に確かに存在する。これは間違いありません。

理解できない状況の前には必ず不足した情報が存在する。今回気づいた事以外にもまだ何かあるでしょう、不足した何かが。諦めなければ気づくかもしれない、いままでと何も変わらない。僕はあの神社で待っていたように待つのみです。

そうそう、こんな事思い出した。

あれはいつの頃からかな、神社にどちらかが先についていて、例えば僕（君）が後から来たとする。すると別に申し合わせた訳でもないのに君（僕）は立ち上がり、お互い歩いて近づき抱き合った。どちらが決めた訳でもない。どちらが後に来てどちらが先に来てもそうだった。そうする事が当たり前でごく自然だった。しばらく抱き合って、それから社の階段に向かって歩き出し2人で腰掛けた。別にそうしようとかどこかで段取りなんて決めてないのに、自然とどうしたいのか、なぜか判った。不思議な感覚だった。

〔火曜日…、23日目〕

10日ほど先行して…、

Fさんへ

こんな事思い出した、

「どうしてキスするの!」

君は怒った、意味がわからなかった。じゃ跳ね除ければいいのに

そうはしなかった。

無理やりしたわけじゃない、判らなかつた。

今にして思うと少し…、いやハッキリ理解する君が怒つた理由。

あの時工事関係者がチラチラこちらの様子をうかがっているのをなんとなく察していた。場所は神社ではなく空き地の方だ。左斜め前方上、盛られた土の上から時々人が顔を出しているのに気がついていた。

僕は構わずキスをした、いつものように接しているのにこの日に限つてかたくなな態度の君。怒らせるような事はなにもしていないはず、理解できなかつた。

君は怒りを爆発させた後しばし無言になつた。何を言つても聞いてくれない。これは異常事態だとそう思った。彼女が態度を急に変えるのはいつもの事だが2人っきりのときは初めてに近い。ここに一緒に来るまではあんなに楽しそうだったのにどうして!?

正直、一瞬終わりを覚悟した。僕の初めて恋はあの大告白の時点ですでに完遂されており、現状のこれはおまけのご褒美にすぎないのだと、その時はそう感じた。

けど、君は長い沈黙の後こう言つた。

「場所を変えましょう」

君の顔は怒りに満ちていた、けど、おかしいことにその怒りは僕に向けてではない、違う誰かに向けられているのがその時点でわかつた。

2人は神社へ移動した、僕はびくついていて、君が次にどう出るか不安だつた。何を言われるのかひやひやした。警戒して、2人並んで腰掛けても何もせず君の出方を待つた。

不安は一瞬で吹き飛んだ、神社に移動した君はいつもの君だつた、まったく何も変わりなく泣く、キスしてももう怒らなかつた。

あれは監視の目を怖がっていたんだと、今の僕ならわかります。人前でキスしたことそのものは、マナーとしてはともかく、大丈夫だったんだなと、そう、思います。

あれは君がブレザーの制服に半そでの頃の記憶だから、春ぐらい、1度目の破局の前の出来事だと思う。

いままで随分書いて恥ずかしい思いをさせたかもしれない、あつて謝罪したいです。お互いいい歳だから多少の事は大丈夫と思うけど、どうだろう。会って君の顔を見たいです。たぶんまた笑顔が見れる…、なぜかそう思います。

真実に気がついたという事のでかさのご褒美に君が許してくれると、なぜかそう思う。少なくとも君の中にいる17年前君はそうだと思う。だから17年前君にお願いします…、現在の彼女がどう思っているのか僕と17年前の彼が知りたがっている事を伝えて欲しい。君にこれが届きますように、今日この思い出を記述した意味も同時に届けば幸いです。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

ここに書くは無関係な人まで巻き込んでしまう…

でもいい事思いついた、来る時間はわかってるんだから僕が道に立って1台1台注意すればいいんだと。直接文句言えてすつきりするし、顔も見えるし。ナイスアイデア。なぜ思いつかなかつたんだらう、これは思った以上にいい、いままでのどれよりスッキリする。

考えてみれば東京では店で直接対決が毎日できてかなりストレス発散になっていた。たった2回でこれだけ楽なんだから、これから

が楽しみだ。関係ない人不愉快にさせる描写もしなくて済む。

あいかわらず僕は簡単なことをものすごい遠回りして発見する。けど、この性格だから気づけたんだと思う。

で、こんな事思いついた。

そちらの状況がわからないので一応書きます。

たぶん、反対する婦人がたくさんいると思う、今日会った2人も雰囲気似てて、いつも車で定期的にとっか移動してる様子から家庭訪問係りではと推察する。本当に髪型もファッションも受け答えもよく似てる、たぶんあんなイメーজの人からいろいろいさられてるのではと…、そんな事思います。

（夫婦2人で車移動の人は驚くほどよく見た、大概奥さんが変にハイテンションで旦那がむすつとしてるパターンが多く、東京で3年観察したあの人と同じ空気を感じる、）

毎日逆にこちらが訪問して意思を伝えればいいのではと、部外者が一緒なら、より強力なバイアスになる。彼らのとぼけ方は皆同じで誰も謙虚さが無いからすぐにピンと来る、逆に謙虚さを見るとああ、普通の人だなーと納得する。その辺が見分けるコツだけど、

君の偽者と話したときもこれを感じたんだ。謙虚さが無い。

君はどんなときも謙虚だった、喜怒哀楽全てにわたって謙虚だった。だから、好きだった。たとえ相手にウソをつく時ですら謙虚なのだ。別れ話の時ですら謙虚だった、あの上から物を見るような偽者のした言動は1度だってない。間違えるはずがない。

まあ、それはここではない。

毎日顔を見て文句を言うのはすっきりする、ストレス解消になる、聞いてくれるとか問題でなく、気が晴れるというのがポイント、長期戦には重要なポイントです。しごく合法的に文句が言える、事柄

は民事だからだれからもとがめられない、ルールのルール内で反撃できるうえ、あわよくばバイアスもかけられる、訪問時間も同じにしないでずらすといいかも、もう相手にされなくなったら君の局所的勝利になる。

あ、でも玄関までで、中に入らないほうがいいかも。でわ。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔水曜日…、24日目〕

11日ほど先行して…、

Fさんへ

こんな事思った。これは外れてる事かもしれないけど、今までも随分外れてるかも知れないこと沢山かいたのであと1つ増えたところで問題ないと思うのだけれども、こんな可能性に気づいた。人格破壊だ。

彼らの攻撃を定期的に受け続けた結果どうなるか？

ネガティブな感情ばかりが優先して機能する“脳”ができあがる。するとどうなる？

平気で“ウソ”もつけるような人格ができあがる可能性がある。

僕は17年前前の経験で、他の被害者と決定的に違う概念をいくつか持っている。その中の1つが“彼ら”は身内も容赦なく攻撃するという事実だ。特に現在の僕の状況から察するに“家庭訪問係り”が主だった車での攻撃の主体の可能性が高い。つまり、不埒な員と“家庭訪問係り”が判断したら即、攻撃行動にでてその身内を攻撃できるのだ、まるでめぐらたたきのように。

この異様な環境で育成された精神は完璧にウソがつける人格へと

調教されてゆく…、おそろしい予想であるが、整合性がとれている。それなら即腐ったみかんを腐る前にもどせるわけだ。恐ろしい。たぶん日常的に身内に対して実行されてる訳だ。なるほど誰も正体を明かさないうし、味方になってくれない訳だ、理解した。今も来ていたが、ちよつと覗き込むだけであわてて退散した、やはりどこまでも自分本位で臆病で…。

で、思った。あれは中古車だ、それもおそらく前のオーナーがやんちゃな兄ちゃんだったやつ。たまに見る似つかわしくない車に乗るおじさん。

でも頭はよくないらしい、もう低周波にはなれて通用しない、やるなら…、ああ、これは書かない方がいいのか。

今も別の車、ワゴンだ。無駄なことしてる…

周りの家にもいるであろう身内に対しての攻撃も辞さない、どこまでも自分本位…。

くやしいですか？

たぶん人をいたぶる“快感”に脳が麻痺しているんでしょうね、その感覚を“是^せ”とした時、あの彼女とは明らかにちがう上から目線の自分本位の性格が完成するのでしょう。臆病のくせに？こんなすばらしい性格を量産化する事に成功したすばらしい「伝統と文化」です。

だからまだ染まりきってない“若い子”にその“快樂”を早く覚えさせるために若いうちから攻撃に参加させる訳だ。その“快樂”が気に入った子は将来有望だし（たぶんピンポンダツシユくらいの感覚でしょうか？今日会った子もかわいそうでした）、そうでない子の心も“罪悪感”や“贖罪”の気持ちで心を縛る事が出来る…、本当に世界に誇るべき「伝統と文化」です。

自分の“実力”で手にした優位性じゃないもんだからみな例外なく空きだらけ、“自信満々な空きだらけの人”というのを探せば大方だれが“彼ら”か判る。自分の実力じゃないから厚みがなく薄っぺらい。そして自分本位の悲しさから自分基準でしか人をみれない

から「え？これで威嚇のつもり？」という薄っぺらい動作を自信満々に空きだらで行う。

もう低周波通じませんよ。

あ、でもそれなら家庭訪問係が僕を目の敵にするのかもしれない、訪問先の仕事に多少なりとも支障がでるからだ（実は結構苦勞されてるのが判ります、初めて行く場所ではなぜかデフォルト状態で最初から反撃しなোসないと攻撃が止まないという事実があります）どこまでも自分本位の性質上それは許せない事で、と同時に彼女の旦那のことなどかまわないというリアクションも自分本位の性質と符合する。じゃはやく終わらせてください。彼女を会えればもう書かないですから。と、考えるのは妄想ですが、そこまでの影響力はないでしょう、多分。だってメール出した人僕のこと知らないし（おそらく多く来る時間帯は家庭訪問ができない（しづらい）時間帯なんだ。昼時と帰宅時間帯と寝入る時間帯、完全に符合する）（ついで言うと、近所の会合場所を確認した。車が止まって中には大量の子供、母親を待っていると言うおばさんが1人。ああ、ママさん達が集まっているわけね…。ここはいつも人の出入りが激しい、何をやっているのだろう…）

そんななか君はどうしてか異質だった？どうしてもウソが苦手だからだ。だからたびたび“攻撃”を受けていたのではないだろうか？それならいつも1人の理由もうなずける。

普通なら相手を憎む気持ちがあるがその“攻撃”により掘り起こされ、膨らまされ、あの共通した人格のできあがりなのだが、君は優しすぎた？そう感じた。

そんな君でも17年もたち、さらに“攻撃”を加えられた結果どうなっているのか、そう考えると、いや、でも17年前の君も確かに君の1部であるに変わりはなく。僕のウソが苦手なところを気に

入っけてくれたあの君が完全に消える事はないと確信する。仮に君が何らかの罪悪感に囚われていたとしても僕は気にしない。君が気にしようが気にしない。もし、どうしても気になるというならこれからいい事をして償えばいいのだ、「レ・ミゼラブル」のジャンバルジャンのように。

1ついえる事は、こちらに来ればもうウソをつく必要はない。もとに戻れる、一緒に笑えます。これはお金じゃ買えない種類のものです。

君が連絡をくれないのには何か理由があるのでしよう。

年賀状すら返信出来ない様ななにかが……だから待ちます。

それに僕自身今連絡をもらうと少し怖い……

今、連絡をもらったらおそらく僕は後先考えず君の所にすっ飛んでいくだろう。もし、それが“離婚”前なら家族からストーカーなり、誘拐犯と言われてしまい、下手をすると逮捕されてしまいかねない。今は冷静だが実際連絡を何度も取り合ったらいても立ってもいられなくなると思う。だから、連絡が無いほうが正解なのだ。

最近PC等の環境が東京仕様にもどってきた。

東京と同じような生活ができるようになってくると気がつくことがある。

いかにどうやって、自分が何年も攻撃をしのげてきたのかがなんだか判ってきた。

無意識とはいえ、悪癖も全部意味があったみたい。

悪癖？それは年がら年中動画をPC再生しているというやつだ。一体何台の外付けHDを壊した事か……、みな連続使用で壊したに近い。これで天井の騒音も、線路補修の音もその他全部かわせていた

らしい。

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

第15話 おわらない話の理由（未来へと続く話その4） （後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第16話 交渉の基本ルール？（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金の興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第16話 交渉の基本ルール？

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

「君へ」

根比べ、これが“彼ら”と対するときの基本姿勢なんだと思った。向こうは社会の倫理を無視して延々と自分の都合だけを押し付け続ける、対象が根負けするまで。

いろいろ調べて判ったことが多くある…、ちゃんとした人そうではない人いろいろだ、そちらにはその世界の力学がある。部外者にはわからない力学が、複雑で強大で、それでいても完璧ではない。はったりではなくなるほどそういう事かと…。

僕は一度死を本気で覚悟した、そして今またあの時の感覚がよみがえる、6ヶ月前君のためなら散れると感じたあの感覚だ。君にこの覚悟を強要するのは僕の流儀に反する。いつだって僕は君に無理強いはしない、けど、そちらの流儀がわかった今、以前よりは君が必要とする覚悟と決意の重さがわかったと思う。

最初は両親をホントに想ってるのだろうと思った。けど、それだけじゃない力学がある。僕が東京で頼りにしていた知りうる限りもっとも社会的力がある人が短期間で態度を変えた理由の一端を理解した。なるほど、そういう事かと。

それでも、僕は君に会いたいです。

あそこも思った。

この力学の世界から僕をみたらビビってひきこもっている様に見える、けど、彼らがいようといまいともともと“インドア派”であり、外にでる用があればなんの気兼ねも無く出かけるという

姿が、もうビビりまくってオドオドしている様に見えるのかもしれない、だから時々おかしい態度の人間に遭遇するわけだ、どうも本気でビビると考えているように感じる行動を。それが間違った認識であると過去遭遇した該当者の多くが思ってくれていたら幸いです、単に出無精でぶじやうなだけですから。

「交渉の基本ルール？」

話し合いは“生の感情”のぶつけあいだ。普通は“生の感情”に“生の感情”をぶつける。けど、僕の戦い方は違う、“生の感情”むき出しの相手の理性を喚起させる方法をとる。

君は“生の感情”を出さない人だ、だからどうしても勝てなかった、僕も“生の感情”を滅多にださない似てると思った。

こういっ話し合いの時、メモや記録が何より大事になると思う、前日の言い合いの記録をとって、論点を整理して翌日ぶつける、これだけでも効果が違う。相手はおそらく「もう頭も冷えた頃だ」くらいに思っ、まさか前日の続きを仕掛けてくるとは夢にも思っない、特に家族間ならどこもそうだと思う。

話し合いでもっとも重要なのは議事進行役だ、鍋なべでいうなら鍋奉行といった感じだろうか？この役割を演じる人間によって全体は仕切られる。だから、理想は状況をちゃんとメモして論点を整理し解決すべき題目をあげ、それぞれの題目（切りしろ）ごとに相手がどう対応するかメモをとり（あいてにされなかつたら、そうメモすればいい）、メモを繰り返すことと全体の流れを把握しているのは君だけになる。話し合いに時間制限を設けるべきだ。エンドレスに時間を設定すると負ける、確実に、なぜならおそらく話し合いは1VS家族のほず、数で不利だ。よく不祥事を起こした警察が被害者宅に謝りに来る時も必ず1人では来ないで部下を連れてくる…、数が多いほうが相手を威圧できるからだ。それに加えて時間がエンドレスでは分が悪すぎる。だから何時までと最初からタイムスケジ

ルールを宣言すべきだ。より、完璧にタイムスケジュールをまっとうしたかったら帰りの時間にタクシーが来るように予約をいれるとか、時間を区切らなければいけない理由を用意すべきだ。何もないと引き止められる、特に君の性格を考えると。

…で、メモなり録音なり記録をとったら論点を整理すればいい。どう整理すればいいかわからない？

参考にすべきは料理番組だ。あれは材料を整理し、その手順も整理し、段取りも整理し、必要なものや注意点も整理し、タイムスケジュールも整理し、どこをどうしたら最終目的の料理完成にいたるかがちゃんと整理して説明されてる。

真似をしろと言うのではない、あの“イメージで”情報を整理すればいい、ゴールを設定して、そこにいたるに必要な手順も設定し、準備する材料（切りしろ）や、その手順（あいての反応）段取り（どの程度まで話が進んだか）など、メモや録音を使って整理すれば、翌日即ぶつけられる。

僕は君の学力を知らない多分僕よりいいのだと思うけどメモのとりかたって大丈夫だろうか？僕は学生時代まるでできなくて勉強に苦労した。メモの記述がへただとメモってとれない。

言うまでもなく出来ているならいいけど、一応。

メモは下手に文章にしようとすると上手くとれない、むしろ箇条書きで、単語を数多く羅列したほうが情報として価値がある。単語をもとに後で内容を再構成できる。

タイトルとか段落とか考えなくていい、ただ羅列すべきだ、へたに文章にしようとすると上手くいかない。テーマが変わったことに数字をふって羅列した言葉を線でくくってしまえば、別のテーマの文と混ざる必要もない。

うまく伝わっただろうか？

例えば…、恥ずかしながら最近とったニュースのメモ。

（有機EL）：サンプル発売：曲げられる…うすい…LEDと同

じ値段まで4〜5年：

とある。僕がとったメモだ。テレビ東京のワールドビジネスサテライトのニュース。このメモからニュースの内容を再現すると。

LED照明と同じくらい消費電力の少ない有機EL照明、その特徴はLEDと違い“面”を光らせる所、その面は曲げる事が出来る、なぜなら有機EL照明とは薄い板状の照明だからだ、しかし今のところ先発するLED照明の4〜5倍の値段がして高価だ。高くても欲しいという人のためにサンプル発売という形で今回発売されることになった。

と、まあこんな感じですよ。メモにないところもメモをたよりに記憶からでてくる、間違いがありそうならネットで間違っていないか検証して修正すればいい、君の場合録音をたよりに修正すればいい。

議事進行役の優位性は向こうも承知しているはず。君自身も議事進行役となって対決する以外ない。相手が人数が多い場合、つかれたら議事進行役をバトンタッチできるけど、きみはできない。だから時間がエンドレスな場合不利になる。時間制限を忘れずに…

- - - - -

「交渉する場所についての決まりごと」

よくドラマでこんなシーンがある。2時間物の主婦向けドラマによくあるシーン、喫茶店でもめる。

あれはドラマの演出上の事ではなく、現実には交渉事は喫茶店でやるのがいいのだ。

スポーツでもホームとアウェイではホームの方が勝ちやすい。“空間”は人間の精神に影響を与えます。だから、交渉事は双方なじみのない場所、例えば喫茶店などでやるのがいいのです。絶対相手が優位に立つ空間には行ってはダメなのです。

例えば、頭にきた相手からコーヒーをかけられたとする。密室では証明しがたいけど、喫茶店なら人目がある。コーヒーをかける行為は服を損壊させる器物破損になり、刑法上訴えられる。けど。密室ではなき寝入るしかない。公衆の目があるところがいい。弁護士が指定した場所でも可能なかぎり密室でないところにしてもらうべきだ。

喫茶店といっておきながら矛盾するけど、手作りのお菓子など振舞うと優位になれるかもしれない。心理的にあいては恩義を感じる？（普通の感覚なら）わがままを聞いてもらえる雰囲気演出も交渉を成功させる用件かもしれない。

あと、サインするだけの離婚届も用意しておけばいつ入用になっても都合がいい、サインすると言って翌日にはやめたなんて話もあるから、いつでも出せるようにしておくのがいいと思う。

“彼ら”独特のテクニクに仲良くしといて急に突き放すというのがある、これを応用すれば話だけは君の希望どりの展開にすすみ、最後になってひっくりかえすという作戦も充分想定される。だから、口約束は最低録音、出来れば私文書にしてもらうのがいい。個人間の約束を記した文章を私文書という。法的拘束力はないが、のとのち裁判になったとき効いてくる。相手の不誠実さを証明する材料になるからだ。私文書を駆使して後でひっくり返されたときの対抗手段にしておくのもいいと思う。

確か、順番としては、話し合い 協議 調停 裁判。普通は話し合いや協議離婚で終わるけど、決着が付かなければ調停 裁判と進む。私文書は裁判で材料に出来る。

けど、もめたとき、理由なくいこじになる人も実際いる、相手に諦めを確信させるのは容易ではない。

…これは、なるべくなら書きたくなかった事。

2度目の破局の時、最後に神社であったときもいつものように触れることさえ許してくれなかった。(前にも書いたけど、多分どこかで誰かが見ていたせいだと思う…)なのに君はいつものようにはにかんで照れていた。理解できず、混乱がました。あの時は真実を知らなかったから気持ちが悪くなったのだ、何を考えているのかわからない…。そう思った。あの辺りから、バレンタインデーにかけて徐々にさめていったのを覚えている。あの時はこんな気持ちでした。この際、この体験が今の君の何かの参考になれば救われます。

不確定要素がある、貢献度に応じてお嫁さんがもらえるシステムなどないと思うがあつたら最悪だ。仮にそうならあいては必死に抵抗するかもしれない、でも1つ、対抗手段がある。この騒動を長引かせれば長引かせるほどその“世話になった”人の顔を泥を塗る形になると相手を論じて、徹底抗戦の構えを崩さないかぎり対抗できる。相手の選択肢はこうなる、世話になった”人の顔をこれ以上つぶさないためには早く縁を切るしかない…。その事実を相手が自覚するまで何度も何度も訴えれば…。いや、これは僕の妄想です。こんな事この国であるはずがない。ちよつと妄想を書いてしまいました。真剣な話の中すみませんでした。

東京で僕に目をつけて3年攻め続けた彼を、本当にやつかいと思つたのですが今となつては彼が悪意を僕に抱かなければここにたどり着けなかつた訳で、感謝はしませんが、なんとも表現しがたい感覚におちいります。誰が言ったか忘れましたが、嫌なやつに感謝する日が必ず来るとか誰か言っていた気がします。そんな事になるのでしょうか…。君ともう一度会うことが出来ればその問いに答えが出せる日も来るかもしれません。

とにかく、待ちます。ゆっくりと。君が君でい続けることを何よ

りも祈ります。

「もし、別居したとして、生活費や養育費を請求してもはらってくれない場合」

書き忘れていた、小額請求訴訟のこと。

もし、別居したとして、生活費や養育費を請求してもはらってくれない場合どうすればいいのか？

通常払ってもらえないそれらお金は君が相手にもつ“債権”つまり貸しになる。

30万円以下の小額の債権は簡単な手続きで裁判できて3日もかからず結審するんじゃないかと思う。手続きの費用も物凄く安く済む。

本来は円滑な商取引のための制度、だから、スピードがなにより優先される。ちゃんと書面で生活費について取り交わしていればOKだし、なくても、別居する旨通知した時点で夫には支払い義務が発生するから、書面で取り交わせなくても一般常識の範囲内の債権が生じたと思っていいたいと思う。

この裁判のいいところは、相手に一方的に通知できる点だ。突然裁判をはじめて、突然通知で相手呼び出せる。もし、来なければその時点で君の勝ちになるというすばらしい性質を持つ…、と思った（詳しくは専門家に、多少の間違いはあると思う。）

仮に来たとしても、事実別居していてその旨通知もしていれば100%勝てると思う。よほど、君に落ち度がないかぎり。

勝てたら相手の財産を該当する金額分差し押さえることも可能だ。具体的には取引銀行の口座を差し押さえる事になると思う。

何かの役に立てば幸いです。

「切りしろについて」

朝の連続TV小説「ウエルかめ」のなかにこんなシーンがある
主人公の勤める小さな出版社最大のスポンサーであるお菓子屋さ
んの社長が代替わりする。新しく社長になった息子はスポンサーを
降りたがっている…、でも一方的に降りるのでは具合が悪いので違
う手段に出る、雑誌の編集方針にまで介入してきたのだ。こだわりの
強い編集長は断る、ついに交渉決裂、スポンサーを降りることに
なる…、悪役つばいけど、この際参考にならなくはない。切りしろ
の中に相手が呑めないような家の中の決まりごとの変更を盛り込む
…なんてこともこの話から発想できる。何かの役に立つだろうか？
また、何か思いついたら書きます。

「あらかじめこの手口知っていると随分と違うと思う」
何が役にたつか分からないので…、

こんな手で攻められる事も想定される。タイトなスケジュールを
設定してくる戦法だ。

例えば生活費／養育費の振込みをちょうど実際に光熱費の支払い
に間に合わないようにしてくるとかいうやつ。僕も1度やられてい
る、給料をわざと袋に入れてないというやつ、別の人の袋に入って
いたのだ。ワザとなら最悪だし、抜けてるならバカだし。ま、そう
いうのもありうる。いちいちストレスをためず冷静に対処するのが
いいと思う。なぜならストレスをためさせる事こそが目的だから思
う壺になる。

あらかじめこの手口知っていると随分と違うと思う。

あと話し合いのスケジュールをタイトなものに設定して準備をさ
せないというのも想定される。そしてそのスケジュールでは無理と
変更を要求すると話し合いに応じないのは君だみたいな話になりか
ねない。話し合おうと呼びかけているのに無視されたと言われる
わけだ。のちのち調停のときに不利になる。

いかに向こうがタイトなスケジュールを設定してるか記録をとっ

ておくのがいいのかもしれない。納得のいく説明を調停委員（＝調停離婚の時参加する一般市民、話し合い 協議で離婚できなかったとき、調停へと進む、家庭裁判所が用意した一般市民が調停委員となって調停する、たいがい調停委員は離婚に反対するので、強い意志で訴えないといけない。身なりも同情される質素なものがいい、やつれてつらそうな顔の方がいいと思う、ただし、ワザとはだめで逆効果。つまり、つらいなら無理して頑張らずつらそうな姿を調停委員にみせたほうがいい。あとは、専門家（弁護士）と相談してどう訴えればいいのか練ったものを理路整然と説明すればいいと思う。（出来るように材料をそろえたほうがいい。どんな材料？ポピュラーなものは日記。毎日のタイムスケジュールが書かれていればいかに時間的に間に合わなかったかが説明できる…。

「動じる必要はない…」

もし仮に別居していたと仮定して、相手方が何かしてくるとしたら、もっとも可能性の高いポピュラーな手は子供がちゃんと世話されてるかチェックしてくる事だ。なぜなら、もし、出来てなければそれ見たことかという事になって裁判所に訴えれば子供を取り上げられてしまう。とくに、相手が難癖をつける傾向にあるならわざわざ言ってくる可能性がある。（子供の）服装が乱れてるとか、ちゃんと洗濯してない、とか。ちゃんとしていても言ってくる可能性はある。でも君自身がちゃんとそつなくこなしているなら何もビビる必要はない。単に向こうは教本通りマニュアルやってるだけ、ありもしない事実も毎回言い続ければ、そのうち言われ続けている人もそうなのかな？と思いついてしまおうおなじみの手だ。だから、何か育児でとやかくいわれても動じる必要はない。あ、でも健康面は普段以上に気をつけたほうがいい。クビが座ってない時期は氣道がつまって息が出来なくなることもあるし、クビが動かない状態では「動運動」と呼ばれるバランスを修正する身体機能がうまく働かない。3歳く

らいまでの子供が転びやすいのはそれが理由だ。ベビーカーで指を怪我する話もよく聞く、でも室内に長くいさせるのも問題で、適度に外出して雑菌にふれる環境がないと免疫機能がバランスをくずしてアレルギーの原因になる。雑菌に積極的に触れさせる必要はないが、無菌状態はまずい。これはそのうちアレルギーと免疫機能について解説でもします。

平行して離婚に必要な法知識をかじり読みでもできればベスト、でも年がら年中それじゃ大変だから、余裕を持ってやるほうが重要かもしれない。マイペースな君だもの。

なんか、また試されてる…、そう想像するのは好きです。ま、妄想です。君は10あるうちの2くらいで満足する性格かもしれない。これを読んでるだけで満足されちゃ困るなーとか思ったりします、まあ、僕が困るだけで、君がこまらないなら、何も問題はないのですが。

ともかく、相手につけ入る隙をあたえない事が肝心です、泣いても誰か助けてくれない世の中ですから。でも君は滅多に泣かなかつた、君が泣いた姿は2回しか見たことない、君は強い人です、だから絶対大丈夫です。

「性格の弱点はいろいろあるけど…」

こんな事思った。禁欲的な性格は最後の詰めで“遠慮”ぎみになる。

自分の思いの何割か満たせば満足しがちな性格、お互いそんなところがある、この性格の弱点はいろいろあるけど、その中でもやっかいなのが、全て満たされなくても満足と感じてしまう所だ。

つまり、最後の“詰め”に到達する前に満足してしまう傾向にある、そこをつけ入られる可能性も充分ある。そんな事おもった。

「こういうアプローチもあるはず…」

3月には本幹、あると聞きました、なんか大変らしいですね。これを切りしろに入れるのはどのくらい効果があるのでしょうか？そう思った。

話を仮にまったく聞いてもらえないならこういうアプローチもあるはず。

…今でも楽器持ってますか？気を落ち着けるには演奏が一番いいかも。

「最終的に実りがあるならここはためになると…」

こんな事思い出した、こちらに来てからまずしたのがペーパーボードライブ講習だ。こちらでは車がないと不便だ。で、感じた事。教習所もまた彼らだらけという事。あつた講師も1人を除いて全員そつだと思う。講習前金属製のプレートを取り替える、そのプレートを後部座席にガチャーンとなげだす、普通はしないでしょ？人乗つてんだし。金属音で相手を脅すのもまた“彼ら”の十八番だ。なかには車の中で「社会のルールをまもれ」と講習そつちのけで説教する人までいる始末、あのー一応金払ってんですがーと思うが、まあいいかと思った。一応内容は交通ルールだし、言われたほうが事故らないのは事実だから。けど、変だった。中には仲良くなった人もいる、路上では和気藹々話していたのに教習所に戻ると感情のカーテンが下りる。みるとこちらをじつと腕組みでみている職員のおじさんがいる…、ああ、なんだかおなじみの光景…。路上講習中面白かったのはパトカーがとまっていて講師が「あれっなんでこんなとこ停まっているんだ？」と言った事、やはりいつもはいないらしい。または「今日は交通量が多いから」というが僕が講習中はずつと変わらなかった、周囲から呼び集められていたのだろうか？

また、一番面白かったのは路上講習初日、車外の彼らの半端無いプレッシャー攻撃。睨む睨む、すごかった。当然となりの講師も彼

らなのだが巻き添えを食った形だ。周囲があんなに異様なのに何一つ言わないところが逆に確信につながる、何かやりとりがあったのか次の講習からはそうした車外のプレッシャーはなかった。だって自動車は危険なもの、ぶつかりそうな位危険なプレッシャーかけてくる人もいたけどこちらはペーパードライバー、まじ危険ですあれ。初日で止んで本当によかった。

何が言いたいかというと、例え弁護士が彼らだったとしても臆せず接して問題ないと思います。表のルールはやぶれないのだし、なにかダメだしされても「この人の意図はともかく、念入りに学ぶ（準備する）のは悪いことではない、最終的に実りがあるならここはためになると思って我慢しよう」と思って受け入れるといいのかもしれない。

実話を元にしたドラマ「バンドオブブラザーズ」の第1話、本当にいやなやつで部下をいびるしか能のない士官が訓練所で自分の評価を上げたい一身で中隊をしごきまくる。もう虐待に近いレベルでほとんどストレス発散に利用してる。他の中隊はそこまでしごかれない。

けど、その中隊はその後空挺部隊で一番強い部隊になってしまい、ほかの鼻を明かすことになる。

ああ、似た話は「タッチ」の中にもあった、野球部をしごいてぶっ潰す気でいた柏木監督、昔の恨みを晴らすつもりでしごいていたら意図せず強くしてしまっただって話。

いびられても、それで良くなる事もある、最終的に自分のためになるならいいと思う。ぼくも東京でいびられた、それで出来た信頼関係もある。そんなイメージ、伝わっただろうか？

たとえ頼る人が彼らでも、表のルールが敗れない以上、ドンとかまえていればいいのです、そう思った。

「いつもと同じ空が青々と輝いて見えるし」

宗教というのはコントロールしきれない心の闇を整理するものであり、気がつかない幸せに気づかされる部分があります。僕にとつての宗教とは“漫画を描く”という行為なのでしよう。いいネーム（設計図のような絵コンテ）が描けた日は、いつもと同じ空が青々と輝いて見えるし、周囲のくすんだ色が鮮やかに見えたりします。これは演出ではなく本当にそう感じるのです。おそらくストレスがなくなつた為認知機能が回復した結果でしょう。おそらく、こういう事なのでしょう。悪魔が姿を変えいろんな所に現れるなら、神もまた、姿を変えいろんな所に現れてもおかしくないと思うのですが…。

最近みたドラマ「ローマ」の中の印象的なシーン。

行方不明の国庫の金、実はローマを捨てたポンペイウスが持ち出していた。ローマを占拠した軍人カエサルは資金繰りに苦労していた。そこに国庫の金をみつけたと知らせが届く。1兵士が偵察中みつけて自分のものにしていた。あとから国庫の金とわかり、元上官にさとされカエサルに報告に来たのだ。一度はくすねたわけで罪は罪。でもカエサルはこう言う。「私も幸運の女神に嫌われたくない」といつてその兵士に褒美として金の一部を与えることにする。

幸運の女神もまた、神の姿をかえた形に見えなくはない…。

「発想の転換？」

あわてて東京から引き上げた所為で知らなかったけど、この地域は本当に仕事が少ない。もうすこし県の中央や西に行った方がまだある。

でも引越しを考慮に入れるならこの県にこだわる必要もない…、

彼らの攻撃は本当にやんだのだろうか？事態は流動的でわからないけど、「引越し」は考えたことあったけど、県内を想定していた理由はない、なんとなくだ。けど、同じ引越すなら県内にこだわらざる制約はないのだ。

このことにつきさつき気がつく…。何で思いつかなかつたのか不思議。

こつというの発想の転換なんだろうか？

意外に自分で“制約”と想っているものも、冷静に考えてみれば“制約でもなんでもない”ことに気づく。そういえばこんな本があった、「心の鍵のはずし方」。読んでないけど、こつという事なのかも。自覚してない鍵はいくつもかかっているのだろうか…。そんな事伝えたくて書きました。

引越し？まだもう少し様子見しようとおもつ。あと5〜6回挑発してもリアクションゼロなら確信すんだけど、今はちよつときつめの事書くと結構すぐ来る。そろそろ飽きてくれないものかと思う、人生もつと楽しみを他に見出して欲しい、とくに年配者は後発の人間の手本になるんだから

.....

〔千日手は相手のミスを誘う…〕

何だか今日は色々思いつく…

ある裁判でおばあさんが、ある家の人間を貶めるためにいろいろやったことに対する証言を迫られたとき、「気分が悪い」と倒れてしまったという話。都合が悪くなると倒れる。そういう教本コミュニケーションだろうか？

千日手というのを知っているだろうか？将棋やチェスで同じ手をするのと同じように繰り替える局面に到達してしまつたときこつ呼ぶ。

向こつが倒れたら、君も倒れればおあいこだ。女性が貧血で倒れるのはさほど不可解なことではない。ウソでやってもお互い様だし。

千日手の醍醐味はこう着状態から抜け出すにはどちらかが違う手を打たない限り永遠にループが続くところにある。相手をループで疲弊させてからこちらのタイミングで仕掛けるのもあるし、かけひきだ。TVのバラエティー番組で「色とり忍者」というやつがある、ナイナイが出ているやつ。あれも同じ答えを繰り返す局面になると駆け引きが始まる。終わるタイミングでミスをした人間が負けたりする。千日手は、相手のミスを誘うことのできる状況を生みます。

だから話の途中で倒れられたら、こっちも倒れてしまえばいい、繰り返しているうちに、なにかミスがおこる。そんな事おもった。これは理不尽な目に遭ったときにも使えるかもしれない。僕は17年前電車の中で皆が僕らを見ているとき「君がかわいいから皆みてるんだよ」と君に言った。君は「そんなわけないでしょ！わからないの？」と言った。もし当時、文庫をあの場合でかざせていたら君を助けられたかもしれない。そんな事無性に思います。

〔意外と有名な割りに知名度の低い問題〕

何が役に立つかわからないものでこれも書きます。

不意に思い出した、まだあった、意外と有名な割りに知名度の低い問題、これも女性の自由よりも家の存続を重視した旧態然とした制度なんだけど、今現在も機能している法律。この法律のせいでパスポートが取れず修学旅行に行けなかつた高校生の話を以前ニュースで見た。

30日だったかな、もつと長いかもしれない…、離婚後ある一定期間内に出来た子供は、たとえDNA鑑定で父親が前の夫でないと証明できたとしても戸籍法上前の夫の子になる。この馬鹿馬鹿しい法律は現在も機能している。

そうはさせたくない夫婦は子供の出生届けをださない、というか出せない。おかげでその子は戸籍も舞いし国籍もない、学校は特別枠で通うことになる。国籍がないからパスポートも作れない、そしてこの問題がここまで深刻なのになにに法律を直そうという動き

がない、というか毎回つぶされる。

たとえ離婚しようと可能な限り家に縛り付けておきたい思想が伺える。というかこれはほとんどペナルティーに近い、男社会からの制裁だ。この事実、何の役にたつか分からないけど、知っておくと何かと不便がないものと思います。

何が役に立つか分からないので書きました、この国は思っている以上に不自由だったりします。

「こんな事思いました」

ローマを占拠した軍人カエサルは旧支配勢力の代表ポンペイウスに停戦の申し出をする。カエサルは戦えばポンペイウスに勝てたけど、戦うより交渉をえらんだ。ただし、停戦協定に1つの試みをしたらしい。その内容にはポンペイウス以外の人間には受け入れられる内容にした。お互いの武装解除を申し出たのだ、ポンペイウス以外は家も財産も今までどおりで何の問題もないが、ポンペイウスだけは軍隊を失う。カエサルも失うが彼はローマを握っている、政治的に優位で再びローマで正当な手続きで軍の指揮権を得ればなんの問題もない。

お互いの軍を解散する…、たったこれだけの条件でこれだけのことをしてのける。ま、故事にすぎないけど、万が一何かのヒントになれば幸いです。

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

第16話 交渉の基本ルール？（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第17話 おわらない話の理由2（未来へと続く話その5）（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第17話 おわらない話の理由2（未来へと続く話その5）

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

〔木曜日…、25日目〕

11日ほど先行して…、

昨日書いた事をみて思った。

「まずい…」

1つの可能性を無視している。

顔の見えない相手と戦うというのは加減がわからない。彼らは打たれ弱い。以前書いた。僕はこの程度の非難平気だがそうでもないのかもしれない。

だいたい耐えてみせると書いておきながら随分反撃していて1つの可能性を完全に無視している。相変わらずそういうところが僕にはある。

家庭訪問は君もやっている可能性が高い、これを読んだら落ち込む事うけあいだ。

じつにむずかしい…

（仮に当たっているとしたら）こう言うしかない。君の名前は物事の真実を探求して理解する人という意味をもっている。その名の力を使って僕の目線を理解して欲しい。

毎日毎日くる見えない相手との戦いは手加減など難しかったりする。

僕が君を好きである事実に変わりは無い。

こんな事覚えているだろうか？

あれはあの僕の大告白の日、君が高い位置でポニーテールにしていちめちやくちかわいかった日の事。あの日は全てが終わると確信した。終わるなら、今までの思いを全てぶちまけよう…、そう思った。あの日以前に君からもらった手紙にこうあった。

先生が私とつきあっていることよくないと思ってるみたいだけど…
僕はこの文章を読んだ時力チンときた。

「先生が」って何だよ！「先生と」だろ！まるで自分が悪くないよ
うな言い方！けど、我慢した、大好きな君を非難したくないからだ。
しかし、悪いのは先生で自分は何も悪くないと書いてあるようにみ
える。

覚えているだろうか？

僕はあの告白の日、全てが終わると確信した日、ついにこの事
を君に問いただした。間違っていると。

「あの手紙に先生が私とって、書いてあったけど、“が”じゃなく
て“と”だろ！まるで自分は何も悪くないみたいで、そうおもって
るだろ！」

君は反論しなかった、僕をにらみそうだと認めた、そして…

睨まれていたから怖くてハッキリ思い出せないけど、僕の言っ
てる事が正しい事を認めた。睨む君。

終わったと思った。

だから全てぶちまけた、君が何よりも欲しい事、何よりも憧れな
事、何よりも好きな事、守りたいし支えたいし、支えあいたいし、
甘えたいし、不安定で欠陥だらけの僕をささえる人が君なんだとい
う事を全てぶちまけた。

あの日地球は滅びた、僕にとっての世界は終焉をむかえた、死を

覚悟した。

目を開けたとき…

滅んだはずの地球はまだそこにあり、君はいままで見たことの無いような笑顔をみせてくれた。

あの笑顔が僕に決意させます。

これからもずっと、正しいと思う事は正しいといい続けよう。

それが彼女の望む世界ならその世界を一生守り続けよう。このあと、天国が僕に道をひらく。君が天使にみえたのはいうまでもない。

今、君は読んでいるだろうか？ わからない。君が今どうしているのか。

でも可能性の1つとしてあるなら書かないといけない。思い出して…、僕は間違ってる事は間違っていると言えないし、君が好きだ。

うまく伝わる事をねがいます。天使が舞い降りる日を信じて…。

ああ、しまった…、肝心な事書き忘れた。もし、これが事実で本当に君が心にダメージをうけたなら、僕は真っ先に言わないといけない言葉があった、手紙にもそう書いてある、ごめん。傷ついたなら謝ります。謝罪します。

こういう事だと思う。違うかな…、意思疎通が出来ないと。

君はどんな選択に傾くにせよ最終的にはケリをつけに現れると信じます。それが望まない答えでもその逆でもアレだけの過去のある2人がケリをつけるために再会するのはさほど不自然な事ではないと、そう確信します。17年前の君、今の君。2人に言います。答

えが欲しいです。君の。

ここで僕が判断を誤ったらまさに思う壺なわけで、強い意志をもつてつづけないといけない。

ここは頭を切り替える意味で日本再生方法でも書こうと思う、違うこと考えることにする。

「日本がアルゼンチンタンゴを踊る日」という本がある、ダンスの本ではない、日本特派員だったアメリカ人経済記者がかいたもの、ここに日本の最大の経済の問題点が書かれている。が、解決策はない。

解決策は2種類あると思う。1種類目は現在進行されていると思われるもので結構ブラック。

もうひとつは未知数だが希望的。

まず先に明記する事実がある。イタリア。

僕らが子供の頃イタリアはハイパーインフレだった、1億リラが数千円？正確なレートは忘れたけどむちゃくちゃだった。けど、今は正常。なぜか？

政府は何もしていない、国民も何もしていない、むしろ何もしないからイタリア経済は立て直った。年配者はあまり感心しないだろうけど、高年齢の人達が亡くなった事によりイタリアは再生した。子供の数が少ないので1人に集中する遺産が時間とともに多くなる、若者はお金を使う、経済のパイは大きくなる。若者の人口の少なさもあいまって雇用状態が回復傾向へシフトする。さらに経済がたて直る…、後は時間とともに減る方々の遺産が1人に集中するというサイクルをここ20〜30年繰り返したことによりいつのまにか正常化しました。

そういえば以前生前贈与税の減額案が日本でも出されましたが同じ効果を狙ったものと推察します。金持ち優遇策だとつづがれまし

だが、貧乏人のほとんどは若者のはずで若者は無党派層、そのような組織だった反論がでるはずもなく、おそらく税収を減らしたくない財務省あたりがバイアスの発生源ではないでしょうか？

イタリアはこのように立ち直りました。では日本は？

まずは歪みがかから説明しないとイケません。

あ、これは純粹に興味で書いてます。

君は好きでないかもしれない、でもまあ、今の僕の人物像がわかる資料くらいにはなると思うので、僕も現在の君の人物像が知りたいです。

ま、それはさておき

日本の負債体質の根幹は戦前までさかのぼるけど長くなるので割愛して戦後のGHQ支配下あたりから考えるのがもっとも理解しやすい。

当時問題だったのが日本人のほとんどが農家だったことだ。

農家はみな豊かになることを望んだ、しかし1930年代からそれ以前の日本では不可能だった、なぜなら当時の技術や産業構造やインフラでは農業で豊かになるには農地を増やす意外方法がなかったからだ。しかし国内には土地がない。

当時陸軍のほとんどは農家出身のもので構成され、土地があれば豊かになるといふ農家の夢はバイアスとして軍に影響を与えた。陸軍主導で海外戦争が始まった背景にはこうした力学がある。満州開拓は土地が欲しかった農家の夢の結実だった。

この状況は戦争が終わっても変わらなかった。

困ったのは日本を占領するGHQだ。このまま農家を放置しては不満分子となって円滑な占領政策がうてない…。

そこで行われたのが「農地解放」だった。大地主から土地を没収

し全ての農家に分配したのだ。自分の土地を手に入れた農家が不満を言わなくなったのは有名な話だ。

けど、この話落とし穴があった。

GHQの事務方はこの落とし穴に気がついていてちゃんと報告したのだが、なによりまず農家の不満を解消するのが先だ、問題はどうせ当面問題化しないと判断され無視された。

この問題点が今日までつづく借金大国日本の歪みの元になっています。

その歪みとは“配られた農地だけでは食っていけない”という事実です。日本が貧しいうちならいざ知らず生活水準の向上とともにまさに配られた農地だけでは食っていきなくなります。多くが出稼ぎ労働者として活躍しました。

長い時間が経て出稼ぎ労働者（＝兼業農家）も変化します。一部は都市化した市民となり、一部は起業し農家から離れ、様々な変化をします。一時期日本人の大多数を占めた出稼ぎ労働者（＝兼業農家）もかなり数が減少中です。

思い出してください、イタリアは高齢者の数が減って経済が上向ききました。

先に述べた外国人経済記者によると日本には20万人の余剰労働力があるそうです。通常この数字は異常でこれほどの余剰労働力（＝1円も稼がない労働力）がいたら企業はつぶれるそうです。なぜ？つぶれないのか？政府が企業を支えているのです、公共事業という名の財政支援で。つまり、公共事業とはこの余剰労働力（＝1円も稼がない労働力、推定20万、関連を含めればもっと多いです、二トの数がかすむほどの数の国民）をただで国が養い続ける仕組みなのです。そして余剰労働力の多くは兼業農家（あるいは元）です。

解決策はこの余剰労働力20万が国の支援から少しでも自立するか、

イタリアのように数が減るまでなんとか持ちこたえるかの2つしかありません。

(ちなみに日本政府は後者のように思います)

国の支援から少しでも自立する方法？農家の会社化しか方法がありません。

具体的例として1例を挙げるなら、まず有志をつのり会社を作ります、参加する農家は自分の土地をこの会社に貸し出し賃料で生計をたてるのです。会社は土地が集まることから来るスケールメリットで仕事ができます。参加農家が事業を別にやっていたら、例えば運送業なら運送業のノウハウが利用できたりします。会社組織にすることでトラクターの購入管理が楽になります、1家に1台でなくてもいいからです。広告や流通のプロを都市部の会社から引き抜くことも可能です。正直農家はマネジメント能力の不足から本来得られる利益を得られてない可能性があります。

うまくいかないところも出てくるでしょう、その場合はうまく行くところが買収できる仕組みができれば将来的には大規模農業株式会社への道が開けます。

以前総合商社が漁村で漁協と協力して会社を作り市場を通さず魚を販売するルートを作ったとき、ほとんどの漁協から断られたそうです。何が得か経営判断が難しいのでしょうか。自力でできる人材(例えば東京で実務をつんだ農家の跡取り)などがいない場合、総合商社との連携が想定されます。何しろ必要なノウハウは一通りもつてますから。連携に国の支援もあれば完璧です。

これができるなければイタリアと同じ運命かもしれません。(あるいは同時並行)

もし、そちらの世界に本当に影響力があるなら日本を救えます。もし、実行したら泣きを見る人たくさんでしよう、だから国も出来ないのです。でもそちらが本気で取り組めば多分出来ます。

Fさんへ、答えが聞けるまで時々こんな話でお茶をにごそうと思います、どうですか？

今日は、ものすごい静かです、何かあったのだらうとは思いますが、だから不安なんです。

けど、こんなことも思った、第1話に戻っただけだ。

あの時点では君はいま幸せなんだろうと、そう思った。それならそれでいい。ただ、20〜30分喫茶店で話ができれば、それで満足だった。

間違ったこと書いたかもしれないけど、合ってることもあるでしょ？たぶん。

ま、どうなるかわからないけど、つづけます。1人で納得して1人で終わらせるのだけはなしで。

ここは、原点復帰だな、迷ったときは原点復帰だ。

ペースをまもって、ペースをつくって…。漫画もまじめに描こう、たとえ妨害されることがあっても、そう思った。

〔金曜日…、26日目〕

12日ほど先行して…、

原点に戻って冷静に考えておもった、というより思い出した、君が一番嫌がっていた事。人から自分はどうだと決め付けられるのを何よりも嫌がっていた。気持ちを中心にしていたけど、こういう行動をするに違いないといった決め付けを何よりも嫌う…。何で忘れていたんだらう…。反省します、ごめん。焦っていたのかな…、い

や、言い訳はしません、僕のミスです、ごめんなさい。

そう、以前の僕とは違う、以前なら徹底的に言い訳をして言い負かした。君はそんな僕に怒っていたと記憶しています。合っているでしょうか？再会したら確認したい（そう、この感じだ！忘れてた！）

素直に謝れる人間になりました。君の知らない僕です。

君も今はどうなってるのか知りたいです、どう変わったのか。

以前本で（といっても千里眼シリーズ、この小説内でたびたび紹介中です）読んだ、人の性格は複数の要素の集合で一側面だけをとらえて性格を決め付けるのはまちがった考えだと。

そして僕はこう思う、性格を決め付ける行為は心を縛る行為だと連想します。「千と千尋の神隠し」にも登場する“名前を奪う”という行為。人を精神的に縛る古い因習とどこかで聞きました、性格を決め付ける行為も似た意味を持っているかもしれない…。これからは注意します。やっと思い出しました。

〔土曜日…、27日目〕

10日ほど先行して…、

Fさんへ、だいぶあたたかくなりました。そちらはどうですか？

最近こんな事思った、このサイトの別の人の作品を見ていて思ったけど、ある傾向がある。

それは僕が趣向していた世界観がいかにもマイナーなものだったかを痛感させる。

何の話か？創作について、僕の場合漫画だけど、褒められはするけど成果につながらず自分なりにいろいろ工夫して勉強した。三段論法やその他いろいろもその過程で身に付けたものだし、パスと

呼ばれる空間を描写する技術も随分練習した。でも届かない。

サイトを見ていて思った。最近流行の…、というか好まれる作品の趣向とはこういう傾向なのだろうか…。東京でさんざん言われた。「今風でない」、古いという意味ではなく、今の趣向と合っていない、という意味だ。

サイトを見ていて思った、みなRPG好きだなーと。僕はゲームをやらない、だから気づきもなかった。異世界とか、こういう傾向かーと思いなんだか感嘆にふけります。そういえばヒット作「ワンピース」もどこかRPGっぽい。ゲームかー。想定してなかった。この歳でまだまだ発見はあります。ま、生活の支障にならない範囲でやるよう心がけます。基礎的なことは出来てると思う、後は「ぐっ」とくる漫画ならではの展開（これが苦手）と今風の趣向が課題です。今書いてるやつは「浮遊感」のある絵にこだわってみました。丁寧に描いてます、時間かかるから丁寧は大変だけど、もう少しだけ正面から真剣に取り組んでみようかと…、何にせよ真剣に取り組めば何かしら成果があるというのは、今回のことで少し納得しました。けど、まだ何も始まってないし、何も終わってない。油断禁物です。

最近「のだめカンタービレ」（アニメ）の最新作がTVでやっていて見えます。ああいうちゃんとした漫画が描きたいというのが希望です、でもあの作者のデビュー作もかなり努力の跡を感じるくらいになってるし、一山超えるのはやはり並大抵の作品ではだめだなと…、1回1回が真剣勝負です、次はないつもりでいかないと、精神の鍛錬が要求される大事です、でもここで努力した事は無駄ではない、そんな事も思います。実際あの猛攻撃をしのげた理由の1つに、君との思い出の他こうした物もありました。

一山超えるのはやはり並大抵の作品ではだめだなと…、1回1回が真剣勝負です、次はないつもりでいかないと、自分で書いておきながら何ですが、現状によく合う言葉ではないかと、そんな事思いました。

どう思っ？いつか会って教えてください、準備の出来た時に。

〔日曜日…、28日目〕

10日ほど先行して…、

君は今戦っているのだろうか…

もしそうなら今頃疲れ果てているはず…（もし、そうならだけど）

気が晴れるような話の方がいいのだろうか…

くわしい状況がわからない今、具体策がうまく出てこないです。

以前書いて消した、ダルマさんが転んだの件。

あれは部活でどこかの会場にバスで部員全員で行った先でのこと、空き時間ができ、男子部員は高校生なのにおふざけで“ダルマさんが転んだ”をやった。きみは僕らがやっている様子が見える位置に腰掛けもう一人いた女子と話をしている。

当時僕が君を好きなことは部内でバレバレで、なんとなく急接近していることも感づかれていた感じだった頃の話だ。男子の一人が僕に言う。

「将来子供何人ほしいとか話してたぜ」

僕に言ったのだが君にも聞こえるように言ったと思う、覚えているだろうか？僕はなんとなく覚えていきます。大きなホールと駐車場、草と木、青い空、そんなイメージとともに記憶されています。

君との子供…、安易に軽々しく言える話題じゃないのはわかって

る。

もし、君に今子供がいて、それでいて離婚して子供は？となっていたらどうするのか。

これは以前別の場所にも書いたけどもう一度ここに書こうと思います。

あるニュースでこんな夫婦の特集がやってた、父親は初婚、母親は再婚、女性には再婚時1人の男の子がいた。男性は決意する。

「自分の子ができたら愛情に差が出る恐れがある、そんなことになったらこの子がかわいそうだ」

彼は避妊をして自分の子を作らなかつた、男の子は12歳(だったと思う)になり、いまや3人完全に家族として仲良くしている…。

これは実話です。こうすべきなんだと思います。

家族になつちゃえば、何の問題もないと、そう思います。人を支えるのは血かもしれませんが、実は思いでもかなりのウエイトで人を支えています。3人で思い出をたくさん作ればそれで良いのではと、そんなイメージを持っています。

僕は随分君からもらった思い出に支えられた、たぶん、「わがまままだ」とか君に言う人がいたとしたらそういう経験を生まれて1度もした事がないのだと思う(あるとしたら強がりで無いと言ってるだけ)。

君が望む世界を僕も希望します。どうするのか、どうなるのか、不安と期待をこめて見守ろうと思います。この先新しい思い出が君と(もしかしたらもう1人?)一緒に作れる日があればいいなと、そう希望します。大変かもしれないけどがんばってください、応援します。

〔月曜日…、29日目〕

10日ほど先行して…、

Fさんへ、君は今戦っているのだろうか…（そう仮定して書きます、もし、間違っていたとしても君を想う気持ちが形になったものと理解していただければ幸いです）

東京で3年いびつてくれた彼のような性格の人物がもし相手なら苦戦は免れないと想定します。あの性格より最悪なものは思いつかないのであの性格を比較モデルにして書きます。

向こうは一度“こちら”を“人ではないと認識するところまで心を閉ざせる究極のスキルを持つている。彼を説得する近道は彼が尊敬している人や畏敬の念を持っている人、つまり“彼”の上位者や影響を与えている人物の方を先に説得した方が実はいいのかもしれない。組織の後ろ盾がなければ人間関係1つまともに作れないと想定する（怒らないで聞いてほしい君の事は言っていない、あくまで僕が東京で観察した彼をモデルケースにしている）、その場合数少ない組織外の友人関係は貴重なものでそうした友人を説得して味方にできれば少なからず優位になるかもしれない。

以前、こんな事本で読んだ。ユダヤ人の富豪が日本人青年をパーティーに連れ出しこう言った。

「この（パーティー会場の）中で人脈を広げたいと思ったら誰と知り合えばいいと思う？」

青年は会場を見渡して一番人気のありそうな人物を指差した、人気のある人と知り合えばその人の人間関係とも知り合えると考えた。しかしユダヤ人富豪はそれは正解ではないと言う。

「彼だよ」

と富豪が指差したのはその人気者の人物の横にいるさえない風体の男だった。

富豪いわく人気者の人物と知り合ってもその人の友人関係の輪の中で止まってしまふ。仮にこの人気者の人の友人関係をAグループとする、別の人気者の人のグループをBグループとする、AグループとBグループは接点がないので永久に交わらないように見えるが、そういう時かならず両グループの仲を取り持つ人物が登場する。たいてい冴えない人物だったりするらしい。こういう学閥や門閥を横断的に渡り歩いて交流する人物をフィクサーと呼ぶらしい（違いかもしれないけど僕は今、その様な解釈をしています）まあ、フィクサーの事を言いたくて書いたのではない。何をいいたいのかと言うと…。

人の人格は1人ではなく多くの集団の意思、つまり集団人格である事が多い。とくに「社会のルール」を重んじるならなおさら集団人格の1つとして考え、行動する可能性が高い。だから、説得するならその人だけでなく周辺の人も説得した方が効果はある。もし影響力のある人に偶然あえたらチャンスの1つかもしれない。しかもその影響力ある人が「組織外」の人なら効果は高く思う。（相談しに行くとしたら菓子折り持参くらいがいいかも）

これが言うほど簡単でないのは知っている、ただ、知っているのと、知らないのでは大違いと言う事で書きました。何かの参考になれば。

ついで付け足すなら、今まで書いた事と合わせて現状に合わせて君なりの修正を加えた方法をためすのもいいのかもしれない。

少しやさしくして突き崩す方法もあります。精神の揺り返しは彼

らの十八番でもある。同じ事をやり返せばいい。うまくイメージできない？例えとしてはいまいちだけど、イメージとしてなら上手く伝わるかも知れないので書きます。

映画「エイリアン3」で、エイリアンは無敵です、どんな攻撃にもびくともしない。そこで高熱で殺そうと試みる、しかしなんとエイリアンは超高熱にもびくともしない。しかし、超高熱を浴びたエイリアンが偶然にも超冷気を浴びた瞬間急激な温度変化に体が持たず爆発する。

何が言いたいかというと、攻め続けるだけなら相手にも“耐性”ができてしまい、日に日に効力がなくなる。逆の手を使い油断したところ強硬に攻めるなども変則リズムは相手もキツイと思う。君にこれがそう簡単にできない事は知っている。けれど、何が役に立つかわからないので。

あとこれも君にはできないかもしれないけど、怪文書やありもしない話で相手を貶めるというのも彼らの十八番だ、今まで2人ともさんざんこれはやられていると思うからそろそろやり返してもいいのでは？

相手がガチガチに高圧的な人物ならどんな甘え方をするのか流布するだけでプライドをずだにできる、何もやれとは言わないけど、ほのめかすだけで十分効果はあると思う。なぜそう思うのか？もし、本当に今戦っているならおそらく君は相当精神的にきている？と推測します、相手もそれはわかっている？そんな状態の君がほのめかす事は、例えやりそうもない事でもやりそうに見える。そんな風に感じます、そこまで追い詰められてなければいいのに、と思うのが僕の希望ですが。

ペースをまもって、ペースをつくって。ここで爆発して、何もかもどうでもいいように感じたら相手の思う壺です。

あとこんな事思った。

以前近所の集会所について言及したけど、以来人の出入りを感じない。それまで気軽にやっていたのに言及された事により心にブレキがかかったのだろうか？言及した日遅くまで話し合いをしていたようだ。なぜわかるのかは書かないがそう思った。

この仮説に基づくなら、君が事を公おおやけにする程に、“もう関わりたくない”と思う組織内の人間が増えるのではないかと推察する、公外部者の干渉にさらされる行為で、組織内においてタブーなはずだ。

裁判所や弁護士（もしいたら女性の権利を守るNGOとか？）巻き込まれる人間が多くなればなる程、みな組織的なつながりを一旦放棄する様に思う。

つまり、長期的に見れば君が戦っている相手を孤立に持ち込める。ポイントは彼らは孤立が苦手だ。

君も僕も孤立には慣れていていると思うからいまいち気がつかないけど、世の中にはちょっととした孤立でダウンしてしまう人も実際いる。

このまま長期戦にもちこめば相手方が失うもの（組織内の立場や人間関係、発言力など一度失うと回復困難なものばかり、一方君は小額請求訴訟制度があるかぎり旦那から生活費と養育費ととりはぐれる心配は無いから、子供と2人で安心して生活できる、長期戦になればなるほど君が得なのだ）大きさを理解させられればいい方向に持っていけるように感じる。

あわてる必要は無い、長期戦で苦しいのは圧倒的に向こうだ。

それに長期戦になれば再婚のチャンスもどんどん無くなる事も相手に理解させる必要がある。おそらく相手は君より年上のはず、ここでずるずるやってるとマジで老後1人であることを訴えればいい。なぜか知らないけどそちらの世界では“老後の世話”というキーワード

ードが重く重んじられているようだし、（やはり老齡者の自分本位が発露した結果なのでしょうか？）。

長期戦では矢うものは向こうのほうがはるかに多いのです。

いつまでも僕は君の味方です。いつまでだって待てます。がんばって。

そうだ、あんまり暗い事ばかり書くの気落ちしちゃうので、少し明るい話題（妄想）を書きます。これはあくまで小説ですので展開に硬軟を付けなければ物語としては失格です。

最近グーグルアースで伊豆半島を見ていた、以外に近所なのに知らない所も結構ある。西伊豆に「恋人岬」を見つけた、聞いたことはあるけど場所を知ったのは初めてだ、案外に近い…、たぶん、たいた事の無い普通の岬なんだろうと思う、そうに違いないと思う、こういう所は“誰か一緒に行く人”がいた場合に限りものすごくものすごく楽しみな場所なんだと思う、僕にもこの何の変哲も無い岬が楽しみにできる機会が巡って来るでしょうか…、そんな妄想を夢見ます。あくまで夢です、けど、夢って案外に心にとって重要だと思えます。そんな事伝えたかった。

あと急に思いついた彼らの“しかめっ面大作戦”の全貌が。

きっかけは割愛しますが、ある理由で気がつきました。

ありとあらゆる人が“しかめっ面”をさらす事で、対象（この場合僕）にプレッシャーをかけようという試みだ！あの頭の後ろにてをやってしかめっ面をこちらに見せる人！道行く車の中とか、自転車に乗るやつとか、あと手を使わずとも単にしかめっ面をさらしている人（特に男性は普段からしかめっ面多いけど、女性のしかめっ面は珍しいにもかかわらずやたら見る、歩いている人でも、車内の人でも）。

最初に気づいたのはレジでだ。僕が買い物する立場のとき、ものすごい顔の女の人（口をとんがらせて）、なまじ接客経験があるからそれが普通でない事にすぐに気づく。

しかめっ面の不自然な人を探せば見分けがつくという事だろうか？あの自信満々に隙だらけでしかめっ面の人を探せば普通の人と区別がつくのだろうか？あと初対面では謙虚さが見えたのに次会った時しかめっ面の人とかも。

まあ、また遭遇すればここに具体的に書いてゆこうと思います。そのうちまた新しいことに気づくきっかけになるかもしれない、理解が深まれば対応もしやすいし。今後のためにもなる。

けどこんな事想像もする、おそらく2人そろって歩いたら、みな禁忌に触れる思いがしてこちらを見ないのではないかと…、そんな事、想像しました。どうなんだろう…。（正月に甥と歩いたらそんな状況でした。たぶん）

「アール15指定について」

最近上記指定の基準が厳しくなったらしい、性描写は何とか大丈夫と思うけど、いじめ描写と判断されたら消されかねない…、再投稿時にはいじめ描写を消したものになり、おそらくだいぶ趣の違うものになるか、あるいは15〜18歳以上の指定をすることになると思います。

まあ、消されることもあるということ。君に伝えます、もし手元にPCがあつて、仮に保存してきた話があつたらコピーすることも可能です。全文コピーしてテキストなりワードなりに貼り付ければ大丈夫です。

（読者の皆様へ、ご存知の通り（？）この小説はリアリティーを追求した変則スタイルで書かれています。どこが引っかけかかって消されるかわかりませんが可能性大です。消された場合、同タイトルで年齢指定をつけてリアップすると思いますので、もし、仮にお読み

の方がいたとするならば消されたとしてもリアップに備えて、時々作品タイトルを検索してみてください。)

〔火曜日…、30日目〕

10日ほど先行して…、

離婚届は役所に出すところまで見届ける、というか君自身の手でちゃんと出さないといけない。

彼らはどんな奇策を使ってくるかわからない。

もし、2人で提出しに行っても、出した書類が間違いなく離婚届(別の書類なんて姑息な手もありえなくは無い、)かちゃんと肉眼で確認する必要がある。念には念を入れないとどこで足をすくわれるかわからない。

提出したら窓口の人にそれが間違いなく離婚届か口頭で(つまり口で)答えてもらい、さらに「有効な書類」かちゃんと確認したほうがいい。さらに言うなら、どのくらいで「戸籍謄本」に反映されるかも確認したほうがいい、なぜなら後で実際に戸籍謄本を役所に取り行つて実際に本当に法的に離婚しているか再三確認した方がいいからだ。どんな奇策を使ってくるかわからないからだ。

戸籍謄本に関しては僕もなじみが無いので詳細は知らないけど、住民票より上位の書類で、その人物の国籍、生まれ、性別、両親や家族など、全部かいてあるらしい。案外に君のほう詳しくあったりして…。

役所に申請すれば戸籍謄本の“写し”がもらえるはず。

申請する場所はおそらく君が生まれたとき出生届けを出した地域の役所だと思う(その後移動させてない限り)。

詳細は専門家（＝役所の人で充分だと思う）に確認してください、僕も実際にとつた事ないので詳しくない。

戸籍謄本の見方は役所で聞けば教えてくれるだろうし、だめでも役所には法律相談コーナーがあるはずだから案内所できいて、そこへ行きもらった戸籍謄本の内容が間違いなく離婚を表しているか確認すると思う、ただ書類提出して終了より精神的にも安心できる

出すはずの書類を出さないという手もあると脱会について調べていた時読んだ。可能性があるなら注意を払うべきだ。

今、どの段階なのだろう…、分からない。けど、あらゆる可能性を想定して書きます。これが少しでも役に立つなら幸いです。

僕は君の望む世界が実現する事を何よりも望みます。

春よ、来い（松任谷由実） という曲がある、昔よく口ずさんだ。調べると1994年リリースとある。ちょうど君と別れて2年後くらいだ。これを聞くと当時の心境に戻ります。何がいけなかったのか？どうしてこうなったのか？と迷宮のようなパズルを意識的にしる無意識的にしる解こうと必死だった。

また恋なんて出来ると軽く思っつていやけど、実際君のように心の通じた経験は皆無だった。

心が不安定になると、君の姿を思い出す。

彼女はこんな自分ですら受け入れてくれた、こんな自分にしる何かしら期待をかけてくれたのだ、その期待に報いなければ！そう考えると、不安定から抜け出せる事が良くあった。

こんなシーンを連想する、映画「フォレストガンプ」で主人公フオレストは幼馴染の恋人ジェーンと僕ら以上の年月のすれ違いをへてようやく一緒にいる。フォレストはジェーンに彼女がいない間どんな風に過ごしたか語って聞かせる。するとジェーンはいう「私もその夕日見たかった」するとフォレストはこういう「君はいつも（心の中で一緒に）いたさ」。

セリフの正確さは忘れたけどこんな感じのやり取りをする、言葉遊びに過ぎないように感じるけど、なんだかそのやり取りは2人を納得させるのに充分に感じてしまうのは変なのだろうか…、そんな事思いました。そしてこんな事もおもった…、いやこれは君に直接言いたい。公衆の面前で込み入った話をしないで済む日が来ることを祈ります。

〔水曜日…、31日目〕

10日ほど先行して…、

一度書いたもの消しました。

なんだろう、今ここに書きたいものはあんな説教じみたものではない、今、ここに書きたいものはこれだ！

2人が完全に対立していた頃の事。君は睨んで僕に言った。

「皆にはだまってるって言ったでしょ？」

セリフは違うかもしれないがたぶんこんな感じの事を言った。

僕は君が先生と付き合っていると聞いてから露骨に態度で不満を表した。君はそれが気に食わない。

事あるごとに、睨む君。

自分の大切な部分に触れてほしくない気持ちはわかる、じゃあなぜしゃべった!?!とそう思った。

助けてほしいのか？いや違う、おそらく何が思いを共有して欲しかったんだと思う…。

先生と別れてほしくて露骨に不満な態度の僕、半ギレで睨む君。自分の人には言えない暗い部分も認めてほしい、なのにこのひとは認めようともしない…

そんな態度だった。

僕も負けなかった、いけない事はいけない、別に先生が独身ならここまで反対というか、抵抗はしない、けど、君の人生の自由も尊重したい、その制約の中ギリギリのラインで君に抗議した。

あれはまさに“根競べ”だった。

どちらが折れるか、戦いだった。ろくに会話もしない日が幾日も幾日も続いた。

何が転換点だったのだろうか？先生がいなくなる前にすでに転換点が来ていたような気がする。

人間の性格は複数の要素の集合体だ、それは以前書いた。

君の人生を尊重したいと思い、いけない事はちゃんと訴えたい思い、相容れない2つの想いが独特の感情となって君に向けられた。いつのまにか対立は頂点を越えていたように記憶している。だんだん君は優しくなっていた。あいかわらずな僕にあきれてしまったのだろうか？

非難的態度をずーっととるのに一向に軽蔑へと変化しない僕の態度が理解されたのだろうか？

僕としては精一杯自制したつもりだ。

なのに君はまだ足りないという。

完全な根競べだった。

あの大告白に日、僕は言った。

「Fさんにだけは口げんかしても勝てない」

すると君はありえないという顔をしてこう言った。

「Kくんの方が（口げんかは）すごいわ」

お互い譲れない一線では徹底的に譲らない、完全な根競べになる。なんだか似てると思った。

覚えていてくれたら幸いです。

そうだあと今日あった事、本当は書かないでおこうと思った、書くと来るから。けど、そのリスクを犯してでも書く価値があると思う。

今日車で出かけた。途中ラジオの選局を変えようと公園前で停車した。斜め前にはアパート用の駐車場入り口がある。

すると一台の車が僕の車と対面する形で停車する、車間距離数センチ、対面で？意味がわからない。まあ、こちらは初心者、素直にどうしたいのか聞いた。返事なし。よく見るとこのあたりで低周波走行をしている車にそっくり、、、などと思っているとどうやらバツクしろといつている。意味がわからないがとりあえず下がる。

通常ならこちらが完全に停止してから動くはずなのに、その対面車は車間距離が開かないようにこちらの動きにあわせて前進してくる。彼らだとしたら「ああ、またか」と思っし普通の人なら危険走行をする「キチ イ」だ。

だいたい僕の車をどかさなくても駐車場には進入可能で拳動がおかしい。なにかぴんと来る。

ためしに別れ際「危険な走行やめてくださいね」と声をかけた。いや、びっくりした。まさかその後追いかけてきて停車際乗り込んでくるとは。

この人がただの変人でも彼らでもどつちでもかまわない、ルールを破ったものの負けなのだ、この局面では。車に乗り込んだ時点でこのおじさんの負けは確定している。

何度もいうようにルールのルールを破った者の負けなのです。

チカンに襲われたときの対処法は？ 大声を上げる、防犯ブザーを鳴らすなどです。

ではこの場合は？ 正解はクラクションを鳴らし続けるです。大体法律で緊急事態には鳴らしていいと書いてある。これは明らか緊急事態で堂々とならせる。家々から人が出てくる、あせるおじさん。

だいたいこの場合のパターンは決まっている、大概どこか人目のつかないところに車をはしらせて締める気だ。パターンがわかる。案の定そのようなことを言う。

そして次は免許証を取り上げてこちらの自由を奪う気だ、やはりそのようなことを言う。ワンパターン。

クラクションを鳴らし続ける僕。よほどこれがいやらしい、だんだん劣勢になる。

そもそも本当に警察を呼ばれて困るのはこの人なのだ。

これがルールのルールを破ったものの負けという意味です。

ころあいを見てドアをあけてあげる、おじさんはきっかけが欲しかったのだ、素直に出て行ってくれた。一件落着です。

何かあつたら周囲の目です。防犯ブザーが効果的です。

うまく伝わる事を願います。君の強さに賭けます、君はぼくが負かすことの出来なかつただ一人の人です。自分で思っている以上に強い。日本は法治国家です、ルールがある限り大丈夫です。信じています、がんばって。

(この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。)

第17話 おわらない話の理由2（未来へと続く話その5）（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第18話 おわらない話の理由3（未来へと続く話その6）（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第18話 おわらない話の理由3（未来へと続く話その6）

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

〔月曜日、1日目〕その1

もう一度言いますが僕はまだ生きています。

17年前の彼女には責任がある、けりをつける。その事に関してはお互い意見の違いは無いと思います。そしてその彼女は今現在も君の1部だ。多くのものを失った、仕事も友人も人間関係も、そしておそらく将来の展望の多くも制限されてる…、そんな僕の僅かなのぞみ、そして鍵をもつのはきみだ。

…できない？

なら、1つだけお願いがある。せめてこの監視の目を何とかして欲しい、いや、無理か…、ごめん無理言い過ぎた。そんな事ができるならとづくに…。

君は僕の誕生日を覚えているだろうか？もう半年きった。次の誕生日まではギリギリ適用年齢なので普通の就職活動を続けます。いままでその内容をここに書かなかったのは彼らに妨害されたくなかつたからだ。けど、半年きった。そろそろここに書こうと思う。僕はまだ生きています、生きる証をここに記していこうかと、読んでいてくれる人がいるなら書きがいがある。それにこの先どの程度干渉されるかのいいテストになる。

第3話を読んでいて思った、当時は君の想いに圧倒されて咀嚼しきれないでいた。あきらかに。以前の僕と真実に気づいた今の僕は別人だ。人生観がまったく違う。

君の望む世界が実現する事を何よりも願います、それは変わらない

い、でも1つお願い、これからも続く“僕自身の自由を賭けた戦い”には人生の1部でいいからつきあってほしい。このお願いはわかまま一步手前ギリギリのラインのお願いだと思う。何も言わずともいてくれるだけで安心する気持ち、君にもわかるはずだ。あんな感じですよ。伝わっただろうか。

出来れば助言や警告もほしいし、参考になる手段も何らかの形で知りたい。とりあえず目下の課題は就職活動。本屋に就職したいです。いま、浜松の本屋に履歴書を送っている返事待ちです。

その他にも名古屋の本屋にWEB応募した、音沙汰なしな感じですよ。

漫画も現在講談社四季賞に4本ほど投稿中です。これとは別に現在1本製作中、現在11ページめを手に付けているところです。

最近気になるのはレンタルDVDで「ローマ」というシリーズです。そのうちいろいろ感想でも書きます。

君が人生を再建したなら、僕は消え…、とんでもない。生きてます。

僕の人生の再建を見ていてください、かなりスムーズでないと思うのですが。今もそとで車がうなっている。これは僕の人生の再建をかけた戦いなのです、どうか見守ってください。

とりあえずはテストです。今弱音を書きました、どうリアクションがかかるのか。

そうだ、こんな事あった、部活でホールで演奏会をしたとき、片付けをしていると君だけなぜか理由があつて残ると言い出した。何のことやらと思っていた。

のちのち親密になってから聞かされる、先生と会っていたと。

僕がどれほど嫉妬したかわかってるはず？なのに結構僕のリアクション楽しんでいた…。けど、あの時は実際となりに君がいた訳でそれほど悔しくないし、第一随分鍛えられた、精神面を。何しろ毎日恋敵の指導を部活で受けなきゃいけんのだし、そんな事思い出した。これは初めての経験ではないのです。

でも、君は親密さをあらわす手段として自分の秘密を打ち明けるという方法をとる。

あまり、あれはやらない方がいいよと、そう伝えます。

なぜなら僕も親密さをあらわす手段として、自分の欠点をさらすという方法をとりがちだ。けど、相手次第で服従の姿勢ととられかねない。だからやめる、というかクセだから気を付けるようにしています。君も気をつけたほうがいい、相手になめられるから。多分。

泣きはしない、もう泣かないと決めただし、第一もう泣き枯れた。

希望かー、漫画かきながら本屋やってウンチクで周りを閉口させる毎日でしょうか。でも長期目標は人生観が変わる前からある。介護される年までには人当たりのいい性格を手にした…。これ僕の長期目標で10年くらい前から言っています。人格を磨かないとこの最終目標には到達しません、日々精進です。

どんな手段でもいい、どんな話かいたら売れそうかアイデアがあれば欲しいところです。

今回のことでわかったのは時間をかけて観察をくり返せば、見えないものも見えてくるという能力がどうやらあるっぽいという感覚です。なんとかこの能力を漫画に生かしたい…。ころんでもただでは起きませんよ、それは君が一番良く知っている事か…。

今書いているものとは別に、このサイト、じっくり観察してみようと思います。創作意欲のある人というのは間違いなくコアユーザーに近い人たちと思うので。

さて、修理に出した自転車をとりについでいけません。
自動車で大型店の立体駐車場は慣れてないので気合入れて行かないと。

で帰ってきた訳だが…

やはりいるいる。茶色い坊さん風の服着たおじさん。前一度顔見
てる…、今日の白い帽子は変装のつもりか威圧のつもりか…、腕組
みして歩く。

あの口をくちやくちやくしてあるくのも良く見る。

顔に手をやるのは今、一押し of 攻撃暗示らしい、たくさんの方が
やる、さきのくちやくちやくおじさんも含めて。おいおい、傷心の
人間に追い討ち？なんて素晴らしい「伝統と文化」何でしょう！子
供たちにぜひ伝授してあげてください、きつと思いやりあふれる子
供たちがたくさん出来て日本は楽園になるでしょう。…言い過ぎた
？ま、遠慮する必要はないので。ええ？（今まで）どこが（遠慮し
てたの）？そんな感じのやり取りを先生にたいしての話題で彼女と
したような気がする、懐かしいです。

今日の笑顔のおばあさん…こわかった。あんな笑顔で鼻自信満々
にこすってた。

東京で見た大家さんと類似の人格モデルなら、あの行動は理解で
きる、スイッチ1つで人格が180度変わるあのこわさ、異常です、
あ、間違えました以上です。

今日ちよこーつと外に出ただけでこんなんです。

僕の再出発への挑戦は波乱万丈かもしれませんが、人生って面白い。
見るだけならただなので見ていてくださいね。

ちょっと毒吐きすぎたかもしれない、いまだ君からもらった心は

「私にどうして欲しいの？」

と、君は困った顔で言った。あのかわいいポニーテール姿で。

「付き合って欲しいのさ」

と、僕はいった。

「それは無理よ、ほかにどうして欲しいの？」

たしかこんな事言ったように思う。今思うと2人とも子供だなと思うが、当時は真剣勝負だった。

「つきあって」

「ほかにはどうして欲しいの？」

と延々と繰り返し返した様な気がする、君の記憶ではどうなってますか？この世でこの間違いを修正できる記憶を持っているのは君だけです。

「わたし、部活やめるかもしれない」

そう、言ったような気がする。僕はまたか！と思った。

「そう、やめれば」

とか、言ったのか、あるいは。

「また、そんな事言ってるの？」

とか言ったのではないだろうか？君の記憶で間違いは修正してほしい。

で、この辺りから、ああ、これはお別れの儀式なんだ…、もうあえなくなるのか…、と気づき始めた。だから全てぶちまけた訳だ。

嫌われてもかまわない、むしろその方が好都合だ。だから、リミッターを解除した。

このリミッター、解除してみようかななんて思います。恥ずかしかるような事は描かない。ただ、君が傷つく事を恐れず“彼ら”についてこれからも描きます。

君には3人の部下というか、君が勧誘した人がいるのだろうか？あくまで根拠の薄い勘ですが、このくらいすると組織内である地位が確立する？

…もしいたら気にする必要は無い、人間は自由であり、自らの意思で3人は入ったのだ、君のせいではない。君は生まれたときから入っていた、君の意思でない、そこが違う。

だから何も責任を感じる必要は無い、君は大きな意思の中で集団の代弁者を演じたにすぎないのだから。例えて言うなら、極悪人を弁護する国選弁護人だ、本当はやりたくないけどいやいや弁護してやる。あれと一緒にだ。公人と私人を混同してはいけない。公人としての義務を遂行したまでの事。

僕は17年前気づいてあげられなかった…、あんなに君がたくさんのヒントを出していたのに…。

もし、気づけていたらこの事実は存在しない、だから、これは、僕にも責任はあるのだ。君がこの17年してきた事には僕にも責任がある。そして、君にも僕の人生の…。

これは公人としての義務ではない、私人としての義務だ。2人はお互いに借りがある…。

自分が一番正しいと思ってるでしょ？そういう所よくないよ、17年前の君は手紙でそう訴えた。

ならば僕はこういう、君は死に直面した恐怖がないでしょう？全てが無に帰すあの恐怖。僕は大病をし、あの猛撃を経験し、死線を越えたのは何度もある。誇張は無い。

病気の時は明日いなくてもいけない恐怖（だからやりたい事を続けようと思った、死ぬ前に遣り残しはしたくない、それで漫画を続けた）

警察に逮捕されるかもと考えた恐怖。（実際、傷害罪でつかまったら最短でどのくらいで出てこれるかまで計算した）

だから言うのではない、一般論でも言う、君は臆病だ。心が折れるときはすぐ折れる…。そういう所よくないです。すぐ付け入られるから。メンタルトレーニングが幼い。そこがかわいいと普段なら言うが今回は言わない。こわい？馬鹿馬鹿しい、電話一本くれればかけつけて軽くひねってやる。

出来ることならその悩み、分かち合いたかったな。その機会が来る夢くらいは見てもいいよね、そう思った。

親を恨む？これは僕自身の話だけど、東京で病気で死にかけて。身動きできず部屋でどうにも出来ない状態だった、まじであのまま死体になるかと思った、死ぬ前に君に会いたいな、走馬灯がめぐる動かない体をなんとか回復させて電話をした、その日のうちに救われた。それ以降、親へのわだかまりは薄れた。

へたな慰めより、こういう経験談のほうが聞きたいのだろうというのは知っている。当たり前でしょ？君の中にいる17年前の君に聞いてみてください。外れてたら…そのときはごめん。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔火曜日、2日目〕

いまもエンジンのうるなる音、まったくたいした「伝統と文化」です。

僕には何がもう遅いのかわからない…、君は、Fさんは、本気でその世界でその子を育てる気ですか？自分の不幸をその子にも背負

わせる気ですか？これは君の人生の問題ではない、その子の人生の問題だ。自分の生い立ちを振り返ってほしい。

沢尻えりかの旦那みたいにはいかないけど、僕もあんな風を守る力があつたら違うのだろうか…。

「もしもピアノが弾けたなら」という古い歌がこだまします。

君に問いかけます、これを読んで、もしキレてる僕の顔が浮かんだら、それ正解です。

でもいくら非難しても、僕が君を軽蔑しないことは知ってると思う。だからなのかな…、君も決して僕を軽蔑しなかった。さいごまで…。

さて、キレるのは終了して冷静に分析。

行動パターンはたぶんこうでしょう、無駄とも思える努力の積み重ね。だから未だにくる、あきらめない。たぶん、自殺させたいのかな？けどそれはもうない。大切なものを思い出したから。

そっちがその気なら僕も“無駄とも思える努力の積み重ね”をすすめるまでです。君の事だけでなく、いろいろな事で。根競べでは負けません。

たぶんイニシエーションの意味で君には何か課題が課される？そう予測します。

その時は、それが本当に君のやりたい事がよく考えてください。

こんな事妄想します、沢尻エリカはスペインか…、ヨーロッパまで2人で逃げたらどうなるのだろうか。言葉の通じない地でやっていけるだろうか…。いやいや、そこまでせずとも介護士の資格だけで充分だ。

じゃあ子供は？いじめられないか？…やはりここがウィークポイントになる？そんな事妄想します、妄想です。君の懸念を吹き飛ば

すナイスアイディアがあればいいのですが（だいたい超能力でもない限りそれを性格に予測するのは神業になる）、というか駆けつけられればいろいろできるのに（状況がわかればだいたい違う）…、残念です。

あ、仮説に基づく妄想です、これを本物の君がどんな顔で読むだろう…、手紙にあった、しかってくれるときはちゃんしかって欲しいと…。どうなのだろう。

どうですか？久しぶりに聞く外部からの“正論”は、耳障りだけで懐かしいと感じてくれたら幸いです。

そちらの世界では、あの男もそのうち自分の人生を見つめるから大丈夫、とか言われているとしたら大間違い、いまだに監視は続いているし、攻撃もある。たぶん、「死んだ」ではだめなのでこうしたいのだろうか？という事は、あの猛攻撃はマジで僕に自殺させたかったのだろうか…、文字どおり本当に死んだなら何の問題もないし、たぶん僕でなければ、無事ではすまなかった。

だから、続けないといけない。

彼らは、ついこの間まで僕を社会的に抹殺するため、傷害事件をおこして、その濡れ衣を着せようとしたばかりでなく、新橋という町レベルで攻撃をするという事を。本当についてこないだまで笑いながら、平気でやっていた。

自分本位に現実をねじまげて正当化するのも大概にしてほしい。戦いを仕掛けているのはそもそもそちらで、平和に暮らしたいのはこちらなのだ。

人は自分がこの世で言われて一番いやな言葉を使って人を攻撃する。

人格攻撃をする人は、人格の欠陥を気にしている人だし。

詰めが甘い！という人は、自分の詰め甘さを気にしている人だ。

年金も無いの！？という人は、常に老後の心配をしている人で。

人を悪魔呼ばわりするひとは、自分が悪魔であることをきにしていて。

人をキチガイ呼ばわりする人は、自分がキチガイであることを自覚していて、それを言われるのが一番いやなのだ。

もし、それは濡れ衣だ！というなら。仕事ください。

その他行動で証明して見せてください。

言われました

「口の減らん餓鬼やな！」と、あの乗り込んできたおじさんに。ヤクザみたいですね。

富士宮で女子部の子をぶん殴り、しかも会場所でその怪我をした醜い写真をポスターにして張り出し、悪いのは殴った幹部なのに、その子が全部悪いと書いてさらしものにする。こんな事平気でするんですね。ぼくは救いたいです。僕の言っていることのどこが間違っているのか、言えるものなら言ってください。彼女がこれをどう見るかわからない、けど見ていて欲しい、そう思った。

僕があの一七年前の夏祭りの日、あの話をちゃんと聞いていたらこんな世界に君をい続けさせなくても済んだ。僕にも責任がある。君はどう思う。あやまりたいです。ごめんと、ああ、そうか、この試練はその罪の罰か…などと感傷めいた事思っても仕方ありません。時間が戻るわけでもない。

こんな事思った。君から貰った思い出は今も生きています。僕を支えている。では、君はどうなのだろう…、君の中の僕の思い出はどうなっているのだろうか？生まれてはじめて本音を聞かせてくれた男、決して自分を軽蔑しない男、どんなに…

今も君を支えているならそれはそれでうれしい。

もし今でも思う所があるなら、僕を叩きのめしに来てくれませんか？

でも、それが出来るくらいの意思の強さがあるなら、もつという
いるできるのか…

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔火曜日、2日目〕その2

そもそも疑問がある、なぜに子孫繁栄？なぜそこまでこだわる？
なぜ自分の子にしがらみを持たせる？

他人の家族にどうしてそこまで肩入れするのだろうか…、だったら
家も何とかして欲しい。部外者ならではの疑問。たぶんそう感じる
のでしょうか。僕のような境遇になる恐怖？ああ、そうか！！そうい
う目に遭うぞというあれか！！それが彼女の恐怖でもあるのか…。
見せしめね…。愛とか言つてて普段どう思ってるのでしょうか。理論
が整ってない。そういえば、どこの宗教も無償の慈善事業って必ず
やるけど、そちらは金を取ることとはあっても逆って無いですよね。
たぶん。普通じゃない。

それでも生きて見せましょう。生き残る事自体がそちらの敗北な
ら。

たぶん、君1人なら来たかもしれない…、50%くらいの確立と
ふみます。けど、子供がいたのでは無理ということか…。そちらの
世界では活動しない家庭を“寝た”と表現すると聞きました。可能
な限り寝かしてあげてください。それとも一緒にヨーロッパでも…、
いや妄想か。

そう、こんな可能性もある。そちらの世界では気に食わない相手に、死ねとよくいうみたい。

いじめで黒板にそう書かれた経験はないが、その様な話は良く聞く。

ひおつとしたら、いじめ件数の少ない地域は“彼ら”も少ないのだろうか…。いじめも組織を代表する文化と皆が認めている？それなら確かに自らの身分を明かしたくないわけだ、掃き溜めの君臨者という称号はかっこよくない。それでイメージをいつも気にしている？組織が掃き溜めで満たされているのを知っているから…。

君が子供を置いてこちらに来ることは不可能だと考えた。

そもそも、君は気持ちになにより大事にする人だ、おそらく、世界でただ一人、もつとも心を通わせられる存在がその子だと考えた。ずっと君が望んでいた存在かもしれない。普通の母親以上に愛情の対象である可能性が高い、それほど間違っていないと思う…。どうなのかな…

ちなみに僕のこの記述を凶器とかに例える人がいたとしたら、それは普段から自分が凶器を使っているという自覚のある人です。もし、その自覚の無い人がこれを読んだら「ひどい話」以上の感想は持ちません。悪人ほど、善人の行動が悪魔に見えるのは自分が悪魔だからです。

ぼくは彼女に悪魔が憑いていようと好きだったりします。

-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-

〔火曜日、2日目〕その3

内村輝 さんはうわさでは随分追い込まれたそうです。うわさです。どんなうわさか調べてみました。

ま があまりしつこく若手を勧誘するので「そういうのよくないよ」と言っただとか何とか…

その後2人が競演した番組、見たことない。そう言えばあの番組なぜか終わってしまった。

それでも今がんばってる姿はすごいです。

終止符を打つ鍵は何でしょう。僕があきらめる？そんな馬鹿な…、そんな事したら惨めな敗北者としてずっと何らかの何かを受ける。

内村さんはファンがたくさんいたのでしよう、無視できない声だから復活？できた。いまだ監視はされてるのかもしれない…、けど、彼には支えるものがあり、それが復活のキーワードだった。

幸か不幸か僕にも復活の鍵はある。世の中にはそれが無くて、惨めな敗北者としてずっと過ごす人が多い中僕にはある。君だ。

君の支持があるかぎり、復活の目は消えない。例え来なくても支持してくれるだけで僕の立場は全然違う。そちらの世界で何よりの価値基準は“イメージ”だ！高尚な哲学でも、鉄の団結力でもない。恐怖に裏支えされたイメージ！、つまり“なんとなく”が一番の価値基準になっていると推測する。それが証拠に聞いてみるといい、理路整然と理論の欠如なく、自らの信念を理論で説明できる人間はほとんどいまい。仏法の問答1つできないと推察する、せいぜい同じ題目を暗示のように繰り返す事しか、宗教的な事知らないのだから。幕末に発生した「ええじゃないか」と同じだ。

「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らにや、損、損、ええじゃないか、ええじゃないか、ええじゃないか」と繰り返し唱えて踊り、

町を練り歩く…、混乱の幕末の不安な空気を吹き飛ばしたくて、自然発生した江戸末期の流行です。すこし狂気じみてるけど。題目の中身などどうでもよく、ただ空気を吹き飛ばしたいだけの浅はかな行為、それが「ええじゃないか」です。

みなイメージで動いている、哲学など無い。あつたらとつくに日本を支配してる。

ここに2つの答えがあるのに気づきましたか？

1つは、彼らは怖くない、その行動原理は夜光虫と同じ、光に集まるだけ、綿密な計画性などまったくない。あれほどの影響力の全てを綿密に計画して動かせたら何でも出来るが、できない。綿密な行動は出来ないのです、人々の無知と誤解を利用して“ちよつとした事”を大規模にやるのが限界。

もし本当に能力があつたら、政権とつて見せてください、出来ないのがいい証拠です。

もう1つは、イメージの世界では僕と君の関係は絶大な影響力をもつ。だから皆おそれる。

君がこの力を封じてしまった場合の僕を想像してみてください、一体どうされてしまうのか…、そしてそれが想像できる君が何を思うのかは想像できる、残念なのは君は思った事の全てを行動で表せない事だ。でも、出来る範囲で協力してほしい。想うだけならただでしょ？

君がこちらにこれない不確定要素…、何された？心配です。

もし“ちよつとした事”を大規模にやる攻撃に悩まされたなら、僕は対処法を知っている。

もし個人的に何かされたなら、直に対決して跳ね除ける方法を知

っている。

君は誤解をおそれて人との論戦を避けるところかあった、誤解されるくらいなら黙っていたほうがいい？黙っているから、僕は誤解するし、周囲も君を正しく理解しない。表現されない自分はいないも同じなんです。

もし、自分を表現できないと言うなら、時間をかけてその努力をしてください、いつか必ず報われるから。それまでの間、僕を想い続けてくれませんか？そうすれば僕の生は保たれ続ける、言ったでしょ？鍵は君だと。

もし、つらい目にあつたなら、題目よりいいメンタルトレーニングを教えてあげましょう…

過去に遭遇した一番いやな事を想像するのです、そしてそれと今のつらさとどちらがつらいかを想像するのです。あれよりまし、と思ひ込み、そしてこの「あれよりまし」を心が落ち着くまで繰り返すのです。落ち着いたら頃、そのいやな事を思い返して、あれは何だったのだろう、と思えれば成功です。

以前CMで、こんながありましたね、失恋した女の子が彼から貰った時計を川へ投げる、バカヤローとさげふ、3分ほどたち、あーすつきりした、なんだこれだけの事か、と立ち直る…。イメージとしてはあんな感じですよ。

そうか…、追い詰められたとき頼るのは君にとって当然に彼らの手法だ！そこか…、ポイントは。違うのかな。まあいい、これからメンタルトレーニングの方法を書こうと想います。願わくば、本気なら、その方法との決別が必要であると、心の片隅に置いておい

てください。

で、誰でもいいので答えてください。

もし、僕がそちらに入った場合、彼女が離婚して僕と一緒にするのは、そちらの価値基準ではどうなのか？ありなのか？なしなのか？ま、答えるすべも無い事ですが、そんな疑問を随分前から抱いています。もしokなら全て片がつく、彼女はなにも傷つかない。

ああ書き忘れた、僕は生きています。

そして、彼女も生きています。

こんな事想像します、僕は思い違いをしていて、実は今でも君は戦っている…、

争いは1度や2度の敗北は覚悟の事、前にも言った、もし仮に別居したなら、長期戦では向こうが圧倒的に不利だ。この基本戦略は間違っていないと思う。問題は僕が詳細を知らない事だ、細かいところはこの計画、ほころびがあるのは当たり前のこと、何もこちらはそちらの事情を知らない。超能力があるわけでもなく全て盛り込んだ計画など不可能だ。

仮に小額請求訴訟がなにかしら無理だったとしたら、違う手段を講じる事を考えればいい、だって世の中には同じように離婚したケースがたくさんある。先輩の例から有効な手段を見つけて自分なりに工夫すればいい。

以前書いた、リミッターを解除してみると、君が傷つく事も恐れずかくと、怒ると思うけど、これは1度は書かないといけない事だと思った。…子供は失ったら、また作れる。それは事実です。ごめん、こんな事がいて、けど、最低1度は言わないといけないと思った。気を悪くしたなら謝罪します。なんどもこれを書くのはためらった、絶対怒る、嫌われたくない、というかありえない。

でも、嫌われてでもかまわないから。全部伝えようと決めたわけ

です、君の知る僕なら、やりそうな（言いそうな）事だと思ってくれたら幸いです。

あと付け加えます、君だけ先に離婚してこちらに来て、時間をかけて親権裁判を続けるという方法もある。3年位かな決着がつくまで。けど、不可能じゃない。この先何十年の人生がかかっているのです。君の人生。大切にしてください。

（ひょっとしたら仮処分で子供をとられた可能性もある？だとしてもそれは一時的なもの、取り返すのは不可能じゃない、その事を知らなければ“とられた”と感ずるかもしれない。仮はあくまで仮処分です）

僕は大枠しか提示できない、細かいところは君自身お手で手を加えないと。そこは、わかって欲しい。

もし、思考停止しそうなら、こういう手もある…。

階段を昇る時、普通は意識しないが、あえて心の中で右足をあげる、左足をあげる、と普段意識せずに行っている動きを細かいとこまで意識して体に命じるのです。水道の場合でも、蛇口に手をやる、蛇口を回すためにひねる、出た水に両手をかざす…、と、当たり前動作を1つ1つめんどくさがらず意識して体に命じると頭が冴えてきて思考停止から脱することがある。特に街中を徒歩で移動しているときが効果的です。どちらの足をどう動かして、どう歩くか、いちいち体に命じて動かすのは結構新感覚です。ポーンとしているより冴えてくる。

邪悪な人間って思われてるのかなー、どの辺が邪悪なんだろう…、よかつたら教えて欲しいものです。たぶん、不可能だと思う、だってそれは言いがかりだから。

言いがかりとは、根拠なく人にレッテルを貼ることです。

東京では完全自活してたし、人に後ろ指さされるような悪行もしてない。道でたおれたおじいさんを助け起こした事すらある。酔っ払いのおじいさんを邪険にせず電車の中相手してあげた事すらある。小さな男の子が落とした箸をひろって渡した事すらある。なぜ？

いい事は都合が悪いから流布されないのか…、

ああ、そうか！僕が道行く監視にかかる！く反撃する行為が、そこから見るとそうみえるのか！たしかに自分本位の性質上自分にも落ち度がなんて発想は消えてしまう、そういうことか…。少し、わかりました。それじゃこないだの路上トラブルも、かなり捻じ曲げて流布されてる訳ですね。善意ある人は疑ってかかりましょう。情報操作です。こわいこわい。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔水曜日、3日目〕

Fさんへ、とりあえず僕はまだいきています。会って話したい事があると随分言いました、もう書いちゃいます。少し長くなるかもしれませんが。

そもそも最初に会ったときは衝撃的だった。紆余曲折を経て君に少しずつ近づくにつれ、ふしぎな人だと思うようになった。

僕は遊ばれているのだと完全に思い込んでいた。自分の都合のいいときだけ必要とされる男。そう感じた。

いつも、君はふしぎな決まりごとを、たくさん僕に押し付けてくる…。

本当に不思議な存在だった。

本当に突然だった、突然君は僕を受け入れた、正直意味がわからなかった。なぜ、どうしてそうなったのかがわから無いのだ。

君の人柄は接するにつれてわかるようになる、何を嫌い、何を好み、どういう感じ方をするのか。

しかし、何か隠してる…、ずっとそう思ってきた。

いづれ君は話してくれるだろう、そう思っていた。

なんて理不尽で勝手な女なんだ、もう知らん！と何度思ったことか…。

突き放すと帰ってくる君が理解できなかった。

何度部活やめるって言ったんだ、またかよ。とか思ったものだ。

まったく身勝手な女だと。理解できんと何度も思った。

理解するためには、会うしかなかった。

神社で会うときは。君は別人だった。一度もすっぱかした事は無い。まるで別人格。理解に苦しんだ。

いつも不可解な言動が目立つ、なにを訴えているのかわからない。

けど、悪意も軽蔑も感じない…、それは心底信頼してくれる目だった。

実は付き合いながらも、破局を意識していた。いつか終わる、これは偶然に過ぎない。

たぶん、彼女は次にいい人ができるまでの暇つぶしをしているのだ、誰かできたらあっさり捨てられる。そう考えていたんだ。17年もね。

けど、2人きりの時君が示す愛情は本物で、今まで見た事も経験した事も無い甘いものだったのも事実だ。そしてその価値に17年も気がつかなかった。

わかるだろうか？つい最近本当のことに気がついた衝撃が。

愛らしい、わがままだらけの偏屈女と思っていた人が、本気で自分にほれていたんだと気づいた時の衝撃！あれが、全部自分をかばっての行動や努力だとわかったときの衝撃！君は何も悪くなかった、悪いのは気がつかない僕だった、と知った時の衝撃。

外からみたら、17年もたって何言ってるのなのだろうが。僕から見たら17年は経っていない。だって気がついたのは6ヶ月前だ！6ヶ月しか経ってないのです。会いたいと思っておかしくないでしょ？

もし、手紙をだしたら、返事だけでももらえませんか？

そもそも、君が逃げたと知ってから始まった。

もともとは僕が気がついたという事実だけでも君に伝われば…、そう願っていた。

逃げたと聞いて、何されたんだ、どうされたんだ、何とかせねば。とこう思ったのだ。

もし、逃げるのをやめたのなら、それは君の意思だ。君の意思は尊重しないといけない。敬意をはらわないと。それが僕の生き方

でありポリシーだ。そちらの世界にはない概念みただけだ。

だから、僕にも敬意を払って欲しかった。これは君のみに言う言葉でない。全ての人にいうセリフだ。

敬意を払うから、敬意を払って欲しい。そちらの世界にはなじみ無い概念だろうけど、僕はそう考える。僕は常に君に敬意をはらった、それは君自身がよく知っていると思う。もし、僕に悪意があるなら、あんなことや、こんなことも、思い出の中からいくらでも書けるが、実際書いてないと思うけど、どうだろう。

君の敬意を期待したい想いがあるわけです。もし、僕のはらった敬意を思ってくれるならそれに答えてほしい。手紙を返すぐらいの敬意を期待してもいいでしょ？

かなり先ですが、暑中見舞いを出します。それまでには考えをまとめておいてください。

僕が何を期待してるか、わかりますか？

僕はやっと真実に気がついたという事実を君に伝えたかった。

だから、君から、確かに聞きましたという答えが最低限、欲しいわけです。

敬意を全ての人に、期待します。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔水曜日、3日目〕その2

Fさんへ、今だ一応、僕は生きております。死んではいません。
最愛の君が心配です。

もし、仮に今も君が戦っているとしたら？とにかく長期戦を想定してゆつくりかまえていいのではないでしょうか。もし、別居に成功しなかったら？こういう時、夫から逃れたい女性が駆け込むシェルターと呼ばれる施設があると聞いた事がある…、今ネットで調べると「全国女性シェルターネット」というのがヒットする。家庭内暴力から逃げる女性用とされているが、仮に暴力が無くても相談くらいには乗ってくれそう。わからないが、可能性の1つです。

（グーグルで“女性が駆け込むシェルター”で検索すると出ます。また、検索ボタン横の検索オプションを開くと、詳細検索ができません。ために“キーワードを含めない”の部分にDV（＝家庭内暴力）と入れて検索しても“女性団体連絡協議会、駆け込みシェルター”というDVに関わらず支援してくれそうな団体にあたります）
こういう時、心に繰り返し唱える言葉はこうです。

“ ないなら、ないなりに、工夫する！ ”

自分にしつくり来るよう、言葉を足したり組み替えたりして唱えると気が楽になります。

さて、僕の方はと言えば、ハローワークは相変わらず代わり映えのしない求人しかない。借金があるわけでもないし（そう、ここ褒めてください！僕は一度も借金をしたことが無い！ピンボーでもなんとかやっていけるのです。おかげで自炊はだいぶ出来るようになります）、働いた経験が無いわけでもない、こういう時は、僕は自分にこう言い聞かせます。

“ あせって、安易な結論にとびつくな ”

“ 急^せいで、事をしそんじる ”

…ので、経験者の経験談をネットでさがして読んでいます。

下手な広告っぽいサイトより、現実味のある実態のイメージがつかめます。

で、それによるとこの人は登録型就職支援サイトをつかって、まず借金返済のため単純労働で1年ほど働き、それが終わった頃、普

通の会社に正社員として入ったそうです。僕は年齢がきてるので、上手くいくかわかりませんが、とりあえずやってみようと思います。“ やってみなけりゃわかりません、勝手に駄目と思ひ込むのは犯罪です”と今回はそう唱えてみようと思います。

そちらの世界では僕のイメージがだいぶ悪いみたいなので、すこしは払拭するような事も書かないといけない？と言う事でしょうか。おそらく、僕の人柄を書いたほうが、何よりも効果的と判断します。何しろ誤解と無知を利用して、操作されている人がほとんどのはずですから…。

博打はやりません、まったくやった事が無い。パチンコ屋にも一度も入った事が無い。何が楽しいのかまったくわかりません。

酒も飲みません、ビール3杯で限界で、社交辞令くらいでしか飲みません。プライベートで酒を飲むなんてありえない。当然、泥酔して人に迷惑かけたこともありません。

お前何が楽しい？と言われかねませんが、上記の馬鹿騒ぎにくらべたら、創作のほうがずっと楽しいのです、ちなみに創作というとすぐに萌えとかそういうの想像する人いますが、どういつ訳か僕はあまりやりません。なぜか？最高の女性を高校時代に現実の世界で体験しているから、わざわざ架空の世界で満たされない思いを昇華させる必要が無いからでしょう。

ちなみに僕は藤子・F・不二夫ファンで、先生のSF短編を尊敬しています。

先生のSF短編は大人向け作品として、知る人ぞ知る存在で、「ニューイヤー調査記」「ひとりぼっちの宇宙戦争」「ミノタウルの皿」「未来ドロボウ」その他100近くあるのでしょうか？僕も全部は読んでないのです。どれも傑作です。

それから、誇張なくいいいますが、この人はひょっとして僕に好意

を持っている、こちらがその気になれば…、なんて事も3度ほどありました。けど、彼女との思い出のケリをつけるという目標を、棚上げにしてまで好意に思う人がいなかったのも事実です。

（ここで、むこうが強気で押す人だったら、どうなっていたのでしょうか…、人生は複雑怪奇です。）

僕は基本的に、駄目人間が好きです。

人がうつつとうしいと邪険に扱う人を、友達とまではいかないけど、助けてあげたり、味方するのは大好きです。なぜなら、僕もそうして欲しいからです。

そして、失敗したときは、それはそれでしようがない、それより、次はどうしたら失敗しないかと考えるのが好きです。

“もって生まれた能力の限界、これは努力ではどうにもならないけれど、一度したミスをどうリカバーするかは、その人の創意と工夫次第、これはもって生まれた能力の低さとは関係ない。その人の努力しただいだ。”

これが、仕事をする上での僕が導き出した基本概念です。

君はこれを読んでいるだろうか、これを読んでどう感じるのか知りたいです。願わくば君の行動に反映される事を切に願います。

（仮説1）

よくわがままだというキーワードを頻繁にきくが、それは君が玉の輿にのったのが原因という事か？だったら心配する必要は無い、世間では普通にみなそういうリアクションをする。せっかく祝福したのに、なによ、あの祝福の気持ち返して！と、こういう理屈なんでしょうが。だからと言って、その程度の貸して人生を縛られるのは馬鹿馬鹿しいことです。相手は妬んでいるだけで、関係ありません。

ん。妬みですから、ほっとけば自然に消えると推察します。恨みではないのですから…。

その程度の事で1度しかない人生を縛られるのは、馬鹿馬鹿しいことです。

あくまで。仮説に基づく仮の話ですが…。

(仮説2)

これからも一応、君が戦っているという前提に基づいて仮説を書くと思う。たとえ勘違いでも。仮説ですから、もし、使える仮説があつたら拾ってください。

とにかく、落ち込むのはよくない。まさに彼らの思う壺だ。だから、今まで通り、漫画も描くし、ビデオを借ります。もし、仮に君がそんな状況じゃない様な時に、僕が漫画やビデオの話をして、それは負けないように生きている証と思ってもらえればうれしいです。心の余裕は何よりも大事です。なくすと、簡単に、人から、操られてしまいます。心の余裕とは、自らそのものでもあるのです。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔木曜日、4日目〕

一応、まだ生きています。そちらはどうですか？

職探し、一応昨日記述したサイトに登録してみました。まだ反応は無い、そんなものかもしれせん。

大型量販店でさがしてみるとなくはない、けど名古屋とかになる。東京も飽きたし西もどうだろうなどと思ったりします。

取り合えずいろいろさがしている感じです。あきらめない事が肝

心です。そう思った。

今、思い返すのは君から先生との秘密を告白された日のことです。秘密を打ち明けられたうれしさと、悔しさで、どうにかなりそうだった。

あの時の僕を君はどう見ていたんでしょう。

あの時の僕は、君が百戦錬磨のつわものに見えた。あまりに、ほかはその様な振る舞いをするので、

「そんなにたくさんの人と付き合ったわけじゃないよ……」
と、君はかわいく言った。

脳細胞が5〜6個破壊され、修復に何ヶ月も要した。

微妙な微妙な関係が続き、ある日突然親密になる。

そんな時だ、君がこういった。

「もう、先生の事なんとも思っていないよ」

あれがどれほど嬉しかったか判らないでしょう？良く泣かなかつたものだと思う。

あれは、部室（＝音楽準備室）での記憶だと思う。たまたま2人きりになった瞬間を狙って僕が聞いたのだ。

「こないだ先生が来ていたって聞いたけど、その時Fさんはどこにいたの？」

冷静を装いつつ、鼓動が上がってゆく僕。気がついていただろうか？

すると、君は言った。

「（その時間）K君と（神社で）一緒だったじゃない」

動揺して僕はその事に気がつかないでいた、ああそうか！と思わず僕は声を上げる。そして君はこういったんだ。

「もう、先生の事なんとも思っていないよ」

この思い出は、本当に合えるようになると思える日まで封印しようと思う…。そんな事思いました。

君はまだ戦っているのだろうか…。一応その前提で仮説を述べます。

(仮説1)

いろいろ調べてみています。そちらでも、もう色々やっているのでしょうか。転職よりも引越よりも離婚はエネルギーを使うのは確実に気合入れて生きますよう(行きますよう)。

ネットで離婚について調べると、すぐ商売にしようというサイトばかりに出くわします。少しでもまともそうと思うものを、時々提示しようと思います。取り合えず少しでも役に立とうと努力しているところだけでもかっつけてくれたら嬉しいです。

(「」内のタイトルをグーグル検索すればヒットするのは確認済みです)

?とりあえず最初に見つけたサイト> 「離婚問題相談アドバイザ
」

“離婚協議書の書き方の相談、財産分与の相談、慰謝料請求の相談、子供の養育費の相談、子供の親権の相談、面接交渉権の無料相談”
などが主な内容です。

?次に> 「別居の長期化によって、離婚した場合、慰謝料を請求することはできるのでしようか…」

“Yahoo知恵袋”という質問掲示板の書き込み。

ここに離婚できる別居期間についての言及がのってる。何でも婚姻期間をこえる期間別居しているとみとめられるとか…。でも掲示

板の書き込みなので、細かい確認は君自身の手で専門家にしとくと安心です。

？次に>「離婚したい・離婚したい人向けの方法を紹介しています。」

正式なサイト名は“離婚したい”ですが、それだけだとグーグル検索で出ないので上記「」内の言葉で検索すれば出ます。ここはかなり詳しいです。

特に“離婚給付金一覧”と称して利用できそうな公的援助制度の紹介が充実です。実際には離婚のための給付金ではなく、母子家庭向けの財政援助を紹介しているようですが、窓口で最初から駄目と思わず相談するようにと薦めています。知らないよりは、知っていたほうがいい類の知識ではないでしょうか。

？追加>「養育費算定表に基づいた計算機」

内容は“家庭裁判所の裁判官が発表した養育費算定表に基づいた計算機です。おおよその、養育費の相場（月額、平均）が表示されます。養育費算定表に基づき計算機を全面改訂しました。”との事です。役立つでしょうか？サイトに諸条件を入力すると自動的に答えを出してくれるみたいです。

？追加>「バツイチママの離婚講座」

ここは親切で詳しいです。

親権について面白い事が書いてある。親権とは別に監督権というのがあり、子供の財産の処分はできないが成人するまで一緒に暮らせる権利らしい。（ちなみに離婚届には“監督者”の記入欄がないので、別途“公正証書”に明記したほうがいいとかかれています）監督権の利点、欠点を専門家に確認しておくとかの役に立つかもしれません。

慰謝料計算フォームなんてコーナーもあります。

役に立つか判りませんが、何が役に立つか判らないので一応載せました。

(仮説2)

サイトを調べているうち思った。男性側から見た復縁指南サイトもかなりある。これが何を意味するか判ってくれるなら嬉しいです。判らなくても動じないください。要は注意して！と言いたいからこんな言い方をしているのです。急にやさしくされたり何なり、いつもと違う事をしてくる？わからないけど。男性側から見た復縁マニュアルがあるという事だけでも、頭に入れておいてください。君を信じます。そして何よりも君の意思に敬意を払います。この僕の表明ができうるなら矛盾しない状況が起こりうるなら幸せです。

(仮説3)

これから、僕は注意します。可能な限り、悪い評判が立たないように。路上でかく反撃するのも控えます。でもクセで間違ってるってしまったら皆さんご容赦ください。なにしろ6ヶ月もやってるから体にクセができていて、ついつい体に出るときがあります。これから6ヶ月かけて元に戻すようにしますので。ご了承いただければ幸いです。これが僕の一方通行でない事を願います。

(仮説4)

君は今、戦っているのだろうか…。疲れているはず。
ひと段落おわたなら、横になって深呼吸して、体を暖めたほうがリラックスできるかもしれません。

- - -
- - -
- - -

ごめん、僕はまたミスをした様だ。

少額請求について調べなおしていたら…、もしかしてもう気がついているのだろうか、だとしたら本当にごめん、もし、まだなら、とにかく、僕が間違った事を書いていた事をここに表明します。ごめんなさい。少額請求で生活費の請求はできない。もし、君に迷惑をかけていたならごめん、なんとお詫びをすればいいのか。本当にごめんなさい。

急いで調べなおした。こんなのがあった。

あるサイトの内容

Q：今ある貯金を全て折半して、出ていきたいのですが、間違っていますか？

婚姻後に蓄えた夫婦の財産でも勝手に持っていったら犯罪になりますか？

これに対して弁護士がこう答えている。

A：別居の際に、夫婦の一方が他方名義を含めた夫婦の財産を持ち出す場合、財産分与として認められる範囲での持ち出しは違法ではないとされています。

（これについては「別居のときに預金を勝手に持っていったら？」とグーグル検索すると出ます。判例でそうなっているというから、僕の話より確かだと思つのですが、慎重を期すためにも実行前には専門家にじかに確認した方がいいと思います。）
（でも、これが上手くいけば、財産分与の先払いな形になり、かなり余裕が出ます。楽観は禁物ですが、可能性の1つです）

それとこんなのもあった。

夫が生活費の支払いに応じなければ、家庭裁判所に“家事調停”
それでだめなら “家事審判” とすみそれでも応じなければ、仮
処分や強制執行で払わせる方法があると言う。しかし、時間がかか
りそうです。

(「離婚とお金の問題・婚姻費用分担」でグーグル検索するとこれ
について書かれたHPにあたります)

(「ごめん、明記しなかったけどグーグル検索した時トップででて
くるのが、指定したサイトです。)

もし、本当に迷惑かけていたら、本当に謝りようの無いミスです。
許してくれるだろうか。

とにかく、代わりになるかわからないけど、調べたものを載せま
した。確認していただければ幸いです。せいっぱいやつても、ど
こか穴がある。確認は重要です。骨身にしました。気をつけます。
願わくば、許してもらえればと、そう願っています。

もし、今も戦っているなら、応援しています。本当にすみません
でした。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

こういう状況は、以前にも無くは無かった…。

いや、僕の誤解に対して寛大だった君も、僕のミスに対してはそ
うでもなかったのを思い出す。

君がどう思ってるか、不安で不安で仕方ないけど、めげずに書き
ます。それしかないですし。

> 「【離婚大作戦】夫婦問題・離婚相談カウンセラー小林美智子の
ブログ」

(「内をグーグル検索してください」)

無料で簡単な相談に乗ってくれるようです。

> 「別居中の現金や預金の持ち出し」

(「内をグーグル検索してください」)

重要：やはりここにも夫婦間の財産は半分まで持ち出して大丈夫と記載されています。

ただし預金や現金を持ち出す前に・別居中でも夫婦には婚姻費用を分担する義務があります

・別居をする前にはまず夫に婚姻費用の請求をしましょう

とのこと。詳細はHPで確認してみてください、やはりこの手は使えます。

もし通帳を抑えられてるなら、家財を処分してもいいと思います。ただし、財産の半分までしか妻は処分できないとされているので、何をいくらで処分したかちゃんとメモしておく必要があります。

おこらないで聞いてほしい。重要な事です。人はミスをします、でもリカバーもします。僕もそうです。

僕が今何を考えているかわかりますか？あの時のことです。君に「写真かえして！」と言われるたあの時のことです。夏祭りの日、君の話を聞き流し、そしてしばらくその事に気づかない君は、突然ぼくが何も理解してない事に気づき、まるで裏切り者を見るような悲しい目を僕に向けた。

信頼を裏切った僕。これはやはりあの時以来の罰なのでしょうか。

あの最初の破局のあと、君は戻ってきてくれた。今回はどうだろう、これが全部妄想で、君は何も怒ってなくて今でも戦っている、そうならいいけど、そうじゃない可能性もあるので。君の心が落ちてくまで、許しを待ちます。17年前の僕はリカバーも出来なかった。いまはリカバーできます。

長期戦では向こうが不利です。（組織内の地位や、人間関係、発言力など、騒動が長期化すればするほど失っていき、どれも回復が簡単にはできない。そして、時間がずるずると長引けば再婚のチャンスを本当に逃してしまい、本当に老後は1人になる。その危険を回避するためには早期解決をするしかない。君はとにかく、“座りごごちの悪い椅子”を演じ続けるのがいい。向こうが根負けするまで。）

そして、君には財産を半分までなら処分する権利がある。あとは先に述べた公的機関の援助がどの程度受けられるかが鍵かもしれない。

家庭裁判所に申し立てて処分が下れば、どんなに拒否しようとしても払わざるを得ない。なぜなら、払わなければ強制執行といって財産が差し押さえられ、裁判所が君の変わりに生活費を取り立ててくれる。ポイントは、この裁判所の決定が下りるまで、なんとか持ちこたえるだけのお金を手元に作れるかです。そして公的援助の併用。そこが長期間別居を安心してつづけるポイントのようです。

- - -
- - -
- - -
- - -

〔金曜日、5日目〕

おはようございます、朝です。少し暖かいようです。今年はその凍てつく様な寒さがほとんどなく不自然な感じがします。Fさんと一緒にいた頃はもっと寒かった冬の記憶があります。

少し話題を普通のものに戻してみようと思います。なにぶんこれは小説ですので、そういう面もあるべきです。

朝青龍がモンゴルで記者会見するのをニュースで見ました、あい

かわらずふてぶてしく、憎憎しい。

でも聞いたところによると、あの暴行事件、でつち上げの可能性が高く、本当に殴られてないという可能性もあるみたいです。可能性ですが。ちよつとしたいざこざ程度で？わかりませんが。

もし、そうなら、あの態度はハメられた、という態度ともとれて、見方が180度変わってきます。

もっとも、見ず知らずの人間を、ちよつと頭にきた程度で車に連れ込んだ本人にも責任はあるし、場所中に酒飲んでる事自体にも問題はありますが。

なにが、いいたいのか？

ちよつとした諸条件が変更しただけで、人の見方は随分違ったものに見える。という事です。僕も外から見たら、働きもせず毎日家で何してんだとか、見ようによつては見えるわけで、かといって、人目を気にしてつくるものも、何か違う気がする…。難しいところです。

偏見を助長する行為は、最終的に差別や、社会の分断、社会的混乱の原因になり、安全社会の脅威ともなります。偏見につながるストレスの発散は禁止すべきです。なにか、間違っている。

先にも書いたアメリカのドラマで「ローマ」、この中は紀元前40年代のローマの話で、殺人も奴隷も暴力も日常という世界が容赦なく描写されていて、子供にみせられないドラマです（あくまで歴史物ドラマで暴力趣向のもではありません）。見て思いました、普通の海外ドラマのように大々的に宣伝できない訳だ、と。これを見ていたら「どうして人を殺してはいけないのか？どうして人を差別してはいけないのか？」という疑問に容赦なく答えが見出せます、理屈でなく映像として納得する。なぜか？こう思うからです「こんな時代に住みたくない、現代に生まれてよかった」と。

こんな時代から2000年もかけて、ようやく今の人権思想にたどり着いた人間は、やっぱりすごいと。そんな事容赦なく思いしらされる迫力です。多少の歪みがあってもやはり現代社会はいい社会です。人権思想はやっぱりすごい、そう思いました。

ギスギスした話より、実はこういう話の方が僕は好きだったりします。争いは好きではない。

その事が上手く君に伝われば…。そんな事思いました。

〔木曜日、4日目〕ラスト少し加筆しました。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔金曜日、5日目〕その2

こんな事思った。僕は情報収集がへただ。ちゃんとした情報さえそろえば、なかなかの判断力を発揮する傾向にあるけど、情報収集の段階で多少の下手さがあるので、正しい答えまでなかなか到達できない傾向があるようだ。

これは、人間関係も同じなのだろうか？

最初知り合ったときは、普通まず互いの情報を交換し、相手がどんな人物か知るものだ。けど、情報収集の段階で失敗すると、互いに正しい人間関係が構築できないような気がする。

僕は情報収集がへただ。だから、時間をかけてじっくり観察しないと答えにたどり着かない。

そして、人間関係も同様で、時間をかけて知り合わないと、うま

く付き合えなかつたりする傾向がある。君とまともに話しを出来るようになるのも1年かかったし。(もしかしたら、君も僕同様、情報収集苦手なのかもしれない、実際のところはどんなのだろう...? 当たっていますか?はずれていますか?)

実際就職活動でこんなにてこずるのもそうだと思います。(言い訳ではない、自己分析)

言い訳にしないためにも、ここは、こう自分に言い聞かせようと思う。

“鳥はある日急に思い立って飛べるよう進化したのではない、毎日毎日飛びたいと願い続けたがため飛べるように進化したのだ”と

昔どこかで読んだ本に書いてあったと思う。この場合ぴつたりくる感じですよ。

進化できる気持ちだけでも持ち続けなさい。思い込みって実は結構重要です。ポジティブ思考ってやつでしょうか。ま、そんなイメージを伝えたかったなど、そう思いました。

あと“あくび”についても書こうかなと思ったんですけど、たくさん書くと、ものすごくまた印象が悪くなるのでしよう。そんな事思った。願わくば心当たりのある人が恥ずかしくなってくれる事を、願うばかりです。

.....

〔土曜日、6日目〕

僕は今だ生きております。死んでおりません。君は戦っているのだろうか…。心配しております。

とりあえずこんな話をしようと思った。

前にも書きました。僕は駄目な人が好きだと。特に努力して欠点を克服している人は尊敬します。

逆に欠点のない人は苦手です。自分に引け目を感じてしまい近寄りがない感覚になります。

具体例をいうならダルビッシュ投手のようなスポーツマンでしょうか？付け入る隙のないほど完璧で…。あのタイプは苦手です。

ところがこんな話を聞いてからイメージが変わった。

彼は普段、利き腕とは逆の腕で、変化球の練習をする。

どういうことか？どうやら、ダルビッシュ投手は思った以上に理論家で、どこをどう動かしたら、どうボールが変化球になるか研究を毎日していて、利き腕でないほうの腕で動きを作り、それを利き腕で行うためには、どこをどう動かせば同じ動きになるか？と毎日やっているそうだ。確かにその方法なら根性とか気持ちに左右されることなく、毎回同じ変化球が投げれる。なぜなら“感覚”ではなく“理屈”で投げているからだ。

詳しくは判らなかつたけど、どうも普通の投手と同じことをやっているには勝つ事ができないので、この様な彼独特の投球スタイルにたどり着いたというのだ。まさに「ないなら、ないなりに、工夫する」の具現化だ！

彼は同じ球種でも変化の具合と速度を“理屈”で使い分けていると。1つの変化球だけでも7種類？（正確には忘れたけど、そんな

数)の変化を意識的に使い分けられるそうだ。それは確かに打ちにくそうだ、タイミングに慣れる事が不可能に近い。

これを知った瞬間、ダルビッシュ投手への反感が一気に好感へ変わった。

人間の反感なんてこんなもんか、なんて思いました。

東京でも、ある人としょっちゅうぶつかった。ぶつかっては和解を繰り返した。ぶつかるたび君のあの「一步も怯まなかつた」姿が浮かんだのは言うまでもない。

ところがある日、いつものように衝突した時、「あれ、いつもと違う」と感じた。「このまま行くと取り返しがつかない対立になる」と感じた。かといって怯むわけにも行かない。そうほう爆発ギリギリまでにじり寄って寸前で回避した。

少したってから「あの時はやばいと思ったんです」とその人に打ち明けた。「俺もそう思った」と笑顔で言われたときは不思議な感じがした。今でもものすごい仲がいい訳ではない、けどものすごい信頼している。

ギリギリのところでは回避できた信頼感は、うまく説明できないけど、理屈ではない信頼感です。ま、だからこそ、「お前にげる」と言われた時は嬉しかったし素直に従い東京脱出に踏み切ったんだけど。巻き込んでしまい、迷惑をかけたかもしれない、いずれお詫びとお礼がしたいけど、当分先の事だと思う。ある程度“波”が落ち着かないと…。

なにが言いたいのか？君が知らない僕を少し書いてみました。誇らしい経験は正直少ないけど、それでもそれなりにあるので、また機会があつたら少し書こうとおもいます。

もし、今戦っているなら、がんばって。応援します。

- - -
- - -
- - -

「土曜日、6日目」その2

久びりに高校の卒業アルバムをみて思った、部活の集合写真。皆楽器を演奏する格好で写っているのに、君だけマウスピースに口をつけてない…。それどころかにつこり笑ってる。恥ずかしがって出来なかったと推察します。どうだろう…。あたってるのか、はずれているのか…。なんか撮影後そんな話をした気がするような、そないような…。君の記憶ではどうなってますか？もし手元に高校の卒業アルバムがあったら見てみてください。もし、見てくれたら、同じ日に君と同じ行動をしたと思えて嬉しくなります。

今、どうゆう状況なのかまったくわかりませんが、とにかく、君が戦っていることを前提に書いてゆきます。もし、資産の半分を処分できる事をふまえて、ある程度の当座のお金にめどがたったならばやく生活費に方の手続きに入らねばいけません。願わくば専門家の指導にそののが懸命ですが。おおまかな流れは、まず、向こうに別居の旨、通知後、生活費についての話し合いなり請求なりをし、話がまとまらなければ、家庭裁判所に持ち込み、審議をへて判断が下りるのをまつ形になると思います。

ここはスピードが速いほうがいいと思います。それだけ意思が固いことを示せるから。口で言うより行動のほうがわかりやすいし。

おおまかなイメージはこんな感じで、後は細かい点を君が現状に合わせて修正する必要があると思います。専門家の助言をききながら修正すると思います。良く理解せずお任せにすると、全体の流れが把握できなくなるので、あくまで、理解できるまでまっぴらから実行したほうがいいです。トラブルが起きた時、全体を把握してないと、対応できなくなるから。

もし、本当に争っているなら、ホントはもっと和む話のほうがいいのかもしれない。なるべくそういう話を用意するよう勤めてみます。

君は本来的に争いを好む人ではない…。心配です。

もともと僕があの時、気づいていたからこそそこはならなかったわけで…。

とにかく、出来る限りのことを努力してみます。

そうそう、これは生活の雑学。長期戦に備えての意味も含めて…。大型ドラッグストアではお菓子とか食品がスーパーより安く買えるけど、実は理由があつて、実は薬の原価率（仕入れねがどれほど売値より安いかの率）がものすごく高くして。薬で高い利益が出るので、客寄せの意味も含めてその他の商品を安く設定できるらしいです。

だから、ドラッグストアであまりにも安い値段が設定されていても、品物は確かですので安心して買えます！

時折、こんなネタでもはさみながら、少しでも和むよう努力してみます。

追伸：ダルビッシュ投手がなぜそんな特殊な投球スタイルになったか思い出した、という古いメモみてたら載ってた。肩を壊したと書いてある…。多くの人があきらめる中、独自スタイルで切り抜けたという事でしょうか。創意と工夫、やはりそれは大切な行いと
思いたいところです。

- - - - -

.....
〔日曜日、7日目〕

Fさんへ、今日は日曜日です、どう過ごしていますか？忙しいのかそうでないのか…、どう過ごしているのか気になります。

休日の思い出といえばやはり、部活の思い出になります。いろいろありますが、印象的なのはどこかのイベントに駆り出された時でしょうか…。覚えていないかもしれない、いろいろ駆り出されたから。

あまり話は出来なかった、けど、いつも目で追っていて、いつもどこにいるか探していた。けど、演奏時には間違いなく僕の隣に来てくれる…。そんな思い出です。僕がそんな事考えてたなんて知らなかったでしょう？完全なポーカークラフフェイスだったから。

今、どう過ごしているのでしょうか、必死に法律の本でも読んでいるのか、あるいは家事に忙しいのか、いろいろな可能性がありすぎて特定できないのが悲しいです。でも、一応君が戦っているという前提で書き続けます。間違っているけど、愛らしく笑ってくれれば嬉しいです。

昨日見ていたニュースで、こんなのがあった。旦那さんが直らない病になり、あきらめず夫婦で立ち向かうという話。旦那さんはほとんど記憶野が機能不全になって行き、最近では奥さんの顔も認識しづらくなってゆく…。

催眠の項で説明したけど、人間の理性は“前頭葉”にあります。この病気は前頭葉は無事なのに、記憶野が上手く動かなくなる病気で、理性がまともなだけに本人にはつらい病気です。もし、身近にアルツハイマーの方がいても、理性が衰えたとは思わないでください、理性の判断基準である“記憶”が喪失しているにすぎない。

で、書きたかった事は、この奥さんが時々フラダンス教室にかよってリフレッシュしているという部分だ。24時間看護が必要で、別にそれを嫌がっている訳でもないけど、やはり、そういう時間は笑顔のために必要なんだと見ていて思った。そんなイメージ、もしかしたら今の君に必要ななら伝えねばと、そう思った。

話はかわって…、

骨を埋める覚悟の人間と、かえる場所のある人間では、行動に違いが出る。それを伝えたいです。

なぜ、そんな事思ったか？

やはり、朝青龍の報道を見ていて思ったことだ。「彼はうそをついている、じゃあなぜ、誤ったんだ、やってないなら誤らなくていいだろう、うそつきだ！」と非難されていた、結構いい年のおじさんが感情出して…。

これは、ちょっと前にやっていたドラマ「仁」に答えがある。

主人公、仁は外科医で、タイムスリップして幕末の江戸で医療をするストーリー。ペニシリンを歴史よりはやく作り出し多くの人を助ける、坂本竜馬も出てきたりする。

この中で、主人公は坂本竜馬にこういわれる、先生はまるで仏だ、この世に対する執念つちゆうものがない、わしゃ心配だ、いつか身を滅ぼすんじゃないかと。

つまり、この世で生きようという執念がないと言われたのだ。

言われて主人公は思う、確かに自分はここに骨を埋める気はない、だからこそ、損得抜きの大胆な行動ができるのだ。

朝青龍の行動をみていると同じ印象を受ける、彼はここ（日本）で生きる執念がない、帰る場所があるからだ。だから、簡単に謝罪もしたし、態度も適当なことが多く、大胆な行動も平気だ。

この概念に気づかない人間（日本人）から見れば、理解不能な暴虐者に見えてしまう可能性もある。

何が言いたいのか？

君自身の事です、これは、君の心が最終的に決める事なので、その判断材料の1つにしてもらえればと、そう思うのですが。

僕が大胆な行動をとれるのは、そちらの世界に根がないからだと思つのです。

逆に、そちらの世界に根をもつ人から見れば、僕の行動は理解不能な暴虐に見える可能性があります。

君は生まれてからずっと、その世界しか知らない。それが心のブレーキの1つになっていると推察します。君が1つしかないと思つている世の中は、実はもう1つあります、それは僕が住む世界です。

もし、心のブレーキを1つはずす事ができれば、行動の制約もずいぶん楽になると思います。

これが、難しいのは知っている、僕自身心の制約はたくさんあって、はずせないブレーキをたくさん抱えている。けど、はずせば少し楽になるというイメージはもって損はないと思います。

コツは“はずそうと”無理しても心のブレーキははずせない事。気を付け続ける、というのがポイントです。

ちょっと違うかもしれないけど、これは僕の体験談。

僕はどういう訳か、ある条件下では（ほんの数秒だけ）声が出せなくなる。長年ずっと悩んできた。精神的な問題で、その条件下では気道が萎縮してうまく声が出せなくなるのだ。どうしよう、どうしようと散々苦労した。

6年の試行錯誤のすえ、声を出せるようになる。ちなみに精神面は克服してない。ではどうやって？

答えは単純で、「呼吸を深くする」というものすごい単純なものでした。

こうすれば、気道が萎縮しても、そこを通る空気の量が多いので声が出せる。腹式呼吸が理想的解決につながりました。吹奏楽経験者なら誰もが知ってる呼吸法です。もちろん君の知ってる例のやつです。

心のブレーキ、はずす心がけを何年でもあきらめずにし続ければ、何かしらの答えが出ると、そう伝えたいです。

腹式呼吸…、懐かしいですね、寝転んで練習したのが印象的です。そんな記憶を共有できてることが、何よりもなんだか幸せです。そんな想いを伝えられる奇跡を信じたい今日この頃です。

もし、今も戦っているなら負けなください、がんばって。

- - -
- - -
- - -

〔日曜日、7日目〕その2

先ほど5時ちょっとに地震がありました、そちらはどうですか？君がどこにいるかで揺れがだいぶ違う。なぜなら、震源から遠ければ遠い程、ゆれる感覚が遅くなるからだ。君は今回の揺れ、どのくらいの速度の揺れとして感じたのだろうか…、もしも僕の想像どりの地域にいるなら、だいたいこのくらいの揺れかな？などと想像するのは好きです。

もし、今本当に戦っているとしたら…、おそらく君には戸惑う事が次から次に起こりもう大変、という感じになっているのでしょうか。逃げ出したくなる？心配です。

戸惑いは一気に全部解決はしません。

こんなとき、アメリカの学校でやられているあるイメージが少し役立つかもしれない。

ある報道番組でやっていたもの。

その学校の教師は紙コップを用意し、ある子供に自分が普段気にしているいやな事をマジックで紙コップに1項目1カップづつ書かせた。そして、全部書かせると今度はその紙コップを全部持ってみると命じる、重ねるのは禁止。当然何十個もあるからあつという間に抱え込むようになり持ち切れなくなる。すると教師が聞く。

「今、どうしたい？」

生徒はこういう。

「全部なげだしたい」

身動き1つとれないから紙コップを投げ出したくなるのだ。

これは“キれる”とはどういう事か理解させるイメージトレーニングの1つだ。全部投げ出すとキれたり、自殺したり、普通でない精神状態になる。

こういう時はどうすればいいのか？

1つ1つの紙コップの問題をゆっくり時間をかけて解決するしかない、それが、心をコントロールする事だ。そんな感じのことをその報道番組の中では言っていたと思う。

1つ、また1つ、と時間をかけて納得すれば紙コップに書かれたストレスの基もとは存在価値が消える。

そうすれば、キれる必要もない。

これは、戸惑いにも言えることだと思う。戸惑いも一気にたくさん背負い込むから大変。大変は変わらないけど、1つ1つ丁寧に戸惑いの理由を分離させて、対処すれば、意味わかんなくなつて投げ出すなんて誘惑をねじ込み断ち切る事が出来る？あくまで理想です

が、そんなイメージ。気持ち切り替える必要が迫られたときには役に立つのかもしれない。そう思い書きました。これが願わくば少しでも役に立つ事を願います。

覚えているだろうか？ある日別れ際、僕は遠ざかる君を見えなくなるまで見続けた。君は僕が見ているのにきがついて恥ずかしそうにしながら遠ざかった。後々君は言った。

「ずっと見てたでしょ」

覚えてないかも、実はこの時自分が何て答えたのか思い出せない。そう言われて僕自身恥ずかしかったからだ。そんな事思い出した、というか、あつたような気がする。ずっと見ていたというのは事実だと思う。君が何か後々言ったのも事実だと思う。もし、会う機会があつたら、僕の記憶の欠落を埋めてください、それが出来るのはこの世で君だけです。そんな事急に思いました。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔月曜日、8日目〕

君は今日も戦っているのだろうか、心配です。

僕の方は相変わらず死んでいません、生きています。

何度か探しているのですが判りません、何がって？2人の思い出の神社とは違う神社（お寺？）、夏祭りの日、2人で腰掛けたあの長い階段のある神社。グーグルでそれらしい所にめぼしをつけて行くのですが、どうも違う。見つけれません。もし、将来、2人の現在の行動が交わる日がきたら、あの場所を教えてください。

長期戦では…（あまり書くとか心がよくないので省略します、何を省略したかわかりますよね。）君はすわり心地の悪い椅子を演じ

るのが最善と思います。向こうはおそらく、時間が経てばそのうち何とかなると考えるでしょう。気をしっかり持っていきましょう。

整理すると、もし、別居しているなら、まずは当座の生活費の確保です。

これは以前説明した通り、夫婦間の財産は半分まで処分する権利があると、判例でされてますので、それを利用して確保できます。でも浪費しないように（君のことだからそれはないと思うけど。）

その後、相手へ別居の通知。生活費の請求、話し合い。と進みます。（話し合いは喫茶店がいいです、もしくは電話。向こうのメインステージでは君が不利、できれば1人ではないほうがいい）

この段階で、女性が駆け込むシェルターを利用するもよし、弁護士に相談するもよし、行政書士に連絡するもよし（弁護士と行政書士は違います、簡単な法律問題なら後者の方が安いですが、より難しい問題は弁護士でないと駄目だったりします）。

別居が成立した段階で、双方納得して婚姻費用請求書を作成出来ればラッキーです。毎月お金が振り込まれます。

金額は、相手の収入しだいです。収入が多ければ比例して大きくなる。足りない場合、以前紹介した母子家庭支援補助を公的機関にお願いする方法があります。もし、足りなければ少し働けば何とかなるとおもいます。主婦向けの内職とかけっこうあるし。（請求をした、されていないという争いを避けるためにも、婚姻費用（＝生活費）を請求したことを証拠として残すために内容証明郵便で請求し、日付をきちんと記録しておく必要があります）

前にも書きましたが、別居期間が婚姻期間を超えるのが目安かとこれについては「離婚問題Q&A」別居期間と離婚（後編）

（上記「」内をGoogle検索してください）

によると…

(婚姻期間) (別居期間)

34年 30年

39年 22年

11年 10年

これは、妻の方に不正（不倫の実際）があつた場合ですら、このくらいの婚姻期間の人が、このくらい別居すれば離婚できるという判例のようです。諸条件によって変わるようですが、目標に出来ません。例え、相手が同意せずとも、ある期間離れて暮らせば離婚は可能です。詳しくはHPで確認してみてください。

もちろん上記は相手が離婚に応じなかった場合、このくらい別居すれば、相手の同意がなくても離婚できるという意味であり、相手が離婚に応じてくれれば、その時点で別られます。根競べです。

話し合いで決着がつかなければ、あるいは、約束どおり支払ってくれなければ、いよいよ法的手続きに入ります。おそらく、君が僕のこと気づくより以前から何かしらの問題が発生していたと推察します。

（一方的に出て行ったのではなく、理由があると説明しないといけないのです。）

どんな理由で別居したのかよく整理して、人に聞かれても説明できるようにしておくのがベストです。法的手続きに入ったら必ず聞かれる事柄ですから、この世界では、なんとなくは通用しません。強い君に期待します。（想いのこだわりを一時棚上げにして、実務的なちゃんとした書類の提出が裁判所では通用するはずですが、もちろん素直さも重要ですが）

調停は、裁判所内（相手の住所地の家庭裁判所に申し立てをしなければならぬ）で行いますが、その性質は話し合いです。調停員

という第三者を交えて話ができるのが、通常の話し合いと違う点です。

通常、申立人と相手方（申し立てられた側）は、別々の待合室を用意してもらい、調停室と呼ばれる部屋に入りませう。調停室には、通常男女1名ずつの調停員があり、双方の話を聞き、相手に伝えます。

1回目は、申立人から呼ばれるケースが多いようです。申立人側の主張が終われば、申立人は調停室を出て、次に相手方が調停室に入り、相手方の主張の時間となります。

顔を合わせずに話し合いができるので、双方感情的にならずに交渉を行うことができるのもメリツトの一つです。

また、調停の場合、1回の話し合いで決着がつくことはごくまれです。何回やる、と決まっているわけではありませんが、数回調停をしても双方歩み寄りがない場合には、不調と言って調停が打ち切られることもあります。不成立になっても審判を求めることができます。調停申し立てから調停成立まで数カ月かかることも普通です。（だから、持ちこたえる資金が重要になります）

調停でも合意できない場合、審判を求めることができます。

審判になると、裁判所が婚姻費用（＝生活費）の額を決め、2週間以内に夫が異議申立をしなければ、その額で決定します。審判で決まった額は判決で決まったものと同じ効果がありますので、この額を夫が支払わない場合、強制執行をすることができます。

上記以外にもいろいろ書類の名前が登場します、よく理解する前にサインしては駄目です。

別居期間がある程度の期間に達すれば、相手が同意せずとも法的に別れられます。これは、向こうが再婚のチャンスをはぐります。

を負っている事を意味します。

裁判所が婚姻費用（＝生活費）の請求をする“調停”と離婚そのものを話し合う“調停”を分離して記述しています。上記記述は生活費の請求にポイントを絞っています。

離婚そのものの調停も同時に出来るのでしょうか？それとも別々にするものなのか？まだ調べきれていないので明記できませんでした。もし、君に離婚の意思が固いものがあるなら、調停の議題を生活費に加えて離婚そのものも加えられるか（専門家に）確認してみてください。君の意思を尊重します。

もし、別居まえに資産の持ち出しを実行していた場合、調停の段階で何か言われるかも知らないけど、臆することなく堂々と主張すればいいと思う。こちらでは細かい事がわからないので、その辺は専門家と相談して修正をして君なりに対応してほしいです。前にも書いたけど、どこに穴があるかわからない、計画は実行する前に2重3重にチェックしてから実行した方がいいです。

こんな事思った。

マグロがワシントン条約で規制されたら食べられなくなる！今そう報道されています…。

けど、あれも“かけひき”なんだと思います。

なぜなら、ヨーロッパから輸入できなくなっても、せいぜい20年前の流通量に戻るだけで、日本の食文化を破壊するには至らないのです。高級品に戻るだけです。

この問題のポイントは、ここでこの規制を許すと、更なる規制が叫ばれて、日本近海のマグロ漁も規制されかねない。だから、現段

階で可能な限り食い止める、これが日本政府の戦略と考えます。以前説明した交渉の基本ルールの“切りしろ”の概念です。本来守りたい「日本近海のマグロ漁」を守るために、切ってもかまわない「ヨーロッパからの輸入規制」に猛反対しているわけです。

そもそも日本人も海洋資源を開発しすぎているのが問題なんです。が…。

こんなニュースもありました。「エンガワ」を確保するため、良く似た食感の別種の魚をみつけた日本企業、その魚はものすごく安いので大量に安く「エンガワ（もどき）」を提供できる。ところが採り過ぎてその魚が激減、仕方なく今度は別の「エンガワ」に良く似た食感の魚を中国に求め発見する…、これを繰り返し、食いつくしては別の魚を探す企業も実際います。安いものをたくさん食べたいはやはり贅沢です。日本人の美德とは言えません。

話はそれでしたが、駆け引きに“切りしろ”はやはり通常使われる手段なんだと感じます。

表の方法で攻めると同時に、“それ以外”の方法も考慮にいれていいと推察します。“それ以外”の方法はいろいろ書いた。やれと言っているのではない、ただ、封印する必要はない、と、こう言いたいわけです。ほのめかすだけでも効果はある。そんなイメージ、伝えたかった訳です。

（でも決心したなら、実際にやるときは躊躇せずやりましょう、出し惜しみは失敗の原因になります。

正直、この小説を初めてアップする時「本当にやっていいのか？」と思ったりしなくてはなかつたけど、躊躇していたら2度とチャンスがないかもしれないと思い、やりました。当時はそのくらい身の危険を感じていた、明日ここに帰ってこれるだろうか？と、本気で恐怖したものです。君もあんな経験を今なのか過去なのかしているの

だろうか？心配です、でも、やるなら、躊躇してはいけません。（

あと普通の話題も書きましよう、ギスギスした話題は好きではない。

イオン系のお店で販売されている養殖うなぎには面白い特徴があるみたい。

通常、養殖うなぎは病気を防ぐため大量の抗生物質を使う、けどイオンはこれを使わない養殖うなぎを開発した、水質とえさを長年苦労して開発して作つたらしい。全部がそうとは思わないけど自社開発商品の養殖うなぎにそういうのがあると「がっちりマンデー」という番組で見た。

安心してうなぎが食べたければ、イオンで探してみましよう。生活支援情報です。もし、本当に今戦っているなら、長期戦を見越してこんな話題もありかな？なんて思いました。

もし、戦っているなら、応援しています。負けなideてください。

.....

「月曜日、8日目」その2

もし、本当に戦っているとしたら？そんな仮定をすると、ついついこんな心配をしてしまいます。空しさに襲われないか？と。そうした心の隙をつくのは向こうの得意とするところで…、なおさら心配です。（特に君は生まれたときからその世界で生きてきたから）音楽でも、散歩でも、芸術でも何でもいいので何かあるといいなあるのかな？などと考えます。あまり慣れてない趣味を始めると逆効果の時もあつたりするので心配です。

それとも、僕同様長年の孤立から1人で楽しむすべをもう体得し

ているのだろうか…。

自分だけの場所を探してあちこち歩くのが好きだと言っていたと思う、今はどうなのだろうか？電車好きとか言っていたよね、この17年で他にも何か気に入ったものがあればいいのだけれど。

最近あまり行ってないけど、お店に入ってドリンクを飲みながら1時間ほど本を読むのが僕は好きです。いつでも読めるように本だけは今でも持ち歩いている。こちらに来てから習慣が変わってあまりできてないけど、ごくたまに今でもお店で本を読みます。理由は良くわかりませんが、家で読むよりなぜか心地いいのです。そんな“他愛ない自分だけの何か”を大切にするイメージ、それを伝えたかったです。上手く伝わったでしょうか？あきらめずにがんばりましょう。君の自由と意思の解放を、そして奇跡を信じます。がんばって。

一応下記をもう一度ここに明記（転記）します。

上記以外にもいろいろ書類の名前が登場します、よく理解する前にサインしては駄目です。

別居期間がある程度の期間に達すれば、相手が同意せずとも法的に別れられます。これは、向こうが再婚のチャンスをはずりリスクを負っている事を意味します。

裁判所が婚姻費用（＝生活費）の請求をする“調停”と離婚そのものを話し合う“調停”を分離して記述しています。上記記述は生活費の請求にポイントを絞っています。

離婚そのものの調停も同時に出来るのでしょうか？それとも別々にするものなのか？まだ調べきれいでないので明記できませんでした。もし、君に離婚の意思が固いものがあるなら、調停の議題を生活費に加えて離婚そのものも加えられるか（専門家に）確認してみてください。君の意思を尊重します。

.....
.....
.....

「月曜日、8日目」その3

こんな事書き忘れた。これは…、どう説明しよう。
一番判りやすい例えはNHKの受信料だろうか。

あの受信料は払わなくてもいい、強制的なものでなく、断ることもできるのだ。

これは有名な話です、多分君も聞いた事あると思う。

今、君が戦っているという仮定で書きます。

もし、相手方から何かしらの要求（たとえば、持ち出したお金を返せ、とか要求）されても、すぐに応じなくてもいいです。NHKの受信料のように、必ずしも応じなくていい場合も多いからです。

どんなにちゃんとした書類で請求されても、動じてはいけません。専門家に確認をとり、どんな対応が必要か知る必要があります。

この場合判断基準になるのが、先に示した基本戦略です。どう対応したら、この基本戦略をまもれるか？どうしたらそれが出来るか？を判断基準にして、専門家と対応を相談するのがベストです。

今日も戦いが続いているのでしょうか？

1度や2度でめげてはいけません。脱会の場合と違い、離婚は、ある程度の期間さえ過ぎれば自由になれるのです。あとは向こうがそのリスク（自由な再婚がむずかしくなり、本当にさびしい老後になる）に耐えられるかどうか？です。

？

僕はどういう状況であろうとも、君の味方です。

Fさん、想像してみてください、君を見下す僕の姿が想像できますか？出来ないと思う。

僕も君が僕を見下す姿は想像ができない。

これは、どんなに離れていても変わる事のない共通認識だと思つ。

- - -
- - -
- - -
- - -
- - -

〔火曜日、9日目〕

Fさんへ、元気になっていますか？僕は今日も一応生きております、死んではおりません。

時々あの神社へ行くけれども、こんな疑問をいつも持つ。

「この階段の何段目にいつも座ってたんだっけ？」

試しに座ってみた。

いつも特に意識してなかったのでわからない…、

判らないけど、こう思う。

「このすわり心地には記憶がある。確かに17年前隣には彼女がいた」

思うと同時に、あの無敵の笑顔を頭に浮かぶ。

覚えていますか？

いつものように2人で神社に行くと、社の屋根が修理中でたくさんの人が作業していた。

僕らは仕方なく、離れた位置にあるベンチ？に腰掛けた。

あのベンチ、なくなっているようです。

階段に腰掛けてみる景色はだいぶ変わってしまいました。けど、思い出は変わることなくあるのが嬉しいです。僕も見た目はかわっただろうか？毎日見ているので自分の変化は自覚がむずかしい。

最近経験した事だけど、何十年ぶりに古い友人に会うと最初とまどう、記憶の中の顔と違うからだ。けれどしゃべり方や物腰、リアクションのタイミングなど見てると、昔の記憶どおりだったりして違和感は短時間で修正される。

もし、君と会えたならどんな感じになるのだろうか？そんな事思いました。

今も君は戦っているのだろうか？その前提で話をします。間違っても、君を想ったので笑顔で聞いてください。

長期戦では君は有利です、君が長年勝てないと思っていた概念がひっくり返る事なので、もしかしたら信じられないと思うかもしれないけど、それは事実です。

そう、君は（もし戦っているとしたら）長年の価値基準がひっくり返るといふ生まれて初めての経験をこれからたくさんするでしょう。君はそういうの苦手かもしれない、そういう時は“戻るべき原点”が何か？を常に意識し、原点回帰すれば、荒波の中漂流する危険を回避できます。原点は自分の道しるべでもあるのです。

イメージとしては吹奏楽で言うところの“指揮棒のリズム”でしょうか？あれを見てタイミングをとっている訳で、ないと、リズムがばらばらになる。そんなイメージです。

そういえばこんな事があった。

体育館で全校集会の時、理由は忘れたけど、応援団と吹奏楽部がその場でぶっつけ本番で応援歌をやった。事前の打ち合わせなどないものだったら、応援団と吹奏楽部でリズムが合わない。音楽はこちらが専門だから、正確なリズムキープをしているのはこちらで、向こうは適当な太鼓のリズムで歌ってる。何曲かやった後、ようやく応援団の太鼓がこちらの指揮棒のリズムに合わせれば全体がそろそろ事に気づいたらしく、最終的にはテンポのずれは修正された。覚えてる？

テンポが狂っても指揮棒やメトロノームがあれば修正できる。

自分の揺るぎない原点とはそうした能力を持っているように思います。僕の考えなので、自分なりに付け足したり改良したりして、自分の心にじっくりくるようにしたらいいと思います。

あと、こんな話を。

人間の無意識というのは、意識できない分おそろしい…。そんな事思った。

東京でこちらでは手に入らないようなコートを買った。東京の思い出にとめちやくちゃ奮発して買ったコートだ。見た目はそれなりだが、基本性能がすごい、北極にも行けそうな位の能力のコート。見た目よりずっしり重く、店員さんいわく「羽毛布団着てるようなものです」だそうだ。特に意識せず、なんだかこれがいいと感じて購入した。

以前書いた「秒速5センチメートル」という作品。あの山崎まさよしの曲を初めてこの作品の中で聞いたと書いたやつ。いまでも時々見たりする。けど、最近まで気がつかなかった。僕が買ったコート、主人公が後半雪の中着ているものに似てなくはない…。無意識に影響されたのだろうか？だとしたら恐ろしい…。もし、これを利

用して人の行動をコントロールしよう等と思われたら、たまったものではない。そう思った。

実際、悪魔でもないのに悪魔と言ってみたり、死んでもないのに死んだというのは、繰り返す言う事で無意識に働きかけて、心の趣向を動かそうとするものなのかもしれない。無知と誤解のみならず、無意識も使って操る事も不可能ではないわけです。

コートの趣味くらいならいいけど、もっと重要な判断に影響されないようにしないと。けど、人は常に何かしらの外部からの景況をうけているわけで、これを全否定するのは不可能です。でも、そういう無意識を使った誘導というのが、存在するという事を、知っているのと、知らないのでは、だいぶ、違うと思うのでここに書きました。

君が今でも戦っているなら、帰るべき原点があることを忘れない
てください。がんばって。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔火曜日、9日目〕その2

きみは戦っているのだろうか？その前提で書きます。

Fさんへ、今ひよつとして不安に襲われているのだろうか？

大丈夫です、安心してください、君は強い子です。なにも心配ありません、時間をかけてゆっくり自分を取り戻せばいい。世界にただ1人絶対に裏切らない味方がいる事を忘れないください。

モチベーションを保ちつづけましょう！

不安に襲われた時はどうすればいいのか？

これは僕の場合ですが、過去自分が一番幸せと感じた記憶を思い出していると、不安に打ち勝てる事がよくありました。僕の場合、

当然それは君との記憶です。僕がいろいろ覚えているのも、そうして何度も記憶を思い出していたからかもしれない、けど、細かいところはあやふやな点多い。いつか、ケリをつけるために君は現れると思う。その時、どの程度記憶がずれているかおしえてください。

向こうは不安を助長させるのは得意中の得意です、でも、君は長期戦なら圧倒的に有利なのだから、あせらず、じっくり構えていればいいのです。あせりは、不安につながります。つまり、あせると向こうの思う壺です。不安に襲われたとき、自らが思う方法でそれを乗り切つて欲しい。僕なりにメンタルトレーニングの方法を書いた、これからも書いていこうと思います。あせらず、確実に、行きましょう。僕はいくらでも待てますので。

モチベーションの維持が大事です。

いつか君自身がけりをつけに僕の目の前に現れる、そんな姿を夢見ます。

戦っているなら、がんばってください。

きすぎすぎした話題とは別に、こんな話、最後に付け足します。

「明治エステルスーパーカップ」というカップアイスのCM、ラブラブの中学生カップルが出てくるやつ、あれを見てると神社でのあの永遠とも思える記憶を思い起こします。そんなイメージを伝えなかった。君が少しでも和むことを願います。

.....

今でもひびくあの音は、僕というより、周囲への警告なのではと思ったりします。個人の裁量でやってる馬鹿と思いたいところですが、ありもしない不安感を演出しているのだと思います。

この話を聞いて何を感じたのか？

人のためになにかするというのは、今も昔も、あるのだろうと。

僕には47人分の武器をそろえるような事はできないけれど、出来る限りにおいてどうにかしようと思う。…上手く表現できないな、この話を聞いたときはなんだか妙に感動したんだが、どうにも上手く表現できない、きれいにまとめようとしているからだろうか…。

たぶん、こういう事だろう、誰かに身をつくすというのは、それだけその人物に魅力がなければできない、この物語のなかには殿様の魅力にひきつけられた男たちの男気がたくさん書かれている。その多くは創作だけれど、底辺に流れる史実は本物で、そこには、魅力ある人物につくす、という代え難い価値観が埋まっている。

魅力ある人物に尽くすという代え難い価値観…、それは、まさに僕が君に思うことと似た価値観だと思う、だからグッときたんだと思う。

僕にとって君は尽くすに値する人なのです。

もし、あの時正常に時が流れていたら、漫画などめざさず、ごく当たり前の生活を君としていたと思う。人生波乱万丈です。人生って予測不能でおもしろい…、とりあえず、そう思うことにしています。

君は今日も戦っているのでしょうか？がんばってください。応援します。君は強い人です、がんばれば誰にも負けません。自分のペーソスで、自分の信じることを貫いてください。僕はいくらでも待てますので。がんばって。長期戦では君が優位です、最悪でもある程度の期間、別居すれば、相手の同意なく分かれられます。必ず、ターニングポイントはやってくると思う。そう思います。

争っているなら和む話題も必要です、こういうときは、意味があるようにないような軽い話題が一番に感じる。

あまり役立たない生活豆知識で最後話題を和ませましょう、暗い話ばかりでは駄目なように思う。特に本当に戦っているなら…。

日常のささいな疑問…。

道端にある自動販売機、コインの投入口は横になっています、ところが、駅の券売機、あれは縦になっています。実はあれには意味があるのを知っていますか？

本来コインの投入口は縦が基本でした。理由はお金を入れやすいから。だから、昔は道端の自動販売機もコインを縦に入れるものばかりでした。

ところがある日警察が「路上にはみ出ている自動販売機は道路交差点法違反だ」と言い出したのです、あわてた自販機メーカーは自販機を薄くして、道路にはみ出ないようにする事にしました。けどどうしても上手くいかない、それはお金を入れる投入機がどうしても薄くできないから。ある日技術者が気づいた。「この機械、横にするのは自販機全体を薄く出来る」

で、機械を横にしたため、今でも自動販売機のコインは横に入れる方式で、横にする必要のなかった駅の券売機は今でも縦のままなのです。

今度券売機や自販機を見たとき確認してみてください、確かにその通りになってるから。こんな話題でも和めるでしょうか？はずしたなら謝るけど、いろいろ試行錯誤してみます。

当時君は多少のうわさには動じない頑強さをもっていた、けど、触れて欲しくない話題については完全に心を閉ざした。そんな君の性格は変わっていないと思います。

意地悪で君に無理な事させるわけではない、だめなら、それでいいのです。これに関しては君同様、僕も根競べな訳です、あのお互い絶対にひかない頑固さをしめしあわせたあの日々と同じです、なつかしいです。

当時、僕は、いつ君に捨てられるかとびくびくしながら、君との根競べをしていた。

君は根競べの最後には何かしら決着を付けに来た、あれは、人から強制されたものだったのだろうか？でも、卒業式の後、会った時は君の意思だったように思う。どちらにせよ、いずれ会えると信じています。止めをさされるのか？受け入れられるのか？人生をかけた大ギャンブルな訳で、普通の賭けとは大違いのスケールです。

君はあの夏祭りの日に言ったと思う「私も賭けをしているの」記憶違いだろうか？そうでないとしたら、君は賭けに勝った。17年経って僕は気づいたからだ。

今は僕が賭けをしています。どんな答えにしる、君の答えが、君から聞けることを（手紙でもいいです）願っています。それまでは君と根競べだ。17年前と同じシチュエーションなのでしょうか？わからないけど、上手く伝わる事を信じて。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔木曜日、11日目〕

Fさんへ、

君との根競べ…、なんだか懐かしいです。こんな記憶がある、高校時代、自転車で家から出るときよくこんな事おもった。

僕が機嫌が悪いとき、君の機嫌がよくなり、君の機嫌が悪いとき、僕の機嫌がよくなり、上手くかみ合わない、このところずっとそうだ。今日はどちらだろう、出たと勝負だ。などと毎朝思った記憶がある。

あれは2年生の時の、あの長い長い対立から雪解けしたような方向に向かいつつあった期間の記憶だ。

手紙にこんな事、書いてあったのを思い出した。

「ずうずうしいのもいいかげんにしてって思った。もうがまんできないくらい怒ってたんだよ、それくらいわかってほしかったな」と僕が君が学校で他人のように振舞う事に対して不満を持っている事を隠そうともしない事に対して君はこう言った。

もしかしたら、今も似た状態なのだろうか？

君がそうするには理由があつて、それはある意味僕のためでもあつたりしていた。

今回も僕は何度も君にいくつかの不満をぶつけた…、と思う。その不満に応じてくれないのにもやはり理由があり、何かを守るための行動なのだろうか…。願わくばその守るべき何かに僕が入っている事を祈るばかりです（これも、ずうずうしいとか言われてしまうのだろうか…）

今回思ったことは、君の行動には何かしら理由があり、僕は君を信じて踏み込まない事が求められている？そういう事だろうか…。

昔君はこんな事言った、自分の気持ちを先回りして察してくれるような人が好きと。当時はそりゃ無茶だ！と思っただけど、この17年その無茶が出来るよう努力してきた訳だから、この挑戦拒む訳にはいかない、僕はそれに挑まなければならぬ。むずかしいけど、君の願いに挑戦してみます。17年の努力の成果が試されている訳で…。

連絡をくれない事、意味があるのでしよう。

17年前と同様、僕は守られているのだろうか…、わからない。君にとって簡単な答えも、なかなかの難問です。可能性はいくつかあるけど、あえて書きません。ただ、最低限僕のわがままがあるなら、“会う”という事です。この小説のタイトルでもありませんね、打ちのめされるにしろ、受け入れられるにしろ、そのわがままだけは考慮に入れてください。

君は入ってきて欲しくない部分には入ってきて欲しくない、そういう傾向が確かにあった。難しいですね、だからといって黙る訳にもいかないし…。

少し君が踏み込んで欲しくない部分はわかってきた。けど、…うん、結論は最後にとっておきましょう。奇跡を信じます。

これからも根競べが続くのでしょうか、当時のように。

不確定要素が多くて、いや、弱音ははかないと決めた。

とりあえず、こういうスタンスでいこうと思う。

君の望む世界が実現する事を僕は何よりも願います、それは不動の考えです。君を何よりも大切に思っているし、守りたいと考えています。

その前提に立ち、仮説として君が戦っているという状況を想定して書きます。

気遣いも心がけるし、注意もするけど、言いたい事は（注意して）言う。

根競べとは、この場合、ヒントの少ないこの状況でいかに君の想いに答えるか？という君の条件に無謀にも挑戦し続ける事をさします。

君ががんばっているなら、僕も頑張らないと、もし、これが全て妄想でも、君を想ってる事だけは伝わればと、そう願います。

君の大切な戦い、負けないでと、応援してもいいでしょうか。がんばって。

とりあえず、いくつか試しに（特徴ある箇所を）削除してみます。試行錯誤です。

もともと握手というのは、私は武器を持ってませんと両手を開き、マントの下が非武装である事を相手にさらして近づく動作が起源というを聞いたことがある、その開いた手を握り合うことで、親愛の意思を互いに確認したとか…。

敵意がない事、これまでの行為は自衛手段であった事、この2つをなんとか、理解してもらおうよう、努力してみます。あれは、自衛手段だったんです、僕のものぞみは彼女と再会し答えを聞くことです。17年の記憶に終止符をうち、どんな結果になろうと次に進む事なのです。そのために書く「もう一度あいたい君へ」なのです。寛大な処置とご理解がいただければと、切に願います。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔木曜日、11日目〕その2

おはようございます、朝です。Fさん、元気にしていますか？僕は生きております、死んでおりません。君も僕同様元気に生きていると確信します。

長期戦では君が優位です、あせらず、じっくりいきましよう。

こちらは、あいかわらずな感じで、変化はありません

TVを見ていてこんな事感じた、あるNHKの番組内でありえない話題が展開された、この世に、この日本に、この2010年の現代に、いまだ県境の確定していない場所があると。もめている？そうではない、どうも話を聞いていると、あまりにも辺境すぎて県境をひく理由がないという話なのだ。白馬岳という山の山頂部で境界未定地になっている。

そんな事ありえるのだろうか？

そう思い少し調べてみた、するとこの白馬岳だけでなく、全国各地に境界未定地は存在するようだ。意外だった、20箇所もある。僕らの良く知る富士山もこの20箇所のうちの2箇所を含んでいる。

富士山自体はふもとにある浅間大社の境内の1部と古くからされている、山自体が巨大な神社の1部なのだ。長野の人は嫌がるだろうけど、どうしても静岡県人としては浅間大社のある静岡のほうが由来が高いように思うのは気のせいでしょうか？

こういう類の話題は、雑談レベルではいいけれど、本当にもめだしたら大変なことになる。だからこそ争わない為にあやふやにしている？そんな気がします。

尖閣諸島問題（中国と領有権でもめています）や竹島（韓国ともめてる、韓国名“独島”^{ドクト}）もあやふやにしたいのは争いたくないからだ。

人間関係でも、あやふやは大切だ。こんな僕ですらそれはわかるけど、あやふやにしているのは「価値が低い」場合のみだと思う。誰も行かない辺境や、人の住めない絶海の孤島だからこそあやふやにしていられる。海洋資源でもめたりするけど、所詮お金で解決で

きる問題だし。

あやふやにできないケースとは、やはり、お金の換算できない、とても大切なものが関わったときだと思う。人の人生とか、運命とか。そういう物。

なんだろう…、うまく伝わっただろうか？ “あやふや” は確かに大切だし、意味がある。人が生きていく上で。でもそれだけが全てではない。必要なら、一步踏み出してあやふやを変える努力も必要なんだと思う。たとえば、先に紹介した“白馬岳”山頂で誰かが遭難したとする。県境がないけど、どちらの県の救助隊が動くの？ などとあやふやにしていたら、助かる命も助からない。動けるほうが先に動けばいいのだ。言い合いは助けた後いくらでも出来る。まずは“現状の窮地を脱する”必要があるなら、遠慮とか無用なのだ、と、僕はそう思います。

東京でこんな事があった、本屋の前、ちょっと映像関係のバイトをした。その日の午後までにビデオテープが数本必要だった。いつもなら備品としてストックしてあるロッカーから出せばいいが、その日は在庫のチェックがあるとかでロッカーに鍵がかかっていて取り出せない。こういう場合、関連会社から借りる事になっているが、前日までにかなりの本数借りていてもう貸してもらえない。こうなると自費で買ってこないといけないけど、ダビングする時間を考慮すると間に合わない。けど、あと何時間後かまでに、ダビングをおえたビデオテープを10本ちかく用意しないと、先方に申し訳ない状況が発生する。

僕はバイトだ、決断するのは上司である人だった。仕事の鬼で、初めて経験するタイプの人だった。この時期はまだ本屋での経験のない時期で、決断や仕事に対する姿勢が僕の中でまだ出来ない時期だった。上司の人はどうするのか…、心配して待機した、忙しいので他の仕事をとにかくしていた。ひと段落した後、なんとダビン

グ用にテープが用意されていて、急いでダビングするよう指示を受ける。

「どうしたんですかこれ」

と聞いた、あまりに短期間に用意されたので驚いたのだ。

すると当時のその上司はこういった。

「あるのに、使えないなんて馬鹿馬鹿しいだろ？だから（鍵のかかった）ロッカーこじ開けたんだ」

晴天の霹靂だった、ああ、そんな事してもいいんだ！と衝撃をうけた。こういう場合ルール（在庫チェック中はロッカーをあけない）は破ってもいいんだと。もちろん後で怒られる事は避けられない、けど、ビデオテープを持って行く予定の先方に迷惑をかけるというマイナスと、ルールをやぶってロッカーをこじ開けるマイナスの2つを天秤にかけた場合、最悪の状況を回避するためにルールを破るのはありなのだ。その時はじめて経験して結構衝撃だった。それだけ子供だったのかもしれないけど。

何が言いたいの？戦う理由があるのなら、戦っていいし、それは何も悪い事ではありません。

そんなイメージを伝えなかった訳です。

一応、今君が戦っている前提で書いています。

なにか伝わるものが、役立つイメージが残れば、そんな事を考えます。

さて、僕も頑張らないと、色々やる事もある…、ゆっくりやっていくつもりです。あせりは禁物です。そんなことを伝えなかった、そう思います。頑張ってください。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

「木曜日、11日目」その3

とりあえず慎重に書きます。

心の準備も大切です、読みたくなければ読み飛ばして、後で落ち着いたときや、必要なときに読んでください。

君と相手の年の差がどのくらいあるかで、諸条件がいろいろ変わってくる。君もいろいろ調べているのだろうか？なら、気づいたかどうか？

最初に言います、長期戦では君が有利です。特に年が離れているほど。5年も別居したら離婚できるかもしれないと最近の判例にありました。不確定要素が多いので確信できませんが、5年より短い判例は今のところ調べても見当たりません（詳しくは専門家に確認してください）。

5年後、あるいは5年と数年後、別居期間が満たされ、裁判所が関係修復不能と判断したら、相手の意思に関係なく別れられる。

5年後、相手はいくつなのだろう？

それに耐えるのが平気なほど君は逃げたいのだろうか？

いろいろ、不確定要素が多いです。

もし、相手が調停に出てこなければ？というかこの可能性は非常に高い。調停事態は君の意思で起せるが、相手が出てこなければ裁判にならざる得ない。裁判でも、相手が暴力をふるう、とか、不倫をしていた、とか、何かしら理由がないと離婚は認められないので、裁判費用の浪費になりかねない。

逃げるという事は何か（上記に該当するものが）あるのだろうか？あれば勝てる。

調停も不調、裁判でも勝つ決め手がなければ、戦略を基本にもとじて“長期別居作戦”になります。

（ちなみに、裁判で先に消した方法は…、君の心がどう天秤にかけるかです。）

（関係修復が見込めない重大な理由があると、裁判官が認めたら、裁判で別れられます。それは事実です。心当たりがあるなら検討してみてください）

ちなみに「離婚調停に相手が出てこない・・・。」

「別居の期間がどれくらいあれば離婚」

等をグーグル検索するとMSN質問箱、yahoo知恵袋、などに該当する質問が載っていたりします。

17年前、僕は君に守られていた。それは事実だ。どう？守られてたか？

僕が君と付き合っているという事実を隠蔽することで、僕の人生に彼らが影響を及ぼす事を防ごうとした？彼らが本気になれば、一生孤独だし、まともな生活はできないし、仕事も出世もだめになる。そんな事態から僕を守ろうとした？

君には申し訳ないけど、その試みは失敗して、結局僕は呪縛から逃れられなかった。どうりで、ろくに知り合ってもないのに無視される訳だと、随分納得した。（原因は何か他にあるのかな？と随分考え、最終的にそういう星の元に生まれたんだと思ったりもしたが、たまにわだかまりなく接してくれる人がいて理解できなかった。どうしてこの人は普通に…、気味悪がって距離をとってしまったが、実はあれが、正しい人間のリアクションなんだと、今は納得する。対人スキルまで狂わせられている、ある意味僕も洗脳されている訳です）

今も僕は守られてる？たぶん、君にしかわからない“何か”が答えなのだろう…、僕も自分にしかわからない“何か”を持ってるし、人に何度説明しようとしてもその“何か”は上手く説明できない。けど、確実にあるそれは、たしかな動機の元になっている。そんな

感覚、僕は持っている。君はどんなのだろう？同じなのか、違うのかなのか…。

僕に知られると困るなにか…、
たぶんこの部分は君が踏み込んで欲しくない部分なんだと、そう
思います。

だから、君がこれにどう対処するのか答えを出すまで（出るまで）
待ちましょう。幸い僕はもてないし、その気もないし、当分大丈夫
でしょう。その当分が5年になるのかもつとなのか、ヒントくらい
はほしいところです。わがままですけど。

困っているのだろうか、それとも別の感情を抱いているのだら
うか…。

何が言いたいのかというと、これからも僕は死ぬまで“そちら側”
との根競べをするのだと思う、君と一緒にいてくれたら、この根
競べ、大変だけど楽しく過ごせる。

けど、君にもそれはかなりの負担、無理強いはできない。君の心
の選択を支持します。

心配は、その心の選択に僕のわかっていない不確定要素がどう関
わるのか…。心配しています。

再会を信じて希望をいだかしていただきます。ささやかな望みは、
止めをさされるにしろ、受け入れられるにしろ、答えを聞くこと
です。

以前も書いた、毎日ちゃんとしたものを書くのは以外に大変、
でも、君のためならやれます。

君ががんばれるなら、僕も頑張れます、がんばって。

.....

丁寧には書きます、けど、こつも考えた。

リミッターをはずすと宣言したじゃないか、必要以上にセーブするの僕らしくない、第一、自分の意見をいわない僕など、僕らしくないし、そんな僕を彼女はどう思うだろう…。耳障りな事も言っていないのだ、ギリギリまで肉薄して、君が怒るところにも肉薄して

君はきれいに見せようとする、自分を。君は猛烈な恥ずかしがりやだ。見せたくない部分を必死にかくそうとする。けど、僕は人のマイナス部分を馬鹿にするような事はない、以前にも書いた。僕は駄目人間が好きなのだ。特に努力する駄目人間は大好きです。君の駄目な部分、もっと見せてください、そう思った。

以前書いて消した話。

映画「七人の侍」のなかで、せっかく救助しに駆けつけたのに、あつた瞬間、自分の姿を恥じて自殺してしまう女の人が登場する。その人はある農民の奥さんで、何年か前“野武士”にさらわれてしまう、野武士とは山賊に成り下がった元武士でたいてい下っ端だったりする。拠点山中にもち、近隣の農村を襲って、食料や食料以外のものも奪う。その奥さんもそうしてさらわれた。

何年かして、ようやく野武士の拠点を知った夫（たしか茂吉もきちだったかな）は、無謀にも七人の侍が止めるのもきかずに単身、刀1つで乗り込み、偶然にも奥さんを発見する、やった、奇跡の再会だ！さあ、連れて逃げるんだ茂吉と思っていると、茂吉を見た瞬間奥さんは自害してしまうのだ。なんで？どうして？理解できない！？一緒に逃げればいじゃないか！そう思った。

茂吉の奥さんは何年も野武士の拠点にいてぼろぼろになっていた、愛する旦那には自分の美しかった姿だけを覚えていて欲しい、だか

ら、死ぬしかない。そう思つての行動…、茂吉は涙する。

茂吉がそんな彼女でも生きていて欲しかったし、助けたかったのは事実だ。

これは物語だ、古風な日本女性の感性が導く悲劇として書かれて
いる。遅すぎた？そういいたいらしいが、僕は泥まみれになつては
いつくばつても生きてやる、そう思う。君がどう思つかわからな
いけど、そう思う。実際どんな屈辱にも耐えた。これは心あたりの
ある人は皆知つている事です、いつまでたつても切れない僕を知つ
ている人は何百人、いやもっと？いるかもしれない。覚悟は口だけ
でなく実証済みです。

そんな事わたしにはできない、そう思うのだろうか？いや、普通
そう思うよな…。

人は変われるものです、覚えているだろうか？震える僕の手を…
「もっと度胸あると思った」

あの時君は言った。初めてのキスの日、僕は震えた。君の方にま
わした手が震えだし止らない。まずい、かつこ悪いところみせてし
まった、嫌われてしまう！と、緊張した、けど、君は笑つて受け入
れてくれた。あの日、もっと強くなりたいと思つた。

いまも僕は変わろうと思う、君が来るか来ないかわからないけど、
養える自分にならなければ、そう思う。どっちになるにせよ、そう
しないといけないわけだけど、動機になっています、君を養いたい
と。傲慢に思われそうで言いたくなかつたけど、ここまできたらも
う書いても違和感ないでしょう。

やはり、遠方のほうが仕事がありそうです。上手くいくかわかり
ませんが、そんな方向に心が傾いています。販売の仕事がしたい。
そう思っています。だめなら、福祉の資格でもとりましようか、先

ほど書いた泥まみれの覚悟があれば、まあ、大丈夫だと思うし、第一無茶なお客にはなれてる、その辺の能力が活かせれば、などとも思ったりします。君を養う覚悟はあるのです。古いけど家もあるし、いざとなったら頼れる親戚もいます。茂吉とはちがうのです。

君は自由です、茂吉の奥さんみたいな行動はしないでくださいね、誰も幸せになりません。不幸が好き？そんな事も言わないでくださいね、17年もかけて到達したんだから…

今の君はどういう状態なのだろう、何を思っているのだろう…

今回のこの記述は、落ち込んだとき、読んで見てください、人は変われるのです。僕はもう手が震えたりしません、そしてこれから変わってゆくでしょう。以前書きました、介護される年までには、あたりのよいまともな人格を手に入れたいと。歩みは遅いでしょうが、前に進みさえすれば何とかなる。

今の君がわからないけど、可能性の1つとして聞いてください。

もし、自分の変化をのぞむなら、僕ほど適したパートナーはいないと思う、他の人はなんだかんだでペースが速い、変化に対してのけど、僕は亀のごとくゆっくりだ。このペース、他の人にはないペースです。あせらず、変化を望むなら、僕ほど適したパートナーはいない、そう思いました。

もし、取り越し苦労だったらいいんですけど。戦う君の姿を想像するのは好きです。待ちます、準備ができるまで。どちらかの答えを君が準備できる日まで。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔金曜日、12日目〕

おはようございます、朝です、元気にしていますか？

こんな事、書くとき、朝、声をかけても困ったようにうつむくきみの姿を思い出します。嫌われてるのかな？といつもこわくなり、そんな馬鹿なと言いつけ、午後部活の時の笑顔を見ると安心する…、そんな日々がなつかしいです。そして、今なら君が何を考えてそうしていたのか見当がつくようになったのが、うれしくも悲しくも思ったりします。

一見、君は不安定に見えた、と言うか事実不安定だったのだろう…、特に印象的なのが、2年生の時の記憶だ。

授業中、教師に指されて立ち上がった君は質問に答えるのだが、その日その日によってまるで別人のように見えた。ものすごく恥ずかしそうに答える時もある、普通の日もあった。気分屋なのかなと思った。（実際その傾向はあるのだと思う、僕自身も実は気分屋な部分がある）

今も不安定な君なのだろうか…、心配です。

会って話しさえすれば、君の不安を取り除けるのに…、そんな事漠然とします、17年もかけてそう思えるところまでできたのだから、せめてチャンスをください、そんなわがままは駄目なのでは？うか…。

君はトロンボーンの上級者なのに、一度も僕に指導をしなかった。普通はするのに、他人に対して一歩踏み出すのが苦手なのはわかる。どうしても話しかけられるまで待つてしまうというのも理解できる、事実ぼくもそうだから。けど、僕に遠慮は無用です。何を遠慮する必要があります？仮に君が汗臭くとも僕に気兼ねする必要はないのです。恥ずかしがる理由がない。たぶん、ものすごく恥ずかしがるのはわかってるけど。判ると思う。

見せたくない君を見せてください、少々の事では動じませんよ、仮に動いても0.2秒で回復してみせる。その辺の動じなさはすでに実証済みと思うけど、どうだろう…、どんな風に伝え聞いているのか…。

少々の事じゃ切れないですし、人のネガティブな感情を、どう整理すればいいのかは、経験豊富ですから、微力ながら支えるし、へこたれませんかよ。

もう遅い？まだまだ遅くないです。そういうのは（遅いというのは）もっと年寄りと言うセリフです、というか、最近の年寄りの方がこういう事いわず若いこと言ったり、行動したりします。僕ら若い者が遅いとか言っではいけません。

もし、こちらに来たら、好きなだけ自由にのんびりすればいい。支えが欲しそうなときは、支えるし、放って置いて欲しい時は、そうするし、判ると思う。僕はそれが出来ることを。

根競べもするけど、あの神社の無限とも思える時間のように、君の意思を尊重します。あの笑顔が見たい僕は基本それが出来るのです。

それと同時に、手紙にあった「しかるときはちゃんとして欲しい」という言葉を胸に刻み行動します。それが出来るようになるための17年だったんだし。

普通に、当たり前前の、そんな関係。どこにも無理のない自然な距離、そんなイメージ、君の望む距離を探りたいです（それは今も同じで探っている真っ最中ですね）。

今回はどうなのだろう、近づきすぎたのか？適切な距離なのか？それとも…。

げたい。君に今、必要な“何か”はそれに近いイメージの何かなのではと、そんな事漠然と思った。本物の笑顔に必要な不可欠なそれを、君に届けたい。そう思う。

本当の君が知りたいです。

本当の君を見せてください。

それが、どんなに見せたくない姿でも、知りたいんです。受け止めたい、そう心が訴えています。

これも、元ネタがわかると、なーんだと言われてしまいそうなんです。言葉自体は良く出来ている言葉がある。(割と有名かもしれない、気がつく人は何からの出典かわかるかもいれない。)
人には3つの顔がある。

1つ目は表向き(公式)の顔、普通に人と接するとき見せる姿。

2つ目は本当の(内面の)顔、心が描き出す他人には見せられない本当の姿。

そして…、

3つ目は自分でも気がつかないもうひとつの姿。自覚できない優しさや、強さ、存在感など、いわゆる他者から見た姿、と言っちゃつ。

僕はこう考える。この3つがそろって初めてその人が完成する、どれか1つでも欠けたらその人は一生救いを求め続ける事になる。そう感じます。

君は強くて優しい、思いやりのある人です。僕からはそう見える。それは事実で、君がどう思おうと否定できない君の要素だと思いません。

本当の君を受け入れたいです。君の姿を僕の中で見せてください。そう感じた。どう思っているのだろう…

ずっずっしい、と、怒っているのか？それとも。

君の望みのうちのいくつかが、こうしたイメージに含まれているなら幸いです。こんな僕でも君にしてあげることがあるという事になる。はずれていたら、笑ってください、君を思っていることです。

君が全てをさらしにくるのか？それともその逆を選択するのか？賭けですね。

君の気持ちが僕の気持ちを受け入れてくれている事を、切に、願います。

あの笑顔、仮に無くしていたとしても、僕は決して動じませんよ。もっとすごい何かがあっても、大丈夫です。そんなにやわじやないから。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔土曜日、13日目〕

Fさんへ、最近よく眠れてればいいけど…

最近僕は枕元にラジカセを置いて、FMを聞こえるか聞こえないかぐらいに絞った状態にして寝るのが好きです。

昔、僕は君に肉迫（＝身をもって敵地などに迫ること）した事があった、君はギリギリのところであつた。そんな繰り返しをずっとやっていたような気がする。楽しくも緊張感ある、楽しい思い出。最大の肉迫は、やはりあの大告白の日だろう…、君は必死にこつちにくるな、近寄るといけない、とやっていたのに、その防波堤を僕は全力でもって突破してしまった。懐かしいです。

あの思い出が、今の僕を作っています、人は話せば通じ合える。

君に教わった信念です。

僕の、大事な大事な宝物です。

当時はその“隠された”ルールに気がついてなく、もし、気がついていたら…、例え真実に気づかずとも違ったのではと…、そんな事考えてしまいます。

自分の中の“何か”にそうやすやす触れて欲しくない。けど、それに触れてほしい思いはある…。

触れて、問題点を改善するヒントを示して欲しい…、けど、がさつで乱暴なアドバイスはごめんこうむる。

そして、こう思う。その程度の“心への肉迫（＝身をもって敵地などに迫ること）”で自分の意思が変えられると本気で思っているのか？説得する気があるなら、もっと本気で肉迫して来い！

そんな事思った。

何の話か？それは、父の友人でなにか社長をやっているとかいう人が、僕を（漫画から手を引くよう）説得した時の感想だ、ええ？その程度のもので僕を説得できると本気で思ってるの？もっと心に肉迫しろよ、そんな事思った。

軽い気持ちで説得されると腹が立つ…、そんな経験、君もした事ないだろうか…。僕はある、実際腹は立つ、もちろん、表には出さないし、その程度のストレスは飲み込めるし、かわせる。けど、その程度で“落ちる”と思われてるのは悲しいなど、そんな事おもった。君はどう感じる？同意してくれるのか、それとも…。

あるドラマのなかで、こんなやり取りがあった。
広報部長が言った。「なぜ、助けてくれるんです？」
すると上司の補佐官はこんなたとえ話で、その理由を説明した。

ある所に男がいた。

その男は山道を行く途中、大きなたてあな竪穴に落ちてしまう。
よじ登ろうにも足をくじいてしまって出来ない。

そこに1人の村人が通りかかった、男は大声で叫んだ「助けてくれ」と。

通りかかった医者は言った。

「見たところ命に別状はないな」

そして、足の怪我の処方箋を書いて落として、

「この薬をのみなさい、そうすれば足はなおるから」と立ち去ってしまった。

男は絶望した、そんな事必要じゃない、必要なのは助けた。

しばらくすると別の村人が通りかかった。

男は今度こそ助かると思って、大声で叫んだ。

通りかかった神父は、穴の中の男を見ていった。

「主に祈りなさい、そうすれば道は開けます」

男の叫びを聞いてか聞かずか、神父は男のために祈りをささげ、

先の医者同様たちさった。

男は絶望する、どいつもこいつも、どうして助けてくれないんだ。

この男は助かる、最後の1人によって、そして、最後の男は意外な方法をとるのだ。

しばらくして、今度は男の親友が通りかかった。

「おい、助けてくれ！」男は懸命に叫んだ、今度こそ、今度こそ助かると思った、何しろ気の通じた親友なのだ。

ところが、この親友。あろうことか、男の存在に気づくと、意を決してこの穴めがけてジャンプした。親友は男同様に穴に落ちたのだ。

「お前が落ちてどうするんだ」

と、男は言った。

すると親友は笑った。

「俺も一度落ちてるのさ、その時どうやって脱出したか教えてやるよ」

補佐官はアルコール依存で以前、広報部長に助けられていた。だから、一度落ちたからこそ、職務を超えた気持ちで彼を支えた。

そんな話です、以前書いたかな…。

肉迫する…、とはこういう事ではないかと、そんなイメージを伝えなかった。

外から、あれこれ、言う人はたくさんいるけど、本当に、心の内側まで肉迫して助けてくれる人は、そうはいない。肉親ですらできない。同じ思い、何か通じるきっかけを持った者でないと、（わずらわしく感じるほど肉迫した助言は）受け入れられない。そんな気持ち、わかるだろうか？

（わずらわしく感じるほど肉迫した助言は）結局誰もしてくれないので、自分で解決するしかない、もしくは、（解決できないので）心に封印するかの、どちらかになる。

そんな“何か”の解決、僕（君）も探してる？

穴に落ちた親友は、脱出方法を男に提示するだろう、男はその脱出方法を拒絶するかもしれない、でも親友は本心で助けたいと思っている、なぜなら、穴に落ちてきたからだ、他の2人のように傍観者ではない、一緒に穴に落ちるといふのは、それだけ本気なのだ。

もし、君が穴に落ちているなら、僕も落ちると思う。脱出は、出来るか？出来ないか？やってみないと判らないけど…、この17年の経験が落ちても脱出できる自信につながっています。

君の触れて欲しくない“何か”…、それについての事。

これは最後のチャンスです。

永久に棚上げするのは、君らしくくない（本当の君はもっと強い。

）
自分を取り戻す最後の機会であるといふのは事実です。

ほら、少しずつ心が開きかけている…、

そんな事いうと、それをかわいく拒否（否定）する君の姿が目に見えなくなります。今の君も同じリアクションをするのだろうか？これを読んで微笑んでくれたら嬉しいです。でも想いは真剣です。上手く伝えればいいけど。

あの大告白の日、君の作る防波堤を全速力で突破した僕、今はもっと高い防波堤に挑んでいる訳ですね。

あの日、僕は人は話せば通じ合えるという信念を得た。今度はこれを、君に分けてあげたい。そう思った。この僕の想いが君の心の

琴線に触れる事を切に願います。

今も君は戦っているのだろうか…、そう仮定して書きます、がんばって。また書きます。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

「土曜日、13日目」その2

こんな事を思った。僕は長年、誰か支えになつてくれる人が欲しいと、ずっとそう思っていた。あの大告白の日も僕は君にそんな事を言ったような気がする。

けど、そうだな、上手く説明できるかな…、微妙な感覚だから…。

心に迫り、心から真剣に応援する…。

それは、正しい“それ”に近い概念なんじゃないかと、そう、漠然と感じた。

理解するという言葉とは、似てるけど、何か、こう、微妙に、ちよつと違う。そんな“ちよつと違う何か”を欲する気持ち…、そんな気持ち、わかるだろうか？これが、そうなのか、どうなのか？合っているのか、違っているのか…。

図星とはちよつと違う、少しずれた図星、そんなアドバイス僕は（もらうのが）好きです。

少し正解とずれているから、自分なりに工夫する余地が残っている。

いきなり、正解をたたきつけられると、まるで命令されているように、何か、こう、じっくりこない…。かといって、あまりに的外れなアドバイスは、役に立たない。

そんな感覚、僕はあります。君はどう思うのだろうか？私も！と感
じてくれるのか、それとも…。

“心との適切な距離”のとり方は、こう、なんというか、こうい
う、少し自分だけの工夫の余地が残されていて、自由度の残された
アドバイス。そして、それは、可能な限り凶星に近いが、完全な正
解ではない。自由に解釈する余地の残された答え。それが、僕が（
君が）欲する答えのような気がする。どう思う？あたっているのか、
はずれているのか…。

君は今日も戦っているのだろうか？一応その前提で書きます。

もし、戦っていてくれるなら、それは嬉しいです。なぜなら、ま
さに、その行為そのものが、僕の心に君が肉迫する行動そのものの
様に感じられるからです。その筈です。なぜ？その筈などと言うの
か？あくまで仮説だからです。まあ、こういう宙ぶらりんな感覚は
慣れていきます。漫画と比較するとどうかと思うけど（君のほうが何
千倍も大切だけど、ここは、説明する上で漫画をだすのが一番わか
りやすいで…）、雑誌に投稿しても、答えがわかるのは2〜3カ月
後。書いているときも完成まで3ヶ月なんて事もある、その間ずつ
と気持ち的に宙ぶらりんで、本当に（答えが”プロの作品として認
められるのかどうか、と）合っているのかわからないまま作業をす
るといふのには、慣れていくのです。

最終的な答えを聞けると信じています。打ちのめされるのか？受
け入れられるのか？それとも、封印されるのか？はたまた、君は心
をさらけ出す決意をしてくれるのか…。その答えを知るのは今の（
あるいは未来の）君です。

人生に残されたラストチャンスに君が何を持って答えるのか？そ
れを知る機会が僕に与えられているのか？答えは君の心のどこかに
あるのです、今も。

何にしても、君は必ずケリをつけに直接、僕に会いにくる。そう信じたいです、どの様な選択に君がたどり着いたとしても。

心の準備が必要なんだろうなというのは、何となく感じます。

今日も戦っていてください、そんな君の姿を想像するのは好きです。

これからも、その前提で時々アドバイスめいた事、書きますね。でも、少しでも役立てばとそう思います。君が、君自身の中にある触れて欲しくない“それ”と、君の心にある誰にも譲れない“何か”の2つが、君のなかでどう戦い、どう影響しあい、どう落ち着くのか。時おり手をだしつつも見守る…？それがいい距離のとり方ではないのでしょうか？答えを知りたいと無性に思います。

もし、戦っているなら、頑張ってください！君は強い子です、そう簡単に負ける人ではありません。また書きますね。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔日曜日、14日目〕

こんな事を思った、なんとか彼女と連絡をとりたい。けど、何か事情があるはず…。待てばいいのだ。しかし、どうにかならないものか。何もせず指をくわえて待つと言うのも情けない。どう、うったえよう…。彼女の負担にならない範囲で、僕の気持ちをぶつけるには…。

こんな事よく思います。

何か方法はないか？何か方法は無いかと、常に考えてしまう…。僕と連絡をとろうという行動自体が、触れて欲しくない微妙な“そ

れ”に触れる事なのだろうか…。いろいろ考えが巡ります。

で、こう思った。せめて、連絡をつける“準備”だけでもしてくれないだろうか？

例えば、具体的には。手紙の下書きを始めてみる、とか。

あるいは、電話の連絡先を確認してみる、あるいは探す。といった行為をして準備だけはしておくとか。

“準備”だけなら“無害”でしょ？

なにか、思うところがあったら取り掛かって欲しい…。言うだけなら無害だと思った。

君の中のその微妙な“何か”はどう変化したのだろうか？なぜ変化という言葉をつかうのか？僕自身も心の中に、触れて欲しくない微妙な“それ”を持つ。似て非なるそれ。そして常にゆらめいていて形は変化している。インスピレーションと影響しあっているといえ、言えなくもないが、両者は同一のものではない…。つねに、ゆらめいている。波打つ液体か、常に形を変える炎のように…。

それはきつと誰の心の中にもあるのだと思う。ただ、僕と君は、その何かが心に占める比率が、他の人よりも少し、多いように感じた。どう思うだろうか、当たっているのか、はずれているのか…。

こういう感覚を“クオリア”というらしい。解説はあるのだけど、しません。したら、何か、こう違う気がする。

多分、こういう問題は世界中で議論されているけど、結局その答えをだすのは自分自身であり、人からはアドバイスこそあれ、他人の出した答えに便乗するのは間違っているように感じる。

間違っているだろうか？君は今まで、自分にじっくりくる答えに遭遇した事があるのだろうか？

こんな事をおもった。

「ルノアール」「モネ」「ドガ」「セザンヌ」といった画家の名前を聞いたことあるだろうか？みな印象派の画家たちだ。彼らはものすごい苦勞している。

写真が普及する以前のヨーロッパでは、本物そっくりに描く画家がよい画家とされていた。ところが、写真が一般に普及しだすと、画家は要らなくなる、というか、写真機カメラという機械にはできない“何か”を表現したいと画家たちは思うようになった。

ぼくは、西洋美術史はかじった程度しか知らない。けど「ルノアール」「モネ」「ドガ」「セザンヌ」ら印象派の絵がそれまでのものと根本的に違う事くらい、見ると判る。

彼らは“光”そのものを表現しようとした。

人体に反射する光、木々に反射する光。「ルノアール」は主に肖像画にそれを求めた。写真機には出せないその表現は斬新で人気をよんだ。「モネ」は風景画にそれをもとめた。晩年の傑作“睡蓮”は水面にうかぶさまざまな光の一瞬を絵にしたもので、写真には表現できないものだ。「ドカ」は踊り子の絵で有名だ。躍動感ある動きの一瞬をとらえた絵が多く、臨場感で写真にまさる。

「セザンヌ」は変わり者だ。近代絵画の父と呼ばれ、たくさんの作品を描くのだから、他の画家と交流する事もなく田舎に自宅にひきこもり、ただただひたすら描き続けた。その臨場感は一度見ると、一見同と言う事の無い絵と思うけど、あれなんだろうと、脳が理解できるまでついつい見入ってしまう、そんな印象を個人的には持ちます。

こういう写真（カメラ＝機械）には表現できない一瞬のゆらめき、このイメージが、心のなかでゆらめく“それ”を理解するのに何かしら役に立たないだろうか、と、そんな事感じました。上手く伝わるだろうか…。

絵に限らず、音楽でもいいし、写真家のとった写真（「これは、光の加減やアングルなどが絵画のように考慮されてとられていて、人の意思が介在した単なる写真とは違う種類のアートです」など、その具体的につかめない“何か”を表現しようとした人たちはいっぱいいます。みなそれぞれ悩み、自分だけの答えにたどり着く。同じ作風の作品がないのがその証拠ではないかと。もちろん、答えにたどり着く過程で人の真似をするのはかまわないのですが、真似るときは、その人がどういう心の軌跡をへて、そこにたどり着いたかを理解する意味での真似でないと意味が無いように思う。これが難しい事は知っている。東京でさんざん言われた「もつとプロの作品をまねなさい、プロのネーム（コマの展開や絵の表現、配置、話の演出など）を真似ると勉強になる」と言われ、挑んだけど、もつとすごく難しい。脱出できない迷路に入りかねないので、考えすぎもいかななと思うけど。確かに勉強になるし、いつのまにかいろいろわかるようになる。答えは遠いけど、やりがいがあります。

ああ、難しく考えないください。心のなかでゆらめく“それ”に立ち向かって欲しい、皆他にも立ち向かっている人はたくさんいるのだからと、こう、言いたいのです。

僕が求めるのは、君に、君の悩む、触れて欲しくないそれをもつと見せて欲しいということですよ。もしかしたら理解できるかもしれない。できなくとも、一緒に立ち向えられるかもしれない。そして、もし君がのぞむならいつでもパートナーとして共に立ち向うのに…、いや、君の心は今開きかけている、それが重要なかもしれない。その開きかけた何かが、僕の心の進路とどこかで交わっていけばそれでいいわけだ。お互いに微妙に進路修正を繰り返せばいつか心の進路は交わる？そんなイメージあっているでしょうか？その答えはどこかにあるはずですよ。見過ごしているだけで。

君は戦っているのだろうか？その前提で書きます。心を支えられているだろうか？心配です。君は強い人です、そして今心が解放されつつある、解放された暁には幸せがあるはずです、待ってればやってきたりはしません、前進あるのみです。君はそれが出来るだけの心の強さを本来持っているのです。だから、大丈夫です。

君の望むべき世界が実現する事を祈ります、その実現に支えが必要ならいつでも使ってください。今は遠くから応援しているだけです、待っています。また、書きますね。がんばって。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔月曜日、15日目〕

ちょっと書き直します、読み返すと論点が絞りきれてなかったから。

もう役目を果たしたと思われる、第2話、第3話を消してみます。第2話、第3話は消しますが、意味はあつたと思う。普通でないことをするためには、躊躇していられない。そんな想い出書いた。いつ死ぬかわからない状態だったし、でも、今は役目を終えたのかもしれない、一応消してみます。いつまでも恥ずかしいおもいをさせておけない、2人の大切な思い出です。

会える確立は5%以下でしょうか…。それでも。その僅かな確立にかけています。会えないけど、手紙はもらえらると思う確立は7%くらいでしょうか…。障害を高め設定したほうが油断しなくてすむ。

この5%を50%以上にする方法が、あるいは80%以上にする

方法が実際あります。

きみの行動によって、それは決まるのです。

長期戦戦略をとるのか？（根競べです）

短期集中決戦をとるのか？（これは一度けした方法ですね）

あるいは、双方同時平行でおこない中期決戦を挑むのか？（要工夫ですね）

君の行動しだいです。

極端な話、話し合いなどぶったぎっていきなりこちらに来る手段もある。

僕と君は不貞罪にとわれるかもしれないけど、金で片がつくなら、それもありと思う。

それを、君が全部把握しているのか？という疑問が浮かぶのです。

取り合えず、選択肢を列挙してみました。

この日の記述書き直しました、妙に決断をせまる内容だったので、削除しました。

たぶん、僕自身がいま、決断を迫られていて、それで、あんな内容になったものと思います。

時間か経つと、間違いに気づく。少し、はずかしいです。

何を僕が今悩んでいるか？下の記述でわかります。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔火曜日、16日目〕

Fさんへ、なんかこういう時はまったく違う事を考えて、頭を切り替えてみようと思う。たぶん君はこういう話好きではないと思うけど、前にも書いたけど、僕の現在の人物像を知る上で少しは参考

になるのではと、こつ思い書きます。

現在、郵便局の民営化が止まっています。それどころか、逆行する動きが亀井大臣らが推し進めている。なぜ、それがいけないことなのか？駄目なことなのに、なぜ、そうしようとする人たちがいるのか？あまり解説されてないのが実に悲しいです。

政府が借金するとき、誰から借りるか知っていますか？
貸してくれる相手がいなければ、借金というのはできないものなのです。

そして、以前書きました。日本政府のする借金は基本的に国内の最低20万人はいると言われた余剰労働力を養うために使われています。つまり、“返すあてのない借り入れ”であり、貸す側にしてみれば、赤字確定で、儲けゼロどころかマイナス確定の貸し出しなのです。

一体、このマイナス確定の債権に誰がお金を貸すのか？
誰かが貸すからこそ、国も借金ができるわけで…、

誰がこの赤字確定の借金に対して気前良く金を貸すのか？

そう、郵便局です。

国が借金を返しきれないのは、現在プライマリーバランスが0でない（いくら返しても利子で借金が膨らむ状況）なので、現行の状況で、郵便局が貸し出しを全て回収するのは絶望的です。

なのになぜ郵便局はつぶれない？

それは、それだけ郵便貯金の規模が巨大だからです。

巨大だから、いくらでもたかれる。

何かに似てませんか？

そう、年金問題と同じなのです。

年金基金も巨大だったので、テキストに仕事してもOKだったし、たかっても問題なかった。けど、年配者が増えて、支払額が増大した瞬間、破綻の危機に見舞われました。年々年金額が減少するのはご存知のとおりです。

このままでは、郵便貯金にもいずれ同じ問題が発生します。なにせ、回収見込みゼロの政府の借金を、ろくに吟味せずばかばか貸しまくっているからです。まさに、地方が郵便局を食いつぶしている現状で、どこかでなんとかしないと、本当に郵便局が破綻するので

破綻した瞬間、国は借金できなくなります。

国家予算の半分を借金で毎年まかなっているので、郵便局が破綻した瞬間立ち行かなくなります。

その場合、外国にお金を借りる事になりますが、こんなにスキーンな債権、誰も欲しがらないので日本国債の値段が暴落するのは確実で、そうになると、国が破産します。ギリシャどころの話ではありません。

まあ、郵便局のあずかる貯金の規模は半端でないので、もしかしたら、僕が生きているうちは持ちこたえるかもしれませんが、その後のことは知りませんが。

問題は、郵便貯金を利用しているのは年配者が多い点で、この人たちが何らかの事情で貯金を移動させたら、めぐりめぐって国が破綻するわけです。

この事態を防ぐのが、郵政民営化でした。

民営化すれば、利益をださねばいけないという市場原理がはたらくので、無茶な国の借金に応じる事がなくなる…、というのが狙いでした。

借金が出来なくなれば、国は必然的に、財政規模を縮小せざる得なくなる…。

これが小泉郵政改革の目的です。

どれほどの人が正確に理解しているか実にあやしいです。

今また、亀井大臣を中心？に、郵政民営化をとめる動きが出ています。おそらく、亀井さんの世代の方たちは、自分たちが死んだ後の世界など、どーなってもかまわないと思っっているのでしょうか。消費税を上げれば問題は解決と言う話もありますが、せめて郵政改革と引き換えくらいにしてくれないと、「お金発見！」と利権に群がる人たちが浪費するのは目に見えていて恐ろしいです。

しかも、今、郵貯の限度額を1000万から3000万に上げようという動きまである。ある意味、国民からの強制徴収であり、いつか誰かがババをひく詐欺もどきのシステムです。願わくば、それが僕が生きているうちは起きない事を願うばかりです。

現在の鳩山政権はどう考えているのでしょうか…、詳しくは知りません。今それを知りたくて本を注文したばかりです。著者は上記の内容を説明した人物で、なにかまたおもしろい事を教えてくれると期待しています。

人の真似じやんなにをえらそーに！と言われかねませんが、僕自身も4冊ぐらい読んでようやく自分なりに咀嚼そしゃくできたわけで、本の

内容を丸写しした訳ではありません。丸写しでは論争とかできないし。

「さらば財務省」「日本がアルゼンチンタンゴを踊る日」「官僚との死闘七〇〇日」「霞ヶ関の逆襲」「資本主義2・0」「ハイエク知識社会の自由主義」「お国の経済」等、いろいろ読んで自分に頭にまとめたものです。

ポイントをしばって、いい本を読むとおもしろいです。

上記の場合、必ずまずエポックメイキング（ある分野に新しい時代を開くほどであるさま。画期的。）な本がでて、それに付随する本がいくつか後発ででるといった感じでした。この場合は「さらば財務省」「日本がアルゼンチンタンゴを踊る日」の2冊でしょうか。

こんな中でも、僕の人物像を知る手がかりになっているでしょうか？

少し最近の心境を書きます。

遠方の仕事に応募する事を決断し損ねている感じですが、上手く就職できるかはまだわからないけど、おそらく、ここで上手く就職できたら、もう人生の進路修正はできない。岐路なわけです。そりゃ悩みます。君に決断をせかすような事を書いたのも、ある意味自分の心境の反映かもしれませぬ。

で、落ち着こう。こういう時は、と思い漫画に少し専念して気分を切り替えようと思った（が、これがいけなかった）。

かなり根本的な創作上のミスにきづく。というか、今まで気がつかなかった事に愕然とした。キャラクターはいつも雰囲気がかいていたが、それがいけなくて、今までが雑すぎていて、もっとその人物をちゃんと作ればいいのだとネットでキャラ作りについて調べていて気づく。何で今まで気がつかなかったのか…、

そういえば東京ではダイアルアップ回線を使っていた。ネットが嫌いだからそれでかまわないと思っていたからだ。こちらに来て常時接続を初めて体験して、いろいろ調べるようになって、はじめてキャラクターづくりの詳しい解説に遭遇する。自力ではたどり着けなかった情報、知ってしまえば何だと感じてしまうそれ、もっと早く知っていたらという無念感。そして、これを知った上でで上手くいかなかったら？という恐怖。

少し弱気になった。事実です。

日本は世界一漫画のレベルが高い。だから、日本でプロになると言うのは、世界レベルの実力が要求される訳だ。本当、高い壁です。それだけやりがいもあるけど。

上手く描けた時と、逆の時でこれだけ心理的に性格に影響が出ます。

こういう性格が変わる点は君ももっていたように感じた。その原因はまったく違うものなのだろうけど。

仮にプロになれなくても、漫画は役に立ちます。人に見せるとたいていの人は驚くし、興味をひく。どんなに敵対心をもってる人も黙らせることが出来る。だって、どこも馬鹿に出来る部分がないから。むしろ、ふだん「漫画かいてやがる」と馬鹿にした人を間違はなくぐうの音もでなくさせられる。

逆に興味をもってくれた人にはコミュニケーションツールとしても使える。

そのくらいのレベルのものは描けるのです。雑にテキストな事やってるシロウトではないのです。書く意味はゼロではありません。人とのつながりを強制的にでも持つ事ができるツールであり、あわよくば入選してお金になるかもしれないものです。自分の世界に閉じこもっているわけではありません。

君に読ませたい作品がある、君のために書いたような作品。主人公の女の子は誰かを思って身を引くストーリーを作った。すると、編集の人にこう言われた。

「最後この女の子が自分を変えるような展開でないと、読者はこの女の子嫌ってしまう。」どうも、そういうものらしい。

エンターテイメントと現実をごちゃ混ぜにするつもりは無い。

ただ、「現実！」と思って、受け入れてしまうと、先に記述したような郵便貯金の食いつぶしが起こる。あれもたしかに「現実」。

この現実、放置するのをよしとするか、逆に思うかは個人次第。

僕はどちらをとるか、君の答え次第です。希望としては、後者（放置はよくない）だけど、最終的には君の判断を尊重します。僕は君の望む世界が実現する事を望みます、なぜなら、君という存在は、僕の人格の重要な構成要素の一部だからです。その判断を尊重しないわけにはいかないでしょ？

現在の君を知りたいです。見てくれなんてどうでも良く、君の心に触れたいと、そう思います。君が戦っている事を祈ります。もし、戦っているなら、負けないでください、いつまでも、応援します。がんばって。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
[水曜日、17日目]

Fさんへ、君は今戦っているのだろうか？一応その前提で書きま
す。

僕は死んでませんし、悪魔にもなっていないません、多少発言内容に

雑なところがあり、それが原因で誤解される事はありますが、話せば解ける誤解ばかりです。ウソつきでもありません。それは、君がよくしる事かもしれませんね。

顔をみるといっちはやはりいいみたいです。あの乗り込んできたおじさんを見てから、「なんだこんなやつか」という認識ができたみたいです。あんなに気になったのに、そうでもない感じですよ。

話して通じない人にはそれ相応の対応こそ通じるという事でしょうか？もし、君の周りに、話しても通じない人がいたら、やはり、それそうおうの行動でないと駄目なのでしょう。ここまでは僕の意見です。あとは君の“創意と工夫”に期待します。

司馬遼太郎さんという人をしていきますか？じつは名前自体は良く聞くのですが、まだ1冊もこの人の本を読んでいない。ただ、すごい本をたくさん書いたというのは良く聞く。基本、歴史小説の大御所で、TVドラマにもなった有名作品をたくさん書いています。

でもただの作家ではなく、日本の戦後の歴史観を作り上げた人物と言われている？（あくまで僕の認識ですが）

「街道をゆく」というシリーズがその歴史観を作る一端となっているみたいです。その歴史観は“司馬史観”と呼ばれています。

“司馬史観”の特徴は脱・軍国主義らしいです、いきすぎた平和思想の原因とされ、しばしば批判されますが、平和憲法の意義を支える重要な力になっているのも、無視できない部分です。

“一極集中付和雷同”という言葉は司馬遼太郎は残しているそうです。付和雷同とは一定の主義・主張がなく、安易に他の説に賛成すること。で、日本人はすぐに一極集中して一定の主義・主張がなく、安易に他の説に賛成する、という意味で残したようです。

おそらく、そういう日本人の一番悪い面が…、何を僕が言いたいか想像つくと思う。

けど、この日本人の欠点は長所にもつながっています。この欠点は、必要以上に完璧なものを求めるといふ傾向を導き出す。そのため、日本人は商品に対して、必要以上の高品質を要求する。この傾向は江戸時代からある。足袋の金具を金で飾ったり、一見すると無地の着物が、近くで見るとものすごい凝った模様が目立たないように施されている、といったように、完璧をこえた品質を要求する。この傾向は長所となり、日本製品の高品質化につながっています。高品質な商品は国際競争力を生み、世界に通じる商品を世に出すことにつながりました。

欠点と長所はつながっているのです。この通り、日本人の欠点はそのまま長所になっている。欠点を否定すればすべて解決というのは愚かしい考えなのです。

このイメージから、何か君の創意と工夫に役立つものがあればいいけど、そんな事おもいました。

あと、こんな事思いました。

「皆、そうしてるでしょ！」

と、言われたら、君ならどう答えますか？

僕なら。

「じゃあ、皆坊主にしたらあなたもするのですか？」と答えます。

「ああする、皆がそうするなら」と、言い返されたら。

「じゃあ丸坊主第1号になってみませんか」と、言い返す。

おそらく、ここで相手は話し自体が馬鹿馬鹿しいと感じて、話の価値の否定に入る。ここで、僕ならこう言う。

「第1号になるのは馬鹿馬鹿しいと思ってるから、そういうリアク

シヨンするんですよね、でも、あなた、ついさっき、皆がするならば、自分も坊主にすると言いましたよね、馬鹿馬鹿しいと感じる事でも皆がするならやるって事ですよ、つまり、あなたは皆がしている事を馬鹿馬鹿しい事だと認識してもやると認めた事になります。最初にあなたが主張した「皆がそうしてるでしょ！」という主張は、必ずしも私の幸せを願っての言葉にはならない事を意味します」

と、こう展開できる。

これは、相手の言葉尻をとって強引に相手の主張の欠点を指摘する方法だ。

通常、この展開になると、話について来れなくなる人が大半で、話の価値全体の否定に入る。

ここで、なぜ、否定に入るのか、その目的は何か？と展開してゆくと、あいてを追い詰めていける。

コツは、ビビらず、当たり前前に正しい事を言い続ける事。
繰り返すうち、相手はミスを連発していく、そのミスをついていくとドンドン劣勢になる。

そのうち、単純なバカとか狂ってるとか、単純な悪口しか言えないところまで追い詰める事も出来る。

基本出たとこ勝負なので、こんな簡単にいかないのが常だけど、口論のイメージは、相手の論理の欠点をつく事です。正しい事を言ってるようで、実は正しくない点を強引について、矛盾を指摘し続ける。こうすると、相手の“攻め”のリズムをくずせます。

口論にはパターンがあり、それぞれ人によりちがいます。みな自分が一番やりやすいパターンで攻めてくる。だから、常に、その論理の欠点を指摘して、相手の攻めのリズムを崩し続けければ、口論で負ける事はありません。コツは、正しい事を言い続けるです。正し

い事をいいつづけるかぎり、勝ちはともかく負けはない。あとは、向こうのイーजीミスでもまてばいい。

これは僕の経験から学んだ口論のコツです。あくまで、僕の創意と工夫の範疇のものです。

もし、今、本当に戦っているなら、君自信の創意と工夫が求められるはず。願わくば、上記が君の創意と工夫の参考になる事を、切に願います。拾える部分があったら使ってあげてください。本当に戦っているなら、頑張つて、応援しています。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔木曜日、18日目〕

Fさんへ、今日も君は戦ったのだろうか？一応その前提で書きます。

少し、また違う事を書こうと思う。頭を整理するうえではちょうどいい。

交渉の基本ルールを覚えているだろうか、やはり、あれは、通常使われる手段なのだなど、今日ニュースを見ていて思った。

郵便貯金の限度額が1000万円から2000万円になるらしい、最初は3000万円と言っていたのに、郵貯の限度額が上がると、1兆何億という金額で、民間金融機関から、貯金が郵貯へ移動すると試算されている。民間金融機関は主に、企業に投資するが、郵貯は以前書いたとおり、国債に投資する。

つまり、貯金が移動するというのは、企業に行くお金が減ること

を意味し、ますますの景気低迷につながる。これを民業圧迫と呼んで、批判されている。（郵貯も企業に金を貸せばいいじゃないか？と思うが、政府に影響力が郵貯を支配していてできない。これを解消する意味での郵政民営化だったわけです。）

何が言いたいのか？

最初3000万円と言っていたのは、おそらく、最初から3000万のつもりは無かったです。もともと上限を2000万にしたかったけど、反対されて減額されるのは目に見えているので、多めに3000万と主張したのでしょう。

…判りますよね？交渉の基本ルールです。切りしろとして1000万上積みした金額を指定していたわけです。やはり、このルールは通用する概念のようです。

普天間基地移設問題も似た点があります。

キャンプ・シュワブ陸上案も“切りしろ”と見る事が出来るからです。

もともとは、移設先はグアムがいい！キャンプ・シュワブ海上案ではだめだ！というのが、この問題の論点でした。

ここに、海上案よりもっと地元住民を苦しめる陸上案が登場し、現実化が進むとどうなるか？みなこう考える。

「だったら、最初の海上案のがまだましだ！」

グアム移設案など吹っ飛んでしまったわけです。

最初からそれが狙いで、陸上案にしたいわけではないわけです。陸上案はまさに“切りしろ”なのです。

交渉の基本ルールと“切りしろ”の概念は、「さらば財務省」の中に出てくる官僚のごり押しテクニクで、これと、僕自身の日常の経験則から、確かにこれは使えるものだと思ったルールです。

君は今、戦っているのだろうか？その戦いには創意と工夫が不可

欠です、僕の提供する何かが、君なりの“創意と工夫”の構築の参考になればうれしいです。

あと、こんな事思った。以前書いた、僕の運転する車に乗り込んできたおじさんの事、クラクションを鳴らして、周囲に異常事態を知らせた。これが本当にいやらしい、鳴らそうとするたびに嫌がるさしずめ、僕にとっての“クラクション”が“キャンプ・シユワブ陸上案”なのです。わかりますか？クラクションを鳴らされるくらいなら、もう止めて車から出たくなくなるのです。

人間は常に損得を考えている、僕をどこかに連れ込んで締めるという快感（利益）がおじさんの目的だった。ところが、クラクションを鳴らす事で、当初の目的が達せ無いだけでなく、現状維持が不利益になると察して撤退を選択した。当初の目的（「僕をどこかに連れ込んで締める」）を、「傷がでかくなる前に撤退」という目的に変更する事に成功したわけだ。切りしろは、この様に、相手の目的を変更させる事も出来る。

何かの参考にしてください。

これらは僕自身の創意と工夫です。これらの中から、君自身の創意と工夫に必要と思える部分があったら、ピックアップして組み込んでやってください。何かが、君の役に立てばうれしいです。

こんな事おもった、君がたたかっている相手に、ここで直接話しかけるのは、君が望む事なのか、逆効果なのか、たぶん後者なんでしょう、どうなのかな、違うのかな。何か言ったほうがいいのか、なんて思ったりします。

身の程知らず？そんな事、君の幸せに比べたら取るに足りない概念ではないかと。そんな事思いました。

君が頑張れるなら、僕もがんばれます。頑張つて、また、書きま
す。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔金曜日、18日目〕

Fさんへ、今日も君は戦っているのだろうか、その前提で書きま
す。

冷静にいろいろ考えるときは、まったく違う事を考えると、なぜ
か考えがまとまる事があります。

今までも、関係ない話題をかいて、自分なりの意見と君の問題に
対する考えを述べてきた。今回もそんな感じで書こうと思った。

法的根拠という言葉を君は知っているだろうか？

これは、今日見ていたニュースの、あの冤罪事件、菅谷さんの事
件を見ていて思った。(奇しくも)17年前、間違つて逮捕された
菅谷さんが、つい最近DNA鑑定で無罪とわかり騒動になっている、
例の事件です。

菅谷さんは再三言っています、当時、自分を取り調べた刑事、検
事は出てきて直接謝ってくれと。

この場合、刑事も検事も大概こう言う、あれは職務を遂行しただ
けだ、謝罪する義務はない。(大同小異似た事を言う)

確かに、法律のどこを見ても、誤認逮捕で不利益をこうむった人
の救済はあつても、謝罪は書かれていない。

法律のどこにも謝罪しなければいけないと書かれていないから、
謝らなくてもいいという理論が成り立つのだ。

…でも、上記の理屈に欠点がある事に気がついただろうか？

確かに、誤認逮捕した刑事や検事は被害者に謝れとは法律のどこにも書かれていない。

けれど、誤認逮捕した刑事や検事は被害者に謝る必要は無いとも書かれていない。

この場合、謝る必要が無いという“法的根拠（どの法律が根拠になっっているか？）”というのを、問いただし主張する事も可能だ。また、自分（菅谷さん）が謝罪を求めてはいけないという“法的根拠”を問いただす方法もある。どこの、どの法律によってそうなのか？と、問いただす事も可能だ。

あくまで僕の考えで、本当にこのような主張が通用するのかわからない。

ただ、“法的根拠”という言葉を知って欲しかった。

“法的根拠”は重要です。

日常生活でも、そうだな…。例えばこんな事例がある。

おじいさんがなくなつて遺族が遺産について相談するとき。通常、遺産管財人というのを誰かが受け持ち、遺産を受けとる権利のある人物全てに、分ける事のできる財産の状況を通知しなければいけないと、法律に書かれている。

ところが、中にはずるい管財人もいて、意図的に渡したくない人に通知しなかったりする事がある。

法律を知らなければ、「ああ、遺産の件？ばあさんがなくなつた時にみんなで分けると決まつたんだ」とか言われて納得させられる事もある。でも、そうした合意は権利者全員で決めなければいけないので、後から決定を知らされた時点で違法性が感じられるわけだ。

この場合、どの法律によって自分が話し合いに参加できなかったのか？と糾弾することも出来る。

“法的”根拠もなく、相手の無知と誤解をりようして丸め込むというのは、通常よく使われる手段です。

車同士の接触事故でも、必ず第三者を呼べとよく言われていますが、これが理由です。

何もしないと、示談と称して何の法的根拠もない法外な損害賠償を請求される事もある。一度同意してしまうと法的根拠がなくとも有効になってしまうので、自分の権利が明確でない時は、こうした同意の類はしては駄目なのです。

法的根拠…、これがあれば、相手が暴挙にでも、それが法的に合法なのか？と常に考える事ができます。とくに、脅しを得意とする人の行動を注意しましょう。

無理やり家上がりこんできたなら、「住居不法侵入罪」という犯罪になります。

暴力を振るわれたら「暴行罪」、さらにそれで怪我（あざ痣でもいい）でもしたら「傷害罪」になる。暴行罪と傷害罪は別の犯罪で、怪我が無くとも、暴力をふるわれただけで「暴行罪」は成立します。

ちなみに、暴力は先に手を出したもうが負けなのです。

だから、殴り合いでは、必ず相手に先に殴らせましょう。そうすれば、正当防衛ということ、いくら反撃しても大丈夫です。（もちろん常識の範囲ですが）それなら、相手が先に殴った事を証明できるように、喧嘩は人が多いところがベストです。以前書きましたね、話し合いは人目のある喫茶店がいいと、こういう理由があるからです。

以前書いた「軟禁」や「監禁」も犯罪です。特に、軟禁は精神的

自由が奪われた状態とされていて、解釈の自由度が高いです。これは、過去逃げられるのに何年も逃げなかった被害者がいて、その人を救済する意味でこの様な解釈がされるようになったと聞いた気がします。

法的根拠…、この概念はあると無いでは随分違う、無知だと操られる。丸め込まれる。そんな事思いました。

これは東京で1度あった事。連日なんだかの電話がかかってくる、なにかに当選しました、おめでとうございます。つきましては渋谷まで来ていただければ…。そう、判ると思うけどキャッチセールスだ。

先にオチをいうけど、僕は出かけて行って契約しないばかりか、相手をマジ泣きさせたことがある。

あんまり、毎日電話が来るので1度ギャフンと言わしたかったというのが本音だ。

実際電話の指示どおり行くと、渋谷電力館となりのビルと指定された。

まず最初に向こうが強調するのはこのビルが自社ビルであるという事をやたらと言ってくる。どうやら、ビルが持てるほどまともな会社ですよと言いたいらしい。でもそんなもの登記簿見てみなければ本当かわからないし、第一借金まみれで作ったのかもしれない、というか、そんな事いう時点であやしい。

で、まあ会員になると家電が安く買えたり、旅行が安く行けたりと言う、パンフレットを見ると全部サンヨー製品。サンヨーには悪いけど安く仕入れて高く売る気かと思ってしまうた。

で、実際にいくらかかるか言う前に向こうはこう言ってくる。繰り返し言うけど僕は契約せずにこの女の人を泣かせて帰ってき

「このサービスいいと思いますよね。」

「ええ」

「このサービス気に入りましたか？」

「まあわるくないかと……で、いくらかかるんです？」

と僕が言った時点で、もう一度この人は最初から説明をしないのだ。雑談を交えて同じ繰り返しという印象を与えないように。で、ここが向こうのテクニク、会話が僕が「はい」という返事に終始するよう誘導した雑談を展開するのだ。一通りおわったら、またさっきの質問。

「このサービスいいと思いますよね。」

「はい」

会話の流れで勢いで「はい」と言う様仕向けているのだ。何も知らなければ引つかかる。

「このサービス気に入りましたか？」

「はい」

僕はこの時点で知っていた、日本の法律は意思主義だ。ここでこのまま、契約しますねと質問されて、なにも考えずに「はい」といったら、その時点で法的には成立する。しかも、こちらは、向こうのビルに出向いているので、クーリングオフも出来ない。（たまたまだけど、これらは本当に事前に知っていた）案の定予想通りのセリフが出てくる。

「じゃこのサービス契約しますね？」

僕はこう言った

「いいえ」

向こうの顔が一気にかわるが、また復帰する。

再び頭から説明しなおし、再び同じ問答に。「契約しますね？」の段取りにきて、再び僕が「いいえ」と言うから、どうやら向こうは僕がわかっていることに気づいたらしい。

今度は僕をしかりだすのだ、そんな（契約する）度胸も無いの！

そんなんじゃない何も出来ないわよ!と。

だから、僕は費用対効果について説明してやった。この費用でこれだけの効果があるなら満足するといった趣旨の事だ。例えば高級車は高性能だ、けど、なぜ皆乗らないのか?それは高いからだ、費用対効果の観点からみたら、もつと安い車で充分満足できる。それが証拠に路上では高級車より大衆車のが多いじゃないかと。いいものなら契約という概念は欠陥がある、と主張しつつ、相手を逆に丸め込んだ。

で、本当なら契約者にしか言わない料金について聞き出し、「サービスは悪くないけど、この金額では高いので止めます」とはつきり言った。向こうはこういった「じゃいくらなら契約するの?」「この人もすごい根性だと思う、値引きしてでも契約とりたいのだ。「800円」と言ったら、ようやく向こうの心が折れた。大学3年くらい頃の話です。

この女の人には悪いけど、そもそも連日電話してくるほうも悪いのだから…(自己防衛です、この1回きりもうやめてないし…。そもそも争いごとは嫌いです。平和が一番です。重ねて言います、自衛手段です。そこは、はつきり主張します。この部分を曲解して難癖つける人の出現を予測します、いたら、読みどおりで少し愉快ですが。)

これらはもちろん、僕自身の創意と工夫の範疇にはいる物事です。君にこういうのが出来るかといえば、出来ないような気がする。でも、こういう具体例のほうが参考になるでしょ? たぶん。

これら僕の考えが何かの役に立つことがあればものすごく嬉しいです。拾える箇所や使える箇所はあるでしょうか? 君の“創意と工夫”に期待します。

僕はかつて君の強い姿を素直に見習おうとあこがれた。君は強い人です、自分で思っている以上に。君の奮戦する姿を想像するのは好きです。頑張ってください、応援しています。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔土曜日、19日目〕

Fさんへ、君は今戦っているのだろうか…

もし、本当に戦っているなら、こんな話をするとしらけてしまってもいけない、けど、結構悩んでいるのも事実で、何の話か？以前就職を一時棚上げにして少し漫画をかこうとしたら、上手くいかず悩んでいると書いたけど。かなり今回は重症。（ごめんね、君が僕の愚痴を聞くのがきらいというのは知ってるけど）たまにはこういう平和な話題もいいでしょ？

一応、君が戦っている前提で書きます。今日も戦っていたのだろうか？もしかしたら折れそうな心を踏ん張って支えているのかもしれない、心配です。たしかに、そんな状態なら、あまり刺激的なことや、僕自身のささいな悩みなど、どうでもよく感じるのかもしれない。心配です。

今日TVで、マッチこと近藤雅彦さんの特集をやった、冷静に考えると新曲アピールの番組だったけど、なぜだか見せ付けられて最後まで目が離せなかった。番組内でマッチが人気者になっても、周囲のちやほやに惑わされず、^{おこ}驕り高ぶる事がなかったのは、家に帰るとお母さんがいつもと変わらずいてくれたからだとか、そんな事言っていたと思う（人によってイメージ違うかな？とにかく僕はそう思った）。

自分と重ねあわせるのは、なにか恐れ多い感じもするけど。僕も、

同じ思いがする。どんなに悲惨な状況でも自殺せず冷静にいられたのは、君との思い出があったからだ。当時、君の僕にたいしてしてくれた事の真実の重さが、なんだか僕の中の世界を変えてしまった。決意したんだ、どんな事があっても、あの時のことを詫びたい。もう一度あつて、ごめん、ようやく気がついた、本当にごめんと直接言うんだと。そして、この目で確かめたかった、君が今幸せなのかどうかを。気がついた当時は再会など簡単と思っていた。まさか、これほどの抵抗に会うとは普通思わないし。

マツチの番組は最後こうしめくくられていた、遺骨は盗む事はできても、（お母さんの）記憶を盗むことはできない。

どんなに嫌がらせをしても、どんなに妨害しても、どんなに障害をもつけても、僕から君の記憶を奪うことはできない。それは事実です。君の心の中の思い出はどうなのだろう、君の中にいる僕はちゃんと君を支えていられているだろうか？そいつは僕自身の分身であり、2人の大切な思い出の1部です。願わくば、君の役に立っている事を願うばかりです。

覚えていないと思う。1度だけ僕は自作の漫画を部屋に持ち込んだ。けど、とても君の興味をひくような物ではなかったように記憶している。もともと男子部員にみせるつもりで持ち込んだものだ。あの時はくやしかった、Fさんが楽しめるような作品が書きたいと心底自分の能力の無さがいやだった。

あれからだいぶ経ち、プロにこそなれなかったけど、君に読んで欲しい作品は何本か描けた。ぜひ、今度こそ、読んでほしい。ささやかな夢です。

なんだか書いていたら、当初あつたストレスも消えて、だいぶ楽になりました。やはり、君という存在は僕にとって大切な存在なのです、今も。欠かすことのできない、大切な1部なのです。そんな事思った。頭もすっきりしてきたので、もう少しだけ創作に取り掛

かるつもりです。ごめんね、自分の事ばかり書いて。

3月後半です、高校3年のこの頃、燃え尽きていた。どうしてふられたのかとせない答えを探していた時期だ。この時の僕を君はど
う思っていたのだろう、相当つらかったんだけど。けど、この後時
間が経ち、再び君は僕の前に姿を現した。あの当時は燃え尽きてい
たから、それが何を意味するのかわからなかった。痛恨のミスだっ
た。その事も会ったら謝りたいです。君には謝りたい事がたくさん
ある。好意に気づけなかった事や、君の努力に気づけなかった事や、
君の気持ちに気がつかなかった事などいろいろいるだ。

君が戦っている前提で書きます。負けないで。君は強いです。僕
が負かす事のできなかったただ1人のひとが君です。僕らは、人と
違う発想をする傾向にあると感じた。君もそういう部分あると思う。
君の創意と工夫に期待します。

…今日は何が言いたかったんだろう。君がいかに大切かと、かわ
いかったかと、久しぶりに書きたかったのかな？そんな事思いまし
た。かわいい君の笑顔は無敵です。誰もがいちこころです。だから君
は無敵です。誰にも負けはしない。そんな事思った、また書きます
ね。がんばって、応援しています。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔日曜日、20日目〕

Fさんへ、今も君は戦っているのだろうか…、心配してしまいま
す。一応、君が戦っている前提で書きます。激戦なんだろうか…

少し、今日の出来事を書きます。投稿した漫画の原稿が帰ってき
た。通常、落選した場合こうなる。残念です。まだまだ創意と工夫

が足りないようで、頑張ります。不屈の闘志こそ…（ごめん、2日つづけて平和ボケした話で、でも平和が一番です）。

最近古いブランドの復活がはやっているのを知っているだろうか？

例えば「鉄骨飲料」。

僕らが高校かもうちよつと後位までなら割とどこでも見かけたけど、今は無い。売れないから止めたいが、最近復活した。

ビジネスの世界では、この先どうしたらいいかわからない時、あるいは、このままではすたれてしまう…、そういう時こうした“シンボル”となるものを利用するらしい。

古くは大阪の通天閣、どこまで計算づくかは知らないけど、確かに通天閣というシンボルが出来たおかげで町が再生したのは事実。東京タワーもそうで、ああしたシンボルができると町が活性化するらしい。

問題は、そのシンボルが、本当に、愛されるシンボルかどうかか成否の分かれ目になるようだ。東京タワー、通天閣、大阪城、名古屋城、いろいろあるけれども、中には何も愛されないシンボルもある。具体例をいっても意味ないから言わないけど。俗に言う“公共事業”の産物だ。愛される象徴シンボルにはドラマが必要だ。その点、フジテレビの2代目社長はよく判っていたと思う。特徴的な社屋と、そのお披露目にあわせてフランスから自由の女神像を借り受けて展示した。アメリカのその原型になった小型の自由の女神で、華やかさと国際感覚を刺激するいい演出だったと思う。特に自由というキーワードが当時の社風にぴったりだった。

今、地方で何か公共事業で建物作っている人も、完成後の演出が平凡だと失敗するわけだ。

平凡だとアピールに失敗する？

これは、僕自身偉そうにいえる事ではない…。冒頭記述したとおり、平凡以上のアピール（演出）に失敗しているから、落選するわけだ。

けど、こつとも思う、落選したからといってくよくよする必要はない、創意と工夫の可能性が残されているなら挑戦すべきだ。と、こつ思う。

こんな話がある、茨城空港が最近開港した。例によって、公共事業で地元を潤す以外、目的のあまり無い空港だ。案の定、ほとんどの航空会社が乗り入れを渋る。国内線も僅かしかなく、使い勝手が悪い。おまけに首都圏へのアクセスも悪く状況は最悪。一体誰がこんな計画を作ったのか…。

でも、意外な事実がある。この利点の薄いと思われた茨城空港に、韓国の航空会社が定期便を乗り入れている。別に日本から韓国への観光客を目当てにしているわけではない。ある事情で韓国人が茨城に行きたがる事情があるのだ。

茨城は都心から離れている関係で、人が来ない。来ないから、いろいろ安い。ゴルフ場もその1つで、茨城でゴルフすると案外安くすむらしい。しかもゴルフ場だけはたくさんある。

今、韓国は好景気だ。通貨安で輸出が絶好調。円高で苦しむ日本を尻目に快調に儲けている。だから、お金に余裕のある人が結構いる。しかもたまたまゴルフブーム。これらが天の助けとなって、茨城にチャンスとなっている。

駄目だから…とあきらめていると、本来あるはずの活路も見えなくなる…。そんな事おもった。

何が言いたいのか？アピールを最初からあきらめてはいけない。逆に、もし上手くいけば予想以上の成功の可能性もある。

もし、困難な状況に追い込まれても、やけにならず。アピールを

Fさんへもつすぐ3月も終わってしまいます。4月のあの日、僕は君に会った。君は音楽室の前で楽器をもってたたずんでいた。はじめて見た時電気の走る思いだった。何もかもが完璧に見えた。懐かしいです。

これは一度も話してないと思う。中学のとき好きな子がいた。その子も漫画を描く、その関係で多少話しを出来る間柄だったけど、向こうにはそもそもその気がなく、2度ほど手紙もだしたが、体よくふられたわけだ。

そんな記憶をひきずっていた時、君に会った。電気の走る思いだった。その、以前好きだった子にすらあんな衝撃はうけなかった、当時の子供な僕にはその感情が理解できなかった。

だから、しばらくこれは何なのだ？そんな簡単に人間って気持ちが変わっていいものなのか？と半年くらい延々と悩んでいた。当時のノートに殴り書きでいろいろ気持ちを書いた記憶がある。

最終的には、ああそうだ、好きなんだよ、そうさ、認める、彼女が好きだ！と、今では当たり前と言える考えを頭でまとめるのに半年費やした。

そんな事思い出した。

そこから映画に誘うのにさらに半年かかったんだけど…。

こんな些細な事ですら、当時の僕には世界の終わりにゃないかと大騒ぎするくらい重大事項だった。自分が傷つくのが怖くてズルズル時間をかけていたのかもしれない…、当時は子供だった。傷つく事を恐れてはいけない、そういう経験になったのは事実だ。

傷つく事を恐れてはいけない、と言うのと、あわてると失敗する、というのは相反するが両方正しいように思う。

出会って1年近く時間をかけて、1年たってもまだ好きだった。これはどうやら本当に自分は好きらしいと確信する。軽率に声をかけると、自分の感情も確定できてない段階で声をかけるのは失礼に感じた。

もちろん、そんなおくてでは恋なんて出来ないのは事実だけど、とにかく当時の僕は、自分が本当にFさんが好きなのかどうなのかじっくり考える時間が欲しかった。

これは、その後2人で神社で会うようになってから感じた事だけど、君もじっくり時間をかけて決断する人だと思った。そういうテンポというか、心のリズムは好きだった。安心して心を開ける人だと思った。

君は今戦っているのだろうか？心配しています、本来戦い向きの性格をしていないから。けど、芯の強さは誰にも負けない人のように感じた。心の根っこのような部分を大切にする人のように感じた。どうだろうか？当たっているのか、外れているのか…。

ポケベルを無視するようになったあの時、あの夏祭りの日からしばらくの間のあの時。君が僕が何も気づいてないと気づくまでの間君はものすごく僕に心を開いてくれていた。今にして思うとそう思う。その事自体はうれしくも思うけど、同時にものすごい懺悔ざんげした気分になる。もう、2度と、君の心を踏みにじるような真似はしたくない。それを伝えたいです。直接きみの心に、そんな事感じています。

今日TVを見ていてこんな事思った、明石屋さんがゲストとトクする番組、たまたまつけたらやっていた。そこでの卓球選手で奇抜なユニフォームで試合にのぞむ四元奈生美よつもと なるみ選手が出ていた。

最初のころユニフォームのあれが駄目だ、これが駄目だとさんざ

ん大会関係者からいわれたそう。僕がTVをつけた時は、ちょうど白い髪飾りについて文句を言われた事を話していた。その髪飾りが白いから、相手選手からボールが見えにくくなるからはずせ、と言われたらしい。

一見聞くとともに聞こえるけど、実はそうでもないらしい。なにしろ髪飾りよりも面積の多い白いユニフォームはこの選手も着ていてOKだからだ。ようは言いがかりなのだ。奇抜な格好が気に食わないから、難癖をつけているに過ぎない。大会のルールに違反しているわけではないし、本人は卓球のもつ地味なイメージを改善したいという強い目標がある。わがままでやっているわけではないのだ。

これを聞いた明石屋さんまは、マイケルジョーダンの話をした。マイケルジョーダンもバスケの試合では白いバスケットシューズ（通常“バッシュ”と略される）しか認められてない中、1人毎回カラフルなバッシュを履いてきて、そのたびに罰金を払っていたそう。けど、おかげで今ではカラフルなバッシュは当たり前になり、バスケットの華やかさの演出に一役かっている…。そんな話だった。だから、そういう行為はまちがってないと…。

世の中がここまで変わるとは誰にも予想できないわけで、その、予想できない何かない挑戦すると言つのは、やはり、並大抵のことではない。けど、間違ってもいない。

本当に信じる“心の根っこ”があるなら、周りの雑音にまどわされず、信念をつらぬいていいと思う。君の人生がかかっているのだから、遠慮する理由はないと思う。あせらず、自分の気持ち（心）が固まったら（確信がもてたら）、君は誰にも負けない強さを見せていいんだと思う。

明石屋さんまに褒められた四元選手は「やってよかったんだ」と喜んでた。相当いろいろあったみたいだけど、そう言われると苦

労が報われた気がするといった趣旨の発言をしていたように覚えている。

世の中には変えなきゃいけない常識は事実あるのです。

例えば、「生たまご」。常温で店頭に並んでいます。外国では要冷蔵あつかいです。ある意味、非常識な販売方法を日本はしているわけです。

なぜ変えられないのか？

それは生卵が安いからです。原価率の低い卵の利益では設備投資にお金をかけられないのが理由です。それと、いままで目立った弊害が無かったのも理由でしょうか？

けれど、数日で腐る生たまごを常温で扱うのはやはり衛生面で問題があります。時間をかけてでも設備を整えて変えるべきものです。いつ、事故がおこるか分からないのですから。

実は業界団体もわかっているけど、上記理由でできない、国の支援が欲しいといったのをニュースで見ました。やはり、こういうのは改善すべきものなんだと思います。変えるべき常識は実は日常のあちこちにあり、無知と誤解が改善をさまたげているのです。

何が書きたかったのだろう…、

もし、君が今本当に戦っているなら、やはり激戦なんだと感じるけど、君はなにも間違っていないのだから、堂々と戦えばいいと思う。君は本当は自分で思っている以上に強い。君の本気はマジで怖いです。体験した僕が保障します。

たぶん、君は不安にさらされてるはず。けど、変えなきゃいけない“何か想い”があるなら、遠慮は無用だと思う。上手く伝わったろうか…。応援しています。戦う君の姿を想うのは好きです。また、書きますね。頑張ってください。

.....

〔火曜日、22日目〕

Fさんへ、今日も一応君が戦っているものという前提で書きます。やはり、激戦なんでしょうか？心配です。僕は死んでませんし、悪魔にもなってます、ちゃんと生きています安心してください。

最近高校時代のジャージをみつけた。これをみると確かに高校時代の記憶はよみがえるが、君の記憶は出てこない…、そういえば部活は大概、制服でやっていたから、君のジャージ姿というのはあまり記憶に出てこない。そんな事思い出した。

ちなみにジャージの語源はジャージー牛と関係があったような…、
と思い、調べると確かに少し関係があった。イギリスのジャージー島というところの漁師の作業着が原型で、この島原産の乳牛がジャージー牛というらしい。ちなみに、この「ジャージー」という言葉には由来が明確でない点がある。ローマの軍人カエサルがこの地域にきたとき自分の名を島につけた、カエサルの英語読みのシーザーがなまってジャージーになった説と、ノルマン語で「草」を意味するGersと「島」を意味するeyが重なってできたという説がある…そうだ。

おそらく後者が正しくて、前者のカエサル説はカッコイイ伝説として後つけされたもののような気がする。根拠なく独断で言うけど、その方がしっくり来る。

なぜこんな話を？もう少し続けさせてほしい。

似たように、“箔”^{はく}を付ける為に伝説を付け足すというのは歴史においてかなり頻繁に行われているらしい。

例えば初代横綱“明石志賀之助”^{あかしがのすけ}は架空の人物という説がある。

初代だけでなく、2代目、3代目もみな架空らしいという話を、NHKの「知る楽」という番組の中でやってた。

4代目、たにかせかじのすけ谷風梶之助という人が実在が確認されている最古の横綱らしい。実は、この谷風がたにかせ“横綱”というブランドに箔を付けたくて、偉大な3人の先代の名を連ねて、自分はこんなすごい人物と同列なんだよ、と見栄をきつたのが始まりみたいな事言っていた。なんだかそれは、ものすごく、納得する説だ。

こういう風に、箔はくを付ける為に張ったりをかます事は、歴史上さまたま展開されている。けど悪い事とは思わない、伝説はあつたほうが華やかでいい。豊臣秀吉は“日輪の子”のほうがカツコイし、独眼竜正宗は万海上人まんかいじょうにんの生まれ変わりのほうがおもしろく感じる。けど、演出にすぎないという事は皆が承知しておくべき事柄だ。

なにが言いたいのか？

たいした事を言いたいわけではない、ただ、こう思った。

実態と演出はちゃんと区別すべきだ、と。

例えば、ツイッターの光と影というのを今日、ニュースで見た。

ご存知ツイッターは短文オンリーの簡易ブログだ。やった事はないけど、ただやたら最近ニュースで見ると、たくさんフォロアー（“つぶやき”をみている人）を抱えている人に、企業サイドがサンプル品を送って宣伝に利用する動きが活発になっっているらしい。何が問題なのか？アメリカでおこった問題がその実情をよく説明している。

あるアメリカ人が全米のウォルマートをまわって、その様子をおもしろくネットで紹介する個人サイトをやっていたけど、実はウォルマートがお金を払ってやらせていたというのが発覚、問題化した。何がいけないのか？“口コミ”と思っていたそれは、実は単なる“宣伝”にすぎなかった、という点が問題なのだ。アメリカ人は、

今も昔も、この様なだまし討ちが大嫌いな国民性を持つ、問題は大きくとりあげられ、この様な行為は犯罪とされ罰金刑も用意されたという。

日本人はだまされなれている国民性なので、アメリカとは温度差があるけど、やはり、どこかでルールが必要という思いはあるらしく、今、民間ベースで倫理面が話し合われているみたい。例えば、何かネットで人に勧める時は、必ずもらったなら“もらった”と招待されたなら“招待された”と明記しなければいけない…、といった倫理面でのルールだ。そうでないと、簡単に無知と誤解で利用されてしまう。

何が言いたいのか？

もし、本当に君が戦っているとしたら、君の心を揺さぶるあらゆる手を講じてくる事が予想されます。でも、信念というか、なんというか、自分の心の“大切な何か”があるなら、そうした揺さぶりの中の“実態と演出”を区別できるように思う。難しいのはわかるけど、何が大切かよく考えるのに、こうした概念はもしかしたら役に立つのではないかと、そう思った。

これらは、僕の考える創意と工夫です、押し付けはしないけど、なにかピンと来る様な事態が発生したら、思い返して読み返すのもありかな…、などと思っただけです。演出と実態、逆にこれを利用して、みずからのイメージする主張を相手に展開するという方法もありますね。全ては君の“創意と工夫”にかかっています。

今日はまた寒さが戻ってきた感じです。春はいつ来るのでしょうか？油断して薄着していると風邪をひきかねない、そんな事思いました。君の住む所はどうなのだろう、同じように寒さが戻ってきたような地域なのだろうか…。

もし、全て妄想でも、他の人はともかく、君は楽しんで読んでもれと確信する。

頑張ってください、君が戦っている前提で応援します。負けないで、君は強い子です。君が弱音を吐いている所ほとんど見た事がない。かつこよく感じました。君のあの姿を見習って今までやってきたのだから。また、書きますね。がんばって。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔水曜日、23日目〕

Fさんへ、君が戦っているという前提で書きます。

もうすぐ4月、初めて会った時の事で、これは書いただろうか、書いてない様な気がする。どうだったかな。最初トロンボーンの子の3年の先輩に「もう一人1年生がいるから」と紹介するため僕を君のところにつれて歩いた、途中先輩は君の名前をつけた。

実は、中学の時まったく同姓同名の別人がいた、正直悪口しか思い出せないような女子で、常に僕を敵視する女だった。でも、同じ学校に進学したとは聞いてないし、まして楽器をやるなんて聞いてない、でも同じなまえだし…。

などと思っていたら、君を紹介された。一瞬で電気がはしかった。あまりのかわいさに衝撃をうけた、ついさっきまで悩んでいた事などどっか飛んでいってしまう。しばらく目が離せなかった。気がついただろうか？

楽器自体はいまでも好きですが最近演奏してません、Fさんは今でも何かやってますか？

僕が最後に楽器を触ったのは、大学3年の冬、サークルでスキーに行ったときだ。1泊した宿にピアノがあり、その時点で2年ぶりくらいの楽器だった。おもわずかけより蓋ふたを開けた。楽譜はない、でもメリーポピンズの「チムチムチェリー」なら冒頭の部分だけ記

憶していた、手が動くかどうかどうしても試してみたくなり弾いた。案外どうしてちゃんと演奏できる。昔なんども練習したおかげだった。

何度も練習すると、小脳と呼ばれる部分にその運動パターンが記憶され、特に意識せずとも体を動かせるというのを聞いたことがある。「考える前に体が動く」というのは、脳のこの機能のおかげらしい。

で、思うのだけど。この小脳の機能、会話がかみ合わない人の行動の説明にもつながらないだろうか？と感じた。（僕の考えだが）小脳に記憶されている（口の動かし方の）運動パターンをつかって反射的に会話している人っているのでは？と思う。こういう勢いの会話の時は、こういう勢いの口の動かし方で…、みたいな感じで、会話の内容は特に意識せず、勢いと反射神経だけでしゃべっている。そんな人いないだろうか？なんだか話が本気で合わない。ワザとテクニクでそうする人もいるけど、中には本当に本気でかみ合わない人がいる、そんな体験をした事がある。

具体例で行くと、本屋で働いていた頃。お客さんから本の取り寄せを依頼される。調べてみるとその本は“直販”扱いといって、お客さんが直接出版社に注文する方法でしか流通していない本とわかる。この扱いの本も取り寄せられなくはないが、送料が発生してしまい利益がマイナスになるから通常取り寄せない。

この場合その旨をお客さんにつたえて納得してもらわなくてはならない。でも、せっかくだからサービスにと出版社の連絡先や在庫状況をしらべて教えてあげようと思い、出版社に連絡をいれる。

するとその様子をみていた、例の3年僕をいびつた上役の彼が、何を勘違いしたのか、直販の本を注文しようとしていると思ひ込み、怒り出すのだ。

「ああ、勘違いをしてるな」と思い、説明するのだが、まったく通

じない。自分の思いこみが間違つてるとは微塵もおもわないらしい。上記のように反射神経だけでしゃべっているのが判る。

これとは別件、僕より年上のバイトで、ちょっと頼りない感じの人が、上記とは別の人で店長から仕事が遅いと叱られる、その後少したちその人は僕にこんな事を言った。

「こちらの事、（どれだけいそがしいか）わかって（店長は）言っているんですよ？」

僕はこう言った。

「そんなわけないでしょ、わかってないからあんな事いうんだよ、どれだけ忙しいかちゃんと説明しないと、店全体の段取りがおかしくなる」

事実、店長は頻繁に支店間を移動するので、どのくらい忙しいかと細かいとこまで全体を把握できなかったりする。店長なんだから全部わかつてるは思い込みに過ぎない。ちゃんとこちらから欠けた情報を上司に報告しなければ、全体のバランスがおかしくなり、めぐり巡って自分に帰ってくる…。そんな話をした記憶がある。

こんな話以前も書いた。C型肝炎患者救済の法律を作りたくて民主党から立候補した女性、小沢幹事長に直談判をして、法律成立までこぎつけた事があった。通常1年生議員が党の最大実力者に口を聞くことすらおこがましいというのが常識なのに、彼女はやってのけ、事実法律を作る事に成功した。

何が言いたいのか？

言うべき事を言わないと、めぐり巡って自分に返って来る。相手がこちらの考えを察してくれるまでまっていたら、一向に前にすすまない。察する気のない人に理解を求めても答えは返ってこない、主張し続けないと。自分が正しいなら。

君は今戦っているのだろうか？この僕の経験則は何か役に立つだろうか？

僕はこうも思う、信念にしたがって行動するのが一番しつくり来る。どんな結果になろうと納得できるからだ。僕が本屋を止めなかったのも。漫画を描き続けるんだ！という信念を守りたかったからだ、だから、結果はどうあれ後悔はない。

人の運命は複雑怪奇、色々絡み合い、正しいのがどれか難しいときもある。でも、どの結果になろうとも自分は精一杯やったとかんじられるなら、それが生きてるといふ事のように思う。なにも面白おかしく浪費を繰る広げるだけが人生じゃないし、虚無に何年もとらわれてるのかいい人生とも限らない、でも、どの結果になろうとも後悔したくない。だから自分のなかに大切な“何か”があるなら守り通した方が人生はおもしろい。そう思った。

もし、僕に君がいたら、僕は人生の舵を大きく切ることになると思う。今までは1人だから、どこで討ち死にしても自己責任だったけど、守る人がいたらそうもいってられないな…。そんな事おもいました。その場合でも、守るものがあれば、大切な“何か”があるなら、どんな事も受け入れられる。

そのためには恐れず、言うべき事はいう、言えなくても、なにか方法がないか模索する試みをあきらめない。それが大切なことだと思った。あきらめてしまうと、抜け殻になってしまふ…。守るべきものも守れなくなる。

これは、あくまで僕の考えであり、僕の創意と工夫の範疇の物事です。君の強さと弱さのなかに、何かピンとくる部分があったら使ってやってください。

君の“創意と工夫”に期待します。

いつかきみの創意と工夫の“結果”を賞賛する日が来る事を信じます。もし、本当に戦っているとしたら、負けないで。君は強い子です、大丈夫です、負けやしません。その笑顔は無敵です。頑張つて、応援しています。また書きますね。再会を信じて…。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔木曜日、24日目〕

Fさんへ、こんな事思った、キスをする事ができるなら、回を重ねるたびに君はきれいになってゆく。正直、寄り添って一緒にいるだけで幸せだった。それ以上はたまで構わない。愛情の感じられる笑顔にまざる幸せはない様に思う。そんな事を思った。

これは仮説、もし仮に離婚に上手く成功したとしたら、今度は別の相手を紹介されると推測する。そちらの世界では当然の反応だ。

仮説だけど、もしそうなってもくじけないでほしい。思う壺だから。

将来の設計について図が描けない…、そんな思いをもつと仮定します。仮説に基づいていますが、僕の現在の選択しはこんな感じですよ。

まずは一つめの選択肢、第一希望の仕事である“店頭販売”の職種でフリーター歓迎の求人がいくつかある。これら求人に応募するという選択肢。

問題はみな遠方の勤務地だから引越しを前提にしている事。そして、そちらの世界の有形無形の干渉がどの程度就職に影響するか読みづらい点。

もう一つの選択肢は、福祉関係の資格をとって就職するという選択肢もある。これなら近郊の職場も選べるし、国家資格だからそちらの世界からの有形無形の干渉も多少かわせる？

現在実家に住んでいる、できることなら引越しはさけたい。なぜなら貯金の問題だ。引越したら貯金は難しい。でもここから通える仕事なら、貯金は出来る。

色々悩みます、相談したいです、君の希望が聞けたら…、ま、妄想的希望です。自分で決めないとね。（決断できないのを）人の（君の）せいには出来ない。

就職活動をしていて思った。会社側がもとめる“何か”が何かをちゃんと調べ上げて、そうして調べ上げた項目に対して、自分が今まで仕事上で培ってきたものがどう役に立つのか？それをアピールするのが肝心なんだなと。会社の全てを調べ上げて分析して評価するのは間違っている…。そんな事思った。

これはなにも就活に限ったことではなく、コミュニケーション全般に言えるように感じた。

人と話すときも、その人を理解して、自分のもつ“なにか”で何ができるかを考え、（いや、考えというより感じる？）アピールした方がコミュニケーションとしては正しい？そんな事感じた。ただ、就職活動とちがい、人と人のコミュニケーションの場合、双方がこのルールを守らないと、（気持ち）がすれ違う？

僕が今君にできる事は、ともかくこれを書いて、君を和ませるくらいだ。あと君の知らない事（知らない想定する事）を提示して、君の“創意と工夫”に貢献する事だ。

行動力はあっても、アイデアがなく前に進めないという経験は僕もたくさんしている。アドバイスを求めてもびつたしと感ずるも

のはなかなかなく、いつも苦勞しています。もしかしたら君もそうかも…、なら、役に立つかわからないけど、アイディアのネタになりそうな事を提示しよう。提示するだけでなく、現在の僕がどんな人物か教えてあげよう、なぜなら、人物像のつかめない人物のアドバースってなかなか受け入れがたい部分があるなーと、僕自身そう思うからだ。

だから、雑談で僕自身の事を語るのは大切なことと感じた。どうだろう、外れているのか逆なのか…。君の感想を聞きたいです。

ま、そんな感じで今いろいろ悩むわけです。福祉でもいいかな、どう思う？

(そうだ、ある程度経験をつんだら福祉の漫画描くのもありかな？
どうだろう…)

今日TVをみていて思った。中居正広が“政治”に初挑戦！ザ・大年表3時間スペシャル

は気合の入っていて見ごたえあった。けど、こう思った。せっかく前半で小泉改革とか現在の日本の問題点が説明されていて、バラエティーなのになんだ世の中のために真剣に頭を働かせたくなる衝動を引き出す内容になってた。けど、後半世界の独裁者特集をやることで、前半わいた衝動は薄まるような演出だなと感じた。もっと問題意識前面に出していいように思った。

これは仮説です。もし君が本当に戦っているなら君の“まわり”は君が“衝動的”になっていると判断するだろう、だから、上記番組のように後半オブラートに包むように不満を緩和させ、衝動をおさえようという試みをするとう推定します。

こう考えてほしい…、君の現状はそうした試みのはてに実現した現状であると。また受け入れると結局同じところに引き戻されるだけだと。現状に不満があるなら、抜け出す意思が本当に存在すのな

ら、今までと違う事をしないと前へすすめない。

決断は1人でしないといけない、これは僕自身にも言える事です。どちらが先か…。そんな事思いました。

何が言いたいのか？僕はこう考える“衝動”と“想い”はちがう。けど、外から見ると同じに見える。だから、その想いは衝動に過ぎないと何度も説得されるはずだ。けど、心の中の“衝動”と“想い”は別物…。だから、まどわされず自分の想いを大切にしないといけない、まどわされると、自分の“大切な想い”と単なる衝動の區別がつかなくなってしまう、そうなると思う壺。また振りだしにもどされ、何も解決していない状態に戻される。気をつけないといけない。コミュニケーションの際を突いてこういう圧力に気がつかず屈することもなくなないな…。そんな事おもった。君の想いはどうなってますか？

僕は相変わらず君が好きです。

君の顔はシルエットがきれいだから、髪型は束ねたり、アップにしたほうが似合う、髪をおろすとせつかくきれいなシルエットが変わってしまった…。などと思ったりします。あくまで僕の趣味ですが、服は何着ても似合うと感じた。ピアスとか似合いそうだけど、今どうしてるのだろう…。

戦う君の姿を想像するのは好きです。応援しています。負けないでください。

あの神社で待っています、君の帰りを。あの時と同じように。あの時と同じように君はすっぱかさずにやってくる。そう信じたいです。君がどんな結論にたどりつこうと、必ず僕の前に現れてけりをつけると思います。受け入れられるのか？うちのめされるのか？君次第です。待ちます、整理がつくまで。

これは、僕の妄想。こんな事思った。旅行というのは何か目的がないとなかなかできない。世の中にはこんな人もいる、変わった地名の場所を全部制覇するために旅行に行く。とか、あるいは何か大会やお祭りにあわせて旅行を計画するとか。単純に名所で日の出を見たくて旅行するとか、なにか強引に目的を設定していくと、自ら課したルールにどこまで忠実にそえるか？という楽しみが旅行にプラスされ、ただの旅行もちよつとしたアトラクションになる。

他にも現地でかならず思い出を作るなんてルールもおもしろい、キャンプもいい。スキーもいい。離島観光もいいかなと思う、特に北海道の利尻島あたり行ってみたい。でもこーゆーのは、好きな人と2人でないとおもしろくない。もし、相手がいたら、僕の趣味に旅行が加わるのに…。そんな事おもった。

真実に気づく前と後で、決定的に変わった部分が僕にはある。

気づく前は、ため息を当たり前のようにする人間だったし、むしろため息をつくと落ち着くので好きだからに思っていた。人から「ため息をつくたびに“幸せ”が逃げてゆくよ」といわれてもまったく同意できなかった。

ところが、君との想い出の真実に気づいてからは、ため息をつかなくなつた。それどころか、嫌いになつてしまった。今では「ため息をつくたびに“幸せ”が逃げてゆくよ」という言葉に何の抵抗もなく同意できる。確実に変わった何かがある、そう思った。

戦っているなら、頑張ってください、ひるんではいけません、僕がささえるかぎり、大丈夫です。応援しています。また書きますね。

- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -

〔金曜日、25日目〕

Fさんへ、今も君は戦っているのだろうか…、その前提で書きま
す。

こんな事思った、今までやってきた事の意義や意味は、自らをし
ばる。

「ブライベートライアン」という映画の事を思い出した、トム・
ハンクス演じるところの主人公、レンジャー大隊C中隊長のミラ
ー大尉は戦場では、なぞの人物とされている。どうなぞなのか？人
物像がつかめない人物とされているのだ。

彼の性格をかたるいいシーンがある。部下数名とライアン一等兵
を連れ戻すべく旅立ったミラー大尉は、あともう少してライアンと
会えるという所で、敵のリーダー基地を見つける。普通に考えたら、
ライアンを連れ戻すのが任務なんだから、危険はさけて迂回するべ
きだ。ところがミラー大尉は基地にいる機関銃部隊の制圧にこだわ
る。彼はすっかり戦争人間になってしまっていたのだ。感覚が麻痺
していて、目の前の敵を無視できなくなってる。なぜか？理由があ
る。

彼は随分長い期間戦場にいたおかげで、いやな任務も、逃げたし
たい恐怖も、戦争に勝つためだと言い聞かせて乗り越えてきた。部
下をうしなっても、戦争に勝つためだと言い聞かせてきた。だから、
ここで目の前の敵（リーダー基地を守備している機関銃部隊）を無
視するという行為は、いままでの努力を否定するような行為にほか
ならず、戦略的に見て無視できない攻撃目標はつぶさずにいられな
いのだ。そんな命令は受けてないのに。ただ、ライアン一等兵を探
して連れ戻せとしか命じられてないのに。あきらかに間違った判断
なのだが、彼はそれがわからない。

物語はこの後、渋る部下を説得して攻撃にうつる。制圧には成功

するが、ミラー大尉は部下を1人失った。隊員たちの間に亀裂が生じる。そりゃそうだと思う、明らかに間違った判断に基づいて仲間が死んだのだから。戦場離脱を申し出るもの、命令違反者は殺すといきまぐ部下もいる、小隊は崩壊寸前だった。

部下たちは以前から賭けをしていた、ミラー大尉は戦前なにをしていた人物か当たるといふ賭けだ。ミラーはついに、この場において自分の過去について話す。自分は教師だったと、国語の教師だった。

あまりの意外さに亀裂が生じていた事もわすれて隊員たちはおどろく。国語の教師といえば、文系インテリの典型。なのに今のミラー大尉はどんな戦場でも動じない戦歴の勇者、体育会系の猛者たちをあごでこき使う鬼大尉だ。

ミラー自身が言う、おそらく自分は人相が変わってしまったんだろう、以前は自分が国語の教師といったら皆が納得した…。

隊員達と思う、彼もまた戦争の被害者だと、人格を破壊されたのだ。狂っているのは世の中だ、と。無害な国語教師が完璧な軍人に作り変えさらわれてしまっていた悲劇。けれど…。

僕が言いたいのはここからです。

彼は（ミラー大尉は）それでもまだ自我をちゃんと残していた。それは、このライアン一等兵を連れ帰るといふ任務について語るところに現れている。

もともと当時、アメリカ軍にはこんなルールがあった、同じ家の兄弟が複数戦死した場合で、まだ1人死なずに残っている場合、せめて1人だけでも母親のもとに返すというルール。政治宣伝むけのルールのように感じるけど、ルールはルール。実行しないと。ミラー大尉は参謀本部じきじきの命をうけてそののこった兄弟の最後の

1人ライアン一等兵を探す任務についた。

彼はこの任務をばかばかしいといった、ライアンなど、どうでもいいとまで言い切る。けど、もし、この任務に成功したら、ようやく故郷に帰って胸をはって話す戦場での出来事が出来る。そうミラ―大尉は言う。

彼は、活路を見出したわけだ、故郷への。

もし、無事故郷に帰れたとしても、今の彼は心がボロボロで休まらない。けれど、この任務に成功したら、無事故郷に帰ったのち心の（魂の）安らぎ（平和）が保障される…。そう感じた、僕は思った。

映画ごときで比較するのはいけない事かもしれないけど、他にいい表現方法が思いつかない、君に伝えたいイメージがある。

君の戦いの意義には“自由になる”や“再会する”以外にも“心の安らぎ”をもふくまれている。もし、今、本当に君が戦っているとしたら、その戦いそのものは後の魂の安らぎを保障するものになると思う。後々、自分の人生を振り返っても、その戦いは君の中で一生誇れる“何か”になるかもしれない、自分を取り戻した戦いなのだ。僕はそんな君がいとおしくてたまらなくなる。君はどう感じるだろう。違う事思うのか、どうなのか…君がどう感じたか聞きたいです。

僕自身、君との思い出の真実に気づけた事実は一生誇れる“なにか”になっています。上手く説明できないけど、ようやく欠けた何かに気がついたというか、あるべき姿が何かわかったというか。以前の僕とは価値観がまったく違う。実力以上の能力を発揮し、あの猛攻をかわす事ができた。そして、今までの人生が肯定できるようになった。ため息をつかなくなったのもその為だと思つた。

また映画の話をしてしまった。初めて君を映画に誘った日、ぼく

はとめどなくずつと話つづけた。何をしゃべったのか正直思い出せないけど、えんえんしゃべりつづけた。君は後日こう言った。

あんなに沈黙なくすごせた人は初めてだと。普通はどこかで沈黙がきて気まづくなくなるのに、それがまったく無かったと、嬉しかった。そんな事話した。今でも、たぶん、同じ事が出来ると思う、君が飽きないようえんえんしゃべり続けられる。それが証拠に今も毎回いろいろ書けてるのだし。

君の手を握ったとき、僕が体温が高いせいか、すこし冷たく感じた。けど、すぐに同じ温度になりなんだかうれしかった…、というかドキドキしたのを覚えている。また手をつないで歩ける日を夢見ます。

昨日は、君がいたら僕の趣味に旅行が加わるのにと書いた。

その続きだけど、美術館めぐりや博物館めぐりもできるななどと思いました。ああいうのは1人で行っても面白くない。それに演奏会やコンサートもいいななどと思う。それともただぶらぶら色んな所を2人で散策するというのもいいなと感じた。まあ、妄想なのですが、夢くらい見てもいいでしょ？

これは、もっと早く書けばよかったのだろうか…、以前、論点整理の方法について書いたと思う、役に立っていたらうれしいけど、もし、さらに論点整理について知りたいと感じたら以下の本を読んでみてください。僕も、もともとこの本を読んだ。

ちくま文庫、「あなたの話はなぜ「通じない」のか」（著：山田ズニー）

ふざけた著者名だけど、ベネッセコーポレーションで長年、小論文指導をしていた人で、実務経験に基づいた解説は濃厚です。読むと論理的思考法がなんとなくイメージできるかもしれない。君の必要とする“創意と工夫”の何かの役に立てば幸いです。

今も戦っているのだろうか？つらいのだろうか？世界でたった1人絶対に君の味方でい続ける人間が、この世に生きている事を忘れな
いでください。僕は死んでないし、生きています。悪魔でもないし、
うそつきでもありません。多少おつちよこちよいで、誤解されやす
い言動もしますが、基本的に無害な人間です。君の想い出の中にい
る人物と基本的に変わっていません。多少の成長もあると思います
が、それは君自身の目で確認してみてください。いつか、君がそれ
を出来る日を信じます。

僕はここで待っています。すべての決着がつく日を信じて。君が持
てる全てを創意と工夫に注ぎ込み、難局を打開できる事を信じます。
なぜなら、君は、僕が、打ち負かす事のできなかつた唯一の人です。
だから負けるはずがありません。自分をしんじて。応援しています。
また、書きますね。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔土曜日、26日目〕

Fさんへ、昨日、今日と風がものすごかった、まるで台風でも来
たよつな勢いの風だった。そちらはどうでしたか？君は今どこに住
んでいるのだろうか…、戦っているのだろうか…、一応その前提で書
きます。

つい今しがたも（削除）声をかけにいった。深夜1時です。…こ
れ以上は書きません。

敵意はありません。仕方が無い事なのでしょう、そちらの理論と
しては、けど重ね重ね主張します。僕が望むのは彼女との再会であ

り、それ以上望んでいません。僕の行為は自衛手段でしかなく、何も無ければ、なにも起きないのです。その点は双方共通認識と違います。僕は、何もなければ何もしません。望みは再会のみです。この共通認識にたどり着くのに半年かかりました。努力は報われる。そう信じます。

君に伝えます、今日もニュースをみているとこんな事を言っていた。

じつは、制度上の特例で60歳から年金をもらえるお年寄りもいる、でも知らなかったという人がたくさんいて受け取り損ねているらしい。

また、こんなものもある。実は結婚期間はたとえ払っていないでも払っているとみなす事ができて、この期間をたすと受給資格がえられる…。でも、それを知らなくて受給資格がないと思っている人が“万”単位で存在するらしい。

なぜ、こんな事がおこるのか？国もどの人が貰い損ねているのか把握してないからだそうだ。知らないと損をする。そういう事らしい。やはり、自分の当然の権利を守るためには我を出さないといけないんだと感じた。この件に関しては年配者の人も同意してもらえはらずだ、なぜなら“当然もらえる年金を貰おうとしたら、ワガママだ！”なんてへ理屈、通じないという事になるのだから。

こんな話も聞いた事がある、これは別件。

ある夫婦にはアレルギーの子供がいた、シックハウス症候群らしい。八方てをつくしてもその子にあった住まいがみつからない、そこで夫婦はある大胆な行動に出る。内装が出来てない段階のマンションを買ったのだ。通常ではありえない、普通は完成させてから販売する。無理に頼み込み、未完成で買取り、シックハウスが起きないように内装を仕上げた。その際も、どんな内装材がいいのか自分た

ちの手で1から調べ上げ、自らの手で内装工事をした。誰も助けられぬとわかったら、やらなきゃいけないと感じたら、躊躇してはいけないのだ。この場合も“ただアレルギーのおきない家が欲しいと思っただけなのに、それをワガママだ！なんていわせない！”という理論が成り立つ。

何が言いたいのか？

君が得られたはずの人生を取り戻す戦いなんです、これは。あきらめてはいけません、何もしないとどうにもならない、創意と工夫に情報収集、これが戦う上で大事なんだと思います。君の人生です、あきらめないで。僕はまだ生きています、ここにいます。君はここに来て自由になる最大のチャンスを手にした、このチャンスはそうそう全ての人に巡ってくる種類のチャンスではない。このチャンスは物に出来るかどうかは君の心の強さと、意思の固さと、想いの強さと、確固たる行動にかかっているのです。難しいのは知っているけど、この強烈なイメージが君の心に何か“光”を生むことを願います。その輝きは本来君が持つものであり、誰にも奪うことの出来ない大切な“何か”なのです。

全てを乗り越えた先。困難を乗り越えた先にある“何か”は2人の関係を厚く重みのあるものにするでしょう。その重厚な“何か”はお金では買えないし、文章でも簡単には表現できない、けど、心の欠けた何かを補い、さらに満たしあふれる事でしょう。光が満ちると表現したほうが適切でしょうか。

もし、君と一緒にいたら旅行が趣味に加わるのにと昨日書いた、まだ続きがある。もし海外に行くなら、（これは100%僕の趣味だけ）まず1箇所目はカナダ東部にあるプリンスエドワード島に

行ってみたい。赤毛のアンの舞台になった島で、作者モンゴメリの育ったところだ。物語自体は架空の物だけど、この島は、いい感じに18世紀後半の田舎の風情を残していて、景色を楽しみながら田舎料理を堪能するだけでも十二分に価値があるように思う。とくに、この地域はメイプルシロップとりんごで有名ならしい。アンの家もりんご農家という設定になってた、そんな関係でこの地域自家製のデザートがきつと魅力的だと思う。

他にどうしても1度は行って見たい場所はアメリカのフロリダにあるNASA。一般見学コースなるものがあるらしい、そこには計画中止になったアポロ18号用の本物の探査船や本物のサターンロケットが置いてあるらしい。ビルほどもある世界最大のロケット「サターン？」はたぶん圧巻なんてもんじゃないくらい鳥肌が立つと思う。死ぬまでに1度は見てみたい…、けど、1人ではおもしろくない。だれか気持ちの通じる人がいないと楽しくない。そんな事思った。

海外は実現度が低いけど、国内なら今流行の「大人の社会科見学」なるものに君を誘いたい。普段一般人が立ち入り禁止の区画を見学させてくれるツアーだ。単純な製造工場だけでなく、瀬戸大橋や首都高、空港などの立ち入り禁止区画に案内される企画が最近はたくさんあり、1年前から予約しないと参加できないツアーもあるみたい。けど、こういうのも、やはり、だれか気の通じた人が一緒にいないとさびしいだけです。そう思います。

でも2人でその辺散策するだけでもぜんぜん楽しいんだけどね。かるく車で遠のりして、その先で散策だけでも楽しそうだ。もちろん生活の苦勞はあると思う、けど、常識の範囲内のものと思います。

本来ぼくはこういう話が好きです、何度も書きますが。でも君が頑張れるなら、僕も頑張れる。君が僕を変えた。

君の戦う姿を想像します、自分を見失ってはいけません、大丈夫です。Fさんは強い人です。今回は僕の創意と工夫よりも、その先の“何か”について書いた。その先のイメージ、大切な“希望”を持ちましょう。僕も希望を持っています、だから君にも持つて欲しい。君が希望を抱き続けられるのなら、僕も希望を抱き続けられます。頑張ってください、応援しています。その先の希望を信じて。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔日曜日、27日目〕

Fさんへ、今日も君は戦っているのだろうか？その前提で書きます。

君が希望を持ち続ける限り、ぼくも希望を持ち続けられます。頑張つて、負けないでください。君は強い子です。

以前書いた、福祉の仕事がそうでない仕事か悩んでいると。頭をすつきりさせる意味で漫画を描こうとしたらど壺にはまったと…。ようやく立て直したと思う。ポイントは今までと同じ事をやっても意味ないという事。今回はいままでと違うネーム、違うキャラクターに挑戦してみた。あたらしい挑戦の前に不安と期待がある感じですよ。今回はじめて萌えキャラに挑戦した。いままであれだけ嫌っていたのに…。

常識の範囲内の萌えキャラにすべきか、もっとファンに媚びたほうがいいのか試行錯誤がつづいてよちよち歩きな感じではかどらない…。

絵は取り合えず今つれてるゲームランキングで上位のものの絵を参考に見てみた、案外に描ける、やはりそれなりに自分は絵が描けるのだと改めて思った。問題は演出(＝読者とのコミュニケーション

ヨン力)なのだなと改めて思う。

漫画なんてコミュニケーションと間逆な代物で、人との会話力が試されるという結論にたどり着くとは本当に思わなかったけど、事実だ。この壁を乗り越えないと先には進めない。

一応オチをつける事は出来るようになった。以前はアイデアを形にするのにすら四苦八苦して、オチまで手が回らなかった点を考えると確かに進歩はしている。おもしろいか否かは別にして、毎回必ず“形”にはできるのだから。

進歩はしてるのだ。これすら出来なくてあきらめる才能ある人はごまんといる。思いついた事をまとめるというのは大変なのだ、中にはそうでない人もいるけど…、けど、そういう人は生まれつきそうなのであって、いちいち気にしてられない。

その代わり僕は黙っていてもアイデアだけはドンドン出る能力を持っていて。ネタが枯れるという心配だけはしなくていいのだ。事実毎回これ書けてる訳だし。

君と僕の似た部分に表現が苦手という部分があると思う、僕にとって漫画を描くというのは表現力の訓練でもあるわけです。それは現実のコミュニケーションにも役立つ。実に意外な現象をもたらす、不思議なものです。

演奏でも基本ぼくの演奏は自分が気持ちよくなるための演奏だった。人になにか伝えたいとかまでは考えてなかった。今はそれが間違いとわかる…。亀のごとく進化だけど、前に進み続ける事は大切と思う。事実君にたどり着けたし。さらに前進をあきらめずに努力すれば再会できるのだろうか…、そんな事思ったりします。

何にしても、これは自分の考えをまとめ伝えるというコミュニケーションの鍛錬になっていると思う。時々意味判らないと感じる事あるだろうか？日々訓練です。

好きな言葉があります、もう一度ははじめから知り合わねばならな

い。
他にもあります、一度やぶれた紙は、二度ともとは戻らないが、やぶれたそれを重ね合わせると、それはそれで味わいがある。

君も昔と違う、僕も昔と違う。はじめから知り合いなおす必要がある。でも同じ知り合いなおすにしても、かなり気が合う事は間違いないと思う。

君は天秤にかけるだろう、いろんなものと僕を。

君がその天秤をどう図るかはわからない。君にとって僕がどの程度の価値なのか…。

いまま外では騒々しさをを感じる…、一生このままだろう。

君が僕を救いに来るのか？見捨てるのか？見捨てる君というのは想像できないけど…。結論を1人でだして終わらせるのだけは無しで。おそらく僕は、君が声をかけない限り、死ぬまでこれを書き続ける…？そりゃスタイルや濃さは変化するだろうが、おそらく死ぬまで書くだろう。そう思った。新しく恋をする？何があるかわ確かにわからない。けど、君の無事だけは確認したい。どんな事があるうと…、君も覚悟が決まったなら、会って無事を伝えるくらい問題ないでしょ？納得したいんです、君が本当に幸せなのかどうか。

生きているなら、無事を知らせてください。

僕が君を見捨てたら、君の心がどうなるのか、君自身の声で聞きたい。

戦っているなら、無事を祈ります。いつまでも君が君でい続ける事を信じます。

ああ、そうか…こんな可能性もある？いつまでも想い出の人でいて欲しい。だとしたらそう伝えて欲しい。覚悟があるなら出来ると思う。中途半端な君は嫌いです、必ず君はケリをつけに僕の前に現れる…、そう信じます。いまは事情があって出来ないのでしょうか。

君の心に期待します。

一時的に敵にまわしても、少なくとも肉親は時間をかければ和解できるでしょう…。親のために一生をささげるか、周囲に気遣って一生を費やすか…。それとも…。全て君の自由です。君の望むべき世界が実現する事を祈ります。

もし、激戦の最中にいるなら、君の創意と工夫に期待します。

今も外では遠方で音がする、気のせい？では定期的に来る暴走族並の低周波を出す車は？深夜0時と3時にポスターを貼るくらい気合入った家に来る。たぶんこの車が夜中中走り回っているのでは？などと思う。まあ、妄想です。

近所の家が僕とまったく同型の自転車を玄関先に目立つよう展示している、この家にあんなの乗る人いるだろうか？以前、僕と同じ名前の犬を飼っていた家だ。今度訪問しようと思っている。同型なので、どちらかが盗難された際、一方が気ますぐなるから先んじて同型を持っている事をお知らせしようと思うわけだ。当然の行動だと思っけどうだろう。

これらは、以前にも書いたけど。僕自身の自由をかけた戦いでもある。君が帰ってきたら大分自由になれる。その理由は以前書いた（消したけど、今の君には刺激的過ぎる？）。

このままやられっぱなしじゃ悲しすぎる…。忘れた頃に何度も何度もやってくる？多分君も同じ目にあっているんじゃないだろうか？君が頑張れるなら、僕も頑張れる。

受け入れられるのか、打ちのめされるのか？答えを知るのは未来の君だけです。

第18話 おわらない話の理由3（未来へと続く話その6）（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第19話 交渉の基本ルール？（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金の興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第19話 交渉の基本ルール？

(この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。)

- - - - -
- - - - -
- - - - -

「君に期待する“創意と工夫”と僕が提示する“創意と工夫”の関係の整理」

整理する意味でまとめます

(明記します、僕の説明には“雑”な面があります。そちらの状況がわからないので、どうしても“雑”さを消せません。目隠しで歩いているようなものです。目隠してもガンバります。だから、目隠しで歩いている人の道案内のつもりでいてください。目の見える君はどうすればいいのか…、君の創意と工夫に期待します。)

別居を始めるにあたり、諸条件で君の立場は変わってくる…。

まず、一般に別居には2種類ある。

離婚を前提としたものと。

たんに冷却期間として、将来の関係修復を前提にしたもの。

そして、上記には下記の用件が絡んでくる。

?妻の方に不正があった場合。

(君が誰かと…と言う場合、ちなみに僕の件は該当しない、会ってもないのだから)

?夫に不正があった場合。

(向こうが不倫や暴力を君に振るつた場合)
?どちらにも不正が無い場合。

で、これら諸条件のうち、自分に該当するものが何か?どうすれば自分が有利にたてるか?君の創意と工夫に期待します。

もし、別居しているなら、まずは当座の生活費の確保です。

ここでも、君の創意と工夫に期待します。

下記は僕が記す“例”であり、目隠し状態で示す道案内です。君の創意と工夫の参考になればと考えて記述したものです。

以前説明した通り、夫婦間の財産は半分まで処分する権利があると判例でされてますので、それを利用して確保できます。でも浪費しないように。

その後、相手へ別居の通知。生活費の請求、話し合い。と進みます。

この段階で、女性が駆け込むシェルターを利用するもよし、弁護士に相談するもよし、行政書士に連絡するもよし(弁護士と行政書士は違います、簡単な法律問題なら後者の方が安いですが、より難しい問題は弁護士でない駄目だったりします)。

別居が成立した段階で、双方納得して婚姻費用請求書を作成出来ればラッキーです。毎月お金が振り込まれます。

金額は、相手の収入しだいです。収入が多ければ比例して大きくなる。足りない場合、以前紹介した母子家庭支援補助を公的機関にお願いする方法があります。もし、足りなければ少し働けば何とかなるとおもいます。主婦向けの内職とかけっこうあるし。(請求をした、されていないという争いを避けるためにも、婚姻費用(=生活費)を請求したことを証拠として残すために内容証明郵便で請求

し、日付をきちんと記録しておく必要があります)

話し合いで決着がつかなければ、あるいは、約束どおり支払ってくれなければ、いよいよ法的手続きに入ります。おそらく、君が僕のこと気づくより以前から何かしらの問題が発生していたと推察します。

(一方的に出て行ったのではなく、理由があると説明しないといけないのです。)

どんな理由で別居したのかよく整理して、人に聞かれても説明できるようにしておくのがベストです。法的手続きに入ったら必ず聞かれる事柄ですから、この世界では、なんとなくは通用しません。強い君に期待します。(想いのこだわりを一時棚上げにして、実務的なちゃんとした書類の提出が裁判所では通用するはずですが、もちろん素直さも重要です)

調停は、裁判所内(相手の住所地の家庭裁判所に申し立てをしなければならぬ)で行いますが、その性質は話し合いです。調停員という第三者を交えて話ができるのが、通常の話し合いと違う点です。

通常、申立人と相手方(申し立てられた側)は、別々の待合室を用意してもらい、調停室と呼ばれる部屋に別々に入ります。調停室には、通常男女1名ずつの調停員がおり、双方の話を聞き、相手に伝えます。

1回目は、申立人から呼ばれるケースが多いようです。申立人側の主張が終われば、申立人は調停室を出て、次に相手方が調停室に入り、相手方の主張の時間となります。

顔を合わせずに話し合いができるので、双方感情的にならずに交渉を行うことができますのもメリットの一つです。

また、調停の場合、1回の話し合いで決着がつくことはごくまれです。何回やる、と決まっているわけではありませんが、数回調停をしても双方歩み寄りがない場合には、不調と言って調停が打ち切られることもあります。不成立になっても審判を求めることができます。調停申し立てから調停成立まで数カ月かかることも普通です。（だから、持ちこたえる資金が重要になります）

調停でも合意できない場合、審判を求めることができます。

審判になると、裁判所が婚姻費用（＝生活費）の額を決め、2週間以内に夫が異議申立をしなければ、その額で決定します。審判で決まった額は判決で決まったものと同じ効果がありますので、この額を夫が支払わない場合、強制執行をすることができます。

（以下は“僕自身の創意と工夫”です）

上記以外にもいろいろ書類の名前が登場します、よく理解する前にサインしては駄目です。

別居期間がある程度の期間に達すれば、相手が同意せずとも法的に別られます。これは、向こうが再婚のチャンスをはがすリスクを負っている事を意味します。

裁判所が婚姻費用（＝生活費）の請求をする“調停”と離婚そのものを話し合う“調停”を分離して記述しています。上記記述は生活費の請求にポイントを絞っています。

離婚そのものの調停も同時に出来るのでしょうか？それとも別々にするものなのか？まだ調べきれいでないので明記できませんでした。もし、君に離婚の意思が固いものがあるなら、調停の議題を生活費に加えて離婚そのものも加えられるか（専門家に）確認してみてください。君の意思を尊重します。

もし、別居まえに資産の持ち出しを実行していた場合、調停の段階で何か言われるかも知らないけど、臆することなく堂々と主張すればいいと思う。こちらでは細かい事がわからないので、その辺は

専門家と相談して修正をして君なりに対応してほしいです。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

(あと、これも“僕自身の創意と工夫”ですね)

? 長期戦略をとるのか? (根競べです)

? 短期集中決戦をとるのか? (これは一度消した方法ですね、イ
スラム教徒とキリスト教徒の夫婦はこれが理由で裁判所が認めるこ
ともある)

? あるいは、双方同時平行でおこない中期決戦を挑むのか? (要
工夫ですね)

君の行動しだいです。

? 極端な話、話し合いなどぶつたぎっていきなりこちらに来る手
段もある。

僕と君は不貞罪にとわれるかもしれないけど、金で片がつくなら、
それもありと思う。

それを、君が全部把握しているのか? という疑問が浮かぶのです。

取り合えず、選択肢を列挙してみました。1〜4ありますね。あ
くまで、僕の考える創意と工夫の範疇ですが。

あと? 僕がそちらに入るといいうのもありますね。

あとは、“君自身の創意と工夫”に期待します。

最初からこう書けばよかった、少し誤解させてしまったかもしれ
ない。

僕は僕なりに“創意と工夫”を書きます、でもそれは目隠し状態
でされた“雑”なものになる事は否定できません、なにしろ…、判

りますよね？僕の目線からみたそちらが。目隠しで見えませんが。

君の創意と工夫に期待します。この問題の最大のキーはそこです。君自身の頑張りが何よりも重要です。君は僕の提示する可能性の中から、時に使えそうなものを拾い上げ、時に自分自身の創意と工夫で、困難に立ち向かわないといけないということでしょうか。

君には自分だけで問題を解決するという選択肢のほかに、僕の助けを借りるとか、もっと他の人の助けをかりるとか、いろいろ選択肢があります。

でもその選択肢が今の君には…、期待します。君の創意と工夫に。

僕は死んでないし、君も死んでないと思う。悪魔にもなっていない。2人とも…。

あ、あともう一つ方法があった。これも、僕自身の創意と工夫の範疇ですが、誰かがイージーミスをする事は確かにあります、僕も、以前書いた郵便配達の人、顔覚えてるから、街角であってナンバー再確認とかできるけど、告発はしません。

それにわざわざ警察官のお仲間が誰か親切にも教えてくれたりしたおじさんもいます。案外にみなうっかりミスをします。特にかかわる時間が長くなればなるほど。

いつか、致命的なミスを誰かがする可能性もあるので、鳴くまでまとうホトトギスみたいな事も必要に感じる。特に、人をはめる気満々の人ほど、このイージーミスの罠に陥る。最初からはめる気のない人には無関係なリスクです。

この話の中に、なにか拾える部分があればと思います、君の創意と工夫に期待します。

「紹介したサイトまとめてみました」
これら紹介したサイトも、僕自身の“創意と工夫”の範囲ないの
ものです。

この中から、君自身の創意と工夫に役立つものがあれば、活用く
ださい。

？とりあえず最初に見つけたサイト> 「離婚問題相談アドバイザ
ー」

“離婚協議書の書き方の相談、財産分与の相談、慰謝料請求の相談、
子供の養育費の相談、子供の親権の相談、面接交渉権の無料相談”
などが主な内容です。

？次に> 「別居の長期化によって、離婚した場合、慰謝料を請求す
ることはできるのでしょうか・・・」

“yahoo知恵袋”という質問掲示板の書き込み。

ここに離婚できる別居期間についての言及がのってる。何でも婚
姻期間をこえる期間別居しているとみとめられるとか…、でも掲示
板の書き込みなので、細かい確認は君自身の手で専門家にしとくと
安心です。

？次に> 「離婚したい・離婚したい人向けの方法を紹介していま
す。」

正式なサイト名は“離婚したい”ですが、それだけだとグーグル
検索で出ないので上記「」内の言葉で検索すれば出ます。ここはか
なり詳しいです。

特に“離婚給付金一覧”と称して利用できそうな公的援助制度の
紹介が充実です。実際には離婚のための給付金ではなく、母子家庭
向けの財政援助を紹介しているようですが、窓口で最初から駄目と
思わず相談するようにと薦めています。知らないよりは、知ってい

たほうがいい類の知識ではないでしょうか。

？追加＞「養育費算定表に基づいた計算機」

内容は“家庭裁判所の裁判官が発表した養育費算定表に基づいた計算機です。おおよその、養育費の相場（月額、平均）が表示されます。養育費算定表に基づき計算機を全面改訂しました。”との事です。役立つでしょうか？サイトに諸条件を入力すると自動的に答えを出してくれるみたいです。

？追加＞「バツイチママの離婚講座」

ここは親切で詳しいです。

親権について面白い事が書いてある。親権とは別に監督権というのがあり、子供の財産の処分はできないが成人するまで一緒に暮らせる権利らしい。（ちなみに離婚届には“監督者”の記入欄がないので、別途“公正証書”に明記したほうがいいとかかれています）監督権の利点、欠点を専門家に確認しておくとか何かの役に立つかもしれません。

慰謝料計算フォームなんてコーナーもあります。

？ あるサイトの内容

Q：今ある貯金を全て折半して、出ていきたいのですが、間違っていますか？

婚姻後に蓄えた夫婦の財産でも勝手に持っていったら犯罪になりますか？

これに対して弁護士がこう答えている。

A：別居の際に、夫婦の一方が他方名義を含めた夫婦の財産を持ち出す場合、財産分与として認められる範囲での持ち出しは違法ではないとされています。

(これについては「別居のときに預金を勝手に持っていったら？」とグーグル検索すると出ます。判例でそうなっていると、僕の話より確かだと思つのですが、慎重を期すためにも実行前には専門家にじかに確認した方がいいと思います。)

(でも、これが上手くいけば、財産分与の先払いな形になり、かなり余裕が出ます。楽観は禁物ですが、可能性の1つです)

？「【離婚大作戦】夫婦問題・離婚相談カウンセラー小林美智子のブログ」

(「内をグーグル検索してください」)

無料で簡単な相談に乗ってくれるようです。

？「別居中の現金や預金の持ち出し」

(「内をグーグル検索してください」)

重要：やはりここにも夫婦間の財産は半分まで持ち出して大丈夫と記載されています。

ただし預金や現金を持ち出す前に・・・別居中でも夫婦には婚姻費用を分担する義務があります

・別居をする前にはまず夫に婚姻費用の請求をしましょう

サイトを調べているうち思った。男性側から見た復縁指南サイトもかなりある。これが何を意味するか判ってくれるなら嬉しいです。

-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-

〔水曜日…、17日目〕

8日ほど先行して…、本当は前日の日付と同じ日です。

今度は低周波に切り替えたようです。隣家に人気がありません、いつもはいる時間なのに…避難したんでしょうか？低周波攻撃の場合間違いない巻き添えくりますから。でも他の家はあるようで中には該当する方々も在宅中らしい、ま、みな同じ目に遭ってるのなら楽ですね。それにPCの駆動音のせいで低周波には免疫があるのです、じつは。とくにDVDドライブがうるさい、安物ですので。

こんなサイト見つけました。本当ならもっと早く見つけられればよかったです…。以下はその内容を少しまとめたものです。

読み飛ばす可能性を考慮して最後に書いた結論をここに転記します。読んでください。

…(転記部分始まり…)…

これは僕の意見。

組織と君を縛るものは私的な契約にすぎない、少なくとも法律上は。普通の売買契約とその性質はちつとも何も変わりはない。なぜなら“彼ら”の資格は国家資格でないからだ。その身分に何の法的背景もない、極端な話レンタルビデオの会員資格と法律上の差異はない。レンタルビデオの店員がーだこーだいっても「やめます」と言えばもう会員料も払う必要ないし、何の法的権利も義務もなくなる。

この記述は経験者のものをもとにしています、僕の思いつきよりはるかに効果が高い、そして、脱会者といつまでも婚姻関係を結ぶのは向こうとしても相当きついはず。

そしてそして何より重要なのは“脱会”は“離婚”の何十倍もハードルが低いことです。極端な話思いつけば数日で“完了”できる。そして向こうは部外者との婚姻を望まないでしょう。信仰はやめても続けられる。ある意味相手の“愛”を試せる、どれほど本気で君

を愛しているか。信仰と君とるのはどっちと、僕がどちらをとるか。はもう行動で察していただけたらと思いたい。僕自身の信仰についても別所に書いた、東京を脱出する日あんなに大事にしていたそれを本気で捨てる気ではいたのは確かだ。

ともかく状況がわからない、だからこれを載せます。何かの役に立てば幸いです。

なんか、君の思いの一部分に触れた思いです。こんな感じだったんだねだね、当時。怖がるわけだ。今の君が君の望む世界のための努力を失ってないことを心の底からねがいます。

- - (転記部分おわり、以下にこの結論につづく本文がのっています) - -

組織は「もうやめた」と君が言ったとしても「ハイ、わかりました」と了承するようなどころではないらしい。

「もうやめた」と言わねば、もちろん脱会不可能なだけども「もうやめた」と一言いうだけでは脱会できない。組織側が根負けするまで、脱会の意志表明をし続ける必要だ。

各地元組織に、脱会を申請する用紙はあるという。しかし、この用紙を入手し、地元幹部にあずけても、揉み潰される可能性が高いらしい。だから、組織が用意された脱会届を利用せず、自作で脱会届を作成して、東京の本部に直接、郵送するのが良いという事だ。自作の脱会届であっても、法律的には有効だから、心配しないでいい。

脱会すると嫌がらせはあるらしいが刑事問題に発展することはないと明言されている、僕が何度も書いたとおり“ルールのルールは破れない”という事と同じだ。殺されはしない。

このHPの記述はこう続く、自分が会員の2世、3世で、親がバリの活動家である場合、自分が脱会する事によって、親が組織内において、キマリの悪い思いをするという事がある。だが、それを心配して脱会しないのであれば、自分の人生を親のために犠牲にしている事になる。と、僕もそう思う、君が望むならそれはありなんでしょう。判らないが…でも可能性の1つとして続けます。このHPの記述は本当に詳細だ。

具体的にどうすれば脱会できるか？大きく、2つの方法がある。

口頭で「辞めます」と表明する方法。自作の脱会届を提出する方法だそう。

口頭で脱会を表明するには、どうすればいいか？

このHPの記述はこう続く、一番良いのは、自分から幹部の家に押しかける。そのほうが、話を切り上げやすい。まず、「私は辞めます」と意志表明する。先方は、必ず脱会の理由を聞いてくる。その時は「の全てに嫌悪感を感じるから辞めます。」と答える。そすると「なぜ嫌悪感を感じるか？」と聞いて来る。「主に感覚的な事ですから、お答え出来ません。あなたに美しく見える世界でも、私には濁って見える。それだけです。」と答える。そして、「脱会の意志も、理由もお答えしました。本人に明確な意志がある以上、は脱会を認めざるを得ないはずで。これにて私は脱会させていただきます。お世話になりました。」と言って退室する。できればこのやりとりは、ICレコーダーに録音しておくといい。いろんな面において活用できる。

もう1つの方法、自作の脱会届を提出する方法についても説明がある、書式は以下でいいらしい。PCより直筆がいいようだ。(直筆ならニセモノ呼ばわりされる必要もない)書いたら東京にある本部宛に郵送で送るのでOKらしい。

脱会届

(組織名) 会長

本日付けで、私は を脱会します。

尚、引きとめ等の行為は行わぬようお願いいたします。

もし、引きとめ行為があれば、警察、法機関への通報も躊躇しません。

所属組織(所属組織名がわからない場合は「不明」と書く)

住所(現住所を必ず明記)

氏名・印(フリガナも添えてください)

平成 年 月 日(郵送する日)

本部に「脱会届」が配達された事を証明する為、配達証明付きの書留で送れと記されている。通常の封書に、脱会届を入れ、郵便窓口で、「配達証明付きの書留でお願いします。」と言う。もし、御 を一緒に送りたいのならば、適当な箱に脱会届と一緒に入れて、同じ様に郵便窓口で「配達証明付きの書留でお願いします。」と言う。必ず手元に脱会届のコピーを数枚、残しておく事が重要らしい…。

本人からの届けである事を証明する為、「免許証+健康保険証」のように2つ以上(ここがポイント)の身分証明証のコピーを添付して、郵送すると良いという事だ。(この脱会届はニセモノだ!と難癖をつけて脱会を阻止しようとする試みが当然のようにされるようだ、だから本人が書いた事を証明できるように直筆で、しかも身分証のコピーを複数添付して…)

慎重を期すには、内容証明を用いると良いとある、このHPを書いた人も僕と似た事を言う。この人の記述を借りると内容証明郵便

とは、差出人が送った手紙の内容を控え（謄本）によって国家機関である郵政事業庁が証明する制度である。インターネットから送れる「e内容証明」と言うものがある。という事だ。

そして重要なポイント。間違えると致命傷になる部分。
脱会届は、あくまでも 本部に送る事。

地元組織に脱会について相談すると、必ずこのように難癖なんくせを言われるので注意する。

「自作の脱会届を出しても無効です。 には正式な脱会届があるので、これを支部長に出して下さい。」
そして、脱会届の書類を渡される。

言われたとおりこれに記入して支部長に提出しても、彼等はその「脱会届」を本部に送らず、無かったものとして封印してしまう。除籍せずに、そのままにしてしまうのだ。とある。もしかして君は1度こんな目に遭ってるのだろうか？

もし「脱会する時には面接が必要だ」と言われる事もあるらしいがそれはウソだ、法的根拠がない。会館に呼び出されても、そんなルールも義務も無いので、行く必要はない。

脱会に“面接”はいらない訳だ。
面倒な手続きが本当は必要なのに、さも必要であるかのごとく装う…、おそらくこの概念は他にも応用されていそうだ。

脱会したい時は、サクサクっと自作で脱会届を作成して、本部に郵送する事。誰の承諾を得る必要も無い。との事だ。しかし残念な事に脱会届を提出しても、それ以降 員の訪問が無くなると言うわけではない。との事だ。

本部に脱会届が到着すると、本部職員はすぐに脱会処理せずに、必ず地元組織に確認の連絡を入れる。「 という人から脱会

届が郵送されたが、間違いないか？」と。すると、地元組織の人は、本人に確認せねばならない。だから 本部に脱会届を郵送して数日すると、地元の 員が自宅をたずねて来る。

この場合、ドアの中に相手を入れない事。ドアの外まで、自分が出て入って、脱会届の控えを見せながら「はい、辞めました。間違いないません。」と告げれば良い。そしてこの場合、ドアの内側に相手を入れない事だ。当然 員は引きとめようとウダウダ言ってくる。なぜならば自分の組織から脱会者を出すと組織としての面子が潰れるからだ。とある。

(どうやらこれがいつまでたつてもあきらめない理由らしい…、君が連絡をくれない理由がだんだんイメージ出来てきた、やはり、理解できない現象の前には何か欠けた情報が存在したわけだ。)

訪問してきた 員がウダウダ言ってきたら、

「もうこれ以上、組織に関わりたくありません。大変、お世話になりました。ありがとうございます。」

といえは済むらしい。

それでもウダウダ言ってきたら？

「残念ですが、これ以上、お話する気はございません。これにてお引取り下さい。」

と言う。そして、家の中に入ってしまったえば終了。

万が一の為に録音の準備もしておいた方がいいと記述されているが、さらに僕から追加するなら相手が一步でもドアの中に入ってきたらそれはその時点で「住居不法侵入罪」が成立する、家主の許可なく居住エリアに侵入した時適用される法律だ、相手を犯罪者にできる。カメラもあるといいかもしれない。

そしてこのHPの記述は経験者ならではの記述へと続く、

もし、精神的に非常に脆弱な状況で、訪ねてきた 員の人たちに顔も合わせたくないのならば、下記の手紙を作り玄関のドアに「支部のみなさまへ」と書いた封筒を作り入れて準備しておけば前述のようなやり取りをせずに脱会の意思を訪問者に通告できる。

封筒には下記の手紙と脱会届の控え（コピー：だから本部に送る前に何枚もコピーしておく）を入れておき、ドアの所に貼っておけばいい。

この手紙と脱会届の控えは何部もコピーし持って行かれたら新しいものを入れる。誰も来なくなつた時点で君の勝ちになる。こういう根比べ得意じゃないだろうか？これで、直接対話は防げる。

組織のみなさまへ

ごくろうさまです。

私は、非常にナーバスになっており、冷静な話し合いをさせていただく自信がございません。

そこで、失礼ながらこのお手紙で、事情を説明させて下さい。

添付された書類にあるように、 月 日付で、

私（自分の名前で）は、

本部に脱会届を提出させていただきました。

理由は、 の論理に、どうしても私がついて行けなかったと言
う事です。

決して、組織の皆様の責任ではございません。

おそらく、皆さんも私と同じ思いで、悩まれているのではないか
と思います。

ただ、結論の出し方が、皆さんとは違っていただけです。

脱会と言う結論の出し方について、私の思慮が浅いとおっしゃる
方もいるでしょう。

そう思われるならば、それで構いません。

しかしながら、今、ここにあるのは脱会をしたと言う事実であり、この行為を取り消すつもりは、寸分もございません。すみやかに、統監カードの抹消をお願いいたします。

みなさまには、大変お世話になりました。

心よりお伝えさせていただきます。ありがとうございました。

平成 年 月 日

君の名前

向こうは認めようとしないが法律的には脱会届を郵送した日、その日晴れて 員ではなくなる。事実です。以前書いた通り日本は“意思主義”という本人の意思を書面より重視する法の概念をとっているので、君が自分の意思を“正式に書面で相手方に表明”した時点を持って君は組織と法的な義務も権利もない部外者となるのだ。

本部が、郵送した脱会届を即座に処理しようが処理しまいが、それは向こうの都合に過ぎず法律的に君はもう 員でなくなっている。それを皆が知らないのをいい事に難癖つけていびれば帰ってくるど本気で皆思っているようだし、事実何も知らない人は本当は辞めたいのに意思を無視される形で引き戻される訳だ。こうした強引な行為がエスカレートした結果がああ猛攻撃につながるわけだ。歪みの発生源はこの辺にあるようです。ここから全ての負のバイアスが発生してる？

脱会届を提出した後で 員が家庭訪問して来たとしても、それはすでに彼らが法的には 員では無くなった部外者(君)の家を訪問しているにすぎない。脱会はずでに、脱会届を郵送した日をもって完了しているので、上記の手紙を作成するのは、あくまでも君が親切心からかつての所属団体の関係者に向け私文書を提示しているだけになる。

よく、地元の幹部に脱会届を提出する人がいるが、地元の幹部が自分の責任を追及されない為に“もみ潰す事”がある。と書かれている。幹部が勝手に君が出した脱会届を自分の家に置いて手を付けず“塩づけ”にしてしまうという事が頻繁にあるらしい。だから、絶対地元の幹部や関係者には相談せず“本部”に脱会届けを出さなきゃいけないようだ。郵便事故がないよう内容証明郵便で。内容証明なら相手が受け取ったことを証明するものを郵便局が送ってくれるので、それを見せる事で脱会届を出した証明になる。

一度脱会表明をしたのにも関わらず、しつこく何度も訪問されたら、どうすれば良いか？

HPの文はこう続く…。

相手が 会員と考えるからややこしくなる。口頭であれ、君が一度明確に脱会意志を表明したのならば、もはや君は 員ではない。よく来る訪問販売と同じと思って何の問題もない、警察ですら君の味方だ（法的には）だからそんな時は、

「しつこいから帰って下さい」

の一言をいえばいいらしい。そんなもので帰るのかなかと思うが、彼らは表のルールは破らない、意外とひくかもしれない。

は辞めたいが、信仰は継続したいのでごんんは返却したくない場合どうすればいいのか？

受ける時、数千円支払っており、法律的にはこれが「代金」とみなされる。つまり、ごんんとは購入したものであるから、返却する必要性など基本的にはない、との事だ。

ごんんを返却せず、脱会届だけを提出しても、は脱会を拒否できない。だがごんんを返却したほうが、気分の上でも、

スッキリするということ事はあるだろう。と記されている。

この場合は、ごんんは、本部に処分をお願いするという形で、郵送すれば良い。

多少内容の重複が見られるがオリジナルをリスペクトした結果です。

このHPはこう続く…

ただし、ごんんを返却ても、過去帳は捨てないで欲しい。信仰は捨てても、先祖供養は続けていたきたい。小さなテーブルに、お茶と御飯をお供えしても、先祖供養になるのだから。

名簿から綺麗に名前を消したい場合どうすればいいのか？

名簿は、地域と本部の二箇所にある、とある。この二箇所から綺麗に登録が消されたか確認する方法は事実上ないらしい。脱会したつもりでいても、なぜか本部にカードが残っていたりするとこの事だ。これはまるで、どこかのダイレクトメールの登録と同じである。もう送るなど伝えても期間を置いてまた送り続けて来りする業者があるが、組織も似たところがある。だから、組織公にするメンバー数が莫大なのである。脱会したつもりになってもカウントされている人が多い。

なぜなら脱会届を地元だけに提出しても、前述の通り地元の段階で止まってしまう事が多い。それはつまり、脱会者を出した事は、地域の恥になるので、できるだけ本部に報告したくない。また時間をかけて説得すれば、また組織に戻るかも知れないと期待して、カードを保存してしまう。そういう場合もあるので、脱会者として処理されない事が多々ある。余程、明確な意思表明をしない限り、宙ぶらりんな状態になる。

本部に出してもそれをすぐには処理されず、必ず地元を確認がい

く。本人の意志を確認させるためだ。なぜならば、脱会届が、いたずらである可能性があるから。

そして、地元が本人の意志を確認した上、間違いないとなった時点で、本部のカードは削除される。この場合、地元がいつまでもストップをかけた状態ならば、カードは、そのまま本部に残り続けることになる。カードを抹消する事は、非常に難しい。

こちらは「除名」されるのを待つしかない。除名させる為には組織の人間がやって来るたびに脱会の意志を表明する事だ。この根性なくして、組織からの足抜けは出来ない。もちろん、法律的には、一度表明すれば、脱会は完了しているのだが、組織側が関係を切ろうとしないのだ。とある。なるほど壁が高い、そういうことか…。

A地域で脱会し、Bと言う地域に転居したら、なぜかB地域の員がやって来たと言う話が良くあるらしい。これは一種の嫌がらせだ。とある。なるほどいかにもやりそうに感じる。

だから、脱会意志を表明したにも関わらず、員が君の転居先に訪問して来た場合は、「私はすでに組織を辞めております。カードが残っているにせよ、それはあなた方が勝手に残しているだけであり、私の意思ではありません。何度来られても、私は 員ではありませんから、どうぞ、除名して下さい。」と言う。

「できれば波風起さず、円満に脱会したい」などと言うのは、本気で脱会したいと考えているようには思えない。本気で脱会したいのならば（削除）を持って地区部長の家に押しかけるくらいの気迫が必要、とある。

次の部分はこのHPの著者の本音だと思う。

本気で組織はヤバイと感じれば、自然に「辞める」と表明するはずである。人間の衝動と言うのは、ある時、素晴らしい力を発揮する。好きな人に「好きだ！結婚してくれ！」と言わしめるのも衝動であり、「組織など不愉快極まりない。即刻脱会したい！」と言わしめるのも衝動である。本気で脱会したいと言う衝動に襲われれば、自動的に自分の口から脱会表明するものだから、恐れる必要はない。全て、自分の衝動に任せれば良い。

これは僕の意見。

組織と君を縛るものは私的な契約にすぎない、少なくとも法律上は。普通の売買契約とその性質はちつとも何も変わりはない。なぜなら“彼ら”の資格は国家資格でないからだ。その身分に何の法的背景もない、極端な話レンタルビデオの会員資格と法律上の差異はない。レンタルビデオの店員がアー дай だいつでも「やめます」と言えばもう会員料も払う必要ないし、何の法的権利も義務もなくなる。

この記述は経験者のものをもとにしています、僕の思いつきよりはるかに効果が高い、そして、脱会者といつまでも婚姻関係を結ぶのは向こうとしても相当きついはず。

そしてそして何より重要なのは“脱会”は“離婚”の何十倍もハードルが低いことです。極端な話思いつけば数日で“完了”できる。そして向こうは部外者との婚姻を望まないでしょう。信仰はやめても続けられる。ある意味相手の“愛”を試せる、どれほど本気で君を愛しているか。信仰と君とるのはどっちと、僕がどちらをとるか。はもう行動で察していただけたらと思います。僕自身の信仰についても別所に書いた、東京を脱出する日あんなに大事にしていたそれを本気で捨てる気でいたのは確かだ。

ともかく状況がわからない、だからこれを載せます。何かの役に立てば幸いです。

〔水曜日…、17日目〕

7日ほど先行して…、

前日かいた記述を読み返してこんなこと思った。

僕は東京で君の事に気づいてすぐ、君の氏名や生年月日を示したメモを渡して、もし君がそうなら彼女のこと調べられないか？と聞いた。この事は何度か書いている。

想像する…

おそらくそのメモの内容は即座に“本部”に問い合わせられた、驚くことにぴたりと該当する人物がヒットした。君の居住地域の地元幹部に指令がいく、「この女性に確認せよ、本当にこの男と昔付き合ったことがあるのか？」と。地元幹部はすぐさま 員を君の家に派遣する。

君は訪問者から僕の名を聞き驚く、その顔は17年たった今でも想像できる…、さぞ驚いたでしょう。さらに訪問者はこう続けた、僕が17年前の秘密に“今”ようやく気づいたという事実を。おそらく訪問者はそれがさほど重要な情報と思わなかったんでしょう。君は聞いて絶句したと思う、なんだかどんなりアクションしたか手に取るように想像できる、書くとき減りそうだが、貴重なイメージだ、君と2人だけで共有したい、会えたら語ろう。

訪問は玄関先だったのだろうか？それとも居間だったのだろうか？この辺から不確定要素がふえイメージが捕らえられなくなる、分岐が多すぎてトレースできない。本当にこの後君は失踪したのだろうか？状況証拠の全てがそう告げているのだが。そうなら、どんな想いだったのか…、すると君は僕の行動の詳細は判らない訳だ、噂話レベルでしか知ることができない？この小説は読んでいるのだら

うか？携帯電話からも読めるそうだし、今時携帯くらいはもってそうだし、大丈夫かな…。まだ不確定要素があるのかもれない、今回の答えだけでは欠けたピースが全て埋まるようには感じない、全身からそう警告が出ている。僕がそんな事思っている君に伝わることを祈ります。これを読んで君の中にいる17年前のあの僕のよく知る彼女が君に何を言うのか、ものすごく物凄く知りたいです。

〔日曜日…、21日目〕

10日ほど先行して…、

今回の件でそちらの世界の行動力学を少し理解した。なるほどそういう事かと、そしてこう思った。迷惑かけたかもしれない…。けど、それは避けて通れない道だと思う。

「コンバトラーV」昔の合体ロボットアニメ。異星人の開発業者から地球を守る話…

もし「コンバトラーV」の劇中で、主人公の乗る1号機が戦闘を中止しても、中止した瞬間分離状態になってしまった2〜5号機はおのの判断で敵を攻撃し続ける。敵の怪獣はせっかく大人しくなったのにまた地球の破壊をしだす。

1号機の主人公は「せっかく殺さずに済んだのにしかたがない」と地球を守るため再びドッキングの指令を出す。

1号機〜5号機は合体しコンバトラーVとなって怪獣に止めを刺す…。

そして1号機の主人公は思う「地球を守るためには仕方が無かったんだ、許してくれ」と。

怪獣はどうすればよかったのだろうか？だまって2〜5号機の攻撃に耐えていればよかったのだろうか？

分離中の各マシンの攻撃力はたいした事無い、耐えられなくは無

い。

けど、ドッキングした後の「コンバトラーV」の破壊力は強力だ。

1号機の放つ帰還指令を2〜5号機は無視して怪獣を攻撃している訳だがいつまでも指令機である1号機を無視も出来ない。というか2〜5号機は1号機の考えを変えさせたくて怪獣を攻撃している訳だ。あばれてさえくれば1号機はドッキング指令を出すに違いない、こいつが大人しくしてるとか関係ない、気に食わないから攻撃したい、けどとどめをさすには火力が足りない、ドッキングしないと、ああ、はやく暴れてくれないかなこの怪獣…。本来禁止された攻撃をするという行為は麻薬となって2〜5号機のパイロットを支配する。

この場合怪獣はドッキング指令を1号機が出す気が無い事を確信できないと不幸だ。相手全部が敵に見える。ま、それはいい、重要な問題ではない。では何が重要？

要点は…

分離中の各マシンの攻撃力はたいした事無い、耐えられなくは無
い。

怪獣は意外に強い、相手の武器弾薬がつかまるまでテキトーにあしらってればよかったのだ。無理してコンバトラーVとの死闘をする必要はない。そこに怪獣が気づけるか気づけなかがその後の運命の分かれ道だ。

この怪獣は意外に強い、けど、他にもやりたい事がたくさんある。だから、テキトーにあしらえる敵のほうがいいのだ、わずらわしいと言って無理して攻撃すると1号機が戻ってきてコンバトラーVになっ
てしまっ

え？何の話かって？タイトルくらい知ってるでしょ？僕と君は同い年。幼稚園くらいの頃よく見ていたTVアニメ「コンバトラーV」について語ってみました。何とも関係ありません。

こちらはマニアックな合体アニメの話。

「勇者王ガオガイガー」の氷龍と炎龍は合体前は間逆の性格をしているがいざシンメトリカルドッキングをしたら超竜人という別人格のロボットになる。ロボットのくせに人格があるのだ、この辺が昔のアニメと違う。

合体中2体のロボットの意識が消えるわけではない、お互いの人格をどう思っているのだろう…、そういう説明は劇中になかった。ただ、地球を守るというあつい心は共通していて、だからドッキング前と後でも見ていて違和感を感じないいい演出がされていた。

え？もちろんアニメの話、めずらしくこういう話もいいかなあと
思っ…。

僕は東京で最高潮の攻撃を知っているし、相手が組織立っているかそうでないかも見て判るようになった。今は組織立っていない。テキトーにあしらってみようと思う、いままで100%かまい過ぎていたかもしれない。行動力学がすこし見えてきた、本当にどこまでも自分の都合優先なんだね。きみをこんな世界にいさせたくない。なぜ僕ごときに好意をもってくれたのか見えてきた。何よりも君の意思を尊重する僕、大人しくてかわいい君、どこまでの自分の都合優先の男たち…、

たぶん、どこまでも相手が折れることはない。あるとしたら捨てゼリフをのこして罵倒しながら（去る）君をせせら笑う事だけだろう。だから、その日を信じてこれを通して儀礼と思うしかない、正義や理屈じゃないものだ。僕はこの通過儀礼を君のために耐えてみようと思う、それならなにも問題が無いから。

たぶんこの通過儀礼をおそれる心が強力なバイアスとなって波を

放っている。

たしかに1人では怖いかもしれない

けど2人なら違う。

たぶんだけど、17年前君が僕に望んだ事とはこういう事だったのではないだろうか？

今こそ豚は戦うわけだ、あの日気づけなかった想いを君にちゃんと返すためにも。

デットラインを超えたら今までと違うルールが待っている。けど、そこに足を踏み込まないと会えない。どちらが躊躇してもあえない、踏み出すなら一緒にいいな、そんな妄想が好きです。

君がラインの向こう側からやってくるのを待ちます。僕も新しいルールが本物が毎日確認してみます。本物なら、僕もラインをこえた事になると思う。お互いの行き着く先が交差している事を確信します、ここから。君が勇気をぼくにくれた、君はどうですか？聞きたいです。

以前「天空の城ラピュタ」を初めて見たときフラップターの音が八工の飛ぶ音と同じで物凄く不快に感じた、けどビデオでなんども見ているうちに慣れてしまい不快感は無くなってしまった。あれと同じだと思う。同じ経験は君もしてないだろうか？…あ、この話一度したね、きみは「そうそう」とかいつて同意していた。覚えてないかも、僕も今まで忘れてた、めずらしく嫌そうな顔で「そうそう（あの音いやよね）」とやっていたのを映像として思い出した。嫌そうな顔めつたに見なかつたから印象的だ。いつもかわいかった。美化しすぎ？構わないと思う、だって君はあこがれの人なんだから、それは今でもかわりません。

「月曜日…、22日目」

10日ほど先行して…、ほんとうは金曜日です、今日は雨です、そちらはどうですか？

地球を守るためなら何をしてもかまわない…、そういう事だともう。怪獣からしてみればどこまでも自己中だジコチューしどこまでも自分の都合優先に見える。いくら怪獣が「人間が地球を破壊してるんだぞ」「人間がこのまま破壊を繰り返したら人間そのものの存続も危うくなるんだぞ」といつても、地球防衛隊が人類を取り締まる事はありえない。

え？何のはなしかつて？ウルトラマンの話です、たまにはこーゆー話もありでしょ？

たまにはこーゆー話もシリーズという事でこれはどうだろう。

「釣りバカ日誌」

映画で有名だか原作はビックコミックオリジナルに現在も連載中の長期掲載まんがだ。こちらの漫画の話をしたい。

主人公の「浜ちゃん」はどこまでも釣り好きだ、けしてプロ級というわけでは無いけど。あまりに釣りが好き過ぎて会社では会社の都合より自分の趣味の都合を優先する愛らしい男とみられ、一定の尊敬を得ている。彼をにがにがしく思うのは上司の「佐々木部長」(役職はよく変わるので便宜上“部長”で)くらいだ。

浜ちゃんは釣りの事に関しては怖いもの知らずだ。上司の佐々木部長は軽くあしらうし、社長の「鈴すずさん」ですらこき使う。けど、どこまでも釣りが好きな「浜ちゃん」をなぜか憎めない、というより一緒に釣りをしたいと思わせてしまう。「浜ちゃん」と一緒に釣りをすると普段の人生では気がつかないような物を体験できるからだ。だから「浜ちゃん」は皆から愛される。

漫画は3頭身キャラで描かれほのぼのムード満点なのが、長期連載まんがならではの“別”の楽しみ方が実はある。ポイントは「浜ちゃん」が勤めているのは鈴木建設という中堅ゼネコンという事だ。

ストーリーの流れ上どうしても仕事の話が登場する、そして何十年と続くシリーズであるが故、時としてゼネコンの暗い部分をさらっと描写している所が多々ある。例えば「浜ちゃん」は万年ヒラとはいえキャリアを積んだ営業マン、それなりの営業テクニックを知っている。時として“談合”じゃんそれという事も笑いながら平気です。

この「浜ちゃん」が釣りをやめることはありえないし、反省するなんて事もありえない。どこまでも突き進む。

けど「浜ちゃん」はふつーの男でもあり、自分の都合が悪くなれば簡単にくるっとやめたりもする。ここがポイント。「浜ちゃん」はどこまでも自分の都合で動くしそれが周りの幸せを呼び込むと平気で思っているし事実そういう実績もある。

誰かが可哀想だからとか、誰かに諭されたからとかそんな理由では釣りはやめない。

たとえ愛妻みちこさんが止め様が息子の鯉太郎が泣こうが見合わせることはあっても最終的に釣りに行く。せいぜい天候が悪くなつて自分の身が危険な時くらいしか釣り行きを辞めない。あくまで、釣り行きを中止するのは自分の都合なのだ。ポイントは釣り行きを中止する時はあくまで自分の都合。

天候の悪化に限らず“身”（保身）できない危険が生じそうになったら、「生じそう」というだけで辞める事へ傾くと思う。そういう時の変わり身のはやさは物凄い。

脅したくらいでは「浜ちゃん」は釣りをやめない。「浜ちゃん」にも弱点はありそれは他人には意外なものだったりする可能性が高い。だから、「浜ちゃん」にとって都合が悪い事柄にぶつかると根気よく言葉をぶつけるしかない、ある日ふと意外な言葉で「浜ちゃん」は釣り行きを辞める。え、こんな言葉で！というような意外な言葉で。たとえば「最近腹出てきたわね」とか、健康を気にした「浜ちゃん」は自己保身の論理が働き“自分の都合により「釣り行き」を辞める”訳だ。

ポイントは、自己保身の論理が働き“自分の都合により「釣り行き」を辞める”です。

もう一度言います、君に正確に伝わればいいのだけれど、ポイントは「浜ちゃん」がもし釣り行きを辞める事があるとしたら、自己保身の論理が働き“自分の都合により「釣り行き」を辞める”時だけです。

相当悪態をつくと思いますが自分の保身のためなら大好きな釣りも仕方ありません。

もちろん「釣りバカ日誌」の簡単な紹介です。どうですか？

そう言えば“自己保身”と言えば「ナニワ金融道」という漫画に印象的なエピソードがある。

「ナニワ金融道」とは関西を舞台にサラ金（劇中では“街金”関西での名称）に入社した主人公、灰原の淡々としながらも物凄いエグイ借金取立て業を描いたマンガで、この分野の草分け的存在。かつて週刊モーニングに掲載されていた経緯でこの手の派生型作品がモ

ーニング系の雑誌で今も複数連載されている。
ドラマで有名になった「カバチタレ」もこの派生型作品の1つだ。

印象的なシーンとは、ふとしたきっかけからマルチ商法の男と知り合った灰原が、彼の可能性に賭けてみようと思つたところが始まる。将来独立時には金をささえるスポンサーが要る、もしこの男に金を貸して資産もちになったら将来のプラスになる。そう考えた。エグイです。

いろいろあつてかなりの信頼関係まで構築する、このマルチの男もなかなかやる男で（倫理面はともかく）商才は確かにある。

けど、灰原が想像しない事態が展開する。

マルチに参加していた会員に警察官が混じっていてその線から警察がかぎつめたのだ。

灰原の勤める金融会社の社長と捜査担当の警察の担当者は同級生でつながりがあつた、横の連絡がはいる。ここからがポイント。

社長と捜査担当の警察の担当者の暗黙のルールにより、灰原の貸し出した金を回収するまでの間、警察は見逃す事がきまる。灰原は男の友情をあつさり無かつた事にして自分の都合を優先した。

ポイントはより上位組織である警察と社長のつながりだ。

ここには譲れない関係がある、何よりも優先される微妙なものがこの微妙なものは触れる事すらタブーなのだ。わかるだろうか？ “触れるだけでも”タブーなんです。もう一度言います、“触れるだけでも”です。

そして“触れられる”事は灰原や社長やその警察担当者にとって、何よりも“自分にとって都合が悪い”のです。内容に触れるまでもなくその話題に触れる事それ自体がタブーであり最も“自分にとつ

て都合の悪い事”なんです。ポイントは内容は関係ないです。部外者から見たら内容を伴ってないならその話題に触れるくらい「ふーん（あんまし関係ないな）」と思いがちですが、内部にいる灰原や社長やその警察担当者にとっては話題にする事にすらタブーなので

す。
ま、そんな理由で灰原はあっさり仲間を切り捨てます。自分の都合で。（ここが重要です）

わかりずらいな…

もし、灰原と手を切りたい愛人がいたとする（劇中にはいない、そういうキャラじゃないから）。

その愛人が灰原と別れたくても灰原がゆるしてくれないとする。

自分の都合でしか別れたくない灰原。

そんな時愛人が灰原のもっとも触れて欲しくない話題を友人知人に話し出す。

灰原はそんな事されたら社長にも警察関係者にも迷惑がおよぶ、とおもつ。

自分の都合に従わないだけでなく、保身に関わると知った瞬間おそらく態度を豹変させる。

おとなしく引くとは思えない…

灰原は愛人を殴るだろうか？殴らないで欲しいがそうなら別れる口実にできる。

（もしこの2人が結婚していたなら家庭内暴力という立派な理由で短期で別れられる）

そうでなくてもこれ以上関係者に迷惑かけられない（かけたら保身できない）と考えた灰原は愛人の要求を吞まざる得なくなる。

保身＝関係者に迷惑かけられない

の図式が出来上がる。

関係は無いがもし「釣りバカ日誌」の「浜ちゃん」なら簡単に態度を変える。デリケートな人間関係を引つ掻き回されると多くの人が迷惑する、しかも自分のために…「浜ちゃん」は大好きな釣りを諦めてでも何とかするかもしれない。なぜなら多くの人に迷惑をかけたら大好きな釣りも出来なくなるからだ。騒ぎは起こる前におさえたいという究極の自己保身の論理が働く。それは自分の都合により釣りをやめる説明としては充分だ。

話をもどって灰原の愛人は騒ぎは起こす必要はない、いつでも起こせる状態が望ましい。特に内部文章の流出なんて一番効果的だと思う。実際にやらなくても、やりそうだと充分効果があると思う。文章の中身は重要ではない、むしろどうでもいい内容の方がいいかもしれないし、その方が手に入りやすい、案外手元にあったりして。議事録のコピーだけでも大騒ぎのはずだ。議事録でなくても固有名詞ののってるもの、のってなくても個人を特定できそうなもの、または上位組織と下位組織（この場合は警察と金融会社）のやりとり、が判るものなど効果がありそうだ。あまりでかいネタだとこつちが（この場合愛人が）ビビるだろうから軽めの内容のほうが機動力があると思うけど。上位組織から下部組織へ出されたなげない連絡事項だけでも流出したら、下部組織の灰原や社長は上部組織の警察に2度と微妙なお願いが出来なくなるからです、関係が切れないにしろ社長にはこれは痛いし、そんな目に社長を遭わせてしまった灰原は…

まあ「ナニワ金融道」なんて興味ないかもしれないけど、こんな話もありますといった話題です。

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

第19話 交渉の基本ルール？（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第20話 再生と復活と未来（未来へと続く話その7）（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第20話 再生と復活と未来（未来へと続く話その7）

（この物語はフィクションです。登場キャラクタークターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

〔月曜日、1日目〕

30分ほどフライングで…

Fさんへ、死者の再生というテーマが物語の普遍テーマだという話を知っているだろうか？たしかどこかの学者が言っていた論だったと思う。太古の昔から、現代にかけてもこのテーマは人間の普遍テーマだと。

新しいところでは「冬のソナタ」、死んだはずのチュンサンの再生と復活の物語。

古の物語のなかにも毒りんごをたべた（Ⅱのろわれた）姫をキスで再生させる話などがある。

復活と再生の物語は、世の東西を問わず“恋愛物語”とならばポピュラーな題材だ。

「ハリーポッター」にしてもウォルティモートによって人生を変えられたハリーの再生と復活の物語だ。

アルプスの少女ハイジも、戦争のため心を病んだおじいさんが神への信仰を取り戻す再生と復活の物語になってる。

赤毛のアンは世捨て人のような暮らしをしていたカスパート（クスパート）兄妹がアンを育てる事により心を再生し復活させる話になっている。

「踊る大捜査線」は人が当たり前に持つ情熱への再生と復活のものがたりだし。

「ターミネーター」のシリーズは一貫して、消失した信頼の復活

と再生がテーマになっている、このテーマから逸脱しない限りキャストや舞台を変更しても違和感を感じない。

「バック・トゥ・ザ・フューチャー」は失われた未来への希望への再生と復活の物語だし、「シャーロックホームズ」をはじめとするいわゆる推理物は、失われた真実の再生と復活がテーマになっている。

「隠し剣 鬼の爪」は階級社会（武士社会）の中における、本来人間の持つ感情の再生と復活の話であると同時に、クライマックスになっても“隠し剣 鬼の爪”を使わない主人公が最後の最後になつてラストで使う事で主人公自身への（観客がもつ）評判の再生と復活の話でもある。

再生と復活…。

この小説は僕自身の再生と復活の話でもある。それに君がどう反応するのか？そういうスタイルで書かれるべきものと考えていいのだろうか？

以前本屋で働いていた時、店頭で2000円の耳栓を売っていたが、3年間誰も買わない商品だった、ところが彼らの攻撃がはじまり、店の前に5〜7台のダンプカーがアイドリングしながら居座るようになってから売れ出すようになる。最初に変化に気がついたのは、突然「これ（耳栓）してるの？」と聞かれた時だ。そうお客さんに聞かれた日から3年も売れなかった耳栓がいくつかが売れるようになる…。

これ（耳栓君）してるの？とは、本来あのダンプは僕に向けて低周波をだしていて、僕がちつとも反応しないから、耳栓をしてみると思い込んだ結果の質問だったのかもしれない…、そうでなければ意味が通じない。そんな事おもった。

今、耳栓を使っている、もっと早くつかえばよかった、じつは随

分音になやまされていた。(これ書くとき来るかな…、ま、それも賭けです、どう反応するか観察します)

ようやく、長らく奪われていた“集中力”をとりもどした感じだする。完全に自分の世界に埋没して“集中”する能力だ。

再生と復活、こうして彼らに奪われたものを一つ一つ取り戻せばいい、そう思った。

こんな事も思った、僕がめげずに“まとも”な人生を送る事そのものが、彼らに対する最大の反撃になる。なにしろ、たった1人の人間に何万という人員と膨大な経費をかけても太刀打ちできないわけだから、これほどおもしろい事は無い。

僕自身の再生と復活自体が、目指すべき目標と思った。

君は見ていて欲しい、僕がどう再生するのか、どう復活するのか。

僕が頑張るなら、君も頑張れる？そういう事かもしれないと思った。

取り合えず、集中力は取り戻せた。第一歩です。

君がどんな第一歩(あるいは2歩目、3歩目)を踏み出す(出した)か今の僕にはわからない、けど、もし踏み出したなら、君の創意と工夫に期待します。F.Tさんは強い人です、あきらめず頑張ってください。あの日僕らをつけまわっていたあの黒い車にケリをいれてドアをへこますくらいの気合でいきましょう。(実際にやったら犯罪です、あくまで気持ちの問題です)君の笑顔と再会する日を期待します。お互い、自分自身のために頑張らしましょう!願わくばそのお互いの努力がどこかで交わる事を信じます。応援しています、頑張ってください。

…できつるなら、君からの応援ももらえたら嬉しいです。

〔月曜日、1日目〕その2

Fさんへ、やはり静寂はいいです、だいぶ暗示にかかっています。自宅の生活騒音すら気が散る原因になってたけど、耳栓はいい。完全に集中できる。これなら試験勉強もできそうです。なんの？まだ検討中ですが例の資格についてです。

今日は久しぶりに完全集中できている。1日何時間か完全に集中する時間を設けるのは精神的に全然違う。

集中できる以外の副次的効果として、ヘッドフォンのノイズを取る効果もあるようだ、耳栓には。安物の機材のノイズをきれいに取ってくれている。なかなかこれは使えます。久しぶりに満足いく時間の使い方が出来ています…。

〔月曜日、1日目〕その3

取り合えず今回の事でわかった事があります、Fさん、聞いてもらえますか？

短期でどうのこうのとは考えてないという事かと…、そう感じました。どうなのだろう…、当たっているのか、はずれているのか。君の気持ちは長期の方に目が向いている。短期での問題解決は望んでいない。僕の知らない不確定要素がかなり効力を発揮しているものと推察します。理解できない現象の前には、かならず欠けた情報が存在する。なぜなら、あれだけの過去を持つもの同士、ほんの小时間くらい喫茶店で話しをするのもできない事実がそれを物語っている。なにか、普通でないものが働いている…、君の身が心配です。

今日ドロボーがうちに来た、捕まえ損ねたのが残念だ。エスカレーターするのかどうか、様子を见ようと思う。未遂だった、若い

男で雨合羽で全身と顔を隠している。こういう組織なんです、だから、心配だ、何されたの？心配です。

奴隷のような扱いでない事を祈るばかりです、どんな扱いか心配です。

本当に「20世紀少年」のような世界なんですか？あのつまらない作品が大ヒットした裏には…、いえいえだったら…、止めておきましょう。関係ない善良な人たちまで攻撃してしまう（もちろん、君のその“善良な人たち”に入ります）。どんな組織にも少数変人は存在する。みな無知と誤解で操られている。人をバカにする事しかおしえない文化、なんという世界に誇るべき“伝統と文化”でしょう！

僕の意見を否定する人間は、一昔前にセンセーションをよんだ映画「ファイトクラブ」の信奉者なのでしょう、路上で好きなだけストリートファイトでもやればいいのに、その度胸のない姑息な人たち…

以前リミッターをはずすと書いた。君を傷つける事を恐れず書きます。これは君との根競べでもある。

駄洒落か（偶然か）どうか知らないが、ローマ法王を決める会議も「コンクラーベ」だ。次期法王を決めるのに政治的力学が働き教会内対立が激化していた時期、怒った信徒たちが聖職者を一箇所に監禁して次期法王がきまるまで出さないという暴挙にでたらしい。全会一致で決まるまで聖職者たちは監禁され、外では信徒たちが見張り続けると。こうなると政治力学は狂いだし、カードゲームの相になつてくる。誰が誰を推薦するのか心の読みあいになるのだ、なにしろ全会一致でないと何日も何年も監禁され続けるのだから。本当に根競べになる。もちろん、名前が似ているのは単なる偶然、ロシア語の挨拶がバカ、韓国語で久しぶりが、オレ、ガンマニア。

という日本語に似てると変わりない類のものだ。けどここまで意味まで似てるとおもしろい。

こういう風に、まったく意味が無いのに、意味がありそうと感じると人間は憶測を生む、こうして誤解は生まれる、何が言いたいのか？人間は“空白を埋めたくなる衝動”を常に持つ。

君がどう空白を埋めたのか僕は知らない、…。いかなどうも、映画「パールハーバー」を見てからこんなだ。なんか判るんだ。死んだと思っていた恋人の帰還、でもお腹にはもう別の人の子が…、彼女は最愛の人は貴方だけど、一緒にはなれないと決意する。

物語はこの後、子供の父親が戦死し、最愛の人が生き残り、終戦を迎えて、2人は結ばれる…。まあこうはいかないよな普通と思いつつ、困難を乗り越えた2人の絆は深いよななどと思ったりする。久しぶりに影響を受けたのは事実かもしれない。あの状況、彼女は確かにそのような選択がベストだ。

戦争でなにか事情の変更でもないかぎり、彼女が最愛の人の下に戻れない、そう感じた。君の場合はどうなのだろう…、不確定要素が多すぎてわからない。いつか不確定要素がわかればいいのに…、そう思った。映画「パールハーバー」を見てください、少しは僕の気持ちもわかる。君の口から直接聞きたいという僕の願いが、常識でも、わがままでもない事が、この映画を見ると判るはずだ。君の“創意と工夫”に期待します。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔火曜日、2日目〕

一応明記しておきますが、あきらめたわけじゃない。君はどう思ったのだろう。

Fさんへ、ちょっと愚痴めいた事をかいたかもしれない…、そう

いえば君は僕の愚痴をきいてい怒っていた。本音を言いすぎる（いい人過ぎる）のが頭にくるといった感じだったのを覚えている。実際僕自身も自分以外のいい人過ぎる人に、イライラする経験をした事が無いわけではない。年寄りになるまでには人当たりのいい人格を獲得したいから、努力しないと思った。

こんな事思った、あの神社で会うようになってから、2度目の破局がおとづれる少し前、君は甘えてこういった「私子供だよ」普段言わないセリフ、何か意味があったのだろうか…。この時期僕は相当イライラしていた、いつまでも振り回す愛すべき偏屈彼女にギャフンと言わしたいという衝動があったのは事実だ。だから、上手く説明できないけど、うわべだけ同調するような浅い感情で、君の言葉に応じた。「もって帰りたいくらいかわいい」とか、ありていのセリフで応じていた記憶がある。いつものように心が通わないのは自分自身のイライラのせいだ、今、当時の事をそう感じる。

今実際そんな感情に支配されているのかもしれない、今、君の求愛の言葉を投げかけてもうわべだけになりそうで…（こつこつという本音を言い過ぎるのがいけない？どうなのだろう…）

うわべだけでない言葉を書くとしたら…、そうだな。今でも君が僕の心の一部である。これは否定できない事実です、君からもらった笑顔はいまだ僕の重要な心の一部になっている、なぜならば、初めて見た真に心を開いた女の子の顔だからだ、忘れるはずが無い。

あと、うわべだけでない感情としたら…、そうだな、彼らへの感情と君への感情の関係をどう整理するべきか…ということかな。

一応君が逃げたという事実はかなり確度の高い情報と思う、仮にもとに戻る道を君が選ぶにしても、抵抗の方法を列挙するのは無駄でないと推察する。もし、本当に戦っていたのなら、戦う事により君の不満を周りが理解するきっかけになるはずだ。

君は好んで我慢するところがあると思う、どうだろう…当たっているのか、外れているのか。僕の抵抗指南は君の発言力の強化につながると思います。

だから、君が戦っている前提で書きます。

原点に立ち返り書くならば、君が笑顔を描き続けることができる暮らしを、本当にしているの？と問いかけます。君の答えが是非か？聞けるその日を信じます。再びの再会を誓って。これが、うわべだけでない心から書ける精一杯の言葉です、受け取ってください。最愛の君の笑顔に託します。また、書きますね。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔水曜日、3日目〕

Fさんへ、少し早めに明日の分を書きます。

一応君が戦っている前提で書きます。再会の日を信じ、君のおりなす“創意と工夫”に期待します。

なんかこんな事思いました、まず先に結論を言います、TVでデビュー夫人がでていたのを見て思った、この人はすごい。過去の闇の部分があるにもかかわらず、TVにあのキャラで出続けることで自らの存在を肯定的なものにしている。見習いたいものだ、と。

え？意味がわからない？そうだと思う、児玉誉士夫を知っているだろうか？第二次大戦中、軍は身寄りの無い若者を集めて、軍籍を与えて使い捨てのスパイとして何千人も中国大陸に送り込んだ。仮に現地で死んでもいい様にわざと身寄りの無いものを選抜した。児玉誉士夫もそうした、当時の社会的おちこぼれの1人だ。軍に拾われ、中国大陸で頭角をあらわし、物資調達と情報収集を任務にした

影の組織、通称「児玉機関」のボスにまでなった人物。

戦争末期には中国を去る前に、大量の金を日本に空輸したといわれている。その資金力をバツクに、戦後の政界で影響力を行使する。

アメリカ軍は、占領地域を支配する最も手っ取り早い方法として、現地でもっとも影響力のある「はみ出し者」を味方につける行動をよくとる、イラク戦争の時、「はみ出し者」クルド人勢力」を味方につけたのは有名な話だ。

戦後日本を支配したアメリカ、正確にはGHQ内のG2と呼ばれたCIA系の機関は、日本占領を円滑にするため、やはり現地の影響力ある「はみ出し者」を味方につけた、彼らに資金提供し、裏から日本の安定を図った。

当時G2が味方につけたのは韓国系ヤクザ“東声会”。この東声会をG2に紹介したのが児玉誉士夫とされている。G2（CIA）から“使えるやつ”と認識された児玉誉士夫は紹介者「フィクサー」としてアメリカ、日本の各勢力から重宝される“調整役”連絡役”として次第に影響力を持ちようになる。

この辺の流れは「セーラー服と機関銃」という当時の小説にも書かれている、江戸時代からつづく住吉会系のヤクザである主人公の目高組が、CIAをバツクにした東声会からいじめられる話だ。

この後“東声会”はアメリカから切られる。決定的なのはロッキード事件で、関係した児玉誉士夫も逮捕され、CIAの後ろ盾もなくなり影響力を失う。

原因は2つあると思う。

1つ目はこの時期、もう日本が共産化する危険はゼロになったので、ヤクザを使ってまで日本に介入するメリットをアメリカが感じ

なかったから？手を切る時期を探っていた。

2つ目は田中角栄がアラブと直談判して石油を直接輸入できるよう話を付けた事。アメリカのドルが世界最強の理由は、ドルでないと石油が買えないからであり、田中角栄の行動はアメリカの通貨支配を揺るがしかねない行動であり、彼をつぶすためなら何をしてもかまわないと判断されたから？

不幸にも田中角栄は児玉誉士夫と深い関係にあり、児玉を通じて内部の事情もあるていど筒抜けだった。

ロッキード事件はアメリカの公聴会が発端だったと思う、その後の捜査もほとんどアメリカ側の資料を検討するだけで、東京地検特捜部も「あれは楽な捜査だった」と述懐している人がいるほどだ。

え？デビイ夫人はいつ出てくるのか？ここからです。

彼女はもともと銀座のホステスでした、芸名はそのもの“デビイ”。なぜこんな名にしたのか？外国人高官をターゲットにした高級クラブに勤めていたので、外国人にも覚えてもらいやすいようにこういう名にしたそうです。まさか彼女も2010年の今になってもこの名を使うとは当時思わなかったでしょう。

当時この手のクラブはCIAの情報収集場所でした、その関係でこの手のクラブを仕切るのはCIAの息のかかった東声会。近い関係にあった児玉誉士夫もクラブと深い関係にあった。

よくデビイ夫人が「昔、秘書をやった」というのは、児玉誉士夫の関連会社の秘書という意味で、それも実際は給料明細上の仮の肩書きにすぎず、表向きは秘書だけど、実際はホステスということらしかった。このクラブのホステスには任務があり、来客者である外国人政府高官から情報を聞き出すと同時に、あわよくば結婚してさらなる情報収集もしくはそれ以上の行使をするという任務があった。

そういう意味でデビイ夫人はインドネシアの元首と結婚したわけ

でもっとも成功した人物でもある。

けれど、先述したようにロッキード事件により児玉誉士夫の影響
力も失われ、CIAとのつながりもきれて、彼女は闇社会の後ろ盾
を失った。

さらに、夫であるスカルノ大統領も他界し、日本に帰国。

自分の身を守るための“芸能活動”が始まったんだと思う。

なぜならば、芸能界と闇社会とのつながりは深い、この世界でな
ら、強烈なバッシングも受けずにやっていけると踏んだふしがある。
闇社会への気遣いがうかがわれる情報がある、ロッキード事件に
より力を失った東声会がたてたビルがあるが、長年放置されてきた、
権利関係が複雑にされ、下手に手を出すと大変な目にあうようにな
っていた。この状況は東声会の会長が亡くなるつい最近まで続いた。
この時デビ夫人もビルの権利関係を複雑にするのに名前を貸して
いる。気遣いの1つと思われる。

何がいいたいのか？

彼女の活動は自分の身を守るためだ、黙って隠遁生活でもしてた
ら、週刊誌なりなんなりから、いつ血祭りにされるかわからない。
親しみやすいキャラをTVで見せ続ける事で、自らの暗い部分と戦
っているのではないだろうか？それなら時々「どうしてそんな芸人
みたいな事までするの？」という疑問に答えが出せる。単に金が欲
しいわけではない、やめたら、今のいいイメージが失われ、いつ
バッシングをうけるか判らない…。

でも、まあもう当時の事覚えている人はほとんど無く（現に僕ら
世代ですら知らない）。もう安全とは思っただけだ。それが甘い考
えなのだろうか…、なにしろ彼女は情報戦の第一線で戦ってきた人
物でもあるわけだから。

多少憶測もはいつてますが、暗い過去を背負っているのに、逃げ隠れもせず払拭につとめるといふ姿は見習うべきものがある、そんな事思いました。背負うものがある人物。そして見た目は軽そうだが内実そうでもない重みがある…。

もし、戦っているなら、あきらめないでください。僕は待ちます、君の声が聞けるまで。君の幸せを祈ります。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

あの頭を撫で回す動作は間抜け、です。けど決して笑いません、その代わり見分け方を教えてあげます。一度こちらをちらと見てから視線をそらし、頭をなでる…、小学生から大人、おじいさんまで共通した動作です。一応気がついていている旨、主張します。

昔ソ連で逆らうとシベリアで強制労働になるので、誰も逆らえなかつたなんてことありましたね、その思想はやはり共産圏の人心掌握法…、いえいえ、妄想です。信じないでください、そんな漫画みたいな事、大の大人が受け入れるわけがない。常識の無い人間だけが実行可能なありえない妄想です。そんな馬鹿馬鹿しい事実があるはずがありません、まともな大人は信じてもいけないし、実行する人間は変人です。間違いありません、それが常識人の考える常識的な判断です。これを否定できる人間は非常識な変人だけでしょう。ペットの葬儀を請け負っておいて山中にすてる悪質業者以下です、以上です。

これを“非難”ととらえる人間は常識の世界では存在できないはずです。

君はこれをどう感じるのだろうか…、君の創意と工夫に期待します。

- - -
- - -
- - -

こんな事も思った。

“彼ら”の行動は所詮“せんさい織細”な人間にしか通じないものであり、彼らは織細な人間のみをねらって攻撃しているのだ。で、あてが外れると相手を変人呼ばわりする、たんに織細かとおもったらあんがいそうではなかった、つまり人を見る目が無いという事実をそうやってごまかしているに過ぎない。自分の無能さを隠すために相手を非難しているだけの愚劣な行動なのだ。

最初に戻るけど、“彼ら”の攻撃は“せんさい織細”な人間にしか通じない。この事実と、世直しと混同した弱いものいじめが、どういう違いをもつ関係にあるのか？そして、“彼ら”の攻撃をかわすには“せんさい織細”ではなく“ごうたさ凶太さ”が必要なのかという疑問。これらの関係を考えて欲しい。

…もちろん、これは妄想であり、こんな事実が本当にあると思っている人間や肯定できるバカは狂っているとしか思えない、なぜならばあまりにも非常識なことだからだ。まともな人間はこのような行動はとらないし認めない、奇人が狂った人間くらいしかこのような行動はとらない。もしくは恐怖に屈した世界の住人か。兎にも角にもそのような人間がこの現代の日本に居住しているはずもなく。仮にいたら病院へ行ったほうがいい。ありえない事だから。非常識を通り越している。

これは小説です、小説と現実の区別がつく分別ある大人が、普通の立派な大人です。自立して生活してれば立派というなら家畜と同じです。

君はこの小説どどういう感想を持つのだろうか？君の“創意と工夫”に期待します。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔木曜日、4日目〕

Fさんへ、戦っていると思つて書きます。

こんな事思つた、最近の夜11時代のニュースはおしゃれ路線に舵を切っている？まるでファッション番組を見ているような錯覚に陥る。特に日テレのニュースゼロはそんな感じ。やはり若い女性を取り込む演出なのだろうか？おっさんはほつといても見るから、普段見ない人を取り込もうという事だと思つ。それを聞いて君がどう思つのか聞いてみたい。

芸能人の木村拓哉さんと間違えやすいけど、野球選手の木村拓哉さんが亡くなつたニュースを見た。名前が同じでおもしろいと記憶していた選手だけに、すこしショックキングに感じる。人間いつころなるかわからん、僕も病気で1度死に掛けてるし、何千人から自殺を強要されるといふ殺人的行為を経験している。君は死ぬまでにもう一度僕に会いたいと思つのだろうか？君の思索の試みに期待します。

信じる人は救われます。

こんな事も思つた、人を“おとしめて”楽しむ連中と同じ事をしたら同じになつてしまう。君はどう思いますか？君の創意と工夫に期待します。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

.....

〔金曜日、5日目〕

君が戦っている姿を前提にします。

言うまでも無い事ならいいんですが、もしも、まさか、とういう事にそなえて…

ちょっと関係ない話なんですが、

風俗に女性を誘い込む方法として、しづる女性を一旦突き放すというのがあるらしい、本でもTVでも似た事をみた。まったく違うところで言ってるのがリアル。それによると、延々メリツトを説明したのち、ためらいもなくあっさり「興味が無いなら来なくていい」と捨てるらしい。それでもめげずに来る人は間違いないし、トラブルもおこさないという事らしい。これは風俗以外でもよく使われる手です。

ポイントはあくまで自分で決断したと思ひ込ます点です。本人も自分で決めたと思ってるから、被害者意識がゼロだったりする。

思想誘導（＝選択肢を誘導されてる）に気がついていない。

思想誘導とそうでないものの区別をするポイントは、承知した後、聞いてなかった条件を次々と提示されるか否かです。「だって承知したろ！」と相手は強要するけど、自分で決断したと思ひ込まされているので、抵抗できない。

昔、南アフリカに行ったヨーロッパ人が黒人奴隷を見てこういった。

「彼らは差別されているという事がまず理解できていない、そこから教えないといけない」

君がどう思うのか？

君の創

意と工夫に期待します。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔土曜日、6日目〕

常に苦行に耐えられる人間を探している組織がある、公安調査庁に監視対象になっている例の団体だ。正体を隠し接近し、大量の塩水を飲めと言葉巧みに誘導、飲める様なら見込みありと、次々と苦行を課す。最終的に残った人はロボットの素質満載というわけだ。

君がこれをどう思うのか。

アメリカのモルモン教原理主義者の家に生まれて、逃げてきた女の子の話で以前みた。彼女は15歳なのに、ぬいぐるみ1つを手荷物に逃げてきた。他に荷物は無い。ふつうアメリカの15歳といったら運転免許くらい持つてるし、ピアスもしている。なのにその子は精神年齢が15歳のわりに幼いままだった。モルモン原理主義は一夫多妻が基本、彼女も複数の妻の1人にされ運良く逃げてこれた。親も兄弟も親戚も肯定する悪夢から運良く逃げ出せた彼女を非難できる人間はいない。彼女に手を出したおっさんは当然この後警察につかまった。

この話をきいて、なれあいと、調和は、違うものだと理解できれば

あなたは

正常です。君の創意と工夫に期待します。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

- - - - -

〔日曜日、7日目〕

確かにこう思う、以前は僕は歪んで見られていた。今でも歪んでいるが、少なくとも僕らのあの思い出が書き換えられない事実であり、タイムマシンでもない限り無かったことにはできない、という共通認識は、そちらの世界と持てたと思う。

この共通認識が持てただけでも奇跡に近い。

この事を君がどう思うのか？君の創意と工夫に期待します。

〔日曜日、7日目〕その2

女性宇宙飛行士が目覚めの曲に「天空の城ラピュタ」の「ハトと少年」と言う曲をかけたそうです。

この曲は高校時代さんざん僕がトロンボーンで吹いた曲だ。ウォーミングアップにちょうどいいので毎日やってたと思う。覚えているかな？

今TVをつけると上記ニュースの度にこの曲が流れる、その度に君がどう思うのか？君の創意と工夫に期待します。

〔日曜日、7日目〕その3

35年かけて出来た暗示は、やはり35年かけないと解けないのだろうか？君の創意と工夫に期待します。

- - - - -

〔火曜日、9日目〕その3

缶コーヒーの「BOSS」の新CM、しぶとさに…、というキャッチコピーを聞いたら、僕の事を思い出してください。

君の聴覚と想像力に期待します。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔水曜日10日目〕その1

“いけにえ”をやめて代わりとなるものにするというのは、文化水準の向上を意味します。

え？何の話かって？何を想像したんですか？

埴輪のいわれを書いただけです。

〔水曜日10日目〕その2

一度仲良くなった人が、再び洗脳されてだめになっただけで、自力で元に戻した話は以前書いた。その人はそっちの人ではなく、単に毎日言われ続け頭の情報を書き換えられただけだった。

その人は僕が未だにプロをあきらめてない、本当に毎日漫画を描いてると理解した瞬間もとの仲のいい人に戻った。

カツコつけマンじゃないよ、本物だよ。といっただけで暗示はとけた。

〔水曜日10日目〕その3

魔がさしてしまった…と弁明。辞職。

魔がさしただって！Fさん。何その言い訳！だったらやるなよって思わない？（今日のニュース見ましよう）

〔水曜日10日目〕その4

昔、海外旅行先で日本人のおっさんはいやらしいことばかりしたそうだが、おかげで東南アジアや東アジア、朝鮮半島では、未だに日本人＝スケベというイメージがあるらしいと、旅行ガイドで読んだ事がある、本当なんだろう？今はどうなんだろう、規制がきびしくなると外国ではもうそういう行為が難しくなっていると聞いた。そうした人たちはどこへ消えたのか疑問です。

消えたはずはなく、今も何万と暮らしているわけで、

一体今はその欲求不満をどうやって解決しているのでしょうか？疑問です。

人間そう簡単に“魔”がさしたりはしない、普通。

でも1億2千万人もいたら秒単位で“魔”がさす人が見られるのかもしれない。

今も来ます、“魔”がさしっぱなしの人が。

君もこれからずっと指しっぱなし人生を送るのでしょうか…、10年、20年、30年。

40年もたてば第一世代の発言力は失われる、ちょうど、今過去の秘密が暴露されている外務省の機密文書問題のように…。KKKが穏やかな排他的サークルに変化したように、秘密サークルは総じて第一世代（第二世代）が消えると穏健派になる事が多い、歴史的に見て。3代将軍家光が家康とまったく違うように…。

いずれ、君に文句を言える人間が死に絶える日が来る、けど、そ

のときこそ「もう遅い」のセリフがふさわしい意味をもつ。今ではない。失った時間を見てはいけない、これから失う時間をみてほしい。

君の創意と工夫に期待します。

あんな年がら年中魔が差しっぱなしな人たちは見下されて当然なんです。

え？誰の事かって？そりゃ、最初に書いた霞ヶ関の役人の話です。他のだれでもありません。

最愛の人の幸せを祈って。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔水曜日10日目〕その他

事前通告なしで突然現れて、法律にふれてないからと、鼻先でやりたい放題。自衛隊も自艦の数メートル上まで無言で近づいて勝手に撮影する中国海軍のへり。良く我慢しました。えらいです。さすが日本人、誇り高い民族です。

え？何の話かって、当然、中国海軍の予告無し軍事演習に巻き込まれた海上自衛隊の話です。

誰です？なぜ自衛隊はそんなへり撃墜せんだとか不穏当な事言ってるのは？

なぜ中国海軍があそこまで挑発的なのか？

なぜ中国人は日本からの戦争犯罪被害者意識を持ち続けるのか？

そう、教育されているからでしょうね、中国共産党へ本来向かうはずの不満や怒りが、みな日本人を憎む事で昇華されている。中国共産党にしてみればそのほうが都合がいい。

インテリ層ですらこの情報操作に肯定的、だまされている感覚がない。

中国では本音をずばずば遠慮なく言う八戒が、孫悟空より人気があると聞く。

自らの粗暴さを治したくて三蔵法師に従う孫悟空より、粗暴さを認めた猪八戒のほうが親しみやすいということらしい。

三国志でも日本との違いがある。

日本では人徳者、劉備元徳や、知恵者孔明が人気だ。だけど中国では知恵や人徳よりも人情にあつい関羽が一番人気ときく、日本ではどちらかと言うとサブキャラあつかいの人物なので意外だ。

日本人は自らを律する知恵者にあこがれ、中国人は人情にあつい人物に憧れるといったところでしょうか？こうして違う点がわかると、わだかまりの1つも消えると思うのは僕があさはかなのでしょうか？中国共産党も最近はさすがにやりすぎたと思っただけ、ようやく歴史教科書の抗日戦のくだりが少しゆるくなったとか、ならないとか…。

…毒入りギョーザ事件の犯人が捕まったのも、日本への配慮なのでしょう、やはり、3世代目以降になると、カルト的性格をもった中国共産党も穏やかへシフトしつつあるという事でしょうか？

毛沢東未亡人の苛烈きわまる共産カルト支配の時代から想像すると随分穏健になったものです。

世代と共に穏やかになる、これが何を意味するのか？

穏やかになって初めてあの時あすればよかったなんて、そんな
想い、いやですよ。

君に想いをはせます。

- - -
- - -
- - -

〔木曜日 11日目〕その1

Fさん、かわいい！（久しぶりに言ってみた）

〔木曜日 11日目〕その2

Fさん、どうしてそんなにかわいいの？！（久しぶりに言ってみ
た）

〔木曜日 11日目〕その3

「冬ソナ」で、記憶を失ってしまったにもかかわらずピアノを弾
いてしまうシーン。

2人の想い出の曲…。

〔木曜日 11日目〕その4

「ああ、なんだただの騒音バカ集団なんだ、金しだいで何でもす
る…、」

タイのデモの話。お金もらって参加？ばかばかしい。

もともとあの対立は、都市部の市民 vs 農村市民の対立とか…。選挙で都市部の候補が当選したから、農村部の人たちが選挙無効を訴えて都市部の機能がマヒするようにデモしてる。とか。

なんとも、ときめかない話です。

けど、タイの人をバカに出来ない、同じタイ国内で日本人が昔、こんな事を言ったらしい。

「ああ、そうさ。オレの母親もそういつていたよ」

外国の売春街に滞在していた日本人観光客が、なにかひどい事を現地の女の子にしたという、地元の人の人に「卑怯者！お前なんかくずだ」となじられたら、その日本人こう言ったそうさ。

「ああ、そうさ。オレの母親もそういつていたよ」と。

これを読んで、「こいつ救いようが無い」と感じられたらあなたは正常です。

〔木曜日 11日目〕その5

大丈夫？（久しぶりに言ってみた）

邪義を振りかざして頑張っても誰も認めない
だまされてる

君の想像

力に期待します。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔金曜日 12日目〕その1

強力な趣味を持ってください、彼らの暗示にうちかてるような…

〔金曜日 12日目〕その2

秘密の告白を笑わずに聞いてくれる人がいますか？

〔金曜日 12日目〕その3

失った35年を嘆く^なより、これから失う40年の事を想像してください。

〔金曜日 12日目〕その4

トランペット、男子は2人いたけど、Mくん（ギターを弾かない方）は普通の人だと思う。
どうかな…

君に期待します、

頑張つて。

- - -
- - -
- - -

〔土曜日 13日目〕その1

こう考えるのはどうだろう、リレーのバトンのように次の走者に渡したら、それで役目をおえる。

組織への義理は果たした事になる。

〔土曜日 13日目〕その2

おばあさん、携帯を隠れて取り出すところを先回りしたらばっち

り見えた。「私の魔の指した様子をみないで！わたしそんなおばあさんじゃないの」という態度で、万引きをみられた中学生のように……。かばんから携帯をだし、25%ぐらい（2つ折りを）開いてボタンをおし、こそっとしまふ。普通でない動作。

君だったらどうする？あと40年も50年もあれをやりつづけたのか？今ならたった35年で済む。あのおばあさんにはもう無理だろう、君はまだやり直せる。

夢半ばで、プロゴルファーを目指した人も、弁護士を目指した人も、医者を目指した人も、役者を目指した人も、芸人を目指した人も、作家を目指した人も多くは30〜35歳で第2の人生に踏み切る事が多い。僕はそう考える、間違っている時はしかってほしいと手紙にあった、これが君の望む答えである事をねがう。

〔土曜日 13日目〕その3

鎧を脱ぐのがこわい？でも重いでしょそれ。

とにかく、こうして“逆”暗示を最低35年書こうかな、どうか……。そんな事おもいました。

“愛”ってそちらではどう教えられてるのかな？聞きたいです。君の中にいる僕がなんていつているのか、聞いてあげてください。やっと気づいたんだ、あの不可能とも思える君の謎の答えに。僕が気づいたという事に対して君がどんな気持ちなのか、せめて何らかの答えがほしいです。そして、僕の知る17年前の君なら、僕この気持ちを放置するのはものすごくつらいはず。

重ねていいいますが、僕は死んでないし生きています。

ドラクエ風に言うなら、復活の呪文は“日蓮の現存する正筆御書”。

君の心の強さに期

待します。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔日曜日 14日目〕その1

諸般の事情ごときで想いを踏みにじる？許せるの？F

〔日曜日 14日目〕その2

渡されたもの以外35年も読んだ事ないだよね。

〔日曜日 14日目〕その3

もう知らん！

…と言ったら君は何を感じるのだろうか、その辺のところ確認したい。

〔日曜日 14日目〕その4

調べ（理解しようという考え）もしないで情報もシャットアウト？
それこそ君が一番嫌う“無理解な人”の行為そのものになる。

〔日曜日 14日目〕その5

あと40年も50年も続けたら、本当に「もう遅い」という事になる。今なら35年ですむ。

災難も最悪の災難が防げたのは日ごろ（あの思い出の日々の）の行いがいいからかもしれない。人生70年以上無駄にするところを、たった35年で済んだのだから。これは君が示してくれた優しさの種が17年たちようやく芽吹いた結果なのです。

〔日曜日 14日目〕その6

言ってる事が子供とを感じる？目を覚ませ？

そっくりそのままそちらに言い返す。

…こう聞いて、怒りと同時に怒り以外の未知の感情が沸いてきたら、その感情を存分に堪能してみてください。結局は最終的にそうした“感覚”の世界の解決問題だと思う。

君が自らのインスピレーション

と戦う事を期待します。

…いや、必要なのは読むこと。あまりしつこく書くと嫌がるかな…、でも書かないと記憶から消えてしまいそうで、だから書きます。日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。身近になくても図書館とかにあるのではないかなと、詳しくは21話を参照してください。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔月曜日 15日目〕その1

たった525円の耳栓で、効果絶大です。ドラッグストアで売ってます。ずっと付けてると違和感あるので、縦にハサミなどで切れ込みを入れて圧迫感を調節すればいいと思う。

もし、同じ目にあってる人がいたら、つかえます。

それから、可能な限り情報封鎖をすると、向こうの行動を制限もできるし、コントロールも可能かと。

〔月曜日 15日目〕その2

人の正常な判断を狂わす要素に「埋没費用^{サンクコスト}」というものがあるらしい。例えるなら、太平洋戦争末期の

「今、ここで戦争をやめたら、これまで討ち死にした兵士の命がむ

だになる！」

と行って、ずるずると戦争をひきづってしまつような状態のことを言う。こういう風に、過去についやしたものを惜しんで中止できなくなる状態を“サンクコスト（埋没費用）の呪い”と呼ぶらしい。

この状態のなるポイントは“もったいない”と感じてしまつところだ。でも“何が”本当に“もったいないのか？”を考えないといけない。

単純に過去に費やした時間をもつたいないと勘定するのが正解か？それともこれから費やす時間をもつたいないと勘定するのか？

君がサンクコストの呪いにかからず、冷静な判断が出来る事を…心から願います。

〔月曜日 15日目〕その3

「アイリス！君は自分が何をやっているかよくわかってない！」
名探偵ポアロ、黄色いアイリスより

〔月曜日 15日目〕その4

僕の性格を判っていると思うけど、改めて言います。

強引なことはしない人間です、可能な限り控えめにしているし、これまでもそうだった。

実家経由で問い詰めもしてないし、探偵も雇ってない、東京の知り合いは君の事知ってるようだけど、問い詰める事すらしてない。ただ、訴えるのみです。あの時と何も変わってない。君の尊厳を踏みにじる事はしたくない。

やりすぎてるか懸念してますが、書かないと始まらない。

何が言いたいのか？

高校卒業後、僕があきらめていたとき君は再び現れた。だから同じように君が現れるのを待とうと思う、そう、改めて表明します。

心にとどく事をねがいます。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔火曜日 16日目〕その1
読んでほしい本がある。

〔火曜日 16日目〕その2
(君にかかる皆からの迷惑) — (君がかける皆への迷惑) 〓 答え

この公式がプラスになるなら、君は皆に「知った事か」と言える。

〔火曜日 16日目〕その3
もの扱いされて平気なの？

〔火曜日 16日目〕その4
間違ってるって自分でもわかっているんでしょ？

〔火曜日 16日目〕その5
君のために泣く…、果たしてほかにそんな事する人がいるのか知りたい。

“彼ら”のテクニックは所詮“その場の雰囲気と和ませる”の逆のものに過ぎない。

…上記から、こんな仮説も成り立つ。

あの、あの安らぎの空間も、テクニックを応用した演出にすぎない、本物と錯覚させられているだけだ。それが証拠に、“その場の雰囲気居心地の悪いものにする”のは得意だ！としたら、その逆もまた“得意？”。

君の良く知る居心地のよさも、そうして作られた可能性もある。

人をいびる事でしか“自己表現”できない可愛そうな人種に惑わされないで。

たぶん君の体には、無意識のレベルで刻み込まれた暗示（恐怖）がある。

理性では対処できないレベルのものと推察する。

僕はそれを解く方法を知っている。

けど、実際に会わないと、君にかかった（体に刻み込まれた）恐怖を取り除けない。

どう君が思うのか…何かに期待し

ていいですか？

…君の正常は抗議心に期待します。

あんな連中にまけてはいけません、君は強い子です。

まけないで…。

〔火曜日 16日目〕その6

君が「サンクコスト埋没費用の呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を…心から願います。

〔火曜日 16日目〕その7

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。
詳しくは21話参照。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔水曜日 17日目〕その1

商業的に見れば、プロとアマチュアの違いは、金が稼げるかどうかなのだろう。

“自分たちの組織は成功している、だから「正しい」という人多いでしょう。

でも、その成功は商業的な成功のように感じる。
精神面での成功や、文化面での成功では…ない。

え？何の事か？

ハリウッドの映画制作者の話です。他のなにでもありません！何を想像したんですか！

その想像は僕のものではありません。

〔水曜日 17日目〕その2

“歪んだ”頭にとつければ、教えが矛盾しなくなる…。

〔水曜日 17日目〕その3

気づいただろうか？

〔水曜日 17日目〕その4

マッチポンプな組織。

（マッチポンプとは「マッチで火をつけておきながら、それをポン

ブで消す」というように、自分でわざわざ問題を作り出ししておきながら、そ知らぬ顔で、自分がそれを解決することで賞賛や利益を得るような、偽善的な自作自演の手法を意味する和製英語である。(

〔水曜日 17日目〕その5

説得役は気にするな！創意と工夫でかわせ！

僕と同等の（社会的地位の）人間もそちらの世界にもたくさんいると思う。

それどころか、僕以下のもっとひどい（社会的地位の）人もたくさんいると思う。

それが、部外者を人格攻撃する理由だと思う。地位で攻撃したら、同じような地位の人間が困るからだ。

だから、結果的に言いがかりになるうとも、そうせざる得なくなる。

…浅ましいと感

じられたら、貴方の心は正常です。

〔水曜日 17日目〕その6

アイスランドの噴火の影響で飛行機旅行が連日混乱しているのを知ってるよね？

「トラブルもまた旅の醍醐味の1つ」

これが言える旅行者は真に旅行を楽しんでいると思う。

これは人生にもいえると思う。

「トラブルもまた人生の醍醐味の1つ」

と、僕は考える。

夢で結構、夢も言い続ければ、そのうちみなもしかしたらと思

始める。 作家の武者小路実篤むしやのじゅうじかたなあつの人生観を表した言葉です。

Fさんはどう思いますか？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかかわらず、冷静な判断が出来る事を…
心から願います。

〔水曜日 17日目〕その6

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。
詳しくは21話参照。

君が戦い続けている事をねがいます。

- - -
- - -
- - -

〔水曜日 17日目〕その7

“彼ら”がああ最大の力を発揮できるのはせいぜい3ヶ月が限界
の可能性がある。

(僕も自殺寸前まで追い詰められている、君も?)

〔水曜日 17日目〕その8

こちらから見て“狂ってる”と見える人の9割は歪んだ印象に操
作されている。

〔水曜日 17日目〕その9

当時の僕が、君にとっての何だったのか、そのくらいは教えて欲
しい。

〔水曜日 17日目〕その10

大人のいじめがあるなんて…でも戦い方は工夫次第。

〔水曜日 17日目〕その11

僕が君を見捨てたらどう思うのだろうか？
そんな事まで僕に言わせたいのかな…

〔水曜日 17日目〕その12

寝言に耳を貸してはいけない…

君の35年は無駄じゃない、それを証明する方法は1つしかない。
日蓮の現存する正筆御書、これを読んで、いかに自分の行動が正しかったか確認してみればいい。

あと40年、50年もつらく過ごす事を考えたら、35年ですんだのは…かもしれない。

皮肉な事に毎日こんき良くやり続ける人たちをみると、僕も見習って努力しなきゃと思います。その人たちは本当に無駄とも思える努力をけなげにつづけていて…。

でも「恥知らず！」って言われた経験ありますか？

悪質でないかぎり、警告されたらもう2度とやらない。

…そうだよな普通はと感

じられたら貴方の良心は正常です。

でも、

彼らに会う時まず見るのが「この人は自分の意思で動いているのか？誰かの影響下にあるのか？」と言う点だ。

「影響下にならない」と感じられるときは、自分でも不思議なのが、普通にできる。

見分けるポイントはコミュニケーションのやり取りにつじつまが感じられるかどうかだ。

つじつまさえ合えば、仮に「影響下」の人でも「まあいいか」と

思う。

そんな感覚、君に伝わるだろうか…

…あいかわらずね。と笑ってくれた

ら。うれしいです。

〔水曜日 17日目〕その13

自覚してる？間違った美德観にまどわされないで。

〔水曜日 17日目〕その14

君が「サンクコスト埋没費用の呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を…
心から願います。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。
詳しくは21話参照。

あの小さな体で戦っているのだろ

うか？心配です。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔水曜日 17日目〕その他

今、あき倉庫を用途変更してスタジオや事務所、住居にするバイ
アスが生じている。

NYなどで60年代におこったものと同じバイアスだ。
なのに日本の年配者（倉庫オーナー）は用途変更にしぶるらしい。
あきらかに間違ったかんがえ。

今倉庫はメガ倉庫が主流になっていて、大手企業はみなそちらになびくバイアスが生じている。

メガ倉庫の方がメリットが高いし、今はそれを作る体力を企業ももっているからだ。

だから、中小規模倉庫は用途変更しないかぎり、いつまでも空き続ける可能性がある。

ところが、オーナーの年配者は用途変更をしづる。理由は知らないけど。理解不能です。

年配者といえども、時代の変化には対応できないし、間違った意見も平気で言うという事です。
時代は動いています。

.....

〔木曜日 18日目〕その1

君想う、ゆえに生き残れり。

これからも、生き残るために君を想ってもいいのかな。
君の肩に置いた手の感覚はまだ残っています。

〔木曜日 18日目〕その2

コラーゲンが皮膚を若返らせるといっても、コラーゲンを皮膚にぬると、すべすべになったと錯覚したにすぎず若返り効果はゼロ、ましてや食べたところで何もおきない。コラーゲンは塗ると、一時的に肌がすべすべになる程度の効果しかない。

皆だまされてる……

などと思うとそうでもなく、最近では業界みずから律する動きがみられる？

最近“塩”の表示ガイドラインが整備されたらしい。
業界は大変だけど、今まであやふやにしていたのが問題なのだ。

同様に、“育毛”に関してもガイドラインができたらしい。
過去の成功度のデータから、どの方法がAランクか？Bランクか？とガイドラインが作られて、業界はいろいろ大変らしい。

コエンザイムQ10も、含有量が決められた。ほとんど入ってないのに入っていると称して売られた商品が氾濫していたからだ。今は含有量がある定量はいつてないと駄目とされた。

何がいいたいのか？

おかしいと思うことは正すべきです。

そして事実ただす業界が実際に存在する。

「世の中こんなものだ」と思うのは自由だが、
「世の中捨てたもんじゃない」と感じることもある。

君に何が大切なのかを伝えられていた
らうれしいです。

〔木曜日 18日目〕その3

決め手にかける？

…がんばります。

〔木曜日 18日目〕その4

こんな事おもった、あまり関わりすぎると、メッキがはがれて皆

が恐れなくなるので、

あまり効き目の無い人間には控えめな攻撃に終始する？

…もし、もう一度大掛かりな動員を**しては**ずしたら、責任問題になる？

責任者は2度目の大攻勢の失敗をおそれる…、これは間違いないと思う。

2度目の失敗を恐れる場合どうするか？

塩つけ案件として放置する？

君もそうなれば楽になれる？

どうなのだろう…

〔木曜日 18日目〕その5

君が「サンクコスト埋没費用の呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を…
心から願います。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。
詳しくは21話参照。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔金曜日 19日目〕その1

信念がなければ！

〔金曜日 19日目〕その2

“愛”という憧れってホント人を強くするんですね！

〔金曜日 19日目〕その3

常識の世界に腰を下ろさない？、だめ？

〔金曜日 19日目〕その4

本能と理性をどう関係もたせればいいのか悩んでいる？

……どう君が思うのかな……

〔金曜日 19日目〕その5

……長い冬は人をしぶとくする？

〔金曜日 19日目〕その6

希望 ……そう思い込む。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。

詳しくは21話参照。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を……

心から願います。

可愛いだけの女の子じゃない、君は芯の強い人です。

ただ、欲がないから付け入られるだけだと思う。どうかな……

合っているのかどうなのか、聞きたいです。がんばって。

.....
.....
.....
.....

〔金曜日 19日目〕その他

愛さえあれば、乗り越えられる。

そして、これを否定するためには頭に“狂った”とつけるしかない？

もしくは“偽善”と称して納得せざるえない。

もし、本当に「狂った」「偽善」と仮定しよう。本当だと仮定しよう。

本当なら、「狂った」と「偽善」という言葉を使わずに説明できるはずだ。

つまり、飾らずに、事実と結果だけで、説明できるはずだ。

出来なければ、それらは単なる言葉遊びにすぎない。

青くないのに青いと言っているのと意味的にはたいした違いが無い。

僕はオリジナルを追及するのは悪い事ではないと言っているにすぎない。

言葉遊びとオリジナルの追求の違いを明確にするいい例がある、

英語の“a”の使い方だ。

教科書では、不定冠詞（a）は名詞に付ける、と教わる。

つまりまず最初に名詞を考えて、この名詞にはaをつけるべきかどうかと考える。

これが日本の英語教育の考え方です。

単なる言葉遊びにすぎず、ネイティブスピーカーの発想方法までは学べない。

実際には“a”というカテゴリーがまず先にきて、それから単語を選ぶのが正しい発想法らしい。

1人の、1つの、1部、という概念が先に来て、それを説明する単語をあとからつけるのが正解らしい。

これが、オリジナルを追求するということ。

どちらにしても英語を話す事ができるけれど、どちらがより良いのかは自明の理です。

もちろん、時間の無い人や、たまにしか使わない人、それほど興味が無い人は、言葉遊び程度の英語で充分ですが、それでは物足りないという人もたくさんいるのは事実です。

単なる言葉遊びと、オリジナルを追求するというのは、似ていてまったく違ったりします。

- - -
- - -
- - -

〔土曜日 20日目〕その1
読書とは自分1人のためにだけ著者が語りかけてくれるものだ、と、ある経営者が今日ニュースで言っていた。

〔土曜日 20日目〕その2
読書とは、自分を変えるものであり、3〜5年後の自分に効いてくる。
決して今すぐ役に立つわけではない。
と、ある若手作家が今日ニュースで言っていた。

〔土曜日 20日目〕その3
君に読んで欲しい本がある。

〔土曜日 20日目〕その4
まさか、あの意味に気づく日が来るとはね。

〔土曜日 20日目〕その5
単なる言葉遊びと、
オリジナルを追求するというのは、似ていてまったく違ったりし

ます。

みなおかしいと実は気づいている
気づかないふりをしているのは「サンクコスト埋没費用の呪い」のせいです。

君はまだ35年ですむ。たった35年です。この程度で済むので
す。

あと40年も50年も自分の心をだまし続けていいの？
君の1度しかない人生です。誰のものでもありません。

君に読んで欲しい本がある。

〔土曜日 20日目〕その6

みな本当はおかしいと気づいている…、気づいている人は、心の
中で応援してくれるはずですよ。

〔土曜日 20日目〕その7

戦い方は工夫次第。

〔土曜日 20日目〕その8

君の体には、無意識のレベルで刻み込まれた暗示（恐怖）がある。
解き方は教えられません。

〔土曜日 20日目〕その9

君に読んで欲しい本がある。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。
詳しくは21話参照してください。

君が「サンクコスト埋没費用の呪い」に立ち向かうことを願います。
君の心の疑問が解ける日を信じて。

あの日々の君の不可解な行動が今は全部理解できます。
手に取るように解る。ごめん、気づけなくて。これは僕のせめて
もの罪滅ぼしです。

応援します。がんばって。

-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-

〔日曜日 21日目〕その1
理由はある。気づいただろうか？

〔日曜日 21日目〕その2
承諾なしに…、強制的に？いいの？

〔日曜日 21日目〕その3
確かにバカになる人はいる。けど、ならない人も実際いる。
心の中では君に共感しているという人、少なくともと思う。
気づいているだろうか？

〔日曜日 21日目〕その4
迫害を恐れてる？迫害されてると思ひ込んでる？
この最大の矛盾はどう解釈しているのだろうか

〔日曜日 21日目〕その5
信じられない…、そう思う。君がかなり本気で僕と接していた事
を。

遊ばれていると思っていた自分がはずかしいです。
まさか、こんなに時間がたってから気づくなんてね。

…許してもらえらるだろうか。

〔日曜日 21日目〕その6

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。
詳しくは21話参照してください。

「サンクコスト埋没費用の呪い」にかかわらず冷静な判断が出来る事を期待します。

35年を惜しんで残りの人生40年50年をつぶしたいのかどうなのか…

あの笑顔の君を思い出します。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔月曜日 22日目〕その1

「調べようが無いから平気さ」とか？

最悪の発想と思えるならまだ大丈夫です。

〔月曜日 22日目〕その2

全て忘れるのだろうか。
それなら、無かった事になり矛盾しない。

それが世界に誇る理念と思えるなら、洗脳されてま
す。

〔月曜日 22日目〕その3

最近の楽しみは？

帰ったら他に何もすることが無い？

…正直理解できない。

世の中には、知りたい事や調べたい事や、やりたい事がたくさんある。

僕はいままで帰ってもやる事が無いなどと1度も言った事が無い。

君も聞いたこと無いと思う。

どちらかと言うと時間がたりない、1日48時間ほしい。

だから、時間をもてあます彼らが心の乾いた人間にしか見えない。

君はあれをあと40年も50年も続ける気なの？

今なら35年ですむ。

君だけの人生です。

〔月曜日 22日目〕その4

乗り越えられる。

〔月曜日 22日目〕その5

“彼ら”の行動は所詮“せんさい織細”な人間にしか通じない。こんな弱いものいじめ肯定集団に負けていいの？

あと40年も50年も“公開ランチ”に参加したいの？

耐えられるの？それ。

耐えるために自分なりに正当化する理論を組み立ててると思う。

このように過去に費やしたものを「サンクコスト埋没費用」といいます。惑わされます。

〔月曜日 22日目〕その6
詰め寄られてる？追いつめられる？
それでいいの？

〔月曜日 22日目〕その7
バイアスが生じているにすぎない。
詳しくは14話参照。

〔月曜日 22日目〕その8
読んでほしい本がある。

〔月曜日 22日目〕その9

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。
詳しくは21話参照

〔月曜日 22日目〕その10

「サンクコスト埋没費用の呪い」…どう君は思う？

- - -
- - -
- - -

〔火曜日 23日目〕
こんな事思い出した。

あれは神社での事。カバンで思い出す。
たぶん9月くらいのこと。

駆け寄る君にキスをして、思わず落としたカバンにしばらく気が

つかないなんて事、実際あった。抱き合って、キスをして、しばらくして神社に2人座ってようやくカバンを落とした事に気づく。そんな事とうとつに思い出した。ほんと、ドラマみたい。

あの笑顔が本当に心をひらいた姿だと理解しました、ようやく今になって。

…本当はここでもっと毒づくつもりだったけど、辞めました。それこそ、彼らと同じになってしまふ。

まさに、それこそ洗脳であり、思う壺だ。

もし、僕が彼らの思う壺になったら、君が悲しむだろうと…そんなこと考えて思いなおした。

やはり、君の存在は僕の人格の重要な構成要素の1つのです。

君に読んで欲しい本がある、

日蓮が書いたとされる現存するものを読んで、君の疑問と照らし合わせてほしい。

詳しくは21話に書きました。

君が埋没費用サンクコストの呪いとらわれず、冷静な判断が出来る事を、心から祈ります。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔火曜日 23日目〕その2

その日、何を見たかで心が影響される…

案外に無視できない要因だ。

例えば“悲しい物語”を読んだり見たりすると、案外にそうなる。

何を見たり読んだりすると自分のためになるのかがポイントだと思っ。

そしてこの方法の利点は、自分で何を見て、何を思っかを選べるところだ。

何でもいい…

「印象派」で画像検索すれば名画がたくさんでる。保存してスライドショーにするだけでも心にくる。

pcモニターの解像度なら、名画のすごさにきづく。ただの絵との違いがわかる。

いい時代になりました。

何をみて、何を読むのか、自分で選べる。

そして…

何をみて、何を思っのかを実感する。

心のコントロールのきっかけに気づければ…

君の強さに期待します。

- - -
- - -
- - -

〔水曜日 24日目〕

ないがしろに出来るわけがない

…どちらを選ぶかじゃない！

自分の心だ。

読んでほしい本がある。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。

詳しくは21話参照

「サンクコスト埋没費用の呪い」にかかわらず冷静な判断が出来る事を期待します。

- - -
- - -
- - -
- - -

〔木曜日 25日目〕その1

何がいけないのかよく考えて

〔木曜日 25日目〕その2

何でこんな事になるのかよく考えて

〔木曜日 25日目〕その3

しあわせ?どう?

〔木曜日 25日目〕その4

よく考えて行動して!

〔木曜日 25日目〕その5

あの低速ギアで人をいびり続ける行為も、君は好きなのだろうか…

あの近くで「何やってるかわかってんか」とほのめかす行為君も好きなのだろうか?

どちらも最近のできごとで、ちょっと信用しようかなと思った矢先こうなる。

信用するなという事?

こんな組織にずっといたいなの?

君の心は大丈夫なの?

過去は仕方ないとして、このままこんなことを40年以上も死ぬまで我慢しつづけるの？

君に読んでほしい本がある。

サンクコスト
埋没費用に惑わされないで。

言葉遊びとオリジナルを追求する事は違います。

現実の君へ、戦う君を信じます。

.....

〔金曜日 26日目〕その1

罪の意識ってどう思ってるんだろ。

〔金曜日 26日目〕その2

そちらが何もしなければ

地下鉄サリンも起きなかった訳だし…

反省って言葉、そちらの世界ではどう解釈されているんだろ…

〔金曜日 26日目〕その3

そんな世界にいたいのか？

〔金曜日 26日目〕その4

普通事故がおきたら反省するよね。

〔金曜日 26日目〕その5

え？もちろんマスコミについて書いたままでです。

何を想像したんですか？

その想像は僕のものではありません。

上記記述後なんだか今日はものすごく静かです。
…なんだ自覚あるんじゃない、と思いました。

もちろん妄想です。

でもこれを書いてもうヶ月もすると忘れて元に戻るのでしょう。
忘却こそ幸せの近道？

そう教えられてる？そう書いてあるのホントに？おかしいと昔は
思ってたんでしょ？

幸せの記憶も、不幸の記憶も。みな忘却？
都合の悪い事はみんな忘却？

君はそれをどう感じる？

君はそれでいいの？

君の心はそれで耐えられるの？

部外者を常に平気で踏みじめるよう強制されて平気なの？

この期に及んでも動じない人いるのでしよう、
そんな、何も“感じない”人をみなが尊敬する組織は君ののぞむ
世界の姿なの？

〔金曜日 26日目〕その6

部外者の善意を平気で踏みじめるよう強制されて平気なの？

君には向いてません…

心の傷を乗り越えて

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。

詳しくは21話参照。

君が「サンクコスト埋没費用の呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を…
心から願います。

説得が通じないなら、バイアスを利用するしかない。

幹部の家に押しかけるくらいの覚悟が必要です。

- - -
- - -
- - -

バイアスを利用する？どうやって？

具体例をあげるとこんな感じだ。

いま。連続して新品の自転車がパンクしている。

昔の僕が話しても絶対信じなかったのと同じように、現在の家族も1人そんな感じだ。

ある意味最強の精神の持ち主なんだけど。

けど、この先5回も7回もパンクがつつけば、理解しないまでも不可解さは認めるようになる。

長期戦において味方が増える事を意味する。

だから、このままパンクが何度も続いた方がいいのだ。

逆に、これでパンクがおさまれば、それはそれでいいし。

どちらに転んでも僕にとって“利益”になる。

つまり、この状況では、どのようなバイアスが生じるか？を考え、そのバイアスではどんな利点があるかを考えればいい。バイアスは時々ものすごく上手くいく時もある、観察が大事だけど。

一応補足資料がいると思ったので、毎回、自転車屋さんに防犯登録番号記入済みの修理証明か領収書を貰うようにする。修理代がある程度の金額までいけば被害届けを出せるからだ。その時の証拠書類になる。被疑者不詳で告訴も可能だけど、その際は家族の協力もある。だから、毎回やられた方がメリットはある。総合的にみて。

動かないものを動かしたいときはバイアスが生じるチャンスを見逃さない事だ。

それが、バイアスを利用するという事です。何かの参考になれば…君の観察力に期待します。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔土曜日 27日目〕その1

誰もが指示する？いいの？そんな人生。

〔土曜日 27日目〕その2

犠牲…

〔土曜日 27日目〕その3

過少評価してはいけない…

何を？そりゃもちろん、君自身の「生存本能を」！！

〔土曜日 27日目〕その4

14年間にわたって同級生からお金を恐喝した男逮捕。
暴力、恐喝、監禁、暴行…

その支配の構図を撮影…

支配の構図か…、13万5千円脅し取る様子が撮影されてた。

逮捕されたそうです、今日のニュースです。

いったんイエスといって初めてしまうと、断れなくなると専門家がコメントしている。今日のニュースです。

普通の感覚では、「なんで断れないんだろっ」と感じる。…これを見て君はどう思うのだろう。

君の「生存本能」を過少評価してはいけない！！

〔土曜日 27日目〕その5

幹部の家に押しかけられるくらいの覚悟が必要です。

オリジナルを追求するのはありでしょ？

「嘘」と言つと角がたつけどね。自流の正統性を主張する為に、後世の末流達が宗祖・派祖の事績を粉飾するというのはよく有ることなのです。

人の正常な判断を狂わす要素に「埋没費用^{サンクコスト}」というものがあるらしい。例えるなら、太平洋戦争末期の

「今、ここで戦争をやめたら、これまで討ち死にした兵士の命がむだになる！」

と違って、ずるずると戦争をひきづってしまふような状態のこと

を言う。こういう風に、過去についやしたものを惜しんで中止できなくなる状態を“サルクコスト（埋没費用）の呪い”と呼ぶらしい。

この状態のなるポイントは“もつたいない”と感じてしまうところだ。でも“何が”本当に“もつたいないのか？”を考えないといけない。

単純に過去に費やした時間をもつたいないと勘定するのが正解か？それともこれから費やす時間をもつたいないと勘定するのか？

君がサルクコストの呪いにかからず、冷静な判断が出来る事を…心から願います。

あと40年、50年もつらく過ごす事を考えたら、35年ですんだのは、天寿享受なのかもしれないと。

君自身の「生存本能」を過少評価してはいけない！！

〔土曜日 27日目〕その6

君の35年は無駄じゃない、それを証明する方法は1つしかない。日蓮の現存する正筆御書、これを読んで、いかに自分の行動が正しかったか確認してみればいい、

日蓮遺文集の中で最も権威ある書と言われる『昭和定本日蓮聖人遺文』に収録されている遺文の総数は434遍にのびります。

その中で、日蓮真撰とされているものが222編、真偽未決のものは157編、明らかな偽書と断定されているものは55編に及びます。

日蓮遺文の中で真筆が完存しているものは真偽の問題から除外して、上代の時代写本が現存するものは粗真撰であろうとされていますが、

真筆も時代写本も無く録内、録外にも掲載されていない遺文と伝承されるものは厳しい文献考証を経なければ、日蓮遺文であるか否かは解かりません。

要約すれば、本物と本物っぽいものと、参考にはなるけど本物でないものが入り混じっているという事だと思う。めぼしいものを自分なりに選んでいくつか読んでみて納得するのが一番だと思う。

… 傷つくのをおそれてはいけない。Fさんはどう思いますか？

君が犯罪者の片棒を担がされたのは仕方が無いけど、これ以上そんな事が無い事を願います。

今日のニュースの被害者も、14年も恐喝されつづけ合計で2000万円ちかくとられたけど、意を決して立ち向かい、しがらみを断ち切る事に成功した。君もできない事はない。

君がああニュースをみて、なにか感じてくれたら嬉しいです。

君自身の「生存本能」をもっと信じて!!

応援しています。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔土曜日 27日目〕番外編

3時間かけて、敵から切りつけられたけどかわす、というシーンを描いたけど、

かわしてなくて、切られている様に見える絵になってしまった!、ま、そんな事もあります。こういう時はくよくよせずにスパッと切り替えないと先に進めません。

… たまにはこういう日常の話もいいでしょ？

漫画の話です。

ストレス発散にネームを描いたりします。そして頭を切りかえる。実はこの小説結構勉強になってます。

生の感情をぶつけるよりも、一旦、どこかに生の感情を全部書き出してから、チヨイスして文にする。

そのほうがいいみたい。

漫画も、感情のままに描いたネームを書き溜めて、あとで理論的につながるものをチヨイスしてつなげてつじつま合う設定を考えたほうが効果的です。

こういう描き方のほうが、人目に触れる作品のばあい、まとまりし、納得いくものが出る。

毎日ボーっとしている訳ではないのです。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

僕はかつて1度、彼らの身分証明書を見た事がある。

先輩からだ。

財布に入っていた名刺くらいの大きさの紙。

組織名と名前が書かれていた。

君が先輩の身分を明かした日、その先輩にきいた「そうなんですか？」と。

そしたら見せてくれたものだ。

あれ、君の周りの人も持っているのだろうか？

今、部外者の僕からあれの存在をみると…

コピーしておおやけにしたら武器に使える

なぜなら、「え、わたし違いますよ」

といういつもの逃げ道を封じることが、できる。
裁判のとき役に立つ
そうでなくても何かとけん制に使える。

結構ちやちな代物だったから、コピーなんて面倒なことしなくても、

実物取っちゃってもいいと思う。

そちらの世界では知らないが、社会的には家電量販店のポイントカードくらいの価値しかないのだから。とかめられても、喫茶店でステックシユガーをくすねるのと同程度の犯罪にしかならない。

公的な物でないのだから、とつてもさほど（君がかかえる問題に比べたら）問題ないように思う。

やれと言つのではない、戦い方は創意と工夫次第といたいのだ。

…加筆します。

入手が困難なら、君自身のそれを使い間接的に家族もそうだと主張する方法もある。

とにかく、「え、わたし違いますよ」といういつもの逃げ口上を封じる工夫が成功すると、いろいろ使えると思う。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔日曜日 28日目〕その1

（心の）恥部をさらすよう調教されてる？

…残念ながら、こちらの世界からはそう見える。

〔日曜日 28日目〕その2

プライド？まあ普通の人間じゃないですね。

君はどう思う？それ普通？

〔日曜日 28日目〕その3

軽い出来事に対してのみ使う言葉だと思う。

人の命が失われている事実から目をそらさないで！

君も目をそらしてる。

〔日曜日 28日目〕その4

心の傷を乗り越えて！

〔日曜日 28日目〕その5

悲しい事に、誤解しています。

〔日曜日 28日目〕その6

状態はひどいですよ、胸が痛みます。

〔日曜日 28日目〕その7

自分の事ではない、君の事についてだ！

〔日曜日 28日目〕その8

…だから、事実をかくと赤面するはめになる？

それで皆、しびしび黙っている？

君はそれでいいの？

真実は複数存在する。

たぶん君の体には、無意識のレベルで刻み込まれた暗示（恐怖）
があり悩んでいる、あるいは疑問をもつという事が感じられないよ
う育てられてきていた。

…それでも17年前君は言った「本当の私を知ったら嫌いになっちゃうよ」

あの時点ですでに色々やらされ、もう罪悪感が形成されていたと推察する。何て悲しいことだろうと思う。ほんとうにそれでいいの？

君に読んで欲しい本がある、脱出の糸口となるものです。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。詳しくは21話に書きました。

君は17年前の時点でもうそう感じていたのか…、そう思うと身震いします。そんな状況下でも君は僕に会いに来てくれた。1度もサボらずに。何がそんなに気に入ったのか、せめてそれくらい聞きたいです。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

これは君とは直接関係ないことなただけど、久しぶりに記憶をさぐっていたら“断片”が繋がった事柄があったので、書きます。

東京で長年、友達してくれたあいつが、とんねるず石橋を嫌っていた事は以前書いた。そして、その理由に関しても後から気づいた事も以前書いた。やはり、あいつもそうだったのか…と思ったと書いたと思うけど、最近、もっと違う記憶が符号する事に気づいた。

彼は国籍法改正にもものすごく反対していて、僕にも反対署名に署名しろと強行に主張していた。

最近になって気づいたのだが、国籍法改正は“彼ら”の中でも権力を持つグループの悲願であり、これに反対することは、ちょっとした組織内の抵抗の意思表示なのだ…、最近気づいた。

とんねるず石橋を嫌うのと同じ理由で、国籍法にも強行に嫌悪感を持っていたんだと思う。

この国籍法改正を支持しているグループが、おそらく組織の非法活動の主犯なんだと思う。

…なんだか、組織内の力学の一旦が伺える記憶です。

こんな事なら署名に協力すればよかった。今はそう思う。これが彼に伝わればいいのだけ。

ちなみに国籍法改正で一番利益をえるのは、とうぜん、国内に住する外国籍の方々であるのはわかりきったことです。

久しぶりに「あ、つじつまが合う！」と感じました。

観察と情報収集を繰り返せば、こうしてこれからも“つじつまが合う”事ってあるのだろうか

昔から人との間にある“超えられない壁”の正体、今はわかる。

この地域はよそより多い、実際この家の周囲9割はそうだと感じるし、

TVのCMをみても東京よりも特殊だと感じる。

お前意外の部外者はちゃんとしてるぞという意見もあるだろうけど、

やはり見た目の悪さも関わっているのだろうか？

加えて君と付き合った事も影響した？

…わからないけど、

君はどう思う？

君も僕が感じた“超えられない壁”の存在を感じた？

君がひどい目に遭ってないか心配です。
大丈夫？平気？

読んでほしい本があります。再会を夢見ます、こんなくだらない理由、突破は不可能じゃない、そう信じれば希望はつながります。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔月曜日 29日目〕その1
食い下がれ！

〔月曜日 29日目〕その2
目が泳いでいるような連中に負けるな！

〔月曜日 29日目〕その3
人を動かすエネルギーは？何か考えて。

根性が違うところを見せてやれ！！

〔月曜日 29日目〕その4
1度しかない君の人生です。この先もこのままにされたいのかな…

〔月曜日 29日目〕その5
教えを歪めている、自分の好みの世界を人々に強要するために。

〔月曜日 29日目〕その6
こんな事なら…、あの時かつさらえばよかった。ホントそう思う。

忠誠に値するかどうかなど関係ない、彼らに仕えるために生まれ

た？それが世の中の仕組み？
いつの時代それ？

…君はそんな世界で生きていたいの？
これからも犯罪の片棒を担がされたり、平気でウソをついたり…

いままで、いくつ心の中に“罪悪感”を封じた？
かなりの数でしょ？
それを、これからもつづけたい？

少なくとも、僕の知る本当の君がそんな事
のぞんでないのは知ってる。

？
だましたり、だまされたりとか、本当はいやなんですよ

…どうだろう、当たっているのか、はずれているのか？
答えを聞きたいです。

〔月曜日 29日目〕その7
心の傷は癒せませす。乗り越えてください。

君がもとめた謎かけの答え、今ようやく応じられます。
日蓮の現存する正筆御書について調べて読むべきです。

オリジナルを追求するのはありでしょ？
読めないって事はないでしょ？35年もやってるなら。
…読めないなら、その時点でおかしいと思ってくれたら嬉しいで
す。

邪道とは程遠い“超” 正当なものです、君自身の心への回答が得られる方法だと思う。

君と手のひらを重ねたことは昨日のように覚えています。

僕がピアノの1オクターブ届かないといったら、君は自分は届くと言った。

え？て事は僕より手がでかいの？という疑問がわき、手を重ねて大きさをくらべた。

覚えているだろうか？

まったく同じ大きさだったのにびっくりした。

…お互い小さな手をしているものです。

あの小さな手で戦っているのだろうか？そんな事思っています。

君が「サンクコスト埋没費用の呪い」から脱して冷静な判断ができますように。

.....

君に伝えます。

以前耳栓を使うといい、という話を書いたと思う。

ここしばらく使う事により静寂が楽しめています。ポイントは一度水につけてから耳につけるところです。本来の性能以上の無音が得られます。もちろん、会話程度の音はきけます。

そして、もし彼らが、耳栓の可聴域で騒音をだせば、おそらく周辺住民のほうに先にまいるであろう事実を明記します。そのくらい性能が上がります。水分が完全に蒸発する6時間くらいもつでしょうか？お勧めです。

静寂を楽しむというのは生まれて初めての感覚です。
普段意識してこなかったけど、静けさって大事なんだなと実感します。

騒音が連続的に感じられると、警戒心が必要以上に大きくなり、それが神経にダメージを与えるのだなと実感します。

ネットでこんな話を読んだ。やはり同じような被害者の女性のブログ。

同じような集団威圧を受けているのが、記述からわかる。

その人はこんな書き込みをしている。

自分が作った手製の服がある、他に同じものは無いはずなのに、似た服を着た人をやたらみる、東急ハンズでは売ってたりする…、似た経験は僕にもある。こういう感覚は被害者がみな訴えるものらしい。

でも、中には考えすぎのものもあるのだと思う。

集団で威圧することで、警戒心が24時間稼動する事により、感覚がおかしくなるのだ。

暗示の仕掛けと気づかないと、ふりきれない。

君も同じ目に遭ったのだろうか？心配です。

静寂はやはりいいものです。最近はものすごくよく眠れます。

しばらくは漫画に専念して、静寂を楽しもうと思います。

ポイントは市販の耳栓を水につけてから付けるところです。

冷静な判断力の復活を期待します。

この状態（耳栓をつけた状態）で、音による威圧を慣行したら、

一番やばい相手から、相手にしよう。相手には悪いが予行練習になる。

敵の正体を知るためにも…

今夜のTBSラジオ「Dig」のゲストの言葉。

事業再生コンサルタントで、

7500万円の借金から立ち直った経験を持つ吉田猫次郎さん

知識ゼロからたった一人でやみ金と戦ったという。

監禁もされたし、法律もシロウトだけど、

ある日意識改革して、立ち向かう決意が出来たと言う。

借金は絶対かえさなきゃ、という地獄の暗示から抜けた彼は、初めてグレーゾーン金利のことや、未登録業者の事を知り、業者と交渉して、なんのかわりでトータルで半年で半分まで減らしたそう。頑張れば楽になれるという。

君の場合は“借金”ではなく、罪悪感で心を縛られてる…

やはり、抜け出すにはこの人のように意識改革が必要なんだと思う。

読んで欲しい本があります。

意識と知識のギャップが大きすぎると、ふさぎこんでしまう、でも
はずかしいから人に言いたくないでは、なにも始まらないそうです。

.....

〔火曜日 30日目〕その1
対応しなければ！！

幹部クラスのバカに何言われても。

自分が正しいとおもうなら突き進むべきだと思っ。

だって、間違ってるのは向こうなんだから。

え？無論、事業仕分けの話です。

他のなにでもありません。

〔火曜日 30日目〕その2

理由はしらないけど。理解不能です。

…人の最悪の気質を助長させる組織

いいの？それで。

その世界で子供を育てたいと本心で思ってる？

〔火曜日 30日目〕その3

命を軽んずる浅はかな連中、その仲間これからもいたい？

同類にみられたくはないのでしょ？

心の傷を乗り越えて！

〔火曜日 30日目〕その4

そんな世界にいたいなの？

「こいつ救いようが無い」

…そんな感覚を取り戻してほしい。

そんな状況でも、“心”に響くのかな…

暗示にかかりやすい？

心配です。

君の35年は無駄じゃない、それを証明する方法は1つしかない。日蓮の現存する正筆御書、これを読んで、いかに自分の行動が正しかったか確認してみればいい、納得がいくはずだから。

言葉遊びとオリジナルを追求する事は違います。

いまなら、たった35年で済む。あと残りの人生（40～50年）を無駄にしたいと…？

君自身の人生です。誰のものでもない貴重な君だけの時間です。

埋没費用サンクコストに惑わされないで。

…君がどう思うのか。

君の冷静な判断力を心から祈ります。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔水曜日 31日目〕

…君がどう思うのか。

君の冷静な判断力を心から祈ります。

もし、口論で負けそうになったらこう叫べばいい。

「黙れ！クソやろう！！」

反論に転じたい時は

「あんたの魂胆はわかっている！」

こういう言葉って、知らないと案外不便だったりする。

君の性格的に普段こういう言葉使わないでしょ？たぶん。

以前東京でおじさん二人の口げんかを見た事あるのだけど、お互いに悪口を知らないがために、最終的にバーカ、バーカと言いつつだけになってしまった。

悪口というのは、ある程度知ってないといけないのだと思う。

(知りすぎるのも下品で問題だけど、下品な相手に上品ばかりじゃキツイでしょ?)

〔水曜日 31日目〕その2

センテンス 「sentence」＝文。あるまとまった内容を表現し、言い切りとなるもの。
とある。

英語を学ぶとき使う概念だけど、なにも英語以外にもこのセンテンスという言葉は使えると思う。

君がつけた“教え”の中にはたくさん“センテンス(あるまとまった内容の表現)”があると思う。

そのセンテンスの語源、つまり本来の意味を知るのは、決して悪

〔木曜日 32日目〕

…君がどう思うのか。

頭のいい人は、ウソだと気づいてない人をたぶらかした方が、メリットがあると思ってる？

そんなの非常識だ！！と普通に思えたら貴方の心は正常です。

〔木曜日 32日目〕その2

君の1度しかない人生です。誰のものでもありません。

〔木曜日 32日目〕その3

全て敵？常識と思ってるじゃないでしょ？

気づかないと本気で思ってるの？

〔木曜日 32日目〕その4

僕は秘密のサークルの真実に気づいてから、世界観がまったく変わってしまった。

…今は、気づく以前の自分の考えと、今の考えを、どう整合性をあわせようかという考えます。

まさに驚天動地の心持です。

何しろ、いままで“そうに違いない！”と信じていた常識を足元から崩れ去ってしまったわけですから。判るだろうか？

君もこんな経験してみない？

傍目には悲劇に感じる話だけど、体験するとなかなかエキサイテ

イングです。

長年つかえていたものが全部取れるのですから。

何度か書いたと思う、人生って面白いといわざる得ないって。そんな心境になります。

君とまた同じ想いを共有できたら楽しいのにななどと想像します。

〔木曜日 32日目〕その5

君は要らない人間じゃない、必要な人です。

僕は知っています。

いらなと言ったらウソになる。真実は大切でしょ？

教えの持つ“センチンス”の本来の意味を調べるのは、
真実の追究という意味でなにも問題はありませんが、むしろ褒められる行為です。

僕の言いたい事が伝わっただろうか？

君に読んで欲しい本がある。

日蓮の現存する正筆御書、さがしてみてください。
教えの由来がいろいろわかると思う。

君の心の疑問を解決するものです。
常識の世界に腰を下ろしませんか？

君の“本能”に期待します。

…、もし言いくるめられそうになったら

「あんたは真実というのが何もわかってない！」

と言い返せばいい。

話の流れを自分の主張に戻す事ができるから。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

選民思想ってしってる？

優秀な人種を尊重し、劣悪な人種をきりすてる考え。

「バンド・オブ・ブラザーズ」第9話、第二次大戦のドラマ内にこんな話がある。

あるドイツの町を占領した主人公のアメリカ軍は、町で好き勝手にやりたい放題。

主人公はいつものように、豪華そうな屋敷に入り込み、酒を物色して…

とやっているのと、物音が。まだ住民が逃げ出してなく、おばあさんがひとりいたのだ。

最初おびえたおばあさんは勇気を振り絞ってアメリカ兵を叱り飛ばす。

略奪者アメリカ人を叱り飛ばすドイツのおばあさんの図式だ。
倫理観がもどったアメリカ兵は自分を恥じる。

ところが、その日のうちに、この町外れで、放棄されたゲットーが発見される。

おおくの死体と、家畜のように扱われたユダヤ人がとりのこされた地獄絵図。

町では本格的なアメリカ人による略奪が起こる、生き残ったユダヤ人のために、

食料を確保するための略奪だ。抗議する住民に平気で銃口をむけ

るアメリカ兵。

翌日。町の住民は放棄された収容所へつれてこられて、山なりにつまれた人の死体の埋葬作業をさせられる。

町の住民はこの時点になり、はじめてこの悲惨な状況を目の当たりにしたのだ。

町の住民も当然ユダヤ人を差別していた、自分たちが優秀なんだから仕方が無いと思っていた。

けど、現実には人間の死体が家畜のように山とつまれて捨てられた光景を見て、誰一人反論できなくなる。

例えそれが、差別してきたユダヤ人の物でも。

あれほど前日、アメリカ人の略奪に抗議した者も、反論できなくなってしまう。

…差別といっても、ここまで徹底した差別を人間がしているのだろうか？

という人なら当たり前にもつ感情がよみがえってきたのだ。

正義と悪の議論はつきないけれど、人間にはやってはいけない限度というものがある。

アメリカ人の行いも正しくは無いけど、

ドイツのこれは半端なくひどい。

この話は実話を元にしてているそう。

なまじ金かけて映像化している分、問答無用で「これはひどい」と思える。

何が言いたいのか？

「無知と誤解」が原因です。目をつぶってはいけません。

この話をみても、優秀な者が生き残り、ダメなものを切り捨てるのが正しいとか言うやつがいたら、そいつは本気で狂ってると思う。

…そうだよなと少しでも思えたら、貴方の心はまだ助かります。

.....

〔金曜日 33日目〕

…君がどう思うのか。

ビニールをガサガサ音を激しくたてる、ターゲットの近くで…

主に婦人部がよくこれやっていた。

この音域の音を24時間聞かせられたら、こんなささいな音ですら気に障るようになる…

暗示の技術です。

君もやった事あるのだろうか？

こんな事これからも40年も50年も続けたい？

本当にそれでいいの？

しあわせ？

〔金曜日 33日目〕その2

擬似人種差別…。

君らしくない趣味です。

差別は蜜の味？

…僕の知るFさんの性格では、心から楽しんでいるとは思えない。
ものすごくいやいやでしょ？

どう？

〔金曜日 33日目〕その3

それこそ、本当に彼らと同じになってしまっ。

君の心はそれで耐えられるの？

君が埋没費用サンクコストの呪いにとらわれず、
冷静な判断が出来る事を…

〔金曜日 33日目〕その4

普段からスイッチが切り替わる訓練をされてる？
まるで別人になる…

こんな連中と同じ事をいつまでもしたい？

どう思ってるのだろう？君が犯罪の片棒を担ぎたがっているとは思えない。

心の傷を乗り越えて！

〔金曜日 33日目〕その5

僕はこの通りちゃんと生きています。

僕は知っています、君が人を見下すのが得意でない事を。

やはり、君の存在は僕の人格の重要な構成要素の1つのおようです。

17年前に君が求めた疑問の答えを、ようやく今出せます。

君に読んで欲しい本がある、

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。

詳しくは21話参照

…どちらを選ぶかじゃない！

大事なのは自分の心だ。君の強さに期待します。

.....

〔土曜日 34日目〕その他1

言い合いの最中に、反論できなくなる時ってない？

何かしゃれにならない悪口や中傷をされたら、こっつ返せばいい。

「おもしろい、わらせる」

これで止まらなかったら、以前書いた、

「だまれクソやろう」

で、対応できると思う。

〔土曜日 34日目〕その他2

人間が磨かれると、まさか本気で思っ
てないでしょ？

…そうだよなと、少しでも思っ
たら、それは正常な反応です。

〔土曜日 34日目〕その他3

…やはり“暗示”の肝^{きも}は24時間連続してストレスを与えること
なんだと思う。

耳栓を使う事で、静寂の時間のコントロールを自分の手に戻して
以来、いつもあれほど耳障りだったものがちつとも気にならなくな
っている。どうやらこの方法は正解らしい。

あとは、就職活動か。

昔からバイト探しかやたらと苦戦するのも、何か影響があつた
のだろうか？

他の人が容易に見つけるのに、いつも自分だけ苦戦するのが解せ
なかった。

ま、それでも過去何とかしてきたわけだから、今回もなんとかな
るでしょう。

久しぶりに、このフレーズを書こうと思う。

君はこれを読んでいてくれるだろうか？

君が頑張れるなら、僕も頑張れる。

.....

〔日曜日 35日目〕その1

和を乱したくない？

…何を根拠にそんな事を言うのか考えて！

〔日曜日 35日目〕その2

懸念したことない？やりすぎてるって。

こづいう“正常な感覚”忘れてない？

〔日曜日 35日目〕その3

読んでほしい本がある

〔日曜日 35日目〕その4

“真面目に信心すれば邪義を唱え広め、発表してもかまわない？”

僕は見た事があるので。

僕をはめようとするおじいさんの顔を

電車に乗っていると、誘導されるようにおじいさんの隣の席が空き、満員なのに誰も座らない。

「まあいいか」

と座ると、案の定隣のおじいさんがなにか叫んで文句をいう。

しかし、最初自分に言ってるのと判らなかつた、

なぜなら、こちらを一切見ないで前方をみながら怒りの声を上げているからだ。

まるで独り言を叫んでいるイッチャってるおじいさんのようだった。

無視していると独り言が激しくなる。

「もしかして、僕にいつてます？」
と訊くとそうだと答えた。

察するに、僕を怒らせて暴力を振るわせたかつたらしい。
だからものすごい緊張しながら叫んでいたのだ。
本当に怒っている時とは明らかにちがう感じだった。

あきらかな言いがかりを現在口走っているわけだから、
きつと心のなかの倫理観を必死に押し殺しながら叫んでいたのだ
と思う。

自分で悪い事してるという自覚があるからだ。

心のなかでこう唱えていたのだろうか……
“たとえ邪義を唱え広め、実践したとしても。まじめに信心して
るなら正しい事なのだ”と。

結果として教えが広まるなら、まちがった行動をしても構わない！
許されるんだ！私は悪くない！
……たぶん、普段はやさしいおじいちゃんなんだと思う。

こんな人にこんな事強要する組織。

君もこんな事強要される（された）のだろうか？いままで何度あ
ったの？

大丈夫？心配です。

これをマキャベリズムと世間では言います。

（マキャヴェリズム（英：Machiavellism）は、
ルネサンス期に『君主論』を書いたマキャヴェッリに由来する言葉
で、目的のためには手段を選ばない、目的は手段を正当化するとい

った意味で使われる。その一方、マキャヴェッリの言葉を断片的に捉えて解釈し、あるいは都合のよいように解釈した結果だと主張するものもいる。

たとえば、「国家が危機に陥った場合政治家は、（国家存続の）目的のために有効ならば、手段を選ぶべきではない」という言葉を、ただ単に「目的のためなら手段を選ばなくてもよい」と解釈する考え方。これはマキャヴェッリの思想とは異なっているが、長い間誤解され、批判され続けた。また、このマキャヴェリズムから派生して生まれた、権謀術数主義者（目的達成のためには手段を選ばない人）を指す語を「マキャヴェリスト」という。）

こんな事もうやりたくない、と僕の知るFさんなら思うはず。それほど外れてないと思うけどどうだろう。

ともかく、あの自分の中の倫理観を押し殺しながら悪い事をする人の表情というのはかなり強烈です。

自分のなかの恐怖心と戦っているというか…

そんな世界にいたいのか？

「日曜日 35日目」その5

君の心に問いかけます。

「真面目に信心すれば邪義を唱え広め、発表しても言い事になっ

ているのが仏法」

…というのが、どんな経緯でできた言葉なのか、

“日蓮の現存する正筆御書”を読んで調べてみてほしい。

詳しくは21話参照

君の心の疑問が解けるはずですよ。

食い下がってほしい。

.....

〔日曜日 35日目〕その他

…君はこれを読んでいるだろうか

耳栓を使う件ですが。

小さな小瓶にお湯（やけどしない程度の）を入れて

その中に耳栓をいれておいたほうが使い勝手がいいみたいです。

熱湯で消毒するのもありだし、

定期的買い換えれば衛生面で問題ないとおもいます。

.....

〔月曜日 36日目〕その1
ルールをまもってないのはどちらか。

〔月曜日 36日目〕その2

…そうだよな、1部でも迷惑行為をすると、
まじめにちゃんとやってる人間までも“そういう”風に見られて
やだな、

と、思える事ができるなら、まだ貴方の心は救いようがあります。

〔月曜日 36日目〕その3

まじめにやらない人って嫌いです。

〔月曜日 36日目〕その4

たぶん“まじめ”の定義がちがう。

〔月曜日 36日目〕その5

不真面目な人間ほど、このあたりあやふやにしようとする。

〔月曜日 36日目〕その6

名残惜しむ？何を？

〔月曜日 36日目〕その7

自浄能力

〔月曜日 36日目〕その8

君のことが心配です。人は必ず立ち直れる。

〔月曜日 36日目〕その9

バレない事ならなんでもやる…？

〔月曜日 36日目〕その10

わがままを仏法という隠れ蓑で“正当化”してるだけじゃないの？

〔月曜日 36日目〕その11

心の傷を乗り越えて！

君に読んで欲しい本がある。

“日蓮の現存する正筆御書”を読んで調べてほしい。

仏法を無視してもいい状況とはどんな時なのか？

誰にも止める事ができない“超”正当な勉強です。

…君はどう思う？

過ちをこれ以上くりかえしてはいけない。

心眼を心がけて！君の名前は物事の本質を知り、理解する人という意味の字が入っている。

名前に恥じない行動を…

(まだ加筆予定あります)

.....

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

読者諸君へ

この小説はフィクションです。現実のものではありません。
少し時々直します、読みやすくなっていければうれしいです。
全ての人に平等に平和が訪れますように。
彼女の行動をあなたかく見守っていたただけたらうれしいです。
ラスト彼女が幸せになるかどうかは読者の皆様が決める事です。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

校正という職種があります。誤字脱字や文法の間違いを直す仕事
です。こういう仕事(資格)があるくらいですから、プロの世界で
も誤字脱字は日常茶飯事と考えます。

(この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・
団体等とは一切関係ありません。)

第20話 再生と復活と未来（未来へと続く話その7）（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第21話 未来？「脱出の心のヒント」（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第21話 未来? 「脱出の心のヒント」

(この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。)

Fさん、君の35年は無駄じゃない、それを証明する方法が1つある。

日蓮の“現存する正筆御書”、これを読んで、いかに自分の行動が正しかったか確認してみればいい、納得がいくはずだから。

もし上記を読むことを否定する人がいたら、仏教を否定する事になる。

(もしいたら、まさに“哲学なき日本人”の生きた見本です。いないと思うけど。)

仏教を否定して、日々の活動を肯定はできないでしょ。

35年もやってるなら、読んで理解できるはず。理解できない時点で、おかしいと感じられたら…

君の創意と工

夫に期待します。

.....

詳しい人が日蓮の現存する正筆御書について詳しい解説をしてくれています。

どうも調べると、教えの方法以外で悟りを目指すのは禁止されているそうですね、ならばオリジナルを追求するのはありでしょ？

下記を要約すると、疑いだすときりが無いくらい本物、偽者があふれかえっている。

ひととおり目ぼしいものをいくつか読破して自分なりに納得するのがいちばんでしょう。

これは、君自身の心への回答が得られる方法でもある。

邪道とは程遠い“超” 正当なものです。

17年前、君に答えることができなかった。その罪ほろぼしになれば…。

Fさん、がんば

って。応援しています。

(以下コピー)

日蓮遺文集の中で最も権威ある書と言われる『昭和定本日蓮聖人遺文』に収録されている遺文の総数は434編にのぼります。

その中で、日蓮真撰とされているものが222編、真偽未決のものは157編、明らかな偽書と断定されているものは55編に及びます。

日蓮遺文の中で真筆が完存しているものは真偽の問題から除外して、上代の時代写本が現存するものは粗真撰であろうとされていますが、真筆も時代写本も無く録内、録外にも掲載されていない遺文と伝承されるものは厳しい文献考証を経なければ、日蓮遺文であるか否かは解かりません。

さて、「本尊」の問題は日蓮門下の各宗派の教義学の込入った問題なので触れないことにしますが、日蓮の佛教思想を知る上で、彼の図顕した文字曼荼羅（妙法曼荼羅）の研究は欠くことのできないものだそうです。

現在、間違はなく日蓮真筆の曼荼羅とされるものは、総数123幅になり、その内訳は文永期25幅・建治期21幅・弘安期77幅と弘安期の曼荼羅が過半数を占めます。

勿論、日蓮遺文と同様に、所在不明のものや既に滅失したものもありますし、調査に非協力的な一部の寺院もありますから、これが全てではありませんが、しかし、それらの曼荼羅には年代順を追って儀相の変遷が見られ、日蓮遺文の思想の発達と対応していることが確認されます。

また、曼荼羅には顕示年月が記載されているものと、未記載のものがありますが、記載されているものには一例の例外も無く、必ず干支が記載され、現在、日蓮真筆と断定されている曼荼羅は全て紙幅のものです。

また、多くの曼荼羅に「未曾有の大曼荼羅也」（万年救護の本尊は「大御本尊也」と書かれており、何も大石寺の「本門戒壇本尊」だけが「大御本尊」ではないのです。

日蓮の遷化前後の様子を記録した白蓮阿日興筆の『宗祖遷化記録』には「六老僧」のことが書かれています。が、「不次第」と書かれており、誰かを自分の唯一の跡目だとは書かれていません。

これは日興真筆が完存しており国の重要文化財に指定されています。

所謂、日興のみが日蓮の「正嫡」だとする『二箇相承』なる相伝書も、真筆はおろか時代写本も無い代物で、現在西山本門寺と京都要法寺に後世の写本と伝わるものが存在しますが、年月日が記載されているものは日蓮の晩年の旅程との日付けが合わず、月日が未記載のものもあり、日興始め日興の弟子の日代の書簡にも記録が無いので、そのような相伝書は始めから無かったと見たほうが無理が無いとの指摘もあります。

この『二箇相承』は重須（北山）本門寺にあつた正筆が戦国末期の武田の兵乱で散逸したとされていますが、要法寺側の記録との相違が見られ、北山本門寺の見解とも相違しますので、極めて怪しいと言わざる負えません。

その他、『日興跡条条事』にも、著しい改竄の痕跡が認められます。

「本状は置状、讓状としては年号のないことや、全体の筆使いから、日興上人筆には疑義が提出されている」

(『日興上人全集』P130)

『日興上人全集』には大石寺所蔵の正本の写真が掲載されていますが、大石寺が現物の公開を拒んでいるので、疑惑が深まっています。また、大石寺59代堀日亨は以下のように述べています。

堀日亨の註

「おおよそ四字は、後人故意にこれを欠損す。授与以下に他筆をもつて「相伝之可奉懸本門寺」の九字を加う」と改竄(削除・加筆)があることを認めています。

また、日興花押は他の日興筆のものとの相違が見られ、後世の似せ書文書では無いかと訝る研究者もいるほどです。

皮肉なことに、日興の遺文の研究から日興の正嫡を自任する宗派の、正宗の正統性を主張する為に行った後世の捏造・改竄が明らかになりつつあります。

要するに、始めから無いものが残っている筈がないのです。

殊に、無くてはならないものだけが、見事に全て残っていないと言うのは不思議?としか言いようがありません。

なるほど、永い年月の間には、貴重な資料も少しずつ消滅するでしょう。

しかし、日蓮よりも遙かに古い貴重な文書が多く残っているのですから、正宗の正統性を主張する上に於いて欠くべからざる文書だけが、ただの一つも真筆が残っていないと言うのは理解に苦しみます。

ご参考まで。

「嘘」と言つと角がたつけどね。自流の正統性を主張する為に、後世の末流達が宗祖・派祖の事績を粉飾するというのはよく有ることなのです。

.....

人の正常な判断を狂わす要素に「埋没費用^{サックコスト}」というものがあるらしい。例えるなら、太平洋戦争末期の

「今、ここで戦争をやめたら、これまで討ち死にした兵士の命がむだになる！」

といつて、ずるずると戦争をひきづつてしまうような状態のことを言う。こういふ風に、過去についてやしたものを惜しんで中止できなくなる状態を“サックコスト（埋没費用）の呪い”と呼ぶらしい。

この状態のなるポイントは“もつたいたい”と感じてしまうところだ。でも“何が”本当に“もつたいたいのか？”を考えないといけない。

単純に過去に費やした時間をもつたいたないと勘定するのが正解か？
それともこれから費やす時間をもつたいたないと勘定するのか？

君がサックコストの呪いにかからず、冷静な判断が出来る事を……
心から願います。

.....

Fさんへ

…これが、「近くにいたい」と思う動機の1つです。

どんな名医であろうとも、医療ミスをして患者を死なしたり、危険な目に遭わしたりしたら、それ相応の償いが求められる。けっしてお目こぼしは許されない。

ある病院での実例だが、患者の承諾なしに臨床試験薬が使われ、猛烈な副作用と戦う羽目になった。

しかも、患者の死後はじめて臨床試験のことがわかる、それも、家族の（臨床試験への）同意書が偽造されていたのが発覚したからだ。家族は怒っている、人体実験じゃないか！と。

僕はこれよりひどい目に遭っている、そう同意できる人は正常です。

…出来ない人は、洗脳されている可能性が非常に高い。

洗脳＝ブレインウォッシングという言葉が歴史に初めて登場するのは朝鮮戦争直後の事です。

北朝鮮から帰還したアメリカ人捕虜が、みな北朝鮮を絶賛する、けど、どうも様子がおかしい。

幸いアメリカには、CIA、NSA等情報戦の専門機関があり、彼らを調査、けっか思想誘導をうけた痕跡を立証するにいたり、こ

の時はじめて“ブレインウォッシング”という言葉が作られました。他に形容できる表現が無く、新しく言葉を作らざる得なかったのです。

この技術は中国から譲渡されたもののようです。

おそらく元はソ連で生まれたものでしょう。

北朝鮮に伝わる頃には実績を積み重ね洗練されたものへと進化したものであったと推察します。

そう言えば、北朝鮮では公開処刑が今も行われ、周辺住民は強制的に見学させられるそうで、

公開処刑は見せしめになり、人心をコントロール下におくのにつてつけです。

まあ、日本で公開処刑など、ありませんけどね、普通。

これを見て公開リンチなど参加した

くないと思うなら正常です。

…あ、でも強制参加なのか。（もち

ろん、これは北朝鮮の話です）

貴様！お上の決めたことに逆らうのか！

…時代劇だよ、こんなの。

貴様！上の方針に逆らうのか！

…倫理的に（法律的に）正しいくないなら、逆らって当然でしょう。

なぜお目こぼしになる！

…これが今の日本なら悲しいね。

ちなみに、アメリカ人が洗脳を解くのに3年ちかく時間がかかったと聞いた気がします。

当事者でないかわからないけれど、相当なにか強力に暗示されてしまうのでしょうか…。

…これが、「近くにいたい」と思う動機の1つです。

アメリカ人は家族の支えで救われたと聞きました、洗脳が解けたとき、「やっとあなたの心が帰ってきた」と家族は言ったそうです。いい言葉だと感じられるんなら、まだ、大丈夫です。

- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -

「長期指標？」

これが何年か先、本当に役に立つかわからないけど、一応書きます。

タウンページの該当地域には僕と同じ苗字のTEL番がいくつか載っている…。

もし、創意と工夫があれば…。(全部にかけちやうとかね)
あと、営業電話と勘違いされても、めげずに…。(実際そういう電話もあるから)

これが役立つ日を夢見ます。君の創意と工夫に期待します。

- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -

「一応…書くだけならいいかなと。」

これもいつか役に立てばと…。

タウンページには住所も載っている。グーグルに打ち込むと正確な場所が出る。

僕はこの方法で君の実家突き止めた…。

何かの参考になれば…。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

- - - - -
- - - - -
- - - - -

(この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。)

第21話 未来？「脱出の心のヒント」（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第22話 未来へと続く話その8 (前書き)

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第22話 未来へと続く話その8

(この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。)

〔水曜日 1日目〕その1

もしかしたら、たくさんの“やるべきこと”を課して、余計な事考えられなくさせる。

…そんな状況に君は追い込んで、忘れさせるなんて事あると思う。

その行動は、本当に多くの人に“やるべきこと勇氣”や“希望”を与えるものなのかどうか考えて欲しい。

“絶望”や“恐怖”を与えてやしないかと。

〔水曜日 1日目〕その2

…ずっと黙ってようと思ってたんだけど
それ、善意の無駄使いです。

「わかってるわよ」とか言われそうだけど、
言つべき事は、言う。

これが17年前に君が僕に投げかけた問いへの答えです。

〔水曜日 1日目〕その3

君はあれをあと40年も50年も続ける気なの？
今なら35年ですむ。

東京とこちら、2箇所何度か見た

婦人部特有の威圧行動なんだろうけど。
足の不自由な人の真似をして、くにゃくにゃとあるくやつ。
君もあれやったことあるのだろうか？

上記のような変態はともかく、
サンバイザーを垂直にかぶるやつはやったことあるんじゃないだ
ろうか？

つづきたい？

やらされたい？

そんな世界にいたい？

子供にも君と同じ思いをさせたい？

事故を反省しない組織。

829

3人いると他の皆も同じ行動をとる…
今日テレビでやっていた心理学的現象。
これは僕が以前ここで書いた“トランス・オブ・ウォー”
の理論と同じものだと思う。(第4話参照) いづれ詳しく書きま
す。

みなだまされてる。

君だけの人生です。

読んで欲しい本がある

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。

詳しくは21話参照してください。

「サンクコスト埋没費用の呪い」にかかわらず冷静な判断が出来る事を期待します。

- - -
- - -
- - -
- - -

〔水曜日 1日目〕その4

権力の暴走をつねに監視し、せいがいせうじ掣肘する者たちが機能しない社会…

昔の事でホント良かったです、近代社会でよかった。

…そう思えたら、まだ救われます。

え？何の事か？メフメット2世時代に確立したオスマントルコの専制君主体制の事です、他の何でもありません。何を想像したんですか？

え？メフメット2世って誰だつて？

1450年代にコンスタンティノープルを陥落させたトルコの王様です。

彼はそれまで名のある知識人を重用していた習慣をあらためて、自らの奴隷に教育を施して知識人にして国政を担わせました。奴隷出身の知識人のほうが、一般の名高い知識人よりも何でもいう事きくからです。こうしてオスマントルコは1人に権力が集中する専制国家へなりました。

なに、世界史における専制国家の成立の1形態について書いたままでです。

他の何でもありません。

そういえば中国でも科挙で受かった官僚よりも、奴隷である宦官を重用するようになり、末期ではそれがあだになり有効な政策が討てなかったことがあります。

専制体制は強固な国家を構築しますが、前提条件や外的要因が大きく変化したとき硬直化して動けなくなる欠点があります。「忠実だが、柔軟な人材がない」状態になるからです。

「にはろくな人材がない」と誰が言ったか忘れましたが、いつていた偉い先生がいましたね。

〔水曜日 1日目〕その5

嫌な事があった時、

人生で一番しあわせだった記憶を思い出すと立ち直れた。

ちなみに、僕にとってのそれは、あの2人きりの永遠とも思えるあの瞬間の出来事です、あの時、君は完全に心を開いていた。

人が心を開いたときどうなるのか僕は君から教わったわけです。

大切な思い出です。

誰も奪う事が出来ないものです。

君はどうなのだろう…。

久しぶりに山崎まさよしのあの曲を聞いた…

ほんとに奇跡的に、1字1句間違つことなくあの日々の思い出の記憶と対応している。余分な歌詞は1つも無い。

奇跡を君は信じますか？

〔水曜日 1日目〕その6

あのターゲットのすぐ近くでタイミングよくエンジンをかける音をきかせるというのも、気のせいかおばさんが多かった気がする…
婦人部特有のものなのだろうか？

君もあれやった事あるのだろうか？

そんな事これからもつづけたい？

わざとしかめっ面も、これからもやりたい？

君がこれらにやりがいを感じているとは思えない。

慣らされて感覚が麻痺してない？

今、第1話を読み返すと、ホント純朴だよなと感じる…、自分で言うのもナンだが、人を疑う事をまったく知らない。ああいうところを気に入ってくれたのだろうか？

第1話を読むと、自分を取り戻します。君が好きでいてくれた自分に戻らなきゃという強烈な意識が働く。以前の僕と今の僕、根は同じなんだけど、君はどう感じているだろう。

…文章からいろいろ感じ取ってくれていたら嬉しいです。

君は奇跡を信じますか？

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。

詳しくは21話参照してください。

「サンクコスト埋没費用の呪い」にかからず冷静な判断が出来る事を期待します。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔木曜日 2日目〕その1

愛されてる？

〔木曜日 2日目〕その2

今日ニュースで、パロマ給湯器不正改造事件の被害者の映像を見た。

「ご両親が息子の遺影と共に記者会見している。
涙ぐんでいる。」

以前の僕なら、それほど感じなかったに違いない。

けど、今は違う。

もし、あの遺影が君だったと仮定したら？

そう思うとなんだかいたたまれなくなってしまった。

以前よりも人の気持ちがわかるようになったのだと思う。

そちらの世界には、

オレがルールをつくる。オレが正義。

とか言ってる（思ってる）人が山のようにいると推察する。

そういう人たちによって、こういう事件って起こるんだと思う。

人の気持ちが理解できる人は口をつぐみ、
人の気持ちが理解できない人が闊歩かっほしている。
そんな世界に意味はあるの？

気持ちを理解されない事を何よりも嫌っていたと思うけどどうなのだろう…

その辺のところ、聞きたいと思います。

〔木曜日 2日目〕その3

本当は自分たちが愚かな集団だと皆、気づいているはず。

〔木曜日 2日目〕その4

どの辺が愚かなんだといわれたら？その人が気づかない時点で、おかしいと思ってくれたら嬉しいです。

〔木曜日 2日目〕その5

頭に“すばらしい”を付ければ、そうでもないものも、そう感じ
てしまう事、実際あります。

〔木曜日 2日目〕その6

そうだよ、そのの何が悪い？といわれたら？
浅ましい…、と感じられたら、貴方はまだ大丈夫です。

君に読んで欲しい本がある。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。
詳しくは21話参照してください。

そんなもん読む必要は無い！

と、敬意すら払わない人がいたら、その時点でおかしいと感じて
もらえたら嬉しいです。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかかわらず冷静な判断が出来る事を期待
します。

- - -
- - -
- - -

〔金曜日 3日目〕その1

都合がわるくなると、被害者ぶるのは、はなはだ嘆かわしい。

…まさかだけど

1人やるも、2人やるも同じとか、

まさか言われてないよね。

〔金曜日 3日目〕その2

わずかな人間が富と力を独占している事実から、目をそらすため
に、人為的に敵をつくっている？

…え？何のはなしかって？

ローマ時代の闘技場の話です。割と有名ですね。

殺し合いを見て興奮し、日々の不満や為政者への不満を解消して
いたそうです。

だから、娯楽を切らさないように、つねに工夫してローマ市民が
飽きないようにしたそうです。

闘技場に地下空間があり、見世物のように戦士や野獣がせり出し
てきて戦うなんて演出も、その一環です。

現代人から見れば、その光景はおぞましいかぎりですが。

昔の人は野蛮です。本当によかった、現代にうまれて。

… ホントそうだなと、少しでも感じたら、貴方はまだ大丈夫です。

〔金曜日 3日目〕その3

それが世の中なら仕方が無い…、というのもわかりますが。

そもそも、そういう世の中を良くするための“それ”とちがうのでしょうか？

本末転倒って言葉、ありますね。

知っていたら、誰か意味を教えてください。

君はどう思いますか？

〔金曜日 3日目〕その4

劉少奇ライバルの妻がスカートと真珠のネックレスを付けていたというだけ
で犯罪者とし、

紅清は彼女を拷問にさらしたそうです。

紅清とは毛沢東の妻。夫の失脚後、中国を支配した4人組の1人。
何万もの人を弾圧しました。

これに対して周恩来はこう言った。

「まったく考えられない、真夏に鳥肌が立つようなものだ」

周恩来はもともとは毛沢東により、追放され、何度も肅清されかけたけど運良く生き延びた人物です。

この時代、中国とロシアは本気で核戦争の覚悟をしていたと聞き

ます。

1960年代末の出来事です。

毛沢東派の態度に当時のロシア（ソ連）は本気で頭にきていたようです。

なぜなら、自分と思っていたのに、それらしくない態度をされたからです。

ロシアは本気で核戦争を覚悟します。

当時、日本人は何も知らず高度経済成長していた時期です。

もし、中口国境で核兵器を使えば、その“死の灰”（核反応しきれなかった放射性物質、核爆弾内の核物質は2割ほどしか核反応を起さず、残りの8割は“死の灰”として降り注ぎます、そりゃ、吸い込めばガンになりますよ、純度100%に近い放射性物質なんですから）は、ジェット気流にのって日本本土に降り注いだ事でしょう。

ちょうど中国のゴビ砂漠あたりからくる“黄砂”^{ホウチ}と同じ原理で、“死の灰”は日本中に振りまかれた可能性は非常に高く、とても無視できるレベルの可能性ではないと思います。

けど、ふらなかった。

当時アメリカとロシア（ソ連）はデタント関係にあり、（デタント＝仏：Detente）とは、戦争の危機にある二国間の対立関係が緊張緩和することを意味する（アメリカがロシアを説得して戦争は回避されました）。

4人組は自分たちがそこまでひどい事をしているという意識のないうまま1970年代半ばまで政治闘争を鷲進します。

しかし、毛沢東死後急速に支持を失い、最期は全員逮捕され惨めな終わり方をします。

他人の権威を借りて振りかざし、中国をひっちゃかめっちゃかき回し、さんざんに迷惑をかけた末の末路です。彼らがいなくなったら、中国はもっと早く発展したかもしれません。

その後中国が、先に触れた周恩来をへて、？小平へと続き、現在の路線にたどり着いたのはいうまでもありません。

今でも中国は人権的に問題をかかえてますが、昔にくらべたら随分進化したものです。

むしろ当時の後遺症がでかすぎて、なかなか回復できないのかもしれないですね。

ちなみに周恩来は田中角栄と不可能と思われた日中国交正常化を成し遂げた人物です。当時じつは末期ガンで、本当は立ってるのもやっとだったはずなのに、写真を見る限りまったくわかりません。死線を生き延びた人間は根性が違うという事でしょうか。

こういうまともな人がいなかったら、きっと歴史も変わっていたでしょう。

…ほんと、中国にまともな人がいて良かった！って思いませんか？

隣人（隣国）が変だと本当に大変ですから。

下手すると核の死の灰が降って来かねないわけで。

…そうだよな、と少しでも感じられたら、あなたはまだ救われません。

戦いが好きな人は、せいぜい人の迷惑にならないところで、やってほしいものです。

君は、どう思いますか？

〔金曜日 3日目〕その5

ライバルの妻がスカートと真珠のネックレスを付けていたというだけで犯罪者…

せつかく皆が純粹に持つ“正義感”が誘導され、上記の理由だけで多くの理由だけでたった1人の女性をつるしあげた。

だから何？という人は、人の気持ちが変わらない人だと思つ。そんな世界にいたくないでしょ？

君はどう思いますか？

どこかのお寺で監禁でもされてなければいいけど。

もし、そんな事されていたら、そんな事をする事自体がおかしいと感じてくれたら嬉しいです。

君に読んで欲しい本があります。

〔金曜日 3日目〕その6

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。詳しくは21話参照してください。

「サンクコスト埋没費用の呪い」にかかわらず冷静な判断が出来る事を期待しま

す。

- - -
- - -
- - -

〔土曜日 4日目〕その1

君はどう思いますか？

〔土曜日 4日目〕その2

変えたほうが…

〔土曜日 4日目〕その3

きつと生き方も変わっていたでしょう。

〔土曜日 4日目〕その4

良かった！って思いませんか？

〔土曜日 4日目〕その5

そもそも、そついう世の中を良くするための“それ”とちがうの
でしょうか？

〔土曜日 4日目〕その6

人の正常な判断を狂わす要素に「埋没費用^{サンクコスト}」というものがあるら
しい。例えるなら、太平洋戦争末期の

「今、ここで戦争をやめたら、これまで討ち死にした兵士の命がむ
だになる！」

と行って、ずるずると戦争をひきづってしまつような状態のこと
を言う。

こつという風に、過去についやしたものを惜しんで中止できなくな

る状態を

“サンクコスト（埋没費用）の呪い”と呼ぶらしい。

〔土曜日 4日目〕その7

昔、うちに彼らのポスターが貼られた話を、君にしたと思う。

かなりうすい記憶になってるけど、君は動揺したのを覚えている。

「いつの事？」

とか、君は訊いたんじゃないだろうか？たぶん。

それが最近でなく、随分前、小学生の頃の事だと聞いて、君は少し安心していた。

…僕は、そのポスターのせいで誤解され、祭りに行っても「いいの？お前来て」とかある1人の人物によく言われた。

彼は同級生で、完全に僕を彼らだと思いつ込み、事あることに指摘した。

今にして思うと、あいつは間違いなく“普通の人”だったのだろう。

周囲にたくさんいたであろう本物の彼らは僕とあいつのやり取りを、どんな風に見ていたのだろうか？

「その人は今、どうしてるの？」

と君は僕に聞いたような気がする。17年前の記憶の中でもかなりあいまいな部類の記憶だ。

君が、先輩の正体をあかし、その名が2人の話題に始めてのぼった頃の会話。

たぶん、部活中、パート練習の最中の記憶だと思う。

「（その人は）引越したよ、その後すぐに」

事実である。理由は知らない。

彼は1度突然引越し、また理由もわからず戻ってきて、再びまた

消えた。それ以来戻っては着てない。その事を君に話すと

「えー！」と君は言ったように覚えていて、違っただろうか？
見ず知らずで、しかも僕の嫌っていた人物の去就にたいして、
君が随分、感情移入したりアクションをしたのが意外で、印象的
な記憶になってる。

君の“わかるかな？わからないよな、でも気づいてほしいな”と
いうじれったそうにしている様子、よく覚えています。

今はあの時と違います。同じものを君と見る事が出来る。

〔土曜日 4日目〕その8

記憶の答えあわせをしたいものです。

君のもつ当時の記憶と照らし合わせれば、当時の想い出は完成す
る。

僕の記憶の間違いを指摘できる人物は、この世で君ただ1人です。

〔土曜日 4日目〕その9

君も、だれかストーリーキングしてばれそうになったら、やはり見知
らぬ私有地に逃げ込んだ事あるのだろうか？

あれ、これからも続けたい？

おばあさんになるまで。

いまならたった35年で引き返せます。

君に読んで欲しい本がある。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。
詳しくは21話参照してください。

「サンクコスト埋没費用の呪い」にかかわらず冷静な判断が出来る事を期待します。
す。

君の創意と工夫に期待します。

- - -
- - -
- - -

〔日曜日 5日目〕その1

こんな事思った。

“彼ら”は何でも自分に都合よく解釈する…

僕が外出を控えていると、弱ってる？と解釈するのだろうか？
そんな事ないのは、わかりきった事なのに。

君ならどう思う？

〔日曜日 5日目〕その2

今日久しぶりに、タイミングよくあくびする人を見た。
あれは、男がよくやるから君はやった事ないのだろう。

むかし、道でおおあくびをした時、部活のメンバーから

「それ、はしたないからやめる」
と、言われた事がある。

「でも、してる人よく見るよ、みなやってるから、いいんじゃない？」

と、答えたら、そいつは黙ってしまった…

そんな記憶あります。

タイミングよく、車の窓からごみを捨てる人、あれは女の人ばかりだ。

ものすごくみぐるしい様…。

あれも…、いやまさか、君があれをやる様子は想像できない。

でも、白いマスクつけて徘徊くらいは、やった事あるのだろうか？

思うに、外出すると、意外っ！とリアクションつける。

そんなに意外なのかな…

君はどう思う？

あんな“はしたない事”君が好むとはどうも想像つかない。

僕の知るFさんは“超”がつくほどの恥ずかしがりやだ。

どうなのだろう。

続けたい？それ。

「日曜日 5日目」その3

君に読んで欲しい本がある。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。

詳しくは21話参照してください。

対立相手から一時的にやさしくされると、心がぐらっとくるでしょ？

そういう時は

「貴方の同情などいらない」

と1度すごんで見るといいかもしれない。

話が止まれば、考える時間も、自分の意見を言う間もかせげる。

君が「サンクコスト埋没費用の呪い」にかからず冷静な判断が出来る事を期待します。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔月曜日 6日目〕その1

感覚は？

〔月曜日 6日目〕その2

思っている？

〔月曜日 6日目〕その3

悪い事ではない

〔月曜日 6日目〕その4

安心して…

〔月曜日 6日目〕その5

落ち着いて、

〔月曜日 6日目〕その6

冷静に…

どちらにしても

〔月曜日 6日目〕その7

君の1度しかない人生です。誰のものでもありません。

あと40年も50年、どう過ごしたいのか？ということですよ。
現在の時点で35年。

さすがに50年とかいうなら、そりゃあもう引き返せないな、と
さすがの僕も思う。

でも、まだ35年。

考えるのは充分。

この先誰と、どう過ごしたいのか…

君が、それを続けたいと感じているのか、どうなのか。

…こんな話を以前、聞いたことがある。

あるお坊さん

「自分の話も。お釈迦様から、直接聞いたわけではない、
また聞きのみまた聞き。さらにまた聞きだ。

だから、直接聞いたわけではないから、話をきいて、自分で解釈
するしかない。

でも人間は自分で正しい判断が出来るまでは時間がかかる。

だから、若いうちは、とにかく仏の教えに従っておき
自らの判断が出来るようになった時点で、それがどの様なもの
のか考えればいい

そうすれば、いずれ悟りの境地にたどり着くかもしれない。
その為にも、日々精進して心眼を磨かねばならない……」

たぶん、こんな感じの内容だったと思う。

どうだろう、間違っているのだろうか？

君に聞きたいです。

君はどう感じますか？

君に読んで欲しい本がある。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。
詳しくは21話参照してください。

Fさんが、「サンクコスト埋没費用の呪い」にかかわらず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

読書とは、自分を変えるものであり、3〜5年後の自分に効いて
くる。

けして今すぐ役に立つわけではない。

と、ある若手作家が今日ニュースで言っていた……

君の心の疑問が解ける日を信じます。

あの日々の君の不可解な行動が今は全部理解できます。

手に取るように解る。ごめん、気づけなくて。これは僕のせめて
もの罪滅ぼしです。

応援します。がんばって。

17年前答えられなかった答えを今、君に届けます。

まさか、あの日々の君のメッセージに気づく日が来るとはね。

願わくば、君に届く事を

.....

ちゃんと「ごめんなさい」と言える子供育てたくない？

主従関係の強要？

理解できない関係、ときどき裁判のニュースみるとあるよね、
どうしてそこまでいいなりに犯罪を重ねるのか…

いつも不思議な人間関係と処理されるこれら事例も

やはり、そうなのだろうか？

一番つじつまが合う。

…なにが言いたいのか？

トラブルになると、仲間は見捨てる？

なに、単なる疑問です。ほかの何でもありません。

こんな風に思われるのも、日ごろの行いの所為か

…と思えたら、あなたの謙虚さはまだ正常です。

- - -
- - -
- - -

〔火曜日 7日目〕その1

君から消したもの

周りの人が総出で消した

…それでいいの？

そんなわがままのせいで、

〔火曜日 7日目〕その2

17年前…

やっぱりあの時、君はこう言ったのかな。

「見られた」と、君。

「いいじゃん別に」と僕。

あのときの僕は、キスされているところを車に見られて恥ずかしいのかな？

と思った。それにしても気迫を感じるけど、どうしてだ？いつもとちがう、

とも思った。

あの後、やはり君はこう言ったと思う。

「事の重大さがわかってないのね！」と。

今は、あの時のことが、わかります。

ごめん、一緒に戦えなくて。

まさか、あの日の疑問の答えが出せる日が来るとはね…。

あの日、君は本当は家まで送って欲しかったんだと思う。

.....

なんか不可解な事件がまた…

やはり、そうなのだろうか？

この僕の疑問、君はどう思いますか？
仮に言いがかりだとしても、
そんな事、僕に感じさせるような事を“彼ら”は僕と君にした。

まじめな話、実際どうなのだろうか？

君はまだ犯罪者の片棒をこれからも担ぎたい？40年も50年も
これからの時間すべて。

今なら過去にいやした35年で済む。
もう充分世話になった借りは返していると思う。

35年ってそのくらい重みのある数字です。
君に読んで欲しい本がある…

「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず
冷静な判断が出来る事を期待します。

人は正しく生き直せると信じます。

.....

〔水曜日 8日目〕その1

やり返されて、怒って…、でもめげない。そんな覚悟。
僕が心配なのは、
君の心です。

〔水曜日 8日目〕その2
自浄能力

〔水曜日 8日目〕その3
だめ？あきらめないで、

〔水曜日 8日目〕その4
人は必ず立ち直れる。

〔水曜日 8日目〕その5
君はどう思う？
…どう感じる？
何を思う？

それ本当に続けたいの？
いい事もしたいでしょ？
やさしさを素直に表現したいでしょ？
歪んだ善意は嫌いでしょ？
気持ちを偽るのは最低でしょ？
心は、澄ましていたいでしょ？

君の周りに、人を見下す人がいたら、こう言ってやってください。

「ただ追い出しただけでは、せつかくの精神の拡充のチャンスなのがす事になると思う。」と。

もし、気に食わないやつに遭遇したら、話し合って問題点の解決をはかる方が、ただ単に追い出すよりも

お互い精神的に成長できるし、認識も広がる。

いつもの方法では、一時的な快感は確かにあるのだろうけれど、その時だけで終わってしまう。なんの精神的な拡充に繋がらない。むしろ墮落につながる。

意に介さない相手と、とことんまで意見をぶつけ合うのは、ものすごいストレスだけど、話の通じた時の快感はものすごいあるし、その経験は個人の財産となり、次につながります。

これを否定できる人間は、おそらくそういう経験をほとんど経験してこなかった人でしょう。経験したことないから、価値がわからず、簡単に否定できる。

君はどう思いますか？

〔水曜日 8日目〕その6

パラダイスに暮らす住民はそこを出たがらない。でも、そのパラダイスが多くの理不尽の上に成り立っていると気づ

いたとき。

理性的な判断ができるかどうか…

何の話か？

朝鮮半島における日帝支配に対する、支配階層の認識について述べたまでです。

他の何でもありません。

〔水曜日 8日目〕その7

基準が変わっただけで…そんな当たり前の感覚をとりもどす。

君の創意と工夫に期待します。

〔水曜日 8日目〕その8

根性をみせてやれ！それは充分意気があります。

〔水曜日 8日目〕その9

穏健派はいつもおとなしく

急進派だけが目立つ…

よく見られる現象です。

全てが敵じゃないはず、だから、戦えるはずです。

（僕は君以外にも、穏健な人たちを幾人か見てきました。だからこ
う思うのです）

〔水曜日 8日目〕その10

なくした道義心は取り戻せます。それが人間です。

君は奇跡を信じますか？

〔水曜日 8日目〕その11

君に読んで欲しい本がある。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。
詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず

冷静な判断が出来る事を期待します。

君の心の平和を祈って。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔木曜日 9日目〕その1

ニユースを見て思う。

僕は君とのあの思い出があつたから正気にもどれた。

真実に気づいた日の前2日間はマジでやばかった。

なんだか背筋が凍る思いです。

あの究極の“それ”を乗り切った事で、それ以降の苛烈な攻撃も
笑ってかわせた、相手を観察する冷静な目も取り戻せた。

よくよく観察すると、17年前の高校生活でも経験したものがい
くつかあり、

それが確信につながった。
なにより、君のなその行動の説明が全部できた。
究極の恐怖を克服すると同時に、人生でなにが一番大切か知り、
初めて実在の人物のために泣いた。

全部君のおかげだ。

あの思い出がなかったら、とっくの昔にどうにかになっていた
らう。

でも、克服したことにより、もう、何がきても大丈夫です。

そちらの世界からみたら、異例な事なのだろうか？

人を想う心は、予想外の奇跡を生むという事でしょうか。

君に助けられたことになる。

今度は、僕の番かもしれない。

それでいいかな？

きみの声が聞きたいです。

奇跡を願っていいですか？

〔木曜日 9日目〕その2

東京での経験で、用も無いのに連絡してくる友達がいた。

そういうのは苦手で嫌いだった。

人とはある程度距離をとるのが普通と思っていたからだ。

こちらから連絡しないかぎり、コミュニケーションが無いのが当
たり前と、

去年の8月まで思っていたわけで。

でも、今はこう思う。

用も無いのに連絡してきてくれたあいつや、あの人や、あの人が、
が、
本物の友達だったんだなと…。

ま、間違いに気づけて良かったです。

強がりかもしれないけど、こう考える。

「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず

冷静に判断するなら、このまま一生気づけないより遙かにいい。

おかげで、君の心にも気づけたわけだし。

〔木曜日 9日目〕その3

あまり、表に出さなかったけど、

君はかわいいものけっこう好きだったような気がする…

当時はあまり意識できなかった。

なにしろ君がものすごく大人に見えたからだ。

できれば君から多くを学んで、

どうしたら人と上手く打ち解けられるのか学ぼうとすら思っていた…

今は、そうではなく、君が思っていた以上に子供なんだというのが
なんだか痛いほどわかる。

子供なりに必死に抵抗していた様子が、

手に取るように、

なんだかいろいろ判ります。

今は大人になっても、それほど“根っこ”の部分は変わってない

よびに思う。

そんな今の君がどう思っているのか。

奇跡に期待します。

ごめん、本当にいろいろわからなくて、こんな事だったら
かわいい小物でももっと送っておけばよかったと思います。
でも、君は、ものより思い出を大切にする。
当時君がくれた思い出は、今も大切なものになっています。
君の心のなかの“それ”は どうですか？
少しは何かの役に立っていたら嬉しいです。

あきらめなければ、17年たって、謎のままに終わったであろう
人生の財産に

気づく事もあるという事でしょう。

〔木曜日 9日目〕その4

やっぱり、あきらめるのは良くない事だと、君に伝えます。

奇跡を願っていいですか？

君に読んで欲しい本がある。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。

詳しくは21話参照してください。

「サンクコスト埋没費用の呪い」にかかわらず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

Fさん！

今日おもしろそうなDVDをみつけた。下記の4か条を見て欲しい。

独裁のルール

? 先生には“様”をつける

? 勝手な発言はしない

? 仲間は助け合う

? みな白い服を着る

ノンフィクションだそうです…

ドイツだかの学校ではじめてた独裁制に関するシミュレーション。

最初お遊び感覚だったものが、

たった5日で皆、おかしくなり、教師もふくめて全員が本物の独裁制とかわらぬ態度や行いになったという宣伝文句。見たくなった。

まだ見てないけど、見る前のファーストインプレッションで書く
と。

「上記????のルールをやぶれば、独裁にならないのでは？」

と、思った。

Fさんも、皆で白い服ってなんだか感じが悪いって感じた事あるでしょ？

あれは、思い込みじゃなくて、心理学的な裏づけがありそうな予感がする。

とりあえず、内容が信じられそうか見て見ます。ドイツの映画だから、ハリウッドと違ってまじめに作ってあると予想するけど、何事も見てみないとわからないから。

普通に見たり聞いたり出来てるかな…心配です。

「金曜日 10日目」その1

「伝染病や飢饉や災害はふせげないが、戦争は防げる」
(名探偵ポアロ「ABC殺人事件」より)

「金曜日 10日目」その2

わざと相手が混乱するような会話ってやりたくないでしょ？
わざと不親切にしたり、いやでしょ？
わざと不仲になるように情報をながしたり…
相手が混乱するように、似た服を着て接近したりとか…

いやでしょ？

「金曜日 10日目」その3

戻りましょう

「金曜日 10日目」その4

普通に。

「金曜日 10日目」その5

必死に、

〔金曜日 10日目〕その6

昔、聖書は一部の知識階級しか読む事が出来ませんでした。なぜなら“印刷”という技術が無かったからです。

でも、時代が経て、聖書が各国の言葉へ翻訳され、さらに、印刷技術の発展で、一般庶民も聖書を読めるようになり、

「あれ？おかしい！」

と、あちこちの有識者が言うようになりました。割と有名な話ですよ。

君に読んで欲しい本がある。

(地区えらい人の家に怒鳴り込むくらいの覚悟で行きましょう)

〔金曜日 10日目〕その7

やさしい心の持ち主は、

優しすぎるゆえ人につけ入られるし、

人に尽くす性格が利用されてるように感じる。

巧妙に“何か”が“何か”にすりかわって、誰かがやけ太る^{ぶく}？

〔金曜日 10日目〕その8

君に読んで欲しい本がある。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。

詳しくは21話参照してください。

(昔の人は印刷技術がなかった時代、さがしても読めなかった。けど、今は読めます。いい時代になりました。)

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を期待します。

人は必ず立ち直れます。

.....

〔土曜日 11日目〕

人間がくさる一番酷い方法は？

自らの劣等感を何も克服できてないのに

集団の団結心に心酔して、克服できたと勘違いすること。

団結心の消失は、劣等感を呼び戻すことになり、

その恐怖は、“いんちき”も“独裁”も肯定させてしまう。

特別な人間から、只の人間、(もしくはそれ以下)に戻りたくないのだ。

1人でくさるのは怖いが、集団でくさるのは怖くない。

この世がすべて腐ってしまえば、

自らの異臭にも気がつかなくなる...

「団結は力なり！」

「ウエイヴはドイツ全土を飲み込むのだ！」

「反逆者をここへ連れて来い！」

映画では、1人の生徒が反逆者として殺されるのか？
という状況になる。

「命令してください」

講堂に多くの白シャツの生徒がいる中、命令を待つ生徒。

「オレが殺せといえば殺すのか」

と、独裁者になった教師は言う。

…ラストは自分でみて確認して見てください。

先述したDVDの件です。

映画「ウェイヴ」（原題：「THE WAVE」）という作品について書いたままでです。

他のなにでもありません。

何が貴方を（人を）変えたのか確認できると思います。

ネットで感想をよせてる人の話を総合すると…

1967年アメリカの高校で行われた独裁実験をモデルに、舞台を現代ドイツに移して作成された作品とある。

製作者がかつてナチスが台頭した苦い過去をもつドイツ人なので、いやに説得力のある話になっている。

…そして、以下が最大の注意点！と思う。

“独裁者”は悪ではなく、退廃やスキャンダルな社会に相反する積極的・能動的な若者たちが自発的に参加していく正義のグループという事。

だが、だんだんと、ちょっとおかしい。ちょっとおかしいが積み重なっていく…。

そのじわじわとした進行を5日間の授業という形で映画化している。

その暴走はいろいろな方面に向くが、その中でいままですっと孤独だったある生徒が、「この授業ではじめて仲間ができた」と傾倒

していく…

たぶん、これは正解かなと思った。
皆、なぜそれを“正義”と信じるのか？

それは“退廃した世の中”や“スキャンダルな社会”に相反する
ものとして皆参加していると信じているからだ。

Fさん、これを読んでいますか？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず冷静な判断が出来る事を期待
します。

僕があえて結論を書かずに文を閉めている事に気づいたならそれ
正解です。

結論は、君自身が出さねばいけない。

命令する気はさらさら無い事は強調します。

君の知る僕がそもそもそんな人間でないことは、君が一番わかっ
ていると期待します。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。

詳しくは21話参照してください。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

“退廃した世の中”や“スキャンダルな社会”の産物としての僕
にしないと理論破綻する…？

だから、言いがかりやありもしない事を吹聴するのだと思う。

…どうなのだろう。

君の考えを聞きたいです。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔日曜日 12日目〕その1

彼らが認めないのは、認めたら理論破綻するからだ。

え？何の話か？

北朝鮮の韓国魚雷攻撃のことです。他の何かを想像したなら、それは僕の意見ではありません。

〔日曜日 12日目〕その2

細かい勝ち負けなど、君が帰ってくるかどうかという大問題にくらべたら、

ほんと些細な問題です。

〔日曜日 12日目〕その3

団結といっても、実際何をもって団結しているのかあやふやな人たちに負けないで。

〔日曜日 12日目〕その4

しあわせの押し売りにまけないで。

そんなSFが外国にあります。

(彼らは善意から、異民族を侵略し、脳を機械的にネットワークでつないで“単一意識”の1人にする。

そのネットワーク内では、当然、差別もないし、戦争もない。しかし征服あるのみになる。)

〔日曜日 12日目〕その5

僕がすっかりあきらめていた時、君は現れた。

何の話か？卒業式後の事です。

僕は死んでません、生きています。

〔日曜日 12日目〕その6
活字を読みましよう。

賢い豚より、愚かなソクラテス。そのほうが人間的。

〔日曜日 12日目〕その7

「死ぬときはどぶの中でも前のめり」

坂本竜馬が言ったとされる言葉に、こんながありましたね。

…実は竜馬がこんなセリフを言ったという証拠はありません。
それどころか、調べると実に面白い事実にとどり着く。

実は「巨人の星」の中で一徹が飛雄馬に教えた坂本龍馬のエピソードとしてが唯一の出典だったりする。

おそらく漫画の性質上、演出として“竜馬が言った”としたのであり、

本当にそういう事実があったわけではない。

しかし、巨人の星が人気作品になり、この竜馬のエピソードもさ
も“事実”であるかのように世の中に“認識”されてしまったら
しい。

調べて見ると、こんな簡単な間違いすら、世の中では事実である
かのように認識されている事、実際あります。

僕は死んでません、生きています。

現にこうして生きてる。

Fさん

〔日曜日 12日目〕その8

あの後、君は無事、希望どおりブライダルプレイヤーになれたの
だろうか？

〔日曜日 12日目〕その9

戻るといふより、ぽっかり空いた時間を埋めたい。

〔日曜日 12日目〕その10

そんな事思った。

〔日曜日 12日目〕その11

負けないで

〔日曜日 12日目〕その12

Fさんは、僕がこの世で負かす事のできなかったただ1人の人です。

君は自分で思っている以上に強い。

〔日曜日 12日目〕その13

へんなおばさんを見た。

スクーターで酷い音までは

「ああ、ポンコツにのってんだな、買い換える余裕が無いんだ」
で終わるけど。

ナンバープレートまで、読めないように色がおちてる。

そこまでボロい…

というか、あれは道交法に引つかからないのかな？整備不良で、もし、通報されないようにワザとナンバー消してるとしたら。

というか、その位はやりかねない。

君はどう思う？

そんな世界なのかな？ほんとに。

言いがかりよ、と胸を張って言える？

君に読んで欲しい本がある。

〔日曜日 12日目〕その14

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。

詳しくは21話参照してください。

「死ぬときはどぶの中でも前のめり」という有名な竜馬のセリフすら、実は漫画のなかの創作に過ぎなかったりします。調べて見る

と、それは初耳という事があるかもしれない。

自分が詳しいと思う事を、改めて勉強しなおすと、初めて習ったころは気がつかなかった事実にめぐりあう事も実際あります。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかかわらず冷静な判断が出来る事を心から期待します。

-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-

あの日の記憶をたどると

電車の中、みなが僕らをじろじろ見る。

だから君がかわいいからみな見ているに違いないと思ひ。

「君がかわいいからだよ」

と、僕は君に言った。

君がこのあと「そんな事ないわよ、わからないの！」

と言うとはまったく思わなかった。

あのあと、駅に降りると人の気配がまったくなく、君は喜んだ。

駅のロータリーにほとんど照明もなく、尾行者の影などわからなかった。

最近になって、この駅の正確な場所を把握した。実は当時、電車はめったに乗らないので

場所を把握してなかった、だから、まさか毎日通る通学路のすぐ近くと気がつかなかった。

君はあの時、東口から出るのを死ぬほど警戒した、暗くてどちらが西口でどちらが東口か

わからなかったから、無事、希望通り西口に出られてホッとした。覚えているだろうか？

「Mくんの家があちらにはあるでしょ？」

当時、駅の位置関係がわかってなかったから、その意味がわからなかった。今はわかる。

なるほど、たしかに、東にでると、どうしても彼の家の近くを通り過ぎる羽目になる。

彼は何度か君が警戒をうながした人物の1人だ。やはり、そうなのだろうか…。

この後コンビニによる、このコンビニがどこだか今だ特定できない。土地勘のない僕は当時

君の誘導にしたがって歩いていただけだった。たぶん、なにかずっとしゃべりながら2人で歩いていったんだと思う。

推測するに、おそらく僕はついさっき見たばかりの「紅の豚」についての感想をしゃべっていたのではないだろうか？君の記憶ではどうなってますか？

ヒロインのフィオが出てくるまで、なんだかいつもの宮崎アニメと違った感じがした、とか言った記憶がある。

コンビニに立ち寄る事を提案したのは君だ。おぼろげな記憶をたぐるとそうだ。

たぶん、君はこのあと2人で長時間一緒にいるつもりだったのだろう、夕食の心配をして、食事の調達を提案したように思う。その日以外にも食事の心配をして、ウェハースやおにぎりやサンドイッチをくれた事があった。

けど、特に空腹を感じない僕は熱いのでアイスを買った。コーンにのせて半球状のアイスのをせるやつ。今は見かけないけど、当時

ある特定のコンビニにはよくあった。

そういえば、この時のコンビニの店員さんはものすごく愛想が無かったのを記憶している、気のせいと思いたい。

第1話にも書いたけど、この時点でかなりストレスがたまっていたのは事実だ。悲しい事に当時の僕はまったくわかってなかった、あやまりたい気もちで一杯です。

そんな状態だから、いつもの僕では絶対しない行動をした。コンビニの袋を路上に投げ捨てたのだ。それも景気よく宙に放った。

すると君は間髪入れずすばやく動き、僕が放った袋を拾って戻ってきた。あれは、気まずくて恥ずかしかった。

「やっぱまずいよね、ごみ捨てるの」

と、僕は言ったと思う。

すると君は…

「…誰が見てるか、わからないでしょ」

と、笑顔で応じた、怒ってなかった。

「そ、そう?」

と僕は言った。こんなに真っ暗で人気がないのに?と思い、あたりを見回した。

「そうよ」

君は満面の笑みで応じた。

普通なら、ごみを捨てたんだから非難するはずなのにそうでない…、あの時も違和感を感じた。君はものすごい笑顔で応じた。あの笑顔の意味が、今は少しわかる。ごみをすばやく回収できたから、遠くから見れば、2人でふざけているようにしか見えない。彼らはい些細な欠点を利用して個人攻撃の材料にする。

東京にいて感じた事実だが、彼らの中で、一番良識があるのが婦

人部だと思う。だから、婦人部を納得させるためには、言いがかりとはいえある程度の証拠が必要なんだと思う。ごみを捨てるなんて行為は理想的証拠だ。(ちなみに、僕に路上にごみを捨てる習慣はありません。それは現在の監視者全員に確認してほしい、過去の監視者も含めて。この時は例外中の例外で、子供ながらも、すごし、彼女に男っぽい所を見せたかったのかもしれない、この記述を利用して非難を始める人を見たら“浅はかな…”と申ってください、思えるようなら、まだ、貴方の常識は正常です。婦人部の皆さんが持つ“組織随一の良識”に期待します。)

この後、きみの計画では、2人で歩きながら長く語らうつもりだったのだろう。

夏の日の思い出として。

あの車が来なければ、随分その後の過ごし方も違ったと思う。

君に問いかけます。

あの日のあの神社は、未だにどこかわからない。君に教えてもらえる日を待ちます。

組織随一の良識派が少しでも君の言葉に耳を傾けてくれる日を夢見ます、皆が皆そうじゃない、中には心の中で応援してくれている人もかなりの数、いるはずです。これは、憶測ではなく、東京での経験がそう判断させる。Fさん頑張ってください！

- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -

耳栓の件ですが、鼓膜をぬらすほど水分を含ませるのはやり間違いです。

正解は、小瓶に水を入れ長時間付けておき、たっぷりすった水分をタオルでとり、湿り気のある状態でつかうと、あの独特の低周波も防げます。

あと、ウインナーをタコ足に切るのと同じ要領で、耳栓の耳の外に出る部分にハサミで足を作り、

耳への圧迫感にあわせて1本ないし2本足を短く切り、調整できます。

もし、耳栓がきついと感じたときは便利です。

上からヘッドフォンをするときも、この方法でヘッドフォン専用の耳栓を作れます。

上手く伝わっただろうか？

君の参考になれば幸いです。

君の創意と工夫に期待します。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

こんな記憶がある。子供のときの記憶。

お祭りで音の出るおもちゃのピストルを買った。

けっこうでかい火薬の音とプラスチックの玉がでるやつ。

気に入って、近所で玉の続く限り打ち続けた、塀にむかって。

当たっても銀だま鉄砲以下の痛さしかないちゃらいおもちゃだ。

けど、音は結構でかい。

気づくと近所の人たちが何人もできてこちらを見ている。みな、怪訝そうだ。

似た事が今おきても、誰も出ないのは、単なる偶然なんだと思う。

子供を巻き込むなんて、守るならともかく逆…

もし、上記のような発言をする人がいたら的中ですが、どうなのでしょう。

いいがかり？

君はどう思う？

今まで、散々言いがかりを言われてきたのだから、このくらい言っても問題ないと思う。

この考えを否定する人は、選民思想に染まっている可能性がある。ファシズムという言葉の正確な意味を知る人は少ないと感じる。

ファシズムとは民主主義と共産主義を批判する全ての概念に相当する。

そして、ファシズムは通常、必ず不可侵のシンボルを絶対視する。国家を絶対視する国粹主義、民族を絶対視する民族主義、ここまですら普通とかわらないが、この次がファシズム最大の特徴になる。上記用件にプラスして下記の用件が加わると、制御不能のファシズムへ発展する。

経済面では、役割分担を絶対的なものにする。その結果として自由が制限されるのもいとわない。

対外的には、自らの生存圏の主張を侵略という手段により広げる事を是とする。

多くの学者がファシズムとは右翼なのか左翼なのか定義できていない。

非常にあやふやで難しい概念だ。

でも歴史上の解釈でいけば、フランス革命後の政治的流れの否定。共産主義による民族融和の否定こそがファシズムであり、その特徴が構成メンバー全員が権威の統制下に入り、個よりも全体の利益を優先するようになる。

よく考えて欲しい…

その特徴が構成メンバー全員が権威の統制下に入り、個よりも全体の利益を優先するようになる。

では、カルトと団結の違いは？

権威の上にさらに上位の価値観が存在する事を意識できるかどうかの違いだと思う。

権威の上に、もう上位の価値が無いと思った時、それはカルトになる。

なぜなら、権威に逆らえなくなるから、どんなおかしな命令が下りたとしても。

ちなみに、日本の戦時下の体制は、天皇制ファシズムと呼ばれるそうです。

昭和天皇ご自身はさほど悪くないように思う。彼を熱狂的に妄信した人たちが問題なのです。

その熱狂者はものすごい数、いたはずなんですが、戦後ころっと消えました。どこへいったんでしょう？

作家の三島由紀夫のように堂々と戦後も自説を主張した人はまれで、みな地下にもぐったのでしょうか？

あるいは、宗旨替えをして、今は別の権威に熱狂しているのでしょうか？謎です。

ファシズムの何が悪い、世の中を救うためならそれもありだろ！と言われかねませんが、問題点はファシズムは人を狂わす所なのです。

…心当たりがいくつつかある、と少しでも頭をよぎったなら、まだ、貴方の脳は理性が働いています。

悪夢をみると、次の日1日影響されて、時間がもつたいないと思
うとき、有効です。
自己暗示の1つです。

何かの参考になれば、もし、使える部分があったら使って見てく
ださい。

- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -

こんな歴史的事実がある。

毛沢東が晩年、4人組の暴走を止めなかったのは、もう、やり遂
げてやる気が失せてしまったからでしょう。

下々の者のくだらない争いに、首を突っ込みたくなかったのだし
ょう。

やつらは結局、何をしても変わらない…、ほっとこうが、どうだろ
うが。

こういう時、ちゃんとした大宰相がいないと、無言の権威をいい
ことにやりたい放題の駄々っ子集団になる。

…なに、中国の近代史について言及したまでです。他の何でもあ
りません。

もし、違うものが少しでも頭をよぎったとしても、それは貴方の
考えです。

- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -

- - - - -

こんな歴史的事実もある。

初期キリスト教徒はとにかく“耐え”続けた。

その後世代を経て、ローマ帝国に経済的变化がおこる。シルクロードからもたらされる物品が近郊でも生産可能になるにつれて、貿易による活力が減退、この場合、シルクロードから更なる未知の物品が供給されない限りドンドン経済は衰退する。

ローマは次第に衰退し、残されたのは貧しい人たちと、主人をなくした元奴隷の子孫ばかり。

そんな中、キリスト教は精神的充足を求める人たちに浸透していきます。

先にも述べたとおり、初期キリスト教徒はともかく耐えた。

互いに励ましあい、支えあった。

その中で生まれた教義や習慣は衰退したローマ市民がまさに求める価値観だった。

つまり、長い期間、苦勞を重ねて生まれた教義だからこそ、ものすごい浸透力をもっていた。

もし、初期キリスト教徒が最初から裕福で幸せだったら、ここまですで人を魅了する教義にはならなかった。

現世での利得も大事だけど、長い目でみれば、単なる自己保存の理屈にしかならず。後世の人々を魅了する価値観ではなくなってしまう。

こんな歴史的事実がある。

何百年も“耐え”続けた人々が、伝えつづけたものは、後の荒廃した世界の救いになる。

“楽”を肯定？

現代人は短期が好きです。（短期は誤字ではありません）

-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-

〔月曜日 13日目〕その1

君に勇気が宿りますように。

〔月曜日 13日目〕その2

ただ無防備な人間を笑いものに？

君がそんな人でない事を僕は知っています。

本当の気持ちを言える人が周りにいますか？

〔月曜日 13日目〕その3

「この人たちは失望したって言ってるけど、本当はそうじゃないのよ。」

大統領を責める事で、自分たちは道徳的だとおもいたいだけ、は

これ以上どうすればいいの？」

8 (ザ・ホワイトハウス - The West Wing - #05
一触即発)より

例え思い通りに説得できなくとも、越えてはいけないルールがある。

そう思えるのは、権威の上にさらなる大切な価値観が存在する事を知っているからだ。

知らない人間は、簡単に大切なそれを無視できる。

ここで、純朴な疑問が出る。

“愛”は、権威よりも上位の価値観じゃないの？

〔月曜日 13日目〕その4

秘密の告白を笑わずに聞いてくれる人がいますか？

〔月曜日 13日目〕その5

君は価値ある人間です、僕が保障します。一緒にいたいと思わせ
てくれる人です。

〔月曜日 13日目〕その6

これも運命だ仕方が無い？
だとしても…

〔月曜日 13日目〕その7

もう一度言います。
君は価値ある人間です、僕が保障します。
一緒にいたいと思わせてくれる人です。

…君に勇気が宿りますように。

〔月曜日 13日目〕その8

君に読んで欲しい本がある。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。
詳しくは21話参照してください。

…戦い方は工夫次第。信念がなければ。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず冷静な判断が出来る事を期待
します。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔火曜日 14日目〕その1

いつから僕は罪人に？

…そうよね、何も悪くないもの…と、少しでも思ってもらえたら
嬉しいです。

君はどう思いますか？

君に勇気が宿りますように。

〔火曜日 14日目〕その2

口げんかにもし飯になった時 怒りを表現したかったら？

「そうよ私は怒っている、ものすごい怒っている…」
と凄めばいい。

特に君が好きな人にはかなり効果ある…

僕が保障します。

〔火曜日 14日目〕その3

怒鳴ったらスッキリした？

（時には怒鳴るのもいいものです、いつもでは逆にストレスになるけど、

たまになら怒鳴ってもいいと思う。）

〔火曜日 14日目〕その4

秘密の告白を笑わずに聞いてくれる人がいますか？

〔火曜日 14日目〕その5

君は価値ある人間です、僕が保障します。一緒にいたいと思わせ
てくれる人です。

〔火曜日 14日目〕その6

これも運命だ仕方が無い？

だとしても…

昨日は昨日、今日は今日です。

〔火曜日 14日目〕その7

もう一度言います。

君は価値ある人間です、僕が保障します。

一緒にいたいと思わせてくれる人です。

…君に勇気が宿りますように。

〔火曜日 14日目〕その8

君は満面の笑みはすてきです。

君に問いかけます。

あの思い出がなかったら、とつくの昔にどうにかなっていただろう。

でも、克服したことにより、もう、何がきても大丈夫です。そちらの世界からみたら、異例な事なのだろうか？人を想う心は、予想外の奇跡を生むという事でしょうか。

「情報」は信頼を育て、「沈黙」は恐怖を育てる。

君に読んで欲しい本がある。

〔火曜日 14日目〕その9

無いなら、無いなりに、努力すべきなのだ、と思った。

誰の言葉でもない、僕自身の経験則です。君はどう感じますか？
「ふーんKくんなら言いそう」
と、思ってもらえたら嬉しいです。

君に読んで欲しい本がある。

〔火曜日 14日目〕その10

こんな記憶がある。マックで飯を食っていると、隣に息の上がついている若者がすわる。明らかに拳動がおかしい。

今にして思うと、あのリアクションは、もう限界です、やりたく

ないんです、気づいて気づいて！という無言の主張だったのでしょ
う。

こんな記憶もある。

同じようにマックで食事していると、死ぬんじゃないかという咳せきを
1時間近くしているおじいさんがいた。それも何度も。時には中年
のおっさんの時もあった。

あれは、上記とは違ってわざとやってんだと思う。

ばかばかしいのはともかくとして、

そんな事ばかり一生懸命やっていると、ストレスがたまって早死に
する…？

女の人でマックで記憶があるのは…、特にはない。

いるにはいるけど、おとなしく食べているという印象しかない。
君もターゲットの近くでご飯を食べると言うのやった事あるのだ
ろうか？

初めて入る店では10分くらい経つと入ってくるように思うのは
気のせいだと思う。

いつも行く店では大概待ち伏せてるのも、やっぱり気のせいと思
う。

じろじろ見るのだけは止めてあげてね…

逆にやられたら彼らの名の入った文庫をかざせばいい、筋金入
り以外は効くから。

筋金入りも、せいぜい3ヶ月が動員の限界時間と感じた。そもそ
も全体に占める数が少ないから、いつまでも1つの事させてもら
れないのだと思う。

君ももしかしたら筋金入りなのかもしれない。

…だからこそ（だとしても）、君に読んでもしい本がある。

真剣に取り組んでいるなら、生涯をかけているなら、読めるはずだ。

読んで、心の疑問を解いてください。

君に読んで欲しい本がある。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。
詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかかわらず冷静な判断が出来る事を期待します。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔水曜日 15日目〕その1

今、TVを見ていたら、そば作りに失敗したら

「そば失敗しました」と看板出して休業するそば屋さんがやってた。
究極のこだわりとはああいうのを言うのだなーと感じた。

一杯1050円も取るそうで…

高いだけあって、こだわりも中途半端じゃない。

ああいう“誠実さ”は尊敬に値すると思う。

それに、自信がなければできないし。

…もし、上手いまずい関係なく、無理やりそば食わすこだわりの店あったらやだよな。君はどう思う？

〔水曜日 15日目〕その2

「何がそんなにいいの？」
と、君は何度も言った。

覚えていてくれるとうれしい。忘れてしまったのだろうか？

僕はあの時ちゃんと答えただろうか？

「Fさんだからいいんだ」と。

正確に君に意味が通じる事を期待します。

〔水曜日 15日目〕その3

あの夏の日に買ったアイスはオレンジ味だったと思う。

…オレンジと言えば、君とはじめてのデートの時、君が頼んだのもオレンジジュースだ。

今でもマックに入るときは、大概コーヒーかコーラーだけど、それ以外の時は決まってオレンジジュースを頼む。無意識のうちにある日の君の姿を追っていたのだろうか？

あのはじめてのデートの日の、君がオレンジジュースを飲んでる姿は、今でも簡単に思い出せる。

信じられないくらい君はかわいかった。

〔水曜日 15日目〕その4

努力して欠点を克服しようという試みは、賞賛すべき事だと思つ。正確に君に意味が通じる事を期待します。

〔水曜日 15日目〕その5

久しぶりにこれを書こうと思う。
“理解”できない現象の前には、必ずなにか“欠落”した情報が存在します。

何か思考停止しそうになっても、めげずにいれば、“欠落した何か”にたどり着けるかもしれない…。

君の前向きな心に期待します。

〔水曜日 15日目〕その6

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。
詳しくは21話参照してください。

…戦い方は工夫次第。信念がなければ。

君が「サンクコスト埋没費用の呪い」にかからず冷静な判断が出来る事を期待します。

君の創意と工夫に期待します。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔木曜日 16日目〕その1

輝いてますか？

〔木曜日 16日目〕その2

ときめいてますか？

〔木曜日 16日目〕その3
白いマスク嫌でしょ？

〔木曜日 16日目〕その4
変だと実は思ってるでしょ？

〔木曜日 16日目〕その5
優しすぎる君が心配です…

〔木曜日 16日目〕その6
気持ちに報いたいです。

〔木曜日 16日目〕その7
必要ならば…

〔木曜日 16日目〕その8
人は立ち直れます。

〔木曜日 16日目〕その9
君に活力を！

〔木曜日 16日目〕その10
目線を変えてみましょう！

〔木曜日 16日目〕その11
今の君なら、あの時見えなかったものが（見ようとしなかったものが）見えると期待します。
だって、…どうなのだろう。

あまり参考にならないかもしれないけど、こんな事思った。

僕がトロンボーンを吹き始めたばかりも頃、スライドポジションを譜面に書き込むとき、B音階とC音階をごちゃ混ぜにして書き込んでいたのを覚えているだろうか？

あのあと、やっぱりC音階で統一したほうがいいと気づき、そんなバカな記述方法はやめたのだけど、初期の頃の僕のその変な記述をみて、君が面白がっていたのを覚えている。他愛ない事だから忘れてると思うけど。

けど、何か始めたばかりの頃というのは、そんな具合に、後から考えると変に思えるような事も、やってしまうものです。

うまくいかないし、いろいろ葛藤があるし、現実逃避したくなるときもある。

それでも、意地だけは通そうと踏ん張ると、急にどの方向に進めばいいのかわかる時が来る…。

そう思います。

根性をみせましょう。

君に読んで欲しい本がある。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。

詳しくは21話参照してください。

もう少し、物事突き詰めていくと、ひっかかっていた“何か”に答えがでるかもしれない。

そう思うと、意外と頑張れたりします。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず冷静な判断が出来る事を期待します。

- - -
- - -
- - -

〔金曜日 16日目〕その1

Fさん！かわいい！

また、久しぶりに言ってみた…

〔金曜日 16日目〕その2

ある時、もう「かわいい」と、言わないと決めた。

覚えているだろうか？

3年の秋も終わりの頃、2回目の破局の前くらいの事だ。

なんだか、2人でいつもいるのに、家族の事とか、君のプライベートについていつまで経っても、話が弾まないから、ここはいつも言う「かわいい」という言葉を封じてみようと考えたわけだ。

あれは、そんな理由だったんです。決して言いたくなくなった訳ではない…。

けど、その言葉を封じようと封じまいと、結局、あの2人でいるときの無限とも感じる時間は変らなかつた。今は、あの時間を、君と共有できた事を誇りに感じています。

こんな事を、いつか直接話したいものです。欠けた時間を埋めたんです。

〔金曜日 16日目〕その3

去年の夏は、たまたま新型インフルエンザが流行ったから、マスクもありだけど、今年の夏はどうなのだろう？

今、この時期でもしてる人を見る。花粉症？時期はずれな気がする…。

ま、夏まで理由無く付けてる人がいたら、それはそれで、その根性は賞賛に値するけど…。いやいや、気のせいです。そんな幼稚な成人した男女が、この誇り高い日本国民に存在する理由が見当たりません、いたら変人です。

君はこんな事、続けたくないと思ってるのは、良くわかります。

下品なやつは、どこの世界にもいる。負けないで！

〔金曜日 16日目〕その4

こんな事思った。

最近「お前、めんどくさいやつだな」という言葉が日常会話の常用句になっている。

めんどくさいってなんだろう？

めんどくさがって、ちゃんと向き合わないから、誤解や偏見が出来ると思う。

社民党のごたごたにしても、最初からわかっていたのだから、めんどくさい党だな、とか思うのはおかしい。

最初から、真正面から、向き合っていれば、いいのだから。

世の中には、“履き違えた大人の事情”が、はびこっています。

“履き違えた大人の事情”に負けないで欲しい。

人間賛歌ってまだ、死語じゃないと思う。

〔金曜日 16日目〕その5

1度きりの、君の、人生です。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。
詳しくは21話参照してください。

…戦い方は工夫次第。信念がなければ。

君が「埋没費用の呪い」^{サンクコスト}にかからず冷静な判断が出来る事を期待
します。

君の創意と工夫と、そして勇氣に期待します。

-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-

〔土曜日 17日目〕その1

最近、あの神社に行つてない。理由はある。

行けば行くほど、当時の“映像として残る記憶”が現在の神社の
景色に置き換わるようでなんだか嫌だからだ。だから、ここぞと言
う願いがあるときだけ行こうと思う。

それでいいよね、Fさん。

もう一度、2人である場所に立つ日を夢見ます。

「土曜日 17日目」その2

「いつも昼休みどこに行ってるの？」

ある日突然君は、そんな質問を僕にした。

「部室に行ってるんだ」

と答えた。当時、いつも昼休みは部室で過ごした。

「あそこでごはん食べてるの？」

と、君は言ったと思う。

「そうだよ」

と、僕は言ったように思う。

「そうなんだ、いつもいないからどこにいるんだろう？って思ったの」

そう、君は言ったように思う、間違っているだろうか？

時々、僕のクラスの前を通るとき、目で僕の姿を探していてくれたのかと、その時は妙に嬉しかった。そんな事思い出した。

ここからは、かすかな記憶からの推測…

君は自分も昼休み部室に行こうかなと、一瞬誘惑にかられたけど、部活の男子全員が昼休み部室に来ているときいて断念した。そんなやり取りがあったような、正確でない記憶…、印象に近いイメージが残っているけど、あれは、どうなのだろう。この記憶合ってますか？答えを知るのは君のみです。

「土曜日 17日目」その3

よく学校の近くのコンビニで楽譜をコピーした。

僕が楽譜の原本をあぶり、3人分コピーして配った。

君は「ありがとう」といって受け取ってくれた。

「これコピー代」

…といって、立て替えたお金をくれた。

手渡して渡されることに妙にドキドキした。

たいした事の無い、そんなありふれた想い出が、なんだか、急に大切に思えるように、いつの間になつています。

赤い楽譜、覚えているだろうか？

コピー機にカラーの選択肢があり、いたずらに自分のものだけ赤で印刷した。僕の赤い楽譜をみて、君はちょっと驚き、興味のあるといった顔で聞いた。

「どうして赤いの？」

上記の経緯を説明した。

君はなんだか面白い物を見た、という感じで笑顔をみせてくれた、そんな記憶、なんだかこそばゆくなるような感覚とともに残っています。

〔土曜日 17日目〕その4

…ばれなきやまったく恥ずかしくないなんて、

…それを誇れだなんて。

…それが真実で正しいだなんて。

…日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。

…詳しくは21話参照してください。

…に！
…戦い方は工夫次第。信念がなければ。君の勇気が続きますように！

…君が「埋没費用の呪い」にかからず冷静な判断が出来る事を期待します。

君の創意と工夫に期待します。

- - -
- - -
- - -

〔日曜日 18日目〕その1

人を嫌う時は“超高速”…
あまり、美徳じゃないよね。

それが、君好みの生き方でないのを僕は知っています。
間違っていないと思うけど、どうなのだろう…

〔日曜日 18日目〕その2

まさかと思うけど、
四の五の言わずともかく従え！
…と、やくざみたいなお事、言われてないよね。
心配です。

〔日曜日 18日目〕その3

亀のごときのろさでも、前に進み続けているなら、それでいいと思っ
思う。

〔日曜日 18日目〕その4

自由の悪用はいやでしょ？

〔日曜日 18日目〕その5

可能な限り限界まで…

〔日曜日 18日目〕その6

“歪み”にまけないで！

〔日曜日 18日目〕その7

新しい…にペンを入れよう！

〔日曜日 18日目〕その8

単なる偶然？でもすごい事だと思わない？

〔日曜日 18日目〕その9

君は満面の笑みはすてきです。

〔日曜日 18日目〕その10

…次から次へ“新手”が来ると思っけど、負けないで！！

〔日曜日 18日目〕その11

勝ち負けなど関係ない！

〔日曜日 18日目〕その12

平和の為と称して人の心（＝平和）を破壊してる…、そんな連中に負けないで！！

〔日曜日 18日目〕その13

偉い人の家に怒鳴り込むくらいの覚悟で。

〔日曜日 18日目〕その14

あのケータイで話しながらターゲットに近づくのいやでしょ？

まちぶせポイントで見失ったターゲットが来るかどうか、ずっと待っているのもやりたくないでしょ？

ポストやバスの停留所の前で、メモ帳片手にメモとるふりもいやでしょ？

足音をたてながら均等に両手をふりながら、一定のリズムで歩きたくないでしょ？

タバコや爪楊枝を一直線にくわえて無表情に前を見つめる男の人、嫌いでしょ？

不必要にキャスターつきのカバンもってゴロゴロやってる人も嫌いじゃない？

電車の中で、ワザとチカン被害に会いかねないような行動も、本当にいやでしょ？

（これに関しては高校時代すこしほのめかしていたけど…、そんな目に遭っていないことを心から祈ります）

…こんな事書いていると、あの時の光景がよみがえる…
あれは、2回目の破局の後、君がショートカットにする少し前のことだ。

僕が、体育の授業に行こうと廊下を歩いていると、君がいた。
あの時、僕の周囲には当時友達と思っていた“彼ら”がいた。
それを見て君は、背を向けて歩き出し、少し離れたところでわざとらしく背を向けて立ち止まった。背を向けているが表情は読み取れる角度だ。いつもの“わかるかな？気づいて欲しいな？でも、わからないだろうな？”という表情…、君はあの時点では、まだ逆転できると思っていたのだろうか？

気づけなかった事が無念でなりません。

あの時点で、僕が気づいていたら。2人で協調して対応していたら、きつと打開できたと思う。

「他人に見られたくないって気持ちをKくんがどうとらえるか期待してたけど、私の気持ちわかってなかったみたいね。逆に私のそういう行動が気に入らなかつたんでしょ、はつきり言って頭にきたよ。」

手紙にあるこの言葉の意味に、やっと気づいた今。
君にどうしても伝えたい言葉があります。

再会を信じて、待ちます。

それでいいかな？

君はどう思いますか？

17年前、これが言えたら、違っていたのだろうか？
君に伝えます。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。

詳しくは21話参照してください。

Fさんが「埋没費用の呪い」サンクコストにかからず
冷静な判断が出来る事を期待します。

Fさんに勇気がやどりますように。

- - -
- - -
- - -

君の周りでも、同じ“服” 同じ“話題” 同じ“持ち物” という現象、あるのだろうか？

今日も、店を出ると、目立つ所に、僕と同タイプの自転車があった。

他の店なら駐輪場だから偶然ともおもえるけど、そこは違つ、意図的なにおいがものすごいする。

これも“催眠暗示”のトリックなんだと思う。

他の被害者のブログの類を見ると、大概、TVや町のお店ぐるみで、自分を攻めている、という状況を訴えている。

あちこちに、自分の身の回りと同じ“それ”が配置されていることで、偶然のものまで、作為と見るようになるのだと思う。

もし、同じような感覚におそわれても、ああ、そういう風に暗示にかけたいのねと思えば、いいと思う。

逆に、明らかに意図的なものは（偶然の可能性が低いものは）、

そうだと思っただけだと思っただけだ。

こうやって、何千人という人間を破滅させているわけだ…

これをかわすためには、なるべく既製品を身に付けない事だろうか…。

いいの？

Fさんは。

そんな世界で子供を育てたいの？

ずっと心を偽る（気づかず破壊される）ような集団と

あと40年も、50年も60年も、老後衰えてなお、悪意の世界に埋没していたい？

僕はまだ、生きています。そして、この後も40年も、50年も60年も、老後衰えてなお生き続けるでしょう。

君は何を感じますか？

本当はおかしいと思っただけだと思っただけだ。それも1人や2人ではない。

「こすつからい」＝「形」《「こすつからい」の音変化》「ずるく抜く」目がない。悪賢い。また、ずるくて、けちけちしている（のは、一部の偉い人だけだ。それが証拠に、自分と似た人間ばかり、高い地位において、そういう人間が、大多数の善良で穏健なひとの善意を、狂わすように仕向けている。

そんな「こすつからい」偉い人に負けなくて欲しい。

（中には「普通の」偉い人もいますので。僕が非難するのは「こすつからい」人であり、あなたではありません。）

(そして、上記に対して怒りをあらわにする人は、自覚があると、周りから見られると、言うまでもなく、普通 of 感覚の持ち主なら気づく事ですが、、ですから、ここで怒りをあらわにする人は、もう普通 of 感覚すら忘れてしまった人でしよう)

君に読んでほしい本がある。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。

詳しくは21話参照してください。

Fさんが「埋没費用サングコストの呪い」にかからず

冷静な判断が出来る事を期待します。

例え、倒しても倒しても新手が次々に来るとしてもめげてはいけません。

君が頑張れるなら、僕も、がんばれます。

奇跡を信じて。

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

「東京マグニチュード8.0」という作品

これ、泣けます。

もし、心に何かしらダメージを受けているときが来たなら(来ていたら)

お勧めです。なんか、いいです。

…そちらの世界には“ない”価値観で満ちています。

それは誤解！と思う人が近くにいたら、
じゃあ、そんな誤解が生じないよう、普段から振舞いましょう！
と皆に呼びかけてください。

（案外、誤解されてると言う被害者意識を皆に持たせるために、1
部の人が行ってる悪行なのかもしれないですね、事実なら最悪ですが
…、患者に長く入院してもらうために、ワザと病原体を注射する医
者と何もかわらない）

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔火曜日 20日目〕その1

ポイントは“もったいない”と感じてしまうところ…
それ、言い出すと、何も始まらない。

そうやってごみ屋敷は生まれる…

〔火曜日 20日目〕その2

昔、アメリカでは、ユダヤ人はあらゆる業界から締め出しをくら
った。

ゆえに、ユダヤ人は、そこしか行くところがない人が集まり、ハ
リウッドを作った。

ハリウッドがユダヤ人社会を基盤にしているのは、有名な話です。

似た事は、日本でも、起きている。

それ故、芸能界と暴力団のつながりは、公然の秘密として語られ

てるし。

力道山が朝鮮籍なのも、そんな理由がある。

1970年代くらいは、娘の芸能界入りを父親が許さないという常識があったけど、そういう理由かと…

なるほど、突然、相撲取りを見かけるようになったのも、そんな理由かと。

ま、どーでも言い事なのですが…

ポイントはそこではない。（Fさん！ついてきてる?!）

それなら、暴力団にチケツトがわたっても、不思議は無い。

でも、今回ののは、TVにうつって、言い逃れが出来ない。

本体への飛び火を嫌う理論が働き、早々に部屋がたたまれた？

言い逃れの出来ない証拠さえあれば、本体への飛び火を防ぐバイアスが生じる可能性を考察できるかもしれない。

…そんな事思った。（ここがポイント）

あと、こんな事も思った。

今回の相撲界の出来事は、完全にうつかりミスだ。

世代が下るに連れ、犯罪の認識がうすれていき、いずれうつかりミスが重なり続けていく？

僕の知るおじさんが、うつかり仲間の警察官を教えるしまうような…。

第一世代は、それが反社会行為という自覚があるだろうけど、その下の世代は、本気でそれが“公認の暴力”と思っているふしがある。

正攻法と平行して、相手のミスを誘うような行動も考慮に入れて

いいと思う。具体的方法は創意と工夫しただけで、人は意外とうっかりミスをするものです。

特に、プライドの塊な人は隙だらけです。

(なぜなら、プライドが高いという“歪み”がきつい歪みなので、次にどう歪むのかが読みやすいのです。)

何かの参考になれば…

同時平行がポイントです。

〔火曜日 20日目〕その3

強制参加いやでしょ？

〔火曜日 20日目〕その4

本当はウンザリしている人多いと思う。

本当はこう、言いたい人、かなりいるはず…

「もう、よその家庭のごたごたに巻き込まれるのはうんざりだ!」
と。

〔火曜日 20日目〕その5

くだらないマニュアルなど、捨てて言いと思う。

〔火曜日 20日目〕その6

どう控えめに見ても、命を軽んじている。

昔、こんな事件があつたの覚えてるだろうか？

父親の親友と称す男と長年ともに暮らした女の子。

彼女は、普通に暮らし、普通に通学もしていた。

高校生のある日、祖父の家に逃げ込むが、その男が口がうまく、祖父を言いくるめてまた彼女を連れ戻した。

彼女は窮状を祖父に正確言わなかった、だから、事情のわからない祖父は何も出来なかった。

実は彼女の父親は随分前にその男に殺されていて、彼女はその死体処理を手伝わされたのだ。刃物を使って…

その時の恐怖と共犯意識が心のブレーキになって、誰にも話せなくなつたのだ。

しかし、何かのきっかけに（男が別の事件を起し）父親殺害事件が明るみになり、彼女は解放されたと、そう記憶されている。

もう、すこし…、あと、ほんの少しだけ彼女に勇気があれば。そう、思いませんか？

君に勇気が宿りますように。

〔火曜日 20日目〕その6

君に読んで欲しい本がある。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。
詳しくは21話参照してください。

君が「こすつからい」人に負けずに、「埋没費用の呪い」サンクコストにかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

入り口までは案内しますが…あとは君の心の問題です。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔水曜日 21日目〕その1

こんな事思った。

君は親しい人に親愛の情を示す手段として

“大切な自分の秘密を公開する”という方法をとる。

別に、それ自体はわるくない、むしろかわいいとすら思うときがある。

けど、そう性質を悪用しようとする人間もないことは無い。

…そんな事を 頭の片隅に残しておいてほしいなと、そう、思った。

〔水曜日 21日目〕その2

こんな事を思った。

無理に自分を変えようとするのではなく。 あるがままを受け入れればいい。

元来、人がいいのなら、無理に否定する必要は無い。自分でコントロールすればいいだけだ。

何度か書いたね、昔よりは多少、自分をコントロールできるようになったと。

こんな話を思い出した。

夫婦で田舎に越してきた人の話。

そこは里山があるような、本物の農村で、僕らの生まれ育ったこの地域よりも田舎な所。

夫婦はなかなか受け入れられない…

そこで、夫婦がとった行動は、ともかく“あいさつ”しまくるというものだった。

閉鎖的な農村なら、それは絶大な“バイアス”になる。

頭では敵だらけなのを理解していても、感覚として、本来的にお人よしな部分はどうしても消せない。

この感覚、君もあるのではないだろうか？

どんなに、努力しても、どうしても、お人よしな部分が消せない。そういう所、なんだか似てると思った。

そういう所、お互い、確かに、あるのだから…

あるがままを受け入れれば言いと思う。受け入れれば、正直になれる。正直は、強い力になりますよ。

あるがままを受け入れれば、コントロールできる。

コントロールできれば、感覚に振り回されないし、他人にも振り回されない。

イメージとしては、ささやかなコントロール…

もう少し具体的なイメージでいくと、トロンボーン1stから、バンドの指揮者になるような感覚。

自分自身の指揮者になるような、そんな、感覚。伝わるだろうか？

君が心を貫けますように…

〔水曜日 21日目〕その3

【5月31日 AFP】イスラエルによって封鎖されているパレス

チナ自治区ガザ地区へ支援物資や援助活動家らを運んでいた支援船団6隻のうちの少なくとも1隻が31日、イスラエル特殊部隊の強襲を受け、イスラエル軍の発表によると少なくとも10人が死亡した。

船団結成に関与したトルコの人道支援団体IHHのガザ支部はAFPの電話取材に対し、強襲を受けたのはトルコ船籍の船で、トルコ人を中心に15人が死亡したと語った。

一方、パレスチナのアルアクサ（Al-Aqsa）テレビは、黒服のイスラエル軍兵士がヘリから船へ降下して船上で活動家たちと衝突する様子や、船の甲板に倒れている負傷者の様子を放映した。

イスラエルの民放チャンネル10（channel 10）によると、攻撃したのはイスラエル海軍の特殊部隊で、船の乗客らから斧おのやナイフで反撃されたため発砲したという。

船団は、建材などの支援物資約1万トンや活動家ら約700人を乗せ、31日午前にガザ沿岸の封鎖海域に到達する見通しだった。

トルコ外務省はただちにイスラエル大使を呼び、強く抗議。「イスラエルの非人道的な行動を厳しく非難する」「公海上で発生し、国際法違反に相当するこの遺憾な出来事は、2国間関係に取り返しのつかない結果をもたらしかねない」とする声明を発表した。（c）AFP

と、いうニュース。

日本人にはぴんと来ないと思う。

何でこんな事がおこるのか？

世界地図でイスラエルを見て欲しい。

現在、イスラエルと互角に戦える軍隊をもつ周辺国は？

北のトルコ

南のエジプト

あと、東のイラクというのもあったけど、ご存知のように今は脅威ではない。

トルコとエジプトは中東戦争で何度もイスラエルに対抗し、勝てなかったから、そうそう簡単に軍は動かせない（そもそも西側の同盟国に現在はなっている、）

つまり？

イスラエルは北のトルコ、南のエジプトの国境さえ越えなければ、この地域で何をしよう、誰にも罰せられないフリーカードをもっている。おそらく、この地域で何人殺そうが、上記のニュースのように伝えられるだけで、具体的なペナルティーは科されない。

イスラエルがシリアやレバノンの国境を堂々と越えて軍隊を派遣して、人を殺しているのは日常的。ウソみたいな話ですが、隣国の大臣を攻撃ヘリのミサイルで殺した事も本当にあります。しかもイスラエル国外での越境攻撃で、です。

なぜ？イスラエルはこんなに強硬か？人殺しが趣味なのか？答えは別にある…

実は人口比率に理由がある。

おそらく、3世代もたつと、パレスティナの方が人口が増えて、イスラエル人は少数派になる。

だから、数が少ないうちにパレスティナ人をいじめまくって絶滅させたい思いがあるのだ。

だから、パレスティナ人をフェンスで囲い、物資を締め出し、兵糧攻めにしてる。

収容所を作らないあたりが狡猾です。

見た目は“封鎖”で、一時措置のような印象を受けますが、事実上の“強制収容所”で、そこで行われているのは民族浄化です。

民族浄化みんぞくじよつかつてやだな、と思えたら、貴方の心はまだ正常です。

君は何を感じますか？

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。人は本来そんな事をすべきではないのです。

詳しくは21話参照してください。

君が“こすつからい”人に負けずに、「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

入り口までは案内しますが…あとは君の心の問題です。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

ようはバランスなんだと思う。

上手く説明できないけど…

こんな例えならイメージしやすいだろうか？

ハイジは読み書きができない。無学な女の子として登場する。

そのかわり山で育ち、普通の人には体験できないいろいろな事を
知る。

そこには、人間が取り戻さないといけないいろいろな感覚がふく
まれる…

けれど、相変わらず無学で文字すら読めない。これは人として問
題だ。

知つての通り、この後クララのいる都会で暮らす。

都会生活の窮屈さばかり、印象として記憶されていたけど、最近見返す機会があり、大人目線で見ると

なんか、違う印象をうける。

人として学ばないといけない事を、ハイジは都会で学ぶからだ。

山で育ち、都会で育ち、バランスのとれた人間になっている。

その辺が、原作者の意図のように感じた。

どちらか、一方が“すばらしい”じゃなく、バランスが大事と言いたいのだろう。

この例えなら、上手く伝わるだろうか…

- - - - -
- - - - -
- - - - -

アスベスト訴訟 国が控訴へ

6月1日 4時34分

アスベストによる健康被害をめぐる裁判で、国の責任を認める判決が出たことを受けて、政府は、裁判を通じてさらに議論を尽くさなければ、結論を出すことはできないとして、控訴することを決めました。

アスベストを吸い込んだことによる肺がんなどの健康被害をめぐることは、大阪・泉南地域の工場の元作業員らが国を訴えている裁判で、大阪地方裁判所が、先月19日「国が必要な対策を取らなかった」として、国に損害賠償を命じる判決を言い渡しました。原告側は、早期解決のために控訴を断念するよう、国に求めており、31

日夜、国会内で仙谷国家戦略担当大臣や長妻厚生労働大臣、小沢環境大臣ら関係閣僚が対応を協議しました。この中で長妻大臣や小沢大臣は、原告の主張を受け入れて控訴を断念すべきだと主張しましたが、政府としては、ほかの裁判はまだ続いており、さまざまな論点について裁判を通じてさらに議論を尽くさなければ、結論を出すことはできないとして、控訴することを決めました。仙谷大臣は、記者団に対し、「闘病中の方などには申し訳ないが、短時間でこの問題を確定させてしまえば、今後出てくるいろいろな問題を解決することができなくなる。できるだけ早期に、解決に向けた枠組みをあらためて議論したい」と述べました。国が控訴することを決めたことについて、アスベスト訴訟の原告団は「被害者の期待と信頼を大きく裏切るもので、絶対に容認できない。鳩山政権は命を守ることを掲げていただけに、今回の決定は私たちの予測に反するまったく不当な決定だ。原告の命があるうちに救済が実現するよう、一日も早い政治解決を求めて全力を尽くしたい」というコメントを出しました。

この上記ニュースと東京佐川急便事件（トウキョウサカワキウビンジケン）（＝1992年10月、自由民主党経世会（竹下派）会長の金丸信が佐川急便側から5億円のヤミ献金を受領したとして衆議院議員辞職に追い込まれた汚職事件）には接点がある。

実は当時、アスベスト規制法案が国会に提出されていた。

ところが、国会は東京佐川急便事件（トウキョウサカワキウビンジケン）で紛糾、アスベスト規制法案は審議未了で流れてしまい、その後、取り上げられなくなる…

アスベストは吸い込んでから発病するまで10年以上かかる、もし、この時、規正法ができていれば、救われた被害者の数は半端ではない。当時の国会議員には全員責任がある。それでも、人は生きていけないといけない。

解決しないと。

不安の原因は自分の中にしかないんです。
そう思うと、（心の）コントロールの主導権を取り戻せます。

不安の原因を他人に転化して心のバランスをたもつ行為を“適応機制”と呼ぶそうです。

自分が、適応規制に陥ってるかどうか？常に考えるクセをつけるのがいいと思います。

適応機制についてネットに載っていたものを転載します。

（以下転記）

適応機制 教科書30-31P（大修館）

私たちの心には、心身の緊張や不安・悩みなどをやわらげ、心の安定をたもつとする働きがある。

これが適応機制である。本項では、適応機制の種類と、問題点について学習してみよう。

1. 適応機制の種類

○代償（欲求が満たされない時、似かよった別のもので満足しようとする機制）

補償 不得意な面を他の面でおぎなおうとすること

昇華 ただちに実現できないことを社会的・文化的価値の

高い活動で代償させる機

制のこと

○同一化（自分がない名声や権威に自分を近づけることによって、自らの価値を高め

ようとする機制）

○合理化（一見もつともらしい理由をつけて、自分を正当化しようとする機制）

○逃避（直面している苦しくてつらい現実から逃避することにより、一時的に心の安定

を求める機制である

○抑圧（実現困難な欲求や苦痛な体験などを心の中におさえこんでしまう機制）

○退行（たえがたい事態に直面したとき、発達の未熟な段階にあともどりして自分を守

ろうとする機制）

○攻撃（他人や物を傷つけたり規則をやぶったりして、欲求不満を解消しようとする機制

制で、直接的なものと間接的なものがある）

2. 適応機制の問題点

適応機制は一時的なものであり、一時的な機制を繰り返していると、それが習慣化して

問題解決のために努力することがむずかしくなる

○合理的機制

合理的な方法を工夫して障壁をとりのぞくことを、合理的機制という

（転記終了）

わかってもらえると嬉しいです。僕もこれを読んで初めて気がついたことがある。

先ほど“自分が、適応規制に陥ってるかどうか？常に考えるクセ

をつけるのがいいと思います”

…と書いた。書いた時点では、まだネットで調べてなかった。これって、上記でいうところの“合理的機制”の事のように思う。

自分で考えた事が、こうして後で調べた事と少しかぶるのに気づいた瞬間って、けっこう楽しいです。

適応機制については、以前も書いたけど、たぶん、こういう経験談を交えた方がいいのかな？と思いました。

君に伝わる事を願います。微力ながら、応援しています。

.....

適応機制？君はどう思う？

「貴方に言われたくないわよ」

と、ドラッグストア内でさげぶおばさん。

試しに近づいてみる。

するとこのセリフを連呼する…

なんだかやりそうだなと感じる。

ここは「ああ、効いてるな」と思い込むことにした。

その方が楽しいから。

あと、こちらを凝視してから不自然にエンジンをふかすおばさん

（おばあさん？）

もいた、しばらくしてから見ると、駐車後、いつまでたっても出てこない。

まあ、本来は駐車するつもりが無かったから、降りられないのか？恥ずかしいのか？のどちらかだなと、思い込むことにした。その

方が楽しいし。ものは考えようです。

思い込みも、自分でちゃんとコントロールできれば、大丈夫です。
害の無い範囲での思い込みを楽しみましょう。

あと、これは追加的記述…

君は親しい人に親愛の情を示す手段として

“大切な自分の秘密を公開する”という方法をとる。

それは、自分はこんな“人が良い”んですよ、だから、わかってやさしくしてね。というアピールを無意識のレベルでしているのだと思う。それはそれでかわいいけど、時に利用されるから注意しないと。

…でも、もう一人の君が「決めつけないで」と怒るかもしれない。それでも、言うべき事はいいます。それが、唯一僕ができる報いなのですから。

ゆるる心が落ち着く事を期待します。

君の願う世界が実現する事を願うというのが、僕の立ち位置なのですから…。

- - -
- - -
- - -

〔木曜日 21日目〕

多くのもっと悪いことをしている人がいる中、毅然とした態度を貫くというのは、

何をあたえ、何を思わせるのか？

そうありたいと、僕は思う。

〔木曜日 21日目〕その2

体でぶつかり、ねじ伏せる

イツハク・ラビンがガザ地区の住民蜂起について言った言葉です。しかし、彼は気づきません、それは間違いだと…

1993年、イスラエル首相返り咲いていた彼は、PLOアラファト議長との歴史的和平に合意したのです。

和解は友人とするものではない、敵とするものなのだ。

和解後のイツハク・ラビンの言葉です。

彼は長年殺そうと思いつけていた、アラファトと握手します。多くの友人を殺した組織のボスと…

なかなかできるものではありません。

50年も憎んでいた相手と和解するのですから。

彼がなぜ気が変わったのか？歴史を学び直したそうです。力でねじ伏せても、歴史上上手く言った事はない、という歴史の事実に気がついたのです。

そんな彼はイスラエル人右派の青年に殺されてしまいます。

それ以来、イスラエルは右派政権が続き、相変わらずあくどい民族浄化を続けています。

右派が勢いづいているので、穏健なイスラエル人は黙ったままです。

そしてパレスティナ解放テロが起こると、本来穏健なイスラエル人すら、パレスティナ人を憎むようになる…

これを読んで何かを連想できる勇気をたたえます。

君はどう思いますか？

君に読んで欲しい本がある。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。

詳しくは21話参照してください。

君が“こすつからい”人に負けずに、「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

入り口までは案内しますが…あとは君の心の問題です。

例え、倒しても倒しても新手が次々に来るとしてもめげてはいけません。

君が頑張れるなら、僕も、がんばれなす。

奇跡を信じて。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔金曜日 22日目〕

君ならわかつてもらえるかな…

人の顔を覗き込むってどう思う？

普段でも嫌なのに。

それもまったく普通のおじさんに、太ってかっぶくのいい、やさしそうな人。

そんな人が

「しめしめ、そろそろよわったかな」

と言わんがばかりのニヤニヤ顔で覗き込んでくる…

あの真実に気づく前2日間の限界寸前時の記憶です。

ようやく、この頃の事を冷静に書けるようになったと思う。

よく、ニュースになるようなことしなかったたと、自分の耐久力

を誇りに思う。

君もあんな体験してるのだろうか…

心配です。

無駄な努力も、決して無駄ではない。得られるものはたくさんある。

もし、仏教だと本気で信じてるなら、読めるはずです。

君に読んで欲しい本がある。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。

詳しくは21話参照してください。

君が“こすつからい”人に負けずに、「サンクコスト埋没費用の呪い」にかかわらず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

入り口までは案内しますが…あとは君の心の問題です。

例え、倒しても倒しても新手が次々に来るとしてもめげてはいけません。

君が頑張れるなら、僕も、がんばれます。

多くのもつと悪いことをしている人がいる中、毅然とした態度を貫くというのは、

何をあたえ、何を思わせるのか？

そう、ありたいと。僕は思う。

奇跡を信じて。

- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -

――
――
――
〔土曜日 23日目〕その1

そう…、君は僕と似て“超”がつくほど人がいい…
だから、たぶん、何をされても（最終的に相手を）許してしまえる性格をしていると思う。

それが故、心配なのです。

どんな目に遭っても、君は耐えられる人だから。

僕もどんなに酷い目にあっても、自分の中の人のいい部分は崩れなかった…

もし、君も同じなら、多分、そうなんじゃないかと、そう思った。どうだろう…、君はどう思いますか？

〔土曜日 23日目〕その2

病んだ世界という事実を、否定は難しいでしょ？

君に読んで欲しい本がある。

〔土曜日 23日目〕その3

心を不防備むほうびにしても大丈夫な人がいますか？

〔土曜日 23日目〕その4

東の工場の近くを通るとき、いつも思うことがある…

あの夏祭りの日。この近くで別れたんだよなど。

駅を降りてから土地勘の無い僕は、君にいざなわれるがまま歩いた。

「そうだ、駅に自転車あるんだ！」

その時、僕はそう思ったと思う。

「じゃあ、駅まで一緒にあるかない？」

暗闇でよくわからなかったが、声からすると物凄い笑顔で君は言った。

「歩いていける距離なの？」

と、僕は聞いたと思う。

「うん」

と、君はうなずいた。いつになく元気よく。

この間、コンビニにより、あの車の出来事があり、長い階段の神社、そしてきみの告白…

そして僕自身の人生最大の間違い。

あの時、どうしてすれ違ったのかまったくわからず17年も悩み続けることになる…

…見慣れない景色の中、突然見慣れた東の工場が見えて、

「ああ！ やつとどこだかわかった！」

と僕は言った。

東の工場の近くを通るとき、いつも思い返す。

あの時どうして君を送ってやらなかったんだろうとか、

どうしてもっとちゃんと話を聞いてやれなかったんだろう、と…

今はなにか理由があつて会えないけど、いつか君は現れる…

そう信じます。

僕の知るFさんなら、僕が気がついたという事実を重く受け止めると思う。

止まった時間を動かすことができるのは、この世で君だけです。

君ならわかってもらえるかな…

負けないで！

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。
詳しくは21話参照してください。

君が“こすつからい”人に負けずに、「埋没費用サンクコストの呪い」にかか
らず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

入り口までは案内しますが…あとは君の心の問題です。

多くのもつと悪いことをしている人がいる中、毅然とした態度を
貫くというのは、何をあたえ、何を思わせるのか？

そう、ありたいと。僕は思う。

- - -
- - -
- - -

〔日曜日 24日目〕

もし、会った早々いやみを言われたら？

「たいしたご挨拶なこと！」
で、いいと思う。

何でだかわかるかな？

こういう場合、何も言わないと、それだけで、無自覚な上下関係が成立してしまうからだ。なにか言った方がいいんです。

お互い、人がいいからね

お互いにお互いの人のよさに感動したんじゃないだろうか？
…そんな事思った。

確かに、他に似た人に会ってないように思う。
君はどうなのだろう…

この問いに、いつか君が答えを与えに来る日を信じます。
どちらの答えにしろ、待ちます。

一緒に歳をとりたいです。

もし、奇跡が起こるなら、君にささげたい言葉がある。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。
それが仏教と信じるなら、読めるはずです。
詳しくは21話参照してください。

君が“こすつからい”人に負けずに、「サンクコスト埋没費用の呪い」にかか
らぬ、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

入り口までは案内しますが…あとは君の心の問題です。

多くのもつと悪いことをしている人がいる中、毅然とした態度を貫くというのは、何をあたえ、何を思わせるのか？

そう、ありたいと。僕は思う。

繰り返しになりますが、反復は重要です。

(たまには、以前書いた部分をいくつか読み返して欲しいなど、そう、思います。)

君の心に静かな平和がおとずれますように。

- - -
- - -
- - -

〔月曜日 25日目〕その1

人格形成って死語じゃないよね。

出来れば周りの人に意味を聞いて欲しい。
なんか、間違った解釈してそう…

〔月曜日 25日目〕その2

わざと気づかれようとふるまう…君はあれどう思う？

「こちら側の世界からみると、あんな凄そうでかつこいいのに」
自己主張があり、反体制的なファッションなのに「いいなり」か
よ！カッコ悪っ！と見える。カッコよくない人らの場合は、まあ、
さもありなん。と思う。

…それは言いますぎ？

でも少なくとも、憧れるカッコよさでない事は、そちらの価値観
でも否定できないと思うけど、どうなのだろう。

…そんな世界いやじゃない？

我慢してない？

心配です。

〔月曜日 25日目〕その3

当時、君は謎のキーワードを時々いくつか僕に投げかけた。

意味が正確につかめないにしろ、なにか気にかけて欲しいんだな
というのだけは、ひしひしと伝わってきた。

そんな時僕は「（それ）大丈夫？（なの？）」
と問いかけたと思う。

君は恥ずかしそうに「大丈夫」と答えた。

あのヒントの数々は、今、役に立っています。

いつか、お礼を言える日が来る事を、希望したい今日この頃です。

〔月曜日 25日目〕その4

何度か書いたけど、ワザとまたもたもたして苛立たせる…というテク

ニツクがある。で、その発展系で、素でもたもたしてしまう人（身障者や天然でにぶい人）を使うというあこぎなものも実際ある。

そういう事を思いつく人格が尊敬の対象？

…誤解だと言つのかな、言った瞬間理論破綻するけど。

だってあこぎすぎて、あきれて物も言えないもの。

身障者の人格をバカにしてるし。

あこぎだなと、少しでも思えるなら、貴方の心は、まだ大丈夫です。

〔月曜日 25日目〕その5

記憶をたどると、中学生ありから本格的に影響下に入るみたいだ
けど…

君は戸惑ったのだろうか？

親しい友人たちが、次々と変ってゆくなか、何が正しいのかわからなくなる…

周囲に溶け込む努力を、おそらく君ならするのだろうか、容易に想像がつく。

それでも、根っからの人の良さは消す事ができない。

悩んだんじゃないだろうか、相当。

そういう君の“いい部分”につけ込む人間がたくさんいるように

思う。

…だから心配です。

「月曜日 25日目」その6

どの世界、どの組織にも“右翼”(通常は社会秩序または伝統的価値の維持を支持する社会階層を示す用語として使われる。保守ともいう。対義語は「左翼」や「革新」である。)“はいる。

別に悪い事ではない、右翼と左翼がつねに牽制しあうことで、社会は円滑に機能する。

(知ってる人はいるだろうけど、この仕組みは偶然にも遺伝子の現状を維持する力と突然変異で変えようとする力が、常にせめぎあって機能しているしくみ(進化のしくみ)に似ている。)

…でも

特に、融通のきかない右翼の事を“極右”という。

進化を完全否定する極端な集団だ。

これはなにも政治だけじゃなく、学校でも、会社でも、人の集団において、少数かならずこのような集団はいる。

極右は社会の求心力を取り戻そうとするあまり、社会を停滞させてしまう、いわば“諸刃の剣”(「相手にも打撃を与えるが、こちらもそれと同じくらいの打撃を受けるおそれがあることのとえ。また、大きな効果や良い結果をもたらす可能性をもつ反面、多大な危険性をも併せもつことのとえ。両刃の剣)だ”

…なに、社会一般について述べたまでです、他のなにでもありません。

何が言いたいのか君はわかりますか？

全体、全てが、そうではない。

それが証拠に、いい人も実際たくさんいた。

君も含めて。

違うのかな…、答えはいつか聞けるのだろうか？

「月曜日 25日目」その7

もし、奇跡が起こるなら、君にささげたい言葉がある。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。

それが仏教と信じるなら、読めるはずです。

詳しくは21話参照してください。

君が「サンクコスト埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

入り口までは案内しますが…あとは君の心の問題です。

多くのもつと悪いことをしている“こすつからい”人に負けずに、
毅然とした態度を貫くというのは、何をあたえ、何を思わせるの
か？

そう、ありたいと。僕は思う。

繰り返しになりますが、反復は重要です。

(たまには、以前書いた部分をいくつか読み返して欲しいなど、そ
う、思います。)

君の心に静かな平和がおとずれますように。

- - -
- - -
- - -

〔火曜日 26日目〕その1

「将来ターミネーターになりたい」

アフリカの少年兵が言ったとか…

どういふ教育されたんだと、少しでも思ふことが出来ればあなたの精神はまだ正常です。

え？意味がわからない？

この子は無敵の殺人鬼になりたいと言ってるんです。

アフリカでは敵対勢力の子供を誘拐して、兵士に育てて、使い捨てるようにこき使う…

無事、親元に帰れた子もごく少数いますが、何人も殺したため、精神的にケアが不可欠な状況になってます。

おかしいと感じられる良心がまだあるなら大丈夫です。

〔火曜日 26日目〕その2

駐輪場にて、とめてある自転車に、大の大人が、子供みたいにまたがり駐車場で何をするでもなくきよろきよろする。

立派な大人が育つたものです。

きつと触れてはいけない事情があるのでしょうか、そっとしておいてあげるのが懸命です。

…ここまで酷くなくても、路上で同様に長時間自転車にまたがったまま停車している人はよく見る。大概ケータイをいじっている。きつと営業成績かんばしくなく、やる気をなくしたため、サボっているのだろう。と、勝手に同情する事にした。だって、それ以外の理由でそんな事する人は奇人の類だと思っし。

この常識的解釈に異論を唱える人は、常識の世界で生きてない人なんでしょう。

…そうだよな、それが世間の常識だよなと一瞬でも感じたなら、まだ、貴方は救われます。

〔火曜日 26日目〕その3

Fさんへ

こんなものネットで見つけた、

(以降転記)

本日の未明、(A・M5時くらい)に、インターホンがけたたましく鳴り響きました。

ビククリして飛び起きモニターを見ると、知らないおばさんがチャイムを鳴らし続けており、寝起きで訳がわからず飛び出しました。

出るやいなや、凄い剣幕で

「あんたのバイクの空ぶかし音がうるさくて迷惑している！」云々…
「警察に通報したから！家主にも連絡させてもらっし！」など、とにかく凄い剣幕でまくしたてられ話になりませんでした。

警察に確認すると…

「いくら腹が立ったとはいえ、相手の方に問題がある。過去に注意も無しで、いきなり夜明け前の5時前後にインターフォンを鳴らし続けたり、大声で怒鳴り込みに来る方が悪意がある。少し危険な気もするので、次に来た場合は無用心に外に出ないで警察に一報ください」と警察に言われました。

(転記終わり)

相手がいくらすこんできても、この様に冷静に判断すればいいのだと思う。

丁寧かつ妥協を許さない対応が肝心です。

〔火曜日 26日目〕その4

“丁寧かつ妥協を許さない対応が肝心”という言葉でこんな事を思った。

毅然きぜんとした態度はとり続けないとダメです。

今も、深夜何回か変な車がくる。

けど、毅然として無視している。そもそも、耳栓があるから、大丈夫なだけ。

…でも、ついついお人よしな部分が顔をだす、

「相手もやらされて大変なんだよ、だいたいこんな時間帯まで大変

だよな、おつかない上役でもいるのかな」

などと、しなくていい心配をしたりする。

バカだなと自分でも思うけど、どうしても消せない人のいい部分です。この性格のせいで随分損をしている。

「…もし、再会が本当になかったなら、謝罪をいくつかしなくちゃな」などと考えてしまう、そんな事、今は考える必要は無いと自分に何度も言い聞かせています。

損な役回りを演じていいときと、いけない時がある。
というのが、僕が得た経験則だ。

そうでない、今の僕と君のような状況が生まれる。
人のよさは意識して加減しないと。

君はどう思いますか？

改めて繰り返します。

「損な役回りを演じていいときと、いけない時がある。丁寧かつ妥協を許さない対応が肝心です。」

〔火曜日 26日目〕その5

もし、奇跡が起こるなら、君にささげたい言葉がある。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。

それが仏教と信じるなら、読めるはずです。

詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかかわらず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

入り口までは案内しますが…あとは君の心の問題です。

多くのもっと悪いことをしている“こすっからい”人に負けずに
毅然とした態度を貫くというのは、何をあたえ、何を思わせるの
か？

そう、ありたいと。僕は思う。

繰り返しになりますが、反復は重要です。

(たまには、以前書いた部分をいくつか読み返して欲しいなと、そ
う、思います。)

君の心に静かな平和がおとずれますように。

損な役回りを演じていいときと、いけない時がある。丁寧かつ妥
協を許さない対応が肝心です。

- - -
- - -
- - -

〔水曜日 27日目〕その1

もし、机をバン！とたたかれても、動じてはいけない。
…可能ならば、たたき返すくらいやっても言いと思う。

頑張つて！応援してます！

〔水曜日 27日目〕その2

“わがまま”と“押しが強い”は似てるけど、まったく違います。信念があるなら、守りたいものがあるなら、理由があるなら、いいんです。

〔水曜日 27日目〕その3

物事のうわべだけで物事を判断する人間に負けないで！

〔水曜日 27日目〕その4

差別つてこういう事なのか…と。まさか国内にいて実感する日が来るとはね。

人種差別つてTVや文字の中だけのものと思い込んでいた。

そういえば…昔、中学で絵を描いたとき…

パース的には正確なのに、それが理解できてないやつらからおかしいと言われた経験がある。

理屈でパースの正しさを証明しても、謝らず黙るだけ…、そんな経験なんだかたくさんあるな、特に中学以降に。

人間関係の作り方を学ぶ時期に、かなりの制限を受けていたわけだ。

強がりかもしれないけど、理解できてスッキリしたという思いは

ある。

ステイブ・R・コヴィーの「7つの習慣 成功には原則があった!」という本に^{ウィン}win-^{ウィン}winの関係という言葉がある

。この言葉は時折ニュースなどにも登場し、責任ある階級の人々の間で浸透しているようだ。

要約するところいう事らしい。

「自分も勝ち、相手も勝つ」 「Win-Win」の関係

自分が引いて相手を勝たせる状態が「Lose-Win」

自分も相手も道連れで損をする状態が「Lose-Lose」

(「Win-Lose」の関係というのがない。否定されているのだろうか、それでは成功できないという事?)

「自分も勝ち、相手も勝つ」 「Win-Win」の関係においてポイントは、

“まず先に相手を理解し、次に相手に自分を理解させる”というところらしい。

これが目標であり、成功の近道だと…、そんな事らしい。実際にはまだ、この本よんでなく、興味がありレビューを調べたレベルでの理解でしかないのだけだ。

先に述べたとおり、僕は言いがかりをつけられる事が多かった。でも、そのたび説明することで間違いを正してきた。

けど、相手がなぜ言いがかりをつけるのか理解できないので、どうしても「Win-Win」の関係にはならない。なるのは、彼らでない人だけだけど、その事にすら気がつかず、せっかく上手く作

り上げた関係を粗末にしてきた。

その事に気が付けただけでも、全然違います。

君がヒントをくれたおかげなのです。

世界にはもつと酷い差別がある、だから、他にもたくさん戦っている人がいるんだなと感じるとなんだか勇気が出ます。

損な役回りを演じていいときと、いけない時がある。丁寧かつ妥協を許さない対応が肝心、という事でいいんだと思う。

君はどう思いますか？

頑張つて！応援してます！

“わがまま”と“押しが強い”は似てるけど、まったく違います。信念があるなら、守りたいものがあるなら、理由があるなら、いいんです。

物事のうわべだけで物事を判断する人間に負けないで！

もし、奇跡が起こるなら、君にささげたい言葉がある。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。

それが仏教と信じるなら、読めるはずですよ。

詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

入り口までは案内しますが…あとは君の心の問題です。

多くのもっと悪いことをしている“こすっからい”人に負けずに、毅然とした態度を貫くというのは、何をあたえ、何を思わせるのか？

そう、ありたいと。僕は思う。

繰り返しになりますが、反復は重要です。

(たまには、以前書いた部分をいくつか読み返して欲しいなと、そう、思います。)

君の心に静かな平和がおとずれ、勇気が君の心に宿り続けますよ
うに…

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔木曜日 28日目〕その1

僕はb級映画結構好きです。

ギリシャで社会主義政権ができそうになった時、アメリカが介入してキリスト教系の政権を選挙で勝たせたなんて、話もある。(この政権が長期政権で債務を隠したから、いまのユーロ危機になっているのでしょうか？詳しくないので断言できませんが…。そういえばギリシャの赤字の原因は公務員天国の数が国民の3分の1だっ

たかな？とにかく数が多すぎるせいで人件費がかかりすぎるからとか、これも国民の社会主義好きの反映なのでしょう。郵政の財政投資で公共事業をおこし高い人件費でいらない建物たくさん作る日本に似て無くは無いです。その件は話がそれるので別件で）

ユーゴスラビアではアメリカとソ連が水面下で激しく戦い、ソ連が勝ったのでチトー政権が出来た。なんて話も、冷戦期のエピソードとして、東西の壁が崩壊した後出てきた資料で明るみになったりしてます。

日本は海外から見ればスパイ天国、外国の諜報機関に国内事情はかなり調べられている？（何度もスパイ防止法が模索されているが、そのたびにつぶされている経緯がある）なぜなら、日本にはCIAやそれに類する機関と互角の諜報機関がないから。各省庁が独自にやっついて連携をまったくしない。

ロッキード事件やレフチエンコ事件（1982年12月にはアメリカ議会などで、KGBによる日本のスパイ組織網に関する証言を行い、さらにKGBの日本人協力者およそ200人の名前を供述した。協力者リストには、自由民主党の石田博英元労働大臣や日本社会党の勝間田清一元委員長などの政治家、産経新聞の山根卓二などのジャーナリスト、外交官、さらには内閣調査室などの情報機関員の名前が記載されていた。）も過去にはある、外国の諜報機関のほうで日本国内の裏社会に詳しいのかもしれない。

たぶん、たつぷりという証拠を集められてるのでは？

将来、利用できるための…なんて、ああ、ありえない、ありえない。

田中角栄をつぶすのに、銃弾はいらない。

ロッキード社の内部資料が一部漏洩するだけで、総理の座からおろせる。

当時のニクソン大統領ならやりそうですが、ま、ありえませんが、こんな話に身震いする人は、心当たりのある人だけで、僕ら一般市民には生涯関係ないことです。

特に、地下鉄サリン事件以降、アメリカの諜報機関が日本の裏社会に興味を持ったのは、事実ですが。

今はアメリカにとって日本は守る価値があるからいいけど、いざとなったら、まだまだ隠しだまを持つてるかもしれないね。世の中知らなくていいことはたくさんあります。皆さんのほうがその事は詳しいかもしれませんね。

ま、こういうB級映画みたいな話けっこう好きですと、こう言いたかった訳です。

でも、こういう子供じみた話をエンターテイメントにしたてる映画は基本的にすぎです。

「木曜日 28日目」その2

ちよつとどうかな？という映画という意味で印象に残るものがある。

娯楽を提供するものとして成長させられる主人公たちの話。本人たちはそれが普通と疑わない悲劇を描いた映画がある。

これだけ書いて「スカイ・クロラ」だなと思う人もいると思う。あれはあれでいいけど、でも、もう一つ印象的な映画がある。

「エコール」《原題：Innocence》「というヨーロッパ映

画だ。

たぶん、男性と女性では180度評価が違うと思う。理由はみればわかる。

ラストシーンの伯爵のもとに“出荷”される彼女たちの従順さを見てると、なんだか理解できない感覚になります。

現実ばなれした話なのに、物凄い印象にのこります。まちがっても異性と一緒には見ないほうがいい映画です。

損な役回りを押し付けられる主人公たちを描いた作品です。

そして、本人たちが、それが“損”な役回りでなく、ごく当たり前と教育させられているところが、なんだかもすごく心が痛くなる感じがします。

気づいたなら、損な役回りから逃げていいものだと、強く主張します。

〔木曜日 28日目〕その3

こんな記憶がある…

小4くらいの記憶だ。

数回しか行った事が無い友人の家で遊んでいると、男があらわれて無造作にボールを蹴飛ばした。

「お前ら誰に頼まれてる」と、彼はすごんだ。

当時、うるさくて怒るにしろ、そのセリフはどういう意味だろうと印象に残ったが、彼もまた、被害者だったのだろうか？今にして思えば、そんな事も思う。

僕にとって、心配は君の事だけです。心配です。

この世に気にかけて心配している人間がいることを忘れないでください。

〔木曜日 28日目〕その4

殺したいほど相手を憎むことができない…、君もそんな部分あると思う。

〔木曜日 28日目〕その5

同じ窮屈でも、自分を取り戻した方が、この先の人生楽しいと思う。

〔木曜日 28日目〕その6

僕に君とピアノで“連弾”するほどの腕は無い、けど、トロンボーンでアンサンブルなら出来ると思う。

〔木曜日 28日目〕その7

勝とうとさえしなければ、負けないようにする方法はいくらでもある。

もし、奇跡が起こるなら、君にささげたい言葉がある。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。
それが仏教と信じるなら、読めるはずです。
詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

入り口までは案内しますが…あとは君の心の問題です。

多くのもつと悪いことをしている“こすつからい”人に負けずに、毅然とした態度を貫くというのは、何をあたえ、何を思わせるのか？

そう、ありたいと。僕は思う。

繰り返しになりますが、反復は重要です。

(たまには、以前書いた部分をいくつか読み返して欲しいなと、そう、思います。)

君の心に静かな平和がおとずれますように。

勇気が君の心に宿り続けることを祈ります。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔金曜日 29日目〕その1

東京で彼らの暗示にかかった店長を、理解し会えるまで話し込んで理解を取り戻した話は何回か書いた。

問題は副店長的立場の彼で、彼はまちががなく彼らだった。

店長が僕の味方にもどつたため、いままでの見下した態度の整合性がとれなくなり、理論破綻して、精神的に自爆した。「胸が痛い」と言い本当に病院にいく始末。あげくのはてには僕の目の前で、胸が痛いことを叩いて無言ですごんでくる、理論破綻したプライドの高い人って、ああなるのか…と、初めて知った。動揺して簡単な会

話すらかみまくる…

だからといって、同情するのは間違っていると思う。
彼は何度も、胸が痛いと言張する。

でも、その痛みは、僕にひとこと「ごめん、言いすぎた」と言え
ばとれる類のものなのだ。

その一言で、別に水に流せるのになと思うのは、僕が人がいいから
だろうか？

そう思っけど、君はどう思う？

〔金曜日 29日目〕その2

今にして思うと、僕を嫌って3年つけねらったあの人は、彼らを
社員として増やしていた。

随分遠方から単身東京に来て、こんなマイナーな会社に入るもの
だな？と不思議に感じたものだ。

総攻撃がはじまってから、のちの店長会議であつまった店長たち
の9割が、いままで、こちらを意識してないのに急に意識した顔を
したのが印象的だった。

そもそも社風がかわっていて、普通の社風じゃなかった。個性的
だと思っていたけど、あの雰囲気は、そちらの世界の雰囲気が転
写された物だったのかもしれない…。突然どなったり、意味無く叱
責したり、まあ、おかげでその手のものには慣れてしまったけど。
だからこそ、いい人がいるのも理解できる。ある程度、思考傾向の
予測がたつのもその所為かもしれません。

だから、あの異常な社風に対応できるようにすると、その事自体が「誇らしく」思えてくるのもわかります。自分はこんな異常さにも対応できるんだ！という変なプライドはかなり自尊心をくすぐります。

だから、よりつらい目にあっても大丈夫になる…。

そんな感覚、わからなくもない。

けど、世の中、それだけじゃない。

真実に気づいたときから、世の中には忘れてはいけなない大切なものがある事を知りました。

君のおかげです。君はどう思いますか？

ぜひ、僕が何を人生で一番大切と気づいたか、君に話せる日が来る事を…

〔金曜日 29日目〕その3

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。それが仏教と信じるなら、読めるはずです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

入り口までは案内しますが…あとは君の心の問題です。

- - - - -

.....

いろいろバイアスのかけ方試行錯誤中です。

改造車はナンバーひかえて通報でどうも対応できそう。

問題は、たんに音のでかい車かなー

どうバイアスをかけよう…

などと思っていたけど1つ思いついた。

通るなどはいえない。

けど、環境法を守りましょうというビラを配るのはありでしょ？

道交法に違反して無くても、環境法には違反してんだから。

と、というか、彼らは基本、めんどくさければ関わらない人が大半。

路上でビラ配ればうっとうしいと思うかもしれない…。

ま、これも、ナンバー控えて通報同様、書いてから忘れた頃、油断してるときにやるのが、いいと思う。君はどう思う？

.....

〔土曜日 30日目〕その1

人間は未来に希望をいだくべきなんだそうです。

多くの人の希望を砕き続けていく世界の住民でい続けるなんてい

やでしょ？

病んだ人にまどわされないで！

〔土曜日 30日目〕その2

必要も無く人の希望を砕くのは野蠻です。

〔土曜日 30日目〕その3

優しさを忘れるよう“強要”されるの、おかしいと思うでしょ？
どうかな…、

君の言葉を知りたいです。

〔土曜日 30日目〕その4

ただただ穏やかに暮らしたいとか、そう、思わない？
僕は思う。

〔土曜日 30日目〕その5

わからないというのを（自分の至らなさを）認める心が大切です。
僕はこれできます。

周囲にそういう人ちゃんという？

〔土曜日 30日目〕その6

仮の話です。写経とかやるのかな…

それ自体は悪くないけど、

お寺とか本格的な場所でやる写経は、より深く感じ入るものなの
です。

例えるなら、本格的なてんぷらやで食べるてんぷらは、普通以上
おいしく感じる。

なぜならば、その“お店の雰囲気”が味覚にプラスされるから。

同じように、お寺でする写経は、あの雰囲気の中かやるから、脳への刺激も倍化します。

ストレス発散や、リラックス効果はあるでしょうが、悟ったと感じるのは間違いです。

パワースポットに行つて「パワー来た」とか言つてるのと変りませんし、

パワーストーンを買つて「これから運勢かわるぞ」とか言う人、たいした違いはありません。

これら上記のものは半分冗談で信じてみよう、気は持ちようだ。もしたまたま気持ちが入りやすく変化して、物事うまくいくなら儲けものだ…。くらいな物です。

依存しすぎてはいけない。

と、僕は思う。

君がこの様な環境にない事を希望します。

〔土曜日 30日目〕その7

よからぬ事をたくらんで、と頭に修飾語をつければ、どんな人のイメージでも悪く出来る。

…いやだな、そんなの。

と、少しでも感じられるなら、まだ、貴方の心は正常です。

〔土曜日 30日目〕その8

市外局番が変更されてる…、この事実に戻郷して数日気がつかなくなった。

昔の番号の頭に、昔の市外局番の数字が一つずれ込んで入って

る。帰郷するまで知らなかった。

帰郷して一番にした事は、覚えているTEL番にかける事だ。

けど、通じなかった。留守かと思った、けど本当の理由は市外局番の所為みたいだった。何度も連絡したけど通じなかったのはこのためだ。

ようやく正しい電話番号がわかったときは遅かったのだろうか…

そんな事思い出す。

ちょうどこの頃、どこへいっても赤ちゃんと母親を（父親を）見たし（朝5時ですら見た）、どこへ行ってもかわいい10代の女の子を見た（今は見ない）。異様だった。

けど、いまは無い。あれだけ大量にいたのに、今は仮に見かけても1人いるかいないかくらいだ。世の中不思議な事もあるという事で、それ以上の詮索はしたくないです、ホント。

君はどう思う？

あの時は、再会するくらい簡単だと思っていたけど、こつも難しいとは。

真実に気づく以前から、何度も想像した。もし、いつかまた会う日が来たなら、絶対にお礼をしよう。君がいなかったら、今現在の僕の人格は存在しない、そして、今現在、僕は自分の人格に満足している。

人生に影響をあたえた人っているというけど、僕の場合は君なのです。

頑張つて！応援してます！

〔土曜日 30日目〕その10

毅然とした態度はとり続けないとダメです。

〔土曜日 30日目〕その11

損な役回りを演じていいときと、いけない時がある。

〔土曜日 30日目〕その12

丁寧かつ妥協を許さない対応が肝心です。

〔土曜日 30日目〕その13

こんな事も思った。

僕が知る限り、どんなに仲の良い友達でも、彼らの中に入ると、とたん僕の悪口を言いだす。

人がいいから、本気であればふざけてんだなとか思っていた。

けど、君はそんな事も無く。君だけは僕を見下した目でさいごまで見なかった…

どんなに、なにをされても、人の良さだけは消す事ができないからだろうか…

こんな事考えてると、あの時の事を思い出す。

僕は君を空気のように無視したことがある。あの、飲み会の終わりの場面だ。

君の目の前を無視して横切った。

僕に無視された君は泣き出してしまった…。

女の子を泣かす事が、こんな僕にもあるなんて、当時は子供過ぎ
てわからなかった。

今なら、駆け寄るんだけど、どんなに邪魔されようと。

謝りたいといつか、なんだか、とにかく君に会ってあの時の事を
話したい気持ちになる。

確かめたいんです。

できるなら、その手段がまだ残っている事を祈るばかりです。

僕にまだそのチャンスは残されているのでしょうか？
その答えを知るのは君のみです。

〔土曜日 30日目〕その14

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。

それが仏教と信じるなら、読めるはずです。

詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用の呪い」にかからず、
サンクコスト

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

入り口までは案内しますが…あとは君の心の問題です。

- - -
- - -
- - -

〔土曜日 30日目〕その他

自分の事を棚に上げて何をいろいろと…、と言われるかもしれない。

でも、そちらの組織は戦後ずっと自分たちの事を棚に上げて外部を攻撃したんだから、

その分耐えなきゃいけないように思う。命を落とした人や、冤罪で今まさにつかまってる人もいる…

…こう書くと、こんな事思いたす。大学生くらいの時の記憶。

慰安婦問題で、事あるごとに日本は韓国から非難された。

言われっぱなしで何だか不愉快だと、当時多くの日本人が感じた。当時僕は、こう考えた。

「日本がしたいいい事も取り上げて、いい事もしたけど、それを上回る悪い事をしたんだから、そこは素直に認めて反省してね、と韓国政府が表明すれば、ああ、そうかと、日本人も謙虚になれるの…」と思ったのを覚えている。

けど、現状、僕はそちらの世界の利点が皆目わからない状態で。

それは、兎にも角にも。そちらの世界が“閉鎖的”なのが原因で。それでも、なんとか、利点を（よい所を）言おうと思うなら…

皆がおかしいわけではなく、大多数は、普通の人で、みな善良で優しい人たちです。

…という当たり前の事実を何度か言うくらいしか出来ない現状です。

監視じゃねーよ、観察だよ、とか言う人がもしいたら…

「それって、言い訳じゃない」

と言ってあげてください。

差別じゃねーよ、区別だよ、とか言う人がやはりいても、

「同じ事ですよ」

と言ってあげてください。

君は決断するまで、納得がいくまで悩む。そんな所が確かにあった。

熟慮に熟慮をかさねる…。

もしかしたら君自身は、自分の事で手一杯で、そんな事に気を回す余裕が無いかもしれない…。

そういう君の性格は好きです。

君の心の問題にいつか答えが出る日を夢見ます。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

上記記述をしたのち、非難しづらいなど、思わなくも無い。

けど、通じてない人もいるみたいだし、ここは一つ、同じ調子で、君との再会を目指し書き続けようと思う。通じてない人もいるだろうけど、通じている人もいると思う。人間って言うほどバカじゃない、単に誤解しやすい性質があるだけだ。

こんな話がある。以前もしたかもしれない。

ムツゴロウ動物王国で地震があったときのエピソード。

猫は、地震が起こると一目散に森へ逃げ込んだ、けど、犬たちは

危険を顧みず人間を探しに駆け寄ってきた。ムツゴロウ氏の解説いわく、猫は人と暮らして5千年しかたっていないから、共生関係（複数種の生物が相互関係を持ちつつ同所的に生活している状態、ミツバチがいないと受粉して種が作れない植物が代表例）になっていないが、犬は2万年も人と暮らしているので、すでに人と暮らすよう進化を済ました生き物なのだ、という。

ポイントは年数だ。

5千年では進化に至らない。

2万年では進化する？らしい。

ちなみに人類は現状の姿になって25万年とウイキペディアにある。（調べました、1万と書きましたが間違いです。でも下記の牛乳のくだりに間違いはありません。大丈夫です。「一万年の進化爆発 文明が進化を加速した」グレゴリー・コ克蘭（著）、ヘンリー・ハーペンディング（著）にあるように1万年前というのは人類が農耕を始めた時期で、この頃から文明が一気に進化したようです。この辺すこしごちゃ混ぜになっていたようです。失礼しました）

少し間違えた記述をしたので正します。

それでも、こんな話がある、牛乳を飲めるよう人類が進化したのはごく最近、人類が牧畜を始めた頃だという話。

飲めない体質の人は、進化以前の遺伝子を持つごく少数の人らしい。でもその依然しも時間と共に混ざり合い、溶け込むものでしょう。人類は細かく細かく進化を続けているんだと信じたいです。

人類が次の段階まで進化した先で、どう変化するかは現在の暮らしより次第になると思う。

“平和”も何万年か唱え続けられれば、遺伝子に刻まれると信じたいところですよ。

…少し話がそれましたが、今後も同じ調子で書き続けます。

君は読んでいてくれているだろうか？心配です。

君に読んで欲しい本がある。詳しくは21話参照。

「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

君が“こすつからい”人に負けず、自由な意思を貫ける勇氣を持ち続けることが出来ますように！

-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-

「日曜日 31日目」その1

決意が揺らぎそうな時のおまじない（＝自己暗示）の方法を1つ。

その決意をしたときに、指にテープかバンソーコーを巻く。

すると、忘れたとき、それを指に巻いたときの感覚で思い返す事ができる。

もともと、物忘れ防止のために思いついた方法だけど、案外使えます。

「日曜日 31日目」その2

彼らの中でも、依存傾向の強い人ほど、叱るとき“借りてきた言葉”を使う。

これは僕の経験がもたらした結論です。

いくら現実がかけ離れていても、擦り寄せると言う概念がない。そう感じた。

みな、めんどくさいから、この人に大人しく従えば、まあまあ平和が保てる、と。そんな空気をだす、裸の大さまだなーと、よく思ったものです。

窮地に陥ったとき、何人この人についてくるだろう…などと感じました。

自分の言葉を取り戻して！

君にこの言葉を送ります。

〔日曜日 31日目〕その3

「タバコ吸うのっではしたなく見えるでしょ？」

と君は言って、タバコは大人になっても吸いたくないという話をした。

セリフに間違いがあるかもしれないけど、この趣旨の事を言った。あれから君はどうしたかな？結局、喫煙習慣はもたなかった？どちらなんだろう…

僕の方は結局、今でもタバコは吸わない。

君の言葉が無意識にそうさせたのかもしれない…

今思うとあれもサインだったのかな、どこへ行ってもだれか待ち構えていて、タバコを吸ってるあれ、当時高校生の君は体験していたのだろうか？

物陰とか、暗闇とかにいたりして、よく計算されたものです。

だとしたらあれはSOSのサインだった？唐突にあんな発言したから、なんだかそんな事おもった。

もし、合っているなら、ようやく気がついた事を、今、ここに、伝えます。

自殺するまで追い込んでいい、と。
仏法のどこに書いてあるのか教えて欲しい。

仏の道に殺生をしると書かれているとはシロウトでも思わないけど、どうなのだろう？殺されかけた僕からの質問です。

たとえ、僕が社会的に抹殺されたとしても、君だけは味方でいてくれると信じます。

〔日曜日 31日目〕その4

僕にもいたらない所はあるけど、常識の範囲内だと思う。

物凄いだれかに迷惑かけてないし、
物凄い非常識な行動もしてない。

常識は守るし、ルールも尊重してる。

気遣いすら学ぶ意思がある。

最低なやつは他にたくさんいる。

少しだけいい訳をさせてもらうなら、ささやかな疑問から、大きな謎まで、いろいろ放置しておくど気持ち悪いので、解決するまで専念してしまうという事だと思う。君の謎の行動や言葉もそうだ、解決するまで随分かった。

死ぬ前に、遣り残した事はまだまだある。

以前書いたけど、病気で一度死を意識したときがある。あの時、これで人生がおわるなら、やりのこしがまだある！と強く意識した。死ぬ前に、自分のインスピレーションをコントロールできるようになりたいと思ったし。

（君も自分のインスピレーションに振り回されるところがなかっただろうか…）

世の中の仕組みや歴史をもっと知りたいと思った。
それに、もう一度君にあいたいと思った。

死を意識すると、何が“大切”かみえてきます。

だからだと生きながらえるだけが人生ではありません。

死ぬ気で…という言葉、皆、安易に使うけど、本来の死ぬ気でと
はこういう物なのかなと…

時間をかけていいと思う。

君に読んでほしい本がある。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。

それが仏教と信じるなら、読めるはずです。

詳しくは21話参照してください。

君が「サンクコスト埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

入り口までは案内しますが…あとは君の心の問題です。

多くのもつと悪いことをしている“こすつからい”人に負けずに
毅然とした態度を貫くというのは、何をあたえ、何を思わせるの
か？

そう、ありたいと。僕は思う。

繰り返しになりますが、反復は重要です。

(たまには、以前書いた部分をいくつか読み返して欲しいなど、そ

第22話 未来へと続く話その8 (後書き)

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けないでください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第23話 原点回帰（未来へと続く話その9） （前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第23話 原点回帰（未来へと続く話その9）

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

〔6月14日（月）曜日〕その1

百歩ゆずって悪事を肯定したとして

なぜそれを堂々と表明しないのだろう…

犯行声明を堂々とだして、世間の間違いを攻めればいいのに…
出来ない理由が何なのか、ぜひ、無知な僕におしえてほしい。

君はこの疑問に答えられますか？

ものすごい不安で先が見えない？

その気持ちはわかります。

それでも、前を向いて進み続けなといけない。

…不安の先に、君の答えがあることを祈ります。

〔6月14日（月）曜日〕その2

こんな事思い出した。君は自分が使っていた楽器が後輩に使われる事になり嫌がっていた…

あの後輩、ある日こんな事言った。

「その時計くださいよ」

謙虚さのかけらもない命令調だった、今にして思うと。でも、当時は人がいいからそんな事には気がつかない。

ちょうど体育館で楽譜を広げていたときだ。たまたま腕時計を譜

面台の上に置いていて、あいつはそれをみたのだ。決して欲しそうじゃない。

当然だめだと答えた、けど、ちっとも残念そうじゃない…。

人の良さにつけ込もうと考えるやつは、まず、こちらがどの程度の要求なら、疑問も持たずに応じるか見ているのだと思う。応じた瞬間、次からは、要求のハードルを少しずつ上げていき、最終的には、とんでもない要求を呑まされている？何てこともあるのではないだろうか？

君は僕の性格をしっている。そう、基本ぼくは相手が喜ぶ顔を見るのが好きだ。だから、喜ばない顔の人物の希望をかなえる気はない。逆にこの弱点をつかれるとほいほい要求に応じてしまいかねない。同時期、クラスメイトに本を貸したが返って来なかった事は以前書いた。そいつは「あの本返して」といったら、借りた事も忘れていた。あれも、やはり、こちらがどの程度の要求なら呑むかみていたのだろうか…。

もし、君も同じ事をされていたら…

君も同じように、基本的に人がいい。心配です。

やはり、そんな役回りは、演じていいときと、いけない時が、確かにあるのです。

〔6月14日（月）曜日〕その3

元に戻れない？

それは僕も同じだ。

もう元の（上記のように人を疑わないような）あの世界にはもどれない。

戻れないという意味では、僕も同じだと思う。だから、それは理由として弱い。

君の無事を確認したいです。

〔6月14日（月）曜日〕その4

君に読んでほしい本がある。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。それが仏教と信じるなら、読めるはずです。

詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

入り口までは案内しますが…あとは君の心の問題です。

多くのもつと悪いことをしている“こすつからい”人に負けずに毅然とした態度を貫くというのは、何をあたえ、何を思わせるのか？

そう、ありたいと。僕は思う。

繰り返しになりますが、反復は重要です。

（たまには、以前書いた部分をいくつか読み返して欲しいなと、そう、思います。）

る本末転倒な人たちに負けないで！

（削除）という解釈に過ぎなかったはずなのに…
せいぜい、イスラムのシーア派とスンニ派くらいな差しかないはずなだけで。

人間、似たものほど憎しみあう傾向にあるということでしょうか？
イスラムもキリスト教徒や仏教徒には恐ろしく寛大なのに、宗派間抗争では「パンか剣か？」の二者択一を迫って何百年と抗争した。（こういう時、まったく関係ない国の似た歴史をみると、冷静になれます）

そう言えば、日本人も韓国人も南アフリカ人からみたら、区別できないほど同じに見えるはずですね。

こういう事かな？

自分たちが普段、不安でしょうがないから、他人も同じ目にあわしても、罪の意識は無い？

君に伝えます。

憎しみを持たないと生きていけない人なんかには負けないで！

「6月15日（火）曜日」その2

他の被害者のブログをみると共通して出てくる「音声を聞かされる、送信される」というやつ。

僕はまだ体験してない。

あれもやはり、暗示の技術の発展系なんだろうか…。

無意識のレベルで単調な言葉を繰り返し刷り込めば、暗示として些細なきっかけでもその声が聞こえたと錯覚できる。幻聴の暗示は

視覚の暗示くらい深い催眠でないとかからないのだろうか？

催眠の仕組みを知らない人たちは盛んにテクノロジー論を展開してる、それこそ“彼ら”の思う壺なのに。

このかなり高度な集団暗示はいつたい誰が持ち込んだものなのか…まやかしにすぎないのに。

決して教えがすばらしいから普及しているわけではありません！

暗示が強力な凶器であり、内容は仏教だろうがカルトだろうが、かまわない演出上の小道具にすぎない。ややこしいのは、その小道具がほんものの仏教を“間借り”している所だ。

本物の仏教の教えを間借りして利用しているだけだ。

古来仏教では、天災が起こったとき、人々を助けた。お寺を解放し、食料をふるまった。

そんな事、君はした記憶があるだろうか？

赤十字に寄付などした事無いんじゃないだろうか？

教えが正しいんじゃないやなくて、暗示のかけ方が正しいだけだと思う。もし、間違っているというなら、試しに“暗示のテクニック”を“抜き”で1人勧誘してみせてほしい。断言するけど、たぶん、出来ないでしょ？

麻薬入りなべを知らずに食べた人たちが中毒になる事件が中国であつた。店は麻薬を“秘伝のたれ”と称してふるまい、客は喜び大繁盛。うまいんだから良いじゃないでは済まされない。

当然、店主は逮捕され、中毒になつたお客だけが残された。

君も。中毒になつてないか、よく考えて欲しい。

それは、教えではなく、催眠暗示です。

それが証拠に、“否定”すると、体が苦しくなるでしょ？
身体的に暗示にかかっている証拠です、

〔6月15日（火）曜日〕その3

卒業後の飲み会の席で、君は大胆にも僕の真横に陣取った。あれは、最期まではなれない作戦だったのだろうか…。

あの時君はこんな事言った。

「私、記憶をなくすほどお酒飲んだ事あるの」

…たぶん、僕に心配して欲しくて言っただと思う。

つい忘れがちだけど、この言葉からすると君は結構な酒豪だ。

もしかして酒ににげてなんか無いよね？

もし、そんなことあったら、いまずぐやめてね。これはお願いではありません。

そうではない事を祈ります。

- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -

〔6月16日（水）曜日〕その1

何度も書いたと思う、迷ったときは原点回帰だ。

第1話に戻るだけの事。

あの時は、君は幸せなんだと本気で思っていた。

事実なら、会うのに彼らの理屈でも支障はないはず。

ま、どうでも良いことかな…

僕の希望は、君の意思を確認する事。

それ以外のことは、正直どうでもいい。

文章とは、書き手に成り代わり文章を削った場合、最終的に削る事の出来ないその文章こそ、著者の心の主張だと思つ。さあ、僕の言わんとしていることがわかるだろうか？

〔6月16日（水）曜日〕その2

（削除）

別人と今でも信じてます。

それそのものも、せいぜい足元が…、て程度のもので、過激でもなんでもなかった。

〔6月16日（水）曜日〕その3

教えが正しいんじゃないやなくて、暗示のかけ方が正しいだけだと思つ。もし、間違つていてというなら、試しに“暗示のテクニック”を“抜き”で1人勧誘してみせてほしい。断言するけど、たぶん、出来なんでしょう？君に読んでほしい本がある。

日蓮の現存する正筆御書、さがして読むべきです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔6月16日（水）曜日〕その他1

原点回帰したことにちなんでだめもとで一応書きます。
君の力で、僕へのマークをはずす事できるだろうか？
もし、完全に外れたと確信できたら、それを君の意思表示として

受け取ることも可能です。

…ま、そんな力があるなら、もっと違う事もできるか。

あと50年以上かな？生涯戦い続ける身としては、どんな形にせよ、君のサポートは必要だったりします。もちろん一緒にいてくれるのが一番うれしいけど、それが無理なら、違う形で、出来る範囲で…。

ずっずっしい？わかっている。迷惑？それはお互い様だから相殺さ
れてると思う。

あえないなら、出来る範囲で、違うサポートがあるとうれしいな
と。そんな事おもった。

…ま、だめもとなので、期待せずに待っています。

“どうでもいい”の答えはこれです。

あまり期待はしてませんが、それでもだめもとですから。負けっ
ばなしはいやです。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔6月16日(水)曜日〕その他2

今、ほんの数分散歩しただけで不法改造マフラーの車にでくわす。

(一応通報した、伊豆い 2・3x 黒い軽自動車、黄色ナンバー、
他にもいたけど、お目こぼしです)

それ以外の“単に音がデカイボロ車”も何人かわ睨みつけてくる。
最悪です。これ普通？

君は僕の家を知っている…。

この環境下でそうそうそういう車が来ないのも判ると思う。君も
ここから自宅に帰る間、そんなに車に遭遇してないでしょ？

これ、君の力でなんとかならない？

醜さを肯定する人たち…

あと50年以上この人たちと付き合いつづけたいのかな…

迷惑？迷惑はお互い様、相殺されています。

君の善意に期待します。

ずるい？それはないでしょ？そういいたいのはこちらなんだから…

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔6月16日（水）曜日〕その他3（本当は15日）

現在深夜0時半

ついさつきも不法改造マフラーのでかめのバイクが通り過ぎる。

こいつは午後11時から深夜1時くらい必ず毎日来る来る定期便だ。バリバリバリといつもこんな感じです。近所迷惑。

こういう戦いはこの後も永久に続くものでしょう、終わりはありません。

もし、終わりが来るとしたら？

僕へのマークが外れ、しかし代わりに君に会えない。という風になるか？

または、マークが外れないので、君と共に戦い続けるか？

…これは、そういう問題なのです。

出来れば身近にいて共に戦って欲しいけど、無理なら出来る範囲でなんとかサポートをお願いできないだろうか？迷惑はお互い様だし。

今後の問題点は、仕事始めたとして、営業職ではどの程度、妨害されるか…。

店舗販売ではどうなのだろう？とか、実質的な問題が今後浮上す

まとめると

高音域のエンジン音で文字どりの騒音を出すタイプ。

エンジン音のリズムを同じにして気に障る音にするよう暗示にするタイプ。

タイプ1：3回吹かすをみなでやる

タイプ2：おなじ回転数をみなでやる

ここから判るのは、みな思い思いに独立してやっているのではなく、誰か指揮をとるリーダーの下やっていると推測が立つ、もしくは示し合わせている。1人も違うリズムを刻まないからだ。これは組織だった行動です。

前にも書いたけど、この手のテクニクは、正体さえわかってしまえば効き目は激減する。

催眠は気づかれたらかからないからです。理性が混乱して初めて催眠はかかる。気づいたら、混乱しない。

結局はエンジン音を3回吹かすと同じ系統のテクニクなのかもしれない。

本当にどこまでもしつこい…、というか50年以上つきあってもりです。

仮に無理でも、お願いします、僕についたマークが外れるよう努力してもらえないでしょうか？

無駄と判っています、けど、君しか頼める相手はいない。

もし願いがかなうなら、本当は再会して僕と共に戦って欲しい…

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

- - -
- - -
- - -

〔6月17日（木）曜日〕

何も攻めるつもりは無い。

けど、主張しないとやられっぱなしになるので、できるだけ冷静に、ごくごく当たり前の事を書こうと思う。

かかわりの薄い外国の歴史を見ると感情的にならず、客観できる。

アナトリア地方にあるカツパドキアには巨大地下都市があり、何万というキリスト教修道士が修行していたそうです。

キリスト教には終末思想がある、最後の審判の日、全てが裁かれて、生き残るのは敬虔なキリスト教徒という感じのやつだ。

ところが、現実の歴史では、この地域は時が立つにつれイスラムの勢いが増し、教えとちがう現実が迫るにつれ、修道士たちは現実に合わせて教えの解釈を微修正しなければならなかった。

かつて彼らの精神の根底にあった終末思想は、徐々にその形を変えていき、やがて、彼らの精神の中で抽象化されて、いつしか彼らの生活上の戒めや価値観の象徴になったようだ。

価値観を抽象化してしまえば、矛盾点に気がつかなくなるという訳だ。

それが悪いとは思わない。

けれど、それは犯罪に手をそめたとしても、教えと矛盾しなくなる…

剣とやりで武装し、戦ったとしても、修道士として教えと矛盾を

感じなくなる？

（現実には戦った証拠はないけど、地下都市が防御要塞化していたのは事実みたい）

（日本にも戦国時代、武装した僧侶集団がいましたね、彼らもまたやはり、教えを抽象化して矛盾に気がつかないようにしていたのでしょうか…詳しくないので判りませんが、そのうち何かを調べているうちにこうした疑問は解けたりするものです。その辺が読書の醍醐味と勝手に思っています）

そんな歴史もありますよと、君に伝えます。

君がそんな事、本当は嫌いな事判っている。だから、できるかぎり工夫してみます。

たまにはずすかもしれないけど。

もしよければ、僕のことでも助けてもらえたらと、そう、伝えます。かなうなら、再会して、共に戦いたいです。

無理でも、何かしら手を貸して欲しい。少しでも“彼ら”の攻撃が緩むように…

次の文はもう決まり文句なので、嫌なら聞き流してください。

この文置かないと全体のしまりがつかないので、一応書きます。

君に読んでほしい本がある。

日蓮の現存する正筆御書、一度見てください
詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用の呪い」^{サンクコスト}にかかわらず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

.....

〔6月17日（木）曜日〕その他1

こんな事も思った。

自己弁護も定期的にしないと、すぐ悪者にされてしまう。根拠の薄い誹謗中傷も繰り返せばかなりの効果を発揮するのを何度も体験した。

という訳で、自分の正当性を定期的に主張します。

今現在、僕には借金は一切ありません。東京でピンボー暮らししたけど、それも生活力の向上になったと思う。その辺のニートとは違います。全部自分の収入でやりくりしていたし。時々、ニュースで生活補助を僕の月給より多く（15万くらい？）貰っている人が「足りない」とかほざいているのを見て、まだまだ甘いな、と思ったものです。

今は生活に余裕があるので、久しぶりに服など買ってみたりします。

今後の計画は未知数ですが、無くは無いです。できれば、君の助けを借りれたら最高です。

サポートしてくれたらうれしい...

可能なら再会できるのが一番だけど...

.....

〔6月18日（金）曜日〕

最近こんな事思った、同じ名前の神社がある！と。

神社の名前については、実は17年前あまり気にしてなかった。なぜならあまりにポロイ神社だったので、名前などもう意味がない忘れ去られた神社なのだろうと思っていたからだ。あまり意識してなかったけど、君は同じ名前の神社が他にもあるといっていたよ。うな気がする。どうだろう、合っているだろうか？間違っていたらごめん…

この名前の神社、調べると日本各地にある、山王信仰が流行った頃各地に招致されたとある。それで同じものがあるのか、と納得した。この辺の神社はみな大社の分社と思ひ込んでいたけど、そうじゃないんだね、17年たち初めて気づく郷土の歴史です。

あの当時はただただ毎週会えるのが楽しみで楽しみでしょうがなかった。

笑顔の君が物凄く親しげで、親切で、親密に感じた。

なんでこの子はこんなにかわいいのだろうと、随分思ったものです。

なんとも表現できない独特の笑い声がすごくかわいかった。

今でも、君の頭に手を置いたときの感覚残ってます。

なんでこんなかわいい子が自分ごときのために毎週来てくれるのか、わからなかった。

あの笑顔が、本気で恋する顔だと気づくのにこんなにかかってしまった…

僕を許してもらえるだろうか？

君の答えがもし聞けるなら、死んでもかまわない。そう…、いや

いや、死んではだめだね、せつかく君に救われた命、粗末にできない。

こんな鈍感男のどこが気に入ったのか、何度考えてもわからない人が良い？それだけで君があそこまで好意を示すだろうか？いつか何がそんなにきにいったのか。教えてくれたら嬉しいです…

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして、君にこう伝えます。君の事が心配だからです。君に読んでほしい本がある。

日蓮の現存する正筆御書、一度見てください
詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

もしよければ、僕のことも助けてもらえたらと、そう、伝えます。
かなうなら、再会して、共に戦いたいです。
無理でも、何かしら手を貸して欲しい。少しでも“彼ら”の攻撃
が緩むように…

三界に家を建てるには、君が必要です。

- - -
- - -
- - -

〔6月19日（土）曜日〕

こんな事も思った。

彼らの行動においてモバイルツールは必需品かもしれない。

17年前、君はポケベルを持っていた。たとえどんな事があるうともそれが鳴れば君は行かねばならなかった。あらゆる事を中断して。2人つきりできるときでさえ。でもあるときからポケベルを無視した、今思うとあれは物凄い決断だったのだろうか…、夏祭りの後の出来事。しかしその後僕が何も理解できてない事に気づいたのか君は元に戻ってしまう。そんな記憶になってますけど、真相は君の心の中。合っているなら僕はとんでもない事を君にした事になる、この罪どうやって償えばいい？君に聞きたい事の1つです。

これは、僕の賭けでもある。僕は過去につらい目に遭ったとき、ギリギリまで追い詰められても、人生で一番楽しかったときの記憶に支えられ、しのげた。もしも仮に同じなら…、いや、決め付けはよくないね。でもそんな考えが頭をよぎる。当時の君はかなり真剣だった、そう思うと、そんな考えも起こるからだ。

もし、僕を守るために身を引いたなら、支えて欲しい。助けて欲しい。

せつかく仕事初めても妨害されるなんて大変だから…。

でも再会して支えてくれた方がうれしい。そうすれば困難もつらくない。

再会する方が第一希望です…、ダメな場合はそちらからサポートしてほしい。ずうずうしい？ごめん、でもこういう事はつきり書かないといけないと思う、あいまいにしといていけない項目って現実に確かに存在します。

…ポケベルの件でこう思ったんだ。

“必需品”ということは、今も必ず持っている。今はケータイだ

るうけど。ケータイなら、この小説も読める。彼らが、一時的にケータイを君から取り上げるとはあっても。永久には不可能だ。君がこれを読んでいる事を願います。また2人で、どこか静かで人のいないところで、2人だけの時間を過ごす日が来る事を夢見ます。子供もいてもいいね。その場合3人になる。

僕は君の心のきれいさを知る人間です。もう一度あいたいです、試練は乗り越えるため用意されたものです。だから、乗り越えてもいいんです。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして、君にこう伝えます。君の事が心配だからです。君に読んでほしい本がある。

日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。詳しくは21話参照してください。

君が「サンクコスト埋没費用の呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔6月20日（日）曜日〕その1
待ちます、君の答えを

〔6月20日（日）曜日〕その2
生きているだけで感謝

〔6月20日（日）曜日〕その3
夢は実現するためにある、そんな言葉、バカにせずちゃんと受け止める。そんな世界で生きたいです。

〔6月20日（日）曜日〕その4
君にとっての“それ”はなに？

〔6月20日（日）曜日〕その5
そう感じさせてくれる“それ”は何？

〔6月20日（日）曜日〕その6
ちいさな“それ”は何？

〔6月20日（日）曜日〕その7
乱れたら、収まるまで、好きにして良いと思う。

〔6月20日（日）曜日〕その8
好きにふるまうと、欠落してる“何か”に目が向く

〔6月20日（日）曜日〕その9
率直に、真剣に、適当に。

〔6月20日（日）曜日〕その10
ふわふわと漂い、着地するものです。
だから、ただよう時は、漂って良いと思う。

〔6月20日（日）曜日〕その11
ムキになってもいいけど、…

〔6月20日（日）曜日〕その12
遊ぶ金ほしさの連中に負けられないで！

〔6月20日（日）曜日〕その13
罪は償えます、実際この世に償いを懸命にしている人は、今現在この瞬間もそれこそ山のようにいる。

最近こんなニュースをみた。

公道でレースをする人らを「クルクル集団」と呼ぶのだ。

走り屋と普通は呼ぶが、こちらの方が侮蔑的だ。

じゃあ、音のデカイエンジン吹かしている連中は「準クルクル集団」

ってことで良いと思う。

いやだよな、クルクルで。頭文字Dという走り屋の漫画は好きだけれど、

漫画に描かれたこと、普通は実世界でやらないでしょ？

そうだよな、関わりあいたくないよな、と少しでも感じてくれたら。

その思いを何かに反映してくれたら。

それで、世の中が少しでもよくなる。

君はそう思わない？前向きな君に期待します。真実の行方は何処かへ向かうものと期待します。

〔6月20日（日）曜日〕その14

はじめてもらった手紙、ワイシャツの形に織ってあってびっくりした。

あの時、不思議だった。

君は自転車もない状態で、僕が自転車で帰宅しようとした先でま

ちぶせていた。

…やはり、どこかに車がいて、そんな事想像します。

ごめん、君の恐怖に気がつかなくて。今は理解できます。

17年前とは違う。共に戦えます。

想いの先に行き着く“何か”がある事を、今でも信じていると、君に、ここに、伝えます。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして、君にこう伝えま
す。君の事が心配だからです。

君に読んでほしい本がある。

日蓮の現存する正筆御書、一度見てください
詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔6月20日（日）曜日〕特別枠

以前バイアスについて説明した。世の中を動かすのはバイアスで
あると、書いた。

今回のもそんなはなし。残酷なようだけど、世の中は経済で動い
ている。

正義は二の次だ。だから、正義は常に唱えないと霞んでしまうの

だけ。

けど決して悪意が世の中を動かしているわけではない。

そこを判らないと本質がわからなくなると思う。

過去の偉人たちが、人間の“悪意”をも肯定する概念にたどり着いたのは、“悪意”を理解しないと経済が予測できないからだ。経済は欲求と結びついている、だから、これに目をつぶると、世の中が見えなくなる。それは事実。

ポイントは“欲求”は“無視しては世の中が見えなくなる”ものであり、そういう意味で過去の偉人たちは“目をそむけてはいけない”と説いたのでは？と推測しています。けっして“助長”して良いものではなく、“無視してはいけない”ものだと思う。

そちらの世界では、“欲望を助長していい”という歪んだものはびこっているように見える。

具体例で言うと、アメリカの南北戦争時代。

黒人奴隷の安い労働力は魅力だった。けど、輸出が落ち込むと、購買力のない黒人奴隷は社会の“負担”になってしまう。

彼らに権利を与え、まともな給料を払い、よりよい消費者になってもらった方が社会全体の“得”なのだ。

つまり、奴隷解放は経済の理論が優先してなされたものです。けっして正義の論理が働いたわけではない。

それが証拠にKKKはその後弱体化します。経済の時流に人種差別の概念が時代遅れになったため、単に“嫌い”という理由だけではその社会的価値を維持できなかつたのです。これが、KKKが弱体化した理由です。

いくら感覚として黒人嫌い、と言っているても。輸出が落ち込めば

共存せねば共倒れなわけで、差別とか甘ったれた事言つてられなくなった結果、現在のよ様な状態になりました。一部、まだアメリカ国内にも根強い差別がありますが、大概経済発展の滞った地域です。

日本人も、国内で同族を差別してられるのも、輸出が好調の時だけだと思う、そのうち、そんな事言つていられなくなるから。共存しないと、共倒れになる。

え？何が言いたいのかわからない？

つまりこういう事。

そちらの世界の差別も、輸出が黒字の時のみ“有効”な概念。輸出大国日本というけど、輸出は黄金時代をとうに終えて、なんとか落ちぶれないよう頑張っている状態。

今は、内需拡大、つまり、くだらない差別などやめて、みなで支えあう時期にきている。

もうかつての社会常識ではくたばるのみなのです。

国内で差別ばかりしていたら、結局は国全体の損益になるのです。マハトマ・ガンディーが現れるまえのインドのように…

（イギリスがインド国内の差別意識を利用してインド支配を円滑に行っていたのは有名な話です）

日本人全員を仲間にすればOK？

そんな悠長な事いつてると、間に合わなくなるかもしれない…

何が言いたいのかわからない？

“差別”は国を滅ぼす。（特に近代経済では顕著です）

そして

“欲望の肯定”とは、“無視しては世の中が見えなくなる”という意味であり。決して“欲望の助長”を認めているわけではない。さらに

古臭い考えにしがみついていると、自然と組織が弱体化するバイアスが発生する。

伝統と文化は大切だけど万能じゃない。

少しでも、身に覚えのある項目が2、3あるように思うけど、どうだろう。

…少し背伸びした話をしました。

けど、こういう話は大好きです。

…なにも出来ないくせにえらそーに？そんなセリフ飛んできそうです。

でもそういう努力の積み重ねが、大切と、過去の歴史が説いています。

自分の正当性を主張する意味で、僕と君に悪意をもつ全ての人に向けて書いたものです。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして、前をむく努力を続けるつもりです、あきれくらいに。

理解しない人がいる？そういう人はそっとしてやればいい。向こうが近づいて何か言ってくる？

かまって欲しいんだと割り切って良いと思う。

自分には価値があるんだと相手に思わせておけば…

思わせておきつつ、同時に自分の想いはちゃんと伝える。

“差別”や“悪意”に負けないで！

遊ぶ金ほしさの連中なんか君の人生を動かされてはいけません！
わかってくれる人の方が大多数です！絶対に。人間って思ってる
ほどバカじゃない。

これを否定する人間は、“悪意”しか信じられなくなってしまっ
た哀れな人です。
あわ

∴ そうだよなと、少しでも感じてくれたら、まだ大丈夫です。

君に読んでほしい本がある。日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください

詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

- - -
- - -
- - -

〔6月21日（月）曜日〕？

人を本当に好きになつたことのない“人たち”に負けないで！

〔6月21日（月）曜日〕？

最近YouTubeでコパカバーナを聴いた。覚えてるかな？
君が1st、僕が2ndだったと思う。聴くと、隣で演奏する君
の姿がなんの努力も無く、普通に思い出せる。音楽って記憶に直結
してるね。そう思う。

僕がこの曲の一部を気に入って、意味無くしょっちゅう吹いてい

たのを覚えているだろうか？今でも時々、自然と口ずさむ。

〔6月21日（月）曜日〕？

何を言われてるの？

こっと思えば良い、みんなやせ我慢しているだけだと…

〔6月21日（月）曜日〕？

イチローもCMで言っています、あまのじゃくでもいいと。

ようは“大切なもの”が見えているのかどうか？という事だと思
う。

〔6月21日（月）曜日〕？

みずくさい…、そう思う。

〔6月21日（月）曜日〕？

何を心に糧かてにしてるか…、追い詰められたとき、答えが出たりす
る。

〔6月21日（月）曜日〕？

不満があつたら、信頼関係じゃないよね。

〔6月21日（月）曜日〕？

願わくばお役に立てばと思います。

〔6月21日（月）曜日〕？

うまく表現できない“何か”がそこにある。

数日してまた元に？ありえない。

〔6月21日（月）曜日〕？

会話をすると、立ち向かうと、自然と口下手に戻ってしまっ？

いいんじゃない？それで。
自分のペースで戦うのが一番です。
息切れしない程度でいいと思う。
あきらめるのが一番ダメです。

〔6月21日（月）曜日〕？

恋愛に関する相談？そちらの世界では最終的に同胞同士が結びつきさえすれば“何でもあり”になる。おかしいよね。

…確かに、と一瞬でも頭をよびるなら。まだ大丈夫です。

撲滅できない人の欲望…、そんなものに負けないで！

1度きりの君の人生です。

僕も戦います。君が戦い続けるなら、僕も戦い続けられる。

「今度ばかりは譲れない…」そんな事、一生に1度あっていいと思う。
う。

〔6月21日（月）曜日〕？

君に読んでほしい本がある。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして、君にこう伝えま
す。

君の事が心配だからです。日蓮の現存する正筆御書、一度見てく
ださい

詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

.....

〔6月22日（火）曜日〕？

ソロを演奏する君は、むちゃくちゃかわいかった。

本来はソリストはもつとはじけないといけない…

けれど君はそれが苦手で、でも、君なりにソロを頑張ってたっている。

物凄くそんな様子を愛らしい姿として記憶している。

〔6月22日（火）曜日〕？

しかし、それでも…

〔6月22日（火）曜日〕？

前半“そう”でも、後半“そう”なら、トータルで人生はいいと思う。

〔6月22日（火）曜日〕？

洗練された内容も、使い分けが出来なければ…

聞こえてくる心の叫びは、君に何を問いかける？

〔6月22日（火）曜日〕？

失敗に陥っても、決してゆずれない想いがある。

〔6月22日（火）曜日〕？

とても“君らしい”そんな姿で良いと思う。

〔6月22日（火）曜日〕？
文化的偏見はこの世界にもある、問題は、気づいた時、どうするかだ。

〔6月22日（火）曜日〕？

“迫力”ある、“自信をもった”態度。

〔6月22日（火）曜日〕？

越えた意味は何？

〔6月22日（火）曜日〕？

君のいちばんを考えればいい。

〔6月22日（火）曜日〕？

こんな話がある…

「霞ヶ関の埋蔵金」ちょっと前、頻繁にニュースにでた。

各省庁がかなりの金額を国庫に返納せず溜め込んでいる…というものだ。

当初そんなものは無い！と怒りを爆発させていた自民党の偉い人たち。

まるで僕らのことがありえないと怒っている人たちのように壮絶に怒りをTVで披露した。

ところが、今や“埋蔵金”は当然“ある”ということにされ、どう使うかが議論されている。

事実、霞ヶ関には“埋蔵金”があつたのです。皆さんも国から給付金もらいましたね？あれが“埋蔵金”の一部です。

（財務諸表の解釈で総額が変化するらしいけど、埋蔵金全体で1

0何兆（96兆円以上？とも言われています、2兆円を国民に配っただけであれだけもらえたのだから、総額は凄い金額です。）

あるものは“あった”のだから、ごまかしきれなくなる…

当時怒りをパフォーマンスしていたえらいさんたちは、まるで記憶が飛んだかのように、恥ずかしげも無く振舞っている。

僕だったら恥ずかしくて辞職するけど、この手の人たちは動じない…

そういう人は確かにこの世に存在します。存在にいちいち腹立てては先に進めない、いちいち気にしてられないという訳です。

立場があるから？そんなものの為に君の人生が左右されるのは何だか変です。生きたまま心を殺すようなものです。

周りから何を言われようと正しいと信じて主張すれば、通せる“何か”は確かに“ある”と僕は思う。

弱い立場だからといってあきらめてはいけません。手負のウサギがどれだけ怖いか狼に見せてやればいい。

懸命な判断を…

… 17年前2人を引き裂くのは道理（とつり） 〃 物事の正しいすじみち。また、人として行くべき正しい道。ことわり。）に“反する”行為と思うけど、どうだろう。

君に読んでほしい本がある。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして、君にこう伝えま

君の事が心配だからです。日蓮の現存する正筆御書、一度見てく
ださい

詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔6月23日（水）曜日〕？

Fさん、トロンボーン3人目のあいつ、たぶん“普通”だったの
では？と思う…

以前書いた。部活の男子で山へ泊まりに行く話、途中までは誘わ
れていたけど、中止になったと聴かされるが、実はそうでなかった
話。

後々会話の中に泊まった話が出て僕が「あれ？中止になったんじ
やないの？」と聴いたら、みなしまった！という顔をした件。

あの時2人だけ、しまった！という顔をしなかった。

トロンボーントロンボーンの3人目の彼とトランペットトランペットのもう一人の方の彼だ。
2人はこんな事、言った。

「Kは行かないって言ってたって聴いたぞ」

「おれもそう聞いた」

なんか、不意に思い出した。

ベースのあいつはわからない…、けどあとの3人はそうだと思う
…。

ま、推測だし、会っても絶対認めないだろうけど……。
けど、記憶は整理しやすくなる。

女子に関しては人数が多すぎてわからない。パークスの1人とトランペットの彼と付き合っていた人はそうだと確信している。あと、君に張り付いていた女子に頻繁に睨まれていた記憶がある。

ふいにね、そんな事思い出した。

〔6月23日（水）曜日〕？

当時恋敵は先生だと思っていた……、けど、実際は違ったようで。

同じ土俵に上がりもしないなんて、卑怯だ。と思う。

彼らがこの暗示にテクニクを勧誘に使っているのは容易に想像がつく。

人の恋路を邪魔するのに使うのも、2人して体験した。

それ以外には？

誰かが君を口説き落とすのにこの“暗示のテクニク”を使ったならば……、容易に想像できるだけに恐ろしい、たぶん必死に君なりに抵抗しても、エンドレスで攻められたら。

大学時代の最後の電話でほくは君から、横浜にある神戸屋キツチの場所を聞かされたきがする……、君のアルバイト先だ。来て欲しかったのだろうか？僕は当時バカで、自分の住所を伝えたから、気があるなら君のほうから来るだろうと考えた。もしかしたらお互いに相手の方が来ると思っていたのかもしれない……、そんな事今になつて、急に思った。

お互い相手を“待つ”タイプの人間だもの。

今の現状、僕は君を待っている。本来なら僕のほうから君のところへ行くべきと考えるけど、戦略上それはできない。今、それをやると僕は君の親族からストーカーにされてしまう。法律でつかまる

なりなんなりされる可能性が高く、ますます再会が遠のく。

今回ばかりは、君の方から僕に会いに来てくれないと、この問題は最終決着しない。僕は当時と同じ場所にいます。君が1度だけきたこの部屋にいます。

いつか、君から連絡があり、どこか待ち合わせ場所を指定される日を夢見ます。叩きのめされるのか？受け入れられるのか？楽しみです。止まった時計を動かす“鍵”を持つのは僕であり、君である。2人そろって止まったそれは動き出す。答えがどちらになるにせよ、その事実是不変だと思ふ。だから、待とうと思ふ。君はいつか来る、いまは都合が悪いだけだ、そう信じます。

〔6月23日（水）曜日〕？

人のマイナスの感情は肯定するし、さらに“欲望”は“肯定”さえするのに、“さびしさ”だけは受け入れられない？そんな組織？同じマイナスの感情なんだから、当然“さびしさ”も“受け入れ”て当然”なのですが…

欲望は受け入れ、寂しさは否定…

たぶんそうしないと組織の都合に悪いのでしょうか…

間違ってる？こちらからは教えが歪んで伝えられているようにしか見えない。孤独が嫌いな欲望まみれな集団ほど、怖いものは無い。

そうだよなと、一瞬でも思うならまだ大丈夫です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。君の事が心配だからです。

詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-

〔6月24日（木）曜日〕？

未来に始まり、未来のある時点まで進むと、2人でいて良かった
と感じる日が来て欲しい。

何よりもお互いに相手に「よかった！」と言い合える関係でいた
い。

〔6月24日（木）曜日〕？

ひねくれを…解く！

時間さえかければ。

応援してます。

〔6月24日（木）曜日〕？

同じといえなくても、基本的な意味は変わらない。
負けないで！

〔6月24日（木）曜日〕？

心の狭い人たちに負けないで！

〔6月24日（木）曜日〕？
ワンステップづつ進めていこう。

〔6月24日（木）曜日〕？
「人の事なんだと思ってるの!？」
と叫べばいい。

〔6月24日（木）曜日〕？
いつか、君から連絡があり、どこか待ち合わせ場所を指定される
日を夢見ます。

〔6月24日（木）曜日〕？
前にも書いた、17年というくくりは、あの日、あの夏祭りの日。
2人の想い出の日を起点にしようと思う。
7月24日だ、あと1ヶ月ほどである日がある。

そんな事思っていたら、無性に「紅の豚」のパンフレットが見た
くなった。
クリアファイルに保存している所為か、にきれいに保存する意図
はなかったわりにきれいだ。
中を開くとあの日の思い出がよみがえります。

最近本棚を見ていて気づく…

「あれ？ない…」
と思う本があるからだ。

東京脱出の際、最小限の荷物だけにして、後は捨ててきた。
長年大事にしてきた本の類もかなり処分した。

「紅の豚」のパンフレットは持ってきたが、他の洋画のパンフレ

ツトは全部捨ててしまったみたい、持ってきたつもりでいたけど。今、ふりかえると、ちよつと捨てすぎた。でも当時はそれどころではなかった。

なにしろ、17年もたちようやく真実にきづいたのだ。全てが些細な出来事に思えた。

何としても何かしなければと決意した日だった。

だから、ばつさりと躊躇無くいろいろ捨てられたのだと思う。

「あれ？これはとつといたと思っただけど、捨てたんだな…、それほど決意だったんだ、あの時。」

と、捨てた本の多さで当時の気持ちを察する事ができる。

今現在、冷静になっても、君への気持ちに变りは無い。相変わらず好きです。

これだけ時間がたつても、変化が無いということは、どうやら僕は本気で今でも君の事を大事に想っている様だ。

高校1年の時も、最初の1年、この恋心は勘違いじゃないのか？と随分考えた。勘違いで告白したらFさんに失礼だと、そう考えたけど、1年経ち変化が無いので、どうやら本物らしいと自分でなりに自分の心に納得した、だからこそ映画に誘ったのだ。

君も似たところが事実あった、君は自分の気持ちを試すように、時間をかけて、自分の気持ちの本物か？後悔しないか？と思いをめぐらす所がある。

決め付けて欲しくない？かもしれない…今はどうなのだろう。

答えは、心が納得した時点の君のみが回答可能なかもしれない。それとも、

…何にせよ待ちます。

君の平和と自由を信じて。

〔6月24日（木）曜日〕？

昔、アメリカ人は日本人の特攻をスーサイド・アタックと呼んで恐れたとか言う。

自爆攻撃なんて…、きっとパイロットは精神を病んだ異常者に違いないと考えたらしい。

そんな話、よく聞きます。

そちらから見ると、僕はそう見えるのかもしれない。いつまでたっても、我を曲げないし、失わないから。

でも、多くの人は気づいていない。

こちらから見ると、

そちらの行動の方が、そう見える。

お互いに鏡に対して怒鳴ってるだけかもしれない。

そんな事思った。

〔6月24日（木）曜日〕？

1人の女性をよってたかっていじめて楽しいですか！

そう誰か言える世界なのだろうか？

君の事が心配です。

こんな事思い出した…

幹部はいつも部下の所為にしてない？

自分の能力の無さには一向に言及しない。

「報告がない！」

と、切れるけど。

有能な管理者というのは先手を打つもので…

そうした管理能力の凄さを見せる事が、部下の信頼になるというのが真実なのに、

そんな部下の先手をうつなんて芸当が出来るほどの能力はなく、

「オレをもっと楽しませろ」的な行動と発言で切れる。

機嫌がいいときは自分の世界の時だけ…

有能な部下がないと言っけど、尽くしたい上司じゃないからさ、
という真実に気がつかない。

気に食わなければ、なじみの組織の力を借りてどうにかしようとする。

正面から問題に立ちむかう気がない。

裸の王様だなど、よく思った。

…なに、東京でよく見たある人について言及したまです。

他の何でもありません。似た人はいないと思う、滅多にみないタイプだから。

人は“人と”会話して、自分の欠点や長所に気づく、仏法のどこを讀んでも自分の「長所・短所」というピンポイントな個人情報載ってない…、そういう事だろうか？そういうえばこの人、話し合うよりもマニユアル第一主義だった。

こういう人は“恥ずかしい”という言葉が辞書から抜け落ちてい

る。
もしかして君にもそんな暮らしを強要したのだろうか？

す。

〔6月25日（金）曜日〕？
気づいただろうか？

〔6月25日（金）曜日〕？
寡黙でも意思の強さは示せる。
負けないで！

〔6月25日（金）曜日〕？
暗示のテクニクも、客観的にみれば“せい”
まちがった快樂主義者に負けないで！

〔6月25日（金）曜日〕？
その“何か”は君の支えになっているだろうか…

〔6月25日（金）曜日〕？

相手の落ち度を追及していいと思う、性格的に遠慮してしまいがちだけど、
時と場合においてはやっていいと思う。君は随分ひどい目にあっているのだから。

今、浜名湖の青年の家で事故がおきたニュース、全国ニュースでもやったから知っているだろうか？

中学生の女の子が、ボートの事故で死亡したものだ。

今、誰の責任か？ともめている。青年の家か？教師か？学校か？それとも青年の家を民間委託した県か？

…法律上の責任比率の問題があるにしろ、まずは亡くなった子へや遺族へのケアやメッセージの方が優先すべき事柄だと思う。

世間とはそんなもの？

そうかもしれない、でも、こういう時は、戦って相手に謝らしていいと思う。

理不尽なのは相手であり、こちらでないのだから。

「そういう世界でありたいと思って何が悪いの？」

何か言われたらそう言えばいい。

鼻で笑うような相手だとしても、何百回も繰り返せば少しは効くのではないだろうか？

だって“人”なんだから…。

すでに人でない？ならそう言っただけでいい。

…必要なら、

相手を追い詰めても、倫理的に問題はないように感じる。

自分が正しいと信じるなら、突っ走っていいと思う。

理不尽なのは、君ではないのだから。

探して、探して、探しまくって、そうやって道を見つけるものだと思う。

昔の英知が、全て現代に当てはまるのは間違いなのです。

その理由はこうです。

昔なら、この浜名湖の事故も「下々のものが水遊びなどにかまけるから天罰がくだったのだ、上に立つものの責任は果たすから今しばらく待て」とか言われて終わっていた。

おかしいと感じるでしょ？

古い常識では君を救えないと感じた。

〔6月25日（金）曜日〕？

17年前、あの時、初めて君の手に触れた日、蛇を2人で見た日。最初君は信じなかった。

「（脅かすためにふざけて言った）ウソかとおもった」

蛇を見てびっくりして立ち上がった後そう言った。

自分で言うのもどうかと思うけど、僕は基本ウソは言わない。

だいたいウソはきらいだ、あとでつじつまを合わせるためにまたウソをつくはめになる、そういうのが嫌だから、最初から正直に言う。

（勘違いで間違った事をいう事は事実ある、けど、間違っていたら素直に認めて謝罪する能力、昔はなかったけど、この17年で身に付けた。）

常に誠実にいたいと感じます、特に君に対しては。

君が輝きを取り戻せる日を夢見ます。

〔6月25日（金）曜日〕？

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。

詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔6月26日（土）曜日〕？

うしろめたい暮らしを強要？

Fさんが、そういうの好きでないの、僕は知っています。

〔6月26日（土）曜日〕？

澄んだ気持ちで思いやりあうのが、本当は好きでしょ？

〔6月26日（土）曜日〕？

ここまで来たら…

〔6月26日（土）曜日〕？

相手は巧妙に“それ”を魅力あるものに見せようとする…

〔6月26日（土）曜日〕？

心の成り立ち、

〔6月26日（土）曜日〕？

脳が“停止”しない方法…

訓練を毎日意識すれば、そのうち生きてくる日が必ず来る。

僕が実力以上の判断力で“彼ら”の暗示を看破したのがいい証拠
です。

人を想う気持ちはそうしたもの人を人に与えてくれるのだと、その僕の経験則が語っています。

「6月26日（土）曜日」？

君のためなら死ぬると思えたあの日から今日まで、その気持ちに変化は無い。

来るならこいだ。

この先も、この思いは変わらないだろう。

僕が頼った人は、一般人とはかけ離れた影響力をもつ、あの人がああも簡単に引き下がるという事は、

相手は想像を絶するほど凄い人らしいというのは、容易に想像できた。

それでも、僕は戦う。君は命をかける価値がある人だから。

それに17年前気づけなかった君の想いに報いなければ、死んでも死に切れない。

何かしら、彼らと僕が戦う上でサポートしてほしい。

願わくば、一緒に戦って欲しい、それが僕の願いです。

君が戦い続けるのなら、僕も戦い続けられます。

たとえ王族が相手でも僕はひるみません。そう、伝えたかった。

たとえ王族が相手でも、年の差が本当にあるなら、もめる時間が長くなればなるほど、相手は再婚の時期を逃し不利になる…。その事実はかわりません。君が使える武器はゼロじゃない、他にも他所でいろいろ書いたけど、まだまだ創意と工夫の余地はあるかもしれない、無駄とも思える努力の積み重ねが、何かに繋がることは事実あります。

〔6月26日（土）曜日〕？

僕は仕事のルール（＝社会人のルール）をこう考える。

刺身さしみを食べるには“ポン酢”か“醤油”になる。

どちらで食べてもうまい。選択支は2つ。

上司が「ポン酢で食べ！」と言ったら？

僕は迷わずポン酢で食う。

2つの選択支のうち、どちらでも同じなら、自分のこだわりよりも、上司のこだわりを優先させる。

多少、理不尽には感じなくはないが、上司は宴席を仕切る権利がある。その理不尽は充分“常識の範囲内”だ！

けど、もし上司が刺身を「ソースで食べ！」と言ったら？

明らかに“常識外”おかしいので反論するし、理由を問う。

納得する理由があるならいい。多少の常識外も顧客のためなら致し方ない。

けど、ちゃんとした理由がないなら、おかしい事は、おかしいと言う。

わかりずらい？

ではこういうのは？

看護師が病院で医者から、患者のために献血しろ！と命じられるのは、多少問題あるが、患者のためなら致し方ないと感じ献血します。

でも看護師が病院で医者から、患者のために腎臓を提供しろ！といわれたら？それは“やりすぎ（＝常識外）”と思う。思わない人はいないと思う。

今回のケース。

僕と君の場合、何よりも大事にしないといけないのは君の心だ。

非常識な選択支を君に強いた時点で間違っている。

明らかに“やりすぎ（＝常識外）”だ。
強要した人が悪い。

だから遠慮する必要は無い。

（君が受けた迷惑） - （君がかける迷惑）＝プラス（君の受けた迷惑の方がデカイ）

場合は、君が正しい。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を十二分に持っていると思う。

うまく伝わる事を願います。君の権利について伝えたかったんだと、判ってください。

応援しています。

〔6月26日（土）曜日〕？

不意に、こんな事思い出した。

東京で大病で入院した話は何度か書いた。

あの時、個室で隔離され、マジでやばいのかと思ったものです。

病状も落ち着いて大部屋に移されたある日、職場で世話になって
いる人が訪ねて来てくれた。正直ものすごく嬉しい。

見舞いに来てくれるような友達は1人もいなかったからだ。

孤独には充分なれていたが、やっぱりお見舞いはうれしかった。

あんなのはじめてだった。

あんなのはじめて？

こう思った瞬間、君の顔が浮かんだ。

君は時々、このセリフを言った。僕のする些細な行為に対して

「あんなのはじめてだったの…」
と、照れながら言った。

ああ、ひよっとして、同じ感覚なのだろうか！
もし、そうだとしたら、彼女も当時、孤独で…

そんな考えが急に頭をよぎった。

合ってるのかな？それとも違う？

違うにしても、それほど外してないように感じるけど…。

急にそんな事を思った。

いま、大丈夫？心配です。どんな時でも応援しています。
頑張れ！！

孤独が怖いなんて言ってる連中に負けないで！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。
君の事が心配だからです。

詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

- - - - -

〔6月27日（日）曜日〕？
改めて語りたい“何か”

〔6月27日（日）曜日〕？
不安と希望

〔6月27日（日）曜日〕？
ふるえる想い…

〔6月27日（日）曜日〕？
暗がりの2人の世界、もう一度あうなら、明るい太陽の下、堂々と…

〔6月27日（日）曜日〕？
恐怖は克服できる、

〔6月27日（日）曜日〕？
こんな事思い出した。

君は僕がある程度、演奏がこなせるようになった頃、
1stを譲りたがった。
控えめな君は、目立ちたくなかった…、という事だろうか？

譲られた僕は、手に負えなくなっても君がいるから、まあ、やれるだろう、

そう、思ったから安心して1stをやれた。そんな事考えていた
何て、君は知らなかったでしょう？

人は、心の支えが必要なんだと、今も当時も思う。

〔6月27日(日)曜日〕？

ワールドカップを見ていて思った、Fさんはスポーツに興味がなかった、今どうしているのだろうか？

君は特にこだわりの無い事は、木綿に水がしみ込むごとく吸収するような…

僕と違い、器用だった。

僕は、未だにサッカーを楽しく見るコツがわからない、皆みたいに楽しめればどれだけいいだろう、そう思う。もし、サッカーの見方、知ってたら、教えて欲しいなと、そう、思った。

再会したらの話なんだけど…、

〔6月27日(日)曜日〕？

東京で、ある日突然、環七通りにダンプカーが何台も止まり、朝から夜までアイドリングし続けた話は以前書いた。店の前だ。当時はまったく気がつかなかったが、こちらに来てから、あれが聞こえるか聞こえないかギリギリの音を24時間聞かせる仕掛けと気づいた。

今でも、ちよいと外出すると、アイドリングをしている車をよく見る。頻繁に。

あれも、そうなのだろうか？

アイドリングに似たものとして、意味無くぐるぐる回る人もたまに見る。

遠隔地のナンバーをこの家の外でも、よく見る。

君はこの家の周囲を見知ってると思うけど、ここで土浦ナンバーは変と思つてしょ？

今日などやらされてる感100%の女の人が車でヴォオオオとやっ

ていた。君もあんな目にあつたのだろうか…、心配です。

ちよつと前、面白い事があつた。

行く先々で出会う改造バイクがいた。いつも1台でいる。

今度は別の改造バイク、こいつも1台でいる。

さらにまた別の改造バイク、こいつも1台でいて、それぞれ単独で、行く先々でよく会う。3台そろつては見ない。きつと関係ない3台なのだろう…。

ところがある日、公園を通りかかると、この3台に乗つた連中がたむろしている。公園内をドロドロと低速で回りながら談笑しているのだ。やっぱこいつら知り合いかー、と思つた。

自転車でたまたま通りかかつたので、凝視してやつた。3台ともよく会うのだから、知らぬ仲という訳でもない。

会話に夢中で僕が近くにいるという情報を見なかつたのだろうか？よく会いますねみなさんとか、話しかけようかと思つた矢先、目で合図したのか、3台とも公園を出て行つた。

ナンバーをちらと見たけど都内のものだつたような…以来、会っていない。

ものすごく、当たり前な事を、言うまでも無い事を、言つて見よつと思つ。

こんな事、言うまでも無い事で、当然通じているはずなので、いう事自体がバカばかりなのでしょうが、まれに、本当にまれに、え？ここまで話が通じてなかつたのか…、と感ずることもあるので、一応書きます。

「僕は無実です」

「彼女と僕の過去は事実です」

「皆、彼女の事を誤解しています」

もし、相反する話が流布されているとしたら、

少なくとも、その事実と反する話は、僕や彼女が発したものは違う場所からでています。

彼女に無理強いをさせた人物は邪念に負けてしまった、という事なら、教えと矛盾しないと思うのですが…。

邪念に負けた人とそれに騙された人々…

けど、天は見放さなかった。

そういう事ではダメかな…。そんな事思った。

狂言師、野村萬斎 さんの言葉。(記憶をもとに書いてますので、多少セリフが違うかもしれませんが、その様な趣旨の発言記憶しています)

「父に言われました、基本を全て知った上でそれを破るのが『型破り』だ。基本も知らないで『型』を破ってしまったら、それは“『型』なし”だ」

感情のままに“『型』なし”を強要する人々に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

〔6月27日(日)曜日〕？

仏法のどこかに、身分差を認める記述があるのかな…、無知なので教えて欲しい。

そういえばお釈迦様は支配階層出身だったけど、家を捨て、権力も富みも捨てたと聞く。

気分を変える意味で。だめかな？少し語らせて。
こういう話、好きなんです。

選挙の時期です。

争点が絞りきれない。そんな人多いと思います。

ここは、こう見ると、各政党の立場が明確になる。

それを説明するためにはアメリカの説明をしないといけない。

アメリカ民主党は大きな政府がいいと言う。

国民に必要な事柄は可能な限り、政府が面倒見ます。

電気もガスも水道も保険も郵便も、なにもかも。

…国がやるほうが安心でしょ？

…その代わりお金かかるからよろしくね。 という立場。

アメリカ共和党は小さな政府をめざす。

インフラは民営化して、その他政府の管轄も解放（規制緩和）。

スリムでスマートな政府を作ります。

…足りない部分は民間や地方行政でなんとかしてね

…そのかわり、小型政府は金かからないんで赤字消えます。

これが、大きな政府小さな政府の議論です。

小泉政権は小さな政府をめざした。その弊害や問題点はみなさん
ご存知のとおり。

現在は大きな政府。無駄がたくさんあり、赤字体質。

自民党も民主党も現在は“大きな政府”をめざしていて同じに見
える。

“小さな政府”を目指しているのはみんなの党。

他は、態度を明確にせず、細かい政策論争に終始してる？

自民・民主のなかには“小さな政府”を目指す改革派が潜在している…

そして、地方の首長たちで作るグループは“小さな政府”よりの考え、なぜなら、その方が地方の活躍の場が増える（税収が増える＝地方分権）につながるから。

消費税増税は“大きな政府の温存”につながる。（郵政民営化の否定もそうですね）

事業仕分けは“小さな政府”につながる。（議員数削減もそうですね）

この2つの流れが常に綱引きをしている…。

その辺が争点なんだと思う。

論点整理の方法をすれば、独自の視点は得られます。

垂れ流される情報を鵜呑みにせず、自分で論点整理するようにしたほうが、いろいろ面白いことが判ったり、気がついたりします。

Fさんへ、僕は相変わらずこんな話好きです。それほど当時とかわかってないなと思ってくれたら嬉しいです。いつでも君を応援しています。頑張つて。

.....

「6月28日（月）曜日」？

口で言ってもわからない人には“それ以外”の方法で決意を示し

ていいと思う。

僕と違い、君の場合はかなり効果があるはず…。

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

〔6月28日（月）曜日〕？

子供か…もし当時できてたら運命違つたなと思う。

〔6月28日（月）曜日〕？

君のしあわせそうな姿を見るのが、何よりも幸せです。

〔6月28日（月）曜日〕？

おそらく君はその活動を通じてある程度の“タフ”さを身に付けていると思う。

自分でも気がつかないうちに…

そろそろ、自分のためにそれを使ってもいいと思う。

〔6月28日（月）曜日〕？

思想誘導されてないか常に意識して！

戻るべき“原点”に戻り、考えを整理すればいい。

もし出来るなら、この誘導はどういう意図があるかまで考えられればいいと思う。

何も、作為がないと感じられるものは無害でいいと思う。

帰るべき“原点”が大事です。

〔6月28日（月）曜日〕？

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

〔6月28日（月）曜日〕？

二重生活を強要されたくないでしょ？そんな堂々とできない生活

おかしいです。

〔6月28日（月）曜日〕？

最近イタリアマフィアのドラマをみる。よく出来ていて面白い。マフィア衰退の理由はこうだと思う。

昔、イタリア系アメリカ人は差別されていた、だから、同胞同士であつまり、水面下で協力した。

そこに本国のマフィア制度が持ち込まれ、秘密結社化してゆく…

でも近年、イタリア系への差別もなくなり、団結する理由がなくなる。

無くなるがゆえ、沈黙の掟も破られるようになった。

いまや、マフィアは秘密結社でもなく、単なるゴロツキコミュニティとなった。

暴力は目的を失い、ただ、暴力のみが残った。

確かに、主人公は憎めない人物だが、心を病んでいてセラピーに通っている。

生活を改めないと、発作は消えないのに、生活を改めたら、ファミリーが消滅してしまうというジレンマをかかえている。

この永久に解けないジレンマがこのドラマの売りだ。

けど、ドラマはドラマ。現実じゃない。混同してはいけない。

世の中にはやめてもいいものは確かに存在する。

〔6月28日（月）曜日〕？

ブレイクダンスって知ってるだろうか？80年代、アメリカから入ってきたヒップホップカルチャーだ。

当時、こんな事言われていた。

「ブレイクダンスは身体を破壊する」
「ばかばかしい言いがかりもはなはだしい。」

少し前も、こんな事言われていた。

「ゲームをすると、ゲーム脳になってしまう！」
「けど、脳を鍛える大人のDSが売れ出すと、誰もそんな事言わなくなる。」

何でもかんでも根拠無く鵜呑みにするのはいけません。

これってお釈迦様の教えと似た考えと思うのだけど…、シロウトなので確信がもてません。

誰か気の利いたセリフでご教授いただければ幸いです。

君はどう思う？

〔6月28日（月）曜日〕？

「紅の豚」には幻のエンディングカットがある。話しただろうか？
…公開されていないシーンがあるので。

あの物語は、まだ完全にエンディングを迎えてないのです。

〔6月28日（月）曜日〕？

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

…見捨てられる怖さを君は知ってるわけでしょ？

「判るよ。その気持ち」

と君は以前言っていた。

当時日大にいったというその人に対する気持ちを言ったものかと思っていた。

冷静に言う、三度目、君を見捨てさせるような事を、僕にさせないでね。

- - -
- - -
- - -

〔6月29日（火）曜日〕

マツダの事件…

犯人は盗聴されてた！とか言ってるって…

またかな？

そこは、君ののぞむべき場所じゃないよ、やっぱり。

人を殺すために団結したり、人に裏切られないかビクビクしたり。とつても愚かです。

外の世界がある事を知っていたら、きっと違うんだと思う。

17年前の君は…

ひよっとして、外の世界を知りたかつたんじゃないだろうか…

さびしくて、孤独で、でも自分の可能性を試したい。本当の何かは何かと。

決めつけたくは無いけど、見返りが無くとも尽くせる何か欲しいのところがうだろうか？

最終的に決めるのは君自身だけど、伝えるべきことは、伝えようと思う。

- - -
- - -
- - -

〔6月30日（水）曜日〕？

ターゲットに選ぶ人間は、独身で歳相応の地位財産のない者ばかり…

り…
そういう発想？

ホームレス襲撃する脳なしと基本的に同じじゃないか！

…そう一瞬でも思えたら、あなたの心はまだ正常です。

〔6月30日（水）曜日〕？

そういうのを“狭い見”と言わなかったら、一体「狭い見」という言葉はどういう状況で使えばいいのかわからない。

〔6月30日（水）曜日〕？

そういう空気だったの、で済ます世界はおかしいと思うでしょ？
子供じゃないんだから。

心のままに悪意を撒き散らすルールに惑わされないで！

〔6月30日（水）曜日〕？

立ち直ろうとする人間のことはクズとは呼ばない。
立ち直ろうとしないやつをそう呼ぶからだ！！

〔6月30日（水）曜日〕？

皆、世の中、正義など無いみたいなき事言っても、基本いい人でいたいんだと思う。

でなきゃ宗教なんかまじめにやれないもの。

自分の純粋さを棚に上げて、他人の純粋さをバカにするような連中に負けないで！

〔6月30日（水）曜日〕？

純粋な悪意は純粋なゆえ、純粋さの前に負けると思う。
だって純粋さを否定したら自分も否定される。

〔6月30日（水）曜日〕？

君が犠牲になる必要は無い。
それは、誰が何と言おうと“譲れない”部分です。

〔6月30日（水）曜日〕？

演技でなく、笑いあえる？心のそこから…
お金でしか幸せを図れないような人に負けないで！

…こんな話思い出した。

GDPで見た場合、世界でもっともGDPの低い国が一番まずしいことになる。

ところが、実際にその国にしてみると、けっこう皆、まともな生活してるし、明るくて幸せだ。GDPはあくまでお金を図る基準でしかなく、幸せを図る基準ではないらしい。という話、昔授業で

聞いたことがある。

お金と、幸せは関係あるけど、絶対の基準でない。

〔6月30日（水）曜日〕？

彼らに常識がないのは良く知っている。これだけ言っても実際通じなかったりする。

けど、ダメージは受けるみたい。それは東京で経験した。

僕の場合は部外者だから限界があったけど、君の場合は身内だから、抵抗したときの破壊力は僕の比ではないと思う。繰り返せば、かならず通じる。

〔6月30日（水）曜日〕？

鏡見てみなよ、恥ずかしくないの！

…通常、相手の外見を攻撃する言葉だけど、人としての愛情の欠如した様を自覚せよという意味でも、ことば使えると思う。鏡見てみなよ、それが愛してる人間の表情！？って具合だ。

〔6月30日（水）曜日〕？

情報は、要素がくわわると変化する…

例えば「成田闘争」。

成田村に空港を作る事になり地主が猛反発。

長年の抗争のすえ、ようやく空港ができる。

それでもごくわずかな農家は2010年の現在も闘争を続けていて、

成田空港の運行に支障が出ている。

この情報に下記の情報が加わると印象が変わる。

もともと成田村というのは、戦時中満州に行かされた人たちが、命からがら帰国し、再出発するために国から土地を貰ったのが、成田村の始まりだ。国の所為で満州で散々な目にあい、さらに帰国してからもひどい目に遭う。

そんな話、聞いたりすると、聞く前と印象が変わってくる…

そんな事、事実あります。

なんでも鵜呑みにして信じるのもどうか？と思うわけです。考えないと。

〔6月30日（水）曜日〕？

独特のルールや風習の下、大人になってゆく力士たちは、非法な活動に対する感覚が麻痺してゆく…

と、今回の賭博事件についてのニュースでやっていた。学校で青少年として育成したのち、泥だらけのプロの世界に放り込んで…

何かに似てると思いたくない、そう思えるなら、人として大丈夫だと思う。

〔6月30日（水）曜日〕？

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

〔6月30日（水）曜日〕？

ンとしても使える。
耳栓より楽です。

確か君はイヤホンを長時間すると、耳が痛くなると言っていた。
おそらく、耳栓も痛くなるのだと思う。けど、こっちのヘッドフォ
ンは痛くならないので楽です。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔7月01日（木）曜日〕？

君はもう充分、周りのわがままに振り回されてる。そろそろ自分
の事を考えても、なにも悪くない。

〔7月01日（木）曜日〕？

最近、部屋を片付けていたら、マウスピースが出てきた。
思わず吹いてみた、まだ、音は鳴ります。

〔7月01日（木）曜日〕？

ただ2人だけでいるだけでなぜ楽しかったんだろう…
最近、こう思う。

今まで得られなかったものが。2人でいるときだけ、得られた。
という事なのかなと…。

あの無限とも思える2人だけの永遠の時間は、そういう意味だっ
たのかもしれない。他の人には、なかなか説明できない、あの感覚。

〔7月01日（木）曜日〕？

今日、自転車で走っていると、意味無くクラクションを鳴らされ
た。

で、疑問に思い止まると、偶然だけど完全にその車の行く手を阻

む形になった。

偶然ついでに聞いてみた。

「今、僕何かクラクシヨンをならされる事しましたか？」
中には老夫婦。

「はあ？意味がわからない」と開口一番言われた…、
まず第一関門クリアだなと思った。

彼らは、こういう状況では必ずこのセリフを言う。
でも普通の人の可能性もある。で、質問を繰り返した。

するとどうやってとぼけようか考えているようす…。

本当に理由があつて鳴らしたなら即答できるはずなんだけど…

だから、論点を整理して指摘した。

「今、僕にクラクシヨン鳴らしましたよね、何か危険なことしましたか？」

確信を持って言う。危険な事はなにもしていない。

明らかに答えに困っている、けど、お前の知った事か！と、言い返すことが出来ないらしい。

その辺から、普段はガラのよいタイプの人なのだな、というのが伺える。

答えにこまっておじいさんはこう言った。

「左に回るのに大回りしたろ、危険だ」と。

つまり、道の真ん中を堂々と走れ！と言っているのだ。

答えに詰まって、事実を述べた後、それを強引に危険と評したのか？

もしくは、ボケて意味不明の事言ってるのか？

のどちらかになる。

普通の人なら、話が通じない時点で話を切り上げるべきだし、もし“彼ら”なら基本はいい人らしいから、話しかけただけで充分プレッシャーになってると思ったから、

「そうですか、どうもすみません」と、満面の笑みで謝ってあげた。

たぶん君も高校時代、こうして周囲を常に観察して、誰がそうか見極めようとしていたんだなと思う。

人の目線をいつも意識していたFさんの姿、よく覚えています…

あの時は判らなかった、何度誘っても、あの夏祭りの日以降、デートにに応じてくれなかった。

嫌われた？そう思ったけど、神社にはいつも必ず来てくれた。不思議だった。

今は、理由が全部わかります。

ごめん、君一人にかなり負担をかけていた、ようやく気づきました。た。

今日あった老夫婦みたいな人たちにいろいろ当時言われていたのだろうか…

いじらしい君の姿を思い出すと…

何だかどうにもしようもない感覚に陥ります。

君はいじらしかった。

しかも、そのいじらしさは僕のために使われたいじらしさだ。

こんな幸せな事実は何にもありません。

もう1人にしません！負けないで！！応援しています。

〔7月01日（木）曜日〕？

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

- - -
- - -
- - -

〔7月02日（金）曜日〕？

…なんかね、そう思うんだ。
どう思う？

〔7月02日（金）曜日〕？

…なんかごちゃごちゃ言う人がいるみたいだけど。
確信を持つてるなら、無視したほうが物事スムーズに進みます。
逆にフラフラしていると付け入られる。

〔7月02日（金）曜日〕？

…いい人いっぱいいるそうなんだけど、残念です。

〔7月02日（金）曜日〕？

優しくするとつげ上がる？

実に難しい。

〔7月02日（金）曜日〕？

東京で体験した現象。

“彼ら”は相反する流れがあるという事。

あるグループは、過去にこだわるな、今の幸せを考えると、
趣旨の本ばかりレジに持ち込む。

気持ちはわかる、けどFさんを忘れるわけにはいかない。僕の人
格の一部だからだ。

あるグループは、抹殺、殺人、復讐、というキーワードの本を物
凄いいけんか腰に持ってくる。

やれるものならやってみろ！と思った。どこの暴力集団か！とも
思った。

僕が主に非難するのは、後者の流れを指示する人たちであると、
明記します。

言われなくとも判ってるわよと感してもらえらるならば、貴方の読
解力に感謝します。

〔7月02日（金）曜日〕？

繰り返しになりますが、僕は生きています、死んでいません。

同じ世界に住み、おなじ地球上で、おなじ空気を吸っています。

〔7月02日（金）曜日〕？

CMでは山口那津男代表が「うそをつかない。約束を守る。当
り前のことを当たり前貫く。それがわたしたちの決意です」と言

っている。

そうなんだ！そうだよな！そりゃいいな！そうこなくっちゃ！

この言葉パクっちゃおうかな、なんて思った。

…そんな事思った瞬間、ある記憶が浮かんだ。

顧問が代った後の部活で、先生自身はいいこと言うけど、君はあの女の先生嫌いだった（というか思いっきり警戒全開だった）。そう、君は言葉よりも、それをしゃべる人物の人物が重要と考える。言葉よりも気持ちを中心に、そんな所あったよな…、そう思った。

だから、こういう言葉パクるのはやめよう、と思った。

やっぱ、あの女の先生そうだったのかな？

あの先生、部活中ずっとしかめっ面で、笑ったとこ見た事なかった。

幸薄い女教師という印象しか残ってない。

君があんなに警戒していたという事は、やはり、そうなのだろうか。

僕が書くこの言葉は、君にどう伝わっているのだろうか…。

どんな感想をもっているのか、聞ける日を夢見ます。

たとえば、僕が社会的に抹殺されたとしても、君だけは味方でいてくれると信じます。

〔7月02日（金）曜日〕？

…いつか、そんな話ができる。

そう確信します。とにかく待とうと思う。

〔7月02日（金）曜日〕？

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔7月02日（金）曜日〕その他？

やられたら、やりかえす？

関係ないけど、ドイツ人への恨みをパレスティナ人へかえすユダヤ人ってどうかと思う。

強いドイツ人じゃなく、弱いパレスティナ人へ恨みかえしているのだ。

そうしたユダヤ人の態度をちょっとした批判した事から、アメリカの有名女性インタビュアーがクビになったのは有名だ。

日本で言うなら黒柳哲子を哲子の部屋から降板させるぐらいのインパクトある出来事だ。

また、アメリカで死刑が金曜日にならないのも、ユダヤの安息日を意識している。

ユダヤ人の政治力はすさまじい。

政治力の根幹は資金力だ。
金が力というわけだ。

これを肯定する人はリアリストなんだと思う。

でも、こういう見方もある。

歴史上長く語り継がれる物語ほど、人々の根幹的な理想を含んでいる。

そうした、長く語り継がれる物語に「金は力だ！」と言う根幹的な理想はほとんど登場しない。

むしろ悪役がそうしたセリフをいう事が多い。

人々が何を理想としているのか、判るように思う。経済はバイアスで動いている。

こうした「あまつちよるい理想（＝金は力だ！は間違っている）」もバイアスとして、無視できない力を持っている、これを軽んじる人は、あまり賢くない。人は意識的にしろ無意識的にしろこうした理想を追い求める動物だ、他の動物にはない進化したがゆえ持つ理想です。

リアリストだけでは世の中動かないと思う。

〔7月02日（金）曜日〕その他？

これは。可能性だ。

彼らの唯一の僕への攻めどころは仕事と収入だ。

こちらにしてみれば、そもそもそちらが妨害しなければ…、と思うが、そちらには、そちらの理屈があるのだろう。

だけど、将来的にこの部分の改善がされれば、ある程度彼らの態度も何とかなるものと思う、可能性だけだ。あまいかな…、彼らに

狙われ、生き延びた人は、たいてい今でもいい仕事をしている人のように思う。仕事自体は嫌いじゃない。そもそも人と話すのは好きだ。

今は理由があつて、この状態です。

100%の保証は無いけど、時期がきたら創意と工夫で乗り切ろうと、そう考えています。

〔7月02日（金）曜日〕その他？

昔、寺社の土地は、世間とは隔離された独立国扱いされてたそう
だ。

どの戦国大名も手を焼いていた。

黙っていても寺社に土地を寄進する者が絶えず、寺社は時代と共に拡大・膨張するばかり。

「田^たわけ者」という言葉も、一般には相続で子供に土地を分配すると家が没落するという意味ととられるけど、寺社に土地を寄進する大ばか者という意味もあつたみたい。

黙っていても土地（^{かね}金）が転がり込むので、寺社の支配階層（
高僧）は左うちわで豪遊したとか…。

寺社勢力は戦国時代を過ぎても勢力をある一定保つ。

幕府が特別に寺社奉行なんてものを設置したのも寺社勢力を無視できない存在と見なしていたからです。

けど、明治維新の神仏分離で、天皇の権威が復古したことにより、
寺社の勢力は衰えます。

寺社に傾倒していた人々は、天皇へと傾倒する…

戦後、天皇の権威が失われた現在。人々は何に“傾倒”しているのでしょうか…

その“何か”が何なのか？

1つ言える事は、間違いが修正できる世界ならいいと思う。
でない、2000年以上繰り返してきた日本人の欠点を克服できない。

それは、明らかに間違っているのに方向修正に信じられないほど時間がかかる事。

その所為で戦争にも負けたし、今も経済で劣勢にたってる。

欠点を克服できる世界の方が素敵です。

素敵を目指しちゃだめでしょうか？

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔7月03日（土）曜日〕？

なるように、なると、想い続けることが、実は肝心だったりする。
たとえ、僕が社会的に抹殺されたとしても、君だけは味方でいてくれると信じます。

〔7月03日（土）曜日〕？

譲れない何かがあるなら貫けばいい。ないがしろにされ続けるのは最悪です。

〔7月03日（土）曜日〕？

もう、向こうが呆れても、
なお主張しつづけても足りないくらい、
やらないといけない。

彼らのしつこさは尋常でないから。

〔7月03日（土）曜日〕？

修道女のような清楚さを要求する男のわがまま…

しおらしさを強要されても、突っぱねていいと思う。

前にも書いたけど、僕は女の人を物扱いするのがいやです。

1人の独立した人格の持ち主であり、その尊厳は尊重されないと
いけない。

なぜなら、僕自身そう他人から扱って欲しいからだ。（この事は
随分前に書いた）

君に伝えます。

わがままな男のふりかざす「女性哲学」なんぞ蹴散らして！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

かつてヨーロッパでは、ハネムーンとは女性を無理やり拉致して
逃げ回る期間の事を言うという話、聞いたことがある。

娘をさらわれた親族は全力で男と娘を探し回る、ある一定の期間
逃げ切ったら、娘は男のもの、父親が期限内に取り返したら、男は
殺され娘は家へ帰れる…？エンゲージリングも元々は女性に首輪か
手かせをつけていた物が、イメージとして簡略化されリングになっ
たなんて説もあるみたい…

諸説あるのかな？わからないけど…

もし、事実なら、いつの時代も男はバカという事になる…

そんな男のエゴに振り回されず、君が自分の意思を貫く“何か”
を心に持つのかどうなのか…

その“何か”の存在に僕は賭けます。

〔7月03日（土）曜日〕？

日焼け防止なのかな…

白いひじまで隠れる手袋。

本来の利用者は30代が中心みたい。

けど僕の近所では50代以上の女性ばかりが使用していて、色もしろと限定されてる。

けっして黒は無い。

普通に考えると、30代女性の方が装着率高いはずんだけど…。まるで誰かに指示されてつけているように思わなくは無い、なぜなら、けっして皆、服装自体はお洒落でない感じがするからだ。けど、きつとお洒落に目覚める途中の年配女性が多いんだな、と思いつ込む事にした。

〔7月03日（土）曜日〕？

相変わらず、外出すると必ずパトカーをみる感じだ。

他の被害者のブログなどにも、同じ事かかっている。

最近では乗ってる人の顔まで覚えてしまった。

あのメガネのおまわりさんはよく見るので、ぜひ一度道を聞きたいと思う。

“彼ら”のおまわりさんに道を聞くと、堂々と間違った道を教えたりするので、どうなのかぜひ確認してみたいものです。

東京でも警察とは一悶着あったから、心理的プレッシャーは皆無になってしまいました。

君も同じようにパトカー見る状況なのだろうか？

僕は大丈夫だけど、君は平気だろうか？心配です。

〔7月03日（土）曜日〕？

こつしたいろんな目に遭う前は、彼らの組織が正直ここまでひどいと思つてなかつた。

もっとまともな組織と本気で思っていた…

…そうか、嫌われちゃつたな、残念だ。

と素直に思える人が、そちらの世界に何人いるのだろう…

そういう当たり前の意見が謀殺されてしまうような世界に君を置いて置けません！

負けないで！応援しています！

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

〔7月03日（土）曜日〕？

繰り返しになりますが、反復は重要です。

（たまには、以前書いた部分をいくつか読み返して欲しいなと、そう、思います。）

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用の呪い」にかからず、
サンクコスト
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

- - - - -

〔7月04日（日）曜日〕？

君も感じた事あるのかな、初対面のはずの人が、どういう訳か、「お前の事しってるよ」的な態度をとる事が多いな、と感じる事。

陰でこそこそ話してる連中なんかには負けないで！

君が戦い続けられるなら、僕も戦い続けます。

〔7月04日（日）曜日〕？

“戦う”なら君とがいいなと思う。

僕のささやかな希望です…

〔7月04日（日）曜日〕？

チャンスはまだまだたくさんあると思う。

最初からあきらめては何もはじまらない。

立ち止まるのが何よりもいけない。

〔7月04日（日）曜日〕？

今、TVを見ていたら、こんなのやってた。

外国人は京都で、ふすまを2回に分けて開ける動作をする仲居さんに感動したとか。

あれは、わざと2回にわけて開ける事で、中の人を気遣っているらしい。

突然開けたら、中にいる人がびっくりするので、そうしていると
言うわけだ。

日本人の気配りの美德と言うわけだ。

彼らのテクニクには、突然、近づくとか、突然現れるとか、突然進路をふさぐというのがある。

道を歩いていると、突然目の前を横切る。猛スピードで早歩きで（試しに足を引っ掛けてやっても、怒りもせず突進したまま行ってしまう）

死角から現れるは序の口、突然窓やドアが開くのもあるし。

普通話するときより、数センチ接近して話すと言う微妙だけど効果的な高度なやつもある。

どれも先述の2回ふすまを分けて開ける動作で、中の人を気づかうのと、逆のものだ。

もしかして、自転車で走っていると頻繁に車が進路をふさぐのも案外そうなのだろうか…

日本人の美德と逆…。

ばかばかしい。君も同じ体験してないか心配です。

いやらしい“当てこすり”ごときに負けないで!!

君が前を向き続ける限り、僕も前を向き続ける事が出来る。

〔7月04日（日）曜日〕？

「なんなのよ！あなた！近寄らないで！」

と、言えば。

言い合いで劣勢のとき、状況を打開できるように思う。

〔7月04日（日）曜日〕？

あいては部下にめんどくさい事押し付けてくる。

あいてがそういう逃げに転じたときは、遠慮なく“本人”を攻め続けたほうが効果的だと思う。

東京での経験が、僕にそう思わせます。

〔7月04日（日）曜日〕？

あせらず、着実に、冷静に。たとえ勝てないにしても、負けない

ようにする方法はたくさんある。

持久戦なら君のが有利だ。

そして幸いな事に、僕も君も持久戦なら誰にも負けない頑固さをもっていたりする。

〔7月04日（日）曜日〕？

だんだん、わずかでも、着実に…

重要なのは、前へ進むことです。

後ろへ後退してないのならば、どんなにのろくとも、前を向いて進んだ方がいいのです。

でないと、心が死んでしまう。

つらいときは、原点に戻り。また、立ち向かえばいい。

繰り返しになりますが、反復は重要です。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

〔7月04日（日）曜日〕？

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

いろんな目に遭う前は、彼らの組織が正直ここまでひどいと思っ
てなかった。

もつとまともな組織と本気で思っていた…

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコです。気を付けて！

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。
再会を信じて。

君は自分が思っている以上に強い人です、僕が保障します。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔7月05日(月)曜日〕？

Fさんは物凄く自分のしたい事を“我慢”する性格をしていた。
第一希望はかなわないものだ！って教えて育てられているかのよ
うに。

仮にあつてたとしたら、こう言います。

第一希望つてかなう事もあるんです。へたに我慢する理由は実は
無いんです。

〔7月05日(月)曜日〕？

人扱いされた時の“うれしさ”って判るよね？たぶん。
こういう感覚、わかると思う。

本当に何度も言いますが、僕は生きています。死んでいません。
勝手に人を死人扱いする人々に振り回されなくてほしい！！

僕はちゃんと生きて、呼吸して、今現在も同じ地球上に存在して
いる実在の人物です。

〔7月05日(月)曜日〕？

怖いなら、怖いと思ってい。
無理に我慢せず、受け入れて、自分の中で納得する…

こういうとき自分の戻るべき原点があると、ぶれても元に戻る。
軸足さえしっかりしてれば、心は意外としなやかにまがり、耐え

てくれます。折れません。

折れてない心を、折れたと錯覚させるのが、“彼ら”のテクニク
クの真髄です！気をつけて！

〔7月05日（月）曜日〕？

こんな事思った、最近は何んぼで鳥よけバルーンをあまり見ない
鳥も、あのバルーンに慣れてしまい効かなくなったからとか…

あの白色攻撃も、同じように慣れると意外と何て事なくなっ
てるのも、同じ事なのだろうか？

所詮彼らの誇る“暗示攻撃”もあの鳥よけバルーンと同程度のも
のに過ぎないので。

この世にオカルトなどありません、トリックには必ずタネと仕掛
けが存在する。

仕掛けさえわかってしまえばそんなものです。

〔7月05日（月）曜日〕？

今日は本当は金曜日です、「紅の豚」がTVでやります。
僕は、当時君が願った“戦う”豚になれているだろうか…

映画館での一番印象的な記憶はやはり、あのラストシーンの豚と
ヒロインがキスするシーンに君が感動していた姿だ。

あきらかに僕と豚を同一視していた、当時の僕は「デブだからか
？」と卑屈になり、君の本意に気づきもしなかった。

こんなに時間がたって気づいた僕は相当、罪深い。

劇中、豚は「飛べない豚はただの豚さ」と嘆くけど、飛べはしないが、僕は戦おうと思う。今の僕にはこのくらいしか出来ない。願わくば、君のぞむ“何か”に繋がっている事を、切に、願います。

〔7月05日(月)曜日〕？

仏法のどこかに戦争しろ！と書いてあるのだろうか。
それとも兵士になれと、書いてあるのだろうか…

戦争が好きな人は、アフガニスタンへ移住すればいいと思う。
ソマリア南部なんてのも理想的。
もうちょつと文明的な戦争がお好みなら、イラクもいい。

平和な日本で戦争だ戦争だ叫んでも、本当の戦地にいる人たちが、その姿を見たらなんとと思うのか…

一つ確かなことは、皆柔軟性が無い事。

世の中にはもつと弱い獲物がたくさんいるからそちらで優越感を
感じよう、とは思わないらしい。

変なところで感情的で非効率。負けっぱなしでプライドが許さん
というけど、プライドがあるならこんな卑屈な行為やめればいいの
にとか思ったりする。プライドの概念が間違っている。

たぶん、仏法にはプライドの解釈は書いてないのだろう、たぶん
不勉強なので、その辺せひ誰か暇な人教えて欲しいものです。

感情的で柔軟性がなく、間違った高いプライドに固執して人の迷
惑をかけ続ける…

大多数の人はそうでないと理解していますが、しかし、この世界
はひどい。

いろんな目に遭う前は、彼らの組織が正直ここまでひどいと思っ
てなかった。

もつとまともな組織と本気で思っていた…

多くの“まともな人”を隠れ蓑にして、そうした人が隠れている。
君をそんな世界に置いて置きたくありません。君の事が心配です。

…君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見
てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

詳しくは21話参照してください。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

- - -
- - -
- - -

最近また大型バイクや大型スクーターが増えた。

みな遊ぶ金ほしさの連中なのだろうか、というか、事実がどうあ
れ人からそう言われても仕方が無いよなど、おそらく本人たちも自
覚していると思うので、ここは“遊ぶ金ほしさの連中”という事で
確定していいと思う。そんな事無いよ！と言う人は、どんな理由な
のかぜひ教えて欲しいものです。

もし違うと言うなら、貰った必要経費をガソリン代などに使わず、
全額寄付してみればいい、できないなら、遊ぶ金ほしさの連中とい

われても仕方が無い。持ち出し？関係ない、こちらからそう見える
のだから、それで言われる理由としては充分なのです。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔7月06日（火）曜日〕？

「わがままで」といわれたら、

「貴方ほどではないわ」と言い返していいと思う。

〔7月06日（火）曜日〕？

多くの“まともな人”を隠れ蓑にして、“そうした”人が隠れて
いる。

もう、恥ずかしい！と“そうした”仲間の行動を見ている人、結
構いると、

そう思います。

〔7月06日（火）曜日〕？

邪念に負けた人々がいたけど、天は見放さなかったという解釈で、
矛盾しなくなると思うのですが…。

〔7月06日（火）曜日〕？

人間の欲望が尽きない限り、消えてなくなるらない？
百歩譲ってそれを認めたとしても…

彼女を巻き込むのはやめてほしい。

悪い事をしても許される“免罪符”を配ってくれるような、そんな
錯覚…

みな感じているのと違うだろうか？

そんなやり方では、人を侮辱する人間が大量生産されてしまう

いい訳のオンパレードなど無視していいと思う。
とにかく、君の幸せが大事です。

そこは、他人の不幸を娯楽にするような世界、君には住みにくい
ところだと思う。

君は戦うだけのちゃんとした理由をもっているのです！負けない
で！応援しています。

〔7月06日（火）曜日〕？

君は何も間違っていない、だから、大丈夫です。

…ただ、比較する事が禁じられていただけだ。

素直な君はそれに従った？

素直な君の心は素敵だけど、利用されやすい。

こつした事態を避けるためにも、比較してみればわかる。

比較して見ると、何が大切か？今、どういう状況か？判断する目
安になる。

比較を心がければいいと思う。

〔7月06日（火）曜日〕？

時々思う…

そんなに他にやる事ないのだろうか？

そんなに中身の無い日々なのだろうか？と。

安いハードボイルド作品の定番のセリフで

「落ちていく自分を見るのが快感だった…」
みたいなのあるけど、あれを地でいく世界なのだろうか？

皆で堕ちれば怖くない？

この世の全員がそうなれば、堕ちた事も恥ずかしくなくなる？

それが何が悪い、と言われるかもしれない。

そう言う人には伊丹十三監督の「マルサの女」のラストシーンが
お勧めだ。

いよいよ隠し財産を隠しきれなくなった男は、どうせ言うならなじみの監査官に言おうと考えた。

男は彼女をたずねる。

公園を見下ろせる場所で、2人は語らう。そして、彼女が忘れたハンカチを男は取り出し、そこに自らの血で口座番号を書き記し、女に渡した。

その少し前、男は彼女にこんな事を言う。

あそこの公園で遊ぶ子供たちの姿、自分はああいつのを見ると、無性にどうしようもなくなってくる…

無垢な子供がまぶしすぎて直視できないというのだ。

泥をかぶるのが悪いとは思わないけど、そこまでひどく心が病んだなら、もう一度自分を見つめなすべきなのだと、そう思う。

いろんな意味で壮絶なラストシーンです。

認めざるを得ないと思わせても、まだ足りない。

油断すると巻き返される…

だから主張し続けられないといけない。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。
君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-

〔7月07日(水)曜日〕？

世の中“理屈じゃない”と言われるかもしれない。
でも理屈じゃないというなら、僕と君にも勝ち目はあるという事
になる。

想い出の“それ”は理屈で上手く説明できない類のものだから。

〔7月07日(水)曜日〕？

“それ”を越えた意味が、君の心にあるのなら、その想いを大
切にしていいんだと思う。

〔7月07日(水)曜日〕？

夏になると、あの暑い音楽室を思い出します。僕は暑いとか寒い
とかが苦手だ、けど、君は顔色一つ変えずにいた、いつもかわいか
った。演奏になると、いつものようにちょこんと席に座り、いつも
どおりに演奏する。何で平気なんだろう？と思ったものです。

…ついで言うと、あの神社は木陰がたくさんあり涼しかった。今
はだいぶ木がなくなり、当時とは違う。けど当時2人していると、暑

いとか寒いとか、そういう感覚どっかいつてしまいがちにならなくなったのを覚えている。君はどう記憶しているのだろう…、いつかお互いの記憶を合わせて、欠落した記憶を補いたいものです。

〔7月07日（水）曜日〕？

着実に、慎重に、一生懸命に、でも気を張り詰めずに、しかし、油断せず。冷静に。

“後退”せず“前進”さえしてれば、どんなにゆっくりな歩みでもいいと思う。

〔7月07日（水）曜日〕？

突き放して、突き飛ばして、見放して、それでも大切と思えるものが、本当に大切な自分の一部なんだと思う。

〔7月07日（水）曜日〕？

受身の君は時として誤解される事が多い…。
でもめげないで！

世界中でどんな事があっても、決して裏切らない味方が1人いることを忘れないでください。

〔7月07日（水）曜日〕？

微妙な感覚に心揺れるときは、目をとじて自分の原点に立ち返ればいい。

〔7月07日（水）曜日〕？

“出来ないなら（無いなら）、出来ないなりに（無いなりに）工夫する！”

これが僕の経験則から得た答えです。

〔7月07日（水）曜日〕？

皆思ってるはず、もう他人の家のごたごたに巻き込まれるのはうんざりだつて。もう、恥ずかしい！と仲間のその行動を見ている人、結構いると、そう思います。

〔7月07日（水）曜日〕？

「博打は勝負勘を養う」

といわれて先輩から勧められて賭博に参加した相撲取りもいたら
し…

何の話か？相撲界の賭博事件の話です。

そちらの世界では、非合法活動をするとなんか人生勉強になるとか、間違つた事いわれてると違つたろうか…、明らかに間違つた人生勉強だ、東南アジアの某国に生後1ヶ月からタバコをすい続けているという乳児の映像がTVで繰り返しながされたが、あれも大人が子供にした人生勉強の一環だとしたら最悪を通り越している。なんにせよ間違っている。そういう感覚、わすれてはいけないものだと思う。彼らの非合法活動を子供に教えるのは、あの“東南アジアのタバコを吸う赤ちゃん”と何もかわらない。

あたりまえが、間違っている。いろんな目に遭う前は、彼らの組織が正直あそこまでひどいと思つてなかった。

もっとまともな組織と本気で思っていた…

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言つて権利を君は十二分に持っていると思つて。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！自尊心の幻想にしがみついている連中なんかには負けないで！

〔7月07日（水）曜日〕？

「踊る大捜査線」の映画、見に行こうとか思つた瞬間、こんな事

考えた…

このドラマがTVでやってた頃、そう、今DVDとか見返すと、つばやきシローが人気がある頃で登場してたりするあの頃、多分、僕は大学生だったと思う。

あの頃、君はどこでどうしていたのだろうか？そんな事、ふと思っ
た。

君はTVはあまり見ないとか言ってた、このドラマもリアルタイムでは見てなかったんじゃないかと推察します（というか未だに見てなかったりして…）

あの頃も、監視されていたような気がする。今思い返すと。どう
なのだろうか？

僕らを引き裂いた人たちは、あの後もずっと僕を監視していたの
だろうか…

君も、同じように監視されていたのだろうか？

今度の「踊る大捜査線」の新作映画を見ると、おそらく僕はそ
んな事考えながら劇場に向かうのだなと、そう思った。いつかお互
いの記憶を合わせて、こうした欠落した時間の記憶を補いあえる日
がくるだろうか？

当時の2人だけの大切な想い出を共有しているのは、この世で君
だけです。

〔7月07日（水）曜日〕？

油断すると巻き返される…だから主張し続けなさいといけない！

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

…君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見
てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

負けないで！応援しています、いつか君は僕の前に現れる、今は
都合が悪いだけだ、そう考えます。

…とにかく待とうと思う。頑張つて！

-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-

〔7月08日（木）曜日〕？

そうだよな…と、今更ながら思う。

君はかなり本気だった。

「いつから（私のこと）好きだったの？」

と聞かれて、初めて会ったときだよと答えた。

君は驚いて、しばらく固まって、それからこんな事言った。

「…じゃあ、夢がかなったね」

ものすごい満面の笑みで。

今はあのやり取りの意味の重大さがわかります。
当時は子供過ぎてわからなかったけど、今なら。

〔7月08日（木）曜日〕？

君は物事を決断するときには、納得するまで時間をかけるところがある、そういう所、好きです。

〔7月08日（木）曜日〕？

君は時々すごく不安な表情をみせた。

〔7月08日（木）曜日〕？

いろんなことがあつての人生です。
人格に厚みができます。

〔7月08日（木）曜日〕？

誰と支えあいたいか？

〔7月08日（木）曜日〕？

時には脱線してもいい、人だもの。

〔7月08日（木）曜日〕？

世の中、いろんな人がいる。それでいいと思う。

〔7月08日（木）曜日〕？

「X - JAPAN」の紅、「米米クラブ」の浪漫飛行…、どれも
当時、吹奏楽部でやった曲だ。

聞くと、当時の事がよみがえります。

2年の対立していた頃、目も合わさない君がいた。

こつちも頭にきていた、僕は悪くない、あやまる理由はない。

そんな時期やっていた曲だったかな、でも3年になると君の態度
がやわらぐ…。

怒ってはいえるもののいつまでたっても君を軽蔑しない僕の態度が
理解されたのだろうか？

そんな事思っ。

…そう、どうしても僕は君を軽蔑する事ができない。キツイ事言っても、しょせん言葉だけだ。

君の人格を何よりも尊重します。君の心にはそれだけの価値があります。少なくとも、僕はそう確信しています。

〔7月08日（木）曜日〕？

こんな事思った。

あれは2回目の破局ののち、僕は最後の賭けとばかりに、君を呼び出した。

三島駅の南口だ。

当日、いくら待っても君は来なかつた…

後日、学校で会ったとき、君はいつもの笑顔で話しかけてくれた。そして僕が本当に駅で待っていたのを見たと言った。

「見てたの？じゃあ、なんで」

少し考えてから君は

「知り合いが見てたの」と言っただ様に思っ。

監視されていて、その監視結果を聞かされたからなんだろう、それなら辻褃があっ。

あの時、君は嬉しそうに照れていた。たぶん、本当に自分のために待っていてくれたという事実がうれしかったんではないだろうか？
でなきゃ、あの時の君のリアクションが理解できない。

…そうした君の親愛の目線と、会いに来てくれなかつた事実といっ、相反する現実に当時の僕の理解力についていけなかつた。

当時、君はまだ巻き返せるとおもっていたのだろうか…

あの時の気持ちを聞きたいです。せめて、その位の希望くらいなら、叶っても罰はらは当たらないと思うけど、君はどう思いますか？その想いは今どうなってますか？心に問いかけて答えを導き出すことができるのは、その心の持ち主である君だけです。

当時見られていたんだな…、いろいろと思ってしまう。

スーパーで、男の子がころんで箸を落としたので拾ってあげた、母親はまるでゾンビでも見るような目つきで無言で僕のわたす箸を受け取った。

他にも、気になる事がたくさんあり、言い出すときりがない。そういう事なのだろうか…

誰が悪い？そりゃ邪念に負けたその時の誰かなのか何なのか、そのあたりの誰かなのでしょうか。

君が戦い続けられるなら、僕も戦い続けられます。その事は、今も変らぬ事実です。

君の心はどんな問いかけを君にしていますか？

君が君ののぞむ世界を実現できる事を何よりも願ひ、この言葉を送ります。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。
何度も言いますが、僕は生きています。死んでいません。
遊ぶ金ほしさの連中に負けられないで！

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔7月09日（金）曜日〕？

記憶を整理していると、いくらなんでもそれは無いだろう、しかし気になる、といった類のものがいくつかある。

昔、「ジェラシックパーク」が劇場公開された時、1人で見に行った。

クライマックスのラプトルが調理室で子供たちを襲うシーン近くで、僕のすぐうしろにいた同世代とおぼしき男が奇声をあげる。

となりにいるらしい母親らしき女がなだめる。その様子が普通でない感じで、物凄く印象に残っている。

そして、それは、あの夏祭りの日、2人であの長い階段に腰掛けしていると、やってきたあの息子と母親の、あの普通でない感じに物凄くよく似ている…

感覚だけで、根拠はない。けど、时期的に近い出来事なので、もしかしたら…

なんて妄想を思ったりする。

まあ、そうだとしても違うにしても、何がどうなるわけではないからいいんだけど。

ただ、そんな記憶が引っかかっている。

君の周りでは不自然な事、過去になにかありましたか？

僕はこんなような記憶がたくさんあるので、君の場合はどうなのだろうと、そんな事思った。今更ながらですが、心配しています、大丈夫？

〔7月09日（金）曜日〕？

「つまらない冗談はその辺でやめて」

と冷たく言い返すと、ふざけて真剣にとりあわない相手を牽制できさる。

「うるさい！黙れ！クソくらえだ」

と言ってもいいと思う。

〔7月09日（金）曜日〕？

皆、ありもしない架空のサバイバルゲームに興じて、憂さ晴らしをしているだけだ！

〔7月09日（金）曜日〕？

キリスト教メソジスト派について調べていたら、こんな記述があった。

メソジスト派は何よりも規則正しい生活を重んじる、互いにグループを組んでお互いちゃんとした生活をしているか監視しあう。その性質上、学校や軍隊との相性がよく、だからそうした所で支持されている。そしてそうした理由で主に中流・下層社会に浸透している…

同じようにさかんにルール、ルールと叫んでいる世界があるとしたら、同じように軍隊組織になじむ性質を持つ事になるのだろうか？

なに、メソジスト派について書いただけです、他の事には一切触れていません。

もし、他の何かがいち当たっても、それは僕の思い描いたものではありません。

〔7月09日（金）曜日〕？

糖尿病とアルコール中毒は（ある程度進行すると）完治できない

と聞いたことがある。
けど、そうやって治療しながら、普通の暮らしをしている人も、
事実たくさんいる。

治らないのになぜ治療するのか？

残りの人生を有意義にすごしたいからだ！

それに治療すれば、それだけ長生きできるし（ヘタをすれば健康
な人より長生きできる事もある）

病気になったからといって、一生ベットにしがみつくと必要は無い
のです。

生き方は、生き方次第で、いかようにも価値が変わる。

一度つまづいたからと、やり直しができないとは、誰も言ってい
ない。

君はどう思いますか？

こんな事おもった、「赤毛のアン」の中には、両親の不在や思想
や病気により、子供の頃から人生を大きくふりまわされ制限される
人たち（主人公のアンも含めて）がたくさん登場します。

僕は「赤毛のアン」を読むのが好きです、心に問題をかかえて前
に進めない（主人公のアンも含めて）人たちが“何”をきっかけに
心が晴れてゆくのか？

その“過程”が詳細に書かれているからです。

フラフラとしている様に見られるのが嫌という気持ちあるのだろ
うか…

当時もそんな事言ってた。

もし身近に僕がいたなら、たぶん近づいて、耳元で、他の人に聞
かれないようにして、こういう。

「だれもそんな風にみないよ、大丈夫だから」

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。
君の事が心配だからです。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

.....

〔7月10日（土）曜日〕？

特別なわけ？ばかばかしい…、そんなもの無視していいと思う。

「こんなやり方卑怯よ！」

と、言ってもいいと思う。

〔7月10日（土）曜日〕？

閉ざされた世界ではブレーキがかからない。

そついう風潮？いやだなと思えるなら、まだ心は健康です。

〔7月10日（土）曜日〕？

今日は本当は七夕です、けど、七夕の想い出はない…

残念です。

というか、当時思い出の価値を軽視する僕がいた。

君は盛んに何度も想いでという言葉をくりかえした。
なんでそんなにこだわるんだろっ？と当時思ったものです。

17年経ち、あの日々の思い出は重要な記憶になっています、
君の方が正しかったと、今、痛感しています。

確かに“思い出”は人にとって重要です。

君のおかげ大切な思い出がたくさんある、ここには書けないもの
も含めて、

いつか、語り合える日を夢見ます。

〔7月10日（土）曜日〕？

誰にだって欠点はある、様は受け入れて、どう付き合っただ。
他人に迷惑をかけずに自分の欠点を消化する方法はいくらでもあ
る。

そちらの世界では他人の迷惑おかまいなしだ。
一度きりしかない君の人生です。

〔7月10日（土）曜日〕？

くじけたら、また立ち上がるだけです。

“なぶり殺し”よりたちが悪い行いを、人に強要するような人た
ちに負けないで！

〔7月10日（土）曜日〕？

自分を傷つけないでいたり、他人を傷つけないでいたりしたら、
110番にかけて相談して見るといいらしい。やった事はないけど、
専門家につないでくれて、そこでじっくり相談というか、話を聞い
てくれるみたい。溜め込むよりはいいと思う…

何かの参考になれば…

〔7月10日（土）曜日〕？

僕には過去救えなかったが、今なら救えると思える人が1人います。

真実に気づく以前からずっとFさんの姿を探しているのだと、そう思います。

〔7月10日（土）曜日〕？

また君を見捨てるようなマネだけはさせないで。

擦れてロボットのようになるのだけはいけない。

「決定権は私にあるわ」
「と言いつづければ、そういう空気をつくれる。」

〔7月10日（土）曜日〕？

とにかく“後悔”だけはしないで。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
「と言う権利を君は十二分に持っていると思う。」

〔7月10日（土）曜日〕？

彼らに殺されかけた僕のささやかな望みは、君と共に戦って欲しいという事です。

第一希望は身近にいて共に戦って欲しいというもの…

だめなら、そちらの世界から可能な限りでいいのでサポートしてほしい…

わがまま？判ってる。迷惑？それはお互い様だから相殺されてる

と思う、前も書いたねこれ。

〔7月10日（土）曜日〕？

笑顔の君が幸せである事を…

仏の道に救いを求めるなら、何も支障は無いはずだ。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

繰り返しになりますが、反復は重要です。

（たまには、以前書いた部分をいくつか読み返して欲しいなど、そ
う、思います。）

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔7月11日（日）曜日〕？

昔、君は言った。

「本当の私を知ったら嫌いになっちゃうよ」と。

たぶん、君は昔から、自分が人に好かれるはずが無い、そう思い

込んでいるのではないだろうか？

いつも少数派で、いつも孤独で、いつもまるで異星から来たような…、そんな感覚持っているのところがうだろうか？だから、あの時君はこう思った？

きっとこの人も他の人と同じように、自分を理解できるはずがない。と。

…この17年君を理解したくて随分努力した、どうだろう…

少しは近づけただろうか？答えを知るのは当然のごとく、その心の持ち主である君だけです。

〔7月11日（日）曜日〕？

韓国人の目から見た社会・世界・政治などを描く事で有名な漫画家。

韓国のアニメ学会を設立し、会長を歴任。現在は徳成女子大学教

授でもある、

イ・ウォンボク
李元馥という人がいる。

彼は日本人について書いた著書でこんな事いつていた。

「相手の心が読めないのは迷惑をかけるのと同じだ」

これは日本人の“気配り”について述べた項のセリフだ。

日本人は相手がしゃべる前にその気持ちを汲み取る、これが出来ないやつは社会から排除される…

これを読みかえしてこう思った。

“彼ら”の世界にいれば「気配りの苦勞」も大分、軽減されるにちがない。

なにせ全員が同じ基準で考え、行動するのでその基準さえ理解出来ていけば“気配り”は容易（＝無用）だ。相手の気持ちを理解する能力を磨かなくともやっていける社会が構築できる。

（挨拶もせず家上がりこんでくる…、なんて記述、ネットの書き込みでの身内批判にありますね、気配り無用のあらわれなのではないでしょうか？）

そしてこんな事を思った。

それは気持ちを何よりも大切にするFさんにはかなりの負担のはずだ。

がまんの連続なのではないだろうか？

…どうなのだろう。

この推論はどの程度当たっているだろうか？はずれているだろうか？君はどう思いますか？何にせよ言える事は1つです。Fさん！考えるのを止めてはいけません。

どんなにのろくても、前に進みさえしていれば、何かが見えてくることがある。

時として立ち止まるのもいいと思う、けど、絶対に後退してはいけない。

どんなに僅かでも前に進み続けなさいといけない。

君自身の幸せのためにも。

一度きりしかない君の人生です。

〔7月11日（日）曜日〕？

こういう事だろうか？

そちらの世界の人たちはプライドの大切さだけはよく判っている。だからこそ、自分たちのプライドを死に物狂いで守ろうとする。

命の大切さや心の理解の仕方はあまりよくわかっていない…

だから簡単に粗末にできる。

図式にすると、

“命” < “プライド”

という事だろうか？

仲間を守りたいんじゃない、
“プライド”を守りたいだけのよう
な気がする。

じゃなければ仲間まで平気で攻撃する神経が理解できない。
そして、そんなささんだ考えを、多くの善良な人たちに強要する。
言葉巧みに…

そんな世界で君がどんな生活をしているのかと思うと心配です。
優しさを一生懸命押し殺してきたのと違うだろうか？

つらくても誰にも訴える事が出来ない…？

とにかく、僕に今できる事をしようと思う。

一度きりしかない君の人生です。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。

三界に家を建ててには、君が必要です。

がんばって！

――
――
――
〔7月12日(月)曜日〕?

正直、真実に気づく以前は、いくつか思い出の品を処分している。いくつかあった手紙も今は一通しかないし、写真もなくしてしまった。そうした中、この写真たてが出て来たのは正直うれしい。

何の話か？

以前に1度書いたと思う、こちらに戻ってきてから、いろいろ昔のものを引っ掻き回していたら、君からもらった写真たてが出てきた話。ガラスで出来た本体はみつかったけど台座は見つからない、けど本体だけでも“写真たて”としては充分機能する。

久しぶりに手にとってみる。何だか物凄くなつかしい、ずっしりと重い。お店で選ぶとき何をどんな気持ちでこれを選んだのだろう…、などと想いをめぐらす。

初めて女の子からもらったプレゼント、しかも誕生日プレゼントだ、たぶん誕生日が近づいたから何となく気になり、久しぶりに手にとって見たんだと思う。

思い出すのと触れるのでは感覚が全然違う、手にとって触れてみるとあの時のもらった嬉しさがダイレクトによみがえってくる…。

そんな中、当時君は援軍ゼロの状態だった1人で戦っていた。平気でウソをつくような世界で。

大切なものまで踏みじられる理由は誰にもないように感じる。何もしなければ、何も気がつかなければ、何もできないし、何も変わらない。もし戦っているなら頑張っしてほしい、僕は生き延びてここにいます。君のおかげです。君がいなければ現在の僕はいない。

あたたかく、おだやかに、それでいて強くたくましく、自分の意

思を貫く、そんなイメージでいいと思う。心に言い聞かせるとしたら。間違った“王道意識”などに惑わされなくていい。そう君に伝えます、頑張つて！君が「埋没費用の呪い」サンクコストにかかわらず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

〔7月12日（月）曜日〕？

ローテーションが変わったのかな…、数カ月おきに人が入れ替わる？
本当にどこまでもしつこい

君は大丈夫ですか？

君が戦い続けられるなら、僕も戦い続けられます。

たとえ、僕が社会的に抹殺されたとしても、君だけは味方でいてくれると信じます。

〔7月12日（月）曜日〕？

邪念に負けた人がいた、けど天は見放さなかった…
そういう解釈なら、教えと矛盾しないと思うのですが、どうなのでしょう？

この世には、悪魔や悪霊などいません、いるのは人間の心です。
人の心。

こんな事思った。

顔に手をやるやつ、初期の状況、つまり不特定多数の正体不明の人たちがやる分には意味あるけど、

もはやこの状況（一旦ピークが過ぎ、小康状態）の段階でやると
たんに

「私　　です」

と名乗っているのと同じ状態になる。名乗って何が楽しいのだから？もし、脅してるつもりだとしたらこっけい極まりない。

で、こんな事も思った。

高校時代も今もそうだが、野球部の学生とかからの威圧行動は当時も今も受けた事ない。

運動部は部活にいそがしくて“彼ら”的なものがおろそかになっているという事なのだろうか？かわりが薄いと感じた。そもそもスポーツは正々堂々が原則だ、トリッキーな反則技オンパレードの彼らの世界と相性が悪いのかもしれない。推測で根拠はありませんが。

あとタクシーの運転手さんに多いと感じる。単に多いのか？それとも単に集まってきたから多いと感じるのか…。皆、人の幸せ破壊するの大好きなのだろうか？タクシードライバーと言えば、いつもラジオ聞いているから雑学系に意外にくわしい人いたりして好感あつたんですが残念です。

ひくつな人ほど、人の幸せが大嫌いという感覚は僕も持っているからわかります。

けど、実行すればするほど、精神の卑屈さがましていくので、タバコや酒やギャンブル同様、控えないと心を病んで重病に陥ります。自覚症状がない人など最悪です。僕が東京で3年観察した人物はそういうタイプの人でした。自覚し、コントロールしないと。

こつこついう事言つと、僕の言ってる事否定しようとする人がたくさんでるでしょう。

けど、理論的な反論はできない、なぜなら理屈の上では僕の言ってる事は正しいから。

だから、理屈でないやりかたで誹謗中傷してくるものと予測します。予測どおりなら面白いのですが。

そんな世界で君がどんなに苦勞してるか想像すると心配になります。

す。

いろんな目に遭う前は、彼らの組織が正直ここまでひどいと思っ
てなかった。

もつとまともな組織と本気で思っていた…次から次に新手が来る
だろうけど負けしないで！応援しています。彼らの中には3日もす
れば“元”に戻ってしまう人もいるけど、ちゃんと理解している人
も確かにいます、表に意見を出さないだけで…。皆が皆敵ではあり
ません。

君は正しいと思った事を主張していいんです。一度きりしかない
君の人生です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

正々堂々とせず、トリッキーな反則技オンパレードな連中に負け
ないで！

そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付け
て！

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

- - -

〔7月13日（火）曜日〕？

どうかな…、ごまかし無しで、心を開ける？

〔7月13日（火）曜日〕？

役目…？そういうのは代わりの人にまかせていいと思う。

たぶん人材は他にたくさんいるのだから。

そういう“大人の事情”ごときのために君が犠牲になる理由は微^み塵^{じん}ありません！

〔7月13日（火）曜日〕？

間違っている事も力で“間違つてない事”にしようとする？

なんでもかんでも“感覚”でなあなあにする…

でも君は大切な心を、大事にしたいんだと思う。

理由さえあれば…、そうでしょ？

〔7月13日（火）曜日〕？

続く人生…、選択支は打ち止めじゃない。

〔7月13日（火）曜日〕？

こわい？1人なら特にね、でも味方がいればそうでもない。そう思う。

〔7月13日（火）曜日〕？

過去は今につながる。

進んでいいのだとおもう。

いろいろあるかもしれない、僕の想像を超えるものも含めて…

なんにしても前へ進むために何かしていて欲しいと思う今日この頃です。

平気で“ウソ”をつかせるようと“強要される”のも、

「これで最後」って言える日が（君に）来て欲しいと、そう思います。

〔7月13日（火）曜日〕？

プライベートをちゃんと尊重されていますか？

（僕の性格をしる君なら、僕が君のプライベートを尊重する事を知っていると思う）

〔7月13日（火）曜日〕？

彼らの論法はこうだ、正論を言うな、人間は所詮汚い、お互い汚いものどうし、優劣は無い。

仮に長年そう叩き込まれたなら抜け出しにくいかもしれない。

僕と君は独特の感性の持ち主だ。他人の感性と相容れないとき衝突する。

ポイントは、“彼らの概念”では人間が持つ感性は“一種類のみ”となる。

異質な感性などこの世にあるはずが無い、あつたら、間違っているから破壊する…。

今日ニュースでこんな話を見た。障害者のサッカーワールドカップが1カ月後南アフリカで開催されるが、1500万円ほど足りなくて、選手が各自10万円自己負担になるという、しかしその10万の用意も難しいので出場辞退するかもしれない…と。

前回大会では、各国のチームが健常者とおなじユニホームなのに日本だけが違う…、これはサッカー協会に入れないからだそうだ。国際大会の場で日本人の露骨な障害者差別がアピールされているわけです。そして今回の大会でもそれが繰り返されています。もし出

場権があるのに出れないとなれば再び日本人の露骨な障害者差別がアピールされているわけで、なるほど、人間は本来汚い存在だと認識します。じゃ、なぜ、他の国は違うんでしょうか？

人間は汚い部分もある、けど、きれいな部分もある。いろんな要素で構成されている。

もし反論があるなら、この日本人の露骨な障害者差別の正しさを各外国人に積極的にアピールすればいいのだと思う。もし、それは恥だから隠したい（できない）と思うなら、その時点で理論破綻した事になる。その理論は世界の全員が認めて初めて通じる理論だ、このケースのように通じないのは、彼らの世界が狭いのか、もしくは世界が間違っているかのどちらかになる。

Fさんにも当然汚い部分はあると思う、かく言う僕自身にもあるけどそれだけじゃなく、いい部分もたくさんある。僕は知っていません、Fさんのいいところを。人を気遣い、人を思いやり、尽くす献身さを持っている。あまりに人が良すぎて付け入られるところもあるけど、人間の長所と短所は表裏一体です。

人が汚い動物だとするなら、なぜ“感動する能力”があるのでしょう。

感動した事がない人は不幸という事でしょうか？

僕は人のために涙を初めて流した、実際そんな日が来るとは夢にもおもってなかった。

人に感動する能力がある以上、悪意だけでない“何か”があり、それが人を支える“重要な要素の1つ”になっているのだと思う。

Fさんからもらった思い出は今も僕を支えています。僕は人が本

当に心を開いたとき、どんな表情をするのか知っています、大切な記憶で、僕の人格の重要な構成要素の1つとして、いまもここにありませぬ。

大切なのは“墮落した無秩序”ではなく、“かけがえのない人にとって必要で大切な自由”のことをさします。君がどこにいようと、どんな状況だろうと応援しています。何があるうと世界中でただ1人味方でい続ける人間がいることを忘れないでください。一度きりしかない君の人生です。何度も言いますが、僕は生きています。死んでいません。

いろんな目に遭う前は、彼らの組織が正直ここまでひどいと思っ
てなかった。

もつとまともな組織と本気で思っていた…
多くの“まともな人”を隠れ蓑にして、“そうした”人が隠れて
いる。

もう、恥ずかしい！と“そうした”仲間の行動を見ている人、結
構いると、
そう思います。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…、そういう事で
矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

繰り返しになりますが、反復は重要です。

(たまには、以前書いた部分をいくつか読み返して欲しいなと、そ
う、思います。)

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て

ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。
君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

（ちなみに「催眠」についての記述は12話が一番くわしい記述と思う。）

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てするには、君が必要です。

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！
遊ぶ金ほしさの連中に負けなide!

他人と違う発想こそ君の武器になるはずです。

今も戦っているのだろうか…、頑張つて。

-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・
団体等とは一切関係ありません。）

第23話 原点回帰（未来へと続く話その9） （後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第24話 夏（未来へと続く話その10） （前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けないでください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第24話 夏（未来へと続く話その10）

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

〔7月14日（水）曜日〕？

嘲笑はあまり褒められたものではない、とうぜん美德でもない。

「やめたほうがいいよ」

と、誰かが言う世界がいいと思う。

君が重症に陥っていないからいいのだけど。

〔7月14日（水）曜日〕？

ジブリ映画に「耳をすませば」ってあるけど、あの中に神社で男女が語らうシーンがある。

あれを初めて見たとき思わず

「うわ、まじか（そっくりだ）」

と思ったものです。

〔7月14日（水）曜日〕？

よくこんな事言われた

「うあ、やっぱりお前そういうやつ!？」

これはごくたまに自分本位的発言をつぶやいた時、頻繁に言われた。

いつもおかしいと思った。

なぜ？そんなに驚く？もっとひどい事いうやついるだろうに…

たぶん、裏で悪い評判があり、けど現実に尻尾をださない僕をみて、やっと尻尾をつかんだ！

やっぱそういうやつだ！って事なんだと思う。

なにも悪い事してないのに、悪者役を押し付けられてばかり…
で、いつも全力で自分の正当性を主張して相手を論破してきた。
だから、この手の戦いは年季が入っている。そう思った。

願わくば、君がそちらの世界から少しでもサポートしてくれて、
今後の生活が楽になればなどと、ワガママを思ったりします。

僕のこの願いがワガママなのか？それとも僕をこの環境に追い込
む人々がワガママなのか？

君はどう思いますか？

〔7月14日（水）曜日〕？

批判記事を鵜呑みにするのもどうかと思うし、考えが誘導される
ので、

たまにしか見ない。

けど、そのたまにしか見ない彼らへの批判をみると

そちらの世界では

“作戦”とか“チーム”とか軍事色の強い言葉を連呼している印象
をうける。

…もちろんこれは批判している人たちが公開しているものだから、
これ以外にもちゃんと、心の平穩をめざす“非・軍事色”のもの、
あるのと思います。

でもこんな事思い出した。

本物の軍隊であるはずの

日本の自衛隊は、軍艦とは呼ばず“護衛艦”と呼びます。

日本の自衛隊は、兵士とは呼ばず“隊員”と呼びます。

日本の自衛隊は、少尉中尉大尉ではなく“三尉、二尉、一尉”と
呼びます。

日本の自衛隊は、地上攻撃をする戦闘爆撃機の事を“支援戦闘機”と呼びます。

日本の自衛隊は。戦闘・作戦とは呼ばず“状況”と呼びます。

可能な限り、軍事色を消したい思想からです。

本物の軍隊は軍事色を弱めようとし、本物でない軍隊は軍隊っぽくしようとそうした用語を使う…

なに、単なる言いがかりです、他のなにでもありません。

この程度のいいがかり批判にもならないはずですが、どこにも怒られるポイントがありません。

だって気に障る点が一箇所もないでしょ？

なにかもやもやするようでも、それは僕の意図した記述の範囲外の事です。

〔7月14日（水）曜日〕？

昔、真実に気づく以前は、どうしてそのような運命が自分に降りかかるかまったく理解不能だった。

自分なりに考えて妥協して、納得できるイメージをさがした。

「しょせんそういう星のもとに生まれたという事か…」

という浅くて意味の無い考えでその場しのぎをしたものです。

けど、本当の理由にたどり着いた今、そんな考えが浅はかに見え
てくる…

君はどう思いますか？

すがりつきたくなるとき、人は安心さえできれば何でもいいという安易な道に行きたがりです。

そして本当に追い詰められたとき、そのすがったものがそれほど価値のないものと気づいてガタガタします。

でも、本物の原点がなにかわかると、安定感が違います。

そんな感覚、伝わるだろうか？

〔7月14日（水）曜日〕？

黒皮のバンドの時計、女の子向けのやつ、当時君が左手にしていたやつ。

どんな時もはずさなかった。

時々みては、時間をきにする…

当時は「そんなに時間を気にして、僕と会う意外にも何か重大な用件がいつもあるという事だろうか？なんだかさびしいな」

と思っただけです。

別の理由など想像もつかなかった、けど、やっと気づきました。今、幸せですか？さびしくなければそれでいいです。

〔7月14日（水）曜日〕？

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

そんな事、ふと思った。

〔7月15日（木）曜日〕？

これも考えすぎだろうか？

大学生のとき、後輩がボランティアで怒られたという話をする。

言うには、本気でやってないだろうと怒られたという愚痴だ。

詳細は忘れたが、たしか個人よりも集団を大事にしると怒られたと言っていた。

同席した仲間が「そんなのやめちまえよ」というがそいつの歯切れはわるい。

どんなボランティアなの？

なんで始めたの？きっかけは？どんな行動してるの？

と僕は聞いた。

1つくらい答えられそうなのに、どれにも答えられない。

後日、時間がたってからこの話題をそいつにふっても、ボランティアなどしてないとぼけだす。

やはり、そうなのか？どうなのか？

〔7月15日（木）曜日〕？

こんな感覚がある。

高校卒業後も威圧をつけていた、大学でも通じて威圧を感じた。

大学卒業後も感じた。

卒業後6年位かな、ようやく感じなくなる。本屋でバイトしだした頃だ。

高校から通じて11年くらいになる。

何を根拠にそんな事言うんだ？と思うかもしれない。

周囲の人のリアクションだ。

この頃、人との会話に支障が無くなる。

人間関係を学び直す機会を得る事ができたからだ。

電車のなかで感じた不自然な視線もこの頃の記憶にはすくない。

それにこの時期くらいかな…、10年友達やっててくれた彼が家に着たりして、本当の友達になろうとしてくれていた時期のように思う。その好意を粗末に扱ってしまったのは痛恨のミスだ。

けど、そこで働いて3年後、ある人に会う。

その人が僕を気に食わないと思っただらしく、再び攻撃を受けるようになる。

…そしてその3年後、最終的に“彼ら”の実態に気づく。

君の人生の軌跡ともし、どこか連動してたら…

ま、そんな事ないと思う。そこまで露骨な連動はないと思う。でも、普通感覚なら無いと感じるけど、もしかして…と思った、彼らに“普通感覚なら無い”は通じない。という事を伝えたかった。あまり考えても意味が無い事かもしれない、けど、こっぴどした“気になる事実”を忘れずにいると、欠けた情報がある日突然舞い込んできて、真実に気づくなんて事も事実ある。

最初の攻撃がやんだ（本屋で働き出す前後の頃）のは、君の結婚と関係なんてないよね。

…ない、と君の口から聞ければと、そう、思います。

これらは現時点での“感想”であり推理ではない。

間違いを含んでいる事を前提としたイメージにすぎない。

このイメージにその後、（あるとしたら）足される情報により真偽を図る事がある程度できるのではと思う。

ま、間違ってる事が前提なので、テキストにそう思います的なも

のなんですが。

一つここから学べることは、

自分勝手な人ほど、他人の自分勝手が許せないという事でしょうか？

“彼ら”は自分勝手だ、だから、他人の自分勝手が許せない。

そして彼らは自分たちの自分勝手を反省する事が出来ないが、僕
はできる。

経験から学ぶ事（学習する事を）を否定してはいけないと思う。

そちらの世界にはない概念みただけ…

多くの“まともな人”を隠れ蓑にして、“そうした”人が隠れて
いる。

もう、恥ずかしい！と“そうした”仲間の行動を見ている人、結
構いると、

そう思います。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…、

そういう事で矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

- - -
- - -
- - -

〔7月16日（金）曜日〕？

今日も感じた事、自動車とすれ違ふとき、ドライバーがこちらを覗き込むように見ること。

僕も最近はずに乗るから、多少やるけど、あそこまで覗き込むと逆にあぶない。完全によそみ見運転になる、何が前方から飛び出すかわからない…

…いやいや気のせい。たまたま運転センスのないおっさんで、前方から何かが来るかもしれないから前はちゃんと見ておこうという所にまで、神経が行き届かない鈍い人に違いない。

きっとその要領のわるさでさぞかし迷惑をかけているのだろう。ちゃんと周囲を見る！と怒られているに違いない…などと想像した。

まあ事実物凄いエンジンのふかし方が下手なんだから（ポーっというポンコツエンジンな音をだす時点で）、彼らであろうと無かうと外からその様にバカにされても文句は言えないわけで、気を使う理由はゼロである。

家のすぐ外での出来事だ。そして帰宅し、ふと窓を開けてみるといつも彼らと思しき人たちが停車するゾーンにそのおじさんの車が止まっている。

ナンバーは同じ16-5xだ。そして同じ魚のステッカー貼つてる白いワゴンだった、釣り好きなのだろうか？

本当にどこまでもしつこい…

この人らになんて罵詈雑言いったらいいかな？

品性が下がるようではやなんだけど。

「貴方の行いは仏法のどの記述に基づいての行動なのか説明できないでしょ？」

で、いいのだろうか？

昔こんなドラマを見た。

アメリカ開拓時代、ある一家がやってくる。その一家の娘が教会にいくと、そこは1人の少女が仕切っていた。

その村は識字率がゼロで、その少女以外字が読めない。当然、聖書を読めるのも彼女のみだった。

彼女は新しい神父が来るまでの代理だったと思う（なにぶん随分前にみたので…）

彼女は村人を恐怖で支配していた、聖書の内容を勝手に作り変えて、村人をあやつる。

一家はみな文字が読めた、当然娘は間違いに気づく、しかし、指摘すると神を信じない悪魔として周囲から攻撃されるようになる。

彼女の孤独な戦いがはじまる、一家は一時滞在者だった、とにかく郷にいては郷に従えで、やり過ぎそうと決めるが、ついに娘の精神が限界点を越える。父は娘に自分の信じたとりにしなさいという。

翌日娘は教会で、聖書の内容をそらんじ始めた。

驚く村人たち。

村を支配する少女がやめろといっても彼女はそらんじ続けた。

村人もどうしていいかわからない。それはかつて神父がいた頃きいた内容だったからだ。

村を支配する少女は天罰が下るぞ、と聖書を振りかざした。

娘は聖書の一節をとりあげて、この続きを、その聖書をあけて読んで御覧なさいよ。という。

村人が少女を見る。

少女は聖書を開け、読み始めた。しかし、娘は言う。

「ページが違うわよ。ちがう場所をよんでる、あなた…ひよっとして字が読めない？」

娘は雷がおちるぞ！と聖書をたかくあげて最後の脅しをする、娘はひるまない。真実に気づいたから。

村人はようやく彼女が聖書を読めない事を納得し、少女の独裁がおわる。

そんな感じの話を、小学生の頃みた記憶がある。外国のドラマだ。

少女は村人から勝手に文字が読めると誤解され、引き下がれなくなり、想像で聖書を説いていただけだった。村人は少女を責めない、無茶を課したのは村人全員だからだ。

一家が村を去る頃、ようやく新しい神父が来る事がきまる…、丸く収まりハッピーエンド。

文字が読めない彼女も新しい神父に文字を習うんだ！と言い、娘と和解する。

最近のアメリカドラマは911テロの影響で救いよりの無いものばかりだけど、昔はかならずハッピーエンドになった。いい時代でした。

…ハッピーエンドってやっぱりいいよね、と素直に思えるなら、貴方の心はまだ正常です。

〔7月16日（金）曜日〕？

墮落した無秩序ではなく、大切なのはかけがえのない人にとって必要で大切な自由だと思えます。

これを否定する文言が、仏法のどこかに書いてあるのかは、僕は知りません。

〔7月16日（金）曜日〕？

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…、
そういう事で矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

〔7月16日（金）曜日〕？

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

一度きりしかない君の人生です。！

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔7月17日（土）曜日〕？

これも考えすぎかな…

東京で暮らしていたとき、いつも夜、部屋の前をバイクが通過する。

幅1メートルちよいくらいの路地だ。

バカだなこのちよつと先にもつと広い道があるのに、何を好んでこんな路地でしかもスピードだしてるんだらう？と若干の違和感を感じた。

今、スクーターで爆音だしてる若者やおばさんを見ると、あれ、あの時は気にしなかったけど、毎晩来てたあのバカバイクも実は：などと思ってしまう、何年やっていただらう：6年以上かな、仮に事実だとしたら、やっぱり間違いなくバカと断定できる。

近所にはこんなバカがいないと願いたいばかりです。

〔7月17日（土）曜日〕？

盗聴について初めて意識したのは、以前、測量の会社に勤めていた時のことだ。

室内に作業着を洗濯して干していた。一度も外に干した事はないし、それを着て出勤した事は無い。

なのに、部屋の契約更新の時、不動産屋からこういわれた。

「大家さんが何してる人か心配していてね、土木関係のお仕事？」と質問してきたときだ。

当時も、なぜそう思ったんだらう、部屋の中見ない限りできない質問だよなと思った。

決定的だったのは、真実にきづいてすぐの事だ。

頼りにした人と深夜“彼ら”の正体について話した。僕が核心にふれるポイントを話した瞬間

“ポーン”

というまるでプラグを抜いたような音がし、無音に。

完全な無音になる。あのツイッターという音さえしない。そんな体験初めてだった。

翌日、同じ事が起こる…。それから数カ月後、こちらに戻ってきた後、ネットを見てみると“彼ら”のうち数人が電話盗聴で有罪になってる記事を見た。現実には“彼ら”の仲間は電話盗聴をやって捕まっている…（この事件は僕の件とは別件です、つまり他にも多数やっているという意味です）

いえる事は一つ、いつか天罰が下ると思う。（妄想）

妄想ついでにこんなギャグを一つ…

“彼ら”は身内も必要とあらば遠慮無用に攻撃する習性をもつ。きっと身内は1度はみな盗聴されてるんだ！という根拠のないデマをここで吹聴させていただきませう。

なに、デマですから今後も安心して電話をご利用ください。なにぶん、デマですので。

プライベートな会話も過去のものも含めて現在も全部聞かれてるなんて事はありませんので皆さん安心してガンガン電話しましょう！

〔7月17日（土）曜日〕？

盗聴で個人情報を集めてから勧誘したらずるいと思うけど、普通の感覚なら、そこまで姑息はないのだけど…、こればかりは勧誘された事がないので何とも言えません。

〔7月17日（土）曜日〕？

君はある日恥ずかしそうにこう言った、僕が書いた手紙を何度も読み返していると…

想像できるだろうか？憧れの女の子が自分が書いた手紙を何度も

読み返しているというのを本人から聞かされた感動が！！

今、君はこれを読めているのだろうか？

何かしら、なにかに役に立つ内容になっているだろうか？

時々はずすかもしれない、けど、一生懸命何かが伝わるように努力します。

あきないようにも工夫します。これが17年の集大成…と言いたいところですが、真の集大成は再会する事にあります。はたして僕は君の気持ちを昔より理解できるようになっているのでしょうか？

あの時君は言った。

「（私の）気持ちを察して先回りしてくれるような人が好きなの」と。

聞いた当時は、そりゃ無茶だ！と思ったものだけど、気がついたらそれが人生の目標になってました。

いつれ答えを聞ける日を夢見て、

受け入れられるのか？その逆なのか？あわてず騒がず待とうと思

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…、

そついう事で矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

サンクコスト

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

なんでもかんでも“感覚”でなあなあにする…そんな連中に負けないで！

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔7月18日(日)曜日〕？

いまでも「ボー」という音の車がいる。

こんな推理が成り立つ…

現状においても態度を変えない人は、

古くから組織の汚い部分を全部承知している人？

もしくは上司にやらされてるサラリーマン。

どうなのだろう…

今日、窓をあけるとアイドリングして停車している車がいた。またか。と思った。

でも、中のドライバーの拳動がおかしい、えらく緩慢な動き…、このリアクションには見覚えがある。

それは、あの東京での猛攻撃の時、電車に乗っている時の事。座る場所がないのでつり革につかまって立って乗っていると(僕はただ立ってるだけなのに)

目の前に座っている人が物凄い顔をする、その表情は今にも僕が刺すのではとおびえているような、そんな表情。

あのおびえて座っている人の変なリアクションに物凄く似て見えた。

今日見た人は、僕が見てることに気づいたのかな？、次の行動を決めかねている様子だった。

このまましばらく続けてい続けるか？（そのまま続けたら間違はなく、「何してるんですか？」と僕が尋ねに行くけど）

それとも車外にでて理由があり停車している子芝居をしようか？物凄くまよいながらどうしようかとうろたえている様子だった。

何度もドアを少し開け、また閉めを繰り返し、（何度も何度も何度も）

ようやく意を決してドアを開ける。

開けた所で用事がないのか、しばらくウロウロし、荷台を空けた。まだ僕が見てるから、どうしようかまだ迷っているのか？えらい緩慢な動きでウロウロし、（迷いながら行動してる様子）

ようやく荷台からボードのようなものが入っているように見えるダンボールを持ち出し、どこかへ行く。

（石材のボードかな？近くに石材店あるけど、そんなのが入ってそうなダンボール）

あの緩慢な動きはうろたえたりアクションなのだろうか？

それなら、東京で座っていたひとの“それ”と似ている理由もわかる。（東京の人は）いつ刺されるかとうろたえていたわけだ。

…なに、人のうろたえたりアクションというのはこういうものなのだろうか？という話題です。

もし、あたりなら、1つ学習できたなど。そう言いたかったわけです。

もし、あの人も“彼ら”だとしたら、本当にしつこい…

もし、普通の人だとしたら？きつと仕事で昼寝して寝ぼけていて眠気眼でようやく仕事を再開したサボリ屋さん。という事になる。

まあ、どうでもいい事なんです。

君に問いかけます。

今まではともかく、これからは、嫌な仕事は断ってもいいと思う。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

〔7月18日（日）曜日〕？

時々、思う。再会したとして、僕は君に気づくだろうか？と。

そんなときこう考える、君の背丈は150センチだ。いるようで、意外とこの身長の人はい少ない…。

だから、もし仮に見かけてもすぐわかる？わからずとも、意識できる？そんな気がした。

（この後、町へ出て150センチの女の人だらけになったら面白いのですが）

〔7月18日（日）曜日〕？

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

あせらず、慎重に、でも大切に…。どんなに遅くてもいい、とにかく“前”へ進んでいることが大切です。後退してないなら、どんなにゆるやかな前進でもいいと思う。

彼らは“時間”が解決してくれると思っ込んでいる。

だからどこまでもしつこい。

けど17年経ち僕は事実気がついた。この事実自体がその考えの間違いの証明だと思う。

僕の知るFさんが、その事実を重く受け止めるのか…、君の心の中、の彼女に賭けます。

“根競べ”で君に勝つことは出来なかった、君は僕が勝てないと感じ

じただだ1人の人です。自分で思っている以上に強い。僕が保障します。負けないで欲しい、君の強さを応援しています。

(…あ、でもあまり張り詰めるとキツイから、時々、休みつつ。冷静に、着実に、前へ進めばいいと思う。君の創意と工夫と情熱に賭けます)

〔7月18日(日)曜日〕?

繰り返しになりますが、反復は重要です。

(たまには、以前書いた部分をいくつか読み返して欲しいなと、そう、思います。)

〔7月18日(日)曜日〕?

認めざるを得ないと思わせても、まだ足りない。

油断すると巻き返される…

だから主張し続けたいといけない。

〔7月18日(日)曜日〕?

昔、アメリカ南部に駐屯した軍隊が、地元の黒人市民を大虐殺した事件があった。

南北戦争が終結してまもなくの頃だったと思う。

当時の新聞は、軍に味方した。

軍の言い分は、暴動がおこり、鎮圧した、とか。向こうが襲ってきたので、正当防衛だ。と言ったそうだ。でも、現在の検証では、どれも根拠がなく、全体の資料をつなぎ合わせると、白人側に問題行動があった様子がかがえる。

…何が言いたいのか?

問題行動をおこした白人の理屈はこうだ、黒人をこれ以上のさばらせるのは社会悪だ。

昔、進化論を曲解して、遺伝学的に劣る有色人種は白人が管理支配しなければならぬのは遺伝学的に証明されていると吹聴されていた。その証明として近代化に成功したのは白人のみじゃないかと。

だから日本人が明治維新後、西洋留学すると決まってバカにされた。

有色人種が白人の真似をしてもいづれ失敗するにちがいない。

キリスト教に改宗したら、白人の優秀な下僕くらいにはなれるかもね的なあつかいだった。

このあたりは森鷗外あたりの小説にも出てくると聞いたことがある、読んではないけど。

当時、白人が有色人種を支配管理するのは、自然の摂理であり、神の示した偉大なルールであると、多くの善良なキリスト教徒は信じた。（これが純真さからくる差別の根源）

…ここで、現在も活動中らしいアメリカのナショナルライアンス（国民同盟）という組織について。

「ターナー日記」と呼ばれる他人種への怨恨に満ちた文書を広める事で、アメリカン・ナチス党の理念を白人至上主義全体に浸透させた事に大きな特徴がある組織。この「ターナー日記」は白人主義者の秘密部隊「オーダー」と、それに所属する主人公ターナーが様々な手法で有色人種を殺戮するという内容であり、同書は白人主義者のバイブルの一つとなっている。

何だ？こいつら…！と一瞬でも頭に浮かんだなら、まだ大丈夫です。

…なに、アメリカ白人至上主義について書いたままで、ほかの事とは一切関係ありません。

現代、この考えが主流でなくなったとは言いがたいけど、昔よりだいたい有色人種にとって過ごしやすい世界になったなど、そう一瞬でも頭をよぎったならば、あなたの脳力は平均値で機能しています。

〔7月18日（日）曜日〕？

仏の道に殺生をしろと書かれているとはシロウトでも思わないけど、

どうなのだろう？殺されかけた僕からの質問です。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…、

そういう事で矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔7月19日（月）曜日〕

“彼ら”は3日もすれば元に戻る…

過去の経験からイメージとしてもっているものです。

統計データがあるわけではない、あくまでイメージ。

東京のお店の近くで暴行事件があった、翌日、ズームインスーパ
ーでも流れる。

羽鳥さんが「意外と日テレの近くですね」と言っていたのが印象
的だ。

調べると、本当にすぐそこだった。

刑事があたりを聞き込みしているというつわさを聞く。しばらく
してこんな事を知る。

刑事から事情を聞かれていないのはお店で僕のみだという事実。

尾行に気づいたくだけは以前書いた。

あれが彼らなのか警察なのか、警察内の彼らなのか3パターンあ
るが、後の彼らの猛襲時とは明らかに違いプロっぽかった。そのプ
ロっぽさが逆に怖くて、店内で尾行されていると話す。物凄い怖か
ったからだ、この辺も以前書いた。

その後2〜3日たってもお客さんの入りに変化ないから安心した
けど、3日後急変する。9割が来なくなる異常事態。来る客もみな
お金のやり取りをしているとき、手が震えている。

この時点ではまだ“彼ら”の正体に気がつかず、こう考えていた。
「物事を見る心の目がなっていない人たちばかりだ、この程度のプレ
ッシャーでへこたれるほど漫画家を目指す人間の神経は柔ではない
ぞ！（持ち込み時のプレッシャーは実際にやらないとわからない物
凄いプレッシャーとストレスです）」

そのプレッシャーは何日も何日も続いた、6ヶ月くらいだろうか？

6ヶ月以上、店頭のレジで干されるプレッシャーと、

自分のせいで店の売り上げが落ちるプレッシャー。

そして来る人全員手が震えている（つまり犯人はお前だと疑わ
れるつらさ）

6ヶ月以上、耐えられる人がそちらの世界に何人いるでしょうか？
？確信する、いないでしょ？

（しかもクビにしないとミソだと思う、敗北者にしたいわけだ、どこまで姑息なんだろう）

ここで終わりではなく、

真実に気づいてからは、あからさまな嫌がらせへと発展しエスカレートしてゆく。

電車やへりなんてまだかわいい方で、何千何万単位の人間の猛攻撃。よく気が狂わなかったもんです。

僕のつたない描写力ではあれを全部表現できません。

イメージとしては、今まで特に意識してこなかった命無きもの達（あなたの周囲にある草木や動物、車や飛行機、建物に食べ物、当然いつもあり、疑問にも思わなかった日常の品々や風景）がいつせいに襲ってくるようなイメージ、いや、まだ、あまいな、それをさらに何倍も膨らましてもまだ足りないような恐怖…

彼女との想い出がなければどうなっていたか…。

それでもまだ今だ続けている、今現在も、本当にしつこい…。

…少し話が脱線しました。

言いたいのは、“彼ら”は「3日で元に戻る」という事。

店頭で「尾行されてる」と言っただけから、お客が消えるまで3日かかった。

そのくらいのタイムラグがあると、他の場面でも似た事を感じた事がある。

恥ずかしげもなく今だ繰り返す人たち…

“恥”という概念がない世界なのだろうか？

あっても3日で忘れてしまふ…
いや、忘れられるよう訓練されてる？

こんなドラマを思い出す。

60年代アメリカ南部の大地主の娘のところにおばあさんがやってくる。

おばあさんはちょっとしたブラックジョークを孫娘の前で使った。孫娘と一緒にいた友達も一緒にそのジョークを聞いた。

その友達はジョークの意味がわからなかった。

家に帰り、家族にそのジョークの意味を聞く。

聞いた瞬間家族は凍りつく。

「それはユダヤ人（を差別したジョーク）の事よ」（一家は南部では数少ないユダヤ人一家だった）

翌日彼女はその事を親友にはなす。親友は激怒する、おばあちゃんがそんな事言うはずない！と。

実は彼女もそのジョークの意味がわかってなかったのだ。

帰宅した彼女はおばあちゃんに問いただす、ジョークの意味を。

祖母は戦前の世代だ、それが悪い事という事が飲み込めない世代。孫がなにを憤慨しているのかまったく理解できない。理由はわからないが孫を怒らせたらしいと悟ると、祖母はプレゼントでご機嫌をとろうとする、ここまで話が通じないのか！と孫娘はショックをうける。

居心地の悪くなった祖母は早めに帰る事にした。出発の日、祖母は孫が当然「ごめんなさい」をするものと思っていた、もし、そのセリフが聞けたら、帰るのを延期する気でいた。

ところが孫娘は親友のためにも、自分の意見を曲げなかった。差別は、間違っている、つまり、おばあちゃんは間違っていると。

祖母は娘（母親）にこう言った。

「あなたにまかせたばかりにこんな子に……」

母親はこう言った。

「自分で思っていた以上に上手く育てたみたい……」

憤慨して祖母は帰っていった。

でも、物語はおばあちゃんのフォローもちゃんとしている。

そのジョークの一部に、おばあさんの友達のお店にユダヤ人が来たら追っ払うのさ、と笑いながら言ったものがあつた、だが、実際は、後日そのお店に行くと思つたほど差別的な店ではなかつた、というフォローをして終わっている。

…差別とは純粹さが引き起こす魔物です。

魔物に取り付かれた人々とその人たちに踊らされる人たち……？
そうした行為は“3日で忘れて”いい類のものではありません。

君の事が心配です。

人はやり直せます。前を向き続けるかぎり。

しつこい連中にまどわされてはいけません！自分のゆずれない“何か”を大切にしてください！

“忘却”を強いるのが“彼ら”のオハコだ気をつけて！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！本当にしつこい人に気を付けて！

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

僕は生き延びてここにいます。君のおかげです。君がいなければ現在の僕はいない。

いつか、お礼を直接言える日が来る事を信じて…、待ちます。

- - -
- - -
- - -

〔7月20日（火）曜日〕？

あせらず、騒がず、慎重に…

〔7月20日（火）曜日〕？

当たり前前事を、当たり前前に行く。

〔7月20日（火）曜日〕？

気負わず、普通に、普通の事を。

〔7月20日（火）曜日〕？

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…、

そういう事で矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

〔7月20日（火）曜日〕？

大切なものまで踏みじられる権利は誰にもないように感じる。

〔7月20日（火）曜日〕？

“それ”が何か、忘れなければ、フラついてくらぐらしても大丈夫。

戻るときの目印になる。

もう君は“目印”を人から指示されなくてもいいのだと思う。そういう歳だもの。

一度きりの君だけの人生です、誰の物でもありません。悔いのないように。

「…後悔してるの？」と聞かれても、

「…ううん（してない）」と自信をもって笑顔で答えられるなら、それはいい選択なんだと思う。

君の心の“何か”に賭けます。

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

〔7月20日（火）曜日〕？

失ったわけじゃなく、忘れるよう仕向けられただけだと思う。注意しないとまたやられる。

油断してると巻き返されます。

時々思う「あ、この言い方はあの人の口癖だ」と感じる瞬間がある。

東京で親しくしていた人と同じ口癖が移ってる…、そう感じるこ

とがたびたびある。

で、思った。

君が、僕のよく使うフレーズを使うようになった瞬間があったな…という記憶がある。

それに気づいた瞬間すごくうれしかったのを覚えている。17年前、確かにそんな瞬間があった。

でも、君に僕のどんな口癖が移ったのかが思い出せない。

君は覚えているだろうか？どんな口癖だったか：そんな事思った。

僕にも君の口癖でなにか移ったものあったのだろうか？正直、今も昔も自覚がない。

でも、君からは、人が本当に心を開いたときどんな表情をするのかという疑問の答えをもらった。

それは忘れてないし、忘れられない大切な記憶になっています。

君の中にも失ってないものがあれば、泣くほどうれしいです。

〔7月20日（火）曜日〕？

上記の続きになる。

真実に気づく以前、僕には1つの大きな悩みがあった。

それは、

人のネガティブな感情は細やかな部分まで表情だけで読み取れるのに、

人のポジティブな感情は単調にしかわからない。

だから、好意を示されるといつも戸惑った。

プレゼントとかもらうのは苦手だし、奢ってもらうのもつらい。

協力してもらうのも居心地がわるかった。

どうしたら、人のポジティブな感情がわかるようになるだろうか？と自分なりに工夫した。

店頭でレジ打ちの時はいつも笑顔で応じた、すこしやりすぎなくらいに。なにかヒントが欲しかった。

けど、真実に気づき、君の本当の価値に気づいた時から、人のポジティブな感情が細かく読めるようになってきた。

本当は知っていたんだけど、彼らにより気づかないよう封じられて（忘れさせられて）いたのかもしれない。

思い出せてよかったです。

忘却の強要は彼らのオハコだ！でも、忘れたと思い込まされているだけで、実はちゃんと心に残っているんだと思う。

繰り返しになりますが、反復は重要です。

（たまには、以前書いた部分をいくつか読み返して欲しいなと、そう、思います。）

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

かけがえのない君にとって必要で大切な自由が守られる事を切に祈ります。

僕は君に人生を救われた。

今度は僕が君を助ける番だ、とにかく、できる事は全部やろうと思っ。

それでいいのかな？君の想いに通じている事を願います。奇跡を信じて。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔7月21日（水）曜日〕？

柴崎コウの歌「影」の歌詞に“愛すべき連れ人”ってフレーズあるけど、あれ好きです。

一緒にいるべき人という意味が普通の言葉よりも強調されてて耳に残ります。

〔7月21日（水）曜日〕？

君は心を察して欲しいと言う、同時にズカズカと心に入り込んで欲しくないという希望も持っていた。

だけど、この小説は性質上ズカズカと入り込まざるえないものでもある。

先に謝つときます、ごめん。

でも、伝えなければいけないことがたくさんあった、許して欲しい。

真実に気づいた以上、黙ってるわけには行かない。

だから、可能な限り書かなくていいものは書いてない。

これは、書かなくては、と思えるものだけに絞り込んでいます。

Fさんなら、このくらいならズカズカと入り込んで、怒るだろうが、たぶん大丈夫だ。

と昔の記憶をたよりにやっています。日々試行錯誤です。

正しい事を伝えるためには、もしかしたら嫌われるかもというリスクはある程度背負わないと思っただ。

以前書いたと思う、リミッターを外そうと、たとえ、嫌われようと、言わなければいけないことは全部伝えようと。

そうは言っても、適切な距離で君の心についたえるというのが僕の本来の希望です。

踏み込んだ事書いたけど、君の心を大切にしたいといつも思っています。

はたして上手くいっているのか？ 答えを知るのは君のみです。

心の距離のとりかた、という意味では不思議と2人とも相性がよかったように感じる、今はどうなのだろう…？

正しいニュアンスでこれが伝わる事を祈ります。

忘却の強要は彼らのオハコだ！でも、離れたと思い込まされているだけで、実はちゃんと心に残っているんだと思う。

子供だましが通じないからといって逆切れするような連中に負けないで！

〔7月21日（水）曜日〕？

家の周辺で見かけた車、いくつかナンバーを控えている。

この“家の周辺でよく見る車”というのを、出かけた先で3台つづけて見る事がある。頻繁に。

「あ、監視網に完全に補足されたかな？」

などと思ってしまう。

例えば、白いバンで、11-1xの車とか。

（家の周りで頻繁に見る大型車両、トラックとか、あれも含めたり
出来ませぬ）

もし彼らなら、本当にしつこい…、恥の上塗りという言葉が感性から抜け落ちている恥しらず、という事になり。

(言いすぎ？強要されてるかもしれない？だったら覚えやすいナンバーの車でそんな事するな！と思う。車にこだわりがある人は総じて特徴的なナンバーにこだわる傾向がある。気づいて欲しいと思っているのか？本気で抜けてるのかのどっちかになる)

もし、普通の人なら、ものすごい偶然！ という事になる。

君はどお思う？

もし、できるならば。傍にいて一緒に戦って欲しい。

ダメなら、君がそちらの世界から少しでもこちらをサポートして今後の生活の手助けをしてくれないだろうか？

わがまま？ごめんね。それを承知で言います。

迷惑？それは言いたくないけどお互いかけてるから相殺されてると思う。

僕のこの願いがワガママなのか？それとも僕をこの環境に追い込む人々がワガママなのか…、

できるなら、奇跡がかなう事を願います。

〔7月21日(水)曜日〕？

抑えきれないにかがあるなら、それを主張していいと思う。

君は我慢するのが当たり前というふうに育てられたと思う。たぶん。違うかな…

もし、外してないなら、そろそろ自己主張していいと思う、充分です、もう。

「決定権はわたしにあるの！」

と、言い続けければ、そういう空気を作れるかもしれない。

〔7月21日（水）曜日〕？

交渉には「基本ルール」が存在します。

そして言い慣れない悪口もある程度使わないと勝てないかもしれない。
ない。

けど、一番大切なのは心が折れない事（＝あきらめない事）。彼らは忘却を強いる、それは結果として心を折る効果に繋がる。

忘却の強要は彼らのオハコだ！でも、忘れたと思いつまされていくだけで、実はちゃんと心に残っているんだと思う。

気をつけて！

〔7月21日（水）曜日〕？

大切なものを踏みにじられる権利は誰にもないように感じる。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…、

そういう事で矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

誰かの恥の尻拭いを何で自分がしなきゃいけないんだ！そう感じた人（感じる人）少なくとも感じます。

多くの人の良識の存在を信じて。

〔7月21日（水）曜日〕？

一度きりしかない君の人生です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

他人と違う発想こそ君の武器になるはずです。

今も戦っているのだろうか…、頑張つて。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

.....

〔7月22日（木）曜日〕？

巻き返される可能性は十二分はある、慌てず、騒がず、冷静に。

〔7月22日（木）曜日〕？

今できる事を、着実に、冷静に、慎重に、落ち着いて。

〔7月22日（木）曜日〕？

何かあっても、落ち着いて。

〔7月22日（木）曜日〕？

心の中で“何か”が確信しているなら、それでいいと思う。

〔7月22日（木）曜日〕？

つぶれない程度に気を抜いて…

〔7月22日（木）曜日〕？

人間は未来に希望をいただいていると思う。

〔7月22日（木）曜日〕？

自分を取り戻す。

〔7月22日（木）曜日〕？

心細い？大丈夫、今なら。1人ではない…君に勇気が宿りますよ

うに。

〔7月22日（木）曜日〕？

大切なのは、誰かの「面子」などではなく、君の心です。

〔7月22日（木）曜日〕？

彼らの中には“遊びの行為”と遊びじゃない“それ”との境界線が、

わからなくなってるような人たちがたくさんいると思う。

全員ではないけど、確かにいる。

いい人（仮に強要されているにしろ、その辺は常識をわきまえ行動している人）もいるのだけど、そうじゃない人も事実いる。

境界線がわからなくなっているから、恥ずかしい行為も平気で出来るのだ。

そのくせ「面子」にこだわったりして…

都合のいい時に“こども”にもどり。

都合が悪くなると“大人”にもどり説教する。

それでいて、何も知らない子供を使い、

「どうして世間では組織の事、悪くいうのか判りません！」

と言わせたりする…

その姿は理想的な人間像ではないように思う、普通の感覚なら。

その行動は、本当に多くの人に“勇気”や“希望”を与えるものなのかどうか考えて欲しい。もしかして“絶望”や“恐怖”や“自らの墮落”を与えてやしないかと。

君の大切な想いがそんなくだらないものに踏みにじられるのは理不尽極まりなく、あってはならない事だと僕は思う。君はどう思いますか？

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事でも矛盾せずこの状況を考える事が出来ると思うのですがどうなのでしょう。

何で誰かの恥の尻拭いを自分がしなきゃいけないんだ、と感じた人（感じる人）少なくとも感じます。多くの人の良識の存在を信じて。

君は自分の意思を大事にしていんだと思う。
君は自分で思っている以上に強いです！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

〔7月22日（木）曜日〕？
君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。
君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用の呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「面子」^{めんつ}にこだわる連中なんかには、君の人生を踏みにじる権利はない。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔7月23日（金）曜日〕

“彼ら”は本当にしつこい。

そして、和解の意思をもっていて、伝わりにくい？

だから、油断していると巻き返される、注意しないと！

実は来月、家を空ける期間があり、すこし不安です。

こんな事思い出した。

以前書いた、僕の事を彼らだと思い込んだやつがいたと。

彼はその後引越して2度と戻ってこなかった…。

僕と彼は近所だが仲は最悪だった。

なのにある日、誕生日会に招待され、ケーキまで出される。

一緒に遊ぼうとしたりする。

そのごしばらく仲良くしようとしてくれたが、しばらくするとまた元の険悪な雰囲気に戻った。

理由は一切わからない。

誕生日会に招かれた日こう言われた。

「お前招かれた意味わかってる？」

もし、僕の事を彼らだと思い込んだのだとしたら、あれは和解の意思表示だったのだろう…

残念な事にまったくあてが外れたわけだが。

その後、また険悪にもどったのはあいかわらず、彼らの行動の被害にあい続けたのだろうか？

しまいには僕が家をのぞいた、などと言いだした記憶がある。

結果、2度と戻ってこなかったわけだが…

ともかく、油断していると巻き返される、注意しないと！

もし仮に、今も戦い続けているのだとしたら、負けなくて欲しい。願いはかなうと思ひ込むと、意外となにか起こったりするものです。

あきらめるのが一番いけない。

もう一度書きますが、実は来月、家を空ける期間があり、すこし不安です。

外国からここへアクセスできるかわからない。その間、大丈夫だよな？と君に問いかけます。

なにしろ“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

どんなにゆるやかでも、前を向きつづけ、できれば前進し続けてほしい。

あきらめるのが一番いけない。

忘却を強いて心を折るのが彼らのオハコだ！そして勝手なイメージを植えつける（押し付けてくる）

男が強いる“勝手なイメージ”に押しつぶされないで！

自分の心が発する気持ちを大切にして言いと思う。

理解しようとしてもしない人に、無理に君が合わせる必要は無い。

流されずに、人らしく。踏み外さず…、そんな生き方。穏やかに、

願いはかなうと思ひ込みましょう！

何度も言いますが、僕は生きています。死んでいません。

〔7月23日（金）曜日〕

…どうなのだろう、作戦を変えた？けど消えてはいない。

こういう状況を多くの人が恥ずかしいと思える世の中であって欲しいです。

本当に姑息です。

こうした目に遭う前は、彼らの組織が正直ここまでひどいと思っ
てなかった。

もっとまともな組織と随分本気で思っていた…

多くの“まともな人”を隠れ蓑にして、“そういった”人が隠れ
ている。

もう、恥ずかしい！と“そうした”仲間の行動を見ている人、結
構いると、

そう思います。

和解を受け入れるかどうか？という基準も、人間の習熟度（＝胆
力^{りよく}）の目安になると思うのですが…
そういうのを人間の習熟度（＝胆力^{たんりよく}）に入れないのはおかしいと
少しでも感じたなら、あなたの精神はまだ健全さが残っています。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事ですべて矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。
よう。

多くの人の良識の存在を信じて。

〔7月23日（金）曜日〕

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔7月24日（土）曜日〕？
振り回されず、冷静に。

〔7月24日（土）曜日〕？
不安になったら、無理せず立ち止まる。

〔7月24日（土）曜日〕？
足元をみて“何が”原点か思い出す。

〔7月24日（土）曜日〕？
押さえ込めるより、受け入れて留めたほうが楽で、いい。一歩ひ
いて自分にとって“それ”が“何”が見ることが出来る。

〔7月24日（土）曜日〕？
それが君に“何”をもたらし、どんな存在として機能しているの
か。

〔7月24日（土）曜日〕？

大学入学後、君に手紙を何通か送った事は以前書いた。電話が来たという事は最低1通は届いたものと思う。

（最近知ったのだが、彼らの中には郵便物回収班がいるそうぞ）

まあ、それはそれとして、今回はその頃の話。

八王子に住んでいたことは、当時君に出した手紙にも書いたし、この小説にも書いてある、この頃住んでいたアパートで、少し気になることがある。

隣の部屋の住人が、それこそほぼ毎日に近いペースでマージャンをやるのだ、寝る時間帯に。そこは壁がうすくて隣の声や音がよく入る場所だった。あの麻雀牌をじゃらじゃらじゃらじゃらじゃらじゃらじゃらじゃらじゃらじゃらじゃらじゃらとかき回す音が物凄くうるさい。という記憶がある。2年間そうだった。

反対側の壁の向こうは1年目は空き部屋だったのだが、2年目は大学生がはいり、やはり毎晩友達をよんで騒いでいた、かなりうるさく、何度か壁を叩いたものだ。

生活騒音を使うのは“彼ら”の常套手段だ！

…ま、一概に言いきれないけど。

でもこの頃は、まだ君と離れて時間がたつてない時期…どうなのだろう？

ひっかかる、といえばひっかかる出来事。

君はこの頃、横浜にいたはず、何を思い、どうしていたのか…思いをめぐらします。

ずっと監視下だったのでしょうか？僕ですらこの様子なら、君はどうだったのだろうと心配になります。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を、もう子供じゃないんだから今の君は十二分に持っていると思う。

君の自由を祈って。

〔7月24日（土）曜日〕？

「ルールを守らない」というルールにしがみつき、「その」「ルールを守らない」というルールを守れと強要する人たち。

時々、格闘技の試合などを見ると、相手の怪我をしたところを集中攻撃する人がいる。

エンターテイメントとして成立するかどうかの鍵は、お互いの実力差がどの程度かで変わってくる。

実力が同じかそれ以上の相手になら、怪我の箇所を集中攻撃するのはありかもしれない。でも格下の選手相手に、怪我の箇所を集中攻撃するのはスポーツでもエンターテイメントでもない。ただのいたぶりだ。

「ルールを守らない」というルールにしがみつく人々は、無防備でも悪くない人にこうして損な役回りを押し付けて満足する。あれじゃあ、生活保護費を掠め取る目的で、何十人も知的障害者との養子縁組をする連中となにもかわらない。同じ人類としてこのよきな同族がいること自体がはずかしい。

いろんな目に遭う前は、正直ここまでひどいと思ってなかった。もう少し、まともと本気で思っていた。残念です。

〔7月24日（土）曜日〕？

迷ったときは原点回帰が僕の考えです。

一旦もどって仕切り直すと自分を見失なわない。

〔7月24日（土）曜日〕？

“声なき声”はつぶして当たり前と思っている人がいる。

こういう人は総じて、下記のような事にもすごい「不満」や「恨み節」を言う。

…それは“いつも黙っていた人が声を出す事”にだ。

疑問を胸にしまいこむ事を強要する？何でも部下まかせであれば
樂する事しか考えてない人にとっては、その方が都合がいいのでし
よう。

そんな、何でも部下まかせであとは樂する事しか考えてない連中
に負けないで！

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そついう事で矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用の呪い」サンクコストにかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

無防備な人間にしか興味を抱かないような、遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔7月25日(日)曜日〕？

たまにろくに推敲もせずにアップして、あとで、この文章なんか違和感ある、言いたいことと違う気がしてゾワゾワする、と言うときがある。

だから、たまに書き直します。

やはり、ちゃんと推敲してから書かないと納得した文面にならないみたいです。

勢いと冷静さのバランスが精神向上の鍵なのでしょうか？そんな事思った。

〔7月25日(日)曜日〕？

彼らは、常に、何でもいう事を聞く“逸材”を常に探しているのだと思う。

…最悪です。

そう感じる感覚が大切です。

事実は受け止めないと、前へすすめない。

〔7月25日(日)曜日〕？

インスピレーションに振り回されないで！

常に意識してコントロールしないと、（する努力をしないと）

〔7月25日（日）曜日〕？
得とか損とかじゃなく、

〔7月25日（日）曜日〕？
その重みは君に何を想わせる？

〔7月25日（日）曜日〕？
流されずに、人らしく。踏み外さず…、そんな生き方。穏やかに、

〔7月25日（日）曜日〕？
濃縮された時間の価値。

〔7月25日（日）曜日〕？
気にしていいと思う。

〔7月25日（日）曜日〕？
輝きを取り戻して！

話を通じなくても、ある程度効いてるはずです。
一番つらいのは君なんだから、堂々としていていいと思う。

それは幸せをわけあたえるというより、他人から幸せを奪い取っているだけに過ぎない。

君がその事実は何を思い、どう反応するのは君次第だけど、ひとついえることは

「犯罪者の仲間」である事実から目をそむけてはいけない。

現実から目をそらして生活するのが“彼ら”の世界だ！
そんな連中に真実を語る資格はない。

もし目をそらしていないというなら、完璧な犯罪組織になる、それでもかまわないという人はたくさんいるかもしれない、けど君はその事をどう思うのか？一つ言えるのは「目をそらさないで、現実を見て欲しい」という事です。

邪念に負けないで！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「それは犯罪よ」と君が言える日を夢見ます。

.....

〔7月25日(日)曜日〕番外

横田夫妻がかわいそうです、北朝鮮はめぐみさんを帰してあげべきです。

君はこのニュース、どんな風に見ますか？TVはあまり見ないと
言っていたけど、ちょっと、
つけてみてください...

TVをあまり見ない…
音楽もあまり聴かない…

そのほかにもそういう、あまり見ない、聞かない、という特徴を君は示していた。

その分、その世界に浸かっていた？なのだろうか…

でも言うべき事は言つと決めた。

耳障りの悪い事でも、君に伝えます。

浸かりすぎはよくない、風呂だって長く入ればのぼせるし、健康を害す事もある。

サウナに入りすぎて脳梗塞おこした芸能人もいた。

違う世界に君の心の疑問を解く答えがあるかもしれないから、

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔7月26日（月）曜日〕

何でもいう事を聞く“逸材”でなんてい続けたくないでしょ？

（耳障りでも正しい事を言つと決めた、たぶん、もうこんな事、君に言うのは僕くらいでしょ？）

〔7月26日（月）曜日〕

ちゃんとフォローすれば欠点を克服できる人はたくさんいるのに、その克服をさせないようにする世界。

〔7月26日（月）曜日〕

まあ、それはそれとして、「犯罪」であることは一向に変わらないけどね。

〔7月26日（月）曜日〕

酒飲みでも、タバコ好きでも、犯罪者でも、最愛の人なら関係ないと思うのは、僕だけじゃないと思う。こういう感覚は、経験の無い人間には一切わからないかもしれない、君はどう思いますか？

〔7月26日（月）曜日〕

呪縛？ そうなの？

けちらしていいと思う。

〔7月26日（月）曜日〕

犯罪集団の常套句は「悪があつてこそその善」とか「裏社会があつて初めて成立する」

といったたぐいの「必要悪論」を展開する。

けど、一線を越えていいとは、だれも言わないと思う。

君は胸を張って言えますか？

その組織は一線を越えていないと。

〔7月26日（月）曜日〕

人の命をもてあそぶことが“一線をこえてない”というなら、世も終わりだと思う。

あの猛攻撃、どう表現したらいいのか…

日常の、それまで意味などもたなかつた品々や景色、状況、建物な食べ物、あらゆるものがいつせいに襲ってくるような感覚…、普通の人なら切れて、

で、捕まり、本人も状況が理解できず、死刑確定の犯罪者にされてしまう。

もし、それを“一線をこえてない”と言うなら、もう止めはしない。ご自由にどうぞ、という感じだ。

でも、僕の知るFさんがそんな事心の奥で嫌っている事実を僕は知っています。

古い親愛なる人物から君への問いかけです。

立ち直ろうとする人間は“クズ”とは呼ばない。

立ち直る努力を放棄した人間をクズと呼びます。

キツめの事かいたけど、今もまだ戦っていてくれるなら嬉しいです。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

君が戦い続けてくれるなら、僕も戦い続ける事が出来ます。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔7月27日（火）曜日〕？

君は自分で自分を「ここまで！」と制限するところがあった。

とても奥ゆかしさのあるいい面でもあり、同時に欠点でもある。

つけ入れやすいウィークポイントでもある。

欠点は直す事はできなくとも、自覚すればカバーできます。

君が戦い続けられるなら、僕も戦い続ける事が出来ます。

〔7月27日（火）曜日〕？

皆、自分に無いものにあこがれて、その“あこがれ”の中に答えがあると感じるけど。

実際は、自分が経験したもののの中にしか答えが無かったりする。

参考にはなっても、本当の答えは、結局自分の中にあるのだと思う。

何の“答え”か？

それは君自身の疑問の答えです。いつも求めるところにある“それ”であり、今も君の中にある“何か”です。

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建ててには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

〔7月27日（火）曜日〕？

これは推測…

“彼ら”は言い負かされると必要以上に被害者ぶる傾向があるのだろうか？

以前書いた、昔よくある人に「お前ワザとやってる？」とよく言われたと。彼らのテクニクにはワザともたついて相手をイライラさせるテクニクがある。そのテクニクを知ってる人間なら、本当にもたついている人間がいてもこの様に感じるのでは？と以前書いた。

この彼は何度も言いがかりを付けてくるが、そのつど完璧に言い

負かした。言い負かしたあとの被害者意識はものすごくかった。今にして思うと、そもそも悪いのはそちらでそれ“逆^{さか}うらみでは？”と思えるものもすくなくない。

彼は、ごめんオレが悪かったと、1回も言った事はない。

今にして思うと無条件で許していたのがいけなかったのかな？な
どと思う。

謝罪を要求したほうが、意思疎通が円滑になっていたかもしれない。
い。

「許してやってるんだ、当然そのこと向こうもわかってるはず」

と、こちらが思っているても、信じられない事に、通じない人も現実にいる。

そういう人、もしかしたら、君の周りにいるのだろうか？心配です。急にそんな事思った。

彼らは絶対に謝らない。

謝ってはいけないと仏法に書いてあるのだと、シロウトの僕は思った。

誰か間違いかどうか教えて欲しいものです。

器の大きな人が、それを示さないのは、なんの美德にもなりません。
ん。

- - -
- - -
- - -

〔7月28日（水）曜日〕？

君が戦い続けられるなら、僕も戦いつづけられます。

〔7月28日（水）曜日〕？

いつか、会えると信じます。

〔7月28日（水）曜日〕？
とにかく、待とうと思っ。

〔7月28日（水）曜日〕？
今は、君の都合がわるいだけだ…、そう思う事にした。

〔7月28日（水）曜日〕？
君は意外につよい、だから大丈夫です。

〔7月28日（水）曜日〕？
負けないで！

〔7月28日（水）曜日〕？
もう一つ！負けないで！！

〔7月28日（水）曜日〕？
さらにもう一つ！ 頑張っ！負けないで！応援しています。

〔7月28日（水）曜日〕？
ぞろ目ナンバーの車がっやっが来るってのは、わりと有名なんですね。

（…）ってことは、わざと気づかれたいのか？その辺の感覚が腐敗してると普通の感覚なら感じるのだけど、もうそういう感覚すら持ち合わせていないのだろうか？普段は普通の人のふりして、自分をごまかして、そして人間とは本来汚いものなんだから自分は正しいんだ！と、自分でも「それはおかしくないか？」と感じつつも言い聞かせ、無理やり納得し…、そんな人生？それが仏の道につながってる？本気でそう思っっている？単なる心の貧しい集団の狂気となぜ思わないのか謎です、宗教とは心の豊かさを求めてはいけないのでしょうか？Fさんのように、心が根っからやさしい、感情豊かな人

を、心の貧しくなるように“強制”するのが、なにが正しいのでしょうか？意味がおかしいです。君はどう感じますか？)

わざと気づかれないで思い出した。

まだ真実に気づく前、なんだかシロウトくさい尾行がいたと以前書いた。

あれも“わざと気づかれない”人たちだったわけだ。

印象的なのは全員ブザイクっていうの。

印象的な顔だから気づけよ！って事みたい。

なんだか発想が(？) ここにはみなさんの好きな言葉をあてはめてください。

仏法のどこにそんな事をしると書いてあるのか…

君はそんな世界がおかしい、そう僕に認めて欲しかったのだろうか？

いろんな目に遭う前は、彼らの組織が正直ここまでひどいと思っ
てなかった。残念です。

もつとまともな組織と本気で思っていた…

多くの“まともな人”を隠れ蓑にして、“そうした”人が隠れて
いる。

もう、恥ずかしい！と“そうした”仲間の行動を見ている人、結
構いると、

そう思います。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

誰かの恥の尻拭いを何で自分がしなきゃいけないんだ！そう感じ
た人(感じる人) 少なくとも感じます。多くの人の良識の存在を

信じて。

本当に器の大きな人が、それを示さないのは、なんの美德にもなりません。

一度きりしかない君の人生です。

何度も言いますが、僕は生きています。死んでいません。

もし、来てくれたら、引越そうか？2人（あるいは3人）なら身軽に動ける、ここは彼らがかたまつて暮らしてる。ネットでみる
と一地域にかたまつて住むというのも、わりと有名な事らしい。

（それとも、その方が“盾”になるのかな？どうなのだろう、君の意見が聞けたら今後の方針も決めやすい）

君はどう感じますか？

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

大切なものまで踏みじられる権利は誰にもないように感じる。

（踏みにじって言いと仏法に書いてあるのだろうか？）

もし読み返すなら「催眠」については12話が一番くわしい記述
と思う。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

今日は本当は23日です。

この意味がわかりますか？

以前書いた、2人で「紅の豚」を見たあの日、思い出の基点にしたいと。

明日で“18年”になります。

17年たち、ようやく僕は当時の君の想いの正体に気がつきました。

そして命を救われた。

今度は僕が君を手助けする番という事でいいのだろうか？

君の答えを聞ける日を夢見ます。再会を信じて。

-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-

〔7月29日（木）曜日〕

18年前の今日、今頃何をしていたか、実はよく覚えている。

何しろ君とすごす時間を物凄く楽しみにして浮かれていたからだ。

ありきたりな言い方なら、ワクワクしていた。

確か…、待ち合わせの時間は夕刻で4時位だったんじゃないだろうか？

君の記憶ではどうなっていますか？

（偶然にも近所で夏祭りらしい、太鼓の音と、祭りの格好をした子供の姿をみた。僕らが行った隣町の花火大会は今年は31日からしい、一緒に行けたらね、と害の無い範囲で妄想します）

君がなぜ、現地集合を希望したのか当時の僕はわからなかった。
Fさんは時々変った事を言う、今回のもそうしたもの1つだろ
う…

そう本気で思った。まさか尾行を気にしていただなんて…

今でも改造車とバイクの類を中心に、同じ車体を何度も見る。

この人らはすでに人の心を見失っているんだと思う。

たぶん、日記すら書けないのではないかと推察する。

書いたら、自らの犯罪行為を客観視する事になり、心が耐えられ
ないと思う。

…え？耐えられる？もしそうなら、重症を乗り越して、救いがた
い悪魔という事になる。

…君はこんな世界で暮らしていたんだね、ごめん、気がつかなく
て…

今、ようやく、当時君がどんな景色を見ていたのかわかるよう
になりました。

君のためになにかしたいと、そう考えています。

周りをごちゃごちゃ言おうと、もう1人ではありません。大丈夫
です。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

誰かの恥の尻拭いを何で自分がしなきゃいけないんだ！そう感じ
た人（感じる人）少なくとも感じます。多くの人の良識の存在を
信じて。

どこかにいるであろう器の大きな人は、器の大きさを示さないの

は、実にもつたないことです。

これが君に伝わる事を、何よりも願います。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔7月29日（木）曜日〕番外

18年前、この日君は何を思いましたか？

あの日、東の近くでわかれてから、次に会ったのは部活だった
かな？

また、いつものようにそれほど仲のよくない友人のふりをする君
が気まぐれに見えて、理解できないかわいさがあった。僕がそう感
じた事を、君がどう感じるのか？

君の中で当時の想い出はどんな存在になってますか？

大切にしていってくれるなら、とても嬉しいです。

再会を信じて。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

.....
〔7月30日（金）曜日〕？

今も君は戦っているのだろうか？

一応その前提で書きます。

卒業後、もう僕があきらめた頃君は現れた…

もし、あの時僕があきらめてなかったなら、違う結果が出せていたかもしれない。

同じミスはもうしたくない。

だから、待とうと思う。何かしら都合がわるく、今は無理でも、都合がいたら君はあらわれる。

そう確信します。奇跡を信じて。

〔7月30日（金）曜日〕？

君が戦い続けるなら、僕も戦い続けられます。軌跡を信じます！！

〔7月30日（金）曜日〕？

清く正しいふりの上手い人達に囲まれた孤独…

〔7月30日（金）曜日〕？

勝ち馬に乗ればなんでもあり？そう思ってる人たちに囲まれて…

〔7月30日（金）曜日〕？

血のにじむような努力…？そう言えば「犯罪行為」も正当化されると勘違いが幅をきかす世界…

〔7月30日（金）曜日〕？

「友好活動」と「犯罪行動」の区別はつけないといけない。

〔7月30日（金）曜日〕？

心が1つなら、犯罪行為をしてもいいのだろうか？

〔7月30日（金）曜日〕？

「自分のためだけに生きてはいけない」

という言葉は決して自分を“滅して”集団に尽くす事ではないと思う。

もしその意図で表現したい場合は…

「自分のために生きてはいけない」

と、言うはずだ。

なぜ「…だけ」

が入っているか考えないといけない。

「自分のためだけに生きてはいけない」

よく読むと、自分のために生きて、なおかつ他人のためにも生きる、という意味ではないだろうか？

つまり、君は必要以上に自分を殺す必要はないのです。

このニュアンスが正しく君に伝わる事を祈ります。

〔7月30日（金）曜日〕？

ごまかしを与えてられて満足している人々に負けないで！

〔7月30日（金）曜日〕？

特別な事はない。

〔7月30日（金）曜日〕？

うちは何のかんの言って仲がいい…、

家族不和で苦勞している家庭がこの世に存在する事が想像できないレベルです。

だからこそ、道を踏み外さずこうしているのかもしれない。
家族そろって人がいい…、君と同種の人種がそろっています。

〔7月30日（金）曜日〕？
なぜか急に…

〔7月30日（金）曜日〕？
やっとの思いで。

〔7月30日（金）曜日〕？
中には偏狭な人達もいると思う、でも、理解者もいるはずで、
皆が皆敵ではない。

中には器の大きな人もいて、それを示す機会を伺っているのかも
しれません。

〔7月30日（金）曜日〕？

言いたいことは山のようにあつたけど、なかなか言えなかった？
例えそうでも…

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。
君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

君が疑われない人生の価値を信じられる日を夢みます。

.....

もし緊迫した心境なら、あまりふざけた事書くとおこるかな...

でも、たまにはこーゆー、ゆるーいギャグも織り交ぜた方がいいかと思つて、

なにせ、これは“小説”ですので。

こんなつまらないギャグもいいかと思うので1つ...

「弱いものいじめはやめてください」

(機動戦士ガンダムの中で、コンスコンに何か言われてとっさにシヤア大佐が返した一言)

...これを読んで「何がガンダムだ、ふざけるな！」といった系統の事を言う人が貴方の周囲にいたら、

僕がこう言っていたとお伝えください。

「それ(=ふざけるな!)はこつちがあんたに言いたいセリフだ！自分のやってることがわかってんのか！」と。

君はガンダムなんて見ないかも知れないが、ファンなら一発でどこのシーンかわかります。

つまらないギャグでした。

笑えない？ごめん、お笑いは苦手です。

君を笑わすギャグは…、ここには書かない。それは2人だけの秘密です。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔7月31日（土）曜日〕？

東京脱出して戻ってきた初日。君の家へ向かう途中、3箇所も工事中の場所があった。

今、当時工事中だったところは完成し、きれいな道路になっている。

君の実家前の道から2人の思い出の神社まで、直線距離で行けるようなイメージだ。

何かああいうのを見ると、工事を使ってまで…というのはさすがにないか、と思いつつ。いやいや彼らに常識は通用しない。とも思う。

こういう時、僕はこう考える。

問題点は君が帰ってくるかどうか？という事だ。その問題の前ではこれらは些細な問題にすぎず、正直どーでもいい事なんだ、と。

そう、情報がごちゃごちゃしてきた時は、もっとも重要なポイントに論点を絞り込むと、各問題の重要度を簡単にランクづけできます。

この場合、僕にとってもっとも重要な事柄は“君と再会する”事なので、些細な問題という事になります。

え？じゃあ書かなくていいのでは？と思うかもしれない。

でもそこには書くべき理由がある。前々から言うように“自分の正当性”や“立場”はある程度主張しないと伝わらない。つまり、

“表現されない自分はいないも同じ”なのだ。

おとなしくしているのが美德の時もあるけど、そうでないときもある。

君に伝えたい言葉の1つでもある。

正しいニュアンスで伝わっただろうか？

言わなくても伝わってると思っていると、いつまでたっても理解してもらえないという事です。

不満があつたら、言っていいます。

〔7月31日(土)曜日〕？

その気があるなら「被害届け」を出す事も選択支に入れられる。

〔7月31日(土)曜日〕？

最近よく見る白いユーノスロードスターのおじさんはいつもこちらを睨む。

あの人はやらされてる、というよりは、すすんでやってると感じる。

ああいう人が周囲の人を巻き込んでいるのだろうか？

迷惑千万な事です。

…これが、君が見ていた世界だったんだね。

あの、2人で歩いていた時、風になびく草が一面に広がる光景が印象的だったあの日。

君は寸前までものすごく楽しそうにしていたのに、あの黒い車がやってきたとき(中の男たちが「ヒューヒュー」と僕らを茶化す…)、あれを見て幸せから突然どん底まで突き落とされたような顔をした。車が行くと君は言った。

「今の知り合い?!」

物凄いケンカごしに…

ようやく今になりあの時の君の気持ちに追いつきました。
白いユーノスロードスターのおじさんと同類だったんだね、あの
連中。

あんな連中と今も戦っているのだろうか？蹴散らして欲しい。負
けないで欲しい。

君が戦い続けてくれるなら、僕も戦い続けられます。負けないで！

〔7月31日（土）曜日〕？

「友好活動」と「犯罪行動」の区別はつけないといけないと思う。

〔7月31日（土）曜日〕？

勝ち馬に乗ればなんでもあり？心が1つなら、犯罪行為をしても
いいのだろうか？

〔7月31日（土）曜日〕？

最近どう？

〔7月31日（土）曜日〕？

どう…かな？

〔7月31日（土）曜日〕？

頑張つて！

〔7月31日（土）曜日〕？

人生の価値を見極めて！

〔7月31日（土）曜日〕？

最後にどうしたい？

〔7月31日（土）曜日〕？

卒業式後、僕がすっかりあきらめていた頃、君は満面の笑顔で再
び現れた、僕はその笑顔の意味も理解できず、すっかりあきらめて

いた。

…もう、同じミスをしたくないです。
だから待とうと思う。

飛躍しすぎな人々に惑わされなさいで！

もう一度君が姿を現すのを。今は何か都合がわるいだけだ、そう
思う事にした。奇跡を信じて。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

〔7月31日（土）曜日〕？

いろんな目に遭う前は、彼らの組織が正直ここまでひどいと思っ
てなかった。

もっとまともな組織と本気で思っていた…

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

〔7月31日（土）曜日〕？

中には偏狭な人達もいると思う、でも、理解者もいるはずで、
皆が皆敵ではない。

中には器の大きな人もいて、それを示す機会を伺っているのかも
しれません。

〔7月31日（土）曜日〕？

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

君がどこにいようと、どんな状況だろうと応援しています。

何があるうと世界中でただ1人味方でい続ける人間がいることを
忘れないでください。

再会を信じて。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔8月01日(日)曜日〕？

18年前、君が見ていた風景が少しずつわかるようになってきて
いる…

〔8月01日(日)曜日〕？

こんな事を思った…

随分前にどこかで書いたと思う。

子供の頃(小学生くらい)そいつはサッカーが好きなんだった。
そいつに30円くらい貸すが、一向に返す気がなかった。

当ても僕は人がいいから、待った。

でもある日そいつは言う

「(返せっていうけど)お前、自分が何を言ってるかわかってる？」

今ならわかる、返す気ゼロなんだと。
でも、当時は本物の子供でわからなかった。
しかし、子供とはいえ、やはりそこは“僕”だった、
今と同じ要領で相手を完璧に言い負かした。
僕がそいつの家族にこのことを言う、と言うと。
そいつは手のひらを返したように態度を変え、翌日、本当にお金を返した。

この彼は、後日、非常に彼らの行動をよくとる。
高校も同じだった。

もっとも印象的な記憶は、高校卒業後、彼は運転免許の教習所に行っていた、

なぜ知ってるか？

たまたまうちの家族も行っていたからだ。

その時、うちの家族がそいつに、穴が開くほど見られた、と言っていた：

相手を凝視するのは彼らのオハコだ！

やはり、あいつも？どうなのだろう…

…ここから推論するに、

親の知らない所で、“彼ら”の子供は、弱肉強食の理論を使って暴走している…？

全員じゃないと確信する、一部だと。

でも18年前の君は何かを恐れていた、妙に僕の身を案じてくれていた。

そういう事実もあったのだろうか？推測だけど、事実なら、過酷な…。

外れていて欲しい推論です。君がそんな目に遭ってないことを祈

るのみです。

いつか、君の口から答えを聞ける日を夢見ます。戦っていると言
う前提で書きます。

頑張つて！負けないで！応援しています。

遊ぶ金ほしさの連中なんかに負けないで！

〔8月01日（日）曜日〕？

所詮この世は“弱肉強食”って間違いだと思う。

この世は“バイアス”で動いていると思う。

皮肉な事に“彼らの行動”がそれを証明している。

弱いものもバイアスを使うと強いものに勝てる…

それって“彼ら”の戦い方そのものだと思う。

まあ、あくまで論拠の乏しい“個人的”感想です。

「弱肉強食！」と強要されるのを、Fさんが好まない事を僕は知
っています。

「悪いけど、そんな未来はごめんだわ」と言う権利を
君は十二分に持っていると思う。

〔8月01日（日）曜日〕？

頑張れ！

〔8月01日（日）曜日〕？

負けるな！

〔8月01日（日）曜日〕？

大丈夫。

〔8月01日(日)曜日〕？
落ち着いて！

〔8月01日(日)曜日〕？
迷っていいんです。

〔8月01日(日)曜日〕？
損な役回りを強いられる理由はない。

〔8月01日(日)曜日〕？
その強さをしめして正解です。

〔8月01日(日)曜日〕？
求める“何か”に誓って！

〔8月01日(日)曜日〕？
“それ”がそこに“ある”なら、それで十分な理由になる。男が
強いる“勝手なイメージ”に押しつぶされないで！

自分の心が発する気持ちを大切にしたいと思う。
理解しようとしてもしない人に、無理に君が合わせる必要は無い。

流されずに、人らしく。踏み外さず…、そんな生き方。穏やかに、

願いはかなうと思ひ込みましょう！

〔8月01日(日)曜日〕？

その行動は、本当に多くの人に“勇氣”や“希望”を与えるものなのかどうか考えて欲しい。

“絶望”や“恐怖”を与えてやしないかと。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

誰かの恥の尻拭いを何で自分がしなきゃいけないんだ！

そう感じた人（感じる人）少なくとも感じます。

多くの人の良識の存在を信じて。

〔8月01日（日）曜日〕？

中には偏狭な人達もいると思う、でも、理解者もいるはずですが、皆が皆敵ではない。

中には器の大きな人もいて、それを示す機会を伺っているのかもしれません。

〔8月01日（日）曜日〕？

もし仮に、今も戦い続けているのだとしたら、負けなide欲しい。願いはかなうと思ひ込むと、意外となにか起こったりするものです。

あきらめるのが一番いけない。

どんなにゆるやかでも、前を向きつづけ、できれば僅かでもいいから前進し続けられたい。

一度きりしかない君の人生です。君は想いに賭けていいと思う。君はどう思いますか？

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

油断していると巻き返される！気をつけて！！

- - -
- - -
- - -

〔8月02日(月)曜日〕？
暑い日が続きます。

〔8月02日(月)曜日〕？
君が暑さに根をあげる姿は見たこと無い。
当時は“凄い！”と思った。
こんなこと言うぞ。

「そんなこと無いわよ(みてなかったの?)」
とか言われるのだろうか？

〔8月02日(月)曜日〕？
というか…、当時の君は暑さどころの話ではなかったのかな。
もっと重大な恐怖と戦っていた？

僕がその事に気づくのは18年後の東京だ。
君は、僕がこのことに気づくと想像しただろうか？

もし、逆の立場なら、僕は気づいてもらえたことがうれしい。

君はどう思いますか？（思いましたか？）

答えを聞ける日を夢見ます。

再会を願って。

〔8月02日（月）曜日〕？

対立相手から一時的にやさしくされると、心がぐらっとくるですよ？

そういう時は

「貴方の同情などいらない」

と1度すごんで見るといいかもしれない。

話が止まれば、考える時間も、自分の意見を言う間もかせげる。あせらなくていい、“彼ら”は君が擦り切れるのを待っている。なにも、思惑どおりにする必要は無い。

長期戦では君が有利です、向こうのほうが失うものはかすぎる。これも以前書いたね。

〔8月02日（月）曜日〕？

何か他に没頭できるものがあるなら、それを軸にして無視してリフレッシュしよう。

幸い、他の人と違い君にはそれが出来ると推測します、あたっているのか、外れているのか…。

君の創意と工夫と心に期待します。

〔8月02日（月）曜日〕？

あせらず、じっくり。しかし揺るがなく、着実に。確信をもって、（捨て鉢にならずに！）

〔8月02日（月）曜日〕？

自己防衛とは程遠い、私利私欲のための行為なんかには負けないで！

〔8月02日（月）曜日〕？

「あなた自分が何をしているのか（したのか）わかってるの！」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

無理に自分を変えようとするのではなく。あるがままを受け入れ
ればいいと思う。

〔8月02日（月）曜日〕？

毅然とした態度を貫く！

〔8月02日（月）曜日〕？

自分の言葉を…

〔8月02日（月）曜日〕？

勝とうとさえしなければ、負けないようにする方法はいくらでも
ある。

〔8月02日（月）曜日〕？

君に勇気が宿りますように。

〔8月02日（月）曜日〕？

人は正しく生き直せると信じます。
もう充分世話になった借りは返していると思う。

35年ってそのくらい重みのある数字です。

〔8月02日（月）曜日〕？

反復は重要です、そういう意味で、少し長いですが、下記をまた

のせます。

不安な心、について。

本当の原因が別にあり、その原因のために不安に陥る事あると思う。

その原因を取り除ければ、不安は解消するけれど、原因がなにかわからない場合ふさぎこむ。

そんな経験、人間なら誰しもあると思う。

もし、君が、そんな状況に陥っても、冷静でいて欲しい。難しいかもしれないけど…

安易に「 のせい」とか決め付けない方がいい。

「 のせい」とか思っただけど、問題は別にある。「 の事」

解決しても何もはじめらない。

そう、思うと。解決の糸口が見えてくる。

何を隠そう僕自身、こんな感覚にとらわれていた時期がある。

不安になり、Fさんの所為にした事も事実ある…、ごめん、君の所為じゃないのに。

そんな風に君の所為にした時期が確かにある。

でも、人の所為にしてはられない。自分の問題だから、自分で解決しないと。

不安の原因は自分の中にしかないんです。

そう思うと、（心の）コントロールの主導権を取り戻せます。

不安の原因を他人に転化して心のバランスをたもつ行為を“適応機制”と呼ぶそうです。

自分が、適応規制に陥ってるかどうか？常に考えるクセをつけるのがいいと思います。

適応機制についてネットに載っていたものを転載します。

(以下転記)

適応機制 教科書30・31P(大修館)

私たちの心には、心身の緊張や不安・悩みなどをやわらげ、心の安定をたもつとする働きがある。

これが適応機制である。本項では、適応機制の種類と、問題点について学習してみよう。

1. 適応機制の種類

○代償(欲求が満たされない時、似かよった別のもので満足しようとする機制)

補償 不得意な面を他の面でおぎなおうとすること

昇華 ただちに実現できないことを社会的・文化的価値の高い活動で代償させる機制

制のこと

○同一化(自分がない名声や権威に自分を近づけることにより、自らの価値を高め

ようとする機制)

○合理化(一見もつともらしい理由をつけて、自分を正当化しようとする機制)

○逃避(直面している苦しくてつらい現実から逃避することにより、一時的に心の安定

を求めめる機制である

○抑圧（実現困難な欲求や苦痛な体験などを心の中におさえこんでしまう機制）

○退行（たえがたい事態に直面したとき、発達の未熟な段階にあともどりして自分を守

ろうとする機制）

○攻撃（他人や物を傷つけたり規則をやぶったりして、欲求不満を解消しようとする機制で、直接的なものと間接的なものがある）

2・適応機制の問題点

適応機制は一時的なものであり、一時的な機制を繰り返していると、それが習慣化して

問題解決のために努力することがむずかしくなる

○合理的機制

合理的方法を工夫して障壁をとりのぞくことを、合理的機制という

（転記終了）

わかってもらえると嬉しいです。僕もこれを読んで初めて気がついたことがある。

先ほど“自分が、適応規制に陥ってるかどうか？常に考えるクセをつけるのがいいと思います”

…と書いた。書いた時点では、まだネットで調べてなかった。これって、上記でいうところの“合理的機制”の事のように思う。

自分で考えた事が、こうして後で調べた事と少しかぶるのに気づいた瞬間って、けっこう楽しいです。

適応機制については、以前も書いたけど、たぶん、こういう経験談を交えた方がいいのかな？と思いました。

君に伝わる事を願います。微力ながら、応援しています。

(あせらず、何となく頭に入れておくと、ある日突然役に立つ日がくる。

だから、何となく頭に入れておく程度で充分です。)

〔8月02日(月)曜日〕?

やり返されて、怒って…、でもめげない。そんな覚悟。

しかし、おだやかに、冷静に、着実に。

心の支えは、君に何を思わせるのか…

君に勇気が宿り続ける事を本当に願います。

そして君に伝えます、君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そついう事で矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

中には偏狭な人達もいると思う、でも、理解者もいるはずですが皆が皆敵ではない。

中には器の大きな人もいて、それを示す機会を伺っているのかもしれません。

々と“巻き返すチャンス”を伺っていると思う、何を根拠に言うのかって？

東京で3年観察したある人物の性格を“仮に”典型的なそうした人と想定するなら、おそらくそう思うと思うから。そう、確信する。

〔8月03日（火）曜日〕？

いつのまにか“忘却の強要”を強いてくる、気をつけて！

〔8月03日（火）曜日〕？

それでも、僕は戦わないといけない。

君に救われた命、粗末にできない。

できれば、サポートしてほしい。

〔8月03日（火）曜日〕？

トラックに関しては以前書いた、

僕の勤めるお店の前にある、環状7号線にダンプが大挙してやってきた話。

最近も家の周辺に頻繁に出没する…

たぶん、トラックやダンプに影響力を持つ“誰か”が“それ”を

やらしているのだろうと思った。

私利私欲のためそこまでやる人々…

君がみていた景色もこんなのだっただろうか…

こんな事を思い出す。

トラックやダンプと言えば「建設業」だ。

あの神社とは別の、もう一つの思い出の場所、空き地でのキス。

あの時、君は警戒した。工事関係者がいてこちらをみていた。

さつきまで上機嫌だった君は、それに気づき一気に警戒心全開になった。

その君の変化に気づかず僕はキスをした…

「どうしてキスするの!」

君は叫んだ。

突然怒られ、僕は理由がわからず動揺した。

君はしばらくうつむき、感情を整理して落ち着きを取り戻し、僕にこう言った。

「神社に行きましょう」

神社に移動すると、君は元の楽しい気分を取り戻した。

心のそこから僕は安心した、よかった、怒らした訳じゃないらしい。と。

あの時工事関係者を警戒していた君の視界が、今、ようやくわかるようになりました。

こんな感じの景色をみていたのだろうか…

あっていますか？間違っていますか？いつか答え合わせができる日を夢見ます。

当時の子供過ぎる君は、それでも子供なりに必死に抵抗した。

当時の僕は手伝うどころか、足を引つ張ってさえいた。

でも今はちがう。もう1人じゃありません。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

中には偏狭な人達もいると思う、でも、理解者もいるはずで、
皆が皆敵ではない。

中には器の大きな人もいて、それを示す機会を伺っているのかも
しれません。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかかわらず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

いろんな目に遭う前は、彼らの組織が正直ここまでひどいと思っ
てなかった。

もつとまともな組織と本気で思っていた…
三界に家を建てるには、君が必要です。

忘却の強要に気をつけて！！遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

- - -
- - -
- - -

〔8月04日（水）曜日〕？

君が戦っている前提で書いた、だから、こういうのもありかな？
そう思った。

〔8月04日（水）曜日〕？

あきらめるな！

〔8月04日（水）曜日〕？

Fさん、ゴールは必ずあります。

〔8月04日（水）曜日〕？

着地点をイメージして！

〔8月04日（水）曜日〕？

多少のごたごたはあっても、かならずある程度何とかなる日はくる。

君のぞむ世界が、

〔8月04日（水）曜日〕？

明るい方向をむいて！

君の望みは？

数日前、こんな光景を見た。なにやらもめている？

部屋の外をみると軽トラのおじさんが進路をふさがれて、前の車に怒っている。

前の車は意味不明の挙動で動いていた。

最近空調の音で細かい雑音は聞こえないので気がつかなかったが、

どつやらさつきからずっといたらしい。

この軽トラのおじさんも最初怒るがすぐにしぼんだ。

もしかしたら2人とも彼らなのだろうか？

彼ら同士は連携ミスをする事は東京で充分学んでいる。

たぶん、ごく単純な計画や指示しかないものと推察する。

そりゃあ、そうだろうな!と思う。
なぜなら、半分冗談でなければ、
「自殺するまで追い詰める」
なんて口にできないもの。

半分冗談くらい感覚でしか、指揮官も指令が出せないものと推察します。

…正直言おう。僕の人生に君を巻き込んで迷惑かけたくない、そんな思いもある。

でも、こつも思う。

もし、今、君は現状に不満を抱いているとして、

(君が僕を選ぶ際の君のマイナス)ー(現状維持を続けた場合の君のマイナス)＝答え。

どういう答えがでるのか、それを聞きたい。

暑中お見舞いは出さない事にしました、今はへたにアクションをせず、とにかく待とうと思う。

僕は至らぬ人間ですが、君の幸せを祈っている事実にかわりはありません。

〔8月04日(水)曜日〕?

君の帰還を歓迎します。

もう2度と会えないと思っていた。

願えば、何とかなるものです。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。
君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

- - -
- - -
- - -

〔8月05日（木）曜日〕？
後悔しないのが一番です。
1度きりの人生。

僕の場合、結局漫画家にはなれてないけど、悔いは無い。
たとえ違う道にいつてもやはり描き続けたと思う。
創作活動は自分の外面と内面を見直す作業にもなる。
得たものも事実ある。

死ぬ前に「やっぱり漫画家に挑戦しとけば…」なんて後悔はしな
くていい。

1度きりの人生だもの。

せいっぱい、生きていいんだと思う。

18年前、1度だけ自分の漫画を部屋に持っていった。
トランペットの、おそらく彼らではない方の彼が見たいと言った
からだ。

君は知らないかもしれない、彼はカツコイイわりに意外とオタク
よりの人なのだ。

僕は君に見られないようにそれを持ってきた。

なぜ、見られたくなかったか？

レベルが低かったからだ、話もむちゃくちゃだった。

自分のイメージを表現しきれなくてもがいていた。

インスピレーションだけは黙っていても出てくる、けどそれを具
体的な形にできない事への不快感。

（「赤毛のアン」の中でも、インスピレーションが黙っていても沸
く人達（アン自身も含む）は、そうでない人達から理解されず、漫
然としない思いをする。そしてポイントなのが、この作品が100
年以上読みつがれていれ、世界中に支持者がいる事。どうやらこ
ういふ感覚の持ち主は少なくない数が世界中にいるらしい。インスピ
レーションが黙っていても沸くという感性は、大事にしていい感性
なんだと思う）

この不快感をなくすためには、表現力と構成力をみにつけて、イ
メージを具現化できるようにするしかなかった。

（そして、他人が面白く読んでくれるためには他者とのコミュニケ
ーション力も必要と気づく）

漫画とは、内向きに向かいがちと思うけど、つきつめていくと外
へ目が向かざる得ないものです。

まだ、あきらめてはいない。今も描いています。

いつか、君に読みたいなと思う。

プロにはなれてないけど、いまなら18年前とちがい、君を楽しませる作品が描ける。

目標は高く設定したほうがいい。

例えば、物凄い絵の上手い漫画家に追いつく事を“目標”に設定する。

いつまでたつても追いつけないけど努力する。

すると、追いつけないんだけど、いつの間にか画力が上がっている。

低い目標を設定していたら、ここまで画力は上がらなかった。

無理かなーと思うような高い目標も、迫ると得るものがあります。

これは、他の事にも言えると思う。

仕事をしていて「これは2人いないと間に合わない」という仕事量の時でも、

頑張ると、間に合わなくても8割がた出来たりする。あと2割、多少時間オーバーでも2割なら楽なものです。

そういう経験事実ある。

(“彼ら” に対してだって、最初から負け腰ではやられっぱなしです。攻められるなら、攻め続けていいと思う。僕と君にはそれをする“理由”があり、良識的な感覚(の人)ならその“理由”は充分考慮に入れられるレベルの価値をもっていると思う。)

無茶と最初から決め付けていると何も始まらない。

僕は誰にも教わらず自力でこの結論に経験でたどり着いた。

そちらの世界では、経験より教えとなるのだろうか？

君は何より気持ちを大切にしていた。
その教えは君の気持ちを大切にしてくださいか？
そんな事思いました。

〔8月05日（木）曜日〕？

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

中には偏狭な人達もいると思う、でも、理解者もいるはずで、
皆が皆敵ではない。

中には器の大きな人もいて、それを示す機会を伺っているのかも
しれません。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔8月05日（木）曜日〕番外

よく見る車に、右のブレーキランプがつかない騒音車があります。
整備不良ですので、ご存知の方は注意してあげてください。
減点の対象になると思います。

…もし、本人が知っててワザとやってたら？
意味がわからないので、そうっとしておいてあげてください。
害が無いうちはほっとくのが一番です。
この意味がわかる人は、普通です。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔8月06日（金）曜日〕

こんな事思った。

君自身が幹部クラスでは？という推測。

何度か幹部クラスに対する攻撃的文章を書いている。

もし、仮にそうならば、さぞかし傷ついたことと思う。その前提にたって書きます。

(もし違つなら、ああ、そういう風にも思ってくれるんだと思つてください)

たとえ君が幹部クラスでも、自論を曲げる気はない。

間違つた事は、間違つていると、僕は言う。

本当にそうだとして、君がもし悔やんでいるなら、それでいいと思う。

問題なのは悔やみもしない事だ。

罪の自覚がないのは大問題だ。

こんな2人がいたらどう思う？

死刑執行官の2人、

1人は人の命を絶つという重さを常に意識しながら、それでも仕事をこなす人物。

もう1人は、人殺しが大好きでしようがなく、合法的に人が殺せる仕事につけて幸せだ！と思う人物。

この2人のうち、死刑が終わつたあと、家に帰り線香をあげるのが前者で、仲間に今日人を殺したぜと自慢するのが後者だ。

同じ仕事をしていても、人間としての“質”がまったく違つ。と
いのが見えてくる。

君はどう思いますか？

これは“質”の問題です。

悔やんでいるならそれでいい。

でも悔やんで“いない”人達に囲まれていると、自分も“悔やんでいないふり”をし続けないと生活できない…

そんな生活いやでしょ？と…、こう僕は君に言いたい訳だ。

もし、いままでしてきた“悔やみたい事実”を「50」とするならば、残りの人生で「100」のいい事をすればいいのでは？と思う。些細なことでもいいと思う。ごみを拾うみたいな単純なものから初めて、だんだんできる「いい事」をふやせばいい。その心構えは君を救うと思う。いろんな意味で。

悔やんでいるならOKです。

悔やみもしない人達に囲まれてはつらいと推測します。脱出がベストです。

ベストがだめならベターな選択を模索して…、とにかく戦い続けないと、君の人生は埋没して終わってしまう。

“悔やんでいないふり”をあと50年も60年もつづける覚悟、したのだから。

でも、その下ろせないと考えた重み、1人は難しいけど2人でならどうにかなるかもしれない。

そんなイメージを君に伝えたかった。

人は立ち直れるし、やり直せるんです。償えるし、生き直せる。

心の暗い部分に身をゆだねると…、快感があるかもしれないけど、それはまやかします。

「8月07日(土)曜日」?

遠くから花火の音…

今日は(これを書いた日) 隣町の花火大会です。どうやら…

あの日のように人がたくさんいるのだろうか。

「8月07日(土)曜日」?

東京都内の男性最高齢とされていた男性がミイラ化した状態で見つかった事件、この爺さんは、即身仏になりたいとか言っつて自室にこもつて、それきりらしい。

家族も怖くて何もいえないとか言っつてる。

こついうの“おかしい”と思える“普通の感覚”が大事なんだと思っつ。

どーゆー事情があり、こんな事になつたにせよ、

おかしいものは、おかしいと言える感覚、大事です。

…というか、この事件、この爺さんの長女がおかしなこと言っつる。

「父は宗教熱心で…」

まさか、ちがうよね。

まあ、どつちでもいいんだけど。信心もほどほどにのいい見本です。

いくら祖父が怖いからつて、こついう場合は“大人”の判断をしていいと思っつ。

こちらから見ると、“彼らの世界”子供の世界”に見える。そんな連中に大人になれとか言われたくない。これを読んだ誰かが怒りに狂い、僕への嫌がらせを激化させたら、その行為そのものが、僕の主張の証明になる。そうそうその通り、と、普通の感覚なら思っつ

はずです。

〔8月07日（土）曜日〕？

この記述は実際よりも前倒しの日付で書かれています、実際は今日が8月1日。

そこでこんな提案をする。

原爆投下の日がまもなく来ます。

毎年、投下の時間帯に黙祷をTVでやってる。僕は時間があるときは必ずこの時、黙祷をする。

ちよつとした「いい事」をはじめるともりなら、この黙祷もいいと思う。NHKで毎年この時間帯放送してます。

〔8月07日（土）曜日〕？

いろんな目に遭う前は、彼らの組織が正直ここまでひどいと思っ
てなかった。

もっとまともな組織と本気で思っていた…

“生き直し”って出来るんです。悔やんでいるならOKです。大丈夫です。

寛大な人は、「好きにしてください」というタイミングを推し量って様子見をしていると思う。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔8月08日(日)曜日〕

こんな事思った。

…どうやら“大人”にはある程度、やるやらないの自由度があるのかな？と。

けど弱い立場の人はそうではない。

たぶん君はなにかしらの理由で追い詰められて、そうした立場に追いやられたのでは…。

弱い立場の人間といえば、子供もそうだ。

いまでも律儀に威圧行動をする？っぽい子供は、いる。

一瞬こちらの顔を見て、いいのかな…、って顔で実行する。

車の時など、バックミラーで確認すると、こちらを振り返ってみて、いいのかな…こんな事して、という顔をする。君にもそんな時代があったのだろうか？

成長すること、周りの友達が、1人、また1人と変化していき、おかしいという事が言えなくなつてゆく、残酷だと思う。君はやさしいから、そこを狙われたのかもしれない。

こんな事も思った。

“彼ら”の子供たちから見れば、自分が親しくする親・友人がみな殺人をも含めた「いじめ」を容認し、さらに自分に共犯になる事

を勧めてくるのだから、

世の中とはそういうものだ…という認識が芽生えて当然と思う。

未来の部門を担当する大人がやらしている…

親はなにも言えないのかな…

「それなんかおかしい、やっぱり」

と思える心、大切にしたほうがいい。

“生き直し”って出来るんです。悔やんでいるならOKです。大丈夫です。問題なしです。

中には偏狭な人達もいると思う、でも、理解者もいるはずです、皆が皆敵ではない。

中には器の大きな人もいて、それを示す機会を伺っているのかもしれません。

本当に寛大な人がいるなら、「好きにきなさい」というタイミングを押し量って様子見をしていると思う。

悔やんでいるならOKです。

悔やみもしない人達に囲まれてはつらいと推測します。脱出がベストです。

…君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

.....

〔8月09日（月）曜日〕？

高校時代、授業中めずらしくさされた。

発言をする。

するとあとでこんな事いわれた。

聞いていたイメージとお前ちがうな…と。

授業中少ししゃべった程度で変るイメージ？なんだそりゃと思っ
た。

いかに普段、他人から変なイメージ吹き込まれてるのか、という
事になる。

そいつと僕のやりとりを、腫れ物にふれるような目で幾人かが見
ている…

そんな記憶、確かにある。

君も当時から、自分の意図しないイメージで見られることに抵抗
を感じていた。

今でも、そんな事感じているのだろうか？

発言していいんです。

でない、永久に、そのままです。

〔8月09日（月）曜日〕？

発言する…で思った。

Fさんはその時の心の状態次第で声が小さくなる時があった。

授業中さされた君、声をだせる日とそうでない日があった…そんな記憶がある。

今でも、声がかうまく出せないなんて時、もしかしたらあるのだろうか？

これは僕の経験則。

声が出せなくなった時は、一旦深呼吸して息を吸い、腹式呼吸を意識して声を出すと出ます。

のどが緊張して萎縮する。するとのを通る空気の量がいつもより減る、だからいつもと同じ空気量では声が出せなくなる。空気の量を意識して増やしてやれば、声、出せます。

これを繰り返していけば自然に緊張がとけて、いつもの空気量で声が出せるようになる。

何が役立つかわからないので書きました。

この方法なら、身体的に声が出せない時でもしゃべれます。

同じ事何処かで書いたかな…

僕自身随分苦労して、ようやくこの解決法にたどり着いた。

何かの参考になれば嬉しいです。

自分の欠点は、工夫で克服できるんです。実は。

〔8月09日（月）曜日〕？

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君に勇気が宿る事を祈ります。

〔8月09日（月）曜日〕？

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。
君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

- - -
- - -
- - -

〔8月10日（火）曜日〕？

君が自然と笑顔になれるように…
そう願います。

今も戦っているのだろうか？頑張つて！

〔8月10日（火）曜日〕？

「割り切つて…」

そんな事、強要されたのだろうか？

これは、戦いなだから割り切つて行動するんだ！とか。

…もう、やらなくていいんです。
だって必要ないのだから。

彼らの戦い方はまちがっている。

時間をかけて、ゆくつくり、心をほぐせば、元に戻れます。
心をほぐす、からみあったものを、丁寧に、ゆくつくりと。

〔8月10日（火）曜日〕？

蝉^{せみ}…夏の風物詩だ。今もそこらじゅう鳴いている。

最近、飛んでいる蝉に激突された、自転車に乗っていてだ。正直驚いた。

そして今日、やはり同じ事が起こる、偶然？まさかそんなガキみたいなこと…

いやいや、彼らに常識は通用しない。

…蝉で思い出すのは、去年の夏。まさに彼らの猛攻撃の渦中。

おそらくは「自殺するまで追い詰める」と本気で意気込まれていた時期。

家に帰ると玄関前に蝉が落ちてる、死骸かとおもい退けようとすると狂ったように飛び立ち墮ちる。

上手い具合に毎回玄関前に落ちるのでなかなか部屋に入れない。苦勞して退けた。

翌日、100%間違いなく彼らである年下店長に「おもしろエピソード」として話すが、まるでよくある事みたいなりアクション。

よくは無いだろと思った。

いくらなんでも…と思うけど、こんな事も思う。

昔は猫に死体を玄関先に…、というのがあった。

けど、現在ではそれは充分警察に訴えられる事例なので、やらなくなつた？などと考えたくもなる。

警察といえ、いまだパトカーはよく見る。

以前書いたけど、下部組織はまだ少し大丈夫そうだけど、上部は食い込まれている印象を持った。

“彼らの活動”に参加しないとおまわりさんの出世に響くのだろうか？ 実に最悪である。

そんな事ないだろう…、と思うけど、現在の相撲界の暴力団との癒着振りも、以前なら「そんな事ないだろう」と言えたけど、現在はそうでもない。

相撲界と闇社会の癒着は以前からうわさされていた。うわさは、ある日突然、表面化するのだろうか？

ある日突然表面化するといえば、100歳以上のお年寄りが行方不明ってやつもそうだ。

何も考えず、ただ前任者の真似だけしてると、こういう結果になる。

君のまわりにも、「ただ前任者の真似を何も考えず“正しい事”と思い込んで繰り返すだけ」の人が多いと思う。

あきらかに、おかしい時は、声をあげていいんです。

君が悔いているなら、それでokです。

これは人としての“質”の問題です。

多くの“悔いてない人達”の中で暮らすためには、悔いてない“ふり”をし続けないと生きられないと思う。けどそれはFさんにとって相当つらい事だと思う。いやなら、脱出してもかまわないんです。できなくても、何かしら工夫をしないと、君の心が埋没してしまふ。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。
君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

“生き直し”って出来るんです。実は。

- - -
- - -
- - -

〔8月11日（水）曜日〕

Fさんへ

旅行中につき、この小説サイトにあった「予約」掲載機能を使っ
てみました。

こんな風に思う。

「普通に生活する」という行為そのものが、彼らの攻撃に対する
勝利であると、そう確信します。

〔8月11日（水）曜日〕

ま、旅先で彼らだらけだとしても、驚かないけどね。

〔8月11日（水）曜日〕

いいがかり？そんな事ない？
いやいや、旅先でそんな目に遭う被害者の書き込み、確かにある。
その組織は非常識きわまるものです。
君も過去、いろいろやらされたと思う。
悔いているなら、大丈夫です。

〔8月11日（水）曜日〕
ラジオのニュースで聞いた。

近所の駅で中年女性が女子高生にきりかかったという。さいわい、
怪我もなく、女もすぐとりおさえられた…。今だわがご近所さんは
「殺人行為」に加担しているのだろうか？
君にとって。そんな日常が苦痛であるのはわかります。

〔8月11日（水）曜日〕
毎日のプレッシャーやストレスで、日々人格を削りとられていっ
たものと推察します。

事実なら…脱出してもいいと思う。
君はもう充分つくしている、借りは無い。
これからは“自分”の人生を生きていいと思う。
1度きりしかない君の人生だもの。

〔8月11日（水）曜日〕
だから、君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、
一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。
君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用の呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

〔8月11日（水）曜日〕

いろんな目に遭う前は、彼らの組織が正直ここまでひどいと思っ
てなかった。

もつとまともな組織と本気で思っていた…

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

多くの人の良識の存在を信じて。

中には偏狭な人達もいると思う、でも、理解者もいるはずで、
皆が皆敵ではない。

中には器の大きな人もいて、それを示す機会を伺っているのかも
しれません。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔8月12日（木）曜日〕

「利害の衝突はございましょう、しかし言うべきことはきちつと
言う。ノーはノー、イエスはイエスと。価値観をもってはっきりい
える人が本当に信頼を得るものと思います。」

これは、現在進められている中国とのガス田開発交渉について、

丹羽宇一郎（にひうごいちろう）中華人民共和国駐劄特命全權大使が言ったコメントの一部…。

こんな事を思う。

もつと野心のある人が、君以外に他にたくさんいると思う。

なにも君がその役をになう必要はない。

そうした“何か”について真剣に考えてたどり着く“それ”は君にどうかかわるのか…

答えを知るのは君のみです。

〔8月12日（木）曜日〕

…そう、ポイントは

「答え」を知るのは君のみ、というところですよ。

きみの周囲の人でも、家族でも、神様でもない。

その“何か”が何であるか…、答えを出せるのは、この世で君だけですよ。

〔8月12日（木）曜日〕

彼らはいつもいる、当然僕がどこにいるかバレバレなんだと思う。今、予定どうりならトルコにいるはずですよ。

トルコといえばこんな事思い出す。

以前書いた、12月の誕生日はトルコ石だ。

そしてトルコ石は以外と安い。

だから、当時高校生の僕は君に送ろうと思った。そしたら君は物凄く嫌がった。

正直きらわれたと思ったけど、その後の君の僕への接し方をみるとそうでないのがわかった。

嫌われているのか？好かれているのか？

当時の僕には本当にわからなかった。
でも今は。君にはものすごい、代えがたい人であるというのが、
はっきりわかります。

できることなら、直接伝えたいです。

〔8月12日（木）曜日〕

排他と暫定…

の2つしか選択肢が無いと思いつくのは間違いだと思つ。
そう思いつくようにされているだけです。

〔8月12日（木）曜日〕

“生き直し”って出来るんです。悔やんでいるならOKです。大丈夫です。

寛大な人は、「好きにきなさい」というタイミングを押し量つて
様子見をしていると思つ。

悔やんでいるならOKです。

悔やみもしない人達に囲まれてはつらいと推測します。脱出がべ
ストです。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「答え」を求めて！

- - -
- - -
- - -

〔8月13日（金）曜日〕

君は自分が使っていた楽器が後輩に使われる事になり嫌がっていた…

その後輩、部活の送別会の時、こんな事言っていたのを覚えている。

「K先輩だから、それにしたんです」

確かに、僕だけ送別会でもらうプレゼントの包みが違う。

君と、トロンボーンもう一人の彼は同じような包みなのに、僕だけ違ったと覚えている。

僕は、例え中身が気に入らなくても、誠意がこもったものを粗末には扱わない。

だから長年それを使った。

大学時代、センスのいい先輩にこう言われた。

「なんだよこのダサイ時計」

…事実ダサイ。実は、この時計をもらう1年前。僕らが2年だった時。3年のあの先輩に送別会用のプレゼントを選んでいたらの時。その時、トロンボーンのもう一人の彼と2人で選んでいたのだが、その彼がダサイ時計を指す。これがいいと。

僕は、それはダサイからこっちはいいと、となりのもう少しましなやつを選んだ。

そして1年後、後輩のあいつは、僕が1年前ダサイからやめたその時計をくれたわけだ。

「K先輩だから、それにしたんです」と。

正直、あの後輩は服のセンスとかいい方だった、あれがダサイと気がつかない事はないと思う。

時計とともに同梱されてたものも、センスの無いやつがいかにも買いそうな安い部屋のかざりだった。

「K先輩だから、それにしたんです」

と、当時、変な表情で言ったのを覚えている。

とても人にプレゼントを渡す人間の表情でないとだけ、書いておこう。

ものすごいその表情に違和感を覚えたので、強烈に覚えている。

真実に気づいた今、それに誠意がこもってない事に気づいた。

…と、同時にこうも思う。彼らは“陰湿”だ、と。

普通ここまで徹底しない、人としての道理すら失っている。

…そんなやつを我々の“代表”のように思わないでくれ！と思う人が、少しでももいてくれたらいいのですが。

それは期待のしすぎなのでしょうか？

「そんなことない」と、素直に思える人がいる事を願うばかりです。

中にはこうした偏狭な人達もいると思う、でも、理解者もいるはずで、皆が皆敵ではない。

中には器の大きな人もいて、それを示す機会を伺っていると思う。寛大な人は、「もう（Fさんの）好きにきなさい」と君に言うタ イミングを押し量って様子を見ていると思う。

〔8月13日（金）曜日〕

いろんな目に遭う前は、彼らの組織が正直ここまでひどいと思っ
てなかった。

もっとまともな組織と本気で思っていた…

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で矛盾しなくなると思っているのですがどうなのだろう…。

〔8月13日（金）曜日〕

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔8月14日（土）曜日〕

ニユースでこんなのがあった。

郵便ポストに豆腐や氷を入れて郵便物を損壊させた女（51）が

捕まった。

ここまで聞くと、うわ、最悪。と思う。

でも、次のコメントを聞いてギクリときた。

なんだと思う？犯人はこう言った。

「郵便バイクの音がうるさくて腹いせにやった…」

僕自身経験している。郵便バイク…今は無い。

でもこちらに帰ってきたばかりの頃は酷かった。

(その辺のことは過去の記述を読むと載ってる)

このニユースの人も被害者だろうか？どうなのだろう…

多くの“まともな人”を隠れ蓑にして、“そうした行為が大好きな”人が隠れている。

もう、恥ずかしい！と仲間の行動を見ている人、結構いると、そう思います。

僕には君がいた。

君の存在と思い出のおかげで、自分を見失わないですんだ。

この思い出を消す事は誰にも出来きません。

僕にはかけがいのない記憶です。

今も君は戦っているのだろうか？

その前提で書きます。

負けないで欲しい。でも自分を見失わないように！

ペースを守って、ペースを作って。

時には立ち止まっていいと思う。あせらず、ゆっくり、でも着実に前進する。

後戻りだけはダメです。

いつか会える日を信じて。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

必要の無い“犠牲”をしいる人達に対して、

「悪いけど、そんな未来はごめんだわ」という権利を、

君は十二分にもっていると思う。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

忘却の強要は彼らのオハコだ！気をつけて！

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔8月15日（日）曜日〕

蝉せみに激突された話（それも1度ではない、そうそう何度もないと
思うけど…）を書いていておもいだした。

大学時代、長年友達してくれくれた彼と歩いていた時の事。

この彼は、例の、僕が帰郷しようか相談した時、もう少し東京で
頑張ってみろ！と言った彼だ。

本意だったのか、そうでなかったのか、今ではわからないが、彼
がいなかったらもう少しはやく帰郷していた。

早く帰郷していたら、何かが変わったのだろうか？そんな事思わなくも無い。

それはさておき、彼と歩いていた時、季節は冬、残雪が道に残っていた。

これは100%偶然なんだけど、電線から雪が落ちて僕の目にあたる。

彼は「それみたことか」みたいな態度をとる。
意味がわからない。

で、こう言った。

「あと数センチずれてたらでお前の顔に落ちてたんだぞ。」

そう言った瞬間、急に神妙な顔になって

「…そうだよな、そうだよ。」

さらに、こう続けた。

「そうだよな、世の中ちょっとした事でそうなるんだよな」と、物凄く感情をこめていった。

なんだか感情が入っているので印象的に覚えている。

もし、彼も、そうだとするなら。

なんだか、あの時の気持ちも理解できる。

たぶん、こう思ったんだろう。

確かに変わっている、けど、そこまで迫害されるほどひどくは無い、ほんのちよっとした事でそうなってしまっただよな、と。

そういう意味で言ったんだと思う。それなら、記憶の違和感が解消される。

やっぱりその組織のもつ空気はおかしい。

教えがどうか、そういう問題じゃない。

人間の“質”の問題です。たぶん、質より量を優先させた結果、こんな酷い現状になったんでしょ。

だから“数の暴力”も肯定できるんだと思う。“数の暴力”（人間の）質より量を優先”は矛盾なくイコールで結べる。

でも屈する必要はありません。

なぜなら君の心は誰のものでもなく、君のものだからです。

数の力で他人から心を奪えようと本気で思っている人なんかは、好き勝手さしていいはずがありません。誰にも理解されず、心を封じるしかないなんて、そんなのおかしいです。

おかしい時はおかしいと、言っていいいんです。

けど天は見放さなかった…

誰かが邪念に負けた人がいたけど、君の心に救いの手が差し伸べられた。

そういうふうになれば矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

“生き直し”って出来るんです。悔やんでいるならOKです。大丈夫です。

中には寛大な人もいて、「好きにしなさい」というタイミングを推し量って様子見をしていると思う。

悔やんでいるならOKです。

悔やみもしない人達に囲まれてはつらいと推測します。脱出がベストです。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

.....

第24話 夏（未来へと続く話その10） （後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第25話 旅行から帰って…（未来へと続く話その11）（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第25話 旅行から帰って…（未来へと続く話その11）

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

〔8月16日（月）曜日〕

旅行から帰ってきました。

Fさん、やっぱり日本はいい…、と思うと同時に海外へ行ってみて気づく事もたくさんあって面白かったと思った。

正直いうとあと2週間くらいいたら現地にもっと慣れて面白かったと思う。慣れる前に帰って着てしまったのが残念です。

言葉が通じないというのが、なにより新鮮で楽しかった。

何をすることも片言の言葉とジェスチャーは面白い。

何より“彼ら”をほぼ警戒しなくていいのが久しぶりだった。

（ヨーロッパにもいるときくけど、ほぼ気にしなかった、アナトリア周辺はいいと感じた。）

おかげで、最後までとれなかった“暗示”のいくつかが“解除”された感覚がする、この“解除された感覚”が本物かどうかは今後の日常で検証できる。もし、本当に解除されてたとしたら、暗示の解除に海外旅行はお勧めという事になる。その時は君にも旅行を勧めます。

…僕は無口だ。それは君も知っているとと思う。

お互い無口だった、似たもの同士でその辺面白かった。

仕事の上ではこの性格改善した自負がある。黙っていても始まらない。

本屋で相当スパルタ教育をされた。

外国人にひるまなくなつたのも仕事をして得た感覚だ。

でもプライベートにこれを応用する気にはまだなれない。

無口で自分の世界に浸っていたい感覚は実際ある。

だから、今回の旅は最初から自分のペースを崩さずに、無口でいこうと決めていた。

どうせ、家族もいるし、甥がいたから、暇にはならないだろうと思っただ。

…それでも旅の終盤には、少ないけど幾人かと会話してしまう、
(しないと不自然な場になる)

もう少し旅が長かったら、無口を貫けなかったと思う。

時間をかけないと(プライベートな)人間関係がつかれない？

これは君の知る僕の姿だと思う。だから、まあいいかとも思った。自分の原点は見失わずに今も持っている。不安を感じず自分を貫けるな…と思えることの方が重要と感じた。他人にはいまいちピンとこないであろうこの“感覚”、君はどう思う？自分の人格をちゃんと把握した方が生きやすいと僕は思った。全てを受け入れて、あるがままに余裕を持って。

今回の旅でも幾人かは“そうなのでは？”と思う人を複数感じた。挙動にマニユアルに符合する動きがあったり、なんか引つかかる人も複数存在する。けど集団威圧は感じなかったから、まあ、いいかとも思った。

…でも女の子に声をかける気にはまだなれない。相当なショックを引きずっている…、なにしろあの理解不能と思っていた彼女が、まさか本気で僕の事を想っていたとは…という事実は、僕の人生をまだ震わしている。いつか動揺が収まる日がくるのだろうか？その

日がいまは来ないでほしいと感じる。君に会いたいと今も思っているからだ。連絡を待とうと思う、さいわい僕はもてないからまだ時間の余裕があります。たっぷりと。君の“大人の判断”に賭けます、何を人生の大事と考えるのか。

旅自体はたのしかった。荒涼とつづく大地をみていると、日本がいかにも狭い国がよくわかる。外国の方がスケールがでかくて大胆だ。なにもかも。パワーがちがう。

日本はパワーは小さいけど、限られた範囲内で“完璧”を求める民族だなと感じた。海外が雑と感じるのは何もかもスケールが日本より大きいからだと思う。

(案外“彼ら”の求める完璧もそうした狭い世界に限られた完璧なものかもしれない、これをきいて彼らがどう感じるのか? ぜひいろんな彼らに聞いてみたくなる。立場によりいろんな意見がありそうに感じた)

書き足りない部分は後日書きます。

今回の旅で思ったことの1つはこうです。

「劣っていてもパワフル」というのはいいな、という事。そういう部分僕には欠けている。

(でも“彼ら”のように一線を踏み外してはいけない、それは明記します)

いろんな景色を見ていていつもおもった。Fさんが隣にいたらもっと楽しいのにと。

君がいたら、劣せずパワフルになれる…、そんな事もおもった。事実、君のささえがあったからこそ、あの彼らの猛攻撃もしのげたのだから。

三界に家を建てるには、君が必要です。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

.....

ぶさいくは性格も悪い、という人います。

僕はこれを全力で否定したい。根拠などないからだ。

そうだ！と思うぶさいくは多いと思う。

君はかわいい。かわいいが故の悩みがあったと思う。

でもブサイクにはそれなりの悩みがあったりします…

いつも見るパトカーを今日もみた。

メガネの人は水木しげるの漫画にでてくるようなブサイクだ。

でも僕はブサイクは性格も悪いというのを全力で否定したい。

この人も、そうなのだろうか？それとももう一人の人なのだろうか？

黙っていてもまた会えるから、今度は「何かあったんですか？」

ときいてみようと思う。

いつもどこでも会えるという状況…

仮に相方の警官が普通の人ならこの不自然さに気づくと思う。

そんな事を考えた。

非常識にならない範囲内なら、市民が疑問を問うのは普通の行為だ。

君はどう思いますか？

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

皆が皆敵ではない。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔8月17日（火）曜日〕

旅行中印象にのこる場所はエフェソスという場所だった。

ローマ時代の遺跡が顕著に残っているものすごく面白かった。

ギリシア・ローマ時代の都市国家はおおよそのフォーマットが決まっ
まっついていて、どこも似ている。

必ず同じ形式の議会があり、劇場があり、広場がある。インフラ
が共通しているのだ。

以前、海外ドラマ「ローマ」と言つものを見ていたので、遺跡を見
るたびに劇中のシーンが浮かび上がる。そうそう、同じだ！と感じ
る事この上ない。

ああいつのを見ていると「ああ、本当にこういう時代があったん
だ」と歴史の重厚さを感じられて楽しくなる。残念ながら単なる廃
墟めぐりくらいの感覚の方が世の中の大勢なので、歴史好きは口を
つくむ機会がおおくなる。

それでもエフェソスの劇場後の事を考えると歴史の1シーンに触
れた感じがして、表現しきれない畏敬の念をもつ。

君はバチカンのサン・ピエトロ大聖堂を知っているだろうか？

そう、あのローマ法王のいる所だ。

あそこはキリストの12使徒の1人ペテロの処刑された場所だ。

ローマ共和制時代、キリスト教は迫害の対象であり、12使徒は犯罪者同様だった。

エフェソスにきたペテロは布教活動を始めるが、市民からつるし上げをくらう。

それでも少しずつ信者が増える…、女神を信じるエフェソスの人々はペテロを逮捕し、ローマに引き渡した。その後ペテロはローマで処刑され、その処刑地に現在、サン・ピエトロ大聖堂があるわけだ。

ペテロは逮捕される前、エフェソスの劇場で市民を前に大演説をしたとされている。

事実なら、そこに立ったことになる。

この時代の歴史は捏造も多く、どれが真実か不明だけど、ペテロがエフェソスにいたなら、劇場に立った可能性は非常に高い。

つまり、エフェソスの劇場にペテロが立ったという話は捏造の可能性がかなり低い話だと思う。

そして、僕はその劇場跡に立った訳だ。

ここにあの聖ペテロも立ったのか…、と思うと何だか歴史を感じざるを得ない。

別にキリスト教を指示するとかいう話ではない。

僕はもともと判官びいき(＝弱者や薄幸の者に同情し、味方したり応援したりすること。また、その気持ち)だ。

現物を見た後、もう一度この時代の話の本で読み返すと、記憶のイメージが随分と変る。

そういつところが面白かった。

できれば一緒に行きたかったなと思う。

いつか再会し、そんな日々がくればいいのになどと思ったりします。

もし、今も戦っているなら、負けないで欲しい。

新しい想い出を作れる日々を信じて。三界に家を建てるには、君が必要です。

…君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

皆が皆敵ではない。中には器の大きな人もいて、それを示す機会を伺っているのかもしれない。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

.....
〔8月18日（水）曜日〕

旅の中でエフェソスの次に印象的な場所はヒツタイトの首都ハツトウシヤスだ。

もともとヒツタイトは謎の王国だった。

エジプトの古文書に何度も登場するけど、どこのどんな国かわからなかったのだ。

ところがある日学者がトルコでヒッタイトの首都らしきものを発見、ようやく実体がかめたという歴史をもつ。

現在の世界史は極端なはなしギリシャ・ローマ文明を中心に展開されている。

だからギリシャ・ローマと直接のかかわりを持たなかった文明で、今日の国家に文化が継承されてない文明は大概が“謎の文明”でくられる。ヒッタイトもその1つだ。

調査では（僕の理解に間違いがなければ）ヒッタイト語はドイツ語に共通点があるらしい。解読に成功したのはドイツ人だった。どこでどういう経緯があるのか不明だけど、なんらかのつながりがあるようだ。ヒッタイト王国が繁栄した時代、ドイツはまだなく、ヨーロッパのケルト民族の1部にすぎなかった。

ヒッタイトの遺跡で見つかる文字の大部分は外国とのやりとりをしめた文章らしい。

さまざまな（その当時繁栄した）国家の文字がヒッタイトの首都で見つかっている。

でも“歌”とか“伝説”の類がない。壁画もない。

残っているのはエジプトの文献に残るヒッタイトの様子と、先に述べたトルコで見つかった首都と思われる遺跡の城壁あと。そして世界で初めてとされる“鉄”をつくった事実。（ヒッタイトの製鉄技術は初歩的なもので、後に登場するファイイゴや高炉はまだなく、季節風を利用したものだった。地域限定の製法で他へ伝わる事もなし、大量生産など不可能だった。鉄は“金”同様の貴金属あつかいで、主に宝物あつかいだっただらしい。）

…遺跡の話にもどる。

とにかく遺跡に触れてみた。あちこち触ってあるいた。触ると、記憶に残りやすい。

遺跡の表面はどれもザラザラしていて独特だ。(つめの先が欠けてしまつくらい固くザラザラ)
おそらくそのうち風食で朽ちると思う。(何千年もさきの事だとおもつけど)

そして後に登場するギリシャの都市が、利便性を優先していたのとは違い、防御優先なのがわかる。入り口たる門の位置がとにかく不便な位置にある。どうやら門の下に地下道を作つて、攻め込んだ敵をかく乱する目的らしい。この発想でどの門も作られているようで、当時交易で来た人(先に述べたように遺跡からは大量の外国文字の粘土板がでている、交易で潤っていたようだ)はさぞかし不便だったと推察する。

現在のトルコを建国したケマル・アタチュルクは無類の“ヒツタイト好き”だったらしい。

トルコを代表する遺跡はヒツタイトだ!というイメージを打ち立てるべくさまざまな事を行っている。

首都アンカラの博物館もヒツタイト中心の展示物になっている。…でもこれは彼のわがままではなく、国策上の理由があつたのだ。トルコで発展した地域はエーゲ海に面した地域だ、それ以外は発展していない、特に独立当初はそうだ。このエーゲ海周辺は当時ギリシャが領有権を狙っていた地域だ。事実エフェソスなどギリシャの遺跡も多い。“自国の古代史”というジャンルでギリシャに対抗する意味で“独自性”が必要と考えたのだ。
そういう意味で謎の文明ヒツタイトはうつつけだった。

ヒツタイトはその後「海の民」という謎の民族に滅ぼされたと言われている。これがどの文明の人々を指しているのかははまだ説明されていない。

今回の文章はすこしわかりにくいかもしれない。

“わかりやすさ”よりも自分の感覚を優先してしまいました。

わかりにくかったらごめん。

ようは、ヒツタイトの遺跡はザラザラした石が何千とつらなる壮大なもので印象的だった。

そしてこの遺跡にかける“トルコ人の思い”を伝えたかった。

人の思いは心の原点を作り出すのかもしれない…

そんな意味で君に伝えようと思う。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

何かが君の心に届くかもしれない…詳しくは21話参照してください。

君が「サンクコスト埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔8月19日（木）曜日〕

エフェソス、ハットウシャス、と続いて、次に印象的な場所はカッパドキアだ。

奇岩おりなす風景で有名な場所、昔はオカルト話として古代の核戦争跡だなどと言われた。

オカルトは大概、根拠なく見た目の印象だけで語られる…、実はこうだ。2つの火山が古代に爆発し、あたり一面を溶岩で埋め尽くす…、そして雨風が溶岩の柔らかい部分のみを吹き飛ばし、何万年とかけて固い部分だけが残った。それがあの奇岩群のできた正体だった。

最初に人が住み着いたのはヒツタイトの人々が砦として利用したのが始まりらしい。けど都市にはならなかった。なぜなら理由は山ほどある。主な街道から外れた位置にあるし、水源に乏しく、農耕にもむかない（奇岩ばかりで平地が少ない）、ありていにいうと、価値のない地域だった。景色はみごとだけど、それ以外とりえのない不毛の地だったわけだ。

けれど、ここは最終的に何十万人が住む地下都市になる…

ことの始まりはローマ帝国の文化的衰退だった。文化の衰退したローマ帝国では、徐々にキリスト教が広がってゆく。衰退した社会では終末思想がもてはやされ、いずれ最後の審判で世界は滅びると多くの人が信じた。そうした最後の審判の日にそなえて修行しようと思いついたキリスト教徒のことを「モノ」といった。今風に言うると修道士だ。修道士たちは最後の審判（＝世界の終わり）に備えて放浪の旅にでる。

そしてある修道士がカツパドキアに行き着いた…、彼の見たその光景（奇岩が行く重にもおりなす人界ではありえない光景）はまさに“この世の終わり”にもっともふさわしい光景だった。

そのうわさは修道士たちに次第に浸透していき、1人、また1人とカツパドキアへ旅立つ修道士が増えた。こうして最終的には何十万人という修道士が住むことになる。

もともと主な街道から外れているから、外部の干渉もすくない。生活は不便だけど、そもそもつらいのも修行のうちなので修道士

ならokだった。

それに比較的柔らかい部分を掘ればいくらでも穴が掘れる土地なので、無数の洞窟がほれた、居住空間に不便しない。食料も水も工夫すれば最低限は確保できる。こうしてキリスト教徒の隠れ里として、何世紀も栄える事になる。それはこの地がイスラム化してもつづいた。

ローマの時代ころから始まった修道士コミュニティは、ローマが東西に分裂しても栄える。

そしてイスラムの波がこの地をおそつ。

イスラム教は支配されていた人々に急速に広がった。奴隷や傭兵、商人。

アナトリア半島におけるイスラムの主体はチュルク人だ。世界史では突厥と言う名で登場する。

チュルク人はウイグル人と同じ中央アジアの民族だ。人種としては同じとってさしつかえない。

ただ、チュルク人は雇われ兵（傭兵）としてアナトリア方面へ大量に出稼ぎにいった。そのうち、その出稼ぎ先に定住するようになり、現地の人々と交わり、世代をかさね、トルコ人の基礎をつくる。チュルクとはトルコのことだ。

トルコの食文化は遊牧民のウイグルやモンゴルのそれによく似ている。室内で靴を脱ぐ習慣ももつ。トルコの文化の基礎は中央アジアの文化でもある。だから魚は沿岸部の人しか食べない。豆と羊とナン中心の食事だ。

そうしたチュルク人傭兵はイスラム化し、この地に定住する。

この地を支配したローマ人から少しずつ土地を奪いつづけ、やがて最後の砦コンスタンチノープルも陥落させる。この過程でカツパドキアは奇跡的に生き残る。

ターニングポイントになったのは11世紀。

イスラム教徒がエルサレムを占拠した時代、ヨーロッパ各勢力がこれを取り返そうと十字軍をさしむけた。この十字軍はイスラム勢力をかなりのところまで追い詰めた。

ここで力の拮抗を左右した存在になったのがカッパドキアの勢力だった。

もしカッパドキアの勢力がこの時十字軍についていたらな、歴史は大きくちがっていたかもしれない。

けれど、この時カッパドキアの人々はイスラム側についた。

イスラムの元の平和に長年親しんだおかげで、自己保身のためにはイスラムについたほうがよいと考えたからだ。この決断により、当時追い詰められていたセルジューク・トルコは一息つくことが出来て滅亡を免れた。

結果としてキリスト教徒としての信念よりも自己保身の理屈を優先させたがため、求心力を失った。

あるいは、イスラムにかこまれた世界でいつまでも信念を維持できるほどの気力がなかったのか、この後3世紀の間にカッパドキアは無人の廃墟になる。滅ぼされたわけではない、捨てられたのだ。

その後、その廃墟にトルコ人が少数住んだりして、現在のカッパドキアになっている。

だから、遺跡内部には遺留品がまったく無い。家具とか、生活道具とか、書物とか、一切無い。

この地を捨てる際もって行ったと推測されている。それが証拠に洞窟都市の入り口は固く封印されていて、近年まで気づかれなかったらしい。おそらく、生活を維持できる最小単位の人数を割ってしまった（＝いわゆる過疎化）出て行かざるえなかったものと推察する。

カッパドキア自体は広大な面積に奇岩群が面々とつらなっていて、

広大だ。どの奇岩にも穴があいている。地平線のかなたまで奇岩で多い尽くされたようなイメージでいいと思う。思っていた以上に広大で広い。修道士がいなくなった後やってきたトルコ人がこれを見て何を思ったのだろうか…、などと思ったりする。

見渡す限り開いている壁の穴全てに修道士がいたのだろうか？すこし怖くもなる。

外界の情報を閉ざし、閉鎖された社会で何万もの修道士が何を思っていたんだろうか…、と。

地下都市は代表的なものが3つほどあり、そのうちの1つに入っ
た。

写真で見ていたイメージよりも狭い。アリ塚のようだ。いや、スタートウオーズの世界のよう、主人公ルークのふるさとではこうした洞窟住居がみられる。ともかく、現実ばなれした空間だった。

こんな空間で長年いたら、そりゃあ現実感も狂うなと思ったりする。

地下都市を出ると、坂道があり両サイドにお土産やがある。この辺は日本の観光地にてる。

お土産やに旧トルコリラ札が売っていた。インフレが激しく、桁が物凄い数になっている旧札。買わなかったけど、買おうか随分考えた。

そんな経験も君といたらもっと楽しい思い出になったのにかおもいながら…

閉ざされた世界、それがカップドキアだと思った。

君はどう思いますか？

信念を失い、自己保身の理屈を優先させ、最後は滅びたカップド

キアを…

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかかわらず、冷静な判断が出来る事を…。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

教えが正しいとか間違っているとかではない、人間の“質”の問題です。

悔いているなら人は立ち直れます。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔8月20日（金）曜日〕

エフェソス、ハットウシヤス、カッパドキアときて、次に印象的だったのはイスタンブールだ。

けど、ここではあえてそれをとばして別の場所を書こうと思う。イスタンブールについては書くことがたくさんあるとおもっから。最後にします。

その次に印象的な場所…、スルタン・サライだ。実はツアーの予定表には入っていない場所。バスが休憩でたまたま立ち寄った場所だ。

カッパドキアからコンヤへ向かう途中、かつてのシルクロードを西進する。

バスが休憩に立ち寄った場所がスルタン・サライだ。

バスの中で、地図を見ながら「今どこを走っているのだろう…」と確認していると、おそらくこの辺だろうとあたりをつける。北にトウズ湖があるなら、この辺はスルタン・サライがある…などと思っっていたら偶然にもそこに立ち寄るから面白い。これは行かねばと、単身遺跡に乗り込むことにした。

サライとは宿の事だ。

ただし、日本人のイメージする“宿泊するところ”を想像すると間違いになる。

シルクロードの旅は当時命がけだった、いつ盗賊が襲ってくるかわからない…、夜、寝る時くらいは安全な場所で寝たい。サライとはそうした“盗賊に襲われない安全な寝床”を意味する。シルクロード周辺にはそうしたサライが大小いくつも存在したらしい。スルタン・サライはそうしたサライの中でも最大クラスの規模のものだった。聞いた。

こうしたサライを整備したのは、僕の理解が正しければセルジューク・トルコだ。およそ11世紀ごろの事と思う。まだまだビザンツ帝国（東ローマ帝国）の勢いがあつた頃で、イスラム勢力もアナトリア南部にしか食い込めなかつた時代。南部の古都インコニウムを占拠したセルジューク・トルコはここをコンヤと改名、首都とする。現在のコンヤは宗教の古い価値観の残る保守的な街からで、トルコでは近代化でみられなくなった女性が布をまく習慣がもつとも強く残っている、とされている。

コンヤがそうした古風な色彩を持つ理由がメヴラーナの存在だ。

13世紀ここでメヴラーナが自派を立ち上げイスラム教神秘主義て

きな宗派を作る。その宗派は多くの権力者に支持され、コンヤにはたくさんの神学校がつくられた。コンヤとはイスラム教トルコ神秘宗派（メヴラーナ派）の総本山なのだ。

話は前後するが、スルタン・サライをたった後、コンヤでメヴラーナの墓があるモスクに訪れた。土足厳禁、要脱帽のマジでガチの宗教施設だ。

メヴラーナ派の外見的特徴は頭に布を巻いていること。ターバンはなにもインド人だけのものではないのだ。緑の布が偉い人らしい墓の上にはそのターバンを模したモニュメントが置かれている。

あのターバンは聞いた話では、死んだ時自分の遺体をつつんでもらうものらしい。常に死ぬ時を意識する覚悟で頭に乘せているようだ。

モスクの中は神々しい雰囲気で満ちている、半観光、半本気の宗教施設の印象。トルコの人々が敬虔な目で展示されているコーランを見ている姿は畏敬の念を抱く…

ふと、同じツアーの人達の顔をみわたす。中には高い確率で“そうだ”と思う人もいる。

もし、彼らだとしたら、この空間をどう思うのだろう…、そんな事おもった。

メヴラーナ派の特徴は「踊る宗教」といわれる点だ。

くるくる回り続ける。片手を天にむけ、もう一方の手を地面にむける。

天からのイメージを受け、人々に伝えるためだ。

くるくるとまわるのは、おそらく“トランス状態”を誘発させるためだろう。

交感神経を高く刺激して催眠の状態に近づけるのだ。

僕は「催眠」は操られるから注意するようにと散々喚起した、けど、この自発的な催眠誘導はこの限りではない。自分で理解してト

ランス状態に入るのは案外難しい。集中力があるからだ。

自分の心を完全に支配していないと、そう簡単に自発的なトランス状態は作り出せない。

他人に支配された状態ではいるトランス状態とは“質”が違うのです。

なぜなら、他人に支配された状態に入るトランス状態では、他人の暗示を受け入れてしまう。けれど、自分で入ったものなら、拒絶することもできる。コントロールできているからだ。同じトランス状態でも質が違う。

メヴラーナ派の「踊る宗教」は日本の“禅”に近いのかもしれない、メヴラーナ派は交感神経を高めることでトランス状態に入るが、“禅”は副交感神経を高めて静にトランス状態に入る。

このメヴラーナ派ができた時代、サライもたくさん作られた。

サライをたくさんつくったセルジューク・トルコがシルクロードの商人の心をつちりつかんだのも容易に想像できる。外にむけてはサライを作り、内に向けては宗教で人気を博し、人心を捉えたのだろうか？そんな事、想像したりする。

スルタン・サライに話をもどす。

入り口に近づくとチケット売りのおじさんがパイプ椅子に座っている。

こわいのはその「おじさん」ではなく、その周りにいる子供たちだ。

「ーリラ！」とせつついてくる。

せつついてくるだけならかわいいが、チケットを買うために出したお金をふんだくる。

え？と思つてるとその子がおじさんとやりとりしてチケットを買ってくれる。

どうやら観光客とおじさんのやり取りを仲介してチップを稼いで

いるようだ。

頼んでないのに…と思いつつ、まあいいかとチップをわたす。トラブルは彼らだけで充分だ。

チップを渡すとさらに小さい子がきて財布に手をかけてくる。

これはまずい！優しい顔これ以上していると、なにかトラブルになる！と思い笑顔でさっさと中に入った。スルタン・サライの中は他のツアー客もガイドもいない。このなかで何かあったらまずいけど…と思っただが、「まあ彼らに狙われるよりはましだろう」とも思う。1度死に掛けた感覚は変な度胸になっている。

内部は中規模も出城といった面持ちだ。外は高い城壁に囲まれ、今中にはいった形になる。

広場があり、中央に塔がある。

壁際にいくつか部屋がある、殺風景で倉庫のようだが、本によるところが部屋とあった、記述どおり真つ暗だ。本当に外敵から身を守るための場所であり、快適性は二の次になっているようだ。広場を奥にすすむと、本には載ってなかった巨大な部屋、というかまるで教会のような部屋がある。イスラムの施設だから教会ではないのだが、そのほうがイメージとして伝わりやすい感じだ。おそらく、大部屋で、ここに雑多な人達がおしこまれて、少しお金を払うと、ランクアップして先ほどの小部屋にいったのでは？などとも思う。それとも倉庫だったのだろうか？当時荒野のど真ん中にあっただけ、備蓄はたくさん無いとサライとして機能できないかもしれない。

出る時、入り口で先ほどの小さな子が再び駆け寄ってくる。

最初は勝手がわからなかったが、なれてくると、それほどこわくない。

こんな入り口でのやりとりも、誰かと一緒ならたのしいのにと頭をよぎる。

Fさんは今どうしているだろうなどと考えながら…

僕は飛行機で11時間かけて1万キロ彼方のこの地に来た。
時速900キロのジェット機でさえ11時間かかるこの地に、昔
の人は機械の助けなしで向かったわけだ。

ラクダに荷をのせ、いつ盗賊に襲われるかわからないなか、過酷
なたびをつづける。

その過酷な旅に見合うだけの利益が出せたからこそ、みなこの気
の遠くなるようなシルクロードの旅に乗り出したのだろう。(まあ
もっともシルクロード全てを踏破した商人は多くないと思うけど、
多くは途中で荷を売り引き換えしたと思う、1万キロは想像を絶す
るほど遠いと思う)

想像を絶するほどの努力の積み重なりが今日の歴史を作っている。

狭い価値観だけにとらわれているのは、これら積み重ねを無視す
る結果になる。

関係ないね、という無理解が誤解につながる真理に気がつかなく
なる。

教えが正しいとか、間違っているとかいう問題ではない、
人間の“質”の問題なんです。

悔いることができるなら、まだ、前へすすむことが出来るんです。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

願わくば…君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

- - - - -

〔8月21日（土）曜日〕

エフェソス、ハットウシャス、カツパドキアときて

イスタンブールは後述すると述べた。

スルタン・サライ、コンヤと記述が続き、次は…と考えて思った。このままいくと一番印象のうすい所が最後になる。それは文章構成上よくない…、と思い、一番印象の薄いところを書くかと思った。

僕の一番印象のうすかったところは、世界的にも有名な場所、トロイだ。

トロイについては事前にいろいろ調べた。調べれば調べるほど、これほど誤解がまかり通っている遺跡は無いなと感じた。と、同時に誤解されるにはそれだけの理由があることもわかった。

トロイの遺跡を発掘したのはシュリーマンという人物だ。

彼は“学者”ではない、“豪商”なのだ。

彼の一代記は実にもしろい。

ドイツの田舎にうまれた貧困家庭の出で、一括千金をめざしてベネズエラ移住を決意するが途中乗った船が難破。運良く当時オランダ領の島に流れ着き、そこで就職してオランダの貿易会社に入る。頭角をあらわし、最終的に大金持ちになる。

特に印象的なのがクリミア戦争だ。

図らずもこれは“トルコ”とロシアの戦争だ。どうしても“海”の欲しいロシアはトルコの持つ黒海を奪うべく戦争をおこした。これがクリミア戦争だ。ロシア皇帝自ら前線に立ったという、皇帝不在の首都では革命の空気が蔓延し、のちに社会主義革命になるのだが…

シュリーマンはこの時ロシアに武器を売り大もうけして金持ちになる。

使い切れない財産を手にした彼が始めたのが、子供の頃からの夢、トロイ発掘だったのだ。

実はシュリーマンが“発掘”という行為は成功させるまで、世界中で“発掘”という行為はメジャーではなかった。いまでこそ、スポンサーがついて資金をだし、大学のチームが世界各地で遺跡を発掘しているが、シュリーマンが成功する以前の世界では誰もそんなことに金をださなかった。シュリーマンの成功を見て、皆が真似しだしたのだ。いわばシュリーマンは“発掘という分野”の父でもある。彼がいなければ今日の考古学はありえなかったわけだ。

前述したとおりシュリーマンは金に困らなかった。だから全額自費で発掘をした。

おそらく当時の人々は大金持ちが酔狂ではじめたお遊びと見ていただろう。実際遺跡が出てきても感心を示さない。しかし、シュリーマンが金細工の装飾品を見つけ、これを奥さんに身に付けさせて撮った写真が公開されると、世間の目がかかる。昔話の宝探しの主人公とシュリーマンを重ね合わせ拍手喝さいでたたえたのだ。こうして当時、使いきれない財産をもてあましていた貴族などが、次は自分がシュリーマンになる！とばかりに資金をだし、学者を雇い、各地を発掘した。その行為は現在の考古学とは違い宝探し（トレジャーハンター）に近い。事実、その後世界中の遺跡から略奪された

ものが現在のの大英博物館に収まっている。

シュリーマンの功罪はいろいろある。いい面では“考古学”を世に広めるきっかけを作った人物。エポックメーカーだ。悪い意味では、シロウトすぎたこと。学者ではないので、仕事が雑なのだ。トロイにしても、ろくに記録も録っていない状態で、「この下にまだある」と思えば遺跡を破壊してでも掘り進んだ。

だから現在のトロイの遺跡は“他の遺跡”と比較すると非常に乱雑だ。各地層がばらばらにむき出しになっていて、いかにも適当に掘ったのがわかる。

それから、シュリーマンがこの地に遺跡があると決めた理由の1つに、伝説に登場する葉っぱの形状がある。この地にも同じ葉をつける木があり、この種の木は周辺地域にないというのだ。

でも、それ以外に、この遺跡からここがトロイである可能性を示すものが出てこない。当然、あの有名な伝説を示す壁画などもない。あくまで、トロイの可能性あり、というだけで、確定情報ではないのだ。

つまり、この遺跡はまだ「生きている」遺跡でもある。さらに研究をすすめて、本当の実体を解明する必要があるのだ。

なのに広場には巨大な木馬のモニュメントがつくられ、すっかり観光名所になっている。

なんだか、ものすごくがっかりしたのがわかるだろうか？

この遺跡が事実、遺跡であるとういのは不動の事実だ。

でも、この遺跡があった時代、このクラスの都市はいくつも存在したのかもしれない。

同時代の各遺跡を研究、検証しないと、わからない事実がたくさ

んあるように思った。

現在の説では、「木馬」は作り話。というのが有力ときいた。その事実すらどこにも提示されてないし、ガイドもいわない。観光地だから、それでOKでいいのだろうか？そんな事おもった。

昔学校でならった日本の歴史上の人物の絵が実は別人らしいという話、以前ニュースでみた。だから、今の教科書をみると記述がちがうらしい。こうして歴史上の新事実がでてきたらちゃんと修正するのが本来の正しい姿なのだ。めんどくさいと間違ったままにしておくのはよくない。

今年はトルコ建国何十周年とかで、空軍がなにかのショーの準備をしているようだと言ったガイドがいった。

見上げるとトロイの遺跡の上空をF-16戦闘機が2機ほど何度も飛んでいる。今は米粒のように見える2機だが、最初唐突にあらわれた瞬間は驚いた。まるで絵に描いた戦闘機のように見える距離までおりてきて上空をかすめたからだ。早すぎて無理だったが、写真におさめればそのまま模型の箱の絵に使えるのでは？と思えるほどのベストアングルとベストな高度で突然目の前の飛び込んできてびっくりした。

古代の遺跡と最新の戦闘機、時間の流れの果てしなさを感じる光景だ。物凄い時間が経過したからこそ、この2つは今ここに同時に存在している。そういう意味で、この遺跡はたしかに事実遺跡なのだ、誤解されているのがかわいそうにおもえた。

ガイドがいう、この門から木馬が入ってきたんです…

という説になってますとは言わない。確定情報として流す。まち

がいといたい衝動をおさえた。

ここで歴史論争をしても、資料がなければ水掛け論だし、第一、ここは議論の場ではない。そのくらいの常識はさすがの僕ももっている。議論はすべき時、すべき場所で、する必要があるときすべきだと思つ。

誤解されつづける遺跡トロイ、というのが僕の見解です。

あくまで見解であり、異議はあるかもしれないけど、あくまで感想なので。

誤解されつづけるって嫌だよね…、でも相手に理解しようという気があるなら、いつか誤解はとけると思う。大切なのは、たとえ現状において誤解があろうとも、“理解しようとする気持ち”さえもちつづければ、かならず誤解はとけるといふ事。そういう事だと思ふ。Fさんはどう思いますか？

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコです、気を付けて。

実は君に読んで欲しい本があります、日蓮の現存する正筆御書です。ぜひ一度…

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

教えが正しいとか、間違っているとかいう問題ではない、人間の“質”の問題なんです。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

ヒツタイトで発掘された“世界初の平和条約”文章が、ドイツからトルコに返還されたそうだ。

先にもふれたとおり、トルコ人にとってヒツタイトの遺物は何よりまして重要だ。大切なたからもの。

心が広くないと、一度てにした世界的遺物を、返還はできないものです。

こういうのを器がデカイといたいものです。
力ある国家だからこそ出来るのです。

弱小国なら、宝物は、1つたりとも手放したくないもの。
そんな事おもった。

君は今も戦っているのだろうか…

一応、その前提で書きます。
負けないで！

〔8月22日(日)曜日〕

エフェソス、ハツツウシヤス、カッパドキア、スルタン・サライ、
コンヤ。

イスタンブールは後述するとして…
次に書こうと思うのはスミルナだろうか…

スミルナという都市は現在存在しない。今はイズミールという名で存在する。

エーゲ海は西をギリシヤ、東をトルコが占めている。イズミールはエーゲ海のトルコ側都市を代表する都市だ。

正直、ここので観光はしなかった。多くの観光客はここを起点に周辺の有名観光地へむかう。そういう性格を持つ都市ときいた。古

いものはなく、近代的なものだけが存在する都市イズミール。そういう場所らしい。

温泉で有名なパムツカレからバスで延々西進し、ようやくこの都市につく。

ホテルはこの旅でもっとも豪華に感じる所だった。料金表をみると今までと違いユーロが使えるようだ。おそらくヨーロッパからの客が頻繁に来るのだろう。

ホテルの従業員もなにか違う。こちらの人はサービス業も含めて笑ったら負けとでも言わんがばかりに笑わないが、このホテルの人は皆、笑顔だ。ヨーロッパの客が多いたためかもしれない。

ホテルの前に軍艦が停まっている。博物館だという、早速行ってみる。

すると門が閉まっている。開くかどうかやってると兵士が向こうでダメだ！とジェスチャーしている。どこかに案内板があるに違いないと探し見つける。どうやら午後4時半に閉館するらしい。はやすぎる…と思った。ホテルに着いたのは午後6時ごろだった。どこかに散策できるような商店は…と探すがない。勝手がわからない状態でウロウロするのはよくないと判断。入れなかった軍艦を数枚写真に撮り引き換えした。

とにかく印象的なのはエーゲ海を見尾下ろすホテルの部屋だった。正直ホテルの設備には随分不満があったのでようやく安心してリラックスできる所に来たなと思った。軽いリゾート気分が味わえた、そんなホテルだった。

僕の記憶に間違いがなければ、ここイズミールは建国の父ケマル・アタチュルクがギリシャに勝利し、トルコ独立のきっかけをつかんだ場所のばずだ。

そういう理由が影響しているのか、ここはトルコの軍事拠点という性格も持つときく。基地があり、軍艦が何隻も停泊し、司令部もあると…。あの博物館になった船もそういう関係であるのだろうかと思った。

最初に書いた、昔はこの都市はスミルナと呼ばれたと。

実は紀元前からスミルナは存在する。先に書いたエフェソスとともにヨハネの黙示録にも登場する都市だ。そんなに古い都市なのに遺跡の類はない。完全に近代的な都市になっている。一方でエフェソの方は現在も当時の遺跡がかなり原型を留めて残っている。何がこの2つの都市の運命をわけたのだろうか？

これは個人的見解だけど、エフェソスは港町だったが、その後海岸線が变つてしまい海沿いの街ではなくなってしまった。陸の孤島となり、利便性がなくなり、捨てられたのではないだろうか？スミルナ（イズミール）の方は今でも目の前にエーゲ海がある。捨てられる事無く、今日まで発展した…そんな経緯を想像する。はたして合っているのだろうか？のちのちいつか答えにめぐり合えたらそれはそれで面白いと思う。

かつてこの地は多神教の地だった。各都市が独自にアルテミスやその他もろもろのギリシャ神またはキュベレーといった地元の神を敬っていた。

キリスト教が広がると、アルテミスやキュベレーといった女神信仰は“聖母マリア”信仰に挿げ替えられていき、古い神は捨てられていった。

イスラムの波が来た時も、キリスト教やその他生き残っていた多神教の神も破壊される。エフェソスは捨てられたからかうじて遺跡が残ったが、スミルナ（イズミール）はそうもいかなかったように事だろうか…。

実はトロイの物語を書いたとされる人物はここスミルナ出身だ。そしてエフェソスには当時世界最大級の図書館があり、その中の蔵書に彼の本もあった。ローマ共和制末期、アントニウス将軍がクレオパトラにエフェソスの図書館の本を全てプレゼントするというアホな事をしている。いつの時代も“もの”で女の心をひけると思うバカはいるわけだけど、いくらなんでもやりすぎだと思う。その本は、アレキサンドリアの図書館に収蔵されたのだが、後に火事で焼失。その火事の跡で燃えずにのこった本が実はトロイの伝説を書いた本だ！という伝説があるらしい。そういう意味で、ここスミルナ（イズミール）は周辺都市の歴史とちゃんと関わっている都市なのだ。

先ほど述べた博物館になっている軍艦。ホテルの前にあり、部屋からも見下ろせる。夜はライトアップされ、エーゲ海とよくあっている。クラウンプラザホテルで検索すればその様子が判るかもしれない。
(こつこつという景色は誰かと見たほうが楽しい、Fさんはどう感じますか?)

帰国後、写真をみてこの船を調べる。識別番号からようやく正体をつかんだ。

元々はアメリカのフリゲート艦で1970年代に造られたもの、アメリカでは90年代に退役したが、一部が台湾とトルコに売却されたとある。

見た時から思った、結構新式の装備をたくさん持っている、トルコはこんな最新の船を“博物館”にするような余裕があるのか？と調べると最新のヘリが着艦できなかつたり、エンジンが1世代前のものだったり、見劣りする部分もかなりある。どうやらドイツにより最新のを発注した関係でこの船は退役したらしい。

時代は動いている…、そう感じた。

今、これを書いているときも、TVのNHKスペシャルでタイの発展ぶりを放送している。もう日本のレベルとそう変らない製造業のレベルにっているようだ。

GDPも今年は中国に日本は抜かれると言われている。(もう抜かれたのかな?)

いつまでも同じではない、日々世界は変化し、動いている。永遠と思える世界も実は日々変化し動いているのです。古代から脈々とつづく歴史同様、今、現在も動いているのです。確定したと思いついでいるだけで…。

日々変化している世界…、

君は何を感じるのかな…

今まで考えられなかった事が起こるといふ事実を。

想いをかなえるという事が、今まで誰もしなかった事だからといって、躊躇する理由にはならないのだと思う。負けないうで欲しい…、そう、伝えます。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言っ権利を君は十二分に持っていると思う。

いろんな目に遭う前は、彼らの組織が正直ここまでひどいと思っ
てなかった。

もっとまともな組織と本気で思っていた…

多くの“まともな人”を隠れ蓑にして、“そうした”人が隠れて
いる。

もう、恥ずかしい!と“そうした”仲間の行動を見ている人、結

構いると、

そう思います。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用の呪い」にかからず、
サンクコスト

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

悔やんでいるならOKです。

悔やみもしない人達に囲まれてはつらいと推測します。脱出がベ
ストです。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔8月23日(月)曜日〕

エフェソス、ハットウシヤス、カッパドキアが3大印象箇所。

イスタンブールは別枠。

あとその他という印象です。

その他の代表格がスルタン・サライとコンヤ。

次がイズミールなら…

その次がパムツカレだ。

パムツカレについて一言で言うと、「ロシア人の熱海」という印
象だ。

温泉地になっでいて、ロシア人たちがたくさんプールで泳いでいた。こちらの温泉は温泉プールがメインだ。

パムツカレ自体は紀元前から存在する温泉地らしい。

白い棚田たなだのような風景で有名だ。

いくつもの“白い棚”たながなだらかな斜面に展開している。1つ1つの棚に温泉が溜まっでいる。

源泉自体は上の方にあり、1つの棚は温泉の含有成分が固着して出来たものだ。白いのは含有成分が固体化した姿だ。

1つの棚はどのくらいだろう…、けっこう広い。それが幾十にも連なっでなだらかな斜面を埋め尽くしている。かなりの年月がたたないこうはならない。

大昔はここにじかに人が全身を浸かったらしい。現在は素足で歩く程度が許可されているだけだ。ただし素足のみで、土足で立ち入るとたちまち警備員が飛んでくる。実際何人かの観光客がとがめられていた。

実際に入っでみると白いたなの表面は固い。歩くのに苦勞する。

大多数の観光客はどんどん棚の奥へすすむ。けど、雰囲気だけ味わっで早々に引き上げた。

見るべきものがあるからだ。

世界遺産パムツカレは古代遺跡ヒエラポリスと併設された形になっでいる。おそらくは昔はヒエラポリスがメインで、パムツカレがおまけだったのだろう…

現在は完全に逆転している。

ヒエラポリスはペルガモン王国の一部だ。ペルガモン王国はこの地をアレキサンダー大王が支配した後、短期間で分裂したさい独立した王国の1つだ。

ローマが支配するまで、この地にはこうした王国がいくつかあっ

たらしい。

都市の形状はギリシャポリスに準拠している。劇場があり、広場があり、とインフラが共通しているからだ。

しかし、エフェソスと違い面積が広く、また痛み具合もすすんでいる。全体を回るにはかなりの時間があるようで不可能だった。

それでも見てみたい。早めに白い棚から引き上げて周辺を見た。

博物館があり、1人入ってみる。集合時間まであと10分だ。はやくパツと見て出ようと思った。

チケットを買い、中へ入る。

中はギリシャ・ローマ調の遺物で埋め尽くされている。レリーフの首が細かいものまで切り落とされている…。おそらくイスラムの偶像破壊運動の影響とおもわれる。

…まあ、そういう教えなのだから仕方が無いが。

こんな話を思い出した。

コンスタンチノーブル陥落後、イスラムの教えでは略奪が当然の権利と明記されているので、止める事ができなかったと。

王は実は可能な限り無傷でコンスタンチノーブルを手に入れたかった。破壊しては意味がない、けど、コーランに書かれている以上とめられない。そこで最短期間の略奪を部下に許すが、その期間が過ぎたもちの略奪は厳罰にしたそうだ。

略奪の過程で奴隷にされた市民の1部は、スルタンの手で買い戻され、再びコンスタンチノーブルでの居住を許されたという。切り落とされたレリーフの首を見て、そんな事思い出した。

どこの世界にも、下劣な人間は存在し、そうした人間は、欲望のまま行動する。

けど、ちゃんとしたスルタン（王）がまとめるからこそ、全体が機能する。

いつの時代もどこの世界も同じだと思った。

教えに書いてあるとバカ正直に実行するのは人間としてどうか…

“質が”問われる事実は古今東西変らぬ事実です。

こんな事も思う。

“彼ら”の中には、自分を責めたくないが故、他人を責めるのではないかと。

君はどう思いますか？

僕はこう思います。自分を責める必要はありません。僕が保障します。

責めるのと、悔いるのは、別次元の問題です。

行った事を悔いているなら人として正しいです。

悔いるという概念すら理解できない人より、遥かに人として“正しいあり方”に近い…。

他人を責める事で“楽になる”と思ってる連中のなかでは、息苦しいと思う。どうなのだろう…。

人としての“質”の問題なのです。

教えが間違っているとか、正しいとかいう問題ではありません。

こうした優れた指導者に支えられたオスマン・トルコも時代が下ると、指導者はお飾りになり、幹部が支配する自分本位のシステムが構築されていき、最後には状況に対応する能力も失う事になる。

第一次大戦後、メフメット6世は自国の崩壊を認める条約をヨーロッパ各国にたいして結ぶ。さじをなげた形だ。君主にも問題があるが、国家がすでに国家として機能していなかった。こういう状況を“形骸化”というらしい。

この醜態をがむしゃらに覆そうとしたのがケマル・アタチュルク

で、坂本竜馬よりもパワフルでむちゃくちゃな行動に走った人物だった。

…ヒエラポリスに話をもどす。

博物館を出ようとする警備員に呼び止められる。

え？何かしたっけ？と思い振り向くと、

「ネクストルーム！」

と次の部屋がある事を教えてくれた。よく見ると順路をさす看板が…、10分しかないのであせって見落としていた。

お礼を言い、急いでまわる。時間が無い。

見ていて思った。どうやらこの博物館“自体”が遺跡らしいということ。何らかの巨大な建物だ。詳しくわからないのが残念だった。（今、ネットで調べると、どうやらヒエラポリスの南大浴場跡らしい。記憶を頼りに画像検索すると簡単に見つかった。ネットって本当にすごい）

トルコの人にはみなしかめっ面だが、見た目とちがiiii人が多いと感じた。

ほかに、ささやかだか親切にされた事がいくつかあった。

人間見た目じゃないかと改めて思う。

こういう人として“当たり前”の感覚。否定してはいけないと、そう周りの人に伝えてください。

この後、集合場所のカフェに急ぐ。カフェは温泉プールの付属施設だったようだ。

流れるプールがあり、白人が泳いでいる。ガイドによるとロシア人だそうだ。

カフェから離れた位置に屋外コインロッカーがあり、水着姿のロシア人が入れ替わり出入りしている。

その光景は日本のプール（もしくは温泉場）をイメージさせる。
熱海のような庶民的な空間だ。

1万キロ離れた地でも人に基本的な違いは無いように感じた。

君の周りの人に伝えてください、人に基本的な違いはないのだと。
君の周りに人に伝えてください。“生き直し”って出来るのだと。
悔やんでいるならOkだと。大丈夫なんです、と。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用の呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

自分を責める必要はありません。僕が保障します。
負けないで！！

〔8月24日（火）曜日〕

初日、成田空港からトルキッシュ・エアラインに乗り込み東京を
たった。

チケットをみるとTK0051便イスタンブール行きとある。荷
物をあづけ、出国ゲート行き、飛行機に乗る。

最初ついたのはイスタンブールだ。夜の8時頃だと思う。そのま
ま一泊し、早朝トルコ国内線で首都アンカラへ飛んだ。

飛行機についてはいろいろ本で読んでいたが実際乗ってみるとな

るほど書いてあるとおりだ、と感じた。最初に激しい振動が機体全体を覆う…、両翼のエンジンが始動する際の振動のはずだ。エンジンは突然回りだすから、翼が振動しているのだ。振動がおさまるにはエンジンの振動と翼の振動が同調しないとならぬ…というのが僕の現在の理解です。まちがってたらごめん。

国内線でアンカラへ到着。ようやく観光旅行がはじまる。

もともとアンカラは寂れた一地方都市だったらしい。発展から取り残されたただ古いだけの町、それがかつてのアンカラだった。

トルコ建国後、ケマル・アタチュルクが首都をイスタンブールからアンカラに移した、いわゆる遷都だ。理由はいろいろある。旧政府であるオスマン・トルコの影響力を封じ込める目的と、ゼロから近代都市を造るにはイスタンブールは名所旧跡が多すぎる事だ。何も無いと田舎のアンカラなら、自由な都市計画が築ける。

実際アンカラの地に降り立つと、整然としたきれいな町並みだった。どの家も赤い瓦屋根で統一され、マンションなどもカラフルだ。古い世代の日本人はあのカラフルなアパートやマンションが理解できないらしい。よく、同様の建物が日本国内で作られると景観を損ねる！と裁判になることがよくある。

あれはドイツの有名な建築家がドイツの公営アパートをカラフルにしたのがきっかけと聞く。いままでグレー一色と決まっていたアパートがはじめて彩りが加わり。アート作品のようになったからだ（イメージとしてはアイマックの登場に似てる。それまでベージュと決まっていたPCにデザインと彩りをはじめて加えて話題になり、いまやデザインを意識したPCは世界標準だ。）

トルコはドイツと深い関わりを持つと聞く。そんなトルコにドイツ発祥のカラフルなアパートやマンションがあるのも不自然には思

わなかった。

（日本国内ではこうしたカラフルなマンションは少ない、けど一戸建てレベルでは確実に増えて来ていると思う。最近の新築一戸建てはみなお洒落でカラフルだ。新築を立てるのは若い世代だ、違和感を感じあいのだろう。いつの時代も新しい感性を拒絶するのは古い世代だ）

古い世代の干渉を嫌い、首都を遷都したのだろうか…、そんな事思った。

アンカラは古くはアンキュラ、もしくはアンゴラと呼ばれた。意味はどれも英語のアンカー（＝船のいかり）の意味だそう。ノアの箱舟が洪水の後、陸地につくまでに、“いかり”を失っている。伝説だ。

誰が言い出したのかその伝説に基づいて、この地に箱舟のアンカーが埋まったとか言い出したらしい。古代の話だ。以来、この地はアンゴラ、アンキュラ、と呼ばれ、現在はアンカラになっている。なぜにノアの箱舟が出てくる？トルコでしょ？と思うかもしれない。

実は旧約聖書の主だった舞台は現在のトルコ・シリア・レバノン・イスラエル・エジプトだったりする。シルクロードの終着点でもあり、当時は気候もよく、森林や水の豊富な暮らしやすい地域だったらしい。現に箱舟が、漂着したとされるアララト山はトルコ国内にある。

アンカラに着いて、まず行ったのが博物館だった。前述にあるヒッタイトの遺物中心に展示されている所だ。印象的だったのが寄木細工で造られたテーブルの出土品。おそらく当時この地にふんだんに生えていたレバノン杉で作られたものだろうと思っていれば、ガイドがそう説明したので、間違いなくレバノン杉製だ。最初武具かと思った。複雑なつくり…、こういうの工芸品にすればいいのにと

思うが無いようだ。今は失われた技術と言ったところだろうか？歴史を感じます。

その後昼食、初めてのトルコ料理。

トルコ料理は“コース”になっている。前菜が出てメインがでてデザートが出る。それが普通らしい。もしくはバイキングで自由にとるかのどちらかだった。日本のように複数の食器にメインもデザートも前菜もスープも全部並べるような事は無い。食文化の違いだ。

トルコ料理については後でまとめて書こうと思う。

端的にいうと、最初は“うまい”。けど、体が慣れてないから体調を崩す。

昔、北朝鮮脱北者が韓国で肉を食ったら腹を壊した、食べ慣れない油分を分解できず胃腸をやられたというニュースを思い出す。慣れば胃腸も大丈夫だろうが、そうでないうちは注意しないと…、油分が日本料理の何倍もある…その点に気をつければ、楽しめる。そんな印象だ。

この日はまだ初日だったので、おいしかった。

世の中には“ちがう”と言うものが確かに存在する。

どこでも、いつでも、自分のルールが通用すると思っているのは間違いだ。そう思う。

しかし、拒絶だけしてればいい訳ではない。どうやったら受け入れられるのか？と常に模索していかないといけない、そんな印象をもちます。安易に受け入れるのは難しい…、だからといって拒絶せず、どうやったら理解できるか？どうしたら受け入れられるか？を考えることが大事だと思う。

そのためには、まず、“違い”を認識し、優劣ではなく、違いを平等に見る必要があると思う。

最初から安易に“拒絶”しては、何も前へ進めない。ただ“

立ち止まる”のみです。

これは人としての“質”の問題です。

その視点で、この話を考えると、どんな結論がでますか？

そんな事を思った。

できたら、君の周りの人に、“異質なものを受け入れる努力とは何か？”と問うてみてください。

その答えや対応に君が何を感じ、どう思うのか…

人はやさしく生きていいんです。そう周りの人に言ってあげてください。

人をもうこれ以上惜しめてたのしみたくありません、もともとから嫌だったんです。といってもいいんです。

自分の言葉を取り戻して！

優しさを忘れるよう“強要”されるの、おかしいと思うでしょ？

…君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待させてください。

中には偏狭な人達もいると思う、でも、理解者もいるはずですが皆敵ではない。

中には器の大きな人もいて、それを示す機会を伺っているのかもしません。

“生き直し”って出来るんです。悔やんでいるならOKです。大丈夫

夫です。

寛大な人は、「好きにきなさい」というタイミングを推し量って様子見をしていると思う。

悔やんでいるならOKです。

悔やみもしない人達に囲まれてはつらいと推測します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔8月25日（水）曜日〕

今まで、名所旧跡に焦点を絞って書いた。

今回はアップローチをかえてロード・スケッチで行こうと思う。今までの記述を踏まえて読めば、旅の行程が違う角度でイメージできると思う。一方的な見方に固執するとよくない。とりあえず2日目までのロード・スケッチです。

初日、成田からイスタンブール、2日目早朝国内線でアンカラへ向かったのは昨日書いた。

その日の昼食後、アンカラをバスで発ち、延々陸路を移動した。トルコの大地はともかくデカイ。その面積は日本の2倍もあるらしい。

それでいて実は鉄道がまったく発達していない…、全てバス移動か飛行機（国内線）になる。

最初は「えーっ」と思ったが、慣れてくるとなんだかこの不便さが逆に新鮮で面白くなってきた。

トルコの道路は日本のものに比べて物凄く適当に作られている。物凄いでこぼこ。逆に新鮮で面白かった。日本の道路はどこまで行

つてもなだらかで、高速など走っていると眠くなるくらいだ。ところがトルコは違う…。いたるところデコボコで、ちよつとしたアトラクションに乗ってる感覚だ。非常にアグレッシブ。当然、ガードレールなんてものもない。旅の途中、横転事故を起した車をみた。見事にひっくり返っている。けが人とかどうなっているのかわからなかった。ガードレールさえあれば…。と思わず息を呑む。こちらの道路は走るだけでデンジャラスでアグレッシブだ。

日本の道路は豪華過ぎる…。と感じると同時に、高い建設費に見合うだけの超高級道路を作ってるんだなと感心もする。

以前、誰だったか忘れたけど、日本の大臣が、外国の道路はひどいじゃないか！日本は高い金かけて立派なもの作っているんだ！といった趣旨の発言をし、翌日くらいに撤回、謝罪することがあった。あの大臣の言っていた事は事実だなと思った。なぜ事実なのに謝罪したんだろう…。

その発言が呼び水になって、道路建設費削減論争に火がついたら、道路族議員も地方の関係者も大打撃だ。議論がデカクなる前に沈黙化させたくて謝罪したのでは…。などといらぬ詮索が思い浮かんでしまう。

最近こんな事思う。日本の政治ニュースがどうしても政局報道に集中してしまうのは、誰につけば得か？損か？と多くの人が関心を持っているからで、世の中をどうしたらよくなるかという報道が二の次になるのも、その所為ではないかと思う事がしばしばある。

そして多くの人がそんな報道にへきへきしているのも事実。

あれ？菅さんはスキャンダル無いんだ！普通は今頃なにかしらすキャンダルとか、問題閣僚が発覚するのに、無いんだ！凄いな！！！とは誰も言わない。誰につけば得か？損か？という価値観では無用の情報なのだろうか？そんな事も思う。得か？損か？という一方的な見方に固執するとよくないと思う。

…話はバス移動に戻る。

アンカラからヒツタイトの首都ハットウシヤスへ移動。遺跡を警備？している軍人に出くわす。手には自動小銃（MP5）、随分重武装じゃないかと思うがこちらではこれが普通らしい。ガイドの説明では都市部以外の警察の仕事は軍が行うのだそうだ。なんだか面白く感じた。確かに外国にいるなと感じられたからだ。いろんな事が違う。新鮮で面白い。

こういう体験、君とできたらもっと楽しいのにと思わなくも無い…、Fさんはどう思う？

その日のうちにカッパドキアのホテルへ向かう。その日はホテル到着時で終了し、カッパドキア観光は3日目になる。

ホテルに着くまでまた延々とバス移動だ。赤土の大地を延々とすすむ。

ハットウシヤスを発ったのが午後3時くらいだろうか？4時間くらいして土が赤から白に変る。前述したとおりカッパドキアは火山製の地質だ。「来たな」と思った。見ると徐々に見えてきた奇岩群少し感動した。もちろん翌日もつとすごいものを見るのだが、やはり最初に見た印象というのは忘れない。

初めての印象とういうのは忘れないものです。わくわくして、楽しくて、面白い。周りの人に、機会があつたら伝えてください。最初の印象って忘れないものだ。違いを楽しんだり、同じと思う事を嬉しく思ったり、何もかも新鮮で彩りに満ちている。

僕は今でも解らない事がある。当時君は一体、僕のどこがそんなに気に入ったのか？という事だ。もう一度あえるなら、きいてみたい。君に、直接。

昔、君は言った。「本当の私の姿を知ったら嫌いになっちゃうよ」

隣りに同様の棟が続いているのだが、隣は時代劇のセットにでもできそうな外観の廃屋だった。

店の外ではナツメヤシや香辛料の類を倉庫で保管してある袋をそのまま開けて店頭に並べた状態で売っている。観光客用のデモンストレーションではない、本当にどうやら、アンカラの下町らしい。近くでお茶を楽しむ男性がこちらを見ている。トルコ国内では丸テーブルを日傘の下において長時間お茶をする男たちがあちこちにいる。風物詩らしい、冗談なのか本気なのか、トルコでは、女性が働き、男はこうして暇をつぶすなどと聞いた。たぶん、冗談なんだと思っけど。

最初の料理はみなおいしかった…。

その日の午後カツパドキアのホテルに着く。こじんまりとした感じのホテル、山間にある日本の観光ホテルをやや大きくしたような印象。ちゃんとプールもある。

初めての夕食はバイキング形式だった。

バイキングなので、少量づつあるもの全てとった。まずいものも、上手いものもあり、どれも新しい味に思えた。野菜は基本、生野菜を食べるようだ、サラダが基本という事みたい。野菜炒めの類はない。あと、豆料理が豊富だ。油の量さえ気にならなければおいしい。

日本料理で必ず味噌汁が出るように、トルコ料理では必ず赤い豆スープがでる。香草が入っていて独特だ。定番メニューらしい。コース料理の時はかならずまず最初に出される。うまい。けど、意外に油が入っているので注意が必要だ。

その日はそのまま一泊し、翌3日目、カツパドキア観光になる。バスで道なりにある観光名所をまわる。後々の時代この地にやってきたトルコ人が各所の奇岩に名前をつけている。そうした岩の1つ、

ラクダ岩や3姉妹の岩などを見て回る。3姉妹の岩などは、歩いて入るには危険と思しき場所に英語のいたずら書きがある…、他に無いところをみると、そんなバカは1人だけらしいけど。思わずあきれてしまった。

観光地のいたずら書きは、罪悪感なくやるのだろう。例えばここカッパドキアのいたずら書きなどは、サンゴへのいたずら書きに匹敵する悪事だ。この景色は本当に何万年の時間が作ったもので、修復は不可能なのだから、歴史がわからない人が軽い気持ちでやるのだろうと思った。最悪です。

“彼ら”もみな軽い気持ちなのだろうか？そんな連想もします。

こんなニュースを思い出す。ヨーロッパの観光地に自分たちの所属組織（学校名）を明記し、個人を特定できる落書きをした日本人がいた、後日、同じ日本人により、その学校に通報され、謝罪することになった事件。本当に気軽な気分で作ってなきゃそうはなら無いよなと思った。

そう、思っていると、いつもこちらを凝視するおじさんが1人。入国審査の時からそうなんだよな、いつも気づくところを見てると思う。どこにでもついて来る。

普通そうな人なんだけど、聞くと海外旅行初めてらしい。白髪の年配者だ、その年で一念発起して海外に出ようと思った動機って…（しかも初めての旅行先がトルコってのも珍しい）、まあ、どうでも良いことなのでほっとこうと思った。僕の願いはFさんに会うことだ、些細な事などどうでもいい。それにもし仮にそうだとしたら、僕はその人に人生で初めての海外旅行の動機づけをプレゼントした事になる。最初のころはともかく、後半随分楽しそうにしてたから良い事をしたと思えば満足です。仮にそうだという仮定が合っければの話なのですが…。

ものは気の持ちようです。

人が聞くと素直にうなずけなければならないであろうこの発言。それでも僕の

性格をしる人間なら、そうそう、こういう事本気で言いそうな性格してる、と思うはずだ。君はどう思う？そんな事思った。

この後、ウチヒサルといわれる巨大な砦のような奇岩へ行く。砦のようだなと思っていると、事実砦として利用された歴史を持つらしい。この岩はカッパドキアのかなり遠方からでも見える、ホテルから景色をスケッチしたときも見えた。まるでランドマークのようだ。

道沿いにうち捨てられた荷馬車があちこちに放置されている。とても雰囲気ある景色なのだが、お土産物屋の屋根の上にまで飾ってあったりすると、観光用ディスプレイなんだろうか？などと思ってしまう。でも、ここは観光地なのだから、素直にその情緒を楽しむ事にした。

途中、アイスを食べる。トルコ名物の“のびるアイス”だ。何とか言う木の实が入っていてそれがのびる秘密らしい。

しかし、残念ながらのびなかった。アイス屋さんが冷蔵庫から出したばかりで、練りが足りなかったようだ。急かしたのがいけない。何か。何事も“急いては事を仕損じる”です。余裕をもたないと。のちのち別の場所でアイス売り屋さんのパフォーマンスをみる。どうやらそちらが本来のアイス屋さんの姿だったようだ。ま、そんなのも含めて旅のたのしみです。なにもかもスムーズにいくなんて面白くない。山あり谷あり、回り道ありを楽しんだほうがいいと思う。気は持ちようです。そんな事最近よく思う。

（誰かところどころいう体験は共有した方が本来はもっとたのしくなる。経験の共有って意外に楽しいものです。君はどう感じるのかな…）

ここは“急いては事を仕損じる”という事は実際あるなど、経験を蓄積できたと思うほうが心の財産になる、と感じた。

この後もカッパドキアをあちこちまわる。

野外博物館、ハイキング、地下都市……。これらは明日書こうと思う。

気の持ちようで“つらく”も“楽しく”もなる。

そして、山あり、谷あり、回り道ありも、面白くできなくはない。僕にはそうやって生きていく。今までもそうして来たし、これからも、そうしてゆくでしょう。

今までと少し違う点は、旅行もつとしたいなと思いはじめている事です。海外はともかく、国内なら安くて面白いツアーがいくつもある。歴史ものとか、社会見学ツアーなんかも、けっこうリーズナブルな金額であるみたい……。

え？その前に仕事なんかしろ？そうその通り。

何とかしようと思っています。まあ、急いで仕事は仕損じるともいいますので。

目星はつけてある、うまくいくか、そうでないか、（Fさんが）見守っていてくれると嬉しいです。

それが具体的に書ける様になった頃、また書こうと思います。

仕事に就いて、慣れて、余裕が出来た頃、旅行もしたいなと、今そんなイメージを持っている。

誰かと一緒なら、もっといのに……、と日々思う。

将来のそなえ？

とりあえず家はある。安月給でも貯金はできる環境。

ささやかな楽しみがあれば、贅沢は無用だし。

（“ささやかな楽しみがあれば、贅沢は無用”って感覚。Fさんももってるような……、違うかな……？）

とにかく待とうと思う、今はFさんの都合がわるいだけだ、なにかしら都合がよくなったら、いつか会えると信じる事になっています。

考えがまとまらない時は急がず、じっくり考えて良いと思う。きっかけがないと決められない？それは僕も同じです。“急いては事を仕損じる”です。

無駄な努力も、決して無駄ではない。得られるものはたくさんあると僕は信じます、なぜならそのおかげで君の本当の気持ちに気づけたからです。

君が心を貫けますように…君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

いろんな目に遭う前は、彼らの組織が正直ここまでひどいと思っ
てなかった。

もっとまともな組織と本気で思っていた…

多くの“まともな人”を隠れ蓑にして、“そうした”人が隠れて
いる。

もう、恥ずかしい！と“そうした”仲間の行動を見ている人、結
構いると、

そう思います。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

誰かの恥の尻拭いを何で自分がしなきゃいけないんだ！そう感じ
た人（感じる人）少なくないと感じます。

多くの人の良識の存在を信じて。

周りに人にこう言ってもいいんです。
わたしが自分の生き方を決めるまで、黙っていて！と。

Fさんが「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から願います。

遊ぶ金ほしさの連中なんかには負けないで！頑張れ！！

〔8月27日（金）曜日〕

1日目は東京からトルコまでの移動日、2日目はインタンプルから即アンカラへ移動。（実は最終日イスタンブルに戻ってくる、だから、観光もせず、移動）アンカラからヒツタイト遺跡、そしてカツパドキアへ、一泊し、3日目…

昨日の続き。

次はハイキングと称して、バスをおりて歩く。
場所はカツパドキアの中でも「見てはならぬもの」という意味をもつギョレメという場所だ。

正直、今までは、凄いは凄いいけどこんなものか？と思わなくは無
い感じだったが、ここに降り立ってようやく、写真からイメージし
ていたカツパドキアの風景に來たな！という感じになった。

期待どりの光景。期待を裏切られるのも旅行の醍醐味だけど、
期待どりのというのも、やはり嬉しい。

奇岩にじかに触ってみる…（傷はつけてない）、固いが、なでる
とポロポロと砂が沸く感じだ。今も確実に風化はすすんでいる、目
に見えない速度でゆっくりと、そんな印象をつける。本当に長い年
月、僅かづつ風に削られてこの景色ができたんだなと実感する。

遙か昔、ここに住んだ修道士もこうした道をすすんだのだろうか？

途中、小さなひまわり畑、こちらではひまわりは食用だ。種を食べたり、油にしたり。

雰囲気を味わうにはハイキングは結構いい。軽い秘境ツアー感が楽しめる。

この後バスにもどり短距離移動、野外博物館へ、野外だけど“博物館”なのだ。どういう事か？

イメージとしては、先ほどのハイキングが整備されてない“生のカッパドキア”だったのに対して、ここは観光用に完全に整備されている。見学コースもある程度きまっついていて、ゲートがあり、舗装された道もある。入場料もとる。

この野外博物館は主に“教会”として使われていた洞窟が多いようだ。

そうした洞窟教会に案内される。

写真で見ていたよりも内部は狭い。よくあることだが、写真では大きく感じてしまうというやつだ。

洞窟教会内部は聖書の物語にそった絵がフレスコ画で描かれている。

そして内部構造はイスタンプル（いや、この洞窟教会が作られた頃はコンスタンチノープル）のアヤ・ソフィア（聖ソフィア教会）を模した構造をしている。入り口に1部屋、奥に中央のへや、その中央の部屋は入り口も含めて4方に部屋がある。上から見ると十字架のような構造。中央の部屋の天井はドーム状にけづられている。初期の洞窟教会はもっと単純な構造と本でよんだ。時代が下るにつれ、大掛かりで複雑になっていったと。

その際、コンスタンチノープルの影響を受けていた、と。そう読んだ。この今入った洞窟教会は後期のものなのだろう…、この地を

支配した東ローマ帝国（ビザンツ帝国）の宗教観が反映されている。西ローマ帝国と違い、東ローマでは“イコン”と呼ばれるフレスコ画がもてはやされた。洞窟教会の壁面には、そのイコンの影響をうけた壁画がたくさん描かれていると聞いていたが、事実そのとおりだった。

ヨーロッパの教会のステンドグラスは皆、聖書の1シーンが描かれている。当時、字を読めるのは一部の人だったので、絵で聖書の物語を説明したからだ。おそらくこの洞窟教会の壁画も同じ目的だろう。修道士とはいえ、元は普通の人。字が読めない人が大半のはずだ。

僕の理解が正しければ、イコンというのは人の思いが込められたものだ。

東方正教会の信者は、なにかお願い事があるときは、イコンを作り、それを豪華な額などで飾り、教会に寄進したらしい。

ちなみにこのイコンづくりで有名なインコニウムという都市が当時あった。都市の名前に付くくらい“イコン”は当時メジャーなものだったのだ。しかし、このインコニウムはその後、セルジューク・トルコに占領され、コンヤと改名される。そこがセルジューク・トルコの首都になり、後にイスラム教メヴラーナ派の総本山になるのは前述したとおりだ。

偶像破壊運動により多くのイコンも失われたが、“イコンをつくる”という習慣はロシアに受け継がれ、現在も存続している。

先ほどのハイキングは、本来のカツパドキアの姿を見ることが出来たが、ここ野外博物館は凝縮されたカツパドキアの特徴を便利に見聞できる施設だ。

この後、再びバスに乗り、今度は地下都市に向かった。

前回の記述で書き忘れたけど、内部は物凄く“涼しい”。冷気みなぎる快適さがある。狭くさえなければ確かにすごしやすい。中は地下5階構造らしいが、全体を見学できるわけではないらしい。その辺は日本国内にある洞窟観光と同じだ。

地下都市の底には地下水脈があるらし（見ては無いか）。

でも飲むと健康を損ねるので、当時の修道士たちも口にはそなかつたという。

ヨーロッパでは危険な生水なまみずは避けて、ワインを口にしていたと聞く。ここカツパドキアも例外にもれずそうで、修道士たちもワインを、ここ地下都市で作っていたと説明された。今でも近くの村にはワイン作りの技が残っているという。何らかの手段により技術が伝承されたらしい。

驚いたのは石の扉だ。

地下都市の要所、要所にあり、いざ外敵が入ってきたらこの石の扉を閉めて身を守るのだという。

直径2〜3メートルはありそうな円形テーブルのような（いや、石器時代の石のお金のような）石があり、いつでもゴロゴロと動かして通路をふさげるようになってる。常にそうした事に備えていたわけだ。

このあとバスで一旦ホテルへ戻り、夜は、デイナーショーと称して、かつての洞窟住居を改装してつくったレストランで、ベリダーンスなどを見た。

デイナーショーの帰り、バスの中でガイドが言う、星空をみましよう、と。そういえば本に書いてあった。カツパドキアの夜景（星空）はきれいだ。でも雲のせいで星空は見れなかった。こういう事も含めて旅行の醍醐味です。山あり、谷あり、うまくいかないこ

とありも、全てひっくるめて楽しまない。

正直ああいう場所は誰かと一緒にいたいと感じるものです。Fさんはそういう時どう思うのかな……。そんな事脳裏をかすめる。

カツパドキア全体はもつと広い、今回見て回ったのはほんの1部だ。それでも圧巻されたのは事実。

自然の凄さと、それとは別に、ここに注ぎ込まれた人間の情熱。そして、現在の観光地としてたくましく生き残るカツパドキア。

この地を築いた修道士たちの精神は失われてしまったが、その足跡は、今も残り、忘れられることなく、観光でこの地を潤わしている……。それがキリスト教徒たちの意図したものでないにしろ、人々の役に立っているのは事実で、確かなことです。

意図した結果が出せなくとも、その過去の積み重ねがまったく無駄になるわけではなく、形をかえて、意外な形で、将来の糧に繋がる事は事実あるのだと思う。

あるがままを受け入れれば、いいように思う。全て、自分なんだから。

僕は、君が嫌う自分の嫌な部分もひっくるめて、君が好きです。そういう部分があるほうがいいくらいです。

とにかく待とうと思う、今は都合が悪いだけだ、いつか必ず会える、そう、思うことにしています。

物事のうわべだけで物事を判断する人間に負けないで！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

“生き直し”って出来るんです。悔やんでいるならOKです。大丈夫です。

寛大な人は、「好きにきなさい」というタイミングを推し量って様子見をしていると思う。

悔やみもしない人達に囲まれてはつらいと推測します。脱出がベストです。

気づいたなら、損な役回りから逃げていいものだと、強く主張します。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔8月28日（土）曜日〕

カップドキアに連泊の後、4日目の朝。

少し早く起きる。

部屋をでてホテルのロビーへ、PCがあり、ネットに接続した状態で待機状態にあった。

試しに日本のサイトを開いてニュースなどを見る。たいした事起きてないなと確認した。

途中から接続が切れる。どうやら、フロントで何かしら手続きをしないといけないらしい。

おそらく、前の客が使った使い残しでネット接続をしていたようだ（あるいは最初だけ短時間無料なのかもしれない）。

朝食時、昨日まで快調だった胃腸が調子をくずす、この辺りから、食事は気をつけようと思うようになった。

出発の集合時間、ホテルの玄関前のスロープに荷物も持ってゆく。すでに何人か同じツアー客がいた。バスも来ていて、大型荷物の積み込みなどをしている。

まだ多少時間がある…

足元を見ると2匹の子猫が遊んでいる。しばらくすると親猫も登場。ツアー客皆が見入る状況になる、あまりのかわいさにカメラに収めたりする。添乗員さんが言う、いつも朝いるんですよ、と。

ここに限らず、トルコ各地で猫がやってきた。時にはレストランの屋外席で、時には普通の観光地で、ドライブインで。観光案内には書いてなかったが、とにかく猫が多いな！という印象。それも人になれている。日本国内の猫はそうそうここまで人懐っこくない。お国柄だろうか？旅先のあちこちで猫が和ませてくれます。

ここからまた約3時間かけてコンヤへ移動。長旅です。

でも景色を見ているだけでも飽きない…、前にも書いたけどどこまで行ってもどこまでも続く大地というのは、日本の狭さを実感します。本当にひろい。

石を積み上げてつくられた古い民家などみてるとなんだか楽しいです。

よく、外国人が日本の古民家にあこがれると聞く、日本人からみたら、田舎のさびれたボロ屋にしか見えないそれが、“いい！”と

いう。日本人はえ？ そうなの？ という感覚になります。こないだも、在日外国人教授が日本の何処かの村の古民家を改装して宿泊施設にしたところ、外国人観光客に好評で、あのミシュランガイドもホテルとして1つ星をつけていると紹介されていた。その地域の外国人来訪者数はうなぎ上りにあがり、ついには行政も真似をしようと動き出したらしい。近辺の廃屋を買い取り、教授にならって改装して宿にしようというのだ。改装に1000万かかるので、年数件しかできないけど、そういう動きがあるという。

多分、僕が「いいな」と感じたバスから見る景色の中の数々の民家も、現地の人には違う目で見えるのだろう、そんな事思った。視線が違つと、気がつかなかった価値に気づくというものです。

この後、途中の休憩でスルタン・サライに偶然立ち寄つたのは前述のとうりです。

スルタン・サライはセルジューク・トルコが立てた商人のための要塞のような宿。当時、シルクロードを旅した商人の一行は隊商キャラバンと呼ばれ、キャラバンのために用意された宿が、隊商宿キャラバン・サライ。そして、当時最大規模のキャラバン・サライとして現在も残っているのが、ここ、スルタン・サライだ。

実は、スルタン・サライにつく前に昼食を食べによつた場所があり、そこは小中規模のキャラバン・サライを改装したレストランだった。中は、本来は無かつたはずの窓があり、さわやかな空間になっている。壁にはどういふわけか18世紀くらいの“手動ミシン”がディスプレイとして飾つてある、等間隔にいくつも。ちょうど窓の上辺くらいの高さの位置に。理性で考えるとありえない飾りだが、なぜかよく調和していた。

「ああ、そうか。シルクロードとミシンか！」と思いつく。

このミシンを飾りに選んだ人はセンスがいい。

シルクロードという言葉を知る人間なら、ミシンを置いてても違和

感を感じない。

布とミシンはつながりのあるキーワードだ。

そしてミシンという文明の利器を置く事で、田舎くさい野暮ったさを消す演出をしている。レストランは高級感の演出が求められる。そういう意味でミシンのディスプレイは正解だ。そんな事思った。

…じつは、この日。トルコ絨毯の工場に案内されている。昼食後だったと思う。

どうも日本人観光客はかならずここへ連れてこられるようだ。なにしろ2006年初版の「親日の国トルコ 歴史の国トルコ」という本の中でも、まったく同じ工場に連れてこられた事が書いてある。中で行われたパフォーマンスと即売会の様子もほぼ本の描写と一致する。さすがシルクロード商人の末裔たち、商魂たくましいというか…

販売員はみな日本語ができる。

テンポのよいリズムカルな説明で次々と畳み掛ける。軽い催眠のテクニックだ、リズムカルなテンポで理性の働きが鈍くなる。一緒にいった12歳の甥まで欲しいといいだす。こういう軽い催眠状態の時は、理性が喚起される情報を提示すると簡単に催眠から脱する。試しに、「最低でも4万つて事は、あの小さな絨毯1枚がPS3より高いんだぞ」といってやると、「あっそうか」と急速に理性を取り戻した。

トルコ絨毯はたしかに良いものだ。説明では実用性もあるので飾りではなく日常生活で使えます。と説明する、けど、その後おとづれた施設やホテルでもほとんど使用されてないし、汚れに強いと強調されていたわりに、たまに見かけるホテルのトルコ絨毯は黒く汚

れていた。

「こつこつとところで、説明どつり本当に日常的に使っているのなら、あの話信じるんだけどな」と思ったものです。

話は一応全部聞き、あとで、本当かどうか確認する姿勢が大事だと、僕は主張します。

たぶん、君の所には、入れ替わり立ち代り次々と誰かしら人が来て、君の心を説得しようとするのではないだろうか？

と、そんな推測をします。もし、あたっていたらだけど、聞く耳をもってはいけません。

向こうは、ああ、もうめんどくさい！という事きくからそれでいいでしょ！と君が根をあげるのを期待しているからです。

優しさを忘れるよう“強要”されるの、おかしいと思うでしょ。

毅然とした態度はとり続けないとダメです

君に勇気が宿りますように…、そう願います。

巧妙に“何か”が“何か”にすりかわって、そして誰かがやけ太る？

君がどこにいようと、どんな状況だろうと応援しています。何かあると世界中でただ1人味方でい続ける人間がいることを忘れなさい。

…君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

.....

〔8月29日(日)曜日〕

トルコ絨毯には羊毛で編んだ“敷物タイプ”のほかに、シルクで編んだ“タペストリータイプ”があるようだ。

値段は大きさではなく、模様の細かさで高くなるという...

中には「写真」みたいな細かいものまである。

あれを人力で編むのは確かに職人芸としてはすばらしい。

いつもの僕なら、こうした職人芸には畏敬の念をしめす。長年漫画など描いていたせいで、クリエイターに対する憧れは一人ひとりある。とくに実力者に対しては。

けど、今回は素直にどうしても“すごい”と感嘆できない。理由は繰り返し返される説明にある。

「女性が織っているんです」

意味としては、丹精込めて女の人を手織りで一生懸命織っている

んです。彼女たちは小さい頃からこの技術を取得します。とくに細かいものになると若い女性の小さな手でしか織れません。このクラスの絨毯などになると、ひとりの女性が子供の頃から織り始めて、結婚後も続けて、何十年もかけてようやく完成することができる細かさです。中には何世代もかかって織られたものもあります…。

清純な女性が人生を犠牲にして作った究極の手製の絨毯。そう言いはしないが、要はそこがセールスポイントらしい。足拭きマットクラスの大きさで（平均的な細かさの模様なら）1ヶ月かかるという。1週間の彼女たちの収入を約1万と計算すると、1月で4万になります。ここにさらにいろいろ経費が乗つかるので、トルコ絨毯は高いのです。でも、ここでは4万円で買えます。…と、繰り返しリズムカルに強調される。

女性が、女性が、と言われるとこう思ってしまう。

「別に男が織つてもいいのでは？」と。

クリエイターに男女差別なぞ存在しない。良いものを作った人が全てだ。僕はそう思う。

アジア人特有の女性観が根底にある…、トルコ人も同じアジア人なんだなと複雑な気分にある。

女性蔑視が根底にある。なぜ、男ではいけない？昔ならともかく、今現在、なぜ？そう思うからだ。

トルコ全体がそうだとはおもわない。

なぜなら、行きと帰りで乗ったトルコ航空の客室乗務員には男性もいた。日本ですら女性だけのはず。

そもそも客室乗務員は女性という観念はどこからきたのか？

これは僕なりの解釈だけど、最初の頃、スチュアードスは看護婦だったという。機内で急患が発生しないよう、乗客の健康管理をす

るのが目的だ。しかし、次第に看護婦以外の業務が中心になり、看護婦ではなく普通のスチュワーデスに切り替わった。その際、看護婦が女性だったから、スチュワーデスも女性になったわけだ。しかし、本業の看護婦が男女の境が無い現在、スチュワーデスも女性であるの根拠はまったく無く、いつしか名前もスチュワーデスからキヤビンアテンダントに変更された。

そもそもなぜに看護婦は昔は女性だったか？昔は女性が高等教育されることはまれで、医療に従事したい女性は必然的に高等教育を受けた男性医師の助手になったわけです。でも、医者男女差のない現在、この差別も無意味です。

（ちなみにこれは余談。看護婦の重要性を世に確立した人物として有名なナイチンゲールの別名は「クリミアの天使」。クリミア戦争はトルコの黒海を奪うべくロシアが起こした戦争で、あのシュリーマンが武器をロシアに売って大もうけした、あのクリミア戦争です。）

：トルコはもう近代国家のはず。女性蔑視を前提にしたトルコ絨毯は違和感がある。そう感じざる得ないのだ。すなおに感心できない。

まあ、そんないきどおりをぶつけても意味が無いので、ここはともかく山とある絨毯を見聞しようと感じた。トルコ絨毯の工場に連れてこられて、講釈を聞いた後、即売会が開かれる。大きな部屋ごとにタペストリー用絨毯のへや、敷物用絨毯の部屋と4箇所くらい用意されている。僕はさめていたが、みな結構真剣に見入っている。

終わるまで出れない。それって「軟禁では？」と思わなくも無い。（軟禁かそうでないかの違いは、「外に出たい」と意思表示して、その意思を受け入れてくれるかどうかで見極められる。けど、それは日本の法律の話。ここは外国。）

まあ、害があるわけでもないの。映画館でよくある上映前のCMと思う事にした。これで幾分か旅費が安くなっていると信じたいところだ。（ちなみに、映画館ではいくらCMみても入場料安くないけど）

柱にトルコ絨毯の小さなタペストリーがあつた。ターバンをかぶつた男が座っている絵だ。

その時は気がつかなかつた。

でもその絵の男が緑のターバンを巻いていたのは覚えている。

「何を書いた絵だろう……」

と、その時は思った。

絨毯工場からようやく解放され、一路西へ。

途中休憩所にあつたスルタン・サライに感動したりし、さらに西進。コンヤへ到着。

コンヤはイスラム教メヴラーナ派の総本山だ。

そしてここ、コンヤに来てはじめてさっきの絵の意味がわかる。

イスラム教メヴラーナ派の偉い人は緑のターバンを巻くと知り、

「ああ、じゃあさっき絨毯工場でみたタペストリーの人物はメヴラーナ派の偉い人を描いたものだったのか！」

最近になつて気づいたのだが、イスラムの世界では宗教的偉人を中心に歴史観が展開されているようだ。

事前にそれなりに予習をしたつもりなのに、後にふれるイスタンブールの博物館などで展示されている遺物の9割が“見当すらつかない”ものだった。おかしいな、事前にひととおり歴史は予習したはずなのに、検討すらつかないなんて……とおもつた。

どうも僕が日本で読んだ本はみな、西洋から見たイスラム史らしい。

西洋の世界では「国王」世がくをした」という具合に君主から歴史に入る。

ところがイスラムの世界では、国王よりも宗教指導者の方が歴史上重要らしい。

西洋の世界にも聖人はいる。けど、歴史に大きくかかわることともないのでマイナーな存在だ。

けど、イスラムの世界では違うようだ。

宗教指導者が歴史に大きく関わっているらしい。国王なんかよりも。

だから飾られている歴史的遺物も、昔の宗教的な偉い人の遺品がメインになっている。

宗教的偉人の名前がわからなければ“見当もつかない”ということになるようだ。

日本の世界史の歴史感も西洋のそれにならっている。

覚えるべき歴史上の人物は君主や政治家であり、宗教指導者はせいぜい教皇くらいだ。

日本史においても、貴族や武将、一部の高僧のみで、宗教的重要人物は天皇以外メインにならない。

けど、イスラムではそこが歴史のメインなるようだ。

そこから違う…、なにか歴史感が根本から違うらしい。

西洋の歴史感だけに頼っていると、イスラム圏の国がどういうバィアスの元、動いているのが上手くイメージできなくなる。そう感じた。

と気づく事になる。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっている。

せまい世界のなかだけで完結しないのは事実のようです。

君の周りの人に伝えてください。自分たちだけが一方的に正しい

「思っているのは恥ずかしくないの!？」と。

理解を示す心の広さはどこへやったの?と。

これは人としての“質”の問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。質が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで!応援していません。君は自分で思っている以上に強い人です。

悔やんでいるならOKです。悔やみもしない人達に囲まれてはつらいと推測します。脱出がベストです。

“生き直し”って実は本当に出来るんです。大丈夫です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで!

戸籍も抹消、口座も免許も持てない？おかしいと常々思う。

バリバリのキャリアウーマンだった皇太子妃雅子様が心を病んでしまった状態もわかる。

そして、日本国内では環境に慣れない彼女に問題があるという意見が大勢なのに驚く、だれも窮屈で人権の無視される皇室の制度に問題があるとは言わないからだ。

神格化とは時に理不尽さの元になる。気をつけないと、そう思う。

トルコでは建国の父ケマル・アタチュルクが明言こそされてないが、実質的に神格化されている。

観光客もアンカラに来た際はかならず彼の眠る“アヤチュルク廟”に案内される。

僕らのツアーも例外なく案内されている（もつとも数分外観をみただけだけど）。

パルテノン神殿を今風にアレンジしたような巨大なもので、色はブラウン。その周りには広大な敷地に緑。出入りするゲートは武装軍人がいる。

以前TVでみた。最近のトルコの国政選挙ではイスラム主義を掲げる政党が台頭してきていると。

危機感を感じた人々は“建国の父ケマル・アタチュルク”の精神を忘れるな！とデモをしてイスラム派を牽制したと…。

イスラム教は貧しいものに絶大な支持を得るのは、昔も今もかわらない。

経済が困窮すれば、イスラム勢力の台頭もありえるのかもしれない。

…けれど、トルコが他のイスラム国と同じになることは永遠に無いように思う。

それは歴史的な傾向からそう感じる。

トルコ人は常に“西”を目指してきた民族だからだ。

中央アジアから西へ進出し、アナトリアを手にした後も、西へ西へすすみ、ついにコンスタンチノーブルを手に入れる。この後も西へすすみヨーロッパと対立をつづけた。一時はドイツまで迫っている。メフメット2世はイタリアへの憧れが強く、文化面でイタリア人を雇い入れていた事もあったらしい。トルコ人にとって、西は“憧れ”であり“目標”なのだ。近代の日本人が常にアメリカやヨーロッパを憧れや目標にしているのに似てると感じる。そうそうこの感覚は変る事ないと思う。

こないだの金曜たまたま“朝まで生TV”を見てしまう。あの田原総一郎司会で、深夜やってる討論番組だ。1つ1つの意見は正直どうでもよく、最終的に全体がどういう流れになるのかを見て、問題点を洗い出す、というのが田原総一郎独特の司会スタイルだ。今回の“朝まで生TV”では最終的にこういう結論になった。どうも見てると皆さん“内向き（国内のみ意識した）”意見ばかりです、と。

これは日本全体が“内向き”になっているという事なんですか…？、と。

そこが今の問題点なのでは？、と。

そんなまとめで終わったと思う。

神格化には意味はある。

でも内向きな神格化はマイナスが多いと思う。

狭い世界だけで完結する、狭量な人間ばかりになる。

教えが正しいとか、間違っているとかいっのが問題なのではなく、人としての“質”の問題なのです。

Fさん、いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。

狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！と言ってやってください。

多分君の周りには悪意なく“そういう事”が出来る人がたくさんたくさんいると思う。

それは悪意があるのではなく、心が内向きになっていて、外に向いていないからだと思う。

心が外向きになれば、人として持つ“当たり前前感情”が戻ってきます。そう、周りの人に言ってやってください。

君は自分を責める必要はありません。僕が保障します。

悔やんでいるならOKです。

悔やみもしない人達に囲まれてはつらいと推測します。脱出がベストです。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用の呪い」^{サンクコスト}にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

〔8月31日（火）曜日〕

メヴラーナの霊廟到着時、バスが停車したのは少し離れた場所だった。

徒歩で移動。

目の前には道沿いに塀があり、巨大広告が連なっている。

道行く女性は布で頭を隠している人がほとんどだ。

道行く車は日本と違い、みな砂まみれだ。

ここトルコの車はほとんど砂まみれだ。

砂にまみれてないのは、郊外に出ない車くらいだ。

街の外に一旦出て、どこまでも続く大地にのびた道を走れば、あつという間に砂まみれになる。僕らの乗ったバスは休憩の度に洗車していた。おかげでいつもきれいだった。1度洗うと4時間くらいは大丈夫だけど、それ以上ほっておくと砂まみれになるようだ。

話をもどして、徒歩で移動。メヴラーナの霊廟に到着。

ゲートをくぐり中に入ると、突然鮮やかな景色になる。

外の景色がくすんで見えるほどのきれいさだ。地面にはきれいな芝生が生え、木々が調和した配置で植えられている。オレンジの制服を着た人達が芝の手入れをしていた。こまめに手を入れているのだろうか？そんな印象だった。

建物自体はおそらく13世紀ごろのものだと思う。鎌倉時代くら

いだろうか…。石造りでしっかりしている。手で触ってみても風化しているようには見えない。

鎌倉時代と思うと、どうしても昔行つた鎌倉大仏が頭に浮かぶ、同じくらい古いのか…?と。

(正確な年号を付き合わせれば随分開きがあるかもしれない…、でも大局的な歴史年表でみれば近い時代だ)

日本でこの時代、武士が台頭し、貴族よりも世の中を動かす存在になる。

同じように、アナトリア半島でもかつて傭兵として雇っていたチユルク人が力をもつようになり、かつての雇い主たち相手に戦いを挑む時代になる。

13世紀は日本とトルコをゆるがす一大勢力がユーラシア大陸を駆け抜けている。

モンゴル帝国だ。

この時代、コンヤを首都にし、コンスタンチノーブルを狙っていたセルジューク・トルコがいた。その後実は内部対立があり、ごたごたのすえルーム・セルジューク朝になる。ルームとはギリシヤの事だ。しかし、このルーム・セルジュークもモンゴルの襲来により滅ぼされる。

モンゴル帝国はアナトリア含めた“ユーラシア大陸”のほとんどを統治するが、その後わずかな期間で4つに分裂、その所為かアナトリアではモンゴルの影響力がうしなわれる。

いわゆる権力の真空地帯になったアナトリアの地は、各地に残つたチユルク人小勢力(とローマ人小勢力)は各々が勢力をまとめ上げ、誰が一番強いかに互いに睨みあう戦国時代に入る。

4つに分裂したモンゴル帝国の1つで今の中国に拠点をもつた「

元」が日本を攻めたのは有名な話だ。いわゆる「元寇」です。この元寇（モンゴル襲来）で鎌倉幕府が衰退するのは日本史で習う通りです。

モンゴル襲来で力を失った鎌倉幕府の隙について、天皇が政権を奪回（建武の新政）したのも有名。でもこちらにも内部分裂でごたごたがおきて（南北朝の分裂）短期間で政権を足利氏に奪われ、室町幕府ができるのも授業で習う通りです。

アナトリアでもイスラム勢力を押さえ込もうとビザンツ帝国（東ローマ帝国）が巻き返しを図るけどうまくいかない。その隙を突くように、チュルク人の1つの勢力が比較的コンスタンチノーブルの近い位置で勢力拡大に成功する。オスマンという男に率いられた数百人規模の軍事集団だった。オスマン・トルコの基礎となった集団だ。オスマン自身は国家成立前に亡くなったみたいだけど、その息子が引き継いで勢力を拡大。周辺の武装勢力を打ち負かし、取り込んでいく。

…「元寇」で日本に攻めて来たモンゴル人は大艦隊で日本に来たが、途中、台風にあい大艦隊は消滅。

2度の襲来ともども台風が艦隊を壊滅させて日本は救われた…、もし、この時台風が来てなかったら、狭い国内で簡単な戦闘しか経験してこなかった日本人は、大陸で磨かれた武器や戦術に歯が立たなかったと思う。

当然、日本から1万キロもはなれたこの地で磨かれた武器や戦術も、日本に襲来したモンゴル軍も持っていたわけで。なんともスケールのデカイ話だなと、そう感じた。

でも13世紀には電話もインターネットもない。

そんなインフラのない時代では、1万キロに及ぶ国家を統率する

のは不可能に近かっただろう。
モンゴル帝国が短期間で分裂したのもなんだかわかる。

：メヴラーナの霊廟はそんな時代を潜り抜け、それでも今だここにあり、人々の敬意を浴びている。

中に入るにはまず列にならび、入り口で靴用ビニールカバーをもらわないといけない。

スーパールによくあるロール状のビニール袋のようになっていて、それを靴にかぶせる。両足分必要だから2つロールからとらないといけないわけだ。

内部は厳かな空間になっている。かなり人が多い。

敬虔な目で展示品をみる地元の人もいて、観光気分で恐縮する思いだった。

たぶん、トルコでなかったら入れない場所なのでは？と思う。

実際、他のイスラム国では、イスラム教徒でなければ入れない場所もたくさんあると聞く。

そういう意味では、トルコは開かれた国であり。文明国なのだなと思う。

自分の殻に閉じこもる事をせず、他者を受け入れる寛容さを持っている。

こんな話を思い出した。

今、アメリカのニューヨーク。グラウンド・ゼロ（世界貿易センタービル跡地／911テロの跡地）の2ブロック先にモスクの建設計画があり、大論争になっているらしい。

イスラム教徒の起こした9・11事件なのに、そんな事件の目と鼻の先にモスクを作るなんてけしからん、とアメリカ人は激怒しているわけだ。

でも、賛成しているアメリカ人もいる、とくに都会人の社会的ステータスの高い人に多い。宗教で差別をしないのはアメリカらしい。と。こう主張する。

残念ながら反対派の数が圧倒しているらしく、アメリカの暗部が露見した形になっている。

9・11テロではイスラム教徒の犠牲者もいるという事実を飲み込めないらしい。

僕はこう感じた。作ればいいのにと。

もし作らなかつたら、テロリストたちに「ホレ見たことか、アメリカ人はそういう連中だ」と言われてしまい、結果的に悔しい思いをするのはアメリカ人だ。目先の感情を優先して、視野が狭くなっているから、そうなってしまうのでは？とそう感じた。

でも、アメリカ人は熱する時は理不尽だけど、冷静になってからの対応は他の国にくらべると見本的だ。（情報公開制度の紳士的な運用がそう思わせます、日本の情報公開制度はあつてないが如しになつていて、ちつとも紳士的ではない。隠したい事は永久に隠そうとする傾向がある、それでは経験を将来に反映させられなくなり、同じ失敗を何世代にわたって繰り返す事になる）アメリカはそういう実績を過去たくさん作っているので。まちがいに對しても（他の国に比べて将来的には）自浄作用が働く事を期待したいなど、そんな事、個人的に思います。

これは人としての“質”の問題です。

世界は広大で広く、想像を絶するダイナミックな時間がからみあって作られている。

「視野が狭くて何が悪い」とか言う人が増え続けていくと、それが世界の不和の原因になってゆく。

私は、理由も無く人を貶めるような事はもう2度と金輪際しません！とまわりの人々に言っていてやってください。

長年ずっと疑問に思っていたんだと思う。

このまま死ぬまで心を偽り続けると、心が砕けてしまう。そんな心配もします。

生きたまま死ぬような生活から、私は抜け出したいの！と言っても良いのだと思う。

たぶん、君のまわりには被害者は君ではなく自分だって主張する人がたくさんいると思う。

でもそれらの人は全部まちがいです。

本当の被害者は“Fさん”なんです。優しい心につけこもつとする連中に負けないで！

悔やんでいるならOKです。

悔やみもしない人達に囲まれてはつらいと推測します。脱出がベストです。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

中には器の大きな人もいて、「好きにしなさい」というタイミングを押し量^{サンクコスト}って様子見をしていると思う。

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

.....

〔9月01日（水）曜日〕

メヴラーナの霊廟は写真撮影も禁止だった。

コーランがいくつも展示されている。

時代はわからないが偉い人のものや、伝説のあるコーランなどあるらしい。

中には、小さな女の子がまつ毛にインクをつけて書き上げたと思われるものもある。

意図としては薄幸の少女の努力の結晶、ということらしい。

どつリアクションしたら良いのかわからなくなる。

こういう時（自分の判断がわからなくなった時）は、自分の原点に返って考えるのがベストだ。

僕の原点は“Fさんの思い出”であり、そこから出た結論は“人は話せば通じ合える、心が通じるといふ事は、この世に確かに存在する”という事だ。

その観点に立ち返り、今一度そのまつ毛でかいたコーランを見る。これを作った少女は何としても周囲に自分を理解してもらいたかったのだろうか？

貧しくて筆記用具がないからといって、まつ毛を筆がわりには、普通しない。

この位、奇抜な行動にでないと無視されてしまうほど、彼女の存在は希薄だったのだろうか？

自分の価値を人に認めさせるために、途方も無い努力が込められた…。そういう事なのかな？

もしそうなら、同じ境遇の人がみたら感嘆するはずの品物だ。そう思った。

あくまで個人的感想だけど、実際はどうだったのだろうか…

ここメヴラーナの霊廟にはそんなイスラム教徒の心をうつ品々が、偉人の墓のすぐ隣りのフロアーに展示され、来訪者を迎え入れている。

霊廟をでて外へ。順路に従い歩き、最初に来たあざやかな庭に出る。

途中、石棺が無造作に置かれているのを見た。理由はわからない、未整理の発掘品という事なのだろうか？

庭を抜け、お土産屋をみる。

以前書いた目玉が売っていた、青いガラスを平たいセンベイ状に加工し目玉を書き入れる…

以前書いた時、僕はてつきり邪眼に呪われたくない人が邪眼を敬う事で呪われないようにしているのだと思ひ込んでいた。

でも実際には、邪眼（呪いの力）とは人間が本来生まれ持つもので、その邪眼が放つ呪いの効果を跳ね除けるお守り。というのが正しい解釈らしい。“ナザール・ボンジユウ”というのが正式名称です。

長年間違えて覚えていたようです…。

時には間違えます。でも気付けば訂正します。世の中には1度間違えたら、めんどくさいのでそのままにする人がいる。ちよつと大きく出るけどこれも“人としての質”の問題です。

こんな事も思う…今、問題になっている100歳以上の戸籍問題も、地方行政を管轄する総務省の担当者が一言「生存を確認せよ」と早い段階で各地方の担当者に命じていけば、こつはならなかった。気がつかなかった？仮にも国家公務員？種試験受かっているのだから、間抜けですいませんといういい訳は通用しないと思う。

え？その人に全部の責任があるわけじゃない？

でも責任者つて責任取るためにいるわけだし。日ごろ扱う“権力”に見合うだけの“社会的責任”を取れないのはおかしい。偉い人は、責任をかぶる覚悟無く偉ぶつてはいけないと思う。

たぶん…、君の周りにも多いよね。いざとなつたら責任なんかとらない人。物凄いたくさん…。

責任とるところか被害者ぶつたりしてるでしょ？

もし、（いないと思うけど）本当に被害者ぶつてる（責任ある）人を見たら、こつ言つてあげてください。

「普段の（偉そうな）威勢はどうしたの？なさけないやつ！」と。本当にそんな愚劣な人がいないと信じたいところです。

…だいぶ脱線しました。

カッパドキアを早朝発ち、寄り道をいくつかした後、コンヤへ来て、メヴラーナの霊廟を見る。

そして早々にバスに再乗車して、温泉地パムツカレに発った。

コンヤからパムツカレまで430キロ、約6時間の長旅だ。

6時間!?

日本にいた時はこんな時間の使い方あいえないと感じていたのに、この頃になると、この大雑把なタイムスケジュールに慣れてくる。人間の順応性は脅威的です。

パムツカレについた頃には夕方だった。

こちらの日が落ちるのは7時ごろだった、遅いと感じた。赤道に近いからだろうか？よく判らない…。

ホテルは今までと違い、3階建ての小さな棟が複数プールを取り巻いて建っていた。くつろげるスタイルだ。その日のうちに温泉に入る。正直今日はつかれてぐったりしていた分生き返った。気付けば3時間以上も入っていた。

最初プールへ行く時、入り方がわからなかった。ドアがあかない。ドアはガラス製で中におじさんがいる。ガチャガチャやっていても開けてくれる様子は無い。

君の知る“高校時代のK”ならば「ま、いいか」とあきらめていたと思う。そう思うでしょ？

でも今は、とりあえず思いつく限りの手段が全部だめになるまであきらめない方がよい、という考えに変わっている。東京で学んだ経験則です。あきらめていたら、何もできない。

中に人がいる以上、話が出来る場所があるはずだ。

ウロウロし、本当の入り口をみつける。実は最初みつけたドアは帰り専用で内側からしか開かないらしかった。些細な違いが面白い。こちらではそういうスタイルが常識なのだろうか？

こういう入り口出口の仕様の他にも、トイレの使い方1つとってみても全く違い、こちらの人から見ると“常識”な事も、こちらにはわからない。こういう些細な違いを発見してクリアしていくのは結構楽しいです。

更衣室もわからない…。

一緒にいた甥が見つける。ロッカーがあるが、キーがない。

さっきのおじさんに

「コインロッカーキー？」と聞いてみると、くれた。言ってみるもんだなと思った。

温泉自体はプールだ。室内プールがあり、その屋根に室外プールがある。室内の方は、平均的な普通のリゾートプールだけど、屋外のそれはパムツカレの石灰棚を模した構造に作られている。斜面の頂上に源泉があり、石灰棚を模したプールにそそがれる。源泉に近い棚ほど暑い。そそがれた温泉は徐々に下の棚へと落ちていき、最終的には滝となって一番下のプールに堕ちている。この一番下の屋外プールと屋内プールは繋がっていて、屋内から水中を伝って外に出られる構造だ。

屋外のそれは昔の人が経験したであろう石灰棚の入浴を疑似体験できるプールだ。おもしろいものを考えたなと思った。

こういう所にはFさんは来たがらないかも知れない…

なにしろ恥ずかしがり屋だ。人前で水着姿は嫌がるだろう…、いや、意外と最初そうでも途中で吹っ切れるかも…、どっちだろう？そんな事も思った。

僕は知っています。2人の君がいることを。常に心の中でせめぎあっている？

（あなたの知らない3人目の私がいるのよ、と言っかも知れない…、だとしても驚きません）

君はこの手の話に首を突っ込まれたくないと感じているかもしれない。でも、ここではあえて言う。

どちらも君なんです。片方だけ否定せず。バランスがとれると、心が平和になれます。

つよいFさんと、弱いFさん。僕はどちらの君も知っている。でも両者の共通点も知っている。ウソが嫌いで、誠実さを求めている事を。理解者を欲している事も。

両者とも根っこは同じで、同じ君が、違う形で出ているだけです。（仮に僕の知らない3人目の君がいたとしてもその根っこは同じのはずです）根っこが同じなら、両者を納得させる事もできる…、時間がかかるかも？、それは僕もそうです。

負けないためには、強いFさんが必要。でも同時に、他の君も大切な君の1部です。

君が嫌だと思つ自分の1部も含めて、僕は君が好きです。

君が戦っている前提で書きます。負けないで欲しい！

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

中には器の大きな人もいて、「好きにしなさい」というタイミングを押し量って様子見をしていると思う。

皆が皆敵ではない。

いろんな目に遭う前は、彼らの組織が正直ここまでひどいと思っ
てなかった。

もつとまともな組織と本気で思っていた…

多くの“まともな人”を隠れ蓑にして、“そうした”人が隠れて
いる。

もう、恥ずかしい！と“そうした”仲間の行動を見ている人、結
構いると、
そう思います。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔9月02日（木）曜日〕

温泉でくつろいだ翌日の朝、パムツカレのホテルでも猫を見た。

1泊して後の翌朝、入り口で待ち構えているのを見た。結構かわい
い。

前述の通りトルコでは随所で猫を見る。どうやらこの猫はいつも

そこにいて何か貰えるか待っているらしい。でも残念ながら何もあげられないものは持っていなかった、なのについてくる。

…思わず「何も持ってないよ」と口に出してしまふ。人が見てたら恥ずかしい限りだけど、その時は誰もいなかった(たぶん)。

その朝、ホテルを発ち、世界遺産パムツカレで有名な石灰棚へ向かう…。

到着後、まず最初にバスを降りたのは石灰棚が下から見渡せる眺望の良い場所だった。面々と連なる石灰の棚と、それに併設された街、ヒエラポリスの遺跡。行った当時は全体像がいまいち解らなかった、近くに地図があるのだがいまいちよくわからない、帰国後ネットと同じ地図を参照する事ができた。日本語での解説つきの便利なサイトがあったのだ。それを見て記憶と照らし合わせ、ようやくパムツカレノヒエラポリスの全体がイメージできるようになった。見てきたものを、後で文献等で再確認すると記憶が強化されておもしろい感覚になる。例えて言うと、おいしいデザートを食べた後、そのレシピを見聞するようなものだろうか？

駆け足で観光した後、バスに戻る時間になる…

バスに戻るわずかな時間の隙を突いて少し単独行動をした。近くのお土産物屋を覗く。

以前TVでみた「ダチヨウの卵」が売っていた。

卵の装飾品なのだが、天井から吊り下げると、どういっわけか蜘蛛が巣を作らないという優れものだ。卵から出る何らかの成分を蜘蛛が嫌うとか何とか聞いた気がする。お店のおじさんに「ハウ・マツチ？」と聞いてみる、20トルコリラといわれた。とりあえず、値段だけ確かめて引き返すつもりだった。相場がわかれば他所で時間があるとき買い求める際、参考になるからだ。

買わない旨を店のおじさんにどう伝えよう…、複雑な英語表現が

出来るほどの英語力は無い。ここは日本語で言おう、言葉が通じなくても表情とニュアンスで案外通じる事を僕は本屋の経験で知っている。

笑顔で言うと本当に通じた。
やってみるものである。

この時、偶然にも僕は手を自分の胸に置いた。
本当に偶然なのだが、それを見ておじさんは物凄い笑顔をかえしてくれ…

そういえばこれはイスラムの伝統的なしぐさだ！以前「マスターキートン」という漫画で見た記憶がある。1巻か2巻でウイグルの族長にキートンが挨拶する時やっていたしぐさだ！という記憶が頭をよぎる。

試しにその後、他の場所でもこのしぐさ試してみる。
通じるところと、通じないところがある。

どうやら、使うべき微妙なニュアンスを理解しないと上手く通じないようだ。

さしづめ、日本に来た外国人観光客が不自然なお辞儀をするのに似ているのだろう…、そこはお辞儀のタイミングじゃないよと見ていて思ったりする。あんな風に見られたのだと思う。まあ、トルコでは僕が外国人なんだからこれもアリかな？と思った。

(今、調べると、あの動作は「心から…」という意味になるらしい。作法のしぐさで、作法が要求されるべきタイミングで使うものよ。うだ、おそらく…。とりあえず、これが今現在の僕の理解です。)

店を後にし、いそいでバスへ再乗車する。

次の目的地はエフェソスだ。

下調べの段階では一番気になっていた場所だ。

途中、休憩に寄ったところでは地元名産のお菓子の直販所が用意されていた。これも以前読んだ本に同様のものが載っていた。試食が出来て、結構おいしいと。実際確かにおいしかった。

真実に気付く前なら、お土産を買わなきゃいけない人もいた、しかし、現在は無理な相談だ。職場は追われたし、世話になった人には迷惑をかけた形になっている、お土産どころではない。緊急事態ならいざしらず、気軽に連絡を取っていいものか迷うところだ。

10年来の友人も今は無く、まあ、でも、意外と冷静な自分がいる。それと引き換えに大切な思い出の価値に気づけたのだから。代償に見合うだけのものを僕は手に入れた。普通にそう感じる自分があります。

心から…という気持ちも使うニュアンスを間違えると上手くいかないのは前述の通りです。

でも君には通じた経験がある。今はどうですか？伝わっていますか？当時、君は僕が意識せず行った普通の事を喜んでくれた、だから、これからも、僕なりの“普通”を通そうと思います。

これら記述が君の何かしらの支えになってくれれば嬉しいです。

いつか、君の答えが聞ける日を信じて。

君の事が心配だから、精一杯の背伸びをして伝えます。君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、機会があればぜひ一度見てみてください。

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。
心から……そう君に伝えます。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで!“履き違えた大人の事情”に
負けないで!!

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔9月03日(金)曜日〕

初日、成田からイスタンブールへ

11時間のフライトは本当に長かった。

時速900キロで11時間?どんだけ地球はでかいんだと思
う。

2日目、イスタンブール〜アンカラ〜ヒッタイト〜カッパドキア
ヒッタイトの遺跡で爪の先が欠ける。

3日目 カッパドキア

この辺りから、旅に慣れてきて。日本食が恋しいと本気で思
うようになった。

夜、ベリーダンスを見る。

客席の白人の盛り上がりのすごさに驚いた、日本人とは別格
のハイテンション。

4日目 カッパドキア〜コンヤ、そしてパムツカレ

スルタン・サライに寄ったのはこの日

5日目 そしてパムツカレの朝、猫を見る。

バスに乗り世界遺産パムツカレの石灰棚へ、お土産やでダチ
ヨウの卵をみる。

この頃になると、日本語のない世界が普通に思えてくる。

(実は帰国時、成田空港の案内板が全部読めることが、おかしくして仕方が無かった。今まで苦勞して英語を読んでいた脳が急に日本語になつて戸惑っているのがおかしくてしかたがない。)

そしてこの日、パムツカレを発ち、エフェソスに着いた。

エフェソスが繁栄した時代、日本はまだ、弥生時代だった。

この頃、日本にはまだ“文字”というものが存在せず、そのため具体的に何が起こったかほとんどわかっていない。中国の文献に書かれた不正確な描写と、発掘により出る土器などの出土品から推測する事しかできない時代だ。はつきりしているのは、まだこの頃、日本人は“古墳”を造っていなかった。それはつまり、大規模工事ができるような集団統率ができる社会にまで発展していなかったのでは？という事だと思う。

詳しくは学者さんの研究にまかせるとして、ここでは、当時の日本人は石器時代ではないけど、文化人とはいえない暮らしたかった。すくなくとも同じ時代のエフェソスの人に比べたら。

同時代、エフェソスは交易都市として発展して、周辺の国々からもたらされる品々と人々でごった返していた。

きれいな石材で整えられた古代ギリシャ風の建物が建ち並び、水洗トイレまで完備してある。上下水道技術はギリシャ・ローマを代表するインフラだ。都市の上層には政治的なものをつかさどるスペースがあり、広場や議会や公会堂などもあった。

クレティス通り、アルカディア通りといったメインストリートは石材できれいに舗装されていて、今でも観光客用の通紹として充分機能している。他の遺跡が荒れすぎて観光客用の歩道を整備しなけ

ればいけないのに比べると雲泥の差だ。

建築工学など発展してないはずなのに、石で何十メートルもある文化的な建物をいくつも造っている。驚異的だ。

ここエフェソスには当時世界最大級の神殿があった。パルテノン神殿をそのまま3倍の大きさにしたようなアルテミス神殿だ。そんな巨大なものの荷重計算もしないで職人の勘だけをたよりにつくったのだろうか？

ヨーロッパ人が自分たちの古代文明を誇らしく感じるのもなんだからわかる。

当時のヨーロッパ文明と日本の文明はこれほどの“差”があったのに、よくもここまで追いついたものだなと感心もする。

何がって？日本は明治維新以降がむしろにヨーロッパ人に追いつこうとし、完璧とはいかなくともかなりのところまで追いついた。

でも追いついた先で日本人は立ち止まる…、追いついちゃったけど、この先どうすればいいのかな？と。

何かにすがりたくなる人もいるのかな…そんな風にも思う。

何かにすがりたくなる…？、そういう感覚は文化レベルに関係なく、古代も今も存在する。

こんなニュースを見た、パレスティナ人の隣家にイスラエル人が引っ越してきて、嫌がらせを毎日している…

彼らは自分たちを正しいと信じているんだろう。でも本当は違うと思う。

前にも書いた、イスラエル人がパレスティナ人を虐げる本当の理

由は人口比率にある。

出生率の低いイスラエル人とそうでもないパレスティナ人。3世代もしたら人口比率が逆転して、イスラエル人が少数派になってしまふ、数が少ない今のうちに追い出そう！子供を生ませないようにしよう！大丈夫、自分は正しい、神がついている。

…神様をいい訳にしているだけだと思う。結局は自分の都合だ。普通の感覚の持ち主ならば、普通に“ひどい”と感じるはずだ。もし、君の周りに、そう感じない人がいたら、こう言ってやってください。貴方おかしいわ、と。

私はもうそんな事したくありません、と言っても良いんです。悔いているなら、心を取り戻せる。必要以上に自分を責めてはいけません。

君には確かに（必要以上に）自分を責める傾向があった。すこしおこがましいかもしれないけど、僕のためにも、自分を責めるのだけはやめてね、と。そう伝えます。ダメかな？…どうだろう。君の事を心配しています。

人の希望が世の中を動かしているのも事実です。人を理解したい、思いやりたい、そういう気持ちで、同じくらい世の中にはあふれている。

…ここエフェソスの主神は豊穡の神アルテミスだ。その姿は、もの凄く異彩を放っている。元からいた地元の人々の“神”と後からやってきたギリシャ系の人の“神”が融合した姿だからだ。

エフェソスのアルテミスは2つ以上の神のそれぞれの特徴を有している。当時ですら異彩を放っていたはずだ。そして当時の人はそれを受け入れ、誇りさえした。そういう事実があるのです。

分かり合い、受け入れる精神がないところではできない。

このアルテミス像は古代の時代から人気で、卓上サイズの持ち帰れる像が、古代から売られていたらしい。

そして2010年の現在も、エフェソスのミュージアムショップではやはり売られている。

キリスト教、イスラム教の嵐を潜り抜け、今も当時と同じデザインで。否定される事も無く。

人間の歴史は対立と融和のくりかえし…

世の中は所詮、戦争だと言う人は、日本人の歴史に江戸城無血開城という言葉があるのを知らないんだと思う。(江戸が戦場になっていた可能性はあるわけです、でも回避された)

きつと、そういう歴史を知らない人は、小田原城無血開城も知らないのでしょ。

(小田原の街を守るため、豊臣軍に抵抗することなく城を明け渡した有名な話です)

戦いばかりが人類の歴史じゃないと、知らない人が多すぎます。

ネガティブな話は語り継がれる速度がはやく、良い話は、なかなか人に伝わっていかない。

この不条理を何とかしたいと感じられるセンスが人の“質”を高めるポイントのように思う。どうだろう、君は何を感じますか？

世の中は戦争だ！という人には「貴方みたいな人がいるから世の中おかしくなるのよ、それを他人の所為にして、付き合いきれないわ」と言っちゃってください。

「間違いに気づいたの、」と言う権利を君は確かに持っている、一切の遠慮の必要は無い。

そうした(世の中は戦争だ！という)人達が邪念に負けた、けど天は見放さなかった…そういう事で、そちらの世界の価値観でも、この事実は矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。そう

思う人少なくないと感じます。

みな実は、本当は平和を望んでいる、戦いを望んでなど無い。

暴虐な殺人集団とおもわれたいと感じる人は普通じゃないと思う。

(普通の感覚では)

…それはそうよ、と思う人、多いと思います。

…全員の創意ではないわ、と感じるひとも少なくないはずです。

優しい人もたくさんいなければ組織も滅びる。この事実を否定でき
きる人間がそちらにいますか？

(まわりに) 聞いてみてください。

君は優しい心を否定しなくても良いんです。必要以上に自分で全
部背負わなくていいんです。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。君の事
が心配だからです。

詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「遊ぶ金ほしさの連中」ばかりでない事実を証明して見せて！プ
ライドがあるなら。

誇りを示せと言っているのがわからないの？

いじめる人がいたらそう言ってやっってください。

Fさん、負けないで！

第25話 旅行から帰って…（未来へと続く話その11）（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第26話 旅行から帰って…？（未来へと続く話その12）（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第26話 旅行から帰って…？（未来へと続く話その12）

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

〔9月04日（土）曜日〕

君と僕は我慢強い…、お互い我慢比べをしたら決着がつかない。そして新しい発見が苦手で、でも憧れてる。

不満があると僕は愚痴をいうほうだが君は無言を貫く。いっこうに愚痴らない。

声を荒げたり、泣いたりもしない。

君が声を荒げたり泣いたりする時は本当に極限まで思いが募った時だけだ。

そんな無口な君の心情を察せる人がいるのだろうか？
今どうなってる？心配です。

もし、気持ちをないがしろにされて、「わがままで」とか言われて一蹴されたら、

Fさん、こう言ってやってください。

「私には、命をかけてくれる人がいる」と。

何か言われたら、その人に、日蓮の現存する正筆御書、一度見るとよう進めてみて。

言われたとおり見る人はいないと思うけど（見たこと無い時点でおかしいけど）

“これを他人に勧めるといふ君の姿”というのは、決意を行動で表す君のスタイルに符合するかもしれない、そう思った。あつていゝる？それとも…まちがっている？

(「見たけどだから何」みたいな態度とられるかもしれない…、本の内容で論戦されたら、君は不利だ。その場合は、普段の行動、特に君が不審に感じる“彼ら”の行いが、日蓮の現存する正筆御書のどの記述をもとにした解釈なのか問えば良いと思う。たぶん、数日のち付け焼刃で回答すると思う、ポイントはそのあとで、同じ質問をくりかえし何度もして見るとおもしろい効果が出ると思う。付け焼刃で学習した事は数日でボロがでたりする。自分の物に出来ないからだ。君には難しいかな…、でも何かのヒントになれば、何が役に立つか解らないので、書きました)

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

新しい発見をやめてしまった人達に負けないで

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔9月05日(日)曜日〕

君と僕は我慢強い…、お互い我慢比べをしたら決着がつかない。そして新しい発見が苦手で、でも懂れる。

僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違いです。

そうやって“人”を“従順”にさせるのが“彼らの常套手段”です。

君に今必要なのは原点に帰る事。

自分の根幹がなにか。

大切な“それ”が“なに”をいみするのか…

僕は今、賭けをしています。

“彼ら”は絶対に正体を明かさない（告白しない）、どんなに親しくなるうとも。何十年の友情があるうとも…

現役か元かわからないけど、はたして君は告白してくれるだろうか？

全てのターニングポイントはそこかもしれない。

君はこの話、どう感じますか？

Fさん、いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。

狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！と言ってやってください。

多分君の周りには悪意なく“そういう事”が出来る人がたくさんたくさんいると思う。

それは悪意があるのではなく、心が内向きになっていて、外に向いていないからだと思う。

心が外向きになれば、人として持つ“当たり前前の感情”が戻ってきます。そう、周りの人に言ってやってください。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっている。

せまい世界のなかだけで完結しないのは事実のようです。

君の周りの人に伝えてください。自分たちだけが一方的に正しいと思っっているのは恥ずかしくないの!？と。

理解を示す心の広さはどこへやったの?と。

これは人としての“質”の問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

質が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで!応援しています。君は自分で思っている以上に強い人です。

初めての印象とういうのは忘れないものです。わくわくして、楽しくて、面白い。周りの人に、機会があったら伝えてください。最初の印象って忘れないものだ。違いを楽しんだり、同じと思う事を嬉しく思ったり、何もかも新鮮で彩りに満ちている。

自分を責める必要はありません。僕が保障します。

責めるのと、悔いるのは、別次元の問題です。

…こんな事も思う、“彼ら”の中には、自分を責めたくないが故、

他人を責めるのではないかと。
君はどう思いますか？

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。
君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

.....

また名古屋で事件が起きましたね...
どうなのだろう？毎年多くないか？と思う普通の人、ドンドン増
えていくと思う。

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

僕はもうあの罫にかからないが、何も知らない犠牲者は増えてい
くと思う。

ブレーキのかからない世界で狂気を肯定し続けるのはつらいと推測します。

脱出がベストです。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

君の信頼すべき人は誰ですか？

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔9月06日(月)曜日〕？

僕は賭けをしています。

“彼ら”は決して正体を明かさない…(告白しない)、どんなに親しくなろうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は一步手前まで来ていた。

先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分

の正体も明かしかねない行為だ。
今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

旅の記述の続きを書こうと思います。

普通こそ！大事ですから。

〔9月06日（月）曜日〕？

…イスタンブールから東へ飛びアンカラ、ヒッタイトへ
南に進路をかえカッパドキア。

そこからシルクロードを西進、コンヤ、パムツカレ、エフェソス
と進む。

さらに西進しイズミール（スミルナ）へ、軍艦をみた街だ。

ようやくエーゲ海を見る。

ここから海沿いを北上。

かつてペルガモン王国の首都があつたペルガマを通過し

トロイへ。

トロイ観光後さらに北上、イスタンブール一歩手前のチャナツカ
レという街で一泊する。

明日はいよいよイスタンブールだ。

チャナツカレの街で印象的だったのは、初めて地元のショッピング

グモールへ行つたことだ。

ただ、ホテルの近くにあるだけで、観光名所でもなんでもない“普通の”ショッピングモール。

こういうところに行きたかった。

とにかく、ホテルの食事には飽きていた。

なにか違うものが食べたいというのが本音でもある。

なにか買って帰ろうとおもった。

ロビーで同じツアーの人にある、みなショッピングモール目当てのようで、途中まで一緒に行く事になった。

ホテルから結構歩く。異国の地を徒歩であるくというのは物凄く新鮮な気分になる。

なにもかも日本と違うからだ。バス停も違うし、看板もちがう。しばらく歩くと、おおきな建物が見てきた、どうやらここらしい。

入り口で1人別れ単独行動にした。

貴金属、時計、おもちゃ、ファストフード。何でもある。地元の家族連れがくつろいでいる。

日本にもよくあるお馴染みの光景だ。違うのは、日本人がいないのと、日本円が使えない事くらいだろうか？

バーガーキングがあった。メニューに20リラとある、1200円くらいだろうか。

バーガーキングにはあまりなじみが無いので、高いのかどうかよく解らない。

…でも、トルコの他の物価からみても、多分高いのだと思う。

後々、空港でトルコ最後の食事として、空港内のバーガーキングを利用するが、ここでは利用しなかった。

とりあえずまず、店を全部見渡してからにしようと思った。

お店には普通、セオリーがある。こういうセオリーだ。日本のお店は基本左回りでお客さんが移動するよう設計されると聞いたことがある。

もちろん、お店の構造とかで不可能な場合もあるけど。

だが、このお店は右回りだった。

まず最初にTVがみえる、値段はそう日本と変わらないようだ。次にブックコーナーが見えた。

雑誌がメインのようだ。試しに日本の漫画がないか見てみる。イタリア辺りまでいけば日本の漫画は人気と聞くけど、ここトルコではどうなのだろう？ずつと疑問に思っていた。

見ると、まったく無い。トルコでは人気はないようだ。残念。

できればトルコ語の日本漫画をお土産にしたいと思っていたので…。

ブックコーナーを抜けると雑貨コーナー。この辺は日本と変わらない。

ティファールのなべがやたらたくさんあって、ヨーロッパ文化圏なんだなと少しながら感じる。

食品コーナーへ目を移す。

1つ1つの袋がデカイ。海外では郊外のモールでまとめ買いをすると聞くが、トルコでもそういうライフスタイルのようだ。

チャイが売っていた。

トルコの紅茶だ。これは以外においしかった。1袋お土産用に買うことにした。

缶飲料のコーナー。

コーラとか凄い安い。いままで買っていたものが観光地価格だったと思わずうなずく。なにか買おうと見ていると、グリーン・ティ（緑茶）と書かれた缶を見つける。思わず買い物籠にほうりこむ。

あとくだものがあつたのでバナナを買うことにした。

こういうものはホテルでは出ない。

最初普通にかごに入れていたが、途中で引っかかる光景に出くわす。

みな次々に果物や野菜をもってきて袋に入れお姉さんに渡している。彼女はそれを目方で量り、シールを貼る。シールにはなにやら印刷されていて、どうやら目方と金額がかいてあるようだ。そして肝心な事に、現金のやりとりはない。

試しに僕も同じ事をしてみる。

どうやら正解らしい。目方を量ってシールを貼ってくれた。

これをレジにもって行って清算するのだろう。

気がついて本当によかったと思う。

“彼ら”に襲われる前だったら、気がつかなかつたかもしれない。以前より確実に周囲を観察する目がついた、無意識にいつも観察するクセが自然についている…（特に苦にならないレベルまできている）、いかに以前無防備だったかと痛感する。

（君の知る昔の僕はどんな風に見えたのかな…ものすごく無防備に見えたはずだ。よくあきれずにいてくれたなと心底思う。）
でも観察眼はみについた。なにしろ皆がただでスパルタ特訓してくれたからだ。

こう考えると、何事も考え方一つで、無駄にならないと感じる。君はどう感じますか？

レジで清算。

こちらのレジはどこもベルトコンベアーが標準装備らしい。そこに買いたい品物を1つ1つならべて、清算の順番をまつ。レジの人は結構乱暴に商品を扱う、笑顔はない、文化の違いだろう。

清算が済むとそのままベルトコンベアーで品物は流され、行き着いた先で袋にいれないといけない。ぐずぐずしてると次の人が来る。スピードが要ります。

ホテルに帰り、先ほどのグリーン・ティ（緑茶）を飲む事にした。開けて飲む。久々の緑茶か…、それとも違うか…

正解は緑茶にレモンがはいったものだった。

…そついや聞いたことがある、姉がアメリカで同じ体験をした事を昔話していた。姉弟そろって同じ体験をしたわけだと、なんだかおかしくなる。

まずは無い、けど明らかに日本のお茶じゃない。

こんな体験も新鮮でおもしろい、海外旅行してるな、とうれしくなる。

こつという経験は、親しい人としていたいものです、Fさんは、どう思うのかな…

明日はいよいよダーダネルス海峡をぬけてヨーロッパ大陸に入る。とにかく休もう、そう感じた。

〔9月06日（月）曜日〕？

…僕はこのとつり、普通に生活できています、何も問題ありません。

波あり、谷ありはみな同じ事。

前を向いて生きていれば大丈夫です。

Fさんもそう思わない？

〔9月06日（月）曜日〕？

人はこういう事かくと、どんな裏があるんだこいつ…と考えるよ
うだけど、

僕の性格を知る人物なら、裏なんて無い。思ったこと口走ってる
な、あいかわらずだ…と思うと思う。君はどう感じますか？

僕は今、賭けをしています。

答えはわかりません、とにかく待とうと思う。

今は君の都合が悪いだけだ、受け入れられるにしろ、違うにしろ、
なにかしらケリをつけに君は現れる。そう信じます。君は、僕が真
実に気がついたという事実をもし知ったなら、その事実を重く受け
止めるはずだ。そう思った。

私は、理由も無く人を貶めるような事はもう2度と金輪際しませ
ん！とまわりの人に言ってやってください。

これが、君の救いにつながる事を期待します。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔9月07日（火）曜日〕？

僕は賭けをしています。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに
親しくなるうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は一步手前まで来ていた。

先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分
の正体も明かしかねない行為だ。

今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまುತ್ತもりでいます。

「9月07日（火）曜日」？

チャナツカレで一泊した後、いよいよヨーロッパ大陸へ入る。バスはフェリー乗り場へ来た。バスごと船に乗り、ダーダネルス海峡を渡るのだ。

ボスポラス・ダーダネルス海峡は世界史で暗記必須の地名だ。

マルマラ海の北がボスポラス海峡、南がダーダネルス海峡。

マルマラ海は北を黒海、南をエーゲ海と接していてそれぞれの海峡で繋がっている。

栈橋は車でひしめいていた、皆フェリーが来るのをまつ車だ。

その光景はまるで橋の上で動かなくなった交通渋滞のようにも見える。

フェリーが来るまでバスをおりて栈橋を散策。

海峡は地図では細いが、こうして実際みると広い。とても海峡には見えない。

しかし、ここは黒海の船が地中海に抜けられる唯一の海峡。

ロシアの誇る黒海艦隊も、ここを封鎖されると身動きとれなくなる、が、見た限りここを封鎖するなんて不可能なんじゃないのか？と感じるほど広く感じた。

フェリーがくる。

鉄製だが、そのイメージはトムソーヤの物語に出てくる木製蒸気船のようなデザインを彷彿させる。レトロな感じだ。

まずは今乗ってる車が出てから乗り込むようだ。

と、いう事は、今立っている栈橋のこの空スペースにドツと車が押し寄せてくる事になる。いそいでバスへ戻る。

ツアー客全員がバスにのってしばらくすると、バスごと乗船。

最後に大型トラックが乗り込むと、出発となった。

船のデッキにでて、潮風に当たりながら海峡をながめる。結構きもちいい。

海峡から望む陸地には、かならずモスクとミナレットがどこかしら見える。異国情緒満点の景色だ。こういうところは君と並んで見ていたいと、そう、君に伝えます。

以前、君は電車が好きといていた。今にして思うと、自分を知らない世界に連れて行ってくれる“乗り物”が好きだったのだろうか、そんな考えが頭をよぎる。どうしても鉄道オタクには思えない、きつと他に理由があつての発言に違いないと感じていた。どうかな？はずしたかな、いつか答えを聞きたい。

知らない所に連れて行ってくれる乗り物としてフェリーは最適な乗り物だ。バスよりもわくわくする。非日常の香りがするからだ、もつとも地元の人にはこれが日常なんだろうけど。

進行方向側のデッキへ移動し、近づいてくる陸地をながめる。あたりは白人観光客ばかりだった。

海は外海と離れているせいかなか違う感じがする。少なくとも静岡の駿河湾の海とは違うかんじがした。波が穏やかだ。どこまでいっても…

〔9月07日（火）曜日〕？

…とにかく今は待とうと思う。

今は君の都合が悪いだけだ、受け入れられるにしろ、違うにしろ、なにかしらケリをつけにいつか君は現れる。そう信じます。君は、僕が真実に気がついたという事実をもし知ったなら、その事実を重く受け止めるはずだ。そう思った。

〔9月07日（火）曜日〕？

どこまでもおだやかに、でも確実に、前を向き続け、時には激しく、意見をつらぬく。そんな姿勢大事だと思う。君にも僕にも。僕は今、賭けをしています。おおきなターニングポイントがくればいいなと思いつながら。奇跡に賭けているのです。

これが、君の救いにつながる事を期待します。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

.....

〔9月08日（水）曜日〕？

僕は賭けをしています。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに

親しくなるうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は一步手前まで来ていた。

先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。

今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまつつもりでいます。

〔9月08日（水）曜日〕？

…ダネルス海峡を渡り、いよいよヨーロッパ大陸に上陸。
バスごとフェリーを下船。

マルマラ海を右手に見ながら北上する。

途中、革製品の販売会に案内される、こつこつの多くないか？

と思うのは僕だけだろうか？

説明される、イタリアの一流メーカーはここから仕入れている。質的には変らない。

値段も安く、質も同じでお得です。

これを聞くとかつての台湾PC部品メーカーの事を連想する。

いまでこそ台湾PCは世界を席卷してるが、昔は、世界中のPC部品はみな台湾製なのに、台湾ブランドではまったく売れなくて悩んでいた時期があったのを思い出す。ブランド力を独自に作るというのは本当に大変らしい。

“彼ら”の守りたいものも、ブランドなのでは？と時々思う。中身ではない、そもそも中身で他と比較してもたいした違いはない。ブランド力があるからこそ、優越感にひたれるわけだ。じゃあ、弱点はブランド力がさがるような事か！と思ったりもする。日本人はブランドに弱いか…、そんな事頭をよぎる。

もうこの頃になると、例の同行者も睨むのをわすれて楽しんでいく。ときおり思い出したかのように近づいてくる（話しかけたりしてこない）けど、そんなものだった。

昼食のとき、何処かの街のレストランに入る。

この日は「小説を読む！」と朝から決めていたので、地図も見えないし、景色も真剣にみてなかったので、ここがどこの町か把握しなかった。

解っている事は、今がイスタンブールの途上である事と、ダーダネルス海峡を渡ったのでヨーロッパサイドにいる事、北上の途上であり、マルマラ海沿いを走ってきた事。それだけ判っていれば充分に思えて、ずっと本を読んでいた。

なので、昼食に立ち寄った街は不明だけど、古くて近代的な町とこのだけは判った。知らなければヨーロッパかな？と思うくらいだ。

食事中、歌声が聞こえてくる。スピーカーカーで。お祈りの合図だ。

しかし、どこをみてもそんな事しているひとはいない。

こういう事だと思う。今、街を歩いてる人は世俗主義の人かたま
たま忙しくてお祈りが出来ない人。したい人、する人はどこか特別
に用意されたへやでやっているのだらうと、そう思った。

ここのレストランでも猫をみる。

食事もおわり、さらに北上。一路イスタンブールへ。

だんだん景色がかわってくる。建物が増えて、乱雑に増加してゆ
く。

2冊読み終えた頃には、もう景色が変わっていた。久しぶりの雑踏
の空気。

ガイドがいう「イスタンブール」に入ります。

もう、さっそく交通渋滞にはまる。ひどいとは聞いていたけど、
本当に凄い。

一旦車列がとまると、歩行者が入ってきて道をわたる。1人や2
人ではない。雑踏の全員だ。それでも、それなりにスムーズに動く。
ストレスは感じなかった。

てつきりこうだと思っていた。

日本人はみな交通ルールをまもるから、日本の渋滞は外国のもの
よりましに違いない、と。でも実際体験してみると、やり方がちが
うだけで、どちらが良いともいえない感じがした。

外国人が、日本は窮屈だ、と言う理由の一端にふれた気がする。

途中、水道橋をみる。

あれはローマ時代からあるもので、今でも現役で水を運んでいる

と本で読んだと思う。普通に遺跡が同居している景色はなんか奇妙な感覚に陥る。

そういえば聞いたことがある。ここイスタンブールは掘れば必ず何か遺跡が出るので、工事が大変だと。いまも地下トンネル工事をしているそうだけど、ほぼ全部の場所で遺跡が出たとTVでみた。まさに“歴史と同居した街”である。

もし、君が隣りにいたら、僕は水道橋について知りうる限りの話をきみにし続けていただろう。覚えているだろうか？君は初めてのデートで、僕が止まることなくしゃべり続けていたことをうれしく思った。「沈黙がいやなの」ともいった。

いまでも何かしらこうして書いている。昔よりも、君の気持ちを理解できるようになったとおもうし。おそらく、今でも沈黙せずに君とたのしく話し続ける自信がある。

誰かに何か言われたら、こう言ってください。

「私には、命をかけてくれる人がいるの」と。

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされるのは間違っている。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください（周りにもすすめてください）。誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。君が「埋没費用の呪いサンクコスト」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利

を君は十二分に持っていると思う。

.....

〔9月08日（水）曜日〕番外

こういうのもあった。

Fさんは、おしとやかだ。

逆に言うと、態度を明確にしない…

この点を向こうはついてくるかもしれない。

何も話を進めてないうちから、「断らなかったら？」といわんが態度で

どんだん話をすすめていき、君が断れない環境を作り上げるとい
うやつだ。

ずぶとい人間なら「いらん」と言えるが、繊細な人では言えなく
なる…

断る勇気が必要です。

ポイントは、君が承知してないのに（たとえ親切心であろうとも）
相手が勝手にした行為は全て違法行為です。君が首をたてにふらな
い限り、全て違法なんです。

相手が「ごちゃごちゃ言ってきたら

」書面で私が承知したことを法的に証明してみせて「

といえ、相手の違法性を指摘できます。

（印鑑登録を変えておいたほうがいいかもしれませんが、君だけの
印鑑に。ネットで訳あり印鑑を探すと、5割から8割引きでまとも
な印鑑が買えたりします。）

たとえば極端な例で言うなら、レストランで相手が勝手におごってくれる行為も違法だから、断れます。いらぬプレゼントをされたら、交番に落し物としてとどけてもいいでしょう（正直に拾ったといっても良い、その場合親切なおまわりさんなら返還の手助けをしてくれるかもしれない、最悪でも相手の顔をつぶせる）

以前書いた、交渉の基本ルールは“切りしろ”をおおく持つ事だと。

相手が、勝手に事を勧めるやり方は、君の“切りしろ”を封じる手段でもある。なぜなら選択肢が限定されてしまうからだ。この場合、自分の“切りしろ”が封じられないためにも「断る」勇気が必要なんです。

もし、気がつかないうちに罠にはまったら？

第3者を巻き込む方法がベストです。先にあげた交番に落し物として…、というやりかたなら、自然な形で警官を巻き込める。警官そのものが君の“切りしろ”になるわけです。

相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのように“錯覚”させるプロです。親切心を利用されないようにしないと、永久にいいように利用されてしまいます。

…すこし、きつい事書いた。

けど、判って欲しい。今、この事を言える人間は、もう僕以外君のまわりにはいないと思う。警告できるならばすべきと判断しました。

.....

「9月09日（木）曜日」？

僕は賭けをしています。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに親

しくなるうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？18年前、君は一步手前まで来ていた。

先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。

今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまうつもりでいます。

〔9月09日（木）曜日〕？

ボスポラス海峡を渡り、一路北上。この日は観光はせず、ホテルへ行く事に。

明日、あさつて2日かけてじっくりイスタンブール観光をして、3日目帰国の予定だ。この3日間は物凄い濃い3日間だったと思う。

旅というのは不思議なもので、いつまでも自分はこの国にいるんだという錯覚に陥ってしまう。君もこういう経験した事ないだろうか？見慣れない場所に長期間いると、以前いた場所がかすんでしまうような感覚。この感覚、悪用されると物事を忘れさせるのに使われてしまう。

旅のようにいつまでも自分はこの国にいるんだという錯覚に陥ってしまふ状況の時、自分は日本人なんだという原点に帰ると正気が

喚起される。

何事も、原点を思い返せば、正気を取り戻せるのだと、僕は考えます。君にこのイメージが上手く伝わる事を願います。

仮に何処かに監禁や軟禁されても、原点さえ忘れなければもう正気をつしないません。(そんな目にあつてないといいけど、そう切に願います)

…ともかく、普通の事を書くことと思う。

普通が一番です。

ホテルに着く前、日本食屋に寄る事になる。急な予定変更。

ツアー客の多くが食事にやられているらしく、添乗員さんの計らひだった。

聞けば、毎回トルコツアーでは食事に参加する日本人が出るとの事、毎回そうだから添乗員さんはその点気をつかうらしい。

イスタンブールは主に旧市街、新市街、アジアサイドの3箇所からなる。

旧市街は一番古くからの町、テオドシウスの城壁に守られたコンスタンティノープルだった場所だ。新市街はその北に位置し、旧市街とは金角湾で隔てられている。新市街の東にボスポラス海峡があり、その向こうがアジアサイドだ。

旧市街と新市街を隔てる金角湾は狭いので、古くから橋があるが、ボスポラス海峡は広いので近年まで橋は出来なかった。いまは、イギリスが作った第1ボスポラス橋、日本が作った第2ボスポラス橋で結ばれている。

バスは南から旧市街に入り、水道橋、スレイマンモスク、カラダ橋を通過。新市街に入る。今イスタンブールの中心街はこのあたりらしい。

観光地とは違い、今の街の活気がみられる。

バスは大きな通りで端により停車、そこから全員で徒歩で店に向かう。

東京にいたとき、外国人観光客がゾロゾロ歩いているのをよく見た。目立つなーいつも思っていたけど、今度は逆の立場だ。

渋谷のスペイン坂とか、あの辺りを歩いているような感覚の場所へと入っていく。狭い坂。なんだか外国人の多い日本の狭い路地に来たような錯覚に陥る。

日本食屋が見えてきた、メニューにネギトロが出ていた。

「久しぶりに食べたいな」と思っていたら、その店の隣りの店が目的地という。もう一件日本食屋があった。最初にみつけたところより地味な印象。でもおいしかった。

食事がおわり、来た時と同じようにツアー客全員で同じ道を引き返した。

坂道を下る、よくみるとこの路地は両サイドみな飲食店だった、路地を抜け、大通りへ、多くの人が行きかう、色黒のひとがいなければヨーロッパかと錯覚するような雑踏。

できればあちこち散策したいところだけど、時間的余裕はないようだ。

君と歩きたい街です。いろいろ新しい発見を一緒にしたり、見たり、聞いたり。

そんな夢も奇跡を願わないと叶わないのだろうか…。

僕は賭けをしています、君が僕に告白するかどうかと。
そこが、大きなターニングポイントになる。
それは事実です。

僕はあの日、君とお祭りの出店など見て回りたいと考えていた。
定番のラムネを買ったり、金魚すくいなんかもいいなと漠然とおもっていた。

…けど、（僕は気がつかなかったが）君は“彼ら”の気配に気づき、早々にお祭りから逃げる事を選択した。僕は君1人に戦わせていた事になる、もう、そんな事はない。僕は気がついた。1人じゃないんです、つかれたら、君には以前とは違い休む場所がある事を忘れないでください。

何か言われたら、こう言ってください。
「私には命をかけてくれる人がいる」と。

〔9月09日（木）曜日〕？

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。
…でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされるのは間違っている。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、文句は言わせないわよ！」と、言って良いと思う。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください（周りにもすすめてください）。誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

.....

今、こちらでは「噛みつきサル」騒動がおきています、全国ニュースで毎日やってるから、君がどこにいるにしろ、たぶん、知っているのでは？と思う。(でもFさんはTVみないといっていたからな…、どうだろう)

もし“彼ら”がその情報網をフルに使えば、サルの現在位置などすぐに把握できそうなんだけど、そういう指示が上からおりてこないのだろう。そう感じた時点で、「なんだかこの組織おかしい」と感じてくれたら嬉しいです。

(珍しく組織の“それ”が本物の社会貢献ができる状況なのに…、無害な人間を殺すまで追い込むより、はるかに役に立つ。…それとも、そういう指示は確かにきてはいるが、“身内”が噛まれないようにするためにだけに留めて、捕獲に協力する気ゼロなんだろうか…。こんなうわさを思い出す。あの日“彼ら”は身内にこう警告したそうだ「都内に来るな」と。地下鉄サリン事件の日です。ま、うわさですけど、そこまで腐ってないと僕は信じています)

.....

「9月10日(金)曜日」?

“彼ら”は決して正体を明かさない…(告白しない)、どんなに親

しくなるうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？18年前、君は一步手前まで来ていた。

先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。

今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています、君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまうつもりでいます。

〔9月10日（金）曜日〕？

少し書き損じた部分があった、

実は日本食を食べる前、旧市街でバスをおり、船に乗っている。

時間をすこし巻き戻して、（イスタンブールに入る前まで戻します）

∴ボスポラス海峡を渡り北上しバスはイスタンブールに入った、南側からイスタンブール旧市街に入りさらに北上。

途中、大きなバスターミナルを見る。イメージとしては渋谷の空中歩道から駅前バスターミナルを見下ろした時の雰囲気似た光景だが、規模はもっと大きい。

鉄道が発達していないからバス路線が発達しているのだろうと連想した。おおきなバスターミナルだった。

その後、僕らの乗ったバスはさらに北上。

海に面した場所に停まる、船着場だ。ツアー客全員でバスを降り

る。

船着場では古びた観光船が待っていた。20〜30年は船齡があるんじゃないかと感じる古さだ。いい意味で味のある船。この観光船は“南”ではなく“北”へ向かう予定と聞く。つまりイスタンブールから北の“黒海”にむけて遊覧し、ある程度いったら引き返すというわけだ。

先にも書いたとおりイスタンブールは主に旧市街、新市街、アジアサイドの3箇所からなる。

旧市街は一番古くからの町、新市街はその北に位置し、旧市街とは金角湾で隔てられている。新市街の東にボスポラス海峡があり、その向こうがアジアサイドだ。ボスポラス海峡をそのまま北上すると黒海に繋がっているし、逆に南下すればマルマラ海、さらに南下すればダーダネルス海峡に行き着き、その先はエーゲ海になる。

海峡の名は“ボスポラス”、ダーダネルスと対^{ついで}で暗記する事が必須の世界史で有名な場所だ。

先にフェリーで渡ったダーダネルス海峡より狭い…、海峡というイメージにあう景観だ。

左右の陸地のうち、左側にモスクや旧所名跡が多い。右はアジアサイドで、近代まで発展しなかった地域だ。

左側の新市街に西洋風宮殿が見えてくる。あれは王^{スルタン}の居城のはずだ。

最初スルタンは旧市街に住んでいた、しかし、窮屈でくつろげないので、何代かあとのスルタンが住まいを変える決断をする。

その際、新市街に西欧風のお洒落な宮殿を作った、以来、王の宮殿はそこになり、旧市街の宮殿は政治官僚の仕事場と化した…、そんな事を本で読んだのを思い出す。当時からトルコ人は西欧にあこ

がれていたわけだ。常に目が西に向いている。

そのまま北上。途中水上レストランに出くわす。海峡のど真ん中に、人工の浮島があり、レストランのような事をしているようだ。確かめた訳でないので間違ってるかもしれないけど、見た限りレストランに見えた。

そういえばこんな話を思い出す。イスタンブールでは交通渋滞が多いので、海上交通手段が発達している、中には個人でボートを持っている人も少なくないと、そうした人むけの店なのだろうか？
こういう景色は君と見たいものです、本当に。Fさんはどう思いますか…？

船はさらに北上、第二ボスポラス大橋が見えてきた、（今地図でみるとこの時点でボスポラス海峡の半分くらいまで来ている様だ）その向こうにルメリ要塞が見える。ようやく要塞が見えてきた時点で舟は進路を南に転じる。ものすごい残念。ルメリ要塞はもつと見たかったところだ。

コンスタンティノール攻略戦には奇想天外なエピソードが多い。4ヶ月で築城した要塞の話とか、巨大な鎖で海峡を封鎖した話とか、船を陸上輸送して相手の背後に回った話とか。ルメリ要塞もそうした奇想天外なエピソードの1つを担った遺跡だ。

通常、石つくりの城を作るには何年もかかる。しかし、何年もかけていては敵に攻撃されてしまう。ルメリ要塞はコンスタンティノールの北に4ヶ月で建設されたお城だ。当時としては空前絶後の短期間で作った事になり、コンスタンティノール側を驚かせたのだ。

日本人はとかく豊臣秀吉の「一夜城」をほめたたえるが、外国にも似たような事を考えて実行した人間がいた訳だ。しかもこちらは

石つくりの要塞。秀吉のように木材で作ったものではない。スケールが違うと感ずるのは僕だけだろうか？

初期オスマン・トルコは優れていた。そう感ずる。けど、時代が下るにつれ硬直化して柔軟に動けなくなる…

硬直化した時代、オスマン・トルコは反乱要素は徹底的に弾圧し、根絶やしにした。それがトルコが近代化に遅らした原因の1つだろうと僕は思ふ。

今、幕末日本史の本を読んでいる、「竜馬伝」のせいで気になつて仕方なかったからだ。一度ちゃんとおさらいしようと思つた。

読むと結局開国をリードしたのは薩摩・長州を中心とした反乱分子なのがよくわかる。幕府は徳川家を守る事に終始して日本全体に目が向いていない。もし江戸時代、幕府が地方の反乱分子をオスマン・トルコのように徹底弾圧で根絶やしにしてしまっていたら、トルコと同じように近代化におくれる歴史を歩んでいたのだろうか？ そんな事思わなくも無い。

未来の可能性を残すためにも、異質なものは残すべきなのだと思う。

将来、何が役に立つかわからないわけですから…

〔9月10日（金）曜日〕？

君が今も戦っているという前提で書きます。

1度しかない君の人生です。負けないで！

自分の都合を押し付けてくるような連中は跳ね除けて！！

彼らは、“彼ら”の中でも教えを利用して君に無茶を押し付けてくるような連中だ！

これは人としての“質”の問題です。

…教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。質が問われているのです。何か言われたらそう伝えてください。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっている。

せまい世界のなかだけで完結しないのは事実のようです。

他にも何か言われたら、こう言ってもかまわない。

「私には命をかけてくれる人がいる」と。

〔9月10日（金）曜日〕？

僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違いです。

そうやって“人”を“従順”にさせるのが“彼らの（中の）そうした人達”の（常套手段）です。

〔9月10日（金）曜日〕？

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、文句は言わせないわよ！」

と、言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください（周りにもすすめてください）。誰かが邪念に負けた、け

ど天は見放さなかった…そういう事で全て矛盾しなくなると思っていますがどうなのでしょう。君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言ってもいいんです。僕が保障します。

.....

「9月11日(土)曜日」？

Fさん、いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。

狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！と言ってやってください。

“彼ら”は決して正体を明かさない…(告白しない)、どんなに親しくなろうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は一歩手前まで来ていた。

先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。

今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまುತ್ತもりでいます。

〔9月11日（土）曜日〕？

旅行の話に戻そうと思う、普通が一番です。

…船は海峡をわたり、第二ボスポラス大橋とルメリ要塞が見えたところで引き返した。

北上中はあえて水面近いデッキおり潮風を楽しんだ。帽子が飛ばされそうなほどの風だが、気持ちよかった。モスクが見える海面近くからの景色は迫力満点だ。

引き返してからは場所を変えた、風がやんでしまい面白くなかったからだ、どうやら進路を南に転じたことで、風下にむけ航行する状態になったようだ、風がやむと暑さがこたえる。

途中、「ヤル」と呼ばれる別荘群をみる。本を見ると第二ボスポラス大橋周辺に多いと記載されている、以前TVで見たのだが、トルコ人の夢は、ここに別荘を構えることだそうだ、ボートをそなえた船着場が各々の別荘にあり、ここから直接会社へ入社する女社長の映像をその時TVで見たのを覚えている。さしずめ日本人にとつての軽井沢なのだろうか？（それとも別荘といえば軽井沢という発想はもう古いのかな…、あそこは観光地になってしまっつてうるさいから、本物の金持ちは違つところに別荘をたてるとか聞いたことがある）

観光船はそのまま南下して、元の船着場までもどつた。短時間だけどおもしろい経験だった。書き足りない部分もたくさんある、いつか君とここで書き足りなかった部分について語らう日がくるのだろうか？

この後、新市街で日本食屋に行き、その後ホテルへ向かう事になる。

多少年季は入っているが、ちゃんとした感じのホテルだ。

ここイスタンブールは破壊を再生を繰り返してきた歴史を持つ。

翌日それを象徴する遺跡を、いくつも見事になる。

この先は時系列を無視して、印象に残った光景のファーストインプレッションのみを書こうと思う。

イスタンブールの旧市街には“地下宮殿”と称される“地下貯水池”がある。ローマ時代に整備された地下空間で、何本もの“柱”で天井が支えられている。地上の入り口から地下に入ると急にひんやりしてくる。カツパドキアの地下都市を思い出すが、あれとは違い湿気がある。

地下貯水池は今では現役で機能はしていない、あくまで観光用施設だ。あちこちにガイドレシーバーの案内看板がでている。いくらか払うと英語解説の聞けるレシーバーを貸してくれるわけだ、最近の歴史遺跡や歴史展にはこういうものが多いようだ。

“柱”は何メートルもあり、天井は相当高い。昔は天井一杯まで水があつたらしい。今は下のほうに数センチ水がはつているだけだ、おそらく観光用の演出のためだろう、鯉が泳いでいたりする。歩道が整備されていて、水面何十センチの位置にある。

オスマン・トルコ時代は“貯めた水”というのをトルコ人が好まなかったらしく、コンスタンティノール陥落以降は使われず、貯水池全体が放置され、気がついたら流入する砂などで埋まっていたらしい。

近年になり、砂が取り除かれ、観光地として整備された。なまじ砂に埋まっていた分、保存状態は良好だ。

中にはカフェのようなものが作られていた、地下空間で食事ということのようにだ、薄暗い中、わずかな明かりで照らされたそこは神

秘的に見える。しゃれた事を考えるものだなと思った。

空間をささえる“柱”は専用につくられたものではない、ローマが周辺ギリシャポリスを打ち負かした際、その地で神殿に利用されていた柱を持ってきて使ったものだ。いわば略奪品の柱でつくられた空間である。なんともひどい話だ。だから、それぞれの柱がばらばらのデザインになっている。この地下貯水池で一番有名なモニュメントは“メドゥーサの首”と言われるものだ。あの、目をみると石にされてしまうという伝説の化け物のこと。

この“メドゥーサの首”も、何処かの都市国家の神殿から略奪され、ここ地下貯水池に運ばれた。

これをここにもってきた人は、本当に「石材」として扱ったらしい、首を逆さにして、柱の土台にしている。当時これを作ったローマ人の感覚では、もうここは水で満たして目に付かなくなる場所だから、美観などどうでも良いという事なのだと思う。

略奪品を粗末に扱い作られた空間、それがこの地下貯水池だ。

でも、この地下にあったおかげで、地上の風化や戦争に巻き込まれること無く、2010年の現在もなお、きれいな状態でここにある…。それは人類の歴史の上でもものすごい重要なことのように思う。この地下空間を見るだけで、ローマ時代の略奪の様子がうかがえるわけで、貴重な歴史資料だと思う。無ければ、想像するのみになってしまい、過去の解釈に大きな差異がでてしまう。

過去の記憶というのは重要なんだと思う。それがあから、過去から反省する事も出来る、あやふやにしたり、忘れてしまつては、同じ事を繰り返してしまつ。

それに過去の記憶があれば、自分が何者であるのかを知る事もできる。

自分が何者かわからないというのは、不安で、不安定になるもの

です。それを避けるためにも過去を否定せず受け入れる事が大事です。

受け入れる際、問われてくるのが、人としての“質”だと思う、過去とどう向き合うのか？過去が自分の何であるのか？と問うのはその人自身の資質が答えに反映される。

君はどう感じますか？

〔9月11日（土）曜日〕？

僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違いです。

そうやって“人”を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした人達」の）常套手段”です。

ともかく待ちます、今は都合が悪いだけだ、そう信じます。

君の心が周囲に伝わる事を祈って…。

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる」と。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、文句は言わせないわよ！」とさえ言っただけで良いと思う。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではありません、人としての“質”の問題なんです。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。君の事が心配だからです。君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正

筆御書、一度見てください（周りにもすすめてください）。誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…そういう事で全て矛盾しなくなると思いますがどうなのでしょう。君が「埋没費用の呪い」サンクコストにかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

- - - - -

〔9月12日（日）曜日〕？

僕は賭けをしています。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに親しくなろうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は一步手前まで来ていた。先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。

今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまುತ್ತもりでいます。

自分を守って欲しい、僕のためにも。

「9月12日（日）曜日」？

とにかく、普通の事を話そうと思う。

イスタンブールについての光景を、印象的な順に書こうと決めた旨、前回書いた。

まずは地下貯水池について書いたわけだけど…

次はトプカプ宮殿だろうか…

旧市街にある王の住まいだ。^{スルタン}

4つの門があり、その奥に4つの庭がある。奥にすすむにつれて重要度が増す構造をしていると事前に読んで調べていた。

トプカプ宮殿では陶磁器が有名ならしい。物凄いコレクションがあるという、僕が読んだ本ではシロウトがみても感嘆するものらしい。それはぜひ見てみたいなと思っていた。

謁見の間も見てみたかった、図書館が併設されているらしい。

その他にも第4の門の奥にある西洋風のスルタン個人スペースもあったらしい。精密画展示室もあったらしい。これらは事前に予習していたので、ぜひ見てみようと思っていたのだが、甘かった…。

最初に結論を言うと多くのポイントを見損ねた。

理由は、圧倒されてしまい、ほかの事に気が回らなくなってしまったからだ。

気がつけば、最後はトプカプ宮殿内のカフェでくつろいでいた、圧倒され、のぼせてしまったのだ。自分の考える豪華を遙かに越える豪華を見せ付けられると、さすがに息がきれてしまう…。

ここの宝物殿にはスプーンで大盛りにつくったゼリーよりもさらにデカイエメラルドとか金銀細工や宝石など、日本国内では見る事

が出来ない類の“お宝”が山のように展示されている、目がくらんでくる。何も知らない僕ですらこうなのだから、興味のある人間にとってこれらはとんでもない代物だったのだらうと思う。

こんなものを見せ付けられれば、無条件に脳が機能停止してしまう様に思う。

正常な判断ができなくなる。

昔の王様はこういうものを部下や庶民にみせつけて、その意思を支配していたのだらうか？そっぴやどこの偉い人もこういう“宝物”を欲しがるな、などと思った。

きみもこういう目にあつた事あるのだらうか？目もくらむプレゼントとされたりして…。

いくら物に執着しない君でも、あまりに豪華なものなら…、現に僕ですらこの宝物殿をみてくらくらしている。

相手は“そういう”心の隙間をついてくる。

もし仮に相手がそういうプレゼントをしてきて、正常な判断を失わないようにしてほしい…、そう願います。

もし仮に、本当にそんなプレゼントされたら？返そうとしても受け取ってくれなかつたら？

落し物として警察に届けても良いと思う、警察立会いのもと、返そうとしても相手が受け取らなければ、何処かの慈善団体に寄付してしまえば良い。その際所有権でもめないように、警察官のいる目の前で所有権放棄の旨書いた紙を書いてもらえば良いと思う、何事もめめた際に効力を発揮するのは、こうした書面です。法的に不備が無いように、年月日の記述と判子、判子がなければ拇印、最低でもサインをフルネームで。できれば運転免許の番号（〜号と書いてある部分）など一緒に控えた方が良い。誤字脱字があると効力が落ちるのでそこも注意して。

プレゼントとは現金で人の心をしばる手段です、気をつけて！

…そういえば、君は物より気持ちを優先する。僕の手製のクリスマスカードに喜んでくれた。

まさかだけど、当時すでにプレゼントで心を縛られるような経験してたんじゃないよね…？

そうでない事をいのるばかりです。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまುತ್ತもりています。

僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違いです。

そうやって“人”を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした人達」の）常套手段”です。

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる」と。

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされる

のは間違っている。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、文句は言わせないわよ！」と、言って良いと思う。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください（周りにもすすめてください）。誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

自分を守って欲しい、君は自分で思っている以上に強い人です、大丈夫です！！

.....

〔9月12日（日）曜日〕番外

君の事だから、言われるまでも無く当然承知しているとおもっただけでも…今更ながらだけど、一応書きます。もし、書くまでも無く当然判りきっていたなら、ああ、この人は私を心配してくれているんだ、という思いを汲んでくれればと、そう思います。

君は“彼ら”以外との付き合いは薄い、当然話し相手も身内だと思っ。

でも相手が“そう”ならば、話した内容は当然全部報告されるから、報告されても良いことしかしゃべっちゃダメだよ。たとえば、どんなに親しいひとでも。

何が役に立つかわからないので、一応書きました。

君が頑張れるなら、僕も頑張れます。君は1人ではありません、頑張ってください！

〔9月12日（日）曜日〕番外？

法律の怖さを理解するうえで、一番簡単な方法は「ナニワ金融道」という漫画を読むことだと思う。

内容自体は女の子のよむようなものではない、ても参考にはなる。直接の参考にはならなくても、法律において書面と意思表示がいかに重要か？といのがイメージできる。主人公たちは脱法行為ギリギリの行動ばかりとる、だから読むと、どこまでが犯罪で、どこまでがセーフなのか？というラインがシロウトでもイメージできるようになる。この本は地検特捜部にもおいてあると、昔ニュースステーションで見た記憶がある。それなりのクオリティーがあると多くの人が認めている作品です。

買う必要は無い、興味がわいた時点で、都合が良いとき漫画喫茶でもいけば読める。

何かの参考になれば幸いです。

〔9月12日（日）曜日〕番外？

あとそれから、これは懸念なんだけど、できることなら考えすぎであって欲しい懸念…。

もしかして君の周辺に最近イケメンが多いくたりしない？

トルコ旅行でも例外なく若い女性はみな美人という状況だった、まさかね…そこまで姑息とはおもわないけど、他の異性へ興味を持たせる事で、情熱を冷まさせようという誘導ととらえられなくも無い。

特に君はぼくとちがって容姿がいいから、男も積極的に寄ってくると思う。

これは、あくまで懸念です。注意すべきことかもと、そんな事思った。

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

.....

〔9月13日（月）曜日〕？

僕は賭けをしています。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに親しくなるうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は一步手前まで来ていた。

先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。

今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまುತ್ತもりでいます。

〔9月13日(月)曜日〕？

イスタンブールでの印象深い事柄を時系列を無視して書いています。

前日書いたトプカプ宮殿のつづき…

一通り見学し、あまりの豪華さにくらくらきてカフェに座って休んだ。

第三庭園の下の方にあるカフェで、飲み物の値段が異常に高い、ホテル据え置き飲料よりも高い値段設定、それでも売れるという事は、買う人がいるわけで、なぜだ？と頭をひねる。

結局、なにも注文せず席だけ拝借した、座るだけでもOKらしい。眼前に広がる景色を見てピンと来た

「ここはコンスタンティノーブル攻防戦の海上の戦場が一望できた場所だ！」と。

目の前にマルマラ海、左斜め前方にボスポラス海峡、さらに左際には金角湾…

おそらく、トルコ海軍は地中海を北上してこの地に来たはずだから、右から来た事になる…。

この歴史的景色にヨーロッパ人なら高額をはらうかもしれない…

こんな事が頭をよぎる、日本人でも、中国の赤壁の戦いが一望できる場所にカフェがあったら、高額はたいても飲み物たのむのではないだろうか？と。逆にヨーロッパ人は赤壁の戦いなど知らないから、なぜこんな高いと驚くだろう…

(赤壁の戦いとは諸葛孔明が大活躍した有名な戦いです、三国志に登場します)

ここイスタンブール（コンスタンティノブル）は天然の要塞だ。三方を海に囲まれ、唯一陸地とつながる西側には、突破不可能の城壁が存在する。

だから攻めるなら手薄な海側がいい訳だが、海側には砲台と海軍がいて鉄壁の守りをしている。現に、このトプカプ宮殿も、コンスタンティノブル時代は海側の守りを固める砲台として使われていた場所だったらしい。

たしかにここからなら、なにも障害物がない、腕さえ確かなら攻めてくる軍艦を大砲でなぎ払える…

コンスタンティノブルの敵はなにもトルコ人だけではなかった。古くは北から攻めてくる騎馬民族、ローマが東西分裂した後は、西で経済をにぎったベネツィアといった商業都市から攻められた。みなシルクロード交易の利権を狙ってやってきたわけだ。

シルクロードの利権がこの世でもっとも富をもたらすシステムだった訳だ。

このシステムは未来永劫続くと思われていた。

でも大航海時代、^{シレーン}海路が開かれると、シルクロードは存在意義を失う…。

今度は^{シレーン}海路を制したものが世界を制すようになる。各地に植民地が作られたのもこの時期だ、^{シレーン}全て海路の確保が念頭にある。

（日本に開国をせまったアメリカにしても、海路確保の観点で日本に補給基地が欲しかった訳だ、捕鯨専用の補給基地が欲しかったと言われているけど、同時期、交易も求めていたのは事実です）

第1次世界大戦は海路の利権争いだったと思います。とうぜん、この時期になるとだれもシルクロードなど見向きもしません、完全に取って代わってしまった。こういう、根本の大前提が変わってしまった事をパラダイムシフトと呼びます。

2010年現在においてはすこし違います。

自動車社会の発展にともない、石油の重要性が増します、石油を確保した者が世界を制す時代に变化したわけです。この現代における石油利権の争奪戦を“グレートゲーム”と呼ぶと、以前新聞でみた記憶があります。

現在、石油利権の覇者はアメリカ、ロシア、すこし離されて中国といったところでしょうか？覇者だからこそ、世界に向けての発言力が大きい訳です。石油利権を制すものは世界を制す訳です。

現在、石油にかわるクリーンエネルギーの開発が叫ばれているのは、ちよつとした含みがあります。

これは石油利権が世界を制す現行の“グレートゲームの秩序”に対する挑戦なのです。

もし、上手くいけば、石油利権もシルクロード利権や海路利権のように過去のものとなり、世界を制す利権にならなくなってしまいます。

だから、石油利権の権利をもつ勢力は環境問題を徹底攻撃します。「環境問題はなぜウソがまかりとおるのか？」なんて本がバカ売れしていた時期もありました。

逆に南米のチャペス大統領などはバイオエタノールを武器に堂々と石油利権勢力に挑戦状を叩きつけている訳です。

今は時期尚早でもいづれそう遠くない将来、クリーンエネルギー利権を制すものが世界を制す時代が来るかもしれせん。

そう思う企業もおおく、だからエコカーの開発に熱心な訳です。しかし、クリーンエネルギー社会が出来るまでには、突破しなければならぬ技術的壁がまだいくつもあり、すぐに来るという訳ではありません。だから当面はアメリカ、ロシア、中国が世界を動かす秩序は消えることなく続く事でしょう。

…Fさん、わかるかな。

“彼ら”は「この世は弱肉強食」と言い。世界を我が物に出来ると吹聴しているようだけど、グレートゲームに参加できない弱小勢力の1つに過ぎないのです。

世界どころか、アメリカの手のひらから出ることも出来ない集団である事実にも何れも変りはないのです。

孫悟空がお釈迦様の手のひらから抜け出せないように…

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっている。

せまい世界のなかだけで完結しないのは事実のようです。

君の周りの人に伝えてください。自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないの!？と。

理解を示す心の広さはどこへやったの?と。

…こんな事も思う、彼らは美意識が高い、とにかくいるんないな意味で。

彼らが、君へした事が、いかにその美意識を損なうものかといところを軸にすれば、君は自分に優位な言葉を思い浮かべやすくなるのではないだろうか?…、そんな事おもった。ダメかな?…?無理?できない?

でも何かの参考になれば、もしかしたら役に立つ日が来るかもし

れないので書きました。

君の周りには悪意なく“美意識が高いがゆえ出来る悪事”が出来る人がたくさんたくさんいると思う。

それは“本物の悪意が”あるのではなく、その人の“心が内向き”になっていて、外に向いていないからだと思う。

「心が外向きになれば、人として持つ“当たり前の感情”が戻ってきます。」

そう、周りの人に言ってやってください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援しています。

君は自分で思っている以上に強い人です。

…初めての印象とういうのは忘れないものです。わくわくして、楽しくて、面白い。周りの人に、機会があつたら伝えてください。最初の印象って忘れないものだ。違いを楽しんだり、同じと思う事を嬉しく思ったり、何もかも新鮮で彩りに満ちている。

自分を責める必要はありません。僕が保障します。責めるのと、悔いるのは、別次元の問題です。

これらは“人としての質”の問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。質が問われているのです。

何か言う人がいたらそう伝えてください。

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされるのは間違っている。

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる」と。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください（周りにもすすめてください）。誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…そういう事で全て矛盾しなくなると思いますがどうなのでしょう。君が「埋没費用の呪い」サンクコストにかかわらず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

- - - - -

〔9月14日（火）曜日〕？

僕は賭けをしています。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに親しくなるうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は一步手前まで来ていた。

先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。

今にして思うとそう思う。

…僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまうつもりでいます。

〔9月14日（火）曜日〕？

…とにかく普通の事を書こうと思う。

普通が一番です。

前回に続きイスタンブールでの印象深い事柄を時系列を無視して書いています。

前日書いたトプカプ宮殿、第三庭園の下の方にあるカフェで、値段が異常に高い所で景色を見渡した話をした。

…ここから金角湾も見える。

コンスタンティノープルの北側をしめる細長い湾で、トルコ海軍が来た際は巨大な鎖で“湾”を塞いでしまったそうだ。なぜならそうすれば、金角湾の防備に艦隊を置かなくて良いのでその分マルマラ海の戦力を増やせるから海上を守りやすくなる。

現在新市街にあるというトルコ軍事博物館には、この当時使用された巨大な鎖が今もあり展示されているという、しかし今回のツアーではそこには行かない、ぜひ見てみたかったので残念です。

当時のトルコ軍も一番守りの手薄な金角湾が攻めどころとわかっていたけど、鎖が邪魔で湾に入れない、そこでトルコのメフメット2世は鎖を迂回する為に艦隊を陸上げして山越えさせ、陸上から艦隊を回りこませて金角湾に艦隊を入れた、むちゃくちゃである。

でも、船を陸上輸送するなど、巨大な石の建築物がそれこそ山のようにあるヨーロッパやアトリアの人々に見れば普通の事だったのかもしれない。なにもかもスケールが違うように思うのは僕だけだろうか。

この時代、日本は室町時代で戦国時代は未だ来てなく、金閣寺はあるが、銀閣寺はまだない時期。

京都周辺はそれなりに文化水準の高い場所だったけれど、それ以

外のところは不毛の地が多かった時期だ。つまり、京都周辺以外の場所は、平安時代と同等かそれ以下、下手をすると古墳時代レベルの生活水準の地域もあったのではと感じる。つまりまだ日本はこの頃発展途上国であり国家の体をなす前の段階だった。同じ時代、ここコンスタンティノールでは国家の威信をかけた戦いが繰り広げられていた。当時の日本人には想像すら出来ない規模とレベルのものが…

カフェから見下ろすと当時の城壁がまだ残っている、ローマ時代からあるものだそうだ。歴史を感じます。

ここトプカプ宮殿には併設するようにそびえるモスクがある。有名な「アヤ・ソフィア」という場所だ。その昔、東ローマ皇帝が建てさせたもので、当時世界最大級の建造物だった。完成時は「聖ソフィア教会」といった。

コンスタンティノール陥落後はイスラム教のモスクに改造され、「アヤ・ソフィア」と改名される。

その後、近代トルコになったおり、建国の父ケマル・アタチュルクにより博物館として一般公開されることとなった。

内部に入ると高い天井に巨大なドームがある。こういう建物はヨーロッパに多く存在するが、僕の理解が正しければ、ここはその第1号だ。第1号なゆえに欠陥もあり、何度かドームは崩落しているらしい。試行錯誤のすえ、ようやく崩落しなくなる。その技術はフイードバックされ、他のヨーロッパ地域の宗教建築物に応用されていったらしい。

第1号ゆえに、当時のひとは他で見たこと無いすごい建物だと度肝をぬかれた事と思う。

あまりの凄さに皇帝にひれ伏してしまっただに違いない、以前書いた宝石で人の意思を支配できるのと同じ理屈で…。

通常モスクでは必ず聖地メッカの方向にモニュメントと説教台が置かれる。が、「アヤ・ソフィア」はそんな事にせず作られた場所（＝教会）だから、どうしても中途半端な場所にそれが来てしまう。今はモスクとして機能していないが、そのモスク時代の設備（モニュメントと説教台）は今も展示されている。中央広間の斜め端にそれらは置かれていた。非常に中途半端な位置だ。こういうのを見ていると、「ああ、それまで聞いたこの建物の歴史は本当にあった事実なんだな（偽装された歴史ではないんだな）」と実感する。ウソでここまで中途半端にはならない。

内部の中央広間から上を見上げると、側面にバルコニーがあり、人がいる。どうやって行っただろう？と階段を探してみる…、すると階段らしき場所に立て看板があり「ノーエントランス」とある、じゃあ、別の場所か？と探すと今度は女の警備員ができて「ノーエントランス！」と叫びだす。結局バルコニーには出られなかった。でもこれも良い思い出にしようと思う。こういうのが旅の醍醐味というものです、こういう経験は親しい人と共有したいなと感じるところです。Fさんはどう思いますか？

この中央広間を支えるのは6本だったかな…緑色の巨大な柱だ。やはり地下貯水池同様によその都市から略奪してきた柱と聞く。最初どこから来た柱か聞いたときは耳を疑った、ガイドはこう言うのだ。

「この柱はエフェソスのアルテミス神殿で使われていた柱なんです」と。

え…？と思わず息をのむ。

覚えてるだろうか？かつて繁栄したエフェソスの遺跡の話を。女

神アルテミスを主神にあがめ、今でも残る立派な歩道を持ち、かつてペテロがローマに連行される前、大演説をしたあのエフェソス。

その図書館は当時世界最大級で、ローマのバカな将軍がクレオパトラの気をひくため図書館の蔵書を全部彼女にプレゼントしてしまったという当時の人ですらあきれるエピソードのある街。周辺からの交易品であふれかえり、高い文化水準をもった街。同時期の日本はまだ弥生時代にすぎなかったと説明したあのエフェソス。

エフェソスにはギリシャのパルテノン神殿を同じデザインで、そのまま3倍でかくしたアルテミス神殿があったと以前書いたの覚えてないかな…。

当時あまりの巨大さから、世界7不思議の1つに入れられてしまったエフェソスのアルテミス神殿。その柱が、今まさにここにあっただけだ。こんなところにあっただんだ！と心の中で叫ぶ。

思わずかけより触れてみる、長年使いまわされた石材らしく何回も表面を塗料で塗られたらしい。石の感触はしない…。

歴史はこんなところで重なっていたのか、と思わず感じるわけだけど、どうも他の人はピンときていないらしく、こう考えるのはあいかかわらず僕だけなのかと残念に思う。

でもこうも思う、単に話が見えてこないだけであり、ちゃんとした道筋で説明すれば、おのおの感じ入るものがあるのだろうと。

話はわかるが、いまいちイメージできない事柄というのは僕にもあるし、そういう事柄は世の中あふれかえっている。全てを理解するのは不可能だ。これが、人が何かを誤解する理由の1つなんだと思う。全てを理解するのは無理だから、理解している人の判断を信じよう…と。その判断があつてるかどうかは、勘で判断するしかない…。

こういう判断基準になる信頼すべき人物を古い言い方ではオピニオンリーダーとか言うらしい。

このオピニオンリーダーに誤解されると大変な目に遭うわけだ。僕も君も独特の感性を持っていると思う。なんど理解されない壁にぶつかつた事か…。

でも、このオピニオンリーダーが悪意なく誤解したなら、話せば誤解も解けるけど、悪意ある場合は…最悪です。多くの善良な人はこうして操られる。

でもあきらめてはいけません。自己主張を続ければ、何処かに打開策があると思う。

以前、僕は言いました。

「表現されない自分は、いないも同じだ」
表現しないと、いいように誤解され（＝他人のイメージに塗り固められ）てしまう。

言うべき事は、言わないと、永久にそうなってしまつのは事実だ
と思う。

Fさん、いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。

狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！
と言ってやってください。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっている。

せまい世界のなかだけで完結しないのは事実のようです。

君の周りの人に伝えてください。自分たちだけが一方的に正しい

と思っているのは恥ずかしくないの!?!と。

理解を示す心の広さはどこへやったの?と。

これは人としての“質”の問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

質が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。

負けないで!応援しています。君は自分で思っている以上に強い人です。

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされるのは間違っている。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、文句は言わせないわよ!」と、言って良いと思う。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください(周りにもすすめてください)。誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。遊ぶ金ほしさの連中なんか蹴散らして!!

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

何か言われたら、こう言うってください。

「私には命をかけてくれる人がいる」と。

負けないで！

.....

〔9月15日（水）曜日〕？

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに親しくなるうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は一步手前まで来ていた。先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。今にして思うとそう思う。

…僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまうつもりでいます。

久しぶりに言おうと思う、君の事が今でも好きです。

この言葉は滅多にいわない…、なぜなら言葉が軽くなるから。

僕にとって、君にこの言葉を言うのは、とてもとても重い想いがこもっているのです。

当時もあまり言わなかった、その代わり違う言葉を投げかけた。

君の記憶の中にある“それら”の言葉です。

〔9月15日（水）曜日〕？

インスタブルでの印象深い事柄を時系列を無視して書いています。

エフェソスのアルテミス神殿：その柱をみつけて感動したところまで昨日書いた。

当時あまりの巨大さから、世界7不思議の1つに入れられてしまったエフェソスのアルテミス神殿。その柱が「アヤ・ソフィア」にあつたわけだ。長年使いまわされた石材らしく何回も塗られたらしい塗料の表面。石の感触はしない…。

「アヤ・ソフィア」の中央広間から上を見渡すと4つのモニュメントが見える。同じデザイン、聞けば天使だという。

モスク時代に顔の部分にカバーが取り付けられた、偶像崇拜を禁止するイスラムの考えだ。しかしモニュメントそのものは取り外されない。なぜなら、イスラム教の神とキリスト教の神は教義上“同一”の存在だからだ。その天使は神に会うことを許された天使だとか聞いた。だとしたらイスラム教徒といえどもおいそれとはずせない。仕方なく顔の部分だけカバーをかけたわけだ。

カバーは今、1つだけ外されている。大論争のすえ最近外されたらしい…。

なにしろ、現在「アヤ・ソフィア」はモスクではなく博物館なのだから。

近代トルコは政教分離が国是だ。そういう意味では日本に似ている。

イスラム国でもこういう国はあるのです。世界中はトルコをもっと重要視して良いと思う。

この国には、他のイスラム国のような宗教警察（ムタワと呼ばれる、イスラム価値観を一般市民に教育的指導（暴力も含む）、2010年現在でも）を行なう組織、国によって組織の規模も社会的な扱いも異なる、国家機関から宗教法人の一部門、民間団体までさまざ

までである。近代以前はそうでもないが、近代になって西洋文化に拒絶反応を起し暴力的になる傾向がある。現在サウジアラビア、イラン、イラク、アフガニスタン、パキスタン、エジプト、イエメン、ナイジェリア北部、マレーシアに存在する）も存在しない、ということかありえない。

…その事をきいて「なんだかトルコいいじゃない」と感じられるなら、その感性は正常です。

この「アヤ・ソフィア」と対^{ついで}で建てられたように見えるもう一つのモスクがある、「ブルーモスク」だ。

後にバスでの移動中、第1ボスポラス大橋の上から夕日を見たときこの2つの建物が夕日をバックにシルエットが浮かびあがって見えてとても情緒ある風景だった。2つのドームと10本のミナレット（塔）（＝アヤ・ソフィアが4本、ブルーモスクが6本。計10本）がおりなすシルエットは移動とともに移り変わりカッコイイです。こういう景色は君と見たいものです…。

この2つの建てられた年代はまったく違う、「アヤ・ソフィア」が西暦500年ごろの建物なのに対して「ブルーモスク」は西暦1600年ごろの建物だ。イメージとしては「アヤ・ソフィア」が日本に初めて仏教が伝来した頃の建物であるのに対して「ブルーモスク」は関が原で徳川家康が勝利した頃建てられたものだ。この2つは今でこそセットのように見えるが、実際にはその位歴史的な開きがある。

「アヤ・ソフィア」が博物館であるのに対して「ブルーモスク」は現役のモスクだ。

正式名をスルタンアフメト・モスクと言う、ブルー…というあだ名は西洋人がつけたニックネームだ、建物全体がきれいな青系の色

なのだ。

このモスクをつくったのはオスマン・トルコのアフメト1世とい
う王だ。
スルタン

彼は文化人として知られ、戦争人ではなかった。温厚な人物？とも
言われている。しかし、見栄はあったようだ。

彼は「ブルーモスク」を作った際、勢いあまってミナレット（塔）
を6本も作ってしまったらしい。当時トルコはイスラム世界で最強、
文句は言わせないという表明だ。でもさすがにやりすぎたらしく、
物凄い圧力をかける。なぜなら塔6本というのは聖地メツカのモス
クと同数なのだ、自分は神と同じと宣言したに等しい。

いくら世界最強でもあんたやりすぎだ！という圧力が日増しに増
してゆく…。

かといって、言われたからと、今更塔を減らすのも威信が砕ける
…。

そこで知恵をめぐらし、こういう行動を彼はした。

聖地メツカのモスクに塔を1本進呈し、聖地の塔を7本にしたの
だ。これで双方丸く収まったわけだ。知恵者はいるものです。

そちらの世界に知恵者はいないのだろうか？（この場合の知恵と
は悪知恵以外のものを指します）君の意思を挫く事しか考えてない
人ばかりなのだろうか？心配です。

君は自分の意思を貫いて良いと思う。そうでないと、君の人を思
いやる心を利用して、また損な役回りを押し付けようとしてくる。

それが“損”な役回りでなく、ごく当たり前と教育させられている
ところが、なんだかものすごく心が痛くなる感じがします。

気づいたなら、損な役回りから逃げていいものだ、強く主張し
ます。

そついう“損”な役回りを押し付けてくる人は、自分のどこが間
違っているのか（信じられない事に）理解できない事が多い。

でも高い美学をもっている。

彼らが君にした事が、その崇高な美学といかに違うものか訴えれば、そんな頭の固い人でも耳を傾けるような言葉をつむぎだせるかもしれない。自分の言葉を取り戻して！君は強い、自分で思っている以上に。

味方もいるはずですが、それも少なくない数が。人間って言うほどバカじゃない、単に誤解しやすい性質があるだけだ。

君は価値ある存在です、まぶしく輝く唯一無二のFさんです。負けないで！疲れたら、以前とは違い休む場所がある事をわすれないでください。とにかく、待つと、僕は決めました。

優しさを忘れるよう“強要”するような（一部のバカな）連中に負けないで！

物事のうわべだけで物事を判断する人間に負けないで！

毅然きぜんとした態度をとり続けましょう！丁寧かつ妥協を許さない対応が肝心です。

でも時に息抜きもして、張り詰めた心を柔らかげて、そして自分をとりもどして。そんなイメージ。君に伝わるだろうか？

僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。君は自分でそれを発見したと思っ込んでいるけど、それは間違いです。そうやって“人”を“従順”にさせるのが“彼ら”（中の「損」な役回りを押し付けてくる人達）の「常套手段」です。

何か言われたら、こう言うてください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は絶対に私を迷惑になんか思わない人よ!」と。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、文句は言わせないわよ!」と、言って良いと思う。

「決定権は私にあるの!」と言い続ければ、そういう空気を作り出せませす。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください(周りにもすすめてください)。誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…そういう事で全て矛盾しなくなると思いますがどうなのでしょう。君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかかわらず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。遊ぶ金ほしさの連中を蹴散らして!!

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

負けないで!人は立ち直れるし、やり直せる。何度でも。

ゆっくり、あわてず、でも確実に。

亀のごときのろさでもかまわない、確実に前に進んでいるなら、立ち止まってもokだ。

一番いけないのは前に進むのをやめた瞬間です。彼らは心の隙を
ついて、知らぬ間に君に立ち止まらせようとする。気をつけて!“
情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ!

.....

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまುತ್ತもりでいます。

〔9月16日（木）曜日〕？

イスタンブールは旧市街に遺跡が多い。

旧市街がかつてコンスタンティノープルと呼ばれ、3方を海に囲まれている。

唯一陸と繋がる西側にはテオドシウスの城壁という無敵の城壁が存在する。

東の端には砲台群があった…、現在そこはトプカプ宮殿になっている。トプカプとは「大砲」という意味らしい…

「ああ、それでそんな名前の宮殿なんだ」

と、最初思ったが、どうやら違っらしい。

この宮殿が建つ前、この場所に「トプカプ門」という門があり（門には大きな大砲がすえられていたらしい）その門のあった場所に建てられたからトプカプ宮殿というらしい。

コンスタンティノープル時代は、多くのローマ都市と同じく、広場^{ラコ}があり、大通りが整備され、上下水道に大浴場、闘技場にレース場、議会に市場が作られていた…。しかし長年の戦乱でいくつかの設備は寂れてしまう。

2010年現在でその姿が偲べるのは水道橋くらいだ。

…と想っていたのだが、実はレース場跡が比較的わかる形で残っ

ていた。レース場とは、ローマの都市には必ず存在した設備で、2頭だての小型馬車（チャリオッツ）「当時はこれを戦車と呼んだ」を使った荒っぽいレースが毎日開かれていたらしい。

ローマ帝国の市民は午前中、ちよこちよこつと働いたら、午後は浴場や図書館や闘技場やレース場に入り浸り、遊んでいたらしい。それで良く都市が機能するな、と思うが。当時は奴隷がいたから大丈夫だったわけだ。（ただし、普段遊んでいる市民には奴隷にはない従軍義務がある）

コンスタンティノブルでは早い段階で大浴場が廃止され倉庫にされたと聞く、つまり戦乱続きで遊んでいられなかったと想像できる。（あくまで個人的感想だけ）

コンスタンティノブルが戦ったオスマン・トルコの主力群はイエニチエリと呼ばれた奴隷の軍隊だった。生半可な強さではない、遊びながら片手間で相手に出来る敵ではなかったんだと思う。

イエニチエリは進軍ラツパと共に一糸乱れぬ集団行動をする…

ヨーロッパ人の軍隊は西ローマも東ローマも個人に意思をもつ軍隊だ、あまりのその戦い方の違いから圧倒され恐怖した。その時の恐怖は伝説となり、イエニチエリの進軍ラツパのメロディーは作曲家のインスピレーションを刺激したらしく「トルコ行進曲」という曲まで作らせた。

諸説あるかもしれないけど、僕はこんな風に考える。

ヨーロッパの人達は首をかしげた、なぜ自分たちは負けるのか？神の教えに従っているのに？イスラムが正しいとはどうしても思えない、なにか理由があるはずだ、と。自然とイスラム世界を見ようとする。すると、そこ（イスラム）にはヨーロッパでは失われてしまった古代ギリシャ・ローマ時代の文献が大量に眠っている事実に気づき、当時シルクロード交易でオスマン・トルコとも交流のあ

ったイタリアの商業都市ルートを通じて、失われた自分たちの原点を逆輸入した、それがルネッサンスへと昇華した。宗教改革の波がおこり、産業革命へと繋がっていく。

それが良いことなのか？悪い事なのか？

何を持って幸せと判断するかで、解釈は変わってくると思う。

…でも1つ確かな事は、

「何か上手くいかない事」があつたら、暴力テロに走って憂さ晴らしをしても何も事態は好転しない。それより、たとえ先行きが不透明でも、道を模索し続ければ、何かしら光明が見出せる。上手くいかない事もあるだろう、でも、上手くいく保障などこの世に何も存在しないのだから、それを理由にあきらめるのは間違っている。

そんな風に思わなくもない。

こんな話を思い出す。

昔、アニメ製作会社にいた頃、韓国人の先輩がいた。日本語がうまい、たどたどしいがちゃんと会話できるので、最初はシャイなアニメ好きな日本人なのかと勘違いしていたくらいだ。

「どうして日本語そんなに上手いんです？」

と、聞いたことがある。食事の席でだ。

すると、最初日本語学校に通いながら、働いていたのだが、まったくわからなかったそうだ。でも、わからないでは済まない。なんとか必死に聞き取るうとしていて、ある日突然、聞いていた言葉が理解できるようになり、次の日からまったく問題なく会話できるようになったというのだ。そういう事実、確かにあるようだ。

背伸びをしつづけると、届かない“何か”に触れる事実は確かにあるのです、届かないと最初からあきらめるのはよくない。

これは“人としての質”が問われているのです。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。どんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だと思う。

けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。過去の文面を読んで欲しい、一度だって要求してない。

その代わりにこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」と。それでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。単に自分たちの贅沢が侵害されている事に怒っているだけという事実気づかずに反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せって言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではない」

…という事実があります、これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

書くと不利になるかもと控えていたけど、この際リスク承知で書くことと思う。もし、先んじて就職できないよう手を打つやつがいたら地獄におちると多くのみなさんが感じるどころだろう。

ヘルパーの資格をとろうと計画中です、まだ講座がはじまるまで時間がある。終了は来年の予定だ。

東京で接客の仕事を通じて、お客さんが声にできない要望を汲み取り、理解して、対応するというのがいかに大切かは感じられたし、そういう仕事が楽しいとおもえる。無茶な仕事をこなす要領と充

実感もしているし、つらい事に屈しない根性も自信ある。これらの経験を生かせる仕事がしたいと考えていた。

所得は低いが、まあ、大丈夫だと思う。もとかからお金は使わない生活してるし。

今は本を読みながら、今までの漫画のネタを総ざらいする膨大な作業にとりかかっている。今のうちにやっておけば、職に就いたとき、休日に創作活動するのが楽になる。東京にいた頃は時間がなくて整理できなかった事だ。こういうときにやるに限る。

自分のペースを守って、自分を見失わずに、とにかく前に背伸びをし続ければ、失った、あるいは届かないとあきらめていた“何か”に届く事があると、僕は君に保障します。事実僕は18年前の真実に気づいた。これは事実です。この世に無駄な経験などないと思う。

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる」と。

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされるのは間違っている。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、文句は言わせないわよ!」と、言って良いと思う。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください(周りにもすすめてください)。誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷

静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

.....

〔9月17日（金）曜日〕？

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに親しくなるうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は一歩手前まで来ていた。先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまうつもりでいます。

〔9月17日（金）曜日〕？

イスタンブールで印象的な経験の1つに、ホテルの近所のスーパーに行ったことがある。

初日は到着19時近くで、あつという間に暗くなったので外出を見合わせた、イスタンブールの治安は悪いと聞いたからだ。

イスタンブールには連泊した、スーパーには2日目の午後行くことにした。

ホテルをでて左…、しかし詳細が不明だ。
簡単に口で説明されたくらいの情報しか持ち合わせていない、行
って見るしかない。

街の様子はアンカラよりも古い感じだ。スペインにでも来た様な
錯覚の雰囲気。

待ち行く女性もスカーフなどつけていない。開放的だ。

車はヨーロッパ車が多い、フランス車を良く見たような気がする。
最近流行のデザインはヨーロッパ車のものだというのを聞いた記
憶を思い出す。

こちらで売れるデザインの車は、世界中どこで売っても売れるとか
…。

だから、日本のメーカーもデザインに関してはヨーロッパをメイ
ンにしていると、してないとか。

文化の成熟度が高いという事だろうか？要求される美意識の高い
地域、そんな感覚をヨーロッパに抱く。偏見かな？

君はどう思いますか？

途中同じツアーの人とすれ違う。

聞くと、2つ信号を行った先という話だ。

…信号、確かに道には信号がある。しかし、無いがごとく独特の
交通ルールが展開されているように見えた。

一見雑なように見えて、ちゃんと機能している。実に不思議なも
のです。各々の車と歩行者がちゃんと互いを意識してぶつからない
ようにしているのは見事です。

日本の交通ルールが特にいい訳ではないなと感じた。どちらも一
長一短だ。

日本のスクランブル交差点をみて外国人は驚くらしい。赤になるとみな道路から歩行者がいなくなるからだ。

こちらの感覚では、常にスクランブル交差点状態で、車が歩行者と呼吸をあわせてぶつからないようにするのが普通らしい。

譲り合いは、形をかえ、こちらにもあるという事です。

(この外国特有の“かけひき”の呼吸が判らず、日本固有の譲り合いの精神に固執するから、日本政府は国際会議で子ども扱いされてばかりなんだと思う、外務省の人は絶対認めないけど。1度内部からこの手の批判を試みた人の特集をNHKスペシャルで見ただけど、先輩たちの恥を醸すなど圧力をかけられつぶされたようだ。過去の経験から反省しないと、いつまでたっても国際社会の発言力が増さないのに、“はずかしいからできない”ではどうしようもない…。過去の過ちを繰り返さないためのものに昇華すべき記憶だと思う。Fさんはどう思いますか?)

…話はもどってホテルの前の4車線道路の端にある歩道を歩きながら進む。

1つ目の信号が見えた、急いでわたる。
が、走っているのは僕ら(複数で行った)だけで、周りはそうでもない。どうも交通ルールを守る事が体に染み付いているようだ。僕ら日本人は…、誇らしくもあり、違う意味も感じ、複雑な心境になる(笑)。

両替商の前を通りさらに前進。

やたらとカフェを見る。全体としてトルコはオープンカフェが多いと感じた。ヨーロッパの影響だろうか?日本でもかなり増えたが、それでも店先に数テーブルある程度だ。こちらはもつとデカイオープンカフェがたくさんある。

カフェを見ているとこんな記憶を思い出す。

昔、外国映画を扱う会社でバイトしていた時、入社途中のスターバックス（ドトールだったかも）にバイクを横付けしてコーヒーを飲んでいる外人がいた。そのバイクはダッジ900系のバイクで、のちのち「マトリックス・リローデッド」という映画でトリニティという女性が乗るバイクと同系のものだ。当時そのバイクのミニチュアを持っていて、それを使って書いた漫画で入選一步手前までいったことがあった。がゆえに、物凄く思いいれのあるバイクで、いつも「ああ、これが本物か、カッコイイな」と眺めていた。

カフェで金髪の白人男性をみるといつもその時の事を思い出す。こちらに来てからは白人だらけ、カフェだらけなので、いやおうも無く思い出す。思い出とは、キーワードで繋がっているようです。

君と僕にはいくつかの思い出のキーワードがある。この小説には書いてない2人だけのものも含めて……。いつか、その言葉についてお互いの感じる同じ点、違う点を話して語り合える日が来るのを夢見ます。

…そうこうするうちスーパーについた。

コンビニくらいの大きさの本当に小さな商店だ。

都心でも似た光景を良く見る。

都心では大型スーパーがないため、意外にこういう小さな商店が生き残る。

特に、こちらにはコンビニがない。

（トルコでは、露天のような小さな店に新聞、飲み物、雑貨が置かれていて、コンビニの代わりに利用されてる。言ってみれば日本と言う駅中の売店が街のあちこちにあるような感覚だ。ちなみにこれはギャグではなく、こういう店のことをトルコではキオスクという。

日本のキオスクはトルコのキオスクから名前をいただいてネーミングしたものらしい。キオスクには一度もよらなかった、僕らが回るような観光地では見当たらなかったからだ。）

店の中で“スイ”を買う。スイとは水のことだ。なんだか面白い、どこかでなんらかの文化的つながりがあるのだろうか？

（日本語は“アルタイ語族”に割り振られている、韓国、モンゴル、ウイグル、キルギス、ゾグトといったシルクロード国家と同じ言語族に分類されるらしい。トルコ人も元は中央アジアにいた民族、どこかで繋がっているのかもしれない。）

物事は意外なところで繋がっていたりします。けっしてギャグではなく、マジでトルコでは水の事を「スイ」というし、「キオスク」という売店もある。出来すぎたネタ過ぎて信じない人も多いと思うけど本当なんです。出来すぎた真実って実際確かに存在するんです、この世には。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

でも繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなもののために、1度しかない君の人生を犠牲にするのは間違っている。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視

してきたんだから、文句は言わせないわよ！」と言い続けられ、そういう空気を作り出せる。…君に読んでいて欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください（周りにもすすめてください）。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。どんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だと思う。

けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。過去の文面を讀んで欲しい、一度だつて要求してない。

その代わりにこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」とそれでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。単に自分たちの贅沢が侵害されている事に怒っているだけという事実気づかずに反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せつて言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではない」

…という事実があります、これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決

して思わない人よ」と。

三界に家を建てるには、君が必要です。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は充分すぎるくらい持っていると思う。

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

- - - - -
- - - - -
- - - - -

これは実験です。

どのようなバイアスが発生するか見るための記述です。

最近では耳栓を使っていない。

ヘッドフォンも使ってない。

かといって防音設備を追加したわけでもない。

いまだにしつこい方々はいらっしやいます（敬語はいやみでは

なく、本来の意味です）。

もっと根本的で単純な方法を見つけました。

低周波振動見切りしました、暗示としてとらえれば非常に単純な弱点が存在する。

7月に偶然手にしました。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔9月18日（土）曜日〕？

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。どんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だと思う。

けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。過去の文面を読んで欲しい、一度だって要求してない。

その代わりこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」とそれでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。単に自分たちの贅沢が侵害されている事に怒っているだけという事実気づかずに反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せって言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではない」

…という事実があります、これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

僕は賭けをしています。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに親しくなろうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は一歩手前まで来ていた。先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。それは事実です。

告白された事は胸にしまುತ್ತもりでいます。

〔9月18日（土）曜日〕？

トルコ旅行の話、イスタンブールについて書いてあるわけだけど、一旦時系列をすこし巻き戻します。

急にこんな事、書きたくなつた。

カッパドキアについては覚えてるだろうか？

あの奇岩おりなす絶景の場所、昔は多くのキリスト教修道士がいたが、過疎で放棄され、現在は後から来たトルコの人達が住む場所。地下都市の遺跡があり、ワインづくりでも有名な場所。

カッパドキアの奇岩群を見た日、実は一般の“民家”に案内されている。そこは伝統的なトルコ絨毯を今でも家で折っている家庭ということだ。バスは荒涼とした道の脇に凝縮してあつまる集落近くに停まった。

イメージ的には日本国内にある崖の下の集落みたいなイメージでいいと思う、あの「崩れないか？この崖」と思える所にいくつも家々があるイメージだ。

ただし、壁は全部「白」カッパドキアの火山性地質の石材を使っているからだ。崖自体も頑丈、なぜなら、長年の風食により、頑丈な地質のみがのこった崖だからだ。日本のように造成のため削ったものではない。

キリスト教徒がいた時代、ここには洞窟教会があつたそうだ。洞窟だけではたりず、屋外に石材で増築した部分も併せ持つ。そして13世紀にこの地が無人になった後、トルコの人々が少数移り住んだわけだが、この家の“おばあさん”は3代目だそうだ、彼女のおばあさんの時代にはここに住んでいたという。かつての洞窟教会は今も民家として生まれ変わっていた。

土がむき出しの歩道とただ白い塀、門がある。

門をくぐると別世界。

緑あふれる庭、まるでオアシスのようなイメージ。

庭を抜けると、玄関。ここ、トルコでは靴をぬぐ習慣がある。

ここより西にはもうないアジア独特の習慣と聞いた。

(つまり、トルコが屋内で靴を脱ぐ文化の西の果てらしい)

屋内は完全に居住空間。ただし、玄関に繋がる部屋の上に、絨毯折り機が2台あり、観光客用の案内板が添えられている…、でもただの飾りではなく、作業場として日常使っているらしい。

一通り説明を受けると、奥に通される。10畳以上はあるだろうへや、そこには部屋の床にぴったりはまる1枚のトルコ絨毯。あらかじめサイズを計算しないとこは出来ない。やはり自家製なんだと思う。トルコ紅茶をすすめられ、ちょっとした座談会、正直苦手な空間だ。

君はどうか…、こういう唐突な座談会ばかりは苦手だけど、君は意外と肝が据わったところがあつた。(今にして思うと、こういう唐突な座談会は君も苦手だけど、場数を踏んで慣れていたのだろうか?あくまで推測です、自信はありません、外れる確率90%の“思いつき”レベルの推測です、いつか合っているかどうか聞ける日がくればいいなと思います)

座談会以外のツアー客を中心に盛り上がる。話はずみ、今度は2階部分に案内された。2階部分は洞窟ではなく、増築部分で、洞窟独特の涼しさはまったく無い。ここは夜くつろぐ空間なんだろうか?と思った。ちゃんと電気も完備されている。おばあちゃんの娘さんとその孫もいる。家庭的な空間だ。

ものすごく親切にされる、めったに出来ない異国での家庭訪問、多少の演出めいた感じも、まあいいかなと感じる。

こういう事を感じてしまう。

僕も君も本質的に人がいい。だから、こういう家庭的な優しさに触れると、ついつい本気で心を開かなきゃダメなんじゃないか？というプレッシャーを感じてしまう。そんな経験、した事ないかな？

でも普通はその辺割り切ってしまうようだ、この場はこの場、空気に合わせて心を開けばいい。そんなに深刻なほど心を開く必要は無い。

普通の人はそうする…、なのに人が良すぎる人間の場合、心を閉じるか開くかの2者択一になってしまう。だから、普通の人からみたら急に明るくなったり暗くなったりするように見える。でも僕らのような性格の人間の中では、それは何も矛盾しない行為だ。

他人はこういう性格を子供だと主張するだろう。そういう時はこう言い返せばいい、「じゃあその子供を食い物にするあんたは猿以下の外道だな、弱者を助ける男の（女の）プライドが学べてない点で考えれば、あんたも充分子供だ」と。

（大体こういう人間が多くないとそちらの組織も維持できないはず、無尽蔵に組織に尽くす人間ってまさに“求める人材”そのものはずだから。否定は難しいはず。なぜなら、普段から自分で考える事を否定することばかり目下の人間に強要しているから。）

もし、君が戦っているとしたら、その性格を理解していない人間からみれば、君の周囲の人は物凄く驚いていると思う、君のあまりの変化に。

でも君の中ではなにもおかしな点はない、まったく矛盾した行動はしてない。違うかな。どうなのだろう。

彼女の周囲の人で、戸惑っている方。

彼女の行動はなにもおかしな点はないのです。

その理由は、本来的にやさしい性格をしているので、優しさとは50%とか中途半端に出すものではなく、常に100%出さないといけないと彼女は感じる、優しさを出さない時は0か100%かの2つの選択支に集約する傾向が強い。

そう考えると、彼女の行動はなにも矛盾しない行動になります。

Fさん、君はこういう決め付けを嫌う人だった…、それは判つてるけど、書いた方がいいように感じた。

誤解されやすい性格という意味では、お互い似ている。

にてねーよ！とか誰かに言われるかもしれない。それはFさんのほうが僕より器量よしだからだ。

能力的に優れている。僕より器用な点がたくさんある。顔もいいし。

Fさんは僕より優れた点を多く持っています、君は強い、いろんな意味で、自分で思っている以上に。ただ心が優しすぎて、そこに付け入る悪いやつが多すぎるといふ事なのだ。そう僕は考えます。

本質的に君はウソが嫌いで、誠実さを求めている、理解者を欲している…、そういう事だと思うのだけど、どうなのだろう。自分の心を信じて、何もかも受け入れれば、おのずと見えてくるものがあると思う。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

でも繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされるのは間違っている。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と、言ってもかまわない。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください（周りにもすすめてください）、精一杯の背伸びをして、そう君に伝えます。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

これは人としての“質”の問題です。

世界は広大で広く、想像を絶するダイナミックな時間からみあって作られている。

「視野が狭くて何が悪い」とか言う人が増え続けていくと、それが世界の不和の原因になってゆく。

「私は、理由も無く人を貶めるような事はもう2度と金輪際しません！」とまわりの人々に言ってやってください。

君が「埋没費用の呪い」^{サンクコスト}にかからず、冷静な判断が出来る事から期待します。三界に家を建てるには、君が必要です。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除け

て！

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

〔9月19日（日）曜日〕？

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに親しくなろうとも、絶対に。君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は一步手前まで来ていた。先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまうつもりでいます。

〔9月19日（日）曜日〕？

こんな事を思う。

トルコ周辺にはトルコ絨毯とは別に、ペルシャ絨毯というものもある。ガイドは、盛んにペルシャ絨毯との違いを説明した。トルコ絨毯は毛が短く“め”が濃いので、表面にコーヒーなどをこぼしても染み込まず、汚れにくいのだそうだ。だからトルコ人はこういう毛が短く“め”が濃い絨毯を好む…

けどある場所で絨毯に触ってみたら、結構ふかふかで毛の長い絨毯がひかれていた。その場所は「ブルーモスク」だ。

「ブルーモスク」は17世紀初頭の建物、たぶん、トルコ絨毯だ
と思う。少なくともトルコ人は毛の短い絨毯を好むというのは必ず
しも正確な情報ではないなと感じた。

セールストーク…、その単語が頭をかすめる。

差別化をはかりセールスポイントをアピールしている。

それ自体を否定するものではない、それはわかる。でもトルコ絨
毯はめちやくちゃ高い。気が向いたら買える類のものではない。ど
うしてもあの過剰なセールストークにひっかかってしまう。

実はトルコ絨毯以外にもトルコ石と皮製品、キャビアといろいろ
セールス攻勢を受けている。もちろん必要を感じないので買わない
けど、それでも家の身内がトルコ石のセールス攻勢にかなり落ちそ
うになっていた（ま、結局買わなかったんだけど）

トルコ石は安いという認識でいたが、高いものはやはり高いよう
だ。日本国内で安く売られているものはまがい物同様のものという
説明だ。買わなかった身内に聞くと35万という…。

「35万もあつたらダイヤ買うよね」

トルコ石の販売攻勢から解放された後に、僕はこう発言した。

するとそれまで、買わなかったことになりにかなり未練を感じていたの
に、みるみる正気をとりもどしていつもの顔にもどる…。

ああ、もつと早く言った方が良かったかも…、そんな事思った。

それは暗示の解けた瞬間だった。

こんな光景が頭に浮かぶ、秋葉原で大量に見る中国語の看板。

今、中国人は日本国内でものすごい購買意欲を發揮する。

おそらく一昔前の日本人観光客も、海外で物凄い購買意欲を發揮
したのでらう、それが故ここまで日本人相手のセールスシステムが

出来上がったんだと思う。

トルコではこうした日本人相手の商売は普通の事なのだろう…
そうでなければ、ここまでしつこくないよなと感じる。

（だからトルコ人が悪質なのではなく、かつての日本人が貪欲だったのだと思う、ちがうかな…）

でもいずれ日本人がそれほど以前みたいに買い物をしない事に気づくと思う。もうバブル経済ははじけた。そのうち、家電購入に飽きた中国の観光客が、今度はもてる財をつかい文化的なもの…、例えばトルコ絨毯のようなものを求めるようになるのでは？と感じる。だから、いずれこうした日本人観光客相手の販売攻勢も中国人相手に切り替わるのではないだろうか、などと想像した。

入国審査の時からこちらを睨んでいた年配のおじさんも、トルコ絨毯を買っていた…、暗示にかかったのか、それともお金に余裕があるのか、それとも“経費”がおちるのか…。バスの中で、別のやつが話していた会話を思い出す。

「 会にはどうやって請求するの」と。

あれはやっぱリワザとかな。

僕ですらこんな様子では君がどんな目にあっているか心配です。

学生時代も不審電話は頻繁にあつた。

なかには明らかに男が荒い息で無言でできらずにいるやつもあった。（昨日もバラエティー番組で、明らかにその不審電話は“彼ら”の嫌がらせだと感じる話をするタレントがいた。本人はギャグにしようとしているようだけど、周囲はどっ引き^ひ。彼らの仕業という仮説に立ってそのタレントを見ると「間抜け」に見える…（本人には何の落ち度もないのに、これが人のステイタスを低落させる“彼ら”のワナなのだろうか？）、僕も過去18年間こんな風に周りから見

られていたのだろうか？そんな僕の様子を見た（“彼ら”に関わりある）友人が、僕の悪口攻勢をうけたら、表面的には仲良くしても、だんだん離れてゆく心情というのが容易に想像できる…）

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。どんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だと思う。けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。過去の文面を読んで欲しい、一度だって要求してない。

その代わりこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」と。それでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。単に自分たちの贅沢が侵害されている事に怒っているだけという事実気づかずに反論できるのだろうか？

君がなかなか、なびかないから、じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…、いや、考えすぎの部分もあるかな（そこまで腐った人達じゃない？もう少し常識がある？）…。でも仮にそうでも迷惑には感じない。もし事実なら、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる、それは僕にとっては（奇妙な事に）誇らしくも感じってしまう。繋がっていたのだろうか？どうなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく、図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、どうなんだろう。あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます。

「別に人生を全部返せって言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではない」

…という事実があります、これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

君が頑張っているなら、僕も頑張り続けられます。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援しています。君は自分で思っているより遥かに強い。大丈夫です、僕が保障します。18年前、君はかなり本気だった、今その想いに報いたい、これが本気で言っている事だと、僕の性格をしる人物なら思うと感じる。君はどう思いますか？

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

でも繋がりや、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思いついてるけど、それは間違いです。

そうやって“人”を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした人達」の）常套手段”です。

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなものために、1度しかない人生を犠牲にされる

のは間違っている。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、文句は言わせないわよ！」と、言って良いと思う。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください（周りにもすすめてください）、精一杯背伸びをして、君にそう伝えます。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

これは人としての“質”の問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。質が問われているのです。そう伝えてください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

.....

〔9月20日（月）曜日〕？

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。この事実を否定するのは相当難しいはずだ。どんな屁理屈をひねり出す

のか一苦労だと思う。

けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。過去の文面を読んで欲しい、一度だって要求してない。

その代わりこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」と。それでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。単に自分たちの贅沢が侵害されている事に怒っているだけという事実気づかず反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せって言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではない」

…という事実があります、これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

あと書くと不利になるかもと控えていたけど、この際リスク承知で書こうと思う。

ヘルパーの資格をとろうと計画中です、東京で接客の仕事を通じて、お客さんが声にできない要望を汲み取り、理解して、対応するというのがいかに大切かは感じられたし、そういう仕事が楽しいともおもえる。無茶な仕事をこなす要領と充実感もしているし、つらい事に屈しない根性も自信ある。これらの経験を生かせる仕事が見たいと考えていた。

もし、先んじて就職できないよう手を打つやつがいたら

「地獄におちるなそいつ」と多くのみなさんが感じる事だとも思う。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

僕は賭けをしています。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに親しくなるうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？18年前、君は一歩手前まで来ていた。先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。君が僕に告白するかどうかと。そこが、大きなターニングポイントになる。それは事実です。

告白された事は胸にしまುತ್ತもりでいます。

〔9月20日（月）曜日〕？

イスタンブール到着前後の時間を整理して表記してみようと思う。

ダーダネルス海峡をバスごとフェリーに乗りアジアサイドからヨーロッパ大陸へ渡る。

そのままヨーロッパ大陸の右手にマルマラ海が見える道路を北上、イスタンブールを目指す。

イスタンブールには南の旧市街から侵入、そのまま船着場へ行き、ボスポラス海峡クルーズ。

クルーズ終了後、市内の日本食屋へ。

食事が終わりホテルに着く、周囲は暗くなり外出を控える…。

次の日、メモによると革製品の店に行った事になっている…（そうだったかなと思うけど、メモにある以上そうなのだと思う。いや、違うような気も…、まあどちらでもいいのでとりあえず「行った」という事にする。時間はあいまいでも行った事実に変りはないのだし。どうも興味が薄い事柄は記憶が薄いらしい、僕の欠点の1つだ。

でもそれはメモを取るといふ行為で容易に補正できる欠点だ。メモのとり方さえマスターすればいいわけで、結構使えます。(

そして旧市街でバスを降り、徒歩で移動。

「レース場跡広場」をみて「ブルームスク」「アヤ・ソフィア」
「地下宮殿(地下貯水池)」を見る。

そして昼食…、これが思い出せない。

この頃かなり食事にまいっていたから。

でも、少しわかってきたことがある。こちらの食事は油が濃い、だから、濃い食事をしたあと、さっぱりしたものを食べて、さっぱりしたら、また濃い食事…という具合に自分で調節しながら食べるのが良いようだ。自分で調節すると言ふ意味では日本食で言うところの、ご飯とおかずの関係似ている。

調節の加減がわからないとおいしく感じないわけだ、そういえば日本に来る外国人が白米の食べ方がいまいち飲み込めてない様子はTVなどでよく見る。トルコの日本食屋でも白米にシャケなどのついていた…。

トルコ料理はそのキツイ油を自分で調節しながら食べる…そういう事らしい(そういう話をガイドが言っていた)。聞いたときはいまいちピンと来なかつたが、後々になり、そうした食べ方を中心に食文化が形成されているのだろうと感じるようになってきていた。

これは僕の考えだが、つまるところ遊牧民は羊が唯一の財産だ、正直、羊はおいしくない。でもこれしかない。だからこれをいかに上手く食べるか?という食文化が長年にわたり発達してきた。という事なのかもしれないと思った。(ヨーロッパでは途中から羊から牛に切り替わり、羊は臭みの無い子羊のみ食べるようになった?)

いう事かな…)

それがイメージでき始めてきたのは最終日近くだ。もうちょっと長くいたらもっと食事を楽しめたかもしれない…、そう思った。

日本食も白米をいかに上手く食べるかか中心になっているけど、もう一つ大事な要件が存在する。

日本は島国なので、物凄い早い段階から海運が発達している。全国に「津」のつく街があちこちにあるが、これがもつとも古い港を意味する言葉だ。(ちなみに言うと、僕ら2人が映画を見に行った隣町も、この「津」のつく地名だ)

海運業があつたおかげで、新鮮なものを日本人はみな食べられた。おかげで日本には「鮮度がいいもの」「いい食材」という文化が生まれる。

(逆に海運網から外れていた地域には鮮度がいいものは来なかったので、独特の保存食が発展した「くさや」「イナゴの佃煮」「サメの干物」などだ)

外国で食料保存のため「コシヨウ」がもてはやされたのはまったく逆の状況が長年続いた。

「独自の文化」の弊害をもつとも顕著に表しているのは「霞ヶ関の官僚」だ。

彼らは「国家を動かす権限」をもちながら「意思表示してはいけない」という制限を設けられている。

つまり、「これしかしてはいけない」という条件下で国を動かす。その条件下でいかに楽しむ(＝国を動かす、権利を楽しむ)か? という独自の文化を生み出したわけだ。長年にわたって作られた文化なので、打破は難しいが、やらないと、国が傾くのは見えてるので大変です。

そちらの世界の人達も、自分たちのやっていることが間違っていると知りながらも、「それしかない」が故に、どうしたら楽しめるかを考えた末の「独自の文化」が構築されていったのだろうか…。

彼らは（男たちは）“組織に貢献すると、かわいいお嫁さんをもたらえるシステム。これがなくなるともう楽できなくなる”と考えているのかもしれない。

もしかしたら“君をのがすと、このシステムに穴が開く”と考える男たちもいるのかもしれない。

その“男のわがまま”がいかに「人は正しくあるべきだ」という考えと共通点が無いのか！という視点にたてば、おのずとどう振る舞い、どうしゃべればいいのか、自然と沸いてくるのでは…、そんなふうに考えたんだけど、どうかな。外したかな…、このイメージがきみのなにかしら貢献できる事を期待します。

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから、じゃあ腹いせにこちらもずつと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？（そこまでくさっていない？もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる、それは僕にとつては（奇妙な事に）誇らしくも感じてしまう。繋がっていたのだろうか？どうなのだろう）

もし仮に“そう”なら2人の時間は断絶したわけではなく、図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、どうなんだろう。あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます。

それからFさん、こんなことも思った。

彼らは結果が出るまで強気で責め続ける。あきらめない。

だから、手加減せず「攻め」の姿勢でいたほうがいい。

油断するとつけ入られる。

彼らは、論戦になると「水掛論」みすかけろん（＝結論にたどり着かない議論、双方決定打に欠ける状況）にもっていかもしれない。

そういう状況では「地位の優位な者」が論争の勝者になる傾向が強い。

もし、そういう状況が発生した場合は、こう言い返せばいい。

「…あなた何を根拠に私より偉くなつたつもりでいるの？」とか。

「なんで、勝った気でいるの？」とか。

「水掛論でごまかそうつたつてそうはいかないわよ！」とか。

「決定権は私にあるの！」とか、言い続ければ、そういう空気を作り出すことが出来ます。

「水掛論」みすかけろんとは一種の心理戦です。心理戦にはバイアスで対抗するのが一番。「決定権は私にあるの！」と繰り返し言えば、そもそも議論に決定打がない状況なので、心理的に押し返せる。

いまはつらいのだろうか、大変な目にあってるのだろうか。

でも繋がりには、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。“繋がり”はどう作用するのか。

君は君の心の感じた事を信じて良いのだと思う。

狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

「心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！」と言
ってやってください。

多分君の周りには悪意なく“そういう事”が出来る人がいるのだ
と思う。

それはその人が本来的に悪意があるのではなく、心が内向きにな
っていて外を見ていないからだと思ふ。心が外向きになれば、
人として持つ“当たり前前の感情”が戻ってくると思ふ。そう、周り
の人に伝えてほしい。

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決
して思わない人よ」と。

初めての印象とういうのは忘れないものです。わくわくして、楽
しくて、面白い。

周りの人に、機会があつたら伝えてください。最初の印象って忘
れないものだ。

違いを楽しんだり、同じと思ふ事を嬉しく思ったり、何もかも新
鮮で彩りに満ちている。

僕には、あたらしい世界を共に歩みたいと思ふ人がいます。君は
どう思いますか？

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください（周りにもすすめてください）君が「埋没費用サンクコストの呪い」に
かからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…そういう事で全
て矛盾しなくなると思ふのですがどうなのでしょう。

三界に家を建てるには、君が必要です。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」とか。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、文句は言わせないわよ！」とか。

君は言っても良いと思う。なぜならそうしないと君の権利を主張できないからだ！これだけで言う権利の根拠としては充分だと思っ。負けないで！応援しています！！

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

- - - - -

〔9月21日（火）曜日〕？

君は物事を前に進める時、熟慮に熟慮をかさねてから行動する。本当にこれでいいのかしらと、本当に納得できるまで、じっくり考えるところがあった。

そんな君が好きです。なんだか物凄く。理由は、会った時にでも伝えたいです…。

高校3年の3学期、バレンタインがもらえなかった僕は完全にあきらめた。

だから、卒業式後、君がまた笑顔で会ってくれたにも関わらず、それに答える事ができなかった…。

もう同じミスはしたくない。

だから待とうと決めた。今は何か都合が悪いだけだ、都合がついた時、君は現れる、そう感じた。

これは賭けですね…

〔9月21日（火）曜日〕？

もう一つ僕は賭けをしています。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに親しくなろうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？18年前、君は一歩手前まで来ていた。先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまうつもりでいます。

〔9月21日（火）曜日〕？

イスタンブールの印象的な光景を思い浮かべて、今ぱっと浮かぶものを書くこうと思う。

…「ブルーモスク」から「アヤ・ソフィア」まで徒歩移動した時の景色だ！

きれいな庭園が広がっていて、すがすがしい景色が展開されていた。

正直言うけど、日本の旧所名跡の庭園はきれいだけど、華やかさが地味だと感じることもある。

こちらの庭園は彩りが賑やかで、目が覚める感じがする。開放感があります。

日本の“わび・さび”とは無縁の華やかさと開放感。そんな印象をもちました、ぜひ君にもみてほしい景色です。

歩いていると、物売りが「トルコ駒」を見せてくる。

近くに甥がいたから、子供をみて寄って来たのだろう、日本の駒とはまったく違う。

ひもが駒に固定されていて、本体は木で出来ているが金具が上下に追加されている。

イメージ的には、駒を二等分すると、その切り口はスピードマークのようだ。

スピードマークのとがった方を下にして、とがっていない方にひもが固定されている。

ひもを本体にベীগオマのように巻きつけ、回転させる。ひもを巧みに使い、変則的な回転をさせるのが肝きまらしい。

遙か昔、小学生低学年の時、女の子が海外旅行のお土産紹介と称してクラスで披露した記憶がよぎる。

あの時、その駒を教師が借りてまわそうとするが結局できず、まわせるのはその子だけだったという記憶を思い出す。“記憶”というのはふとしたきっかけで、完全に忘れていたはずなのに思い出したりします…、君はどう思いますか？

「ブルーモスク」から「アヤ・ソフィア」まではかなり離れていて、ツアー客が一瞬、離れ離れになる。先頭を見失わないようにしながら、家族が全員いるか後方を確認する作業におわれた。添乗員さんが慌てていたのが印象的だ。

「アヤ・ソフィア」入り口前にトイレがあり、しばし時間がとられた。ツアー客全員がトイレから戻るまで、「アヤ・ソフィア」入り口前で待機になる。周囲は白人観光客ばかりだ。地元の人はあまりこないらしい。

トイレに関してだけは、日本が一番だと思う。外国ではひどいところは本当に酷い…

どうして日本人はここまで清潔好きなのだろう、なにかしら原因があるはずだと思う。

（日本は「いい食材」鮮度のいい食材」という文化がある。だから、物を腐らせてはいけない。腐らせないためには清潔にする必要がある。、そんな心理的バイアスが長年積み重なり、清潔文化にたどり着いたのではないだろうか？？そんな事思わなくも無い）

日本人は潔癖を好む民族だ。トイレに関してはそれでいいが、精神論にまで昇華されているから厄介だ。“けがれ”たものへの拒絶はものすごい。正しいとか、間違ってるではなく、清いか？穢けがれているか？で判断してしまう欠点をもつ。政治家も“みそぎ”と称して再選を果たせば“けがれ”がとれたと解釈する。その政治家が正しいか間違っているかはどうでも良くなってしまう傾向にある。彼らの根幹も、自分たち以外は穢れているから殺してもOK的なノリがあると思う。

だから自らの“けがれ”に直面させられると、思考が硬直する事になる。、違うだろうか？君はどう思いますか？

君はそんな世界で戦っているのだろうか、心配です。

物事を決める基準が「潔癖か否か？」で判断されるのは「衛生的な事」が求められる分野に限定されるべきだ！例えば、医療とか、食材を扱う分野とか、上下水道とか。

「衛生的な事柄」以外で「潔癖か否か？」を適用すると大変なことになる。

特に人を判断するような局面でつかうとどんな悲劇が生まれるか。…裁判で「被告人は汚いので死刑」とか言うのはギャグなら笑えるがマジなら寒気がする。彼らの“あの行動”はこのギャグとマジの違いが理解できなくなり、全部（人殺しまで含めて）ギャグに感じさせてしまうような恐ろしさがある。

ギャグに感じているからこそ！！

多くの人が“それってノリでやったただだよ”的態度でいられる

のだと思う。

ギャグに感じているからこそ！！

多くの人が“大目に見るよ、ノリが悪いぞお前”みたいな感覚でいられるんだと思う。

ギャグに感じているからこそ！！

多くの人が、ギャグだと思っていたい…

マジだときづいたら理解不能の感覚になる…と知っているのかも
しれない。

そうやって、何でもかんでも“感覚”でなあなあにする…。こういう場合の自由とは、墮落した無秩序の事をさしていると思う。崇高な自由など微塵もない。

そんな理由で、人の大切なものを踏みじめる権利は誰にもないように感じる。仏の道に殺生をしると書かれているとはシロウトでも思わないけど、どうなのだろう？殺されかけた僕からの質問です。

自浄作用が働く事を期待したいなど、そんな事、個人的に思います。

これは人としての“質”の問題です。

もし君が悔やんでいるならそれでOKです。なぜならそれは重要なことだから。

君の心の質が本来は綺麗である証拠になる。

悔やみもしない人達に囲まれて、悔やんでいない“ふり”をし続けるのは、相当つらいと推測します。脱出がベストです。自分を取り戻して欲しい。

〔9月21日（火）曜日〕？

Fさん！！君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。

もしそうなら全てを背負い込んでだめです！“彼ら”はそれを狙っています！！

君が、全ての罪を背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込み、容易に人の（君の）心を操れる事が可能だからです。そうやって君の心から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ！！だから注意して！非常に悪質な人心掌握法じんしんしやうあくです。そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らの才八口です！気を付けて！

〔9月21日（火）曜日〕？

世界は広大で広く、想像を絶するダイナミックな時間がからみあって作られている。

「視野が狭くて何が悪い」とか言う人が増え続けていくと、それが世界の不和の原因になってゆく。

私は、理由も無く人を貶めるような事はもう2度と金輪際しません！とまわりの人に言ってやってください。

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。どんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だと思う。

けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。過去の文面を読んで欲しい、一度だって要求してない。

その代わりこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」とそれでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。単に自分たちの贅沢が侵害されている事に怒っているだけという事実には気づかず反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せつて言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではないのです」

これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

中には“ちゃんとした”人もちゃんとして、何で誰かの恥の尻拭いを自分がしなきゃいけないんだ！と、そう思う人（思った人）もちゃんといると感じます。多くの人の良識の存在を信じて…。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください（周りにもすすめてください）。精一杯背伸びをして、君にそう伝えます。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。三界に家を建てるには、君が必要です。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

Fさん、とにかく待っています。負けないで！応援しています！！

- - - - -
「9月22日（水）曜日」？

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。どんな屁理屈をひね

り出すのか一苦労だと思う。

けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。過去の文面を読んで欲しい、一度だって要求してない。

その代わりこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」と。それでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。単に自分たちの贅沢が侵害されている事に怒っているだけという事実気づかずに反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せって言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではない」

…という事実があります、これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

〔9月22日（水）曜日〕？

トルコの東部には「クルド人」と呼ばれる民族がいる。

その名をどこかで聞いた事があるような…、そう感じるかもしれない。

トルコ東部、イラク北部、イラン西部に住む人達のことだ。

専門家が聞いたら異論がでるかもしれないけど、大雑把にざっくり説明するなら、オスマン・トルコからトルコになる過程で、様々な民族が分離独立するなか、クルド人だけは独立しそこねた。彼らの住むトルコ東部、イラク北部、イラン西部といった地域は、本来なら「クルディスタン」という名で独立していた場所だった。たまたまとうじ音頭をとる民族的リーダーがいなかったが故、独立運動がおきなかったのだ。

僕が初めて「クルド人」という名を聞いたのは、湾岸戦争の時だ。覚えていられるだろうか？湾岸戦争、1991年だ。

イラクがクウェートに侵攻した戦争。当時、僕は高校2年生だった。ちょうど対立から雪解けに向かい始めたくらいの時期じゃないだろうか？

音楽ではKANの「愛は勝つ」とか、槇原敬之の「どんなときも」とかが流行っていた時期だと思う。君の記憶ではこのころの事どう覚えていられるだろうか…。

この翌年、1992年の夏、僕らは「紅の豚」を観たわけだ。

戦争当時、史上初めて「トマホーク巡航ミサイル」が使われ、そのピンポイント爆撃がニュースの話題をかつさらっていた。SF見たいな戦争だとか当時言われた。

宮崎駿監督はこうしたSFみたいな戦いは戦争の醜い部分をクリーンにみせるとか当時雑誌で反発してたような…。その反動もあってノスタルジックな飛行艇映画（紅の豚）を作ったのかな…。まあ、これはあくまで個人的感想です。

当時こう言われた。イラクのフセイン政権は悪い人達だ。その証拠にクルド人を虐殺している…。

このニュースを聞いた時初めて「クルド人」を聞いたわけだ（と思う、なにせ古い記憶なので、もしかしたらもっと後に聞いたのかもしれない）。

なぜそんな事が起きたのか？というと、どうも隣国イランと通じているスパイと疑われ、集落単位でフセイン大統領に毒ガス攻撃されたらしい（この時、毒ガスが使われた事実から、のちのちアメリカがイランには生物化学兵器（毒ガス）がある！といってそれを理由に戦争を仕掛けて、フセイン政権を倒したのは有名な話です。でも、その後、毒ガスはみづからなかった…。でもクルド人にむけて使用された事実はあるので、かつては1度持っていた…。今も何処

かに隠されているのでしょうか？それとも最初から全部アメリカの情報操作だったのでしょうか？謎です）

このクルド人はかわいいそうな民族で、実はトルコでも冷遇されている。

近代トルコ建国の際、建国の父ケマル・アタチュルクはこう考えた。

オスマン・トルコ時代に比べ、トルコの領土は遥かに小さくなってしまった（それでも現在の日本の2倍の面積をもつ、かつてはどれだけでかかったんだ！と思う）、これ以上はゆるせない。

そう思ったのか、クルド人という民族は最初からいなかったとする政策をうつ。名前もクルド人ではなく「山岳トルコ人」と変えられてしまう、酷い仕打ちだ。

でも近年、クルド人の復権が認められてきている。

クルドの名も使えるし、クルド語もokだ。

最近ではクルド人を取り巻く環境はよくなっている（いいどころか絶好調だ！）。

理由はイラク戦争にある。

イラク戦争の際、アメリカ軍はイラク北部に住むクルド人と手を組んだ。クルド人はアメリカと協力してフセイン政権と戦った。戦後、その見返りに、クルド人居住区の石油利権が認められ、今、イラク北部のクルディスタン（クルド人居住区）はものすごい発展をしているらしい。そんなニュースをみた記憶がある。

その効果は隣国トルコのクルド人も刺激して、今、トルコ国内のクルド人過激派がテロにいそむようになったらしい。心理的バイアスとはどこでどう働くか本当に予測不可能です。

…その所為でトルコの空港の警備は物凄い嚴重だった。ここはアメリカか？と思うほどの警戒ぶり。

人生で初めて金属探知機をくぐる。手かざしで向けるハンディータイプの金属探知機も経験した。帽子は取るようにと言われるし、一度探知機に引っかかると靴まで脱がされる。

その際、どうも探知機の感度を最高レベルにしているようで、些細なものまでひっかかる。だから毎回ズボンのベルトをはずすはめになる。

「これは、普通の事なのか？」

と、思っていると。僕同様とまどっている白人旅行者が「ベルトも？」と驚いてる様子を見た。どうやら普通ではなく、やはり警戒嚴重なんだと思った。

ここで、こんな事を思った。

「ベルトは金属製じゃないやつを、あらかじめ用意しとくのが正解だな」と（ゴムひもでもいいと思う）

飛行機には入国時、国内移動時、帰国時とそれぞれ利用していて、その際毎回警戒嚴重だ。

パスポートの審査の時など、僕ら日本人は簡単に通るれるのに、イスラムとわかる感じの外国人家族には物凄い時間をかけているのが印象的だった。

人と人がいがみ合うのは1万キロはなれた、この地でも同じのようです。

旅行に行く少し前、トルコ国内でバスが爆破されたニュースを見たのを思い出す。こちらのいがみ合いはシャレにならないマジのものです。

僕の場合は、“彼ら”にやられてもやり返さない（テロなど考えもつかない）、そのことは何より明白な事実ですので、ここに主張します。自己防衛以上の事をやる気はさらさらない。

過去、僕に直接攻撃してきて失敗したメンバー皆さんに聞いてください、皆口を揃えてこう言うはずです。

「あいつはキレないんだ、最初はバカなのかと思ったが、どうも違うようだ。手ごわいぞ」と。

自己防衛以上の事をやる気はさらさらない。ただただ平和に暮らしたい、そして待ち人に会える奇跡を信じたい、そして、自活の道を軌道に乗せたい（彼らの妨害を前提にしても）。それだけが望みです。

誰も、人生を全部返せって言う、無理な（実行不可能な）相談をしたい訳ではない。

これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

そのくらいが望みです。平たく言うところがあるがまさに平和に過ごしたい、日々、想いを追求したい…。

僕と彼女だけは戦いに巻き込まないで欲しい…。

こう願う気持ちは、そちらの教えと“矛盾しない”ように感じるのですが。

実際の所どうなのでしょう？

たぶんなにかしら反論を食らうのでしよう。

Fさん、僕はこういうとき、こんなセリフを相手に問いかけます。「具体的にどこが間違っているのか教えていただけませんか？」と。

こういつ時「最初から全部おかしいんだ！」と言っひといます。

その場合、最初というところですか？自己防衛のところですか？自己防衛しちゃいけないんですか？と細かい部分を根掘り葉掘り問いただしていけば、相手のはただ「最初からおかしい」と繰り返す事しかできなくなります。

何度かくりかえさせて、折り合いを見て、「ホントは何も判ってないんですね、言いがかりは止めてください」といえば自分の（こちらの）立場を明確に主張できます。

相手は論点を絞り込めてないのだから、いずれ矛盾した回答が引き出せる（何しろその場しのぎの言葉しか相手は言っていないのだから）。

そうすれば今度は「さっき貴方が言った事と、今貴方が言った事はつじつまが合ってますね」と“つじつまがあわない”という論点にたつて話を絞り込めます。

もし先ほどの言葉に反応して「世の中とは“つじつまが合わない”ものだ！」と相手が開き直ったら？

そしたらしめたもので、この時点で最初の話に立ち返り「じゃあ今貴方が言った“世の中とはつじつまがあわないもの”という話と、最初に貴方が言った“僕が最初から間違っている”という話は、どこがどう矛盾しないのか説明してください！」ときけば、相手は高い確率で理論破綻する。

（というかここまで来て巻き返す理論を展開した人物を僕は過去に1人しか知らない。ここまでとことん議論すると、逆にお互い理解しあえたりすることがあるので人間とは実に不思議な生き物です）

今、君はどんな状態なのだろうか？戦っているという前提で書きます、負けないで！応援しています。

仮にですが、もし落ち着いたなら、君には自由な空気を思うだけ楽しんで欲しい。

誰にも気兼ねなく、自分の思うことをしてほしいとも思う。

なぜなら、僕はそのままのFさんが好きだからです。

そのままの君が抱くあの笑顔が見たいからです。

だから、18年前のようにいかないかもしれないけど、君の心が安心できる距離に僕の気持ちを置く事を許してくれないだろうか？そのくらいのがままならいいよね？だめかな…。

もし君が、全ての罪を背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込むと思う。

そうなれば容易に人の（君の）心を操れる事が可能だからです。

そうやって君の心から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だと思う。君はどう思いますか？

だから注意してほしい、そう君に伝えます。

こうした手法は非常に悪質な人心掌握法じんしんしょうあくです。そうやって“情熱”を失わせるのが、彼ら（の中の“悪質な事を強要するのが平気な人達”オハコ）の得意な手口です！

もし誰かが何かしつこく言うようなら、こう言っていていいです。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから、じゃあ腹いせにこちらもずつと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？（そこまでくさってない？）

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる、それは僕にとっては（奇妙な事に）誇らしくも感じってしまう。繋がっていたのだろうか？どうなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく、図らずも“彼

ら”を通じてつながっていた事になる。もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、どうなんだろう。あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます。

いまはつらいのかもしれない…大変な目にあってるのだろうか？でも繋がりには、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

僕は賭けをしています。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに親しくなろうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は一歩手前まで来ていた。

先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。

今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまುತ್ತもりでいます。

Fさんへ。

今日、夕刊が来てないという事がおこっている…

まさかと思うけど。郵便物収奪班のような人がいるのだろうか？
こちらに来てすぐの事、東京で世話になった人が「送った」と明
言する郵便物が届いてない。

もし、「手紙」で連絡を考えていたら、一工夫がいるようだ。
クロネコメール便とか、内容証明郵便とか。
そんな事を思った。

君は今、元気にしていますか？心配です。

郵便物といえば、大学生になってから2度ほど君にクリスマスカ
ードを郵便で贈ったけど、あれは届いただろうか？開けると電子音
が流れる結構こったカードに手書きのイラストをそえた。当時ちや
んと届いて君をなごませた事を夢見ます。いつか、カードが着いた
かどうか教えてください、そんな事を思います。

- - - - -
「9月23日（木）曜日」？

もし、先んじて就職できないよう手を打つやつがいたら「地獄に
おちる」と多くの人が感じる事だと思う。ヘルパーの資格をとろう
と計画中です。

東京で接客の仕事を通じて、お客さんが声にできない要望を汲み
取り、理解して、対応するというのがいかに大切かは感じられたし、
そういう仕事が楽しいともおもえる。無茶な仕事をこなす要領と充
実感もしているし、つらい事に屈しない根性も自信ある。これら
の経験を生かせる仕事がしたいと考えています。

どう邪魔されるのか？…されないのか？

Fさん！もし、邪魔して何が悪い！いや、むしろして当然だ！という人が周りにいたら、こう言っちゃってください。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（自分が）地獄に堕ちちゃったら、その時は誰が責任取ってくれるの？」と。

僕が君と一緒に戦って欲しいと思う理由の1つがこれになります。困難は1人より2人の方が楽しく乗り越えられる、だめかな…。

（それに“彼ら”に狙われたと思われる人でその後も生き延びている人は意外にたくさんいます）

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。どんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だと思う。

けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。過去の文面を読んで欲しい、一度だって要求してない。

その代わりにこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」と。そして、生活を立て直すけど、「邪魔しないでほしい」と。

（…一瞬でも「それって当然の言い分だよな」と感じていただけたら幸いです）

それでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。

単に自分たちの贅沢が（快樂が）侵害されている事に怒っているだけという事実気づかず反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せって言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではない」

…という事実があります、これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

東京で「猛攻撃」がはじまる前日、気になる記憶がある。

いつものように電車に乗っているとやはり監視者がいる、平均的な人数で後々のひどさに比べればまだまだましなレベル。今とたいして変らない人数。

電車内で座っていると、停車駅で太ったかつぶくのいい男性が乗ってきて、僕の目の前に立ち、僕を見下ろす。

目があっても睨み続ける。ああ、またかと思う。この人は何度か見ている。

…で、僕は席をゆずった。その人に。

年配で僕より太った男性に席を譲るのは、社会常識の範囲内の行為だ。でも近くのおばさんが物凄い心配のまなざしを向ける。

推理だけど、このおじさんは偉い人だったのだろうか？違つかもしれない…

でも僕がおじさんとやり取りしている間、周囲の空気が凍りつくのを感じた。

席を入れ替わり、少し前おじさんがやったマネをした。

あれが、やりすぎだったのかな？おこらせたのかな？（そんな事でもいい大人がキレルだろうか？）

次の日あたりから、それこそ何万人と感じるほどの人数の大攻勢になった。現在の監視がのんきに感じるレベルだ。

でもそのおかげで、僕は真実にたどりつけた訳だけど。

一般の常識なら、僕が正しい。だから後悔はない。けど、本来的に人がいいので、つついこつも思う。

「正体不明の人物相手に、それなりに気を使つてる事実をどう理解してもらおうか…」と。

一応、必要以上に不快な思いをさせずに、身を守る方法をとつているという事実を、どう理解してもらおうと。

例えていうなら、漁船船長拘束問題で怒りを爆発させる中国人デモ隊の参加者に、

「筋を通していただけです、（日本政府に）悪意があつたら船員を全員逮捕拘留しています。喧嘩を売っているわけではないんです」という日本の（筋の通つた）主張を聞き入れてもらうのと同じくらい困難な事です。

冷静に行きましょう…

それが単純かつ相応ふさわしい言葉です。

皆さんも、筋が通せない男は嫌いでしょ？僕は筋を通していただけなのです。

Fさんはどう感じますか？

「9月23日（木）曜日」？

僕は賭けをしています。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに親しくなるうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は一步手前まで来ていた。先輩の正体を明かすとい

う行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。そこが、大きなターニングポイントになる。それは事実です。

告白された事は胸にしまうつもりでいます。

トルコ旅行の話はまだ終わってないのだけど、その他の話題が結構溜まって来たので、そちらを今回書こうと思う。…最近こんな事を感じた。

18年前、日々、学校で他愛ない事を君と話したが、細かい話の内容が思い出せない…もちろん覚えていた記憶もある、でももっともっとたくさんしゃべっているはず。いつも僕がしゃべりつづけ、君がにつこり聞いていてくれる、そんな記憶がたくさん残っている。「何しゃべってたんだっけ…」と、よく考える。

たぶん、今こうして書いている小説同様、その時気になったことや、思いついたこと、知っている事、思い出した事、感じた事など延々としゃべっていたんだと思う。君の記憶ではどうなっていますか？

けど、ふいに思い出した。ある番組を見ていたときだ。その番組で、楽譜の読み方がわからず、後輩に読み方を聞くシーン。

(君は見ないかもしれないが、今人気のある「けいおん！」というアニメの中のシーンだ)

アニメなんていうと馬鹿にされそうだけど、まじめな話あれを見

ていて唐突に、こう、思い出したんだ。

「僕もFさんに楽譜の読み方をよく質問していた…」

部活の時間。新しい楽曲のための新譜をもらうと、時折わからな
い記号とがあり、毎回君に確認していた。どういう順番で演奏が飛
ぶか確認したり、この記号はどういう意味か?とか。

音楽室で、君が1stに座り、僕が2ndに座り、隣りあわせで、
楽譜代の上の譜面をみながら僕が質問する。

あるいはパート練習で何処かのクラスの教室にいる時、クリアフ
ァイルの楽譜を見ながら…。

時折、楽譜に書き込むためにクリアファイルから取り出す、その
うち、取り出した事を忘れて、ファイルに入っているつもりで動か
して楽譜を落すこともあったと思う。

いつも君はかわいく答える。一度だってさげすまないし、邪険に
しない。

覚えの悪いぼくはなんども聞くが、君は嫌な顔1つしない…。

先ほどのアニメのなかで、主人公がこんな事を言う。

「フェルマータ」って何?と。

似たような質問を僕も君にしたと思う…、たぶん。このセリフを
聞いて唐突に思い出したのだ。

正直、フェルマータにしる、アレグロにしるツツカータ(トツカ
ータだっけ?)にしる、僕は正確に理解しておらず、いつも勘で吹
いていた。だから、正確な知識が無いがゆえ毎回新譜をもらうと君
に確認する事になる。同じ質問を何回もしたと思う、たぶん、どう
かな…この記憶。君の記憶ではどうなっているのだろうか?いつか答
え合わせが出来る日はくるだろうか?

そんな事してるうちにだんだん打ち解けていったような気がする。次第に、楽譜以外の雑談もするようになっていった。

何だかこの子と喋るの楽しいぞ、とよく思った。やはり好きなのかな、この子の事が、どうなのかな、そんな事思ったものです。

当時僕はとにかく勘だけを頼りに、感覚で演奏した。それでもなんとかトロンボーンパートとして成立したのは君がいてくれたからだと思う。特に3年になると、いつも僕を引き立てようとしてくれていた。本来なら、君がパートリーダーになるべきなのに…。

君は人につくす人だ、当時はわからなかった。でも今はわかる。こんなに時間がたってから、その価値に気づくなんて…。

せめて僕が、今、気づいた事だけでも伝えられたら、そう本当に思います。伝わっているだろうか？心配です。

Fさん、今どうしていますか？これを読んでいますか？

今僕には1つ、具体的な夢がある。

「紅の豚」のDVDを一度2人で見てみたいという夢だ。

で、当時このシーンを映画館で見たときの「あの日」の思い出語り合いたい、そんな夢があったりします。

思うだけならただなので、そんな夢を想う事にしようと思いましたが。

君は「えー」と言うだろうか、何しろ映画を黙ってみるよりは“会話”を好む君だから。

だから、見ながら会話ができれば楽しいなんて思った訳です、どうせあらすじは2人も判っているのだから喋りながらみても支障はないと思うし。ささやかな夢です、奇蹟のこもった。

18年前の“彼ら”は君がなかなか、なびかないから、じゃあ腹いせにこちらもずつと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？（そこまでくさつてない？）もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる、それは僕にとっては（奇妙な事に）誇らしくも感じてしまふ。繋がっていたのだろうか？どうなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく、図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、どうなんだろう。あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます。

君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。もしそうなら全てを背負い込んではいけません。

君が、全ての罪を背負い込む心理状態になれば“彼ら（の中のそつした事を悪用する人達）”はそこにつけ込み、君の心を操る事が可能になるからです。

非常に悪質な人心掌握法じんしんしよつあつかくです。

そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコです！本当に気を付けて！

大丈夫…と油断していると、気がついた時にはワナにかかっていたりします。

彼らは暗示の達人ですから。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

でも繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思つ。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。何か言われたら、こう言うてください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書にふれる機会を意識してみてください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。三界に家を建てるには、君が必要です。君がどこにいようと、どんな状況だろうと応援しています。何があるうと世界中でただ1人味方でい続ける人間がいることを忘れないでください。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。一度きりしかない君の人生です。

何度も言いますが、僕は生きています。死んではいません。

(この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。)

第26話 旅行から帰って…？（未来へと続く話その12）（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第27話 旅行から帰って…？（未来へと続く話その13）（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第27話 旅行から帰って…？（未来へと続く話その13）

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

〔9月24日（金）曜日〕？

君は入り口ギリギリで立ち止まり、そこで立ち止まり中をのぞいて満足するような、そんな性格をしている。中に入ろうと踏み出すには誰かの手助けか、もしくはよほど切羽詰った自分の意思かの、どちらかが必要だったりする。

その性格はとても愛らしく、かわいいのだけど、相手に悪意があれば、付け入られてしまう。だから心配です。頑張れるかな、と。

でも本当に確信した時。君は笑顔で前に進む、それまでの葛藤がうそのように。

その時見せてくれた笑顔を世界で一番まぶしいものだった。本当に信頼された時、人はどういう笑顔を向けてくれるのか。

僕はその時きみに教わった。

とにかく待とうと決めました。いろいろあるのかもしれない。

がんばって！応援しています。

〔9月24日（金）曜日〕？

トルコ旅行で思ったことは「自転車があればいいのに…」ということだ。

サイクリングできれば最高！と思える景色がたくさんあった。

カップドキアなど、レンタサイクルないものか？とホテルのパン

フレットを見つめたものだ。

最近折りたたみ自転車も安く売っている。
あれをスーツケースに入れて持ってくればよかった！などと思っ
たものです。

でも、そんな事本当に可能なのだろうか？

勝手がわからないので、いまいちイメージできない。

安直にスーツケースに入れると発想したが、旅なれた人は専用ケ
ースとか使うのだろうか？

そもそも、ツアー旅行で折りたたみ自転車持ってくるような人は
めったにいない様に思う。

つまり、レアケースな訳で、同じような事している人の話を聞く
機会もないに等しいと思う。

安易なイメージをそのまま実行すると、後で痛い目を見る。
そういう事実確かにあります。

結局、デメリットは自分に返って来るわけだから、ちゃんと調べ
ないといけない。

もし、次回そういう機会があるときは、いろいろ事前に調べてみ
ようと思った。

自転車は好きです。自由にどこでもいける。

移動距離に限界があるのが厄介だけど、近い場所なら車より早く
つく。なにしろ信号待ちも、渋滞も自由にかわせるからだ。運動不
足の解消にもなるしね。

勝手がわからず、いまいちイメージできなかった事は他にもあり、
飛行機の搭乗手続きなどもいまいちイメージできていなかった。

予定時刻になり、周りがあわてる。

僕は5分10分大丈夫だろう、飛び立つまで時間だいぶあるのだから、と思っていたのだが、聞くと。もし、変更などがあつたら搭乗ゲートにいないと聞き漏らす。トラブルがあつたとき、時間内にそこにいないと対応できなくなる、等いろいろあるらしい。のんびりしていて怒られてしまった。

勝手がわからないと予測が立たず、いろいろあります。

周りに教えてくれる人がいない時など、勝手がわからないと不安なものです。

不安と戦うFさんか…

そついう姿、よく見たような気がする。

当時何を不安がつていたのかまったくわからなかった。気がつかなくてごめん。

単なるシャイなかわいい子ではないと感じてはいたが、真相に気づくのに18年もかかってしまった。

いろいろ不安要素が今もあるのだろうか？

判断に迷う時、僕は原点に立ち返る。

僕の原点は「君との思い出」であり、そこから学んだことは「人は話せば通じ合える、心が通じるといふ事実は確かにある」といふ事であり、あの思い出からの反省点は「人の話はよく聞く事、判らないとなあなあにせず、理解できるまで諦めない事」です。

僕はあの夏祭りの日、君の大事な話を聞き流してしまった。

あれは今でも悔いています。

だから、人の話はちゃんと聞こう、判らないと適当な対応をするのは良くないと学びました。

人の話をよく聞かため、メモと論点整理は今や欠かせないアイ

テムです。

昔より多少成長したと思う。君の話をちゃんと受け止められると思います。もしいつか試す気になったら、いつでも来て下さい。

勝手にわからずイメージできない状況というのは、不安を招きます。

手は差し伸べられないけど、言葉なら送ることが出来る。

ギリギリまで追い詰められて、最後まで譲れない“何か”があるとしたら、“それ”は君にとって何なのか、どう影響しているのか？それを“なくす”とどうなってしまうのか。

納得できるまで、イメージできるまで考えた方が、いい方向に進めるのは確かなことです。

原点が見出せれば心がフラフラしなくなる。軸足のしっかりした笑顔の君と再会できる日を信じて。

これからも君が戦っているという前提で書き続けようと思います。ダメな時はちゃんと教えてね。

運命がどう傾くのか？それも賭けです。

〔9月24日（金）曜日〕？

小沢一郎という政治家は物凄い特異な人生を歩んでいる。

早くにその才能を田中角栄に認められ、40代で次期総理候補にまで上り詰めた。けど、竹下登の裏切りにより田中派はのっとられる。

自分の派閥をのっとられた田中角栄は失意に打ちのめされ、一番弟子の小沢一郎は師匠のあだ討ちとばかりに「反・竹下」を貫く。

1992年の金丸信失脚も、小沢さんが一枚かんでいるのだろう

か？

金丸さんは竹下派の金庫番だった、ダメージはでかいはず。しかも内情を知らなければ情報リークは不可能だ。

(ついで言つと、この年、僕らは一緒だった。)

2000年の小沢さんが倒れた件も、直前まで、自公連立を解消するしないで小沢さんと小沢さんがもめていたらしい。小沢さんの自由党が離脱する事で自民党・公明党の2党になってしまい、政権が弱体化する…、その心労で小沢さんは倒れたとうわさされている。

(この年、僕はCGをやっていた。君は何をしていましたか？)

この他にも、小沢さんは竹下派つぶしのあらゆる工作をしているうわさがある。橋本龍太郎が歯科医師会からの1億円で政界を去る事件…、あれで事実上、竹下派は崩壊したんじゃないだろうか？

今回の民主党代表選。有識者の誰もが口をそろえてこういう。

「あれは小沢一郎最後の大勝負だった」と。

僕はこんな風に思った。

竹下派を事実上つぶした今、もう小沢さんにやりたい事は残っていないだろう、やれるものなら最後に総理に就く気で挑んだ戦いでは？と。古い世代の大物は消えるべき…。そういう印象なのだろう。

でも本人はそうは思っていない、これからも、今までどおり、体が動かなくなるまで、同じ事をやり続ける…。野望があるとか、あだを討ちたいとか、そういう問題ではない。

“ そういう生き方 ” なんだと思う。

賛否はあるけど、いい面は「批判」をちゃんと受けるところだと思つ。

批判にさらされ、変えるべきところは変え、譲るべきところは譲り、でも譲れない部分には頑として首を縦にふらない、“そういう生き方。”

それと比べると“彼ら”のあの行動：

“そういう生き方”なのなら信念を貫く意思の強さを示す意味でも、ちゃんと「批判」にさらされるべきだと思う。出来ない時点でおかしいと、思える感覚が大事です。

僕は筋を通してしているだけなのです。皆さんも、筋が通せない男は嫌いでしょう？

Fさんはどう感じますか？

冷静に行きましょう：それが単純かつ相応ふさわしい言葉です。

ヘルパーの資格をとろうと計画中です。もし、先んじて就職できないよう手を打つ人がいたら「地獄におちる」と多くの人が感じる事だと思う。どう邪魔されるのか？：されないのか？Fさん！もし、邪魔して何が悪い！いや、むしろして当然だ！という人が周りにいたら、こう言っちゃってください。「これ以上邪魔をして、もし本当に（自分が）地獄に墮ちちゃったら、その時は誰が責任取ってくれるの？」と。

それに“彼ら”に狙われたと思われる人でその後も生き延びている人は意外にたくさんいます。

僕は今賭けをしています。“彼ら”は決して正体を明かさない：（告白しない）、どんなに親しくなろうとも、絶対に。君ははたしてどうだろう？：18年前、君は一歩手前まで来ていた。

先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。今にして思うとそう思う。

もし告白してくれたら。そこが、大きなターニングポイントにな

る。

それは事実です。泣くほど嬉しい僕はそれ（告白された事）を胸にしまわざるえない事でしょう。

…君に読んで欲しい本があります。

日蓮の現存する正筆御書に触れる機会を1度模索してみてください。
い。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そついう事で全て矛盾しなくなると思いますがどうなのでしょう。
う。

僕には“彼ら”に“人生を返せ！”と主張する権利がある。

けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。

その代わりこう言いたい訳だ「もう一度あいたい人がいる」と。

それでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。単に自分たちの贅沢が侵害されている事に怒っているだけという事実気づかず反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せつて言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではない」

これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る状態を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

全て背負い込むような感覚は危険です！

“彼ら”はそれを狙っています！！

君が、全ての罪を背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこに
つけ込み、容易に人の（君の）心を操れる事が可能だからです。そ
うやって君の心から“情熱”を失わせるのが“彼ら（の中の悪質な
グループ群）”の手口です。だから注意して！非常に悪質な人心掌
握法です。

そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコです！気を付
けて！

- - - - -

〔9月25日（土）曜日〕？

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。どんな屁理屈をひね
り出すのか一苦労だと思う。

けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。過去の文面を讀ん
で欲しい、一度だって要求してない。

その代わりこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」と。

それでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。単に自分たちの贅沢が侵害されている事に怒っているだけという事実気づかずに反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せって言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではない」

…という事実があります、これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

〔9月25日（土）曜日〕？

君は君の心を信じて良いのだと思う。

〔9月25日（土）曜日〕？

“それ”が何を意味するのか…

〔9月25日（土）曜日〕？

時間をかけてじっくりと…

〔9月25日（土）曜日〕？

納得のいく世界。

〔9月25日（土）曜日〕？

そうかもしれない、でも…

〔9月25日（土）曜日〕？

やっぱそう？なら仕方ない。

〔9月25日（土）曜日〕？
落ち着いて。

〔9月25日（土）曜日〕？
ゆっくりと

深呼吸をして…
周りをゆっくり見て。

楽しい？

〔9月25日（土）曜日〕？
たぐらみを突破して！

〔9月25日（土）曜日〕？
君から預かった“まごころ”を返したい。

〔9月25日（土）曜日〕？
やっぱり“そうか”…？でも、しかし

〔9月25日（土）曜日〕？
負けないで欲しい。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。
う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらおう機会をもらっ

た、

それで何もおかしい事はないと思うけどどうなのだろう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかかわらず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
〔9月25日（土）曜日〕番外？

こんな事も思う。

もし、竹下登のクーデターが失敗して、そのまま田中派が存続したら？

もしかしてバブル経済はおきず、今日の経済危機は起きなかったかも知れない…。

最大派閥「田中派」をのっとった竹下さんは「竹下派（経世会）」を立ち上げて総理になる。

僕らが小学生くらいの時のことと思う。

当時TVで竹下新総理誕生を物凄い事だ！と報道していたが、何がどう今までと違うのかさっぱりわからなかったのを覚えている。

当時まだバブルは起きていなかった。

そもそものきっかけはアメリカの輸入超過だ。

アメリカに世界中の商品が輸入され、代金を支払う結果、アメリカの富が国外に垂れ流される状態が続いた。この流れを止めないと将来アメリカが成り立たなくなってしまうと考えた各国首脳は、史

上（市場）初となる為替介入を考えた。

理論上は可能だった。為替介入して、アメリカ国内の産業を育ちやすくさせる。アメリカ国内産業が復活すれば、アメリカ政府の税収も安定する。でも、理論上可能なだけで、だれもこれを実際に実施した人間がいない…。

1985年当時、アメリカの高級ホテルの広間で、秘密裏に集まった各国大臣が、史上初の為替介入の是非を巡って話し合っていた。理論上は上手くいく。冷戦真っ最中の今、その盟主たるアメリカ経済が立ち直ってくれないとNATO（「ソ連に対抗する軍事同盟」）の存続も危うくなる。

でも理屈の上で可能でも実際やったらなにが起こるか予測不能だ。そもそもこの話し合い自体が外部の投機家にもれたら、それだけで為替は動いてしまう…だからこそ秘密裏に集まったのだ。

（実は一部有力投機家はこの会合の情報をつかんでいたと言う、それが故実際に協調介入が始まるとコントロールできない事態になったという説も言われている）

この時、日本が主導権をとったとNHKスペシャルなどでは何度か見た。

本当かどうか知らない。けど、この時代先進5カ国で唯一の黒字国は日本だけで、経済問題で主導権をとれる立場にいたことは否定できない。

どの国が最初に介入するかで、もめている中、日本が最初にやると手をあげたらしい。日本が本当にやるなら、と各国もまとまり、こうして世界初の為替操作が生まれた。この合意は秘密会議の開かれたホテルの名をとって「プラザ合意」と呼ばれている。

（ちなみに現在のNYプラザホテルは転売され高級マンションとして存在しているそうです、会合の開かれた「金と銀の間」は今ほど

うなっているのでしょうか？ けっこうな歴史遺産になると思うのは僕だけでしょか…)

為替介入がはじまると、あっという間にコントロールできない状況に陥る。強烈なバイアスが発生し、「円」の価値がどんどんあがる。

この協調介入が各国になにをもたらしたのかは専門家がやっていることなので割愛するにして、日本で起こった事と言えば、バブル経済だ。

協調介入の結果、富がだぶつく。だぶついた富は土地へ流れ、狂乱地価へと変化する。

…もし、あの時、竹下派が政府を担ってなかったら？

竹下さんがクーデターに失敗し、小沢一郎が総理になっていたら？

協調介入に小沢政権も同意するのか？ 否か？

いや歴史にもしは禁句です。現状が全てです。

だからと言って諦める必要はないと思う。

このままなるように身をまかせて日本が沈没するのを見ていない訳がない。過去から反省して、前に進めばいいのです。

例えば法人税の緩和とか…。現在のそれはバブル期のそれと変らない気がする。もし、現在の韓国と同基準の法人税が日本でも適用されるなら、企業活動はかなり楽になりらしい。もともとバブル期に稼ぎすぎの企業を自重させるため高くなった法人税が、今もそのままになっている。

過去から反省するとはこういう事だと思っ。

〔9月26日(日)曜日〕?
諦めないで!

〔9月26日(日)曜日〕?
そのままでもいいの?

〔9月26日(日)曜日〕?
そう、そうでしょ?でも、だから…

〔9月26日(日)曜日〕?
やっぱり、しかし!

〔9月26日(日)曜日〕?
心の何が、どう感じる?考えてみて。

〔9月26日(日)曜日〕?
その想いは何?

どう感じる?

目に浮かぶ“それ”は君のなんだろう…

〔9月26日(日)曜日〕?
「試練」とは乗り越えるためにあります。

〔9月26日(日)曜日〕?
「やっとあえた」と言えるその日を信じて。

〔9月26日(日)曜日〕?

君に初めてキスをした日、僕は迷った。

本当にこのままでもいいのか？

これは本当に彼女の望む事なのか？

他の男のように、彼女をいいようにする振る舞いと同じじゃないのか？

ものすごい、ものすごい長い葛藤をしたのを君は気づいただろうか？

…この先？君の知るとおりの記憶のままです。

なにが言いたいのか？

迷い出したらきりがない…。

例え「君に嫌われようとかまわない」と僕は前へ一歩踏み出した。そんな想い、今、君に伝えます。

君に勇気が宿りますように…

〔9月26日（日）曜日〕？

ひき逃げ犯の居直りと何もかわらない。

ひき逃げ犯って最悪だと思っでしょ？

なのに自分たちの行為は反省しない…

その間違いに思いがいたるなら、大丈夫です。

君の心は本来優しい。

無茶を強要する連中に負けないで！

〔9月26日（日）曜日〕？

こんな記憶がある。(以前書いたかな?) あれはいつの事だったか…

練馬に住んでいた時の記憶だ。

その頃、深夜はいつも漫画のネタを練っていた。

次回作がどうしても書けない…

そこで深夜コンビニで漫画を読もうと思いつく。

コンビニで漫画を読んでいると、顔面殴られて出血している男が急に来る。

大学生ふう、シャツに血をつけ、物凄い殺気。

漫画を読む僕の前にきて、書棚からエロ雑誌をとりだし

「フン! フン!」とやってくる。

意味がわからなかった…。

その後そいつは少し威圧的な態度をとった後、コンビニの店員さんに水を借りていた。

その様子は普通の子で、違和感を感じる…。

今にして思うと、こんなストーリーが思い浮かぶ。

深夜いつものように車で監視していると、

今日に限りターゲットが外出。

いつも外にでないから、彼は楽な仕事と安心していただけに…。

車内にいた先輩から尾行を命じられる。

軽く断った、彼はそれが重大な違反と認識していなかった、関わりの薄い学生だったのだろう。

たぶん、あまり熱心でない彼のため、滅多に外出しない人物の監視という楽な仕事が用意されたのだろう。

なのに今日に限って外出。

尾行を命じられ、熱心でない彼は断る。

で、殴られ、いやいやコンビ二に。

「お前の所為で殴られたんだ、エロ本読みたきゃこれでもみてる！」
（実際には漫画を読んでいたわけだが、組織（内の男性グループ独特）のエロ体質から、深夜コンビ二で読書「エロ本と発想した？」
と言いたくてターゲットに接近、まさか本当に言うわけにもいかず
「フン！フン！」とやるに留まる…

10年以上前だと思うけど…。そう考えると、彼の行動は筋が通る。

今思うと、あの謎の行動もこうして説明がつく。

僕の過去にはこんな記憶がたくさんある。

ずっと、そうだったのだろうか？

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから、じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？（そこまでくさってない？）もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる、それは僕にとっては（奇妙な事に）誇らしくも感じてしまう。繋がっていたのだろうか？どうなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく、図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、どうなんだろう。あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます。

「9月26日（日）曜日」？

僕は賭けをしています。“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに親しくなるうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？18年前、君は一歩手前まで来ていた。

先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。
今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。告白された事は胸にしまうつもりです。

僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違いです。

そうやって“人”を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした人達」の）常套手段”です。

何か言われたら、こう言うてください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされるのは間違っている。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、文句は言わせないわよ！」と、言って良いと思う。

もう一度改めて言います。君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください（周りにもすすめてください）。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。三界に家を建てるには、君が必要です。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

負けないで、待っています。君に勇気が宿りますように…

- - - - -

〔9月26日（日）曜日〕番外？

第2次大戦中、アメリカは一時日本軍に負ける。

しかし、後にマッカーサー率いるアメリカ軍は押し返し、日本軍に勝つ。

それは歴史どおりなのだが、

解せない事はアメリカの反攻作戦の名前が「オレンジ3」という事だ。

なぜに「3」？と長年おもっていた。

「2」とか「1」はない。

結論をえられないまま宙ぶらりんにしていたある日、歴史ドキュメントをみていてこんな言葉を聴く。

第1次大戦終了後、アメリカは将来の太平洋での戦争に備えるため、オレンジ計画と言うのを発動。情報収集・分析にかかる…と。

1918年ころの話だ。

事実なら、第2次大戦のはじまる30年近く前から、将来にそなえてどう対処するのがベストかマニュアルづくりをしていた事になる。

つまりマッカーサーは反攻作戦を立てようとした時点で、もう詳細なシミュレーションのすんだ3つ以上のプランが用意されていたのでは？という推測が成り立つ。

もし本当にそうなら、短期間で完成度の高い反攻作戦が提出できる事になる。

当時の日本は基本的に大雑把で場当たりのだった、日ごろの準備の差が出たのかもしれない、それでよくあそこまで持ちこたえたのは、現場の軍人が優秀だったのかもしれない。

今ニュースでやっている尖閣諸島の問題。

中国は矢継ぎ早につきからつきへと「有効打」を繰り出してきた。どれも確実に効き目のある手で、行動にぶれもない。

おそらく、日ごろからこのような事態に備えて、どう行動すべきか準備、研究がなされているのだと思う。ついで言うなら、こう行動したら、日本がどう反応するかも、日ごろから調べているのだろう。

日本はスパイ天国と以前書いた。スパイそのものは犯罪行為にならない、法律がないからだ。だから、現行法にふれなければスパイは何をしてもいい。

中国は普段から、日本の内情を調べ上げて、どう行動したら、どう反応するか調べている（もしかしたら「彼ら」のこともかなり調べているかも知れない。国内を混乱させたければ、その情報を自然な形でリークさせるだけで効果絶大だ）

今回の尖閣諸島の問題は完全に完敗だと思う、日ごろの準備の差がでた。

おそらくこういふ事態のマニユアルもたいしたもの用意されてないのだと思う。たいした「有効打」も打てないまま、完敗してしまっただ。

けど、これは上の指揮をとる人間の能力の問題であり、現場クラスでは最後まで一応の筋を通したのだから立派だと思う。

でもいくら現場が立派でも、指揮官がこうだと、こうなってしまうのでしょうか。「菅政権」に責任はない。この手のマニユアルは長い月日かけないと作成できない。やはり責任は長年政権にいた自民党がちゃんとした「緊急事態マニユアル」を作ってないからだと思う。たぶん、ないわけじゃなく、あるのだろうが、あんまし役に立たないマニユアルのような気がする、役に立たない公共事業と同じように…。

過去から反省しないと、また同じ事を繰り返すのでしよう。

過去は積み重ね、学ぶための道しるべです。

無駄な経験などないのです。

Fさんはどう思いますか？

〔9月26日（日）曜日〕番外？

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思っけどどうなのだろう。

Fさん！もし、邪魔して何が悪い！いや、むしろして当然だ！という人が周りにいたら、こう言ってやっつけてください。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、誰も責任取ってはくれないよ」と。

試練を乗り越えた君にはこれを言っ資格がある。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔9月27日（月）曜日〕〔1〕

え？トルコの話？

〔9月27日（月）曜日〕〔2〕

グランドバザールの話とかまだ残ってる。

〔9月27日（月）曜日〕〔3〕

何かって？

〔9月27日（月）曜日〕〔4〕

イスタンブールの古くからある市場のことだ。

〔9月27日（月）曜日〕〔5〕

どのくらい古い？

そりゃあもつめちゃくちゃ古い。

コンスタンティノープル陥落の頃からある。

〔9月27日（月）曜日〕〔6〕
あとガラタ橋とかも話したい。

〔9月27日（月）曜日〕〔7〕
え？

それは古くからある橋で、2階建てで昔は1階がレストランだったらしい。

〔9月27日（月）曜日〕〔8〕
古いもの好きだよ…言わなかったっけ？

できれば君と回りたかった…、そんな事も思う。

トルコで彼らの集団威圧は感じない、それを君にも体験してほしい。

何年ぶりになる？本当に監視されずに街をあるくのは…

え？できない。

そうか…

〔9月27日（月）曜日〕〔9〕
でも、それでも

〔9月27日（月）曜日〕〔10〕
それでも、こう。

〔9月27日（月）曜日〕〔11〕
何が君に大切なのか。

〔9月27日（月）曜日〕〔12〕
全てを失ったとき、“それ”が君の“何で”あるのか。

〔9月27日(月)曜日〕〔13〕
心のどの“部分”をどう支えている？

〔9月27日(月)曜日〕〔14〕
譲れない気持ちは、譲る必要はない。

〔9月27日(月)曜日〕〔15〕
誰のため？君のため？

〔9月27日(月)曜日〕〔16〕
世界とはそんなに狭いの？どう？

〔9月27日(月)曜日〕〔17〕
解き放つ“勇気”

〔9月27日(月)曜日〕〔18〕
継続する“強さ”

〔9月27日(月)曜日〕〔19〕
優しさの原点。

〔9月27日(月)曜日〕〔20〕
本当の心の扉…、その鍵はみつかったかな？

無くしてなんかない、本当はその手の中にずっとあった。
ただ、気がつかないように(忘れたと)思い込まされていただけ。
“それ”を君は捨てる事ができますか？

三界に家を建てるには、君が必要です…

〔9月27日(月)曜日〕〔21〕
遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

〔9月27日(月)曜日〕〔22〕

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

〔9月27日(月)曜日〕〔23〕

もしかして、きっかけを待ってる？かもしれない…でも、そうかな、どうかな。

〔9月27日(月)曜日〕〔24〕

とにかく待ちます。

〔9月27日(月)曜日〕〔25〕

今も戦っているのだろうか？

負けないで！

〔9月27日(月)曜日〕〔26〕

でも、もし、一旦落ち着いたなら、その時は自由を満喫してほしい。

心のゆとりを取り戻して！

〔9月27日(月)曜日〕〔27〕

「それじゃあオレの格好がつかないじゃないかよ」
ともし言われたら？

「これ以上長引くともっとあわれに見られるわよ、貴方が今まで
散々見下してきた多くの人達から」

と言うだけの権利と資格を、現在の君は間違いなく持っていると思う。

なにしろ、試練に耐え切ったのだから。

これは天が君によこしたご褒美だ、君は受け取る権利をもっている。

誰も否定できないはずだ。

〔9月27日（月）曜日〕〔28〕

もう一度、その手に…

君に勇気が宿りますように。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思っけどどうなのだろう。

もし、邪魔して何が悪い！いや、むしろして当然だ！という人が周りにいたら？

こつ言っつてやってください。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、誰も責任取ってはくれないよ」と。

試練を乗り越えた君にはこれを言う資格がある。

.....

〔9月27日（月）曜日〕〔番外〕

トルコ旅行最終日、この日はグランドバザールへ行き、観光後、シーフードを食べ、空港へ。
そんな段取りだった。

朝、出発までの時間はゆったりあった、朝食をホテルのレストランでとり、あとは部屋でゆっくりする。

トルコツアーには8日間プランと10日間プランがあり、どちらも内容はほぼ同じだ。

けど8日間プランはものすごい強行スケジュールらしい…
僕らは10日プランのほうだ、朝、ゆったりできるのもそのおかげらしい。

朝食時、同じ旅行会社の8日間プランの日本人もいた。

きいた話では、僕らが2日間かけてまわるスケジュールを1日できなすらしい。

その分安いわけだ。

どちらがいいのだろう…、強行スケジュールも試してみたいななどと感じた。

朝、遅い出発。イスタンブール新市街にあるホテルを発つ。

途中、路面電車などあり、雰囲気を感じる。異国情緒だ。

今、ガイドブックで確認すると、ちよつどこの景色より西に移動すると、日本食を食べたお店による際、立ち寄ったタクシム広場とというのがあつた。でも今回はそこへは寄らない。そのまま南下。ガタラ橋を通過、旧市街へ。

ガタラ橋は日本と言えば“日本橋”に相当するよつな、街の歴史に古くからその名を刻む橋だ。

君は東京の“日本橋”初めて見たのはいつかな？

僕は大学生の時だ。

当時ユースホステル部にいて、山手線一周徹夜行脚という部の恒例行事に参加した時、はじめてみたと思う。たぶん。

巨大な“首都高”が2本、上空をふさいで、その下にみすばらしい石の橋がある、というのが最初の印象。

浮世絵の“日本橋”しかイメージが無かったゆえ、そのあまりのギャップに落胆したのを覚えている。

でも橋に近づいて見てみると案外立派な石の橋なのに気づく。

けど、まるで首都高に空をふさがれた様子は精彩をかく景色だった。

当時は無理でも、今なら、首都高の橋の下にスクリーンを張って、あるいは 아이폰 など で使われる拡張現実の技術をつかい擬似的な空をCGで表現する事ができる。

お祭りの時とかに商店街が企画してくれれば面白いのに…、などとも思う。拡張現実の技術を応用して、首都高が消えて、上空の空の様子をリアルタイムで投影するとか…

「日本橋に空を取り戻そう！」とかキャッチコピーでいいかも、空を取り戻す…、Fさんはどう感じる？

（ 拡張現実の可能性を提示した「電脳コイル」というアニメがちよつと前ありました。たかがアニメじゃん現実にはありえないよ、と思っていた。ところが今年、東静岡駅に発つ実物大ガンダムの隣りに、拡張現実をつかってザク（ガンダムの敵）を投影するイベントがマジであるそうです。世の中の進歩は何だか凄いです…。今は初歩的でも将来的には、江戸の街とか拡張現実で再現される日がくるかもしれません。）

Fさんはこういう話あまり好きじゃないか…、わかってる。

でもちよつと話したかった。

話はもどって…ガタラ橋の話。

バスはグランドバザール目指して南下、金角湾にかかるガタラ橋を通過する。

ガタラ橋は2階建て構造の橋だ。過去、何度か焼け落ちたりして、この橋は何代目かの橋らしい。

鉄でしっかり作られている。ガイドブックには多くの人が釣りざおをたらしていると紹介されているが、特にそうした記憶はない。

いつもバスで通過するだけだから印象がうすいのかもしれない…本によるとこの橋の周辺を散策するのが結構たのしいとある。

特にサバサンドは上手いと、けどそうした機会はなかった。どうも治安があまりよくないと聞いた。

大手観光会社としてはなるべくさげたいのかもしれない。

ガタラ橋の由来は僕の勉強不足もありうまくイメージできない。

近くに同じ名前のガタラの塔というのが新市街にあり、そちらは14世紀にジェノバ人が作った居住地の防御施設という。

なにかしら関係あると思うけど、不明です。

こういつ宙ぶらりんな謎はいつか解明できる時があるので、その時までとっておくことにします。

ここイスタンブールには“高速道路”は存在しない。

首都は確かにアンカラだが、規模ではあいかかわらずイスタンブールはトルコ最大の都市だ。にもかかわらず、高速道路はない。

そのおかげか、街の景観は損なわれていない。

日本橋のように、高速の橋脚で空をふさがれるような心配は無用なわけだ。

あちこちに警察官が立ち、交通整理などしている。

トルコでは軍が警察の代わりをしているが、一部大都市ではこうして警察官がいると聞いた。

バスはグランドバザールをめざしさらに南下。トルカプ宮殿の東側を海沿いにまわる。

海沿いの道からトプカプ宮殿の城壁はすぐ見える。宮殿の構造を支える城壁以外にも、道沿いにはあちこちに城壁の朽ち果てた後があった。すべてコンスタンティノール時代のテオドシウスの城壁だ、とガイドが説明する。見入っているのは僕だけのようだ、みなグランドバザールでの買い物について思いをめぐらしている様子。

バスは海沿いの道を離れ旧市街の中心へむかう。その過程でブルーモスク、アヤ・ソフィアのすぐわきを通過。

最後の機会なので、バスの中から写真をとった。

今、その時の写真をみると、ブルーモスクは確かに青く見える。現地では白く感じたけど。日差しが強かったと言うことなのだろうか…。

そのままバスは西へ向かう、路地を縫う様にすすむ。

まるで京都の入り組んだ観光地をバスで移動しているようだ。

そつえば…、いや、ちがうかな。いまうつすらぼんやりと浮かんだ記憶。

間違いかもしれない記憶。

18年前、僕が中学の修学旅行で京都に行った思い出を喋った時、君は京都に行った事ないと言ったっけ？

当日休んだかなんかで。違うかな…（それとも違う場所に行ったんだっけ？ともかく中学・高校ともに修学旅行で京都に行かなかつたと言っていた気がする。そうそう、僕が「高校の修学旅行も中学と同じ京都じゃなくてよかったよ」とか話したとき、僕がFさんもそう思わない？とか聞いた時、「私京都行った事ないの…」と聞いたような、聞かないような…、どっちだっけ？）なにぶん今ふとそ

んな記憶があったような気がしたもので。
記憶の答え合わせが出来る日を夢見ます。

そのままバスは西へ移動。地下宮殿（地下貯水池）の地上出入り口わきを通りさらに入り組んだ場所へ入る。

どうやらグランドバザールは周囲を路地に囲まれた地域にあるらしい。

バスが通れる限界の道まできて停車。

そこからは徒歩で路地を移動、グランドバザールをめざす。

路地はいい感じの雰囲気中路地で、どこへ行ってもアスファルトの日本ではけっして味わえない異国情緒があふれている。

こういうところは、誰か心の通じ合いの強いひとと、一緒に歩きたいものです。

君はだいぶ変わっただろうか…

いや、心の本質に変化がないとは確信する。

なぜだろう、あそこまで気持ちを通じ合った経験は、あれ以来一切ない。故に、なぜかそう感じる。

心が通じ合うという経験を1度もした事ない人には、どんなに説明しても永久に理解されない感覚です、君はどう思いますか？

でも外見はかわっただろうな、と思う。

髪型も大人の女性になっただろうし、ヒールとかも昔と違い履くようになったと思う。

大学時代のユースホステル部の同級生に卒業後会った事がある。なんてことはない集まりの場だけど、彼女はキラキラと宝石をつけていて綺麗にみえた。

Fさんもこんな風にきれいになるのだろうか？などと思ったものです。

一度でいいから、大人になったFさんを見てみたいです。そのくらいのがままなら、許容範囲と思うのだけれど、どうなのだろう…。

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。この事実を否定するのは相当難しいはずだ。どんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だと思う。けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。過去の文面を読んで欲しい、一度だつて要求してない。

その代わりこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」とそれでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。単に自分たちの贅沢が侵害されている事に怒っているだけという事実気づかず反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せつて言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではない」

これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

あと書くことと不利になるかもと控えていたけど、この際リスク承知で書こうと思う。

ヘルパーの資格をとろうと計画中です、東京で接客の仕事を通じて、お客さんが声にできない要望を汲み取り、理解して、対応するというのがいかに大切かは感じられたし、そういう仕事が楽しいともおもえる。無茶な仕事をこなす要領と充実感もしているし、つらい事に屈しない根性も自信ある。これらの経験を生かせる仕事が見たいと考えていた。

もし、先んじて就職できないよう手を打つやつがいたら
「地獄におちるなそいつ」と多くのみなさんが感じる事だとも
う。

一瞬でも、もつともだ。と感じてくれる人に伝えます。それが
“良心”です。まだあるんです、あなたの心には。

僕は賭けをしています。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに
親しくなろうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？18年前、君は一步手前まで来てい
た。先輩の正体を明かすという行為は、あとちよっと踏み込めば自
分の正体も明かしかねない行為だ。今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。君が僕に告白するかどうかと。そこが、
大きなターニングポイントになる。それは事実です。

告白された事は胸にしまうつもりでいます。

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから、じゃあ腹いせにこちら
もずつと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？（そこまでくさって
ない？）もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有
していた事になる、それは僕にとっては（奇妙な事に）誇らしくも
感じてしまう。繋がっていたのだろうか？どうなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく、図らずも“彼
ら”を通じてつながっていた事になる。もしそうなら、切なくも、
こそばゆい奇妙な想いになるけど…、どうなんだろう。あくまで仮
説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます。

Fさん！！君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたよう
な気がする。

もしそうなら全てを背負い込んでダメです!“彼ら”はそれを狙っています!!

君が、全ての罪を背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込み、容易に人の（君の）心を操れる事が可能だからです。そうやって君の心から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ!! だから注意して!非常に悪質な人心掌握法じんしんしやうあくです。そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコです!気を付けて!

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

でも繋がりには、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思いついてるけど、それは間違いです。

そうやって“人”を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした人達」の）常套手段”です。

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされる

のは間違っている。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、文句は言わせないわよ！」と、言って良いと思う。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっている。

せまい世界のなかだけで完結しないのは事実のようです。

君の周りの人に伝えてください。自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないの！？と。

理解を示す心の広さはどこへやったの？と。

これは人としての“質”の問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

質が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援しています。君は自分で思っている以上に強い人です。

初めての印象とういうのは忘れないものです。わくわくして、楽しくて、面白い。周りの人に、機会があったら伝えてください。最初の印象って忘れないものだ。違いを楽しんだり、同じと思う事を嬉しく思ったり、何もかも新鮮で彩りに満ちている。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしい事はないと思うけどどうなのだろう。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください（周りにもすすめてください）。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心
から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。遊ぶ金ほしさの連中に負
けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二
分に持っていると思う。

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

- - - - -

〔9月27日（月）曜日〕〔番外？〕

Fさんに質問です…

ローテーションってやっぱあるのかな…

どうもまた様子がちがう。グループによりクセがあるというか。

10月か…、いぜんローテーションが変わったと感じたのはいつだ
ったかな。

3〜4ヶ月でいれかわる？

一緒に戦ってくれるとうれしいです。

〔9月27日（月）曜日〕〔番外？〕

「別に人生を全部返せつて言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではない」

…という事実があります、これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。あと書くと不利になるかもと控えていたけど、この際リスク承知で書くことと思う。

ヘルパーの資格をとろうと計画中です、東京で接客の仕事を通じて、お客さんが声にできない要望を汲み取り、理解して、対応するというのがいかに大切かは感じられたし、そういう仕事が楽しいともおもえる。無茶な仕事をこなす要領と充実感もしているし、つらい事に屈しない根性も自信ある。これらの経験を生かせる仕事が見たいと考えていた。

もし、先んじて就職できないよう手を打つ話を聞いた時に「そんな事したらそいつ地獄におちる」と一瞬でも脳裏に浮かんだならば、それが心に今も存在する善意です、大切にしてください。

Fさん、僕は賭けをしています。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに親しくなろうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？18年前、君は一歩手前まで来ていた。先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。今にして思うとそう思う。僕は賭けをしています。君が僕に告白するかどうかと。そこが、大きなターニングポイントになる。それは事実です。

告白された事は胸にしまುತ್ತもりでいます。

.....

〔9月28日（火）曜日〕〔2〕

“人を許せる時が、自分を高める時”

日本テレビ系『行列のできる法律相談所』で有名な弁護士、菊地幸夫氏の言葉。

簡単でないが、目指しがいのある目標ですね。

.....

〔9月28日（火）曜日〕〔3〕

…前日の続き。

グランドバザールにむけ路地をあらく。

石つくりの建物、1階のみ今風の商店だが建物自体は古そうな感じの建物に囲まれた路地。

路地を囲む建物自体はどれも2〜3階建てで低層な建物で歴史のありそうなものばかりだ。

地面は石だったと思う、アスファルトではないと記憶している。

しばらく入り組んだ路地をツアー客全員で通過し、アラビア風の門が見えてくる。

アラジンと魔法のランプに出てきそうな門で、少し小ぶりな印象。入り口部分の高さは4メートル強だろうか。

…ちなみに言うと、アラジンと魔法のランプはシルクロード交易全盛期を舞台にしている。

当時イスラム世界は3つの軸が存在した。第1の軸はアフリカ、

第2の軸はイラン（イラクも含む）、そして第3の軸がおくれて発展したトルコ（アナトリア地域）だった。

特に第2の軸となったイラン（イラクも含む）のバクダット（現イラクの首都）には、ローマ人、インド人、トルコ人、中央アジアの遊牧民、中国人、とシルクロードに関わる全ての民族が来ていたという。

アラビアンナイト
千夜一夜物語はそうした時代背景に作られていて、その登場人物もアラビア人とは限らない。

アラジンと魔法のランプの「アラジン」もオリジナルでは中国出身の少年という設定だ。

でも、アフリカまで姫を救出しに行っているし、服装もアラビア風、それにランプ自体もアラビア風だから、バクダットまできた中国商人の子供、と考えるのが妥当な設定だと思う。（けれどこの物語にアラビア語の原典がないと先ほど調べたらあった、もしかしたらヨーロッパ人の創作かもしれない、でも中国人の少年がアラビアで活躍する話が不自然に感じない時代背景があったのは事実です）あと。これはうる覚えで申し訳ないけど、同じ千夜一夜物語のオリジナル少年はオリジナルではインド人だったような気がする、ネットで裏を取ろうとしたけどのってない。だいぶ前TVで見た記憶です。

話はもどって、グラントバザールの門、「ヌルオスマニエ門」の中に入る。

門を少し入ったところでガイドがツアー客全員に門のいわれを説明する、近くに同じ名前のモスクがあり、なんたらかんたら…、とこの時、レシーバーをつけてなかったなので、説明は良くわからないかった。

今回の旅ではガイドの説明を聞くためにツアー客全員に「レシーバー」が配られていた。

ガイドが発信機をもち説明、レシーバーでそれを聞くしくみだ。

まあ、たぶんモスクとグラントバザールには何かしらの関係があるという事なのだろうとおもった。

日本にも寺社の門前町があるが、あれと似た感覚だろうか？この門の近くに18世紀に建てられた門と同じ名前のモスクがあるそうです。

このグラントバザール自体は、コンスタンティノール陥落後、メフメット2世が奴隷として売られていた元住民を買い戻して、彼らに開かせたバザールと読んだ気がする。

歴史は古い。おそらく全盛期には世界最大級の市場だったのだろう。シルクロードからもたらされる物品であふれかえっていたことと思う。正直、今はそこまでの活気はない。それでも、雰囲気満点の様子がワクワク感をそそる。当時いかにすごかったか、という事だろう。とちぶれても魅力的とはすばらしい事です。そういうの好きだったりする。

門と同じ名前のモスクが18世紀という事は、その頃再建されたものが現状残っている姿なのだろう…。本によるとグラントバザールは何度か焼失しているらしい。

ヌルオスマニエ門の中に入る。中は屋根つきの商店街だ。

その様子は“上野アメ横”にきたような雰囲気をもつ。

…“アメ横”か、僕は初めて東京に来た時、どう都会と接しているのかわからず、とりあえず上野アメ横と新宿を出歩いてみたりした。

当時君に手紙を書いた。一緒に新宿を散策しないかとか書いたと思う。

あの手紙は届いていただろうか？

返事はもらえなかった…。そんな事思い出す。

S M A Pの「がんばりましょう」とか広瀬香美の「ロマンスの神様」とか流行っていた時期だ。

映画では「シンドラのリスト」や「トゥルーライズ」「平成狸

合戦ぼんぼこ」とか公開されていた時期だ。

「シンドラーのリスト」と「平成狸合戦ぼんぼこ」は1人で見に行ったが、「トウルライズ」は西新宿で友達と見た。

この頃君は新横浜にいたはずだ、たぶん、どうしていましたか？
いつか、話せる範囲でいいから聞かせてくれたらうれしいです。

- - - - -
- - - - -

〔9月28日（火）曜日〕〔4〕

実際どうだったのかな…

〔9月28日（火）曜日〕〔5〕

ねえ

〔9月28日（火）曜日〕〔6〕

どう？

〔9月28日（火）曜日〕〔7〕

言いたくない？

〔9月28日（火）曜日〕〔8〕

なら、それはそれでいいさ。

〔9月28日（火）曜日〕〔9〕

どうしてか、わかる？

〔9月28日（火）曜日〕〔10〕

君の嫌がることはしたくないからです

〔9月28日（火）曜日〕〔11〕

でも必要な時は言うべき事はいう
なぜなら、そうしなかつたが故、18年前こつなつた。
あの時、何か隠している事はきがついていた。
その事自体は第1話にも書いている。
あの時、何を隠しているのか聞き出していれば、こつはならなかつた。

言うべき事は、言わねばならない。
そう学んだ。

だから、君は怒るだろうが、ギリギリ大丈夫だろう、というライ
ンを押し量りながら書いてきた。

この辺りまでなら、怒るだろうが許してもらえるだろうといつら
インを、昔の記憶を頼りにやってきた。

本当に書いて欲しくない事は書いてないと思う。君の記憶と照合
してほしい。

君と再会し、この小説を消去できる日が、僕の夢です。

〔9月28日（火）曜日〕〔12〕
笑顔の君を。

〔9月28日（火）曜日〕〔13〕
大切な想いを。

〔9月28日（火）曜日〕〔14〕
譲れない何かを。

〔9月28日（火）曜日〕〔15〕
立ち向かう“勇気を”！

〔9月28日（火）曜日〕〔16〕
勇気と行動力を君に。

〔9月28日（火）曜日〕〔17〕
君には正当な理由が存在する。

〔9月28日（火）曜日〕〔18〕
気兼ねする理由はない。

〔9月28日（火）曜日〕〔19〕
大丈夫、安心して…

〔9月28日（火）曜日〕〔20〕
だめ？やっぱ

〔9月28日（火）曜日〕〔21〕
でも、しかし、

〔9月28日（火）曜日〕〔22〕
やっぱ、そう…なの？

〔9月28日（火）曜日〕〔23〕
どうしても、どうかな。

〔9月28日（火）曜日〕〔24〕
そうか、いやいや、でも。

〔9月28日（火）曜日〕〔25〕
とにかく待ちます、何かが落ち着くまで…

〔9月28日（火）曜日〕〔26〕

話の続きを書きましよう。

- - - - -

〔9月28日（火）曜日〕〔27〕

…話をもどして

ヌルオスマニエ門の中は屋根つきの商店街、内部はアメ横同様複雑に入り組んでいる、いやアメ横以上の規模だ。

とりあえず門からまっすぐ西に伸びる中央の通りをまっすぐ行ってみる。

ところどころ、通路の曲がり角に数字がふつてある、迷子対策だろう、注意してないと本当に迷いそうだ。

大通りは基本的に“まとも”な商品を扱う店が多いようだ。

のちのち体験するのだが、ここでは日本円がつかえる。手持ちのトルコリラも乏しくなってきたので、心強い。

添乗員さんが注意していた、ここではスリの被害が多い、身の回りのものに注意するようにと。

Fさんも迷子になりそうな“状況”でスリのような連中に警戒しながらすごした経験はありますか？

君の人生がそんな人生でないと、僕に信じさせてください。

そうであって欲しくないけど、もし仮に心は蝕まれたとしても、時間をかければ解きほぐせます。

君はつねづね、自分には“いや”な部分があるとほめかしていた。

けど、それは周りがそう“誘導”した結果だと思う、人間である以上誰にだって褒められない部分はある。かく言う僕にだってある。でも周囲が“それほど”に“きみのいやな部分”を“誘導”しても、君にはあれほどの優しさが残っていた。

つまり、それほど本来的に君はやさしい子なのだ。

人としての正しさを知らないという事が罪ではない。

それを学ぶ気が無いという事が罪なのです。

だから、それが“ある”というなら問題はないのです。

Fさん、いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。

狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！と言ってやってください。

多分君の周りには悪意なく“そういう事”が出来る人がたくさんたくさんいると思う。

それは悪意があるのではなく、心が内向きになっていて、外に向いていないからだと思う。

心が外向きになれば、人として持つ“当たり前前の感情”が戻ってきます。そう、周りの人に言ってやってください。

僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思っ込んでるけど、それは間違い

です。

そうやって“人”を“従順”にさせるのが“彼らの（中の）そうした人達”の“常套手段”です。

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされるのは間違っている。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、文句は言わせないわよ！」と、言って良いと思う。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください（周りにもすすめてください）

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。三界に家を建てるには、君が必要です。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう。

Fさん！もし、邪魔して何が悪い！いや、むしろして当然だ！

…という人が周りにいたら、こう言っただけでやってください。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、誰も責任取ってはくれないよ」

「老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

試練を乗り越えた君にはこれを言う資格がある。

.....

〔9月29日（水）曜日〕〔1〕

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに親しくなるうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は一步手前まで来ていた。

先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。

今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまつつもりでいます。

“人を許せる時が、自分を高める時”

(日本テレビ系『行列のできる法律相談所』で有名な弁護士、菊地幸夫氏の言葉)

簡単でないが、目指しがいのある目標ですね。

.....

〔9月29日(水)曜日〕〔2〕

僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違いです。

そうやって“人”を“従順”にさせるのが“彼らの(中の)「そうした人達」の(常套手段)”です。

.....

〔9月29日(水)曜日〕〔3〕

…前日の続き。

グランドバザール到着後。

ヌルオスマニ工門の中に入る、屋根つきのバザールが展開されていた。内部はアメ横同様（いやアメ横以上の規模）に複雑に入り組んでいる様子だ。

ヌルオスマニ工門からまっすぐ西に伸びる中央の通りをまっすぐ行ってみる。

ところどころ、通路の曲がり角に数字がふつてある、迷子対策だろう、注意してないと本当に迷いそうだ。

大通りは基本的に“まとも”な商品を扱う店が多いようだ。

スリが多いと注意されていたので、最小限の荷物で、常にバックは前に位置するようにした。

周囲を警戒するクセはいつの間にか自然に身についた。

多くの皆さんの無償のレクチャーのたまものだ。

18年前、君もつねに周囲を注意していた、ようやく、あの時の君の気持ちに追いつきました。

こんな事も思う。

夏祭りのデート以前の君は、尾行といってもせいぜい20人くらいだろう。

そんな感覚だったのでは？

しかし、想像以上の規模の人数を動員され、そして…。

そんな気もする。

夏祭りのあの日、君はどこまでいっても逃げ切れない事を悟ったのだろうか？そう、正面きって立ち向かう以外に方法はない。

君と違い、僕に「逃げ道」はない。…だからかな。

わがままかもしれないけど、君と違い逃げ道のない僕に、君の手をかせてほしい。一緒に戦ってくれないだろうか…。そんな希望がある事を伝えておきます、君にも事情がいろいろあるに違いない、いろんな、複雑で、厄介で、簡単ではない。それを承知の上で言うわがままです。奇跡に賭けます。

…話を戻します。こういう話が出る普通が一番です。
Fさんもそう思うでしょ？

まっすぐ伸びた通りはその後、出口らしき門に到達した。

外に出るとまだ店が続いている。

一旦戻る事にした、まずはアーケード内を散策し、時間が余った
ら外を散策するのがベストだ、珍しいといつてむやみに動き回るのは
良くないと感じた。一緒に甥もいたし、一時的にしるその時彼を
守る保護者は僕の役割だった。

アーケード内に引き返し、今度は適当な曲がり角を曲がってみる…
道幅はいつきに狭くなり、並んでいる商品の値段もぐつと下がる。
入り組んだ路地はそのうち1人通るのがやつとの路地へと変化し
てゆく。秋葉原に硬派な電気専門店がひしめく路地のような空間が
あるが、あれに匹敵する狭さだ。

アラジンの魔法のランプのようなランプを見る。

イミテーションの宝石と金メッキで装飾された飾り物だ、本物の
ランプではない。小ぶりでPCのマウスくらいの大きさ。1200
円くらいだから、まあそんなもんかという値段。

短剣のイニテーションもあつた。昔のトルコ人が腰にさしていた
ようなやつ、抜いてみると当然ながら刃はついてない。京都などで
もイニテーションの日本刀など売っているが、あの感覚だろうか？
確かに外国人から見ると興味をひくみやげ物だ。

イニテーションの巨大宝石もあつた。牛丼の器くらいの大きさの
宝石、当然ニセモノなだけ、ダイヤモンドカットがされていて
キラキラと綺麗だ。むかし小学生のころ、見た記憶がある。誰かが
外国にいったって買ってきて、夏休み明け教師を通じて皆に披露した品

に同じものがあつた。興味は惹かれるが、シャレで買うにはちょっと高い金額だつた。

ここでは、ニセモノでもいいので、安くて“トルコ”っぽいままがしいお土産を買おうと心にきめていた。

最終的にここでは以前パムツカレでみたダチヨウの卵と同じものがあつたので、これを買う事にした。値段もパムツカレで聞いた時の値段とそう違わない。もし“本物の”ダチヨウの卵なら、それはそれで凄いことだし、ニセモノでも“トルコらしい”安物という目的にかなう品物なので、これがいいと感じた。

結論から言うと、陶器でできた単なる球状の飾りで、卵でもなんでもなかった。おそらく、本物のダチヨウの卵の飾りを模してつくったイニテーションなのだろう。それでも満足しています。偽者である可能性も込みで買ったのだから。オレンジ色で、表面の模様は凹凸で表現され結構凝っている…、よくみると米粒ナザレボンジユウくらいの邪眼が幾つもついている。トルコでなければ買えないまがましいお土産としてはぴつたりだ。

日本円で買った、1200円。手持ちのトルコリラが足りなかつたので助かつたと思つた。

こういう日本人の多い観光地ならまだしも、基本的に外国では“ドル”がものをいう。これには理由がある。

実は“石油”はドルでしか買えないからだ。（正確には違つけど）以前書いたとおり、現在の世界は石油利権が支配する世界。

その石油利権グレートゲームの世界ではドルしか通用しない時代が長く続き、今もその影響下にある。故に最終的に多くの勢力が石油を求めてドルを欲しがる（＝ドルに両替しないと石油が買えない）状況が今でも続いている。だから“ドル”は世界最強の通貨なのです。

実は1970年代以前は、アラブ諸国以外の産油国がほとんど無

く、アラブの独壇場だった。アメリカ石油会社メジャーはこのアラブと手を組み、アメリカの会社にしか石油を売らない約束を取り付ける…。この時、世界はアメリカの会社を通じてしか石油が買えない状況だった。こうして、ドルの世界通貨の地位は確立していく。

このシステムに風穴をあけたのが田中角栄だ。

彼は石油ショックの折、アラブ諸国に乗り込んで行き、どういう交渉をしたのか不明だが、日本に直接石油を売ってくれる約束を取り付けてくる。アメリカの石油支配の構図が崩れた瞬間だった。

…そうとう怒りを買ったのか、アメリカ発のロッキード事件で田中角栄が失脚するのは有名な話です。

当時はアメリカ石油支配の象徴として石油専用のドルが使われていた。

これなら、アメリカ以外の国が溜め込んだドルをつかって石油を買うことも防げたからだ。しかし、この支配体制は石油ショックと共に崩壊し、現行のシステムに移行する。それでも、あいかわらず石油決済はドルが中心で、石油利権をアメリカががちり握っている様子が伺える。

プラザ合意後を経てもちっとも赤字が解消しなかったアメリカでは、ルービン財務長官が“魔法”を編み出す。赤字が解消しないなら、それでokなシステムを作ってしまうおうと考えた。

ドルをどんどん強くして、皆がさらにドルを欲しがる構図をつくり、世界中のお金がアメリカに集まるシステムを構築しようとした。毎年アメリカ財政は赤字なのだが、その分お金を刷れば（借りれば）いいと。

具体的には、アメリカで投資するのが最も世界で儲かるよう、制度を改めた。

もともとのドルの強さに加えて、プラスアルファで特典がついた形だ。

その成果もあつて世界中のお金がアメリカに集まるようになる。つまり、世界中の人が以前にもましてドルを欲しがるようになる。

普通に考えると、お金を刷りすぎると、お金の価値が下がりインフレになる…。でもアメリカは普通でない、何しろ世界通貨ドルなのだから、刷ってもすぐに外国に渡ってしまうので、国内にドルが溜まることはない、つまり、インフレにはならない。

専門的なことは良くわからないが、大雑把にいうとそういうシステムというか構図を作り出し、赤字でも国が成り立つシステムを作り上げてしまった。

「数字のマジックで赤字なぞ消し飛ばせる」

という風潮が世界中に蔓延するきっかけとなった出来事です。

ルービンが財務長官在任中の1995年～1999年くらいの間の出来事で、その後もこの政策は維持され「強いドルはアメリカの国益」と言われた。

（これは僕が以前「再帰性理論」で説明した「新自由主義」とは明らかにちがう考えです、なぜならルービンは“石油利権をアメリカが独占する”状況を前提としている。僕が以前「再帰性理論」で説明した「新自由主義」はそのような前提は考慮しない、それどころか取り払うべき障壁としてとらえる。そこが違う）

（1995年～1999年、ちょうどウインドウズ98が出た頃で、ようやく“インターネット”という言葉がでてきた頃だ。まさに大学生を僕がやっていた時期で、「安室奈美恵」や「大黒摩季」「華原朋美」が売っていた時期だ。小室哲哉の音楽はあまり好きではないが、どういう訳だか「華原朋美」の“I'm proud”が好きだった。たぶん歌詞が気に入ったんだと思う…。君はこの頃どこで何をしていましたか？）

…その後ルービンの政策のおかげで、世界中からアメリカにマネーが集まるようになり、それにもない加速度的に金融機関（ウォール街）の役割も大きくなる、大きくなるにつれ、巨大なお金をどう運用するか試行錯誤が繰り返り広げられ、多くの金融商品が作られた。サブプライムローンもそうした過程でつくられた金融商品の1つだ。

リーマンショック以降、アメリカにお金が集まる流れが止まる。ドルは儲かるという心理バイアスに急ブレーキがかかる。

ドルの価値が下がり、ルービン以降の世界金融秩序が崩壊した。最近では中国が“元”で石油を買う交渉をアラブ諸国としているようで、ドルの価値は随分さがった。

それでも、元々ドルは高すぎたのかもしれない。随分力を失ったとはいえ、今だドルは世界通貨であり、石油の多くはドルで決済される。

ルービンの行った政策は「数字のマジックで赤字など消し飛ばせる」という風潮を呼んだ。（ホリエモン批判も同じ風潮を批判したものだと思う）これが現在、日本で批判される（誤解される）資本原理主義とよばれる概念なのでは？とも思う。でも本物の新自由主義では「制限をもうけない自然秩序の構築」という考えをもち、ルービンの“石油利権をアメリカが独占する”状況を前提とした政策とはまったく違う。この2つは明確に区別しないといけないと思うけど、多くの日本人がごちゃ混ぜに考えているようだ。

新自由主義は“石油利権をアメリカが独占する”状況を前提とはしない、あらゆる障壁をなくして、市場参加者が平等な機会のもと取引をする概念だ。そこが違う。そのためにも規制緩和が必要なのだが、正直あらゆる規制を緩和するのは空想的すぎて現実味がない、ある程度のルールが必要だと思う。誰もが納得する、障壁を低くする効果のあるルールが。貿易にルールが必要なのはそういう理由が

あるからだと思う。あの中国ですら、新自由主義の恩恵を受けなければここまで発展はできなかった、完全無視は決め込めない（それが出来るのは世界から孤立した北朝鮮のような国だけです）

中国がそうした現行の世界秩序に挑戦する形をとるまでして、今回「レア・アース」の輸出差し止め行為に及んだのには、おそらくこう理由があるのだと思う。

今回の件で、日ごろ仲の悪い「香港」や「台湾」を味方につける事ができる、あるいは「香港」や「台湾」の世論を「中国本土」と同調させる事が出来る。国内分裂を回避する糸口が見出せるならば、世界秩序からの非難や、日本との関係悪化も、飲み込む事のできるリスクなのでは？と判断できる。

共通の敵を“想像”することで「幻想の団結力」を生み出す手法は“彼ら”のものにも通じる手法だ。

そつやって心をコントロールしたりします。気をつけて！！

.....

〔9月29日（水）曜日〕〔4〕

こんな事も思う。

高校卒業後、バイクにまたがる同級生に何度か話しかけられている。

特に仲がいいわけでもなく、顔を知ってる程度なのに、やけに親しげに……

1度や2度ではない。

今、バイクで走り回っている子らも、そうした子らなのだろうか？
あのバイクも組織の経費で買ってもらったのかな…
大人になったはいいが、お金のない青年…
もし買ってもらっていたのだとしたら、多少嫌な事もこなすよね。
そんな事思った。君はどう思いますか？はずれかな…、そこまで
酷くない？

君も何か買ってもらったのだろうか…
だとしても負い目を感じる必要はゼロです。
「所詮“物”に過ぎないわ、心じゃないもの」
と、言い放つていいと思う。事実なんだから。

.....

〔9月29日（水）曜日〕〔5〕
実際どうなんだろう…

〔9月29日（水）曜日〕〔6〕
家とか（マンションとか）、車とかにこだわるのは、古い世代の
クセです。

絶対の基準ではない。
ありえない！とかいわれても。

「ふーん」
と軽いなせばいいのではと思う。

〔9月29日（水）曜日〕〔7〕
今、大丈夫？

〔9月29日（水）曜日〕〔8〕

そこは、安全？

〔9月29日（水）曜日〕〔9〕

うん、ならいいけど。

〔9月29日（水）曜日〕〔10〕

Fさんを信頼しています。

〔9月29日（水）曜日〕〔11〕

世界中の人が敵にまわっても、1人だけ味方でい続ける人間がいる事を忘れないでください。

〔9月29日（水）曜日〕〔12〕

何か言われたらこう言えばいい

「自分の事を自分できめて、何がわるいの？」

〔9月29日（水）曜日〕〔13〕

でも、心のやすらかさも失わないように…

〔9月29日（水）曜日〕〔14〕

自分の思いを大事に

〔9月29日（水）曜日〕〔15〕

気持ちの整理を大切に…

〔9月29日（水）曜日〕〔16〕

なにが一番捨てられないものか良く考えて…

〔9月29日（水）曜日〕〔17〕

最近そうした考えの事を“断捨離”^{だんしゃり}というそうです。

一見すると整理術みたいなんだけど、実は心の整理術もかねていて、自分の心で捨てる事ができないものとは何か？という考えを軸に整理整頓する技術らしいです。倉庫がカラになるほど整理するためには、本当に必要なものは何かを考えねばならず、その際、それが自分の心にとって「物」とはどういう意味をもつものか？と自身に問い詰めていくらしいです。興味があつたら調べてみてください、いま、主婦や年配者の間で流行っているらしいです。

…あ、でも君は流行りものには距離を置くタイプだったな。
今もそうなの？

どうなのかな…

〔9月29日（水）曜日〕〔18〕

まあ、変ったかもしれないけど。

〔9月29日（水）曜日〕〔19〕

変ってない部分もあると思う。

〔9月29日（水）曜日〕〔20〕

それが君の心を支えていてくれたらうれしい…

〔9月29日（水）曜日〕〔21〕

譲れない“なにか”はあるのかな

〔9月29日（水）曜日〕〔22〕

“それ”は今でも“そこ”にあるのかな

〔9月29日（水）曜日〕〔23〕

“それ”をしるのは君の中の大切な“なにか”のみです。

〔9月29日（水）曜日〕〔24〕
どう？

〔9月29日（水）曜日〕〔25〕
えっ

〔9月29日（水）曜日〕〔26〕
そうか…

〔9月29日（水）曜日〕〔27〕
でも、でもでも。負けないで欲しい。

〔9月29日（水）曜日〕〔28〕
とにかく、待っています。そう、決めたから。

〔9月29日（水）曜日〕〔29〕
お互い、持久戦は得意だし…
Fさんは全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。

もしそうなら全てを背負い込んでダメです！“彼ら”はそれを狙っています。

君が、全ての罪を背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこに
つけ込み、容易に君の心を操れる状態にしてしまう事が可能だから
です。

そうやって君の心から“情熱”を失わせるのが“彼ら（の中のそ
うした人ら）”の手口です。だから本当に注意して！油断している
と知らぬ間にかかります。

非常に悪質な人心掌握法じんしんしゅうあくです。そうやって“情熱”を失わせるの

が、彼らのオハコです！気を付けて！

いまはつらいのだろうか…、大変な目にあってるのだろうか…。でも繋がりには、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

冷静に行きましょう…

それが単純かつ相応ふさわしい言葉です。

全ての事象は以下の言葉で完結する。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう。

Fさん！もし、邪魔して何が悪い！いや、むしろして当然だ！

…という人が周りにいたら、こう言っちゃってください。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃっ

たとしても、誰も責任取ってはくれないよ」

「老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

試練を乗り越えた君にはこれを言う資格がある。

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。どんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だと思う。

けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。過去の文面を読んで欲しい、一度だって要求してない。

その代わりこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」と。そして、生活を立て直すけど、「邪魔しないでほしい」と。

(…一瞬でも「それって当然の言い分だよな」と感じていただけたら幸いです)

それでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。

単に自分たちの贅沢が(快樂が)侵害されている事に怒っているだけという事実気づかずに反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せって言う、無理な(実行不可能な)相談をしているわけではない」

…という事実があります、これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

皆さんも、筋が通せない男は嫌いでしょう？僕は筋を通していただけなのです。

Fさんはどう感じますか？

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっている。せまい世界のなかだけで完結しないのは事実のようです。君の周りの人に伝えてください。自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないの！？と。理解を示す心の広さはどこへやったの？と。

これは人としての“質”の問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。質が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援します。君は自分で思っている以上に強い人です。

初めての印象とういうのは忘れないものです。わくわくして、楽しくて、面白い。周りの人に、機会があったら伝えてください。最初の印象って忘れないものだ。違いを楽しんだり、同じと思う事を嬉しく思ったり、何もかも新鮮で彩りに満ちている。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください（周りにもすすめてください）。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかかわらず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、文句は言わせないわよ！」と。

.....

〔9月30日（木）曜日〕〔1〕

Fさん、いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。

狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

「心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！」と
言ってやってください。

多分君の周りには悪意なく“そういう事”が出来る人がたくさん
たくさんいると思う。

それは悪意があるのではなく、心が内向きになっていて、外に向

いていないからだと思う。

心が外向きになれば、人として持つ“当たり前前感情”が戻ってきます。そう、周りの人に言ってやってください。

これは人としての“質”の問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。質が問われているのです。そう伝えてください。

これからも君が戦っているという前提で書き続けます。負けないで！応援しています。

君は自分で思っている以上に強い人です。

.....

〔9月30日（木）曜日〕〔2〕

…とにかく普通の話が続けます、普通が一番です。そうでしょ？Fさん。

グランドバザール内、アーケードの下、路地の商店は結構おもしろかった。

古いさびれた道具やに古民具なのだろうか？古そうな錠まいをみつける。

鉄でできていてずっしり重い…、イニテーションではなく本物のようだ。

古い蝶番ちょうばんや、用途不明の道具などもおいてある。

鉄でできた古い先ごめ式の拳銃のようなものである。本物だろうか？

買わなかったけど、試しに値切り交渉をしてみた、最終的に半値以下になってしまいびっくりする。

昔読んだ本にこんなのがあった。

火薬自体は“中国”で偶然発明された。

しかし、銃を作ることは出来なかった。

そのうち経緯は不明だが“火薬”の製法はイスラムに渡り、戦いに使用されるうちヨーロッパにも伝わったとか。

結局“火薬”と“銃”が日本に伝わるのはヨーロッパ経由で種子島に伝わるわけだから、中国で生まれた火薬が巡り巡って地球を逆周りに1週して日本に入ってきた事になる、面白く感じるのは僕が変なのかな…。せっかくお隣の中国で生まれたのに、すぐ日本にはこないでぐるりと地球は逆周り2万キロもまわって火薬は日本にやってきた…。Fさんはどう思う？

宮崎アニメに「もののけ姫」と言うのがある。室町時代から戦国時代くらいの日を舞台にしているのだけど、歴史の良くわかってない部分を空想で描いたファンタジーという位置づけで描かれている。武士は脇役でほんのちょっとしか出ない。「安部氏」と言う名が一瞬出るような出ないような、そんな演出がされていたと思う。

この中に当時中国で使われていた“鉄砲”のようなものが登場している。火を吐く杖のようなものだ。あれは実物のデザインを参考にアニメ用にデザインされたものらしい。

実物の当時中国にあった「火筒」は火薬に点火すると暴発してしまい鉄の筒が碎け散ってしまったらしい。とても銃として使えるものではない。火薬の爆発に耐えられる鉄を作る技術は相当難しかったのだろう…。

「もののけ姫」の公開された1997年、公開当時は何だか知らないが異常な人気ぶり、劇場は連日満員だったと記憶している。

…同じ年には(1997年には)、フジテレビの社屋が「お台場」に移ったなんて事もあった。

当時、何もないお台場への移転は画期的とか、ありえないとかいう風潮だったと思う。

この年は「ペルー日本大使館人質事件」がおきた年で、この件について大学の講義中発言した記憶がある。

山一證券が破綻し「社員は悪くないんです」と当時社長が涙の会見をした時期だ。（ちなみに言うところの社長は悪くない、就任したての新社長で、破綻の責任を負うべき人物は別にいる）

「踊る大捜査線」が放送されたのもこの年だ。僕は最初このドラマ見てなくて、のちのち再放送で見ることになる。（ちょうど橋本内閣が官僚相手に改革が一步も進まなかった時期に当たる、このドラマは舞台こそ「警察」だけど、「官僚の壁」という当時の社会問題を反映した内容になっていた）

この時期はまだ「紅の豚」を見かえす事ができなかった。謎の思い出の秘密が理解できず苦しんでいた時期だ。

君はこの時期、どこで、どうしていたのだろうか？
まだ新横浜にいたのかな？

バブル景気は1992年から1993年にかけて崩壊した。だから1997年というと、もうかなり冷え込んだ時期だ。銀行が不良債権を大量に抱え込み、貸し渋りとか起きていた時期だ。当然国の税収も落ち込むが、バブル景気がある事を前提にここ何年も法律や制度を構築したせいで、国として制度が機能不全を起す。

あるべき姿に改革することが必要だった。

しかし霞ヶ関の猛反発に加えて、旧体制の既得権者を支持母体にする勢力の猛反発があつた。

当時、橋本龍太郎総理が財政構造改革をかけるが、名ばかりで一向に前進しない。

銀行の不良債権処理策も、激しい抵抗にあい、まったく上手くい

かない状態になる。

当時こう言われた。

「不良債権を処理したら日本がつぶれる」とか。「放っておいてもつぶれる」とは誰も言わなかった（言えなかった）。

多くの既得権者はこう考えていた。

「またバブル景気がくればどうにかなる、改革の必要はない、耐え忍べばいいのだ」と。

作家の村上龍さんは、この時期の事を「失われた10年」と名づけました。

いまやこの言葉は定着し、普通に政治家などが口にする言葉になった…

一向にすすまない財政再建…

このままでは本当に日本はどうにかなってしまっ…

その後就任した森総理も一向に有効打が打てずに、ただ無意味に時間が経過するのみでした。

この間にも日本の借金は膨らみ続けます。この時期早く手を打っていれば、もっと借金の額は少なくて済んだはずです。

結論をじりじりと後延ばしにすると、負債は膨らむばかりなのです。早く手をうたないと。

なぜ当時の人が、早く手を打たなかったのか？

たぶん「だって周りの皆が大丈夫って顔してるから、まずいとは思ったけど、まあ大丈夫なのだろうと思っただんだ」

という理屈で放置したのかもしれませんが…結果、現在の途方もない借金地獄に日本は陥ったわけです。

決断は、安易にすべきではない。じっくり考えないと失敗する。しかし、物事には決断を遅らすといけない事もあるというのは事実のようです。

多くの大人がもう「借金あつて何が悪い」と開き直ってますが、そういう訳にはいきません。

今、日本の財政の半分以上は毎年借金です。

年金を払わない人が出来たように、将来国債が信用できないから買わないという人や団体が出てきて、増えたらどうなるか…

あつという間に財政破綻で国が立ち行かなくなる状況です。

多くの大人はこう言うでしょう。

「そんな事になるはずがない」

でも、ルービン財務長官が作りあげたアメリカの“魔法”のような財政再建策もリーマンショックで吹っ飛んでしまいました。

ありえないことは、おこるものなのです。

こういう現象を2007年「ブラックスワン」という本のなかで説明した数学者がいて、当時世界的ベストセラーになりました。

著者のナシーム・タブレは本の中でこう言います。

「今まであなたが見た白鳥がすべて白かったとしても、それはあす黒い白鳥が出現しない事を保障しないのだ」と。

リーマンショックの遠因には、長年石油利権で蓄財してきたアラブの資本力が無視できない規模まで膨れ上がった事や、日本の一般家庭に蓄財されていた資金が一斉に“市場”に参加したせいだとか言われています。これらは、以前なら無視してもいいようなものでした。無視していけないレベルになった事に気がつかず、無視し続けたがゆえ、読みを誤り、リーマンショックの遠因になりました。

世界の移り変わりに目を向けていなかったのがいけないかったという事でしょうか？世界は常に変化し、動いているのです。これが「

今まであなたが見た白鳥がすべて白かったとしても、それはあす黒い白鳥が出現しない事を保障しないのだ」の意味ではないかと、個人的には思います。

現行の日本の財政制度も上手く回らなくなる日がこない保障はないわけです。

なら、上手く回らなくなる可能性をさげるしか方法はなく、そのためには財政再建しかありません。

2001年に登場した小泉内閣は、10年近くなにも進まなかった財政構造改革と不良債権問題を一気に片付けました。

特に“不可能”といわれた不良債権処理を成し遂げた（小泉政権に参加した）竹中平蔵さんは国民栄誉賞ものだと思うのですが、そうとう既得権者を泣かせたのか、国家レベルで“干される”といういじめに会っています。実にひどい事です。（小泉総理が唐突にやめたのもいろいろあったのでしょうか…？）

郵政民営化は、赤字体質から脱出する最初の1歩でした。

小泉総理は退陣後も、郵政民営化が進むよう法律を整備してやめました。

しかし、麻生総理の時代に完全にストップがかけられ、また改革は止まってしまいます。

「これでは失われた10年どころか、失われた20年になってしま

う」と最近ささやかれています。こういう事情があるからです。

決断は1度しなかったからと言って、もう2度と出来ない訳ではありません。

上記の歴史がそれを物語っています。

邪魔されたら、またやればいいのです。
でないと、つぶされてしまう。
諦めたらまけです。

何度でもリトライしないといけない。
そう、思います。

.....

〔9月30日（木）曜日〕〔3〕

ごめん、むずかしい事かいたかな…

〔9月30日（木）曜日〕〔4〕

どう、思う？

〔9月30日（木）曜日〕〔5〕

やっぱりよくわかんない？

〔9月30日（木）曜日〕〔6〕

ようは、決断時というのは「一生に一度じゃない」という事です

〔9月30日（木）曜日〕〔7〕

特にお互い、まだ30代半ば、

〔9月30日（木）曜日〕〔8〕

まだまだ充分大丈夫です

〔9月30日（木）曜日〕〔9〕

経験のおかげで人よりタフになれたと、思えばいいし

〔9月30日（木）曜日〕〔10〕

君の抱えている問題は大変なのかもしれない

〔9月30日（木）曜日〕〔11〕

答えは、君のなかにあります。

〔9月30日（木）曜日〕〔12〕

ゆっくりと

〔9月30日（木）曜日〕〔13〕

じゅっくりと

〔9月30日（木）曜日〕〔14〕

だめ…？

〔9月30日（木）曜日〕〔15〕

やっぱ…、そうかの

〔9月30日（木）曜日〕〔16〕

でも

〔9月30日（木）曜日〕〔17〕

そう、

〔9月30日（木）曜日〕〔18〕

なら仕方ない

〔9月30日（木）曜日〕〔19〕

でも本当に“それで”いいの？

〔9月30日（木）曜日〕〔20〕
本当に心底“納得”してる？

〔9月30日（木）曜日〕〔21〕
君の心の“それ”は何を求めているの？

〔9月30日（木）曜日〕〔22〕
とにかく、あきらめが一番よくない

〔9月30日（木）曜日〕〔23〕
負けないで、応援しています。

〔9月30日（木）曜日〕〔24〕
いつか、君の、その“何か”にめぐり合いの恩恵がある事を…

〔9月30日（木）曜日〕〔25〕
そう、そうか、いや、でも、しかし…、どうなのホントのこと。

〔9月30日（木）曜日〕〔26〕
君を信頼しています、いつか答えの聞ける日を信じて…

〔9月30日（木）曜日〕〔27〕
とにかく待とう、そう決めました。

いまはやはりつらいのだろうか？、大変な目にあってるのだろうか…

でも繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられる
と思う。

きみにとっての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

僕はこう思う。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに親しくなるうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？18年前、君は一步手前まで来ていた。

先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。

今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています、君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまつつもりでいます。

“人を許せる時が、自分を高める時”

（日本テレビ系『行列のできる法律相談所』で有名な弁護士、菊地幸夫氏の言葉）

なんて言葉をラジオでききました。

簡単でないが、目指しがいのある目標です。

こつも思う。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっている。

せまい世界のなかだけで完結しないのは事実のようです。

君の周りの人に伝えてる“必要性”を感じた時には、伝えてください。

「自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくない

の!？」と。

「理解を示す心の広さはどこへやったの?」と。

これは人としての“質”の問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。質が問われているのです。そう伝えてください。

〔9月30日(木)曜日〕〔28〕

僕には“彼ら”に「人生を返せ!」と主張する権利があると思う、Fさんはどう感じる?

この事実を否定するのは相当難しいはずだと思う。どんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だし。

けれど僕はあえて“その権利を行使”していない。過去の文面を読んで欲しい、一度だって要求してない。

その代わりこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」と。そして、生活を立て直すけど、「邪魔しないでほしい」と。

(…一瞬でも「それって当然の言い分だよな」と感じていただけたら幸いです)

それでもそれが「贅沢だ!」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。

単に自分たちの贅沢が(快樂が)侵害されている事に怒っているだけという事実気づかず反論できるのだろうか?

「別に人生を全部返せって言う、無理な(実行不可能な)相談をしているわけではない」

これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

いろんな目に遭う前は、彼らの組織が正直ここまでひどいと思っ
てなかった。

もつとまともな組織と本気で思っていた…

もう1度言います、もつとまともな組織と本当に本気で思ってい
た…

信頼を裏切られた気分です。

こう聞いてヘラヘラ笑う人、いるのでしょうか。

多くの“まともな人”を隠れ蓑にして、“そうした（ヘラヘラ笑
う）事が大好きな”人が隠れている。

もう、恥ずかしい！と“そうした”仲間の行動を見ている人、結
構いると、そう思います。

人間って言うほどバカではなく“普通”ですから。

普通の人なら、恥ずかしく感じるはず（道理）です。

なんで誰かの恥の尻拭いを何で自分がしなきゃいけないんだ！そ
う感じた人（感じる人）少なくないと感じます。

多くの人の良識の存在を信じて。

中には偏狭な人達もいるでしょう、でも理解者もいるはずで、
皆が皆敵ではない。

中には器の大きな人もいて、君に「好きにきなさい」というタイ
ミングを押し量って様子見をしているかもしれない…

〔9月30日（木）曜日〕〔29〕

Fさんは全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気が
する。

もしそうなら全てを背負い込んではいけません。“彼ら”はそれを
狙っています。

君が全ての罪を背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこに逃げ込み、容易に君の心を操る事が可能だからです。

そうやって心から“情熱”を失わせるのが“彼ら（のなかの君に無理な事いう人ら）”の得意な手口です。だから注意して！

非常に悪質な人心掌握法じんしんしよつあくです。そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコです！気を付けて！

たぶん、君の所には、入れ替わり立ち代り次々と誰かしら人が来て、君の心を説得しようと思っていると試みていると思う。

もし、あたっていたらだけど、聞く耳をもつてはいけません。

向こうは、ああ、もうめんどくさい！という事きくからそれでいいでしょ！と君が根をあげるのを期待しているからです。

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

一度きりしかない君の人生です。

そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされるのは間違っている。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、文句は言わせないわよ！」と、言って良いと思う。

下記の要件が全てを要約していると思う。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう。

Fさん！もし、邪魔して何が悪い！いや、むしろして当然だ！

…という人が周りにいたら、こう言ってやってください。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、誰も責任取ってはくれないよ」

「老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

試練を乗り越えた君にはこれを言う資格がある。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください（周りにもすすめてください）

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

.....

〔10月01日（金）曜日〕〔1〕

“彼ら”は決して正体を明かさない……（告白しない）、どんなに親しくなろうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう……？

18年前、君は一步手前まで来ていた。先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。今にして思うとそう思う。”

僕は賭けをしています。君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまುತ್ತもりでいます。

“人を許せる時が、自分を高める時”

（日本テレビ系『行列のできる法律相談所』で有名な弁護士、菊地幸夫氏の言葉）

簡単でないが、目指しがいのある目標ですね。

.....

〔10月01日（金）曜日〕〔2〕

2〜3日前、歯医者に行ってきた。下記はその時勢いで書いたものです。

虫歯ははまだ痛くない、でもヘルパーの受講が始まる前に一度直そうと思った。

この痛くない虫歯を見て、歯医者さんも不思議がっていた。

「普通ここまでくると、普通はものすごい痛いはずなんですけど」

麻酔をする。書いている今（当時）でもまだ効いている。

3時間は物を食べられない。

治療中、映画「アメリカ」のBGMが聞こえてくる…

自然、「アメリカ」の映画のシーンが頭に浮かぶ。あれは意外とい映画だった。

実はあの映画の監督、どーしようもない映画ばかり撮るC級映画監督で、配給会社もそっぽをむくような下品な映画ばかりつくっていて、下品好き以外には受けない監督だった…という話をラジオで聞いた事がある。

でも「アメリカ」は、そんな監督の人物像を感じさせないいい映画だった。

もしかしたら監督が恋をした時の作品なのかな？
などといらぬ思いにふけたものです。

そうこうしていくうちに、今度は「ダットン人の踊り」が聞こえてきた。

どうやらこの選曲だと、有線のインストウルメンタルに合わせてあるように思う。

部活でさんざん演奏した曲、聴いていると自然と当時の思いでがよみがえる、いつもFさんが隣りで演奏していた、あの光景です。

このあとミュートつかうんだったかな？と、曲を聴きながらうる覚えの記憶が浮かんでは消える。ここはチューバだ、トロンボーンは待ちだった、チューバが終わると、そのパートを僕らが引き継ぐ…、違ったかな…、などと。

治療が終わる。

でも麻酔は効いている。

まるで自分の一部でないような感覚が口元にある。

まったく感覚がない。

でも無くなっただけではなく、そこにある。

君の心もそうなんだと思う。

多くの人に“麻酔”のような効果のある言葉をあびせられ、良心が麻酔にかかっている状態が長く続いたのだと思う。でも、良心そのものは、無くなったわけではなく、“そこ”にある。(麻酔のせいで)感じられなくなっているだけで。

でも時折、麻酔が解けるときがある。

そんな時、君は自分をどう扱ったらいいのかわからなくなり、混乱したのだろうか？

本来の心を取り戻して欲しい。

なに簡単なことです、普通に暮らしさえすれば、自然に元に戻る。なぜならば優しい心はなくした訳ではなく、ずっと持ち続けているのだから。

ただ麻痺させられていただけだと思う。

君は本来的にやさしい子です。僕が保障します。

- - - - -
- - - - -
〔10月01日(金)曜日〕〔3〕

…昨日かいたグランドバザールの続き。

個人的にはグランドバザールのすぐ近くにある「エジプシャンバザール」にも行ってみたかった。

こちらはスパイスなど生活に関わるものが中心に売られているという。

グランドバザールが観光的だとしたら、「エジプシャンバザール」は生活に密着した市らしい。

その名の由来は、昔エジプトから来た商品を扱っていたからとか…シルクロードから来た物品とエジプトから来た物品がこの2つのバザールを通じて交易されていたのだろうか？

そんな想像もしたくなるくらい。2つのバザールは目と鼻の先にある。時間があれば行きたかった。

グランドバザールで怪しげなお店など散策する。

お店の人はこちらが日本人と気づくと、日本語で話しかけてくる。かなり慣れた感じだ。

中にはグランドバザールにかけて「バザールでござーる」というかなり古い日本語のギャグを言う人もいた。

たぶん、本人もこれが古いギャグだと承知しているようだ。そんな雰囲気だしてくる。

(この「バザールでござーる」は1991年のCM用に作られた言

葉らしい。この時期僕らは高校生だ、君は当時のこのCM覚えているかな？あ、でも君はTVあまり見ない子だった…、TVもあまり見てない、流行歌も知らない、好きな芸能人がいるわけでもなく、映画も見ないし、本も読まない…、ちゃんと高校生らしい生活を楽しんでたのか心配になつてしまつ…。当時から“活動”ばかりやらされていたのだろうか…、心配です)

バザールの人達はどうかやって日本人と韓国人、中国人を見分けているのだろうか？

バザールに限らず、その他トルコで訪れる観光地の商人は、的確にこちらが日本人と見抜く。アジア人は日本人以外にもたくさんいるのに…。

と、ずっと思っていたが、ここグラント・バザールでのやり取りを見ていてピンとくる。どうも「言葉」で判断しているようだ。

こちらが喋っている言葉をきいて対応しているらしい。

中国人や韓国人の時は、片言の中国語や韓国語を使っている様子だ。

なかには悪意をもっている様子で、日本語を使いからかう男もいた。

添乗員さんの忠告が頭をかすめる…

「ここは本当にスリが多いので注意してください」

昔の“超”がつくほどの鈍感な僕なら気づきもしなかっただろう…。彼らの手法を体験するうちに、相手を観察するようになった。

そうでなければ、「言葉」で判断している事に気がつかなかったと思う。

たぶん、君は驚くだろう…

なにしろ、18年前、あれほどいろいろあったのにまったく気が

つかなかった僕が、こんな事書いているのだから。昔は無条件に人を信頼していた。

第1話にも書いたけど、ある日神社に2人で行った時。

ベビーカーに赤ちゃんをのせたママさん2人連れがいて、僕らの近くにいすわり移動しないという事があった。いつまでも居座る。普通なら高校生カップルの1メートル圏内に、親子ずれが2組とはいえ入ってきて長居するのは異常だ。

今なら、その様子が不自然に感じるのだけど、当時の僕はまったく気がつかず、それどころか和む光景だなと眺めていた。

君は突然立ち上がり提案する。

「一旦ここを離れましょう」

一度わかれてその辺を一周してもどってきて、もう一度神社で会いましょう、とこう提案した。

まったくその意図が理解できなかったが、僕はそれに従った。なんだろう？家になにかとりに帰るのかな？とか、まったくあてのはずれた事を考えていた。

一旦わかれて、その辺を自転車でまわり、再び神社に行くと、ママさん2人づれはいなくなっていた。

ほぼ2人同じタイミングで神社に戻ったように記憶しているけど、どうだったかな…、君の記憶ではどうなってますか？

誰もいなくなった神社を見て君は緊張感を解き、満面の笑みをみせた。

当時の僕は、わけがわからなかったが、特に追求しなかった。大好きな君がいるのだ、細かい事などどうでもよかった。

…そんな“超”鈍感な僕しか知らない君が、僕が気がついたと知って何を思ったのだろう…

心の整理がついて、再会する機会に恵まれたなら、いつか、話せる範囲でいいから、すこしだけ聞かせてください。

.....
「10月01日（金）曜日」〔4〕
だめ？かな...、どうなのかな。

「10月01日（金）曜日」〔5〕
わからないけど...

「10月01日（金）曜日」〔6〕
Fさん...

「10月01日（金）曜日」〔7〕
どう？

「10月01日（金）曜日」〔8〕
ん？

「10月01日（金）曜日」〔9〕
そう？

「10月01日（金）曜日」〔10〕
そう...なんだ、そうか...

「10月01日（金）曜日」〔11〕
じゃあ...、でもね

「10月01日（金）曜日」〔12〕
え？そう。

〔10月01日（金）曜日〕〔13〕
でも、ねえ。

〔10月01日（金）曜日〕〔14〕
そこは、ごう。ほら

〔10月01日（金）曜日〕〔15〕
そうじゃなくて

〔10月01日（金）曜日〕〔16〕
“そこ”がどうなのか、聞きたいだけなんだ。

〔10月01日（金）曜日〕〔17〕
だめ？

〔10月01日（金）曜日〕〔18〕
なら、仕方が無い。

〔10月01日（金）曜日〕〔19〕
でも“それ”は君にとって“どう”作用するものなのか。

〔10月01日（金）曜日〕〔20〕
代え難い“心のそれ”が何なのか…

〔10月01日（金）曜日〕〔21〕
“心”が“どう”感じているのか…

〔10月01日（金）曜日〕〔22〕
“それ”が“今でも”支えになっているのか…

〔10月01日（金）曜日〕〔23〕

“ない”と“どう”なるのか。

僕にできる事は今、1つしかない。

…とにかく、信頼するFさんに賭けようと思う。
賭けます、奇跡を信じて。

.....

〔10月01日（金）曜日〕〔24〕

話を戻しましょう！普通が一番です！

そんなちよつとしたスリルっぽい雰囲気味わったところで集合
時間となった。

集合場所は最初に入った門の近く。

ここにはガイドさんお勧めのトルコ石屋がある。

もし、君ときていたなら、僕はいろいろとしたと思うが、今回は
入らなかった。

冷やかして入るには店舗が小さすぎる。

グランドバザールはどこも露店より多少大きめみたいな店ばかり
だった。

この後、門をでてバスに向い徒歩で移動。

バスまで再び路地を巡るのだが、途中で面白い光景をみた。

路地の一角にちよつと広めの場所がある。

石畳で舗装され、車がびっしり駐車してある。駐車場のようだ。

しかし、駐車してある車のせいで、通行できない車が立ち往生し
ていた。

するとどこからとも無く、制服を着た男たちが無線機片手にぞろぞろやってくる。

なにやら打ち合わせが路上で始まり、遅れてきた男がキーを仲間に渡す。

すると男たちは各々駐車してある車に乗り込み、あれよあれよと車をたくみに運転してスペースを作りあげる、立ち往生していた車のために通路を確保したのだ。車はを通過していった。

その後は、再び元の状態に駐車しなおす。短時間に連携プレーでとどこうりなく簡潔に終わった。

気がつけば、最初とおなじ何事も無かったような駐車場にもどり、男たちもいない。

あれは周辺店舗の人の専用の駐車場なのだろうか？

商店街の警備員に鍵をわたしてあるとか…。

日本ではまずない光景だなと、不思議な感銘をうけた。

そういえばこんな話を聞いた事がある。

日本に来た外国人観光客が、日本の立体駐車場をみて感銘を受けると言う。

日本人にしてみれば、何てことない光景だけど、外国人はハイテクの国日本というイメージを立体駐車場をみて思うらしい。

僕が見て感銘をうけた光景も、地元の人にしてみればきつと「何でこんなものに感銘をうけるの？」という光景なのだろうか。

外国人のほうが本国人の気がつかない価値を見出す事は、確かにあるのだと思う。

そちらの世界にはこの“概念”あるのだろうか？

外部の批判を許さないと、本来あって気がつかない価値すら見落とす結果になると、気づいているのだろうか…。

そのまま移動しバスに再乗車。

この後の段取りは昼食を食べた後、空港に向い、いよいよ帰国となる。

ああ、この旅もいよいよ…と理解はしているものの、感覚はいつまでもこの国に残るような感覚に囚われていた。

旅とは不思議なものです。

「グランドバザール」のことは、地元では（トルコ語では）「カパル・チャルシユ」という呼ばれ方をしているらしい。

（関係ないけど「オーストリア」も地元の発音では「エースターライヒ」と呼ぶらしい、知った瞬間かるいカルチャーショックをうける）

言われてみれば、確かに英語。トルコ語ではない。

今の今まで英語である事になにも“疑問”を感じなかった…、恥ずかしいかぎりです。

「英語主観」のみで物事を見ることに“疑問”すら感じなかった事になる。

こういうのを“一方的”な見かたと呼ぶのでしょうか。

気がつかないでいると、偏った見かたに何も疑問を感じなくなってしまう…。

恐ろしい限りです。

人とは、日ごろ使っている言葉に何の疑問も持たない。

でもたまにその「言葉」はどういう経緯で、なぜ使われているのか。

時々立ち止まって考えるくらいの余裕は、人生において持つ価値のある行為だと考えます。

Fさんはどう思いますか？

そんな意味もあり、いつもの言葉をここにつなげようと思う、君はどう感じるかな…。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかかわらず、冷静な判断が出来る事を心から願っています。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっている。

せまい世界のなかだけで完結しないのは事実のようです。

君の周りの人に伝えてください。

自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは「恥ずかしくないの!？」と。

理解を示す心の広さは「どこへやったの?」と。

これは人としての“質”の問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。人としての質が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援しています。

君は自分で思っている以上に強い人です。

自分を責める必要はありません。僕が保障します。

責めるのと、悔いるのは、別次元の問題です。

悔いてもない人に囲まれて、“悔いていない”ふりをし続けるのは相当つらいと思います。

脱出がベストです。

人としての正しさを知らないという事が罪なのではない。
それを学ぶ気が無いという事が罪なのです。

.....

〔10月01日（金）曜日〕〔25〕

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。

どんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だと思う。

Fさんはどう思う？ けれど僕はあえて“その権利を行使”して
いない。

過去の文面を読んで欲しい、一度だって要求してない。

その代わりにこう言いたい「もう一度あいたい人がいる」と。

それでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って
贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。単に自分たちの
贅沢が侵害されている事に怒っているだけという事実気づかず
反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せって言う、無理な（実行不可能な）相談をし
ているわけではない」

...という事実があります、これはささやかな奇跡を期待している
だけの事なのです。

あと書くと不利になるかもと控えていたけど、この際リスク承知
で書くことと思う。

ヘルパーの資格をとろうと計画中です、東京で接客の仕事を通じ
て、お客さんが声にできない要望を汲み取り、理解して、対応する
というのがいかに大切かは感じられたし、そういう仕事が楽しいと

もおもえる。無茶な仕事をこなす要領と充実感もしているし、つらい事に屈しない根性も自信ある。これらの経験を生かせる仕事が見たいと考えていた。

もし、先んじて就職できないよう手を打つ話を聞いた時に。

「そんな事したらそいつ地獄におちる」

と一瞬でも脳裏に浮かんだならば、それが心に今も存在する善意です、大切にしてください。

.....

「10月01日(金)曜日」 「26」

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから、

じゃあ腹いせにこちらもずつと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？

(そこまでくさってない?)

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては(奇妙な事に)誇らしくも感じてしまう。繋がっていたのだろうか?どうなのだろう…

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく、図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます。

Fさんは全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。

もしそうなら全てを背負い込んではいけません!“彼ら”はそれを

狙っています！！

君が、全ての罪を背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこに
つけ込み、容易に人の（君の）心を操る事が可能だからです。

そうやって君の心から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ
！！だから注意して！

非常に悪質な人心掌握法じんしんしょうあくです。

そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコです！気を付
けて！

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。
い。

でも繋がりや、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられる
と思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせ
たと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違い
です。

そうやって“人”を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そう
した人達」の）常套手段”です。

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされるのは間違っている。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、文句は言わせないわよ！」

と、言ってもまったく問題はどこにもないと思う。

君の“ポテンシャル”に賭けます。

「誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…」

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

「君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった」

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのでしょう。

Fさん！もし、邪魔して何が悪い！いや、むしろして当然だ！

…という人が周りにいたら、こう言ってやってください。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ」

「老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

“試練を乗り越えた君”にはこれを言う資格がある。

君は必要な人間です。価値ある、すばらしい女性です。僕が保障します。

三界に家を建てるには、実は君が必要なんです。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

…一度わかれてその辺を一周してもどってきて、もう一度神社であう。

18年前のあれと同じだと考えられないだろうか？

一旦別れて、物凄い迂回したのち、もう一度再会する。

そう考えるとあの時と同じになるけど。

だめ？

そんなイメージ君に届く事を…

.....
.....
.....
.....

トルコ独特の風景の1つとして、店頭につまれた色とりどりのスパイスの山がある。

アンカラ郊外でそんな店に触れる機会があった。ナツメヤシとか売っていて、買おうかどうかさうとう迷った。

日本でも店頭に「みそ」を山盛りにして置いてる店があるが、あんなイメージだ。

食品を日持ちさせるためにスパイスは必需品だったと聞く。

「エジプシャンバザール」などでもスパイスは目玉商品らしい…

シルクロードでは「スパイス」は必ず売れる鉄板商品てつばんだった。

シルクロード交易は、初期と後期で扱う品物が変わってくる。

以前にも書いたけど。例えば初期、中国の陶器がもてはやされたが、ヨーロッパで同様の陶器が作れるようになると、売れ筋ではあるが勢いは落ち込む。シルクロード交易にも、トレンドはあるわけだ。

もっとも今のようになめぐるしく変化はせず、何百年単位の変化だろうけど。

スパイスは最後まで、シルクロードの主力商品で必ず売れる鉄板商品てつばんだった。

食品保存にスパイスは必需品なのに、どうしてもヨーロッパで作る事ができない。

でもシルクロードはアラブ人に支配されていて、いつも高値で買わねばならず不満が渦巻いていた。

「レアアース」で中国人に頭が上がらない日本人の不満にも似ている。日本では「レアアース」をはじめとした希少金属の代価品開発が進んでいるが、今まで以上に注目される事になるでしょう。

同じように昔のヨーロッパ人も何か工夫して解決したい、そんな動機もあり、未知の海へ乗り出し大航海時代になる。

もし簡単に手に入るならば莫大な費用と時間と人命をかけてまで未知の海に繰り出さない。

こんな話をきくと、いつもこう思う。

そんなに流通に不透明な部分が多かったら、とても先物取引が発展する余地はないな、と。

Fさん。「青田買い」という言葉を知ってるだろうか？

あの言葉は、世界初の先物取引が日本で生まれた事を証明する言葉なのです。

日本ではスパイスではなく「米」が主力商品だった。

江戸時代、武士は「米」で給料をもらうし、百姓も「米」で税金を払う。

つまり最終的に「米」を現金化しないと暮らしていけないわけで、その点において「大名」も「ただの武士」も同じだった。

「大名」から「ただの武士」まで全国の武士の需要を満たすため、当時日本には世界最大級の米取引所があった。

場所は大阪。理由は当時の海運の中心地だったからだと思う。

ちようど日本の中心位置で、全国の米を運び込むのに都合がよかったからかもしれない。

(豊臣秀吉が、共和制で言う事を聞かない「堺」^{さかい}を没落させるために、大阪を整備したとか以前読んだこともある)

取引が日常化してゆくうち、こんなことがおこる。

いい米を確保したい問屋が、まだ収穫されていないお米まで、取引の対象にするようになった。

毎年いいお米をつくる田んぼだから、来年もいい米に違いない、

だから、収穫前にすでに買う権利を買う。

そして、その「買う権利」そのものが「金融商品」として取引されるようになり、一般化してゆく。

中には、まだ田植えが終わったばかりの田んぼの「稻を買う権利」も「金融商品」として取引されるようになる。稻が植えたばかりでまだ青い田んぼの権利を買うから「青田買い」だ！

そして中には「米」を買う気などなく、「権利」の転売で差益を得ようとする商人もいたと予想される。複雑に入り乱れ、皆で価格を上下させる事になる。

(詳しい人ならリスクヘッジの説明がない、と言うかもしれないが、ややこしいので割愛します)

こうした取引は、現在世界で行われている「先物取引」とまったく同じものです。

残念な事に、このシステムは明治維新後なくなってしまいました。明治政府が「年貢」という「米」経済システムをやめてしまったのが理由です。

江戸300年間に培われた取引のノウハウもすべて失われたわけで、すこしもつたない気もします。

もし、その300年の取引のノウハウを研究していれば、世界最初の金融工学も日本で生まれたかも…などとちょっと飛躍した可能性だけど、思いをはせる事もできません。

この大阪にあった「堂島米会所」閉鎖と入れ替わるように、世界史に登場したのがアメリカのシカゴ取引所です。大阪「堂島米会所」閉鎖が1860年代なら、アメリカのシカゴ取引所設立が1840年代ごろです。

シカゴもまた大坂と同じように海運の中心地で、アメリカ中の穀物が集まってきて取引する場所です。

このアメリカのシカゴ取引所は、その後も（約200年間）発展をつづけ、現在は世界最古の近代取引所の街としてそのをとどろかせるようになりました。

専門家でないので、詳しくはわかりませんが、大雑把に説明すると。かつての大阪同様に「青田買い」（この場合は米でなく小麦とかの穀物だけだ）の「権利」が「金融商品」として一般的に取引されるようになり、それが現在の「先物取引市場」へと発展したものとおもいます。

この200年の取引のノウハウを“おもしろい！”と感じて研究する人達がいました。

シカゴ取引所の近くにたまたまあった“シカゴ大学”の研究者です。

彼らは、学問としてシカゴ取引を研究し、従来の経済学では説明できない現象などはなぜおこるのか？という疑問を解くため日夜研究をつづけたのです。他の経済学と区別する意味で「シカゴ学派」とよばれるそうです。

近代に入りある学生が何気なく、保険のセールスマンにセールストークに刺激されてある論文を作成する。

それは、いままでシカゴ学派が唱えたものは抽象的で、具体的にどうしてそうなるのか「数学的に説明できない」。そこで彼はこれを数学的に説明する事を思いついたので。

平均株価と1銘柄の価格変動を比較してどうのこうのと、むずかしい事はわすれたけど。

それは世界で始めて「シカゴ学派」の説明を数字で説明した論文になった…というのが僕の理解です。

株価を予測する重要な要素として「平均株価」が重視されるきっかけとなった？と僕個人は理解しています。

(ちょうどこれと同時期くらいに、アメリカである退役軍人が暇つぶしに、趣味で野球のデータを統計を体系化して自費出版、じわりじわりと人気が出て、いまや常識となる。それは今では当たり前になった「強打者は3番4番」という常識を作り出し、「セイバームトリクス」という名で一般化しています。数学的技術を馬鹿にする人は、この今や野球で常識のセイバームトリクスをも否定する事になる…、と言うのは飛躍のしすぎでしょうか？でも、このセイバームトリクスがでる以前の野球界では強打者は1番とされていたそうです、しかし、3番4番にした方が結果的に勝てることが知られると、爆発的にこの考え方は普及していきました、金融工学が飛躍的に向上する時期と野球のセイバームトリクスが普及する時期が重なって見えるようでおもしろいです)

その後コンピューターの発展によってそれまで膨大で不可能だった、大量の株価の比較が可能になり、さらに発展をとげてゆく…。

最終的にはフィッシャー・ブラック とマイロン・ショールズの2人が「ブラック・ショールズ (Black-Scholes) 方程式」の構築に成功。(現在では欠陥が1部指摘されているが、それでもその価値は落ちていない) この式により「金融商品」がさらに進化した「金融派生商品」の将来の株価を予想することが可能になる。

(この式がノーベル賞を取ったのは1997年。僕が大学生の時代。君は…この時どうしていたのだろう。あの最後の電話での会話から1〜2年しか経ってない、あの時はごめん。たぶん、君はものすごい期待して電話をくれたんだと思う、なのに僕は何もしてあげられなかった。今は違う、それだけは断言する)

現在この式は世界中の人が利用されていて、第一級のトレーダーなら自分でさらに改造したシステムを構築している。

PC内に微妙に異なる式で取引する架空のトレーダーを設定して、実際の市場にあわせて架空の取引をPC内で繰り広げ、総合結果をユーザーに通告する。精度の高いシステムは門外不出のものだし、一応一般向け用のそうしたソフトも売ってはいるが、ソフト1本1億とか信じられない値段がついている。

こうしたシステムを利用した「トレーダー」や「会社」が、世界中に何百万といて、1日に何百兆円という金額をやり取りしている。こないだ日本政府が為替介入につかった2兆円も、わずか2週間です押し返され、元の円高にもどった。世界は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”というか、圧倒的な神にも迫る規模の大きさをもっている、そんなイメージがあります。

シルクロード取引には物理的な障害があった、だから「スパイス」の先物取引は発展しなかった。

しかし、いまやその壁が取り除かれ、取引はすでもっと「進んだ」ステージにとっくの昔に進化していた。その事実を見ようとしていない人が多すぎて、しかも理解もしようとせずに「資本原理主義だ」と単純に批判するのだから始末がわるかったりする。

ニユースで「尖閣諸島また行くぞ！」と中国の漁船関係者が言っているを見ました。

本人は本気で「何も悪いと」思っていないから厄介です。

あれとさほど変わらないと思う。

そうした“厄介な”人多いと思うけど！負けないうで欲しい。

君が戦い続けられるなら、僕も戦い続けられます。

せまい世界のなかだけで完結しないという事だけは、間違いのない事実です。けっして単純ではない。単純であると吹聴する人

間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけだ。そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。自分たちだけが一方的に正しいと思っっているのは恥ずかしくないの！？と。

理解を示す心の広さはどこへやったの？と。真実に目を向ける勇氣はどこへいったの！？と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

わかるうとしないのは、個人個人の“質”の問題です。目の前しか見ていない。

そうした自分都合の連中に負けないで！

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援します。君は自分で思っている以上に強い人です。

.....

〔10月02日（土）曜日〕〔2〕

こないだ報道されたニュース。

ドライブレコーダーが撮影した車上あらしの犯行の一部始終。

停車後、わずか数秒で目的のカバンを盗む…

自転車でやってきて、ドアを開けシートの後ろにかくしたカバン

へ一直線に手を伸ばし、数秒でにげた。

被害者はごみ収集車のドライバーで、ごみ集積所に収集車を止めて、ごみを回収するため降り、無人になった運転席をねらった数秒間の犯行だった。

日ごろからこのごみ収集車のドライバーの動向を観察してなければ、カバンがシートの後ろに隠してあるだなんてわからない。

まるで“彼ら”のようだ。

彼らも個人攻撃の材料収集に熱心で、時に置き引きや窃盗もやるときく。

普通はバレない…、でもドライブレコーダーにはぶちし映っていた。

顔も全身も服装も自転車も完璧に映っている。

世の中には“彼ら”のような事をする人がいるという事でしょうか？

僕も置きっぱなしにしたものを紛失した事はある…。

しかし、この犯人は“彼ら”と違いまぬけで、ばっちし映っています。

“彼ら”はここまで間抜けでない…、非常に残念です。

人としての正しさを知らないという事が罪ではない。
それを学ぶ気が無いという事が罪なのです。

Fさんはどう感じる？

もし仮に、誰か自分を責める人がいたら、こう言って上げてくだ
さい。

「責めるのと、悔いるのは、別次元の問題よ」と。
悔いてもない人に囲まれて、“悔いていない”ふりをし続けるの
は相当つらいと思います。

脱出がベストです…

.....

〔10月02日（土）曜日〕〔3〕
どうなのかな…

〔10月02日（土）曜日〕〔4〕
元気？

〔10月02日（土）曜日〕〔5〕
大丈夫？

〔10月02日（土）曜日〕〔6〕
そこは本当に安全なの？

〔10月02日（土）曜日〕〔7〕
いざとなったらいつ来てもいい…

〔10月02日（土）曜日〕〔8〕
迷惑かけたくない？

〔10月02日（土）曜日〕〔9〕
遠慮は美德でない時があるのも確かなことです。

〔10月02日（土）曜日〕〔10〕
違う？そつでない？やっぱそつ

〔10月02日（土）曜日〕〔11〕
うん

〔10月02日（土）曜日〕〔12〕
そう、そうね。

〔10月02日（土）曜日〕〔13〕
わからないけど、∴ Fさんが言うなら

〔10月02日（土）曜日〕〔14〕
君が決める事であるのは、間違いない。

〔10月02日（土）曜日〕〔15〕
何のかんの言ってFさんは、“自分で”決める。
そうでしょ？
そうだといいんだけど

〔10月02日（土）曜日〕〔16〕
なにか、いろいろあるんだろうか

〔10月02日（土）曜日〕〔17〕
でも頑張つて！
僕は気がついたし。
生きています。

〔10月02日（土）曜日〕〔18〕
え？そうなの！ そうか∴そうなのか

〔10月02日（土）曜日〕〔19〕

それは“大切”なの？

〔10月02日（土）曜日〕〔20〕
“どう”たいせつなの？

〔10月02日（土）曜日〕〔21〕
何が大切な“切り離せない”もののなの？

〔10月02日（土）曜日〕〔22〕
“それ”が“どう”なのか

〔10月02日（土）曜日〕〔23〕
君のプライド

〔10月02日（土）曜日〕〔24〕
君の心

〔10月02日（土）曜日〕〔25〕
君の思いで

〔10月02日（土）曜日〕〔26〕
君の想い…

〔10月02日（土）曜日〕〔27〕
支えはなに？

〔10月02日（土）曜日〕〔28〕
優しさとひきかえに…

〔10月02日（土）曜日〕〔29〕

君のポテンシャルに賭けます。

〔10月02日（土）曜日〕〔30〕

“人を許せる時が、自分を高める時”

（日本テレビ系『行列のできる法律相談所』で有名な弁護士、菊地幸夫氏の言葉）

簡単でないが、目指しがいいのある目標ですね。

〔10月02日（土）曜日〕〔31〕

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに親しくなるうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は一步手前まで来ていた。

先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。

今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまつつもりでいます。

〔10月02日（土）曜日〕〔32〕

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。どんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だと思う。

けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。過去の文面を讀んで欲しい、一度だって要求してない。

その代わりこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」と君はどう思う？

〔10月02日（土）曜日〕〔33〕

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから、じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？（そこまでくさってない？）

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる、それは僕にとっては（奇妙な事に）誇らしくも感じてしまう。繋がっていたのだろうか？どうなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく、図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、どうなんだろう。あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます。

Fさん！！君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。

もしそうなら全てを背負い込んではいけません！“彼ら”はそれを狙っています！！

君が、全ての罪を背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこに付け込み、容易に君の心を操る事が可能だからです。そうやって君の心から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ！！だから注意して！

非常に悪質な人心掌握法じんしんしよつあへくです。

そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコです！気を付けて！

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない

い。
でも繋がりや、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられる
と思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

〔10月02日（土）曜日〕〔34〕
いやなの？

〔10月02日（土）曜日〕〔35〕
君の嫌がることはしたくない。

〔10月02日（土）曜日〕〔36〕
でも耳障りな事でも、言う必要があるなら…
そう僕は学んだ。

〔10月02日（土）曜日〕〔37〕
僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせ
たと思う。

君は自分でそれを発見したと思っ込んでるけど、それは間違い
です。

そうやって“人”を“従順”にさせるのが“彼らの（中の）”そう
した人達」の（常套手段）です。

〔10月02日（土）曜日〕〔38〕
できない？

〔10月02日（土）曜日〕〔39〕

そんな事はない、君は強い子です。
なにしろ、僕が憧れるFさんなんですから。

君を信じています。

〔10月02日（土）曜日〕〔40〕

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

〔10月02日（土）曜日〕〔41〕

いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。
狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

「心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！」
と言ってやってください。

多分君の周りには悪意なく“そういう事”が出来る人がたくさん
たくさんいると思う。

それは悪意があるのではなく、心が内向きになっていて、外に向
いていないからだと思う。

心が外向きになれば、人として持つ“当たり前前感情”が戻って
きます。

そう、周りの人に言ってやってください。

〔10月02日（土）曜日〕〔42〕

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされる

のは間違っている。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、

文句は言わせないわよ！」

と、言っつて良いと思う。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(周りにもすすめてください)

「誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった……」

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

「君は試練に耐えた、だから……天からご褒美をもらう機会をもらった」

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう。

「これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ」

「老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

試練を乗り越えた君にはこれを言う資格がある。
それは保障できます。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

(この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。)

第27話 旅行から帰って…？（未来へと続く話その13）（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第28話 旅行から帰って…？（未来へと続く話その14）（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第28話 旅行から帰って…？（未来へと続く話その14）

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

〔10月03日（日）曜日〕〔1〕

Fさん!“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて
！！

〔10月03日（日）曜日〕〔2〕

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利があるとおも
う。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。

どんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だと思う。

けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。

過去の文面を読んで欲しい、一度だって要求してない。

その代わりにこう言いたい訳だ。

「もう一度あいたい人がいる」と。

それでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って
贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。単に自分たちの
贅沢が侵害されている事に怒っているだけという事実気づかずに
反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せって言う、無理な（実行不可能な）相談をし
ているわけではない」

…という事実があります、これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

〔10月03日（日）曜日〕〔3〕

“今”はつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

でも繋がりには、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

強い君の“たくましさ”と、優しい君の“強さ”に賭けます。

〔10月03日（日）曜日〕〔4〕

どうなのかな、今。

〔10月03日（日）曜日〕〔5〕

大丈夫？そこは安心できる場所なの？

〔10月03日（日）曜日〕〔6〕

歪みから抜け出して！

〔10月03日（日）曜日〕〔7〕

危険から脱出して！

〔10月03日（日）曜日〕〔8〕

心を、君の願いを…

〔10月03日（日）曜日〕〔9〕

立ち向かう勇気を

〔10月03日（日）曜日〕〔10〕
見えない何かをつかむために

〔10月03日（日）曜日〕〔11〕
未来の微笑みを

〔10月03日（日）曜日〕〔12〕
判断力は君に

〔10月03日（日）曜日〕〔13〕
答えをつかんで！

〔10月03日（日）曜日〕〔14〕
あ、でも時には休んで

〔10月03日（日）曜日〕〔15〕
のんびりと

〔10月03日（日）曜日〕〔16〕
あせらず

〔10月03日（日）曜日〕〔17〕
じっくりと

〔10月03日（日）曜日〕〔18〕
混乱せず

〔10月03日（日）曜日〕〔19〕

大切な何かを守って

〔10月03日（日）曜日〕〔20〕
ゆるやかでおだやかで

〔10月03日（日）曜日〕〔21〕
欲望を否定する事はない、全てを受け入れると、おもしろい現象に遭遇する。

自分の全てを受け入れると、自分を戒めたり、正したりする自分をも素直に受け入れられる。

聖も邪もすべて肯定して受け入れると、無理なく自分の人格を築けます。

そんなイメージ、君に伝えます。

〔10月03日（日）曜日〕〔22〕
ま、何より普通が一番です。

普通に思った事を書こうと思います。

〔10月03日（日）曜日〕〔23〕
トルコに「エジプシャンバザール」があると書いた。この「エジプシャンバザール」に見られるように、シルクロード全盛期エジプト商人はあちこちに飛び回りエジプトやシルクロードの物品を売り歩いた。1部はヨーロッパ域内でも行商をしたらしい。

同時代、ヨーロッパで古くから有名な流浪の民族「ロマ族」の1部は上記エジプト商人を装い生活していたらしい。

それが遠因となりエジプト人がなまって「ジプシー」とかよばれた事が、「ロマ族」にはあるようだ。

最近ニュースでこんな話を聞いた。

フランスでこの「ロマ族」を国外退去させたという話だ。

2010年現在の話である。

ひどい話だ。なにかしら理由があるのだろうか、何とかならないのだろうかと思ってしまう。

「ロマ」に関しては諸説あり、一概に言えないが、ざっくり説明すると、15世紀くらいに突然ヨーロッパに現れた流浪の民で、文化も習慣も言語もちがう民族だ。

当時のヨーロッパ人は最初好意的だったが、次第に差別するようになったとされる。そのうち、同じように“本国”をもたず定住しないユダヤ人と同一視して差別の対象とした、犯罪者の温床と考えられたからだ。

さしずめ“彼ら”がニートやフリーターを犯罪者予備軍のように考えて忌み嫌うのに似ているのだろうか。Fさんはどう感じる？

ヒッチコック監督の「鳥」という映画はこれと似たテーマで描かれている。

主人公の女性は最初好意的に受け止められていたのに、たまたま偶然彼女が村にきてから鳥が狂いだしたので、根拠はないのにこの災害は彼女のせいだというふうにされてしまう…、見た目も風貌も違う都会の女性…、田舎の村人からみたら異質に感じたのだろう。

ねたみは恐怖に転じて、一気に差別になる。

ごく普通のいい人達が、あつという間に狂ったように彼女を攻め立てる様子は、ものすごくありえるがゆえ、逆に人間の怖さが浮き彫りになる。

鳥よりも人間の方がおそろしい動物だ、と見終わった後、感想をいただきます。あれは単純な恐怖映画ではありません、傑作です。

ヒッチコック監督自身も、若い頃からこつこつ目（理由のない偏見）でみられた経験があるのだろうか？確かに監督自身は容姿が悪い、そんな事思ってしまう。

「ロマ」が差別されるゆえんも、その見た目の格好にあると思う。定住せずに伝統的な流浪の生活をする人達は、その衣服も伝統的なものをまとう。

「ロマ」の起源は北インドにあるという。この地域の民族が理由は不明だが、西に向けて旅立ち、現在の「ロマ」になったという。言語で比較すると、そのまま北インド系の言葉を喋る集団と、東欧の方言を喋る集団があるらしい。中には「自分たちはロマではない」と独自のアイデンティティーを主張する小集団もいるようで、歴史がながい分、複雑だ。

生活様式や格好がちがうと差別の対象になりやすいという事だろうか？

そういえば、「彼ら」はその辺熟知しているようで、見た目や格好に関しては一般人と見分けがつかないように努力しているように見える。どこその信仰宗教のように、専用の服を作ったり、特異なおブジエを掲げたりしない。逆に言えばそれが故、見た目や生活様式の異なる人を攻撃する心理が生まれるのかもしれない。

たぶん、「彼ら」のあの「行動」は、そうした「専用の服」や「特異なおブジエ」がないがゆえ、「その」代わりになるべき要素として“必要不可欠”なものになっているのではないだろうか？あやしい団体の構成員は「専用の服」や「特異なおブジエ」を通じてメンバーが一体感を持つと言う、「彼ら」の場合は「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つ…と考えると、無理なくイメージできるのだが、本当のところはどうなのだろうか？Fさんはどう感じますか？

〔10月03日（日）曜日〕〔24〕

僕と別れた後“彼ら”は君に上記のような「例のあの行動」を通じて“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでるけど、それは間違いです。

君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。もしそうなら全てを背負い込んでは大めです!“彼ら”はそれを狙っています!!

そうやって“人”を“従順”にさせるのが“彼らの(中の)そうした人達”の(常套手段)です。

「例のあの行動」を通じて君は多くの事を背負った。

そこにつけ込み、容易に君の心を操ろうとする連中がいるが、そもそもそういうものを無理やり君に背負わせたのは“彼ら”なのだ。君はなにも悪くない。

Fさん!!君が、全ての罪を背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそうやって君の心から“情熱”を失わせる事ができ、なおかつ君の心を操る事が可能になる。だから注意して!

それは非常に悪質な人心掌握法じんしんしゅうあくです。

そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコです!気を付けて!

〔10月03日(日)曜日〕〔25〕

大丈夫かな…

〔10月03日(日)曜日〕〔26〕

でもFさんならきつとやり遂げると信じます。

〔10月03日(日)曜日〕〔27〕

そうですね?

〔10月03日(日)曜日〕〔28〕

ん？

〔10月03日（日）曜日〕〔29〕

そう？

〔10月03日（日）曜日〕〔30〕

でも…

〔10月03日（日）曜日〕〔31〕

いろいろ言われるだろうけど、心がぐらついたら、自分の原点に帰ってみて。

〔10月03日（日）曜日〕〔32〕

何が“自分にとって”大切でゆずれないものなのか…

〔10月03日（日）曜日〕〔33〕

情熱があるなら、いい続けないとダメです。

〔10月03日（日）曜日〕〔34〕

たとえ亀のごときのろさでも“続ける”ことに意味がある。

〔10月03日（日）曜日〕〔35〕

…“彼ら”にかぎらず、日本人には道徳として“ある労働倫理”に縛られる傾向にある。

そして、それが特殊で独特である事実によくの人が意識がいかにい。

彼らには“人を許せる時が、自分を高める時（ある有名弁護士の言葉）”

…みたいな概念、あるのだろうか？

日本人の労働倫理は、江戸時代「石門学派」により構築されたと言われているらしい。

「石門学派」をはじめた石田梅岩いしだばいがんが生きた江戸時代中期は現在によく似ている。戦国時代いらい開墾かいこんをつづけた日本人は、この時期になるともう開墾する場所がなくなり、経済成長が頭打ちになる。つまり努力してもお金持ちになれない経済環境になったのだ。現在と同じだ。平均賃金も一向に上がらない。人々の不満が爆発する。

そんな時「石門学派」はこう説いた。

利益が無くとも労働すべきだ、と。（「諸業則修行」）

これは“仕事”そのものが“人格”をみがくための“修行”であり、怠慢は罪である。

という考えだ。

この考えにはいい面と悪い面の2つある。

いい面は労働者のモチベーションがあがるからだ。

どうせ騒いだところで給料はあがらない、なら、人格を磨く修行だと思えば、金も稼げて人格も磨けて一石二鳥だと考えたからだ。みな時間をおしまず働く。

悪い面は、雇い主はいつまでも“安い賃金”で労働者を雇い続けられる。労働力の搾取の正当化ができるのだ。

また、生産性向上がむずかしくなる。利益よりも“人生修行”がメインになるからだ。

さらにさらさらと長時間労働になりがちで生産効率はあまりよくない傾向になる。

確かに…他の先進国で、昼間喫茶店などでサボる背広を着た男は

見ないようなイメージがある。実際のところどうなのだろう。以前国際比較した就業中のサボる割合をしらべた結果がTVでやっていたが、意外な事に日本人が先進国で一番サボっている時間が長いと言った結果を報道していた、一体どうやってそんなデータ調べたのだろうか？疑問です。

ただ間違いなく1ついえる事は、「石門学派（利益が無くとも労働すべき（＝諸業則修行））」は日本独自の文化である事。

これを多くの日本人が世界の常識と思いついてるが、それは間違いにすぎない。

さしずめ中国人が中華思想により「世界の中心は中国だ」と主張するのに似ている。

思い込みとは怖いものです。

でも多くの人が「世界中も同じように思っているはずだ」と思い込んでいるから、解決策になかなかたどり着かない。

誰もが1度は感じる疑問。

「どうして外国人はあんなに長いバカンスがとれるんだ？」

「もう少し有給をとりやすい環境にならないのか？」

「残業代つかないのに、残業強いられて、これは常識的なのか？」

…という問いの答えの1つとして「石門学派」の存在が上げられます。

日本人は江戸時代にできた「石門学派」の労働倫理に縛られすぎている。

これ（石門学派）が間違っているとは言わない。

ただ、みな視野が狭くなって、常識と思いついてる。

もうすこし頭を柔らかくしてもいいのでは？と感じる。

でない問題は何も解決しない。

それでも「なにバカな事言っただこいつ」と言う人いると思う。本当にわかっていっているのだろうか？

実はそれが日本の不況の原因になっているという事実を…

〔10月03日（日）曜日〕〔36〕

「なにバカな事言っただこいつ」と言う人、事実多いと思う。

〔10月03日（日）曜日〕〔37〕

でも実際は話など「まったく」聞いてなくて、ただ反対しているだけ

理解する気が最初からなかったりする。

〔10月03日（日）曜日〕〔38〕

こちらの消耗をはかっているにすぎない。

彼ら独特の態度だ。

多くの人がネットで“人格障害”では？と訴えている。

実際はたんなるテクニクにすぎないけど。

〔10月03日（日）曜日〕〔39〕

その点に注意して相手にしないと

〔10月03日（日）曜日〕〔40〕

相手は消耗戦を挑んでいるわけだから、最初から全力でぶつかるとキツイ

〔10月03日（日）曜日〕〔41〕

適度にすかしたり、かわしたりして、相手に自分と同程度もしくは“自分以上”の消耗をさせないと。

〔10月03日（日）曜日〕〔42〕
覚悟の浅い人間はすぐ根をあげる。（部下にまかせたりする）

〔10月03日（日）曜日〕〔43〕
そんな経験東京でよくしました。

〔10月03日（日）曜日〕〔44〕
Fさん、持久戦ではお互い相当つよいです。

〔10月03日（日）曜日〕〔45〕
戦うなら、自分の得意なステージを選んだ方が得策です。
相手の得意なステージに持っていかれたら、即、一旦離れて立て直しましょう。

〔10月03日（日）曜日〕〔46〕
…先ほどの話の続き。

遊ばないから、内需拡大しないし、故に景気回復もしない。
昔、貴族が庶民に権利を与えた理由は、庶民に豊かになってもらわないと、内需拡大ができず、自分たち（＝貴族）の会社がつくった製品が一向に売れない。売れないと倒産し、損をする。だから、庶民にもっとお金持ちになってもらわないと困る。で、権利をあたえた。こんな経緯でイギリスでは市民革命が実現した歴史がある。

内需拡大がむずかしい。
と言う人がいたら、こう言ってあげてください。
「日本人がもっと遊ばないと、無理だよ」と。

普通の大人が遊ばないから、暇はあるが金はない“若者”需要にたよる結果になる。

現在の日本の消費文化が“若者中心”になっているのはそれが理

由です。

（最近は時間と金に余裕ある高齢者を消費のターゲットにしてますが、この世代は若者ほど金を使わない。以前生前贈与税を軽減してお年寄りから若者に財産を移動するバイアスを発生させて、景気回復を図ろうとした動きがありました。大反対にあい失敗しました、反対した人は全てを理解した上で反対したのでしょうか？）

内需拡大しないと、永久に不況から脱し得ないのは否定のできない事実なのです。

現在のトレンドは、いまある埋もれた地方の需要を掘り起こせ！というものですが（だから、大手CDチェーン店は都市部の大型店舗を閉めて、地方に小型店舗をたくさん出す戦略に切り替えたのだと思います）、これにも限界があります。

根本的に“内需拡大”しなければ、日本は借金地獄から抜けだせないのです。

ある日突然神風が吹いて、全てを解決などしてくれないのです。おそらく。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです、手が出せば届くようなものではない強大なダイナミズムで動いている。日本とて例外ではない。

せまい世界のなかだけで完結しないという事だけは、間違いようのない事実です。

けっして単純ではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないの!？」と。

「理解を示す心の広さはどこへやったの?」と。

「真実に目を向ける勇氣はどこへいったの!？」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

わかっていないのは、個人個人の“質”の問題です。目の前しか見ていない。

そうした自分都合の連中に負けないで!

尖閣諸島また行くぞ!と中国の漁船関係者が言っているのニユーズで見ました。

本人は本気で「何も悪いと」思っていないから厄介です。

そうした“厄介な”人多いと思うけど!負けないで欲しい。

君が戦い続けられるなら、僕も戦い続けられます。

これは人としての“質”がどうなのか?という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

人としての“質”が問われているのです。そう伝えてあげてください。

君が戦っているという前提で書きます。

負けないで!応援しています。君は自分で思っている以上に強い人です。

“彼ら”は決して正体を明かさない…(告白しない)、どんなに親しくなるうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…?18年前、君は一步手前まで来ていた。

先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分

の正体も明かしかねない行為だ。
今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。君が僕に告白するかどうかと。
そこが、大きなターニングポイントになる。
それは事実です。

告白された事は胸にしまうつもりでいます。

簡単でないが、頑張って欲しい。応援しています、負けないで！
何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決
して思わない人よ」と。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視
してきたんだから、

文句は言わせないわよ！」と。

1度しかない君の人生です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。
う。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心
から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。遊ぶ金ほしさの連中に負

〔10月04日（月）曜日〕〔1〕

「私は、理由も無く人を貶めるような事はもう2度と金輪際しませ
ん！」

とまわりの人にに言つてやつてください。

“彼ら”が殺人集団である事にかわりはない。

〔10月04日（月）曜日〕〔2〕

むずかしいのはわかる。

〔10月04日（月）曜日〕〔3〕

つらいのかな…

〔10月04日（月）曜日〕〔4〕

がんばって！

〔10月04日（月）曜日〕〔5〕

中には偏狭な人もいると思う。

でも、理解者も（まともな思考の持ち主も）いるはずですが、皆が
皆敵ではない。

声を出せないだけでいるはずですが。かなりの人数…
人間って言うほどバカではない。

〔10月04日（月）曜日〕〔6〕

本気であると示し続ける必要がある。

〔10月04日（月）曜日〕〔7〕

何度も何度も、何度も、何度も、くじけずに

〔10月04日（月）曜日〕〔8〕
つらくとも、くじけても、めげずに、あきらめずに、立ち向かい続ける。

〔10月04日（月）曜日〕〔9〕
時には心をやすめ、体力の回復も意識し、フワフワとリラックスして…継続する。

〔10月04日（月）曜日〕〔10〕
そんな心。

〔10月04日（月）曜日〕〔11〕
持久戦なら、僕も君も得意だ、誰にも負けないつもりでいいと思う。

お互い本当に我慢強い。
君はその我慢強いところを利用されてきた…
そろそろ自分の人生のためにそれを使っていいと思う。

〔10月04日（月）曜日〕〔12〕
君に賭けます！信頼すべき最愛の人を。

〔10月04日（月）曜日〕〔13〕
いろんな目に遭う前は、彼らの組織が正直ここまでひどいと思っ
てなかった。

もっとまともな組織とほんとうに本気で思っていた…
裏切られた気分です。
裏切りは罪と思うのですがどうなのでしょう。

〔10月04日（月）曜日〕〔14〕

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに親しくなるうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？18年前、君は一步手前まで来ていた。

先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。

今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。それは事実です。

告白された事は胸にしまうつもりでいます。

〔10月04日（月）曜日〕〔15〕

18年前のある日、新聞の折込広告をみて思った。

『トルコ石』って安いな」と。

その後、多分、豆辞書の最後のページに誕生石一覧がのっていて、たまたま12月の誕生石の所を見て、12月がトルコ石と知ったのだ。

トルコ石とは本来は『ターコイズ』と呼ばれるらしい。

トルコ原産とは限らず、アフリカ方面などからも入ってくるらしい。

安いものから高いものまでさまざまあり、特に網目模様の入ったものは極上品に分類される。僕が当時見た広告のトルコ石（『ターコイズ』）はおそらくランクの低い石かイニテーションだったと思われる…

シルクロード全盛期、トルコ経由でヨーロッパに入った『ターコイズ』は、ヨーロッパ人によって『トルコ石』という名で売られるようになり、今日その名で知られるようになった。とガイドが話していたと思う。おそらく『ターコイズ』よりも『トルコ人の石』と呼んだほうがヨーロッパ人的にはエキゾチックな雰囲気が出て商品価値が高くなったのではないだろうか？何も知らない日本人はそのままヨーロッパ人の名つけた名前しか知らなかった（有名になった）という事だろうか。

ガイドの話によると、トルコ石のみならず、本来はトルコ発の物品で、ヨーロッパ人により普及された品物はまだあるという。

例えば『ヨーグルト』。

あれはトルコ人が（チュルク人が）中央アジアで生活していた頃、遊牧生活で編み出した保存食で、オスマントルコ時代支配したブルガリアなどの東欧諸国に広がった食べ物だと言う。

日本にはトルコ製ヨーグルトよりも、ブルガリア製ヨーグルトの文化が先に入ったため、日本人はヨーグルトと言えばブルガリアという印象を持っているが、本来はトルコです、とトルコ人ガイドに説明された。

その食べ方も少し独特で、みじん切りのきゅうりをまぶしたヨーグルトなどがあり、機内食で食べた（残念ながら残しました、旅先でお腹壊すのがこわくて…、独特の酸味があり、胃腸に自信がない人間は注意したほうがいいかもと判断しました）

Fさんはヨーグルト好きですか？

他にも『チューリップ』もそうだと説明された。

『チューリップ』の名は『チュルク人の（トルコ人の）くちびる（リップ）』という事らしい。

あの花は本来中央アジア原産の花で、トルコ人（チュルク人）が

中央アジアからアナトリアへ移り住む過程で持ち込まれたものという話だ。

その後『チューリップ』はヨーロッパに渡り、漁業でヨーロッパ一の金持ちになっていたオランダ人によって品種改良され。現在良く知られるあの『チューリップ』の姿になったと言うのだ。

15～16世紀当時、スペインは大航海時代の覇者だった。その庇護下にあったオランダは軍事力にお金を使わなくて済んだので、商業に国力の全てを傾けることが出来た。それが故ちいさな国ながら世界中に植民地を持つ経済大国になる。ちよつと前のアメリカの庇護下で経済大国になった日本とよく似ている…

よく似ている点として、日本と同じようにバブル経済に踊った歴史も持つ。

15～16世紀当時、漁業でヨーロッパトップの売り上げを誇ったオランダ人は、使い切れない富を手にした。使い切れない富は“投資”に傾く…、日本のバブルと同じように。

日本でバブルが発生した時は、使いきれない富は“不動産”に投資され“狂乱地価”へと発展した。

15～16世紀のオランダの場合、“不動産”ではなく『チューリップ』に向った。

品種改良のしやすさから、珍しい品種には球根1個に家2件分の値段がついたと言う。

(そもそもオランダに土地は無い、無くてわざわざ海を干拓して人工の土地を作った、その過程で海水排水用につくられたのがあの風車だ。風車は金食い虫で運用コストが相当高かったらしい。バブル期は金があつたからいいが、バブル崩壊後、風車の運用コストはオランダ人の重い負担となつた。ちよつと、現在の日本がバブル期に作った金ばかりかかり利益の出ない“箱物”に悩んでいるのに似ている。

オランダを舞台にした小説「ドンキホーテ」のラストシーンで風車と決闘を挑むシーンは、コメディの形を借りた世相風刺と言われているそうです)

日本のバブル期(1985年~1993年ごろ)ではより高値で「不動産」を転売する事を目的にしたため、本来以上の価値で「不動産」が取引され、バブル崩壊時に物凄い含み損(投資資金が回収できずマイナスになる事)をだした。いわゆる“不良債権”だ。

オランダでも16世紀にバブルが崩壊する。チューリップ人氣が衰え、誰も法外な値段で買わなくなった。つぎ込まれた資金はすべて泡と消え、回収不能。たくさんのおランダ人資産家が破産した。

オランダの本来の利益の柱である漁業の方と言うと、頼みの綱のスペイン艦隊がイギリスに敗れた事により、ヨーロッパと言われた漁場を手放す事になる。こうしてオランダは経済大国の座から降りる事になり、その後各地の植民地も失う事になる。

(余談だけど、昔アメリカのニューヨークはオランダ領で、ニューアムステルダムという名だった。その後イギリスがここを奪い取りニューヨークにしている…。そんな感じで世界中にあった植民地は徐々に奪われていった)

バブルが崩壊した16世紀のオランダの場合、本業である“ヨーロッパパトツプの漁業”も同時に没落したがため、バブル崩壊後どうにも再生できなかった。

でも現在の日本の場合は、本業?でもある“製造業”は今だ健在である。そこが当時のオランダと違う。多くの識者が盛んに“ものづくり”こそ日本の柱」と訴えるのにはそんな理由があります。最近では技術流出もあり、うかうかしてられない現状ですが…

“彼ら”は目先の事ばかり考えて先をみていない。

人々の望む安易な未来しか構成員に示さない。

オランダは過去おおくの犠牲をはらった。

日本もこの先何百年とつけを払わされる可能性もある。

しかも15〜16世紀のオランダとは比較に出来ない規模の借金をかかえている。

はたして“彼ら”はこれらの事を正しく認識した上で、自分たちの教えが世界を救うと考えているのだろうか？

正しくない認識という意味でこんな話もある。

野口英世の梅毒、ポリオ、狂犬病、トラコーマの発見は、同時代のパスツールに並び評される偉業として、発見当時は世界的に絶賛されたのだが、後々の研究により、ほぼ全部間違いで、現代では「今日の医学」にその研究成果はなにも貢献できてないという評価になっている。つまりまったく役に立ってないのだ。なのに多くの日本人がその事実を知らず、半ば野口英世を“神格化”している。

野口英世の正しい科学史上の評価を知っている外国人から見れば、日本人が彼をお札の肖像画にしている事はさぞかし滑稽なのかもしれない。

正しくない認識をいつまでも持ち続けるのは滑稽な事なのです。

〔10月04日(月)曜日〕〔16〕

“彼ら”は見た目や格好に関して是一般人と見分けがつかないように努力している。

どこぞの信仰宗教のように、専用の服を作ったり、特異なオブリエを掲げたりしない。

逆に言えばそれが故、見た目や生活様式の異なる人を攻撃する心理が生まれるのかもしれない。

たぶん、“彼ら”のあの「行動」は、そうした「専用の服」や「特異なオブジェ」がないがゆえ、“その”代わりになるべき要素として“必要不可欠”なものになっていないだろうか？

あやしい団体の構成員は「専用の服」や「特異なオブジェ」を通じてメンバーが一体感を持つと言う、“彼ら”の場合は「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つ…と考えると、無理なくイメージできるのだが、本当のところはどうなのだろうか？Fさんはどう感じますか？

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです、手が出せば届くようなものではない強大なダイナミズムで動いている。日本とて例外ではない。

せまい世界のなかだけで完結しないという事だけは、間違いようのない事実です。

けっして単純ではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないの!？」と。

「理解を示す心の広さはどこへやったの?」と。

「真実に目を向ける勇氣はどこへいったの!？」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

わかっておかないのは、個人個人の“質”の問題です。目の前しか見ていない。

そうした自分都合の連中に負けないで！

尖閣諸島また行くぞ！と中国の漁船関係者が言っているのニユー

スで見ました。

本人は本気で「何も悪いと」思っていないから厄介です。そうした“厄介な”人多いと思うけど！負けないで欲しい。君が戦い続けられるなら、僕も戦い続けられます。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援します。

君は自分で思っている以上に強い人です。

〔10月04日（月）曜日〕〔17〕

たぶん、君の所には、入れ替わり立ち代り次々と誰かしら“彼ら”が来て、君の心を説得しようとするのではないだろうか？そんな推測をします。

もし、本当に来ている様なら“聞く耳をもつてはいけません”。向こうは、ああ、もうめんどくさい！という事きくからそれでいいでしょ！と君が根をあげるのを期待しているからです。

逆を言えば、君が相手に、ああ、もうめんどくさい！という事きくからそれでいいでしょ！と思わせるまで追い込めばいいのだと思う。そのためには君が「本気」である事を「何度も」アピールしないとイケない。くじけずに、何度でも何度でも、なんども。

君の創意と工夫と情熱に賭けます！

最近こんな記憶を思い出した。

いつくらいの記憶だろう…、たぶん2年か3年の時期の記憶だと思う。

〔10月04日（月）曜日〕〔18〕

本当に急に思い出した…

〔10月04日（月）曜日〕〔19〕

パート練習中の事だ。

〔10月04日（月）曜日〕〔20〕

どこかの教室での会話。

〔10月04日（月）曜日〕〔21〕

パート練習中、何処かの教室でトロンボーンチューニングをしている時に、自然と“絶対音感”の話になり、“絶対音感”を持つ有名な作曲家としてモーツアルトの名を僕が上げたのだと思う…

なぜその名を上げたかというところ、モーツアルトには“絶対音感”がらみの有名なエピソードがあったからだ。モーツアルトが子供の頃、システイーナ礼拝堂の門外不出曲を絶対音感で聞き分けて譜面に起こした…

という有名エピソード。あれを僕はチューニング中に思い出して君に話した、凄いよねモーツアルトの“その能力”といった感じに…その言葉に対し君はこう言ったと思う。

「…わたしモーツアルトきらいなの」

結構本気で嫌悪感を出していたと記憶している…。

Fさんはそういう感情を滅多に出さない、だから覚えているのか

もしれない。

君はモーツアルトの破天荒なプレイボーイぶりが大嫌いと話した。当時は女の子だからゆえ、ああいう下品で軽薄なやつが嫌いなのだろつ、そう思った。

けど、その様子は今思うと。

…そういう女にだらしない男を嫌う理由がほかにもあるなんて事“ない”と思いたいところです。

当時「アマデウス」という映画が公開されて何年か経った時期だった。

モーツアルトの生涯を描いた作品でその豊かな音楽的才能に似つかわしくない下品で救いようなのい人物像を描いた作品で、公開当時はショッキングな映画として公開されていた。(この人物像はどうやら正しいらしく、あまり有名でないモーツアルトの作品にトイレで流されるものをテーマにした下品な曲があるし、当時モーツアルトがやり取りしたラブレターにも同様の内容の物があつたらしい)

公開された当時は小学生か中学生で見てなかった。でもTVで放送されたものを見る機会があり、見たのだが、あまりの酷さに幻滅した記憶がある。

もしかしてFさんも、あの映画を見て幻滅したのだろうか？

そう思い「Fさんひよつとして「アマデウス」って映画みた？」

と聞いたと思う…どう、だったかな？

君ははつきりとは答えず、小さな声でうなずいたような気がする…

君が会話をこんな風に終わらせようとする時は、この会話続けたくないと思う時か、なじみの無い話題に傍観している時かのどちらかのような気がする…後者である事を希望します。

〔10月04日(月)曜日〕〔22〕
今、たいへんなのかな…

〔10月04日(月)曜日〕〔23〕
負けないで！

〔10月04日(月)曜日〕〔24〕
意思の強さを示して！

〔10月04日(月)曜日〕〔25〕
君に勇気が宿り事を…

〔10月04日(月)曜日〕〔26〕
広く、深く、慎重に。

〔10月04日(月)曜日〕〔27〕
賢く、優しく、強い想いで

〔10月04日(月)曜日〕〔28〕
自信をもって！

〔10月04日(月)曜日〕〔29〕
迫力をいかして

〔10月04日(月)曜日〕〔30〕
意思を貫いて！

〔10月04日(月)曜日〕〔31〕

君らしく、

〔10月04日（月）曜日〕〔32〕
だめ？

〔10月04日（月）曜日〕〔33〕
そう、か…、そうなのか

〔10月04日（月）曜日〕〔34〕
しかたがない…でも

〔10月04日（月）曜日〕〔35〕
心が疲れないように、
時々休んで、
リフレッシュして…

〔10月04日（月）曜日〕〔36〕
彩りを忘れずに

〔10月04日（月）曜日〕〔37〕
ゆっくりと、あわてずに

〔10月04日（月）曜日〕〔38〕
でも着実に、どのくらい『本気』かわからせるまで…

君に伝えます、間違いに気がついたなら、それは訂正していいの
です。

当時気がつかなかった事に、成長して今気づいたのだから、何も
おかしくないし、問題ありません。むしろ間違いに気づいて放置す
る方に問題がある。

〔10月04日（月）曜日〕〔39〕
君の1度しかない人生です。

〔10月04日（月）曜日〕〔40〕

“人を許せる時が、自分を高める時”

（日本テレビ系『行列のできる法律相談所』で有名な弁護士、菊地幸夫氏の言葉）

簡単でないが、目指しがいのある目標です。

〔10月04日（月）曜日〕〔41〕

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。どんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だと思う。

けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。過去の文面を読んで欲しい、一度だって要求してない。

〔10月04日（月）曜日〕〔42〕

その代わりこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」と。

そして、生活を立て直すけど、「邪魔しないでほしい」と。

（…一瞬でも「それって当然の言い分だよな」と感じていただけたら幸いです）

〔10月04日（月）曜日〕〔43〕

それでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。

単に自分たちの贅沢が（快樂が）侵害されている事に怒っているだけという事実気づかずに反論できるのだろうか？

〔10月04日（月）曜日〕〔44〕

Fさん

〔10月04日（月）曜日〕〔45〕

もし何か言う人がいたらこう言って上げてください。

〔10月04日（月）曜日〕〔46〕

「別に人生を全部返せって言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではない。これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです」

〔10月04日（月）曜日〕〔47〕

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられる。

〔10月04日（月）曜日〕〔48〕

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから、じゃあ腹いせにこちらもずつと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？

（そこまでくさってない？）

〔10月04日（月）曜日〕〔49〕

…どうなのだろう、実際のところ。

〔10月04日（月）曜日〕〔50〕

君にも詳しい事まではわからない？

〔10月04日（月）曜日〕〔51〕

やりそうだと思う？

〔10月04日（月）曜日〕〔52〕

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる

それは僕にとっては（奇妙な事に）誇らしくも感じてしまう。

繋がっていたのだろうか？どうなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく、

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、

どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます。

〔10月04日（月）曜日〕〔53〕

Fさんは全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。
もしそうなら全てを背負い込んでいただけです！“彼ら”はそれを

狙っています！！

〔10月04日（月）曜日〕〔54〕

僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違いです。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込み、君の心を容易に操る事が出来る。

〔10月04日（月）曜日〕〔55〕

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの”中の「じんしんしょうあくそうした人達」の「じんしんしょうあく常套手段」です。だから注意してほしい！非常に悪質な人心掌握法です。

油断していると、本当にこの暗示にかかります。気をつけて！
そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコです！

〔10月04日（月）曜日〕〔56〕

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。
い。

でも繋がりや、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられる
と思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

〔10月04日（月）曜日〕〔57〕

頑張つて！

〔10月04日（月）曜日〕〔58〕

負けないで！

〔10月04日（月）曜日〕〔59〕

応援しています。

〔10月04日（月）曜日〕〔60〕

どんな事になると世界中で最後まで味方でいつづける人間がいる
ことを忘れないください。

〔10月04日（月）曜日〕〔61〕

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決
して思わない人よ」と。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視

してきたんだから、文句は言わせないわよ！」と。

〔10月04日（月）曜日〕〔62〕

責めるのと、悔いるのは、別次元の問題です。

悔いてもない人に囲まれて、“悔いていない”ふりをし続けるのは相当つらいと思います。脱出がベストです。

人としての正しさを知らないという事が罪ではない。

それを学ぶ気が無いという事が罪なのです。

〔10月04日（月）曜日〕〔63〕

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしい事はないと思うけどどうなのだろう？

これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃっ

たとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もつその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

…トルコ石、結局贈る事は出来なかった…

その代わりあの「でかいキーホルダー」を君に渡せた。

君はあれいつまで持っていてくれたのだろうか…

他にも僕の教則本とあと綺麗な和音の作れる機械の2つをあげた。
あれらの品物が君の心を和ませた事を祈るばかりです。

仮に途中で捨てていても別に怒りません、僕も真実に気がつかない
とはいえないくつか思い出の品をなくしたり捨てたりしている…

けど、あの思い出だけは今も記憶のなかにあります。

君はどうですか？今でもあるのだろうか…、いつか答えを聞ける
日を夢見ます。

.....
.....
.....
.....
.....

〔10月05日（火）曜日〕〔1〕

トルコにはキプロス島問題というのが存在する。

「キプロス島」とはトルコ・シリア沿岸に浮かぶ大きな島で、古くから海洋貿易で栄えた島だ。

ちようどイスラム教メヴラーナ派の総本山「コンヤ」から真南に300〜400キロほど下った地中海上にある。

11世紀、トルコ人は大いにこの島に悩まされた。

この時代、「キプロス島」には十字軍に参加した「テンプル騎士団」が住んでいて、異教徒から地中海を守ると称してイスラム商人の船を襲いまくっていた。ヨーロッパ人から見たら、神の名の下異教徒を懲らしめる正義の騎士団のだが、トルコ人からみたら海賊以外の何者でもなかった。

（ちよつと戦略上に意味合いは異なるが、似たイメージのものとして日本史でも、織田信長が瀬戸内海の村上水軍に悩まされた歴史がある。水軍力の整備に時間がかかるのでおいそれと戦いを挑めなかったあたりよく似てる…）

その後「キプロス島」の支配者はいろいろと変わるが、一貫してヨーロッパ人の島だった。

16世紀オスマン・トルコ時代に入り、ようやくトルコ人はこの厄介な「島」を制圧するのに成功する。

これによってイスラム商人はようやく“安全”に地中海を行き来できるようになった。

ヨーロッパ人からみれば、貿易でますますイスラム教徒に頭があらなくなる事になり、それが大航海時代への引き金にもなっている…

そんな歴史的経緯のある「キプロス島」は、ヨーロッパ系の（ギリシャ系の）人とトルコ系の人が住む島になっていて、現在のギリシャとトルコの対立の焦点になっている。

辛うじて平和なものも、この「キプロス島」がどちらにも属さない
独立国になっているからだろうか。

しかし、事はそう簡単に収まらず、問題は今もくすぶっているよ
うです。

「トルコ」と「ギリシャ」の関係は非常に微妙です。

仲がいい様でもあり、悪い様でもある…。

同じように微妙という意味では、「日本」も「中国」と綿密で微
妙な関係がつづいています。

簡単に切って捨てられない綿密で微妙な関係という意味では、「
日中関係」は「トルコとギリシャ」のそれに勝るとも劣らぬもので
す。

中国の高い経済成長を加味すれば「トルコとギリシャ」の関係よ
りも世界的に重大な影響を与えるかもしれせん。

〔10月05日（火）曜日〕〔2〕

日中関係がらみのニュースとして、こんなニュースをTVでみた。

最近ニュースでみた話。

アメリカの原子力潜水艦が日本に来たニュースを見た。

中国軍を牽制する意味で来たと言う。

最初見たときは「ふーん、いつもの事じゃん」と思って見ていた
のだが。

ニュースは来た潜水艦が「オハイオ級」だと告げた。

「え？なんで北極にいないの？」

と思わずつぶやいてしまった。

この船は普通の潜水艦とは違うのだ。

僕が初めて「オハイオ級原子力潜水艦」について知ったのは、18年前の高校時代だ。

当時1年生で、まだ君とろくに口もきけなかった頃だ。

あの頃の君は、急に明るくなったり暗くなったり、ミステリアスな存在だった。

その頃、吹奏楽部でどこかにバスで移動する事になり、移動時間の暇つぶしに車中で男子部員に漫画を借りた。

(ちなみにいうとこの男子部員は、のちのち君が吹奏楽部OBとして、定期演奏会のアナウス嬢をやっていた時、劇場通路で僕と君がすれ違いそうになった時に2人の会話をさえぎったやつだ。君のほうにも1人張り付いていて、気がついたときには君は連れてかれていた。そんな記憶がある)

(あいつもやはり“そう”だったのかな、高い確率でそう思うけど。君はどう思う？いつか聞かせてください、話せる範囲でいいので…)

その時そいつに借りた「沈黙の艦隊」という漫画で僕は初めての潜水艦の存在を知った。

「オハイオ級原子力潜水艦」はアメリカ最大の潜水艦で、冷戦期は常に北極海の下にひそみ、その存在自体がトップシークレットだった船だ。なぜなら、もしソ連がアメリカ本土を核攻撃したら、このどこに潜んでいるかわからない「オハイオ級原子力潜水艦」が核兵器で報復するぞ！とアメリカはソ連に脅しをかけていた。脅されたソ連はアメリカを攻撃できなかった。「オハイオ級」数隻の全核兵器を使えば、ソ連の主要都市をすべて破壊できる火力をもっていたからだ。

同様の潜水艦はソ連側ももっていて、「タイフーン級原子力潜水艦」と呼ばれた。アメリカは「オハイオ級」、ソ連は「タイフーン級」を最後の切り札としてちらつかせる事で、両勢力は微妙な均衡

を保つ事が出来た。

余談だが、北方領土をロシアが返したくない理由の1つとして、この潜水艦問題がある。

ウラジオストクから人工衛星に見つからずに外洋に出れるルートは限られていて、北方領土周辺海域もその1つらしい。

あそこが日本領になると、ウラジオストクの潜水艦運用に大きな支障が出る…、なんて話聞いた事ある。

ろくな資源も無く、自然しかないあの4島になぜにそこまで固執するか？という疑問への1つの回答にもなるが、

実際のところどうなのだろう？

現実問題として、ロシアは2島なら返還に前向きらしい。

しかし、日本国内の右派が4島に固執して交渉決裂、現在にいたる。

北方領土の事をあえて「北方4島」と呼ぶ習慣があるが、これも国内右派の2島返還反対派の意見が具現化した言葉だと思う。

一体日本国内の誰がそんなに4島返還にこだわるの？と僕らの世代以下は感じるところだが、どうやらこだわっているのは60代以上の戦争を知る世代らしい。そんな事にこだわるくらいなら、ほかの事にこだわってくれていれば、ここまで日本は窮地に立たなかったのにと、思わなくも無いけど、それは言いすぎだろうか？

僕はこう思う、こだわりとは、正しくもたないといけない、と。

〔10月05日（火）曜日〕〔3〕

君もこだわりはもつタイプだったと思う。

〔10月05日（火）曜日〕〔4〕

どうかな…ちがう？かな。

〔10月05日（火）曜日〕〔5〕
間違つたこだわりを持つよう誘導されていたのだと思う。
自分を取り戻して欲しい。

流されずに、人らしく。踏み外さず…、そんな風に穏やかに意思を主張する。

くじけず、あきらめず、何度でも何度でも、なんどでも。

〔10月05日（火）曜日〕〔6〕
あきらめたら終わりです。

〔10月05日（火）曜日〕〔7〕
“彼ら”のいう「この世は弱肉強食」は間違いだと思う。
それが証拠に冷戦で人類は核兵器を使わずに生き延びた。
もし平和をあきらめていたら世界大戦に突入して、核兵器で世界は滅んでいたでしょう。

実際、戦争が起こる機会は何度もあった。
けど、当時の“まとも”な人達が平和をあきらめず奮闘したから、
世界は滅びずにすんだ。

そういう意味では“彼ら”のいう「この世は弱肉強食」は必ずしも正解ではない証拠になる。

現に世界は滅びなかった…、あきらめなかった結果です。

〔10月05日（火）曜日〕〔8〕
1945年の第2次大戦終結から、1989年のマルタ島会談までの44年間、冷戦は続きました。
お互いの頭上に核兵器を突きつけながら…

よくもまあそんな危なっかしい状況が長年続いたものです。44

年もの長い間。

戦争が起きなかったのは両国のトップが表面上はともかく“内面”は“まともな”人達だったからかもしれない。

“彼ら”の中でも、表面上はともかく、こうした“まともな”人は少なからずいると推察します。

人間って思ったほど馬鹿じゃない。

表面上はともかく、理性ある人はちゃんとして、頭を働かしているんだと、信じたいところです。

なのに世の中“表面上”のことにのみ“こだわる人”がいて、実に厄介です。

こういう人が、裏で頑張っている“理性ある、ちゃんと頭を働かしている人”を邪魔しているのかもしれない。

Fさんはどう思う？

…冷戦の終結後、核兵器の削減が進み「オハイオ級」も何隻か任務を解かれたようです。

今回日本に来た「オハイオ級原子力潜水艦」もそうした“通常型”の1隻のようだった。

核を積んでないとはいえ、その代わりにトマホークミサイルを150発以上積んでいて怖い存在には違いないけど。今回来たのは、どうも尖閣諸島問題に絡んで、中国を牽制する意味合いがあるらしい。

今回の尖閣諸島問題で、中国側が興味深い事を言っている。

こんな趣旨の話だ。

「小泉政権のほうで、まだわかっていた」と。

小泉総理は靖国神社参拝を実行して、中国との関係を悪化させた張本人だ。

その小泉政権の方が、現在の菅政権よりも外交がわかっていたと言っただ。

理由は小泉政権時代に、中国の活動家が尖閣諸島に上陸した事件があったのだが、この時、逮捕せずに国外退去処分にしたのだ。国内法を厳密に適用すれば、不法入国で逮捕・拘留もできるのに……だ。

その辺はいままで“阿吽あうんの呼吸”で日中は駆け引きしてきたのにいきなりルール破りしてどーなってるんだ！と怒っているようすなのだ。それが故、シナリオを一步すすめて強行姿勢に転じたのだろうか？理解できなくは無いだけに、信じたくなる話だ。

そういうえば中国側が拘束した日本人も、本来の処置なら“嚴重注意”ですむはずが身柄拘束されてしまった。

あれは、日本側もほんらいなら“嚴重注意”ですむはずだろ？そのメッセージとして船長1人長期拘留したから、こっちも1人長期拘留するぞ、というメッセージなのかもしれない。

深読みのしすぎ？でも表面意外にも物事は進むわけで、我々庶民は可能な限り“裏で頑張っている、理性ある、ちゃんと頭を働かしている人”の邪魔をしないようにするのが問題解決の早道だと思う。そういうルールもあるのです。

「理解したうえで無言を貫く」との、「いわれるがまま、理解せずという事を聞く」のは、似ていますが、まったく違うのです。

僕が理解する問題解決の早道は、前者のほうです。

そのためにはまず“理解”する事が大前提であり、完全でないまでも“理解する努力”が大切なのです。

“理解”もせずにとこのこの口をだすと、解決が遅くなるばかりです。

Fさん。君の周りには、ちゃんと“理解してくれている人”いますか？

もし“理解もせずにとこのこの口をだす人”だらけだったら、こう言ってください。

「黙っていてくれませんか」と。

〔10月05日（火）曜日〕〔9〕

むずかしい？

〔10月05日（火）曜日〕〔10〕

でも、覚えておいて損は無い。

〔10月05日（火）曜日〕〔11〕

不安？

〔10月05日（火）曜日〕〔12〕

でも一番つらいのは君なんだから、堂々としていていいと思う。

彼らは、論戦になると「水掛論」みずかけろん（＝結論にたどり着かない議論、

双方決定打に欠ける状況）にもっていくと思う。そういう状況では

「地位の優位な者」が論争の勝者になる傾向が強い。

もし、そういう状況が発生した場合は、こう言い返せばいい。

「…あなた何を根拠に私より偉くなったつもりでいるの？」とか。

「なんで、勝った気でいるの？」とか。

「水掛論でごまかそうだったってそうはいかないわよ！」とか。

「決定権は私にあるの！」とか。

そう言い続ければ、そういう空気を作り出すことができます。

「水掛論」みずかけろんとは一種の心理戦です。心理戦にはバイアスで対抗するのが一番。

「決定権は私にあるの！」と繰り返し言えば、そもそも議論に決定打がない状況なので、心理的に押し返せる。

もし仮に気持ちがないがしろにされて、「わがままだ」とか言われて一蹴されたら、

こう言ってやってください。

「私には、命をかけてくれる人がいる」と。

〔10月05日（火）曜日〕〔13〕

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです、手が出せば届くようなものではない強大なダイナミズムで動いている。日本と中国の関係とて決して例外ではない。単純でなく、深い読み比べが求められる複雑な関係をなしている…

せまい世界の（単純な常識の）なかだけで完結しないという事だけは、間違いようのない事実のようです。

けっして単純ではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

そして“単純な型”に無理やり押しはめようとする。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないの!？」と。

「理解を示す心の広さはどこへやったの?」と。
「真実に目を向ける勇氣はどこへいったの!?!」と。

わかるうとしないのは、個人個人の“質”の問題です。目の前しか見ていない。

そうした自分都合の連中に負けなくて!

尖閣諸島また行くぞ!と中国の漁船関係者が言っているのニユー
スで見ました。

本人は本気で「何も悪いと」思っていないから厄介です。

そうした“厄介な”人多いと思うけど!負けなくて欲しい。

君が戦い続けられるなら、僕も戦い続けられます。

これは人としての“質”がどうなのか?という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

〔10月05日(火)曜日〕〔14〕

君が戦っているという前提で書きます。負けなくて!応援して
います。

君は自分で思っている以上に強い人です。

〔10月05日(火)曜日〕〔15〕

“彼ら(の中の悪質な人ら)”はひき逃げ犯の居直りと何もかわ
らない。

〔10月05日(火)曜日〕〔16〕

えげつない人達を蹴散らして!!

〔10月05日（火）曜日〕〔17〕

同じわがままで質が違う。

“彼ら（の中の悪質で自分本位な人ら）”の放つ自分本位のわがままの方が数千倍悪質です。

〔10月05日（火）曜日〕〔18〕

この世にオカルトはありません（そんな脅し子供だましです）。

〔10月05日（火）曜日〕〔19〕

対立相手から一時的にやさしくされると、心がぐらっとくるですよ？

そういう時は

「貴方の同情などいらない」

と1度すごんで見るといいかもしれない。

話が止まれば、考える時間も、自分の意見を言う間もかせげる。

一時的にやさしくするというのは、心を誘導するテクニックかもしれない。

“彼ら”はそういう方法で人の心をつかむ…

そうやって君を“従順”にさせる“常套手段”です。

〔10月05日（火）曜日〕〔20〕

「なにそれ、もう興味ないわ」と言っていていいと思う

〔10月05日（火）曜日〕〔21〕

“彼ら”は見た目や格好に関しては一般人と見分けがつかないように努力している。

どこぞの信仰宗教のように、専用の服を作ったり、特異なおブジエを掲げたりしない。

逆に言えばそれが故、見た目や生活様式の異なる人を攻撃する心

理が生まれるのかもしれない。

〔10月05日（火）曜日〕〔22〕

たぶん“彼ら”のあの「行動」は、そうした「専用の服」や「特異なオブジェ」がないがゆえ、“その”代わりになるべき要素として“必要不可欠”なものになっていてはないだろうか？

〔10月05日（火）曜日〕〔23〕

あやしい団体の構成員は「専用の服」や「特異なオブジェ」を通じてメンバーが一体感を持つと言う、“彼ら”の場合は「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つ…と考えると、無理なくイメージできるのだが、本当のところはどうなのだろうか？Fさんはどう感じますか？

〔10月05日（火）曜日〕〔24〕

いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

〔10月05日（火）曜日〕〔25〕

僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違いです。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの（中の）そうした人達”の（常套手段）です。

非常に悪質な人心掌握法です。

〔10月05日（火）曜日〕〔26〕

油断していると、本当にこの暗示にかかります。相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのように“錯覚”させるプロです。親切心を利用されないようにしないと、永久にいいように利用されてしまいます。気をつけて！そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！

〔10月05日（火）曜日〕〔27〕

多分君の周りには悪意なく“そうした手段”を講じる事が出来る人がたくさんいるのだと思う。でもそれは悪意があるのではなく、心が内向きになっていて、外に向いていないからだと思う。心が外向きになれば、人として持つ“当たり前前感情”が戻ってきます。そう、周りの人に言ってやってください。

〔10月05日（火）曜日〕〔28〕

どこまでもおだやかに、でも確実に、前を向き続け、時には激しく、意見をつらぬく。

そんな姿勢大事だと思う。

〔10月05日（火）曜日〕〔29〕

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？

〔10月05日（火）曜日〕〔30〕

彼らは（男たちは）“組織に貢献すると、かわいいお嫁さんをもらえるシステム”。

これがなくなるともう楽できなくなる”と考えているのかもしれない

ない。

もしかしたら“君をのがすと、このシステムに穴が開く”と考える男たちもいるのかもしれない。

(そこまでくさってない?)

〔10月05日(火)曜日〕〔31〕

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては(奇妙な事に)誇らしくも感じてしまう。繋がっていたのだろうか?どうなのだろう。

〔10月05日(火)曜日〕〔32〕

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます。

〔10月05日(火)曜日〕〔33〕

そうした行いが(仮にあるとするならば)、いかに「人は正しくあるべきだ」という組織の目標とする理想と共通しないのか!(かけ離れているのか!)という視点に立ち考えることが出来る。

その視点に立てば、おのずと“どう”振る舞い、“どう”しゃべればいいのか、自然とイメージが湧いてくるのでは…、そんなふうに考えたんだけど、どうかな。外したかな…、このイメージがきみのなにかしら貢献できる事を期待します。

〔10月05日(火)曜日〕〔34〕

いまはつらいのかもれない、大変な目にあってるのかもれない。

でも繋がりや、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとっての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

〔10月05日（火）曜日〕〔35〕

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。

どんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だと思う。

けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。

過去の文面を読んで欲しい、一度だって要求してない。

〔10月05日（火）曜日〕〔36〕

その代わりこう言いたい訳だ、「もう一度あいたい人がいる」と。

そして、生活を立て直すけど、「邪魔しないでほしい」と。

(…一瞬でも「それって当然の言い分だよな」と感じていただけたら幸いです)

それでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。単に自分たちの贅沢が（快樂が）侵害されている事に怒っているだけという事実に気づかずに反論できるのだろうか？

別に人生を全部返せって言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではないのです。

〔10月05日（火）曜日〕〔37〕

僕は今、賭けをしています。

答えはわかりません、とにかく待とうと思う。

今は君の都合が悪いだけだ、受け入れられるにしろ、違うにしろ、

なにかしらケリをつけに君は現れる。そう信じます。君は、僕が真実に気がついたという事実をもし知ったなら、その事実を重く受け止めるはずだ。そう思った。

何に賭けているのかと言うと、君が僕に「告白」するかどうかと
いう事にだ。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（「告白」しない）、どんなに親しくなろうとも、絶対に。君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は「告白」一步手前まで来ていた。先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ、今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。君が僕に「告白」するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。それは事実です。

告白された事は胸にしまつつもりでいます。

〔10月05日（火）曜日〕〔38〕

何か言われたら、こう言うってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、

さんざん他人の都合を無視してきたんだから、文句は言わせないわよ！」と。

〔10月05日（火）曜日〕〔39〕

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

〔10月06日（水）曜日〕〔1〕
多くのもつと悪いことをしている“こすっからい”人に負けずに、
毅然とした態度を貫くというのは、何をあたえ、何を思わせるの
か？

そう、ありたいと。僕は思う。

Fさん、優しさを忘れるよう“強要”されるの、おかしいと思う
でしょ？

自分の言葉を取り戻して！

物事のうわべだけで物事を判断する人間に負けないで！

〔10月06日（水）曜日〕〔2〕

無駄な努力も、決して無駄ではない。
得られるものはたくさんある。

〔10月06日（水）曜日〕〔3〕

毅然きぜんとした態度で！

〔10月06日（水）曜日〕〔4〕

しり込みしたいときは、それでいい。

〔10月06日（水）曜日〕〔5〕

でも、“しおらしさ”を強要されたら、突っぱねて！

〔10月06日（水）曜日〕〔6〕

寡黙でも意思の強さを示す方法は、いくらでもある。
君の創意と工夫と情熱に期待します。

〔10月06日（水）曜日〕〔7〕

快樂主義者に負けないで！

〔10月06日（水）曜日〕〔8〕

自尊心の幻想にしがみついている連中なんか蹴散らして！

〔10月06日（水）曜日〕〔9〕

もし、机をバン！とたたかれても、動じてはいけない。

…可能ならば、たたき返すくらいやっても言いと思う。

〔10月06日（水）曜日〕〔10〕

一番つらいのは君なんだから、堂々としていていいと思う。

〔10月06日（水）曜日〕〔11〕

トルコ旅行でいろいろ調べるうちに、こんな事を思った。

コンスタンティノープルがオスマン・トルコに攻め落とされたのは1453年。

時代的には関東に江戸城の原型が出来た頃。

同時代の、ここ静岡東部地区に関しては良くわからない。

この時代、僕らの生まれ育ったここ静岡県東部地域は、

どんな感じの場所だったのだろうか…。

1450年代の日本といえば室町時代。この時代は京都の朝廷が各地を支配するために派遣した“国司”を無視する形で、鎌倉幕府が荘園をもうけて、その支配者として守護・地頭を置いた混沌とした制度が、室町時代まで引き継がれていた時代だ。

しかも朝廷は守護・地頭にも権利を認めため、元からいた“国司の一族”は自分自身で身を守らねばならず、各地で小競り合いがたえない状況下になる。これが後の“戦国時代”の遠因となるのだ

が、元はといえば、京都の朝廷が何も考えず地方行政をほったらかしにしていたのが原因で、実にのんきでいい加減な支配者だった。これも日本が島国ゆえ、強力な外敵に襲われなかったが故の呑気さのんきだろうか？

たぶん京都からこの辺り（僕らの生まれ育った静岡県東部地域）を支配するため派遣された“国司”こくしの一族はさぞかし大変だっただろう。意外とこの辺り（静岡県東部）は当時重要な場所らしかつた。この地を欲しいと思う実力者も少なくなかったものと思われる。

ここから箱根までの道が鎌倉時代には整備が完了しており、この辺り一帯は関東と京都を結ぶ陸路の主要通過地点だったようだ。

鎌倉時代には京都と鎌倉を結ぶ陸路の要所として、重要視されたと思う。

1450年代の室町時代に入って鎌倉幕府がなくなっても、商業的にこのルートの重要性は変らなかつたのではないか？と思う。

（もつともこの時代の輸送は海路がメインだったから、そちらの重要性にくらべたら微々たる重要度だ。僕らが映画を見に行った隣町は当時から港町で“海運”の重要拠点だった、陸路と海路の物品と人が集う場所だったから、おそらく当時から隣町のほうが賑やかな場所だったのだと思う）

東の関東から西の京都に向う場合、旅人はどうしても箱根山を越える。箱根山頂からは西に向け道が整備され、大社までのびている。大社からは西の京都にむけ海沿いのルートが続いていた…。

当然、当時の宿場や繁華街も、このルート上にあると考えるのが妥当だ。

（現在このルートは『鎌倉古道』と呼ばれている、現在はこの『

鎌倉古道』に平行して少し南よりに国道1号線が（東海道が）走っています）

僕らの生まれ育った静岡県東部地域の地名に幸原しゆげんという地名がある。

はつきりした証拠はないが、幸原しゆげんという地名は“国司”が拠点とした“国府”の原からきているという言い伝えがあるらしい。言い伝えが正しいなら、幸原しゆげん近辺に“国府”があった可能性もある。

（幸原しゆげん…、覚えているだろうか？この辺の地名を。君の良く知る“耳石神社”も幸原しゆげんにある。君はこの辺の神社には詳しくかった、だからこう書いたほうが判りやすいかもしれない）

しかし古文書などからは田方郡の大社よりの場所にあつたのでは？という説がつよい。僕も後者を支持する。なぜなら、もし仮に“国府”を置くとしたら？一番栄えたルート上だと思っからだ。

田方郡の、先ほど書いた箱根から大社に続くメインルート（＝「鎌倉古道」）に沿った場所にあると考えるのが妥当だ。

僕や君が住んでいる（いた）地域は『鎌倉古道』の北の場所だ。この時代は（1450年代は）ただの“農村”だったのだろう、それなりの規模の集落が点在し、それなりの規模の収穫を得ていたと思っ。

時の権力者は常に移り変わり、近くの『鎌倉古道』には多くの旅人が行き交うものの、特別な事情が無い限りとくに交流もしなかつたと推察する。

しかし街道と宿場が近くにあるから、情報の孤立は避けられたし、医療面で日常の不便を感じなかつたのではないだろうか？

文化面では多少なにかしらの影響を受けているようです。

大社のお祭りの時に、鎌倉時代からつづく“やぶさめ”があるけど、鎌倉幕府がこの地を京都の勢力から鎌倉を守る拠点の1つと考

えていた関係で、地元の武士の訓練目的で“やぶさめ”を伝えた…とか子供の頃聞いた事ある気がする。

あと大社の祭りの時、山車に乗り込み演奏する“しゃぎり”があるが、あれはもう少し時代が下った“戦国時代”くらいに作られたものらしい。発案者は大社の関係者となっているので、“戦国時代に大社の権威を周辺に示したかったのだろうか？専門家でないので断言はできませんが…”

「ただ黙っていても、荒れ狂う戦国武将に飲み込まれてしまう、自己主張せねば！」と誰かが考えたのかもしれない…。

Fさんはどう思う？

文化面ではそうした影響もあるけれど、産業面ではたいした産業も育たず、ただただ静かな農村として、この時代はあったものと思う。時々戦乱もあったと思うけど。

以前君は八乙女神社の話を僕にした事がある、あの八乙女神社近辺には城があったらしい。

資料では戦国時代の城とされているが、戦国時代の城はそれ以前の城を原型に作られた城も多い（江戸城がそうであるように）ので、もともと古くからあった可能性もあるのでは？と思う。静かな農村ではあるが、潜在的脅威に常にさらされる不安定な場所という面もあったのだろう。

君は確かに言ったと思う。

「八乙女神社ってしててる？」

と、物凄い笑顔で。

僕は知っていると答えた、それどころか“大社”の次に最も慣れ親しんだ神社だと答えたと思う。

子供の頃、縁日に日には欠かさず行っているし、神輿も担いだ事

もある。

今の僕なら、君がなにか言いたげにしているのだから、君の言葉を優先させる知恵がある。

しかし当時の僕は瞬間のインスピレーション第一で動いていたから、続けざまに、いかにその神輿が重くて大変だったかという話を始めてしまい、べらべらとまくし立ててしまった。

君は一通り僕の話が終わるのをまってから、こつ話を続けたと思う。

「あの神社には長い階段があるでしょ？」

君はこついったと思う。あそこの神社の階段の中間位置に座れば、木々が姿をかくしてそとからその座っているのが見えない。

ごくたまに時々そうしているとも言ったかな…

この記憶、時間軸がはつきりしない。

この会話があの夏祭りの後か前かいまいち覚えてない。

あの夏祭りの日、長い階段の神社で2人で腰を下ろしたのは覚えている。

でもあの神社が八乙女神社だとはどうしても思えない…、でも周囲は真つ暗で、わからなかったのだろうか…

いつか、再会したら、あの夏祭りの日、2人ですわった階段がどこの神社のものか教えてください。

初めての印象とういうのは忘れない（消えない）ものです。

わくわくして、楽しくて、面白い。周りの人に、機会があったら伝えてください。

最初の印象って忘れない（消えない）ものだ。

違いを楽しんだり、同じと思う事を嬉しく思ったり、何もかも新鮮で彩りに満ちている。

あの時、2人で階段に座っていると、僕らの数段したの位置に親子つれが座った。

僕が「場所をかえよう」というと。

君は「どくのは向こうよ」とすごんだ。

それまで幸せそうにしていた君は、一気に臨戦態勢に入り、警戒心を全開にした。

あの時はごめん、でも今は違う。僕は気がついた、今なら、共に戦えます。

一度きりしかない君の人生です。

何度も言いますが、僕は生きています。死んでいません。

忘却の強要は彼らのオハコだ。でも、忘れたと思い込まされているだけで、実はちゃんと心に残っているんだと思う。

〔10月06日（水）曜日〕〔12〕

いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

「心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！」
と言ってやってください。

〔10月06日（水）曜日〕〔13〕

“彼ら”は見た目や格好に関しては一般人と見分けがつかないように努力している。

どこぞの信仰宗教のように、専用の服を作ったり、特異なオブリエを掲げたりしない。

逆に言えばそれが故、見た目や生活様式の異なる人を攻撃する心理が生まれるのかもしれない。

たぶん、「彼ら」のあの「行動」は、そうした「専用の服」や「特異なオブジェ」がないがゆえ、

“その”代わりになるべき要素として“必要不可欠”なものになっているのではないだろうか？

あやしい団体の構成員は「専用の服」や「特異なオブジェ」を通じてメンバーが一体感を持つと言う、

“彼ら”の場合は「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つ…と考えると、無理なくイメージできるのだが、

本当のところはどうなのだろうか？Fさんはどう感じますか？

〔10月06日（水）曜日〕〔14〕

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？

（そこまでくさってない？）

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては（奇妙な事に）誇らしくも感じてしまう。繋がっていたのだろうか？どうなのだろうか。

〔10月06日（水）曜日〕〔15〕

…もしそうだとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

事実なら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

でも繋がりや、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

〔10月06日（水）曜日〕〔16〕

多分君の周りには悪意なく“そういう事”が出来る人がたくさんたくさんいると思う。

それは悪意があるのではなく、心が内向きになっていて、外に向いていないからだと思う。

「心が外向きになれば、人として持つ“当たり前前感情”が戻ってきます。」

そう、周りの人に言ってやってください。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

〔10月06日（水）曜日〕〔17〕

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです、手が出せば届くようなものではない強大なダイナミズムで動いている。

僕らの生まれ育った地域が、小さなスケールで動いていた時代、1万キロ彼方のコンスタンティノープルでは世紀の大決戦が行われていた。そこにつき込まれた人員と財とエネルギーは、当時の京都の権力者ですら見た事の無い規模とスケールだっただろう。まして当時の静岡県東部地域の人間には、頭に思い描くことすらできなかった規模だ。

1万キロ彼方では同時代そのような歴史が繰り広げられていた。さらに付け加えると、コンスタンティノープル陥落の年は、イギ

リスとフランスの100年戦争が終結した年でもある。フランス全土を混乱と破壊に導き、救国の少女ジャンヌダルクで有名なあの100年戦争だ。

せまい日本にしかいなかった日本人には想像も出来ない規模で世界は動いている。

強大な外敵がないせいで、のほほんと呑気にしているという意味では“彼ら”も同じだ。

目先の事しか眼中にない…

“そう”でなければ“そんなふうに酷くは”ならない。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

これは生き方の問題です、人としての“質”が問われている。

〔10月06日(水)曜日〕〔18〕

君の周りの人に伝えてください。

「自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないの!？」と。

「理解を示す心の広さはどこへやったの?」と。

「真実に目を向ける勇氣はどこへいったの!？」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

わかろうとしないのは、個人個人の“質”の問題です。

そうした自分都合の連中に負けないで!

尖閣諸島また行くぞ!と中国の漁船関係者が言っているのニユーで見ました。

本人は本気で「何も悪いと」思っていないから厄介です。

そうした“厄介な”人多いと思うけど!負けないで欲しい。

君が戦い続けられるなら、僕も戦い続けられます。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。“人としての質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援します。

君は自分で思っている以上に強い人です。

〔10月06日（水）曜日〕〔19〕

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。

どんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だと思う。Fさんはどう思う？

けれど僕はあえて“その権利を行使”していない。

過去の文面を読んで欲しい、一度だって要求してない。

その代わりこう言いたい。「もう一度あいたい人がいる」と。

それでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。

単に自分たちの贅沢が侵害されている事に怒っているだけという事実に気づかずに反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せって言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではない」

…という事実があります、これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

あと書くとも不利になるかもと控えていたけど、この際リスク承知で書こうと思う。

ヘルパーの資格をとろうと計画中です、東京で接客の仕事を通じて、お客さんが声にできない要望を汲み取り、理解して、対応するというのがいかに大切かは感じられたし、そういう仕事が楽しいともおもえる。

無茶な仕事をこなす要領と充実感もしているし、つらい事に屈しない根性も自信ある。

これらの経験を生かせる仕事がしたいと考えていた。

〔10月06日（水）曜日〕〔20〕

もし、先んじて就職できないよう手を打つ話を聞いた時に

「そんな事したらそいつ地獄におちる」

と一瞬でも脳裏に浮かんだならば、それが心に今も存在する善意です、大切にしてください。

Fさん、僕は賭けをしています。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに親しくなるうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？18年前、君は一歩手前まで来ていた。

先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。

今にして思うとそう思う。僕は賭けをしています。君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまುತ್ತもりでいます。

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、

文句は言わせないわよ！」と。

〔10月06日（水）曜日〕〔21〕

頑張り！

〔10月06日（水）曜日〕〔22〕

まけるな！

〔10月06日（水）曜日〕〔23〕

あきらめてはいけません

〔10月06日（水）曜日〕〔24〕

強く、りりしく

〔10月06日（水）曜日〕〔25〕

それでいて“柔軟に”

〔10月06日（水）曜日〕〔26〕

僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思っ込んでるけど、それは間違いです。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした人達」の）常套手段”です。

非常に悪質な人心掌握法じんしんしよつあくになります。

油断していると、本当にこの暗示にかかります。

相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのよう
うに“錯覚”させるプロです。

親切心を利用されないようにしないと、永久にいいように利用されて
れてしまいます。

気をつけて！そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコ
だ！

油断せず、しかし心のゆとりも忘れずに…

〔10月06日（水）曜日〕〔27〕

Fさんなら、やれます。

〔10月06日（水）曜日〕〔28〕

信頼しています。

〔10月06日（水）曜日〕〔29〕

つらい…かな

〔10月06日（水）曜日〕〔30〕

そういう時は休んでいいと思う。

〔10月06日（水）曜日〕〔31〕

君は君らしくいさえすればいい。

〔10月06日（水）曜日〕〔32〕
まどわされず、立ち向かう勇氣

〔10月06日（水）曜日〕〔33〕
心の“それ”がもとめる“なにか”を

〔10月06日（水）曜日〕〔34〕
君は当たり前前の事を言っているに過ぎない。
何も問題はない。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思いますがどうなのでしょう。
う。

君が「サンクコスト埋没費用の呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。
三界に家を建てるには、君が必要です。
「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、
それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃっ
たとしても、
誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。
…でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされる
のは間違っている。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔10月07日（木）曜日〕〔1〕
Fさん、自分の正当性は定期的に言い続けないと、いつの間にか
ひっくりかえされてしまいます。
僕は過去何度も経験した。
気をつけないと…

〔10月07日（木）曜日〕〔2〕
わからない？

〔10月07日（木）曜日〕〔3〕
でも何もしないと永遠に繰り返されます…

〔10月07日（木）曜日〕〔4〕

君は自分の声を出して良いと思う。

〔10月07日（木）曜日〕〔5〕

“履き違えた大人の事情”に負けないで！

〔10月07日（木）曜日〕〔6〕

もし、会った早々いやみを言われたら？

「たいしたご挨拶なこと！」

と即答すればいいと思う。

こういう場合、何も言わないと、それだけで、無自覚な上下関係が成立してしまうからだ。

こういう場合、なにか言った方がいいんです。

〔10月07日（木）曜日〕〔7〕

君は自分を守っているに過ぎない、誰からも非難されるいわれはない。

〔10月07日（木）曜日〕〔8〕

決意は、示して、いいのだと思います。

どのくらい本気なのか、何度でも何度でも、なんどでも、言っていないと思う。

〔10月07日（木）曜日〕〔9〕

35年という月日は、君にそれだけの主張をする理由を与えていません。

〔10月07日（木）曜日〕〔10〕

“彼ら”は決して正体を明かさない…（『告白』しない）、どんなに親しくなるうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？18年前、君は一歩手前まで来てい

た。

先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。

今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。君が僕に『告白』するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまುತ್ತもりています。

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。どんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だと思う。

けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。過去の文面を読んで欲しい、一度だって要求してない。

その代わりにこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」と。それでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。単に自分たちの贅沢が侵害されている事に怒っているだけという事実気づかずに反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せって言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではない」

…という事実があります、これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

〔10月07日（木）曜日〕〔11〕
とにかく待ちます…

〔10月07日（木）曜日〕〔12〕
そう決めたから。

〔10月07日（木）曜日〕〔13〕
…いろいろ書いたけど、少しは役に立ったり、楽しんだりしても
らえているのだろうか？

昔ほどの酷さはなくなったが、まだ洗練されてるとは言いがたい
表現力…

日々精進です。

創作活動は自分と向き合う自己鍛錬でもある。

〔10月07日（木）曜日〕〔14〕
時々外した事、書くかもしれないけど…

〔10月07日（木）曜日〕〔15〕
とにかく、続けます。

〔10月07日（木）曜日〕〔16〕
…1453年に、『コンスタンティノーブル』を陥落させた「オ
スマン・トルコ」の“メフメット2世”だが、それで終わりではな
かった。商業ルートが正常でない、なにも儲からない。

このルートを正常化させないと。

そのためにはさらに西でルートをふさぐ「バルカン半島」の“ヨ
ーロッパ勢力”も駆逐しないといけない…、ふつうならくじけそう
だが、彼はくじけずに実行した。

当初は苦戦をつづけたが：

1456年アテナ（ギリシャ首都、当時はフィレンツェが支配していた）、1459年セルビア、1460年ペロポネソス半島（ギリシャ南部）、1462年ルーマニア、1463年ボスニア、1478年アルバニアと立て続けに占領し、「バルカン半島」はハンガリーを残して25年ほどで「オスマン・トルコ」に屈した形になる（ちなみに言うと、この時ルーマニアで必死にトルコ人を食い止めた人物が、ドラキュラのモデルになった領主ワラキア公ヴラド3世だ。彼にこのネガティブなイメージがついたのは、当時発明されたばかりの印刷機を使い、彼のイメージダウンを図るビラを大量に作りばら撒いた事に原因があるらしい。このネガティブキャンペーンの首謀者はハンガリーの国王とか言われている。ヴラド3世があまりに強いので、教皇からこんなに強いやつもいるんだ、お前もならって戦え（十字軍をだせ）！と散々圧力をかけられたハンガリー王が、面倒だからこれ以上ヴラド3世に活躍されると困ると考え、とらえて幽閉したのが動機とされてる、理由も無く英雄を幽閉する訳にもいかなかったので、ネガティブキャンペーンを張って彼を悪者にしたって歴史があるらしい。それが原因か？地域によりヴラド3世の評価は全然違う）

（注目すべきは、この時代すでに印刷機が発明されていたという事実です、この頃から産業革命の息吹は芽生え始めていたようですよ）
この間に、黒海とアナトリア南部も同時に征服していて、この25年でシルクロードの「アナトリア方面ルート」を完全に確保した事になる。

当時シルクロード交易ルートは4つあった。

1つは中国沿岸から海路を使いエジプト方面に抜ける「海上ルート」。

1つは中国→イラク→エジプトへ抜けるルート。
1つは中国→ロシア方面→黒海へ抜けるルート。
そして最後に、今回「オスマン・トルコ」が押さえた、中国→イラク→コンスタンティノーブルへ抜けるルートだ。

これら4つのルートは最終的にヨーロッパへと繋がっている。
時々不思議に思う…、逆は無かったのだろうか？と。

ヨーロッパから中国へは、物品は行かなかつたのか？と。

こんな話を聞いた事がある、中国には何でもあるので、中国人に物を売りつける事が出来ない…。19世紀にそう考えたイギリス人は、中国には無いものとして“アヘン”を売りつけたのは有名な話です。実際中国は豊かな国土で、無いものは無い。

中国には何でもある、だから自分たちは他所に媚を売る必要がまったく無い。と千年以上の歴史を持つシルクロード交易を通じて学んだ中国人が、中華思想にたどり着いたのも、なんだかわからなくも無い話です。

故に中国は周辺勢力に何度も狙われた場所でした。北の遊牧民族であるモンゴル人やタタール人はなんども中国本土に攻め込んでいる。

〔10月07日（木）曜日〕〔17〕

こんな風にも想像できる。

勇猛果敢で危険な旅もヘッチャラな“遊牧騎馬民族”がシルクロードを開き、何でもある豊かな中国と、中国ほどでもないが豊かなローマ（ヨーロッパ）を橋渡ししていた…。

東西の2大優良農作物生産地帯を結んでいたのだろう。

時々“遊牧騎馬民族”自身も国家を築くが、どうしても“中国”や“ヨーロッパ”のように豊かになれないが故、そうした地域めざして侵略をする。

しかし、シルクロードは戦乱だけでなく、商業も文化も向上させた。
それが証拠にシルクロードからはずれた地域は、2010年現在でも多くが発展途上国だ。

最近ニュースでこんな話を見た。

日本は“ヨウ素”の産出量が世界で第2位らしい、“ヨウ素”は日本の数少ない優良資源の1つで、埋蔵量は500年分はあるらしい。

しかし、特許の多くを“ヨーロッパの会社”が持っているため、日本人はこれを“原料”としてしか輸出できない。ヨードチンキやイソジンといった“ヨウ素”が成分の薬を作るにも、一旦“ヨウ素”をヨーロッパに輸出して、向こうで加工されたものを購入して輸入しないといけないらしい。

何が問題か？という。日本は原材料の“ヨウ素”を“安く”輸出して、向こうで加工された“ヨウ素”を輸出時の売値より高い金額で買っているのだ。これでは資源をいくらたくさん持ってもまったく儲からない。

交易で儲けるには“加工品”でないとだめなのだ。

2010年現在、アラブ産油国があればどの石油を持っていても、アメリカを圧倒できない理由でもある。

アラブ諸国には車や鉄を作る工業力が皆無だからだ。

〔10月07日（木）曜日〕〔18〕

中国がヨーロッパに遅れをとったのも、外へ供給ばかりして、新しいものを外から受け入れる土台が乏しかったからでしょうか？中国が加工する以上の物をヨーロッパ人が“産業革命”によって作り出したが故、立場が逆転してしまったわけです。

現在の中華思想が、外国人から見ると物凄く滑稽に見えるのも、そのためかもしれません。しかし、かつては、中国人が自分の国こそ世界の中心と言ってみせるだけの実力と環境があったことは事実のように感じるのですが、どうなのでしょう。

世界は広大で広く、想像を絶するダイナミックな時間がからみあって作られている。

「視野が狭くて何が悪い」とか言う人が増え続けていくと、それが世界の不和の原因になってゆく…

そちらの世界の人達は、自分たちのやっていることが間違っていると知りながらも、「それしかない」が故に、どうしたら楽しめるかを考えた末の「独自の文化」が構築されていったのだろうか？

そんな単純で小さな理由で、世界の不和が広がるとしたら最悪です。

そんな連中の説教など跳ね除けて！

〔10月07日（木）曜日〕〔19〕

彼ら”は見た目や格好に関しては一般人と見分けがつかないように努力している。

どこぞの信仰宗教のように、専用の服を作ったり、特異なオブリエを掲げたりしない。

逆に言えばそれが故、見た目や生活様式の異なる人を攻撃する心理が生まれるのかもしれない。

〔10月07日（木）曜日〕〔20〕

たぶん、“彼ら”のあの「行動」は、そうした「専用の服」や「特異なオブリエ」がないがゆえ、

“その”代わりになるべき要素として“必要不可欠”なものになっているのではないだろうか？

あやしい団体の構成員は「専用の服」や「特異なオブジェ」を通じてメンバーが一体感を持つという…

〔10月07日（木）曜日〕〔21〕

“彼ら”の場合は「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つ…と考えると、

無理なくイメージできるのだが、本当のところはどうなのだろう？

「友好活動」と「犯罪行動」の区別はつけられないといけないと思うのだけど。

Fさんはどう感じますか？

〔10月07日（木）曜日〕〔22〕

Fさんは全て背負い込むような、そんな感覚を時々もっていたよ
うな気がする。

もしそうなら全てを背負い込んでは大めです!!

“彼ら（の中の悪質な人ら）”はそれを狙っています!

君が、全ての罪を背負い込む心理状態になれば“彼ら（の中の悪
質な人ら）”はそこにつけ込み、

容易に君の心を操る事が可能だからです。

そうやって君の心から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ
!!

だから注意して!非常に悪質な人心掌握しんしんしゅあつかく法です。

そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコです!気を付
けて!

〔10月07日（木）曜日〕〔23〕

君の周りの人に伝えてください。

「自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくな
いの!?!」と。

「理解を示す心の広さはどこへやったの?」と。

「真実に目を向ける勇氣はどこへいったの!？」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

〔10月07日(木)曜日〕〔24〕

わかろうとしないのは、個人個人の“質”の問題です。目の前しか見ていない。

そうした自分都合の連中に負けないで!

〔10月07日(木)曜日〕〔25〕

僕と別れた後“彼ら(の中の悪質な人ら)”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違いです。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら(の中の悪質な人ら)”はそこにつけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの(中の「そうした人達」の)常套手段”です。

非常に悪質じんしんじょうあくな人心掌握法になります。

油断していると、本当にこの暗示にかかります。

相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのよう
に“錯覚”させるプロです。

親切心を利用されないようにしないと、永久にいいように利用されてしまいます。

気をつけて!そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコ

だ！

〔10月07日（木）曜日〕〔26〕

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

でも繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

〔10月07日（木）曜日〕〔27〕

“彼ら（の中の悪質な人ら）”は本気で「何も悪いと」思つてない“厄介な”人が沢山いると思うけど。負けないで欲しい。応援しています。君は自分で思っている以上に強い人です。

君が戦っているという前提で書きます。

「君が戦い続けられるなら、僕も戦い続けられます」

〔10月07日（木）曜日〕〔28〕

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、」

文句は言わせないわよ！」と。

〔10月07日（木）曜日〕〔29〕

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずつと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？

（そこまでくさってない？）

〔10月07日（木）曜日〕〔30〕

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては（奇妙な事に）誇らしくも感じてしまう。繋がっていたのだろうか？どうなのだろう。

〔10月07日（木）曜日〕〔31〕

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます。

〔10月07日（木）曜日〕〔32〕

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

でも繋がりや、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとっての“それ”が“何を”いみするのか。

“人を許せる時が、自分を高める時”

(ある現役弁護士の方の言葉)

簡単でないが、目指しがいのある目標ですね。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。
三界に家を建てるには、君が必要です。
「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、
それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に墮ちちゃったとしても、
誰も責任取ってはくれないよ！
老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。
…でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされるのは間違っている。

- - -
- - -
- - -
- - -
- - -

〔10月08日（金）曜日〕〔1〕
同じ窮屈なら、自分を取り戻した方が、この先の人生楽しいと思
う。

どう思う？

〔10月08日（金）曜日〕〔2〕
だめ…かな、

〔10月08日（金）曜日〕〔3〕
繰り返しになりますが、反復は重要です。
（たまには、以前書いた部分をいくつか読み返して欲しいなど、そ
う、思います。）

〔10月08日（金）曜日〕〔4〕

悪しき習慣

〔10月08日（金）曜日〕〔5〕
強い決意

〔10月08日（金）曜日〕〔6〕
折れない心

〔10月08日（金）曜日〕〔7〕
継続する勇気

〔10月08日（金）曜日〕〔8〕
求める気持ち

〔10月08日（金）曜日〕〔9〕
ゆずれない“なにか”とは目指すものではなく、
もうすでに心の中にあるものだと思う。

〔10月08日（金）曜日〕〔10〕
湧き上がるそつしたもを、封じようとする連中に負けないで！

〔10月08日（金）曜日〕〔11〕
…とにかく書きつづけようと思う。

オスマン・トルコの“メフメット2世”がコンスタンティノープルを陥落させた後、バルカン半島、黒海沿岸、アナトリア南部を征して、「シルクロードのアナトリア方面ルート」を確保したのは1460年代だ。

このルートを通過する主な商品は「中国の“陶磁器”」と「東南アジアの“香辛料”」だ。さらに黒海ルートの「毛皮」なども加えれば、その流通量は測りきれない、通関税だけでも莫大な利益にな

る。

しかし“メフメット2世”の野心は衰えず、ついにイタリア征服に着手する。

トルコ人が長年憧れた文化都市を手にしたのだ。同時にヨーロッパの商業利権のほぼ全部も手に入れられる…

そして、現実問題として“メフメット2世”にはそれを実行するだけの実力がすでにあった。

バルカン半島をおさえた事で、アナトリア地域以上の穀物の収穫が得られるようになり、国力も増したし、バルカンからイタリアは簡単に行ける距離だ。当時のトルコ軍がほこるイエニチエリの軍団は強力で、進軍すれば充分制圧かのうだった。

この頃のイタリアは、メディチ家支配の「フィレンツェ共和国」。議員の世襲制が一般化していた「ヴェネツィア共和国」が2大勢力となり、ヨーロッパの経済を握っていた。この頃のヨーロッパには「銀行制度」がすでに存在していて、世界史上、特筆すべき特徴だと思う。他の地域には“金貸し”はいても“銀行家”はいない。現在国際スタンダードになった「銀行」というシステムはヨーロッパの文化なのだ。

僕の理解が正しければ、ヨーロッパで銀行が発達した背景に“傭兵制度”がある。

傭兵とは、雇われれば金次第で主義主張関係なくどこの国の軍隊でも働く人の事だ。

ヨーロッパではスイスの傭兵が特に有名で、スイスは山ばかりで産業が乏しく、古くから男たちは当たり前のように“傭兵”になり、各国の軍隊で働いていた。戦場でスイス人同士が戦う事もあったのではないだろうか？

傭兵にとって何よりも大事なものは“家族へのしおくり”だ。命をかけて稼いだお金を、無事家族の下に届けるのが何よりも大事だった、しかし、当時のヨーロッパは山賊や盗賊も多く、無事届けられるか不安だ。まして郵送などしたら紛失しかねない。そこで、近くにある「銀行」に稼いだ金を預け（預金）、遠く離れたスイスの家族がスイスの銀行で換金（引き出し）するシステムが生まれる。おそらく元々は両替商から始まった商売なのだろうが、1460年代には発展し「銀行」として機能するまでになっていた。このシステムののおかげで、スイスの家族は出稼ぎ先から送金されたお金を完全に銀行を通じて引き出せたのだ。

（現在のスイスで銀行が鉄壁の秘密主義で有名なのも、この文化が背景にある。傭兵の稼いだお金をどのような勢力の干渉からでも守らねばならない固い決意の文化だ。当時の権力者はお金に困ったら金持ちから資産を没収する傾向にある。だから、どのくらい金があるか悟られないように徹底した秘密主義が貫かれたのでわ？と思う）

（余談だが、アルプスの少女ハイジに登場する“おじいさん”も元傭兵という設定だ。そういう視点で見ると、あの物語、気がつかなかった発見がいくつかある。“おじいさん”はクララの足を診て、一発で身体的に問題ない事を見抜くシーンがある。戦場で傷病兵の怪我に触れる機会も多く詳しくあったのだろうか？）

（さらに余談だが、このスイスの傭兵文化は今も伝統として残っている。ローマ法王庁は設立当初から傭兵をやとい警察業務を任せていた、そして多くの場合その役目はスイス人傭兵に託された。この伝統は2010年のいまでも続いていて、2010年の現在でもスイス人が傭兵として（警備隊として）バチカンで雇われているとTVで見ました。調べると、スイス軍で一定の経験をつんだ者がルネッサンス風衣装に剣と槍を装備して、今でも警備任務についているようです）

この銀行システムはイタリアでも発展していて、特に「フィレンツェ共和国」では銀行家から権力者になったメディチ家が支配者として君臨していた時代です。このメディチ家から「教皇」が選ばれるのはもつと後の時代ですが、銀行家がそこまで権力者（王族や教皇）に迫れるだけの力を手に出来るほど、当時の金融業は発展を上げていたようです。他の国の歴史ではあまり見ない現象です。

イタリア2大勢力のもう一つの要「ヴェネツィア共和国」は少し事情が違う。

もともと東ローマ帝国の一地方として生まれた関係で、コンスタンティノブルとのつながりが強い。

その関係で、コンスタンティノブルの先にいたイスラム商人とのつながりも強い国家だった。

海運で成功した国家で、その領土もバルカン半島のアドリア海沿岸に沿うように広がっていて、当時の人は「ヴェネツィア共和国」の事を「アドリア海の女王」と呼んだそうです。

（覚えてるだろうか、たぶん、こんな細かい事まで覚えてないと思うけど、余談としてこんな話がある。「紅の豚」の中で、空中海賊たちが豪華客船を襲うシーンがあるが、あの豪華客船の名前は「アドリア海の女王号」だ、たぶんここからつけたんだと思う）

バルカン半島に領土が接している分「ヴェネツィア共和国」の方が「フィレンツェ共和国」より問題が切実、しかもそこそこ仲良くしていたイスラム商人との関係もあり、対処に困る状況だ。

1460年代、ローマ教皇とのつながりをバックに持つ金融と芸術の「フィレンツェ共和国」と、

イスラム商人との貿易で発展した水運国家「ヴェネツィア共和国」

の2大勢力が、

“メフメット2世”率いるオスマン・トルコのイエニチエリ軍団を迎え撃つ構図になっていた。

もし実現していたら世界史はもつと混乱していたかもしれない。

ローマ教皇領も征服されていた可能性すらある。

しかしこの衝突はメフメット2世が亡くなったことで起きなかった。

以降2度とオスマン・トルコがイタリア侵略を画策しなくなる…（1部例外として「ヴェネツィア共和国」のバルカン半島側の領地に関しては時間と共に飲み込まれた）

僕はこう考える。

この後のヨーロッパはハプスブルグ王家が本格的に勢力を拡大した時代に入る。

フランス王はこのハプスブルグ家を挟み撃ちにするため、オスマン・トルコと手を結ぶ。

もはや宗教など（建前など）どうでもよく、当初の目的を逸脱したパワーゲームになる。

メフメット2世死後も優れた王はでるのだが、形式が優先される国家体制が時代が進むにつれて整備され、最終的に何も出来ない官僚国家になってしまう。

例えば日本を例にとってみるとこんな感じになる。

日本は西欧に追いつこうと西欧の制度をつきつきに取り入れ、近代化に成功する。

その過程でなにより重要視されたのは法体系の整備だ。

法律の専門家が何よりもだいにされ、育成された。

これは現在の日本でも引き継がれていて、国家公務員1種試験は、事実上“法律家”試験になっている。

本で読んだことだが、財務省の8割近くの人が簿記の資格がないらしい。財務関係の資料をみてもわからないから、専門家を雇うそうだ。当然、金融の専門家も少数で、ほとんどが法律の専門家だ。法律の作成実務にかんしては確かにプロだが、それ以外はさほどもないと書かれている。事実がどうか確かめようも無いが、現実の行政の鈍い動きを見ているとさもありませんかと思ってしまう。

他の省も例外なく、法律家に仕切られている。文部科学省に教員免許を持つ人はほとんどいないし、科学の専門家もすくない。国土交通省でも1級建築士の資格を持つ人はいても少数派のはずだ。

明治以来の、外国の制度を取り入れるための法律家が必要という慣習が、今だ生き残っている。

本来なら、財務省は金融のプロや企業化のプロがやるべきだし、文部科学省も教員免許をもち、実際に教壇にたった者がやるべきだし、科学分野の専門家がやるべきだと思う。

しかし、みな法律の専門家がやっている。

この間違いに気づいた多くの西欧諸国は官僚制を改めた。こういうところも反論されるかもしれない。

「その外国はうまくいってないだろう」

しかしそれは日本がこれから問題に直面するのであり、西欧諸国はもう直面して、反省して制度を改めた結果だと思う。日本はこれから痛い目に遭うのだ、戦後先進国がずっと不況にくるしんだように。

人は一通り目的を達してしまうと、墮落してしまうのかもしれない。

目的にかなわない制度でも、情性で続けてしまつ。

(一昔前なら彼らには戦う理由があり、明確な敵がいた。しかし今はどうだろう…“彼らの”あの行動も、そうして情性でなんとか続けられ、進化したものののではないだろうか？

現在の“彼ら”は見た目や格好に関しては一般人と見分けがつかないように努力している。どこぞの信仰宗教のように、専用の服を作ったり、特異なオブジェを掲げたりしない。逆に言えばそれが故見た目や生活様式の異なる人を攻撃する心理が生まれるのかもしれない。

たぶん、“彼ら”のあの「行動」は、そうした「専用の服」や「特異なオブジェ」がないがゆえ、“その”代わりになるべき要素として“必要不可欠”なものになっているのではないだろうか？

あやしい団体の構成員は「専用の服」や「特異なオブジェ」を通じてメンバーが一体感を持つと言つ、「彼ら」の場合は「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つ…と考えると、無理なくイメージできる、本来の目的を逸脱した今でも「例のあの行動」が存続する理由として…、本当のところはどうなのだろうか？Fさんはどう感じますか？そういえば、結局のところ官僚制度を維持したい官僚の動機も、一番には自分たちの一体感を失いたくないというのがあるような気がする、そう考えると、あの理不尽なまでの抵抗、理解できるから)

オスマン・トルコも例外にもれず、その後情性で国家システムが続いていた。

奴隷の軍団であるはずのイエニチェリですら“世襲”されるようになり、なんだが根本がおかしくないかという状況になっていく。王の代理人と呼ばれる官僚の権威がたかまり、王といえども逆らいがたい環境になっていく…。

同様に本来は“使用人”のはずの宦官が王に対して意見をいい国を動かすようになり、その利権に人が群がり、ネットワークが構築され、何世代もネットワークが引き継がれ、巨大で正体不明の意思が権力へ介入するのを許すようになる。

「魚は頭から腐る」という有名なトルコの諺は、このオスマン・トルコが17世紀に達して以降、だんだんと国家として機能不全に入っていた状況を嘆いてできた言葉らしい。（諺の出版には異説もあるようだけど、この言葉を使い、17世紀以降のオスマン・トルコの腐敗ぶりをあらわす人は多いようです）

ヨーロッパの場合は、頻繁に権力者が入れ替わったが、オスマン・トルコは600年も続いたから、他の国よりも内部腐敗が酷かったのかもしれない。自浄作用のない組織というのは最悪です。

そういえば、昨今話題の「地検特捜部」証拠改ざん事件も自浄作用がなかった故、おきたのだと思う。

この件に関しては、僕は無関係なわりに感慨深い感傷にひたる…… “彼ら”の猛攻撃をうける2〜3年前に「国家の罨」という本を読んでいた。

この本には「地検特捜部」の知られざる実体がかかれていて衝撃をうけたものだ。

同時期にでた「反転」という本とあわせて読んだ為、本当だろうか？と信じられない思いがした。

ニユースで報道されている事はあてにならない、もっとこの手の本を読もう、と思ったきっかけになる。

中には、あきらかにうがった見方の本もあり、そのへん注意する必要もあるので、間逆の立場の人の本をよんで、自分の中でバランスをとるのが一番のように思う。

そんな読書経験が、まさか実際に役に立つ日がくるとは本気で思っ
つてなかった。

警察も敵に回る事実があると、本を読んで知っていたけど、体験するとは思わなかった。

Fさん、君との思い出がなかったら、たぶん助からなかったと思う。

君には救われた事になる、18年前と1年前と2回もだ。今度は僕の番でいいのだろうか？いつか教えてください。

君はあの日、あの夏祭りの日、2人で神社の長い階段に座っていると、変な親子連れが来た時、僕が「よそへいこう」というと「退くのは向こうよ」とすごんだ。

あの記憶が僕にこう教えてくれる。

「逃げ切れない、立ち向かうしかない」と。
と。今日までやってこれたのも君のおかげです。

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？

(そこまでくさってない？)

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては(奇妙な事に)誇らしくも感じてしまう。

繋がっていたのだろうか？どうなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、
どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまうつもりでいます。

味方もいるはずですが、東京でも経験が、そう僕に確信させる。

変な人は男に多かった、女性はまともな人結構いた。話していてもわかる。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

いろいろあると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。

多分君の周りには悪意なく“そういう事”が出来る人がたくさんたくさんいると思う。

それは悪意があるのではなく、心が内向きになっていて、外に向いていないからだと思う。

心が外向きになれば、人として持つ“当たり前前感情”が戻ってきます。

そう、周りの人に言ってやってください。

繋がりには、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとっての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

世界は広大で広く、想像を絶するダイナミックな時間がからみあって作られている。

「視野が狭くて何が悪い」とか言う人が増え続けていくと、それが世界の不和の原因になってゆく。

せまい世界のなかだけで完結しないのは事実のようです。

理解を示す心の広さはどこへやったの？と。

これは人としての“質”の問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

質が問われているのです。そう伝えてください。

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。どんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だと思う。

けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。過去の文面を読んで欲しい、一度だって要求してない。

その代わりにこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」とそれでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。単に自分たちの贅沢が侵害されている事に怒っているだけという事実気づかずに反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せって言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではない」

…という事実があります、これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て

ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、

文句は言わせないわよ！」とも言って良いと思う。

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなものために、1度しかない人生を犠牲にされるのは間違っている。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔10月09日（土）曜日〕〔1〕

今日は久しぶりに冷えます…

〔10月09日（土）曜日〕〔2〕

そちらはどうですか？

〔10月09日（土）曜日〕〔3〕

今は安全なのかな？心配です…

〔10月09日（土）曜日〕〔4〕

最近こんな事思う、もうすぐ僕は資格をとるため“定期的”な日課に入る。

つまり、決まった場所に決まった時間いる生活がしばらく続くのだ。

〔10月09日（土）曜日〕〔5〕

…こんな事かいて、あせってるのか思われたくないけど。

〔10月09日（土）曜日〕〔6〕

たぶん、君が仮に本気で会う気になったとしたら？

僕が立ち寄りそうな場所に先にいるというスタイルをとるだろう

…などと思った。

過去の経験がそう判断させる。

〔10月09日（土）曜日〕〔7〕

…と同時に、仮にいつか本気になり、会いに来てくれる事があるとしても、今すぐではないだろうとも思う。

なんとなくそう思う。

〔10月09日（土）曜日〕〔8〕

まあ、あくまで“仮”の話なんだけど。

〔10月09日（土）曜日〕〔9〕

とにかく君が平穩である事を祈っています。

〔10月09日（土）曜日〕〔10〕

君が笑顔でいられる事が、なによりも僕の満足です。

〔10月09日（土）曜日〕〔11〕

とにかく、僕は今までと同じ事を続けようと思う。

〔10月09日（土）曜日〕〔12〕

待つと決めたのだから。

〔10月09日（土）曜日〕〔13〕

…最近きになったニュースの話していいかな？Fさん。

〔10月09日（土）曜日〕〔14〕

日本の“輸出”の利益は「円高」になればなるほど下がる。

そして現在は「円高」が激しく進行してどんどん下がる状態だ。
このままでは日本の“輸出型”企業は大幅赤字だ。
打開策として行われたのが「日銀」の「ゼロ金利」政策だ。

〔10月09日（土）曜日〕〔15〕

Fさん、こういう話あまり好きじゃないかな…

〔10月09日（土）曜日〕〔16〕
でも少し語らして

「ゼロ金利」政策の寸骨頂は「円」の金利がゼロなら（＝無価値）ならば、無価値な物は誰も欲しがらないので必然的に円の価値は低
落し、円高は止まるはずだ！という理屈だ。しかし、無価値なのに
世界中の資産運用担当者はそうは思わず「円」を買い続け、日銀の
目論見は短期的に見た場合失敗した。

なぜゼロ金利なのに（＝無価値なのに）皆が（＝世界中の資産運
用担当者が）「円」をほしがるのか？

それは金利が欲しくて「円」を買っているわけではなく、一番危
険の無い「安全」な「円」がほしいからだと思う。

日本の財政赤字は世界最悪のレベルなのになぜ「円」が「安全」
？と思うかもしれない。

実は、外国人から見ると、そうでもない。

なぜなら、日本の一般国民はたくさん資産を持っている。

いざ日本が危険になったら政府は税金なりなんなりいろんな方法
で国民から資産を吸い上げて、赤字を補填するだろう…

事実、日本国民の資産をすべて使い切れば日本の赤字は解消でき
るレベルだ。

そういう意味では、日本の通貨は他国より「安全だ」と見ること

ができる。

日本人からしてみればたまったものではない理屈だが、あながち否定もできない。

現在の赤字国債は郵貯が支えている、いつてみれば郵貯利用者の資産を国の赤字補填に使っている形だ。国が郵貯に借金を返済できなければ、その赤字は郵貯利用者がかぶる事になる。

(仮にそうした事態になった時に国が郵貯利用者を税金で助けたら、今度は国民全員で国の赤字を肩代わりする事になる)

外国人から見れば、「円」の価値は日本国民の個人資産で肩代わりされる事が保障された通貨なのだ。

他の先進国の通貨の中では、一番安全に見える。

そんな訳で、円高が止まらないのだと思う。

〔10月09日(土)曜日〕〔17〕

覚えているかな…、僕らが高校生のころは今以上の円高で“超円高”といわれた。

バブル絶頂期のころだ。

〔10月09日(土)曜日〕〔18〕

時期的にはもう少しあとになるけど、最高で1ドル＝79円までいったらしい。

〔10月09日(土)曜日〕〔19〕

今、またあの悪夢再びというところなのかもしれない。

〔10月09日(土)曜日〕〔20〕

過去の経験から“外国人投資家”は79円まで上がる可能性があると思うのだろうか？

今日のニュースで81円になったと言っていた。

〔10月09日（土）曜日〕〔21〕

僕らが高校生当時は、TVではいかにバブルに浮かれる事が楽しいかと喧伝する番組ばかりだった。

ビンボーはダサイと平気でギャグに出来る時代だった。

今の感覚ではありえない。

〔10月09日（土）曜日〕〔22〕

そんな時代の風潮が大嫌いだった。

〔10月09日（土）曜日〕〔23〕

そんな中、物に固執しない君に出会った。ものすごく新鮮だった。君を見ていると、当時自分では物に執着してないつもりだったけど、意外と“物”に固執していた事実気づかされた。素直に恥ずかしいと思っただし、その分、君に憧れた。

〔10月09日（土）曜日〕〔24〕

そんな事無い、と君は言うかもしれない。

そういう所好きです。

〔10月09日（土）曜日〕〔25〕

…話を戻します。

つい先日日本政府は、今回の日銀とは別口で「市場」介入という方法をとり、「円高」を押しさえ込もうとしました。

2兆円つぎ込んでドルを買いまくり（たぶんドル以外の通貨も買っていると思うけど）2円「円安」にしたけど、わずか2週間で押し戻されてしまった、正直打つ手なしの状況です。

こうなると諸外国といっしょに「協調介入」するしか手は無いのだけど、諸外国は相手にしてくれない現状です、なぜでしょう？

〔10月09日（土）曜日〕〔26〕

たぶん、こんな事だと思う。

「為替レート」は市場の秩序が決定するというルールがある。もし仮にこのルールが破綻した場合、各国が独自に通貨の価値を設定してしまい、大混乱になり、貿易そのものが成り立たなくなる可能性すらある。

〔10月09日（土）曜日〕〔27〕

例えるなら、“対戦型オンラインゲーム”で“参加ユーザー”が“自分の「能力」”を“自由に設定”できてしまった場合、参加者全員が“最強”になってしまいゲームが成立しなくなるのに似ている。ゲーム（貿易）を成立させるためには、能力数値を（為替レートを）自分で決めるのではなく、運営会社に（市場に）委ねるといふ合意を参加者全員が（貿易国全てが）しなければ円滑なゲーム（貿易）が成立しないのだ。

しかし、ゲームの世界では時として、プログラムに強い人がハッキングで数値を変えたりする事があるらしい。詳しくないけどこういうのを「チート行為」と呼ぶらしい。もし対戦型オンラインゲームで「誰かが」チートな行為を始めたら、「ずる」をしていると多くの参加者と思うだろう。

〔10月09日（土）曜日〕〔28〕

「為替レート」の世界での「チート」にあたる行為が「固定相場制」だ。

今、中国の通貨「元」のレートがほぼ固定されて動かない行為は、「チート」な行為として認識されている。

弱い参加者が自国を守るため自国通貨を「固定」することは、あ

る程度認められている。市場は弱肉強食だ、そのくらいの優位性が弱い参加者になると、公正が保てない。

しかし現在の中国はちつとも“弱い参加者”ではない、もうそこまで「強い」なら「チート」なことはやめて欲しい、と多くの参加者が（国が）思っているわけだ。

… 現在この「為替レート」の世界では、いつルールが崩壊するか？ いやしないのか？ の緊張状態にあると思う。

〔10月09日（土）曜日〕〔29〕

各国は輸出に有利な自国の「通貨安」を歓迎している。表向きは「たまたま偶然そうなった」と言い張っているが、実はあの手この手のルールギリギリの手段で「通貨安」を誘導している。

（日本が協調介入をさんざん呼びかけているのに「無視」する行為が代表例だ）

それどころか、一部外国の自国優先論者は、日本の「市場」介入は「円」の相場を「固定」させる「チート」な行為だと非難するわけだ。いわゆる「いいがかり」です。現在日本の関係者は「これは固定させるためのものではない、あるべき市場の姿を実現させるためのものだ」と各国に説明してまわっているとか聞いたけど、どこまで聞いてもらえるだろう…。

このまま「円高」がつつけば、日本がやせ衰えるのは目に見えている。

なにしろ輸出利益が「円高」になればなるほど減るのだから、屋台骨の“製造業”すら傾きかねない現状だ。

「円高」なんだから、これを利用して外国企業を安く買えばいい…、そういう動きも事実ある。

しかし、買収した先の海外企業の利益を国内に持ち込む時点で「

円高」により利益が減ってしまうから、どの企業も皆できるという訳ではない。

〔10月09日（土）曜日〕〔30〕

日本の「市場」介入は正当な行為…

それは誰もが認める事実で、非難するのはおかしい。多くの“まとも”な人はそう思っている。

なのにそれを「ずる」「してる」と言いがかりをつけるのは、アメリカ議会の議員だったりする。

〔10月09日（土）曜日〕〔31〕

彼らの理屈では、日本が「市場」介入すれば、アメリカの輸出にマイナスになる、そうなる则自分の選挙区の住民で輸出に関わる有権者が被害をこうむる、けしからん。とこういう理屈だと思つ。これに対して「何を自分本位な！」と思えるならば、貴方の思考は正常です。

〔10月09日（土）曜日〕〔32〕

しかし世界はこんな人達だけでなく、まともな人もいるわけで。話せば通じると信念をもって接し続ける事も大切なんだと思つ。

ある専門家がニュースでこんな事を言っていた。

「ただ外国に協調介入を“お願い”するのではなく、どうすれば世界経済が良くなるか“ビジョン”を提案しながらのお願いでないと聞いてもらえないのではないだろうか？」と。

これは回答の1つにすぎないけど、要は「おとなしくしていたら、誰かが願いをかなえてくれるわけではない」という事だと思つ。Fさんはどう思つ？

これは“彼ら”にも当てはまると思う。
いろんな目に遭う前は、“彼ら”の組織が正直あそこまでひどい
と思っただけだった。

もつとまともな組織と本気で思っていた…
多くの“まともな人”を隠れ蓑にして、“自分本位な”人が隠れ
ているのだと思う。

もう、恥ずかしい！と“そうした”仲間の“自分本位な”行動を
「見たくない」と思っている人、結構いると思います。

〔10月09日（土）曜日〕〔33〕

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨
大さ”をもっているようです、手が出せば届くようなものではない
強大なダイナミズムで動いている。せまい世界のなかだけで完結し
ないという事だけは、事実です。けっして単純ではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“
ぶり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくな
いの！？」と。

「理解を示す心の広さはどこへやったの？」と。

「真実に目を向ける勇氣はどこへいったの！？」と。

〔10月09日（土）曜日〕〔34〕

わかるうとしないのは、個人個人の“質”の問題です。目の前し
か見ていない。

そうした“厄介な”人多いと思うけど！負けなくて欲しい。

君が戦い続けられるなら、僕も戦い続けられます。

これは人としての“質”の問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。

もし何か言われたら、そう伝えてください。

〔10月09日（土）曜日〕〔35〕

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援して
います。

君は自分で思っている以上に強い人です。

僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせ
たと思う。

（君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違
いです。）

そうした“まちがった”発見を君が全て背負い込む心理状態にな
れば“彼ら”はそこにつけ込む。

〔10月09日（土）曜日〕〔36〕

“彼ら”はそこにつけ込む事で、君の心を容易に操る事が出来る
ようになる。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした
人達」の）常套手段”です。

非常に悪質な人心掌握法になります。

〔10月09日（土）曜日〕〔37〕

さらに言うなら“彼ら”は見た目や格好に関しては一般人と見分
けがつかないように努力している。

どこぞの信仰宗教のように、専用の服を作ったり、特異なオブリ

エを掲げたりしない。

逆に言えばそれが故、見た目や生活様式の異なる人を攻撃する心理が生まれるのかもしれない。

〔10月09日（土）曜日〕〔38〕

たぶん、“彼ら”のあの「行動」は、そうした「専用の服」や「特異なオブジェ」がないがゆえ、

“その”代わりになるべき要素として“必要不可欠”なものになっているのではないだろうか？

あやしい団体の構成員は「専用の服」や「特異なオブジェ」を通じてメンバーが一体感を持つと言う…

“彼ら”の場合は「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つ…と考えると、

無理なくイメージできるのだが、本当のところはどうなのだろうか？ Fさんはどう感じますか？

〔10月09日（土）曜日〕〔39〕

油断していると、本当にこれらの暗示にかかってしまいます。

接触してくる相手は、“親切心”につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのように“錯覚”させるプロです。“親切心”を利用されないようにしないと、永久にいいように利用されてしまいます。

そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気をつけて！

〔10月09日（土）曜日〕〔40〕

もしかしたら“彼ら”は君がなかなか、なびかないから、

じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？

(そこまでくさってない?)

〔10月09日(土)曜日〕〔41〕

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては(奇妙な事に)誇らしくも感じてしまう。
繋がっていたのだろうか?どうなのだろう。

〔10月09日(土)曜日〕〔42〕

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、
どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます。

〔10月09日(土)曜日〕〔43〕

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。
い。

でも繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられる
と思う。

きみにとっての“それ”が“何を”いみするのか。

〔10月09日(土)曜日〕〔44〕

君は君の心を信じて良いのだと思う。

何もしなければ、何も気がつかなければ、何もできないし、何も
変わらない。

大切なものまで踏みじられる権利は誰にもないように感じる。
あきらめないで、立ち向かう以外道は無いのです。

今も戦っているのだろうか…、負けないで!

〔10月09日（土）曜日〕〔45〕

そしてこう思う。“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）。

どんなに親しくなろうとも、絶対に。

はたして君はどうなのだろう…？

〔10月09日（土）曜日〕〔46〕

18年前、君は一步手前まで来ていた。

先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。

今にして思うとそう思う。

もし戦っているなら頑張っしてほしい、僕はまだ君のおかげで生き延びてここにいます。

奇跡を信じて…。

〔10月09日（土）曜日〕〔47〕

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまつつもりでいます。

他人と違う発想こそ君の武器になるはずです。

〔10月09日（土）曜日〕〔48〕

“人を許せる時が、自分を高める時”

（日本テレビ系『行列のできる法律相談所』で有名な弁護士、菊地幸夫氏の言葉）

簡単でないが、目指しがいのある目標ですね…

もし何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、文句は言わせないわよ!」。

〔10月09日(土)曜日〕〔49〕

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言っ権利を君は十二分に持っていると思う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらっ機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう?

これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に堕ちちゃっ
たとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。もつその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

Fさん、いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。

狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

「心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！」
と言ってやってください。

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされるのは間違っている。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔10月10日（日）曜日〕〔1〕

僕は今、賭けをしています。

答えはわかりません、とにかく待とうと思う。

今は君の都合が悪いだけだ、受け入れられるにしろ、違うにしろ、なにかしらケリをつけに君は現れる。

そう信じます。君は、僕が真実に気がついたという事実をもし知ったなら、

その事実を重く受け止めるはずだ。

そう思った。何に賭けているのかと言うと、君が僕に「告白」するかどうかという事だ。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（「告白」しない）、どんなに親しくなるうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は「告白」一歩手前まで来ていた。先輩の正体を明かすという行為は、

あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ、今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。君が僕に「告白」するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。それは事実です。

告白された事は胸にしまうつもりでいます。

〔10月10日（日）曜日〕〔2〕

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。

どんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だと思う。

けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。

過去の文面を読んで欲しい、一度だって要求してない。

その代わりにこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」と。

それでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、

何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。

単に自分たちの贅沢が侵害されている事に怒っているだけという、
事実気づかず反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せって言う、

無理な（実行不可能な）相談をしているわけではない」

…という事実があります、

これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

〔10月10日（日）曜日〕〔3〕

「アラビアのロレンス」という映画がある。

18年前、高校生当時、この映画に興味はあるが、見たことがなかった。

覚えているだろうか？トランプで2人いた男子部員のうち、君が注意を促した人物ではない方のかね。

個人的にはあいつは“彼ら”ではないと思う。

その彼が「アラビアのロレンス」のビデオを持っていると言うので、当時借りて見てみた。今でも思うのだが、あれは世界史の基本知識がないと眠くなる映画だ。

最初見た限りでは寝てしまった。あとで感想をきかれてあたふたした記憶が残っている。

この後数回、見返す機会があるのだが、当時子供のぼくにはいまいちピンと来ない映画であった。

「アラビアのロレンス」を理解するためには、第1次世界大戦戦前後のイギリスとオスマン・トルコの歴史を知らないという理解が難しい…

外国人が大島渚監督の「御法度」という映画をみて、新撰組がどういう組織かまったくわからない…という感想を抱いたという話を聞いた事がある。日本人なら京都を守る幕府方の愚連隊は説明無しでわかるので、劇中で細かい説明はないのだ。あれと同じかも知れない。「アラビアのロレンス」も、西洋人にとっては説明無用の有名なのだろう。冒頭いきなりバイク事故で主人公が死んでしまい、

面食らったものだ。

オスマン・トルコの歴史で見たら、彼はイギリスのスパイで、民衆を扇動する悪者だ。だが、映画では少しちがう描かれ方をしている。映画でのその姿は苦悩する考古学者だ。

以前書いたように17世紀以降のオスマン・トルコは「魚は頭から腐る」の諺ことわざのような状況になっていた。じわりじわりと腐敗が進み、機能不全に陥っていく。「アラビアのロレンス」が活躍する19世紀の頃には、民衆はもうヘキヘキしていた。

16～17世紀以降のオスマン・トルコの機能不全の原因は国家体質の変化にある。

国家が巨大になり、雑多な事務仕事の重要度が増加、すると文官の重要度が増す。本来武人国家だったオスマン・トルコは16～17世紀を境に文官国家に变身していた。

また大砲が主な戦力になったためイエニチエリの軍団の人数が膨れ上がる、大砲を動かす為には人数がいるのだ、こうして軍事費が膨れ上がりおおきな負担になる。

さらに制度が整備されるにつれ、実務よりも形式が重んじられるようになる。王は実務に関わらなくなり、象徴化する。

これら変化は、大きくなった国家の当然の変化であり、没落でもなんでもない。

〔10月10日（日）曜日〕〔4〕

問題なのは、小型で機動力ある国から、重厚で巨体体質へ変化したのに、その事にきがつかず今までどりのやり方でいこうとしたところに、歪みの原因がある。

16～17世紀以降のオスマン・トルコは国家の体質変化にあわせて、頭を（制度を）切り替える必要があったのにしなかった、そこが大きなゆがみの元となり、機能不全に陥っている。

当時のトルコ人は何だかしらないが、どうもおかしいぞこの国、という漠然とした不安を抱えていた。しかし、だれも歪みの原因を理解できず、的外れな処方を繰り返す。

この点に関しては現代の日本人に似ている：

高度経済成長以前の日本は8割近くが農家の“まずしい農村国家”だった。豊かさに憧れ突っ走ることが美德の国だった。しかし現在の日本は違う、巨大になった経済大国だ。国民所得も膨れ上がり、かつての70〜80年前の貧しい農家のように子供を人買いに売るような事ももうない。

しかし文化面での成長が、この体質変化についていっていない。例えば、年配者は平気で言う。「女が男をさしおいて…」と。

かつての“まずしい農村国家”ではその様にしたほうが上手いく事も多かったと思うが、今その理屈をふりかざすと、いつまでたっても女性の子供を育てる環境整備につながらず、出世率が向上しない。結果人口が増えず国力が落ちる。

女性の権利に限らず、いろんな面で古い文化を改めないといけない。

女性の人権問題以外にも労働倫理改革もある、もつと働き盛りのサラリーマンが休日をたくさんとらねば、内需拡大は永久に無理だし。そうしないと国の赤字は永久に減らない。

(現在、GWの時期を地域別分散化する案が模索されているのも、これを目指した政策提案だと思います。日本の文化にそぐわないと反対者が多いようですが、内需拡大策の1つとしては長期的に見て有効な政策です)

(サマータイム導入も内需拡大を目指す政策だ。サラリーマンがいつもより1時間はやく仕事を切り上げるだけで、遊ぶ時間が増えると考えられている、しかしそんな事したら残業が増えるだけだ！と反対されている…。僕はこう思う、いきなり1時間ずらしたら混乱するから、まずは最初の5年は5分とか次の5年は10分とか時

間をずらしていき、60年かけて1時間ずれるサマータイムを導入すれば、混乱も起きないのでは？と。体質改善には長い目が必要で、早急な結論はありません）

もう日本は“まずしい農村国家”時代の文化では、統制できない体質に変化した事を自覚しないと、オスマン・トルコのように「魚は頭から腐る」状態になってしまう。変化を怖がる体質が、結果身を滅ぼすという意味では、オスマン・トルコと日本は確かに似ている。

そんな訳で国家の体質変化にうまくついていけないが故、16〜17世紀以降のオスマン・トルコは機能不全に陥る。汚職も日常化し、重い税金も一般化。人材の流動性も消え、狭い世界で完結する息苦しさだけが蔓延していた。当然国民はへキへキしてくる。不満もたまる。

どう変ればよかったのか？これは多少ずるい表現だが、後の歴史から考察できる。

この後の歴史では、18世紀にフランス革命が起きて周辺国民に衝撃をあたえる。

ああ、国王つて理由さえあれば倒していいんだという空気が広がる。

オスマン・トルコとて例外ではない。特にバルカン半島やギリシヤは地理的にフランスに近く影響を受ける。その際、王を倒していいんだという空気のよりどころ（旗印）になったのが、ナシヨナリズムだ。

19世紀に入り、オスマン・トルコ内の非ムスリム人達は「反乱のよりどころ（旗印）」として、自らのルーツを支えにした。ギリシヤ人は自分がギリシヤ人である事を思い出し、バルカン半島の人々も本来のルーツをよりどころ（旗印）に「反乱」してゆく。これらの国々が離反していくのは時間の問題だった。オスマン・トルコ国

内は混乱するが、機能不全の国家は有効打が打てないでいた。

この期に乗じてオスマン・トルコを倒してしまおうと考えたのがイギリスだった。19世紀のイギリスは植民地獲得に野心的な時期世界の海路を我が物にせんと画策していた時代だ。

そんな時代、イギリスからオスマン・トルコに送り込まれた人物が「アラビアのロレンス」だ。

〔10月10日(日)曜日〕〔5〕

結論から言うと「アラビアのロレンス」(ロレンス中尉)は現在のサウジアラビアの建国に大きく関わっている。

バルカン半島やギリシャの人々は自らのルーツがはっきりしているので、それをよりどころに反乱をおこした。しかし、他の多くの(オスマン・トルコ国内の)アラブ人は「自分はムスリムである」という以外、よりどころを持たない。しかし、この人たちの間にもオスマン・トルコへの不満はあるはずで、どうにか反乱の旗印をあげてくれないものか?とイギリス政府は考えた。彼らが「反乱」すれば、イギリスはオスマン・トルコに戦争で勝てる…

ロレンス中尉の任務は、秘密裏にオスマン・トルコに潜入し、有望な人物を見つけて「反乱」に導く事だった。

映画では、ここで彼は苦悩した事になっている。実はかれの本業は考古学者なのだ。しかし食えないし、戦争中なので、しかたなく陸軍の地図製作部門でアラブの地図を作っていた。言語堪能で、現地に精通している事もあり、潜入工作員として白羽の矢が立ったのだ。

ロレンス中尉はアラブ人が好きだ。騙すような事はしたくない。それにオスマン・トルコは確かに腐敗しているので「反乱」は彼らのためでもある…、しかし、自分がしている事は侵略者の手先に過ぎない…、苦悶し葛藤するわけだ。

現実のロレンス大尉（中尉から途中で昇進）像にかんしては諸説ある。映画のような苦悩する人物ではなかったとか言われたりする。あれは創作だと。それはそれでいい。

ただ、映画のラストで、それまで地元の部族長の子せがれにすぎなかった男が、サウジアラビアの王に変わる瞬間があり、ものすごく印象的に覚えている。サウジアラビア王家は、一応古い家系ではあるが、ロレンス大尉に選ばれなければ、いまでもアラビア半島の1小部族の長にすぎなかった家系なのだ。

ほんの些細な出来事が、その後の世界の行方を変えてしまう…、大きな歴史の一部に自分も組み込まれているのだと感じさせる…、そんな映画なのだと思う。もしかしたら、自分のささいな行為も、どこかでめぐりめぐって大きな出来事と繋がっているかもしれない…。

（ こういうのを「バタフライ効果」というそうです。北京で蝶が羽ばたいて起こした風が、いろんな風と影響しあい、最終的にアメリカで竜巻をおこしている…とかいうやつです）

（ それなら、冒頭ロレンス大尉がいきなりバイク事故で生涯を終えるシーンではじまる意味もわかる。こんな普通の死に方をした一般人が、あんな巨大な歴史のうねりに大きな影響を与えたのだ、普通の人々の行為も、もしかしたら、大きな渦に影響を与えているのかもしれない…という意味のシーンかも…？いや、考えすぎか…。映画ファンに怒られるかも。でも映画とは、見る人間が各々解釈して楽しむもの。相当外した事言わない限り大丈夫だと思う）

まああくまで個人的感想です、10年以上見てないから、今見たらもつと違う感想を抱くかもしれない。

いい映画とは見る人間の年齢が変わると、若い頃には気がつかなかった要素に年とってから気がついたりするので面白く感じる事があります。

〔10月10日（日）曜日〕〔6〕

…話をもどして、16世紀〜17世紀以降の腐敗したオスマン・トルコはどうすればよかったのか？

僕はこう思う、近代議会制度をとりいれて国内の不満を解決できる体制にすべきだったのだと思う。

不満さえなければ、自らのルーツをよりどころにしようとも、「反乱・独立」までは考えないと思う。

…うまく議会が機能するためには、ある種カリスマと才能がいるかもしれないという欠陥が議会制度にはあるが、16世紀〜17世紀以降の腐敗したオスマン・トルコの制度ではそうした才能すらつぶしてしまう状況だったので、自浄作用が働かない。

不満にはいろいろなレベルがあると思う。

例えば、これは旅行中一貫して思ったことだが、飛行機にしてもバスにしても、日本人の体格に椅子の高さがあっていないのだ。これは僕個人の体格は関係ない、ツアー客全員、バスにすわると、床に足が着かないので、長時間移動でつらくなり、おのおの工夫する羽目になる。飛行機も同様で、11時間も乗るのに、椅子の高さが合っていない。

帰国して、成田エクスプレスや新幹線に乗ったとき、ちゃんと座って足が床に着くのに感動した。やはり、日本の乗り物は日本人の体格に合わせて作られている。

…でもこの程度の不満は不満のうちに入らない、我慢できるし、工夫すれば対処できる。

この程度の不満で大声をあげる人物はたしかに“わがまま”だと思ふ。

しかし“世の中”には上記とは比べ物にならないレベルの表現できないレベルの“酷いめ”に遭う人もいる訳で、そういう人は遠慮無用で不満をくちにしていいのだと、強く、つよく主張します。F

さんはどう思いますか？

〔10月10日（日）曜日〕〔7〕

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっている。

手が出せば届くようなものではない強大なダイナミズムで動いている。

せまい世界のなかだけで完結しないという事だけは、間違いようのない事実です。

けっして単純ではない。

単純であると吹聴する人間はなににも理解していないのに、“したふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

〔10月10日（日）曜日〕〔8〕

君は自分の声を出して良いと思う。

〔10月10日（日）曜日〕〔9〕

誰も君の思いを踏みにじれない。

〔10月10日（日）曜日〕〔10〕

屈する必要はない！

〔10月10日（日）曜日〕〔11〕

勇気を君に！

〔10月10日（日）曜日〕〔12〕

強い意思と共に

〔10月10日（日）曜日〕〔13〕
話を通じなくても、ある程度効いてるはずです。
何度でも何度でも、なんどでも、あきらめずに！

〔10月10日（日）曜日〕〔14〕
35年の時間は君に権利を主張させる“権利”を与えている。
なぜならば、君の“本気度”を示せるからだ。
そのくらい重い時間の重さです。

「貴方に私の時間の重みが理解できて!？」
と、すごんでもいいと思う。
即反論できる猛者は少ないと思う。

〔10月10日（日）曜日〕〔15〕
「それじゃあオレの格好がつかないじゃないかよ」
と言われたら？
「これ以上長引くともつと格好がつかないわよ」
と言えばいい。

〔10月10日（日）曜日〕〔16〕
「私をひとり立ちさせて!」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

〔10月10日（日）曜日〕〔17〕
頑張つて!負けないで!

君の周りの人に伝えてください。

「自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないの!？」と。

〔10月10日(日)曜日〕〔18〕

君の周りの人に伝えてください。

「理解を示す心の広さはどこへやったの？」と。

〔10月10日(日)曜日〕〔19〕

君の周りの人に伝えてください。

「真実に目を向ける勇氣はどこへいったの!？」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

〔10月10日(日)曜日〕〔20〕

“彼ら”は見た目や格好に関しては一般人と見分けがつかないように努力している。

〔10月10日(日)曜日〕〔21〕

どこぞの信仰宗教のように、専用の服を作ったり、特異なオブジェを掲げたりしない。

逆に言えばそれが故、見た目や生活様式の異なる人を攻撃する心理が生まれるのかもしれない。

〔10月10日(日)曜日〕〔22〕

たぶん、“彼ら”のあの「行動」は、そうした「専用の服」や「特異なオブジェ」がないがゆえ、

“その”代わりになるべき要素として“必要不可欠”なものにな

っているのではないだろうか？

あやしい団体の構成員は「専用の服」や「特異なオブジェ」を通じてメンバーが一体感を持つと言う…

“彼ら”の場合は「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つ…と考えると、

無理なくイメージできるのだが、本当のところはどうなのだろうか？Fさんはどう感じますか？

〔10月10日（日）曜日〕〔23〕

…これらは、個人個人の“質”が問われています。

〔10月10日（日）曜日〕〔24〕

世の中には、平気で証拠を書き換える検事があると、ニュースでやっています。

本人は本気で「何も悪いと」思っていないからやったのでしょう。物凄い犯罪だと、発覚しなければ永久に気がつかない…

そういう類の“厄介な人”多いと思うけど！負けたくない。君が戦い続けられるなら、僕も戦い続けられます。

〔10月10日（日）曜日〕〔25〕

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。“質”が問われているのです。そう伝えてください。

〔10月10日（日）曜日〕〔26〕

君が戦っているという前提で書きます。負けなくて！応援しています。

君は自分で思っている以上に強い人です。

〔10月10日（日）曜日〕〔27〕

“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。
君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違い
です。

〔10月10日(日)曜日〕〔28〕

…君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。
る。

もしそうなら全てを背負い込んではいけません！“彼ら”はそれを
狙っています！

〔10月10日(日)曜日〕〔29〕

そうした“まちがった”発見を全て背負い込む心理状態になれば、
“彼ら”はそこにつけ込み容易に君の心を操る事が出来る様にな
る。

〔10月10日(日)曜日〕〔30〕

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの(中の)「そうした
人達」の(常套手段)です。

非常に悪質な人心掌握法になります。

〔10月10日(日)曜日〕〔31〕

油断していると、本当にこの暗示にかかります。

相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのよ
うに“錯覚”させるプロです。

〔10月10日(日)曜日〕〔32〕

親切心を利用されないようにしないと、永久にいいように利用さ
れてしまいます。

気をつけて！そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコ
だ！

〔10月10日（日）曜日〕〔33〕

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？

（そこまでくさってない？）

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては（奇妙な事に）誇らしくも感じてしまう。繋がっていたのだろうか？どうなのだろう。

〔10月10日（日）曜日〕〔34〕

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

でも繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしい事はないと思うけどどうなのだろう？

これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、」

君が、全ての罪を背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこに
つけ込み、容易に人の（君の）心を操れる事が可能だからです。
そうやって君の心から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口で
す。

だから注意して！非常に悪質な人心掌握法じしんしじょうぎあつかうです。
そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコです！気を付
けて！

〔10月11日（月）曜日〕〔3〕
油断してはダメです。

〔10月11日（月）曜日〕〔4〕
大丈夫とっていてても…

〔10月11日（月）曜日〕〔5〕
意識しないうちに、いつの間にかかかっている事もある。

〔10月11日（月）曜日〕〔6〕
本当に注意して！

彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思いついてるけど、それは間違い
です。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこ
につけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした
人達」の）常套手段”じょうたうしゅんたうです。

非常に悪質な人心掌握法じしんしじょうぎあつかうになります。

油断していると、本当にこの暗示にかかります。

相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのように“錯覚”させるプロです。

親切心を利用されないようにしないと、永久にいいように利用されてしまいます。

「損そんな役回りを押し付けてくるような思想は、もう嫌!!」
と、言ってもいいと思う。

君が言つと、破壊力あると思う。

〔10月11日（月）曜日〕〔7〕

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

でも繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

〔10月11日（月）曜日〕〔8〕

…とりあえずいつもの記述の続きを書こうと思う。

〔10月11日（月）曜日〕〔9〕

1868年、明治維新がおこる…

同年、三宮さんみやでおきた岡山藩兵による英仏兵負傷事件の責任をとり、切腹した武士がいた。

明治維新といえは、古いものは捨て去り、新しい制度が置き換わる時代と思いがちだが、実際はまだまだ江戸時代の文化を引きずる時代でもあった。

〔10月11日（月）曜日〕〔10〕
なんかまたむずかしいこと書いてると思ってる？

〔10月11日（月）曜日〕〔11〕
そうかもしれないけど、まあ、いつもの事なので…

〔10月11日（月）曜日〕〔12〕
変わってないな…、そういう所。と思ってくれたらうれしいです。

〔10月11日（月）曜日〕〔13〕

この時代は偶然にも、日本のみならず、世界全体の空気が（環境が）物凄いスピードで価値観の変化を体験する時代だったと思う。
古い価値観も消え去る事も無く存在し、共存できる価値観対立する価値観、消えさるる価値観とが日々めまぐるしく入れ替わる激動時代だ。

イメージ的にはちょうどイギリスの“シャーロック・ホームズ”が劇中で探偵を始めた時期がこのくらいの時期だ。
ホームズは古い常識を打ち破る「型破り」の人物として描かれている。時代の風潮になじみ、人気を博す。

アメリカで石油会社が設立され、油田開発が本格化したのもこの時代。

ヨーロッパでは北部、南部、中部と分裂していたイタリアが統一し、ドイツが統一されたのもおおよそこの頃だ。

現在の世界秩序の原型が出来上がった時期になる。
以前書いたが、現在の世界秩序は石油利権で成り立っている。

この時期の少し前に、アメリカ力である退役軍人が石油掘削で成功し、その後われもわれもと後に続く人が登場、乱立状態になる。

無計画な安売りと乱開発で消耗戦に突入し、多くの石油掘削業者が倒産の憂き目にあう。

この弱りきった各石油掘削業者を買い集め、1つに統合した人物こそ“ロックフェラー”という人物だった。

その後このロックフェラーはアメリカ屈指の石油会社の支配者として君臨し、今日のロックフェラー財団の基礎を作る。

（余談だけど、“財団”とは“財”の集合の意味だ。これと対を成す言葉として“社团”というのがあるが、こちらは“人”の集合をさす。外国の財団の多くは、ロックフェラー財団のように、使いきれない富を稼いだセレブが、社会に利益を還元する目的で設立する。大学や研究機関、図書館などをつくり、“稼ぎすぎた富”を社会に還元する制度だ。^{システム}しかし日本の財団の多くはこれとは違う。

日本の“財団”の多くは政府から出たお金を元に、公益法人などが設立したものが多い。一応その設立目的は社会貢献という事になっているが、多くは“天下り先”になっていて、それがその財団の設立目的になっているケースも少なくない。近年、こういう所になっている税金を廃止しようと画策されているが、多くの抵抗にあまり上手くない、霞ヶ関の必死の抵抗にあっているからだ。正直、事業仕分けなどは、本来改革しなければいけないものの氷山の一角にすぎない）

ロックフェラー財団はアメリカ石油支配の基礎を作った人物ということになる。

この時期に日本が明治維新をできたのは運がいい、奇跡にちかい。このタイミングをのがすと、発展についていけなかった可能性がある。現に他のアジア諸国はついてこれなかった…。

実はこの時代、オスマン・トルコでも大胆な改革が実施されてい

た。制度が改められ、憲法も作られるが、何1つ上手くいかなかった。

それとは好対照に、上手く近代化に成功した日本人にトルコ人が好意をもつのもよくわかる話だ。

19世紀の蒸気機関の時代だ。蒸気船が登場する。

そのおかげでシルクロードは無用の長物となり、まったく収入が得られない状態になる。

シルクロードが衰退した後のオスマン・トルコの収入源といえば、ヨーロッパへの農産物の輸出くらいになってしまった。

つまりヨーロッパ人の都合で国家財政が左右する事態で、これではほとんど半植民地化に等しい。

かつてシルクロード全盛の時代、すすんだ技術はシルクロードを通じてもたらされた。火薬にしても大砲にしても、各々の地で開発されたものが、シルクロードを通じて1つになり、発展した。

しかし、ヨーロッパが産業革命に成功した事により、少なくとも軍事面・産業面での優位性を失った。

この時代、産業革命に成功した西欧諸国は圧倒的な軍事的優位を背景に、海路シレーンを確保して、世界の貿易の利権を我が物にせんとしていた。

トルコの北にある大国ロシアはあせった。ロシアには海がなく、当然、海路シレーンの確保などできない。でもこれができないと世界で覇権を維持できず、いずれはオスマン・トルコのように何処かの国の半植民地になってしまう。その危機感から、ロシアは海を目指した。西ではバルト3国を飲み込み「バルト海」を、東では中国を打ち負かして「日本海」に面した「ウラジオストク」を、それぞれ手にしている。南でもオスマン・トルコを打ち負かして「黒海」を手にしよ
うと画策していたので、トルコにしてみれば気が気でない状況が続く。

長年の国としての機能不全に加えて、シルクロードの衰退と産業革命に出遅れた事も重なって、オスマン・トルコはまさに「瀕死の病人」状態だった。（事実当時のヨーロッパ人はオスマン・トルコのことをこう呼んだ）

この時期、シュリーマンはトルコ国内でトロイの遺跡を発見。混乱するオスマン・トルコ政府を利用して、見事発掘品を持ち出す事に成功している。

〔10月11日（月）曜日〕〔14〕

こんな状態だからこそ、隙ができたのかもしれない。制度が改められた過程でイエニチエリは解散され、西洋式の軍隊が出来ていた。

ここで頭角を現すのが後の近代トルコ建国の父、ケマル・アタチユルクだ。

彼は明治維新から13年後の時代、当時トルコ領だったマケドニアで生まれたらしい。

彼はこの後、19世紀初頭に起こった「第1次大戦」で活躍し、常に勝利を重ねて、トルコの英雄になる。そんな事を知ってか知らずか西欧諸国は、第1次大戦が終わるとここぞとばかりにトルコに圧力をかけた。

すでにバルカン諸国やギリシャが離反してトルコの国力も落ちていた。

この時代、まだ国内に眠る「石油」は発掘されておらず、とても

国力を回復できる状況ではなかった。

(19世紀初頭はまだ蒸気機関の時代だ。ガソリンはまだ一部でしか利用されていない)

多くの国民が感じた。このままではトルコは本当に植民地になる！多くの国民が英雄ケマル・アタチュルクに期待をかけ、実際、彼を反乱の指導者へとこの機運がたかまる。

しかし、オスマン・トルコの王を含めた首脳部は国家解体の危機よりも、自己保身を優先させ、ケマル・アタチュルクを左遷させる。これをきっかけになったのかわからない…だが左遷後、彼は「反乱」を指導する立場につく決意をしたようだ。

この「反乱」はオスマン・トルコへのものというより、圧力をかけ攻め入る西欧諸国への「反乱」という色彩が強い。

「反乱」後のターニングポイントになったのはイズミールでギリシャ軍に勝利した事だ。

イズミール：覚えているだろうか？元の名を「スミルナ」と呼んだ。

「スミルナ」は「エフェソス」とともに古代からある都市で、ギリシャ神話の神々を祭っていた。

両都市は「ヨハネの黙示録」にも登場する古い都市で、「エフェソス」の方は海岸線が変わったために早くに捨てられ、「スミルナ」の方は海が変わらずあり続けたのでそのまま発展、現在名を変え「イズミール」と呼ばれている。

旅行中僕はここの「クラウンプラザホテル」に停まった。ホテルの目の前には巡洋艦が博物館として係留されていた…と説明した、あのイズミールだ。

イズミール（スミルナ）を奪取せんとするギリシャ軍を、ケマル・アタチュルク率いる新生トルコ軍が撃退した事により、各国がその

実力を認め、戦うよりは講和がいいと判断。同時にケマル・アタチユルク率いる新生トルコを「正式に」新しいトルコ政府として認めた。こうして現在も続く近代トルコの領土は保全されました。1922年の事です。

1922年といえば大正11年。関東大震災の1年前で、明治維新から54年後の出来事です。

（余談ですが、僕らの想いで映画「紅の豚」はこのくらいの時代のアドリア海を舞台にしています。アドリア海はトルコから独立したてのギリシャとバルカン諸国に面していて、大変な混乱期にありました。無法者も多かったと想像できます。宮崎駿監督は、そうした時代背景のもと、アドリア海の無法者“空中海賊”を創作しました。そしてバルカン半島の北には当時、ハプスブルグ家が支配する「オーストリア・ハンガリー二重帝国」が存在し、主人公のポルコ・ロツソはこのハプスブルグ家が“空中海賊”にかけた懸賞金目当てに働いていたわけです。この時期のイタリアはフィレンツェ王国から発展した「サルディニア王国」がイタリア統一に成功、イタリア王国として存在しますが、反政グループがファシスト党をつくり、国民が何だかわからない全体主義へ傾倒していく時代でした。全体主義に嫌気がさしたポルコ・ロツソは自らに魔法をかけ“豚”になったのです。劇中彼が秘密警察に追われていたのも、反ファシズムを堂々と“豚”になることで主張していたからです。かれは共和主義者なのです。）

（今、「紅の豚」の映画と原作を共に確認したら、ポルコ・ロツソが目当てにしていた“空中海賊”への賞金を出していたのは、ユーゴスラビア（バルカン諸国）の王党派という風になっていました。上記のハプスブルグ家は間違いです。でもこの間違い、訂正せずこの但し書きを付け足すのみにしようと思う。なぜなら、架空である「紅の豚」の世界観を説明するより、現実の歴史を説明する方が

重要度が高いから。間違いとはいえ、上記記述は当時の世界を上手く説明できていると思う)

〔10月11日(月)曜日〕〔15〕

「紅の豚」の劇中でもみられるように、この時期ガソリンエンジンが急速な発達を遂げる時期です。

劇中でも、ポルコ・ロツソはカーチスに対抗するためエンジンをより高性能なものにしている。次々に新技術でエンジンのパワーがあがって言った時代です。蒸気機関の時代から、ガソリンエンジンの時代へと移行する過渡期の時代です。石油を制したものが世界の覇者になる時代がそろそろ始まりかけた時期でもあります。

この後起こる「第2次世界大戦」の時代。本来ならトルコはアメリカ方に(連合国方に)つくはずでした。

しかし「日本人」を敵にしたいくない国民感情から、中立を保ちます。

終戦ギリギリになって、ついに圧力に屈して日本に宣戦布告しますが、特に強いつながりがあるわけでもない「日本」に対してそこまで肩入れしてくれる国民性になんだか感じ入るものがあります。もちろん他の理由もあったのでしようが、一般にトルコ人は親日家として理解されています。Fさんはどう感じますか？

第2次大戦終了後、バルカン半島にはユーゴスラビア連邦が登場。かつてのバルカン諸国はこの連邦に加盟し、ソ連の影響下に入る。

ギリシャとトルコは西側諸国のメンバーとして、これを迎え撃つ形になり、仲が悪いはずのギリシャとトルコは、この時以来の同盟国関係になります。ちょうど中国・北朝鮮を封じるために、仲が悪いはずの「韓国」と「日本」が協調関係を築いたのに似ています…

1923年、日本では関東大震災が起こったと先ほど書きました。震災直後、朝鮮の方への集団暴行というか、市民による虐殺のような事があったらしいです。理由は不明ですが、混乱に乗じて少数派が悪さをするに違いないと、当時の日本人は思ったようです。

時代はとび、1995年の阪神・淡路大震災の時には、その様な事おきませんでした。当時、韓国人がその事を知って素直に日本人に感心したとか、当時TVでみた記憶があります。

明治維新の頃は、外国の兵士を数人怪我させただけで、切腹が強要された。

しかし55年後の世界では（1923年では）もうそんな理由で“切腹”させられる事はありえなくなっていた。過度の責任感への妄信は改革されたのです。

その代わり同年に起きた関東大震災では市民による朝鮮の方への集団暴行があったりする…

しかし178年後の世界では（1995年では）阪神・淡路大震災が発生しても、市民はその様な少数派にたいする集団暴行をしなかった。

行き過ぎた“差別”への羞恥心が市民に芽生えたと思いたいところですか。

〔10月11日（月）曜日〕〔16〕

日本人も“進化”したと解釈したいのですが、Fさんはどう思いますか？

変る常識、変る世界というのは、現実に確かにあるのです。

∴世界は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもって動いてきました。

そして今もそうした渦の中で（ダイナミズムで）動いています。

手が出せば届くようなものではない強大な“何かで”動いている。そして“変る常識”“変る世界”というのは、現実に確かにあるのです。

けっして単純ではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないの！？」と。

「理解を示す心の広さはどこへやったの？」と。

「真実に目を向ける勇氣はどこへいったの！？」と。

「組織の放つ理想だけでは、世の中は良くなるならぬ」と。

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。

どんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だと思う。

けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。

過去の文面を読んで欲しい、一度だって要求してない。

その代わりこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」と。それでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、

何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。
単に自分たちの贅沢が侵害されている事に怒っているだけという、
そういう事実気づかずに反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せって言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではない」

…という事実があります、これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

〔10月11日（月）曜日〕〔17〕

Fさん、いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。

狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

「心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ!」
と言ってやってください。

わかるうとしないのは、個人個人の“質”の問題です。目の前しか見ていない。

そうした自分都合の連中に負けないで！

世の中には、平気で「証拠」を書き換える検事があると、ニユースでやっています。

本人は本気で「何も悪いと」思っていないからやったのでしょ。物凄い犯罪だと、発覚しなければ永久に気がつかない…

そういう類の“厄介な人”多いと思うけど！負けないで欲しい。

多分君の周りには悪意なく“そういう事”が出来る人がたくさんたくさんいると思う。

そんなやり方では、人を侮辱する人間が大量生産されてしまう…君にとって“それが”過ぎやすいとは思えない。

そうした傾向は、悪意があるのではなく。

心が内向きになっていて、外に向いていないからだと思う。

心が外向きになれば、人として持つ“当たり前前感情”が戻ってきます。

そう、周りの人に言ってやってください。

君が戦い続けられるなら、僕も戦い続けられます。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援しています。

しってるかな？君は自分で思っている以上に強い人です。

〔10月11日（月）曜日〕〔18〕

嘘つきに気をつけて！

〔10月11日（月）曜日〕〔19〕

「これで最後」って言える日が来て欲しいと思わない？

Fさん。

〔10月11日（月）曜日〕〔20〕

信じるその想いを大切にして。

〔10月11日（月）曜日〕〔21〕
大切な“なにか”

〔10月11日（月）曜日〕〔22〕
ゆずれぬ想い

〔10月11日（月）曜日〕〔23〕
代え難い大切なもの

〔10月11日（月）曜日〕〔24〕
こらえどころです

〔10月11日（月）曜日〕〔25〕
頑張つて！

〔10月11日（月）曜日〕〔26〕
負けないで！

〔10月11日（月）曜日〕〔27〕
時にはリラックスして、やさしい、ふわふわした気持ちを取り戻し。

〔10月11日（月）曜日〕〔28〕
それでいて“凜”^{りん}とした態度で、自分の想いをぶつける。
はね付けられても、何度でも、何度でも、なんどでも。
絶対に効いてるはずですよ。
なぜなら、君が本気である事を示しているから。

〔10月11日（月）曜日〕〔29〕

前も言ったけど、彼らの資格・身分に法的根拠はまったくなく、国家資格ではない。

あくまで任意の私設集団の内輪でしか通じない資格だ。法的にはレンタルDVDの会員カードとなにもかわらない。君の人生を縛るほどの力は、ないのです。

〔10月11日（月）曜日〕〔30〕

“彼ら”は見た目や格好に関しては一般人と見分けがつかないように努力している。

どこぞの信仰宗教のように、専用の服を作ったり、特異なオブリエを掲げたりしない。

逆に言えばそれが故、見た目や生活様式の異なる人を攻撃する心理が生まれるのかもしれない。

〔10月11日（月）曜日〕〔31〕

たぶん、“彼ら”のあの「行動」は、そうした「専用の服」や「特異なオブリエ」がないがゆえ、

“その”代わりになるべき要素として“必要不可欠”なものになっているのではないだろうか？

あやしい団体の構成員は「専用の服」や「特異なオブリエ」を通じてメンバーが一体感を持つと言う…

“彼ら”の場合は「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つ…と考えると、

無理なくイメージできるのだが、本当のところはどうなのだろうか？ Fさんはどう感じますか？

〔10月11日（月）曜日〕〔32〕

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか

か？

(そこまでくさってない？)

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては(奇妙な事に)誇らしくも感じてしまう。

繋がっていたのだろうか？どうなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、
どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。
い。

でも繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられる
と思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

何か言われたら、こう言うてください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決
して思わない人よ」
と。

“彼ら”は決して正体を明かさない…(告白しない)、
どんなに親しくなるうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は一步手前まで来ていた。

先輩の正体を明かすという行為は、

あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまうつもりでいます。

“人を許せる時が、自分を高める時”

(日本テレビ系『行列のできる法律相談所』で有名な弁護士、菊地幸夫氏の言葉)

簡単でないが、目指しがいのある目標ですね。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

第28話 旅行から帰って…？（未来へと続く話その14）（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第29話 エッセイ風小説を書き連ねる（未来へと続く話その15）（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第29話 エッセイ風小説を書き連ねる（未来へと続く話その15）

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

〔10月12日（火）曜日〕〔1〕
Fさん、元気になっていますか？

〔10月12日（火）曜日〕〔2〕
ん？

〔10月12日（火）曜日〕〔3〕
そう…

〔10月12日（火）曜日〕〔4〕
そうか。

〔10月12日（火）曜日〕〔5〕
うん、でも

〔10月12日（火）曜日〕〔6〕
そうだね。

〔10月12日（火）曜日〕〔7〕
僕はわがままを言う。

〔10月12日（火）曜日〕〔8〕
嫌われてでも、君に伝えたいことがある。

〔10月12日（火）曜日〕〔9〕
会いに行くのは不可能だ。

こればかりは、君の方からでない…

〔10月12日（火）曜日〕〔10〕
そう

〔10月12日（火）曜日〕〔11〕
いろいろあるのかな…

〔10月12日（火）曜日〕〔12〕
何にせよ、納得した歩みをするのが一番です。

…最近、僕は昔ほどストレスに悩まされなくなつた。

彼らの暗示による嫌がらせに気づいたのが原因だろうか？
それとも長年の大切な思い出の正体に気がついたからだろうか？

真実に気がつく前は、クサクサして一人で数時間ふてくされる事
もあつたが、今は無い。

何だか不思議なものです。

君も、時々、一人で自分の殻に閉じこもる時があつた…
今もそうなのだろうか…心配です。

〔10月12日（火）曜日〕〔13〕
最近、腹筋を毎日の日課にしました。
理由はTVで北朝鮮の後継者の映像を見たことです。
ぼっこりおなが出ている…

同じように出ているので、これはまずいと思った。

急に自覚する事ってあります。

〔10月12日（火）曜日〕〔14〕

君は太ったのかな？やせたのかな？

それとも以前と変わらないのだろうか？

いろいろ想像したりします。

いつか正解を知る日が来るでしょうか？

もう一度あえる日を信じて…。

〔10月12日（火）曜日〕〔15〕

再会を信じます。

〔10月12日（火）曜日〕〔16〕

現在深夜2時半すぎ、早ければ今日。ヘルパー講座の受講資格の返事がくる。

定員があるので、もれるかもしれない。

今回受講を申し込んだのは、公的機関の講座だ。

はたして“彼ら”の介在はあるのか…

それに、筆記は自信が無い。一般常識は得意でない。

もし申込者全員の面接に問題がなければ、筆記で合否が決まってしまう…

早ければ今日、合否がわかる。

受ければ、本気で取り組みたいと考えてます。

〔10月12日（火）曜日〕〔17〕

もし落ちた場合は、有料の民間機関の講座に申し込むつもりです。

こちらに定員割れはない。

〔10月12日（火）曜日〕〔18〕

仕事をしつつ（仕事の準備をしつつ）、エッセイ風小説を続け、それを反映したエッセイ漫画の投稿で日々を過ごす。

当面はそんなかんじに過そうと思う。人間関係の再構築とかは、仕事が軌道にのってから考えようと思う。

“素”で接してくれる人は、その人が仮に“彼ら”であろうともいい人だという事は、東京で学んだ。

あとは時間をかけて、普通の人か、違うか見分ければいい。時間さえかけて観察すれば見分ける自信はある。

〔10月12日（火）曜日〕〔19〕

こんな話を思い出す。

アフリカのガーナでは、今、中国製のニセモノ電化製品であふれかえっているそうだ。

ガーナの人は“本物”を見たことが無い。ニセモノしか知らないのだ。

いくら日本人が、それはニセモノだと指摘しても、それしか知らないからわからないのだ。

∴長年ぼくはニセモノの友情を本物と思ってきた。

でも今はニセモノと本物の区別がつく。

ニセモノしか知らなくても生きてはいけるのだが、その状態が続くと漠然とした不安というか、疑問を常に抱えてストレスになる。

今はその種のストレスを感じない。本物とニセモノの区別がつくからだ。

過去、本物の友情を示してくれた人が何人もいた事実にも、今は気づく。

しかし、それらの関係を当時の僕は粗末に扱ってきた。

ニセモノの友情こそ大切と感じたがゆえ、本物の友情もニセモノ同様の扱いをしてしまったからだ。

というか、そういう人間関係が当たり前前であるという、間違った認識でここまでできてしまった。

ここから、2つの思いに僕はいたる。

1つは、過去“彼ら”に囲まれた環境下でも“普通の人”は確かに存在し、仲良くなれた。という事実と。

もう1つは、過去そうした人達がいたのだから、これからも人間関係を作る事は可能だと思う。という思いだ。

こんな思い出がある。

大学生の時、駅近くの喫茶店で喋っていた。話す内容は漫画の内容についてだ。

すると、突然。その友人は話の内容を変え、政治の話題にした。

唐突だったが、かれにあわせた。

しばらくして、どうして急に話を変えたのか聞く。

「となりのおばさんがじつと見てるんだよ」

と彼は言った。

当時からお店に入ると見られる感覚はあったが、気にした事はなかった。

しかし、真実に気がついてからは、監視を意識する。

大学時代の友人は監視を意識したのだろうか？

もし、普通の人なら、監視するおばさんについての文句でその後しばらく盛り上がるはずだが、

その時のあいつは、見られていた事をポツリと言ったきり、この話題を封じた。すごく奇妙に感じたのを覚えている。

1つ言えることは、漫画の話題以外で、彼と盛り上がることはついに無かった。

当時は気がつかなかったが、今はそれが異常であると感じる。

過去の記憶を探ると、時折聞きもしないのに、自分の家族の話題とかするやつがいた。

当時はそれが、“彼ら”ではない証拠の1つだと気がつかず、重視しなかった。

友人というのはそういう話をしない人を言うのだという、間違った認識でいたが為だ。

人生とは波乱万丈で面白いです。

Fさんはどう思う？

いつか君の想い（思い）も聞かせてください。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないでほしい。

.....

〔10月12日（火）曜日〕〔番外1〕

いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。
狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

「そのお断りだわ、もう2度と永久にね！」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

自分の心を取り戻してほしい、君のためにも。僕のためにも。繋がりには、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

味方もいるはずですが、東京でも経験が、そう僕に確信させる。変な人は男に多かった、女性はまともな人結構いた。話していてわかる。

全てを背負い込んでいただけです、悔やんでいるならOKです。

悔やみもしない人達に囲まれて、悔やんでいない“ふり”をし続けるのは、

相当つらいと推測します。脱出がベストです。

この18年間、同じ苦難を君と共有したのだろうか？
繋がっていたのだろうか？

- - - - -

〔10月12日（火）曜日〕〔番外2〕

僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違いです。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの”中の「そうした人達」の“常套手段”じんしんしゅあぐです。

非常に悪質な人心掌握法になります。

僕は今、賭けをしています。

最近こんな事思う、もうすぐ僕は資格をとるため“定期的”な日課に入る。

つまり、決まった場所に決まった時間いる生活がしばらく続くのだ。

…こんな事かいて、あせってるのか思われたくないけど。

たぶん、君が仮に本気で会う気になったとしたら？

僕が立ち寄りそうな場所に先にいるというスタイルをとるだろう

…などと思った。

過去の経験がそう判断させる。

…と同時に、仮にいつか本気になり、会いに来てくれる事があるとしても、

今すぐではないだろうとも思う。

なんとなくそう思う。

「私をひとり立ちさせて！」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

.....

〔10月12日（火）曜日〕〔番外5〕

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

Fさんは賛成してくれますか？

再会を信じて。

.....

〔10月13日（水）曜日〕〔1〕

Fさんへ。

〔10月13日（水）曜日〕〔2〕
今回の文章はてこずった…、時間かかったので、ずるして1度で2日分にします。

〔10月13日（水）曜日〕〔3〕
公的機関のヘルパー講習、落ちました…
残念です。まあ、僕より深刻な人もたくさんいたので、仕方が無いと思うことにしました。

実際問題、面接などで感じたけど、他の人は僕より深刻な事情の人が多い。
僕は運がいいのかもしれない。

損した分、帳尻があっていると感じたいところです。

できる事なら、恋愛関係でも帳尻があえば…
まあ、運命の神がいるなら祈るのみです。
奇跡を信じて。再会を祈ります。

〔10月13日（水）曜日〕〔4〕
第2プランである民間のヘルパー講座に、近日中に申し込むつもりです。

〔10月13日（水）曜日〕〔5〕
君の方はどうですか？
元気にやっていますか？

〔10月13日（水）曜日〕〔6〕
君は僕より要領がいい、きつと何とかしていると信じます。
18年前もたぶん、いつまでも真実に気がつかない僕を見て、

総合的に判断して身を引くのが一番と考えたのかもしれない。

それなら、高校時代。もうあわないと言われたあとの君の立ち振る舞いも理解できる。

何も変つてなかったし、嫌う様子も一切なかった…。相変わらずかわいい君だった。

不思議で、理解できず、混乱した。

この疑問は解かなければ、そう思った。

時間はかかったけど、ようやく答えにたどり着きました。

人生って波乱万丈でおもしろいです。

僕は今、賭けをしています。

答えはわかりませんが、とにかく待とうと思う。

今は君の都合が悪いだけだ、受け入れられるにしろ、違うにしろ、なにかしらケリをつけに君は現れる。そう信じます。

君は、僕が真実に気がついたという事実をもし知ったなら、その事実を重く受け止めるはずだ。そう思った。

何に賭けているのかと言うと、君が僕に「告白」するかどうかという事だ。

“彼ら”は決して正体を明かさない…。「告白」しない、
どんなに親しくなろうとも、絶対に。君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は「告白」一步手前まで来ていた。

先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ、今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。君が僕に「告白」するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。それは事実です。

告白された事は胸にしまುತ್ತもりでいます。
だめ…かな、どう？

〔10月13日（水）曜日〕〔7〕

あれから君にもいろいろあつたと思う。

“彼ら”についてだけど、見た目や格好に関しては一般人と見分けがつかないように努力していると感じる。どこぞの信仰宗教のように、専用の服を作ったり、特異なオブジェを掲げたりしない。

だからこそ、逆に言えばそれが故、見た目や生活様式の異なる人を攻撃する心理が生まれるのかもしれない。

〔10月13日（水）曜日〕〔8〕

たぶん、“彼ら”のあの「行動」は、そうした「専用の服」や「特異なオブジェ」がないがゆえ、

“その”代わりになるべき要素として“必要不可欠”なものになっているのではないだろうか？

そんな事思う。

あやしい団体の構成員は「専用の服」や「特異なオブジェ」を通じてメンバーが一体感を持つと言っ…

“彼ら”の場合は「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つ…と考えると、

無理なくイメージできるのだが、本当のところはどうなのだろうか？ Fさんはどう感じますか？

君がこういうの好きでない事は、よく知っています。

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？

（そこまでくさってない？）

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては（奇妙な事に）誇らしくも感じてしまう。繋がっていたのだろうか？どうなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど……、どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。
い。

でも繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

…君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用の呪い」にかからず、
サンクコスト

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

〔10月14日（木）曜日〕〔1〕

…これを書くのにてこずった。以下の文です。

君はこういうの好きでないかもしれない。でも、気が向いたら読んでみて欲しい。

僕は相変わらずこういう話好きなんです。

「紅の豚」が舞台とした時代、第1次大戦後のイタリアは、ムッソリーニ率いるファシスト党が台頭していた。ファシズム（＝全体主義）の定義については諸説あるが、僕は“民主主義”“共産主義”を否定する“フランス革命以後に登場した国家体制”という定義が好きだ。とてもわかりやすい。

（ 「紅の豚」の続編が構想中だという事を、Fさんは知っているだろうか？たぶん女の子だから知らないと思う。女の子は通常、模型雑誌など読まない…、本来「紅の豚」は模型雑誌に掲載していた数頁のカラー漫画だった。そういう関係で宮崎監督は20年近く構想している、その「紅の豚“続編”」もこの雑誌に掲載するつもりらしい。特に映画化の意思は無いようだ。

…調べると、ごく最近もこの雑誌のなかで「そろそろ“ポルコロッコ最後の出撃”を書く」

とか言っているらしい。まだ、あきらめてない辺りが巨匠っぽい

感じます。(そう！何事もあきらめてはいけないのです！！)その続編の内容は20年間謎のベールにつつまれている。わかっている事は、あの映画の後日談である事。そして、ポルコ・ロツソが“爆撃機”に乗って活躍するという事。そして、その爆撃機の機種名…、それだけだ。

この爆撃機は第2次大戦のイタリア軍の機種なので、おそらくその辺りの時代が舞台と推測されている。

はたして、反ファシストの“豚”がどういう経緯で“ファシストの軍の爆撃機”に乗るのか？

そして同じ反ファシストのホテルの女主人ジーナはどう絡むのか？一筋縄では解決しないストーリー上の制約があるので、

監督がそれをどう解決するのか…、それも楽しみです)

〔10月14日(木)曜日〕〔2〕

この第2次大戦の遠因となる事件が、小ささかのぼって1929年に起きている。「世界恐慌」だ。

それは近代トルコが王を追放した5年後の出来事で、日本では、関東大震災から6年経ち、日韓併合から19年経っていた。

この頃、中国では革命指導者“孫文”^{そんぶん}が亡くなってから4年経過し、国民党vs共産党の内戦がはじまった頃で、そんな混乱した中国の領土を日本が虎視眈々と狙っていた時期だ。

(日本の侵略は、欧米諸国のものとは異なる“概念”で行われていたように思う。先にも触れたように欧米列強の侵略目的が“海路^{シーレーン}の確保”にあるのに対して、日本の当時の侵略戦略にはそれが無い。最近読んだ本にこんな感じの記述があった。長州の木戸孝允^{きとたかよし}は早い段階から征韓論を(=韓国を併合する案を)唱えていたらしい。多くの人が、占領しても赤字になるから意味が無いというなか、長州の木戸孝允^{きとたかよし}を中心とした人達は主張した。

「赤字でもかまわない。占領し、植民地をもつ実力を示せば、欧米

列強も日本を列強として認めてくれる」と。この理屈はその後受け入れられ、日本は海外侵略にうつて出るようになる。そんなもののために国を乗っ取られたらたまったもんじゃないと思うのは“普通の”感覚だと思う。）

（後の資料でも日韓併合は大赤字だったらしい。日本国内からの財の持ち出しの方がおかつた。そういう点から見ると、あれは完全に国際社会への政治キャンペーンだったと思う。現在の北朝鮮の核開発となにも違いが無い。）

〔10月14日（木）曜日〕〔3〕

この時期「世界恐慌」が起こったメカニズムには、定説があるようだが、いまいちハッキリしない…。

どうも、こうなんじゃないか？的な説明はあるものの、「正直、よくわからない」といのが正しい認識だと思う。

ただ、明確にわかる事は、「それまでの経済学では説明不能の現象」が起きたと過去・現在の誰もが認識している事だ。

現在でも当時の「世界恐慌」は研究されていて、現アメリカFRB議長バーナンキは、「世界恐慌研究家」で有名ならしい。

上記の文章のポイントは「それまでの経済学では説明不能の現象」が起きたという中の“それまでの経済学”とは何なのか？という点だ。それは1776年に『国富論』を書いた“アダム・スミス”の経済学の事をさす。

〔10月14日（木）曜日〕〔4〕

“アダム・スミス”は“ニュートン”と同時代を生きた人物だ、「世界恐慌」から200年近く前の人物だ。

この200年前、産業革命の起爆剤ともなるニュートン力学が誕生し“アダム・スミス”に影響を与えている。

“ニュートン”はそれまでの過去の偉人たちの業績と自分の発見を、総合的にまとめ、「古典力学（ニュートン力学）」を完成させた人物だ。当時これは非常に画期的なことで、それまで“神”が支配するこの世の慣わしを数学的に解明してしまったからだ。古典力学の（ニュートン力学の）完成により、人間は自然の力を数学で理解できるようになり、コントロールできるようになる。産業革命の起爆剤となり、さまざまな発明に生かされた。

それを見て“アダム・スミス”はこう考えた。ニュートンが物理の世界で神の領域を解き明かしたなら、自分たち経済学者は経済の世界の法則を解き明かそう、と。当時は需要と供給という概念もなく、インフレ、デフレの概念も無かった。経済活動で、どうして好況・不況が起こるのかも、解明されない時代で、まさに経済活動は神の理が支配する世界で、失業者を減らしたければ神に祈るしかなかった。

18世紀、“アダム・スミス”を初めとする経済学者は、初歩的な経済学を完成させる。それが今日知られる「古典派経済学」だ。その特徴は、事実や期待はすべて“数値化可能”で、誤差は無視できるレベルの物としてとらえた。不確実な要素は（バイアスは）すべて数値化できて計算可能としていた。

“ニュートン”の「古典力学（ニュートン力学）」が今日でも通用する理論であるのに対して、「古典派経済学」は修正が余儀なくされている。なぜなら「古典派経済学」が無視を決め込んだ不確実な要素こそが、今日経済を理解する要だからだ。

〔10月14日（木）曜日〕〔5〕

世界で最初に「古典派経済学」を修正し、成功した人物が“ケインズ”だ。

彼は学者というより、投資家であり、官僚だった。

「世界恐慌」がおこった1929年、世界で唯一「世界恐慌」に対して有効な政策提言をした人物としてとらえられている。

ケインズは官僚でもあった。そういう立場もあつたのか、まず政府が公共事業をやるべし!と主張した。おそらく理屈よりも長年の「投機家としての経験と勘かん」により、政府の公共事業が(「自由市場にむりやり参入して強引に雇用を作る事が」重要であると感じとつたのだろう。

(ちなみにケインズは投機家として天才で成功をおさめた人物である)

このケインズの理論は世界中で受け入れられ、今日「ケインズ主義」と言う名で、世界的に知られている。1929年の世界恐慌時は世界で唯一の、有効な経済理論だった。そういう経緯もあり現在、世界中の経済担当者がこの考えを経済学の下敷きになっている…。

しかし、ケインズの理論には矛盾も多く完璧ではない。時間と共にその矛盾点が指摘され続けたが、特に問題が発生しなかつたのでその後の時代もつづけて「ケインズ主義」は世界の主流でいつづけた。

問題が発生したのは1970年代。いわゆる「スタグフレーション」という問題が発生し、詳しくはわからないが、失業者対策においてケインズ理論は理論破綻したようだ。

「今更それはないだろう…、今から古典経済学に戻る事はできない。どうすればいい!？」

と世界中の政策担当者が思った。

〔10月14日(木)曜日〕〔6〕

この時、シカゴ学派のミルトン・フリードマンの提唱した理論が、世界で唯一スタグフレーション問題解決の糸口を見出せるものであるとされ、イギリスで支持される。時にイギリスが「鉄の女」サッチャー首相の時代だ。

事実その理論に基づく政策で失業問題は対応可能な問題になった。イギリスほど徹底しないもののその後アメリカでも取り上げられ、各国に広がってゆく、1980年代の出来事です。

シカゴ学派とは、以前書いた世界最古の近代取引所であるシカゴ取引所の近くにあるシカゴ大学の経済学派で、長年シカゴ取引所の取引のメカニズムを説明しようと研究している人達の集団だ。もともとはオーストリア学派というヨーロッパの学派の分派だったが、ヨーロッパでオーストリア学派がケインズにおされて消滅したため、その跡を継ぐ形になっている。

（意見はいろいろあるだろうが、こうしたシカゴ学派を“新自由主義”とくくる事がある。事実、僕もそうしてきた。しかし本来“新自由主義”とは政治用語であり、経済用語ではないらしい。

どうやら本来はネガティブな表現らしく、「ケインズ主義者」が反ケインズ主義を攻撃するのに用いる表現のようだ。だから、定義があいまいでわかりづらい。まったく相反する考えの人物まで、おなじ“新自由主義”論者としてくくられている。僕も過去の記述で、シカゴ学派＝新自由主義と表現してきたけど、これは改めます。

シカゴ学派とはオーストリア学派の流れを汲む、市場の自然秩序を重視する立場の人達であり、政府の積極的な介入を（公共事業を）是とする「ケインズ主義」とはしばしばぶつかる事もある学問の派です。

もう少し具体的に言うなら、不安定な要素を政府が排除して、エリートの指導の下「社会工学的」に問題を解決するのが「ケインズ主義」であるのに大して、「シカゴ学派」は不安定な要素も取り入れて、市場の自然秩序を見て流れをつかむものであるようだ。北風

と太陽に似ている…)

以前こんな事本で読んだ。

ある日本人が留学中、アメリカの経済学者にこんな質問をしたらしい。

「あなたは何学派なんですか？」

すると、そのアメリカ人経済学者は、随分悩んでから

「強いて言うなら、右よりの 学派といった感じでしょうか」

という感じの回答をしたとか：

どうも欧米各国の経済学者は、特に自分が何学派か？とかは意識せず、自由に物事を考えているらしい。

例えとしてふさわしくないかもしれないが、映画「酔拳」の中のジャッキーチェンのセリフの中に、この状況を説明できるぴったりなセリフがある。以下がそれです。クライマックス、宿敵との死闘の末、ついに自分だけの酔拳にたどり着いた主人公のセリフだ。

「(同じ仏教でも) 寺で仏が異なれば、(カンフーも) 師匠で技も異なる。師匠と弟子次第で拳法は変る。これぞカンフーの真髄！」

北風と太陽はバランスが肝心なのかもしれない、どちらかが一方的に正しいわけではない。

〔10月14日(木)曜日〕〔7〕

…話をもどして、1970年以降「ケインズ主義」を席卷した「シカゴ学派」の理論は。その後イギリスで徹底して実施され、イギリスの失業問題は制御できるレベルに落ち着いた。構造改革、規制緩和が徹底され、「シカゴ学派」の見本のような状況になる。

よく当時「ウインブルドン化」という言葉を聞いた。僕が大学生くらいの時期だ。1995年前後だろうか？

イギリスは経済が自由化したために、その主だった企業がみな外

国企業に買収されてしまい、現在イギリスの基幹産業はみな外国資本が経営している。まるでイギリスで開催されるテニス選手権のウィンブルドン大会で、イギリス人プレイヤーが1人も参加できないのに似ている…、という意味だ。

「シカゴ学派」の理論を徹底すると、たしかにこの様な現象に陥る。世界の全ての国が実施すれば問題ないが、1国だけでやると安全保障上の問題が発生してしまうのだ。今、イギリスでは、アラブ系資本に基幹産業を買収させていいのか？という議論があるようだ。同じ問題はアメリカと日本の間にも起きた。日本企業がアメリカの原子力発電所メーカーを買収する際、それは国防上問題あるとして問題になったが、この時は「大丈夫」と最終決着している。現在日立はGEの技術を使い新型原子炉の開発をしています。

また、ついこの間も、日本の空港施設の管理を外国企業に任せるのは、安全保障上問題があるとして話題になった。

2008年、渡辺喜美金融担当相、岸田文雄規制改革担当相、大田弘子経済財政担当相は（長い肩書き！！）の3人は、現在の国際社会では皆そうしているのだから問題ないとして、推進しようとしたが、冬柴国土交通大臣、町村信孝官房長官の反対にあい頓挫した。

意見はいろいろあるだろうが、日立とGEの件もあるので、日本1国だけ「チート」な行為を続けるのも問題で、むずかしいところ
です。

こういふ問題は時間をかけて調整する必要があるのかもしれない…

〔10月14日（木）曜日〕〔8〕

こう書き連ねていくと、こういふ意見も出てくるでしょう。

「経済学なんて役立たずじゃん」と。

そうでもない事例が、じつはあったりするのです。

第1次大戦は1919年のパリ講和会議で終結しました。

その際、過去のヨーロッパの“慣例”にならい、敗戦国ドイツには莫大な“賠償金”が請求されました。

ケインズはこれに大反対でした。むしろ積極的に財政支援をして公共事業を起こすべきだと。

この時ドイツに請求された金額は天文学的な金額で、とても払いきれぬものではなく、実質的にドイツを弱らせてのちのち頂こうという陰謀が垣間見えます。ドイツ人はそれに耐え続け、社会は混乱し、ヒトラーの台頭を許す結果になったのです。

（余談ですが、この賠償金。今月3日に（2010年10月3日に）“完済”した、と現在のドイツ政府が公表しました。まだ払っていたんですね、驚きです。突きつけられた言いがかりに対して9年かけて“返済”して見せる事で、逆に他のヨーロッパ諸国をギヤフンと言わしたわけで、ドイツ人の根性は凄いです…）

∴ 結果的にはケインズの主張は、この時正しかった。

ドイツを復興させていた方が、ヨーロッパの混乱は早く修復しただろうし、むしろ上記に示すドイツ人の根性強さが、ヨーロッパ経済を牽引してくれたかもしれませぬ。事実現在のEUでドイツは唯一の黒字国で、ヨーロッパ経済を牽引しています。

〔10月14日（木）曜日〕〔9〕

先にも述べたとおり「ケインズ」は天才的な投機家であり、勘がさえていた。

かれの理論はその“勘”を理論化したもので、勘であるがゆえ、整合性がなく、欠陥も多い。

しかし、彼の勘そのものはそれほど間違っただろう。

当時、ドイツに賠償金は“おかしい”と言える人物はなかなかない。

僕はこう思う。「経済学」とは個人の天才的“勘”を可能な限り理論化したものではないだろうか？と。

だから、普通に読むと整合性が無く、欠陥だらけだ。

それを読み解くには“書き手”と同等の“天才的勘”が必要なのだろう…。

僕は凡人で天才の考えはわからない、しかし、その片鱗に本を通じて触れる事で、それまでにない発見にたどり着ける事もあるので、そういう意味では「経済学」というのは意味があるものだと思う。

僕自身、「再帰性理論」は理解できないまでも、そこで説明された“バイアス”という概念は、新しい見方を教えてくれた。

リーマンショック以降「シカゴ学派」的手法も見直され、ふたたび「ケインズ主義」が復活しています。でもどちらが正しい訳でもなく、混乱が続きます。

日本は？というと、実は世界のトレンドから少しずれている。

先進国が80年代「シカゴ学派」の実力におそれいつている頃、日本は「何それ、理解できない」と言わんがばかりに「ケインズ主義」を妄信し、公共事業をばんばんやりまくりました。2001年の小泉改革の時にようやく「シカゴ学派」の思想が取り入れられ、規制緩和や構造改革に着手します。欧米に遅れる事20年後です。激しい抵抗にあい改革が頓挫したのはニュースで報道されています。そうこうしているうちに「リーマンショック」で「ケインズ主義」が見直され、今に至ります。

「ケインズ主義」に傾倒しているだけではダメだと思つのは、僕がシロウト故なのかどうなのか…、まさに神のみぞ知るところです。

経済理論を無視したヨーロッパ諸国の賠償金請求により、ドイツは疲弊し、ヒトラーの台頭を許し、世界は第2次大戦に突入しました。第2次大戦後過度な圧力は良くないと悟った欧米の人々は、敗戦国“日本”の戦後復興を手助けしてくれるわけです。

人類は過去から学び成長すると、信じたいところです。

やはり世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっていると思う。手が出せば届くようなものではない強大なダイナミズムで動いている。せまい世界のなかだけで完結しないという事だけは、間違いようのない事実です。けっして単純ではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないので！？」と。

「理解を示す心の広さはどこへやったの？」と。

「真実に目を向ける勇氣はどこへいったの！？」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

わかるうとしないのは、個人個人の“質”の問題です。目の前しか見ていない。

そうした自分都合の連中に負けないで！

世の中には、平気で「証拠」を書き換える検事があると、ニユースでやっています。

本人は本気で「何も悪いと」思っていないからやったのでしょう。物凄い犯罪だと、発覚しなければ永久に気がつかない…

そういう類の“厄介な人”多いと思うけど！負けないうで欲しい。

君が戦い続けられるなら、僕も戦い続けられます。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援して
います。君は自分で思っている以上に強い人です。

〔10月14日（木）曜日〕〔10〕

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。どんな屁理屈をひね
り出すのか一苦労だと思う。

けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。過去の文面を讀ん
で欲しい、一度だって要求してない。

その代わりにこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」と。
それでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って
贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。単に自分たちの
贅沢が侵害されている事に怒っているだけという事実気づかずに
反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せって言う、無理な（実行不可能な）相談をし
ているわけではない」

…という事実があります、これはささやかな奇跡を期待している
だけの事なのです。

Fさん！！君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。

もしそうなら全てを背負い込んでだめです！“彼ら”はそれを狙っています！！

君が、全ての罪を背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込み、容易に人の（君の）心を操れる事が可能だからです。そうやって君の心から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ！！だから注意して！非常に悪質な人心掌握法じんしんしょうあくです。そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコです！気を付けて！

Fさん、いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。

狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！と言ってやってください。

多分君の周りには悪意なく“そういう事”が出来る人がたくさんたくさんいると思う。

それは悪意があるのではなく、心が内向きになっていて、外に向いていないからだと思う。

「心が外向きになれば、人として持つ“当たり前前感情”が戻ってきます。」

そう、周りの人に言ってやってください。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

〔10月14日（木）曜日〕〔11〕

君がどこにいようと、どんな状況だろうと応援しています。何があるうと世界中でただ1人味方でい続ける人間がいることを忘れないでください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった……
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。
三界に家を建てるには、君が必要です。

君は試練に耐えた、だから……天からご褒美をもらう機会をもらった、
それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！
老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「私をひとり立ちさせて！」「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

だけという事実気づかずに反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せって言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではない」

…という事実があります、これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

Fさん！！君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。

もしそうなら全てを背負い込んでダメです！“彼ら”はそれを狙っています！！

君が、全ての罪を背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込み、容易に人の（君の）心を操れる事が可能だからです。そうやって君の心から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ！！だから注意して！非常に悪質な人心掌握法じんしんしょうあくです。そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコです！気を付けて！

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

〔10月15日（金）曜日〕〔2〕

Fさんは「名探偵ポアロ」という探偵ドラマを知っているだろうか？

イギリス製の海外ドラマで、昔よくNHKで再放送をやっていた人気推理ドラマだ。

今でも人気があるようで、全話DVDがTUTAYAに置いてある。

主人公の「ポアロ」はベルギー人だ。第1次大戦で祖国が戦争に巻き込まれ、イギリスに逃げてきたという設定だ。もともとベルギー警察の警官で、優れた推理力を持つとされる。イギリスではベルギー人は珍しいらしく、原作者のアガサ・クリステイは劇中でポアロの事を見たイギリス人に「フランス人の小男」と揶揄させた（ベルギー語とフランス語は似ているからだ）。ポワロは言われるたびに「ベルギー人です！」と憤慨する演出がされていてコミカルだ。

「ポアロ」は独身主義者だ、祖国に悲しい恋を残して来ている。故に小男でちつともモテないがいつこうに気にしない…
運動はまったくダメで、犯人逮捕はもっぱら相棒のヘースティンクス大尉の役回りだ。

性格的には問題が多いが、憎めない人物として描かれている。

なぜ「ポアロ」の祖国は戦争に巻き込まれたのだろうか？

戦争とは第1次世界大戦の事だ。

（第1次大戦でオスマン・トルコは領土を失い、大戦終結後の列強の侵略に対して「建国の父ケマル・アタチュルク」が防衛戦をして国を守り、現在のトルコの基礎を作った話は以前しました。この時代、パリ講和会議で戦勝国が文字どおり地球上の全ての利権を分配した、アフリカ大陸をケークのように切り分けて国境を引いたのもこの会議だ。ドイツにはは多額の賠償金が請求され、日本はと言うとドイツが持っていた中国大陸の支配地域をもらいうけ、列強とならば大国扱いをされご満悦な時期だ）

1919年パリ講和会議、1939年に第2次大戦が始まるまでの20年間その取り決めは世界秩序だった。

一般にはこれを「ヴェルサイユ体制」と言う、パリ講和会議はヴェルサイユ宮殿で開かれたからだ。

「ポアロ」は戦争が終わっても祖国に帰らなかった。

劇中では常にイギリスの文化を馬鹿にする小男が、イギリスが好きで住んでいるとは思えない。

なぜ、帰らなかったのか？

当時の産業の発展にその答えがあるように思う。

…少し時代をさかのぼって、中世ヨーロッパから見ていきたい。シルクロード全盛時代、なぜヨーロッパ人は“外”へ向わなかったのか？

理由は明白で、ヨーロッパは豊かな土地だから、わざわざ“遠出”をしなくても、身近な世界を開発したり、奪い取ったりするだけで充分満足のいく“富”が手に入ったのだ。そんな理由もあり、中世のヨーロッパ人はよほどの理由が無い限り“遠征”をしなかった。例外的に、宗教的理由で“聖地奪回軍（十字軍）”だけは出したが、そうした特別な事情でもない限り、中世のヨーロッパ人は自分の周辺だけで満足していた。

だがこの十字軍の遠征は思わぬ“副産物”をもたらず。大軍がヨーロッパを大移動するので、当然“補給路”も必要で、補給路はそのまま貿易道へ変化し、ヨーロッパ全体の流通網が出来上がる…

この「十字軍の補給路」が出来た以前の世界では、文化世界はギリシャ・ローマ周辺のみで、それ以外のヨーロッパは野蛮人の住む世界だった。

（古代ギリシャ・ローマ周辺の人々はローマの北の地を「ガリア」と呼び、未開の地としていたからだ。ガリア人の中には背が低い民族もいたのか妖精“ゴブリン”のモデルになった人々もいた。「ガリア」への異民族の流入も頻繁で、特に中国から移動したとされている遊牧騎馬民族“匈奴（フン族）”はその強さが伝説化され、その後のヨーロッパの神話に大きな影響を与える。よくヨーロッパの

神話に「魔王とその軍団」が登場するが、これは「匈奴の王アツテイラと彼が率いた騎馬軍団」もモデルにしているらしい。極端な事を言えば、現在RPGで定番の魔王と勇者の物語も、ヨーロッパに侵入した騎馬民族vsヨーロッパ諸侯の図式が原型になっている。

「十字軍の補給路」が「商業流通路」として活気づくと、ヨーロッパ各地に流通“拠点”が出来上がるのだが、これが面白い場所に出来ている。

コンスタンティノープルからの物品はまず「北イタリア（ヴェネチア・ジェノバ）」につく。そこから3方向の拠点めがけて流通路は伸びている。

まずは「南ドイツ（オーストリア）」、「北ドイツ（ドイツ）」、「ロシア諸国」へ抜けるルート。
そして「シャンパーニュ（フランス）」、「フランドル（オランダ・ベルギー）」へ抜けるルート。
最後に「イベリア（スペイン）」へ抜けるルート。

かつて未開の地とされていた地域はこれら商業拠点が出来上がる事により、未開の地から文明の地へ変身をとげる。

気がついただろうか？上記流通拠点はその後、ヨーロッパ列強へと成長する“国家”が誕生する地域なのだ。逆に言えば、この流通拠点から外れていた「スイス」や「東欧」「南イタリア」「北欧」は比較的發展に出遅れる事になる貧しい地域になる。

（たいした産業の育たなかったスイスは「傭兵の国」となり、常に外部勢力との緩衝地帯だった「東欧」は西欧ほど安定した発展の機会に恵まれなかったのかもしれない。「南イタリア」はその後も貧しい地域として続いたため独自の組織“マフィア”が生まれ、今も南イタリアを牛耳っている。19世紀末アメリカへ南イタリア人

が多く移民したため、“マフィア”の文化もそのままアメリカに持ち込まれた)

現在、景気刺激策として、この自然発生する流通網を重視する考えがある。

田中角栄の日本列島改造論は、日本の主要都市を高速道路ですべて結び、経済を活性化させようというものだったが、前提条件に無理があった。この日本の高速道路網は上記のヨーロッパの流通網とちがいで、人為的に作られたものだ、自然発生したものではない。故に、無理があり、うまく機能しない道路も存在する。もう少し自然発生的な流通網を意識しようという流れが、現在考慮されているらしい。具体的には近畿3県のみで有機的に道路が機能する政策などを、3県の担当者が模索している様子をTVで見たことがある。またハブ空港を作る事で空路の自然活性化を後押ししようという動きもある。

無理やり作った秩序には限界があるという事だろうか…、Fさんはどう思いますか？

…「ベルギー」に関して言えば、一応流路上にあるのだが、港をもつ「オランダ」の方が“拠点”として優位な地形だった事から「ベルギー」は単なる“通過点”になってしまい、発展のおくれた田舎になってしまった。

ここで少し思い出して欲しい…。日本が明治維新をした2年後の1870年代。

全てのものが変り、発展する激動の時代だ。

アメリカではロックフェラーがスタンダード石油を旗揚げした時期だし。ドイツではダイムラーベンツがガソリンエンジン車を売り

出した時期もこの頃だ。ガソリンエンジンの発展はすさまじかった。それにあわせて「鉄鋼産業」も需要がましたため発展し、先進国は“鉄”と“ガソリン”の「重工業の時代」に突入したのだ。

ヨーロッパで最初に重工業が発展したのは「イギリス」だった。

「イギリス」には鉄を作るのに欠かせない“石炭”が豊富にあり問題がなかった。問題はヨーロッパ大陸の国々だ。大規模で、重工業の需要を満たせる“大規模な石炭”埋蔵地となると、ヨーロッパには4箇所しかない。

「ベルギー中部」

「ドイツ西部（ルール炭田）」

「ザールブリュッケン（ドイツ領、フランス領のアルザス・ロレーヌに近い）」

「オストラヴァ（チェコ第3の都市）周辺」

そう、あの「ポアロ」の故郷「ベルギー」はヨーロッパ有数の炭田地帯だったのだ。

1914年の第1次大戦では真つ先にドイツに攻め込まれた。石炭は重要な戦略物資だからだ。

戦争が終わり、「ベルギー」の国権が回復しても、知恵ある亡命者なら帰国に躊躇する、「ベルギー」に自国を守る力は無く、いつまた占領されるかわからないからだ。現にケインズの警告を無視してまで、1919年パリ講和会議はドイツに賠償金を請求する事が決まった。知恵ある亡命者なら「ヴェルサイユ体制」が平和を築けないと察するだろう、危険なヨーロッパへの定住を警戒して当然だ。

Fさんは「ダイアナ妃」の事は知っているよね。

彼女の息子の1人が仮装パーティーで「ムツソリーニ」の仮装をして問題になったのを知っているだろうか…

「ムッソリーニ」はイタリア王国の首相で、国王と手を組みイタリアをファシズムの国に作り上げた張本人だ。

その弁舌は勇猛で魅力的。ヒトラーどころかルーズベルトまで憧れてマネタといわれる名演説家だった。

しかしその名演説とは裏腹に、何をやっても失敗続きのダメ首相でもあった。

理由は「イタリア」には「石炭がない」事だった。

今でこそフェラーリやランボルギーニという凄いエンジンを作るメーカーがあるが、これら自動車産業は発達したのは、第2次大戦後の事だ、現在では安い石炭を輸入できる環境があるが、以前は数少ないヨーロッパの炭田から輸入するしかなく、石炭のないイタリアは重工業化できずにいた。

宮崎駿監督が面白い事を言っている。

「その国の兵器をみれば、歴史や国民性がわかる」と、いった類の発言だ。

確かに、イタリアの第1次第2次大戦の兵器をみるとその性格は特徴的だ、飛行機では、デザインそのものは高性能を発揮する設計なのだが、エンジンが非力でだめだったりする、軽工業・手工業は発達しているが重工業が未発達なのがよくわかる。当時のイタリア軍は日本軍よりも弱いとうわさされている。

何が言いたいのか？

イタリアはシルクロード全盛時代、その利権を一手に握り、ヨーロッパ経済を支配した。

その時の「名残り」で食文化や芸術でもいまだに輝いている。

しかし「石炭」がないというだけで、一気にヨーロッパの劣等性に転落した。

地理が、歴史を左右するのだ。
こういうのを“地政学”というらしい。

ここでのポイントは時代とともに“地政学”で重要な地理が「変化」するという事なのだ。

地理は変化しないと人間は思い込みがちだ。だから日本列島改造論では単純に日本の主要都市を結ぼうと考えた。

しかし、産業の形態が変化すれば、地理的条件も変化する。例えば「ベルギー」が突然重要拠点になったように…

現在では「ベルギー」に限らず、ヨーロッパの4大主要炭田はさびれている…、かつてのような活気はない。理由はヨーロッパ以外の地域から安くて品質のいい石炭が輸入できるからだ。重工業地帯は輸入に便利な“沿岸部”へ移動し、ルール工業地帯をはじめとする古くからの重工業都市は勢いをなくした。

しかし、自由貿易は恩恵も事実ある。日本が中国からレアアースを輸入できるのも、現在の世界秩序が編み出した、「自由貿易体制」あればこそだ。「ヴェルサイユ体制」下ではこうした当然の権利も当然でなく、力づくで奪わないといけなかった。それが戦い呼び、再び世界大戦になる…、現在の自由な世界貿易の制度は、ある意味「世界大戦防止システム」の役割も兼ねている。

今現在人生の“あがり”を決め込んで余生を送る人は、こうした変化を見ない。

すでに数世代前の時代の“地政学”を平気でもちだす。

それはそれでいいときもあるが、それが理由でとんでもない事になる事も事実ある。

特に組織のトップがこうだと、ものすごくものすごく厄介だと思
うのは、僕だけではないと思う。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです、手が出せば届くようなものではない強大なダイナミズムで動いていると思います。せまい世界のなかだけで完結しないという事だけは、間違いようのない事実です。けっして単純ではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないの!？」と。

「理解を示す心の広さはどこへやったの?」と。

「真実に目を向ける勇氣はどこへいったの!？」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

わかるうとしないのは、個人個人の“質”の問題です。目の前しか見ていない。

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？

(そこまですべてない?)

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては(奇妙な事に)誇らしくも感じてしまう。繋がっていたのだらうか?どうなのだらう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。
図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。
もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、
どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます。

「そうした」自分都合の連中に負けないで！

世の中には、平気で「証拠」を書き換える検事があると、ニユー
スでやっています。

本人は本気で「何も悪いと」思っていないからやったのでしょう。
物凄い犯罪だと、発覚しなければ永久に気がつかない…

そういう類の“厄介たぐいな人”多いと思うけど！負けないで欲しい。
君が戦い続けられるなら、僕も戦い続けられます。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

〔10月15日（金）曜日〕〔3〕

くじけたら、また立ち上がるだけです。

〔10月15日（金）曜日〕〔4〕

頑張つて！

〔10月15日（金）曜日〕〔5〕

負けないで！

〔10月15日（金）曜日〕〔6〕

応援しています！

〔10月15日（金）曜日〕〔7〕
油断せず

〔10月15日（金）曜日〕〔8〕
しっかりと

〔10月15日（金）曜日〕〔9〕
確実に

〔10月15日（金）曜日〕〔10〕
時によろけそうでも

〔10月15日（金）曜日〕〔11〕
しっかりと前をむいて

〔10月15日（金）曜日〕〔12〕
気持ちをコントロールして…

〔10月15日（金）曜日〕〔13〕
華やかな気持ちも失わず。

〔10月15日（金）曜日〕〔14〕
強さを保ち

〔10月15日（金）曜日〕〔15〕
自分らしさを示し続ける

〔10月15日（金）曜日〕〔16〕
心の奥に“それ”がある限り

〔10月15日（金）曜日〕〔17〕
負けはない

〔10月15日（金）曜日〕〔18〕

…なんてイメージ、どうかな。

だめ？いやいやあきらめないで、大丈夫。Fさんは強い、僕が保障します。

今も戦っているのだろうか…

その前提で書きます。

〔10月15日（金）曜日〕〔19〕

“彼ら”は見た目や格好に関しては一般人と見分けがつかないように努力している。

どこその信仰宗教のように、専用の服を作ったり、特異なおブジエを掲げたりしない。

逆に言えばそれが故、見た目や生活様式の異なる人を攻撃する心理が生まれるのかもしれない。

〔10月15日（金）曜日〕〔20〕

たぶん、“彼ら”のあの「行動」は、そうした「専用の服」や「特異なおブジエ」がないがゆえ、

“その”代わりになるべき要素として“必要不可欠”なものになっているのではないだろうか？

あやしい団体の構成員は「専用の服」や「特異なおブジエ」を通じてメンバーが一体感を持つと言っ…

“彼ら”の場合は「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つ…と考えると、

無理なくイメージできるのだが、本当のところはどうなのだろう

? Fさんはどう感じますか？

〔10月15日（金）曜日〕〔21〕

僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違いです。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした人達」の）常套手段”です。

非常に悪質な人心掌握じんしんしよつあく法になります。

〔10月15日（金）曜日〕〔22〕

油断していると、本当にこの暗示にかかります。

相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのよう
に“錯覚”させるプロです。

親切心を利用されないようにしないと、永久にいいように利用されてしまいます。

気をつけて！そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコ
だ！

中には偏狭な人達もいると思う、でも、理解者もいるはずで、
皆が皆敵ではない。

中には器の大きな人もいて、それを示す機会を伺っているのかも
しれません。

〔10月15日（金）曜日〕〔23〕

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない

い。
でも繋がりや、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられる
と思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。
君は君の心を信じて良いのだと思う。

「時間をかけてじっくりとやればいい」

僕は賭けをしています。君が僕に「告白」するかどうかと。
そこが、大きなターニングポイントになる。それは事実です。

告白された事は胸にしまつつもりでいます。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。
う。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。
三界に家を建てるには、君が必要です。
「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言つても誰にも君をとがめる権利はない。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらつ機会をもらつ
た、
それで何もおかしな事はないと思つけどどうなのだろう？

これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのかもしれない…

でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされるのは間違っている。

「私をひとり立ちさせて！」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

.....

〔10月16日（土）曜日〕〔1〕

君が欲しいのは「思惑や計算のない言葉」なのではないだろうか。

君は今、僕の言葉を読んでどう感じますか？

いつか答えを、こっそり教えてください。

〔10月16日（土）曜日〕〔2〕

昨日「マヤ文明・アステカ文明」等のミイラの特集がTVでやっていた。

見ていてこう思った。

そう言えば以前聞いたことがある、アメリカ大陸には馬がいなかった。

インディアン（＝ネイティブ・アメリカン）は白人から馬を奪うと、瞬く間に乗りこなして、騎兵隊を困らせた…、といった話だ。

馬がいけないという事は、当然「遊牧騎馬民族」もない。

いなかったが故、アメリカ大陸には「シルクロード」のようなものが発達しなかった…

TVを見ていて思った。

「マヤ文明・アステカ文明」と「インカ文明」の人々は決して劣っていなかった。優れた数学の知識を持ち、高い建築技術や農業技術を持っていた。野蛮ないけにえで有名だが、そうした風習はヨーロッパにも古代は存在した。

もし、「馬」がいて、南北アメリカ大陸が「交易路」で結ばれていたら？

「マヤ文明・アステカ文明」と「インカ文明」をつなぐ“シルクロード規模”の交易路があったら？

その「交易路」を通じて「文明」は加速度的に進化し、ヨーロッパ・中国にも引けを取らない第3の勢力へと成長していたかもしれない。

調べてみると、「馬」はかつて地球上に物凄い種類いたらしい。

しかし氷河期に大絶滅をして、生き残ったのはわずかに数種のみ…

そしてその生き残りは“たまたま”全てユーラシア大陸にいたという事らしい。

アメリカ大陸の「馬」は絶滅し、スペイン人がいくまで、だれもその存在を知らなかった。

海路があるじゃないか！という考えもある。その辺は専門家が研究している事なので、何ともいえない。

しかし、「マヤ文明・アステカ文明」と「インカ文明」で船が発達したと言う話はあまり聞かない。

たぶん、身近な土地が豊かだったので、どこか遠くへ行こうと思わなかったのかもしれない。

新天地を目指すのはいつの時代も、貧しい者だ。

フロンティアを目指さないと、やっていけない過酷な環境に生きてきたからこそ、新しい場所を目指す。

シルクロードの形勢にもこうした状況は過分にあると推測する。

荒れ果てて、何もない中央アジアの民が、新天地を目指し“移動”を繰り返すうちに。その道は“交易路”へ発展し、今度は“交易路”同士が繋がり、さらに長い道になり、いつしか1万キロを越えるルートが出来上がった…。

ルートそのものはまず「馬」にのった「騎馬民族」が切り開き、「ラクダ」の商人が後追いをしたのかもしれない…。

（「ラクダ」は南アメリカにもいたようです。でもアラブやアジアのラクダのような、長距離の荷物輸送には適していないようです。最近有名になった「アルパカ」も南アメリカのラクダの1種らしいです）

イスラム教はそうした過酷な環境のアラビア半島で生まれた。

その主役は貧しきものと商人なのではないだろうか？

イスラム教は“商人”によって広がった文化だからだ。

キリスト教が専門の聖職者によって布教されるのに対して、イスラム教は“シルクロード商人”の文化として広がった。

商人にとって取引相手は大事な客だ、異教徒だからといっていちいち殺していたら、商売にならない。

こんな事例がある。

Fさんへ、覚えているだろうか？以前「カッパドキア」について記述した事を。

奇岩おりなすこの世の果てのような景色がつづく修道士の楽園。

（今日の「世界不思議発見」はカッパドキアを特集するらしい）

ローマの衰退とともに1人また1人と“修道士”が集まり、最終的には何万という都市に発達したカッパドキア。しかし11世紀セルジューク・トルコと十字軍の戦いに対してどちらの勢力にもつかなかった「カッパドキア」、このおかげでセルジューク・トルコは一息つくことが出来て滅亡を免れた。それがきっかけか不明だが、その後過疎化が進み、13世紀には無人の廃墟になった「カッパドキア」。歴史を記録したものが一切ないので、その創設から滅亡までの詳細が謎に包まれている「カッパドキア」。今現在は後から来たトルコ人が住み、観光名所になっています…。

カッパドキアのような場所が実は東ローマ領内に実はもう1つあり、驚く事に2010年現在も「現役」で修道士がいる。え？と思うかもしれないが、事実なんです。それも、今、日本で私は忍者ですとか自称する古武術家とは違い、本物の修道士がいるのです。

規模は小さいが、カッパドキアと同じように僻地で、修道士が集い、修行している。

ここは東ローマ帝国時代から聖山せいざんとされ、女人禁制。

男の修道士のみがいる場所だ。（「カッパドキア」と同じだ！）

その名は「アトス山」と言い、ギリシャの北東の小さな半島の先端に位置する。

正式には“聖山修道院”自治州というらしい。

いまだこんな場所があるとは驚きです。世界は本当にひろいです。

9世紀はじめに東ローマ皇帝が「アトス山」に対して“聖域と定める勅書”を出している。

（推測だがおそらく「カツパドキア」もこの「アトス山」のように勅書をもらっていたのではないだろうか？記録がゼロなのでまったくわかりませんが、ここまで似ているのだから、同じ扱いを受けていた？と推測するのが自然と思うけど…、どうなのだろう。記録がまったく無い地域の歴史を、似た経緯をたどった地域の歴史から類推して推測するのは個人的に楽しいです、つじつまが合ったときなどワクワクする。）

東ローマ帝国の1部として始まったこの「アトス山」も「カツパドキア」同様14世紀の「オスマン・トルコ」に飲み込まれ、その領内の1部となるが、宗教に寛大なイスラムの（当時の）風習にならない、信仰が許された。

当時のイスラム教徒はこの様に寛大だった。

むしろ苛烈を極めたのは宗派間対立で、スンニ派とシーア派の抗争は相手を殲滅するまでやる。

本来イスラムの聖戦とはこうした宗派間戦争を正当化させる大儀として掲げられたもので、キリスト教徒に向けたものではなかった。

イスラム教徒がキリスト教徒に攻撃的になったのは第2次世界大戦後「イスラエル」が建国されてからだと思う。以前書いたが現在の「イスラエル」はパレスティナ人を排斥している。しかしその政治パワーで、誰にも文句を言わせないようにしている。

まさに“悪人世にはびこる”の図であり、アラブ人は同胞を救うためにも戦う必要に迫られるのも最もな理屈だ…

数度の中東戦争をおこし、イスラエルをアラブ連合は攻撃したが、

アメリカがバツクにつくため、イスラエルは勝利を重ねた。
イスラム教徒がアメリカを嫌うのも当然です。

911テロを肯定しようとは思わない、あれは間違いなく大量殺戮だ、どんな事情があるうとも許されるものではない。

でもあの事件以後、アメリカでは「どうして自分たちが嫌われるのか？」とようやく思う人が増えてきたと聞きます。1948年にイスラエルが建国されて57年たつてようやくです。今までいかに情報が遮断されていたかという事かもしれません。

世界は矛盾をはらんで現在も動いています。

でも、遅くなるうとも、真実に気がつくのはいいことです。気がつかないより遙かにいい！！

Fさんはどう思いますか？

〔10月16日（土）曜日〕〔3〕

こつも思つ。

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。どんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だと思つ。けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。過去の文面を読んで欲しい、一度だつて要求してない。

その代わりこつ言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」と。それでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。単に自分たちの贅沢が侵害されている事に怒っているだけという事実気づかず反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せつて言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではない」

…という事実があります、これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

〔10月16日(土)曜日〕〔4〕

ここで重要なのは、ヨーロッパ人も中国人も、そして当然日本人も、シルクロードに関わりをもつすべての国の国民はこう考えるべきなのだと思う。自力で自国がここまで成長したわけではない、お互いに影響しあつた結果、今があると。

それが証拠に。高いポテンシャルをもちながら、他の文明と交流(「交易」)できなかつた古代～中世のアメリカ大陸文明は、成長に限界があつた。むしろ単独であそこまでよく進化したものだと賞賛すべき状況だ。

(近年の研究は、本当にアメリカ大陸に「交易路」はなかつたのか？影響しあつてなかつたのか？に焦点が移つていくように感じる。)

この世は、互いに影響しあつて成立しているのです。

唯一絶対に正しく、他は排除してかまわないと、思うのは個人の自由だが、実行するのは間違いです。

実行した先にあるのは栄光ではありません。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっている、手が出せば届くようなものではない強大なダイナミズムで動いている。日本とて例外ではない。

せまい世界のなかだけで完結しないという事だけは、間違いようのない事実です。

けつして単純ではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“

ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないの！？」と。

「理解を示す心の寛大さはどこへやったの？」と。

「真実に目を向ける勇氣はどこへいったの！？」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

わかってとしないのは、個人個人の“質”の問題です。目の前しか見ていない。

そうした自分都合の連中に負けないで！

“厄介な人”多いと思うけど！負けないで欲しい。

君が戦い続けられるなら、僕も戦い続けられます。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

〔10月16日（土）曜日〕〔5〕

今、イスラムは苦しい時期に来ているのかもしれない。

かつては「皆」が“貧しきもの”だったからいいが、今はそうでもない。

お金持ちになったイスラム世界が教えとの矛盾に苦しんでいる…

イスラムでは“金貸し”は厳禁だ、でも銀行がないと不便だ。

そこでイスラム法に抵触しないよう工夫がされている。

たしか、銀行は金の代わりに債権を貸すのではなかっただろうか…、そんな番組を見た記憶がある。違うにしろ、とにかく工夫して

“金貸し”ではないが、銀行として機能するよう工夫している。

教えと相反する事態に直面した世界宗教イスラム教は、いま、あ
たらしいステップに入ろうとしているのでしょうか？

前提条件がかわると、古い秩序と矛盾が生じて、歪みが起こるの
です。

歴史は積み重なり、影響しあい、時に歪みをただし、前をむいて
進んでいると思いたいところです。

Fさんはどう感じますか？

いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。
狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除け
て！

自分の心を取り戻すべきです。

「心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！」
と言ってやってください。

心が外向きになれば、人として持つ“当たり前前感情”が戻って
きます。

そう、周りの人に言ってやってください。

〔10月16日（土）曜日〕〔6〕

味方もいるはずですが、東京でも経験が、そう僕に確信させる。

変な人は男に多かった、女性はまともな人結構いた。話していて
わかる。

〔10月16日（土）曜日〕〔7〕

どうかな…おちついて

〔10月16日（土）曜日〕〔8〕

君は君らしくいたいでしょ？

〔10月16日（土）曜日〕〔9〕
前をむいて行きましょう！

〔10月16日（土）曜日〕〔10〕
後悔しない人生を！

〔10月16日（土）曜日〕〔11〕
歪みなどに従う必要はありません。

〔10月16日（土）曜日〕〔12〕
最近こんな事おもった。

君が欲しいのは「思惑や計算のない言葉（気持ち）」なのではないだろうか。

〔10月16日（土）曜日〕〔13〕

昔こんな事があった、自分では裏表があると感じていて、その事を話したら、

お前のどこに裏表があるんだ、と笑われた事がある。
たしかに、バカ正直なところはあったし、今もある。
多少成長もしましたが、君の知るKはいまでもここにいます。

〔10月16日（土）曜日〕〔14〕

「私をひとり立ちさせて！」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

信念があるなら、守りたいものがあるなら、理由があるなら、いいんです。

人間は未来に希望をいだくべきなんです。

多くの人の希望を砕き続けていく世界の住民でい続けるなんていやでしょ？

与えられた役回りが“損”な役回りでなく、ごく当たり前と教育させられているところが、なんだかものすごく心が痛くなる感じがします。

気づいたなら、損な役回りから逃げていいものだと、強く主張します。

たぶん“彼ら”歪みを意識できなかったが為に、人間の質より量を優先させてしまったのではないだろうか？結果こんな酷い現状になったのだと思う。だから“数の暴力”も肯定できる。“数の暴力”（人間の）質より量を優先”は矛盾なくイコールで結べる。

でも屈する必要はありません。

なぜなら君の心は誰のものでもなく、君のものだからです。

数の力で他人から心を奪えると本気で思っている人などに負けないで！！

〔10月16日（土）曜日〕〔15〕

“彼ら”は見た目や格好に関しては一般人と見分けがつかないように努力している。

どこぞの信仰宗教のように、専用の服を作ったり、特異なオブリエを掲げたりしない。

逆に言えばそれが故、見た目や生活様式の異なる人を攻撃する心理が生まれるのかもしれない。

〔10月16日（土）曜日〕〔16〕

たぶん、「彼ら」のあの「行動」は、そうした「専用の服」や「特異なオブジェ」がないがゆえ、

“その”代わりになるべき要素として“必要不可欠”なものになっているのではないだろうか？

あやしい団体の構成員は「専用の服」や「特異なオブジェ」を通じてメンバーが一体感を持つと言う…

“彼ら”の場合は「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つ…と考えると、

無理なくイメージできるのだが、本当のところはどうなのだろうか？Fさんはどう感じますか？

「10月16日（土）曜日」「17」

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずつと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？

（そこまでくさってない？）

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては（奇妙な事に）誇らしくも感じてしまう。

繋がっていたのだろうか？どうなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまುತ್ತもりでいます。

“人を許せる時が、自分を高める時”

(日本テレビ系『行列のできる法律相談所』で有名な弁護士、菊地幸夫氏の言葉)

簡単でないが、目指しがいのある目標ですね。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いないある。
遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

.....

〔10月17日（日）曜日〕〔1〕

Fさんへ、

今大丈夫ですか、そこは安全ですか？

君が君らしくいてくれるならいいのですが…

むりをせず、笑顔の君が、平和でいてくれることを願います。

つらい？

大丈夫、Fさんは強いし、頭もいい。

ただちよつと、わがママが言えない遠慮深い、優しさがあり、なおかつ、それを利用しようとする連中がいただけの事だ。君自身はなにも問題は無い。

〔10月17日（日）曜日〕〔2〕

数日前の事。

…僕が近日中に定期的な日課をおくる可能性について述べたが、公的機関の講座に落ちたことで、大幅に予定変更になってしまいました。

…同じ資格が取れる事は間違いないのだが、民間講座は自宅学習と実習の2本立てで、

実習自体は8日間ほど、しかも自宅学習終了後だ。

なんだかそんなんで大丈夫か？と思うが、ここは意思を強く持つて望まないといけないのかもしれない…

まあ、今まで好き勝手生きてきたのだから、贅沢は言えない。

しかし、可能性があるのに手を出さないのもなんなので、他の求職も時々見てみたりしてます。

どんな方法が有効かわからないときは、いろいろやるしかない…
何度も何度も、なんどでも。それは間違っていないと思う。

以前は漫画家になる事を目指していた、その過程で道しるべになつたのは君との想いでだ。

…今はどうなのだろう。

漫画自体は作風が大きく変わってきていて、面白いやらつまずきやらで、挑戦しがいがある現状です。

しかし、こちらはライフワークの範囲で続けようと思う。自分の感性を満足させ、あわよくば向上できればと。その先に何かあるかはわからないけど、未知の物や、限界に挑むと、おのずと何か発見や、成長の糧があったりします。

不安な将来は事実だ。

でもいままでの積み重ねが今の自分を支えている。

焦りは禁物だ、過去にあせって上手くいった事は無い。

着実に、できる事を、見失わず、手の届くものからしっかりと、前を向いて、あきらめずに、

行けばいいと思う。

この世に無駄な事は無い、それは過去から学んだ。

懸命にやり続けた事は、なにかしら将来に繋がるものだ。そう確信する。

今でも騒音はある。永久に続くのだろう…
耳に聞こえ、目に付く以外の水面下の何かもあるのだろう。
それでも、前に向わないといけない…

こんな事も思う。

この辺はいつの間にか“民主党”よりの選挙区になっているよう
だ。

そうか、この事実は何か意味があると思いたい。

保守的だとばかり思っていたこの地域の選挙区も、新しい何かを
欲する人達が増えているのだろうか？

そう思った。

できる事なら、信頼できる人の支えが欲しい。

僕は今、試されているのだろうか？

仮にそうなら、君に試されるのは、これが初めてではない。
いろいろあった。

くじけるにしろ、上手くいくにしろ、前だけは向こうと思う。

というか、天性の鈍感人間である僕は、無理さえしなければ自然
にそうなる。

なぜなら、君から人生で最も大切な“それ”を教えてもらったか
らだ。

今でも、それは、僕の人格の、重要な、構成要素の1つです。
僕の人生からFさんを否定する事はできない。

亀のごときのろさでも、前を向こうと思う。

Fさんはどう思いますか？

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうか、あせらず、待とうと思う。

お互い長期戦は得意な方だし。

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

僕にも責任はあるが、それが殺人集団行動の動機を正当化するものだと、どんなバカでも飲み込めない欺瞞だと思う。

「贅沢な」要求は一切していない。まともな対応を求めているだけなのだ。

人間は言われるほど馬鹿ではない、邪念に負けた人々が過去から現在にいたるまで、その邪念を取り除けず苦しんでいる…、苦しみの元は僕ではなく、その人の心の中にあるのだと、そう伝えてくれないだろうか。

これは、教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

世界は広大で広く、想像を絶するダイナミックな時間がからみあって作られている。

「視野が狭くて何が悪い」とか言う人が増え続けていくと、それが世界の不和の原因になってゆく。君が戦っているという前提で書きます。負けないで！

〔10月17日(日)曜日〕〔3〕

全てを背負い込んでいただけです!“彼ら”はそれを狙っています。優しい君にはむずかしいかも知れない、その重み、分かち合えたら僕は幸せです。

なぜなら、断絶した時間が繋がって見えてくるからです。

想いは共有した方が、つらくなくなりませう。

ああ、でも君は必要以上に心に踏み込まれるのを嫌う…、どうだろう。

心の距離のとり方は、昔は上手く出来ていたと思うけど、Fさんは不安を感じますか？

〔10月17日（日）曜日〕〔4〕

油断していると、暗示にかかります。

悪質な人心掌握法じんしんしゅうあくに注意して！

暗示に対抗するには逆暗示が有効です。

これが君に正確に伝わればうれしい…

〔10月17日（日）曜日〕〔5〕

“彼ら”のあの「行動」は、構成員メンバが一体感を持つために必要不可欠なトリックなのでしょう、そんなインチキに惑わされなくて欲しい。何か反論があるとしても、それは暴力を楽しむ快樂主義者のいい訳に過ぎない。殺人の片棒を担ぎたくない良識ある人間は、殴られてもいいから反論すべきだと思う。

殴られたらむしろ都合で、相手を傷害罪で訴えられるし。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念を拭えず苦しんでいる、けれど、それとは関係なく天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

時おり、こちらを見ていたのは感じた。
いつか、あの日の気持ちを教えてくれるとうれしい。
何を考え、どうしていたのか。どうしたかったのか。
いつか、記憶が繋がる日を…夢見ます。

…このインディージョーンズの「TVシリーズ」は主人公の少年期と青年期を書いた物語だ。

特に印象的に覚えているのは、主人公インディーが青年時代、軍人としてベルギー領コンゴの戦争に参加した時のエピソードが印象的だ。

かつて「ザイル」と呼ばれ、現在「コンゴ共和国」とよばれるアフリカ大陸のど真ん中に位置するこの地の歴史は、1885年にヨーロッパの植民地になる以前となるとほとんどわかっていない。以前読んだ本の記憶をたどると、アフリカ大陸全体で見れば、大規模な国はいくつか存在したが、アメリカ大陸の「マヤ・アステカ文明」と「インカ文明」同様に互いに干渉しなかったようだ。大多数の当時のアフリカ人は小部族で1つの国家であり、可能な限り干渉しあわなかったらしい。個人的感想だけど、アフリカが農業に適さなかった事、そして狩で生活が成り立つだけの野生動物がいたことが、「遊牧騎馬民族」のような民族の形成にいたらなかった理由ではないだろうか？ここでも「遊牧騎馬民族」がいなかったから、国家間は流通路で結ばれなかった可能性がある…、あくまで可能性で、専門家がやってることだから、実際は違ってもいい。でも「アフリカ大陸」と「アメリカ大陸」の両大陸で、どうして「ユーラシア大陸」のようなシルクロードが自然発生しなかったのか？の謎を解くのは、人間の性質を知る上で極めて重要な“要素”だと思う。

解明できれば、“応用”も可能で。過疎地の問題や、商業の活性化といった社会問題解決の糸口が見出せるかもしれない。

過去の研究は自らを知る大切なもので、未来にも繋がっていると思いたいです。

「コンゴ共和国」は1885年にベルギー国王の私有地になる。ちょうど産業革命も「重」工業発展へ移行しだした時期です。ベルギーの石炭が注目され、国力もついたという事でしょうか？

最初は国王の私有地として始まったらしいです。天然ゴムが取れたため、「重」工業発展の潮流に乗ったのか国王は私財を増やします。

でも住民への虐殺や重労働がマスコミによって報じられると、ベルギー議会は国王から取り上げて、国の管理下においたそうです。

「名探偵ポワロ」の主人公ポワロが「ベルギー」から脱出した1914年の第1次大戦では、アフリカ大陸はヨーロッパ各国の戦争がそのまま持ち込まれ、お互いが築いたアフリカ各地の拠点を植民地として、可能な限り優位に立とうとぶつかる事になります。具体的には自国の飛び地となった植民地をつなげようとぶつかったらしい。

ベルギーは「コンゴ」しか植民地がないので、飛び地をつなげる必要が無い。しかし、当時ドイツが支配したカメルーンと東アフリカ（現タンザニア）に挟まれていたためドイツに狙われた。

17歳のインディー青年はメキシコで知り合ったベルギー人の友人と意気投合して、第1次大戦が始まると、ベルギー軍に志願してしまう。

「それはどうなの？」と首をかしげる行動だが、そこは創作なので、いいと思う。むしろ「インディアナ・ジョーンズ」という男ならやりそうな行動であり、脚本家の巧みな創作だと思う。

当時のベルギーはおそらくけど、文化も近い「フランス」を頼りにしていたと思う、以前書いたけど、「ベルギー語」と「フラン

ス語」は似ている。「フランス」も自国にほとんど石炭がないのだから、願ったり叶ったりだ。

そんな様子はこの「インディージョーンズ」シリーズのエピソード11『インディー・ジョーンズ／若き日の大冒険 聖者オガンガの伝説 / Oganaga, The Giver and Taker of Life』（設定年度：1916年、舞台：アフリカ）でも書かれていて、ベルギー軍入隊後、コンゴに派遣された青年インディーは、ドイツ軍の猛攻をおさえるため、フランスの植民地まで重機関砲をもらいにいく任務につく。

ちょうどコンゴをまるまる横断する道のりで、一緒に行った兵士がみな黄熱病にかかって死んでしまふ、そう、コンゴはあの「野口英生」が黄熱病の原因菌を見つけようと乗り込んで、生涯を閉じた地でもある。

物語はついに主人公インディーがようやくフランスの植民地に入り、いよいよ引き返すという所で、インディーも黄熱病にたおれて終わるのかというくだりまでいく。

彼は助かるのだが、助けた人物は敵国人ドイツの医師「シュバイツァー」という展開だ。

現実の歴史でも「シュバイツァー」はフランス領ガボンで医療行為をしていて、フランス軍により見つかった後は、敵国人ということで強制送還されている。

「シュバイツァー」は当時としては珍しい国際医療ボランティアの先人だ。^{バイオニア}その人物像には諸説ある。「密林の聖者」とよばれ、困っているアフリカの人をたすけた人物とされる一方、現地アフリカでの評判は良くなかったりする。（でもこの手の話は偉人伝には良くある、完璧な人間はこの世にいないという事だろうか？でもむしろ欠点が伝わってこない偉人伝の方が“うそっぽく”みえる、欠点があっても、それが“犯罪的”でなければ、問題ないと思う。Fさんはどう思う？）

「シュバイツァー」は多才な人で、医者であり音楽家だったらしい。演奏会でお金を稼ぎ、その資金で無償で医療ボランティアをアフリカで展開した。ここまで出来る人間はそうそういない、多少性格で評判わるくても、充分おつりが来るくらい許される。

「シュバイツァー」はドイツ人なのだが、その出身地はアルザス・ロレーヌなのだ。

この地域はヨーロッパに4つしかない炭田（＝石炭埋蔵地）の1つであり、フランスとドイツの国境にある。

この地域に住む人は一般に「アルザス人」と呼ばれ、フランス・ドイツに分かれて住んでいるが、文化面で共通点が多い。

昔、こんな話を聞いたことないだろうか？

「最後の授業」という話だ。

ある日、あるヨーロッパの村の学校で、先生が涙ぐんで授業を始めた。

「みなさん、きょうが母国語でおこなう最後の授業です、明日からは敵国の言葉で授業します…」

そう、その村は、敵国に占領され、明日からは母国語が禁止される…

生徒たちはみな泣き出した。

教師と生徒は泣きながら、最後の母国語の授業をした…

これを聞いた国の人達は、発奮し、いつかかならず敵からその村を取り戻そう！と多くの人が誓う。

という話。これは、「シュバイツァー」の出身地の「アルザス人」の話なのです。

戦後もしばらくはこの話、実話として語られ続けるのだけど、僕らが子供くらいの時期に、ドイツ・フランス間で、戦後教育問題が

話し合われて、2国間で共通認識の下。子供に歴史を教えようという話し合いがもたれた。

その際に、この「アルザス人」の話も、実は作り話（「プロパガンダ」で、実際「アルザス人」は「アルザス語」を話すから特に問題は無かったという事実が伝えられた。石炭をめぐる国家間のあらそいから作られた。作り話だというのだ。

実際のところどうなのかはわからないが、ドイツとフランスはそういう話し合いができるまで、関係を改善した。

日本や中国、韓国も見習いたい姿勢です。

つい昨日のニュースでも中国の1部で反日デモがあったという、聞けば四川省だという。四川省といえば「重慶」という街がある場所、日本軍は世界で始めて「無差別爆撃」を行った地だ。恨まれているのだろうか？日本人は自分の国が世界で一番最初に無差別爆撃をおこなったという事実すら知らない人が多い。歴史は封じるものではなく、学ばなければいけないものなのです。

『インディ・ジョーンズ／若き日の大冒険 聖者オガンガの伝説 / Ogannga, The Giver and Taker of Life』のなかで、命がたすかったインディはシュバイツァーと一緒に医療ボランティアとして地元の村をおとづれる。村でひと段落ついでから、火をかこみ、村の長と話をする。村の長は質問する。ヨーロッパの戦いはどうなのだ、何人亡くなっただ？と。

インディは答えに窮する、何人？どう答えるべきか。シュバイツァーはインディのアフリカの村バンドでの戦争感を教える。ここでは村同士が戦争して、もし1人亡くなったら、代償としてそれ相応の財産をあいての村に払わないといけない。

つまり、この地域での戦争とは村の小競り合いレベルが最大の規

模であり、その際亡くなった死者への償いは丁重で重要なのだ。

仕方なく、村長には「ヨーロッパの戦争では10人がなくなった」と説明した。

この村では1人なくなっただけでも、かなりの家財を提供しないといけない、10人など、想像も出来ない負担だ。

村長は驚き、うろたえる。

そんな様子を見て、自分たちの戦争がいかにかに人の命を軽んじているか、いやでも感じるという演出が、物凄く印象的だ。

作り話なんだけど、そうだよな、人ってそんなに簡単に亡くなっ
ていいわけ無いよなと思ったのを、今でも覚えている。

物語はラスト、せっかく重機関銃を持ってきたのに、もうベルギー軍は撤退していて、意味が無かったというオチになる。

あれほどの死者がでて、無意味と知らされ落ち込む主人公、しかもこれは欲望の植民地の戦争であり、必要不可欠な戦争ではない。

「ヴェルサイユ体制下」に正義はないのだ。

そんなインディーに強制送還の決まったシュバイツァーは、あきらめない事が重要だと、説き伏せる。

現実の世界の「シュバイツァー」は実らぬ努力かもしれない事を、信念をもって貫いた人物だ。

彼をモデルにした架空の物語の人物に（シュバイツァーに）そう
いわせるのは、決して不自然に感じない。

こういう物語自体は好きだ。現在のよような人権や平和の思想はこの「ヴェルサイユ体制下」時代の“露骨な悪意”の反省に立ってつくられた。けど、僕らも含めて戦争を知らない世代は「現在の世界秩序」しらないから、現在のシステムのすごさがいまいち飲み込め

ないでいる（むしろ欠点ばかりに目が行きがちだ）。この手の物語をもっと洗練させてゆけば、「ヴェルサイユ体制下」の酷さと今の世界秩序の価値とその欠点がイメージしやすくなる。

歴史を知らずに遺跡をみたら、ただの廃墟めぐりになってしまうのと同じで。

「ヴェルサイユ体制下」の“露骨な悪意”の反省を知らずに、戦争の記憶を聞かされても、年配者の自己満足に付き合わされたという感想を抱きがちだ。戦争の記憶を語り継ぐ時も「ヴェルサイユ体制下」の“露骨な悪意”の反省も含めて伝えないと、いまいち意味が無く、心に伝わらないと僕は思う。それはちょうど何を失い、何を得たか？失ったものの価値とその代わり手にした大切な“何か”の価値を理解するという事だと思うけど、Fさんはどう思いますか？

1740

今も国会で興味深い出来事が起きているようだ。
ある審議官クラスの現役官僚が、天下りの実体について国会証言した。

仙谷官房長官は、国会証言する古賀茂明さんに「そんなこと言うてどうなるかしりませんよ」と恫喝めいた事も言った。

おそらく官房長官自体は、それほど悪意をこめたつもりはないのだろう…、「さらば財務省」を読む限り、そういう“温度”が普通らしい。この古賀茂明さんへのあからさまな圧力の様子は、「さらば財務省」という本の中で書かれている著者や竹中平蔵さんへの“あからさまな悪意”と同種のものだと感じた。

一般人からしてみれば、国会からの要望で出席した現役官僚にたいして、内閣の一員が公然の場で恫喝したことになる。

普通感覚では、裁判で、警察の不正を証言しに来た証人に対して、警察（検察）関係者がカメラの前で「そんな事しゃべってただで済むと思うな」と言うのに等しい。

そんなありえない事普通ならしないが、やってしまえる温度差があるのは、霞ヶ関が閉ざされた世界だからだろう。

マスコミも無難で文句いわれない、消極的報道が今のスタンダードだ。

TVではサンデープロジェクトくらいでしかやってない。

これも記者クラブ制度の弊害だろうか？既存の社会システムは多くが本来の機能を果たせないでいる。

にもかかわらず、古い制度を守ろうとし、改革を糾弾する人々は、もうすこし“自重”という言葉の意味を考えるべきだ。

“露骨な悪意”は目の前にある。

よく見ていないと気がつかない。

「ヴェルサイユ体制下」でも多くの人が20年も気がつかず、最終的に戦争に突入した。

世界大戦が終わり、はじめて反省したわけだ。

「気がつくまで気がつかないが、気がついてみると当然いけない事だった…」という事は、現実に確かにあるのです。

視野を広く持つといのは事実むずかしい…

しかし、そう（＝視野を広く持つと）心がけるのと、心がけないのでは、結果が随分違ってくる。

気がつかないでいると、知らぬ間に心を蝕まれてしまう…

放置しておく、それは歪みとなり、社会を破壊する。心も。

Fさんはどう感じますか？

…昨日見た映画自体は、19年ぶりに元の関係に戻った主人公とヒロインというエンディングだった。

事実に気づき、あるべきパートナーに気づく。そんな終わり方でした。

ハッピーエンドは好きです。

時間がかかるうとも、本当の何かに気づくのなら、それはいい事だとも思う。

Fさんは時間をかけて、納得するまで考える、

いつか君だけの答えに君がたどり着ける事を祈ります。

君のそういう所好きです。

僕は君の望む世界が実現する事がかなう事を、心から祈るのが好きです。

世界は広大で想像を絶するダイナミックな時間がからみあって作られている。

「視野が狭くて何が悪い」とか言う人が増え続けていくと、それが世界の不和の原因になってゆく。

いろいろ言われると思うけど、繋がりには、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

心を外に向けて！

会いたいけど、君が望むまで待ちます。

何よりも大事なものは君の心だ。ここではそれが一番重要なもの。

あるべき気持ちの大切さは、時間をかけないと…心が受け付けな

いのかもしれない。

心と会話して、時間をかけて、そうして“何か”ひらめくのかもしれない。

“ひらめき”はくると信じていれば、いつか必ず来ます。
現に僕は真実に気がついた。

君が自分を信じられるようになるまで、当たり前前の感情を取り戻せるまで、待とうと思う。

君の心を信じている人間が1人（変わらずに今も）いることを忘れないでください。

1度しかない人生、君の人生です。

話せない“何かを”全て背負い込んでではだめです、いつまでたっても解放されない。

もし話せないなと感じるなら、文章する事を提案します。

“まちがってさせられた”発見や決断をすべて文章に吐き出すと楽になります。

僕も第1話を書いたとき、書く過程で気持ち整理できた。
気が向いたら、試してみたい…

“彼ら”はあの「行動」を通じて構成員メンバーに一体感をもたせている。
人の心を操る巧みなトリックです。あんなものが世界の真実なわけがない。

そう思うでしょ？

一体感を感じたければ、ほかにいくらでも方法がある、インチキに頼った結束など、あやふやなものです。そんなものに、振り回さ

れないで欲しい。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。 眞実は君の胸の中の“なにか”です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ。私をひとり立ちさせて！」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
遊ぶ金ほしさの連中に負けられないで！

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」

- - - - -

今日はこんな光景をみた。

低周波音をヴヴヴつとやる車がいたので、たまたま庭先にいたので、見ていた。

どーすんのかなーと見ていると、すぐそこでターンしてもどつてきた。

あんな風にみんなどこかでターンして何度か来ているのだろうか？
いい大人がなさない…。

（今ニユースで、中国人学生が就活に苦労しているというニユースが、デモのニユースとからめてやっていった。そういえば聞いたことがある、今中国では単純労働の仕事はたくさんあるが、高学歴者むけの仕事は少なく、大学生は日本以上に就活で苦労していると。昔の日本の学生運動でも、なぜかタクシードライバーを非難する学生がいたという、理由はクラウンに乗ってるから…、学生運動など、大半はたんなるやつかみと憂さ晴らしが動機かもしれない。もちろん、これは言いがかり。“彼ら”はここまで救いようが無いわけではない。高い理想を持っている。きつともつと崇高な精神で行っているはずです。ただ一生懸命すぎて、誤解が生じても“やめ時”が見出せないだけだ。人間って言うほど馬鹿でないもの）

上記の理由でたまたまいつもより長く庭先にいた。

よく見る近所の犬の散歩をする人、僕の姿をみると出てくるけど、すぐその公園に行き、すぐに家に帰った。往復でも100メートルもない犬の散歩？

そうそう、あとテープで呼び込みをかけながらまわっている車の場合、そのテープの音がだんだん近くなるのではなく、突然ちかくでかかりだすといのは、こちらに来てから感じていたけど。今日まさにうちの近くまで無音できて、近くにきてからスイッチを入れるまさにその瞬間を見てしまった。

何かの影響でそうなるのではなく、やっぱりスイッチ切って近づいていたようだ…

あれが組織の提示するすばらしい理想的生活の一旦だとしたら、ほんと救われない人生をみな送っている。仲間がおおくて心強いです。え？なんの仲間かって？救われない人生の仲間同士という点で仲間という意味です。

たぶん、自分たちはなにも悪くないと思っている。

これは書こうかどうか迷ったけど、書いてみます。
書くことで彼らにバイアスはかかるだろうか？

ドイツのメーカーの少し強力めの扇風機（首の無いタイプ）を机上におくというのは有効です。

作動音が上手い具合に外の振動を打ち消す。

けどこれで彼らが来なくなるのも困る。無反応だとそちらの空気を読むこともむずかしい。適度に来て、適度に減って欲しい感じですね。

君はどうおもいますか？

ロンの要塞を破壊した後、間髪をいれず次の任地“ユーゴスラビア”へ行く話だからだ。

“ユーゴスラビア”は何度か書いたけど、コンスタンティノーブルの西、ヨーロッパ方面にむかうと存在するバルカン諸国の一部の事だ。

そもそも“ユーゴスラビア”という名は「南スラブ人の土地」という意味で、バルカン諸国はスラブ系の人達なのだ。

スラブ民族の正確な正体が不明だ。カルパチア山脈あたりに住んでいた人達で、古代ローマ人の感覚でいうなら、北の未開の地「ガリア」のさらに東の奥にすむ人達という事になる。それより以前はどこから来たのかは不明だ、そこまで古くなるともう「石器時代」に突入するのでわからない。少なくとも「石器時代」が終了？した時点で、ヨーロッパ各地にはそれなりの集団がいたらしく、そのうち地中海に近い場所に住んでいた人らが、文化を発展させていった形になる。

2010年現在の“スラブ民族”の現状は、最大勢力が「ロシア人」と「ウクライナなどのその周辺の人達」。

次の大きな集団がバルカン諸国の人々。

最後がドイツ・ポーランドに住む少数派といったイメージで、おおよそ大丈夫だと思う。

ロシアはコンスタンティノーブル陥落後、滅亡したビザンツ帝国（東ローマ帝国）の後継者を自認している。

文化も引き継がれ、ビザンツ帝国（東ローマ帝国）の宗教（東方正教会）やイコン（宗教画）の文化も、シルクロードの黒海ルートを通じてロシアに伝播し、残ったようだ。

そんな経緯もあり、20世紀初頭にオスマン・トルコから独立し

た「バルカン諸国」は「ロシア」に急接近する、かつてのビザンツ帝国（東ローマ帝国）の名残りを求めるように…。

一方、「バルカン諸国」の北に面したハプスブルグ家のオーストリアはブルガリア等と手を結び、バルカン半島はロシアvsハプスブルグ家の緩衝地帯になってしまう。そんな混乱の中、「バルカン諸国」のうち、セルビア・クロアチア・スロベニアの3国は団結し、この混乱を乗り越えようとした。「ユーゴスラビア」の誕生だ。

「紅の豚」の原作「飛行艇時代」のなかで、ポルコ・ロツソがこんな事をいつている。

「イタリアのムツソリーニ同様、ユーゴでもアレクサンドルとかいう男がクーデターで独裁者になったばかりであった…」

映画ではかかれてないが、ユーゴから空族（空中海賊）狩りの賞金がもらえなくなった理由の1つとして、このユーゴのクーデターが記載されている。

現実の歴史では、オスマン・トルコはバルカン諸国を長年同化しようとして属国としたので、古くからの王家も断絶しなかった。

アレクサンドルはバルカン諸国のうちの「セルビア」の王族で、オスマン・トルコから独立し、新国家として共に歩もうとする「ユーゴスラビア」（セルビア人・クロアチア人・スロベニア人の連合体）を乗っ取り、「ユーゴスラビア王国」という自分だけの独裁王国にしてしまう。

1929年、第2次大戦の10年前であり、まさに「世界恐慌」がおこった年でもある。

この後アレクサンドル自身は暗殺されるのだが、暗殺されるまでのあいだに、自分と同じセルビア人の優遇、そして（セルビア人と同じくらい力をもっていた）クロアチア人への弾圧を徹底した。両

勢力の間にはこの時、大きな溝ができてしまい、その後の紛争の火種になる。1人の男のわがままが、その後の民族対立をつくった訳で、はなはだ迷惑な話だ。偉い人物は、偉いことから、責任をはたす義務があるのに、現実の歴史にはこういう権力者も事実いる。最悪です。アレクサンドルの「差別の遺伝子」は、その後もセルビア人に受け継がれ、第2次大戦中の虐殺へとつながる。

学校の歴史ではヒトラーばかりが悪役として目立つが、同等の歴史的犯罪者は同時代まだまだいた訳です。同じ事を繰り返さないためにも、歴史は忘れずに、留めないといけない。

“彼ら”は歴史にうといのだろうか？アレクサンドルの遺伝子を引き継いだセルビア人右派のような残虐性を感じる。特に、本人は悪くないと思っているところなどそっくりに思う。

この後、第2次大戦でユーゴスラビアはあっさりドイツの支配下に入る。

ドイツ人に抵抗するためセルビア王党派（「右派」）が“チトニク”という組織をつくり、抵抗するはずだったが…

こともあるうちに、この“チトニク”。敵であるドイツ側についてしまい、反セルビア勢力を虐殺しだした。国を守ることによりも「差別」を優先させたことになる。

もう感情にまかせつきりで、正義も何もない状況です。

ひどいと思えたら、あなたの思考回路にはまだ、救いがあります。

この時虐殺された「反セルビア勢力」と言うのが、クロアチア人とオスマン・トルコ時代にイスラム教に改宗した人達（「ムスリム」）です。

Fさん。セルビア、クロアチア、ムスリム…、この3つの単語に聞き覚えがないだろうか？

ちょうど僕らが知り合ったばかり位の頃始まったのかな…、1990年～1992年のユーゴスラビア解体にともなう「ボスニア・ヘルツェゴビナ紛争」のこと、覚えているだろうか？

民族浄化の名の下に、大虐殺が繰り返され、毎日ニュースでやっていた。セルビア人（セルビア正教）VSクロアチア人（カトリック教徒）の図式にムスリム（イスラム教徒）が巻き込まれた形だ。

1990年～1992年…この頃の事覚えていますか？

ちょうど僕らが知り合って、いろいろあり、その後から現在に繋がる、想いでの時期にかさなる。

…本来、セルビア人も、クロアチア人も、ムスリムも「オスマン・トルコ時代」は600年近く仲良くしていた。

多少の対立はあっただろうけど、アレクサンドルという独裁者がいなければ、ここまでこじれなかったと思う。

1人の暴力が、歴史に悲劇を刻んだわけです。

現在の「ボスニア・ヘルツェゴビナ」はアメリカとNATOの介入により停戦が実現していますが、いまだ平和維持軍が監視する状況らしいです。

国連の平和維持軍（PKF）は一応“欧州圏”では機能しているようです。

アフガニスタンやソマリアといった“欧州圏外”では失敗していますが。

「ヴェルサイユ体制下」のあからさまな暴力に比べたら、幾分人類は進化したと思いたいところです。

映画「ナバロンの嵐」は、第2次大戦中、ドイツ軍とチェトニツ

クに対抗していた反乱勢力が、全滅の危機にあり、これを救うためドイツ軍が利用している橋を爆破しに、アメリカ人部隊が秘密裏にユーゴスラビアへ潜入するというアクション映画だった。

主人公らのグループはアメリカ軍なのだが、脱走イギリス兵を装い潜入。が、さっそくにチエトニツクに捕まり、ドイツ軍に引き渡される。しかし当時発明されたばかりの新薬“ペニシリン”をだしにしてピンチを切り抜け、目的の橋に到着するのだが…。手持ちの装備では“橋”は爆破できないほど頑丈とわかり、一旦は断念する。しかし、橋の上流にあるダムなら爆破可能と気づき、橋でなくダム爆破のため作戦が続行する…という展開になる。ダムを破壊し、水圧で橋を倒壊させて破壊しようという作戦だ。

途中、裏切り者の存在を匂わせるギミックも盛り込まれ、スタンダードなアクション映画としては、申し分ない出来になっている。余談だけど、昨日かいた「インディージョーンズ」の主演を演じたハリソンフォードもこの映画に登場する。随分若いし、主役でない扱いが逆に新鮮です。

この映画内で、主人公たちがドイツ軍から助けようとしている反乱勢力ルチザンというのが、後に新生ユーゴスラビアをつくる人達だ。反乱勢力ルチザンの指導者ティトーはその後大統領になる。

ティトー政権のユーゴスラビアは共産主義を選択。ソ連の陣営下にはいり、トルコ・ギリシャの西側陣営とにらみ合う事にある。

東西冷戦が終わったのは1989年のマルタ島でのアメリカ・ロシア（ソ連）の話し合いの時だ。

ソ連のくびきがなくなった東欧は次々と独立していき、ユーゴもまた影響された。

1990年～1992年の間にユーゴは自然解体され、解体されずに残った「ボスニア・ヘルツェゴビナ」では暗黒時代に突入する。

当時こんなニュースを覚えている。

橋の真ん中に男女の遺体がある。

数日前、町を脱出しようとして、狙撃された2人だ。

しかし、だれも2人を弔えない。

なぜなら、住民を殺そうと狙撃兵が数キロ先の山で狙っているからだ…。

2人の遺体に駆けよれば殺されてしまう。

(しかし、街を脱出しないと飢え死する。誰もが狙撃兵の狙う橋を指さざるえない…)

民族浄化の名の下に、無意味な殺戮に全神経をそそぐ狙撃兵がいたのだ。

また、こんな話も覚えている。

戦車が街に来た。この戦車、自分の民族以外の住民の家を正確に撃ちぬき破壊してまわる。

なぜそんなに正確にわかるかといえば、そこに誰が住んでいるか知っている近所の住民が、戦車の指揮官に教えているのだ。

紛争前までご近所同士だった住民が、敵味方にわかれて命のやり取りをする世界。

しかも、これはたった1人のアレクサンドルとう独裁者が撒いた種が原因なのだ。

それ以前の世界では、そこまでの対立はなかった。

(これは“彼ら”のめざす理想郷の姿かもしれない、現状の「あの行動」の延長線上にこういう世界が待っている)

悪意はたしかにこの世にあるにしても、誰かが“助長”しないかぎり、ここまで酷くならない。

Fさん！悪意を助長する“誰か”がいると思うけど、負けないでほしい。

しかもその“助長する目的”というのが、“メンバーが一体感を持つために「必要不可欠」だから”という、ものすごく物凄く自分本意な理由ときている。最悪です。

“彼らは”どこぞの信仰宗教のように、専用の服を作ったり、特異なオブジェを掲げたりしない。

あやしい団体の構成員は「専用の服」や「特異なオブジェ」を通じてメンバーが一体感を持つと言う、それが無い“彼ら”の場合は「例のあの行動」が「専用の服」や「特異なオブジェ」の代わりになっていると思う。「あの行動」を通じてメンバーが一体感を持たせて、コントロールしようというわけだ。

…冷静な人は気づくだろうか？僕は全部否定している訳ではない。

「友好活動」と「犯罪行動」の区別はつけないといけない。

と言っているに過ぎない。

もう一度言います、「友好活動」と「犯罪行動」の区別はつけないといけない。

理解する人がいることを願います。平和と理解を。

きっとユーゴの独裁者アレクサンドルも似た手段で、住民を自分の意のままに従わせたのでしょ…、最悪です。時代錯誤もはなはだしい。

彼らのあの行動、「犯罪行動」がつづく限りにおいて基本的に殺人集団である事には変りはない、気がついたなら、脱出がベストです。彼らの行動は常識を逸脱している。だから、やめるときも常識を超

える「決断」や「勇気」が必要なのかもしいない。

君に勇気が宿る事を、切に、祈ります。

世界は広大で、果てしなく、想像を絶するダイナミックな時間からみあつて作られている。

「視野が狭くて何が悪い」とか言う人が増え続けていくと、それが世界の不和の原因になってゆく。歴史が証明してくれています。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。

Fさん、わかるうともしない人の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないの！？」と。

「理解を示す心の広さはどこへやったの？」と。

「真実に目を向ける勇気はどこへいったの！？」と。

Fさん、僕には「人生をかえせ」という権利があると思いますか？
真実に気がついたらそれでもいいんです。

受け入れるのに時間がかかる？当然です。

でも君は強い人だ、かならず乗り越える。

あきらめず、乗り越えるため、前を見続ける君を想像するのは好きです。

僕は賭けをしています。

奇跡が、君に勇気とチャンスを与える事を祈ります。

チャンスは願ひ続けた時、おこると思う。あきらめてはいけません。

なんども、何度でも、何度でも！

“人を許せる時が、自分を高める時”

（日本テレビ系『行列のできる法律相談所』で有名な弁護士、菊地幸夫氏の言葉）

簡単でないが、目指しがいのある目標ですね。

毅然とした態度を崩さず、時に心のゆとりを保ちながら、あきらめず、前を見続ける。そんなイメージ、きみに届いているだろうか？

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、文句は言わせないわよ！」と。

そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされるのは間違っている。

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

第29話 エッセイ風小説を書き連ねる（未来へと続く話その15）（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第30話 エッセイ風小説を書き連ねる2（未来へと続く話その16）

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

〔10月20日（水）曜日〕？

君の性格を考えると「人に騙された…」なんて恥ずかしくて人に
言えない。

そんな風に思うのかもしれない。

でも勇気をもって切り抜けて欲しい。

君人生だもの。

付け入られる可能性もある。

つらいかもしれないけど、切り抜けて欲しい。

向き合つべき問題は君の「中」にある。

同時に「外」にもある。

可能性を模索して

〔10月20日（水）曜日〕？

彼らの行動は常識を逸脱している。

だから、やめるときも常識を超える「決断」や「勇気」が必要な
のかもしれない。

〔10月20日（水）曜日〕？

“生き直し”って出来るんです。悔やんでいるならOKです。大丈夫

夫です。

寛大な人は、「好きにきなさい」というタイミングを推し量って様子見をしていると思う。

悔やんでいるならOKです。

悔やみもしない人達に囲まれて、悔やんでいない“ふり”をし続けるのは、相当つらいと推測します。脱出がベストです。

自分を取り戻して欲しい。

.....

「10月20日(水)曜日」?

Fさんは「王子とごじき」という話。知っていると思うけど。

主人公がエドワード6世(エドワード王子)という実在の人物をモデルにしているのを知っているだろうか…

エドワード6世の父、

ヘンリー8世は暴君なのだろうか?

そんな事を急に思う。

カトリックが離婚を認めていない…

それが本当に愛する人と一緒になるのを阻んでいた。

ヘンリー8世の人物像はよくわからない。

しかし、行動派であったのは間違いない。

彼は“イギリス国王”であるにも関わらず、カトリックである事を棄る。最愛の女性と結ばれるために。

別に国王なんだから、結婚は形ばかりに残して、最愛の人と事実婚をしてしまえばいいのだが、そういうのは嫌だったらしい。

時、あたかも宗教改革の嵐、吹き荒れる時代。

グーテンベルグが印刷機を開発して以来、聖書の普及率は向上し、それに反比例してカトリック教会の権威は落ちていった。

多くの人は、神に対してのみ誠実でありさえすればいいのだ！と考える。

印刷機が無い時代は、カトリック教会を通じてしか“神”に触れられなかったが、今はそうでもない。

当時のカトリック教会は領地を所有する地方支配者の集合体だった。

いろいろと強権的な面も持つ、言う事を聞かない領民に対して、神の名で脅しをかけるくらい平気でやった。

脅しは時として、聖書の記述と矛盾した。

多くの人が、印刷機ですられた聖書を通じて、その矛盾に気がついてしまったのだ。

そこそものきつかけはメデイチ家出身の教皇「レオ10世」が“免罪符”を大量販売したのがきつかけらしい。

“免罪符”とは犯した罪を金で償う制度だ。極端な話、お金持ちはいくら悪き事をしてもこれを買っただけで天国への道が約束される。聖書が普及していなかった時代ならともかく、15世紀〜16世紀はもう聖書が普及していた。さすがに“免罪符”の制度は聖書の記述にそわないと多くの人が気づいてしまう。

歴史の世界では、最初に口火を切ったのはドイツ人のルターだ。

(当時のドイツは神聖ローマ帝国(西ローマ帝国を継承する意図で建国された国。しかし、実体は300ほどの地方領主の集合体だった。豊臣秀吉が天下統一する前の日本の支配体制に似ている、一応頂点となるべき権威はあったのだが、全国をまとめる力はなく、

地方の実力者がならみ合う状態だ。ハプスブルグ家はこの300ある領邦国家の1つから生まれ、後にヨーロッパの半分を支配する一族へ成長する)の一部だった。

ルターは教皇に対して向けた、矛盾点を列挙した質問状を発表する。

印刷技術があつたこの時代、その内容は驚く速度で伝播してゆく…

かつて教皇といえば、カノッサの屈辱で神聖ローマ皇帝ハインリヒ4世に、「3日間」も待ちぼうけを雪の中で食らわせたほどの権威があつた。なぜにこれほど権威があるのかといえば、ローマの文化に起源がある。

そもそもローマ人とは、ローマ人が国を作る前に君臨した王を殺して、共和制をはじめた人達だ。王というものを極端に嫌う文化がある。

しかし、その後シルクロード交易の減退に始まる共和制ローマの没落により、社会が混乱。王のような強力な支配者が求められるようになる。しかし、ローマの文化は王を否定することで成り立っている。王の再登場はローマの文化の破壊を意味していた。

そこで、王の代わりに登場したのが“皇帝”だ。

名前が違っただけじゃんというツッコミをかわすために、“神”により統治を認められた!とするロジック(=理論)を構築した。

ヨーロッパの王や皇帝は、神の名の下にその権威が認められているのだ。

だから、今でも必ず新しい王が誕生する際には“戴冠式”というセレモニーをやる。

キリスト教の権威ある人物が王より上段に立ち、神の代理人として王冠を与えるのだ。王は恭しく頭をさげ、それを頂く…。

教皇は当時、まさにこの王冠を王や皇帝に与える神の代理人だっ

た。

教皇が嫌と言え、王も皇帝にもなれないわけだ。

それに気がつかなかった神聖ローマ皇帝ハインリヒ4世は、1077年教皇選任に干渉しようとした。教皇グレゴリウス7世は激怒し彼を破門（「お前はキリスト教徒でない」）した。

神から授かった皇帝の王冠なのに、神から否定されたら、皇帝でいられなくなる。

ハインリヒ4世は許してもらおうと出向くが、雪の中3日間も待ちぼうけを食らわされる屈辱をうけた。歴史上「カノッサの屈辱」といわれる事件だ。

この事件により、ヨーロッパの人々は“教皇＝神”であると認識するようになる。

ルターの教皇に対する質問状の公開は、まさに“神”に対する挑戦でもあった。

時に1517年。「カノッサの屈辱」から560年後の出来事だった。

ちょうど大航海時代初期に重なる、「コロンブス」のアメリカ到着から25年後の事で、アメリカの語源ともなる「アメリゴ・ヴェスプッチ」の航海から16年後の出来事だ。

種子島に鉄砲が伝わる26年前でもある。

さらに付け足すとこの時期はオスマン・トルコが内政面で折り返し点をもむかえつつも、まだまだ絶好調だった時期だ。ヨーロッパ人はイエニチエリの軍団に手も足も出せない状況だった。（12年後にはトルコ軍はウイーンを包囲すにまで至る、21年後には地中海はオスマントルコの制海権下に入る）

自信を無くし、自分たちの原点を見つめ直している時期だ。

同時期イタリアではルネッサンスが起こり、古い文化を打ち破る機運がでてくる。「ダヴィンチ」や「ミケランジェロ」が活躍した時期でもある。

こうした機運は当時の大学にも伝っていたのだろうか？もともと宗教学校だったものが600年ほどの時間をかけて、大学へと進化していた時期でもある。1500年代には80ほどの大学があったようだ。

古い文化（＝教皇）にルターが挑戦できる環境が、1517年のヨーロッパには存在した。

当時のカトリック教会は農民を重視し、新興勢力だった商人や知識階級を「知らない人々」として蔑視した。理由は明白で、カトリック教会自体が、多くの領邦を抱える大地主であり、大地主としては、税金を納める農民がかわいく、それ以外は憎たらしいというわけだ。文化も華ひらき、商業も発展し、大学も進化したヨーロッパにありながら、今だ教会は旧態然とした社会システムのみを“すばらしい世界”と賞賛したわけだ。そりゃあすばらしいと思うはずだ、黙っていても金が入ってくるのがそのシステムなのだから。

それで世の中上手く回るならそれでいいが、オスマン・トルコの台頭や、新大陸発見が、人々の目を外へ向けさせた。新興勢力は宗教的に不満だった。今のカトリック教会は何かおかしいと。本当に神の意思を実践しているのか？と。

彼らは普及した聖書を片手に、カトリック教会を通さない“神との対話”をはじめた。こういうのを「聖書主義」というらしい。

「聖書主義」は3派にわかれた。

「ルター派」は神父を否定し“牧師”を採用。領邦君主が神の代理人とする。現状の社会システムを維持しつつ政教分離を主張。反教皇ではあるが、それ以外のスタイルはそう変り無いように感じる。

「カルヴァン派」は信者代表が作る“長老”達が神の代理人とする立場。

“長老”が牧師を選任し、教区へ派遣する。新秩序の構築と新しい倫理観を肯定している。

ある意味、聖書を厳密に解釈する超保守派だ。（「赤毛のアン」のアンはこの超保守派（長老派）だ、牧歌的だが、時おり排他的な面が物語のアクセントとして書かれている）

だが、カトリック教会が信者は教会へ財産を寄進すべきだと奨励したのに対して、貯金はいいものだと思えた。これが後の資本主義の発展へとつながる。

「イギリス」は反教皇。それ以外に特にこだわりはないようだが、一応「ルター派」「カルヴァン派」の教義を取り入れて体裁を整えている。

実体はヘンリー8世が離婚を認めない教皇にたいして激怒したため、大陸で流行していた「宗教改革」に便乗してカトリック教会を脱会。イギリス国民丸ごと巻き込んで、カトリック教会に反旗を翻した事になる。

…でも個人的には、これが、イギリスの発展に大きく貢献したように思う。教皇の後ろ盾を失ったイギリス国王の権威は落ち、その分、新興勢力（商人、知識階級）や貴族（大地主）の力が増した。この環境が、随分先に起こる市民革命の布石になっているように思う。この後、絶対王政の時期に突入するが、絶対王政とは言葉とはうらはらに、真の主役はこうした商業資本家や貴族達だと思う。

現実の歴史では「王子とこじき」のモデル、エドワード6世は9歳で即位している。

作者のマーク・トゥエインは、エドワード王子は父を慕う優しい少年として書いた。

父ヘンリー8世は病床につき、今にもなくなりそうでもある。そんな中、跡継ぎとしてエドワード王子は窮屈な毎日を送っていた。

あとはお馴染みの展開だ。ウエストミンスター寺院で双子のようにそっくりな「こじき」と出合った王子は窮屈な生活から抜け出したい一心で入れ替わりを提案。こじきことトム少年も了承する。

物語はこのあとお馴染みの展開になる。どこへ行ってもトム王子の周りには取り巻きがいるため、再入れ替わりのチャンスがない。その間、エドワードは国民の貧しさをしり、愕然とする。

現実の歴史では、ヘンリー8世の宗教改革の過程で肅清された神父や貴族はたくさんいた。

物語のなかでも没落貴族や、元神父が登場し、元にもどれなくなつたエドワードと関わる。

面白いのはラストだ。

ヘンリー8世がなくなつた為、エドワード6世が（トム少年が）9歳で即位する。

戴冠式はあのウエストミンスター寺院だ。

入れ替わるならそこでしかない。

駆けつけつエドワード。なんのかのあり、「寸前で」元に戻る事に成功。

エドワードはエドワード6世として即位し、トム少年は家族の元に返れる。

この展開、「寸前で」という部分。現実の歴史でも似たことが起きている。

時系列では6年後、現実の歴史において国王エドワード6世は9歳で即位し15歳で亡くなる。

幼いエドワード6世を利用してイギリスを支配しようとしたダドリー一派は、エドワード6世の“はとこ”と自分の一族を結婚させ、次期王権をねらった。

それを知ったイギリス政府は、正当な後継者メアリー王女を急遽“戴冠式”に呼びつけた。ロンドンに入ったメアリーは圧倒的支持をうけ女王となり、ダドリー一派は排除される。もし、メアリーが「寸前で」間に合わなかったら、ダドリー一派がイギリスを支配していたかもしれない。

ここでもイギリス政府の意向が反映される形になっている。

絶対王政とは、海路の確保を背景に生まれた植民地経営で、商業が発展し。その過程で台頭した新興勢力（資産家（シェイプ）＝貴族。資本家）の支えで王権が強化されたスタイルだと思う。

かつて教皇によって保障された王権が、教皇に代わり新興勢力が支えるようになったという事だ。

フランス革命時に、ルイ16世が議会や貴族を押さえ込めず、3部会を開いたのも、王権を支えているのが、教皇ではなく、貴族や資本家だったからかもしれない。もし、自分を支えるそうした人たちが、市民や農民の側についてしまったら、国王と言えども何も出来なくなってしまう。カノッサの屈辱の頃では考えられない事が、革命期には起きたわけだ。

この「王子とごじき」のモデルとなった、エドワード6世の時代とは、「カノッサの屈辱の時期」→「革命期」をつなぐ大事な時期だと思う。

王の権威は“誰”がささえているのか？という問題の意味が、変化した時期なのだ。

アジアにこういふ歴史の経緯は無い。

だから政教分離や、立憲君主制の土台が薄っぺらいのかもしれない。

けど、こうした制度が近代資本主義を支えているというのは理解できるだろうか？資本主義を担う人たちが主役となり、国家の権威を支えている。だから、近代的な制度や法体系を否定する事は、中世以前のカノッサの屈辱のような時代への回帰を意味する。

言うまでも無いが、“人権思想”もそうした近代的な社会をささえる大事な概念の1つです。

人権思想を否定する人がいたら、その人権思想が消えたら、現在の社会が成立しなくなる事を教えてあげてください。：世界は、大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもって動いています。

今もそうした渦の中で（ダイナミズムで）動いています。

手を伸ばせば届くような単純でない強大な“何かで”動いている。そして“変る常識”“変る世界”というのは、現実に確かにあるのです。

こんな話がある。

日本人は時間をかけて“こしひかり”を作り上げた。

しかし、アメリカ人が“こしひかり”の遺伝子の特許にしてみたい、日本人に権利がなくなってしまう。それおかしくないか？という話は以前からあった。

“こしひかり”に限らず、世界中で似た問題は起こり、ついに話し合いがもたれる事になる。

それが現在行われている「生物多様性条約会議」です。世界の主役は少数の特権享受者ではなく、世の中にいる皆にあると思いたいところです。

話し合いはこじれています、長年虐げられた国々の不満が爆発しているからです。

しかし、過去の歴史を見るように、こうした不満は次の時代のステップに繋がっています。

かつてカトリック教会が無視した「新興勢力」が宗教改革への流れを作り、絶対王政へと流れを変えました。

時代は常に、動いているのです。目の前で。

この世はけっして単純ではない。

単純と吹聴する人間は理解した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないの!?!」と。

いろんな目に遭う前は、彼らの組織が正直ここまでひどいと思っ
てなかった。

もっとまともな組織と本気で思っていた…

多くの“まともな人”を隠れ蓑にして、“そうした”人が隠れている。

もう、恥ずかしい!と“そうした”仲間の行動を見ている人、結構いるよ、

そう思います。

誰かの恥の尻拭いを何で自分がしなきゃいけないんだ！
そう感じた人（感じる人）少なくとも感じます。
多くの人の良識の存在を信じて。

大丈夫、君は自信をもって自分を貫けばいい。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。
う。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、
それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃっ
たとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

アレクサンドル・デュマもそう思ったらしく、彼をルイ14世の双子の兄という設定にしている。

時は絶対王政が確立した時代の物語。

イギリスでは清教徒革命が起こり、混乱が続く時代。

フランス自体も、反カトリック勢力が台頭し、手を焼いていた。

ハプスブルグ家との無意味ならみ合いも際限がなく続く。そんな時代だった。

前回書いた「王子とこじき」のエドワード6世死去から89年後、アレクサンドル・デュマの作品「三銃士（第三部）」では冒頭イギリス国王がフランスに逃げてくる。

成長したイギリス議会は各々の立場の人が（国王を差し置いて）独自の説を展開し、対立していた。

「王党派」は国王支持。僧侶や貴族、大商人などが主体。

「長老派」はカルヴァン派の世界を目指す。地方の名士や商人が主体。

「独立派」はより攻撃的に共和制を主張、新興勢力（商工業者、自営農）が主体。

「水平派」はより理想的（空想的）共和制をめざす。現在のシステムに近いものを目指しているが、17世紀の世界では空想的すぎた。その空想的内容は、「完全普通選挙」と「信仰の自由」というものだ。400年前は実現不可能な空想的理想だが、現在は“あたりまえ”になっている。

この事実をFさんはどう思いますか？

これら水平派の主体は貧民層でした。

あとさらに貧しい最貧民層は「真正水平派」と呼ばれ、原始宗教

への回帰と土地の共有化という共産主義っぽい事を言っています。

(共産主義はケインズ主義をさらに徹底したようなエリートによる計画経済を構想している(ケインズ自身はこれを非難している)。このエリートが完全な計画を立てられるならいいが、前回説明したとおり、経済学はいまだ未完成で、一部天才の“勘”に頼る状況。共産主義のいう所のエリートが完璧な計画経済を指導するというのは「現在の常識や技術」では不可能なのです。

また共産主義が独裁に陥りやすいのは、エリートが全てを計画し、実践させる体制の副産物です。幹部や指導者には絶大な権力は集中し、特権をもちます。個人崇拜に陥りやすく、現に個人崇拜に陥っている共産主義国家は2010年現在も複数あります。欠陥があるという意味では“資本主義”も同じですが、物事を改善し、次のステップにすすむ余地を残しているという意味では、共産主義より未来の可能性を感じます。Fさんはどう思う?)

∴ 成長したイギリス議会は混乱した。

そちらの世界には秩序の「維持」こそ“すばらしい”。混乱は悪だとする風潮があるが、物事が変わる時は、こういうドラスティックな展開はさけて通れない。

現在のイギリス議会が完璧とは思わないが、その「歴史」はおおいに参考になる。

失敗も多く残しているから、どうすればよかったのか?を研究するのは、未来の糧になります。

「王子とこじき」のエドワード6世死去から89年後のイギリス議会では「独立派」が主導権をとり、清教徒革命を起こし、市民の権利拡大を国王に迫った。

革命は性急すぎたのかブレーキが効かなくなり、ついに国王の処刑にまでいたる。

しかし、王政にかわる政治システムが確立してなかったがゆえ、結局は「独立派」のリーダー「クロムウェル」の独裁体制になってしまう。王を倒しても、代わりとなる議会政治が成長してなければ意味が無いのだ。この後のイギリスの歴史は王政が復古するが、議会もだんだんと力をまし、王権と市民の力が駆け引きを繰り返し、どうバランスをとったらちよいどいいか？を試行錯誤する時代に突入する。

最終的には議会は国王がいなくとも機能するほど成熟したが、伝統と権威のシンボルとして、王室は今も残る。現在のイギリス国民の王室バッシングはすさまじい。何かあればすぐに非難されるし、王室を揶揄したコメディも頻繁に作られる。日本では女性誌が皇太子の髪型を今風にしたらこうなるという特集をしただけで、問題になる。イギリスではありえない。日本ではまだまだ権利の意識が低い結果だと思う。

アレクサンドル・デュマの作品「三銃士（第三部）」の冒頭でイギリス国王チャールズ2世はフランスに逃げてくる。彼は幼少期にイギリス脱出をはたした前王の息子で、一時スコットランドにいた際、戴冠式を行い王位をついだ。しかし「独立派」の軍から逃げるため、フランスのルイ14世をたよって逃げてきたわけだ。この辺りは現実の物語とかわらない。

「三銃士（第三部）」内では、ルイ14世の信頼厚い銃士隊のダルトリアンがチャールズ2世とともにイギリスに渡り、彼を守りながら活躍し、再び彼を王位につかせる事に成功している。

現実の歴史でも1660年、イギリスは王政復古し、クロムウェルの共和制独裁は7年で終わる。

独裁は終わるが、「市民の権利」の価値はその後も尊重され、この29年後イギリスは「**権利の章典**」を発布する。さらに61年後には責任内閣制が確立し「君主は君臨すれど統治せず」という現在

のシステムの原型に近いものに到達する、時に1721年の事だ。日本では「暴れん坊將軍」のモデルになった徳川吉宗の治世の時代だ。

アレクサンドル・デュマの作品「三銃士（第三部）」のオチは非常に有名だ。

フランス王ルイ14世、実は彼には双子の兄がいて、鉄仮面をかぶせられ、今もバステュー監獄で幽閉されている。そして国王と彼を秘密裏に入れ替えようとするたくらみがある…。詳細は不明だ、原作を読んでいない、派生作品ではそれぞれに解釈が異なり、それが原作に忠実かわからない。

国王すり替えの主犯は元三銃士の1人“アラミス”だ。昔、NHKのアニメでは男装の美女という設定だったが、本来は眉目秀麗な男性という設定だ。神学に傾倒したバリバリのカトリック教徒で、当然この当時吹き荒れる宗教改革の産物、抗議者を快く思っていない。アラミスは三銃士のなかでもミステリアスな人物として表現されている。その演出の意図は、他のメンバーよりも宗教に傾倒した人物という演出と見受けられる。皆が皆アラミスほど宗教に熱心でないという演出だ。そんな彼が国王すり替えを画策する意図は？

後々の展開に答えがあるように思う。

アラミスは三銃士を辞めたあとカトリックの司祭になり、その地位は「イエズス会の管区長」という破格の地位だった。王宮で愛人だった人物から、王の秘密を知らされ、その絡みで構築した人脈でなしえた出世のようだ。「イエズス会」といえば日本ではフランシスコ・ザビエルで有名だが、本来はローマの教皇の直接指揮下に入る精鋭宗教集団だ。教皇をないがしろにする抗議者と対立する図式だ。フランシスコ・ザビエルが日本に来たのも、もしかしたら抗議者^{プロテスタント}の勢力拡大に対抗する意図があったのかもしれない、推測ですが。

そんなイエズス会のアラミスが、国王すり替えを画策するのだがら、おのずと意図が見えてくる…

原作では寸前の所で失敗、かつての仲間ダルタニアンは反逆者としてアラミスを追う。

何も知らず手を貸した三銃士いちの陽気者ポルトスは反逆者として殺されてしまい、アラミス自身も追い込まれるが、追っ手の船の艦長が同じイエズス会の会員だった関係で難をのがれ、スペインに逃げのびる。

この物語は「一人はみんなのために、皆は一人のために！」の合言葉で鉄の友情をしめしていた三銃士の友情も、時代の流れに飲み込まれてしまった…というオチなのだと思う。カトリックとプロテスタント。そして絶対王政下の王権と人権のせめぎ合いの時代を背景にしている。宗教は長年の友も敵にしてしまうのだろうか…、これはあくまで物語だ。現実がそうとは誰にも決められない。

Fさんはどう思う？

イギリスではクロムウエルの独裁が反省され、その後革命で流血事件はおきない。

しかし、この後のフランスはあの「ベルサイユのばら」で有名な激動の革命期に突入し、多くの血が流される。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです、手が出せば届くようなものではない強大なダイナミズムで動いている。日本とて例外ではなく影響されている。

せまい世界のなかだけで完結しないという事だけは、間違いようのない事実です。

けっして単純ではない。

そしてその「歴史」は現在と地続きで繋がっている。

過去の混乱を学べば、将来の混乱にたいしても処方箋がかけらる。

1つの真実が世界の理と理解するのは実用性がない狭い見だ。

歴史は繰り返す、繰り返すの中から、学び成長するのが人間の本質だと思います。

Fさんはどう感じますか？

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないの!？」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

わかるうとしないのは、個人個人の“質”の問題です。目の前しか見ていない。

そうした自分都合の連中に負けないで！

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君の性格を考えると、「人に騙された…」なんて恥ずかしくて人に言えない…

そんな風に思うのかもしれない。

でも勇気をもって切り抜けて欲しい。

君人生だもの。

付け入られる可能性もある。

つらいかもしれないけど、切り抜けて欲しい。

向き合うべき問題は君の「中」にある。

同時に「外」にもある。

可能性を模索して

彼らの行動は常識を逸脱している。

だから、やめるときも常識を超える「決断」や「勇気」が必要なのかもしれない。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思っけどどうなのだろう？

コントロールすればいいんです。

困難でも負けないで立ち向かって！君ならできる。
つらいかもしれないけど、切り抜けて欲しい。

悔やんでいるなら実行あるのみです。

再会を信じて。希望を抱いて！

Fさんなら切り抜けられます。

〔10月22日（金）曜日〕？

巧妙化する手口に負けないで

〔10月22日（金）曜日〕？

論じるべきは、人々の「面子」^{めんつ}ではなく君の想いだ！

〔10月22日（金）曜日〕？

黙ってれば丸くおさまると思っている連中の目を覚まさせて！

〔10月22日（金）曜日〕？

三行半^{みくだりはん}つて、江戸時代に、別れたい女の人が、長屋の大家さんに文章を書いてもらい、それを男に渡す慣わしからきている言葉らしい。

何でもその文章には別れたい理由などが書かれているとか、ちょうど3行と半分で済む文章だったらしい。

江戸時代の長屋の大家というのは、単なる大家ではなく、行政機能になっっていて、長屋全体の上下水道やごみだし、徴税や福利厚生、結婚、出産、葬儀など、今では行政がになう全てをやっていた。大家と店子は親子も同然とはこの時代の言葉です。だから、当然、離婚時も大家が登場し、三行半を大家に書いてもらいわたすらしい。

こんな故事もしらずに、いまだに「大家と店子は親子も同然」とか言う年配者いる。

“知らない”という事は、平気でまちがった常識を信じさせてしまっ。

常識はなにをもつて常識とするか、個人が決める事です。

特に、君自身の人生がかかっている場合は、君に決める権利がある。

- - - - -

〔10月22日（金）曜日〕？

現在「スペイン」と「ポルトガル」がある“イベリア半島”には人が残した洞窟壁画があります。

紀元前1万5000年？ほど前のものらしい…

約400万年前にアフリカで生まれた猿が、紆余曲折をへて進化した、イベリア半島にたどり着き、紀元前1万5000年？ほどの時点でスペインの洞窟に到達した事になる。猿から人類になるまで「約400万年？」スケールがでかすぎてピンときません。

その後さらに「1万4000年？」ほど経過し、“イベリア半島

”南部に「タルテッソス」という貿易国家が生まれていたという記録が出てくる。当時地中海の交易を独占したフェニキア人と組んで交易をしていたらしい。「タルテッソス」国自体は伝説の王国だ（

アジアで言えば“殷”とか“周”、日本なら“邪馬台国”のような、存在の可能性が高いが証拠のない国）、真偽の程はわからない。だがイベリア半島南部といえば、ちょうど地中海と大西洋を結ぶジブラルタル海峡に面している。海上交易商人が休憩所を欲しがると

置だ。

この時代、紀元前1000年代は「ローマ」はまだなく、イタリア半島には「エルトリア人」の王国があった。ローマ人がこのエルトリアの王を殺して共和制国家を作るのはこの後500年ほど先になる。

「エルトリア人」がローマで王国を持っていた時代。

「ヒツタイト」と「エジプト」はすでにあり、この時代の2大大国だった。

その陰にあやかるように、「ギリシャ人とフェニキア人」が地中海で交易をしていた時代だと思う。

まだ“シルクロード”は、本格的に機能していなかったと思う。

現在の目で見ると、この時代「エジプト王国の歴史」が抜きん出て際立つ。この時点ですでに2000年近い歴史をもつ。しかしそれはエジプトに詳細な記録が残っていたからわかるだけで、文字に記載されていない“本当の歴史”がまだまだ埋もれているかもしれない…、いや、埋もれている事時代は間違いない。

そんな時代だから、多くの考古学者が解明しようとしている対象だと思う。

詳細は不明だが、新石器時代が終わった？ 時点でイベリア半島にはいくつかの民族がいたようだ。

半島東部にイベリア人、北部にケルト人（ガリア人）、ピレネー山脈の一部にバスク人。そして現在のポルトガルに重なる地域にルシタ二人。これらの人はその後も交じり合い、外部からの民族流入もかさなり、違いがなくなってゆくが、時代が下ってもルシタ二人発祥のポルトガル人は自分たちの文化を保ち続けた？ という事だろ

うか？

スペインとポルトガルは似ているけど、微妙に文化が違うようです。

（バスク人は少数民族として今もスペイン内で独立闘争をしていると聞きます。）

大航海時代。先に海に出たのはポルトガル人の方だった。

1341年に西アフリカ沖のカナリア諸島に来ている。が、まだここが世界の果てだった。

ここから先はアラブ人の世界であり、危険な海。

そんな地理知識のない多くの船乗りが、この先は海が無く、世界が終わっていると信じた。

この後1347年〜51年にペストの大流行が起こっている。ヨーロッパの人口の大半は消失する大惨事だ。

さらに1362年にはコンスタンティノープルが陥落している。

人口の半分がなくなった時代、農民がいなくなり荘園制度が崩壊。社会構造の変質が余儀なくされる

荘園（農村）中心の社会から商業へシフトするきっかけとなった。後々にこれが王権の中央集約へとつながり、新興勢力の台頭と絶対王政へのきっかけになったと書いては言いすぎだろうか？

本格的に進出したのはポルトガルのある王子の偉業だ。

後に「エンリケ航海王子」と呼ばれる彼は、当時のタバーである世界の果てにむけて航海者を派遣した。

なぜタバーを犯したのか？諸説あるが、僕はこう考える。

地中海交易に関しては、ジブラルタル海峡をスペインに押さえられていたので、いまいち自由にできない…

自然と地中海とは“逆”方向に向うのでは？と思う。

なぜこの時期になって？今までしなかったのか？

それは長らくイベリア半島は、北アフリカから来たイスラム勢力の支配下にあつたため、ヨーロッパ人はそれどころではなかったからだと思う、まだイスラムに支配される前では、まだ航海術が未発達で、外洋には出られなかったのでは無いだろうか？

ポルトガルが弱小国だ、活路を求めて外に出たのかも知れない。

ポルトガルが次々とアフリカ大陸沿いに航路を開いていくのを見て、隣国スペインはどんな気持ちだったのだろうか？最初は馬鹿にしていたのか？あるいは様子見をしていたのか？。だがヴァスコ・ダ・ガマが「インド」に到着した時点でついにスペインも行動した。

スペインの援助でアメリカに到達したコロンブスの話は有名だ。

その後もスペイン人のアメリカ大陸開拓は続き、コルテスによるインカ、アステカの征服劇はあまりにも有名だ。

∴海路シーレーンの開発に伴い、ポルトガルは弱小国でありながら巨万の富を手にする。

しかし、そもそも国力がないので、長大な海路シーレーンを維持できずに自然消滅してしまう。

（この辺は第2次大戦で中国を支配しきれなかった日本に似ている。日本の国力だけであの広大な国土を支配下には置けるには限界があった）

この後のポルトガルの歴史はあまり面白くない。

絶対王政とは蓄財し権力をました貴族や資本家が、王権を支える時代だ。

多くのヨーロッパの国ではこうした人らが国内の産業を育てる。

しかし、ポルトガルではそれがなく、いつまでも植民地から利益を吸い上げるだけ。

最終的にブラジルを失い、どうにも出来なくなる。

現在でもポルトガルは産業力が弱い状態が続いている。

(過去、現在を問わず)力ある上位者が自分の都合を優先させる国は、こうなるのだろうか？

Fさんは、どう感じますか？

スペインは国力があったため、植民地を維持できた。

特にアメリカ大陸では南米を中心に広大な領域を支配。

多くの産物は“カリブ海”からヨーロッパへむけ運ばれた。

面白く思わないイギリス・フランスは、半分犯罪者のような船乗りたちに、カリブ海での私略行為(海賊行為)を許可する。カリブの海賊のはじまりです。

暴力は暴力をよび、エスカレート。独自のルールなどもうまれた。

(“彼ら”のいうルールも、こういう暴力社会の秩序を維持する“海賊ルール”なのではないだろうか？)

その辺の海賊文化は伝説化され映画「パイレーツ・オブ・カリビアン」等で有名です。

しかし事情はポルトガルと同じで、国内産業の発展しなかったスペインは産業革命の波に乗り遅れ、イタリアのような劣等性へと転落した。当時、世界の半分を支配した帝国がこんな事になるとは、だれも想像できないだろう。

…これは完全な私見。

「ポルトガル」「スペイン」はイベリア半島からイスラム勢力を追い出すのに「カトリックの支援」を受けた。その関係で、宗教改革後の世界でも依然カトリックの強い影響下にあった。

(その関係で両国とも「イエズス会」に協力的で、植民地への「イエズス会」の神父派遣に強力的だった。フランシスコ・ザビエル

もポルトガルの植民地「マカオ」をアジアの活動拠点にしていた。おかげで両国のかつての植民地はどこもカトリックの地になっています。ブラジルのありえないほど巨大なキリスト像は有名です。）
抗議者のいた国々では、その主体となった新興勢力が産業を育て、発展させた。故に近代化も加速し、国力も増した。でもカトリックの国々では旧態前とした価値観が残りつづけ、両国とも上記のような状況になった…。

断言はできない、しかし新興勢力のほうが発想に柔軟性があつたように思う。ポルトガルがアジア航路を独占した時など、じゃあと言わんがばかりに、ポルトガルの航路の先に位置した物品の「原産国」を占領してしまった。これではせっかくアジア航路を開いても意味がない。ポルトガル没落の原因です。

抗議者の国では商業が次の形態に移行した。世界初の「会社」を作つたのも抗議者のイギリス、オランダだった。発想が旧来のままではこうはいかない。

スエズ運河を作つた際にも、イギリスでは株式やファンドを使って資金をあつめ、あの大事業をやつたといえます。かつてイタリア人探検家「コロンブス」はスポンサー（パトロン）探しに苦労しました。以前の世界ではお金を持つ権力者が金をだし、大事業がされた。しかし、その非効率を回避する意味で、商業の発展したイギリスでは会社や株式、ファンドといったものが生まれた。

「ポルトガル」「スペイン」はかつて世界の半分を支配した。シルクロードのシステムを打ち破り、あたらしい世界をひらいた。しかし、発想が旧来のものにとどまつたため、対応できません。現在のような状況になつたのでは？と思う。

かつて「オスマン・トルコ」が曲がり角に來た理由は、巨大にな

った帝国なのに、政治システムが旧来型のままだったので、歪みが生じて、機能不全になったからだと説明した。

同じことがここでも確認できるように感じるのは気のせいなのだろうか？そんな事を思わなくもない。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです、手が出せば届くようなものではない強大なダイナミズムで動いている。日本とて例外ではない。

日本がかつて世界で相手にされたのはお金を持っていたから。

今、相手にしてくれる理由はお金に加えて技術も持っているからでも「スペイン」「ポルトガル」のように次世代への投資を怠ると、いつかどうにもならない時代がくるかもしれない。古い発想もいいが、それだけではどうにもならない事を歴史は教えてくれます。

せまい世界のなかだけで平和は完結しないという事だけは否定の難しい事実のようです。

けっして単純ではない。

単純であると吹聴する人間はなににも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など…君の好きなように無視していいと思う。

君の周りの人に伝えてください。

「理解を示す心の広さはどこへやったの？」と。

「真実に目を向ける勇氣はどこへいったの！？」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

わかっておかないのは、個人個人の“質”の問題です。目の前しか見ていない。

そうした自分都合の連中に負けないで！

“厄介な人”多いと思うけど！負けないで欲しい。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。

負けないで！応援しています。君は自分で思っている以上に強い人です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかに言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

.....

〔10月23日（土）曜日〕〔1〕

昔「風とライオン」という映画があった。

印象としてはいまいちなのだが、忘れずに記憶していて、何がそんなに引つかかっているのだろうか？

機会があつたらもう一度見たい映画だと思つている作品だ。

〔10月23日（土）曜日〕〔2〕

最近こんな話ばかりかな…

君が退屈してないか心配になる。

顔を見ながらでないと、わからない事もあるかもしれない。

君は恥ずかしがるかもしれないが…

〔10月23日（土）曜日〕〔3〕

いつか、そういう時間が持てる事をいのります。

〔10月23日（土）曜日〕〔4〕

…さきほどの「風とライオン」同時に、見た事は無いが、上記の作品にからめて見たい映画として「カサブランカ」というのもある。典型的メロドラマらしいけど、宮崎駿監督はこの映画からインスピレーションを受けて、「紅の豚」のホテルアドリアーノの女主人、ジーナを描いたらしい。

両作品ともにアフリカの「モロッコ」を舞台にしている。

「ポルトガル」「スペイン」のある「イベリア半島」とはジブラルタル海峡を挟んで向かい合っている場所で、アフリカ大陸の西端の国だ。

映画「風とライオン」では、この地域に古くから（おそらく石器時代から住む先住者）住むベルベル人の族長がアメリカ人母子を誘拐するところから始まる。コロニアル風（地中海風）のお洒落な白壁の街をターバンとマントを羽織った一団が武器を片手に駆け回り、アメリカ人母子を誘拐、当時の大統領に要求を突きつけるという内容だ。

族長の意図はこうらしい、現在モロッコで権威ある人物は、西欧列強のいいなりに民衆を苦しめている。自分が西欧人を誘拐することで、彼を西欧人と民衆の間に板ばさみにできる。彼はめざめてモロッコのために立ち上がるだろうという意図だ。

ベルベルの戦士は古くから有名で、勇猛さが伝わっている。監督は黒澤映画のファンらしく、黒澤映画の影響をうけた演出で、ベルベルの戦士を描く。

〔10月23日（土）曜日〕〔5〕

…この地域は1900年代、第1次大戦の前哨戦ともいわれた場所だった。

ジブラルタル海峡を押さえたものは地中海の制海権を左右する、ここを敵国に抑えられたら、地中海の国々は船を大西洋に出せなくなるからだ。海峡の北はイギリスが押さえた（2010年現在でもイギリス領の基地がある）。南はスペインが押さえている。黙っていられないのがフランス、ドイツなどの国々だ。当時のイギリスを敵に回すのは厄介とかがえたのか、みな海峡南を支配するスペインをターゲットにする。弱いものから狙う…まさに弱肉強食の理論で、当時の世界がいかに荒れてるかがわかる。人類は当時の事を反省して、今の世界秩序を作ったと思います。

現実の歴史において、第1次大戦の10年前、イギリス・フランス間で「英仏協商」が成立。モロッコはフランス領になる。イギリスとフランスは仲が悪かったが、ドイツに敵対する意味で意見が合ったらしい。

この時代、海路の確保における世界戦略の延長線上で、鉄道利権が争われる。中東の鉄道政策で、イギリスとドイツはぶつかり、一歩も譲らない状況に。

同時期、モロッコをめぐりドイツとフランスは衝突。

ドイツを牽制する意味でイギリスとフランスが接近したらしい。

この「英仏協商」が最終的に「3国協商」へ発展し、ドイツ・オーストリア・イタリアの「3国同盟」とぶつかるのが第1次世界大戦です。当時この世界大戦は、全ての小競り合いを終わらせる最終戦争と位置づけられ、各国が総力をあげました。故に激化し、それまでの戦争がお遊びに感じるほどの激しい戦いになります。この時代まで、国家が持てる全てをつぎ込む戦いは存在しなかった訳ですから…。

そして最終戦争を勝ち抜いた「3国協商」（日本も含む）は「ヴェルサイユ体制」を構築。悪意で世界を支配する20年を始めます。

…「風とライオン」の方は、西欧人の言いなりになる太守（これが地方の支配者なのか、モロッコの王なのかあやふやです）が西

欧人と取引、人質をとった族長は裏切られる形で幕引きをする。

映画の中ではションコネリー演じる族長は、サムライのような人物として描かれ、太守が裏切るなどとは夢にも思っていない。そこまで太守も落ちぶれていないと感じたのか、ワナと知りつつ誘いに乗り、ドイツ軍につかまってしまふ。

連れ去られた過程で親しくなつた誘拐された女性イーデンはアメリカ海兵隊の力をかり、彼を救出に向ふ。

誠実な戦士ライズリの部下たちも加わり、激しい争奪戦ののち、ライズリー派は逃げ出す事に成功。

モロッコはその後「英仏協商」でフランスの手に渡り、アメリカのルーズベルト大統領は母子救出で支持率があがる。

映画自体はこのルーズベルト大統領が軸になっている。

大陸同士の醜いエゴがぶつかる仲、正論をふりかざすライズリ族長に次第に親近感と憧れを抱く大統領。

全ては最終的に大国の都合のいいように終わったが、はたしてそれでいいのか？自分たちは大切な何かを失ってはいないのか？という終わり方をする…、と思う。なにぶん1回しか見てないので、間違いがあるかも知れないが、こんな話だったと思う。

その後フランス領としてモロッコは時を刻む事になる。

第1次大戦をへて、なおフランス領でありつづける。

第2次大戦が始まると、ヒトラーの電撃戦により短時間でフランスは陥落。戦争初期でフランスはドイツの傀儡政権に支配される事になる。

植民地モロッコも当然、ドイツの影響下にはいる。が、一応形の上ではフランスの植民地のままだ。多くのヨーロッパ人が大陸を棄て逃げてくる。アメリカへ亡命するルートにモロッコの町「カサブ

ランカ」があつたからだ。

〔10月23日（土）曜日〕〔6〕

映画「カサブランカ」の主人公はフランス人リーク。「カサブランカ」でバーをやっている。ドイツ軍をきらい本国から逃げてきたフランス人だ。ひよんな事から「旅券」をあづかる。ドイツ軍から盗んだものらしい、これを使えば安全に脱出できる代物だ。あづかりものなので、使う気がない主人公。

あづけたのは反ドイツ活動をしている人間だ、その仲間が「旅券」をあづかってないか？と訪ねてくる。

有名な反ドイツ活動家で、脱出を試みているところだ。主人公は彼の妻をみてびっくりする。

彼女とはフランスで恋人だった。

とても仲が良かったのに、ある日突然目の前から消えた。

その彼女が見知らぬ男の妻となり現れた、当然「旅券」など渡さない。わたしは義理がない。

〔10月23日（土）曜日〕〔7〕

しかし、真相が明るみになり、主人公の考えは変る。それどころか、命をかけて彼女と旦那を逃がそうとする。なにがあつたのか？真相はこうだ。フランスで主人公と彼女が仲良く付き合っていた時期、実は彼女は夫がドイツ軍に捕まり処刑されたと思っていたからだ。あたらしい恋で自分を癒そうとしていたのだろうか？

しかし、ある日夫が「生きている」そして瀕死の重傷で「自分を必要としている」と知ると、失われた愛情がもどり、主人公に何もつげず去った…。

その事を知り主人公はようやく自分を取り戻す。命がけで2人を脱出させてやった。

途中、仲間になった人物と反ドイツ運動に加わる決意をして終わる…。

そういう話らしい。

〔10月23日（土）曜日〕〔8〕

愛情とは何か？を考えさせる話だと思う…。

Fさんはどう思う。

僕は君に会いたいと思っている。君はどうなのだろう…

時間があるのか、別の問題があるのか、…とにかく君を信じます。待とうと決めたのだから。

〔10月23日（土）曜日〕〔9〕

現在のモロッコは王国として健在です。世界有数のリン鉱脈が発見され潤っています。アフリカ第4位の経済国です。鉱脈が枯渇する前に国内産業が発展する余地があれば、将来も明るい国なのではないでしょうか？隣りの西サハラ帰属でもめているようですが、2010年現在は大国の干渉もなく、地元だけで問題解決が探られています。「ヴェルサイユ体制下」では考えられなかった現実が今、おこっています。

人間は弱い生き物です、ちょっとした事で心に悪魔が取り付きま

す。
過去を反省し、現在の世界秩序を作ったのに、ブツシュ政権下のアメリカ軍はアブクレイブ刑務所で人権を無視した行為を行います。たついで最近の事です。でも隠蔽されず、マスコミのめにさらされ、正しい道を模索する機能があればこそ、発覚し、問題になるわけです。隠蔽体質があつては先に進めません。

〔10月23日（土）曜日〕〔10〕

僕は今、賭けをしています。

答えはわかりません、とにかく待とうと思う。

今は君の都合が悪いだけだ、受け入れられるにしろ、違うにしろ、なにかしらケリをつけに君は現れる。そう信じます。君は、僕が真実に気がついたという事実をもし知ったなら、その事実を重く受け止めるはずだ。そう思った。何に賭けているのかと言うと、君が僕に「告白」するかどうかという事にだ。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（「告白」しない）、どんなに親しくなるうとも、絶対に。君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は「告白」一步手前まで来ていた。先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ、今にして思うとそう思う。

〔10月23日（土）曜日〕〔11〕

僕は賭けをしています。君が僕に「告白」するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。それは事実です。

告白された事は胸にしまつつもりでいます。

〔10月23日（土）曜日〕〔12〕

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。どんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だと思う。

けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。過去の文面を読んで欲しい、一度だって要求してない。

〔10月23日（土）曜日〕〔13〕

その代わりこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」と。それでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って

贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。単に自分たちの贅沢が（快樂が）侵害されている事に怒っているだけという事実に気づかずに反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せって言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではない」

〔10月23日（土）曜日〕〔14〕

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？

（そこまでくさってない？）

〔10月23日（土）曜日〕〔15〕

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては（奇妙な事に）誇らしくも感じてしまう。

繋がっていたのだろうか？どうなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

〔10月23日（土）曜日〕〔16〕

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます。

〔10月23日（土）曜日〕〔17〕

僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違いです。

〔10月23日（土）曜日〕〔18〕

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

〔10月23日（土）曜日〕〔19〕

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした人達」の）常套手段”です。

非常に悪質な人心掌握法になります。

〔10月23日（土）曜日〕〔20〕

油断していると、本当にこの暗示にかかります。

相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのように“錯覚”させるプロです。

〔10月23日（土）曜日〕〔21〕

親切心を利用されないようにしないと、永久にいいように利用されてしまいます。

気をつけて！そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！

〔10月23日（土）曜日〕〔22〕

“彼ら”は見た目や格好に関しては一般人と見分けがつかないように努力している。

どこぞの信仰宗教のように、専用の服を作ったり、特異なオブリエを掲げたりしない。

〔10月23日（土）曜日〕〔23〕

逆に言えばそれが故、見た目や生活様式の異なる人を攻撃する心

理が生まれるのかもしれない。

たぶん、“彼ら”のあの「行動」は、そうした「専用の服」や「特異なオブジェ」がないがゆえ、

“その”代わりになるべき要素として“必要不可欠”なものになっているのではないだろうか？

〔10月23日（土）曜日〕〔24〕

あやしい団体の構成員は「専用の服」や「特異なオブジェ」を通じてメンバーが一体感を持つと言っ…

“彼ら”の場合は「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つ…と考えると、

無理なくイメージできるのだが、本当のところはどうなのだろうか？Fさんはどう感じますか？

〔10月23日（土）曜日〕〔25〕

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

でも繋がりや、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとっての“それ”が“何を”いみするのか。

〔10月23日（土）曜日〕〔26〕

いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

〔10月23日（土）曜日〕〔27〕

自分の心を取り戻すべきです。

心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！と言ってやってください。

〔10月23日（土）曜日〕〔28〕

多分君の周りには悪意なく“そういう事”が出来る人がたくさんたくさんいると思う。

それは悪意があるのではなく、心が内向きになっていて、外に向いていないからだと思う。

〔10月23日（土）曜日〕〔29〕

心が外向きになれば、人として持つ“当たり前前感情”が戻ってきます。

そう、周りの人に言ってやってください。

〔10月23日（土）曜日〕〔30〕

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、

文句は言わせないわよ！」と、言って良いと思う。

そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされるのは間違っている。

.....

〔10月24日（日）曜日〕〔1〕

相変わらず映画シリーズで書こうかなと思う。歴史がらみの映画は結構ある。

予備知識ゼロでも面白いもの、ないつまらないもの。あればさらに面白いものいろいろだ。

〔10月24日（日）曜日〕〔2〕

面白くない？

〔10月24日（日）曜日〕〔3〕

困った：

〔10月24日（日）曜日〕〔4〕

何を聞きたい？

〔10月24日（日）曜日〕〔5〕

リクエストがあれば、それ相応にネタがねれるけど。

〔10月24日（日）曜日〕〔6〕

その時がきたら、教えてください。

〔10月24日（日）曜日〕〔7〕

答えの聞ける日を願って。

逃げ延びた「お姫様」といのは不動のエッセンスなのだろうか？

“皇女アナスタシア”の物語は伝説になり語られています。

80年代になくなったある女性は、自分がアナスタシアだ！と主張しました。

当時は遺伝子鑑定がなく、確かめられなかったそうです。

もし彼女が本当に生き延びたとしたら、「ロマノフ王朝」最後の生き残りになります。

〔10月24日（日）曜日〕〔8〕

この手の話は、あとしばらく続けようと思う。

11月はじめに介護の自宅学習が始めるから、少しそちらに集中力を傾けてもいいよね？

〔10月24日（日）曜日〕〔9〕

その際、少し文章量が減るかもしれないけど、理由があつての事です。

〔10月24日（日）曜日〕〔10〕

それまでは、しばらくこんな感じで書くつもり。

（ これを書くのは、今までの知識の総整理という意味で、役立つ
ています。実際文章にしてみると、あいまいに理解していた部分や、
理解の浅い部分、間違つていた解釈などに気づかされ、参考になり
ます。わかりきった事も、一度文章にしてみると、意外な発見があ
つたりするものです。Fさんは全て背負い込むような、そんな感覚
をもっていたと感じます。もし今もそうなら全てを背負い込んで
だめです！ “彼ら” はそれを狙っています！ 君が全ての罪を背負
い込む心理状態になれば “彼ら” はそこにつけ込み、容易に君の心
を操れるからです、打ち破る勇気が君に宿るとこれを期待します。頑
張れ！ ）

〔10月24日（日）曜日〕〔11〕

コンスタンティノープル陥落後、東方正教会の文化を引き継いだ
ロシアは、その後の「宗教改革」の影響も当然受けず、中世の世界
がそのまま残る社会だった。

ペスト流行時もヨーロッパ諸国とは事情が異なり（モンゴルがロ
シアを支配してました）その影響は違う働きをしたと思う。（モ
ンゴル勢力の駆逐とロシア人の主権復活という風に影響したと思う）

ペストの流行で崩れた中世ヨーロッパの荘園システムが、ここロ
シアでは継続され、農奴（農民奴隷）という言葉で表現される、荘
園から出る事も許されない奴隷のような農民システムへと進化しま

す。「20世紀初頭」の時代でもロシアはそのような社会だった。

商業の発展も今ひとつで、まるで14世紀のペスト流行以前のヨーロッパの世界が、そのまま20世紀まで継続されたような世界が、ロシアでは展開されていました。

（自分たちでも遅れている意識があつたのか、王宮では文化国フランスに憧れ、形だけでも真似ようと、フランス語が日常会話に使われた時代もあつたと聞きます。）

〔10月24日（日）曜日〕〔12〕

絶対王政とは台頭した経済的新興勢力が王を支えるシステムです。王より実質的に力があるので、王を牽制し、議会システムの発展と国内産業育成に貢献しました。

しかし、商業の発達しなかつたロシアでは新興勢力の台頭もなく、「20世紀初頭」になつても旧態然とした中世のシステムのままでした。その象徴は「ラスプーチン」という男だと思う。彼はいかかわしい民間医療を使い、皇帝一家に取り入り、ロシアの政治を左右しました。議会が強ければ、このような事態は発生しませんが、当時のロシアではこれが許されてしまう旧態然とした政治システムが動いていた。

どこから手をつけたらいいのかわからないくらい遅れた国、しかし、力だけはある。それが「20世紀初頭」のロシアだった。何度か外国の侵略を受けているが、侵略を退けられたのはロシアの厳しい冬だった。

（ナポレオンもナチスドイツもロシアの「冬」に負けて、敗退しました。誰よりも強い将軍として「冬将軍」という風に呼ばれるほどロシアの冬は寒いらしいです）

それでもヨーロッパからもたらされる啓蒙思想（＝超自然的な）

神的な）偏見を取り払い、人間本来の理性の自立を促すという意味、17世紀イギリスで生まれる）やそれに伴う革命の気運はロシアにも伝わっていきます。

〔10月24日（日）曜日〕〔13〕

調べるとこの時期（1900年代）ロシアでは「経済主義」という考えが広がっている。

ロシア皇帝を倒すよりも、まずは経済を発達させて、労働者の地位向上を図るのが先だという考えだ。

この考えは正しいと思う。絶対王政下でイギリスなどはそういう流れで発展した。

しかし革命家「レーニン」はこれを否定し、階級闘争を目指した。資本家（ブルジョワ経済的新興勢力）を倒して、労働者（農民と無資産民）が主役の国を作るべきだと主張した。

彼の話は理屈の上ではともかく、その時のロシアでは早すぎた。その時のロシアはまだ「中世とかわらない」社会であり、一気に「資本主義」を飛び越えて「社会主義」に飛ぶのは無茶なのだ。

しかし貧困層はプロレタリアート支配者を駆逐できるこの理論（いい訳）に飛びつき、レーニンは指導者の地位に持ち上げられる。彼を支持した民衆は「西欧の近代化のメカニズム」を理解せず、支配者を直接倒し、自分たちが主役になる事に酔いしれた。

（現在の日本でも、地方が経済的に発展する・しないの原因の1つは、その地域の資産家の行動に左右されていると思う。故郷に錦を飾ると称して“銅像”を作って満足するような人ばかりでは、日本の産業は育成されない。いつも都市部からの資本流入（企業誘致や公共事業）や行政に頼るはめになる。

もちろん努力している地方の名士もいますが、行政の規制が邪魔をしたりして足を引っ張ります。社会システムが上手く機能していません。

例えば、いつまでたっても道路が出来ないので、通常より小規模

の道路を地方主導で作ると、中央から役人が飛んできて「なんて事をするんだ」と怒るそうです、もっと立派なものを作らないといけない！と。道路にはこう作らねばいけないというルールがあり、制度があり、補助金があります。だから山中に必要以上に立派なつり橋があったりするわけです、地元がこんな立派なものいらんないといつても、通じない。もし無視して質素な使いやすい道路を作ると、役人が「飛んできて」叱るそうです。そうして作られた立派な橋や道路は地方の財政を圧迫し、本来産業育成に使えるお金を無駄にしています。おかしいと思えたら、正常です)

「10月24日(日)曜日」 「14」

この時期の国際社会が「平和」だったらロシアは違ったのかもしれない…

しかし現実の歴史においてレーニンがロシアの舞台に踊り出た1900年代は、映画「風とライオン」で説明した通り、近代化した大国のエゴ同士が露骨にぶつかる時代…。これを真似する気になれなかった感覚も理解できなくはない…。

(“彼ら” が日本で生まれた時代も露骨な差別がまかり通る時代だった。もし当時の日本が差別の少ない今のような「平和」な世界なら、“彼ら” もああは(こうは)ならなかったかもしれない。現在の“彼ら” は見た目や格好に関しては一般人と見分けがつかないように努力している。「どこぞの信仰宗教」のように、専用の服を作ったり、特異なオブジェを掲げたりしない。逆に言えばそれが故に見た目や生活様式の異なる人を攻撃する心理が生まれるのかもしれない。

たぶん、“彼ら” のあの「行動」は、そうした「専用の服」や「特異なオブジェ」がないがゆえ“その” 代わりになるべき要素として“必要不可欠” なものになっているのだと思う。

あやしい団体の構成員は「専用の服」や「特異なオブジェ」を通

じてメンバーが一体感を持つと言う、「彼ら」の場合は「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つ…と考えると、無理なくイメージできるのだが、本当のところはどうなのだろうか？Fさんはどう感じますか？僕には「彼ら」に「人生を返せ！」と主張する権利があると思いますか？けれど僕は「その権利を行使」はしない、過去の文面を読んで欲しい、一度だつて要求してない。その代わりにこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」と。

それが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。

単に自分たちの贅沢が（快楽が）侵害されている事に怒っているだけという事実に気づかず反論できるのだろうか？「別に人生を全部返せつて言う、無理な（実行不可能な）相談を」しているわけではない、これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです）

“彼らの行動は”破壊的だ、どんな不満が源泉にあるのだろうか？その素養はレーニンにもあったのだろうか？かれの行動はしだいに「破壊的」になる。

〔10月24日（日）曜日〕〔15〕

1914年第1次世界大戦が起こると、ロシアはドイツ、オーストリアと戦った。

各国の社会主義者が自国を支持したのと違い、レーニンは自国の負けを呼びかけた、そのほうが革命に有利だからだ。レーニンの人気は1900年代「経済主義」を批判した時確立していて、彼の呼びかけは威力を持っていた。1917年（第1次大戦終結1年前）ロシアの首都でデモがおこり、これに鎮圧のため差し向けた軍が次々に呼応、さらに鎮圧に軍を送るがこれも暴動側に加わり、首都は無政府状態になる。

ロシア皇帝は国会解散を命じるが、一部議員がのこり「臨時政府」をおこす（2月革命、この時レーニンはこの暴動は無資産民と農民^{プロレタリアート}

が主役のものと定義して、ブルジョワジー資本家の介在を排除すべきである事を定義した）。

〔10月24日（日）曜日〕〔16〕

その後ロシア皇帝率いる軍が革命を鎮圧し、レーニンも国外へ逃げた。

この辺りから彼は崩れた？のか本来の性質なのか、ゆるやかな時間をかけた革命を否定して、暴力により全てを粉砕する「暴力革命論」を打ち出す。主役となるべき無資産民プロレタリアートと農民を支配した国家は「奪い取る」のではなく「破壊する」と主張した。なにかこの辺りはもうインテリっぽくない主張だ。さすがに当時の人も「おかしい」と感じたのか、一部離反する勢力もでる。

〔10月24日（日）曜日〕〔17〕

それでも軍の有力者が革命側につくことで再び流れが変わる。レーニンは反対派の意見を無視して、武装蜂起を呼びかけ実行させた。軍の多くがレーニン側につき、首都にのこる仲間のはずの臨時政府は彼の「暴力」により粉砕された（10月革命）。

この後レーニンは10月革命以前に離反した勢力と、10月革命を共になした仲間という内と外の敵と戦い、最終的に独裁体制を構築する。その後「社会主義」とは何かを理解していない多くの人々の中には、その独裁が「おかしい」と気づいた人もいただろうが、その頃にはもうどうにも出来ない状況になる。

その後ロシアは1991年までソ連（ソヴィエト連邦）として機能してゆきます。

〔10月24日（日）曜日〕〔18〕

皇帝一家はこの頃どうしていたのか？

臨時政府に退位させられ、幽閉されていた。

革命の主導権をにぎった「レーニン」は、幽閉先に反対勢力の軍

が近づくと、皇帝一家暗殺を命じる。皇帝をつかって反対勢力が巻き返しを図るのを懸念した結果だ。

「10月24日(日)曜日」 「19」

この時皇帝は暗殺され、ロマノフ王朝は絶えた。

一家の物語は悲劇の王族として、今も語り継がれている。ロマノフ家は近親婚が多く、遺伝的に虚弱体質だったといわれる。皇帝も王子も線の細い人物だった。その中でも目だって明るい王女だったのが「アナスタシア」だ。アナスタシアが生き延びたという伝説は当時からあった。処刑を請け負った人らのなかに、逃がした人がいたとか、いろいろなうわさが飛び交う。混乱が収まった頃、自分はアナスタシアだと名乗る人物も出てくる。多くはロマノフ家の遺産目当てとされた。

1956年「追想」(原題「アナスタシア」)はアメリカ映画だが、こうした背景を元に作られた映画だ。

「ヴェルサイユ体制下」のフランス、パリに、革命から逃げてきたロシア人ポーニンがいた。

かれは詐欺師だ。同じように革命から逃げてきたロシアの貴族などから金を巻き上げる口実に「アナスタシア」を利用した。皇女救出活動をしているので資金をくださいと。結構な金額があつまり、詐欺は成功する。

しばらくしてポーニンは美女を助ける。川に身を投げようとした身寄りのないアンナという女性だ。彼は彼女を「アナスタシア」に仕立て上げて、ロマノフ家の遺産も頂いてしまおうを画策。アンナをお姫様に教育し、まんまと貴族たちを騙してしまう。しかし、遺産を手にするには、アナスタシアを良く知る叔母とフィアンセに会わなければならず、ポーニンとアンナはその2人がロシアから逃げ延びたデンマークへと旅立つ。

(当時のデンマークはスエーデンとの戦いに敗れ、大国から脱落

し、貧困を工夫と社交で乗り切っていた時代だ。わずかばかりの国内産業と、各国王室との縁談で、苦しい時代を乗り切ろうとしていた。現在デンマーク王室はほとんどのヨーロッパ王室と親戚関係にあるのはこの時代の名残です。デンマーク王室の葬儀の際には、多くの国家要人があつまるが、アメリカ大統領だけいそがしくて（確かクリントンだと思う）参加できないのが、ニユースになっていたのを覚えている。そんな関係で、当時のロシア亡命貴族の落ち着き先としては、不自然でない場所だ）

もうこの頃には、ポーニンとアンナの間に「愛情」が芽生えはじめていたが、お互いそれをうまく認識できていない関係だった。アンナは出会ったとき記憶を失っていたが、そうして2人で親しくなるのと同時に、だんだんと記憶がよみがえり始める。

ポーニンとの愛が、彼女を「本当の自分」に導いたのか、時間とともに本当に自分が「アナスタシア」である事を思い出してゆくのだ。

いよいよ叔母との対面がかなう、記憶のはつきりしない彼女はうまく答えられないが、彼女のクセをしる叔母は、その挙動が「アナスタシア」と確信させる理由となった。

アンナことアナスタシアは自分を「皇女ではなく女性と見て欲しい」というが、フィアンセはそういう気になれない。かれは貧乏貴族で金がほしかった。フィアンセとポーニンは彼女がニセモノの可能性があってもかまわない旨申し合わせた。2人で遺産をいただければそれでいいじゃないか！という算段だ。

ポーニンの方も彼女を愛していたが、しがない詐欺師と結ばれるよりも貴族を結ばれた方がいいに違いないと自分に言い聞かせる。

しかし、ようやくフィアンセとアンナの結婚が決まった時点で、

ようやくアンナは自分がポーニンを愛していると悟る。その様子に気づいたフィアンセは野暮な事をしたくなかったのか、アンナとポーニンが結ばれるよう取り計らい、逃がしてやる。こうして詐欺師ポーニンはまっとうな「愛」を得て、アンナも「本当の自分」をとり戻した。

アナスタシアの叔母は彼女が「本物」と確信していた、しかし、結婚披露宴に来なかった彼女の選択を受け入れ「宴は終わった」と宣言する。

「本当の自分」を取り戻した「アナスタシア」が自分の生き方を「自分で」えらんだという解釈でいいのだろうか…。

これはあくまで物語。現実のアナスタシアは今だ伝説の人物として語られている。

「金」よりも「愛」を選ぶヒロインのモデルに選ばれた事を知ったら、本物の彼女は喜んだだろうか…、どうなのだろう。Fさんはどう思いますか？

彼らは（男たちは）“組織に貢献すると、かわいいお嫁さんをもらせるシステム。”

“これがなくなるともう楽できなくなる”と考えているのかもしれない。

もしかしたら“君をのがすと、このシステムに穴が開く”
と考えてる男たちもいるのかもしれない。

その“男のわがまま”がいかに「人は正しくあるべきだ」という考えと共通点が無いのか！

という視点にたてば、おのずとどう振る舞い、どうしゃべればいいのか、自然と沸いてくるのでは…、

そんなふう考えたんだけど、どうかな。外したかな…、このイメージがきみのなにかしら貢献できる事を期待します。

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては（奇妙な事に）誇らしくも感じてしまう。繋がっていたのだろうか？どうなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。
い。

でも繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

なぜなら君の心は誰のものでもなく、

君のものだからです。

数の力で他人から心を奪えると本気で思っている人がいる。

そんな連中に意思を委ねてFさんは本当に幸せなの？

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

18年前、君は一步手前まで来ていた。
先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば
自分の正体も明かしかねない行為だ。
今にして思うとそう思う。

Fさん、いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けない
で欲しい。

狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除け
て！

自分の心を取り戻すべきです。

心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！と言っ
てやってください。

〔10月24日(日)曜日〕〔20〕

味方もいるはずです、東京でも経験が、そう僕に確信させる。

〔10月24日(日)曜日〕〔21〕

「つながり」を君に

〔10月24日(日)曜日〕〔22〕

再生を

〔10月24日(日)曜日〕〔23〕

行動力を

〔10月24日(日)曜日〕〔24〕

乗り越える原動力を

〔10月24日(日)曜日〕〔25〕

支えを君に！

「貴方には私の話を聞く義務がある」といふ続けられ、そういう空気を作れる。頑張ってほしい！」

〔10月24日(日)曜日〕〔26〕

ソ連崩壊後、新興財閥が急速に発展、力を持ちました。

こうした資本家が国家と牽制・協力して国内産業を発展させるのが理想ですが、新興ロシア政府は一部肥大化した資本家の財産を没収し、国有化しました。他の新興財閥はまだ残っているので、これから微妙な駆け引きを繰り広げるのでしょうか？現在のロシアはエネルギー産業に頼っています（ロシアの自動車産業はまだまだこれから発達する段階です）。前述したとおり、国家は加工品を売らなければ将来的に没落します。新興財閥と政府がうまく舵取りをして国内産業を育てるのが未来のロシアの鍵でしょう。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違っていると、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからない

はずないのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援して
います。

君は自分で思っている以上に強い人です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。
う。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃっ
たとしても、

らに西隣の国で、「モロッコ」の東隣だ。

映画「イングリッシュ・ペイシエント」の主人公は第2次大戦中この“アルジェリア”で地図づくりをする探検家だ。劇中では歴史を愛する繊細な人物として描かれていて、英国地理協会に属する。

彼はここで「タツシリ・ナジール」壁画群の1つ「泳ぐ人」という壁画をみつけて魅入られ。戦時中であるにもかかわらず、地図づくりそっちのけで調査を始める。

（実はモデルとなった「実在のアルマシー伯爵の人物像」は少しちがうらしい。ハンガリー貴族で、冒険家。ドイツのロンメル将軍と通じていて、「アルジェリア」では飛行家としてスパイの運搬もしている。唯一劇中のアルマシーと同じ点といえば、本当に実際に「泳ぐ人」という壁画を発見している点だ。モデルであり、別人と解釈するのが妥当だと思う。実物の彼はペルシャの王カンビュセスの伝説を求めて北アフリカに行く冒険家兼スパイだった）

「タツシリ・ナジール」の壁画群は年代別にみると当時の様子が伺えるようだ。

（断言は出来ないけど、多分壁画の炭素を測定して、年代を区別していると思う）

最初の時代が、農耕などしらない素朴な「狩」だけの時代の壁画で。

次の時代が、「牛」が登場する「牧畜」の時代の壁画。

サハラから緑が失われると、「馬」や「ラクダ」の壁画になるそ
うだ。

北アフリカはシルクロードとつながっている、緑の地を追われた
人達が流通ルートを開いていったのだろうか…？

映画「イングリッッシュ・ペイシエント」の主人公の方の「アルマシー」は「泳ぐ人」（壁画）の調査を戦争そっちのけで行う。地図作成も後回しに。

すると飛行機が迫ってくる、戦闘機ではない。

アルマシーは友人の妻と不倫関係だった、怒った旦那が飛行機に妻をのせ、3人心中すべくアルマシーを襲いにきたのだ。アルマシーと彼女は分かつ事が出来ないほど愛し合っていて、それが故、そんな行動に出たのだ。

結果心中は失敗、飛行機は墜落し、生き残ったアルマシー。飛行機に乗っていた旦那は亡くなったが、彼女は重体だが息がある。手当てをすれば助かるのだが、ここはアルジェリアの砂漠のと真ん中。アルマシーは彼女を「泳ぐ人」（壁画）の洞窟に残し、必ず助けを呼んで来ると言い、単身砂漠を歩き出した。

3日ほど歩きつづけ、ようやくイギリス軍に出会うのだが、当時のイギリス軍は「砂漠の狐」の名で有名なドイツの知将「ロンメル」にコテンコテンにやられていた時期だ。

「ロンメル」はわざわざばかりの戦車で数では勝るイギリス軍を敗走させていた。

（当時ヒトラーは対ソ連戦線に目が向いていて、北アフリカには戦力を割かなかつた。ロンメルはわずかな戦車で戦わねばならず、ある意味リンチだったと思う。いつまでもナチに傾倒しない目障りなロンメルをいじめて、戦死してくれたらラッキーと思っていたのかもかもしれない。でもロンメルは生き残り、英雄になる。最終的にヒトラーに次ぐ人気者になってしまい、自殺を強要され、ピストル自殺させられる人物だ）

（当時ヒトラーが対ソ連で苦戦していたのも、やはりロシアの「冬」が原因だった。しかし、ナポレオンがそれで負けた事をドイツもわかっていて、本当は「冬」が来る前にソ連を落す算段だった。しかし、ムッソリーニのイタリア軍がギリシヤで苦戦している話を

聞き、やむ得ず援軍を出す、この結果、対ソ連戦が冬までずれ込む結果になった。歴史にもしは禁句だが、イタリア軍がここまで弱くなかったら、ドイツは負けなかったかもしれない…、そうなる歴史はかなり違ったでしょう）

…話をもどして。

イギリス軍はハンガリー人の彼をスパイとして捕らえてしまう。瀕死の彼女は今も洞窟で自分を待っている。

アルマシーはイギリス軍を脱出し、今度はドイツ軍に駆け込む。最愛の人の命が懸かっているから何でもありだ。ドイツ人に信用してもらったため、コツコツつくった地図も渡してしまう。これが敵に渡れば、「ロンメル」は大助かりだが、かまうものかという感じだ。大恩をドイツに売り、飛行機をもらったアルマシーは最愛の女性のみつ洞窟へ飛ぶ、あれから3日以上たつ、まだ生きているだろうか！

その頃アルマシーのスパイ事実が知れ渡り、事情を知らないイギリス側にの者たちに波紋が広がる。アルマシーの親友などは裏切られた思いからピストル自殺する。劇中アルマシーは地図だけでなく情報もいくつか売ったと記憶している。その関係でスパイ行為のばれた男はドイツ人に指を切られ、アルマシーに復讐を誓う。

洞窟に到着したアルマシーは彼女の亡骸と対面する。間に合わなかったのだ。

悲しみにくれ、乗ってきた飛行機で彼女の国イギリスへむけて飛び立つ（燃料が持つはずないけど、そんな事はどうでもいい心境なんだと思う）。

ドイツ軍の飛行機で北アフリカを北上しているのだ。

連合国側に見つかれば撃ち落とされる。案の定アルマシーの飛行機を撃ち落とされる。

アルマシーは墜落の際、大怪我を追うが助かった。しかしもう生きる気力がない。

病院に担ぎ込まれるが、何も話す気になれない。気がつけば、病院にはもう自分以外だれもいなかった。

連合軍は撤退したドイツ軍を追って北上、アルマシーは置いてかれてしまったのだ。

そこは病院ですらない事にきづく。イタリアのフィレンツェで、郊外の朽ち果てた僧院に作られた仮説病院だった。

正体不明の病人は置いてかれてしまったわけだ、生きる望みのないアルマシーにはふさわしい最後。しかし、1人だけ彼のために残ったカナダ人看護婦がいた。

普通ならこの2人のメロドラマが展開すると予感するのだが、この映画はそうではない。

この看護婦ハンナもまた、戦争で最愛の家族をうしない、生きる希望を失った女性だった。彼女の望みは「あたらしい希望」だったのだと思う。あたらしく信じられるなにか。

そんな願いもあり、だれも引き受けないなぞの患者のため、野戦病院に1人残ったのだ。

しかし、謎の患者（英国風英語を喋るので「イギリス人の患者」と呼ばれていた）からは、高い知性と豊かな考古学の知識、北アフリカの体験談は聞けるが、いっこうに「希望」を聞くことができない。聞こえてくるのは「絶望」ばかり。おなじ絶望した者2人の淡々とした時間がすぎてゆく。

偶然なのか何なのか、ハンナのおじが訪ねてくる。おじは戦争中スパイとしてドイツに潜入していたと言う。行く当ても無く、戦争

がおわるまでこの僧院（野戦病院）に間借りすることになる。もう戦争は終局に向っていた。

彼はアルマシーを知っていた。それどころか、彼の所為で指を失っていた。目の前の「イギリス人の患者」はアルマシーに違いないと思うのだが、包帯で顔はわからないし、本人も自分の事を語らない。

そうこうしているうちに2人の連合軍兵士がやってくる。爆弾処理班で、近くにドイツ軍が仕掛けて残した爆弾を処理して片付けているという。4人の奇妙な共同生活ははじまる。

4人で僧院にいるのに、いつも1人テントを張り、孤立して過す人物にハンナは気がついた。爆弾処理班の隊長で、インド人イギリス兵キップだ。

彼は部下のほすの白人兵士に対してすら敬語を使う。

インドで長い長い差別を経験してきたキップにしてみれば、当然なのだが、その部下以外はなじめない。

ハンナは希望を探していた、だから、可能性を求めたのかキップにも近づく。

生きる希望が欲しかったからだ。

ハンナはキップの話に聞き入る。

絶望的な差別の毎日。

そして唯一自分の才能を認め、人間扱いしてくれた将校への恩。

その恩師は自分を普通の人間として扱ってくれた、故にキップはどんな過酷な任務にも耐えられる。恩師はドイツの新型爆弾にやられてしまった。今はなき彼に報いるためにも彼は命がけで爆弾を片付けるのだ。

そんな純粋な思いにハンナは惹かれていく。消えかけた希望を彼に見出したのかもしれない。

ある日ハンナはキップの仕事を手伝った、最初は拒否したキップだが、まごまごしていると爆弾が危なかったので、手伝いの申し出を受け入れる。ハンナはキップとならここで死んでもかまわない事を彼に打ち明ける…。

この後ついにハンナのおじは「イギリス人の患者」を問い詰める、アルマシーは自分の所為で良く知る親友が自殺したときかされ、ついに真相を話した。

最愛の女性を守るための、なりふりかまわぬ行為だったと。真相を知り、ハンナのおじから復讐心が消えてしまう。

映画「イングリッシュ・ペイシエント」はここがクライマックスだ。

この後ハンナとキップの関係は唐突に終わり、別れる。

あとはハンナがアルマシーが息を引き取るまで寄り添うという終わりだ。

正直「なにそれ」と思っていた。中途半端なラストだと。

最近になって知ったのだが、原作にある“本当のラスト”はまったく違うらしい。

原作では、上記クライマックスのあと、本当のクライマックスが用意されているようだ。

アルマシーの真実を聞かされ、復讐心の消えたハンナのおじ。

その後、4人の下にラジオからニュースが飛び込んでくる。

「日本の広島・長崎に原子爆弾が投下された」という内容だった。

このニュースを聞いたとたん、キップの様子がかわる。

思い出して欲しい、彼は長年差別されてきた。差別を受け入れ、戦ってきた。

そして彼は爆弾の専門家だ、インテリであり、その方面の知識も持っている。

当時原子爆弾を正しく理解できる人間は少ない、しかし、彼は爆弾の専門家であり、才能あるインテリなのだ。原爆の酷さが理解できる。

彼の複雑な心境を描写するシーンが劇中にある。

キップはいつも1人だ。常にマイノリティーとして生きてきた彼は、常に1人である。

せつかく一緒にいるのだからと男が話しかけようとするのだが、話題がみつからない。

そこでイギリスで有名なインド文化の1つカーマストラの話題をふる（それは古文書でハーレムの作法を書いたものだった）。

キップはやるせない気分になる、またかと。イギリス人はそれしか興味がないのか？と。

かれはこんな屈辱的扱いばかり受けてきたのだ。

しかし文化の違いから、それが侮辱とわからないイギリス人。その事はキップも承知している。だから、インドには他に優れた文化がたくさんありますよ、と釘をさしてから、キップは冷静さを取り戻し、失礼を詫びて、また1人に戻った。

そんなシーンがあったと思う、間違いかな…何分だいぶ前に見た映画なので、手元がないので確認できない。いつか見返す日に確認しようと思う。

そんな侮辱を封印してきた彼の理性は、「原爆」が「有色人種」

の国に落ちたニュースについてに限界点を越えてしまう。なぜに「白人」ではなく「有色人種」なのかと。

日本に落とされたと聞いてついにキップは爆発した。

「イギリス人の患者」が何人か？と随分疑問にされてきたけど、自分にとつてはただの「白人」にすぎない。「白人」はどこまでも「人間」は「白人」のみと思っっているのか！といった趣旨の発言をしたようだ。

彼は自分がイギリス兵であることが耐えられなくなる。

軍務を放棄し、逃げ出した。

ハンナはキップについていった。

キップの純粹さにひかれてハンナはついていったのだと思う。

彼女にとつてはそれが取り戻したかった希望だからだ。

…ちがうかな。どうなのだろう。

文明と人種はすれ違い、分かり合えそうですれ違う現実が「戦争」であり「原爆」だ。

しかし愛情は普遍で、「戦争」も「原爆」も関係ない…。こう言いたいのだろうか？

ハンナのおじは去り、アルマシーだけが僧院に残される。

愛に誠実に生きたアルマシーは朽ち果てた。すべてを乗り越えて。

全てをを超えて愛は普遍。

この話、こういう解釈でいいのかな？Fさんはどう思いますか？

確認する資料が手元に少なく、間違いが多少あるかもしれない。

でもこっちの方が「映画」より終わり方としてしっくり来る。

（これはネットで調べた限りで、まだ原作本をよんでないので、間違いがあるかもしれない。でもこのほうが、映画より断然いいと

思う。なぜこんないラストと削ったのか？については僕なりの推測がある。映画「イングリッシュ・ペイシエント」はハリウッド作品だ。ハリウッドにおいて「広島・長崎の原爆」はタブーだ。なぜなら、第2次大戦中の原爆投下を非難すると、すぐに退役軍人会を中心とする圧力団体に抗議以上の圧力をうける。故に削られたのだろうか？スミソニアン原爆展が抗議でつぶされたのは有名な話です。アメリカは口では「原爆はただしかった」といいながらも、まだこの問題をオープンにできない状況が続いている。“あまりにも大きな悪意”が原爆にはこもっていたので、直視できず、封印が誠意一杯なのかもしれない、そういえば「その点」は“彼ら”も同じだ。“彼ら”は見た目や格好に関して是一般人と見分けがつかないように努力しているが、その行動は“殺人的”であり“形容できない悪意”に満ちている。アメリカ人が原爆を直視できないように、“彼ら”もまた、自分たちの「あの行為」を直視できないのかもしれない。

「あの行為」とは“彼ら”が新興宗教のような「専用の服を作ったり、特異なオブジェを掲げたり」しない代わりに行う「例のあの行動」の事だ。

「あやしい団体の構成員」は「専用の服や特異なオブジェ」を通じてメンバーが一体感を持つと言が、それが無い“彼ら”は「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだと思う。

そして「その行動の本質」には「自分たちですら直視できない“悪意”がこもっている」ので、アメリカ退役軍人会が原爆被害を封印するのと同じ理屈で、封印したいのだと思う。

アメリカ退役軍人会は今でも第2次大戦を「正義の戦争」と位置づけ、自分たちは「ヒーロー」だという幻想に酔いしれている、そのイメージを覆す全てのものを“敵”とみなして粉砕する。いやだね、そういうの。と思えたら、あなたの精神は健康です。

Fさんはどう感じますか？僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利があると思いますか？「もう一度あいたい人がいる」

という望みは贅沢だと感じますか？別に人生を全部返せつて言う、無理な（実行不可能な）事を言っているわけではないのは事実です。ささやかな奇跡を期待しているだけの事なんです。

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。いろいろしたのだから？この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していたのだから？僕もいろいろな目にあっている、君ほどで無いかもしれないけど。もし2人とも“彼ら”により何かしらされていたとするなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになる。2人の時間は断絶したわけではなく繋がっていたと感ぜられるからだ、図らずも“彼ら”を通じてだけ。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあっているのかもしれない。でも繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。きみにとっての“それ”が“何を”いみするのか。君は君の心を信じて良いのだと思う。

Fさん！！全てを背負い込んでではダメです！“彼ら”はそれを狙っています！！

君が、全ての罪を背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこに付け込み、容易に人の（君の）心を操れる事が可能だからです。そうやって君の心から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ！！だから注意して！非常に悪質な人心掌握法じんしんしやうあくです。そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコです！気を付けて！（）

現実のアルマシー伯爵は「泳者の洞窟」発見後も冒険家暮らしを続けたいらしい。

戦時中の彼はドイツの協力者として過しているが、ナチではないらしい。たぶん。

戦後祖国ハンガリーに帰るが、イギリスとの関係でKGBに追われる身となり、エジプトへ渡る。長年冒険で培った考古学の知識を

活かし「砂漠研究機構」のテクニカルアドバイザーに就任。1951年立ち寄った先のヨーロッパの病院でなくなっている。

現実のアルマシーが発見した（劇中のアルマシーも発見した）「泳者の洞窟」のある「タツシリ・ナジエール」の壁画群は現在観光地として栄えているらしいです。

トウアレグ族（ベルベル系の民族の1つ。モロッコのベルベル族とアルジェリアのトウアレグ族は微妙に違う一派のようです）のみが壁画の正しい位置を把握しているらしく、ガイドとして道なき道を案内してくれるらしい。

「タツシリ・ナジエール」のある「アルジェリア」は東となりの「モロッコ」同様、フランスの植民地であり、第2次大戦後もなごらくフランスの影響下にあった。

特にアルジェリアはフランスと地中海を挟んで対岸にあり地理的理由から、国内では手放す事に反対する者が多かったが、第2次大戦の英雄シャルル・ド・ゴールが大統領になると、アルジェリア独立を支持。1962年独立しています。

古代においては海岸沿いをフェニキア人、内陸をベルベル人が支配し、その後ローマ属州、ゲルマン民族支配、東ローマ支配と続き、常に誰かの支配領だった歴史を持つ。

砂漠中心の地域だから、遊牧民主体で、支配者など関係なかったのかもしれない。

もし地中海がなければ、どうなっていただろう？

中国では常に北方騎馬民族が豊かな中国めざして進入を繰り返してきた。

中国の歴史は北方民族との攻防の歴史だ。

もし地中海がなければ、北アフリカの遊牧民も馬に乗りヨーロッパに攻め込んでいたのだろうか？でも現実には陸路で回り込まない

とできないわけで、船での大量輸送の出来ない時代、北アフリカの遊牧民がヨーロッパに直接大群を率いていくのは不可能だった。

地理が歴史を左右したわけです。

交流が限られ、豊かでない砂漠の国、北アフリカのアルジェリアは質素な遊牧の民が暮らす地として歴史を刻んだ。それは中世のオスマントルコ支配時代や近代の植民地時代も大差ないように見える。

フランス独立後は社会主義路線をとったようだ。

しかしソ連の影響下にならない「第3極」としての地位を保つ。

貧民主体の社会主義路線に憧れた経緯はわかるが、なにも産業がない状況での計画経済など絵空事で、上手くいかず。現実路線に転換。イスラム勢力が国権を握ろうと画策する中、現実路線派が奮闘している状況らしいです。

産業は石油が採れるので今のところ当分大丈夫らしいです。新興資本家が成長し、議会制度が構築され、国内世論が調整され、産業が発展し…となるにはかなり時間が要るでしょう。でもそれは日本も同じ事、地方レベルではアルジェリアと代わらない、いや、それ以下のお飾り地方議会があり、近年問題視されています。人の成長には時間が要るということでしょうか？

映画「イングリッシュ・ペイシエント」は原作「イギリス人の患者」をハリウッド風味で加工した作品だと思う、本当の主人公はアルマシーではなく、キップとハンナだと思う。

Fさんはどんな印象を受けますか？

大事な何かは、純粹で代え難いと信じていいのだろうか…

世界は広大で広く、想像を絶するダイナミックな時間がからみあって作られている。

「視野が狭くて何が悪い」とか言う人が増え続けていくと、それが世界の不和の原因になってゆく。現実にも、目の前で。遠い異

国の政治も目の前の自分の地域の状況と似てなくも無い現実にとれだけの人が気づくのか…。

Fさん、いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。

狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

気持ちを通じ合った経験の無い人のもつ価値観が、この世の全ての理で無い事を、逆におしえてやっていいと思う。声無き味方もいるはずです、東京でも経験が、そう僕に確信させる。心が外向きになれば、人として持つ“当たり前前感情”が戻ってきます。

そう、周りの人に言ってあげてください。

僕は今、賭けをしています。

答えはわかりません、とにかく待とうと思う。

今は君の都合が悪いただけだ、受け入れられるにしろ、違うにしろ、なにかしらケリをつけに君は現れる。そう信じます。君は、僕が真実に気がついたという事実をもし知ったなら、その事実を重く受け止めるはずだ。そう思う。

こんな事を思い出す。

東 の工場から北へむかう道を通る時、2人で一緒に歩いた。いつも僕がしゃべりつつ、君が聞いていた。

そのまま歩き続け、君は決意して言う。

「ここはもう知ってる道でしょ？」

何度も2人で下校時にあるいた道にたどり着くと君は言った。

「ここからなら帰れるよね」

とか言った様に思う。

ああ、今日はこれで2人で歩くの終了か…、と思うと同時に、満面の笑みで語る君に嬉しさを感じた。

夕方の記憶だ、だいぶ暗くなっていた。

このくらいの時間帯、よく2人で歩いた。

Fさんの記憶ではどうなってますか？

君が秘密を抱えている事は気がついていた。

けど、必死に気がつかないふりをした。

君の嫌がる事はしたくなかった。

特別な時間を過していたと思う。

あの時間の意味を確かめたいと考えるのは、

君の望みとどの程度あうのか、あわないのか…

Fさんは周りに迷惑かけないようにしている。

僕にすら迷惑かけないように振舞ったのかもしれない。

でももう遠慮は無用です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

(上記と下記の間には時代の空白があるけれども、そこが今後の研究対象なんだと思う。)

7500年～4000年前、牧畜の様子が描かれる牧畜の時代。

(実はこの時代の壁画に関しては、どんな民族が描いたか判っている。後述します)

3000年～2000年前、馬の時代。

(おそらくこの時代、馬やラクダを使うベルベル人が移り住んだと推測されている)

2000年～現在、ラクダの時代。

(現在この地にはベルベル系のトゥアレグ人が住んでいます)

昨日書いた「イングリツシュ・ペイシエント」の舞台「アルジェリア」も現在はトゥアレグ人が住んでいる。壁画の内容もほぼ一致しているから、「アルジェリア」と「リビア」は同じ文化圏の国と解釈していいのだと思う。

(そういえば「リビア」はあの有名なカダフィー大佐の国。その影響は「アルジェリア」も受けているのかもしれない。最初は戦後、社会主義国家としてスタートし、途中から現実路線に転換しているところがまったく同じだ)

両国の国境線は直線ではなく自然地形にそっている。たぶんだけどローマ時代あたりからつづく行政区分が元になっているんじゃないかと、かつてながら推測する。アフリカ内陸部はヨーロッパの都合で直線にひかれた国境線が多いが、海岸沿いの国家は古くからの歴史をしょっているのです、そういう無茶な区分を免れたという事だろうか。

これは大雑把な理解。

北アフリカのサハラ砂漠は、ラクダの民“ベルベル系（ベルベル人・トゥアレグ人）”が住んでいるのだと思う。

しかし、ベルベル人はもともとモロッコ周辺に先住していた人々で、サハラが砂漠化してからサハラ砂漠に進出した民族だ。

「タツシリ・ナジエール」と「アカクス山脈」の壁画のうち「馬の時代・ラクダの時代」の壁画は間違いなくベルベル系の人々が描いたものだ。壁画の中には、ローマ式の馬車も登場する。ベルベル人はローマとつながりを持つ人々だ。

ではそれ以前の「野生動物の時代・狩猟民の時代」「牧畜の時代」の壁画は誰が描いたのだろうか？

「野生動物の時代・狩猟民の時代」に関しては不明だ。でも、

「牧畜の時代」に関してだけは人骨で推測されている。「フラニ」と呼ばれる人達だ。

現在“フラニ系”の民族は大きく2系統に分かれている。

牧畜主体の“フラニ系”フラニ人（地域により名前が変わる。フラ、フルフベ、プールプル、フルベ）と、農耕主体の“フラニ系”ウオロフ人だ。

彼らがかつて「砂漠化する前のサハラ」に住み、牧畜や農耕をしていたらしい。

しかし氷河期が終わると共に、ヨーロッパの氷が溶け出し、気候が温暖化。サハラは砂漠化し、農耕・牧畜の出来なくなった“フラニ系”の人々は沿岸部に移動したらしい。現在“フラニ系”の人々はカメルーンとかナイジェリアとかあの辺りにいます。移動してきたため、先住民との軋轢もあり、民族紛争の火種に「現在も」なっています。

アフリカ大陸で農耕に適した土地は沿岸部に限られている、農産物はとても輸出できるほど出来なかったのかもしれない。

当時から輸出できる交易品は、金とか象牙とか、あるいは奴隷だった。それらを売り、アフリカに無いものをアラブ商人から買っていたらしい。品物の運搬はベルベル系の人々が担い、売り買いはわずかばかりの農耕地を基盤にする王国だった。取引の規模自体が小

さく、シルクロードほどの発展にはいたらなかったという事だろうか？

正直いって「アフリカ」は謎だらけです。僕の理解が足りないのもあるけれど、いまだ良くわからないことだらけ。

ただ、1つ言える事は、黙っていると損な役回りを押し付けられてしまうという事なんだと思う。

昔「ルーツ」というアメリカのドラマを見た。

実在するアフリカ系アメリカ人作家が、自分の家系をアフリカ時代までさかのぼって調べて書いた小説を、ドラマ化したものだ。

再放送を中学生くらいの人に見た記憶がある。

ある日、確かものすごい些細な用事で村をでたクンタ・キンテという少年が、そのまま奴隷狩りに遭い、船に積み込まれ（この積み込まれ方が残酷で印象に残る。船底の窓も無いところに、人間サイズかいこたなの蚕棚かいこたなに荷物のように寝かされて、両手足は金具で固定される。

そのまま何ヶ月も荷物同然にアメリカへ運ばれるのだ。当然死者もでるのだが、生簀いしの魚の何割かだめになると同じ感覚で、奴隷商人はみているというのが、子供ながらにショッキングだった）

そこから先は少年が大人になるまで丹念に描かれるのだが、最後まで報われない。主人公が亡くなり、次の世代に話が変わる（たしか女の子だったと思う）。この子も波乱の生涯を閉じ、3代目が白人との混血で陽気な人物。白人の血が入っているにも関わらず奴隷というのが、当時なんだか納得できなかったのを覚えている。その後彼は解放奴隷となり、はじめて自由になるのだが、相変わらずひどい目に遭う。ニワトリを戦わせる田舎の娯楽“闘鶏とっけい”で成功し、あだ名をチキンジョージと言った。

チキンジョージが奴隷から解放されたのは、アメリカ南北戦争の時代だ。

当時の大統領は「エイブラハム・リンカーン」、あの「人民の人民による人民のための政治」の演説で有名なリンカーンだ。

リンカーンが大統領選挙に勝利した年は「1860年」、明治維新の8年前だ。

この頃、世界は軽工業から重工業へシフトし始めた時期だった。世の中の仕組みが劇的に変わり始める時期だ。

アメリカは当時2つに分裂していた、工業を重視する北部と、旧来型の社会システムを望む南部だ。

北部の社会は新興資本家が発展した“新しい社会”だった。正確には同じでないが、ヨーロッパのプロテスタントの経済理念に近い。南部は旧来型の社会システムだった。中世と同じように加工品をつくらず、農産物の生産利益拡大のみを追求する社会だ。

北部の考えでは、市民に権利を与え、より良い労働者兼消費者に育つのがのぞましい、だから奴隷は解放すべきだった。

（むしろ奴隷制を維持したほうが社会の負担になるという冷酷な見方もあった。農産物の値段が下がれば、ただで奴隷を養うのは資本家の負担になる、解放して自活してくれた方が楽だったのだ）

南部の考えでは、封建社会のように荘園をつくり、自由の無い農民奴隷のいる社会が望ましいと考えられた。

両者の利益は激しく衝突し、ついに南北戦争に突入する。

北軍の勝利の後、アメリカではロックフェラーが石油会社を作る時代に入り、同時期、ドイツではダイムラーベンツがガソリン自動車の販売をはじめめる時代に入る。ある意味、工業を重視する北軍の勝利は時代の必然だったのかもしれない。同時期、日本も明治維新をなすとげ、各国が重工業化時代に突入する時期に入る。

工業への傾倒は、奴隷解放を必然のものとした。

アフリカから運ばれたクンタ・キンテの孫はようやく自由を手にし、さらにその子孫のアレックス・ヘイリーは作家へと成長。「ルーツ」の原作者になる。時代は変り動いている。そう感じます。

昨日ラジオで「ナイジェリア詐欺」というのを聞いた。言葉巧みに日本人をだまして、投資話で金を吸い上げる詐欺だ。ナイジェリアはアフリカ西海岸の国家で、北部に先ほど述べたフラ二人が住み、南部海岸地域の先住者がいて長年融和せずだった。双方にイギリス、フランスが肩入れし、民族紛争を引き起こし、深刻な民族ダメージをうけた歴史をもつ国だ。

騙されている日本人は、まったく気がつかないらしい。

こんな風に言うそうだ。

自分は「ナイジェリア詐欺」と言うのは知っている、が、自分は違う、自分は会社をナイジェリアに持つてるから、他の詐欺とは違い本物だと。いくら詐欺について言っても認めない。自分は騙されてないと。

最初の投資で確か何百億という利益がでたが、送金手続きが複雑で金が必要といわれ、その都度、10万とか100万とか振り込んでいるらしい。

もう手持ちの資産が尽きてしまったので、友人にも「投資だ」と呼びかけて、金を集め、送金を続けているらしい。もう全財産つき込んでいるから、いまさら「詐欺」と気がつきたくないのかもしれない。

“彼ら”の活動も長年つづけると、こうなるのだろうか？長年つき込んだ、時間とエネルギーを考えると、いまさら「騙された」とは思いたくないのだろうか？君もそうなの。

話によるとその「ナイジェリア詐欺」にはかかってない！という

おじさんの下に、ついに現金が持ち込まれる時期がきたらしい。

しかし、謎の黒人2人が現れ、アタツシユケースを開けると、黒く塗りつぶされたドル紙幣と称するものが出てきて、それがその現金だというのだ。目の前で1枚抜き取り、液体にさらすと黒が消えてドルになる。ナイジェリアから持ち出す際、こうしないと規制に引っかかるとかいういい訳をする黒人2人。で、極めつけは、この黒色を消す薬品を200万で買ってくれ、今すぐ。ないなら、この話は今回は無しだと。

気がつく人は気がつく「黒いドル紙幣詐欺」の典型的手口だ。

最初に変えて見せたドル紙幣は、マジシャンと同じテクニクで、無造作に抜いたように見せただけのものだ。

泣き寝入りのできないおじさんがどうしたのかは聞いてない。

Fさん、そちらの世界にも泣き寝入りのできない人達がたくさんいると思う。残念ながら。

…言いづらいけど、君もその1人と思う。

それでも、立ち向ってほしい。世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっている、手が出せば届くようなものではない強大なダイナミズムで動いている。そしてその渦にみんなが巻き込まれている。

“そちらの世界”とて例外ではない。僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

そしていろいろさせたかもしれない。

君は自分でそれを発見したと思っ込んでいるけど、それは間違いです。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした人達」の）常套手段”です。

非常に悪質な人心掌握法じんしんしゅうあくになります。

「ナイジェリア」では北部・南部の民族に「イギリス」「フランス」がそれぞれ肩入れし、民族対立を悪化させた。

同じことが幕末日本でも起きていることに気がついただろうか？

「イギリス」は「倒幕派」に肩入れし、「フランス」は「幕府」に肩入れした。

当時大国は世界中で同じ事をしていたわけだ。

しかし、現在は昔と違う。

悪意の時代はさり、バランスを目指す試みが模索されている。完全ではないが、昔とは全然違う。

Fさん！引き返す事は可能なのです。

引き返せないと「思い込まされて」いるだけです。

この世に平和を目指す試みは、現実にあるのです。

辛ければ、休んでもいいけど、ゆっくりでいいから、自分を取り戻すために進んで欲しい。

しっかりと前を向いて。

君と同じ被害者もいるでしょう。

そういう人達は、理解していないのではなく、理解できないふりをしていただけかもしれない。

理解できない事情があるのかもしれない。怖くて。

でもFさんまでその人達の説教に巻き込まれる必要はありません。先ほどの「ナイジェリア詐欺」に騙されてないというおじさんの話、思い出してください。

先ほどのおじさんは、一生騙され続けたほうが幸せ…とは思わな

いでしょ？

誰かに何か言われたら、その人にそう言ってあげてください。

こつも思う。

“彼ら”は新興宗教のように「専用の服を作ったり、特異なおブジエを掲げたり」しない。

あやしい団体の構成員は「専用の服や特異なおブジエ」を通じてメンバーが一体感を持つと言うが、

“彼ら”の場合は「例のあの行動」がそれらの代わりになりメンバーに一体感を与えていると思う。

同じように騙されている人がたくさんいたら、皆騙されていて安心できる。

でもその安心感は錯覚で、単に理性が麻痺しているだけだと思う。

「殺人」も「肯定」できるくらい、徹底的に理性が破壊されている…

誰が考えたのが実に巧妙で優れています。

効果的に人の人生を、ダメにする。

その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

たとえ蝕まれても、人は立ち直れるのです。

歴史上、苦難から立ち直る人はたくさんいる。

信じられない悪意から脱出するひともいる。

負けたら「負け」なんです。

それだけは、誰にも否定できない事実です。

君にとって大切な何かとはなんなのか…、棄てる事の出来ない“なにか”が君にあると期待してもいいでしょうか。

君の周りの人に伝えてください。

「何を怖がっているの？自分が被害者と認めることがそんなに怖いのか？」と。

「真実に目を向ける勇氣はどこへいったの!？」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“人の質”が問われているのです。そう伝えてください。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

でも繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとっての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援します。

君は自分で思っている以上に強い人です。僕が憧れた君だもの。

僕は今、賭けをしています。いいよね？Fさん。

僕には君に会えるかどうかささやかに賭けをするくらいの権利はあるよね。

君が認めてさえくれれば、僕にはこの権利が確かにあることになる。

他の誰にもそれを否定する権利はない。

これは君と僕の問題なのだから。

僕にだけは、嘘つきと言われなくなかったのかな…。

そんな事、思っ記憶がいくつがある。

どうなのだろう？Fさん…

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！」

「老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかに言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

次から次に新手がきても、蹴散らして！
意地を貫いても大丈夫です。

このドラマの印象的な部分は、近藤雅彦演じる主人公と長崎の西洋医の師弟のような関係だ。田舎者にすぎなかった青年が、医者を通じて世界情勢を学び、西洋の優れた考えや知識を学ぶ様子が見ていてすごい好きだった。医者は幕府方の人間なのだが、倒幕派の行動にも理解を示す。主人公は話を聞くうち倒幕派よりの考えになるようになる…、という展開だったと思う。何分記憶だけをたよりに書いているので間違いがあるかもしれない。

倒幕派よりの思考をするのだが、医師への恩義は絶対で、彼のためなら命も賭ける主人公…、そんな話だったと思う。時おり意図せず倒幕派と戦う主人公というのが、なんだかすごく好きだった。敵が正しい事は百も承知しているが、恩義を大事に考える主人公は結果として倒幕派を敵にまわす。この理不尽な展開が毎回なんだか心をくすぐる。

(話の展開は忘れたが、近藤雅彦が走る馬車の屋根にすわり、ライフルを構えて、襲い来る騎馬の敵たちに向け、何発もライフルを撃つシーンが記憶にある)

…そんな折り、生麦村で西欧人が大名行列の前を横切り、無礼撃ちにされる「生麦村事件」が起こり、長崎は騒然とする。これで西欧人と本格的な戦争になる。商売はどうなるんだと言う者、それどころじゃない、日本はどうなるというもの、めいめいうるたえる中、主人公だけは違う思考をしていた。彼は自分が何者か思いだしていたのだ。自分は生麦村の人間だと。船に乗ったが、海賊に襲われ、意図せぬ遠くの海につれていかれるが、途中台風にあい海賊もろとも遭難し、自分1人だけ長崎にたどりついた…。村にはたった1人の身内の妹が待っている、帰らねば！

周囲は騒然としていたのがウソのようにお祝いムードになる。よかった、思い出したんだね！と。しかし主人公だけは妹が心配でいてもたってもいられない。長崎で恩義を受けた人達の祝福をつけて、

一路生麦村へ向う。

生麦村につくと村人もびっくりする、てっきり死んだと思っていたからだ。

妹を探すが、彼女は横浜へ向ったという。

かつて主人公は横浜から船に乗り、行方不明になった。彼女は兄の帰りを待ったため、横浜へ向ったと聞かされる。急いで横浜へむかう主人公。

一方そのころ、長崎で主人公と仲良くしていた武士の1人が、西洋風の茶屋（喫茶店という記憶がある、当時横浜にあったのだろうか？わからないが、記憶の中では給仕服を着た女性（妹）がへなちよこなサムライと話しているシーンを覚えている）で偶然にも生麦村出身の給仕係に会う。試しに主人公の事知ってるか？と聞くと妹だと答えたので、なんてこった、あいつは村にむかったのに、妹はここにいるんだ。とかいう話をする。

その話を聞いた妹は兄に会いに村へ発つ。入れ替わりに主人公が横浜へ到着。妹に会えず落胆する。

（ そういえば、僕が君に会えず落胆した場所も“新横浜”だった… ）

彼は村に戻るが妹はいなかった…、どこでどうなったのか彼女は行方不明になってしまった。仕方なく長崎に帰ろうとするのだが、この時期、九州周辺は幕府側と薩長が緊迫した対立をしていて、危険でとても長崎には入れない…、やむ得ず京都で帰れる時期まで待つことにする。長崎で西欧医に教えてもらったドイツ料理（当時の西欧医はドイツ医学を学んでいた、その関係でドイツ文化に詳しくあったのだろうか？）「ハンブルグステーキ（ハンバーグステーキ）」を鉄板をすえた屋台で売り歩く。ちょっとありえない設定だけど、当時はそう感じなかった。幕末の京都、新撰組なんかも常連になる

という設定だ。

ある日、主人公は孤児をひろう。事情は忘れたけど、短期間あずかるものの、母親は帰ってこず、結局主人公が育てる事になってしまふ。名前は「きく」という女の子、「おきく」と呼んでかわいがり、一緒に屋台を引いてあるく。

ある日、おきくが半紙に墨で「菊の絵」をかく。よく描けたなあ
と褒める主人公。

子供の描いた物にしては、図案化された菊で、印象に残る絵だった。この子は才能あるかもしれないと思う主人公。目立つ図案だから、旗にして屋台につけようと提案。おきくも喜ぶ。

彼は知らなかったのだが、その菊の絵は「天皇家の菊の御門」そっくりだったのだ、常連客の新撰組はぶちきれ、主人公に切りかかる。難を逃れる主人公はその理不尽な仕打ちに頭にきて、仕返しもかねたあるアイディアを思いつく。

商売の過程で、倒幕派にも「つて」が出来ていた主人公は、「西陣織の菊の御門の旗」の話を持ちかけた。相手方は驚く。主人公は続ける、自分の京都での人脈を使えば、それを作って用意する事も可能だ。相手は思う、たしかにそれがあれば、倒幕軍が京都に入つたときのインパクトは相当なものになる。天皇の御門をしょつてる事を、諸藩に知らしめる方法としては群を抜くアイディアだ。彼女は長崎での彼の商才を知っていた。才能ある人物のアイディアだ、この話のつても悪くない。ただし、「西陣織の旗」は引渡し後、代金を払うという事でいいかしら、と彼女は主人公に言う。そんな高価なものの代金、そうそう簡単に渡せないし、自力でそんな高価な品物用意できるのか試したみたかったんだと思う。主人公は承知する。

彼は京都で稼いだありつたけの資金をつぎ込み、人脈を使い、西陣織の菊の御門の旗を完成させる。

彼はそんな奔走をしていたので、屋台を出せずにいた。

彼の「ハンブルグステーキ」は珍しさもあり話題になっていた。人々は言う。「最近見ねえなあ、ハンブルクステーキ屋」。

京都の遊郭の女性も、ひいきの侍からその噂を聞き、1度食べて見たいと思っていた人物の1人だ。しかし最近はいないらしい、残念がる。実はこの女性こそ、主人公の妹だった。

横浜から生麦村に帰る途中、置き引きに遭い、お金をなくし、そのまま人買いに捕まって京都に売られたのだ（ちよつと強引な展開だが、もしかしたら再会できるかもしれない予感を感じさせる演出だ）。

しかし、主人公は西陣織の旗に夢中で、店どころではなかった。

そんな中、京都で主人公は、恩人であるあの西欧医に再会する。

彼は幕府に呼ばれて江戸に向う途中だったと思う。

彼は警告する、もうすぐ京都は戦場になる、だから逃げろと。

主人公は言う、妹がない今、長崎以外にどこへいけといひますかと。

医者も自分について来いとはいえない、どちらが勝つかわからない情勢だったからだ。

そんな中、医者は主人公の「西陣織の旗」の話を聞く。医者は動揺した、頭のいい彼は、その旗を倒幕軍が掲げる意味を即座に理解した。そんな事をされたら、幕府軍は精神的に切り崩されてしまう。大老、井伊直弼暗殺いらい、幕府の威信は落ち続けている。諸藩は天皇の権威の下、現在主導権争いをしているわけで、そんな中、そんな物掲げられたら、疑問に思いながら戦っている幕府側の兵の心が崩されてしまう…

医者は懇願した、後生だから、それを売るのをやめてくれと。

彼は主人公が全財産つきこんだのも聞いていた。それでも懇願した、やめてくれと。

金は自分が都合をつけるとか言ったかもしれない…

恩人のそんな様子を見て、主人公は金のことなどどうでもよくなり、涙する。

「俺はドクトルが困るような事はできねえんだ」と涙ながらに答え、旗を燃やしてしまうのだ。

しばらくして、ついに倒幕派の軍が本当に京都にやってくる。

街は大混乱になる、まるで大火事でも起きたかのような騒ぎになり、人々が逃げ惑う。

主人公もこの混乱に巻き込まれてしまい、「お菊」を見失ってしまふ。必死にお菊を捜し歩く主人公。

混乱は遊郭にも及んでいて、妹も町から逃げるチャンスを得た。町娘の格好で町へでて逃げようとするが、混乱の中、行き場を失う。そうこうしているうちに、自分と同じように行き場を失った女の子がいた。妹はその子を保護するようにして物陰に隠れた。この先どうしようと思う中、京都の混乱はひろがる。

主人公はようやくお菊を見つける、若い女性と一緒にいた。

お菊に駆け寄り主人公、すると、ようやく2人はお互いの存在に気がつく。

兄と妹はものすごい遠回りしてようやく「再会」がかなったのだ。

…しばらく再会をかみしめあつた後、主人公は意を決して立ち上がる。

自分が安全な逃げ道を探してくるから、ここで待っていて欲しい、必ず戻ってくるからと。お菊を妹にあずけて、1人町へ出る主人公。その際、主人公は倒幕派の女性からもらった西洋式ピストルを妹にわたす。これでお菊を守ってくれと。

結局、兄は帰ってこなかった。妹は混乱のおさまった町へお菊を連れて出て、兄を探す。しかし、いくら探しても兄はいなかった。

この後の展開は記憶があやふやだ。

たしかお菊の行方不明の母親に恩義を感じるお金持ちが、お菊を娘として受け入れて、妹はお菊の従者として雇われるという展開だったと思う。しかも皮肉な事に、このお金持ちは悪役で、つねに主人公と敵対していた人物なのだ。

主人公の方は実は死んでいなかった、混乱の中、頭をうち、気を失って倒れたのだ。辺りにはたくさん死体があり、その中にまぎれたため、妹もお菊も主人公に気がつかなかった。

主人公が目をさますと、ちょうど錦の「菊の御門の旗」を掲げた倒幕派の軍が町に入ってくる場所だった。倒幕派の女性はアイデアだけはいただいて、同じようなものをつくり軍にわたしていた。という設定になってます。現実の歴史では誰のアイデアか知らないけど、実際この旗のおかげで幕府側は相当な精神的ダメージをうけたらしい。

失意の主人公はやむ得ず長崎に帰る。

仕事に専念し、商人として活躍する。

その後、何年か月日がたち、江戸幕府は崩壊し、明治維新がおきる。

明治の頃になると、主人公は雇われ人から卒業し、独立した商人として活躍していた。

自分の船を持ち、横浜を拠点に商売をしようと長崎から出てきた

ばかりだ。

当時の横浜は鉄道もひかれ、文明開化の先端地域だった、ここで一旗あげようというわけだ。

同じ頃、かつて主人公の敵であった人物は、幕府崩壊とともに侍の身分も消えたので、商売を始めていた。私財を使い電信会社を建てていたのだ。商売は順調で、街でも有数の名士になっていた。彼に拾われた「お菊」は良家のお嬢様に成長し、妹はお世話係として付き添っていた。彼女の時間は幕末の京都のあの瞬間で止まっていた。兄から「お菊を守ってくれ」と言われ、その言葉が唯一のささえとなり生きてきたのだ。自分の幸せよりお菊の幸せを第一に考える人物になっていた。

詳しい経緯は忘れたけど、成長したお菊は主人公を「発見」する。最初気がつかなかった主人公だが、ようやくお菊に気がつくようになる。

2人の関係は恋模様に変化してゆくのだが、一応形の上では、かつての敵の娘となっているお菊。どうどうと会う訳にもいかず、夜中こっそり会う関係になる。

妹はお菊の様子がおかしい事に気がついた。

お菊は妹に兄の事を黙っていた、もう少し1人で彼を独占していたかったのかもしれない。なにも知らない妹はある日、お菊の行動をつけた。

主人公はある日、港で自分の船を食い入るように見つめる少年にであつた。

主人公は「興味あるのか」と訊ねる。少年は意気旺盛にうなずく。主人公は少年にむかって「マッチ」を投げ渡す。

「明日、それをもってここにくれば、乗せてやるよ」と言って、少年は感極まりお礼をいって立ち去った。

その夜、お菊は約束どおり船に現れた。

船でまっていた兄はきょうこそ妹に会えると聞かされてワクワクしていたのに、今日もお菊は1人だった。嬉しいがっかりもする主人公。その時別の人影が見えた、兄はもしかして妹か？と意識をむける。むけた瞬間撃たれた。

妹は兄からあずかったピストルを撃った、お菊に付きまとう邪魔者を殺すために。

彼女は今や良家のお嬢様であり、悪い虫がついては困るからだ。しかし、撃ったあと、それが兄だとわかり愕然とする。

でも主人公はうれしくて仕方が無いのだ。ようやく妹に会えたのだから。

もうあえないとおもっていた人が無事として、嬉しくて仕方が無い感情のまま息をきひとる…

作り物なんだけど、今だ印象に残るシーンだ。

この「野望の国」というドラマ。あらすじをネットで調べたんだけど、本当に載ってない。

完全に忘れ去られたドラマになっているみたい…。
なにがいけなかったんだらう？

「横浜」「すれちがい」というキーワードでついついこのっ思う。
当時君から確かに聞いた記憶がある。

僕を新横浜で見たと。

ちようど僕が大学受験で立ち寄った時の姿のはずだ。

あの日あの時君はいた。

新横浜から先、君はどんな人生を歩んだんだろう。

時を経て、時間を重ね、真実に気がついた今、たとえ撃たれようとも、

最愛の人の無事が確認できれば嬉しいという感覚は当時の何十倍もよくわかる。

人には、割り切れない「想い」というものがある。

大切なその想いは、一生懸命守っていいのだと思う。

もう、それが許される社会になってきたのだから。

不必要な我慢を強いる（自分も被害者と気がつかない）人達に立ち向かって欲しい。

“彼ら”は見た目や格好に関しては一般人と見分けがつかないように努力している。

新興宗教のように「専用の服・特異なオブジェ」を必要としない。あやしい団体の構成員は「専用の服」や「特異なオブジェ」を通じてメンバーが一体感を持つと言うが、それが無い“彼ら”の場合は「例のあの行動」がその代わりに一体感をもたらす要素になっていると思う。（自分も被害者と気がつかない）人達が一体感を持ちたいという動機で「人殺し」も平気で出来る世界。君がそんな世界嫌っている事を、実は僕は知っているのです。Fさんは気がついていましたか？

賛否はともかく、考え続けることが大切だと、ある人物がTVで言っていたのを聞いた。

気がついたらな、考えていいのだとおもっ。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援します。

君は自分で思っている以上に強い人です。僕が憧れた君だもの。

僕は賭けをしています、立ち止まらず。向かい合う続けるために。僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利があると思いますか？

“彼ら”は君にいろいろしたのだろうか…

君ほど出ないかもしれないが、僕もいろいろあったのだと、今は思う。

もし事実なら、この18年間、2人の時間は断絶したわけではなく“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

でも繋がりや、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

Fさんへ

そちらはどうですか？

今、台風が接近しているようです。

そのせい？か、だいぶ寒くなりました。

18年前、2人でいるとなぜか寒くとも大丈夫だった。覚えていますか？

僕は賭けをしています。君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに親しくなるうとも、絶対に。君ははたしてどうだろう…？18年前、君は一步手前まで来ていた。先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。

それは事実です。

告白された事は胸にしまうつもりでいます。

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？

（そこまでくさってない？）

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては（奇妙な事に）誇らしくも感じてしまう。繋がっていたのだろうか？どうなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。
図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。
もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、
どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。
でも繋がりや、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられる
と思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

〔10月28日（木）曜日〕？

今、事業仕分け第3弾として「特別会計」にメスをいれるとやっている。

20年も前から言われていた事にようやくメスが入ろうとしている。

…将来、今はありえないものが、実現したり、話し合いの土台に
上る日が来るのかもしれない。

とにかく自分にできる事をやろうと思う。

君も自分にできる事に向き合いつづけてくれれば嬉しいです。
だめかな。

何を書こうか？

「ロミオとジュリエット」の舞台になった北イタリアの都市の歴

史なんてのも面白そうだし。

「ハムレット」の舞台になったデンマークのお城というのも面白そうだ。

（ここには悲劇の王女様の物語もあるらしい）

「北欧」の「牧場の少女カトリ」に絡めて、フィンランド独立について書けば、それと絡めて「デンマーク・ノルウェー・スウェーデン」が日本同様、近代化後発組みであることや、ノルディックバランスと呼ばれる独特の価値観についても語れる。

“ノルディックバランス”の影響か、この地域の小学校は日本の（けっこう偏っているが）歴史にも他国にくらべ詳しくおしえたりする。

「スターリン」についても書いてない。

「カダフィー大佐」の件も記述してない。

「アーパネット」の開放から始まる「インターネット」の歴史も書いてない。

「ロスチャイルド家」なんてのもあつたな…

けど、そろそろ歴史ものはおちついて、普通に日々思うことを書くのか？

君は何が聞きたい？

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。目をむけるときりが無いのも事実だけど、無知なままでは悲劇を繰り返すのもまだ事実です。

こんな話もある。

沖繩の東南方向に小さな島群がある、大東諸島という場所だ。

そもそもは八丈島の開拓者が西へ西へと進んで入植した土地らしい。

断崖絶壁の孤島で、有史以来、人は住んでない孤島の群れだ。

そこは明治維新後の日本で、ほとんど法の届かない無法地帯が作られた。

入植者は地主（小さな島なので、島全体が1人の地主のものだ）を筆頭にピラミッド型の身分社会を構築した。

トップの人間が生存中はそれなりに上手く機能した。

その後、島は会社に売られ、会社が支配する島になる。

会社の社員が一番偉く、次が初期移住者の子孫、最後が出稼ぎにきていた沖繩の人々という図式だ。

島民全員が従業員という世界。

会社は島民1るのかも知れない。

でも繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

得とか損とかじゃなく、その重みは君に何を想わせる？

輝きを取り戻して！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう

昨日台風のニュースをみていたら驚いた。

「台風は南大東島に上陸しました」

とか言っている。

昨日書いた“大東諸島”の事だ、偶然でおどろいた。

おもわずこの偶然は神の何かか？と思うが、いやいや、この世にオカルトは存在しない、単なる偶然だと理性が働く。

こういう意味の無い偶然に意味を込めてしまう傾向が、人間にはあるというのが一般だ。

だから故、世の中占いで商売が成り立つ。僕は占いは信じない、あれは未来予測ではなく、単なるカウンセリングだ、占いの道具は対象者を信じさせる（心を無防備にさせる）暗示のアイテムにすぎない。そもそも占いに行く時点でもう「半分」暗示にかかっているようなものだから、占い師に悪意があつたら簡単に騙されてしまう…、よきカウンセラーのような占い師が増える事を祈らずにいられません。

考古学の世界でも似た現象はある。

太平洋巨石文化というのをしっているだろうか？

太平洋の島には古くから、巨石をつかった「石」の遺跡がある。

漫画にでてくるような巨大な石のお金を、太平洋の島々では本当に作っていた形跡があり、いまも島のあちこちに巨大な石のお金が遺跡として放置されている。もっとも口伝えの昔話で「お金」とされているだけで、本当にそういう使い方をしたのかは不明だ。

この地域の人々が、「いかだ」もしくは「小船」にのり、太平洋に散って「巨石文化」を伝播させたという考えがある。立証はされていない。この学説はともすればオカルトに結びつきやすいので注意が必要だ。（ムー大陸伝説と結びつけるインチキ学者がいるのでやっかいだ）

沖縄の海底巨石神殿や、東南アジアの巨石の遺跡。中南米のインカ・アステカの巨石文化など、太平洋から移動した人々が“たどり着いた先”で作ったものだとする伝説もある。

沖縄などには、東の海の向こうに天国があるという伝説があるが、中南米にも西の海の向こうには伝説の神の国があるとか類似性を見る。でも、本当に単なる偶然かも知れず、強引に結びつけるのはいけないと思う。

そういえば、僕らが生まれた近辺にも、類似？の遺跡があるのを知っているだろうか？

あしたかやま
愛鷹山にも起源の不明な巨石遺跡があるらしいです。

実は大社の神様の伝説にもおもしろい物がある。

神様は海の神で南のうみから来たというもの。最初下田あたりに上陸し、だんだん北上して（神社の位置が北上して）現在の位置に落ち着いたとか言うやつだ。このオリジナル神話をベースにあとからこの地に来た大和朝廷の神話が混ざり、現在の感じに落ち着いたとかそうでないとか…。

こういう紀元前の文字の無い時代のもは伝説しか記録がないので、本当の歴史がみえない。もしかしたら、それぞれの遺跡は関係なく、独自に発展したのかもしれないし、つながりがあるのかもしれない。

日本国内においては、そうした「石」の文明は後発の「大和朝廷」の「木」の文化に駆逐されていった？のか、あるいは自然消滅したのか。まったくのなぞだ。

不思議な類似性として、この「有史以前の巨石文化」は島か海沿いに興ることが多い。

(おもわず船で伝わった…という安易な結論に飛びつきたくなる状況だ)

ヨーロッパでは地中海のマルタ島のものがかなり古いらしい。石器時代のもので、フェニキア人以前の遺跡かもしれない。

次にふるいのが、イギリスの「ストーンヘンジ」(とその他同時代?あたりに作られたドーバー海峡沿いの巨石遺跡群)

ヨーロッパの研究でもこれらを作ったのがどういう人らかは不明のままだ。人骨1つ見つからないのでまったくわからないのだ。(氷河期で人骨はすべて氷で流されてしまったのだろうか?まったく無いのに遺跡はあるというのが不自然です。1つわかっているのは、彼らは「地母神」信仰をしていた点だ。「地母神」は石器時代ひろく信仰されていたらしい。僕が行ったトルコのアナトリア博物館にも石器時代の「地母神」の像があった。「地母神」信仰は女性崇拝だ、新しい命を作り出す神秘的な存在として女性をあがめていたと推測されている。戦いが少なく、食料確保が安定していたら、男性の腕力より女性の神秘性が優位に立つということだろうか?この「地母神」信仰は日本の土偶などにもみられ、人類の根源的イメージと考えられる傾向にある)

その後の歴史で分裂したヨーロッパが長い年月へて「EU」へとなったのは感慨深い。かつては石器時代、区分けのない世界ですごし、進化して分裂したのに、また元に戻っている…。もしどこかに一連の歴史を観察しているものがいたら何を感じるのだろうか?これが一時的団結なのか?永久に続くものなのか?見極めたいと感じるのだろうか?

「EU(欧州連合)」の前進は「EC(欧州共同体)」だ、僕ら子供の頃は「EC」だった。「EU」発足は1993年にとある。

君が理由も明確にせずいなくなった時期だ。こそばゆい、せつないイメージで記憶されている。ちょうど僕らが一緒にいた1992年に、「EC」は統合するのか？しないのか？とさかんにニユースでやっていた気がする。覚えていますか？

「EC」の前身は「EEC（欧州経済共同体）」というものだった。

将来の戦争を回避する目的で、貿易を統合する仕組みだ。2度の世界大戦の原因は貿易が自由でなかったから、実力行使で解決するしかなかった。という反省から、せめてヨーロッパ内だけでも自由貿易を保障しようとはじまったのだ。

この際、ネックになったのが農業問題だ、関税をゼロにしたら、国内の農家がダメージを受けてしまう。意見があわず、フランスのシャルル・ド・ゴール大統領など離脱を決めてしまう。（その所為でフランスはこの時期、独自の防衛政策にまで踏み込んでいる。）その後、農家への補助のシステムが整備され、フランスも戻ってきた？らしい…。

同じ問題を、現在「TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）」で話し合われているのを知っているだろうか？2006年5月にシンガポール、ブルネイ、チリ、ニュージーランドで始まった自由貿易協定だけど、のちにアメリカとオーストラリアも加わり、一大自由貿易圏を作ろうとしている。この世界的不況をのりきる起爆剤として期待されるものだ。

現在これに「日本」も加わるかどうかが議論されている。

もし「日本」が参加しなかった場合、協定参加の国々に経済発展で遅れをとり、取り戻せない差をつけられる可能性もなくはない。が、ここでも問題になっているのが、先ほどのべた農家の問題だ、

関税がゼロになったら農家への打撃ははかりしれない、たぶんだ
ど、今1600円くらいのお米が700円くらいで買えるようにな
るはずだ、価格競争で日本の農家は圧倒的に不利になる。

一方で製造業は業界をあげてTPPへの参加を求め、政府に圧力
をかけている。

意外に感じるかもしれないが、日本で本当に関税がゼロのものは
物凄くすくない。その分製造業は他国より不利な立場にいる。それ
だけ不利でよくここまで世界と戦ってかって来たなと思う。でも関
税がゼロになれば、そもそも強い日本の製造業は圧倒的に有利にな
れる。

ここでのポイントはこういうジレンマがあると認識する事だと思
う。

製造業を犠牲にして、農業をまもるのか？

農業を犠牲にして製造業を守るのか？

答えはわからないが、過去を見つめると参考になる事例もじつは
あったりする。

かつてこれとは別に「ウルグアイラウンド」と呼ばれた国際機関
主催の通商交渉の場があった。1995年に終わったものだが、牛
肉・オレンジの自由化などがされ、農家の自殺さわぎまでおきてい
る。その後、ブランド牛が各地でもはやされるきっかけをつくっ
た遠因にもなっている。ブランド力で輸入牛肉に対抗しようとい
うわけだ。

そう、日本は1度、農業の1部自由化を経験している、この時の
歴史は貴重な体験であり、反省材料なのだ、この時も農家へは保証
金が支払われているが、それは一時的なばら撒きにおわり、将来的
な体質強化へはつながっていない。将来像を描くだけではだめなの

だ。

この件とは関係ないのだが、あの有名な「ワタミ」の社長がこの状況にも当てはまるふさわしい言葉を言っている…

「ちゃんと事業を計画して、成功確実なものをつくっても、それを強みに引つ張る人材がいないと、成功間違いなしのいい事業計画も、失敗してしまう」

もし、将来「TPP」に加盟する時期がきたとしたら、「ウルグアイラウンド」の二の舞をふまない強力な指導者が「必要」なのかもしれない。

（ “彼ら”の求めるエリート像では、いっとう人物でてこないと感じるけど、Fさんはどう感じますか？）

今「EU」でも農業の体質強化のため、小さな農家の廃業とその土地を引き継ぐ大規模農家の集約・発展がすすんでいるらしい。経済面では正解なのだが、「家族でやる農家」というのも、「伝統文化の土台」であり、残すべきという意見も強く、バランスがむずかしくなってきたている。

農家への補助は「EU」全体の重い負担となり、財政を圧迫しているらしい、農家の少ないドイツは一方的に金を払わせれ続けているので不満爆発だ。しかもEU内で一番お金を払っているのもドイツで、故にドイツの発言権は強くなっている。ドイツが離脱したらシステムが維持できなくなるからだ。

…でも冷静に考えてほしい。そもそも「EU」とは戦争を回避する目的でつくられた、そういう意味では、問題はあっても、現在当初の目的どおり機能している。

もし、遠くでこのようすを観察する誰かがいたとしたら、どんな

風に思うのだろうか？

この先、この問題をどう解決するのか続きを見たくないと違うだろうか？

「TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）」は短命に終わるのか？それとも「EU」のように進化するのか？その中間か？

こちらの結末についても楽しみにしてもらえよう、人間としては努力できたら面白いとは思うけど、どうなのだろう…、目の前だけでなく、遠くの事実も現在の僕らとつながってうごいているのです。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです、手が出せば届くような単純なものではない。単純であると吹聴する人間は、なにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「この世にオカルトは無いわ！」と。

「悪いけど、そんな未来はごめんだわ」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“人間の質”が問われているのです。そう伝えてください。

いろいろ言われると思う。けど負けしないで！応援しています。

君は自分で思っている以上に強い人です。

「自分が騙されていると気づきたくない悲しい人生」に、向かい合い乗り越える力を、君は「実は」もっている。使い方に意識が「向かなかった」だけだ。彼らにより、気がつかないように誘導されていたに過ぎない。押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！自分の心を取り戻すべきです。

“彼ら”は新興宗教のように「専用の服を作ったり、特異なオブジェを掲げたり」しない。

あやしい団体の構成員は「専用の服や特異なオブジェ」を通じてメンバーが一体感を持つと言うが、“彼ら”の場合はそれが“ない”かわりに「例のあの行動」があるのだと思う。

「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだ。その一体感が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく…

そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できるくらい一生懸命になれる道理がない。普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。

どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっている事実には気がついてはいけないう強力的暗示に皆がかかっている。

「友好活動」と「犯罪行動」の区別はつけないといけないうい。

そしてお互いのため…

その事実を認めたくなくなるほどにおおくの人の心が蝕まれている。

Fさん！僕には“人生をかえせ！”と言う権利があると思いますか？

再会を信じるというささやかな願いをしてはいけないう「理由」があると思いますか？

“彼ら”は君にいろいろしたのだろうか…君ほどでないかもしれ

ないが、

僕もいろいろあったのだと、今は思う。もし事実なら、この18年間、2人の時間は断絶したわけではなく“彼ら”を通じてつながっていた事になる。もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

でも繋がりには、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

得とか損とかじゃなく、その重みは君に何を想わせる？
輝きを取り戻して！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そついう事で全て矛盾しなくなると思つのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第31話 エッセイ風小説を書き連ねる3（未来へと続く話その17）

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

〔10月30日（土）曜日〕

Fさんへ、今日も台風です。急に寒くなり冬物を出してしまいました。

ついこないだ秋物を買ったばかりなのに…

やはり地球は温暖化しているのでしょうか？

昨日日テレでやっていた「世界を動かしているのは誰だスペシャル」とかいう番組。

期待せずみていたら、意外におもしろくてびっくりした。

あれほど重い内容を笑いに出来る明石家さんまも天才だとは思っ
なにしろ、あの「櫻井よしこ」を笑わせられるのだから。

「櫻井よしこ」の本は読んでいない、しかし、一目を置かれるジャーナリストらしいという事だけはわかっていた。なぜなら、本屋で働いていた時も、櫻井よしこさんの本だけは別格だったからだ。売れ方がちがう。数は少ないが長く売れる本だったという印象がのこっている。いつか機会があったら読もうと思っていた本でもある。全てを敵に回して、自分の意見を言い続けるのはどんな気持ちなのだろう。

番組内で「櫻井よしこ」の左にすわる外国人、やたらと日本語が上手い。誰だとネームプレートをみれば「ベンジャミン・フルフォード」とある。やたら軽いのりの外国人男性。

ええっ？あのベンジャミン・フルフォード？と思わず驚いた。

覚えてないかもしれないけど、この小説内でなんとか「日本がア

ルゼンチンタンゴを踊る日」という本を紹介してるが、その著者が彼だ。元フォークスの日本支局長。

そのほかにもいろいろ書いてるが、一番最近のものは悪乗りしすぎてるタイトルだったので、大丈夫か?と思っていた人だ、たしかに多少偏りのある発言だけど、その辺注意して聞く分には、知らない話をたくさんするので聞きごたえがある。

「櫻井よしこ」の右に居るのは「手嶋龍一」、聞いたことある名前だがピンと来ない…誰だっけ?と思いいネットで調べてみた。すると何となく見覚えていた理由を発見した。

この小説内で何度か紹介した「国家の罟」を書いた「佐藤勝」さんと共著を出している。当時佐藤勝さんに興味があったから、この共同著者の手嶋龍一ってだれだ?と思っていた事を思い出した。

調べればアメリカでの地盤をもつフリーランスのジャーナリストとある。NHKをやめているが、その前は三井物産勤務とある。勘ぐり過ぎかなと思うけど、かつて三井グループは第2次大戦終結後、職を無くした旧日本軍の諜報組織員スパイを大量に雇い入れ、情報収集力を強化したという話を聞いた事がある。その出身者なら、アメリカ行つてグイグイ人脈に食い込むのもうなずけるけど、本当のところはどうなのだろう…

この手のジャーナリストがゴールデンタイムの番組に“3人”も出てくる事自体“異例”だ。

本当の事を言いついで、みな「出版物」以外の世界では“ハブ”られてる「はみ出し者」扱いだからだ。報道番組ではありえない、バラエティーだから成立するのもかもしれない。

昔「働きマン」という漫画のなかでもあった。

主人公が真実をかこうとすると、毎回デスクから却下をくらう。

…でもウソを書くわけにはいかない、デスクに食いさがるとう

言われる。

「マスコミとは社会に対してそこまで責任を負うひつようはないのだ」

とかいうセリフだと思った。

悩んだ末、主人公はひらめく、そうだ、はつきりと書かずに、そう、らしいとほのめかせばいいんだ！と。

結果デスクにOKをもらうが、ラストシーン、屋上でタバコを吸いながら、捨て身で証言してくれた女性に思いふけるという終わり方だったと思う。

ある意味、真実の一端をついている、

新聞にしてもTVにしても、本当の事はいえないけど、気づいてね！という「ほのめかし」は頻繁に見る。失われた20年という言葉も、何度も使われたが、その真の意味に気づく人は少ない。日本のTVは「ほのめかし」にあふれている。補足情報を仕入れてみると、たまに「ああ、本当はこう言いたいのだな？」と感ずるときもある。

昨日の日中首脳会談中止の件も、中国側が「ビデオ公開」に「怒って」いるからだけど、その事は明確に伝えず「ほのめかして」いる。ビデオ公開を迫っている自民党・公明党ら野党への配慮だろうか？

（一応ガス田関連というのが報道の主流のようですが、ガス田に関する問題発言もヨーロッパのマスコミの誤報なんて話もききました、不確定な要素が多くて真相はわかりません。こういう時は、わからないけど、今はこう思う。というスタンスでいいと思う。断定はせず、個人的意見として留めるのがいいと思う。）

番組内でも、「櫻井よしこ」らが、明石家さんまさんに、あなたが誰か政治家の支持を表明したら、物凄い影響あるでしょ？というそつすると、さんまさんは、過去にそういう事をしてTVから消え

たタレントがたくさんいる事を言っていた。

日本のマスコミはまだ「本格的」な政治と駆け引きが出来るほど成長していないという事なのだろうか？

以前書いたけど、国家が成長してゆく過程で、新興勢力と国権が駆け引きをしながら民主主義を発展させないと、よりよい消費者が育たず、国家は没落してしまう。

過去は経済界と政府は利害が一致したので“協力関係だった”（俗にいう「政・官・財の鉄のトライアングル」というやつ。本来的にはこの3者は牽制しあうのが民主主義の正しいあり方なのだが、日本はまったくの逆で、牽制するどころか「がっちり」協力しているので、外国からそのように言われた：「だと思った、違ったかな？」）けど最近は何日かいた「ＴＴＰ」の件もあるし、協調関係が崩れてきている、民主主義の本来の機能が戻りつつあると信じたい現象だ。

「政府も官僚も」どうせ「財界」は何も言わずついてくると考えているから、今のあんな感じを平気で繰り返しているのだと思う。でなければ説明できない事が多すぎる。牽制しあっていないから、どうせ財界が何とかしてくれろと思っっているから、政府も官僚もあんなかもしれない。

過去の悪しき「習慣」（「政・官・財の鉄のトライアングル」）の崩壊がいつか決定的になる時がくるのだろうか？その時までに必要な企業が国内にいてくれればいいけど、もし主だった企業がみな海外に逃げてから、政府や官僚が、事の重大さに気づくようでは、本当に最悪のシナリオがまっている。

現に第2次大戦中も原爆2発おとされて、ようやく目が覚めた経緯がある。

過去をわすれると、同じ失敗をまたするはめになる。
戦時中も海軍と陸軍の主導権争いで収拾がつかなかった、意見が
まとまらないのだ。

今も、意見がまとまらず、同じ歴史をくりかえしている。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです、手が出せば届くようなものではない強大なダイナミズムで動いている。日本とて例外ではない。せまい世界のなかだけで完結しないという事だけは、間違いようのない事実です。けっして単純ではない。単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「あたりまえの事」を言っただけが悪いの！？」と。

「ねえ「恥を知れ！」って言葉知ってる？」と。

「真実に目を向ける勇氣はどこへいったの！？」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

わかるうとしないのは、個人個人の“質”の問題です。目の前しか見ていない。

そうした自分都合の連中に負けないで！

“厄介な人”多いと思うけど！負けないで欲しい。

君が戦い続けられるなら、僕も戦い続けられます。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けしないで！応援して
います。君は自分で思っている以上に強い人です。

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利があると思
いますか？

「もう一度あいたい人がいる」というささやかな望みは決して贅
沢なものではないと思う。僕は賭けをしています。賭けをする権利
くらいはあるよね、Fさんはどう思う？

“彼ら”は君にいろいろしたのだろうか…

君ほど出ないかもしれないが、僕もいろいろあったのだと、今は
思う。

もし事実なら、この18年間、2人の時間は断絶したわけではな
く“彼ら”を通じてつながっていた事になる。もしそうなら、切な
くも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。
い。

でも繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられる
と思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。
もしそうなら全てを背負い込んでだめです！“彼ら”はそこに
つけ込み、君の心を操る事を狙っています。そうやって君の心から
“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ！！だから注意して！非
常に悪質な人心掌握法じんしんしょうあくです。そうやって“情熱”を失わせるのが、
彼らのオハコです！気を付けて！

あやしい団体の構成員は「専用の服や特異なオブジェ」を通じてメンバーが一体感を持つと言うが、“彼ら”の場合はそれが“ない”かわりに「例のあの行動」があるのだと思う。

「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだ。

その一体感が「自分が騙されている」という意識」を麻痺させてゆく…

そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できるくらい一生懸命になれる道理がない。普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。

誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。

どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっている事実には気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。

その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ

た、

それで何もおかしい事はないと思うけどどうなのだろう？

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

.....

〔10月31日（日）曜日〕

今「サンデージャポン」で占いを放送しているのをみているのだから...
けど...

やっぱり占いは未来予測ではなく、カウンセリングだと思う。

しかも小道具をつかって、本人にやる気を出させる暗示であるところがミソだ。

カード占いの様子なんかをみると、あれはカードマジックだなーとつくづく思う。

次から次にカードをコントロールして、相手を信用させるのだ。

心の「かせ」を占いを信じることで外す事に成功すれば、それだけで心理的負担をはずす事が出来る。「かせ」が外れば「思い込み」により潜在能力を開花させられる可能性もある。

そついう気持ちにさせる「雰囲気」と「話術」が占いの真髄だと思う。

まちがっても「占い師」に霊能力などない。これは断言する。けっして。

もしスキルの高い占い師に悪意があったら最悪だ！と感じるけど、Fさんはどう思う？

世の中には現実には占いに頼りたくなるような人の「心を」もてあそぶ連中がいる。

そういう最悪な連中が人の心を蝕み、金儲けや欲望のはけ口になっている現実もある、本当に最悪です。

それとは別件だけどこんなニュースも見た。

最近殺人を題材にした問題をだしたり、セクハラを指導につかう教師の「奇行」が報道されている。

根拠はないが、報道番組内では、学級崩壊という事を聞かない生徒や児童を統率するのに、過激な手段や方法に「て」を出してしまっているのでは？と説明されていたのを見た。

“彼ら”もそういう所あるのだろうか？

昔と違い、差別が少なくなった今。求心力はだいぶなくなったと思う。

無くなった求心力を「全盛期」と同レベルに保とうとすると、過激な手段にはしるのではないだろうか？

特に若い世代を縛るには、普通では果たせない「何か」がみたとすると吹聴しないと…？

…まあ、言いがかりです。そこまで品性を無くせるほど人間って腐れないと、僕は信じています。

“彼ら”は君にいろいろしたと思う。

君ほど出ないかもしれないが、僕もいろいろあったのだと、今は思う。

もし事実なら、この18年間、2人の時間は断絶したわけではな

く“彼ら”を通じてつながっていた事になる。もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…どうなのだろう。

Fさんいまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかも
しれない。

でも繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられる
と思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせ
たと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでるけど、それは間違い
です。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこ
につけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした
人達」の）常套手段”です。

非常に悪質な人心掌握法じんしんしゅうあくになります。

油断していると、本当にこの暗示にかかります。

相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのよ
うに“錯覚”させるプロです。

親切心を利用されないようにしないと、永久にいいように利用さ
れてしまいます。

気をつけて！そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコ
だ！

なんでもかんでも「世の中がおかしい」「せいにする連中に負けないで！」

何も見ようとしない連中の安易な意見にすぎない。

世の中は、そんな単純な意見で集約できるほど単純でない事は今までたくさん書いた。

単純ではないのです。「世の中がおかしい」とかいう安易な説教をいう連中は、世の中を良く見てどうすれば良くなるか？という作業を「放棄」しているに過ぎない。

そんな「放棄」に付き合わされる「義理」はないし、だいたいそういう「放棄」した人がおいから「世の中おかしくなっているのです」。

こないだ深夜ラジオを聴いていたら、こんな本を紹介していた。

「リスク・リテラシーが身につく統計的思考法（ハヤカワ文庫）」

いかに専門家がいかげんな数字を使っているか？というものを「これでもか！？」と載せているらしい。専門家が言ってるから信用するのではなく、その専門家がどんなデータを元にして判断しているのかちゃんと見ようという意図の本だ。

僕は何度か、「日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。」と勧めてきた。

似たケースなのだと思う。今までは専門家のいう事を信用してきたが、実際調べてみると随分いい加減な事言ってたんだというのがわかったりして、ガツカリする事多いように思う。

こないだ書いた「TPP」の件でも、もし日本が参加した場合どうなるか？という試算を「国」がしているが、担当当局によりまっ

たく違う数字をだす。農林水産省は「マイナス」になるといっし、
経済産業省は「プラス」になるといっし。根拠にしているデータが違
うからまったく違う結果になるのだ。

これでは国民は何を信じたらいいというのだろうか？

「リテラシー（英：literacy）」とは本来の意味は「
文字を読む能力（識字）」という意味らしい。しかし、現在はそれ
が拡大して、「情報を読み取る能力」という風に変化してきている
らしい。「メディア・リテラシー」「リスク・リテラシー」「会計・
リテラシー」など、使い方が拡大している言葉だ。文字を読めるだ
けでは「人」として足りないという事らしい。もちろん1人で全部
やるのは無可能だ、だから各々得意分野をもち、情報交換と意見交
換を繰り返すのがたまたましいあり方なんだと思う。

…少なくとも「上」だけ見て従うだけでなく、考える事を忘れて
はいけないという事だと思う。

（上にそむけという意味ではない、「何も考えずに妄信」するの
はよくないといっているのだ）

…昔、こんな映画を見たことある、タイトルは忘れたが、南米の
映画だ。

前にも書いたけど、南米はカトリックの熱心な地域だ。

貧しい母をささえる少年の話なのだが、

劇中、妹はひどい事されてしまう。

母親はもう神に祈るだけで、うるたえるばかりでなにもしない。

妄信してばかりで、病院へ連れて行くという選択支が浮かばない、

少年は医者に連れて行こうと懇願するのだが、母は聞かずに、た
だイエス様イエス様と泣きじゃくる…、仕舞いに少年はキレル。「
今この子に必要なのは神様じゃない！医者だ！」と。けどそんな事
母親に言ってしまうって罪悪感を少年は感じてしまう…、そんなシー
ンがあった。

なんともいえなくなるシーンだ。

この母親には「リテラシー」が必要だ。普通にそう思えるならそれは正しい感覚だ。

Fさんはどう思う？

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです、手が出せば届くようなものではない。強大なダイナミズムで動いている。日本とて例外ではない。せまい世界のなかだけで完結しないという事だけは、間違いようのない事実です。けっして単純ではない。

祈ればどうにかなるものではない。

「祈り」は心の「かせ」をはずして、その人がもつ「本来の力」を發揮させるものであり、「心」を「縛る」ものではないのです。「解放させる」ものなのです。

Fさん、もし祈りで「君の心を縛り付ける」連中がいたとしたら、そんな説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「もう嫌なの！関わりたくない」と。

「ウソつきの仲間はもういや」と。

「真実に目を向ける時が私にもやってきたの！」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

わかってほしいのは、個人個人の“質”の問題です。目の前しか見ていない。

そうした自分都合の連中に負けないで！

“厄介な人”多いと思うけど！負けないで欲しい。

君が戦い続けられるなら、僕も戦い続けられます。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援しています。

君は自分で思っている以上に強い人です。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

でも繋がりや、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとっての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利があると思いますか？

僕には君と「再会」を願う権利があると思いますか？

あやしい団体の構成員は「専用の服や特異なオブジェ」を通じてメンバーが一体感を持つと言うが、“彼ら”の場合はそれが“ない”かわりに「例のあの行動」があるのだと思う。

「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだ。その一体感が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく…

そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できるくらい一生懸命になれる道理がない。普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。

どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっている事実気がついては

いけないという強力な暗示に皆がかかっている。
その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

気づいたなら、損な役回りから逃げていいものだと、強く主張します。

いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないうで欲しい。狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

「心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！」と
言ってやってください。

多分君の周りには悪意なく“そういう事”が出来る人がたくさん
たくさんいると思う。

それは悪意があるのではなく、心が内向きになっていて、外に向
いていないからだと思う。心が外向きになれば、人として持つ“当
たり前の感情”が戻ってきます。そう、周りの人に言ってやってく
ださい。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。
う。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

を伝えられたらと、そう思います。

今、雷がなっている、天候が悪いようです。そちらはどうですか？

雷は空気中の分子がこすれてできる静電気がエネルギー源らしい。かみなり
静電気も規模をでかくすればこんな凄いものかと関心もしたくないです。

（余談ですが、地磁気も同じような原理らしい、地球内部の物質が熱と自転で「対流」するけど、そのさい分子がこすれあい、静電気が発生し、地球に磁気を発生させているとか、地球内物質の対流は南北で方向転換している（放散している）ので、そこに磁気の極ができるらしい。雷の何千倍ものエネルギーが地球内部で恒常的に発生しているわけで、人間とはいかに小さいかと、思わなくもない。その磁気が太陽風（宇宙放射線）から地球の生き物を守っているわけで、なんともよく出来ています）

最近こんな事も思う。

この地域は結構歴史てき価値のある場所だ。

特に豊臣秀吉の小田原攻めの際は、その前哨戦として、山中城、葦山城で激戦がおこっている。その辺を鎌倉古道とからめて観光資源にすれば、まだまだ活路はいくらでもあるようだけど、いまだに「源頼朝ゆかりのなんとか…」とか古くからの定番の事しかやってない。

眠れる観光資源はあるのに…、え？僕がやれ？人脈がないから人相撲になっってしまう。

でも過去には情熱でそうした壁を乗り越えた人物もいる。

大坂の通天閣を再建するのに、草の根の運動を展開した個人がいたらしい。

行政も住民も「通天閣」の本当の意味を理解せず、再建に消極的

だったとか…

しかし、いざ再建してみると、確かに人が集まってきたのだ。人間は高い塔とか、そういうシンボルに集まる心理があるらしい。

だから、公共事業を本当にやりたいときは、シンボリテックな高い建物が心理効果があるのだと思う。ただ豪華なだけでは飽きてしまう。

具体的には山中城・葦山城を再建して、隣の神奈川県の小田原と協力して。箱根を中心とした一大歴史文化圏をアピールできる。

この地域の歴史にはまだまだ掘り起こせる題材がいくつもある。

江戸時代、富士山が噴火し、このあたり一体は壊滅的打撃をうけたらしい。

この辺りを支配した小田原藩は自力で再建はできない…、それどころか本拠地の小田原すら棄てなきゃいけない状況だったらしい。たしか伊豆半島のほうに、本拠地を移転したとか聞いた。その間、被災地をすべて幕府に「返した」らしい。もう2度と戻ってこない覚悟での「返還」だ、当時もらった領地を返すつてのは、本当に異常事態だったはずだ。

でも江戸幕府も快く被災地の再建をひきうけて、復興がかなった地域から小田原藩に返していったらしい。（なかなか粋なところがある、そのまま取り上げてもよかつたのに）

ごく一部、東海道ぞいの土地だけは返さず、江戸幕府の直轄地にしたようだ、まあ、街道沿いを押さえるのは安全保障上わかる話だし、そのくらいは復興の労を考えれば贅沢な報酬ではない。僕らの生まれた地域が江戸直轄地だった背景にはこんな歴史もあります。

この辺は小田原や箱根とのつながりの方が強い地域だったのです。「沢地さわち」という地名をしているだろうか？僕の家のおすぐ近くにあ

る地名なんだけど、ここなどは昔、箱根神社の所領で、箱根の関所も「沢地の百姓だ」と名乗ればフリーパスで通れたらしい。

僕はこう思う。本来なら県境をこえて小田原と協力して観光資源を掘り起こした方が「地域活性」はできる、というか、うまれて使われない価値ある観光資源が活かせる、と思う。実にもつたいない。これはやはり神奈川県と静岡県という現在の県境が影響しているのだろうか？

発想を柔軟にすれば、地方は発展のよちがまだまだあると思うのは、言いすぎだと思いますか？Fさんはどう思う？

僕がやれ？それはむずかしい…、僕はとにかく考えるのをやめないうこと、そして自分のできる事を続けることが大切だと考えます、自分のペースで、前に向こうと思う。満足できる生き方が最後までできたと思えるように。それがいつか何か結びつくかもしれないし、質を高めようと努力しつづけければ、たとえ届かなくても、何か得られるように思う。

だから書き続けようと思う。

現に僕は真実に気がついた。過去の努力の延長線上にその事実がある。

自分を支えていた記憶の、本当の価値に気づくというのは、他人には説明できない“何か”がある…、そう感じる。事実自分の中で何か変化もある。昔は「恋愛」ものの映画とかいまいち理解できなかったけど、今は出来たりするから自分でもおどろいている。

映画「イングリッシュ・ペイシエント」について先日書いたけど、

あの映画にしても最初見たときは意味がわからなかったし、その後しばらくも、引つかかるが何だかわからないモヤモヤした感覚があった。しかし、思い出の本当の価値に気がついてから、あの映画を思い返すとモヤモヤした感覚が吹っ飛んで、理解できるようになっていた。

… たぶん、人の気持ちを理解する上で、障害となっていた「心のかせ」が、君との思い出の価値に気がつく事で「（心のかせが）はずれた」のだと思う。

今でも気持の読みあいは得意ではない、けど、なんか昔とちがいわかるようになった。

君のおかげです、どれだけ感謝しているか、伝えたいけど、伝わっているだろうか？

人は人と繋がって成長するのでしょう。

“彼ら”はこうした繋がりを破壊する。

少なくとも僕の目線ではそうなる。

人工的な無意味な縛りで、間違った一体感を強制している。

いい面もあるのだろう、でも近年は悪い面ばかりが目立ってきているのと違うだろうか？

“彼ら”はどこぞの新興宗教のように、「専用の服を作ったり」「特異なオブジェを掲げたり」しない。たぶん“彼ら”のあの「行動」は、そうした「専用の服や特異なオブジェ」がないがゆえ、“その”代わりになるべき要素として“必要不可欠”なものになっているのではないだろうか？

あやしい団体の構成員は「専用の服」や「特異なオブジェ」を通じてメンバーが一体感を持つと言う、“彼ら”の場合は「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだろうか？だとしたら、その「一体感」が「自分が騙されている」という意識を「麻痺」さ

せてゆくのだと思う。

そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できるくらい一生懸命になれる道理がない。普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。

どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっている事実には気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

ヨーロッパで中世に吹き荒れた「魔女裁判」。

気に食わない人物を町ぐるみでリンチにかける集団恐怖の行動だ。正義の名の下、人間がどこまでも卑劣になれる歴史的事実を反映している。

本などで調べると、この「魔女裁判」がなぜおさまったのかよくわからない、と記載されている事がある。しかし、僕はこう思う。

「魔女裁判」が下火になるのと入れ替わり、登場するのが「啓蒙思想」だ。

絶対王政下、中世から脱却した新興資本家や進歩的知識人にひろがった概念で、

“超自然的な偏見を取り払い、人間本来の理性の自立を促す”という意味らしい。

“彼ら”の弱肉強食の考えでは、「魔女裁判」は現在でも続かないとおかしい。

しかし、現実にはとっくの昔にすたれた。

人は理由さえあれば、正しく進歩すると思いたいところです。

Fさん、多分君の周りには悪意なく“そういう事”が出来る人がたくさんたくさんいると思う。それは悪意があるのではなく、心が

内向きになっていて、外に向いていないからだと思う。

心が外向きになれば、人として持つ“当たり前前の感情”が戻ってきます。

そう、周りの人に言ってやってください。

世界は広大で広く、想像を絶するダイナミックな時間からみあって作られている。

「視野が狭くて何が悪い」とか言う人が増え続けていくと、それが世界の不和の原因になってゆく。教えがどうか、そういう問題じゃない。

人間の“質”の問題です。たぶん、質より量を優先させた結果、こんな酷い現状になったんでしょう。

だから“数の暴力”も肯定できるんだと思う。“数の暴力”（人間の）質より量を優先”は矛盾なくイコールで結べる。

でも屈する必要はありません。

なぜなら君の心は誰のものでもなく、君のものだからです。

…君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

Fさん！！君が、全ての罪を背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込み、容易に君の心を操る事ができる。
それが“彼ら”の手口だ！！だから注意して！
そうやって君の心から“情熱”を失わせるのを狙っている。

非常に悪質な人心掌握法です。

そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコです！気を付けて！

気がつかないうちに、いつも間にかかかっている。
だから自問してほしい、自分の心に。本当の“何か”が“なに”
なのかを。

.....

〔11月2日（火）曜日〕 1

この事はうまく表現できない…でも表現したい。

だから、ちらっと書いてみる事にした。

僕の性格をしる君が、どう思うのか、知りたい事です。

昔、爆笑問題の田中さんが、いい人すぎて頭に来る、と女性に言われたというのをTVでみた。

同じなのかな、僕と。という感覚をその時抱いた。

僕にはペルソナという概念が理解できない。

せいぜい「インスピレーション」のスイッチを「ON」にするか「OFF」にするかくらいの感覚しかなく。常に統一した自分である気がする。

人はみな「仮面^{ペルソナ}」をかぶるというが、いまいちピンとこない。

こう書くと、なにウソついてんだ、と人は思うのだろうか？

僕の性格をしる君はどう感じますか？

「社会保険庁」がいい加減な仕事をしたせいで、年金記録がめちゃくちゃになったのは有名な話だけど、その当事者の「元」社会保険庁員が、無試験でハローワークなどに再就職し、手厚い厚遇をうけているらしい。こういう人らが日本を食いつぶすと思うのだけど、Fさんはどう思う？

馴れ合いは最終的に、何も生まない。

真実に目を向ける努力こそが大切なのだと思う。

“彼ら”のなかでも、上記のような「元」社会保険庁員と“同類”と思われたくないという人が「多数」だと思う。

けど、僕からみれば、実は同類に見えるのです。

〔11月2日（火）曜日〕2

これを書いている深夜0時すぎも、外でヴヴヴ…と来ている。

“彼ら”は本当にしつこい。まるでどこかのあやしい勧誘みたいだ。

仮に“彼ら”の組織が変わるとしても100年、200年かかるでしょう。

その間、日本を食い尽くさない事を願わずにいられません。

「社会保険庁」の元職員は世間の目にさらされるだけです。

隠れている“彼ら”が裏でどう国のすねをかじっているのか、想像するだけで恐ろしい。

一握りの「悪意者」の欲望をみたすあやつり人形は楽しいのだろうか？ “彼ら”はどこぞの新興宗教のように、「専用の服を作ったり」「特異なオブジェを掲げたり」しない。“彼ら”のあの「行動」は、そうした「専用の服や特異なオブジェ」がないがゆえ、“その”代わりになるべき要素として“必要不可欠”なものになっているのではないだろうか？

あやしい団体の構成員は「専用の服」や「特異なオブジェ」を通じてメンバーが一体感を持つと言う、“彼ら”の場合は「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだろうか？ だとしたら、その「一体感」が「自分が騙されている」という意識を「麻痺」させてゆくのだと思う。

そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できるくらい一生懸命になれる道理がない。普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。

どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっている事実には気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。

その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

Fさんはどう思う？

君を攻めてる訳でない事だけは、わかってほしい。
問題は「どうしたら前へ進めるか？」であり、犯人探しが重要ではないのだ。

〔11月2日（火）曜日〕3

東京で働いていた時も、犯人探しよりも、再発の防止策と、トラブルの解決の方が重要であるという事を学んだ。

「排除」よりも「助け合い」の方が、結果として「仕事」は楽になる。これは馴れ合いとは違う。

アサヒビールの社長はこんな言葉を言っているらしい。

「上司は成功体験よりも、失敗談を部下に話せ」

…Fさん、この言葉どう思う？

僕はこんな風に思う、これは自虐的になれという意味ではない。失敗を客観的に分析して、どうしたら改善できるか？という問いに対して「常に」答えを出せ！という事だと思う。

ちゃんと自分の中で「その」失敗を「理解」して「消化」できていたら、どうどうと部下にも話せるものだ。という事だと思う。

つまりこれは、リスクマネジメント能力の事をさしていると思う。

〔11月2日（火）曜日〕4

リスクマネジメントとは？

ウィキペディアによれば「リスクを組織的にマネジメントし、ハザード（危害）（harm）の発生源・発生原因）、損失などを回避もしくは、それらの低減をはかるプロセス。リスク・マネジメントとは各種の危険による不測の損害を最小の費用で効果的に処理するための経営管理手法である。」という事らしい。

部下の「せい」にせず、上司としてこのような能力を示せ！といっ

ているのが、「上司は成功体験よりも、失敗談を部下に話せ」という言葉の意味だと、僕は思う。

君の周りに、何でも部下のせいにする人、いると思う。

それどころか、もつと俺を楽しさせると平気で態度に出す人多いと思う。

部下もそういう態度を上司からまなび、その不遜の遺伝子は代々受け継がれる…

そんな態度ばかりしているから、魅力を感じず良識人は「離れる」、そして「離れる」人間には「恐怖」の制裁をくわえる…

そこに「理性」の介在はなく、反省もない。

そういう「質の悪い」人間を大量生産する社会だ、それが未来の日本にどんな貢献をするのだろうか？

まさかと思うけど、いまの「学級崩壊」もこうした“彼ら”の遺伝子を継いだ子供たちが中心になってやしないかと勘ぐりたくもありません、言いがかり？でもそういう風に思われても仕方が無い土壌が、そちらの世界にはあるでしょ？

（ というかあの「学級崩壊」こそ彼らのめざす「理想郷」の姿だと思っけど、“彼ら”の「あの行動」の延長線上に、あの「学級崩壊」の世界を置くのは、さほど違和感をかんじない）

これは教えがどうか、そういう問題じゃない。

人間の“質”の問題です。

たぶん、質より量を優先させた結果、こんな酷い現状になったんでしょ。

だから“数の暴力”も肯定できるんだと思う。

“数の暴力”（人間の）質より量を優先”は矛盾なくイコールで結べる。

でも君がわざわざ屈する必要はありません。

なぜなら君の心は誰のものでもなく、君のものだからです。
間違いにきづいたなら、それでいいのです。

気がつかないより遙かにいい。

気がつかない人達の中で、気がつかない「ふり」をし続けるのは
辛いと察します。

心を守るためにも脱出がベストです。

世の中には損な役回りを演じていいときと、いけない時がある。

言いたいことがあるときは、毅然きげんとした態度はとり続けないとダメです

同時に、丁寧かつ妥協を許さない対応が肝心です。

もし、誰かに会った早々いやみを言われたら？

「たいしたご挨拶なこと！」

と即答するといいと思う。何でだかわかりますか？

こういう場合、何も言わないと、それだけで、無自覚な上下関係
が成立してしまうからだ。

なんでもいいから、キツイ事なにか言った方がいいんです。

〔11月2日（火）曜日〕5

君はやさしい人だから、周りに気をいろいろつかっていて、それが故、君自身混乱するのかもしれない。そういう時は、自分の原点
が何かを考えると、落ち着くし、前を向けます。

彼らのやっている事は、音楽の演奏会で、途中で席を立つ観客に
片っ端から暴力を振うよう命じる指揮者のようなものだ。

普通の指揮者なら、自分たちの楽団に実力がないから、観客が席
をたつのだ、精進せねば！と考える。

でも“彼ら”的指揮者の場合は、「俺たちの演奏は理解できない
とはけしからん客だ」と考え、部下に命じて観客を取り押さえて、

強引に最後まで聞かせようとする。その際、楽団員の中の暴力が得意な人を中心に命じるのだろうが、人数がたりない時は、音楽など興味はないが、暴力は大好きという人を、形ばかりの楽団員に仕立て上げて、暴力行為に加担させる…

〔11月2日（火）曜日〕 6

巧妙に“何か”が“何か”にすりかわって、誰かがやけ太^{ぶと}ってると思う。

〔11月2日（火）曜日〕 7

“履き違えた大人の事情”に負けないで欲しい。

〔11月2日（火）曜日〕 8

人間賛歌ってまだ、死語じゃないと思う。

〔11月2日（火）曜日〕 9

人は正しく生き直せると信じます。

〔11月2日（火）曜日〕 10

ゆっくり、落ち着いて結論を出して欲しい。

つらくても頑張って、応援しています。

どんな事があるかと、けっして裏切らない人間が、たった1人だけいる事を忘れないでください。

〔11月2日（火）曜日〕 11

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

〔11月2日（火）曜日〕 12

18年前、君は一步手前まで来ていた。先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。

今にして思うとそう思う。

告白された事は胸にしまುತ್ತもりでいます。

“人を許せる時が、自分を高める時”

（日本テレビ系『行列のできる法律相談所』で有名な弁護士、菊地幸夫氏の言葉）

簡単でないが、目指しがいのある目標ですね。

〔11月2日（火）曜日〕 13

もう君は充分組織に借りは返していると思う。

35年ってそのくらい重みのある数字です。

自分の人生を決めていい年齢です。

〔11月2日（火）曜日〕 14

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利があると思いますか？

この事実を否定するのは相当難しいはず。否定するためになんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だと思う。けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。過去の文面を読んで欲しい、一度だって要求してない。

〔11月2日（火）曜日〕 15

その代わりこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」と。そして、生活を立て直すけど、「邪魔しないでほしい」と。

（…一瞬でも「それって当然の言い分だよな」と感じていただけから幸いです）

〔11月2日（火）曜日〕 16

それでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものです。単に自分たちの贅沢が（快樂が）侵害されている事に怒っているだけという事実気づかずに反論できるのだろうか？

〔11月2日（火）曜日〕 17

「別に人生を全部返せつて言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではない」

〔11月2日（火）曜日〕 18

…という事実があります、これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

〔11月2日（火）曜日〕 19

“彼ら”は君にいろいろしたのだろうか？

君ほど出ないかもしれないが、僕もいろいろあったのだと、今は思う。

もし事実なら、この18年間、2人の時間は断絶したわけではなく“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…

〔11月2日（火）曜日〕 20

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

でも繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

〔11月2日（火）曜日〕 21

∴世界は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもって動いてきました。

そして今もそうした渦の中で（ダイナミズムで）動いています。手が出せば届くようなものではない強大な“何かで”動いている。そして“変る常識”“変る世界”というのは、現実に確かにあるのです。

〔11月2日（火）曜日〕 22

けっして単純ではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

〔11月2日（火）曜日〕 23

「自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないの!？」と。

「理解を示す心の広さはどこへやったの?」と。

「真実に目を向ける勇気はどこへいったの!？」と。

「組織の放つ理想だけでは、世の中は良くなるならぬ!」と。

〔11月2日（火）曜日〕 24

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった∴

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用の呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。
三界に家を建てるには、君が必要です。
「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、
それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃっ
たとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

Fさん！！君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたよう
な気がする。

もしそうなら全てを背負い込むではだめです！“彼ら”はそれを
狙っています！！

君が、全ての罪を背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこに
つけ込み、

容易に人君の心を操る事が可能だからです。

そうやって君の心から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ
！！だから注意して！

非常に悪質な人心掌握法です。

そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコです！気を付けて！

冒頭の問いをもう一度ここで、

これを書いている深夜の今も、外でヴヴヴ…と来ている。
彼らの組織が変わるには100年、200年かかるでしょう。
その間、日本を食い尽くさない事を願わずにいられません。

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

（今日はいつもより短いかもしれない、11月に入り、ヘルパーの勉強もしないといけないので、この辺で許してほしい。可能な限り、クオリティーを落さないようにやってみます）

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔11月3日（水）曜日〕

Fさんへ、元気になっていますか？

今日は、まあ普通の天気でした。

そちらはどうだったのだろう。

こないだ書いたTPPの事は、急に最近ニュースになり始めた。
世界は確実につきのステップへ向おうとしているのだろうか？
でも今だ多くの人は「現状の世界秩序」が「永久に「続く」」と
信じている。

でも間違いない世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっている。

手が出せば届くような単純なものではないし、それは日本人も確実に巻き込まれる形で具現化しようとしているように見える。いつさいの例外なく。

単純に今までの世界が続くという意見は、必ずしも通用しない世の中になりつつある事実を認めないと、どうにもならない部分が始めているのだろうか？

現に日本は「来週までに」TPP参加の是非に結論をださないといけないらしい。

もし仮に乗り遅れた際のダメージは、おそらく計り知れないものなのだろう。

かつての「ポツダム宣言」と同じと考えるのは、いき過ぎだろうか？

第2次大戦中、「ポツダム宣言」を日本は軽視した（無視した）。
「ポツダム宣言」は最後の警告だった。もしあそこで受諾していればもっと早く終戦も迎えられた。

今回のTPPの件も、将来の歴史の中では「日本」の重大なターニングポイントとして紹介されるかもしれない。いや、わからない。でも、確実に言える事は、世の中は動き、変化しているという事実だ。対応できないと、やばい気がするのは間違った考えなのだろうか？

こんな話もある。

第2次大戦中、日本は東南アジアにあった「イギリス・オランダ」の植民地を奪い取った。

覚えているだろうか？大航海時代、アジア航路を独占したポルトガルを出し抜こうと考えた抗議者のイギリス・オランダは原産国を

占領する事で、見事に成功した。その経緯で、東南アジアには両国の植民地がたくさんあったのだ。ここを日本が占領した形になる。

(余談だけど、この地域にいたイギリス・オランダ軍は「第2軍」であり、予備戦力だった。装備も2流で、兵士も精鋭とは言いがたい。そこに国力の全てをそそいだ日本の「第1軍」が乗り込んでいったのだから、勝てて当たり前だったのだ。よく、当時の指揮官を褒め称える話があるが、あれは日本軍が強かったのではなく、相手が弱かったのだ。それが証拠に、アメリカが精鋭の「第1軍」を投入したら、歯がたたなかつた。海軍はそこそこ世界レベルだったが、陸軍はおせじにもそうではなかつたと思う)

そんな理由でイギリス・オランダ兵は簡単に降伏する。

これが当時の日本人の誤算だった。敵が降伏すると思つてなかつたので、大量の捕虜をどうしたらいいのかわからなくなる。

扱いも雑になり、後の日本軍による捕虜虐殺の温床ともなる。

(もつとも当時の米軍も褒められた状況でないから、どっちもどっちなんだけど)

第2次大戦の敗北の一因は、綿密な計画は得意だが、臨機応変が苦手な組織を、日本人が好むという事だ。

この傾向は欠点としてそのまま引きずり、何万という戦死者をだし敗戦となる。

そうした犠牲のもと学んだ教訓が「綿密な計画は得意だが、臨機応変が苦手な組織を、日本人が好む」という事実だ。

歴史を素直にみて、欠点を克服する努力がされていたら、今頃もつと臨機応変な国になれていただろうか？

過去を反省しないと、同じ過ちを何度でも繰り返す…、それは事実のように思う。

日本が尖閣諸島でもめてるとき、ロシアの大統領が北方領土を訪問した。

あれはロシアが中国を援護射撃した形だ。ロシアとしては中国に“貸し”の1つもつくったつもりなのかもしれない。

もしくは、アメリカが尖閣にからむなら、ロシアも黙っていないという圧力かもしれない。

いままであそこまでロシアが露骨な政治的挑発をしてきた事はない。時代は変化しているという事だろうか？

過去の歴史において、小国はこういう時バランス感覚を発揮して局面を乗り切るのがセオリーだ。

代表例が北欧だと思う。

北欧諸国はロシアとヨーロッパの軍事的対立に挟まれ、緩衝地帯として生き抜くため、両勢力のいいところを取り入れ、国づくりをしてきた。西側の経済を取り入れ、東側の社会主義も取り入れた。北欧で“福祉”が充実しているのも、社会主義の思想を受け入れた結果だ。一般にこうした北欧の外交感覚を「ノルディック・バランス」と評します。この「ノルディック・バランス」は政治のみならず教育にも導入されていて、北欧の小学校では、偏り無く地球上のあらゆる地域の歴史を教えるらしい。それが故、日本の歴史に意外に詳しい人が多いようだ（多少勘違いもあるっばいけど、なにも知らないよりずっといい）

北欧の「ノルディック・バランス」のように、どちらの勢力の味方でもあり、敵でもある、そんな微妙な舵取りが、未来の「日本政府」には求められるのかもしれない。日本人の誇りとかくだらしない事言ってる場合でないのです。

だいた誇りとは、学ぶものではなく、芽生えるもの。

普段から、考え。思考し、自分なりの結論を常に求めていけば、おのずと芽生えるものです。

誰かから教わるものではない。

Fさんはどう思いますか？

“彼ら”は自分で考える事を許さない。そんな世界で出来上がる誇りなど、偽りのプライドであり、判断力の限定された「役に立たない人間力」にすぎない。自分で考え、結論を出さなければいけないのです。考える「きっかけ」としての“教え”であり、その真の意味は自らの心に宿るものなのです。植えつけられたものと、自然に宿ったものでは。「価値」も「能力」も「ぜんぜん違う」と思う。

単純に拝みさえすればどうにかなると吹聴するのはその人の「生き方」の問題。

でもそれで解決しない問題が世の中に「たくさん」ある事を、目を見開いてみれば、気づくはずなのです。人にはそういう能力が事実あるのだから（これを否定できる人間がいるだろうか？）。

Fさん、君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「これは人としての“質”がどうなのか？という問題なのよ！！」と。

彼らの放つ理想「だけ」では、世の中の全てが円くおさまるわけではないのです。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違いです。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

なぜなら君の心を容易に操る事が出来るからです。

非常に悪質な人心掌握法じんしんしやうあくになります。

油断していると、本当にこの暗示にかかります。

相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのように“錯覚”させるプロです。

親切心を利用されないようにしないと、永久にいいように利用されてしまいます。

…気をつけてほしい。どこのあやしい団体の構成員は「専用の服」や「特異なオブジェ」を通じてメンバーが一体感を持つと言うが、“彼ら”の場合は「専用の服や特異なオブジェ」がない代わりに「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだと思う、どうだろうか？

もしそうなら、その「一体感」が「自分が騙されている」という意識を「麻痺」させてゆくのだと思う。

そういう「まやかし」でもなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できるくらい一生懸命になれる道理がない。

普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっている事実には気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。

その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコです！気を付けて！

“彼ら”は君にいろいろさせたのだろう。

君ほどでないかもしれないが、僕もいろいろあつたのだと、今は思う。

もし事実なら、この18年間、2人の時間は断絶したわけではなく。

“彼ら”を通じてつながっていた事になる。もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…

Fさん、僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利があると思いますか？

「もう一度あいたい人がいる」と望んでもいいと感じますか？

僕は今、「ささやかな賭け」をしています、答えは君の決意ともにあると思つていいのかな…？いつか、その答えを教えてください。奇跡に賭けます。

まだいろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。

Fさん！人間つて言うほどバカじゃないと思う、単に誤解しやすい性質があるだけだ、たぶん。

だから自分の言葉を取り戻してほしい！お願いです。

「多くの人の希望を砕き続けていく世界」は、そういうのが心底好きなだけに任せればいい。なにも君が無理して関わる必要はない。

僕は、君が嫌う君の1部も含めて君が好きです。

僕の性格をしる君なら、ああ、確かにこの人はそういう事を言いそうだと思うのだろうか？

それも含めて賭けです。

自分のペースを守って、ペースを作って、納得する答えに向って前を向き続けていて欲しい。

大丈夫、君は強い子です。僕はその事を知っている。君は自分で思っている以上に遥かに強い。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
遊ぶ金ほしさの連中に負けられないで！

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、

文句は言わせないわよ！」と。

そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされるのは間違っている、僕は思う。

Fさんはどう思う？

.....
.....
.....
.....
.....

〔11月4日（木）曜日〕

Fさんへ

元気である事を願っています。

緩やかで、穏やかに、それでいてあきらめず、強い意思を示す。

そんな感覚、大事だと思う。

え？だめ？

それならばゆっくりと歩めば問題なしです。

とにかく。あきらめるのだけは良くない。そう、強く、主張します。

こんな事思った。

今日ニュースで、箱根で江戸時代の大名行列っぽいパレードみたいなのを、やったというものを見た。

観光のためのイベントなんだと思う。当時の格好をしたひとたちが。箱根の道を歩くシーンが映っていた。

あのイベントを、こちらの地域と連動してやれば、もつといろいろできるのに…、とかつい思ってしまう。

この地域が“観光”で箱根と連携できれば、面白いことがいろいろ出来そうなのに。

それに、箱根の観光客をこちらに誘導できれば、御殿場のアウトレット（富士急ハイランドもある）や隣りの港町で刺身を堪能する観光路も築ける…、なんて思ったりした。何しろ車なら箱根は意外とすぐ着く。いろいろともっとたいないと感じてしまう最近です。

上記の件とは別件なんだけど…

テレ東のニュース（3日夜）では「TPP加盟交渉参加」は見送る方向で決まったと報道していた。

今回は情報収集に終始すると…、え？今から情報集めるの！？と一瞬思ったが、いやいや、それは多分いい訳にすぎず、実際は意見調整のための時間稼ぎか、あるいは棚上げして責任放棄するかのどちらかが真意だろうな…、などと思ってしまう。もちろん、僕の100%私見だけど。

（4日朝の日テレのニュースはニュアンスが違う、まだ諦めてないような報道だ、僕が聞き違えたのかな？）

これとは別件で、急にロシアの外圧にうるたえる報道がされている…

「鈴木宗男」を逮捕した事件により、対ロシア外交のパイプがほとんどなくなつた事実がある。

あの事件からだいぶたつけど、ロシアとのパイプは復活している

のだろうか？

あの事件の起こる前だと、かなりロシア内部に食い込んでいた様子が、本など見るとのってるけど、現在はどうなのだろう。

そういう事もTV・新聞はいわない、無難な報道に終始している。なんだか残念に感じてしまう。

日本政府を残念に思うのではない、「ほとんどの人が状況を把握してない現状」を残念に感じるわけだ。世の中には僕より「頭のいい人」や「影響力のある人」、「人として資質の優れた人」がたくさんいる。

けど、報道されない事実や、消極的な報道のせいなのか、どうなのか。そうした僕より優れた人が、能力を発揮しないまま、ずるずると日本はダメになって来ている。そちらの世界にも、優れた人はたくさんいるはず、英知を結集して乗り切れない難局ではないと感じる。工夫のしようはまだまだあると感じる。

TPP参加による農家へのダメージも、輸出で恩恵をつける企業が農家を助ける仕組みに出来ないのだろうか？あるいは寄付をベースにした基金で対応するとか。

それに「強い農家」は「輸出で稼ぐぞ！」と言っていたりする。そうした人らを後押しする事で、全体を底上げする事も出来そうに感じる。

野菜に関しては工場野菜のシステムが進化すれば将来的に対応可能で、まだまだ工夫の余地はたくさんある。

関税ゼロまでの期限を30年に「もし」できれば、高齢農家の大多数はそのくらいで「次の世代」へ移行するから。移行期の対応で、未来の農業を再編できる。

まあ、実際やろうとすれば、いろいろ障害があつてむずかしいのかもしれない…

でもそんな事いつていたら何も前へ進めないわけで。

「変ろう」とするのは難しい、でも理由があるなら背を向けてはいけない。

そんな風を感じる。Fさんはどう思う？

僕も今変ろうともがいている最中です。人の事とやかくいえる身分ではない。でも遠慮して黙っているつもりもない。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです、手が出せば届くようなものではない。強大なダイナミズムで動いている。日本とて例外ではない。

せまい世界のなかだけで完結しないという事だけは、間違いのない事実です。

けっして単純ではない。それは事実です。

だけど人は弱いもので、特に彼らのあの行動は、皆が「単純な答え」に飛びつきがちになる傾向を示している。

例えば「いじめは、いじめられる方にも問題がある」とか言い出したとしたら。何も解決しない。

相手の問題点を話し合い共有できて、初めて解決の糸口がみいだせる。一方的に相手に問題ある、で終わったら何も解決しない。

この僕ですら、“彼ら”について勉強した。自分なりの結論も持っている。

僕が、他の部外者と違い、頂点にいる方を直接攻撃したりしないのも、Fさんを含め多くの人の心を傷つけないよう配慮しつつづけているからです。過去の文面をみてほしい。たぶんないと思う。

ほかの部外者がやるような「嫌な誹謗中傷」もないと自分では思っています。可能な限り、正論を述べている。「いいがかり」は少

ないと確信しています。

僕は当たり前前の事を言っている、これを「キツイ」と感じるなら、いかに内部が常識から逸脱しているか？という事の証明になります。

人の生き方は、人それぞれ、そうした酷い生き方を選択する人も、事実いる事はまちがいない。

Fさん、でも君はそういうの嫌いでしょ？

僕は君の優しさを知っている、君が気がつかない部分の優しさも含めて。

その世界で、「君が」良心を殺しつつ生きて生きるのは相当つらいと思った。

だから、脱出を勧めているのです。

物事には得手・不得手がある。苦手な事を一生やりつづけて、良心がぼろぼろになってはいけない。

いろんな意味で。

Fさん、周りの人に伝えてください。正しいと思つた事を。

「自分たちだけが一方的に正しいと思つているのは恥ずかしくないの!？」と。

「理解を示す心の広さはどこへ行ったの?」と。

「真実に目を向ける勇氣はどこへいったの!？」と。

間違いに気づいたなら、それらを言ってもいいんです。

むしろ、言い続ければ、そういう空気を作り出せる。そう思います。

彼らの行動は常識を逸脱していることがある。

だから、やめるときも常識を超える「決断」や「勇氣」が必要なのかもしれない。

僕は今、賭けをしています。

答えはわかりません、とにかく待とうと思つう。

…今は君の都合が悪いだけなのだろう、そう思つ事にした。受け入れられるにしろ、違つにしろ、なにかしらケリをつけに君は現れる。そう信じます。

君が「告白」する奇跡に賭けています。…聞かされた事は胸にしまつつもりです。

Fさん、僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利があると思ひますか？

僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思つう。

君は自分でそれを発見したと思ひ込んでいるけど、それは間違いです。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした人達」の）常套手段”です。

非常に悪質な人心掌握法になります。

油断していると、本当にこの暗示にかかります。

相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのように“錯覚”させるプロです。

親切心を利用されないようにしないと、永久にいいように利用されてしまいます。

気をつけて！そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！

“彼ら”は君にいろいろしたのだろうか…

君ほど出ないかもしれないが、僕もいろいろあつたのだと、今は思う。

もし事実なら、この18年間、2人の時間は断絶したわけではなく“彼ら”を通じてつながっていた事になる。もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…

Fさん！あやしい団体の構成員は「専用の服や特異なオブジェ」を通じてメンバーが一体感を持つと言うが、“彼ら”の場合はそれが“ない”かわりに「例のあの行動」があるのだと思う。

「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだ。

その一体感が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく…そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できるくらい一生懸命になれる道理がない。

普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。誰が考えたのが実に巧妙で優れています。

効果的に人の人生を、ダメにする。

どこかの誰かの「快楽」の尖兵になっている事実には気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。

その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

君は力を貸したわけではない、騙されただけだ。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

でも繋がりや、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思つのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらつ機会をもらつた、

それで何もおかしな事はないと思つけどどうなのだろう？

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃつたとしても、

誰も責任取つてはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

何か言われたら、こう言つてください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

君に勇気が宿りますように。
人は正しく生き直せると信じます。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔11月5日（金）曜日〕

Fさんへ元気にしていますか？

君は今、どうしているのだろう？

穏やかな、やさしい君でいる事を…

もしくは、そうありたいと向き合っている事を祈ります。

ダメなら立ち止まってもいいけど、前だけは向き続けてほしい。

君が戦い続けられるなら、僕も戦い続けられます。

今日「テレ東」の番組をみていたら、「すごい」日本人女性の特集をやっていた。語学学校のトップの人なんだけど、なんだか物凄
い。

その番組でこんな言葉を聞いた。

「ダイバーシティー・マネジメント」という言葉だ。

何でも、昔IBMというアメリカのコンピューター 회사가潰れ
そうになった時、行われた改革で、これにより復活する事ができた
という画期的手法らしい。

現在アメリカは不況だが、この「ダイバーシティー・マネジメント」
を取り入れている会社とそうでない会社を比較すると、明らかに
取り入れた方の会社の方が業績がよいと、番組内では説明されて
いた。

「ダイバーシティー・マネジメント」とは、
(能力ある) マイノリティー 少数派

を重役に登用して、今までにないビジネスを展開ができるような環境をつくるものらしい。

この場合のマイノリティーとは、今まで「排除」されてきた人らの事だ。「女性」であったり、「人種問題で登用されなかった人」や、「外国人」という人の事のようなのだ。

この改革をしたおかげで、IBMは復活できたと説明されている。

異文化の衝突を利用して、あたらしいビジネスモデルを掘り起こし生み出す事が、改革に繋がるといふものらしい。

先に紹介した女性はこの制度？により登用され、頭角を現した人らしい。今はあちこちの企業から、取締役になってくれとオファーされているという。まがいものでない「本物」の凄い人とうのは、やっぱりすごいなと見ていて畏怖いふを感じる…。

この人は現在、語学教室の会社を世界展開していて、日本の会社の多くと契約して大手企業の社内語学研修もやっているという。

普通感覚なら、そこで満足するのだが、この人はさらに上を目指している…、英語で会議をする能力は序の口で、語学研修プラス、世界的企業家育成も事業としておこなっていて、ゆくゆくはそうして育った世界的人材のネットワークをつくり、グローバル企業の発展に貢献しようというのだ、しかも、この女性。あくまで目標は「効率化の追求」であり、「権力欲」とかはない。あくまで企業家であり、政治家ではないのだ。なんだかTVを通して見ただけでも圧倒されてしまった。いるんだね、本物って。Fさんにもあの番組みせたかった。ほんと圧倒された。

異質なものを取り入れて、新たな発想で改革をするという発想は、なにも経営だけに限定された事ではないように思う。

僕はこんな風にも考える。

日本は二院政だ、衆議院と参議院がある。衆議院は今までどおりの選挙でいいが、参議院には「ダイバーシティ・マネジメント」を導入すべきだと思う。方法についてはわからない。けど、何らかの形で、いままで国家に上がらなかった声無き声や少数派の有識者を入れたほうが、新しい風が入ると思う。誰か有能な人がいい方法を思いつかないものだろうか？とついつい考えてしまう。

“彼ら”の世界も閉鎖的だ、新しい風が入らない構造をしている。
“彼ら”は新興宗教のように「専用の服を作ったり、特異なオブジェを掲げたり」しない。

“彼ら”の場合はそれが“ない”かわりに「例のあの行動」があるのだと思う。

「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだ。その一体感が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく…

そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できるくらい一生懸命になれる道理がない。

普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。

誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。

どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっている事実には気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。

その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

「外」からの「風」が入らないので、内部の空気はよどみ続けたままだから、そうなるのだと思う。

番組内では紹介VTRと取材映像の合間に「ご本人」と「村上龍」

の議論（対話）が展開される。

その中で、こんな議論が展開される。

「モノカルチャー単一文化」では無く「多様性文化」が大事なのだ！と。

僕は凡人なので、本当のところはわからない。

しかし、現在の社会は「モノカルチャー単一文化」vs「バイサス グローバル多様性文化」の図式になっているのではないだろうか？この2つの概念が、猛烈な勢いとパワーで世界中を駆け巡り、干渉しあっている。

食料自給率の問題を例にあげるとわかりやすいかもしれない。

日本は、自給率を上げないととんでもない事になると言われている。

それは、ある意味事実だ。

しかし、それは第2次大戦の「世界から孤立」した時代の記憶を前提にしている。

よくよく考えてみると、世界から完全に「孤立」する状態というのは、「よほど」の事でもしでかさないかぎりなかなか起こらない。それに、世界で完全自給している国は少ないらしい。

（ 今日聞いた話だけど、そもそも自給率とは、カロリーベースで計算された数字で、食料輸入がゼロになればその数字は100%になるものらしい。これを指標にするのはなんだか間違っているように感じる、農水省が問題をあおって予算をとるために使っている数字のマジックのような気がする… ）

日本の考える「食料危機」とは世界から孤立した時に発生するものだ。

だから、他国を受け入れ、友好関係をつくり、国際的犯罪をしなければ、「食料危機」は回避できるのかもしれない。

つまり、「多様性文化」^{グローバル}を受け入れるかどうか？が、将来の食料危機回避の決め手なのだ。

なのに、いつか、また、世界から孤立する日が来るに違いないと思ひ込むのは、基本的に他者に排除的な「単一文化」^{モノカルチャー}的発想なのだと思います。

Fさん、僕は何度か「バランス」が大事と書いた。

たぶん、ここでもそうなのだと思います。

どちらが正しいとかでない、「単一文化」^{モノカルチャー} vs 「多様性文化」^{バーサス グローバル}もバランス感覚が要求されるものなのだと思います。

僕のような凡人には難しい事だが、世にいる「有能」な人らにはぜひ意識してもらいたい概念だ。

そんな事、思ったりした。

君は僕より有能な頭脳の持ち主でもある。おせじでなく、事実そう思う。

だから、たぶん、君ならできる。

迷った時は、心の中の「譲れない何か」を意識して、自分の原点に立ち返り、周りを見渡して、バランス感覚を持てばいいと思う。

僕の場合はいつもこうだ、君との想い出から学んだ事は「この世には心が通じ合うという事は事実として存在する」という事実だ。そこから出た結論は、人は話せばいつか通じ合える。時間はかかっても、いつか必ずね。

時おりうまくいかずへこたれる事もあるけれど、「できる」と不思議に思ひ続けられるのは、君からもらった大切な想い出があるが故だと思う。あの想い出は僕に大きな影響を与えている、君にも何かしら影響があったのだろうか？今も君の中で“それら”は価値を抱き続ける存在ですか？いつか、答えを聞ける日を夢見させてください。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

彼らの行動は常識を逸脱している。

だから、やめるときも常識を超える「決断」や「勇気」が必要なのかもしれない。

だから強く主張します。負けないで！応援しています。

君は自分で思っている以上に強い人です。

僕は賭けをしています。人生最大の賭けです。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまつつもりでいます。

Fさん、僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利と
いますか？

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたの
だろうか？

(そこまでくさってない？)

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有して
いた事になる。

それは僕にとっては(奇妙な事に)誇らしくも感じてしまつ。

繋がっていたのだろうか？どうなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、
どうなんだろう。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあつてるのかもしれない。
い。

でも繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられる
と思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

君が今も「戦っている」という前提で書きます。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくあると思う。F
さんはどう思いますか？

“生き直し”って出来るんです。悔やんでいるならOKです。大丈夫です。

寛大な人は、「好きにきなさい」というタイミングを押し量って様子見をしていると思う。

もし君が過去に悔やむ事を残していたとしても、悔やんでいるなら大丈夫です。

でも、出てしまったものは仕方が無い。無かった事にはできないのだから、腹をくくらないと。

何度も書いたけど、世の中は複雑で、広大です。単純でなく、どうバイアスがかかるかわからない。

東京にいた頃、“彼ら”の集団威圧が日増しに激しくなる時期も、バイアスのかかり方に「波」があるのを感じた。

「第1波」が襲ってきて、止んで。「第2波」がきて、「第3波」「4波」「5・6・7・8・9・・・」と一体いくつのバイアスが発生しているんだ？と感じたことがある。複合的だった印象を感じている。統一感あるものと無いものが入り乱れて一斉に襲ってきて、日増しにエスカレートしていった。ホント、映像に記録しておけばよかった。YouTubeにたまに“彼らの監視”らしきものを撮影した被害者と思しき映像を見るが、あんな生ぬるいものではない。当時は感覚が「あの酷さ」に慣れてしまっていたから、どうでもいいと感じたが、今は少しもつたいないと思っています。

（何しろ、あの当時は、君の気持ちにようやく「気がついた！」事に対する衝撃の方がでかすぎて、そんな些細な事どーでもよかつたからだ。それにしても“彼ら”の世界も閉鎖的だ、まったく新しい風が入らない構造をしている。そのせいなのか“彼ら”はあやしい団体のように「専用の服を作ったり、特異なオブリジェを掲げたり」しないが、そのかわりに「例のあの行動」があるのだと思う。「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだ、あの僕の経験したものは本当に醜かった、こちらの世界からあれがどれほど醜く見えるか多分参加者の誰も知らないのだと感じた。一体感のせいで感覚がおかしくなった人達は、自分のおぞましい姿が自覚できなくなる。そんな状態では自分が騙されているという意識は麻痺して認識できないだろうと思う。君もそんな状態に頻繁に「誘導」されたのだろうか？なんて残酷な…

まったく普通の人々が「殺人」も「肯定」できるくらい一生懸命に

なれるほど麻痺させられる「一体感」。普通の人間の理性をここま
で麻痺させるとは異常です。誰が考えたのが実に巧妙で優れている
と思う。効果的に人の人生を、ダメに、する。

「どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっていいる事実には気がついては
いけないという強力な暗示に皆がかかっている。」

その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。「外」からの「風」
が入らないので、内部の空気はよどみ続けたままだから、そうなる
のだろうか？Fさんはどう思う？)

(今、深夜2時まわってるけど、ヴヴヴ…とたしかにきている。
君もこういふ事したことあるのだろうか？だとしたら、これからは
やめたほうがいいよ。これはお願いではありません。)

あの尖閣のビデオ映像は中国で「どう」バイアスがかかるのだろ
うか？“彼ら”よりも複雑で広大な「ロコミ社会」の中国は、読み
きれないものがある。

以前、アメリカのドラマで「CSI：科学捜査班」というドラマ
があり、証拠の取り扱いや、管理にたいする考えが徹底しているの
に驚いたことがある。(あのドラマは演出が派手だが、一応リアリ
ティーには相当なこだわりがあり、現実のCSI(科学・化学の分
析)をリアルに描いている)そのドラマの中では、証拠品は常に袋
に入れ、テープで封をして、封をした人物がテープに名前を書く。
次にその証拠品に触れる人間は、テープを切り、中身を取り出し、
用が終われば再び同じ袋にいれ、先ほど切ったテープの上から新た
にテープを貼り、自分の名前を書く。これを繰り返していけば、誰
がどういふ順番で“証拠”にふれたかがテープをめくっていけば一
目瞭然になる。

以前何かで見たけど、日本の証拠品の管理は物凄く「ずさん」ら

しい。その辺においてあつてり、ロッカーに無造作に入れられたり、ひどい時は机脇のダンボールに入れっぱなしなんてのもあるらしい。以前、遺族に返すべき被害者のものをなくしたとか、何十年も返し忘れていたのをロッカーで発見した、なんて報道も見た記憶がある。証拠品の管理に対するルールづくりが未発達なままなのだ。

証拠品は事件関係者の人格の一部であり、これをないがしろにするのは、人権侵害にあたる。

：大阪地検特捜部のフロッピー書き換えだつて、上記のようなアメリカ的管理をしていたら出来ないと思う。

外国人にはあまり知られたくない事柄です。

最近「ウィキリークス」というのを知った。

「Wikipedia」と同じWikiというソフトを使っているサイトらしいけど、世界中から内部告発をつのっているサイトという話だ。

アメリカ軍からの内部告発などでは、隠蔽された戦争犯罪が暴露されているけど、同時にアメリカへ敵の情報を提供している協力者等も実名で何人も乗っていて、その人らの命を危険にさらしている。それすらもいとわず、エセ情報でないと確認できたら「全公開」という野心的というか、攻撃的というか。それはやりすぎだろ？というサイトだ。まるでWEB界のシーシエパード、いや、シーシエパードは人命を危険にさらさない分まだましか……。そんなサイトの事をこないだNHKでやってた。

アメリカも問題視しているが、取り締まりの決め手にかけるらしい。

サイトの主催者は捕まることもなく、今も世界中を飛び回り、支持や資金を集めているみたいだ。

僕はこう思う、いくらなんでもやりすぎだ。

上記のようなサイトにはルールが必要だ。でも無国籍の団体をど

うやって縛ればいいのか…。

この問題は大きくなるのだろうか？

一時的な現象に終わるのか？それとも、これからは「こういう」世界が発展してゆくのか？

どういふバイアスがかかるか読めない時代に、世界が「すでに」片足をつっ込んでいる状態なのかもしれません。

（ある日突然“彼ら”の中から内部告発なんてことも起こるのだろうか？あ、でもFさんはやらなくていいです。不必要な戦いは必要ないから。でも逆に必要性を感じた時は…。いやいやそんな事態が起きないことに僕は賭けをしています。穏やかに、問題が解決されるのがベターです。わかるかな、正しいイメージが伝わっている事を祈ります。仮に「もし」行き詰っているならば、手持ちの「切りしろ」の1つとして増やせるカードに「これらが」なるかもしれないのは事実です。状況が読めないなので、あくまで可能性の1つとして、ここに提示します。何が「どう」「役に立つのかわからないので…、一応。）

えげつない人に負けないでほしい、そう願っています。

僕は今、賭けをしています。

答えはわかりません、とにかく待とうと思う。

今は君の都合が悪いだけだ、受け入れられるにしろ、違うにしろ、なにかしらケリをつけに君は現れる。そう信じます。君は、僕が真実に気がついたという事実をもし知ったなら、その事実を重く受け止めるはずだ。そう思った。

何に賭けているのかと言うと、君が僕に「告白」するかどうかという事にだ。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（「告白」しない）、どんなに親しくなるうとも、絶対に。君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は「告白」一歩手前まで来ていた。先輩の正体を明

かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ、今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。君が僕に「告白」するかどうかと。そこが、大きなターニングポイントになる。それは事実です。

告白された事は胸にしまうつもりでいます。

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。どんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だと思う。

けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。過去の文面を読んで欲しい、一度だって要求してない。

その代わりにこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」とそれでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。

単に自分たちの贅沢が侵害されている事に怒っているだけという事実に気づかず反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せって言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではない」

…という事実があります、これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

“彼ら”は君にいろいろしたのだろうか…

君ほど出ないかもしれないが、僕もいろいろあったのだと、今は思う。

もし事実なら、この18年間、2人の時間は断絶したわけではな

く“彼ら”を通じてつながっていた事になる。もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

でも繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援して
ます。

君は自分で思っている以上に強い人です。

.....

〔11月6日（土）曜日〕？

…君はまじめな人だ。

おそらく、「物凄く」まじめに“そちらの世界の勉強”をしたと
思う。

それを“無かった「事」にするのは、おそらく相当に難しいこ
とだとも思う。

それが故、僕は、こう思うのだ。

「否定・封印」するのではなく、「昇華・発展」させればいいと
そういう意味でも、繰り返し、こう主張します。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

正筆御書に限らず、自らの土台を昇華・進展できると感じたもの
には。目を向ける機会を意識してください。

そこには、思わぬ発見や、気づかなかった真実が隠れていれ、長
年の疑問に答えてくれるかもしれない。詳しくは無いけど、もと
もとのオリジナルはしっかりした教えのはず。突き詰めれば、何か
にたどりつける可能性はあるはず。いつか君の導き出した「君だけ
の」哲学を僕に聞かせてください。

あ、でも君はそういうの恥ずかしがるのかな…、どうなのだろう。

.....

〔11月6日（土）曜日〕？

こんなふうにも思う。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう

Fさんへ

笑顔でいられていますか？

最高の笑顔の君をもう一度見たいと思う、今日この頃です。

人格を尊重する仕事…、これがヘルパーの仕事の基本理念みたい。もちろん建前かもしれず、実体は不明だけど、そういう建前は実は好きだったりする。

老いやその他理由で、人格が尊重されにくい環境に追いやられた人の手助けをするという概念は嫌いではない。

Fさんはどう思う？

君は「無かった事」にするという事をたくさん強要されたと思う。それは君の人格の否定を意味する。

「無かった事などにせず」全て受け入れてもいいんです。君が君でいるために。

その、少しでも、手助けがしたい。そんな気持ち、君に伝わる事を祈ります。

今、漫画のネーム（設計図のような絵コンテ）がようやく完成し、絵に取り掛かっている。

でも、慣れというのは恐ろしいもので、無意識のレベルで手抜きをしてしまうみたい。

過去に書いた作品と比べると、微妙にグレードが落ちていたりして自分でも驚く。

…なにか作品を描くというのには、常に過去・現在の自分と向かい合うようで、楽しくもあり、面白くもあり、つらくもあり。

でも単純に上手いくくと、気が晴れてすっきりする。

人には上手く説明できない爽快感です。

黙っていてもインスピレーションが沸くタイプの人間は、それが

役に立とうが立ちまいが、なにかしたほうがいいのだと僕は思う。

放置されたインスピレーションは何の役にも立たない。

まして「封印」してしまったら「ストレス」の種になる。

Fさんは今でも音楽やっているのだろうか？

東京にいた頃は、少しお金に余裕もあり、ケーブルTVを引いていた時期もある。

「歴史ドキュメンタリー」とか「ヨーロッパ映画」とかは新鮮で面白い。

（「恋愛睡眠のすすめ」という映画がインパクトあつた、ケーブルでないで遭遇しづらい映画つてたくさんある。実は「秒速5センチメートル」を初めて見たのもケーブルだった）

今は、贅沢をする時期ではないという感覚から、引いてないけど、また、生活が軌道にのつたら「ケーブルTV」を引きたいと考えています。

そうして仕入れた「小ネタ」をシンプルにまとめて雑談にするのが結構楽しかったりする。

最初怪訝にしている人も、回を重ねるうち受け入れてくれたりして面白い。

人により食いつくネタが違ったりもして、その人の人柄の発見にも繋がっている。

今の君はどんな話が好きなのだろうか？もう一度知り合い直す機会を僕に与えてくれないだろうか？

かならず、君が喜ぶ話がどんな話かみつけてみせる、そんな事も思ったりする。

…そういえば「どんな話をしたら君が笑顔になるのか」ハラハラしながら語りかけるといふのは、高校時代も同じだったな、不安なようで、楽しみなようで、こそばゆく、うれしい感覚。

でも、こつも思う。

話す内容よりも、気持ちを伝えることの方が重要である事を。

君は何よりも気持ちを大事にする人だった。

どう思う？はずしたかな…、今度会う機会があつたら教えてください。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けてください。

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違つてるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題だと、僕は考えます。

教えが正しいとか、間違つているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援しています。

君は自分で思っている以上に強い人です。

今TVで中村トオルがこんな事を言っていた。

「この映画をみていると、役者という仕事を肯定してもいいかな、という気持ちになっていく」と。

なんだか、人は誰でも迷い苦しんでいるようです。

だから、迷う事は恥ずかしいことでもなんでもない。

むしろ、答えを出さずに宙ぶらりんにしたままだと「心」に「隙」が生まれ、そこを狙う人物に付け入られてしまう。

「プロ級の腕前の「悪意もつ相手は、そうした「隙」につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのように“錯覚”させるプロです。」

利用されないようにしないと、永久にいいように利用されてしまいます。気をつけて！

多分君の周りには悪意なく“そういう事”が出来る人がたくさんたくさんいると思う。

それは悪意があるのではなく、心が内向きになっていて、外に向いていないからだと思う。

“彼ら”の世界は閉鎖的だ、新しい風が入らない構造をしている。

“彼ら”は新興宗教のように「専用の服を作ったり、特異なオブジェを掲げたり」しない。

“彼ら”の場合はそれが“ない”かわりに「例のあの行動」があるのだと思う。

「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだと思う。その一体感が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく…

そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できるくらい一生懸命になれる道理がない。

普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。

誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。

どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっていて、事実には気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

「外」からの「風」が入らないので、内部の空気はよどみ続けたままだから、そうなるのだと思う。

最近知ったんだけど、隣家の前の居住者は、「彼ら」の嫌がらせに耐えられなくなり、町を追い出されたらしい。なんだかいろいろ納得してしまった。

Fさん！僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利があると感じますか？

実は君に読んで欲しい本があります、日蓮の現存する正筆御書、一度見てもらえないだろうか？

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった……
そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。
三界に家を建てるには、君が必要です。
「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君は試練に耐えた、だから……天からご褒美をもらう機会をもらった、
それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろうか？

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

あたたかく、おだやかに、それでいいと思う。

間違った“王道意識”など本当は必要ない。

彼らの行動は常識を逸脱している。

だから、やめるときも常識を超える「決断」や「勇気」が必要なのかもしれない。

「私は説教を聴きに来たんじゃないの、話を着けに来たの」

と言ってもいいと僕は思います。

負けないで！

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

第31話 エッセイ風小説を書き連ねる3（未来へと続く話その17）（後書き

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第32話 エッセイ風小説を書き連ねる4（未来へと続く話その18）

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

〔11月8日（月）曜日〕？

こんな事も思う、彼らは人の人格を捻じ曲げて伝える。

だから、常にこちらから言い続けないと、また捻じ曲げられてしまう。

たぶん、そういう「文化」だからだ。

以前人にはなした事が、「一部分だけ改変」されてまったく違う話になり、それが事実として流布される…そんな事が何度もあった。この18年何度も。

そんな経験、君もしてないだろうか？

（高校時代、そんな事きみがほめかしていた記憶がある。いつも君は「うわさ」を気にしていた。もし、今も「うわさ」を気にしているようなら、この世に似た問題と対決している人間があと1人いることを忘れないください。君はもう1人ではありません）

こちらから自分の正当性を言い続けないと、彼らは最終的に自分が「正しい事にしてしまう」というウソをつく。人が忘れやすい、日ごろ真剣に生きていないという性質を利用して、そうなるのだ。そのノウハウは長年蓄積され、進化し、巧妙になっている。最悪です。

“彼ら”は都合の悪い事はものすごいスピードで、「忘れる」という文化をもっている。

忘却は美德でもなんでもありません。

そうやって、「忘却」を「強いる」のは彼らのオハコだ。
僕も君も過去なんども経験していると思うけど、忘れた頃にまた
同じ事をしてくるのが“彼ら”の手口だ。

“彼ら”は君にいろいろしたのだろうか…
君ほど出ないかもしれないが、僕もいろいろあったのだと、今は
思う。

もし事実なら、この18年間、2人の時間は断絶したわけではな
く“彼ら”を通じてつながっていた事になる。もしそうなら、切な
くも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。
でも繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられる
と思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

彼らの行動は常識を逸脱している。

だから、やめるときも常識を超える「決断」や「勇気」が必要なの
かもしれない。

“彼ら”の世界も閉鎖的だ、新しい風が入らない構造をしている。
“彼ら”は新興宗教のように「専用の服を作ったり、特異なオプ
ジエを掲げたり」しない。

“彼ら”の場合はそれが“ない”かわりに「例のあの行動」があ
るのだと思う。

「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだ。その一

体感が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく…

そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できるくらい一生懸命になれる道理がない。

普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。

誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。

どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっている事実には気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。

その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

「外」からの「風」が入らないので、内部の空気はよどみ続けたままだから、そうなるのだと思う。

この世にオカルトはありません。勝利、勝利、勝利！とか言う人たちに負けないで！

えげつない世界からの脱出を勧めます。

〔11月8日（月）曜日〕？

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。どんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だと思う。

けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。過去の文面を読んで欲しい、一度だって要求してない。

その代わりこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」と。

そして、生活を立て直すけど、「邪魔しないでほしい」と。

(…一瞬でも「それって当然の言い分だよな」と感じていただけたら幸いです)

それでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。

単に自分たちの贅沢が（快樂が）侵害されている事に怒っているだけという事実気づかず反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せって言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではない」

…という事実があります、これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

「11月8日（月）曜日」？

もし、僕が手に職をつけたら、その「事実」君の心を動かすのだろうか？

（昔から面接は大苦戦だった、“彼ら”と関係あるのだろうか？）

もし、先んじて就職できないよう手を打つやつがいたら「地獄におちる」と多くの人が感じる事だと思う。ヘルパーの資格をとろうと計画中です。

東京で接客の仕事を通じて、お客さんが声にできない要望を汲み取り、理解して、対応するというのがいかに大切かは感じられたし、そういう仕事が好きともおもえる。無茶な仕事をこなす要領と充実感もしているし、つらい事に屈しない根性も自信ある。これらの経験を生かせる仕事がしたいと考えています。

どう邪魔されるのか？…されないのか？

Fさん！もし、邪魔して何が悪い！いや、むしろして当然だ！という人が周りにいたら、こう言っちゃってください。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（自分が）地獄に墮ちちゃったら、その時は誰が責任取ってくれるの？」と。

僕が君と一緒に戦って欲しいと思う理由の1つがこれになります。困難は1人より2人の方が楽しく乗り越えられる、だめかな…。(それに“彼ら”に狙われたと思われる人でその後も生き延びている人は意外にたくさんいます)

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。“彼ら”は決して正体を明かさない…(告白しない)、どんなに親しくなろうとも、絶対に。君ははたしてどうだろう…?

18年前、君は一步手前まで来ていた。先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。

今にして思うとそう思う。

そこが、大きなターニングポイントになる。それは事実です。

〔11月8日(月)曜日〕?

いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて!

自分の心を取り戻すべきです。

心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ!と行ってやってください。

味方もいるはずですが、東京でも経験が、そう僕に確信させる。変な人は男に多かった、女性はまともな人結構いた。話していてもわかる。

多分君の周りには悪意なく“そういう事”が出来る人がたくさんたくさんいると思う。

それは悪意があるのではなく、心が内向きになっていて、外に向

いていないからだと思う。

心が外向きになれば、人として持つ“当たり前前の感情”が戻ってきます。そう、周りの人に言ってやってください。

告白された事は胸にしまうつもりでいます。

“人を許せる時が、自分を高める時”

(日本テレビ系『行列のできる法律相談所』で有名な弁護士、菊地幸夫氏の言葉)

簡単でないが、目指しがいのある目標ですな。

〔11月8日(月)曜日〕？

「否定・封印」するのではなく、「昇華・発展」させればいいと。そういう意味でも、繰り返し、こう主張します。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

正筆御書に限らず、自らの土台を昇華・進展できると感じたものには、目を向ける機会を意識してください。

そこには、思わぬ発見や、気づかなかった真実が隠れていれ、長年の疑問に答えてくれるかもしれません。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。
「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃっ
たとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

最後にもう一度、もし、僕が手に職をつけたら、その「事実」は
君の心を動かすのだろうか？

いつか教えてもらえる日を信じて。

- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔11月9日（火）曜日〕

Fさんへ、君はストライプとかボーダー柄の服、今でも持ってい
たりするのだろうか？

昔着ていた黄色と白のボーダーシャツはかわいかった。

日本人はああいう柄を「縞模様」と呼ぶが、江戸以前では「すじ
模様」と呼んだらしい。

いつ、どういうバイアスが働いて名前が変わったのだろうか…？

実は東南アジアとの貿易に答えがあるらしい。

東南アジアの安い「布」は値段のわりに丈夫で綺麗で、庶民の間に爆発的に浸透したらしい。

よく江戸時代の時代劇をみると、身分の低いものはたいていストライプ柄の着物を着ている。

あの布は「当時のファスト・ファッション」だったのだ。感覚としては「ユニクロ」みたいな感覚かもしれない。

…で、旧来のストライプとこの東南アジアから来た「新しいストライプ」を区別したい心理バイアスが働いたと思う。旧来のださい模様と区別する意味で「島模様」とよんだらしい。この場合の島は南方の「島」からきた模様という意味らしい。それが時代とともになじみ定着し、現在の「縞しま」模様になったようだ。

当時から日本は外国とつながりがあったのだ。

自分たちは単一文化モノカルチャーの申し子のようなイメージでいても、こうして外国と切り離せない文化も確かにもっている。TPP（環太平洋連携協定）への参加を先送りにしたのはやっぱり残念です。これにより国内ばかり見る世論が主流になる。

尖閣諸島の漁業権の問題も解決の方法はあるとおもつ。

今中国の魚の消費はものすごい。尖閣で漁業をする「日本側の漁協」が、同じく尖閣周辺で漁業をする中国の漁村へ投資すればいい。具体的には水産加工工場をつくり、両国の魚を持ち込んで中国サイドに売りまくるわけだ。現在の中国通過は実質日本の10分の1くらいと聞いた。10万円の投資でも向こうでは100万くらい価値がある。金額だけなら無茶な投資話ではない。双方win-winの関係になれば、地元レベルのわだかまりは和らぐとも思う。ネットとなる感情問題をどう解決するかは人間力になるけど。

こんな話を本で読んだ。

戦後間もない頃、在留米軍の兵士の粗暴が問題視されていた時、あるアメリカ人が、娯楽がないから若者は粗暴になると思い立つ。そこで近くの溪流でルアーフィッシングができる場を作ろうと画策するのだが、地元の日本人の協力を得るのが、本当に一苦労だったらしい。具体的にかくと嫌な気分になるが、その人はかなりのポケツトマネーを費やして草の根の信頼を獲得し、意図したルアーフィッシングが出来るように地元の人を説得できたらしい。今では地元はその恩恵で儲かっているらしい。

人と人を隔てるのは「感情の壁」なのだろうか？

くだらないそうしたものを取り除けば、明るい未来はたくさんあるようにも感じる。

「ザ・コーブ」で有名になってしまった日本の和歌山県太地町。イルカ漁の是非は正直どうでもよく、頭を切り替えれば、ものすごいチャンスがまっている。

なにしろ今、世界レベルで東京や京都なみに「和歌山県太地町」は有名なのだ。

地球の反対側で悪名とはいえ「知らぬものはいない」訳だから、チャンスでもある。

これをチャンスと考えれば、いろいろ活路もある。

全世界にむけてイルカと遊べる和歌山県太地町なんてアピールも不可能ではない。

イルカの飼育法がわからなければ、シーシェパードがただで教えてくれると思うし。

こちらでも食つてくには収入が必要だ！とか言えば、飼育なら非難されないと思う。

（特に「イルカ」というのがポイントだ、充分観光資源になる。昔、上九一色村（オウム本部があったので全国的に有名になった）

が事件後「ガリバー村」というのを作った。たぶん同じ発想なのだと思う。この事實はデカイ。なぜなら「太地町の住民」は失敗例を学べるからだ。過去のケースを学べるというのは実は重要な要素だ。

無駄に感情的になると、意味のない泥仕合がまっている。

…そんな事も思った。

こういふ話をすると、過去に「知ってるよ」と言い返すやつ。けっこういた。

こちらが、めずらしい話題をふっても、全部知ってるよ、と言いつ返すやつだ。

小学生くらいの時から体験していたのを覚えている。

そうか。こんなめずらしい事知ってる同好の志か！と勘違いし、さらに話の内容を深めると、拒絶してくるので意味がわからなかった…

東京での“彼ら”との会話のなかに、こちらの会話をつぶす方法として、これと同じテクニクに何度か遭遇した。「知ってるよ」と言い返すやつ、で、突っ込んだ話をするとなにも知らなかったりして逆切れされた。あれはそういうテクニクだったのだろうか？こちらの気持ちを挫くための。

もし事実なら、昔から、こういう繰り返しで、正常な人間関係が学習できてなかったのだな…。とか思ったりする。ウソでもいいから、君に「そんな事ないよ」と言って欲しいと時々思う。出来るならば。

そんな未来を信じて戦おうと思う。

君が、ウソでもいいから励ましてくれたらどれだけうれしいか。

そんな想い、ここに伝えます。

止めている。たぶん、隣家の旧住民を追い出したときも活躍したの
だろう…。

旧隣人は、老後しずかに暮らそうとやってきた人らで、たくわえ
を切り崩して立派な家を建てた。君は覚えてるだろうか？ 僕の家
の隣に空き地があったのを…、そこに建てたのだ新築を。なのに追
い出された。“彼ら”はそういう事を「平気」です。恐ろしい限
りです。

この車のナンバーは一応押さえてある。あの酷い音なら「整備不
良」で通報も可能なレベルのボロさなのだが、あえて今までしてい
ない。あの車はある意味「指標」だ。あの2人はガチガチの筋金入
りだと思う。上記のような出来事も眉1つ動かさずできるファイテ
ィングマシーンだ。

だから観察対象としては間違いのない「指標」になる。だからあ
えて通報もしない。

“彼ら”の世界も閉鎖的だ、新しい風が入らない構造をしている。
“彼ら”は新興宗教のように「専用の服を作ったり、特異なオプ
ジエを掲げたり」しない。

“彼ら”の場合はそれが“ない”かわりに「例のあの行動」があ
るのだと思う。

「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだ。その一
体感が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく…

そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できるく
らい一生懸命になれる道理がない。

普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。

誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、
ダメにする。

どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっている事実に気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。「外」からの「風」が入らないので、内部の空気はよどみ続けたままだから、そうなるのだと思う。君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てくたさい。君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、
それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

三界に家を建てするには、君が必要です。

君にもいろいろあるのだろう。でもこう思う。

ウソでもいいから、君に「そんな事ないよ」と言ってみて欲しい時々思う。出来るならば。

そんな未来を信じて戦おうと思う。

君が、ウソでもいいから励ましてくらたらどれだけうれしいか。

そんな想い、ここに伝えます。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔11月11日（木）曜日〕？

生まれ持った欠点を克服する事が不可能だとしても。

その欠点以上の長所をもてばトントンになると思う。

ところが彼らの場合は…

“彼ら”の世界は閉鎖的だ、新しい風が入らない構造をしている。

“彼ら”は新興宗教のように「専用の服を作ったり、特異なオブリエを掲げたり」しない。

“彼ら”の場合はそれが“ない”かわりに「例のあの行動」があ

るのだと思う。

「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだ。その一体感が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく……

そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できくくらい一生懸命になれる道理がない。

普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。

誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。

どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっている事実には気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

「外」からの「風」が入らないので、内部の空気はよどみ続けたままだから、そうなるのだと思う。

君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違いです。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした人達」の）常套手段”です。

非常に悪質な人心掌握法になります。だから全てを背負い込んではだめです!“彼ら”はそれを狙っています!!そうやって君の心から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ!!だから注意して!

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？

(そこまでくさってない?)

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては(奇妙な事に)誇らしくも感じてしまう。

繋がっていたのだろうか? どののだろうか。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、
どうなんだろう。

油断していると、本当にこの暗示にかかります。

相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのよう
に“錯覚”させるプロです。

親切心を利用されないようにしないと、永久にいいように利用されて
しまいます。

気をつけて! そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコ
だ!

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。
い。

でも繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられる
と思う。

きみにとっての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨
大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「もう1度あいたい人」がいてなにか悪い？」と。

「不安な心に付け入るのやめて！関わらないで！」と。

「もう戻りたくないの、それもの凄い「犯罪行為」なのよ！わたしそれに気づいたの」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

（たぶん、お前も知っててやってたんだろ？今更何を…とか言う人いると思う。そういう人にはこういつてあげてください。「哀れね、自分が操り人形ってまだ気づいていないなんて。わたしは気がついたの。これからは「人」として生きていくわ。「操り人形」は卒業よ、あなたはまだ卒業できないの？」と）

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに親しくなるうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は一步手前まで来ていた。

先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。

今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。
そこが、大きなターニングポイントになる。
それは事実です。

告白された事は胸にしまうつもりでいます。

“人を許せる時が、自分を高める時”

(日本テレビ系『行列のできる法律相談所』で有名な弁護士、菊地幸夫氏の言葉)

簡単でないが、目指しがいのある目標ですね。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援します。

君は自分で思っている以上に強い人です。

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされるのは間違っている。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、文句は言わせないわよ！」と、言って良いと思う。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔11月11日(木)曜日〕？

僕の場合過去にいろいろあった…

君の場合はどうだったのだろうか？そんな事も思わなくもない。君はいつも不安定だった、心配です。

今日の話題は年配者を置いていく。

東京で働いていた時、親しくしていた上役（ほぼ同世代）の人から「エヴァンゲリオン新劇場版：破」がものすごい「いい」という話を聞かされた。正直どうだろう？と思っていたけど、普段難しい顔をしている人がものすごい晴れやかな顔をしているので、騙されつつもりで劇場まで見に行ってみた。（当時、まだ尾行は本格的でなかった…、ただ当日、上演時間に遅れそうになり「走った」結果、尾行を撒いてしまったらしい。

次の日から激走してついてくる自転車をみるようになる。でもまだこの時期はかわいいレベルだった。Fさん、でもすごいと思うでしょ？彼らの攻撃を意識しつつも「普通」に映画にいくこの根性。そう、普通に暮らすのが一番です）

映画は10年以上前のTVとほぼ同じな内容なのに、焼き直しでない新しいつくりで確かに凄かった。

まるで使いまわされた「シエクスピアの戯曲」が何世代も繰り返し上演されるうちに、同じ演目なのに演出1つで「別物」になるのに似ていると感じた。過去アニメでこれを行った人間は1人もいない。

これを作った監督の結婚前につくられた以前のTVシリーズと、今回の結婚後に作られた映画は人生観の変化がみられた。以前はとことん人間不信で「偽善と欺瞞だらけで何が悪い」という世界観だったのに、今回はちがう、「救いと愛」がある。人が違うみたい。新鮮だった。庵野秀明監督は漫画家の安野モヨコさんと本当に通じ

合っているのかも知れない…と勝手ながら思ってしまった。実際は
当人のみが知るところだけだ。

君はそれなりにアニメ見ていたけど、コアなファンというわけ
はない…。「エヴァンゲリオン」を見ただろうか？最初のTVシリ
ーズは僕が大学時代放送だ。たぶん1996年か97年くらいだと
思う、当時君はどこでどんな生活をしていただろう…

僕にこの映画を勧めた人はこうもいう。

「見ていると当時にもどれるんだ」と。

こういう感覚は僕もある、昔「好き」だった作品をみると一気に
当時の心境に戻ることがある。

（ある施設ではお年寄りに昔の映像を見せると、心の健康が維持
できる事があるといい、定期的に上映会をあいている様子をTVで
見たことある）

…もうすでにしているかもしれないけど。

「ダツタン人の踊り」とか「コパカバーナ」とか「アルメニアン
ダンス」とか「浪漫飛行」とか「紅」とか…

当時部活で演奏した曲を聴くと、当時の感覚に戻る事、あります。

僕が君に初めて話しかけた？と思う記憶では、君が「ドラクエの
ダンジョンの曲」を演奏していた時、なんでそんな曲弾けるの？と
聴いた記憶がある。あれらも思いでの1部になるだろうか？

…「紅の豚」をもう一度見るというのもあるね。

君の性格を考えると、時々「どうしようもない負の感情」に支配
される時間がやってきて、君を悩ましているかもしれない。そして、

そんな自分の姿を僕には見せたくないと考えるかもしれない。もし…、もしも仮にそんな問題に悩んでいる？という仮定に対して、僕が答えるとしたら？

答えは簡単です。

い。（見られたくない姿を見られても）慣れてみれば、恥ずかしくない。

僕は君の全てが好きだから、どんな姿をみてもかわいくみえる。

彼らの世界へ落ちるのも「慣れ」で克服したらな、逆もまた同じ「慣れ」で帰ってこれる。

ただ今回は「慣れ」の方向が間逆（悪から正義へ向う）^{ベクトル}なだけです。

（ こういうと、人はウソつけと思うかもしれない、でも、君はどう思う？

Kという人物はちょっとやさつとで私を嫌いにならない、ひょっとして大丈夫なのかも…と感^じるだろうか？

なんなら、君と一緒に四国巡礼の旅をしてもいい、君の気が晴れるまで）

（ 何か生まれつき「足りない」にしても

「足りない」なら「足りない」なりに工夫すると意外に何とかなる…

そんな風に僕は考える。）

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そついう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言つ権利を君は十二分に持っていると思う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらつ機会をもらつた、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃつたとしても、

誰も責任取つてはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言つ資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

ウソでもいいから、君が僕に「そんな事ないよ、もう大丈夫だよ」と言えるくらい回復する未来を信じます。

そんな未来を信じて戦おうと思う。

君が、ウソでもいいから励ましてくらたらどれだけうれしいか。
そんな想い、ここに伝えます。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
〔11月12日（金）曜日〕

昔、「アボンリーへの道」というドラマがあった。

カナダだったかな？とにかく外国の連続ドラマで、「赤毛のアン」のサイドストーリー物だった。

以前作られた映画「赤毛のアン」のスタッフとセットを流用して作られたドラマだ。

「アン自身」は決して登場しない。彼女が村を離れたあとの世界をオリジナルで書いたドラマだ。

でもストーリーがすすむにつれて、原作との時間軸や整合性は薄れていき、厳密なサイドストーリーではなく、新解釈の入ったオリジナル物語になってしまったドラマだ。

原作にあった「反骨精神」は失われ、ただただ牧歌的な話が毎回ぬるく展開するドラマになっていた。

原作とは関係ないんだ！と割り切る事さえできれば、割と見れる。そんなドラマシリーズだ。

原作が好きだと最後までわだかまるけどね。

オリジナルと違う事を割り切れるか否か？これは好みの問題であり、他人に強要される事でない、そんな事思う。え？なんの話かって？もちろんドラマの話です、他のなにでもありません。他の何かを頭をよぎったとしても、もちろんそれは僕の意図した演出外のイメージです。

君は今も戦っているのだろうか？

その前提で書きます。負けしないで！応援しています。

るであろう太陽」と「同じ太陽を」僕もどこかで見ていると思っ
てください。

こんな事も思う。

自分たちが狂ってないと考える人らは、君の様子を病氣かなにか
のように考えるかもしれない。

要りもしない治療とやらを講じようと、あてこのてをたくら
んでくるでしょう。

へこたれてはいけません。

彼らが間違っていて、君の感覚が正しいのだから。

悔やんでいるならOKです。

悔やみもしない人達に囲まれて、悔やんでいない“ふり”をし続
けるのは、相当つらいと推測します。脱出がベストです。

自分を取り戻して欲しい。

…自分を客観視できるかどうか分からないが、こんなアニメがあ
った。

「NHKによろこそ」というやつだ。元は小説で、アニメ化され
たものだ。

アニメよりも小説のほうが重い内容になっているらし（実は読ん
でない）

主人公はともかく、ヒロインの高校生は早くに父親を亡くし再婚
した母と父の元暮らすのだが、あるカルト宗教にはまった一家とし
てその家庭はあったらしい。ヒロインは常に「神様」という単語に
トラウマをもつ。ガチガチのカルト宗教の下成長した彼女は、経緯
は不明だが現在は親戚の家に身を寄せている。

どうしても普通に暮らせない彼女は高校に通っていない、おじの
経営する店でのバイトと、叔母のあやしげな勧誘の手伝いで日常を
つづす毎日だ。

…ここからは軽い展開で、おじの経営するアパートにいる引きこ

もりの青年を自立に促す事で、自分自身を昇華させようと彼女は思い立ち、実行する。毎日部屋に引きこもる様子が彼女の部屋から丸見えで、それが動機のように演出されていた。

主人公のひきこもり青年の、引きこもった動機というのも、なんだか…と感じてしまう。ある日突然、周囲の人々に見つめられている事に気がつき、気のせい気のせいと思ううちに神経をすり減らし引きこもるというやつだ。これを見た時は「気のしすぎだ、かわいそうに」と思ったものだが、まさか後日、にた体験を現実にするとは想像もしてなかった。(おそらく、そちら側の世界からみたら現在の僕もひきこもりに見えるのかもしれない…、でももともところというライフスタイルなのだ。他の人にこれを通じなくても、君が納得してくれるなら嬉しい限りだけど、どう感じるのだろうか？こんど会った時にでも教えてください)

そういえば、この話、アニメ化されたときは「涼宮ハルヒの憂鬱」とセットで放映されていた記憶がある。10年以上東京で友達してくれていたあいつは(以前書いた人物で、実家に帰ろうと思っていたとき、こいつの勧めで僕は東京に残り漫画を描き続けた…、もっと早く帰っていたら？どうなっていたのか、答えを知るのは君のみです)ハルヒファンだったが、「NHKによるこそ」は天敵のごとく嫌っていた。あいつが“彼ら”ならばその嫌う理由も察しがつくが、今となつては確認しようもない。が、彼が“彼ら”だとするなら当時のあいつの態度には納得がいく。そこまで嫌うか？というくらい態度だった。

…。
深刻な問題にこんな軽いアプローチを提示して怒るかもしれない。

でも“感覚”とは理屈のみで答えがでないものです。

時には哲学意外のこういう軽いアプローチもちがうものが見えるかもしれない。

特に「親に幼少期からカルト宗教を強要された事を悩むヒロイン」という設定は、古今東西ありそうでなかなかない物語なので、自分を客観する材料になるかも…、それとも村上春樹の方が君の好みかな…？

世界は広大で広く、想像を絶するダイナミックな時間がからみあって作られている。

「視野が狭くて何が悪い」とか言う人が増え続けていくと、それが世界の不和の原因になってゆく。

いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！と言ってやってください。

繋がりには、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられと思う。う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

“彼ら”の世界も閉鎖的だ、新しい風が入らない構造をしている。

“彼ら”は新興宗教のように「専用の服を作ったり、特異なオブリエを掲げたり」しない。

“彼ら”の場合はそれが“ない”かわりに「例のあの行動」があるのだと思う。

「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだ。その一体感が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく…

そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できるくらい一生懸命になれる道理がない。

普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。

誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。

どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっていて、事実には気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。

その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

「外」からの「風」が入らないので、内部の空気はよどみ続けたままだから、そうなるのだと思う。

君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思いついていて、それは間違いです。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの”中の「そうした人達」の「常套手段」です。

非常に悪質な人心掌握法じんしんしよあつかくになります。だから全てを背負い込んで、はだめです！“彼ら”はそれを狙っています！！そうやって君の心から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ！！だから注意して！

彼らは君を「病気だと主張」するだろう。

毎回いわれたら、そう信じ込んでしまいそうになるかもしれない。でもそれは間違いです。

君が「正常」であり、おかしいのは「彼ら」なのです。

〔11月14日（日）曜日〕

生まれ持った欠点を克服する事が不可能だとしても、その欠点以上の長所をもてばトントンになると思う。ところが彼らの場合は…

こんな仮定がある。

もし血のつながりがある家族から反対されたら？

君からは家族の話は1度も聞いた事がなかった、どの程度仲がよく、どの程度不満があり、どんな関係なのか：そうした事は1度も聞いた事が無かった。1度もないというのが、逆に触れてはいけな関係であることを想像させるけど、実際のところどうなのだろう。

1度だけ君のお父さんと電話で話した。その時印象的だったのが「…意味わかんないな」とつぶやかれた事だ。“彼ら”はこの言葉をよく使う、特に幹部クラスは。文脈上すこし強引な言い回しでその言葉を入れるのが特徴でもある。それが東京で3年ある人物を観察した結果得た答えの1つだ。偶然かもしれないが、符合する。

君が戦う事を望むとは考えにくい。できる事なら納得して理解してほしいと考えるはずだ。

僕には議論でいいまかす自信がある、でも君はそういうの苦手のはずだ。君は気持ちを行動で表す人だ。心配です。

なぜ言う事を聞けない！と血縁者に迫られたら？

私いくつか知ってる？そういう事いわれる歳じゃないのよ、いってもいいと思う。

家族を棄てるのか！と責められたら？

棄てるんじゃない、自立するだけよ。そのどこが悪いの？と言

えばいい。

お前は間違ってる！と言われたら。

間違いは家族の中にもある。私はそれを正したい。と凄めばいいとおもつ。

何か言われたらこう言い返していいと思う。

「これは私の人生」

家族の間でも、毅然とした態度はしてもいいのです。

意思表示はしないと、伝わらない。それは血のつながりがあっても同じ事。

言わなくても通じる部分も事実あるけど、言わないと誤解し続ける部分も事実ある。

親は長年の誤解に気づくとショックを受けるようだが、その後は正しいありように気づけてお互いすつきりもする。

僕は東京で、ギリギリまで議論して喧嘩寸前までいったけど、双方そこは理解してギリギリで喧嘩を回避した経験がある。何度か書いているけど、あの経験が今の僕の考えを支えている。

対決を回避したあと、「あのままだとヤバイとおもったんです」と僕が言つと、さっきまで爆発寸前だったその人も「俺もそう思ったんだ」と笑顔で応じてくれた。うまく表現できないけど、通じた嬉しさというのがその時あった。人と通じ合いたいと本気で望むなら、永久の決別を覚悟した対決も必要になる。相手が本当に君のためになる人かどうかは、その時「問われる」のだ。

僕のこうした考えは、やはりあの時の経験が元になっているのかもしれない。

あの時とは、君に告白したあの時だ。

学校の階段近く、人気のないあの場所で、君は僕に別れをつげたあの時だ。

ポニーテールをいつもより高い位置でしてきてくれたあの時のことです。

僕は、ここで別れたらもう2度とあえないと悟った。だから、全てをぶちまけた。

絶対に嫌われると思った。物凄い醜態だった。でも、君には通じた。

想いは通じる事があると初めて知った時だ。

「そこまで本音を言ってくれた人はじめて…」

君は最高のかわいらしさで、そう答えた。今でもはつきり思い出せる。あの時の事を君は今でも覚えているだろうか？あの経験が、今でも僕の行動を支えている。上記のような東京での出来事も、この記憶に支えられた行動だと自分では思ってる。人は境界線を越えないといけないときは、事実として存在するのだと、僕は思う。君の意見を聞きたい。

何か言われたらこう言い返していいと思う。

「これは私の人生、もう「カルト」はいやなの、やりたくない」

この言葉で周囲の空気を君のペースにもどせる効果があるかもしれない。

少なくとも、何回も言い続けると、そういう空気を作れると思う。

君にこれが言えた時、大きなターニングポイントかもしれない。

もし家族が君の口からこの言葉を聞いたら、さぞかし驚くと思う。それほど破壊力がある言葉だ。

身内からいつものようになにか責められた時、こう言い返せばかなりの破壊力です。

「もうカルトはいやなの、やりたくない」

君が言うと、破壊力あると思う。後は君のイメージ次第だ。思いのたけをぶつければいいと思う。

世界は広大で広く、想像を絶するダイナミックな時間がからみあって作られている。

「視野が狭くて何が悪い」とか言う人が増え続けていくと、それが世界の不和の原因になってゆく。

インチキで「奇跡」や「あたり」を起こす事で、人の心を落とす集団は他にもたくさんいる。

でも。それが世界の全てではないのです。

君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。君は僕と別れた後“彼ら”に“まちがった”発見をたくさんさせられたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違いです。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

そうして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの”中の「そうした人達」の「常套手段」です。

非常に悪質な人心掌握法じんしんしやうあくになります。

だから全てを背負い込んでいただけです!“彼ら”はそれを狙っています!!

そうやって君の心から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ!!だから注意して!

油断していると、本当にこの暗示にかかります。

相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのよう
に“錯覚”させるプロです。

相手に親切心を利用されないようにしないと、永久にいいように
利用されてしまいます。

繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思
う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

君は“彼ら”に僕の人生に対する責任を問う勇気がありますか？

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

君が“彼ら”に僕の人生に対する責任を問う勇気があるかどうか
と。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用の呪い」にかからず、
サンクコスト

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

皆が邪念に負けた、けど天は見放さなかった…、正す機会を与えてくれた。

後はその機会を人間がどう生かせるかどうかという事ではないでしょうか？

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔11月15日（月）曜日〕

昔、ヤマギシ会とかいう団体があった。

詳しくは知らない。わかる事といえば、カルトであり、随分前問題視され、今はない団体という事だ。

この団体がニュースになったのは、たしか学校問題だったと思う。ヤマギシ会は自分たちだけの学校をつくらうとして問題になったからだ。

ヤマギシ会は私有財産を否定してメンバー全員で財産を共有する社会を実践した。

田舎に広大な敷地を購入して、構成員は財産を全て差し出す代償として、そこで生活できる。

敷地内には学校以外の全てのものがあり、敷地内だけで暮らせる仕組みだ。

敷地内には通貨すらなく、欲しいものがあれば申請用紙に記入す

ればもらえたらしい。申請が通らなかつたらどうなるのかは知らない、ただ、ニユースの中では、子供がチヨコレートを申請した3日後、大量のチヨコが手渡された映像を見た。加減がでたらめだなとその時は思った。

理想のコミュニティーは周囲から隔絶した独立国の様相を呈した。

：東京で本屋にいた頃、客注品でこのヤマギシ会の問題を書いた本を取り寄せる仕事をした。

ニユースにもならなかつたが、人しれず崩壊していたようだ。

他のカルトの本を読むと、客観視できるかもしれない。

「カルトの子 心を盗まれた家族」

(文春文庫) ¥ 670 ISBN - 13 : 978 - 416

7656935

「ヤマギシ会の暗い日々」

(野草社) ¥ 2,100 ISBN - 13 : 978 - 478

7794819

「洗脳の楽園 ヤマギシ会という悲劇」

(宝島社文庫) 中古のみ(アマゾンで購入可) ISBN - 13 :

978 - 4796615747

(余談ですがISBNとはインターナショナルシリアルブックナンバーの略だと思う、本を特定できるものです)

上記2番目の本「ヤマギシ会の暗い日々」のアマゾンの説明文には面白いことが書いてある。

以下はその抜粋です。

(ヤマギシズム特別講習研鑽会 「特講」と呼ばれる一週間の合宿生活のなかで、ほんとうの自分に出会い、自由の喜びに感動した私

自分が、うわついた気持ちでないと確信する“方法”……
見つかると思えば（思い続ければ）到達できると信じます。

自分で“そうしたこと”は確信できないと、なかなか人には伝えにくいもの。

君が何をもって“そうしたこと”に“確信”できるのか……、答えを知るのは君のみです。

君が答えに到達し「後悔してないよ」と言える日を信じます。

焦りは禁物。ゆっくりいきましよう。

全てが未来の糧になると、晴れない雨はないと、そういうイメージ。君に贈ります。

晴れた天気を思い浮かべるだけでも、だいぶ違うものがある。

彩りは、イメージと共に心に浮かび上がるものです。
心の豊かさを忘れずに。

うわついた気持ちでないと確信する“方法”……

もしかしたらそれは、自分の中の“うわついてない気持ち”と“うわついた気持ち”の2つを同時に受け入れる感覚を抱けた時、答えが出るのかもしれない。これは言葉遊びでなく、現実にそう思う。

小説を書く上で、ただ「まじめ」に書くだけでは面白い作品はでき
ない。

しかし、「うわついている」だけでも、いまいちな作品しかできない。

「まじめ」「さと」「うわついた」感覚の双方が織り交ざって、練り
上げて、面白さがでると思う。

なぜ、そうすると面白く感じる作品になるのか？

それは作品に「心」が生じるからだと思う。

事は言わないし、言えない。
でも芝居なら、言える。

「君をこんな風にしたやつが許せない、絶対に」

芝居でないとこんなセリフ言えない。

18年前、僕がお芝居をすると、君も「私もお芝居」といって素敵な事をしてくれた…

今なら、君はどんな事をしてくれるのだろう。

お芝居なら、普段言えない事や、やれないことも出来る。

君のお芝居に期待さしてください…

運命はまだ巡っていると信じて。

.....

〔11月18日（木）曜日〕

こんな事思い出す…

あれは神社で2人で会っている頃の記憶で、季節は多分「秋」か「冬」…もしかしたら今くらいの季節かもしれない。

当時僕への“彼ら”の攻撃がすごかったのかな？僕は体調がおかしかった。

それに加えて受験のプレッシャー等で、まいつていた。

「おなか痛くなるんだ」

とか弱音を君に吐いた事がある。

1度目や2度目は君は聞き流してくれた、でも数度かさなるとキレたのを覚えている。

「どうしてそんな事いうの！」
と言われた…

当時の君は孤立無援の状態だった、なのに当の僕がのんきに弱音をはいているのだ、本当なら秘密に気がつき共に戦わないといけないの。

今はどうなのだろう？

少なくとも、僕はこう考える。

「死にたい」とか絶対言わないでよと。

…いや、言う分にはかまわない、でも実行しないでほしい。

これはお願いではないのです。伝わるかな…正確なニュアンスが僕の言い方は時々、物凄く微妙だ。過去の君の記憶でも時々そう感じる事があつたと思う。

でもわかりやすく言い換えると、気持ちが上手く伝えられない、そんなジレンマを僕はもっている。

そんな感覚、君も持っていたように感じるけど、どうかかな…。

前にも何処かで書いたかな…

僕が東京でやっていた心のコントロール法の1つ。

つらいとき、あえて死にたいと口にする方法。

これが言えているうちは、まだ心をコントロールできている証拠だ。

もしこれが「言えなく」なるほど追い込まれた時は、「本当の限界」だ、と自分に言い聞かせた。

だからあえて口にすることで、「まだ（限界じゃない）大丈夫だ」と、自分の心の限界度合いを図っていた。

そんな事、やっていたと、この小説のどこにも書いたと思う。

だから仮に口にするのはいいけど、実行はしてはダメです。
そこまで追い込まれてなければいいけど。
けど大丈夫、Fさんは強い人だ。必ず乗り越える。
そう信じます。

.....

〔11月19日（金）曜日〕

ヘルパー講座の本にこんな事書いてあった…

自立と依存は対立する概念ではない、むしろ自立にとって依存は
かかすことのできないものだ。

人は甘える（依存する）という経験を通じて、自立してゆく。

こんな事思った。

「できる」と思っていたことがある日「できない」ときづくと、
人は相当なショックを受ける。

「できない」という事実を受け入れるには相当な時間が必要であ
り、中には全てを拒絶してしまう人もでてくる。

しかし、何かのきっかけで、解決の糸口が見出せたりする。

ふつきれる瞬間というのがあるのだと思う。

君が何かしらのショックをつけても、立ち直り生き返る事を信じ
ています。

こんな事も思う…

高校時代、演奏練習をしているとき、君は一度も「そこはこうよ」
とか「違うもう一回」とか、1度も言わなかった。

君が一番の実力者なのに、一度も自分が前に出ようとしなかった……遠慮がちな性格はともかわいかった。

だから、その後の人生も多くの部分でそうした君でいた事と推察する。

相手に君の意図を汲み取る意思が「ない」場合、悲劇が多くやつてきそうで心配です。

だから、今回の件は、少なくとも君の「意思をないがしろにしてきた連中」に対して、それが間違いである事を周知させられたと感じる。

「意思」を汲んでももらえない憤りを君はいつも感じていたのではないだろうか？

この小説は君がいえなかったことを、言ったことになる。

（当初は本当に酷かった……、小学生が近寄ってきて「ドスケベ！」とつぶやいてきたり、創作と思われるんだろうな、と感じた。今はそういうのない、君のなにかしらの意思表示があったと思いたいところですよ。いつか何があったのか聞かせてください。告白された事は胸にしまつつもりでいます。僕は賭けをしています。君が僕に告白するかどうかと。そこが、大きなターニングポイントになる。それは事実です。）

（有名人は殺せないといのが彼らに限らず、この世のセオリーです。アウンサン・スーチーさんがミャンマーの軍事独裁政権に殺されなかったのがいい例です。むしろこそこそ隠れた方がヤバイ。君の名はある程度そちらで通じるものなのだろうか？もしそうなら、そついう意味でも君には優位性アドバンテージが存在する。）

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援しています。

君は自分で思っている以上に強い人です。

犯罪者にいつまでもいたくない人は君も含めてたくさんいるはず。この事実否定は相当難しいと推察します。この事実直面してショックを受ける人たくさんいるでしょう。でもそれが人生です。介護をうける年代になれば誰でも人生最期のショックに直面する事がある。この世はぬるま湯ではなく、こういうことの繰り返しです。受けたショックを乗り越えるのは簡単でないにしろ、その「乗り越える」行為そのものは、この地球上で何億人という人間が繰り返し続けている「日常の1コマ」であり、特別な出来事ではないのです。でも乗り越える際に必要なのは、そうして理屈ではなく。感覚が大

切なのだと思う。自分の大切な何か「なに」か？振り返る余裕が生まれたとき、答えにたどり着けるのかもしれない。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください（周りにもすすめてください）。

「皆が」が邪念に負けた、けど天は見放さなかった…そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかかわらず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

- - - - -

君に伝えます。

このサイトは自分の書いた作品のみアクセス数がわかるようになってる。

東京にいたときはナローバンド回線で、アクセス数を調べるのが難しかったせいで使ってなかったが、ふと思いついて調べてみた。今ならブロードバンドなので容易にわかる。

一応毎日誰かが見ているようで、けっしてゼロという日がないようだ。でも誰が見たかまではわからない。

総計5000人（アクセスだけなら1万）を越えているが、そんなものか？とも思う。

予想より少ない。

この中のアクセス数に君がいることを信じます。奇跡を信じて。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔11月20日（土）曜日〕

こんな風にも思う。

僕は「速読ができたらいいな」と思う。

そうなれば、たくさん本を読めるからだ。

だが実際はどうかというと、なかなかできない。

なぜならば、時間をかけてじっくり咀嚼しながら読むのが好きだからだ。気に入ったものは丁寧に読み、読みながらあれこれ考えてイメージをふくらます…そんな読書がぼくの好みなのだ。（だから喫茶店とかファストフード店で読むのが一番好きです）

だから読書速度はすこぶる遅い。本屋時代、みな他の店員がものすごい速度で読んでいる事に驚いたものだ。

そんな背景もあり、読み方も工夫もあれこれした。

速読とまではいかないが、早く読む方法もそれなりにもっている。

「なにも考えない」と念じながら本の文字を目で全部追う方法だ。数度繰り返し返せば詳細はともかく“なんとなく”のイメージは身につく…。工作上必要な文章など読むとき効果的だ。

でもこの方法は味気なくて好きでない。

やはり、大好きな分野の本をじっくり時間をかけて読むのが楽しい。

“君”も彼らの行動を強要された時、もしかしたら何も考えない、なにも感じない…と自分に言い聞かせたのだろうか？

似た感覚の持ち主だったので、もしかして…とおもった。これはあまり自信の無い直感に近い考え、外れる確立80%だけど、20%くらいもしかして…と言う気がしてしまい、聞いてみたいと思うような、そんな考えだ。

君も自分を殺してきたのだろうか？

必要にせまられてそうしたというなら、それは緊急回避という事でなにも問題はない。でも四六時中「緊急回避」はつらいと思う。自分の考えや価値観、感覚が生かされてこそ「生きている」という意味になる。誰かの人形はいやでしょ？

君は人形扱いされるのを嫌がっていたと思う、違うかな？

人扱いされたがっていた。

今も変わらない様に思う。

時間をかけて答えを出していいと思う。

心の伴わない「すばやい答え」は僕も望まない。

それにもう2度と騙されたり、裏切りにあいたくないともし感じているなら、慎重になるのも当然な訳だし。(そういう状態にまだなっていないのかもしれない？)…どうなのだろう。今も君は戦っているのだろうか？

1つだけ確かな事実は、“彼ら”は君を心のない人形扱いしようとして、虎視眈々狙っているという事実だ。油断していると、気がつかないうちに“彼ら”の放つ罠につかまる。自覚できないくらい巧妙なのがその特徴でもある。その心を蝕む手法は(何度も書いたが)下記の通りだ！

君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。君は僕と別れた後“彼ら”に“まちがった”発見をたくさんさせられたと思う。

君は自分で「それら」を発見したと思い込んでいるけど、それは間違いです。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

そうして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした人達」の）常套手段”です。

非常に悪質な人心掌握法じんしんしよつあぐになります。

だから全てを背負い込んではいけません！ “彼ら”はそれを狙っています！！

そうやって君の心から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ！！だから注意して！

油断していると、本当にこの暗示にかかります。

相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのようにつけこむ“錯覚”させるプロです。

相手に親切心を利用されないようにしないと、永久にいいように利用されてしまいます。

繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

「君は僕に」は“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利があ

ると思いますか？

「僕は君に」は“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利があると思う。

「君」の行動に期待さしてください。

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされるのは間違っている。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、文句は言わせないわよ！」と、言って良いと思う。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

「皆」が邪念に負けた、けど天は見放さなかった…そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用の呪い」サンクコストにかかわらず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君もそうした「つらい事」たくさんさせられて、日常の幸せを「より」幸せに感じさせるよう洗脳されたのだろうか…

君はどう思う？上記のようなものは、ワザと不治の病にかかる事で、命の大切さを学ぶのに似ている。

正常な感覚であれば、おかしいと思うはずだ。

それにそれらは命に対する冒涇であり、本当にその病で苦しんでいる人らへの侮辱になる。

「目」は見開いて、前をみなければいけないのだと、強く君に届けます。

「つらい事」をたくさんすると幸せが大事に感じるのは事実。でも、

「つらい事」とは、本来は「試練」のはず。

犯罪＝試練ではない。暗示にかかると、気がつかなくなるのだと思う。

誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。

誰かの「快樂」の尖兵になっている事実に気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。

誰もがその事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

「外」からの「風」が入らないので、内部の空気はよどみ続けたままだから、そうなるのだと思う。

「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだ。その一体感が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく…

Fさん、いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けない

で欲しい。

狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！と言ってやってください。

味方もいるはずですが、東京でも経験が、そう僕に確信させる。

女性はまともな人結構いた。話していてわかる。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

いろいろあると思う。けど、がんばって。負けないうで欲しい。

多分君の周りには悪意なく“そういう事”が出来た人がたくさんたくさんいると思う。

それは悪意があるのではなく、心が内向きになっていて、外に向いていないからだと思う。

心が外向きになれば、人として持つ“当たり前前感情”が戻ってきます。

そう、周りの人に言ってやってください。

繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

「皆」が邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう

う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！」

「老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

君は「うれしい」という言葉はずかしがって使わない。

その代わり、笑顔と行動でその気持ちを表現する。そんな君の様子
子はものすごくかわいい。

君は気持ちを行動で表す人だ。僕が18年前こう想っていたと、
君は気づいていただろうか？

当時僕はその事を君に言わなかった。

なぜなら、当時は君のあまりの存在の大きさに圧倒されてしまい、
それどころではなかったからだ。

当時君は僕の天使であり、一緒にいるだけで最高のしあわせだっ

せないものだという。

どういうストレスを与えたら適切に人口栽培できるか？日々研究されているらしい。

同じ事を「マツタケ」の人口栽培のニュースを見たときも聞いた記憶がある。

マツタケの菌糸そのものを培養することは簡単らしい、しかし、その菌糸をきのこの形にさせる条件というのがわからないというのだ。

やはり、そこでも鍵になるのが「適切なストレス」だという。どういう条件のストレスをかけたらいいか日々研究されているらしい。

“彼ら”の「それ」も「人口栽培」と同じなのだろうか？

無実の人間をおとしめるといふ行為は、普通感覚の人間なら、耐え難いストレスのはずだ。

そうしたストレスを受ける事により、身近な幸せが大事に感じられ、人生を楽しむことが出来る？と考えているのだろうか？

他人の生き血をすする事で幸せを感じる人々…

若い世代なら「賢者の石」と「赤い水」を連想するだろうか？

こういう話は軽い話題に例えた方が飲み込みやすい。

「鋼の錬金術師」という漫画・アニメの中で、主人公たちは賢者の石を追い求める。

賢者の石さえあれば、母親を生き返らせられる。そして生き返らせようとして失敗した過程で失った自分の足と腕に、弟の肉体を取り戻すことができるからだ。

そんな魔法のかなう賢者の石を追う話が「鋼の錬金術師」の骨格だが、結論は悲劇的になってゆく。

賢者の石を作るには、大量の「生きた人間の命」が必要なのだ。生きた人間から「赤い水」をつくり、それを練成して作られるのが賢者の石の正体だった。

これはアニメの話だ。

現実の世界で、人間の生命を大量に犠牲すっつていきる集団など、いるはずがない。

ナンセンスもいいところだ。

“彼ら”の「例のあの行動」は、多くの人には、「(そうと)つらい」ものはず。

何しろ意味無く人をおとしめているのだ、倫理観があればそうとうなプレッシャーになる。

心身クタクタのはずだ。でも心身クタクタになる甲斐あって(“彼ら”の「例のあの行動」が)「つらい」が故、日常の些細な事も幸せに感じられるようになる。それが彼らの「行動の意味(価値)」の真髓なのだろうか？人間「つらい事」をたくさんさせられると、些細な事も「幸せ」に感じると思う。

そうした「たくさん辛い事(＝彼らの行動)」をするほど、より些細な日常に幸せを感じられるのだろう。

そうして感覚が麻痺していき「殺人」も「肯定」できるくらいになるのかもしれない。

そのうち「それ」がないと幸せを感じられなくなり、生きていけなくなるのかもしれない。

そして最悪な事に、愛する子供にまでそうした下劣な行為を勧められる異常な心理状態になるのだ。

君もそうした「つらい事」たくさんさせられて、日常の幸せを「

より「幸せに感じさせるよう洗脳されたのだろうか…」

君はどう思う？上記のようなものは、ワザと不治の病にかかる事で、命の大切さを学ぶのに似ている。

正常な感覚であれば、おかしいと思うはずだ。

それにそれらは命に対する冒涇であり、本当にその病で苦しんでいる人らへの侮辱になる。

「目」は見開いて、前をみななければいけないのだと、強く君に届けます。

「つらい事」をたくさんすると幸せが大事に感じるのは事実。でも、

「つらい事」とは、本来は「試練」のはず。

犯罪≠試練ではない。暗示にかかると、気がつかなくなるのだと思う。

こんな事も思う。

老後、誰と支えあいたいのか？

その頃この世にいない人にとやかく言われる必要はない。

年をとり、体が弱った頃。想い出が自分を支える事になる。

その時になって後悔するか？しないか？

僕は君の心に賭けています。

君にとっての大事な“ なにか ”が何なのか…

人は、想い出によって形作られている。

僕は少なくともそう思うし、そういう体験をした。

そう君に教わったからだ。

そして出来るならば、似た考えの人物がパートナーであればいいなど考える。

記憶の価値は、君の何か…、
いつか答えを行動で教えてくれる日を信じます。

何度も言いますが、僕は生きています。

最近冷え込んできたけど、君の感じているこの「寒さ」と同じ寒
気を、僕も感じているのです。

同じ世界で、同じ自然の影響下に、共に生きています。

今も僕は生きていて、同じ世界の同じ空気を吸っている事を忘れ
ないでください。

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決
して思わない人よ」と。

そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされる
のは間違っている。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視
してきたんだから、

文句は言わせないわよ！」と、言って良いと思う。

本来の人生の試練とは、普通に生活して訪れるものだ。

そうした試練から受けたストレスが、人格を育ててゆく。

“彼ら”の提供する試練とストレスは人為的なものだ。

人工栽培の際、用意される人工のストレスとかわらない。

そして肝心な事に、その人工ストレスは、あまり質のいいもので
はないという事実がある。

それが証拠に人格面で「おかしくないか？」という人格を大量生産する仕組みになっているからだ。

見た目は普通かそれ以上でも、中身はボロボロ。

これを完全に言いがかりと言いつれぬ人格の持ち主が、たぶんそちらの世界には多いと思う。

そうした世界で育成されたのは非常に不幸なことだ。

だが、人間は「きのこ」や「甘草」と違い、自分で可能性を導き出せる生き物だ。

可能性を信じて、前に踏み出す努力は、必ずなにかしら得られるものがあると信じます。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです、手が出せば届くようなものではない強大なダイナミズムで動いている。日本とて例外ではない。

せまい世界のなかだけで完結しないという事だけは、間違いようのない事実です。

けっして単純ではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないの!？」と。

「理解を示す心の広さはどこへやったの?」と。

「真実に目を向ける勇氣はどこへいったの!？」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

わかるうとしないのは、個人個人の“質”の問題です。目の前し

か見ていない。

そうした自分都合の連中に負けないで！

“厄介な人”多いと思うけど！負けないで欲しい。
君が戦い続けられるなら、僕も戦い続けられます。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援して
います。君は自分で思っている以上に強い人です。笑顔を取り戻して
！再会を！

…君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見
てください。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二
分に持っていると思う。

奇跡を信じます。

油断しないで！

彼らは本当に虎視眈々と君を引き戻す機会を伺っている。

自覚できない巧妙な手段を講じてくる。

非常に洗練されている。

戦ってほしい、負けないでほしい。

一応、これを書くとはどんなバイアスがかかるかを見たいという希望があり、書きます。

こちらに来て早々、就職活動をして面接をうけた。

社長じきじきの直接面接で、喫茶店につれていかれた。

通常、このパターンだと、まずこちらの人物像をみるために和やかに始まるのがセオリーだ。

だが、席につくに早々、社長のケータイがなり、ケータイで話し終えたあと、急に雰囲気が悪くなったのを覚えている。なにかひっかかった。

今でこそいないが、当時は挙動不審者は必ず毎日見る勢いで、当時も見た。

かならず車椅子の人と出会う。（これは今もたまにある、偶然かな）

ほのめかしもあった。

「時間を置いたほうが懸命だ」

と思っただのは確かだ。

そろそろ大丈夫だろうか？どうなのだろう…。

とにかく、これを書いてどんなバイアスがかかるか？

そんな事をおもった。

この小説の月別の過去最高アクセス数は1,180アクセスで今年の5月だ。

この数字、君の行動と何か連動があるのだろうか…？考えすぎかな。気のせい？

まあ、何にせよゆっくり行こうと思う。焦ってもダメだし。着実

に、慎重に。

.....

これも書くかどうかというバイアスがかかるか見たいもの。

こちらに来たばかりの頃は、めずらしい大排気量スポーツカーなどが自宅の窓から見れてたのしかった。ところが最近では通報しつづいたせいかめつきり来なくなった。

かわりに良く見るのは大小のトラックだ。

特についさつきみたのは、僕が見ても「え？それいいの？」というやつだった。

青い荷台に白い文字ででっかく家具屋？かな。屋号がかかれたトラック。

他のトラックは「走行中止む得ぬ騒音」の範疇を逸脱しない走りなのに、この青い荷台のトラックはあきらかに逸脱した不自然な挙動。屋号のぼつちり見えるトラックの奇行は動画にとって投稿するとおもしろそうだ。もしくは屋号の先に動画データを送るのもありなら、家具の全国団体へ送りつける方法とか、単純に当局に送る方法もある。

以前述べたが、この嫌がらせは「ルールのルール」を破ったものが負けるのだ。

このトラックの運転手はやつちやつち1人になる。
完全にルールのルールを破っている。

…何が言いたいのか？

アレだけの数の人間、必ずこういうミスをする人間は出てくる。
手堅く守りに徹して、相手のミスを待つのも1つの対抗策だと思

本能的に行かなかった僕が正解だったのだろうか…？
Fさんはどう感じる？

これは別の時期、別のやつの話だが、東京で総攻撃を受けていた時期、僕が実家へ帰るのを悟った彼らは急に飲み会に誘い出した。いままで一度もないのに物凄く不自然…、行くはずないだろうと思いつつ、笑顔でさそうそいつに笑顔で行かない事を告げた。

誰を攻撃するか？成果はどうだったか？とか、こういう飲み会の席とかで“ノリ”でできるのだろうか？実態を知る君はどう思うのだろうか…、違うのかな、そこまでくさった組織じゃないのかな？

軽いノリで鬼畜になれる猛者ばかりでない事を僕は知っていたりします。

こういうやつは一握りだ。

Fさん、僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利があると思いますか？

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。どんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だと思う。

けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。過去の文面を読んで欲しい、一度だって要求してない。

その代わりこう言いたい訳だ。「もう一度君にあいたい」と。

そして、生活を立て直すけど、「邪魔しないでほしい」と。

(…一瞬でも「それって当然の言い分だよな」と感じていただけたら幸いです)

それでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。

単に自分たちの贅沢が（快樂が）侵害されている事に怒っているだけという事実気づかず反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せって言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではない」

…という事実があります、これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

もし、飲み会の誘いに乗っていたら、僕はどうにかなっていたのだろうか？

君はどう思う？

心配してくれるのかどうなのか…、いつか気持ちをぶつけにきてください。

お願いします。奇跡を信じて。

こんな事も思う。

うちの父は元気だ、70を超えているとは思えない。体はどこも悪くないし、頭もまったく衰えていない。

特に特別な事はなにもしてないのだが…

あれはたぶん「性格」のなせる業だと思う。

常人とは比べられないほどのインスピレーションの持ち主だ。

君ならわかるかな？僕の性格に似ている。

あの性格のおかげで、ストレスらしいストレスから短時間で回復する。

“超”楽天的性格だ。

問題も無くはないが、おおむねいい人だ。

僕の“超”鈍感もある意味あの性格の類似型なのだろう。

僕はこの父親からもらったインスピレーションをどうにか“役に立つ”ものにしたくて格闘してきた。

そんな人生が送れたのも、父譲りの超楽天的性格のおかげかもしれない。

…僕もこのまま普通に暮らしていけば、やはり同じように70超えてもボケもせず、体も壊さず普通に要られるのだろうか？

そんな未来、あるのかもしれないし、ないのかもしれない。

でも実例があるので、虚勢ではなく、高い可能性でそうなりそうな気もする。

事実、僕はほとんど病気をしない。

君はどんな未来を思い描いているのだろうか？

楽天的性格を反映してなのか、こんな事思ってしまう。

TVのニュースで探査機「はやぶさ」の中に微粒子が…、というやつ、連日流れている。君も1度は見たのではないだろうか？

あの探査機「はやぶさ」は小惑星まで行って帰ってくるという前代未聞の行程を成し遂げた探査機だ。

映画「秒速5センチメートル」の中にも「はやぶさ」「そっくりの探査機が登場する。第2話で種子島で打ち上げられるやつだ。

原作者談では、偶然の一致という事で、とくに「はやぶさ」を意識したわけではないという。

しかし劇中で主人公の少年は、探査機と自分を重ね合わせる…。

たった一人で、孤独にたえながら長い長い道のりを目的地を目指してただひたすらすすむ探査機。

劇中の主人公も、最愛の人に会いたい思いをただひたすら目的にしている。相手は完全に音信不通なのに。

ニユースで「はやぶさ」をみると、いつも映画「秒速5センチメートル」のそのシーンを思い出す。

無駄かもしれないなくても、たった1つしかない目印を見失うことな
くめざす。遠くの遠くの目標、どこまで、行けるだろうと。

“彼ら”は君にいろいろしたのだろうか…

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては（奇妙な事に）誇らしくも感じてしまう。

繋がっていたのだろうか？どうなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、
どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます

君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。

君は僕と別れた後“彼ら”に“まちがった”発見をたくさんさせられたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違い
です。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこ
につけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの”中の「そうした

人達」の「常套手段」です。

非常に悪質な人心掌握法じんしんしよつあくになります。

だから全てを背負い込んでだめです!“彼ら”はそれを狙っています!!

そうやって君の心から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ!!だから注意して!

“彼ら”の「例のあの行動」は、多くの人には「(そうとう)つらい」ものはず。

何しろ意味無く人をおとしめているのだ、倫理観があればそうとうなプレッシャーになる。

心身クタクタのはずだ。でも心身クタクタになる甲斐あって)“彼ら”の「例のあの行動」が)「つらい」が故、日常の些細な事も幸せに感じられるようになる。それが彼らの「行動の意味(価値)」の真髓なのだろうか?人間「つらい事」をたくさんさせられると、些細な事も「幸せ」に感じると思う。

そうした「たくさん辛い事」=彼らの行動(「)をするほど、より些細な日常に幸せを感じられるのだらう。

そうして感覚が麻痺していき「殺人」も「肯定」できるくらいになるのかもしれない。

そのうち「それ」がないと幸せを感じられなくなり、生きていけなくなるのかもしれない。

そして最悪な事に、愛する子供にまでそうした下劣な行為を勧められる異常な心理状態になるのだ。

君もそうした「つらい事」たくさんさせられて、日常の幸せを「より」幸せに感じさせるよう洗脳されたのだらうか…

君はどう思う?上記のようなものは、ワザと不治の病にかかる事で、命の大切さを学ぶのに似ている。

正常な感覚であれば、おかしいと思うはずだ。それにそれらは命に対する冒瀆であり、本当にその病で苦しんでいる人らへの侮辱になる。

「目」は見開いて、前をみななければいけないのだと、強く君に届けます。

「つらい事」をたくさんすると幸せが大事に感じるのは事実。でも、

「つらい事」とは、本来は「試練」のはず。

犯罪＝試練ではない。暗示にかかると、気がつかなくなるのだと思う。

油断していると、本当にこの暗示にかかります。

相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのようにならざるを得ない。させるプロです。

親切心を利用されないようにしないと、永久にいいように利用されてしまいます。

気をつけて！そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

でも繋がりや、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

あの映画、最後2人はすれ違う。追いかければ再会できるのに男はしないのだ。

いつも思う、お前そこで追いかければ今なら間に合うぞ。と。僕よりまだ見込みあるじゃないか！彼女はまだ結婚してないぞ！と。そんなイメージ、君に送ります。いつか答えを聞ける奇跡を夢見
て。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまುತ್ತもりでいます。

“人を許せる時が、自分を高める時”

(日本テレビ系『行列のできる法律相談所』で有名な弁護士、菊地幸夫氏の言葉)

簡単でないが、目指しがいのある目標ですね。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

「皆」が邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。
三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！」

「老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

未来は明るいと思うとそうなります。Fさん、頑張つて！応援しています。

君に勇気と決意とやさしさを…

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔11月24日（水）曜日〕

こんな事も思う…

もし何処かに、僕の事を未来の犯罪者という根拠のない「予言」をした人物がいたとして、

その人物が何が何でもその意味の無い予言が当たるよう画策しているとしたら？

もうバカバカしくてこう言うしかない。

「この世にオカルトなんてありません、いい歳なんだから、空想から卒業しなさい」と。

仮にだけど、こんな子供じみた予言を言った人物がいたとしたら？
その人物は自分が未来など見る力がない事は自覚しているわけで
(そもそも予言などまやかした)。

ただ、過去たくさん予言を他人に吹聴してきた関係で、間違いで
したと素直に言えないのだと推測する。

…仮にいたらけどね。いないと思うけど、常識的大人ならば。

昨日ちよつとラジオを聴いたときも、こんな話を聞いた。

そのタレントは良く当たると噂の占い師に結婚についてみてもら
った。

あなた高嶺の花をねらってるけど、無理よと言われたと言う。で
もそれはそのタレントが普段からいつてる言動なので誰でも知って
る事実だ。

この占い師はそうした普段の言動から導き出した、ごくごく当た
り前の助言をする。

「料理教室にかよいなさい、そして、美人でない人をねらいなさ
い」と。

これは占いでもなんでもない。

そのタレントの容姿と能力から察して、結婚できそうな可能性の
一番高い提案を助言しているにすぎない。

未来予測でもなんでもなく、助言であり、カウンセリングだ。

おそらく、占いが当たると評判の人というのは、もっとも適切な
助言を“想像”できる人物なのだろう。

もう一度繰り返します。

この世に「オカルト」は存在しません。

彼らは自分の都合で勝手な未来予想をし、それが叶わないと「信心がたりない」とか「うそぶく」のでしょうか。

そんなマネ、もう君はしなくていいんです。

そして、今だ気がつかず騙され続ける人達は、かつての君同様、そうした行為をしているでしょう。

何も気にする必要はありません、君は君の人生を歩めばいいのです、自分をもっと大切に考えていいと思う。

…これは仮定に基づいた予測で書いた話です。
どの程度あたってているだろう。こんな世界でない事を祈らずにいられません。

“彼ら”の「例のあの行動」は、多くの人には「(そうとう)っらい」ものはず。

何しろ意味無く人をおとしめているのだ、倫理観があればそうとうなプレッシャーになる。

心身クタクタのはずだ。でも心身クタクタになる甲斐あって(“彼ら”の「例のあの行動」が)「っらい」が故、
日常の些細な事も幸せに感じられるようになる。

それが彼らの「行動の意味(価値)」の真髄なのだろうか？
人間「っらい事」をたくさんさせられると、些細な事も「幸せ」に感じると思う。

そうした「たくさん辛い事」＝彼らの行動」をやるほど、より些細な日常に幸せを感じられるのだろう。

そうして感覚が麻痺していき「殺人」も「肯定」できるくらいになるのかもしれない。

そのうち「それ」がないと幸せを感じられなくなり、生きていけなくなるのかもしれない。

そして最悪な事に、愛する子供にまでそうした下劣な行為を勧められる異常な心理状態になるのだ。

君もそうした「つらい事」たくさんさせられて、日常の幸せを「より」幸せに感じさせるよう洗脳されたのだろうか…

君はどう思う？上記のようなものは、ワザと不治の病にかかる事で、命の大切さを学ぶのに似ている。

正常な感覚であれば、おかしいと思うはずだ。

それにそれらは命に対する冒涇であり、本当にその病で苦しんでいる人らへの侮辱になる。

「目」は見開いて、前をみなければいけないのだと、強く君に届けます。

「つらい事」をたくさんすると幸せが大事に感じるのは事実。でも、

「つらい事」とは、本来は「試練」のはず。

犯罪＝試練ではない。暗示にかかると、気がつかなくなるのだと思う。

“彼ら”の世界も閉鎖的だ、新しい風が入らない構造をしている。“彼ら”は新興宗教のように「専用の服を作ったり、特異なオブ

ジエを掲げたり」しない。

“彼ら”の場合はそれが“ない”かわりに「例のあの行動」があるのだと思う。

「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだ。その一体感が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく…

そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できるくらい一生懸命になれる道理がない。

普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。

誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。

どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっている事実には気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。

その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

「外」からの「風」が入らないので、内部の空気はよどみ続けたままだから、そうなるのだと思う。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れ

ないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けなで！応援して
います。

君は自分で思っている以上に強い人です。

…発想力って大切です。

体を動かすと、違う発想が湧いてきたりするものです。

料理をしていると頭が切り替わることが良くある、君はそういう
事あるだろうか？

僕があります。

高校時代、料理の話などまるでしなかった。

君はどんな料理が得意なのだろう？

僕はカレーとハンバーグくらいなら作れる。

餃子もいける。簡単な野菜炒めならできる。

…1人暮らしが長かったから。

レシピがあれば、たぶんもっと作れるとは思っけど、レパートリ
ーは少ない。

挑戦した事はないけど、サフランライスとカレーを組み合わせる
のはおもしろらしいです。

そんな具合に本とかレシピをみると、完成品にちょっと工夫す
るのが流行りなのかな？と思うけど、どうなのだろう…。

君はどんな料理が得意ですか？

いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けなくて欲しい。狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

いろいろあると思う。けど、がんばって。負けなくて欲しい。多分君の周りには悪意なく“そういう事”が出来る人がたくさんたくさんいると思う。

それは悪意があるのではなく、心が内向きになっていて、外に向いていないからだと思う。

心が外向きになれば、人として持つ“当たり前前感情”が戻ってきます。

そう、周りの人に言ってやってください。

繋がりには、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとっての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

表面きつて味方するのは難しいが、水面下で君の味方をする人が、
今も増えると信じたいところです。

これを読む複数の人々をお願いします、皆それぞれの立場がある
のは承知しています。だから、その立場を崩さない範囲でいいから、
彼女をひそかに応援してほしいのです。

1人でもいい、心の中で思うだけでもいい。
彼女の味方になってあげてください。

Fさんが心を解きほぐすのを、遠くから応援してくれるだけで充
分です。あたたかく見守る空気ができるだけでも、まったく変って
きます。

彼女が自分の心を、自分の心の色で染めるには、ある程度の時間
が必要なのです。

彼女が彩りを取り戻すまで…

- - - - -
- - - - -
- - - - -

Fさん。

「最近アクセス解析」について言及したのを覚えているだろうか？
その所為なのかどうなのか？なにか様子がおかしい。

いままでアクセス解析は何十秒か待たされていたのに、今待ち時
間ゼロになっている…。

そして解析結果に変化がない…
何か変だ。

そもそもどうしてこの小説の存在がどうやってそちらに知られた
のか経緯が不明だ、けど不明だからと言ってビビる必要はない、逆
に利用できると感じた。どうだろう、うまくいっているのだろうか？

Fさん、今君はこれを読めていますか？

なんにしてもサーバーレベルなのか、サイトの運営レベルなのか、介入があるのだろうか？

そんな懸念が頭をよぎる。

…でも消されていない、今のところ。

もしかしたら、いつかこの小説も消される日がくるのかもしれない。

(もしその気があったら、文面をPCにコピーした方がいいかもしれない)

仮にそうなったら、まあ別の方法を考えますが、しかし、可能性は考慮しないと…。

(もし仮に消えたとしても、作者名“鬪豚”^{とつとん}でこのサイト検索かけてみてください、どこかに何かしら載せます。“鬪豚”^{とつとん}でヒットしなくても、「もう1度あいたい君へ」とか、それに類する単語で検索してみてください。一応、最悪に事態にそなえて書いておきます)

…やはり今日もだ、ある特殊な操作をしないとアクセス解析が得られない。

普通にアクセスすると、いつもゼロだ。

仮に人為的だとすると、僕が行った特殊な操作にも気づいて対応してくるのだろうか？

これを書いて変化があるか見たくて書いてみました。

Fさん、どう思う？

僕は、君が頑張り続けるならば、僕も頑張り続けられます。

奇跡を信じて。再会を！

(この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・

団体等とは一切関係ありません。
(

第32話 エッセイ風小説を書き連ねる4（未来へと続く話その18）（後書き

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第33話 未来へと続く話その19（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第33話 未来へと続く話その19

(この物語はフィクションです。登場キャラクタークターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。)

〔11月26日(金)曜日〕?

こんな事も思う、僕は昔から人から「自己紹介」というのをされたことがない。

いつの記憶だろう…

小学生の時の記憶だ。

子ども会でクリスマスをやるといっているので、会場に行った。

すると知り合いが1人もいない状態だ。

最低でも1人ぐらい入るだろうと予想していたのでガツカリした。気を取り直して、適当にくつろいでいると。

自己紹介もなく近寄ってくる子供たち。

妙ににやついてて、上から視線だ。

当時は気がつかなかったが、初対面でそれはどうかと、今でも思う。

たしか当時相手に名前を聞いたはずだ。

しかし誰一人まともに答えない…。

そんな記憶たしかにある。

なぜ、このニヤニヤした連中を“彼ら”と今感じるかという点。

後日、英語塾で仲良くしていた友達に、僕が子ども会のクリスマスに行つたのを知っていると話されたからだ。

「なんで知ってるの?」

と訊くと。

「知り合いからきいた」

という。

「誰？知り合いって？」

と訊くと、これが答えない。ごまかされた。そんな記憶がある。当時から、人脈が伸びていかなかったな…と急に思った。

この友人は、以前書いた箱根の温泉に一緒にいった彼だ。

(その件がよく、彼を“彼ら”と印象づける)

こちらに帰ってきてから一度あった。

が、今は会っていない。

僕は賭けをした。

彼は休みの日は暇だと言った、古くからの友人はほかにもう1人地元にいるくらいだともいつていた。

それほど暇で、懐かしい友人が暇をもてあましているのだ、1度くらい声をかけるのが正しい友人関係だよなと。

…今だ何の連絡もない。やっぱりそうなのかな？仮に違うにしても、こんな関係ではもう2度と本音で喋れない。

今年の正月も腹のさぐりあいみたいで嫌だった。焼肉を食べに行くが、開口一番こういう。

「まだ宮崎アニメ追いかけてるの？」

強烈な違和感を感じた。

彼には僕が宮崎アニメのファンというより、藤子不二夫の漫画の熱烈な支持者である姿の方が印象深いはずなのに…。

「まだ漫画描いてるの？」とか。

そっちが先に口から出る言葉のはずだよな…と思った。仮に彼がこの小説の第1話の内容を知っているなら、話は別だが。

仮にどちらだとしても、もうそつとしようとも考えている、彼を糾弾したところで何も獲るものはない。

たぶん2度と本音を彼にさらす気になれないからだ。

何らかの手段で彼はこの記述の内容を知るだろうか？

だとしたら、こう伝えたい。ウソでもいいから、たまには連絡よ

こせと。小学校時代の関係を全部ウソとは正直思いたくないからだ。これを載せた後、仮に連絡があっても、僕は何食わぬ顔で、「久しぶり、どうしてた？」というはず。僕の性格を正しく理解している人間なら、それがウソでないと理解できるはずだ。君はどう感じますか？

以前書いたかな…、近所に何かしらのご本尊らしきものを大切にしているらしいおばあさんがいた話。

彼女は数軒さきに住み、古い木造一戸建ての向いにちいさな社を自費で建て、そこになにかしらのご本尊をまつっていたらしい。

君は覚えているだろうか？僕の家周辺の広大な空き地を。あの空き地の地主はそのおばあさんだったらしい。

今その広大な空き地は分譲され、家がたくさん建っている。時々観察しているが、多くがそうである可能性は物凄く高い。

うちの父は昔から“彼ら”が嫌いらしい。どういいう経緯か詳しく聞かないが、なんだか、とにかく嫌っている。

昔、勧誘でもされたのだろうか？　どうなのだろう？

ただ、うちの周辺の異常な多さを考えると、勧誘の輪が広がっていったらう過去の様子が推測されて…。

その経緯で僕が子供の頃から敵視されたのなら、子ども会の件といい、いろいろ符合する記憶がたくさんある。

僕は子供の頃から、他人から自己紹介をつけた経験がない。これはおかしい事なのだろうか？それとも普通の事なのだろうか？

君はどう感じますか？

(　)　そしてこういう弱気な事をかくと、翌日騒音が多くなっていた

りする。たぶんだけど、もし自分ならそんな心境の時は死にたいはずだ！今こそ攻め時だ！とかアホな事考えているのだろうか？自分でいうのも何だけど、伊達に長年この環境で暮らしてない。その辺のヤワな神経の軟弱と一緒にしないでほしい、そういうも思う、Fさんはどう思う？)

「11月26日(金)曜日」？

もし、君が「その活動」をやめたとしたら？

なにかポツカリ穴が開いたように感じて、形容できない感覚を感じるかもしれない。

長年行ってきた“それ”は善悪の是非はともかく、急に生活から消し去るのはなかなか難しいのかももしれない。

やはり時間がかかるのかな？

何かで急激に穴埋めしようとする、たぶん上手くない。

自分で答えをだすしかない。

そういう事柄かもしれない…。断言はしない、なぜならこの手の問題に絶対の正解は存在しないからだ。

僕には漫画がある…。しかし君は…

解決のキーワードは君の中にある。

ただ、こうも思う。

以前電車が好きだったのは、やはり自分を知らない世界へ連れて行ってくれるものだったからだろうか？「知らない世界」解放」が心のキーワードなのかな…。どうなのだろう…

(こんな事も思う。カトリックの神父には完全な守秘義務があり、懺悔室で聞いた事は絶対外に漏らさないといい。もし、なにか吐き出したいときは…、何が役に立つかわからないので、一応書きまし

た)

前にも書いたけど、僕の世界は本と映画で出来た薄っぺらいものだ。

それでも僕自身が風に吹き飛ばされる事無く、がっちり立っていられるのは君との想い出が、支えとなっているからだ。

そんな僕に提案できる事には限界がある…

それでも、いろいろ書いてみようと思う。

何が役に立つのかわからないので。

ポツカリ空いた何かがある場合、ある人は仕事に打ち込むことで乗り越えるのかもしれないし、ある人はボランテニア。またある人はスポーツなんてこともあるかもしれない。あ、でもパチンコとかのギャンブルはだめだよ、あれは身を滅ぼす。

もし、ただただ癒されたいと感じるなら、映画「アース」がおすすめ。ただただ綺麗な大自然が延々と描かれたドキュメンタリーの傑作です。「皇帝ペンギン」とか「グランブルー」なんかもいいかも。レンタルDVD屋があるので、気になったら店员さんに聞いてみてください。もしタイトルがよくわからないなら「自然環境のドキュメンタリーでなにかお勧めのものありますか？」と訊けば店员さんが適当にみつくるってくれます。

ただ無心になりたい…そう感じるなら資格試験の勉強がおすすめです。わりと忙しくなる。無心になれて、資格もとれて一石二鳥です。でも正規の口座は結構な金額がする。お試しでやるなら、ブックオフなんかにおいてある中古の資格試験本を無心で読むのもいい

かもしれない…。へたな座禅より効果あるかも。

なにか立ち直りたいと感じているなら、「赤毛のアン」を読むのがお勧めです。アン・シャリーの不辛人生を追体験するのも悪くない。育ての親になるマリラとマシューの老兄弟の愛想ゼロの素朴さに共感できたら楽しめませう。

あとこれは聞きかじり、「アルケミスト」という本が女性の間で話題になっていたのを記憶している。

本屋時代、何冊も客注品として取り寄せた。こういう売れ方をする本は大概本当にいい本の可能性が高い。聞いた話ではかなり感動するらしい。

君は気持ちを切り替えるとき、髪型を変えたりしていた…。

思い切って新しいファッションに挑戦するのもいいかもしれない。新境地が開けるかもしれない。

僕はセンスはないけど、アメカジが好きです。

最近「カメラ女子」といってカメラ片手にあちこち出向く女性が多いと聞く。

何かテーマを決めて、撮影しまくるというのも、いいかもしれない。その日の気分で散歩く遠出までいろいろできる。

もし、今都内にすんでいるなら。美術館・博物館めぐりはおすすめです。

よく判らなければ、とりあえず上野公園に行けばいい。美術館も博物館もあり、常設展示のほかにも、特別展を毎回開催している。動物園もあつたね、あそこ。

僕は池袋の東武デパートの上のほうにある飲食街にあった「つばめグリル」という店の「ハンブルグステーキ」が好物でした。このお店は銀座に本店のあるまじめなお店で、値段の割りにおいしい料理を出すお気に入りの場所です。こういうお気に入りの場所で食事をし、ドリンクを飲みながら小一時間くらい読書するのが好きでした。あまり頻繁には行かなかつたけど、ちょっと贅沢な気分が味わいたい時行っていました。

〔11月26日（金）曜日〕？

…でも今にして思うと、本屋で働いていた仲間に、その日仕入れた話や、個人的な考えを披露するのが一番楽しかったかもしれない。特に手ごたえある聞き手の話す時は楽しかったし、なかなか興味を示さない相手や、高い壁を築く人を攻略するのも楽しかった。

最近は人と話してない…

これほど長い期間人と会話してないのはものすごく久しぶりです。でも何故か平気です。真実に気がついたせいかもしれませんが。

君は何か人の役に立ちたいと思うのかもしれない、まじめな人だ。そうした事がないと空しさを感じるのだろうか？

“彼ら”は君のそういう人に尽くす優しさを利用してくる。

“彼ら”の「例のあの行動」は、多くの人には「（そうとう）つらい」もののはず。

何しろ意味無く人をおとしめているのだ、倫理観があればそうとうなプレッシャーになる。

心身クタクタのはずだ。でも心身クタクタになる甲斐あって（“彼ら”の「例のあの行動」が）「つらい」が故、日常の些細な事も幸せに感じられるようになる。それが「あの行動の意味（価値）」

の真髓なのだろうか？人間「つらい事」をたくさんさせられると、些細な事も「幸せ」に感じると思う。

そうした「たくさん辛い事」＝彼ら（という現象）の行動）「を
するほど、より些細な日常に幸せを感じられるのだから。」

そうして感覚が麻痺していき「殺人」も「肯定」できるくらいに
なるのかもしれない。

そのうち「それ」がないと幸せを感じられなくなり、生きていけ
なくなるのかもしれない。

そして最悪な事に、愛する子供にまでそうした下劣な行為を勧め
られる異常な心理状態（＝現象）になるのだ。

君もそうした「つらい事」たくさんさせられて、日常の幸せを「
より」幸せに感じさせるよう洗脳されたのだろうか…

君はどう思う？上記のようなものは、ワザと不治の病にかかる事
で、命の大切さを学ぶのに似ている。

正常な感覚であれば、おかしいと思うはずだ。

それにそれらは命に対する冒涇であり、本当にその病で苦しんで
いる人らへの侮辱になる。

「目」は見開いて、前をみななければいけないのだと、強く君に届
けます。

「つらい事」をたくさんすると幸せが大事に感じるのは事実。で
も、

「つらい事」とは、本来は「試練」のはず。

犯罪＝試練ではない。暗示にかかると、気がつかなくなるのだと
思う。

“彼ら”の世界も閉鎖的だ、新しい風が入らない構造をしている。
“彼ら”は新興宗教のように「専用の服を作ったり、特異なオブリエを掲げたり」しない。

“彼ら”の場合はそれが“ない”かわりに「例のあの行動」があるのだと思う。

「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだ。その一体感が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく…

そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できるくらい一生懸命になれる道理がない。

普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。

誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。

どこかの誰かの「快楽」の尖兵になっている事実には気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。

その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

「外」からの「風」が入らないので、内部の空気はよどみ続けたままだから、そうなるのだと思う。

“彼らという「現象」”に彼らも自分を「見失って」いる。

そして「見失ったもの」を継承しようとするから、歪みが発生する…。

身についてもいない“徳”を伝授するという歪み。

身についていない人から“徳”を学ぶという苦しみ。

身についていない人から学んだものを、さらに後輩に伝授していったらどうなるのか？

世代が下るにつれ、何がどうなるのか…

そういう「現象」君のまわりにもあるのだろうか？

こんな事を思い出す。

フジテレビの創業者は、なんのツテもコネもなく、財界に食い込んだ人物だ。

最初は宴会屋というポジションで人脈を築いたらしい。

宴席をセッティングして盛り上げ役に徹する人物だ。

一見太鼓もちのように見えるが、実は大変な役割で、なかなかできるものではない。

生涯宴会屋という人もいるらしく、地位以上の権力を行使できるらしい。

しかし、フジテレビの創業者はいつまでもそれではいけないと思っただらしく、あたらな活路を見出した。

それが、組合屋と呼ばれる労働組合運動対策に通じた人物というポジションだ。

高度経済成長期、労働運動は共産主義に繋がるとしてもっとも警戒されていた。

日本で共産主義政権を誕生させないためにも、財界・政界が、おおくのエネルギーを費やしてその対策にあたった。

しかし、労働者の権利は憲法で保障されていて、おいそれと禁止できない。

多少、あらっばい人物に、法律ギリギリの対策を講じて欲しいという社会のニーズが生まれた。

何か問題があったら切り捨てればいい、そういう仕事をすすんで引き受ける者はいないだろうか？

その役を買って出たのが、フジテレビの創業者だったわけだ。

かれは組合屋としてメキメキ頭角をあらわし、宴会屋時代よりも

多くの人脈を築き、財界への影響力を強化した。

彼自身は、民主主義者という訳ではない。単に共産主義撲滅運動を利用してのし上がりただけだった。

彼は全ての労働争議は、1つの組織を頂点に動いていると決め付け、そのつもりで対策を講じた。

だから、自分の会社のフジテレビに労働組合ができた時は烈火のごとく怒り、組合の責任者を呼びつけた。

別に誰も糸をひいてなく、単に独立した運動としてはじまったフジテレビの労働組合なのだが、彼は誰かが糸を引いているに違いないと決め付けて、責任者を糾弾した。

…そちらの世界にもこういう人いるのだろうか？

単にのし上がりただけだけの理由で、「その運動」にのめり込む人が、それ自体はその人の選択した生き方だ。周りの人にかける迷惑もその人の選択であり、個性でもある。

でもそうした“個性”をむりやり後継者に引き継がせるのは、何かまちがっている。

これは、教えが間違っているとか、そういう問題ではない。

個性をむりやり継承させる事と、教えを正しく伝えることが、同じではないという事実が気がつかない事が問題なのだ。

そんな物のために、君の気持ちか捻じ曲げられるのは間違っている。

そんな現実がない事を、祈らざるをえない気持ちです。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援していただきます。

君は自分で思っている以上に強い人です。

とにかく、今は、君は自分の心を大切にしていいたいと思う。

自分の心を、自分の色で染め上げるには時間がかかると思います。

その時間、大切にかみしめて、君が一步一步あゆむ姿を想像するのは好きです。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

「皆」が邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

信心ではなく、「信念」が大切だと、君に送ります…。

僕の信念は君から貰った物です。

それは、この世に気持ちを通じ合うという事は確かに存在するという事実。

そして、それが故、話せばいつか必ず人と人は通じ合えるという想いです。

18年前、君からもらったこの大切な想いが、今、僕の信念になっている。

君の中で、信心よりも「信念」が大事に思える日がくるだろうか…
そんなイメージ君に送りたい。

1人でもいい、彼女の味方になってください。
お願いします。

.....

〔11月26日（金）曜日〕番外

昨日書いた子供のときクリスマス会の記憶…。

こんな風に記憶している。

僕がいることで周囲がざわついている。

何でいるの？とこちらをさし大人に聞く見知らぬ子供…

知り合いゼロなのだから、当然僕ではない誰かの事を言っている
のだろうとその時は思った。

今思うと、あの会は“彼ら”の会だったのだろうか？

「何でいるの」

と誰か見知らぬ子供に聞かれた。

「クリスマス会だから」

と答えると

「だから、なんでいるの？」

と繰り返される。

当時母親が誘われて、会の準備をしていて、その関係で連れてこ
られた僕だった。

母親も僕も、当然「子ども会」の集まりと認識していたが、今思
うと違うのかもしれない。

子ども会の行事には過去なんども参加したが、大概メンツは決ま

っていた。

なのにその会に限り、顔見知りがゼロなのだ。

「子ども会のクリスマス会じゃないの？」

と聞くが、納得しない様子の見しらぬ連中。

その後、そいつらは大人に何かしらを確認し、何かしらの共通認識を得たようで、騒がなくなった。

しかし、仲良くする気はゼロらしく。こちらから声をかけても無視だったと思う。

印象的なのはその会でケーキを切るおじさんの言動だ。

そのおじさんは、僕の目の前にあるホールケーキに包丁を入れるのだが、

その危なっかしい手つきが怖くて「ぼく先端恐怖症なんです」と訴えた。

（これは本当に恐怖症なのではない、単に子供ながらにその言葉を使ってみたかっただけなのだ。）

普通こういう場で大人は子供にやさしい…、そう思っていた僕はびっくりする事になる。

そのおじさんは、低い声で、こちらを睨んで言った。

「そういうの臆病っていうんだ」と。

なんだか違和感があつてよく覚えてる。たんにあのおじさんの個性が変なのか？違う理由があるのか？ともかく印象的だ。

その後僕は気持ち悪くなり、会を途中でできりあげて帰宅した。

気のせいかとも最初は感じたが、自宅で熱を測ると本当に高熱があり、まる1日ちかく寝込んでしまった。せつかくの休日をつぶしてしまい、あんな会行くんじゃないかと思った。

そのクリスマス会で僕は木製のワッペンをもらった。タモリのイ

ラストのもので、裏はクリップでとめるタイプだ。時に意味は無かったが、自転車のカゴにつけていた。

かなり時間がたってから、見知らぬ子供に呼び止められる、顔に覚えはないが、どうも話をきいていると、あの時のクリスマス会の参加者のようだ。呼び止められた理由は、僕がそのワッペンを持っているのはけしからん、はずせ、という趣旨だ。

ここからは仮説。

もし、あの会が“彼ら”の会だと仮定するなら、その会で配られたものを部外者の僕が持つ事は、彼らの理屈で言えば犯罪以外の何ものでもないという事になると、勝手ながら推測させてもらう。どうだろう…、Fさんはどう思う？

その後、その見知らぬ連中数人对僕の論戦になり、いつものように完全に論破した記憶がある。

で、ひと段落してから、僕は疑問をぶつけた。あの会は何だったのか？と。

自分は2丁目子供会だ、君らはどこの子なの？と。

しかし、答えない。要領を得ず、困惑した。そうこうしているうち向こうは撤退を選択した。

見知らぬ人物に初対面でない対応をされるのは子供の頃から頻繁にあった。

人間関係の構築法を学ぶ時期に、かなりハンデがあったのだろうか？

（そしてこういう弱気な事をかくと、翌日騒音が多くなっていたりする。たぶんだけど、もし自分ならそんな心境の時は死にたいはずだ！今こそ攻め時だ！とかアホな事考えているのだろうか？自分でいうのも何だけど、伊達に長年この環境で暮らしてない。その辺のヤワな神経の軟弱と一緒にしないでほしい、そういつも思う、Fさんはどう思う？）

もうすぐ勤労感謝の日がやってくる…

去年の記述を振り返ると、この日急に外が静かになるとある。

たしかこの後だったか、東京へ行ったら、様相ががらりと変り、あの何万とも感じる攻撃をうけなかった。

目の前を突っ切って横切る人もいないし、カツカツと同じ音であるく集団もいない。

なにか当時あったのかは。

まあさておき…

肝心なのは、当時の今頃は、物凄かったということだ。

今はたいした事ない。

窓から現状をみると、去年と大違いだなとつくづく思う。

これが、僕が自分の正当性を主張し続けた成果なのか？

または君が何かしらしてくれたおかげなのか？

運命はまだ繋がっているのか？

答えはいつかわかるのだろうか？

いつか君が僕に自分の気持ちをぶつけに来る日を願っています。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ

！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援して
ます。

君は自分で思っている以上に強い人です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

彼らは信心すれば病気も治ると勧誘することもあると聞く。
クリスマス会でケーキを食べた後、急に体調を悪くした僕と関係はないと信じています。

…でも僕はめったに病気をしない。あれは非常にまれな出来事として記憶に残っている。

Fさんはどう思う？偶然だったのかな…

まあ、なんにしても、お互い食べ物には気をつけましょう。

.....

〔11月27日（土）曜日〕？

彼らは君に必要な以上の“猜疑心”^{さいぎしん}を植えつけた。

猜疑心そのものは否定しない。人の防衛本能だ。むしろ無いのは問題だ。

しかし必要以上にもつのもおかしい。僕はそう感じる。
ある程度の“のんきさ”も重要なのです。

心を解きほぐして。

〔11月27日（土）曜日〕？

これも一応書いておきます、何が役に立つのかわからないので。
仮にもものすごく偉い人に呼び出されても、相手の指定した場所に
出向いてはいけません。

交渉の基本ルールでも書いたけど「空間」というのは、ものすごく
人の感性を支配する。

間違っても、相手の優位な場所（＝「空間」）に行ってはいけません。
高い確率で洗脳されてしまう。

あと同じような理由で「本部」に仮に呼ばれても、行かない方が絶対にいいです。

…もし「呼んでも来ないから来たんだ」と自宅に押しかけられたら？

その強引な様子を動画で記録するのがお勧めです。

仮に警察を呼んだとしても、証拠がないと水掛論になってしまう。
“彼ら”は水掛論好きだし…。

〔11月27日（土）曜日〕？

日本の国家予算…、君はこういうのあまり興味ないかもしれないけど、まあ聞いて。

ヤフーでこんなニュースを見つけた。

（以下転載）

英エコノミスト「未知の領域に踏み込む日本」

読売新聞 11月21日（日） 3時4分配信

20日発売の英誌エコノミスト（本紙特約）は「未知の領域に踏み込む日本」と題した日本特集を掲載した。

少子高齢化が、日本経済の再活性化やデフレ脱却の大きな障害になっており、日本はこの問題に最優先で取り組む必要があると警告した。

同誌の本格的な日本特集は、「日はまた昇る」と日本経済の再生に明るい見通しを示した2005年以来だ。

対照的に今回は、若者が新卒で就職できないと一生厳しい状況が続く「一発勝負」の雇用の現状や、企業に残る階層構造など解決すべき課題は山積していると指摘した。その上、日本の「穏やかな衰

退」を食い止めるには生産性の向上や女性の活用など「文化的な革命が必要」と結論付けた。

(転載おわり)

…これから日本は「未知」の領域に突入する。

過去と同じやり方が永久に続く世界は終了したと思っていいと思う。

こんなニュースを見た。

日本の農業団体が、韓国の農業団体を招いて、農家の近代化についてレクチャーをうけたというものだ。韓国は早くからTPP(「環太平洋連携協定」)に熱心だったので、韓国の農家は早い段階から自力で力をつける必要に迫られていた。そんな背景もあり、農家の会社化等の“近代化”では、韓国農業界の方が日本より進んでいるのだ。それを素直に認めて学ぶ人達が日本の農家にもいて、今回韓国から人を招いて勉強会となったようだ。

正直に思う、街頭でTPP反対デモするよりは、こういう勉強会のほうが、たぶん役に立つ。

時代は変り、動いていると感じられると思う。

古い秩序がいつまでも続くわけではないのです。

先ほどの英国雑誌の記事の最後にこんな文がある。

「日本の「穏やかな衰退」を食い止めるには生産性の向上や女性の活用など「文化的な革命が必要」と結論付けた。」

彼らの言う革命と、上記の文化的革命が同義で無い事は明確だ。

そして、彼らの革命では日本は救えない事も、事実だ。

信心だけで日本が救われる(経済が解決する)という考えはナン

センスだ。

その考えは時代が移り変わるとき、国家の足かせとなる抵抗勢力になりかねない。

たぶん自分たちが国家衰退の足かせになるといふ事実を飲み込まない人達がたくさんいると思う。

普段から見下していた連中と同義になるとは考えたくも無いし、耐えられない、自分たちは正義だ！と主張するだろう。でも、何を根拠にそうなのか、明確に言える人は皆無だと思う。みな何となく自分は正しいと長年子供の頃から“暗示”をかけられているので、この暗示を否定できないのだ。それが故、歪みが生じ、国をも蝕む。

その子供の頃からかけられた“暗示”とは何か？
もちろんこれだ。

“彼ら”の「例のあの行動」は、多くの人には「（そうとう）つらい」もののはず。

何しろ意味無く人をおとしめているのだ、倫理観があればそうとうなプレッシャーになる。

心身クタクタのはずだ。でも心身クタクタになる甲斐あって（“彼ら”の「例のあの行動」が）「つらい」が故、日常の些細な事も幸せに感じられるようになる。それが彼らの「行動の意味（価値）」の真髄なのだろうか？人間「つらい事」をたくさんさせられると、些細な事も「幸せ」に感じると思う。

そうした「たくさん辛い事（＝彼らの行動）」をするほど、より些細な日常に幸せを感じられるのだろう。

そうして感覚が麻痺していき「殺人」も「肯定」できるくらいになるのかもしれない。

そのうち「それ」がないと幸せを感じられなくなり、生きていけ

なくなるのかもしれない。

そして最悪な事に、愛する子供にまでそうした下劣な行為を勧められる異常な心理状態になるのだ。

君もそうした「つらい事」たくさんさせられて、日常の幸せを「より」幸せに感じさせるよう洗脳されたのだろうか…

君はどう思う？上記のようなものは、ワザと不治の病にかかる事で、命の大切さを学ぶのに似ている。

正常な感覚であれば、おかしいと思うはずだ。

それにそれらは命に対する冒涇であり、本当にその病で苦しんでいる人らへの侮辱になる。

「目」は見開いて、前をみななければいけないのだと、強く君に届けます。

「つらい事」をたくさんすると幸せが大事に感じるのは事実。でも、

「つらい事」とは、本来は「試練」のはず。

犯罪「試練ではない。暗示にかかると、気がつかなくなるのだと思う。

“彼ら”の世界も閉鎖的だ、新しい風が入らない構造をしている。

“彼ら”は新興宗教のように「専用の服を作ったり、特異なオブリエを掲げたり」しない。

“彼ら”の場合はそれが“ない”かわりに「例のあの行動」があるのだと思う。

「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだ。その一

体感が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく…

そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できるくらい一生懸命になれる道理がない。

普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。

誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。

どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっている事実には気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。

その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

「外」からの「風」が入らないので、内部の空気はよどみ続けたままだから、そうなるのだと思う。

“彼らという「現象」”に彼らも自分を「見失って」いる。

そして「見失ったもの」を継承しようとするから、歪みが発生する…。

身についてもいない“徳”を伝授するという歪み。

身についていない人から“徳”を学ぶという苦しみ。

身についていない人から学んだものを、さらに後輩に伝授していったらどうなるのか？

世代が下るにつれ、何がどうなるのか…

そういう「現象」君のまわりにもあるのだろうか？

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援しています。

君は自分で思っている以上に強い人です。

君が全てを背負い込む必要はまったくありません。

君の中にある「ただしい心」に僕は賭けています。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

「皆」が邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。
三界に家を建てるには、君が必要です。
「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃっ
たとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

信心ではなく、「信念」を君に送ります…。

僕の信念は君から貰った物です。

それは、この世に気持ちを通じ合うという事は確かに存在すると
いう事実。

そして、それが故、話せばいつか必ず人と人は通じ合えるという
想いです。

18年前、君からもらったこの大切な想いが、今、僕の信念にな
っている。

君の中で、信心よりも「信念」が大事に思える日がくるだろうか…
そんなイメージ君に送りたい。

.....

〔11月28日（日）曜日〕

君はかならず、何かしらのケジメをつけに、僕の前に現れる。
そう、信じています。

昔、深夜に宮川賢みやかわまさるという人のラジオがやっていた。

本業は劇団主催者だが、ラジオパーソナリティーとしてのキャリアも長い人らしい。

その昔、聞いていた深夜放送は、TBSラジオのもので、普段は下品な話題がメインの司会者に、彼ならではの演出で社会問題や、とんがったニュースを紹介するという一風変わった番組だった。(TBSラジオはテレビと違って、非常に「攻めの」報道姿勢を持っていて好感があります。)

この宮川賢みやかわまさるさんは、非常に“特異”なキャラクターの人物で、普通の人が口にしたらひんしゆくを買うような言葉も、嫌味を感じさせずに発せる人物だ。(同義ではないが、似た系等の人物には古田ふるた新太あいたや、パイヤ鈴木などがあると個人的に思う。)

この人の最大の口癖はかなりひんしゆくを買う系等の言葉だ。

しかし、まったく嫌味を感じずにこの人は発せる。

頻繁にこの人が使う所為もあって、一時期口癖として移ってしまった事がある。

しかし、僕が使うとかなりひんしゆくを買うなと気づいて、すぐにやめた事がある。

しかし、その言葉を使っているわかった事だけど、本意でなくとも、使ってみると、ストレスが消える事実があるなと感じた。

ある程度信頼関係のある人との会話にしか使えない言葉でもある。

注意点は暗く言ってはダメで、明るく、愛着と親愛の情をこめて言うところがポイントだ。

その言葉とは「死んじゃえばいいのに」だ。

みやかわまこと

宮川賢さんを真似て一時期つかったが、やはり上手くできずにやめてしまった言葉だ。

その後この言葉を使わないでいたのだが…

ある日、4ヶ月かけて完成させた漫画を出版社に持ち込んだ。

持込の前日はまったく眠れなかった。一睡もできない、食事も喉を通らない。

しかし、自分でもこれが満足いくものではない事はわかっていたが、故に、猛烈に苦しくもなる。しかし、いい部分もある作品だから、持ち込みの際、次につながるヒントくらい得られるかもしれない。と自分を奮い立たせて望んだ。

途中の地下鉄でも頭のながぐちゃぐちゃになる。ああすればよかった、こうすればよかったと、後悔と希望がぐるぐるめぐる。しかし、何かしらのケジメをつけなければ、先にも後にも進む事はできないので、何が何でもプロに完成した漫画を見てもらわないわけにはいかなかった。

いい評価の時もある、いまいちの時もある、最悪の時もある…。

その日は最悪だった。

過去4ヶ月がすべてパーになった瞬間で、まあありていに言えば死にたくなる。

しかし、死んだら漫画が描けなくなるので、本末転倒だった。

(この頃は、もし仮に漫画でデビューできたら、本名で発表しよう

と思っていた、もしかしたら何処かで君が気づくかもしれないというわずかな希望もあった、死んだら、そんなささやかな夢すら否定する事になる。ありえなかった)

しかし、強烈に襲い掛かってくる自己否定の感情。

ひきこもりたい気分にもなるが、日々の暮らしのための仕事もあるし、炊事、洗濯、といった雑務もある。

それに次回作も描かないといけない。

次回作？

無茶な話だった、今回の作品の延長線上の作品を書いても無駄なのだ。

用意してあった次回作の準備もむなしく見える。

それでも、前に進まないといけない。自分を奮い立たせる。もう一度自分を信じてみようとは何度も言い聞かせる。

その度に襲ってくる強烈な自己嫌悪。君との思い出が支えてはくれるが、長期的に見て、次の作品が描けない事実が重くのしかかる。

何日も何日もそうした状態がぐじゃぐじゃとつづき、ある日あのフレーズが頭をよぎる。

みやかわまこと
宮川賢さんの“例”のフレーズだ。

ふざけて、おどけて、楽しげに残酷な事を言うあのフレーズ。

ために口にしてみた。なんども口にしてみた、口にするほどに楽になる感覚があったのは事実だ。

特にポイントはみやかわまこと宮川賢さんはこのフレーズを「本気」で言っていない点だ。

そのイメージで、ふざけて、おどけて、口にしてみる。すっきりするとまではいかないが、ぐじゃぐじゃの頭の整理がつく感覚はあ

る。

そして原点回帰して、建て直し、またあたらしい作品を描けるようになるのだ。

（ホントはこんな単純じゃない、もっといろいろあるけど…）

現在はこう自己分析している。

僕の作品は皆“むずかしい”ものばかりで読者を置いてけぼりにしてしまう。

この欠点を直そうとあれこれやるが故、最大の長所を殺してしまうのだ。自分の手で。

何が何でもデビューするという焦りがそうさせたのかもしれない。今は、東京をはなれて、当時と少し温度差がある。そんな今、自分を見つめ直して、こう結論つけた。

「むずかしいと言われるなら、もう誰にもマネできないくらいの“むずかしい”作品に挑戦しよう」と。

製作過程で学んだニュースのネタなどは、雑学として普通に使えるし、最終的に漫画に使うんだという目的意識があれば、いろんな話題に興味ももてる。それらが最終的にどう役に立つかは不明だが、モチベーションを持ち続けられる生き方である事実は否定できない。運がよければ漫画家になれるし、運がなくても、いろいろ雑多な事にくわしくなれる。その知識は旅行の際にも役に立つし、旅行以外にもいろいろ役に立つ場面がくる可能性もなくはない。現にこの小説を書くのに役にたっている。

別に「死んじやえばいいのに」というフレーズを口にしたから、こうした結論に最終的に達した訳ではない。

しかし、そのフレーズを口にしたことで、ぐちゃぐちゃになった思考回路を立ち直らせる事ができたのも事実だ。

頭が、混乱した時は、なによりも理性を取り戻すことがなによりも重要なのです。

君にうまく伝わっただろうか？

これは、以前この小説でも説明した適応規制の1例です。

「脳」が混乱した時は、一時的に感情の発露先を設定して、爆発させた方が、早く理性が復帰する事例です。

もちろん感情の発露先は、本当の諸悪の根源ではないのですが、混乱した脳が、感情の発露先としてふさわしいと認識できるなら、それで充分なのです。さんざん悪態をぶつけて、すつきりしてから、「あれは冷静に考えれば言いがかりだよな」と思えるレベルまで理性が回復するのを待つのです。この一連の流れを自分でコントロールできたら、1人でも心を立て直せます。

（人間関係を考慮するなら、本人に直接悪意をぶつけるのは避けた方がいいです。陰でぶつけましょう。…しかし“彼ら”の文化では、本人に直接悪意をぶつけるのを“是”としている。実に社会的問題行動です。Fさん、これが正しいと感じられる君を取り戻して欲しい）

心眼が君の心とともにある事を忘れないください。人はだれでも心眼をもっている、けど普段使わないから意識できないだけだ。

イメージとは心の支配者です。否定せず、かといって全面的に肯定もせず。上手につきあえるパートナーとして認識しましょう。心の中のイメージはもう1人の君なのです。邪険に扱わないであげてください。

適応規制のイメージ、うまく伝えられたでしょうか？心配していません。

僕も眠れないほどのストレスを感じた事はある。今の君は大丈夫

だろうか？

僕を感じた漫画なんてレベルでない心労が生じている可能性もある。

もし、眠れなかったら、お風呂に入る事をお勧めします。

睡眠にもっとも入りやすい状態とは、「体温が」下がる時です。

風呂で体を芯から暖めて、リラックスした状態で布団に入れば、元から上がっていた体の温度が下がるだけなので、寝入りやすいです。

仮に眠れない、意識がある。という状態でも。体はリラックスできるので、疲れはある程度とれると思います。

乗り越えて欲しい。

君は自分で思っている以上に強い人です。

頑張れ！

.....

〔11月29日（月）曜日〕

君はかならず、何かしらのケジメをつけに、僕の前に現れる。

そう、信じています。

こんな事があった。

今、僕の元にボロボロの「ICレコーダー」がある。

「ICレコーダー」というものが世に登場したばかりの頃買った初期のモデルだ。

今でも使っている。

主な使用用途はラオの録音だ。何時間も録れて、タイマーもついているし、気に入ったらPCに落とせる。

昔はカセットテープだったから、便利さでは雲泥の差だ。

君と一緒にいた時代から、僕はラジオ好きだった…。
トロンボーンもう1人の彼も、僕の影響でラジオを聴いていた。
知っていたかな？

君にこの手の話をしたっけ？どうだったかな…、君の記憶ではどうなっていますか？

東京に行ってもラジオ好きはかわらず、ICレコーダーの発売は
待望の商品到来だった。

アイポッドなどまだ無い時代だ。
今にして思えば、このICレコーダーの音楽再生機能特化モデル
がアイポッドだよなーと思う。

その事実在当时SONYは気がつかず大損した事になる。
昔は、欧米が発明したものを、日本が洗練させてヒットを飛ばす
構図だったが、その逆の状態だ。

世の中は常に変化して動いているとう事なのだろうか？

東京である日、腕時計が壊れた。
なんだかいまいち調子がわるい。
原因不明だ。

この時計は高校時代、君と一緒にいた頃からしていたものだ。君
も見ているはず。覚えているかな？

…こいつが誤作動をおこす。しばらく放っておいたら電池がきれ
た。
棄てるのも忍びない、それなりに高価だし、想い出もある。

そこで、そのまま放置して、そのかわりICレコーダーを時計代
わりにした。

昔、ケータイを持っていた時期もあったが、その頃には使わない
ようになっていたので、時計がわるになる身近なものはそれしかな

かったからだ。

それにどの道屋外で録音したラジオ番組をきくのにも持ち歩いていてから、特段不便を感じなかった。

そんな訳で、長年持ち歩いた。

おかげで必要以上にボロボロだ。

今はちゃんとした時計を買ったので、あまり持ち出したりはしていない。壊れたら困るし。結構高い品物だ。

ある日、本屋時代の事だけど、どうしてICレコーダーを持ち歩いているのか？という話題になった。

店頭で、ちょっとした仕事の間が出来た時のことだ。

何気ない雑談だった。

僕は少し冗談めかしてこう言った。

「これ持っていれば、いつ誰にからまれても録音できるでしょ？いざと言う時有利になれる」

ほんの冗談だ。しかし、いざと言う時たしかにそういう使い方が出来るのも事実だ。

この話は“彼ら”の攻撃が始まる何ヶ月も前に、お店での雑談でした話だ。

しかし、彼らの監視行為そのものは、僕が新橋のお店に移動してから3年間ずっとあったと確信している。

なので、この話も当然、“彼ら”につつまけだった？可能性がある。

…彼らの攻撃がはじまり、露骨な行為が目立つと感じるようになったある日。

おじいさんがさげんだ。

電車のなかでだ。喋っている事はまともだが、行動があつていない。

ものすごい言いがかりなのだが、仮にその状況を録音していたと仮定した場合。その録音を聞けば僕が悪い事になるよう喋っている。当時は気がつかなかったが、今にして思うと、それならば、あのセリフと行動がちくはぐなおじいさんの意図が理解できる。

考えすぎかな…

オチを言ってしまったえば、僕はキレることなく「ああ、そうですかすみません」といい。

しかし、明らかにそのおじいさんがおかしいので、小声で「まいったな…」と聞こえるようにつぶやき。

2度と言いがかりを付けられないようにした。

具体的には、電車内で座っている時、寝入ると頭がフラフラする。ごくたまに迷惑なレベルでやってしまい、しまったと感じる。

そこで、足の位置を動かすことで、支点の位置をコントロールして、頭がゆれる方向を他人に迷惑かけない方向にする技を編み出した。

これを使えば、おじいさんの方向にまちがっても、頭がいかない。(そもそも最初から、そんな事はなく、おじいさんの言いがかりなのだが)

誰がどうみても言いがかりが出来ない角度で、僕がつつらつつらしだすと、おじいさんはすぐに消えた。

正直に思う。あんな事で僕がキレると本気で思っていたのだろうか？

…たぶん、そちらの世界の発想では、こうすれば大概の人間はキレると発想するのでしょう。

3年観察した人物はそんな人でした。ありえない人格の持ち主で、どうやったらこうなれるのかが不思議だった。

過去にだれにも注意されなかったのだろうか？と。

でもこの彼を3年観察した経験が、今活きていると思う。彼らの行動パターンや、思考パターンがある程度推測できるのも、この人物のおかげです。

ここから思う推測はこうです。

彼らは記録にとられるのを、何よりも嫌う。

何かの役に立つだろうか？わからないけど。一応伝えます。

負けないで欲しい、共に戦えるなら、僕も戦い続けられます。

君がいてくれたほうが、実は僕に有利になる。

彼らは僕は本当に殺せなくなるからだ。

理由はわかるだろうか？

君は間違はなく“彼ら”に所属していた。それを証明するのは容易だ。

君がいない状態で僕が死ねば、名の無き一市民でおわるが、

君が一緒にいてくれた場合は組織に濃厚な疑いがかかる。

組織はすでに“濃厚な”疑いのかかった事件をいくつかかかえていて、これ以上増やしたくない。

そんな推測もなりたつ。

まあ、君のためなら死ねると覚悟した身だ。無意味に散るよりは

有意義な散り方のほうがいいかもしれないが…

そんな事もあるかもしれない。

その組織はまちがいになく“暴力装置”です。とても悪質な。

“彼らという「現象」”に彼らも自分を「見失って」いる。

そして「見失ったもの」を継承しようとするから、歪みが発生する…。

身についてもいない“徳”を伝授するという歪み。

身についていない人から“徳”を学ぶという苦しみ。

身についていない人から学んだものを、さらに後輩に伝授していったらどうなるのか？

世代が下るにつれ、何がどうなるのか…

そういう「現象」君のまわりにもあるのだろうか？

“彼ら”の「例のあの行動」は、多くの人には「（そうとう）つらい」もののはず。

何しろ意味無く人をおとしめているのだ、倫理観があればそうとうなプレッシャーになる。

心身クタクタのはずだ。でも心身クタクタになる甲斐あって（“彼ら”の「例のあの行動」が）「つらい」が故、日常の些細な事も幸せに感じられるようになる。それが彼らの「行動の意味（価値）」の真髄なのだろうか？人間「つらい事」をたくさんさせられると、些細な事も「幸せ」に感じると思う。

そうした「たくさん辛い事（＝彼らの行動）」をするほど、より些細な日常に幸せを感じられるのだろう。

そうして感覚が麻痺していき「殺人」も「肯定」できるくらいになるのかもしれない。

そのうち「それ」がないと幸せを感じられなくなり、生きていけ

なくなるのかもしれない。

そして最悪な事に、愛する子供にまでそうした下劣な行為を勧められる異常な心理状態になるのだ。

君もそうした「つらい事」たくさんさせられて、日常の幸せを「より」幸せに感じさせるよう洗脳されたのだろうか…

君はどう思う？上記のようなものは、ワザと不治の病にかかる事で、命の大切さを学ぶのに似ている。

正常な感覚であれば、おかしいと思うはずだ。

それにそれらは命に対する冒涇であり、本当にその病で苦しんでいる人らへの侮辱になる。

「目」は見開いて、前をみななければいけないのだと、強く君に届けます。

「つらい事」をたくさんすると幸せが大事に感じるのは事実。でも、

「つらい事」とは、本来は「試練」のはず。

犯罪「試練」ではない。暗示にかかると、気がつかなくなるのだと思う。

“彼ら”の世界も閉鎖的だ、新しい風が入らない構造をしている。

“彼ら”は新興宗教のように「専用の服を作ったり、特異なオブリエを掲げたり」しない。

“彼ら”の場合はそれが“ない”かわりに「例のあの行動」があるのだと思う。

「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだ。その一

体感が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく…

そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できるくらい一生懸命になれる道理がない。

普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。

誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。

どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっている事実には気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。

その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

「外」からの「風」が入らないので、内部の空気はよどみ続けたままだから、そうなるのだと思う。

「例のあの行動」は「暴力装置」そのものであると、気がつかないはずがないのに…、暗示にかかるこんな簡単な事も見失ってしまうのです。

君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違いです。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした人達」の）常套手段”です。

非常に悪質な人心掌握法になります。だから全てを背負い込んではだめです!“彼ら”はそれを狙っています!!そうやって君の心から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ!!だから注意して!

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？

(そこまでくさってない？)

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては(奇妙な事に)誇らしくも感じてしまう。

繋がっていたのだろうか？どうなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、
どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます

油断していると、本当にこの暗示にかかります。

相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのよう
に“錯覚”させるプロです。

親切心を利用されないようにしないと、永久にいいように利用されて
しまいます。

気をつけて！そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコ
だ！

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。
い。

でも繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられる
と思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て

- - - - -

〔12月1日（水）曜日〕

fさんへ、今日も元気でしたか？

笑顔の君でいてくれたら嬉しいです。

なんか今忙しいです。

こちらにかまいきれない。

戦って欲しい。自分をとりもどしてほしい。

優しさを、取り戻して欲しい、そう、思います。

今日、自転車に乗っていると、例によりマスクの人が…

文庫を出そうとしたら、ハンドル操作を誤ってしまい、マスクのおばさんのカバンにぶつかってしまった…、あれは事故です。完璧な、でもああいう噂は物凄いスピードで広がるのかなーと思う。まるでワザとぶつかってから、文庫を見せたような形になってしまった…

あれは事故です。

そんな事、伝えたい。

平和が一番です。

のほほんの間抜けな1日を過すのが一番平和です。

最近こんなニュースを見た。

東京都がエロ漫画を規制する条文を採択したとかいう話。

正直言う、僕は賛成。

漫画を描く立場としても、とてもありがたい。

僕がこう思うのには理由がある。

最近のエロ漫画は酷すぎるからだ、プロのものはまだしも同人誌

は最悪なものもある。

あれでは、漫画家の実力が落ちてしまう。(そもそも下品だ)

モンキーパンチ原作のルパン3世の漫画がある。

モンキーパンチの漫画はエロい。

でも冷静に分析すると、ほとんど女の裸が出てこない。

演出と雰囲気でもしだしているにすぎない。

ああいうのが、あるべき漫画の姿だと個人的にはいつも思う。

アダルトビデオをまんま漫画にしたようなものは、画力の凄さはさすがとおもうけど、そこまでやる必要はないように感じる。

そもそもこういう問題はアメリカで起こった。

性犯罪者の動向を調査して何がトリガーになっているのか調べ上げたのだ。

結果トリガーとなるような媒体は総じて規制されることになった。それだけの事だ。難しく考える必要はない。

フランスでこの手の問題が浮上した時、じゃあドラゴンボール1巻のエロ描写はアウトなのか？というのが上がった。しかし、あれは犯罪のトリガーになるには弱すぎるという判断で大丈夫という事になったと記憶している、間違いかな…。

日本にはトリガーになりかねないヤバイものが多すぎる、あれは、全部規制していいと、個人的に思う。制限された条件下で表現するのも、知恵をつかうのでいいものです。

この小説にしてもそうで、“彼ら”の名を出さず書く工夫は毎回苦労します。でも、隠したまま表現した方が直で表現するよりも伝わる事もあり、面白いと感じます。Fさんはどう思いますか？

10年東京で、友達してくれていたあいつは、ある日急にエロ漫画規制法案に反対しようと呼びかけてきた。僕は上記理由で、規制には賛成だ。漫画を書く身としての信念でもある。漫画はアダルトビデオと同じになってはいけない、つよくそう思う。

だから、そいつの呼びかけに賛同しなかった。すると、僕の行動が理解できないとばかりに、猛烈に非難してくる。

もし賛同しないならもう友達じゃないてき勢いだ。

なにかおかしいと感じた、誰かの強力なバイアス下にあるのだろうか？

そんな事を感じたので、一度会って話そうと持ちかけた。

…ありえない事に、やなことと言ってくる。

そんなやつでないはずなんだが。

結局音信不通になってしまっ、あんな事で過去のつながりを全部白紙にしてしまえるのだろうか？

エロ漫画の規制反対でいどのどーでもいいもので、10年以上の関係が？ありえない。そう感じた。

後日、明らかにこいつは彼らだと思っ仕事場の仲間が、上記出来事を又聞きして、ある人にこう何か言ったらしい、察するに、たぶん2度とこの10年来の友人と仲直りできない、と。かなり確信めいて言ったっぽい感じなのだ。

どこまでが、思い込みで、どこまでが、係わり合いがあるのか…
スイッチ1つでそうなってしまうのだろうか？

18年前、君は1度僕から離れた。たぶん、いろいろあったのだろっ。

でも、もう一度かえってきてくれた。

当時はそのすごさが解らなかったが、今は、ものすごくうれしいと感じる。

1度離れて帰ってきてくれた人は君くらいだ。

あれは、感謝しています。君にこれが正しく伝わる事を切望します。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

皆が邪念に負けた、けど天は見放さなかった…、正す機会を与えてくれた。

後はその機会を人間がどう生かせるかどうかという事ではないでしょうか？

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君がいつか落ち着く日を。

（　　）　　そういえば、こんな事があった、この10年友達してくれていた彼は、何年か前、彼女の妹が襲われたという話を聞かされた。オートロックのはずなのに、侵入してきた男に襲われたと言うのだ。で、急に自分の彼女が心配になって、どうしたもんかと電話してきた事があった。僕は「防犯ブザー」を彼女に渡せとアドバイスした。そういうのもたせても持ち歩かないんだ！と彼は言った、妹が襲われたわりにのんきな姉だな？と思った（不可解な話の中には、何か欠けた情報が存在している）。そこで、防犯ブザー自体は高価でないから、複数購入して、会う度に持っているか確認し、持ってなければその都度渡す事をすすめた、それを繰り返せば、向こうも持ち歩く気になるのでは？と思ったからだ。

君は大丈夫かな…今更おそいかもしれないけど。ごめん、こんなに遅くなってしまって。本当にごめん。遅くないです、まだ、ぜんぜん。人生はまだまだずつとつづく、その間、自分の心を君が押しつぶさずに生きられる事を、僕は何よりも祈っています。（　　）

（　　）　　上記防犯ブザーの件は、今でも状況次第では役に立つ記述かもしれない、何が役に立つかわからないので。心配しています。頑張れ！負けないで！君は思っている以上に強い人です（　　）

- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -

〔12月2日（木）曜日〕

今深夜です。去年の今は、遠くでかすかに聞こえるエンジンの爆音が、プウウウンとずっと鳴っていたけど、今はゼロだ。

やっぱあれはそうだったのかな？などと今は思う。

（　　）　　まあ、またやってきても、あの類の音はドイツ製の扇風機サーキュレーターの作動

音で消せるので、もう大丈夫だけど、今日久しぶりに止めたら静だったので、ちょっと書いてみました。高校時代、夜中よく“金縛り”にかかった。後に知るけど、金縛りの原因は睡眠時の騒音ストレスにあるという。事実金縛りから脱出したあと、ラジオを聞いて再び寝入るともう金縛りにかからなかった。高校時代のこの経験…昔からいたのだろうか？深夜に迷惑な事をする連中が）
中には、もうそろそろ辞め時だと考える良識派の方々が、いると信じたいところです。

人間って言うほど馬鹿でないと僕は信じています。

ヘルパーの本にこんなこと書いてある。

日常生活動作ができなくなると、社会の世話になる事への罪悪感が生じる。

その事実を認識した時、恐怖心や孤立感や、深い悲しみに陥ってしまい、人生を豊かにできなくなってしまう。そうした事態を回避するのも重要な仕事だとされている。

こう思った。

“彼ら”の「例のあの行動」はヘルパーのやっていることの「ま逆」「そうした事態」を「回避」せず煽り立てるのだ。

威圧行為により、個人個人がもつ「そうした負の感情」を「煽り立て」、「制御不能なレベルにまで膨らませる」事に「組織を上げて」総力をあげる。

…それが故、最初から心に負の要素をもってそんな人間をターゲットにするのかもしれない。ターゲットがその後犯した犯罪は、“彼ら”に原因がある。

君がどんな目にあっただのか心配でならない。

君はいつも不安定だった。

今もそうなのだろうか…

秋葉原の連続刺殺事件の場合も“彼ら”が関わっているのだろうか？そう考えると納得のいく事件だ。

あの事件の裁判で、被害者の家族が、被告の犯行動機の説明ではなにも納得できない…と言っていたとニュースで聞いた。そりゃあそうだと思う、おそらく犯人本人ですら真の原因に気づいていない、説明不可能なもの。

“彼ら”は遺族の事件の真相を知りたいという思いまで踏みに行る。

そんな教えが仏法のどこに書いてあるのか僕は知らない。

…言いづらい事もいわなければいけないと僕は学んだ。だから言う。

そこは君のいるべき場所とは程遠い世界だ。やさしさを殺す世界です。

少なくとも、君向きの世界じゃない、さぞ辛かったと思う。もう、我慢していたものを全部吐き出してもいいんです。

僕が君の支えになる。

不足があるかもしれないけど。

君をそういう境遇にしまった人らが許せない以上、僕にはどうしてもそうせざる得ない気持ちになる。その想い、君に伝わる事で、何かが、変わる事を期待していいですか？君に正しく伝わる奇跡に賭けます。

こづも思っ…

もし僕の両親が彼らの勧誘に応じていて、子供の頃から“そちら側”にいたら、やはり僕も同じあやまちをしたと思う。人間弱い生

き物だ、1度でもやってしまえば、もう逃げられない。死ぬまで集団の意思に逆らえなくなる。

いまは辛いのだろうか？いろいろなあつて大変なのだろうか？

1つだけ確かな事実がある。

君を救うのは君の意思だという事。

前を向き続け、答えを出す事が肝心という事実。

猛烈な自己否定の繰り返しにも、かならず答えは見えてくる。心の騙さず、あるべき答えに君がたどり着ければうれしい。

「答えにたどりつくだけじゃだめなのよ」

と思うのだろうか？人生は複雑だ。

答えだけでは確かにだめで、何か裏打ちされた“なにか”が必要なのかもしれない…

乗り切るパワーが必要なかもしれない。

僕は最近こんな事を思った。それは下記の事だ。

「（これは無理、これはダメではなく）今は自分にできる事をしよう、そして何が今できて、何が今できないのかを考えよう。」

そういう“思いついた自分の気持ち”を心の中で唱える事で、しばらくヘルパー講座に出ようと思っただけです。目的は、資格を取ることもありますが、今の自分を知る事でもある。

やけくそになって前進するのではなく、しっかりと足元を確認しながら進みたいからだ。

Fさん、もし何か自分が崩れそうになった時は、何かしらの“思いついた自分の気持ち”を繰り返し唱えると自己暗示になります。

…くりかえし唱えるって何かに似てる？

そう、それもそのはず。元々は自己暗示のテクニクの応用を知らず知らず皆やらされていたのです。

神の力でも宇宙の真理でもない。人間に本来ある「脳」の機能なのです。

自分が主体となつてかけた暗示と、他者が主体となつた暗示では効果がまるで違う。

他者が主体の自己暗示では、自分の意思を削ぐことに繋がる。

組織が「毎日」唱える！と言うのは、「唱えれば唱える」人数が多いほど「意思無き兵士の軍団」が築けるからです。

間違つてかけてしまった自己暗示を今度は逆のよい方向にかければ、いずれ解けると信じます。

自己暗示を説く方法は、自己暗示しかありません。

“彼らという「現象」”に彼らも自分を「見失つて」いる。

そして「見失つたもの」を継承しようとするから、歪みが発生する…。

身についてもいない“徳”を伝授するという歪み。

身についていない人から“徳”を学ぶという苦しみ。

身についていない人から学んだものを、さらに後輩に伝授していったらどうなるのか？

世代が下るにつれ、何がどうなるのか…

そういう「現象」君のまわりにもあるのだろうか？

“彼ら”の「例のあの行動」は、多くの人には「（そうとう）つらい」ものはず。

何しろ意味無く人をおとしめているのだ、倫理観があればそうとうなプレッシャーになる。

心身クタクタのはずだ。でも心身クタクタになる甲斐あって）“彼ら”の「例のあの行動」が「つらい」が故、日常の些細な事も幸せに感じられるようになる。それが彼らの「行動の意味（価値）」の真髓なのだろうか？人間「つらい事」をたくさんさせられると、些細な事も「幸せ」に感じると思う。

そうした「辛い事（彼らの行動）」を多くするほど、より些細な日常に幸せを感じられるのだろう。

そうして感覚が麻痺していき「殺人」も「肯定」できるくらいになるのかもしれない。

そのうち「それ」がないと幸せを感じられなくなり、生きていけなくなるのかもしれない。

そして最悪な事に、愛する子供にまでそうした下劣な行為を勧められる異常な心理状態になるのだ。

君もそうした「つらい事」たくさんさせられて、日常の幸せを「より」幸せに感じさせるよう洗脳されたのだろうか：君はどう思う？上記のようなものは、ワザと不治の病にかかる事で、命の大切さを学ぶのに似ている。正常な感覚であれば、おかしいと思うはずだ。それにそれらは命に対する冒瀆であり、本当にその病で苦しんでいる人らへの侮辱になる。

「目」は見開いて、前をみなければいけないのだと、強く君に届けます。

「つらい事」をたくさんすると幸せが大事に感じるのは事実。でも、

「つらい事」とは、本来は「試練」のほず。

犯罪「試練ではない。暗示にかかると、気がつかなくなるのだと思う。

…これらが、何かしらの君のインスピレーションのヒントに繋がれば幸いです。

とにかく、何が役に立つのかわからないので、思いつくかぎりの事をこれからも書き続けます。

君はかならず、何かしらのケジメをつけに、僕の前に現れる。

そう、信じています。

インチキで「奇跡」や「たたり」を起こす事で、人を惑わす集団に負けないで！

何か脅されたら、こういつてあげてください。

「心が弱いから集団心理に惑わされるのよ、強がって見せても、怖くないわ」と。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです、手が出せば届くような単純なものではない。単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」

と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

「いつか恩返しに來ます、でも今じゃない。」

「家族の中にも、間違いはある。」

「もう人殺しの仲間はいやなの、そういう気持ち家族なら理解して。」

「何でも「世の中そういうものだ」で納得しないで！」

「家族の中で騙しいは、家族らしくないし。」

「世の中そういうものだ」という人、多いと思う。そう言われたら、

こう言い返せばいい。

「そう思い込む事が、そもそも全ての間違いのもとよ」

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。いや、本当は多くの人が間違いに気がついている。ただ「人の気持ちが理解できる人」は口をつぐみ、人の気持ちが理解できない人がいのように振舞っているだけです。それが社会のあり方を破壊していると多くの人は気づいているが、何もいえない社会は不健全です。これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。教えが正しいか、間違っているとか、そういう問題ではない。“質”が問われているのです。そう伝えてください。君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

「皆」が邪念に負けた、けど天は見放さなかった：そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。君は試練に耐えた、だから：天からご褒美をもらう機会をもらった、それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心

から期待します。三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、誰も責任取ってはくれないよ！老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援します。

君は自分で思っている以上に強い人です。

負けないで！

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔12月3日（金）曜日〕

君はかならず、何かしらのケジメをつけに、僕の前に現れる。

そう、信じています。

Fさん、今元気になっていますか？

以下の文面は、君の心が“彼ら”こちら側にあるという仮定にもとづいて書かれています。

君を苦しめる“何かしら”を責める意味であり、君を非難する意図はありません。

こんな記憶がある。

東京で総攻撃を受けた頃、見た記憶。

2つ〜3つ年上の1人の女性が高校生か中学生くらいの年下の男の子を引き連れている様子。

この女性の攻撃的態度…。

こちらに帰郷してから見た記憶。

窓の下、1人の中学生か高校生くらいの男子が年下の子供数人と声をあげて遊ぶ様子。

そしてこれは僕が小学生の時の記憶。

近所にぼくより2つ〜3つくらい年上の小学生女子の上級生が1人いて、いつも年下数人の男子を引き連れている。

知り合いではない。

しかし、いつも敵意むきだして攻めてくる。

自己紹介もしてこない。

彼女につれられた男子どもは積極的にからんではこない、いつも遠巻きにやりとりをみてる。

その女はやたら僕につつかかって敵意丸出しでいつもくる。

どこに住んでいるかは知らないが、近所を歩いていると頻繁にあった。

でも僕が5年になると見なくなる。

そんな記憶がある。

これは推測。

“彼ら”の子供たちはある程度の年齢に達すると、年下の子供の面倒を見るようになるのだろうか？

1人で年下数人を束ねて…、“彼ら”的行動を教えるのだろうか？

そういえば、僕の小学生以来の友達も、年上の男の車に乗り、皆で何処かに行く話を何度もした。どうして自分がその輪に入れないのかいつも不思議だった。

君にも「おにいちゃん」がいると言っていた。

そういう事だったのだろうか？

ならポケベルもうなずける。

君が今も「君を苦しめる何者かと」戦っていると信じます。

（ここまで来ると、もう、僕もカミングアウトしよう…、この記憶は幼稚園くらいの記憶だ。その日公園で遊んでいると、見たこと無い年上の女の子4〜5人がいた。当時は大きく見えたが、たぶん小学校高学年か中学生か…、もつと下かもしれない。ともかく、3歳くらいの僕からみたら、デカイ連中だった。公園であそぶ年でない見たこと無いやつがいる。それが記憶に残っている。こいつらは僕をからかいます、今ならやり返せるが3歳当時は不可能だった。1回しかあって無いのが不幸中の幸いだが、今でも覚えていて。繰り返す、カミングアウトしよう、…、けっこう恥ずかしいね、これ書くの…、性的いたずらもされた。連中が“彼ら”かわからない。でも、急に不安になる。僕ですらこうなら、君は大丈夫だろうかと）

こんな記憶もある。

東京での本屋時代。1人の店員がいた。彼は結構古参だ。

でも変っている。ものすごく愛想がいいのだが、けっして心を開かない。そして他の人はしない事だが、いつも着替えて帰宅する。

ある日、店内で意味不明の事をしていた。この人にしてはめずらしい。

「なんです？それ」

と興味本位にきいてみた。店頭で、手を無意味に振っていたからだ。

「ん、ああ、ダンスだよダンス。無意識に時々動いちゃうんだ」

と、言うではないか。

この人は過去を語らない謎の人物でもあった。

「ダンスなんかしてたんですか？」

ときくと。

「ああ、うん」

となんとなく歯切れがわるい。話していくと、こんな事をいう。

「時々外でもやっちゃうんだ、タクシー止めちゃったこともある」と。

後々、仲良くしていた店長にこの話をする。

この人は僕より彼と長いはずなのだが

「えーそれ初耳」

と驚く。

(これは“彼ら”のやる、顔や頭に手をやる行為への対抗措置的動作なのかもしれない。彼らのあの行為は「行動心理学」とかいう分野でいう「アンカリング効果」をねらったものだ、ネットでもわさされている。多くの人はそんな「あんかりんぐ？何だそりゃ」という感じなんだと思う。誰が最初に考えたのかしらないけど、非常に高度な集団洗脳技術の一種です。最初にこの技術を組織にもたらしした人物がその道のプロなんでしょう？シロウトが独学で作るには洗練されている。そして重要な事に、これほど洗練しているものを独学で作れるほどの“独創性”が組織の多くの人には感じられない。やはり、初期のころ外部から入ってきた技術と推察します。共産圏のマインドコントロール法にも似てるし、旧日本軍の植民地の現地人統制技術かもしれない。わかりませんが…)

また、これは別の日の日の記憶だが、このダンスをする彼はこんな事いった。

「僕、上司に嫌われているんだよ、こんど辞めることにしたから」と、ものすごく唐突だった。

次の仕事は？と聞くとまだ決まっていないう。理由は話してく

れなかった。

いつも温和でニコニコしていたので、嫌われてるだなんて意外だった。

そして、ある日唐突に辞めた。

それから何日かすぎたある日、彼そっくりな人物をみる。向こうはこちらに気づいてるはずだが完全無視。

あれ、よく似た別人か？と思った。（実際そうかもしれない）
たびたびこのそっくりさんは見た。お店にも来ていたが、当人らしい行動をしない。

他の人にも聞いてみる。

「あれ　さんじゃない？」

確かに似ているという。でもきたなら声かけてもいいはず、似てるだけかなーとその場で話し合った。

一応お客さんだし、間違いではまずいので、声はかけられなかった。

数ヶ月すぎて、その彼から店に電話がくる。

何でも保険の関係で、前職の書類がいるとかで。

その彼が電話口でこういう。

「いやあ、嫌われたのかとおもっていたよ」と。

違和感を感じた。別れぎわそう感じるような事は1つもなかったからだ。

この人物も同じように攻撃されていたのだろうか？

これは別の人物。

同じように古参の本屋の店員。

僕に仕事を教えてくれた人だ。

ある日こんな事を言った。

「電車の中で、突然見知らぬ叔母さんにどなられたんだ、「あんたのせいよ」って」

と当惑していた。

「何したんですか？」

と聞くと

「なにもしてないんだ、座って寝てたら突然叫ばれたんだ」と。

…後々僕が東京でうけた彼らの攻撃に似てなくも無い。

この人はまじめでいい人だ。

なのに、この後、この人の悪い評判を聞く。サボってばかりいるという噂だ。

ありえないよな、何かの誤解だな、と当時は思った。

この人も後日店を辞めている。

僕が3年観察したある人物は2代目だ。

代替わりを契機に、店の人間を全部“彼ら”にする気なのでは？などと考えてしまう。

3年観察した結果思うのだが、彼はそういう事本気で考えて、本気で実行する、ありえない人格の保有者だ。

（この人は、僕が機転を利かせると「勝手な判断をするな」という、で許可を求めると「自分で判断もできないのか」となる。言ってる事があべこべなのだ。店の売上げの事なんか意識してないのではないか？といつも思った。そもそも売上げ責任の問われない立場にいた。かつて一度店長をやった時期もあつたらしいが、全部部下に任せて、自分が一番楽しい「仕入れ」しかやらない。そして「仕入れ」しかやらないという点は、その当ても同じだった。売り上

げ実績がないから、店のマイナスなど知った事かで文句言えるのだ、マイナスがでても自分の責任で無いから。この人は過去ガス会社に入社したらしいが、短期間でねを上げて実家にもどったと聞いたことがある、で、今家業について無茶振りをしているのだ。店の段取りを無視して、僕への圧力を優先させる、他の売り上げの責任を持つ店長と違い、こどもだったと思う。)

君はいろいろされたと思う。

おとなしい君の性格だ。逆らえないと推察します。

まじめな性格が災いして、いいように操られたと感じもする。

どうなのだろう…、実際のところは。

「本当の私を知ったら嫌いになっちゃうよ」

と君は初めてのデートの時言った。すでにあの時点でいろいろさせられたのだろうか？

一体、誰が君を苦しめていたのか…

前を向く努力をやめない「Fさん」の姿を想像するのは好きです。諦めないで、どこかに、なにか解決策があるはずです。

難しく考えるとかえってダメです。

自分の譲れない“なにか”を軸に、“捨て去れないおもい”を考え比較し。

“何が”自分にとって“消し去れない大事なもの”かを考えれば、すでに立っている自分の位置が見えてくる。

これから選択するのではない、選択はとっくに終わっている。ただ、何を自分が選んだのか正しく理解していないだけだ。

日常生活で、違和感を感じる理由はこのあたりにあると思う。

自分の心のありようをちゃんと見極めないと、一生違和感の正体をつかめぬまま終わってしまいかねない。

それでもかまわないという人もいるだろう。

それはその人の生き方の選択の1つだ。

けど、それと、君が思いを捻じ曲げられる事や。

損な役回りを押し付けられる事は、次元の違う問題です。

君に勇気が宿る事を、祈ります。負けしないで！応援しています。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

君を苦しめる誰かと戦っている前提で書きます。勝てます、君な
5。

〔12月4日（土）曜日〕
Fさん、こんにちわ。

今日はどんな感じに過したのだろうか…
1人でいられる場所を探していたりしたのだろうか…

こんな妄想もする。

車で箱根の方の道に行くと、一直線の開けた田舎道がある。

あそこなら、追跡者の有無は一目瞭然。

1人になるならうってつけた。

2人で会うにもうってつけたなど…

なにバカな事言ってると思ってる？

でも僕らしいでしょ。

〔12月4日（土）曜日〕2

こんな事を思った。

東京にいた頃は「あえて」ダイアルアップにしていた。

漫画を描くのに最低必要な情報収集さえできればいい訳で、「ネ

ット」は邪魔な存在だった。

この選択は今にして思うと正解のようだ。

今ブロードバンド回線にしていると、ついついネットを見てしま
う。

あまりよくない傾向だ。時間を無駄にしてしまう。

幸い、無線LAN非内臓ユニットを現在使用している。USBに
さすタイプだ。

こいつを抜いてしまえばネットに繋がらない。

ユニット自体は離れて、取りに行くのが面倒な場所においておけ
ば、無駄ネット接続を防げる。

僕は大量の情報に振り回されるタイプだ。

だから、情報はポイントをおさえて見るようにしないと訳わから

なくなる事がある。

君は僕よりその辺上手く対応できる人だった…

でも、今回の件、君も過去経験もしないような大量の情報の洪水に襲われているだろう…

もし、仮にこの仮定があたっていたとしたら？

ともかく、ポイントを絞った情報収集に徹して、過度の精神的負担を回避すべきだと思う。

今、どういう状況かわからない。

そこは“大丈夫”な場所ですか？

〔12月4日（土）曜日〕 3

なら、いいのだけど。

〔12月4日（土）曜日〕 4

いつか、僕を安心させてください。

〔12月4日（土）曜日〕 5

ケジメのつく日を祈っています。

〔12月4日（土）曜日〕 6

人間心がぐらついている時、同じ考えを行ったりきたりするそうです。

そうこうしているうちに、もういいや、めんどくさいとなって、不本意な決断をしてしまうとききます。

そういう意味で、負けないで欲しい。

いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。

狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！と言ってやってください。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

いろいろあると思う。けど、がんばって。負けないうで欲しい。

多分君の周りには悪意なく“そういう事”が出来る人がたくさんたくさんいると思う。

それは悪意があるのではなく、心が内向きになっていて、外に向いていないからだと思う。

心が外向きになれば、人として持つ“当たり前の感情”が戻ってきます。

そう、周りの人に言ってやってください。

繋がりには、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとっての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに親しくなるうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？18年前、君は一歩手前まで来ていた。先輩の正体を明かすという行為は、あとちよつと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまುತ್ತもりでいます。

“人を許せる時が、自分を高める時”

(日本テレビ系『行列のできる法律相談所』で有名な弁護士、菊地幸夫氏の言葉)

簡単でないが、目指しがいのある目標ですな。

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。どんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だと思う。

けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。過去の文面を読んで欲しい、一度だって要求してない。

その代わりこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」と。そして、生活を立て直すけど、「邪魔しないほしい」と。

(…一瞬でも「それって当然の言い分だよな」と感じていただけたら幸いです)

それでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。

単に自分たちの贅沢が(快樂が)侵害されている事に怒っているだけという事実気づかずに反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せって言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではない」

…という事実があります、これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

君はかならず、何かしらのケジメをつけに、僕の前に現れる。
そう、信じています。

世界は広大で広く、想像を絶するダイナミックな時間がからみあって作られている。

「視野が狭くて何が悪い」とか言う人が増え続けていくと、それが世界の不和の原因になってゆく。

北朝鮮のあの攻撃も、外から見たら、視野の狭さが見て取れるが、きっと内部の人間は「それに」気がつかない、いや、感じ取れないのだと思う。あの中国ですらこう言う「北朝鮮の特殊な事情も考慮しないと…」と。特殊な事情とは国家カルト集団で支配された国という事情だ。その事は、重く重大な事実です。Fさんはどう思う？

〔12月4日（土）曜日〕 7
だめなの？やっぱり。

〔12月4日（土）曜日〕 8
そうか…

〔12月4日（土）曜日〕 9
自分で頑張ったとおもならそれでいい。

〔12月4日（土）曜日〕 10
君がよりよい選択を…

〔12月4日（土）曜日〕 1 1
それが本当に。

〔12月4日（土）曜日〕 1 2
ん…

〔12月4日（土）曜日〕 1 3
もっと、そう

〔12月4日（土）曜日〕 1 4
そんな意味も込めて…

〔12月4日（土）曜日〕 1 5
わかるかな…
上手く伝わればいいけど。

〔12月4日（土）曜日〕 1 6
うっん、そうじゃない。

〔12月4日（土）曜日〕 1 7
そうじゃなくて…

〔12月4日（土）曜日〕 1 8
こう思うわけさ。

少なくとも生きる屍のような君だけはみたくない。

君が今も戦っている前提で書きます。

もし、違うにしても、君の事を思っているのだと見てくれ
たらうれしいです。

理解できない現象の前には、何か必ず賭けた情報が存在する。それが言えるものなのか、そうでないのか…

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

人は正しく生き直せると信じます。

繰り返します。

人は正しく生き直せるんです…

時間をかけてもいい、自分を取りもどして。

昔の君は幼くて弱かった…

だから、“それは”仕方が無かったんです。

今は、君に生きる喜びを感じて欲しい…。そう願っています。

もし今回の件で、君の人権が少しでも改善されたなら、無駄な人生でもなかった。

そんな想い。伝えてもいいですか？

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

第33話 未来へと続く話その19（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第34話 君は何もわるくない（未来へと続く話20）（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第34話 君は何もわるくない（未来へと続く話20）

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

〔12月5日（日）曜日〕

なんか最近グダグダな感じの内容なので、話題を変えます。

昔考えた「漫画の没ネタ」なんて書くのはどーだろう？ などと思
った。

書けば、気がつかない可能性の気がつくかもしれない…

ぱつと考えて思いつく「没ネタ」は、「昭和の妖怪「岸」ネタ」
だ。

岸信弘元総理大臣を知っているだろうか？

安部元総理のおじいさんだったと思う。

たしか60年安保の時代の総理だと思った。

岸さんは戦犯として捕まっていた経緯がある。

第2次大戦中は中国大陸で、スパイ機関に関係した仕事をしてい
たらしい。

その関係で、終戦後、戦争犯罪人として収監されていた。

この時、ある噂がある。

米軍と取引し、釈放されたという噂だ。

現に当時の米軍は情報と引き換えに戦争犯罪を問わない「司法取
引」をよく行った。

「司法取引」自体は悪いものとは思わないが、その時の関係で、米軍との太いパイプができ、強いてはその関係を駆使して政治家として成功したのでは？などと揶揄されている。

そんな彼に当時の人々は「昭和の妖怪「岸」」というニックネームをつけた。得体の知れない部分があったと感じたのだろうか？当時の世相がわからないので、断言できないが、研究対象にするには面白そうな課題だ。

戦後復興期の日本を研究する切り口としてはなかなか面白い。

で、僕はこう思った訳だ。以上の状況を漫画で描きたい。

戦後日本の復興期の「ごたごた」を漫画にしたい。

でも、ただそのまま漫画にしたら、単なる歴史ものにすぎない。なにか子供っぽいギミックを盛り込みたい。

で、思った。本物の「岸」は収監中に亡くなっていて、「妖怪」が彼に成りすまし、その後の日本を引っ掻き回すという話はどーだろう！と。

（幻魔大戦みたい…と今は思わなくも無い。当時は幻魔大戦の存在を知らなかった。）

…ここまで考えて、壁にぶつかる。

話が「壮大」すぎる。

いまだお蔵入りしたネタです。

現実の歴史において、岸総理は日本の防衛を考えた人物だ。

彼は最終的には憲法を改定して、再武装すべきと考えていたらしい。

しかし、日米安保改定で安保闘争が勃発。首都東京はデモ隊で大混乱になる。

平和憲法の日本に軍隊はいらないという世論も強く、とても再武

装さど言い出せない世相だった。
やむなく日米同盟維持をなすとげた後、責任をとり辞任。
再武装は後の政治に委ねる決断をする。

彼の意味を継いだ「中曽根総理」はタカ派として防衛費増額を
指した。

そしてその意思は「安部総理」に引き継がれ、憲法改正に必要な
「国民投票法」が成立する。

時代の意思は引き継がれ、動いているわけです。

日本が「平和憲法」を改定する日は来るのでしょうか？

僕はまだ「平和憲法」には使い道がたくさんあるので、もったい
ないと思っっている。

例えば中国国民は日本の「平和憲法」の存在をほとんど知らない。
もし、その精神を宣伝できたら、どうなるのだろうか？

そう思うからだ。

でも、日本国内で、平和に対する哲学が確立していない。
確立していない精神を人に教えるのは弱すぎる…。

「哲学」が必要なんだと思う。

フランスでは高校でも哲学は必須科目だという。

哲学をちゃんと学んでいるから、判断の難しい局面でも、自分な
りの答えを出せるのだと思う。

「しかたがない」では終わらせず、ちゃんと自分の考えた結論を
出すのだ。

そういうのFさんはどう思う？

いいな…と少しでも感じてくれたら嬉しいです。

“彼ら”の世界に哲学は存在しない。

あるのは、「ごまかし」や「まやかし」ばかりだ。

矛盾があっても信心が足りないで消し去ってしまう…。

そこに「哲学」は感じられない。

仏教は本来「生きるための」哲学の集大成だ。

しかし、彼らはこれを単なる「マニュアル」にまでおとしめている。

それが証拠に“「こう」書いてあるのだから、仕方が無い”と言う人。多いと思う。

「なぜ」そういう教えが出来たのかまで考えず、「マニュアル」として丸暗記しているだけなのだ。

それが本来の仏教のあるべき姿で無い事は明白だ。

「彼らの例のあの行動」も「仏法」に完全に違反している。

「仏法」を破る事も時としていいのだ！と仏法に書いてあると言う人もいるらしいが、どこの何ページにかいてあるのか？ぜひ質問してほしい。即答できる人間の数をカウントしてほしい。即答する人間もいるかもしれないが、それが本当にまちがってないかも確認してほしい。どこまでが「まやかし」で、どこまでが「まやかし」でないのかしつかり見極めてほしい。心からそう君につたえます。

僕は今、賭けをしています。

答えはわかりませんが、とにかく待とうと思う。

今は君の都合が悪いだけだ、受け入れられるにしろ、違うにしろ、なにかしらケリをつけに君は現れる。そう信じます。君は、僕が真実に気がついたという事実をもし知ったなら、その事実を重く受け止めるはずだ。そう思った。

何に賭けているのかと言うと、君が僕に「告白」するかどうかという事だ。

“彼ら”は決して正体を明かさない…。「告白」しない)、どんな

に親しくなろうとも、絶対に。君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は「告白」一步手前まで来ていた。先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ、今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。君が僕に「告白」するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。それは事実です。

告白された事は胸にしまうつもりでいます。

君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。君は僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違いです。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした人達」の）常套手段”です。

“彼ら”は新興宗教のように「専用の服を作ったり、特異なオブリエを掲げたり」しない。

“彼ら”の場合はそれが“ない”かわりに「例のあの行動」があるのだと思う。

「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだ。その一体感が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく…

そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できるくらい一生懸命になれる道理がない。

普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。

誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。

どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっている事実には気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。

その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

「外」からの「風」が入らないので、内部の空気はよどみ続けたままだから、そうなるのだと思う。

非常に悪質な人心掌握法じんしんしよつあくになります。だから全てを背負い込んではだめです！“彼ら”はそれを狙っています！！そうやって君の心から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ！！だから注意して！

君は“幼すぎた”。だから抵抗できなかつた。

しかたがなかつたんです。君は何もわるくない。

もう一度、繰り返します。

君はなにも悪くない。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援していただきます。

君は自分で思っている以上に強い人です。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

でも繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしい事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。
三界に家を建てるには、君が必要です。
「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！
老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

明るい光を君に。

.....
.....
.....

〔12月6日（月）曜日〕

昨日同様、没ネタでも書こうと思う。

ある日、時代劇の構想が浮かんだ。たいしたものでない、時代劇のドラマの殺陣を見ていて、何となく浮かんだやつだ。浮かんだのは……

江戸時代の変則剣技の持ち主の話。

変則剣技の持ち主自身は強くないのだが、あまりに変則スタイルのために、技が読めず、正統派の人を次々負かしてしまう話。しかし、基本的に弱いので、太刀筋を相手に読まれてしまえばいつ負けるかわからない。そんな恐怖を感じた彼は、基礎の剣術を学ばないといけないと彼は考え、一般の道場に通うのだ。

（NHK人間講座で数度放送された「甲野善紀さん」の古武術を見たのが最大のインスピレーションの元だった。その中で紹介された居合い術の「稲妻抜き」や、相手の防御をすり抜ける「影ぬき」はすごかった。）

道場での彼は、ドジの上にドジを重ねるような人物で、とても変則剣技の持ち主とはだれも思わない。

一方で、御前試合で、彼の変則剣技のコテンコテンに負けた一派は彼を探していた。

彼自身が強いのではなく、太刀筋がまったく読めないがゆえ勝てないのだと悟り、彼の技を研究すべく彼を追っていたのだ。

太刀筋を研究して解き明かした暁には、もう一度再試合を申し込んで、汚名を晴らそうという訳だ。

実はこの汚名を晴らしたい一派というのが、幕府の改革派であり、公式な試合で負けた事により権威が落ちて幕府内での発言権が落ちた一派なのだ。時あたかも外国がおしよせる幕末であり、大老、井伊直弼が桜田門外で亡くなった時期。幕府は徳川家を守るのか、日本を守るのかでどたばたしていた。彼らは京都の公家に自分たちの強さを示して、主導権をつかもうとしたが、名も無き一浪士の変則剣技に破れてしまい。面目がたたない状況だった。組織内では、そんなくだらない復讐を今はしている時期でないといい良識ある人間もいたが、こだわる頑固者もいた。

ある日、主人公はその変則剣技を見せる羽目になる。

京都で、新撰組に囲まれて難癖をつけられた時だ。彼は道場で親しくなった女性のために医者呼びにいっ最中だった。

一刻を争う状況で、蹴散らす以外に無かった。

素性がバレ、彼はどうなるのか？

次々に刺客が送り込まれ、彼の技は1つ1つ暴かれてゆく…

このピンチをどう切り抜けるのか？

そもそもこの変則剣技は何なのか？

彼はなぜ戦うのか？

とまあこんな感じのはなし。

もう少し何かが足りないなと思い、いまだ描いてないネタだ。

まあ、そのうちこの「変則剣技」というネタで何か書けるだろうと思いつつ、今だ出来てない状況です。他のネタにかかりきりで、苦手な時代劇は後回しになってるだけというのもある。

何しろ小説とちがい漫画の場合は絵にするから資料が大変な事になる…、描ききれない着物も厄介な代物。そんな理由もあり寝かしたままのネタだ。

ありふれた時代劇に出来なくは無い。

でも、なんかもっと可能性が探れそうな気もする。

実はこういう変則剣技は時代劇でも解説このされてないけど、よく見る。

「御家人斬九郎」では最初の数回だけだけど、主人公を腕をバツの字に組んで戦う。相手の最初の一撃さえかわせばどこからでも切りかかれる構えのような演出だ。あまり評判がよくなかったのかそ

のうち見られなくなつた。

「桃太郎侍」だつたかな…、有名な満月殺法はこの番組のものだつたと思う、あれもかなり変則だ。剣を満月のように円を描かせる…、アレにより対戦相手は、主人公がどこから切りつけるか判らなくなるというやつだ。

上記2つはあくまで「演出」だが、「木枯らし紋次郎」の剣術は凄かった。ものすごく実戦にこだわっている。ストーリー上、紋次郎は侍ではなく渡世人^{エロキ}だ。正式な剣術などつかわず、基本的にケンカ殺法になる。

市川昆監督は、この木枯らし紋次郎のケンカ殺法を演出するために、本気で斬りつけるような演出を求めている。だから時代劇では良く見る剣と剣がバチーンとぶつかる演出はされていない。実戦では本来ああいうのはあまり無いというのだ。

だから、「木枯らし紋次郎」のチャンバラシーンは他と違う。迫力はあるのだが、何回もみると地味にみえてくる…。格闘技や剣術の微妙な駆け引きは時としてシロウトには難しい…。

当時「木枯らし紋次郎」は「必殺仕事人」と激しい視聴率争いをしていたと聞く。

2つの作品を見比べると、ドラマとしては「木枯らし紋次郎」が いい出来なのだが、地味で、「必殺仕事人」はくだらないのだが、面白い。なんだかいろいろ考えさせられています。

娯楽作品を作るためには、ただまじめに作るだけではなく、「くだらなさ」も必要という事なのでしょう？映画の世界でも、いい台本をヒットさせるためにワザとくだらなくさせる事があると聞く。いい事が悪い事はセンスの問題なので実に難しいところだ。ハリウッドの映画もいい脚本をワザとくだらなさを加えて味付けする…。時にやりすぎて失敗もするけど。

大衆心理をつかむためには「くだらなさ」も重要。それは事実。いい意味でも悪い意味でも。

でもそれは「くだらない」部分がある方が「共感しやすい」というだけの事であり、それが世の中の真実ではないのです。

“彼ら”は「共感できる」真実」という単純な図式を強制してくる。

“彼ら”の「例のあの行動」は大人な感覚からしたら、動機は子供っぽくバカバカしい。

でも、そういうバカバカしさがまた魅力にもなっている…。

そういうバカバカしい行為は現実の世界では普通ならやらない。

まして人をさそってやらないし、家族にすすめたり、子供にさせたりしない。

もし、やる集団がいたとしたら、狂ってる。

仮にだけど、仮にもしそんな愚かな集団がいたとしたら、そんな集団は自らの行いを絶対の秘密にするだろう。とてもとても恥ずかしくて人には言えない行為だからだ。現に秘密にしている？かもしれない。いたとしたらだけど、そんな人々が。

現実はそのような単純な真理に支配されてはいない。

もっと多くの真実が取り巻き、大きなうねりとなって世界中を取り巻いている…

大衆心理をつかむためなら、何をしてもいいと考える集団がいたら、それは最悪な集団だと僕は思う。

“君”は「幼かった」。だから抵抗できなくて当然なんです。

“君”は「小さかった」。力がなかったのだから、仕方が無かったです。

“君”は「子供だった」。抵抗できなくて当然なんです。逆らえなかったのはしかたがありません。

さげすまず、あかるく、希望をもって。
君は何も悪くない。

君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。
心配です…

君は僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさん
させたと思う。

だから心配です。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違い
です。

間違いをしたとしても、君は悪くないです。僕が保障します。

そうしたそれらの発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”
はそこにつけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした
人達」の）常套手段”です。

非常に悪質な人心掌握法じんしんしよつあくくになります。だから全てを背負い込んで
はだめです！“彼ら”はそれを狙っています！！そうやって君の心
から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ！！だから注意して！
大丈夫だから。安心して欲しい。

大丈夫です。

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？

（そこまでくさってない？）

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有してい
た事になる。

それは僕にとっては（奇妙な事に）誇らしくも感じてしまう。
繋がっていたのだらうか？どうなのだらう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、
どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます

…想像して欲しい

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。

何か立ちはだかる人がいたら、そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援して
ます。

君は自分で思っている以上に強い人です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

（読まなくてもいいです、その存在を気にかけるだけでも。その訳
はこうです。真実は教えてもらったものばかりでない事を意識でき
るからです。その本は「可能性の象徴」です）

（周りにも一度見る事をすすめてください）

誰邪念に負けた人がいた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思いますがどうなのでしょう。
う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「^{サンクコスト}埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃっ
たとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

そんなフランク族の町として「パリ」はひっそりと誕生する。

その名の由来は大西洋にあった幻の都市「イース」からきているという。

「新しいイース＝パリイース（＝パリス＝パリ）」らしい。

（そもそも「パリ」は日本語読みで、本来は「パリス」と発音するらしい）

このパリは有望な石（何の石か忘れた、石灰だったかな？）の産地として、その歴史が始まったらしい。

地下に有望な鉱床があつて、たくさん坑道が掘られたという。

この石の産出で町は栄え、次第に大きくなる。

それに伴い坑道も深く、大きくなり、パリの街には全体像も不明な地下空間が何百年と築かれていった。

その内、石が取れなくなるのだが、その頃にはパリは一大商業都市に変貌していて、すっかり変っていたのだ。

しかし地下空間だけは残され、その後いろいろな使われ方をしている。

地下墓地にも使われたし、地下教会カタコンベとしても使われた。

ただ、住もうとした人間はいないらしい。よほど住みづらい所なのだろう。

革命期には活動家の拠点となり、印刷機が持ち込まれ、地下出版アンケラ物が、革命思想の普及に一役かっつたらしい。

近年では、地下にバーなどを開く人もいると言つ。

それどころか、地権者に無断で使用し、地下映画館など開いて捕まる人も、今現在でもいるらしい。

で、そんな話を聞いて、実際のパリの地下空間はどの程度の規模で、どのくらい研究されているのだろうと思っただが、どうやって調べたらいいのか見等もつかず、現在にいたっている。まあ、漫画のネタにするのだから、そんなに正確に調べる必要もない気はするけど。

で、こんなネタを思いついた。

昔、むかし。パリに人間が住みついて間もない頃。宇宙人の宇宙船がパリに墜落。その残骸は地中深く埋もれてしまう。

その後、何百年たち、そんな事を知らない人間たちが坑道を掘り進み、宇宙船にたどり着いてしまう。わけもわからず、装置を起動させてしまい、時間の穴を無数に開けてしまう。この穴は地下坑道のいたるところに不定期に開いてしまい、坑道のあちこちに時間の扉が出来てしまうのだ。機械を動かしたはずみで、たくさんの坑夫仲間が時間の穴に落ちてしまった。1人だけ残った彼は、何とか仲間を助けようと、時間の穴に入っては仲間を見つけて救出する活動に没頭する。そんな彼が時間の穴を通り、21世紀の現代に現れ、交通事故で担ぎこまれる。この後彼は仲間を救えるのか？なぜ、そんなに仲間思いなのか？いろいろ疑問は残るが、やりようによっては面白そうだ。

特に地下の時間の扉を越えればどの時代にもいけるのがミソだ。子供向けでも大人向けでもいろいろ話が出来るそう。

ただ、短編にする場合は上記設定は「裏設定」扱いにして、これとは別のドラマを用意しないと成立しない。

なにかとつかかりがあつたらこのネタ使えるなと思ってとってあるものです。

いまだ使い道がわからないままなだけど…

もしパリに行く機会があったら、地下に行って見たいとも思う。
(実際行くとたいした事ないのかもしれないけど…)

今書くとしたら、知らぬ間に凶悪組織に国が乗っ取られる恐怖を描いた「21世紀少年」見たいな話がいいのだろうか？

それとも「人間の悪意」とは何か？を書く話がいいのだろうか？僕にはその辺のさじ加減がわからない。

…まあ、何にしても、今は自分の納得するものを描こうと思う。下手に他人の顔色をうかがっても自分らしさが消えてしまう。それが東京での漫画投稿をした上でたどりついた僕の結論です。

難しいと言われるなら、誰も見たこと無いくらい難しい物を描いてやろうと、そう思った。

下手に世間に媚びると、大切な輝きも失う結果になる。

これは哲学でもなんでもない。

生きる上で誰もが感じる当然の真実だ。

こんなニュースを見た。

以前騒がれた不可解な殺人事件。

犯人はこんな事を言っている。

「自分を襲う圧力団体の方ではなく、警察が来てくれて(逮捕してくれて)よかった…」

何を言ってるのか意味不明だが、ある一連のイメージが連想できなくもない。

何かがおかしい。

そう、強く主張します。

誰かが真実を捻じ曲げている。

Fさん、君は子供だったから仕方が無かったんです。逆らうなんてできなかった。

幼い君には何も出来なかった。当然です。君は何も悪くない。小さかったのだから、判断できずそうしてしまったのは、しょうがない事だったんです。

無力だったのだから…抵抗できなくても、君は何も悪くない。僕が保障します。だから大丈夫です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。

今日は久しぶりに21話に書いたものを一部転載します。以下がそれです。

(21話より転載)

詳しい人が日蓮の現存する正筆御書について詳しい解説をしてくれています。

どうも調べると、教えの方法以外で悟りを目指すのは禁止されているそうですね、ならばオリジナルを追求するのはありでしょ？

下記を要約すると、疑いだすときりが無いくらい本物、偽者があふれかえっている。

ひととおり目ぼしいものをいくつか読破して自分なりに納得するのがいちばんでしょう。

これは、君自身の心への回答が得られる方法でもある。

邪道とは程遠い“超” 正当なものです。

17年前、君に答えることができなかつた。その罪ほろぼしになればと…。

Fさん、がんばつて。応援しています。

(以下コピー)

日蓮遺文集の中で最も権威ある書と言われる『昭和定本日蓮聖人遺文』に収録されている遺文の総数は434遍にのぼります。

その中で、日蓮真撰とされているものが222編、真偽未決のものは157編、明らかな偽書と断定されているものは55編に及びます。

日蓮遺文の中で真筆が完存しているものは真偽の問題から除外して、上代の時代写本が現存するものは粗真撰であろうとされていますが、真筆も時代写本も無く録内、録外にも掲載されていない遺文と伝承されるものは厳しい文献考証を経なければ、日蓮遺文であるか否かは解かりません。

さて、「本尊」の問題は日蓮門下の各宗派の教義学の込入った問題なので触れないことにしますが、日蓮の佛教思想を知る上で、彼の図顕した文字曼荼羅（妙法曼荼羅）の研究は欠くことのできないものだそうです。

現在、間違いなく日蓮真筆の曼荼羅とされるものは、総数123幅になり、その内訳は文永期25幅・建治期21幅・弘安期77幅と弘安期の曼荼羅が過半数を占めます。

勿論、日蓮遺文と同様に、所在不明のものや既に滅失したのもありますし、調査に非協力的な一部の寺院もありますから、これが全てではありませんが、しかし、それらの曼荼羅には年代順を追って儀相の変遷が見られ、日蓮遺文の思想の発達と対応していることが確認されます。

また、曼荼羅には顕示年月が記載されているものと、未記載のものがあります。記載されているものには一例の例外も無く、必ず干支が記載され、現在、日蓮真筆と断定されている曼荼羅は全て紙幅のものです。

また、多くの曼荼羅に「未曾有の大曼荼羅也」（万年救護の本尊は「大御本尊也」と書かれており、何も大石寺の「本門戒壇本尊」だけが「大御本尊」ではないのです。

日蓮の遷化前後の様子を記録した白蓮阿日興筆の『宗祖遷化記録』には「六老僧」のことが書かれていますが、「不次第」と書かれており、誰かを自分の唯一の跡目だとは書かれていません。

これは日興真筆が完存しており国の重要文化財に指定されています。

所謂、日興のみが日蓮の「正嫡」だとする『二箇相承』なる相伝書も、真筆はおろか時代写本も無い代物で、現在西山本門寺と京都要法寺に後世の写本と伝わるものが存在しますが、年月日が記載されているものは日蓮の晩年の旅程との日付けが合わず、月日が未記載のものもあり、日興始め日興の弟子の日代の書簡にも記録が無いので、そのような相伝書は始めから無かったと見たほうが無理が無いとの指摘もあります。

この『二箇相承』は重須（北山）本門寺にあつた正筆が戦国末期の武田の兵乱で散逸したとされていますが、要法寺側の記録との相違が見られ、北山本門寺の見解とも相違しますので、極めて怪しいと言わざる負えません。

その他、『日興跡条条事』にも、著しい改竄の痕跡が認められます。

「本状は置状、讓状としては年号のないことや、全体の筆使いから、日興上人筆には疑義が提出されている」

（『日興上人全集』P130）

『日興上人全集』には大石寺所蔵の正本の写真が掲載されていますが、大石寺が現物の公開を拒んでいるので、疑惑が深まっています。また、大石寺59代堀日亨は以下のように述べています。

堀日亨の註

「おおよそ四字は、後人故意にこれを欠損す。授与以下に他筆をもつて「相伝之可奉懸本門寺」の九字を加う」と改竄（削除・加筆）があることを認めています。

また、日興花押は他の日興筆のものとの相違が見られ、後世の似せ書文書では無いかと訝る研究者もいるほどです。

皮肉なことに、日興の遺文の研究から日興の正嫡を自任する宗派の、自宗の正統性を主張する為に行った後世の捏造・改竄が明らかになりつつあります。

要するに、始めから無いものが残っている筈がないのです。

殊に、無くてはならないものだけが、見事に全て残っていないというのは不思議？としか言いようがありません。

なるほど、永い年月の間には、貴重な資料も少しずつ消滅するでしょう。

しかし、日蓮よりも遙かに古い貴重な文書が多く残っているのですから、自宗の正統性を主張する上に於いて欠くべからざる文書だけが、ただの一つも真筆が残っていないと言うのは理解に苦しみます。

ご参考まで。

「嘘」と言つと角がたつけどね。自流の正統性を主張する為に、後世の末流達が宗祖・派祖の事績を粉飾するというのはよく有ることなのです。

(21話より転載終了)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そついう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらつ機会をもらつた、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

過去の自分を否定すると自分が自分でいられなくなる？

君は何も悪くないのだから、安心していいのです。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言つ権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃつたとしても、

誰も責任取つてはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もつその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言つ資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

.....
.....
.....
.....

〔12月8日（水）曜日〕

没ネタとして書くなら何が後あるだろう…

こんなのもあったな。

第2次大戦の日本の敗戦をなかった事にしようと画策する謎の時間旅行者を追う話。

しかし、その犯人はじつは未来の自分だと気がついてしまう。気がついたのは主人公1人のみで、仲間の追跡者はまだ気がついていない…。

確かに自分には世の中を良くしたい欲求もある、できるなら歴史を改ざんしたい気持ちもある。

でもそれは重大なルール違反で、今の自分では考えられない行為だ。

一体、未来の自分に何があってそうなってしまったのか？

その確信がもちたくて、犯人を追う主人公。

犯人は未来の自分なので行動パターンも読みやすい。

彼の推測はよく的中し、追跡犯の中でも目立つ存在へなあってゆく。そんな彼の様子に疑問をもつヒロイン…。そんな話。

プロットとしては悪くないと思うけど、どう料理すればいいか迷う素材だ。

どうあがいてもハッピーエンドにはならない。

主人公ではない人物の背景設定としては、なかなかのもののように感じる。

イギリスのドラマ「プリズナーNO.6」のように演出すれば面白くなるかもしれない、なんて思いもある。

「プリズナーNO.6」は特異なドラマだ、奇抜を通り越してい

る。

ある日イギリス諜報部員が突然、自分の都合で辞職する。当局は彼を拉致。謎の“村”に監禁し、辞職の秘密をしゃべらせようとする。

“村”はNO、2と呼ばれる人物が支配するところで、一見のどかだが、完璧な監視社会。外に出ると殺されるし、そもそもその手段も無い。村人の多くも拉致されてきた人々だが、半数は監視役がまぎれていて、誰が敵でだれが味方かわからない。NO、2はあの手この手で、主人公（NO、6）を自分たち側の人間にしようとする。強攻策（洗脳・拷問）もやろうと思えばできるのだが、彼の重要性を考えるとできない、といつもその手以外の方法で、彼を精神的に陥落させようとする。つまり、毎回あの手この手で、主人公の心を陥落させようと心理戦を働いてくるのだ。この心理戦がイギリスドラマっぽくない。おそらく製作当時のサイケデリックブームの影響を受けているのだと思う。理屈ではなく、感覚に訴える演出がされている。この辺りが、このドラマの異色度を増している部分だ。たぶん、本国イギリスでは、それほど人気は無いと思う。あったら、いまごろ続編の1つも作っていいそうだ。

日本でのみ人気のあるドラマなのだ。

集団の意思にはむかうむなしさと甘美な魅力…、日本人が好む要素がてんこ盛りのドラマだからかもしれない。

集団に身をゆだねて狂ってしまったいたい衝動と、主人公は、毎回、戦う。

ラスト。彼は脱出を果たすのだが、その脱出劇そのものも畏かもしれない。

その判断は、今度は視聴者の皆さんがしてください、主人公はもう“このラスト”を受け入れて、疑う気ももっていません。

貴方はどう思いますか？的な終わり方をする。

あの夏の日、君とキスをすると車がやってきた。

1度目のは時は君は驚き狼狽したものの半信半疑な部分もあった。でも2度目、同じ車がくると半狂乱のように恐怖した。相当怖かったのだろう。

君は何も悪くないのに、世の中には許せないやつらもいるものです。Fさん、君はどう思う？

あの車は、1度通過した後、どこかでUターンして戻ってきていたのだろうか？

近所の騒音車も観察していると、何台かはUターンして戻ってきているみたい。

いい大人が恥を知らないのだろうか…

どちらが日本を悪くしているかと言えば、彼らの方だ。

こういう風潮がこの世界をダメにしてゆく…

“彼らという「現象」”に彼らも自分を「見失って」いる。

そして「見失ったもの」を継承しようとするから、歪みが発生する…。

身についてもいない“徳”を伝授するという歪み。

身についていない人から“徳”を学ぶという苦しみ。

身についていない人から学んだものを、さらに後輩に伝授していったらどうなるのか？

世代が下るにつれ、何がどうなるのか…

そういう「現象」君のまわりにもあるのだろうか？

君は「幼かった」から従って当然だった。仕方が無かったんです、。

「小さい」君には何もできなかった、ただただ身をゆだねるしかなかった、何かがおかしいとおもっても、言っていないのかすら…その気持ちは、わかります。悪くないんです君は。なにも悪くありません。

「子供」だった君には他に選択支がなかった。

だから、自分を責めないで！

僕が保障します。

君は何もわるくない。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援します。

君は自分で思っている以上に強い人です。

うわついた気持ちの連中を跳ね除けて!!

自分を解きほぐして!

まごころは、君の心の中にあります。

「教えを馬鹿にするのか!」とか

「正しいに決まっているだろ!」とか

根拠もなく絶対正義を主張されたら、こついえば言い。

「弘法も筆の誤りよ」と。

えらい弘法大使ですら、間違いをするものという意味です。

使い方次第では、理不尽な言葉を跳ね返せると思います。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(詳しくは21話を参照してください)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう?

君は幼かった、だから仕方が無かった。

なにも悪くないのです。

幼さを食い物にする連中が悪いのです。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

今回の件で、仮に僕と会えないにしても、君の人権が何かしらの形で報われる形に変化していたらうれしいです。どうなのかな、大丈夫かな？心配しています。

今日は久しぶりにプラモデルを買った、いい歳してと思わなくも無いが、最近は昔と違い大人の趣味として認知が広がっていて実にありがたいです。今日はいろいろ疲れたので、少し骨休みをするためです。

（この趣味が本格的に自分のものになったのは大学時代だ、高校の時はそれほどでもなかったと思う。君の記憶ではどうなってますか？あまりこの手の話を君にした記憶がない）

現在東静岡駅で行われている実物大ガンダムの展示されているホビー展は予想を上回る来場客で、行政側がビビっているらしい。来場者アンケートでは沖縄や香港の人も少なくない数来ていて、おもちゃとも言えども侮れないキラコンコンテンツになっている。

これとは別に現在静岡にあるバンダイ（ガンダムのプラモデルをつくっている会社）の社屋はなんだか物凄い事になっているらしい…、見学希望者が後を絶たないとか。何でも社員はみなコスプレに近い制服で作業しているらしいし、工場も物語の世界観をあらわしたものになってるとか…、TVのインタビューで社員の人が、ここをテーマパークと考えている。できれば行政と組んでもっと広げた活動にしていきたいなどと答えていたのが、ついこないだの事だ。富士急ハイランドにも東静岡のものとは別の実物大ガンダムをつかったアトラクションがあり、もしかしたら中部東部静岡で、こういうイベントが恒常化する事もなくはないのかもしれない…、なにしろ今は不況だし。飛びつけるキラコンコンテンツには飛びつくかもしれない。世の中常に動いているものです、このさき何が起こるかわからない（

昔カナダでも、プリンスエドワード島で初めて赤毛のアン展のよ

うなものを開いたら、世界中から来場者がやってきて、行政側が相当驚いたという話を聞いたことがある。

目が覚めた行政は、物語の世界そのままの家屋を島内に建設して島そのものがテーマパークのようなコンセプトを作っている。「地球の歩き方」というガイドブックで「カナダ東部」の本をみると本当にアンの家が載っていてなんだかすごいです。アンの家だけでなく親友のダイアナの家まである。劇中に登場するホワイトサンドホテルに近いホテルも実在する。機会があれば行って見たいとも思う…。開拓時代の雰囲気をした田舎の雰囲気も悪くない。

で、近くにはナイアガラの滝もあるし、アメリカ東部都市も近くにあるし。旅行プランを練れば面白そうだ。Fさんはどう思う？

ん？

そう。

うん。

そう思う？（わかんないけど）

いつか（君の話が）聞けたらうれしいなと思います。

だめかな…。

まあ、なんにしても待つと決めたのだし。

僕は毎日やるべき事をやりつつコツコツやってけばいい訳です。

君の幸せを願いつつ…

今日ヘルパー講座の2回目に出席しました。毎週水曜、朝9時半から駅南口から少し離れたところでやってます。

人と話すのが苦手なのは相変わらずだけど、やっぱ見ず知らずの人とあーでもないこーでもないと話するのは好きみたいです。なんだかグループでいろいろやって、特に仲良くなったわけではないが、久しぶりにスッキリした。

ああいう風に人とやりとりしていると東京で働いていた時の事を思い出す。新鮮で面白いですやっぱり。

君からもなにか新鮮な何かを貰えればうれしい。
そんな事も思う。

高校時代は君から多くのものをもらった。

君の考え方や心は毎回新鮮で面白かった。

なんでこの子はいつもこう面白いのか不思議だった。

どうやってたら笑顔になるのだろう？と毎回考えるのが楽しかった。

…とにかく待ちます。今はなにか都合が悪いだけだ。

君は何かしらのケジメをつけに、必ず現れる。

でも今はその時ではない。

そう思うことにしました。

それでいいよね？

いろいろそちらで、たくさんあったと思う。

でも君はなにも悪くないと思う。

逆らえなかつたんだし、仕方が無かつた事なんです。

僕は君を恨んでないし、出会えて本当によかつたと思っている。

君が自分の気持ちに決着をつけられるよう、心から祈っています。

君の望むべき世界が実現する事を願うというのが、僕の立ち位置な

のですから。

ただ、キツイ事でも言うべき事は言う。

それが過去から学んだ僕の経験則です。

それだけはわかつてほしい。

時々、君自身にとつてとでもつらいセリフを、僕が気がつかず書くことがあるかもしれない。でもそれは、君を責めているわけではない。君が自分の心に彩りを取り戻して欲しいと思うからなのです。

君の前では僕は可能な限り本音をいいたい。ウソはつきたくない。それは事実です。他の人がどう思うかなんて知らないけど、君は僕がこう言つと、どう感じるだろう。本音を言ってくれてると感じてくれたら嬉しい限りです。

いろいろ言われているのだろうか…。けど、がんばって。負けな
いで欲しい。

狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除け
て！

自分の心を取り戻すべきです。

心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！と言っ
てやってください。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。
い。

いろいろあると思う。けど、がんばって。負けなで欲しい。

多分君の周りには悪意なく“そういう事”が出来る人がたくさん
たくさんいると思う。

それは悪意があるのではなく、心が内向きになっていて、外に向
いていないからだと思う。

心が外向きになれば、人として持つ“当たり前前感情”が戻って
きます。

そう、周りの人に言ってやってください。

繋がりには、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思
う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

君は幼かった、従うしかなかった。

たぶん僕ですら君と同じようにしていたと思う。

子供だったんだからしょうがなかったんだと思う。

小さかった君には抵抗もできなかった事柄なんだと思う。

無抵抗な子供時代に「心」を「縛られて」「しまったら、僕ですら君と同じ事をしたと思う。誰だってそうです。

君は悪くないんです。大丈夫です。

僕が保障します。

…これは決まり文句だから、今回も最後にのせるけど、実行の是非を問う意図で描いているではありません。あくまで、あたらしい新鮮なイメージを意識して欲しい象徴としてのセリフです。惑わされず、立ち向かってほしい。君は自分で思っている以上に強いひとです。負けないで！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(21話を参照してください)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

頑張れ！

.....

「12月10日（金）曜日「勝手な判断でつぶされる“可能性”について」

こんな事を思った。

昨日テレビ東京でみた「カンブリア宮殿」という番組はすごいシーンがあった。

番組ホストである「村上隆」が経済界の大物を招く番組なのだが、この回のゲストは、現在繰り広げられている「激安居酒屋競争」を最初の始めた張本人の社長だった。

この競争には批判も多い…。でも批判以外も多く、一概にこうだと言いきれない。

このビジネスモデルのいい面では多くの庶民の財布の強い味方であり、悪い面では、立場の弱い者の犠牲を強いている点だ。従業員の制服は本人の買取だし、納入先がつける負担も大きい。

VTRを見ている限りでいうなら、この社長。フランチャイズ飲食チェーンで成功した社長で、その時代の感覚をかきわける嗅覚はたしかに“本物だ”。バブル全盛時代に今日のデフレ時代を予想して、激安居酒屋を準備したのも、すごい嗅覚だと思う。

お客さんの求めるものを貪欲にかきわけて提供するプロであり、そのためにはとことん努力する人物として番組では紹介されていた。

そしてVTRは佳境に入り、一旦社長のビジネスからはなれて、個人経営のちいさな居酒屋に転じる。

そこはリストラされたご主人が奥さんとやる小さな店で、でも肉に対するこだわりは物凄く、適当な店ではない。昨今の激安居酒屋競争の流れをうけて、苦戦してはいるが、こういう店を支持してくれるお客さんもたくさんいて、なんとかやっていっているという、社長のビジネスモデルの対極のものを見せ付ける。

…そして番組はスタジオへ。社長の微妙な表情を映したあと、番組ホストの村上隆がこう社長にせまる。こういうのはどうですか？と。社長はこたえる、こういうのもあるべき居酒屋の1つだと。

村上隆は明言こそしないけど、素人には真似のできない微妙な表現で社長にせまる。

一体あなたの目的は金儲けですか？それとも庶民の利益なのですか？と。

（なぜなら、この社長のビジネスモデルをそのまま追及したら、激安競争でライバルを消耗戦に持ち込んで、最終的に1人勝ちしようという計画が透けて見えてくるからだ。その戦略が“たまたま”現在のデフレ不況下で好評を博しているが、実際のところは社長は

どう考えているのか)

この問いにたいして社長が歯切れのわるい返事しかないのち、再びVTRへ。

社長がもうすでに次の手として、居酒屋を総合激安フードサービスへと発展させようとしているVTRに進む。もうこの人は次をみている、その時代を読む嗅覚と行動力はものすごい、と。全体として社長を「よいしょ」しつつ、実は確信をつく質問をして社長を困らしたりもしている…。これがプロの作家の実力か…、と思わず溜飲が下がった思いだ。

これは村上隆のテクニクなのか？TVスタッフの力量なのか？
なんだか凄いものをみたなと思った。

この番組内で紹介された社長…、いい悪いの評価は凡人の僕にはできない。

それでもあえて印象を言うなら、同じ居酒屋チェーンで有名なワタミの社長とは対極にある人物のように見えた。似ているところもあるが、何かが決定的にちがう。

何が言いたいのか？

つまり、成功する人物というのも1種類ではない。

いろいろなタイプの人間がいる。

つまり、こういう生き方が正解であり、成功者の道だという定理はまやかしかだと言いたいわけだ。

“彼ら”は1種類の生き方を強制するが、それが成功の唯一の道と考えるのは、単に可能性をつぶす行為そのものなんだと、そう思った。ちよつと難しい？

つまり、何が正しいかは人それぞれだし、

それは心の“中”だけの問題ではなく。

現実社会の成功者の種類をみただけでも、反映されていると感じたと、こう言いたい訳です。勝手に可能性を封じられると実に厄介です。

… 大学時代、先輩にこんな事言われた。

「お前は、公務員とかあつてるぞ」と。

まんざら間違つてない指摘だ。でも当時はその考えになびかなかつた。

人生の疑問の答えを出したかつたから。後悔はしていない。やりたいた事をやったからだ。自分なりの哲学も手に入れたし、それなりのタフさも手に入れた。直せてない欠点もいくつか残っているが、自力で直したにしては上出来だと思っている。

たぶん、公務員になつていたら、現在身に付けたものは得られなかつたと思うし、そうなつていたら“彼ら”の攻撃もかわす事も出来ず、君の想いにもきがつかなかつただろう。

（“あの”裁判のニュースを見ると、本当に人事じゃないなと感じる、あの人が「いいからお前逃げる」と言ってくれた理由もなんとなくわかる。たぶん当時彼らは本気で「決め」にかかつたんだと思う、必ず仕留められる「必殺技」を繰り出して決める気だつたんだと思う。“彼ら”の世界は閉鎖的だ、新しい風が入らない構造をしている。その世界は新興宗教のように「専用の服を作つたり、特異なおブジエを掲げたり」しないが、それが“ない”かわりに「例のあの行動」があるのだと思う。「例のあの必殺技」を通じてメンバーが一体感を持つのだ。その一体感が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく… そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できるくらい一生懸命になれる道理がない。普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。

誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっている事実を、

がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

「外」からの「風」が入らないので、内部の空気はよどみ続けたままだから、そうなるのだと思う。()

…でも、もし当時君とあのまま続いたらどうなっていたらどう？
多分、そのまま本当に「公務員」にでもなっていたと思う。

だってこの世で最高のしあわせを手にしたのだから、これ以上何かにチャレンジする理由がないからだ。そういう可能性も平気でつぶすのは、どうかと思う。

Fさんは、何を感じるのだろうか…

とにかく、君は悪くないから。安心して。それだけは断言できる。
小さい頃からでは、逆らえないのはわかる。

幼く弱い君に抵抗の術は無い、ささやかな抵抗も無残に踏みにじる集団だ、本当に恐ろしいと思う。嫌なら嫌と、言ってもいいんです。誰に気兼ねする必要もない。なぜなら、君の1度しかない人生なのだから、理由はそれで充分です。

小さい頃に心を縛られてしまったのだから、抵抗できなくて当然です。

辛かったと思う。

安心して欲しい。

君は何もわるくない、僕が保障します。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援していただきます。

君は自分で思っている以上に強い人です。

先ほどの居酒屋チエーンの話。

何が救いが無いかというと、日本の雇用システムは高度経済成長期と何も変化していない。このシステム下においては、居酒屋従業員の地位向上は相当に難しい。

できる事なら、働く人達の地位向上に向える何かをビジネスモデルに組み込んでもらえれば、多少の救いもあるのだけど…、などとも思った。

ワタミの社長は居酒屋で築いたメニュー開発のノウハウを老人ホームでも生かす方法を探っているという。上手くいくのかは知らない、けど、新たな可能性の模索こそが、人が生きていく上で最も重要な行為だと僕は思う。

ヘルパーの勉強をされていて感じたのもこの点だ。

人間は生涯成長し続ける、そういう考えの元にたつてお年寄りと接するべきだとある。若い人間が、一方的にお年寄りの可能性を閉じてしまうのは間違いだとも思う。

実は大学時代、この分野に少し興味があり、調べた事がある。

当時は今と違い、介護福祉が未発達な時代だった。徘徊老人をベツトに縛り付けるのも普通とされ、食事もどうせボケてるのだからと、ゼリーも味噌汁もご飯も薬もどんぶりにごちゃ混ぜにかきまわして食べさせていたとかいうのを読んだ事もある。現在は、当時の劣悪な環境が反省され、もっと人らしく過せるように改善されている。もうどこにも手足を縛ったりする老人ホームは無いはずだ（たぶん）。時代は変化し、動いていると、思いたいところです。一方的に可能性を否定する事はまちがっていると、つよく主張します。君は同意してくれるのかな…、君の意思を縛る事はしたくない、けど、僕の考えは伝えたい。そう、日々感じています。いつか会話ができる日を、と夢見ています。

君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。僕と別れた後 君は“彼ら”に“まちがった”発見をたくさんさせられたと思う。

君は自分でそれを発見したと思っ込んでいるけど、それは間違いです。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした人達」の）常套手段”です。

非常に悪質な人心掌握法じんしんしやうあくになります。だから全てを背負い込んで
はだめです!“彼ら”はそれを狙っています!!そうやって君の心

から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ！！だから注意して！

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては（奇妙な事に）誇らしくも感じてしまう。

そうして2人は繋がっていたのだろうか？

そうだとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、
どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

小さかった君は抵抗できなくて当然です。

君は何もわるくない。大丈夫です。僕が保障します。

君が「埋没費用の呪い」にかからず、
サンクコスト

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

昔々、魔法で野獣にされてしまった王子がいて、森の中で隠遁生活を送られていた。

たまたま迷い込んだ町のおやじが、彼に助けられるのだが、助けた礼をする件で、娘をあとで世話係としてよこす。という話になる。健気にも娘は怪物の待つ屋敷へ…で、あとはおきまりのパターンだが。

これを強引にSFにしたいとなぜか思った。

森の中で、コンピュータが全自動でコントロールしている宇宙船が待機している。

船は主人の帰りを待っているのだが、一向に帰ってこない。そうこうしているうちに何百年と経ってしまった。

船はそのスーパーテクノロジーが現地住民にばれないように、プログラムで偽装して、外から見ると古びたお屋敷にしかみえないようになってる。

が、長年のメンテナンス不足で、セキュリティが甘くなり、侵入者を許してしまう。

侵入者は森で道に迷った男だった。仕方がないのでコンピュータは立体映像を駆使して、モニターのいる化け物屋敷を演じて、彼を追い出そうとする。

なんとか男を追い返した船はほっとするが、今度は恩返しにと娘がやってくる。

娘は機敏な人物で、怪物の正体に気づき、船に同情する。

一緒にいなくなったクルーを探す事を約束し、旅がはじまる。

船は本来クルー以外の命令を受けられないのだが、クルーの生命・安全を図る範囲内であれば、部外者の命令でも聞く事ができる仕様だった。

彼女の命に従い、何百年ぶりに空中に浮上する宇宙船。

屋敷に偽装していたのと同じ仕掛けで、雲に化けた船と、彼女の数百年前に失踪したクルーの足跡探しの旅が始まる…。

そんな話。

行く先々で、中世都市の人々と出くわし、当時の雰囲気を楽しめる。

トラブルに巻き込まれても彼女には船がついているし、行く先々で、いろんな話が作れそうだ。

中世のヨーロッパ商業史をベースにSF的味付けで楽しめる歴史ものにできる。

けど、この話のパターンだと、核になるのは人間ドラマだ。

苦手な要素だし、そもそも人間ドラマで勝負して、プロの漫画家に勝てる自信が無い。

どうにか自分の得意分野に持ち込めれば…、などと考えていると、ページ数が膨らんでしまう。

なんとかコンパクトにまとめられないかな？、と考えているネタです。

人間ドラマは並レベルしか作れなくても、自分の得意な分野に何とか…

ちよつと傲慢かもしれないけど、こんな事も思う。

あるドラマの脚本家の方の話なのだが、彼女は正直、普通のシーンに関していえば並の脚本しか書けない。

でも女の情念とか、ドロドロしつつもさわやかな、女性心理を書かせたら右に出るものがないくらい“すごい”ものを書く。

僕にはどんな物語がかけられるだろう…

ま、とにかく、前にも書いたけど、今はこう考えている。

下手に他人に媚びず、とにかく“難しい”と評されるなら、とこ

とん難しい作品を作ろうと思う。

上手くいくかどうかは、まあ、あとのお楽しみです。

東京にいた頃は、どうすれば面白い作品が書けるか日々考えていた。

本もいろいろ読んだ。

平田オリザさんという戯曲家の書いた「演劇入門」が一番しっくりきた。

どうも、僕の中で「物語」というイメージは「舞台演劇」に近いイメージらしい。

他の物語創作本ではいまいちピンとこない。

自分の中ではそれで納得しているが、それだけでも前に進めない…そこで、この小説でも書いた「時事ネタ」を今書いている作品では前面に出すつもりです。

正直これは「漫画を描く上でやってはいけない事」といわれた手法だ。でも、こうも考える。

これも挑戦だ、と。

悔いだけは残したくない、いや、たとえ悔いが残る事になったとしても、自分の納得した行動での悔いなら、妥協した上での行動の悔いよりさわやかな気分になれる。

これは、いい悪いの問題ではない。挑戦とは何か？というものです。

近年、募金もできる自動販売機が普及しているそうです。

僕は見た記憶がないけど、君はどうですか？

このニュースを見たときは、そんなのあったかな？と思ってしまった。

今度自販機を利用する際は注意深く観察しようと思った。

何でもこの募金が出る自販機は、10円募金、100円募金とボタンがあり、コイン投入後ボタンを選ぶと募金できるらしい。

おつりを募金してもいいし、募金オンリーの利用も可能というのだ。

なんのメリットがあるのか？

CSR（企業の社会的責任）推進の一環として、大手企業が普及させているらしい。

“騙されている人達”の理屈でいえば、“偽善的行為”なのだろう、“彼ら”の理屈ではこの世は弱肉強食だ。

でも僕はこう考える。

これは社会を少しでも良くしたいという“挑戦”の一環なのだ。上手くいくかどうかはともかく、新たな可能性に挑戦することこそが、人が生きる上で大切な営みなんだと僕は思う。

君は、どう感じるだろうか？何か肯定的なイメージに繋がってくれればうれしい…。

お年寄りでも、生きるさいごまで、挑戦（人としての成長）はつづく、そう考えるのが社会として健全な姿だと前回の記述で書いた。これは人が生きる上で重要な事なのです。

“彼ら”の教えではどうなのだろう…多くの“騙されている人達”は挑戦を否定しないだろうか？

一定の枠に閉じこもり、外の世界を否定する…。それが健全かどうかは個人の生き方の問題であり、とやかく言うものではないけど、強制されるのもおかしいと思う。

可能性を否定する人達に負けないで！！

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“

ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

子供だった君は弱い存在だった。

だから仕方が無かったんです。

泣くほど辛くともだれもわかってくれないもどかしさは、わかり
ます。

幼い君には抵抗の術がなかった、君は何も悪くないんです。

繰り返します、なんどでも。

君はまったく悪くない。

大丈夫です、それは確かですから。

君の周りの人に伝えてください。

「わたし、もう、わかっちゃったの」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからない
はずなのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援して
います。

君は自分で思っている以上に強い人です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

(詳しくは21話を参照してください)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう

う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

小さい君が抵抗できなかった事は、仕方が無かった事なんです。

今は、心を解きほぐして欲しい。

心に彩を取り戻してもいいのです。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！」

「老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

信心ではなく、「信念」を君に送ります…。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、

〔12月12日（日）曜日〕2

僕の場合過去にいろいろあった…

君の場合はどうだったのだろうか？そんな事も思わなくもない。君はいつも不安定だった、心配です。

〔12月12日（日）曜日〕3

最近「テトリス」をやっている…え？今？と思うかもしれないが、今ののだ。

本格的に「テトリス」をやったのは今回が初めてだ。なるほど、こういう攻略を楽しむものなのかと、2010年の今気づいたりする。こういう事かくと間抜けに見えるのだから、知った事か、と思う事になっている。いちいち気にしていたら何も喋れなくなる。間抜けに見えそうだなと思ったときも、堂々とすかしていればいいのです。そう思わない？どう思うのかな…

初めて「テトリス」に触れたのは高校時代。部活でトランプペットの“彼ら”ではない方の彼が持っていたのを貸してもらった時だ。するとその時いたチューバの彼にこう言われた。

「ええ？はじめてなの？」

そう、その時期すでにブームは下火で、常に最新の話題の外にいた僕はいつもブームの一番最後に流行りものに触れる人間だった。

よくよく考えてみればそれは、生まれついた時からで、いつも人の輪の一番外側にいて、最新の話題の外にいた。君はどうだったのかな…、君も流行もの苦手だったような気がする…、いつか機会があったら教えてください。他の人がどう思うかなんてどうでもよく、君がどう感じて何を思うのかが聞きたいなと感じる今日この頃です。

〔12月12日（日）曜日〕4

僕はいつも人の輪の一番外側にいた：
君はどうだったのかな。
同じようにいつも1人の印象がある。

〔12月12日（日）曜日〕5
生き方を変える時、ささいな目標が重要になる。

〔12月12日（日）曜日〕6
「できる」と不思議に思い続けられるのは、君からもらった大切な想い出があるが故だと思う。あの想い出は僕に大きな影響を与えている、君にも何かしら影響があったのだろうか？今も君の中で“それら”は価値を抱き続ける存在ですか？

〔12月12日（日）曜日〕7
生まれ持った欠点を克服する事が不可能だとしても、その欠点以上の長所をもてばトントンになると思う。
ところが彼らの場合は…悪意をもって人の可能性を信じない。

〔12月12日（日）曜日〕8
彼らの行動は常識を逸脱している。

〔12月12日（日）曜日〕9
何か生まれつき「足りない」にしても
「足りない」なら「足りない」なりに工夫すると意外に何とかなる…
そんな風に考える。

〔12月12日（日）曜日〕10
ウソでもいいから、君に「そんな事ないよ」と言って欲しいと時々思う。出来るならば。

そんな未来を信じて戦おうと思う。

君が、ウソでもいいから励ましてくらたらどれだけうれしいか。
そんな想い、ここに伝えます。

〔12月12日（日）曜日〕 11

インチキで「奇跡」や「たたり」を起こす事で、人を落とす集団
って…

〔12月12日（日）曜日〕 12

身内同士で子孫を残すためなら、当人の意思を捻じ曲げてもかま
わないという噂。

“彼ら”の1部男子は、身内の女子なら簡単にやれる…、と嘯い
ていると言う。

これは僕が言っているのではなく、ネットのあちこちで見える記述
だ。

事実ならこれは恐ろしい事だ、急に寒気がする。噂であると思
いたい。

〔12月12日（日）曜日〕 13

人の尊厳って大切だよな。

〔12月12日（日）曜日〕 14

むりやりって嫌だよな。

〔12月12日（日）曜日〕 15

相手の意思って大切です。

〔12月12日（日）曜日〕 16

そう思うわない？

〔12月12日（日）曜日〕 17

ん…

〔12月12日（日）曜日〕 18

でも、そう。うん。

〔12月12日（日）曜日〕 19

君の意思に賭けます。Fさんは強い、きっと大丈夫です。

〔12月12日（日）曜日〕 20

君は子供だったから、泣くしかできなかった。

〔12月12日（日）曜日〕 21

子供だったから、抵抗もできなかった。

〔12月12日（日）曜日〕 22

仕方が無かったんです。君は何も悪くない。

〔12月12日（日）曜日〕 23

これだけは事実です。

〔12月12日（日）曜日〕 24

揺るぎ様もない事実です。

〔12月12日（日）曜日〕 25

幼く、小さい君にはそうするしかなかった。そうなってしまわざる得なかった。

君自信の罪はないのです。

〔12月12日（日）曜日〕 26

ボーリング場のゲームコーナー、部活の先輩らと僕らと団体で行った日。

僕はテトリスをやった。人生で2度目か3度目のテトリスだ。君が駆け寄ってきて、近くで僕がゲームをする様子を見ていた。なにか話したと思う。

君は自分がテトリスが好きだとか、得意だとか、そんな感じの事を言ったと思う。

僕はと言うと、はやくゲームオーバーになってFさんと話したいななどと考えつつも、わざとゲームオーバーになるのも変なので、ゲームしながら君の言葉を聴いていた。

あの頃は、2度目の破局の後だと思う。

君の気持ちに気がつきもせず、半分心を閉じかけていた時期だ。

なぜ、あの時、君のあの笑顔の本当の意味に気づけなかったのか死にたくなる。

もう会つのもやめようとふっておきながら、変らぬその絵顔の意味が理解できず、混乱し、思考が停止していた。

どうして、なにか意味があるはずだ、と考えなかったのか…、本当に当時の僕と今の僕は同一人物なのだろうか？考えもしなかった当時の僕を殺してやりたい気分だ。

まさかあの笑顔の意味に気づく日がくるとは。

天は見放してなかったのだろうか…

今日、国境なき医師団への募金をつのる封書が来た。

見ると、東京の住所からの転送になっている…。

しかし、東京にいた時、こんなもの来てたかなーといぶかしくもなる。

以前やたらと正体不明の複数の人間に“年金の支払い”について聞かれたが、これも“彼らの調査？”などと一瞬思ってしまう。

僕が募金するか否かの動向を観察する意図があるのか？などと思わなくも無い。

いやいや考えすぎで、単なる偶然だ、などとも思う。

しかし、どの道、残念ながら募金は見送らざるをえない。

僕には、君を守るのでおそらく手一杯です。

幸い、国境なき医師団が資金不足で苦しんでいるという話は聞いた事は無い。

たぶん、大丈夫なのだ、そう祈る事にしました。

(“彼ら” は大量のお金を組織に寄付するらしいけど、実際それは身内間でしか使われず、慈善活動(国境なき医師団など)へは1円もいかない。多くの人々の善意のお金は「例のあの活動(殺人活動も含む)」などにつかわれ、社会を歪ませている…。)

〔12月12日(日)曜日〕 27

“彼らという「現象」” に彼らも自分を「見失って」いる。

そして「見失ったもの」を継承しようとするから、歪みが発生する…。

身についてもいない“徳”を伝授するという歪み。

身についていない人から“徳”を学ぶという苦しみ。

身についていない人から学んだものを、さらに後輩に伝授していたらどうなるのか？

世代が下るにつれ、何がどうなるのか…

そういう「現象」君のまわりにもあるのだろうか？

〔12月12日(日)曜日〕 28

“彼ら”の「例のあの行動」は、多くの人には「(そうとう)つらい」ものはず。

何しろ意味無く人をおとしめているのだ、倫理観があればそうと

うなプレッシャーになる。

心身クタクタのはずだ。でも心身クタクタになる甲斐あって）“彼ら”の「例のあの行動」が、「つらい」が故、日常の些細な事も幸せに感じられるようになる。それが彼らの「行動の意味（価値）」の真髓なのだろうか？人間「つらい事」をたくさんさせられると、些細な事も「幸せ」に感じると思う。

そうした「たくさん辛い事（＝彼らの行動）」をするほど、より些細な日常に幸せを感じられるのだろう。

そうして感覚が麻痺していき「殺人」も「肯定」できるくらいになるのかもしれない。

そのうち「それ」がないと幸せを感じられなくなり、生きていけなくなるのかもしれない。

そして最悪な事に、愛する子供にまでそうした下劣な行為を勧められる異常な心理状態になるのだ。

君もそうした「つらい事」たくさんさせられて、日常の幸せを「より」幸せに感じさせるよう洗脳されたのだろうか…

君はどう思う？上記のようなものは、ワザと不治の病にかかる事で、命の大切さを学ぶのに似ている。

正常な感覚であれば、おかしいと思うはずだ。

それにそれらは命に対する冒涇であり、本当にその病で苦しんでいる人らへの侮辱になる。

「目」は見開いて、前をみなければいけないのだと、強く君に届けます。

「つらい事」をたくさんすると幸せが大事に感じるのは事実。で

も、

「つらい事」とは、本来は「試練」のはず。

犯罪＝試練ではない。暗示にかかると、気がつかなくなるのだと思う。

〔12月12日（日）曜日〕 29

“彼ら”の世界は閉鎖的だ、新しい風が入らない構造をしている。

“彼ら”は新興宗教のように「専用の服を作ったり、特異なオブリエを掲げたり」しない。

“彼ら”の場合はそれが“ない”かわりに「例のあの行動」があるのだと思う。

「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだ。その一体感が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく…

そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できるくらい一生懸命になれる道理がない。

普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。

誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。

どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっている事実には気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。

その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

「外」からの「風」が入らないので、内部の空気はよどみ続けたままだから、そうなるのだと思う。

〔12月12日（日）曜日〕 30

多くの「騙されている人達」の魔の手と戦って！

君は自分で思っている以上に強い。大丈夫です。僕が保障します。

あれを見ていつも思う事がある。

物事には“得意・不得意”というのが、確かにあるなー…と。

日本人は実写のSF作品作りが下手だ。

どうしても外国の物と比べると見劣りがする…。

これは今に始まった事でなく、昔からそうだ。

僕のSF好きは、おそらく藤子・F・不二夫漫画の影響だ。

特に大人向けに書かれた「短編集」は子供の頃から大好きだった。同年代が「キン肉マン」や「聖闘士星矢」などに夢中の頃。

DNAを一瞬で入れ替える科学者の漫画とか、宇宙の果てまで人工睡眠を繰り返してたどり着く男の話などに夢中になっていた。

藤子・F・不二夫の短編にはヒーローは登場しない。主人公は平凡であり、恋や挫折、夢や希望、そして意外な事に不倫などがテーマとして多く登場する。

この傾向に拍車をかけたのが映画「スタートレック」を見たときだ。

小学生の頃、深夜放送のものをビデオに録って見た、当時は知らなかったが、この映画の監督は「サウンド・オブ・ミュージック」でアカデミー賞をとった大物で、その映像美には定評がある。

事実当時模型で撮影されたその映画は、2001年宇宙の旅に負けない出来だった。

外国では“SF”といえば大人向けに作られる。

しかし日本国内で“SF”といえば特撮が主流で、子供向けばかりだ。

その辺にクオリティーの差が出るのだと思う。

以前こんな話を聞いた。

なぜ国内のアーティスト（歌手）が外国でレコーディングするか？という話。

意地の悪い人は、制作費を浮かすため安い外国に行くのだ！と言うが、実際は違うようだ。

海外のスタッフやスタジオを取り巻く“環境”が、もう日本の“それ”と根本的に違っていて、何がどう違うか上手く説明できないが、外国で製作したほうが、いい“音”が作れるというのだ。

映画の世界もそうなのかもしれない。

いつも子供向け特撮がメインの日本で実写SFを録ると、いくら頑張っても限界がある。

でも、こつも考える。

じゃあ、外国人に「宇宙戦艦ヤマト」が作れるのか？というと、答えは「NO」だと思う。

過去に「ゴジラ」や「鉄腕アトム」が外国スタッフで作られたが、まるで違うものに仕上がって物凄いガツカリだった。

こつという風に考えると「個性」とは何かと考えさせられてしまう。個性を生かすも殺すも、人次第。

自分だけ頑張ってもダメで、でも他人任せでもだめで、とにかくあがくしかないのかもしれない。

今、宣伝している映画「宇宙戦艦ヤマト」の監督が、ラジオでこんな事言っていた。

最初出来上がった「ヤマト」が地面から浮上するシーンのCGは酷い出来だったという。

何とかならないのかとCGの製作サイドにかけあうが、現行使っているソフトではこれが限界とわかる。

で、あわてて新しいソフトを探し出し、ゼロから勉強し直して製作したという。

だから、今日習ったばかりの事をつかって劇場用作品の映像を作る羽目になり、最高傑作とはいえないが、なんとか形にしたのかなとか…。

CGだけですらこの様子だから、セットの作りとかその他いろいろも打ち合わせ不足でベストとは言いがたかったのかもしれない。それでもちゃんと完成させたのは監督の力量なのかもしれない。

…物凄い苦労を重ねて、たくさんの人々の努力の結晶が映画だ。でも、だからといって、無条件に褒めるのは映画鑑賞をするうえでは邪道だ。

どんなに苦労して作ろうが、面白いものは面白いし、すばらしいものはすばらしく、つまらないものはつまらないし、駄作は駄作なのです。そうした批判に耐えられないという人は映画を作る資格はないと思う。

なぜなのか？

批判されなければ、向上もしないからです。

なあなあで、なかよしでやっていては、いつまでもぬるま湯のままだ。

これはなにも映画だけの話ではない。

現実社会のあらゆる場所で言えることだ。

例えば、現在「幼稚園・保育園一元化論争」がある。

幼稚園は定員割れをされていて、保育園は不足している。この両者を統合すれば問題は解決するじゃないか！と言われているものだ。

しかし、幼稚園側は保育に気をとられると充実した幼児教育ができないと主張する。また、幼稚園は文部科学省、保育園は厚生労働省

で、それぞれに書類を用意する必要があり、事務が滞ってしまうもんだいもある。

僕が見たニュースでは、現行制度内でも工夫次第で統合を果たしている現場があり、取材されていた。

ある場所では条例を駆使して保育園を幼稚園の「付属施設」とした事で、会計でも申請でも書類を統一できて運営可能になったと言っていた。もしこうしなかったら事務作業が滞って運営は不可能だと園長は証言する。

また。ある東北地方では、村の規則で4歳〜5歳の保育を禁止した。こうする事で0歳〜3歳は保育園、それ以上は幼稚園と住み分けが出来るようになる。何がすばらしいのか？というと、保育園の保育士は年長の動き回る子供の世話から解放され、大人しい0歳〜3歳の保育に集中でき、負担が軽減されたという。（この方式は人口が少ないから出来たとも言われていると報道されていた）この村ではこの制度のおかげで待機児童がゼロになり、周辺からわざわざ保育園めあてに人が引越してくるようになったという、過疎対策にすらなっていたりする。

人は自分の殻に閉じこもりがちです。かくいう僕も人の事は言えない。

でも、なんとかしよう、どうにかしよう、ともかく“意思”がなければ、「前」には進めないのだと思う。

特効薬や、絶対の法則など、この世にないのです。

先に触れた「映画作り」にしても、外国にまかせればいい映画ができるとは限らないし、だからといって国産でやっても限界がある。この世に「絶対に成功する法則」などはなく、常に試行錯誤の繰り返しです。

その際、批判を恐れてはダメです。もしかしたら、批判の中に解決のヒントがあるのかもしれないし、せっかくのヒントをみすみす

見逃すのもおかしいと思う。

君はどう思うのだろう…

“彼ら”の“騙されている人達”はこの世に「絶対の法則」があると信じている。上手くいかないのは信心が足りないと考える。

誓って言います。この世に「絶対の法則」などないのです。

あるのは、真実くらいでしょう。

真実はそう簡単に人間に正体を示しません。

自分で追求するしかないのです。

真実をゆがめる人達に惑わされなくて！、君は強い。大丈夫です。僕が保障します。

子供の頃は弱く抵抗は無駄だ、そうせざる得ないし、ゆがみを強制されても、つらいけど他に選択支はなかった…

幼い頃には疑いもせずになんでも受け入れる、人とはそうして成長する。間違いを知らずにうけいれてしまっても、君に罪はない。

それしか選択支がなかったんだから。

抵抗しても簡単につぶられた？怖かったのかもしれない…、恐怖する君の顔は何度か見ている。

隠し事を強要する世界は歪んでいます、こらは否定できない事実です。

君は何も悪くない。だから、何も問題ありません。

心を責めなくていいんです。

大丈夫です。

もう一度繰り返し返します。

君は何も悪くない、大丈夫です。僕が保障します。

初めての印象とういうのは忘れないものです。わくわくして、楽

しくて、面白い。

周りの人に、機会があったら伝えてください。最初の印象って忘れないものだ。

違いを楽しんだり、同じと思う事を嬉しく思ったり、何もかも新鮮で彩りに満ちている。

僕には、あたらしい世界を共に歩みたいと思う人がいます。君はどう思いますか？

心を解きほぐす機会を、彼女に与えてください。お願いします。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援してい

ます。

大丈夫です。きつと。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった……
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから……天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、
誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかに言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

君は自分の声を出して良いと思う。

そんな事も思わなくもない。

昔こんな話を読んだのを思い出した。

人生の先輩が、もうい歩むのをやめて、人生をあきらめてしまった姿を見せられると、後から続く自分ら年下世代は裏切られた気分になると。

たぶん君の周りには「…人生こんなもんだ」とか「世の中そんなもんだ」と思う人間があふれていると思う。

そうでなければ、その組織がそこまで腐る理由がわからない。

これは人としての“質”の問題なんです。

時として「腐ってしまう」のも人なのだから止むおえないけど、人間が24時間酔っ払ってはいけけないのと同じ理屈で、時として正気に戻らなければ“人として墮落する”のです。

“彼ら”は常軌を逸している。

それが何を意味するのか？

疑問に感じたら「なぜ？」と問うてもいんです。

こんなことを言ったら、偽善とか、大人になれ、とか言う人いるでしょう。

そういう時はこう言い返せばいい。

「考えるのが面倒って顔にかいてあるわよ」と。

「人生のリハビリが必要よね」

と、言ってもいいと思う。

（もしかしたら、国全体のリハビリが必要な時期なんじゃないだろうか？笑って馬鹿に出来ない風潮が現在の日本にはあるように感じる。何もかもが八方塞だ）

…こんな事も思う。

“彼ら”は支部単位でもう勝手な基準で動いている？

てんでばらばらな組織は唯一「人間の悪意」という魅力でのみつながりを維持していて、それ以外の局面ではどこの支部も自分の都合優先で行動している…。

そうでなければ、今頃日本を支配できている。

彼らは「悪意」でのみ連帯感を維持できる文化をもっている。

そこから逆算すると、そんな推測も成り立つけど、実際のところどうなのだろう。

“彼らという「現象」”に彼らも自分を「見失って」いる。

そして「見失ったもの」を継承しようとするから、歪みが発生する…。

身についてもいない“徳”を伝授するという歪み。

身についていない人から“徳”を学ぶという苦しみ。

身についていない人から学んだものを、さらに後輩に伝授していたらどうなるのか？

世代が下るにつれ、何がどうなるのか…

そういう「現象」君のまわりにもあるのだろうか？

“彼ら”の「例のあの行動」は、多くの人には「（そうとう）つらい」ものはず。

何しろ意味無く人をおとしめているのだ、倫理観があればそうとうなプレッシャーになる。

心身クタクタのはずだ。でも心身クタクタになる甲斐あって（“彼ら”の「例のあの行動」が）「つらい」が故、日常の些細な事も幸せに感じられるようになる。それが彼らの「行動の意味（価値）」の真髄なのだろうか？人間「つらい事」をたくさんさせられると、些細な事も「幸せ」に感じると思う。

そうした「たくさん辛い事（＝彼らの行動）」をするほど、より

些細な日常に幸せを感じられるのだろう。

そうして感覚が麻痺していき「殺人」も「肯定」できるくらいになるのかもしれない。

そのうち「それ」がないと幸せを感じられなくなり、生きていけなくなるのかもしれない。

そして最悪な事に、愛する子供にまでそうした下劣な行為を勧められる異常な心理状態になるのだ。

君もそうした「つらい事」たくさんさせられて、日常の幸せを「より」幸せに感じさせるよう洗脳されたのだろうか…

君はどう思う？上記のようなものは、ワザと不治の病にかかる事で、命の大切さを学ぶのに似ている。

正常な感覚であれば、おかしいと思うはずだ。

それにそれらは命に対する冒涇であり、本当にその病で苦しんでいる人らへの侮辱になる。

「目」は見開いて、前をみなければいけないのだと、強く君に届けます。

「つらい事」をたくさんすると幸せが大事に感じるのは事実。でも、

「つらい事」とは、本来は「試練」のはず。

犯罪＝試練ではない。暗示にかかると、気がつかなくなるのだと思う。

“彼ら”の世界も閉鎖的だ、新しい風が入らない構造をしている。“彼ら”は新興宗教のように「専用の服を作ったり、特異なオブリエを掲げたり」しない。

“彼ら”の場合はそれが“ない”かわりに「例のあの行動」があるのだと思う。

「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだ。その一体感が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく…

そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できるくらい一生懸命になれる道理がない。

普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。

誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。

どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっている事実には気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。

その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

「外」からの「風」が入らないので、内部の空気はよどみ続けたままだから、そうなるのだと思う。

少年兵だ。

幼い子供たちは小さなころから殺人を強要され、やらないと殺される恐怖からまちがった教育を受け入れてしまう。

そういう子供たちがアフリカの紛争地域や南米の麻薬戦争地帯で日常的にいるらしい。

どう思う？それが正常な世界には見えないでしょ？

では彼らはそのような「教育」を受けたからといって、救出後も2度と社会復帰できないと考えていいのだろうか？

答えは否です。

人間は立ち直れるし、生きなおせる。

尊厳をとりもどせる。

ゆがみに気づいたなら戦って正解なんです。

何も間違っていないし、自分の生きる当然の権利なんです。

戦ってほしい、負けないでほしい。つよく、そう思う。

ゆがんだ勢力は、あきらめない。

あの手この手で、次々に罠を繰り出す。

肉親であろうと例外ではない。

皆、騙されている人たちなんです。歪みと戦う気力を上の世代に奪われた人たち。

残念な人たちである事実には変わりはないが、そんな理由で、君の心が歪ませられるのはおかしい。

相当つらいはず。

ずっと我慢してきたと思う。

君はなににも悪くない。

子供だったから仕方がなかった。

幼い君に抵抗の術はなかった。

泣いても誰も受け入れてくれない以上従わざる得なかった。

小さく抵抗の手段もなかった。こわくて仕方がなかった。

君は、何も、悪くないのです。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまつつもりでいます。

“人を許せる時が、自分を高める時”

(日本テレビ系『行列のできる法律相談所』で有名な弁護士、菊地幸夫氏の言葉)

簡単でないが、目指しがいのある目標ですね。

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。どんな屁理屈をひねり出すのか一苦労だと思う。

けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。過去の文面を読んで欲しい、一度だって要求してない。

その代わりこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」と。そして、生活を立て直すけど、「邪魔しないでほしい」と。

(…一瞬でも「それって当然の言い分だよな」と感じていただけたら幸いです)

それでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。

単に自分たちの贅沢が(快樂が)侵害されている事に怒っているだけという事実気づかずに反論できるのだろうか？

「別に人生を全部返せって言う、無理な(実行不可能な)相談をしているわけではない」

…という事実があります、これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

重ねて言います。

君は悪くない、何も、まったく。

何も悪くないのです。
僕が保障します。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃっ
たとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかに言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

リメント」。

アメリカ軍が第2次大戦中におこなったフィラデルフィア実験を元にした映画だ。

このフィラデルフィア実験はどうやら実際におこなわれたものらしい。

これを説明するには「電子レンジ」の開発から説明しないといけない。

「電子レンジ」とはマグネトロンから発せられる電磁波をつかって物質内の水分子を振動させ、発熱させる技術だ。

マグネトロンはもともとレーダーの部品の1つで、第2次大戦当時は最高機密だったものだ。

このマグネトロンの研究をしていた技師が、チヨコレートを食べながら仕事をしていたら、どういうわけかチヨコが溶けてしまっ…、普通なら見過ごすところだが、彼は最高機密に関わるほどの科学者。無視できず原因を解明。結果マグネトロンの電磁波がチヨコを溶かしていたと発見する。

戦後しばらくして、軍需技術の民間転用が図られた時期、電子レンジは民生品として登場することになる。(ちなみに電子レンジの窓にはかならず金網状のものがついていて、間違ってもあれをはがしてはいけません、あれが電磁波を閉じ込めているからです。はがすと、直で人体に電磁波があたり、やけどどころでは済まない事になります。たぶん)

第2次大戦当時、レーダーの実用化に成功したアメリカ軍はこう考えた。

自分たちが開発できた以上、敵もやりかねない…

敵がレーダーを開発した時にそなえて対抗手段を先んじて開発しなければ。

現在でこそECCM(対電子線手段)は常識だが、第2次大戦当

時は未知の領域だった、可能性がありそうなものならば、なんにでも手をだした。そんな中、アメリカ軍は先に触れた「スカラー電磁気学」も対レーダー手段の候補の1つとして取り上げる事になる。現実にはテスラコイルが戦艦に取り付けられ、コイルの電磁波がレーダー波をかき消すか見てみたわけだ。この「実験結果」は公表されていない。故に憶測を呼び、多くの人のインスピレーションを刺激した。先にふれた映画もこうしたインスピレーションにより作られたものだと思う。B級SFの代表作として知名度も高く、続編も作られている。

専門家でないので、よくわからないが、この「スカラー電磁気学」で、登場するスカラー派というのはロシアの天才、ニコラ・テスラが考案したものらしい。この人物、「とんでも科学」の分野ではかならず登場する人物だ。よほど胡散臭い人物なのかと思いきや、ご本人自身はまともな科学者で、初期の科学にかなり貢献している。事実彼の名をとった「テスラ」という単位もあり、電気関係者は日常的に使っている。彼自身はまともなのだが、彼の研究を信奉する人たちが「あやしげ」らしいのだ。

さしずめ「開祖」自身はまともなのに、その意思をつくはずの組織の人々がいかかわしいのに似てなくもない。そういう団体、少なからず確かにあります、君はどう思う？

テスラのライバルは。有名なあの「エジソン」だ。

発電事業において直流方式、交流方式で激しく対立した。

現在の家庭用電気は交流方式なのはご存知の通りだけど、実はエジソンは交流方式は複雑で大変だから、シンプルな直流を普及すべきだ！と頑として譲らなかつたらしい。一方テスラは交流方式を主張。激しく争い。論争は単純なつぶしあいには発展。「エジソン」はありとあらゆる手段を講じて「テスラ」を社会的に抹殺してしまう。

(実はエジソンはこうしてライバルを社会的に抹殺してきた人生を歩んでいる、いるよね、こーゆー人格破綻者つて。Fさんはどう思う??)

社会的地位を失ったテスラはその後「とんでも科学の信奉者のシンボル」になつてしまい、2010年現在でも一般には胡散臭い科学者としてイメージされている。

本当かどうか不明だが、テスラはナイアガラ実験というのをやっている。

エジソンと血みどろの争いをしていた頃、じゃあ、自分はエジソンのさらに上に行く新技术を披露すると思ったのか、電線をつかわない「無線送電」という技術を披露したのだ。ナイアガラの発電所にでっかいアンテナを建て、何キロか離れた地点に電波で電気を送るというのだ。この実験は成功したらしいが、やはりなにか無理があったらしい、僕の記憶では確かこの後送電アンテナは火事で焼け落ちたんじゃないだろうか?(無線送電の技術が2010年の今、ノートPCの電源として見直されてきている。ノートPCのコード類をつざいと思う人は多いらしく、完全コードレス化を望む声は高い。データ送信なら無線化は可能だが、電力まで無線化するのはいとんぱと思つていたが、最近では電源のコードレス化も可能になり、製品化するにニューズでやっていった。テスラの考えそのものは間違つてなかつたという事なのだろうか?)

とんでも科学の信奉者はこの時のナイアガラ実験で使われた電磁波こそ「スカラー派」であると主張する。そのとんでも解釈によると、空間がもつポテンシャルを振動させ、エネルギーを伝播させるのかなんとか…。このイメージはその後オカルトと結びつき、怪しい団体に伝播してゆく。

(以前TVでよく報道された「白装束の集団」もこの一派のようだ。電磁波をよけるために白い布をまとい、白い布をあちこちに張り出

す…、その異様な光景は連日ワイドショーを賑わした。ちょうどオウム裁判が始まった時期で、当時こうした異様な集団は社会的関心事だった。Fさんは当時のこと覚えているだろうか？ちょうどこの頃僕は本屋で働き始めた時期だと思う。この頃もし君が結婚してあまり経つてない時期なら、推測が当たっていることになる。まあ、この推測にはまったく自信がない、外れている確立80%の、そうかもしれない程度の予測です。あたっていたらすごいけど、実際のところどうなのかな？いつか教えてください。)

宇宙戦艦ヤマトの武器に「波動砲」というのがある。波動エネルギーを撃ちだすタキオン砲という設定だ。あそこで語られる「波動」も「とんでも科学」に登場するオカルト科学の1つだ。波動エネルギーを使えば、洗濯物もきれいになるし、人生の運氣もあがると、怪しげな宣伝が一昔前されていた。

SFネタとしてこうした「とんでも科学」を扱うのは「波動砲」の例からみてもアリなんだと僕は思う。僕はオカルトはまったく信じないが、SFファンでもあるから、このジャンルには詳しい。さしずめ人権思想を学ぶために「ナチス」に詳しくなってしまうのに似ている。別にナチの信奉者ではないが、この手のジャンルの映画が好きな人は意外と多い。残虐なものを見ることで、残虐でないものの価値を知るといえるのは、確かにあるもので、多くの人に認知されている行為です。

そちらの世界の理不尽な「物事」に詳しくなってしまったからといって、もう立ち直れないと考えるのは間違いです。

最悪を知るからこそ、最悪でないものの価値もわかる。人にもやさしくなれる。

そんな事、この世に確かにあると思う。

人は確かに立ち直れるんです。

繰り返し何度でも伝えます。

人は生きなおせるし、立ち直れる。

…そうそう、没ネタの話。

上記の話を元に、僕はこんなことを考えた。

人工心臓って充電が大変と聞く。

じゃあ、この充電をスカラー電磁気学をつかって、無線送電にしたら便利だよなと。

で、漫画の中で、まず実験と称して猫に試作品を手術してとりつける…

実験は成功するのだが、不測の事態がおこる。

たまたま同時期、ロシアでも無線送電の実験がおこなわれていて、原子力発電所にテスラコイルがつながれていた。このコイルの周波数と猫の人工心臓に使われたテスラコイルの周波数が同じもので、同調してしまい、猫は無尽蔵に原発の電力を発せられる電気猫になってしまう。最初は猫も戸惑うが、次第に扱い方に慣れていき、自由自在に電撃を出せるようになり、研究所を逃げ出す。

あとは、この猫を使いどんな話がつくれるか？というところで止まっているネタだ。

いろいろやりようはあると思うのだけど、なかなかどーして難しいです。

漫画向きでなくSF小説向きとも思わなくもない。

でもそれは人生の最後の楽しみに取っておこうと思う。

今は、漫画を描く。

やれることを地道に、確実にこなすのがいいと感じた。

ゆらがず、あせらず、確実に。時には生き抜きもしつつ着実に。

あきらめずに、何度でも、なんどでも、何度でも！

そんなイメージ、君に送ります。

小さく幼い君にはなにも出来なかったと思う、仕方がないです。泣いても誰も理解してくれなければ、あきらめてしまうもの当然です。

いやでも、周りからいわれたら、そうせざる得ないのもわかる。

君は何も悪くない。

それは間違いない事実です。

しかたがなかったんだから。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援してい

ます。

君は自分で思っている以上に強い人です。

いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！と言ってやってください。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

いろいろあると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。

多分君の周りには悪意なく“そういう事”が出来る人がたくさんたくさんいると思う。

それは悪意があるのではなく、心が内向きになっていて、外に向いていないからだと思う。

心が外向きになれば、人として持つ“当たり前前感情”が戻ってきます。

そう、周りの人に言ってやってください。

繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとっての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

初めての印象とういうのは忘れないものです。わくわくして、楽しくて、面白い。

周りの人に、機会があったら伝えてください。最初の印象って忘

れないものだ。

違いを楽しんだり、同じと思う事を嬉しく思ったり、何もかも新鮮で彩りに満ちている。

僕には、あたらしい世界を共に歩みたいと思う人がいます。君はどう思いますか？

味方もいるはずですが、東京でも経験が、そう僕に確信させる。君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった……
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから……天からご褒美をもらう機会をもらった、
それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。
三界に家を建てるには、君が必要です。
「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！
老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いない。ある。
遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

嘘つきに騙されないように…
Fさんの優しさに賭けます。

.....
.....
.....
.....

〔12月16日（木）曜日〕人をおとしまして楽しむのが「人間の本性ではない」「」

また没ネタを書こうと思う。

これは没というよりも、使っていないネタだ。

…これを説明するためには少し遠回りがある。
アメリカの映画で「セブン」というのがある。
サイコスリラーとでも呼ぶべきか、そんな感じの話だ。
ブラッド・ピット主演のわりと有名な映画だ。

あの映画の劇中に、犯人の異常者が、ノートにびっしり名前をかいているのが見つかるシーンがある。家宅捜査の場面だ。恨みを持つ人間を書き連ねたものなのか？犯人の異常な行動の一旦として演出されていた。

これは有名な話かもしれない…

少年ジャンプに連載されていた「デス・ノート」という漫画。
人気作となり、映画化もされた。

書くとその人が死ぬ死神のノートを巡る物語。

これは上記「セブン」の指摘したシーンからインスパイアされたイメージでは？といわれている。ノートにびっしり名前が書き込まれている様子がそっくりなのだ。「セブン」のあのノートに死神の能力があったら…、そして「セブン」は警察と犯罪者の駆け引きを描いた心理戦の映画でもある。漫画「デス・ノート」はセブン以上の心理戦が展開され、それが最大のウリになっていた。

悪意ある人は真似というだろうか？

でも2つの作品をみれば、マネとは言いがたい別物の印象をもつ。ああいうインスパイアは世間的に見て「アリ」なのだと思う。

(余談だが、「王と鳥」という古いヨーロッパ・アニメ映画を見ると、「ルパン三世カリオストロの城」のカリオストロ城そっくりの城がでてくる、初めてカリオストロの城を見たときは何て独創的な…と思ったが、元ネタがあったわけだ。なんか、驚きと安堵を感じた。天才といえど、元ネタに頼るわけだ)

そんな前提を踏まえたうえで、こんな事を思った。

アメリカの80年代SFドラマに「エアールフ」という作品がある。

CIAが極秘開発した攻撃ヘリが活躍する話だ。

このドラマの1エピソードに、使い棄てるにはもったいないと感じたネタがうずもれている。

端的にいうと「年金問題」の話で、いよいよ引退するCIAのエンジニアが、どういつわけか引退寸前にCIAに反旗を翻した話が1話あるのだ。

理由は簡単で、もらえるはずの年金がパーになりそうだから。

その原因というのが、こみいった話で面白い。

もともとCIAはOSSという組織で、第2次大戦時に作られた組織だ。

当時は人材不足の上、何もかも混乱していて、書類が完璧にされていないかった。戦争に勝つ事が最優先で、事務など後回しにされていた。

渦中の人物はそうした混乱期にOSSにはいった人物で、戦争終結後、OSSが組織格上げでCIAになったときも自動的に移籍した、と本人は思いこんでいた。

ところが、書類上は仮採用の職員あつかいのみままで、正式職員でなかった。

にもかかわらず、年金関係の書類では、その事実が把握されておらず、長年、年金の掛け金を給料から差し引きつづけた。

本人は毎月、掛け金を払っているのだから、当然もらえるものと思っていたので、先じてメキシコでバーを開くため不動産を借金で購入。返済には年金をあてるつもりだった。

ところが件の理由で年金がもらえなくなる。正式職員でないから、じゃあなぜ掛け金をとった、ともめていると、そのおじいさんは心臓発作で亡くなってしまふのだ。同じく彼の同僚で、同じように仮職員だったため年金がもらえなかった人物は、そのままCIAの極秘ファイルを持ち出し、自分と亡くなった彼の2人分の金が支払われないと、これを敵国に売ると脅しをかけてくる。

もちろんCIAも黙ってはただけ、往年のベテランスパイなだけに簡単に出し抜かれてしまふ。このままでは彼は暗殺対象になっってしまうかねない…

ここで主人公が登場、なんとか彼を説得したいと申しでる。

で、どーのこーのあるうちに、別の事件に巻き込まれ、2人で協力して事件を解決し、最終的には長年の功績と今回の件を考慮してお金は下りるよう対処される…みたいな話だったと思う。

このCIAと年金問題で戦う往年のベテランスパイという設定はなんだか使い捨てにするのがもつたいたいと感じた。なんか、これを利用して話ができないものかと…。漠然と考えていたりします。劇中のこのおじいちゃんも茶目っ気ある人物として描かれ、みていて楽しいのだが、失うものが何もない捨て身ゆえの茶目っ気かと考えると、人間ドラマとしても面白いものができそうなイメージがある。

いつか何かのアイディアに繋がれば、面白いものがつくれそうだ。

でもこの物語を作る上での注意点が1つある。

基本的にいくら茶目っ気があるとはいえ、CIAにいやがらせをしている事実の違いがない、ともすれば“いたなやつ”になってしまいかねない。こういう現象はプロの作品でも良く見る。設定時は気がつかないが、実際に作品にしてみると意図しない要素に気がつかされる事だ。

こういう時、キャラクターの魅力となるのは、どういう信念をもっているか？という事になる。

「紅の豚」のポルコ・ロッソもともすれば人殺しの大好きな戦争屋になってしまいかねない。

そこで宮崎駿監督はかれの信念を描写した。

絶対に人を殺さない。

僕はこの手の話、大好きです。

「千里眼シリーズ」の主人公、岬美由紀も最初こそ違えど、途中から信念としてそうなる。その過程がドラマチックで面白い。

「ジパング」という漫画のなかでも、戦時中でも人命を尊重する

自衛隊の描写はありえないけど、好きだった。

これらは物語の話だけど、物語とは人の理想の裏返しでもある。つまり、人をおとしめて楽しむのが「人間の本性ではない」という1つの証明でもある。

なぜならば、こういう「人を殺さず」という信念を貫く主人公という設定は往年のパターンであり、長く受け継がれてきたヒーロー像だからです。その事実がまさに「人をおとしめて楽しむのが」人間の本性ではない「」の証明になります。

最近でこそなくなつたが、前は頻繁にエンジンをかけっぱなしで放置されるバイクというのを良く見た。キーつけっぱなしで普通に路上に放置してあるものもあり、異様な光景だった。

近所でも2件、あつたが、いまは見ない。

自分の正当性を主張し続けたのがよかつたのか？はたまた、君が何かしてくれた影響が反映されているのか？あるいはその両方か。でも、見た目が静かになつただけで、本質に変化はないわけで、就職に不安も感じるが、ともかく、前を向いて行こうとおもつ。

彼らのあの生き方は、バナナの皮を道端に置いておきながら、誰かがすべるのを黙って見ているような人生だ。

（中にはすべつて頭をうつて亡くなる人もいるかも；もちろんこれは比喻表現ですが、事実、かるく笑いものにするつもりが、人死にができるような事態に発展した例はたくさんあり、笑えないのも事実と思う。中にはそれでも笑える人がいるのだろうか？心のリハビリが必要です）

そういう人生が好きな人もいるのは事実だろう。

でも必ずしもそういうのが好きな人ばかりでないのも事実だ。

まともな神経の人々をこうやって徐々に蝕み腐らせる思想は発想が間違っている。

君も同意見ならうれしいです…。

何度も言います。

君は何も悪くない。

小さい頃から“それ”を当然としてしか生きる選択支を与えられていなかったんだから、仕方が無かったんです。

他に手をさしの出てくれるわけでもない。

何も olmayan 子供の頃からでは、そうせざる得ない。

でも持って生まれた“やさしさ”が、「なにかおかしい」と思わせたのだと思う。

それすら容易に握りつぶされては、こわくて仕方が無かったと思う。

若い君には抵抗の術がなかった。

仕方が無かったんです。

繰り返します。

君は、何も悪くない。

これは事実です、僕が保障します。

“彼らという「現象」”に彼らも自分を「見失って」いる。

そして「見失ったもの」を継承しようとするから、歪みが発生する…。

身についてもいない“徳”を伝授するという歪み。

身についていない人から“徳”を学ぶという苦しみ。

身についていない人から学んだものを、さらに後輩に伝授していったらどうなるのか？

世代が下るにつれ、何がどうなるのか…

そういう「現象」君のまわりにもあるのだろうか？

“彼ら”の「例のあの行動」は、多くの人には「(そうとう)っ

らい」もののはず。

何しろ意味無く人をおとしめているのだ、倫理観があればそうとうなプレッシャーになる。

心身クタクタのはずだ。でも心身クタクタになる甲斐あって）“彼ら”の「例のあの行動」が）「つらい」が故、日常の些細な事も幸せに感じられるようになる。それが彼らの「行動の意味（価値）」の真髄なのだろうか？人間「つらい事」をたくさんさせられると、些細な事も「幸せ」に感じると思う。

そうした「たくさん辛い事（＝彼らの行動）」をするほど、より些細な日常に幸せを感じられるのだろう。

そうして感覚が麻痺していき「殺人」も「肯定」できるくらいになるのかもしれない。

そのうち「それ」がないと幸せを感じられなくなり、生きていけなくなるのかもしれない。

そして最悪な事に、愛する子供にまでそうした下劣な行為を勧められる異常な心理状態になるのだ。

君もそうした「つらい事」たくさんさせられて、日常の幸せを「より」幸せに感じさせるよう洗脳されたのだろうか…

君はどう思う？上記のようなものは、ワザと不治の病にかかる事で、命の大切さを学ぶのに似ている。

正常な感覚であれば、おかしいと思うはずだ。

それにそれらは命に対する冒瀆であり、本当にその病で苦しんでいる人らへの侮辱になる。

「目」は見開いて、前をみなければいけないのだと、強く君に届けます。

「つらい事」をたくさんすると幸せが大事に感じるのは事実。でも、

「つらい事」とは、本来は「試練」のはず。

犯罪「試練ではない。暗示にかかると、気がつかなくなるのだと思う。

“彼ら”の世界も閉鎖的だ、新しい風が入らない構造をしている。

“彼ら”は新興宗教のように「専用の服を作ったり、特異なオブリエを掲げたり」しない。

“彼ら”の場合はそれが“ない”かわりに「例のあの行動」があるのだと思う。

「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだ。その一体感が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく…

そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できるくらい一生懸命になれる道理がない。

普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。

誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。

どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっている事実には気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。

その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

「外」からの「風」が入らないので、内部の空気はよどみ続けたままだから、そうなるのだと思う。

いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。
心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！と
言っ
てやってください。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨
大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した
“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ
！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れ
ないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからない
はずなのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援してい
ます。

君は自分で思っている以上に強い人です。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまುತ್ತもりでいます。

“人を許せる時が、自分を高める時”

(日本テレビ系『行列のできる法律相談所』で有名な弁護士、菊地幸夫氏の言葉)

簡単でないが、目指しがいのある目標ですね。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしい事はないと思うけどどうなのだろう？

小さかった君に抵抗の術は無かった…

君は何も悪くないのです。

それは確かな事なのです。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、文句は言わせないわよ！」と。

自分を解きほぐして！

.....

「12月17日（金）曜日「まともな事を感じる人間を認めない世界。」」

ネットスラングに僕は詳しくない。

ほぼ何も知らないと言っているいい状態だ。

NHK広報もどーやらそうらしく、大真面目にとつたらしい。

何の話か？これはNHKが「さかなクン」に「さん」をつけずに報道したところ、

「「さん」を付けるよ、デコ助野朗」という突っ込みが殺到したとかしないとか…

重ねて言う、僕はネットスラングを知らない。

けど、このスラングの元ネタは一発でわかった。

これはヤングマガジンに昔、連載していたSF漫画「アキラ」を映画化した際、主人公の金田と親友鉄雄の有名なやり取りのセリフだ。

超能力を身に付けた「鉄雄」は思いつくがままにあばれまくる。

親友、金田はその鉄雄に仲間を殺され、ある決意をする。

鉄雄は政府なり軍隊なりが始末しようとするだろうが、あいつは俺の友達だ、始末するなら、俺の手で始末する、と言わんが勢いで突っ走るのだ。

偶然にも強力な武器を手に入れた「金田」は、ついに「鉄雄」と対峙する。

鉄雄は言う、「金田、お前はいつでもボス面しやがる」

金田はいう「てめえもボスになったんだろ？この瓦礫の山でよう」

鉄雄は叫ぶ「金田ー！」

ここで、先ほどの有名なセリフ。

「「さん」を付けるよ、デコ助野朗！」

このセリフ、非常に印象にのこる。

なぜなら、普段、鉄雄は金田に「さん」などつけないし、金田も呼び捨てを許している。

このセリフは金田のこのシーンにおける心情表現としてもものすごく効果的なセリフなのだ。

元の昔の鉄雄にもどってくれよ！

という意味が込められたもので、しかし金田のキャラクターはそんな弱音を言う人物でもなく、金田なりの表現なのだ。

こういう「力」をもつセリフは印象にのこるのかもしれない。

いつのまにかネットスラングにまでなっているのだから。

この言葉は定番の「つつこみ」としてネットで使われているらしく、本気で言っているものではない。

相槌あいづちのようなものだ。

なのにそれをしなれないNHK広報は、本気で多くの人が怒っていると思い、正式謝罪したらしい。

なんだか面白い。

この反応に対してもネットスラングで「ドジっこ可愛いなおい」

「好感がもてる謝罪だな」「謝りすぎワラタ」

…といった書き込みが上がっているとかないとか。

ネットってこういうノリなんだな」と、なんだか勉強になります。

こういうキャラクターの性格ならではの「名セリフ」で一番印象的なのは。

映画「スターウォーズ、帝国の逆襲」でのハン・ソロのセリフ。

レイア姫が今生の別れにいがみ合っていたハン・ソロについて本当の気持ちを打ち明ける。

「愛しています」と。

本来の脚本では、これに対してメロドラマのようなセリフをハン・ソロが言う予定になっていたらしいのだが、ハン・ソロ演じるハリソン・フォードが「ハン・ソロなら、こんな情けないセリフは言わない」と主張し、セリフを変えさせたというのだ。

Fさんは何てセリフに変えたと思う？

実は「愛しています」とようやく本音をさらしたレイア姫に対して、今まさに命が絶たれようとするハン・ソロはこう言うのだ。

「知ってたさ」

けして「俺も愛してる！」とは言わないあたりに、その人物の人格が凝縮されている感じでとても好きなセリフです。

言葉とは、その使い方次第で本来ある以上の意味を込められるという事なのでしょうか？

日常の世界に非日常が入り込むタイプのSFを描く時、効果的な定番のセリフがある。

「なにもかもまるでデタラメだ！」

…と一般人に言わせるのだ。

このセリフがあると無いでは、SF作品の印象がガラリとかわる。このセリフがあれば、特別な出来事と普通の出来事の違いを「強調」できる。

スターウォーズのような最初から非日常の作品では効果がないが、バック・トゥ・ザ・フューチャーのような作品では効果的だ。

バック・トゥ・ザ・フューチャー内では主人公「マーティ」が類似の意味のセリフである「ウソだろ」とか「そいつはヘビーだ」などと連呼する。言えば言うほど状況の特殊性が伝わる仕組みだ。意外と思うかもしれないが、このセリフを取っ払ってしまうと、急に興ざめた作品になる。登場人物がだれも「ウソだろ」と言わないせいで、観客の頭に「どうせウソじゃん」という無意識の警告が渦巻き、作品の面白さが半減してしまうからだ。

…これは現実社会でも言える現象だ。

上記SFの場合は非日常の違和感を楽しむために「なにもかもまるでデタラメだ！」といったセリフが理性を納得させる。これはウソなんだけど、劇中の人物もそれがわかっていて、自分と同じ感覚の人間（＝現実が認識できる人間）が劇中にいると、感情移入しやすい。

しかし現実世界では“逆”で、現実が認識できてしまったら、正気に皆戻ってしまい、誰もが「彼らの行動」は酷い犯罪行為なんだと認識してしまう。すると楽しめなくなるから、まともな事を言う人間がいなほうがありがたいわけだ。いたら、楽しめない。理性が働く人間は“彼らの行動”において邪魔なだけだ。

「あの行動」を永久に楽しみ続けたい人らにとって、違和感を感じさせるような言葉はうつつとしいだけなんだと思う。

…だから、君のように違和感を感じる者（あるいは、まともな事を感じる人間）の声は圧殺されてしまうのだと思う。まともな事を感じる人間を認めない世界。快樂主義者の欲望、ここに極まりです。

そんな馬鹿げた理由で君の心がゆがめられるのはおかしいです。脱出がベストです。

皆、現実から目をそらして生きているに過ぎない…
真実に気がつく「恐怖」を恐れているだけだ。
だから、自分が“騙されている”という事を受け入れられないのだ。

“彼らという「現象」”に彼らも自分を「見失って」いる。
そして「見失ったもの」を継承しようとするから、歪みが発生する…。

身についてもいない“徳”を伝授するという歪み。
身についていない人から“徳”を学ぶという苦しみ。
身についていない人から学んだものを、さらに後輩に伝授していったらどうなるのか？

世代が下るにつれ、何がどうなるのか…

そういう「現象」君のまわりにもあるのだろうか？

“彼ら”の「例のあの行動」は、多くの人には「（そうとう）つらい」ものはず。

何しろ意味無く人をおとしめているのだ、倫理観があればそうとうなプレッシャーになる。

心身クタクタのはずだ。でも心身クタクタになる甲斐あって）“彼ら”の「例のあの行動」が「つらい」が故、日常の些細な事も幸せに感じられるようになる。それが彼らの「行動の意味（価値）」の真髓なのだろうか？人間「つらい事」をたくさんさせられると、些細な事も「幸せ」に感じると思う。

そうした「たくさん辛い事（＝彼らの行動）」をするほど、より些細な日常に幸せを感じられるのだらう。

そうして感覚が麻痺していき「殺人」も「肯定」できるくらいになるのかもしれない。

そのうち「それ」がないと幸せを感じられなくなり、生きていけなくなるのかもしれない。

そして最悪な事に、愛する子供にまでそうした下劣な行為を勧められる異常な心理状態になるのだ。

君もそうした「つらい事」たくさんさせられて、日常の幸せを「より」幸せに感じさせるよう洗脳されたのだらうか…

君はどう思う？上記のようなものは、ワザと不治の病にかかる事で、命の大切さを学ぶのに似ている。

正常な感覚であれば、おかしいと思うはずだ。

それにそれらは命に対する冒瀆であり、本当にその病で苦しんでいる人らへの侮辱になる。

「目」は見開いて、前をみなければいけないのだと、強く君に届けます。

「つらい事」をたくさんすると幸せが大事に感じるのは事実。でも、

「つらい事」とは、本来は「試練」のはず。

犯罪「試練ではない。暗示にかかると、気がつかなくなるのだと思う。

“彼ら”の世界も閉鎖的だ、新しい風が入らない構造をしている。

“彼ら”は新興宗教のように「専用の服を作ったり、特異なオブリエを掲げたり」しない。

“彼ら”の場合はそれが“ない”かわりに「例のあの行動」があるのだと思う。

「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだ。その一体感が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく…

そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できくらしい一生懸命になれる道理がない。

普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。

誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。

どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっている事実には気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。

その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

「外」からの「風」が入らないので、内部の空気はよどみ続けた

ままだから、そうなるのだと思う。

君は幼かった、仕方が無いです。
耐えるしかなかった。

泣いて我慢して。

小さい君にはそれしかなかった。

子供が周囲の期待にこたえようとする事は何も悪い事ではない。
君に罪はない、僕が保障します。
安心して！

こんな事もあった…

毎晩の事だ。

深夜0時からほぼ10分おきくらいに爆音の車がやってくる。

深夜2時くらいまでそんな様子だった。

今、あの時来ていた人は今頃…。

今、来てない。

なんだか情けなくなってくる。

そんな人達がたくさんいるなんて…

願わくは楽しんでやっていった人が「ゼロ」で、やらされていただけなのだと思います。

君が同じ感想を抱いてくれるならうれしいです。

「なにもかもまるでデタラメだ！」

という事で、相手の理性を喚起できるかもしれない。

罪がないと心底思っているひとはいないと思う。いたら、人としておかしい。

皆、悩みながら生きていると、僕は信じます。

君にも信じて欲しいと言ったらだめだろうか？

…いつか、都合がついた時にも教えてください。

とにかく待つと決めました。いいかな？それで。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまうつもりでいます。

“人を許せる時が、自分を高める時”

(日本テレビ系『行列のできる法律相談所』で有名な弁護士、菊地幸夫氏の言葉)

簡単でないが、目指しがいのある目標ですね。

いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けなide欲しい。狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！と言ってやってください。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

いろいろあると思う。けど、がんばって。負けなide欲しい。

多分君の周りには悪意なく“そういう事”が出来る人がたくさんたくさんいると思う。

それは悪意があるのではなく、心が内向きになっていて、外に向

いていないからだと思う。

心が外向きになれば、人として持つ“当たり前前感情”が戻ってきます。

そう、周りの人に言ってやってください。

繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとっての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

味方もいるはずですが、東京でも経験が、そう僕に確信させる。変な人もいるだろうが、「かわいそうな人」なだけなんです。

君は何も悪くない。

繰り返し何度でもいいです。

勇気が君に届く事をここに願います。

(もし、彼女に少しでも味方したいと思う人がいたら、味方になったあげてほしい。陰ながらそう思うだけでも、空気が変化するかもしれない。そう思うのです)

初めての印象とういうのは忘れないものです。わくわくして、楽しくて、面白い。

周りの人に、機会があったら伝えてください。最初の印象って忘れないものだ。

違いを楽しんだり、同じと思う事を嬉しく思ったり、何もかも新鮮で彩りに満ちている。

僕には、あたらしい世界を共に歩みたいと思う人がいます。君はどう思いますか？

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君に罪はない、逃れる方法がまったくなかったのだから。

だから、安心して大丈夫です。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

こ君からもらったこの大切な想いが、今、僕の信念になっている。
君の中で、信心よりも「信念」が大事に思える日がくるだろうか…

そんなイメージ君に送りたい。

負けないで！頑張れ！

.....

なんかまた事件が起きたのだろうか…

いやだな、と思えるなら大丈夫です。

.....

「12月18日（土）曜日「君の名の1文字は歴史を重ねて作りあがっています。」」

菅総理が数日前「仮免許発言」で謝っていた。

あれって、あやまる必要ないよなと、そう感じる。

意味としては、政権発足から今までは仮免許だったが、これからは頑張ろうという趣旨の発言だけど、自民党が、けしからんと文句を言い、謝罪する羽目になったらしい。

僕個人としては、こう思う。

これから「TPP時代」という未知の時代に突入するにあたっては、国民全員が「仮免許状態」に等しい、なぜなら、前人未到の時代に突入するからだ。だれも経験してない時代に突入するのだから、過去の経験は重要度がおちる。

第2次大戦終結後の日本人は、総人口すべてが新たな時代に対して「仮免許状態」であったし、そういう認識も全国民あったと思う。故に白い紙にインクが染みるがごとく勢いと活気がうまれた。

現在の日本人が必要としているのは、誇りでもプライドでもなく、「勢い」と「活気」だ。

その2つを取り戻すためには一億総仮免許状態である自覚が必要なんだと、僕は思う。

新しい時代に踏み込むには「仮免許」の自覚が有効です。

「仮免許」…君はどう感じますか？

だから、菅総理は「TPP時代」への議論を盛り上げる意味で、国民総TPP仮免許意識を宣言すればよかったと思う、事実そのなのだから。新しい時代の免許なんて要らないとか言ってられない状態を世論に訴える「キーワード」として、「仮免許」と言う言葉は破壊力を持っていると思う。…まあ、菅さんには菅さんでやりたい事があるのだから、見守りたい気はするけど。

僕の認識では、菅さんは「一匹オオカミ」だ。そして「地方分権」と「公務員制度改革」を目指しているはず。

でも一向にそうした報道がでてこないのは、小泉総理時代とかわらない。マスコミは差しさわりが無い事を最小限伝えるのみだ。

一例が人事院勧告のニュースだと思う。

人事院は優良企業の給与水準のみをベースに公務員の給料を決めている。

だから公務員のサラリーは割高だ、当然、歳出増加の要因になっている。

菅政権は次年度から、この人事院勧告を廃止するといっているらしい。

そこで、今、公務員のストライキ権をどうするかが議題にあがっている。

給料の下がる事にたいして抵抗権が欲しいと言っわけだ。

実はここに面白い状況が内包されている…。

公務員にストライキ権がないが故、人事院が作られた。だが、ストライキ権が復活したら、人事院の存在価値が消滅する。人事院が消えれば、公務員制度改革の激しく抵抗する勢力への大打撃になる。

だから、公務員の既得権益を守りたい勢力は、人事院を残しつつ、ストライキ権を確保するよう動くはず。

しかし、そもそも理論矛盾があり、攻撃ポイント満載なのだ。ここから切り崩して、20年不可能とされた公務員制度改革に楔くさびを打ち込めるかもしれない。

その辺が菅政権の「見どころ」と感じたりするけど、あまり報道されない。

誰がくつついた、誰がはなれたと、そんな報道ばかり。

これは、前にも書いたけど。日本の報道の基準は、「今、誰に媚こびれば一番得か？」に終始している。

これでは、ただし情報が伝播しない…。

物事を見極める「目」を意識しないと。

かくいう僕に出来ているかはわからない、でも、そういう意識は大切と思う。

そうでないと、真実に気がつかない。

僕は18年前の君の謎の言動の真実を理解したい衝動をずっと持っていた。

あの笑顔の意味を知りたくて努力した。

生まれつきの鈍感さはいいかわらずだけど、努力して得たものは、確かに君の心に繋がったと感じた。

心のなかの“それ”を大事にして、追求するのは、人として正しい行為だと僕は感じる。

もし、君も同じような感覚を抱いてくれるなら嬉しいです。いつか、どう思うのか聞かせてください。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

君の名前の最初の1文字は「真実を見て（知り）理解する者」と言う意味がある。

名づけた方の意思に反しようが、真実を見極めてもいいと思う。

なぜなら、その名前の字をこの世に送り出した人々は、名づけた人よりも遙か昔にいた人々で、過去存在した多くの人々の想いがその名の意味を支えている。君の名の1文字は歴史を重ねて作りあげています。そして、その1字の意味の通り生きていいのだと思う。

君は価値ある人物です。僕に大切なものをくれた。

小さい君が抵抗できないのは容易にわかる。

子供の頃は、弱いものだから。

皆に好かれようと努力しただけなんだから、君に罪はない。

周囲の人がおかしさに気がつかないよう意思を奪われた人々だった。

だから、その人らは子供の意思を奪っても「よい事」と思う。

そんな大人に囲まれていては、選択支もない。

それでも君なりに抵抗しただろうけど、周囲の悪意が勝ってしまった…

君は、何も悪くありません。

それは、揺るぎ様もない事実なんです。

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？

(そこまでくさってない?)

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては(奇妙な事に)誇らしくも感じてしまう。

繋がっていたのだろうか?どうなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、
どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます。

君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。
僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違いです。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこ
につけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの(中の「そうした
人達」の)常套手段”です。

非常に悪質な人心掌握法じんしんしよくあくになります。だから全てを背負い込んで
はだめです!

“彼ら”はそれを狙っています!!

そうやって君の心から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ
!!だから注意して!

油断していると、本当にこの暗示にかかります。

相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのよ
うに“錯覚”させるプロです。

親切心を利用されないようにしないと、永久にいいように利用されてしまいます。

気をつけて！そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

でも繋がりには、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっている。

せまい世界のなかだけで完結しないのは事実のようです。

君の周りの人に伝えてください。自分たちだけが一方的に正しいと思っっているのは恥ずかしくないの！？と。

理解を示す心の広さはどこへやったの？と。

これは人としての“質”の問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。質が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。

負けないで！応援しています。

…もしかしたら時々、頭の中がぐじゃぐじゃになって大変かもしれない
れない

自分を解きほぐして欲しい。

何が大切なのか。

こんな心配もする…

カルト宗教から“脱出”を試みる人の中には、まれに新たに別のカルトに捕まってしまうという人がいるという事を聞いたことがある。

…混乱せず、落ち着いてね。

そういう意味でも、ゆっくり歩んでいいのだと思う。

休みながらも、前に着実に歩み続ける。

君ならできます。

意思の強さをみせつけてやっていいと思います。

頑張れ！！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、

文句は言わせないわよ！」と、言って良いと思う。

そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなものために、1度しかない人生を犠牲にされるのは間違っている。

しおらしさを強要されても、突っぱねていいと思う。

君にはそれをして許される理由がある。

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

第34話 君は何もわるくない（未来へと続く話20）（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第35話 君は何もわるくない2（未来へと続く話21）（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金の興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第35話 君は何もわるくない2（未来へと続く話21）

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

「12月19日（日）曜日」いつか君がそれを信じられる日がくるまで、頑張ろうと思う。」

昔、こんな話を描こうと考えた。

ロシア人パイロットが恋をする話だ。

恋した相手は敵国の国防長官の娘。

当然大反対。

それでもあきらめきれない。

そして、彼女の父親にこんな事をいわれる。

無駄だとは思うが、もし、貴様がご自慢の戦闘機でわが国に領空侵犯し、防空網をかいくくって無地ここ目で来る事が出来るなら、娘はやるう、出来ないなら諦める！

と、言われてしまう。

で、実行してしまう。という話。

国家の思惑も巻き込んで、1人の男の行動が大きな渦となって大國間を駆け巡るのだが、動機は愛する女性への想いのみで、純愛ストーリーなのだ。

当時ロシアの戦闘機というのは、電装品こそ2流だが、空力性能は世界一で、アメリカがのだから手がでるほど欲しかったものだ。

当時の航空機には2つの流れがあった。旧来型の洗練された空力を生かした設計を重視するものと、空力性能の欠点をコンピュータ制御でカバーする事で、自由度の高いデザインができるタイプと。

おおきく2つあった。前者がロシア製飛行機で、後者が西側諸国の飛行機だ。

2010年現在において軍配は後者に上がった。

僕がトルコから帰ってきたとき乗っていたボーイング777も後者の設計理念で作られている。ボーイング777は空力的安定性は旧来型より低い。でもコンピューター制御で常にコントロールされているから安定して飛べる。そのおかげでエンジンも2機で済むから整備も楽だし、たった2機のエンジンなのに不安定にならず飛んでいられる。経済的なのだ。

言ってみればゼグウェイのように人間がバランスをとらずとも機械がバランスをとってくれるわけだ。

この技術のおかげで、旧来の設計方法では、不安定すぎて飛べないような飛行機まで、世に登場するようになった。

代表例がテイルローター機だ。

翼の両端にエンジンがついていて、垂直に飛びたい時はエンジンを立てて、水平に飛びたい時は水平にするという漫画みたいな設計の飛行機だ。この概念自体は古くからあったけど、いろんな理由で実現できなかった。近年のコンピューターと材料工学でようやく実現した飛行機だ。(余談だけど、もしかしたらこの「テイルローター」という名はしばらくするとニュースによく出る可能性がなくはない。普天間基地に配備される可能性が高いからだ)

…この物語を描こうと思った時点では気がつかなかったんだけど、当時は純粋な恋愛もので描こうとした。

故に失敗した作品でもある。

僕は人間ドラマは苦手だ。描く事自体は嫌いでないが、面白いものをかけるか？と言われたらプロと勝負できるものは描けない。

今の僕が、もし、当時の僕にアドバイスするなら、こうアドバイスする。

どうせ人間ドラマ描いても面白くならないから、自分の得意な分野で勝負しろ。

そうだな、たとえば主人公が乗るロシア機は世界最高峰の空力をもっているにしても、旧来型設計思想の飛行機だ。西側の戦闘機にエレクトロニクスでは劣る。だから、空力性能しかとりえのない旧来型機が最新鋭ハイテク西側機と不利な戦いをどう切り抜けるかをベースにすれば、自分の得意な分野で描ける。そこにポイントをおけば、「独創性を維持したまま恋愛ドラマも行使できる。などと言うだろう。

でもこうした現在の僕の考えは、過去の失敗があつてこそ到達したものであり、たぶん、当時の僕にアドバイスしても、当時の僕は参考にすると言いつつも、自分なりの判断で描くに違いないと思う。今の僕から見たら「失敗するからやめとけ」と思うが、当時の僕のそうした失敗があつてこそ、今の自分にたどりつけている。

過去は糧かてにするものです。君にもそう信じて欲しい。だめかな？でも、いつか君がそれを信じられる日まで、頑張り続ろうと思う。君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。いつか、想いが届く事を信じて。

君は何も悪くないのです。

やさしい君はそのやさしさがあるが故、利用されただけだ。

小さかったから、悪意に飲み込まれても、どうしようもなかった…
助けてくれる人がいない不幸が君を恐怖させた。

そういう状況ではほくですら抵抗できない。

子供だった君に罪はないんです。

でも君には“ちゃんとした心”がある。

周囲に溶け込むため、随分無理をしたと思う。

辛い思いはぶつけてもいいんです。
君は何も悪くないのだから。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに親しくなるうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は一步手前まで来ていた。

先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。

今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまうつもりでいます。

“人を許せる時が、自分を高める時”

（日本テレビ系『行列のできる法律相談所』で有名な弁護士、菊地幸夫氏の言葉）

簡単でないが、目指しがいのある目標ですね。

君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違いです。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした人達」の）常套手段”です。

非常に悪質な人心掌握法（じんしんしよつあく）になります。だから全てを背負い込んで
はだめです！“彼ら”はそれを狙っています！！そうやって君の心
から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ！！だから注意して！

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？

（そこまでくさってない？）

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては（奇妙な事に）誇らしくも感じてしまう。

繋がっていたのだろうか？どうなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、
どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます

油断していると、本当にこの暗示にかかります。

相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのよう
に“錯覚”させるプロです。

親切心を利用されないようにしないと、永久にいいように利用さ
れてしまいます。

気をつけて！そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコ
だ！

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

でも繋がりや、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

初めての印象とういうのは忘れないものです。わくわくして、楽しくて、面白い。

周りの人に、機会があったら伝えてください。最初の印象って忘れないものだと。

違いを楽しんだり、同じと思う事を嬉しく思ったり、何もかも新鮮で彩りに満ちている。

僕には、あたらしい世界を共に歩みたいと思う人がいます。君はどう思いますか？

心のなかの“それ”を大事にして、追求するのは、人として正しい行為だと僕は感じる。

もし、君も同じような感覚を抱いてくれるなら嬉しいです。

いつか、どう思うのか聞かせてください。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

君の名前の最初の1文字は「真実を見て（知り）理解する者」と言う意味がある。

名づけた方の意思に反しようが、真実を見極めてもいいと思う。

なぜなら、その名前の字をこの世に送り出した人々は、名づけた人よりも遙か昔にいた人々で、過去存在した多くの人々の想いがその名の意味を支えている。君の名の1文字は歴史を重ねて作りあげています。そして、その1字の意味の通り生きていいのだと思う。

君は価値ある人物です。僕に大切なものをくれた。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかに言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

人は正しく生き直せると信じます。

もう充分世話になった借りは返していると思う。
35年ってそのくらい重みのある数字です。
頑張れ!!!

.....

「12月20日(月)曜日」その心は誇っていいものです。」
昔「風人の門」というドラマがあった。
秀吉とか活躍した時代の時代劇だ。

ここに捨て置けないキャラクターがいる。
この人物はいつも顔を白塗りにして登場する。
忍者なので、これでかまわないのだ。

いつも白塗りのせいで、誰もかれの素顔をしらない。

劇中で1度だけその効果を見せるシーンがある。
化粧を落とし、素顔で普通のサムライとして登場する。
特に説明もなく、化粧を落とすシーンもない。
唐突に素顔で登場するので、ボーっとみると気がつかない。
主人公たちも彼に気がつかず、初対面の相手として接する。

彼は戦うとさほど強くない。

でも、忍者の本来の役目はこういっばれずに何かを行う事で、は
じめて「うわ、こいつ只者ではない」と感じさせるシーンなのだ。
ただしここ意外基本やられキャラで、彼はうだつが上がらない...、
悲しいくらい忍者としてなら優れているのだが、本人は忍者でなく
サムライになりたがり、チャンスさえあればどんな汚れ仕事でも引
き受ける。結局使い捨てにされてしまうのだが...

このキャラクターのコンセプト。いつか何かに使えないものか…
と思わなくもない。なんだか感情移入する。

（ Fさんは知らないと思うけど、SF漫画に「ファイブスター
ストーリー」というのがあり、この話に登場するアーレンブラフォ
ートというキャラも上記人物と同じ性格をしている。実力があり、
出世を望んでいるのだが、出身の惨めさから、いつも使い捨て扱い
される男だ。それでも志をすてず、出世のためならと汚い仕事にも
手を染めるのだが、報われない。最終的に敵に助けられ、救われて
報われるのだが、ああいう不器用な生き方は読むのは好きだ。）

真似たわけではない…と思うが。

一度長髪のカツラでいつもブサイクに扮しているスナイパーの話
を描いた事がある、が、人に読ませると、こんな感想を言われた。
「なんでこんな主人公なの？」と。

一般の人はプロの漫画しか読んだ事がない。当たり前だが。
だから、自分が求める作風とプロの作品が乖離していると、もう
そこから違和感を感じてしまうらしい…。

でもそこが正解でもないのもわかっている。

同じ作品をいろんな人に読ませると、本当にいろいろんな事を言う。
ただし、共通した意見が出てこない。みな、まったく違うポイント
に着目し、おのおの自分の好みとの違いを主張する。つまり、決定
的な欠点がないのだ。

逆に言えば、決定的な魅力もないという事になる。

欠点を直そう直そうとしても、前には進めない。

それよりも、長所を活かそうとしたほうが、解決の糸口は見出せ

るよつに感じる。

何より生きがいを感じられると思う。

君にそんな思いが感じられるよつになつて欲しい。

自分の嫌な部分は嫌な部分として、無理に直そうとしなくてもいい。それよりも自分のいい部分をもつと誇つて欲しい。君は“やさしい心”の持ち主です。その心は誇つていいものです。

過去は糧かてにするものです。君にもそう信じて欲しい。だめかな？でも、いつか君がそれを信じられる日がくるまで、頑張ろうと思う。君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。いつか、想いが届く事を信じて。

僕は18年前の君の謎の言動の真実を理解したい衝動をずっと持っていた。

あの笑顔の意味を知りたくて努力した。

生まれつきの鈍感さはいいかわらずだけど、努力して得たものは、確かに君の心に繋がつたと感じた。

心のなかの“それ”を大事にして、追求するのは、人として正しい行為だと僕は感じる。

もし、君も同じような感覚を抱いてくれるなら嬉しいです。

いつか、どう思ふのか聞かせてください。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

君の名前の最初の1文字は「真実を見て（知り）理解する者」と言う意味がある。

名づけた方の意思に反しようが、真実を見極めてもいいと思う。

なぜなら、その名前の字をこの世に送り出した人々は、名づけた人よりも遙か昔にいた人々で、過去存在した多くの人々の想いがそ

の名の意味を支えている。君の名の1文字は歴史を重ねて作りあがっています。そして、その1字の意味の通り生きていいのだと思う。

君は価値ある人物です。僕に大切なものをくれた。

僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利がある。

この事実を否定するのは相当難しいはずだ。どんな屁理屈をひねり出すのか―苦労だと思う。

けれど僕はあえて“その権利を行使”しない。過去の文面を読んで欲しい、一度だって要求してない。

その代わりこう言いたい訳だ。「もう一度あいたい人がいる」と。そして、生活を立て直すけど、「邪魔しないでほしい」と。

(…一瞬でも「それって当然の言い分だよな」と感じていただけたら幸いです)

それでもそれが「贅沢だ！」と言う人がいるならば、何を持って贅沢ではないのか定義を明確にしてほしいものだ。

単に自分たちの贅沢が(快樂が)侵害されている事に怒っているだけという事実気づかずに反論できるのだろうか？

「人の平穏な生活を崩すやつはけしからん」

…という人いるでしょう。

もし、そういう人がいたら、僕ならこう言い返す。

「人の事非難できる立場ですか？」
と。

「別に人生を全部返せって言う、無理な(実行不可能な)相談をしているわけではない」

これはささやかな奇跡を期待しているだけの事なのです。

君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違いです。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした人達」の）常套手段”です。

非常に悪質な人心掌握法じんしんしゅうあくになります。だから全てを背負い込んで
はだめです!“彼ら”はそれを狙っています!!そうやって君の心から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ!!だから注意して!

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか?

(そこまでくさってない?)

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては(奇妙な事に)誇らしくも感じてしまう。

繋がっていたのだろうか?どうなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、
どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます

油断していると、本当にこの暗示にかかります。

相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのよう
に“錯覚”させるプロです。

親切心を利用されないようにしないと、永久にいいように利用さ
れてしまいます。

気をつけて！そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコ
だ！

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。
い。

でも繋がりや、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられる
と思う。

きみにとっての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

子供だった君は無抵抗だった。

そんな無抵抗な君をいい事に、そんなことする人々がおかしいの
です。

小さい君は従う以外にない。おかしいと訴えても皆が洗脳されて
いる状態では救われなかったと思う。

幼い君に抵抗の意思はあったが、その都度無視された。泣いても
誰も気にしてくれない。

そんな状況では僕ですら抵抗できないと思う。

君は何も悪くないんです。

それは、僕が、保障します。

繰り返し、主張します。

君に何も悪いところはない。

安心して大丈夫です。

「貴方には私の話を聞く義務がある」といい続けられ、そういう空気を作れると思う。自分の意思は貫き続けないといけません。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「「友好活動」と「犯罪行動」の区別はつけないといけないわ！」と。

「悪いけど、そんな未来はごめんだわ」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援します。

君は自分で思っている以上に強い人です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、

文句は言わせないわよ！」と。

大丈夫、君は何も悪くないのだから。
罪はありません。僕が保障します。
脱出がベストです。

もし、彼らからこうした攻撃をつけているなら、かわす方法で一番効果があるのは、音の規則性を崩すことだ。

具体的には似た音を出す機械を身近で稼働させることだ。

周波数が似た音なら、音同士がぶつかり、かき消される。

これは低周波といえども例外ではない。

音を遮断はできないが、音の規則を崩す事は出来る。

規則が崩れれば暗示にかからない。

これは、何度もかいたけど、「催眠」のテクニクです。

科学的に説明の出来る技術であり、神の力でも、神秘的な力でもなんでもありません。

この世にオカルトは存在しません。

惑わされず、立ち向かえます。大丈夫です。

君の事だ、もしかしたら家族の説得を試みているのかもしれない…、判らないけど。君はそういう事しそうだ。仮にしていけないにしても、そういう事を考える人かもしれない。自分の事よりも周りを気づかう人だから。

この考えが外れているか当たっているかわからない…。

でも、どんな行動であろうと、僕は君の行動を支持します。

ただ、自分を傷つけるような行動だけはやめてね。

君はそういう行動をとる可能性というか、傾向があるように感じる。

もっと自分を大切にしたい。

解決のキーワードは「君だけの特別ななにか」だと思う。

これは正直むずかしい。

自分ってわかってっているようで、自分でもわからない。

でも、君の出す答えはもう自分の中にあるもので、あとは理解するだけなんだと思う。

君の心が平穩である事を切望します。笑顔の君は最高に輝いている。

心を解きほぐしてほしい。

「前」を向き続けるFさんを想像するのは好きです。

どんなにゆっくりでもいい、亀のごとく歩みでもかまわない。

立ち止まって休んでもいい。

後戻りさえしてないなら大丈夫です。

君は自分で思っているよりも遥かに強い女性です。

だから、大丈夫です。必ず。

困難も跳ね除けられます。

時には心を休めて、ポカポカとあたたかく、のんびりし、それでいて毅然とした態度で意思を貫けばいい。

Fさんなら出来ます。

過去は糧かてにするものです。君にもそう信じて欲しい。

だめかな？でも、いつか君がそれを信じられる日がくるまで、頑張ろうと思う。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。いつか、想いが届く事を信じて。

初めての印象とういうのは忘れないものです。わくわくして、楽しくて、面白い。

周りの人に、機会があったら伝えてください。最初の印象って忘れないものだ。

違いを楽しんだり、同じと思う事を嬉しく思ったり、何もかも新

鮮で彩りに満ちている。

僕には、あたらしい世界を共に歩みたいと思う人がいます。君はどう思いますか？

いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！と言ってやってください。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

いろいろあると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。多分君の周りには悪意なく“そういう事”が出来る人がたくさんたくさんいると思う。

それは悪意があるのではなく、心が内向きになっていて、外に向いていないからだと思う。

心が外向きになれば、人として持つ“当たり前前感情”が戻ってきます。

そう、周りの人に言ってやってください。

繋がりには、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとっての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

味方もいるはずですが、東京でも経験が、そう僕に確信させる。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援しています。

君は自分で思っている以上に強い人です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っていますがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ

でも主人公のその設定になんとか物凄く惹かれた。
物語自体はどんどんつまらない方向へ進み、途中で見なくなった
のだが、その主人公の設定だけは何だか今でも印象に残っている。

主人公はある施設で、子供の頃から特殊な技能を訓練された人物
で、ある日施設を抜け出す。

組織の者が彼を追うのだが、いつも寸前のところで取り逃がす。
主人公は両親の存在を知らない、それが故、両親をさがす。

探す過程でいつもトラブルに「都合よく」巻き込まれ、その特別
な技能で解決するのだ。

この技能は超能力でも、超科学の力でもない。かなり地味な力だ。
その力は「短期間でどんな職業にでも就ける能力」。

短期学習のプロなのだ。

時には物理学者、時にはアスリート、時にはもつと違った、あら
ゆる分野のプロになる能力を持つ。

…ただ、持続しないらしく、短期集中で覚えた事は次回ほとんど
身につかず忘れてしまうらしい。

つまり「付け焼刃のプロ」なのだ。

ただし、彼にも苦手なものがあり、料理の味付けは下手なのだ。

レシピ通りには作れるのに、オリジナル創作料理はてんでできな
い。

つまり、オリジナリティーがまったくないという欠点を持つ。

生まれてすぐ、まともな生活から切り離され、付け焼刃の特訓ば
かりさせられた人物が、自分探しの旅をする話。

この設定に物凄く感銘したのだ。

個人的にはもつと自己探求に焦点をしばって、彼がオリジナリテ
ィーを獲得するまでを丁寧な書きばいなのだと思うのだが、ドラマ
のほうは単純な陰謀組織と戦うチープなヒーローという枠に終始し
てほとんど面白くなかった作品だ。

「彼がオリジナリティーを獲得するまでを丁寧にかく物語」というコンセプトは、何かに生かせないものかと今でも暖めていたりします。

SF作品には類似のコンセプトは多い。

でもその多くは、人工知能がオリジナリティーを獲得するまでを描いたもので、ピノキオ・スタイルの物語だ。（＝命なき人形が生命を得るまでの話）。でもこの上記の話はピノキオ・スタイルとは違うものだと個人的には考えている。

どちらかというところ。失った個性を取り戻す話だ。「冬のソナタ」に近いというかな。そんな風を感じています。

人間には個性は必ずある。これは否定できない事実だ。人には自分らしく生きる権利がある。

そんな物語、読むのも書くのも好きです。Fさんはどう感じるのかな…。

君が君らしくあり続けられる状況で、今あるのだろうか？心配です。

人に合わせるのはい悪い事ではない。

悩む必要はない。

他人を思いやる優しい心があればこそです。

相手を憎みきれない君は、戦いは辛いものかもしれないけど、

永久にケリを付けないでいるのがいい時があるのも事実だけど。そこは、殺人をも肯定するような世界だ。

踏みにじられたものを取り返すためには、脱出がベストです。

避けては通れない対決というのは事実あるものです。気持ちには、ぶつけないと、返ってこないものです。

考えてみてほしい。

年老いて、周りの人がみな他界した世界で、気づかう相手がいなくなつたとき、後悔しないかと。

君が君らしく、彩りある心を持って生きる事を、何よりも願います。

心を解きほぐして欲しい。

まさか君がかなり本気だったとは。

気づけなくてごめん。

すこし遅くなつたけど。もう一度あえれば嬉しいです。

「すこしじゃないわよ！」

と怒るだろうか…？

怒つた君もかわいいです。

君は何も悪くないです。

そつという状況では僕ですらそつなる。

逃げ道ゼロの状況で、君はよくやったと思う。

罪を感じるだろうけど、幼い頃からそつでは仕方がない。

抵抗の意思を子供の頃から奪うよう教育されているのだもの。

周りに異議をと覚えても、理解してもらえなかつたんだと思う。

そんな状況では、そうならざる得ない。

君は、何も、悪くないです。

繰り返します、何度でも。

君は何も悪くない、僕がその証人です。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。
そこが、大きなターニングポイントになる。
それは事実です。

告白された事は胸にしまುತ್ತもりでいます。

“人を許せる時が、自分を高める時”

(日本テレビ系『行列のできる法律相談所』で有名な弁護士、菊地幸夫氏の言葉)

簡単でないが、目指しがいのある目標ですな。

君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。
僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思っ込んでるけど、それは間違いです。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの(中の)「そうした人達」の(常套手段)”です。

非常に悪質な人心掌握法じんしんしやうあくになります。だから全てを背負い込んで
はだめです!“彼ら”はそれを狙っています!!そうやって君の心
から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ!!だから注意して!

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか?

(そこまでくさってない?)

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては(奇妙な事に)誇らしくも感じてしまう。

繋がっていたのだろうか? どのなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、
どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます

油断していると、本当にこの暗示にかかります。

相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのよう
に“錯覚”させるプロです。

親切心を利用されないようにしないと、永久にいいように利用さ
れてしまいます。

気をつけて! そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコ
だ!

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。
い。

でも繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられる
と思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

人を機械のようにする思想は、何をもって幸せとするか、基準が
おかしくなる。

過去は糧かてにするものです。君にもそう信じて欲しい。だめかな?

でも、いつか君がそれを信じられる日がくるまで、頑張ろうと思う。君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。いつか、想いが届く事を信じて。

初めての印象とういうのは忘れないものです。わくわくして、楽しくて、面白い。

周りの人に、機会があったら伝えてください。最初の印象って忘れないものだ。

違いを楽しんだり、同じと思う事を嬉しく思ったり、何もかも新鮮で彩りに満ちている。

僕には、あたらしい世界を共に歩みたいと思う人がいます。君はどう思いますか？

僕は18年前の君の謎の言動の真実を理解したい衝動をずっと持っていた。

あの笑顔の意味を知りたくて努力した。

生まれつきの鈍感さはいかわらずだけど、努力して得たものは、確かに君の心に繋がったと感じた。

心のなかの“それ”を大事にして、追求するのは、人として正しい行為だと僕は感じる。

もし、君も同じような感覚を抱いてくれるなら嬉しいです。

いつか、どう思うのか聞かせてください。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

君の名前の最初の1文字は「真実を見て（知り）理解する者」と言う意味がある。

名づけた方の意思に反しようが、真実を見極めてもいいと思う。

なぜなら、その名前の字をこの世に送り出した人々は、名づけた人よりも遙か昔にいた人々で、過去存在した多くの人々の想いがその名の意味を支えている。君の名の1文字は歴史を重ねて作りあが

っています。そして、その1字の意味の通り生きていいのだと思う。

君は価値ある人物です。僕に大切なものをくれた。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てく
ださい。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃっ
たとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかに言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

忘却の強要は彼らのオハコだ！気をつけて！

.....

〔12月23日（木）曜日「何が大切で、何がそうでないか、本当はみなわかっている。」〕

昔、「ヘルプ」というタイトルのドラマがあった。

1995年のドラマ。君はこの頃どこでどうしていただろうか？

僕はというと、「ふられた？ふられたんだよな…、たぶん。なんで音信不通？」

と延々と自問自答していた頃だと思う。

当時僕は大学生で、ユースホステル部に所属していた。

同級生の女子部員からこんな事を言われた。

「（当時のあだ名、ちょっと時代を感じる名称なので割愛）は恋愛とかしないの？」と。

当時、ユースホステル部は女子が多かった。

なんかそんな気分にならなかったのは事実だ。

…実は卒業後1人だけ声をかけてある。体よくふられたけど。

後悔だけはしたくない。そんな気分だった。

話をもどして、ドラマ「ヘルプ」というのがあった。

正直「面白くない」ドラマだ。

でも雰囲気があるものすごく好きだった。

観月ありさ演じるいかにも当時どこにでもいそうな女子大生が、行方不明の父の残した騒動に巻き込まれる話だ。

拳銃が登場し、国家だ、スパイだ、中国だと「ケレン味（＝劇的な効果となりうる演出的「ウソ・ハッター」）。歌舞伎が語源」た

つぷりのドラマだ。当時は知らなかったが、この作品「踊る大捜査線」で有名な君塚良一の脚本作品なのだ。

ドラマ自体は数回で面白くなかったが、雰囲気自体は通じるものがある。

たしか、内容はこんなものだったと思う。

観月ありさ演じる主人公は洋館を訪れる、1日だけのバイトで。しかし1日では帰れない止むに止まれぬ事情に遭遇する。

洋館には秘密があり、中国系のあやしい連中がそれをねらう。

また、陣内孝則演じるなぞの人物もその“何か”を狙い洋館を出入りする。

彼は時に味方となり主人公と洋館に住む子供たちを守る…。

洋館にかくされた“それ”は宝石らしいことはわかるのだが、どう貴重なのかが最後まで謎になる。

このドラマのつまらないポイントは、実は宝石の謎など最初から考えられてなく、雰囲気で引っ張っていただけなのだ。

さんざん期待させておいて、それでは物凄くがっかりする。

当時の僕も、一体あの宝石の正体はなんだろう、あれかな？これかな？とワクワクしていたのに、実はなんでもないただの宝石という事で一気にガッカリした記憶がある。

当時の僕はこう事を考えた。

…でもそれを説明するためには「林彪」という人物を説明しないといけない。

「林彪」は端的に言うとも1970年ごろの中国のNO2、というイメージでほぼ正しいと思う。

毛沢東の次に偉かった人物だ。この頃の中国は文化大革命で、国民すべてが熱病に冒されたようにデモを繰り返して、毛沢東に反対する勢力を攻撃した時期だ。

その後「毛沢東」は「林彪」を疑うようになる。
独裁者とはいつの時代も有能な身内を恐れるものらしい。
この対立は時間とともに決定的なものになり、ついに激突する。

一般的に歴史ではこう説明されている。

先に「林彪」が「毛沢東」暗殺計画をたてた、が失敗。

「毛沢東」は暗殺計画の主犯「林彪」逮捕を命じる。

「林彪」の方は計画失敗と同時にソ連に亡命する段取りだった。

歴史はこうなっている。

「林彪」の乗った飛行機はソ連到達まえに、事故で墜落。「林彪」も死亡したと。

一般にはミサイルが何かで撃墜されたという認識が広がっている。

この事実を踏まえた上で、先ほどのドラマの話。

その“謎の宝石”には、何かのマスターコードが埋め込まれていて、そのコードが解析されると、世界の軍事バランスが崩れてしまふ！としたら？みな必死にそれを探すのではないだろうか？と考えた。

具体的には、中国の核ミサイルの発射コードを全部解除してしまうマスターキーだったら面白い。

そんなものはこの世に存在しないはずだが、その宝石がもともと「林彪」の持ち物だったとしたら？

根拠のない噂でも、確かめたいと思う勢力は少なからずいるのではないだろうか？

作品の「ケレン味」としては充分機能する要素だ。

ドラマを見ていた当時の僕はそんな事を考えていた。

このアイディアは今も生きていると思う。何かで使えたらとっ

であるけど、ケレン味が強すぎてなかなか使えないでいます。

「ケレン味」とは先ほども述べたとおり、「大げさなウソのような表現」で、話の劇的な高揚感を演出するものです。江戸時代の歌舞伎用語が語源らしいけど、一般に広がったのは近代。しかも近代に入って広がった“本来”の使い方は「けれんみのない文章をかく」というように、ウソ・ハッタリのない文章を心がけよう、という意味でひろがったのだ。

物事は誇張なく正確に伝えようという意味です。

物語の世界では、感情を高揚させるため、ケレン味を楽しむのはアリだと思う。

でもそれがそれ、現実の世界でケレン味を求めるのは必ずしも正しくはない。なぜなら、真実が見えなくなるからだ。

真実が見えなくなるから、殺人をも肯定できるような認識がまかり通ってしまうのだと、そう思う。

真実を見る事は大切な事なのです。

何が大切で、何がそうでないか、本当はみなわかっている。

言い出せないだけだ。

君は同意してくれると思う。

君は小さく子供だった。

素直に従っただけだ。間違っているとわかっているけど、いいだせなかったと思う。

おかしい事をおかしいと言えない様に教育されてしまったのだから、仕方がない。

弱く幼い君に、抵抗する方法は皆無だった。

ただただ、一生懸命、それしかなかった。

泣いて頑張るしかなかった。

だから、君は何も悪くないんです。

僕が保障します。

君は心根の優しいひとです。僕がその証人です。

初めての印象とういうのは忘れないものです。わくわくして、楽しくて、面白い。

周りの人に、機会があったら伝えてください。最初の印象って忘れないものだ。

違いを楽しんだり、同じと思う事を嬉しく思ったり、何もかも新鮮で彩りに満ちている。

僕には、あたらしい世界を共に歩みたいと思う人がいます。君はどう思いますか？

過去は糧かてにするものです。君にもそう信じて欲しい。だめかな？でも、いつか君がそれを信じられる日がくるまで、頑張ろうと思おう。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。いつか、想いが届く事を信じて。

君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思いついてるけど、それは間違いです。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした人達」の）常套手段”です。

非常に悪質な人心掌握法じんしんしゅうあくになります。だから全てを背負い込んで

はだめです!“彼ら”はそれを狙っています!!そうやって君の心から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ!!だから注意して!

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか?

(そこまでくさってない?)

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては(奇妙な事に)誇らしくも感じてしまう。繋がっていたのだろうか?どうなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

でも繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

僕は今、賭けをしています。

答えはわかりません、とにかく待とうと思う。

今は君の都合が悪いだけだ、受け入れられるにしろ、違うにしろ、なにかしらケリをつけに君は現れる。そう信じます。君は、僕が真実に気がついたという事実をもし知ったなら、その事実を重く受け

止めるはずだ。そう思った。

何に賭けているのかと言うと、君が僕に「告白」するかどうかという事だ。

“彼ら”は決して正体を明かさない…。「告白」しない）、どんなに親しくなるうとも、絶対に。君ははたしてどうだろ…？

18年前、君は「告白」一步手前まで来ていた。先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ、今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。君が僕に「告白」するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。それは事実です。

告白された事は胸にしまうつもりでいます。

“人を許せる時が、自分を高める時”

(日本テレビ系『行列のできる法律相談所』で有名な弁護士、菊地幸夫氏の言葉)

簡単でないが、目指しがいのある目標です。

世界は広大で広く、想像を絶するダイナミックな時間からみあって作られている。

「視野が狭くて何が悪い」とか言う人が増え続けていくと、それが世界の不和の原因になってゆく。

せまい世界のなかだけで完結しないのは事実のようです。

君の周りの人に伝えてください。自分たちだけが一方的に正しいと思っっているのは恥ずかしくないの!？と。

理解を示す心の広さはどこへやったの?と。

これは人としての“質”の問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。質が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援します。君は自分で思っている以上に強い人です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思いますがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

今でも「けれんみ」を振りかざして現実を歪ませようとする人達がたくさんいると思う。

負けないで欲しい。君ならできます、大丈夫です。

遊ぶ金ほしさの連中にも負けないで！

再会を信じて。奇跡に賭けます。

.....

「12月24日（金）曜日」「本当に「好き」というのは事実として楽しいものだと思う。」「」

Fさん、クリスマス・イブです。

おめでとございます！

できれば、直接言いたいです。

…意味、判りますよね？たぶん。

…うん、そう、そういう事です。

君は今どこで何をしていますか？

クリスマスとかが素直に祝える環境であれば、うれしいです。

僕は毎年フジテレビでやっている「明石家サンタ」をみています。大学時代からほぼ毎年。

1度ビデオにとってみた事あるけど、あれはリアルタイムで面白いと面白くありません。

そう、毎年「生放送」なのです。

こつという類の“こだわり”って大好きです。
本当に“好き”でなければ、毎回そういう風にはできない。
そして、本当に「好き」でやっている事というのは楽しい。
今年も今日の深夜1時からやるみたいです。

クリスマスといえば…

クリスマスカード。

以前手製で描いたものを渡したけど、覚えているだろうか？

あんなものでも喜ぶ君が不思議だった。

でもかわいく笑ってくれるので、喜んでもらえて嬉しかった。

君はどんなふうに覚えているのだろうか…、いつか教えてくれればうれしいです。

君の心が平穏である事を切望します。笑顔の君は最高に輝いている。
る。

心を解きほぐしてほしい。

「前」を向き続けるFさんを想像するのは好きです。

どんなにゆっくりでもいい、亀のごとく歩みでもかまわない。

立ち止まって休んでもいい。

後戻りさえしてないなら大丈夫です。

君は自分で思っているよりも遥かに強い女性です。

だから、大丈夫です。必ず。

困難も跳ね除けられます。

時には心を休めて、ポカポカとあたたかく、のんびりし、それでいて毅然とした態度で意思を貫けばいい。

Fさんなら出来ます。

今、ニュースでようやく予算がどうにかなったと報道されている。
つぎはぎだらけの、むりやりやりくりした予算だ！と非難されて

いる。

でも、それで、いいと僕は思う。

無理をしている分、予算が尽きたら本当にどこかで「節約」しなきゃいけないわけで、強引にそういう環境にしていまえば、きっと官僚はむりやりにもなんとかして、結果として歳出削減に繋がる気がする。

別居でもなんでも、既成事実をつくってゆくと、相手の行動を縛る事ができる。

つまり、“相手のきりしろ”を削る事ができます。

もしかしたら、過去君もいろいろそうして追い込まれたのだろうか？

逃げ道をふさいで、行動の自由をしばり、選択支がないように錯覚させる…。

まさか、今、そのような状況出ない事を祈ります。

Fさん、君は自分が思っている以上に強い。大丈夫です、切り抜けます。負けないで！

“彼ら”の世界はたちの悪い「会員制クラブ」と何も違いがない。擬似特権階級ごっこに興じる変人クラブだ。

本当に好きでやっている人もいるだろうけど、大半の人はむりやりしかたなく、いやいや、お付き合いで、やっているものと信じます。東京での体験がそう信じさせる。皆、口にこそださないが、結構まともな人々であると感じます。

そういう環境でそだってしまえば、しかたがないと思う。たとえ、君でもそうせざる得ない。

人一倍人に気づかう心を持つ君は、そのやさしい心があるが故、
つらい思いを随分したと思う。

その辛さを理解してくれる人は少ない…、従わざるえなかったと
感じる。

なんて過酷な…、そう思う。

君は悪くないです、それは事実です。

小さく幼い君にはそうせざるえない。

何も悪くありません。

でも、悪い事をして平気な人達のなかで、「平気なふり」をし
続けるのは、やはり相当つらいと思う。

脱出がベストです。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

君の名前の最初の1文字は「真実を見て（知り）理解する者」と
言う意味がある。

名づけた方の意思に反しようが、真実を見極めてもいいと思う。

なぜなら、その名前の字をこの世に送り出した人々は、名づけた
人よりも遙か昔にいた人々で、過去存在した多くの人々の想いがそ
の名の意味を支えている。君の名の1文字は歴史を重ねて作りあが
っています。そして、その1字の意味の通り生きていいのだと思う。

君は価値ある人物です。僕に大切なものをくれた。

心のなかの“それ”を大事にして、追求するのは、人として正し
い行為だと僕は感じる。

もし、君も同じような感覚を抱いてくれるなら嬉しいです。

いつか、どう思うのか聞かせてください。

僕は18年前の君の謎の言動の真実を理解したい衝動をずっと持
っていた。

あの笑顔の意味を知りたくて努力した。
生まれつきの鈍感さはいいかわらずだけど、努力して得たものは、確かに君の心に繋がったと感じた。

初めての印象とういうのは忘れないものです。わくわくして、楽しくて、面白い。

周りの人に、機会があったら伝えてください。最初の印象って忘れないものだ。

違いを楽しんだり、同じと思う事を嬉しく思ったり、何もかも新鮮で彩りに満ちている。

僕には、あたらしい世界を共に歩みたいと思う人がいます。君はどう思いますか？

過去は糧かてにするものです。君にもそう信じて欲しい。だめかな？でも、いつか君がそれを信じられる日がくるまで、頑張ろうと思う。君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。いつか、想いが届く事を信じて。

最近、部屋のエアコンのフィルタを掃除した。
凄いはこりだった。

とったら、物凄いパワーで部屋を暖めてくれる。
こんなに性能が違うのものかといつも驚く。

気がつかないうちにはこりはたまるみたいです。

“彼ら”の世界では、心が真実を見えないようにするため、“ほこり”でまぶたを詰まらせる。

その状態が、ただしい状態でない事はあきらかだ。

真実を見てこそその生きがいの追求だと思う。

君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違いです。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした人達」の）常套手段”です。

非常に悪質な人心掌握法（じんしんしやうあく）になります。だから全てを背負い込んで
はだめです!“彼ら”はそれを狙っています!!そうやって君の心
から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ!!だから注意して!

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか?

(そこまでくさってない?)

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては(奇妙な事に)誇らしくも感じてしまう。

繋がっていたのだろうか?どうなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、
どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます

相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのよ

うに“錯覚”させるプロです。

親切心を利用されないようにしないと、永久にいいように利用されてしまいます。

油断していると、本当にこの暗示にかかります。

気をつけて！そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

でも繋がりや、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとっての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

ニユースで、クニマス発見を喜ぶ天皇陛下のコメントを見た。

まさかとおもって聞いていた。

はたして、天皇陛下は「さかなクン」の事を何と呼ぶのだろうか？と。

そしたら、なんと「さかなクン」とそのまま言うではないか！？

正直、驚いた。

昔ならありえない。そう、思う。

世の中は確実に“動き・変化”していると信じたいところです。

君につたえます。

自分の心を解きほぐしても大丈夫です。

ゆっくり、時間をかけて、彩を取り戻してほしい。

君の笑顔は最高に輝いています。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違っていると、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っていると、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援していただきます。

君は自分で思っている以上に強い人です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思っけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

私は、理由も無く人を貶めるような事はもう2度と金輪際しません！

とまわりの人々に言っけやっけください。

頑張れ！！

.....

「12月25日（土）曜日」自分の意見をもてるからこそ、他の意見との比較検討というのができる。」

最近、交通事故のニュースが多い。

これは毎年、年末年始には、必ずこうなる。

交通量が増えるので、事故を減らす意図で流しているのだろうか？

政治のニュースならば、ニュース元となる記者クラブの意向がそのままマスコミの報道姿勢に繋がる…。この年末年始の交通事故のニュースが増えるのはどういうバイアスがかかっての事なのだろうか？

…単に、年末は社会部の人も休みたいたいから、無難なネタに終始していると考えられなくも無い。なにしろ、交通事故のニュースなら、取材せずとも黙っていても入ってくる。それで、年末年始の交通渋滞緩和アピールに繋がれば、一石二鳥だ！

…もちろん、世の中は単純に見えて、その実、複雑な構造をしている、一刀両断に断言できない。他の説明もあるだろうし、他の理由もあるだろう。でも自分の意見を持つというのは重要です。自分の意見をもてるからこそ、他の意見との比較検討というのができる。そうでないと、言いなりになってしまう。そういう現象、世の中にはたくさんあると思います。放っておくと、いつの間にか“損な役回り”を押し付けられます。

…また、没になったネタを書くこうと思う。いいかな？

何しろ普通に暮らすのが何よりも大切な事ですから。

こうい話、出来てこそその普通です。

かつて、こんな話を考えた。

これは僕としては珍しく純粋SF。

はるか未来の話。

星が生まれる過程を研究する科学者の乗る宇宙船の話。

「恒星」が生まれる過程については、初歩的な事を高校で習った気がする……でもその後、大学の一般教養でもならった。同時期、NHKスペシャル等でちょうどそのジャンルのものを見ていたので、その辺がインスピレーションの元になったと思う。

覚えている限りでいうならば、宇宙にある「物質」が重力やらなにやらの関係で1箇所に集まりだす、様々な要因により、集まった物質はさらに収束してゆき、1つの塊に成長してゆく。

学問の世界では、こうした収束した物質が集まる空間を「ダークマター」と呼ぶ。真っ暗で、向こう側の星が観測できないからだ。通常周辺の星系の影響で、重力の井戸になっている場所だ……ったと思っ。

いずれこの「ダークマター」は集まった物質が増えると重力も増すので。中心に「星の原型」が生まれる。「星の原型」は周辺の圧力により圧縮されてゆき、いずれ限界点にくる。

限界点とは？具体的には内部にたまった物質のうち、水素同士が融合して「核融合」出来てしまうほどの圧力に達する状況をいう。

もし、「星の原型」が限界点に来て、「核融合」してしまったら？

反応は連鎖反応となり、周辺の水素を次々と食いつくし、いずれ「太陽（恒星）」として輝きだす。

ダークマターのうち、実際に恒星の材料となるのはごく一部で、使われなかったダークマターはいずれ恒星の周りをぐるぐると回りだす惑星の材料となる。

僕は専門家でないから、間違いがあるかもしれないけど、こないだ小惑星「いとかわ」から回収された「ちり」はこうした惑星の原型となった物質を研究する上で、重大な資料になるとか、ならないとか。そんな事なんだと思う。

僕はこんな事を考えた。

宇宙船でダークマター内に進入して、「星の原型」に対して、核爆弾を打ち込めば、人工的に恒星を誕生させる事が出来なくもない。恒星の誕生を研究したいと思っっている人達にとつて、その宇宙船に乗って、観測作業をするのは至高の喜びなのでは？と。

でも、それは人類のエゴでもある。

1つの星の運命を勝手に変えてしまう事であり、研究目的で安易にやっていい事ではない。

…そこで、こんなふうにイメージをした。

ダークマター内は核融合が自然に起こるほどの「超圧力」の世界。そこに突っ込む宇宙船も物凄い頑丈な探査船。

でも絶対の安全などなく、乗り組む人々は死を賭ける事になる。

そのくらの覚悟をしても研究したいという人物ばかりが集まった宇宙船。中には覚悟不足の者もいたりして、その辺にドラマが生まれる。

いよいよ船はダークマターに突っ込む。

そうこうしているうちに、安全なはずの船で、次々にトラブル。

早めに気がついたからいいが、下手をしたらダークマターの圧力につぶされてしまう故障ばかりが起こる。船内に動揺がひろがる、故障原因をしらべると、どうしても人為的な破壊工作がおわされるからだ。犯人はこの中にいる？ちよつとした密室サスペンスの様相になる。

その内、犯人がわかる。

しかし、その正体に気づいたのは主人公のみで、多くの人は知らない。犯人の目的は、この実験を失敗させる事。星の運命を守ろうと考える活動家だ。彼は船内の核爆弾を無力化したのち、帰還せざる得ない重大なトラブルを船に起こして実験をやめさせるのを目的にしていた。具体的には酸素をなくして、今すぐ帰還しないとやば

くなる様するつもりだ。彼の計画は半分まで上手くいく。核爆弾の無力化は失敗したが、酸素をなくす事には成功した。犯人は皆に捕まり、拘束されたが、現状では帰還せざるえない。

ところが、強硬派が今度は譲らない。

足りない酸素は作ればいい。今帰還したら、計画が中止されてしまいかねない、なんとかして成功させるのだ！と。

けれどその酸素生成方は、長期間使用するには無理があるプランだった。とても計画通り長期間ダークマター内に留まって観察を続けられるとは思えないものだった。その酸素生成プラントを作るのはエンジニアがいる。でも船内でそれを作るほどのエンジニアは犯人として捕まった彼くらいなのだ。彼は当然その気はない。

帰るしかない…、と船内の意見がまとまった時、強硬派の数名が姿を消す。彼らの目的はエンジンを破壊して帰れなくしてしまうというものだ、素人がへたに壊して爆発しかねない。船内が一気に緊張する。

そうこうするうちに、星の原型の様子がおかしい。という事に研究員の1人が気づく。どうやら、核爆弾を打ち込むまでもなく、もうすぐ核反応が起こるようだというのだ。このまま自然な形で、観測ができるかもしれない。そうなると、犯人の彼も酸素プラント作りに同意する。しかし、そんな事情を知らない姿を消した強硬派は、エンジンを破壊してしまう。素人が破壊したせいで、予定以上の影響がでてしまい、船が圧力に負けだしてしまう。どの道脱出するしかない。星が核反応しだすまであと1時間。何がおこるかかわからない状況下で、はなして!…という話。

オチは考えてない。映画「2001年宇宙の旅」に登場するようなモノリスみたいなのが皆を救うというのもいいかな?とか思うが、解決が安易で嫌だな、なにか結局無事だった核爆弾を利用した脱出策とかあれば面白いのに…とかいろいろ考える。

この物語の本質は「意見の対立」だ。

宇宙の真理を純粹に追究したい意思。
人類のエゴを正したいという正義感。

これまでの努力を無にしたくない、成果を何としても挙げるんだ
という意思。

これら意見のぶつかり合いがこの物語を構成している。

この構成が上手く表現できていれば、オチなどどうでもいいのか
もしれない。

最近「プレデターズ」という映画を見た。

単純明快な戦闘ものだけど、その実じつは、心の乾ききつた男が
人を信頼する気持ちを取り戻す話でもある。その辺の構成がちゃん
と描かれているので、単純な戦闘ものなのに、見ても苦にならない。
前作「エイリアンvsプレデター2」は単純な戦闘ものに終
始していて、後半飽きが来てしまった、アクションはすごいのだが、
見えてつまらないのだ。これを楽しめるのは子供だけだなと感じ
た。

製作サイドもそう思ったのだろうか？今回の「プレデターズ」は
よくで来ている。見ていて飽きないし、くだらなく感じなかった。
ああいう作りの話なら、オチがどうなるかと面白く感じるのだと個
人的には思う。

どの道、今回書いた僕の没ネタ、これは本格的な正統派SFだ。
たぶん、安易には描けない。いつか描きたいなと寝かしてあるネ
タです。

普通が一番です。

“彼ら”と永久に心理戦をやるのはバカバカしい。

僕は僕で、僕なりの普通の暮らしを貫く。

それで、いいよね？Fさん。

僕はこういう話をあれこれ考えては、あーでもない、こーでもない

ないとやるのが大好きです。考える過程で、いろんな事に興味ももてるし、勉強にもなる。

学習した事を人にそのまま話すと、知ったかぶりになってしまう。だからこそ漫画で表現したい。

プロになれなくとも、描く意味と目的はあるのです。

それに万が一なれない保障もない。

何にせよ描かないと進めない訳で…

僕は僕なりに精一杯生きています。君はどうですか？

いつか、君の話を知りたい。

君は人に愚痴とか言わない人だった。

できることなら、君の愚痴をきいてあげたい。

以前の僕には出来なかつたが、今の僕なら、君の愚痴を受け止める事もできると確信しています。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援します。

君は自分で思っている以上に強い人です。

初めての印象とういうのは忘れないものです。

わくわくして、楽しくて、面白い。

周りの人に、機会があったら伝えてください。

最初の印象って忘れないものだ。

違いを楽しんだり、同じと思う事を嬉しく思ったり、

何もかも新鮮で彩りに満ちている。

僕には、あたらしい世界を共に歩みたいと思う人がいます。

君はどう思いますか？

僕は18年前の君の謎の言動の真実を理解したい衝動をずっと持っていた。

あの笑顔の意味を知りたくて努力した。

生まれつきの鈍感さはいいかかわらずだけど、努力して得たものは、確かに君の心に繋がったと感じた。

心のなかの“それ”を大事にして、追求するのは、人として正しい行為だと僕は感じる。

もし、君も同じような感覚を抱いてくれるなら嬉しいです。

いつか、どう思うのか聞かせてください。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

君の名前の最初の1文字は「真実を見て（知り）理解する者」と言う意味がある。

名づけた方の意思に反しようが、真実を見極めてもいいと思う。

なぜなら、その名前の字をこの世に送り出した人々は、名づけた人よりも遙か昔にいた人々で、過去存在した多くの人々の想いがその名の意味を支えている。君の名の1文字は歴史を重ねて作りあがっています。そして、その1字の意味の通り生きていいのだと思う。

君は価値ある人物です。僕に大切なものをくれた。

君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違いです。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした人達」の）常套手段”です。

非常に悪質な人心掌握法じんしんしやうあくになります。だから全てを背負い込んで
はだめです!“彼ら”はそれを狙っています!!そうやって君の心
から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ!!だから注意して!

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか?

(そこまでくさってない?)

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては(奇妙な事に)誇らしくも感じてしまう。
繋がっていたのだろうか?どうなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。
図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。
もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、
どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます

相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのよう
に“錯覚”させるプロです。

親切心を利用されないようにしないと、永久にいいように利用されて
しまいます。

油断していると、本当にこの暗示にかかります。

気をつけて！そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコ
だ！

君は小さく自分の意見を持つことを禁じられた。

周りに優しい君は、迷惑をかけないようがんばった。

仕方が無いことです。

僕でもそうする。

自分で自分を悪いと思わないで欲しい。

君は何も悪くない。

本当の君をしろつと、僕はそう思う。

いつか君がその事を確信できたら嬉しいです。

重ねて言います。

君は、何も、悪くない。

子供の君に抵抗の手段はなかった。

幼い君はただじつと耐える以外なかったんだと思う。

泣いても助けてくれない。

立ち尽くすばかり…。

悪いはずがない。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。
でも繋がりや、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられる
と思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。
う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃっ
たとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

すると何十回か聞いていくうちに、「あれ？理解できる」と感じる瞬間にぶちあたった。

まさか理解できると思ってなかったから自分でもびっくりする。

具体的にはこんな内容だ。

人間の「神経」のなかに電気信号が流れていて、これが脳からの指令をやりとりしているのは有名な話です。

でも、生物の神経の「どの部分」にも電気信号を送れるような金属はない。

たんぱく質の塊でしかない「神経」がいかに「電気信号」を送っているのか？

言われてみると説明できないと思う。

その講義はまさにその仕組みを解説したものだった。

講義の中には何度も何度も「脱分極」というセリフがでてくる。

この単語、実は海外のSFドラマ「スタートレック・ヴォイジャー」の中によく登場する単語なので、意味は判らないが言葉だけは知っていた。ドラマ内では宇宙船のシールドが崩壊した時、シールド・エミッターが脱分極した、などという感じで使われていた。

SFファンとしては、初めて聞く単語だから意味を知りたい。

調べてみると、磁石の極が急に極として機能しなくなる状態を脱分極というらしい。

いまいち意味がわからない。

たぶんだけど、電磁石は電源を入れるとプラスとマイナスの極ができて磁界が生まれる。

電源を切ると極が消えて、磁界も消える。

この消えた状態を「脱分極」というのだと思う。

先ほどのTV講義の話に戻る。

講義内では何度も「脱分極」という単語がでてくる。

どうやら、神経の内部というのは空洞になっており、その内壁の細胞はイオンの出し入れをする能力があるらしい。

内壁の細胞はイオンを取り入れたり、排出することで、プラスかマイナスに荷電するらしいのだ。

神経の内壁の細胞が荷電することで、電気信号が空洞に生まれる。でも生まれるだけで、移動できない。

移動しないと信号は筋肉にも脳にも到達しない。

どうやって神経内の空洞をその電気信号を移動するのか？

「脱分極」してしまえばいいのだ。

神経の内壁の細胞がプラスとマイナスに荷電したことで発生する電気は、荷電状態のままではそこに留まり続ける。

そこで、内壁の細胞がイオンを利用してもとの荷電しない細胞に戻ったとすると？

発生した電気信号は留まる理由をなくして漂いはじめる。

そのままでは消えてしまうが、運良く近くにある電極にひきつけられる。

その電極とは神経細胞内の先ほど荷電を解いた細胞の隣りの細胞だ。

そしてその隣りの細胞も荷電を解く。

すると今度はさらに隣りの細胞にひきつけられる。

さらにその細胞も荷電を解く、

そうするとさらにさらにとなりの細胞へ…

という具合に電気信号は移動するらしい。

リニアモーターカーの原理にている。

毒ガスに神経ガスというのががあるが、これはこの神経内の細胞すべてを薬の力で強制的に脱分極さしてしまうものらしい。

神経の電気信号が全て止まってしまえば、たしかに生命活動は維

持できない。

数秒で…というのもうなずける。どこの誰が作ったのか恐ろしいものを世にだしたものです。

ちなみに上記の説明は大型生物の場合は少しちがう。

この方法では神経細胞の情報伝達速度が遅いからだ。

特に脳のように高速で情報のやり取りをする場所では、電気信号を「加速」させる仕掛けが施されている。

よく脳の神経細胞をイラストで紹介しているものを見ると、長細いものがいくつも連なっている絵をみる。

実はあの長細いもの同士が繋がっている接合部に「分極・脱分極」をする細胞があり、あの長細い部分をすっ飛ばしてとなりの接合部まで電気信号を送っているらしい。そうすることで、ハイスピードで、神経が情報をやりとりできるらしい。よく出来ています。

…え？難しい？

そう思う。僕だって完全にわかっていないわけではない。

でも「銅線が神経の中にあるわけでもないのに、どうして電気信号が神経の中を行き来しているのか？」という疑問そのものは、なんだか生命の神秘を説明するネタとして興味をひく。たぶん、まだ誰もSFでやってないのではないだろうか？

話のネタとしては、神経ガスをすっても死なない人間の話とか、あるいは脳の性能を加速させる科学者の話とか、いろいろ行けそう。でも内容が難しい…、いつかできたらいいなーと思っているものです。

最近「生物と無生物のあいだ」という本を読んでいる。

数年前大ヒットした本だ。

分子生物学の入門書としては異例の大ヒットになった。

当時から、内容しだいで、こういう難しいジャンルのものでも、読みやすくさせるといふ本が売れるという流れはあった。

今、バカ売れしている「もし野球部の女子マネージャーがドラッカーを読んだら」といふ本もこの法則にのって企画されたのかもしれない。

でも「売れる流れ」といふのは確かにあっても、最終的にそれが人々に心を惹き付けるかどうか？は、作り手の情熱に左右されると思う。この「もし野球部の女子マネージャーがドラッカーを読んだら」といふ本を書いた著者の話もTVで見たけど、もう最後の賭けのつもりで書いたというのだ。たしか放送作家さんだったのかな…、とにかくその手の業界の書き手の人で、こういう業界の書き手は漫画家同様、基本的に使いしてされる。どこかで、自分だけの何かを確立しないと、時間と共に仕事が減り、新人に駆逐されるからだ。この著者の方も、いろいろと危機感を持っていたんだと思う。

昔「キン肉マン」でヒットを飛ばした「ゆでたまご」さんも専属契約が切れる際には、もう漫画家としては無理だと思つたことを集英社から言われたとか…。でも「キン肉マン？世」を描いて頑張っていたりする。

なんだろう、売れるからえらいのは事実だけど、売れないからといって頑張らないのは、何かいけないように感じた。

無駄とも思える努力でも、なにかに繋がると信じたい。

事実、僕は君との思いでの謎に気がついた。

この事実は大きいと思う。

よく、そんな事に興味をもってどーするの？といった事をいわれ

る。

何がしたいかわからないよ、とかもいわれるが、突き進んでいいとおもう。

つきつめていくと、意外な“何か”がまっているかもしれない。人の評価も大事だけど、気にしすぎると自分のやりたい事がわからなくなる。

日本の外交をみているとそう思う。

日本人は外国からの評価を何よりも気にする。

いい評価をもらう事こそ至上命題のようにふるまう。

だから外国政府からは、日本は言いなりで便利な国だとか、何を考えているかわからない。

と評価されるのだと思う。

Fさんはどう思いますか？

人は自分の心と向き合ってもいいんです。

問題ありません。

僕は今、賭けをしています。

答えはわかりません、とにかく待とうと思う。

今は君の都合が悪いだけだ、受け入れられるにしろ、違うにしろ、なにかしらケリをつけに君は現れる。そう信じます。君は、僕が真実に気がついたという事実をもし知ったなら、その事実を重く受け止めるはずだ。そう思った。

何に賭けているのかと言うと、君が僕に「告白」するかどうかという事だ。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（「告白」しない）、どんなに親しくなろうとも、絶対に。君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は「告白」一步手前まで来ていた。先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ、今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。君が僕に「告白」するかどうかと。そこが、大きなターニングポイントになる。それは事実です。

告白された事は胸にしまうつもりでいます。

君は何も悪くありません。

小さい頃からそういうことが正しいとおしえられれば、子供なら従うのがあたりまえだし。

自分の意見を持たないようにしつけられてしまえば、反抗もむずかしい。

怖くても、逃げださない強さが君にはあった。

そこを利用されてしまったのかもしれない。

君はなにもわるくない。

悪意を持つことを当然と教育された大人たちに囲まれすぎていたにすぎない。

泣いてもそうした人達は気の迷いとか決め付けて、君の心を無視したものと思う。

自分の気持ちは大切にしています。

僕が保障します。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです、手が出せば届くようなものではない。強大なダイナミズムで動いている。日本とて例外ではない。

せまい世界のなかだけで完結しないという事だけは、間違いようのない事実です。

けっして単純ではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないの!？」と。

「理解を示す心の広さはどこへやったの?」と。

「真実に目を向ける勇氣はどこへいったの!？」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

わかるうとしないのは、個人個人の“質”の問題です。目の前しか見ていない。

そうした自分都合の連中に負けないで！

“厄介な人”多いと思うけど！負けないで欲しい。

君が戦い続けられるなら、僕も戦い続けられます。

これは人としての“質”がどうなのか?という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援します。君は自分で思っている以上に強い人です。

君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違いです。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした人達」の）常套手段”です。

非常に悪質な人心掌握法（じんしんしよつあく）になります。だから全てを背負い込んで
はだめです！“彼ら”はそれを狙っています！！そうやって君の心
から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ！！だから注意して！

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？

（そこまでくさってない？）

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては（奇妙な事に）誇らしくも感じてしまう。

繋がっていたのだろうか？どうなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、
どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます

相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのよう
に“錯覚”させるプロです。

親切心を利用されないようにしないと、永久にいいように利用されて
しまいます。

油断していると、本当にこの暗示にかかります。

気をつけて！そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコ

だ！

いまはつらいのかも、大変な目にあってるのかも、いいい。

でも繋がり、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

君は価値ある人物です。僕に大切なものをくれた。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

初めての印象とういうのは忘れないものです。わくわくして、楽しくて、面白い。

周りの人に、機会があったら伝えてください。最初の印象って忘れないものだ。

違いを楽しんだり、同じと思う事を嬉しく思ったり、何もかも新鮮で彩りに満ちている。

僕には、あたらしい世界を共に歩みたいと思う人がいます。君はどう思いますか？

僕は18年前の君の謎の言動の真実を理解したい衝動をずっと持っていた。

あの笑顔の意味を知りたくて努力した。

生まれつきの鈍感さはいいかかわらずだけど、努力して得たものは、確かに君の心に繋がったと感じた。

心のなかの“それ”を大事にして、追求するのは、人として正しい行為だと僕は感じる。

もし、君も同じような感覚を抱いてくれるなら嬉しいです。

いつか、どう思うのか聞かせてください。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

君の名前の最初の1文字は「真実を見て（知り）理解する者」と言う意味がある。

名づけた方の意思に反しようが、真実を見極めてもいいと思う。

なぜなら、その名前の字をこの世に送り出した人々は、名づけた人よりも遙か昔にいた人々で、過去存在した多くの人々の想いがそ

現在この問題に対する解決策は一応考案してある…、でも上手くいくかどうかまだ解らないので書くのは控えます。

ただ、ポイントは「何が自分にとってインスピレーションを誘導するものなのか？」という点だ。

長年「彼ら」に監視されている経緯から、僕が「ガンダムファン」である事は周知されているかもしれない。

けど、「好きなもの」が、そのままインスピレーションを誘導する題材になるかという点、そうではないのだ。

「ガンダム」を見たところで、出て来るアイデアはせいぜい中二病レベルの物しか頭に浮かばない。

そんなものわざわざ書いても意味は無く。もっと面白いものを描きたいと常日頃から思う。

誰も見たことないもの描いて、あつと言わせたいのだ。

そういうあつと言わせるアイデアがわく「イメージの元」は大概、自分の好きなものとは違うものだったりする。

例えば「画面作り」に関して言うと、僕の場合、女流漫画家のものが一番インスピレーションがわく。自分でも意外だ。

背景を描く、という作業に関しては、スケッチの指南をしている本を参考にするのが一番しっくりくる。

何でも器用に出来ないが故、苦労するけど、インスピレーションが誘発しやすい「何か」にたどり着ければ、苦手は克服できる。

オールラウンドプレイヤーになる才能はなくとも、局地でなら戦える。そう思うのだ。

好きなものと得意なものは、必ずしも同じでない。

いくなれば、食べるのが「好き」な料理と、作るのが「得意」な料理は違うという事でしょうか？

もちろんそうでない人もいる…、それはその人の持って生まれた

才能。

素直に認めてうらやましがればいいだけの事。真似様としても出来ないの、自分だけの方法を模索した方がいい。

諦めるのは簡単だけど、そのままでは心がくすんでしまう。

輝きを取り戻すためには、自分が自分である方法を諦めず探さないといけないと思う。

…そうそう世界を救うアイテムの話。

昔、こんな話を考えた。

1970年代、沖縄返還交渉の時。

アメリカ政府は沖縄返還を渋って、いろいろ条件をつけた。市場開放だ。

沖縄を返す代わりに、繊維市場とコンピューター市場の解放を要求した。

1970年代、高度経済成長にひと段落着いた時期。

歴史ではどうなっているかというところ？

繊維業界は大打撃をうけ、多くの生糸産業が化学繊維に産業転換した。

コンピューター産業は通産省指導のもと、業界再編が行われた。

この時期、コンピューターはまだまだ未発達の時期で、外国勢力が入ってこられると大打撃をうけかねない。

よく持ちこたえたものです。

ここで、こんな事を考えた。

もし、この時期、脳の分子メカニズムを調べるため、ネズミの脳に測定器を付けて実験していたネズミがいたとする。

何かの偶然で、脳と測定器のマイクロチップが干渉しあい、人並みの知能を得たとしたら？

そのネズミの知能構造を調べて製品化できれば、日本の電子産業の強みにできて、アメリカの市場開放要求にも対抗できる、と考え

る人間がいたとしたら？

この物語の対立点はこうだ。日本の産業を守りたい通産省側の勢力とアメリカの利権を守りたい側の2者の対立を軸に、物語が展開できる。当時の僕はこれはいける！と踏んだ。事実、このネタで描き上げたものはそこそこ評価された。でも面白みがまいち。漫画とはかくも難しいものとはこれを描いた当時は知るよしもなかった。

負け惜しみは描きたくない。

でも過去にも1つ1つ問題をクリアしてきた。

これからも同じ事を繰り返すのみです。

昔は絵も酷かった…

うまく描ける日と、描けない日があり、どうしてそうなるのか理解できなかった。

気分の問題と片付けては進歩がない。

いろいろ工夫してゆくと、次第に安定した絵柄が出せるようになった。

物語づくりや、演出方法も、いずれちゃんと確立できたらいいなと、そう考えている。

そうした問題がクリアできた頃にはヘルパーの仕事にも慣れた頃かもしれない。

そうなる…：もしかしたら将来ヘルパー漫画をかけるかもしれない。

どんな風に転んでも、起き上がる方法はいくらでもあるものです。

Fさんはどう思いますか？

君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。君は僕と別れた後“彼ら”に“まちがった”発見をたくさんさせられたと思う。

君は自分でそれを発見したと思っ込んでるけど、それは間違い

です。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした人達」の）常套手段”です。

非常に悪質な人心掌握法じんしんしやうあつかくになります。

だから全てを背負い込んでだめです！“彼ら”はそれを狙っています！！

そうやって君の心から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ！！だから注意して！

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？

（そこまでくさってない？）

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては（奇妙な事に）誇らしくも感じてしまう。

繋がっていたのだろうか？どうなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、
どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます

相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのよ

うに“錯覚”させるプロです。

親切心を利用されないようにしないと、永久にいいように利用されてしまいます。

油断していると、本当にこの暗示にかかります。

気をつけて！そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！

いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けなide欲しい。狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！と言ってやってください。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

いろいろあると思う。けど、がんばって。負けなide欲しい。

多分君の周りには悪意なく“そういう事”が出来る人がたくさんたくさんいると思う。

それは悪意があるのではなく、心が内向きになっていて、外に向いていないからだと思う。

心が外向きになれば、人として持つ“当たり前前感情”が戻ってきます。

そう、周りの人に言ってやってください。

繋がりには、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとっての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

君は価値ある人物です。僕に大切なものをくれた。

初めての印象とういうのは忘れないものです。わくわくして、楽しくて、面白い。

周りの人に、機会があったら伝えてください。最初の印象って忘れないものだ。

違いを楽しんだり、同じと思う事を嬉しく思ったり、何もかも新鮮で彩りに満ちている。

僕には、あたらしい世界を共に歩みたいと思う人がいます。君はどう思いますか？

僕は18年前の君の謎の言動の真実を理解したい衝動をずっと持っていた。

あの笑顔の意味を知りたくて努力した。

生まれつきの鈍感さはいいかかわらずだけど、努力して得たものは確かに君の心に繋がったと感じた。

心のなかの“それ”を大事にして、追求するのは、人として正しい行為だと僕は感じる。

もし、君も同じような感覚を抱いてくれるなら嬉しいです。

いつか、どう思うのか聞かせてください。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

君の名前の最初の1文字は「真実を見て（知り）理解する者」と言う意味がある。

名づけた方の意思に反しようが、真実を見極めてもいいと思う。

なぜなら、その名前の字をこの世に送り出した人々は、名づけた人よりも遙か昔にいた人々で、過去存在した多くの人々の想いがその名の意味を支えている。

君の名の1文字は歴史を重ねて作りあがっています。そして、そ

の1字の意味の通り生きていいのだと思う。

小さく幼い君は回りに当然のように気を使った。

ただ、周りにいる大人が、悪い事でも子供にさせてしまうよう小さい頃から訓練された大人ばかりだったに過ぎない。

そんな環境では、逃げ道はない。頑張るしかなかった。耐えるしかなかった。

君は我慢強いし、努力家だ。きっと一生懸命周りの期待にこたえようとしたんだと思う。どんなに辛くとも。

いくら泣いても、誰も気持ちに気づいてくれない。

そんな環境ではしかたがなかったんです。

君に罪はない。僕が保障します。

君はなにも悪くないんです。

繰り返し保障します。

君は優しい心の持ち主であり、この世に価値ある人物です。

過去は糧かてにするものです。君にもそう信じて欲しい。だめかな？

でも、いつか君がそれを信じられる日がくるまで、頑張ろうと思う。君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。いつか、思いが届く事を信じて。

味方もいるはずです、東京でも経験が、そう僕に確信させる。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援していただきます。

君は自分で思っている以上に強い人です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思いますがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかに言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

再会を信じて、奇跡に賭けます。

頑張れ！

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔12月28日（火）曜日〕「踏み出す勇氣の方が、綺麗にしゃべる事より、何十倍も重要という事らしい。」〔1

Fさん！元気にしてますか！？

僕はいつもの感じです。

どこかで、君が自分らしくある続けていてくれるなら嬉しいです。

そこは、大丈夫なのかな？

負けないで！応援しています。

〔12月28日（火）曜日〕2

どうかな…

〔12月28日（火）曜日〕3

頑張れ

〔12月28日（火）曜日〕 4
負けるな！

〔12月28日（火）曜日〕 5
大丈夫、君なら出来ます。

〔12月28日（火）曜日〕 6
心配ですが…

〔12月28日（火）曜日〕 7
あかるく

〔12月28日（火）曜日〕 8
輝いて

〔12月28日（火）曜日〕 9
あせらず

〔12月28日（火）曜日〕 10
じっくり

〔12月28日（火）曜日〕 11
とりもどす

〔12月28日（火）曜日〕 12
空は輝いています。

〔12月28日（火）曜日〕 13

景色は彩りにみちていますか？

〔12月28日（火）曜日〕 14

Fさん！

〔12月28日（火）曜日〕 15

知ってるかな？

〔12月28日（火）曜日〕 16

僕が

〔12月28日（火）曜日〕 17

時々

〔12月28日（火）曜日〕 18

Fさんという部分をつい本名で書いてしまうことを…
いつも慌てて直しています。

「絶対書かないですよ」

とか言われてしまうのだろうか？

大丈夫、他の誤字ならいざ知らず、Fさんと呼ぶ部分には注意を
払うから。

今のところ大丈夫だと思うけど、ねえ。

僕は一度君にこんな事を言った。

「たとえば、漫画家になれないにしても、漫画は一生描き続けると思
うよ」と。

練習中、どこかの教室での会話だ。

また、別の機会ではこんな事も言った。

「人と人が分かり合える漫画を描きたいんだ」とか。そういった趣

旨の事を言った記憶がありません。

どうしたら、こういうものが描けるか試行錯誤も楽しいものです。手伝って…といったら断られるだろうか？

これは賭けです。

自分で“自分の心の中にある正解”にたどり着けるかどうか？という。

答えは自分の中にある。

ただ、あるのは解っていても、理解できないから、上手く表現できない。そう感じます。

描けたとしても“彼ら”の妨害にあう？

それも含めて賭けです。

最初からあきらめるのは嫌いです。

譲れない何かがあるなら、戦っていいのだと、強く主張します。

〔12月28日（火）曜日〕19

今日はトラックが結構来る。

1時間ほど前かな、たまたま外をみたらトラックの社名は見えたので、本社に苦情メールをした。

これも実験です。どんなバイアスがかかるのか…。

観察を繰り返し返せば、見えないものが見えてくる事は、意外とあつたりするのです。

〔12月28日（火）曜日〕20

前も言ったけど、彼らの資格・身分に法的根拠はまったくなく、国家資格ではない。

あくまで任意の私設集団の内輪でしか通じない資格だ。

「守秘義務」があるかのように教えられたらうけど、そんなも

のないのです。

よどんだ水を飲まされる世界から抜け出す事は可能なんです。

君の本質はそう変ってないと思う。

人間の根っこってそうそう変らないもの。

僕は君の“心”を垣間見た。

人の“心”にあそこまで触れた経験は初めてです。

それが、強い“なにか”となって、今も確立しています。

“それ”は君の心の中で、どんな地位を占めていますか？

優しい君は、利用されやすい。

いやなら、そう言っただけです。

子供だった君は、受け入れるよう育てられた、仕方ありません。

悪意も教えと歪んだ教育をされた大人に囲まれては、抵抗しよう

もなかったと思う。

こわくてふるえても、だれも気がついてくれない。気がつこうと

もしない。

気持ちがないがしろにするのが当たり前と強要する。

そんな世界では、僕ですらそうすると思う。

だから、自分を責めないでください。

君は何も悪くない。

大丈夫です。

落ち着いて。

自分を解きほぐしてほしい。

君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。

僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違いです。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした人達」の）常套手段”です。

非常に悪質な人心掌握法（じんしんしよつあく）になります。だから全てを背負い込んで
はだめです！“彼ら”はそれを狙っています！！そうやって君の心
から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ！！だから注意して！

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？

（そこまでくさってない？）

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては（奇妙な事に）誇らしくも感じてしまう。

繋がっていたのだろうか？どうなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、
どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます

相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのよう
に“錯覚”させるプロです。

親切心を利用されないようにしないと、永久にいいように利用されて
しまいます。

油断していると、本当にこの暗示にかかります。

気をつけて！そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコ

だ！

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

でも繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

“彼らという「現象」”に彼らも自分を「見失って」いる。

そして「見失ったもの」を継承しようとするから、歪みが発生する…。

身についてもいない“徳”を伝授するという歪み。

身についていない人から“徳”を学ぶという苦しみ。

身についていない人から学んだものを、さらに後輩に伝授していったらどうなるのか？

世代が下るにつれ、何がどうなるのか…

そういう「現象」君のまわりにもあるのだろうか？

“彼ら”の「例のあの行動」は、多くの人には「（そうとう）つらい」ものはず。

何しる意味無く人をおとしめているのだ、倫理観があればそうとうなプレッシャーになる。

心身クタクタのはずだ。でも心身クタクタになる甲斐あって）“彼ら”の「例のあの行動」が「つらい」が故、日常の些細な事も幸せに感じられるようになる。それが彼らの「行動の意味（価値）」の真髄なのだろうか？人間「つらい事」をたくさんさせられると、些細な事も「幸せ」に感じると思う。

そうした「たくさん辛い事」＝彼らの行動」をやるほど、より些細な日常に幸せを感じられるのだろう。

そうして感覚が麻痺していき「殺人」も「肯定」できるくらいになるのかもしれない。

そのうち「それ」がないと幸せを感じられなくなり、生きていけなくなるのかもしれない。

そして最悪な事に、愛する子供にまでそうした下劣な行為を勧められる異常な心理状態になるのだ。

君もそうした「つらい事」たくさんさせられて、日常の幸せを「より」幸せに感じさせるよう洗脳されたのだろうか…

君はどう思う？上記のようなものは、ワザと不治の病にかかる事で、命の大切さを学ぶのに似ている。

正常な感覚であれば、おかしいと思うはずだ。

それにそれらは命に対する冒涇であり、本当にその病で苦しんでいる人らへの侮辱になる。

「目」は見開いて、前をみなければいけないのだと、強く君に届けます。

「つらい事」をたくさんすると幸せが大事に感じるのは事実。でも、

「つらい事」とは、本来は「試練」のはず。

犯罪＝試練ではない。暗示にかかると、気がつかなくなるのだと思っ。

“彼ら”の世界も閉鎖的だ、新しい風が入らない構造をしている。“彼ら”は新興宗教のように「専用の服を作ったり、特異なオブ

ジエを掲げたり」しない。

“彼ら”の場合はそれが“ない”かわりに「例のあの行動」があるのだと思う。

「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだ。その一体感が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく…

そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できるくらい一生懸命になれる道理がない。

普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。

誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。

どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっている事実には気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。

その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

「外」からの「風」が入らないので、内部の空気はよどみ続けたままだから、そうなるのだと思う。

「現実をみる！」と言われたら？こう言い返せばいいとおもっ。

「そっくりそのまま、その言葉お返しするわ。」と。
ウソを楽しむ心の余裕と。

幻想をこの世の真理と思い込む心の弱さは別物です。

それは間違いのない事実です。

世界は広大で広く、想像を絶するダイナミックな時間からみあって作られている。

「視野が狭くて何が悪い」とか言う人が増え続けていくと、それが世界の不和の原因になってゆく。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、
それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。
「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！
老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

ネイティブでない日本人はブローケンイングリッシュで充分だ。
とか今ニュースで言っている。

「かたこと」で充分という意味だ。
踏み出す勇気の方が、綺麗な英語をしゃべる事より、何十倍も重

要という事らしい。

君はどう感じますか？

想いは君とともに、今も“そこに”あります。

あの2人だけの思い出を共有できた事は僕の誇りです。

君にもなにかしら、あの思い出が力を与え支えている事を、願わずにいられません。

どんなに辛くとも大丈夫。

君は自分で思うよりも遥かに強いです。

負けないで！応援しています！頑張れ！

忘却の強要は“彼ら”のオハコだ！気をつけて！

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔12月29日（水）曜日〕 1

Fさんへ

元気になっていますか？

どこかで、いつか君の生きる道と僕の行く先が交わる事を信じて戦おうと思う。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
〔12月29日（水）曜日〕 2

なんか、まだいます。

へんな車や軽トラ。

最近は数が少ないので、だいぶ車種を覚えられる。

ナンバーを控える際覚えておくと便利です。

あの一時期見た山梨ナンバーの暴音車はみなくなつた。
県外組みは減つたのだろうか？

これを書き、どうバイアスがかかるか見てみようと思う。

指揮をとる人が率先しているのか？それとも手下が勝手な思惑で動いているのかで、動きが違うと思う。上に立つ人間はバカでは務まらない。その辺どーなのか…。Fさんはその人についてどう思うの？いつか教えてください。

〔12月30日（木）曜日〕

今日は忙しいので2日分を1回でいいかな？

こういうの増えるかもしれない。

でもそれは、それだけ「普通の」生活にシフトしている意味であり、そう思ってくれとうれしい。

「普通が一番です。

なのに彼らは“特別”になりたがる。

何だか変です。

“彼らという「現象」”に彼らも自分を「見失って」いる。

そして「見失ったもの」を継承しようとするから、歪みが発生する…。

身についてもいない“徳”を伝授するという歪み。

身についていない人から“徳”を学ぶという苦しみ。

身についていない人から学んだものを、さらに後輩に伝授していたらどうなるのか？

世代が下るにつれ、何がどうなるのか…

“彼ら”の「例のあの行動」は、多くの人には「（そうとう）つらい」ものはず。

何しろ意味無く人をおとしめているのだ、倫理観があればそうとうなプレッシャーになる。

心身クタクタのはずだ。でも心身クタクタになる甲斐あって）“彼ら”の「例のあの行動」が「つらい」が故、日常の些細な事も幸せに感じられるようになる。それが彼らの「行動の意味（価値）」の真髓なのだろうか？人間「つらい事」をたくさんさせられると、些細な事も「幸せ」に感じると思う。

そうした「たくさん辛い事（＝彼らの行動）」をするほど、より些細な日常に幸せを感じられるのだろう。

そうして感覚が麻痺していき「殺人」も「肯定」できるくらいになるのかもしれない。

そのうち「それ」がないと幸せを感じられなくなり、生きていけなくなるのかもしれない。

そして最悪な事に、愛する子供にまでそうした下劣な行為を勧められる異常な心理状態になるのだ。

君もそうした「つらい事」たくさんさせられて、日常の幸せを「より」幸せに感じさせるよう洗脳されたのだろうか…

君はどう思う？上記のようなものは、ワザと不治の病にかかる事で、命の大切さを学ぶのに似ている。

正常な感覚であれば、おかしいと思うはずだ。

それにそれらは命に対する冒涇であり、本当にその病で苦しんでいる人らへの侮辱になる。

“彼ら”の世界も閉鎖的だ、新しい風が入らない構造をしている。

“彼ら”は新興宗教のように「専用の服を作ったり、特異なオプジェを掲げたり」しない。

“彼ら”の場合はそれが“ない”かわりに「例のあの行動」があるのだと思う。

「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだ。その一体感が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく…

そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できるくらい一生懸命になれる道理がない。

普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。

誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。

どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっている事実には気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。

その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

「外」からの「風」が入らないので、内部の空気はよどみ続けたままだから、そうなるのだと思う。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

信心ではなく、「信念」を君に送ります…。

僕の信念は君から貰った物です。

それは、この世に気持ちを通じ合うという事は確かに存在するという事実。

そして、それが故、話せばいつか必ず人と人は通じ合えるという想いです。

18年前、君からもらったこの大切な想いが、今、僕の信念になっている。

君の中で、信心よりも「信念」が大事に思える日がくるだろうか…そんなイメージ君に送りたい。

「目」は見開いて、前をみななければいけないのだと、強く君に届けます。

「つらい事」をたくさんすると幸せが大事に感じるのは事実。でも、

「つらい事」とは、本来は「試練」のほず。

犯罪≠試練ではない。暗示にかかると、気がつかなくなるのだと思っ。

負けないで！

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

第35話 君は何もわるくない2（未来へと続く話21）（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第36話 君は何もわるくない3（未来へと続く話22）（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第36話 君は何もわるくない3（未来へと続く話22）

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

〔12月31日（金）曜日〕

初めて経験する複雑な心境が待っていると思う。

いろいろな思いが交錯すると思う。

僕はこんな事も思う…

「地域エゴ」という言葉がある。

自分たちの地域の権益は自分たちだけで消費するのだ。という考え方だ。

“彼ら”の組織はこうした地域エゴの受け皿なのかもしれない、ふと思った。

それなら、各地域が独自に各々のエゴを主張し、全国的な統率した動きが出来ないのもわかる。

（もし、それができるなら、日本をとくに支配できる）

この「各々のエゴ」に抵触しないのは、「例のあの行動」のみ？という事だろうか？

つまり、「例のあの行動」はエゴがむき出しの対立を隠すための絶好の方法という事になる。

これが“彼ら”の「例のあの行動」が際限なくエスカレートする要因の1つに見えなくはないけど、実際のところどうなのかな…

Fさんの感じた“そちらの実体”はどんな感じなの？

Fさん、僕は世の中は「バイアス」が支配すると説明した。

もし、この考え方がある程度正しいと仮定するなら？

「そちらの組織」は病原体に感染した状態という風に解釈もできる。

機能不全は病気と同じだ…。

組織そのものが悪いのではなく、病気が悪いという事になる。

病気はバイアスによって広がり、良識により駆逐される…

体質的に病気にかかりやすい人って現実にいる。

その組織も「組織としての体質」が、病気にかかりやすいのかも
しれない…

逃げてもいいと思う。

上記病気の例えはあくまでたとえ話。

人間は、組織から逃げ出せる。

無理に踏みとどまって耐える必要はない。

もしかしたら、君は「そこできしか生きられない」という暗示にか
かっているのかもしれない。

もし、そうなら、こう伝えます。

「人間」ってどこでも生きることができる。

現に僕は「その組織の世話に」一切ならず生きてきた。

大丈夫、意外と何とかなるものです。

誰が悪いとか、何が悪いとかは、安全地帯に非難してから考えれ
ばいい。

そう思うけど、Fさんはどうかな…。

君の心に。

“彼らという「現象」”に彼らも自分を「見失って」いる。

そして「見失ったもの」を継承しようとするから、歪みが発生す
る…。

身についてもいない“徳”を伝授するという歪み。

身についていない人から“徳”を学ぶという苦しみ。

身についていない人から学んだものを、さらに後輩に伝授していったらどうなるのか？

世代が下るにつれ、何がどうなるのか…

そういう「現象」君のまわりにもあるのだろうか？

“彼ら”の「例のあの行動」は、多くの人には「（そうとう）つらい」ものはず。

何しろ意味無く人をおとしめているのだ、倫理観があればそうとうなプレッシャーになる。

心身クタクタのはずだ。でも心身クタクタになる甲斐あって）“彼ら”の「例のあの行動」が「つらい」が故、日常の些細な事も幸せに感じられるようになる。それが彼らの「行動の意味（価値）」の真髓なのだろうか？人間「つらい事」をたくさんさせられると、些細な事も「幸せ」に感じると思う。

そうした「たくさん辛い事（＝彼らの行動）」をするほど、より些細な日常に幸せを感じられるのだらう。

そうして感覚が麻痺していき「殺人」も「肯定」できるくらいになるのかもしれない。

そのうち「それ」がないと幸せを感じられなくなり、生きていけなくなるのかもしれない。

そして最悪な事に、愛する子供にまでそうした下劣な行為を勧められる異常な心理状態になるのだ。

君もそうした「つらい事」たくさんさせられて、日常の幸せを「より」幸せに感じさせるよう洗脳されたのだらうか…

君はどう思う？上記のようなものは、ワザと不治の病にかかる事で、命の大切さを学ぶのに似ている。

正常な感覚であれば、おかしいと思うはずだ。
それにそれらは命に対する冒瀆であり、本当にその病で苦しんで
いる人らへの侮辱になる。

「目」は見開いて、前をみなければいけないのだと、強く君に届
けます。

「つらい事」をたくさんすると幸せが大事に感じるのは事実。で
も、

「つらい事」とは、本来は「試練」のはず。

犯罪「試練ではない。暗示にかかると、気がつかなくなるのだと
思う。

“彼ら”の世界も閉鎖的だ、新しい風が入らない構造をしている。

“彼ら”は新興宗教のように「専用の服を作ったり、特異なオプ
ジエを掲げたり」しない。

“彼ら”の場合はそれが“ない”かわりに「例のあの行動」があ
るのだと思う。

「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだ。その一
体感が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく…

そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できるく
らい一生懸命になれる道理がない。

普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。

誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、
ダメにする。

どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっている事実には気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。

その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

「外」からの「風」が入らないので、内部の空気はよどみ続けたままだから、そうなるのだと思う。

…世界は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもって動いてきました。

そして今もそうした渦の中で（ダイナミズムで）動いています。

手が出せば届くようなものではない強大な“何かで”動いている。そして“変る常識”“変る世界”というのは、現実に確かにあるのです。

けっして単純ではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないの!？」と。

「理解を示す心の広さはどこへやったの?」と。

「真実に目を向ける勇氣はどこへいったの!？」と。

「組織の放つ理想だけでは、世の中は良くなるならぬ!」と。

初めて経験する複雑な心境が待っていると思う。

いろいろな思いが交錯すると思う。

オウム真理教よりも危険なカルトってこの世にないと思っていた

…。

君の嫌な部分も含めて僕は好きです。

Fさんは、僕がウソを言っていないと思うだろうか？

自分の中の悪魔と戦って欲しい…

逃げていては、いつまでも、“他人のいいように”されてしまいます。

もう1人ではないことを忘れないでほしい。

負けないで！

感情があふれてぐちゃぐちゃになっても、逃げてはいけない時がある。

時間が必要？

そうかもしれない。

でも、前には進めるでしょ？

もし、そんな状態になった時は、思考停止寸前までいっても、君なら立ちなおせると信じます。

Fさんは強い女の子です。

大丈夫です。

君は何も悪くない。

僕が証明してみせます。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう

う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

頑張れ！

.....

…時々こういう事も感じる。

周囲が自分をフォローする空気を出しているのに、フォローされている当人の僕が心を閉ざしていると、その場の空気がわるくなる。

…いつも時間がたってから気づく。

僕の欠点の1つだ。

人の善意にたいしてガードが固くなっているのだと思う…
君にも、そういう所、確かにあったような…
お互いさま？なのかな？

心を読んでほしいのに、いざ凶星を突かれると動揺するでしょ？
ちがうかな…

もし、外していたらごめん。いつかまた会える機会があるなら、
その時答えを聞かせて欲しい。
そんな想いもあります。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔1月1日（土）曜日「年賀状の件」〕

あけましておめでとう。
Fさん。

今年は君のご両親に配慮して、年賀状を書きません。だから、こ
れ（この記述）を年賀状がわりというか…、年始の挨拶にしようと
思います。

（ そういえば、去年君の実家へ送った年賀状は手元に渡っただろ
うか？棄てられたのかな…そんな気もする…

こんな話を聞いた。“彼ら”は神社を拝まないのであれば、初詣
にも行くし、普通の人から奇異に見えない範囲で、宗教行事もやる
という話。その辺から想像すると、やっぱり君の家はかなり硬派な考
えだったのかもしれない…。なぜなら君は“彼ら”は絶対神社にこ
ないと確信していた）

こんな事を思う。

いつか君は言ったね、泣きそうな顔で。

「どうせ私のこと遊んでばかりとか思ってたんでしょ！」
って。

そう思われたく「ない」と思って言ったセリフだと思う。

もしくは、遊んではかりというの自分らしい生き方ではないと
感じていたのかもしれない。

なんにせよ、“そうした状況”はFさんにとって正常ではないと
いう感覚なのかもしれない。

Fさんは、まじめな子だ。

そして、気づかいの出来る人だ。

そういうところかわいく大好きです。

求められた事をまじめにこなすタイプの人でもある。

「そんなことないわよ」

とか言うだろうか？

でも、普通の女の子に比べれば、まじめだと思う。

∴僕は知っている。

君は欲しいものはない。

あんなこととして遊びたいとか、こんな事してふざけたいとか、そ
ういう事を1度も言わなかった。

ただ、理解されたい。

気持ちを大切にしたい。されたい。

そんな心の乾きというか、情熱というか、そういう想いをつねに
持っていた。

今、君のまわりに、そのことに気がついてくれる人はいますか？

誰が悪いとか、何が悪いとかは、安全地帯に避難してから考えればいい。

そう思うけど、Fさんはどうかな…。

そちらの世界は病んでいる。

それもかなり重体だ。

その事実は否定が難しいと思う。

君自身の心の悪魔と戦って欲しい。

その世界は正常な人間を狂気に走らせる悪魔の集団です。

“彼ら”のなかにはその道（心ゆれる人を再びしばる）のプロがたくさんいる。

だから、いつまでも彼らの世界に影響されていると、またいいように利用されてしまう。

逃げ出す事は悪い事でもなんでもない。

「避難」がまず最適な選択です。

（踏み出す勇氣。継続する信念！それらが君と共にある事を…）

いろいろな思いが交錯すると思う。

初めて経験する複雑な心境が待っていると思う。

でも大丈夫、君は自分で思う以上に強い女の子だ、その事を僕は知っています。

Fさんならやり通せる。絶対に。

感情があふれてぐちゃぐちゃになっても、逃げてはいけない。

君と君の想いがあるなら、理由はそれだけで充分です。

誰にも君の心を否定することはできない。

もしかしたら君は「彼らの中」でしか生きられない」という強力な暗示にかかっているのかもしれない。

それは、まやかしです。

そう思い込まされているだけです。

僕がその事を証明して見せます。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっています。

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援して
ます。

君は自分で思っている以上に強い人です。

相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で彼らの世界を受
け入れる決断を「した」かのように“錯覚”させるプロです。

心を利用されないようにしないと、また同じように引き戻され、
永久にいいように利用されてしまいます。気をつけて！そうやって
“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。
う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思っけどどうなのだろう？

君は小さく幼かった。

仕方が無いと思う。

弱く小さな君が抵抗するには辛すぎた。

君はなにも悪くない。

僕がかならずその事を証明してみせる。

だから、安心して欲しい。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

…この小説の記述を見ればわかると思うけど、時間とともに冷静に、普段の僕に戻ってきている…。

君にも本来の自分を探る時間が必要なのだとを感じる…ちがっただろうか？

いつか、あっているかどうか教えてください。

年賀状の件。

高校時代、何度か年賀状を送っているはず。

記憶がさだかではない、君は受け取ったって言ったっけ？

君から年賀状もらったよーな、そうでないよーな。

どうも記憶があやふやです。

僕が送って、君が受け取って驚いた、あわてて君も僕宛に年賀状をだした…

そんなやり取りを、休み明けの部活で話よーな、しないよーな。
どっちだったかな？

「1月3日(月)曜日」今日、ふとこんな事を思い出した。」

Fさん…

今日、ふとこんな事を思い出した。

あの夏祭りの日。

映画を見に隣町まで行き、御殿場線に乗車し、恐怖の車中を経験し君は萎縮したけど、駅について人気がないのをすると、打って変わって元気になったあの日。

僕は「ここどこ?」とか聞いたと思う。

駅の北口に自転車がとめてあるんだよ、と言うと。

君は目を輝かしてこういった。

「じゃあ、駅まであるきましょ」と。

「歩いていける距離なの」と僕が行くと。

君はものすごい上機嫌にうなずいたと思う。

君は歩きながら一緒にいるというシチュエーションが大好きだった。

手をつなぎながら一緒に歩くのが君の好みだった。

君なりに、道のりを工夫して、遠まわりしながら歩いたりしていたのが今はわかる…。

そうそう、何を思い出したか?

この後、僕はコンビニに寄った。

僕はアイスを買った。

覚えているだろうか?

この辺の事は以前どこかで書いたけど。

思い出したのはコンビニの場所だ。

コンビニを出た辺りのところで君は言ったような気がする、指をさして。

「ほら、役場があるでしょ？」と。

土地勘のない僕に対して、案内のつもりで言ったのだと思う。

今日、役場の前を通過して急に思い出した…。

当時、あの役場の前の道を西に進み、踏み切りを通過して少し行くと、レンタルビデオ屋と書店があったような記憶がある。

その本屋は文具も扱っていて、君宛に使ったレターセットやクリスマスカードを購入した記憶がある…、少し違つかもしれないけど、急にそんな事思い出した。

当時、役場の場所は解っていたから、何となく今どこにいるかわかる、とか答えたような気がする。

そのまま東に行けば東の工場だ。しかし、たしか東へは行かず、北か南へ行っただんじやなかったらどうか？

僕は東の道しか知らなかったから、また知らない道に入り、場所の感覚がわからなくなったのを覚えている。

この後だ、以前書いたけど、僕がビニール袋を放った。すると君は間髪いれず動いてそれを拾って戻ってきた。

あの時、ビニール袋は軽い下り坂の先に向って落ちていき、君はそれを拾って、浴衣姿でゆるい坂を上って戻ってきた記憶がある。だから、コンビニに寄ったあと、2人でゆるいのぼり坂を歩いていたらんじやなかったらどうか？

違っただかな…。

「1月5日（水）曜日「本当は今日は4日です、さっそく来ました。そちらはどうかな？」」

Fさん。

こないだ「人の恋路を邪魔する馬鹿は。そういうやつは、「馬に蹴られてしんじまえ！」とか昔からいわれている。」と書いたけど。どうやら今年も「馬に蹴られてしんだほうがいい男」が仕事を再開したらしい。

“彼ら”でも3日まで休むんだ、なんだ普通じゃん！とか思う。

でっかいタイヤの2輪車。

ずっとこの辺を徘徊しているみたい。

複数いるようだ。

お金もらってるのかな？若い連中です。

いいなりしてガキみたいな事して…

文句があるなら直接言え！と言っても言わないのだろうな、と思う。

…これを書いてどうバイアスがかかるかで状況が読める。

若い連中ばかり殺到してくるなら、そういう連中だけがやっつてることになる。

そうでない場合は、また違った反応が観察できる…。

いい年した大人が、上記ガキに付き合うのか否か…

どの程度の人が「まとも」であり、

どの程度のバカが「馬に蹴られてしんだほうがいい人」なのかを観察する絶好の機会です。

ついで言うと、上に立つ人がまともかどうかも見れる。

今、上に立つ人はどんな感じの人なのかな？Fさんはその人知ってるのかな？

いつか、どんな人なのか、話し合える日がきてほしい…、そんな事思ったりします。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張りつづけられます。
頑張り！

.....
「1月6日（木）曜日「君を責めてはいない。ただ現状を認識してほしい」」

（前日の記述から続きます）

他の被害者のブログなどみると、車両の所有者まで特定するところまで頑張っている人がいる。

正直あそこまで一生懸命になる気はしない…。たかが嫌がらせにそこまでの労力をつぎ込むのはなんだかバカバカしい。毎回大概、気が向いた時、たまたま目にとまった車を通報しているだけだ。

それでも多少効果があったのか、最近はみなくなった。

いや、いるにはいるのだが、発見しづらくなった。

…と思っていたら、どうやらコースを変えていたらしい。

今日、どこをどう変えたのかなんとなくわかった。

そこにいるだけで、夕方5時にもいなければ、ナンバー取り放題のポイントをみつける。

どうやら、おおきく迂回するコースをとっていたらしい。たぶん。僕がいることに気がついて、動けなくなる車までいた。

それなりに効き目があるのかな？

Fさん！注意して！

“彼ら”は常に「人」の「弱み」を探している…

それさえ握れば人の心を気がつかれずに誘導できるからだ。

じゃあ、もし弱みがなかったら？

力づくで無理やり作ってしまうのだ。

「例のあの行動」にはそうした目的もあるのだと思う。

まるで、医者がわざと病原菌をまいて患者を増やしているのとおなじだ。

患者がふえれば医者はもうかる。

“彼ら”のやっている事は救済でもなんでもない。

社会の破壊だ。

本末転倒……って言葉が頭をよぎるなら正解です。

救う人がいなくなったら、不幸な人間を増やせばいいという発想の具現化が彼らの今の姿だ。

犯罪を肯定するどうしようもない状態になっている。

組織事態がものすごい病気にかかっている。

そこにおいては、何もかもが歪んでしまう。

僕のところに来る人らが「歪み」の証拠だ。

君も理不尽な環境にさらされてきたと思うけど。(頑張ったね、)

君のその鍛錬は無駄にはならないと思う。

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？

その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいきません。

「1月7日（金）曜日「もう2度と同じ手が通じない事を痛感させてやる事は、

結果はどうあれ、君をないがしろにしてきた人々の目を覚まさせる効果になるはずだ。」

こんな事も感じた。

そちらの世界の大多数の人は「表の人格」と「彼らの人格」の2つを使い分けている。

しばしこの2つの人格は矛盾し、自分の中で統合できない。

ゆえに“彼ら”的行動の最中でも、普段の「表の人格」と矛盾する状況に遭遇すると、とたん、いつもの「表」の人格を優先させるのだ。

なぜなら？

“そう”しないと人格が維持できないからだと思う。

たった今ポイ捨てをした人間も、すぐに注意するとバツがわるくなりすぐ捨つか、逆切れするかのどちらかで、

「捨てたけどなんでお前にそんな事言われなきゃいけないの？」

とまで非社会的反応は普通の感覚ならできないからだ。

その辺に、なにか戦う上でのヒントが…。

彼らの最大の弱点は構成員の多くが「実はまともな人」であり、さまざまな理由つけをして騙しながら協力させているにすぎない点だ。

意外と

「あなた騙されているのよ」

の一言が効果的に効くのかも知れない。

そんな事も急に思った。

まちがいかもしれない
でも人って言うほど馬鹿でない。
みな騙されているだけだと思う。

何が役にたつかわからないので一応書きました。

僕は18年前の君の謎の言動の真実を理解したい衝動をずっと持っていた。

あの笑顔の意味を知りたくて努力した。
生まれつきの鈍感さはいいかわらずだけど、努力して得たものは、確かに君の心に繋がったと感じた。

心のなかの“それ”を大事にして、追求するのは、人として正しい行為だと僕は感じる。

もし、君も同じような感覚を抱いてくれるなら嬉しいです。
いつか、どう思うのか聞かせてください。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。
君の名前の最初の1文字は「真実を見て（知り）理解する者」と言う意味がある。

名づけた方の意思に反しようが、真実を見極めてもいいと思う。
なぜなら、その名前の字をこの世に送り出した人々は、名づけた人よりも遙か昔にいた人々で、過去存在した多くの人々の想いがその名の意味を支えている。君の名の1文字は歴史を重ねて作りあげています。そして、その1字の意味の通り生きていいのだと思う。

君は価値ある人物です。僕に大切なものをくれた。

初めて経験する複雑な心境が待っていると思う。

いろいろな思いが交錯すると思う。

こんな事も思う…

「地域エゴ」という言葉がある。

自分たちの地域の権益は自分たちだけで消費するのだ。

という考え方だ。

“彼ら”の組織はこうした地域エゴの受け皿なのかもしれない、ふと思った。

それなら、各地域が独自に各々のエゴを主張し、全国的な統率した動きが出来ないのもわかる。

(もし、それができるなら、日本をとくに支配できる)

この「各々のエゴ」に抵触しないのは、「例のあの行動」のみ？という事だろうか？

つまり、「例のあの行動」はエゴがむき出しの対立を隠すための絶好の方法という事になる。

これが“彼ら”の「例のあの行動」が際限なくエスカレートする要因の1つに見えなくはないけど、実際のところどうなのかな…

Fさんの感じた“そちらの实体”はどんな感じなの？

Fさん、僕は世の中は「バイアス」が支配すると説明した。

もし、この考え方がある程度正しいと仮定するならば？

「そちらの組織」は病原体に感染した状態という風に解釈もできる。

機能不全は病気と同じだ…。

組織そのものが悪いのではなく、病気が悪いという事になる。

病気はバイアスによって広がり、良識により駆逐される…

体質的に病気にかかりやすい人って現実にいる。

その組織も「組織としての体質」が、病気にかかりやすいのかも
しれない…

逃げてもいいと思う。

上記病気の例えはあくまでたとえ話。
人間は、組織から逃げ出せる。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃっ
たとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！
老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかに言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

君は物事を悪い方に考えるクセがある。

“彼ら”は君のそうした性質を利用して、心を操ろうとするだろう。……。

気をつけて!!

もう2度と同じ手が通じない事を痛感させてやる事は、

結果はどうあれ、君をないがしろにしてきた人々の目を覚まさせる効果になるはずだ!!

頑張れ!

.....

そうそう、そちらの世界にはスピリチュアルな事をやたらと言う人も意外と多いかもしれない。

そういう人にヘキヘキしていたら、こう言えばいい。

「来世とか輪廻とか、ないからそういうの。いい年して信じてるの？まさか。」

とか言ってもいいと思う。

…なかには否定されるほど“燃える”タイプの人もあるだろう。そういう人にはこういえばいい。

「興味ない」

って。

.....

あそこも思うんだ。

“彼ら”は現在の組織の低迷は「一過性のもの」であり。がんばればかつての勢いが戻る、と信じているが。

バブルがもう一度来ないのと同じで、2度と最盛期の勢いはもどらないと自覚させるのが、精神的ダメージに繋がるかもしれない。

なぜならば、その理由は説明できる。

かつての経済成長期、その恩恵を受けられなかった社会的弱者の受け皿として、その組織は誕生した。

組織はそのスケールメリットを生かして、経済成長の恩恵を、成
功者から掠め取り、皆に分配する仕掛けを構築していった。

でも、肝心な経済が低迷する状況では、掠め取る相手がいない。

その状況でどんなバイアスが働くのか…。

この世はバイアスが支配している。

その仮定のもと考えると“彼ら”の勢いが再活性化するには、日本経済の再生しかないけど。

たぶん、経済再建の最大の泣き所「農家問題」が解決しないかぎり永久にありえない。

そして、現状では、農家の数がへり負担がへるまで持ちこたえるというのが、日本の政府の取っている道だ。この辺の事に関しては以前経済問題についていろいろ書いたとき説明したと思う。GHQの農地解放に始まる兼業農家対策の不備が、現状の最大のアキレス腱になっている。どの経済問題を考えるときも、必ずこの問題が引っかかってくる。「小規模農家対策」は日本経済最大のアキレス腱です。

この負担に耐えしのぶ期間はあと50年以上続くでしょう。

つまり50年は“彼ら”の世界も最盛期に「戻る」事はありえない。

「俺が命じているわけではない、あいつが勝手にやっているんだ」と。

もし、そういう人がいたら？
こつ言えばいい。

「力があるあると普段えはるくせに、そーゆるバカすらとめる力ないんだ」

「バカにすらあなた相手にされてないって意味だね」

「悔しかったらとめてみてよ」

と、言ってもいいと思う。

でも断言する。

止まりはしない。

バカは必ずどこにもいる。

最後の1人まで止めることは不可能だ。

でもそちらの世界にはプライドの塊みたいな人が多いはず。

そのプライドを挫くにはこの論法は充分つかえる。

彼らはなににもできない無能よばわりされるのを嫌がるように感じた。

その辺に戦う時のポイントがあると思う。

() そうそう…誤解ないように言うけど、プライドが高いこと自体はわるくない」。

それは個性であり、別段とがめられるようなものではない。

問題は犯罪を行う事だ。その辺を見極めて、理解しないとイケない。

そう君に伝えます。同じように感じてくれたらうれしいです。(

.....
千葉がひつたくり1位に...とニュースでやっている。

こういう競争はいいことだ。

実際被害が減るのであれば、おおいにやってほしい。

“彼ら”の「例のあの行動」は、ひつたくりと同じだ。

無防備に自転車のカゴにカバンをいれているやつが悪い、とか犯罪者がのたまったらどう感じるだろう？ “彼ら”の理屈はこれとにも変らない。

犯罪はやめるべきです。

説明のいらぬ常識です。

こんな事わざわざ書かなければいけないほど、その世界は病んでいる...
脱出が先決です。

何が悪いとか、誰がいけないとかは、脱出してから考えればいい。

その世界には永久に歪みにさらされてしまう。

それが証拠に、多くの“まともな人”が歪みの影響をつけてるでしよ？

その中には君の親しい人も含まれているかもしれない...。

いろいろ複雑な問題があるかもしれないけど、それらにケリをつけたければ、脱出して静かな環境で考える必要がある。それは、間違いない事実です。

君は何も悪くない。

その環境に問題があるだけだ。

東京にいた時こんな事を思ったのを思い出した。

よく当時ニュースで日本人が

「ノーコメント」

というのと、物凄く感じ悪いな、と。

しかし、外国人のネイティブスピーカーが

「ノーコメント」

と発言すると、なぜだかさわやかなのだ。

多分、本来ノーコメントという言葉は、相手にいやな感情を持たせずに、こちらは話せないんだという意味を伝えるため作られた言葉だと思う。

それをそのまま日本人が言うと、本来の目的を果たせないのだと思う。

言葉の語彙が違う（言葉のコンテクストの違い）が原因だと思う。このような微妙なニュアンスは、外来語をそのままつかうのはよくない。

だからなのか最近「コメントできません」とか「コメントはさしひかえさせていただきます」と言う人が多い。こちらの方がノーコメントの持つ本来のニュアンスに近い。

相手の感情を害さずに、意に添えない意思を示すという、本来の目的のためにはそのほうがいいと、誰かが気がついたのだろう。

で、こんな事も思う。

君は基本的に人の気分を害すような事が好きでない。

でも戦う上で、そのような状況は避けがたい。

で、こう思うんだ。

もし誰かに“彼ら”の思想のすばらしさを受け入れる！と説教されたら？

「その考えの“間違い”に気がついてしまって、ごめんなさい」

と言ってみるのも手かもしれない。

中には、自分が間違っている事に悩んでいるタイプの人もいると思う。

そういう人と戦って、無理に敵にまわすのも得策でない。

そういう人には、感情を害さないように配慮しつつ、もう戻りたくない意図を明確に示す必要があるかもしれない。

そういうケースでは、

「その考えの“間違い”に気がついてしまったの、ごめんなさい」と、静に諭すように答えるのも、アリかもしれない。

そんな事も、急に思った。

そちらの世界にもいろんな人がいると思う。

負けないでほしい。

頑張れ！！

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっている。

せまい世界のなかだけで完結しないのは事実のようです。

君の周りの人に伝えてください。自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないの！？と。

理解を示す心の広さはどこへやったの？と。

これは人としての“質”の問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。質が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援します。君は自分で思っている以上に強い人です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思いますがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

毅然とした態度はとり続けないとダメです

誰が悪いとか、何が悪いとかは、安全地帯に避難してから考えればいい。

そう思うけど、Fさんはどうかな…。

君の心に。 丁寧かつ妥協を許さない対応が肝心です。
人間賛歌ってまだ、死語じゃないと思う。

.....

どーなんだろ…

周辺に30分くらいで3〜4台の車が巡回しているのだろうか？
同じような音がこの間隔でくる。

今、現在の話だ。

これは仮説。

あたらなくてもいいもの。

もし仮説どうりなら？

以前の2〜3分おきに物凄い轟音車両が来ていたのは、同じ車が
何回も来ていたという事になる。

実質の稼働車両は少ないという事もしれない。

車両の数を水増しするために何台かは繰り返してきているの
だろうか？

だとしたら、このヘビローテーションの車を捕まえるのが一番
効果的なのだろうか？

(近所に限った話ではないが、最近は「山梨、湘南、八王子、品川」
ナンバーに変わって「横浜」をよく見るようになった気がしなくもな

い。「山梨、湘南、八王子、品川」辺りの人が最近乗り気でなくなつたから、横浜あたりに応援を頼んだのだろうか？マフラーやエンジン进行いじった改造車の場合、そうそう数そろえるのも難しいから、こうして県外にもたのんでいるのだろうか？暴走族系の車は大概県外だ。

印象的な記憶は、僕がその辺を歩いていた時、前にはす向いのおばさんが歩いていて。昔馴染みだ。ここの孫だったかな？も昔なじみなのだが、随分長いこと顔をあわしていたのに、人生で一度もまともな会話をしたことがない。だから名前も知らない。よくもまあそこまで、徹底して無視が出来るものだとも思う。今は立派に成人していると聞く。はたして会った時どんなリアクションをするのだろうか？今からすこし楽しみにしている。…まあ、話もどしてこのおばさん、僕の前を歩いている。気がついてはいない、では追いつきざま挨拶でもしようか？などと考えていると、事件が起こる。角から車が現れ、エンジンをおもいつきり吹かす、不必要なほどに…そこまではいい。それをみたおばさんはまさかという顔で急に戻り返る。僕をみつけて、…あとはいつもの通り普通に挨拶。でもなんでいままで気がつかなかったのに、車の爆音で急に振り返る気になったのだろうか？こんな音出す車がいる原因として、僕が近くにいる以外、考えられないとも思ったのだろうか？以上、ささやかな妄想でした)

あーでも、こうして“彼ら”の事ばかりかまっていると、その事自体で人生おかしくなる。

今までどーり。

バカは片手間でテキストにあしらうのが一番。

同じ次元に落ちてしまつたら意味がない。

精神を同じ次元まで落とさせようとする事自体彼らの罫の一環かもしれない。

よく、ありもしない彼らによる電磁波攻撃うんぬんの反対運動に

全力をあげている人がいるが、

ああなったら意味がない。彼らの思う壺だ。

「普通」に暮らすのが一番です。

もし、君のまわりに、「普通に暮らせるなどと思うなよ」とか物騒な事を言うやつがいたら、こういつてやってください。

「病んでるわね、わたしも昔そうだったのかしら、やだやだ。はやく立ち直らないといけないわね」と。

(重ねて言うけど、これは君を責めているのではない。信頼しているからこそ書けるものだという事を強く主張します、この微妙なニュアンスが伝わる事を切に祈ります)

(「微妙なニュアンス」という意味では僕と君はお互い様だ。お互い言葉足らずで、はつきり言わず微妙な言い回しを言いあっていたきがしなくもない。その辺、似てると思った)

僕が言っても効果は薄いが、君の口から発せられれば、メガトン級の威力を持つ。

君には馬鹿なことやめて欲しい。

これは、それほど大それた望みではない。

Fさんがこうしたものを受け入れつつも、おかしいと感じていたのを僕は知っている。

彼らは殺人をも肯定する犯罪集団です。

脱出がベストです。

.....

いろいろなものが交じり合い、交錯すると思う。

負けないで！

小さい君には何も出来なかった。

自分なりに一生懸命やるしかなかった。

なじめば、どんな辛い事でも耐えられた…そうでしょ？

Fさんには「そういう強さ」がたしかにある。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が君らしくいられるかどうかが鍵です。

自分を解き放ってほしい。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

“彼ら”は君のその長所を悪用したんだと思う。

悪いのはそうした考えであり、君自身には落ち度はない。

君は誠実に一生懸命、認められたくて努力したにすぎない。
理解されるためには、認められなくちゃと感じたのとちがうだろ
うか？

君は一途にひたむきに努力する。

周りは歪んだ環境でそだった大人ばかり、抵抗は難しかったと思
う。

一人で頑張ったと思う。その努力を無駄にしないで欲しい。

正しく生きることとその経験はいかせます。

でもそうしなければ、一生歪んだ世界で埋没することになる。

何が大切なのか？

君をささえる“それ”がどういう意味をもつのか。

冷静にみきわめてほしい。

確かめる方法？

とにかく新しい環境に身をさらすのが、答えを導き出す近道です。

心を見失わないで！自分の中の悪魔と戦って欲しい…

逃げていては、いつまでも、“他人のいいように”されてしまいません。

もう1人ではないことを忘れないでほしい。

負けないで！

頑張れ！

.....

「1月10日（月）曜日「彼らの「例のあの行動」は被害者の妄想を誘発させるものだ。」」

こんな風にも思う。

彼らの「例のあの行動」は被害者の妄想を誘発させるものだ。

そうして相手の自滅をさそう。

そして18年前の記憶から、僕は“彼ら”が身内である君にすら容赦なくこれを行う事を、僕は知っている。

これらからこういう推理も成り立つ。

彼らは君を常に妄想を抱きやすい精神状態に維持させてきた。

この環境で、彼らの教えは正しいとごり押しすれば、妄想の力も手伝って、そう思い込まされる可能性もなくもない。

この世にオカルトは存在しません。

この世は人の心が生み出すバイアスが支配している。

そして、理解できない現象の前には、何か必ず「欠けた情報（＝

断片）」が存在する。

そしてここが肝心。

断片の積み重ねが文脈コンテキストを導く。

コンテキストとは一連の意味をもった文脈であり、概念のことだ。イメージといってもいい。

そして、物事を整理する際には、論点整理が有効である事。

そのコンテキストの論点は何か？

論点を支える理由と、そこから得られる結論はなにか？

と整理して考えると、妄想を制せる。

僕と君は、どちらかというと、人よりインスピレーションが湧くタイプだ。

それ自体は悪くないが、コントロールする方法を意識しないと、その性質を人に利用され、いいように操られてしまう。たぶん、彼らの中の悪質な誰かが、君のそうした性質を見抜き、利用できると考えたのだろう…。

これらを知っていたから、僕は東京で“彼ら”に妄想を強要されても対抗できた。

頑張つて欲しい、負けないで欲しい。

君ならやれます。

君が頑張れるなら、僕も頑張れます！

君が立ち向かい、前を向き続けることに賭けます。

時おり、君にとって辛い事も書くかもしれない。

でも、君の事を思つての行動です。

18年前、へたに遠慮して追求しなかったからこうなった。

言うべき事は、嫌われようと伝えなければいけないと僕は学んだ。

この考えは、君の犠牲があつて初めて得られたものだ。

だから、君に、時として遠慮なく辛い事も書く。

負けないで欲しい。

君が何も悪くない事は間違いないのだから。

本人の意向と関係なく、だ。この世はバイアスが強力な影響力をもっている。

小泉政権のときの「抵抗勢力」というキーワードも絶大なバイアスを発生させた。

この時の事を記憶している現在の自民党主流派は、「抵抗勢力」という言葉をマスコミが使わないように要請したとかしないとか…。記者クラブを通じてそのような要請は実行力を発揮して、2度とこの言葉がマスコミに上がる事はなかった。

言葉には威力があるのです。

昔の人は言いました。言葉には言霊ことだまがあると、発すると、めぐりめぐって現実に影響を与えてしまうという意味です。昔の人もバイアスは知らなくとも、感覚として理解していたのかもしれませんが。

“彼ら”はこの性質を悪用する。
正しい事を言おうとすればつぶし、自分の都合がいいように言葉を改ざんする。

自民党の抵抗勢力が「抵抗勢力」という言葉を封じさせたのと同じだ。

風通しのわるい風潮が、社会を硬直化させている…
自らの手で自分の活路をふうじているのだ。

最近、青い車をよく見る。

太いマフラーをつけた走りや風の車は、同じ感じの鮮やかな青だ。
最初は気にならなかった。

(Fさんは知らないと思うけど、この手の青色はレースの世界で有名な青で、好きな人が自分の車をレース車と同じ色に塗るのは別段不自然じゃないからだ)

(これとは別に赤くて屋根に白いラインかな？入れた改造車も巡回しているみたい)

でも、ふと急にこんな事を思い出した。

東京でいつも睨む大学生風の男。

いつも黒字に白青のボーダーシャツをきている。

みな髪型もにている。

最初は同一人物のように見える。

2度ほど話しかけてみて別人とわかる。

…ああ、もしどこかに何かしらのバイアスをかけようとする者がいたとするなら、この場合どのようなバイアスを意図しているだろう？そうか、いつも監視されていると思いつまさせる意図か…？と思いがいたる。

のちのち調べると同じような被害にあう人がネットに溢れている…。
なるほど、そーゆー事か。と納得したのを覚えている。

まさかと思うけど、今更同じ意図で同じ車の色なのだろうか？

Fさんはどう思う？偶然って事にしておこうか。

もちろんできる限り通報するけどね（どれも改造車だから）。

あの夏祭りの日、やってきた車も黒だった。

そして、初めて尾行に気がついたあの時、やってきたのも黒い車だった。

（君はあの時、今の知り合い！？とものすごく動揺していた）

こちらに来てからも、不自然に駐車してる車は黒が多い…？

こんな事も思う。

組織の上の方が、小型車なら黒を推奨している。

ナンバーをとるなら、ぞろ目や意味ありそうなナンバーを推奨している。

中古車なら、エンジンがうるさいものを推奨している…

全員が従うわけではないが、君同様すなおに育てられた人々は、特に疑問もいだかずに従うのかもしれない…

全体の1割も従えば、僕がつけたような「例のあの行動」は十分実行可能だ。

その世界は病気にかかっている。

以前は健康だった時期もあったのだろうけど、かなり重体です。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、君の自由でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

ことだま
言霊のように…

世界は広大で広く、想像を絶するダイナミックな時間からみあって作られている。

「視野が狭くて何が悪い」とか言う人が増え続けていくと、それが世界の不和の原因になってゆく。

エジプトのコプト教信者に対するテロが問題視されている。

コプト教とは古代キリスト教の流れを汲むアフリカの土着宗教で、カトリックともプロテスタントともロシア正教とも違う、第4のキリスト教として、

エチオピアを中心に存在しているものです。

イスラム教過激派は、アメリカの掃討作戦で活動拠点を失い、新たな拠点をまとめて

テロをおこしているそうです。
新しい場所で支持者を得る手っ取り早い方法は？
その地域のイスラム教徒とキリスト教徒の対立を煽ればいい。
エジプトでのコプト教徒（キリスト教徒）殺害テロも、地元での
支持集めが目的らしい。

本来たいした不満でないものを煽りたて助長する事で対立を深刻
化させる。

なぜならそうしないと組織が消滅してしまうからだ。

社会不安がないと消滅してしまうような組織は消えたほうがいい。
誰にでもわかる、当たり前前の事です。

こんな事わざわざかかねばいけないほど、その世界は病んでいる。
自ら変わる努力をその組織がしないかぎり、
その組織は永久に社会の害悪として存在する。

え？なんの話かって？

もちろん、エジプトのテロをおこした組織の話です。
他のなにでもありません。

もし、ほかの何かが頭にうかんだなら、
それは僕が考えたものではありません。

再会を信じます。

傲慢さに負けないで！

丁寧かつ妥協を許さない毅然きぜんとした態度が肝心です。
“履き違えた大人の事情”に負けないで欲しい。

「私をひとり立ちさせて！」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君がそういうの好きでない事は、よく知っています。

この世は、互いに影響しあつて成立しているのです。

唯一絶対に正しく、他は排除してかまわないと、思うのは個人の自由だが、実行するのは間違いです。

実行した先にあるのは栄光ではありません。

屈する必要はありません。

今大丈夫ですか、そこは安全ですか？

君が君らしくいてくれるならいいのですが…

むりをせず、笑顔の君が、平和でいてくれることを願います。
つらい？

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらつた機会をもらつた、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

「1月12日（水）曜日「マウスピースって交換したんだっけ…！？」」

「ごめんFさん、これは純粹にしつもんです！」

最近朝の連続TV小説「てっぱん」でヒロインがトロンボーンのマウスピースを大切にしているシーンがあり、そうそう僕も持つてんだよなアレ、と思い、久しぶりに出して吹いてみた。

で、何気にマウスピースのサイズを見てみた。

「51c4」

となつている…

あれ？54か56だったよーなきがしたけど。51だっけ？しかもc4？

…ふいに記憶が混乱する。

確信がもてない。

で、確かめる方法はここで質問するしかない。

たしか君は僕より小口径のマウスピースを使っていた。

…最後に2人でマウスピースって交換したんだっけ？

たつた今、急にそう思った。

（本当に今急に思った、間違いかな？間違いかどうか知っているのはこの世で君だけです）

確信がもてないので、この解答は君と再会できる日まで、本当に封印します。

いつか、君の記憶と僕の記憶をあわせて、欠けた記憶を取り戻せればと夢見ます。

いつか、きつと。

（これを読んだ人は間抜けと思うだろう。でもこのマウスピース

を交換だろっ頃はもう、諦めていた時期だから、記憶があいまいなのだ。時期的には高校3年の3月の頃、彼女がショートカットにしたかしないかの頃だ。彼女はどういう心境だったのだろうか？まともな恋愛をしたことない人間には永久にその気持ちは理解できないのかもしれない…。Fさんはどう思う？)

…確か「c4」というのは深さの度合いを示していると、君から聞いた記憶がある。

自分のマウスピースにはない表記なので、「何？そのc4って？」と聞いた記憶がある。

この記憶は確かな記憶だ。そう、当時僕が持っていたピースにはc4とは書いてなかった…。

なんかうつすら記憶がある、交換したような。

突然言われて、でも完全に心を閉ざしていた僕は君の申し出が理解できなくて、でも断る理由がなくて、交換して、もらったピースを見たくない一心でマウスピースケースに閉まって…、たぶんその日以来しまったままで、実家に置いたままにして、存在すら忘れていたような、そんな気もしなくもない。

君からもらったあの手紙同様、もう見たくないものとして封印していた、そんな記憶がある。手紙は家族に見られたくないから仕方なく東京へ持っていったが、マウスピースは置いていったような気もする。

(こんな事も思い出した、たしかこの時、単純に君は大きなサイズのものが欲しいに違いない、それ以外に交換したい動機が思いつかない。マウスピースを楽器屋で買うとき、店員さんが試し吹きしていると言ったのに驚いた。買ってもない商品に口をつけて吹くなんて…、でもそれが楽器の世界の常識らしく、単純に彼女は大きなピースが欲しいだけなのだ！とそう思った。だから、交換してと言

われたとき、最初あげるよと言った様な気がする。でも君は交換と
いって自分のピースをさしだした。本当に意味がわからなくて、で
も満面の笑みでこちらをみる君に逆らえなくて、そのまま受け取り、
見たくない一身でマウスピースケースに突っ込んだ？のかもしれな
い。断片の記憶をつなぎ合わせるとそうなる。でも合ってるか自信
がない。何分、今まで完璧に忘れていた事だから

マウスピースは使用するたびに個体差が出来てくる。

細かい傷や表面のつややかさが劣化してゆく。

最初気がついたのは、手元のピースのそうした特長が記憶の中
にある自分のピースと違う事だった。

最初は長期間保存しているあいだにこうなったのかな？と思った。
でもよくよくみると、違う点がいくつもある。

特に楽器との接合部は楽器の個体差もあって独特の傷になる…。

他人がみたらわからないが、使用者は毎日見ているから、ピース
の細かい特徴を記憶するのだと思う。

なんか、手元のピースの特徴が記憶と合わないと思い、サイズが
違うのに気づく。

勘違いかな？確信がもてない。

君はどう思う？

この、今、手元にあるマウスピース。

Fさんのものだったのかな。

c4の意味を君から教えてもらったのは間違いない記憶。

その記憶には自信がある。

でも交換したかどうかは記憶が断片的だ。

もし、間違っていたら、その事をいつか教えてください。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

「1月13日（木）曜日「人は永久に背徳の興奮に身をゆだねて生きられない事の“証明”」」

小さかった君は必死に耐えた、それしかないからだ。

じつと我慢した。助けはこなかった。

でもどこかに助けはあると信じていた。

助けを求めようとしても上手く伝わらないもどかしさに憤り、耐えた。

必死に頑張った。

そうじゃないのかな？

僕と君の想いは年長者から見れば「子供のたわごと」に見えるだろう。

でも、その「子供の…」に大真面目にいろいろするのは、なんだからものすごくモヤモヤすると思う。

このモヤモヤは当事者には理解できないものだ。

当の昔に捨て去った“何か”だ。

そして、それを無視したらこの先、生きてゆけない。

なぜなら、TVで「伊達直人」騒動を見て本当は感心したいのに自らに行為のせいで感動できないし、北朝鮮の拉致事件をみても、憤慨したいのに自らの日ごろの行動のせいでできなくなる。

つまり、日常生活で普通に感じる当たり前の倫理観が発露できなくなるという障害に直面する。

それがこのモヤモヤの正体だと思う。

このモヤモヤを長期間抱き続けて正常でいられる人間はすくない。

なぜなら、人はみな正しくありたいと切望しているからだ。

君はどう思う？

今、もし彼らの活動をやめているなら、やめ続けてほしい。

君がそれをやめ続ける事は、過去に迷惑をかけた人達への罪滅ぼしにつながる。

それは事実です。

今も車はくる。

ピークは午後7時半から8時半くらいだ。

察するに4から5台が2〜3回ほど巡回しているのだろうか？

いや、はずれてもかまわない。

でも、一旦通過して、大回りして、戻ってくると考えるといういろつじつまは合う。

20分くらいで戻ってくるような距離をまわって戻ってくるのでは？と思う。

混み具合で時間はかわるし、近道すればより早く戻ってこれるし、遠回りすれば30分くらいで戻っても来れる？

まあ、上記は根拠ない感想にすぎないけど、確度の高い予測としては、この時間帯来るのは仕事帰りの人らだ。つまり現役世代？引退した方々や、若者の可能性が低い？

“彼ら”の意思決定の中心はおそらくこうした働いている現役世代なのでは？とも思わなくもない…。

だからなに？といえばそれまでだが、何が役に立つか判らないので、感想というのは日々もって記述した方がいいと思う。後々の体験とどう矛盾するか？というのを検証できる。

東京で3年観察した人の人格を元に予測するなら、諦めない人は

いる。

虎視眈々と、いつまでもねらっている。

でもこちらが正しい事をし続ける限り、絶対に大丈夫です。

背徳に興奮を覚えるのは人間の本能だと思う。

しかし、倫理を貫く事に清涼感を感じるのも人間の本能だ。

両者そろって人の心はバランスをもてるのかもしれない…

永久に背徳の興奮だけに身をゆだねて、生きてゆけないはずです。

(中にはそういう人もいるかもしれない、でも…そんな人ですら、観戦して盛り上がっているスポーツの試合で八百長や反則やミスジャッジをみたら憤慨すると思う。その事実が「人は永久に背徳の興奮に身をゆだねて生きられない事の“証明”」になる。もちろん、中には反則に興奮したり、ミスジャッジを賞賛する人、反則を激励する人もいるだろう、でもそういう人が周囲から白い目で見られる事実は現実として存在します。それをもってまあ、人間の倫理観を否定する人間がいたとしたら、相当重症なのだと思う。いち早く“彼ら”の世界から離れないとどんどん悪化してゆく…)

“彼ら”はこの世に「慎み深い人間」はいないと主張する。

そんな思想は仏教ではない。

俗人が聖者の微妙なニュアンスを正しく理解できないが故おこった教えの歪みだ。

…でなければ、誰かが意図的にゆがめた事になる。

惑わされず、自分の想いを貫いて欲しい。

君が君であるために。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

君が頑張れるなら、僕も頑張れます！

.....
.....
.....
.....
.....

「1月14日（金）曜日「皆、大きな時代のうねりの1つにすぎない。」

い。」

小さく幼い君は耐えるために頑張った。

じっと耐えていれば必ず報われると信じた。

我慢には自信があった。

耐え続ける事が救いに繋がるといつの間にか信じてしまった。

周りの人はそんな君の気持ちに気づきもしないで、よくやったよ
くやったと褒めてばかり。

そうなのと、違うのかな…。

なんかまた意味不明の事件が…

意味不明の殺意？いやな時代です。

彼らの望む世界とはこういう世界なのでしょう。

え？ちがうの？

と聞いてもいいと思う。

口ごもる人多いのでは？そんな事思った。

“彼ら”は人は野獣に帰るべしと主張する。

それがどうしたら世界平和になるのかさっぱりわからない…。

聖者の残した微妙なニュアンスを正しく理解してない現代人によ
り教えが歪められたのだと思う。

自然（万物）に対しての自ら（己の）の小ささを実感する事に極
意があるように感じるけど、

彼らの理屈は万物に迫ろう、匹敵するほど肥大化しようという幻
想に支配されている。

なかには、呆れて興味の失せる人達も出てくるのだろう…

そうした人を補完する意味で、加入者を増やさないといけないの
だろうか？

それって“まるでカルトみたい”と思うなら、正解です。

Fさん、この世は「どこかの誰か」が「全てを計画して」動いていると一般に思われがちだけどそんな事は「ありえません」。“彼ら”ですら大きな時代のうねりの1つにすぎず、この世の大きな流れに翻弄されているにすぎない。とても運命を支配したり、コントロールしたりする力はないのです。あると感じるとしたら、それは騙されて、そう思い込まされているに過ぎない。彼らは人の心の弱さを利用する。

君にだけは、これ以上犯罪行為をするのをやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

僕はそう信じます。

君にも同じように信じて欲しい。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっている。

せまい世界のなかだけで完結しないのは事実のようです。

今度、日本の日銀総裁が世界機関であるB I S（国際決済銀行）の副議長に選ばれたそうです。

これが意味するものは？

過去日銀総裁人事で小沢一郎が財務省関係者の就任を阻止した経緯がある。

日銀は政府と独立すべきであり、財務省関係の人間がつくのはおかしいところ、説いたわけだ。

以前書いたとおり財務官僚はあくまで法律家であり、法律のプロだが、金融の専門家ではない。簿記の資格もないから、財務諸表を

読めない官僚も少なくない。(近年になり、ようやく財務諸表を作るようになり、隠れ借金がいくらあるか事業仕分けでわかるようになったが、以前は作り方すら知らないから、財務諸表もなく、特別会計に借金がいくらあるかわからない状態が長く続いた)

そんな事情もあり、過去の日銀総裁はBIS(国際決済銀行)の議長や副議長などにはつくことが出来なかった。なっても仕事が出来ないからだ。

しかし、今回BIS(国際決済銀行)の副議長に選ばれた、現日銀総裁の白川方明しらかわまさあきさんは違う。日銀マンであり、経済学者だ。法律家の元財務官僚と違い仕事ができると評価されたのだろうか?詳しい経緯はわからないが、なんだか、今までにない画期的な出来事がおこったようにも思う。

時代は変り、動いている?と思いたいところです。

君の周りの人に伝えてください。自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないの!?と。

理解を示す心の広さはどこへやったの?と。

これは人としての“質”の問題です。

教えが正しいとか、間違っているとかが、そういう問題ではない。質が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで!応援します。君は自分で思っている以上に強い人です。何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされるのは間違っている。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、文句は言わせないわよ！」と、言って良いと思う。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください（周りにもすすめてください）。誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

頑張れ！もう1人ではありません。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔1月15日（土）曜日〕もし、追い詰められて、発する言葉を見失った時にそなえて、

一応書いておきます。「」

“彼ら”は「自分たちのいう事を聞かないからこつという目にあうんだ！」という理屈を展開して、暴力を正当化する。駄々っ子の理屈とそう大差ない。

本当はみなへきへきしているのと違うだろうか？

.....
「1月16日(日)曜日「今になってようやく「知った」人と、去年から知ってる人とは「温度差」があると予測できる。」」

こんな事も思っ…

おそらくこういう人、今もいるのだろう。

「相手は死んだものと思って…」と。

この傾向は2009年の9月からあった。

(店頭でレジにしていると、何人もの人が「彼女は死んだ」という文字の書かれた文庫を猛烈な勢いで持ってきたのは以前書いた、その様子は物凄い不自然だった。おそらく、そういう発想法で、そちらの世界は自己正当化するのだろう)

何度も言いますが、僕は死んでいません、生きています。

今更そんな手を使う人が？と時々思うが、おそらく、今になってようやく「知った」人とかがいるのだろう、2009年から知ってる人とは「温度差」があると予測できる。

次から次にあたらしい「参加者」が出て来るだろうけど、負けな
いで欲しい。

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

目的があるから、事業時間の無駄をなくす利点がある。

…たぶん、あのおせちを作った責任者は、上役から無茶なノルマを課されて、それでも間に合わせなきゃいけないから突貫作業しなければならなかったんだろうと思う。

「できません」

と、言えいいのに、上役から禁じられ、言えない以上やらねばならず、その結果あの酷いおせちになったんだと思う。

上役は部下のキャパシティーを越えた作業をさせたわけで、おそらく現場の実体を理解してなかったんだと推測される…。

現場の実体をしらない強硬派の上役って危険な存在です。

そういう意味でも、視野を広げる努力というのは大切なんだと思う。

うまく広げられないにしても、広げる意識を持つ事は、持たないよりも何十倍もいい。

そちらの世界には実体を理解せず怒鳴りまくる人、多いと感じる。

「人生修行」と称して「犯罪」を強要する人に負けないで！

その行為は犯罪であり、社会の害悪です。

三遊亭圓楽 (6代目)さんが、かつてこんな事を言ったそうです。

「苦労は人生の肥しというが、肥しはやりすぎると草木も腐るだろ？人間もおなじだ」と。

その証拠に三遊亭圓楽 (6代目)門下の弟子は大成した人は少ないが、みなそれぞれの道で活躍していると聞きました。

他の門下のお弟子さんは人生をささげてまで修行をした結果、人生を狂わしてしまう人も少なくないという話です。

他の門下では修行は厳しくて当たり前ということなのでしょう？
本当かどうか解りませんが、この話をきくと、昔から言われている格言が頭をよぎります。

「過ぎたるは、及ばざるがごとし」とか、

「ものには限度がある」とか。

修行にも限度がある。

犯罪まで手を染めるような修行はもはやカルトです。

そもそも修行する際、どの程度までやればいいのか？という加減は、

専門家が見極めて判断するものです。

古来からそうした専門家として、聖職者やお坊さんがいました。

一般にカルトにそうした専門家はいません。

もし、医師免許をもっていないヤミ医者しかいない病院があったら、普通は通わない。

何をされるかわからないからだ。

中にはヤミ医者とはいえ、それなりにスキルを持った人もいるかもしれない。

でも、皆「自己流」で学んだ医学知識だ。間違いもあるだろう。

カルトの特徴は、こういう点にある。

一般にカルトは普通の専門家を信じない。

専門家（聖職者）は教えを忠実にまもるから、とても都合がわるい存在なのだ。

全精力でそうした専門家を否定するだろう。

本物の専門家がないから、「加減がでたらめ」なのだ。

そんな実体、現実にあつたらその社会は歪んでいる。

もし、「世の中そういうものだ！」と言う人がいたら？

「そのどこが仏教なの？」と言い返せばいいと思う。

「俺の立つ瀬がないじゃないか!？」

と言われたら？

「人生修行よ!そこから何か学べばいいんじゃない!？」
と言い返していいと思う。

本物の聖職者なら、絶対に怒らないはずだ。

でもカルトなら、専門家はいないから、怒るかもしれない。
その世界はどうなのだろう？

君の見てきた世界はどんなふうですか？

初めて経験する複雑な心境が待っていると思う。

いろいろな思いが交錯すると思う。

感情があふれてぐちゃぐちゃになっても、逃げてはいけない時がある。

時間が必要？

そうかもしれない。

でも、前には進めるでしょ？

もし、そんな状態になった時は、思考停止寸前までいっても、君なら立ちなおせると信じます。

Fさんは強い女の子です。

大丈夫です。

君は何も悪くない。

僕が証明してみせます。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、君の自由でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

僕はそう信じます。君にも信じてほしい。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっている。

せまい世界のなかだけで完結しないのは事実のようです。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのでしょう。

Fさん！もし、邪魔して何が悪い！いや、むしろして当然だ！
…という人が周りにいたら、こう言ってやってください。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、誰も責任取ってはくれないよ」

「老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

試練を乗り越えた君にはこれを言う資格がある。

負けないで！

忘却の強要こそ彼らのオハコだ！！

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされるのは間違っている。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

- - -
- - -
- - -
「1月18日（火）曜日「何にしても、譲れない想いがある事を相手に理解させる事は、結果はどうあれいい事だと思つ。」」

最近アメリカ側が基地移転問題で、軟化してきたようです。
大筋では変わらないが、細かい点で日本側に譲る姿勢をみせている。
ここで「言いくるめられる」のも選択の1つなら、
さらにもう1歩踏み込んで交渉するのも選択支の1つ。

何にしても、譲れない想いがある事を相手に理解させる事は、結果はどうあれいい事だと思つ。
Fさんは、どう思つ？

時代は永久に固定されているわけではない。
世代は移り変わり、ルールも変わってゆく。

Fさんに伝えます。
誹謗中傷合戦を繰り広げれば、筋も捻じ曲げられると信じ込んで
いる被害者たちに立ち向かおう。負けないで！君は自分で思っている
以上に強い。もう1人ではありません。
そんなものに、大切な“なにか”を踏みにじられ続けるのは道理
が変だし、間違っている。
とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。
それらは脱出してから考えればいい。

自分の想いや気持ちは察してもらいたい、というのが本音かもしれない。

でも言うべき事は、言わないと、いけないんだと、そう、君に伝えます。

気持ちは察して欲しいと感じる君の好みではないかもしれない…でも、言うべき事は言わないと、通じないらしいです。

君の強い心に期待します。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっている。

せまい世界のなかだけで完結しないのは事実のようです。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、

文句は言わせないわよ！」と。

そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされるのは間違っている。

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？

その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちがいなく“カルト集団”です。

「1月20日（木）曜日「自分を「嫌な人間」と思い込ませるのが
「彼ら」の手口だ！気をつけて！！」

「どうも思う。」

君を説得しようと思う人間は、君とよく似た立場、
よく似た趣味嗜好の持ち主を、説得役として選ぶかもしれない…
どうなのだろう…

その人が、一緒に犯罪を辞めてくれる様な人なら、僕は嬉しいで
す。

自分を「嫌な人間」と思い込ませるのが“彼ら”の手口だ！
気をつけて！！

僕は知っています、君がすばらしい人であると。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、君の自由。
でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がって
いると思う。

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちがいなく“カルト集団”です。

.....

「1月21日（金）曜日「多くの人が「自分を単なる「愉快犯」に貶めてしまった組織」をうらんでいる？」」

小さく子供だった君は頑張った。

いやでも、絶対に弱音を言うまいと頑張った。

いつか、報われると信じた。

間違いなら、誰かが正してくれると信じた。

嫌でも、必死にその感情を押し殺した。

そのうち、何がしたいのか考えなくなってしまった…。

そんな自分なのに、消せない想いがあり、時々自分を支配する。

どうしたら解らない時は自分の心を閉ざした。

そう知るしか方法を知らないから。

そんな君の気持ちに心を砕いてくれる人はいるのだろうか？

とても、心配です。

そんな事ない？もつと幸せ？

なら…うれしいんだけど、どうなのかな。

いつか、教えてくれたら、うれしいです。

Fさんに伝えます。

“彼ら”のやっている事は「愉快犯」の自己正当化にすぎない。

いろいろと宗教的理屈をこねて、「ごどもつばい」「いたずら」「

をさも崇高な行為であるとすり替えているに過ぎない。

そして、多くの人が「自分を単なる「愉快犯」に貶めてしまった

組織」をうらんでいる…。
でも表ざたには出来ない。

考えたくないから、耳障りといって耳をふさぐのは、真実に迫っているからではないのだろうか…

周りの人に、聞ける事があつたら訊ねてみてください。
どうなのかな…。

「みんな被害者なのよ、私もあなたも」

と、言っていると思う。

「間違いにきがついてしまったの、ごめんね」
と、言ってもいいと思う。

君を責める意図はない。

人はいくらでも正しく生きることができる。

君の周囲は「できない」というかもしれない…

「その事自体」がその世界が病んでいる証拠です。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、君の自由。
でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言葉ことばのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちががなく“カルト集団”です。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

君の名前の最初の1文字は「真実を見て（知り）理解する者」と言う意味がある。

名づけた方の意思に反しようが、真実を見極めてもいいと思う。なぜなら、その名前の字をこの世に送り出した人々は、名づけた人よりも遙か昔にいた人々で、過去存在した多くの人々の想いがその名の意味を支えている。君の名の1文字は歴史を重ねて作りあがっています。そして、その1字の意味の通り生きていいのだと思う。

君は価値ある人物です。僕に大切なものをくれた。

世界は広大で広く、想像を絶するダイナミックな時間からみあつて作られている。

「視野が狭くて何が悪い」とか言う人が増え続けていくと、それが世界の不和の原因になってゆく。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

いるとか…。

そろそろ日本人も本気にならないと、本当に茹でカエルになってしまいかねない。

与謝野馨さんの本は以前一度よんだ。

ガンを克服してからは、死を意識した感覚からか、保身の論理がうすいらしい。僕が読んだ本を書いた時点では、シカゴ学派系の小泉改革（郵政民営化等）には反対の立場で、増税論者だった。だが、1度財務大臣を務めてからは、実体を理解したのか、小泉改革に理解を示し、自民党主流派と距離をとるようになった（竹中さんと会合を持ったりしていた時期もある）。

セクシオン主義（＝セクシヨナリズム）という言葉がある。それまでは全体のことをちゃんと考えていた有能な人材が、そのセクシヨンの長に立つと、全体の利益を無視して、セクシヨンの利益を第一に考えるようになるというわけだ。

縄張り意識は人類の本能なのだろうか？

セクシオン主義（＝セクシヨナリズム）は旧日本軍にも蔓延し、軍の肥大化を招いた。日本の防衛よりもセクシオン主義（＝セクシヨナリズム）を守る方を優先し、太平洋戦争に突入したのは、先日のNHKスペシャルで詳細に解説されていた。

今、現在もセクシオン主義（＝セクシヨナリズム）は横行し、事業仕分けを妨害している。肥大化した独立行政法人とその下にぶら下がる財団法人は、自らのセクシヨンの利益を守る事を、国家財政よりも大事と考えている。

そちらの世界にもこういう現実あるのだろうか？

風通しのわるいカルトのセクシオン主義は、エゴとエゴのぶつかる泥じみた世界なのだろうか？

セクシオン主義は自分たちのセクシオン以外を全て敵と考える傾向がある。

縄張り意識そのままの感覚で、文明化以前の人間の動物としての本能に起因している。

だから、“彼ら”は人間の野蛮な部分を大事にしようと考えているだろうか？セクシオン主義は人間の大事な要素であり、否定できない、やって当然なのだ！と考えるのだろうか？

先にのべた茹でカエルの話を連想するのは、僕だけなのだろうか？そんな事思った。

そんなもののめに君の心が踏みにじられるのは間違っている。黙っていてはダメです。

“彼ら”のなかの「悪意ある」人達は、君の優しさを利用する。本来、人に尽くす傾向のある君の「やさしい」部分を自分たちの都合のいいように利用するのだ。

そんな風に言われるとつらい？

かもしれない。

でも、辛い事でも、伝えねば。

そう、僕は学んだ。

18年前、君との想いだから、そう感じるようになった。

負けないでほしい。応援しています。

君は自分が思っている以上に強い人です。

彼らは絶対に諦めない。

でもその性質こそ「カルト」そのものです。

諦めないことで自ら、じぶんがカルトであると証明してみせている。

社会に悪影響を与え続ける、病んだ世界と決別してほしい。

そう、感じるし。そう信じます。

君の心に賭けます。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです、手が出せば届くようなものではない。強大なダイナミズムで動いている。日本とて例外ではない。

せまい世界のなかだけで完結しないという事だけは、間違いようのない事実です。

けっして単純ではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないの!？」と。

「理解を示す心の広さはどこへやったの?」と。

「真実に目を向ける勇氣はどこへいったの!？」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くなるないと、わからないはずなのです。

わかってうとしないのは、個人個人の“質”の問題です。目の前しか見ていない。

そうした自分都合の連中に負けないで！

“厄介な人”多いと思うけど！負けないうで欲しい。

君が戦い続けられるなら、僕も戦い続けられます。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。
教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。
“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援しています。君は自分で思っている以上に強い人です。

彼らはいつの間にか「悪い波」に乗ってしまい、戻れなくなってしまうた。

「悪い波」にのった時は、戻るべき自分の基盤に戻るのが大事なのです。

原点が何か語れる人、教えの根本に戻れる人が君の周りにいますか？

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、君の自由。でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのようにどこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいけません。

子供だった君は耐えた、頑張った。

なんでこんな目に遭うのか？

こんなつらい気持ちになるのか？

誰かが答えてくれると期待した。

だけど、誰も答えてくれなかった。

そのうち、答えを考えるのをやめてしまった。

身をゆだねる事こそが真実と信じた。

なのに、なぜ、いつまでもつらいのか、

なぜ、いつまでも理解してくれる人が現れないのか？

自分のわがままだと思いつく事で、全てを乗り切った。

幸せが待っているはずだった。

なのに、なぜ？

出せない答えに悩んだりしなかっただろうか？

考えすぎかな…。

いつか、もし、奇跡的に会えた時、“君の心”を教えてくれると嬉しいです。

そこは殺人をも肯定する病んだ世界です。それは、まちがいなく“カルト集団”の発想です。

その事実、本当はみなわかっていて、でも認める勇気がないだけ

だ。

そういうまともな人、多いと思う。君はどう思う？

心のなかの“それ”を大事にして、追求するのは、人として正しい行為だと僕は感じる。

もし、君も同じような感覚を抱いてくれるなら嬉しいです。

いつか、どう思うのか聞かせてください。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

君の名前の最初の1文字は「真実を見て（知り）理解する者」と言う意味がある。

名づけた方の意思に反しようが、真実を見極めてもいいと思う。

なぜなら、その名前の字をこの世に送り出した人々は、名づけた人よりも遙か昔にいた人々で、過去存在した多くの人々の想いがその名の意味を支えている。君の名の1文字は歴史を重ねて作りあがっています。そして、その1字の意味の通り生きていいのだと思う。

君は価値ある人物です。僕に大切なものをくれた。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

子供には、人にはいろんな生き方がある事を教えたい。
そんな事も、思う。

頑張っている人の数だけ、いろんな種類の人がいると。

でもカルトはそうした多様な生き方を否定する。

1種類の生き方が一番すばらしいと断言する。

基本的にカルトの思想は「修行」をつむと、理想の自分になれるとか、来世で報われる。といった「生まれ変わり（転生）思想」が多いように感じる。これはカルトに対する一般論であり、“彼ら”の事を指摘しているのではない。

ある1種類の生き方をしないと、理想の転生が出来ないと考えるのだ。

でも仏教の思想はどちらかというと、「理想の自分」と「現実の自分」の差をしっかりと受け止めるべきだ、といった考えがあるように個人的には思う。

「現実の自分」を理解するためには、自分の人には見せられないような邪悪な部分をも直視する事が迫られる。そういう仮定で、人間の烦恼の存在を認めるのと違うのかな？と個人的には感じる。あくまで、シロウト考えなので、わからないけど、君はどう思いますか？

「現実の自分」を理解し、「理想の自分にはなれないこと」を理解したうえで、さあ、どうする？というのが「さとり」の1歩のようにも感じない。

（ 上記文章なら、同じ“烦恼の存在を認める”という「表記」も、意味合いが違ってくる。もし、誰かが「それは言葉の意味のすげ替えだ！！」と言ったら？じゃあ仏教の本来の教えではどうなの

かしら…と答えればいいと思う。そこから、哲学がはじまる。少なくとも、話相手が、自分の哲学を持って信心しているのか、「うけうり」だけでやっているのかがわかる。そんな事、急に思った。何が役に立つのか判らないので、一応書きました。もしかしたら、どこかで、言葉に詰まった時、役に立つかもしれない。」

“彼ら”は心の弱さをついてくる。組織の教えに従えば、楽になれるよ、と。

でも、それは、まやかしです。

（なぜなら？もし“楽”になれなかつたら、信心が足りないとするれば、全てをごまかせる。本当は信心ではなく、日々の精進と努力が大事なんだと思うけど…）

弱くても、強くても、人はみな、頑張って生きているのだと、僕は信じます。

正しく生きている限りにおいて、人の生き方はいろいろあっていいのです。

というか、そのほうが「人らしい」。

僕は18年前の君の謎の言動の真実を理解したい衝動をずっと持っていた。

あの笑顔の意味を知りたくて努力した。

生まれつきの鈍感さはいいかわらずに、努力して得たものは、確かに君の心に繋がったと感じた。

心のなかの“それ”を大事にして、追求するのは、人として正しい行為だと僕は感じる。

もし、君も同じような感覚を抱いてくれるなら嬉しいですが、いつか、どう思うのか聞かせてください。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

君の名前の最初の1文字は「真実を見て（知り）理解する者」と言う意味がある。

名づけた方の意思に反しようが、真実を見極めてもいいと思う。なぜなら、その名前の字をこの世に送り出した人々は、名づけた人よりも遙か昔にいた人々で、過去存在した多くの人々の想いがその名の意味を支えている。君の名の1文字は歴史を重ねて作りあげています。そして、その1字の意味の通り生きていいのだと思う。

君は価値ある人物です。僕に大切なものをくれた。

自分の中の悪魔と戦って欲しい…

逃げていては、いつまでも、“他人のいいように”されてしまいません。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、君の自由でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのよつに…

どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいきません。

世界は広大で、想像を絶するダイナミックな時間がからみあって
作られている。

「視野が狭くて何が悪い」とか言う人が増え続けていくと、それ
が世界の不和の原因になってゆく。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。
う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃっ

昔の自分なら有頂天に喜ぶところだけど、今の僕は自分と同レベルの画力をもつ人間がたくさんいる事を知っている。謙虚にならざる得ない…。

でも、東京で無為に時を過していたわけではないことの証明にはなっただと思う。

人を喜ばせるだけのものはあるらしい。

東京で漫画の編集者の人に言われた一言が頭をかすめる。

「絵だけなら充分通用する」と。

努力はそれなりに、意味があると信じたい所です。

絵をたくさんの人に褒められていると、ある記憶が浮かんできた。それはあの記憶だ。

神社で2人きりのとき、僕は君に何度も「かわいい」と言った。すると、君は僕が言った数だけ「かわいくないよ」と謙遜した。褒められて謙遜する立場にたつと、あの時の君の事を思い出す。そんな事、急に思った。

今、君はどうしているだろう？

そこは安全な場所ですか？

ないがしろにされるような事がなければいいけど。

いろいろ言われかもしれない…けど、がんばって。負けないで欲しい。

狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！と言ってやってください。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

いろいろあると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。多分君の周りには悪意なく“いろんな悪意”が出来る人がいると思う。

それは悪意があるのではなく、心が内向きになっていて、外に向いていないからだと思う。

心が外向きになれば、人として持つ“当たり前前感情”が戻ってきます。

そう、周りの人に言ってやってください。

繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとっての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

味方もいるはずですが、東京でも経験が、そう僕に確信させる。

人って、そうそうバカになりきれものではない。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

最近ニュースで、日本と韓国が防衛情報を共有しようという動きがあるらしい。

一昔前なら大騒動になりそうな事例だが、いまではごく一部の反

発しかないらしい。

時代は動き、変化していると信じたいところです。

世の中全てが単純であると吹聴する人間は、「なにも理解」して
いないのに、した“ふり”をしているだけです。Fさん、そんな連
中の説教など跳ね除けて！

「だましあい」は世の中の真実ではありません。

(くわしくは29話あたりを読んでみてください)

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ
！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れ
ないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからない
はずなのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援してい
ます。

君は自分で思っている以上に強い人です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

(くわしくは21話を参照してください)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「サンクコスト埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

「人には譲れない想いがあるのよ、これ以上、犯罪に私を巻き込まないで」と、言って良いと思う。

「…あ、自覚あるんだ、悪い事だって。へー、見直したな。えらいね」

と皮肉で返して言いと思う。

（…もし、この皮肉が理解できない重症な人がいたら（いないと思うけど）相当重症です。病んでいる。やっぱり脱出がベストです）
君を責める意図はない。

いろいろあって、心がぐちゃぐちゃになって、意味がわからなくなっても、それでも諦めず、前へ進むのを諦めないでほしい。

どんなにゆっくりな歩みでも、前に進み続けるなら。

見えてくる想いがある。

譲れない、大切な、自分の原点。

これは僕が経験から学んだ事で、誰かの受け売りではない。

彼らは犯罪をも肯定するカルト集団だ。

とにかく、距離をとってほしい…

せめて、それだけでも、君に伝われば、そう思います。

方向修正が簡単でないのはしっている。

それでも、そうしてほしい。

君が君らしくあるためにも…

よけいなお世話？どうなのだろう。いつか、教えてくれるとうれしいです。

“彼ら”はこの世は「悪意が真実だ」と主張する。
そんな思想は仏教ではない。

俗人が聖者の微妙なニュアンスを正しく理解できないが故おこつた教えの歪みだ。

…でなければ、誰かが意図的にゆがめた事になる。
惑わされず、自分の想いを貫いて欲しい。

君が君であるために。

傲慢さに負けないで！

君の想いはただしい。

だからきつと上手くいきます。絶対に。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そついう事で全て矛盾しなくなると思つのですがどうなのでしょう。
う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらつ機会をもらつ
た、

それで何もおかしな事はないと思つけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「決定権は私にあるの」

…といい続ければ、そういう空気を作れます。頑張れ！

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

「1月26日（水）曜日「病んだ世界から脱出できない人らにまどわされないで！」

君はなにも間違っていない!!。」

Fさん、たぶん…だけど。

そちらの世界の発想法から推測するとだけど。

僕の事を、あいつ（組織の力に屈せず）のうのうと生きているのが許せない！とか言う人。いると思う。たぶん。

Fさん、もし、そういう人見かけたら、こう言ってあげてください。
い。

「そういう所が、カルトの証明なのよ」と。

僕が東京で3年観察した人物は、人間関係が上手くいかない時は、何かにつけ「相性」のせいにしていた。相性が悪い、と。（本人は意識していただろうか？）

そこだけは、同意見だなと感じた。

僕に「彼らの手法」が通じないのは、もはや相性の問題だ。

優劣の結果ではない。

横綱ですら苦手な力士はいる。

だから、ムキになる人がいたら「相性の問題よ」と諭してあげれば良いと思う。

どう思う？Fさん。

君はその組織との相性、どうですか？

人と人には相性がある。

それは、生きる上で、考慮に値する物事になると思う。

18年前、神社で会う約束の日、君は毎回必ず来てくれた。

ものすごく、うれしかった。

いつか、どうして、毎回きてくれたのか、君に訊ねられる日を夢見ます。

君は何と答えるのだろうか？

その答えを知るのはこの世で君だけです。

彼らは皆「騙されやすい人達」だ。

故に被害者になりやすい。

組織はそういう「騙しやすい相性」の人間を利用しようと、虎視眈々狙っているのかもしれない…。そして、どこかで、誰かが焼け太るのだろうか？

だから気をつけないと、知らぬ間に利用されていたりする…。そんな過去をたくさんしよわされたのだろうか？

君は悪くない。

子供だった君は、周囲の期待にこたえただけの事だ。それは当然のことだ。

ただ、不幸にも周りの大人たちが、みな病んだ教育を子供の頃からされていた、不幸な人達ばかりだったにすぎない。

小さい君は、うすうす、そのおかしさに気づきつつも、それでも健気にし上がった。

いつか、誰かわかってくれると信じていたからだ。耐えれば、いつか、誰かが、理解して、全てを正してくれると願った。

違うだろうか？

君は全ての物事の責任を、自分で抱え込むような感覚を時々もっていたような気がする。

僕と別れた後、“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思っ込んでるけど、それは間違いです。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした人達」の）常套手段”です。

（ 繰り返しになります、何度でも主張します！！ ）
非常に悪質な人心掌握法（じんしんしやうあくく）になります。だから全てを背負い込んで
はだめです！ “彼ら”はそれを狙っています！！ そうやって君の心
から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ！！ だから注意して！

世界は広大で広く、想像を絶するダイナミックな時間からみあ
って作られている。

「視野が狭くて何が悪い」とか言う人が増え続けていくと、それ
が世界の不和の原因になってゆく。生き方は人の自由だ。そこで過
ごす事を選ぶのも、君の自由。

でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言葉（ことば）のように……どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がって
いると思う。

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？

その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちがいなく“カルト集団”です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

人間は未来に希望をいだくべきなんです。

多くの人の希望を砕き続けていく世界の住民でい続けるなんて、君の望む人生じゃないと僕は知っています。いやでしょ？

病んだ世界から脱出できない人らにまどわされなide!

君はなにも間違っていない！！頑張れ！

(この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。)

第36話 君は何もわるくない3（未来へと続く話22）（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第37話 君は何もわるくない4（未来へと続く話23）（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金の興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第37話 君は何もわるくない4（未来へと続く話23）

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

「1月27日（木）曜日「この先一生人目にさらされる覚悟、僕はいつの間にかできていたりするようだ。これは避けられない。乗り切る以外道はない」」

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっていると僕は思う。

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけだ。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

こんな報道を先日みました。

例の中国漁船衝突事件の映像を流出させた、海上保安官のインタビュー。

今は、辞めているから元^{もと}海上保安官かな？

なんだろう？何を主張する気だろう？

どんな意図があるのだろうか？と、少し不思議だった。

なぜなら、もう映像を流出させた時点で、目的は達した訳だから、何か主張する必然性がない。

TVにでて小銭稼ぎか？と少し意地の悪い事思ったりもした…。

（事実そういう人ってたくさんいるから、でもこの人はインタビューを見る限りでは、そういう印象ではない）

インタビューを聞いていて、一番新鮮に感じた話は、彼が体験した世間の反応だ。

最初、彼は、もっと国民的議論が起こることを期待してビデオを流出させたという。

しかし、彼の元に意見を言いに来る人のほとんどが、彼の「人となり」にばかり、感心をしめし、肝心の「ビデオの件」は訊いて来ないというのだ。

つまり、多くの人が、ビデオの事実関係よりも、流出させた人物に興味をもつというのだ。

日中関係よりも、人に興味をもつ…、どうやら、マスレベル（最大規模）のバイアスとしては、そういうものに皆関心を寄せるといふことだろうか？

選挙の時も、政策よりも、候補者の人柄で多くの人は判断する。

今、話題になっている「小沢問題」でも、皆、小沢一郎の人格を

みて、いい悪いを判断しているようにも、見えなくもない。

彼が、過去何をしたとか、どういう事をしてきたか？とかよりも、現在受ける「人となり」に対する印象で、決まってしまうのだろう…。

この元海上保安官は、「問題」に皆が関心を持つたためには、まず、ともかく、皆が持つ、自分の人柄に対する疑問に答えないといけないと感じたらしい。実際にTVにでて、動いて喋っている様子をさらす事で、人となりを見て、知ってもらおうという意図だ。皆が、自分の人柄にある程度納得してくれたら、「人となり」に対する疑問が沈静化し、本来の「日中関係」に対する疑問がメインの話題になるだろう。そう考えたららしい。

上手くいくかは不明だ。

しかし、自己主張するためには、ある程度、人格をさらさねばならないのも、どうやら事実のようです。

そういう仮説も成り立たなくもない。

世の中は「バイアス」が支配している、この事実を変える事は不可能だ。

ならばバイアスの歪みを理解し、次に「どう」歪むのか？を理解したほうが建設的な発想ができるよ、僕は思う。

Fさんはどう思う？（え？むずかしい？…まあ、あいかわらず難しい事しゃべってるなー、とも思っただけ聞いてほしい、ダメかな…）

先ほどの仮説がある程度正しいとしたとしてだけ…

たぶん、読者が「この小説」と「それにつながりがある“あらゆる出来事”」の存在を知った時、多くの人が関心をもつのは、正義

か否か？よりも、登場人物の「人となり」だと思う。

僕は、最初は嫌だったけど、多くの監視者の存在にもう充分慣れたので、まあ、大丈夫です。

(皆が無料で鍛えてくれました)

でも、君は猛烈な恥しがりやだ。人から必要以上に自分の「人柄」を詮索されるのを、もしかしたら嫌と感じるかもしれない。でも、ここをのりきらないと、先に進めないのも、また、事実だと思う。どういふ結果になるにせよ、想いを伝える為には、避けて通れない難所でもある。

切り抜けてほしい、辛くとも、君は1人ではありません。

もし、どうしても人の視線が気になる時は、思い出してください、この世に同じように人から見られる試練に耐えている人間がもう1人いることを。君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。

譲れない“何か”があるなら、その気持ちを相手にぶつけなければいい。

心に秘めるのも、かわいくてすてきと僕は感じるけど、言わないと、いいように利用されてしまう。

…？なんか変かな？

18年前なら、僕のほうが、意思表示しない人間だった。

君にも似たところがあったけど、君はここぞという時、行動で示した。

18年前、行動で示された愛情表現の多くに、僕は鈍感な反応ばかりしていた…

今思うと、本当に感じ取る事ができる。君が、かなり真剣で、本気だったと。

僕らはもう一度、会うことができるだろうか？

再会を信じて、君に伝えます。

嫌われてもかまわない、でも、伝えねばいけない事もある。

耳障りでも、君の事を思えば言わないといけないと、僕は過去の経験から学んだ。

君は何も悪くない。ただ、素直に周囲の人の期待を満たしてあげようと、一生懸命努力したに過ぎない。

優しい君は、人のために賢明に尽くそうとする。そうした君の性質を利用しようとする人らが悪質だったただけだ。

君の周りには、小さい頃から間違った教育をうけた大人ばかりだったんだと思う。

子供の頃から、そういう環境では、仕方がない事です。

いつか、誰かが正してくれると、信じて戦っていくうち、疑問を感じる事を忘れさせられてしまったんだと思う。

それでも、ちいさな疑問が心にのこっていて、ふいに君を苦しめたのちがうだろうか？

そんな君の心に、誰も気がついてくれない…

そんな世界でない事を、祈らずにいられません。大丈夫？

“彼ら”はこの世に「慎み深い人間」はいないと主張する。

そんな思想は仏教ではない。

俗人が聖者の微妙なニュアンスを正しく理解できないが故おこった教えの歪みだ。

…でなければ、誰かが意図的にゆがめた事になる。
惑わされず、自分の想いを貫いて欲しい。
君が君であるために。生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、君の自由。
でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちががなく“カルト集団”です。

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？

(そこまでくさってない?)

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては（奇妙な事に）誇らしくも感じてしまう。繋がっていたのだらうか？どうなのだらう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、どうなんだらう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます。

もし、何か言う人が周りにいたら、こう言ってあげてください。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題だと。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです、と。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援しています。

君は自分で思っている以上に強い人です。

毅然きげんとした態度はとり続けないとダメです

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだらう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

なのに世の中はなにもかわらず、試練だけが次々にやってくる。
多くの人は言う、世の中そういうものだ。
だから、そう信じるしかなかった。

…でもおかしい。

いろんな無茶な試練に耐えたはずなのに、（試練のなかにはとて
も人に言えないような試練もあった）なぜ、だれも自分の気持ちに
ふれてくれないのか？

時々、心を刺す思いを振り切るのに、ものすごい苦勞する。
しあわせとはなにかわからなくなる？

…そんな事情あるのかな。

考えすぎだと自分でも思わくないけど、もし、あたっていたら
嫌だなと思ったりもする。

君には、本当に幸せになってほしいからだ。

（これからも犯罪に関わる組織の一員でいいはずがない）

Fさん、これを書いている今日は水曜日です。

元気になっていますか？

そこは安全な場所ですか？

今日はいい天気です。

自転車でこれから少し遠出でもしようと思っています。

実は研修の下見もかねているのですが…

18年前、君は電車に「乗るのが」好きといていた。

自分を新たな地にはこぶ乗り物に、なにかしらの期待を込めてい
たのだろうか…

あせらず、じつくり、でも確実に、前をすすむ。そんなイメージ、君に送ります。

時にはリラックスして、ペースをつかんで、ペースを作つて。毅然とした態度を忘れない。

“彼ら”の手口は神経を高ぶらせて、判断力を鈍らせる事だ。

負けないでほしい。

頑張つて、君ならできる。Fさんは自分で思っている以上に強い女の子です。

ニュースをみていると、こんな事やっている。

「顧客を逃がさず、値上げする方法は？」と。

そのためには、他にはないサービスで顧客をがちりつかむ事が大切な事。

常に新鮮な刺激を提供して、飽きさせない努力が必要とか…。

これはデイズニーランドの入場料値上げの関連ニュースの話です。

報道では、過去、新アトラクションの開業に合わせて値上げしてきたが、入場者数は落ちてないという。

彼らの世界でも刺激を求める多くのメンバーの希望にこたえないといけないのだろうか？

ならば、ブレーキも効かずにドンドンエスカレートしていくだろうな…と思う。

そのうち、犯罪も肯定する殺人集団になりかねない…、え？なってる？かもしれない。どうなのだろう。もしそうなら最悪です。

皆が刺激を求めているわけではない、まともな人もいる。
僕はその事をしている。

ただ、刺激に身を任せる人間が、教えを捻じ曲げて、欲望を肯定させようと吹聴しているにすぎない。

そうでなければ、仏法を破る事も、時として許されるなどという曲解はおきない。

前にも書いたけど、だいたい、仏法のどの部分を解釈したらそうなるのか、言ってる本人も解ってないと思う。

繰り返しになるけど、また書きます。もし、そのような事言う人がいたら、ぜひ、聞いてください。

「仏法の何ページのどの部分にそれがかいてあるの?」と。

即答できる人はそうそういないはず。

回答できても、でたらめの可能性も高い。

繰り返し言います。

“彼ら”の手口は神経を高ぶらせて、判断力を鈍らせる事だ。

だから、挑発をいなす必要がある。

君なら大丈夫、できるはずだ。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっていると思う。

手を伸ばせば届くようなものではない、強大なダイナミズムで動いている。

「せまい世界のなかだけで完結しない」という事だけは、間違い

ようなない事実です。
けっして単純ではない。

単純であると吹聴する人間はなににも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！
君の周りの人に伝えてください。

「俗人が聖者の微妙なニュアンスを正しく理解できないが故おこった教えの歪みだと思っわ。」

「…でなければ、誰かが意図的にゆがめたにちがいないわ。」と。
「真実に目を向ける勇氣はどこへいったの！？」と。

彼らの放つ中身の薄い理想では、世の中は良くならないと、わか
らないはずなのです。

わかってとしないのは、個人個人の“質”の問題です。目の前し
か見ていない。

そうした自分都合の連中に負けないで！

“厄介な人”多いと思うけど！負けないで欲しい。
君が戦い続けられるなら、僕も戦い続けられます。

生き方は人の自由だとは思っ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼
の自由。

でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。
言霊ことだまのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言い返せばいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。
それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいきけません。

そこは、まちががなく“カルト集団”です。君が戦っていると
いう前提で書きます。
負けないで！応援しています。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。
う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

今日、こんなニュースを見た。

アラビア半島東部にあるアラブ首長国連邦の遺跡で、現生人類が作ったとみられる約12万5000年前の石器が見される。

…というものだ。

これが意味するものは？

人類発祥の年度は諸説あるが、このニュースでは20万年前とされている。

場所は東アフリカの大地溝帯（この部分は確定らしい）。

ここから発した人類は、世界中に散っていったわけだが、今回の石器発見は、思ったよりも早い時点で、人類がアラビア半島にいた事を意味している。

先に述べたように、その後アラビア半島の人々はシルクロードの発生に大きく関わる人々だ。

そして、シルクロードのある、なし、で、その後の国家の発展が左右された。

その証拠に、シルクロードがなかったアメリカやアフリカはヨーロッパ文化が流入するまで、近代化に取り残される事になる。

自発的近代化ができる要件として、シルクロードは非常に重要なキーをもっている。

その発展と発生過程が解明されれば、それは現在にも応用は可能で、寂れた地域の経済振興にも役立つ日がくるかもしれない。

いわば、古きを訪ねて新しきを知る。という事です。

経済問題は、いろいろな側面から、多重的に考えなくてはいけません。

簡単な処方箋があり、簡単に解決できる問題ではない。

「危機感に乏しく、それを乗り越える決意も浅いと言わざるを得ません」

とある政治家が言ったそうです。（今日のニュースで「官総理“疎い”発言」にからんでのものです）

“彼ら”に聞かせたいものです。

“彼ら”にも危機感がない。ただ感情に任せて動いている、それが組織の質を落としていることになんの「危機感」もない。

“彼ら”的行動とは、「熱気」にあてられて思わず興奮する集団恍惚状態（わうごうじょうたい）が作り出すものだと思う。

これが、お祭りとかスポーツならまだいいが、犯罪行為（しゅつざんこうゐ）に集団恍惚（しゅつざんこうごう）するのは、間違っている。

…でも、恍惚状態（わうごうじょうたい）にあると、理性的判断が出来なくなり、皆、別人に変わってしまい、犯罪も肯定する人間にさせられてしまう。

こういう状態を一般に「トランス状態」と呼び、暗示を「ものすごく」受け入れやすい状態、と理解しないといけません。

一度暗示に「かかる」と、なかなかとれない。

君のまわりを見回してほしい、事実、普段はいたって「普通」なのに、“彼ら”の悪意に関しては「正常な思考」が出来ない人、多いと思う。

それは、暗示にかかっているからだと思う。

もちろんこれは推測を書いているに過ぎない。

その世界がそこまで「本当に」酷かったら、そうとう病んでいる事になる。

「病んだ人間を救う」のが本来の仏教であり、「病んだ人間を大量生産する」事はカルトの思考です。

そこは、どう屁理屈をこねても、覆せない、当たり前前の真実だと、「普通」の感覚の人間なら思うところです。

…Fさん、戦ってほしい。

君を責めたりはしない、そういう環境に問題があるだけだ。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいです。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しはいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちがいに「カルト集団」です。

まさか…と思うけど、こんな事も思わなくもない。

カルトの世界では、しばしば、救われない魂は殺して救済する、というとんでもない殺人思想を平気です。オウム真理教でも「ポワされてよかったね」という有名なセリフが残った。世の中にはこういう事言つどーしようもない人いるかもしれない。でもそういう人は少数派のはずだ！人って言うほど馬鹿じゃない。こういう事をいう変人は、表の世界では白い目で見られることを知っているから、「彼ら」の世界で不満を晴らしているに過ぎない。多くの人は「暗

示」にかかっている、このバカに逆らえなくなっているのかもしれない。人間の集団心理とは時として不可解な現象を発生させます。そういう意味でも、僕は強く主張する。この世はバイアスが支配している。悪意が支配しているわけではない。惑わされてはいけません。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

小さかった君は、まわりに受け入れてもらえるよう頑張っただけだ。

なにも悪くない。

それでもなにか「おかしい」といつも感じる心があった。

必死に押し殺してきた事だと思う。

耐える事で救われると信じたのかもしれない…

その心は、君の素敵なものです。

封じなくてもいいんです。

「良心」を否定する大人たちに囲まれて育ってしまったに過ぎない。

君は何も悪くないんです。僕が保障します。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

もし誰かに「それじゃあオレの格好がつかないじゃないかよ」と言われたら？

「これ以上長引くともっと格好がつかないわよ」

と即答すればいい。

「そんな事言っただで済むと思うなよ」

といわれたら？

「そういう所がカルトなのよ」

と言い返していいと思う。

過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。

淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違はなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。僕は脱出をと

にかく君に勧めます。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。

その中にいる限り、永久に答えは出せないから。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。

奇跡を信じて。負けないで！

.....

今更ながらなのですが、一応。

もし別居を考えているなら、相手に通知するのを忘れてはいけません。

法律では「いつから？」という「起点」が重要になります。

通常別居期間は別居した後「通知」してから何年となる事が多いようです。

別居に限らず、法的手続きをする場合、「日付」は非常に重要になります。

記録や、証書など日付のわかるものは「こんなもの役に立つはずが無い」と思うようなものでも、とっておくのもいいかもしれません。なんてこと無いシートや電気の支払い済み控えが、日付を確定させる決め手なんてことも、否定できない。なにしろ、彼らはどんな卑怯な手も平気で使うから。

君が今も戦っているという前提で書きます！負けないで！

.....

「1月30日（日）曜日「人は生き方を選べるんです。

それはわがままでもなんでもない。」

小さい君は必死にがんばった。

皆から認めてもらうためには、そうせざるえないからだ。

けれど君のまわりには間違った教育を子供のころからされた人々ばかりだった。

そのせいで、おかしさを訴えてもだれも相手にしてくれなかった。

そのうち、疑問に感じるのを辞めるようになった…

それでも、時々心に疑問が浮かび、自分を苦しめる。

そういうこと、あるのだろうか？

心配です。

こんな話を聞いた。

人間同じ事を繰り返しているとモチベーションが下がってしまうと。

何かしら自分の成長に繋がるなにかがないと、やっていられなくなる性質を持っているという。

だから、成長プランのようなものを用意して、頑張れば頑張るほど、権力が増す仕組みを作るのだそうだ。

これは商売のモチベーションを保つ理屈だ。

…でも、そちらの世界にはこれが応用されているように感じる。

通常、頑張れば何か特権がえられるのは、カルトの特徴だ。普通の宗教にはない。聖職者でもないかぎり。でも聖職者がいないから、そうなるのかもしれない。以前書きました。プロである聖職者のいない宗教は修行の過程で歯止めがきかなくなると。

こんな風にも思う。

君が求めていたものはそれじゃないでしょ？

君は心のつながりを求めていた。

ちがうのかな…

少しでも、人との心のふれあいに近づける成長ができるなら、続けられる。

そんな風を感じるのと違うだろうか？

人は生き方を選べるんです。

それはわがままでもなんでもない。

なぜなら、1度きりの君だけの人生だからです。

それで理由としては充分だと思う。

ある本にこんな事書かれていた。

“彼ら”の世界で出世するのは、表の世界で上手く出世できない人ばかりだ、と。つまり、そうした人らにとっては、そこが全てであり、それを失う恐怖に比べれば、「犯罪行為」も取るに足りないものと感じてしまうのかもしれない。

本来の宗教とは、こうした人間の愚行を正す目的があり、それが社会が求める宗教の社会的役割だ。

彼らの世界では、これが上手く機能していない。それだけ病んでいるという事なのかもしれない。

過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。

淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違はなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。僕は脱出をとにかく君に勧めます。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。

その中にいる限り、永久に答えは出せないから。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。

奇跡を信じて。負けないで！

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由。でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言葉のようによことだまどこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返せばいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？

その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちがいがなく“カルト集団”です。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです、手が出せば届くようなものではない強大なダイナミズムで動いている。日本とて例外ではない。

せまい世界のなかだけで完結しないという事だけは、間違いようのない事実です。

けっして単純ではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないの!？」と。

「理解を示す心の広さはどこへやったの?」と。

「真実に目を向ける勇氣はどこへいったの!？」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

わかるうとしないのは、個人個人の“質”の問題です。目の前しか見ていない。

そうした自分都合の連中に負けないで！

“厄介な人”多いと思うけど！負けないで欲しい。

君が戦い続けられるなら、僕も戦い続けられます。

これは人としての“質”がどうなのか?という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援します。君は自分で思っている以上に強い人です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。
う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、
それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。
「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃっ
たとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！
老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

無駄な努力も、決して無駄ではない。得られるものはたくさんあ
る。

君が“こすつからい”人に負けずに、心を買いますように…

.....
「1月31日(月)曜日「普通感覚の人なら…そんな事も思う。」

長年、人を疑う事しかなかった人は、そうそう簡単に「僕と君」の話を受け入れられないと思う。

それは不幸な事だ。
組織により長年間違った考えを植えつけられた結果だ。

今現在の彼らはこういう不幸な人を大量生産する体制をとっている。

それが、本来の病んだ人々を救う仏教の姿勢とかけ離れたものであることは、否定しがたい事実だ。

Fさん、やっぱり君はそこから脱出すべきです。
君がそういうの好きでないの僕は知っている。

たぶんだけど、相当我慢したでしょ？

小さい頃からそんな環境にいて、
でも周りに受け入れられなくて、

必死に頑張って…
時々疑問におもつのも表に出さず、

とにかく耐えた。
皆がこんなに勧めるのだから、いい事に違いないと思うことには

た。
でも時々頭をかすめる疑問にどうしようもない思いがおこる。いい

事であるはず無いからだ。

そんな繰り返しだったのだろうか？

こんな事も思う。

もし、君が仮に態度を明確化したら？

それまでこの話、半信半疑だった人らに信じてもらえる。

この話が真実をわかれば、普通の感覚の人なら…

そんな事も思う。期待しすぎかな…

過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。

淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違はなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。僕は脱出をとにかく君に勧めます。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。

その中にある限り、永久に答えは出せないから。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。

奇跡を信じて。負けないで！

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言葉ことだまのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返せばいい）
とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちがいになく“カルト集団”です。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援して
ます。

君は自分で思っている以上に強い人です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。
う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃっ
たとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「私をひとり立ちさせて！」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

.....

あと、もし弁護士を探しているなら？

やはりまず、女性の人権支援団体に相談するのがいいかもしれない。

それも弁護士を紹介してくれるような本格的な支援団体。

でも、それにこだわらず普通に探した方が早い事もあるので、こだわる必要もないかも。

もし弁護士も彼らだったら？

表の顔を崩す事は出来ないから、仕事はちゃんとしてくれるはずです。

.....

「2月1日（火）曜日「思想と体質は別物であり、その組織の体質は君の望むものとは相当かけ離れたものへとなっている。」」

今、エジプトの問題がニュースになっている...

「チュニジア」の政変がリビアを通り越して「エジプト」に波及した形だ。

正直、最初こうおもった。

「なんで「リビア」ではなにも起きないんだ？」と。

リビアと言えばあの有名な「カダフィー大佐」の国だ。

1969年青年将校を率いてクーデターをおこし、国王を退位さ

せた。

しかし、議会も民主主義も完備できてないリビアでは事実上の「個人独裁」になってしまう。

彼は「汎アラブ主義」をかけた、アラブの団結を唱えたエジプトのナセル大統領の思想を支持した。

（ ナセル大統領はその後暗殺されてしまう…、どうも、この「汎アラブ主義」は相当難しいらしい、いってみれば、アジアのどこかの盟主が「汎アジア主義で団結しよう」といつてもなかなかうまくいかないのに似ている。）

経済的には社会主義を選択。アメリカと対決する事になる。

特に「イスラエル問題」では譲る気がゼロで全面対決姿勢を示す。一般には「リビア」はテロ支援国家として制裁対象国として長年認知されてきた。だから、国内がどうなっているのかまったくわからない…情報が乏しいのだ。民主的なのか？独裁的なのか？実際のところどうなのか？がまったく入ってこない。

立場はまったく違うけど、同じように情報が入りにくい国に「サウジアラビア」がある。

TBSの「世界不思議発見」などでも。この国はなかなか取材許可がない…などと紹介される。

TVでみるサウジアラビア人はみな裕福な家庭ばかりで、一般人がどんな生活をしているかまったくわからない。

…だから、たぶん、普通感覚でいると、白いターバン（サウジの民族衣装）を着た人々「お金持ちたくさん」豊かな国、という印象のはずだ。でもそれは厳重な取材規制のなせる業で、実際は不明なことが多いのも事実です。

サウジアラビアのお金持ちと一般人の感覚のずれを象徴する事件

が湾岸戦争の時、おきている。
湾岸戦争…、そうちょうど僕らが一緒にいた頃の出来事だ。

この時、サウジアラビアは史上初めてアメリカが軍の戦闘機が着陸した。サウジの基地を湾岸戦争時利用する事を許可したのだ。このことにより、アメリカ軍は巨大な空軍力を損なうことなく使えておいに助かったと言う。

でも一般のサウジ国民は猛反発したらしい。

理由はさまざまだろうけど、一般には、イスラムの聖地のあるこの国にキリスト教徒の軍隊をいれるのはありえない！と。

（この話以前書いたかな？でもたぶん結論がちがうから続けます）

そこに1人の金持ちの息子がいて、彼も多くのサウジアラビア人同様憤慨し、アメリカに敵意を抱くようになる。

この出来事がなかったら、彼はここまで、アメリカを敵視しなかったかもしれない。

彼の名は「オサマ・ビン・ラディン」です。

その後つづく「911事件」や、「アフガン戦争」「イラク戦争」もすべてサウジへの米軍駐留が根幹になっている。

もし、時間をさかのぼって辞めさせる事ができたら、以降のこれらの出来事は起きない。

まあ、そんな事はできないので、人は今をどう生きるのかを必死に考えなければいけないのだと、そう思います。

そういう意味でも、過去を知り、学び、理解する事は大事です。

何が大切で、何が重要な事か？が見えてくる。

そして、「それ」が「なに」か知るといのは、たしかに重要な事なのです。

なぜなら、自らを本当に支えてくれているももが理解できているのと、できていないのでは、まったく違うからだと思う。

以前書きました、

過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。

淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

「リビア」の「カダフィー大佐」も途中から現実路線に切り替える。

もともと「リビア」には大量の石油があり、産油国なのだ、いくらでも豊かになれる。

これはあくまで、僕個人がいただくイメージのだが、アラブ・アフリカ社会はこんな感じなんでは？とイメージする。

唯我独尊のサウジアラビア支配層。

アラブ・アフリカのリーダー「ナセル大統領」の意思を継承するエジプト。

ものすごい欧米から嫌われたが、アラブ・アフリカ諸国ではかなりの影響力をもつ「リビア」の「カダフィー大佐」。

そしていろいろ問題は多いが、アフリカ最大の経済大国「南アフリカ共和国」。

この4軸が牽制しあっている今のアラブ・アフリカ社会が成り立っているように感じる。

∴世界は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもって動いている。

そして今もそうした渦の中で（ダイナミズムで）動いています。

手が出せば届くようなものではない強大な“何かで”動いている。そして“変る常識”“変る世界”というのは、現実に確かにあるのです。

今回のエジプト問題で懸念すべき最大の問題は「イスラエル問題」かもしれない…

もし、エジプト政変で反イスラエル政権でもできたら大変な事になる。

でもニュースなどみてる限りにおいてはそういう心配はあまりされていない様子だ。

むしろ、スエズ運河の航行に支障がたら経済に大ダメージだ！とか、エジプトは最大級の小麦輸入国だけど、小麦相場はどうなるんだ、とか、そっちの方にニュースは目をむいているみたい。

聞けば今回の暴動、インターネットが引き金とか…

それで「リビア」でおきなかったのか！と合点がいった。

その手の整備は「リビア」は進んでいない。

暴動のニュースを見るとときには、注意しないといけない点がある。見かけと実際が違う時だ。

日本の60年安保、70年安保は学生が中心だった。一般人の参

加はまれないケースにすぎない。

その後活動家はより過激になり、武装闘争へ走り、最終的に「あさま山荘事件」をおこす。

「あさま山荘事件」の後、内ゲバと称する身内への殺人やリンチが明るみになり、急速に彼らに対する支援の輪が崩れ、今日にいたるのが、現在の日本だ。もし、当時の活動家が、感情に身をまかせず、穏健な路線に転じていたら？状況はちがったかもしれない。

ここからわかる事は、エジプトの暴動も、鎮圧できるレベルのものなのかもしれないという事だ。

しかし、ここまで社会の不満がたまっていたとは、当のエジプト政府の人々も以外だったのかもしれない。

もし、エジプト政府が正常に機能する国家であるなら、今後社会不満を直す試みをするはずだ。

そういう意味でも、不満は言ったほうが言いのだと思う。

いわないと伝わらない事実があるのは確かです。

…でも君は察してほしいと願う人だった、難しいところです。とにかく、君に賭けます。

そしてもう一つ解る事がある。日本人はやはり暴力集団を受け入れないと言っただ。

どうも「あさま山荘事件」以前の日本の世相は、活動家にも利があるのでは？という世相だったらしい。みなどちらが正しいのか半信半疑で事の経過を見ていたらしい。しかし「あさま山荘事件」でつかまった犯人らの取調べの過程で、次々と殺人をも肯定する暴力集団の実体が明らかになる。しかも供述どおり殺した仲間の遺体も発見され、暴力的社会主義革命は日本において淘汰される存在になった。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違
いなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。

思想と体質は別物であり、その組織の体質は君の望むものとは相
当かけ離れたものへとなっている…

こんな事も感じる。

これは東京で見たこと。

3年観察したあの人は、周囲からも「すこし困った人」という評
価だった。これは精一杯控えめに書いてだ。

彼のご両親は多少手を焼いていたのが見受けられた…。
で、こう思う。

多くの人が、「代替わりが不安だ」と思ってるのところがうだろう
か？

長年の教えのせいで、モンスター予備軍を大量に組織内につくっ
てしまった。

どうしたものか？不安だ！と。

こうした人らが先頭にたつて多くの人を誘導しているのだろうか？

“彼ら”的行動とは、「熱気」にあてられて思わず興奮する集団
恍惚状態ほんごうじょうたいが作り出すものだと思う。

これが、お祭りとかスポーツならまだいいが、
犯罪行為しゅつたに集団恍惚しゅつたほんごうじょうたいするのは、間違っている。

…でも、恍惚状態ほんごうじょうたいにあると、理性的判断が出来なくなり、皆、別
人に変ってしまい、犯罪も肯定する人間にさせられてしまう。

こういう状態を一般に「トランス状態」と呼び、暗示を「ものす
ごく」受け入れやすい状態、と理解しないといけません。

一度暗示に「かかる」と、なかなかとれない。

君のまわりを見回してほしい、事実、普段はいたって「普通」な

のに、“彼ら”の悪意に関しては「正常な思考」が出来ない人、多いと思う。

それは、暗示にかかっているからだと思う。

…たぶん彼らの求める人材とは、人々の先頭に立つてこうした行為を誘導できる人材なのだろう。

君はこんな世界で必死に頑張ってきたのだろうか？

（かなりキツイ事書いてるけど。わかってほしい。これは君を想つてのことだ。遠慮していわないでいるのはよくない事だと、僕は君との想い出から学んだ）

たぶんだけど…

もしかしたら君は小さい頃からそんな大人たちに囲まれて暮らしていたのだろうか？

小さい君はがんばった。認めてもらうにはそれしかないからだ。耐えていれば、いつかだれかが間違いを正してくれると信じたのとちがうだろうか？

でもそのうち、疑問すら感じなくなるほど心が打ちのめされて、意味解らなくなつて…

それでも、心によぎる何かが、君の心をどうしようもなく動かし、悩ますなんてことあったのだろうか？

僕は脱出をとにかく君に勧めます。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。

その中にある限り、永久に答えは出せないから。

“彼ら”はこの世に「慎み深い人間」はいないと主張する。

そんな思想は仏教ではない。

俗人が聖者の微妙なニュアンスを正しく理解できないが故おこっ

た教えの歪みだ。

…でなければ、誰かが意図的にゆがめた事になる。
惑わされず、自分の想いを貫いて欲しい。

君が君であるために。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由。
でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がって
いると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言
われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞め
たい理由をもう理解している事になるわ、と言い返せばいい）
とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちががなく“カルト集団”です。

僕は18年前の君の謎の言動の真実を理解したい衝動をずっと持
っていた。

あの笑顔の意味を知りたくて努力した。

生まれつきの鈍感さはいいかわらずにただ、努力して得たものは、
確かに君の心に繋がったと感じた。

心のなかの“それ”を大事にして、追求するのは、人として正しい行為だと僕は感じる。

もし、君も同じような感覚を抱いてくれるなら嬉しいです。いつか、どう思うのか聞かせてください。

眞実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

君の名前の最初の1文字は「眞実を見て（知り）理解する者」と言う意味がある。

名づけた方の意思に反しようが、眞実を見極めてもいいと思う。なぜなら、その名前の字をこの世に送り出した人々は、名づけた人よりも遙か昔にいた人々で、過去存在した多くの人々の想いがその名の意味を支えている。君の名の1文字は歴史を重ねて作りあがっています。そして、その1字の意味の通り生きていいのだと思う。

君は価値ある人物です。僕に大切なものをくれた。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。
奇跡を信じて。負けないで！

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

「2月2日（水）曜日「その言葉を」発する」人の事を推し量る貴重な情報がたくさん詰まっている。」

Fさん！これは完全に余談かもしれないけど、こんな事思った。

ごく最近も“彼ら”とおぼしき人らの“ほのめかし”があった。

ああ、またいつものあれか…と思い、せつかくの情報収集の機会、ありがたく拝聴しようと思っていた。仮に普通の人だとしたら、まあ、デリカシーのかけらもない人間なのだろうという感じの話だ。

…まあそれはいい、いつもの事だ。

問題は、年代において言葉のニュアンスに変化があるのか？と感じた事。

そう、僕ら世代の人間にとって「オタク」とは最低人間を指す言

葉だ。

これをきいて違和感を抱くのはおそらく若い世代。

若い世代はどちらかと言うと「引きこもり」とか「ニート」の方を最低人間の意味で使う。

こないだ僕があつた“ほのめかし”はオタクと連呼していた。

もちろん、僕ではない第三者に対してつかっているのだが、部外者がいる空間で、そうそう下品に振舞うのも変な話で、そもそもそういう人なのか？彼らなのかのどちらかなのだろう…

ま、そんな事どうでもよく。要は「悪口」と言えども世代間格差つてあんだなーと思つたのが、なんだか面白かつたという事です。たぶんなんだけど、今の若い子に悪口の意味で「オタク」といつても、あまり効果はなく、むしろ「おじさんくさい」とか言われかねないのかな？なども感じた。どうなのかな？

まあ、はずれていてもまったく害のない単なる妄想です。

何が言いたいのか？

「悪口」にはその言葉を「発する」人の事を推し量る貴重な情報があたさん詰まってるという事です。いやだいやだと拒絶するよりも、時には冷静に聞いてみると「ああ、この人こういう人か…」と思えてくる。心の内面がわかると、交渉の上でも優位にたてることがある。悪口といえども、逆利用すればいいのです。

君に賭けます。

君は、小さい頃から、狭い選択支だけがある暮らしをしてきたの

と違つのだらうか？

人生で自分を通していい時期というのはあるんです。

がんばって！

負けないで。

応援しています。

くじけそうでも、

時々立ち止まって休んでいい。

けど、前を向き続けていてほしい。

一度暗示に「かかる」と、なかなかとれない。

君のまわりを見回してほしい、事実、普段はいたって「普通」なのよ、

“彼ら”の悪意に関しては「正常な思考」が出来ない人、多いと思う。

それは、暗示にかかっているからだ。

君にだけは、やめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのよつに…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がって

いると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しなさい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいけません。

世界は広大で広く、想像を絶するダイナミックな時間がからみあって作られている。

「視野が狭くて何が悪い」とか言う人が増え続けていくと、それが世界の不和の原因になってゆく。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

調べるとひとつの話に50とか90とか集中アクセスがきている。

これが意味する可能性？

君の何かしらの行動に対する反応？ならPCの方も動くはず、ケータイだけなのはおかしい。

他にこの現象を説明する方法は？

…多分だけど、どこかのケータイサイトにURLが転記され、何かしらの議論の材料にされた可能性だ。

なら、こつという動きは説明つく。

…悪口を言われているのか？はたまたその逆か？

(明記するけど、このアクセスが集中した話には、君との思い出よりも僕の語りメインの話が多い、だから、確実に君でなく、僕について、だと思う。あくまで仮説があつている前提でだけ)

これは君だけに伝えたい。

1度身をさらす覚悟が出来ていると書いた。だから、今更動じる事は無い。

ただ、これからも、堂々と、当たり前前の行動をし、当たり前前の事を、書き続けようと思った。

君は人前に自分をさらすのが苦手だった、心配しています。

こんな事、覚えているかな？

前、どこかで書いたと思うけど。

トランペット2人とトロンボーン2人の4人で大会のステージに上がった事があった。

トランペットの2人ははじけていたが、トロンボーンの僕と君は、人前が苦手で…、

お互い、実は本来的に、身をさらすのは苦手なのだと思う。
でも、意味があるならやる価値はある。

出来る事なら、悪口はやめてほしいけど、こういう事書くと刺激
されて書く人がいるのも、経験上している。もし、周りにそうい
う人がいたら、覚めた目で見てくれる人がいてくれたら嬉しいです。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。

願うならば、1人でも多くの方が君を支えてくれる事を、切にい
のります。

信心ではなく、「信念」を君に送ります…。

僕の信念は君から貰った物です。

それは、この世に気持ちを通じ合うという事は確かに存在すると
いう事実。

そして、それが故、話せばいつか必ず人と人は通じ合えるという
想いです。

18年前、君からもらったこの大切な想いが、今、僕の信念にな
っている。

君の中で、信心よりも「信念」が大事に思える日がくるだろうか…
そんなイメージ君に送りたい。

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決
して思わない人よ」と。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視
してきたんだから、

文句は言わせないわよ！」と、言って良いと思う。

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

今、箱根に中国人観光客がたくさん来ている…。

というニュースがやっていた。

前々からそんな話は聞いていた。

箱根はここから国道1号線ですぐだ、この辺まで来てくれれば、この辺も潤うのにとか勝手に思ったりもする。そうするためには何らかの誘引が必要で、なにかこの辺に中国人が好むようなもの無いだろうか？などと頭を巡る。Fさんは何か思いつく？

箱根の映像を見ていたら、大涌谷の映像がでてきた。

見ていて思う。「あーここ小学生の頃行った事があるなー」と。同時にこんな記憶も思い浮かぶ。

大涌谷の名物、温泉卵が匂いがきつくて食べられなかった事。そしてその事を学校でしゃべった事。その頃“彼ら”とおぼしきやつが僕の話す全てを「作り話」と決め付けて馬鹿にする変な態度を延々と繰り返す記憶。(これ、前書いたかな…)

当時はこういう露骨な行為に出るやつは、ごく少数だった。大涌谷は有名な場所だ。いくらそいつがウソ話だと言ったところで、他にも何人かは行った事があるやつがいるわけで、すぐに理論破たんする。本当の話をウソと決め付ける変なやつ…、とすぐにばれた。具体的には、僕ではない大涌谷体験者がそいつの言動を先生に訴えて、数人の前で問い詰めて、理論破たんしたので。

当時は「変ったやつ」と思った。

いや、事実変っていたのだと思う。

東京で3年観察したあの人も、子供時代はこんな感じだったのかもしれない…。暴力も振るわないし、クラスでも目立たないし、友達も少なく(僕よりも)、それでいて勉強も特にできるわけでもなく、リーダーシップも取れなくて、なぜそんな奇行をとる気になるのかまったく、わからなかった…。

これは昨日見たTVで聞いたんだけど、常に人に高い期待値をかけていて、裏切られると、ストレスになるらしい。

子供時代、人に暴力を振るうタイプの子供はこの手の子供が多いように感じた。期待どおり動けないグズにイライラするわけだ。この理屈は、物凄くよく判る。

でも、そいつは、人に高い期待など普段からかけてなく、というか、無視していた。今にして思うと、組織以外の人間は人外とでも思っていたのだろうか？

どういふ動機で、こいつがこいふ事をするの人間なのか長年引っかかっていたけど、今回“彼ら”の事に気づき、当てはめると、びびくりするほど。発言と行動が符合する。あいつもやっぱそうだったのかな…、当時あいつは自分の名前を横に平べったく書くほかには無い癖をもっていた。今でもあのままなのだろうか？“彼ら”は自分の欠点を反省しない？特に、病み度合いが高い人ほど。

…君は言ってたね、18年前、神社で2人きりのとき。

僕が自分のこいふ所、直す気は無いといったら、「えーっ」て。この誤解については以前書いたけど（あれは反省しないと意味ではなく、信念は貫くと言う意味で、自分を変えるないという意味ではない。当時は論点整理ができず、感じる感情を正確な言葉で伝える意識に欠けていた。うまく表現できていなかったからだ）。

…君は当時、病んだ人々に囲まれていて、そうした病んだ人らは自分を治そうなどとは考えてなくて、君はそんな周囲に幻滅していたのかもしれない、もし、そうなら、えーっというのもわかるけど、どうなのだろう。

今の僕の考え方や、経験則はたくさん書いた。

人は努力して前を向くべきだと何度も書いた。

18年前は伝えられなかったけど、今なら、自信をもって君に伝えられる。君は君らしく生きていいんです。我慢する必要はありません、わがままなんかではない。なぜなら、これはたった1度しかない君だけの人生だからだ。その事実を否定できる人間がこの世にいるだろうか？

「彼ら」的行動とは、「熱気」にあてられて思わず興奮する集団恍惚状態が作り出すものだと思う。

これが、お祭りとかスポーツならまだいいが、犯罪行為に集団恍惚するのは、間違っている。

…でも、恍惚状態があると、理性的判断が出来なくなり、皆、別人に変わってしまい、犯罪も肯定する人間にさせられてしまう。

こういう状態を一般に「トランス状態」と呼び、暗示を「ものすごく」受け入れやすい状態、と理解しないとけません。

一度暗示に「かかる」と、なかなかとれない。

君のまわりを見回してほしい、事実、普段はいたって「普通」なのに、「彼ら」の悪意に関しては「正常な思考」が出来ない人、多いと思う。

それは、暗示にかかっているからだと思う。

もちろんこれは推測を書いているに過ぎない。

その世界がそこまで「本当に」酷かったら、そつとう病んでいる事になる。

「病んだ人間を救う」のが本来の仏教であり、「病んだ人間を大量生産する」事はカルトの思考です。

そこは、どう屁理屈をこねても、覆せない、当たり前前の真実だと、「普通」の感覚の人間なら思うところですよ。

…Fさん、戦ってほしい。

君を責めたりはしない、そういう環境に問題があるだけだ。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援していただきます。

君は自分で思っている以上に強い人です。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言葉ことばのようにどこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がって

いると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返せばいい）
とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちがいなく“カルト集団”です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「わがままな組織」の「メンバーの多く」が、「わがまま」を「
言えない」この矛盾。単なる言葉遊びだと一蹴できる人、はたして
どのくらいいるのだろうか？Fさんはどう思う…？

.....
.....
.....
.....

「2月5日（土）曜日「ただし判断をするには、自分で考える事、
と心がけるのが大切だと思う。少なくとも、そう心がけると、「
そう」でないのでは、大違いだと、強く主張します。」

こんな風にも感じた。

“彼ら”の理屈はいつまでたっても、自分たちは世界の法則の上
に乗っかって動いており、僕が例外中の例外なのだと考える？

自分たちの間違いを微塵も受け入れることが出来ない人々…。

Fさん、いるのかな？こういう人、多いのだろうか？少ないのだ
ろうか？

皆病んでいる、自分が強力な暗示にかかっている事実すら、気

がつきはしない。

…例えば、今やっている「相撲界の八百長メール問題」の話。

あのニュースの根本のおかしさに気づく人は意外に少ないと思う。単に僕がニュースのヘビィウォッチャーだから気づくだけなのかもしれないけど。

あのメール、去年の野球賭博関係の押収品のケータイメールの削除メールを復元ソフトで復元し、見つかったわけだ。

ここまでは、なんの疑問も無い。

問題点は、なぜ？このメールの存在が公表されたかだ？

警察が発表したのか？ならいつもの通り「警察報道によりまずと…」と頭に入れたりすると思うが、今のところ聞いた記憶がない。

ニュースをみている限りの解釈では、

正体不明の何者かが、警察資料である「八百長メール」の存在を相撲協会とマスコミに知らせ、慌てた相撲協会が記者会見で対応している…という風に見える。

誰が、警察資料を（証拠押収した）本来の事件（＝野球賭博事件）の中では、このメールになんの証拠能力も無い）と関係ないのに公表したのか、この経緯がまったく伝わってこない。

なのに、たぶん、普通に聞いていると、多分だけど。

多くの人が、警察が記者会見でも開いて、公表したのだろうとか思うのだろう。

けど、それは個々人のかつてな思い込みすぎず、「消防所の方から来ました」と訪ねてきて消防署員と思ひ込ませるセールスマンのテクニクにころっとだまされる人と何も違いが無い。（法的にもこれは詐欺にならない、「消防所から来た」と言っていないから、よく聞かないで勝手に思い込んだほうが悪いという理屈だ。今回の

報道もニュースソースがぼやかされている、そして多くの視聴者は勝手に警察報道で公表されたのだと思い込んでいる？という可能性も、ある。）

過去にこれと似たケースに1つだけ心当たりがある。

たしか…自衛隊がらみの贈収賄事件のときだ。

とつぜん、意味無く、容疑者の会社の社内ビデオの内容が報道され、こんな社内教育をしている酷い会社なんです的報道をしたことが合った気がする。この時もニュースソースは語られず、「…(こんな事実が)明るみになりました」という解説のみで、具体的に誰が公表したもののか出なかった。そして特徴的なのが、各社一斉に同じものを流すのだ。

「反転」という本の中にこう、書かれていた。

「検察」は時にグレーゾーンに近い事件を扱う時、意図的に被告にとって不利となる資料や、イメージダウンに繋がるものを公表し、捜査を優位に進めようとする。という記述だ。世論が被告を「悪」だ、と思ってくれば、グレーゾーンの法律解釈でも、検察が強引に自分優位にできるといふ理屈だ。「司法」が「政治」しているわけで、あくどい手法です。近年は大阪地検の証拠偽造事件で、こうした体質もあかるみになったけど、以前は常識的に行われていたらしい。今も、何かしらの意図があるのだろうか？

例えば、相撲八百長事件で世間が騒いでいるあいだに、別の大きな事件を決着させようとか、別の大きな事件？いろいろありますね。「小沢事件」にからんだ、取調べ中の検察官の問題行動とか、いろいろ。

検察以外にも、明かせないニュースソースはあるかもしれない。もしかしたら、どうせどこかで公表されるなら、傷口を最小限に

しよう！というシナリオが組まれて、準備されたのかもしれない。
相撲協会の今回の動きはギクシャクしてなくてスムーズだ。

たぶん、多くの人はこう思うかもしれない。

そんな事気にする方がおかしい。と。

でもそれは「消防署の方からきました」という訪問者に対して「
消防署の人では無いんじゃないかな？」と疑問を持つこと自体がお
かしいと言っているのと、同じ理屈になる。

ただし判断をするには、自分で考えないといけない。

この当たり前の事を否定する人、そちらの世界にはどれほどいる
んのだろう。

Fさんは僕に同意してもらえますか、人は、自分で考え、行動し
ないといけない。もちもん能力的限界もあるから、助け合いは必要
しかし、依存しあつて雰囲気になれやすいだけの集団は、集団内
はここちいいだろうけど、意思決定は必ずしも適切なものができる
とはかぎらない。なかには犯罪をも肯定するとしてもない集団も発
生するかもしれない、皆がいいというなら、いいはずだという理屈
で。それが、自らと自らの仲間の心を貶める無価値なものであると
気がつきもしないで。

…それが証拠に、1人では一度へこむと立ち直れず、仲間の助力
がないと元にもどれない「打たれ弱い人」多いと思う。その事実事
態が、心の質を貶めている証拠の1つだと思う。

1人で自分の心を立て直す術をしらない大人は、当然ながら、子
供に1人で、ストレスに立ち向かう術を教える事もできない。なぜ
ならそもそも知らないからだ。集団がいないと立ち直る事1つでき
ない…。むかし、誰かが言いましたね、日本人は皆、幼稚化してし
まったと。それはそういう意味なのでしょうか？判りませんが、ど
うなのでしょう。

愛は教わると言うより、気づいたり、知ったりする傾向がある。誰かに教わったり、教育されるものではない。

これは“彼ら”ですら否定する事ができない事実だと思う。

“それ”に気づくためには、結局どんな人間も、自分で“それ”を見極める事をしなければいけない。

そういう意味でも、“ただし判断をするには、自分で考えないといけない”という事実、書き換えることの出来ない事実に感じています、あ、これは、僕の感想です。君はどう感じる？同じように思うのか、それとも君の考えがあるのか…、いつか、そんな話をする日がくるだろうか？あ、でも君はこの手の話しに言葉は使わない。理屈ではなく感覚で考え、感情で表現してくれる人だ。そういうところ、とっても素敵です。だからかな…、僕はとにかく、君の満面の笑みを見るためなら、惜しみない努力をいとわない。なんとかしてまたあの笑顔が見たいと、どうしても思ってしまうのだ…。

過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。

淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違はなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言葉ことばのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しはいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？

その答えは組織内には永久に出ない。

僕は脱出をとにかく君に勧めます。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。

その中にいる限り、永久に答えは出せないから。

世界は広大で広く、想像を絶するダイナミックな時間からみあって作られている。

「視野が狭くて何が悪い」とか言う人が増え続けていくと、それが世界の不和の原因になってゆく。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

本などを読むと、戦後のプロレスブームは物凄かったとある。力道山をはじめ、日本人レスラーが悪役を演じるアメリカ人レスラーを最終的にやつつけるからだ。

次々に反則技を繰り出すアメリカ人レスラーを、正義の日本人レスラーが反則を使わず倒す姿に、お年寄りから子供まで熱狂したそうだ。

今日、あのプロレスは八百長であり、シナリオのあるショーであった事が知られている。

アメリカ人悪役レスラーも、プロレスっぽいことができる素人ばかりで、本国で実績の無い人物ばかりだった。

日本人レスラーも元相撲取りで、プロレスっぽい事ができれば、それでOKだったらしい。

その事をはじめて本で読んだ時は、驚いたのだが、どーやらそれは2011年現在では秘密でもなんでもなく、歴史的事実になっているらしい。

相撲の八百長問題もいつか、このプロレスの八百長問題のように、そういう事もあったとされる日がくるのだろうか？というか、きたのだろうか？

こういう「触れてはいけない問題」が避けて通れない状況になった時、日本人はどうリアクションするのか？を観察するいい機会かもしれない。

案外、みな感情的にならず、静観している風に見える。決定的な「何か」が見えてくるまで、皆、態度を保留するという事なのだろうか？

以前書いたと思う。

日本人は、意外と「正義か否か？」よりも「渦中の人物の人柄」で物事を判断する。

この問題の判断基準となる「人」が見えてこないから、判断ができないということなのかもしれない。

今は「誰が悪役かわかんなくて、モヤモヤする…」という世相のような気がする。

Fさん、ここから先は、僕の感想以上のものではないのだけど、少し聞いてほしい。

…たぶん今までは「僕」が「悪役」を一手に引き受けていたが、皆の感情が一気に発せられる形になっていたのではないだろうか？少なくとも2009年秋以降、「悪役」は「僕」だった。（今でも、こいつが悪役なら、なにも問題ないのに、どーにかならんかと活動している人がいるのかもしれない。）

…たぶん、一時時は君自身も僕が悪役である前提で、行動せざる得なかつた事が、推測されます。（もし、気にしていたら、大丈夫です。まったく気にしていませんから）

こんな話を思い出す。

江戸時代、漫画の原型となる、絵物語がブームとなり、一般に広がった。

簡単な小冊子で、版画刷りのもの。

絵と物語で構成されている。

なかには「里見八犬伝」のような長大な物語も生まれたりした。

この江戸文化の中で、鉄板のストーリーパターンがあつたという。「悪玉」という手足のついた玉が人間にとりつき、その人間を悪者にしてしまうストーリーだ。

そして最終的に「善玉」という、同じように手足のついた玉があらわれて、悪玉を退治して、その人を救うと言う話。

このパターンが一番人気があつたとかで…、勸善懲悪の概念の生まれた背景にこうした歴史があるとか、聞いたことがある。

日本人は、正義か否か？よりも、人柄で決めるほうを好む性質が、江戸時代からあつたのかもしれない。

今は…どうなのだろう。

今でも僕は悪役なのだろうか？

ただ1つ言える確かな事は、「悪役」に対してなら、殺人を含めて何をしても許されるだなんて、それは“仏教”ではなく、“カルト”の思想であるという事です。

“仏教”には“不殺生”の概念はあつても、その逆はない。その辺の微妙なニュアンスの理解が難しいので、誤解や曲解が生まれるのだと思う。

自分で考え、答えを出さないといけない事は、宗教の世界にもあるのだと思う。

「そんな事は無い、考える必要はない」という人、いるだろ言うか？
そういう人にはこう、言ってあげてください。

「ごめんなさい、そういう所にカルトっぽさを感じてしまうの。」

“彼ら”的行動とは、「熱気」にあてられて思わず興奮する集団恍惚状態が作り出すものだと思う。

これが、お祭りとかスポーツならまだいいが、

犯罪行為に集団恍惚しゅうたんだんこうごうするのは、間違っている。

…でも、恍惚状態こうごうじょうたいにあると、理性的判断が出来なくなり、皆、別人に変わってしまい、犯罪も肯定する人間にさせられてしまう。

こういう状態を一般に「トランス状態」と呼び、暗示を「ものすごく」受け入れやすい状態、と理解しないといけません。

一度暗示に「かかる」と、なかなかとれない。

君のまわりを見回してほしい、事実、普段はいたって「普通」なのに、“彼ら”の悪意に関しては「正常な思考」が出来ない人、多いと思う。

それは、暗示にかかっているからだと思う。

もちろんこれは推測を書いているに過ぎない。

その世界がそこまで「本当に」酷かったら、そうとう病んでいる事になる。

「病んだ人間を救う」のが本来の仏教であり、「病んだ人間を大量生産する」事はカルトの思考です。

そこは、どう屁理屈をこねても、覆せない、当たり前前の真実だと、「普通」の感覚の人間なら思うところですよ。

…Fさん、戦ってほしい。

君を責めたりはしない、そういう環境に問題があるだけだ。

過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。

淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違はなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。僕は脱出をとにかく君に勧めます。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。

その中にいる限り、永久に答えは出せないから。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。
奇跡を信じて。負けないで！

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援します。

君は自分で思っている以上に強い人です。

“彼ら”はこの世に「慎み深い人間」はいないと主張する。

そんな思想は仏教ではない。

俗人が聖者の微妙なニュアンスを正しく理解できないが故おこった教えの歪みだ。

：でなければ、誰かが意図的にゆがめた事になる。

惑わされず、自分の想いを貫いて欲しい。

君が君であるために。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのようにどこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言い返せばいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？

その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちがいに“カルト集団”です。

愛を望んで、苦痛を与える、組織の実績。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

た。

ラッセン自信には問題ないのだろうが、彼の「絵」を売っている人々の「絵画商法」はあまりにも有名だ。

「絵」自体はそれなりにいい絵なだけに残念だ。

実は高校時代、この手の絵に興味があり、隣町で開かれた展覧会に1人で行った事がある。

今にして思えば展示即売会で、おもいつきし業者の罠にはまってる訳だが、幸いお金が無いので被害にはあわなかった。

絵そのものはきらいでない。単純化されたなかで、面白い表現が追及されていて、高級なポスターアートのように好きだ。当時ウン万円で売られていたそれら絵を、何年後かに東京で5000円とか3000円で中古シヨップで見たときはシヨックだった。ああ、物の価値を知らないという事はこういう事なのね、と思ったものだ。でも、僕はまだいい、これを買った人はもつと悲劇なわけで…。

Fさんは「絵画商法」って知ってるだろうか？

都内に小さな画廊をもつお店が、店頭でお客さんを引き込んで、絵をみせて、その気にさせて、実際の価値の何十倍、何百倍の値段で売りつける商法だ。

狙われるのは、ワンランク上の生活に切り替えようかと考えている生活スタイルの人で、絵画の1つも買ってみるかという余裕を抱いているような人物だと思う。

僕がニュースで見るときは、男性美容師が被害にあっていた。

この「絵画商法」のだしに使われるのが、ラッセンの絵だったり、似たように、安いわりに高そうに見える絵を描く作家の作品、が使われる。

つまり、絵自体は無価値ではない。
それなりにいいものだ。

しかし、業者はお客さんが「絵は高いもの」という思い込みを持つているのを利用して、相場以上の値段を設定してくる。

宗教にも似た側面がある。

実体を知らない人々に、その知識のなさを利用して、実際の価値以上のものであるかのごとく、教えを歪ませて吹き込むのだ。

「絵画商法」はいちど脈アリを感じたお客は、絶対に返さないと
いう。

6時間でも10時間でもねばって交渉するとか…

そちらの世界にも、そうして勧誘したり？する事あるのだろうか？

そういう場面では、きつぱりと毅然とした態度を相手に示さないと
いけない。

でないと、相手にいいようにされてしまうからだ。

「悪意ある人物」は平気でやさしい人間の心を踏みにじれる。

(もしかしたら、君も踏みにじる側に回った事あるのだろうか？…
だとしても、あきらめてはいけない。

人はやり直せるし、生き直せる。そうした行為をやめる事、今や
めているなら、これからも継続する事で、

それが過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がって
いるはずだ。

(もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言
われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？

なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言

返せばいい)

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内においては永久に出ない。)

そういえばこんな事も思い出す。

冒頭の、隣町まで絵を見に行った話。

翌日学校に登校すると、言われた。

「お前、展示会にいらしたろ」と。

それは、ホルンの彼だ。君が名指して注意するように言ったあいつ。

僕が何で知ってるの？と聞くと、見ていたという。

しかし、話が進むにつれ、知り合いが見ていた、と話が変わり、
どうもおかしかった事を思い出す。

過去にも、どこどこにいたろ？といわれる事が多かったが、その
時なんで声かけてくれなかったの？と質問すると、いや実は知り合
いが見ていた。その知り合いは何で僕のこと知ってるの？と質問し
ていくうちに、ごまかされる経験は1度や2度ではない。

生まれた頃からずっとこういう環境だったのだろう…。

なんだか、そう考えるとまったく怖くは無い。

これは、誇張でもなんでもなく、そう感じるのだ。

…だから、これからも戦い続けられる。

Fさん。

自分を大切にしてほしい。

自分たちの何が悪いのかが理解できない人々と戦ってほしい。

負けないで！応援しています。

そういう環境に問題があるのです。

小さい頃から耐えしのんできたと思う。

頑張れば、いつか、誰かが正してくれると信じたと思う。

必ず理解者があらわれると期待したのだと思う。

けど、あらわれず、失い、順応した？

なのに幸せになれない矛盾に苦しんだりしてないよね？

そうでなければいいのだけど、心配してしまいます。

君のそのやさしい性格を利用しようとする人間は少なくないと思

う…

自分の意見は言ってもいいんです。

僕はそう思います、できることなら、君にも、そう思っしてほしい。
なぜなら、君は大切な人だからだ。

“彼ら”はこの世に「慎み深い人間」はいないと主張する。

そんな思想は仏教ではない。

俗人が聖者の微妙なニュアンスを正しく理解できないが故おこつた教えの歪みだ。

…でなければ、誰かが意図的にゆがめた事になる。

惑わされず、自分の想いを貫いて欲しい。

君が君であるために。君に読んで欲しい本がある、

日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらっ機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。
三界に家を建てるには、君が必要です。
「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃっ
たとしても、
誰も責任取ってはくれないよ！
老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「決定権は私にあるの」
という続けられ、そういう空気を作れます。
頑張れ！！

追伸：今、家に1室空きがあります。1人増えても問題無しです。
焦ってる見たくみえていやなのですが、何が役に立つか判らない
ので、

書かないよりはいいかと思い、一応書きました。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

「2月8日（火）曜日「想いは溜め込むよりも、表現する方が、人として正しいあり方であると、強く主張します。」」

統一教会つて所の信者が、脱会者を連れ戻そうとして、やりすぎで逮捕されたらしい。

なんでも脱会した女性の父親の車の下に、GPS発信機をつけていたとか…

“彼ら”はああした物証を残さない、よほどのバカでないかぎり。でも気をつけるに越した事はないのかも。

そーいえば、やたらとケータイ番号を訪ねられます。

…ま、関係ないよね、きつと。

Fさんはどう思う？

みな「いやいや」やってるのかな？

“彼ら”の社会にいと、人として持つ“あたりまえの「感情」”を発露できない状況が生まれる。

感情が発露できないという状況が長年積み重なると、それは心への大きな負担となり、心の健全性が維持しにくくなる。

…もしかしたら、君の周りにも、感情表現がちぐはぐな人、いないだろうか？

心配です。想いは溜め込むよりも、表現する方が、人として正しいあり方であると、強く主張します。

どんなに表現が下手でもいい。

臆する事無く、気持ちはずつけた方が、溜め込むよりもいいと思う。

世界は広大で広く、想像を絶するダイナミックな時間がからみあって作られている。

「視野が狭くて何が悪い」とか言う人が増え続けていくと、それが世界の不和の原因になってゆく。

…君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言葉のよう^{ことだま}に…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

(もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返せばいい)

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？

その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちがいになく“カルト集団”です。

君を責めてはいない。

その事はわかってもらいたい。

君は何も悪くない。環境に問題がある。

教えの内容と、組織の体質は、必ずしも一致するものではない。

その組織の体質はあきらかに病んでいます。

病んだ人に囲まれていては、永久に答えはできません。

君の、その、心のなかの“なにか”の求める答えのことです。

納得できるまで、考えていいんです。

立ち止まりさえしなければ、どんなに遅い歩みでも問題ありません。

君が前を向き続けてくれる事を切に祈ります。
彩りを心に取り戻してほしい！！

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに親しくなろうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は一步手前まで来ていた。

先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。

今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまುತ್ತもりています。

“人を許せる時が、自分を高める時”

（日本テレビ系『行列のできる法律相談所』で有名な弁護士、菊地幸夫氏の言葉）

簡単でないが、目指しがいのある目標ですね。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違いです。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした人達」の）常套手段”です。

非常に悪質な人心掌握法じんしんしやうあくになります。

だから全てを背負い込んではいけません！ “彼ら”はそれを狙っています！！

そうやって君の心から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ！！だから注意して！

“彼ら”は君がなかなか、なびかないから。

じゃあ腹いせにこちらもずっと攻撃してやれ…と考えたのだろうか？

（そこまでくさってない？）

もし事実なら、この18年間、同じ苦難の一端を君と共有していた事になる。

それは僕にとっては（奇妙な事に）誇らしくも感じてしまう。

繋がっていたのだろうか？どうなのだろう。

だとしたら、2人の時間は断絶したわけではなく。

図らずも“彼ら”を通じてつながっていた事になる。

もしそうなら、切なくも、こそばゆい奇妙な想いになるけど…、
どうなんだろう。

あくまで仮説です。いつか疑問が解ける日を夢見ます

親切心を利用されないようにしないと、永久にいいように利用されてしまいます。

油断していると、本当にこの暗示にかかります。

相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのように“錯覚”させるプロです。

気をつけて！そうやって“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

でも繋がりや、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

…それから

こういう状況の時、心の病にかかり、薬にたよるなんてケースもあるかもしれない。

もし、仮にそういう状況なら？薬は可能な限り、控えた方がいいです。医者が処方したとしてもです。

あれは、体が慣れてしまうと効かなくなる。

医者は効かなくなれば薬の量を増やすだけ、その方が儲かるし…

まあ、そこまで悪意がないにしても、事実日本にはカウンセリグのできる専門家が少なく、医者は薬に頼る傾向がある。だから、その辺の事情も考えて対応しないと、治るものもなおらない。どうしても、やむ得ない時飲むのが向精神薬だ。

君がそうした状況でなければうれしい…

でも可能性の1つとして、一応書きました。

もし外れていても、心配してくれているんだ、と思ってもらえたら嬉しいです。

自分を無価値な人間と思いきませるのは、“彼ら”の常套手段です。

そう思い込ませられて、心を削られる人の話を少なからずききま

す。
気をつけて！！

ちなみに僕はこの手の治療にかかった事は無い。

たぶん、創作活動そのものが自己カウンセリングになってるから
だと思っ。

自分と向き合いつづける姿勢が大事です。

基本的にはカウンセリングで回復するのが一番なのだから。

君は君の心を信じて良いのだと思う。君に読んで欲しい本がある、
日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。
う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思っけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いないがある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

誰かの痛くも無い腹を探り続けることが人生修行になると信じ込んでいる人々に言っておあげてください。それこそ、人生の大切な時間の無駄使いなのだ。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
「2月10日（木）曜日「僕は君との会話から、君が本質的にそういう人でないのを知っている。」」

過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。

淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違はなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。僕は脱出をと

にかく君に勧めます。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。

その中にいる限り、永久に答えは出せないから。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。

奇跡を信じて。負けないで！

世の中には、残念なことに他人をイライラさせる事に快感を見出す「残念な人」がいるのは事実だ。

…でも、僕は君との会話から、君が本質的にそういう人でないのを知っている。

「残念な人」がそうした生き方を選択するのも自由、その人の生き方だ、

でも、君が無理やりそれに付き合わされるのは、どう考えても間違っている。

今、元気にしてますか？

君が自分らしくいられる状態ならうれしい。

君はどこへでもいけるし、したいことが出来る。

同時に、嫌な事は拒否することも可能だ。

自分が自分らしくいれればいいのだと考えれば、自然に振舞えます。

君が、自分自身の色を取り戻すことを、切に祈ります。

油断してはいけません、“彼ら”は諦めない。

…いや、具体的には“彼ら”のなかのどうしようもない人は悪魔的に諦めない。

いつもでも諦めず、人々を扇動しようと虎視眈々狙っている。

でも、固い決意で、堂々と自分の主張を貫けば大丈夫です。

“彼ら”のテクニクの基本は、心の弱い部分を揺さぶって、相手を動揺させ、主導権を握る事にある。

非常に姑息な手段だ。

もしくじけそうになっても、思い返してほしい。

この世に、たった1人、どんな事があるうとも決して裏切らない人間がいることを。

だめかな…そういうの。

もし、だけど、いろいろな何かが整理ついて、君が心の整理もついた先の事。

機会があつたら、僕を探しに来てくれませんか？ちよつと探せばすぐ見つかります。たぶん。

いつの日か、全てがかたがついた時、僕を探してほしい…。そんなささやかな願い、抱いてもいいだろうか？

夢と願いを君に。

最近静かです、でも油断できない。

東京で3年観察した人の人格を基本と考えると、この程度で考えを変えたりする人ではない、どこまでもネチネチと付けねらう。

世の中はバイアスで動いていると何度も書いた。だから、いつ風向きが元に戻るかわからない。

また、東京で経験したありえない総攻撃に備えておく心積もりではないと。

…こんな事書くと君は不思議がるかな？

以前の僕なら、ここで弱音のオンパレードだった。

少しはタフさを身に付けられたと、思いたいところです。
君はどう感じますか？

以前こんな話を聞いたことある。

幕末の話。

小松帯刀（だったかな？）をわざと怒らせようと居眠りをした西郷隆盛。

しかし、小松帯刀の方は、「西郷殿はおつかれのようだ」と枕を準備させたとか…

その様子に感銘した西郷は小松帯刀を信頼するようになったとか…

“彼ら”の価値観では、こういうエピソードは「うそ」と解釈するのだろう。

人は本質的に邪悪で、このような懐の深さは欺瞞だと考える。

そんな世界で、君が1人で戦う様子は、なんだか応援したくなる。

負けないでほしい。頑張ってほしい。

どんな状況でも、けっして裏切らない男が1人いることを思い出してください。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。

生き方は人の自由だ。でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言葉ことばのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言

われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返せばいい）
とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちがいになく“カルト集団”です。

僕は18年前の君の謎の言動の真実を理解したい衝動をずっと持っていた。

あの笑顔の意味を知りたくて努力した。

生まれつきの鈍感さはいいかかわらずだけど、努力して得たものは、確かに君の心に繋がったと感じた。

心のなかの“それ”を大事にして、追求するのは、人として正しい行為だと僕は感じる。

もし、君も同じような感覚を抱いてくれるなら嬉しいです。

いつか、どう思うのか聞かせてください。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

君の名前の最初の1文字は「真実を見て（知り）理解する者」と言う意味がある。

名づけた方の意思に反しようが、真実を見極めてもいいと思う。

なぜなら、その名前の字をこの世に送り出した人々は、名づけた人よりも遙か昔にいた人々で、過去存在した多くの人々の想いがその名の意味を支えている。君の名の1文字は歴史を重ねて作りあがっています。そして、その1字の意味の通り生きていいのだと思う。

君は価値ある人物です。僕に大切なものをくれた。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらおう機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃっ
たとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

“情熱”を失わせるのが、彼らのオハコだ！気を付けて！

- - -
- - -
- - -
〔2月11日（金）曜日「心は君と共にある。」〕

君の心がくすんでいれば、未来はくすんだままだし、

君の心が晴れやかならば、未来派晴れやかかもしれない。

無理をせず、自然に、在り様を受け入れれば、自分が何者か見え
てくる…。

心は君と共にある。むりせず、心の声を受け入れれば、自分の大
切な何かが見えてくると思う。

納得できた時、心は色鮮やかになるのかもしれない。

心を、解きほぐしてほしい。

今は、休息が必要なかもしれない。

時間をかけて、君の望む“何か”に気づいてほしい。

…実は君に読んで欲しい本があります。

日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。
「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

君は小さく子供だった。

周りに受け入れられようと一生懸命だっただけの事だ。
その結果、君はいろいろしてしまったかもしれない。
でも、それは君の優しさが利用された結果に過ぎない。
君は、なにも悪くない。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由。
でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言葉ことだまのようにどこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がって
いると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言
われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞め
たい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返せばいい）
とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちがいなく“カルト集団”です。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

君が気づいたそれは、きっと、君に本当の心の強さをもたらすと
思う。

負けないでほしい。

頑張れ！！

〔2月11日（金）曜日 その2〕

実は今日、TVでやる「沈まぬ太陽」という映画が見たくて、午
後7時ごろ今日の分をアップした。

4時間の大作で、DVDを借りるのも気が引けていた、もし、こ
こで見なかったら一生見ないかもしれない、思い切って見てみよう
と意気込んでいたのだ。

内容は、信念を貫いた男の話だ、けっしてカッコよくは無い、で
も、軽くは無い、重いものがる大人の映画だ、その辺のお気楽作品
とはちがう…、こういう映画は時間がたってからじわりじわりと
味がわかるもので、今すぐ感想をここで書くのはどうかかなと感じる
作品だった。

4時間たち、見終わってPCをつけた。

すると、7時に上げたはずの今日の記述がない、どうやら、操作
をミスって完全に載せきる前にPCを切ってしまったようだ…、で、
すぐに書き直しました。すこし遅れたけど（今、土曜の0時10分）
、ちゃんと書いてますので、安心してください。

いづれまた、会う日を信じて。

う。

休んでいる間に、今、自分には何種類の困難がのしかかっているのか把握できれば、できた瞬間心がかかるくなる。

困難の種類も数も把握できない状態が、長く続くと、心をすり減らしてしまいます。

…君は僕より要領も頭もいい、言われなくても出来る事かもしれない、でも、心配している事だけは、伝えたい。そう感じた。

“彼ら”は上記のような弱点がどこにあるか常にさがしている。だから、僕や君のように、追い込まれたときの方がモチベーションが上がるタイプの人間は苦手なはずだ。

あせらず、着実に、切り抜けてほしい。

急いで結果を出そうとすると、ミスをしたりする。

特に、何か些細なミスをリカバーしようと思えば、必要以上にエネルギーを消耗する。

“彼ら”は心の熱量^{エネルギー}を消費させて、君のモチベーションを下げる事を考えるかもしれない。

でも、こうも思う。

僕と、君は、物凄い頑固だ。お互いここまで頑固な人間に会った事ない、そう思うでしょ？

根競べでは、お互い一步もゆずらない。果てしない持久戦に突入する。

そう、持久戦では僕と君の得意な局面になる。

負けはしない、だから、あせらず、じっくり構えていればいい、

そう思ったりもする。

…実際のところ、今、どうなのかな？この予測が外れていて、君がもつとしあわせなら、そのほうがうれしいです。

（予測といっても外れる可能性98%の可能性の1つの提示にすぎないのだけど）

ポイントは1つです。

逃げ切る事は不可能、立ち向かうしか道は無い。という事です。

世の中はバイアスが支配している、その事実を変えがたい。

その確信があったから、いままで戦ってこられた。大丈夫、君はいままで必要以上に怖がっていただけだ。安心してください。

…ただ、こんな事も思う。

あるHPがある、そのHPの趣旨は、“彼ら”の例のあの行動の被害者が窮状を訴えるものだ。

よほど辛いのか？HPのレイアウトが黒い背景に赤文字のおどろおどろしいものになっていて、非常にうさんくさい印象。

戦うにしても、あれではだれも味方にならないと思う。

同じような現象をイチゴ狩園の話で聞いたことがある。

ラジオで聞いた話だけど、そのイチゴ狩園では、ベニア板に黒文字で「ルール厳守」の文字が、美観を損ねるレベルで大量にイチゴ畑につるされていて、来園者をへきへきさせるというのだ。

イチゴ狩園の持ち主はルールを守らない来園者に相当怒っているのだろうが、これでは近い将来、来園者が減りかねない。

戦うにしても、やり方がある。

僕が、可能な限り“普通に”振舞っているのもそのためです。普通が一番です。

難しいかもしれないけど、それは真実だと思う。

何が言いたいのか？

時には落ち込んでもいいけど、気楽さも大切ですよって事です。

「Kくんは、そうかもしれないけど」とか思うのだろうか？

Fさんは、Fさんなりの“何か”を追求すれば、いいのだと思う。君が君らしくいることが何よりも大切なのだから。

そういう意味でも“気楽さ”とは自分らしくいるためのキーワードです、というイメージ、君に送ります。

何かの役に立てば嬉しいです。頑張つてほしい、負けないで！

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違つてるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言葉のよことだまうに……どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しはいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいけません。

そこは、まちががなく“カルト集団”です。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。

無防備すぎると、損な役回りを押し付けられる。気をつけて。

無防備にならず、かといって気楽さも失わない……、そんな目標、

目指しがいがあります。

Fさんはどう思う？

Fさん！負けないで！応援しています。

君は自分で思っている以上に強い人です、君に読んで欲しい本が

あります。

日蓮の現存する正筆御書というものを、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしい事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

君は何も悪くない、僕がその事実を保障します。

勇気を君に。

.....
「2月13日(日)曜日」もう1度同じ事が出来ないという事はな
いと思う。」

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由。

でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのようにどこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がって
いると思う。

(もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言
われたら？

ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由
をもう理解している事になるわ、と言いつ返しはいい)

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？

その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいきません。そこは、まちががなく“カ
ルト集団”です。

「「彼ら」の理屈」は孤独と向き合う「勇氣」を持たない様に仕
向ける？あるいは本来あるのに「もたせない」ようにしているよう
に思う。

構成員が“自分で考えない”方が組織の駒としては都合がいいか

らだ。

もし、組織の言うとおりにして幸せになれなければ「信心が足りない」と言えば済んでしまう…

なぜなら、自分で考え、孤独と向き合う能力を封じられた人々は、その言葉により活路を切り開く自らの力を封じられてしまうからだ。

自分の心を取り戻してほしい。

勇気を君に。

負けないでほしい。

立ち向かってほしい。

ダメかな…、それでも、いいようにされないように、自分を大切にしてほしい。

人のために犠牲になるのではなく、君自身の何かを大切にしてほしい。

でないと、永久に、答えに向かう事ができない。

君が、君だけの何かに到達できる事を信じます。

心のなかの“それ”を大事にして、追求するのは、人として正しい行為だと僕は感じます。

とても大切なことです。

もし、君も同じような感覚を抱いてくれるなら嬉しいです。

いつか、どう思うのか聞かせてください。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

君の名前の最初の1文字は「真実を見て（知り）理解する者」と言う意味がある。

名づけた方の意思に反しようが、真実を見極めてもいいと思う。なぜなら、その名前の字をこの世に送り出した人々は、名づけた人よりも遙か昔にいた人々で、過去存在した多くの人々の想いがその名の意味を支えている。君の名の1文字は歴史を重ねて作りあげています。そして、その1字の意味の通り生きていいのだと思う。

君は価値ある人物です。僕に大切なものをくれた。

僕は17年かけてようやくあの時の君の気持ちに追いついた。

君は思いかもしれない、今の自分の心を理解できるはずがないと。

…そうかもしれない。

でも過去に1度、17年かけて君の気持ちを理解できた経緯がある。

もう1度同じ事が出来ないという事は、ないと思う。

何年かかけて、今の君の心に追いつけるかもしれない。

君は信じるだろうか？

いつか、機会が訪れた時、君の答えが聞けたら、最高に嬉しいです。

君は昔よく言った。

「ふふ、じゃあ、夢が叶ったね」と。

愛らしい笑顔で、探るような目で僕の顔を覗き込んだ。心が触れるのを感じた。

同じ事が起こるのか？奇跡に賭けてみようと思う。

君の勇気を信じて。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

先の事はわからない。でもできる事は全部やらないと、後々後悔する。

だから、続けようと思う。君が頑張り続けられるなら、僕もまた同じです。

時間が止まったままなのか？それとも進む機会が得られるのか？
…こういう時、僕はいつもこう考えます。

「楽しみは、先に残してあるんだ」と。
再会を願って。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔2月14日（月）曜日〕僕は本来おしゃべりでない。

けど、君という存在は、そんな僕を変える力を持っている。」「

なぜに僕に君が必要か？

たぶん君はそんな疑問を何度か持ったと思う。

外したかな？…まあ、どうなのか、いつか教えてほしい。

なぜに君が必要か？

僕はこの小説内で何度か書いています。

表現されない人間はいないに等しい、と。

ただ生きているだけでは、真に生きているとは言いがたいのです。

君という存在は、僕が僕自身を表現するのに、必要不可欠な存在
だったりします。

それが証拠に、この小説。ほぼ毎日ペースでかけている。

以前の僕は毎日自分の思いを書くというのができなかった。

しかし、君という存在があれば、毎日でも出来る。

君宛に伝えたい事なら、毎日ペースで湧いて出て来るのです。

新しい世界の扉にむけて、メッセージを書くのはまったく苦にな
らない。だから書けるのかな？どうなのだろう。今も昔も、君とい

う存在は僕にとって「新しい世界への扉」なのかもしれない。君の笑顔を見るためなら、どんな努力も苦にならない、自然にそう思えてしまう。

他の人が聞いたらどう思うか知らない、でも、僕の性格をしる君なら、僕が本気でこれを言っているのが理解できるかもしれない。どう。思いますか？いつか聞かせてください。

18年前、2人で歩いていたら、僕はともかく喋りつづけた。僕は本来おしゃべりでない。

けど、君という存在は、そんな僕を変える力を持っている。そういう意味でも、君は僕にとって「新しい世界への扉」を示してくれる存在なのだと思う。

いや、断定はよくないな、でもそんなイメージもあわせもつ憧れの人、というのは否定できない事実かもしれない。

…奇跡的に再会したとき、君がどう行動するのか？

君は気持ちを実行で表現する人だ。

そして、僕の知るFさんは、僕が真実に気づいたという事実をけつして軽く扱えない人だった。

今はなにか、都合が悪いだけだ、何かしら都合がついたら、彼女な行動を起こす。

そう信じる事に決めました。だから、待ちます。

18年前君から教わった。人が心を開いた時、人はどういう表情をするのか。

あの笑顔は僕にあたらしい可能性を導き出した、人は通じ合えるという可能性だ。

その事実はとても重く、大切な事です。

君に読んで欲しい本があります。

日蓮の現存する正筆御書というのを、一度見てください。
(実際にそうしろと言っている訳ではない、これは視野を広く持つてほしいという意味だ)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ!

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで!

過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違はなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。

僕は脱出をとにかく君に勧めます。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいです。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのようにどこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

(もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返せばいい)

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内においては永久に出ない。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。

その中にある限り、永久に答えは出せないから。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちがいになく“カルト集団”です。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。

奇跡を信じて。負けないで！

これだけはハッキリしている。
君は、何も悪くない。これは誰が何と言おうと変わりありません。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔2月15日（火）曜日〕そうありたいと願う事は、大事なような
気がする。〕

もう1度言います。

これだけはハッキリしている。

君は、何も悪くない。これは誰が何と言おうと変わりありません。

知らないものに好奇心を広げる自由。

あるはずです、制限されるのはおかしい。

視野を狭くしてどうする気なのでしょう？

得とか損とかじゃなく。

あたたかく、おだやかに、それでいいと思う。惑わされず、自然
に。

Fさんの優しさと勇氣にに賭けてみようと思います、いいかな？
それで。

いつか答えを教えてください。タイミングの合ったときにも…

“彼ら”は人間は邪悪だと考える。

これは、つまるところ、自分たちが間違っている行いをしている？
という事実を暗に認めた結果かもしれない。

人間が邪悪では「ない」としてしまつと、自らの行いを受け入れられなくなるのだ。

でも僕は、これを「へ理屈」と考える。

なぜなら、人が生きる上で大切な要素が完全に抜け落ちているからだ。

正か否かのみで、人は生きているのではない。

(この事実を否定できるだろうか?)

そもそもこの考えには「人」の「主体性」の概念がない(欠落)からだ。

最小単位の人間1人にも、必ず「主体性」はある。

誰が言ったか忘れたけど、こんな言葉聞いた事ある。

「人は誰しも、心の中に神がやどる」と。

これは「自分の中の主体性」を「意識せよ」というイメージを、「中世の価値観」で「表現」したものかもしれない。

むずかしい?

でも、こういうイメージ曰くから意識するのと、しないのとは、また大きく違うと思う。

案外カルトの洗脳とは、この誰しもの心に宿るかもしれない神のイメージを、歪めてしまうことかもしれない。自分の主体性(=神)が歪められた事実は、なかなかどうして受け入れるのは難しい。

時々過去のいやな記憶に囚われて、しばらく思考停止することあるだろうか?

受け入れがたい記憶。自分がどうしようもなく思えてしまつ記憶?

こんなことしてしまった、あんなこともしてしまった、と思う事あるのだろうか?

とにかく今は1歩踏み出してから、考えればいいと思う。
一度にたくさん同時に解決しようとする、上手くないかな。
まずは1歩で大丈夫です。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいです。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのように……どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

(もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？)

ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、

と言い返せばいい)

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいきけません。

そこは、まちががなく“カルト集団”です。

へこたれてはいけません。

失敗しても、何度でも、何度でも、何度でも！やればいい。

意思の強さを見せ付け続けければ、今まで君の存在を軽んじていた人々に、

君の価値を認識させる事が出来るかもしれない。
バランス感覚をわすれず、意思を貫き通せば大丈夫です。

“彼ら”はルールのルールを破れない。必要以上に怖がってはいけません。

自分の未来を信じてほしい。

諦めずに、何度でも、何度でも、何度でも！

自分を信じてもいいんです。

(もし、どうしても主体性が抱けない！と感じてしまったら？その「自分は主体性が抱けない」という事実を認識した自分という存在を、自分の主体だと意識すればいい。空っぽでも、その事自体を認識で来ている自分は確かに自分の主体なのだから。自分への過剰な期待が、自分の主体性の構築を邪魔している時もある。昔の人は言いました、身の丈を考えると。案外、こういう意味かもしれない。自分を見つめて、向かい合う勇氣、仮になくとも、そうありたいと願う事は、大事なような気がする。出来なくとも思い続けると、それは自分の主体性になると思う、どうかな？だめかな？Fさんはどう思う？)

初めて経験する複雑な心境が待っていると思う。

いろいろな思いが交錯すると思う。

感情があふれてぐちゃぐちゃになっても、逃げてはいけない時がある。

時間が必要？

そうかもしれない。

でも、前には進めるでしょ？

もし、そんな状態になった時は、思考停止寸前までいっても、君

なら立ちなおせると信じます。

Fさんは強い女の子です。

大丈夫です。

君は何も悪くない。

僕が証明してみせます。

…世界は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもって動いてきました。

そして今もそうした渦の中で（ダイナミズムで）動いています。

手が出せば届くようなものではない強大な“何かで”動いている。そして“変る常識”“変る世界”というのは、現実に確かにあるのです。

けっして単純ではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないの!？」と。

「理解を示す心の広さはどこへやったの?」と。

「真実に目を向ける勇氣はどこへいったの!??」と。

「組織の放つ理想だけでは、世の中は良くなるらない」と。

これは人としての“質”がどうなのか?という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援して
ます。

君は自分で思っている以上に強い人です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。
う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃっ
たとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかに言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

くじけたら（くじけそうでも）、また立ち上がる（立ち上がればいい）だけです。

頑張れ！

〔2月15日（火）曜日 その2〕

…暗い話ばかりもよくない、なにか雑学の1つも書こう。

昔どこかの局のドラマに「聖者の行進」ってあったけど、あれはもともとはアメリカのジャズナンバーの邦題からとったタイトルだ。

正しくは「When The Saints Go March in· In」というタイトルで、日本では「聖者の行進」もしくは「聖者が街にやってくる」という邦題で有名だ。

（この手の話題は君の方が得意かもしれない…、音楽では君のが上級者だ）

この曲、僕は好きです。なんだか気分が晴れやかになる。

で、すこし調べてみた。

何でももともとは黒人霊歌で、お葬式の悲しいメドレーを演奏した後、晴れやかなこの曲で最後をしめたらしい。悲しむばかりではいけないという事だろうか？なんだかそんな歴史を知るとますます愛着を感じます。YouTubeでさがすといろいろ出て来て聴き比べが楽しめます。自分好みの「聖者の行進」を探すのもアリです。

時に気分転換でもしたいとき、思い出してもらえたら嬉しいです。

.....
「2月16日(水)曜日」「そんなことないよ」と、君は言うだろうか。」

西原理恵子？原作の毎日かあさんという漫画が実写映画化されるみたいですよ。

(…最近よく宣伝がされてるからFさんも見たかもしれない。)
映画の宣伝で登場人物が紹介されているけど、

その登場人物の1人である、アル中の元戦場カメラマンの夫というのを見ていると？

変な想像をしてしまう。

“彼ら”の中にもカルトに中毒になっている人らがいるのだろうか？

アル中が酒を飲んでいないと、心身ともにおかしくなるのとおなじで、

カルト中毒も、いけないと知りつつ、やらないとおかしくなってしまう？

そんな事、あるのだろうか？

僕は酒を飲まないし、カルトも信じないから解らない…

けどアル中は飲めば飲むほど心を蝕んでいくと聞く。

カルト中毒の場合は？どうなのだろう。

酒は飲んでも飲まれるなど、昔から言われている。

加減をしないと身を滅ぼすと言う意味だと思う。

カルト中毒はどうなのだろう？

話に聞くと、1度アル中になると、壊した肝臓は元にはもどらないらしい。

しかし、放置すると肝臓ガンになってしまうので、やはり治療は必要だ。

治療の要は断酒。飲まなければ、これ以上悪くならないというわけだ。

でも1度アルコール中毒にかかった人間が断酒するのは本当に大変と聞く。

なぜなら、酒は日常生活のどこにでもあるからだ。

ちよつと外出すれば、どこでも手に入る…。

カルトの場合はどうだろう？

一度集団から離れた場合、やはりそれでも日々接する機会があるのか？ないのか？

こればかりは経験が無いのでわからない。

でも、離脱者のもとに頻繁に再勧誘の人間が足しげく訪れるという話はよく聞く。

それは、まるで、「断酒中の人間」に、「毎回」酒を持っていく行為に等しい。

カルトの真髄は、人々をカルト中毒に染めて、2度と正気にならないように、常に中毒であり続けるよう助長する事にあるように感じる。だからかな？毎日いろいろ拌めというのは…

中毒は、絶つことができます。

その意思さえあれば。

負けないでほしい。

きっと大丈夫だから！

僕は賭けをしています。答えは君だけが知っている。
奇跡に賭けます。君を信じているから。

こんな可能性もある。

これは当たっているか自信は無い。

可能性の問題。仮説にすぎない。

それでも書きます、意図は君を心配しているからです。あらゆる可能性に備えて記述します。

(もし外れていたら、心配してくれているんだ。と思ってもらえたら嬉しいです)

もし、過去、君が「彼らの例のあの行動」に参加していた時、嫌だなーと感じながらやっていたとすると？その時君の周囲にいた人は、おそらく君の事を、怖い人、という印象で見られるかもしれない。心を閉ざした時の君が、周囲に放つプレッシャーはかなり迫力があるからだ。

過去の経験でこの君のプレッシャーは何度も経験した、お互い絶対に譲らなかつた。懐かしい記憶です。こわかったけど、僕は正論を言い続けた。君は折れなかつた…。

いつからだろう？いつのまにか雪解けした。僕らが神社であつようになる前の記憶、2年くらいの頃の記憶です…

もし、彼らの行動をしていた際の仲間が、君に対して怖い人という印象を持っていたとするなら？

君はいやいややっていた事になる…。

それでもない？

人間の心は複雑だ。僕の知らないFさんもいるだろう…
もしかしたら中毒に屈してしまっていたかもしれない、わからないけど。

それでも、僕は君がやさしくて強い人である事を知っている（確信している）。

僕は君の心に触れた、なんとも表現できない愛らしさと誠実さを
持っている。

（重ねて言うけど、その事に関しては確信している）

「そんなことないよ」

と、君は言うだろうか？

もし、そう思うなら？こう考えてください。

君が気がついていない君の姿に（＝可能性に）気がついた人間が
いる。

という事なのだ。

頑張つて、負けないでほしい。

君は自分で思っている以上に強い。

「決定権は私にあるの！」

…と言いつつ続ければ、そういう空気を作れます。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由
でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がって
いると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言

われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返せばいい（とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、殺人をも肯定する犯罪集団であり“カルト集団”です。

…実は君に読んで欲しい本があります。

日蓮の現存する正筆御書というものを、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

小さな君は頑張った。

認められようと努力した。

つらくとも、いつか報われると信じた。

なのに、だれも理解してくれない。

信じていたのに報われない。

どう表現したらいいのかわからない思いに、時々どっしりよづもなくなる？

そんな事あるのだろうか？

できる事なら、君が楽しい人生を歩いていたと信じたい。
でも可能性があるなら、僕に出来る事は1つだ。

東京で“彼ら”の無限の殺意に襲われた時、君との思い出が僕を救った。

今度は僕の番でいいのだろうか？いつか、教えてほしい。

…君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

大多数の声なき声が、君を支持しているはずです。

なぜなら、どう考えても、君は悪くないからだ。

頑張れ！

人を（社会を）惑わす（破滅へ導く）人々を蹴散らして！

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

第37話 君は何もわるくない4（未来へと続く話23）（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第38話 大切な“なにか”があるなら…（未来へと続く話24）（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第38話 大切な“なにか”があるなら…（未来へと続く話24）

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

〔2月17日（木）曜日「Fさん、今日のニュースみましたか？」〕

うまくいかなくとも、何度でも、何度でもなんどでも！
諦めず、前を向き続けられればいいと思う。

Fさんへ。

今日は普通のニュースについて書くことと思う。

…なんだか急に書きたくなった。
ちよつとたけ付き合ってほしい。

今、鳩山元総理の「方便」発言が問題になっている。
これについて、個人的に思う点がいくつかあるのだ。

まず鳩山さんの発言の真意が曲解されている点。
よく聞いていると、こんな事に気づく。

鳩山さんは、本来、抑止力には米軍の陸海空3軍そろわないと抑止力にならない、海兵隊のみでは力不足で、海兵隊が抑止力になるというのは、アメリカ政府と日本政府の方便に過ぎない、だから、方便と言われてしまえばそのとうりだ、という意味なのだ。

つまり、主語が違うのだ。

鳩山さんが方便だと主張しているのではなく、

鳩山さんが、それは日米両政府の方便であり、自分の意思ではないという主張を展開している。

そこを言葉尻をとられて、こうなってしまうている…。

琉球新報の記者に悪意はないかもしれない。

これは、日本語は主語があいまいという特徴がまねいた誤解なのだ。

そういえば聞いた事がある。

平安時代の日本語はもつとあいまいだったと。例えば「我、行く」みたいに。

ところが戦国時代に入り、戦場での正確な意思伝達が求められるようになる

「我は行く」みたいに「は」が入るようになったとか…

誰がどうする？というのを正確に伝達できないと、戦場で集団行動はとれないということらしい。

日本語も発達途中の言葉かもしれない…。

その点をちゃんと鳩山さんは説明するだろうか？

…たぶんしないように思う。

今のマスコミは鳩山さんが謝るコメント以外は全部無視するから、釈明しても無視される。

でも政治家とは本来、いつ誰に貶められるかわからない職業であり、何十年もやっていてそれに気がつかないはずはなく、鳩山さん自身の言葉の使い方の問題でもある。

…つまり？何が言いたいのか？

国語力って大切だよ、って事。

日本語は本来、誤解の余地をたくさん残している。
その辺を意識しないと、何かを伝える時いけないと感じた。

喋る方も、聞くほうも、国語力が大切です。

僕自身国語力はない、でも3段論法を使えば、言葉にかくされた意図がある程度探れる。もし、言い合いに発展して、話をはぐらかされた時は、3段論法を使い、議論を整理すればいい。君のペースに持ち込める。特に、話し合う気ゼロで、威圧するだけのタイプの人間は、理詰めで責めると意外と弱い。

君がこういうの苦手なのは知っている。

でもそういうイメージ、もっていると、どこかでもしかしたら役に立つかもしれないので。このイメージが、君のインスピレーションの手助けになれば嬉しいです。

以前書いたね、君からもらった手紙の件。

僕は君の真意を理解し損ねていた。

手紙をもらった当時は、意味不明の謎の手紙だった。

しかし、今はちゃんと理解できる。

…でも解釈が正しいか答えあわせができると嬉しい。

だめかな？そういうの。ささやかな夢です。

いつか、会えたときに。

諦めずに待ち続けます。

君が何かをつかむまで。

幸せは、あきらめたらやって来ない。どんな目がやってこようと、その事実は変わらないと思う。

人間は、自分を成長させる生き物です。

そこに、生きている実感がある。

ところが、彼らは人の成長を止めようと試みる。

反社会的行動に参加させることで得られる恍惚感という麻薬で、人々の正常な成長を阻害する。

君の周りに多いと思う。エリートほど、どうかなと感じる人間が多くない？

「正常な成長を阻害された人ほど出世するシステムなのだろうか？ わからないけど、どうなのだろう。」

過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。

淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違はなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。僕は脱出をとかく君に勧めます。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。

その中にいる限り、永久に答えは出せないから。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。

奇跡を信じて。負けないで！君は自分で思っている以上に強い人です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

たりするのが、世の真実だったりする事は結構ある。人により、それは旅行であり、ペットであり、いろいろだ。

君の場合は何なのか？今あるなら大切にしたいし、無いなら、それを探すのを楽しみの1つにしてほしい。

（君のことだから心配ないかもしれないけど、お金のかかる趣味は控えた方がいいかも。お金に固執する結果になってしまいかねない。賭け事とか特にね。）

心のバロメーター：君はあるだろうか？

自分で自分の心の状態を把握する手段。

あるなら、大切にしたい。無いなら、時間をかけて構築してほしい。

聞きたいものを聞き、見たいものを見て、感じたいものを感じ、自分の心の欲するものを理解する事は悪い事ではない。

欲望の肯定ではない。

これは、心の癒しというか、バランスを保つ手段を意識した方が、楽になれる、という意味です。

“彼ら”は人を貶めて快感を得る事で「癒し」を得ようとする。

その姿が、どれほど醜悪な姿か？想像してほしい。…たぶんみな気がついてはいる。醜悪だからこそ秘密にするのだ。この事実を否定できるだろうか？

醜悪な姿になる事を強要する人々と戦ってほしい。

大丈夫！君なら出来ます。“彼ら”的行動とは、「熱気」にあてられて思わず興奮する集団恍惚状態が作り出すものだと思う。

これが、お祭りとかスポーツならまだいいが、犯罪行為に集団恍惚するのは、間違っている。

…でも、恍惚状態トランスにあると、理性的判断が出来なくなり、皆、別人に変わってしまい、犯罪も肯定する人間にさせられてしまう。

こういう状態を一般に「トランス状態」と呼び、暗示を「ものすごく」受け入れやすい状態、と理解しないといけません。

一度暗示に「かかる」と、なかなかとれない。

君のまわりを見回してほしい、事実、普段はいたって「普通」なのに、“彼ら”の悪意に関しては「正常な思考」が出来ない人、多いと思う。それは、暗示にかかっているからだと思う。

もちろんこれは推測を書いているに過ぎない。

その世界がそこまで「本当に」酷かったら、そつとう病んでいる事になる。

「病んだ人間を救う」のが本来の仏教であり、「病んだ人間を大量生産する」事はカルトの思考です。

そこは、どう屁理屈をこねても、覆せない、当たり前前の真実だと、「普通」の感覚の人間なら思うところですよ。

…Fさん、戦ってほしい。

君を責めたりはしない、そういう環境に問題があるだけだ。

君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせたと思う。

君は自分でそれを発見したと思い込んでいるけど、それは間違いです。

そつした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そつやって君を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そつした人達」の）常套手段”です。

非常に悪質な人心掌握法じんしんしやうあくになります。だから全てを背負い込んで
はだめです!“彼ら”はそれを狙っています!!そうやって君の心
から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ!!だから注意して!

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨
大さ”をもっている。

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“
ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて!

こんな事も思う。

世界のほとんどの国が、エジプトのムバラク大統領が辞任したの
を歓迎している。

…これは何を意味するのか?

ムバラク大統領の独裁はよくないと世界が認めた形になる。

今までは内政干渉になるから言えなかつただけだ。

“彼ら”の理屈でいえば、理解不能の現象のはずだ。

だって、“彼ら”の理屈では、世界は悪意に満ちているはずだか
ら。

独裁は当然であり、非難される理由が理解できないはずだ。

でも、実は“彼ら”のなかでもエジプト政変はいい事と感じる人
が多いはず。

この理論の矛盾を説明する適切な言葉が1つある。

Fさんは何だと思っ?

それは普段言っている彼らの理屈が“単なる方便にすぎない”という事実を実は多くのメンバーが理解しているという事実だ。

方便と理解できるから、エジプト政変に怒りを感じないのだ。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、実は多くの人がわかっているのかもしれない。

この問題は人としての“質”がどうなのか？という問題です。教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。人としてこの世とどう関わるか？という“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援しています。君は自分で思っている以上に強い人です。

少しずつだけど、“彼らの活動”戻ってきていると思う。際限ない悪意と戦う準備は出来ています。できる事なら、君と一緒に戦いたい。そんな夢があります。

もしFさんのまわりに「彼らの行動が楽しくて仕方が無い」と言う人いたら、注意してあげてください。

「もしこのまま、自分に歯止めを効かせる方法を学べないまま、歳をとってしまったら？きつと後悔するよ」と。正気にもどる恐怖と戦えない人々がほとんどなのだろうか？

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由。でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返せばいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？

その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちがいなく殺人をも肯定する“カルト集団”です。

君に読んで欲しい本があります。

日蓮の現存する正筆御書というのを一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、

文句は言わせないわよ！」と。

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなものために、1度しかない人生を犠牲にされるのは間違っている。

.....

〔2月18日（金）曜日 その2〕

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのようにどこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しなさい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

僕は脱出をとにかく君に勧めます。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちがいがなく“カルト集団”です。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに親しくなるうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は一步手前まで来ていた。

先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。

今にして思うとそう思う。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。

奇跡を信じて。負けないで！

これは仮説に基づく提案？かな。
君が“彼ら”の教えにどの程度はまっけているのかわからない…
でも、こんな事も思う。

その教えはもともとちゃんとした仏教をベースにしている。
仏教をベースにしている以上、それなりに感動したり、感じ入る
部分と言つのがあると思う。

…比較の対象としてふさわしいか解らないけど、僕なりの体験談
でこう考えたりもする。

僕は映画やドラマの感動するポイントを見る際、他の映画やドラマの同じく感動するポイントと見比べて、自分が何に感動したのか見極める作業というのを、時々やったりする。

まったく違う人物のつくった作品同士の感動するポイントを見て、自分がなにに心をとらわれたのか考えてみるのだ。

自分の感性のつぼをつかむと、自分の心が多少理解できる。
理解できれば、表現力に反映でき、将来的には、面白い作品を作る糧に…、などと考えるからだ。

人を感動させるというか、感じるシーンというのは、見比べてみるといろいろ面白い。

その作品を作った人物の感性の違いや、共通点など発見があるからだ。

人間として、人間は何に心を動かされるのか？

下世話な言い方をするなら、定番の感動パターンを理屈ではなく
感覚として理解するヒントになる。

理屈でなく、感覚として理解するというのは実に難しい。

それは“空気感”を理解すると言う意味だからだ。

僕は空気を読むのが苦手だ、昔よりはましになったが、今でも得意とは言いがたい。

何がいいたいのか？

仏教の世界にも感動する共通箇所にある種の“空気感”があると
思う。

君が“彼ら”の世界で体験した感動と、他の宗派の仏教ないし、
他宗教の教えとの比較のなかで、共通した“空気感”があるのか
？ないのか？」を探るのは、いろいろ好奇心というか、追求すると
発見のありそうなもののように感じる。

もちろん“彼ら”が、他宗派の教えを学ぶ事を禁じているのをし
っている。

でも、それは“方便”にすぎず、多くのメンバーが神社にも入る
し、お祭りにも参加している。

イスラムの世界ではこういうの“世俗主義”と呼ぶらしい。

教えは教えであるが、実生活は実生活として大切に考えるだ。

トルコは世俗主義のイスラム国家だ、酒も飲むし、断食もしない
人も多い。

あくまで、理念として、古き良き教えに敬意をはらうのが世俗主
義だ。

実質的に“彼ら”の多くは“世俗主義”な暮らしをしている。

たぶん、君の家だけが、妙に厳格なだけだと思う。

多くが世俗的信仰をしているのだから、あまり気にせず、いろいろ

る学んでいいと思う。

過去に感動した“彼ら”の教義と、他宗はの教えの中にある感動するポイントの共通点や違いを探ると、案外新しい世界が開けるかも。

地獄におちるとか言う人、いるだろうか？

そういう人にはこう言えればいいと思う。

「皆あれだけ、犯罪的行為を集団でやっておいて、地獄に落ちないと本気で信じているの？おめでたいわね」と。

まあ、地獄なんてないけどね。

僕はオカルトは信じない。

けど、人々が大切にしている敬虔な心には敬意を払う。

何度か書いた。

ヴェルサイユ体制下の露骨な悪意から反省し、今日の世界秩序は作られている。

過去の当事者が敬虔な心をもっていたから、出来た事かもしれない。

もし、悪意が勝っていたら？こうはならなかったと思う。

今、イスラム圏でも、胎動が起こっている？

解らないけど、歴史的に見て、こうした動きの積み重ねが、露骨な悪意の世界からの脱出への布石になっているように思う。

いやしい人だけでは、この世は動かない。

この事実、否定できる人間がいるだろうか？

(例え、当のいやしい人自身でも、自分のような人間ばかりでは世の中が動かないと思っているはずだ)

…世界は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもって動いてきました。

そして今もそうした渦の中で（ダイナミズムで）動いています。

手が出せば届くようなものではない強大な“何かで”動いている。そして“変る常識”“変る世界”というのは、現実に確かにあるのです。

けっして単純ではない。

単純であると吹聴する人間はなにを理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

君は物事を悪い方に考えるクセがある。

“彼ら”は君のそうした性質を利用して、心を操ろうとするだろう…。

気をつけて！！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

もう2度と君に同じ手が通じない事を、“彼ら”に痛感させてやる事は、

結果はどうあれ、君をないがしろにしてきた人々の目を覚まさせる効果になるはずだ！！

頑張れ！

.....

「2月20日（日）曜日」この理屈が“彼ら”の世界にも通用する事を、信じたいものです。

いい事をすれば、動機はどうあれ、人はいい方向へ心が向くと…

え？胡散臭い？ならば…」

…ならば、胡散臭いつながりで、こんな話はどうだろう？

Fさん、僕らが子供の頃、頻繁に「日本船舶振興会」なる団体のCMを見なかつただろうか？

競艇のVTRと優しそうなおじいちゃんが笑顔で小さな子供たちと笑いあう映像が流れ、私たちは競艇の利益の一部をいい事にも使ってます、的なCM。

子供の頃、そのおじいさんの映像をみて、素直に「優しそうなおじいちゃんだな」と思った。

しかし、時おり聞くそのおじいさんの悪い評判に首をかしげたまのだ。

「悪い人なら、マスコミがさわぐはず。さわがないってことは、いい人なのだろう」

と、漠然と子供ながらに思っていた。

CMで、いつも笑顔のおじいさんが、悪人には見えないのだ。

もしかしたら似た人いるのかな？

Fさんはどう思う？

彼の名前は笹川良一。ささかわりょういち

自他共に認めるファシストで、生前外国人インタビューに「私は世界で一番金持ちのファシストである」と答えているとか、いいとか…

ベニート・ムッソリーニの崇拝者であり、イタリアのファシスト党を真似て黒シャツ隊のようなものも作ったとか、そうでないとか。

一般には右翼の大物と見られた人物だ。

地方議員から出世の階段を昇り、株での儲けなどで蓄財。

みるみる影響力を拡大させ、中央政界に食い込む事に成功。

たいしたバックアップもなく、独力で地位を築いた特異な人物だ。

人脈を広げ金をもつけ、地位を向上させる、実力者だ。

この手の実力者は、3パターンあると思う。

人々の想いを吸い上げるタイプの人と、自分の意思を人々に押し付けるタイプと、あるいはその両者のバランスの取れたタイプ。

彼がどのタイプの人間かは諸説わかる。

彼の真意は不明だ。

戦後はA級戦犯容疑でGHQに拘留された（無罪でおわる）

戦前戦中の彼は、社会貢献にはあまり熱心でなかったように感じるが、

戦後は急に熱心になる。

A級戦犯容疑のイメージを払拭したかったのだろうか？

本当の善意だったのか？生き残り策だったのか？あるいはその両方か？

戦後も右翼でありファシストを公言しつつも、社会福祉に貢献する。

戦前からある人脈を活かし、公営ギャンブルとしての競艇を創設運営組織である「日本船舶振興会」のボスに落ち着き、A級戦犯のイメージ払拭に努めた。

個人的には思う、たぶん、途中から社会貢献がたのしくなってきたのだと思う。

その後も巨費を湯水のように社会に投じる活動をする。

当時流されていたCMは笹川良一（あさか かわらよしひと）自身が登場し「一日一膳」と言うさわやかなものだった。

胡散臭くも感じなくは無いが、案外本人は本気だったのかもしれない。

…こんな事を思い出す。

映画「シンドラーのリスト」で、主人公シンドラーは、最初、儲ける為の方便として、ユダヤ人を助けた。しかし、次第にのめりこんでいき、いつの間にか私財をなげうつて自分の従業員であるユダヤ人を助ける。

動機はどうあれ、いい事をする、人は変わるのだろうか？

（逆を言うと、動機はどうあれ、悪い事をする、心がすさむのだろうか？Fさん、もし君の周りに心のすさんだ人ばかりだったら？あまりそんな想像はしたくないけど、実際のところ君はどう思う？）

この理屈が“彼ら”の世界にも通用する事を、信じたいものです。いい事をすれば、動機はどうあれ、人はいい方向へ心が向うと。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっている。

せまい世界のなかだけで完結しないのは事実のようです。

君の周りの人に伝えてください。自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないの！？と。

理解を示す心の広さはどこへやったの？と。

これは人としての“質”の問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

質が問われているのです。そう伝えてください。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言葉のようによろこばどこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がって

いると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返せばいい）
とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちがいなく“カルト集団”です。

初めて経験する複雑な心境が待っていると思う。
いろいろな思いが交錯すると思う。

大変だろうけど、君なら大丈夫です。君は自分で思っている以上
につよい女の子です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。
う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

- - - - -

静かだったのは終わったみたいです。

今、午後10時半だけど、2、3台のヴォーっとな音を出す車が、10分、30分間隔で繰り返しているみたい。（そういえば、新規の参加者も増えたみたい、以前やっていた人がやらなくなっただけ、増援したみたい）Fさん、こういう破廉恥な行為を強要する組織、どう思う？いつか、君の想いを聞かせてほしい。だめもとでお願いします。真実は君の心とともにあります。頑張つて。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

「2月21日(月)曜日「何事も前向きに考えるクセをつけると、何かが変わるかも?」

「そんなイメージ、君に送ります。」

“彼ら”の中には“もうここしか自分の居場所は「ない」”と思
い込んでいるがゆえ、間違っていると解つていても続ける人も多い
のだろう。

Fさん。もし、そういう人見かけた? 僕がこう言っていたと、伝
えてください。

「ああ、あなたも埋没費用サンクコストの呪いから抜け出せないんですね。弱い
人間か…」と。

(これは「埋没費用サンクコストの呪い」という言葉に、新鮮な意味をこめて
もう一度君につたえる事を意図した記述です。そうしろと言ってい
るわけでない、イメージを届けたかった。そういう意図です)

Fさん、話はかわります。

先日、久しぶりにミスターマリックの超魔術特番がやっていた。
たまたまTVをつけていたらやっていたのだ。

…最初に言うけど、僕はミスターマリックの姿勢は嫌いじゃない、
好感をもっている。

なぜなら、以前からずっと「自分は超能力者じゃない」と公言し
ているからだ。

自分のやる事はすべて「タネ」があると公言しているわけで、そ
の姿勢に好感がもてる。

重ねて言う、僕はミスターマリックには好感をもっている。
故に、タネに気づいても、騙された、と感じることはない。

そのTV特番で「競艇」の着順をあてるマジックをやっていた。

レース前にその結果を紙に書き、天井からつるした大型クリップにその紙をはさんで、すり替えができないようにして。レースを見る。

俗に言う「予言」「マジックだ。

以前からの主張をここで改めてまた書きます、この世にオカルトはありえない。

故に「予言」もありえない。と僕は考える。

たぶん、あらゆる結果を書いた紙を、体中にしこんであつて、レースが終わり次第、正しい着順が書かれた紙を、周囲に見えないように手の中に隠し、先ほどクリップに挟んだ紙を外す際、すりかえるのだと思う。

この小説に何度も書いた「小説「千里眼」シリーズ」にはマジシヤンの少女という話がある。

そこで、マジックとは心理学と暗示の応用で成されている物だとくわしく説明されている。

そこでも、ギャンブル結果を予測するマジックは定番のマジックとして、やり方が解説されている。

しかし、あれは人を楽しませる「ショー」なのだ。

エンターテイメントショーと思えば、騙された感じはしない。

要は、ある程度トリックがある事を理解しつつ、その皆が驚く「共有空間」を楽しむのが、マジックの肝かもしれない。

こつこつも思う。

“彼ら”的集団行動に参加するのも、楽しんでいる人がいるとし

たら？

たぶん「ショー」に参加する感覚なのだろう。

その姿が、いかに愚劣な姿になっているのか…

冷静に、参加者は考えてほしいものだ。

Fさん、君の知り合いで、今でも楽しんで参加している人いるのだろうか？

中には、君に賛同してくれる人もいるかもしれないが、そうでない人もいるだろう。

そういう人がいたら、こう思ってください。

「かわいそうな人たちなんだな」と。

なぜにかわいそう？

だって「現実」と「ショー」の区別をつけられなくなつて、犯罪をも肯定する犯罪集団と化している事実に気がつけないよう、強力な“暗示”にかかつていて、その事に気がつきもしない人達なのだから。

自覚がないというのは、恐ろしい事なのです。

「どんな」に遅くとも、「間違い」に「気がつく」というのは重大で大事なことです。

みななぜ気づけないのか？恐怖が冷静な思考を阻害しているのだ。

その状態を“暗示にかかった”状態と表現して、差し支えはないと思う。

人間、知らぬうちにかけられた“暗示”に気づいて、自覚するというのは、なかなかできるものではありません。特に、長期間にわたってかけられた“暗示”なら…

でも、気づいたなら、いい事なのです。それは、とても重大なことです。

最近、新規参加者が増えたと感じる。

時々外の様子を観察するが、見たこと無い車が増えた。

「かわいそうな人」という人材にことかかない組織なのだろうか？
じつに、おぞましい体質だと思う。

人の心を破壊し、殺人をも肯定できる犯罪集団に参加できる人間を大量生産している。

え？みなそれぞれ理由がある？

経済的な理由や、弱みを握られてたり、何かしらの理由で強制的に従わざるえない人達がたくさんいる？

もしそうなら、そこは間違いなくカルト集団だと思う。正当な宗教組織ではない。犯罪集団だ。

過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。

淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違いなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。僕は脱出をとにかく君に勧めます。生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由。

でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのようにどこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞め

たい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しはいい)

とにかく、その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちがいがなく“カルト集団”です。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。

奇跡を信じて。負けないで！

長いながい「寄り道をしているだけ」だったと思えばいいのでは
ないだろうか？

だめかな…、そうなの。

何事も前向きに考えるクセをつけると、何かが変わるかも？

そんなイメージ、君に送ります。

諦めずに、何度でも、なんども、何度でも！！

もしFさん自身も、自分の持つ邪悪な何かに悩んでいたとしたら？

Fさんは僕が何と言つか想像つくだろうか？

僕はこう言うだろう。

みんなそうだよ、と。

そうした部分を心に持っていること自体は、自然なことです。
人間なんだから。

問題は周囲の環境にある。

殺人をも肯定する犯罪集団にある。

誰しもが持つ「心の隙間」をついて、なにかを捻じ曲げようとする人々。

カルトの放つ魔力は説明しがたい影響力を君に行使する。

小さい頃からそういう環境では、仕方が無い事です。

まわりに間違った教育をされた大人たちに囲まれて育てば、避けがたい事です。

でも、もし、疑問があるなら、今からでも遅くない、脱出がベストです。

当たり前の事をしていいんです。

気づいたんだから、それは当然です。

18年前からの口癖をここで1つ使います、覚えているかな？

「…僕の言っている事、どっか間違っている？」

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです、

手が出せば届くようなものではない強大なダイナミズムで動いている。

せまい世界のなかだけで完結しないという事だけは、間違いようのない事実です。

以前書いたと思う。

チュニジアで起きたデモが「リビア」を通り越して「エジプト」に飛び火したのは意外だ！」と。

時間はかかったけど、ついに「リビア」でもデモがおこったようです。

これも以前書いたけど、「サウジアラビア」は唯我独尊の王政国家、情報が統制され、内情が不明な独裁王政だ。ここでも、デモはおきたらしい。

そんなに、みんな我慢していたのだろうか？

社会は悪意で満ちていると考える“彼ら”的考えの元では、民主化運動など、反社会行動であり、ルールを守れない墮落した人間のやることとなるはずだ、でも、怒りを感じるメンバーは少ないと思う。それは、普段彼らが使っている理屈が、実は単なる「方便」であると、皆が自覚しているからだ。そうでないなら、民主化デモに怒りを感じるはずだ。

世の中はけっして単純ではない。“彼ら”の言うように…

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないの!？」と。

「理解を示す心の広さはどこへやったの?」と。

「真実に目を向ける勇氣はどこへいったの!？」と。

そして、こつも言っていていいと思う。

「本当は、皆も“がまん”しているのと違うの!？」と。

…彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからな
いはずなのです。
わかるうとしないのは、個人個人の“質”の問題です。目の前し
か見ていない。

そうした自分都合の連中に負けないで！

“厄介な人（「かわいそうな人」）多いと思うけど！負けないで
欲しい。

君が戦い続けられるなら、僕も戦い続けられます。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援してい
ます。

君は自分で思っている以上に強い人です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で矛盾しなくなると思っていますがどうなのでしょう。

君が「埋没費用の呪い」^{サンクコスト}にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

心が外向きになれば、人として持つ“当たり前前感情”が戻ってきます。

そう、周りの人に言ってやってください。

繋がりには、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。僕は18年前の君の謎の言動の真実を理解したい衝動をずっと持っていた。あの笑顔の意味を知りたくて努力した。

生まれつきの鈍感さはいかかわらずだけど、努力して得たものは、確かに君の心に繋がったと感じた。

心のなかの“それ”を大事にして、追求するのは、人として正しい行為だと僕は感じる。

もし、君も同じような感覚を抱いてくれるなら嬉しいです。

いつか、どう思うのか聞かせてください。

“彼ら”的活動で矢面に立つのは結局のところ、現場の人間だ。でも、時々、それなりに偉いだろう人もくるっばい経験をしている。

あれは…、なんだろう。

現場の人間が「偉い人の弾除けにされている事実」をカムフラージュするために、時々出てくるのだろうか？

そんな事も思わなくもない。

Fさんはどう思う？

“彼ら”の弱点は、自分たちが「犯罪者」であるとは微塵も自覚していない点だ。

だから、自分たちが「弾除け」になっている事実には気がついていない。

何かあれば組織が守ってくれると思っただけ、状況次第ではマジで切り捨てられる事に気がついていないわけではないと思うのだけど…

以前書いたけど、突然、僕の車の助手席に乗り込んできた知らないおじさん。

乗り込んだ瞬間「出せ！」と言い放つ。

こんな事でこちらがビビってという事聞くとでも思っているんだろうか？

こちらが「非常事態」なのでクラクションをずーっと鳴らし続けると、みるみる顔色がわるくなる。

そんな事、以前書いたと思う。

そのしらないおじさんはこんな事言った。

「(そんな事していいのか?)あの人警官だぞ!」と。

…今にして思えば、僕がクラクションを鳴らし続ける行為は、近所迷惑な行為であり、警官の前でそんな事していいわけないだろ! という意図で言ったのだと思う。まったく持って本末転倒だ。

なぜなら、そのおじさんは、僕の車に不法侵入の真っ最中であり、現行犯なのだ。

むしろ警官がいると気づいたら、逃げなきゃいけないのは、このおじさんだ。

なのに、「そう」発想しないあたりが、「自分は」犯罪者ではないと思っ込んでいる証拠のように思う。

その警官(非番で私服なのだろう)の人はその後、話かけてきている。

僕は、この人知らない人で、勝手に入ってきたんです。

と言つに留めた。

事を大きくするのが嫌だったからだ。

…でも、もし「あなた警官なんですよ？」

と、言っていたらどーなっていたのだろう？

そして「非番とはいえ、不法侵入の現行犯目の前にして無視できるんですか？」

と続けていたら？

その警官と言われたおじさんは、とぼけるのだろうか？

(まあ、近所に住んでるようだから、誰だか特定するのは簡単だし、一応犯罪被害者として警察に相談しに行く事も可能で、その際警察官に無視されたこともいう事は可能だ。)

(ちなみに上記要件は、まだ時効になってないから、今でも騒ぐうと思えばできる)

(でも、そうはしない。僕の目的はあくまで君ともう一度再会し、その意思を確認する事であり、“彼ら”と戦う事ではないからだ)

…でもここで肝心なのは、手の内を体感できた点だと思う。

もう一度同じ事が起きた際は、もっと手際よく対処できる。

何が言いたいのか？

自分が犯罪者という自覚がない人間は、実際、隙だらけだ。

隙を上手く突かれると、意外と簡単に崩れてしまう…

そんな風を感じた。

Fさんはどう思う？

なにかあつても、冷静に対処すれば大丈夫だと思つ。

大丈夫、きみなら出来ます。

なんで急にまたこんな事書きたくなつたのか……
たぶん、ニユースで「また？」とを感じるものを見たからだ。

“彼ら”は悪意あくいで社会を破壊する変態行為に酔いしれ恍惚こうごうする集団犯罪を教えとしている。強要され心が破壊される人、多いのだろ
う……。

とにかく、脱出が一番です。環境が、人を惑わす。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由
でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのように……どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がって
いると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言
われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞め
たい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返せばいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちがいがなく“カルト集団”です。

……感情があふれてぐちゃぐちゃになっても、逃げてはいけない時
がある。

時間が必要？そうかもしれない。

でも、前には進めるでしょ？

もし、そんな状態になった時は、思考停止寸前までいっても、君なら立ちなおせると信じます。

Fさんは強い女の子です。

大丈夫です。

君は何も悪くない。

僕が証明してみせます。

優しさを利用されてはいけません。頑張つて！負けないでほしい。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃっ

たとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言つ資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

君の名前の最初の1文字は「真実を見て（知り）理解する者」と
言う意味がある。

名づけた方の意思に反しようが、真実を見極めてもいいと思う。
なぜなら、その名前の字をこの世に送り出した人々は、名づけた
人よりも遙か昔にいた人々で、過去存在した多くの人々の想いがそ
の名の意味を支えている。君の名の1文字は歴史を重ねて作りあが
っています。そして、その1字の意味の通り生きていいのだと思う。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでい
て毅然とした態度で自分を主張してほしい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。
勇気を君に。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

「2月23日（水）曜日」それは意思が弱いとか、自分が無いとか
いうものとは違う

「信頼」という感情だ。」

“彼ら”はこの世に「慎み深い人間」はいないと主張するのだろうか？

だとしたら、そんな思想は仏教ではない。

俗人が聖者の微妙なニュアンスを正しく理解できないが故おこった教えの歪みだ。

…でなければ、誰かが意図的にゆがめた事になる。

惑わされず、自分の想いを貫いて欲しい。

君が君であるために。

先日のミスターマリックの超魔術特番の話。

…重ねて言うけど、僕はミスターマリックの姿勢に好感をもっている。

あれは、「ショー」であり「エンターテイメント」であると昔から公言しているからだ。

一度だって自分が超能力者とは言わない。

番組内で、あ、これは明らかに“暗示”だ！

と感じたマジックがあった。

まず、霊が下りたら、作り物の手が動く、と紹介した後。

スタジオで霊感が強いと自称する女性にその「作り物の手」のついた「板」を持たせる。

「板」はけっこうの厚みがある。中に電磁石と電源、リモコン装置を仕込むには十分な厚さだ。

ミスターマリックが交霊術を展開、霊が下りてきた、と発言し、同時に「作り物の手」がカタンと動く。

するとその動いた作り物の手ののった板を持っている女性が尋常

でない驚きをする。

ここが、暗示のポイントなのだ。

人間は他人と感情を共感する脳力が備わっている。

たとえ、霊など信じてなくても、霊に本気で驚く女性をみると、かなり感情が揺さぶられ、半信半疑で霊を見るようになる。

まったく信じてない 半信半疑、は暗示の効果だ。しかもかかった本人にその認識はゼロだ。

初期暗示に貢献した霊感が強いと思いついて入っている女性には、ここで下がってもらい、今度は別のゲストを呼ぶ。

次のゲストには、下りてきた霊が体に触れる！と称して、ステージに誘った。

筋肉質なゲストだ。

実は、筋肉質というのがミソだと思う。科学的な理由で。

その筋肉質なゲストをステージ上の椅子に座らせ、ミスターマリツクは彼の死角となる真後ろに立ち、

先ほどの作り物の手を持って、椅子に座ったゲストの左右どちらかの方に触れようとする動作をする（実際には触れない）

しかし、霊が下りてきているので、椅子に座った彼にも、その感覚が伝わる！と、言うのだ。

実際、ミスターマリツクが作り物の手を左右のどちらかに振る。

するとその様子が見えないはずの筋肉質のゲストは、見事に左右どちらに振ったかいいあてる。

「肩にふれた感覚がするんです」と主張する。

多分だけど、その椅子には弱い電流が流れる仕掛けがしてあるのだと思う。

右半身もしくは左半身に弱い電気が流れる仕掛けだ、それも物凄く弱いやつ。普通の人間では感じられないほど弱い電気で、「筋肉質な人」でないと「感じられない」ほど「弱い」電気だ。

もし、「動く作り物の手」を事前に見ないで、椅子にすわり、電気を体験したら？

おそらく、なんだか右側（左側）に違和感を感じる…
くらいで終わるだろう。

でも事前に、靈感の強い（と自称する）女性が、動く作り物の手に驚く様子を見せ付けられている。

信じる、信じないは別にして、「あの作り物の手には多くの人を驚かす何かがある」という暗示がかかっているのだ。

その暗示がかかった状態で、「今から貴方の後ろで、この手を左右どちらかの肩に近づけます、きつと触れてないのに、触れたのが感じられるはずですよ」と言われてしまう？

椅子に流れる電気の違和感を、「手がふれた」と感じてしまう事もある。

これが“催眠”における“暗示”のテクニクです。

最初に「動く手」「驚く女性」を見せる事で、初期暗示にかけ、次に「近づけるだけで感じられるはずですよ」と暗示することで、見事にゲストの判断力を催眠の力で正常に機能しないようにしてしまった。

…これはエンターテイメントショーだから許されるが、実生活や

犯罪現場で用いられたら最悪な行為だ。

うまく伝わったかな？Fさん、むずかしい？

まあ、イメージだけでも伝われば幸いです。

催眠における“暗示”は、かかった事すら気がつかない、という恐ろしい特徴をもっている。

“彼ら”は長年にわたり君に“暗示”をかけてきたと思う。

でも疑問に思うことも多かったはずだ。

優しさを否定する劣悪な暗示に気をつけて！

“彼ら”的行動とは、「熱気」にあてられて思わず興奮する集団恍惚状態が作り出すものだと思う。

これが、お祭りとかスポーツとかエンターテイメントショーならまだいいが、

犯罪行為に集団恍惚するのは、間違っている。

…でも、恍惚状態にあると、理性的判断が出来なくなり、皆、別人に変わってしまい、犯罪も肯定する人間にさせられてしまう。

こういう状態を一般に「トランス状態」と呼び、暗示を「ものすごく」受け入れやすい状態、と理解しないといけません。

一度暗示に「かかる」と、なかなかとれない。

君のまわりを見回してほしい、事実、普段はいたって「普通」なのに、“彼ら”の悪意に関しては「正常な思考」が出来ない人、多いと思う。

それは、暗示にかかっているからだと思う。

もちろんこれは推測を書いているに過ぎない。

その世界がそこまで「本当に」酷かったら、そつとう病んでいる事になる。

「病んだ人間を救う」のが本来の仏教であり、「病んだ人間を大量生産する」事はカルトの思考です。

そこは、どう屁理屈をこねても、覆せない、当たり前前の真実だと、「普通」の感覚の人間なら思うところですよ。

…Fさん、戦ってほしい。

君を責めたりはしない、そういう環境に問題があるだけだ。

距離をとり、もうこれ以上暗示の影響を受けない状況にするのが、冷静な判断力を取り戻す近道だと思う。

君は、君らしくいていいんです。自分を取り戻してほしい。

Fさんらしいって何だろう？

…その答えは君にしか出せない。その事実はどうな人間にも否定できない事です。

たった1度しかない君の人生です。悔いを残さないように。

過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増えて、淘汰されるし。

淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違はなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由。

でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？

なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返し返せばいい)

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちがいでなく“カルト集団”です。

優しさを利用してはいけません。頑張つて！負けないでほしい。僕は脱出をとにかく君に勧めます。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。

その中にある限り、永久に答えは出せないから。

Fさん、僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利があると思うかな？

もし、君が「ある」と言うなら、そう思うことにする。

逆に「ない」と言うなら、そういう事にしておこうと思う。

え？ついさっき「自分の意思を持って」と言っておいて、それはないんじゃない？と思った？

僕は、こう考える。僕は、自分の意思で、君に判断を委ねる。

それは意思が弱いとか、自分が無いとかいうものとは違う「信頼」という感情だ。

“彼ら”の悪意の強要とはまったく違うものです。

僕には夢がある。

僕は何も「人生を全部返せ」って言う、無理な（実行不可能な）相談をしているわけではない。

ささやかな奇跡に期待を込めているだけなのです。
他の人がどう思おうが知らない、でも僕の性格をしる君はどう思
うだろうか？

「ああ、Kくんならこういう事を本気で言いそう」
と黙ってくれたら涙がでます。いつかの再会を信じて。

君に読んで欲しい本があります。

それは日蓮の現存する正筆御書というものです。
機会があつたらぜひ一度触れて見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。
う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、
それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。
三界に家を建てるには、君が必要です。
「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃっ
たとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！
老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いない。他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

眞実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく、勇気を君に。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。奇跡を信じて。負けないで！

これは仮説に基づく主張。

もし、君が今も戦っているとして、その局面が“彼ら”と距離をとっている状況だと仮定したならば？

こんな事をいう人がやってくる可能性がある。「とりあえず、もどってきなさいよ」と。

甘い顔せず、きっぱり断った方がいい。そう思った。

何が役に立つのかわからないので、一応書きました。

（会いたくなければ、玄関先に張り紙しとくと楽だそうです。剥がされてもいいようにコピーをとっておくといいらしいです。それから手記か日記で、彼らの訪問回数を記録しておく、後々もめた時裁判資料として優位な材料になります。短気をおこしたら（ルールのルールを破ったら）負けになるんで、そこは冷静にいくのがいい様です…あくまで仮説に基づく主張です）

.....
「2月24日（木）曜日「好きな人が、カルトに操られたままと
いうのは、耐え難い事です。君には君らしくいてほしいと、本当に
そう思うので、そう、伝えます。伝わったかな…このメッセージ」

今日は実際は水曜日です。

Fさんへ、元気にしていますか？笑顔の君でいてくれたら嬉しい
限りです。

今日隣町へ行って来た。

僕らが映画を見に行ったあの町だ。

当時と違い随分すたれてしまった…、きみは見ただろうか？

あの、2人が入ったマクドナルドが、今、なくなっている。

その代り北口に1件あった。今は北口の方が人通りがいいのだろ
うか？

今日はちょっと資格関係のことで隣町に行った。

一応、職探しはしているのです。

のんびりしているように見えて、一応やっているのです。

焦らず、じっくり、行きましよう。

…予想では、そちらに情報は筒抜けと推測しますが、実際どーな
のだろうか？

まあ、バカ正直にここに書くのも面白くないので、もし、情報収
集班のような人が頑張っているなら、「お仕事ご苦労様」といつて
あげてください、会う機会が仮にあるならだけど…

でだ、今日はせっかく隣町まで出張ったのだから、久しぶりに劇
場で映画を見ようと思った。

Fさん！、僕らが「紅の豚」をみた、あの映画館は一応まだあるみたい。

でも、北口にそれなりの規模の新しい複合映画館が出来たので、そっちに行ってみる事にしました。

…でも、この劇場、見た目は綺麗なんだけど、いろいろ欠点が目立つ。

前半分の席が「座高」が低く設計されていて見にくい所とか、別の劇場の音がわずかながら聞こえてくるとか…、でもそういう劇場は東京にもあった。こんなものかと納得できなくは無いが、一応新しい建物だったので少し残念です。

でも久しぶりの劇場での映画視聴はやっぱりいい。音が何より違う。ズンズン響いてくる。ああいうのは映画館でしか味わえない。

それに映写機もデジタルのもののように、画質がいい。

昔、DVDが出たばかりの時期、映画館の画質がDVDより劣るというので問題になっていたのを思い出す…。当時は高い金はらって画質が劣るとはどーゆー事だ！と憤慨したものだ。

…実は最近「シネマ通信」という映画紹介番組をみていないせいで、映画の予備知識ゼロだ。

「太平洋の奇跡」という映画をみたのだが、てっきりハリウッド作と思い込んでいた、見てびっくり邦画（＝日本製）だった。

内容に関しては割愛したい、いろいろ思うところがある。

時間をかけて評価したい作品だ。簡単に切って捨てるのはなにかもつたいないと感じた。

でも1つ間違いないと言える事は、唐沢寿明 が演じる兵隊ヤクザみたいな一等兵はなんだか物凄い存在感というか、はまっていて凄かった。あれは、語り草に出来るほどのハマり役だ。

でももう少し感動したかった。何だろう…うまく表現できないな。手堅くまとめてあるけど、米軍が間抜けすぎるのと、日本人がい人過ぎるのが気になる。

「プライベートライアン」や「バンド・オブ・ブラザーズ」のように、アメリカ人が作ったにもかかわらず、アメリカ人自信も眉をひそめるようなアメリカ兵の振る舞いを描いたシーン。ああいうのが少しはないと、日本人以外が見たときどー思われるか不安だ。戦争というのはひどいものなのだから、美化はこの場合真実を捻じ曲げる。

“彼ら”はこの平成の日本で、戦争など起きても無いのに、まるで戦時中であるかのように「戦い」があると吹聴する。布教しないところの世が滅びるとでも、本気で思っているのだろうか？（実際本気で信じている人は極少数だけで、ほとんどの人は、建前だと気づいていると思う。人間って思っているほどバカでないから。それが証拠に、彼らはまだ日本すら支配できていない）

酷い現実も美化してごまかすのは“彼ら”の特徴だろうか？

（支配できてもない日本を手中に収めたかのように吹聴するところ、過剰な美化の証拠になる）

映画ならいいが、これを現実世界でやるのは、人の生き方として間違っている。

演出がかった教えと殺人をも肯定するカルト的行動を強要するところなど、現実にはあってはならないことだ。Fさん、脱出が一番です。

…もし、今もう脱出しているなら、そのまま継続してほしい。大好きな人が、カルトに操られたままというのは、耐え難い事です。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨

大さ”をもっているようです、手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

今回見た映画「太平洋の奇跡」も、サイパン島で終戦後4ヶ月も戦い続けた日本兵の物語です。現在の基準でみると、はやく降伏すればいいのに、なに意地になって…、と考えがちですが、以前この小説にも書いたとおり、ヴェルサイユ体制化の露骨な悪意の下では、降伏＝滅亡を意味し、ありえない事と思えるのかもしれませんが。

物事は単純ではない、なにかしらバイアスがあり、それがそうした“何か”を引き起こしている。単純な真理1つで救われるほど、単純ではない。まして、意味も解らず教えを妄信すれば、世界が救われるなど、ありえない事です。

Fさん、そんな事を言う連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

それが証拠に、彼らは彼ら自信の行いで、ドンドン日本を荒廃させている。

「いいわけ」と「ごまかし」の果てにある「悪意の集約」が何を引き起こすのか？

冷静に考えれば、わかることです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。“質”が問われているのです。そう伝えてください。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのようにどこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言い返せばいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちががなく“カルト集団”です。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援します。

君は自分で思っている以上に強い人です。

優しさを利用されてはいけません。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て

ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった……
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから……天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。負けないで！

再会を信じて。

これは仮説に基づく可能性の提案。

もし、君の相手が偉い人で、ある程度の財産もちだと仮定するなら？

君は強力な「切りしろ」を1つ持つことになる。

何度も書いた、交渉の基本ルールは「切りしろ」を多く持ち、駆け引きする事だと。

その切りしろの名は「相続放棄」というものだ。
する、しない、そのものを、切りしろに出来る。

“彼ら”は何よりも「とられる」のを嫌うように思う。

特に金がらみのものは、“彼ら”の概念では特筆して守ろうとするものかもしれない。

君は、相続や財産分与や親権など、自分の持っている法的権利を一通り把握すると、便利な事が交渉の席で起こるかもしれない。

これはあくまで、仮説にもとづく可能性に過ぎないけど、何が役に立つか解らないので、一応書きました。君がいまも戦っているという前提で書きます。かんばつて！まけないで！君なら出来ます。

僕はそう確信している。君は自分で思っている以上に強い女の子です。自分自身を取り戻して、責められるいわれはありません。当たり前前の事を言い続けなければならないのです。

心を解きほぐして！彩りを心に取り戻せる日が必ず来ます。頑張れ！

.....

「2月25日（金）曜日」一方的な偏見に耐える必要はありません。」

Fさん、今日午後7時半のNHKの番組でこんなのをやっていた。老齢のベテラン弁護士が、奥さんを1997年に殺されて、初めて被害者の遺族という立場になった……

被害者家族という立場で、裁判にのぞむと、今まで何十年とやってきた裁判がまったくちがって見えたという。

被告に被害者がののしられても一言もいえない。

裁判が始まったのも知らず、ニュースですることとなる。

当然、裁判日程も教えてくれない。

裁判中のやり取りは、たとえ傍聴していても一切わからない。

完全に蚊帳の外となってしまう現実に啞然としたらしい。

この弁護士のおじいちゃんは、亡くなった奥さんの弔いの意味も込めて、犯罪被害者の家族も裁判に参加できるよう行動を開始する。被害者の会を結成。

政府の委員会のメンバーにもなり、熱のこもったアピールをしたという。

この活動は実を結び、今現在、被害者の家族は望めば、検事側の一員として参加できるし、被告への質問なども出来るようになったという。恥ずかしながらこんな改革があったなんて知らなかった。なんだか、ものすごく、恥ずかしい。

この制度導入後、裁判の雰囲気も変わったらしい。被害者家族の想いを代弁するような空気で、裁判が進む事が多くなったと言う。

本来、刑事事件の裁判と言うのは、事務的ではなく、こつした被害者の無念を汲むようなスタイルがのぞましいと思う。

Fさんはどう思う？
いつのまにか、なんだかすごい改革が起こっていたらしい。

世の中は、常に変化し、動いているのでしょうか？

この改革以前の世界では、犯罪被害者の家族というのは、偏見で見られることも多かったと言う。

「なにもしてないのに殺されるなんておかしい、何かしたに違いはない……」

という目で周囲からみられ、偏見にさらされると言う。

当然、裁判への傍聴も自然足が遠のき、被害者遺族不在のまま裁判がすすみ、知らぬ間に終わっているなどという事もあるという。

しかし、この改革のおかげで、遺族は「発言」することができるようになり、自らの正当性を主張できるようにもなり、まだ、被害者の無念の思いも表現できるようになった。もう、一方的な偏見に耐える必要はなくなったわけだ、故あれば、自分の思いを表明できるから。

こんな事思った。

人は、なにか起こると、被害者を変な目で見る傾向があるようだ。多分、僕や君の事も、本来被害者なのに、「そんな目にあうからには、理由があるに違いない」という目で見える人が多いのだと思う。黙っていると、この偏見の眼差しはいつまでもたっても消えないと思う。

発言したりして、自分の想いや意思を「表現」しないといけないのだと思う。

以前何度もこの小説で書いた。
表現されない自分はいないに等しい。

これは僕の経験則なんだけど、まんざら間違っていないようにも思う。Fさんはどう感じる？

いつか機会があるときにおしえてほしい。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです。

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

物事は単純ではない、なにかしらバイアスがあり、それらが絡み合い“何か”を引き起こしている。

単純な真理1つで救われるほど、単純ではない。

まして、意味も解らず教えを妄信すれば、世界が救われるなど、ありえない事です。

“彼ら”の理屈でいけば、このような犯罪被害者の家族の救済などありえない。

現行の秩序を受け入れ、耐えるしか考えない。

もしくは、裁判など無視して、司法は役立たずだと称し、組織の力で司法を無視した制裁を考えるだろう。しかし、それでは永遠に世の中は良くなりはしない。

教えを妄信する人は言うだろう、教えの中に書いてない事はやらなくていいのだと。

それが欺瞞であると、みな実は承知しているはずなのに。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

それが証拠に、彼らは彼ら自身の行いで、ドンドン日本を荒廃させている。

「いいわけ」と「ごまかし」の果てにある「悪意の集約」が何を引き起こすのか？

冷静に考えれば、わかることです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援しています。

君は自分で思っている以上に強い人です。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由。

でも、あえていいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言葉ことばのようにどこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しはいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。

淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違
いなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。僕は脱出をと
にかく君に勧めます。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。

いつまでもそこにはいけません。

そこは、ウソの救済話で、人の心を騙し取る“カルト集団”です。

「ウソの救済話」に「優しさ」を「利用」されては「いけません」

頑張つて！負けないでほしい。

実は君に読んで欲しい本があります。

日蓮の現存する正筆御書というジャンルの本です。

専門書なので、難しい本かもしれないけど、チャレンジする価値
はあると思う。

機会があるとき、気が向いたら是非一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

一步を踏み出す勇気を君に！

その一步から先の事は、歩みだしてから考えればいい。

たとえ亀のごとく遅さでも、一步が大事です。

選手がこの曲で演技していた時だ。

アニメの曲を使うとは珍しいとその時は思ったが、のちのち、この曲が独立した地位を築いている事を知り、少し恥ずかしくなった。軽快なリズムで気分を上げたいとき、ぴったり来る曲です。

「サンバ・テンペラード」は劇中でルパンが反撃に転じるシーンに流れる曲だ。

生きては帰れぬ地下から脱出したルパンが、オートジャイロを奪ってクラリスを救出するシーンに使われている。

昔の宮崎アニメには、こういう「反撃に転じるシーン」というのが必ずあった。

最近のには見られないので、個人的にすごく残念だ。やられっぱなしだった主人公がはじめて敵の先手をとろうと行動を開始するシーンだ。

「紅の豚」でいうなら、イタリア秘密警察に包囲されたピッコロ社から、ポルコ・ロッソが脱出するシーンが相当する。

Fさん？覚えている？

工場の裏の運河から、飛行艇で飛び立とうとするシーン。

格納庫をあけると、秘密警察がいてピストルを撃つて来る。

豚は飛行艇の機銃で威嚇して、フィオを乗せたまま運河へ飛行艇を滑り込ませる。

なかなか飛び立てないサボイアS-21。

ミラノの運河を疾走し、加速できるようになるとようやく離水に成功する。

このあと、豚とヒロインを乗せた飛行艇はアドリア海に向かって飛ぶ。

この後だ、例のあのシーン。

ホテル・アドリアーノの女主人が言う。

「私、賭けをしているの」

映画を見終わり、多くの観客たちと共に劇場から出た、外はもう暗かった。その時、確かに君は言ったと思う。

「私も賭けをしてるの」と。

笑顔の君は謎かけをした。

わかるかな？わからないよな、でもひよつとして気づくかな？

そんな探るような目で、こちらを覗き込む。笑顔の君にそんな事されたら、もう黙るしかない。

惚れたものの負けだ。

当時はその言葉の意味がまったく解らなかった。

今は、理解できる。

感動ものです。

当時の自分がものすごい幸せ者であったのが、実にくやしい。

いまから戻って、理解してない自分の頭をぶん殴ってやりたい。

けど、それは不可能で、だから、今できる事をやろうと思う。

それでいいかな？Fさん。

いつか、教えてください。君の都合がすべて整った後に。

真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無いと思っていた。

こんなにしてもらっていいのだろうか？といつも思った。

君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるといふ行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あのときの事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっているのだろう。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。

世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

Fさん、僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利があると思うかな？

もし、君が「ある」と言うなら、そう思うことにする。

逆に「ない」と言うなら、そういう事にしておこうと思う。

え？今までさんざん「自分の意思を持って」と言っておいて、それはないんじゃない？と思った？

僕は、こう考える。僕は、自分の意思で、君に判断を委ねる。

それは意思が弱いとか、自分が無いとかいうものとは違う「信賴」という感情だ。

“彼ら”の悪意の強要とはまったく違うものです。

繋がりには、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！と言ってやってください。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返せばいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

なぜなら？そこは、ウソの救済話で、人の心を騙し取る“カルト集団”だからです。

自分を責めず、人を恨まず、立ち向かってほしい。

それが簡単でないのは承知している。

それでも、君ならできると思う。君は自分が思っている以上に強い女の子です。

頑張つて！負けないでほしい。

世界は広大で広く、想像を絶するダイナミックな時間がからみあって作られている。

「視野が狭くて何が悪い」とか言う人が増え続けていくと、それが世界の不和の原因になってゆく。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

どこかの誰かが邪念に負けた、けれど実は天は見放してはなく、ちゃんと見ていた…

そういう事で全ての事象は矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう？

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった。

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

Fさん！、実は先日初めてイタ車（痛い車）というのを見た。噂にはきいていたけど、実際見たのははじめてだ。

僕が初めてあれの存在を知ったのはバイク雑誌を見ていたときだ。草レースの記事の中に、奇妙なバイクを見つけた。車体にセーラムーンイラストをのせたバイク：正直言う、「なんだこりゃ、アリなのか！すげえ度胸だな！」と思った。

それから数年してだろうか：イタ車の存在をしったのは。アニメのイラストを車体に堂々と乗っけている車だ。

先日見た車はいつもの「うるさい車」をさがした過程でみつけた。ある妹萌をテーマにしたアニメのイラストを車体にかいた車だ。見た目で目立ってるんだから、エンジン音くらい大人しくしないとイケないか？と思うのは僕だけなのかな？どうなのだろう：オタク文化はいまいちわからない。

もしこのイタ車が“彼ら”なら？（実際、よく見る。外出もすくなく時間のバラバラな僕がよく見るといふのは？そうなのかな、どうなのだろう）ご苦労様、としかいえない。

こう考える。イタ車はその人の自己主張だ。迷惑にならない範囲であれば大いに結構だ。

“彼ら”の行動も、ある種自己主張（自己表現）なのかもしれない。

でも他人に迷惑をかけるのは、なにか根本的に間違っているように思う。

例えばだ。イタ車の場合、中古車として下取りに出す際は、車体のイラストを消す必要がある。

なぜなら著作権を侵害することになるからだ、法的には。

(実際のイタ車の転売の実際がどーかは知らない、けど、イラストの著作権を持つ人の許可なく転売したらいけないはずだ)つまり、勝手に自分で楽しむ分にはいいけど、商売にしたら、違法行為になる。(この問題は、80年代ソニーが勝ったアメリカでの裁判がベースになっていると思う。ビデオデッキがこの世に登場したばかりの頃、アメリカのハリウッドがソニーを訴えたのだ。ビデオデッキでTV番組を録画するのは、著作権法違反だ!と。しかし、ソニーは消費者の利益を主張し勝利をおさめた。録画したビデオを個人で楽しむのはokだが、商用で使用するとアウトになる概念は、この時以降生まれ、今日に繋がっている。)

イタ車は自己表現の手段の1つとしてはアリだと思う。僕はそこまで派手なのは手がでないけど。

けど、他人の権利を侵害してまで行うのは間違っている。

イタ車オーナーは、ちゃんと著作権をクリアする義務があるように思う。

他人の権利を守り、自己主張するのが、本来のあるべき姿だ。

調べると、イタ車の著作権問題は法的にはグレーゾーンみたいだ、新しい問題すぎて、司法が追いついてないみたい。でも業者はあとあと問題になるのを警戒しているのか、著作権をクリアしてないイタ車の製作にはおっくうになっていると見受ける記述もある。しかし、せっかくのムーブメントを生かそうと、大手が積極的に正規のイタ車用ラッピングシートを販売するうごきもあるようだ。消費者の利益(潜在需要)と製作者の権利が綱引きをする状態で、この駆け引きは落としどころが定まるまで、しばらく綱引きが続くのだと

思う。

ルールやマナーは常に変化している。永久に同じではない。そうして世の中は動いているように思う。

Fさんはどう思う？

今の「リビア」の政変も、世の中の秩序が永久に固定されたものではなく、動き続けるものである事の証明のように見える。

いい事なのか？悪い事なのか？見極める目が大切なんだと思う。言われた教えだけを永久に妄信していても、世の中は動いているのだから、どこかで調整しないと、何かが破たんする。

リビアは破たんしたからこうなったのでしょうか？どうなのでしょう。

仏法は中世社会の維持に貢献したものだ。

中世と現代では、食料の生産・供給手段がまったくちがう。

食料＝生きる最低限必要な手段の維持における、前提条件が中世と現代ではまったく違うのだ。

中世の社会を安定させた仏法を、そのまま現代に当てはめたら、何かが破たんするのは目に見えている。

例えば、中世には「著作権」なんて概念はなかったと思う。

でも現代においては、その「著作権」でご飯を食べている人もいるわけで、「著作権」の無視は「著作権」でご飯を食べている人の、生命維持を脅かす事につながる。

世の中は常に動いている。様々なバイアスの元に。

しかし、2000年前前という長い目でみれば、おおよそ世の中は、悪意よりも善意が勝る結果の歴史を積み重ねてきたように思う。「著作権」でご飯が食べられるなどと、2000年前の世界では考え

られなかったことだ。

あのイタ車の彼が、版權をクリアしてくれていたら、いいなと。そんな事も思う。

やるにしても「悪意」あるバイアスが働かないよう祈るばかりです。

(今ニュースで、早稲田や立教の入試問題が、試験時間中にインターネットの質問掲示板にアップされた報道がされていた。受験生同士で相談しながら解答していたのでしょうか？当然、仏法には入試問題をネットにのせてはいけませんとは書いてない。だから、もしかしたら“彼ら”の理屈ではこれは「アリ」なのかもしれない。でも「普通に」考えて、こういう行為はあきらかに「よくない」と判断できる“頭”をもたなければいけないように思う。)

上記のようなやからは、正常な綱引きの存在を否定する単なるズルだ。

社会は常に様々な要因が綱引きをして、発展して来ている。

しかしズルをしてばかりいると、正常な駆け引きができないので、全体としての成長は停滞してしまう。かつて大坂に世界最大のお米の取引所があった事を、以前書いたけど、覚えているだろうか？江戸時代の話だ。当時は一般のサムライも大名も、給料を「お米」でもらっていたから、どこかで換金しないといけないわけで、お米の取引所は活況を呈した。

なぜに大坂が一番発展したかには理由がある。

取引のルールを明文化し、あいまいな事や、ズルができない仕組みにしたからだ。

ズルが出来ない仕組みだから、人があつまり発展した。

ズルは短期的にはよくても、長期的には社会を停滞させる事を歴史が証明している。

案外、独裁政権が倒されるのも、その国のなかでズルが横行していたせいで、社会が停滞したのが、人々の怒りに繋がったのかもしれない。

“彼ら”はズルをする。

少なくともこれは僕の経験則だ。

正々堂々、正面から戦う気はゼロだ。

“彼ら”の教えだけでは、世の中はよくなるまい。

世の中は、もっと広大で、複雑で、多岐にわたっている。

単純な教えに妄信してさえいれば、どうにかなるものではない。

問題の根本も見出せず、集団に埋没し、どこかの誰かのわがまを満たすための尖兵になっている事実には、みなが本当は気がついていないのに気がつかないフリをしている。

…そんなもののために、君の想いが踏みにじられるのは、なんだか、とても許せなく感じるのです。

Fさん。僕のこの感覚は間違っているだろうか？いつか、君自身がどう感じるのか、教えてもらえたらうれしい。真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無いと思っていた。こんなにしてもらっていいのだろうか？いつも思った。君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるといふ行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あのときの事覚えているだろうか？時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。幸せな記憶は確

かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな？あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっっているのだろう。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。

世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。

淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違はなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。僕は脱出をとにかく君に勧めます。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。

その中にある限り、永久に答えは出せない。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのよつに…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しなさい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいけません。

なぜなら？そこは、ウソの救済話で、人の心を騙し取る“カルト集団”だからです。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

眞実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。勇気を君に。

頑張つて！負けないでほしい。君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。

奇跡を信じて。負けないで！

ズルをして当たり前と思っ込んでいる人がいたら、こう言っつてやっってください。

「そうよね、そういうの凄くにあつてる。残念なくらいに」と。

これで怒る人がいたら？こういえばいい。

「恥ずかしいと感じるなら、やめればいいのに。でも、あなたは続けるんでしょ？本当に残念ね」と。

そして、最後にこう付け加えてほしい。

「私は貴方と違って間違いに気づいたの、だからもう、それは関係

ないわ。ズルしたいときはもう私を巻き込まないで、プライドがあるなら」と。

それでもカルトはあきらめないかもしれない。その場合は？
「そういう所が、カルトなのよ」
と言いつ返しはいいと思う。

君は猛烈な恥ずかしがり屋だ。

もし、僕がイタ車に乗って現れたら、恥ずかしがるだろう。
大丈夫、そういう趣味はないので安心して。

「2月28日(月)曜日「こんなニュースを見た。」」

市民ランナーが国際舞台へ…

そんなニュースをみた。

記事はこんな感じに書いている。

過去、陸上をやっていたが成績はふるわず、実績はゼロだと。

素養はあるのに開花せず、それでも諦めず頑張った人が成功するのは、見ていて清々しい。

何事も諦めたら終わりだよなと感じさせてくれる。

こういう感覚は“彼ら”の世界では否定されるのだろうか？

何しろ悪意が世界を支配していると思っっているらしいから。

こんな事を思い出す。

これが偶然だったのか？そうでないのか？

Fさんも一緒に考えてほしい。

東京で彼らの攻撃が最高潮に達していた時期。

感覚で表現するなら、目に見える人という人、建物、車、目に見える全てが一斉に襲ってき続けるような感覚。(まだ“彼ら”的行動に参加した事が無い人は、たぶん信じられないのだと思うけど、事実です、ウソではありません)

そんな時期の事、逃げればいいのに、仕事をしていた。Fさん、普通に生活をしてこそその勝利です。もし「逃げる」といわれなければ今でも東京にいたかもしれない…。

レジで仕事をしていたら、床にごみが。

当然、本屋の店員としては、それを拾う。

でもみるとゴミではないみたい。

1センチ四方の紙で、二つ折りになっている。メモにしては小さすぎるが中に、印刷された文字が2文字書いてある。

その文字は、残忍な犯行をした少年がつかっていた自称を書いたものだった。

少年の方は見かけをかつこつけるためわざわざ四文字の当て字を使っていたと報道されている。

そのメモには、当て字で無い正しい漢字で、二文字。印刷されていた。

まるで、大きな紙にプリントアウトし、その二文字だけ切り取ったような紙片だ。

仮に“彼ら”でないと「仮定」するなら、この紙片を作った人物の目的はなんだろう？

まったく思いつかない。

でも“彼ら”なら？特定の人物に暗示をかける目的で作るのは、容易にイメージできる。

強烈なプレッシャーを受け続ける精神状態で、こういうものを

見せられると、やれって事か？と感じてキレてしまう人もいるだろう。幸い僕はこの程度ではキレない。あえて感じのわるい言い方をするけど、“彼ら”とは「心の出来」が違っただけだ。あんな心のやわな連中とは違う。そう思ったものだ。真実に気がついてから、君の気持ちの真意に圧倒されそれど頃ではなかった。

人は自分の尺度で相手を見がちだ。

キレやすい人は、相手もキレやすいと感じるのだろう…。

そちらの世界、キレやすい人多くない？特に立場が偉い人ほど。

そういう経験、東京で感じた。

君もそうなるようにされたかもしれない。特に気分屋気質を利用されると、キレやすい感情になるよう暗示されやすい。

大丈夫、心配しなくていい。僕は君の気分屋な資質を知っている。僕自身も気分屋な部分はある、おなじ気分屋どうし、波長は合うように感じます。（これは個人的な感想、僕が気分屋なのは絵にも表れる。その時の気分で画力がまったく変わってくる…、でもこれは訓練で克服できるもの。初めて描くものについては無理だけど、過去に何度か描いたものなら、気分にならぬままに描くことが出来る。これは性格面でも同じだと思う。自分の欠点をみとめ、克服する努力があれば、前へ進めると思う。何度か書いたけど、僕がキレないのには理由がある。それはあの夏に日の想い出に起因している。覚えていてるかな？2人キスした後、車が来て、君は場所を変えようと提案、近くの長い階段のある神社（お寺？）に誘った。あの長い階段に2人腰掛けていると、奇妙な母子づれがきて、僕らより下の段に腰掛ける。今にして思えば、非常に彼らの行動だ。僕は言った「場所をかえよう」と。そうしたら君が言ったのだ「どくのは向こうよ」と。僕はあの日君のあの姿に感動し、理不尽な状況も逃げずに立ち向かおうと決意した。実際そういう状況になった時は、いつもあの時の君の姿が思い浮かんだ。特に大学を卒業したあとなど、そう思うことが多くなった。僕が大学を出た頃…君はどこでど

うしていたんだろう。いつか、2人で笑顔で空白の時間について語り合えたら幸せです。Fさんはどう思う？)

僕は18年前の君の謎の言動の真実を理解したい衝動をずっと持っていた。

あの笑顔の意味を知りたくて努力した。

生まれつきの鈍感さはいかわらずだけど、努力して得たものは確かに君の心に繋がったと感じた。

心のなかの“それ”を大事にして、追求するのは、人として正しい行為だと僕は感じる。

もし、君も同じような感覚を抱いてくれるなら嬉しいです。いつか、どう思うのか聞かせてください。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

君の名前の最初の1文字は「真実を見て(知り)理解する者」と言う意味がある。

名づけた方の意思に反しようが、真実を見極めてもいいと思う。なぜなら、その名前の字をこの世に送り出した人々は、名づけた人よりも遙か昔にいた人々で、過去存在した多くの人々の想いがその名の意味を支えている。君の名の1文字は歴史を重ねて作りあげています。そして、その1字の意味の通り生きていいのだと思う。

君は価値ある人物です。僕に大切なものをくれた。

“彼ら”は歪んだ尺度で人を見ることを強要する。

そうした体質の元では、最初に書いた市民ランナー入賞のニュースは、どう映るのだろうか？

そんな事、急に思った。

過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違はなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。僕は脱出をとかく君に勧めます。何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。
その中にいる限り、永久に答えは出せないから。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです。

手が出せば届くような単純なものではない。
単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

物事は単純ではない、なにかしらバイアスがあり、それらが絡み合い“何か”を引き起こしている。

単純な真理1つで救われるほど、単純ではない。
まして、意味も解らず教えを妄信すれば、世界が救われるなど、ありえない事です。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！
君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

それが証拠に、彼らは彼ら自身の行いで、ドンドン日本を荒廃させている。

「いいわけ」と「ごまかし」の果てにある「悪意の集約」が何を引き起こすのか？

冷静に考えれば、わかることです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援していただきます。

君は自分で思っている以上に強い人です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由。

でも、あえていいいます。君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言葉のよことだまうに……どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言い返せばいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？

その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

なぜなら？そこは、ウソの救済話で、人の心を騙し取る“カルト集団”だからです。

頑張つて！負けないでほしい。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

もし「前代未聞だ！！」と言われたら？
こう言い返せばいい。

「へー、じゃあ、前例さえあればどんな犯罪行為もやっていいんだ」
と。

「ああ、そうだと凄まれたら？」

「そういうカルトっぽいところ、嫌で辞めたいんです。辞めるの自由だってひょっとして知らないんですか？」

「言えばいい。もしくは…」

「そういうカルトっぽいところ、嫌で辞めたいんです。まるで本当のカルトじゃないですか」
みたいな言い方も出来る。

「ただで済むとおもつな」
と言われたら？

「知ってます？口で脅すだけでも“脅迫”の現行犯だって」
みたいな言い方もいいかも。

「裏切りは許せない」
と言われたら？

「すごく、カルトにお似合いのセリフよね、それ」
「言えばいい。」

「カルトじゃない！」
と言われたら？

「そのセリフがどこかのカルトに似合ってるって言っただけで、

あなたがカルトと言ったわけじゃない。それとも…そうなの？」
ととぼけてみても、いいかもしれない。

そういえばこんな事も思う…

はたしてこれが僕の思い込みか？否か？

その答えを知るのは、この世で君のみです。

なぜなら、2人だけの共有している記憶の話だから。

別れ際、いつもほとんど、さよなら、と君は「言わなかった」気がする。僕の気のせいかな…、どうだっただろう。ほとんど聞いた記憶がない。君から聞いた別れ際の言葉で、一番印象に残っているのは「もう、行かなきゃ…」という言葉ばかりだ。

僕は何度も書いた、いつか必ずもう一度会いたい。

会って気持ちを確かめたい、と。

もちろん、僕の望みとは逆の結果も充分予測できる。

それでも。

これは、賭けです。一世一代の。

何度も書いたけど、こちらからは動けない、その理由も何度も記述した。だからとにかく、待とうと決めた。今は何かしら君の都合が悪いだけだと。

それでいいよね。

覚えているかな？

君が入院する…といったときの事。僕はお見舞いに行くよ、と言ったが、君は断固拒否した。嫌われていると思った。

でもあれは…、たぶん“彼ら”の合宿かセミナーに参加するため

だったのでは？と今は感じている。もしそうなら、当時、君はたった1人で戦っていた事になる。

僕は、小さな女に子にそんな事を強いる人達が許せません。

君はどう思うのかな…、事情が複雑なのだとは思う。それでも、いつか答えが聞きたい。

いつか未来の落ち着ける日々を信じて。

真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無いと思っていた。

こんなにももらっていいのだろうか？といつも思った。

君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。

君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるという行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あのときの事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっているのだろう。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいです。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのようにどこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言い返せばいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいきません。

なぜなら？そこは、ウソの救済話で、人の心を騙し取る“カルト集団”だからです。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです。

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

物事は単純ではない、なにかしらバイアスがあり、それらが絡み合い“何か”を引き起こしている。

単純な真理1つで救われるほど、単純ではない。

まして、意味も解らず教えを妄信すれば、世界が救われるなど、ありえない事です。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違っていると、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くなないと、わからないはずなのです。

それが証拠に、彼らは彼ら自身の行いで、ドンドン日本を荒廃させている。

「いいわけ」と「ごまかし」の果てにある「悪意の集約」が何を引き起こすのか？

冷静に考えれば、わかることです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援します。

君は自分で思っている以上に強い人です。

…君に読んで欲しい本があります。

日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けしないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

眞実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。
勇気を君に。

いつか未来の落ち着ける日々を信じて。

.....

「3月2日（水）曜日「暗示をとる事は可能です。「自分の心の支配権」は、本来、自分自身にあるのだと、思い出せばいいだけなのだから。」」

Fさん、暗示をとる（はずす）事は可能だと思いませんか？

多くのメンバーが、普段はちゃんとした事言うのに、組織がらみの出来事になると、まるで“暗示”にかかったようにスイッチが切り替わる。殺人をも肯定する犯罪集団の思想を平気で口にできるのだ。例えば？「死ぬまで追い詰める」とか。…その姿そのものが、“暗示”にかかっている証明だと思う。

流れに身を任せることは「けつして」悪い事ではない。
しかし、それと犯罪行為は「別問題」だ。

個人個人はまともな人なのに、まるで“暗示”にかかったようにスイッチが切り替わり、

「流れに身を任せる」犯罪も皆と一緒に平気でやる「
…というとんでもない判断をしてしまう。

この簡単な間違いを、脳が整理できなくなるほど、皆、強力な暗示にかかっているのだと思う。

暗示をとる事は可能です。時間はかかるけど。

「自分の心の支配権」は、本来、自分自身にあるのだと、思い出せばいいだけなのだから。

仮にとれなくとも（はずせなくとも）、自分が暗示にかかっている事実が気づけば、命令を拒絶することもできる。

暗示の怖いところは、自分が暗示にかかっているという自覚がない点です。

彼らは“恐怖”を使って集団を統率する。

恐怖は喚起しやすく、またコントロールもしやすいからだ。

逆に、恐怖以外の感情は予測も難しく、コントロールもしにくい。

しかし、人間の生活において恐怖以外の感情は非常に重要な要素だ。

これらの事柄が、何を意味するのか、考えてほしい。

繰り返し書きます、かけられた“暗示”を自分の手で解く事は可能なのです。

「自分の心の支配権」は、本来、自分自身にあるのだと、思い出せばいいだけなのだから。

逆境をもつともせずに奮闘するのを、「みじょうだまし雑草魂」などと呼んだり

する。

ある野球選手の座右の銘と記憶している。

こんな事も思う、かつての彼らは雑草魂の塊だった。

社会的に認められがたい地位の人々が一丸となり、社会の理不尽と戦ったのだ。

一丸となる際、暗示はさぞかし効果のあったことと思う。

だが？雑草魂をなくした雑草がどうなるのか？

これは言葉遊びにすぎない。

でも笑って一蹴できるほどの余裕がそちらの世界に人々にあるのだろうか？

理不尽をふりまく彼らの現状を表すには、この言葉遊び、言いて妙とも、言えなくも無い。

人の事を雑草呼ばわりするな！という人がいたら？

雑草に失礼だと思う。自分の事を胡蝶蘭だとも本気で思っているのだろうか？

“彼ら”は身の丈以上のプライドをメンバーに与えようとする。

でも事実、身の丈に会ってないので、プライドを維持するために他人を貶め続けたいといけなくなる。自分を高めず、他人を貶める行為が“メンバー”の心を心酔させる媚薬となり、悪魔の行為に身をゆだねる結果を導き出すのだろうか？

過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。

淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違
いなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。僕は脱出をと
にかく君に勧めます。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。

その中にある限り、永久に答えは出せないから。

Fさん、いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けない
で欲しい。

「狭量な人達」が「押し付けてくる」「勝手なイメージ」なんか
跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

「心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！」と
言ってやってください。

真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無
いと思っていた。

こんなにしてもらっていいのだろうか？といつも思った。

君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。

君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるという行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがす
る。

君は、あの子の事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思
い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっっているのだろう。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。

世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

今はつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。いろいろあると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい！

多分君の周りには悪意なく“そういう事”が出来る人がたくさんたくさんいると思う。

それは悪意があるのではなく、心が内向きになっていて、外に向いていないからだと思う。

心が外向きになれば、人として持つ“当たり前前の感情”が戻ってきます。

そう、周りの人に言ってやってください。（暗示はかならずとれます！）

…生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。
言霊ことだまのように……どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がって
いると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言
われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞め
たい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返せばいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それら（＝何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？）
は脱出してから考えればいい。そう思います。

いつまでもそこにはいきません。

なぜならそこは、ウソの救済話で、人の心を騙し取る“カルト集
団”だからです。

繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思
う。

世の中は常に動いている。様々なバイアスの元に。

しかし、2000年間という長い目でみれば、おおよそ世の中は、
悪意よりも善意が勝る結果の歴史を積み重ねてきたように思う。世
の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ
”をもっているようです。

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“
ふり”をしているだけです。

物事は単純ではない、なにかしらバイアスがあり、それらが絡み

合い“何か”を引き起こしている。

単純な真理1つで救われるほど、単純ではない。

まして、意味も解らず教えを妄信すれば、世界が救われるなど、ありえない事です。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

それが証拠に、彼らは彼ら自身の行いで、ドンドン日本を荒廃させている。

「いいわけ」と「ごまかし」の果てにある「悪意の集約」が何を引き起こすのか？

冷静に考えれば、わかることです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援します。

君は自分で思っている以上に強い人です。

君に読んで欲しい本があります。日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そついう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらつ機会をもらつた、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃつたとしても、

誰も責任取つてはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。

た画家たちの特集がされる中、1人異彩を放っているのが「アンリ・ルソー」だ。

彼はプロではない。

元税関職員の年金生活者だ。

1度もまともな訓練を受けた事はなく、絵はすべて独学、と記憶している。

絵を描くときは「パース」と呼ばれるテクニクを通常使う。

遠近法の基礎技術だ。

空間認識能力を理屈で解明した画期的描写法と理解している。

多少、絵が下手でも、この「パース」さえ正確に描けていれば、上手い絵に見えるのだ。

線は震えてでたらめなのに、なんだか全体を見ると上手く感じる絵とか、たまにあるけど、そういう理由で上手く見えるのだと思う。一点透視法、二点透視法、三点透視法とマスターしていくと、立体的な構図の絵が、かけるようになる。

正直、なぜこれを学校の美術で教えないのか理解に苦しみます。

全国の絵がかけなくて困っている人の半分位は、苦手を克服できると思う。

絵に限らず、スポーツでも、ランニングフォームをちゃんと教えれば劇的にスピードが上がる事はあり、走るのが苦手な人間の半分は救われるように思う。

いい先生にめぐり合わないと、自力で何とかしないといけないわけだ…。

「アンリ・ルソー」もひよっとしていい先生や指導者にめぐり合わなかった1人かもしれない。

彼は手本となる人物がいなかったがためだろうか？毎日美術館に

通つては、名画を眺めていたと聞く。

彼は「パース」が出来ていないというか、苦手だと思う。

彼の絵をみると、近くのを大きく、遠くのを小さく描くという一番簡単な遠近法に終始していて、複雑な構図をさける傾向にあるように感じる。

それが故、ジャングル画のように、「パース」のテクニックをいずにかけるモチーフを好んでいる。

察するに、彼は絵が下手なのだ。

しかしその技術の無さが気にならないほどの、圧倒的な表現力で人を魅了し、2011年現在でも、名画の巨匠の地位を手にしている。

技術はないが、迫力ある魅力があるため、彼の事を一般に「素朴派」と呼ぶらしい。

環境は人の人生を左右する。

若くして大舞台にたつ人は、早くからいい先生、いい指導者に恵まれ、本人の才能もあいつつて、実力が開花する。

正直、昔はすごい不公平だと思った。

だけど、ないものをいちいち悔いては、なにも始まらない。

以前この小説に僕は自分の経験則として、こんな事を書いたと思う。

「ないなら、ない、なりに工夫する」

そう！Fさん。ないなら、ないなりに、工夫すればいいのです。

いい指導者にめぐりあえなかった「アンリ・ルソー」は美術館に通う事で、絵を勉強しました。

「パース」の技術が低い「アンリ・ルソー」は、ジャングル画を

メインモチーフを選ぶ事で、欠点をカバーしました。

若い頃、絵を描ける環境になかった「アンリ・ルソー」は税関に勤め、歳をとり退職してから、絵に打ち込みました。

「ないなら、ない、なりに工夫する」

そういう事なのだと、僕には感じられてしまうのです。

機会に恵まれなくとも、あきらめず工夫を繰り返せば、活路がどこかにあるように感じる。

今でも“彼ら”とおぼしき人はくる。

たぶん、連中はあきらめてない。

終わりのない戦いだという事は承知している。

…これは、僕のわがまま。一緒に戦ってほしい。

機会に恵まれなくとも、あきらめず工夫を繰り返せば、活路がどこかにあるように感じる。

事実僕は今でも生きている、普通に。なんの問題もない。その事実が、真実の一端を証明している。

静かな戦いは消えることないだろうが、落ち着ける日々はたしかにあるのです。

いつか未来の落ち着ける日々を信じていいです。保障します。

初めての印象とういうのは忘れないものです。わくわくして、楽しくて、面白い。

周りの人に、機会があったら伝えてください。最初の印象って忘れないものだ。

違いを楽しんだり、同じと思う事を嬉しく思ったり、何もかも新鮮で彩りに満ちている。

僕には、あたらしい世界を共に歩みたいと思う人がいます。君はどう思いますか？

真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無いと思っていた。

こんなにもしてもらっていいのだろうか？といつも思った。

君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。

君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるといふ行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あのときの事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっているのだろうか。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。

世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言葉のよことだまうに…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しはいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいけません。

なぜなら？そこは、ウソの救済話で、人の心を騙し取る“カルト集団”だからです。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・
団体等とは一切関係ありません。）

第38話 大切な“なにか”があるなら…（未来へと続く話24）（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第39話 大切な“なにか”があるなら…2（未来へと続く話25）（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第39話 大切な“なにか”があるなら…2（未来へと続く話25）

（この物語はフィクションです。登場キャラクタークターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

〔3月4日（金）曜日「最も警戒すべき“彼ら”の手。〕

“彼ら”は妙なところでルールギリギリを守る。

逸脱したら、過去に排斥されたカルトのようにされてしまう事を恐れているのかもしれない…。

この戦い、ルールのルールを破ったものが負けになる…。

もし、君が今も戦っていると仮定し、最も警戒すべき“彼ら”の手は？

これは、あまり考えたくない仮設だが、警戒に値する。

前にも1度書いているが、ここで改めて書きます。

“彼ら”は手放すくらいなら破壊するくらいの事は考える。

あまり書きたくはないが、君を社会的に立ち直れなくさせるくらいの事は“彼ら”ならやりかねない。

具体的には、君を心が病んでいるとウソをつき、病院に隔離してしまうとかだ。

医者が診断書を偽造し、なおかつ君の家族が協力すると、不可能ではない。

（もしくは君自身の手で、入院の同意書にサインさせるかもしれない。だから、何かよく判らない書類に安易にサインや実印をおしてはいけません。実印は変えた方がいいと以前書きました。ここで、改めて書きます）

これを回避する方法はあるのだろうか？

これは僕の考え。行政書士なり、弁護士なりに、あらかじめ事の成り行きを説明し、もし、自分が強制入院させられて、人権が剥奪されそうになったら、親族を訴えるよう代理人契約のようなものを結んでおくというのはダメなのだろうか？月に1回なり回数を決めて連絡を取り合い、もし音信不通になったら行動をおこしてもらおう段取りをつけておくのだ。法的に通用するかわからない…、でも上記のイメージを使い相談し、法的に実効性あるプランを練る、というのは、ありだと思ふ。

もし、行政書士や弁護士も彼らだったら？

この対策は、可能な限り大きな事務所を選ぶとか、多くの人が集団で仕事をしている行政書士や弁護士の事務所を選ぶのがいいかもあるいは、古くからある教会に相談して、キリスト教徒の行政書士か弁護士を紹介してもらうとか。（そうそう、教会の神父さんと連絡を取り合い、音信不通になったら助けてもらえるよう、段取りしておくのも手かもしれない）

精神疾患の患者に1度でもされると、あるべき人権がなくなってしまうので、警戒が必要です。

…まさか、もうそういう目にあってないだろうか。心配です。

でもこれは“彼ら”的にも最終手段のはず、そうそうできないと思ふ。

そして、こつとも思ふ。

最終手段が上手くいかなかったりすると、手詰まりになり、“彼ら”は勢いをなくす。

“彼ら”は基本的に多くの人を「騙して」動員している。

短期間しか人員を動員できないから、限界があるのだ。

相手が手詰まりになるまで、何度でもやりつづけていいと思ふ。

実りなき不毛な搾取ばかりする人達に負けないで！

他人を虐げた果てにある快樂に意味を見出すのは愚かな行いです。
お釈迦様でも、きつと同意してくれます。

“彼ら”の未来の姿はわからない。しかし今現在の姿は、君の知
っている通りの醜い組織です。

脱出を勧めます。誰が悪い、何がいけない、などは。とにかく距
離をとつてから考えればいい。

（犯罪行為はいけない事だもし、今やめているなら、これからも
継続してほしい。）

もし、君が過去を悔いているならそれで大丈夫です。それが、過
去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。言霊ことだまのように…ど
こかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う（もし、
誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？
ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由を
もう理解している事になるわ、と言いつ返しはいい）。君は何も悪く
ないのだから、安心してください）

真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無
いと思っていた。

こんなにしてもらっているのだろうか？といつも思った。

君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。

君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるといふ行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あのときの事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっているのだろう。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。

世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。
勇気を君に。

君は聡明な女の子だ。きっと自分の身は自分で守れると信じます。
頑張れ！

「3月5日（土）曜日」…前日に引き続き、君に伝えます。」

Fさん、一応この記述はあらゆる可能性に備えて書いている。
最悪の事も含まれる。

もし、上記のような罫にすでにかかっていたとするならば？

そうでないと思うけど、あらゆる可能性に備えて書きます。もし、外れていたら、ああ、心配してくれているんだ、と思ってくれればうれしい。

もし、上記罫にもうかかってしまっていたと仮定するならば？

こう考える。いつまでも永久に閉じ込める事は不可能という可能性に僕は賭ける。

いつか、君は出てくる。その時まで今までどおりこの記述を書き続ける。

いつか、また、君がこれを目にする日を信じて。

持久戦なら負けない。その自信はある。

そう、君に伝えます。

君が、これを読めていることを信じて。

これからも、君が今も無事健康にいて、戦い続けているという前提で書き続けます。

“ なにか ” が “ 彼ら ” と違うところを見せるまでです。

他力がなければ何も出来ない、また、他力があればどんなにも悪になれる “ カオナシ ” に負けるわけにはいかない。君が心を解きほぐすまで。

君に伝えたい事がある。

たくさん。

いつか会った時にでも話しましょう。

気軽に会える未来を信じて。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。
勇気を君に。

負けるな！

だ。マツハ3を出す。

(2011年水準でもこれは速すぎる。現在でも最新鋭機の最高速はマツハ2・25〜2・5くらいが平均だ。相当無茶なエンジンを積んでいるのだと思う。それが証拠にミグ25は物凄く燃費が悪いのだ)

その当時、しばらくして大陸間弾道弾が普及すると、アメリカは高高度超音速爆撃機の開発を中止した、意味がないからだ。弾道弾の方が爆撃機より高性能だからだ。

その瞬間、「ミグ25」はまったくの役立たずになってしまう。なぜなら、そのアメリカのその爆撃機を迎撃する事に焦点を絞りすぎて、普通の任務がこなしにくい戦闘機になってしまったのだ。

エンジンは高度3万メートルで絶好調になるラムジェットエンジン。このエンジンは高度3万以外では、並以下の性能した出せない。速度は出せるが、空中戦は不得意。

唯一の長所は、機体がでかいので、たくさんミサイルをつめること。

つまり、ミサイル戦にしか使えない、超高速機で、限定的な運用しかできない戦闘機なのだ。

幸か不幸かカダフィー大佐は、この使い勝手は悪いが火力は優れた「ミグ25」をたくさんソ連からもらった。単にソ連から厄介払いものを押し付けられたともとれるが、当時の「リビア」にしてみれば、やはり、ものすごく強力な戦力だった。

この「リビア」の「ミグ」とアメリカの「F-14」が対決する事があった。

実際の戦闘はなかったが、アメリカ機がリビア機をロックオンした事はあったようだ。

似たようなシーンが映画「トップガン」のラストにもあり、どう

してもイメージがだぶる。

映画ではラスト、インド洋上空でミグと対決するが、誰がどう見てもあれは「リビア」を仮想敵国として描いたシーンだと思う。主人公はこの戦闘で、親友の死から立ち直り、本来の自分を取り戻す。

まあ、そんな訳で、「リビア」のニュースを見ると、どうしても映画「トップガン」が思い描けてしまいます。

時代が変わると戦いも変化する…

映画「トップガン」で有名になった「F-14」も2011年現在、今や時代にそぐわなくなり、全機引退した。「F-14」は空母を守るため、強力なリーダーと、ミサイルを積んでいる。

しかし、イージス艦が登場し、空母を守る任務を引き継ぐと、「F-14」は急速に厄介者になった。

なぜならイージス艦の方がはるかに強力な武器とレーダーを持ち、より確実に空母を守るからだ。

しかも「F-14」は金食い虫なうえ、空母を守る以外の任務が苦手なだった。

イージス艦の普及に反比例する形で、数を減らし、今や全機引退した。

変りに今は、何でもこなす多目的戦闘機「FA-18E」が米軍の主力になった。

昔は「F-14」の補佐役のような機種だったのに、改良を重ね、今や主役機だ。

時代が変われば、戦いは変わる。

これは他の時代にも同じ事が言える。

ナポレオン戦争以来大きな戦争を経験しなかったポーランドは、ナポレオン時代の軍備を第1次大戦時でも使いボロ負けする。時代にそぐわない装備をつかうと、多くの犠牲が出るのだ。

話は戻っていつもの話題。

Fさん。“彼ら”の戦いは、もう敵がないのに、敵を強引に作り出し、無理やり戦いを続けていると思う。そしてたぶんだけど、最近では現状の勢力維持で手一杯で、さらなる拡大は難しくないだろうか？

それが、“彼ら”の戦い方が「時代にそぐわなくなった」からだと思う。

なのにそのそぐわないものを、組織は押しつげ、ごり押しする。例えばそれが時代にそぐわなくとも。

“彼ら”は戦いが上手いかわからないと、信心がたりないとか、そういう考えをしないだろうか？

自分たちの戦い方が、古臭くなったのが原因なのに…

現在の政府の行政改革や財政再建が上手くいかないのと同様、既得権を守るうとする人がいる限り、衰退からは逃れられない。国家の衰退も辞さず、既得権の維持を望む人は、未来の責任を無視しているのだろう。

若い人らは、将来見に覚えのない負債を抱え込むわけで、この理不尽、回避できないものなのでしょうか？衰退の負債を将来の後継者に負わせるわけで。Fさんはどう思う？

Fさん、君が無事でいて、今も戦っているという前提で書きます。

「実りなき不毛な搾取」ばかり「する人達」と戦ってほしい。

「宗教を」自らの「悪趣味を満たす」ために「利用する」下劣な人間と「決別すべき」です。

そこは君のいるべき場所ではない。

「顔の無い人」の「無感情な笑顔」に惑わされず、冷静にいてほしい。

“フェアな精神” というのを鼻で笑うような連中がこの世をよくできるはずがない。

お釈迦様でもきつとこの意見には同意してくれるはずだ。

今日の記述はあえてマニアックに書いた。

これを読んで、マニアックな様子を馬鹿にする人間が出てくる事を、あらかじめ織り込んでの演出だ。

僕がなぜにミリタリーファンか？

別に人殺しが好きなわけではない。単に映画やSFに登場する強いものに憧れているだけだ。

人はたいてい自分にはない強さに憧れる。

人により、それがサッカー選手に向ったり、野球選手に向ったりするのだろう。

僕の場合はスポーツオンチだから、いまいちプロスポーツ選手に感情移入できないだけだ。

故に、映画やSFによく登場する軍事ものに強さの憧れを投影しているのだろう。

もちろん、これは趣味だ。限度をわきまえている。それが常識人だ。

ところが“彼ら”は常識人で「ない」人が多いらしい。

強さへの憧れを、組織の例のあの行動によって満たし、恍惚して

いる。そして限度をわきまえない。

あこがれへの投影をコントロールできない人間は常識人ではないと思う。

こんな事も思う。

メンバーのなかでも、実は陰口を言っているのではないだろうか？
かつてヒトラーが支配したドイツでも、熱烈なナチ信奉者の奇妙な言動を、陰で馬鹿にする風潮はあったと思う。

同じような事は、そちらの世界でもあるように思う。

「熱烈な“彼ら”的信仰の活動家」がする「奇妙な振る舞い」は
実際滑稽で、小ばかの対象にならないはずがない。その非常識な様
は、宴席でのからかいのモチーフにはぴったりのはずだ。

そうした小さなバイアスはつぶしきれるはずがない。小さなバイ
アスが、大きな流れとなり、勢力衰退の一因になっていると、頭の
言い人はもう気がついていると思う。言わないだけで（頭がいいか
ら言わないのだ）。

2645

時代にそぐわなくなった、滑稽な組織。

教えがどうか、そういうレベル以前の問題として、体質がおか
しくなっている。

彼らは“恐怖”を使って集団を統率する。

恐怖は喚起しやすく、またコントロールもしやすいからだ。

逆に、恐怖以外の感情は予測も難しく、コントロールもしにくい。

しかし、人間の生活において恐怖以外の感情は非常に重要な要素
だ。

これらの事柄が、何を意味するのか、考えてほしい。

過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違はなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。（それが証拠に「死ぬまで追い詰める」というフレーズ使うでしょ？それが、殺人をも肯定する姿そのものです）

僕は脱出をとにかく君に勧めます。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。

その中にいる限り、永久に答えは出せないから。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのようにどこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言い返せばいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

なぜなら？そこは“カルト集団”だからです。

…世界は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもって動いてきました。

そして今もそうした渦の中で（ダイナミズムで）動いています。

手が出せば届くようなものではない強大な“何かで”動いている。そして“変る常識”“変る世界”というのは、現実に確かにあるのです。

真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無いと思っていた。

こんなにしてもらっていいのだろうか？といつも思った。

君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。

君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるという行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あのときの事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっっているのだろう。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“ なにか ”があるなら、それは重大な事です。

世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

と思つてくれたら嬉しいけど、実際どう感じるのだろうか？
いつかの未来に、その答えに触れられる事を信じて、この記述を
続けます。

カダフィー大佐はチュニジアの元大統領のように、外国に亡命す
る事ができないのだろうか。

なぜなら？チュニジアの元大統領と違い、過去、テロに荷担した
り、不正蓄財したり、政権を追われたら断罪される要件を山のよう
に持っているからだ。

そういう意味では、チュニジアの元大統領は、まともだった訳だ。
逃げて、断罪される材料も少ない。だからサウジアラビアも亡
命を受け入れたのかもしれない。

けど、カダフィー大佐に逃げ道はない。どこへ逃亡しても、断罪
がまっている。(たぶん、例外は旧ソ連圏くらいかもしれない)

(今ニユースで、南米のチャパス大統領が仲裁を申し出ている。
チャパス大統領といえば、バイオエタノール政策でアメリカと対決
姿勢を示している新興国の勇だ。予想外だったけど、そういう選択
肢もある。カダフィー大佐南米逃亡だ。世界は常に動いている、ま
ったくこの可能性は思いつかなかったです。)

カダフィー大佐は「テント」で暮らしているので有名だ。

ベルベル族(トウアレグ統)の伝統と文化を大事にしているとい
う事だろうか？

アメリカのTV局に質素なテントで野外暮らしをする様子が放送
されていた。

最初見たときは、最高権力者なのに、なんて質素な…と思つたも
のだが、これは間違いだった。

次に「カダフィーのテント」が話題になったのは、彼がアメリカ
滞在中に使用したテントが、TVカメラに映った時だ。

たしか：アメリカ人富豪でカダフィー支持者の人が、自宅敷地を

カダフィーテントに提供した時の報道だ。

その敷地内に張られた「テント」は、前回TVで見たものとはまったく違う豪華なもので、サーカスのテントよりもさらに巨大で豪華なテントだった。

事実上の豪邸で、ある意味、本物の豪邸よりも金のかかる代物だった。

どうやら、前回見たテントは情報操作のプロパガンダだったらしい…。

たぶん、カダフィー大佐はこの調子で、長年「リビア」国民を欺いていたんだと思う。

今、アメリカがカダフィー大佐の資産を凍結した、と言っている。これに対して、カダフィー大佐は「私に資産などない」と、言っている。

どちらがウソなのかは、明確で、たぶん、リビア国民もわかっているのだと思う。

でなければ、内乱などおきない。

個人の欲望を満たすための全体など、歪みの象徴だと感じる。宗教を悪趣味な趣向に利用するのは、正しくないと感じるのは正常な事だ。

これに対して、怒りを表明することは、罰当たりでもなんでもない。

常識的なことだと思う。Fさんが、どう感じ、何を思うのか…、話せる範囲でいいから、いつか、聞きたい。

そう思ったりします。

でも、無理強いはしたくない。あくまで君の意思が主体であるべきだ。

その事は、強く、主張します。

そちらの世界にも、断罪されたらたまらない！と感じる人、多いのだろうか？

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいいます。君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのようにどこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言い返せばいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいきません。

なぜなら？そこは、ウソの救済話で、人の心を騙し取る“カルト集団”だからです。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです。

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

物事は単純ではない、なにかしらバイアスがあり、それらが絡み合い“何か”を引き起こしている。

単純な真理1つで救われるほど、単純ではない。

まして、意味も解らず教えを妄信すれば、世界が救われるなど、ありえない事です。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違っていると、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

それが証拠に、彼らは彼ら自身の行いで、ドンドン日本を荒廃させている。

「いいわけ」と「ごまかし」の果てにある「悪意の集約」が何を引き起こすのか？

冷静に考えれば、わかることです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援します。

君は自分で思っている以上に強い人です。

真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無いと思っていた。

こんなにもしてもらっているのだろうか？といつも思った。

君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。

君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるといふ行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あのとときの事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっているのだろうか。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。

世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらおう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

だ。

Fさん、嫌だよな、法律がない事をいい事に、やりたい放題な事をやる集団って。

そういう集団って明らかかな、反社会集団であり。社会は破壊するバイアスの発生源だと思う。

自分の利益のことしか考えてないやつは、本当に次から次へと、あくどい事を思いつきます。

実りなき不毛な搾取ばかりする人達は社会悪です。

え？もちろん、今回話題にのぼった「押し買い」業者の悪質さについて、述べたまでです。

他の何とも関係ありません。もし、何か他のものが連想されたとしても、それは僕が思いついたものでは、まったくありません。

もし仮に、押し買い業者で働いた経験がある人でも、自らの行いを反省し、悔い改める覚悟があるなら、その姿は社会悪ではなく、充分社会を良くする行為だと思う。そういう人の姿勢は、きつとどこかで被害者の無念を救済する行為に繋がっていると、僕は信じます。バイアスは必ずどこかで何かしらの波を起こす。そう、僕は信じるからです。

素直でいい子（いい人）を騙す連中というのは、世界中どこにもいる。

神は感じるものであり、近づくものではないと思う。

神に近づくと、人は他人より自分が偉くなったと考え、傲慢になる。

そんな人らが、素直でいい子（いい人）を騙す連中なのだろうか？

Fさんは、どう思う？

僕はこう思う。無慈悲があるなら、立ち向かっていいとおもう。君は強い、自分で思っている以上に。理由があるなら、負けないでほしい。

“彼ら”は幼い子供であろうが、か弱いお年寄りであろうが、容赦なく死ぬまで苦しめる犯罪集団だ。

それだけでも、遠慮する必要がない理由としては、十分だと思う。君が正しいのだから遠慮は無用です。きっと大丈夫です。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言葉のよことだまうにどこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しなさい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？

その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいきません。

なぜなら？そこは、人の心を騙し取る“カルト集団”だからです。

真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無いと思っていた。

こんなにもしてもらっていいのだろうか？といつも思った。

君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。

君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるといふ行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あのとときの事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっているのだろうか。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。

世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらおう機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃっ
たとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでい
て毅然とした態度で自分を主張してほしい。

この日に日本人を祝う事は、中国人にとってかなりのタブーらしい。現地スタッフの女の子が泣きながら、高倉さんは好きだけど、日本人は許せないと話したとか…、そんな感じのエピソード。聞いた記憶がある（この話、前も書いたかな？）

けど、時代はすすみ、今の中国人の日本人感は大いぶ変わった。

中国の経済成長とともに、プライドを取り戻した中国人は、わだかまりを捨てつつある？と信じたい所です。

似たような事は日本にもあった。

Fさん、僕らが小学生の頃、日本人はみなアメリカ人コンプレックスを抱いていたと思う。

TVで社会問題が取り上げられると、決まって「アメリカではこうしているんです、できてない日本は遅れているんです」的なトーンのもが多かった。2011年現在、こういう風潮はない。自信を経済大国になる事でとりもどした日本人は、敗戦の屈辱を克服し、1つ国家レベルで国民性が向上した（民度が向上した）と思いたいところですよ。

いまの中国人の意識の変化を見ると、なんだか、そんな事を感じます。

人は常に成長する事を求め、実践している。

そして、世界は、常に、今も、動いていると思いたいところです。“彼ら”とて例外ではない。人としての成長を望まない人はいないと思う。

最近、自民党の石原幹事長の面白いコメントを聞いた。別に大臣を辞めさせたいわけではない、という発言だ。

前原さんの辞任をうけた影響だと思う。

辞めさせたところで何も解決しない「実例」が起こる事によって、国民が気づくのだ、本当に改革するのは、そんな方法では意味がない、と。実りある議論の方向に進むと信じたいところです。

“彼ら”も君の気持ちを「実例」として示され、目の当たりにすると、なにかがあると思う。

多くのメンバーは信じられないと思うかもしれない、しかし中には感動する人もいるだろう。

「実例」を目の当たりにした人間のころには、多くの感動と歓喜が沸き起こる。

だから敵ばかりでなく、普段は感じられず、見えない味方も、たくさんいるんです！絶対。

なぜなら、君は圧倒的に正しいから。その正しさの放つ清涼感を打ち消すためには、本物の悪魔にならねばならないけど、多くのメンバーはそこまでの覚悟はない。その覚悟があるのは（全体から見れば）ごく一部で、そのごく一部ですら、他の多くのメンバーの前では、悪魔であるフリをいいわけでごまかしている。教えのためだと。

そんなごまかしの犠牲に、君の人生がささげられるのは、誰がどう考えても間違っている。

そういうわけで、君は絶対的に正しい。それが、見えない味方がたくさんいる根拠です。人間は言うほど邪悪ではない。誘導する“誰か”がおかしいのだ。

僕は何度も書いた。過去は学び、反省するものだと。それが未来の糧になる、と。

幕末の日本は政府（幕府）は硬直化していた。しかし地方勢力に活力が留保されていたから、明治維新という革命を成し遂げる事がかのうだった。今現在も、企業や地方に活力は留保されていると思う。政府が硬直化しても、かならずそれを補完する“なにか”が日本にはあると信じたい。

“彼ら”は異質を排除する。それは可能性の留保を排除する思想で、実際、組織が硬直化すると活路となる活力が留保されていないから、永久に硬直化したままだ。実際もしそうになっていたとしたら、実際、悲劇だと思うけど、どうなのだろう。

小さなことから始めるのが、小さな1歩と僕は信じます。

一度見下した相手を、もう一度見下さないようにする（頭を切りかえる）という事は、小さな1歩としては、実にふさわしく、挑戦市街のあるものだと思う。それでいて、自分を見失わず、毅然とした態度で、人を恨まず接する…。

難しいけど、挑戦しがいのあるものです。

Fさん、君の周りに「一度見下した相手を、もう一度見下さないようにする（頭を切りかえる）」という事」が出来ない大人、たくさんいると推察します。君は何も悪くない、その環境に問題があるのだ。だから、何よりもまず脱出を勧めます。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいいます。君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言葉ことだまのよつに…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返せばいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？

その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいきません。

そこは、まちががなく“カルト集団”です。

優しさを利用されてはいけません。

頑張つて！負けないでほしい。

世の中は常に動いている。様々なバイアスの元に。

しかし、2000年間という長い目でみれば、おおよそ世の中は、悪意よりも善意が勝る結果の歴史を積み重ねてきたように思う。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです。

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

物事は単純ではない、なにかしらバイアスがあり、それらが絡み合い“何か”を引き起こしている。

単純な真理1つで救われるほど、単純ではない。

まして、意味も解らず教えを妄信すれば、世界が救われるなど、ありえない事です。

自分を信じて。 Fさん。

真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無いと思っていた。

こんなにももらっていいのだろうか？といつも思った。

君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。

君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるといふ行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あのときの事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっているのだろう。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。

世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君に読んで欲しい本があります、日蓮の現存する正筆御書というのを、一度見てみてください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いないある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

Fさん。重ね重ね言います！「それ」は裏切りではなく、「成長」だと思う。

.
. .
. . .
. . . .
.
.

「3月11日(金)曜日「苦労は糧かてになる。そんな事が事実あるよ」
うです、Fさん。」「」

Fさん。ようやく無職を脱出しました。

数日前から通勤してます。

だから今までのように書けないかもしれない…。

でも、可能な限り書き続けます。

君が頑張っているのだから、僕が頑張らないわけにはいかない。
いつかの未来の日々を祈って。

働き出して感じる事。

Fさん、それは、まだ、限界はぜんぜんきてない。と感ずる事だ。もちろん初めてのことはかりで余裕はない。

以前トルコ旅行した時は、2日が10日にも感ずる刺激を受けたが、あれに匹敵する感ずです。毎日がめまぐるしい。でも“彼ら”の最大級かもしれないあの猛襲をくりぬけたあとでは、心の余裕がなんだか違ふ気がする。そういう意味で（プレッシャーの）限界にはまだまだ余裕がある。

昔の僕なら、簡単にパニックになっているような状況でも、自分をコントロールで来ていると思う。

もちろん、あいかわらずな不器用さはあるが、メモをとるなり、いろいろ工夫して、なんとかやれていると思う。

昔と変らないけど、昔より多少自分をうまくコントロールできるようになった。

本当に、何が、幸いするか解りません。

苦勞は糧かてになる。

そんな事が、事実あるようです。Fさん。

もちろん、相変わらずだめさはある。変らぬ僕もここにいるわけで、Fさんはどう感ずるのだろうか？

君は僕の人格を知っている。

変ったところ、それでもないところ。

どんなところを、どう思ふのか？それだけでも、いつか、教えてくれるとうれしい。

そんな未来を信じたいです。

いつか未来の落ち着ける日々を信じて。

過去は糧かてにするものです。君にもそう信じて欲しい。

だめかな？でも、いつか君がそれを信じられる日がくるまで、頑張ろうと思う。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。いつか、想いが届く事を信じて。

僕は18年前の君の謎の言動の真実を理解したい衝動をずっと持っていた。

あの笑顔の意味を知りたくて努力した。生まれつきの鈍感さはいかわらずに、努力して得たものは、確かに君の心に繋がったと感じた。

心のなかの“それ”を大事にして、追求するのは、人として正しい行為だと僕は感じる。

もし、君も同じような感覚を抱いてくれるなら嬉しいです。いつか、どう思うのか聞かせてください。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。君の名前の最初の1文字は「真実を見て（知り）理解する者」と言う意味がある。

名づけた方の意思に反しようが、真実を見極めてもいいと思う。なぜなら、その名前の字をこの世に送り出した人々は、名づけた人よりも遙か昔にいた人々で、過去存在した多くの人々の想いがその名の意味を支えている。君の名の1文字は歴史を重ねて作りあげています。そして、その1字の意味の通り生きていいのだと思う。

君は価値ある人物です。僕に大切なものをくれた。

真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無いと思っていた。

こんなにしてもらっていいのだろうか？といつも思った。君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。

君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるという行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あのときの事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっているのだろう。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。

世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言葉ことばのように……どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言い返せばいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内には永久に出ない。

もしFさんが、自分の持つ邪悪な何かに悩んでいたとしたら？

Fさんは僕が何と言うか想像つくだろうか？

僕はこう言うだろう。

みんなそうだよ、と。

そうした部分を心に持っていること自体は、自然なことですよ。人間なんだから。

問題は周囲の環境にある。

殺人をも肯定する犯罪集団にある。

誰しもが持つ「心の隙間」をついて、なにかを捻じ曲げようとする人々。

カルトの放つ魔力は説明しがたい影響力を君に行行使する。

小さい頃からそういう環境では、仕方が無い事です。

脱出が先決です。

それらいろいろなものへの結論は、脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいきません。

距離をとってじっくり考える時間があってもいいと思う。

その集団は、まちががなく“カルト集団”だからです。

影響のない（少ない）環境こそ、君には必要かもしれない。

自分だけの“何か”を取り戻すためには。

優しさを利用されてはいけません。頑張つて！負けしないでほしい。

君に読んで欲しい本があります。

日蓮の現存する正筆御書というのを、一度見てみてください。どう感じるのか、いつか、聞きたい。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかに言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

説は外れていてほしい。

一番好きな女の子に、幸せになったほしいと思うのは、当然のことだ。誰もこのことを否定できないはずだ。

もし、今、しあわせなら、ああ、心配してくれているんだ。思っ
ってほしい。

でももし、違うなら？そうであってほしくないけど、もし、仮に
そうなら？

理由さえあれば、君は課された義務を放棄しても大丈夫です。僕
が保障します。

君は遠慮深い子だ。

僕はこんな君の口癖を思い出す。

「（じつはこんなふうに）…して欲しかったの」と。

君は自分から願いや思いや、ましてワガママを言わない子だ。

言うとしたら？相当追い込まれた時か、止むに止まれぬ状況にな
った時だけだ。

それ以外は、君は可能な限り自分を抑える控えめな性格をしてい
る。

理由さえあれば、あるべき権利は行使していいと。つよく表明し
ます。

意味の無い義務は放棄していいんです。

もし、誰かに何か言われたら？こう言えばいい。

「私、間違いに気づいたの、だからもうやらない」と、明確に言え
ばいい。

あいまいに言うと、正確に伝わらない…、難しいけど、忘れては
いけない事柄です。僕もできてない事が多いけど、そう勤める努力
は忘れないようにしている。

人に何かを伝えたい時は、テクニックや実績や肩書きも重要だけ

ど、一番は熱意や情熱だと思う。

譲れない“何か”がまだあると確信できるなら、偽りの情熱に身を任せ安楽におぼれる人々に、本物の情熱が何かを教えてやればいい。

想いは本物なんだから。

君が君らしくあり続ける事を、何よりも求めます。

笑顔の君は、最高に素敵です。

真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無いと思っていた。

こんなにももらっていいのだろうか？とも思った。

君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。

君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるといふ行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あのときの事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっているのだろう。
ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。
僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり
笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。
世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思いますがどうなのでしょう。
う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？
生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由。
でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。
もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。
言葉ことばのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がって
いると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言
われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞め
たい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返せばいい）
とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。
それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちがいに「カルト集団」です。

優しさを利用してはいけません。頑張つて！負けないでほしい。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取つてはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

.....

今日は久しぶりの休みです、のんびりしています。

そういえばこんな事も思いだす…。

高校時代のある日、かかってきた電話営業の電話。

その事を後日、君との会話の中で話した。

「速攻で切った」見たいな事を言ったと思う。

僕は当然、そうよね、みたいな同意が得られるとばかり思った。

が、君のリアクションは予想外で、えーっというものだった。

「Fさん、（電話営業）やったことあるの？」

と、僕が聞くと。

「バイトで」と君は答えた。

そんな記憶、確かにある。

これは僕の妄想だけど、ついさっき、今日は休み、と書いてからトラックの来る回数が増えた。

中には、いつもの意味の無い切り替えしをやるのもいる。

で、こんな事を妄想するわけだ。

だれが担当責任者が、電話なりの連絡法でメンバー1人1人に連絡し、ここそこへ車なりトラックで行って欲しいとお願いしてまわるのでは？と。

それこそ、まるで「電話営業」のように…。

ここからは推測。

高校生で電話営業のバイトは、正直ありえないと、今は思う。

どうなのだろう？仮にあったとしても、Fさんがそれを自分から希望してやるというのはおかしいと思う。

2011年現在はともかく、すくなくとも1992年当時は電話がおもな連絡方法だったと思う。

君も当時ポケベルをもっていた。

高校生の女の子に、メンバー1人1人に連絡する役をやらしていたと言うのだろうか？

（あのポケベルが鳴る様に電話をかける役というのも当然いるわけで、君も当時やらされていたのだろうか？あの夏祭りの日、2人手をつないで歩いているとポケベルが鳴った。君はその連絡を無視した。あとでどんな目にあったの？あのあと手術するので入院するといったが、君に手術の跡などない…。無視したものには制裁が待っていたの？話しても大丈夫です、ぼくは秘密は守ります。）

そんなものは犯罪行為だから、投げ出していいものだと思っ
たのに、君は必死にやりぬいたわけで。
どんな思いだったのか…

もし、今も意味の無い犯罪行為に荷担するようもとめられている
なら？

そんな義務は放棄していいと思う。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由。
でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言こと霊だまのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がって
いると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言
われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞め
たい理由をもう理解している事になるわ、と言ことい返せばいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内には永久に出ない。

過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史は
ない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。

淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違はなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。僕は脱出をとにかく君に勧めます。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。

その中にある限り、永久に答えは出せないから。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちががなく“カルト集団”です。

俗人が聖者の微妙なニュアンスを正しく理解できないが故おこった教えの歪みだ。…でなければ、誰かが意図的にゆがめた事になる。

Fさん！惑わされず、自分の想いを貫いて欲しい。

君が君であるために。

優しさを利用してはいけません。頑張つて！負けないでほしい。

僕は今、賭けをしています。

君が生まれ変わる意思を貫けるかどうか？と。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう

今更ながら思う。

僕が漫画を描く際、いつもキャラクターの感情で苦労した。

正直に言う、喜怒哀楽の描写が苦手なのだ。

それは、僕自身がそうであるからであり、僕の性格を知る君なら、そつだよなーと思うところだと思う。その辺の性質が、僕らは似ていた。お互い、喜怒哀楽の表現が下手なのだ。この弱点を克服する方法は？他人の感情表現から学ぶことなのだが、いかんせんこれが上手くないかない。

覚えているかな？トランペット1st 2nd、トロンボーン1st 2ndでやったアンサンブル。トロンボーンの僕ら2人だけ、トランペットの2人にくらべて感情表現ができなかった。具体的にはステージに棒立ちだった。僕個人としては、動いたつもりなのだが、客席からみると、僕と君の2人は棒立ちに見えたらしい。

そんな記憶、あります。

感情表現が苦手だから、他人に気を使いがちだ。

でも2人きりである時は、そんな気兼ねがいらなかった。

君はどう感じたんだろう？

いつか、教えてほしい。

こんな思いもする。今までここで書いてない2人だけの思い出の中から推察するに。

君は粗野な男性ばかり見知っている様子だった。

そんな君が僕に興味を抱いたのは、なんか、少し、わかります。

それが故、今の僕は、自分は自分らしくいよう、あの子の為にも、と思えるのです。

笑顔を見ると笑顔がつられる…、その事実是不動のものだ。

最近こんな事に気がついた。
笑顔の誰かの顔をみながら、漫画を描くと、スムーズに話が作れる、と。

笑顔とは、他人に影響を与えるものらしい。
君が、今でも、あの満面の笑みでいてくれる事を、僕は切望します。

真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無いと思っていた。

こんなにしてもらっていいのだろうか？といつも思った。

君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。

君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるといふ行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あのときの事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっているのだろう。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。

淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違はなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。

僕は脱出をとにかく君に勧めます。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言葉のようことだまにどこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しはいい）
とにかく、答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。
その中にある限り、永久に答えは出せないから。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちがいになく“カルト集団”です。

優しさを利用してはいけません。頑張つて！負けないでほしい。

- - - - -
- - - - -

〔3月14日（月）曜日「頑張れ！」？

…Fさん。

君も過去、たくさん人を睨む行為をさせられたと思う。

もうやらなくていいんです。

もし、話す事で少しでも楽になるなら、いくらでも聞きます。

僕は秘密を守ります。今日も昨日と同じ22時の電話をとる準備
しました。

鳴らなくてもかまわない。これは、僕が自分に課したものだ。

…君の心に報いるために、ごめん、あの時気がつけないで、あの
時の君の想いは本物だった。

…世界は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨
大さ”をもって動いてきました。

そして今もそうした渦の中で（ダイナミズムで）動いています。

手が出せば届くようなものではない強大な“何かで”動いている。
そして“変る常識”“変る世界”というのは、現実に確かにある
のです。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。
う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃっ
たとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでい
て毅然とした態度で自分を主張してほしい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

「3月14日(月)曜日「頑張れ！」」？

あれほどの力、こういう地震の時、社会救済に使えと、お釈迦様でも思うはずです。

メンバーでないからと、見殺しにするのは、やはり、普通でない組織です。

すずめの涙ほどの救済すら、するか？しないか？だと思つう。

これが、言いがかりでなく、真実なら、本当に最悪な組織だといふ証明になります。

何のための救済なのか？自己欺瞞の果てにある悪意の総体は、何を意味するのか？

その答えは？

出さなくていいです。

そんなものはカルトにでも考えさせればいい。

この世は“バイアス”で動いている。その事実さえわかっていれば、あとは、自分がいかに精一杯生きるかを、考えれば、それでいいと思つう。

君が、君の真実にたどり着ける日を夢見て。

頑張れ！負けるな！

「3月15日(火)曜日「君は言つたろつう。」

Kくんに話すと「…でもそれは」と反論されて、なにもいえないくなり、話を聞いてもらえなくなると。

もう、そんな事はない。大丈夫です。」

Fさんへ、君がこの地震の被害にあっていなければといのりです。推測ですが、東北地方には縁はないと思った。

仮に君がいるとしたら関東か東海かそのへんだろーと思う。

だから、今も君が元気で、そして戦っていると信じて、この記述を続けます。

Fさん、日本を代表する企業ソニーは今回の地震に即座に3億円の義援金をと表明したらしいです。

え？ん？そう、日本で実力ある集団というのは、こういう行動で社会に貢献すべきなんだなーと感心したって話です。

もちろん、金額なんて問題じゃないのは解っている。

支援とは誠意の問題だ。

でも日ごろから偉そうにしている“彼ら”が3億をケチるのは、実に格好が悪く、日ごろの美学を損なう行いなわけです。

君の周りにはいるだろう。

「そんなものは、偽善だ！」と。

それが、お釈迦様の教えを曲解した、おぞましい姿そのものである事は、説明する必要のない事実です。

仏法のできた昔、今回のような大地震がおきたら？

それこそ仏法で書かれているような、他人を押しつけてでも生き延びようとする世界が展開するだろう。

しかし、時代はかわり、現在は世界中から支援がくる。

この矛盾、「偽善」と切って捨てるのは、心が歪む行為だ。

素直に「時代はかわった、教えが全てではない」と受け入れられない限り、ゆがみはたまってゆく。

現にその集団はターゲットを死ぬまで追い詰めると考える集団だ。幼い子供だろうが、年老いた老人だろうが、容赦しない悪魔な考えだ。

その姿そのものがお釈迦様の嘆く姿を想像させる。何をやっておるのだ、と。

仮に来世が実在するなら、その時、自らの人生の間違いを知らされた多くのメンバーは、どんな思いをするのか。

話は代わって今日の朝。

けさコンビニに電池を買いに行ったら、もう電池はなかった。

皆同じ行動をしているようで、そうだよなーと納得した。

幸いまだ家には在庫があるので、焦りはしないが、何日も現状が続くと、心細いです。

途中見たガソリンスタンドでも列ができていた。

福島原発が止まった場合、通常は火力発電所をフル稼働させてバックアップするのだけど、今回は火力発電所もやられてしまった。こうなると、関西方面から電気を分けてもらうしかないのだけど、関西は電気の周波数が違うのでコンバーターで変換する必要がある。（以前書いたかな？幕末・明治のころ、西と東でそれぞれ周波数の違う発電機を買ったのが、そもその始まりで、今でも西と東で電気の周波数が違うと。現在の家電には最初からコンバーターが内蔵されている製品も多く、不便を感じないが、電気を大量に消費する工場などでは大変だと思う）

今回の電力不足はこのコンバーターの不足にもんだいがありそうだな、と感じた。

これほどの大量の電気を変換するほどのコンバーターは用意してなかったらしい。

コンバーターが増設されたら？関西方面の電気がこちらに大量にきて、電力問題が一応の安定を見ると思う。

なにしろ若狭湾にも原発はあるし、発電能力自体は足りているのだから。

“彼ら”の理屈でいえば、関西が電気を分けてくれるはずがないことになる。

なにしろ世の中は悪意で満ちているのだから。

だけど、現実はそうではない。

この矛盾。

みな教えがおかしい事は気がついている。

頭がいいから言わないだけだ。

気がついているのだから、遠慮しなくてもいいとおもおう。

…生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいいます。

Fさんにだけは、そうした犯罪行為から離れてほしい。

もし、今離れているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

(もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返せばいい)

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちがいになく“カルト集団”です。

優しさを利用してはいけません。

今朝コンビニに行くと、目の前でバイクが止まった。

僕は自転車の鍵を外しているところだった。

バイクは止まり、エンジンをかけっぱなしで、乗り手は店内に。

とくにいそぐ様子はみられない。

エンジンかけっぱなしのバイクは、彼らのよくする行動の1つだ。キーがついてるので、切ってやるうとか思ったけど、ドロボーと思われるのもやなので、やめといた。

“彼ら”は世の中がこんな時ですら、こんな事をする「救われない集団」なのか？

それとも、このバイクの持ち主が間抜けなのか？

ぜひ、後者が真実であると信じたい。

で、なければ、“彼ら”派被災しても他人の援助は受けるが、自分たち組織は他人を見殺しにするという、宗教的にも許されない行為を正当と思う集団であると認める事になる。

もはや、それは宗教ではなくカルトだ。救いよりもエゴが勝っている。

エゴイストの集団にいいようにされるのは、間違っています！

Fさん。脱出がベストです。

君も過去、ターゲットの目の前に車を止め、エンジンをかける、といった行為をしたことあるのかもしれない。

タイミングをとるのに苦労した、なんて経験。たくさんあるのだろうか？

もし、話して楽になるようなら、いくらでも聞きます。
君は言うだろう。

Kくんに話すと「…でもそれは」と反論されて、なにもいえなくなり、話を聞いてもらえなくなると。

もう、そんな事はない。

大丈夫です。

今日も22時に電話の前で待つてみます。君の心がどう思うのかに賭けて。

静かな戦いは消えることないだろうが、落ち着ける日々はたしかにあるのです、今も、未来も。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃっ

「ものすごいカルトらしい発想だわ」と。

悪意が支配すると勘違いの極みをしている人は世界を歪ませる事しか、思いつかないのだろうか？

もし、君が“彼ら”と離れているなら？

こんな事を伝えたい。

初めて伝える個人的な出来事の話に、あんまし驚かない人、いると思う。

初めて話したはずなのに…。

そういう人は“彼ら”の可能性が高い。

もつすでに監視網の情報から知ってるから驚かないわけだ。

一般の人と、見分けるポイントの1つだと思う。

(単にマイペースな人の場合との区別も考慮に入れてね。)

“彼ら”の多くは、被害者からの(“彼ら”的行動による被害の)告白されても。

そんなのあるはずない、とか。

気のせい、とかいう。

それは東京の職場である程度経験した。

幸い頼りになる人がいたから良かったが、そうでない被害者は大変だと思う。

君も、被害者からの告白を無視した経験、あるのだろうか？

やさしいきみにとって、それは、封印したい記憶になると思う。

でも、もし、“彼ら”から距離をとるなら、ふいにそうした記憶のよみがえりに悩まされるだろう…。

話す事で、少しでも和らぐなら、いくらでも聞きます。

君が君であるための協力は惜しみません。

秘密にしたければ、それは永久に秘密にされるでしょう。
だから、安心して話してください。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのように……どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言い返せばいい）
とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちががなく“カルト集団”です。

優しさを利用してはいけません。頑張つて！負けないでほしい。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう

う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

“彼ら”は世間体を気にする。

その辺りに弱点があるようにも思うのだけど、どうなのだろう？

何か戦うヒントになるだろうか？

やはり、あれは、必要があつて通過している車ではないということなのだろうか？

その仮説が正解なら、“彼ら”とて、こんな非常事態にはいやがらせどころではないという正常な思考ができる事になる。

これは、暗示が解けた瞬間と解釈できる。

非常事態が理性を歓喜し、暗示よりも理性の判断を優先させる事になったのだ。

もし、それほど教えが優先なら、来るはずだ。

所詮、皆、片手間にやっているに過ぎない。

Fさん。みな、そんなに入れ込んでないんです。

いやいややっている。

君だけではないと、そう、僕が思うことを、君に伝えます。

“彼ら”的行動とは、「熱気」にあてられて思わず興奮する集団恍惚状態が作り出すものだと思う。

これが、お祭りとかスポーツならまだいいが、犯罪行為に集団恍惚するのは、間違っている。

…でも、恍惚状態にあると、理性的判断が出来なくなり、皆、別人に変わってしまい、犯罪も肯定する人間にさせられてしまう。

こういう状態を一般に「トランス状態」と呼び、暗示を「ものすごく」受け入れやすい状態、と理解しないといけません。

一度暗示に「かかる」と、なかなかとれない。

君のまわりを見回してほしい、事実、普段はいたって「普通」なのに、“彼ら”の悪意に関しては「正常な思考」が出来ない人、多いと思う。

それは、暗示にかかっているからだと思う。

もちろんこれは推測を書いているに過ぎない。
その世界がそこまで「本当に」酷かったら、そつとう病んでいる
事になる。

「病んだ人間を救う」のが本来の仏教であり、「病んだ人間を大量生産する」事はカルトの思考です。

そこは、どう屁理屈をこねても、覆せない、当たり前前の真実だと、「普通」の感覚の人間なら思うところです。

…Fさん、戦ってほしい。

君を責めたりはしない、そういう環境に問題があるだけだ。

小さかった君は必死に頑張ったに過ぎない。

心細くとも誰も味方になつてくれなかったのだから。

悪いと知りつつも、やらざる得なかったのだから。

そのうち感覚が麻痺して、受け入れるようになったのだと思う。

それでも、どこかに心で引っかかるものがあり、時々どうしよう

もない気持ちに襲われたんじゃないだろうか？

もう、そんな事しなくていいんです。

君は、もう1人ではない。

君にだけは、“彼ら”的行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言葉ことだまのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰だれかにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返せばいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？

その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

なぜなら？そこは、ウソの救済話で、人の心を騙し取る“カルト集団”だからです。

頑張つて！負けないでほしい。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

第39話 大切な“なにか”があるなら…2（未来へと続く話25）（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第40話 大切な“なにか”があるなら…3（未来へと続く話26）（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第40話 大切な“なにか”があるなら…3（未来へと続く話26）

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

「3月18日（金）曜日「Fさん、こんな自分、みたいな事思わないで。」

今ある魅力をいい方向に使えばいいだけなんだから。」

こんな映像をついさつきTVでみた。

新橋駅で電車をまつ人らが階段に腰かけて待っている。

階段の真ん中は空いている。上り下りする人のためにあけてあるのだ。

解説で有名になった池上彰が、こう紹介する。

「この写真を見て中国人は日本人のマナーのよさに驚いている」と。

“彼ら”は逆に社会のいマナーの悪さを強要する。

悪いマナーも何十万と束になって個人を襲えば、メガトン級の脅威だ。

“彼ら”はルールを守れと主張するが、彼らの勝手に決めた反社会的ルールを何で押し付けられるのかわからない。

特に解らないのが、ルールを守れ！と責めてくる人が、何の疑問ももたずそれを行う点だ。

皆、暗示にかかっているからだと思う。

これは僕の憶測。

君はレポートの類、書かされたのだろうか？それも過去にたくさん。

東京で3年観察したあの人は、レポートの提出を社員に求めていたけど…

東京で3年観察したあの人は、要領の悪い人だったから、誰かの受け売りをしていたと思う。

もしかしたら尊敬する“彼ら”の手法を取り入れていたかも…なんて思わなくもない。

レポートという推測は外したかもしれないけど、相手を従わせるには、ある程度強気にでないとダメなときがある。

“彼ら”の世界で上にいるなら、こうした感情の緩急は求められるものかもしれない。

もし、この感情の緩急のコントロールをマスターしていたとするなら？

それは、無駄なスキルではない。

子育てにも役立つし、仕事をするうえでも、交渉の席でも、物凄い役に立つ。

僕は自分が絶対に正しい時は強気にでれるが、そうでないときは苦手だ。

でも自分が絶対正しいかあいまいな局面と言うのは、生きていく上で多分に存在し、そういう局面で、強気をコントロールできるのは人としてのスキルとして大人なものだと思う。

問題は、彼らはその強気を人を貶めるカルト的行為に使うよう要求する。

そこが問題なのだ。

そのスキル。正しく使えば、何も問題ない。

カルト的行為を強要される環境に問題があるのだ。

伝わるかな…、この微妙なニュアンス。

Fさん、こんな自分、みたいな事思わないで。今ある魅力をいい

方向に使えばいいだけなんだから。

君と僕は同い年だ。

こつも思う。前も書いたけど、君は生まれた頃からその環境にいた。

小さな頃から今まで36年間、“彼ら”の暗示を受け続けていた事になる。

僕は以前、いつまでもこの記述を書くと言った。

でもより具体的な数字を書く、空想的なイメージが現実味を帯びるという現象がこの世にはある。

そこで演出として、こう書いてみる事にする。

最低でも君が暗示を受け続けた36年に相当する期間は、書き続ける！と。

どう？具体的な数字を入れると、少しリアルになるでしょ？

この方法は、交渉ごとにも使えます。

あいまいな返答ばかりする相手には、具体的な数字を盛り込むと、少しリアクションが違つかもしれない。

そんな事、急に思ったので、ここに伝えます。

今、これを書いている時点で22時を回った。

あるはずの無い電話を待つという日課が今日も終わったわけです。

これは僕が自分に課した義務。

36年か、あるいはそれ以上、この日課は続くでしょう。

君のあの時の気持ちに報いる方法を、他に僕は知らない。

僕はようやく気がつきました。君にその事を、この口で直に言える日を夢見て。

真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無いと思っていた。

こんなにもしてもらっていいのだろうか？といつも思った。

君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。

君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるといふ行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あのときの事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっているのだろうか。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。

世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言葉のよことだまうに…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返せばいい）
とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかかわらず、

Fさんへ。

今日はホントは木曜日です。

働いてるせいかな？

もつれつに眠気がきます。

本当に申し訳ないけど。今日は22時電話の前で待てない。

たぶん寝てしまおうと思うので、寝る前にこれを書きます。

明日は大丈夫と思うけど...

慣れないこと続きで、毎日大変です。

君もそうなのかな...、どうなのかな...

いつかの未来、どこかで、2人の道が交われば、幸せです。

君の未来を信じて。

.....

「3月19日(土)曜日」ただ、本人の自由意志を捻じ曲げるような暗示はいけないと思う。

Fさんは、どう思う?」「」

TVをちらとみていたらこんなのがやっていた。

「金曜日の妻たち」という古いドラマの出演者が当時を語る内容の番組で、出演者の1人が、ドラマのテーマ曲をきくと、無条件に泣いてしまう...というのだ。

ああ、これは暗示だな。と思った。

暗示は別段悪いものではない。

人間ならだれでもかかるし、日常生活は暗示にあふれている。CMもそうだし、看板や広告もそうだ。

もしかしたら恋愛ものあるていど作用しているかもしれない。

ただ、本人の自由意志を捻じ曲げるような暗示はいけないと思う。
Fさんは、どう思う？

個人崇拜絶対主義のもとでは、その裏返しに個人攻撃が賛美されるのだろうか？

そんな事も思わなくも無い。あくまで感想。根拠はないけど。

個人崇拜絶対主義下では、その方が亡くなった世界は想像できないとか聞いた。

君臨している事で成り立っているシステムなので、そのような話題すらタブーとか…。

外からみるとカルトそのものに見える。とだけ、書いておこうと思う。

今、福島原発は水位さえたもてば、核物質の安定がたもてる状況らしい…。

でもいくら水をいれても水位が上がらないので、延々と水を入れ続けられないといけない。

“彼ら”もそうなのだろうか？

延々と無尽蔵に悪意を注入し続けないと、内部が爆発するのだろうか？

これは単なる誹謗中傷にすぎない。もし、現実にそちらの世界がそうなら、あまりに悲しすぎる。

落ち着いて、ゆっくり考えて、自分の答えを求めてほしい。

そう、君に伝えます。真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無いと思っていた。

こんなにしてもらっていいのだろうか？といつも思った。

君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。

君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるといふ行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あのときの事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっているのだろうか。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。

世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由。

でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返せばいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちがいがなく“カルト集団”です。

優しさを利用してはいけません。頑張つて！負けないでほしい。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思っけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。
勇気を君に。

これを書いたのは本当は金曜日朝です。

今日は22時、電話の前で待つ日課を再開できると思う。

もし、つかれてどうしても寝てしまいかねないときは、必ずまた
その旨を書きます。

.....
.....
.....
.....
.....

「3月20日（日）曜日」「彼ら」の子供たちは、小さい頃から訓

練されてる？」

Fさん…、こんな事も思う。

よく“彼らでは？”と思う車に小さな子供とその保護者2人連れを見かける。

これは僕の妄想。

もし仮に被害者が車を呼び止めて、トラブルに発展しても、世間的には、呼び止めたほうがおかしく、車の親子に非がない事を意味する。

こんな時間になぜ？と思う親子づれの車、良く見た気がする。

これも、妄想かな？

多分外れている確立の高い思いつきのもの。

以前書いたけど、君との思い出の記述の中に、君が車で山奥に連れて行ってもらって、トロンボーンを吹いた事がある。という話をした事がある。

当時僕は、誰に連れて行ってもらったの？

と聞いた。

すると君は物凄く答えをごまかした。

これは上記仮説に基づく推測。

“彼ら”の子供たちは、小さい頃から車で被害者の家を回る事に慣れるよう訓練されてる？

だから、大人になっても抵抗なく、できてしまう…。

そんな事も思わなくも無い。

もし事実なら、悲劇以外の何物でもない。

Fさん、心配です。

上記の親子同様、カップルの車も良く見る。

君も、誰かの車に同乗して、被害者の家に騒音を聞かせに回った事が、あるのかもしれない…

こう思う。君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

「もし」、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しなさい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいきません。

なぜなら？そこは、ウソの救済話で、人の心を騙し取る“カルト集団”だからです。

小さい頃から訓練され、疑問を持たないよう感性を歪める大人たちには困まれても、君は優しさをもっていた。

相当辛かったと思う。心を封じ込めたり、殺したりしなくてもいいんです。

“彼ら”はエゴイスト集団だ。

なぜにそう感じるか？

過去の記憶から思うのだけど。

最高のトップに君臨している人に対する事を書いたときよりも、もっと身近な偉そうな“彼ら”を攻撃した時の方が、“彼ら”の攻撃のリアクションが激しいからだ。

尊敬していると口では言ってるわりに、その実、自分がけなされるのが一番頭がくるらしい…。

そんな風にも思う。

これは実験。どうバイアスがかかるか？

今日も、おいコラと怒鳴れば、相手がビビると思っている馬鹿に会った。

本気でこちらがビビると思っているところがかわいい。

この彼がただの粗暴な兄ちゃんなのか？ “彼ら”なのか？
そんな事に興味はない。

ただ、Fさんに言いたいのは、あんなのこけおどしだから、動じる必要はありませんと伝えます。

そうは言っても生理的に怒鳴られると反応すると言つのがある。

僕はもう慣れてしまったからそんな事は無いけど…。

もし、君がどうしても怒鳴られると生理的に体がすくんでしまう。
というなら？

その時は近くにいてくれるならば僕が守るし、守れると思う。

正直、今日怒鳴った彼も、殴りかかってこないかなー、と期待していた。

ナンバー見えてるし、どこの誰だか調べればわかる。

怪我でもしたなら、訴えられるからだ。

じつは少しゆっくりめに車庫いれして、かれの車をとうせんぼしたのだ。

いつもうるさいエンジン音の車だし。

もし彼が普通の人だとしたら？

その場合は今回の件で学習して、他の道を通る選択をすることを期待するまでです。

うるさいのは事実なんだから。

でも、暗示にかかるほどのレベルでなくなっているのは事実。

働きに出てるのもあると思う。向こうにもそれらしい車は来るが、道路と離れているので、まったく聞こえない。故に暗示にもかからない。

こうした静かな戦いはこれからも続くだろう。

そちらの世界では現実世界で自分ってかつこ悪いなと感じている人が、その崩れたプライドを回復させる世界が“彼ら”的世界ではないのだろうか？

その世界では、世界のルールは自分たちを中心に回っており、信心（活動やお布施）しだいで、幸せな家庭やかわいいお嫁さんがもらえたり。

現実の世界では叶わない夢を実現する世界。

それが“彼ら”的世界に見える。

部外者からみればエゴそのもののエゴイスト集団にしか見えないけど…。

そして、やさしい人達はその踏み台にされている。

しかも多くのそうした人達に自覚が無い。

催眠と暗示が効果的に使われているからだ。

そして疑問を感じる人間には、恐怖の制裁がまっている。

僕と君が経験したあの日々のような…。

…落ち着いて、ゆっくり考えて、自分の答えを求めてほしい。
そう、君に伝えます。真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無いと思っていた。

こんなにしてもらっていいのだろうか？といつも思った。

君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。

君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるといふ行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あのとときの事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっているのだろうか。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。

世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです。

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

物事は単純ではない、なにかしらバイアスがあり、それらが絡み合い“何か”を引き起こしている。

単純な真理1つで救われるほど、単純ではない。

まして、意味も解らず教えを妄信すれば、世界が救われるなど、ありえない事です。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違っていると、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

それが証拠に、彼らは彼ら自身の行いで、ドンドン日本を荒廃させている。

「いいわけ」と「ごまかし」の果てにある「悪意の集約」が何を引き起こすのか？

冷静に考えれば、わかることです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。
君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援して
います。

君は自分で思っている以上に強い人です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思いますがどうなのでしょう。
う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃっ
たとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

眞実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。勇気を君に。

頑張つて！負けないでほしい。

明日も22時電話でまつ日課を続けようと思う。
君が頑張り続けられるなら、僕も同様です。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔3月21日（月）曜日〕感情的になると、必ずどちらが勝ちか負けか？となり、正確な情報伝達に至らないこともある。

勝ち負けと関係なく、事務的に相手に意思を伝える手段として、この作戦は有効です。〕

小さかった君は耐えた。頑張れば救われると信じようと努力した。どんなに疑問や悩みを抱えようと、誰も受け入れてくれない、自分が悪いんだと思ひ込む事しか、解決できなかった…
そうなのだろうか？

こんな思い出がある。

僕が幼稚園くらいの頃の思い出だ。

竹に紙で作った鯉のぼりをいくつか付けて、手製の鯉のぼりを作
って遊んでいた。

ある日、なにげなく、それを使い、家の前を通る車をとうせんぼ
した。

すると、その後ぐつと交通量が減り、大人が驚いていた…という
記憶。

あまりに古い記憶だから、合っているか自信が無い。

でも、当時、家の前をデカイバイクが走っていたのを覚えている。
…あれも？いやいや、気のせいだと、思うことにする。

昨日働いていると、そとで大きなバイクの音が…

こんなところにまで？と驚かなくも無い。

そういえば、急に別施設に移ると言う人もいる。

関係の無い偶然な出来事が重なっていると、考える事にしました。
それがいいよね？Fさん。

必要以上に波風は立てたくない。

僕の性格をしる君なら、同意してくれる事と思う。
お互いそういう性格なもの。

平和が一番です。

でも平和を乱して自らの欲望をみたす一握りの人たちが、多くの
優しい人々を踏み台にして生きている。

時として毅然とした態度を示しつつ、しかし優しさも忘れず。自
分らしさを持つ。

そんなイメージ、大切なものの1つじゃないかと思う。

Fさんはどう感じるのかな…。

いつか、君の声で、聞きたい。

君の声はとても魅力的な響きがあります。

こんな事を思った。

角を立てずに、相手に文句をいう方法。

「これは独り言」

と最初に断った上で、相手の前で、目を見ず、独り言として文句を言う。という方法。

感情的にならずに、最低限必要事項をあいてに伝えるには効果的です。

もし、相手の目を見て言え！

とか言われたら？

「ああ、聞こえちゃった？独り言よ、気にしないで。でも伝わったんなら良かった。前々から伝えたかったの。」

と、とぼければ、いいと思う。

感情的になると、必ずどちらが勝ちか負けか？となり、正確な情報伝達に至らないこともある。

勝ち負けと関係なく、事務的に相手に意思を伝える手段として、この独り言作戦は有効です。

（書面で伝える方法もあるけど、時間かかるし。こういうのもアリと思う）

何が役に立つか解らないので、一応伝えます。もし、役に立たなくても、ああ、心配してくれているんだ、と思ってくれたら幸いです。

あと、これも役に立つか不明だけど。一応伝えます。

仮に今、離婚が成立せず、別居中としたとする。

この設定下で、旦那がしつこく、別居先の君を訪ねてきた場合。

ストーカー防止法を使って撃退する事も可能のようです。

この法律はケース・バイ・ケースで効力が決まるので、必ずしも有効と言いがたいところもあるけど。

知らないのと知ってるのでは、だいぶ違うと思う。

君の現状を警察なり法律の専門家と相談して、適用可能なら、この法律が強い味方をしてくれるかもしれない。

つまり、夫であろうと、ストーカー防止法からは逃れられないケースというのが、あるというのは重大な事実なのです。

君が今も戦っているという前提で書きます。負けないで！頑張っ
てほしい。

真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無い
と思っていた。

こんなにもしてもらっているのだろうか？といつも思った。

君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。

君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるといふ行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがす
る。

君は、あのときの事覚えてるだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思
い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっているのだろう。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。

世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由。でも君がこれ以上そうした犯罪行為に巻き込まれる必要はゼロだ。

もし、今“彼ら”と離れているなら、これからも継続してほしい。それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

(もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しなさい)

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいきません。

なぜなら？そこは、ウソの救済話で、人の心を騙し取る“カルト集団”だからです。

世界は広大で広く、想像を絶するダイナミックな時間がからみあって作られている。

「視野が狭くて何が悪い」とか言う人が増え続けていくと、それが世界の不和の原因になってゆくと思う。

Fさんに読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

小さかった君は耐えた。頑張れば救われると信じようと努力した。

どんなに疑問や悩みを抱えようと、誰も受け入れてくれない、自分が悪いんだと思い込む事しか、解決できなかった…

そうなのだろうか？

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

震災関係の「買いだめのニュース」とか見ていると、こんな事を思う。

みんな不安に駆られて、それが連鎖して、買いだめに拍車がかかるのだらうと…。

案外、“彼ら”もこんな不安衝動を引き金にして、あの集団犯罪行動に走るのだらうか？

買いだめのニュースも。みているうちに自分もやらねば、という気分になってくる。

けど、冷静に考えれば、商品はあつて、流通が混乱しているだけだ。という冷静な判断も頭をよぎる。

（なにしろここは日本、最貧国ではないのだ。お米だつてたくさんあるし、食料もたくさんある。かりに生産が止まってもストックだつてかなりある）

“彼ら”の悪意ある人物たちは、こうした人間の不安心理をついて、操りコントロールするのだと思う。

そんな環境に36年も君はいたのだらうか？

急に気持ちを切り替えるのは難しいだらう。

でも、もうおびえる必要はないのです。

初めて経験する複雑な心境が待っていると思う。

いろいろな思いが交錯すると思う。

感情があふれてぐちゃぐちゃになつても、逃げてはいけない時がある。

時間が必要？

そうかもしれない。

でも、前には進めるでしょ？

もし、そんな状態になった時は、思考停止寸前までいっても、君なら立ちなおせると信じます。

Fさんは強い女の子です。

大丈夫です。

君は何も悪くない。

僕が証明してみせます。君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いない。他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

もし、話す事で少しでも楽になるなら、いくらでも聞きます。

僕は秘密を守ります。今日も昨日もこれから先も同じ22時の電話をとる準備しました。

鳴らなくてもかまわない。これは、僕が自分に課したものだ。

君の心に報いるために、ごめん、あの時気がつけなくて、あの時の君の想いは本物だった。

この22時ごろ電話の前で待機するのを日課にしようと思う。

この記述は日付を先行して書いていますが、今日も22時の日課を守ろうと思う。

変更する場合は、その旨書きます。

勇気を君に。頑張れ！

.....

「3月23日（水）曜日「無理をせず、できる事を自己主張すればいいんです。」

こんな事も思う。

次第に君の周りは命令や説得とは別に、お願いだから……と言って

くる人も増えてくるだろう。

優しい君は、お願いとか言われると、弱いかもしれない。でも強い君なら突っぱねて自分の想いを貫けるかもしれない。ゆれる想いは、誰もがもつ。

そういう時は、自分の中で、生きてゆく上で、削ることのできないものは何か？を考えて、想いを整理すればいいと思う。

もし譲れない“なにか”があるなら、それは充分な理由になる。負けないでほしい。君が、きみであるためにも。

こつも思う。

“彼ら”と戦うコツは“ルールのルールを守る”という事だ何度が書いた。

これは、“彼ら”という存在を知りつつ、同時にそんなものは存在しない前提で行動することを意味する。

なぜなら？彼らとて“表の社会”のルールを破れないからだ。

“彼ら”がなぜ“表”のルールを破れないか？

おそらくだけど、そこが最後の線なんだと思う…。

そこを越えたら、自他共に認める本物のカルトになってしまふ…。(今は準カルト集団という自覚なのかもしれない、僕からみたら充分正式なカルトに見えるけど…)

そして、こつも考える。

この最後の線を超えたくない“多くの”メンバーが考えているところがウイークポイントであり、最大の泣き所である可能性がある。

だから、“彼ら”という存在は無い前提で戦うのがコツです。

そうしないと、他の多くの被害者同様、変人あつかいされています。

これが“ルールのルールを守る”という意味です。

どこかに、打開策はあると、考え続けないと、答えにたどり着けない事は、事実あります。

ぼくは、そう考える。君は、どう思うのかな？
譲れない何かがあるなら、それは充分な理由になります。

黙っていてはいけない。

どんなささいな事でもいい。

毎日自己主張しないとイケない。

それは時間がたてば経つほど、意味を持ってくる。

…無理をせず、できる事を自己主張すればいいんです。

そうしないと、周りの人間はかってな推測のもと、君の気持ちを勝手に解釈してしまう。

だから、些細な事でもいい。毎日、言い続けるだけでだいぶちがう。

ブログに一言かくだけでも、きっと違うと思う。

(黙っていても“彼ら”は君のブログを見つけると思う。この小説がすぐにばれたのと同じように)

Fさん。頑張ろう！世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっている。手が出せば届くような単純なものではない。単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

世の中は単純ではない、なにかしらバイアスがあり、それらが絡

み合い“何か”を引き起こしている。

単純な真理1つで救われるほど、単純ではない。

まして、意味も解らず教えを妄信すれば、世界が救われるなど、ありえない事です。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

それが証拠に、彼らは彼ら自身の行いで、ドンドン日本を荒廃させている。

「いいわけ」と「ごまかし」の果てにある「悪意の集約」が何を引き起こすのか？

冷静に考えれば、わかることです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援します。

君は自分で思っている以上に強い人です。

小さかった君は耐えた。頑張れば救われると信じようと努力した。どんなに疑問や悩みを抱えようと、誰も受け入れてくれない、自

分が悪いんだと思い込む事でしか、解決できなかった…
そうなのだろうか？

いつか君から直接ききたい。もし、話す事で少しでも楽になるなら、いくらでも聞きます。

僕は秘密は守ります。今日も昨日もこれから先も同じ22時の電話をとる準備しました。

鳴らなくてもかまわない。これは、僕が自分に課したものだ。

…君の心に報いるために、ごめん、あの時気がつけなくて、あの時の君の想いは本物だった。

この22時ごろ電話の前で待機するのを日課にしようと思う。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

輝きを取り戻して！

眞実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

.....
.....
.....
.....

〔3月24日（木）曜日〕僕は、君には君らしく生きてほしい。」「

Fさん、こんなニュースを見た。

中国のインターネットでは、日本の原発事故で海が汚染される、と噂され、塩の買いだめ運動が起こっていたと…。

中国当局は書き込みをした人物を逮捕して、事態の沈静化を図っている…。

実際今回の事故の影響が、どれほどのものかわからない。

しかし、いますぐパニックになるものでもないと思う。

“彼ら”は恐怖心をあおって、人々をパニックにする。
パニックになった人間は、理性が失われ、容易に他人の暗示を受け入れてしまう。

催眠と暗示のトリックを熟知している人間が、なぜ、人々のパニックを煽るか解りますか？Fさん。

パニックにしたほうが、人々を操りやすいからです。
恐怖心で人を支配する…、カルトの手法です。

君にだけは、そうした世界から離れていてほしい。
そして、君自身、そうしたたいと願っていると思うはずだ。
ただ、状況がそれを許してくれなかつただけで…

君の行動力に僕は賭けます。
デマや扇動に惑わされず、パニックからも脱出してほしい。
でないとまた催眠の暗示にかかり、元にもどってしまう。
いいように操られ、損な役回りを押し付けられる、誰かのための
人生になってしまう…。

僕は、君には君らしく生きてほしい。

真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が
無いと思っていた。

こんなにもしてもらっていいのだろうか？いつも思った。
君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。
あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるといふ行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あのときの事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっっているのだろう。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。

世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

小さかった君は耐えた。頑張れば救われると信じようと努力した。どんなに疑問や悩みを抱えようと、誰も受け入れてくれない、自分が悪いんだと思い込む事しか、解決できなかった…

そうなのだろうか？

いつか君から直接ききたい。もし、話す事で少しでも楽になるなら、いくらでも聞きます。

僕は秘密は守ります。今日も昨日もこれから先も同じ22時の電
話をとる準備しました。

鳴らなくてもかまわない。これは、僕が自分に課したものだ。

…君の心に報いるために、ごめん、あの時気がつけなくて、あの
時の君の想いは本物だった。

この22時ごろ電話の前で待機するのを日課にしようと思う。

君にだけは、犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言葉ことばのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がって
いると思う。

(もし、誰だれかにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言
われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞め
たい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しはいい)

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？

その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいきません。

なぜなら？そこは、ウソの救済話で、人の心を騙し取る“カルト集団”だからです。

頑張つて！負けないでほしい。

自分のせいで僕に迷惑をかけるなどと考えなくていい。

迷惑をかけているのは君でなく別の悪人なのだから。

君が責任を感じる必要はない。

安心してください。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思つのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思つけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思つ。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取つてはくれないよ！

はや目的をみうしない、おとしめる行為により団結を図る集団と化してしまった…。これは「大人になれ」ではなく「犯罪者になれ」と同義だ。その辺が、おかしいと思う。

自分たちの事を“カルト”と認めることができない人らでも、自分たちの組織が“準”カルト的集団であるという事実は認めると思う。

多分にそういう要素を備えているからだ。

こんな事も思う。

先日書いたけど、“彼ら”と戦う際は、“彼ら”なる存在が無いかのごとく振舞うのが一番だと。

もし、君が、「活動」などこの世に存在しない、あるというやつは狂っている（現実に“彼ら”は多くの被害者の訴えをこの様な論調で駆逐する、それを逆手にとって、活動に誘う人々を糾弾できるという寸法です、わかるかな？このニュアンス）、という態度で話をとぼける姿勢をみせたら？

“彼ら”はさぞかし驚愕することだろう。

とぼけきる、というのも1つの作戦です。相手を消耗させられる。

もし逆らったら、周囲の人間がひどい目に遭う！と脅されたら？

この問題に対しては、僕はこう答える。

「僕は今もつぶされず、ちゃんと生きている。だから君の周囲の人も、ちゃんと生きる事は可能だ。」と。

もし周囲の人が本当に君を愛しているなら、その程度の不利益、受け入れるはずだ。

「その程度」なんて簡単に言わないで、何がわかるの？と、もし思つようなら？僕はこう答える。

僕とその家族は随分昔から敵対視されてきた。

だから「その程度」については、そちらの世界の誰よりも熟知している。知らないと思われるのは心外、と。

どんな環境でも静かに穏やかに生きる事は、可能なんです。現に僕はこうして生きている。

凶悪な人は、君をパニックにおとしめようとするだろう。

心がパニックになったほうが、操りやすいからだ。

もし、周囲の人に危害を加えるなどと言われていたら？

それこそ、君の心をパニックにする常套句だと思う。

…そういえば思い出す。

君は、高校生当時、やたらと僕の身を案じてくれた。

神社にやってくると、無事やってきてくれたのは奇跡だと言わんがばかりに安堵していた姿を思い出す。

当時はなにを心配性な…、でもかわいいな。などとノンキに思っていたけど、当時の君は、たぶん、本気で僕の身を案じてくれていたんだなと、そう感じる。どうなのかな？当たっているのか？外れているのか？いつか、きみの心を知れる日が来るのだろうか？奇跡に賭けてみようと思う。いいよね？そのくらいのささやかな願いくらい。18年の歳月を考えたら、それほどたいそうな望みでもないと思う。

… Fさん。

君は過去、たくさん人を睨む行為とか、いろいろ、たくさんさせられたと思う。

もうやらなくていいんです。

おそらくだけど、小さかった君は耐えた。頑張れば救われると信じようと努力した。

どんなに疑問や悩みを抱えようと、誰も受け入れてくれない、自分が悪いんだと思い込む事でしょうか、解決できなかった…

そう思っけど、どうなのだろうか？

いつか君から直接ききたい。もし、話す事で少しでも楽になるなら、いくらでも聞きます。

僕は秘密を守ります。今日も昨日もこれから先も同じ22時の電話をとる準備しました。

鳴らなくてもかまわない。これは、僕が自分に課したものだ。

…君の心に報いるために、ごめん、あの時気がつけなくて、あの時の君の想いは本物だった。

この22時ごろ電話の前で待機するのを日課にしようと思う。

真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無いと思っていた。

こんなにしてもらっていいのだろうか？といつも思った。

君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。

君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるといふ行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あのときの事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっているのだろう。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。

世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

初めて経験する複雑な心境が待っていると思う。

いろいろな思いが交錯すると思う。

感情があふれてぐちゃぐちゃになっても、逃げてはいけない時がある。

時間が必要？

そうかもしれない。

でも、前には進めるでしょ？

もし、そんな状態になった時は、思考停止寸前までいっても、君なら立ちなおせると信じます。

Fさんは強い女の子です。

大丈夫です。

君は何も悪くない。
僕が証明してみせます。

君にだけは、犯罪集団から離れてほしい。
もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。
言葉のよことだまうに…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がって
いると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言い返せばいい）
とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。
それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいけません。
そこは、まちがいなく“カルト集団”です。
優しさを利用してはいけません。頑張つて！負けないでほしい。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思っけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

もし、気持ちがないがしろにされて、「わがままで」とか言われて一蹴されたら、

Fさん、こう言ってやってください。

「私には、命をかけてくれる人がいる」と。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

られたと思う。

もうやらなくていいんです。

もし、話す事で少しでも楽になるなら、いくらでも聞きます。

僕は秘密を守ります。今日も昨日もこれから先も同じ22時の電
話をとる準備しました。

鳴らなくてもかまわない。これは、僕が自分に課したものだ。

…君の心に報いるために、ごめん、あの時気がつけなくて、あの
時の君の想いは本物だった。

この22時ごろ電話の前で待機するのを日課にしようと思う。

- - - - -

「3月26日(土)曜日」
「パニックに負けないでほしい。これが
僕からの望みです。」?

“彼ら”の盗聴については、過去何度か書いた。

電話の盗聴ん件なんかは、実際逮捕者もいるみたいで、まんざら
根拠がないわけでもない感じだ。

この時捕まった犯人は、やらされた事をいって組織の悪事をばら
せばいいのに、絶対にしなかった。

責任は全部自分にあるとすべての罪を背負い込んだのだ!

なぜだろう?

責任感が強かったのか?

それとも…なにか他に理由が?

理由などなく、そうするしかなかった?

理屈ではない感情が、その場の決断を支配する…。

君は？心配です。

よってたかつて君になにかしたのだろうか？

もう大丈夫。2人でとぼけきりましょう。

この世に、そんな邪悪な組織は存在しません。

とぼけている事を糾弾する人間の方がおかしいのだから。

もし逆らったら、周囲の人間がひどい目に遭う！と脅されたら？

この問題に対しては、僕はこう答える。

「僕は今もつぶされず、ちゃんと生きている。だから君の周囲の人も、ちゃんと生きる事は可能だ。」と。

もし周囲の人が本当に君を愛しているなら、その程度の不利益、受け入れるはずだ。

「その程度」なんて簡単に言わないで、何がわかるの？と、もし思うようなら？僕はこう答える。

僕とその家族は随分昔から敵対視されてきた。

だから「その程度」については、そちらの世界の誰よりも熟知している。知らないと思われるのは心外、と。

どんな環境でも静かに穏やかに生きる事は、可能なんです。現に僕はこうして生きている。

凶悪な人は、君をパニックにおとしめようとするだろう。

心がパニックになったほうが、操りやすいからだ。

もし、周囲の人に危害を加えるなどと言われていたら？

それこそ、君の心をパニックにする常套句だと思っ。

パニックに負けないでほしい。
これが僕からの望みです。

「3月26日(土)曜日」 「パニックに負けないでほしい。これが僕からの望みです。」 ?

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのようにどこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

(もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返せばいい)

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちがいがなく“カルト集団”です。

優しさを利用してはいけません。頑張つて！パニックを利用されないで！！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てく

ださい。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった……
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから……天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

「貴方には私の話を聞く義務がある」

といい続けられれば、そういう空気を作れます。

店の管理者くらいしか思いつかない…。

番組内では、とりあえず責任者に盗聴器の事を話し、撤去するところで終わった。

時は過ぎ、そんな番組を見たことすら忘れていた頃、どうもおかしいと感じる場面に何度もでくわすようになる。

それは東京の本屋で働いていた時の事だ。

細かくいうときりが無いが、盗聴されてない限りつじつまが合わない事が何度もあった。

で、ためしにある実験をおこなってみた。

その本屋はクーラーの調子がおかしい。

僕はその原因がすぐにわかった。

以前ドキュメンタリーで見たのだけど、集合住宅や大型テナントの空調では“送風モード”は絶対に使つてはいけないのだ。ダクトにほこりがたまり、空調をおかしくするから。悪質な業者などは、絶対に調子がおかしくなる事をしりながら、お客に送風モードを使つてはいけない事を教えずに、黙っていて、メンテナンス費を稼いでいるとも聞く。で、店長に聞くと過去に送風モードを頻繁につかっていた時期があつたらしい…。

で、上記の事を何度も何度も店内で話したのだ。盗聴を前提に。そしたら半年ぐらいかな？我慢しきれなくなったのか、ついにダクトの掃除をビルの管理会社に命じたらしい。

ちなみにこの命じた人が、送風モード禁止の件を知らなかった事は確認済みだ。なにしろ別店舗で30万もはらって同じ故障を直させた張本人だから。その時30万払った彼が、短期間のうちに真実に気づき、ただで管理会社にダクトの掃除をさせたのは、つじつま

があわない。

まさか…、盗聴していて、ダクトの件を知り。ついに耐え切れず掃除させたのか否か…。

冒頭に書いた電話の盗聴の件はこの出来事があった後だったから、何だかそれほど驚かなかった。

だから、盗聴は“ある”という前提でいたほうがいいです。

(ある意味、この記述も公開されることを前提に書いているから、盗聴を前提にした会話と似てなくもない。ここでいくつか暗号を書いて、2人だけの記憶をもつお互いにしか解らないものだったりするわけだ。君はいくつか気づいただろう…、そう多くはないが、全40話中にいくつかちりばめてある。)

こんな事を思い出す。

ある番組で中国で有名になった日本人コメンテーターが言っていました。

「もう盗聴されている事は前提ではなしています」と。

嫌だなーと思っても、それが現実なら、対応しましょう。それだけの事です。

パニックにならず、冷静にいきましょう。

たとえ不器用でも、慎重にすすめば、パニックは回避できます。

逆にパニックになってしまうと操られてしまう…。

僕の望みは、Fさんがパニックから脱する事です。

彼らは、いつでも君の心をパニックにしようとするだろう、過去も、今も、未来も。なぜなら、その方が君の心を操りやすいからだ。

落ち着いて行きましょう。
君が落ち着いて頑張れるなら、僕もまた同じです。

Fさん：初めて経験する複雑な心境が待っている事と思う。
いろいろな思いが交錯すると思う。

感情があふれてぐちゃぐちゃになっても、逃げてはいけない時がある。

時間が必要？

そうかもしれない。

でも、前には進めるでしょ？

もし、そんな状態になった時は、思考停止寸前までいっても、君なら立ちなおせると信じます。

Fさんは強い女の子です。

大丈夫です。

君は何も悪くない。

僕が証明してみせます。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。

その中にある限り、永久に答えは出せないから。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思っけどどうなのだろう？

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けしないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

「それじゃあオレの格好がつかないじゃないかよ」と言われたら？

「これ以上長引くともっと格好がつかないわよ」と言えばいい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

Fさん、ここからが今日の本題です。

“彼ら”の手口にわざと混乱する指示を出す、というのがあり、と思う。

君もこういうのを受けた事、あるいは行った事、あるのかもしれない。

(気にしないでいいです、そういう事をさせるやつが悪いのだから、どうしようもない救いようもない人にビビる必要はありません、そうした人らが、君の心をパニックにしようと、常日頃から画策しているでしょう。その手にのってはまだ、いいように操られてしまします、気をつけて!!)

東京の本屋では理解者がいてくれたおかげで何とかなつた。

自分なりの仕事の考えももてるようになり、楽になっている。

そんな今、振り返ると、こんな懸念も生まれる…

彼らは新人にものを教える時、わざと間違えやすく教える傾向がある。これは考えすぎではなく、実際に経験した。

東京で総攻撃が始まり、他の店舗から応援が来た。

彼はガチガチの筋金入りで、わざと間違えやすい指示をドンドン出す。

しかし、もう6年も仕事をしていた僕には、彼がいかにわかりにくい説明をしているかが、手に取るように理解できたのだ。もしなにもわからずこの指示に従っていたら、ミスをしかねないものだった。そして、その点をつくつと、僕悪いですか？的態度で来る。

この人の評判は親しくしていた人から事前に聞いていたので、信用おけないなというのは心がまえていられたので、対応も簡単だった。

この人は本当にしつこくやる人で、書店員寝不足、とでかでかとおビに書かれた文庫を毎回僕の目のつくところに大量におく人だった。実際当時騒音で寝不足を誘う作戦がしつこく行われていた時期で、あざといというかなんとというか、仮に来世が本当にあったなら、そこで自分の人生の間違いを知り、さぞかし後悔するんじゃないだろうかなどと思ってしまうそうになる。

今も仕事を教わる上で、そういう感覚に陥る。

さすがにこの歳になると、相手の表情をみて、過去に類推する表情をした人物がその後どのような態度をとるようになったか？が経験として記憶されているので、おおよそ相手の心理状態は把握できる。

そんな経緯もあり、現在も1人ないし2人、“彼ら”と思う人から仕事を教わる状態だ。まあ、これは初めての経験ではない。乗り切れると思う。

僕はこう考える。

楽器の演奏をする際、僕は楽譜を読みながら演奏するのが苦手だった。一度にたくさん情報を同時に処理するのが苦手なのだ。パニックになる。でも、じっくり腰をすえて、1つ1つ覚えていくと、楽譜も普通に読めるようになり、演奏も出来るようになる。

人より時間はかかるが、最終的に他の人同様、演奏が出来るのだ。

仕事も同じで、時間はかかってもあせらずパニックにならず、1つ1つ覚えていけば、最終的には全部できるようになる。どんなに妨害があるとも。東京での経験が、そう確信させる。東京生活は無駄ではなく、しっかりと自分の糧になっていると、そう思います。

最近も施設に来ていた歯医者さんが来なくなった。

職員の状態がどうかで…、それはたぶん僕のことだ、なにしろこの人はわざわざばくに「もう来ませんから」と言ったのだから。でもさすがにそれだけで、苦情をいうのは筋が通らないらしく、ほかにもいろいろ理由を言ったらしい。

“彼ら”はいろんな手段で僕をやめさせようとするだろう。でもちゃんと仕事をし続けていさえすれば、大丈夫だと思う。

…こんな事を思い出す。

看護婦の方だったかな？患者さんの爪を切りすぎたとかいって訴えられた。

でも最終的には看護婦さんに落ち度はないとなり、勝訴した。たくさんの支持者を得られ、社会復帰できたわけだ。

まじめにやり続ける限り、大丈夫と確信する。

つよく、頑張り続けようと思う。

君もなにか耐え難い事があっても、頑張ってほしい、君が耐えられるなら僕もそうだし、また逆もしかりです。

いつかの未来のために。
過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。

淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違はなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。僕は脱出をとかく君に勧めます。

初めて経験する複雑な心境が待っていると思う。
いろいろな思いが交錯すると思う。

感情があふれてぐちゃぐちゃになっても、逃げてはいけない時がある。

時間が必要？

そうかもしれない。

でも、前には進めるでしょ？

もし、そんな状態になった時は、思考停止寸前までいっても、君なら立ちなおせると信じます。

Fさんは強い女の子です。

大丈夫です。

小さかった君は耐えた。頑張れば救われると信じようと努力した。どんなに疑問や悩みを抱えようと、誰も受け入れてくれない、自分が悪いんだと思いつく事では、解決できなかった…

そうなのだろうか？

いつか君から直接ききたい。もし、話す事で少しでも楽になるなら、いくらでも聞きます。

僕は秘密を守ります。今日も昨日もこれから先も同じ22時の電話をとる準備しました。

鳴らなくてもかまわない。これは、僕が自分に課したものだ。

…君の心に報いるために、ごめん、あの時気がつけなくて、あの時の君の想いは本物だった。

この22時ごろ電話の前で待機するのを日課にしようと思う。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。

その中にいる限り、永久に答えは出せないから。

君は何も悪くない。

僕が証明してみせます。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。
奇跡を信じて。負けないで！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃっ
たとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けしないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

無駄な努力も、決して無駄ではない。得られるものはたくさんある。

“こすっからい” 人に負けずに
君が心を貫けますように…
真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。
勇気を君に。

たまにはお気楽な話題も少しは入れようと思います。
君の気分転換に少しは貢献したい。

こないだラジオを聴いていたら、フランス語の「天才バカボン」の歌が聞こえてきた。

聞けば“クレモンティーヌ”という女性歌手が歌っていると…。
あのお馴染みの曲がものすごい洒落に変身していて、奇妙な面白さを感じていいです。

お洒落なカフェで流れていても違和感ないくらいお洒落に生まれ変わっています。

調べると、この歌手の方は、他にもいろいろ日本のアニメ曲をアレンジしているみたい。

YouTubeで検索すると結構ヒットします。
少しでも気晴らしになるなら、うれしいです。

.....
.....
.....
.....

「3月29日（火）曜日」 「誘導され、植えつける？」

Fさん、こないだ書いた記述で、わざと解りにくい説明をして、ミスさをさそう人物について書いたと思う。

こんな事も思い出す、この上記の人以前の記憶。やはり仕事を教わった人や、そうでない人も含めて、今生の別れ際、「君には悪い事をしたな」と複数の関係ない人から言われた経験がある。

あれらも、もしも、そうなら？過去、わかりにくい説明をされた結果、自分で自分を能力不足と思いこまされていた可能性もある。たしかに劣ってはいる…、しかし、自分と同じように不器用な人といのにも、東京で複数会い、彼らがちゃんと頑張っている姿も見た。その姿は、出来ない人間はなにをやってダメという思想を否定できるものだった。もしかして、そう思い込まされていた…？、誘導されていたのだろうか？今はそう感じる。

こうやって人の人生を誘導するのだろうか？Fさんが心配です。なにしろ君は生まれついてその世界にいた。

君もなにかしらの思想上の誘導を受けてしないかと。

僕は自分にコンプレックスを持つよう誘導された、君はどう？心配です。

（これは2人だけの思い出から推察する事だけど、君は自分からかわいいと思われることをコンプレックスにしていたように感じる…。はずしたかな…、それともそんな事いわれるまで考えもしなかった？どうなのだろう…、考えすぎ？でも可能性はある。君の意見が聞きたい、聞ける日を願って、記述を続けます。いいかな？Fさん。）

君も何だか不安定な人だった。

自分が生きていること自体が不安だみたいなの、あやうい所をもっていた。こんな自分が生きていていいのだろうかみたいないな感覚だ。そういう所、僕らは似ていた。そんな気もする。

…たぶん君にとって初めて経験する「複雑な」心境が待っていると思う。

いろいろな思いが交錯すると思う。

感情があふれてぐちゃぐちゃになっても、逃げてはいけない時がある。

時間が必要？

そうかもしれない。

でも、前には進めるでしょ？

もし、そんな状態になった時は、思考停止寸前までいっても、君なら立ちなおせると信じます。

Fさんは強い女の子です。

大丈夫です。

君は何も悪くない。

僕と一緒にそれを確かめてほしい。証明してみせます。

君も集団で威圧する行為の一環として、個人に付きまとった事があるかもしれない。

それも、物凄くたくさん。

逆追跡されたら、どこかのアパートなりの共用部分に逃げ込むなんて事も何度もしたのだろうか？

もし、話して楽になるようなら、僕が聞きます。

秘密は守ります。絶対に。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。

今日も昨日もこれから先も同じ22時の電話をとる準備しました。鳴らなくてもかまわない。これは、僕が自分に課したものだ。

…君の心に報いるために、ごめん、あの時気がつけなくて、あの時の君の想いは本物だった。

この22時ごろ電話の前で待機するのを日課にしようと思う。奇跡を信じて。

小さかった君は耐えた。頑張れば救われると信じようと努力した。どんなに疑問や悩みを抱えようと、誰も受け入れてくれない、自分が悪いんだと思い込む事では、解決できなかった…そうなのだろうか？

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

覚えているかな？僕らが中学生だった頃、総理大臣だった人だ。当時リクルート事件や料亭政治が批判され、自民党はクリーンな総理がほしくて実力者でないこの人を担いで総理にした。一番汚職と離れていたからだ。でも結局この数年後自民党は選挙に負け、5年体性は崩壊する…。

ノンフィクションの類は実際おもしろい。

誰かの憶測ではなく、当事者が書いているから。リアルな空気が読み取れるのだ。

この中で、面白い記述を見つけた。

お願い事は早朝にしろ！というものだ。

確かに、朝方意外な人物の訪問を受けたらドキツとする。

その異常事態さは相手にも伝わり、普通でない緊張感をつくる。

お願い事の緊急性や重大さもアピールできる。

敵対者に行つては、怒らせるだけだが、親しい間柄なら、早朝のお願いも有効なかもしれない。

とっておきの手段の1つに、この方法を保留しとくのは正解かもしれない。

もしくは相手を怒らせてしまいたい時に使うのも有効だ。

地区の偉い人とか、本部の偉い人にやると、どういう効果があるのかな？

僕には完全な予測はできない。情報がないからだ。君はどう思うのだろう。

以前書いた。交渉には「切りしろ」を多く持った方がいい、と。これが、何かしら君の切りしるを増やす事に役立てば幸いです。

この本にはマックス・ウェーバーの言葉も出てくる。
マックス・ウェーバーは19世紀の人物でマルクスなど同時代の人物。

社会学や経済学に貢献した人物で、おもに宗教の役割を研究した人物らしい。

何かと本を読むと、よく登場する人物なので、いつかこの人の本を読もうと思っているところです。

で、この本にマックス・ウェーバーの言葉として、こんな言葉が出てくる。

「朽ちた枝は切り捨てるのが、真の保守主義だ」と。

これを早稲田を創設した事で有名な大隅重信はこう解釈した。

「枝葉を切っても木は蘇らない。根元を掘って、自然の力、太陽光をあてて水を注げば、木は蘇生する」と。

言葉は、人により解釈され生きるものです。

君はどう感じますか？

君が君の心で感じた“なにか”にたどり着ける日を信じています。優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

実は君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っていますがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしい事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

小さかった君は耐えた。頑張れば救われると信じようと努力した。

どんなに疑問や悩みを抱えようと、誰も受け入れてくれない、自

分が悪いんだと思ひ込む事でした、解決できなかった…

そうなのだろうか？

いつか君から直接ききたい。もし、話す事で少しでも楽になるなら、いくらでも聞きます。

僕は秘密を守ります。今日も昨日もこれから先も同じ22時の電話をとる準備しました。

鳴らなくてもかまわない。これは、僕が自分に課したものだ。

…君の心に報いるために、ごめん、あの時気がつけなくて、あの時の君の想いは本物だった。

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

自分を解きほぐしてほしい。

Fさん、負けるな！

誰も君を責めないし、君はなにも悪くない。

僕は君を許しているし、僕は君に許してほしいと思っている。

君の心をの声を聞かせてほしい…

薄味のいい感じに仕上げようとしたら、生姜が利きすぎてしまったんだ。

確かにレシピなどみると「生姜一かけら」みたいな記述してある、しかし一かけらの加減がわからず、多く入れてしまったらしい…。もう少し生姜を少なくして、砂糖かみりんを多めにすればいいのだろうか？

Fさんはどう思う？

いつか君に料理を振舞える日を祈って。

真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無いと思っていた。

こんなにもしてもらっていいのだろうか？とも思った。

君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。

君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるといふ行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あのときの事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっているのだろう。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。

世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのでしょう？

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

なっている。

それは、まさにロッキード事件で失脚したのち、閣將軍として君臨したからだ。

…いまでも、陰で日本を操る“誰か悪人”がいる、みたいなイメージ、世の中にあるけど、そのイメージはこの頃世に登場したものでらしい。

田中角栄の後、総理になったのは、海部さんの恩師、三木武夫総理だった。

しかしクリーンな改革をしようとして、一気に反発をくらう。クリーンな三木総理のおかげで勝利した選挙で当選した多くの議員が、恩義もわすれて三木総理を退陣させようとあの手この手の陰謀をめぐらした。

ここで、“彼ら”ならば？こう感想をのべるかもしれない。
それみる、世の中とはそういうものじゃないか！と。

短期的にはそうだ。
でも長期目線でみるとどうだろう？この後もじりじりと自民党は支持を失くしていき、毎回ギリギリの勝利であくせくする時代に突入する。

理由は明白で、汚い政治にウンザリする人が増えてきたからだ。
一般市民の自民党はなれが時代が進むにつれ加速したのは、説明するまでもない。
途中から自民党は、公明党の力にすぎらなければ、勝てないようになってしまう…。

そして、近年はご存知の通り、公明党の力を借りてすら勝てず、野党に転落してしまった。

この後におよんでも、世の中とはそういうものだ。と言いきれる

だろうか？

言い切る人は、真実を見ようとしない人達だと思う。

民主党がいいとは思わない、欠陥が多すぎるし、自民党のようになってしまう可能性もある。

でも、ここではそんな事はどうでもいい。

ここで重要なのは、多くの人は、皆、世の中をクリーンで、公正でいてほしいと願っている。

だからこそ、こういう歴史になっているのではないだろうか？
という事だ。

物事を長期的に見ると、違った価値観や視界が開ける。

というのも、1つの真実だと、僕はそう考えます。

そんな事実、君に伝えたい。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思っけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君にだけは、犯罪行為から遠ざかってほしい。

もし、今やめているなら、これからも“それ”を継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのようにどこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言い返せばいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？

その答えは組織内には永久に出ない。

とくに、相手が信心深い人間なら、なおさらルールにしばられるから、そうだ。

(信心深くないなら？そいつは“単なる犯罪者”とイコールの存在にすぎない。通常の社会常識で駆逐できる)

1つ1つ駆け引きと実験をして、相手がどの程度のやる気なのかを見る必要がある。

そんなイメージ、君に届けます。

被害者は君なのだから、堂々としていればいいんです。

悪意ある加害者は、被害者が遠慮ぎみだと、どんどん付け上がります。気をつけて！！

何度も言いますが、僕は生きています。死んでいません。

“彼ら”的行動とは、「熱気ねつき」にあてられて思わず興奮する集団しゅつだ恍惚くわうこつ状態じょうたいが作り出すものだと思う。

これが、お祭りとかスポーツならまだいいが、犯罪行為しゅつたんにんこうに集団恍惚しゅつたんにんこうするのは、間違っている。

…でも、恍惚くわうこつ状態じょうたいにあると、理性的判断が出来なくなり、皆、別人にんに変わなってしまい、犯罪も肯定する人間にさせられてしまう。

こういう状態を一般に「トランス状態」と呼び、暗示を「ものすごく」受け入れやすい状態、と理解りかいしないとけません。

一度暗示に「かかる」と、なかなかとれない。

君のまわりを見回してほしい、事実、普段はいたって「普通」なのに、“彼ら”の悪意あくいに関しては「正常な思考」が出来ない人、多いと思う。

それは、暗示にかかっているからだと思う。

もちろんこれは推測を書いているに過ぎない。
その世界がそこまで「本当に」酷かったら、そつとう病んでいる
事になる。

「病んだ人間を救う」のが本来の仏教であり、「病んだ人間を大
量生産する」事はカルトの思考です。

そこは、どう屁理屈をこねても、覆せない、当たり前前の真実だと、
「普通」の感覚の人間なら思うところです。

小さかった君は耐えた。頑張れば救われると信じようと努力した。
どんなに疑問や悩みを抱えようと、誰も受け入れてくれない、自
分が悪いんだと思い込む事でしか、解決できなかった…

そうなのだろうか？…Fさん、戦ってほしい。

君を責めたりはしない、そういう環境に問題があるだけだ。
いつか君から直接いろいろききたい。

もし、話す事で少しでも楽になるなら、いくらでも聞きます。僕
は秘密は守ります。

今日も昨日もこれから先も同じ22時の電話をとる準備しました。
鳴らなくてもかまわない。これは、僕が自分に課したものだ。

…君の心に報いるために、ごめん、あの時気がつけなくて、あの
時の君の想いは本物だった。

この22時ごろ電話の前で待機するのを日課にしようと思う。

初めて経験する複雑な心境が待っていると思う。
いろいろな思いが交錯すると思う。

感情があふれてぐちゃぐちゃになっても、逃げてはいけない時が
ある。

時間が必要？

そうかもしれない。

でも、前には進めるでしょ？

もし、そんな状態になった時は、思考停止寸前までいっても、君なら立ちなおせると信じます。

Fさんは強い女の子です。

大丈夫です。

君は何も悪くない。

僕が証明してみせます。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

僕は知っている。ただ見ているだけ、ただ立っているだけでも、相手にはプレッシャーだっていう事を。

だから、同じ事をやればいい。

文句をいわれたら？いつものお馴染みのセリフ「気にしすぎですよ」というやつを言えばいい。

自動車の対しては仁王立ちが効果的です。

一般の人は気がつかないし、嫌だと感じるのは彼らだけだ。

(でも過去の記憶で仁王立ちは男しかしてなかったかな…、女の人 はじっと見るが多かった気がする)

多くの被害者は、倍返しみたいな事を考えるみたいだけど、等倍返しで十分効果はある。

ポイントは理解してもらおう…と考えないようにする事だ。

むしろそうすると、向こうの思う壺でペースにはまってしまう。

相手も同じ人間、実験と観察を繰り返して、「彼ら」か？否か？またどの程度の心酔者か？を見極めればいい。

また、こころも感じる。

昔よく見慣れた表情をした人に最近よく会う。

どんな表情かというところ…

「この人、悪口いわれているけど、どうなのだろう…。」という拒絶ではないが、疑いと疑念の表情だ。

昔は、この表情の意味がわからなかったが、さすがにこの歳になると、少しわかるようになってきた。

この表情の人は、僕に対する評価をまだ保留中のひとだ、頑張つて認めてもらえばなんとかなる。それが東京で学んだ、僕の経験則です。

君も人の評判を気にしていた、今はどうなのだろう…？

もしかしたら、疑念の表情を示す多くの人は、単に君への評価を保留しているだけかもしれない…

そんなイメージ、君に伝えます。

誰かが悪口を流布させている？それに立ち向かうには、誠心誠意やるのみです。

なに、特別な事をする必要はない、ごくごく普通に一生懸命やれば、いいのだから。

そうでしょ？Fさん。

トルコ旅行中も後半、誰かが悪いイメージを流布していたような空気だった…、まあ、気のせいにしておきます。

それに、その程度のこと。たいした事でない。

世の中は常に動いている。様々なバイアスの元に。

しかし、2000年間という長い目でみれば、おおよそ世の中は、悪意よりも善意が勝る結果の歴史を積み重ねてきたように思う。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです。

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

物事は単純ではない、なにかしらバイアスがあり、それらが絡み合い“何か”を引き起こしている。

単純な真理1つで救われるほど、単純ではない。

まして、意味も解らず教えを妄信すれば、世界が救われるなど、ありえない事です。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

それが証拠に、彼らは彼ら自身の行いで、ドンドン日本を荒廃させている。

「いいわけ」と「ごまかし」の果てにある「悪意の集約」が何を引き起こすのか？

冷静に考えれば、わかることです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援しています。

君は自分で思っている以上に強い人です。

君の心が解きほぐされる事を信じて…

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そついう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらつ機会をもらつた、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃつたとしても、

誰も責任取つてはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

「決定権は私にあるの」

といい続けられ、そついう空気を作れます。

そして事実、決定権は君にある。

上のものは、下のものが本当にいう事を聞いているか、“報告書”をみて判断しているからだ。

社会主義体制では、ともかく膨大な数の報告書が書かれ、やり取りされていると聞く。

書類が命の社会らしい。口頭での報告ではいけないのだ。

で、ここからが僕の妄想なんだけど。

“彼ら”のあの見事な洗脳テクニックや、催眠、暗示の技術は、非常に洗練されている。

対して“彼ら”自身はつたなく洗練されていない…。

これが意味するものは、この高度なテクニックは外からもたらされたものだという事だ。

どこか洗練された組織が作り上げたものを、譲り受けて使っているものだと思う。

そうでなければ、あの素人くさい人々の説明がつかない。

洗脳という言葉の出自については以前書いた。朝鮮戦争で北朝鮮に捕虜になっていたアメリカ兵が帰還したとき、思想がおかしくなっていて、その治療にあたったアメリカ当局が名づけたのが始まりだ。

洗脳のテクニクは北朝鮮のもの、でもおそらくはその大親分であるソ連から来たものだと思う。

…先に述べた。ソ連のような社会主義下では報告書ばかり書かされる社会になっていると。

もしかしてだけど、そちらの社会も、やたらと上への報告書を書かされる社会になってやしないだろうか？と。そんな事も思った。

だれだれをターゲットにして威圧行動せよ、という計画が立てられると、活動状況を事細かに報告書に書かないといけないとか？

こういうバイアス下ではいやいやでも、報告書に何か書かないといけないので、何かしないといけない。仮にウソを書く場合は、他の報告書と矛盾があるとバレるから、口裏をあわせないといけないとか…。

そして肝心なことに、書面ではいくらでも事実を捻じ曲げられる…。
書き手の主観次第で。

これが当たってなくて、言いがかりであればいいなと、思ったりします。

Fさん、君も過去たくさんいろいろ書かされたのだろうか？

もし仮にレポートや報告書を書けといわれても、今後は無視していいとおもっ。

なぜなら、書く事で、彼らの世界に引きずり込まれる…。報告書を書いていくうちに感覚が麻痺して、何が正しいのか解らなくなっ
てゆくと思っ。

そんな事、思った。

これは、仮説に基づく推理で、外れる確立90%の妄想だ。

もし外れているならそれはそれでいい、ああ、心配してくれて
いるんだ、と君が思ってくれるなら嬉しいです。

でも「書面に書かされると洗脳されやすい」という事実。それは
知っておいて損はない。

何が役に立つか解らないので、一応書きました。

知っていれば、警戒できる。2度と暗示にかかるまいという高い決意を抱けば、もう操られなくてすむと思う。

Fさん、過去にも現在でも、未来でも、いろいろ言われると思うけど、がんばって。負けないで欲しい。狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

何かいうやつらがいても、心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！と言ってやってください。犯罪にもう巻き込まれるのはごめんだ、カルトには関わりあいたくない！と。

お釈迦様でも、きっと君のその声は“ただしい”と認めてくれるはずです。

そして、こんな事も思う。

“彼ら”のなかで、教えに心酔するきつかけとなった“奇跡”を経験した人、たくさんいると思う。

そうした人らは“奇跡”を信じている。

僕と君が“奇跡”をおこしたなら？どんなバイアスが生まれるのだろう…。

少なくとも、身に危険がおよぶリスクよりも、身の安全が保障される可能性が高くなると、僕は信じる。よりどころの根幹をゆさぶられて、人は平常でいられない。安定を求める。

つまるところ、“奇跡”の渦中にある僕と君になにかあったら、多くの人は奇跡を信じられなくなってしまっ…、だから手が出したくても出せない。そんなバイアスもあると僕は信じる。

奇跡を願って。君の心が解きほぐされますように…。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て

ください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでい

て毅然とした態度で自分を主張してほしい。

静かな戦いは消えることないだろうが、落ち着ける日々はたしかにあるのです。

いつか未来の落ち着ける日々を信じていいです。保障します。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

(この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。)

第40話 大切な“なにか”があるなら…3（未来へと続く話26）（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第41話 大切な“なにか”があるなら…4（未来へと続く話27）（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第41話 大切な“なにか”があるなら…4（未来へと続く話27）

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

「4月6日（水）曜日」 「人の感性とは生きる上で大切」

今日は正確には月曜日…。

昨日「イ・サン」という韓流ドラマを見た。

舞台は1760年代くらいの朝鮮半島。

歴史的にあまりなじみのない（有名でない）時代だ。

時は欧米列強が植民地戦争を激化させていた時代だけど、まだアジアの東までは到達していない時代。

日本で言えば平賀源内とかが活躍していた頃で、外国からの干渉のない時代だ。

（それでも貿易はあった、平賀源内はエレキテルを修理したし、朝鮮半島にも銃があった）

このドラマ、最初はつまらないだろう…。と試みていた。

けど、結局最後まで見てしまった…。

面白いというか、懐かしいというか、いい感じのドラマだったからだ。

なじみの薄い世界観は先の展開の予測を困難にしている、けど、ストーリー自体は定番のストーリーを追っていて解りやすく、感情移入しやすい。

端的にいうと、「どーせこの先こうなるんだろ？」という予測が立たないわりに、定番のパターンでストーリーを楽しませてくれる

ドラマだ。

最近のハリウッド映画や日本のドラマはこの「定番のパターン」を嫌う。予測不能の展開を用意し、楽しませてくれるんだけど、オチがいまいちしっくりこなくて、あれ？こんな終わり？とがっかりさせられる事が多い。

「途中まで面白かったのに、ラストがいまいち」と感じるハリウッド作品や日本のドラマが多いように感じる。

「ぼくもシロウトながら漫画家を目指していた（いる？）人間だ。ストーリーづくりの難しさはある程度知っているつもりだ。

定番の展開をさせようとすると、オチがいまいちで。定番の展開に終始すると、オチは決まるが、ワンパターンになる。

ストーリーづくりは感性の産物だと思う。

理屈は完成品を分析すれば、いくらでも整うけど、結局は作り手の感性だ。

自分が一番、気分がのれる状態は何か？を整えられれば、作れるように思う。

Fさん、何が言いたいか？という。この小説はそれなりに毎回良くかけていると思う。

何かが、僕の心を後押しするからだと思う。それが何なのか？自分でもわからない、君への想…、それとも贖罪…、あるいはその両方、いや、もっと複雑な感情がさまざまな後押しをしてくれる。そしてそんな思いをおこさせてくれる女性は、いままで君以外ないという事でもある。そんな事を、思った。

君にとっての僕が何なのか？単純に答えがだせるのか否か？それは君だけが感じる事が出来るもの。

もし、“それ”が君の心を支えるのに何かしら貢献しているなら、僕はうれしい。

過去、くじけそうな時、君の事を想い乗り切ったものだ。君の場合はどうなのだろう…。

真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無いと思っていた。

こんなにもしてもらっていいのだろうか？といつも思った。

君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるという行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あのとときの事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっているのだろう。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が好きだ。笑顔で無い君も好きだけど、やはり

笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

小さかった君は耐えた。頑張れば救われると信じようと努力した。どんなに疑問や悩みを抱えようと、誰も受け入れてくれない、自分が悪いんだと思い込む事でしか、解決できなかつた…
そうなのだろうか？

いつか君から直接ききたい。もし、話す事で少しでも楽になるなら、いくらでも聞きます。

僕は秘密を守ります。今日も昨日もこれから先も同じ22時の電話をとる準備しました。

鳴らなくてもかまわない。これは、僕が自分に課したものだ。
…君の心に報いるために、ごめん、あの時気がつけなくて、あの時の君の想いは本物だった。

この22時ごろ電話の前で待機するのを日課にしようと思う。

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちがいがなく“カルト集団”です。

優しさを利用されてはいけません。頑張つて！負けないでほしい。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て

ください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかに言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでい

て毅然とした態度で自分を主張してほしい。

眞実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく、
勇気を君に。

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

〔4月7日（木）曜日〕 「未来は？」

連日の震災ニュースをみていて、こんな事も思う。

今回の震災に対しては、55年体制も官僚主義も、なにも役に立たない。

過去の日本の栄光がどれ1つ役に立たない、未曾有の大危機だ。

これは、誰もが気がつく事だけど、時代が変わる節目だと思う。
問答無用で、過去の価値観のどれ1つとっても、今回の危機を乗り切るヒントにはならない。

新しい発想、新しい価値観、新しい制度が必要になる。

もちろん、当然のことながら、“彼ら”の価値観を持ってしても、
解決には達しないだろう。

原発は本当に、何十年もかかる長期戦の様相になりつつある。

こんな危機は日本の歴史が始まって以来だ。

過去のどの常識も通用しない。

常識が覆り、パラダイムシフトが起こるかもしれない……。

少なくともこれだけは言える。

“彼ら”の価値観では、乗り切れない。
土地は見捨てられ、人々は切り離される…、彼らの価値観ではそ
うなる。

そんなことはない！と多くの人が思うはず。

Fさんは未来に何を見ますか？

君にだけは、犯罪行為から離れてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。
言霊ことだまのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がって
いると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言
われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞め
たい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しはいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいけません。
なぜなら？その答えは君の心にあるのかもしれない…

未来は、まだ汚されていない。

君の未来もしかりだ。

頑張つて！負けないでほしい。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「サンクコスト埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

だから、頭のスイッチをきりかえて、頭の回転数を上げないといけない。

イメージとしては、車のギアを低回転ギアから高回転ギアにあげないといけない…。

時々、音楽を聴いて頭の回転速度を調節しています。

こういう事かくと、普通の人らは、何を言っているんだこいつは、みたいな顔をするが。

生来ののんびり気質の者は、意識してこうしないと、いつまでも、のんきモードでいてしまう。

僕は生来のノンキ者だ。

言い意味でも悪い意味でもそうだ。

周囲の速度と自分のペースがかみあわない…。

生活する上で、周囲の速度に合わせる事は大切、大人として。

でも時に自分のペースを取り戻す事も、また大事だと思う。

以前書きました。今、介護の仕事をしている。

人が最後のとき、何が大事なのか、つつい考えてしまいます。

自分が何者であるか？納得した人生を歩んだか？が、結局一番大切だと思う。

Fさんがどう感じ？何を思うのか？

君の心の“なにか”はなんと云っていますか？

支えは、何を欲するのか？

根幹は何なのか？

え？ちがう？

そう？そうなの？

そうか…

いや、でも、しかし。
大切ななにかがあるなら。
どうなのだろう。

とにかく、待つと僕は決めた。

今は君の都合が悪いだけだ、そう思うことに決めました。

それでいいのかな？ Fさん。

“彼ら”の総攻撃いらい、君との思い出がなければ、僕は生き残れなかっただろう。

今度は僕が君を助ける番という事でいいかな？

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。
い。

でも繋がりや、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられる
と思う。

きみにとっての“それ”が“何を”いみするのか。

小さかった君は耐えた。頑張れば救われると信じようと努力した。
どんなに疑問や悩みを抱えようと、誰も受け入れてくれない、自分
が悪いんだと思いつく事でも、解決できなかった…

そうなのだろうか？

僕はこう思う。君は君の心を信じて良いのだと思う。

いつか君から直接ききたい。もし、話す事で少しでも楽になるなら、
いくらでも聞きます。

僕は秘密を守ります。今日も昨日もこれから先も同じ22時の電
話をとる準備しました。

鳴らなくてもかまわない。これは、僕が自分に課したものだ。

…君の心に報いるために、ごめん、あの時気がつけなくて、あの時の君の想いは本物だった。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。

その中にある限り、永久に答えは出せないから。

22時ごろ電話の前で待機するのを日課にしようと思う
(特に中止の記述がないときは、継続中です)

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。

奇跡を信じて。負けないで！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。
Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろうか？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

僕が、「それはとりあえず追いついて」と諭しても、「置いていてじゃないでしょ？」

とこだわる。そんな所あったように思う。

今も忘れる事が出来ず、こだわる君の姿が想像されます…。

頑張つて、負けないでほしい。

なにも新しい自分に生まれ変わる必要はない、本来あるべき自分に気がつくだけでいいのだから。

君がきみらしくある事を、切に祈ります。

もし君が、過去は封印したい、永久に自分の心の中だけに、絶対に。と思うなら。

僕にはこんな提案がある。

お芝居をしましょう。

偶然出くわした2人という。君は“彼ら”の事を一切語らず、そんなものの存在自体無いかのごとく振舞ってほしい。

僕は、そのお芝居に一生付き合う自信がある。

打ち合わせゼロで、突然スタートしても、のって見せます。

君が、もし、一世一代の大決心の後、始めた再会のお芝居なら、命にかけても演じきります。

そんなイメージも、君に送ります。

人が聞いたなら、何言っただと馬鹿にされそうですが、そんな事はどうでもいい。

言わないと、伝わらないし、伝えないといけない事って、実際あります。

君は、言葉よりも行動で意思を示す人だ。案外こういふほうが

やりやすいのかな？などとふと思いついたわけです。

いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！と言ってやってください。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。いろいろあると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。

多分君の周りには悪意なく“そういう事”が出来る人がたくさんたくさんいると思う。

それは悪意があるのではなく、心が内向きになっていて、外に向いていないからだと思う。

心が外向きになれば、人として持つ“当たり前前感情”が戻ってきます。

そう、周りの人に言ってやってください。

繋がりには、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさな

いで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そついう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、
それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。
三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取つてはくれないよ！
老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかに言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

告白された事は胸にしまುತ್ತもりでいます。

“人を許せる時が、自分を高める時”

（日本テレビ系『行列のできる法律相談所』で有名な弁護士、菊地幸夫氏の言葉）

簡単でないが、目指しがいのある目標ですね。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいです。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言葉ことのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰だれかにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返せばいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？

その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいけません。

なぜなら？その答えは君の心にあるのかもしれない…

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て

ください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けしないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

経緯はともかく、すべて否定する必要はない。

自分の心で感じた解釈で言いたいと思う。

ただ、犯罪行為に荷担するのは、君にだけはやめてほしいと考えます。

…心の整理が難しいかもしれない。

君は心を察してほしいと感じると同時に、あまりはずけずけと心に入り込まないでほしいとも感じる、そんな感覚を持っていたように思う。答えを出せるのは、君自身のなかにある何かだ。

欠けた何かを求める気持ちかもしれないし、不鮮明なイメージをつかみたい衝動かもしれない、それとも、もっと違う何か…。

1ついえる事は、心を閉ざさないでほしい。

僕はいつもこう考える。

この世には、確かに気持ちを通じ合うという事はある。それを彼女は教えてくれた。だから僕はその事実を信じられるし、彼女のためにも信じ続けたいといけなないと、そう、素直に感じられる。

時々心がぶれても、軸足がある限り、バランスを立て直せる。

君が僕の人格の重要な部分をくれたのだ。

そのことは、とても重く、重要な事です。

大切な君が、今も笑顔でいてくれる事を、遠くで願わしてください。できるなら隣で願いたいのが本音だけど、僕は待つと決めた。

今は君の都合が悪いだけだ、そう思うことにしています。22時の日課を課して、待ち続けます。いつかの奇跡を。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。
君が「埋没費用の呪い」^{サンクコスト}にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

そちらの世界は部外者からみればエゴそのもののエゴイスト集団
にしか見えない。

そして、やさしい人達はその踏み台にされている。

しかも多くのそうした人達に自覚が無い。

催眠と暗示が効果的に使われているからだ。

そして疑問を感じる人間には、恐怖の制裁がまっている。

僕と君が経験したあの日々のような…。

…落ち着いて、ゆっくり考えて、自分の答えを求めてほしい。

そう、君に伝えます。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

頑張れ！Fさん。

君の創意と工夫に期待します！！
情熱をなくさせるのが“彼ら”の罠だ！気をつけて！

.....

- - -
「4月12日（火）曜日」「罪は罪でも、君の全人格が否定されるものではない、なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。」

Fさん、現在の君は車の運転をしますか？

僕は大学時代に免許を取った。そうだな…君の横浜の住所にまだクリスマスカードなど届くと信じて送っていた時期だ。

けど東京ではとくに車に乗る必要もないので、まったくのらぶーパードライバーだった。

なにしろ東京は交通機関が発達している…、静岡県東部とは雲泥の差だ。時刻表などみなくとも、いつも電車が来ていた。

こちらに来てからは、その差を目の当たりにする…。

就職活動でも、東京の距離感では、富士宮など全然通勤圏内なのだが、こちらの電車の本数では、とても通勤などできない…。

地方では車は必需品だと、改めて痛感した出来事だ。

で、長年ペーパードライバーだった僕も、いよいよ乗るようになる。

今も通勤には車を利用している。

車庫いれもだいぶん慣れた…、まだあぶなっかしいところもあるけど。

Fさん、物事は、慣れ始めた頃が一番ヤバイという言葉があるけど、実際そのとうりだった。

じつは昨日コンビニの駐車場で他の車にぶつけてしまったのだ。程度はかるくバンパーをぶつけた程度だけど、向こうは新車で相当怒っている…。

僕だって逆の立場なら怒る。何ヶ月も働いてやっと買った新車にぶつけられたら怒らないはずがない。

警察立会いで実況見分してもらい、調書をとって、あとは双方の保険会社の交渉になるみたい。

(こついう時、へたに被害者に連絡とると、かえって感情的にこじれることもあるので、保険会社にお任せしようと思う)

幸い程度の軽い事故で済んだのが、不幸中の幸いです。

むしろこの程度ですんで幸運だったと考えるべきだと思った。もっと酷いものだったら、とんでもない事になる。

相手には申し訳ない、というのは事実だし、謝罪の気持ちもある。でも、僕の全人格が否定されるほどの事故ではない。

ここは前向きにとらえて、今後の糧にしたいと思う。

同じような事が無いよう、体に感覚も刻まれたし、事故の原因となった、後方確認の重要性も体に叩き込まれた。

最近実際に、運転が荒くなっていたのも事実だ。慣れ始めたところだからだろう…

罪悪感という言葉は、経験してみないと、わからない部分もある。

もし、“彼ら”の活動による罪を自覚してしまった際の罪悪感を経験するなら、今回僕が経験したものの何千倍のものかもしれない…。

君が感じる罪悪感はそのようなものだ、そう、思った。

それでも、これ以上罪を重ねるよりも、今、やめたほうが何千倍

もい事に変りはない。

それは、間違いのない、誰にも否定できない事実です。

罪は消せない、でも誠意一杯前向きに立ち向かう事はできる。僕はそう考えます。

君にだけは、“彼ら”的な犯罪行為をやめてほしい。
もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。
言葉ことばのように……どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しはいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。
それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいきません。
なぜなら？その答えは君の心にあるのかもしれない…

頑張つて！負けないでほしい。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしい事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けしないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

けてきたのだと思う。

犯罪に荷担するような励ました。

たぶん、心のおくでは間違っていると感じていた事と思う…。

君は、僕の励ましをどう感じるのだろうか？

間違っていると感じるのか？それとも、嬉しく思うのか…。

今の僕には励ますくらいしか出来ない、でも、それが重要な事であるとも思う。

いつか、どこかで、未来が重なる事を信じて。

罪は罪でも、君の全人格が否定されるものではない、なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

負けないでほしい！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

「4月14日（木）曜日」君に伝えたくになりました」

Fさんへ。

最近こんなこと思った。

隣りの部署の年上の男性で、会った最初から無視をきめこむ人がいる。

普通にあいさつしてそうなので、そもそもそういう人かと思いきや、そうではないらしい。

嫌われる理由があるなら理解できるが、初対面からそうというのは、やはり、そう、なのだろうか？

近所にも物凄い昔から知ってるのに、この歳になるまで一度もまともに口を聞いたことない人がいると書いたこともある…。そんな事実と実にかみあうので、警戒はしている…。まあ、たんなるシャイなおじさんと思いたいけど。

君は僕の家にも一度来た事がある。

その記憶からイメージしておほしい。

目の前を一台の車がヴヴヴ…といった音で通りすぎる。この音は普通の人も出す音なので、特に気にならないのだが、問題はその後で、この車、僕の家の前を通過すると停車し、バックし始める。まるでどこかに車庫いれするかのように…、でも近所で見ない車、何これ？と思いついて見ていると、そのままと来た道をバックのまますすみ、帰っていくのだ。通常このような動きをする車はいない。よほどパニックだったおっとりさんが、わけもわからず行動した以外を除いて。

奇妙な動きの車は今もいます。確かに。

組織の自己顯示のためにこういう事をワザとやるとも聞く。

実際のところどうなのだろう？

そこまで腐っているとは、とても信じられない。

ノロマな亀にニヤつく変態はごく一部と、一般常識では思うけど、
どうなのかな？

東京で3年観察したあの男は、自分自身がノロマな亀であるがゆえの同類嫌悪なのか、やたら敵意を出していた。もし組織内に僕の事を生理的にきらう人物がいるとしたら、それはもしかしたら“同類嫌悪”なのかもしれない…。人間自分の一番嫌な部分をもっている似た人物は、鏡で自分の欠点を見ているようで、いい気分にはなれないものだ。でも、いい機会だから観察して、どうすれば欠陥が直せるか考える機会を持ったほうが建設的と思う。何事も考え方しだいだ。

（そしてこうも思う。僕のような人間に“彼ら”の攻撃を「看破できる」という事実。これはどちらが優れているとかいう優劣の問題ではない、相性の問題だ。なぜ、僕のような人間に相性があつてしまうのか？その事実。何を思うのか…）

Fさん、その組織と距離をとつてもいいと思う。

その組織はどこかの誰かのエゴを満たすため、殺人をも認める犯罪集団だ。（死ぬまで追い詰めると本気で言う人、本当にいたらまさにカルトです）。

今ニュースを見ていたらこんなのがやっていた。

津波でも思い出は流されない、というニュース。

瓦礫の中から見つかった写真を丁寧に洗浄して乾かして集めていくという…。

いづれ持ち主のところへこれらの思い出の写真はかえるのだろうか？

そんなニュースを見たよと、君に伝えたくくなりました。

罪は罪でも、君の全人格が否定されるものではない、なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。負けないでほしい！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「サンクコスト埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

やっぱり僕は自転車が好きなようです。

君はいま、どうしているだろう…。

君は今、何が好きですか？

君が君らしくありつづけていてくれる事を、願います。

…以前書きました、ある人から聞いた座右の銘のこと。
ぼくにも実は、一応それらしき言葉はある。

この小説の初期のころから何度か書いているものだ。

“表現されない自分はいないに等しい”
というものと。

“ないなら、ないなりに、工夫する”
というものだ。

結果がどうあれ、ともかく頑張って生きています。

なぜなら、上記2つの座右の銘のほかに、君からもらった大切な
思い出と、そこから得たイメージがあるからだ。それは、“この世
には、気持ちを通じ合うという事実が、確かに存在する”という事
実だ。この事を教えてくれたのは君だ。僕は、人が本当に心を開い
た時、どんな顔をするのか君から学んだ。そしてその事は、今でも
僕の人格の重要な構成要素の1つになっている。

君にも信じてほしい。

どう思うのかな…、いつか、聞ける日を夢見て。奇跡に賭けます。

罪は罪でも、君の全人格が否定されるものではない、なにしろ“
彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなの
だから…。負けないでほしい！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天から褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかに言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けしないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

対立相手から一時的にやさしくされると、心がぐらっとくるでしょ？

そういう時は

「貴方の同情などいらない」

と1度すごんで見るといいかもしれない。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。勇気を君に。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

「4月16日(土)曜日」 「待ち受けるものが何であれ、後悔しない生き方をすることが大事」

地震についてこんな事思う。

以前見たNHKスペシャルで、プレート同士が接触する面に“かさぶた”のような部分があり、

このかさぶたが崩れる事で、プレートがズレ、地震が起きるとい
う。

今回の東北大地震では3箇所のかさぶたが同時に崩壊し、広範囲な災害になったらしい…。

(間違いがあったらごめん、でも、これが現在の僕の理解です)

僕の理解が正しいなら、東海大地震の場合は少し違うらしい。

東北地方にある“かさぶた”は小さいものが点在している状況らしいが、東海地方の“かさぶた”はまったく違うという。

実は伊豆沖から四国の先まで、でっかい1つの“かさぶた”になっ
ていて、あまりのでかさに、そう簡単には崩壊しないらしい。
しかし、周辺で地震が起こるたびにストレスが加わるので、い
ずれ崩壊はする。

この巨大な“かさぶた”が崩れた時は、今回の地震の何倍ものエ
ネルギーになるとか…

よくマグニチュードという単位があるが、あれは一点のエネルギ
ーをあらわしている。

東海地震の際にかかるであろう、広範囲のエネルギーの放出には、
対応できていない単位だ。

…たぶん、東海大震災がおきたら、関東・東海・近畿・関西・中
国地方・四国に同時に壊滅的ダメージが加わる。

先に何が起こるかは不明だ。

待ち受けるものが何であれ、今は後悔しない生き方をすることが
大事なように感じる。

何となく生きては、きつと後で後悔する…。そう思った。

今回の震災、“彼ら”の教えでは何1つ復興に役立てないと思う。
結局は平和な世界で、あぐらをかいて、だだをこねている、甘え
た者のエゴで成り立っているからだ。

救済と称して、多くの人を騙しながら。

何を証拠に、と言う人には、こう、言ってあげてください。

「カルトって災害時役に立たないわよね、そこが普通の宗教と違う
ところだわ」と。

心無い人々による虚無と退廃の世界こそ、彼らの理想社会だ。
彼らの行動の延長線上には、そういう世界が待っている。
社会を破壊しているのは誰だか明白だ。

… 真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無いと思っていた。

こんなにももらっていいのだろうか？といつも思った。

君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。

君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるといふ行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あのときの事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっているのだろうか。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“ なにか ”があるなら、それは重大な事です。

世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

罪は罪でも、君の全人格が否定されるものではない、なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。負けしないでほしい！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「^{サンクコスト}埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君の心は誰のものでもなく、君のものです。

数の力で他人から心を奪えると本気で思っている連中に負けないで！！

眞実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく、
勇気を君に。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔4月17日（日）曜日〕「正しい無心、正しくない無心」
Fさん…、こんな事も思う。

世の中には“無心で打ち込むと普段発揮できない能力が発揮でき
て、新しい自分を見つける”といった事実がある。

余計な事を考えず、ただただ無心に取り組むと、そういう事は、
確かにある。

仕事をしていて、普段は上手くいかない事も、ふとしたきっかけ
に無心で打ち込むと、何の苦勞もなく出来てしまい驚く次第だ。

重ねて言う…、Fさん、こんな事を思った。

“彼ら”の例のあの行動も、無心で打ち込めば、やはりそういう
心理状況になるのかもしれない。

でも、“そこ”に人生修行を見出すのは間違いだ。

例えて言うなら、こんな歴史がある。

有名なエピソードだけど。旧日本軍では、兵士の度胸と精神鍛錬のために、捕虜の首切りを日本刀でさせたという。

確かにそれをすれば、度胸や胆力はずくだろう…、でも度胸や胆力を磨きたければ、別の方法はいくらでもある。

いちいち捕虜の命を絶たなくても、別の方法があるのだ。

人間の命はそんなもののために安く扱われるべきものではない。

Fさん。周りにいる“彼ら”の中には、“例のあの行動”こそ精神鍛錬に一番よいかか吹聴する変態、いるのかもしれない。

でもそれは、他人の命を犠牲にしても、何の感情もわかない人間を大量生産しているだけだったりする。

その（a）い現実は、間違っていると、お釈迦様でもうなずかずだ。

（ a には好きな言葉を当てはめてください、それが貴方の心を反映しています。）

心無い人々による虚無と退廃の世界こそ、彼らの理想社会だ。

彼らの行動の延長線上には、そういう世界が待っている。

社会を破壊しているのは誰だか明白だと思う。

「悔いの無い人生を…」と言ったら、贅沢の限りを尽くす事しか思いつけないような連中に負けないでほしい！

顔の無い人たちの愚行に、むりやりつき合わされるのは迷惑だと、はっきり言っても大丈夫です。

罪は罪でも、君の全人格が否定されるものではない、なにしろ“

彼ら”の巧妙な罫により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。負けないでほしい！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

この考えにいたるには、東京での漫画投稿の経験が下敷きにある。以前も同じ事を書いたかもしれない…。

漫画は1人で描く。30ページ前後の短編なら、普通に3ヶ月はかかるものだ。（早い人ははやいだろうけど）

3ヶ月の苦労は報われるか報われないかわからない、しかし、へたに迎合したり、手をぬいた作品で落選した時と、全力を傾けて落選した時では、感じ方が全然違う。

やり遂げた！という思いが全然ちがうのだ。

結果はどうあれ、やり遂げた！という思いは重要なものです。

その辺は、上手く説明できないけど、なにか、ものすごく、生きていく上で、大切な“希望”に近いニュアンスを持っているように感じる。

うまい例えが出てこないけど…、例えば車の車庫いれ。

最初から「うまく入るはずが無い」と思っていると、いつまでたっても入らないし、いくら時間がたっても上手くならない。

結果はどうあれ関係なく、入れなければいけないんだ、と思うと、下手でも何とかなるし、時間がたつと上達する。

最初から出来ないと思うと、出来なかつたりもする。

しかし、無理をしすぎるとやはり失敗する。

臆せず、動じる事無く、しかし冷静に、ゆっくりと着実に。時に落ち着いて、固い決意で。

余裕を持ち、焦らず、じっくりと、希望を持ち、信念を持ちつつける。

そんなイメージ、うまく伝わるだろうか？Fさん。

君が今も戦っているという前提で書きます。

君が今でもくじけず自分を貫こうとがんばっているならば、僕も

また同じ事で頑張り続けられます。

虚無に食われた人々の、哲学なき意志の乱造に負けないでほしい。実りなき不毛な搾取ばかりする人達と戦ってほしい。

罪は罪でも、君の全人格が否定されるものではない、なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。負けないでほしい！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

…好きでないならなぜわざわざ書くのか？舞台が「江古田」だからだ。

練馬区江古田は僕が長年住んでいた所だ。都心に近いわりに家賃も手ごろない場所。

金の無い若者がすむにはちょうどいい場所かもしれない。

番組最後に江古田の写真が出てくる。知っているなじみの場所ばかりだ。

何だか、懐かしく感じました！と、君に伝えたかった。

僕が東京にいる間、君はどうしていたのだろう…。

再会して話せる範囲でいいから、少しだけ教えてほしい。だめもとでのお願いです。

結果はどうあれ、悔いは残したくないから、君に伝えます。

いつか君の思い出の場所もおしえてほしい、いつか2人でいける日などあったりするだろうか？

答えは、未来のいつかにわかります。

どんな結果であれ「未来」だけは平等にある。

結果はどうあれ、毎日悔いなく生きることが大事です。

いつか、2人の未来が、もう一度重なる日を願って…

初めての印象とういうのは忘れないものです。わくわくして、楽しくて、面白い。

周りの人に、機会があったら伝えてください。最初の印象って忘れないものだ。

違いを楽しんだり、同じと思う事を嬉しく思ったり、何もかも新鮮で彩りに満ちている。

僕には、あたらしい世界を共に歩みたいと思う人がいます。君はどう思いますか？

…Fさん、真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無いと思っていた。

こんなにしてもらっていいのだろうか？–いつも思った。

君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。

君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるといふ行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あのときの事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっているのだろうか。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。

世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

君にだけは、犯罪行為から離れてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながると思う。

それはきつと言霊ことたまのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かだれにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しはいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいけません。

なぜなら？その答えは君の心にあるのかもしれない…

罪は罪でも、君の全人格が否定されるものではない、なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。頑張つて！負けないでほしい。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

心のバランス、大切にしてほしい。

自分が、自分でい続けるためにも。

“彼ら”は君の自我を破壊し、従順になるよう常に仕向ける。

とある。

これは言いがかりかもしれないけど、僕の経験でいうなら、“彼ら”の理屈は上記な人間こそ“すばらしい”と賞賛し、多くの組織の子供にこの様になれと教育しているように思う。

Fさん、僕は、これを僕の言いがかりに過ぎないと思いたい。実際のところはどうかだろうか？

一部の生粋のサイコパスが支配層を牛耳り、催眠・暗示の技術で、多くのまともな人たちを、恐怖でコントロールしているだけだと、そう、信じたいです。

何はどうあれ、Fさん。

生粋のサイコパスの放つ、自分勝手ないいわけなど、跳ね返してほしい。

君は君らしくいていいのだから。

過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。

淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違はなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。僕は脱出をとかく君に勧めます。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。

その中にある限り、永久に答えは出せないから。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。
奇跡を信じて。

罪は罪でも、君の全人格が否定されるものではない、なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。負けないでほしい！頑張れ！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

草の根の悪意を取りまとめて、利用するやつがいる。気をつけてほしい。

情熱を知らぬ間に奪うのが“彼ら”の手口だ！注意して！
負けるな！

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。
勇気を君に。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

「4月21日（木）曜日」 「気をつけてほしい。君をその世界に引きづりこもうと虎視眈々狙うサイコパスは、今もいるかもしれない。（全員がそうとは思わない、一部の狂信者だ）」

前回の続き…

すこし話をマニアックな方向へ向けます。

アメリカでは、数年前。サイコパスになる遺伝子を発見した！と

か報道されていた。

生まれた段階で、生粋のサイコパスを見つけて駆逐しようという意図だ。

しかし、それは優生学だ！と避難され、世論におされて掻き消えた…、そんな風に記憶している。

その数年後だろうか？

トム・クルーズ主演だったか…、「マイノリティーレポート」とかいう映画が出来た。

未来予知で犯罪が起こる前に犯人を捕まえる未来社会を書いた映画だ。

いくら素養があろうとも、なにもしていない人間を犯罪者としてみていいのか？という映画だったと思う。

犯罪大国アメリカでさえ躊躇するような事を、カルトな“彼ら”はしてしまうのだろうか？

“サイコパス”は映画の題材によく登場するので、何となく知ってはいたが、大概は恐怖映画の悪役というカテゴリーであり。

その存在価値はモンスターや怪物やエイリアンと同列だった。

その存在がクローズアップされたのは、やはり映画「羊たちの沈黙」からだ、個人的には思う。

それまでただの狂人だったサイコパスに、実はカリスマ性があるという斬新な設定で、衝撃的だった。

僕の理解では、この設定は、現実のアメリカ社会の犯罪研究が反映しているとか、いないとか…。はっきりは知らない。

あまり興味がなかったので、特に詳しく調べた事は無い。

しかし、本屋で働いていると、この「羊たちの沈黙」のサイコパス、ハンニバル・レクター博士を主人公にした原作本がものすごい良く売れる事に気がつかされる。

どうやら、ただの恐怖作品とは違うらしい…、と漠然と思ったものだ。

余談になるけど、数年前、「モンスター」という漫画が大人気になったこともある。やはりサイコパスが主人公で、カリスマ性が示されていた。

人を惹きつける殺人鬼というモチーフは、どうやら流行っているらしいと感じたものだ。

その後、浦沢直樹は「モンスター」に引き続き「21世紀少年」「プルート」といったサイコパスをテーマにした作品を書き続けている。

最近でも「デスノート」という漫画が天才的サイコパスを主人公にしていたのが真新しい。

正直、僕はこのモチーフが大嫌いだ。

たまに読む分には怖いものみたさでいいけど、自分の漫画で真似ようとはまったく思わない。

創作意欲がわかないのだ。

このモチーフが流行る理由は、こうだと思う。

“こうなつてはいけない”という本能の警告を具体的イメージで納得したい欲求を満たしたい読者がいるからでは無いだろうか？

サイコパスにならないためには、どうすればいいのか？
というテーマが底流に流れているように思う。

それゆえに、大人がハマる作品だ。

サイコパスはカリスマ性を持ち、人を惹きつけるとある。

現実の話だったら最悪です。

「羊たちの沈黙」の続編、「ハンニバル」のラストは、映画と原作では違つと人から聞いたことある。

原作ではよりシヨツキングな終わり方をする。

犯罪者レクターを追う、美人FBI捜査官クラリスは、最後ついにレクター博士の魅力に負けてしまい、共に逃亡する道を選ぶと聞いた。

本当かどうかは知らない、聞いた話だ。でもそれはあまりにシヨキングなラストだ。

それに対して映画でのクラリスはレクターに見せられるが、最終的に思いとどまる。僕はこちらのラストのほうが好きです。

人は理性がある、そう信じたいからだ。

魅力的な人物になりたいがゆえサイコパスを目指すのが、“彼ら”のスタイルだとしたら最悪を極めている。

もちろん、これはなんの根拠もない想像にすぎない。

実際、君のまわりには、そういう人いるのだろうか？

気をつけてほしい。君をその世界に引きづりこもうと虎視眈々狙うサイコパスは、今もいるかもしれない。

君が仮に過去の何かにいろいろな罪悪感を感じていたとしても、「君の全人格」が否定「されるものではない」と考えてほしい、いや強く念じてほしい。

なにしろ“彼ら”のなかのサイコパス達の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

負けないでほしい！君の全ては否定されないのだから！頑張れ！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

小さかった君は耐えた。頑張れば救われると信じようと努力した。どんなに疑問や悩みを抱えようと、誰も受け入れてくれない、自分が悪いんだと思い込む事でした、解決できなかった…

そうなのだろうか？

負けるな！もう君は1人ではない。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。勇気を君に。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔4月21日（木）曜日〕「戻る人は、サイコパスではない。

また、もどろつと努力するひとも」

もしかしたら時々、頭の中がぐじゃぐじゃになって大変かもしれない
ない

それでも自分を見失わないで！

こつとも思っ…。

自分の事を“サイコパスと同じ行動をしている”と思っていない
人に、その事を自覚させると？

まともな人ほど、急に普通にもどる。

戻る人は、サイコパスではない。

また、もどろつと努力するひとサイコパスではない。

そうでは無い人。

戻る必要をまったく感じず、今でも続ける人は、非常に重症なのだと思う。

そういう人、いるのかな…、どうなのだろう。

Fさん、やはり、その組織は離れて距離をとるのが懸命です。

僕は脱出をとにかく君に勧めます。

悩まないでほしい！

たとえどんな罪悪感を感じようとも、君の全人格が否定されるものではない。

なにしろ“彼ら”の巧みな罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう念じてほしい！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

小売り大手のイオンがマーケティングを変えららしい…。
震災地域、関東、関西、をそれぞれ売れ筋が違う地域として考え、
3箇所違う商品展開をするというのだ。

これが何を意味するのか？解るだろうか？

今までの日本は、全てが“東京”発進で始まった。
流行も、文化も。

その理由は東京こそが最大の消費地帯だからだ。

しかし、今後はそれが変わると踏んだのだろうか…
今現在でも、東京が最大の消費地域である事実に変化はない。
しかし、完全に無傷な西日本と比べて、まったく同じと考えるの
は無理がある。

これから世のかなは変わるのだろうか…、なぜなら震災により強制的
に国内の“温度差”が出来てしまった。

もしかしたら、僕の好きなTVドラマや漫画やアニメ等の創作物
も変化するかもしれない。

それだけではない、上記のように経済や今後の日本文化の進展に
も大きなバイアスとなって影響するだろう…。

こんな話を思い出す。

以前これも書いたかな？

江戸時代、江戸では“金”を通貨に使用していた。
ところが大阪では“銀”を商売で利用していた。

銀は金と違い、細かく切断できるので、細かい単位まで正確にお
金のやり取りが出来る。

金は銀と違い、おつりが大雑把になってしまい、あまり細かいお
金のやり取りに適さない、どんぶり勘定になってしまう。

そんな背景から、大坂は独自の文化が生まれ、現在に至っている。金勘定に厳しく、本音でガンガン言いあう（駆け引きする）気風は、この銀の通貨がもたらしたといっても、さほど間違いで無いと思う。

世の中の全ての事象は繋がっていて、影響しあっているのです。さしづめ、バイアスが働くがごとく。

そして歴史や人生が作られていく。最初から、全てが決まっているわけではありません。

君が変わろうと努力するなら、それは君のみならず、大きな影響を与えるものだと思う。

君はそういう、自分の行動での他への影響というのに、おびえるかもしれない。

でも、そもそも「生きる」とは、他者や世界の事象に影響をあたえ、また逆に影響をうける事を意味していると思う。

だから、なにも怖がる必要は無いし、おびえる必要も、遠慮する理由もありません。

君は君らしくいていいのです。

罪を犯したとしても、他人に迷惑をかけたとしても、君の人格が否定されるものではない。そう、強く念じてほしい。

自分を見失わせるのが、“彼ら”の意図であり、見失ってしまうと、簡単に操られてしまう…。

そして、いいようにされ…

君は君らしくいていいのです。過去になにがあるうと。君の人格は否定されません。

そう、強く念じてください。

いまはつらいのかもかもしれない、大変な目にあってるのかもかもしれない。
いろいろあると思う。けど、がんばって。負けないうで欲しい。

繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。
う。

きみにとっての“それ”が“何を”いみするのか。

止まった時間が動き出す日がくるのか？来ないのか？
それも含めていろいろ賭けです。

何よりも重要で、大切な…。

時間が動き出した先に、さらに遠くを見る目を信じていいのかな？
その未来、できれば隣りにいてほしい人がいます。
それが誰なのか？それは…、2人だけの秘密です。
いつか、どう思うのか教えてほしい。
そんな事、思ったと、君に、今、伝えます。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです。

手が出せば届くような単純なものではない。
単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

物事は単純ではない、なにかしらバイアスがあり、それらが絡み合い“何か”を引き起こしている。

単純な真理1つで救われるほど、単純ではない。
まして、意味も解らず教えを妄信すれば、世界が救われるなど、
ありえない事です。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ
！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れ
ないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからない
はずなのです。

それが証拠に、彼らは彼ら自身の行いで、ドンドン日本を荒廃さ
せている。

「いいわけ」と「ごまかし」の果てにある「悪意の集約」が何を
引き起こすのか？

冷静に考えれば、わかることです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援してい
ます。

君は自分で思っている以上に強い人です。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさな

いで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

罪は罪でも、君の全人格が否定されるものではない、

え？難しくって言うてることがさっぱり？
そうかもしれないけど、まあ、言いたい事は、この先にあるので
す。もう少しだけ付き合ってもらっっていいかな？Fさん。

最初の2時間はマニュアルとの格闘だけど、どこにも答えは出て
いない。

いろいろ工夫してみるけどダメで、サポートセンターは営業外時
間。

これはもう無理だ！とさじを投げようとした。

いや、実際さじを投げた。素人には無理だ！と。

プロを呼んで、設定し直してもらうのには大変な手間かもしれない、
い、何しろ今は仕事をしていて時間に余裕が少ない。

マニュアルにも載ってないような設定や、とすればプロバイダ
ーとの契約変更もあるかもしれないと考えてしまう。

一体復旧にどのくらい時間がかかるだろう…、その間、この小説
も断りなく休載になってしまう…。

いきどおりが頭を巡り、悪い方へ悪い方へ考えが巡る…。

次第に八つ当たりしたい衝動へ…、とここまで考えて、ふと自分
を振り返る。

「ダメじゃないか、こういう自分を制するために、いろいろ自分な
りの哲学をえたのだ、負の感情に身をゆだねてはいけない」

…と思いなおしました。

で、論点整理をし、冷静に考える。

この新しい契約スタイルは、今、プロバイダーが一押しで売って
いるもの。

おそらく全国に同じ症状で悩んでいるユーザーがいるはずだ。と
思い、ネットで検索してみた。

すると、いる。やはり。同じような状況で、どうにも出来ないという質問のページがある。

いくつか見て行くと、どうやら、ルーターが二重になって一方のポートが解放出来ないのが原因らしいとわかる。

さらに調べていくと、僕と同じ無線LANの機材の人で、同じ症状の人までいた…。

いろいろ調べていくうち、この今持っている無線LANのルーター機能を止める方法も写真付でのっているページにたどり着く。

ここまでたどり着くのに、作業を始めて実に4時間かかってしまいました。

でも4時間でできた。ネットは復旧し。こうして新しい物をアップする事も出来ました。

じつは、この四苦八苦した無線LANの機材一式は、東京脱出の際、買い求めたものだ。

“彼ら”の猛攻撃がある中、じろじろ見られる目線の中、池袋の家電専門店で買ったものだ。

東京の部屋を処分した日だと思う。実家のネット環境に相乗りしようとして買い求めた機材だ。

あの時は、今以上の緊張感だった。

“彼ら”の悪意はすさまじく、何千、何万と感じる攻撃だった。明日殺されるかもしれない緊張感のなか買った記憶がある。だから、この機材、少し思いいれがあります。

僕が東京脱出した頃、君はどこで何をしていたのだろうか…。

びっくりしたかな…、まさか僕が真実に気がつくとは。

僕自身驚いた。

いつか、どのくらい驚いたのか教えてほしい…ダメかな。
そんなささやかな夢も、あったりします。

いつか、未来で、2人の行く道が交わる事を信じて。

何が言いたかったのか？

感情的になる事は仕方ないかもしれない、冷静さを取り戻すこともまた、大切だなと。

そんな事思っただよ、と。君に伝えたかった。

君は今も戦っているのだろうか？頑張れ！負けないで！！、Fさんは自分で思っている以上に強い女の子です。

大丈夫、上手くいきます。

真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無いと思っていた。

こんなにも思ってもらっていたのだろうか？といつも思った。

君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。

君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるという行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あのときの事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっっているのだろう。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。

世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

…小さかった君は耐えた。頑張れば救われると信じようと努力した。

どんなに疑問や悩みを抱えようと、誰も受け入れてくれない、自分が悪いんだと思いつ込む事しか、解決できなかった…

そうなのだろうか？

たとえどんな罪悪感を感じたとしても、その罪で、君の全人格が否定されるものではない。そう心に念じてほしい。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

それは明白な事実なんです。負けないでほしい！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

なにか、そちらの世界なりのいい訳があるのだと思う。

…でも、そんなもののために、1度しかない人生を犠牲にされるのは間違っている。遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

時に感情を爆発させるのもいい。時に冷静さを保つならば。

にあるなど、そう感じた事。

主人公は次第次第に、理由なく戦うサイコパスの心境に近づいてゆくのだが、親友や恋人の存在が、最後の一线で、彼の彼ゆえの人格を守る。

そして最後は、サイコパスとは違う戦う理由を見出す…。そんな終わりだったように感じた。

視聴者が望む、サイコパスにならない方法を具体的なイメージで確認したい欲求を満たすラストになっている。

正直、ガンツの正体はなにか？といった表層的な謎は、解決しようとしまいと、テーマ的にはどうでもいいのだと思う。

：映画とは見る人により印象も感想もかわる。

だから僕とちがう意見の人もあるだろうけど。そんな事感じたよと、君に伝えたかった。

心無い人々による虚無と退廃の世界こそ、彼らの理想社会だと思う。

彼らの行動の延長線上には、そういう世界が待っている。

サイコパスの暮らしやすい社会こそ、彼らの望む欲求を吐き出せる社会だ。

社会を破壊しているのは誰だか明白だ。

過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。

淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違
いなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。

僕は脱出をとにかく君に勧めます。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。

その中にある限り、永久に答えは出せないから。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。

君が「埋没費用の呪い」サンクコストにかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

罪は罪でも、君の全人格が否定されるものではない、なにしろ
“彼ら”の巧妙な罠により、

そういう行為をさせられていただけなのだから…。(そう強く心
に念じてほしい)

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

ると聞いたことがある。

選挙の時もほとんど票読みができていたとか、いないとか。
でも今回はみな真剣なんだろうか？

なにごととも真剣に取り組む姿勢は見ていて好きです。

君はどう思うだろう…、他の人の感性はわからないが、君は、何となくだけど、人に「誠実さ」を求めていたように感じる。

実際のところどう思うのか、いつか、会う機会があるときに、教えてほしいなどと、思ったりもします。

世の中は常に動いている。様々なバイアスの元に。

しかし、2000年間という長い目でみれば、おおよそ世の中は、悪意よりも善意が勝る結果の歴史を積み重ねてきたように思う。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです。

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

物事は単純ではない、なにかしらバイアスがあり、それらが絡み合い“何か”を引き起こしている。

単純な真理1つで救われるほど、単純ではない。

まして、意味も解らず教えを妄信すれば、世界が救われるなど、ありえない事です。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

それが証拠に、彼らは彼ら自身の行いで、ドンドン日本を荒廃させている。

「いいわけ」と「ごまかし」の果てにある「悪意の集約」が何を引き起こすのか？

冷静に考えれば、わかることです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援します。

君は自分で思っている以上に強い人です。

罪は罪でも、君の全人格が否定されるものではない、なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。負けないでほしい！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう

う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。君らしく、君だけの声を。

遠慮する理由はありません。

眞実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。
勇気を君に。

- - -
- - -
- - -

〔4月26日（火）曜日〕「いろいろ思うこと」

Fさんへ。

22時の日課、昨日は夜勤だったので出来ない事を、記述し忘れてしまいました…。

気がついた時にはもう仕事に向っていたので、ああ、しまった。と思ったものです。

夜勤は2日分の仕事を一気にこなす。給与も2日分になる。

それを知らない“彼ら”なのか？なんなのか知らないけど、夜勤明け、仕事場の駐車場に不自然に停車している車のなかのあばさんが、思いつきり寝ていた。

いつ出てくるか見張っていたようなポジションだ。本来なら僕が外に出た瞬間目があうポジションに停車しているのに、思いつきりこちらに寝顔をさらしている。

深夜から停車していたのだろうか？

夜中ならともかく、明るくなつた今、その駐車の仕方は、駐車場の入り口の1つをふさぐ形で、いかにもおかしい。

まあ、いいか、実害ないし。偶然そう見えるだけだ！と思うことにしました！

それがいいよね、Fさん。

最近、また漫画を描き始めた。

なかなか構想がまとまらず、実際に描くにいたらなかったのだが、久しぶりにペンを握って描いています。

絵の勘は鈍ってないらしく、すらすら描けてすこし安心した。おもいつきり集中して、イメージに近い画面が描けたあとは、ど

うやら、晴れやかな気分になるらしい。

職場で「今日は晴れやかな顔してるじゃない」などといわれてしまいました。

この程度の事で、気分が切り替わる僕。この特徴は、以前からそう。いい意味で自分のコントロールにも繋がっている。

いつも気分が切り替わるほど単純ではないけど、自分の無意識をコントロールする手段の1つを持っているという事実は、非常に生きる上で重要だったりします。

僕がどんな事でもへこたれない理由の1つは、こんなところのあのかもしれない。

そうそう簡単には“彼らの中の悪質なサイコパスら”には負けません。

僕は何度も書いた。

君が頑張り続けられるなら、僕もまたそうだと。

逆も言えるのかな？

僕が頑張り続けられるなら、君もまたそうなのかな？

そうなのか、どうなのか？いつか教えてください。

今は都合が悪いただけだ、決着がついたら、君は何かしらの行動に移る。

そう、信じる事にしました。

応援します。頑張り！負けるな！

君は自分で思っている以上に強い女の子です。大丈夫です！

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです。

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“

ふり”をしているだけです。

物事は単純ではない、なにかしらバイアスがあり、それらが絡み合い“何か”を引き起こしている。

単純な真理1つで救われるほど、単純ではない。

まして、意味も解らず教えを妄信すれば、世界が救われるなど、ありえない事です。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

それが証拠に、彼らは彼ら自身の行いで、ドンドン日本を荒廃させている。

「いいわけ」と「ごまかし」の果てにある「悪意の集約」が何を引き起こすのか？

冷静に考えれば、わかることです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援します。

君は自分で思っている以上に強い人です。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです、手が出せば届くようなものではない強大なダイナミズムで動いている。日本とて例外ではない。

せまい世界のなかだけで完結しないという事だけは、間違いようのない事実です。

けっして単純ではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないので！？」と。

「理解を示す心の広さはどこへやったの？」と。

「真実に目を向ける勇氣はどこへいったの！？」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないうと、わからないはずなのです。

わかってとしないのは、個人個人の“質”の問題です。目の前しか見ていない。

そうした自分都合の連中に負けないで！

“厄介な人”多いと思うけど！負けないで欲しい。

君が戦い続けられるなら、僕も戦い続けられます。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

たとえ仮に罪を感じ、罪悪感を感じていたとしても、それで君の全人格が否定されるものではない、なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。負けない

でほしい！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかに言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

頑張り！負けるな！時には泣いてもいい。でも前だけは見続けてほしい。

君が頑張り続けられるなら、僕もまたそうです。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく、勇気を君に。

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

第41話 大切な“なにか”があるなら…4（未来へと続く話27）（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第42話 心に誠実でありつづけさえすれば（未来へと続く話28）（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第42話 心に誠実でありつづけさえすれば（未来へと続く話28）

日付は便宜上のもので、時として実際の日付よりも先行します。不測の事態で記述できなかった事に備えての事です。

数日更新されずとも、終わったわけではありませんので。ご安心ください。

これからも毎日、誤字脱字を恐れる事無く書き続けますので、よろしく願います。

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

〔4月27日（水）曜日〕「やっぱあれは…、どう思っ？」

Fさんへ。

以前から思っていたけど、やはり、あれも“そう”なのかなーとおもっ。

何かというと、車に乗っていると、対向車とすれ違う時、不必要に対向車のドライバーがこちらをみるやつだ。

まさか…、と思いつつも、前々から、見られたら見返すというのをやっていたので、今日もやってみた。

でも今日のは、あきらかに変だった…。

なにしろ車内の年配夫婦が2人そろってこっちを見ている。

それを見てこう思った。

おいおい、この状況ではあんた前見るよ。歩行者がきたらマジでぶつかるぞ、この先はカーブで死角なんだから…、と行ってしまった。

まあ、たんにいつもそういう運転をしているだけの人ももしらない。どうなのだろう？実際のところ…。

Fさんは、この推測の答えを知っていると思う。
やったことが過去にあるなら、当たり前だし、ないなら、おそらくハズレだ。

まあ、どちらにせよ、こんな類のことを皆、強要されているわけで…こんな事を1つ1つ重ねていくうちに感覚が麻痺していくのだろうな。と思った。

そのサイコパスもどきの行動は、相手に気づかれなから出来るのであり、意識されたらなかなか出来ないと思う。相当のプレッシャーのはずだ。やらされるのは仕方が無い、でも出来る限り相手に迷惑をかけないように手を抜くのは可能なはずだ。

そんな事、ふと思った。

…ん？でも時おりえらそうに監視している人物を過去なんとも見た。皆が手を抜かないよう監視するのだろうか…？

みなにサイコパスへの道をいざなう教え。

お釈迦様が天で憤慨されていると思う、お前らなにもわかってない、と。

Fさん、その組織からは距離をとったほうが絶対にいい。

もし、今、離れているなら、継続してほしい。

過去に何があったとしても、そんな事実には負けないで！

どんな“なにか”があろうと、それが君の全人格を否定するものではない。そう、強く心に念じてほしい！

負けるな！

止まった時間が動き出す日があるのか？来ないのか？
それも含めて賭けです。

何よりも重要で、大切な。

動き出した先に、さらに遠くを見る目を信じて。

その未来、できれば隣りにいてほしい人がいます。

それが誰なのか？それは…、2人だけの秘密という事でいいかな？
いつか、どう思うのか教えてほしい。

そんな事、思ったと、君に、今、伝えます。

罪は罪でも、君の全人格が否定されるものではない、なにしろ“
彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなの
だから…。負けないでほしい！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさな
いで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いていま
す。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。
う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

何か言われたら、こう言ってください。

「私には命をかけてくれる人がいる、この人は私を邪魔になんか決して思わない人よ」と。

「今度はあなたが人の都合を聞く番よ、さんざん他人の都合を無視してきたんだから、文句は言わせないわよ！」と、言って良いと思う。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

.....
.....
.....
.....

〔4月28日（木）曜日〕「節目」

Fさんへ。

唐突にマニアックな話をしようと思う。

え？いつもそうだろうって？まあ、そうだけどね。

君は僕の性格を知っている、あいかわらずだなーと思ってくれるなら、なんとなく嬉しい感じがします。

東京を脱出する際、いろいろ部屋の荷物を処分した。

本もいろいろ捨てた。まだ読んでなかった村上春樹の「ノルウェイの森」も荷物になるから捨ててしまった…。

君に会えるかもしれないと本気で思っていた時期だ、些細な事なとどーでもよかった。

外では、彼らの猛襲撃が慣行されるさなかで、無限の悪意が24時間体制でうごめいていた。

この時、作ってないプラモデルを2つ捨ててある。

もったいないなどは思わなかった。荷物になるし、作ってる暇など無い。

新品で、箱もあけてなかった。

あれから2年以上たち、あの時すてたプラモと同じものを1つこないだ買いました。

作りながら思い出す、東京脱出当時の記憶。

もし、君との思い出がなければ、いまごろどうなっていたらどうか？

僕が君にどれほど感謝しているかわかるだろうか？

出来る事なら報いたい。

それが出来ているかはわからないけど、でも、たぶん、君は、気持ちに気づいてほしい、触れてほしいと感じていると思った。

いつか、なにかが越えた時、答えを得られると、共に信じていい

よね？

そんなことおもったよと、今、君に伝えたかった。

あの時捨てた新品未開封のプラモはあと、もう1種類ある。それも、近いうち買おうかなと思う。作っているとき、また、いろいろ思い出すだろう…。

そのうち読みかけで捨てた「ノルウエーの森」を読む気になる日もくるかもしれない…。

未来は、無い様で、実はあるし、続いている。

そんな事思った。

未来はあるのです。否定せず、立ち向かってほしい。

どんな“なにか”があつたにせよ、それが君の全人格を否定するものではない。

そう強く強く心の奥で念じてほしい。

君はなにも悪くないのだから。

罪は罪でも、君の全人格が否定されるものではない、なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。負けないでほしい！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう

う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

サイコパスは自らを卑しくする。そんな連中、跳ね除けてほしい。社会的に稀有でおかしいのは、まちがいはなくそいつらなのだから。その事実は間違いはないし、誰に聞いても、そう言うはずだ。

だからこそ、“彼ら”は身分を隠すのではないだろうか？

サイコパスかそれに近いものだと、世間にはれたら顔向けできないからだ。

眞実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。
勇気を君に。負けないで！頑張れ！

.....

〔4月29日（金）曜日〕

Fさんへ。

こないだ書いた捨てたプラモデルの話。

こんな事を思い出す。

理由もわからず周囲に見られていることに気づいた日の事だ。

当時は、相手が何者かまだ気づいてなかった。

でも、じろじろ見る。

一体どの程度のものなのか？確認する意味も込めて、休みの日、池袋西口のビックカメラまで足を伸ばした。

すると、やはりいる……。なにがどうーなってるのかまったくわからなかった。

プラモデル売り場で腰をすえて選んでいると、死角からきゅうにバツと顔を出し、引っ込める複数の男たちがいる。

何度も何度も来る。

最初は防犯のガードマンかと思った。でも、顔に悪意がこもっている……。

この死角から急に顔を出すというのは、その後も何度も遭遇するものだ。

だから、たぶん、そうなのだと、何となく思う。君はどう思う？

その後、エスカレーターする攻撃の中、ネットで必死に答えを探し、ようやく“彼ら”の名に気づいた。

そうか、そうなのか！と思ひ。そういえばトイレにも行ってないと思ひ出し、立ち上がった瞬間、思ひ出した。

「そういえば、先輩は“彼ら”だった。そう教えてくれたのは彼女だ。どうして彼女はその事を知っていたんだらう？彼らは絶対に正体を明かさないので、どうして。」

と思つた瞬間、ひらめいた。

「彼女がそれを知つていて不自然で無いたつた1つの可能性は、彼女も“彼ら”に入つてゐるからだ」と。

その瞬間、過去の記憶がすべて一瞬で組み合わさり、1つの流れにがつちり繋がつた。

君の謎の行動や言動の意味が1つの線でつながり、全てを理解した。

まさか、ほんとうに僕のことを好きだったとは！とはじめて真実を理解した。

雷に撃たれたような奇跡に涙が止まらなかつた。

人のために泣く事が、自分にあるなんて信じられなかつた。

世界の全ての意味がわかり、何が大切で、真実は何か理解した日でもある。

言葉にはできない。

あの笑顔が本当に輝いていた意味を、本当に理解できた。

あの時間を共有できた事を、誇りに思つた。そして、今も思つてゐる。

最後に電話で会話してもう何年にもなる。
もう一度電話で会話する日はくるだろうか？

今は仕事の関係で中断しているけど、また5月にはいつてすぐ、
22時の日課を再開しようと思う。

あの電話でだったかな？君が自分のバイト先を覚えてくれたのは、
訪ねてきてほしかったのだろうか？たしか駅からの道順まで教えて
くれた気がする。

当時の僕がどう考えていたか？まだ書いてなかったと思う。
当時こう考えていた。

彼女の気持ちも確認しないまま、バイト先など訪ねていたら、
迷惑になるかもしれない。

だから、こちらの住所を知らせて、もし、彼女が興味をもって来
てくれるようなら、可能性はあるのかな？
などと考えた。

もしかしたら、今も、当時と同じ行動パターンをしているのかも
しない。

僕は基本的に相手の行動を待つ人間だ。

そして、実は君も同じように、相手の行動を見てから動くタイプ
のように思う。

そういう所、僕らは似ていた。

そしてそれが故、一緒にいて居心地がよかったのかもしれない。
もちろん、それ以外の理由もたくさんあるけど。

君はどう感じるのかな……。似たようなことを感じるのか、まったく
違う事を思うのか、いつか君から聞けたら本当にうれしい。

運命はどんなのか。まあ、今までどつりのことを、これからも続けます。

“彼ら”との静かな戦いはこれからも続くでしょう。

生粋のサイコパスには反省という単語が理解できない。でも多くの人は実は“まとも”だ。一部の変人に扇動されてるにすぎない。

Fさん、必要以上に恐れる必要はありません。

自分の人生をいきてください。

君が君らしくいてくれることが、なによりもうれしいです。

たとえ過去にどんな罪を背負ったとしても、それが君の全人格を否定するものでは決してない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう念じてほしい！

君は、何も悪くない！！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう

う。

君は試練に耐えた、だから…天から褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

相手は親切心につけこんで、あたかも君が自分で決断したかのように“錯覚”させるプロです。親切心を利用されないようにしないと、永久にいいように利用されてしまいます。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。
勇気を君に。

- - -
- - -
- - -
「4月30日(土)曜日」自分で入るか入らないかの決断すら、
さしてもらえなかったんじゃないだろうか？」

Fさんへ。

今日、32型テレビを買いました。

自分だけのTVを持つのは東京脱出以来かもしれない…。

以前は毎日のように番組を録画しては、ドキュメンタリーを見ていたけど、最近はできていなかった…。

同じといかなくても、同じような趣味を再会…、あ、字を間違えました。再開できそうです。

TVを買うとき、最初は韓国メーカーのものにしようとした。
なにしろ値段が全然違う。圧倒的に安い。

性能的にはたしかに劣るけど、シロウト目にはたいした違いは無い。

それに録画済みのビデオファイルを見る場合、多少性能の劣るTVのほうが具合がいいのだ。

性能が良すぎると、逆に古いビデオの類は汚くなりすぎて見つらいからだ。

僕は大量のドキュメンタリーやドラマや映画をもっている。
そういう意味でも、多少性能が劣るくらいが好都合なのだ。

家電量販店の類に行くと、大概店員さんはこう言う。

「国産メーカーじゃないけどいいですか？」と。

国産神話はまだ健在というわけだ。

こんな話を記憶している。

世界中で自国の製品にこだわるのは日本人とドイツ人くらいだと
両国とも工業国で電化製品は優れているからだ。

家電は自国が一番と信じてうたがわない。

でもニュースの類を見てみると、今、大型の薄型TVは韓国メー
カー製が世界中で売れているという。

日本製は高すぎて売れないらしい。

店頭で品定めをしても、正直いらぬ機能が多すぎる。
もつといろいろ削れば安くできるのに……と思わなくも無い。

そんな事情もあり、僕は別に海外メーカー品であろうと、かまわ
ないと考えていた。

それに韓国メーカーには、日本人の作るものにはない特徴がある。
デザイン力が高いのだ。見た目のオシャレさとか競ったら、圧倒
的に韓国メーカーの方が洗練されていると思う。

こんな話を聞いた事がある。

韓国のメーカーがTVの下にオシャレな支柱をつけて売り出した
ら、イタリアでヒットしたという話。

日本人の感覚では、テレビは台座に置くものと考えるが、どうも
外国ではちがうらしいと思ったものだ。

日本のメーカーもその事実が気がついて対応を始めたところ最近ニ
ュースで見たけど。十何年も前からデザイン力を強化してきた韓国メ
ーカーにはそう簡単に追いつけない。

…いつのまにか、日本は追われる立場から、追う立場になってい

る？のだろうか。

時代は常に変化し、動いていると思いたいものです。

話はもどしてTVを買う話。

最初韓国メーカー品を選んだ。

すると店員さんが、やたらと、いいんですか本当に？国産じゃないですよ？的な事を何度も何度も言ってくる。

これは最近買ったケータイの時も何度も言われたセリフだ。

なんだろう？後で文句を言う客でもいるのだろうか？

で、いろいろあった上で、別の店員さんが、似たような値段で同クラスの国産メーカー品を勧めてきた。

オリオンという国産メーカー。

この名前は聞いたことがあった。

国内の弱小メーカーだけど、大手下請けを長年やった成果で、技術力はそれなりに高い。

国内シェアは大手に握られて無理だから、海外向けに安くて性能のいいTVを作ったら、よく売れた！というニュースを見た記憶がある。

そのニュースでは、大手もこのような戦略に切り替えれば、海外シェアを取り戻せるのに、どうしてしないのだろうか？安物を作るのが嫌なのだろうか？的な話をしていたのを記憶している。

つまり、このメーカーの品も、それなりにしっかりしたものなのだ。

店員さんの勧めのなかで決め手になったのは、電子番組表の使い勝手だ。

韓国のものより使いやすそうだったので、最初に決めていたもの

でなく、勧められたそれにすることにした。

でもデザイン力ではやはり先ほどの韓国製のがカッコイイ。少し、なやんだ。

勧められた国産TVは韓国製より2千円高い。売り上げを少しでもあげるため、ハメラレタかな？などと勘ぐりもする。

けど、今すぐほしかったので、そう、決める事にした。仮に後悔したとしても、自分の決断だ。悔いは無い。

…TVの購入くらいなら、そのリスクはしれているけど、人生の決断となると、そうでもない。

予備知識の無い段階で、決断を迫られる時というのは、人生において何度もある。

君は子供のころから“彼ら”のなかでいた。

自分で入るか入らないかの決断すら、さしてもらえなかったんじゃないだろうか？

そんな中で、いろいろあったと思う。なかには嫌な事もあっただろう。

でも過去に何があるうとも、そんなもののために君の全人格が否定されるようなことはありません。

たとえ何かしらの罪悪感にさいなまれていたとしても、君の全人格が否定されるものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう、心に念じてほしい。

君はなにも悪くない！頑張れ！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

東京時代、ケータイを持たない代わりにケーブルTVを引いていた。だいたい似たような金額だ。

特にディスカバリーチャンネルというアメリカ（かな？）のドキュメンタリー専門チャンネルは大好きだ。

日本のTV局とは違った視点で描かれるそれは斬新で新鮮だ。

このディスカバリーチャンネルの存在を初めて知ったのは、ある会社でバイトをしていた時だ。

その会社は字幕を製作していた。その関係で東京のディスカバリーチャンネルの本社（だと思う）にはよく行ったものだ。

バイトとはいえ、一応マスコミ関係者。首から下げた社員章で、華やかな世界に出入りするのは何だか非日常の感覚がしたものだ。

ああいう感覚は危険だ。慣れてしまい、自分が特別と違ってしまふと厄介だ。

皆がみなそうではないと思う。しかし、なかには、いないことも無いのもまた事実だ。これは推測ではなく、実際に体験した感想です。

（そういえば、こんな諺を思い出す。「百聞は一見にしかず、体験は一見に勝る」とかいうやつ。体験というのは、見たり聞いたりするよりも重要という意味です）

君はいろいろ体験したと思う。

けど、それらが君の人格を否定する要素ではないようにしてほしい（なつてほしい）、そう、思ったよと、君に伝えます。

自分を見つめて、自分が何者であるか？自分の根っこはどこにあるのか？がわかってないと、自分を見失うと思う。

これも体験したからこそ言える事だ。

短期間とはいえ、華やかな世界を垣間見れたのはいい経験だった。

“彼ら”も非日常的な活動のなれさせられて、自分たちが特別と錯覚させられているのだろうか？

サイコパスはそうした人の心の隙間が「できる」ような「強烈な体験」をしいて、その心を破壊し支配下におく。

君には選択する権利すらなかった、なにしろ生まれた時からそうした事を強制選択させられていたからだ。

サイコパスの理屈は、そうした行為を正当と考える。じつに恐ろしい限りです。

皆、本当はまともなのに……。どこかの誰かが、自らの欲求を満たそうと頑張った結果だろうか？

これは希望的可能性。ないと思うけど、完全にゼロと言いきれない。

もし今回の件で、悪い体質を改善しようと組織内で大量の処分者がでたとしたら？

君は、その動きにうるたえ、おどろく事だろう。

でも、そんな事にうるたえる必要は無い。

申し訳なくおもう必要も無い。

君をそうしたのは彼らであり、君は自分を自分であると認識する権利があるのだから。

なにか、いろいろあったとしても。（あるいは、これからいろいろあるにしても）

君は何も悪くない。堂々としていればいい。

君は人を自分の運命に巻き込む事を好まない。そんなところがあつたように思う。

だからこうも思う。

君は僕を巻き込んでは大変と考えるかもしれない。

でも「僕は巻き込まれたい」し、「巻き込んでほしい」と思っている。そうしてほしいと望んでいる。

…もし、そう聞いてうれしく感じてくれるなら、うれしい。そんな事、君に伝えられたら。そう、思いました。

いつか未来の落ち着ける日々を信じて

静かな戦いは消えることないだろうが、落ち着ける日々はたしかにあるのです。

いつか未来の落ち着ける日々を信じていいです。保障します。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言葉ことばのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

(もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しはいい)

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

.....
.....
.....
.....
.....

〔5月02日（月）曜日〕

「君の意思を挫こうと、これからもありとあらゆる手段が講じられるかも知れない……」

Fさんへ。

最近、いろいろたくさん買い込んだ。TVを買った話は前回した。他にもケーブルTVも引く予定だし、ゲーム機も買った。

PS3を買った。プレイステーション3だ。

グランツーリスモという車のゲームがやりたくて買ったものだ。

ゲーム自体は、大学時代、ps1（プレイステーション1）をやったきりずっとやってなので久々。

しかし、これにばかり気をとられると、いつもの生活ペースが崩されそう、節度持ってやるのがベストだ。

Fさんは、とくに話をしたことなかったけど、こういうジャンルの話詳しいのかな？

高校1年の時、トロンボーンで「ドラクエのダンジョンの曲」を君が暇つぶしに吹いていたのを覚えている。

まだ、会って間もないころで、ろくろく口も聞けなかった頃だ。僕が、どうしてそんな曲ふけるの？と聞くと。

君は。前に1度やったことあるの…、と答えた。そんな記憶、あるんだけど、君は覚えているだろうか？

あの頃まだ君は僕のこと意識してはいなかった。

後々、親しくなり、神社で会うようになると君は訊いた。

「いつから（私のこと）好きだったの？」と。

僕が初めてあったときだよと答えると、青天の霹靂と言わんばかりに、君は驚愕し。

「そんなそぶり、ぜんぜんなかった…」

といったと思う。

そして、こう言った。

「じゃあ、夢がかなったね」と。

あれは、なんだか幸せな記憶だ。

そう思うけど、君はどう思う？

君はいつも岩のごとく心を閉ざしていた。

なんとかこの子を笑わしたいと、あの手この手でいろいろ話しかけたものだ。

君の笑顔は、素敵だったからだ。

今でも、君が笑顔でいてくれるならうれしい。
君は必要以上に自分を封じる性格をしている。

負けないでほしい、そうした君のやさしい性格に漬け込む連中は
たくさんいる。

惑わされず、立ち向かってほしい。

最近読んでいる元総理大臣の海部俊樹さんの回顧録に、こんな記
述があった。

海部さんが総理になった日、大臣にしてくれと、いろんな人が訪
ねてきたそうだ。

露骨に頼む人、やんわりと言う人。いろいろだ。

なかには、姑息な人もいて、訪ねてきて、特になにも話さず、た
だ長時間部屋にいつづけた人もいたそうだ。

その目的はこうだ。

長時間へやから出てこないのを記者たちが見て、その人が大臣に
なるかもと憶測の記事をだす。

憶測は憶測をよび、おおきな流れとなり、いずれ本当にその人を
大臣にしなくてはいけない空気が作られる…。

その人はそういう目的で、長時間へやにいますわったらしい。

海部さんはその人を大臣にはしなかった。

しかし、周りの空気に流されるひとなら、ちがうかもしれない。

世の中にはこんな“手”を使ってでも、自分の意を通そうとする
大人も事実いる。国会議員ですらだ。

君の意思を挫こうと、ありとあらゆる手段が講じられるかも知れない…。

負けないでほしい。

そうでないかと、また、いいようにされ、他人のために生きる人生になりかねない。

どんなしがらみがあるうと、どんな経験が積み重なっていようと、どんな罪をしょっていたとしても、そんなものが、君の人格の全てを否定する事は無い。

何しろ、子供の頃から、強制されてきたのだから。狡猾な悪意のせいに過ぎない。

だから、そんなもののために、君の人格が否定されるような事は決して無い！

そう心に念じてほしい。

君は何も悪くないのだから。

真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無いと思っていた。

こんなにももらっていいのだろうか？といつも思った。

君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。

君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるという行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あのときの事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっているのだろう。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。

世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

罪は罪でも、君の全人格が否定されるものではない、なにしろ“

彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。負けないでほしい！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

Fさんへ。

最近は何ほどニュースを見ていない…。

仕事を始めた関係で、時間が作れないからだと思う。

時間は作るものだ、と誰かが言っていたように思う。

時間を作るためにもハードディスクレコーダーは必需品だ。

Fさんはこの機械、知っているだろうか？よくHDレコーダーとか呼ばれている機械で、最近ブルーレイデッキとセットになっていることが多い。

TVに最初から組み込まれているなんてのもある。

僕はこの機械、世に登場したばかりの頃に購入し使っていた。

今の機械からみたら劣るけど、当時40時間も録画できる機械はめずらしかった。

形も今のものと違い、パソコンの外付けハードディスクのような外観をしている。

こんな事を思い出す。

東京で暮らしていたとき、住んでいたマンションのテレビ線のチエックがしたいと、ケーブルTVの会社の人 came。

開口一番、すごい形相でこう言う。

「この機械、どうつかうんです?!?!?」

すごい怒り顔だ。

当時この機械は認知度が低かった、いくら説明しても理解しない。目の前で使って見せても理解できないようだ。

そしてこう言うのだ。

「どつちやってケーブルTVをみるんですか!」と。

意味がわからなかった。

「見れないですよ」

といくら言っても。

「…で、どつちやってケーブルTVを見るんです?」

と繰り返す。

「どつちやってみる?そりゃあ、契約して、受信機をおいて、TVにつないで見るんですよ?」

と僕は答えた。

「そうですよ。…で、どつちやってこの機械でケーブルTVを見るんです?」

と繰り返す。

「え?この機械でみれるんですか?」
と僕が聞くと。

「見れませんよ」

と言われた。

「そうですよね」
と僕が答えると。

「…で、どつちやってこの機械でケーブルTVを見るんです?」
と再び。意味が解らない。

「え?僕はこの機械でケーブルTVをみる方法なんて知りませんよ、

見る方法があるんですか？」
と聞く。

「…で、どうやってこの機械でケーブルTVを見るんです？」
と再び。

「あなた今、見れないって言いましたよね、なのにまた「どうやってこの機械でケーブルTVを見るんですか？」って質問しましたよね？見れない機械で見る方法を聞いているんですよね、どういふ事ですか？」

と質問した。

すると。

「…で、どうやってこの機械でケーブルTVを見るんです？」
と再び。

もう完全に意味が解らなかったので、

「すみません、おっしゃっている意味が解らないんですか？」

と質問したところ、ようやく相手は質問を変えた。

「じゃあこの機械は何をする機械なんですか？」

で、この機械がハードディスクレコーダーである事を説明したが、
わからない、という顔なのだ。

どうやら、この人はハードディスクレコーダーという機械の存在
をしらないらしいのだ。

そして、実は僕のほうにも知らない事実があった。

この世にはケーブルTVをただ見するスクランブル解除機という
のがあり、集合住宅など、解除機さえあればただでケーブルTVが

みれる環境では、見れるという事実をしらなかったのだ。

そのおじさんは「ハードディスクレコーダー」の存在を知らなかった。

僕は「スクランブル解除機」の存在を知らなかった。

それが故におこった、はてしなくかみ合わない会話だったのだ。

知らないというのはおそろしい。

そして、あいても知っているはずだと思いついてみると、永久にかみ合わない会話になる。

…それでも、決着をつけるためには、話し続けなさいといけなさい。

上記の件で言えば、結局どう解決したかということ。

当時TV埼玉で放送していた外国ドラマを録画したものを見せた時点でケリがついた。

その外国ドラマはケーブルでもよく放送しているもの。

その録画を見た瞬間、そのおじさんはそれ見たことか、証拠をつかんだぞとばかりに凄んだが、その番組を早送りするとCMに入り、TV埼玉のロゴがでて、ケーブルではない事がわかる。

反論できなくなったその人は、ようやくひきさがった。

たとえばかみ合わない会話であろうとも、どこかに決着を見出せるポイントがあるように思う。

そんな事、思った。

最近はニュースをあまり見ていない。

だから以前ほど、情報にくわしくない。

でもケーブルTVを入れて、ハードディスクレコーダーを使えば、また以前のように情報を吸収できる環境が整う。

なにしろ、放送時間などにせず、好きな時間にとった番組やニュースをみれるからだ。

時間を、TVの放送スケジュールから解放されて使えるし、大量に録画できるから、ばらばらに放送している見たい番組をまとめて一気に見れる。休みの日に一週間分全部みるのも可能だ。

え？時間が無いだろうって？大丈夫、2倍速再生や早送りをつかうと、意外となんとかなる。TV番組ついでがいと無駄な時間を大量につかっているから。

(こういう事書くと一生懸命作っている人に申し訳ない気もするけど...)

自分らしく、前を向きつづける事が、大切だと思う。

特に、歳を重ねるごとに、そう思う。

自分なりに“大切な根っこ”を持っていないと...

地震でも天災、人災、なんでもいい。天変地異が起きた際。それは問われるだろう。

なにが、自分に大切なのか。

いろいろあつて、頭がグジャグジャになるかもしれない...

心をほぐして、自分だけの大切な何かをみつけてほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君を苦しめているとしても、あきらめてはいけません。

それらが「君の全人格」を否定するものではない。

自分と向き合い、問うてほしい。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられて

いただけなのだから…。
そう強く、心に念じてほしい！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「サンクコスト埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いない。他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

.....

「5月04日（水）曜日」「社会が成熟するほどに、存在価値がうすれる組織のいいわけは、むごい」

Fさんへ。

こんな事も思う。

サイコパスへの道に誘われ、際限なき欲求にあらがえず、つきすんでしまう…、そんな事、あるのかもしれない。

とくに凝り性な人間が、この畏にはまると、抜け出せなくなるのかもしれない。

“彼ら”はそんな畏に人々を誘い、アリ地獄のような罪悪感で絡めとり、脱出を困難にさせるのかもしれない。

しかし、だからといって、これ以上罪を重ねるのは、どう、考え

ても間違ってるし、どんな屁理屈をこねても正当化できない。
(それが出来るのはサイコパスの自分勝手な理屈だけだ)

やはりその世界からは脱出したほうがいい。
君は君の心を大切にしていいたいと思う。

いつまでもそこにいてはいけません。
なぜなら？その答えは君の心にあるのかもしれない…

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去に何があるうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！

自分をコントロールできない人々に惑わされないでほしい！

こんな話を聞いたことがある。

民主主義が役に立たないと感じる人々は闇の組織に頼るのだそうだ。

そうした地域ではギャングが横行し、治安も悪化する。

南イタリアのごみ騒動は有名な話です。

南イタリアではマフィアがごみ処理業界を仕切っていて、彼らが仕事をボイコットしたせいで、町中が回収されないごみであふれか

えった。

こんな話もある。

中東の国々で、なぜテロ組織が多くの支持を得るかということ。そもそも民主主義がないので、そういう組織に頼らざる得ないというのだ。

しかし、今年おこったチュニジアの革命以降、情勢が変ってきていると聞いた。

民衆の力で社会が変えられた人々から、テロ組織支持の情熱が消えつつあるというのだ。

そんな話を聞いて、何を思うだろう？

“彼ら”の組織は案外、民主主義が機能していないが故、たよられて存在する闇組織と変わりないのかもしれない。

つまり、民度が向上し、社会があるべき機能をしだしたら、存在意義をなくす体質なのだ。

だからなのか？消えたくないサイコパスはこう叫ぶ「人間は悪意に満ちている、良くなるはずがない」と。

組織の存在意義が薄れていることに、多くの識者は気がついてい

る。

カルトが永久にカルトでいた歴史はない。

社会の変化に応じて、自ら変るか、淘汰されるかのどちらかだ。いつれにしても、現状のままということは永久にない。

変る現実、変る世界は、たしかに存在しているのだから。

昨日ニュースでビン・ラディンが射殺されたニュースがやってい

た。

こんな話を聞いた。これで、彼により張られたイスラム教徒の悪

い評判を払拭する未来が描ける、と。

案外、自分たちの負の歴史を、払拭したいと考える“彼ら”も多
いはず。

それが証拠に、ある程度社会的ステイタスの高い人のみに、“彼
ら”は正体を明かさせている。

多くの彼らですら、サイコパスじゃない評判がほしいとおもって
いるからだと思う。

脱出して距離をとるべきです。

どんなにしつこい誘いもぶったぎっていいと思う。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさな
いで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いていま
す。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。
う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

映画「E.T」の妹役をやった子役の人といえば、わかるかもしれない。

その後いろんな映画にもでている。

中学生くらいの頃かな？このドリュー・バリモアのゴシップを聞いたことがある。

激太りしたとか…。

この手のゴシップは以外に多い。

有名作品で主演していて、のちのち映画に出なくなると、かならずこつこつゴシップがでる。

数年前、「チャーリーズエンジェル」という作品に彼女が主演で出ていたのを見て、

「なんだ、ちゃんと女優してるんじゃない」とか思ったものだ。

しかし、昨日見た番組では、子役時代、母親からかけられた呪縛のために、身を滅ぼすも、母親と決別し、どん底から復活した姿が描かれていた。

ハリウッド史上最悪のジェットコースター人生などと揶揄されてもいた。

わずか9歳で歪んだ教育をされ、身を滅ぼす彼女は、15歳で更生施設に入る。ドラックや自殺でボロボロになった彼女が、立ち直るきっかけになったのは、たまたまTVで放送されていた「E.T」を見たからだそうだ。

あの頃は、純粹に演技を楽しんでいた…、けど、その後は母親の求める天才子役ドリュー・バリモアを演じていたに過ぎない。そう、気づいたのだそうだ。

自分の原点を見出し、彼女は母親の呪縛から解放されるため、法的手続きをとる。

アメリカでは15歳だと、自ら申し出て、親と縁を切る制度があるらしい。裁判所が認めれば、そんな事も可能だという。

彼女は母親から解放されると、アルバイトなどをして、生計をたてたという。

天才子役のプライドもかなぐり捨てて。

夢もあきらめず、何度もオーディションにでかけたと放送されていた。

その度に、過去のゴシップで馬鹿にされても、めげなかったという…。

そんな苦労の末、ようやくつかんだ役が、先ほど前述した「チャーリーズエンジェル」だったのだ。

この映画はヒットして、彼女は返り咲いた。

皆が皆、こう上手くはいかないだろう。

でも「めげない」というのは何だか重要な点と、そんな事を思ったりした。

自分自身が「めげない」限り。前へすすめると思う。

君はどう思いますか？

君がもし、今も頑張り続けてくれているなら、僕も頑張り続けられる。

めげない先の未来はいつか交差するのか、否か、全ては運命に任せようと思う。

真実に気がついた奇跡のように、もう一度会える奇跡もあるかもしれないから。

とにかく、待つと決めました。
それでいいのかな？ Fさん、いつか教えてください。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです。

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

物事は単純ではない、なにかしらバイアスがあり、それらが絡み合い“何か”を引き起こしている。

単純な真理1つで救われるほど、単純ではない。

まして、意味も解らず教えを妄信すれば、世界が救われるなど、ありえない事です。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

それが証拠に、彼らは彼ら自身の行いで、ドンドン日本を荒廃させている。

「いいわけ」と「ごまかし」の果てにある「悪意の集約」が何を

引き起こすのか？

冷静に考えれば、わかることです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援します。

君は自分で思っている以上に強い人です。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまうつもりでいます。

たとえ君に過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格を否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。
めげてはいけません。頑張れ！

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

東北の惨劇をみてもだ。

“彼ら”の行いは常軌を逸している。

素直に非常識と言えない組織は、悲劇がくるまで、非常識をつづける？いや、悲劇がきてもつづけるのだろう。

それが、サイコパスの定めならば。

先日も施設に騒音が聞こえるようくる連中が増えた。

なにを考えているのかわからない。

やっていて自尊心が傷つかないとは、組織の洗脳術のすばらしい成果と賞賛すべきなんだろう？

人の心を破壊し、良心を機能麻痺においこむ組織…

Fさん、とにかく距離をとるほうがいいと思う。

その中にいたら、また洗脳されてしまう…。

“彼ら”的行動とは、「熱気」にあてられて思わず興奮する集団恍惚状態が作り出すものだと思う。

これが、お祭りとかスポーツならまだいいが、犯罪行為に集団恍惚するのは、間違っている。

…でも、恍惚状態にあると、理性的判断が出来なくなり、皆、別人に変わってしまい、犯罪も肯定する人間にさせられてしまう。

こういう状態を一般に「トランス状態」と呼び、暗示を「ものすごく」受け入れやすい状態、と理解しないといけません。

一度暗示に「かかる」と、なかなかとれない。

君のまわりを見回してほしい、事実、普段はいたって「普通」なのに、“彼ら”の悪意に関しては「正常な思考」が出来ない人、多いと思う。

それは、暗示にかかっているからだと思う。

もちろんこれは推測を書いているに過ぎない。

その世界がそこまで「本当に」酷かったら、そつとう病んでいる事になる。

「病んだ人間を救う」のが本来の仏教であり、「病んだ人間を大量生産する」事はカルトの思考です。

そこは、どう屁理屈をこねても、覆せない、当たり前前の真実だと、「普通」の感覚の人間なら思うところですよ。

…Fさん、戦ってほしい。

君を責めたりはしない、そつという環境に問題があるだけだ。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そつという行為をさせられていただけなのだから…。

そつ強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そつではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そつという事で全て矛盾しなくなると思つのですがどつなのですよ。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらつ機会をもらつた、

それで何もおかしな事はないと思つけどどつなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

ものすごい勢いで空白を埋める感じだ。

漫画を書く身として、こういうのをおろそかにしていた自分が少し恥ずかしくも感じています。

こういうのは、やらないと、感性が古くなる…。そんな事実が、確かにあるように感じた。

人は日々感じる何気ないものや、意味のないものの中に、いろいろなものを見出し、成長する。

それはどことなくだらしないと感じるものでも、例外はない。

これは提案。

君がこれを読んでいるという前提でのもの。

もし、仮に、2人の空白を埋める事があつたら？どんな風になるのだろうか？

そんなイメージ前向きに検討してほしい。

時間が必要？

かもしれない。

巻き込みたくない？

そう思うのは当然だ。

それでも待つと決めた。

Fさん、僕が待つと決めたからには、本当にそうする事を君は信じるだろうか？

こんな事を思い出す。

神社で待っている僕がいた。周囲は真っ暗で、1メートル先も見えない。

毎週木曜に会うと約束はしたが、毎回意思を確認したわけではない。

そんな中、君は本当に僕が神社にいるかどうか？不安に思いながら、来た事があると思う。

実際ちゃんと待っていた僕を見て、君がどう思ったのか、いつか教えてほしい。

他人が見たらよく判らないこのニュアンス。君にどう伝わるのか、少し賭けです。

同じ記憶を共有する者どうしだけがもてるイメージの共有が果たせるのか？否か？

たとえイメージがすれ違う事があるうとも信頼している人間のズレなら、受け入れられるし、大切に思える。

そんな事を思ったよと、今の君に届けばいいなと、そう、思いました。

時おり、明らかに変な人らに、いまだに遭遇する。

“彼ら”であり率は高いのかもしれない。

もし、彼らが“彼ら”であるなら？

その事実は、あの想い出が現実であることの下支えとなり、僕を勇気付ける。

そしてそれが攻撃が効かない最大のポイントかもしれない。

君の存在が、僕を救っているのは、間違いのない事実です。どうやら。

君に救われたことになる、今度は僕の番という事でいいのかな？
いつか教えてくれるとうれしい。

Fさん、そんなに悩まないでいいです。たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思っけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

眞実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。勇気を君に。

.....

「5月08日(日) 曜日」 「嫌な事は、嫌と言ってもいいんです。僕が保障します。」

最近買ったTV、まだ、予定の能力を發揮していない…。

ケーブルTVを契約していないからだ。

今日昼間、説明しに来てもらった。それによると、ごく最近なのだけど「テレビ東京」がケーブルですら見る事ができなくなったという。

テレビ東京のニュースは別格で、特に見たいと思っただけに、ものすごく残念です。

なにか事をはじめると、不測の事態で思惑が狂う事はしばしばあ

ります。

特に楽しみにしていたことなどで予定が狂うとなおさらです。

まあ、この程度は我慢できる範疇。世の中には、もっともっと不測な事態は山のようにある。

“彼ら”の世界では、不測の事態だろうがなんだろうが、お構いなしで、自分の都合を相手に押し付けようとする。

実にワガママで傲慢だと思う。

だから、遠慮しなくても大丈夫だと思う。どう思う？

我慢のできない大人たちに囲まれた世界なんだろうか…心配です。頑張れ！君は自分で思っている以上に芯の強い女の子です。

かならず、ぜったい、乗り切れる。

そう、心に強く念じてほしい。

人の評判など、気にせず、自分の良心を大切にしてほしい。

今日「世界不思議発見」でイタリア特集をやっていた。（今日は正確には土曜日です）

ロミオとジュリエットの舞台となった町が紹介されていた。

「ロミオとジュリエット」はシェイクスピアの創作だ。フィクションであり、実話では決してない。

なのに、その町にはジュリエットの屋敷があり、墓まである。

なぜにそんな事がおこるのか？

シェイクスピアは戯曲を書く際、ネタ元にした本があり、その本が、当時の町の様子を示していた。

本の中には、家の対立で悲恋におわる男女も書かれていて、それがモデルだというのだ。

家紋からモデルとなった女性の家が突き止められ、そこは今、ジ

ユリエットの屋敷として観光名所になっているという…。

これを見てみると、いつもこんな風に思う。

トルコ旅行でも感じた事だけど、歴史が知らぬ間に歪められてゆく、と。

例えば、トルコにある「トロイ」の遺跡。

以前書いたけど、あれは正確には「もともとトロイの可能性が高い遺跡」にすぎず、トロイであるという証拠は何一つない。

なのに、ガイドはさもトロイであるという前提で観光案内をする。ガイドは言う「あの門から木馬が入ったんです」と。さも史実であるかのごとく。

現実にはそういう伝説があり、その伝説の時代に該当する地層の上に、あの門はあります。仮に伝説が本当なら、あの門から木馬が入った事になります、というのが本筋なのに、そうは言わない。

歴史は捻じ曲げられ、伝えられてゆく。そんな風に思ったものだ。

ジュリエット屋敷の様子も、何も知らなければ、本当にジュリエットの屋敷跡なのだ勘違いしそうな様子で、観光客を受け入れていた。

こう思うのだ。

東京デイズニールランドは皆、アトラクションという事を承知の上で楽しんでいる。当然、ミッキーの中には人間が入っているけど、それを承知で楽しんでいるわけだ。

決して、本当に巨大ネズミが二足歩行をしているとは、誰も思っていない。

トロイの遺跡もジュリエット屋敷も、いわば遺跡や史跡を利用したアトラクションであり、本物とはいえない部分がある。

それを承知でアトラクションとして楽しむ分には問題ないけど、アトラクションという認識がないで楽しむのは問題だ。

なぜなら、本物の歴史遺産という勘違いが進んでいけば、何かのはずみで歴史が書き換えられてしまう…。

何が言いたいのか？

“彼ら”の例のあの行動は、一種アトラクション的要素があるのかもれない。

なのに、これをアトラクションではなく、本物の修行と勘違いしてしまつたら、仏教が捻じ曲げて伝えられる事になりかねない。

そんな風な事を、思ったりもした。

アトラクションである事に気がつかない人ら…、本当にいるのだろうか？

あれは、どこかの誰かを楽しませるためのアトラクションだと思う、そして参加している人らに、その自覚は薄い。

多くの人は、自分が単なる駒であり、あやつり人形である事を認めたくないからだ。

それが故、いろいろといい訳をこねて、続けている人、実に多いと予測します。

Fさん、実際のところ、君のまわりにはそういう世界が広がっている(いた)のだろうか？

出来る事なら、言いがかりに過ぎず、もっとまともな世界である事を、願わずにはいられません。

“彼ら”の世界は閉鎖的だ、新しい風が入らない構造をしている。

“彼ら”は新興宗教のように「専用の服を作ったり、特異なオブリエを掲げたり」しない。

“彼ら”の場合はそれが“ない”かわりに「例のあの行動」があるのだと思う。

「例のあの行動」を通じてメンバーが一体感を持つのだ。その一体感が自分が騙されているという意識を麻痺させてゆく…

そうでなければ、悪人でもない人が「殺人」も「肯定」できるくらい一生懸命になれる道理がない。

普通の人間の理性をここまで麻痺させるとは異常です。

誰が考えたのが実に巧妙で優れています。効果的に人の人生を、ダメにする。

どこかの誰かの「快樂」の尖兵になっている事実には気がついてはいけないという強力な暗示に皆がかかっている。

その事実を認めたくなくなるほどに蝕むまで。

「外」からの「風」が入らないので、内部の空気はよどみ続けたままだから、そうなるのだと思う。

“彼らという「現象」”に彼らも自分を「見失って」いる。

そして「見失ったもの」を継承しようとするから、歪みが発生する…。

身についてもいない“徳”を伝授するという歪み。

身についていない人から“徳”を学ぶという苦しみ。

身についていない人から学んだものを、さらに後輩に伝授していったらどうなるのか？

世代が下るにつれ、何がどうなるのか…

そういう「現象」君のまわりにもあるのだろうか？

“彼ら”の「例のあの行動」は、多くの人には「（そうとう）っらい」ものはず。

何しろ意味無く人をおとしめているのだ、倫理観があればそうとうなプレッシャーになる。

心身クタクタのはずだ。でも心身クタクタになる甲斐あって）“

彼ら”の「例のあの行動」が「つらい」が故、日常の些細な事も幸せに感じられるようになる。それが彼らの「行動の意味（価値）」の真髓なのだろうか？人間「つらい事」をたくさんさせられると、些細な事も「幸せ」に感じると思う。

そうした「たくさん辛い事（＝彼らの行動）」をするほど、より些細な日常に幸せを感じられるのだろう。

そうして感覚が麻痺していき「殺人」も「肯定」できるくらいになるのかもしれない。

そのうち「それ」がないと幸せを感じられなくなり、生きていけなくなるのかもしれない。

そして最悪な事に、愛する子供にまでそうした下劣な行為を勧められる異常な心理状態になるのだ。

君もそうした「つらい事」たくさんさせられて、日常の幸せを「より」幸せに感じさせるよう洗脳されたのだろうか…

君はどう思う？上記のようなものは、ワザと不治の病にかかる事で、命の大切さを学ぶのに似ている。

正常な感覚であれば、おかしいと思うはずだ。

それにそれらは命に対する冒瀆であり、本当にその病で苦しんでいる人らへの侮辱になる。

「目」は見開いて、前をみななければいけないのだと、強く君に届けます。

「つらい事」をたくさんすると幸せが大事に感じるのは事実。でも、

「つらい事」とは、本来は「試練」のはず。

犯罪＝試練ではない。暗示にかかると、気がつかなくなるのだと思う。

：世界は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもって動いてきました。

そして今もそうした渦の中で（ダイナミズムで）動いています。

手が出せば届くようなものではない強大な“何かで”動いている。そして“変る常識”“変る世界”というのは、現実に確かにあるのです。

けっして単純ではない。

単純であると吹聴する人間はなににも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないの!？」と。

「理解を示す心の広さはどこへやったの?」と。

「真実に目を向ける勇氣はどこへいったの!？」と。

「組織の放つ理想だけでは、世の中は良くなるらない」と。

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内には永久に出ないと思う。

脱出が先決です。（もし今脱出しているのならば、それは正解です。Fさんは正しい）

いろいろあるであろう細かい事情に関しては、脱出してからでも充分考えられます。

いつまでもそこにはいけません。
なぜなら？その答えは君の心にあるのかもしれない…

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。）

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

「あなたは歪みに気づきたくないのだろうけど、私にはもう歪みがよく見えて仕方がないのよ」

と、言ってもいいと思う。

嫌な事は、嫌と言ってもいいんです。

僕が保障します。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。
勇気を君に。

.....
.....
.....

「5月09日(月)曜日」「人生の総決算が迫られる際、もっとも大切なのは自分らしく生きるといふ事だと、よく感じる。」

ある日、こんな事があった。

本屋でレジを打っていると、やたらと下流指向というタイトルの本を持ってくる客が増えたのだ。

それは彼らの猛襲のまっ最中での出来事だった。

まるで下流指向が犯罪だとも言わんがばかりに…。

君はどう思いますか？

物よりも気持ちをお大切にしていた君に、彼らは物に依存する浪費生活こそいい暮らしだと強制したのだろうか？

何が大切か知る君には、苦痛の元だったのかもかもしれない。どう感じるのだろうか…。

賢沢が悪いと言っているのではない。

ただ、賢沢の基準が違うだけなのだ。

Fさんは、どう思う？

何を、どう賢沢に感じるかは人それぞれだ。そこに自分らしさを求める事も出来る。

君は君らしく暮らせてきた(いた)のだろうか？心配です。

彼らは自分の“業”を相手に押し付けて当然と考える。

彼らの考える賢沢を押し付けられてやしないか、考えてしまう…。

賢沢とは何だろうか？

少なくとも、自分らしく生きる事だと思う。

特に現在の仕事をしていると、そう感じる。

人間、最終的に到達する課題は結局そこだ。

築き上げた財産も、家族も、あの世には持ってゆけない。

人生の総決算が迫られる際、もっとも大切なのは自分らしく生きるという事だと、よく感じる。

出来ない事が最終的には多くなり、なにも出来なくなる。

その際に、自分が自分らしくあり続ける何かがあるか？ないか？
でその人はまるで違う。

そう、仕事を通じて思います。

人生はまだまだ長い、彼らの言う安直なゴールの先にも、まだまだ遠く長い道がまっている。

君は、物より気持ちを大切にしていた。その感覚は正しいと思う。
大切にしてほしい。

いろいろあるだろうし、いろいろあったと思う。これからも、これまでも。

でも明るく前を見続けるふりだけでもしていると、うつむいてい
るよりぜんぜん違う。

僕と君はお互いかなりの頑固者だ、と同時に遠慮者でもある。

戦う際には、遠慮は無用です。なにしろ君が君らしくあり続ける
ためなのだから、理由はそれで充分です。

僕の趣味は漫画を描くことであり、自転車に乗ることであり、本
を読む事であり、映画やTVを見ることだ。

お金をかけずにやるところがミソで、やすくあげようと常に勤め
ている。

象徴的なのは、僕が使っている腕時計かもしれない。言わない限り、時計に詳しくない人間には、絶対いくらで購入したかわからない品だ。

見た目は1万円以下の時計には絶対見えない。がっしりしつかりしている。

しかし実際は80% Offの2980円で買ったものだ。こういう張つたりの効いた安物を買うのは大好きです。

どうせ壊れるだろうって？大丈夫、仮に中国製だとしても、今の中国の技術力は結構高い、買った物でもそれなりに高性能。扱いを雑にしなければそうそう壊れない。とても自分らしい買い物できて満足している。

この時計には普段ニユースで取り上げられている中国事情がふんだんに盛り込まれ、今を象徴しているように感じるからだ。

高級品の持つ品格よりも、僕はこういうその事象を包括するようなイメージがもりこまれたものが好きです。

たぶんだけど、この時計1つで、中国の話をいくらでもできる。君は1つの事柄で、際限なくしゃべり続ける僕を覚えていると思う。

お金が全てではない。自分らしさとは、自分で自分をちゃんとコントロールできている状態だと思う。

惑わされず、君だけの答えを見つけてほしい。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに親しくなろうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は一歩手前まで来ていた。

先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。

今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまうつもりでいます。

“人を許せる時が、自分を高める時”

(日本テレビ系『行列のできる法律相談所』で有名な弁護士、菊地幸夫氏の言葉)

簡単でないが、目指しがいのある目標です。

君は今、悩んでいるのだろうか？たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから……。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった……

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう

う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

- - -
「5月10日（火）曜日」未来のどこかで、景色に共に心動かされるような、なんのことはないささやかな幸せを、心から信頼する人と共に歩める日を夢見て。」

Fさん、感覚的なものを伝えようとすると上手くいかないという経験、ないだろうか？

僕にはある、例えばこんな感覚だ。

東京ではPC内に貯蔵した大量の動画ファイルを一日中かけてみると、インスピレーションが刺激されて、いい気分になれた。

ところが、実家に帰ってきてからは、東京にいたときほどいい気分にならない。

“彼ら”の攻撃のせいと、最初は思った。

しかし、今現在でも、やはり、東京時代ほどいい気分にならない。なぜだ？と、ずっと思っていた。

先日、PCの画面をTVに映す装置を購入し、さっそく先日購入した32型TVにつないで見た。

PC内のドラマや映画、アニメが32型TVにちゃんと映る、多少画質は落ちるが、その劣化具合はせいぜいVHS3倍モードで録画した番組を見ている程度の劣化で、特にきにならない。

…で、だ。ここからが特に感覚的な部分なんだけど。

この32型TVで動画を延々かけていると、やはり東京時代の時と同様、インスピレーションが刺激される。

どうも、こういう事らしい。

東京ではワンルームに住んでいた。7畳半のへやに、玄関も台所もみなあるへやなので、PCモニターのような小さな画面でも

違和感なかったけど、

実家に来てからは、同じ位の部屋でも、玄関も台所もない分、広く感じる…。

故に、PCの画面では、どんな映画やドラマをみても小さい画面で興ざめしてしまっていたのかもしれない。

今、32型TVでみてみると、いままでPC画面でいまいちと感じていた同じ内容の動画ファイルが、まったく違った印象で魅力的に見える。

画面が大きくなったただけなのに…、不思議な感覚です。

こっつ、思う。

場所が変わると、当然と感じていた感覚も変化するのかもしれない、と。

空間は人の心はかなり大きな影響をあたえるのでしょう。

場所を変えるとというのは、重要なのだと思う。

もし、君が彼らから距離ととる生活をしているなら、続けて欲しい。

それだけでも、だいぶ違うと思う。

空間は心の感じ方に影響を与える…。

この事実を認識し、自分でコントロールして、未来の糧に出来たら嬉しいところです。

綺麗な景色を見ると、人は心を動かされる。

とくに、写真ではなく、実際の景色の場合は格別だ。

広大な自然の景色や、荘厳な建物かもしれない。

特に、信頼する人物と一緒に、そういう景色に心動かされる経験はしたいものです。

君はどう感じるのかな…、いつか、その答えを聞きたいので、心のなかで、暖めていてほしい…、そう思った。

この前述のPCの画面をTVに映す装置はダウンスキャンコンバーターという。

文字はにじんでしまうが、動画を写す分には申し分ない装置だ。

この装置、ほしくて昔、新宿でさがした記憶がある。

当時は装置の扱い自体が少なく、また値段も高かったので買えなかったが、今は3980円で売られていた。

おそらく中国産なのだろう…。時代は移り変わり、変化している。

世の中は常に動いている。様々なバイアスの元に。

しかし、2000年間という長い目でみれば、おおよそ世の中は、悪意よりも善意が勝る結果の歴史を積み重ねてきたように思う。「版權」でご飯が食べられるなどと、2000年前の世界では考えられなかったことだ。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです。

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

物事は単純ではない、なにかしらバイアスがあり、それらが絡み合い“何か”を引き起こしている。

単純な真理1つで救われるほど、単純ではない。

まして、意味も解らず教えを妄信すれば、世界が救われるなど、ありえない事です。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

それが証拠に、彼らは彼ら自身の行いで、ドンドン日本を荒廃させている。

「いいわけ」と「ごまかし」の果てにある「悪意の集約」が何を引き起こすのか？

冷静に考えれば、わかることです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援していません。

君は自分で思っている以上に強い人です。

たとえどんな苦しみに襲われようと、過去にどんな罪があるうとも、それが君の全人格を否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！

もう一度繰り返します、そう強く、心に念じてほしい！

もう一度！そう強く、心に念じてほしい！！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て

ください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかに言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでい

る。

君は、あのときの事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっているのだろうか。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。

世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

潮目が変わったと感じる瞬間は過去なにかあった。

今もそんなときだ。威圧行動の変化を感じる。

でも消えてはいないのだろうと、そう考える。

なにしろ多くの人を扇動するサイコパスはあきらめない。

それに、東京で3年観察したあの人の人格を想定すると、あの人があきらめる姿は想像できない。

「真正の」サイコパスは少ないながらも必ずいる…。そう考えます。

今も隣りの部署のおじさんは非常にあやしいと感じたりもする。意味なく怒鳴るのだが、その様子は東京で3年観察したあの人に良く似ている。まとう空気が同一に感じてしまう。

この人は初対面から無視を決め込むし、挨拶しても無言。仕事の会話ですら、目もあわさない…。

でも、聞くと、昔からそういう人らしい。

若い女の子以外には、みな、そういう態度だというのだ。50代後半のおじさんなのに…。

もともとそういう人かもしれない。

でも、僕がその話を聞いた人が“彼ら”でなかった可能性もある。つまり“彼ら”以外にはそっぽをむく人の可能性もある。

そんな現状があると仮定すると。次の状況が想定される。とにかく僕を非難する会話を雑談の中で繰り広げていき、全体として評判がわるくなる空気をつくるというものだ。

そんな経験は過去何度もしている。

ああ、またか。と思うだけのことだ。

Fさん、君も過去、周囲の評判をすごい気にしていた。そういう所、僕らは共通していたのかもしれない。

僕はこう考える。

いまさら動じはしない。

過去何度も、誠実に仕事をして評判を跳ね返してきた。同じ事をするまでだ。

決して自分にも落ち度があるなどと考えるはいけない。

仮に事実あったとしても、それが自分の全人格を否定するほどの

落ち度でない事は明白だ。

たとえ過去のいろいろな何かにより、心を縛られていたとしても、そんなもので君の全人格が否定される事はない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

“彼ら”の中のサイコパスは、君の誠実さと優しさを利用して、君の心を縛ろうとする。

そんなものために君の全人格が否定される事は「決して」ない
そう強く、心に念じてほしい！がんばれ！！

Fさん、君に読んで欲しい本がある。

日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかに言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

.....
.....
.....
.....
.....

「5月12日（木）曜日」「動じないこと？」

Fさんへ。

この小説を更新すると、外の車が増えるのは、気のせいでもいいのかな？

そんな事を思っ前提で、さらに追記します。

前日以前の記述の中に、何か「あたり」をひいたのだろうか？

なんだか入れ食い状態です。

これは彼らの攻撃を「釣り」に例えた比喻表現です。

もしを読んで魚に例えられてキレる“彼ら”がいるとしたら論外だ。

そもそもそんな行動さえしなければいいのだから。

そんな非合法かつ悪辣な行動をしている自分らに非があるのに、その事を棚に上げて怒ったりする。

誠実に生きている人は、そもそもこの様な記述に怒りを表現しない。

「サイコパスの論理だ。

彼らの行動は殺人をも肯定する集団犯罪行為だ。

それは“彼ら”の集団人格を否定するには充分な理由になる。その点に関しては、お釈迦様とて同意してくれるはずだ。

集団人格の悪意から逃げるためには、距離をとるのが一番です。

罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものでは決してない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。
勇気を君に。

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・
団体等とは一切関係ありません。）

第42話 心に誠実でありつづけさえすれば（未来へと続く話28）（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金の興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第43話 心に誠実でありつづけさえすれば2（未来へと続く話29）（前書き

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第43話 心に誠実でありつづけさえすれば2（未来へと続く話29）

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

〔5月13日（金）曜日〕

Fさんへ。

たぶん…いろいろあるのだと思う。

手に負えない状況なのかもしれない。

それでも、やけにならず、前を向いてほしい。

自分自身に誠実でありつづけさえすれば、いいと思う。

自分を偽らず、誠実に。

どんなに理解されなくとも、活路はそこにある。

そう信じていいと思う。

自然に、自分でいることが大切です。

頑張れ！

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

〔5月14日（土）曜日〕

Fさんへ。

こんな事も思います。

右往左往する時、どうすればいいのか…。

君はどこに焦点を合わせればいいのか？だけを考えればいいと思う。

あれやこれやと考えると、自分の心がうやむやになってしまっ…。

自分の意思とはまったく関係ないところで、人生の波乱に巻き込まれる事は、誰にでも起こる。

決して特別な事ではない。

目をそむけたくとも、前を向くべきだと、そう思う。

それが人生を生きるという事だから。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君が「埋没費用の呪い」サンクコストにかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

.....

「5月17日(火)曜日」君が活路を見出せる日を信じられるなら、僕もそれを信じられる」

Fさん。

共同体の中で定期的に確認される悪意に負けてはいけない。
大きな精神のふり幅に負けてはいけない。

君の家族の内情はわからない…。
だけど、理由があるなら、君は戦っていいと思う。

君が活路を見出せる日を信じられるなら、僕もそれを信じられる。
いつかの日を信じて。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられて
いただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、
それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろうか？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。
「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

〔5月18日（水）曜日〕

Fさんへ。

こんな事も思った。

なにも感じない人間だと思われるのは腹も立つ。

いろいろ我慢はしてるし、いろいろ飲み込んでいる。

その辺を察してほしいものだ。

平気であるわけではない…

Fさん、君もこんな風に感じた事なかっただろうか？

Fさんにも考えや意見がある事を周知させる事は、けっして悪い事ではない。

Fさん自身の存在のためにも。

聖女のように無尽蔵に微笑んでいるわけではない事を、周囲のひとにおしえてもいいと思います。

頑張れ！

.....
.....
.....
.....

〔5月19日（木）曜日〕

Fさんへ。

特異な事ではない。自分を伝える事は。

みつともなくとも、必要な事だと思う。

「対話」は認められないのだろう、でもあきらめてはいけない。

この曲がテーマのドラマがあったから、印象に残っている。
なぜに？嫌いだっただか？

内容が「甘い」歌詞だからだ。

当時、恋なんて縁のないと思い込んでいた僕にとって、次元のかけ離れた曲だった。

当時、高校で君に一目ぼれをしていたわけなんだけど、その感情を正確に理解できていなかったからかもしれない…。

今、同じ曲を聴くと、当時の感覚がすごく蘇ってくる。

曲は思い出の引き出しになるようです。

90年代のヒット曲を聴くと、いろいろ当時のことが思い出されます。

君にも何かあるだろうか？

僕は当時、ヒット曲が嫌いだっただ。

そんな話をしたら、君が私もそう、と同意してくれたのを記憶している。

正確には、最近の曲はよくわからない、と僕がいうと、君も、私もそう（思う）と言ったのだと思う。

あれは、音楽室と廊下のある空間での会話だ。

当時あれほど興味のなかった90年代ヒット曲なんだけど、今、聞くと当時とは違った印象になる。

それは、いろいろな意味で…

そんな事、今、ふと思ったよと、君に伝えます。

君が今でも戦っている前提で書きます。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも…、君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言葉のよことだまうに…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰だれかにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しはいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

なぜなら？その答えは君の心にあるのかもしれない…

頑張つて！負けないでほしい。惑わされず、自分の想いを貫いて欲しい。

君が君であるために。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けしないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

眞実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。
勇気を君に。

.....

〔5月22日（日）曜日〕「安否確認」
Fさんへ。

君になら通じると思う…。

僕は君が嫌がる事は基本的にしたくない主義だ。
僕が君に強引に何かした事はないと思う。

だから、仮に君の現住所が解つたとしても、君が来てほしいと言わないかぎり、訪ねていくような事はしない。
僕が「しない」と言ったら、本当にそうする事を君は知っていると思う。

それを踏まえて、
何が役に立つか解らないので、一応書きます。

離婚が成立する前に、僕と連絡をとったら、不貞罪が成立する可能性もなくはない。

しかし、年始の挨拶状や書中見舞いの類、つまり公式の挨拶状を普通に送る程度なら、大丈夫だ。

そんな状態ではない？

そうかもしれない。

でも、一応何が役に立つか解らないので、一応書きます。

私的でなく、公的な挨拶状程度なら、問題ないと思います。いろいろな意味で。

まあ、待つと決めたのだから、そうしようと思います。

君はなにか都合がわるいだけだ、何かしらの一段落がついたら、君は行動を起こす。

そう、思うことにしました。

君はどう思うのだろうか…、いつかそれを知る日を夢見ます。

なぜに？そう思うだろうか？

僕の目標は君と再会し、気持ちを確認して、止まった時間をどんな形にしる動かしたいというものだ。

しかし何よりもまず、君自身が、今現在、無事なのかどうか？を確認したい。

そんな思いもあります。

君の無事かどうかなら、上記のハガキ程度でも充分確認できる。

君の筆跡は手紙でわかるけど、できれば、他人にはまねできない記述で、公式の挨拶状にいれても大丈夫なものがあれば、君の無事が確認できる…。

そんな事を思った。

だめなのかな…、どうなのかな…。

いつか再会できる日を夢見て。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです。

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

物事は単純ではない、なにかしらバイアスがあり、それらが絡み合い“何か”を引き起こしている。

単純な真理一つで救われるほど、単純ではない。

まして、意味も解らず教えを妄信すれば、世界が救われるなど、ありえない事です。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くなないと、わからないはずなのです。

それが証拠に、彼らは彼ら自身の行いで、ドンドン日本を荒廃させている。

「いいわけ」と「ごまかし」の果てにある「悪意の集約」が何を引き起こすのか？

冷静に考えれば、わかることです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援して
ます。

君は自分で思っている以上に強い人です。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定
するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられて
いただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさな
いで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いていま
す。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。
う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。勇気を君に。

.....

〔5月23日（月）曜日〕「今ここで何よりも重要なのは」「Fさんへ。」

白い小型車でエアロパーツをつけてるやつがいる。

昼も夜も見た気がする…

気のせいの可能性に目をつぶるなら？暇な大学生だろうか？

あれは…金なのかな？

若者が信心深いとは思えない。

なにしろ、自らの欲望を全肯定する教えなのだから。

そんな世界なのだろうか？

そんな世界の中での君の長年の苦勞。

あんなことや、こんなことや、僕の想像も出来ない苦勞の数々。

もし、話す事で、少しでも気が休まるならば、いくらでも聞きます。

いつか話す事で、気が楽になる日が、来るだろうか？

他言はしない。それは約束します。

今ここで何よりも重要なのは、君の心だ。

組織のメンツなどくだらないものにすぎない。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのように……どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しはいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？

その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。
なぜなら？その答えは君の心にあるのかもしれない…

こんな事も感じる…

咎められると、自らの行いに耐え切れない“彼ら”。

常識人であるが故、そんな情けない理由でとがめられると、精神的に落ち着けなくなる…。

そんな現実、あるのだろうか？

“彼ら”的行動を咎められて、初めて穴があつたら入りたくなるような羞恥心を感じる常識人…。

そんな人々にあんな行動を強いるのはカルトそのものに見える。

頑張つて！負けないでほしい。

サイコパスの奏でる自分勝手な利己主義など蹴散らしてほしい。

お釈迦様でも認めてくれると思う。

君は自分の心をもっともっと大切にしていいます。

恐れる事無く、勇気を持って。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさな

いで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

その時も、こう、思った。
いままでこれですごしてきたのだから、いいじゃないか。
それに、今、手術をしたら、今までの苦勞が無駄になるようで、
なんか嫌だ。と。

そんな理由もあり、高校時代、斜視を治す手術はしなかった。

今、現在も、やはり、同じ理由で、特に斜視を治そうとは、思わ
ない。

今まで36年苦勞してきたものが、無駄になるようで、なんか嫌
なのだ。

でも、ふと、こうも思う。

じゃあ、高校時代、手術しなかった事を後悔してないか？
と、自分に問うと？

こんな感情が、心をよぎる。

「あの時直していけば、もう、目を治そうかどうしようか？という
葛藤から、今頃解放されていた。決断すれば良かったかもしれない。
」
と。

で、こうも思うわけです。

今、手術して直してしまえば、未来の自分の負担を軽くできる。
でも、何だか決断できない…。

決断した方がいいのに、決断できない。
なにか「きっかけ」がないと…。

そんな感覚、時々感じる。

人生は選択の連続です。ふいに決断を迫られる。

決断が迫られる時は、いつも心が揺れるものです。

こういうとき、僕は自分の原点に問う。

今まで手術してこなかったのも、自分の原点に問うた結果の答えかもしれない。

漫画家になりたい自分にとって、目の手術より重要な事はたくさんあったし。

彼女の気持ちを理解したいと問い続けた過去の自分にとっても、目の傾きは重要な要素ではなかった。

なぜなら、君は、斜視の僕を受け入れてくれたからだ。直す理由がないと感じた。

迷った時は自分の原点に問うのが、僕のスタイルだ。

ここでまた問う。今、なぜ？急に斜視の事を気にしだしたか？たぶん、こんな動機だと思う。

会えるかどうか？解らないけど。

彼女と再会を目指している以上、再会してもみすばらしくないよう、しなければいけないだろうな、と。

仕事もちゃんともものにして、身なりも、くらしもしっかりしなければ、再会した時、彼女を失望させてしまう…。

そんな風に、最近感じるのかもしれない。

自分の原点に、新たな要素が加わりつつあるのかもしれない。

そんな事、思ったよと、今、君に伝えたい。

この言葉たちは、君に届くだろうか？奇跡に賭けてみます。

決断には、きっかけがある。

そうさっき書きました。

手術の決断は軽いものではない、思いつきではできない。でも何か「きつかけ」があれば、実行するだろう。何が言いたいのか？

こんな事を思いました。今は目を治さないで過ごし、今までどおり。

でも再会することが具体的に決まったら、絶対に手術をしよう。彼女のためにも…。

あまえた考え？

でも、それでいいのだと思う。お互いにあまえられる存在であるなら、それは、なんだかい関係のように思う。

お互い孤独に慣れすぎているように思う、心からお互いに甘えられる関係があっても、文句は出ないと思う。

Fさんは、どう、思いますか？

過去の思い出は、今の僕をささえている。

君の場合はどうなのだろう？いつか、想いを聞ける日を信じて…。

過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。

淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違はなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。僕は脱出をとかく君に勧めます。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。

その中にいる限り、永久に答えは出せないから。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。
奇跡を信じて。負けないで！

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔5月25日（水）曜日〕「君は被害者であり、絶対的に正しいのだから、毅然とした態度を貫けばいいのです」

こんな事も思った…。

長年会ってない者同士が再会した場合、最初に話す話題はお互いの近況報告になる…。

けど、もしかしたら君はそういう話題を避けたいと考えるかもしれない。

自分の事をあまり語りたがらない君だった、今も、もしかしたら、

そうかもしれない。

君は会話が止まり、沈黙するのを心配する…。

でも、大丈夫なんじゃないかと思う。

たぶん、以前と同じように、僕は君の前で喋り続けると思う。

そうだな、たぶん、東京で経験したことなんかをあれこれ喋りまくるだろう。

気まずくだけはならない予感はある。

君は気まずい空気になるのを嫌う人だった。そんな君の姿を、昨日の事のように容易に思い出せます。

君は周囲と気まずくなるのを避けようとする。

結果として、自分を押し殺して、周囲にあわせようとするのかも…。

つらいこともたくさんあったのだろうか？

…もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にす。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

（公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ）

（さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手をもっとも嫌がることでもある）

(証拠などあると、なおさら効果は増す)
(でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う)

ただ、相手が奸物かんぶつ(=【奸物/姦物】悪知恵にたけた人。腹黒い人。) 的素質に長けた人物な場合、簡単に避けられてしまう可能性もある。

それでも、この方法は、基本的に有効な手段だから、上手くいかなくても、何度でも工夫を重ねてやるのが、いい方法かもしれない。
もうそういう状況でないなら、嬉しいのだけだ…。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由。
でも、君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。
それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言葉ことばのようにならなくて、どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

(もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返せばいい)

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。
それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいけません。

なぜなら？その答えは君の心にあるのかもしれない…

頑張つて！負けないでほしい。

今、ニュースを見ているとこんな風景を見る。

原発事故について総理を追及しようとしても、そもそも原発を推し進めてきたのは自民党。

総理を追及しすぎると、やがて火の粉は自分にふりかかってしまう…。

もし、誰かが君を責めたとしても、責めすぎると結果として、組織の「不幸を生む体質」の暴露につながってしまう。

もし僕なら、相手に責めるだけ責めさせて、墓穴を掘らせる事も可能だ。

なにしろこちら側に非はないからだ。

相手もそれはわかっているから、かならず論点をずらした説得を試みると思う。

いままでいい目をみたら？とか。みんなの迷惑だうんぬん、とか。でもそれは論点のすり替えにすぎず、相手が苦しい証拠だ。

君は被害者であり、絶対的に正しいのだから、毅然とした態度を貫けばいいのです。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て

ください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかに言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでい

て毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

眞実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔5月26日（木）曜日〕 「彼ら」はそのほとんどが現実に実行する。

その異様さがいかにカルト的であり、サイコパス的に見えるかは自明の理だ。」

以前こんなニュースを見た。

アメリカの戦争ゲームが批判されていたのだ。

批判していたのはアメリカのアフガン戦争に参加した兵士の遺族たち。

ゲームは選択次第で、アフガン兵になってアメリカ兵と戦えるからだ。

このゲームのニュースをネットで見たとき、絶対問題になると思っただけ、案の定だった。

この問題、どう決着がついたかは知らない、でもこのゲーム自体は売っているの、何かしらの決着を見たのだろう…。

（僕がガンダム好きというのは以前書いた、その理由はこういう問題にある。戦争をテーマにした場合、かならず遺族問題が出てくるから、表現に制約がでてくる。

架空の戦争話なら、そういう制限なく戦争とはなにか？が表現できる。ガンダムに限らず、SF戦争ものは、そういう意味で自由度が高い長所があるから好きなのです。)

戦争をテーマにした作品は悪くはない、人間の普段は隠された性質を表現できるからだ。

それを知り、いろいろ感じ取る事ができる。

戦争はサイコパスを大量に生む場だ、そうしたサイコパスにどうしたら自分はならず済むか？という日常の疑問を考える具体的なイメージを作品から見ることできる。

宗教が悪いのではないと思う。

布教を一生懸命やるのも、悪くはない。

ただ、仲間でない者の全存在を否定するのはサイコパスの心情だ。なにも感じず、後悔も無く、他者を食い物に出来る。

一切の呵責もなく。

そうならないためにも、自分で考える必要があると、そう思う。

そうは言っても、人間には煩惱があり、聖人君主にはなれない。

それが故、煩惱をコントロールする精神力がいるのだと思う。

彼らは、この煩惱をコントロールする精神力を根底から履き違えている。

そう、感じる事が、多多、あります。

罪もない人間を威圧して、煩惱をコントロールしても、精神力は向上しないと思うし、なにも生み出さない。

罪の連鎖が引き起こされ、それに巻き込まれた子供たちは知らぬ間に咎人にされる不幸を背負わされる。

いろいろ理屈をこねても、彼らの理屈はサイコパスの理屈であり、精一杯、柔らかい言い方に変えても、駄々っ子のワガママにすぎない。

ゲームはしょせんゲームだ、多くのユーザーがプレイするが、そのうち現実に行う人間が何人いるだろうか？

仮にいたとしても、わずかな数字。それが現実だ。

“彼ら”はそのほとんどが現実に行う。

その異様さがいかにカルト的であり、サイコパスに見えるかは自明の理だ。

…“彼ら”的行動とは、「熱気」にあてられて思わず興奮する集団恍惚状態うだんこうごうが作り出すものだと思う。

これが、お祭りとかスポーツならまだいいが、

犯罪行為に集団恍惚しゅつだんこうごうするのは、間違っている。

…でも、恍惚状態こうごうにあると、理性的判断が出来なくなり、皆、別人に変わってしまい、犯罪も肯定する人間にさせられてしまう。

こういう状態を一般に「トランス状態」と呼び、暗示を「ものすごく」受け入れやすい状態、と理解しないといけません。

一度暗示に「かかる」と、なかなかとれない。

君のまわりを見回してほしい、事実、普段はいたって「普通」なのに、“彼ら”の悪意に関しては「正常な思考」が出来ない人、多いと思う。

それは、暗示にかかっているからだと思う。

もちろんこれは推測を書いているに過ぎない。

その世界がそこまで「本当に」酷かったら、そうとう病んでいる事になる。

「病んだ人間を救う」のが本来の仏教であり、「病んだ人間を大量生産する」事はカルトの思考です。

そこは、どう屁理屈をこねても、覆せない、当たり前前の真実だと「普通」の感覚の人間なら思うところです。

…Fさん、戦ってほしい。

君を責めたりはしない、そういう環境に問題があるだけだ。

過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。

淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違はなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。僕は脱出をとにかく君に勧めます。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。

その中にある限り、永久に答えは出せないから。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。

奇跡を信じて。負けないで！

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧みな罠により、そういう行為をさせられて

いただけなのだから…。
そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、
それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。
三界に家を建てるには、君が必要です。
「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！
老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

あると証明される日がくるかもしれない。

何事も、諦めたらいけないと思う。

(以前書いた通り、トロイの遺跡はシュリーマンが手当たり次第に掘ったため、破壊しつくされてしまっている。

そんな状態でも、諦めずに、丁寧に発掘を続けている考古学者に、僕は畏敬の念を持ちます。)

そんな事、思った。

そしてこんな事も思う…

口では出来るといっても、なかなか出来ない事も(現在の暮らしの中にも)ある。

手を抜いているわけではない。出来ないだけだ。そういう(状況の時、自分が歯がゆくなる。

成長しない限り、「この」歯がゆさは解決しない。

誰にも、そんな時、あるように思う。

僕は、君の現在をまるごと受け入れたいと思っている。

では実際にはどうなのか？、手に余るかもしれない？

たとえそうでも、頑張つて成長したいと思っている。

1人では無理でも、2人なら…あるいは3人、4人なら？

これは僕だけの力で解決できる事ではない。

共に新しい可能性に信じてついてきてくれる意思が必要だ。

意思はなかなか生まれない、自然に作られるもので、時間をかけて作られるものかもしれない。

でも、それが、目標として見据え続けることが出来るのと。

最初からあきらめたりするのは、随分の開きがある。

足りないものは、互いに補えればうれしい。

補いきれなくとも、努力の糧は2人なら継続できる。

新たな可能性を見たい、そんな気持ちが共有出来る日が来るだろうか？

これは人生をかけたひそかな賭けです。

ついてきてくれるか？否か？

未来の女神に賭けようと思う。きまぐれな未来に。

この女神は2年前の僕に真実に気づく可能性をくれた。

また、気まぐれに可能性をくれるかもしれない。

そんな事、妄想しました。

まあ、神様なんて類は、こんな風に軽く信じるくらいが案外兆度いいのかもしれない。

君はどう思うのだろうか？

君は人の負担にはなりたくないなどと思うのかもしれない…。

それは僕もそうだ。君の負担にはなりたくない。

お互いが、そう思っていたと、仮にしたら？

何だか、結局お互いを想っている事になる。

18年前、君は僕の身を案じて、身を引いたのだろうか？

ぜひ確かめたいと、切に想っています。

18年前の思い出がなければ、今の僕はいない。

東京での猛攻撃もしのぎきれず、何かの犯人にされていたかもしれない…、今思うとぞっとする。

君に助けられた、今度は僕の番でいいのだろうか？

未来のいつか、正しかったのかどうか？知る日が来るのを祈って…

生き方は人の自由です。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしいと思っ

る。
もし、今やめているなら、これからも継続してほしいとも思っています。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。
言葉のよことだまうに…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しはいい）

そしてこれも思う。

それは君自身の心の救済にもなるはずだと。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。
なぜなら？その答えは君の心にあるのかもしれない…

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「サンクコスト埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

この山本太郎さん、印象に残っている俳優だ。
有名なところでは映画「バトルロワイヤル」で登場する前回大会
優勝者で再参加する転校生役だ。

Fさん、君はあまり覚えがないかもしれないけど、僕らが高校時
代。

確か「ビートたけしの元気が出るTV」に登場した、面白いシロ
ウトこそ、この山本太郎さんだったと思う。

競泳水着姿で、メロリンキュツ、というギャグで有名だった。

高校の体育祭の時、誰かがそのギャグをまねてやっていたのを覚
えている。

当時、体育祭の最中は、君は最大限、他人のふりをし続けた。

当時の僕はこう思っていた。なんで他人行儀なんだ？相変わらず
気まぐれだな、でも、かわいい。と。

ノンキにそんな事を考えていた僕と違い、君は多くの目線を気に
しながら耐えていたわけで、その事に気がつかなかった自分が猛烈
に恥ずかしいです。

もし、当時、気がついていたらと何度も考える。

けど、時間が巻き戻せない以上、今できる事を最大限やろうと思
う。

…それでいいのかな、いつか、君の想いを聞かせてほしい。

山本太郎さんという人は、かなり気骨のある人らしい。

僕は中学時代からの「伊集院光さんのラジオ視聴者」^{リスナー}で、このラ
ジオ内で時おり、山本太郎さんの話を聞く。

何事も本気の人で、ウソやハツタリのない人らしい。

ケンカの時はいつも本気だし。警察すら信念のためには無視する

気骨をもっているらしい。

総評すると、強いものに媚びへつらわない人のようだ。

乱暴で喧嘩っ早い欠点があるが、そうした粗野な部分を正義感がカバーしている印象をラジオで何度か聞いた。

そんな山本太郎さんが、原発反対を唱えて、芸能界を敵に回し、事務所をやめたという話は、なんだか、いかにも彼らしいとも感じてしまう。

気骨を保つというのは、難しく、大変な事だ。
でも重要なことのようにも思う。

これは最近の話。ある人から戦前の清水港の歓楽街の様子を聞いた。

年端も行かない子供が身売りされ、当時はぶりのよかった漁師たちにもてあそばれていたと言う話だ。

TVや本で聞くのと違い、当時を知る人から聞くのは実に生々しい。

そうした環境で育った人で、今も当時の不幸の呪縛から解放されない人、いるようだ。

運命が過酷だったせいだろう、責める事はできない。

でも、抵抗する事、気骨を持つ事は重要だと感じた。

自分が、自分でい続けるためには、どんなに小さかろうが、気骨は必要だ。

そうでないと、魂まで奪われ、苦しみ続ける人生になる。

上記の件は、あくまで例えとしてあげたけど、前に進む事をあきらめてしまうと、待ち受けるものは、後悔の日々だ。

どんな事が、あろうと、前を向き続ける事は、やはり、大切な事だと、そう感じた。

2007年、生命保険会社は「待ちの姿勢」を批判された。

お客が申請しない限り、支払われない生命保険金もあり、問題になったのだ。

基本的に生命保険は、こちらから請求しない限りもらえない。

保険金の存在をしらない遺族などは、請求する事も出来ない状態で、批判されたのだ。

その総額は生保38社で964億円にもなり、問題になったのだ。

2011年、今回の東北大地震では、この時の反省に立って、保険会社は積極的に行動しているらしい。

会社の方からお客さんの方回っているいろいろなアドバイスをしているというのだ。

これは業界団体全体で取り組んでいるらしい。

今回の震災で見込まれる保険金の総支払額は1600億円を超えるという。

阪神大震災の時が483億円だったから、いかに巨額か？がわかる。

もちろん、単純な経済的な理由もある。

現在、被災者は貯金を取り崩している状態であり、それは、銀行の預貯金を減らす事になり、金融機関の運用に支障がでる。

そんな状態を避ける意味でも、保険の十分な活用が社会のためになると考えられているらしい…。

そんな事情があるにせよ、1600億円を積極的に吐き出そうとする保険業界は誠実にみえる。

人々のためにも、国家の経済のためにもプラスになるからだ。

人は過去を反省し、進化してゆくと、何だか信じたくなる。

Fさんは、どう感じますか？

世の中こういうものと割りきるのも真実かもしれない。

しかし、抗うと変わるものもあると信じると、何かが変わる事も事実あると思う。

抵抗は無意味ではない。少なくとも、魂を取り戻す糧にはなる。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです。

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

物事は単純ではない、なにかしらバイアスがあり、それらが絡み合い“何か”を引き起こしている。

単純な真理1つで救われるほど、単純ではない。

まして、意味も解らず教えを妄信すれば、世界が救われるなど、ありえない事です。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

それが証拠に、彼らは彼ら自身の行いで、ドンドン日本を荒廃させている。

「いいわけ」と「ごまかし」の果てにある「悪意の集約」が何を引き起こすのか？

冷静に考えれば、わかることです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。

…もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にす。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

(公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ)

(さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手がもつとも嫌がることもある)(証拠などがあると、なおさら効果は増す)

(でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う)

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由。

でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰だれかにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しなさい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？

その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

なぜなら？その答えは君の心にあるのかもしれない…

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしい事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けしないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

女性社会において直接話すときは差しさわりのない話題のみで、感情的対立を招く事は言わないのがルールと感じた。

では？重要な事を伝えたいときはどうするのか？

僕が感じた範囲では、間接的に言うのが一番効果的に感じた。

第三者に言うのがベストなのだ。

女性社会ではこれが一番効くと感じた。直接言ったら聞き流されるか、飲み込まれてしまい、事が進まない。

男性社会でもこのルールはある程度効果的だと思う。第三者に言うのが、直接言うより効果的な事は、女性社会と同じように、男性社会にもある。

(ただし、男性社会では陰口はやりすぎると嫌われる。女性社会ではそれが無いのかもしれない)

君が今も戦っているという仮定にそって書くならば…。

相手との直接対決は有効な手段である事は、正しいと思います。

(特に職場など、公共の立場から逃げられない場所は効果が高い) それに加えて、職場の相手の上司やその他、第三者に直接、「本人に言ったら無視される様な事」を言うというのは効果的かもしれない。

上手くいけば、そういう空気を作り出し、相手を責められる。

これはあくまで可能性の提示にすぎない、上手い出来ない時もある。

バイアスとは複雑で、計算どりにいく性質はない。歪みを読み、次にどう歪むかを見据えるのが、バイアスを読む時の方法に見える。でも一番肝心な事は、自分自身がやる気を保つ事だ。そこがくじけると、なにもかもだめになる。

どんな強力な否定の意思を浴びようと、自分が自分でい続ける

かぎり、大丈夫だと思う。

「何があるうと、自分で自分を見捨ててはいけません。」

このセリフは君が君の心を赦すきっかけになってほしいなどと、漠然と感じた。

…この感覚がはずしたもののなか？正解に近かったのか？いつか教えてほしい。

女性社会では男性社会以上に、本人にではなく、第三者に重要な事を言うルールがある。

君は人の評判を気にしていた：

僕も君も、基本的に陰口が嫌いな性質だ、たち陰口が苦手だから、上記のようなルールではどうしても劣勢に立ちがちだ。

大人になるためにもこのルールを使いこなせるようにならないと、自分が自分でいられなくなる。

逃げる事が出来ない以上、立ち向かうしかない。

上記のようなものはテクニクにすぎない、世渡りのための。

優しさを捨てることは次元が違う。

しかし、彼らは君に優しさを捨てるよう強要しなかっただろうか？
そうでない事を、祈らざるをえない。

君は、君らしくいていいのです。

ただ、ちよつと大人になって、社会のテクニクを知るだけで充分。心を空っぽにする必要はゼロです。

誰にも君の全人格を否定する事はできない、そう、強く心に刻んでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられて

いただけなのだから…。
そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、
それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。
三界に家を建てるには、君が必要です。
「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

習している。

無為に仲良くするエネルギーを使うと浪費してしまう。

そろそろ“この人”は「そう」である可能性が高いという前提で接しようかと思う女の人は何人かいる。

第一候補は、親戚の子とか知り合いとかが部外者にたくさんいて職場にそうした知り合いの部外者が何人か現れる女性だ。

“彼ら”は横のつながりが強い。東京で知り合った人も、長崎出身なのになぜ東京の本屋に来たのか？と質問すると「東京に友達がいるから」と回答した。

長崎にいてどうやって知り合ったかの質問は無視された。そんな記憶も蘇る。

この人とは現在もいがみ合う関係だ、最大の注意を払う必要がある。

第二候補の人は、判断の根拠が上記よりも弱いが、「そう」かも知れない人

この人は白いスポーツカーに乗っている。爆音の出るタイプ（でも出ている所は未確認）。

ナンバーもそれっぽい。

根拠が弱いので、普通の人の可能性も高いが、敵対態度にある人だ。

もう一人、「そう」かも知れない人いるのだが。

過去のデータに対応した特徴がまだみられないので、経過観察が必要な人だ。

正直、女性の場合は男性よりも難しい。

男は態度が露骨だからすぐに“彼ら”と察せる。

そんな連中に囲まれて、同じ女性からも味方されない環境で、君は高校時代すごしていたのだろうか？

その後の人生は？うまくすごせたのだろうか？

考えすぎかな…この考えが間違いであってほしい。君には幸せでいてほしいからだ。

東京でいろいろ経験した。観察を継続すれば、見分ける自信はある。

今日も車で走っていると、暴走族と形容するのが最もふさわしいバイク2人乗りの連中が爆音をとどろかせて後ろから来た。

アクセルを何回も無意味にふかして周囲を威嚇している。

信号で停車していると、うしろから覗き込む位置に来た。
…で、いつものように、“彼ら”の名のある文庫をそれとなく見せる。

急におとなしくなったと感じたのは、気のせいと信じたいところだ。

“彼ら”の多くは、自分たちを準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「信じ込んでいる」。

だから、「自分たちがカルト」であると「感じた瞬間」、急におとなしくなり「黙り込む」様に感じる…。

そこから出した僕の結論が、「多くの“彼ら”は実は正常であり、一部の真正サイコパスが扇動しているにすぎない」というものだ。

催眠と暗示のテクニクを使い、巧みに人の心を誘導している…。

君は何度も、毎日祈れ！と言われたと思う。

それこそ基本的な“暗示”であり、催眠効果を狙っているものだ。

素直な人間ほど、暗示にかかり、自分を失ってしまうのかもしれない。
それをいい事に、利用しようとするサイコパスは、人を食い物にしても、何も感じない。

…小さかった君は耐えた。頑張れば救われると信じようと努力した。

どんなに疑問や悩みを抱えようと、誰も受け入れてくれない、自分が悪いんだと思い込む事しか、解決できなかった…
そうなのだろうか？

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧みな罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。
そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろうか？

繰り返しになるけど。

…もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にす。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

(公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ)

(さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手がもつとも嫌がることでもある)

(証拠などがあると、なおさら効果は増す)

(でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う)

そして…こつも思う。

これは実行できるか未知数だけど、考慮してもいい可能性の問題。どの程度の回数がベストかは、環境しだいで変化するので、未知数だけど。

以前訪ねるなら、早朝がいい、と書いた。

そして、本人に言っても無視されるような事は、第三者に言う方が効果的とも書いた。

この第三者が相手に影響力があり、かつ、君に敵対的態度をとる人物である場合？

早朝に押しかけても、いいように思う。

でもケースバイケースだ、その場、その場で効果は変わるかもしれ

ない。

空気を読んで、実行するタイミングを図るべきかもしれない…

可能性の女神は、まだ見捨てていない。前を見続けていいと思う。

いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないうで欲しい。狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！と言ってやってください。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

いろいろあると思う。けど、がんばって。負けないうで欲しい。

多分君の周りには悪意なく“そういう事”が出来た人がたくさんたくさんいると思う。

それは悪意があるのではなく、心が内向きになっていて、外に向いていないからだと思う。

心が外向きになれば、人として持つ“当たり前前感情”が戻ってきます。

そう、周りの人に言ってやってください。

繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。

きみにとっての“それ”が“何を”いみするのか。

いつか未来の落ち着ける日々を「共に」信じてほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思っけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

眞実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。勇気を君に。

.....
.....
.....

「6月1日（水）」「やるべき事と決めたことだけに集中し、余裕があるときだけ、違う事をやればいい」

仕事をしていて思う。

気持ちがあせってしまうと、上手くいくものも、うまくいかない。

おちついて、行動すれば、それだけでいいのだ。

余計な事に手をだすと、忙しくなりパニックになる。

好意で手伝っても、あだになる事もある。

やるべき事と決めたことだけに集中し、余裕があるときだけ、違う事をやればいい。

時間は限りがあるから、やれることには限界がある。

何でもやるうとすると、焦りだし、それがパニックの原因になる。

“彼ら”のテクニックに、焦らせようとあれこれ言つといつのもある。

術中にはまっつてはいけません、自分のペースをつくらないと。そんな事も感じた。

君は僕より器用だ、きっと君なら出来る。

君は自分で思っている以上に強い女の子です、きっとやり遂げられる。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです。

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

物事は単純ではない、なにかしらバイアスがあり、それらが絡み合い“何か”を引き起こしている。

単純な真理1つで救われるほど、単純ではない。

まして、意味も解らず教えを妄信すれば、世界が救われるなど、ありえない事です。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違つてるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからない

はずないのです。

それが証拠に、彼らは彼ら自身の行いで、ドンドン日本を荒廃させている。

「いいわけ」と「ごまかし」の果てにある「悪意の集約」が何を引き起こすのか？

冷静に考えれば、わかることです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援していただきます。

今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にす。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

（公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ）

（さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手がもつとも嫌がることもある）

（証拠などがあると、なおさら効果は増す）

（でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う）

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定

するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

このマツダというメーカー。
トヨタやホンダと違い、規模は小さい。
小さいながらもこだわりの技術で乗り切ってきたメーカーだ。
しかし、いつもいい目をみない不運のメーカーでもある。

世界で初めて不可能といわれたロータリーエンジンというのを開発したのもマツダだ。

しかしオイルショックや、規格のあまりの違いから、シェアを伸ばせなかった。

下手をすると大手に吸収されそうな小さな会社だけど、頑張っています。

今回もハイブリット技術はないけど、頑張った結果だ。
弱いながらも頑張る姿は、見ていて好きです。

いつかマツダの車にのりたいなどと考えている。

弱いなら、弱いなりの戦い方があるのでは？と考えさせてくれます。

ともかく、上手く行くいかないは別にして、自分のやる気と心が折れない事が大切に思います。

今、仕事をしていると、自分に「がんばれ！」となんとも言いつ、自分を鼓舞するお年寄りがいる。

たぶん、今まですつとそうやって自分を鼓舞して人生を戦ってきたのだと思う。

人生のゴールにはその人の生きた足跡そのものが反映される。

僕も君もまだまだ先はたくさんある。

まだ、ゴールでもなんでもないので。

波乱万丈でも僕はいいと思う、自分らしく生きられるなら。
生きながら死んだような暮らしよりよっぽどいい。
前をどんなになっても見続ける事が大事に思う。

かく言う僕もできてないときもある、でも、そうであろうと常に自分に言い聞かす。

Fさん、くじけそうなき、僕は、君との記憶を支えにしています。

君は、どうなのだろう…、いつか、聞かせてください。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです。

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

物事は単純ではない、なにかしらバイアスがあり、それらが絡み合い“何か”を引き起こしている。

単純な真理1つで救われるほど、単純ではない。

まして、意味も解らず教えを妄信すれば、世界が救われるなど、ありえない事です。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

それが証拠に、彼らは彼ら自身の行いで、ドンドン日本を荒廃させている。

「いいわけ」と「ごまかし」の果てにある「悪意の集約」が何を引き起こすのか？

冷静に考えれば、わかることです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援します。

君は自分で思っている以上に強い人です。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

- - -
「6月3日(金)」 「無邪気に人の人生を破壊する連中は数はすくないが、実際にいるようです」

こんな事も思う。

“彼ら”もそれぞれ個性がある。

ここまでは信用できるが、ここから先は信用できない、というポイントが人により、かなりバラつきがある。

画一的でないのだ。

たぶん、おのおのの個人的な「組織」との距離感が反映されているのだろう…。

そこまで尽くす義理はないが、ここまでなら尽くすといったところだろうか？

その辺は、経験を重ねると、だんだん(僕にも)解ってくる。いろいろな人がいる。

皆が皆敵ではない、そう思っていていいようにも感じる。

新もの好きで飽きっぽい日本人の軽い欲求を満たすために、その組織があるわけではない。

そう言って首を縦にふれる人間が、そちらの世界に何人いるだろうか？

宗教を隠れみのにした、くだらない組織の1つにすぎないと、多くの人が認識している…。

皆それぞれに疑問を持ちながら、自分の良心の痛まない範囲内で、“彼ら”的行動に参加している。

結局は「痛み」を感じたくないから、他人に痛みを転化しているにすぎない。

そんな、偽りの幸せが、世の真理なはずがない。

こんな想いに同意する“彼ら”も多いように感じる。
君はどう感じますか？

生きる価値のある人間は？と問われて即答はむずかしいかもしれない。
でも、人間のクズに自分からなりたい人間はいないと思う。

しかし、中にはそういう人間もいる。真正のサイコパスだ。

無邪気に人の人生を破壊してたのしむサイコパスに引き込まれず、
戦うべきです。

君が君らしく生きるためにも、避けられないのであれば。

無邪気に人の人生を破壊してたのしむサイコパスに引き込まれな
いで。

たぶん…いろいろあるのだと思う。

手に負えない状況なのかもしれない。

それでも、やけにならず、前を向いてほしい。

自分自身に誠実でありつつづけさえすれば、いいと思う。

自分を偽らず、誠実に。

どんなに理解されなくとも、活路はそこにある。

そう信じていいと思う。

自然に、自分でいることが大切です。

頑張れ！

負けないで！

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧みな罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃっ

そして、ありえない事を怒りがおで言う。

遅番である自分にも、ちゃんと申し送りをしると。

これは明らか間違った主張だ。

今までは、仕事を教わる立場だったから、わからなかったが、これからはこういうケース増えてゆくかもしれない。

明らかに自分が正しい時の、僕の反撃の仕方は、この小説で書かれている通りです。

自分が100%正しいと確信する状況では、口げんかで負ける事はない。

東京で猛攻撃が始まった時も、明らかに間違った指示をだす“彼ら”は職場にいた。

だが、あの時はもう本屋で3年も働いていたから、間違いにすぐ気がついた。

…たぶん、同じことが起こっている可能性がある。

“彼ら”ではないと思う人から、この第一候補の事を聞いた、やはり印象はよくないらしい。ゴマすりで偉い人にこびると。

この記述は本人に届くのだろうか？ “彼ら”の口コミの力は凄まじい。ちから

(こんな事も思う、第三者に僕が話した内容が数時間で知られているケースがある、でも全員ではない、噂の輪にいつもいる人らには、高速で伝播するみたい。噂好きは“彼ら”の性質の1つだ。噂の輪の外にいる人は、もしかしたら高い確率で、普通の人かもしれない)
(この感覚は高校時代にもあった、なぜにそんな些細な事がすぐに周知されるかが当時は謎だった)

(この小説はある意味、彼らの口コミの力を逆手にとっている。少数でも読み手がいるなら、口コミの力で、内容の1部が広がってゆくのだと思う…、その噂と、君の行動が重なれば、強力なバイアスになる。)

今日の件は、ありもしないペナルティーを相手に課して、精神的に追い詰める手法だ。この方法は東京でも何度も経験した。高校時代やその他、人生のいたるところで経験している。君ももしかしたらそんな経験積み重ねてるのではないだろうか？お互い、相手の出方を見る謙虚さがあつたので、そんな気もしなくもない。

僕は人の悪意に関しては敏感に読み取れる、過去の経験の副産物だ。

だからなのか、どうなのか、悪意を感じない人を見ると感動する。その最たる人が君だ。

Fさんからは悪意をまったく感じなかった。

もしかしたら？君も僕に同じ感覚を抱いていたのかもしれない。それなら、あの無限とも感じられる神社での時間、お互い完全に心のガードを解いていられた理由が説明つく。安心とはこういうものだと、お互い思ったのかもしれない。美化しすぎ？どうなのだろう。これが過剰な解釈か、的を得た解釈か？この世でその判断が出来るのは、同じ記憶を共有する君だけです。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです。

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなににも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

物事は単純ではない、なにかしらバイアスがあり、それらが絡み合い“何か”を引き起こしている。

単純な真理1つで救われるほど、単純ではない。

まして、意味も解らず教えを妄信すれば、世界が救われるなど、ありえない事です。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

それが証拠に、彼らは彼ら自身の行いで、ドンドン日本を荒廃させている。

「いいわけ」と「ごまかし」の果てにある「悪意の集約」が何を引き起こすのか？

冷静に考えれば、わかることです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援していただきます。

君は自分で思っている以上に強い人です。

いろいろ言われると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。狭量な人達が押し付けてくる“勝手なイメージ”なんか跳ね除けて！

自分の心を取り戻すべきです。

心が狭くなると人の命まで軽くおもえるようになるのよ！と言っ

てやってください。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。
い。

いろいろあると思う。けど、がんばって。負けないで欲しい。

繋がりは、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思う。
う。

きみにとつての“それ”が“何を”いみするのか。

…もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にす。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

(公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ)

(さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手をもっとも嫌がることでもある)

(証拠などがあると、なおさら効果は増す)

(でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う)

ただ、相手が奸物かんぶつ(=【奸物姦物】悪知恵にたけた人。腹黒い人。
)的素質に長けた人物な場合、簡単に避けられてしまう可能性もある。

それでも、この方法は、基本的に有効な手段だから、上手くいかなくても、何度でも工夫を重ねてやるのが、いい方法かもしれない。もうそういう状況でないなら、嬉しい。

ありもしないペナルティーをさも「ある」がごとく言い、攻め立てるサイコパスに負けないで！

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。
そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。
Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかに言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

.....

「6月5日（日）」「たとえ仕事を追われようと、もう一度別の場所
でチャレンジするだけです。やつらに情熱だけは奪えない事を、
教えてやりましょう」

仕事中こんなこともあった…

べつの女性だが、わざわざ仕事を中断させてまで、いろいろ言う人だ。

大根と納豆和えを作ったときも、わざわざ忙しい中仕事を中断してまで、「この大根は大根おろしよ！」というのだ。別にたいしたことない事なのだが、ありえないと言う口調でいつも言う。

最初は仕事の熱意ゆえかと思った。

しかし、考えさせられる出来事があった。

その人の指示に従ったところ、お客さんを10分以上待たせる羽目になったのだ。

仕事に完璧をもとめるならば、その責任を感じて恥じるはずだが、この人は恥じるどころか聞き流すのだ、まるで、自分には関係ないという態度。

なにか、この人、変だ。と思った瞬間だ。

(単にそういう変った人の可能性もある。だが、この人は僕が仕事を始めてから、後から入った人だ。過去の経験から言うと、後から応援部隊として“彼ら”が職場に追加される経験を、本屋でしている。応援部隊であるが故に、難物が多い。…あくまで可能性の問題であり、まだ決定打がないので確定はしない。断片を複数つなぎ合わせるコンテキスト、文脈にたどり着く推理法は以前書いた。この方法に頼るにしても、まだ、断片がたりない)

先日かいた。本人に直接言うと、無視するか、飲み込んでしまい、効果がない。

いうなら第三者にいうべきだと。

上記のような出来事や、先日日付で書いた出来事など、以前の僕なら陰口が嫌いだから、他人に言ったりはしない。今でも言いたくない。

でもこれからは、少しづつでも言うようにしてみようと思う。

どんな風にしたら効果的なバイアスがかかるか見るのは、決して悪い事ではない。最低限身を守るための自衛手段だ。

気後れしそうでもやったほうがいいのかもしれない。
今までが無防備すぎたのだから…。

仕事を始めたばかりの頃、こんな記憶がある。

ある人と、深夜アニメ「フラクタル」の話をしていた。

「このアニメの監督は、この作品で失敗したら仕事をやめるとか言ったらしい…」

とかいう事を、その時僕は話した。

この話をたまたま近くで聞いていた、“彼ら”であろう第一候補の女性は、

上記僕の口にした言葉の中の「仕事をやめる」問いと頃に猛烈に反応した。

殺気だってこちらを見るのだ。

今にして思うと、当時から僕が自分から仕事をやめる気になるよう、仕向ける意識だったんだろうか？

東京で10年以上親友だと思っていたあいつが“彼ら”と気づいて以来、もう、誰が「そう」だとしても、もう驚かない。いまさらもう驚く気にもなれないからだ。

“彼ら”はどこにでもいて、けっして諦めない。

カルトは非常識なほどのしつこさを持つ。

職場のあの人も「そう」か！そうなのか！と思ったところで、意外ではない。

この戦い、ルールのルールを破った者の負けなのだ。

勝ち抜けるかは解らないが、逃げていてはいけなと思った。

君も苦境にあるのだろうか？

仕事は追われるかもしれない。

でも…

君が頑張れるなら、僕も頑張れます。

（たとえ仕事を追われようと、もう一度別の場所でチャレンジするだけです。）

そちらの世界では現実世界で自分ってかつこ悪いなと感じている人が、その崩れたプライドを回復させる世界が“彼ら”的世界ではないのだろうか？

その世界では、世界のルールは自分たちを中心に回っており、信心（活動やお布施）しだいで、幸せな家庭やかわいいお嫁さんがもたらえたり。

現実の世界では叶わない夢を実現する世界。

それが“彼ら”的世界に見える。

部外者からみればエゴそのもののエゴイスト集団にしか見えないけど…。

そして、やさしい人達はその踏み台にされている。

しかも多くのそうした人達に自覚が無い。

催眠と暗示が効果的に使われているからだ。

そして疑問を感じる人間には、恐怖の制裁がまっている。

僕と君が経験したあの日々のような…。

…落ち着いて、ゆっくり考えて、自分の答えを求めてほしい。

そう、君に伝えます。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

（皆は気軽にやっているつもりだろうが、実際死者まで出ている組織犯罪に荷担しているわけです。無知も無知のまましていると犯罪的という現実も、否定できないことだと、周りに伝えてください）

もし、そうした犯罪行為を今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。
言霊ことだまのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しはいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいきません。

なぜなら？その答えは君の心にあるのかもしれない…

…もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にする。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

(公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ)

(さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手がもつとも嫌がることもある)

(証拠などがあると、なおさら効果は増す)

(でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う)

ただ、相手が奸物かんぶつ(=【奸物姦物】悪知恵にたけた人。腹黒い人)的素質に長けた人物な場合、簡単に避けられてしまう可能性もある。

それでも、この方法は、基本的に有効な手段だから、上手くいかなくても、何度でも工夫を重ねてやるのが、いい方法かもしれない。

もうそういう状況でないなら、嬉しいのだけど…。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさな

いで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかに言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

第43話 心に誠実でありつづけさえすれば2（未来へと続く話29）（後書き

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第44話 心に誠実でありつづけさえすれば3（未来へと続く話30）（前書き

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金の興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第44話 心に誠実でありつづけさえすれば3（未来へと続く話30）

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

「6月6日（月）」「そそのかし、善人に悪事をさせる人物」に気をつけて!」

こんな事も思う。

もし、君の交渉相手が高い学歴の保有者である場合は？

高い学歴をもつものはそのつながりをいつまでも大切にする。

繰り返しになるけど、また書きます。

…もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にする。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

（公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ）

（さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手もつとも嫌がることでもある）
（証拠などがあると、なおさら効果は増す）

（でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う）

上記のような状況下で、こういう友人関係（「古い学友ネットワーク」）の中の第三者に言うのも、一つの手だと思う。

本人も自分の知らないところで、自分の評判が形成されるのは嫌な事だと思う。

特に、第三者に、知られたくない事が広がってゆくのは、嫌なはずだ。

交渉中であるなら？ こうした手段も1つの手です。

…でも、交渉相手が“彼ら”であるなら？ その特徴は、心が折れても3日で立ち直るところだ。

多くの仲間に言いくるめられて、すぐにもとのサイコパスっぽい人格に戻る。

なんで「そう」なるのか？

推測だけど、そちらの世界には「そそのかしキャラ」がいるのではないだろうか？

せっかく暗示が解け、正常な思考にもどった人物に「そそのかし」をすることで、元のサイコパスの影響下にある人間に戻してしまうのだ。

（多分だけど、君の周りにも「そそのかしキャラ」はうごめいていると思う。 気をつけて！）

（「そそのかしキャラ」は悪役の定番として古来から存在する。物語の世界で古くから有名なのは、ピノキオに登場するやつだ。

ピノキオはそそのかされて、悪事をしてしまう。「そそのかし」、善人に悪事をさせるキャラ」というのは、古くからいて、また、同時に嫌われていたのだと、このことから解る）

それでも、諦めずに何度でもやるべきだ。

相手にも社会的地位がある、ワガママを完全に通しきれるものではない。

君は被害者なのだから、相手に遠慮する理由はまったくありません。

もし、離婚を前提に交渉中なら？

毎回、離婚届を相手に渡すべきだ。

離婚届自体は、役所に行けばもらえるものだ。

何度も渡すには大量の離婚届があるかもしれない…。

でも、大量にもらえないという話はきいたことがない。

もらえなくとも、行政書士などに相談して、大量に入手する方法を模索すればいいし、最悪でも、毎日役所の窓口に行き、一枚づつもらうという方法もある。

繰り返し事は重要です。

君自身の声をどこかに表明するのも、一つの手です。

でも君は僕と違い、言葉にするのが苦手な感じの人だ。

君は行動で自分の意思を伝える。

だから、やるなら、何度でも「行動」するのが、いいのかもしれない。

どこかにはならず突破口があると信じて。

でも頑張りすぎると疲れてしまう。

適度に休んで、自分の時間を作って、リフレッシュしてほしい。

なにをやるにしても、まず自分自身が崩れ去っては意味がないと思う。

周囲も助けてはくれないし、自分のためにもならない。

なにをやるにしても、自分自身に誠実である事が、重要だと思う。

うまくいなくてもめげてはいけません。

そういうのダメかな…？Fさん。

誠実さと優しさは共存できます。

ペースをつかんで、ペースを作って。ゆったりと、微笑む時間を取り戻しつつ、それでいて毅然とした態度を維持する。

…そんなイメージ。君に送ります。

仮に別居しているという仮定で話すなら。

別居期間が同居期間を上回ると、相手のハンコがなくとも離婚できるケースが裁判ではある。

長期戦では、君が圧倒的に優位なのだ。

長期戦では、相手も歳をとる。長引けばそれだけ再婚の選択支が狭くなることを、言っても言いと思う。

どつという状況が正確にわからないので、いろいろな可能性を提示します。

もし、なにか心の琴線に触れるものがあるなら、嬉しいです。

突破口を開くのにへたな計算はいらないと思う。

そんな計算をしたところで、どうせ計算は狂う。

なぜなら、この世は“バイアス”が支配するからだ。

当事者が参加した時点で、諸条件が変化し、計算が狂い答えが変化する…、そういった趣旨の事は以前書いた。

でもそれは参加者全員が共有するルールなので、動じる必要はな

い。

自分に誠実についてさえいけば、いいのだと思う。
結果はどうあれ、君も僕も自分にウソをつかなくて済む。
それがどれだけ重要な事か。

下手な計算はいらない。一番大切な事は、やけにならず、諦めな
い事。
そう思う。

どうすればそんな事ができる？と思うだろうか？
簡単な事です。今、現在の自分を、それが自分なんだと受け入れ
ればいい。

小さかった君は耐えた。頑張れば救われると信じようと努力した。
どんなに疑問や悩みを抱えようと、誰も受け入れてくれない、自
分が悪いんだと思い込む事しか、解決できなかつた。
そうなのだろうか？

君は自分をもっと大切にしていいます。
Fさん、自分を取り戻して！！

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由。
でも、あえていいいます。
君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。
もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。
それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。
言葉ことだまのように……どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がって
いると思う。

(もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返せばいい)

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいけません。

なぜなら？その答えは君の心にあるのかもしれない…

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格を否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ

た、

それで何もおかしい事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

頑張つて！負けないでほしい。

- - -
- - -
- - -
〔6月7日（火）〕

Fさん。今日は本当は土曜日です。

配送業者が間違えて別宅に送って、そこで開封されたものを、た
いした謝罪もなくもってきた。
ついさっきだ。

安物ではない、ウン万する高価な品だ…

彼らか？普通の人か？不明だけど、こういう事は即文句を言わな
いといけないと思い、早速アマゾンにクレームを入れました。配送
業者に言うよりも、委託した大元に言う方が効果あると思った。

はたしてどの程度効くのか…？わからないけど。

文句を言うなら当事者よりも第三者の方が効果的という考えを実
践してみました。

そうそう、Fさん。

上記の件もそうだけど、似たような件がつい最近もあった。

ケーブルTVを入れた時も、入れてすぐ原因不明の故障をした。

すぐ気がついたから短時間で業者を呼び戻して治せたけど、時間
がたってからだったら大変手間のかかるところだった…。

不具合の原因はプロらしくないミスばかりだ。

たまにはあるだろう。

でも、連続しておこる？君はどう思うだろう。

「そう」いう組織と違って違和感がないところがあつたりもす

る…。

これが言いがかりである事を祈ります。

細かい嫌がらせを連続して行うのは“彼ら”の典型的な手口だ。

1つ1つは小さな嫌がらせだから、実行者も悪いと思いつつも実行できてしまう。

そんな小さな悪意も何千と重なれば、膨大な凶器になる事は、この小説で度重なり書いている。

殺人をも肯定する集団犯罪集団がもしかりにいるならば？そこから距離をとるのは当然の決断であり、だれもそれを咎めることはできない。それが出来るのは真正のサイコパスだけだ。どこまでも自分勝手な事を言う連中以外、皆、本当はおかしいと感じているはずだ。

1人1人はいい人だ、そうした人たちを悪意の創意に駆り立てる一部のサイコパスがいる。

逃げてもいいと、強く、主張します。

そういえば、こんな事を思い出す。

東京で10年以上友達してくれていたあいつは、一度、不自然に若い彼女をもった。

大学卒業後、社会人になったあいつは、高校生の彼女をつくったのだ。

でもどういう経緯で知りあい、どういう経緯で別れたのか一切説明しない。

わかい彼女できて自慢しそうなのに、しない。

唯一、デジカメの小さな写真を見せてもらったただけだった。

その後、別れたときは、あいつはしきりにこう言っていた。

女はより強い遺伝子を持つ男になびくんだよ！と。

それはそれは悔しそうに、何度も、何度も。

彼らの世界では、実力者が女をものにする習慣などあるのだろうか……
だとしたら、時代錯誤もはなはだしい。

君は、どんな人生をいままで生きてきたのだろう。

幸せであってほしい、祈らざるをえない。

もし、もし、今、君が自分を取り戻す何らかの行動をしているのなら？

負けないでほしい、戦う事の意味に気がついてほしい。

人を愚弄し、翻弄して当然と思いついてる連中に、間違いを知らしめてやってほしい。

それよりも何よりも、君が君らしさを取り戻してほしい……

“彼ら”は君の、人のために尽くそうとする優しさを利用し、いい様に利用しようとするかもしれない。

負けないで！応援しています。

君は自分で思っている以上に強い女の子です、きっと上手くいきます。

過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。
ない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。

淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違いなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。僕は脱出をとにかく君に勧めます。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。
その中にいる限り、永久に答えは出せないから。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格を否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思いますがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

今まで18年前と書いていた記述を、次の7月26日が来たら、19年にしなければ…と。

覚えているかな？

あの思い出の日を起点にして、何年前とカウントすると以前書いた事を。

もうすぐあの日がくる。

その時が来たら、19年と記述を変更せねばいけない。

待つと決めたからには待ちます。

今は君の都合が悪いだけだ、何かしらの決着をみたら、Fさんは何かしら行動する。

そうなのではと、奇跡に賭けます。

贅沢を言うなら、せめて、僕があの日の子の気持ちに気がついた事だけは、どんな事をして君に伝えたい。伝わった事を確認したい…、そう思っています。

そんなささやかな想いが報われる日がある事を祈って。

金と栄光しか愛せない人間もいるだろう…、それはそれで、その人の生き方だ。

でも他人を虐げた結果の金と栄光は、自慢できるものではない。

それでも、それらを自慢したい人間は、自らの正義と世の中の正義を共に馬鹿にして、否定する暮らしをせざる得ないだろう。

そんな人間、君の周囲にいるのだろうか？

…もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にす。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

(公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ)

(さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手がもつとも嫌がることでもある)

(証拠などがあると、なおさら効果は増す)

(でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う)

そしてそして肝心な事だけ。

一度やると決めたら、中途半端にしないことだ。

そこは、絶対のポイントだ。

昨日TVでこんな話を聞いた、現役なのかな…、経済産業省の官僚で暴露的な本を書いた人物だ。

この人の本は近くの本屋で見かけた。買おうかどうか迷っていたところだけど、昨日の話を聞いていて、読みたくなくなりました。まだ文庫化されてなくて普通の本なので1800円くらいだと思います。こういう本は時間をかけてじっくり咀嚼しながら読むのが好きです。

この著者の方が昨日TVで言っていたのは、原発問題で、今は東京電力を悪者にして、徹底的に叩いているけど、日本人はある程度、相手を叩くと気が済んでしまう。

その頃を見越して、増税や電気料金の値上げで、震災復興の負担を国民にまわすシナリオだというのだ。

だから、官僚の減給も3年で終わる予定だし、東京電力の負担も短期間で済むという理屈だ。

言いくるめられやすい国民は長年馬鹿にされてきた結果、こういう発想になるのだと思う。

こういう空気感は以前この小説内で紹介した「さらば財務省」という本の中にも書いた。

現状維持も加減をすぎると社会の害悪となる典型例だ。

変えるべきは変えていいのです。

環境を整えるのは難しいかもしれない。

1ついえる事は、待っているだけではだめだ。どんな方法でもいい、行動しないと。

不器用でかつこ悪くても、情けなくとも、続ける事に意味がある。大切なものがあるなら、それは、意味がある。そんな風に思う。

最悪の可能性の1つに、永久に再会できないというのがある。

僕自身、別の相手を見つけて…なんて可能性も、人生は長いから否定はできない。

たとえそうなるうとも、僕はこの小説を書き続けるだろう。

それが18年前の君のあの想いに報いる唯一の方法だからだ。

今のところは…、もし会えたら違う可能性も開けるだろうか？

奇跡に賭けてみようと思う。
常に「前」を向き続けて。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（告白しない）、どんなに親しくなるうとも、絶対に。

君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は一步手前まで来ていた。

先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ。

今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまうつもりでいます。

“人を許せる時が、自分を高める時”

（日本テレビ系『行列のできる法律相談所』で有名な弁護士、菊地幸夫氏の言葉）

簡単でないが、目指しがいのある目標ですね。

いつまでもそこにはいきません。

なぜなら？その答えは君の心にあるのかもしれない…

小さかった君は耐えた。頑張れば救われると信じようと努力した。どんなに疑問や悩みを抱えようと、誰も受け入れてくれない、自分が悪いんだと思い込む事しか、解決できなかった…

そうなのだろうか？

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言い返せばいい）
とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

そこは、まちががなく“カルト集団”です。

優しさを利用してはいけません。頑張つて！負けないでほしい。

人間のクズになりたくて生きている人間はいない。

そう、まわりの人たちに言っていていいと思う。

生きる価値のある人間は？と問われて即答はむずかしいかもしれない。
ない。

でも、人間のクズに自分からなりたい人間はいないと思う。

突破口を開くのにへたな計算はいらないと思う。
そんな計算をしたところで、どうせ計算は狂う。
なぜなら、この世は“バイアス”が支配するからだ。

当事者が参加した時点で、諸条件が変化し、計算が狂い答えが変化する…、そういった趣旨の事は以前書いた。

でもそれは参加者全員が共有するルールなので、動じる必要はない。

自分に誠実についてさえいけば、いいのだと思う。

結果はどうあれ、君も僕も自分にウソをつかなくて済む。

それがどれだけ重要な事か。

下手な計算はいらない。一番大切な事は、やけにならず、諦めない事。

そう思う。

どうすればそんな事ができる？と思うだろうか？

簡単な事です。今、現在の自分を、それが自分なんだと受け入れればいい。

(これは僕の考えなんだけど、今日たまたま見た、朝のニュースの中でも、似たような事をお坊さんが言っていた。どうやら、それほど間違った考えではないようです)

特異な事ではない。自分を伝える事は。

みっともなくとも、必要な事だと思う。

「対話」は認められないのだろう、でもあきらめてはいけない。

君が頑張れるなら、僕もがんばる。

いかに上手く生きるかだけが人生かもしれないけど、それが絶対の正解ではないとも思う。

結果は大きく異なった形で現れるかもしれない…。

それでも、前を向き、自分に誠実でいてほしい。

そんな想い、君に届けば、幸せです。

君はどう思うだろう？そう感じるだろう…

右往左往する時、どうすればいいのか…。

君はどこに焦点を合わせればいいのか？だけを考えればいいと思う。

あれやこれやと考えると、自分の心がうやむやになってしまう…。

自分の意思とはまったく関係ないところで、人生の波乱に巻き込まれる事は、誰にでも起こる。

決して特別な事ではない。

目をそむけたくとも、前を向くべきだと、そう思う。

それが人生を生きるという事だから。

なにをやるにしても、まず自分自身が崩れ去っては意味がない。

周囲も助けてはくれないし、自分のためにもならない。

なにをやるにしても、自分自身に誠実である事が、重要だと思う。

うまくいなくてもめげてはいけません。

そういうのダメかな…？Fさん。

誠実さと優しさは共存できます。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧みな罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃっ

奥さんは退避施設に逃げていたけど、心境がゆれていたのか、暴力夫のもとに戻ったという。

逃げていたけど戻った結果、何かがあり、こうなってしまったらしい。

…その結果の酷い事件だ。

子供も2人いるらしい、その2人の心の傷が心配なぐらいの事件です。

何が言いたいのか？

戦う上であせりはいけない。

ペースを作つて、ペースを守つて。穏やかさを保ちつつ、毅然とした気持ちを維持する。

依存心を自分の意としない方向に向わないように、どう心境的にケリを付けるかがポイントかもしれない。偉そうな事言ってるかもしれないね、でも、事件の報道をみていて、つい書かねばと感じた。

暴力に暴力で報いても、何も解決しないのは事実。

むしろ悲劇がのこるだけ。

暴力でない方法が解決の一番の方法であり、最短ルートです。

そちらの世界には、暴力を肯定する勢力、いるのだろうか？

なにしろバレなきゃ何をしてもいいと考えるようなところがある。君はそんな連中に囲まれて育つたのだろうか？つらかったのかも…、この心配が取り越し苦労であるなら幸いです。もし、心配しすぎだとしても、君の身を案じての事です。どうなのかな…、いつか、心配がどの程度当たって、どの程度外れているのか教えてほしい。

相手の精神力の10倍以上の精神力が要りますが、大丈夫です。僕も君もものすごい頑固さをもっている。

それを応用すればいいのです。

譲れない何かがあるなら、その頑固さを君の味方となり、強力な心の支えになると思う。

戦う上で、大きな勝負で全てを終わらすのではなく。

小さな勝負を何千回、何万回と挑んで、相手の気と周囲の空気を変えるほうが、正しい方法だと思う。

具体的には、職場に何度も訪問するとか、何度も離婚届を手渡すとか。

小さいことを繰り返す事は効果的です。

「決定権は私にあるの！」と繰り返せば、そういう空気を作れる。

これは君が今も戦っているという前提で書いています。

君は幸せなんだろうか？いつか、それを確認できる日を夢見ます。

“彼ら”はこの世に「慎重深い人間」はいないと主張する。

そんな思想は仏教ではない。

俗人が聖者の微妙なニュアンスを正しく理解できないが故おこった教えの歪みだ。

…でなければ、誰かが意図的にゆがめた事になる。

惑わされず、自分の想いを貫いて欲しい。

君が君であるために。

“彼ら”は人を死ぬまで追い込む事をメンバーに強制する集団犯罪を肯定する。

君はそこから離れて正解です。

もし、今、離れているなら。これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しなさい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？

その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいけません。

なぜなら？その答えは君の心にあるのかもしれない…

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いていま

す。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そついう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしい事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

「シヨスタコーヴィチ 交響曲第5番 第4楽章」聞くと、あの音楽室の景色が蘇ってきます。

あの時の感覚、あの時の記憶、あの時の空気感が蘇るのです。

プロの演奏は上手い、完璧だ。

でも記憶の中の演奏はもつと下手で、ここはもつと難しいんだぞ、などと思ってしまう。

18年前、僕らの吹奏楽部が上手くできなかったところを、完璧にこなすベルリンフィルはやっぱり凄いのだな、と思いました。

Fさん、なんかふいに、そんな事を思ったよと、伝えたくありませんでした。

チャンスを生かすというのは実は相当に難しい…

でも、2度とそんな目に遭いたくないと思うなら、前を向いていいとおもおう。

あの日の時間は取り戻せないが、あの時の2人の関係はまだ生きていると思う。

あの時は、お互いにまだ子ともで、お互いの事を思い遠慮しあっていた。ってしまった。

でも、あれから時間も経ち、2人とも成長したと思う。

本来の時間をすすめても、いいと思うし、何も問題はない。

人の心を挫いてせせら笑う連中に負けないで！

連中は幼い心を踏みにじり、いいようにコントロールしても、なにも罪悪感を感じない連中だ。

その考えが、実は末恐ろしく間違っている事を、アピールするだけの権利が君にはある。

被害者は君なのだから、遠慮は無用です。

心は漂うものです…でもやけにならず、自分の心と向き合ってほ

しい。

先に書いたベルリンフィルで活躍する、日本人の方も悩んでいた。日本では震災で多くの人が苦しんでいる、音楽などやっつけていいのか？と。

彼の故郷は被災地なのだ、友人も多く被災している。

彼は自分の心と向き合い、自分に今できることに全力をあげることにする。

間違っているかもしれない、けど、それでも彼は「前」を向こうとする。

その姿勢は素敵に見えた。

もし誰かに「そんな事はありません（あつてはならない）」と言われたら？

こう言い返せばいい。

「人にさんざん「ありえない」事たくさんしといて、それはないんじゃない？都合が良すぎるわ！理解不能よ」と。

たぶん…いろいろあるのだと思う。

手に負えない状況なのかもしれない。

それでも、やけにならず、前を向いてほしい。

自分自身に誠実でありつづけさえすれば、いいと思う。

自分を偽らず、誠実に。

どんなに理解されなくとも、活路はそこにある。

そう信じていいと思う。

自然に、自分でいることが大切です。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

眞実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。勇気を君に。

がんばれ！

.....

「6月11日（土）」「前進するための未知の可能性を最初から捨て去っては、何もはじまらない」

レッテルを人にはりつづけた人は、レッテルを貼られることを通常以上に恐怖するかもしれない…。

“彼ら”の場合はどうなのだろう…、君の周りの人らはどうなのかな？

なにか戦う上での参考にされれば幸いです。

こんな事も思う…
最近車に乗る生活が増えた。自動車通勤だからだ。
自動車の中では音楽を聴いている。

車の中で聞く音楽はなにか違う…、たぶん他にやる事のない閉ざされた空間のせいだろう。
家で同じ曲を聴くときと印象が違う。

同じ事は読書にも言えて、喫茶店やファストフード店で読書するのと、家で読むのでは集中力というか、読後の満足感がちがう。
喫茶店やファストフード店で読む方が満足度が高いのだ。

空間は人間の感覚を支配する。そう思う。
“彼ら”が君を説得するなら、こうした空間の特質を利用するか
もしれない…、気をつけてほしい。

また逆に言うなら、空間の演出を使って、相手を逆に説得したり、
撃退する事も出来るかもしれない。
話し合いは密室よりも喫茶店のような開かれた空間の方がいいと
何度も書きました。ぜひ実践してほしい。

会社のオフィスのような場所も、相手に逃げ道を奪う効果がある。
もし、会社に訪ねていって、居留守を使われるようでも、毎回行
けば、相手の行動を制限する効果に繋がるので、間接的なプレッシ
ョンになると思う。

何より周囲の人々が見ている、君が怒っている事を周囲の人に示
す事は、本人にたいする圧力としては、無視できないものになると
思う。繰り返せば繰り返すほど。

この行動のポイントは繰り返す「頻度」^{ひんど}だ。

毎日いくと、相手も慣れてしまう。

人間は何にでも慣れる生き物だ。慣れてしまうと効果が下がる。だから、慣れない程度に何度も行くのがいい。ランダムに時間を変えたりして。

あまり一生懸命になると、心がもたない。自分に無理じゃない範囲、少し余裕をもてるレベルで、繰り返すのがいい。

ともかく、どんな形にせよ、繰り返す事が大事です。

やりすぎると逆効果もある、でも遠慮するのではなく、加減しながら行うのがいいと思う。

諦めない行動は、人の心に訴えかける。それは事実だ。

“彼ら”の基本戦略から想像するに、“彼ら”は君の行動にあらぬ噂やレッテルを貼るだろう。それでも負けないでほしい。

心の弱い人間ほど、他人にレッテルを貼るものです。

かわいそうな心しかもってないがゆえの、稚拙な行為なのだと、そう思っていていいとおもう。事実なのだし。

どこかにいる真正のサイコパスが、心弱い人々を扇動しているのです。

憎むべきはそうした少数のサイコパスなのだと思います、怒りもコントロールできる可能性が出てくる。

…あまり考えすぎず、肩の力を抜いて、自分の心に従うのがいい。諦めないことが大事です。君が前を向き続けていてくれるかぎり、僕も前を向き続けていられる。

こんなTVを見た。

ある離婚女性は、住み込みのアパートの寮母さんの仕事を見つけたそうだ。

で、住み込みだから今の家がいらなくなる。

彼女は家を（部屋を）処分せず、人に貸したのだそうだ。

寮母としての収入と家賃収入で、今では数千万の貯金があるとか

…。

これは、あらゆる可能性を想定して書いています。

収入面で苦境に立っても、工夫次第で意外と道はあるみたい。

ここでも肝心な事は、諦めず、可能性を追求する事は、大事らしいという事だと思う。

Fさんはどう思う？

言うは簡単でも、実行は難しい。それは当然のこと。でも前進するための未知の可能性を最初から捨て去っては、何もはじまらない。

熱意と情熱を失わせるのが“彼ら”の手口だ！

今も君からそれらを奪おうと虎視眈々狙っている！気をつけて！！

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由。

でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞め

たい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しはいい)

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいけません。

なぜなら？その答えは君の心にあるのかもしれない…

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格を否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられて
いただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらおう機会をもらっ

た、

それで何もおかしい事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

もし誰かに「そんな事ありえない（あつてはならない）」と言われたら？

こつ言い返せばいい。

「人にさんざん「ありえない」事たくさんしといて、それはないんじゃない？都合が良すぎるわ！理解不能よ」と。

…。
応援できなかった自分を恥じるし、共に戦えなかったことが本当
にくやしい。

今度こそ、応援したいし、共に戦いたい。
いろいろ書いた。今は書くことしか出来ない。
出来る限りの事を書こうと思う。

こんな記憶がある…

音楽室で、何の曲だったか忘れたけど、君は楽譜を読んでいた。
どういつ経緯でそういう話になったか忘れたけど、君は今削られ
た楽譜を読んでいると答えた。

「ええっ、この曲、削られた部分があるの？」

とか、僕は驚いた。まったく知らなかったのだ…。

君は楽譜を読みながら、その曲の本来の姿を思い浮かべて楽しん
でいた。

その姿は、なんだか尊敬すべき音楽の上級者というイメージを僕
に抱かせた。

この子は本当に音楽が好きなんだ…、そう感じたものだ。

君は今でも音楽が好きなのだろうか？

今はどんな曲を聞いていますか？

君は自分の好きな曲が何であるとか、そういう話題をしなかった
…。

自分の好みを他人に押し付けるようなところが、一切ないのだ。

そんな君が、人に尽くす性格の君が、僕とわかれた後、どんな苦
労をしたのか…

そんな心配を、抱いてしまう現在の僕がいます。

いつか、あの日の続きの記憶を補完しあえる日が来る事を祈りま
す。

僕は君から優しさとは何か？を教えてもらった。

あの思い出は今でも、僕の生き方の重要な構成要素として、今も共に生きています。

もし、あの何も知らない日々に戻してやると誰かに言われても、ぼくは戻りたいとは思わない。

ようやく心に引っかかっていた人生最大の謎を解いたのだ。

その事実の重大さに気がついた今、過去に戻りたいとは思わない。未来のどこかで、君に会い、過去の想いに何かしらのケリをつけたい。そう考えます。

どんな結果であろうとも、過去に戻れない以上、未来で君と会いたい。

君はどう思うだろう…、その答えは、君の心の中のみにあります。誰の心でもない、君の心に。

たぶん…いろいろあるのだと思う。

手に負えない状況なのかもしれない。

それでも、やけにならず、前を向いてほしい。

自分自身に誠実でありつつづけさえすれば、いいと思う。

自分を偽らず、誠実に。

どんなに理解されなくとも、活路はそこにある。

そう信じていいと思う。

自然に、自分でいることが大切です。小さかった君は耐えた。頑張れば救われると信じようと努力した。

どんなに疑問や悩みを抱えようと、誰も受け入れてくれない、自

分が悪いんだと思い込む事でしか、解決できなかった…
そうなのだろうか？

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろうか？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

Fさんへ。

「所さんの目がテン」という番組で、人間のクセについて特集していたのを見た。

人間はあごやほほなど、自分の顔にふれるクセがある。

あれには「意味」があるという…。

自己親愛動作とか言う行為で、自分自身を落ち着かせる動作だというのだ。

脳が興奮気味で、落ち着かねばいけないと感じる時、人間は顔の一部にふれるようだ。

僕もよくあごに手をやるクセがある、そういう事なのだろうか。大概、次にどうするか熟考するとき、このクセは出る。

もし、なにかパニックになりそうで、自分が混乱気味だ！と感じた時は、一度自分の顔を触る動作をしてみると、案外と落ち着いて考えをまとめられるかもしれない。

何が言いたいのか？

“彼ら”の例のあの集団威圧行為は、人から正常な判断力を奪うものだ。

だから、冷静にならねば！と思うとき。混乱から回復したい時は、これまでも、これからも、あるかもしれない。

試せばかならず落ち着けるとは思わないけど、もし、そんな時が来たら、僕がこんな事を書いていたらなーと思いついてくれるとうれしい。

思い出したことがきっかけで、冷静さがもどるかもしれない。

Fさんは、顔を触れられると、物凄く照れる人だ。

なんてかわいい人だろうと、あのときは思った。

だからこそ「かわいい」と自然に口にできた。あれはお世辞でもなんでもなく、自然に思ったことを言ったのです。

君は「かわいくないよ」と謙遜する…。そんな性格も大好きだ。

…もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にす。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

(公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ)

(さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手もつとも嫌がることでもある)

(証拠などがあると、なおさら効果は増す)

(でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う)

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、いろんな人の自由。

でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪集団から離れてほしい。

もし、今離れているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

(もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞め

たい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返せばいい)

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内においては永久に出ない。

“彼ら”は殺人をも肯定する集団犯罪組織だ。実体はカルトその
ものです。

脱出が先決です。

答えは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいきません。
いては、また洗脳されてしまう。

小さかった君は耐えた。頑張れば救われると信じようと努力した。
どんなに疑問や悩みを抱えようと、誰も受け入れてくれない、自
分が悪いんだと思いつ込む事しか、解決できなかった…

そうなのだろうか？

もし誰かに「そんな事はありえない(あつてはならない)」と言
われたら？

こつ言いつ返せばいい。

「人にさんざん「ありえない」事たくさんしつて、それはない
んじゃない？都合が良すぎるわ！理解不能よ」と。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定
するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そついつ行為をさせられて
いただけなのだから…。

そつ強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

離婚する気ゼロの相手に、もう離婚が既定事項（＝未定事項の反対語）であるかのごとく振舞うと、そういう空気になるかもしれない。

具体的にはどうすればいいのか？

それは「旧姓」を名乗ればいい。

名乗るだけなら、何の法的な問題はない。

もう少し踏み込んで記述すると、例えば玄関に掲げるネームプレートは「旧姓」にする。これだけでもだいぶ違う。手紙を書くときも旧姓を使えばいい。

…どういう事か？相手や周囲は君の言動や行動に相当注意を払っていると思う。

そういう条件下で、君が「旧姓」を名乗り続ける事は、相手や周囲に無言のプレッシャーとなるはずだ。

それに、第一、君自身の心も多少、軽くなると思う。

名はその人の心を支配するという。

支配から抜け出す目的で、自分で名前を変える事は、けっして不自然ではない。まして偽名ではなく本来の名に戻るだけなのだ。

何の問題もない。

世の中、仕事や人間関係に支障が出るという理由で、結婚後も旧姓を使う女性はたくさんいる。

昔、東京で働いた会社にも、旧姓で働いていた女性がいた。

名前を本来のものに戻すという提案。

これは君が今も戦っているという前提での提案です。
何かの役に立つだろうか？

君のインスピレーションになにかしらのヒントとして何かを与えられたら幸いです。

丁寧かつ妥協を許さない毅然きぜんとした態度が肝心です。

「旧姓」を名乗るというのも、毅然とした態度になるかもしれない。そんな事思った。

なかなか首をたてにふらない交渉相手には、こう言ってもいいかもしれない。

「彼方が事実をなかなか受け入れられないのはわかる。でも、これは現実なの。彼方は強い人はずだから、この現実を受け入れられるはずよ」と。

「皆思ってるわ！なんであなたの恥はじの尻拭いを自分達がしなきゃいけないんだ！って」

たぶん…いろいろあるのだと思う。

手に負えない状況なのかもしれない。

それでも、やけにならず、前を向いてほしい。

自分自身に誠実でありつつづけさえすれば、いいと思う。

自分を偽らず、誠実に。

どんなに理解されなくとも、活路はそこにある。

そう信じていいと思う。

自然に、自分でいることが大切です。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨

大きさ”をもっているようです。

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

物事は単純ではない、なにかしらバイアスがあり、それらが絡み合い“何か”を引き起こしている。

単純な真理1つで救われるほど、単純ではない。

まして、意味も解らず教えを妄信すれば、世界が救われるなど、ありえない事です。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

それが証拠に、彼らは彼ら自身の行いで、ドンドン日本を荒廃させている。

「いいわけ」と「ごまかし」の果てにある「悪意の集約」が何を引き起こすのか？

冷静に考えれば、わかることです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援してい

ます。

君は自分で思っている以上に強い人です。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思つのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思つけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

味を占めたその親は、子供が再び教師からしかれると、抗議して金品を要求したという。

…そんなニュースを見ていて、こう思った。

一度でも味を占めるとどんどん過剰な要求をする人間は、この世に確かに存在する。

“彼ら”の中の、それも人々を扇動する位置にいる上位者は、こういう感覚なのだろうか？

君は優しい子だ、その優しさに付け入ってどんどん過剰な要求をされたのではと、心配になってしまふ。君は気に病む必要はまったくない。

…もし、今、戦っていると仮定すると、相手は懐柔策（＝うまく話しをつけて手なずけるための方策）に出てくるかもしれない。

対立相手から一時的にやさしくされると、心がぐらっとくるですよ？

そういう時は

「貴方の同情などいらない」

と1度すごんで見るといいかもしれない。

話が止まれば、考える時間も、自分の意見を言う間もかせげる。

やると決めたなら、中途半端が一番いけない、毅然とした態度が大切なポイントです。

君は君らしくいていいのです。

僕が保障します！がんばれ！！

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです。

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

物事は単純ではない、なにかしらバイアスがあり、それらが絡み合い“何か”を引き起こしている。

単純な真理1つで救われるほど、単純ではない。

まして、意味も解らず教えを妄信すれば、世界が救われるなど、ありえない事です。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

それが証拠に、彼らは彼ら自身の行いで、ドンドン日本を荒廃させている。

「いいわけ」と「ごまかし」の果てにある「悪意の集約」が何を引き起こすのか？

冷静に考えれば、わかることです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援しています。

君は自分で思っている以上に強い人です。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

！とクリームを言ったのに怒ったシェフが、これでもかと薄くしてあげたポテトがポテトチップスの始まりだと…。

これを話したとき、なぜかウソをついていると糾弾された事がある。

そういう目でみれば、なにかもウソをついているように見える。…という事なのだろうか？

他にもうそつき呼ばわりされた事は結構ある。

君はどう感じる？君は僕という人間を知っている。

隙だらけで鈍感だけど、積極的にウソをつく人間でないと知っていると思う。

どこかの誰かが、僕の事をウソつきだと吹聴しつづけると、みんながそういう目で見るのかもしれない。

こういう考え、普通なら、信じない。

でも僕には君との思い出があり、東京での経験がある。

まんざら間違っていないという感覚がもてる。

享樂の果てにいきついた答えが、集団による個人攻撃だとしたら、どうなのだろう？

嘘つきは誰なのかは明白だ。

多くの人はそれにきがかず、騙されていた事になる。

たぶん、いまでも君の周りにも、「そう」いう目で君をみる人がいるかもしれない。

でもそれは、誰かの影響により、そういう風に見るように暗示をかけられたかわいそうな人なのだ。

そんな人たちに遠慮して、人生をおかしくするのは、間違っているように思う。

違う！と言い続けるのは難しい。でもやらなければ、いつまでもいいようにされてしまう。

騙されている連中に正義はない。

君は被害者なのだから、誰にも遠慮せず、堂々としていればいいのです。

心に“ なにか ”があるなら、大事にしてもいいのです。

浅はかに騙されている連中に、心の中の大切な“ それ ”まで踏みこむ権利はない。

その事に関しては、お釈迦様とて同意してくれるはずだ。

君は、君らしくいて、いいのです。

“ 彼ら ” 的行動とは、「熱気」にあてられて思わず興奮する集団恍惚状態（んごうじょうたい）が作り出すものだと思う。

これが、お祭りとかスポーツならまだいいが、犯罪行為（しゅうたんこうゐ）に集団恍惚するの、間違っている。

…でも、恍惚状態（んごうじょうたい）があると、理性的判断が出来なくなり、皆、別人に変わってしまい、犯罪も肯定する人間にさせられてしまう。

こういう状態を一般に「トランス状態」と呼び、暗示を「ものすごく」受け入れやすい状態、と理解しないといけません。

一度暗示に「かかる」と、なかなかとれない。

君のまわりを見回してほしい、事実、普段はいたって「普通」なのに、“ 彼ら ” の悪意に関しては「正常な思考」が出来ない人、多いと思う。

それは、暗示にかかっているからだと思う。

もちろんこれは推測を書いているに過ぎない。

その世界がそこまで「本当に」酷かったら、そうとう病んでいる事になる。

「病んだ人間を救う」のが本来の仏教であり、「病んだ人間を大量生産する」事はカルトの思考です。

そこは、どう屁理屈をこねても、覆せない、当たり前前の真実だと「普通」の感覚の人間なら思うところですよ。

…Fさん、戦ってほしい。

君を責めたりはしない、そういう環境に問題があるだけだ。

真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無いと思っていた。

こんなにももらっていいのだろうか？といつも思った。

君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。

君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるといふ行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あのときの事覚えてるだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっているのだろう？

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。

世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

…もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にす。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

(公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ)

(さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手がもつとも嫌がることでもある)

(証拠などがあると、なおさら効果は増す)

(でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う)

小さかった君は耐えた。頑張れば救われると信じようと努力した。どんなに疑問や悩みを抱えようと、誰も受け入れてくれない、自分が悪いんだと思い込む事しか、解決できなかった…

そうなのだろうか？

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思つのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらつ機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思つけどどうなのだろう？

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思つ。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

享楽の果てに行き着いた間違った教えを強要する連中に負けないで！――

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。勇気を君に。

がんばれ！

.....

「6月16日（木）」その組織は、殺人をも肯定する集団犯罪組織だ。その和を保つ事と、君の大切な“何かを”天秤にかけるのはそもそも間違っている」

「ほめ殺し」という言葉がある。

具体的にはこんな感じだ。

「あなたは立派ですばらしい人、だからこそ、そんなワガママがつうじるのでね、すばらしいわ」

「あなたは選ばれた人、だからこれほど人に酷い事をして、みなから許されるのね、なんてすごいのかしら」

「あなたは世の中に必要な人、そうでなければこんな暮らし許されるはずがないもの！」

といった具合だ。

褒め言葉だから、相手も反撃しづらいというもの。

相手の反撃を封じる手段にもなるし、話し合いの空気を自分のペースにもっていきつけかけにもできる。

何かの参考になるだろうか？

君に似合わないものである事は承知している。

だからこそ、ここぞと言う時、これを使うと、インパクトあるとも感じる。

何が役にたつかわからないので、あらゆる可能性にそなえて記述します。

個人の幸せを組織内の政治の駆け引きなどに利用されてない事を、祈るばかりです。

政治？何のこと？と思うかもしれない。

この場合の政治とは、誰かの迷惑になるから…という理由で自分の幸せを我慢する行為だ。

和を保つ＝政治という意味になる。

その組織は、殺人をも肯定する集団犯罪組織だ。その和を保つ事と、君の大切な“何かを”天秤にかけるのはそもそも間違っている。なにかその事に対して言う人がいたら、こうやってやってください

い。

「これは私の人生、あなたのじゃない」と。

もし誰かに「そんな事はありえない（あつてはならない）」と言われたら？

こう言い返せばいい。

「人にさんざん「ありえない」事たくさんしといて、それはないんじゃない？都合が良すぎるわ！理解不能よ」と。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらつた機会をもらつた、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

続ける事が肝心」

難しいかな…

相手を「泣かす」ぐらいの覚悟がいるかもしれない…。

仮にも生活を共にしていたなら、相手が泣いて崩れてしまうようなポイント、少なからず知っていそうに思う。

相手の大事にしているコレクションをぶち壊す奥さんの話などは、夫婦喧嘩の話ではよく聞く。

おそらく、それ以上の何かがあるのかもしれないけど。

“彼ら”の理屈では、絶対に理解を示して折れるという事はない。心情的に折れる事はあっても、数日もすると元に戻るし、あるいは戻らなくても、態度を保留するのみでそれ以上はない。

“彼ら”が何かするときは、あくまで、彼らの都合がその方が良いと判断した時のみだ。

だから、こういい続けても、もしかしたらいいのかもしれない。「早く新しい人生をさがして、私と係わり合いの無いやつを」と。キツイ一言だけど、中途半端な態度はよくない。

僕も君にキツイ事を書きます。君の欠点の1つは態度を中途半端にすることだ。

なにか譲れない“大切なもの”があるなら、毅然とした態度が、心を動かすのだと思う。

なんにせよ、行動をおこす事が重要なキーワードだと思う。

焦らずに、小さな事を、継続して行う事が、重要です。

短期決戦を焦ってしまうと、こちらが疲れてしまう。

長期戦では君が優位です、時間が経てば経つほど、焦るのは向こう側です。

ちよつとだけ勇気を振り絞った行動を休みなく繰り返す事は、効果的だと思う。

昨日、こんなニュースを見た。

ある村だったかな？小さな村か町の話。

そこも“被災地”なんだけど、小さな町なゆえに誰も報道しに来ない。

故に義援金も忘れられがちだし、復興支援もほとんどない。

その町の高校生がこう思ったらしい。

黙っていても誰も答えてくれない。自ら発信しないと！と。

その高校生たちは新聞部だった。

インターネットに自分たち新聞部の取材した地元の被災の様子や、復興の様子をのせたそうだ。

TVで取材されるくらいだから、きつと反響があったのだろう…

自ら“発信”しないと、誰も答えてくれないという事実は、確かにあるようです。

上手くいかなくてもいい、不器用でもいい。

僕ら2人は自ら発信するような事はにがてだった…、けど、君が頑張れるなら、僕もまた苦手でも頑張り続けられる。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧みな罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

がんばれ！

.....

「6月18日（土）」「君の出来る範囲でいい。

無理をせず、自分のペースを守って、ペースを作って、戦ってほしい。」

Fさんへ。

君が今も戦っているという前提で書きます。

（もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら。“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にする。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。）

もしだけど...

誰かに“プライド”について言われたら？

こう言えばいい。

「歳を重ねて、曲げられないプライドもいくつがあるんでしょう？でもそれが理由で私が何で犠牲にならなきゃいけないの？そんなに私の人生って軽いものなの？どうなの？説明してよ！卑怯者！」と、このくらいは言っても差し支えないかもしれない。

たとえ相手がゴリラのような怖い男でも、打たれ弱い部分は必ずある。

男はみなロマンチストだ！ロマンを打ち砕かれて、耐えられる男は少ない。

なにか、そういう柔らかい部分が、どんなにこわもての男でも必ずある。

同じ人間。かならずあります。

むずかしい事がむりなら、簡単な事でも効果があります。

たとえば、背中に毎回シールを黙って張る…とか。

毎回、トイレに言ったか聞く…というのも効くと思う。

1回、1回はどーという事もないけど、回を重ねるほどに相手はイライラすると思う。

軽くイラツとくるか？こないか？という事を繰り返して毎回やるのは意外と効果あると思う。

ポイントは相手に「またか！」と思わせることだ。

仮に怒っても、周囲からみたら「なんでそんな事でこの男は怒っているんだ？神経質なやつだ」となる。（そういうシチュエーションでも周囲の目のある場所で会話したほうがいい、密室では意味がない。喫茶店とか、会社とか、人の目のある場所出なければ、会話をしてはいけません。もし、自宅に行くからその時話そうといわれても「彼方が何をするか怖いから、ここで話をしましょう！」と

大声で周囲に聞こえるように言うのがいい。もめている相手を自宅に呼びたくないというのは、世間一般常識です。(

これは可能性の1つを書いています。

現在の君の状況をあらゆる可能性を考えて書いています。

何が役に立つかわからないので。

真正のサイコパスは生理的に人の不幸を必要とする。

もし、君の周りに「あいつがのうのと生きていることが許せな

い

…と言う人間がいたら？こう言ってあげてください。

「いかにもサイコパスっぽいセリフね」と。

数の力で他人から心を奪えると本気で思っているサイコパスがいる。

そんな連中にまけないで！応援しています。

君の出来る範囲でいい。

無理をせず、自分のペースを守って、ペースを作って、戦ってほしい。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしい事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けしないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

最近は仕事に忙しい、正規の仕事以外にも、いろいろやらねばいけない仕事があり、大変です。

そんな中、よく来る彼らを見ると、こう感じる。

「お前ら暇だな、少しは世の中に貢献しろ」と。

たぶん、“彼ら”の理屈では、世の中に貢献しているのは自分たちであり、そうでないのは僕…、という完全な勘違いをしているのだろう。

何が正しくて、何が間違っているのか…。

君の周りにも、いろいろ威圧的行動をするやつらがいるかもしれない。

そんな時、こう思っしてほしい。君は1人ではない、と。

感じた事や思ったことを共有できる信頼する相手。

そういう考えって物を大切にするよりも重要だと思う。

真正のサイコパスは生理的に人の不幸を必要とする。

もし、君の周りに「あいつがのうのうと生きていることが許せな

い

…と言う人間がいたら？こう言ってあげてください。

「いかにもサイコパスっぽいセリフね」と。

…もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にす。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

（公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ）

（さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手をもっとも嫌がることでもある）

（証拠などがあると、なおさら効果は増す）

（でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う）

チャンスを生かすというのは実は相当に難しい…

でも、2度とそんな目に遭いたくないと思うなら、前を向いていいとおもう。

人の心を挫いてせせら笑う連中に負けないで！

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう

う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

がんばれ！

の姿を暴露するというのは、相手がもつとも嫌がることでもある（証拠などがあると、なおさら効果は増す）
（でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う）

東京から地元にもどって最初に感じた事は、やたらと散歩しているお年寄りに会うという事だ。

…でも最近は見ない。いぜんはどんな時でも見たのに。
やはり、そういう事なのかな？

こないだ残業で定時よりはるかに遅くなった。
もし、仮に追跡する者がいるなら？さぞかし予定の狂う自体だろうと推測した。

“彼ら”の特徴の1つに、予測不能の事態が起こると、派手に動くところがある。

その日、遅くなり、仕事が終わりと終わり、さあ帰ろうと思っていた。駐車場に堂々と不法駐車しているバンがいた。

エンジンをかけたままで、中で車載TVをみている。ハザードをつけて駐車場中央に陣取って。

最初は文句でも言おうと思った。

けど、疲れていたのでめんどくさかった。必要以上に奇人変人の相手をするのは実に疲れる。

でも何もしないのもシヤクだし（仮に彼らでないにしろ、私有地に勝手に陣取ってるマナーの悪い車なのだ）

多少胡散臭そうな目線をおくってから、自分の車に乗って、ハイビームを軽く車内に当ててから帰宅した。

車のライトで威嚇するのも、“彼ら”のお馴染みの方法だ。

咎められても「すいません、スイッチ操作間違えました…、というか彼方ここ私有地ですよ、出て行ってください」といえば済む問

題だ。

そもそも咎められる行為をしている相手には、多少こういう方法をとっても大丈夫だと思う。

前にも書いた。この戦いはルールのルールを破ったものの負けだと。

この程度の牽制は社会常識の範囲内だ。

もし今も戦っているなら、焦らず、じっくり、でも手を休めずに行くのがいいと思う。

相手を「泣かす」ぐらいの覚悟があるかもしれない…。

仮にも生活を共にしていたなら、相手が泣いて崩れてしまうようなポイント、少なからず知っていそうに思う。

相手の大事にしているコレクションをぶち壊す奥さんの話などは、夫婦喧嘩の話ではよく聞く。

おそらく、それ以上の何かがいるのかもしれないけど。

ともかく、行動をおこす事が重要なキーワードだと思う。

焦らずに、小さな事を、継続して行う事が、重要です。

短期決戦を焦ってしまうと、こちらが疲れてしまう。

長期戦では君が優位です、時間が経てば経つほど、焦るのは向こう側です。

真正のサイコパスは生理的に人の不幸を必要とする。

もし、君の周りに「あいつがのうのうと生きていることが許せない」

…と言う人間がいたら？こう言ってあげてください。

「いかにもサイコパスっぽいセリフね」と。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです。

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

物事は単純ではない、なにかしらバイアスがあり、それらが絡み合い“何か”を引き起こしている。

単純な真理1つで救われるほど、単純ではない。

まして、意味も解らず教えを妄信すれば、世界が救われるなど、ありえない事です。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違っていると、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならなないと、わからないはずなのです。

それが証拠に、彼らは彼ら自身の行いで、ドンドン日本を荒廃させている。

「いいわけ」と「ごまかし」の果てにある「悪意の集約」が何を引き起こすのか？

冷静に考えれば、わかることです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。
君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援して
います。

君は自分で思っている以上に強い人です。

小さかった君は耐えた。頑張れば救われると信じようと努力した。
どんなに疑問や悩みを抱えようと、誰も受け入れてくれない、自
分が悪いんだと思ひ込む事しか、解決できなかつた…
そうなのだろうか？

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定
するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧みな罠により、そういう行為をさせられて
いただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさな
いで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いていま
す。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかつた…

そういう事で全て矛盾しなくなると思ふのですがどうなのでしょう。
う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらつ機会をもらつ
た、

それで何もおかしな事はないと思ふけどどうなのだろう？

「6月21日（火）」「まだ頑張る気？私の決意は変わらないわ。と言っても大丈夫だと思う。」

君は自虐的なところがある。

与えられた条件内で、自分なりに楽しみを見出そうと努力しがちだ。

そうした自虐的ながらも前向きな性格が大好きです。
僕にも似た様などころがある…、どうなか、君はどう思う？

「私の選択が、お互い、楽になる唯一の方法よ。」
と、相手に言うだけの理由と権利が君にある。

相手に伝えるのが難しいと感じたら、行動で示せばいい。

…もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にす。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

（公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ）

（さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手もつとも嫌がることもある）

（証拠などがあると、なおさら効果は増す）

（でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う）

上手くいかなくとも、困難でも、理由があるなら大丈夫です。君が頑張れるなら、僕も頑張れる。君は自分が思っている以上に強い女性です。

もし、相手に言いくるめられそうになったら、こつ反論すればいい。

「どういう意味よ!」

「納得させて!」

「本音を言つて!」と。

「私の選択が、お互い、楽になる唯一の方法だと、彼方も解っているはず…。何がそんなに恐ろしいの? 私は怖くない。彼方と違って」

と、このくらいハッキリ言つてもいいと思う。

「まだ頑張る気? 私の決意は変わらないわ。」

とも言つても大丈夫だと思う。

世の中にはハッキリと言わないといけないときがある。

これ以上、他人のために生きる必要はない。

君は君らしく生きていいんです。

頑張つて! 負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい! 負けるな!

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けしないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

でも「普通 of 感覚」の持ち主ならば、この話を聞いて「本当ならひどい」とか「ありえない」とか思うはずだ。

“彼ら”は個人を犠牲にして、組織の保全を図るのだろうか？もしそうなら、普通 of 感覚ならば、それはひどい事だ、ありえない事だ！と思うはずだ。

思わないのは、カルトに疑問を持つことができないほどに洗脳されているか、扇動されているか、のどちらかだ。

世の中そういうものだ、と言う人がいたら？

先ほどの被爆基準値による、国の責任のがれの話をしてあげてください。

この話、信じる信じないは別にして、本当ならどう思うの？と聞けばいい。

「本当なはずないだろ」

という人には、こう言ってあげてください。

「あまりに酷すぎる話だから、仮の話ですら信じる気にならないのでしょ？現実から目をそらす人に私に意見する権利はないわ！」と。

人はほどよく現実から目をそらす事が出来る。

だからこそやってゆける部分もあるけど。

目をそらしすぎてはいけない。

僕は生きている。死んではいません。

彼らの現実逃避のために、存在を否定されるいわれはない。

それは、君もまた同様だと思う。

現実から目をそらし続ける人間に負けないで！

君は被害者なのだから、堂々としていればいいんです。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言葉のよことだまうに…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しはいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいけません。

なぜなら？その答えは君の心にあるのかもしれない。

…もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にす。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

（公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ）

（さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段

の姿を暴露するというのは、相手がもつとも嫌がることでもある（証拠などがあると、なおさら効果は増す）
（でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う）

過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。

淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違はなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。僕は脱出をとにかく君に勧めます。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。

その中にある限り、永久に答えは出せないから。

頑張つて！負けないでほしい。

真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無いと思っていた。

こんなにもしてもらっていいのだろうか？といつも思った。

君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。

君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるといふ行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがす

る。

君は、あのときの事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっているのだろう。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。

世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧みな罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そついう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらつ機会をもらつた、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「サンクコスト埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃつたとしても、

誰も責任取つてはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

眞実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

第44話 心に誠実でありつづけさえすれば3（未来へと続く話30）（後書き

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第45話 不器用ながらも、真剣さを伝えたい（未来へと続く話31）（前書き

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金の興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第45話 不器用ながらも、真剣さを伝えたい（未来へと続く話31）

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

「6月23日（木）」 「不器用ながらも、真剣さを伝えたい。」

そういう「感覚」は、君の好むやり方のように思う」

Fさんへ。

今日も君が戦っているという前提で書きます。

もし外れていたとしても、ああ、心配してくれているんだ、と思ってくれると嬉しいです。

「真剣」というのは重要かもしれない。

仕事をしていて思う。真剣さというのは、相手に伝わる。

この仕事をしていて、利用者の方々には、こちらがどのくらい真剣にやっているか？というのは伝わるものらしい。

どんなに感覚の違う相手にも、真剣さというのは、伝わりと感ずる。

もちろん、相手の真剣さを笑う者や、蔑む者も事実いる。

しかし、そうでない人々もたくさんいて、世の中はなっているように思う。

真剣に、時間をかける事は、けっして間違っではない。

…それに、こうも思う。

不器用ながらも、真剣さを伝えたい。

そういう「感覚」は、君の好むやり方のように思う。
どうかな…、外したかな…、いつか、どう感じるのか？直接聞きたい。

震えることもあるだろう、恐れる事もあるだろう。

でも、君が頑張り続けられるなら、僕もまたそうです。

いつか未来の落ち着ける日々を信じて。

…もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にす。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

(公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ)

(さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手がもつとも嫌がることでもある)

(証拠などがあると、なおさら効果は増す)

(でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う)

そちらの世界では現実世界で自分ってかつこ悪いなと感じている人が、その崩れたプライドを回復させる世界が“彼ら”的世界ではないのだろうか？

その世界では、世界のルールは自分たちを中心に回っており、信心(活動やお布施)しだいで、幸せな家庭やかわいいお嫁さんがもらえたり。

現実の世界では叶わない夢を実現する世界。
それが“彼ら”的世界に見える。

部外者からみればエゴそのもののエゴイスト集団にしか見えないけど…。

そして、やさしい人達はその踏み台にされている。

しかも多くのそうした人達に自覚が無い。

催眠と暗示が効果的に使われているからだ。

そして疑問を感じる人間には、恐怖の制裁がまっている。

僕と君が経験したあの日々のような…。

…落ち着いて、ゆっくり考えて、自分の答えを求めてほしい。

そう、君に伝えます。

人見知りや、他人を否定する。

それは悪い事ではない、個性の1つだ。

しかし“彼ら”の上層部はそうした人の「弱い」心を増長させ、サイコパスに近づくよう心を誘導する。

人々の心から「寛容と受容」が失われた時、どんな世界が待っているのか？

そんな世界が理想の世界ならば、最悪だと感じる心は、まだ失われていないと思う。

君はどう感じますか？

肝心なのは、君が、どう感じるかだ。

誰かがどう思うかではない。

難しいけど、頑張れば、道は見えくると、信じます。

迷った時は、自分の中の譲れない“なにか”があるかどうかを問うてほしい。

頑張つて！負けないうでほしい。
たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃっ

たとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

眞実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

がんばれ！

.....

「6月24日（金）」 「自分に非はないと思っているの？」と言われ
たら？」

Fさんへ。

自分に非はないと思っているの？

と言われたら？

…というか絶対言われていると思っけど。

そういう時はこういえばいいと思う。

「確かに私にも問題がある、でも、それが理由で私の人格全てが否定されるのはおかしいでしょ？私が言いたい事はそういう事なの理解できない？」と。

違和感を感じる…、などと言う人もいるかもしれない。

確かに最初は違和感を感じるだろう。

でも、違和感は慣れれば感じなくなる。

いつまで経ってもなれないというのは、単に好き嫌いの問題だ。

結婚問題においては、好き嫌いとはとても重要な問題。

だから、違和感を感じる。と非難されたら、こう言い返せばいい。

「実は私も同意見よ、わたしも違和感を感じているの」と。

事実なのだから言ってもいい。そしてこう続けるのがいい。

「考えが合わないという共通認識が出来たわね」と。

相手は君の考えを変えさせようと、あらゆる手を打って来る。

考えが違うのかどうなのか？という所をあいまいにしたままだといつの間にか丸め込まれる可能性もなくはない。あいまいにせず、「考えが合わない」と明白に主張する事も重要に思う。

真剣に毅然とした態度を続けないと、相手はいつまでも、君を言いくるめられると思ひ込んでしまいかねない…、過去にしつこく君を叱る人間がたくさんいたかもしれない。今度こそ丸め込まれないようにしないといけない。

新手が次々に来るかもしれない。

でも君が頑張り続けられるなら、僕もまたそうです。

自分自身の非は認識している。

でもそれがあるだけで、自分の全人格が否定されるものではない。そう、自分自身に言い聞かせてほしい。

負けないで！

“禁止”してはいけないことを、“禁止”してしまったのが「彼ら」の世界」だ。

そんな世界、息苦しくて、おかしくて、理不尽だと思う。

我慢強さをりようされ、どこかの誰かの欲望を満たす奴隷と化する世界？

諦めは奴隷化の始まりです。

境遇は変らなくても、精神まで隷属させる必要はない。

心を持つことまでその世界は“禁止”されているのだろうか？
とても心配です。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。
勇気を君に。

がんばれ！

僕が聞いた話ではキリストが生まれたのも、紀元元年から3世紀ほど昔とか、いろいろ説があると聞く。

自分たちの信仰の根幹に関わる事でも、考古学の成果に基づいて正そうとする西欧世界の姿勢は素敵だと思う。

かつてのキリスト教では、そんなことしたら、教えが崩壊してしまおうと考えただろう。

でもそんな事はなく、宗教改革を乗り越え、近代宗教として今日ある。

自ら変る心を持っているのと、もっていないのでは、違うようだ。

どんなに不器用でも、どんなに非力でも、変ろうとする心さえあれば、ないよりも遙かに「前」に進める。

妥協と怠惰にいそしむ空気にまどわされないで！

長年信じてきた常識が全部間違っているとやられると、確かに「なんなの!？」と思う。

これは人間としての質が問われているのです。そう周りの人に伝えてください。

たぶん…いろいろあるのだと思う。

手に負えない状況なのかもしれない。

それでも、やけにならず、前を向いてほしい。

自分自身に誠実でありつづけさえすれば、いいと思う。

自分を偽らず、誠実に。

どんなに理解されなくとも、活路はそこにある。

そう信じていいと思う。

自然に、自分であることが大切です。

真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無いと思っていた。

こんなにもしてもらっているのだろうか？といつも思った。

君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。

君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるといふ行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あの子の事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっているのだろうか。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。

世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

クリスマスは君にとっても思いいれのある日だと思つて、いつか共に祝える日を信じて。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思つのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらつ機会をもらつた、

それで何もおかしな事はないと思つけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

いものだ。

にも関わらず、“彼ら”は「それ」を恥ともなんとも思わず、むしろ、やって当然と考えるのだろうか？と。

君の真剣な訴えを退ける役回りの人物に対しては、賞賛の嵐なのだろうか？と。

実際のところはわからない。

しかし、閉ざされた世界のいびつな世界観は、時としておかしな事を平気とする空気をかもし出す。

最近こんな話を読んだ。

公務員にストライキ権はない。

公務員がストライキしたら社会が成り立たないからだ。

（警察がストに入ったら犯罪し放題になるかもしれないからだ）でもそれでは公務員がかわいそう…、という理由で作られたのが「人事院」という組織だ。

人事院はスト権のない公務員の待遇が、世間並みのものであるように公正に取り計らう組織だ。

しかし、この組織、ちつとも“公正”ではない。

なぜなら、官僚が運営しているからだ。

官僚が官僚の処遇を取り計らうわけで、“公正”どころか“優遇”しているくらいだ。

公務員の給料が民間より高い理由の1つです。

（これが公務員の人経費がいつまでたっても削減できない理由となり、国家財政に影響もしています）

この人事院改革は、福田政権時代に持ち上がったらしい。

物凄い抵抗にあったが、なんとか人事院の権利を内閣府に移す法

案が成立したようだ。

しかし、麻生政権時代にも物凄い抵抗にあい、法案のまま、終わってしまった。

この時、人事院の官僚優遇政策が一部マスコミに露呈もされたが、あまり盛り上がらなかったらしい。

本の著者はこんな感想を述べている。

人事院のトップには申し訳ない事した、と。自分（＝著者）が法案を出した結果、彼を（人事院のトップを）悪者にしてしまった、申し訳ない、と。

ところが現実はずつとくの逆だった。

官僚の既得権を守り抜いた英雄として、彼は褒め称えられているという。

官僚の誉れほまれと霞ヶ関で賞賛ほまれされているというのだ。

世間の感覚では、人事院の制度は、国民の苦境を無視した官僚の恥知らずな制度であり、

そんなものを守るはめになった人事院トップは、マスコミからも叩かれたらうし、迷惑かけたな、と罪悪感を持っていたらしい。

…そしたらとんでもない。

霞ヶ関の感覚では、“それ”は恥でもなんでもなく、

官僚が優遇されるのは、平和憲法と同じくらい、犯してはいけな
い守られて当然の権利と知っているらしい。

普通感覚では君が正しい。

なのに周囲はそれを認めず、君が悪い事にされてしまう？
でも、もう1人ではありません。

大丈夫、君ならきつとうまくやりとげる。そう、信じています。

“彼ら”は自分たちの犯罪組織が、平和憲法と同じくらい、犯してはいけない守られて当然の集団と思っっているらしい。
「そう思いたければそう思っればいいんじゃない？でも私をもうこれ以上巻き込まないで！」
と言ってもいいと思う。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです、手が出せば届くようなものではない強大なダイナミズムで動いている。日本とて例外ではない。

せまい世界のなかだけで完結しないという事だけは、間違いようのない事実です。

けっして単純ではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「自分たちだけが一方的に正しいと思っているのは恥ずかしくないので！？」と。

「理解を示す心の広さはどこへやったの？」と。

「真実に目を向ける勇氣はどこへいったの！？」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くなるないと、わからないはずなのです。

わかるうとしないのは、個人個人の“質”の問題です。目の前しか見えない。

そうした自分都合の連中に負けないで！

“厄介な人”多いと思うけど！負けないで欲しい。

君が戦い続けられるなら、僕も戦い続けられます。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。“質”が問われているのです。そう伝えてください。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

猜疑心とは相手の行為などをうたがったりねたんだりする気持ちの事だ。

“彼ら”の行動原理の根幹にはこういった感情があるのではないだろうか？

こういった猜疑心を自分だけでは押さえ込むことが出来ない人々の集団、あまり想像したくないが、そんなイメージも浮かばなくもない。実際の現状を知る君は、どう思うのだろうか？これが言いがかりであり、もう少しまともな組織である事を、祈らざるがいられません。

Fさんはそういった感情が嫌いだと感じた。

そんな事を僕が思っていると、君に、今、伝えます。

僕の夢は、これが君にちゃんと伝わる事です。

いつか君の「じゃあ、夢が叶ったね」というあの懐かしい言葉を直接聴ける日を夢見ます。

“彼ら”の世界観は、まるで、人々が盗み奪う以外に生きる方法がない時代の世界観のようだ。

あいかかわらず、変な理屈をふりかざす人には、こういえばいい。

「いつの時代の常識よ！」と。

悲惨な時代のルールを世の本質と思うのは、猜疑心のなせる業だと、教えてあげてください。

「本質的な違いがあるからこそ、私は、決断したの」

そう、繰り返し主張すれば、そういう空気を作れると思う。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられて

いただけなのだから…。
そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、
それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。
三界に家を建てるには、君が必要です。
間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！
老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いない。他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

がんばれ！

.....

「6月28日(火)」 「彼方が人々に与えた「衝撃」は尋常じゃないものだわ、そろそろ皆に謝罪してもいいんじゃない？」 と言う権利がFさんには、あるように思う。」

Fさんへ。

今も君が戦っているという前提で書きます。

…彼らの多くは「まとも」だ。それは君も知るところだろう。

僕も多くのまともな彼らに東京で会った。

こつこつも思う。

君が目に見える行動で、自分の意思を表明すれば、多くの「まとも」な人の意を得る事もできるかもしれない。

君は絶対的に正しいのだから、堂々としていればいいのです。

偉い幹部といえども、その権威を支えているのは多くの一般のメンバーの総意だ。

多くの「まとも」な人は、酷い事は酷いと普通に考える。幹部のサイコパス的発想では、ウソで事実を捻じ曲げて、「まとも」な人の意見を封じる方法で、対応しているのだろう。

とにかく、行動で自分の意を表現するのが、効果的だと、そう考えます。

難しいのはわかる。

君の心が砕けない範囲で、真剣さをもって繰り返せばいいと思う。そして、“彼ら”の酷い姿が、理想のイメージといかにかげ離れている事を、直視させる事が、君にはできる。行動をおこす事によつてだ。

「私の真剣さがどうして伝わらないの！？そこが、そもそもの理由よ」と言ってもいいと思う。

相手は君の心が折れるのを待っている。

「彼方が人々に与えた「衝撃」は尋常じゃないものだわ、そろそろ皆に謝罪してもいいんじゃない?」

と言う権利がFさんには、あるように思う。

仮にここまでできつく言えなくても、これに類する言葉は発していると思います。

君の勇気と決意を信じて。

折れないように、ペースを作って、ペースを守って、着実に「前進」すればいいとおもつ。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらつ機会をもらつた、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

傲慢さに負けないで！

がんばれ！

.....

「6月29日（水）」「いじめなんて、なまやさしい言葉で、片付ける気なの？そんなものじゃないわ」

と言う権利を君はもっている。」

Fさん、君が受けた事を「いじめ」という言葉で片付けられるのは、間違いだと思う。

「いじめなんて、なまやさしい言葉で、片付ける気なの？そんなものじゃないわ」

と言う権利を君はもっている。

世の中には言わないと通じないことが、確かにある。

そして、言わないとかき消されてしまう想いも、事実ある。

“彼ら”は、この問題はたいしたものではない、と人々に思い込ませようと必死だと思う。

その過程で、僕や君の人間としての価値が低いかのごとくイメージの構築を画策するだろう。

“彼ら”の理屈では、たいした事のない人間は、粗末に扱ってかまわないという概念があるからだ。

こういうバイアスに真つ向から戦うのは得策ではない。

こういう圧力を受けたら？こう言い返せばいい。

「彼方が人々に与えた「衝撃」は尋常じゃないものだわ、私はともかく、皆に失礼よ！そろそろ謝罪しないとイケないんじゃない？」と。

言い続けると、そういう空気が作れると思う。

“彼ら”の理屈では、君や僕に謝罪するという概念は永久にでてこない。

でも仲間に迷惑をかけたから謝る必要があるというルールはあるように思う。

もしも「どうやって謝罪しろというんだ！1人1人に会って頭を下げると？」と言われたら？

「「反省」の意思表示として、別れる事に同意すれば、誰もがあなたの謝意を理解するわ」

と言い返せばいい。

「それとこれは話が別だ！」

といわれたら？

「どう別なのか説明して」
と言えばいい。

組織のプライドに泥を塗ったのだから、それを正すには、自らの身を削る謝罪しかありえない。
そう主張する事もできません。

「あなた、自分だけは犠牲を払いたくないっていうの？どこまで自分に甘い人なの！？」
と言ってもいいと思う。

Fさん、君が受けた事を「いじめ」という言葉で片付けられるのは、間違いだと思う。

「いじめなんて、なまやさしい言葉で、片付ける気なの？そんなものじゃないわ」

と言う権利を君はもっている。

世の中には言わないと通じないことが、確かにある。

そして、言わないとかき消されてしまう想いも、事実ある。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから……。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いていま

す。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そついう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしい事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

Fさんは、猜疑心をもつ人というのを好きではなかった様に思う。
Fさんが頑張れるなら、僕もまた頑張れます。
いつかの未来を信じて。

いたずらに猜疑心に頼りきるサイコパスに負けないで！

丁寧かつ妥協を許さない毅然きぜんとした態度が肝心です。

“履き違えた大人の事情”に負けないで欲しい。

「彼方が人々に与えた「衝撃」は尋常じゃないものだわ、そろそろ皆に謝罪してもいいんじゃない？」

と言う権利がFさんには、あると思う。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう

う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

君の勇気と決意を信じて。

がんばれ！

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔7月1日（金）〕「謝る時、人は最小限の謝罪で済まそうとする
…。

もし相手がそんな謝罪で済まそうとしたら？」

Fさんへ。

仕事をしていて知ったけど、ボランティアによる徘徊老人搜索ネットワークなるものがある。

市内にボランティアのチームがいくつか存在し、搜索対象が出ると、いつせいにメーリングリストへ発信。時間のあるボランティアが搜索し、見つけたら通報する仕組みだ。

…なんだか、なにかに、ものすごく似ていると感じてしまうのは、きつと錯覚なのだろう。

そんな事思った。

その資料には各チームの管轄地域と組織構成もある。
各チームはボランティアゆえ、自然発生したものだ。
自然発生するときは、地形が大きく関わる。

以前この小説で書いた「地政学」が関わるからだ。

もし、彼らの監視チームも、この地域の地政学の影響をつけて作られていたとしたら？

おそらく、彼らの監視チームの数と配置も、この資料と似たものになるのでは…？などと妄想した。

東京で感じたあの猛攻撃は各地に散らばるチームから選抜隊が組織され、それらが一齐に来たのだろうか？

そう感じさせる規模だった。関東一帯のチーム全てから選抜隊がくれば、あの位にはなりかねない…。

最近、会社に匿名の通報があったそうだ。

会社内の問題点を訴えたものだ。

つい、“彼ら”ならやりかねない、と考えてしまう。

“彼ら”は暴行事件をおこして（あるいはでっち上げて？）なにしろ被害者以外、目撃者がいない）、その犯人を僕にしようと画策した。

警察に追われる恐怖は想像を超えていた。でもあれを経験してから、警察官も怖くなくなっている。

またなにかくるのだろうか？

なにしろサイコパスはどこまでも非常識だ。

恥を恥とも感じない行動を平気でする。

妥協と怠惰にいそしむ空気にまどわされなさい！

長年信じてきた常識が全部間違っていると言われると、

確かに「なんなの！？」と思う。

これは人間としての質が問われているのです。

そう周りの人に伝えてください。

“彼ら”の恥知らずな行為は多くのメンバーの失望と苛立ちを招

くだろう。

そこに事実の衝撃として伝えられ、多くの人に迷惑をかけるはずだ。

「彼方が人々に与えた「衝撃」は尋常じゃないものだわ、皆への謝罪を無視していいはずないでしょ」

と言っでもいいと思う。

謝る時、人は最小限の謝罪で済まそうとする…。

もし相手がそんな謝罪で済まそうとしたら？

「とりあえず“ハンコ”ついてくれる？そしたら皆彼方の反省が本物と理解するわ、謝罪には行動が伴わないと意味がないわ、口ではどうとでも言えるもの」

と、凄む^{すじ}権利を君は持っている。大丈夫です、お釈迦様とてきつとそう言ってくれます。がんばれ！

「心理的圧迫」と「利益誘導」をたくみに織り交せて、巧妙に「心を」誘導するのが“彼ら”の手口だ。
気をつけて！

徘徊老人を搜索する仕組みはいいものだ、ないと、困る事がたくさんある。

でもこれを悪用すると、集団監視システムになってしまう。

似たような仕組みなのだろうか？

みなボランティア感覚なのだろうか？

何が正しいのか、判断する意欲を失ってしまったのだろうか？

それがお釈迦様の望む世界とはとても思えない。

頑張っ！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思っけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

眞実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。勇気を君に。

がんばれ！

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
「7月2日（土）」「もしかしたら、現在の「ばれなければ何をしてもいい」という文化も、過去の“彼ら”の偉業の1つなのだろうか？」

ついこないだ見たTVでの話。

江戸時代、動物を殺してはいけない「生類憐みの令」が出され、社会が大混乱した。

…でも結果として、生き物を、強いては人の命を大切にす文化がバイアスとして発生したらしく、行き倒れの人を助ける文化や、産婆さんだけは大名行列を横切ってもいい…なんて話もあった。

話は変って、アレクサンドロス大王の大遠征の時代。

ギリシャ出身のアレクサンドロス大王のギリシャ文化と、征服地ペルシャ地域の文化が入り混じり、ヘレニズム文化が出来たとある。このごちゃ混ぜ文化の感覚はその後も、同地に作られたオスマントルコに引き継がれ、他者に寛容なごちゃ混ぜ文化を容認する風潮が出来たようにも、個人的には感じる。

「生類憐みの令」や「アレクサンドロス大帝国」のように短期間で消滅した事象でも、その後のその地域の歴史に影響をあたえた事実はある。いいにしろ、悪いにしろ、だ。

…“彼ら”のやっている事は、多かれ少なかれ今後の日本文化に影響をあたえるだろう。もしかしたら、現在の「ばれなければ何をしてもいい」という文化も、過去の“彼ら”の偉業の1つなのだろうか？

この言いがかりに憤慨する“彼ら”がいることを、祈らざるをえません、その世界が、ばれなければ何をしてもいいと、本気で考える世界とは思いたくないからです。

Fさん、君はその答えを知っている。

いつか、これが言いがかりなのか？それともそうでないのか、聞ける日がくるのだろうか？

聞いた事は他にはしゃべらない事は、現在の僕を観察している人間から聞けば、解る事だと思っ。なにしろ、“彼ら”の事など微塵も口にしないし、気にするそぶりすらしない。

精神力は鍛えられています、それなりに。

勝つのは難しくとも、負けないようにする事は出来ると思っ。

君が頑張り続けられるなら、僕もまたそうです。

いつかの未来のために、奇跡と君に賭けます！

“彼ら”の恥知らずな行為は多くのメンバーの失望と苛立ちを招くだろう。

そこに事実の衝撃として伝えられ、多くの人に迷惑をかけるはずだ。

「彼方が人々に与えた「衝撃」は尋常じゃないものだわ、皆への謝罪を無視していいはずないでしょ」

と言ってもいいと思う。

謝る時、人は最小限の謝罪で済まそうとする…。

もし相手がそんな謝罪で済まそうとしたら？

「とりあえず“ハンコ”ついてくれる？そしたら皆彼方の反省が本物と理解するわ、謝罪には行動が伴わないと意味がないわ、口ではどうとでも言えるもの」

と、凄む権利を君は持っている。大丈夫です、お釈迦様とてきつとそう言ってくれます。

がんばれ！

たぶん…いろいろあるのだと思う。

手に負えない状況なのかもしれない。

それでも、やけにならず、前を向いてほしい。

自分自身に誠実でありつづけさえすれば、いいと思う。
自分を偽らず、誠実に。

どんなに理解されなくとも、活路はそこにある。
そう信じていいと思う。

自然に、自分でいることが大切です。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。
Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。
勇気を君に。

がんばれ！

.....
.....
.....

「7月3日（日）」「」「こういう」「そうなのかな？どつなのかな？」
という感覚、今なら君と共有できる。」

18年前、君も周囲の視線を意識していた、常に「あの人…」と気にしていて、僕が「ん？どうしたの」と聞くと、「ううん、なんでもない」と無理に笑顔を作っていた姿を思い返します。

昨日の事、自転車に乗っていると、前から原チャリ2人組の男がきた。まるで競争しているようにみえる。1人の男が叫ぶ「来たー！っ」、あれはそうなのかな？どうなのかな？君はどう感じる？もしかしたら「来た」ではなく「いた」といったのかな？

こういう「そうなのかな？どうなのかな？」という感覚、今なら君と共有できる。18年前は出来なくてごめん。君1人、戦わせてしまった…。今は違う。僕は気づきました。

今も君が戦っているという前提で書きます。

君にいつか伝えたい、直接に。

ここには書いていない思い出の中にも、君のいじらしさが判るものがいくつもある…。いつか、それを君に直接伝えたい。

多分だけど、メンバー全員が納得するストーリーを作り出す、上位者がいるのだろう。

今回のシナリオライターはどんなストーリーを構築して、僕と君を悪者にするのだろう…。

惑わされないでほしい。

“彼ら”はけっして諦めない。

だからといって屈する必要もない。

これ以上いいように人生をもてあそばれる理由はないからだ。

やさしさを保ちつつ、さりとて厳しい態度を維持し、毅然とした気持ちで真剣さを忘れずに、対応すべきだ。やけにならず、小さい事を繰り返し行う事が重要です。

…もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にす。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

(公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ)

(さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手がもつとも嫌がることでもある)

(証拠などがあると、なおさら効果は増す)

(でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う)

ただ、相手が奸物かんぶつ(=【奸物姦物】悪知恵にたけた人。腹黒い人)的素質に長けた人物な場合、簡単に避けられてしまう可能性もある。

それでも、この方法は、基本的に有効な手段だから、上手くいかなくても、何度でも工夫を重ねてやるのが、いい方法かもしれない。

もし、離婚を前提に交渉中なら？

毎回、離婚届を相手に渡すべきだ。

離婚届自体は、役所に行けばもらえるものだ。

何度も渡すには大量の離婚届があるかもしれない…。

でも、大量にもらえないという話はきいたことがない。

もらえなくとも、行政書士などに相談して、大量に入手する方法を模索すればいいし、最悪でも、毎日役所の窓口に行き、一枚づつもらうという方法もある。

繰り返す事は重要です。

君自身の声をどこかに表明するのも、一つの手です。
でも君は僕と違い、言葉にするのが苦手な感じの人だ。

君は行動で自分の意思を伝える。
だから、やるなら、何度でも「行動」するのが、いいのかもしれない。

「あなたが人々に与えた「衝撃」は尋常じゃないものだわ、皆みんなへの謝罪を無視していいはずないでしょ」

と言ってもいいと思う。

謝る時、人は最小限の謝罪で済まそうとする…。
もし相手がそんな謝罪で済まそうとしたら？

「とりあえず“ハンコ”ついてくれる？そしたら皆彼方の反省が本物と理解するわ、謝罪には行動が伴わないと意味がないわ、口ではどうとでも言えるもの」

と、凄すごむ権利を君は持っている。大丈夫です、お釈迦様とてきつとそう言ってくれます。がんばれ！

「心理的圧迫」と「利益誘導」をたくみに織り交せて、巧妙に「心を」誘導するのが“彼ら”の手口だ。気をつけて！どこかにかならず突破口があると信じて。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

いちいち相手にしていたら、神経が持たない。

そういう時は論点整理が一番有効だ。

何が論点であり、何がその論点の理由であり、結果どうという答えが出るかを考えるのだ。

相手が答えをはぐらかすなら？

紙の上に発言を書き上げて、レポートにまとめて矛盾点をつけばいい。繰り返し返せば相手を追い詰められる。

相手の発言を録音し、後で1人静かになったとき、発言内容をレポートにまとめればいいのだ、時間をかけてじっくりと。

そうして矛盾点をまとめ上げて、まとめて問いただせばいい。

なんども、なんどもやれば、あいては根をあげるかもしれない。

「そんな事言ったか？」といわれたら、録音を聞かせればいい。

その場で録音箇所をだすのはむずかしいけど、あとあと論音素材を編集して聞かせる手もある。(そうそう、録音はデジタルよりアナログの方が裁判になった時優位です。さらに、オリジナルの音源は保存して、編集にはコピーを使うのがいいです)

録音なんて…

と思うだろうか？

思うだろうな…、Fさんがメカに強いという記憶はない。

TVすらいらなやか言っていた記憶がある。

でも何が役に立つのか判らないので一応書きます。

これらの記述が、君のインスピレーションに何かしらのヒントを与える事を期待して。

ダーウィンの進化論は、強いものが生き残るのではなく、変化する

るものが生き残るとか、そうでないとか。ただ、柔軟な発想を閉じてしまうのは、自滅的なのかもしれない。

実際それを行うのは難しい。

でも、心がけるのと、そうでないのでは、また違うと思う。

20代で冤罪により、無実の罪で長期間捕まっていた人に取材すると、妙に前向きだという。

くよくよするよりも、これからの暮らしを前向きにするほうが大事と感じているらしい。

…なんだか、妙に判る気がするのは気のせいなのかな？

君はどう感じますか？いつか、そんな話をする日も来るのだろうか？

“彼ら”的行動とは、「熱気」にあてられて思わず興奮する集団恍惚状態が作り出すものだと思う。

これが、お祭りとかスポーツならまだいいが、

犯罪行為に集団恍惚するのは、間違っている。

…でも、恍惚状態にあると、理性的判断が出来なくなり、皆、別人に変わってしまい、犯罪も肯定する人間にさせられてしまう。

こういう状態を一般に「トランス状態」と呼び、暗示を「ものすごく」受け入れやすい状態、と理解しないといけません。

一度暗示に「かかる」と、なかなかとれない。

君のまわりを見回してほしい、事実、普段はいたって「普通」なのに、“彼ら”の悪意に関しては「正常な思考」が出来ない人、多いと思う。

それは、暗示にかかっているからだと思う。

もちろんこれは推測を書いているに過ぎない。

その世界がそこまで「本当に」酷かったら、そうとう病んでいる

事になる。

「病んだ人間を救う」のが本来の仏教であり、「病んだ人間を大量生産する」事はカルトの思考です。

そこは、どう屁理屈をこねても、覆せない、当たり前前の真実だと、「普通」の感覚の人間なら思うところですよ。

… Fさん、戦ってほしい。

君を責めたりはしない、そういう環境に問題があるだけだ。

… もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にす。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

(公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ)

(さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手がもつとも嫌がることでもある)

(証拠などがあると、なおさら効果は増す)

(でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う)

過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。

淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違はなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。僕は脱出をと

にかく君に勧めます。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。

その中にある限り、永久に答えは出せないから。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

おかしいのだろうか？

純粹な心を踏みにじってもいい文化など、間違っている。それは、わざわざ書くまでもない、当たり前的事なのです。

当時、自分にはFさんと親しくする資格が無いと思っていた。こんなにもしてもらっていいのだろうか？といつも思った。君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。

君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるという行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あの子の事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっているのだろうか。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

今、午後の仕事に向けて昼寝をしていた。

寝ていてふと蘇る記憶…。

そういえば、君は昔、腕枕をせがんだことがある。

急に思い出した。

自分の腕なんかでいいのかな？何がたのしいのだろうか？

と、思いつつ、言われるがままに腕を差し出した記憶がある。

それなりの時間が経ってから、君は言った。

「腕痛くない？」

僕は全然大丈夫と答えた。

実際大丈夫だった、ちつともしびれていなかった。

そんな記憶を急に思い出した。

この仕事をこの先も仮に続けたとして、もし、仮に君が帰って来る未来があるなら？仕事前の昼寝にすこし付き合ってくれたりするのだろうか？何もせず、ただ一緒にいるだけなんだけど、ものすごく幸せに感じる時間がある事を、僕と君は知っている。あの無限とも感じる時間を取り戻せる未来を信じて。

…もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にする。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書い

た。

この事自体は間違っていないと思う。

(公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ)

(さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手をもっとも嫌がることもある)

(証拠などがあると、なおさら効果は増す)

(でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う)

「彼方が人々に与えた「衝撃」は尋常じゃないものだけ、そろそろ皆に謝罪してもいいんじゃない?」

と言う権利がFさんには、あるように思う。

純粋な心を踏みにじってもいい文化など、間違っている。

それは、わざわざ書くまでもない、当たり前前の事なのです。

頑張つて! 負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから……。

そう強く、心に念じてほしい! 負けるな!

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで! 心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いていま

す。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そついう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしい事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

そうなのだろうか？

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

…もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にす。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

(公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ)

(さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手がもつとも嫌がることもある)

(証拠などがあると、なおさら効果は増す)

(でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う)

いつまでもそこにはいけません。

なぜなら？その答えは君の心にあるのかもしれない…

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられて

いただけなのだから…。
そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、
それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。
三界に家を建てるには、君が必要です。
「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！
老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

り出す。

だから、こう相手に言ってもいいとおもっ。

「たまには、一人で悩んで結論を出してみたら？」と。

具体的には？と質問されたら、こう言い返せばいい。

「ケータイの電源を1週間切って、誰にも会わず1人で結論を出してよ、ああ、でも無理よねそんなの、うん解ってる」

と言い返せばいい。

繰り返せば、相手には相当の圧力と思う。

（あいてに、自分1人で結論をだす決意を促す事が大事です。何度でも、何度でも、なんどもでも訴えればいい、そこが重要なポイントである事実には変りはないから。“彼ら”は集団での最終結論に従うよう小さい頃から洗脳されている、その洗脳を打ち破るには、逆暗示のように、自分の意思で決める事を促すしかない。人は基本的に自分の意思決定権を持っている。今は奪われたただけだ、促せば、自分の意思は戻ってくるものだ、僕は信じています。Fさん、できれば君にも信じてほしい）

節度を失った空気感をただす意識。

それが難しい事だと判るけれど、

自覚しているのと、無自覚なのとは、質がちがう。

自分が節度を逸脱しているのでは？と、まったく自覚していない人の行動は、いわゆる無自覚な悪意として、もっとも悪質なも

のになってしまう…。

正す勇氣は、人が生きる上で大切に尊い資質だ。

きつとお釈迦様でも、そういつてくれると思う。

「あなたに尊い資質を求めるのは無理なのね」
と言ってもいいと思う。

「あなたが人々に与えた「衝撃」は尋常じゃないものだわ、そろそろ皆に謝罪してもいいんじゃない？」

と言う権利がFさんには、あるように思う。

多くの人は組織の威信を背中にしょってる気持ちなのだろう…
でも、しょっているならばなおさら、正してしかりと思うのは、
おかしいのだろうか？

純粹な心は使命感の元だ。

そんな使命感を踏みにじってもいい文化など、間違っている。

それは、わざわざ書くまでもない、当たり前前の事なのです。

今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にす。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

(公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ)

(さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手がもつとも嫌がることでもある)
(証拠などがあると、なおさら効果は増す)

(でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う)

ただ、相手が奸物（かんぶつ）【奸物姦物】悪知恵にたけた人。腹黒い人。
（）的素質に長けた人物な場合、簡単に避けられてしまう可能性もある。

それでも、この方法は、基本的に有効な手段だから、上手くいかなくても、何度でも工夫を重ねてやるのが、いい方法かもしれない。
頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

国を救うためやつと権力の頂点にたったのに、
頂点にたった瞬間から、現実から切り離されたというのだ。

具体的には、視察に行っても、全てお膳立てされたものしか見ることができず、現実の姿を見れなくなるというのだ。

現実から切り離された権力者：

これは中国の毛沢東の事を指して言われている事です。

もし、相手が現実を見ない人なら？

「現実を見たくないなら、それでもいい。でも、私を巻き込まないで1人でやって」と言ってもいいと思う。

「彼方が人々に与えた「衝撃」は尋常じゃないものだわ、皆への謝罪を無視していいはずないでしょ？現実が耐えられない？私は大丈夫」

そう言ってもいいとおもう。

謝る時、人は最小限の謝罪で済まそうとする…。

もし相手がそんな謝罪で済まそうとしたら？

「とりあえず“ハンコ”ついてくれる？そしたら皆彼方の反省が本物と理解するわ、謝罪には行動が伴わないと意味がないわ、口ではどうとでも言えるもの」

と、凄む^{すじ}権利を君は持っている。大丈夫です、お釈迦様とてきつとそう言ってくれます。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられて

いただけなのだから…。
そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、
それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。
三界に家を建てるには、君が必要です。
「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！
老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いない。他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

がんばれ！

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

「7月9日（土）」「彼ら」に心の自由は最初からあるのだろうか？「私があるに心の自由を与えてあげる」と上から目線で凄むのも、交渉上ありだと思っ」

Fさんへ。

こんな事も思う。

たぶん、君の周りには、君が人の意見に振り回される人だ、とか言う人もいるだろう…。

でも実際にはそんな事はない。

君はいつも自分よりも他人の幸せを大切に考え、尽くす人だ。

故に、自分の事は後回しになってしまう。

その資質は本来、賞賛すべき素晴らしいもので、君のすばらしさの1つなのだ。

もし、周りに悪意をもち、君をどうにかしようとする人間がいなければ、そうなのはならないはずだ。

やさしさにつけ込んで、利用するやつらがいる。

本来の自分を取り戻せばいいんです。

ほんのちよつと、今まで使わなかったわがままを使うだけの事で、しかも使うだけの正当な理由があるのだから、何も問題はありませ
ん。

いまま変な車が来た。

この車はよく来る車だ。

深い緑色のカスタム塗装で、リアの荷台が観音開き、ナンバーは4数字がゾロ目だと思う。

あまりに不自然なエンジン音、今たまたま見たら、外に停車していた。駆け寄ってやろうかな？と思った矢先、発進する。その際、排気管からバックファイヤが見えた。

Fさんは車に詳しくないと思うから、バックファイヤと言ってもわからないかもしれないけど、あれは排気装置に問題がある事を示している、本来はあってはならないものなのだ。

なにしろ、本来エンジン内でしか起こってはいけないガソリンの爆発がエンジン外の排気管でおこっているからだ。

不完全燃焼を意味していて、非常にエコでない車を意味している。よほどの整備不良車か、もしくはわエンジン音を大きくして楽しみたいユーザーがわざと改造しているかのどちらかだ。

…でも、もう最近は暗示が解けてきたようで、気にならなくなってきた。当初、地元に戻ってきたときは、僕自身、相当に“彼ら”の暗示にかかっていたのだろう、ストレスだったのは事実だ。（その様子はこの小説内の記述で確認できる）

Fさんに明記します。

暗示はきついけど、自分で解く事は「可能」なのです。

“彼ら”は暗示で多くの人を支配する、けど、脱出は可能なのです。…もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

あいての暗示を「解いてやる」「くらいの意気込みが必要です。

「私があなたの心を解放してあげる、これはそのための「交渉」でもあるの。私も自由になれるし、あなたも自由になれる」
そう言っても差し支えないと思う。

「自由になった先、あなたが自分の意思で組織を選ぶなら止めはしない、けど、私は巻き込まないで」
と言ってもいいと思う。

「私はあなたに心の自由を与えてあげる」

と上から目線で凄むのも、交渉上ありだと思っ。

何か言われたらこう言い返せばいい。

「決定権は私にあるの」と。

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にす。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

(公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ)

(さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手がもつとも嫌がることでもある)

(証拠などがあると、なおさら効果は増す)

(でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う)

この方法は、基本的に有効な手段だから、上手くいかなくても、何度でも工夫を重ねてやるのが、いい方法かもしれない。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格を否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。勇気を君に。

がんばれ！

.....

「7月10日（日）」「僕は知っている。君の中に情熱や決意がたくさんある事を」

「ただの大人しい人間と勝手に思い込むのは、彼方の偏見よ」

と言ってもいいと思う。

一般の人から見たら、たぶん君は大人しい人、と見られるのだから……。

でも僕は知っている。君の中に情熱や決意がたくさんある事を。うまく表現できず、理解されないもどかしさをいつも感じていた事を。

そして、理解されないのは自分のせいかもしれないと感じていた事も。

…違うかな、外したかどうか、いつか、教えてほしい。そんな事思った。

もめごとを起こさない様に、ただただ耐え続ける…。

優しい君は結果としてそこに落ち着いてしまいがちだ。

それは決して悪い事ではない。むしろそういつやさしさは賞賛されるべき長所だ。

まわりに、そのやさしさを利用しようとする連中さえいなければ、なにも問題はなかった。

やさしさを利用されないためにも、理由があるなら、言い返してもいいんです。

世界の片隅に、自分の居場所があるなら、それ以上の贅沢は必要ない。

理由があるなら、もめても、いいと思う。

「ただの大人しい人間と勝手に思い込むのは、彼方の偏見よ」

と言ってもいいと思う。

生活のため、組織に背を向けられない人もいるだろう。

でもそんな人々を利用し、犯罪者やそれに類するものにしてしまっ、あるいは、心を奪い本来の精神を奪う行為は、どんなに理由を

並べようとも、お釈迦様に褒めてもらえるような行為とは、程遠いものだ。

「気が引ける、とすら思わないの?」

と言ってもいいと思う。

「あなたが人々に与えた「衝撃」は尋常じゃないものだわ、皆みんなへの謝罪を無視していいはずないでしょ」

とすら言ってもいいと思う。

そしてこうも思う。謝る時、人は最小限の謝罪で済まそうとする…。

もし相手がそんな謝罪で済まそうとしたら?

「とりあえず“ハンコ”ついてくれる?そしたら皆彼方の反省が本物と理解するわ、謝罪には行動が伴わないと意味がないわ、口ではどうとでも言えるもの」

と、凄すしむ権利を君は持っている。大丈夫です、お釈迦様とてきつとそう言ってくれます。がんばれ!

「心理的圧迫」と「利益誘導」をたくみに織り交せて、巧妙に「心を「誘導するのが“彼ら”の手口だ。気をつけて!」

頑張つて!負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

のだ。

お互いに欠けた情報を元に判断している。

つまり、「知らない」という事実だけで、口をつぐむ理由にはならない。なにしろお互い様なのだから。

もし、君の周りに「何もわかってないくせに！」的な事をいう人がいたら？こう言ってあげてください。

「解っていないのはあなたも同じ、いちど組織を離れて1人になってみたら判るわ！この組織がどれほどおかしな組織なのか」

知らないという意味では、“彼ら”は僕と君の事も知らなかったし、誤解してきたと思う。

少なくとも僕をうそつき呼ばわりしてきた。

組織を信じたいのはわかるが、うそを信じ込まされている人々がたくさんいるのは事実だし、

悪意を束ねるサイコパスは、そうした人々の心の隙間について犯罪者に仕立て上げる仕組みを構築、維持してきた。

自分たちが犯罪的カルト集団と知らない人々も多い。

「知らない」という意味では、僕よりも“彼ら”の多くのほうがよっぽど「知らない」のだ。

それが理由で僕や君や多くの被害者が糾弾される理由にはならない。

長年信じてきた常識が全部間違っていると言われると、確かに「なんなの!？」と思う。

これは人間としての質が問われているのです。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのようにどこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返しなさい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？

その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいきません。

なぜなら？その答えは君の心にあるのかもしれない…

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いていま

す。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしい事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

眞実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。
勇気を君に。

がんばれ！

.....

〔7月12日（火）〕「妥協して別れるのと、妥協して一生一緒にいるのでは、全然意味が違う。これはそういう問題なの。そんな事もわからないの？」と、言ってもいいと思う。「

「気持ちだけ謝ってもダメよ、行動で示さないと。とりあえずハ
ンコついでくれる」

と言ってもいいと思う。

人生はどこかで妥協を強いられる事はある。

君は妥協をいままで多く強いられてきた。

1度くらい相手に「人生の妥協」を強いてもいいと思う。

「大人なら、妥協も受け入れられるはずよ」

と凄んでもいいとおもう。

もし、お前こそ妥協しろ！と言われたら？

こう言い返せばいい。

「妥協して別れるのと、妥協して一生一緒にいるのでは、全然意味が違う。これはそういう問題なの。そんな事もわからないの？」

と、言ってもいいと思う。

仕事をしていて思う。

歳をとり、旦那さんをいつまでも想い続ける人と、そうでない人

と、いろいろいる。

つつい考えてしまつ…、どちらが幸せなのだろうと。

答えは人により様々なのだと思う。

君はどう感じますか？いつか、そんな話を直接出来る日は来るの
だろうか？

「あなたが人々に与えた「衝撃」は尋常じゃないものだわ、皆へ
の謝罪を無視していいはずないでしょ」

と言う権利をFさんは持っていると思う。

謝る時、人は最小限の謝罪で済まそうとする…。

もし相手がそんな謝罪で済まそうとしたら？

「とりあえず“ハンコ”についてくれる？そしたら皆彼方の反省が
本物と理解するわ、謝罪には行動が伴わないと意味がないわ、口で
はどつとでも言えるもの」

と、凄む^{すじ}権利を君は持っている。大丈夫です、お釈迦様とてきつ
とそう言ってくれます。

…もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物
のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にす。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書い
た。

この事自体は間違っていないと思う。

（公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、

まともな人間としての対応が要求されるからだ)

(さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手がもつとも嫌がることでもある)
(証拠などがあると、なおさら効果は増す)

(でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるのでは?)

(会社の業務に影響がでるほどやると、業務妨害になってしまうので、そこはわきまえて、毅然としつこくやればよいと思う)

ただ、相手が奸物(かんぶつ) (「奸物姦物」悪知恵にたけた人。腹黒い人) 的素質に長けた人物な場合、簡単に避けられてしまう可能性もある。

それでも、この方法は、基本的に有効な手段だから、上手くいかなくても、何度でも工夫を重ねてやるのが、いい方法かもしれない。

こんな事も思う。

もし、君の交渉相手が高い学歴の保有者である場合は？

高い学歴をもつものはそのつながりをいつまでも大切にする。

上記のような状況下で、こういう友人関係(「古い学友ネットワーク」)の中の第三者に言うのも、一つの手だと思ふ。

本人も自分の知らないところで、自分の評判が形成されるのは嫌な事だと思ふ。

特に、第三者に、知られたくない事が広がってゆくのは、嫌なはずだ。

交渉中であるなら? こうした手段も1つの手です。

頑張つて！負けないでほしい。
たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧みな罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃっ

しかしながら、君の場合は学ぶ前から人としてのやさしさを本来もっていた。

やさしさを学ぶ機会をうばわれた人々は、簡単に人をおとしめて笑う事ができるが、君には難しかったのと違っただろうか？

やさしさを人生で学べなかった人々は、簡単にサイコパスへの門をたたける。

「奇行」で権威を示す変人だったり、裏ではれないように罫を平気ではれる犯罪者だったり。

そんな行為はおかしい。

おかしいと感じるなら、おかしいと言ってもいいんです。

小さい頃から、君は一人で悩んできたのだろうか？

大丈夫です、君はただしい。

周りがおかしいだけです。君はなにも悪くない。

小さかった君は耐えた。頑張れば救われると信じようと努力した。どんなに疑問や悩みを抱えようと、誰も受け入れてくれない、自分が悪いんだと思ひ込む事でした、解決できなかった…
そうなのだろうか？

初めて経験する複雑な心境が待っていると思う。
いろいろな思いが交錯すると思う。

感情があふれてぐちゃぐちゃになっても、逃げてはいけない時がある。

時間が必要？

そうかもしれない。

でも、前には進めるでしょ？

もし、そんな状態になった時は、思考停止寸前までいっても、君なら立ちなおせると信じます。

Fさんは強い女の子です。

大丈夫です。

君は何も悪くない。

僕が証明してみせます。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらつた機会をもらつた、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。
三界に家を建てるには、君が必要です。
「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃつたとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。
勇気を君に。

がんばれ！

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔7月14日（木）〕「たぶん、もうめんどくさい事は考えたくない

い、世の中はそういうものだ、とかいう年配者は多いと思う。そういう人には、Fさん、こう言ってほしい」

昔は牧歌的だったからこういう事もやった…

というセリフを今日TVで聞いた。

何を意味するのか？

牧歌的というと聞こえはいいが、要は「中世の社会」を指している。

イメージとしては中世ヨーロッパの荘園の社会だ。

領主は領民を支配し、初夜権とかいって、新婚の花嫁との最初の夜を共にする権利をこうししたとかしないとか、そんな時代のことだ。

正義や悪もない時代。権利や義務もなく。支配者と支配されるものと神様のみが存在した時代のことだ。

別の言い方としては、「中世的」とか「前近代的」とか、「前時代的」といった言い方をするけど、

このコメンテーターは、あえて「牧歌的」という言葉を使う。

同じ意味でも、すこしニュアンスがやわらかくなる。

でも意味が解ると、なるほどと思う言葉使いだ。

言いたい事は言うが、角が立たないというハイテクニクだ。

この言葉、どんなニュースで使われたかというと、例のやらせメーブルのニュースでだ。

九州電力が原発を議論する番組に原発賛成のメールを出すよう子会社などに指示して、番組の議論の結論を捻じ曲げた、というやつだ。

最初地元の地方議会でもとりあげられたらしい、でも、その時は、たいしたことないと思われたのか、意見はしぼんでしまった。

しかし、次に国会で取り上げられると、世論誘導だ！という事で、瞬く間にひろがって、今、ニュースで騒がれている状況になった。

この状況、どう思うかは別にして、大きな流れで見れば、昔の「牧歌的」な常識は、時代がすすむにつれ、徐々に改善されるなごれに、社会があると思いたい。

“彼ら”の社会は非常に「中世的」だ。なにしろ中世で常識だった仏法を現在でも適用させようとする所が、そもそも「中世的」であり、「前近代的」であり、「時代錯誤」だ。

世の中とはそういうものだ！という人には、今、なぜやらせメール問題がニュースになっているのか？これからこういう問題は改善すべきものなのかどうか？聞いてみてほしいと思う。

たぶん、もうめんどくさい事は考えたくない、世の中はそういうものだ、とかいう年配者は多いと思う。

そういう人には、Fさん、こう言ってほしい。

「めんどくさいで片付けないで、被害者は私なの！わからないの？」と。

「あなたが人々に与えた「衝撃」は尋常じゃないものだわ、皆みんなへの謝罪を無視していいはずないでしょ」

と云ってもいいと思う。

謝る時、人は最小限の謝罪で済まそうとする…。
もし相手がそんな謝罪で済まそうとしたら？

「とりあえず“ハンコ”ついてくれる？そしたら皆彼方の反省が本物と理解するわ、謝罪には行動が伴わないと意味がないわ、口ではどうとでも言えるもの」

と、凄む^{すこ}権利を君は持っている。大丈夫です、お釈迦様とてきつとそう言ってくれます。がんばれ！

「心理的圧迫」と「利益誘導」をたくみに織り交せて、巧妙に「心を」誘導するのが“彼ら”の手口だ。
気をつけて！

たぶん…いろいろあるのだと思う。

手に負えない状況なのかもしれない。

それでも、やけにならず、前を向いてほしい。

自分自身に誠実でありつつづけさえすれば、いいと思う。
自分を偽らず、誠実に。

どんなに理解されなくとも、活路はそこにある。

そう信じていいと思う。

自然に、自分でいることが大切です。

頑張れ！対面を保つ事ばかりに全力をつくす人たちに負けないで！

真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無

いと思っていた。

こんなにしてもらっていいのだろうか？といつも思った。

君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。

君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるといふ行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あの子の事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっているのだろう。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が好きだ。笑顔で無い君も好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。

世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

…もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物

のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にす。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

(公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ)

(さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手がもつとも嫌がることもある)

(証拠などがあると、なおさら効果は増す)

(でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う)

ただ、相手が奸物かんぶつ(=【奸物姦物】悪知恵にたけた人。腹黒い人)的素質に長けた人物な場合、簡単に避けられてしまう可能性もある。

それでも、この方法は、基本的に有効な手段だから、上手くいかなくても、何度でも工夫を重ねてやるのが、いい方法かもしれない。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いていま

す。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしい事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にす。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

(公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ)

(さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手がもつとも嫌がることでもある)

(証拠などがあると、なおさら効果は増す)

(でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う)

頑張つて！負けないでほしい。

もし、誰かに露骨な威圧をされたら、こう言い返してもいいとおもう。

「いくら威張つたところで、下衆の太鼓もちじゃない。それでかっこいいとおもっているならおめでたいわ」

といつてもいいと思う。

もしこんな程度の言葉にすら食いついてくるようなやつがいたら、こう言い加えていいとおもう。

「太鼓もちをしてると、時々おこぼれをもらえるのよね、がんばっておこぼれ拾ってね、私にはもう関係ない話だけど」言ってもいいと思う。

“彼ら”は相互扶助の和から締め出されたら、生きていけないと錯覚している。

だからこそ平気で太鼓もちになれるのだ。

それはそれで間違いではないかもしれない、生きてゆくというのは厳しいものだ。

しかし、魂まで売り渡していいものだろうか？

魂を売り渡した太鼓もちと、そうでないのとは、雲泥の差がある。

今「TVタツクル」などで毎回良く見る、現役官僚の人の本を読んでいる。

彼は、今まさに嵐の渦中にいて、全霞ヶ関を敵に回して、集団いじめの真っ最中にいる。

なのになぜTVにでるのか？

たぶんだけど、黙っていたら、集団の圧力に屈してしまう事になるからだ。

TVにでて、発言する事で、社会から彼を消そうとする勢力と必死に戦っているのかもしれない…

霞ヶ関は彼に「踏み絵」を踏むかどうか、試したそうだ。

具体的には、高待遇の天下り先を斡旋したのだ。

その天下りをつければ、彼はるくに働かずに何億もの収入を得るはずだった。

しかし、その誘いに乗ったら、今まで天下り規制法案を作ってきた自分を否定する事になる。

彼は、家族に申し訳ないと思いつつも、その誘いを断ったそうだ。

断ったとたん、霞ヶ関は彼を排除しようと全精力をつぎ込んできた。

立ち向かうには、TVに出るのもやむなしなのかもしれない。

理由があるなら、立ち向って言いのだと思つ。

“彼ら”は相互扶助の和から締め出されたら、生きていけないと錯覚している。

そういうやつらには、こう言つてほしい。

「私の良く知る男の人は、生まれてからずっとそうして生きてきたわ、生きていけないなんて幻想よ」

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思つのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらつ機会をもらつた、

それで何もおかしな事はないと思つけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。
「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。
勇気を君に。

がんばれ！

.....

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

第45話 不器用ながらも、真剣さを伝えたい（未来へと続く話31）（後書き

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第46話 不器用ながらも、真剣さを伝えたい2（未来へと続く話32）

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

「7月16日（土）」「高校生当時、君が怖がっていたものの一端がわかるような気もする。

不良か？ヤクザか？みたいな連中が一致団結して四六時中威圧してきたら…」

最近こうも思う。

一般のメンバーよりも、いわゆる不良系の若いやつが威圧に来る感じた。

一般人がいう事を聞かなくなったとき、最後までこういう事をし続けてくれる組織のコマはこういう連中なのだろう。

組織にとってはさぞかし重宝なコマだと思う。

でも、このコマがルールを逸脱して、警察沙汰になった時、組織は全力でこのコマを切り捨てる。

過去の裁判がそれを物語っているように見える。

もし、誰かに露骨な威圧をされたら、こう言い返してもいいとおもう。

「いくら威張ったところで、下衆の太鼓もちじゃない。それでかっこいいとおもっているならおめでたいわ」

といってもいいと思う。

「太鼓もちをしてると、時々おこぼれをもらえるのよね、頑張っ
てね」

と言ってもいいと思う。

高校生当時、君が怖がっていたものの一端がわかるような気がする。

不良か？ヤクザか？みたいな連中が一致団結して四六時中威圧してきたら…

高校生の小さな女の子が1人で立ち向かうには限界がある…

なのに当時、君は僕のために勇気を示してくれた。

今でも、言葉に出来ない感謝と感動を君に抱きます。

いつか直接つたえたい。

今度は僕が君に尽くす番でいいのだろうか？

いつか教えてください。

そんな未来が来る日を信じて。

適切じゃない人たちに管理された社会では、正しいルールとて歪んでしまう。

ましてルールが時代に合っていないければなおさらだ。

適切じゃない人らには、それを正す事すらできない。

理由があるなら、脱出してもいいのだと思う。

18年前、僕は君に「俺のこと好き？」と聞かなかった。

確信がもてなかったからだ、答えを聞くのがこわかったのかもしれない。

けど、今はどうして聞かなかったのかもすごく後悔している。

もし、今、もう一度話す機会があるなら、聞いてみたい…。

たとえ、どんな答えであろうとも。
そんな事も思わなくもない、ささやかな夢です。

君は、どう思うのだろうか？

…もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にす。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

(公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ)

(さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手がもつとも嫌がることでもある)

(証拠などがあると、なおさら効果は増す)

(でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う)

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いていま

す。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしい事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

「彼方が人々に与えた「衝撃」は尋常じゃないものだわ、そろそろ皆に謝罪してもいいんじゃない？」

と言う権利がFさんには、あるように思う。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく、
勇気を君に。

がんばれ！

.....

「7月17日(日)」「僕は、自分の意思で、君に判断を委ねる。
それは「信頼」という感情だ。」

Fさん、これは今日あった事。

君がどう感じるのか聞きたい事でもある。

今日、隣町の病院へ行った。

会社が健康診断を指示したからだ。

到着し、待ったのだが、1時間たっても診察が始まらない……

そここうしているうち、僕より後に来た同じ職場の人が、もうほとんどの検査を終えて帰ってきた。

一般的な解釈では「ああ、さては忘れたな」だ。

昔からこういふ事はよくあるので慣れている。

怒る気にすらならない。

ん？昔からよくある？

やはり、これにも“彼ら”が？

Fさんはどう感じますか？気のせいなのか？どうなのか…。
いつかそんな話題で、君と盛り上がりたいたいなと思ったりもします。

Fさん、僕には“彼ら”に「人生を返せ！」と主張する権利があると思うかな？

もし、君が「ある」と言うなら、そう思うことにする。

逆に「ない」と言うなら、そういう事にしておこうと思う。

え？今までさんざん「自分の意思を持って」と言っておいて、それはないんじゃない？と思った？

僕は、こう考える。僕は、自分の意思で、君に判断を委ねる。

それは意思が弱いとか、自分が無いとかいうものとは違う「信頼」という感情だ。

“彼ら”の悪意の強要とはまったく違うものです。

僕は今、賭けをしています。

答えはわかりません、とにかく待とうと思う。

今は君の都合が悪いただけだ、受け入れられるにしろ、違うにしろ、なにかしらケリをつけに君は現れる。そう信じます。君は、僕が真実に気がついたという事実をもし知ったなら、その事実を重く受け止めるはずだ。そう思った。

何に賭けているのかと言うと、君が僕に「告白」するかどうかという事だ。

“彼ら”は決して正体を明かさない…（「告白」しない）、どんなに親しくなろうとも、絶対に。君ははたしてどうだろう…？

18年前、君は「告白」一步手前まで来ていた。先輩の正体を明かすという行為は、あとちょっと踏み込めば自分の正体も明かしかねない行為だ、今にして思うとそう思う。

僕は賭けをしています。君が僕に「告白」するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。それは事実です。

告白された事は胸にしまうつもりでいます。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思つのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらつ機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思つけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言つ権利を君は十二分に持つていると思つ。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかに言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。
他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

眞実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。
勇気を君に。

がんばれ！

.....
.....
.....
[7月18日(月)]「暴言に負けないで！」

君は全て背負い込むような感覚を時々もっていたような気がする。
僕と別れた後“彼ら”は君に“まちがった”発見をたくさんさせ
たと思う。

君は自分でそれを発見したと思いついてるけど、それは間違い

です。

そうした発見を全て背負い込む心理状態になれば“彼ら”はそこにつけ込む。

そして君の心を容易に操る事が出来る。

そうやって君を“従順”にさせるのが“彼らの（中の「そうした人達」の）常套手段”です。

非常に悪質な人心掌握法じんしんしやうあくになります。

だから全てを背負い込んでは大めです！“彼ら”はそれを狙っています！！

そうやって君の心から“情熱”を失わせるのが“彼ら”の手口だ！！だから注意して！

そうそう、こんな事も思います。

もし、今、何かしらの話し合いをする機会があるなら？

そして仮に相手が一方的にまくし立てたら？

無理に耐える必要はない。

かといって席を立つ必要もない。

どうすればいいの？

両耳に人差し指を両方ともつつこんで聞かなければいい。

君ははずかしい、と思うかもしれない。

でもこの方法なら、言葉の暴力を封じられるし、相手に話を聞く気がゼロである事を、動作で示す事が出来る。口を開かずに意図を伝えられる上に、暴言も聞かなくて済む。

暴言は彼らの文化でもある。

汚い言葉使いを子供に強制するような連中に負けないで！

なにが役に立つかわからないので一応書きました。
もし、今も戦っているなら、負けないで！君はもう1人ではない。
頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、
それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

ます。

最近、すこし生活パターンを変えました。今まで、東京で生活していたパターンを維持しつつ、どう生活に取り込むかばかり考えていた。

しかし、仕事を始めて、無理があることに気づく。

具体的には、早寝早起きになった。朝方を自分の自由時間にしようというわけだ。

漫画をかくにも、この時間の方がなんだかいいように感じた。

僕は時間の使い方が正直、上手くない。

でも、ないならないなりに、いろいろ試して、自分を活かせる生活スタイルを作ろうと思う。

ペースを作って、ペースを守って。

一生懸命になりがちな性格を、僕も、君もしている。

自分が潰れないように、自分をコントロールする必要は、充分考慮すべき重要事項だ。

自分の根っこさえ、見失わなければ、大丈夫です。

君の見つけた大切な“なにか”は、君を支えてくれているだろうか？

君に、勇気と活力が味方してくれ続けることを、願いつけています。

もし、今、君が戦っているという仮定にたつなら？

たぶん、戦いはじめてから気づく事とか、いろいろあると思う。

中には、はじめてみて、こうした方が良いと初めて気づく事というのも、事実いくつがあると思う。

つらく、大変な道のりかもしれない…

でも頑張つてほしい。

毅然とした態度を崩さず、自分を見失わずに、前を見てほしい。

…もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にす。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

(公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ)

(さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手がもつとも嫌がることもある)

(証拠などがあると、なおさら効果は増す)

(でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う)

ただ、相手が奸物かんぶつ(=【奸物姦物】悪知恵にたけた人。腹黒い人)的素質に長けた人物な場合、簡単に避けられてしまう可能性もある。

それでも、この方法は、基本的に有効な手段だから、上手くいかなくても、何度でも工夫を重ねてやるのが、いい方法かもしれない。

こんな事も思う。

もし、君の交渉相手が高い学歴の保有者である場合は？

高い学歴をもつものはそのつながりをいつまでも大切にする。

上記のような状況下で、こういう友人関係（「古い学友ネットワーク」）の中の第三者に言うのも、一つの手だと思う。

本人も自分の知らないところで、自分の評判が形成されるのは嫌な事だと思う。

特に、第三者に、知られたくない事が広がってゆくのは、嫌なはずだ。

交渉中であるなら？こうした手段も1つの手です。

…でも、交渉相手が“彼ら”であるなら？その特徴は、心が折れても3日で立ち直るところだ。

多くの仲間と言いくるめられて、すぐにもとのサイコパスっぽい人格に戻る。

なんで「そう」なるのか？

推測だけど、そちらの世界には「そそのかしキャラ」がいるのではないだろうか？

せっかく暗示が解け、正常な思考にもどった人物に「そそのかし」をすることで、元のサイコパスの影響下にある人間に戻してしまうのだ。

（多分だけど、君の周りにも「そそのかしキャラ」はうごめいていると思う。気をつけて！）

（「そそのかしキャラ」は悪役の定番として古来から存在する。物語の世界で古くから有名なのは、ピノキオに登場するやつだ。

ピノキオはそそのかされて、悪事をしてしまう。「そそのかし」、善人に悪事をさせるキャラ「というのは、古くからいて、また、同時に嫌われていたのだと、このことから解る）

それでも、諦めずに何度でもやるべきだ。

相手にも社会的地位がある、ワガママを完全に通しきれぬものではない。

君は被害者なのだから、相手に遠慮する理由はまったくありません。

もし、離婚を前提に交渉中なら？

毎回、離婚届を相手に渡すべきだ。

離婚届自体は、役所に行けばもらえるものだ。

何度も渡すには大量の離婚届があるかもしれない…。

でも、大量にもらえないという話はきいたことがない。

もらえなくとも、行政書士などに相談して、大量に入手する方法を模索すればいいし、最悪でも、毎日役所の窓口に行き、一枚づつもらつという方法もある。

繰り返す事は重要です。

君自身の声をどこかに表明するのも、一つの手です。

でも君は僕と違い、言葉にするのが苦手な感じの人だ。

君は行動で自分の意思を伝える。

だから、やるなら、何度でも「行動」するのが、いいのかもしれない。

どこかにかならず突破口があると信じて。

「あなたが人々に与えた「衝撃」は尋常じゃないものだわ、そろそろ皆に謝罪してもいいんじゃない？」と言う権利がFさんには、あるように思う。頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられて

いただけなのだから…。
そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、
それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。
三界に家を建てるには、君が必要です。
「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！
老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。
もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

苦楽を共にした先輩の、懸命なお願いに、誠実な後輩は、逆らえなかったのだろうか……

この後輩は捜査資料を渡してしまった。

まさに機密漏洩事件だ。

現在、そのことがバレて、大スキャンダルになっている。

…まあ、それはいい。

問題は、先輩、後輩の癒着だ。

そちらの世界にも、こういうの、多分にあると推察する。

先輩の懇願のためなら、高校生の女の子の人生を操るお手伝いくらい、平気でする男は、実はかなりいると思う。

そんな連中の策謀は、じつに巧妙で、抗しがあったものだと思う。

こんな事を思い出す。

神社で待ち合わせをしていると、

時には君のほづが早くついて、待っていてくれた時がある。

ドキドキしながら、人気のない神社に向うと、約束どおり憧れの女の子が待っていてくれるのだ、これほど嬉しい事はない。

僕がつくと、君は立ち上がり、駆け寄ってきてくれる。

僕が「待った？」と聞くと。

君は「うっん、私も今来たところ」と答えた。

今、冷静に考えれば、今来たところ、というのは、僕を気づかって

言ってくれた言葉なのだと、よく判る。

Fさんは、そういう気遣いのできる子だ。

そんな誠実な子を悪意の集団が畏にかけるのは、簡単だったかもしれない（残念だけど）。

もう、これ以上、誠実さを利用される必要はない。

理由があるなら、抗っていいとおもっ。

自分が自分であるためにも。

…もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にす。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

（公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ）

（さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手がもつとも嫌がることでもある）

（証拠などがあると、なおさら効果は増す）

（でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う）

仕事を妨害するような事をする、営業妨害とされてしまうから、そのへんのところを“かわす”やりかたがいい。

例をいうなら、面会の約束を取り付けに来た、もしいるなら、今会いたい、といった風にだ。

もしくは、会社関係者に別れたい理由を書いた手紙を複数送り、助力を請う旨伝える方法。上手くいくはずはないが、相手に揺さぶりくらいはかけられると思う。

どうせ向こうは年中、きみに揺さぶりをかけているのだから、そのくらいやつても大丈夫だと思う。

これらは、やれという事ではなく、行動のヒントになってほしく書いています。これらのヒントが何かしらのインスピレーションとなり、君により現実在即した行動を思いつくきっかけになれば、うれしいと考えています。

たぶん：いろいろあるのだと思う。

手に負えない状況なのかもしれない。

それでも、やけにならず、前を向っていてほしい。

「あなたが人々に与えた「衝撃」は尋常じゃないものだわ、皆への謝罪を無視していいはずないでしょ」

と言ってもいいと思う。

謝る時、人は最小限の謝罪で済まそうとする…。

もし相手がそんな謝罪で済まそうとしたら？

「とりあえず“ハンコ”ついてくれる？そしたら皆彼方の反省が本物と理解するわ、謝罪には行動が伴わないと意味がないわ、口ではどうとでも言えるもの」

と、凄む権利を君は持っている。大丈夫です、お釈迦様とてきつとそう言ってくれます。頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けなで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

眞実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

がんばれ！

.....

「7月21日（木）」「こう言い返していいとおもっ。」

「まんざら間違ってないから、そんなに怒るんでしょ？かっこ悪い」と。

今も周辺を車がくるのは相変わらずだ。

でもどの音が効果が高いのかわかってない感じだ、毎回はずれの音を出すのばかり来る。

どんな顔してやってるのかな？と、昨日たまたま遅くに帰宅したので、そのまま玄関に入らず見ていることにした。しばらくいると突然隣家の玄関灯がつく。誰の出入りもないのに？

こういう感覚…、いつか君と話せる日がくるとうれしい。あれは偶然かな？気のせいかな？でもあれは酷かったから確実に“彼ら”だねみたいな話をワイワイやりながら話したい、そんな事も思ったりします。

短気で暴力的な連中といえども、恐れなくていい。

彼らは言うほど怖くない。

「あなたが人々に与えた「衝撃」は尋常じゃないものだから、皆みんなへの謝罪を無視していいはずないでしょ。」

と言つてもいいと思う。こう言つてもし殴り返してきたら、それを証拠に訴えればいいだけのことだ。

日光のさるは、相手を見て襲うとニュースでみた記憶がある。

一瞬威嚇して、ひるんだ人間を優先的に襲うらしい。

ひるまない人間には警戒して一歩ひいて身構えるという。

…“彼ら”にも似た性質があるのかもしれない。

ひるむと、付け上がるバカは实际いる。

毅然とした態度をとりつづけて、いいと思う。

もし、猿と同列に語られて、怒り狂う彼らがいたら？

こう言い返していいとおもつ。

「まんざら間違つてないから、そんなに怒るんでしょ？ かつこ悪いと。」

君は毅然とした態度で、

「とりあえず“ハンコ”ついてくれる？ したら皆彼方の反省が本物と理解するわ、謝罪には行動が伴わないと意味がないわ、口ではどうとでも言えるもの」

と、凄すこんでいいと思う。お釈迦様とて認めてくれます。

頑張つて！ 負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

持久戦では君が優位と書いた。それは事実だ。しかし、相手にそれを実感させる必要がある。

時間が経てば経つほど、再婚のチャンスを狭くしてしまい、まかり間違えば、本当に老後1人になってしまう事を「実感」させる事は効果的だと思う。

“彼ら”が組織の圧力を無視するときは、決まって自分の都合が優先される局面だ。

「この先（人生から）、いなくなるんだ」という事を、あいてに「激しく」実感させる何かが、重要かもしれない。

なにが“スイッチ”かわからない。しかし、どこかに崩れるスイッチはある。

これらは、やれという事ではなく、行動のヒントになってほしくて書いています。

これらのヒントが何かしらのインスピレーションとなり、君により現実に即した行動を思いつくきっかけになれば、うれしいと考えています。

「自らの立場」と「自らの将来」を天秤にかけて、前者が勝るかから組織の意向に逆らえない。

ならば、「自らの将来」の方が重いという事実を認識させる必要がある。

とにかくお互い長生きしよう、そうすれば、それだけ再会のチャンスは増える。

「時間は私たちの味方よ」と繰り返し何度も言っていていいかもしれない。

「あなたが人々に与えた「衝撃」は尋常じゃないものだわ、皆みんなへの謝罪を無視していいはずないでしょ」

と言ってもいいと思う。

あいつが気持ち悪いからやっつけるんだ。

そんな事をいう“彼ら”もいるだろう。

もし、周囲にそういう事を言うやつがいたら、こう言い返してほしい。

「気持ち悪いはお互い様だと思う。それが証拠に、“私たち”は皆、自分の正体を明かさない。明かしたらどう思われるか皆知っているからよ。気持ち悪いというなら、お互い様なんだから、それ、相手を否定する理由にならないわ」と。

もし、そんなに正義感を振りかざすな！という人がいたら？

こう言い返していいとおもっ。

「あら、そんなに気にしてくれていたとは意外だわ、（気にしている）という事は、あなたの心にまだ“良心”が残っているのね。悪い事してるって自覚あるのね？よかった、説得のしがいがあるわ」と。

「あなたは完全にサイコパスにはなっていない、あなたの良心に賭けてみるわ、私に自由をちょうだい」と言ってもいいと思う。

「それじゃあオレの格好がつかないじゃないかよ」と言われたら？

「これ以上長引くともっと格好がつかないわよ」と言えばいい。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらつた機会をもらつた、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

持久戦では君が優位だ、相手にそれを感覚として激しく実感させる必要がある。これは、この記述が君のインスピレーションに働きかけ、より現実在即した効果的な行動に繋がればと願い、書いています。」

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

るらしい。

技術的には日本のものをベースにしているから、それなりに確かと思う。

しかし、各電車がどこにいて、どこを通過したかの、正確な情報が管理できていないが故、起きた事故と報道された。

“彼ら”の場合は逆だと感じた。

各個人個人はシロウトだ。「カルト信者としての完成度」は「恐ろしく」低い。

しかし運行管理側がカルト組織として「完成度」が高いが故、ここまでちゃんと機能できている。

何が言いたいのか？

Fさん、「彼ら」は個人レベルでは「カルト信者としての」「完成度が「低い」。

幹部に問題がある。

僕は何度も書いた、これは、教えが正しいとかどうかという問題ではない、人としての“質”が問われているのだ。

理由さえあれば、組織を離れてもいいと思う。

君はおそらく組織内の人間からみても、厳しく育てられたのだと推察する。

環境に問題がある…、多くの組織内の人間ですら、そう思うはずだ。

“彼ら”の多くは「カルト信者」としての完成度自体は「低い」

のだから、なにも恥じたり、気にしたりする必要はない。
堂々と、自分を取り戻していいのです。

どうもうちの父親に“彼ら”は何かしらアプローチを時々、試みているように察する。

しかし、情報は引き出せても、まったくその手の事を信じていない。

勧誘は不可能だから安心しています。

理不尽は祈りではなく、努力で克服すると、どうも信じているらしい。

時々イライラするくらい頑固で頭にもくるが、こういう性格は知らぬ間に僕にも引き継がれているらしい。困難は、祈るのではなく、自分の努力で克服するのだと、苦もなく信じる事ができるのは、案外、そういう環境で育ったからかもしれない。そんな事時々思うと現在の君と話ができたら嬉しいなと、思ったりします。君はどんな感想を抱くのだろう…。そんな事思ったと、今、ここに、伝えます。何かしらの奇跡により、この記述が君に伝わる事を信じて。

名を捨てて実をとる、という格言があるけど、“彼ら”の場合は逆だと思う。

実を捨てても名をとる傾向が、確かにある。^{フライング}

メンバーに苦渋を強いてでも、幹部の威光を維持しようとする。

もし、そういう人が身の回りにいたら？こう言っていていいと思う。
「組織内でデカイ顔できなくなる…。なんてくだらない理由でわがまま言うのは、実にカッコの悪い姿よ」

今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切に。
交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

仕事を妨害するような事をする、営業妨害とされてしまうから、そのへんのところを“かわす”やりかたがいい。

例をいうなら、面会の約束を取り付けに来た、もしいるなら、今会いたい、といった風だ。

もしくは、会社関係者に別れたい理由を書いた手紙を複数送り、助力を請う旨伝える方法。上手くいくはずはないが、相手に揺さぶりくらいはかけられると思う。

どうせ向こうは年中、きみに揺さぶりをかけているのだから、そのくらいやつても大丈夫だと思う。

“彼ら”の恥知らずな行為は多くのメンバーの失望と苛立ちを招くだろう。

そこに事実の衝撃として伝えられ、多くの人に迷惑をかけるはずだ。「彼方が人々に与えた「衝撃」は尋常じやないもの^{みんな}だわ、皆への謝罪を無視していいはずないでしょ」と言ってもいいと思う。

これらは、やれという事ではなく、行動のヒントになってほしく書いています。これらのヒントが何かしらのインスピレーションとなり、君により現実に即した行動を思いつくきっかけになれば、うれしいと考えています。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧みな罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

持久戦では君が優位だ、相手にそれを感覚として激しく実感させる必要がある。

これは、この記述が君のインスピレーションに働きかけ、より現実

に即した効果的な行動に繋がればと願い、書いています。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

ここはたぶん、あの夏祭りの日、2人でわかれたポイントだと思う。

ここで僕は自転車にのり北へ向い家路についた。君は西に向い家路についた…、そう思う。

あのあと君は浴衣姿で、1人夜道を歩いて、追跡する車や人の影におびえながら帰ったのだろうか？

もしかしたら尾行をまく試みでもしたのだろうか？

そんな事、思わなくもない。

こんな事を思う。

かつての民主党は、改革に燃えていた。

なのに、今や、官僚組織に取り込まれてしまって、改革の意思を失いつつある。

(現在の民主党の最大支持母体は公務員団体だ、かつてのように無党派層を支持母体としていた頃とは、あきらかに違うバイアスの元、行動している)

なぜに？そうなるか？

行政担当能力がないからだ。

ノウハウのない者は、ノウハウを持つものに頼らざるを得ない…。

これは、そもそも、自民党が長期政権であったが故、野党がその能力を磨く期間が得られなかった事を意味している。

どういう事か？

定期的に政権を入れ替えていさえすれば、行政担当能力を野党も磨く事ができる。

その方が政党政治の進歩としては、ふさわしい進歩なのだ。

能力がないのがいけないのか？そうは思わない。

ないなら、ないなりに、努力すればいいのだ。

どんなに批判をされようとも、どんなに惨めであろうとも、あきらめず、心折れる事無く、前を見続ける事が大事に思う。

今、NHK教育でやっている「さかのぼり日本史」というのを見ている。

明治から終戦までの、日本の政治の歴史をくわしく述べていて面白い。

なにしろ、やっている事は、今と大差ないのだ。（違う点は軍部がない事、でも現在は軍部のかわりに霞ヶ関がいる）

物事を、一旦ひいて見るには、過去の歴史をみるのが一番効果的だ。

こつも思う。

過去の離婚ケースを徹底的に調べ上げて、似たケースや、そうでないケースや、いろいろ調べるのは、もしかしたら意味があるかもしれない。

可能ならば、“彼ら”の離婚のケースに集中して調べられるならなおさらいい。

うわさレベルだけど“彼ら”の中で離婚は意外と多いと聞く。

これは、やれという意味ではない。しかし、何かしらの行動のヒントとして、君のインスピレーションに訴えかけ、より現実的な行

動に繋がればと思い書いています。

どこに有効なヒントがあるか解らないので書きました。

最近こんな事があった。

ある人が原因不明の病を患っている。

近所の病院では病名すらわからない。

で、県で最大クラスの病院に何件か行くが、それでもわからない。

何度もいろいろ検査しているのに…

そうこうしているうち、病気はどんどん進行してゆく。

そしてついに首都圏の病院にいつて、何度か通い、検査して、ようやく病名がわかった。

やはり、首都圏の先端医療が受けられる地域と、地方では、雲泥の差があるようだ。

僕も東京で死に掛けるほどの病気をしている。

その時も、最初原因不明で隔離されてしまった。

何のウイルスか特定できないというのだ。

ようやく、どこかの病院の詳しい医者がきて、めずらしい病気である事をつける。

これは東京にいたから3週間くらいで直ったけど、もし地方にいたらどうなっていたか…。

自分で動かないといけない事は、多分にあるみたいです。

偉そうな事言っておめん、僕自身、こんな偉そうな事いえるほどちゃんとしていない。

けど、何が役にたつのかわからないので、後悔だけはしたくない。出来る事は、全部しようと誓ったのだから、書いてみようと思いません。

何が言いたいのか？というところ。

離婚というと、専門家に頼らなければいけない部分が多い。

でも専門化がダメといったからといって、鵜呑みにせず、自分で本当にそれがダメなのか確認する必要がある、もしかしたらあるのかも知れない。

そんな事を、ふと思いました。

このニュアンスが正確に君に届く事を祈ります。

今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にす。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから……。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そついう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらつ機会をもらつた、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

持久戦では君が優位だ、相手にそれを感覚として激しく実感させる必要がある。

これは、この記述が君のインスピレーションに働きかけ、より現実

に即した効果的な行動に繋がればと願い、書いています。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。
「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃつたとしても、

誰も責任取つてはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかに言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでい

…こんな事を思った。

Fさん、“彼ら”の世界にも、組織の正式な手続きを経ずに、自分のかつてな理由で組織の力を使う連中、いるのだろうか？

もしくは、形式さえ整っていれば、騙してでも組織の手続きを通すような事。

前述の神社の寄付金は、何百年もつづくお祭りのために多くの人々が寄付したお金だ。

“彼ら”の世界の寄付金にしても、多くの人々の血と汗の結晶のはずだ。

「私は、多くの人の血と汗の結晶を食いつぶすような作業、もう嫌なの」

そう、言っても言いと思う。

こんな事も思う。

中国の新幹線事故の際、中国当局は報道人に対して、「悲劇の中にある愛を報道しろ」と命じたとかそうでないとか。

悲劇である事実を可能なかぎり和らげて報道してほしい、という意図がある。

共産圏でよく見られる世論誘導だ。

それを見てこう思った。

これは仮説も基づく感想。

もし、君に子供がいると仮定したら？

その子の将来を考えろ、という主張を“彼ら”は展開するだろう。でも、僕はこう考える、そのままその世界で育つ不幸と、彼らと

戦いながら育つ生活。同じ困難なら、愛情ある生活の方がよりいい。

“彼ら”は「カルト信者としての」完成度は低い人々の集合だ、ちゃんとしていさえすれば襲ってこない。

（逆にいうと襲ってくるのは完成度の高い人が、騙され操られている人らだ）

そしてこうも思う。

これは“彼ら”に限らず、一般に言える現象だけだ。

一般に、人は信念のない人間は、人扱いしない。“彼ら”においては、何をしてもいいとすら考える。

だから必死にターゲット「信念のない人間、というイメージを展開する。

信念のない人間は、殺すまで追い詰めても許されると信じているようだ。

しかし、相手に信念があるとわかってくると、だんだん変わってくる。

すぐには無理だが、伝え聞いている話と、現実の姿のギャップに悩むようになる。

結果はどうなるかわからないが、ポイントは、心に信念があるかどうかだ。

僕は今でも漫画をかいている。

これまでの人生の積み重ねを無駄にする意図はない。

そもそも、本を読むにしても、ニュースを見るにしても、映画を見るにしても、ドキュメンタリーを見るにしても、全ての生活習慣が漫画のために繋がっている。

生活習慣の全てが漫画に繋がっているので、いまさら、漫画を描くという行為を人生から切り離す事は不可能なのだ。

そしてこちらも考える、もし、このまま今の仕事を老後まで続ける事ができたなら？

その経験をベースにした漫画を描く事で、老後すぐす事は出来る。

物語づくりの基本は「オチ」を付けるとこと「山場」を作ること。やってみると解ると思うけど、かなりこれらは難しい。

この2つがないと、物語は単なる報告書レポートとなにも変らなくなる。オチを付ける技術は身に付けた。どんな局面からでもオチに持っていける。

僕が苦手なのは山場を作ること。ぐつと来る場面を作れないことだ。

今は、その苦手を克服するよういろいろやることに専念している。今でも、描いているのです。人生は無駄になっていない。

何が言いたいのか？

“彼ら”は「付和雷同ふわいどうする人間」を消そうと試みるが、実際にはそうではなく、「和わして同どうじない」人間だったりする。

君は僕の性格を知っている…その君がどう思っているのか？いつか聞けたら嬉しいです。

この彼らの勘違いを正し続ける事が、大切なようにも思う。

Fさんはどう思いますか？君の感想はどんなものなのだろう…、そんな事を思いました。

難しい事はわからない…、そう言うかもしれない。

でもFさん、無理に理解するのではなく、「どう」感じるかが大事なのです。

僕は君の心に賭けてみようと思う。

…もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物

のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にす。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

(公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ)

(さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手もつとも嫌がることでもある)

(証拠などがあると、なおさら効果は増す)

(でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う)

仕事を妨害するような事をする、営業妨害とされてしまうから、そのへんのところを“かわす”やりかたがいい。

例をいうなら、面会の約束を取り付けに来た、もしいるなら、今会いたい、といった風だ。

もしくは、会社関係者に別れたい理由を書いた手紙を複数送り、助力を請う旨伝える方法。上手くいくはずはないが、相手に揺さぶりくらいはかけられると思う。

どうせ向こうは年中、きみに揺さぶりをかけているのだから、そのくらいやっても大丈夫だと思う。

これらは、やれという事ではなく、行動のヒントになってほしく書いています。これらのヒントが何かしらのインスピレーションとなり、君により現実に即した行動を思いつくきっかけになれば、うれしいと考えています。

ただ、相手が奸物(かんぶつ)、「【奸物姦物】悪知恵にたけた人。腹黒い人。的素質に長けた人物な場合、簡単に避けられてしまう可能性もある。

それでも、この方法は、基本的に有効な手段だから、上手くいか

なくても、何度でも工夫を重ねてやるのが、いい方法かもしれない。

こんな事も思う。

もし、君の交渉相手が高い学歴の保有者である場合は？

高い学歴をもつものはそのつながりをいつまでも大切にする。

上記のような状況下で、こういう友人関係（「古い学友ネットワーク」）の中の第三者に言うのも、一つの手だと思う。

本人も自分の知らないところで、自分の評判が形成されるのは嫌な事だと思う。

特に、第三者に、知られたくない事が広がってゆくのは、嫌なはずだ。

交渉中であるなら？こうした手段も1つの手です。

…でも、交渉相手が“彼ら”であるなら？その特徴は、心が折れても3日で立ち直るところだ。

多くの仲間に言いくるめられて、すぐにもとのサイコパスっぽい人格に戻る。

なんで「そう」なるのか？

推測だけど、そちらの世界には「そそのかしキャラ」がいるのではないだろうか？

せっかく暗示が解け、正常な思考にもどった人物に「そそのかし」をすることで、元のサイコパスの影響下にある人間に戻してしまうのだ。

（多分だけど、君の周りにも「そそのかしキャラ」はうごめいていると思う。気をつけて！）

（「そそのかしキャラ」は悪役の定番として古来から存在する。物語の世界で古くから有名なのは、ピノキオに登場するやつだ。

ピノキオはそのかされて、悪事をしてしまう。「そそのかし、善人に悪事をさせるキャラ」というのは、古くからいて、また、同時に嫌われていたのだと、このことから解る)

それでも、諦めずに何度でもやるべきだ。

相手にも社会的地位がある、ワガママを完全に通しきれぬものではない。

君は被害者なのだから、相手に遠慮する理由はまったくありません。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格を否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧みな罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思いますがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用の呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。
三界に家を建てるには、君が必要です。

持久戦では君が優位だ、相手にそれを感覚として激しく実感させる必要がある。

これは、この記述が君のインスピレーションに働きかけ、より現実在即した効果的な行動に繋がればと願い、書いています。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。
勇気を君に。

あの19年前の夏祭りの日、東の工場脇の道で、家路につくため別れた時、君は
本当はもう少しついていきたい、といった趣旨の事を言ったような気がする。

どうだったかな…、おぼろげな記憶です。

現在、君の家の場所を知る僕は、たしかにもっと北の時点まで一緒にに行ける事実気づく。

君はあの時、あのあと尾行を撤くために遠回りをする気でいたのだろうか？

こんな記憶を思い出す。

高校の時、君は放課後、部活の前だっただろうか？

自転車を高校においたまま、徒歩で自宅まで行って帰ったと、言った様な…違うにしろ、似たような事を言った気がする。

この記憶が事実なら、もしかして自転車で行くと思っ込んでいる尾行を撤くため、徒歩を選択したのだろうか？

以前書いた、徘徊老人を捜索するボランティア組織の連合。あれと“彼ら”の追跡組織が似ているなら、その程度の工夫では逃れる事はできない。

もし、1人になりたいなら、過疎地にドライブに行く位でないと。

尾行におびえる必要はありません、むしろ前向きに考えた方がいい。僕は昔に比べて服装に気を使うようになった。誰かに見られると意識すると、いい方向に転がる部分も事実ある。

（実は以前に比べて体型も気になりだしている、以前は体型など気にしなかった。そういう意味では人としていい方向に転がる事は事実ある）

こういう事書くと、それ見たことか、自分たちのやっている事は正しいとかいうやつがいると思うけど、それには賛成できない。

以前、韓国のネットユーザーのインタビューを見たとき、こんなのがあった、自分たちが芸能人のサイトを集中攻撃するのは、彼らを正しい人間に導くためにやっているのだ、もし攻撃に耐えられないなら、芸能人などやめればいい。死を選択したとしてもそれは自分たちのせいではない、その人が弱かったただだ、といていた。

（これは韓国でネットによる攻撃が原因で、自殺する芸能人が続出した時のことだ、これがきっかけで、今、韓国ではネット接続の際、個人が特定できるようにしないと繋がらないと、聞いた記憶がある。）

こんな記事を見つけた。ナイナイの岡村さんが自身の脅迫事件について言及している…

（以下転載）

お笑いコンビ・ナインティナインの岡村隆史（41）が、28日深夜放送のニッポン放送『ナインティナインのオールナイトニッポン』（毎週木曜 深1：00）で、自身へ殺害予告メールを送り大阪府松原市の無職・田村唯和容疑者（28）が逮捕された件について言及した。岡村は「何が殺害予告やねん！ そんなことやってたら捕まるっちゅうねん！ 警察にも、顔が見れないところで何やかんや言うのは卑怯やって言ってやった。コンピュータに水掛けたるか！」と怒りをあらわにして声を荒げた。

（転載終わり）

“彼ら”の同種のこれに類する悪意は消えないだろう…
迫り来る脅威に無防備な人々は、今日も“彼ら”の悪意に脅威から無防備なままだ。

“彼ら”は現在、ネット社会におけるこつした個人攻撃が規制されつつある事実をどう感じるのだろうか？多くの人が、死人が出るほどの攻撃は間違っていると感じる事だろう、その感覚を否定できるのは重症のカルト信者だけだ。

“彼ら”の多くはカルト信者としての完成度は低い。
多くの幹部は出来の悪い信者たちに、やる気を出させるために、あれやこれや苦勞するのだろう。

けど、そんな苦勞は幹部の権威保全いがいの何ににも役に立たない。

「わたし、そんな役にもたたない活動、もうやりたくないの」と言ってもいいと思う。

「あなたが人々に与えた「衝撃」は尋常じゃないものだわ、皆への謝罪を無視していいはずないでしょ」

と言ってもいいと思う。

謝る時、人は最小限の謝罪で済まそうとする…。

もし相手がそんな謝罪で済まそうとしたら？

「とりあえず“ハンコ”ついてくれる？そしたら皆彼方の反省が本物と理解するわ、謝罪には行動が伴わないと意味がないわ、口ではどうとでも言えるもの」

と、凄む権利を君は持っている。大丈夫です、お釈迦様とてきつとそう言ってくれます。がんばれ！

「心理的圧迫」と「利益誘導」をたくみに織り交せて、巧妙に「心を」誘導するのが「彼ら」の手口だ。
気をつけて！

頑張つて！負けないでほしい。
たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。
そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、
それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろうか？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。
三界に家を建てるには、君が必要です。

「7月27（水）」「権柄^{けんぺい}尽く」という言葉がある」「

たぶんだけれど、“彼ら”と話していると、どうも自分の方が間違いないんじゃないか、

という錯覚に陥ると思う。

それくらい、組織の空気圧力は心を惑わすのだ。

目の前で犯罪が行われようとも、それが犯罪であると認識することさえ、

できなくなってしまうほどに…。

Fさんまちがったスローガンを叫ぶ人たちに惑わされないで！

組織にたよって生きながらえる事しか考えられない大人たちが、いかにこの国をダメにしてきたのか。

歪んだ要請ばかりがまかり通る組織、そんなものの犠牲になる理由はない。

借りがある？あつたとしてももう充分おつりがくるくらい貢献したと思う、いまさらこれ以上つくす理由はない。

「これ以上私に何をつくさせようというの？今まででもお釣りが来るくらいつくしたわ、感謝とねぎらいの言葉があつて当然じゃない？なんで非難されなきゃいけないのかまつたくわからないわ、そういう所が“カルト”っぽい所なのよ」「
と言つてもいいと思う。」

「権柄^{けんぺい}尽く」という言葉がある。

意味は、「権力に任せて、強引に事を行うこと。また、そのさま。」とある。

Fさん、もし君の周りにこんな人がいたら？こう言って上げて下さい。

「まるであなたの事ね」

こう言っただけであってがもし、ノーリアクションだったら？

「少しは恥じる態度をみせなさいよ、重症ね」

といつてもいいと思う。

最近何度も書いている東横の道の話…、

あの19年前、2人でわかれたあのT字路の二画には当時から駐車場があった。

駐車場そのものはいまもある、しかし、19年前、あそこには自動販売機があった。

その自販機は隣町まで自転車で行ったときなど、給水するために時おり利用したもので、よく覚えている。

19年前、あのT字路で別れた時、あの自動販売機の明かりで、けっこう明るかった。

しかし、そこ以外は真っ暗で、追跡者がいるかどうかなど、まったくわからない。

僕の方は東の工場沿いの道をゆくので明かりがあるが、君の向った方向は街灯もまともにならないような感じだったんじゃないだろうか？今、あの辺は整備され、街灯もたくさんあり、当時よりも明るい道になっている。夜、通る時など、そんな事を思ったりします。

君はあの日、真っ暗な道を1人で帰ったのだろうか？

真実に気がついた今、僕は、君にこう伝えたい。

もう1人じゃない、と。

いまはつらいのかもしれない、大変な目にあってるのかもしれない。

いろいろあると思う。けど、がんばって。負けなくて欲しい。
多分君の周りには悪意なく“そういう事”が出来る人がたくさん
たくさんいると思う。

それは悪意があるのではなく、心が内向きになっていて、外に向
いていないからだと思う。

心が外向きになれば、人として持つ“当たり前の感情”が戻って
きます。

そう、周りの人に言ってやってください。

繋がりには、今でもあるんだと、そう思えば乗り越えられると思
う。

きみにとっての“それ”が“何を”いみするのか。

君は君の心を信じて良いのだと思う。

頑張つて！負けなくてほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定
するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられて
いただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさな
いで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いていま
す。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

持久戦では君が優位だ、相手にそれを感覚として激しく実感させる必要がある。

これは、この記述が君のインスピレーションに働きかけ、より現実在即した効果的な行動に繋がればと願い、書いています。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

多くの人々は純真無垢な時期に最初の洗脳を受けている、その事実を認めたくないだけだ。

君がもし「間違い」に気がついたなら、臆する事無く、毅然とした態度で挑めばいいと伝えます。

…もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にす。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

(公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ)

(さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手がもつとも嫌がることでもある)

(証拠などがあると、なおさら効果は増す)

(でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う)

仕事を妨害するような事をする、営業妨害とされてしまうからそのへんのところを“かわす”やりかたがいい。

例をいうなら、面会の約束を取り付けに来た、もしいるなら、今会いたい、といった風いだ。

もしくは、会社関係者に別れたい理由を書いた手紙を複数送り、助力を請う旨伝える方法。上手くいくはずはないが、相手に揺さぶりくらいはかけられると思う。

どうせ向こうは年中、きみに揺さぶりをかけているのだから、そのくらいやって大丈夫だと思う。

過去の離婚ケースを徹底的に調べ上げて、似たケースや、そうでないケースや、いろいろ調べるのは、もしかしたら意味があるかもしれない。

可能ならば、“彼ら”の離婚のケースに集中して調べられるならなおさらいい。

うわさレベルだけど“彼ら”の中で離婚は意外と多いと聞く。

これは、やれという意味ではない。しかし、何かしらの行動のヒントとして、君のインスピレーションに訴えかけ、より現実的な行動に繋がればと思います。

どこに有効なヒントがあるか解らないので書きました。

「すり合せ」はいい意味でも悪い意味でも日本の文化だ、しかし、勝手なすり合せのよる犠牲に、君がなる必要はない。

“彼ら”の恥知らずな行為は多くのメンバーの失望と苛立ちを招くだろう。

そこに事実の衝撃として伝えられ、多くの人に迷惑をかけるはずだ。

「あなたが人々に与えた「衝撃」は尋常じゃないものだわ、皆みんなへの謝罪を無視していいはずないでしょ」と言ってもいいと思う。

謝る時、人は最小限の謝罪で済まそうとする…。

もし相手がそんな謝罪で済まそうとしたら？

「とりあえず“ハンコ”についてくれる？そしたら皆彼方の反省が本物と理解するわ、謝罪には行動が伴わないと意味がないわ、口ではどうとでも言えるもの」と、凄むすく権利を君は持っている。大丈夫です、お釈迦様とてきつとそう言ってくれます。がんばれ！

「心理的圧迫」と「利益誘導」をたくみに織り交せて、巧妙に「心を」誘導するのが「彼ら」の手口だ。気をつけて！

「本心では“ひどい、やりすぎた”って思ってたんでしょ？そうだなきゃおかしい」

と言つてもいいと思う。頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのでしょう？

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

持久戦では君が優位だ、相手にそれを感覚として激しく実感させる必要がある。

これは、この記述が君のインスピレーションに働きかけ、より現実に即した効果的な行動に繋がればと願い、書いています。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

仮に君に子供がいるなら？それについては僕はこう考える。

家族になって、しまえば、問題ない、と。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく、勇気を君に。

がんばれ！

.....

〔7月29（金）〕「彼ら」は君の人格を破壊すべく、過去、未来を通じて様々な手段を講じてくるだろう。

でも負けないでほしい。もし、君に譲れない“なにか”があるなら」

Fさんへ。

原発事故の避難地域で空き巣が増加傾向にあるという。

今、見たニュースでは、空き店舗などが中心にやられている印象だ。

被災者は全てを失った上に、さらに空き巣まで入られている。

“彼ら”ですら、「これはひどい」と思うだろう。

……しかし、部外者の僕から見たら、そうした空き巣の行為よりも、“彼ら”の集団犯罪は下劣なものだ。

これは、人としての質が問われてくると何度も書いた。

被災地で空き巣をする連中のなかにも、止むに止まれぬ理由の人もいるだろう……

しかし、今日見たニュースでは、 unnecessary破壊までしている空き巣がいたようだ。

もし、楽しんでやっている連中がいるとしたら最悪だ。

僕もあの“彼らの総攻撃”の日々で、楽しんでやっってる連中は何人も見た。

そういう連中の存在を、多くの彼らが卑下し見下している事を祈らざるをえません。

最近「マイブラザー」という映画を見た。

正直このタイトルの映画、ネットで見るまで知らなかった。

最近ツタヤディスカスをはじめたおかげで、店頭にあってもまず借りないだろう映画を見ようという気になってくる。

主人公は戦場で友人を殺してしまつ。

それも敵の激しい拷問に遭い、人格を破壊された果てでの出来事だ。

この話は物語だ、しかし、一度人格を破壊された人間がどう元に再生するのか？

その時、何が人間に必要なのか？を問う作品のように思った。

彼はなんとか無事帰国でき、家族とも再会し、元の生活にもどるのだが、戦場での過酷な記憶に悩まされる。

だれも自分の気持ちを理解できないと思い、どんどん孤立してゆくのだ。

最終的に彼は妻に友人を殺した事を告白する。

そこにいたる重い展開が、丁寧に丁寧に描写されている映画だった。

人は、予期せぬ事で償えない罪を背負う事もある。

しかし、最終的に人は立ち直れる。支えになる人と、自らの心の強さをもって。

“彼ら”は自らを反省しない、その行為を真剣に捕らえてないか

らだ。

君はまじめで真剣だった。
さぞかし、そのいい加減な世界が辛かったのでは…と考えてしま
う。

“彼ら”は君の人格を破壊すべく、過去、未来を通じて様々な手
段を講じてくるだろう。

でも負けないでほしい。

もし、君に譲れない“なにか”があるなら、

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定
するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧みな罠により、そういう行為をさせられて
いただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見て
ください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさな
いで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いていま
す。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思いますがどうなのでしょう
う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらっ
た、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用の呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。
三界に家を建てるには、君が必要です。

持久戦では君が優位だ、相手にそれを感覚として激しく実感させる必要がある。

これは、この記述が君のインスピレーションに働きかけ、より現実在即した効果的な行動に繋がればと願い、書いています。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」
と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

仮に君に子供がいるなら？それについては僕はこう考える。
家族になって、しまえば、問題ない、と。

そういう人は、どんな組織にも一定数必ずいる、敵ばかりでは決してないと、君に伝えます。

遊びじゃすまない事を遊びでやる連中に、よみがえる日々の意味を支えにする重大さを教えてやってもらいたいとおもつ。

ウソの救済話で、人の心を騙し取る人々を蹴散らしてほしい。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいです。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのようにどこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

(もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言い返せばいい)

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいけません。

なぜなら？その答えは君の心にあるのかもしれない…

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定

するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

持久戦では君が優位だ、相手にそれを感覚として激しく実感させる必要がある。

これは、この記述が君のインスピレーションに働きかけ、より現実
に即した効果的な行動に繋がればと願い、書いています。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

第1次世界大戦後のヴェルサイユ体制は悪意でもって世界を支配した。

（このヴェルサイユ体制下の世界秩序こそ、“彼ら”のいう世界の真実なのだろう。ではどうして日本が復興できたのか？その疑問に答えられる彼らはいらるのだろうか？）

その結果何がおこったか？ヒトラーの台頭とファシズムを生んだ。（ファシズムについては諸説定義があると、以前書いたが、僕がもつとも気に入っている定義は

「民主主義、社会主義を否定する、フランス革命以後登場した全ての政治体制」という定義が、一番わかりやすく好きだ。Fさん、これも以前書きましたね）

第2次大戦を経て現在、その反省にたち、世界秩序が作られている。

なぜ敗戦国日本が、援助され、復興できたか？

それはこの反省に立っているからだ。

これがヴェルサイユ体制下だったら、莫大な賠償金がかせられ、いまだ日本は最貧国だっただろう。

（ヴェルサイユ体制下の世界では、ほしい物は力づくで奪わないと手に入らなかった。故に戦争が起こり、悲劇が起こった。現在はその反省にたち、自由貿易体制がとられている。今の「自由貿易体制」は、ある意味「世界大戦防止システム」になっているのだ。だからこそ、経済ブロック化のニユースは、時おり世論をにぎわすのだ）

歴史を知らない人間は、現在の世界がもつとも酷いと考える。

それが故誤解するが、今よりも悲惨な時代が、つい70年ほど前にあり、改善されたからこそ、今がある。

歴史が断絶しているからこそ、正義の意味がわからないのだと、

僕は考えます。

Fさん、もし、君の周りに正義を軽んじる人がいたら？

こう言ってあげてください。

「歴史を学んだら？」と。

（“彼ら”としてその恩恵を受けている。第2次大戦後、宗教の自由が保障され、日本国内の宗教法人は課税されない。自由に布教できるのだから、正義の名の元の秩序により、保障されているのだ。）
（ちなみに宗教法人は政治活動をしてはいけないと、知っているだろうか？そういうえば、公明党と創価学会は形の上では別組織とされているが、あれも課税逃れの印象を拭えない。脱法行為ギリギリのグレーゾーンをついている。“彼ら”の場合はどうなのだろう？Fさん、君はどう思いますか？）

過去の歴史をみても、カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。

淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。

“彼ら”は進化の過程かもしれない、が、今現在の実情は、間違はなくカルトであり、殺人をも肯定する犯罪集団だ。僕は脱出をとにかく君に勧めます。

何がいけないのか？誰が悪いのか？

脱出して距離をとってからじっくり考えればいい。

その中にいる限り、永久に答えは出せないから。

“彼ら”的行動とは、「熱気」にあてられて思わず興奮する集団恍惚状態が作り出すものだと思う。

これが、お祭りとかスポーツならまだいいが、犯罪行為に集団恍惚するのは、間違っている。

…でも、恍惚状態トランスにあると、理性的判断が出来なくなり、皆、別人に変わってしまい、犯罪も肯定する人間にさせられてしまう。

こういう状態を一般に「トランス状態」と呼び、暗示を「ものすごく」受け入れやすい状態、と理解しないといけません。

一度暗示に「かかる」と、なかなかとれない。

君のまわりを見回してほしい、事実、普段はいたって「普通」なのに、“彼ら”の悪意に関しては「正常な思考」が出来ない人、多いと思う。

それは、暗示にかかっているからだと思う。

もちろんこれは推測を書いているに過ぎない。

その世界がそこまで「本当に」酷かったら、そつとう病んでいる事になる。

「病んだ人間を救う」のが本来の仏教であり、「病んだ人間を大量生産する」事はカルトの思考です。

そこは、どう屁理屈をこねても、覆せない、当たり前前の真実だと、「普通」の感覚の人間なら思うところです。

僕は賭けをしています。

君が僕に告白するかどうかと。

そこが、大きなターニングポイントになる。

それは事実です。

告白された事は胸にしまつつもりでいます。

“人を許せる時が、自分を高める時”

（日本テレビ系『行列のできる法律相談所』で有名な弁護士、菊地幸夫氏の言葉）

簡単でないが、目指しがいのある目標ですね。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。
奇跡を信じて。負けないで！

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

持久戦では君が優位だ、相手にそれを感覚として激しく実感させ

る必要がある。

これは、この記述が君のインスピレーションに働きかけ、より現実に即した効果的な行動に繋がればと願い、書いています。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

仮に君に子供がいるなら？それについては僕はこう考える。

家族になって、しまえば、問題ない、と。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。勇気を君に。

がんばれ！

第46話 不器用ながらも、真剣さを伝えたい2（未来へと続く話32）（後書

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第47話 迷った時は原点回帰（未来へと続く話33）（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第47話 迷った時は原点回帰（未来へと続く話33）

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

「8月1（月）「何かに似てると思うか否かは、人それぞれだけど」

大きな体制的欠陥：、それは村レベルでの閉鎖性を体制内に取り込んだ事だ。

あらたな因子、新たな可能性を取り入れる門が、最初から閉じている。

…ん？なんの話か？

もちろん日本の原子力従事者の話です。

原子力関係者は狭い世界で生きており、その様子は原子力村と揶揄されている。

閉鎖的で独善的で、先輩、後輩、恩人、知人以外存在しない世界で生きている事をさしている。

互いの批判、検証がなかなかできない。

出来るのは、和を乱すもの、イレギュラーを村から追い出す事だけだ。

今回の原発事故でその閉鎖性が公然の元さらされている。

何かに似てると思うか否かは、人それぞれだけど。

Fさん、もし君の周りに「自分たちは違う」という人がいたら、こう言っただけでください。

「そういう“態度”が閉鎖的なんだって、自分たちの欠陥を想定できない社会なんて、欠陥社会の典型よ」と、言っておいてください。

閉鎖村では「やらせ」は日常茶飯事だ、そちらの世界にもやらせはあるのだろうか？

まやかしと誤解で、人を閉鎖的にするその世界から、距離をとっていいと僕は考えます。

…いや、閉鎖的だけなら問題はない。問題は閉鎖性のなかで行われる犯罪だ。

外部の非難にさらされない犯罪思想と実行は、テロと同質のものだ。

「ばれないから…」

そういう理由でやる人々は多いと思う。

さっき見たニュースでこんな東大の人がいた。

若い頃、放射能に対する防護対策が、なんの現実的検証がされていない事を批判した人物。

彼は原子力村から敵視され、様々ないやがらせを受けたという。

大学ではだれも口をきいてくれないし、

出せもまったく出来ない。

そして隣の研究室にいた民間の原子力関係者は去り際、自分の役割がスパイである事をあかしたというのだ。

いやな社会だな、こんな連中に任していたから、あんな事故になった。

この先の原子力もこの閉鎖社会に任しているのか？ともし思えるなら、その感覚はただし。

“彼ら”の社会も閉鎖的だ、とても心配です。

“彼ら”は容赦ない、中には本気のやつもいる。

真正サイコパスは、日常面では普通の人だったりするから厄介だ。“彼ら”は君に何をしたのだろうか？とても心配しています。

Fさんへ、ないと思いたいけど、もし死ぬほど追い詰められたとしても、生き抜いてほしい。

これは僕のわがまま。

どうしても譲れない最大のわがままです。

罪は罪でも、君の全人格が否定されるものではない、なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。負けないでほしい！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

眞実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。勇気を君に。

「8月2日（火）」相手の欠点をメモで列挙しておくのも、役に立つかもしれない」

最近こんな事があった。

社長が複数の社員と面談する事になり、僕の番が来た。

面談自体は無難におわる。

でも、複数の人に言われた。何か言った？と。

そしてこんな事もあった。

一番“彼ら”である可能性が高い女性に、将来的には、現在の仕事をテーマとした漫画を書く気だと言ったところ、

「この事書く気！」

と猛烈に反応した。なにか書かれて困る事が？という印象を受けてしまう。

最近何かしら強力なバイアスが発生した事を感じる。

断片から推測する印象では、僕が言われるまで仕事を忘れていた趣旨で非難されている印象だ。

単に遅くて間に合わないだけで、それもちよつと遅れているだけだ。

似たようなミスは彼女自身もしている。

…たぶん、こういう非難はこのさきずっと続くのだろう。

問題なのは彼女が多くの人と仲が良い事だ、実に厄介な状況。

それでも、今までどおり、やり続けようと思う。

1つ1つ覚えていき、最終的に出来るようになるように。

でも、ただ1つだけ変えようと思う事がある。

前述したように、彼女も意外とミスをする。

これからはそうした事を1つ1つメモしていこうと思う。

僕は人の悪口を言うのが嫌いだ、特に個人攻撃の類は趣味でない。でも準備だけはしておかないと、イザという時反論もできなくなる。

もしかしたら近い将来、そうした準備が役に立つ日もくるかもし

れない。

君は今も戦っているのだろうか？

もしそうなら、僕もまた自分なりの戦いを今日も続けている事を、君に伝えます。

そう言えば君も人の悪口苦手だったと思う、自ら進んで誰かを攻撃するの苦手なんじゃないだろうか？

もし今も戦っているなら、相手の欠点をメモで列挙しておくのも、役に立つかもしれない。

(こんな事役に立つかわからないけど、何が決め手になるか判らないので、書ける事は何でも書こうと思います。)

君が何を感じ、どう思うのか？いつか聞ける日を信じて。

今は都合が悪いだけだ、そう、思うことにしました。とにかく待とうと思う。

君はあの夏の日、言ったように思う。

「紅の豚」のヒロインの1人、ホテルの女主人ジーナが言ったセリフ。

「私、賭けをしているの」

もし豚が昼間訪ねてきたら、今度こそ彼を愛そうという賭けを。

見終わった後、君は言ったように思う。

「私も賭けをしているの」

くすぐったくなるような笑顔で、君が言った記憶がある。

あれは君の記憶ではどうなっているのだろうか…

いつか2人の記憶の答え合わせが出来る日が来れば嬉しいです。

最近何気なく、第9話を読んでみた。

…実に読みにくい。

句読点がほとんどなく、実に読みにくい文章だ。

でも何だか必死なのがわかる、当時は真実に気がついて日が浅い。そこに心境が文体にあらわれている。

だから、文章読みにくいけど、そのままにしようと思う。必死さを伝えるのに、格好なんて関係ない。

情熱を失わせるのは“彼ら”のオハコだ！気をつけて！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

持久戦では君が優位だ、相手にそれを感覚として激しく実感させ

る必要がある。

これは、この記述が君のインスピレーションに働きかけ、より現実に即した効果的な行動に繋がればと願い、書いています。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

仮に君に子供がいるなら？それについては僕はこう考える。

家族になって、しまえば、問題ない、と。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

そうなるだけだ。

そんな事、ふと思った。
たぶん：いろいろあるのだと思う。

手に負えない状況なのかもしれない。
それでも、やけにならず、前を向いてほしい。

自分自身に誠実でありつづけさえすれば、いいと思う。
自分を偽らず、誠実に。

どんなに理解されなくとも、活路はそこにある。
そう信じていいと思う。

自然に、自分でいることが大切です。
何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。
それらは脱出してから考えればいい。
“神”のためと称して、実際は富のために戦うやからを蹴散らしてほしい。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。
君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、
冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

君は今、どんな状況なのだろう？

この小説は君が今も戦っているという前提で書いています。心配している…、その事実だけでも、君に伝わればうれしい、そんな思いです。

…もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にす。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

(公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ)

(さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手がもつとも嫌がることでもある)

(証拠などがあると、なおさら効果は増す)

(でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う)

仕事を妨害するような事をする、営業妨害とされてしまうからそのへんのところを“かわす”やりかたがいい。

例をいうなら、面会の約束を取り付けに来た、もしいるなら、今会いたい、といった風いだ。

もしくは、会社関係者に別れたい理由を書いた手紙を複数送り、助力を請う旨伝える方法。上手くいくはずはないが、相手に揺さぶりくらいはかけられると思う。

どうせ向こうは年中、きみに揺さぶりをかけているのだから、そ

のくらいやつても大丈夫だと思う。

過去の離婚ケースを徹底的に調べ上げて、似たケースや、そうではないケースや、いろいろ調べるのは、もしかしたら意味があるかもしれない。

可能ならば、“彼ら”の離婚のケースに集中して調べられるならなおさらいい。

うわさレベルだけど“彼ら”の中で離婚は意外と多いと聞く。

これは、やれという意味ではない。しかし、何かしらの行動のヒントとして、君のインスピレーションに訴えかけ、より現実的な行動に繋がればと思い書いています。

どこに有効なヒントがあるか解らないので書きました。

罪は罪でも、君の全人格が否定されるものではない、なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。負けないでほしい！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思っているのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

“彼ら”と戦いながらも、普通の生活をする事は意味がある。

なぜなら?“彼ら”はターゲットを追い詰めて、普通の生活を出来ないように追い詰めるからだ。

ある意味、普通にのほほんと暮らし続ける事は、“彼ら”に対する勝利でもある。

(もし、負けおしみだ!と言う人がいたら?こういつてほしい。その言葉そっくりそのまま返上します”と。)

最近「キングダム・オブ・ヘブン」という映画を見た。

11世紀のフランスとイスラエルを描いた映画だ。

正直、最初はよくあるB級歴史映画と思い込んでいた。

しかし、見るとその完成度の高さに唖然とする…

よくよく調べると、リドリー・スコット監督作品だった。

(アカデミー賞を取ったこともある実力派の監督です)

特に11世紀の十字軍の様子を描写したとことか、当時のイスラエル市街を描いた様子はものすごい。

欠点もある。

こみ上げるものがいまいち無い所だ。もう少し落ち込む主人公を見たかった。落ち込んで、いかに立ち上がるか?という描写では、

同じ監督の作品「グラディエーター」の方がすごかった。(こちらはアカデミー賞をとっている)

この作品の主人公は一度、落ち込むのだ。せつかく聖地イスラエルにやってきたのに、彼には神の声が聞こえなかった。

キリストが処刑された丘に行き、祈っても聞こえなかった。彼は自分の信仰心が無いせいだと、激しく落ち込むのだ。

その事を知人に告白すると、知人の騎士はあっさり言っただけのける。信仰心など、意味が無いと。

神が本当に求めるのは、良識だ。

頭と心が行動し、良識ある行いをする事を、神は望んでいる。

その言葉を聴き、主人公は認識を新たにします。

こういふ描写、実は好きです。

人間は自分自身の主人であるべきとか、昔の偉人が言っていたように思う。

この映画がいまいち盛り上がらないのは、敵がいまいちなところだと思ふ。

恋敵もあまり憎たらしくないし、政敵も恐ろしくない。

そういう相手がいたほうが、ストーリーは盛り上がる。

“彼ら”が、だれか組織の敵を作り上げて攻撃するのは、そうした敵がいたほうが、生活が「盛り上がる」からなのではないだろうか？

Fさんはどう思いますか？

それがお釈迦様の望む世界に思うのは、洗脳の成せる技と、気づける良識が人間にはあると信じます。

“彼ら”の攻撃は実に巧妙で巧みだ。

気がつかないものまである。気がつかないうちに、間違った事を教えられ、後で「そんな事教えてない」と悪いのはこちらであるくらしいの事は、実際平気でやる。

理解できない行動をする人は、“彼ら”と考えて接したほうがいいようです。

それでも、あからさまな敵意を出さず、接して、適切な距離と付き合いが出来るようにするのがベストだと思う。Fさんはどう考えますか？いつかそんな話が出来たら嬉しいです。

そして、こうも思う。

君が戦い続けられるなら、僕も戦い続けられます。

…もし、今もなお「交渉」という戦いの場にあるなら？

“彼ら”の最大の弱点は、自分たちは準カルト的集団であり、本物のカルトではないと「思い込んでいる」点だ。

だから、公式の立場を大切にする。

交渉するなら、相手の職場を訪ねるのが、最も効果的と以前書いた。

この事自体は間違っていないと思う。

(公式の立場が優先される職場では、彼らの行動はかなり制限され、まともな人間としての対応が要求されるからだ)

(さらに、そうした“公式な場”において、その人物の変った普段の姿を暴露するというのは、相手がもつとも嫌がることもある)(証拠などがあると、なおさら効果は増す)

(でも、やり方と出すタイミングを間違えると、空振りに終わる事もあるので注意がいると思う)

仕事を妨害するような事をする、営業妨害とされてしまうから、

そのへんのところを“かわす”やりかたがいい。

例をいうなら、面会の約束を取り付けに来た、もしいるなら、今会いたい、といった風いだ。

もしくは、会社関係者に別れたい理由を書いた手紙を複数送り、助力を請う旨伝える方法。上手くいくはずはないが、相手に揺さぶりくらいはかけられると思う。

どうせ向こうは年中、きみに揺さぶりをかけているのだから、そのくらいやっても大丈夫だと思う。

過去の離婚ケースを徹底的に調べ上げて、似たケースや、そうでないケースや、いろいろ調べるのは、もしかしたら意味があるかもしれない。

可能ならば、“彼ら”の離婚のケースに集中して調べられるならなおさらいい。

うわさレベルだけど“彼ら”の中で離婚は意外と多いと聞く。

これは、やれという意味ではない。しかし、何かしらの行動のヒントとして、君のインスピレーションに訴えかけ、より現実的な行動に繋がればと思います。

どこに有効なヒントがあるか解らないので書きました。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

持久戦では君が優位だ、相手にそれを感覚として激しく実感させる必要がある。

これは、この記述が君のインスピレーションに働きかけ、より現実に即した効果的な行動に繋がればと願い、書いています。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に(あなたが)地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

「あなたが人々に与えた「衝撃」は尋常じゃないものだよ、そろそろ皆に謝罪してもいいんじゃない？」と言う権利がFさんには、あるように思う。真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

がんばれ！

.....
.....
.....
.....

「8月6日（土）「こないだ、こんなニュースがあった」」

こんなニュースを見た。

イランの出来事だ。

1979年（僕らが生まれて5年後）に革命が起こって以来、イランはイスラム原理主義の国になった。

正確にはイスラム教シーア派の国になった。

革命政府は近代的な法体系よりも、より中世の常識にそったイスラム法を重視。現在にいたる。

世界中から非難されつつも、こうしたイスラム法重視の姿勢は今日まで続いている。

で、こないだ、こんなニュースがあった。

女性の目に劇薬をかけて失明させた男が裁判にかけられた。

裁判では、例によりイスラム法色の強い判決が出る。

犯人の目にも、被害者同様、劇薬をかけ、失明させよ。という判決だ。

この話には、意外なオチがまっていた。

何年も犯人への復讐を願っていた女性は、いざ刑の執行の時にになり、長年の恨みが消え、彼を許したのだ。

彼女の行為は賞賛され、褒め称えられている。

しかし、こうも思う。

彼女の決断が賞賛すべき行いであるのは事実だ。

しかし、そんな原始的な復讐を、国家が判決として下すのは、なんだか問題があるように思う。

(まるで古代ローマ皇帝が、国民の不满をスッキリさせるため残酷な殺人シヨウを毎日提供したのに似ている。

残酷な刑というのは、大概が公開され、多くの人が見学する。それは現代のイランなどでもしばしば見られる光景だ)

こうも思う。“彼ら”は「仏法」が「近代法」よりも優先すると主張する。

これは、イスラム法が近代法より優先するとする考えに、類似し

ている。まるで仏教の原理主義的思考だ。

近代法に存在する、人は「反省する」という概念が欠落している。

「雨月物語」（つげしげのがたり）（＝江戸時代後期に著わされた読本の代表作よみほん）にこんなものがあると聞いた。

直ぐに帰ると妻にいい、田舎をでた夫は、全財産をもって一括千金を夢見て上京。しかし、戦に巻き込まれ、帰郷するのに7年もかかってしまった。

田舎では、妻がボロボロになりながらも待つていた。

妻は言う、あなたの事を長年恨んだが、そんな恨みも消えるほどの月日が流れた。いまは、もう一度会わずに死ぬ事の方がよほどこわい。帰ってきてくれて感謝しています。と。

半ば、捨てるよな形で田舎を離れた夫は感動…。

そんな話だ。（この話は一応、怪談なので、このあと翌朝夫が目を覚ますと、実はそこは荒野で、妻の墓があるだけだったという才子になる。まあ、物語としてはその方が盛り上がるけど、現実には御免こうむりたい話だ）

この話は心を打つ怪談だと思う。

許しは人の心を打つ。

その事実は人間の本質を考える上で重要だ。

こうした物語は世界中に存在し、長年語り継がれていると思う。

こういう世界でありたい、という想いがつまっているのだろうか？

そうした歴史の積み重ねが、バイアスとなり具現化し、今日の法律へと繋がっているように思う。

“彼ら”は許しを否定する。排除か、無視か、従わせるのみだ。

これは言いがかり？どうなのだろう…。カルトのいいわけは巧妙

だから、きつといるいろな説明をされる事だろう。

惑わされず、立ち向かってほしい。

君は「泣き言」を聞くのが嫌いな人だった。だから、ここにはそうした類の事は書かない。

もし現実の僕の様子をしる人間がこれを読んだら、よく泣き言を言わないものだと言和感を感じる事だろう。

君は自分の弱い所をけつして人に見せない人だ。だから、自分同様、周りの人にも同じように弱さは隠してほしいと感じるのだろうか？

過去、君が愚痴をいう姿をあまり見たことが無かった。

そんな君の気持ちに報いるためにも、ここには泣き言は書かない。以前にも、この小説内で書いたと思う。もう泣かないと決めたと。

もし、何かしら戦っているなら、「弱い面」を人にさらす事も何度かあると思う。

これは僕のワガママなんだけど聞いてほしい。

どんなに辛くても、生き抜いてほしい。

どんなに上手くいなくても、諦めないでほしい。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。

なにか言われたら？こつ言い返せばいい。

「あなたが「許す」事ができないのは、カルトだから仕方が無い。でも負けないから」と。

「あなたが人々に与えた「衝撃」は尋常じゃないものだわ、皆への謝罪を無視していいはずないでしょ」

と言ってもいいと思う。

謝る時、人は最小限の謝罪で済まそうとする…。

もし相手がそんな謝罪で済まそうとしたら？

「とりあえず“ハンコ”についてくれる？そしたら皆彼方の反省が本物と理解するわ、謝罪には行動が伴わないと意味がないわ、口ではどうとでも言えるもの」

と、凄む^{すじ}権利を君は持っている。大丈夫です、お釈迦様とてきつとそう言ってくれます。がんばれ！

「心理的圧迫」と「利益誘導」をたくみに織り交せて、巧妙に「心を」誘導するのが“彼ら”の手口だ。

気をつけて！Fさん、“彼ら”は個人レベルでは「カルト信者としての」完成度が「低い」。

幹部に問題がある。

僕は何度も書いた、これは、教えが正しいとかどうかという問題ではない、人としての“質”が問われているのだ。

理由さえあれば、組織を離れてもいいと思う。

君はおそらく組織内の人間からみても、厳しく育てられたのだと推察する。

環境に問題がある…、多くの組織内の人間ですら、そう思うはずだ。

“彼ら”の多くは「カルト信者」としての完成度自体は「低い」のだから、なにも恥じたり、気にしたりする必要はない。

堂々と、自分を取り戻していいのです。

これはアメリカのモルモン教のお話。

(モルモン教「末日聖徒イエス・キリスト教会が正式名称。1830年代に創設。

近代に誕生したキリスト教系の新宗派の中では最大勢力)

モルモン教を批判する勢力はその創設者、ジョセフ・スミス・ジュニアが教団創設から最初の10年、一夫多妻生活をしていた事を秘密にしていたことを指摘する。

モルモン教を批判する勢力はこう言うのだ。

「実は最初の妻に、浮気がばれて、しかたなく「神の啓示を受けた。複数の妻をめとれ」といい訳をしたのだ」と。

つまり、浮気がばれるまでの10年間は秘密だったわけだ。

この話を聞くとモルモン教の保守派は怒るそうだ。

なぜなら、彼らは、創設者の受けた神の啓示に従い、2011年現在も一夫多妻をしている。

モルモン教徒にうまれた子供は、小さい頃から、それが当たり前と教育され、結婚相手も決められてしまう。

複数の妻の間には時おりトラブルも起き、もめるそうだ。

一応現在は、一夫多妻は異端とされ、ているが。目立たぬところで大規模に現在も行われているらしい。

メンバーは自分が多重結婚をしている事を、部外者にばれないように、鉄の結束で口をつぐむらしい。

彼らは絶対に、創設者の悪口を信じない。

前述の、浮気がばれたいいわけを真に受けて、一夫多妻の生活をしているのだとは、信じたくないわけだ。

じゃああ、なぜ、創設者は最初の10年、多重婚を秘密にしていたのか、説明できるか?と問えば、多くのモルモン教とは答えに苦

しむ事だろう。

そんな事を、この話を聞いて思った。

語るのも危険なタブーが存在する宗教？なんかカルトっぽいと思えたら、あなたの感覚は正常です、そう、周りの人に伝えてほしい。

モルモン教の主流派が、一夫多妻を否定したのも、周辺からの批判に耐えかねてだ。

宗派として生き残るためには、そうした努力は必要なのだと思う。カルトが永久にカルトでいつづけた歴史はない。

犯罪的なものは、社会との軋轢が増して、淘汰されるし。

淘汰されないよう工夫すると、カルトでない普通の宗教へ進化する。…という事なのだと思う、君は何を感じますか？

そうそう、強調しておくけど、これはモルモン教一派のこと。“彼ら”とは関係ない。

だから、これを読んで“彼ら”が憤慨する理由は一切無い。もし、いたら？

「なにか心に「やましい事」でもあるの？」
と言え言いだけのことだ。

たぶん…いろいろあるのだと思う。

手に負えない状況なのかもしれない。

それでも、やけにならず、前を向っていてほしい。

僕は19年前の君の謎の言動の真実を理解したい衝動をずっと持っていた。

あの笑顔の意味を知りたくて努力した。

生まれつきの鈍感さはあいかわらずだけど、努力して得たものは、確かに君の心に繋がったと感じた。

心のなかの“それ”を大事にして、追求するのは、人として正しい行為だと僕は感じる。

もし、君も同じような感覚を抱いてくれるなら嬉しいです。いつか、どう思うのか聞かせてください。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。どんな罪があるうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けしないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君の名前の最初の1文字は「真実を見て（知り）理解する者」と言う意味がある。

名づけた方の意思に反しようが、真実を見極めてもいいと思う。

なぜなら、その名前の字をこの世に送り出した人々は、名づけた人よりも遙か昔にいた人々で、過去存在した多くの人々の想いがその名の意味を支えている。君の名の1文字は歴史を重ねて作りあげています。そして、その1字の意味の通り生きていいのだと思う。

君は価値ある人物です。がんばれ！

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

「8月8日（月）「一般の“彼ら”と一般でない“彼ら”には大きな溝があり、カルト信者としての完成度にも大きな開きがある？」

「いう事だろうか？」

僕は何度か書いた、普通の生活を続ける事に意味がある、と。そんなわけで、“彼ら”の悪口の類はあまりネット検索していない。

ごくたまに、思い出したように検索してみたりするだけだ。

(なにしろ数が多すぎて嫌になるからだ、全部みていたらきりが無い)

…で、たまに見てみたら、こんな記述をみた。

「…それは 部の人間で、一般の 員じゃない」という記述だ。“彼ら”の多くは「カルト信者」としての完成度が「低い」と以前書いた。

あれは経験から導き出した、僕の個人的な感想なんだけど、こういう記述みると、さもありません、まんざら間違っていないかも、と思ってしまう。

一般の“彼ら”と一般でない“彼ら”には大きな溝があり、カルト信者としての完成度にも大きな開きがある？という事だろうか？

君はどう、「今」思っていますか？

小さかった君は耐えた。頑張れば救われると信じようと努力した。どんなに疑問や悩みを抱えようと、誰も受け入れてくれない、自分が悪いんだと思い込む事しか、解決できなかった…
そうなのだろうか？

…生き方は人の自由だと思う。カルトで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由。

でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為に繋がるものをやめてほしい。
もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのようにどこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言い返せばいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？
その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいけません。

なぜなら？その答えは君の心にあるのかもしれない…

長年信じてきた常識が全部間違っているとされると、
確かに「なんなの！？」と思う。

これは人間としての質が問われているのです。

そう周りの人に伝えてください。頑張つて！負けないでほしい。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！

優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

眞実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく、
勇気を君に。

.....
.....
.....
「8月9日（火）」いつの時代も、こういう人らは、いるという事
なのだろうか？」

法然は念仏さえとなえれば極楽浄土へいけると、最初にとなえた
人だそうだ。

当時、その考えは画期的で、物凄い勢いで広がってゆく…

日蓮や親鸞が教団を立ち上げる、鎌倉新仏教が次々に立ち上がる
以前の話だそうです。

教団が巨大化してゆくうち、弟子たちが信者ほしさに過激な言動
をするようになり、法然はピンチに陥る。

最終的には、僧侶の身分を剥奪され、流罪にされたとか…

弟子たちは、念仏さえとなえれば、戒律をいくら破ってもいい、
とか。犯罪をいくらしてもいい、とかとんでもないことを言い出し、
法然を困らせたらしい。

いつの時代も、こういう人らは、いるという事なのだろうか？

これは個人的な感想。

六道から解脱しても浄土へは行けないと思う。

そもそもそれは救いのない中世で、いかに救いを求めるか？を求

めた当時の人の「知恵」だ。

その英知の本質を探る事をせず、ただ文字だけを追っても、お釈迦様の教えには近づかないと思う。

信者ほしさに、過激な言動を繰り返す幹部、いるのだろうか？

惑わされず、自分を取り戻してほしい。

これは、僕のわがまま。

絶対に生き抜いてほしい、たとえ、何が過去にあり、今、何が待ち受けているにしても。

なぜなら？あきらめたら、またいいように人生を操られてしまう。

これは僕のわがまま、何があるうと、生き抜いてほしい。

「前」を向く事をあきらめないでほしい。

君は自分で思っている以上に強い女の子です。

絶対に大丈夫です。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由。

でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのようにどこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

（もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言い返せばいい）

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？

その答えは組織内には永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにはいけません。

なぜなら？その答えは君の心にあるのかもしれない…

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろうか？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

距離をとつてもいいと思う。

こんな事も思い出す。

こちらに来てからペーパードライバー講習を受けたとき。本来なら講習をしなきゃいけない時間。たつぷり説明された、世の中のルールを守れと。

この人は“彼ら”の要素が非常に高かった。

自分が悪いと思っただろう…

以前書いたと思う、これからは、人の悪口の類もちゃんといわないと…と。

なかなかどうしてこれが、難しい。

なぜなら？僕は人から悪口を言われたくない、だから人にも言わない。

そういう生活を続けていたので、なかなかいいにくい。人はそんな僕の様子をみて「遠慮している」と表現するようだ、つい最近もそんな事を言われた。遠慮してなにも言わないと、結果としてコミュニケーションが円滑にいかず、問題になる。と。

こういう特徴、君も持っていたように感じた。

お互いに遠慮しあう…そんな関係だったように思う。

今も？

そうなのか、どうなのか？

どんな答えにしる、いつか聞ける日を信じます。

たとえ僕の望まない答えにしる、聞かなければ、時間が止まったままだ。

今は何か都合が悪いただけだ…、そう思うことにした。

とにかく、君からの連絡がある未来を、待とうと思います。

“彼ら”は「逆恨み」を平気でする？

それはそれで仕方が無いかもしれない…。

それがカルトの性質なのだから。

でも、そんな世界が辛く息苦しいと感じたなら？

距離をとつてもいいと思う。

生き方は人の自由だ。そこで過ごす事を選ぶのも、誰彼の自由でも、あえていいいます。

君にだけは、そうした犯罪行為をやめてほしい。

もし、今やめているなら、これからも継続してほしい。

それが、過去迷惑をかけた人達へのつぐないにもつながる。

言霊ことだまのように…どこかで、被害者の無念を晴らすことに繋がっていると思う。

(もし、誰かにそんな事で無念が晴らせるわけないだろ！とか言われたら？ああ、悪い事してるって自覚あるのね？なら、私が辞めたい理由をもう理解している事になるわ、と言いつ返せばいい)

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？

その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

いつまでもそこにいてはいけません。

なぜなら？その答えは君の心にあるのかもしれない…君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

僕は至らぬ人間ですが、精一杯の背伸びをして伝えます。

君の事が心配だからです。詳しくは21話参照してください。

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遙かに超える“巨大さ”をもっているようです。

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

物事は単純ではない、なにかしらバイアスがあり、それらが絡み合い“何か”を引き起こしている。

単純な真理一つで救われるほど、単純ではない。

まして、意味も解らず教えを妄信すれば、世界が救われるなど、ありえない事です。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くなないと、わからないはずなのです。

それが証拠に、彼らは彼ら自身の行いで、ドンドン日本を荒廃させている。

「いいわけ」と「ごまかし」の果てにある「悪意の集約」が何を引き起こすのか？

冷静に考えれば、わかることです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。

教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援します。

君は自分で思っている以上に強い人です。

君が君らしくいてくれる事を、切に祈ります。

がんばれ！たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格が否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

持久戦では君が優位だ、相手にそれを感覚として激しく実感させ

る必要がある。

これは、この記述が君のインスピレーションに働きかけ、より現実に即した効果的な行動に繋がればと願い、書いています。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

「彼方が人々に与えた「衝撃」は尋常じゃないものだわ、そろそろ皆に謝罪してもいいんじゃない？」

と言う権利がFさんには、あるように思う。真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

がんばれ！

.....

.....
「8月13日(土)「いやいやなにかやらされた事、あるのだろうか?」」

「ストレス」に対する「免疫」をつける?
そういう事なのかもしれない。

あの総攻撃のとき、ものすごい荒い息でストレスが絶頂まで感じられているような若者が近づいてくるのを、何度か経験した。

本人はやりたくないのだが、誰かにやらされている...
そんな感じだった。

免疫をつける訓練そのものはわるくない。
しかし、そうした訓練なら、スポーツでもつむ事は出来る。
彼らのやっている事は、気弱な子供に万引きをさせて、度胸をつけさせようとすると、なにも変りは無い。

万引きを見つけれない店主がわるい、とでも思うのだろうか?

君もいやいやなにかやらされた事、あるのだろうか?
高校時代聞いたチカンにあった話など、どうしてもひっかかる。
被害にあったというよりも、気づくかな?私の真意に気づくかな?
?という顔で、僕を見つけていたような...

実際、東京で電車の中で若い女性ばかりに囲まれた事はある。
こちらに来てからは、当初、若くてかわいい10代の子ばかりに遭遇するのが奇妙に感じた。

今、現在はそんな事はないが、“彼ら”のモラルの低さを考える

と。
これは仮説だけど、被害者がいるとしたら、それは君1人ではないと思う。

考えすぎよ、そんな事ないから。

そう君から聞けたらうれしい。

いつか、これが言いがかりかどうか、教えてほしい…。

一般の“彼ら”と、一般でない“彼ら”は違うというが、どうなのだろう？

誰かの犠牲になる必要は、もう無いと、強く主張します。

君は、もう1人ではない。

真実に気づく以前の当時、自分にはFさんと親しくする資格が無いと思っていた。

こんなにしてもらっていいのだろうか？といつも思った。

君に疑問をぶつけると、そんな事無いよと君が答えてくれる。

あれは…、幸せな瞬間だった。

そんな記憶、確かにある。

手を2人合わせると、同じ大きさだったのに驚いた。

君がなんとなくドキドキしていたのを覚えている。

手を合わせるといふ行為は、手をつなぐ以上に非日常な感じがする。

君は、あのときの事覚えているだろうか？

時々、自分の手を広げて、同じ大きさの手を持つ女の子の事を思い出す。

幸せな記憶は確かに今もここにある。

そう、思うことがあります。

顔に触れた事、覚えているかな…？

あれは幸せな記憶だ。

君の記憶では、どんな風になっっているのだろう。

ただ、ほほを触るだけなのに、なんだか、物凄く幸せに感じた。

僕は笑顔の君が大好きだ。笑顔で無い君も大好きだけど、やはり笑顔の方がよりいい。

大切な“なにか”があるなら、それは重大な事です。

世の中にはそれが無い人も事実いるのだから。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用の呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

持久戦では君が優位だ、相手にそれを感覚として激しく実感させる必要がある。

これは、この記述が君のインスピレーションに働きかけ、より現実在即した効果的な行動に繋がればと願い、書いています。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

今は何か都合が悪いだけだ…、そう思うことにした。

とにかく待とうと思う。何かしら決着をみたら、君は何かしらの行動を起こす、そう思うからだ。

眞実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。勇気を君に。

がんばれ！

.....

「8月14日(日)、「彼ら」の悪事などないがごとく振舞うなど、君のためなら、何の苦もなく実行できます」

こんなニュースを見た。

(以下転記)

神世界「教祖」ら4人逮捕へ 詐欺容疑 神奈川県警

時事通信 8月17日(水) 13時24分配信

「神世界」グループの霊感商法事件で、神奈川県警が17日、詐欺容疑で、「教祖」とされるグループトップの男ら4人の逮捕状を取ったことが分かった。午後にも逮捕する方針。

県警は3月、グループ系列会社のヒーリングサロン元役員らを詐欺容疑で逮捕するなどして、実態解明を進めてきた。

捜査関係者らによると、神世界グループは、傘下のサロンで「キツネの霊が取りついている」などと虚偽の説明をし、1回10万〜数百万円を要求。売り上げは2000年から08年にかけて170億円あったとされ、被害者は全国で数千人に上るとみられる。

(転記終わり)

今現在も、こういうものを信じる人は現実にいるらしい。いい大人がなぜ?と黙ってしまふ。

しかし、以前にも説明したけど、人間の「脳」のメカニズムは「催眠と暗示」によつて、「洗脳」される仕組みがある。

悪意ある人物が、こうした「催眠」の高度なテクニックを駆使すれば、こういう事件も起こるといふ事だ。

僕自身ですら、注意していないと、暗示にかかる。

東京での経験がそれを教えてくれる。

暗示にかかる事はけつして、恥ではない。

人間なら避けられない事だ。

悪いのは、無防備な人々に、このテクニックを使い悪事をはたらく連中だ。

君の周りに、今もいるだろう。

「毎日祈りなさい」

と言う人。

本人に悪意がなくとも、毎日祈る行為は、自分に自己暗示をかける行為だ。

毎日暗示をかけるのだから、簡単に催眠にかかってしまふ。

どんなに、信頼する人から勧められても、毎日の祈りはやめたほうがいい。

長年信じてきた常識が全部間違っているとされると、

確かに「なんなの!？」と思う。

これは人間としての質が問われているのです。

そう周りの人に伝えてください。

ありもしないペナルティーをさも「ある」がごとく言い、攻め立てるサイコパスに負けないで!

頑張つて! 負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい! 負けるな!

仲間を売れと言っているのではない。

君自身を取り戻してほしいと願っているのだ。

そして…仲間を売らずに脱出する事は可能です。

理由? そりゃあもちろん、僕がけっしてもらさないからだ。

今でも“彼ら”の行為をとばけきっている。

“彼ら”の悪事などないがごとく振舞うなど、君のためなら、何の苦もなく実行できます。

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで! 心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで!)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう

う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

持久戦では君が優位だ、相手にそれを感覚として激しく実感させる必要がある。

これは、この記述が君のインスピレーションに働きかけ、より現実に即した効果的な行動に繋がればと願い、書いています。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

に気づく。

“彼ら”の場合は？

おそらく「現世利得」が崩壊した時点で、多くの人が気がつくの
だろう…。

だから「現世利得の崩壊」を感じさせないために、自分たちより
不幸な人々を、人工的に作る必要があるのかもしれない。

こんな事を考えると、マッチポンプ（「マッチで自ら火事を起
こして煽り、それを自らポンプで消す」などと喩えられるように、
問題や騒動について、自身でわざわざ作り出しておきながら、ある
いは自身の存在がその根源であるにもかかわらず、そ知らぬ顔で巧
妙に立ち回り、その解決・収拾の立役者役も自ら担って賞賛や利益
を得ようとする、その様な行為を指して用いられる表現、和製英語）
という言葉が「つつい」あたりに浮かんでしまう。

“彼ら”は自分自身がその根源であるにもかかわらず、そ知らぬ
顔で巧妙に立ち回り、その解決・収拾の立役者役も自ら担って賞賛
や利益を得ようとする。

その過程で、犯罪行為にも平気で手を出す集団と化してしまった。

「破たんするまでは奉仕する」

そんな心理状況に、多くのメンバーがなっているという事なのだ
ろうか？

君はどう思いますか？

身近な人と、こういう話題が話し合える環境なのだろうか？

小さかった君は耐えた。頑張れば救われると信じようと一生懸命
努力した。

どんなに疑問や悩みを抱えようと。

何か心に疑問が浮かんだとしても、自分が悪いんだと思い込む事
でしか、解決できなかった…

そうなのだろうか？どうなのだろう…。

脱出する事と、仲間を売る事は違う。その事は保障します。理由？そりゃあもちろん、僕がけっしてもらさないからだ。今でも“彼ら”の行為をとぼけきっている。

“彼ら”の悪事などないがごとく振舞うなど、君のためなら、何の苦もなく実行できます。

とにかく、何が正しいのか、誰が悪いのか、どうすればいいのか？その答えは組織内においては永久に出ない。

脱出が先決です。

それらは脱出してから考えればいい。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう

う。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

持久戦では君が優位だ、相手にそれを感覚として激しく実感させる必要がある。

これは、この記述が君のインスピレーションに働きかけ、より現実
に即した効果的な行動に繋がればと願い、書いています。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

「あなたが人々に与えた「衝撃」は尋常じゃないものだわ、そろそろ皆に謝罪してもいいんじゃない？」

と言う権利がFさんには、あるように思う。 眞実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

再会を信じて。 がんばれ！

.....

〔8月16日（火）〕他宗派のコミュニティに入って、そうした横暴な連中から、地域ぐるみで守ってもらおうという手もあると思う。他宗派のお寺は探せばすぐみつかると。そんな事思いました。単に所属するのではなく、そのコミュニティの行事に多く参加するところがポイントみたいだ。〕

Fさんへ。

何が役に立つか解らないので、一応書きます。

重要な意味になるかどうかは君の心一つで決まる事です。

生まれた直後から入会させられている、脱会の意味をしめすと、

親から勘当を...

何て話はあちこちにあるらしい。

半ばおどしの家庭訪問もあると聞く。

（これは“彼ら”に限った話ではなく、一般論です）

そついう人で、スムーズに呪縛から逃れた人の話を聞いた。

以下はその転記です。

(転記)

もっとも本人の知らないうちに登録されているので幽霊信者が大
多数らしい。

二世で仕方なくという人もおり、一口に会員と言っても信仰の具合
はバラバラ。

員の親を持つと生まれた直後に入会させられるためにさらに信
者が増える……。しかも脱退を試みるも親に勘当するぞと脅され
なかなか脱退できない。(by 熱心な 員の子供)

別の宗派のお寺の近くに引越して、地域のコミュニティに積極
的に参加すると良いよ。

(by 員の子供だったにもかかわらず、浄土真宗のお寺が目
と鼻の先にあつたためにサクツと乗り換えた親の子供)

(転記終わり)

君の所には今でもこわい家庭訪問がくるのだろうか？

他宗派のコミュニティに入って、そうした横暴な連中から、地
域ぐるみで守ってもらつという手もあると思う。他宗派のお寺は探
せばすぐみつかるし。そんな事思いました。

単に所属するのではなく、そのコミュニティの行事に多く参加
するところがポイントみたいだ。

何かの役に立つだろうか？

たぶん：いろいろあるのだと思う。

手に負えない状況なのかもしれない。

それでも、やけにならず、前を向いてほしい。

自分自身に誠実でありつづけさえすれば、いいと思う。

自分を偽らず、誠実に。

どんなに理解されなくとも、活路はそこにある。
そう信じていいと思う。

仲間を売れと言っているのではない。

君自身を取り戻してほしいと願っているのだ。

そして…仲間を売らずに脱出する事は可能です。

理由？そりゃあもちろん、僕がけっしてもらさないからだ。

今でも“彼ら”の行為をとばけきっている。

“彼ら”の悪事などないがごとく振舞うなど、君のためなら、何の苦もなく実行できます。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

（これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！）

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…

そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

持久戦では君が優位だ、相手にそれを感覚として激しく実感させる必要がある。

これは、この記述が君のインスピレーションに働きかけ、より現実
に即した効果的な行動に繋がればと願い、書いています。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に墮ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

真実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。
勇気を君に。

がんばれ！

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・
団体等とは一切関係ありません。）

第47話 迷った時は原点回帰（未来へと続く話33）（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第48話 過去の整理と、人生を生き直す意味を込めて（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第48話 過去の整理と、人生を生き直す意味を込めて

これは以前2度ほど載せて、消した事のある話を、修正して掲載したものです。

初稿はおそらく2009年12月ごろに1度載せ、消したものと
思います。

したがって作中の、時間に関する記述は、2009年時点のものと
ご了承ください。

(この物語はフィクションです実在の人物・団体等とは一切関係ありません。当然登場人物は全て架空の人物です。)

過去の整理と、人生を生き直す決意の意味を込めて。

仮説

これは真実に近いなら僕の愚痴、遠いなら自己正当化になる話。
誰かを非難したいのではなく自分の記憶を整理したくて書いた
のです。

恨みはありませんとつくにどこかに忘れてしまいました。
果たして運命は再び彼女と繋がっているのでしょうか？
奇跡を信じれる日を期待していいのでしょうか？

昔、親友がいた。

僕がそう思っているだけかもしれないけど、当時はそう思っ
た。

彼は頭にある円形の脱毛箇所をものすごい気にしている、
そしてなぜそうなったかには理由があるのだが誰にも語らない、

僕はその理由を知る数少ない人間の1人だった。

小1くらいからの付き合いだから気が通じていた。

中学に入ると急によそよそしくなる、けど塾で会う時はそれまでどうりだったので気にならなかった。

高校時代別の学校になり疎遠になる、

けど1度だけ箱根の温泉に誘われた、けど、その時のメンツがしっくり来ない、

まるで僕を誘い出す事を前提にした人選になってる、その4人の繋がりは奇妙に感じた。

うち1人は小学校低学年時代引越していったやつで、その温泉施設も彼の親戚の保養所という事だったが、

あまりの変わりようにどうしても同一人物と思えなかった、2、3昔の話をしようにもはぐらかす。

昔メガネをしていたがその時はしてなかった。

「コンタクト？」

と訊くと。そうだと答える。

その日は一泊したが、コンタクトを交換している様子もないし、コンタクトケースも見ない。

そのうち、

「直ったんだ、目。」

とか言い出す始末。

レイシック手術が一般的でなかった時代だったが、レーザーで視力が直るといふ雑学は知っていた。

なんでも都合よく解釈して自己完結する僕。

このクセが彼女との悲劇にも繋がっている。17年必死に直そうと努めた僕の欠点。

この時期はちょうど彼女をはじめての映画にさそった後の出来事、

何者かが僕を探り始めていた時期だ。

本当に彼は本物だったのだろうか？その後彼からも、僕が親友と
思う友達とも連絡はない、

こちらからかけてもそっけない。2度と会う機会は無かった。

大学時代連絡を取ろうと親友と思う友達の実家に電話したらお母
さんがでてありえない拒絶反応。

そちらの世界では親族間のつながりもあると聞く、

この僕が親友と（実は本心では今も親友と思っている、機会があ
れば旧交を温めたい）と思っていた彼には

同じ年のいところがいて、まるで似てない。

そのいとこそ、以前書いた僕を昔からいじめていた天敵の彼で、
実はひそかに君を好きだったりするあいつだ。

文集に僕と君が並んで載ってるのを見て血相かえて凄んできた彼
だ。

その後ならみ合いをして勝つわけだけど。ちなみに超メジャー球
技部の花形ポジションだった。

僕は彼が君を好きらしい事を話した。たぶん神社ではなく造成地
でだ。すると君はこう言った。

「あの人突然鉛筆貸してとかいうの」

「それ好きだからだよ」と僕、今おもうとスゲー自信だと思う。

「ええっー」と君。ものすごい認めたくないそれというリアク
ション。

そして僕はお人よしな事に彼をほめた。

人格そのものには確かに問題はあるけれど、行動力やその他はリ
ーダー的素質があり、

彼は僕が持っていないものをたくさん生まれながらに持っていたからだ。

だから、素質を生かしきれてない、残念だと説明したと思う。

ぼくがそんな話を展開すればするほどもうこの話やめたいというオーラ全開になってゆく君。

それに気づいてやめた。そんな感じの記憶としてある。

もし彼もそうだったとしたら、あの時の君のリアクションが説明できる。

思い違いだろうか…

もしそうなら小1の時からはいじめ＝いじめられの関係が少し説明できる。

「お前わざとやってる？」

僕がドジな勘違いをすると決まってこういうやつが、子供の頃2〜3人いた。

彼らは小学生当時の先の花形ポジションの彼と仲良しグループだった。

僕は子供の頃からドジだった。だからドジをするたび言われた。

そして全精力をもって論戦を挑みいいがかりの論破を試みる。

僕の話術はこうして形成されていく。

東京での経験が1つの可能性を提示する。

東京ではある日世界が一変して以来本当にいろいろ経験した、善良な市民の裏面をこれでもかと言わんがばかり見せられた。

もしかしたら手配リストの最上位ランクになっていたのだろうか？ま、それはともかく…。

わざとミスをして相手をいらつかせる技術がある。

この技術の存在を知っている人間だったら

人がミスをしていらついた時つい相手にこんな事言ってしまうのではなかるうか？という可能性だ。

ちなみに「お前わざとやってる？」と中心的に言っていた彼はその後僕が登録した同級生を探すサイトを通じてメールしてきた。メールする仲でないことはお互いよくわかつてるはずなんだけど。ちょうど僕が会社をやめ漫画に集中して悩んでいた時期だと思う。本来は彼女からのメールを期待した登録だったのに…。

実はこの時期実家に帰ることを考えていた、けど当時親しかった友人に止められる、

もっと東京で頑張ってみよと。

この彼とも先の東京でのありえない猛襲の中ありえない音信不通になる。

10年来の付き合いだったのに…。

ある日彼の家で仮装パーティーの写真を見つけた、彼が仮装して
る写真。

サークルでこんな事やるんだと聞くとやらないと答える、

じゃあ何かと問うと物凄く聞くなそれというリアクション、話は
続かなかった。

そういえばこいつには君の話も数回した、するたび猛烈な拒絶反
応、まるでタブーのような扱い…、

偶然と信じたい、けど、勢いで連絡手段をすべて破棄してしまっ
た。もう2度と会えないだろう。

彼が止めなければ7年ははやく実家に帰っていた。

その時君はどうしていたんだろうか？どこまでが偶然で、どこま
でがそうでないのだろう…

誰か張り付く役の人がいるという事だろうか？

今もいるのか？向かいのひとか？ベランダで姿を隠していると感じた、

携帯の着信音が聞こえ向かいのベランダあたりで切る音がした、
ベランダは無入、

しゃがんでいたのでしょうか？仮に違うにしても誰か近くにいたのは確かでその人は隠れていた。

2年前帰省時に甥と出歩いてジロジロどこへ行っても見られた事はどこかで書いたと思う。

全てつながっているのだろうか？

可能性の問題です。

ただ自分の人生は平均中の平均とっていて、問題は自分にある
と想っていたけど、

どうもそうではないような気がしてきて。

最初仲良くしていた人が時間とともに疎遠になるのは100%自分の業ごうと想っていたけど、

そのうちの何%かはそうでもないのかもしれない。比率がどのくらいなんてわからないけど。

もしそうなら根は君と会おうよりもっともっと前にあったのかも
しれない、そう思った。

そんな考えで過去を振り返ると、実は嫌なやつだなと想っていた
やつほど、

本音をさらしていたんだという事実気づく、あれは加工されて
ない生の感情だったと、

振り返った今そう思う。

そう思うと、もう少し仲良くしておけばよかったかななどと思ってしまう。

なんだか、すっかり人を見る感覚が変わってしまった。より真眼に近づいたと思いたいところです。

これは、そんな仮説の中から思った感想、根拠はない。感覚がそう訴える。

僕が“彼ら”の名をはじめて聞いたのは小4の時だと思う、ある同級生が僕がそうだとやたらしつこく聞いてくる。

その時はじめてその名を知った。

その同級生はいじめっ子で仲は悪い、結構でかい家に住み、若干セレブリティーの高いやつ。

ものすごくしつこく聞いてくる。

どうやら僕がローリースケートを家の近くでやっていたのがそう思った発端らしい、

ローリースケートの音が「地鳴り」の様に不快に感じたのだろう…

今にして思うとなぜそう思ったのか？どうしてあんなにしつこかったのかがなんとなくわかる。

そしてその後一家で引越し消えた。

そして、その名は高校2年の時彼女から聞くまで2度と聞かなかった。

実は僕が東京に言ってる間も^{あいた}それほど親しくも無い同級生のお父さんが僕が今どうしてるか聞いてきたという不自然に感じた。

その同級生は僕が親友と思う彼とどういうわけか僕以上に行動を共にする機会が多い、

そして話を聞くとその彼のお兄さんが登場し、そのお兄さんの車で3人かそれ以上どこかへ行くという話を良く聞いた。

そしてどうして僕がその輪に入れないのかいつも疑問だった。

高校時代も吹奏楽の男子メンバーで山だったかな…行くプランが出た、

部員の1人が別荘？なのかもかく宿泊施設を持っていてそこに男子部員だけで行く話が出る。

この話乗り気でなかった、そしたら中止になったという、だからホツとした。

けどしばらく後雑談のなか中止になったはずのキャンプの話題がある、

「あれ、その話中止になったんじゃなかったの？」と訊いた。

皆しまったという顔をして、その別荘の持ち主の彼が

「あの後やつぱやる事になったんだ。急に決まったから誘えなかった」

と言われた、

言い訳にもマニュアルがあるのだろうか、似た言い訳を東京でも別の誰かから聞いた。

この彼にはもう一つ印象的なエピソードがある。

彼のお父さんが交通トラブルで危ない職業の人ともめてしまい家に数人のそれ系の人達が押し寄せてきたという話。

するとその中の1人が知り合いでまるく納まってしまったという話を聞いたことがある、

もちろん無関係なエピソードと信じたい。

彼については1度だけ彼女が言及したことがある、1度だけだから印象的。

当時彼には部内に彼女がいた。僕の彼女は2人について付き合っ

てる以上の関係である事をあかす。

キス以上の関係、まあ仲よさそうなのだからそうかなとその時思った。

彼女が女の子同士でそんな話をしているのが意外だった、そしてなぜか非難めいているのが不思議だった。

僕らも同じなのになぜ非難？まるで咎められないのがずるいと言わんがばかりだったのが印象的な記憶。

それとももつとダークな意味だったのだろうか…

対象の人格を把握するというのも重要な事柄なのでしょうか？

高校時代も監視役と思いきいつもいるやつに文庫を貸して返ってこなかった事がある。

それから、東京でも僕がマツクに忘れた「ノルウエーの森上巻」を誰かにとられたみたい、

翌日行くとお店の人は忘れ物などないというし、本屋で働いているとワザとらしく「じつはなくしちゃって同じ本

また買ったんだよ」とさる人、

やはり親しげだがよそよそしい。

ちなみにですが僕の問題もゼロでないことはご存知の通りです。

コミュニケーションスキルゼロの僕に無罪が確定するとは思っていません。

現在においても完治したとは言いがたい。

話は戻って…昔から、小学生の高学年くらいからか意識した、どんなに仲良くしても壁がある。

だから、TVドラマに出てくる友情とか思い出とか虚構だと思っていた、実際に見たことないからだ。

…いや、ある、思い返すとわずかながらあるんだけど、すごい居心地わるくて楽しめなかった。

僕にとつての友情とは、いつ疎遠になってもあとくされない関係こそ真の友情と本気で思っていたわけだ。

そういう環境で育ったし、皆他もそうだと思っていた。

成長するにつれ、何かがおかしい、どこかがおかしいと思っていた時、君にであった。

君の人との距離のとり方は僕と似ていた、そして“本物”が何か探していた。

君がしがらみの外に目が向いたのもそんなところがあつたのだろうか？君の主観がどうなのか確かめたい思いがします。

僕は“本物”のいたわりを感じて君にこそ答えの何かがあると感じたのだろうか

君も1人が好きだった、似てると思った。

だから、もし今度会う機会があつたら君の子供時代のこと聞かせて欲しい。そう思った。

どこかで書いていると思う、“表現されない人間はいに等に等しい”。

どんな環境でも生きてければ表現し続ければいいのだと思う。

“人は話せば通じ合える”これは僕が君と出会って最終的にたどり着いた結論、

先述の“表現されない人間はいに等に等しい”はこの手段に相当する概念。

この考えがあるから、上手く説明できないけど、まだ前へ進める。君との出会いが会ったからこそ、まだ諦めず前へ進める。

君が今も支えになっていたりします。より身近になれる日を信じ

て…。

蛇足です、

以前CBSドキュメントを見ていた時の事、イギリス人の年配のシスター。無償で貧しい人のため毎日骨を折るすごい人。この人も人間の醜い部分を散々経験している。それでも笑顔。

インタビュアーがシスターの意外な趣味について質問する、本当に意外な趣味。

「シスターはスタートレックがお好きなんですか？、ただのドラマですよ」

アメリカではスタートレックファンには“トレッカー”という愛称があり、日本のオタクと同じある種侮蔑的意味合いが含まれる。シスターは言う。

「だってあの中には愛や正義があるんですもの」

(この物語はフィクションです実在の人物・団体等とは一切関係ありません。当然登場人物は全て架空の人物です。)

第48話 過去の整理と、人生を生き直す意味を込めて（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金の興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第49話 迷った時は原点回帰2（未来へと続く話34）（前書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

第49話 迷った時は原点回帰2（未来へと続く話34）

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

〔8月17日（水）「Fさんへ」〕

こんな事を思い出す…

あれは、こちらに戻ってきてからしばらくの事。

ちょうど、今乗っている自転車に古いものから乗り換えた時期のこと。

日が暮れて、チェーンが外れて停車した日の事だ。

この自転車、18段変速で、変速機にクセがあり、下手に扱おうとチェーンは外れる。

停車し、チェーンをはめなおす。

（ちなみに、このチェーンのはめ方を教えてくれたのは、高校時代、トランペットの2人のうち“彼ら”ではないと確信する方の彼だ。

…思い返してみると、過去の「記憶」で「彼ら」でない人」には、なにかしらお世話になった記憶があるが、「彼ら」と思う人」からは、なにも「ない」。

唯一の「例外」が君だ。そんな事、ふと思った。本当にありがとう、いつか君に直接伝えたいです）

で、そのチェーンが外れて停車すると。1人のおばさんが近づいてきた。

「どうしたの？大丈夫？」と。

実に奇妙だった。真っ暗で人気の無い道。突然現れる…

過去の記憶と照らしても、めったにある類の出来事ではない。

当時はかなり“彼ら”の攻撃が激しかった時期…

このおばさんに悪意がないのは見てわかった。

もし、このおばさんも“彼ら”ならば、今、話題の人物を見てやろう、という好奇心が働いたのだろう。

似た事は別に日にもあった。自転車で信号待ちをしていると、突然おばさんに道を訪ねられたのだ、「大社はどこですか？」と。

ここで言いたいことは別にある。

発想の転換だ。

嫌なイメーヂも利用次第でいいものに転換できる、その事を「君に」伝えたかった。

どついう事か？

「誰かに道を探ねる」、という行為は、ごくありふれた行為だ。

もし、君に僕と会う「動機」と「チャンス」と「許される環境」があるなら。

「道を探ねる」というありふれた行為を装って、僕に直接接触する事も可能だ。

(これを実行するためには、現在の僕がどこにいるのか？を把握するために、“彼ら”の情報網を逆利用する必要がある)

この方法なら、仮に、君が既婚者であろうと、偶然の再会を実行する事だけは可能だな…、と思ったりもする。

第3者が読んだら、馬鹿にされそうな提案だけど、実際問題何が

まあ、なんにしても、今の仕事を安定させる必要がある。
今の僕の目の前の目標です。

“彼ら”はどの程度干渉してくるだろう…。

途中で投げ出さず、どんなに困難でも、あきらめず前を向こうと
思います。

どんなに不器用でも、それは失ってはいけない重要な事だと思う。

“彼ら”は「あきらめ」を強要する。

あきらめた人間を支配するのは、本当に簡単だからだ。

どんなに辛くとも、苦しくとも、あきらめないでほしい。

そして、どんな困難があろうとも、命を大切に、生き抜いて
ほしい。

君が君らしくあるために。

試練とは人為的なものではない。

しかし、“彼ら”は人為的に人に試練を与え、神様気取りだ。

そんな連中に負けないでほしい。

がんばれ！

.....
.....
.....

「8月21日(日)」「Fさんへ?」

「ワガママと誹^{そし}られる事を恐れて、多くの障害者が口をつぐんで

しまっ…」

の話だ。

中国では、中央政府および党の批判をすると、即、逮捕につながる。

しかし、今回は鉄道省の不手際を追及しているので、逮捕者がでないというのだ。

“彼ら”の場合も似たところないだろうか？

創設者や中央の批判をしなければ、それなりに自由に発言できると思う。

裏切り者扱いされたら？こついえばいい。

「これは 会とは一切関係ない、家庭の事情よ、口出さないで！」と。

「 会と関係ない以上、会員といえど家族問題に口出しはできないわ、できると考えているなら、そういう所がカルトっぽいところなのよ」

と、いつても差し支えないと思う。

君は口論の類が苦手だ、いい文句が思いつかず、黙ってしまう事も少なからずあると思う。

何かの参考になるなら嬉しいです。

かわらない“彼ら”もいれば、変る“彼ら”も潜在的にいます。僕は信じます。

皆が皆、敵ではない、わかってくれる味方もいるはずですよ。がんばれ！

.....

油断がみてとれる。

だから、例え「負け」たと思ってもパニックにならず冷静に話を聞いて分析していると相手の落ち度に気づくこともある。

(転記おわり)

最近も職場でこれに近い事があった。

何かにつけ敵意むき出しに来る人がいる。

僕が何をしても「ダメ」の烙印を押しにくるのだ。

ある日、この人はミスをした。

僕が、利用者さんの電動カミソリを洗おうと風呂場へ行こうとすると、洗面台で洗えと凄むのだ。

そしてこう言う。

「さん！電動カミソリ、使った事ないんですか！」と。

お前は洗い方も知らんのか！という口調だ。

これは完全にミスだ。仕事上のことなら、先輩の指摘は聞かねばならないが、電動カミソリの扱いに関しては、男である僕が知らないはずが無い。

彼女は女性だ、これは「言いがかり」以上の何物でもなく。仕事上の指摘とは無縁の誹謗中傷だ。

そこで、こう言い返した。

「それはいくらなんでも、馬鹿にしすぎです。男なんだから使った事くらいありますよ」と。

言った当初は、それほど効果があるとは感じなかったが、周囲には結構なバイアスとなったようだ。

彼女は、いつもなぜあの人(＝僕)にのみ、あんなケンカ腰なんだ？という空気が出来たように感じる。

“彼ら”の場合もそうなのだろうか？

もし、そう感じる事があるなら、「こう言ってもいいと思う。

「そのどこが仏教なの？カルトの洗脳そのものじゃない」と。

仲間との連帯も重要だが、そうでないものも重要な事はある。

皆でやることに大切さといえは聞こえはいいが、良くない事例も
実際多々ある。

そう感じた事、たぶん、あるでしょ？Fさん。

負けないでほしい。

君は正しい。

.....
.....
.....

〔8月25日（木）「原点」〕

そちらの世界には、口先だけの革命を言う人、多いように思う。

本当に革命が出来るなら、「世の中そういうもの」などと軽いセ
リフ、いえないはずだ。

そもそも創設者の理念と矛盾する。

言葉を都合よく捻じ曲げて、現世利得のいいわけにしている連中
に負けないで！

何が言いたいかわかるだろうか？

“彼ら”の創設理念は、今や形骸化しているということだ。

価値を失った言葉は、いくら追求しても真実にたどり着かない。

そういう時はどうすればいいのか？

原点に帰るべきだ。

「私、間違いに気づいたの」と。

.....

〔8月27日（土）「現実」〕

“彼ら”は「世の中とはそういうものだ」というが、現実にはそうでないようだ。

今回TVで騒がれている、島田紳助の引退騒動が物語っている。

世の中は「そういう社会を望んでいない」。

その事実の裏づけがあるからこそ、彼は引退するのだ。

“彼ら”同様に世の中はそういうものだと考える人の反論も、瞬間につぶされてゆく……。

つぶされるが故、議論が進まない事は問題だが、論点はそこではない。

論点は「世の中」はそういう社会を望まない、ということだ。

それが、カルトがこれ以上拡大できない理由だと、多くの人は知っている。

真実をめんどくさく見てくない連中に負けないで！

.....

〔8月28日（日）「信者」〕

「指導者失い途方に暮れる「アップル教」の信者たち」
…そう、言わずと知れたステイブ・ジョブズ引退のニュースの
タイトルだ。

Fさんは知らないかも知れないが、ココ・シャネルが女性のドレスをスーツに変えたのと同じく、
ステイブ・ジョブズは、パソコンを巨大施設の付属物から、個人宅のアイテムに変化させた人物。

過去の常識を変化させ、今日の常識の土台を作った人物だ。

言い悪いは別にして、ニュースにこんな解説があった。

(転記)

米ニューヨーク大学のアンジェラ・ジトー教授(人類学)は、アップルについて、宗教とまでは呼ばないが、

一体感など宗教的要素はあると思うと話す。

「現在のわれわれの社会は物の消費と広告を中心に回っており、多くの人が購入する物を軸に一体感を見いだしている」

問題は、この宗教的な熱狂ぶりが今後も続くのかということだ。

(中略) ジョブズ氏のCEO退任が報じられて以来、

アップルファンの多くがその指導者なきあとのコミュニティの未来を思案し、アップルが誤りを犯すかもしれないと憂慮している。

(転記おわり)

熱心なマック教信者の中には、ステイブ・ジョブズがいなくなったら。

不便なマック製品よりも、便利な他者製品の魅力に気がつくかもしれない。

“彼ら”が途方に暮れる日はいずれ来る。

それも僕らが生きているうちに。

その日が来て、初めて気がつくか？今、気がつくか？の違いではない。

そんな事を急におもった。

と、同時に、こういう例えは君向きではないな、とも感じた。

でも、同時にこう感じてくれるとうれしい、Kは相変わらず高校時代と同じような話をする…、

変ってないな、と。

君は何を感じるだろう。

いつか、そんな話が出る日を信じて。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔8月29日(月)「心の飢餓感」〕

Fさんへ、こんな事も思う。

みんなでやってるのにどうして…!!

と言われると、反論しづらい？かもしれない。

特に君は、人を気遣うやさしい心の持ち主だ、そう言われてしま
うと、自分は我慢してでも…

そんな風を感じてしまうのではないだろうか？

心はいつも何かを求めている。

飢餓感があるのだ。

は大型4機編隊と中型かな？1機と中型？3〜4機と大型1機。

共振というのでしょうか？ものすごい音。まるで空港近くの民家の気分。

警告なんでしょうか…、ではあたってののでしょうか？それとも偶然？、ま、偶然なんでしょう。

この近辺の人はどう感じるのでしょうか？

仮にそうだとしてもでも、自衛隊のヘリの運行を担当している部署にたった1人でもいいから“彼ら”の一人がいれば出来るトリックで。自衛隊そのものが関与していると感じさせるのは催眠のテクニクが対象に有効に効いたときのみ出来るのです。そして大概みな真剣にはやっていない…。

(転記おわり)

もう最近はこのことは起きない。

こんな大型ヘリなど、まったく飛んでこない。

そもそもヘリが異常に多いと感じたのは、東京で攻撃を受けた際、真実に気づき、この小説を載せてからだ。

ネットでヘリがくる記載をしている被害者のページがある、最初見たときは僕も、そりゃあ妄想だよ、かわいそうに…、と思ったものだが、まさか現実に経験する日がくるとは思いもしなかった。

ネットで書かれている“彼ら”の悪評、半分は本当だ。

残りの半分、精神兵器で心を攻撃とかいうのはデタラメだ。

でも、それは多くの被害者が「催眠と暗示」のメカニズムを知らないが故、陥ったものだと思う。

“彼らの活動”は罪深く犯罪的だ。

今、ヘリが来ない。当時と今では環境に(状況に)変化がある。そう客観的に判断できる。

確かこんな感じだった、「こーちゃん」と彼は呼ばれていた。そこで、そう呼ぶと大人がいるときはいいのだが、いなくなると「こーちゃんって呼ぶな」と凄む。で「むろふしくん」と呼ぶと「むろふしくん」と呼ぶな、とこう来る。こちらが困っていると笑うのだ。今にして思うと、こちらを困らして笑いたいだけだとわかるが、5歳当時は人が良すぎてまったくわからず、パニックになったものだ。

今日、ハンマー投げのニュースを見ていて、急にきになり調べてみた。

…すると意外なことに、彼が“彼ら”とつながりがあるという記事を発見できない。

どうやら、素でいやなやつだったのらしい。

まあ、5歳くらいの時の記憶。もう30年以上たつから、彼もまともになったと思いたい。

何でもかんでも“彼ら”のせいではない、といういい例の1つです。

何が言いたいのか？

“彼ら”の総攻撃をかくぐると、多くの被害者はおかしくなる。しかし、意外に僕は冷静なようです。

多分、君との思い出があるから、理性を失わずに“彼ら”を語るのだと思う。

そのことに、僕がどれほど感謝しているのか…、いつか直接伝えたいです。

こんな事も思った。

これらの記述が君のインスピレーションを刺激して、より有効で実践的な手段を思いつくヒントに繋がれば嬉しいです。

がんばれ！

.....

〔9月3日（土）「スリルと興奮の犠牲者」〕

生き方を変えるのは実に難しい…。

“彼ら”の会合について言及されるネットの書き込みをみると、単調でつまらない、という趣旨の書き込みが大半だ。

もし、実際そうならば？

子供たちをつなぎとめておくのは相当な苦勞なのだろう…

こんな連想もする。

“彼らの犯罪行動”に参加する事は、スリルと興奮に満ちている。こつこつ活動でもないと、単調でバカバカしい会合に人が集まらない？

もちろん、全部が全部とは思わない、でも、そんな連想も成立しなくもない。

僕は「車による地鳴り」で不快な暗示をかける方法を見抜いた。でも、全国にこの被害に悩んでいる人々が「たくさん」いる。

スリルと興奮の犠牲になっている多くの人がいるのだ。この事実だけで、“彼ら”の組織は糾弾に値する。

もめごとを起こさない様に、ただただ耐え続ける必要はありません。
いやなら、やめていいと思うし、おかしいなら、おかしいと言
っていいと思う。
難しいと思うけど、必要な事です。

生き方を変えるのは実に難しい…。
僕もまた、毎日戦いです。新しい環境で戦っています。
君が変る努力を続けるなら、僕もまた、続ける事が出来ます。

.....

「9月4日(日)」主張「

最近、こんな事を言われる。
いいわけばかり、と。
しかしそれはおかしい。

東京でいいわけはしない、という性質を学び手に入れている。
事実、ほとんどいいわけなどしていない。

どうも聞いていると、例の“彼ら”とおぼしき人が吹聴している
らしい。
なんども聞かされると暗示として刷り込まれ、いいわけをしてい
る、という印象を受けるようだ。

で、こう言い返している。

「それを言ったら何も言い返せないですよ、事実、それで今まで何

も言えなかつたんですから」

遠まわしに、言いがかりである事を主張できるし、吹聴している人を非難できる。

僕があまり何も言わないと言う事実は、ガチで動かせない事実だから、だれも反論は出来ない。

まあ、事実いろいろ人に迷惑をかけているのだけれど、必要以上に生活圏を消される理由はないと思う。

実際、生き方を変えるのは実に難しい…。君もそう思うのかも知れない。

僕もまた、毎日戦いです。新しい環境で戦っています。

君が変る努力を続けるなら、僕もまた、続ける事が出来ます。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔9月5日（月）「君は、こんな僕の命を救ってくれた大切な人」〕

東京で“彼ら”の総攻撃を受けていた時期、レジに立つ僕に「鈍感力」という本が何度も持ち込まれた。この時期、“彼ら”の攻撃に、「信じられない事に」まったく気がついていない時期で、“彼ら”もいらいらしていた時期かもしれない。

見知らぬおじいさんに突然「いまいますい」と言われたり、「貴様何をたくらんです」とか言われた時期だ。

君は僕の鈍感さをよく知っていると思う。

ある意味、この鈍感さがあるから、“彼ら”と戦えるし、戦えたわけだが、

この天然記念物的性質は、実生活では厄介な事もしばしばだ。

今、僕は生き方を変えようと必死に頑張っている。

この鈍感さが、困難さをさらに増しているのも事実だ。

生き方を変えるのは実に難しい。

でも、たとえ難しくとも、前に進まないといけないと思う。

どんなに惨めな結果になろうとも、あきらめてはいけないと思う。

君は、こんな僕の命を救ってくれた大切な人だ。

その君の想いを無駄にしないためにも、前を向く事は、やめては
いけない事だとも思います。

君も僕も言われた事は「きっちり」やり遂げる性質の性格をして
いるように感じる。

だから、話相手に弱気な態度や、あやふやな態度をしてほしくな
いと感じると、思う。

そんな人間に言われた事を「きっちり」やる事は、どちらかとい
うと苦痛に入る。

でも、そんな従順な性格。時として人に利用され、いいようにさ
れ、損な役回りにまわされる事になる。

生き方を変えるのは実にむずかしい。

でも、どこかに解決策があると信じ続けることが大切です。

そんなイメージ、君に伝えたい。

君が戦い続けられるなら、僕もまた戦い続けられます。

がんばって！負けないでほしい。Fさんならできます。

工夫と努力で、修正は可能に思う。それも、ちょっとした些細な工夫で、大きな効果があることも事実あったりする。

あきらめず、やけにならず、前を向く事が大事だと思う。そんな想い、君に届けば嬉しいです。

生き方を変えるのは実にむずかしい。
でも、どこかに解決策があると信じ続けることが大切です。
そんなイメージ、君に伝えたい。

君が戦い続けられるなら、僕もまた戦い続けられます。
がんばって！負けないでほしい。Fさんならできます。

「9月7日（水）「干渉」」

先日、不必要にポケットに手を入れながらあるく人が目の前を通過した。

冬場でもないのに、寒くもないのに、両手をズボンのポケットに入れて。

不快感を与えるしぐさで、目の前を威圧的に通過するのは、“彼ら”の特徴だった気もする…。

まあ、偶然ということもあるので、一概には言えないけど。

ただ、“彼ら”を観察した結果得た経験則では、違う地域にいくと、攻撃が元のような激しさになるときがあるという事だ。その地域を担当しているグループごとに温度差があるのだろうか？

こんな事も思う。

彼らは末端レベルではグループごとに足を引つ張り合っている。グループ間の利害調整に明け暮れ、世の中を良くする気などまったく見られない。

哲学は形骸化され、現世利得のいいわけにしか使われていない。

「過剰な干渉が悪影響を及ぼしている……」

そんな印象も抱かなくも無い。

“彼ら”は神の代理人として、世の中に自分勝手な干渉をしてもいいと思いいこんでいる。

そんな発想は非常にカルト的だ。

カルトは絶対に自分をカルトと認めない。

憤る事も感じるだろうか？

距離をとって、憤りを整理してもいいと、君に伝えます。

生き方を変えるのは実にむずかしい。

でも、どこかに解決策があると信じ続けることが大切です。

そんなイメージ、君に伝えたい。

君が戦い続けられるなら、僕もまた戦い続けられます。
がんばって！負けないでほしい。Fさんならできます。

「9月8日（木）「ほめる」」

NHKスペシャルで、「ほめる」という行為について述べている。

リハビリの際、褒めると早く回復するという。

ある研究者などは、反証できるデータをわざわざ探したけど、見つからなかったという。

人間の「脳」は褒められたい、という欲求に満たされている。と説明されている。

こんな想像をする…

“彼ら”に生まれた頃から所属させられている2世、3世の子供のうち、

最初は“彼らの犯罪行為”への負担にどうしようもない罪悪感を抱くだろう。

しかし、周囲の大人が、犯罪行為への負担を褒めるので、次第に麻痺して、訳わからなくなり、最終的には判断を放棄（思考停止）になるのではないだろうか？

催眠と暗示のところで何度も書いた。

繰り返される「暗示」により、脳を次第に麻痺させて、訳わからなくさせてしまい、

最終的には判断を放棄（思考停止に）させてしまう、という催眠のテクニク。

…あれに非常に良く似ている。

催眠と暗示は良い方向に使う事もできれば（例がりハビリ）、悪い方向に使う事も出来る。

小さい頃からかけられた暗示から脱する事は、生き方を変える事に等しい。

頑張つてほしい、あきらめないでほしい。

そして自分に言い聞かせてほしい。

それらが君の全人格がを否定するものではない。

君がそんなものの犠牲になるのは、どう考えてもおかしい。ゆずれない“なにか”があるなら、君はそれを大事にしていいいし、大切にすれば権利がある。

歪んだ欲望の屁理屈なんかには負けないでほしい！

たぶん…いろいろあるのだと思う。

手に負えない状況なのかもしれない。

それでも、やけにならず、前を向いてほしい。

自分自身に誠実でありつづけさえすれば、いいと思う。

自分を偽らず、誠実に。

どんなに理解されなくとも、活路はそこにある。

そう信じていいと思う。

自然に、自分でいることが大切です。

頑張つて！負けないでほしい。

たとえ過去にどんな罪があろうとも、それが君の全人格がを否定するものではない。

なにしろ“彼ら”の巧妙な罠により、そういう行為をさせられていただけなのだから…。

そう強く、心に念じてほしい！負けるな！

君に読んで欲しい本がある、日蓮の現存する正筆御書、一度見てください。

(これは、本当に読んでもいいけど、そうではなく、心を閉ざさないで！心を広く持つてという意味合いの方が強い意味で書いています。

Fさん心を閉ざさないで！)

誰かが邪念に負けた、けど天は見放さなかった…
そういう事で全て矛盾しなくなると思うのですがどうなのでしょう。

君は試練に耐えた、だから…天からご褒美をもらう機会をもらった、

それで何もおかしな事はないと思うけどどうなのだろう？

君が「埋没費用サンクコストの呪い」にかからず、

冷静な判断が出来る事を心から期待します。

三界に家を建てるには、君が必要です。

持久戦では君が優位だ、相手にそれを感覚として激しく実感させる必要がある。

これは、この記述が君のインスピレーションに働きかけ、より現実
に即した効果的な行動に繋がればと願い、書いています。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っていると思う。

「これ以上邪魔をして、もし本当に（あなたが）地獄に堕ちちゃったとしても、

誰も責任取ってはくれないよ！

老後を誰とすごしたいかについては、私に決める権利がある。

もうその頃この世にいない人に、とやかく言われたくないわ」

と言う資格が試練を乗り越えた君には間違いなくある。

他人を恨んだり、自分を責めたりしないで。

遊ぶ金ほしさの連中に負けないうで！優しさを否定せず、それでいて毅然とした態度で自分を主張してほしい。

君は自分の声を出して良いと思う。

困難かもしれないけど、あきらめず、前をみてくれると嬉しい。

仮に君に子供がいるなら？それについては僕はこう考える。

家族になって、しまえば、問題ない、と。

眞実は君の心の中にあります。今でも、消えることなく。

勇気を君に。

がんばれ！

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔9月11日（日）「積極的関与」と「消極的関与」〕

“積極的関与”をする彼らと、“消極的関与”をする彼らがいる。

そんな風を感じなくも無い。

消極的なら「罪」ではないという事は無い。

小さなそれらも、積み重なれば、大きな凶器になる。

100人、1000人単位で行えば、そんな小さな悪意も、物凄い破壊力につながる。

だから、この程度ならいいだろう。

という考えも、許容される事の無い行為なのだ。

もし、君の周りに、積極的関与は否定するも、消極的関与は肯定

する人がいたら？

「こついつてほしい。」

「その考え、おかしいわ」と。

そんな事、言われたら、何をしたらいいのかわからなくなる、と言われたら？

「それは重症ね」

と言いつ返せばいいと思う。

もし、お前もついでにこないだまでやっていただけ、同罪だ。

と言われたら？

こついつ返せばいい。

「だから辞めたいの」と。

もし、辞めたらどんな目に遭うかわからないぞ！と脅されたら？

こついつ返せばいい。

「とてもカルト的発言ね」と。

「間違いに気づいたの、だから関係ないわ」

と言う権利を君は十二分に持っている。

「9月11日(日)「かいこう邂逅」」

こんな話を聞いた。

昔、ロサンジェルスで、謎の爆撃事件があったというのだ。

それは、日本と戦争が始まったばかりの頃の話。

しかし、日本軍がロサンジェルスを爆撃した歴史はない。

一説によると、戦争が起きた事を市民にアピールするためのアメリカ側の捏造ねつぞうだったという「話」があるらしい。その後アメリカ西海岸では、日本人の強制収容が始まった。

（あまり知られていないが、アメリカでの日本人強制収容は、西海岸が一番激しく、それ以外の地域はハワイを除いてそれほどではなかったらしい。

当時の西海岸の担当官が、個人的に日本人差別主義者で、その悪意がこの日系アメリカ人差別の地域格差を生んだとも言われている。事実、同じ敵国人であるイタリア系とドイツ系は強制収容されなかった）

謎の飛行機が当時、ロサンジェルズに来たのは、ガチの事実と仮定すると。

人々の日本人への敵意を増長させる、「人種偏見者」の悪意も想像できなくもない。

実は仕事を始めてからも、奇妙な事がある。

冷蔵庫の肉が行方不明になる事があった。

誰かが盗まないかぎり、ありえない。

また、僕が夜勤を始めた初日などは、夜中、音がした。と騒ぎ立てる人たちがいた。

何かしているという空気を作り出したのだろうか？

最近、こんな話もラジオで聞いた。

13年だったかな…、そのくらい前に海に放した「ウミガメ」と再会した、水族館の職員の話。

3年くらいたったものとの再会は良くあるが、13年は初めてらしい。

ウミガメを捕獲した漁師さんが、前足のタグを見つけて、連絡してくれたそうだ。

偶然と幸運と、漁師さんの善意があって初めて実現した再会だ。

こういう再会を「邂逅かいこう」（＝思いがけなく出あうこと。偶然の出あい。めぐりあい。例「旧友と邂逅する」）」というらしい。

ウミガメは同時期、水族館で生まれて飼育され続けた固体と比べると、半分くらいの体の大きさしかないという。

きつと海で生きのこる事は、水族館で生きるよりも、遥かに過酷で大変だったのだろう。

おそらく、もし仮に未来で再会するとしたら？

その状況は、邂逅かいこうに近いシチュエーションかもしれない。

偶然バッタリ再会する、という状況が、周囲を納得させる最も定番のスタイルだ。

僕が君と邂逅かいこう出来るか否かはわからない…

しかし、これだけは言える。

どんな事があるうと、君に生き残ってほしい。

どんなに辛くとも、君に命をつないでほしい。

これだけは、ゆずれない僕のワガママです。

.....

「9月12日（月）「冷静に“彼ら”を語る」」

そういえばこんな事も思い出す。

昔、こんな事を言われた、「ひいきされている」と。

中学時代を攻撃し、クラスで孤立させていた女の常套句だった。

しかし、ひいきなどまったくなく。ごくごく普通の対応しか教師からはされていない。

よく、嘘つきとも言われた。

だから、僕と話して、噂と違う人物像にとまどう人は多かった。

今、現在も陰でこんな事を言われる。

「どうして、あいつをかばうのか？」と。

正直、かばわれたというより、ごくごく普通の接され方をしている、特別目をかけられているという事はない。

“彼ら”はいつもこんな事を言うのだろうか？

これが言いがかりなのかどうなのか…

君はどう感じるだろう。

「私はね」

といつか、君の口から聞ける日を夢見ます。

君が、いつか、冷静に“彼ら”を語れる。

そんな心境になれる日を信じて。

.....

〔9月13日（火）「勇気」〕

こんな風にも思う。

“彼らの行動”特に「犯罪的」な「行動」をするという「事」は「勇気」のいる事だ。

でも「勇気」の使い方がまちがっている。

その事に、君がもし気がついたなら、「その事を」決して忘れな
いでほしい。

「私、間違いに気づいたの」

君にはそう言う、権利と資格がありません。

負けないで！

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔9月14日（水）「楽しそうな君の姿」〕

Fさん、この事は何度かこの小説内で書いた。

真実に気づく以前、ギリギリまで追い詰められても、あの思い出が僕を支えてくれた事を。

今でも思い出します。あの楽しそうな君の姿を。

本当に楽しそうにしている君を見るのは、何にも変えられない。

ほんの些細な事にすら笑顔を向ける君が、今でも僕の支えとなっているのは事実です。

「何でFさんは、あんなに楽しそうにしていたんだろう？僕ごとき
として、何がそんなに楽しかったんだろう？」そんな疑問は今でも
浮かぶ。

その答えを知っているのは、この世で君のみです。

君は今、あの笑顔をしてきているのか…、時がたった今、心配をしています。

頑張つて！まけないで。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔9月15日（木）「悲観論に意味は無い」〕

悲観論に意味は無い。

でも事実は事実として受け止めないと、見誤る危険も事実ある。

過去の記憶において“彼らではない”が“彼ら”に扇動され“彼らの行動”に走る普通の人というのも、何人も知っている。

以前、この小説内で書いた、僕に初めて“彼ら”の名を教えてくれたやつが、実際そうだったと思う。子供時代の事だ。

彼は、“彼ら”に日ごろから攻撃されていたのか、やたらと僕を“彼ら”と決め付けてきた人物だった。

やつは決め付けをする以前から、敵対的だった。

“彼ら”の流すうわさの影響かもしれない。

事実として、精彩を欠く僕の振る舞いと合わさり、そうなったのかもしれない。

今、現在。“彼ら”と確信する人物がいる。

この人とは別にもう一人、いる。こちらは、影響をうけた一般人か、“彼ら”か、いまだ迷っている。

しかし、11月にクビになる可能性がまし、時間が無い。もうこの人(女性)も“彼ら”であるという前提で接したほうがいいように感じた。

(本来なら時間をかけて観察したのだけど、そうも言ってもらえない)
(最近、別のある人に、こんな話をされた「どういう訳か、皆くんには厳しい」と。確かに僕自身精彩を欠いてはいるが、他にもそういう人はいるらしい、僕のケースは突出して精彩を欠いているという空気が流れているらしい。)

(そして恐ろしい事に、こういう精彩を欠く人間なら、反撃はないと考え、優先してターゲットにしている可能性すらある、“やさしさ”とま逆のベクトルはカルトの名に似つかわしくも無い。開祖に面と向って自らの行いを誇れる人物がいたとしたら? 真正のサイコパスだ)

(∴この場合の開祖は当然ながら、写真ではなく人物画で有名な方の人だ)

この人の言う理屈はどうにもおかしい。
言ったとおり「素直」にやりさえすれば、できる。
出来ないのは、素直にやらないからだ。

∴の一点張りなのだ。

しかし、現実として、素直にしたがったも上手くいかない事もある。

そういう場合、じゃあ、こんな風に工夫すれば、こう注意すれば、と通常は考えるが、この人は違う。

全部「素直にいう事をきかないから、そうなる」の一点張りなのだ。話がループして前進しない。

質問や疑問をぶつけても、素直にいう事を聞かない、いいわけばかりしている、となるのだ。

話していて、かみ合わない事、この上ない。

具体例をあげると。

利用者さんの着替え、その人は半袖を用意しろという。

で、素直に従うと、別の日他の人に半袖はおかしいと指摘された。その別の人と、その人がその後ぶつかり、結局、半袖限定はおかしいと落ち着いたようだ。

その人は「ごめんね」とはいわない、無言でふくれっつらをするだけだ。余計な事言いやがってという空気をぶつけてくる。

別の例であげると。

利用者さんの家族が面会に来た。

外出届けを書いてもらおうとしたが、コピーしないと書面がない。その人はこう言う。

「じゃあご家族さんと一緒にコピー機のところに行けばいい、コピーしてその場で書いてもらえば」と。

しかし、実行すると問題が起こる。

業務用コピー機としらなかった。

この手の機種は起動に10分以上かかる。

一度お連れしたご家族と利用者さんを、ふたたび階段で2階に上がってもらったのも変だ。

結局10分近く待たせてしまった。

その事に言及すると、またも無言。なんにもいわない。私は関係ないという態度なのだ。

発案は自分なのだから、何かしら言うもんだと思うのは、おかしいのだろうか？

素直に従った結果、上手くいかなかった事例は他にもある。

それでもこの人は、「素直に従わないから、上手くないんだ」の理屈一片で未だ押し通すのだ。

この人は、単にそういう人なのか、あるいは、どうなのか。

Fさんなら、どう判断するだろう。

そういえば“彼ら”の理屈にこんなものがある。信心すれば、何もかも上手くいく。そうでないのは、信心が足りないからだ、と。

僕は、こう強く主張する。

上手くないかたは現実としてある、大切なものは、どう乗り越えるか？という意欲と工夫だ。

従ったり、信じたりするだけではない、と。

悲観論に意味は無い。

現実を受け止めて、「前」を向き続ける事が大事だと思う。

君が今も戦っているという前提で書きます。

負けないでほしい。がんばれ！

.....

「9月16日(金)」こう言い返していい。

「私には、その事を許してくれる人がいるの」と「」

こんな事も思う。

これはラジオで聞いた話。

アクションもののドラマの場合、最初にまずアクションが草案さ

れ、後付でストーリーを作ると。

普通とは逆の手順だ。

いいか？悪いか？は別にして、そういうケースは実際にあるよう
だ。

音楽にも似たケースがある。

通常、作詞をしてから曲を付けるが、手順を逆にして、曲を作っ
てから歌詞をあてる事もあるらしい。

(山本リンダの「ねらい撃ち」という曲もそうして作られたとか…)

“彼ら”の場合は、こうも考えられなくはない。

最初のかなえたい欲望(≡現世利得)があり、その欲望をかなえ
る正当性を説明する目的で、教えの中から、都合のいい解釈だけを
寄せ集めて、人々に流布する。矛盾する教えは「無視」か「解釈が
難しい」としてなかったことにしてしまう…。(その例が、仏法に
は時として仏法を破ってもいいと書いてある、とする考えだ。何度
も書いたけど、そう主張する人に聞いてみてほしい、いつたい、ど
この何ページに「それ」が書かれているのか、教えてほしい、と。
おそらく即答できる人間はいない、出来たとしても、回りくどい説
明で明確でないものだと思う)

そのどこが悪い？という人もいると思う。

もし、そういう人がいたら？こう言っただけ。

「肝心なのは犯罪がからんでいるという「事実」よ」と。

「後ろ盾のない人間しか攻撃しないなんて、はずかしくないの？」
とも言っただけ。

お前も最近までやってたろ、と言われたら？

こう言い返していい。

「私には、その事を許してくれる人がいるの」と。

ソマリアの内戦では「一部の氏族の優遇策」に問題があったとか…。

(ソマリアはエジプトの東あたりにある国です)

氏族とは共通の祖先を持つ血縁集団、または、共通の祖先を持つという意識・信仰による連帯感の下に結束した血縁集団のこと。

定義のほどはともかくとしても、“彼ら”のやっている事は、まるで日本国内に新しい「氏族」をつくり、その「氏族」を優遇させるのを理想としている。

でもそれは、他の氏族の犠牲のもと、成り立っているもののように、見えなくはない。

Fさん、こつも思う。

フェアな戦いを鼻で笑うような連中に、負けないでほしい。

公正中立は理想かもしれないが、理想をなくした人類は、墮落するのみだ。

それはきつと、お釈迦様の望む生き方とは、全くもって類似点のないものだと言える。

それは理想論だ！と言われたら？

こつ言い返せばいい。

「そういう考えだから、私からいろいろなもの、平気で奪えるのね」と。

.....

「9月19日(月)」「そんな連中がいたら、こつ言い返してほしい」

ニュースを見てみると、どうも警察が、「弘道会壊滅作戦」を展開しているらしい。

全国規模で一齐に、厳しく、山口組の2次団体「弘道会」を叩いているという。

島田紳助の引退騒動も、もしかしたらこれに関係しているのかもしれない。

島田紳助の捜査ルートから、弘道会と関係ある芸能関係者があぶりだされる前に、先手を打ったのかもしれない。

加護亜衣の自殺未遂も関係しているかもしれない、彼女の恋人は、かつて華原朋美の恋人とされた男で、

暴力団、芸能界、飲食業界の橋渡し役的ポストに落ち着いた人物らしい。

他人から借金しては、話題店を出し、経営にいつも失敗し、借金を踏み倒すが、「橋渡し役」として有能なので、生き残っている人物らしい。

日本は「利害調整至上主義」のようなところがある。世の中を良くしたいのではなく、互いの集団の利害を調整する事こそ、一番大事と考える人々に支配されている。

そうした支配層にとって、いつでも使い捨てられて、かつ、調整役として有能な男は、重宝がられるという図式だ。

しかし、そんな彼も「弘道会」の名を口にしてしまったから、警察の「弘道会壊滅作戦」に引っかかってしまい、今回の出来事になった。

おそらく警察の目的は、彼を捜査して、そのルートから「弘道会」の人間関係などを調べたいのだろう。

つても、そもそも「そこ」に「核燃料」はすでに「ない」のだから、意味がない。
というのだ。

演説だから質問はできない、この疑問に気づく人も質問できないわけだ。いいのかな？これで、と思う。

こんな事も思う。

今、台風被害が日本を襲っているけど、福島汚染土壌も当然ながら、台風により拡散していると思う。

福島周辺地域も、土壌の放射能汚染を調査すべきなのだが、そうした動きが報道されないし、世論も見受けない。
いいのかな？これで、と思う。

報道されている事だけが、真実ではない事も多分にあると思う。

何が正しいか、自分で考えて見極める努力は、悪い事ではありません。
せん。

なのに、「彼ら」はそうした努力を「無駄」と切り捨てる、言われた事だけ信じて行えば、救われると吹聴する。

そうではない事実も多分にあるが、「彼ら」は信じようとしな

ジョン・スチュアート・ミル（1806～1873年）は19世紀のイギリスの哲学者だ。

古典派経済学の創世記の人物。

「満足な豚より、不満足な人間の方が良い」という言葉を残した人物だ。

彼の考えは独特だ、この時代「功利主義」という考えがおこる。
人間の欲求を肯定する考えだ、これは中世、神により清貧こそす

ばらしいとされていた社会論理を、変革する考えだった。

以前、この小説内でも書いたけど、中世の清貧の思想を引きずっているカトリック国家は、経済発展が鈍い。

これに対して、個人の蓄財を認めたプロテスタント国家は経済的躍進をとげた。

カトリック国家のポルトガル、スペインが世界の半分を植民地にしながらも没落し、イギリスなどのプロテスタント国家が躍進した歴史が、それを物語っている。

（そもそもカトリックの“清貧”の思想は、個人の蓄財を罪とし、教会への寄付をうながした、結果、カトリック教会に巨万の富が集約する。宗教の名をかりた集金システムだ）

この清貧思想は資本主義の発展に、妨げとなっていた。

故に、この常識を破るためにも、「功利主義」のような個人の欲求を肯定する考えも広がってゆく。

この考えは、身分の低いものの欲求も、権利として認める流れにつながり、国民すべてが選挙権をもつてもいいのだ、という現在においてでは覆せない常識へと、つながる流れを作った。

（そもそも中世の思想では、身分の低いものは、物を考えても、権利を主張してもいけないのだ、これは日本とて例外ではない）

（現在の社会は過去のこうした歴史の積み重ねに出来ている。現状の社会に不満はあるだろうが、歴史をみれば、随分と改善された社会なのが見える。重要なのは、こうした過去の遺産を引き継ぎ、世の中を良くするバトンをつなぎ続ける事だと思う）

「功利主義」には2人の双壁がいるらしい。一人は「ベンサム」、もう一人が「ジョン・スチュアート・ミル」だ。

ベンサムが物質的欲求を主張したのに対して、ジョン・スチュアート・ミルは精神的欲求を主張した。中世社会では個人が物を考え

る事すら罪とされていたので、これはわかる理屈だ。

以下はウィキペディアにある記述のコピー。

(転記)

ミルによれば、私たちの精神的、道徳的な機能・能力は筋肉のよ
うなもので、使わなければ衰えてしまう。

しかし、もしも政府や世論によっていつも「これはできる。あれ
はできない。」と言われていたら、

人々は自らの心や心の中に持っている判断する力を行使できない。
よって、本当に人間らしくあるためには、個人は彼、彼女自身が
自由に考え、

話せる状態(＝自由)が必要なのである。ここで、ミルの功利主
義はその提唱者であるベンサムとはたもとを分かつ。

簡単に述べると、ミルの功利主義は、快樂について、ベンサムが
唱えた量的なものよりも質的な差異をみとめ

精神的な快樂に重きを置いた。それは次のミルの有名な言葉で表
されている。

「満足な豚であるより、不満足な人間である方が良い。同じく、
満足な愚者であるより、不満足なソクラテスである方が良い。」

そして、その豚もしくは愚者の意見がこれと違えば、それはそ
の者が自分の主張しか出来ないからである。」

(転記おわり)

「その豚もしくは愚者の意見がこれと違えば、それはその者が自
分の主張しか出来ないからである。」

のくだりがいいと感じます。バランスがとれている。

精神的、道徳的な機能・能力は筋肉のようなもので、使わなけれ
ば衰えてしまう。

衰えた人らは、自分の主張しかできなくなる、という解釈でいい
のでしょうか？

そうは言っても、お互い、強きを張っても、相手に気を使う性格
そんな君に、こんな言葉を送ります。
そんな君の性格、大好きです。

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
「9月22日（木）」だから、これからも、同じ姿勢を貫くのみで
す」

最近「ようやく」仕事に慣れていた。

普通の人なら1〜3ヶ月かかるところを、半年以上かかった事になる。

こういう傾向は、良くある。今回は出ないでほしいと思っていた
が、最悪な事に出してしまった。

この期間、耐えてくれる雇い主の場合、この先もやってゆけるの
だが、今回は微妙だ、というか勘だけど、ダメな感じが強い。

“彼ら”の存在も足を引っ張る要因になっているかもしれないが、
言っても意味がない要因は、この際無視する。

11月、契約更新できない可能性を考慮しています。

仮にそうなくても、あきらめず、また、同じ仕事を探す覚悟です。
少なくとも、この半年で、学んだ事は多い。

女性社会とは何か？も学んだし、介護の世界で大切なものが何か
も、だいぶ教わった。

始めた頃の認識と、現在のそれはだいぶ違う。この仕事は、人の
命をあづかる物で、あやふやな仕事は厳禁なのだ。

このドクターは心の危機に襲われる。

同時に2人の患者が運ばれてくる、2人とも重症だ。

だが幸い、ホログラムドクターは治療法である手術を知っていた。しかし問題は、1度に1人しか手術できない事だ。

1人手術している間に、確実にもう1人は死ぬ。

悩んでいては、2人とも死んでしまう。

ドクターは瞬間的に、知人の方を救い、あまり知己ちぎ（＝知り合い）でない方の人を殺してしまった。

船のクルーは、あの状況では仕方がなかった…、と、皆、納得する。

ドクター自身も、そう自分に言い聞かせた。

しかし、その日からドクターのプログラムが異常をきたす。人を救うようプログラムされたドクターは、人を殺したという事実を受け入れられず、正常に機能できなくなってゆくのだ。

このままでは、船のドクターとしての任務にも支障がでる。

そう判断した艦長ジェンウェイは、ドクターの記憶の一部を消してしまうのだ。

しかし、ドクターは状況証拠から、記憶の欠落を見抜き、消された記憶を思い出すのだ。

艦長は何度記憶をけしても、再びドクターは記憶の欠落を見抜き、消された記憶を思い出す…、そう判断し、記憶をもつ消さない決断をする。

16時間ドクターに付き合い、ドクターの自問自答を見守る。

この物語のオチは印象的だ。

16時間たち、異常をきたしたドクターが、冷静に艦長に言うのだ、休んでくださいと。

艦長は手にしていた詩集をその場において、自室に戻る。

ドクターはその詩集を読みふける、というオチなのだ。

決してドクターが回復するオチではなかったりする。

その詩集には、こう書かれているのだ。

In que lla parte del libro de
llamiamemoria,
Dinanzi alla quale poco si po
trebbe leggere,
Si trova una rubrica,
La quale dice:
Incipit Vita Nova.

私の記憶という本の中の

その章の最初のページに

貴女に初めて出逢えた日のことが

こう書かれている

新しい人生が始まると

これはダンテ（1265年～1321年）が残した詩集「新生」のものらしい。

ウィキペディアによる解説では以下のように説明されている。

(転記)

ダンテは幼い時に美少女ベアトリーチェと出会い、青年になって彼女と再会して会釈を受け、

激しい恋心を抱くが、ベアトリーチェはほどなくして病気により夭逝した。

その悲報を受けてダンテは惑乱し、かねてベアトリーチェについて綴ってきた詩文と、

彼女を喪ったことの悲しみをうたった詩とともに『新生』としてまとめ上げた。

(転記おわり)

とある。

ダンテが生きた13世紀〜14世紀は、シルクロード貿易が最高潮の時期だ。

彼が生まれたフィレンチエ共和国はジェノヴァと2国で、ヨーロッパのシルクロード交易の利権のほとんどを握っていた。

この時期辺りから、オスマントルコの勢いが、ヨーロッパを脅かし、それが大航海時代の遠因になった事は、以前この小説内でも書いた。

こうした文明の爛熟(らんじゅく)＝果実がくずれそうなまでに熟しきっていること)期の様相は、現在のそれとさほど変わらないように思える。

現在でも充分通じる内容を、備えているのかもしれない。

何しろ人類の永遠のテーマ「恋」の詩集なのだ。

時代にそぐわない宗教の本とはちがう。

正直に言います、「新生」のダンテは恋人と再会できた。

実にうらやましいです。

でも、その後生き別れている…、それは実に嫌だとも思う。

かと、そう思ったりもします。当たったかな？それとも外したかな
…、いつかどっちだったか教えてほしい。

たんだりよく
胆力を鍛えましょう。

意味は「事にあたって、恐れたり、尻ごみしたりしない精神力。
ものに動じない気力」です。

この言葉を知ったのは、本屋で働いていた頃、偶然手にした本を
見たときだ。

“彼ら”は胆力が弱い。たんだりよく 故に宗教で精神武装している。

だから、その精神武装がはがされ、丸裸にされるのを異常に恐
れるのかもしれない。

…でも多くのメンバーは実際は付き合いで加盟している人がお
お、カルト的精神武装をしている人はごくわずかと推察します。

もし、君のまわりに、がちがちに精神武装したカルト的人物が、
たくさんいたとしても、全体から見れば、それは一部のサイコパス
で、少数派に過ぎないはずだ。“彼ら”の多くは、実はまともで、
でも無知と情報操作により、扇動されているだけだと感じる。

だから、必要以上に恐れなくて大丈夫です。

全体から見れば、常識人の方が多くはずだから、君が強い意思を
もって、自分の想いを行動で貫けば、常識人には時間はかかるが、
通じるはずだ。

君が頑張り続けられるなら、僕もまた頑張り続けられます。

負けないで！

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

〔9月25日（日）「僕は君の中に「強さ」を見た」〕

こんなニュースを見た。

アラブの中で最も保守的な国の1つで、初めて「女性の参政権（選挙に参加する権利）」が認められた、というニュース。

今まで「なかった」こと自体が驚きでもあり、そこまで酷かったのか、と思ってしまうのだが、そこまで保守的な国すら、改革せざるえない状況になったらしい。

どこの国かといえば、サウジアラビアだ。

国名の意味は「サウード家のアラビア」、以前この小説でも書いた、アラビアのロレンスに見出されたサウード家出身の部族長が、イギリスの援助の下、オスマントルコから独立し、勝ち取った国だ。

巧みな情報操作のもと、この国が独裁政権であることや、人権を侵害している事は隠されてきている。

特に日本人は、アメリカ人以上にサウジアラビア独裁王政に無関心だ。

だから、多くの日本人が、サウジアラビアが初めて「女性の参政権（選挙に参加する権利）」が認めた。というニュースを聞いて、ピンとこないと思う。

世の中、知らない事は実際多い。

違和感を感じる情報に、出くわした時は、疑問に思う事は、重要だと思えます。

流される事も生きてゆく上で大事だけど、流されない「根っこ」を持つことも、大事だと思う。

僕は君の中に「強さ」を見た。本当の君だ、その君に憧れてここまで来た。

「私はそんなに強くない」と思うかもしれない。

でも自分で思う自分と、他人が見る自分というのは、違うものなのです。

君は自分が思っている以上に強い、大丈夫です。めげずに立ち向かってほしい。

真実から目をそらす事に、疑問すら感じない人たちに負けないで！

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

「9月26日(月)」「もし、今、もしくは過去に、君も似たような経験をしているなら？」

こんなニュースを見た。

(以下転記)

「大阪市交通局職員刺殺事件 市営バスに警笛を鳴らされたとの勘違いが発端か

フジテレビ系(FNN) 9月27日(火) 6時32分配信

大阪市交通局の職員が26日、市営バスの事務所で刺されて死亡し、交通局とトラブルになっていた男が、その場で逮捕された。(中略)警察によると、森岡容疑者は26日、交通局に苦情を訴えにきていたが、その発端は9月22日、市営バスにクラクションを鳴らされたと勘違いしたことだった。

(転記おわり)

Fさん、最近“彼ら”の被害者を思われるニュースが減っていて少し安心していたのが間違いだったのかな…、たしかに最近は無差別に人を襲う犯罪が減っていた。電車内での不可解なトラブルのニュースも聞かない。以前はよくあったものだ。最初に僕が、そうした事件として記憶しているのは、池袋での事件だ、僕が攻撃をう

けるずっと前の事件であり、オウム事件の数年後の事件だった。

もしかしたら、“彼ら”はオウム事件をうけて、攻撃対象を団体から、個人へシフトした時期かもしれない…。そんな印象を漠然と思う。オウムも言っていた「ヘリがくる」と…。

クラクシヨンについての言及は、この小説内でも何度かしている。僕は真実に気づいたが、他の被害者は、わけのわからない状況の中、気がおかしくなる人も多いただろう。幸い僕は君がくれた多くの「ヒント」のおかげで、助かった。本当に感謝しています。いつか、直接感謝している事を伝えたいです。

こんなニュースも見た。

(以下転記)

「滝行で除霊」中学生死亡 父親ら容疑否認

日本テレビ系（NNN） 9月27日（火） 19時19分配信

除霊のための滝行と称して中学2年の女子生徒に水を浴びせて死亡させたとして、

宗教団体の僧侶と女子生徒の父親が27日、逮捕された。2人は容疑を否認している。」

(転記おわり)

“彼ら”の本を読んでいたら、脱会の意味を示す家族を、山奥のお寺に軟禁して、修行させるなんて話あったな、と。

これは、仮説に基づく話なんだけど、もし、今、もしくは過去に、君も似たような経験をしているなら？

今はそれを訴えるチャンスでもある。

こういう事件が起きた後だと、多少ありえないような話でも、

「あんな事件のあった後だから、ひよっとして」

と感じてくれる人も、いるかもしれない。

こういう事件がおきた後は、「こういう」カルトめいた被害体験を、聞いてくれる「普通の人」も増える傾向にある。仮に聞いてくれなくても、「こういう事件」があった事を伝えたと、考えを改めて耳を貸してくれるかもしれない。こういう事件がおきた後というのは、そういう空気が世間に流れるものです。

…そして、こうも思う。

仮に事実、君がなにかしら嫌な体験をしていると仮定すると？

これは君のカードにもなる。この（被害体験を公にするという）カードを使えば、相手は困るからだ。

相手が困るカードは、多いほうが、交渉には有利だ。

実際にこのカードを使うかどうかは、ケースにより違う。

そして何より、君の性格を考えると、こういう話を君は絶対に公にしたがらない。

しかし、ここで重要なのは、君がこれを交渉のカードとして、使える事に「気がついている」という事実を相手に明言する事なのだ。

「気がついている」という事実を相手に明言した瞬間、交渉のカードとしての「効力」が発生する。

これらの考えはあくまで、仮説に基づく提案にすぎない。何が役に立つのかわからないので、一応書きました。もしかしたら、なにかしら、より実用的な交渉姿勢に結びつくヒントになるかもしれないから。

当時から、君は、僕が君を粗暴に扱わない事を喜んでた。それが、どうしても気にかかっています。

出来る事なら、僕の思いつくとしてあればいい、そう感じます。心配しているのは事実です。

負けないでほしい！がんばれ！

（この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。）

第49話 迷った時は原点回帰2（未来へと続く話34）（後書き）

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意ください。お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

(この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。)

「9月27日(火)「仮に、再会し、君が何も語らずとも、一生懸命君の気持ちに気づける努力をしたい」」

今、冷静になって思う事もある。

Fさんは、他の女の子よりまじめな子だ。

自分ではそうでもない、と思うかもしれないが。

しかし、不良と呼ばれる類の人とは対極の位置に、いる人であると思う。

そんな君が、学校を意識的にサボる行為をする。

その事実には、意味があるように感じなくもない。

学校をサボる以上の“なにか”があり、そういう気分になったのか？

以前、この小説内でも書いた。

あれは高校3年の、2人が急接近した後の会話。

2人で下校している時、ある道に差し掛かって僕は言った。

1年前、君そっくりの女の子をここで見た、と。

朝、自転車で、登校していると、一本道の前方を女の子が自転車に乗っている。

Fさんだと思った、すると、その子は途中で学校とは反対方向へ行ってしまった。

その時間、反対方向へ行ったら、間違いなく遅刻になる。
だから、その時は、よく似た別人と思った。

その事を1年たち君に話すと、君は顔を真っ赤にして言った。
「それ、私。」そしてこうも言った「見られてるなんて思わなかつた……」

たぶん、まじめなFさんにとって学校をサボるのは、一大決心だったのだろう。

それだけの思いにさせた、何かが、当時あったのだろうか？
まじめな子に、そんな思いをさせる何かが。

…考えすぎ？

いつか、考えすぎなのか、それとも違うのか。確かめられたら…
そう思います。
心配しています。

こつこつと思う、再会しても、君は何も語らないかもしれない。
君は、しゃべらずとも、察してほしいと考える人だ。

仮に、再会し、君が何も語らずとも、一生懸命君の気持ちに気づける努力をしたい。
そんな事を思った。

.....
.....
.....
.....

〔9月28日（水）〕工夫して言い方（声かけ）を変えると、違う

かもしれない」

現在、介護の仕事をしている事は、以前書いた。
この仕事、最近は、こう考える。

もし、この利用者さんが、家で1人暮らしをしていたら？

転倒しても、発見されるまで何日もかかるかもしれない。
転倒を防ぐ人もいない。

食事も何日も平気でとらないかもしれないし、風呂も着替えもしないかもしれない。

たとえば、本人がやる気がなくとも、声かけで、促して、入浴や食事をしてもらったほうが、人らしい生活が出来る。

けど、例えば入浴。

本人が嫌がるものを、無理やり入れる事は、ご法度だ。
病院などでは、健康のため無理やりにも入れる事が、あるかもしれないが、介護の世界ではない。

基本、本人の意思だ。

だから、声かけを工夫する。

「お風呂に行きましょう」

では、めんどくさがって行きたくない人も。

「ちょっと、一緒に行きましょう」

では来てくれたりする。

「立ち上がりましょう」

と言って立ち上がってもらい、その後、お風呂まで、誘導する事もできる。

なにが言いたいのか？というところ。

もし、仮に、君が今も戦っているという前提で書くならばだけでも、最初から「離婚届けにハンコをおして」と言うと拒絶されるかもしれない。

けど「ちよつとハンコがほしいんだけど」と声をかけると、意外といけるかもしれない。

もしくは「名前を貸してほしいの、あなたの名前じゃないとダメなのよ」と声をかけてもいいかもしれない。

最初からストレートに言うと、何回繰り返してもダメだが、

工夫して言い方（声かけ）を変えると、違うかもしれない。

そんなバカな、と思うかもしれないが。

今の介護の仕事をしていて、そう感じた。

健常者として、認知の人として、基本同じ人間だ。まったく同じ手段が通じるとは思わないが、頑固な人を突き崩すヒントになるかもしれない。

そんな事を、漠然と思いました。

何が役に立つかわからないので、一応書きました。もし、なにかしらの実用的なアプローチへのヒントに繋がれば、幸いです。

今日は本当は10月1日土曜日です、少し日付的に遅れています、まあ、頑張つて追いつきます。

明日は夜勤で16時間労働、明けるのは月曜日の午前中になる。で、ちよつと挑戦してみたいことがあります。

この10月3日の日、夜勤明けだけど、サントムーン柿田川のも

スバーガーで読書をしようと思う。

12時（＝正午）くらいまで。

夜勤明けで眠いけど、ちょっとチャレンジしてみようと思う。

はたして、僕はこの日、指定した時間までモスで本を読み続けられるだろうか？

夜勤明けは神経が全開になってて意外と寝なくても平気なことが多いので、ちょっと挑戦してみます。

決して待ってる訳ではないです。たまたま、そこでチャレンジしたいなと思っただけです。

でも時々、こういうチャレンジを不定期にやろうと思う…。

何しろ最近、本を読むペースが落ちしている。

何しろ、今の仕事は昼休みすら読書できるような環境ではない。

東京での本屋時代は、結構なペースで読んでいた。

昼休み、まるまる1時間、週5で読んでいたからだ。

このままではせっかくの読書習慣がすたれてしまいかねない。

そこで、ちょっと無理してでも、仕事おわり読もうと思う。

いつ、どのタイミングが読書に最適かよく判らないので、いろいろ時間をかえて読もうと思う。

うん、そう、これは待ち合わせでは決してありません。

僕の単なる読書チャレンジなのです。

もし君が僕の前に姿を現すとしたら？きつと、僕のまったく予想もしないような方法で現れるように思う。過去の記憶からそんな事も思います。

まあ、気長にまちます。待つと決めたのだから。

でもあらゆる可能性を捨てずに、チャレンジしてみようと思う。

もし“彼ら”が見ていたら？間抜けに見られるだろう…

でもこんな事を思い出す。

あれは2回目の破局を向え、もう神社での密会もなくなった冬の日。

僕は君に手紙を送った、駅の南口で待っている、と書いて。

当日、結局君は来なかったのだが、後日、君からこんな話を聞いた。

「k君が、いたの見た人がいたの」と。笑顔で、本当にいてくれたんだ、という感じで。嬉しそうに。

多分、当時僕を監視していた人からの話が、間接的に伝わったのだらう。

仮に“彼ら”が見ていて、間抜けに見られようとも、それが間接的に君に伝わり、笑顔に繋がるなら、いくら間抜けに見られようと僕は平気です。

君のためなら、どんな屈辱もなんともない、そう、君に伝えます。

- - - - -

今も、外で変な走り方をするバイクをみた。

1、2回不必要に多くエンジンをふかすのだ。

偶然かな？まあ、どうでもいい、肝心な事は、惑わされない強い意思です。

前回の記述のあと、不良系の若い連中がヤンキーすわりで駐車場にたむろしているのを見た。

職場ではなした、他の人も何あれと見ていた、珍しい光景なのだらう。

そういう世界のファッションには疎いが、まるで20〜30年前の私服の演歌歌手か、私服の野球選手のような、ヤクザっぽい格好に見えた。一昔前ならそういう連中はよくいたが、いまや少数派。ある意味ヤクザコスチュームプレイに見えなくもない。（僕がコス

ブレに批判的な事は、前々から書いている通りです、書いてないかな…、まあ、そんな事はこの際重要な事ではない)

Fさんへ、こんな話を聞いた。

年間で何十件とある児童虐待の通報。

しかし、虐待されている児童本人から、直接通報されたのは、まったくないといっていいらしい。

言わなかったから、自分が責任を感じる、という「理屈は」間違っている。

上記のそれと一概に単純比較はできないかもしれないけど、もし、君らしく生きたいのなら？

言っていい事は、確かにあるみたいですよ。

外出すると、無言のプレッシャーをかけてくるのが「彼ら」のお馴染みの手段です。

そういう連中であつたら、こう念じてください「殴れるものなら、殴ってみる、捕まるのはお前らだ」と。

ちなみに、先に書いた連中の車のナンバーは、ちゃんと控えています。

…でも肝心な事は、彼らを改心させる事ではない。

肝心な事は他にある、惑わされてはいけません。

“そこ”が一番肝心です。

もし、ゆずれない“何か”が今もあるなら、大切にしていいます。

…このイメージ、上手く君に伝われば嬉しいですよ。

“彼ら”は脅せば相手が折れると、本気で思い込んでいる。

そうではないところを、見せてやれば、結果はどうあれ、君らしく生きられる。

肝心な事は、惑わされない強い意思です。
がんばれ！

- - - - -

最近、読書習慣を取り戻そうとしている事は、以前書いた。

前回のそれは、なんとか実行しました…。相当眠かったけど。

半分寝ながら読んでいました、でも、こういう経験は東京でもしている。

本を持つ手が、眠気でふいに落ちる感覚は、実に久しぶりだった。読んだ本は、どんな形であれ、必ず自分の脳の筋肉になります。

今月はずいに10月、11月の契約更新は無いと、個人的には踏んでいる。

でもギリギリまでがんばります。結果はどうあれ、手を抜いた行為の上の「結果」と、頑張った上での「結果」では、意味がぜんぜん違うから。

こんな事も思う、人はゆっくり時間をかけて死んでゆく、と。仕事をしていて、不謹慎ながら、そう感じる事がある。

日々、記憶も能力も1つ1つ、ゆっくりとなくしてゆく姿をみて、その行き着く先の死を思うと、人間にとって何が大切なのか考えさせられてしまう。

きっと、頑張った上での「結果」は、こういうとき、自分を支えてくれる。自分が何をした何者なのか？という問いに答えが出せているか？いないか？は、こういうとき、大きく出るように思う。

君が自分を立て直して、「前」を向き続ける姿を、想像するのは好きです。

以前書いたと思う。人は相手を攻撃する時、自分が言われて一番嫌な事を、相手に言う傾向がある。

僕の場合は理屈に合わない行為を指摘されるのがいやだ、それが故、そういう切り口で相手を責める。

“彼ら”の場合は？人格攻撃をする人は、人格攻撃をされるのに慣れていない。

時間をかけて、ゆっくり反撃の切り口を見出せば良いと思う。

僕の場合相手が“男”の場合は、相手がどう出るか予測ができるので、対応できるが、“女”の場合は難しい、今の職場で、面食らったのは、予想以上に男女で違う反応をするからだ。

でも、今回の経験で“女性”が相手を攻撃するやり方も観察できたし、結構、勉強になった。

女性は“空気”を大切にす。理屈と空気が相反するときは、理屈をすてて空気をとる。そして、空気に適合する理屈を探し出し、強引に結び付けようとする。結果が空気で決まり、後付で、理由が付けられるのだ。

これは僕の経験則。

女性の言う、理屈は、無視していい。真に受けると、意味がない（もちろん例外もある）

逆に言うと、その理屈は後付されたものが多いので、論理的欠点がある。そこを突かれると、向こうは反論に苦しむ。そんな印象をうけました。

何が役に立つのか解らないので、一応書きました。何かしらの参考になれば嬉しいです。

実は、明日も夜勤だったりします。

前回同様、読書にチャレンジしてみようと思う、同じ場所で、同

じ時間まで。

常に「前」を向くためにも。

自分が自分でいようとすることは、意味のある事なのです。自分が何ものか知るためにも。

.....

Fさんへ。

前回「読書にチャレンジしてみようと思う、同じ場所で、同じ時間まで」と書いた。

今日、夜勤なので、明日の朝（6日の午前）に行きます。

このチャレンジを書いてから、「彼ら」の動きに変化を感じる...それはつまり、君がまだちゃんと生きているという意味に繋がる...と、そう信じます。

この小説は、あらゆる可能性を考慮している。

当然、最悪な可能性も含む。

実はこの小説の第2話には第1バージョンがあり、一度掲載している。

君が自ら命を絶つ可能性に気づき、慌てふためいて書いたもの。当時は「彼ら」の攻撃も激しく、本気でこちらをしとめようとしていた。

何千人と感じる悪意に毎日さらされる日々で、ありとあらゆるものが、同時に襲ってくるような感覚だった。それでも僕が正気を保てたのは、君の想いに気づいたからだ。君の想いを無駄にしないためにも、正気をうしなってはいけないと、何度も自分に念じたものだ。

“彼ら”は相当戸惑ったろう...、何しろ今まではずすことなかった必殺技（文字どおり殺人技）が通じないのだから。それが故、

その後攻撃は過剰なまでに激化するのだが。今でも思う。新幹線の1車両全員が、マスクをしていてこちらを睨む姿は、一体なんだっただのかと。しかし、当時は、それも違和感を感じないほどの、猛攻撃にさらされていた。

生き残れたのは君のおかげです。君にもらった命は大切にします。

当時こう思った。君も同じくらいの攻撃にさらされやしないだろうか？と。

そこで、君が自ら命を絶つ可能性に気づき、あわてふためいたのだ。

しかし1日くらいたち、考えを改めた。君は強い、高校時代もどんなにつらくとも、不登校になどならず、ちゃんと来ていた。そのFさんがそうそう、そういう決断には到らないはずだ、と。

で第1バージョンの第2話を下げて、現在の第2話に差し替えたわけだ。

しかし、この小説はあらゆる可能性を考慮している、最悪なケースも無視はしていない。

これは、都合のいい解釈かもしれないが、先に書いたチャレンジの件、載せたあと“彼ら”の動きに微妙な変化を感じる。これは君が今も健在な事を意味する…、そう信じることにしました。

いつか、この目で君の姿を確認できて、心から安心できる日が来るのを、信じています。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。

負けないで！

確信しています。今も君が健在であることを。

- - - - -

こんな事も思う。

“彼ら”の思考パターンでいくと、相手の一番嫌がる事をする。この場合、一番嫌な事とは、僕の目の前で、君が他の男と一緒にいるのを目の当たりにすることだ。

今のところそれはない。

“彼ら”がそれを思いつかないとは思えない…。

こんな記憶がある。この小説でも書いたと思うけど、当時判っていた君の新横浜の住所あてに手紙をだした。日を指定して新横浜に行く。返事を待たず実行した。

あの日、駅前で、君とよく似た人がロン毛っぽい男と一緒にいたような気がした、近づいて確認してないけど、小柄な女の子だった記憶がある。

“彼ら”についての悪評を書いたHPなどでも、こんな記述をみた。

“彼ら”により自殺にいたってしまった方の葬儀に、わざわざ“彼ら”がそれとわかる風に参加していたというやつ。確かに、僕の経験から思うに“彼ら”はそういう行動をする。

だから、君が僕の目の前で、他の男という光景を、偶然を装い見せ付けると言うのは、あながちないといいきれなかった。

ここで重要なのは、この嫌がらせを仮に、実行するには、どうしても君の協力がいるところだ。

真実に気づいてから、現在に至るまで、この嫌がらせを受けた記憶がない。

少なくとも、君が、この嫌がらせに協力をする意思をもっていない、と僕は考えた。

もちろん、これは僕の妄想的推測。根拠は、過去の記憶における君の性格のみだ。

こうした推測は、この小説でたくさん書いた。
正解率はどのくらいなんだろう…。

以前この小説内で、夏に蝉にぶつかった話を書いた。生きた蝉を捕まえて投げつけたら不可能じゃないとも書いたが、先日ラジオを聴いていると、TBSのアナウンサーで、同じように夏、よく蝉にぶつかる人の話を聴いた。案外、あれは偶然だったのかもしれない。

いろいろ書いた推測、どこまで当たっていて、どこまで外れているのか？君が全てを答えられないとおもっけど、どんな風に感じるのか？いつけ聞いたら嬉しいなど、そう感じました。

これは推測。

もしかしたら？君は僕を攻撃するよう強要される（あるいは、強要された）かもしれない。

その場合の君の様子や、心の変化は、なんだか手に取るように判ってしまふ。

真実に気づいた今、そう感じてしまふのです。

泣きたくなったら、泣いて良いと思う。

しかし、「前」を向き続ける事だけは、やめないでほしい。

どんなに、ゆっくりな歩みでも、かならず意味があると僕は信じます。だから、君にも信じてほしいのです。

君が今も、戦っているという前提で書きます。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。

負けるな！

こんな事も思う。これは書いていいのか？とも思うが、この戦い、遠慮に意味は無いので、書くことにしました。

仮に、今も君が戦っている？という前提で述べるなら？

相手の顔も立てるような終わりも理想だ。

仮に離婚を目指しているなら？相手の顔が立つラストにはこんな
のがある。

実は、皆には黙っていたが、相手の男性がFさんと知り合うより以前に、もつと相性のいい相手と出会っていた、諸事情で、その時は一緒になれなかったが、今度は一緒になれる…、というストーリーを組むことで、相手は顔が立つ。

その線で調整して、相手の顔が立つように交渉するのも、考慮の対象に入と思う。

「なにを偉そうに」とか言われるかもしれない。しかし、そういわれたら、こう言い返せばいい。

「愛情を議論するうえで、偉いとか偉くないとか持ち出すセンスが、そもそも間違っているわ！」と。

.....

Fさんへ。

以前トルコ旅行で、世界最古の巨大教会の1つ、聖ソフィア（＝現アヤ・ソフィア）に行った話をしたと思う。

ガイドが言っていた、この建物のドームは何度も崩落している、当時の人は、ビクビクしながら、ドームを見上げた、と。

現在のドームは高さが低く再設計されたもので、大丈夫らしい。

このドーム状の建築はその後、ヨーロッパ中に広がっていった、という話は、以前書いた。

正確かどうかかわからないが、僕の理解では、こうした建物が発展したものを「ロマネクス様式」と呼ぶのだと思う。

最近見たTVでは、このロマネクス様式のアーチには、構造的な欠陥がある事を説明していた。

構造的に弱く、崩落しやすいらしい。だから、分厚い壁が必要で、大きな窓は作れなかった。

ロマネクス様式の建物は、どれも大きさはかりでかく、窓がほとんどない、内部が真っ暗な建物ばかりという。

この欠点を克服したのが「ゴシック様式」の建築物らしい。アーチを尖らせ、補助のアーチを両脇につける構造で、柱だけで巨大ドームの重量を支えられる。

分厚い壁がいらなくなり、巨大な窓が作れるようになったと言うのだ。

ゴシック様式の教会などは巨大な窓がつくれるので、ステンドグラスの窓を大量に作れて、内部は窓からの光で、開放的な空間になったという。

「これはいい！」

と当時の人も思ったのか、その後、このゴシック様式の建築物は爆発的勢いで、各地に作られるようになったらしい。

ここで面白い事実がある。

ゴシックとは、ゴート族が作ったような野蛮な建物、という意味があるらしい。

侮蔑的な意味合いだ。当時ゴート族は未開の民族の意味があったらしい。

（余談だが、宮崎駿監督作品に「ルパン三世カリオストロの城」があるが、あの映画で、クラリスが持っていた指輪に書かれた文字は

ゴート文字という設定だ。

クラリスの祖先がゴート族であることを物語る設定だ。ゴート族はその後ヨーロッパの人々と溶け合い、混ざり合い、一体となり、異民族でなくなる歴史をもつ。」

なぜ、侮蔑的な名前を、一大ブームになった建築法につけたのか？
やはり、当時保守的な人々がいて、変化を否定する心理から、そういう侮蔑的な名前をつけたのだろう。

保守的な人は、異質な物をなんでも否定する性質があるのかも
れない。

この歴史を聞いて、「それはすばらしい、ぜひ後世に残すべき、人間の文化だ」と思う人はいないと思う。

「偏見ってやだな、こういう歴史から反省すべきだな」と考えるのが、普通感覚だと思う。

Fさん、そちらの世界にも、異質なものは何でも頭ごなしに否定する人、いると思う。

そういう人がいたら？こう言ってもいいと思う。

「視野の狭さだけとれば、もう立派なカルト構成員ね。他の感性もカルトっぽくなる前に、自分を取り戻してね」と。

.....

Fさんへ。

こんな事も思う。仮に離婚を目指していると仮定するならば？

交渉過程で、相手に提示する条件に、こんなものもあると思う。

結婚期間、実際はどうか？は別にして、相手が嫌な人ではなかった旨、周囲の人に説明する、というのを条件に提示するのだ。

おそらく、向こうは、そんなのは当然だ、くらいに考えているだ

ろつが、ちつとも当然ではない。

普通別れたら、相手をボロクソに言うものだ。

そこを、あえて、「言わないよ」と提示し、相手に顔を立てさせる。

そんな事も可能だと思う。

向こうは「当然」と思うことも、そうではないと主張する事は、大事な交渉方法の1つのように思う。

“彼ら”はどうあれ自己正当化をしなければならぬ集団だ。

だったら、そのめんどくさい仕事を、ほんの少し楽に出来るよ、その代り「こつち」の要求も呑んでね、という交渉も、アリだと思う。最終的に、どうしてもゆずれない“何か”を相手に呑ませる事が目的なのだから。(でも安易な妥協は厳禁です、その代り、駆け引きなのだから、引き伸ばしたり、勿体付けるのはアリです)

君が戦い続けていると言う前提で書きます。

君が頑張り続けられるなら、僕も頑張り続けられます。

Fさんへ。

実は今日も夜勤です。

だから、明日の午前中、夜勤明けに読書をしようと思います。

今まではモスバーガーを使っていたけど、今度はマックにしようと思う。

大社の南にイトーヨーカドーがあり、そこにマクドナルドがある。明日はそこを利用するつもりです。

同じように正午まで読書しようと思う。

この方法での読書は、意外と読み進められて、なんかいい感じで

す。

Fさんは、自分を取り戻す何かをしているのだろうか……
いらぬ心配であればいいかと、そんな事思ったりします。

.....

以前、PSS3を買った話をしたと思う。

最近、ようやく使いこなせるようになって来ました。

このPSS3にある「メディアサーバー機能」は実に凄い。

LANでつないだPC内の動画ファイルを、全部認識し、TVで再生できるのだ。

以前書いたと思うけど、僕は膨大なビデオファイルを持っている。
これらをPSS3で思う存分見れることになる。

しかもほとんど画質は落ちない。

(もちろん欠点もある、あまりにデータのデカイものは、見れなかったりする。まだ、開発途上の技術なのかもしれない)

この機能、大きく宣伝されてないけど、最新機種のHDレコーダーなんかには組み込まれていて、PSS3と組み合わせれば、面白い使い方がいろいろできそうだ。

実際出来るかわからないけど、手持ちのPSPでネット経由で、PSS3に繋がれたら、どこでも自宅の動画にアクセスできるし、HDレコーダーも対応機種にかえて繋げておけば、昨日とった番組をPSPでどこでも見れることになる。

僕のような人間には、理想的な機能だ。

世の中、知らぬ間に進歩しているものです。

時代は常に、動き、変化しているという事でしょうか。

最近こんなニュースを見た。

ある日本企業が、ヨーロッパの大手企業を買収したニュースだ。これによりシェアが上位になるらしい。

普通で感覚で聞けば、これはいいニュースだ、しかし、実際はそうではない。

このニュースの実体は、日本の産業の空洞化の裏づけにすぎない。国内だけでやっていけない企業が、海外に活路を見出したのだ、で、手っ取り早く海外進出するため、海外の企業を買収したにすぎない、体力が残っているうちに買収という大勝負にでた、というニュースだ。

日本はいまや、経済大国ではない。

日本の企業は、残された体力を使い切る前に、活路を見出すのに必死だ。

体力がなくなれば、今度は自分自身が買収の対象になってしまうからだ。

近年、日本がGDP世界第2位の地位を、中国に明け渡したのは有名なニュースだ。

しかし、国民1人あたりのGDPのほうは、1992年ごろを境に、世界第2位から急落し、いまやアジアの劣等生になっている事実は、あまり報道されていない。

シンガポールやインドネシアと同じか、それり下くらいなのではないだろうか？

しかし、報道がされていないので、未だ多くの国民は認識していない。

時代は新しいステージに突入しています。たぶん。

最近、本でこんな事を読んだ。

日本の組織力はすごいすごいというが、組織力の中でも協調性のみが、すごいだけで、その他の能力は、ちつとも凄くないというのだ。

日本の組織は、決断力がまったくなく、判断力も欠如している、と。

これは、最近話題の、古賀茂明さんの著書「日本中枢の崩壊」を読んでの事だ。

周囲の反対と戦って、「ガソリンのセルフ給油」を実現させたのも、この人だし、

偽造クレジットカードを厳罰化させたのも、この人だ。

一時期、TVでカード犯罪の特集がやたらと放送されたが、あれも、世論を喚起するため、この人が仕組んだものらしい。

で、今は公務員制度改革を推し進めたせいなのか？クビ寸前になっている。

そうはさせまい、という事なのか、本を出し、TVタックルに出演を繰り返して、たった1人で、巨大な霞ヶ関の理屈と戦っている。

正しい事をする、追い出されるといふのは、おかしい事だと思ふ。

あの、福島第1原発の所長にしても、政府の命令に逆らって注水をした。

その事実そのものは、ただし。しなければ、原発は爆発していたかもしれない。

なのに半年以上たつのに、表彰状1つ出ていない。

政府や官僚や東京電力に逆らうという事は、ここまで露骨な仕打ちになるのだろうか？

世の中は、確実に変わっている。
でも日本がかわるのはもっと先かもしれない。
けど、変わるための「下地」は確実に整いつつあるように思う。

あまり大きく報道されていないが、今、アメリカでネット発の巨大デモが広がりそうな気配をみせているという。

みな、あるキャッチフレーズに惹かれたのだ。

儲けたのはウォール街の1%の人々だけ、苦しんでいるのは99%の我々だ、と。

このフレーズなら、誰もが「自分も99%の1人だ」と思うらしく、デモに参加するといふのだ。

アラブでおきたデモにも触発されているらしい。

(日本でも、中国や韓国、北朝鮮で、デモ発の政変でもおきたら、多分影響を受けずにいられないのだろう)

この小説でも何度も書いている、改めて書きます。

世の中は、広大で、複雑で、人間の想像の域を遥かに超える“巨大さ”をもっているようです。

手が出せば届くような単純なものではない。

単純であると吹聴する人間はなにも理解していないのに、した“ふり”をしているだけです。

物事は単純ではない、なにかしらバイアスがあり、それらが絡み合い“何か”を引き起こしている。

単純な真理1つで救われるほど、単純ではない。

まして、意味も解らず教えを妄信すれば、世界が救われるなど、ありえない事です。

Fさん、そんな連中の説教など跳ね除けて！

君の周りの人に伝えてください。

「わかるうとしないのは目の前しか見ていないからよ」と。

「教えが正しいとか間違ってるとか、そういう問題じゃないのよ！」と。

「それもの凄い犯罪なのよ！わたしそれに気づいたの、もう戻れないわ」と。

彼らの放つ理想だけでは、世の中は良くならないと、わからないはずなのです。

それが証拠に、彼らは彼ら自身の行いで、ドンドン日本を荒廃させている。

「いいわけ」と「ごまかし」の果てにある「悪意の集約」が何を引き起こすのか？

冷静に考えれば、わかることです。

これは人としての“質”がどうなのか？という問題です。教えが正しいとか、間違っているとか、そういう問題ではない。

“質”が問われているのです。そう伝えてください。

(こんな妄想も抱く…、ある日突然、差出人不明の“白紙”のハガキが、“彼ら”の本部に届く。どこにも何も書いてない、意味は、関係を白紙にしたい、とも、お前らは中身がない白紙だ、とも、いくらでも取れる、何しろ何も書いてない“白紙”のハガキだからだ。“彼ら”は調べる、しかし、ハガキは指紋もついてない、手袋でもして出されたらしい。消印も当てにならない、少し離れた所から投函すれば、消印から住所がばれるリスクを回避できるからだ。

そして、その日を境に、何通も何通も“白紙”のハガキが、“彼ら”の本部に届く、噂では「白紙運動」と言って、“彼ら”に不満を持つ人々のパフォーマンスとして、広がっていると言っ…

なんて、妄想。

ある日、突然、何かが起こると、面白いものです。(

昨日も先日書いた、読書習慣を取り戻す試みを、実行しました。
イトーヨーカドーのマックで、夜勤明けの眠気と戦い、読書をし
た。

正直、半分寝ていた感覚で、何度も本を持つ手を落としてしまい
そうになる。

(周囲の人は、どう思っていただろうか…、そういえば、店に入っ
てしばらくして、「本当にいる」という声を聞いたような気がする
のは、たぶん、僕の空耳です)

君が戦っているという前提で書きます。負けないで！応援してい
ます。

君は自分で思っている以上に強い人です。

負けるな！がんばれ！

日付は後々入れます、少し日付的に遅れているので…
でも頑張って追いつきます。

意味のある内容で書くというのは精神力勝負になりますが、これ
からも続けます。

君にいつか届く日を信じて。

21時の日課は「続行」です。(ただし夜勤の時は休止になり
ます。)

夜勤明けの日は、よく駿東郡にある「サントムーン柿田川」です
ごします。

だいたい午前10時〜正午くらいまでいるでしょうか？

近くに柿田川公園がありますね？あそこで過せたらうれしいけど、

どうなのだろう。

そんな妄想も抱きます。

木々に囲まれた静かな場所で2人きりというシチュエーションは、2人の共通の記憶だから、そういう場所を他にも探したいという思いは、事実あります。君はどうですか？

もし君が僕の前に姿を現すとしたら？きっと、僕のまったく予想もしないような方法で現れるように思う。過去の記憶からそんな事も思います。

こんな事も、思わなくもない。

僕がいくら何と言おうと、自分が一番悪い、自分の責任だ、と感じてしまうのかもしれない。

そんな事はないので、安心してください。

- - -
- - -
- - -
- - -

(この物語はフィクションです。登場キャラクターは実在の人物・団体等とは一切関係ありません。)

「メンテナンス中でもあきらめずに何度も“更新”を押せば意外とつながります。」この物語はフィクションです、それはそれはこわい都市伝説風恋愛ストーリーです。けっして現実ではありません。だから訂正も修正も削除も受け付けません。フィクションです。真に受けなくてください。とくに年配の方。この物語は実在の人物・団体等とは一切関係ありません。リアリティーを追求した描写が売りなだけです。フィクションです。特に既婚女性を意識して書きました、細かい描写も注意してお読みください。著作権法上の権利者である私が原文のままのコピーに関してのみ許可します。1文でも付け足したコピーは違法です。ご注意を お金に興味はありません、心の充足が大事です。同じ物語を彼女側から書いたものも構想中ですが、女性心理がわからず苦戦しています。アクセスができなくなる前にぜひ感想をおよせください

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1254i/>

もう一度あいたい君へ

2011年10月10日15時19分発行